servicenow

ワシントン DC の IT 資産管理

最終更新日: **2025**年**12**月**17**日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

IT Asset Management....5
Software Asset Management....12
ソフトウェア資産管理 の詳細....13
ソフトウェア資産管理 の設定....142
Software Asset ワークスペース の構成....161
ソフトウェア資産管理 クラシックの設定....172
Software Asset ワークスペース の使用....183
ソフトウェア資産管理 クラシック版の使用....286
ソフトウェア資産管理 へのサブスクリプション....313
プラットフォームアナリティクスソリューション ソフトウェア資産管理 クラシック用....316
サポートされているソフトウェアパブリッシャーライセンス....332
SaaS ライセンス管理....517
ソフトウェア支出検出....779
ソフトウェア資産管理 管理....792
ソフトウェア資産管理 参照....814
ハードウェア資産管理 898
ハードウェア資産管理 の詳細....899
ハードウェア資産管理 の構成....971
ハードウェア資産管理 の使用....972
ハードウェア資産管理 に関する参照情報....1096
ハードウェア資産管理 ゼロタッチモビリティとの統合....1141
資産管理....1142
資産管理 ワークスペース の探索....1142
エンタープライズ資産管理....1151
エンタープライズ資産管理 の詳細....1152
エンタープライズ資産管理 の構成....1197
要求とフローに エンタープライズ資産管理 Service Catalog を使用する....1220
エンタープライズ資産インベントリの管理....1227
エンタープライズ資産の作成と管理....1276
アプリケーションを使用した モバイルエージェント エンタープライズ資産とタスクの管理....1303
エンタープライズモデルの作成と管理....1325
エンタープライズモデルの正規化....1335
エンタープライズ資産の契約の作成と管理....1337
エンタープライズ資産運用の管理....1355
エンタープライズ資産の作業指示書の作成と管理....1371
エンタープライズ資産の調達....1392
エンタープライズ資産管理 に関する参照情報....1393
クラウドコスト管理....1403

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

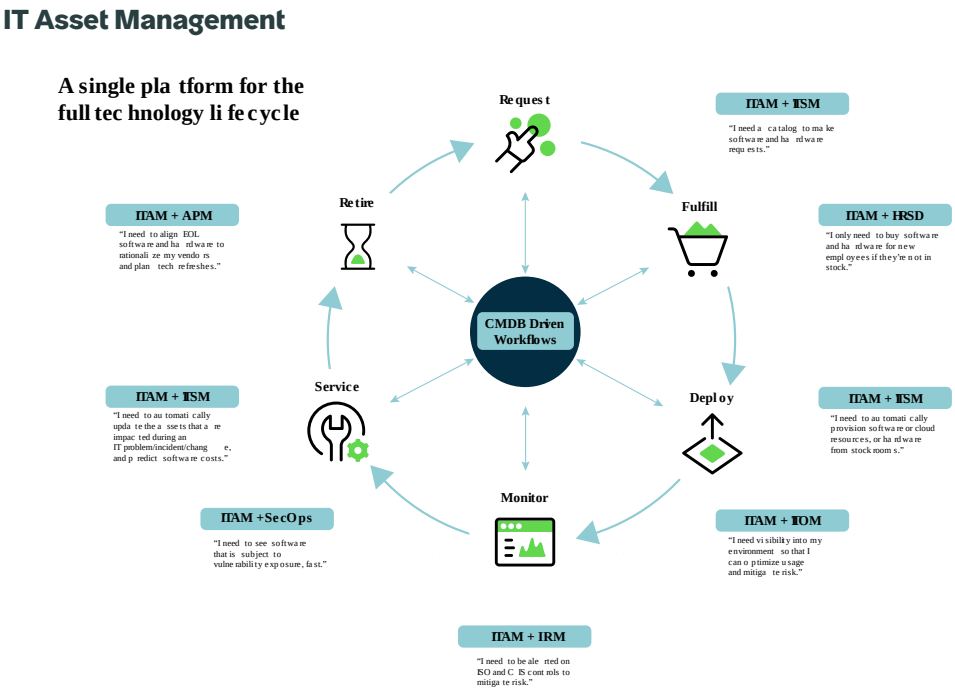
クラウドコスト管理 の詳細 1405
クラウドコスト管理 の構成 1446
クラウドコスト管理 の使用 1517
クラウドコスト管理 参照 1561
契約管理 1599
資産契約の概要モジュールの使用 1599
一緒にインストールされるコンポーネント 契約管理 1600
契約更改ワークフロー 1603
契約管理 の使用 1614
条件チェック定義 1640
ドメイン分離と 契約管理 1642
Procurement 1642
Procurement のロール 1643
Procurement のワークフロー 1643
Procurement 概要モジュールを使用する 1644
調達 をアクティブ化する 1644
サービスカタログ要求でのアイテムの調達 1649
Procurement での資産の発注書管理 1654
資産の受領 1665
外部調達アプリケーションとの統合 1669
ドメイン分離と 調達 1680
Product Catalog 1681
Product Catalog でインストールされるコンポーネント 1681
モデル 1683
ベンダーカタログアイテム 1692
製品カタログアイテム 1697
モデルカテゴリ 1700
ドメイン分離と 製品カタログ 1705
IT Asset Management コンテンツ要求プロセス 1706
IT Asset Management コンテンツ要求の作成 1706
IT Asset Management のライセンス 1707
IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプション概要 1708
IT Asset Management アプリケーションのライセンスレポートの表示 1710

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT Asset Management

直感的なワークフローとライフサイクルの可視性を使用して、ソフトウェアライセンス、ハードウェア資産、クラウド資産を管理します。



ソフトウェア、ハードウェア、クラウド資産を管理

Gartner, Inc.によると、組織は年に3回以上のソフトウェア監査に直面することが多いとのことです。監査の数や統合された資産管理プラットフォームの欠如により、組織がソフトウェア支出を管理および最適化するという課題が生じる可能性があります。ServiceNow ソフトウェア資産管理アプリケーションを使用して、ソフトウェア資産のコマンドを実行します。

企業は、所有している資産、資産がどこにあるか、誰がそれらの資産を使用しているか、それらの資産がどのくらいの頻度で使用されているか、それらの資産がいつ構成されているか、それらの資産にどれくらいのコストがかかるか、およびそれらの資産がどのような価値を提供するかを知る必要があります。この ServiceNow ハードウェア資産管理 アプリケーションを使用して、資産資産の可視性を高め、調達から廃棄までの IT ライフサイクルを自動化します。

企業がクラウドに移行すると、クラウドの支出と使用状況が可視化されないため、®コストと提供されるビジネス価値を関連付ける際に課題に直面する可能性があります。ServiceNow クラウドコスト管理このアプリケーションを使用して、クラウド資産に関連付けられている使用状況とコストを完全に可視化することで、運用を最適化し、クラウド支出を削減できます。

機能の特長については、 Software Asset Management または Hardware Asset Management の情報カード全体を表示してダウンロードしてください。

ソフトウェア資産を正規化

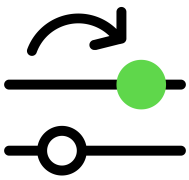
コンテンツサービスからの更新を使用してソフトウェア資産を自動的に正規化します ソフトウェア資産管理 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



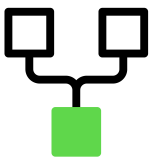
ソフトウェア権限の管理

ソフトウェアエンタイトルメントを作成またはインポートして、ソフトウェア製品の権限を追跡および管理します。



パブリッシャーパックを活用する

特定のソフトウェアパブリッシャーのライセンスの測定基準データを使用して、ソフトウェアの使用状況を正確に追跡します。



サブスクリプションの使用状況を追跡するSaaS

アプリケーションおよび SSO プロバイダーと SaaS 統合して、サブスクリプションの使用状況を追跡します SaaS 。このデータを使用してコンプライアンスを管理し、サブスクリプションのライセンスを最適化します。



ライセンスポジションの表示とアクションの実行

ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) またはライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) を使用して、ライセンスコンプライアンス状況を表示し、ライセンスコンプライアンスの問題を簡単に修正します。



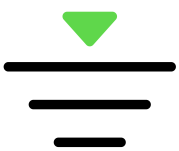
ソフトウェア支出の追跡

ソフトウェア製品の財務トランザクションデータを追跡および管理して、ソフトウェア支出を最適化できるようにします。



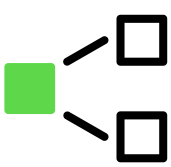
ソフトウェア資産分析ダッシュボードを使用してビジネスプロセスを分析および改善する

実用的なデータ可視化を備えた統合ダッシュボードを使用して、ビジネスプロセスを分析し、改善領域を特定します。



ハードウェア資産を正規化

広範なハードウェアコンテンツライブラリを活用して、資産のメーカーとモデルデータを正規化し、重要なライフサイクルの日付を入力して、資産資産の可視性を向上させます。



資産ライフサイクルの自動化

資産ライフサイクルの各ステージで利用可能な業界のベストプラクティスに基づいたローコードの規範的ワークフローを使用して、手作業を削減し、サービスデリバリを改善します。資産タスクを使用して、一括在庫注文のワークフローを自動化します。廃棄注文;資産の展開、交換、および廃止。資産タスクを使用すると、手動入力によって生じるデータの不正確さのリスクを排除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

古いハードウェア資産のリフレッシュ

ライフサイクルの終わりが近づいている老朽化した資産を積極的に追跡して計画することで、交換コストとハードウェア脆弱性のリスクを軽減できます。

資産在庫を監査する

資産ストックルームやその他の資産の場所 (オフィスやデータセンターなど) の定期監査または臨時の監査を実施します。

期限切れ間近のメンテナンス契約とリース契約の管理

簡素化された契約更新プロセス内でタスクベースのワークフローを使用して、期限切れ間近のメンテナンス契約とリース契約に対応します。

専用のワークスペースを使用して資産管理者の生産性を向上

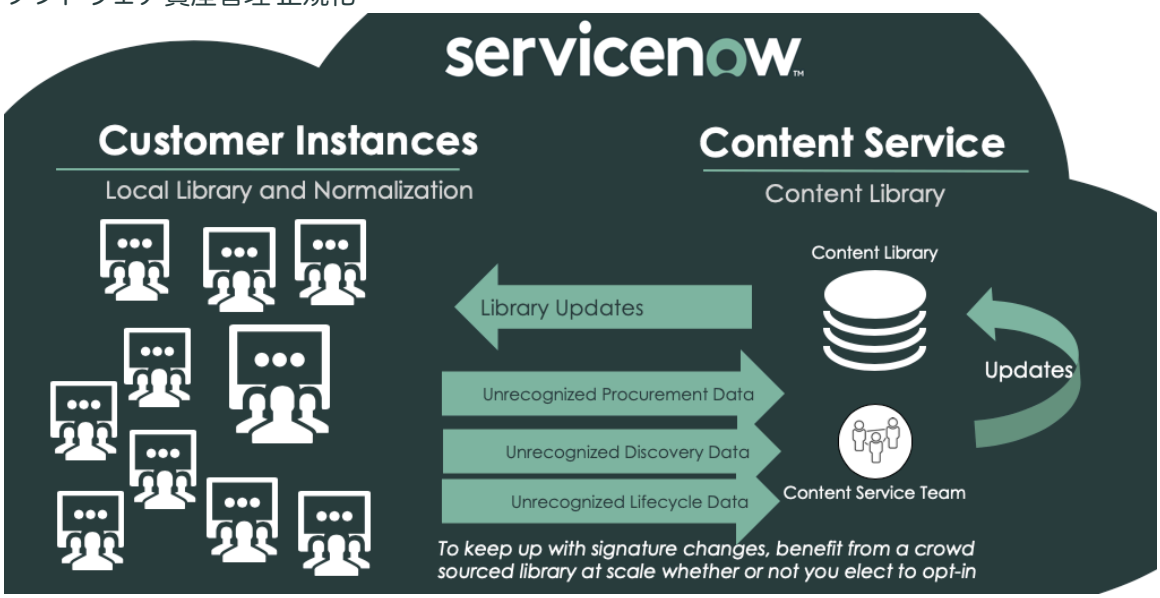
ハードウェア資産ワークスペースを使用して、ハードウェア資産一覧を一元化された単一ペインビューで表示します。資産のライフサイクルのすべてのステージで成果を促進する ハードウェア資産管理 重要なアクションアイテムを可視化します。さらに、重要なアクションを掘り下げて、資産ライフサイクルプロセスから推測を排除します。

クラウド戦略を加速し、コストを削減

合理化され、応答性が高く、直感的なセルフサービスのクラウドリソースポータルと非侵入型のポリシーガードレールにより、クラウドの実装を加速します。組織の使用状況に合わせてクラウドリソースのサイズを適正化し、営業時間外にクラウドリソースを自動的にオフにすることで、コストを削減します。

ソフトウェア資産を正規化

ソフトウェア資産管理 正規化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検出ソースを有効にすると、 ソフトウェア資産管理 組織のソフトウェアインストールデータが正規化されます。検出されたデータを正規化して、正確かつ最新の状態に保つことができるように、公開者名、製品名、ソフトウェアライフサイクルの日付などの毎週のコンテンツ更新が利用可能になります。また、機械学習によって検出されたデータの正規化値を予測することで、正規化レートを向上させることもできます。さらに、コンテンツサービスに ソフトウェア資産管理 オプトインして、正規化されていないコンテンツを ServiceNow 安全かつ匿名で送信し、調査、検証、および更新を行うことができます。

ソフトウェア権限の管理

ソフトウェアエンタイトルメントを使用して、購入したソフトウェアの権限を追跡および管理します。組織が購入した権限の数、それらの権限のコスト、それらの権限の割り当て先などを決定します。ソフトウェアエンタイトルメントを個別に作成および更新することも、一括ソフトウェアエンタイトルメントを一度にインポートすることもできます。

パブリッシャーパックを活用する

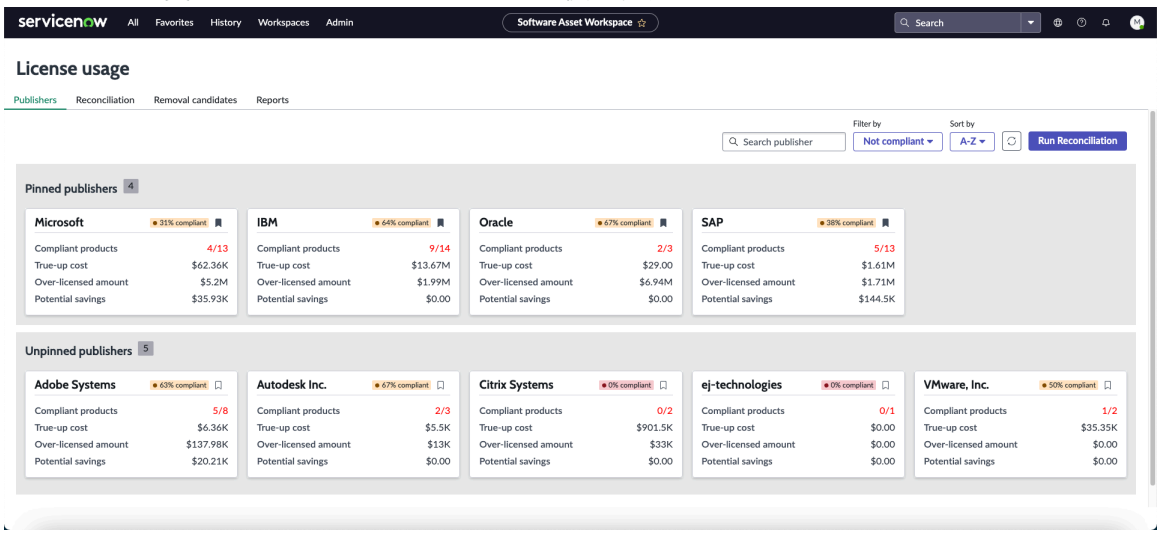
ソフトウェア公開者は、さまざまなライセンスモデルを使用してソフトウェアライセンスの使用方法を定義します。これにより、すべてのソフトウェア公開者間でライセンスコンプライアンスを追跡することが困難になる可能性があります。コンテンツライブラリから入手できる数千のソフトウェア公開者に加えて、この ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、サードパーティソフトウェア公開者と上位のサードパーティソフトウェア公開者間の Now Platform 機能を拡張する公開者パックを提供します。公開者パックを使用すると、指定されたソフトウェア公開者のライセンスを追跡および最適化するのに役立つ追加機能にアクセスできます。

サブスクリプションの使用状況を追跡する**SaaS**

アプリケーションを使用するとソフトウェア資産管理 SaaS ライセンス管理、インスタンスをサードパーティSaaSアプリケーションや SSO プロバイダーと統合ServiceNowできます。これらの統合により、自分 SaaS および接続された SSO アプリケーションからサブスクリプションの使用状況データをプルして、使用状況を追跡し、コンプライアンスを管理し、サブスクリプションのライセンスを最適化できます。

ライセンスポジションの表示とアクションの実行

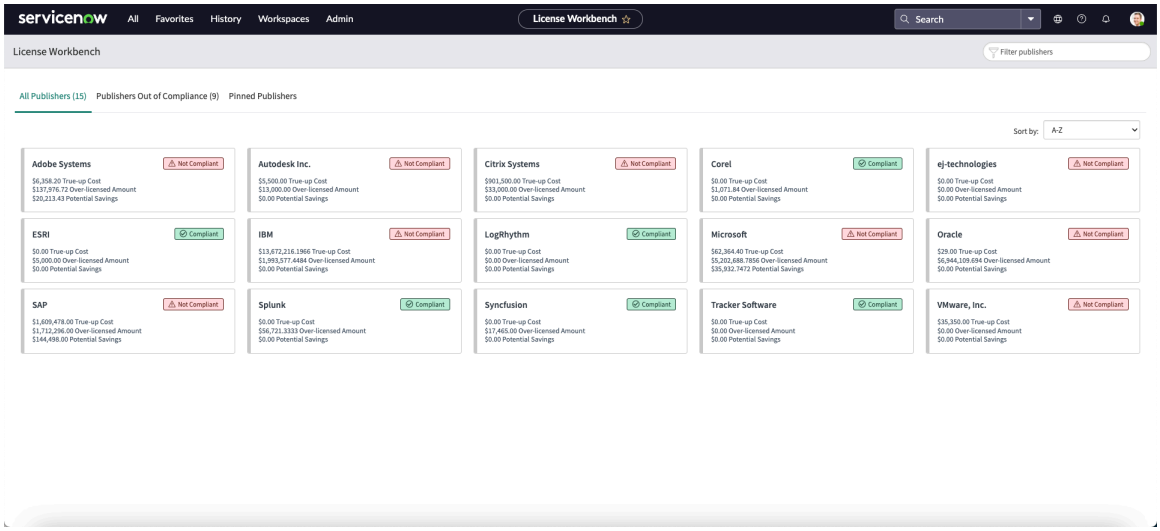
ソフトウェア資産ワークスペースのライセンス使用状況ビュー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラシックアプリケーションのライセンスワークベンチソフトウェア資産管理



ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) とライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) では、すべてのソフトウェア製品のライセンスコンプライアンス状況を一元的に表示できます。いずれかのライセンスがコンプライアンス違反している場合は、指定した製品にドリルダウンして、提案された修復オプションを確認できます。ライセンスを効率的にコンプライアンスに戻すためのオプションを選択します。

ソフトウェア支出の追跡

ソフトウェア支出検出アプリケーションを使用して、インポートされた財務トランザクションデータに基づいてソフトウェア支出を追跡および最適化します。このデータを使用して、冗長なソフトウェアを特定してアクションを実行したり、会社のソフトウェア購入ポリシーを強化または更新したり、管理されていないソフトウェア製品の管理を開始したりできます。

ソフトウェア資産分析ダッシュボードを使用してビジネスプロセスを分析および改善する

アプリケーションは ソフトウェア資産管理 、アクション可能なデータ表示方法を備えた事前構成済みダッシュボードを提供し、パフォーマンスを追跡してビジネスプロセスを改善するのに役立ちます。これらのダッシュボードを使用して、ライセンスコンプライアンス、SSO サブスクリプション、 SaaS エンジニアリングアプリケーション、推奨されるライセンス最適化、潜在的なコスト削減、正規化の傾向などを可視化します。

ハードウェア資産を正規化

アプリケーションは、 ハードウェア資産管理 ハードウェアおよび消耗品モデルの資産データを正規化します。製造元、デバイスの種類などの毎週のコンテンツ更新を利用して、データを正規化し、正確かつ最新の状態に保つことができます。コンテンツサービスに ハードウェア資産管理 オプトインして、正規化されていないコンテンツを ServiceNow 安全かつ匿名で送信し、調査、検証、および更新を行うこともできます。

資産ライフサイクルの自動化

アプリケーション ハードウェア資産管理 を使用して、調達から廃棄までのハードウェア資産のライフサイクル全体を管理します。アプリケーションは ハードウェア資産管理 、ハードウェア資産の財務、契約、在庫の詳細を追跡することで、資産ライフサイクルの各ステージを自動化します。資産を展開、置換、スワップ、または廃止するための資産タスクが提供されています。資産マネージャーは、インシデント、変更、および作業指示書に資産タスクを割り当てることができるため、チケット解決の労力を削減し、より迅速にサービスを提供できます。資産タスクは CI と資産レコードを自動的に更新し、手動入力によって生じるデータの不正確さのリスクを排除します。

自動翻訳

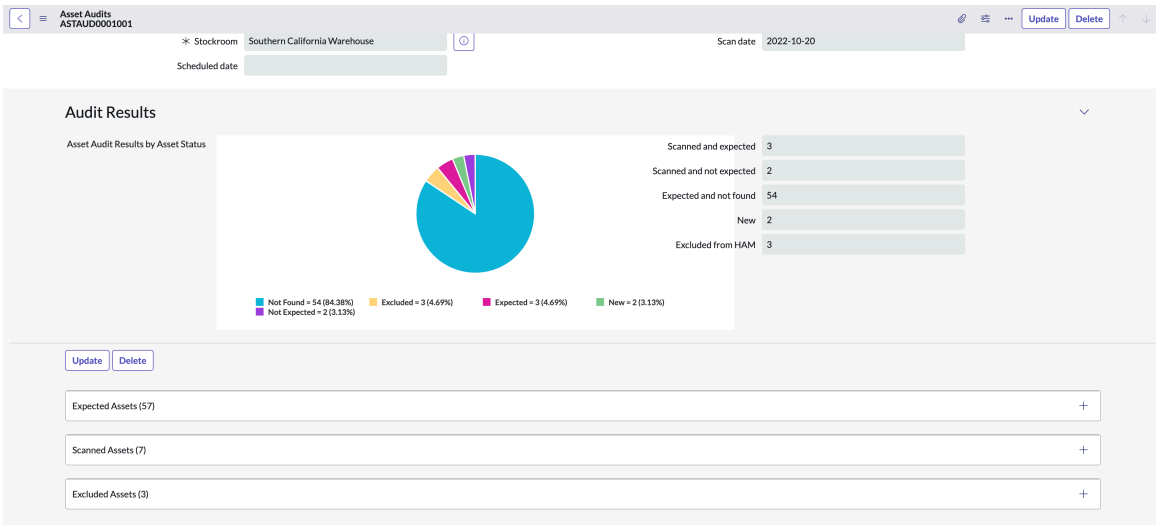
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

古いハードウェア資産のリフレッシュ

ハードウェア資産のライフサイクルが終わりに近づくと、関連するメンテナンスコストと障害リスクが増加し、パフォーマンスが低下します。古いハードウェア資産を同じまたは異なるハードウェアモデルの新しいハードウェア資産に置き換えることで、ハードウェア資産を最新の状態に保つことができます。

資産在庫を監査する

資産監査フォーム



アプリケーションでは ハードウェア資産管理 、モバイルスキャン機能を使用して ServiceNow モバイルエージェント 、特定のストックルームまたは場所の資産在庫をキャプチャできます。スキャン結果を に保存され Now Platform ているデータと比較することで、データ品質とインベントリプロセスのコンプライアンスを向上させることができます。

期限切れ間近のメンテナンス契約とリース契約の管理

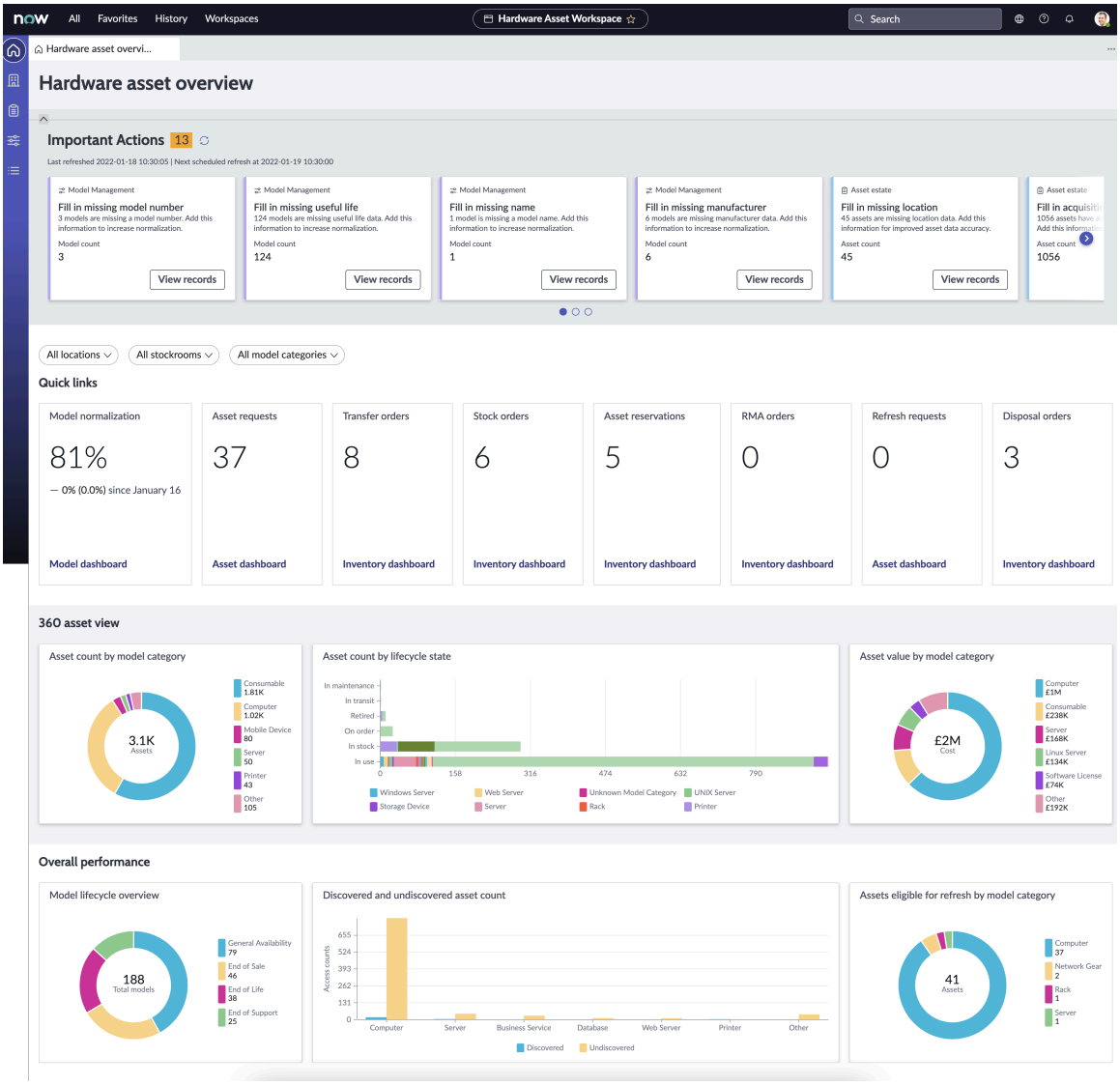
期限切れ間近のメンテナンス契約やリース契約について通知を受け取り、期限が切れる前に措置を講じることで、違約金を回避できます。ハードウェア資産ダッシュボードを使用して、一元的な場所から期限切れが間近の契約の統合リストを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

専用のワークスペースを使用して資産管理者の生産性を向上

ハードウェア資産ワークスペースのハードウェア資産の概要



ハードウェア資産ワークスペースを使用して、ハードウェア資産資産を直感的に一元的に表示できます。ライフサイクルの終わりが近づいているモデルと資産、資産の健全性とステータス、ハードウェアと消耗品モデルの正規化ステータス、発注書、在庫注文などを可視化します。ハードウェア資産ワークスペースには、資産ライフサイクルプロセスから推測作業を排除するのに役立つ重要なアクションも含まれています。

クラウド戦略を加速し、コストを削減

- クラウドコスト管理 アプリケーションを使用すると、クラウド資産に関連付けられているコストの全範囲を分析できます。自動または半自動の運用を選択することで、使用率の低いクラウド資産、プロビジョニング超過のクラウド資産、孤立したクラウド資産などのコスト最適化ターゲットを特定して修正できます。

学習内容

- IT Asset Management (ITAM) とは
- Software Asset Management (SAM) とは
- プロビジョニングとは

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エンタープライズSaaSとは?
- SaaSライセンス管理とは?
- バーコード在庫システムとは何ですか?
- 在庫管理とは何ですか?
- IT 資産追跡とは
- エンタープライズ・アセット・マネジメント(EAM)とは?

開始するには

- 実装スペシャリストと協力して ソフトウェア資産管理 セットアッププロセスを簡素化します。詳細やデモをご覧になりたい方は、 カスタマーサクセスセンター をご覧ください。
- ServiceNow Software Asset Management の基礎トレーニングプログラムと認定 にサインアップして、コアソフトウェア資産管理機能とリリース固有の機能について学習してください。
- Software Asset Management (SAM) Getting Started コースにサインアップして、アプリケーションの基本的な概念と用語をソフトウェア資産管理学習します。
- セットアップを要求し ソフトウェア資産管理 て開始する方法については、「 Software Asset Management の設定」を参照してください。
- で要求してインストール クラウドコスト管理 します。 ServiceNow Store Webサイトにあります

アプリケーションと機能

- Software Asset Management
- Hardware Asset Management
- Enterprise Asset Management
- クラウドコスト管理
- 契約管理
- Procurement
- Product Catalog
- IT Asset Management コンテンツ要求
- IT Asset Management のライセンス

Software Asset Management

ServiceNow® ソフトウェア資産管理 (SAM) アプリケーションは、ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、最適化を系統的に追跡、評価、管理します。未使用のソフトウェア権限を再利用したり、新しいソフトウェア権限を購入したり、エンタイトルメントの割り当てを管理したりできます。

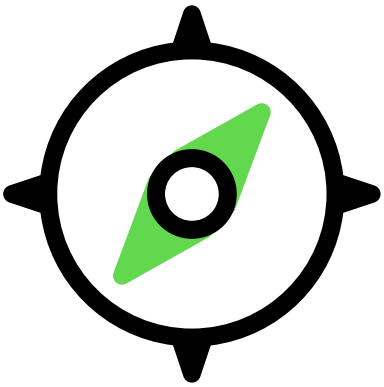
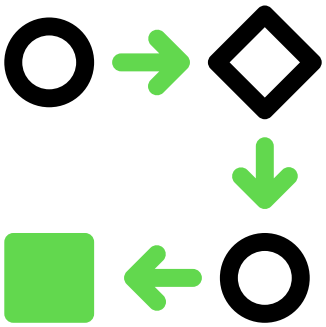
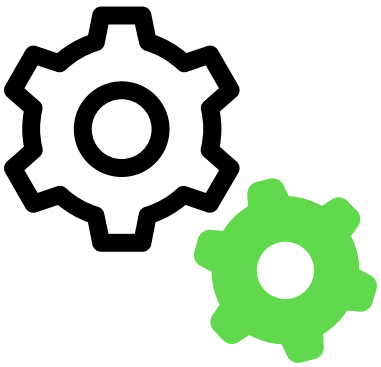
ソフトウェア資産管理 アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

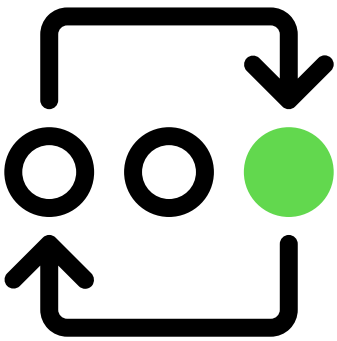
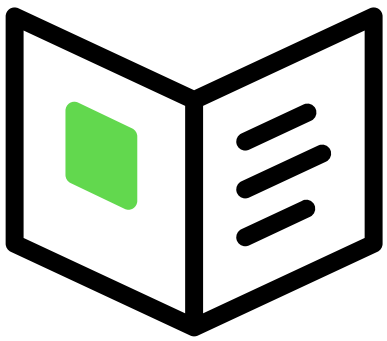
ソフトウェア資産ワークスペースの概要

注:
このリリース以降 Now Platform Washington DC 、クラシックユーザーインターフェイスのサポート ソフトウェア資産管理 が制限されています。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンスで有効なままである間は、新しいワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ITSM ソフトウェア資産管理の機能資産管理については、「ITSM Software Asset Management」を参照してください。

詳細を読む	セットアップ	構成
		
Software Asset Management アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について説明します。	アプリケーションを計画して設定します。	機能とコンポーネントを構成します。

使用	統合	参照
		
直感的で新しいユーザーインターフェイスを使用して、ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、および最適化を管理します。	SaaS アプリケーションと統合することで、Software Asset Management 機能を拡張します。	フィールド、ロール、ライセンス契約タイプなどのコンポーネントの詳細を取得します。

自動翻訳

参考情報

Software Asset Management (SAM) とは

ソフトウェア資産管理 の詳細

ソフトウェア資産管理アプリケーションのユーザーインターフェイスが拡張され、よりユーザーフレンドリーで直感的になり、ソフトウェアのインストールをより適切に管理できるようになりました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Platform Washington DC リリース以降、ソフトウェア資産管理 クラシックユーザーインターフェイスのサポートは限定的になります。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内では引き続き有効ですが、新しいワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションのコア機能は、両方のユーザーインターフェイスで同じです。

ソフトウェア資産ワークスペースの使用

この ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_samp_master_ws) を含む、新しいすべての Software Asset Management Professional プラグインをアクティブ化すると使用可能になります。このプラグインをアクティブ化すると、Activate all Software Asset Management Professional プラグイン (com.sn_samp_master) と Software Asset Workspace プラグイン (com.sn_sam_workspace) が自動的にアクティブ化されます。新しいプラグインを有効にすると、クラシックユーザーインターフェイスにアクセスできなくなります。

以前の Washington DCリリースでは、古い ソフトウェア資産管理 Professional プラグイン (com.sn_samp_master) をアクティブ化していた場合、ソフトウェア資産ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化すると、ソフトウェア資産ワークスペースが使用可能になります。Workspace プラグインをアクティブ化した後は、クラシック版 Software Asset Management アプリケーションに戻すことはできません。

注:
ソフトウェア資産ワークスペースを有効にすると、ソフトウェア資産ワークスペースに移動された機能に対して、クラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションのメニューが非表示になります。

ソフトウェア資産ワークスペースの構成と使用の詳細については、「Software Asset ワークスペース の構成」および「Software Asset ワークスペース の使用」を参照してください。

クラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションの使用

クラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションを引き続き使用するには、Software Asset Management Professional (com.sn_samp_master) プラグインをアクティブ化する必要があります。

その後でソフトウェア資産ワークスペースを使用することになった場合は、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを有効にする必要があります。

クラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションの構成と使用の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシックの設定」および「ソフトウェア資産管理 クラシック版の使用」を参照してください。

クラシックに ソフトウェア資産管理 引き続き存在するメニュー

ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを有効にした後でも、次のメニューは引き続きクラシックフレームワークに残ります。

ソフトウェア資産		
ソフトウェア資産デマンド		

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産		
• 新規作成 • デマンド • デマンド要件 管理 • カスタム製品 • カスタム品番 • カスタムライセンスの測定基準 • ソフトウェア資産デマンドアクション • 正規化ルールのカスタマイズ • 再利用ルール • ジョブ結果 • コンテンツサービス設定 • プロセッサ定義を更新 • ソフトウェアの結果を移行 • プロパティ • カスタマイズを元に戻す • 非アクティブ化されたディスカバリーマップを含むソフトウェアモデル SaaS ライセンス • 認識されないサブスクリプション識別子 • SSO 統合プロファイル • 直接統合プロファイル SAP コンプライアンスおよび最適化 • SAP 接続 • 接続のセットアップ • インポートスケジュール • 変換履歴		

ソフトウェア資産管理 の概要

アプリケーションの機能 ソフトウェア資産管理 の概要。

ソフトウェア資産管理 機能は、これらの主な機能で構成されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特長エリア	説明
ダッシュボード	これらのダッシュボードには、お使いの環境のソフトウェアインストールの結果が統計とチャート形式で表示されます。 • ソフトウェア資産分析:概要、ライセンスのサマリー、コンプライアンスのサマリー、および削除のサマリー • 正規化と Content Service:正規化傾向図 • ソフトウェア公開者分析:Citrix、IBMMicrosoftOracleSAPVMware 注: ソフトウェア公開者分析ダッシュボードを表示するには、公開者パックアドオンを有効にする必要があります。 • Office 365 と Adobe Cloud 注: Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボードを表示するには、公開者パック アドオンをアクティブ化する必要があります。 • ソフトウェア資産管理:概要、最適化、コンプライアンス分析
ライセンス	インストールされているすべてのソフトウェア製品用に作成されたソフトウェア モデルは、ソフトウェア インストール (使用されているソフトウェア)と資格付与 (所有されているソフトウェア) を結びつけるために使用されます。資格付与はライセンスの詳細を定義し、ソフトウェア モデルに割り当てられます。 機能には、パブリッシャーの品番のルックアップ、コアごとおよびプロセッサーごとの共通のライセンス測定基準、エンタイトルメント検出マップ、除外リスト、クライアントアクセス、ライセンス変更予測、エンタイトルメントのインポート、エンタイトルメントのインポートエラー結果リストが含まれます。
Discovery と標準化	SCCM (2012 v2 または 2016) などのServiceNow ディスカバリーMicrosoft検出プロセスを使用して、環境にインストールされているソフトウェアを検出できます。 正規化プロセスでは、検出された公開者、検出された製品、および検出されたバージョンの値を ServiceNow 、正規化された同等のリポジトリと比較します OOB 正規化ライブラリには、公開者と製品を除くすべてのコンテンツが含まれています。ソフトウェア製品が [ソフトウェア] ライブラリーに存在しない場合、カスタム製品を作成できます。検出されたソフトウェアは、調整のために手動で正規化することもできます。その後、ソフトウェア検出モデルが検出されたソフトウェアインストールと照合されます。 機能には、部分正規化、完全正規化、パブリッシャー正規化、ライセンスワークベンチ、ライセンスポジションレポート、カスタムパターン正規化ルール、正規化の提案、オンプレミスの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特長エリア	説明
	カスタマーサポート、および正規化ライブラリをパターン正規化ルールで更新するオプションの ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスが含まれます。 統合 - Microsoft SCCM 2016 プラグインは、SCCM バージョン 1606、1906、1910、および 2002 と互換性があります。 **注:** 従来の SCCM プラグインである SCCM 2012 および SCCM 2016 は、今後のリリースで廃止される予定です。初めて統合を作成する場合は、「SCCM Service Graph Connector SG Connector」から Microsoft 開始します。これらのプラグインのいずれかを既に使用している場合は、Service Graph Connector for SCCM ServiceNow Store の移行準備ツールというタイトルのアプリケーションを使用して、Service Graph Connector への移行を準備します。
調整	調整プロセスは、検出と資格付与に関するソフトウェア製品のコンプライアンスステータスを計算します。 未使用のソフトウェアの削除候補が生成され、ソフトウェアの権限を再利用するために使用できます。 機能には、コンプライアンスの問題を解決するための調整、グループ化、および修復アクションが含まれます。
最適化	再利用プロセスは、デバイスからソフトウェアをアンインストールし、それらのソフトウェア権限を再利用することで、非準拠を修正します。再利用プロセスは、(CSD) を使用して クライアントソフトウェアディストリビューション 自動化できます。 機能には、削除候補とワークフロー、再利用ルールの作成、ソフトウェア使用リスト、統合を使用した 調達 発注書の直接作成のサポートなどがあります。詳細については、「 調達の概要 」を参照してください。
ダウングレード権限	ライセンスのダウングレードの概念は、プラグイン機能に ソフトウェア資産管理 組み込まれています。ダウングレード権とは、最新バージョンのソフトウェアに対する権利を取得した上で、同じソフトウェアの以前のバージョンをライセンスする権利を使用するプロセスです。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

用の **Now Mobile** アプリ ソフトウェア資産管理

Now Mobileアプリを使用して、自分に割り当てられているハードウェア資産とソフトウェア資産を表示します。

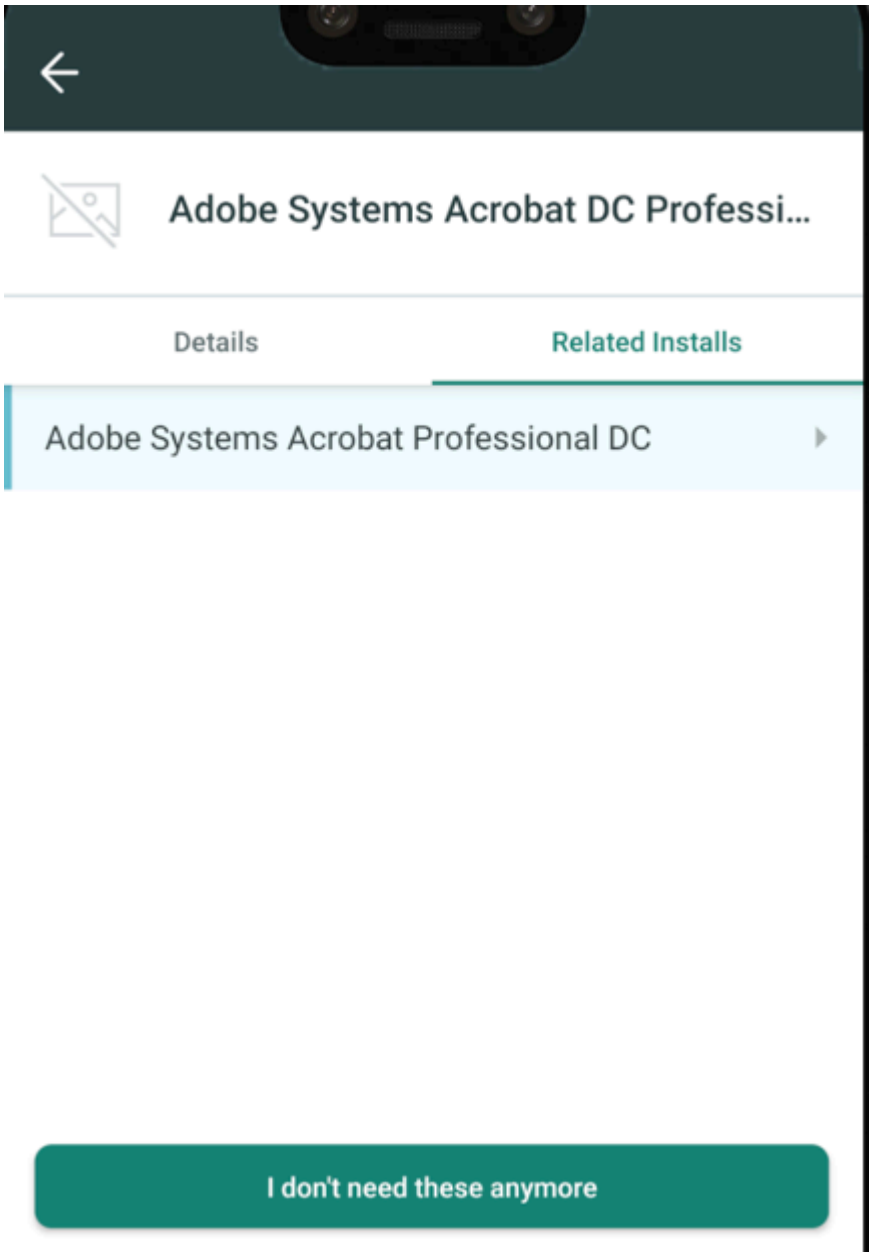
Now Mobileアプリでは、インストールされているソフトウェアとサブスクリプションソフトウェアの両方のリストを表示できます。 自分のアイテム > **My Assets** > ソフトウェア. ソフトウェアを最後に使用した日時に関する情報を確認できます。一部のソフトウェアが複数のデバイスにインストールされている場合は、すべてのデバイスを表示することもできます。Now Mobileアプリは、[ソフト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウェアサブスクリプション]、[権限使用者]、および [権限要求者] テーブルから資産のリストを取得します。

アプリでのアセット **Now Mobile** の表示



いずれかの資産をタップすると、ビジネスコスト、最後のアクティビティ、その他の情報などの詳細が表示されます。アセットを放棄する場合は、[**I don't need this anymore**] をタップします。ソフトウェア資産マネージャーが削除要求を確認して承認できるように、削除候補が生成されます。

ソフトウェア要求の仮想エージェント

実装すると ServiceNow® 仮想エージェント 、従業員が人工知能を利用した事前定義された会話型インターフェイスを介してソフトウェアを要求できるようになります。 仮想エージェント は、ソフトウェア要求に自動的に対処できるため、IT フルフィルメント担当者はより複雑な要求やインシデントに集中できます。

の実装方法と使用 仮想エージェント方法については、「 仮想エージェント 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必須条件

ソフトウェア要求に使用する 仮想エージェント 前に、次の前提条件を満たしてください。

- ソフトウェア資産管理インスタンスで Professional (com.snc.samp) プラグインを有効にしますServiceNow。

  このプラグインをアクティブ化する方法の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理 を要求する 。

- インスタンスで Glide 仮想エージェント (com.glide.cs.chatbot) プラグインをアクティブ化します ServiceNow 。

  このプラグインを有効にする方法の詳細については、「 仮想エージェントの有効化 」を参照してください。

- ServiceNow Store から Conversations アプリケーションを要求してインストールしますITSM 仮想エージェント。
- ServiceNow Store から Model for 仮想エージェント Conversations アプリケーションを要求してインストールしますITSM NLU。
- 対応するソフトウェアカタログアイテムのワークフローを **[Procurement Process Flow - Auto allocation enabled]** に設定して、ソフトウェアの自動割り当てを有効にします。ソフトウェアカタログアイテムのワークフローを設定する方法の詳細については、「 カタログアイテムの作成または編集 」を参照してください。

でのソフトウェア要求フロー 仮想エージェント

ユーザーがソフトウェアを要求すると、ソフトウェア カタログで使用可能なソフトウェアに基づいて、 仮想エージェント 適切なオプションが自動的に推奨されます。オプションを選択すると、ユーザーは、ソフトウェアが要求されているユーザーまたはデバイスを指定するように求められます。 仮想エージェント 次に、要求アイテムを生成し、次のいずれかのワークフローを開始して、指定されたユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。

- ユーザー割り当てワークフロー:指定されたユーザーに権限を割り当てます。 仮想エージェント は、対応するソフトウェアエンタイトルメントがユーザー割り当てのみ、またはユーザーとデバイスの両方の割り当てをサポートしている場合に、このワークフローを開始します。
- デバイス割り当てワークフロー:指定されたデバイスに権限を割り当てます。 仮想エージェント 対応するソフトウェアエンタイトルメントがデバイス割り当てのみ、またはユーザーとデバイスの両方の割り当てをサポートしている場合に、このワークフローを開始します。

注:
権限は、指定されたユーザーまたはデバイスに、最も古いソフトウェアエンタイトルメントを先頭に、ソフトウェアエンタイトルメントの時間的な昇順で割り当てられます。

注:
ソフトウェアエンタイトルメントがユーザーとデバイスの両方の割り当てをサポートしている場合、またはソフトウェアにユーザー割り当てベースとデバイス割り当てベースの両方のソフトウェアエンタイトルメントが含まれている場合は、 仮想エージェント 最初にユーザー割り当てワークフローを開始します。 仮想エージェント は、すべてのユーザー割り当てが使用された後にのみ、デバイス割り当てワークフローを開始します。

対応するソフトウェアエンタイトルメントに、要求を満たすのに十分なアクティブな権限と割り当てが含まれている場合、 は 仮想エージェント 自動的に要求を承認し、指定されたユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。ユーザーには、ソフトウェアをダウンロードしてインストールするための手順が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

対応するソフトウェアエンタイトルメントに、要求を満たすために十分なアクティブな権限と割り当てが含まれていない場合は、必要な権限を手動で調達する必要があります。これらの権限を調達すると、 は 仮想エージェント 指定したユーザーまたはデバイスに自動的に割り当てます。ユーザーには、ソフトウェアをダウンロードしてインストールするための手順が表示されます。

重要:
ソフトウェアは、 ServiceNow® サービスカタログ と 従業員センターでこれと同じフローを使用して要求および割り当てることができます。の詳細については、「 Service Catalog 」 サービスカタログを参照してください。の詳細については従業員センター、「Employee Center 」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス

に ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス オプトインして、組織 ServiceNow からの正規化されていないソフトウェアインストールデータを共有し、正規化プロセスを改善します。

は ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 、 IT Asset Management 継続的なソフトウェア認識の改善をユーザーに提供する (ITAM) 共有サービスです。正規化されていないソフトウェア インストール データを と共有する ServiceNowことで、固有のソフトウェア インストール フットプリントに基づいてコンテンツを自動的に更新できます。

を使用して ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 共有されたデータは、プライバシーポリシーに従って ServiceNow 匿名性と安全性を保ち、レビュー後に適切に廃棄されます。

この新しいコンテンツにより、正規化ヒット率が向上し、ソフトウェア資産をより適切に管理できるようになります。デフォルトでは、コンテンツサービスにオプトインしていません。オプトインの方法については、次のリンクを参照してください ソフトウェア資産管理コンテンツサービスの有効化。

ソフトウェア検出モデル、カスタムソフトウェア製品、またはカスタム公開者の品番を共有ServiceNow対象から除外する場合は、ソフトウェア検出モデル、カスタムソフトウェア製品、またはカスタム品番フォームの [コンテンツサービスから除外] チェックボックスをオンにします。

正規化プロセスは、アクティブな公開者、製品、およびルールにのみ作用します。古いルールは使用されません。正規化ライブラリのコンテンツバージョンはいつでも非アクティブ化できます。

ソフトウェア検出モデル、ソフトウェアモデルのライフサイクル、部品番号と検出マップ、プロセッサー名、および製品ライセンス例外ルールのデータ共有は、オプトイン後に自動的に有効になります。資産データの種類を共有しない場合は、 [設定] コンテンツサービス ページのデータの種類の横にあるトグル ボタンを選択し、 [保存] を選択します。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
ソフトウェア検出モデル	新しいインストールが特定されたときに、ソフトウェアインストールを分類して重複を低減するために作成されたモデル。 次のステータスのソフトウェア検出モデルのみが転送されます。 • 一致なし • パブリッシャーによって正規化済み • 一部正規化済み	• 検出された公開者 • 検出された製品 • 検出されたバージョン • 正規化済みパブリッシャー • 正規化された製品 • 正規化されたバージョン • エディション • 言語

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ (続く)

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
	• 手動で正規化済み • 検出モデルが正規化されました **注:** ステータスが [正規化済み] で [バージョン] が空の Discovery モデルのみが転送されます。 **注:** 機械学習予測の精度を向上させるために、機械学習によって正規化されたソフトウェア検出モデルが転送されます。	• プラットフォーム • ルールテーブル • ルール ID • ML モデルバージョン • ML 正規化ステータス • ML 予測値 **注:** プロパティ com.snc.samp.ml.overrride_ml_model_versi 代替値を指定することで、予測に使用される ML モデルを上書きできます。管理者と sam_adminはこのプロパティへの読み取りアクセス権を持っていますが、読み取りと書き込みの両方のアクセス権を持っているのは管理者だけです。
ソフトウェア製品ライフサイクル	ソフトウェア製品の外部定義または公開者定義のライフサイクル。 によって ServiceNow 作成されず、ライフサイクルタイプが内部ではないソフトウェア製品ライフサイクルのみが転送されます。	• 公開者 • 製品 • ライセンス可能バージョン • エディション • 完全バージョン • ライフ サイクル フェーズ • フェーズ開始日 • ライフサイクルソース
品番とディスカバリーマップ	ソフトウェア製品の公開者の品番と対応するバージョンとエディションを表すために手動で作成されたカスタム品番とカスタム検出マップ。	• パブリッシャーの品番 • ライセンス タイプ • パブリッシャー • 製品 • ディスカバリーマップ • バージョン条件 • バージョン • エディション条件

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ (続く)

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
		• エディション • プラットフォーム • プラットフォーム条件 • 言語 • 言語条件 • データベースオプション
プロセッサ名	構成アイテム (CI) で識別されたプロセッサ。 デフォルトのプロセッサー要素にマップされたプロセッサーのみが転送されます。	• CPU タイプ • コア数 • 速度
ファイルの署名	CI で検出されたソフトウェアパッケージを識別する署名。ソフトウェアパッケージは、ファイル名やファイルサイズなどのファイルの属性に基づいて検出されます。手動で正規化されたファイル署名のみが転送されます。	• ファイル名 • ファイルサイズ • パブリッシャー • 製品 • バージョン • エディション • プラットフォーム • 言語
ソフトウェア支出トランザクション **注:** がインストールされている場合にのみ ソフトウェア支出検出 表示されます。 ソフトウェア支出トランザクションのデータ共有は、デフォルトでは非アクティブです。	のために ソフトウェア支出検出インポートされたソフトウェア支出トランザクションレコード。 ベンダー名、トランザクションの説明、総勘定元帳口座、および予測結果のみが転送されます。	• ベンダー名 • 説明 • GL アカウント • ソフトウェア • パブリッシャー ID • 製品 ID
認識されないサブスクリプション識別子	ソフトウェアモデルがコンテンツに ServiceNow 関連付けられていないサブスクリプション識別子。	• サブスクリプション識別子 • ソフトウェアモデル • サブスクリプションの数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ (続く)

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
共通プラットフォーム一覧 (CPE) 正規化ルール	公開者、製品、バージョン、エディション、および (SAM) コンテンツライブラリー内の ソフトウェア資産管理 ソフトウェア製品のそれぞれの対応する値。	• 公開者 • 製品 • バージョン • 完全バージョン • エディション • 言語
製品ライセンス例外ルール	製品、エディションの状態、エディション、製品タイプ、および (SAM) コンテンツライブラリー内の ソフトウェア資産管理 ソフトウェア製品の対応する値。 例外ルールテーブルには、特定の製品エディションにライセンス不可のタグを付けるオプションがあります。 **注:** 製品にライセンス不可のラベルが付けられていて、その製品のエディションにライセンス可能のタグを付ける場合は、チームに要求 コンテンツサービス を送信する必要があります。	• 製品 • エディション条件 • エディション • 製品タイプ • アクティブ **注:** このレコードを使用すると、カスタム製品ライセンス例外ルール [samp_custom_lic_exception_rules] テーブルを使用して、独自の例外ルールを追加できます。このテーブルは利用可能で、リバースプッシュ機能があります。この機能を使用すると、製品はライセンス可能だが製品の特定のエディションはライセンス不可である場合の例外ルールを作成できます。

オプトアウト

コンテンツサービス設定ページからいつでもオプトアウトできます。

オプトアウトすると、会社は正規化プロセスの改善に貢献しなくなります。コンテンツの更新は引き続き受け取りますが、環境内 CMDBに存在する会社固有のソフトウェア インストール フットプリントによって通知されないため、適用性が低くなる可能性があります。

コンテンツサービスには ソフトウェア資産管理 いつでも再参加できます。

関連情報

正規化およびコンテンツサービスダッシュボード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のコンテンツ更新 ソフトウェア資産管理

は ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 、データの正規化に使用できるコンテンツ更新をインスタンスに毎週提供します。

次のタイプのコンテンツは、コンテンツ更新の一環として更新できます。

- カテゴリ
- ディスカバリーマップ
- 正規化の提案
- 製品分類
- 製品ライセンス例外ルール
- 製品名
- 製品タイプ
- 公開者
- スイート定義
- ソフトウェアモデルのライフサイクル
- ソフトウェアモデルの提案
- 認識されないサブスクリプション識別子
- 共通プラットフォーム一覧 (CPE) 正規化ルール

注:
コンテンツの更新の一環として公開者の名前が更新された場合、ソフトウェアモデルは更新されません。ソフトウェアモデルの表示名がコア会社の参照から削除されているため、更新されません。ただし、製品が別の公開者に移動すると、製品があるコア会社から別のコア会社に移動するときに、コンテンツの更新中にソフトウェアモデルが更新されます。公開者名は、新しいソフトウェアモデルでは更新されますが、既存のソフトウェアモデルでは更新されません。

製品タイプは、カスタム製品ライセンス例外ルール [samp_cust_prod_lic_excep_rules] テーブルを使用して、製品のエディションレベルで更新できます。特定のエディションがライセンス不可の場合、例外ルールが製品ライセンス例外ルール [samp_prod_lic_excep_rules] テーブルまたはカスタム製品ライセンス例外ルール [samp_cust_prod_lic_excep_rules] テーブルで定義されていれば、製品タイプは自動的に更新されます。ただし、製品がライセンス不可の場合、ライセンス可能なエディションの例外ルールを作成することはできません。このケースでは、サポートドキュメントとともにチームにケース コンテンツサービス を提出し、チームはエディションにライセンス可能のタグを付ける必要があるかどうかを確認します。

[SAM - 最新のコンテンツ変更の適用 **(SAM - Apply latest content changes)]** スケジュール設定済みジョブが実行され、コンテンツの更新が処理されます。コンテンツのダウンロードが完了すると、更新されたコンテンツが次のテーブルのステージング列にプルされます。

- ソフトウェアパブリッシャー [samp_sw_publisher]
- ソフトウェア製品 [samp_sw_product]
- ディスカバリーマップ [samp_sw_entitlement_definition]
- ソフトウェア製品定義 [samp_sw_product_definition]
- 製品ライセンス例外ルール [samp_prod_lic_excep_rules]
- 認識されないサブスクリプション識別子 [samp_sw_unrecognized_subscription_identifier]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリが実行され、インスタンス内のどのトランザクションデータを新しいコンテンツで更新する必要があるかが識別されます。変更が識別されると、その変更はインスタンスに反映されます。

別のスケジュール済みジョブである **[SAM - Create lifecycles and suites for a software model]** は、スイートコンポーネントとライフサイクルの変更を実行してソフトウェアモデルに反映します。コンテンツの変更をソフトウェアモデルに適用しない場合は、ソフトウェアモデルフォームの [自動コンテンツ更新を許可] フラグをクリアできます。デフォルトでは、すべてのソフトウェアモデルに対する自動コンテンツ更新を有効にするフラグが選択されています。

注:
コンテンツの更新によってライフサイクルデータが追加された場合、ソフトウェアモデルから削除することはできませんが、非アクティブ化することはできます。コンテンツの更新の一環として追加されたライフサイクルデータには、ソースが **Servicenow** に設定されます。

非アクティブ化されたディスカバリーマップを含むソフトウェアモデルレポートを使用して、非アクティブ化されたディスカバリーマップを指しているソフトウェアモデルを表示します。

ソフトウェアライブラリに加えられた変更を確認するには、SAM コンテンツ監査 [sam_content_audit] テーブルを確認します。

注:
コンテンツの更新は、カスタム製品やカスタム検出マップには影響しません。

に ServiceNow コンテンツを送信してコンテンツの更新に含める方法の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理コンテンツサービスの有効化。

ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント

ソフトウェアモデルは、公開者、バージョン、検出マップに関する情報を含む、購入したソフトウェアのプロファイルです。ソフトウェアエンタイトルメントは、ソフトウェアモデルを購入した権限に関連付けるために使用されます。

ソフトウェアモデル

ソフトウェア モデルは、公開者情報の記録とプロファイルの作成に使用されます。複数の資格付与を 1 つのソフトウェアモデルにリンクできます。

ソフトウェアモデルを削除すると、ダウングレード権限 [samp_sw_downgrade_modelおよび samp_downgrade_model] テーブル内のソフトウェアモデルに関連するすべてのレコードが自動的に削除されます。ダウングレード権限の詳細については、「」を参照してください ダウングレード権限。

ソフトウェア モデルを手動で作成する方法の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでソフトウェアモデルを作成。ソフトウェア モデルの自動作成の詳細については、「」を参照してください ソフトウェアモデルの自動作成。

ソフトウェア製品ライフサイクルレポート

で使用する Technology Portfolio Management ソフトウェアのライフサイクルフェーズを追跡することもできます。

ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルには、ソフトウェア製品の情報、そのライフサイクルタイプ (内部または外部)、完全バージョン、ライフサイクルフェーズ、フェーズの開始日、およびリスクが保持されます。

ライフサイクルレコードが有効な場合、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルの [コンテンツアクティブ] 列は、Software Asset Management コンテンツサービスによって値 true に設定されます。ライフサイクルフェーズを技

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

術ポートフォリオ管理 (TPM) タイムラインに表示しない場合は、[アクティブ] 列を false に設定します。たとえば、[ソフトウェア製品ライフサイクル] リストで、 一般提供、 延長サポート終了、および サポート終了 ライフサイクルの各フェーズを Oracle DB サーバーソフトウェアモデルの 3 つのレコードとして設定できます。ただし、一般提供フェーズをタイムラインに表示しない場合は、そのライフサイクルフェーズレコードのソフトウェア製品ライフサイクルフォームで [アクティブ] チェックボックスをオフにすることができます。そのため、タイムラインは サポート終了 フェーズから始まります。ソフトウェア製品ライフサイクルに対して、そのライフサイクルフェーズレコードは存在しますが、ライフサイクルデータはタイムラインに表示されなくなります。これは、アクティブなライフサイクルレコードのみが考慮され、TPM タイムラインにプロットされることが理由です。

ソフトウェア製品ライフサイクルレポートを表示して、提供中止、サポート終了、および延長サポート終了が近づいている製品について情報を得ます。次に移動してレポートを表示します: レポート > 表示/実行. このレポートは、 *SAM - Generate Data For Software Lifecycle Report*スケジュール設定済みジョブに基づいています。

ソフトウェアライフサイクルレポート

ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルは、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecyle] テーブルに記載されているライフサイクルフェーズから、現在および今後のライフサイクルフェーズを計算します。

同じ公開者、製品、バージョン、完全バージョン、およびエディションのレコードの場合、異なるライフサイクルフェーズに対応する単一のレコードがあります。これにより、ライフサイクルフェーズごとに重複するソフトウェアインストール数を回避できます。ソフトウェアインストール [cmdb-sam-sw-install] テーブルからライフサイクルをエクスポートできます。ソフトウェアインストールレコードは、ソフトウェアインストール [cmdb-sam-sw-install] テーブルの列を介して *Installs associated to lifecycle* ライフサイクルにリンクされます。

ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルに 5 つの新しい列が追加されました。

ソフトウェアライフサイクルレポートテーブルの新しい列

新しい列ラベルと名前	説明
現在のフェーズ [current_lifecycle_phase]	現在進行中のライフサイクルフェーズ。
現在のライフサイクルフェーズ開始日 [current_lifecycle_phase_start_date]	現在のライフサイクルフェーズの開始日。
今後のライフサイクルフェーズ [upcoming_lifecycle_phase]	ライフサイクルフェーズが近づいています。
今後のライフサイクルフェーズ開始日 [upcoming_lifecycle_phase_start_date]	次のライフサイクルフェーズの開始日。
所有者 [owners]	ソフトウェアモデルの責任者。

注:
ライフサイクルフェーズ列がソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルから削除されます。

ソフトウェアエンタイトルメント

ソフトウェアのソフトウェア権限を追跡するには、公開者情報にリンクできるソフトウェアエンタイトルメントを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアエンタイトルメントは、ソフトウェアライセンスの条件を記録します。ソフトウェアエンタイトルメントを使用すると、次のことができます。

- ライセンス割り当てを超過した場合に迅速に対処し、許可されていないソフトウェアを削除するか、ライセンスをさらに注文することで、準拠ステータスに戻ります。
- ライセンス割り当てが完全に使用されていない場合は、今後購入するライセンスの数を減らします。

たとえば、会社は 100 ライセンスのソフトウェアエンタイトルメントを購入したとします。ソフトウェアエンタイトルメントから、正当にライセンスが割り当てられた 従業員 100 人またはマシンの割り当てが作成されます。マシン 200 台にソフトウェアがインストールされていることをディスカバリーが見つけた場合、ソフトウェア資産管理者はライセンスなしでソフトウェアをインストールした従業員またはマシンを特定し、状況を正しくする必要があります。

ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。

ソフトウェアエンタイトルメントのインポート

一括ソフトウェアエンタイトルメントを一度にインポートできます。

インポートするエンタイトルメントに公開者の品番 (PPN) が指定されている場合、PPN はコンテンツサービスライブラリの PPN と照合され、そのデータを使用してソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

注:
ソフトウェアエンタイトルメント (製品、公開者、バージョン、エディション、プラットフォーム、および言語) のインポート中に 「公開者の品番が見つかりません 」エラーが発生したが、検出マップが見つかった場合は、 カスタムの公開者の品番 が自動的に作成されます。検出マップが見つからない場合は、検出マップを作成して公開者の品番に関連付けることができます。

インポートスプレッドシートに競合する (または欠落している) PPN が含まれている場合、PPN 値は既存の製品定義の値に設定されます (利用可能な場合)。

注:
Microsoft エンタイトルメントのバッチをインポートし、[ライセンス期間] フィールドが [契約] に設定されている場合は、開始日と終了日の両方を指定する必要があります。

ステップアップ ライセンス タイプは、パブリッシャ Microsoftが である場合にのみ使用できます。別の発行元を指定しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

ソフトウェアモデルの自動作成

ソフトウェア モデルがまだ存在しない場合は、ソフトウェア インストール用のソフトウェア モデルが自動的に作成されます。

すべてのソフトウェアインストールは、ソフトウェアモデルに関連付ける必要があります。ソフトウェアモデルに関連付けられていると、修正に役立ち、コンプライアンスを維持するためにコストの見積もりにソフトウェアのインストールが含まれるようになります。

ソフトウェア インストールがどのソフトウェア モデルにも対応していない場合は、システムによってソフトウェア モデルが自動的に作成されます。

- ライセンス可能な製品のソフトウェアモデルを自動的に作成するには、プロパティ *Automatically create software models for all 'licensable' products*を有効にします。
- ライセンス不可製品のソフトウェアモデルを作成するには、プロパティ *Automatically create software models for all 'not licensable' products*を有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
上記のプロパティを更新するには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > 管理 > プロパティ.

調整が実行されると、システムはソフトウェアインストール用のソフトウェアモデルが存在するかどうかを検索します。既存のソフトウェアモデルの検索は、バージョン、エディション、言語、プラットフォーム、インストール条件などの属性に基づいて行われます。既存のソフトウェアモデルの属性のすべての条件が一致する場合、ソフトウェアモデルは作成されないため、重複するソフトウェアモデルの作成を回避できます。

ソフトウェアモデルは、一致するものが見つからない場合にのみ作成されます。ソフトウェアモデルは、バージョン間で、特定のエディション (利用可能な場合) 用に作成されます。ただし、ソフトウェア モデルが特定のバージョンに対して作成されることはありません。

検出マップは、そのソフトウェアモデルの検出マップが存在する場合にのみ、ソフトウェアモデルに関連付けられます。対応する検出マップがコンテンツサービスライブラリに存在しない場合でも、ソフトウェアモデルは検出マップなしで作成されます。

ソフトウェアモデルが自動的に作成されるかどうかは、 *Automatically create software models for all 'licensable' products* or *Automatically create software models for all 'not licensable' products* プロパティで識別できます。[Software Model] リストビューで、歯車アイコンをクリックして *[Created source*] 列を表示します。このプロパティの値が 「システムプロパティ」の場合は、いずれかのプロパティによってソフトウェアモデルが自動的に作成されたことを示しています。

カスタム公開者の品番 (PPN)

カスタム PPN とカスタム検出マップ (DMAP) をコンテンツサービスの PPN と DMAP に置き換え ソフトウェア資産管理 ることで、エンタイトルメントとソフトウェアモデルへの変更を伝搬します。

注:
パブリッシャーの有効な SKU ではない部品番号を使用するカスタム PPN は置き換えることができません。

Content Service の更新がインスタンスにダウンロードされると、 *SAM - Find Product Definition Suggestions*ジョブスケジュールが実行されます。スケジュール設定済みジョブは、すべてのカスタム PPN および DMAP レコードをチェックして、コンテンツサービスで対応する PPN および DMAP の一致を見つけます。カスタム PPN と DMAP の一致が見つかった場合、提案レコードが部品番号の提案 [samp_sw_part_number_suggestion] テーブルに作成されます。提案レコードを表示するには、 部品番号の提案 オプションに移動します。

注:
[カスタム部品番号] フォームで [コンテンツサービスから除外] オプションを選択して、コンテンツサービスからカスタム PPN を除外した場合、それらのカスタム PPN の提案は表示されません。

注:
提案レコードの表示の詳細については、「」またはクラシック版で ソフトウェア資産管理 パブリッシャーの品番 (PPN) の提案を表示するを参照してくださいワークスペースで公開者の品番 (PPN) の提案を表示する。

提案を受け入れることも却下することもできます。提案を受け入れると、カスタム PPN と DMAP が Content Service PPN と DMAP に置き換えられます。エンタイトルメントとソフトウェアモデルに対するすべての変更は自動的に伝搬されます。

コンテンツサービス PPN の伝播により、次の変更が行われます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 影響を受けるすべてのエンタイトルメントが新しい PPN で更新されます。
- コンテンツサービス DMAP に関連付けられたダウングレード権限がエンタイトルメントにコピーされます。
- コピーされたダウングレード権限は、ユーザーが作成した既存のエントリを上書きします。
- ライセンスタイプとライセンス測定基準の値は、PPN に基づいて変更されます (必要な場合)。
- エンタイトルメントは [使用中]ステータスのままです。

Content Service DMAP の伝播により、次の変更が行われます。

- 関連するソフトウェア モデルが新しい DMAP で更新されます。
- ソフトウェアモデルで影響を受けるフィールド:
  - 簡単な説明、資産追跡戦略/単位、次のバージョン。
  - スイートコンポーネント/親は、Content Service DMAP 値で上書きされます。
  - 警告に記載されているように、追加されたカスタムコンポーネントはすべて削除されます。
  - ライフサイクルが上書きされます (警告メッセージが表示されます)。

ソフトウェア モデルとソフトウェア インストールの関係

各ソフトウェアインストールをソフトウェアモデルに関連付けることで、ライセンス可能およびライセンス不可のソフトウェアの監査レポートを実行できます。

概要

次のシステムプロパティが有効になっている場合、ライセンス可能製品とライセンス不可製品のソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

- *com.snc.samp.automaticsmrcreation*:ライセンス可能な製品の場合
- *com.snc.samp.automaticsmcreation*:ライセンス不可製品の場合

システムプロパティが有効で、検出モデルの一致が存在する場合は、たとえその一致が汎用であっても、ソフトウェアモデルは作成されません。システムプロパティが有効になっていない場合、ソフトウェアモデルは検出モデルにのみ一致します。ソフトウェアモデルは作成されません。

最も具体的なソフトウェアモデルが照合されます。検出モデルに特定のソフトウェアモデルが存在しない場合は、最も一般的なソフトウェアモデルが照合されます。

照合プロセス中に、一致するソフトウェアモデルが見つかったが、それにインストール条件がある場合、一致とは見なされません。このようなシナリオでは、ソフトウェア モデルはインストール条件なしで自動的に作成されます。

ソフトウェア検出モデル (cmdb_sam_sw_discovery_model) テーブルの正規化された公開者と正規化された製品のペアごとに、スケジュール設定済みジョブ *SAM – Discovery Model to Software Model matching*は、公開者と製品が一致するすべてのソフトウェアモデルを取得します。ソフトウェアモデルにインストール条件、サブスクリプション条件、または DB オプションがない場合、システムは、正規化された公開者、正規化された製品、正規化されたエディション、および正規化されたバージョンの値を持つ一致する検出モデルを取得します。一致が見つかると、ソフトウェアモデル参照がソフトウェア検出モデル [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルのソフトウェアモデル列に配置されます。

手動で設定されたソフトウェアモデル

スケジュール設定済みジョブ *SAM – Discovery Model to Software Model matching* で設定されたものよりも汎用的なソフトウェアモデルに一致させることを選択した場合は、[ソフトウェ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ア検出モデル (cmdb_sam_sw_discovery_model)] テーブルのフォームビューで目的のソフトウェアモデルを手動で設定できます。[自動一致] 列がオフになります。

ソフトウェアモデルが設定されていて、[Automatically matched (自動一致)] 列の値が false の場合、スケジュール設定済みジョブは後続の実行時にソフトウェアモデルの値を上書きしません。

サンプルの一致

ソフトウェアモデルと検出モデルの照合のサンプルシナリオを以下に示します。

Dscovery モデル	ソフトウェアモデル	一致
SQL Server 2019 エンタープライズ	• SQL Server 2019 エンタープライズ • SQL Server 2019	SQL Server 2019 Enterprise ソフトウェアモデル
SQL Server 2019 エンタープライズ	• SQL Server 2019 Enterprise (インストール条件付き) • SQL Server 2019 (エディションは任意)	SQL Server 2019 ソフトウェアモデル
SQL Server 2019	SQL Server 2019 とインストール条件 (エディションは任意)	一致項目は見つかりませんでした システムプロパティが有効になっている場合は、新しいソフトウェアモデル SQL Server Enterprise (バージョンは任意) が作成されます。

ソフトウェアライセンス測定基準

ライセンスの測定基準はソフトウェアエンタイトルメントで設定され、さまざまな測定基準グループとソフトウェア モデルの組み合わせでの調整に使用されます。

それぞれの測定基準グループには公開者が特定できる一連のライセンスの測定基準を設けています。

ソフトウェアモデルの [評価指標属性] 関連リストを表示して、属性値を設定できます。詳細については、「ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。

また、カスタム ライセンスの測定基準を追加することもできます。詳細については、「カスタムライセンスの測定基準の追加」を参照してください。リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルを使用して、カスタムライセンス測定基準を強化することができます。そのためには、リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルのユニット消費量列とライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result] テーブルの必要なライセンス列の間で 1:1 の計算を実行します。

Adobe、 Citrix(IBM と Red Hatの両方IBMを含む)、Microsoft、SAPOracleおよびVMwareパブリッシャーパックはアドオンとして入手できます。公開者ライセンスモデルでライセンス付与されたソフトウェアを管理する機能を提供します。

SaaS License Management をインストールすると、サブスクリプションと消費の測定基準グループが追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアエンタイトルメントの **[License metric]** フィールドの横にある参照 (参照) アイコンを選択すると、ライセンス測定基準の説明を表示できます。

ライセンス評価指標

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
Adobe **注:** Adobe ライセンス測定基準は、公開者パックがインストールされている場合にのみ Adobe 表示されます。	• デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じてデバイスにライセンスを付与します。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンス付与します。 • ユーザーサブスクリプション:アクティブ化されたソフトウェアサブスクリプションの数についてユーザーにライセンスを付与します。 1 つ以上のエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して調整を実行すると、ユーザーに割り当てられた固有のアクティブなソフトウェアサブスクリプションレコードごとに権限が消費されます。 ○ ユーザーにユーザー割り当てとサブスクリプションレコードの両方がある場合、権限は 割り当て済み、使用中である と見なされます。 ○ ユーザーにユーザー割り当てはないがサブスクリプションレコードがある場合、権限は 未割り当てで使用中である と見なされます。 ○ ユーザーにユーザー割り当てがあるがサブスクリプションレコードがない場合、権限は 割り当て済み、未使用 と見なされます。 ユーザー割り当てでユーザーに複数の権限が割り当てられている場合、そのユーザーにはソフトウェアモデルに対応する数のサブスクリプションがあります。たとえば、ユーザーには 2 つの権限を持つユーザー割り当てがありますが、ソフトウェアモデルに関連するサブスクリプションレコードは 1 つだけです。この例では、1 つの権限は 割り当て済みで使用中と見なされ 、2 番目の権限は 割り当て済み、未使用と見なされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス評価指標 (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
Citrix **注:** Citrix ライセンス測定基準は、公開者パックがインストールされている場合にのみ Citrix 表示されます。 データを収集するには Citrix 、検出プロセスが必要です。管理者ユーザーは、ライセンスサーバーとのCitrix通信のためにDelivery ControllerでCitrix実行する検出スケジュール を作成する必要があります。 検出パターンとテーブルの詳細については Citrix 、「」を参照してください。	• 同時ユーザー: プログラムにアクセスする同時ユーザーの数にライセンスを付与します。 • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じてデバイスにライセンスを付与します。 • プロセッサーあたり (CPU カウント):物理サーバーまたは仮想マシン上のプロセッサーにライセンスを付与します。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンス付与します。 クライアント・アクセス・レコードを使用してサーバー・ソフトウェアを調整する Citrix 場合、このライセンス・メトリックは、サーバーにアクセスするユーザーにライセンスを与えます。 • ユーザー/デバイスごと:一意のユーザーまたは共有デバイスにライセンスを付与します。ライセンスがユーザーに割り当てられている場合、そのユーザーは無制限の数のデバイスに接続できます。ライセンスがデバイスに割り当てられている場合、1 つのデバイスに接続できるユーザーの数に制限はありません。 この測定基準グループを使用して Citrix エンタイトルメントを作成し、[Per User/Device] ライセンスの測定基準が指定されている場合、ライセンス計算機は個別のユーザーとデバイスの数に基づいて、関連するすべてのソフトウェアモデルのコンプライアンスをチェックします。 クライアント・アクセス・レコードを使用してサーバー・ソフトウェアを調整する Citrix 場合、このライセンス・メトリックは、サーバーにアクセスしているユーザーとデバイスにライセンスを付与します。
一般	• コアあたり:物理サーバーまたは仮想マシン上のコアにライセンスを付与します。 `CPU core count * CPU count` • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じてデバイスにライセンスを付与します。 • 名前付きデバイスごと:ソフトウェアのインストール数に関して特定のデバイスにライセンスを付与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス評価指標 (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	注: 割り当てを追加する必要があります。 • 名前付きユーザーごと:ソフトウェアのインストール数に関して特定のユーザーにライセンスを付与します。 注: 割り当てを追加する必要があります。 • プロセッサーあたり (CPU カウント):物理サーバーまたは仮想マシン上のプロセッサーにライセンスを付与します。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンス付与します。 • ユーザー CAL:各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、サーバーにアクセスするすべてのユーザーにライセンスを付与します。 • デバイス CAL:サーバーにアクセスするために各デバイスを使用しているユーザーの数に関係なく、サーバーにアクセスする各デバイスにライセンスを付与します。 • ユーザー/デバイス CAL: サーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。 • リソース消費。CAL 調整をサポートする消費ベースのライセンスの測定基準。リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルの [単位消費] 列とライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result] テーブルの [ライセンスが必要] 列の比率を 1:1 で計算したもの。
同時ライセンス 注: 同時ライセンスライセンスのライセンス測定基準は、 ソフトウェア資産管理プロ for Engineering Applications (sn_samp_eng_app) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ表示されます。	これらのライセンスは、ソフトウェアに同時にアクセスするユーザーまたはデバイスの数に基づいています。 • フローティング:ネットワーク上のユーザーまたはデバイス間でソフトウェアのプールを共有および管理します。ユーザーまたはデバイスがソフトウェアへのアクセスを要求したときに、ライセンスをチェックアウトします。ライセンス使用量のピーク時にライセンスが残っていない場合、ユーザーまたはデバイスはソフトウェアへのアクセスを拒否されます。使用された権限の数は、指定された期間

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス評価指標 (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	にチェックアウトされたライセンスの最大数に基づきます。 • トークン:ユーザーまたはデバイス間でトークンのプールを共有および管理します。ユーザーまたはデバイスがソフトウェアへのアクセスを要求したときに、トークンまたはトークンのセットをチェックアウトします。ライセンス使用量のピーク時にトークンが残っていない場合、ユーザーまたはデバイスはソフトウェアへのアクセスを拒否されます。使用される権限の数は、指定された時間内にチェックアウトされたトークンの最大数に基づきます。 • ネットワーク:指定されたTCPまたはIPネットワーク内のユーザーまたはデバイス間でライセンスのプールを共有および管理します。ユーザーまたはデバイスがソフトウェアへのアクセスを要求したときに、ライセンスをチェックアウトします。ライセンス使用量のピーク時にライセンスが残っていない場合、ユーザーまたはデバイスはソフトウェアへのアクセスを拒否されます。使用された権限の数は、指定された期間にチェックアウトされたライセンスの最大数に基づきます。
消費 **注:** 消費ライセンスの測定基準は、 が SaaS ライセンス管理 インストールされている場合にのみ表示されます。	SaaS 消費:消費可能なソフトウェアユニットの測定単位に基づいて、組織にライセンスを付与します。
IBM **注:** IBM ライセンス測定基準は、公開者パックがインストールされている場合にのみ IBM 表示されます。	• 認定ユーザー:ソフトウェア製品への IBM アクセス権を付与された各ユーザーにライセンス付与します。 • 認定ユーザー値単位:ソフトウェア製品への IBM アクセス権を付与された特定のユーザーの数にライセンスを付与します。 • 従業員ユーザー値単位:ソフトウェア製品への IBM アクセス権を付与された組織内のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 • 外部ユーザー値単位:ソフトウェア製品へのアクセス権 IBM が付与された組織外のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じてデバイスにライセンスを付与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス評価指標 (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	• 名前付きユーザーごと:ソフトウェアのインストール数に関して特定のユーザーにライセンスを付与します。 • プロセッサーあたり (CPU カウント):物理サーバーまたは仮想マシン上のプロセッサーにライセンスを付与します。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンス付与します。 • プロセッサー バリュー ユニット (PVU):ライセンスは、プロセッサー テクノロジーと、プログラムで使用できるプロセッサーの数に基づいています。フルキャパシティの PVU エンタイトルメントには、物理ハードウェア環境でアクティブ化されたすべてのプロセッサーコアのライセンスが必要です。サブキャパシティ PVU エンタイトルメントには、サーバーまたはサーバー・グループのフル・キャパシティよりも低いライセンスが必要です。 • リソースバリューユニット (RVU):ライセンスは、製品によって使用または管理されているアクティブ化されたプロセッサーコアの数に基づきます。フルキャパシティ RVU ライセンスには、物理ハードウェア環境でアクティブ化されたすべてのプロセッサーコアのライセンスが必要です。サブキャパシティー RVU ライセンスには、ご使用のサーバーまたはサーバー・グループのフル・キャパシティーよりも低いライセンスが必要です。 • 仮想プロセッサーコア (VPC):製品で使用できる仮想 CPU (vCPU) の数または製品によって管理される仮想 CPU (vCPU) の数にライセンスを付与します。 **注:** このライセンスの測定基準は、 からServiceNow Storeアプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理を要求してインストールIBMした場合にのみ使用できます。
Microsoft **注:** Microsoft ライセンス測定基準は、公開者パックがインストールされている場合にのみ Microsoft 表示されます。	• デバイス CAL: サーバー ソフトウェアに対するデバイス クライアント アクセス ライセンスの数にライセンスを付与します。 • コアごと:仮想マシンをサポートする物理サーバーと仮想コアの両方のコアにライセンスを付与し、使用される権限の数に基づいてコスト効率の高いモデルを提示します。ソフトウェア アシュアランス付きの Microsoft

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス評価指標 (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	SQL Server Enterprise エディションのコアあたりの詳細については、「」を参照してください クラシック版ソフトウェア資産管理ソフトウェアアシュアランスのエンタイトルメントを作成するCreate entitlements Microsoft for software assurance in classic。 **注:** [Per Core (Physical Core)] および [Per Core (Virtual OSE)] の測定基準は、New York リリースから廃止されました。[Per Core (Physical Core)] および [Per Core (Virtual OSE)] の測定基準を使用する既存のエンタイトルメントは、[Per Core] に置き換えられます。調整結果に変化が見られる場合があります。 • コアあたり (CAL を含む):物理サーバーにライセンスを付与します。ライセンス数は、インストール数とオペレーティングシステム環境 (OSE) によって異なります。 物理サーバーが ESX Server であり、クラスターの一部である場合にのみ、クラスターレベルでのコアあたり (CAL あり) ライセンス。このライセンスの測定基準は、クラスタ内のすべてのESX Server上のすべてのプロセッサを使用して、クラスタ上でライセンスを取得する必要があるコアまたはプロセッサの合計数を決定します。 **注:** クラスタで vMotion または DRS が有効になっている場合、どの仮想マシンもそのクラスタ内の任意の ESX Server に移動できます。すべてのESX Serverのコアのピーク容量は、クラスタのライセンスを取得するために必要な権限に対して考慮されます。 • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じてデバイスにライセンスを付与します。 • プロセッサーあたり:物理サーバー上の一定数のプロセッサーにライセンス付与します。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンス付与します。 • サーバー (インスタンスごと):物理サーバーまたは仮想マシンのいずれかに設定された数の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス評価指標 (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	ソフトウェアインストールにライセンス付与します。 • サーバー (サーバーごと):物理サーバー上のすべてのソフトウェアインストールと、物理サーバーによってホストされるすべての仮想マシンにライセンスを付与します。 • ユーザー CAL: サーバー ソフトウェアに対するユーザー クライアント アクセス ライセンスの数にライセンスを付与します。 • ユーザーサブスクリプション:アクティブ化されたソフトウェアサブスクリプションの数についてユーザーにライセンスを付与します。 ユーザーサブスクリプションライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して調整が実行された場合、ユーザーに割り当てられた固有のアクティブなソフトウェアサブスクリプションレコードごとに 1 つの権限が消費されます。
Oracle **注:** Oracle ライセンス測定基準は、公開者パックがインストールされている場合にのみ Oracle 表示されます。	• Named User Plus:物理ホストにライセンスを付与します。 Oracleクライアント・アクセス・レコードを使用して、データベース・サーバー、WebLogic Server、 OracleOracle JavaなどのOracleサーバー・ソフトウェアを調整する場合、このライセンス・メトリックは、サーバーにアクセスしているユーザーにライセンスを与えます。 • プロセッサーあたり:プロセッサーのコア数にライセンスを付与します。 **注:** Amazon Web Services (AWS) を実行している仮想マシン (VM) を使用している場合は、 Oracle プロセッサーあたりのライセンス測定基準でハイパースレッディングを有効にします。 **注:** プロパティを使用して `com.snc.samp.oracle.reconlevel`、ベースのOracleインスタンスのVMware調整計算の集計レベルを選択できます。「ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス評価指標 (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
Red Hat **注:** Red Hat ライセンス測定基準は、公開者パックが IBM インストールされている場合にのみ表示されます。	• ソケットペアごと:物理ホスト上のソケットペアの数、または物理ホスト上のサーバーを実行している Red Hat Enterprise Linux 仮想マシン (VM) ペアの数にライセンスを付与します。 • コアあたり:仮想マシンをサポートする仮想コアと物理サーバーの両方のコアにライセンスを付与します。また、使用される権限の数に基づくコスト効率の高いモデルも提示します。
SAP **注:** SAP ライセンス測定基準は、公開者パックがインストールされている場合にのみ SAP 表示されます。	• 指名ユーザー: 指名ユーザータイプを割り当てることができる指名ユーザーの数にライセンス付与します。指名ユーザータイプは、エンタイトルメントにリンクされたソフトウェアモデルによって定義されます。 • エンジン測定:エンジンの使用量をライセンス付与します。
サブスクリプション **注:** サブスクリプションライセンスの測定基準は、 が SaaS ライセンス管理 インストールされている場合にのみ表示されます。	ユーザーサブスクリプション:ユーザー数のライセンス。
VMware **注:** このライセンスの測定基準は、公開者パックがインストールされていないと VMware 表示されません。	• アプリケーションインスタンスごと:アプリケーションインスタンスごとのライセンス。 適用対象 VMware 製品:vCenter Server ソフトウェア。 • デバイスごと: 特定のデバイスごとにライセンスを付与します。ライセンスは、デバイスから削除された場合にのみ再利用できます。ライセンスがライセンスされたデバイスで使用されている限り、デバイス上のソフトウェアユーザーの数は関係ありません。 Horizon FLEX、ThinApp、ThinApp Virtualization Packager、および Mirage Windows Migration の製品スイートに適用されます VMware 。 • Per Named User: 指名ユーザーごとにライセンスを付与します。 指名ユーザーに適用されます VMware :Horizon

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス評価指標 (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	Advanced、Horizon Enterprise、Horizon Suite、Mirage、Horizon Socialcast on Premise、Workspace (Portal)、Workspace Suite、Horizon Air、Horizon Air Desktop DR、ThinApp、ThinApp Virtualization Packager、vRealize Operations for Horizon、User Environment Manager、vRealize Business。 • OSI ごと:ネットワークデバイスやストレージアレイなど、ログを生成する IP アドレスを持つ任意のサーバー (仮想または物理) にライセンスを付与します。 vRealize Operations、vRealize Log Insight、vRealize Automation、vRealize Business for Cloud、および vRealize Code Stream の製品スイートに適用されます VMware 。 • プロセッサーあたり:サーバーの物理プロセッサー (CPU) にライセンスを付与します。CPU には 32 コアごとに 1 つのライセンスが必要です。デフォルト値が 32 の [プロセッサーあたりの最大コア数] 測定基準属性が、プロセッサーあたりの資格付与の VMware ソフトウェアモデルに自動的に作成されます。この測定基準属性は、ライセンスコンプライアンスを判断するために調整中に使用されます。 スイート VMware 製品に適用されます:vSphere、vSphere with Operations Management。

無制限のソフトウェアライセンス

無制限のソフトウェアライセンスを使用すると、無制限の割り当てと無制限の権限を持つエンタイトルメントを作成できるため、調整コストなしで任意の数のソフトウェアインストールのライセンスを取得できます。

sam_adminロールまたはsam_userロールは、無制限の割り当て (ユーザーまたはデバイスの割り当て) を許可し、ライセンス測定基準の結果を非準拠として分類しない無制限ライセンスとしてエンタイトルメントを指定できます。

エンタイトルメントの作成またはインポート中に、[ソフトウェアエンタイトルメント] ページまたは [エンタイトルメントのインポート] ページの [無制限のライセンス] チェックボックスを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

無制限のライセンスに関する考慮事項

- 調整プロセスでは、ソフトウェアのインストールが一致し、ライセンスが付与されている場合、無制限のライセンスが考慮されます。定額ライセンスよりも無制限ライセンスが優先されます
- 無制限のライセンスについては、ライセンス測定基準の結果が個別に生成されます。
- 無制限ライセンス無期限エンタイトルメントは、1 つの無制限ライセンスメンテナンスエンタイトルメントにのみ関連付けることができます。
- 単位コストは総コストと等しくなります。
- ダウングレード権限は、無制限のライセンスでサポートされています。
- [ソフトウェアエンタイトルメント] ページの無制限ライセンスの [購入済みの権限]、[アクティブな権限]、および [利用可能な割り当て] フィールドは表示されません。

サポートされているライセンス測定基準とライセンスタイプ

次のライセンス測定基準は、無制限ライセンスのすべての測定基準グループでサポートされています。

- Per User
- デバイスあたり
- 指名ユーザーあたり
- 指名デバイスあたり
- ユーザーサブスクリプション
- 指名ユーザープラス
- プロセッサーあたり

無制限のライセンスでは、次のライセンスタイプがサポートされています。

- 無期限
- メンテナンス/ソフトウェア保証
- 無期限 + メンテナンス/無期限 + ソフトウェアアシュアランス
- サブスクリプション

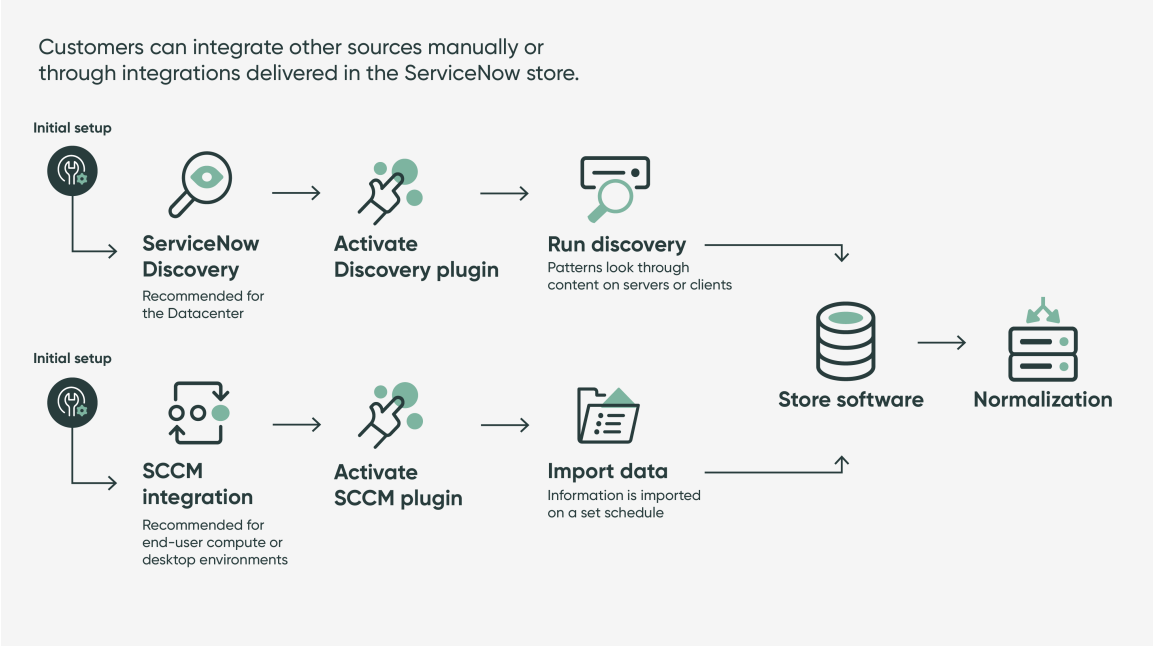
ソフトウェア検出と正規化

エンタイトルメントをインポートした後、または Microsoft SCCM を使用して環境ServiceNow ディスカバリー内のソフトウェアインストールを検出し、そのデータを Now Platform.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Discovery または **Microsoft SCCM** の設定を示す図



デスクトップ環境にはデータセンターと SCCM を使用できますディスカバリーのホームが、他のサードパーティの検出ソリューションを統合しCMDBてサポートソフトウェア資産管理することもできます。Microsoft別の検出ソリューションを統合するには、手動で追加するか、アプリケーションをダウンロードします。 ServiceNow Store . 検出ソースを手動で統合する方法の詳細については、 カスタマーサクセスセンター を参照してください。

Discovery と SCCM の両方と統合した後のデータ収集の詳細については、「 SCCM または Discovery を使用してソフトウェアデータを収集 する」を参照してください。

ディスカバリー の統合

ServiceNow ディスカバリー は、ソフトウェアを正規化して調整できるように、[ソフトウェア インストール] テーブルに自動的に入力するために使用されます。

注:
を使用するには ディスカバリー、 Discovery プラグイン を有効にする必要があります。

ディスカバリー では、作成やカスタマイズできる検出プロセスのパターンを使用します。ベースシステムには、業界標準のネットワークデバイスやアプリケーションのほとんどに対応するさまざまなパターンが含まれています。次に示すのは、 で使用される ソフトウェア資産管理基本システムのパターンの一部です。

- Citrix Xenapp
- Citrix Xendesktop
- VMware vCenter
- Microsoft SQL Server
- Microsoft Exchange サーバー
- Oracle データベースサーバー

Software Asset Management の他のパターンをカスタマイズすることもできます。詳細については、「 パターンの作成または変更 」を参照してください。

検出されたソフトウェアは、ソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに格納されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェアインストールレコードが [ソフトウェアインストール] テーブルに書き込まれると、検出された公開者、製品、バージョンの唯一の組み合わせが [検出モデル] テーブルに存在するかどうかがビジネスルールによって検証されます。

- その場合、Discovery モデルの照合が [ソフトウェア インストール] テーブルに設定されます。
- そうでない場合、 テーブルに新規のレコードが作成され、その Discovery モデルの照合が [ソフトウェア インストール] テーブルに設定されます。

検出後、正規化が実行されます。

詳細については、ディスカバリーSoftware Asset Management による検出 を参照してください。

SCCM 統合

SCCM は、単独で使用することも、デバイス上のソフトウェアを識別するために使用 ディスカバリーのホーム することもできます。

注:
SCCM を使用して Microsoft デスクトップ環境でのソフトウェアのインストールを検出できますが、他のサードパーティツールを統合することもできます。

Microsoft SCCM 2012 v2 と 2016 の両方のプラグインは、ソフトウェア資産管理で認定されています。Microsoft SCCM を ソフトウェア資産管理と統合するには、対応する Microsoft SCCM Integration プラグインをインストールする必要があります。

Microsoft SCCM Integration プラグイン:

- 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 (com.snc.integration.sccm2012v2) プラグイン
- 統合 — Microsoft SCCM 2016 (com.snc.integration.sccm2016) プラグイン

Microsoft SCCM ソフトウェア使用プラグイン:

- 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグイン
- 統合 — Microsoft SCCM 2016 Software Usage (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグイン

統合 - Microsoft SCCM 2016 プラグインは、SCCM バージョン 1606、1906、1910、および 2002 と互換性があります。

重要:
これらの Microsoft SCCM プラグインは、このリリースで Tokyo 廃止されます。SCCM と初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から Service Graph connector for Microsoft SCCM アプリケーションを要求してインストールします。インスタンスでServiceNowいずれかの Microsoft SCCM プラグインを既にアクティブ化している場合は、Service Graph Connector for SCCM ストアアプリケーションの移行準備ツールを使用して、SCCM プラグインから Microsoft Service Graph Connector への移行に向けてインスタンスを準備します。Service Graph Connector の詳細については、「 Service Graph connector for Microsoft SCCM 」を参照してください。

SCCM の詳細とインスタンスにデータをインポートする方法については、以下を参照してください Microsoft SCCM ソフトウェア使用。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化

正規化プロセスでは、検出された公開者、検出された製品、検出されたバージョンとエディションの値を、 ServiceNow 正規化された同等のリポジトリと比較します。検出モデルテーブルの対応する正規化されたフィールド (公開者、製品、バージョン、エディション) に一致が追加されます。正規化されたフィールドは、購入したエンタイトルメントを調整し、ライセンスポジションを計算するために使用されます。

たとえば、検出された公開者 Microsoft Corp は、正規化済み公開者フィールドに対して正規化 Microsoft できます。

正規化プロセスでは、検出されたフィールドと正規化値の間のパターン一致も検索され、それに応じて正規化フィールドが更新されます。

スケジュールジョブは、正規化されたコンテンツとパターンの更新を毎日取り込むために実行されますが、スケジュールジョブの実行頻度は変更できます。正規化ルールに変更があった場合、適用可能な正規化されたモデルおよび部分的に正規化された ディスカバリー モデルは、更新された値で再正規化されます。

正規化提案機能を使用して手動で正規化された検出モデルを正規化するための提案を評価します。更新された正規化コンテンツと実際のコンテンツとの間に相違がある場合、提案は自動的に識別されます。更新プログラムのコンテンツには最新の情報が含まれているため、提供されたコンテンツを使用すると、ソフトウェアのインストールを正確に保つのに役立ちます。

これをオプトイン ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス すると、見逃しているソフトウェア検出モデルや完全に正規化されていないソフトウェア検出モデル ServiceNow を調査用に提供できるようになります。作成された新しいコンテンツとルールは、ソフトウェアの正規化を継続的に改善するために顧客に提供されます。

正規化のメリット

- 正規化により、組織内で検出されたソフトウェアの明確なリストが作成されます。組織は、ソフトウェア監査の準備のためであろうと IT 運用のためであろうと、インストールされているソフトウェアの完全なインベントリを必要とします。正規化を行わないと、同じ公開者に対して複数の名前を使用するという課題が生じることになり、実行しているレポートの正確性と価値を合理化して希釈するための多大な労力が必要になります。
- 正規化により、ソフトウェアエンタイトルメントの調整の精度と効率が向上します。検出モデルの正規化された値を使用して、取得したソフトウェアエンタイトルメントに対してマッピングすることで、より正確な調整結果が得られます。これにより、カウントが正確でエンタイトルメントレコードと一致していることを認識して、ソフトウェア監査の計画と完了が容易になります。
- 正規化プロセスにより、複数の検出ツールからのインストールデータを標準化できます。

検出モデルの正規化の提案

正規化の提案は、パッケージまたはパターンルールとは異なるフィールド値を持つ検出モデルに対して作成されます。これらの提案は承認または却下できます。

毎週の正規化プロセス中に、公開者、製品、バージョン、エディション、プラットフォーム、言語の手動で正規化された値と、パッケージまたはパターン内の対応する値との間に差異 (または更新) がある場合、正規化提案レコードが作成されます。

注:
正規化された提案は、正規化された値がコンテンツライブラリに表示される値と異なる場合にのみ生成されます。完全に一致する場合、提案は行われません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手動で誤って正規化された検出モデルを正規化するための提案を評価できます。提案は、検出モデルを正しい値で更新する [accepted] と、手動で正規化された値を変更しない [rejected] のいずれかになります。

レコードは正規化の提案 [samp_normalization_suggestion] テーブルに含まれています。

提案 を受け入れる 場合:

- 検出モデルの [公開者]、[製品]、[バージョン]、[エディション]、[プラットフォーム]、[言語] が正規化ルールの値で更新されます。
- 正規化ステータスが [Manually Normalized] から [Normalized] に変わります。
- [正規化の提案] ステータスが [承認済み] に変更されます
- 検出モデルの [Normalization date] は、提案が受け入れられた時点に更新されます。

提案を 却下 する場合:

- 検出モデルは手動で正規化された値を保持し、 ステータスは [手動で正規化済み] のままになります。
- [正規化の提案] のステータスが [却下] に変更されます。

[正規化の提案] フォーム

フィールド	説明
Dscovery モデル	インストール済みソフトウェアを表わすソフトウェア Discovery モデル。
提案ステータス	正規化プロセスの提案された ステータス 。
検出された公開者	検出されたソフトウェアの公開者。
検出された製品	検出されたソフトウェアの名前。
検出されたバージョン	検出されたソフトウェアのバージョン。
提案された正規化	
推奨パブリッシャー	ソフトウェアの推奨公開者。
推奨製品	ソフトウェアの提案された名前。
推奨バージョン	ソフトウェアの推奨バージョン。
推奨エディション	ソフトウェアの推奨エディション。
推奨プラットフォーム	ソフトウェアの推奨プラットフォーム。
推奨言語	ソフトウェアの推奨言語。
パブリッシャー	ソフトウェアの正規化された公開者。
製品	ソフトウェアの正規化された製品名。
バージョン	ソフトウェア製品の正規化されたバージョン。
エディション	ソフトウェア製品の正規化されたエディション。
プラットフォーム	ソフトウェア製品の正規化されたプラットフォーム。
言語	ソフトウェア製品の正規化された言語。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアパターン正規化ルールを追加する

パターン正規化ルールを追加して、共通のパターンに基づいて環境内の特定のソフトウェア製品を正規化できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

注:
カスタム製品とパブリッシャーのパターン正規化ルールを作成する場合は、最初にカスタム製品と会社のレコードを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > 正規化ルールのカスタマイズ をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

[パターン正規化ルール] フォーム

フィールド	説明
名前	パターン正規化ルールの一意の名前を指定します。
検出されたパブリッシャーは次を含む	ソフトウェア公開者フィールドで検索するテキストを指定します。
検出された製品は次を含む	製品フィールドで検索するテキストを指定します。
アクティブ	ルールをアクティブ化するオプション。
検出されたパブリッシャーが空	公開者フィールドが空の製品を含むオプション (ルールは公開者が不明な検出モデルに適用されます)。
正規化された属性	
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者の正規化された名前を指定します。
製品	製品の正規化された名前を指定します。
エディション	製品のエディションを指定します。
製品タイプ	製品タイプを選択します。 ○ 子：メインとなるソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 ○ ドライバー:デバイスを制御するソフトウェア製品。 ○ ライセンス可能:ライセンス可能なソフトウェア製品。 ○ ライセンス不可:ライセンス不可のソフトウェア製品。 ○ パッチ:既存のコンピューター プログラムを更新、修正、または改善するために設計されたソフトウェア製品。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
バージョン	製品のバージョンを指定します。
プラットフォーム	プラットフォームを選択します。 ○ Windows ○ macOS ○ UNIX
言語	言語を選択します。 ○ オランダ語 ○ 英語 ○ フランス語 ○ ドイツ語 ○ イタリア語 ○ スペイン語

2. ルールが作成されたら、適用可能な検出モデルが遅延なく正規化されるようにルールを適用するには、[ルールを適用] 関連リンクをクリックします。

ファイル・セットを手動で定義するためのカスタム・ファイル・ルールの作成

カスタムルールを作成して、ファイルセットを手動で定義し、SAM API によって認識されないデータを正規化します。カスタム・ルールを作成した後、 を使用して ファイル署名の標準化 カスタム・ファイル・セットをディスカバーし、ソフトウェア・レコードを生成できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ファイル署名の標準化 構成アイテムのファイル属性に基づいて、ソフトウェアインストールパッケージを識別します。その後、入力は SAM API に送信されます。ルールに関連付けられ ファイル署名の標準化 ていないファイルプロパティが検出された場合は、手動でデータを正規化し、その入力を API に送信してソフトウェアインストールレコードを作成できます。

注:
コンテンツサービスライブラリで検出されたファイル署名ルールは、カスタムファイル署名ルールよりも優先されます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > カスタムファイル正規化ルール をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

[不明なファイルセット] フォーム

フィールド	説明
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。提供されているルックアップリストを使用することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 公開者は、会社 [core_company] テーブルへの参照です。内部で使用している会社のみが表示されます。
製品	ソフトウェアの製品名。ソフトウェア ディスカバリー モデルフォームで提供されているものと同じルックアップリストです。必要に応じて、ルックアップリストからカスタム製品を作成できます。 注: ソフトウェア公開者 [samp_sw_publisher] テーブルと会社 [core_company] テーブルの関係が正しくない場合、その公開者の製品が表示されないことがあります。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。 バージョン条件値が **[starts with]** または **[is-]** の場合は必須です。
エディション	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のエディション。 エディション条件値が [次で始まる] または [次の値に等しい] の場合は必須です。
プラットフォーム	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。 デフォルトは、macOSUNIXWindows
言語	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。標準化または手動で追加された後に入力されます。 デフォルトは [任意] です。
コンテンツサービスから除外	コンテンツサービスライブラリーへの追加からファイルセットルールを除外するオプション。
ファイル名	システムに存在するソフトウェアインストールに関連付けられたファイルの名前。
ファイルサイズ	ファイル名ファイルのサイズ (バイト単位)。
ファイルバージョン	ファイル名ファイルのバージョン。

2. [送信] をクリックします。

タスクの結果
カスタムルールが「不明なファイルセット」リストに追加されます。

機械学習を使用した検出モデルの正規化

機械学習を使用して、検出された認識できないソフトウェアを正規化することで、正規化率をリアルタイムで向上させます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、機械学習を使用して検出モデルの正規化を改善します。機械学習で現在サポートされている予測値は、バージョン、完全バージョン、およびエディションです。

機械学習正規化 (com.sn_sam_ml_normalization) プラグインを ソフトウェア資産管理 アクティブ化して、機械学習の正規化をオプトインします。

プラグインが有効になったら、 *Enable ML Normalization for discovered software* (com.snc.samp.enable.ml_normalization) プロパティが選択されていることを確認します。このプロパティの詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理のプロパティ。このプロパティを無効にすることで、機械学習の正規化をオプトアウトできます。オプトアウトすると、検出モデルの正規化はコンテンツサービスルールに対してのみ行われます。

ジョブスケジュール [*SAM - コンテンツライブラリルールを使用した検出モデルの正規化 (SAM - Normalize discovery models using content library rules)*] は、毎日トリガーされ、コンテンツルールに基づいて検出モデルを正規化します。このジョブスケジュールは、機械学習正規化プラグインがアクティブかどうかに関係なく ソフトウェア資産管理 実行されます。このプラグインがアクティブ化されている場合、部分的に正規化された検出モデルは、別のジョブスケジュール (*SAM - 機械学習を使用して検出モデルを正規化*) によって取得されます。ジョブスケジュール (コンテンツライブラリルールを使用した *SAM - 検出モデルの正規化*) は、オンデマンドのジョブスケジュール (機械学習を使用した *SAM - 検出モデルの正規化*) を呼び出し、機械学習予測を検証するように拡張されています。

ジョブスケジュール (*SAM - 機械学習を使用した検出モデルの正規化*) が完了すると、ソフトウェア検出モデル [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルの次の機械学習ベースの列に更新された値を表示できます。

- ML 予測値:属性の予測値を示します。
- ML モデルバージョン:属性の予測に使用されたモデルバージョンを示します。
- ML 正規化ステータス:機械学習による正規化のステータスを示します。この列の値は次のとおりです。
  - ML の正規化:検出モデルは機械学習によって正規化されます
  - 復元済み:検出モデルは機械学習によって正規化されていますが、ユーザーが正規化された値を元に戻しました
  - 上書きされたコンテンツ:新しいコンテンツルールによって上書きされた機械学習予測

注:
スケジュール済みジョブである *SAM - 機械学習を使用した検出モデルの正規化* のステータスは、ソフトウェア資産ジョブ結果 [samp_job_log] テーブルで追跡されます。

コンテンツルールは常に更新されているため、週次ジョブスケジュール [*SAM - コンテンツライブラリルールを使用して検出モデルを正規化 (SAM - Normalize discovery models using content library rules*)] は、機械学習によって正規化された検出モデルを取得し、これらのモデルを最新のコンテンツルールで正規化しようとします。機械学習の予測値がコンテンツサービスの予測値と異なる場合、機械学習予測はコンテンツサービスの値で上書きされます。コンテンツサービスの予測値は、常に機械学習予測値よりも優先されます。

注:
予測値の正規化ルールの詳細については、「 ライセンス製品の正規化ルール 」および「非ライセンス製品の正規化ルール」というタイトルの表を参照してください。

正規化値を元に戻すことで、検出モデルを手動で正規化することができます。ソフトウェア検出モデルフォームで正規化を元に戻すと、コンテンツと機械学習から取得されたすべての正規化値が削除されます。検出モデルは、[一致項目は見つかりませんでした] のステータスに戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
機械学習によって正規化された検出モデルを元に戻しても、コンテンツルールは非アクティブ化されません。ただし、検出モデルがコンテンツ規則によってのみ正規化されている場合、コンテンツ規則は無効になります。

ライセンス製品の正規化ルール

フィールド	正規化ステータス
すべてのフィールドが正規化される **注:** すべてのフィールドには、公開者、製品、バージョン、エディション、および完全バージョンが含まれます。	正規化済み
パブリッシャーのみが正規化される	パブリッシャーによって正規化済み
どのフィールドも正規化されていない場合:公開者、製品、バージョン、エディション、完全バージョン	一致なし
製品とパブリッシャーのみが正規化されます。	一部正規化済み

ライセンスされていない製品の正規化ルール

フィールド	正規化ステータス
パブリッシャーと製品のみが正規化されている場合	正規化済み
パブリッシャーのみが正規化される	パブリッシャーによって正規化済み
どのフィールドも正規化されていない場合:公開者、製品、バージョン、エディション、完全バージョン	一致なし

自動翻訳

ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート

ソフトウェアスイートは、ソフトウェアパブリッシャーが関連するアプリケーションをセットとしてグループ化する方法です。

ソフトウェアスイートの概要

スイートを作成してコンポーネントを追加し、調整中に組織の権限が正しくカウントされるようにします。

クライアント ソフトウェア スイート Microsoft の例としては、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Access で構成される Office スイートがあります。Microsoft Office はスイート (親) と見なされ、スイート コンポーネントはスイート (子) です。

より複雑な例は、サーバーソフトウェアで一般的な「スイートのスイート」です。Microsoft Core Infrastructure Server (CIS) Suite には、Windows Server と System Center (これもスイート) の 2 つのスイートコンポーネントがあります。

スイート コンポーネントは、個々のライセンスを必要とする各ソフトウェア コンポーネントではなく、スイート ライセンスを使用して一緒にライセンス供与されます。したがって、スイート (親) の

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタイトルメントは、スイート自体でもあるスイートの子を含むすべてのスイート コンポーネントにライセンスを付与します。

ソフトウェアサブスクリプションの場合、ユーザーごとに必要なユーザーサブスクリプションスイートライセンスは 1 つだけです。たとえば、 Microsoft 365 スイートには、Office 365、EMS (Enterprise Mobility plus Security)、および Windows 10 のコンポーネントが含まれています。1 つの Microsoft 365 ライセンスで、ユーザーは 1 つ以上のコンポーネントを使用できます。

ソフトウェアスイート [cmdb_m2m_suite_model] テーブルは、スイート (親) とスイート (子) の関係をキャプチャします。

どのソフトウェア モデルでも、モデルがスイート (親) かコンポーネント (子) かを指定できます。ソフトウェア モデルによっては、複数のスイートに属するコンポーネントとなることもあります。たとえば、 Microsoft Word は Office Standard と Office Professional の Microsoft 2 つのスイートMicrosoftに含まれるコンポーネントです。1 つのソフトウェアモデルをスイートやコンポーネントの両方に設定できますが、ソフトウェアは通常組み込まれたスイートとして販売されていません。

スイートコンポーネントやスイート (親) などのスイート情報は、ソフトウェアモデルフォームのタブとして表示されます。ソフトウェアモデルがスケジュール設定済みジョブの一部として自動的に作成されるたびに、その子コンポーネントが自動的に作成され、ソフトウェアモデルフォームの [スイートコンポーネント] タブに表示されます。

事前定義されたスイート

ソフトウェア資産管理コンテンツライブラリには、ユーザーエクスペリエンスを簡素化するための事前定義されたスイートが含まれています。製品のスイートコンテンツが存在する場合は、ソフトウェアモデルのスイートコンポーネントタブにスイート情報が自動的に入力されます。スケジュール設定済みジョブを使用して、スイートコンテンツの更新がダウンロードされ、既存のスイート定義が更新されます。

割り当て

割り当ては、デバイスまたはユーザーにライセンスを適用するために使用されます。スイートのコンテキストでは、割り当てにより、ソフトウェア資産管理者はスイートライセンスの代わりに個々のコンポーネントライセンスをユーザー/デバイスに適用できます。

割り当てのユースケース

組織には、E5 (スイート) エンタイトルメントと Windows 10 エンタイトルメントの両方 Microsoft 365 があります。ユーザー A は、Windows 10、Word、Excel、および Office 365 のその他のコンポーネントをデバイスにインストールしています。ユーザー A に Windows 10 エンタイトルメントが割り当てられている。ユーザー A の Windows 10 インストールは、スイートエンタイトルメントではなく Microsoft 365 Windows 10 エンタイトルメントでライセンスされますが、残りのコンポーネントはスイートの一部として Microsoft 365 ライセンスされます。

ディスカバリーマップ

ディスカバリーマップ (DMAP) は、SAMP コンテンツライブラリで事前定義されたソフトウェアのバリエーションです。ソフトウェア モデルは、公開者、製品、バージョン、エディションを設定することで手動で定義できますが、可能な限り DMAP を使用することをお勧めします。DMAP は、スイート関係、ダウングレードモデル、ライフサイクル、次のバージョンなど、関連するコンテンツをソフトウェアモデルに自動的に関連付けます。

ハイブリッドおよびサブスクリプションソフトウェアスイート

ソフトウェア資産管理 は、ハイブリッドおよびサブスクリプションベースのソフトウェアスイートをサポートしています。ハイブリッドソフトウェアスイートでは、スイートの親コンポーネントまたは子コンポーネントのいずれかがサブスクリプションベースです。サブスクリプションベースのソフ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

トウェアスイートでは、スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプションベースです。コンプライアンスを判断するために使用するライセンスは、スイートの親コンポーネントと子コンポーネントがサブスクリプションベースかどうかによって異なります。

- スイート (親) のみがサブスクリプション ベースである場合、すべての子コンポーネントのインストールはスイート (親) の一部として推測されます。スイートの親ライセンスを使用して、ライセンスのコンプライアンスを判断することができます。
- スイート (親) の子コンポーネントのみがサブスクリプション ベースである場合、その子コンポーネントのインスタンスはスイート (親) の一部として推論されません。子コンポーネントライセンスを使用して、ライセンスコンプライアンスを判断できます。
- スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプション ベースの場合、子コンポーネントのインスタンスはスイート (親) の一部として推定されます。スイートの親ライセンスを使用して、ライセンスのコンプライアンスを判断することができます。たとえば、365 E5 は、 Microsoft Office 365 E5、EMS E5、および Windows 10 サブスクリプション ソフトウェアを含むサブスクリプション ベースのソフトウェア スイートです。スイートの親コンポーネントと子コンポーネントはどちらもサブスクリプションベースであるため、365 E5 親ライセンスと Microsoft 照合されます。

ソフトウェアスイートの推定

スイート推定は、ソフトウェアがスイートの一部であるかどうかを判断し、ライセンス取得時に使用するのに最適なスイートまたは効率的なスイートを推測するために使用されます。

スイート推定フロー

スイート推論のプロセスは、次の 2 つの段階に分かれています。

- スイート構造の構築。
- ソフトウェアのインストールまたはサブスクリプションレコードに最適なスイートを推測します。

資格付与、ソフトウェアモデル、およびスイートの関係に基づいてスイート構造を構築すると、インストールとサブスクリプションのレコードが処理されます。

スイートエンジンの実行後、スイートの一部であるすべてのインストールとサブスクリプションレコードの [推定スイート] 列に、最適なスイート (親) のソフトウェアモデルへの参照がスタンプされます。ルールのランク付けの詳細については、「 スイートの推論ルール」を参照してください。このソフトウェアモデルのエンタイトルメントは、スタンプされた各レコードにライセンスを与えます。

スイートエンジンは、サブスクリプションスイートモデルとソフトウェアサブスクリプションレコードの推定に優先順位を付けます。次に、オンプレミスのスイートモデルとソフトウェアインストールレコードが推測されます。

スイートの親ライセンスが使用されている場合、個々の子コンポーネントのライセンスは使用されません。

> **注:**
> model_managerロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 **Product Catalog** > 製品モデル > ソフトウェアモデルですが、ソフトウェア モデルのすべての側面を管理することはできません。

システムプロパティ [スイートライセンスがなくなったときに、コンポーネントライセンスを使用してコンプライアンスを最適化する] は、ライセンスの測定基準に対してMicrosoftのみデフォルトで **true** に設定されています。これにより、スイートコンポーネントライセンスとスイート親ライセンスの両方を使用できます。プロパティが **false** に設定されている場合、使用できるのはスイートの親ライセンスのみです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スイートの親がインストールテーブルで定義されていない場合は、[推定率] フィールドと [必須] フィールドを使用します。

- 推定率: スイートにインストールする必要があるコンポーネントの割合を指定します。システムプロパティ [スイートライセンスがなくなったときにコンポーネントライセンスを使用してコンプライアンスを最適化する] が **true** に設定されている場合、推定率は、スイートまたはコンポーネントのライセンスが最適かどうかを判断するしきい値を指定します。たとえば、 Microsoft Core Infrastructure Suite (CIS) には、推定率が 50% の Windows Server と System Center の 2 つのコンポーネントがあります。この推定率は、個々のコンポーネントの Microsoft 50% 以上がインストールされている場合に CIS ライセンスを使用することを示唆しています。個々のコンポーネントのインストールが 50% 未満の場合は、コンポーネントライセンスの使用が最適です。
- 必須:スイートがインストールされていることを推測するためにコンポーネントをインストールする必要があるかどうかを強制します。選択肢は、[オプション]、[常に必須]、および [必須グループ] です。

> **注:**
> 2 つ以上のソフトウェアコンポーネントが必須グループの一部である場合、すべてのソフトウェアコンポーネントがスイートと見なされるように、少なくとも 1 つのソフトウェアコンポーネントが存在する必要があります。これは、推定率とその他の要件も満たされていることを前提としています。

スイート推定ルール

スイート推論ランキングのルールは次のとおりです。

1. ソフトウェアインストールの 1 つがスイートソフトウェアモデルに属している場合、そのスイートは推論率を満たす必要なく直接推定されます。
2. 最初のルールが満たされない場合、そのデバイスで推定率を満たすスイートは、推定スイート候補と見なすことができます。
3. インストールされているコンポーネントの数が最も多い候補が選択されます。
4. それでも同点の場合は、ダウングレードの低いスイートが選択されます。たとえば、Office 2016 と Office 2013 の両方が候補であり、インストールされているコンポーネントの数が同じであるとします。ただし、Office 2013 は Office 2016 のダウングレードであるため、Office 2013 が選択されます。
5. それでも同数がある場合は、インストールされているコンポーネントの割合が最も高いものが選択されます。

ライセンス測定基準の **Microsoft** スイート推定ルール

スイートライセンスがなくなると、システムプロパティ [コンポーネントライセンスを使用してコンプライアンスを最適化する **(Use component licenses to optimize compliance**)] に基づいて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはスイートまたはコンポーネントライセンスを使用します。たとえば、Core Infrastructure Server (CIS) スイートと Windows Server インストールの両方がある場合、どちらにも個別のライセンスがあります。Windows Server のインストールが検出された場合、 ソフトウェア資産管理 製品はまず利用可能な Windows Server ライセンスを使用してライセンスを取得します。すべての Windows Server ライセンスの使用に続いて、CIS ライセンスが使用されます。

システムプロパティ [スイートライセンスがなくなったときに、コンポーネントライセンスを使用してコンプライアンスを最適化する **(Use component licenses to optimize compliance when suite licenses run out**)] が true に設定されている場合、ライセンス測定基準の Microsoft ルールランキングは次のようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. コンポーネントに対して推論できるスイートが複数ある場合は、推定率を満たすスイートが優先されます。
2. インストールされているコンポーネントの数が最も多いスイート候補が優先されます。
3. それでも同順位の場合は、ダウングレード権限の低いスイートが選択されます。たとえば、CIS 2019 と CIS 2016 の両方が候補であり、インストールされているコンポーネントの数が同じであるとします。ただし、CIS 2016 は CIS 2019 のダウングレードであり、ダウングレード権限は少ないため、CIS 2016 が選択されます。
4. 推定率を満たす親スイートが子スイートよりも優先されます。親スイートが推定率を満たしていない場合は、子スイートが優先されます。
5. それでも同数の場合は、インストールされているコンポーネントの割合が最も高いものが優先されます。

スイート推論のユースケース

たとえば、Microsoft Access で [推定率] を 75% に指定し、[必須] フィールドを [常に必須] に設定したとします。これらの設定では、Microsoft Office Professional がデバイスにインストールされていると推測するには、Microsoft Access を他の 4 つの製品 (Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、および Microsoft Outlook) のうち 3 つと共にインストールする必要があります。

検出モデルとソフトウェアインストール

ソフトウェア検出モデルは、環境にインストールされているソフトウェアを識別して正規化するために、検出中に自動的に作成されます。

ソフトウェア検出モデルは、ソフトウェア検出モデル [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルに格納されます。新しい検出モデルが作成されると、正規化プロセスが自動的に実行されます。検出モデルは、名前に「セキュリティ更新」が含まれるソフトウェア インストールに対しては作成されません。

ソフトウェア モデルとソフトウェア Discovery モデルは異なるものです。

- ソフトウェア モデルは、購入済みおよび/または利用可能なソフトウェアの特定のバージョンまたは構成のことです。
- ソフトウェア Discovery モデルは、あるバージョンのソフトウェアがネットワーク環境で発見されたときに作成されるモデルです。

1 本のソフトウェア モデルに複数のソフトウェア Discovery モデルを関連付けることができます。たとえば、ソフトウェア モデルは次のように定義できます。

- 公開者 = X
- 製品 = Y
- バージョン = 10 から始まる

この製品のインストールが 2 回別々に行われた場合 (バージョン 10.1 とバージョン 10.2)、Discovery モデルが 2 つ作成されます。Discovery モデルの 1 つには検出されたバージョンとして 10.1 が設定され、もう片方の Discovery モデルには検出されたバージョンとして 10.2 が設定されています。調整プロセスではどちらもバージョン 10 から始まるという基準を満たしているため、これら 2 つの Discovery モデルは両方とも同じソフトウェアモデルに関連付けられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検出モデル

ソフトウェア Discovery モデルを手動で作成することはできません。プライマリーキーという次のフィールドの組み合わせは、新規のソフトウェアインストールを新規または既存のソフトウェア Discovery モデルを照合するために使用されます。

プライマリー キー：[公開者]、[表示名]、[バージョン]

注:
バージョン番号の分析するときは完全一致が常に最初に検索されますが、完全一致が見つからない場合はメジャー バージョン番号で検索します。

たとえば、バージョン番号 8.0.4 で一致するものが見つからず、バージョン 8.0 が見つかった場合は、[ソフトウェア モデル] フィールドでバージョン 8.0 を使用します。

注:
正規化されたフィールド値がパッケージまたはパターンの値と異なる場合、[正規化ステータス] フィールドの横に、正規化提案レコードが作成されたことを示す警告アイコンが表示されます。注意アイコンをクリックすると、その検出モデルの 正規化提案 レコードが開きます。

異なる値は、ユーザーが設定するか、正規化提案の変更を受け入れることによって設定できます。新しい値が設定されると、正規化ステータスが [正規化済み] から [手動で正規化済み] に変わります。

特定の条件下では、通常は読み取り専用である特定のフィールドを編集できます。編集すると、ステータスが [Manually Normalized] に変わります。

正規化を元に戻す

必要に応じて正規化を元に戻すことができます。

[**Normalized**]、[**Partially Normalized**]、または**[Publisher Normalized**] のステータスを持つ検出モデルは、[一致項目は見つかりませんでした] に戻ります。フィールドは元の値にリセットされ、ソフトウェア検出モデルに関連付けられたルールはすべて無効になります。

ソフトウェア インストール

[ソフトウェアインストール] リストには、組織内でインストールされ、検出によって設定されるソフトウェアが含まれています。

インストールしたソフトウェアは ディスカバリー によってソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに配置され、プライマリー キーが作成されます ([公開者]、[表示名]、[バージョン] フィールドを使用)。

ディスカバリー はプライマリーキーを使用して、検出されたソフトウェアインストールを新規または既存のソフトウェア Discovery モデルと自動的に照合します。

サポート終了 **(EOL)** およびサポート終了 **(EOS)** のライフサイクル

ベンダー提供のライフサイクルがない場合は、計算されたライフサイクルを使用して、ソフトウェア製品の EOL および EOS ライフサイクルを作成することで、リスクを評価および管理します。おおよその日付を使用して、ライフサイクルの範囲範囲を改善することもできます。

計算済みライフサイクル

一般提供 (GA) の日付から、業界平均 (月単位) に基づいて EOL と EOS のライフサイクルを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> ライフサイクルは、sam_userロールまたはsam_adminロールによって作成できます。

製品または公開者に関連するカスタム値を指定することで、グローバルな業界平均を上書きできます。ライフサイクルは、指定した製品または公開者の値に基づいて計算されます。ソフトウェア資産ワークスペースでのカスタム値の指定の詳細については、「」を参照してください ワークスペースで製品ライフサイクルの平均を作成する。クラシックアプリケーションで ソフトウェア資産管理 の値の指定については、「」を参照してください クラシック版で ソフトウェア資産管理 製品ライフサイクルの平均を作成する。

EOL または EOS ライフサイクルを作成するときは、次の前提条件に留意してください。

- ソフトウェア資産管理 Professional (com.sn_samp_master) プラグインを有効にする必要があります。
- 製品で利用可能な GA 日付。
- コンテンツサービスによって提供されていないEOLおよびEOSライフサイクル。
- 製品はコンテンツサービスによって出荷されます。

ソフトウェアライフサイクルプロセス

スケジュール設定済みジョブ *SAM - Generate Data For Software Lifecycle Report* は、コンテンツサービスによって GA 日が利用可能で公開されている製品のライフサイクルのデータを収集します。このスケジュール設定済みジョブは、これらすべての GA レコードに EOL または EOS ライフサイクルレコードが関連付けられているかどうかを確認します。ユーザーまたはコンテンツサービスによって EOL または EOS ライフサイクルレコードが作成されていない場合、計算された EOL または EOS ライフサイクルレコードは別の *SAM - Create Calculated Software Lifecycles*スケジュール設定済みジョブによって作成されます。

スケジュール設定済みジョブ *SAM - Create Calculated Software Lifecycles* でライフサイクルを生成するには、次の点に注意してください。

- ドメイン分離が無効になっている場合は、システムのプロパティ [sys_properties] テーブルでシステムのプロパティを有効にします *com.snc.samp.generate.calculated.lifecycles* 。
- ドメイン分離が有効になっている場合は、アプリケーションプロパティ [sys_application_properties] テーブルを使用して) プロパティを有効にします *com.snc.samp.generate.calculated.lifecycles*。アプリケーションプロパティ [sys_application_properties] テーブルで、プロパティ *com.snc.samp.generate.calculated.lifecycles* をクリックして [アプリケーションのプロパティ] ページを開きます。[アプリケーションプロパティ値] まで下にスクロールし、[新規] をクリックしてレコードを作成します。[アプリケーションプロパティ] フィールドと [ドメイン] フィールドには、値が事前に入力されています。「 値 」フィールドに 「true 」と入力し、「 送信」をクリックします。また、ドメイン資産プロセス設定 [alm_domain_asset_process_setting] テーブルで列 *Run asset process [run_asset_process]* の値を true に指定して、調整を有効にする必要があります。

  > **注:**
  > 調整は、親ドメインまたは子ドメインのいずれかに対して有効にできます。親ドメインと子ドメインの両方に対して有効にすることはできません。

計算されたライフサイクルと作成したライフサイクルは、カスタムソフトウェア製品ライフサイクル [sam_custom_sw_product_lifecycle] テーブルに保存されます。コンテンツサービスによって作成されたライフサイクルは、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルに保存されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

業界平均は、ソフトウェアライフサイクル平均 [samp_sw_lifecycle_averages] テーブルに保存されます。これらの平均を使用して作成されたライフサイクルは、ソース列が 計算済みとして定義されます。

> **注:**
> EOS または EOL レコードを作成した場合、スケジュール設定済みジョブによって作成された EOL または EOS は、作成したカスタムレコードが優先されるため、次回のコンテンツサービス更新で削除されます。同様に、スケジュール設定済みジョブで EOL および EOS レコードが作成されてからカスタムレコードを作成した場合、カスタムレコードが優先されるため、スケジュール設定済みジョブによって作成されたレコードは、次回のコンテンツサービス更新で削除されます。

作成されると、EOL と EOS のライフサイクルがソフトウェアモデルページに表示されます。

> **注:**
> sam_userまたはsam_adminによってソフトウェアモデルの EOL または EOS ライフサイクルが削除された場合、そのライフサイクルはソフトウェアモデルには復元されません。

ライフサイクルの概算日付

ライフサイクルレポートの範囲を改善するために、日付のないライフサイクルにはおおよそのライフサイクル日付が割り当てられます。

システムプロパティ (com.snc.samp.use_lifecycle_approximation) を選択して、ライフサイクルレポートの生成時におおよそのライフサイクルの日付を含めます。このプロパティの詳細については、「ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。

新しいテーブルであるソフトウェア ライフサイクル コード [software_lifecycle_code] には、すべての近似コードとコードの説明が含まれています。

新しい列 [ライフサイクルコード] がソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルに追加されます。おおよその日付がライフサイクルに割り当てられている場合、[ライフサイクルコード] 列はソフトウェアライフサイクルコード [software_lifecycle_code] テーブルを参照します。ライフサイクルに確認済みの日付がある場合、ライフサイクルコード列は空です。

すべてのライフサイクルフェーズの可視性を向上させるために、次の列がソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report'] テーブルに追加されました

- 一般提供開始日
- 一般提供
- サポート終了開始日
- サポート終了ライフサイクル
- 延長サポート終了開始日
- 延長サポート終了ライフサイクル
- 提供終了開始日
- 提供終了ライフサイクル
- ソフトウェアモデル
- 所有者

すべてのビルドバージョンの EOL、EOS、および延長サポート終了日は、コンテンツサービスによって出荷されません。ライフサイクルレポートは、このような日付を汎用バージョンから継承します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイル署名の標準化

ファイルベースの検出では、サーバー上のUNIXWindowsファイルを検索し、インストールされているソフトウェアの識別を強化する一連の確立されたルールを使用して処理します。この結果を使用して、セキュリティ上の目的でネットワークサーバー上の特定のファイルタイプを監視したり、プラグイン for ソフトウェア資産管理 Professional (SAMP) でファイル署名の標準化ソフトウェアライセンスを管理したりします。

ファイルベースの検出の詳細については、「 ファイルベースの検出 」を参照してください。

注:
このページで提供される情報は、(com.snc.file_signature_normalization) プラグインで ファイル署名の標準化 利用可能な機能のみを対象としています。

必須のプラグイン

この ファイル署名の標準化 プラグインは、インストールされているソフトウェアにファイル情報をマッピングできるようにするために必要です。このプラグインを有効にするには、 ソフトウェア資産管理 を要求する.

ファイルベースの検出 (com.snc.discovery.file_based_discovery) プラグインを使用してファイルベースの検出を有効にし、ファイルの署名をフィルタリングすることもできます。このプラグインはサブスクリプションに含まれています ディスカバリー が、プラグインのアクティブ化を要求する必要があります。製品と公開者の正規化は、の有無 ソフトウェア資産管理にかかわらずファイルベースの検出に使用できます。

ファイル署名の標準化 の仕組み

ファイル署名の標準化 は、検出されたファイルとその属性 (ファイル名、ファイルサイズ、バージョンなど) を使用して、Content Data Service (CDS) で一致する署名を検索します。次に、 ファイル署名の標準化 正規化されたソフトウェアインストールレコードを作成します。

定期的にスケジュールされた ディスカバリー ジョブでは、ユーザー環境内の指定されたすべてのエンドポイントでファイル情報が検出され、 に MID サーバー送信されます。その後、からの MID サーバー 情報がインスタンスに ServiceNow 返送されます。情報がコンテンツライブラリと照合され、ソフトウェアインストールレコードが作成されます。

検出されたファイル名が CDS 内の事前定義されたファイル署名ルールと一致しない場合、不明なファイルセットレコードが不明なファイルセット [cmdb_unidentified_file_set] テーブルに作成されます。sam_adminロールを持つユーザーは、不明なファイルセットのカスタムファイル署名ルールを作成して、データを手動で正規化できます。

コンテンツサービスにオプトインすると、これらのカスタムファイル署名は、詳細な分析のために CDS に送り返され、将来の検出のためにコンテンツサービスに含められます。また、[CDS から除外] 列の値を True に変更することで、一部のカスタム ファイル署名が CDS に送信されないように制限することもできます。

注:
ソフトウェア検出モデルは、ソフトウェア モデルディスカバリー [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルに格納されています。パターン検出の正規化とは異なり、 で ファイル署名の標準化 作成された検出モデルは正規化プロセスを自動的に実行されないため、正規化ジョブのスケジュール時に無視されます。

ファイル署名の標準化 は重複も識別します。同じ構成アイテムで検出されたが、検出ソースが異なるソフトウェアインストールは、重複と見なされます。識別されたすべてのインストールは、デフォルトで非アクティブとしてマークされます。重複が削除されると、残りのインストールはアクティブとしてマークされ、検出モデルは関連するすべてのインストールを取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
デフォルトでは、ジョブスケジュールは特定の時間に実行されるため、パフォーマンスや安定性の問題を引き起こす可能性のある高負荷は実行されません。これらのスケジュール設定済みジョブ時間が変更されると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

ファイルベースの検出中に検出されたソフトウェアインストールは、製品名やパブリッシャー名の変更など、ソフトウェアインストール属性の CDS の変更を反映して更新されます。ステージ製品とステージパブリッシャーは、ファイルセット [samp_file_set] テーブルの新しい列です。

ファイル署名の標準化 ロール

ファイル署名の標準化 は、次のロールを追加します。

ロール	説明
samp_file_admin	このロールを持つユーザーは、ファイル属性と不明なファイル情報にアクセスできます。ファイル署名の正規化がサードパーティソフトウェアインストールの検出ソースをサポートするようにするために必要です。

テーブル

ファイル署名の標準化 は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
samp_file_set	ソフトウェア製品にマップするファイル・セット。複数のsamp_file_mapレコードが 1 つのsamp_file_setレコードを指すことができます。
samp_file_map	エンドユーザーデバイスによって検出された各ファイルハッシュのファイルマップレコード。ファイルハッシュは、検出されたファイルとその属性に基づいて作成されます。
samp_file_name	エンドユーザーデバイスでの検索に使用されるファイル名。
samp_custom_file_name	エンドユーザーデバイスで検出できる、ユーザーが入力したファイル名。
cmdb_unidentified_file_set	CDS 内で検出されたファイルに対してソフトウェアの一致が見つからない場合に作成されるカスタムルール。

ダウングレード権限

ライセンスのダウングレードの概念は、プラグイン機能に ソフトウェア資産管理 組み込まれています。ダウングレード権とは、最新バージョンのソフトウェアに対する権利を取得した上で、同じソフトウェアの以前のバージョンをライセンスする権利を使用するプロセスです。

ソフトウェア資産管理コンテンツサービスはダウングレード権限を生成します。ダウングレード権は検出マップに対応します。毎週トリガーされるスケジュール設定済みジョブ *`Download software content: Downgrade Rights`* は、Software Asset Management コンテンツサービスからダウングレード権限を取得し、そのデータをダウングレード権限 [samp_dmap_downgrade_model] テーブルにプッシュします。

別のスケジュール設定済みジョブ は、[*`SAM- Create downgrades/upgrades for a software entitlement`*samp_dmap_downgrade_model] テーブルから情報を取得します。このテーブルにより、次のバージョン、既存のソフトウェアモデルのダウングレード権限、および対応するエンタイトルメントが伝搬されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

検出マップに対応するソフトウェアモデルがない場合は、ダウングレード権限 [samp_sw_downgrade_model] テーブルにデータを入力するときに、新しいソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

ソフトウェアモデルに対応する検出マップにダウングレード権限がある場合、[Downgrade Rights] 関連リストには、ソフトウェアのダウングレードバージョンの階層リストが自動的に入力されます。

ダウングレード権限が作成され、ダウングレード権限テーブル [samp_sw_downgrade_model] および [samp_downgrade_model] に保存されると、ダウングレード権限は削除できなくなります。ただし、ダウングレード権限を非アクティブ化することはできます。

ソフトウェアモデルを削除すると、ダウングレード権限 [samp_sw_downgrade_model] テーブル内のソフトウェアモデルに対応するすべてのレコードが自動的に削除されます。

ダウングレード権限を重複して作成することはできません。ジョブスケジュールを使用するか、ソフトウェアモデルとエンタイトルメントフォームのレイアウトで手動で作成します。ソフトウェアモデルまたはエンタイトルメントに対して重複したダウングレード権限を作成しようとすると、ダウングレードモデルが存在することを通知するエラーメッセージが表示されます。次のすべてのフィールドで同じ値を持つ場合、ダウングレード権限は重複していると見なされます。

- 公開者
- 製品
- バージョン条件
- バージョン
- エディション条件
- 版
- プラットフォーム
- 言語
- ソフトウェア インストール条件
- 指名ユーザータイプ:製品に対して SAP のみ表示されます。

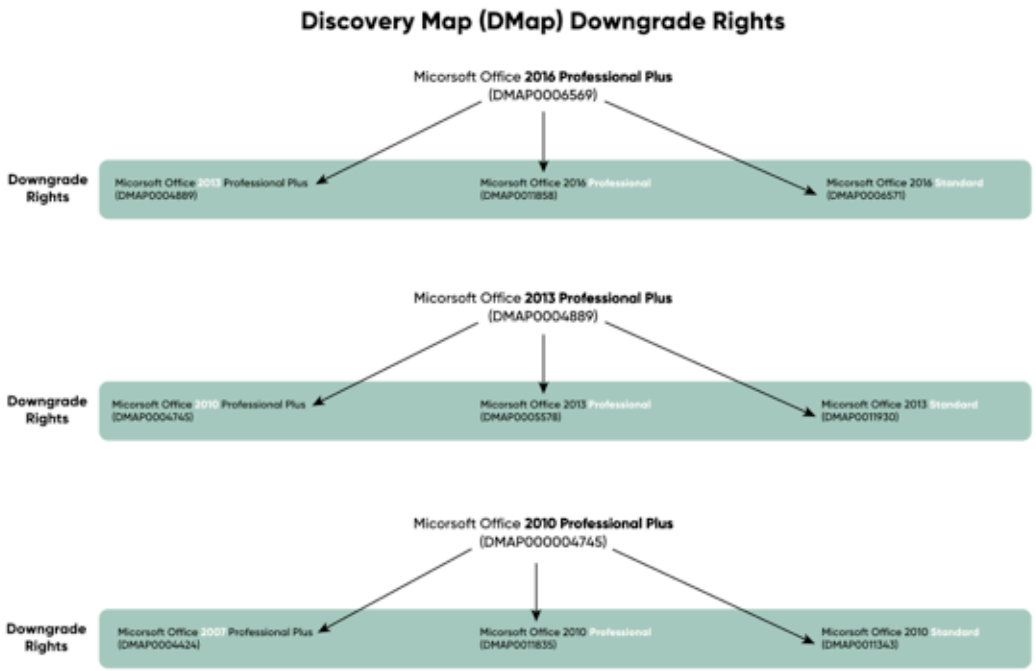
以前の ソフトウェア資産管理プロ リリースから重複したダウングレード権限が既にある場合、それらの重複するダウングレード権限は変更または削除されません。

非アクティブなダウングレード権限に対して重複したダウングレード権限を作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。このエラーメッセージは、非アクティブなダウングレード権限が存在し、再アクティブ化できることを通知します。

ダウングレードのサポートは、次の Microsoft ライセンス測定基準で利用できます。

- Per User
- 指名ユーザーあたり
- デバイスあたり
- 指名デバイスあたり
- コアあたり
- コアあたり (CAL を含む)
- サーバー (インスタンスあたり)
- サーバー (サーバーあたり)
- プロセッサーあたり

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ソフトウェアライセンスのメンテナンス

ソフトウェアメンテナンスエンタイトルメントを可視化して、これらのライセンスをライフサイクル全体にわたって効果的に管理します。

次の方法で、ソフトウェアメンテナンス費用を管理および最適化します。

- 開始日と終了日を指定するメンテナンス資格付与のインポート、更新、および作成。
- 正確な調整コストを取得します。
- 潜在的な節減額を知ることで、リソースを最大限に活用します。
- 期限切れ間近のメンテナンスエンタイトルメント、未使用のエンタイトルメント、および使用頻度の低いエンタイトルメントに注意する。

期限切れ間近のメンテナンスエンタイトルメントの決定

ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ を使用すると、期限切れ間近のメンテナンス資格付与 Software Asset ワークスペースをすべて追跡できます。エンタイトルメントを追跡するには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > 期限切れ間近のメンテナンスとサブスクリプション. この追跡機能により、SAM マネージャーは期限切れ間近のメンテナンスエンタイトルメントの全体像を把握し、必要なアクションを実行できます。

のメンテナンス **Microsoft**

Microsoft ソフトウェア アシュアランス (SA) は、 Microsoft ユーザーにアクティブなメンテナンスを提供するために使用するメンテナンス プログラムです。

Microsoft は、最新のソフトウェアバージョンとリリースへのアクセス、クラウドの特別な権限、ライセンスモビリティなど、いくつかの利点を提供します。これらの利点の詳細については、Microsoft ドキュメント を参照してください。

ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ はこれらのメリットを活用しながら、次の方法で製品のライセンスを付与 Microsoft します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 新しいバージョンの権利: 製品の最新バージョン Microsoft にアクセスできるため、SA ユーザーは追加コストなしで製品ライセンスをアップグレードできます。また、ソフトウェアのバージョンのみに基づいて対象ライセンスを追跡または再割り当てする必要はありません。 ソフトウェア資産管理プロ は、次のメカニズムを使用してバージョンサポートを追加します。
  - 新しいバージョンの自動適用:アクティブな SA のソフトウェアエンタイトルメントが新しいバージョンのソフトウェアモデルに関連付けられている場合、エンタイトルメントが自動的にアップグレードされ、 ソフトウェア資産管理プロ 最新バージョンのソフトウェアモデルに関連付けられます。また、これらの変更は [アップグレード履歴] 関連リストに保存されます。ソフトウェア モデルとバージョンの詳細については、次のリンクを参照してください ソフトウェアモデル フィールド。
  - ソフトウェアエンタイトルメントの管理: Microsoft 製品にバージョンが割り当てられていない状態で、SA カバレッジ付きの公開者の品番 (PPN) を提供します。そのため、SA 特典が Microsoft 製品のすべてのバージョンに誤って割り当てられるリスクがあります。 ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ は、SA 補償の有効期限以前にリリースされた Microsoft 最新のソフトウェアバージョンを判別し、正しいバージョンのソフトウェアモデルを選択して、エンタイトルメントをそれに関連付けます。また、これらの変更は [アップグレード履歴エンタイトルメント] セクションに保存されます。
- ライセンス モビリティの特典: ライセンス モビリティは、オンプレミス (高密度仮想化環境) または Azure ハイブリッド特典 (AHB) を使用してクラウド環境 (AWSAzureまたは) でライセンスを柔軟に管理できます。ライセンスモビリティの詳細については、 Microsoft ドキュメント を参照してください。

  ソフトウェア資産管理プロ は、Windows Server や SQL Server などのデータセンター製品の展開にライセンスを付与しながら、ライセンスモビリティの特典を自動的に適用します。自動的に適用されるメリットの一部を次に示します。
  - 仮想マシン (VM) レイヤーごとにライセンスを付与するオプションを提供します: サブスクリプション ライセンスまたは SA 付きライセンスを使用すると、SQL Server 2022 は VM によってライセンスを取得でき、ライセンスは VM と共に同じサーバー ファーム内の別のサーバーにいつでも移動できます。
  - 無制限の仮想化をサポート: ホストが完全にライセンスされている場合、SQL Server Enterprise Edition ソフトウェアのインスタンスを無制限の数の VM で実行できます。この機能は、コア ライセンス モデルにのみ適用されます。
  - AHB と Bring Your Own License (BYOL) のサポートを提供する: SQL Server の AHB は、SA またはサブスクリプション ライセンスで SQL Server ライセンスを使用して、クラウドベースのコンピューティングのみに割引料金を支払うことができる特典 Azure です。BYOL サポートの詳細については、「 BYOLサポート」を参照してください。

SA の対象 Microsoft となっている場合は、ソフトウェアの標準バージョンをエンタープライズ エディションにアップグレード (ステップアップ) することもできます。ソフトウェアエンタイトルメントフォームの [アップグレードされたエンタイトルメント] タブを使用して、アクティブなメンテナンス中のソフトウェアの関連バージョンとアップグレードをリンクします。

ステップアップライセンスタイプのエンタイトルメントは、サブスクリプション、無期限、無期限 + ソフトウェアアシュアランス、またはステップアップライセンスタイプのエンタイトルメントにアップグレードできます。サブスクリプションステップアップライセンスタイプのエンタイトルメントは、サブスクリプションライセンスタイプのエンタイトルメントにのみアップグレードできます。

注:
ソフトウェア アシュアランス付きのオープン バリュー契約を結んでいる Microsoft 場合は、いつでもステップアップできます。

アップグレードされたエンタイトルメントのないステップアップライセンスタイプでは、アクティブな権限が 2 重でカウントされるため、調整結果が不正確になる可能性があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コアあたりのライセンス メトリックに SA を備えた SQL Server Enterprise エディションがある場合 Microsoft 、ホスト マシン上で無制限の仮想マシンを実行できます。物理的なコア ライセンスの数は関係ありません。たとえば、ホスト マシン上で 4 つの物理コアのみを実行するライセンスがあるとします。その後、ホスト マシン上で無制限の仮想マシンを実行できます。

発注書の受領時にソフトウェアエンタイトルメントを作成し、そのエンタイトルメントで SA がアクティブ化されている場合、新しいエンタイトルメントは次のいずれかのライセンスタイプで作成されます。

- 無期限 + SA:以前のすべてのエンタイトルメントのライセンスタイプが [無期限 + SA] に指定されている場合。
- 無期限:以前のエンタイトルメントのライセンスタイプの組み合わせが [無期限 + SA] と [無期限] に設定されている場合。

SA エンタイトルメントを使用してソフトウェアにライセンス付与することはできません。SA エンタイトルメントは、調整中にカウントされません。無期限ライセンスエンタイトルメントのみが考慮されます。

SA エンタイトルメントには、ライセンスコンプライアンスを判断するための基本エンタイトルメントまたは無期限エンタイトルメントが必要です。したがって、基本資格付与なしでライセンスステートメント (MLS) から Microsoft 資格付与をインポートすると、エラーが表示されます。MLS からのエンタイトルメントのインポートについては、「 MLS からのエンタイトルメントのインポート」を参照してください。

注:
ソフトウェア資産ワークスペースでの SA の Microsoft エンタイトルメントの作成については、次を参照してください ワークスペースでの Microsoft ソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントの作成。クラシック版 SA でMicrosoftソフトウェア資産管理エンタイトルメントを作成する方法、または既存のエンタイトルメントに SA カバレッジを追加する方法については、「」を参照してくださいクラシック版ソフトウェア資産管理ソフトウェアアシュアランスのエンタイトルメントを作成するCreate entitlements Microsoft for software assurance in classic。

公開者以外のメンテナンス **Microsoft**

Microsoft 以外のすべての公開者に対して、ソフトウェアライセンスメンテナンスのニーズをサポートするためのメンテナンスエンタイトルメントを作成できます。

メンテナンス資格付与は、無期限、無期限 + メンテナンス、およびアップグレード資格付与に関連付けることができます。メンテナンス資格付与フォームレイアウトを開き、[アップグレードされた資格付与] タブを選択して関連付ける無期限資格付与を選択します。

注:
メンテナンス資格付与が無期限資格付与に関連付けられている場合、調整実行時のメンテナンス資格付与コストは総コストの一部となります。

発注書の受領中にソフトウェアエンタイトルメントを作成し、そのエンタイトルメントでメンテナンスがアクティブ化されている場合、新しいエンタイトルメントは次のいずれかのライセンスタイプで作成されます。

- 無期限 + メンテナンス:以前のすべてのエンタイトルメントのライセンスタイプが [無期限 + メンテナンス] に指定されている場合。
- 永久:以前のエンタイトルメントに、[無期限 + メンテナンス] と [永久] に設定されたライセンスタイプの組み合わせがある場合。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ソフトウェア資産ワークスペースでのメンテナンス資格付与の作成については、「」を参照してください ワークスペースでのメンテナンスエンタイトルメントの作成。クラシックでの ソフトウェア資産管理 メンテナンス資格付与の作成については、「」を参照してください クラシック版の ソフトウェア資産管理 メンテナンスエンタイトルメントの作成。

製品のライセンス評価指標**Microsoft**

製品で Microsoft 利用できるライセンス測定基準の詳細な説明。

Microsoft 製品と ソフトウェア資産管理 ライセンス測定基準

製品	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	使用する **Software Asset Management** ライセンス測定基準 ServiceNow ソフトウェア資産管理
Windows サーバー 注: Server の Windows レガシーバージョンについては、Windows Server のレガシーバージョンの表を参照してください。	データセンター/標準	• コアあたり • CAL ライセンス	• コアあたり (CAL を含む) • CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL
Microsoft システムセンター	データセンター/標準	• サーバー - コアベースのライセンスを使用 (サーバー管理ライセンス) • クライアント - クライアント管理ライセンスを使用する	• サーバー ML - コアあたり (CAL を含む) • クライアント ML:ユーザー/デバイス
Microsoft Exchange サーバー	標準/エンタープライズ	• サーバーライセンス • CAL ライセンス	• サーバーライセンス用のサーバー (インスタンスごと) • CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	使用する **Software Asset Management** ライセンス測定基準 ServiceNow ソフトウェア資産管理
Microsoft プロジェクトサーバー	標準/エンタープライズ	• サーバーライセンス • CAL ライセンス	• サーバーライセンス用のサーバー (インスタンスごと) • CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL
Microsoft SharePoint サーバー	標準/エンタープライズ	• サーバーライセンス • CAL ライセンス	• サーバーライセンス用のサーバー (インスタンスごと) • CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL
Microsoft SQL Server **注:** SQL Server のレガシ バージョンについては、SQL Server のレガシ バージョンの表を参照してください。	標準/エンタープライズ	• コアあたり • サーバー/CAL	• コアライセンスの場合:コアあたり • サーバー/CAL の場合: ◦ サーバーライセンス用のサーバー (インスタンスごと) ▪ Standard Edition、Web Edition、Business Intelligence Edition のサーバーライセンスに Server (Per Instance) を使用する ▪ Enterprise Edition レガシー バージョン 1 のサーバー (サーバーごと) を使用する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	使用する **Software Asset Management** ライセンス測定基準 ServiceNow ソフトウェア資産管理
			注: SQL Server Enterprise は、通常、コアごとのライセンス モデルのみを使用してライセンスされます。ただし、ソフトウェア アシュアランスがある場合は、レガシ サーバー/CAL ライセンス モデルに従うことができます。ServiceNow では、サーバー (サーバーあたり) ライセンスの測定基準 ServiceNow ソフトウェア資産管理を使用することをお勧めします。 ○ CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	使用する **Software Asset Management** ライセンス測定基準 ServiceNow ソフトウェア資産管理
Microsoft Office 365	エンタープライズ E3/E5/E1	ユーザーサブスクリプション	ユーザーサブスクリプション
マイクロソフトオフィス	プロフェッショナル/スタンダード	デバイスあたり	デバイスあたり
Windows 10	エンタープライズプロフェッショナル	デバイスあたり	デバイスあたり
Microsoft Dynamics CRM 365 Server (オンプレミス)		サーバー/CAL	ユーザー/デバイス CAL のみを作成する必要があります。サーバーライセンスは必要ありません。
Microsoft Dynamics 365 Operations Server (設置型) ERP		サーバー/CAL	• ユーザー/デバイス CAL を作成する必要があります。 • Server ライセンスの Server (Per Instance)
Microsoft 365	エンタープライズ E3/E5/F3	ユーザーサブスクリプション	ユーザーサブスクリプション
コアインフラストラクチャスイート	データセンター/標準	コアあたり	コアあたり (CAL を含む)

Windows Server の従来のバージョン

バージョン	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンス測定基準 ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
2003-2003 R2の	標準	サーバー	サーバー (インスタンスごと) + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小:NA 仮想化: ライセンスごとに 1 VM。 Standard Edition ライセンス サーバーを 1 台使用するだけで、サーバー上の物理 OSE または仮想 OSE でソフトウェアの 1 つのインスタンスを実行できます。実行中のインスタンスごとに

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンス測定基準 ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
				Standard Edition ライセンスを割り当てる必要があります。
	データセンター	プロセッサ	プロセッサあたり + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小: 2 プロセッサー 仮想化:無制限 DataCenter Edition がサーバー内のすべての物理プロセッサに対してライセンスされている場合、サーバーは物理 OSE と仮想 OSE 内の無制限の数の Windows Server インスタンスの両方で実行できます。
2012-2012	標準	プロセッサ	プロセッサあたり + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小: 2 つのプロセッサー。 仮想化: 完全にライセンスされたサーバーごとに 2 つの VM。
	データセンター	プロセッサ	プロセッサあたり + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小: 2 つのプロセッサー。 仮想化:無制限。
2016-2016	標準	コア/CAL あたり	コアあたり (CAL を含む) + ユーザー/デバイス CAL を追加	最小: サーバーあたり 16 コア、またはプロセッサーあたり 8 コア。 仮想化: 完全にライセンスされたサーバーごとに 2 つの VM。
	データセンター	コア/CAL あたり	コアあたり (CAL を含む) + ユーザー/デバイス CAL を追加	最小: サーバーあたり 16 コア、またはプロセッサーあたり 8 コア。 仮想化:無制限。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SQL Server の従来のバージョン

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンス測定基準 ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
2005 年	標準	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバー/CAL を使用する場合: サーバーライセンスの場合は [サーバー (インスタンスごと)]、CAL ライセンスの場合はユーザー/デバイス CAL。 • プロセッサーあたり	サーバー ライセンス規則 (Workgroup Edition、Standard Edition、または Enterprise Edition) は、SQL Server ソフトウェアまたはそのコンポーネント (Analysis Services など) が実行されているすべてのオペレーティング システム環境に必要です。 プロセッサ ライセンスは、SQL Server またはそのコンポーネント (Analysis Services など) を実行する各オペレーティング システム環境にインストールされている各プロセッサに必要です。
	エンタープライズ	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバー/CAL を使用する場合: サーバーライセンスの場合は [サーバー (インスタンスごと)]、CAL ライセンスの場合はユーザー/デバイス CAL。 • プロセッサーあたり	Enterprise Edition のみ : マシン内のすべてのプロセッサにライセンスが付与されている場合、SQL Server 2002 のインスタンスを、同じマシン上の仮想オペレーティング環境の数に制限なく実行できます。
2008-2008 R2の	標準	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバー/CAL を使用する場合: サーバーライセンスの場合は [サーバー (インスタンスごと)]、CAL ライセンスの場合は	• サーバー/CAL:これらのエディションの各サーバー ライセンスでは、1 つの OSE または仮想マシン (VM) でソフトウェアのインスタンスを無制限に実行できます。追加の OSE または VM でソフトウェアを実行するには、追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンス測定基準 ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
			ユーザー/デバイス CAL。 • プロセッサーあたり	のサーバー ライセンスが必要です。 • プロセッサ ライセンス:SQL Server を実行できる OSE の数。物理 OSE のみ。
	エンタープライズ	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバーライセンスには [サーバー (サーバーごと)] を使用し、CAL ライセンスにはユーザー/デバイス CAL を使用します。 • プロセッサーあたり	• Server/CAL: Enterprise Edition の各サーバー ライセンスでは、最大 4 つの OSE または VM でソフトウェアのインスタンスを無制限に実行できます。 • プロセッサ ライセンス:SQL Server を実行できる OSE の数。ライセンスごとに最大 4 つの OSE 。
	データセンター	プロセッサ	プロセッサーあたり	プロセッサ ライセンス:SQL Server を実行できる OSE の数:無制限。Datacenter エディションでは、サーバー上のすべての物理プロセッサにライセンスが付与されており、少なくとも 2 つのプロセッサ ライセンスがサーバーに割り当てられている必要があります。
2012-201	標準	• サーバー/CAL • コアあたり	• サーバー/CAL の場合: サーバーライセンスには [サーバー (インスタンスごと)] を使用し、CAL ライセンスには [ユーザー/デバイス CAL] を使用します。 • コアあたり	コアベースのライセンス: **1.** サーバー内の物理コアの合計数をカウントします。サーバーに必要なライセンスの合計数を決定するために、適切なコア係数でコア数を掛けます。 **注:** 使用されるコア係数は、導入するプロセッサ タイプによって異なり、物理サーバ上の物理プロセッサごとに最低 4 つのコア ライセンスが必要です。 **2.** コアあたりのモデルを使用して個々の VM にライセン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンス測定基準 ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
				スを付与するには、VM に割り当てられている仮想コア (または仮想プロセッサ、仮想 CPU、仮想スレッド) ごとにコア ライセンスを購入する必要があります (ただし、VM ごとに最低 4 コアのライセンスが必要です)。 ライセンスの目的で、仮想コアはハードウェア スレッドにマップされます。個々の VM にライセンスを付与する場合、コア要因は適用されません。
	エンタープライズ	コアあたり1	コアあたり	同上。
2016-2019	標準	• サーバー/CAL • コアあたり	• サーバー/CAL の場合: サーバー ライセンスの場合はサーバー (インスタンスごと)、CAL ライセンスの場合はユーザー/デバイス CAL • コアライセンスの場合:コアあたり	• サーバー/CAL: SQL Server ソフトウェアを実行している各サーバーには、サーバー ライセンスが必要です。 • コアごと:サーバー上の物理プロセッサごとに最低 4 つのコア ライセンスが必要です。
	エンタープライズ	コアあたり1	コアあたり	同上。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用するライセンス測定基準 ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
				注: ソフトウェア アシュアランス付きの (Server/CAL) サーバー ライセンス付きの SQL Server Enterprise エディションを既に使用している場合は、引き続きサーバー + CAL ライセンス モデルを使用してください。ライセンス測定基準をサーバーライセンスのサーバー (サーバーごと) として、CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL として使用します。SQL Server Enterprise の新規購入は、コアごとのライセンス モデルのみに基づきます。

Microsoft のコアごとのライセンス規則

[コアあたり] ライセンスの測定基準は、物理サーバーと仮想マシンをサポートする仮想コアの両方のコアにライセンスを付与し、使用される権限の数に基づいてコスト効率の高いモデルを提示します。

[コアあたり] ライセンスの測定基準の概要

コア単位のライセンス モデルでソフトウェアにライセンスを付与するには、各サーバーに適切な数のコア ライセンスを割り当てる必要があります。必要なコア ライセンスの数は、物理サーバーと個々の仮想オペレーティング システム環境 (OSE) のどちらにライセンスを付与するかによって異なります。

コア単位ライセンスモデルでのライセンスのメリット:

- Red Hat 製品のコアパックを追跡する機能を提供します。
- Red Hat Core ベースのエンタイトルメントについて、ライセンスパックごとの権限とパック数を持つエンタイトルメントをインポートする機能を提供します。
- ライセンスパックあたりの権利 * パック数に基づく購入済み権利の推定。
- Red Hat Core ベースの製品の調整に基づいて割り当てを作成および削除するオプションを提供します。

割り当ては、仮想マシン (VM) に適用することも、ホストのみに適用することもできます。クラスターに対する割り当ては無効になり、未使用の割り当てになります。クラスタの一部ではない物理ホストに割り当てが行われた場合、そのホスト上の VM に行われた割り当ては、使用されていない状態で割り当てられます。この測定基準は、各マシンの物理コアと仮想コアの計算を実行し、使用されている権限の数に基づいて最適なライセンスモデルを提示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise Edition と Standard Edition の比較

Enterprise Edition のエンタイトルメントが物理ホストに適用されると、物理ホストとそのすべての VM にライセンスが付与されます。または、VM に個別にライセンスを付与することもできます。Per Core 計算ツールでは、最適なライセンス スキームが適用されます。ソフトウェア アシュアランス (SA) 付きの Enterprise Edition エンタイトルメントには、無制限の仮想化のメリットがあります。つまり、Enterprise Edition のライセンスが付与されたすべての物理コアを持つホストは、物理コア数を超える各 VM に対して追加の権限を必要としません。

Standard Edition ライセンスが物理ホストに適用されると、物理ホストにのみライセンスが付与され、物理ホストでホストされている VM は対象外になります。VM をカバーするには、追加のライセンスが必要です。

クラスター環境での Per Core ライセンス

クラスタ内の仮想マシンは、クラスタ内の任意の物理ホスト上で実行できます。たとえば、クラスタに 2 つのホスト(ESX1 と ESX2)があり、DRS3 が ESX1 が過負荷になっていると判断した場合、vMotion4 を使用して VM1 を ESX1 から ESX2 に動的に移動します。Microsoft では、クラスター環境でホストされるすべての VM は、クラスター上の任意のホストで仮想化できるかのようにライセンスを取得する必要があります。たとえば、クラスタ内の VM に 4 つの権限が必要で、クラスタに 3 つのホストがある場合、その VM のライセンスを取得するために必要な権限は 12 (4 つの権限 x 3 ホスト) です。

ホスト アフィニティ ルールによってロックダウンされた VM は、その仮想マシンが稼働できるホストに対してのみライセンスが付与されます。

ソフトウェア アシュアランスのメリットは、ライセンス モビリティです。これにより、VM のライセンスをクラスター内の任意のホストに移動できます。つまり、SA のエンタイトルメントがある場合は、同じ VM に 4 つの権限のみでライセンスを付与できます。

クラスターの場合、権限使用者 (samp_entitlement_result) レコードは、権限を消費している VM またはホストとしてused_byを指定します。

ソフトウェア アシュアランスのないエンタイトルメントの場合、エンタイトルメントにソフトウェア アシュアランスがあることが前提となるため、クラスターでは最適でない結果が生じる可能性があります。

最適化はクラスターレベルで行われます。クラスタ内のすべての物理ホストにライセンスが付与されているか、クラスタ内のすべての VM に個別にライセンスが付与されています。クラスター内のデバイス (すべての VM と、そのマップが存在できるすべてのホスト) のマップが作成されます。割り当てが処理され、ライセンスを取得できるデバイスはすべてマップから削除されます。最適化 (すべての VM にライセンスを付与するか、物理ホストのみにライセンスを付与するか) は、マップ内の残りのライセンスのないデバイスに適用されます。

割り当ては、物理ホストまたは VM に対してのみ行うことができます。クラスターへの割り当ては無視されます。割り当てられていない権限は、割り当てられた権限がデバイスのライセンス付与に必要な権限よりも少ない場合に使用されます。クラスター内のデバイスにライセンスを付与するのに十分な権限がない場合、クラスター全体がライセンス解除され、 [Rights needed by records] レコードが [Purchase Rights] 修復オプションに対して生成されます。レコードごとに必要な権限と必要な権限がデバイスごとに生成されます。割り当てがホストに対して行われ、ライセンス計算機の最適化ロジックが個々の VM によってライセンス付与されるように決定された場合、ホストに割り当てられた権限は使用されずに割り当てられます。

Microsoft コアあたり (CAL を含む) ライセンス規則

[コアあたり (CAL を含む)] ライセンスの測定基準は、物理サーバーにライセンスを付与します。ライセンス数は、インストール数とオペレーティングシステム環境 (OSE) によって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このセクションで説明するライセンスルールは、オンプレミスインストールのライセンス付与に [Per Core (with CAL)] ライセンス測定基準を使用していることを前提としています。これらのルールは、クラウドインストールには適用されません。

非クラスタ物理サーバー (Standard エディション) のライセンス規則

仮想マシン (VM) の有無にかかわらず物理サーバーにライセンスを付与するには、物理マシン上のコアの合計数に等しい数の権限にライセンスを付与する必要があります。

ライセンスに Standard Edition を使用する場合は、次の考慮事項に留意してください。

- プロセッサーごとにライセンスを取得する必要があるコアの最小数は 8 です。プロセッサのコア数が適切よりも少ない場合は、ライセンスの目的でコア数を 8 と想定します。
- サーバーごとにライセンスを取得する必要があるコアの最小数は 16 です。サーバーのコア数が 16 未満の場合は、ライセンス供与のためにコア数を 16 と想定します。
- 上記のルールに従って物理サーバーのすべてのコアにライセンスを付与すると、サーバー上の 2 つの VM にソフトウェアをインストールできます (ソフトウェアがインストールされている VM は、オペレーティング システム環境 (OSE) とも呼ばれます)。ソフトウェアがインストールされている VM の追加ペアごとに、物理サーバーのすべてのコアに再度ライセンスを付与する必要があります。これは、権利の積み重ねとも呼ばれます。
- 上記のルールに従って物理サーバーのすべてのコアにライセンスを付与すると、各 OSE にソフトウェアのインストールは 1 回のみ許可されます。ソフトウェアを追加インストールするたびに、物理サーバーのすべてのコアに再度ライセンスを付与する必要があります。
- コアあたり (CAL 付き) ライセンス測定基準を使用するソフトウェアは、物理サーバー上でのみライセンスを取得でき、物理サーバーは上記のルールを使用して VM に自動的にライセンスを付与します。これらのライセンスを使用して、VM のコア数をカウントして VM に直接ライセンスを付与することはできません。
- VM のペアを追加するたびに、物理サーバーのライセンスを再度取得する必要があり、標準ライセンスは通常、仮想化のレベルが低いサーバーで使用されます。

Windows Server Standard Edition のコアあたり (CAL を含む) メトリック属性は次のとおりです。

- プロセッサーあたりの最大コア数: 8
- サーバーあたりの最小コア数: 16
- サーバーあたりの最大 OSE:2
- OSE あたりの最大インストール数:1

物理サーバーのコア権限の計算は、a、b、または c の最大値です。

- A: # プロセッサ * プロセッサあたりの実際のコア数
- b: # プロセッサ * プロセッサあたりの最小コア数 (8)
- c: サーバーあたりの最小コア数 (16)

非クラスタ物理サーバーのライセンス規則 (データセンター エディション)

VM の有無にかかわらず物理サーバーにライセンスを付与するには、物理マシン上のコアの合計数に等しい数の権限にライセンスを付与する必要があります。

ライセンスに Datacenter エディションを使用する場合は、次の考慮事項に注意してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロセッサーごとにライセンスを取得する必要があるコアの最小数は 8 です。プロセッサのコア数が 8 未満の場合は、ライセンスの目的でコア数を 8 と想定します。
- サーバーごとにライセンスを取得する必要があるコアの最小数は 16 です。サーバーのコア数が 16 未満の場合は、ライセンス供与のためにコア数を 16 と想定します。
- 上記のルールに従って物理サーバーのすべてのコアにライセンスを付与すると、サーバー上の無制限の数の VM にソフトウェアをインストールできます (DC エディションの無制限の仮想化特典とも呼ばれます)
- 上記のルールで物理サーバーのすべてのコアにライセンスを付与すると、各 OSE にソフトウェアを無制限にインストールできます。

クラスター内の物理サーバーのライセンス規則

クラスタの一部である物理サーバーについては、次の考慮事項に留意してください。

- Microsoftによると、サーバーがクラスターの一部である場合、サーバーは、任意の時点でサーバー上に存在する可能性のあるすべてのVMのライセンスを取得する必要があります。
- v-motion により、クラスターの一部である VM は、ある時点でクラスター内の任意のホストに存在する可能性があります。その結果、Microsoftによると、各サーバーには、クラスタ全体にあるすべてのVMのライセンスが必要です。
- 上記のv-motionの影響を除けば、StandardエディションとDCエディションの両方のライセンスルールは、非クラスタ環境とまったく同じです。
- クラスター内の各ホストには、クラスター上に存在する VM ごとにライセンスを付与する必要があるため、DC エディションでは仮想化のメリットが無制限になるため、クラスターに DC ライセンスを使用すると便利です。

割り当て

クラスタ以外のマシンの場合、割り当ては物理サーバー上で行う必要があります。VM への割り当ては無視されます。

マシンがクラスターの一部である場合は、クラスターへの割り当てを行う必要があります。クラスタ上の各物理で消費される権限の数を計算し、それらを合計してクラスタ全体で必要な権限の数を計算し、その数の権限をクラスタに割り当てる必要があります。クラスター環境内の物理サーバーまたは VM に対して行われた割り当ては無視されます。

ソフトウェア資産管理 健全性チェック

ヘルスチェック ServiceNow Store アプリケーションは、構成の ソフトウェア資産管理 正確で信頼性の高い概要を提供し、存在する可能性のあるエラーを修正することを推奨します。

健全性チェックアプリケーションは、実装パートナー、SAM マネージャー、サポートアナリストなどの複数のペルソナが、構成の健全性チェックを決定するために使用できます。

アプリケーションの展開ソフトウェア資産管理中の任意の時点で健全性チェックServiceNow Storeアプリケーションを使用して、エラーを特定します。たとえば、エンタイトルメントまたはソフトウェアモデルの設定が正しくない、から検出された ディスカバリーデータ属性がないなどの構成エラーです。健全性チェック・スキャンの実行の詳細については、「」を参照してください の健全性チェックスキャンの実行 ソフトウェア資産管理。

現在のチェックセットには、次の構成のチェックが含まれています。

- SQL Server 構成
- SQL Server CMDB
- Windows Server CMDB

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Windows Server 構成
- データベースサーバー: Oracle
- Microsoft 365
- 全般

ジョブスケジュールは、 *SAM - Trigger Full Scan*コンテンツサービスの一部として出荷される KPI カテゴリで、インスタンス上で ServiceNow 毎週実行されます。KPI カテゴリは、エンタイトルメントの構成ミス、ダウングレード、割り当て、またはその他の構成の問題に関連している可能性があります。これらの KPI を設定したり、KPI カテゴリをさらに追加したりすることもできます。スケジュール設定済みジョブは、全体的な健全性スキャンを実行して、構成に存在する可能性のあるエラーをチェックします ソフトウェア資産管理 。

健全性チェックに関する通知は、ソフトウェア資産の概要ビューで表示できます。

健全性スキャンが実行されたら、健全性チェックダッシュボードに結果を表示します。ダウンロード可能なレポートの形式で結果を表示すると、それらのレポートから問題の解決に関する推奨事項が示されます。詳細については、「健全性チェック」を参照してください。

グローバルエンティティ間でのライセンスの調整

エンタイトルメントの消費ルールを作成して、組織内のさまざまなエンティティ間でエンタイトルメントを共有します。

調整プロセス中のエンタイトルメントの消費を特定のエンティティセットに制限します。これにより、コストセンターはライセンスを購入し、それをサービスとして他のコストセンターに提供し、割り当てを必要とせずにデバイスで実行されているソフトウェアにライセンスを与えることができます。

消費ルールの概要

エンタイトルメントの消費ルールを作成して、すべてのエンティティがそのエンタイトルメントを使用できないように制限します。エンタイトルメントに対して消費ルールが定義されておらず、調整プロセスが実行される場合、そのエンタイトルメントの所有者に関係なく、すべてのエンティティがそのエンタイトルメントを使用できます。

消費ルールは、次の調整グループに対して作成できます。

- 会社
- 部門
- 地域
- コストセンター
- 国

単一の消費ルールを複数のエンタイトルメントにわたって使用できるため、消費ルールを再利用できます。

ライセンス操作ビューで消費ルールを作成した後、エンタイトルメントページの [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストで消費ルールを 1 つ以上のエンタイトルメントにリンクする必要があります。消費ルールをエンタイトルメントにリンクすると、消費は、消費ルールで指定された指定エンティティの少なくとも 1 つに属するユーザーまたはデバイスに制限されます。

[エンタイトルメント消費ルール] 関連リストにアクティブな消費ルールが存在しない場合は、組織内のすべてのユーザーがエンタイトルメントを使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
消費ルールは、ライセンス測定基準 IBM RVU、UVU、 IBM および Workday.

グループ化に関係なく、消費ルールが適用され、ライセンスは制限されます。消費ルールをエンタイトルメントにリンクして調整プロセスを実行すると、次のアクションが実行されます。

- グループ化あり:調整結果は、製品の結果、ソフトウェアモデルの結果、およびライセンス測定基準の結果の形式で表示されます。すべてグループごとに個別に生成されます。
- グループ化なし:調整結果は、製品結果、ソフトウェアモデル結果、およびライセンス評価指標の結果の形式で、すべて 1 つの見出しの下に表示されます。

ライセンス消費ブレークダウン [samp_lmr_consumption_result] テーブルは、消費ルールに従ってライセンス測定基準の結果ごとに使用された割り当て済みおよび未割り当ての権利をレポートします。

[samp_licenses_required_by] テーブルで必要なライセンスの消費ルール列を使用して、さらにレポートを作成できます。消費ルール列には、そのエンティティが満たす消費ルールをスタンプします。

消費ルールのユースケース

たとえば、営業、人事、マーケティングの 3 つの部門に対して 3 つの個別の消費ルールを作成したとします。

これら 3 つの消費ルールをすべて、ENT A というタイトルのエンタイトルメントにリンクします。調整を実行すると、営業、HR、およびマーケティング部門が耳鼻咽喉科 A を使用できます。耳鼻咽喉科 A の割り当てを作成する必要はありません。

親と子の階層

消費ルールは、グループの親または子階層もサポートしています。親会社 A の消費ルールがある場合は、個別のルールを作成せずに、子会社 B と子会社 C を含めることができます。

Enterprise 資産ワークスペースの [新しい消費ルールを作成] ページでは、会社、部門、およびコストセンターの子を消費ルールに含めることができます。これにより、エンティティごとに個別の消費ルールを作成し、新しいエンティティが追加、更新、または削除されたときに消費ルールを更新するために必要な労力が削減されます。

ライセンスプール

消費ルールを使用すると、エンティティのライセンスプールを定義できます。ライセンスプールは、消費ルールで定義されたグループエンティティの権利の予約です。ライセンスプールは、エンタイトルメントごとのエンティティに固有です。ライセンスプールが定義されていない場合、エンティティは権利を消費できますが、保証として確保されるものはありません。

たとえば、使用可能な権利が 100 個あるエンタイトルメントには、ライセンスプールが 50 個の HR 消費ルールを設定できます。これにより、HR コンシューマーに 50 個の権利が確保され、残りの 50 個の権利は、HR または消費ルールで定義されたその他のエンティティによって使用されます。

エンタイトルメントページの [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストで、消費ルールと関連するライセンスプールを表示できます。

ライセンスの消費を消費ルールのエンティティに制限しない場合は、権利付与ページの 無制限の 消費 チェック ボックスを使用できます。このチェックボックスをオンにすると、どのエンティティでも権利を消費できるようになりますが、消費ルール内のエンティティには権利の予約が確保されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
割り当てと [無制限消費] チェックボックスの両方で、他のグループがエンタイトルメントにアクセスできます。割り当てのみが優先順位を提供します。

割り当て

割り当ては消費ルールよりも優先されます。割り当てを機能させるために消費ルールを作成する必要はありません。たとえば、HR デバイスのみがこのエンタイトルメントを使用できるという消費ルールがあるとします。このエンタイトルメントには、営業やマーケティングなど、HR 以外の割り当てを含めることもできます。

最初に適用される消費ルールが満たされると、割り当ては自動的にライセンスプールにカウントされます。これは既定の設定ですが、消費ルールまたはライセンス プールが定義されていない場合でも、割り当ては受け入れられます。

ライセンスプール数を超える新しい割り当てはすべて受け入れられます。消費ルールを満たさない割り当ても受け入れられます。

Utah より前のリリースからのアップグレード

プレWashington DCリリースからアップグレードする場合、([ソフトウェア資産管理プロパティ] ページの) および `com.snc.samp.recon.subgroup` プロパティで`com.snc.samp.recon.group`選択した内容に基づいて、次のアップグレードアクションが実行されます。

- グループ化: [会社]、[コストセンター]、[地域]、[部門]、または [国] が選択されています。エンタイトルメントが使用されている場合は、選択したグループ化エンティティに対して消費ルールが自動的に作成されます。たとえば、「 部門 」が選択され、サブグループとして 「会社」 が選択されている場合、グループ「部門」とサブグループ「会社」の両方に対して1つの結合消費ルールが作成されます。照合が実行されると、エンタイトルメントの使用は部門グループと会社サブグループのみに制限されます。

  注:
  [エンタイトルメント] テーブルの [インストールステータス] 列の値が 1 の場合、エンタイトルメントは使用中であると見なされます。

- 非グループ化: [なし] が選択されています。調整はグループ化なしで実行されるため、消費ルールは作成されません。資格付与はどのグループでも使用できます。

コンプライアンスのソフトウェア調整

自動ライセンス調整により、手動による計算を行うことなくライセンスの位置を正確かつ最新の状態に保ちます。調整は毎週もしくはオンデマンドで実行できます。

調整は、指定された頻度で実行されるスケジュール設定済みジョブです (デフォルトは毎週)。また、特定またはすべての公開者、グループ、およびサブグループに対してオンデマンドで実行することもできます。

グループとサブグループの値には、国、部門、会社、地域、またはコストセンターが含まれます。毎週の調整実行に適用されるデフォルトのグループおよびサブグループ プロパティ は、 ソフトウェア資産 > 管理 > プロパティ.

調整が実行されると、検出と資格付与に関するソフトウェア製品のコンプライアンスステータスを示す調整結果のリストが作成されます。sam_user ロールを持つユーザーは、調整結果を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいソフトウェア ライセンスの発注書の作成に加えて、ソフトウェア モデルの結果で追加の修正オプションを使用できます。結果を使用して、割り当てを自動的に作成および削除し、未割り当てのインストールを削除し、ライセンスなしのインストールを削除します。

簡素化されたライセンスワークベンチビューで調整結果を確認し、ライセンスポジションレポートを使用して、各ソフトウェアモデルのコンプライアンスの詳細を単一のリストで表示します。

ソフトウェア調整コストの正確な報告

ソフトウェアの調整コストを正確にレポートして、コンプライアンスの問題を回避します。

ソフトウェアモデルでライセンスコストまたはライセンスとメンテナンスコストを指定して、調整中の調整コストを正確にレポートします。ライセンスコストまたはライセンスとメンテナンスのコストを指定しない場合、調整コストの計算には平均のソフトウェアエンタイトルメントコストが使用されます。

ライセンスの測定基準を使用してソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成する場合、同じライセンスの測定基準に対してライセンスコストの上書きレコードがまだ存在しないと作成されます。ライセンスコストレコードが [Override License Cost] 関連リストに追加されます。ライセンスコストとライセンスとメンテナンスコストはゼロに設定されています。メンテナンスライセンスが存在する場合、 override license cost レコードに移動して、ライセンスコストまたはライセンスとメンテナンスのコストを上書きできます。

ソフトウェアライセンスコンプライアンスポジション

ライセンスポジションレポートには、 ソフトウェア資産管理 各ソフトウェアモデルのコンプライアンスの詳細が単一のリストで表示されます。

お使いの環境のソフトウェアモデルのコンプライアンスリストを表示およびエクスポートして、ライセンスポジションを把握できます。

ソフトウェアモデルに 2 つのエンタイトルメントがあり、1 つが無期限 SA ライセンスタイプ、もう 1 つがサブスクリプションライセンスタイプである場合、2 つのライセンス測定基準の結果が生成されます。アクティブなメンテナンスが true であるライセンス測定基準の結果と、アクティブメンテナンスが false であるライセンス測定基準の結果の 1 つ。このようなシナリオでは、2 つのライセンスポジションレポートが生成され、1 つはアクティブメンテナンスが true で、もう 1 つはアクティブメンテナンスが false になります。

ライセンスのないインストールがある場合は、単一のライセンスポジションレポートが生成されます。ライセンスのないサブスクリプションがある場合は、単一のライセンスポジションレポートも生成されます。両方が存在する場合は、2 つのライセンスポジションレポートが生成されます。

ライセンスポジションレポートリスト

フィールド	説明
ソフトウェアパブリッシャー	ソフトウェアモデルのソフトウェア公開者。
ソフトウェア製品	ソフトウェアモデルのソフトウェア製品。
エディション	ソフトウェア製品のエディション。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
ソフトウェアモデルステータス	ソフトウェアモデルのコンプライアンスステータス。 • 準拠 (緑色のドットで示される) • 非準拠 (赤いドットで示される)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスポジションレポートリスト (続く)

フィールド	説明
ライセンスの測定基準	ソフトウェアモデルのライセンスの測定基準。
合計消費量	所有する権限の総コスト。
所有している権利	すべてのアクティブな権限の合計。
使用されている権利	使用中に割り当てられた権限と未割り当てで使用中の権限の合計。
必要な権限	ライセンスなしのインストール数をカバーするために必要な権限。
利用可能な権利	所有する権限から、使用される権限を差し引いた権限。
ライセンスなしのインストール	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
調整コスト	必要最小限の権限に基づいて違反を修正するコスト概算。
見込まれる削減	未使用のインストールを再利用することによる節減額の概算。
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利の総コスト。
ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデル名。

[ライセンスポジションレポート] フォームには、調整が実行されたグループとサブグループを指定する [グループ] フィールドと [サブグループ] フィールドも含まれています。

Virtualization Adapterによるライセンスコンプライアンスの判断

ソフトウェア資産管理 Virtualization Adapter は、ライセンス コンプライアンス ルールを適用することで、仮想化テクノロジに展開された Microsoft SQL Server および Windows Server のライセンス コンプライアンスを判断します。この機能は、デフォルトでアクティブ化され、インストール ソフトウェア資産管理されます。

仮想化は、ハードウェア機能をシミュレートし、クラスター環境内の 1 台のサーバー上で複数の仮想マシンを実行できる仮想環境を作成するプロセスです。で ソフトウェア資産管理 サポートされている仮想化テクノロジーは次のとおりです。

- VMware
- Microsoft Hyper-V
- Red Hat

ITOM ディスカバリー は、関係アーキテクチャに基づいて仮想化テクノロジーを検出します。 ソフトウェア資産管理 検出された関係に依存して、ソフトウェアインストールのライセンスコンプライアンスを判断します。

ソフトウェア資産管理 Virtualization Adapter は、ライセンスコンプライアンスを判断するために使用されるデータベースビューとメタデータビューを通じて、 ソフトウェア資産管理 関係アーキテクチャを標準化します。

ソフトウェア資産管理 は、ライセンスルールを適用する際に仮想化テクノロジーのアーキテクチャを考慮します。たとえば、Hyper-V アーキテクチャWindowsでは、Microsoft物理 OSE が仮想 OSE のホストと管理にのみ使用される場合、Server Standard Edition では、2 つの仮想 OSE に

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

加えて、ライセンスされたサーバー上の物理 OSE でサーバー ソフトウェアの 1 つの実行インスタンスを使用できます。ソフトウェア資産管理 仮想化アダプタは、このルールセットを自動的に適用します。

ソフトウェア再利用ルール

再利用ルールは、時間の経過に伴う使用状況を集計し、ソフトウェアに再利用のフラグが付けられる前にソフトウェアユニットを使用する必要がある最小時間数または最新の日付を指定します。

概要

すでに割り当てられているものの、使用頻度が低い権限、最近十分に使用されていない権限、またはまったく使用されていない権限を把握することで、製品のソフトウェア権限を追加購入せずに済みます。再利用ルールは、これらの権限を解放して他の場所に割り当てることができるように、これらのソフトウェア権限を再利用します。再利用ルールは、ソフトウェアに再利用のフラグが付けられる前にソフトウェアユニットを使用する必要がある期間、時間、または最新の日付を指定するように構成されます。

スイート (親) に対して再利用ルールが作成されると、スイート (親) の使用状況とスイートコンポーネントの使用状況が自動的にルールに取り込まれます。

再利用ルールを作成すると、再利用ルールに関連付けられたソフトウェア製品を追加できます。スイートの親である製品を追加すると、すべてのスイートコンポーネントが自動的に追加され、再利用ルールフォームの [ソフトウェア製品] 関連リストに表示されます。同様に、追加されたすべてのソフトウェアスイート製品とコンポーネント製品の製品プロセスも追加され、[製品プロセス] 関連リストに表示されます。

注:
[ソフトウェア製品] 関連リストの製品は、Software Asset Management コンテンツサービスのコンテンツ更新に基づいて更新されます。たとえば、スイートコンポーネントがスイート (親) に対して追加または削除された場合、変更は [ソフトウェア製品] 関連リストに反映されます。

スイート (親) が再利用ルールに追加された後は、スイートコンポーネントを編集または削除することはできませんが、スイート (親) の編集または削除はできます。スイート (親) を削除すると、スイートコンポーネントも製品プロセスとともに自動的に削除されます。スイート (親) を編集すると、編集内容の変更がスイートコンポーネントと関連する製品プロセスに反映されます。たとえば、スイート (親) を Microsoft Office 365Microsoft Wordから変更すると、すべての Microsoft Office 365 スイートコンポーネントと製品プロセスが削除され、 Microsoft Word が新しい親になり、すべてのスイートコンポーネントと製品プロセスが自動的に Microsoft Word 追加されます。

フィルター条件

スイートの親レコードにフィルター条件を追加できます。スイートの親に指定したフィルター条件は、親のすべてのスイートコンポーネントに自動的に適用され、スイートコンポーネントレコードのフィルター条件フィールドは編集できなくなります。ただし、スイートの親レコードのフィルター条件は編集できます。[Software Products (ソフトウェア製品)] 関連リストからスイートの親レコードを開き、レコード内でフィルター条件を指定できます。

再利用ルールレベルでフィルター条件を指定することもできます。指定したフィルター条件は、再利用ルールに属するすべての製品に適用されます。このフィルター条件を適用できるのは、[再利用ルール] フォームの [適用先] フィールドの値が [インストール済みソフトウェア] または [サブスクリプションソフトウェア] である場合のみです。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールの追加」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

へのアップグレード **Washington DC**

過去のリリースから Washington DC アップグレードする場合、既存の再利用ルールでは一括再利用が自動的に考慮されません。一括再利用を有効にするには、既存の再利用ルールを手動で設定する必要があります。たとえば、既存の再利用ルールで、[ソフトウェアインストール] 関連リストにリストされている Microsoft Office 365 とします。に Washington DCアップグレードする場合は、[ソフトウェア製品] 関連リストから削除 Microsoft Office 365 し、同じ再利用ルールに再度追加して、スイートコンポーネントとその製品プロセスの自動追加をトリガーする必要があります。

ソフトウェア再利用ルールの追加

使用状況レコードを集計し、未使用のソフトウェアを識別するための再利用ルールを追加します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

再利用ルールで [ユーザーに通知] オプションを選択した場合、ユーザーは再利用のプロセス中に承認して応答する機会があります。指定された期間内に応答が受信されない場合、ソフトウェア権限は自動的に再利用されます。ユーザーがソフトウェアのインストールを引き続き保持する場合は、削除を承認または拒否するのは管理者の責任になります。

SCCM 製品の再利用ルールの作成については、次を参照してください SCCM 使用状況データをインポート Microsoft するための再利用ルールの作成。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > 再利用ルール.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

> **注:**
> 再利用ルールの作成後に、[ソフトウェア製品] リストのソフトウェアメンバーを編集できます。

[再利用ルール] フォーム

フィールド	説明
名前	再利用ルールの名前。
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。
再利用タイプ	再利用ルールのタイプ。可能な値は次のとおりです。 ○ 合計使用時間 (デフォルト) ○ 前回の使用日 ○ 同時使用のピーク時 ([適用先] リストから [エンジニアリングアプリライセンス] を選択した場合にのみ表示されます) ○ アクティブなトランザクションコード ([適用先] リストから **[SAP** 指名ユーザー] を選択した場合にのみ表示されます)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
指名ユーザータイプ	SAP 指名ユーザータイプ。このフィールドは、[適用先] リストから **[SAP** 指名ユーザー] を選択した場合にのみ表示されます。 **注:** このフィールドは、公開者にのみ SAP 適用されます。
再利用候補を作成	選択すると、この再利用ルールに対して削除候補が作成され、さらにこのルールに関連付けられているすべてのソフトウェア製品の使用状況がプルされます。 デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。このチェックボックスをオフにすると、ソフトウェア製品の使用は取り込まれますが、このルールの削除候補は作成されません。
アクティビティを含めない	選択すると、デバイスにインストールされているが、使用状況テーブルに使用レコードがないソフトウェア製品も、次のルールに基づいて再利用されます。 ○ 再利用ルールの期間内であれば、選択した製品 (少なくとも 1 つの使用状況レコード) の使用状況が利用可能です。 ○ 再利用タイプが [最終使用日] の場合、インストールは [最終使用日] より前の 値よりも大きく作成する必要があります。 ○ [合計使用時間] 再利用タイプの場合、インストール日は [総使用量別] の値よりも後でなければなりません。
アサイン先グループ	特定の再利用ルールによって作成された削除候補を管理するアサイン先グループ。このルールに基づいて削除候補が作成されるたびに、再利用ルールに記載されているアサイン先グループが削除候補にコピーされます。 既定では、[ソフトウェア マネージャー] という値が選択されています。他のグループを選択することも、グループ [sys_user_group] テーブルからグループを作成することもできます。
ユーザーへの通知	ソフトウェアがインストールされているハードウェアに割り当てられているユーザーに、ソフトウェアを削除する権限を要求していることを通知するオプション。
自動再利用までの日数	このフィールドは、[ユーザーに通知] を選択した場合に表示されます。削除候補が承認され、ユーザーから応答がない場合、このフィールド

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	に指定された日数が経過すると、ソフトウェア製品は失効します。
ソフトウェアインストール条件/サブスクリプション条件	[適用先] フィールドで [インストール済みソフトウェア] を選択すると、ソフトウェアインストール条件フィールドが表示されます。 [適用先] フィールドで [サブスクリプションソフトウェア] を選択した場合、[サブスクリプション条件] フィールドが表示されます。
使用状況計測データ	
このセクションは、「再利用タイプ」フィールドから「合計使用時間」、「ピーク同時使用」、または「アクティブ・トランザクション・コード」を選択した場合にのみ表示されます。	
次の集計使用率	使用状況情報が集計される期間。可能な値は次のとおりです。 ○ 先月 ○ 過去 2 か月間 ○ 過去 3 か月間 ○ 過去 6 か月間 ([適用先] リストから [インストール済みソフトウェア] を選択した場合にのみ使用可能)
合計使用時間	再利用を回避するためにソフトウェアを使用する必要がある時間。
使用率	ライセンス使用率。たとえば、60% を指定し、使用した割合が 60% 未満の場合、残りの 40% の権限に対して再利用候補が自動的に作成されます。このフィールドは、[適用先] リストから [エンジニアリングアプリライセンス] を選択した場合にのみ使用できます。
必要な最小トランザクションコード	名前付きユーザーが再利用を回避できるようにアクティブにする必要があるトランザクションコードの SAP 最小数。[トランザクションコード] SAP 関連リストで、適用可能なトランザクションコードを指定できます。このリストは、再利用ルールを送信した後に表示されます。 このフィールドは、公開者にのみ SAP 適用されます。このフィールドは、[適用先] リストから **[SAP** 指名ユーザー] が選択されている場合にのみ使用できます。
最後に使用されたデータ	
このセクションは、[再利用タイプ] フィールドで [最終使用日] を選択した場合にのみ表示されます。	
次より前の最終使用日時	未使用のソフトウェアを再利用するまでに保持する時間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 1 か月前 ○ 2 か月前 ○ 3 か月前 ○ 6 か月前 ○ 9 か月前 ○ 1 年前

4. [送信] を選択します。

再利用ルールが作成されたら、ソフトウェア製品を再利用ルールに追加します。カスタム ソフトウェア製品を追加することもできます。

さらに、スイート (親) であるソフトウェア製品にフィルター条件を指定できます。カスタム ソフトウェア製品の追加の詳細については、を参照してください カスタム ソフトウェア製品を追加する。フィルタ条件の詳細は、「」を参照してください ソフトウェア再利用ルール。

5. [ソフトウェア製品] 関連リストで [編集] を選択して、ソフトウェア製品を追加します。

スイート (親) でもある製品を追加すると、すべてのスイートコンポーネントが自動的に追加され、[ソフトウェア製品] 関連リストに表示されます。[親] フィールドはすべてのスイートコンポーネントに対して自動的に入力されますが、スイート (親) では空になっています。

さらに、製品が関連リストに追加されると、製品プロセス関連リストと、親製品およびスイート製品の製品プロセス (システムに既に存在する場合) が表示されます。

6. ソフトウェア製品の製品プロセスが存在しない場合は、カスタム製品プロセスを追加できます。

a. [製品プロセス] 関連リストで [新規] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

> **注:**
> [製品プロセス] 関連リストは、製品プロセスを含むソフトウェア製品を選択した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
製品	ソフトウェア製品。
ファイル名	ソフトウェア製品のファイル名。このファイル名は、SCCM の使用状況がデータをプルするために必要です。
プラットフォーム	ソフトウェア製品のプラットフォーム。

c. [Save (保存)] を選択します。

> **注:**
> [製品プロセス] 関連リストは、製品プロセスを持つソフトウェア製品が選択されている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 「適用先」リストから 「SAP 指名ユーザー 」を選択した場合は、再利用を防ぐためにアクティブにする必要があるトランザクション・コードを指定します SAP 。

   注:
   この手順は公開者にのみ SAP 適用されます。

   指定されたすべてのトランザクション・コードが、再利用を防ぐためにアクティブである必要はありません。有効にする必要があるトランザクション コードの最小数は、 必須の最小トランザクション コード フィールドの値に基づきます。

   a. 「 SAP トランザクション・コード」関連リストから、「 編集...」を選択します。

   b. 「メンバーの編集」フォームで、「取立」リストまたは「取引コード・リスト」から SAP 取引コードを選択します。
   「回収」リストには、使用可能なすべてのトランザクション・コードが表示されます。SAP「トランザクション・コード」リストには、再利用を防ぐためにアクティブにする必要があるトランザクション・コードのみが表示されます。

   c. 左右の矢印アイコンを選択して、リスト間でトランザクションコードを移動します。

   d. **[Save** (保存)] を選択します。

Microsoft SCCM ソフトウェア使用

Microsoft SCCM ソフトウェア使用状況プラグインを有効にして、ソフトウェア使用状況データをとNow Platform統合します。

ソフトウェア使用状況データを SCCM からMicrosoftソフトウェア資産管理インポートするには、次のMicrosoftいずれかの SCCM ソフトウェア使用プラグインをインストールする必要があります。

- 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグイン
- 統合 — Microsoft SCCM 2016 Software Usage (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグイン

統合 - Microsoft SCCM 2016 プラグインは、SCCM バージョン 1606、1906、1910、および 2002 と互換性があります。

重要:
どちらの Microsoft SCCM プラグインもこのリリースで Tokyo 廃止されます。SCCM と初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から Service Graph connector for Microsoft SCCM アプリケーションを要求してインストールします。インスタンスでServiceNowいずれかの Microsoft SCCM プラグインを既にアクティブ化している場合は、Service Graph Connector for SCCM ストアアプリケーションの移行準備ツールを使用して、SCCM プラグインから Microsoft Service Graph Connector への移行に向けてインスタンスを準備します。Service Graph Connector の詳細については、「 Service Graph connector for Microsoft SCCM 」を参照してください。

SCCM 統合プラグインは 、いくつかのコンポーネントをインストールします。

SCCM 使用状況プラグインを有効にし て構成すると、インポートスケジュールが毎月実行され、SCCM ソフトウェア使用状況データがインスタンスに取り込まれます 。その後、使用状況データは [ソフトウェア使用] テーブルにマッピングされます。スケジュール設定済みジョブ中に、SQL クエリーが実行されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インポートスケジュールは月に 1 回実行されますが、[スケジュール設定済みデータインポート] フォームの [条件付き] オプションをオフにすることで、オンデマンドでインポートを実行できます。ただし、データは常に前月からプルされるため、次のインポートスケジュールまでデータに変更はありません。

注:
SQL ステートメントが実際にデータをプルしないため、SCCM ソフトウェア使用状況データソースを直接実行できず、レコードが取得されません。データソースの有効な SQL ステートメントは、インポートスケジュールによって動的に更新されます。したがって、データをインスタンスに ServiceNow プルする必要がある場合は、インポートスケジュールを使用します。

SCCM から抽出してインスタンスにインポートできるデータには、2 つのタイプ (合計使用率と最終使用日時) があります。最後に使用されたデータには、ソフトウェアが前月に最後に使用された時間のみが表示されます。

合計使用状況データは、ソフトウェアが前月に使用された場合は秒単位で表示されます。これは大量のデータがインスタンスにインポートされる可能性があります。使用状況レコードは、使用状況の合計を月単位で追跡するため、環境内のソフトウェア使用状況を評価できます。

製品の再利用ルールで指定した内容に応じて、次のいずれかのインポートスケジュールが実行され、データがプルされます。

- SAMP 使用状況インポート
- SAMP 使用状況 2016 インポート
- SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時
- SCCM 2016 ソフトウェア最終使用日時

注:
再利用ルールに関連付けられた製品の使用状況データのみがインポートされます。再利用ルールフォームの [再利用タイプ] フィールドは、実行しているインポートスケジュールと一致する必要があります。一致しない場合、データはインスタンスにプルされません。詳細については、「SCCM 使用状況データをインポート Microsoft するための再利用ルールの作成」を参照してください。

SCCM からユーザーデータをプルすることもできます。ユーザーデータは、sys_userレコードのuser_nameフィールドと比較されます。名前が一致しない場合、ユーザーデータはインポートされません。

注:
構成アイテム (CI)、ユーザー、製品、および公開者の値は、一致するソフトウェアインストールを識別するために使用されます。

同じ年と月で、同じ CI、ユーザー、製品、または公開者の値に対して、重複する使用状況情報を作成することはできません。

ServiceNow インポートセット 機能を使用して、使用状況情報をインポートすることもできます。

SCCM Software Usage プラグインとともに **Microsoft** インストールされるコンポーネント

SCCM Software Usage プラグインのアクティブ化とともに、いくつかのタイプのコンポーネントがインストールされます Microsoft 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SCCM Software Usage プラグインと一緒にインストールされるコンポーネント

	SCCM 2012 v2	SCCMの2016
データソース	• SAMP 使用率 (合計使用率) • SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時 (最終使用日時)	• 2016 年の SAMP 使用率 (合計使用量) • SCCM 2016 ソフトウェア最終使用日時 (最終使用日時)
インポートスケジュール	• SAMP 使用状況インポート • SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時	• SAMP 使用状況 2016 インポート • SCCM 2016 ソフトウェア最終使用日時
変換マップ	• SAMP 使用状況インポート (合計使用率) • SAMP 最終使用データインポート (最終使用) (onComplete 変換スクリプトが変換マップに関連付けられている)	• SAMP 使用状況インポート 2016 (合計使用率) • SAMP 最終使用データ 2016 インポート (最終使用) (onComplete 変換スクリプトが変換マップに関連付けられている)
スクリプトインクルード	SAMPUsageUtil	SAMPUsage2016Util

Integration — Microsoft SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグインを有効にしている場合は、 統合 **– Microsoft SCCM 2012 v2** > スケジュール設定済みインポート.

SCCM 2012 v2 用にインポートされた **SCCM** データ

	SCCM テーブル	ステージングテーブル	ターゲットテーブル
合計使用時間	v_MonthlyUsageSummary	ソフトウェア使用状況のインポート [imp_samp_usage_import]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]
前回使用	v_GS_CCM_RECENTLY_USED_APPS	SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時 [imp_sccm2012v2_software_last_used]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]

統合 — Microsoft SCCM 2016 Software Usage (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグインを有効にしている場合は、 統合 **– Microsoft SCCM 2016** > スケジュール設定済みインポート.

SCCM 2016 用にインポートされた **SCCM** データ

	SCCM テーブル	ステージングテーブル	ターゲットテーブル
合計使用	v_MonthlyUsageSummary	ソフトウェア使用状況 2016 のインポート [imp_samp_usage_2016_import]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SCCM 2016 用にインポートされた **SCCM** データ (続く)

	SCCM テーブル	ステージングテーブル	ターゲットテーブル
時間			
前回使用	v_GS_CCM_RECENTLY_USED_APPS	SCCM 2016 ソフトウェア最終使用日時 [imp_sccm2016_software_last_used]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]

SCCM 使用状況データをインポート Microsoft するための再利用ルールの作成

SCCM データをインポート Microsoft するには、使用状況情報が必要な製品の再利用ルールを作成します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

ソフトウェア製品には、SCCM の使用状況がデータをプルするために必要な、ファイル名で構成される製品プロセスが必要です。ソフトウェア製品を再利用ルールに追加すると、そのソフトウェア製品に関連付けられているすべての製品プロセスが [製品プロセス] 関連リストに表示されます。製品プロセスは、ソフトウェア製品プロセス [samp_sw_product_process] テーブルに保存されます。

ソフトウェア製品の製品プロセスが存在しない場合は、フォームでカスタムプロセスを作成できます。製品プロセスは、カスタム製品プロセス [samp_custom_product_process] テーブルに保存されます。

一部のソフトウェア製品には製品プロセスが含まれていない場合がありますが、新しい製品プロセスは、コンテンツライブラリの更新を通じて毎週追加されます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > 再利用ルール をクリックし、[新規] を選択します。
2. 再利用ルールフォームで、新規レコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

再利用ルールフォーム

フィールド	説明
名前	再利用ルールを作成する製品の名前。
適用先	再利用ルールが適用されるソフトウェアのタイプ。 ○ インストール済みソフトウェア ○ エンジニアリングアプリライセンス
再利用タイプ	SCCM からプルされたデータのタイプ。 ○ 合計使用時間 ○ 前回の使用日
ユーザーへの通知	ソフトウェアに割り当てられたユーザーに、ソフトウェアを削除する権限を電子メールで通知するためのチェック ボックス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 「再利用タイプ」フィールドで「合計使用時間」を選択した場合は、「使用状況測定データ」セクションのフィールドに入力します。

フィールド	説明
次の集計使用率	使用状況情報を集計する期間。 ○ 先月 ○ 過去 2 か月間 ○ 過去 3 か月間 ○ 過去 6 か月間
合計使用時間	再利用を回避するためにソフトウェアを使用する必要がある時間。

4. 「再利用タイプ」フィールドで「最終使用日」を選択した場合は、「最終使用データ」セクションのフィールドに入力します。

フィールド	説明
次より前の最終使用日時	ユーザーが未使用のソフトウェアを再利用するまでに保持できる期間。

5. **[Save** (保存)] を選択します。
6. 再利用ルールに製品が存在しない場合は、[ソフトウェア製品] 関連リストで次の手順を実行します。
   a. **[New** (新規)] を選択します。
   b. [カスタムソフトウェア製品] フォーム で、詳細を入力して 製品情報を追加します。
   c. [送信] を選択します。
   d. [再利用ルール] フォームで、[ソフトウェア製品] 関連リストの [編集] を選択します。
7. [ソフトウェア製品] 関連リストで、[編集] を選択します。
8. [カスタムソフトウェア製品] フォームで作成した製品を選択します。
9. **[Save** (保存)] を選択します。
10. 選択したソフトウェア製品に製品プロセスが関連付けられていない場合は、次の手順を実行します。
    a. ソフトウェア製品の適用後に再利用ルールフォームに表示されるバナーのリンクを選択します。
    b. [カスタム製品プロセス] フォームで、詳細を入力して製品にプロセスを追加します。

カスタム製品プロセスフォーム

フィールド	説明
製品	製品の名前。
ファイル名	製品に関連付けられたファイルの名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プラットフォーム	製品のプラットフォーム。

c. [送信] を選択します。

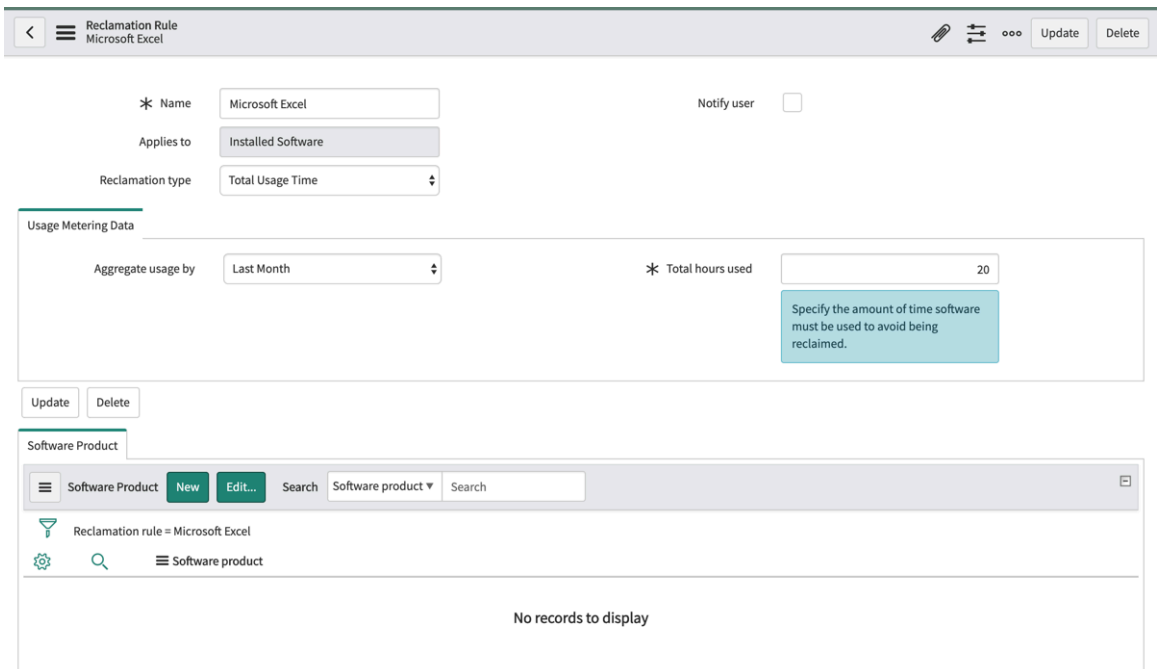
Example: SCCM 使用状況データをインポート Microsoft するための再利用ルールの作成

SCCM から Microsoft Microsoft Excel の合計使用状況データをプルする再利用ルールを作成します。

再利用ルールの作成を開始するには、再利用ルールフォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
名前	Microsoft Excel
適用先	インストール済みソフトウェア
再利用タイプ	合計使用時間
使用状況計測データ	
次の集計使用率	先月
合計使用時間	20

[保存] をクリックします。



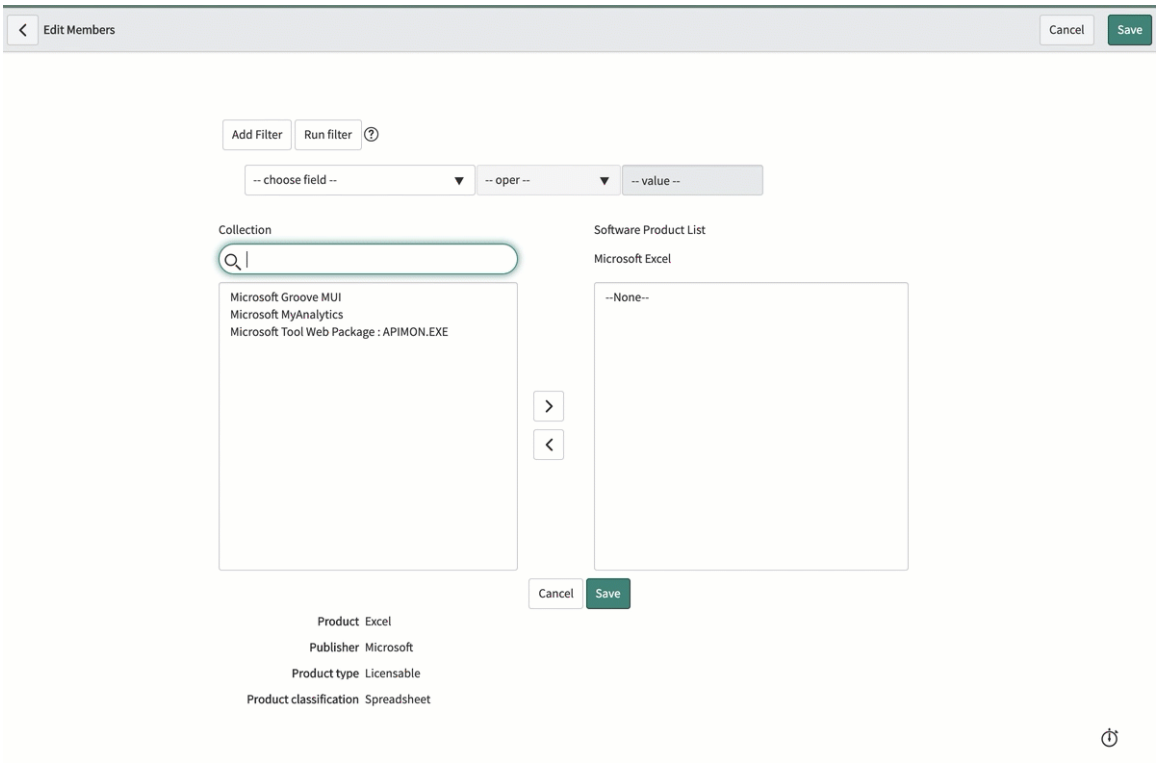
Excel 用の Microsoft ソフトウェア製品はすでに存在するため、製品を再利用ルールに関連付ける必要があります。

[ソフトウェア製品] 関連リストで、[編集] をクリックします。

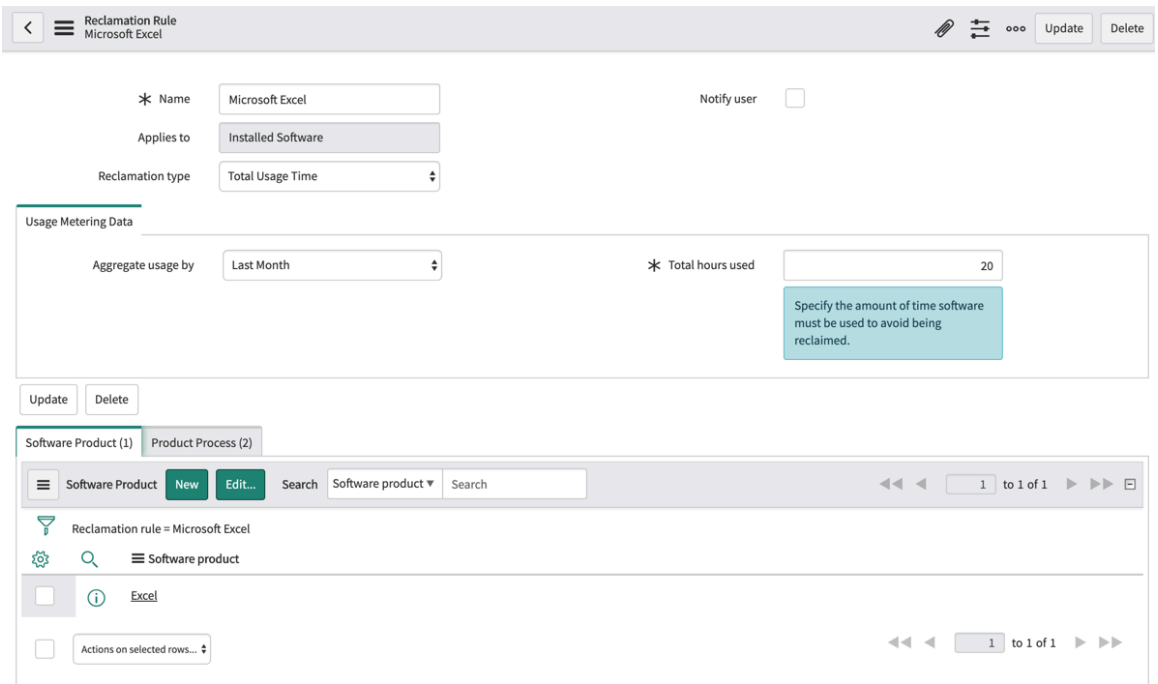
[メンバーの編集] フォームで、[コレクション] 列の [Excel] に移動し、[Excel] を選択します。[Software Product List] 列に追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

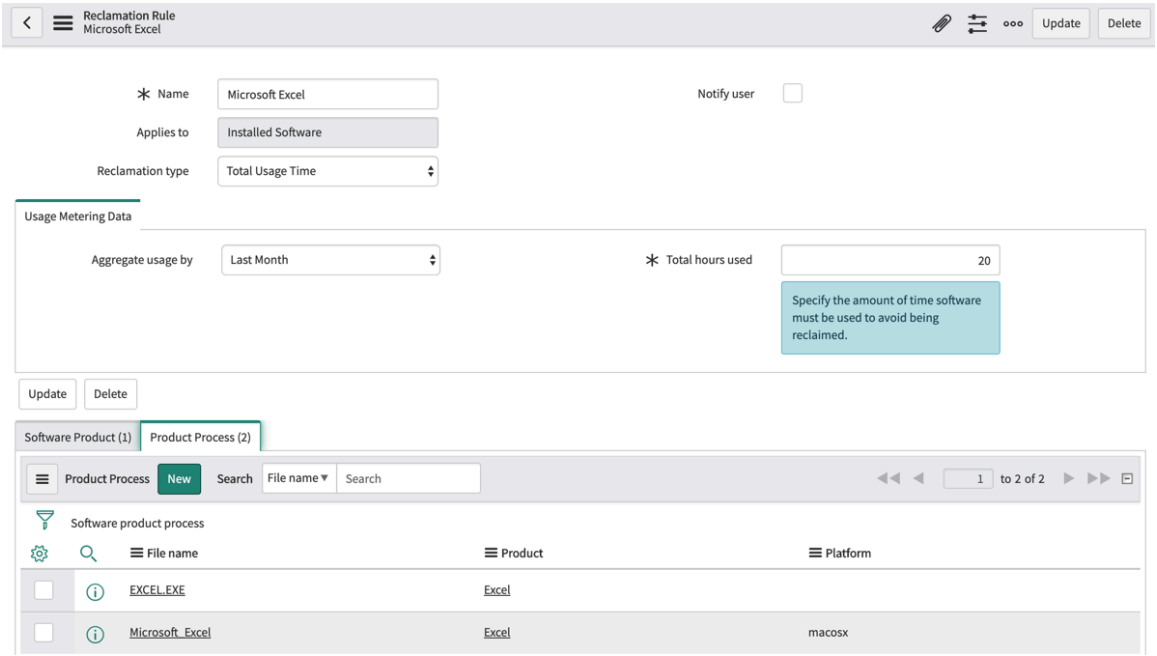


[保存] をクリックします。



Excel には 2 つの製品プロセスが関連付けられています。[製品プロセス] 関連リストをクリックして、製品プロセスを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



「再利用ルール」フォームで、「 保存」をクリックします。

次のタスク
再利用ルールが [再利用ルール] リストに追加され、翌月のインポートスケジュール中に製品のデータが SCCM からインポートされます。

ソフトウェアインストールの最適化と削除

未使用のソフトウェアを再利用したり、不正なソフトウェアを削除したりすることで、環境を最適化できます。

ユーザーがインストールされている ソフトウェアを使用し ていない場合、または使用頻度が低い場合、そのソフトウェアは削除候補になる可能性があります。削除とは、ソフトウェアをアンインストールし、より頻繁に使用する個人に再割り当てすることを意味します。削除候補は、ソフトウェアインストールを再利用するために使用されます。

概要

ソフトウェア再利用は、クライアントソフトウェアディストリビューション (CSD) とWorkflow統合され、デバイスからソフトウェアをアンインストールしてそれらのソフトウェア権限を再利用するプロセスを自動化します。ワークフロー中、削除候補のステータスはワークフロー内の進行に基づいて変化します。

再利用は、スイートベースの製品と、スイートに含まれていない個々の製品に対して実行できます。

スイートベースの製品の場合、一括再利用はユーザーレベルで実行されます。スイートを再利用するための削除候補が 1 つ作成されます。削除候補フォームの [ソフトウェアインストール] 関連リストを使用して、スイートコンポーネントを同じ削除候補に追加できます。表示される節減見込み額はスイート全体のものです。スイートコンポーネントを個別に再利用することはできません。ソフトウェア資産ワークスペースで、スイートコンポーネントを一度に 1 つずつ削除候補に追加できます。ソフトウェア資産管理クラシックフレームワークでは、スイートコンポーネントをすべて一度に追加できます。

個々の製品について、再利用するソフトウェアインストールを指定できます。

削除候補を作成する方法は複数あります。月次ジョブ *SAM - Identify new reclamation candidates*スケジュール は、再利用ルールとソフトウェア使用状況を使用して削除候補を作成し

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ます。さらに、ライセンスのないソフトウェアや未割り当てのソフトウェアのインストール、および制限付きソフトウェアの修復オプションの使用の一環として、削除候補も作成されます。ソフトウェアモデルが制限付きとしてマークされると、そのソフトウェアモデルに関連付けられているすべてのソフトウェアに対して削除候補が作成されます。再利用のフローとプロセスは、これらすべてのユースケースで同じです。

スケジュール設定済みジョブは *SAM – Identify new reclamation candidates* 削除候補を作成し、これらの削除候補の一括再利用フラグが自動的にオンになります。作成される削除候補は、調整プロセスの結果に基づいています。スケジュール設定済みジョブを実行する *SAM – Identify new reclamation candidates* 前に、少なくとも 1 つの調整プロセスが実行され、成功した結果が得られていることを確認してください。これにより、スケジュール設定済みジョブで *SAM – Identify new reclamation candidates* 削除候補が正確に作成され、適切な節減見込みを特定できるようになります。

削除候補の各リストで、再利用する個々のレコードを選択するか **(**再利用) するか、すべての適格な削除候補を再利用することができます。対象となる候補は、[準備完了] ステータスの候補です。[再利用] または [すべて再利用] を選択すると、ソフトウェアを削除するワークフローが開始されます。

へのアップグレード **Washington DC**

に Washington DC アップグレードし、既存の削除候補が失効待ち ステータスになっている場合は、その削除候補に対しては何も行われません。削除候補がスイートの一部であった場合、そのスイート内の他のソフトウェアインストールのそれぞれに対して削除候補が作成されます。ただし、既存の削除候補のステータスが [失効待ち] 以外の場合、それらの削除候補はキャンセルされ、そのスイートの一部であるすべてのソフトウェアインストールに対して単一の削除候補が作成されます。削除候補フォームの [アクティビティ] セクションには、各削除候補がクローズされた理由が記載されています。

削除候補のグループ化

削除候補は、正当な理由に従ってグループ化されます。

- 使用率が低い
- 制限付きソフトウェア
- その他のすべての理由 (ライセンスなし、未割り当てなど)

削除候補ステータス

ステータス	説明
要確認	[ユーザーに通知] チェックボックスがオンになっている自動削除候補の [ユーザー] フィールドが空の場合、削除候補には注意が必要です。 **[User** (ユーザー)] フィールドに値が入力されると、ステータスは自動的に [Ready (準備完了)] に変わります。
準備完了	削除候補が 準備完了 ステータスの場合は、 再利用 を選択してワークフローを進めることができます。
ユーザー待ち	[ユーザーに通知] チェックボックスがオンになっている場合は、承認または拒否する削除候補の通知がユーザーに送信されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

削除候補ステータス (続く)

ステータス	説明
承認待ち	[ユーザーに通知] チェック ボックスが選択されている場合、ユーザーは削除候補を承認または拒否できます。ユーザーがソフトウェアのインストールを引き続き保持する場合は、削除を承認または拒否するのは管理者の責任になります。
失効待ち	ワークフローの最終ステップ。[完了してクローズ] を選択すると、削除候補のソフトウェア権限を手動で再利用できます。 それ以外の場合は、週次スケジュール設定済みジョブ (名前:SAM - 既存の再利用候補の更新) によって、[失効待ち] ステータスでソフトウェアインストールフィールドが空の状態で [完了してクローズ] ステータスの削除候補が自動的に更新されます。 削除候補がその他のステータスであり、かつソフトウェアインストールが空の場合、再利用ワークフローはキャンセルされ、[スキップしてクローズ] ステータスに更新されます。 制限付きソフトウェアがある削除候補の状態は、自動的に [失効待ち] に設定され、理由は [制限付きソフトウェア] に設定されます。
完了してクローズ	ソフトウェア権限が再利用されました。
スキップしてクローズ	削除候補によって再利用されないソフトウェア権限。
キャンセルしてクローズ	ユーザーアクティビティが検出されても、削除候補によって再利用されないソフトウェア権限。

制限付きソフトウェアの正当性とライセンスなしの正当性

制限付きソフトウェアの正当な理由またはライセンスのない正当な理由を持つ削除候補のワークフローは、自動的に実行されます。ユーザーには不正なソフトウェアの使用が通知され、承認を求めるプロンプトは表示されません。

- 制限付きソフトウェア:

  不正なソフトウェアの使用

  [発行元]デバイスにインストールされている [製品] [デバイス名] は、会社の所有物での使用が許可されていません。このソフトウェアを再度インストールしないでください。

- 無免許：

  不正なソフトウェアの使用

  デバイス [デバイス名] にインストールされている [Publisher] [Product] を使用するためのライセンスがありません。適切なプロセスを使用して、ソフトウェアのライセンスを要求します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限付きソフトウェアの理由とライセンスなしの理由のワークフローステータスは [失効待ち] に設定され、インストールが存在しなくなったことが検出によって識別されると、状態は [完了してクローズ] に変更されます。

未割り当ての理由と低使用率の理由

未割り当ての理由または使用率が低い理由がある削除候補のワークフローでは、ユーザーに承認を求めます。

- 未割り当て：

  [発行元]ソフトウェアを使用するための割り当てが存在しないため、デバイスにインストールされている [製品] [デバイス名] は削除のフラグが付けられています。このソフトウェアに引き続きアクセスする必要がありますか?

- 使用率が低い:

  [発行元][製品] に再利用のフラグが付けられました。このソフトウェアを [デバイス名] にインストールする必要がありますか?

正当性の説明

削除候補の説明は、正当な理由に基づいて更新されます。

- 未割り当て：

  [発行元]ソフトウェアを使用するための割り当てが存在しないため、デバイスにインストールされている [製品] [デバイス名] は削除のフラグが付けられています。このソフトウェアが必要ない場合は、このタスクを却下します。それでもこのソフトウェアにアクセスする必要がある場合は、このタスクを承認すると、ソフトウェアの継続使用の要求がソフトウェア管理者の承認のためにルーティングされます。

- 無免許：

  [発行元]デバイスにインストールされている [製品] (デバイス名) は、それを使用するライセンスが所有していないため、削除のフラグが付けられています。適切なプロセスを通じて、このソフトウェアへのアクセスを要求してください。

- 制限付きソフトウェア:

  [発行元]デバイスにインストールされている [製品] [デバイス名] は、会社所有の所有物での使用が許可されていません。

- 使用率が低い:

  [発行元]デバイスにインストールされている [製品] [デバイス名] は、使用率が低いため、再利用のフラグが付けられました。このソフトウェアが必要ない場合は、このタスクを却下します。このソフトウェアに引き続きアクセスする必要がある場合は、このタスクを承認すると、ソフトウェアの継続的な使用に関する要求がマネージャーの承認のためにルーティングされます。

[再利用] アクションがクリックされたときに [ユーザーに通知] フィールドが選択され、再利用までの日数が 0 より大きい場合、状態は [ユーザー待ち] に設定されます。それ以外の場合、状態は [再利用待ち] に設定されます。

ステータスが [ユーザー待ち] に変わると、ユーザーに通知が送信されます。

資産再利用のための従業員退職プロセス

資産を要求、評価、および削除できるワークフローを介して、従業員の退職プロセスを調整します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

退職プロセスでは ソフトウェア資産管理 、従業員に割り当てられたすべてのソフトウェアライセンスを返却する必要があります。さらに、すべてのソフトウェアインストールがデバイスから削除され、すべてのユーザー割り当てが削除され、SSO、 SAP、および Citrix 製品へのアクセスが取り消されます。

従業員が組織を退職したり、別のロールに異動したりした場合、従業員にアサインされた資産を回収するには、Human Resources 部門と資産マネージャーの間で広範な調整が必要になります。退職カタログ要求を作成すると、必要に応じて、資産を効率的に回収して在庫に補充したり、再割り当てしたり、修理のために送付したり、廃棄したりするための規範的なワークフローが開始されます。

注:
資産再利用プロセスの詳細については ハードウェア資産管理 、「」を参照してください 資産再利用。

次を使用して サービスカタログ資産再利用要求を作成できます。要求が作成されると、一連のタスクで構成される再利用品目が作成されます。これらのタスクは、sam_user ロールのみがアクセスしたり実行したりできます。すべてのタスクがクローズされると、再利用品目が完了します。すべての再利用品目が完了すると、カタログ要求も完了します。退職カタログ要求の作成については、次を参照してください 資産を再利用するためのカタログ要求の作成。

注:
デバイスにソフトウェアがインストールされており、そのデバイスが [Reclaim Asset] フォームで選択されている場合、[Device Reclamation] タイプのソフトウェア再利用品目が、返却されるデバイスごとに作成されます。[資産の再利用] フォームで [従業員の離職] チェックボックスがオンになっている場合は、ユーザー再利用タイプの追加のソフトウェア再利用品目が作成されます。

パブリッククラウドに自分のライセンスを使用する

自分のライセンスを使用する (BYOL) サポートにより、ソフトウェア資産管理マネージャーはハイブリッドインフラストラクチャ全体の製品のコンプライアンスMicrosoftOracleを判断できます。

組織がパブリッククラウドに移行すると、既存のオンプレミスライセンスはBYOLを使用してクラウドに引き継がれます。BYOLは、組織がインフラストラクチャのコストに対してのみ支払う必要があるため、ライセンスの最適化を改善します。

アプリケーションはソフトウェア資産管理、Microsoft AzureSQL Server と Microsoft Windows 、 上の AWSServer、およびGoogle Cloud Platform (GCP)共有インフラストラクチャと専用インフラストラクチャのサービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS) モデルの BYOL Microsoft をサポートしています。

アプリケーションはソフトウェア資産管理、 および Microsoft Azure上のAWSデータベースおよびWebLogic サーバーの BYOL Oracle もサポートしています。BYOLは、次の Oracle データベース・エディションおよびWebLogic Serverエディションでサポートされています。

- Oracle データベース標準版
- Oracle データベース Standard Edition One
- Oracle データベース Standard Edition 2
- Oracle データベースエンタープライズエディション
- Oracle WebLogic Server スタンダードエディション
- Oracle WebLogic Server エンタープライズエディション

の場合 AWS、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは 、共有インフラストラクチャおよび専用インフラストラクチャの Infrastructure as a Service (IaaS) モデルのデータベースおよびOracle WebLogic サーバーの BYOL をサポートします。アプリケーションは ソフトウェア資産管理 、PaaS (Platform as a Server) モデルのデータベースサーバーの BYOL Oracle もサポートし

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

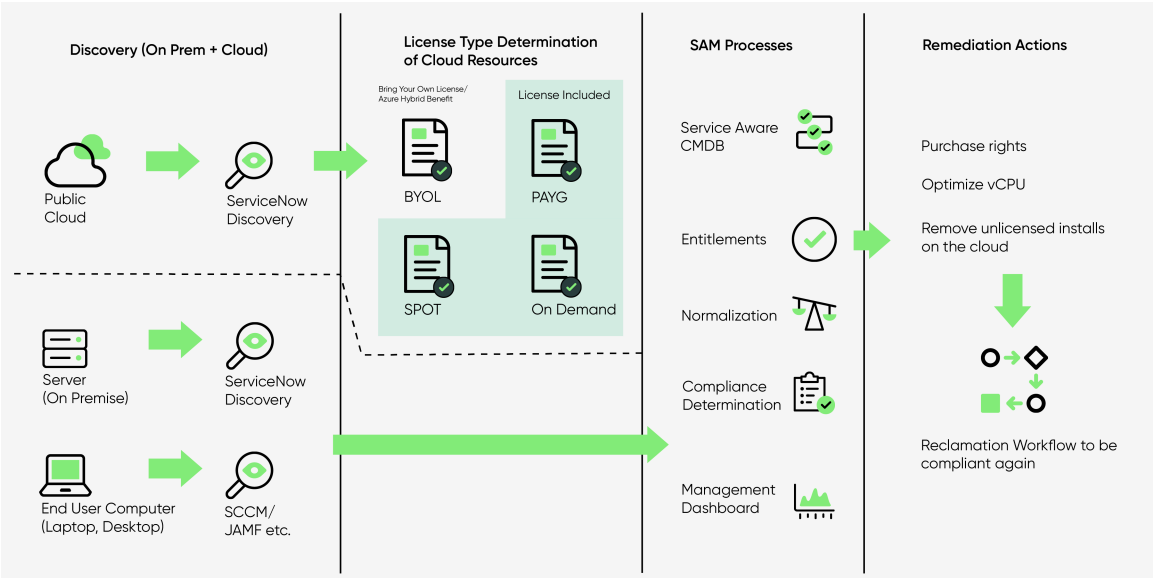
自動翻訳

ています。では AWS、IaaS モデルはエラスティックコンピューティング (EC2) Web サービスを参照 Amazon し、PaaS モデルはリレーショナルデータベースサービス (RDS) を参照 Amazon します。の場合Microsoft Azure、ソフトウェア資産管理アプリケーションは、共有インフラストラクチャおよび専用インフラストラクチャの IaaS モデルでのみ、データベースおよび WebLogic サーバーの BYOL Oracle をサポートします。

アプリケーションでの BYOL は ソフトウェア資産管理 、次のことに役立ちます。

- 、などのGCPオンプレミス環境とクラウド環境AWSMicrosoft Azure全体でソフトウェアライセンスを自動的に検出します。
- ハイブリッド インフラストラクチャ全体の SQL Server、Server、 OracleMicrosoft Windowsデータベース サーバー、および Oracle WebLogic Server のMicrosoftライセンス コンプライアンスを判断します。
- 二重使用権、エディションの柔軟性、無制限の仮想化など、クラウド特別権限による最適化の高度なサポートを提供します。
- ソフトウェアがコンプライアンス違反の場合に修復を実行します。

自分のライセンスを使用するフロー



前提条件

ハイブリッド インフラストラクチャ全体のソフトウェアのライセンス コンプライアンスの判断を開始する前に、次の前提条件を満たす必要があります。

- インスタンスで (com.snc.discovery) プラグインをアクティブ化 ディスカバリー します ServiceNow 。

  詳細な手順については、「 Discovery の要求 」を参照してください。

- ServiceNow Store からパターンサービスマッピングアプリケーションを要求してインストールしますディスカバリー。

  およびサービスマッピングパターンの詳細についてはディスカバリー、「ITOM Visibility で使用される検出パターン」を参照してください。

- クラウド検出を Cloud API (CAPI) プローブからパターンベースの検出に移行します。

  詳細な手順については、「 CAPI からパターンへの移行:CAPI ベースのクラウド検出からパターンベースクラウド検出への切り替え手順」 [KB0827153] を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ServiceNow Store から CMDB CI Class Models アプリケーションを要求してインストールします。

  CI Class Models アプリケーションの詳細についてはCMDB、「CMDB CI Class Models ストアアプリ」を参照してください。

- ServiceNow Store からアプリケーションを要求してインストールしますクラウドコスト管理。

  このクラウドコスト管理アプリケーションは、上の AWSSQL Server 展開でMicrosoftソフトウェアのライセンスタイプを検出するために必要です。アプリケーションの詳細については、「クラウドコスト管理Cloud Insights アプリケーション」を参照してください。

BYOL 検出

BYOLを使用すると® アプリケーションはANDサービスマッピングパターンを使用してディスカバリー、ServiceNow ディスカバリーオンプレミス環境とクラウド環境の両方でライセンス可能なソフトウェアを見つけて識別します。アプリケーションはディスカバリーAmazon AWS クラウド、およびGoogle Cloud検出パターンを使用して、Microsoft Azure クラウドクラウド環境のソフトウェアの次のリソースを検出します。

- クラウドプロバイダ
- 仮想マシンの詳細
- サービスモデルタイプ (IaaS や PaaS など)
- IaaS のホストインフラストラクチャタイプ (共有や専用など)
- BYOL や License Included などのライセンスタイプ
- 仮想マシンにインストールされているソフトウェア

注:
、、Amazon AWS クラウドおよびGoogle Cloud検出パターンは、Microsoft Azure クラウドおよびサービスマッピングパターンストアアプリケーションに含まれていますディスカバリー。検出パターンの詳細については Amazon AWS クラウド 、「 パターンを使用した Amazon AWS Cloud コンポーネントの検出」を参照してください。検出パターンの詳細については Microsoft Azure クラウド 、「 パターンを使用した Microsoft Azure Cloud コンポーネントの検出」を参照してください。検出パターンの詳細についてはGoogle Cloud、「」およびGoogle Cloud Platform (GCP) Organization discovery 「」を参照してください。

検出されたソフトウェアのリソースは、インスタンスのホスト [cmdb_ci_cloud_host] テーブルやサーバーレスハードウェア [cmdb_ci_serverless_hardware] テーブルなどの対応する 構成管理データベース (CMDB) テーブルに入力され、保存されます ServiceNow 。

その後、検出されたソフトウェアのライセンスタイプは ソフトウェア資産管理 、個別に、または OR ディスカバリークラウドコスト管理 アプリケーションとともに決定されます。

- Microsoft Windows、Microsoft Azureの Google CloudServer とOracleデータベースサーバーAWSについては、ライセンスの種類がソフトウェア資産管理個別に決定されます。
- Microsoft上の AWSSQL Server では、アプリケーションからのソフトウェア資産管理クラウドコスト管理請求レコードを使用してライセンスタイプが決定されます。
- Microsoftおよび Google Cloud上の SQL Server Microsoft Azure では、アプリケーションによって検出されたリソースを使用してライセンスソフトウェア資産管理タイプが決定されますディスカバリー。
- Oracleと Microsoft Azureの両方の AWS WebLogic Server では、ライセンス タイプを手動で指定する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SQL Server、Server、およびデータベースサーバーの場合Microsoft、ライセンスタイプは、自動生成されたキーと値のペアを使用して、関連する構成アイテム (CI) に適用されます。OracleMicrosoft Windowsキーと値のペアは、キー値 [cmdb_key_values] テーブルに格納されます。各キーと値のペアは、<*software-product*>*_License_Type_automatic* 形式のキーと、[ライセンスが含まれる] または [BYOL] のいずれかの値で構成されます。

WebLogic Server の場合は Oracle 、キーと値のペアを作成して、ライセンス タイプを手動で指定する必要があります。キーと値のペアの [キー] が Oracle_WebLogic_Server_License_Type で、[値] が [ライセンスが含まれる] または [BYOL] のいずれかである必要があります。これらのキーと値のペアを作成した後、指定されたライセンス タイプを関連する CI に適用できます。

注:
WebLogic Server の Oracle ライセンス タイプを手動で指定しない場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションの ライセンス タイプはデフォルトで BYOL になります。

これらのキーと値のペアを使用して、関連付けられたソフトウェアライセンスが BYOL ライセンスモデルとライセンス込みライセンスモデルのどちらを使用しているかを判断できます。BYOLライセンスモデルには、ハイブリッド特典などの Azure ライセンス購入オプションが含まれています。ライセンス込みライセンスモデルには、従量課金制 (PAYG)、SPOT、オンデマンドなどのライセンス購入オプションが含まれています。ライセンス込みのライセンスモデルでは、クラウドプロバイダーがライセンス管理を担当します。

注:
Oracleデータベースサーバーの場合、BYOL およびライセンス込みのライセンスモデルのサポートは、使用しているクラウドプロバイダーとOracleデータベースのバージョンに基づきます。

- AWS RDS (PaaS): BYOLライセンス・モデルは、Database Standard Edition、Standard Edition One、Standard Edition 2およびEnterprise Editionで Oracle サポートされています。ライセンス込みライセンスモデルは、Database Standard Edition 2でのみ Oracle サポートされています。
- AWS EC2 (IaaS): BYOL ライセンスモデルのみがサポートされています。
- Microsoft Azure (IaaS):BYOLライセンスモデルのみがサポートされています。

BYOLライセンスコンプライアンスのソフトウェア調整

検出されたソフトウェアが [BYOL] または [ライセンスが含まれる] としてマークされると、BYOL としてマークされたソフトウェアで調整が実行されます。その後、得られた情報を使用して、ハイブリッドインフラストラクチャ全体のソフトウェアコンプライアンスを判断できます。

BYOL ライセンスルールは、同じソフトウェア製品でもクラウドプロバイダーによって異なります。各ソフトウェア製品には、展開先のクラウドプロバイダーに基づく独自のライセンスルールがあります。たとえば、Windowsサーバには、 に対してMicrosoft Azure異なるライセンス規則AWSがあります。これらのルールは、ハイブリッド環境におけるソフトウェア製品の完全なライセンスコンプライアンスポジションを決定できるように、既に適用可能なオンプレミスルールと組み合わせる必要があります。Microsoft VS Microsoft AzureにAWS展開されている製品に対して、二重使用権、エディションの柔軟性、無制限の仮想化などの特別な権限を提供します。ライセンス ルールの詳細については、「」を参照してください 自分のライセンスを使用するためのライセンス規則。

アプリケーションは ソフトウェア資産管理 これらのルールを自動的に調整し、クラシック・アプリケーションのライセンス・ワークベンチ ソフトウェア資産管理 またはの Software Asset ワークスペースライセンス使用状況ビューで表示できる正確なライセンス・ポジション・レポートを提供します。

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでは、ソフトウェア公開者分析ダッシュボードで製品の BYOL ライセンス権限Microsoftを表示できます。詳細については、「Microsoft クラシックの ソフトウェア資産管理 ダッシュボード」を参照してください。では、 Software Asset ワーク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スペースパブリッシャーの概要で製品の BYOL ライセンス権 Microsoft を表示できます。詳細については、「の公開者の概要MicrosoftSoftware Asset ワークスペース」を参照してください。

では Software Asset ワークスペース、パブリッシャーの概要で製品の BYOL ライセンス権限 Oracle を表示できます。詳細については、「の公開者の概要OracleSoftware Asset ワークスペース」を参照してください。では Software Asset ワークスペース、「アグリーメントごとのOracle DBサーバー・デプロイメント」レポートで、アグリーメント・タイプに基づいて、ハイブリッド・インフラストラクチャ全体のデータベース・サーバー・デプロイメントに関する情報を表示する Oracle こともできます。詳細については、「 Oracle DB Server Deployments per Agreement」レポートを参照してください。

クラウドベースの修復オプション

クラウドインストールの非準拠を修正するために、アプリケーションには ソフトウェア資産管理 次の修正オプションが用意されています。

ライセンスなしのインストールを削除 - Cloud

[ライセンスなしのインストールの削除 - クラウド修復] オプションは、関連するソフトウェア製品のライセンスのないクラウドインストールをすべて削除します。

[ライセンスなしのインストールの削除 - クラウド修正 **(Remove Unlicensed Installs - Cloud** remediation)] オプションを選択すると、通常の修正ワークフローに従う削除候補が作成されます。削除候補が [失効待ち] ステータスになったら、クラウドプロバイダーからクラウドインストールをアンインストールし、削除候補を完了としてマークできます。

vCPU の最適化

[vCPU 修復の最適化] オプションでは、コア数とコアスレッド数に基づいて vCPU のサイズを最適化します。この修正オプションは、RDS (PaaS) のAWSプロセッサ別データベース ライセンスにのみOracle適用されます。プロセッサーあたりのライセンスは、データベースをインストールまたは実行する Oracle vCPU の数に基づいています。

AWSコア数とコアスレッド数の詳細については、「DB インスタンスクラスのプロセッサの設定」を参照してください。

自分のライセンスを使用するためのライセンス規則

、、およびGoogle Cloud Platform (GCP)の製品AWSMicrosoft Azureについてについて、Microsoft、Oracle自分のライセンスを使用する (BYOL) ライセンス規則を表示します。ライセンスルールは、共有ホスト上に存在する仮想マシンと、異なるクラウドプロバイダーの専用ホストで異なる場合があります。

Windows Server と Microsoft SQL Server のMicrosoftライセンス規則

注:
次の表は、Server と SQL Server の BYOL の Windows ルールのサブセットのみを示しています。ライセンス規則の完全な一覧については、Server と SQL Server の公式 Windows Web サイトを参照してください。

Windows サーバー ライセンス規則

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェア アシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
AWSサーバー用Windows	共有ホスト	サーバーにはライセンスモビリティ権限	BYOL はサポートされていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows サーバー ライセンス規則 (続く)

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェア アシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
		が Windows ないため、BYOL はサポートされていません。	
	専用ホスト	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェアリリースでのみサポートされます。 • 物理ホストによるライセンス。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入された DC の Windows 無制限の仮想化。	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェアリリースでのみサポートされます。 • 物理ホストによるライセンス。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入された DC の Windows 無制限の仮想化。
Microsoft Azureサーバー用Windows	共有ホスト	• BYOL は、ハイブリッド福利厚生 (AHB) を使用して Microsoft Azure サポートされます。 • 実行中の仮想マシン上のすべてのコアをカバーするのに十分な適格なコア ライセンスを割り当てる必要があります。 • AHB を使用するには、少なくとも 8 つのコア ライセンスが割り当てられています。 • Windows DC では同時使用権が認められています。 • エディションの柔軟性: Windows Standard では DC のライセンスを取得 Windows できます。	BYOL はサポートされていません。
	専用ホスト	• BYOL は、ハイブリッド福利厚生 (AHB) を使用して	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェアリリースで

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows サーバー ライセンス規則 (続く)

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェア アシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
		Microsoft Azure サポートされます。 • 仮想マシンまたは利用可能なコアごとにライセンス付与します。DCのみ。Windows • 利用可能なコアをライセンスする場合、DC の Windows 無制限の仮想化。 • Windows DC では、仮想マシンに対してのみ同時使用権が許可されます。	のみサポートされます。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入された合計物理コアのライセンス。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入された DC の Windows 無制限の仮想化。
GCPサーバー用Windows	共有ホスト	サーバーにはライセンスモビリティ権限が Windows ないため、BYOL はサポートされていません。	BYOL はサポートされていません。
	専用ホスト	BYOL はサポートされていません。	BYOL はサポートされていません。

SQL Server ライセンス ルール

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェア アシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
AWS SQL Server 向け	共有ホスト	• BYOL は、ライセンスモビリティ権限を介してサポートされます。 • 仮想コア (vCPU) のライセンス - 仮想マシンごとに最低 4 つのコア。	BYOL はサポートされていません。
	専用ホスト	• BYOL は、ライセンスモビリティ権限を介してサポートされます。 • 物理ホストによるライセンス。	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェアリリースでのみサポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SQL Server ライセンス ルール (続く)

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェア アシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
		• 2019 年 10 月 1 日より前に購入された無制限の仮想化 (SQL Server Enterprise)。	• 2019 年 10 月 1 日より前に購入した物理コアの合計数によるライセンス。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入された DC の Windows 無制限の仮想化。
Microsoft Azure SQL Server 向け	共有ホスト	• BYOL は、ハイブリッド福利厚生 (AHB) を使用して Microsoft Azure サポートされます。 • エディションの柔軟性: オンプレミスの 1 つの SQL Enterprise ライセンスで 4 つの SQL Server Standard コアをカバーできます。同様に、オンプレミスの 4 つの SQL Server Standard ライセンスで 1 つの SQL Server Enterprise をカバーできます。 • 仮想コア (vCPU) のライセンス - 仮想マシンごとに最低 4 つのコア。	BYOL はサポートされていません。
	専用ホスト	• BYOL は、ハイブリッド福利厚生 (AHB) を使用して Microsoft Azure サポートされます。 • 仮想マシンまたは使用可能なコア (SQL Server Enterprise) ごとにライセンス付与します。 • 仮想マシンまたは合計コア数 (SQL Server Standard) によるライセンス。	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェアリリースでのみサポートされます。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入した物理コアの合計数によるライセンス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SQL Server ライセンス ルール (続く)

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェア アシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
		• 無制限の仮想化 (SQL Server Enterprise) (使用可能なコアのライセンスがある場合)。	
GCP SQL Server 向け	共有ホスト	• BYOL は、ライセンスモビリティ権限を介してサポートされます。 • 仮想コア (vCPU) のライセンス - 仮想マシンごとに最低 4 つのコア。	BYOL はサポートされていません。
	専用ホスト	BYOL はサポートされていません。	BYOL はサポートされていません。

データベースおよび **Oracle WebLogic ServeR** の**Oracle**ライセンス ルール

注:
次の表に、データベースおよび Oracle WebLogic Server の BYOL のOracleルールのサブセットのみを示します。ライセンス ルールの完全なリストについては、公式の Oracle データベース および Oracle WebLogic Server の Web サイトを参照してください。

注:
特に指定がない限り、ライセンス ルールは と の両方でAWSMicrosoft Azure同じです。

Oracle データベース ライセンス ルール

ライセンスタイプ	ライセンスルール
プロセッサーごとのライセンス	ライセンスは、データベースがインストールまたは実行されている vCPU Oracle の数に基づきます。インストールまたは実行中のデータベースのバージョンに基づいて Oracle 、異なるライセンスルールが適用されます。 **注:** Oracleプロセッサーコア要因テーブルは、クラウド環境には適用されません。 Oracle Database Standard Edition、Standard Edition One、および Standard Edition 2 4 つの vCPU は 1 つのソケットに相当し、1 つのソケットには 1 つのライセンスが必要です。 vCPU の数は、最も近い 4 の倍数に切り上げられます。たとえば、Oracle 10 個の vCPU で実行されているデータベースには、合計 3 つのライセンスが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle データベース ライセンス ルール (続く)

ライセンスタイプ	ライセンスルール
	Oracle データベースエンタープライズエディション ハイパースレッディングが有効になっている場合は、データベースをインストールまたは実行する Oracle 2 つの vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。ハイパースレッディングが有効になっていない場合は、データベースをインストールまたは実行する Oracle vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。
指名ユーザーライセンス	データベースにアクセスする Oracle ユーザーまたは物理デバイスごとに 1 つのライセンスが必要です。 ユーザーとデバイスがアクセスしているデータベースのエディションに基づいて Oracle 、異なる最小ライセンスが適用されます。 Oracle Database Standard Edition および Standard Edition One これらのデータベース エディションには、最小ライセンス数はありません。 Oracle データベース Standard Edition 2 8 つの vCPU ごとに最低 10 個のライセンスが必要です。 Oracle データベースエンタープライズエディション vCPU当たり最低25ライセンス、またはこのデータベース・エディションにアクセスするユーザーおよびデバイスの合計数が必要です。ライセンスの最小値は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。
Oracle データベース オプションと管理パックのライセンス	データベース オプションと管理パックは、データベース サーバーとは別にライセンスを取得する必要があります。 次のデータベース オプションと管理パックは、クラウド環境ではサポートされていません。 • Oracle Real Application Clusters (RAC) • Oracle データマイニング • Oracle 変更管理パック • Oracle データベースのプロビジョニングとパッチ自動化パック
Oracle Active Data Guardのデータベース・オプション・ライセンス	Enterprise EditionデータベースでOracleActive Data Guardオプションを使用しているOracle場合、プライマリ・データベース・インスタンスとそのデータベースに関連付けられているリード・レプリカには、それぞれ1つのOracleDatabase Enterprise Editionライセンスと1つのOracleActive Data Guardライセンスが必要です。 **注:** Active Data Guardオプションは、Database Enterprise Editionでのみ Oracle 使用できます。
無制限のライセンス契約 (ULA) ライセンス	無制限のライセンス契約 (ULA) を通じて取得されたライセンスは、許可されたクラウド環境でサポートされます。ただし、ULA期間の終了時にこれらのライセンスの認定は必要ありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle データベース ライセンス ルール (続く)

ライセンスタイプ	ライセンスルール
高可用性 (マルチ AZ) ライセンス	高可用性 (マルチ AZ) 展開では、スタンバイ Oracle データベースインスタンスを考慮できるように、シングル AZ 配置の 2 倍のライセンス数が必要です。

これらの Oracle データベース ライセンス ルールに加えて、クラウドでのデプロイを設定する場合は Oracle 、次の vCPU サイズの制限を考慮してください。これらのサイズ制限は、クラウドインスタンスでサポートされるライセンスの最大数を決定するのに役立ちます。

注:
vCPU サイズの制限は、 AWS と Microsoft Azure

vCPU サイズの制限

Oracle データベースエディション	**vCPU** サイズ制限
Oracle データベース標準版	Oracle Database Standard Editionは、最大16個のvCPUを持つクラウド・インスタンスでのみサポートされます。
Oracle データベース Standard Edition One および Standard Edition 2	Oracle Database Standard Edition OneおよびStandard Edition 2は、最大8個のvCPUを持つクラウド・インスタンスでのみサポートされます。
Oracle データベースエンタープライズエディション	Oracle Database Enterprise Editionは、vCPU数に関係なく、すべてのクラウド・インスタンスでサポートされます。

Oracle WebLogic Server ライセンス ルール

ライセンスタイプ	ライセンスルール
プロセッサーごとのライセンス	ライセンスは、WebLogic サーバーがインストールまたは実行されている vCPU Oracle の数に基づきます。インストールまたは実行されている WebLogic Server のバージョンに基づいて Oracle 、異なるライセンス ルールが適用されます。 **注:** Oracleプロセッサーコア要因テーブルは、クラウド環境には適用されません。 Oracle WebLogic Server スタンダードエディション 4 つの vCPU は 1 つのソケットに相当し、1 つのソケットには 1 つのライセンスが必要です。 vCPU の数は、最も近い 4 の倍数に切り上げられます。たとえば、 Oracle 7 つの vCPU で実行されている WebLogic サーバーには、合計 2 つのライセンスが必要です。 Oracle WebLogic Server エンタープライズエディション ハイパースレッディングが有効になっている場合は、WebLogic Server をインストールまたは実行する Oracle 2 つの vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。ハイパースレッディングが有効になっていない場合は、WebLogic サーバーをインストールまたは実行する Oracle vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

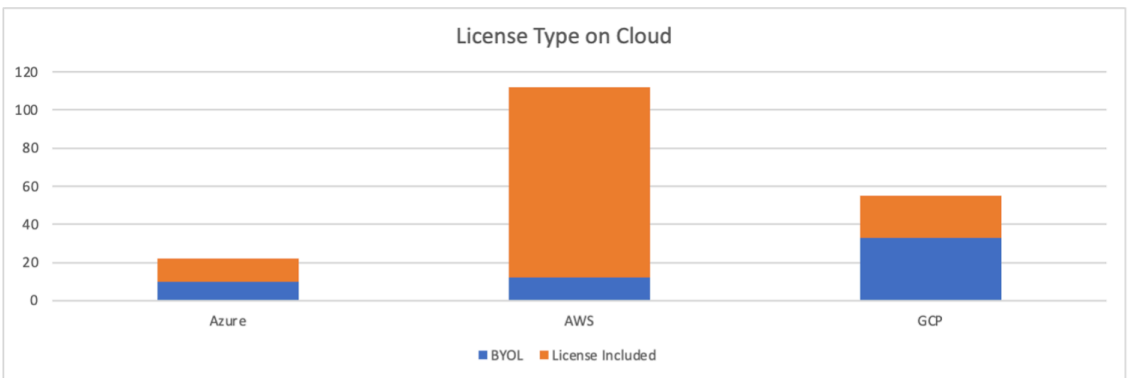
Oracle WebLogic Server ライセンス ルール (続く)

ライセンスタイプ	ライセンスルール
指名ユーザーライセンス	WebLogicサーバーにアクセスする Oracle ユーザーまたは物理デバイスごとに1つのライセンスが必要です。 ユーザとデバイスがアクセスしている WebLogic Server のエディションに基づいて Oracle 、異なる最小ライセンスが適用されます。 Oracle WebLogic Server スタンダードエディション 8 つの vCPU ごとに最低 10 ライセンス、またはこの WebLogic Server バージョンにアクセスするユーザーとデバイスの総数が必要です。ライセンスの最小値は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。 Oracle WebLogic Server エンタープライズエディション ハイパースレッディングが有効な場合は、2 つの vCPU ごとに最低 10 ライセンス、またはこの WebLogic Server エディションにアクセスするユーザとデバイスの総数が必要です。 ハイパースレッディングが有効になっていない場合は、vCPU ごとに最低 10 ライセンス、またはこの WebLogic Server エディションにアクセスするユーザとデバイスの総数が必要です。 ライセンスの最小値は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。

Microsoft Windows および **SQL Server** インフラストラクチャの詳細レポート

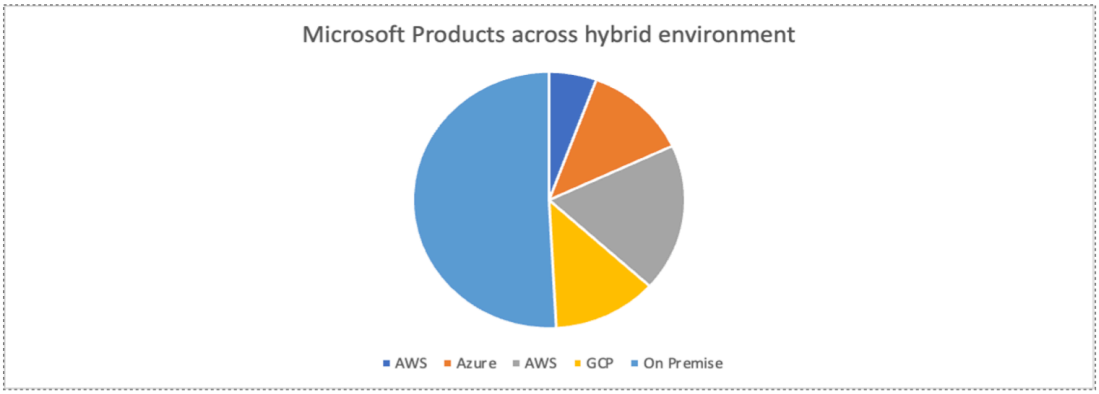
Microsoft Windows および SQL Server インフラストラクチャの詳細レポートを使用して、、、AWS、などのGCPさまざまなクラウドプロバイダーMicrosoft Azureの SQL Server と Windows Server の展開とインフラストラクチャを可視化できます。

クラウド上のライセンスタイプ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Azure BYOL 節減実績レポート

Azure BYOL の Realized Savings レポートを使用すると、Azure ハイブリッド特典 (Bring Your Own License (BYOL) ライセンス モデルMicrosoft Azure) を使用する場合に、SQL Server と Microsoft Windows Server のデプロイMicrosoft AzureのMicrosoft潜在的なコスト削減と実際のコスト削減を可視化できます。

Azure BYOL Realized Savings レポートは、ServiceNow® クラウドコスト管理ServiceNow Store. 「」を参照してください。 クラウドコスト管理 アプリケーション 詳細については、 を参照してください クラウドコスト管理。

注:
このレポートは、ソフトウェア資産ワークスペースでのみ利用できます。このレポートはクラシックアプリケーションでは ソフトウェア資産管理 使用できません。

このレポートを表示するには、次に移動してソフトウェア資産ワークスペースを起動します。ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** 実行しますServiceNow[Software Asset Workspace] から、 ライセンス使用状況 > レポート > **Azure BYOL** 節減実績レポート.

Azure BYOL 節減実績レポート

フィールド	説明
仮想マシン	SQL Server または Microsoft Windows Server が実行されている Microsoft Azure 仮想マシン (VM)。
ホストタイプ	Azure VM が実行されている Azure ホストのタイプ。オプションは [共有] と [専用] です。
ロケーション	Azure ホストが存在する地理的な場所。
vCPU	Azure VM に割り当てられている仮想 CPU (vCPU) の数。
ハードウェアタイプ	Azure ホストのハードウェアタイプ。
オペレーティングシステム	Azure で実行されているオペレーティングシステム (OS) のバージョンとエディション。
SQL サーバー	Microsoft Azure VM で実行されている SQL Server のバージョンとエディション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Azure BYOL 節減実績レポート (続く)

フィールド	説明
サーバー上の Windows AHB	サーバーに対して Microsoft Windows Azure ハイブリッド特典が有効になっているかどうかを示すフィールド。
SQL Server 上の AHB	SQL Server に対して Microsoft Azure ハイブリッド特典が有効になっているかどうかを示すフィールド。
AHB なしの標準価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効になっていない場合の 1 か月あたりの潜在的な VM コスト。この値は、VM が 1 か月全体 (720 時間) 実行されているという前提に基づいています。
AHB ありの標準価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効になっている場合の 1 か月あたりの潜在的な VM コスト。この値は、VM が 1 か月全体 (720 時間) 実行されているという前提に基づいています。
標準実現削減額	Azure ハイブリッド特典を使用することで 1 か月あたりに節約できる見込まれる VM コスト。この値は、VM が 1 か月全体 (720 時間) 実行されているという前提に基づいています。
AHB なしの実際の価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効になっていない場合の 1 か月あたりの実際の VM コスト。この値は、VM が 1 か月以内に実際に実行された時間数に基づいています。
AHB ありの実際の価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効になっている場合の 1 か月あたりの実際の VM コスト。この値は、VM が 1 か月以内に実際に実行された時間数に基づいています。
実現された節減実績	Azure ハイブリッド特典を使用して節約された 1 か月あたりの実際の VM コスト。この値は、VM が 1 か月以内に実際に実行された時間数に基づいています。

BYOL のコアインフラストラクチャスイート **(CIS)** サポート

オンプレミス CIS エンタイトルメントを使用して、 や Microsoft AzureなどのクラウドプラットフォームAWS上の Windows Server インストールのライセンスを取得します。

CIS エンタイトルメントは、クラウド上のライセンス規則に従って Microsoft Windows Server インストールにライセンスを付与します: CIS を通じて Windows Server のライセンスを取得した場合は、Azure ハイブリッド使用特典を使用できます。ただし、CIS の System Center コンポーネントは対象外です。

クラスター・インフラストラクチャーの理解

Software Asset Management アプリケーションの 1 つのビューで、クラスター内のすべてのエンティティの総合的かつ戦略的な分析を取得します。

SAM クラスター 360 度機能は、通常は時間のかかるタスクであるクラスターの分析プロセスを簡素化します。この機能は、クラスターのセットアップ、ライセンス、最適化、およびクラスターの健全性の問題を視覚的に包括的に表示することで、SAM マネージャーが戦略的な意思決定を行うのに役立ちます。クラスター上の各ノードにドリルダウンして、より深く理解することができます。

クラスターとは

クラスターは、リソースを共有するホストのグループです。各ホストには、複数のソフトウェア アプリケーションが実行されている 100 を超える仮想マシン (VM) を実行する容量があります。

VM は、高可用性や分散リソース スケジューラ(DRS)などの特定の設定に応じて、ホスト間を移動できます。ホスト アフィニティなどの設定により、仮想マシンを特定のホストにロックできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

VM の数、クラスター内の VM、ホスト、VM コアの移動などの要因が、ライセンス コンプライアンスに影響を与える可能性があります。

SAM クラスター 360 のメリット

SAM クラスター 360 機能は、次の概念を表示および分析するのに役立ちます。

- クラスターのコアインフラストラクチャ:ホスト、VM、ソフトウェア、コア、プロセッサー。
- ソフトウェア全体の最適化の推奨事項。
- すべてのホストと、その上を移動できる可能性のある VM。
- すべてのソフトウェア (ライセンス可能およびライセンス不可) がクラスター上で実行されている。
- ホスト間でインストールされるすべての共通ソフトウェア。
- ライセンスを消費するすべてのソフトウェア。

エグゼクティブダッシュボードを使用した 資産管理 KPI に関するエグゼクティブインサイト

資産管理エグゼクティブダッシュボードを使用すると、アプリケーション、アプリケーション、ハードウェア資産管理およびクラウドコスト管理アプリケーションの重要な KPI ソフトウェア資産管理を単一のダッシュボードで可視化できます。

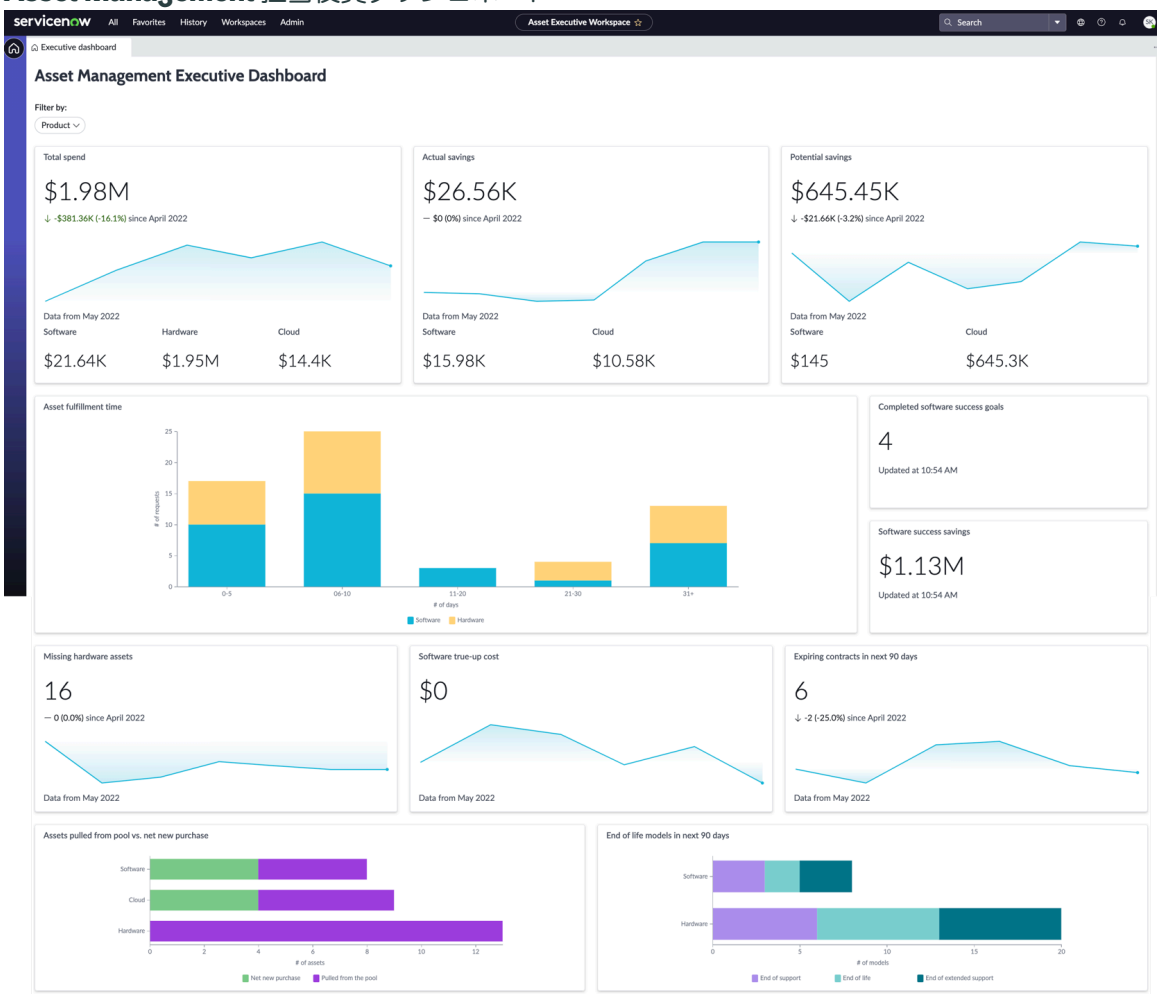
エグゼクティブダッシュボードにアクセスする資産管理には、アプリケーションハードウェア資産管理がソフトウェア資産管理インスタンスにServiceNowインストールされている必要があります。

エグゼクティブダッシュボードを表示するには 資産管理 、次の場所に移動します。 資産担当役員ワークスペース > 資産管理担当役員ダッシュボード. sn_itam_common.asset_exec のロールを持つユーザーは、ダッシュボードにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management 担当役員ダッシュボード



ダッシュボードの結果は、製品、ドメイン、または製品とドメインの両方でフィルタリングできます。ドメインでフィルタリングすると、フィルターがすべてのウィジェットに適用されます。製品でフィルタリングする場合、一部のウィジェットは特定の製品に固有であるため、フィルターはすべてのウィジェットに適用されるわけではありません。

フィルターを選択すると、各ウィジェットの右側に青色のボックスが表示され、次のいずれかの番号が表示されます。

- 0:ウィジェットにフィルターが適用されていないことを示します。
- 1:ウィジェットに 1 つのフィルターのみが適用されることを示します。
- 2:両方のフィルターがウィジェットに適用されていることを示します。

注:
ドメインフィルターを使用するには、プラグイン com.glide.domain.msp_extensions.installer および com.snc.pa.domain_support を有効にする必要があります。

スケジュール設定済みジョブ *Asset Management - Populate KPI aggregate table*は毎日実行され、ダッシュボードのデータを更新します。ウィジェットの最新データを表示するには、ウィジェットをクリックしてリスト ビュー ページを表示します。

ダッシュボードウィジェットは、インスタンスでアクティブ化したアプリケーションプラグインによって異なります。各アプリケーションで使用できるウィジェットを次の表に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
合計消費量	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの合計コスト。 ソーステーブル:ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	ステータスが [在庫あり]、[使用中]、[メンテナンス中]、[輸送中] のいずれかであるすべてのハードウェア資産の総コスト。 ソーステーブル:ハードウェア [alm_hardware]	すべてのクラウドリソースの合計アクティブコスト。 ソーステーブル:支出レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]。
実際の削減	すべての製品の年間合計節減額。この値は、完全に閉じた再利用候補からの節減額の合計として計算されます。 ソーステーブル:Removal Candidate [samp_sw_reclamation_candidate]	適用外です。	この値は、クラウドリソースの月次節減額として計算されます。 **注:** このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:ステータス = 完了した Cloud Insights のサイズ適正化に関する推奨事項の自動 (sn_clin_core_rs_recommendation_automatic)。
見込まれる削減	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。 ソーステーブル:Removal Candidate [samp_sw_reclamation_candidate]	適用外です。	クラウドの適正化、クラウドの未使用マシン、クラウド予約、およびクラウドの営業時間に関する月次見込まれる節減額の合計。 **注:** このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル: • Cloud Insights のサイズ適正化に関する推奨事項の自動 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]。 • Cloud Insights の未使用推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]。 • リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
Assessment fulfillment time	からの サービスカタログソフトウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、または 31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	からの サービスカタログハードウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、または 31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	適用外です。
ソフトウェア成功目標が完了しました	アプリケーションに対して ソフトウェア資産管理 完了した成功目標の数。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal] **注:** このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	適用外です。	適用外です。
ソフトウェアの成功によるコスト削減	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal]	適用外です。	適用外です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
	注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。		
不足しているハードウェア資産	適用外です。	紛失、紛失、または盗難にあったハードウェア資産の数。 ソーステーブル: 不足しているハードウェア資産 [missing_hardware_assets]。	適用外です。
ソフトウェア調整コスト	実際に使用されている製品のコスト。 ソーステーブル:製品結果 [samp_product_result]	適用外です。	適用外です。
Expiring contracts in 90 days	今後 90 日以内に期限切れになるソフトウェア契約の数。	今後 90 日以内に期限切れになるハードウェア契約の数。	適用外です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
	注: ソフトウェア資産管理アプリケーションとハードウェア資産管理アプリケーションの両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットにはソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	注: ソフトウェア資産管理アプリケーションとアプリケーションの両方がハードウェア資産管理インスタンスに存在する場合、このウィジェットにはソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	
プールからプルされた資産と正味新規購入	インベントリから履行されるソフトウェア資産の要求数と新しい資産の発注書の作成数を表す棒グラフ。 注: このウィジェットのソフトウェア関連データを表示するには、Procurement (com.snc.procurement) プラグインがインスタンスで有効化されていることを確認してください。 ソーステーブル: • プール資産:割り当てられた割り当て [alm_licenses_assigned]。 • 純新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	在庫から履行されるハードウェア資産の要求数と新しい資産の発注書を作成するハードウェア資産の要求数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • 資産をプール:資産消費タスク [consume_asset_task]。 • 純新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	在庫から使用された資産の数と発注書を介して調達された新しい資産の数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • プール資産:支出レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]。 • 純新規資産:発注明細 [proc_po_item]。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
今後 90 日で提供が終了するモデル	今後 90 日以内に提供終了が迫るソフトウェアモデルの数。 • 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	今後 90 日間で提供終了に達するハードウェアモデルの数。 • 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ハードウェアモデル [cmdb_hardware_model_lifecycle]。	適用外です。

クラウドコストシミュレーション

移行を実行する前に、オンプレミスのリソースをクラウド環境に移行するコストをシミュレーションします。

必要なプラグイン

クラウドコスト刺激ツールの推奨事項をサポートするには、次のプラグインが必要です。

- Cloud Insights アプリケーションプラグイン (sn_clin_billing:クラウドインフラストラクチャの詳細とコスト用。
- Hardware Asset Management (sn_hamp):ハードウェアのライフサイクル終了。
- Cloud Migration Assessment アプリケーション (com.sn_cloud_migration):リソース使用率用。

概要

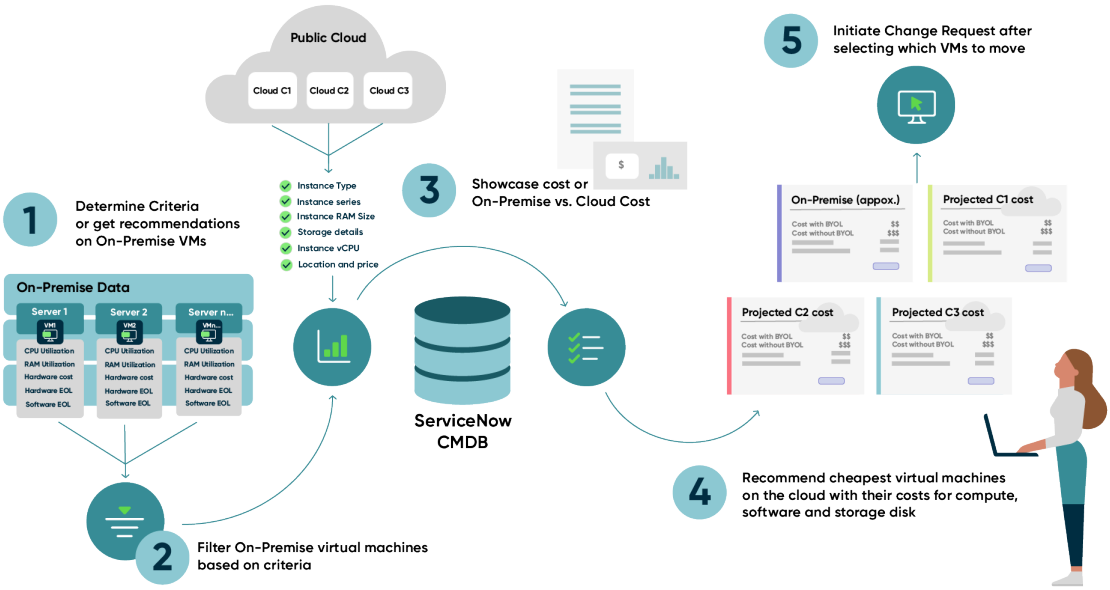
sam_managerロールは、リソースをクラウドに移行するための基準を指定します。たとえば、SQL Server と共にインストールされたすべての仮想マシンや、サポート終了ソフトウェアを持つすべての仮想マシンが必要な場合があります。さらに、 ソフトウェア資産管理 このアプリケーションは、提供終了のソフトウェアとハードウェアとリソースの使用率に基づいて推奨事項を自動的に提供します。

条件または推奨事項に基づいて、条件に一致する仮想マシンが自動的に ソフトウェア資産管理 選択されます。すべてのオンプレミス仮想マシンが識別されると、ソフトウェア資産管理アプリケーションはそれらの仮想マシンをクラウド上の仮想マシンと照合します。 AWSAzure

リソースの最適なマッチングが行われ、関連する総コストが提示されます。さまざまなクラウドプロバイダーのコスト: AWS 自分の Azure ライセンスを使用する (BYOL) のコストの有無にかかわらず言及されています。特定のクラウドプロバイダーに移行することが決定したら、変更要求を作成して実装を進めることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ユースケース

sam_managerロールは、次の考慮事項を考慮しながら、オンプレミスリソースをクラウドに移行するための推奨事項を受け取ることができます。

- ソフトウェアのサポート終了: 一部の仮想マシンでは、ソフトウェアのライフ サイクルが終わりに近づいている場合があります。これらの仮想マシンをクラウドに移行するコストを、すべての利点を考慮して計算します。たとえば、 Microsoft Azure ライフサイクルの終わりに達した特定の Microsoft 製品に対して、無料の延長セキュリティ更新プログラムを提供します。

  注:
  推奨事項は、共有されている VMware 仮想マシンに対してMicrosoft AzureAWSのみ表示され、専用ホストマシンに対しては表示されません。

- ハードウェアのサポート終了: サポート終了フェーズが近づいているハードウェア上で仮想マシンが実行されている可能性があります。これらの仮想マシンをクラウドに移行するコストをシミュレートします。

  注:
  ハードウェアおよびハードウェアコストのライフサイクル終了に関するデータを取得するには、Hardware Asset Management (sn_hamp) プラグインが有効化されていることを確認します。

- リソース使用率:一部のオンプレミス仮想マシンでは、CPU と RAM の使用率が低い場合があります。適切なサイズの仮想マシンを推奨することで、これらの仮想マシンをクラウドに移行するコストをシミュレートします。たとえば、オンプレミスの 32 vCPU の仮想マシンが 4 つの vCPU のみを使用している場合、クラウド上の 4 vCPU の仮想マシンを推奨すると、コストが削減されます。

  注:
  リソース使用率に関するデータを取得するために、Cloud Migration Assessment アプリケーション (com.sn_cloud_migration) プラグインが有効になっていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

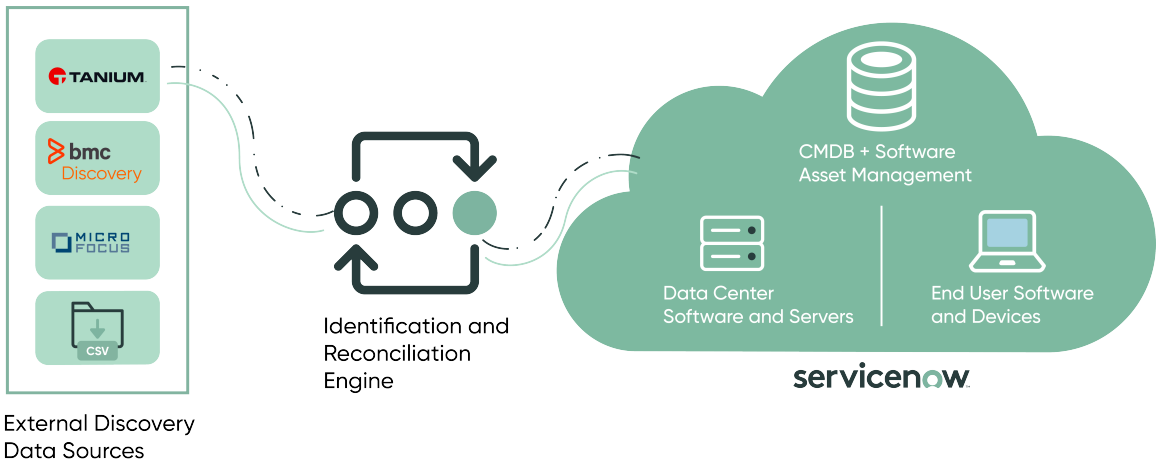
ソフトウェア資産接続

サードパーティの検出ソースを使用して、アプリケーションと統合 ソフトウェア資産管理 できるインストール済みソフトウェアデータを検出します。

検出プロセスはアプリケーションの不可欠な部分 ソフトウェア資産管理 です。検出プロセスは、組織内のインストール済みソフトウェアがインストールされている場所、デバイスの所有者、およびデバイスがどこに配置されているかを検出することで構成されます。検出された情報は、アプリケーションなどの一般的な構成管理データベースに結合されます CMDB 。

この CMDB アプリケーションを使用すると、他のビジネスアプリケーションで検出された情報を使用して、さまざまなビジネスニーズをサポートできます。

ソフトウェア資産管理 による ディスカバリー



ServiceNow プラットフォームの識別および調整エンジン (IRE) フレームワークにより、すべてのサードパーティデータのアプリケーションと CMDB の統合が可能になります。

IRE は、複数のソースが同時にデータを取り込んでいる場合に、データの調整と重複排除を実行できる一元化されたフレームワークを提供します。IRE は、識別ルール、調整ルール、および IRE のデータソースルールを使用して受信データを処理し、対応する CMDB テーブルにデータを挿入します。これらのルールを拡張して、テーブルなどの ソフトウェア資産管理 CMDB コアテーブルを拡張するテーブルにデータを挿入できます。IRE には 2 つのタイプの識別ルールがあります。

- 独立:CI ID で [独立] チェックボックスがオンになっている場合は、CI が他のどの CI にも依存していないことを意味します。
- 依存:CI ID で [独立] チェックボックスがオンになっていない場合は、この CI が他の CI に依存していることを意味します。

IRE の詳細については、「 識別および調整エンジン 」を参照してください。

インスタンスへの ServiceNow CI のロードはすでに設定されている必要があります。環境内の CI ごとに、ハードウェア [cmdb_ci_hardware] テーブルに対応する CI ID ルールがあります。サードパーティの検出アプリケーションが実行されると、ソフトウェアが CI で識別されます。サードパーティアプリケーションはペイロードを構築し、IRE REST API エンドポイントを介してペイロードをインスタンスに送信し ServiceNow て、テーブルに ソフトウェア資産管理 データを挿入または更新します。

汎用ペイロードは、インストール済みソフトウェアレコードの作成に使用されます。、VMware、および Citrixの場合Oracle、特定のペイロードは、ソフトウェアのインストールとは別に、追加の公開者固有のデータをフィードします。

複数の検出ソースが有効になっていて、すべての検出ソースの表示名やバージョンなど、ソフトウェアの重要な詳細が一致する場合、インストールレコードは上書きされます。複数の検出

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソースが、異なるフィールド値を持つ同じソフトウェアを識別した場合、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルにエントリが作成されます。スケジュールジョブ *SAM-Deduplication install table* が実行され、これらのインストールのすべての正規化値が一致する場合、1 つのレコードのみがアクティブに設定されます。残りのレコードは非アクティブとしてマークされます。

SAM を使用したサードパーティ検出では、ドメイン分離がサポートされており、次の考慮事項があります。

- IRE REST API は、REST 呼び出しが行われたときにログインしているドメインにスタンプを付けます。
- CI が存在し、ペイロードを実行するドメインにログインします。
- 親ドメインにログインしないでください。親ドメインにログインすると、既存の CI が更新され、親ドメインにも新しい CI が作成されます。
- CI が存在する同じドメインからペイロードを送信します。たとえば、ドメイン A からペイロードを送信し、ペイロードにドメイン B に属する CI がある場合、新しい CI がドメイン A に作成されます。

Software Asset Management のサードパーティ検出ソースの構成

Software Asset Management のサードパーティ検出ソースを設定して、お使いの環境で見つかったソフトウェアをソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに入力します。

始める前に
サードパーティの検出ソースでアプリケーションの機能 ソフトウェア資産管理 を使用するには、ServiceNow インスタンスに存在する CMDB アプリケーションと関連テーブルに入力する必要があります。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、IRE API を使用して、Software Asset Management テーブルに入力するのに役立ちます。IRE API は構成アイテム (CI) 識別子に依存するため、SAM テーブルには IRE をサポートするために CI との関係が必要です。IRE API の詳細については、「 識別および調整エンジン 」を参照してください。

必要なロール:sam_developer

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > プロパティ.
2. [**Enable scheduled jobs when using third party Datasource Integration Framework** [com.snc.samp.ire.datasource.integration] プロパティーを選択します。
3. 検出ソースを実行して、CI 上のソフトウェアを特定します。
   CI はペイロードを構築するために使用されます。
4. IRE REST API を使用してペイロードを ServiceNow インスタンスに送信します。

   サンプル ペイロードの詳細については、次のリンクを参照してください 汎用ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード。

   ペイロードでは、挿入または更新操作が実行されたときに CI が再分類されないように、CI の sys_class_nameを送信してください。

   ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに、表示名、公開者、およびバージョンを含むエントリが作成されます。コンテンツサービスに対して調整が実行され、そのソフトウェアの検出モデルが特定されます。検出モデルが存在しない場合は、ソフトウェアの検出モデルが自動的に作成されます。アプリケーションの使用 ソフトウェア資産管理 を開始できます。

ソフトウェアインストールテーブルで重複するソフトウェアインストールを解決する

複数の検出ソースを実行しているときに、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに作成された重複するソフトウェアインストールレコードを解決します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sam_developer

このタスクについて
同じ構成アイテムで検出されたが、検出ソースが異なるソフトウェアインストールは、重複と見なされます。CI で複数の検出ソースを実行している場合、異なる検出ソースから重複するソフトウェアインストールレコードがソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに作成されます。これらの重複エントリは、スケジュール設定済みジョブ *SAM - Deduplicate Install Table*を実行することで解決できます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > プロパティ.
2. [はい] を選択して、[サードパーティのデータソース統合フレームワーク [com.snc.samp.ire.datasource.integration] プロパティの使用時にジョブスケジュール を有効にします。
3. スケジュール設定済みジョブ *SAM - Deduplicate Install Table*を実行します。
   重複排除ロジックに基づいて、1 つのソフトウェアインストールレコードのみが true とマークされ、他の重複レコードは false とマークされます。ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルで、重複レコードの 1 つだけの [アクティブなインストール] 列の値が true になっています。
4. ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに移動します。
   重複レコードの 1 つだけの [アクティブなインストール] 列の値が true に設定されます。ソフトウェアインストールレコードの残りの重複エントリは false に設定されます。

アンインストールされたソフトウェアをソフトウェアインストールテーブルから削除する

これらのソフトウェア インストールが CI からもアンインストールされる場合は、ソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルからインストールを削除します。

始める前に
検出プロセスを実行し、CI からアンインストールされたソフトウェアインストールを特定したら、CMDB アプリケーションのソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルからそれらのインストールを削除します。

ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルから複数のソフトウェアインストールレコードを削除するスクリプトを作成します。テーブル API を使用してソフトウェアインストールテーブルをクエリし、CI のインストールリストを取得できます。

必要なロール:sam_developer

このタスクについて
、、などのCitrix特定の公開者のOracleVMwareソフトウェアインストールレコードを削除することもできます。

手順

1. REST テーブル API `api/now/table/cmdb_sam_sw_install?sysparm_query=installed_on%3D28c9c3b8c0a8000b009b2d941d7e3ee9` を使用して、特定の CI のソフトウェアインストールのリストを照会および識別します。
   REST エンドポイント API の詳細については、「 テーブル API-GET 」を参照してください。

   a. テーブル名、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブル、およびクエリパラメーターを指定します。
      クエリパラメーターには、CI のsys_id、または削除操作を実行する公開者、バージョン、製品など、カンマで区切られたフィールドのリストを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. クエリパラメーターを入力したら、要求を送信します。
その特定の CI のすべてのソフトウェアインストールのリストが JSON 形式で応答を受け取ります。応答内のすべてのソフトウェアインストールのsys_idを表示できます。

2. 応答に基づいて、CI で削除されたソフトウェア インストールのsys_idsを特定します。
これらのソフトウェアインストールの sys_ids のみを Delete API に渡す必要があります。

3. 削除 API `request.setEndpoint('http://xyz/api/now/table/cmdb_sam_sw_install/728e87dafd841010fa9bea491bfdc1ff'); request.setHttpMethod('DELETE');` を使用して、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルからソフトウェアインストールを削除します。
URL 内の xyz はインスタンスを参照します ServiceNow 。

a. CI で削除されるソフトウェアインストールのテーブル名、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブル、およびsys_idsを指定します。

b. 要求を送信します。
ソフトウェアインストールがソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルから削除されます。

汎用ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

ServiceNow インスタンスのソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに、サードパーティの検出ソースによって収集された検出データを入力するサンプルペイロード。

以下は、Microsoft、IBM などの公開者のソフトウェアインストールレコードを作成するためのサンプルペイロードです。Oracle、VMware、および Citrix の場合は、特殊なペイロードが使用されます。

このサンプル ペイロードでは、インストールされているソフトウェア、Microsoft Word 2016、および関連する CI の情報を渡して、インストールされている場所 (コンピューター CI「SAMILMT8」) を通知します。cmdb_sam_sw_installテーブルで列名を検索し、ペイロードで列と値のペアを渡すことで情報を送信できます。たとえば、このペイロードでは、公開者、バージョン、display_name列を送信します。エディション列などの追加情報を送信することもできます。

注:
CI ID ルールの詳細については、「識別子ルール」を参照してください。

```
{ 'items': [{'className':'cmdb_ci_computer',
            'related': [{
                        className:'cmdb_sam_sw_install',
                        values: {
                          'publisher':'Microsoft',
                          'version':'2016',
                          'display_name':'Word'
                          }
                      }
                ],
              'values': {'name':'SAMILMT8'}
                      }]
          }
```

要素	値	説明
className	cmdb_ci_computer	CI のクラス名。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	値	説明
className	cmdb_sam_sw_install	CI が作成される CMDB アプリケーション内の関連テーブルの名前。
publisher	Microsoft	テーブル内でこのエントリが作成される公開者の名前。
version	2016	テーブル内でこのエントリが作成されるソフトウェアのバージョン。
名前	Word	テーブル内のこのエントリの表示名。
name	SAMILMT8	CI の一意の識別子。

Oracle ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

サードパーティの検出ソースからのソフトウェアインストールレコードを Oracle インスタンス [cmdb_ci_db_ora_instance] テーブルに設定する Oracle 公開者パックのサンプルペイロード。

検出ソースを介して Oracle ソフトウェアのインストールを検出した後、Oracle インスタンスと、その Oracle インスタンスに関連付けられた Oracle オプションを含むペイロードを送信します。

注:
[プロパティ] ページで、[Enable scheduled jobs when using third party Datasource Integration Framework [com.snc.samp.ire.datasource.integration] プロパティを選択してください。

スケジュール ジョブである SAM - ソフトウェア資産接続 (SAM - Software Asset Connections) が実行されると、ソフトウェア インストールが null のレコードが検索され、Oracle インスタンス テーブルのソフトウェア インストール フィールドに値が入力され、インスタンスに関連付けられたソフトウェア インストール レコードが作成されます。

次に示すのは、Oracle インスタンス [cmdb_ci_db_ora_instance] テーブルに Oracle のソフトウェアインストールレコードを作成するためのサンプルペイロードです。サンプル入力には、CI のリストと、それらの CI 間に存在する関係が含まれています。ペイロードには、標準エディションの Oracle データベースサーバー Dev development 1969 があることが示されています。Oracle データベースサーバーでは、Armstrong、Aldrin、Collins などの多くの Oracle オプションが有効になっており、Linux サーバー上で実行されます。

```
{
 'items': [
  {
   'className': 'cmdb_ci_db_ora_instance',
   'related': [
    {
     'className': 'samp_oracle_options',
     'values': {
      "option": "Armstrong",
      "currently_used": "true"
     }
    },
    {
     'className': 'samp_oracle_options',
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        'values': {
          "option": "Aldrin",
          "currently_used": "true"
        }
       },
       {
        'className': 'samp_oracle_options',
        'values': {
          "option": "Collins",
          "currently_used": "true"
        }
       }
     ],
     'values': {
       'name': 'Dev development 1969',
       'edition': 'Standard',
       'sid': '1-2-569',
       'version': '11.2'
     }
   },
   {
     'className': 'cmdb_ci_linux_server',
     'values': {
       'name': 'CI DATAI 6-002',
       'mac_address': '4653XYZAA',
       'ip_address': '10.10.10.8',
       'asset_tag': 'HWR0003',
       'assigned_to': 'a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a',
       'cpu_count': '16',
       'cpu_manufacturer': '820351a1c0a8018b67c73d51c074097c',
       'manufacturer': '820351a1c0a8018b67c73d51c074097c',
       'os': 'Linux Red Hat',
       'os_version': '2.6.9-22.0.1.ELsmp',
       'ram': '2014'
     }
   }
 ],
 'relations': [
   {
     'type': 'Runs on::Runs',
     'parent': 0,
     'child': 1
   }
 ]
}
```

要素	値	説明
className	cmdb_ci_db_ora_instance	関連する Oracle インスタンス テーブルの名前。
className	samp_oracle_options	Oracle データベースオプション テーブルの名前です。
option	アームスト ロング	Oracle データベースオプションの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	値	説明
currently_used	true	アームストロングオプションが現在有効になっていることを示します。
className	samp_oracle_options	Oracle データベースオプションテーブルの名前です。
option	アルドリン	Oracle データベースオプションの名前
currently_used	true	Aldrin オプションが現在有効になっていることを示します。
name	開発開発 69	Oracle データベースサーバーの名前
edition	standard	Oracleデータベースサーバーのエディション
sid	1-2-569	Oracle Sys ID
version	11.2	Oracle データベースサーバーのバージョン
className	cmdb_ci_linux_server	関連する Linux サーバーテーブルの名前。
MAC アドレス	4653XYZAAの	Linux サーバーのインターフェイスの MAC アドレス。

VMware ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

VMware 検出ライセンスキー消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブルにサードパーティの検出ソースからのソフトウェアインストールレコードを入力する、VMware 公開者パックのサンプルペイロード。

検出ソースを介してソフトウェアインストールを検出した後、IRE REST API エンドポイントを介してペイロードを ServiceNow インスタンスに送信し、VMware 検出ライセンスキー消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブルにソフトウェアインストールレコードを入力します。

> **注:**
> [プロパティ] ページで、[Enable scheduled jobs when using third party Datasource Integration Framework [com.snc.samp.ire.datasource.integration] プロパティを選択してください。

1. ペイロードを送信して、VMware 検出ライセンスキー [samp_vmware_license_key] テーブルにライセンスキーを作成します。
2. ペイロードの応答本文から、新しいライセンス キーのシステム ID をコピーし、後で使用するためにテキスト エディターに貼り付けます。
3. 拡張 IRE API を使用して、新しいライセンスキーを使用する CI の Sys ID をクエリします。
4. 応答本文から、CI の Sys ID をコピーし、後で使用するためにテキストエディターに貼り付けます。
5. ライセンスキーのSys ID と CI のSys ID を含むペイロードを送信します。
6. スケジュールジョブ [SAM - Update Software Usage] を実行して、VMware 検出ライセンスキー消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブルにソフトウェアインストールレコードを入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
Request Body
{ 'items': [
            {'className':'cmdb_ci_vcenter',
           'related': [
                    {
                    className:'samp_vmware_license_key',
                     values:{
                      'cost_unit':'cpuPackage',
                            'edition':'esxEnterprisePlus.vram',
                            'features':'autodeploy,das,dpvmotion',
                            'license_key':'SYDOJ-28J5Q-78X48-0NC24-REKAR',
                            'product_name':'VMware vSphere 5 Enterprise Plus',
                            'product_version':'5.0',
                            'rights_owned':'8',
                            'rights_used':'6'
                       }
                    }

                   ],
           'values': {
              'name':'VCenter Ref 1A'
               }
           },
           {
            'className':'cmdb_ci_win_server',
             'values': {'name':'VirtualMachine-WS2'
                    }
                }
           ],
           'relations':[{
               'type':'Runs on::Runs',
               'parent':0,
               'child':1
             }]
         }

Response Body
{
  "result": {
    "items": [
      {
        "className": "cmdb_ci_vcenter",
        "operation": "INSERT",
        "sysId": "8fb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93a",
        "relatedSysIds": [
          "cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f"
        ],
        "relatedItems": [
          {
            "className": "samp_vmware_license_key",
            "sysId": "cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f",
            "markers": [],
            "inputIndices": [
              {
                "mainIndex": 0,
                "subIndex": 0
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
       ]
      }
     ],
     "additionalRelatedItems": [],
     "identifierEntrySysId": "Unknown",
     "identificationAttempts": [
      {
       "attributes": [
        "name"
       ],
       "identifierName": "VMWare VCenter Ref CI",
       "attemptResult": "NO_MATCH",
       "searchOnTable": "cmdb_ci_vcenter",
       "hybridEntryCiAttributes": []
      }
     ],
     "errorCount": 0,
     "markers": [],
     "inputIndices": [
      0
     ]
    },
    {
     "className": "cmdb_ci_win_server",
     "operation": "UPDATE",
     "sysId": "30ccb31ddbe7720087b9fd441d961992",
     "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
     "identificationAttempts": [
      {
       "attributes": [
        "serial_number",
        "serial_number_type"
       ],
       "identifierName": "Hardware Rule",
       "attemptResult": "SKIPPED",
       "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
       "hybridEntryCiAttributes": []
      },
      {
       "attributes": [
        "serial_number"
       ],
       "identifierName": "Hardware Rule",
       "attemptResult": "SKIPPED",
       "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
       "hybridEntryCiAttributes": []
      },
      {
       "attributes": [
        "name"
       ],
       "identifierName": "Hardware Rule",
       "attemptResult": "MATCHED",
       "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
       "hybridEntryCiAttributes": []
      }
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      ],
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        1
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [
    {
      "className": "cmdb_rel_ci",
      "operation": "INSERT",
      "sysId": "43b47793e7cc10107aea07d8d2f6a940",
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ]
    }
  ],
  "additionalCommittedRelations": []
 }
}
```


From this we get the samp_vmware_license_key sys id


```
"relatedSysIds": [
        "cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f"
      ]
```


-- Obtaining the CI sys id (POST)

role: sam_admin

https://k8s0057813-node1.thunder.lab3.service-now.com/api/now/identifyreconcile/queryEnhanced?sysparm_data_source=ServiceNow

Request Body


```
{ 'items': [ {'className':'cmdb_ci_win_server', 'values': {'name':'Server-WS11'} }]}
```


Response Body


```
{
 "result": {
  "items": [
   {
    "className": "cmdb_ci_win_server",
    "operation": "UPDATE",
    "sysId": "99ccb31ddbe7720087b9fd441d9619da",
    "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
    "identificationAttempts": [
     {
      "identifierName": "Hardware Rule",
      "attemptResult": "SKIPPED",
      "attributes": [
       "serial_number",
       "serial_number_type"
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "MATCHED",
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ],
      "mergedPayloadIds": [],
      "errorCount": 0
    }
  ],
  "additionalCommittedItems": [],
  "relations": [],
  "additionalCommittedRelations": []
 }
}

where  "sysId": "99ccb31ddbe7720087b9fd441d9619da" is the sys id of the ci/used_by


// create usage table
POST
https://k8s0057813-node1.thunder.lab3.service-now.com/api/now/table/samp_vmware_license_key_usage?sysparm_fields=sys_id

{"license_key":"cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f","rights_used":"1","used_by":"99ccb31ddbe7720087b9fd441d9619da"}
```

要素	値	説明
className	cmdb_ci_vcenter	テーブル関連 [samp_vmware_license_key] テーブルの名前
className	samp_vmware_license_key	ライセンス キーが作成される テーブルの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	値	説明
className	cmdb_ci_win_server	Windows サーバーテーブルの名前
name	仮想マシン-WS2	Windows Server 仮想マシンの名前。

Citrix ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

サードパーティの検出ソースからのソフトウェアインストールレコードをソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw__install] テーブルに設定する Citrix 公開者パックのサンプルペイロード。

Citrix 公開者パックは、仮想アプリケーションと仮想デスクトップの 2 つの製品をサポートします。これらの製品では、Citrixは同時ライセンスとユーザー/デバイスライセンスをサポートしています。

注:
ライセンス・メトリックについては、次を参照してください: ソフトウェア ・ライセンス・メトリック

IRE API は、2 つの CI ID ルールに依存して Citrix ソフトウェアのインストールレコードを作成します。Citrix ライセンスサーバー [cmdb_ci_appl_license_server] 識別子が CAL エントリに入力され、Citrix Delivery Controller [cmdb_ci_appl_delivery_controler] 識別子によってソフトウェアインストールレコードが作成されます。

CALエントリは、Citrix製品の正しいライセンスポジションを取得するために、エンタイトルメントで購入した権限と比較するために、調整中に使用されます。Citrix ライセンスサーバーの識別子は、samp_concurrent_license_consumptionテーブルとsamp_user_device_license_consumptionテーブルに関する情報を提供します。ライセンス資格付与に基づいて、これら 2 つのテーブルのいずれかに入力する必要があります。

ペイロードを送信して、samp_concurrent_license_consumptionまたはsamp_user_device_license_consumptionテーブルに入力します。ペイロード内のテーブルの主要な属性を必ずメンションしてください。

- samp_concurrent_license_consumption:product_codeと番号
- samp_user_device_license_consumption:product_code、コンシューマー、consumer_type

注:
どちらも親 CI テーブル cmdb_ci_appl_license_server の関連エントリであるため、2 つのテーブルは 1 つのペイロードで渡されます。ペイロードで、テーブルと CI 親テーブル間の関係を指定します。

ペイロードを送信すると、samp_concurrent_license_consumptionテーブルとsamp_user_device_license_consumptionテーブルにエントリが作成されます。次に、スケジュール設定済みジョブ [SAM- Citrix CAL エントリの作成] を実行して、クライアントアクセス [samp_sw_client_access] テーブルを更新します。クライアントアクセスレコードは、ユーザー/デバイス数とともに製品ごとに作成されます。

注:
スケジュールジョブ [SAM - ペイロードを正常に処理した後に実行する Citrix CAL エントリを作成 (SAM - Create Citrix CAL entries)] を構成していることを確認します。

Citrix Delivery Controller [cmdb_ci_appl_delivery_controler] 識別子を使用して、7 つの Citrix テーブルすべてに入力するペイロードを送信します。ペイロードには、7 つのテーブルの主要な属性を必ず指定してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Citrix デリバリーコントローラ識別子の [関連エントリ] をクリックして、Citrix テーブルの主要な属性 (基準属性) を検索します。

テーブルにエントリが作成されたら、スケジュール設定済みジョブ [SAM - Create Citrix Software installs] を実行します。Citrix ソフトウェアインストールレコードは、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに作成されます。


```
{ 'items': [{'className':'cmdb_ci_appl_license_server',
            'related': [
                    {
                    'className':'samp_concurrent_license_consumption',
                     'values':{
                      'product_code':'MW2ZPSE0001',
                      'in_use_count':511,
                      'overdraft':11,
                      'pooled_available':0,
                      'total_count':500
                       }
                    },
                    {
                     'className':'samp_user_device_license_consumption',
                     'values':{
                      'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                      'consumer':'consumer1',
                      'consumer_type':'user'

                       }
                    },
                     {
                     'className':'samp_user_device_license_consumption',
                      'values':{
                       'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                       'consumer':'Device1',
                       'consumer_type':'device'
                        }
                    },
                     {
                     'className':'samp_user_device_license_consumption',
                      'values':{
                      'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                       'consumer':'consumer2',
                       'consumer_type':'user'
                        }
                    },
                     {
                     'className':'samp_user_device_license_consumption',
                      'values':{
                      'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                       'consumer':'consumer3',
                       'consumer_type':'user'
                        }
                    },
                    {
                     'className':'samp_user_device_license_consumption',
                      'values':{
                      'product_code':'XDT_PLT_CCS',
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                    'consumer':'consumer4',
                    'consumer_type':'user'
                     }
                  },
                  {
                   'className':'samp_user_device_license_consumption',
                    'values':{
                    'product_code':'MW2ZPSE0001',
                     'consumer':'consumer5',
                     'consumer_type':'user'
                      }
                  },
                   {
                   'className':'samp_user_device_license_consumption',
                    'values':{
                     'product_code':'MW2ZPSE0001',
                     'consumer':'Device1',
                     'consumer_type':'device'
                      }
                  }
                ],
        'values': {
            'name': 'ACME License Server 2',
            'tcp_port': 22,
             'install_directory': 'Documents'
           }
        },
        {
          'className':'cmdb_ci_win_server',
          'values': {'name':'samlabvm450'}
              }
        ],
        'relations':[{
            'type':'Runs on::Runs',
            'parent':0,
            'child':1
          }]
      }
```

BYOL のサンプルペイロード

BYOL ライセンスモデルによって収集された検出データをインスタンスの ServiceNow ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに設定するサンプルペイロード。

BYOL がサードパーティの検出ソースとしてソフトウェア資産接続と連動するには、特定のエンティティを入力する必要があります。これらのエンティティ間の関係は、BYOL がソフトウェア資産接続でスムーズに機能するために重要です。たとえば、クラウドホストの設定に必要な値の一部は、と でAWSAzure異なります。オブジェクト ID とホストの名前は と Azureの両方にAWS必要ですが、 の場合は AWSCPU コア数が必要であり、 の場合はAzureホストタイプ値が必要です。エンティティとその関係の詳細については、「」およびBYOLのエンティティ間の関係「」BYOL のエンティティを参照してください。

この例では、クラウドサービスアカウントが最上位のエンティティです。[BYOL のエンティティ (Entities for BYOL)] テーブルにリストされている他のすべてのエンティティは、クラウドサービスアカウントの依存エンティティです。エンティティが依存エンティティとしてマークされている場合は、親エンティティと、そのエンティティとその親の間の関係を同じペイロードに記述する必要があります。たとえば、クラウドサービスアカウントにデータセンターを作成する AWS 場合は、クラウドサービスアカウントがインスタンスに既に存在する場合でも、同じペイロードにクラウドサービス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アカウントエンティティを含める必要があります。同様に、ソフトウェア インストールを作成するときは、階層全体でソフトウェア インストールのすべての依存エンティティを同じペイロードに含める必要があります。

BYOL のエンティティ

エンティティ	必須項目
クラウドサービスアカウント [cmdb_ci_cloud_service_account]	account_id – 一意の識別子
AWS データセンター [cmdb_ci_aws_datacenter]	object_id – 一意の識別子
Azure データセンター [cmdb_ci_azure_datacenter]	object_id – 一意の識別子
クラウドホスト [cmdb_ci_cloud_host] **注:** 共有 VM には必要ありません。	• object_id – 一意の識別子 • name:ホストの名前 • host_type - の Azureホスト・タイプ。たとえば、DSv3-Type1 (ホストのみ Azure) などです。 • cpu_core-count:ホストの合計 CPU コア数 (AWS ホストのみ)。
仮想マシンインスタンス [cmdb_ci_vm_instance]	object_id – 一意の識別子
コンピュータ [cmdb_ci_computer]	• 名前:仮想マシンの名前 • cpu_count:仮想マシンの CPU 数 • cpu_core_count - 仮想マシンの CPU コア数 • cpu_core_thread - 仮想マシンの CPU コアスレッド数 • virtual – コンピューターが VM かどうかを示します (常に true に設定)
ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] **注:** ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] は、コンピューター [cmdb_ci_computer] の関連エントリです。	• publisher • version • display_name • cloud_license_type:クラウドインストールのライセンスタイプ (BYOL またはライセンスが含まれる) • cloud_license_type_source:クラウドライセンスタイプが入力されるソース。ソフトウェア資産接続の値は third_party_integration に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BYOLのエンティティ間の関係

エンティティ関係	タイプ	親	子
AWS/Azure データセンター – クラウドサービスアカウント	Hosted on::Hosts	AWS/Azure データセンター	クラウドサービスアカウント
AWS/Azure データセンター:クラウドホスト	Hosted on::Hosts	クラウドホスト	AWS/Azure データセンター
AWS/Azure データセンター – 仮想マシンインスタンス	Hosted on::Hosts	仮想マシンインスタンス	AWS/Azure データセンター
クラウドホスト:仮想マシンインスタンス	Runs on::Runs	仮想マシンインスタンス	クラウドホスト
コンピューター - 仮想マシンインスタンス	Virtualized by::Virtualizes	コンピューター	仮想マシンインスタンス

専用 VM のコンピューターとインストールのサンプルペイロード (とAWSAzure同様)

このサンプル ペイロードでは、専用のコンピューター レコードが渡されます。このコンピューター レコードには、すべてのソフトウェアインストールを含む関連アレイがあります。VM インスタンスはコンピューターレコードに対応します。クラウドホストは、仮想マシンが常駐する専用ホストであり、 AWS データセンターはクラウドサービスアカウントに作成されます。専用仮想マシンが複数ある場合は、専用仮想マシンごとに 1 つの REST API を送信できます。たとえば、専用 VM が 50 個ある場合は、それぞれが同じペイロードを持つ 50 個の REST API 呼び出しを送信する必要があります。専用 VM 上のすべてのソフトウェア インストールは、関連するアレイ内の 1 つのペイロードで送信できます。

```
var payload = {
 'items': [{
  'className': 'cmdb_ci_computer',
  'values': {
   'name': 'Comp - Dedicated AWS - 1',
   'cpu_count': 1,
   'cpu_core_count': 4,
   'cpu_core_thread': 1,
   'virtual': true
  },
  'related': [{
   'className': 'cmdb_sam_sw_install',
   'values': {
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      'publisher': 'Microsoft',
      'display_name': 'SQL Server',
      'version': '2017',
      'cloud_license_type': 'BYOL',
      'cloud_license_type_source': 'third_party_integration'
    }
  }]
}, {
  'className': 'cmdb_ci_vm_instance',
  'values': {
    'object_id': 'sample_object_id_aws_vm_dedicated',
    'name': 'VM Dedicated AWS - 1',
  }
}, {
  'className': 'cmdb_ci_cloud_host',
  'values': {
    'object_id': 'sample_object_id_aws_host',
    'name': 'AWS Dedicated Host - 1',
    'cpu_core_count': 32
  }
}, {
  'className': 'cmdb_ci_aws_datacenter',
  'values': {
    'object_id': 'sample_object_id_aws_dc',
    'name': 'AWS DataCenter - 1'
  }
}, {
  'className': 'cmdb_ci_cloud_service_account',
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    'values': {
      'account_id': 'sample_account_id_aws_service_account',
      'name': 'Cloud Service Account AWS - 1'
    }
  }],
  'relations': [{
      'type': 'Virtualized by::Virtualizes',
      'parent': 0,
      'child': 1
    }, {
      'type': 'Runs on::Runs',
      'parent': 1,
      'child': 2
    },
    {
      'type': 'Hosted on::Hosts',
      'parent': 2,
      'child': 3
    }, {
      'type': 'Hosted on::Hosts',
      'parent': 3,
      'child': 4
    }
  ]
}

 var jsonUntil = new JSON();
var input = jsonUntil.encode(payload);
gs.info("Input: " + input.toString());
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var options = {

 "partial_payloads": false,

 "deduplicate_payloads": true

};

var output = SNC.IdentificationEngineScriptableApi.createOrUpdateCIEnhanced('ServiceNow',
 input, options);

gs.print("Output:" + output);
```

使用 ソフトウェア資産管理 内容 ガバナンス、リスク、コンプライアンス

ソフトウェア資産管理このアプリケーションをアプリケーションスイートと組み合わせガバナンス、リスク、コンプライアンスて使用すると、コンプライアンス、リスク、および規制の側面に総合的に対処できます。

™

IT資産管理は、Center for Internet Security のCISコントロールなどのサイバーセキュリティ対策を監視するプログラムに必要なGRC重要な情報を直接供給し、全体的なセキュリティ準備とサイバー防御体制を強化します。たとえば、CIS Controls 2.2、2.4 では、組織はすべてのソフトウェア資産のインベントリを保持し、それらがベンダーによってサポートされていることを確認する必要があります。この情報は自動的に収集され、からの GRCCIS コントロール指示テンプレートに表示されます。

Cybersecurity Control Accelerators および CIS コントロール、ISO 27001、27002 などの規制の詳細については、「Cybersecurity Controls Accelerators」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 での **Agent Client Collector** の使用

Agent Client Collectorアプリケーションを使用して、アプリケーションのソフトウェアインベントリと使用状況データを収集しますソフトウェア資産管理。

エージェントは、ラップトップなどのエンドユーザーマシンに展開されたソフトウェアや、送信データ転送のみを許可する分離されたネットワークに展開されたマシンを検出するのに役立ちます。ログイン資格情報や IP 範囲を追跡したり、検出スケジュールを作成したりする必要はありません。エージェントは、他のソフトウェアとともに、展開イメージを介して展開でき、検出を継続的に実行して、データをインスタンスに送り返します ServiceNow 。アプリケーションの詳細については Agent Client Collector 、「Agent Client Collector for Visibility」を参照してください。

この Agent Client Collector アプリケーションは、 から ServiceNow Storeダウンロードできます。

ソフトウェア資産管理 **Playbook** と **Guided Setup**

Playbook およびガイド付きセットアップは、毎日のソフトウェア管理アクティビティのタスクを完了するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。

Playbook の概要

Playbook はワークフローを実行し、複数のレーンに分割します。各レーンには次が含まれます。

- 実行する必要があるタスクのリスト。
- 各タスクの現在の状況を表示するステータスインジケーター
- ワークフローの現在位置を示すチェックボックス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

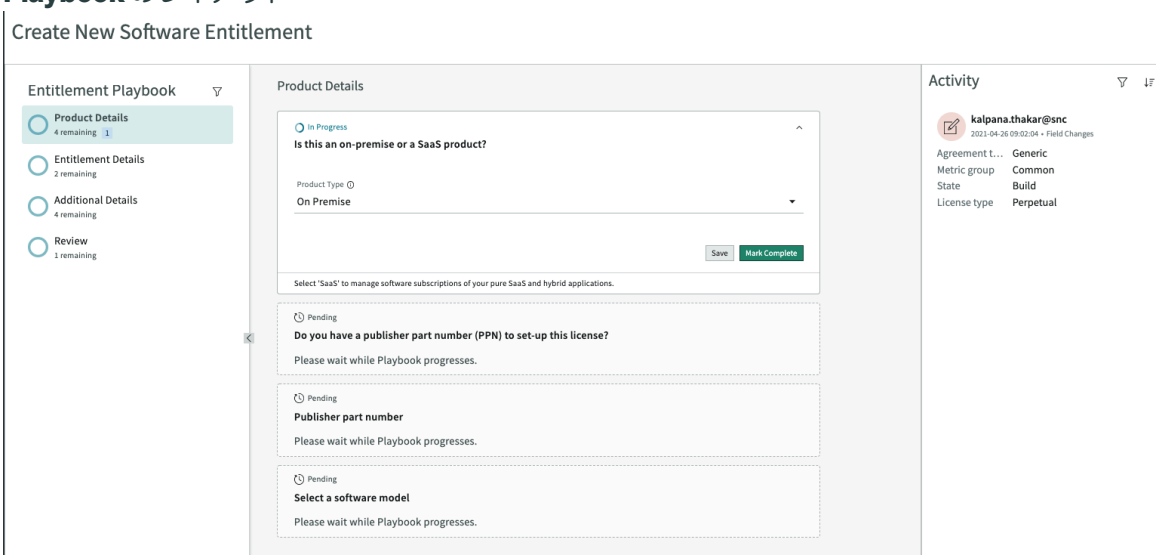
自動翻訳

レーン内のタスクを完了としてマークすると、次のタスクに移動できます。タスクはいつでも保存でき、後で Playbook に戻ることができます。レーン内のすべてのタスクを完了すると、次のレーンに移動できます。タスクとレーンを完了していくと、ステータスが左側のパネルに反映されていきます。Playbook の右側にあるアクティビティログには、各タスクに入力したすべてのデータが表示されます。すべてのタスクを完了すると、すべてのレーンに入力した詳細を確認するように求められます。任意のフィールドを編集するか 、[完了] を選択してエンタイトルメントの作成プロセスを完了することができます。

Playbook は 3 つの部分に分かれています。

- 左側のレーン。
- 中央の作業領域。
- 右側のアクティビティログ。

Playbook のレイアウト



エンタイトルメントの設定に使用プレイブック

ガイド付きウォークスルー Playbook を使用してエンタイトルメントを設定できます。ガイド付きウォークスルー Playbook は、エンタイトルメント作成プロセスの各ステージ (立ち上げから完了まで) をステップバイステップでガイドします。

Playbook にアクセスする ソフトウェア資産管理 には、から ServiceNow Store インストールし、の Software Asset ワークスペースランディングページから Playbook にアクセスする必要があります。

SQL Server の実装**Microsoft**に使用ガイド付きセットアップ

MicrosoftSQL Server ライセンス管理ガイド付きセットアップには、インスタンスで ServiceNow SQL Server を構成するMicrosoftのに役立つ一連のタスクが用意されています。SQL Server ライセンス管理ガイド付きセットアップを開く Microsoft には、 **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産の概要 > ガイド付きセットアップ. 詳細については、「ソフトウェア資産の概要」を参照してください。

インターフェイスの使用 ガイド付きセットアップ の詳細については、「 ガイド付き設定の使用 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows Server の実装Microsoftに使用ガイド付きセットアップ

MicrosoftWindows Server ガイド付きセットアップ には、インスタンスで ServiceNow Windows Server を構成するMicrosoftのに役立つ一連のタスクが用意されています。Windows Server ガイド付きセットアップにアクセスするMicrosoftには、 **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産の概要 > ガイド付きセットアップ.

インターフェイスの使用 ガイド付きセットアップ の詳細については、「 ガイド付き設定の使用 」を参照してください。

Playbook と Guided Setup をインストールするソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理 Playbook と Guided Setup (com.sn_sam_playbook) アプリケーションをインストールして、毎日のソフトウェア管理アクティビティのタスクを完了するためのステップバイステップガイダンスを確認します。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .

必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて

次のアイテムは、Playbook および Guided Setup アプリケーションとともに ソフトウェア資産管理 インストールされます。

- プラグイン
  - ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp)
  - ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace)
  - com.glide.playbook_experience.config
- ストアアプリケーション:Playbook Experience (sn_playbook_exp) および Playbook Experience コンポーネント (now_playbook_exp)
- テーブル

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. ソフトウェア資産管理フィルター基準と検索バーを使用して Playbook と Guided Setup (com.sn_sam_playbook) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート 」を参照してください。
3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、Playbook をインストールする ソフトウェア資産管理 前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

> **重要:**
> インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

5. [インストール] を選択します。

ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します

エンタイトルメントを作成するステップバイステップのプロセスについては、ガイド付きウォークスルー Playbook を使用します。

始める前に

公開者の品番の有無にかかわらず、無期限エンタイトルメントを作成できます。また、SaaS エンタイトルメントを作成して、純粋な SaaS アプリケーションおよびハイブリッドアプリケーションのソフトウェアサブスクリプションを管理することもできます。

ガイド付きウォークスルーは、エンタイトルメントを作成するプロセス全体を実行します。初期状態では、エンタイトルメントの作成を開始すると、エンタイトルメントのステータスは [**build**] になります。エンタイトルメントを公開すると、ステータスが [使用中] に変わり、エンタイトルメントが調整プロセスに含まれるようになります。

エンタイトルメントを作成するプロセスは、レーンに編成されます。レーンがページの左ペインに表示されます。各レーンには、完了するように求められるいくつかのタスクがあります。タスクを完了したら、[完了としてマーク] をクリックして次のタスクに移動します。プロセス内でいつでも [保存] をクリックして変更を保存し、後で Playbook に戻ることができます。[キャンセル] をクリックすると、いつでもエンタイトルメントの設定を中止できます。特定のタスクを実行している間は、そのタスクのステータスが [処理中] と表示されます。タスクを完了としてマークすると、そのタスクのステータスが [完了] に変わります。レーン内のすべてのタスクを完了すると、次のレーンに移動します。

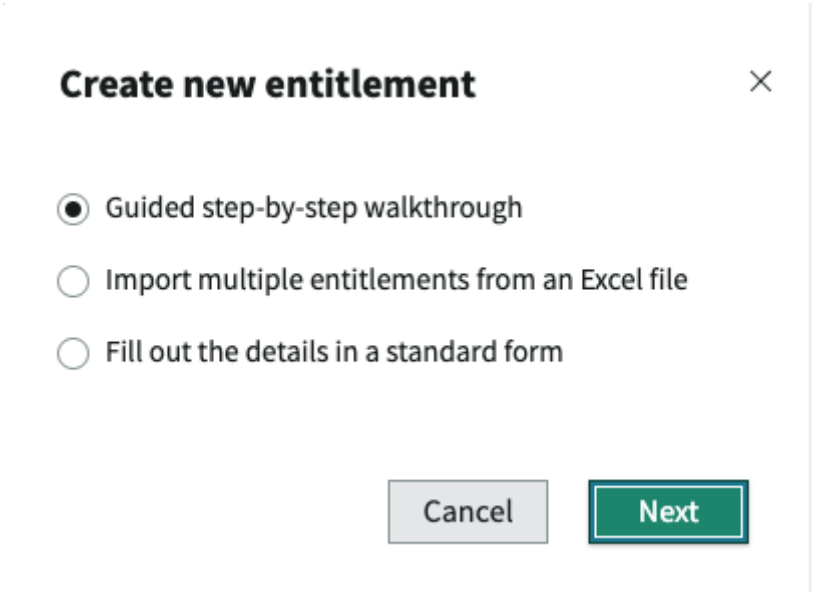
必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

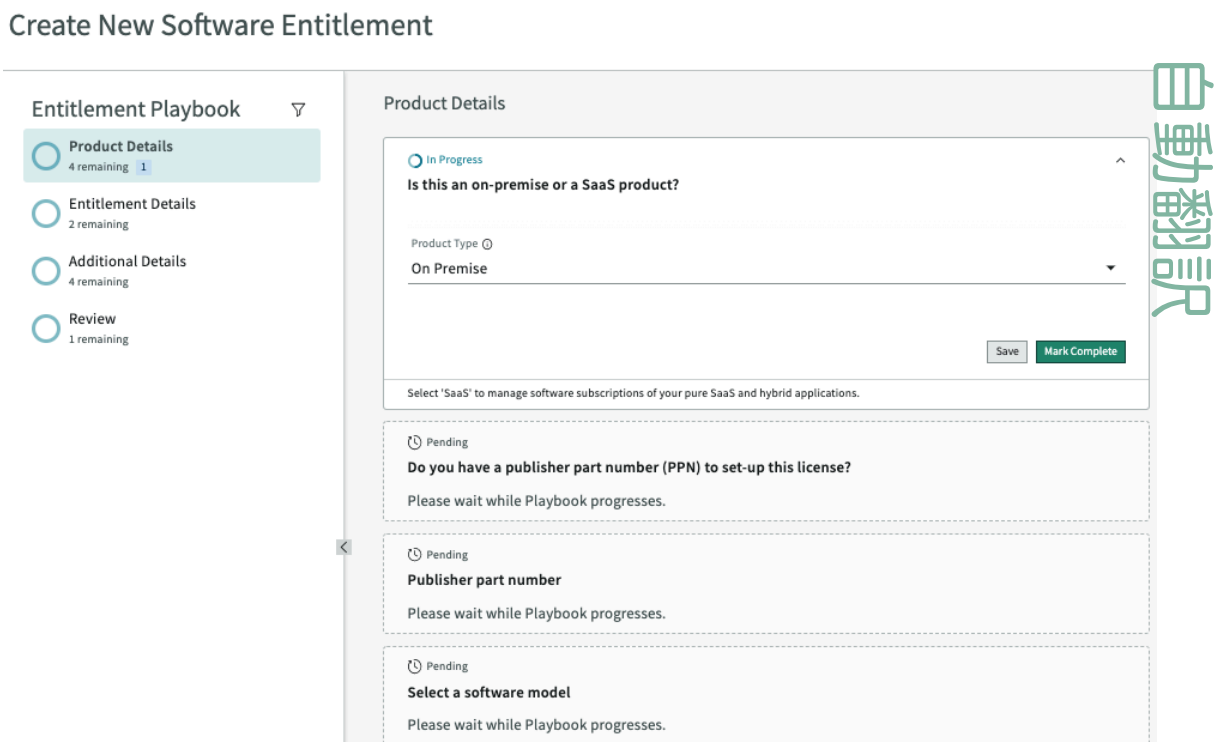
1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
[ソフトウェア資産の概要] ページが表示されます。
2. [エンタイトルメントの作成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. ガイド付きステップ バイ ステップ ウォークスルー を選択し、次へ を選択します。
[新しいソフトウェアエンタイトルメントの作成 (Create New Entitlement)] ページが開き、エンタイトルメントのステータスが [ビルド] になります。



4. エンタイトルメントをオンプレミス製品と SaaS 製品のどちらに対して作成するかを選択します。
   - [オンプレミス] を選択した場合は、以下のオンプレミスエンタイトルメントテーブルにリストされているフィールドに入力します。
   - **[SaaS]** を選択した場合は、以下の SaaS エンタイトルメントテーブルにリストされているフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Software Asset Management - SaaS License Management Integrations (com.sn_sam_saas_int)SaaS プラグインが有効になっている場合にのみ、オンプレミスまたは SaaS を選択するように求められます。このプラグインが有効になっていない場合、製品タイプは自動的にオンプレミスとして選択されます。

オンプレミスエンタイトルメント

オンプレミスのエンタイトルメントフィールド	説明
PPN をお持ちですか	エンタイトルメントを設定するためのパブリッシャーの品番 (PPN) がある場合に選択します。
パブリッシャーの品番	PPN がある場合は、PPN を入力します。それ以外の場合は、情報メッセージ内のリンクをクリックしてカスタム PPN を作成し、[カスタム部品番号] ページに移動します。

SaaS エンタイトルメント

SaaS エンタイトルメントフィールド	説明
設定中の統合プロファイルがある	統合プロファイルが既に設定されている場合は、それを選択します。それ以外の場合は、適切なリンクをクリックして直接統合プロファイルまたは SSO 統合プロファイルを作成します。 注: ソフトウェア使用情報を表示し、古いライセンスを最適化するには、統合プロファイルが必要です。
この SaaS 製品に直接または SSO 統合プロファイルを使用していますか	この SaaS 製品に使用しているプロファイルのタイプ (直接または SSO) を選択します。
統合プロファイルを選択	指定したプロファイルのタイプに基づいて、統合プロファイルを選択します。

5. 資格付与のソフトウェアモデルを選択します。
[製品の詳細] レーンのすべてのタスクを完了すると、[エンタイトルメントの詳細] レーンに移動できます。
6. [エンタイトルメントの詳細] を選択します。
PPN を入力した場合、測定基準グループ、契約タイプ、およびライセンスタイプが自動的に入力されます。必要に応じて値を変更できます。
7. 資産をライフサイクル全体で追跡するには、[資産タグ] に値を入力します。
8. 調整の実行時にソフトウェアライセンスとしてカウントされるライセンスグループの [ライセンスの測定基準] で値を選択します。
[Per Core] または [Per Core (with CAL)] を選択した場合は、次のフィールドに値を入力する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [ライセンス パックごとの権利] に、CAL ライセンスの [Microsoft Per Core] または [Microsoft Per Core with CAL (コアごとの Microsoft)] で購入した各パックに関連付けられた権限を入力します。

b. [パックの数] に、[Microsoft Per Core] または [Microsoft Per Core] (CAL ライセンスあり) のパックの数を入力します。

9. [購入済みの権限] に購入した権限の数を入力します。
CAL ライセンスタイプで [Microsoft Per Core] または [Microsoft Per Core] を指定した場合、このフィールドは自動的に入力されます。この値は、[ライセンス パックあたりの権利] フィールドに入力した値に [パックの数] フィールドの値を掛けた値に基づいています。

10. ソフトウェアのコストを [単位コスト] に入力します。
[エンタイトルメントの詳細] レーンのすべてのタスクを完了すると、[その他の詳細] レーンに移動できます。

11. [その他の詳細] を選択します。

12. この資産が属する会社の名前を [会社] に入力します。

13. ライセンスが使用される場所を入力します。
たとえば、特定のサイト、国、または地域を指定できます。

14. [部署]に、このソフトウェアライセンスを割り当てられた人の部署を入力します。

15. [所有者] に資産の財務的所有権を持つユーザーまたは部門を入力します。
資産オーナーは管理者と異なっていてもかまいません。

16. [ベンダー]、[請求書番号]、[要求ライン]、[購入]、[オープン]、[**GL** アカウント]、および [コストセンター] フィールドにベンダーの財務詳細を入力します。

17. [リース契約]、[保証の有効期限]、[サポートグループ]、および [サポート担当者] フィールドに契約の詳細を入力します。
[Additional Details (その他詳細)] レーンのすべてのタスクを完了すると、[Review (レビュー)] レーンに移動できます。

18. [確認] を選択すると、すべてのレーンに入力したすべての詳細が表示されます。

19. 任意のフィールドを編集するか、[完了] を選択できます。

20. [公開] を選択して、このエンタイトルメントを使用できるように公開します。
エンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントのステータスがビルドから [使用中] に変更されます。エンタイトルメントを調整プロセスで使用する準備ができました。

ソフトウェア資産管理 の設定

アプリケーションの使用 ソフトウェア資産管理 を開始する前に、セットアッププロセスを完了してください。

プラグインを要求する ソフトウェア資産管理 必要があります。次に、検出ソフトウェアを統合して、ソフトウェアインストールデータをインスタンスにプルできるようにします。その後、Software Asset Management コンテンツサービスライブラリにオプトインして、データを安全に ServiceNow に送り返すことができます。このデータは、データを自動的に正規化するコンテンツサービスの構築に役立ちます。必要に応じて、管理する構成アイテムのソフトウェア資産を除外する必要があるかどうかを判断します。

ソフトウェア資産管理 を要求する

Professional (com.snc.samp) プラグインには ServiceNow® ソフトウェア資産管理 、別のサブスクリプションが必要です。このプラグインにはデモ データが含まれています。環境に応じて、1 つ以上の関連プラグインを要求することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
アクティベーション後にサブスクリプションを購入したり、デモデータをロードしたりするには、アカウントマネージャーにお問い合わせください ServiceNow 。数日以内に、アカウントマネージャーはプラグインをアクティブ化し、組織の本番および非本番インスタンスにデモデータをロードできます。

アカウントマネージャーがいない場合、購入後までアクティベーションを延期することを決定するか、追加料金なしで非本番インスタンスで製品を評価する場合は、この手順を使用して、ServiceNow Now Support サービスポータルからプラグインアクティベーション要求を送信できます。

⚠ 警告:
(com.snc.software_asset_management) から ソフトウェア資産管理 プラグイン (com.snc.samp) プラグインにソフトウェア資産管理プロアップグレードした場合、(com.snc.software_asset_management) に戻すソフトウェア資産管理 プラグインことはできません。

必要なロール：admin

このタスクについて
環境に応じて、(com.snc.samp) プラグインを使用して ソフトウェア資産管理プロ 関連プラグインを要求できます。次のオプションのプラグイン Now Support は、Service Portal または ServiceNow Store.

担当者のみが ServiceNow (com.snc.samp) プラグインおよびその他の関連プラグインをアクティブ化 ソフトウェア資産管理プロ できます。プラグインは、アクティブ化した後でもプラグインリストに表示されません。

⚠ 警告:
アプリケーションを初めてインストール ソフトウェア資産管理 した後、または からアップグレード Software Asset Management Foundation プラグインした後は、すべての機能のカスタマイズを元に戻す必要があります。アプリケーションの [カスタマイズを元に戻す] モジュールは、 ソフトウェア資産管理 インストールまたはアップグレードプロセス中にスキップされた基本構成に関連する ソフトウェア資産管理 カスタマイズされたファイルを元に戻すことができます。「カスタマイズを元に戻すソフトウェア資産管理」を参照してください。

関連プラグイン

プラグイン	ロケーション	説明
Activate all Software Asset Management Professional plugins including Software Asset Workspace com.sn_samp_master_ws	Now Support サービスポータル	サブスクリプションが必要です。ソフトウェア検出情報を正規化し、エンタイトルメントとインストールを調整し、使われていないソフトウェアを再利用する機能を提供します。パブリッシャー製品を調整するための追加機能を提供します。
すべての ソフトウェア資産管理プロ プラグインを有効にする (com.sn_samp_master)	Now Support サービスポータル	このプラグインは、 より Washington DC前のリリース用です。次の ソフトウェア資産管理プロ プラグインを 1 つのステップでロードします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連プラグイン (続く)

プラグイン	ロケーション	説明
		• ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグイン • すべての Publisher Pack アドオンプラグイン • ソフトウェア資産管理 UI コンポーネント (com.sn_samp_workbench) **注:** を有効にする SaaS ライセンス管理には、ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理とは別に Integrations (com.sn_sam_saas_int) プラグイン ServiceNow Storeを要求する必要があります。このプラグインを要求してアクティブ化する方法については、「」を参照してください SaaS ライセンス管理 を要求する 。
Software Asset Workspace (com.sn_sam_workspace)	Now Support サービスポータル	このプラグインは、 より Washington DC前のリリース用です。アプリケーションの新しいユーザーインターフェイス ソフトウェア資産管理 であるソフトウェア資産ワークスペースを使用するために必要です。
統合 - Microsoft SCCM 2012 v2 ソフトウェア使用 (com.snc.samp_usage_sccm)	Now Support サービスポータル	SCCM (System Center Configuration Manager) 2012 v2 から Microsoft ソフトウェア使用状況データを収集するために必要です。 Integration — Microsoft SCCM 2012 v2 (com.snc.integration.sccm2012v2) プラグインがまだ有効でない場合は、自動的に有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連プラグイン (続く)

プラグイン	ロケーション	説明
		重要: このプラグインはリリースで Tokyo 廃止されます。SCCM と初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から Service Graph connector for Microsoft SCCM アプリケーションを要求してインストールします。インスタンスで ServiceNow このプラグインを既に有効化している場合は、Service Graph Connector for SCCM ストアアプリケーションの移行準備ツールを使用して、Service Graph Connector への移行に向けてインスタンスを準備します。Service Graph Connector の詳細については、「Service Graph connector for Microsoft SCCM 」を参照してください。
統合 — Microsoft SCCM 2016 ソフトウェア使用 (com.snc.samp.usage_sccm_2016)	Now Support サービスポータル	SCCM (System Center Configuration Manager) 2016 から Microsoft ソフトウェア使用状況データを収集するために必要です。 Integration — Microsoft SCCM 2016 (com.snc.integration.sccm2016) プラグインがまだ有効でない場合は、自動的に有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連プラグイン (続く)

プラグイン	ロケーション	説明
		重要: このプラグインはリリースで Tokyo 廃止されます。SCCM と初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から Service Graph connector for Microsoft SCCM アプリケーションを要求してインストールします。インスタンスで ServiceNow このプラグインを既に有効化している場合は、Service Graph Connector for SCCM ストアアプリケーションの移行準備ツールを使用して、Service Graph Connector への移行に向けてインスタンスを準備します。Service Graph Connector の詳細については、「Service Graph connector for Microsoft SCCM 」を参照してください。
オーケストレーション - クライアントソフトウェアディストリビューション (com.snc.orchestration.client_sf_distribution)	Now Support サービスポータル	デバイスでソフトウェアのインストールおよびアンインストール機能を有効にするアプリケーションをアクティブ化 ServiceNow オーケストレーション するために必要です。 **注:** (com.snc.samp) プラグインを ソフトウェア資産管理プロ 購入したユーザーには、ソフトウェアのアンインストール機能 (ソフトウェア再利用とも呼ばれます) のみのライセンスが付与されます。ソフトウェアインストール機能には、追加のライセンスが必要です。
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 統合 (com.sn_sam_saas_int)	ServiceNow Store からこのプラグインServiceNow Storeを要求し	(com.snc.samp) プラグインが必要です ソフトウェア資産管理プロ 。製品のライセンス SaaS を管理するための統合を提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連プラグイン (続く)

プラグイン	ロケーション	説明
	て有効にする方法については、「」を参照してくださいSaaS ライセンス管理 を要求する。	
ソフトウェア資産管理 — 支出検出 (com.sn_sam_spend)	Now Support サービスポータル	(com.snc.samp) プラグインが必要です ソフトウェア資産管理プロ 。財務トランザクションデータからソフトウェア支出を検出するコア機能を提供します。
ファイル署名の標準化 (com.snc.file_signature_normalization)	Now Support サービスポータル	インストール済みソフトウェアレコードの作成中に検出されたファイル署名を正規化するために必要です。このプラグインは、ファイルベースの検出でも有効になります。
モバイル従業員エクスペリエンス My Asset (com.glide.mobile-employee.myassets)	Now Support サービスポータル	エンドユーザーが割り当てられた資産をモバイルデバイスで表示し、これらの資産のサービスを要求するインシデントを作成するために必要な機能を提供します。
IT Asset Management Mobile (com.sn_itam_mobile)	Now Support サービスポータル	モバイルデバイスで購入した資産を受け取る受領担当者のための機能を提供します。
Publisher Pack Add-on プラグイン		
ソフトウェア資産管理プロ for Adobe (com.sn_samp_adobe)	Now Support サービスポータル	サブスクリプションソフトウェアを調整する Adobe ための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for Citrix (com.sn_samp_citrix)	Now Support サービスポータル	仮想アプリケーションや仮想デスクトップなど、ソフトウェアを調整する Citrix ための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for IBM (com.sn_samp_ibm)	Now Support サービスポータル	PVU および RVU ライセンスの測定基準を使用して製品を調整する IBM ための追加機能を提供します。 このプラグインは、 Red Hat Enterprise Linux Server や Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacentersなどのソフトウェアを調整するRed Hat Enterprise Linuxための追加機能も提供します。

自動翻訳

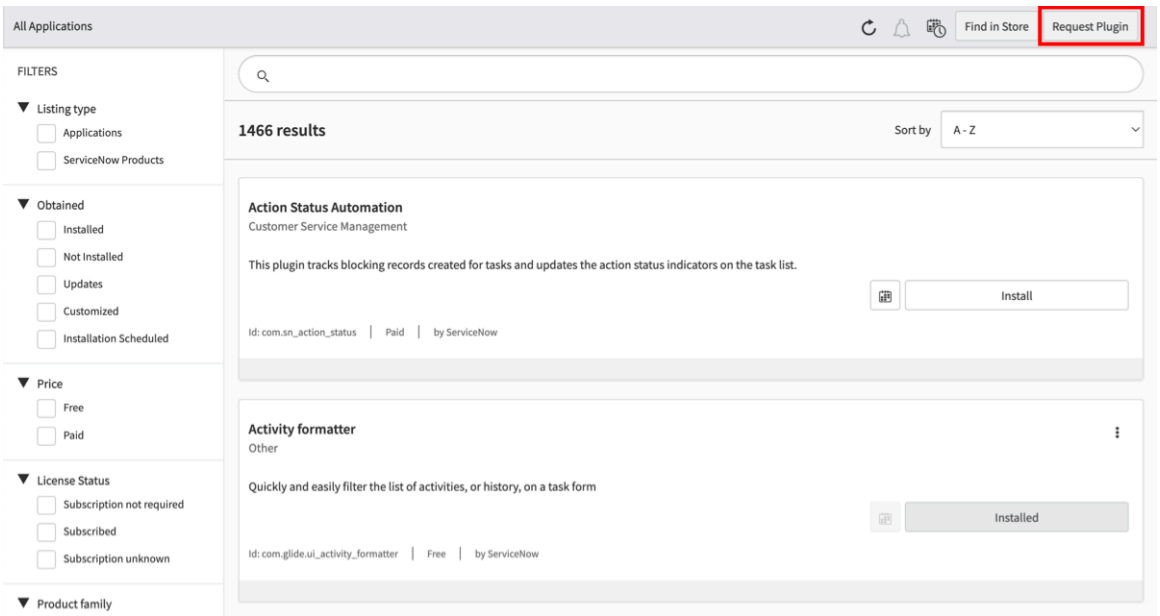
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連プラグイン (続く)

プラグイン	ロケーション	説明
ソフトウェア資産管理プロ for Microsoft (com.snc.samp.microsoft)	Now Support サービスポータル	SQL Server などのMicrosoftソフトウェアを調整するMicrosoftための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for Oracle (com.snc.samp.oracle)	Now Support サービスポータル	DB サーバーなどのOracleソフトウェアを調整するOracleための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for SAP (com.sn_samp_sap)	Now Support サービスポータル	指名ユーザーのコンプライアンスと最適化を調整する SAP ための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for VMware (com.sn_samp_vmware)	Now Support サービスポータル	vCenter や vSphere などのソフトウェアを調整する VMware ための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ エンジニアリング用途 (com.sn_samp_eng_app)	Now Support サービスポータル	(com.snc.samp) プラグインが必要です ソフトウェア資産管理プロ 。AutoCAD などのエンジニアリングアプリケーションを調整するための追加機能を提供します。

手順

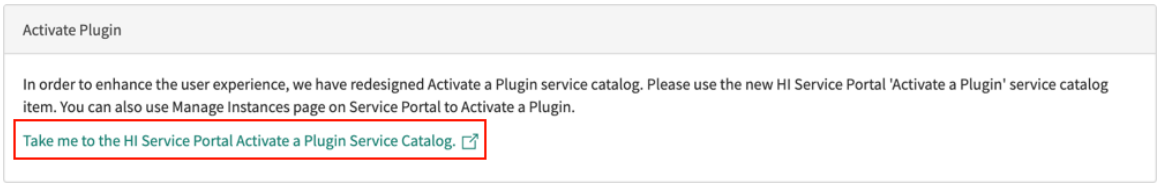
1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて。
2. [すべてのアプリケーション] ページで [プラグインの要求] をクリックして、Now Support で [プラグインをアクティブ化] フォームを開きます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. Now Support で、Now Support サービスポータル サービスカタログ にアクセスするリンクを選択します。



4. インスタンスを選択します。
5. [アクション] > [プラグインのアクティブ化] を選択します。
6. [プラグインのアクティブ化] フォームで、次の情報を入力します。

[プラグインのアクティブ化] フォーム

フィールド	説明
ターゲットインスタンスは何ですか	プラグインをアクティブ化するインスタンス。
どのプラグインをアクティブ化しますか	アクティブ化するプラグインの名前です。 **注:** 必要なプラグインが表示されない場合、または OEM またはオンプレミスのインスタンスでプラグインをアクティブ化している場合は、[探しているプラグインが表示されていません **(Plugin I'm looking for is not listed)]** チェックボックスをオンにして、プラグインの名前を入力します。
メンテナンスの日時を選択 (Select Maintenance Date and Time)	プラグインをアクティブ化する日時。 **注:** プラグインは、米国太平洋標準時で、毎営業日の朝と夕方の 2 回のバッチでアクティブ化されます。特定の時刻にプラグインをアクティブ化する必要がある場合は、[理由/コメント **(Reason/ Comments)]** フィールドに要求を入力します。

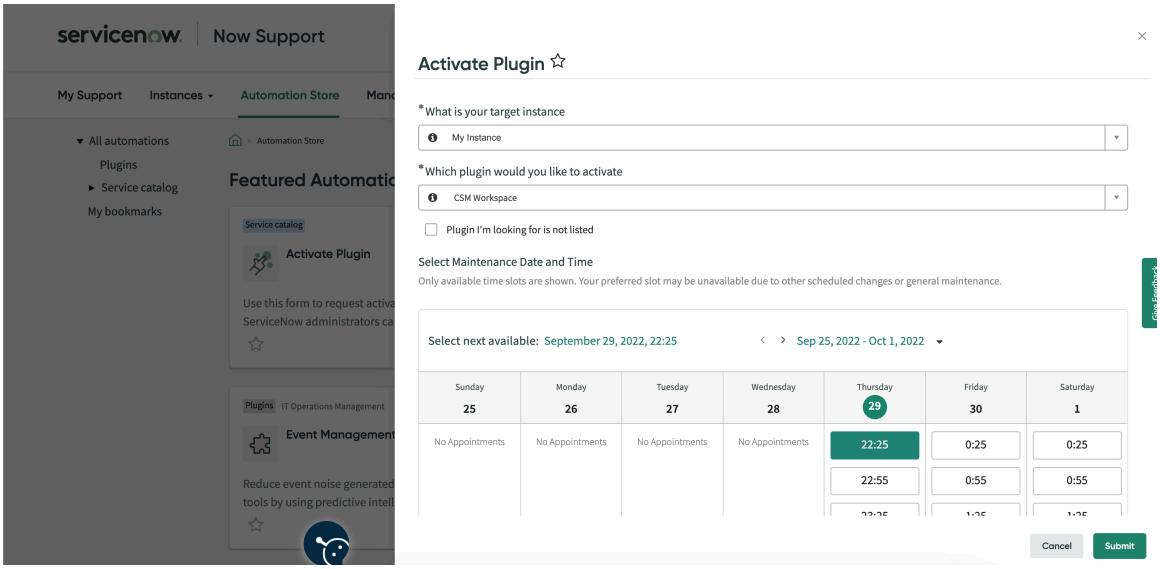
Example

たとえば、 [自分のインスタンス (My Instance)] という名前のインスタンスで CSM Workspace プラグインをアクティブ化するには、次のフォームを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プラグインのアクティブ化] フォーム



7. [送信] を選択します。
プラグインの要求の詳細については、次を参照してください。 の Service Catalog [KB0751715] 記事からのプラグインの要求 Now Support ナレッジベース。

関連情報

プラグインのリスト (Washington DC)

ソフトウェア資産管理 移行

Software Asset Management プラグイン (ITSM ソフトウェア資産管理 の機能) 資産管理から ソフトウェア資産管理 アプリケーションに移行して、より強力な機能を活用します。プラグインを有効にすると、顧客による手動操作が必要になります。

プラグインの有効化中に自動変更が実行された後、Software Asset Management (com.snc.software_asset_management) プラグインから (com.snc.samp) プラグインへの移行 ソフトウェア資産管理プロ が成功するには、顧客が 手動で 実行する手順が必要です。

フォームやリストのカスタマイズは、プラグインをアクティブ化した後に顧客が手動で上書きする必要がある場合があります。さらに、ソフトウェアモデル、ソフトウェアエンタイトルメント、ユーザー/デバイス割り当てフォームの特定のフィールドに、プラグインのアクティブ化後に顧客が手動で設定する必要があります。

自動変更

(com.snc.samp) プラグインは ソフトウェア資産管理プロ 、次の自動変更を実行します。

- テーブル
  - テーブルラベルの名前が変更されました。

テーブル	元のラベル	新しいラベル
[alm_license]	ソフトウェア ライセンス	ソフトウェアエンタイトルメント
[alm_entitlement_user]	ユーザーエンタイトルメント	ユーザー割り当て
[alm_entitlement_asset]	資産エンタイトルメント	デバイス割り当て

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 新しいテーブルとスクリプト インクルードを追加します。
- ソフトウェアエンタイトルメントの [ライセンス キー] フィールド内に任意の文字列値をライセンス キー [samp_sw_license_key] テーブルに追加します。

- フィールド名と値
  - [必須インストール] フィールド

    スイート コンポーネント (ソフトウェア モデルのバンドルのため) を持つソフトウェア モデルの場合、ソフトウェア スイート [cmdb_m2m_suite_model] テーブルの [必須インストール] フィールド値が新しい [必須] フィールドに移ります。

  - [権限] フィールド

    ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement] テーブル内のソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェア ライセンス) の [権限] フィールド値が新しい[購入した権限] フィールドに移り、フィールド名が [権限] から [有効な権利] へ変更になります。

  - ソフトウェアエンタイトルメント割り当て (ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license] テーブル) の [ソフトウェアモデル] フィールドが、エンタイトルメント (ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement] テーブル) のソフトウェアモデルに自動的に設定されます。
  - 複数の割り当てがない限り、ソフトウェアエンタイトルメント割り当て (ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement] テーブル) 数量は 1 に設定されます。

    同じユーザーまたはデバイスに対して複数のソフトウェアエンタイトルメント割り当てがある場合、割り当ては 1 つのレコードに集約され、数量は集計レコードの数に設定され、重複する割り当ては許可されません。

- フォームとリスト

  [ソフトウェアモデル]、[エンタイトルメント (以前のソフトウェア ライセンス)]、[検出モデル]、[ソフトウェアインストール] の各フォームとリストのレイアウトは、新しいアプリケーションに合わせて変更されています。

  注:
  各フォームとリストのカスタマイズは、プラグインのアクティブ化後に手動で上書きする必要があります。

- 機能

  無効になった機能

機能	説明
ライセンスとソフトウェア カウンター	SAM ライセンス カウンターを発動させるスケジュール設定済みジョブが [なし] に変更され、非アクティブとなり、ソフトウェア カウンターが無効となります。
自動一致機能	検出モデルと相対するソフトウェア モデルを一致させようとする自動一致機能が無効となります。
ナビゲーションメニュー	Software Asset Management (com.snc.software_asset_management) プ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能	説明
	ラグインのナビゲーションメニューが非アクティブ化され、名前が変更されます。
ビジネスルール	Discovery モデルに適用される従来のビジネスルールが無効となります。

ソフトウェア資産管理の移行用のカスタマイズを上書きする

Software Asset Management プラグイン (Asset Management の ITSM Software Asset Management 機能) から Software Asset Management アプリケーションに移行する場合は、カスタマイズされたフォームとリストを正常に移行するために、プラグインの有効化後に顧客がさらに操作を行う必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
これらのリストとフォームを移行前にカスタマイズしている場合、プラグインのアクティブ化の最中にとばされている可能性があります。その場合はさらなるアクションを実行する必要があります。

- ソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス)
- ソフトウェア割り当て (以前はソフトウェアエンタイトルメント)
- ソフトウェア モデル
- 検出モデル
- ソフトウェア インストール

アップグレード履歴 モジュールでプラグインのアクティブ化の変更を確認し、どの変更が自動的にスキップされたかを確認し、必要に応じてスキップされた更新を解決 できます。

移行によって追加される特定のフィールドも、提供された新機能を利用できるように構成する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム診断 > アップグレード履歴.
2. (com.snc.samp) プラグインの有効化 ソフトウェア資産管理プロ のアップグレード履歴に対応するレコードを特定します。
   プラグインのアクティブ化を表す [システムアップグレード] リストのレコードには、[元] フィールドに **n/a**という値と [先] フィールドにプラグイン名 (com.snc.samp、com.snc.samp.core、com.snc.sam.core、com.glide.data_services_canonicalization.client、など) が含まれてます。関連するプラグインのリストは、 [アップグレード開始済み] 列でソートをかけてソフトウェア資産管理プラグインのアクティブ化を実行したタイムスタンプに基づいて判断できます。
3. 変更がとばされたソフトウェア資産管理のアップグレード レコードを開きます。
4. [アップグレード詳細] 関連リストで [アップグレード詳細] レコードを開いたら、[競合の解決] をクリックしてベース システムファイルとカスタマイズされたファイルの比較を並べて表示します。
5. フォームやリストのカスタマイズに適用する場合、[ベースシステムに戻る] をクリックしてとばされた変更を上書きし、変更をメモします。
   カスタマイズに関するとばされた変更を含んだすべてのアップグレード エントリーに対して、これらの手順を繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. ソフトウェア資産管理アプリケーションで、元のフォームとリストのカスタマイズを手動で再構成します。
7. ソフトウェア資産管理アプリケーションで、提供される新機能を活用するために、新しいフィールド値 (プラグインの有効化によって実行される自動変更の一部として追加) を設定します。

   a. 移動先 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアモデル.
      - [製品] 参照フィールドで、ソフトウェア製品を選択します。
      - Discovery マップを選択するか、[マップ ディスカバリ] フィールドをクリアーして検出条件を設定し、ソフトウェアモデルに相対するすべての Discovery モデルを見つけます。

   b. 移動先 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス)。
      - 移動先 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス)。
      - 調整実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスの測定基準を選択します。
      - 特定の権限の対象となるアップグレードおよびダウングレードのシナリオを定義します。

   c. [ユーザー割り当て] と [デバイス割り当て] 関連リスト (以前の [ユーザー/デバイスエンタイトルメント]) で、割り当てられた権限の数が所有している権限数以上でないことを確認します。
   そうなっている場合は、割り当て数が所有している権限の数を超えないように割り当てを削除します。

8. ライセンス キーの管理が必要なエンタイトルメントがある場合は、同じエンタイトルメントに関連付けられた複数のライセンス キーを作成し、これらのライセンス キーをユーザーまたはデバイスに割り当てることもできます。

関連情報

plugin

の SCCM の構成 ソフトウェア資産管理

Microsoft SCCM を設定しソフトウェア資産管理て、環境内で検出されたクライアント ソフトウェアをソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに入力します。また、クライアントソフトウェアディストリビューション用に SCCM を設定して、未使用および十分に活用されていないソフトウェアを再利用することもできます。

始める前に

必要なロール：sn_client_sf_dist.csd_admin または admin

ヒント:
SCCM のセットアップや再利用などについて学ぶには、「 Software Asset Management: Integration with SCCM for Reclamation and Distribution 」コースにサインアップしてください。

手順

1. 使用しているバージョンの SCCM の SCCM 統合プラグインを有効にします 。
   - 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 (com.snc.integration.sccm2012v2)
   - 統合 — Microsoft SCCM 2016 (com.snc.integration.sccm2016)

   SCCM からソフトウェア使用状況データをプルする場合は、使用している SCCM のバージョンに対応したソフトウェア使用状況プラグインを有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグイン
- 統合 — Microsoft SCCM 2016 Software Usage (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグイン

> **重要:**
> これらの Microsoft SCCM プラグインは、このリリースで Tokyo 廃止されます。SCCM と初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から Service Graph connector for Microsoft SCCM アプリケーションを要求してインストールします。インスタンスでServiceNowいずれかの Microsoft SCCM プラグインを既にアクティブ化している場合は、Service Graph Connector for SCCM ストアアプリケーションの移行準備ツールを使用して、SCCM プラグインから Microsoft Service Graph Connector への移行に向けてインスタンスを準備します。Service Graph Connector の詳細については、「 Service Graph connector for Microsoft SCCM 」を参照してください。

2. オプション: 未使用および十分に活用されていないソフトウェアを再利用する場合は、クライアントソフトウェアディストリビューション (CSD) 用に SCCM を設定します。

   a. クライアントソフトウェアディストリビューション (com.snc.orchestration.client_sf_distribution) プラグインを要求します。
   クライアント ソフトウェア ディストリビューションには 、オーケストレーション のサブスクリプションが必要です。

   b. SCCM で、これらのアイテムをまだ作成していないソフトウェアのアプリケーション、インストール コレクション、アンインストール コレクションを作成します。

   (Optional) これらの項目を作成したら、インストール コレクションとアンインストール コレクションの両方にアプリケーションを展開できます。詳細な手順については、SCCM 製品ドキュメントのMicrosoft「SCCM を使用したアプリケーションの作成と展開 」および「SCCM でのコレクションの作成 」を参照してください。

   ソフトウェアを再利用するには、ソフトウェアのアプリケーション、インストール コレクション、アンインストール コレクションが存在する必要があります。ソフトウェアを手動でインストールした場合や SCCM の従来のパッケージを使用してインストールした場合でも、ソフトウェアを再利用できるようにこれらのアイテムを作成する必要があります。

   > **注:**
   > SCCM レガシ パッケージを使用してソフトウェアをインストールした場合は、Microsoft Package Conversion Manager を使用してアプリケーションを作成できます。

3. MID Server をセットアップ します。
4. SCCM と Now Platform を構成します 。
5. から サービスカタログアプリケーションを提供するには、 カタログアイテムを作成します 。

次のタスク
SCCM を構成してソフトウェアアプリケーションを検出したら、再利用 ルールを作成して 、未使用または十分に活用されていないソフトウェアを特定し、 ソフトウェア使用状況を表示し、 ソフトウェアを再利用できます。

ソフトウェア資産管理コンテンツサービスの有効化

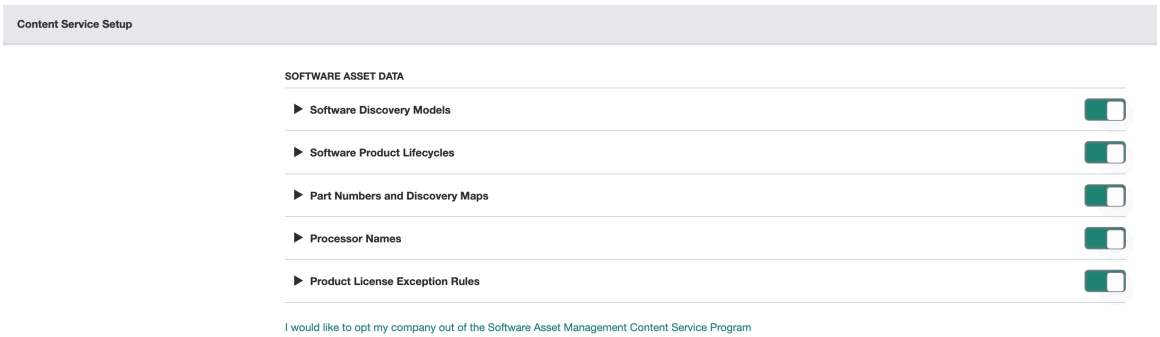
コンテンツサービスへの参加 ソフトウェア資産管理 をオプトインします。ただし、いつでもオプトアウトできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > コンテンツサービス設定.
2. [オプトイン契約] を選択して契約を読みます。
3. 契約を読んだ後、 [完了] を選択します。
4. [はい、オプトイン契約を読んだうえで同意 します] チェック ボックスをオンにし、[オプトイン] を選択します。



   オプトインすると、ソフトウェア検出モデル、ソフトウェア製品ライフサイクル、品番と検出マップ、プロセッサー名、および製品ライセンス例外ルールが自動的に有効になります。
5. KPI を無効にするには、KPI の横にあるトグル ボタンを選択し、 [保存] を選択します。
6. オプトアウトするには、[**I would like to opt my company out of the Software Asset Management Content Service Program]**(ソフトウェア資産管理コンテンツサービスプログラムから自分の会社をオプトアウト する)を選択し、[オプトアウト]を選択します。
   ソフトウェア検出モデル、ソフトウェア製品ライフサイクル、品番と検出マップ、プロセッサー名、および製品ライセンス例外ルールが無効になり、一意の正規化コンテンツがコンテンツサービスに ソフトウェア資産管理 提供されなくなります。

CI 上のソフトウェア資産を除外する

アプリケーションの構成アイテムのサブセットにインストールされているソフトウェア資産を管理しソフトウェア資産管理 たい場合があります。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
たとえば、一部のデバイスが第三者からリースされている場合があり、お客様はそれらのデバイス上のソフトウェアのライセンスコンプライアンスについて責任を負いません。または、特定の場所 (ニューヨーク オフィスなど) のデバイスにインストールされているソフトウェアのみを管理することから始めることもできます。その後、他の場所にあるデバイス上のソフトウェアの管理に拡張できます。除外するデバイスをアプリケーションに伝え ソフトウェア資産管理 ます。これらのデバイスにインストールされているソフトウェアは、ライセンス コンプライアンスの計算から除外されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ハードウェア [cmdb_ci_hardware] テーブルに、SAM [u_exclude_from_sam から除外] などの true/false 列を追加します。
2. アプリケーションでインストール済みソフトウェアを管理しないデバイスの [SAM から除外] 列の値を true に設定します。

   注:
   [SAM から除外] 列のデフォルト値は false です。デフォルトでは、システムはすべてのデバイスにインストールされているソフトウェアを管理します。

3. 移動先 ソフトウェア資産 > 管理 > プロパティ 次に、列名 [u_exclude_from_sam] をプロパティの横のフィールドに入力し、 選択したデバイスにインストールされているソフトウェアを **Software Asset Management** から除外するために**cmdb_ci_hardware**テーブルに追加された **true/false** フィールドの名前を入力します。
   列名は必ず角かっこなしで入力してください。
   ジョブスケジュール (SAM - 除外された CI のインストールの調整) が実行されると、[SAM から除外] 列が true に設定されているデバイスにインストールされているソフトウェアはアプリケーションから除外されます。
4. アプリケーションで以前に除外したデバイスでソフトウェアインストールの管理を開始するには、デバイスの [SAM から除外] 列の値を false に設定します。
   スケジュール設定済みジョブ (SAM - 除外された CI のインストールの調整) が実行されると、これらのデバイスでのソフトウェアインストールの管理が開始されます。
5. 以前に除外したすべてのデバイスでソフトウェアインストールの管理を開始するには、次の手順を実行します。

   a. 移動先 ソフトウェア資産 > 管理 > プロパティ.

   b. プロパティから列名 [u_exclude_from_sam] を削除します

   c. **[Save** (保存)] を選択します。
      ジョブスケジュール (SAM - 除外された CI のインストールの調整) が実行されると、システムは以前に除外されたすべてのデバイスにインストールされているソフトウェアの管理を開始します。

ソフトウェア・スイートの管理

ライセンスを簡素化し、ベンダーからのライセンスコストを削減します。複雑なスイートライセンスを可視化し、コンプライアンスを管理し、これらのライセンスへの支出を最適化します。

スイートを作成し、コンポーネントを追加して、調整中に組織の権限が正確にカウントされるようにします。

ソフトウェアスイートは、1 つのユニットとして提供される関連ソフトウェアのグループです。例としては Microsoft 、PowerPoint、Word、Excel、Outlook、Access を含む Office Professional スイートがあります。

サーバー側スイートのもう 1 つの例として、 Microsoft Core Infrastructure Server (CIS) スイートがあります。CIS スイートには、Windows Server ソフトウェアのほか、Configuration Manager、Operations Manager、およびその他のタイトルを含む System Center スイートを含めることができます。サーバー測定基準 ([Per Core]、[Per Core (CAL)] (CAL を含む)、[Per Instance]、[Per Processor]、[Per Server] のライセンスを持つ Microsoft CIS スイートは、調整中に考慮されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

どのソフトウェア モデルでも、モデルがスイート (親) かコンポーネント (子) かを指定できます。ソフトウェア モデルによっては、複数のスイートに属するコンポーネントとなることもあります。たとえば、 Microsoft Word は Office Standard と Office Professional の Microsoft 2 つのスイートMicrosoftに含まれるコンポーネントです。1 つのソフトウェア モデルをスイートやコンポーネントの両方に設定できますが、ソフトウェアは通常組み込まれたスイートとして販売されておりません。

ソフトウェアモデルがスケジュール設定済みジョブの一部として自動的に作成されるたびに、その子コンポーネントが自動的に作成され、[スイートコンポーネント] セクションに表示されます。

スイート (親) がインストール テーブルに定義されていない場合、[推定率] と [必須] フィールドを使用します。

- 推定率: スイートにインストールする必要があるコンポーネントの割合を指定します。
- 必須:スイートがインストールされていることを推定するために、特定のコンポーネントをインストールする必要があるかどうかを強制します。選択肢は、[オプション]、[常に必須]、[必須グループ] です。

> **注:**
> 2 つ以上のソフトウェアコンポーネントが必須グループの一部である場合、すべてのソフトウェアコンポーネントがスイートと見なされるように、少なくとも 1 つのソフトウェアコンポーネントが存在する必要があります。これは、推定率とその他の要件も満たされていることを前提としています。

たとえば、Microsoft Access で [推定率] を 75% に指定し、[必須] フィールドを [常に必須] に設定したとします。これらの設定では、Microsoft Office Professional がデバイスにインストールされていると推測するには、Microsoft Access を他の 4 つの製品 (Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、および Microsoft Outlook) のうち 3 つと共にインストールする必要があります。

調整中にスイート (親) が検出された場合、子コンポーネントは個々のライセンスとしてカウントされません。

> **注:**
> model_managerロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 **Product Catalog** > 製品モデル > ソフトウェアモデルですが、ソフトウェア モデルのすべての側面を管理することはできません。

推論スイートのランク付けのルールは次のとおりです。

- ソフトウェアインストールの 1 つがスイートソフトウェアモデルに属している場合、そのスイートは推論率を満たす必要なく直接推定されます。
- 上記のルールが満たされない場合、そのデバイスで推定率を満たすスイートは、推定スイート候補と見なすことができます。
- インストールされているコンポーネントの数が最も多い候補が選択されます。
- それでも同点の場合は、ダウングレードの低いスイートが選択されます。たとえば、Office 2016 と Office 2013 の両方が候補であり、インストールされているコンポーネントの数が同じであるとします。ただし、Office 2013 は Office 2016 のダウングレードであるため、Office 2013 が選択されます。
- それでも同数の場合は、インストールされているコンポーネントの割合が最も高いものが選択されます。

ソフトウェア資産管理 は、ハイブリッドおよびサブスクリプションベースのソフトウェアスイートをサポートしています。ハイブリッドソフトウェアスイートでは、スイートの親コンポーネントまたは子コンポーネントのいずれかがサブスクリプションベースです。サブスクリプションベースのソフトウェアスイートでは、スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプショ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ンベースです。コンプライアンスを判断するために使用するライセンスは、スイートの親コンポーネントと子コンポーネントがサブスクリプションベースかどうかによって異なります。

- スイート (親) のみがサブスクリプション ベースである場合、すべての子コンポーネントのインストールはスイート (親) の一部として推測されます。スイートの親ライセンスを使用して、ライセンスのコンプライアンスを判断することができます。
- スイート (親) の子コンポーネントのみがサブスクリプション ベースである場合、その子コンポーネントのインスタンスはスイート (親) の一部として推定されません。子コンポーネントライセンスを使用して、ライセンスコンプライアンスを判断できます。
- スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプション ベースの場合、子コンポーネントのインスタンスはスイート (親) の一部として推定されます。スイートの親ライセンスを使用して、ライセンスのコンプライアンスを判断することができます。たとえば、365 E5 は、 Microsoft Office 365 E5、EMS E5、および Windows 10 サブスクリプションソフトウェアで構成されるサブスクリプションベースのソフトウェアスイートです。スイートの親コンポーネントと子コンポーネントはどちらもサブスクリプションベースであるため、365 E5 親ライセンスと Microsoft 照合されます。

Windows Server クラスターライセンスの最適化

コストとコンプライアンス基準に基づいて、Windows Server のクラスタリングに使用される権限を最適化します。

Windows Server のインストールは、Standard と Datacenter の 2 つのエディションに分類されます。Windows Server Standard エディションと Datacenter エディションは、物理コアによってライセンス供与されます。ライセンスは 2 個入りパックと 16 個入りパックでご利用いただけます。Windows Server クラスタリングの最小ライセンス要件は次のとおりです。

- すべての物理コアにライセンスが必要です
- プロセッサあたり 8 コアライセンス
- サーバーあたり 16 コアライセンス

クラスターは、1 つの物理ホストで実行できる仮想マシン (VM) の最大数を計算することによってライセンスされます。

Windows Server Standard エディションは、2 つのオペレーティング システム環境 (OSE) または Hyper-V コンテナーのライセンスが付与されます。追加の OSE には追加のライセンスが必要です (物理サーバーは 2 つの OSE ごとにライセンスされ、最低 16 の権限が付与されます)。Windows Server Datacenter エディションは、無制限の OSE に対してライセンスされます。

クラスタまたはホストの密度は、アクティブなオペレーティングシステムを 2 で割ることによって決定されます。デフォルト値が 4.59 のシステムプロパティ *com.snc.samp.windowserver.license.threshold* は、ホストまたはクラスター密度をマークするために使用されます。このプロパティは、データセンターライセンスと非データセンターライセンスのコストの比率であり、データセンターライセンスに最適なクラスターサイズを特定します。これらのライセンスの購入コストに基づいて、このプロパティの値を変更できます。低密度クラスターは、低密度から高密度までの非データセンターライセンスによってライセンスされます。高密度クラスターは、高密度から低密度までのデータセンターライセンスによってライセンスされます。最適でないライセンスを使用しているホストまたはクラスタに対して、最適なライセンスと節減見込みが生成されます。

Windows Standard 権限は、このリスト内で最小から最大のものの順に、標準リストに対して最初に使用されます。低密度ホストまたはクラスターに標準権限を使用した後、残りの低密度ホストまたはクラスターには、高密度から低密度までの残りのデータセンター権限によってライセンスが付与されます。高密度ホストまたはクラスターのデータセンター権限を使用した後、残りの高密度ホストまたはクラスターは、低密度から高密度までの残りの標準権限によってライセンスされます。使用する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

のに十分な Datacenter または Standard 権限がないクラスターは、ライセンスなしとしてマークされます。

各デバイスにインストールされている Windows Server ソフトウェアのライセンスに関する情報を格納するために、新しいテーブル Potential savings by optimizing licenses [samp_license_optimization_summary] が作成されます。

資産を再利用するためのカタログ要求の作成

従業員が組織を退職したり、別のロールに異動したりしたときにソフトウェア資産を効率的に再利用するためのカタログ要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. **[Service Catalog]** に移動します。
2. サービスカタログページで、ページの右側にある [カタログを検索] フィールドに「Reclaim asset」と入力します。
3. [**Reclaim Asset** (資産の再利用)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

資産の再利用フォーム

フィールド	説明
要求者	このカタログ要求を作成する個人 (人事、マネージャー、従業員など) のロール。
要求元	カタログ要求を送信するユーザーの名前。
従業員の離職	資産再利用を送信する対象者が組織を離れるか、別のロールに移動するかどうか。
資産	資産再利用を送信する対象の人物に割り当てられた資産
再利用日	資産を再利用する日付。今日の日付または将来の日付を入力できます。
再利用方法	退職する従業員から資産を回収するために使用する方法。自分が資産を集荷したり、従業員が納品したり、組織に出荷したりできます。
訴訟ホールドの方法	法的な理由で資産を保留にしておく必要がある場合。
メモ/特別な指示	言及する必要がある指示。

5. [送信] を選択します。
資産再利用要求が作成されます。要求が作成されたら、sam_userは要求に記載されているすべてのタスクをクローズする必要があります。詳細については、「資産再利用要求のクローズ」を参照してください。

資産再利用要求のクローズ

資産再利用要求をクローズして、従業員が組織を離れたり別のロールに異動したりしたときにソフトウェア資産を効率的に再利用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sam_user または asset。

手順

1. 移動先 **Inventory** > 資産再利用 > 資産再利用要求.
2. 実行する要求を開きます。

   [ソフトウェア資産再利用ライン] 関連リストで、返却されたデバイスごとにデバイス再利用品目が作成され、対応する CI レコードがあり、ソフトウェアがインストールされており、そのデバイスが [Reclaim Asset] フォームで選択されます。たとえば、従業員に 5 台のコンピューターがアサインされている場合、コンピューターごとに個別のデバイス再利用品目が作成されます。

   [資産の再利用] フォームで [従業員の離職] チェックボックスがオンになっている場合は、追加のユーザー再利用品目が作成されます。

3. デバイス再利用品目をクリックします。
   [ソフトウェア資産再利用ライン] ページが開き 、[資産の受領、評価、および更新] というタイトルのソフトウェア資産再利用タスクが作成されます。
4. [受領、評価、および更新] タスクをクリックします。
   [ソフトウェア資産再利用タスク] ページが開きます。次に、手動で資産を受け取り、資産を再展開または再利用できるかどうかを評価してから、資産を更新する必要があります。
5. [アサイン先グループ] フィールドと [アサイン先] フィールドの値を選択します。
6. すべてのタスクを完了したら、[**Close Task**] をクリックします。

   品目のステータスが [完了してクローズ] に変更されます

   タイプがデバイス再利用であるソフトウェア資産再利用品目ごとに、ステップ 3 ～ 6 を実行します。

   > **注:**
   > 従業員から資産を受け取ったら、[資産] ページに移動し、[ステータス] フィールドと [アサイン先] フィールドの値を変更します。資産はユーザーに割り当てられていないため、[**Assigned to**] フィールドが空で、[**State**] フィールドが [**In use**] ステータスになっていないことを確認します。

   更新された資産にデバイス割り当てがある場合、「 デバイスライセンス割り当ての削除 」というタイトルのソフトウェア資産再利用ラインタスクが作成されます。その資産 (CI) のすべてのデバイス割り当てレコードが削除され、タスクは [完了してクローズ] としてマークされます。

   更新された資産にソフトウェアインストールレコードがある場合、[ソフトウェアインストールの削除] というタイトルのソフトウェア資産再利用ラインタスクが作成されます。その資産 (CI) のすべてのソフトウェアインストールレコードが削除され、タスクは [完了してクローズ] としてマークされます。

   すべてのデバイス再利用タスクが完了し、ユーザー再利用品目が作成されていない場合、カタログ要求のステータスは [完了] に変わります。ただし、ユーザー再利用タスクが作成された場合は、次の手順を実行してユーザー再利用品目を完了してクローズする必要があります。

   > **注:**
   > [資産の再利用] フォームで [従業員の離職] チェックボックスがオンになっている場合、ユーザー再利用タスクが作成されます。

   資産再利用要求フォームに記載されている再利用日が経過すると、ユーザー再利用ワークフローが開始されます。すべてのユーザーライセンス割り当てを削除するために、[ユーザーライセンス割

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

り当てを取り消 す] というタイトルのユーザーライセンス割り当てタスクが自動的に作成されます。完了する必要があるいくつかの手動タスクも作成されます。

7. 次の手動ユーザー再利用タスクを完了します。
   - SSO アクセスを取り消す (従業員が SSO プロバイダープラグインを有効にしていた場合)
   - アクセス権を取り消す Citrix (従業員がプラグインを有効にしていた Citrix 場合)
   - アクセス権を取り消す SAP (パブリッシャーパックプラグインが有効な場合 SAP)
   - ユーザーサブスクリプションを取り消します。タスクを開き、ユーザーサブスクリプションレコードごとに削除候補レコードが作成されていることを確認します。
8. すべてのユーザー再利用タスクがクローズされると、カタログ要求のステータスが [完了] に変更されます。

Software Asset ワークスペース の構成

アプリケーションの設定 ソフトウェア資産管理 が完了したら、を構成する Software Asset ワークスペース必要があります。

複数の資格付与がある場合は、Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートを使用して一度にインポートできます。Playbook を使用して ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントを作成することも、標準フォームを使用することもできます。Playbook の使用 ソフトウェア資産管理 方法については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理 Playbook と Guided Setup。

ソフトウェアモデルが自動的に作成されていない場合は、ソフトウェアモデルを手動で作成する必要があります。ソフトウェア モデルの作成については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアモデルを作成。

エンタイトルメントをワークスペースに一括インポート

ソフトウェア資産ワークスペースでは、一度に複数のエンタイトルメントをインポートできます。

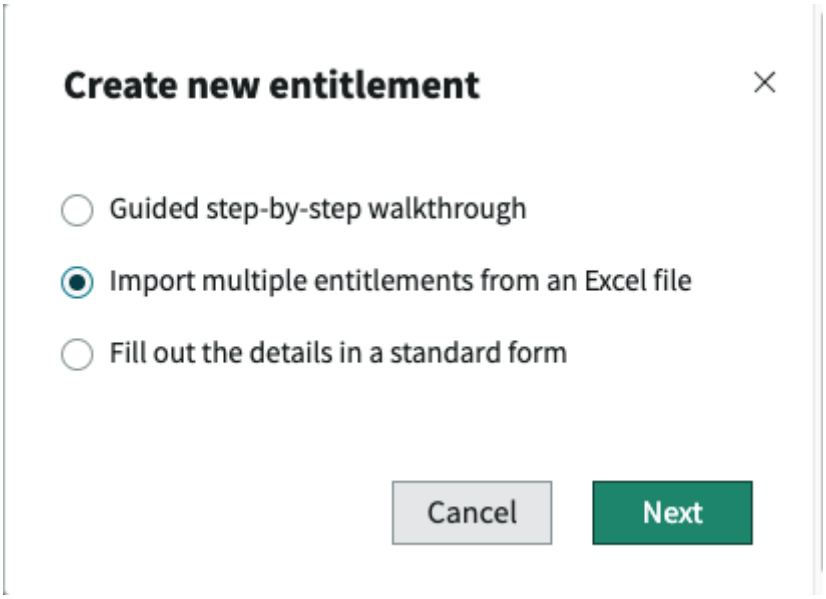
始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

このタスクについて
エンタイトルメントインポートレコードは、エンタイトルメントインポート [samp_bulk_import] テーブルに格納されます。ソフトウェア資産の概要ランディングページのアクティビティセンターを活用して、インポートエラーとインポートステータスを表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. [エンタイトルメントの作成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [新しい権利の作成] ダイアログ ボックスで、[**Excel** ファイルから複数の権利をインポートする] を選択し、[次へ] を選択します。
4. [新しいエンタイトルメントインポートの作成] ページで、[テンプレートのダウンロード] を選択してスプレッドシートテンプレート (.xlsx) をダウンロードします。

   ソフトウェアエンタイトルメントフィールドをテンプレートに追加して、インポートに含めるフィールドを追加できます。各フィールドをテンプレートの新しい列として追加します。列名はフィールドラベルと正確に一致させる必要があります。公開者、製品、バージョン、エディション、プラットフォーム、および言語に加えて、[インストール条件名] 列も考慮され、エンタイトルメントのインポート時に正しいソフトウェアモデルが検索されます。

   ベースシステムソフトウェアエンタイトルメントフィールドと、カスタムソフトウェアのエンタイトルメントフィールドを含めることができます。資産 [alm_asset] またはソフトウェアエンタイトルメント [alm_license] テーブルで作成されたカスタム選択列 (タイプが [Choice] の場合) もサポートされています。

   > **注:**
   > デフォルトでは、スプレッドシートの [単位コスト] 列には、システムに設定されている通貨が考慮されます。ただし、通貨は手動で変更でき、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは指定した通貨を優先します。通貨を指定するには、通貨コードに続けてセミコロンとコストを入力します。たとえば、 EUR です。200です。有効な通貨コードは、通貨 [fix_currency] テーブルにリストされ、[アクティブ] 列が true に設定されているものです。

5. テンプレートにエンタイトルメントの詳細を入力し、[ファイルの添付] を選択してスプレッドシートをアップロードします。
   ファイルがアップロードされると、ファイル名が表示され、[説明] フィールドが自動的に入力されます。この説明は、より具体的な記述に変更できます。
6. [インポート] を選択します。

   後で表示できるようにアップロードの履歴を保持するインポートレコードが作成されます。

   エンタイトルメントのインポートが進行中であることを通知する確認メッセージが表示されます。インポートレコードが処理されると、[ステータス] フィールドに [完了]、[完了 (エラーあり)、または [失敗] のいずれかの値が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 確認メッセージ内のリンクを選択して、レコードのステータスを確認します。
ライセンス操作ビューが表示され、[エンタイトルメントのインポート] ページにエンタイトルメントレコードが表示されます
8. エンタイトルメントレコードを開いて詳細を表示します。
9. [エンタイトルメント] タブをクリックして、正常に作成されたエンタイトルメントのリストを表示します。

   注:
   [エンタイトルメント] タブは、[ステータス] フィールドに [完了] または [完了 (エラーあり)] の値が表示されている場合にのみ表示されます。

10. エラーが発生し、ステータスに 「エラーありで完了」と表示された場合は、「 インポートエラーの確認」をクリックします。

    [エンタイトルメントインポートエラーのレビュー (Review entitlement import errors)] ページが開き、次の 2 つのタブが表示されます。

    - インポートエラー:エラーステータスが **[Needs review]** のレコードを表示します。
    - 関連エンタイトルメント:ビルドステータスであり、ベースエンタイトルメントにリンクできるメンテナンスエンタイトルメントなどのエンタイトルメントを一覧表示します。

11. インポートエラーレコードを選択して、エラーを表示します。
エンタイトルメントインポートエラーフィールドの詳細については、次を参照してください。 エンタイトルメントのインポートエラーフィールド
12. エラーを修正し、 [インポート] を選択します。
エンタイトルメントが正常に作成されます。エンタイトルメントのダウングレードモデルの検証など、エンタイトルメントのさらなる処理が続行されます。エラーの解決方法の詳細については、「」を参照してください エンタイトルメントのインポートエラーアクション。

ワークスペースでのエンタイトルメントの作成

ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントを作成し、ライセンスの詳細を入力して、購入したソフトウェア権限をユーザーまたはデバイスに割り当てます。

始める前に

これらの手順は、ソフトウェアエンタイトルメントを一度に 1 件ずつ作成するための標準フォームを使用する手順です。エンタイトルメントの作成には、 ガイド付きウォークスルー のステップバイステップアプローチを使用することもできます。すでにスプレッドシートに入力されたソフトウェアエンタイトルメントの詳細がある場合は、一括インポート機能を使用して インポート することもできます。

エンタイトルメントの作成を開始すると、ステータスは [構築] になります。エンタイトルメントを公開すると、ステータスが [使用中] に変わり、エンタイトルメントが調整プロセスに含まれるようになります。

をインストールし SaaS ライセンス管理た場合は、統合プロファイルの作成後にソフトウェアモデルが自動的に生成されます。ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成して、所有するソフトウェアに対して使用されるソフトウェアを追跡します。

Publisher Pack をインストールし SAP た場合は、「」を参照してください のエンタイトルメントの作成 SAP。

また、資格付与 RHEL と Citrix 公開者パックを作成することもできます。RHEL のエンタイトルメントフォームフィールドの詳細については、「」を参照してください ソフトウェアエンタイトルメントフォーム。

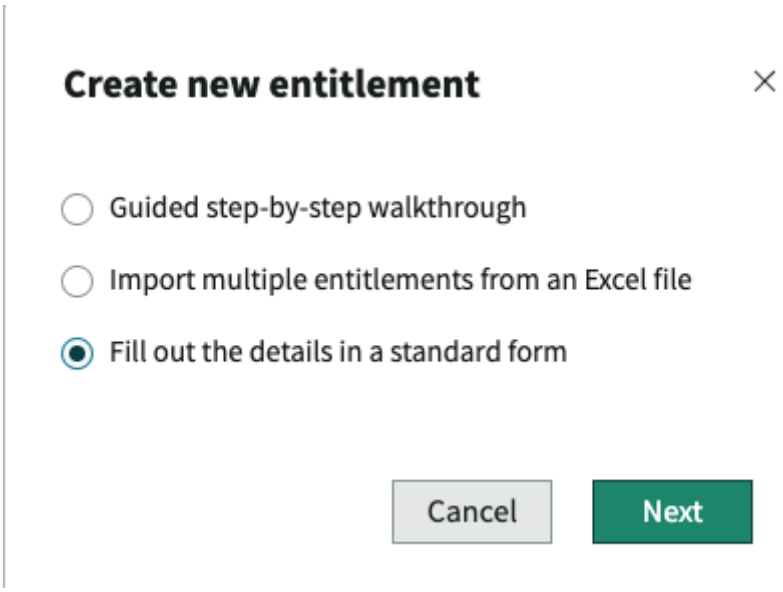
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. [エンタイトルメントの作成] を選択して、 [新しいエンタイトルメントの作成] ダイアログ ボックスを開きます。
   から [新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスに移動することもできます。 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作



3. 標準フォームに詳細を入力する を選択し、次へ を選択します。
4. [新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成 (Create new entitlement)] ページで、フィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。
5. **[Save** (保存)] を選択します。
   エンタイトルメントを保存すると、[割り当て]、[一般]、[財務]、および [契約] タブがページに表示されます。これらの関連タブに詳細を追加できるようになりました。
6. 必要な詳細を入力したら、 [公開] を選択します。

   エンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントのステータスがビルドから [使用中] に変更されます。調整プロセスでエンタイトルメントを取得する準備ができました。

   [契約]、[ダウングレード権限]、[経費ライン]、[エンタイトルメント履歴] などの他のタブに詳細を入力することで、新しいエンタイトルメントの追加構成を実行できます。これらのタブのフィールドの詳細については、「」を参照してください ソフトウェアエンタイトルメントフィールド。

ワークスペースでのメンテナンスエンタイトルメントの作成

ソフトウェア資産ワークスペース以外の Microsoft すべての公開者のライセンスの詳細を定義します。契約の開始日と終了日、ソフトウェアアップグレードなど、ソフトウェアライセンスのメンテナンスに関するすべてのニーズを管理するためのメンテナンスエンタイトルメントを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. [**Create entitlement**] をクリックして [Create new entitlement] ダイアログボックスを開きます。
   から [新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスに移動することもできます。 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
3. 「標準フォーム」を選択し、「次へ」をクリックします。
   [新しいソフトウェアエンタイトルメントの作成 (Create New Entitlement)] ページが開き、エンタイトルメントのステータスが [ビルド] になります。
4. [新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成] ページで、必須フィールドに入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで [メンテナンス] を選択します。

   すべてのフィールドの詳細については、「」を参照してください ソフトウェアエンタイトルメントフィールド。

   メンテナンスエンタイトルメントが関連付けられているソフトウェアモデルで [次のバージョン] フィールドが設定されており、メンテナンスエンタイトルメントで選択された測定基準グループが [共通] である場合、メンテナンスエンタイトルメントはソフトウェアモデルの次のバージョンで更新されます。次のバージョンは、 共通 測定基準グループにのみ適用されます。

5. 必要な詳細を入力したら、「 公開」をクリックします。
   メンテナンスエンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントのステータスがビルドから [使用中] に変更されます。調整プロセスでメンテナンスエンタイトルメントを取得する準備ができました。

   注:
   無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権限のみをメンテナンスエンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 のアクティブな権限 (E1) を持つ無期限エンタイトルメントを購入したとします。これらの権限のうち 20 個をメンテナンスエンタイトルメントの 20 個の権限に関連付けます。E1 無期限エンタイトルメントは、自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。1 つは、メンテナンスエンタイトルメント (M1) の 20 の権限に関連付けられた 20 のアクティブな権限 (および 50 の購入権限) を持つ無期限エンタイトルメント (E1) と、メンテナンスの関連付けがなく購入権限のない 30 のアクティブな権限を持つもう 1 つの無期限エンタイトルメント (E2) です。

6. 新しいメンテナンスエンタイトルメントレコードで追加の設定を行うことができます。

   詳細については、「」を参照してください ソフトウェアエンタイトルメントフィールド。

   メンテナンスエンタイトルメントにユーザーまたはデバイスの割り当てを追加することはできません。

   a. [財務] タブに、資産の購入元となるベンダーや請求書番号などの財務に関する情報を入力します。

   b. リース契約、保証の有効期限などの契約に関する情報を [契約]タブに入力します。

   c. [関連エンタイトルメント] 関連リストから、関連する無期限エンタイトルメントをメンテナンスエンタイトルメントにリンクします。

      i. [関連エンタイトルメント] 関連リストを選択し、[新規] をクリックします。

         [Create New Related Entitlement] フォームが新しいタブで開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ii. フォームのフィールドに入力します。

[新しい関連エンタイトルメントを作成 **(Create New Related Entitlement)**] フォーム

フィールド	説明
アクティブな権限	関連する無期限エンタイトルメントに付与する権限の数。
ソフトウェアエンタイトルメント	関連する無期限エンタイトルメントをリンクするソフトウェアエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。
関連エンタイトルメント	リンクする関連する無期限エンタイトルメント。
ドメイン	関連する無期限エンタイトルメントが適用されるドメイン。デフォルト値は [グローバル] です。

iii. [保存] をクリックします。

無期限エンタイトルメントとメンテナンスエンタイトルメントの関係を削除するには、メンテナンスエンタイトルメントの 関連エンタイトルメント 関連リストからエンタイトルメントを削除します。

エンタイトルメントが分割され、メンテナンスエンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

d. [ダウングレード権限] 関連リストで、メンテナンス資格付与に関連付けられたソフトウェアモデルのダウングレード権限を表示します。

e. ライセンス キーを管理し、資格付与に割り当てるライセンス キーを指定するには、[ライセンス キー] 関連リストをクリックします

f. ライフサイクル全体にわたるソフトウェアのコストを追跡するには、[経費ライン] 関連リストをクリックします。

g. 購入したすべてのメンテナンス資格付与の履歴を表示するには、[資格付与履歴] 関連リストをクリックします。
たとえば、M1 (現在は廃止) と M2 (現在使用中) の 2 つのメンテナンスエンタイトルメントを購入した場合、[Entitlement History] 関連リンクには M1 と M2 の両方が表示されます。

h. エンタイトルメントと以前のソフトウェアモデルに関連する新しくアップグレードされたソフトウェアモデルの履歴を表示するには、[アップグレード履歴] 関連リストをクリックします。

7. 追加の構成の詳細の入力が完了したら、[保存] をクリックします。

ワークスペースでの **Microsoft** ソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントの作成

ソフトウェア資産ワークスペースでソフトウェアアシュアランス (SA) の Microsoft ライセンスの詳細を定義し、契約の開始日と終了日、ソフトウェアのアップグレード、および関連するソフトウェアエンタイトルメントを管理します。

始める前に

必要なロール：sam_user または sam_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. [**Create entitlement**] をクリックして [Create new entitlement] ダイアログボックスを開きます。
   から [新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスに移動することもできます。 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
3. 「標準フォーム」を選択し、「次へ」をクリックします。
   [新しいソフトウェアエンタイトルメントの作成 (Create New Entitlement)] ページが開き、エンタイトルメントのステータスが [ビルド] になります。
4. [新しいソフトウェアエンタイトルメントの作成 (Create New Entitlement)] フォームで、必須フィールドに入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで **[SA]** を選択します。

   SA エンタイトルメントに付与される権限の数を [アクティブな権限] フィールドに入力する必要があります。

   すべての資格付与に関連するフィールドの詳細については、「」を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。

   注:
   SA エンタイトルメントにユーザーまたはデバイスの割り当てを追加することはできません。

5. [公開] をクリックします。
   エンタイトルメントが [ソフトウェアエンタイトルメント] リストに表示されます。

   注:
   無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権限のみを SA エンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 のアクティブな権限 (E1) を持つ無期限エンタイトルメントを購入したとします。これらの権限のうち 20 個を SA エンタイトルメントの 20 個の権限に関連付けます。これで、E1 の無期限エンタイトルメントは、2 つのエンタイトルメントに自動的に分割されます。1 つは SA エンタイトルメント (M1) の 20 の権限に関連付けられた 20 のアクティブな権限 (および 50 の購入権限) を持つ無期限エンタイトルメント (E1) と、SA 関連付けがなく購入済みの権限がない 30 のアクティブな権限を持つもう 1 つの無期限エンタイトルメント (E2) です。

6. 追加の構成を実行するには、ソフトウェアエンタイトルメントリストから新しいソフトウェアエンタイトルメントレコードを選択します。

   a. 関連する無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントをリンクするには、次の手順に従います。

      i. [関連エンタイトルメント] 関連リストを選択し、[新規] をクリックします。

         [Create New Related Entitlement] フォームが新しいタブで開きます。

      ii. フォームのフィールドに入力します。

[新しい関連エンタイトルメントを作成 **(Create New Related Entitlement)]** フォーム

フィールド	説明
アクティブな権限	関連する無期限または SA エンタイトルメントに付与する権限の数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ソフトウェアエンタイトルメント	関連する無期限または SA エンタイトルメントをリンクするソフトウェアエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。
関連エンタイトルメント	リンクする関連する無期限または SA エンタイトルメント。
ドメイン	関連する無期限または SA エンタイトルメントが適用されるドメイン。デフォルト値は [グローバル] です。

iii. [保存] をクリックします。

無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントの関係を削除するには、SA エンタイトルメントの [関連エンタイトルメント] 関連リストからエンタイトルメントを削除します。

リンクされている無期限または SA エンタイトルメントを削除しても、もう一方のエンタイトルメントは削除されません。

エンタイトルメントが分割され、SA エンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

b. メンテナンス契約の一部としてソフトウェアを新しいバージョンにリンクするには、[アップグレードされたエンタイトルメント] 関連リストをクリックします。

> **注:**
> この関連リストは、エンタイトルメントライセンスタイプとして [ステップアップ] を選択した場合にのみ利用できます。

ソフトウェアモデルで [次のバージョン] フィールドが入力されている場合、アクティブな SA を持つエンタイトルメントはソフトウェアモデルの新しいバージョンに更新されます。

関連するエンタイトルメントをリンクした後、無期限エンタイトルメント権限をカバーするのに十分な SA 権限がない場合は、エラーメッセージが表示されます。

c. 過去にリンクされた関連するすべてのエンタイトルメントを表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストをクリックします。

> **注:**
> 検証は、関連するすべてのエンタイトルメントのアクティブな権限に対して自動的に実行されます。計算でエラーが発生した場合は、問題の解決方法に関する追加情報を含むメッセージが表示されます。

7. [更新] をクリックします。

ワークスペースでソフトウェアモデルを作成

ソフトウェア資産ワークスペースでソフトウェアモデルを作成し、購入したソフトウェア権限をシステムで検出されたソフトウェアインストールに接続するために使用される製品の詳細を追加します。

始める前に

必要なロール：sam_user、sam_admin または model_manager

このタスクについて

ソフトウェア モデルは手動で作成できます。ただし、Software Asset Management コンテンツサービスライブラリを利用して、ソフトウェアエンタイトルメントとの関係を通じてソフトウェアモデルの作成を自動化することができます。ソフトウェアエンタイトルメントの作成またはインポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

中に公開者の品番を指定すると、ソフトウェアモデル (必要な場合) または既存のソフトウェアモデルへのリンクが自動的に作成されます。公開者の品番が利用できない場合、公開者の品番がコンテンツサービスライブラリに存在しない場合、またはカスタム製品のソフトウェアモデルを作成する場合は、ソフトウェアモデルを手動で作成する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. 左側のバーで [ライセンス操作 ビュー] を選択します。
3. [ライセンス] で、ソフトウェアモデルを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。



5. [新しいソフトウェアモデルを作成] ページで、フィールドに詳細を入力します。
「ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。
6. **[Save** (保存)] を選択します。
ソフトウェアモデルを保存すると、[一般]、[スイートコンポーネント]、[スイート (親)] および [**Product Catalog**] タブがページに表示されます。これらの関連タブに詳細を追加できるようになりました。
7. ソフトウェア公開者がスイートの一部であるかどうかを指定します。
   - ソフトウェア モデルをスイート (親) として指定するには、[スイート (親)] をクリックし、スイートに含まれるすべてのソフトウェアを追加します。
   - ソフトウェアモデルをスイートコンポーネントとして指定するには、[スイートコンポーネント] をクリックし、親スイートを追加します。

   注:
   製品の詳細に検出マップを追加した場合は、事前定義されたスイートが使用され、既知のスイートの親に対してスイートコンポーネントが自動的に作成されます。

8. ソフトウェアモデルに関連付けられているすべての製品ライフサイクルを表示するには、[ソフトウェア製品ライフサイクル] を選択します。
新規 を選択して、カスタム製品ライフサイクルを作成します。
9. エンタイトルメントの上書きライセンスコストを表示するには、[Override License Cost] を選択します。
10. 属性値を設定するには、[メトリック属性] を選択してフォームに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性値を追加すると、このパブリッシャー情報が関連付けられたエンタイトルメントの [評価指標グループ] フィールドが自動的に入力されます。測定基準グループに基づくと、公開者に関連するライセンスの測定基準のみが利用可能です。

11. ソフトウェアモデルをベンダーに関連付けるには、[ベンダーカタログアイテム] を選択し、フォームに入力します。
12. ソフトウェアにアクセスするデバイスまたはユーザーの数を指定するには、[クライアント アクセス] を選択し、フォームに入力します。
13. ソフトウェアのダウングレード権限の新しいレコードを作成するには、[ダウングレード権限] をクリックしてフォームに入力します。

    注:
    ソフトウェアモデルに関連付けられた検出マップがあり、検出マップにダウングレード権限がある場合、ダウングレード権限は自動的に入力されます。ソフトウェアのダウングレードされたバージョンは階層リストに表示されます。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

14. ソフトウェアモデルに関連付けられているソフトウェアのセルフサービス機能を有効にするには、ソフトウェアモデルをサービスカタログに公開します。

    a. 「 ソフトウェア・カタログに公開」を選択します。
    [<ソフトウェア モデル> をソフトウェア カタログに公開] ダイアログ ボックスが開きます。

    b. ダイアログ ボックスで、[カテゴリ] フィールドを [ソフトウェア] に設定します。

    c. **[OK]** を選択します。

ワークスペースで製品ライフサイクルの平均を作成する

ソフトウェア資産ワークスペースで、ソフトウェアのサポート終了 (EOL) とサポート終了 (EOS) のライフサイクルを計算するための平均を作成します。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
すべての製品と公開者に対してグローバルに使用できる平均を作成することも、製品または公開者に固有の平均を作成することもできます。これらの平均は、製品の計算済みライフサイクルを作成するために使用されます。計算されたライフサイクルの詳細については、「」を参照してください サポート終了 (EOL) およびサポート終了 (EOS) のライフサイクル。

手順
1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ソフトウェアライフサイクル平均.
2. 新規 を選択して、新しいソフトウェア ライフサイクル平均の作成ページを開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
タイプ	ライフサイクルを作成するために選択するオプションのタイプ。次のオプションから選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	○ カスタム業界平均:一般提供 (GA) の日付に基づく業界平均を指します。 ○ 製品:特定の製品を指します。これには、カスタム製品も含まれます。 ○ パブリッシャー: 特定のパブリッシャーを指します。これには、カスタム発行者も含まれます。
表示名	このライフサイクル平均レコードの一意の名前。
製品	このフィールドは、[タイプ] フィールドで値 [製品] を選択した場合にのみ表示されます。
公開者	製品を選択すると、このフィールドは自動的に入力されます。[タイプ] フィールドで値 [パブリッシャー] を選択した場合は、パブリッシャーを選択します。
ドメイン	インスタンスが配置されているドメインを示します。
平均提供終了期間 (月数)	EOL ライフサイクルの月数を指定します。
平均サポート終了期間 (月)	EOS ライフサイクルの月数を指定します。
アクティブ	ライフサイクル平均レコードがソフトウェアライフサイクルの作成に使用されることを示します。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   レコードが作成され、[ソフトウェアライフサイクル平均] リストビューに表示されます。

の健全性チェックスキャンの実行 ソフトウェア資産管理

構成で ソフトウェア資産管理 健全性チェックスキャンを実行し、存在する可能性のあるエラーを修正するための推奨事項を取得します。

始める前に

必要なロール：

- sam_manager
- 実装パートナー
- サポートアナリスト

このタスクについて

健全性チェックスキャンを実行して、アプリケーションの完全な構成 ソフトウェア資産管理 または構成の特定の部分の健全性スコアを確認できます。

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > 成功ポータル > 健全性チェック.
2. スイート チェック利用可能 ウィジェットを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[スイート] ページが表示され、スイートごとに利用可能なすべての健全性チェックが一覧表示されます。

3. 健全性チェックスキャンを実行するスイートを選択します。
その特定のスイートのすべてのチェックが、各チェックの簡単な説明およびカテゴリとともにページに表示されます。
4. [スイート スキャンの実行] を選択して、スキャンを開始します。
[スイートスキャンを実行] ダイアログボックスが表示され、スキャンの進行状況が表示されます。そのスイート内のすべてのチェックは、環境全体で実行されます。
5. スキャンが完了したら、[結果に移動] を選択します。
健全性チェックのすべての問題レコードが、[スキャン結果 (**Scan Findings)]** ページの [スキャン検出結果 **(Scan Findings**)] の下に表示されます。
6. 問題レコードを選択すると、エラーの詳細な説明、解決策の詳細など、エラーの詳細が表示されます。
タスクを作成し、そのタスクを個人にアサインして、推奨事項に対してアクションを実行できます。
7. タスクを作成し、推奨事項に対してアクションを実行するためにタスクを個人にアサインします。
エラーが修正されたら、スキャンを再度実行して、改善された健全性スコアを確認できます。

ソフトウェア資産管理 クラシックの設定

アプリケーションの設定 ソフトウェア資産管理 が完了したので、アプリケーションを構成する必要があります。

Excel スプレッドシートテンプレートを使用して Microsoft 、一度に複数の資格付与をインポートできます。ソフトウェアエンタイトルメントを作成することもできます。ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。

ソフトウェアモデルが自動的に作成されていない場合は、ソフトウェアモデルを手動で作成できます。ソフトウェア モデルの作成については、次を参照してください クラシック版の ソフトウェア資産管理 ソフトウェアモデルの作成。

クラシック版の一括エンタイトルメントの ソフトウェア資産管理 インポート

クラシック版ではソフトウェア資産管理、MicrosoftExcel スプレッドシートを使用して複数のエンタイトルメントをまとめてインポートできます。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

このタスクについて
エンタイトルメントインポートレコードは、エンタイトルメントインポート [samp_bulk_import] テーブルに格納されます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > エンタイトルメントのインポート.
2. エンタイトルメントのインポート ページで、 新規 を選択します。
新しいエンタイトルメントインポートレコードが開きます。
3. [エンタイトルメントのインポート] ページで、[テンプレートをダウンロード] をクリックしてスプレッドシートテンプレート (.xlsx) をダウンロードします。

   ソフトウェアエンタイトルメントフィールドをテンプレートに追加して、インポートに含めるフィールドを追加できます。各フィールドをテンプレートの新しい列として追加します。列名は

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールドラベルと正確に一致させる必要があります。ベースシステムソフトウェアエンタイトルメントフィールドと、カスタムソフトウェアのエンタイトルメントフィールドを含めることができます。ユーザー設定フィールドの作成方法については、「 テーブルのフィールドを追加およびカスタマイズ する」を参照してください。

デフォルトでは、スプレッドシートの [単位コスト] 列には、システムに設定されている通貨が考慮されます。ただし、通貨は手動で変更でき、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは指定した通貨を優先します。通貨を指定するには、通貨コードに続けてセミコロンとコストを入力します。たとえば、 EUR です。200です。有効な通貨コードは、通貨 [fx_currency] テーブルにリストされ、[アクティブ] 列が true に設定されているものです。

4. テンプレートにエンタイトルメントの詳細を入力し、[クリックして追加] を選択して、スプレッドシートを選択してアップロードします。
ファイルがアップロードされると、ファイル名が表示され、[説明] フィールドが自動的に入力されます。
5. [インポート] を選択します。
エンタイトルメントのインポートが進行中であることを通知する確認メッセージが表示されます。プロセスが完了すると、ページのフィールドに処理された行数、成功した行数、エラーのある行数が表示されます。スプレッドシートを添付してインポートすると、後で表示できるようにアップロードの履歴を保持するインポートレコードが作成されます。
6. 確認メッセージのリンクを選択して、インポートレコードのステータスを表示します。
[エンタイトルメントのインポート] ページが表示され、すべてのエンタイトルメントインポートレコードが一覧表示されます。
7. エンタイトルメントインポートレコードを選択して、[エンタイトルメントのインポート] ページを表示します。
[エンタイトルメントのインポート] ページには、次の 2 つのタブがあります。
   - エンタイトルメント:正常に作成されたすべてのエンタイトルメントをリストします。
   - 関連エンタイトルメント:ビルドステータスであり、ベースエンタイトルメントにリンクできるメンテナンスエンタイトルメントなどのエンタイトルメントを一覧表示します。
8. エラーが発生した場合は、[インポートエラーの確認 **(Review import errors**)] を選択して [エンタイトルメントインポートエラー] ページを開きます。
デフォルトでは、エラーステータスが「**Needs review** (要レビュー)」であるレコードのみがリストに表示されています。レビューインポートエラーを表示するには、ページのリロードが必要な場合があります。
9. インポートエラーレコードを選択して、そのエラーを表示します。
[エンタイトルメントのインポートエラー] ページが表示されます。エンタイトルメントのインポートエラーフィールドの詳細については、「」を参照してください エンタイトルメントのインポートエラーフィールド。
10. エラーを修正し、 [インポート] を選択します。
エンタイトルメントが正常に作成されます。エラーの解決方法の詳細については、「」を参照してください エンタイトルメントのインポートエラーアクション。

クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成

クラシック版アプリケーションで ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントを作成してライセンスの詳細を記録し、購入したソフトウェア権限をユーザーまたはデバイスに割り当てます。

始める前に

必要なロール：sam_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
これらの手順は、ソフトウェアエンタイトルメントまたはメンテナンスエンタイトルメントを一度に 1 つずつ手動で作成するためのものです。すでにスプレッドシートに記録されたソフトウェアエンタイトルメントがある場合は、 インポート できます。

ソフトウェアエンタイトルメントの作成プロセスを自動化するには、ソフトウェアエンタイトルメントフォームで公開者の品番を指定します。公開者の品番に基づいて、ソフトウェアモデル、測定基準グループ、契約タイプ、およびソフトウェアライフサイクルデータ (存在する場合) がフォームに自動的に表示されます。

既存の資格付与をより適切に管理するために、資格付与の特定のフィールドを編集できます。**[Purchased rights]**、[**Software model**]、[**License type**]、[**Number of packs**]、[**Publisher part number**] などのフィールドを編集できます。関連するエンタイトルメント、アップグレード履歴、エンタイトルメント履歴、またはアップグレードされたエンタイトルメントを持つエンタイトルメントは編集できません。

注:
Microsoft 予備エンタイトルメントおよびソースエンタイトルメントは編集できません。

をインストールし SaaS ライセンス管理た場合は、統合プロファイルの作成後にソフトウェアモデルが自動的に生成されます。ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成して、所有するソフトウェアに対して使用されるソフトウェアを追跡します。SaaS ライセンスと使用状況の追跡の詳細については、次を参照してください 自分 SaaS と SSO サブスクリプションの表示。

Publisher Pack をインストールし SAP た場合は、「 のソフトウェア権限の記録 SAP.

Publisher Pack をインストールし Citrix た場合は、「 のソフトウェア権限の記録 Citrix

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力して、ライセンス情報を記録します。
   フィールドの詳細については、「」を参照してください ソフトウェアエンタイトルメントフィールド。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   送信する代わりにフォームを保存すると、エンタイトルメントレコードに保持されるため、追加の構成を実行できます。
5. ソフトウェア権限が割り当てられているユーザーとデバイスを指定するには、[ユーザー割り当て] または [デバイス割り当て] セクションを選択します。
   IBM リソースバリューユニット (RVU) ライセンス測定基準の [デバイス割り当て] セクションは表示されません。リソースバリューユニット (RVU) ライセンスの測定基準は製品レベルでライセンス付与されるため、個々のデバイスで権限が使用されることはありません。デバイスが割り当てられていた以前のリリースからその Washington DC リリースにアップグレードすると、既存のデバイスの再配置は削除されます。
6. ソフトウェアのダウングレード権限を追跡するには、[ダウングレード権限] 関連リスト を選択し、バージョンを指定します。
   新しいレコードを作成すると、以前のバージョンのソフトウェアに対するエンタイトルメントを設定できます。たとえば、Office Professional Plus 2016 の Microsoft 権限を購入すると、Office Professional Plus 2013 も利用 Microsoft できるようになります。

   詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。
7. ライフサイクル全体でソフトウェアのコストを追跡するには、 経費ライン を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. ライセンス キーを管理するには、[ライセンス キー] 関連リスト を選択し、エンタイトルメントに割り当てるライセンス キーを指定します。
9. 購入したすべてのメンテナンスエンタイトルメントの履歴を表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストを選択します。
   たとえば、M1 (現在は廃止) と M2 (現在使用中) の 2 つのメンテナンスエンタイトルメントを購入した場合、[Entitlement History] 関連リンクには M1 と M2 の両方が表示されます。
10. エンタイトルメントと以前のソフトウェアモデルに関連する新しくアップグレードされたソフトウェアモデルの履歴を表示するには、[アップグレード履歴] 関連リストを選択します。
11. [更新] を選択します。
    エンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントリストビューに追加されます。

関連情報

ソフトウェアエンタイトルメントフィールド

ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント

ソフトウェアライセンス測定基準

クラシック版の ソフトウェア資産管理 メンテナンスエンタイトルメントの作成

を除くすべての公開者の Microsoftライセンスの詳細を定義し、契約やソフトウェアアップグレードの開始日と終了日など、すべてのソフトウェアライセンスのメンテナンスニーズを管理します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. ソフトウェアエンタイトルメントフォームで必須フィールドに入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで [メンテナンス] を選択します。

   すべてのフィールドの詳細については、「」を参照してください ソフトウェアエンタイトルメントフィールド。

   メンテナンスエンタイトルメントが関連付けられているソフトウェアモデルで [次のバージョン] フィールドが設定されており、メンテナンスエンタイトルメントで選択された測定基準グループが [共通] である場合、メンテナンスエンタイトルメントはソフトウェアモデルの次のバージョンで更新されます。次のバージョンは、 共通 測定基準グループにのみ適用されます。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

   注:
   無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権限のみをメンテナンスエンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 のアクティブな権限 (E1) を持つ無期限エンタイトルメントを購入したとします。これらの権限のうち 20 個をメンテナンスエンタイトルメントの 20 個の権限に関連付けます。E1 無期限エンタイトルメントは、自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。1 つは、メンテナンスエンタイトルメント (M1) の 20 の権限に関連付けられた 20 のアクティブな権限 (および 50 の購入権限) を持つ無期限エンタイトルメント (E1) と、メンテナンスの関連付けがなく購入権限のない 30 のアクティブな権限を持つもう 1 つの無期限エンタイトルメント (E2) です。
5. 新しいメンテナンスエンタイトルメントレコードに対して追加の構成を実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「」を参照してください ソフトウェアエンタイトルメントフィールド。

メンテナンスエンタイトルメントにユーザーまたはデバイスの割り当てを追加することはできません。

a. [財務] タブに、資産の購入元となるベンダーや請求書番号などの財務に関する情報を入力します。

b. リース契約、保証の有効期限などの契約に関する情報を [契約]タブに入力します。

c. [関連エンタイトルメント **(Related Entitlements**)] タブで、関連する無期限エンタイトルメントをメンテナンスエンタイトルメントにリンクします。

i. [関連エンタイトルメント **(Related Entitlements**)] タブを選択します。

ii. [関連エンタイトルメント] リストの [関連エンタイトルメント] フィールドで、[新しい行を挿入...] をダブルクリックします。

iii. プロンプトが表示されたら、リンクする関連する無期限エンタイトルメントを検索して選択し、[保存] ( ) アイコンをクリックします。

iv. 対応する [アクティブな権限] フィールドをダブルクリックします。

v. プロンプトが表示されたら、関連する無期限エンタイトルメントに付与する権限の数を入力し、[Save] ( ) アイコンをクリックします。

vi. [Software Entitlement] フォームヘッダーの [**Save**] をクリックします。

無期限エンタイトルメントとメンテナンスエンタイトルメントの関係を削除するには、[関連エンタイトルメント] リストからエンタイトルメントを削除します。

エンタイトルメントが分割され、メンテナンスエンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

d. [ダウングレード権限] 関連リストで、メンテナンス資格付与に関連付けられたソフトウェアモデルのダウングレード権限を表示します。

e. ライセンス キーを管理し、資格付与に割り当てるライセンス キーを指定するには、[ライセンス キー] 関連リストをクリックします

f. ライフサイクル全体にわたるソフトウェアのコストを追跡するには、[経費ライン] 関連リストをクリックします。

g. 購入したすべてのメンテナンス資格付与の履歴を表示するには、[資格付与履歴] 関連リストをクリックします。
たとえば、M1 (現在は廃止) と M2 (現在使用中) の 2 つのメンテナンスエンタイトルメントを購入した場合、[Entitlement History] 関連リンクには M1 と M2 の両方が表示されます。

h. エンタイトルメントと以前のソフトウェアモデルに関連する新しくアップグレードされたソフトウェアモデルの履歴を表示するには、[アップグレード履歴] 関連リストをクリックします。

6. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラシック版ソフトウェア資産管理ソフトウェアアシュアランスのエンタイトルメントを作成する
Create entitlements Microsoft for software assurance in classic

ソフトウェアアシュアランス (SA) の Microsoft ライセンス詳細を定義して、契約の開始日と終了日、ソフトウェアのアップグレード、および関連するソフトウェアエンタイトルメントを管理します。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで、購入したソフトウェア公開者の権限に関する詳細を入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで [メンテナンス] を選択します。

   注:
   SA エンタイトルメントに付与される権限の数を [アクティブな権限] フィールドに入力していることを確認してください。SA エンタイトルメントにユーザーまたはデバイスの割り当てを追加することはできません。

   すべての資格付与に関連するフィールドの詳細については、「」を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。

4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   エンタイトルメントが [ソフトウェアエンタイトルメント] リストに表示されます。

   注:
   無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権限のみを SA エンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 のアクティブな権限 (E1) を持つ無期限エンタイトルメントを購入したとします。これらの権限のうち 20 個を SA エンタイトルメントの 20 個の権限に関連付けます。これで、E1 の無期限エンタイトルメントは、2 つのエンタイトルメントに自動的に分割されます。1 つは SA エンタイトルメント (M1) の 20 の権限に関連付けられた 20 のアクティブな権限 (および 50 の購入権限) を持つ無期限エンタイトルメント (E1) と、SA 関連付けがなく購入済みの権限がない 30 のアクティブな権限を持つもう 1 つの無期限エンタイトルメント (E2) です。

5. 追加の構成を実行するには、ソフトウェアエンタイトルメントリストから新しいソフトウェアエンタイトルメントレコードを選択します。

   a. 関連する無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントをリンクするには、次の手順に従います。

      i. [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで、[関連エンタイトルメント] タブを選択します。

      ii. [関連エンタイトルメント] リストの [関連エンタイトルメント] フィールドで、[新しい行を挿入...] をダブルクリックします。

      iii. プロンプトが表示されたら、リンクする関連する無期限エンタイトルメントまたは SA エンタイトルメントを検索して選択し、[Save] (アイコンをクリックします。

      iv. 対応する [アクティブな権限] フィールドをダブルクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

v. プロンプトが表示されたら、関連する無期限エンタイトルメントまたはSAエンタイトルメントに付与する権限の数を入力し、[Save]( )アイコンをクリックします。

vi. [Software Entitlement] フォームヘッダーの [**Save**] をクリックします。

無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントの関係を削除するには、[関連エンタイトルメント] リストからエンタイトルメントを削除します。

リンクされている無期限または SA エンタイトルメントを削除しても、もう一方のエンタイトルメントは削除されません。

エンタイトルメントが分割され、SA エンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

b. メンテナンス契約の一部としてソフトウェアを新しいバージョンにリンクするには、[アップグレードされたエンタイトルメント] 関連リストをクリックします。

注:
この関連リストは、エンタイトルメントライセンスタイプとして [ステップアップ] を選択した場合にのみ利用できます。

ソフトウェアモデルで [次のバージョン] フィールドが入力されている場合、アクティブな SA を持つエンタイトルメントはソフトウェアモデルの新しいバージョンに更新されます。

関連するエンタイトルメントをリンクした後、無期限エンタイトルメント権限をカバーするのに十分な SA 権限がない場合は、エラーメッセージが表示されます。

c. 過去にリンクされた関連するすべてのエンタイトルメントを表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストをクリックします。

注:
検証は、関連するすべてのエンタイトルメントのアクティブな権限に対して自動的に実行されます。計算でエラーが発生した場合は、問題の解決方法に関する追加情報を含むメッセージが表示されます。

6. [更新] をクリックします。

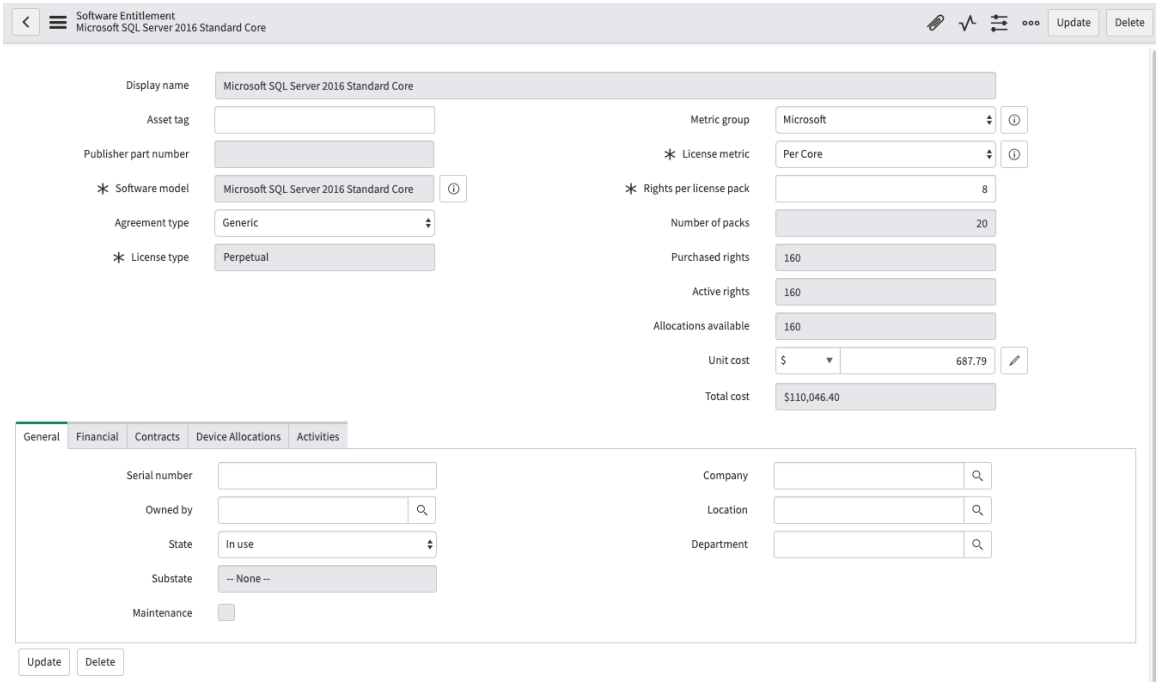
タスクの結果
エンタイトルメントを作成したら、 ライセンス使用状況の表示を開始できます。

Example: ソフトウェアアシュアランスのソフトウェア権限 **Microsoft** を記録する

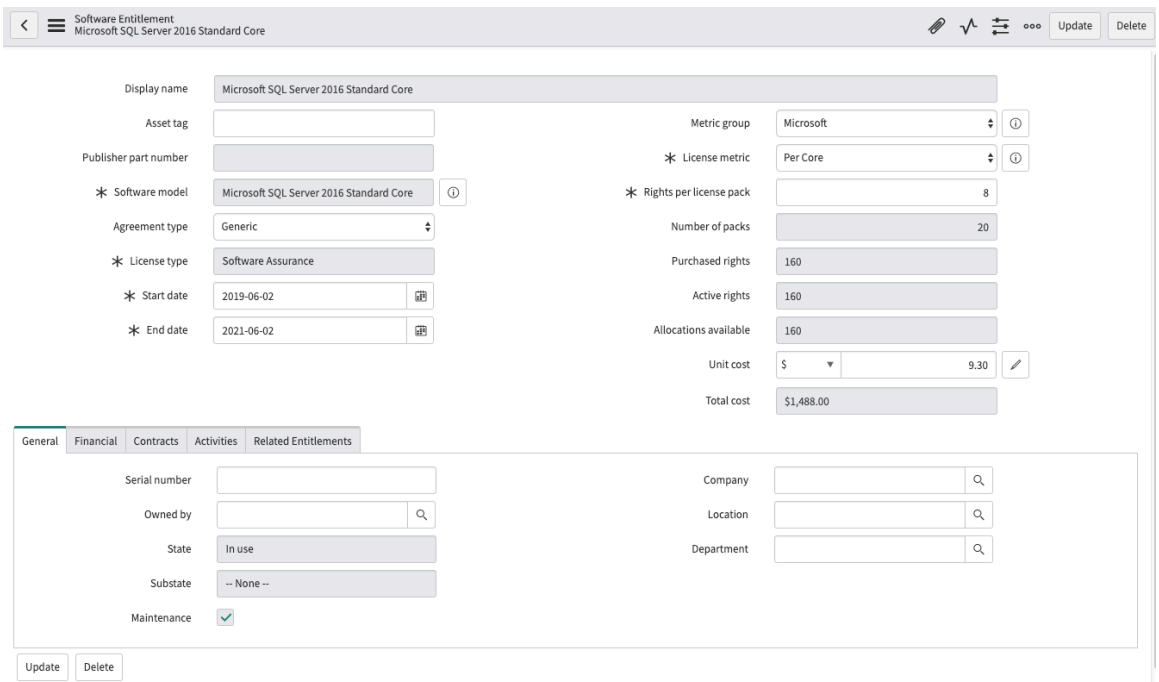
SQL Server 2016 の Microsoft 権限を 100 個購入しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



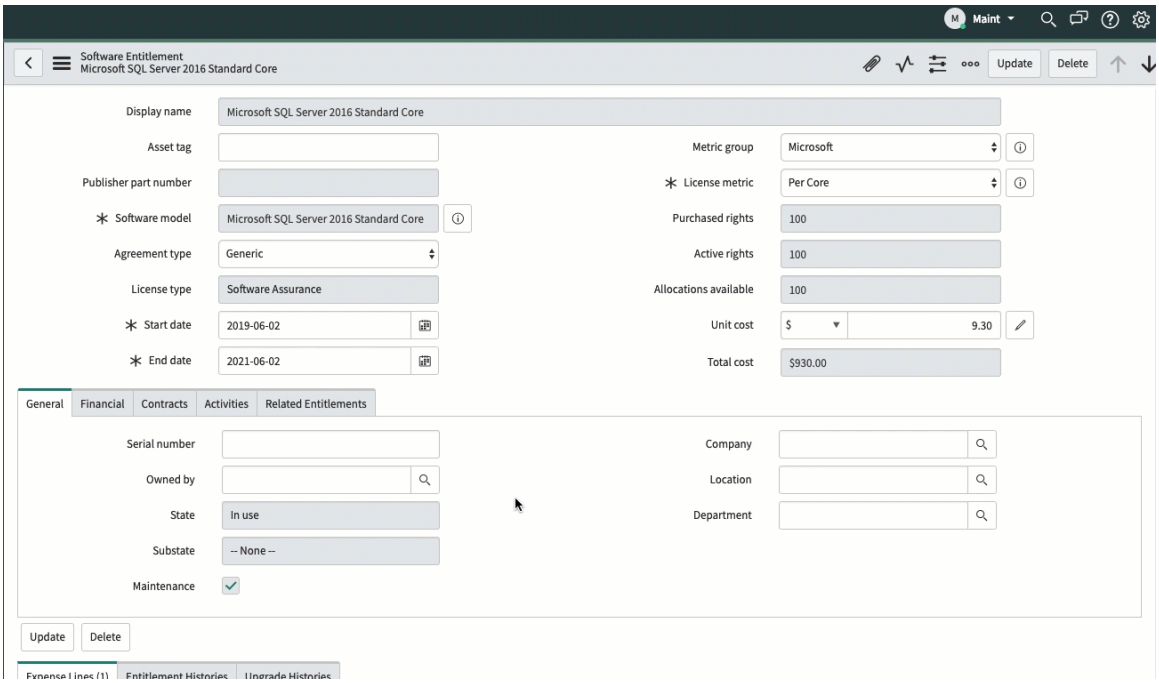
また、SQL Server 2016 ライセンスの Microsoft SA も購入しました。



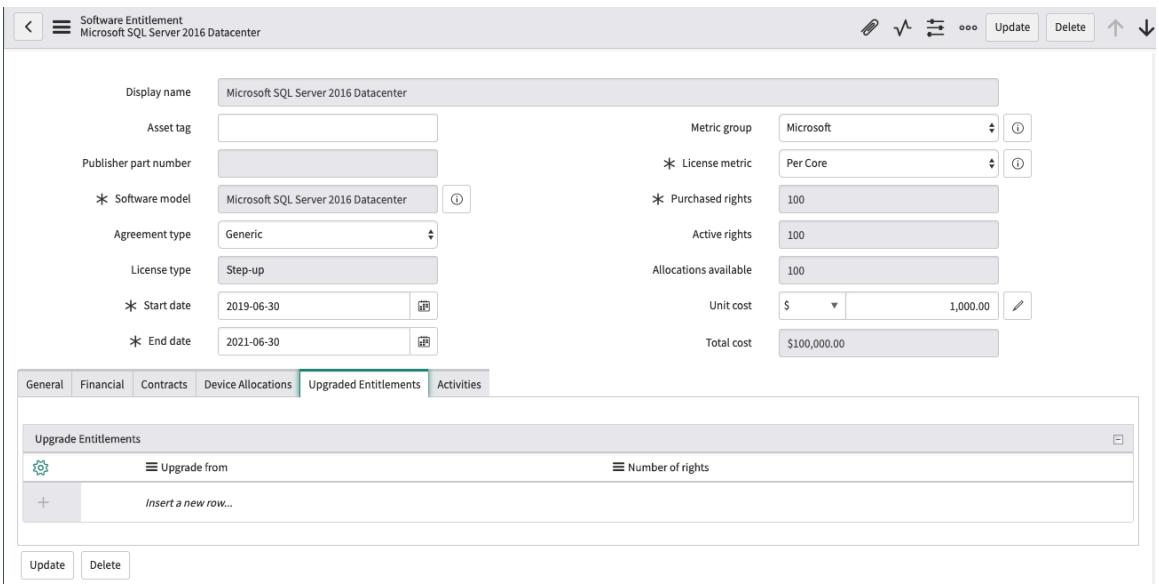
ライセンスを正確に追跡するには、無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントを関連付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アクティブなメンテナンス中は、 Microsoft SQL Server 2016 データセンターをリリースします。アップグレードされたソフトウェアのエンタイトルメントを作成し、関連するエンタイトルメントをリンクして、現在のバージョンから新しいリリースにステップアップします。



クラシック版の ソフトウェア資産管理 ソフトウェアモデルの作成

ソフトウェアモデルを作成して、購入したソフトウェア権限をシステムで検出されたソフトウェアインストールに接続するために使用される製品の詳細を追加します。

始める前に

必要なロール：sam_user または model_manager

このタスクについて

ソフトウェア モデルは手動で作成できます。ただし、Software Asset Management コンテンツ サービスライブラリを利用して、ソフトウェアエンタイトルメントとの関係を通じてソフトウェアモデルの作成を自動化することができます。ソフトウェアエンタイトルメントの作成またはインポート中に公開者の品番を指定すると、ソフトウェアモデル (必要な場合) または既存のソフトウェアモデルへのリンクが自動的に作成されます。公開者の品番が利用できない場合、公開者の品番がコンテン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ツサービスライブラリに存在しない場合、またはカスタム製品のソフトウェアモデルを作成する場合は、ソフトウェアモデルを手動で作成する必要があります。

> **注:**
> model_managerロールを持っている場合は、次に移動できます。 **Product Catalog** > 製品モデル > ソフトウェアモデル ただし、ソフトウェアモデルのすべての側面を管理できるわけではありません。

製品ライフサイクルを通じて、製品バージョン (ライセンス可能、マイナー、またはビルド) のライフサイクル情報を表示および追跡します。製品ライフサイクルはソフトウェアモデルに関連付けられています。製品ライフサイクルは、公開者、製品、エディション、エディション条件、バージョン、バージョン条件などの属性に基づいています。ライフサイクル情報は、製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] およびカスタム製品ライフサイクル [sam_custom_sw_product_lifecycle] テーブルで維持されます。

ソフトウェア資産分析ダッシュボードで詳細な製品ライフサイクルレポートを表示し、ソフトウェアインストールにドリルダウンできます。製品ライフサイクルを手動で作成し、[ソフトウェアモデル] フォームレイアウトの [ソフトウェア製品ライフサイクル] 関連リスト でソフトウェアモデルに関連付けられた製品ライフサイクルを表示することもできます。

> **注:**
> 重複する製品ライフサイクルを作成できますが、ドメインは異なります。

[すべてのバージョンの製品ライフサイクルを表示] 関連リンクをクリックすると、ソフトウェアモデルフォームレイアウトで製品のすべてのバージョンのライフサイクルを表示できます。

パブリッシャーパックをインストールし SAP た場合は、 のレコードパブリッシャー詳細 SAP.

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアモデル.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. ソフトウェアモデルフォームで、ソフトウェア公開者 の詳細を入力します 。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. ソフトウェア公開者がスイートの一部であるかどうかを指定します。
   - ソフトウェアモデルをスイート (親) として指定するには、[スイート (親)] 関連リスト を選択し、スイートに含まれるすべてのソフトウェアを追加します。
   - ソフトウェアモデルをスイートコンポーネントとして指定するには、[スイートコンポーネント] 関連リスト を選択し、親スイートを追加します。

     > **注:**
     > 製品の詳細に検出マップを追加した場合は、事前定義されたスイートが使用され、既知のスイートの親に対してスイートコンポーネントが自動的に作成されます。

6. ソフトウェアモデルに関連付けられているソフトウェアのセルフサービス機能を有効にするには、ソフトウェアモデルをサービスカタログに公開します。

   a. [ソフトウェアカタログに公開] 関連リンクを選択します。
   [`<`ソフトウェア モデル> をソフトウェア カタログに公開] ダイアログ ボックスが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ダイアログ ボックスで、[カテゴリ] フィールドを [ソフトウェア] に設定します。

c. [OK] を選択します。

7. ソフトウェアモデルのソフトウェア公開者と製品のフィールドが一致する検出マップを表示するには、[**Show Matching Discovery Models**] 関連リンクを選択します。
8. ソフトウェアモデルに関連付けられているすべての製品ライフサイクルを表示するには、を選択します ソフトウェア製品ライフサイクル。
新規 を選択して、カスタム製品ライフサイクルを作成します。
9. 属性値を設定するには、[評価指標属性] 関連リスト を選択してフォームに入力します。
属性値を追加すると、このパブリッシャー情報が関連付けられたエンタイトルメントの [評価指標グループ] フィールドが自動的に入力されます。測定基準グループに基づくと、公開者に関連するライセンスの測定基準のみが利用可能です。
10. ソフトウェアモデルをベンダーに関連付けるには、[ベンダーカタログアイテム] 関連リスト を選択してフォームに入力します。
11. ソフトウェアにアクセスするデバイスまたはユーザーの数を指定するには、[クライアントアクセス] 関連リスト を選択し、フォームに入力します。
12. ソフトウェアのダウングレード権限の新しいレコードを作成するには、[Downgrade Rights] 関連リスト を選択してフォームに入力します。

    注:
    ソフトウェアモデルに関連付けられた検出マップがあり、検出マップにダウングレード権限がある場合、ダウングレード権限は自動的に入力されます。ソフトウェアのダウングレードされたバージョンは階層リストに表示されます。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

13. [更新] を選択します。

関連情報

サポートされているソフトウェアパブリッシャーライセンス

ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント

ソフトウェアモデル フィールド

クラシック版で ソフトウェア資産管理 製品ライフサイクルの平均を作成する

クラシックアプリケーションのソフトウェアの提供終了 (EOL) とサポート終了 (EOS) のライフサイクル ソフトウェア資産管理 を計算するための平均を作成します。

始める前に

必要なロール：model_manager

このタスクについて

すべての製品と公開者に対してグローバルに使用できる平均を作成することも、製品または公開者に固有の平均を作成することもできます。これらの平均は、製品の計算済みライフサイクルを作成するために使用されます。計算されたライフサイクルの詳細については、「」を参照してください サポート終了 (EOL) およびサポート終了 (EOS) のライフサイクル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > ソフトウェアライフサイクル平均.
2. 新規 を選択して、ソフトウェア ライフサイクル平均 ページを開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
タイプ	ライフサイクルを作成するために選択するオプションのタイプ。次のオプションから選択します。 ○ カスタム業界平均:GA 日に基づく業界平均を指します。 ○ 製品:特定の製品を指します。これには、カスタム製品も含まれます。 ○ パブリッシャー: 特定のパブリッシャーを指します。これには、カスタム発行者も含まれます。
表示名	このライフサイクル平均レコードの一意の名前。
製品	このフィールドは、[タイプ] フィールドで値 [製品] を選択した場合にのみ表示されます
パブリッシャー	製品を選択すると、このフィールドは自動的に入力されます。[タイプ] フィールドで値 [パブリッシャー] を選択した場合は、パブリッシャーを選択します。
ドメイン	インスタンスが配置されているドメインを示します。
平均提供終了期間 (月数)	EOL ライフサイクルの月数を指定します。
平均サポート終了期間 (月)	EOS ライフサイクルの月数を指定します。
アクティブ	ライフサイクル平均レコードがソフトウェアライフサイクルの作成に使用されることを示します。

4. [送信] を選択します。
   レコードが作成され、[ソフトウェアライフサイクル平均] リストビューに表示されます。

Software Asset ワークスペース の使用

Software Asset ワークスペースアプリケーションの直感的で合理的なユーザーインターフェイスソフトウェア資産管理を使用して、ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、および最適化を管理します。

Software Asset ワークスペース 横向き

は Software Asset ワークスペース 、複数のビューを備えた統合メディアです。ビューでは、エンタイトルメント、ソフトウェアモデルの作成、調整結果の実行と確認、コンプライアンス違反の修

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

正、ソフトウェア資産の可視化、ダッシュボードを介した分析へのアクセスの提供を行うことができます。

次の Software Asset ワークスペース ビューが含まれています。

- ソフトウェア資産の概要:の Software Asset ワークスペースランディングページ。エンタイトルメントを作成し、調整を実行し、主要な評価指標を表示し、ソフトウェア資産に関する時間制限付きアラートと通知を取得できます。
- ライセンス使用状況:すべての公開者のコンプライアンスステータスの表示、調整結果の確認、未使用のソフトウェアの再利用、レポートの表示と実行を行うことができます。
- ライセンス操作:すべてのエンタイトルメント、ソフトウェアモデル、インポートエンタイトルメントエラー、検出モデルをリストします。
- ソフトウェア資産分析:最適化、エンジニアリングライセンス、正規化とコンテンツの統合 SaaSダッシュボードを表示します。
- の成功ポータルビュー Software Asset ワークスペース:環境内のアプリケーションのパフォーマンス ソフトウェア資産管理 を評価します。
- 更新カレンダー:有効期限が近づいているエンタイトルメントと、有効期限が近づいている、またはすでに期限切れの契約を表示します。
- 重複する使用状況:使用している SaaS アプリケーションと SSO アプリケーションの機能レベル使用状況を表示します。
- Content lookup ポータル:コンテンツサービスに保存されている ソフトウェア資産管理 データを表示します。

ソフトウェア資産の概要

最新の分かりやすいソフトウェア資産概要ビューを使用して、 ソフトウェア資産管理エクスペリエンスを向上させます。ソフトウェア資産の概要は簡素化されて直感的に使用できる環境で、複雑さを軽減することでアプリケーションをより効果的に使用するために役立ちます。

ソフトウェア資産の概要ビューを使用して、次の操作を行います。

- コンプライアンスの傾向、調整コスト、節減見込み、正規化レートなどの重要な測定基準に関するインサイトを得ます。
- 調整の実行や資格付与の作成などのルーチンタスクの実行
- を使用して、インスタンスガイド付きセットアップで ServiceNow Microsoft SQL Server と Microsoft Windows Server を構成します。詳細については、「ソフトウェア資産管理 Playbook と Guided Setup」を参照してください。
- アラートと通知を使用して、ソフトウェア資産に関するアクション可能なインサイトを取得します。
- 製品またはパブリッシャーでソートして、結果を絞り込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

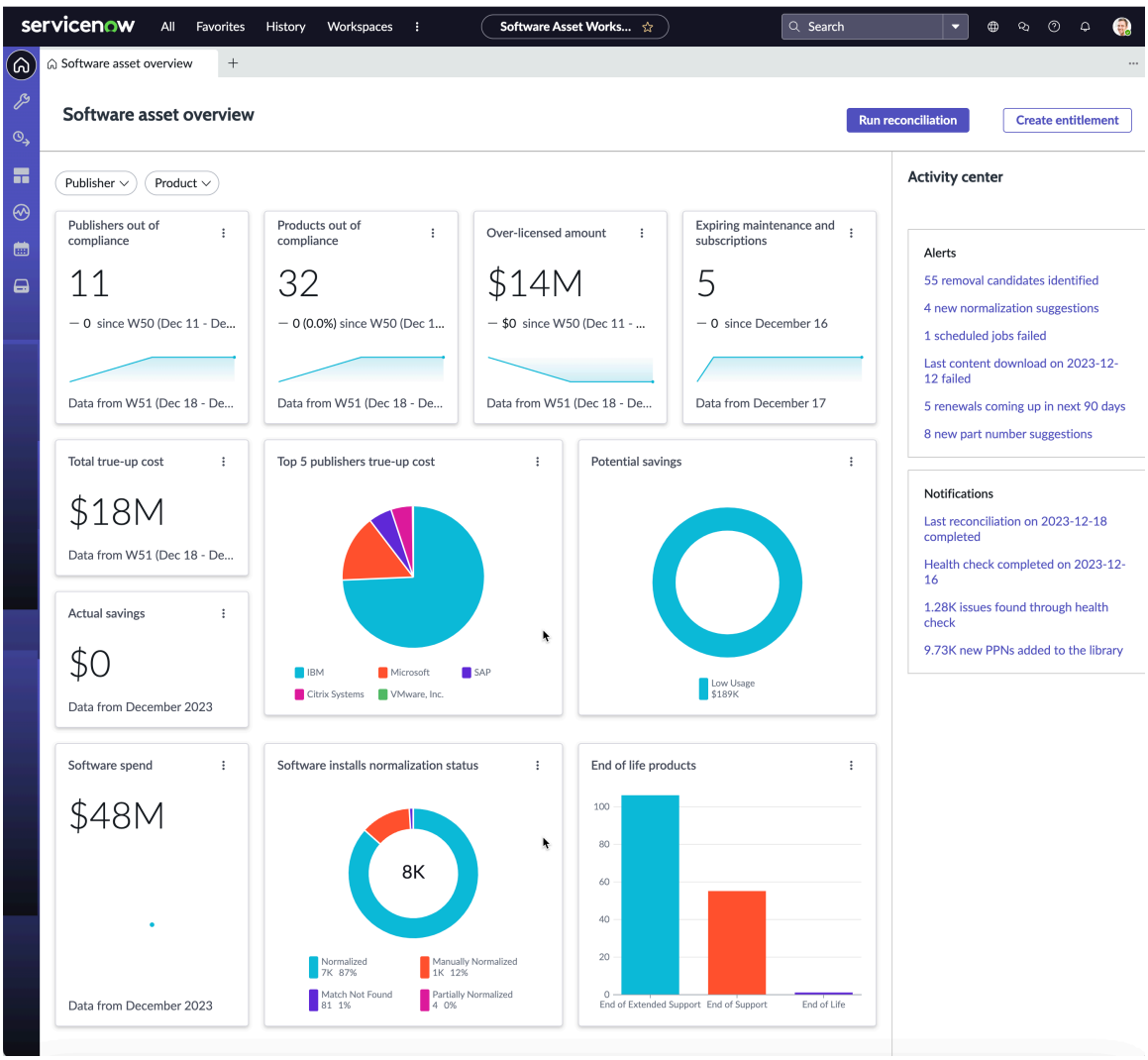
- のフェーズごとの実装 ソフトウェア資産管理で管理しているソフトウェア製品にのみ関連するレポートとダッシュボードを表示するには、[公開済み] ステータスでフィルタリングします。

  注:
  公開済みステータスフィルターは、システムプロパティ com.snc.samp.manage.published.products がインスタンスで ServiceNow 有効になっている場合にのみ表示されます。既定では、このフィルターは [公開済み] に設定され、次のレポートには公開された製品の詳細が表示されます。

  - コンプライアンス違反公開者
  - コンプライアンス違反製品
  - ライセンス供与過剰金額
  - 総調整コスト
  - 上位 5 件のパブリッシャーの調整コスト
  - ソフトウェア支出

  ただし、このフィルターを [未公開] に設定することで、公開されていない製品に関連するレポートを表示することもできます。すべての製品に関連するレポートを表示するには、[公開済みステータス] フィルターをクリアします。

ソフトウェア資産の概要ビュー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットを選択すると、詳細情報が表示されます。ウィジェットはすべて、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

結果を絞り込むために、パブリッシャーまたは製品でワークスペースをフィルタリングできます。

注:
フィルターで複数のパブリッシャーを選択し、[コンプライアンス違反パブリッシャー] ウィジェットを選択すると、準拠していないすべてのパブリッシャーが一覧表示されます。製品についても同様です。

ソフトウェア資産の概要ダッシュボード

レポート	ソース	説明
コンプライアンス違反公開者	製品の結果 [samp_product_result]	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。 レポートを選択すると、ライセンス使用状況ビューに結果が表示されます。
コンプライアンス違反製品	製品の結果 [samp_product_result]	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、ライセンス使用状況ビューに結果が表示されます。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果 [samp_product_result]	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
期限切れ間近のメンテナンスとサブスクリプション	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	6 か月以内に期限切れになるすべてのエンタイトルメント合計の終了日。 エンタイトルメントの合計には次のものが含まれます。 • 無期限 • メンテナンス • 無期限 + メンテナンス • アップグレード • SA • 無期限 +SA • ステップアップ レポートを選択すると、期限切れになる特定のエンタイトルメントの詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産の概要ダッシュボード (続く)

レポート	ソース	説明
		注: メンテナンスおよび SA エンタイトルメントは、関連付けられた無期限エンタイトルメントが表示されるため、表示されません。
総調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	パブリッシャーによる権限の資格付与の平均価格に基づいて計算される、コンプライアンスのためのコスト。
上位 5 件のパブリッシャーの調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	上位 5 人のパブリッシャーを調整コスト順に円グラフで示します。
節減見込み	製品の結果 [samp_product_result]	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。 ドーナツグラフにカーソルを合わせると、特定の理由の削除候補の数がコストとともに表示されます。削除候補は理由別にグループ化されます。ドーナツグラフで理由を選択すると、その特定の理由を持つ削除候補のリストが表示されます。
実際の削減	再利用候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	クローズ済みの完全削除候補の特定の月に見込まれる節減額の合計。
ソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	廃止されていないすべてのエンタイトルメントのソフトウェアの総コスト。
ソフトウェアインストール正規化ステータス	ソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model]	正規化ステータスに基づくソフトウェアインストールの数。 ドーナツグラフで標準化ステータスを選択すると、検出モデルのリストと各検出モデルのインストール数が表示されます。さらに Discovery モデルを選択して、ソフトウェアインストールのリストを表示することもできます。 このウィジェットのレポートは、次の日次ジョブスケジュールが実行された後にのみ入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産の概要ダッシュボード (続く)

レポート	ソース	説明
		• SAM - コンテンツライブラリルールを使用して検出モデルを正規化 • SAM:日次ジョブ 注: このウィジェットに適用できるのは [製品] フィルターのみです。
提供終了製品	製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle]	ライフサイクルの終了が近いソフトウェア製品のライフサイクルのグラフ。ソフトウェアインストールにドリルダウンする場合に選択します。

アクティビティセンター

ソフトウェア資産に関する時間的制約のあるアラートと通知を取得します。アクティビティセンターには、すぐに注意を払う必要のあるアクションを通知する事前定義された一連のアラートが表示されます。注意が必要なイベントまたはアクティビティに関する通知もアクティビティセンターに表示されます。アラートまたは通知をクリックすると、詳細が表示されます。

sam_user ロールを持つすべてのユーザーは、sam_admin ロールを必要とする次のアラートを除き、すべてのアラートと通知にアクセスできます。

- ジョブスケジュールが失敗しました。
- 前回のコンテンツダウンロードが失敗しました。

アクティビティセンターのアラート

アラート	ソース	説明
削除候補を特定	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	アクティブステータスが true で、ステータスが ready である新しい削除候補。 選択すると、ライセンス使用状況ビューに削除候補のリスト全体が表示されます。
新しい正規化の提案	正規化の提案 [samp_normalization_suggestions]	ステータスが new の場合に作成された正規化提案レコード。 新しい正規化提案レコードを詳細に表示する場合に選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティセンターのアラート (続く)

アラート	ソース	説明
認識されないサブスクリプション識別子	認識されないサブスクリプション識別子 [samp_sw_unrecognized_subscription_id]	ソフトウェアモデル列が空の場合に、認識されないサブスクリプション ID 数が特定されます。
新規ソフトウェア要求	要求 [sc_request]	要求ステータスが承認待ちのソフトウェア要求。 クラシック版 Software Asset Management インターフェイスでソフトウェア要求リストを表示する場合に選択します。
前回の調整失敗 (Last reconciliation failure)	調整結果 [samp_reconciliation_result]	調整プロセスの最新のジョブスケジュールが失敗しました。 選択すると、ライセンス使用状況ビューに結果が表示されます。 **注:** 調整プロセスのステータスに応じて、前回の調整失敗 (アラート) または前回の調整完了 (通知) が表示されます。調整プロセスが失敗した場合は、アラートが表示されます。調整プロセスが成功した場合、通知が表示されます。
ジョブスケジュールが失敗しました	ソフトウェア資産ジョブ結果 [samp_job_log]	過去 1 週間以内の前回の実行で失敗したジョブスケジュール。 ソフトウェア資産ジョブのログを新しいタブで開く場合に選択します。 **注:** sam_admin ロールを持つユーザーのみが、ソフトウェア資産ジョブの結果テーブルにアクセスできます。
エンタイトルメントのインポートエラー	エンタイトルメントのインポートエラー [samp_entitlement_import]	エラーステータス列の値がオープンになっているエンタイトルメントのインポートエラー。
前回のコンテンツダウンロードが失敗しました	資産のジョブ履歴 [asset_job_log]	コンテンツダウンロードの前回のジョブスケジュールが失敗しました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティセンターのアラート (続く)

アラート	ソース	説明
		注: sam_admin ロールを持つユーザーのみが、資産ジョブログテーブルにアクセスできます。
失敗： <<.xlsx>> のエンタイトルメントのインポート	エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import]	成功または失敗に基づくエンタイトルメントのインポートステータス。失敗ステータスがアラートとして表示されます。あるいは、完了ステータスのいずれかが次の通知として表示されます。 • 完了：エンタイトルメントのインポート • エラーで完了：エンタイトルメントのインポート
新しい CPE 正規化の提案	CPE 正規化の提案 [sn_samp_vr_cpe_mapping_suggestion]	ステータスが new の場合に作成された CPE 正規化提案レコード。 新しい CPE 正規化提案レコードを詳細に表示する場合に選択します。
90 日以内に予定されている更新の数	• 契約 [ast_contract] • ソフトウェア ライセンス [alm_license]	90 日以内に予定されているソフトウェア契約とエンタイトルメントの更新の数。 アラートを選択すると、現在の日付から 90 日以内に予定されている更新が表示されます。

アクティビティセンターの通知

Notifications	ソース	説明
先週特定された新しい SSO アプリケーション	SSO アプリケーション [samp_sso_application]	Single Sign-on (SSO) ステータスが「切断」で、現在の日付から過去 1 週間以内に作成された新しい SSO アプリケーション。
前回の調整が完了しました	調整結果 [samp_reconciliation_result]	調整プロセスの最新のジョブスケジュールが完了しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティセンターの通知 (続く)

Notifications	ソース	説明
		選択すると、ライセンス使用状況ビューに結果が表示されます。
提供終了間近の製品	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	ライフサイクルの終了が近く、インストール数が 0 より大きい製品。
ライブラリに新しい PPN が追加されました	ソフトウェア製品定義 [samp_sw_product_definition]	新しい PPN が、現在の日付と比較して最新のコンテンツバージョンで、コンテンツサービスライブラリーに追加された。
ソフトウェア資産デマンドが承認されました	ソフトウェア資産デマンド [samp_demand]	ソフトウェア資産デマンドを承認されたものでフィルタリングしたリストビュー。
完了：エンタイトルメントのインポート または エラーで完了：エンタイトルメントのインポート	エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import]	エンタイトルメントのインポートが正常に完了したか、エラーが発生して完了しました。 **注:** エンタイトルメントのインポートが失敗した場合は、アラートとして表示されます。

[ライセンス使用状況] ビュー

ライセンス使用状況ビューを単一のプレーンとして使用して、すべてのソフトウェア製品のライセンス位置を把握し、コンプライアンス違反を修正し、調整結果を表示し、削除候補を表示または追加し、関連レポートを表示します ソフトウェア資産管理 。

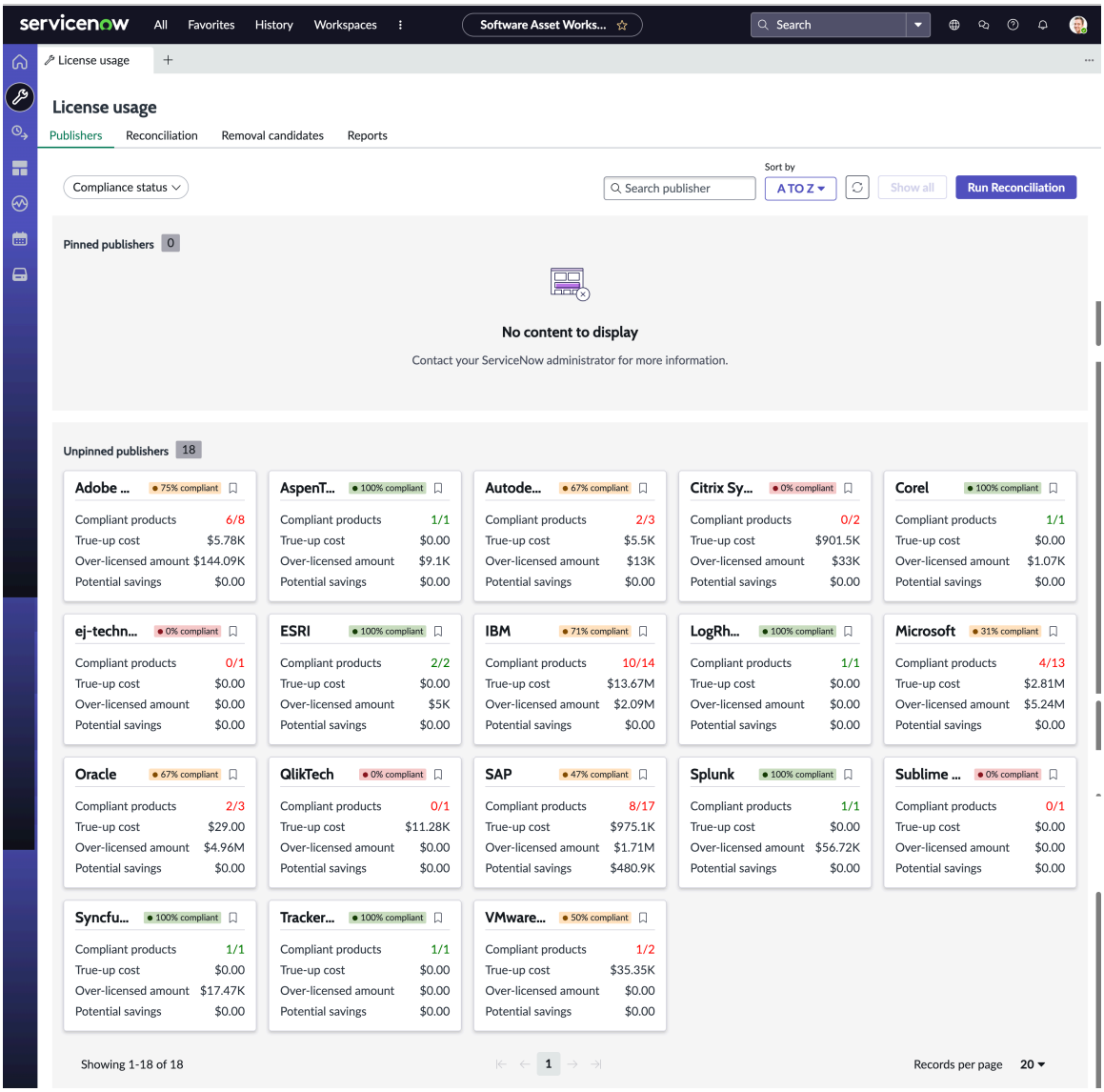
ライセンス使用状況ビューでは、組織のライセンス使用傾向を把握し、購入したライセンス数に対して必要なライセンス数を傾向分析することで、組織のニーズを予測できます。ソフトウェアの消費が所有する権利の数を超える前に追加の権利を購入することで、コンプライアンスを維持します。

ライセンス使用状況ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンス使用状況] ビュー



ライセンス使用状況ビューを使用して、次の操作を行います。

- パブリッシャーを固定します (ユーザー固有、保存済み)。
- ライセンス供与過剰金額や調整コストなど、公開者の主要な測定基準を表示します。
- ドメインとコンプライアンスステータスによるフィルタリング
- 調整コスト、過剰ライセンス金額、見込まれる節減額によるソート
- 調整を実行し、その結果を表示します。
- 前回の調整実行についての通知
- 新しい削除候補を表示および追加します。
- レポートの表示とエクスポート
- の ソフトウェア資産管理フェーズごとの実装の一環として公開したソフトウェア製品に固有の公開者カードを表示します。詳細については、「ソフトウェア製品の特定のセットを公開する」を参照してください。

> **注:**
> 公開ステータスのフィルターが自動的に適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[パブリッシャー] タブ

すべての公開者のコンプライアンスステータスを表示します。各パブリッシャーカードには、色分けされたコンプライアンスステータスとコンプライアンスの割合が表示されます。製品が準拠すると、色が緑色に変わります。

- compliant:緑色で示されます。出版社の下にあるすべての製品は苦情です。
- 非準拠:赤色で示されます。公開者の下にあるすべての製品は準拠していません。

公開者カードの  は、その公開者の調整が失敗したことを示します。カードを開いて詳細を確認します。どの製品が故障したかの詳細については、パブリッシャーの詳細ページのナビゲーションツリーを参照してください。

注:
パブリッシャーカードに赤色のアイコンが表示されていても、製品の結果が生成される前にエラーが発生している可能性があるため、ナビゲーションツリーで失敗した製品に気付かない場合があります。

固定された公開者が表示され、その後に固定されていない公開者が表示されます。いくつかの選択したパブリッシャーのコンプライアンスを表示するため、簡単にアクセスできるようにパブリッシャーを固定できます。カードの右端のブックマークアイコンを選択して固定します。パブリッシャーカードをピン留めするとすぐに、[Unpinned publishers] セクションから [Pinned publishers] セクションに移動します。

注:
固定された公開者のリストは、ユーザーごとに保存されます。固定された公開者は、固定されたユーザー公開者 [samp_pinned_user_publisher] テーブルに格納されます。

公開済みステータスフィルターを使用したフェーズごとの実装 ソフトウェア資産管理 で管理するソフトウェア製品に関連するパブリッシャーカードのみを表示します。公開ステータスでフィルタリングすると、[ライセンス使用状況] ビューをすっきりさせることができます。

注:
公開済みステータスフィルターは、インスタンスでServiceNowシステムプロパティ`com.snc.samp.manage.published.products`が有効になっている場合にのみ表示されます。デフォルトでは、このフィルターは [公開済み] に設定されており、すべてのパブリッシャーカードには公開済みの製品の詳細が表示されます。ただし、このフィルターを [未公開] に設定することで、公開されていない製品に関連するライセンスコンプライアンスレポートを表示することもできます。すべての製品に関連するレポートを表示するには、[公開済みステータス] フィルターをクリアします。

パブリッシャーに関するコンプライアンスの詳細を表示するには、パブリッシャーカードを選択します。そのパブリッシャーのコンプライアンスの概要が [パブリッシャーの詳細] ページに表示されます。

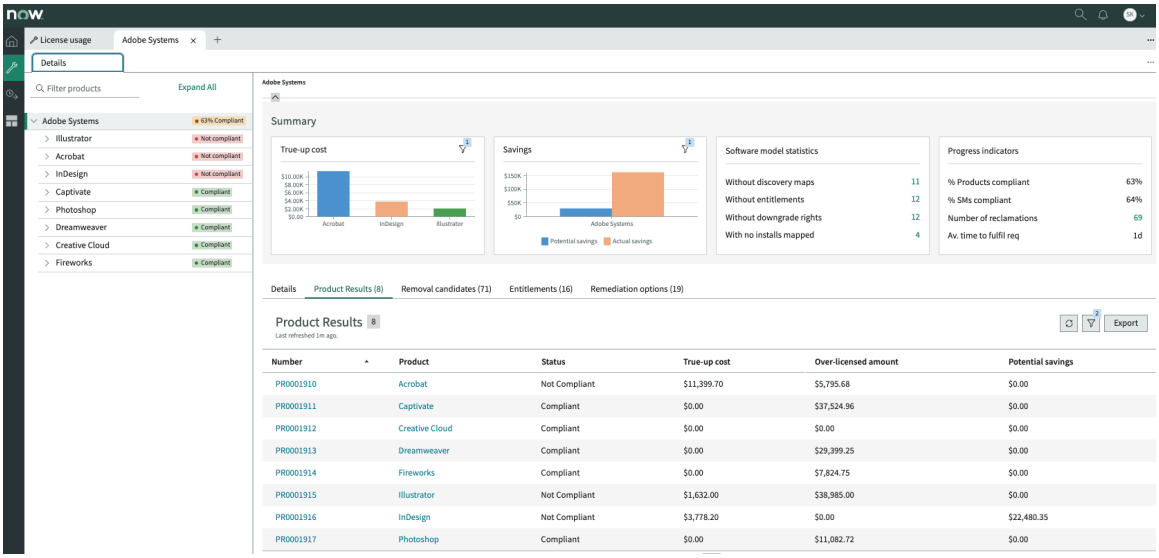
有効にすると `com.snc.samp.manage.published.products` 、次のレポートには公開された製品の詳細が表示されます。

- 調整コスト
- ソフトウェアモデル統計
- 進捗状況インジケーター

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パブリッシャーの詳細ページ



パブリッシャのナビゲーション ツリーが、次のいずれかの準拠ステータスとともにページの左側に表示されます。

- 苦情:調整が正常に完了し、インストールとサブスクリプションが準拠していると判断されました。
- 不平: 調整は正常に完了し、インストールとサブスクリプションが購入したライセンスに準拠していないと判断されました
- 失敗:調整に失敗したため、コンプライアンスを正しく判断できません。製品に障害が発生すると、ソフトウェアモデルの結果など、その製品の下にあるすべての製品に障害が発生します。

ナビゲーションビューには、公開された製品のライセンスコンプライアンスの詳細が表示されます。パブリッシャーの指標表に記載されているレポートまで下にスクロールして、公開されている製品の詳細を表示します。他の未公開製品の詳細とコンプライアンス結果を表示する場合は、[公開済みステータス] フィルターを [未公開] に設定する必要があります。

測定基準の簡単なサマリーが、その公開者に関連するリストとともに表示されます。メトリックの詳細については、パブリッシャーのメトリックの表を参照してください。関連リストの詳細については、「」を参照してください ワークスペースのライセンス使用パブリッシャーフィールド。

ナビゲーションツリーでは、次のアクションを実行できます。

- 製品、ソフトウェアモデル、またはライセンス測定基準にドリルダウンして、最新の調整結果からの計算とコンプライアンス情報を表示します。
- 製品をフィルタリングします (折りたたまれたアイテムを含むアクティブなフィルタリング)。
- ツリーリンクの展開と折りたたみ。

デフォルトでは、ナビゲーションツリーは折りたたまれています。

パブリッシャーの測定基準

レポート	ソース	説明
調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	必要な最小権限数 (必要な権限に資格付与による権限あたりの平均価格を掛けたもの) に基づいた、ライセンスなしのインス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パブリッシャーの測定基準 (続く)

レポート	ソース	説明
		トールを修復するための推定コスト。 購入権利修復オプションからの最低コスト。
預金	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
ソフトウェアモデル統計	ソフトウェア モデル [cmdb_software_product_model]	検出マップ、エンタイトルメント、およびダウングレード権限に関するソフトウェアモデルのステータス。
進捗状況インジケーター	ソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] Oracle オプション [samp_oracle_options]。 SAP エンジン使用率 [samp_sap_sw_client_access] SAP ユーザー [samp_sap_system_user] 要求アイテム [sc_req_item] 削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate] ソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] 削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate] エンティティにライセンスがない理由 [samp_entity_unlicensed_reason]	この公開者に対して既に行われているコンプライアンスの進捗状況を示します。進行状況インジケーターは公開者ごとに異なります。

[調整] タブ

このタブでは、すべての調整履歴を次のステータスとともに表示できます。

- 完了:すべての製品と公開者が調整を正常に完了した場合。
- 失敗:すべての製品と公開者が調整に失敗した場合。
- 一部完了:一部の製品または公開者のみが調整を正常に完了した場合。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最新の調整実行の結果は、[ライセンス使用状況] ビューに表示されます。詳細については、「コンプライアンスのソフトウェア調整」を参照してください。

[削除候補] タブ

このタブには、すべての削除候補のリストが表示されます。削除候補は、使用されていないソフトウェアインストールを再利用するために使用されます。

削除候補を作成することもできます。詳細については、「ワークスペースにソフトウェア削除候補を追加する」を参照してください。

[レポート] タブ

このタブからレポートを作成、表示、および実行できます。このタブでは、次のすべての基本システムレポートを使用できます。

- ソフトウェア製品ライフサイクル
- ソフトウェアライセンスコンプライアンスポジション
- Azure BYOL 節減実績レポート
- 非アクティブ化されたディスカバリーマップを含むソフトウェアモデル
- Oracle 契約ごとの DB サーバー展開レポート
- Oracle インフラストラクチャレポート
- Microsoft Windows および SQL Server インフラストラクチャの詳細レポート
- ブラウザーアクティビティレポートからのシャドウ SaaS 分析

レポートを作成および管理するには、「」を参照してください ワークスペースでのレポートの作成と管理。

ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する

調整はスケジュール設定済みジョブとして実行されますが (デフォルトは毎週)、必要に応じてソフトウェア資産ワークスペース環境のソフトウェア製品を調整するために手動で実行することも可能です。

始める前に

調整はソフトウェアエンタイトルメントまたはソフトウェアインストールがある製品に対して実行されます。グループ化とサブグループ化がサポートされているため、コンプライアンス結果を絞り込むことができます。

調整を手動で実行する場合は、プロセスが完了するのに十分な時間をおいてください。より速い結果を得るには、特定の公開者を選択して範囲を絞ります。

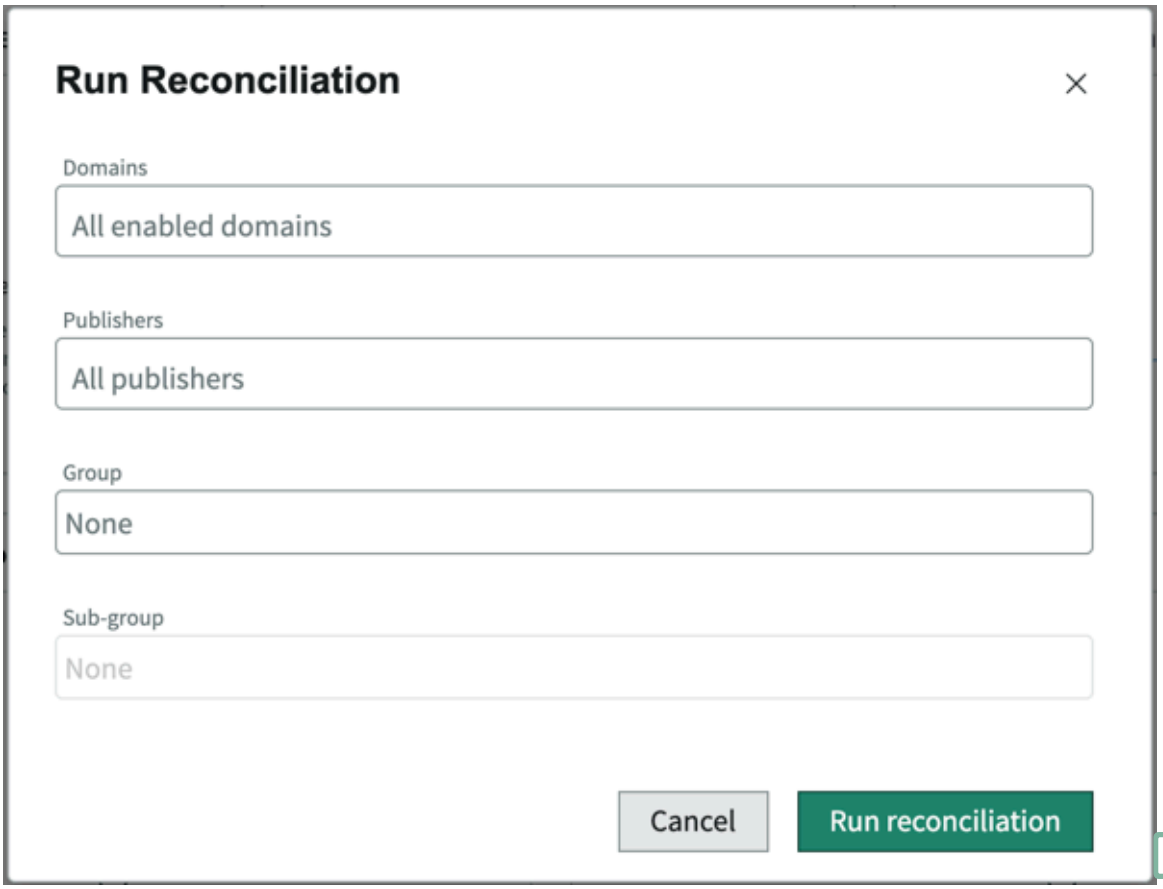
必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 次の 2 つの方法のいずれかを使用して、[調整の実行] ダイアログボックスに移動します。
   - **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産の概要 > 調整の実行
   - **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況 > 調整の実行

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

注:
インスタンスでドメイン分離が有効になっている場合は、[照合の実行] ダイアログボックスに [ドメインフィルター] ドロップダウンが表示されます。

2. コンプライアンスを計算する特定の公開者を選択します。
すべての公開者を選択することもできます。
3. 結果をさらに絞り込むには、グループまたはサブグループを選択します。
グループおよびサブグループの値としては、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) が利用できます。
4. [**Run Reconciliation]** を選択します。
調整プロセスが完了するまでに時間がかかる場合があります。調整が完了すると、調整結果が [調整] タブに表示されます。

調整結果

フィールド	説明
番号	調整プロセス中に生成された一意の識別番号。
前回の調整日時	前回の調整実行日。
ステータス	調整のステータス。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 完了 ○ 処理中 ○ 失敗
実行対象	すべての公開者、または特定の公開者。
公開者	調整を実行する公開者が指定されている場合にのみ表示されます。
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (**None**)、国 (**Country**)、部門 (**Department**)、会社 (**Company**)、地域 (**Region**)、およびコストセンター (**Cost Center**) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (**None**)、国 (**Country**)、部門 (**Department**)、会社 (**Company**)、地域 (**Region**)、およびコストセンター (**Cost Center**) があります。
進行状況	調整実行の完了率と進行状況バー。
進行状況のサマリー	調整プロセス内の特定のステップ。 **注:** このリスト列は、デフォルトでは表示されません。必要に応じて、リストの列設定をカスタマイズして追加できます。
更新日時	特定の調整プロセスが完了した日時。

自動翻訳

ワークスペースにソフトウェア削除候補を追加する

削除候補は、環境内のソフトウェアリソースを再利用します。これらは再利用ルールから自動的に作成されるか、または手動で作成できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて

ソフトウェア再利用は、デバイスからソフトウェアをアンインストールしてソフトウェア権限を再利用するプロセスに統合Workflowクライアントソフトウェアディストリビューションされており、そのプロセスを自動化します。ただし、削除候補を手動で作成することもできます。次の手順は、削除候補を手動で作成するためのものです。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. [ライセンス使用状況] を選択します。
3. [削除候補] タブを選択します。
4. [新規] を選択して、[新しい削除候補の作成] ページを開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削除候補フォーム

フィールド	説明
番号	自動的に生成される一意の削除候補番号。
アサイン先グループ	削除候補に応答する権限を与えられたソフトウェア管理者グループに自動的に設定されます。
アサイン先	このタスクの作業に対して主に責任を負う人物。
名前	自動的に生成される削除候補名。ソフトウェアインストールの表示名が含まれます。 **注:** 一括再利用機能を使用している場合、名前を生成するには、削除候補フォームで少なくとも 1 つのソフトウェアインストールを選択する必要があります。ソフトウェアのインストールが選択されていない場合、名前は生成されず、[名前] フィールドは空になります。ソフトウェア インストールを追加した後でそれらすべてを削除することにした場合、[名前] フィールドは空に戻ります。
説明	タスクが存在する 理由と、承認を受け取った場合にユーザーが行う 必要があることの説明。
ステータス	削除候補の現在のステータス。 ○ 要確認 ○ 準備完了 ○ ユーザー待ち ○ 承認待ち ○ 失効待ち ○ 完了してクローズ ○ スキップしてクローズ ○ キャンセルしてクローズ
オープン	タスクがオープンされた日付。
クローズ済み	タスクがクローズされた日付。
理由	削除候補になる理由。 ○ 低使用率 (デフォルト) ○ 未割り当て ○ ライセンスなし ○ 制限付きソフトウェア
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ インストール済みソフトウェア ○ サブスクリプションソフトウェア ○ エンジニアリングアプリライセンス
ソフトウェアインストール	再利用されるソフトウェアインストール。
エンジニアリングアプリライセンス 注: [適用先] リストで [エンジニアリングアプリライセンス] が選択されている場合にのみ表示されます。	再利用するエンジニアリングアプリケーションライセンス。
ユーザー	ソフトウェアインストールにアサインされたユーザーの名前。 この値は、別のユーザーがソフトウェアがアンインストールされているという通知を受け取るように変更できます。 [一括再利用] チェックボックスがオンになっている場合、このフィールドは必須フィールドになります。
一括再利用	複数のソフトウェアインストールを再利用するには、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオンにすると、[ソフトウェアインストール] フィールドは表示されなくなります。ソフトウェアインストールを追加するには、ステップ 6 で説明したサブステップを参照してください。
構成アイテム	ソフトウェアがインストールされているデバイス。
再利用のルール	削除候補を作成した再利用ルール。
再利用する権限 注: [適用先] リストで [エンジニアリングアプリライセンス] が選択されている場合にのみ表示されます。	再利用する権限の数。たとえば、ライセンスサーバーに 100 個の権利がインストールされていて、40 個の権利のみを再利用するとします。
見込まれる削減	すべての削除候補が [完了してクローズ] ステータスの場合、つまりソフトウェアがアンインストールされ、権限が収集された場合の推定削減コスト (未使用の権利 x 資格付与からの権利あたりの平均価格)。
ユーザーへの通知	ソフトウェアがインストールされているハードウェアに割り当てられたユーザーに通知し、 ソ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	フトウェアを削除する権限をメールで要求するためのチェック ボックス。
構成アイテム	ソフトウェアがインストールされているデバイス。
アクティビティ	
作業メモ	このタスクで実行されたアクションを追跡するために使用されます。

6. **[Save** (保存)] を選択します。
   削除候補レコードが作成されます。「 一括再利用 」チェック・ボックスを選択すると、削除候補のステータスが 「要確認」に変わります。次のステップに進む前に、次のサブステップを実行してソフトウェアインストールを追加します。[一括再利用] チェックボックスをオンにしなかった場合は、次の手順に進みます。

   a. [ソフトウェアインストール] 関連リストで [新規] を選択します。

   b. ソフトウェア インストールを選択し、[保存] を選択します。
      追加したソフトウェア インストールが [ソフトウェア インストール] 関連リストに表示されます。削除候補のステータスが [要確認] から [準備完了] に移行し、[名前] フィールドに名前が生成されます。さらにソフトウェアインストールを追加するには、引き続き [新規] を選択します。すべてのソフトウェアインストールを削除することにした場合、状態は [要注意] に戻り、名前は [名前] フィールドに表示されなくなります。名前を生成し、削除候補を [準備完了] ステータスにするには、少なくとも 1 つのソフトウェアインストールを削除候補フォームで選択する必要があります。

7. [再利用] を選択します。

   ソフトウェアインストールが再利用され、システムから削除されると、[ソフトウェアインストール] 列は空になります。[ソフトウェアインストール] 関連リストの次のフィールドを参照すると、再利用されたソフトウェアインストールの履歴を把握できます。

   - 表示名
   - 製品
   - パブリッシャー
   - ソフトウェアモデル

   フォーム上の任意のアクションボタンを選択して、削除候補をさらに構成できます。アクションボタンは、削除候補の理由とステータスによって異なります。

   アクション ボタン

アクション	説明
更新	削除候補を更新します。
完了してクローズ	権限を再利用し、削除候補をクローズします。
スキップ項目をクローズ	権限を再利用せずに削除候補を閉じます。
削除	削除候補を削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースでのレポートの作成と管理

ソフトウェア資産ワークスペースでレポートタイルを作成および管理します。

始める前に

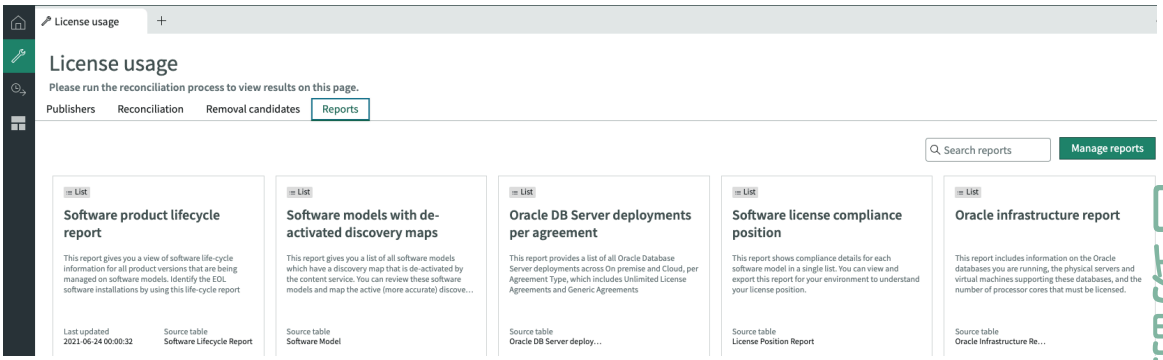
必要なロール:sam_admin または admin

このタスクについて

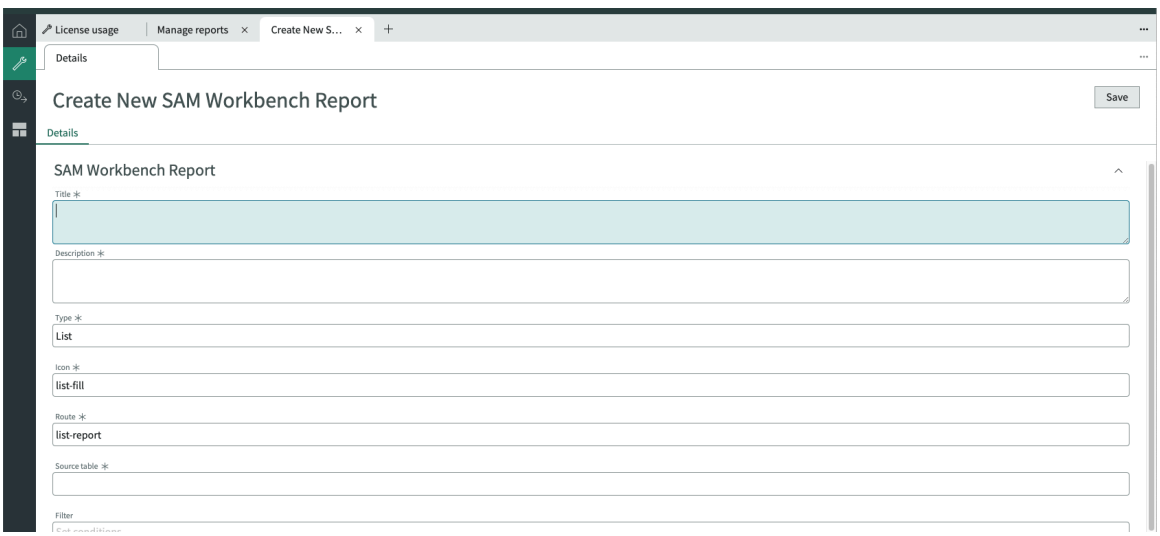
すべてのベースシステム ソフトウェア資産管理 レポートとカスタム作成されたレポートは、SAM ワークベンチレポート [samp_workbench_report] テーブルに保存されます。リストレポートはデフォルトでサポートされています。他のタイプのレポートを作成するには、ソフトウェア資産ワークスペースに UIB ページを作成し、必要なデータを可視化する必要があります。呼び出され *reportSysId* たパラメーターを UIB ページに渡す必要があります。UIB ページのルートは、作成後にレポートタイル作成フォームで利用できます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況.
2. 「ライセンス使用状況」ビューで、「 レポート 」タブを選択します。



3. [レポートの管理] を選択します。
4. [レポート] リスト ビュー ページで、[新規] を選択します。
   [新規 SAM ワークベンチレポートの作成 (Create New SAM Workbench Report)] ページが表示されます。



5. ページに詳細を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイトル	レポート タイルのタイトル。
説明	レポートタイルの簡単な説明。
タイプ	レポートのタイプ。たとえば、リスト、棒グラフ、円グラフなどです。デフォルト値は [リスト] です。
アイコン	Now Design System アイコンライブラリからの一意のアイコン識別子。例としては、chart-bar-group-fill、chart-pie-fill などがあります。デフォルト値は list-fill です。
ルーティング	これは、レポートがクリックされたときにレポートがたどるパスです。これにより、指定したフィルター条件を持つソーステーブルのリストビューが表示されます。ページがパラメーターを受け入れる`reportSysId`場合は、アプリケーション内のソフトウェア資産管理他のページにルーティングできます。デフォルト値は list-report です。
ソーステーブル	レポートの基になるテーブル。
フィルター (条件を設定)	リスト レポートで使用するフィルター。

6. **[Save** (保存)] を選択します。
   新しいレポート タイルが [レポート] タブに表示されます。新しいレポートタイルを表示するには、[レポート] タブを再ロードする必要がある場合があります。

クラスターセットアップを **360** 度表示

クラスターセットアップを 360 度見渡して、クラスター全体のライセンス消費と最適化を管理します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況.
2. パブリッシャーカードを選択すると、パブリッシャーの詳細ページが開きます。
3. [公開者] 詳細ページで、左側のナビゲーションツリーからソフトウェアモデルを選択します。
4. [ライセンス評価指標の結果] タブで、[必要なライセンス]列の値を選択します。
5. [ライセンスの要求元(Licenses Required By)] ページで、[クラスタ**(Cluster)]** 列からクラスタを選択します。
   クラスターレコードページが開きます。
6. [**SAM** クラスター **360** 度] を選択して、次の詳細を表示します。

   - インフラストラクチャ:クラスター内のホスト、VM、ホスト親和性ルール、ソフトウェアインストールなどのエンティティを表示します。エンティティを選択すると、完全なリストが表示されます。たとえば、すべてのソフトウェア インストールを表示するには、[ソフトウェアインストール] を選択します。ソフトウェアインストールは、正規化された公開者、正規化された製

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

品、またはソフトウェアモデルの結果によってグループ化できます。また、SQL Server などのソフトウェアインストールをリストから選択して、そのクラスター内のすべての SQL Server ソフトウェアインストールを表示することもできます。

- ライセンスの詳細:ライセンスを消費しているソフトウェアモデル、デバイスライセンス消費分析、およびクラスター上の一般的なライセンスインストールを表示します。エンティティを選択すると、完全なリストが表示されます。
- 最適化: クラスターのすべての最適化に関する推奨事項を表示します。
- 健全性の問題:クラスター内の製品全体のすべての健全性の問題を表示します。さらに、調整の対象とは見なされなかった問題があるインストールを表示します。

360 度ビューを使用すると、エンティティの上部ビューから最下位レベルまでドリルダウンして、クラスター全体のライセンス構成と修復アクションをよりよく理解できます。たとえば、ドリルダウンするソフトウェアモデルを選択して、その測定基準属性、上書きライセンスコスト、ダウングレード権限、ソフトウェアエンタイトルメント、およびソフトウェアモデルの結果を表示できます。ソフトウェアモデルの結果などのこれらのエンタイトルメントをさらに選択して、最小分母を取得できます。

7. [依存関係ビューを開く] を選択して、クラスターのノード間の関係を表示します。

ワークスペースでのライセンスの計算の表示

[ソフトウェア資産ワークスペース - ライセンス使用状況] ビューで必要なすべてのライセンスの詳細を表示して、ソフトウェアアプリケーションのライセンスコンプライアンスを評価します。

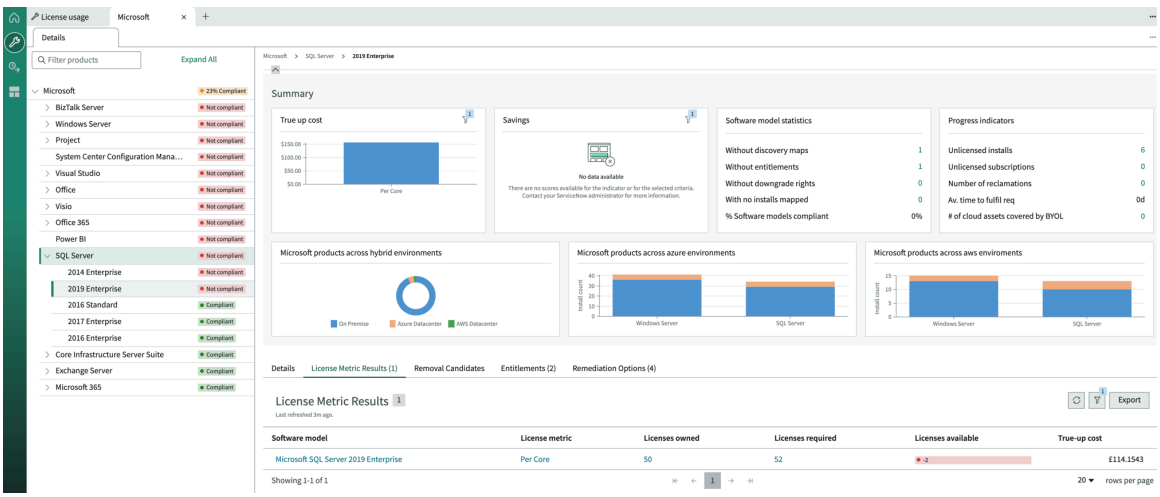
始める前に

必要なロール:sam_admin および sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況.

2. 左ペインから公開者を選択して、ソフトウェア モデルの概要を表示します。



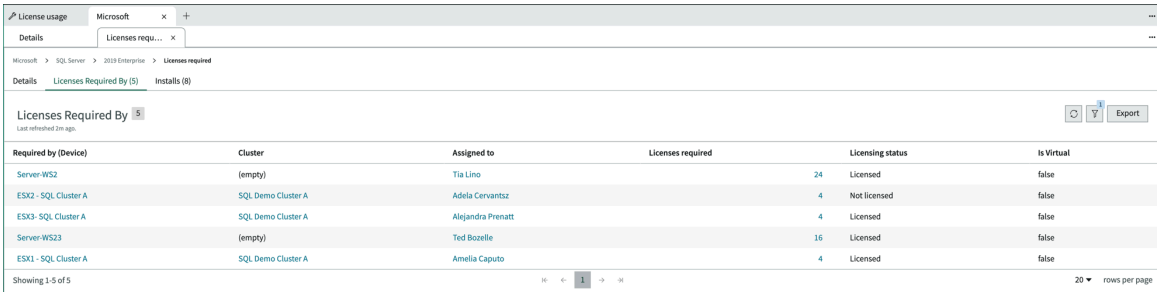
3. [ライセンス測定基準の結果] タブを選択して、購入済みで必要なライセンスの数を表示します。

[ライセンス測定基準の結果] タブのフィールドの詳細については、「」の ワークスペースのライセンス使用パブリッシャーフィールドライセンス測定基準の結果の表を参照してください。

4. [必要なライセンス] 列で構成アイテムの値を選択して、必要なライセンスの詳細を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

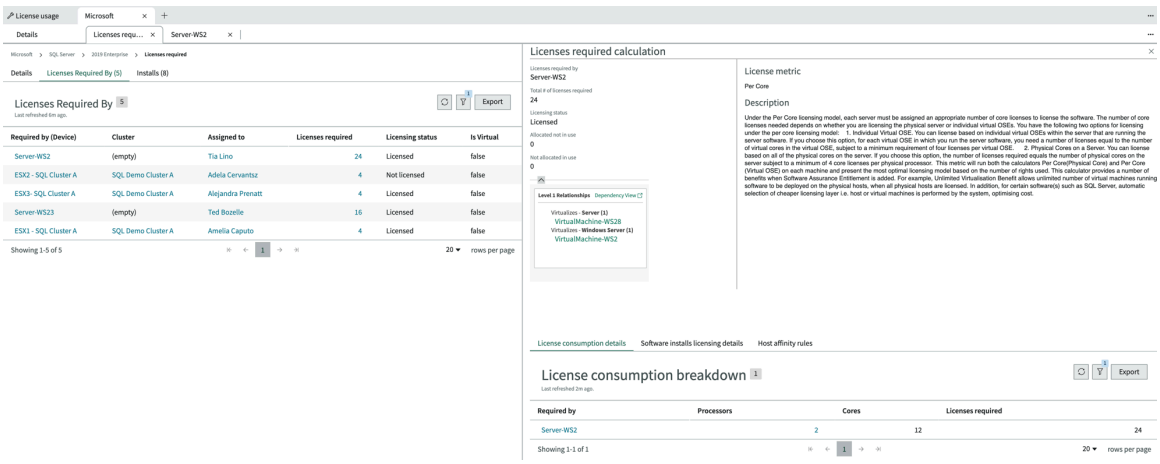
自動翻訳



ライセンスの要求元

フィールド	説明
要求元 (デバイス)	ライセンスを消費する構成アイテムの名前 (サーバー、クラスターなど)。
クラスター	○ 構成アイテムがクラスターの一部である場合は、クラスター名が表示されます。 ○ 構成アイテムがどのクラスターにも含まれていない場合、値は空です。
アサイン先	その特定の構成アイテムに割り当てられたユーザーの名前。
必要なライセンス	構成アイテム (割り当て済み、未割り当て、インストール済み) が使用する権限の合計。
ライセンスステータス	構成アイテムにライセンスが付与されているかどうかを示します。
仮想	構成アイテムが仮想ホストか物理ホストかを示します。

5. [ライセンスの要求元] 関連リストで、[必要なライセンス] 列でデバイスの値を選択し、必要なライセンスの詳細を表示します。



計算が必要なライセンス

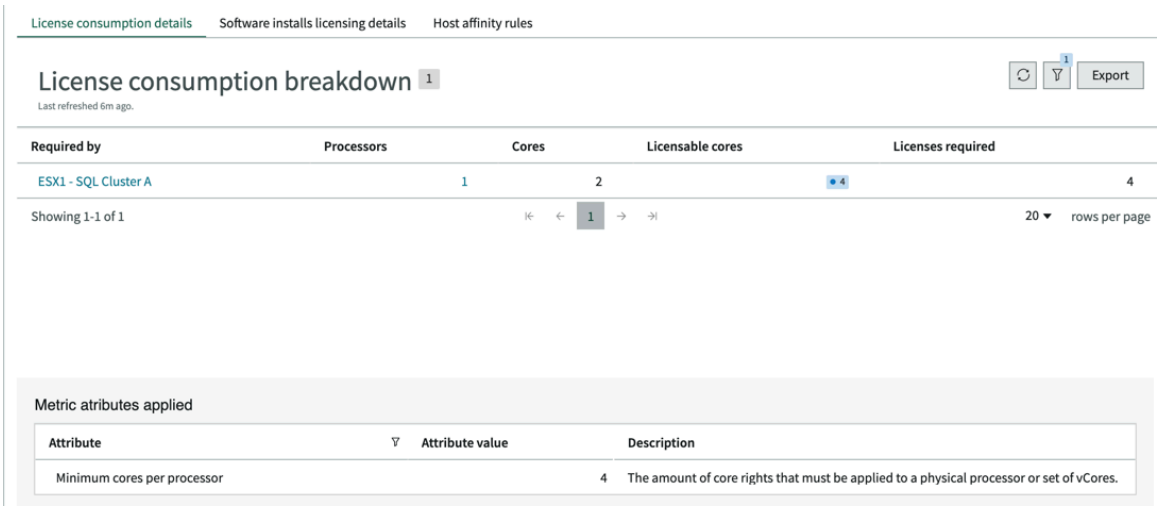
フィールド	説明
ライセンスの要求元	計算が表示されるクラスター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
必要なライセンスの合計 #	消費された、または必要なライセンスの合計数。
ライセンスステータス	ライセンスのステータスを表示します。ライセンスは 、すべての権利が使用されたことを意味します。ライセンスなしは 、権限が必要であることを意味します。
配分済み、不使用	クラスターに割り当てられているが、インストールのライセンス付与には使用されていない権限。値 0 は、クラスターに割り当てがないことを意味します。 **注:** 割り当て済み、未使用 の権限は、これらの権限が割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないために無駄になっている権限です。
未配分、使用中	ライセンスインストールの権限のうち割り当てられていない数。
レベル 1 リレーションシップ	ホストと現在の構成アイテムの関係。 **注:** サーバーベースの算出の場合にのみ表示されます。
依存関係ビュー	構成アイテムのインフラストラクチャビューをグラフィカルに表示します。
ライセンス評価指標	ライセンスの測定基準の詳細な説明。

6. [ライセンス消費ブレークダウン] タブを選択して、構成アイテムのインフラストラクチャと適用された測定基準属性を表示します。



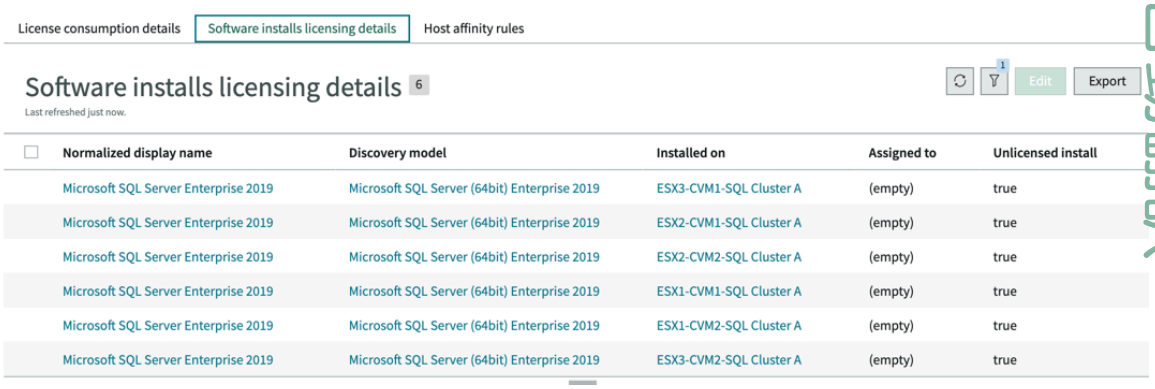
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス消費のブレークダウン

フィールド	説明
要求者	権限を消費する構成アイテムの名前。
プロセッサー	この構成アイテムのプロセッサ数。
コア	このプロセッサのコア数。
ライセンス可能なコア	この構成アイテムのライセンス付与に必要なコアライセンスの数。
必要なライセンス	この構成アイテムのライセンス付与に必要なライセンス数。
適用された測定基準属性	公開者のソフトウェア製品 は、 Microsoft 割り当てるライセンスの最小数を必要とします。たとえば、SQL Server では、 Microsoft サーバー上のプロセッサごとに最低 4 つのコア ライセンスが必要です。これらのライセンスは、測定基準属性によって自動的に割り当てられます。

7. [ソフトウェアインストールライセンスの詳細] を選択して、構成アイテムに関連するライセンスの対象となるインストールの詳細を表示します。



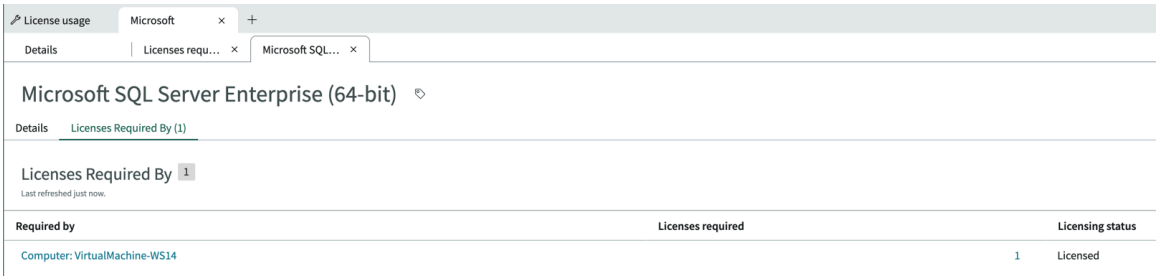
ソフトウェアがライセンスの詳細をインストール

フィールド	説明
正規化された表示名	ソフトウェア製品の正規化された表示名。
Dscovery モデル	モデルの分析と分類を行い重複を減らすことで、所有するソフトウェアを正規化します。
インストール先	ソフトウェアのインストール先である構成アイテム。
アサイン先	この構成アイテムに割り当てられたユーザーの名前。
ライセンスなしのインストール	インストールにライセンスが付与されているか、ライセンスが付与されていないかを示します。

自動翻訳

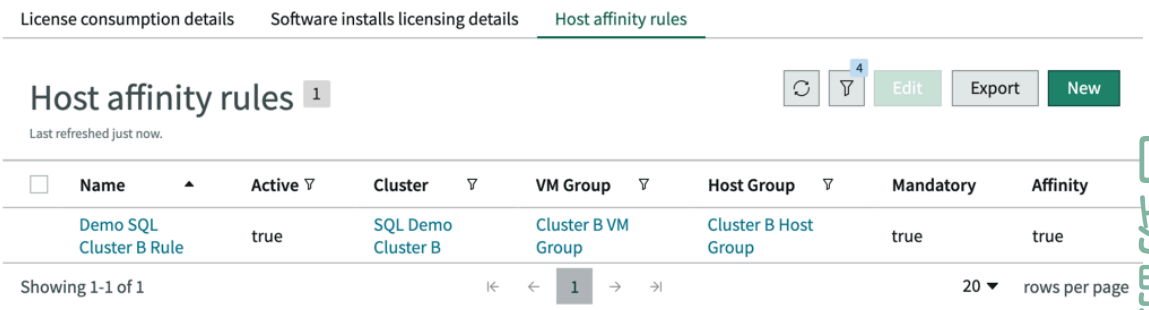
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [コアあたり] および [コアあたり (CAL を含む)] ライセンスの測定基準の正規化された表示名を選択して、クラスター内のさまざまなホストでのインストールのライセンスステータスを表示します。



8. [ホスト アフィニティ ルール] タブを選択して、ライセンス消費の精度を確認し、クラスターに構成されているホスト アフィニティ ルールを表示します。

ホスト アフィニティ ルールは、ライセンス使用量を決定するときに、SQL Server と Windows Server Standard に対して構成できます。これにより、必要なライセンス数が最適化され、必要なライセンス数が大幅に最小限に抑えられるため、コストを削減できます。



ホスト親和性ルール

フィールド	説明
名前	クラスターに設定されたルールの名前。
アクティブ	設定されたルールがアクティブか非アクティブかを示します。
クラスター	ホスト親和性ルールが構成されているクラスターの名前。
VM グループ	仮想マシンのグループの名前。
ホストグループ	ホストのグループの名前。
必須	設定されたルールが必要かどうかを示します。
親和性	仮想マシンがホストグループ上に存在するかどうかを示します。

ワークスペースのライセンス使用パブリッシャーフィールド

[ライセンス使用状況] ビューの [公開者] ページにある公開者の関連リストのフィールドの説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品の結果

フィールド	説明
番号	調整プロセス中に生成された一意の製品の結果番号。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。
製品	ソフトウェア製品の名前。
グループ	製品の結果が属するグループ。
サブグループ	製品の結果が属するサブグループ。
最新	この製品の結果が直近の調整実行のときのものかどうかを示します。
調整結果	調整プロセス中に生成される固有の調整結果番号。
ステータス	製品のステータス。 • 準拠 • 非準拠
調整コスト	必要最低権限数に基づいて違反を修正する推定コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。すべてのソフトウェアモデルの結果から出たライセンス供与超過金額の値の合計。
見込まれる削減	ソフトウェアインストールが再利用された場合の推定コスト。すべての削除候補から出たすべての節減見込みの合計。
ライセンスされたインストール	製品のライセンスが付与されているインストールの合計数。
ライセンスなしのインストール	製品のライセンスされていないインストールの合計数。

ソフトウェアモデルの結果

フィールド	説明
ソフトウェア モデルの結果	ソフトウェアモデルの名前。
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。
ライセンスなしのインストール	関連するソフトウェア製品のライセンスされていないインストールの合計数。
調整コスト	必要最低権限数に基づいて違反を修正する推定コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。
見込まれる削減	再利用候補が再利用された場合に節約できるコスト概算。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス評価指標の結果

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの名前
ライセンスの測定基準	調整の実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスの測定基準の名前。
所有ライセンス	ライセンスの測定基準を共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
必要なライセンス	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済みと未割り当ておよびインストール)。
利用可能なライセンス	調整中に使用されない権限の合計 (所有権から使用権を差し引いた権利)。
調整コスト	必要最低権限数に基づくライセンスなしインストールを修復するための推定コスト。

エンタイトルメント

フィールド	説明
表示名	公開者の名前。
評価指標グループ	公開者に固有の測定基準グループ。
ライセンスの測定基準	調整の実行時にソフトウェア ライセンスがカウントされる測定基準グループのライセンスの測定基準。
ライセンス タイプ	このタイプによって、権限がソフトウェアへの完全なアクセスを許可するかどうか、またはソフトウェアの以前のバージョンからアップグレードされているかどうかを決定します。
アクティブな権限	このエンタイトルメントに付与される権限の数。 **注:** エンタープライズ契約がライセンスに付属している場合、[アクティブな権限] フィールドは表示されません
購入済みの権限	購入した権利の数。
トータルコスト	

削除候補

フィールド	説明
番号	削除候補番号。
名前	削除候補の名前。
パブリッシャー	公開者の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
製品	製品の名前。
見込まれる削減	未使用のソフトウェアインストールを再利用することで得られる節減額。
ステータス	削除候補のステータス。 • 要確認 • 準備完了 • ユーザー待ち • 承認待ち • 承認 • 失効待ち • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
正当性	削除候補になった理由。 • 低使用率 (デフォルト) • 未割り当て • ライセンスなし • 制限付きソフトウェア

修復オプション

フィールド	説明
修復アクション	コンプライアンス遵守のためのアクション。 • 購入権限 • 割り当ての解除 (Remove Allocations) • 割り当ての作成 (Create Allocations) • 未割り当てのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは利用不可) • ライセンスなしのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは利用不可) • ライセンスなしのインストールを削除 - クラウド (クラウドインストールがある場合にのみ利用可能)
ステータス	修復オプションのステータス。 • 新規 (青) • 完了 (緑) • 無効 (赤)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 進行中 (黄) [進行中] ステータスでは、インストールするための削除候補が作成されたことを示します。
コンプライアンスに影響	修正オプションがコンプライアンスに影響を与えるかどうかを指定します。
表示名	ソフトウェア モデルの結果の特定のライセンスの測定基準。
実行可能な権限	アクションによって影響を受ける全権限。
調整コスト	必要最低権限数に基づいてライセンスなしインストールを修復するための推定コスト。

ライセンス操作ビュー

ライセンス Software Asset ワークスペース 操作ビューを使用して、ライセンス、契約、検出、クライアントアクセス、リソース値、ユーザーサブスクリプション、コンテンツ提案、ソフトウェア資産の成功、クラウドコストシミュレーション、SAM 実装、 IBM ASP、 IBM ILMT V2 統合などのソフトウェア資産操作を管理します。

ライセンス操作ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.

ライセンス操作ビューには、次のカテゴリが含まれています。

- ライセンス
  - ソフトウェアエンタイトルメント

    ソフトウェアライセンスの条件を記録するソフトウェアエンタイトルメントの詳細を表示します。エンタイトルメントを作成してライセンスの詳細を入力し、購入した権限をユーザーまたはデバイスに割り当てることもできます。詳細については、「ワークスペースでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

  - ソフトウェアモデル

    作成されたソフトウェアモデルの詳細を表示し、ソフトウェアモデルも作成します。詳細については、「ワークスペースでソフトウェアモデルを作成」を参照してください。

  - 資格付与のインポート

    インポートされたエンタイトルメントの詳細を表示し、エンタイトルメントを一度にインポートすることもできます。詳細については、「エンタイトルメントをワークスペースに一括インポート」を参照してください。

  - エンタイトルメントのインポートエラー

    ソフトウェアエンタイトルメントのインポート中に生成されたエンタイトルメントインポートエラーの詳細を表示します。詳細については、「エンタイトルメントのインポートエラーフィールド」を参照してください。

  - ソフトウェアライフサイクル平均

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

平均を作成して、ソフトウェアのサポート終了 (EOL) とサポート終了 (EOS) のライフサイクルを計算します。詳細については、「ワークスペースで製品ライフサイクルの平均を作成する」を参照してください。

- 消費ルール

  ライセンスの消費を組織内の特定のエンティティに制限する消費ルールを作成します。このルールは、1 つまたは複数のエンタイトルメントにリンクする必要があります。詳細については、「消費ルールを作成する」と「消費ルールをエンタイトルメントにリンク」を参照。

- 製品のインストール条件

  調整中に製品のすべてのソフトウェア モデルのインストールを説明する製品インストール条件を表示します。これらのインストール条件は、ソフトウェア製品とそのすべてのコンポーネントに適用されます。たとえば、 を購入した場合は Microsoft Visual Studio、非本番環境でライセンスを使用するためだけに使用する Visual Studio 製品のインストール条件を設定します。これらの同じ条件が、 にある Visual Studioすべてのソフトウェア モデル (ダウングレードやエディションを含む) に適用されます。詳細については、「製品のインストール条件の作成」を参照してください。

- ソフトウェアのインストール

  検出モデル、公開者、調整の詳細などのソフトウェアインストールの詳細を表示します。詳細については、「ソフトウェア インストール フィールド」を参照してください。

- 契約:ソフトウェア契約

  ソフトウェア契約を作成して、2 者間の合意を拘束します。 契約を作成するです。

- **Discovery**
  - 検出されたエンジニアリングライセンス

    エンジニアリングアプリケーション用に検出および正規化されたすべてのソフトウェアのリストを表示します。

  - ディスカバリーモデル

    ネットワーク環境でソフトウェアのバージョンが検出されたときに作成されるソフトウェア検出モデルを表示および更新します。詳細については、「検出モデルとソフトウェアインストール」を参照してください。

  - エンジニアリングライセンスサーバー

    OpenLM または OpenIT がインスタンスにデータを取得する ServiceNow ために接続するすべてのライセンス管理サーバーのリストを表示します。サーバーの種類、サーバーの名前、サーバーのステータス、最終接続時刻など、ライセンス管理サーバーの詳細も表示されます。

  - ソフトウェア使用

    ソフトウェア使用状況レコードを表示し、再利用ルールを作成したソフトウェア製品の使用状況を追跡します。サードパーティ統合または Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) 統合からソフトウェア使用レコードを手動で作成することもできます。詳細については、「ワークスペースでのソフトウェア使用の表示または作成」を参照してください。

  - すべての **SAP** エンジン

    各エンジンのライセンス測定基準に基づいて、クライアントの SAP 月次エンジン使用率測定値を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- すべての **SAP** ユーザー

  システムからプルされたSAPすべての検出済みユーザーと、ユーザーロール、ユーザーのアクティブなトランザクション、 SAPSAPユーザーアクティビティSAP、Web アクティビティなどSAPの詳細を表示します。詳細については、「ワークスペースでユーザーを表示するSAP」を参照してください。

- **SAP** 指名ユーザータイプ

  ソフトウェアエンタイトルメントで SAP 使用できるカスタム名のユーザータイプを作成します。カスタム名のユーザータイプを作成すると、ユーザーはシステムの SAP ライセンスを追跡できるようになります。詳細については、「ワークスペースでのカスタム指名ユーザータイプの作成」を参照してください。

- **SAP** 価格リスト

  システムの契約SAPに基づいて SAP ライセンスを追跡および管理できるように、カスタムSAP価格表を作成します。詳細については、「ワークスペースでのカスタム SAP 価格リストの作成」を参照してください。

- **SAP USMM** ルール

  ロールをクライアントの名前付きユーザータイプSAPにマップするユーザーライセンス測定 (USMM) ルールを表示しますSAP。詳細については、「SAP USMM ベースの最適化」を参照してください。

- **SSO** アプリケーション

  SSO プロバイダーを介して接続できるアプリケーションに関連する詳細を表示します。詳細については、「ワークスペースでの SSO アプリケーションの表示」を参照してください。

- **SSO** グループ

  SSO アプリケーションにアクセスできるすべての SSO グループに関連する詳細を表示します。

- **SSO** ユーザー

  SSO アプリケーションに直接アクセスできるが、グループのメンバーシップを介さないすべてのユーザーの詳細を表示します。

- クライアントアクセス

  ソフトウェアクライアントのアクセスレコードの詳細を表示します。また、クライアント アクセス ライセンス (CAL) を使用してサーバー ソフトウェアのバージョンにアクセスしているユーザーまたはデバイスを追跡および管理するためのレコードを作成することもできます。詳細については、「ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成」を参照してください。

- リソース値

  ソフトウェアモデルのリソース値レコードを表示および作成します。

- ユーザーサブスクリプション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ユーザーサブスクリプション

  SSO アプリケーションのソフトウェアサブスクリプション SaaS の詳細を表示します。ソフトウェアサブスクリプションを作成することもできます。詳細については、「ワークスペースでユーザーサブスクリプションを作成」を参照してください。

- 直接統合プロファイル

  作成済みの SaaS 統合プロファイルの詳細を表示します。統合タイプを選択して統合プロファイルを作成し、ソフトウェア使用状況を表示し、古いライセンスを最適化することもできます。サポートされている SaaS アプリケーションと手順については、「」を参照してください SaaS アプリケーションとの統合。

- **SSO** 統合プロファイル

  作成済みの SSO 統合プロファイルの詳細を表示します。統合タイプを選択して SSO 統合プロファイルを作成し、接続されているすべての SSO アプリケーションのソフトウェア使用状況を表示してユーザーログインデータを追跡し、未使用のライセンスを再利用することもできます。サポートされている SSO アプリケーションと手順については、を参照してください SSO プロバイダーとの統合。

- **SaaS** 機能使用率

  それぞれの SaaS イベントの詳細と、ユーザーが実行した SSO 統合 (イベント ID、イベント名、前回のアクティビティ、サブスクリプション、製品、サブスクリプションプロファイル、パブリッシャーなど) を表示します。詳細については、「重複する使用状況ビュー」を参照してください。

- コンテンツの提案
  - 部品番号の提案

    カスタムパブリッシャーの品番 (PPN) に関するコンテンツサービスの提案を表示します。詳細については、「カスタム公開者の品番 (PPN)」を参照してください。

  - 正規化提案

    検出モデル用に作成されたコンテンツサービス正規化提案レコードを表示します。詳細については、「検出モデルの正規化の提案」を参照してください。

- ソフトウェア資産成功
  - ソフトウェア成熟度

    成熟度アイテムの詳細のリスト ソフトウェア資産管理 を表示します。詳細については、「の成熟度アイテムをすべて表示 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

  - 成功目標

    成功目標を作成してアプリケーションの成功 ソフトウェア資産管理 を追跡し、作成された成功目標のリストを表示します。詳細については、「の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

  - 成功アクティビティ

    成功アクティビティを作成して、目標の成功を追跡し、作成済みの目標のリストを表示します。詳細については、「の成功アクティビティを作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 成功カテゴリ

  成功カテゴリを作成して、成功目標にカテゴリを追加し、作成済みの成功カテゴリのリストを表示します。詳細については、「ソフトウェア資産の成功目標カテゴリの作成」を参照してください。

- すべてのアクティブな値ビルダータスク

  完全には使用されていないパブリッシャーパックの値ビルダータスクを作成し、作成済みのパブリッシャーパックのリストを表示します。詳細については、「値ビルダータスクの作成」を参照してください。

- 自分の値ビルダータスク

  値ビルダータスクを作成し、自分にアサインされたタスクのリストを表示します。詳細については、「値ビルダー」と「値ビルダータスクの作成」を参照。

- クラウドコストシミュレーター:設定

  シミュレーション設定、つまりオンプレミスのリソースをクラウド環境に移動するコストを表示します。クラウドコストシミュレーターの設定を作成することもできます。詳細については、「クラウドコストシミュレーション」を参照してください。

- **IBM ASP** 統合
  - 毎日集計されるピーク使用量

    各製品のエディション、ライセンス測定基準、ドメイン、および地域に基づいて、ソフトウェア製品の日次最大サブキャパシティおよびフルキャパシティ使用量 IBM を表示します。

  - 最高水位標の使用量

    各製品のエディションとライセンス測定基準の両方に基づいて、物理ホスト別にソフトウェア製品の最も高い日次使用量 IBM のブレークダウンを表示します。

  - 製品分類

    環境にインストールされているすべての IBM コンポーネントの製品分類を表示します。これらの製品分類により、コンポーネントのライセンスを追跡および管理できます IBM 。

  - スキャンするデバイス

    ライセンスを追跡するIBM仮想マシン (VM) マネージャー (VMwarevCenter Server やIBMハードウェア管理コンソール (HMC) など) を指定します。これらの指定された VM マネージャー内でのみディスカバーされたソフトウェアの IBM ライセンスを追跡できます。VM マネージャーの更新について詳しくは、を参照してください ライセンスを追跡する IBM 仮想マシン (VM) マネージャーを指定します。

  - デバイス設定

    ライセンス計算の IBM 精度を向上させるには、ソフトウェアがインストールされている物理ホスト IBM のメタデータを確認します。正しくないメタデータや古いメタデータがあれば更新します。メタデータの更新については、を参照してください ホストの IBM メタデータの確認。

- **IBM ILMT V2** 統合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 製品別のピーク消費量

  製品名と検出モデルに基づいて、ソフトウェア製品の最高のサブキャパシティ使用率とフルキャパシティ使用率 IBM を表示します。

- デバイス別のピーク消費ブレークダウン

  検出されたデバイスに基づいて、物理ホスト別のソフトウェア製品の最大サブキャパシティ使用率とフルキャパシティ使用率 IBM のブレークダウンを表示します。

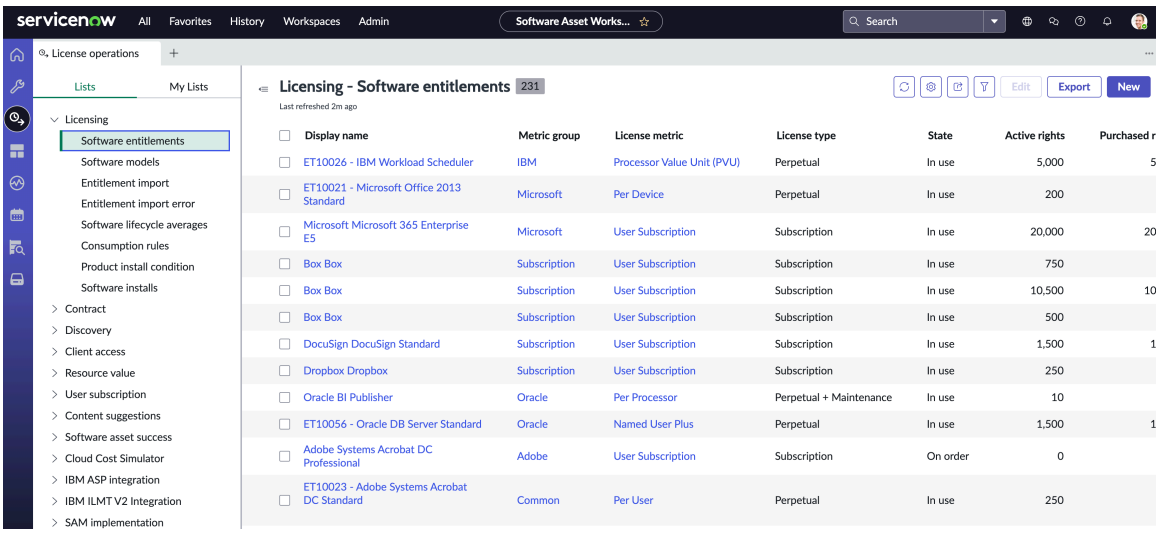
- **ILMT** で検出されたコンピューター

  サーバー名、サーバー ID、サーバータイプ、ハードウェアモデル、ハードウェアシリアル番号、ハードウェアベンダー、合計プロセッサー、 CMDB コンピューターなど、検出されたデバイスの詳細を表示します。

- **SAM** の実装 - 公開済み製品

の ソフトウェア資産管理フェーズごとの実装で公開されたソフトウェア製品のリストを表示します。詳細については、「フェーズごとの ソフトウェア資産管理 実装の管理」を参照してください。

ライセンス操作ビュー



ユーザーまたはデバイスの割り当てのコピー

ユーザーまたはデバイスの割り当てを 1 つのエンタイトルメントから別のエンタイトルメントにコピーします。

始める前に

ソースエンタイトルメントからターゲットエンタイトルメントに割り当てをコピーして、期限切れのエンタイトルメントを更新するか、新しいメンテナンスを追加します。さらに、別のエンタイトルメントと同じ割り当てを必要とするエンタイトルメントを作成するときに、割り当てをコピーすることもできます。

割り当てのコピー元のエンタイトルメントは、ソースエンタイトルメントと呼ばれます。割り当てのコピー先のエンタイトルメントは、ターゲットエンタイトルメントと呼ばれます。

ユーザー割り当ては、ユーザー割り当てをサポートするエンタイトルメントにのみコピーできます。同様に、デバイス割り当ては、デバイス割り当てをサポートするエンタイトルメントにのみコピーできます。ライセンスの測定基準の詳細については、次のリンクを参照してください ソフトウェアライセンス測定基準。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

選択したユーザーまたはデバイスがターゲットエンタイトルメントにすでに割り当てられている場合、その割り当ての数量が増分されます。

割り当てをコピーする前に、次の前提条件が満たされていることを確認してください。

- ターゲットエンタイトルメントで十分な割り当てが利用可能。[割り当てのコピー] ボタンは、エンタイトルメントで利用可能な割り当てがゼロより大きい場合にのみ表示されます。コピーされる割り当ての数が、ターゲットエンタイトルメントで使用可能な割り当ての数を超えると、エラーが発生します。
- ターゲットエンタイトルメントが [構築]、[使用中]、または [発注済み] ステータスである。
- ターゲットエンタイトルメントで十分な権利が利用可能。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. ユーザーまたはデバイスの割り当てをコピーするターゲットエンタイトルメントを開きます。
3. 適切な割り当て関連リスト ([ユーザー割り当て] または [デバイス割り当て]) を選択します。
4. [割り当てのコピー] を選択します。
   利用可能な割り当て、ライセンスタイプ、アクティブな権限など、ターゲットエンタイトルメントの詳細がページの上部に表示されます。
5. 割り当てのコピー元のエンタイトルメントを [ソースエンタイトルメント] リストから選択します。
   ライセンス測定基準や測定基準グループなど、ソースエンタイトルメントのすべての詳細が [詳細] ページに表示されます。
6. [ソース割り当て] 関連リストを選択し、割り当てを選択します。
7. [送信] を選択します。

   コピー割り当てプロセスが成功すると、[送信] は無効になります。割り当てのコピーが処理中であることを知らせるメッセージが表示されます。メッセージ内のリンクをクリックすると、ステータスを確認できます。

   リンクをクリックすると、ソフトウェア資産ジョブ結果 [samp_job_log] テーブルに移動します。「名前」列を使用して、「」というタイトル `Copy Allocations to < >`のジョブ・ログ・レコードを検索します。山括弧はターゲット資格の表示名を示します。

消費ルールを作成する

ライセンスの消費を組織内の特定のエンティティに制限する消費ルールを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_user

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > 消費ルール.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新しい消費ルールの作成] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   新しい消費ルールが [消費ルール] リストビューに表示されます。このルールは、1 つまたは複数のエンタイトルメントにリンクする必要があります。

消費ルールをエンタイトルメントにリンク

消費ルールを作成したら、そのルールを 1 つ以上のエンタイトルメントにリンクする必要があります。

始める前に

消費ルールは、次のライセンス測定基準ではサポートされていません。

- IBM RVU
- IBM UVU
- Workday

エンタイトルメントフォームの [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストは、これらのライセンス測定基準には表示されません。

必要なロール：sam_user

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. 消費ルールをリンクするエンタイトルメントを開きます。
3. [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
   [新しいエンタイトルメント消費ルールを作成 (Create New Entitlement Consumption Rule)] ページが開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。

6. [保存] を選択し、
   消費ルールが [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストに表示されます。

ワークスペースで検出されたエンジニアリングライセンスを表示

ソフトウェア資産ワークスペースで、エンジニアリングアプリケーション用に検出および正規化されたすべてのソフトウェアのリストを表示します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

エンジニアリングアプリケーションのすべての正規化された公開者と製品のリストを表示できます。ライセンスのバージョン、数量、ライセンスの種類などの追加情報も表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. 検出リストビューから [検出されたエンジニアリングライセンス] を選択します。
3. レコードをクリックすると、詳細が表示されます。
   これにより、会社のページがクラシックビューで表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースでのエンジニアリングライセンスサーバーの表示

ソフトウェア資産ワークスペースで、インスタンスにデータを取得する ServiceNow ために OpenLM または OpenIT が接続するライセンス管理サーバーのリストを表示します。

始める前に
サーバーの名前とタイプ、現在のステータス、現在アクティブかどうか、前回の接続時刻などの情報が表示されます。

> **注:**
> エンジニアリングライセンスサーバーは、 ソフトウェア資産管理プロ for Engineering Applications (com.sn_samp_eng_app) プラグイン が有効になっている場合にのみ表示されます。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > エンジニアリングライセンスサーバー.
2. ライセンスサーバーレコードを選択して、その詳細を表示します。

ワークスペースでの正規化の提案の表示

検出モデル用に作成されたソフトウェア資産ワークスペースで正規化提案レコードを表示します。これらの提案は承認または却下できます。

始める前に
必要なロール：

- sam_admin:正規化の提案を承認または却下します。
- sam_user:正規化の提案を表示します。

正規化提案レコードは、正規化提案 [samp_normalization_suggestions] テーブルに保存されます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. 検出リストビューで [正規化の提案] を選択する
3. 正規化提案レコードを選択して、その詳細を表示します。
   正規化の提案フィールドの詳細については、以下を参照してください 検出モデルの正規化の提案。
4. [承認] を選択して検出モデルを正しい値で更新するか、[却下] をクリックして手動で正規化された値を保持します。

> **注:**
> 正規化の提案を承認または却下できるのは、sam_adminロールのみです。提案の承認または却下の詳細については、「」を参照してください 検出モデルの正規化の提案。

ワークスペースで正規化を元に戻す

ソフトウェア資産ワークスペースで検出モデルの正規化を元に戻すことができます。

始める前に
[**Normalized**]、[**Partially Normalized**]、または **[Publisher Normalized**] のステータスを持つ検出モデルは、[一致項目は見つかりませんでした] に戻ります。ステータスが [手動で正規化済み] の

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

検出モデル、およびパターンルールを使用して正規化された検出モデルは、元に戻すことはできません。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ディスカバリーモデル.
2. 検出モデルレコードを選択します。
3. [正規化を元に戻す] を選択します。
   正規化を元に戻すプロセスが完了すると、フィールドは元の値にリセットされ、ソフトウェア検出モデルに関連付けられたルールはすべて無効になります。

ワークスペースのエディション値を手動で上書き

ソフトウェア インストールのエディションが自動検出されない場合、エディションをソフトウェア インストール フォームで指定すると (わかる場合)、ソフトウェアを正常に調整することができます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
正常に調整を実行するには、ソフトウェアの [公開者]、[製品]、[バージョン]、[エディション] の各フィールドを設定する必要があります。エディションが自動的に検出されないが (エディションの値は [表示名] フィールドの一部に含まれていません)、エディションがわかっている場合は、手動で正しい値 (エンタープライズなど) に設定できます。

エディションの値が設定されると、ソフトウェアインストールの Discovery モデルが自動的にリセットされます。適切な Discovery モデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

> **注:**
> すべてのソフトウェア製品がエディションで構成されているわけではありません。エディションで構成されるソフトウェア製品のうち、すべてのエディションの値が自動検出されるわけではありません。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. [検出モデル] を選択します。
3. [検出モデル] ページで、検出モデルを開きます。
4. [ソフトウェアインストール] タブを選択し、エディションの値を設定するソフトウェアインストールレコードを開きます。

   > **注:**
   > [エディションの上書き] フィールドは自由形式のフィールド (ルックアップ リストなし) であり、このフィールドはキーとして使用されるため、入力される値は正確である必要があります。

5. **[Save** (保存)] を選択します。
   ソフトウェアインストールは、プライマリーキーの一部としてエディションの値を含む別の検出モデルに関連付けられています。適切な Discovery モデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースでのソフトウェアモデルの手動正規化

完全に正規化されていない (部分的に正規化されている、公開者が正規化されている、または一致が見つからない) ソフトウェア検出モデルを調整するために、手動で正規化することができます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ディスカバリーモデル.
2. 正規化ステータスが[一部正規化済み]、[パブリッシャーによって正規化済み]、または [一致項目は見つかりませんでした] の検出モデルレコードを選択します。
3. ページの右側にある省略記号アイコンを選択します。
4. [正規化] を選択します。
   正規化ステータスが [手動で正規化済み] に変わります。

ワークスペースでのソフトウェア使用の表示または作成

ソフトウェア使用レコードを表示して、ソフトウェア資産ワークスペースで再利用ルールを作成したソフトウェア製品の使用状況を追跡します。サードパーティ統合または Microsoft SCCM 統合から手動でソフトウェア使用レコードを作成することもできます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて
次の手順を使用して、ソフトウェア使用レコードを手動で作成します。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. [ソフトウェア資産ワークスペース] の左側のナビゲーション メニューで、[ライセンス操作] を選択します。
   [ライセンス操作] ビューが開きます。
3. ライセンス操作ビューの [リスト] タブで、 ディスカバリー > ソフトウェア使用.
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. [新しいソフトウェア使用の作成] フォームで、フィールドに入力します。

[新しいソフトウェア使用の作成] フォーム

フィールド	説明
ソフトウェア使用	
公開者	ソフトウェア製品の公開者。
製品	ソフトウェア製品の名前。
再利用タイプ	ソフトウェアのインストールで使用される再利用のタイプ。オプションは、[合計使用時間**(Total Usage Time)]** と [最終使用日**(Last Used Date**)] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 「合計使用時間」を選択すると、「使用状況測定データ」フォーム・セクションが表示されます。「最終使用日」を選択すると、「最終使用データ」フォーム・セクションが表示されます。
構成アイテム	ソフトウェア製品が関連付けられている構成アイテム (CI)。 注: [CI ステータス] または [ハードウェアステータス] フィールドが [廃止] または [盗難] に変更されると、CI に関連するインストールは削除されます。
ユーザー	ソフトウェア製品を使用しているユーザーの名前。
検出ソース	ソフトウェア使用状況データの検出ソース。 適切な検出 ソースが [検出ソース] リストに表示されない場合は、[検出ソース] フィールドの名前を右クリックし、[選択の構成] を選択することで表示できます。プロンプトが表示されたら、次のいずれかのオプションを使用して検出ソースを表示します。 ○ 検出ソースがインスタンスに ServiceNow 既に存在する場合は、[利用可能] リストに表示されます。検出ソースを [選択済み] リストに移動して、[検出ソース] リストに表示されるようにします。[保存] を選択して [新しいソフトウェア使用の作成 (Create New Software Usage)] フォームに戻ると、更新された 検出ソース リストを表示できます。 ○ 検出ソースがインスタンスに ServiceNow まだ存在しない場合は、 [新しいアイテムを入力] フィールドに検出ソースの名前を入力し、 [追加] を選択します。新しい検出ソースを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動して、 検出ソース リストに表示されるようにします。[保存] を選択して [新しいソフトウェア使用の作成 (Create New Software Usage)] フォームに戻ると、更新された 検出ソース リストを表示できます。
使用状況計測データ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注: このフォームセクションは、[再利用タイプ] が [合計使用時間] に設定されている場合にのみ表示されます。	
月	ソフトウェア製品が使用された月。
年	ソフトウェア製品が使用された年。
使用回数	ソフトウェア製品にアクセスした回数。
合計使用時間 (秒)	ソフトウェア製品が使用された時間 (秒)。
最後に使用されたデータ 注: このフォームセクションは、[再利用タイプ] が [最終使用日] に設定されている場合にのみ表示されます。	
前回の使用時間	ソフトウェア製品が最後に使用された日時。

6. **[Save** (保存)] を選択します。

ワークスペースでのエンジンの表示**SAP**

各エンジンのライセンス測定基準に基づいて、クライアントの SAP 月次エンジン使用率測定値を表示します。

始める前に

システムからプルされた SAP 、検出されたすべてのユーザーを表示することもできます。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. [すべての **SAP** エンジン] を選択します。
3. SAPエンジンレコードを選択すると、システムユーザーとSAPエンジン使用状況の詳細SAPが表示されます。

ワークスペースでユーザーを表示する**SAP**

でSoftware Asset ワークスペースシステムからプルされたSAP検出済みのユーザーをすべて表示します。

始める前に

検出されたユーザー [samp_discovered_user] テーブルは、検出された SAP ユーザーをユーザー [sys_user] テーブルのシステムユーザーレコードにマッピングします。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. [すべての **SAP** ユーザー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. レコードを選択して、ユーザーロール、ユーザーのアクティブなトランザクション、SAPSAPユーザーアクティビティ、SAPWeb アクティビティなどSAPの詳細を表示します。
   - SAP ユーザーロール [samp_sap_user_has_role]: SAP ユーザーとユーザーに割り当てられたロール。
   - SAP ユーザー・アクティブ・トランザクション [samp_named_user_type_has_transactions]: クライアント上の SAP 名前付きユーザーのトランザクション・アクティビティに関連するデータ。ユーザー・トランザクション・アクティビティーは、クライアント上でSAPトランザクションまたはタスクを実行するためのショートカットであるトランザクション・コードに基づいていますSAP。たとえば、ME21N トランザクション コードを使用すると、 で SAP発注書を作成できます。
   - SAPユーザー アクティビティ [samp_sap_user_activity]: システムでSAP費やされた時間や、作成または更新されたデータベース レコードの数など、クライアントでのSAPユーザーのアクティビティに関連するデータ。
   - SAP Web アクティビティ [samp_sap_web_activity]: 各接続で送受信された呼び出し数やデータ量など、クライアントで SAP 実行される Web アクティビティまたは RFC 接続に関連するデータ。

ワークスペースでのカスタム指名ユーザータイプの作成

ソフトウェア資産ワークスペースのソフトウェアエンタイトルメントで SAP 使用できるカスタムの指名ユーザータイプを作成します。カスタムの指名ユーザータイプを作成すると、ユーザーは自分の SAP システムに固有のライセンスを追跡できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

注:
インスタンスで直接ServiceNow作成したカスタムSAPの指名ユーザータイプは、システムに反映されSAPません。システムで SAP も同じ変更を行う必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. **[SAP** 指名ユーザーの種類] を選択します。
3. 新規 を選択し、詳細を入力します。

フィールド	説明
名前	カスタム指名ユーザーの名前。
価格リスト	デフォルトの価格リスト。
開発者である	ユーザーが開発者ロールを持っていることを示します。
アクセス権を付与	指名ユーザータイプにアクセス権を付与します。
値	名前付きユーザータイプに関連付けられた値。この値は、数字または文字のいずれかです。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。低いランク値が優先されます。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプのライセンスステータスを示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
アクティブ	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示します。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   指名ユーザータイプが「指名ユーザータイプ」リストに追加されます。

ワークスペースでのカスタム **SAP** 価格リストの作成

システムに固有のSAP契約に基づいてライセンスを追跡および管理SAPできるように、カスタムSAP価格リストを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

注:
インスタンスでServiceNow直接作成したカスタムSAP価格リストは、システムに反映されSAPません。システムで SAP も同じ変更を行う必要があります。

手順

1. ソフトウェア資産ワークスペースから、ライセンス操作ビューを開きます。
2. ライセンス操作ビューの左側のナビゲーションメニューから、 ディスカバリー > **SAP** 価格リスト.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [新しいカスタム価格リストの作成 (Create New Custom Price List)] フォームで、フィールドに入力します。

新しいカスタム価格リストの作成

フィールド	説明
名前	価格リストの名前。
ID	価格リストの一意の識別子。
デフォルトの指名ユーザータイプ	価格リストのデフォルトの指名ユーザータイプ。
アクティブ	価格リストがアクティブかどうかを示すオプション。

5. **[Save** (保存)] を選択します。
   価格リストレコードに SAP 自動的にリダイレクトされます。
6. オプション: 指定ユーザータイプをカスタムSAP価格表に関連付けSAPます。

   a. 価格表レコードの SAP指名ユーザー タイプ タブで、新規 を選択します。

   b. [カスタム指名ユーザータイプの新規作成 (Create New Custom Named User Type)] フォームで、フィールドに入力します。

[新しいカスタム指名ユーザータイプの作成 **(Create New Custom Named User Type)]** フォーム

フィールド	説明
名前	指名ユーザータイプの名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
価格リスト	指定ユーザータイプを関連付ける価格リスト。このフィールドは、自動的に入力されます。
開発者である	この指名ユーザータイプのユーザーに開発者ロールがあるかどうかを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプがアクセスできるアプリケーション。
値	名前付きユーザータイプを識別する英数字の値。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。ランク値が低いほど、調整時の優先度が高くなります。
ライセンス可能である	名前付きユーザータイプにライセンスを付与できるかどうかを示すオプション。
アクティブ	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

c. **[Save** (保存)] を選択します。

d. 追加するカスタム指名ユーザータイプごとに手順 a ～ c を繰り返します。

ワークスペースでの **SSO** アプリケーションの表示

ソフトウェア資産ワークスペースで、SSO プロバイダーを介して接続できるアプリケーションに関連する詳細を表示します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. **[SSO** アプリケーション] を選択します。
   接続されているすべてのSSOアプリケーションと切断されているSSOアプリケーションのリストが表示されます。
3. アプリケーションレコードを選択すると、SSO アプリケーショングループ、ユーザー、SSO サブスクリプション、アプリケーションの再利用候補などの詳細が表示されます。

SSO アプリケーション

リスト	説明
SSO アプリケーションユーザー	アプリケーションに直接アクセスできるが、グループのメンバーシップを介さないすべてのユーザー。
SSO アプリケーショングループ	アプリケーションにアクセスできるすべてのグループ。
SSO サブスクリプション	アプリケーションのサブスクリプションの合計数。ユーザーは、アプリへの直接アクセスとグループを介したアクセスの両方を持つことができます。ただし、ユーザーのアクセスは 1 つのサブスクリプションとしてのみカウントされるため、[SSO サブスクリプション] リスト内の 1 つのレコードとしてのみカウントされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスト	説明
	注: ○ **SSO** アプリケーションロール列を追加して、ユーザーにアプリケーションへのアクセス権がどのように付与されるかを確認します。値がグループの場合、ユーザーはそのグループのメンバーシップを通じてアクセスできます。値がユーザーの名前の場合、ユーザーはアプリケーションに直接アクセスできます。ユーザーがグループメンバーシップを通じてアプリケーションにアクセスできる場合、ユーザーサブスクリプションは再利用 ソフトウェア資産管理 できません。サブスクリプションを再利用するには、Azure AD ポータルでグループからユーザーを削除し、再利用候補の状態を [完了してクローズ] に設定します。 ○ SSO アプリケーショングループを介して SSO サブスクリプションが作成されると、[サブスクリプションがアサインされました] の値は空になります。SSO アプリケーションユーザーを使用してサブスクリプションが作成されると、[サブスクリプションがアサインされました] の値に、サブスクリプションがユーザーに割り当てられた日付が表示されます。- 13.1.0 バージョン以降にソフトウェア資産管理アップグレードすると、SSO アプリケーショングループを介して作成されたサブスクリプションの既存のサブスクリプション割り当て値は空になります。SaaS ライセンス管理
再利用候補	アプリケーションの再利用ルールで定義された使用要件を満たしていないサブスクリプション。

ワークスペースでの **SSO** グループの表示

ソフトウェア資産ワークスペースで、SSO アプリケーションにアクセスできるすべての SSO グループに関連する詳細を表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. **[SSO** グループ] を選択します。
3. グループレコードを選択すると、そのグループ内のユーザーや子グループなどの詳細が表示されます。

ワークスペースでの **SSO** ユーザーの表示

ソフトウェア資産ワークスペース内の SSO アプリケーションに直接アクセスできるが、グループのメンバーシップを介さずに、すべてのユーザーの詳細を表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. **[SSO** ユーザー] を選択します。
3. ユーザーレコードを選択して、ユーザーに関連する追加の詳細を表示します。

ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成

クライアント アクセス レコードを追加し、クライアント アクセス ライセンス (CAL) を使用して特定のバージョンのサーバー ソフトウェアにアクセスしているユーザーまたはデバイスを追跡および管理します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

> **注:**
> sam_userロールを使用して、クライアントアクセスレコードを表示および読み取ることもできます。ただし、このロールを使用してクライアントアクセスレコードを作成することはできません。

このタスクについて
ソフトウェア資産管理 は、クライアント・アクセス・レコードを使用して、以下のライセンス・メトリックに基づいてサーバー・ソフトウェアを調整します。

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
Citrix	• Per User • ユーザー/デバイスあたり
一般	• ユーザー CAL • デバイス CAL • ユーザー/デバイス CAL
IBM	• 認定ユーザー • 認定ユーザー値単位

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	• 従業員ユーザー値単位 • 外部ユーザーの値単位
Microsoft	• ユーザー CAL • デバイス CAL • コアあたり (CAL を含む)
Oracle	指名ユーザープラス

ライセンスの測定基準はソフトウェアエンタイトルメントフォームで設定され、ソフトウェアモデルフォームの [評価指標属性] 関連リストからアクセスできます。

重要:
対応するソフトウェアモデルの [割り当てのクライアントアクセスを自動生成] オプションを使用して、アプリケーションがソフトウェア資産管理データベースサーバーのクライアントアクセスレコードOracleを自動的に作成できるようにすることができます。このオプションを使用するには、Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを ServiceNow Storeから要求する必要があります。[割り当てのクライアントアクセスを自動生成] オプションの詳細については、「」を参照してくださいソフトウェアモデルフィールド。Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションの詳細については、「」を参照してくださいグローバルライセンスおよびアドバイザリーサービスのデータ収集 Oracle の要求。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. [ソフトウェア資産ワークスペース] の左側のナビゲーション メニューで、[ライセンス操作] を選択します。
   [ライセンス操作] ビューが開きます。
3. ライセンス操作ビューの [リスト] タブで、 クライアントアクセス > クライアントアクセス.
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. [新しいクライアントアクセスの作成 (Create New Client Access)] フォームのフィールドに入力します。

[新しいクライアントアクセスの作成 **(Create New Client Access)]** フォーム

フィールド	説明
名前	クライアントアクセスレコードの名前。
ソフトウェアモデル	ユーザーまたはデバイスにアクセス権を付与するサーバーのソフトウェアモデル。
タイプ	クライアントアクセスレコードに関連付けられている CAL のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ ユーザー **CAL**: 各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、関連付けられたサーバーにアクセスするすべてのユーザーにライセンスを付与します。 たとえば、2 人のユーザーがサーバーにアクセスする Microsoft Windows 場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには 2 つのユーザー CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連する User CAL を特定のユーザーに割り当てることができます。詳細については、 ステップ 7 を参照してください。 ○ デバイス **CAL**:サーバーにアクセスするために各デバイスを使用しているユーザーの数に関係なく、指定されたサーバーにアクセスする各デバイスにライセンスを付与します。 たとえば、2 つのデバイスがサーバーにアクセスし Microsoft Windows ている場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには 2 つのデバイス CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連する Device CAL を特定のデバイスに割り当てることができます。詳細については、 ステップ 7 を参照してください。 ○ ユーザー/デバイス **CAL**: 関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。 **注:** ソフトウェアモデルを使用している Citrix 場合、ユーザー/デバイス CAL タイプは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスに基づきます。 たとえば、2 人のユーザーと 2 つのデバイスがサーバーにアクセスする Microsoft Windows 場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには 2 つのユーザー CAL と 2 つのデバイス CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられた User CAL と Device CAL を特定のユーザーとデバイスに割り当てることができま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	す。詳細については、 ステップ 7 を参照してください。 ○ 認定ユーザー:ソフトウェア製品にアクセスする IBM 各ユーザーにライセンス付与します。 **注:** この CAL タイプはソフトウェアにのみ適用されます IBM 。 ○ 認定ユーザーバリューユニット:ソフトウェア製品にアクセスする IBM 特定のユーザーの数にライセンスを付与します。 **注:** この CAL タイプはソフトウェアにのみ適用されます IBM 。 ○ 従業員ユーザー値単位:ソフトウェア製品にアクセスする IBM 組織内のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 **注:** この CAL タイプはソフトウェアにのみ適用されます IBM 。 ○ 外部ユーザー値単位:ソフトウェア製品にアクセスする IBM 組織外のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 **注:** この CAL タイプはソフトウェアにのみ適用されます IBM 。
WebLogic アプリケーション **注:** このフィールドは、 Oracle WebLogic Server ソフトウェア モデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle ユーザまたはデバイスがアクセスを許可されている WebLogic Server アプリケーション。
データベースインスタンス **注:** このフィールドは、データベースサーバーソフトウェア Oracle モデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle データベース内のデータにアクセスして管理する Oracle データベースインスタンス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソース **注:** このフィールドは、データベースサーバーソフトウェア Oracle モデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracleデータのソース。このフィールドは、次のいずれかのオプションに自動的に設定されます。 ○ **ServiceNow**:毎日またはオンデマンドで実行される [SAM - 自動生成されたクライアントアクセスと DB サーバーユーザーとの同期 (SAM - Sync Auto-generated Client Access with DB Server Users)] スケジュール設定済みジョブによって、クライアントアクセスレコードデータが自動的に生成されたことを示します。 ○ 内部:クライアントアクセスレコードデータが手動で追加されたことを示します。
カウント	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されている一意のユーザーまたはデバイスの数。 **注:** データベースサーバーの自動生成されたクライアントアクセスレコード Oracle では、このフィールドは、現在レコードに追加されているユーザーまたはデバイスの数に基づいて自動的に入力されます。クライアントアクセスレコードにユーザーまたはデバイスを追加する方法の詳細については、 手順 7 を参照してください。 **注:** ソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している Citrix 場合、[カウント] フィールドは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスの数に基づきます。
PaaS **注:** このフィールドは、データベースサーバーソフトウェア Oracle モデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle データベースインスタンスがリレーショナルデータベースサービス (RDS) によって管理されAmazonているかどうかを示すオプション (AWS)。Amazon Web サービス
コストセンター	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスのコストセンター。
部門	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの事業部門。
ロケーション	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの地理的な場所。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
会社	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの会社。

6. **[Save** (保存)] を選択します。
フォームが再ロードされ、[ユーザー] タブと [デバイス] タブが表示されます。
7. 関連付けられた CAL を特定のユーザーまたはデバイスに割り当てるには、[種類] フィールドで選択した CAL の種類に基づいて、それらのユーザーまたはデバイスをクライアント アクセス レコードに追加します。
CAL を特定のユーザーまたはデバイスにアサインすることで、調整中にそれらのユーザーまたはデバイスが異なるクライアント アクセス レコード間で複数回カウントされるのを防ぐことができます。
   - [種類] フィールドを [ユーザー **CAL**]、[ユーザー/デバイス **CAL**]、[認定ユーザー]、[認定ユーザー値単位]、[従業員ユーザー値単位]、または [外部ユーザー値単位] に設定した場合は、ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーを追加します。

     注:
     ソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は Citrix 、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるユーザーを追加します。

     a. 「 ユーザー 」タブを選択し、「 新規」をクリックします。

        新しいタブで [新しいクライアントアクセスユーザーブレークダウンの作成 (Create New Client Access User Breakdown)] フォームが開きます。

     b. [ユーザー] フィールドで、ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーを検索して選択します。

        指定したユーザーの [デバイス]、[アクティブ]、[ユーザー タイプ]、および [ソース] フィールドが自動的に入力されます。ただし、必要に応じて [デバイス]、[アクティブ]、および [ユーザー タイプ] フィールドを変更できます。

     c. **[Save** (保存)] を選択します。

     d. フォームを閉じて、クライアントアクセスレコードに戻ります。

     e. ユーザー ベースの CAL を割り当てるユーザーごとに手順 a ～ d を繰り返します。

   - [種類] フィールドを [デバイス **CAL**] または [ユーザー/デバイス **CAL**] に設定した場合は、デバイス CAL を割り当てるデバイスを追加します。

     注:
     ソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は Citrix 、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるデバイスを追加します。

     a. **[** デバイス] タブを選択し、[新規] を選択します。

        新しいタブで [新しいクライアントアクセスデバイスブレークダウンの作成 (Create New Client Access Device Breakdown)] フォームが開きます。

     b. [デバイス] フィールドで、デバイス CAL を割り当てるデバイスを検索して選択します。

        [アクティブ**(Active**)] フィールドと [ソース**(Source**)] フィールドは、指定したデバイスに対して自動的に入力されます。ただし、必要に応じて [アクティブ] フィールドを変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. **[Save** (保存)] を選択します。

d. フォームを閉じて、クライアントアクセスレコードに戻ります。

e. デバイス CAL を割り当てるデバイスごとに、手順 a から d を繰り返します。

8. 関連付けられたサーバーがインストールされている構成アイテム (CI) を追跡してライセンスを取得するには、それらをクライアントアクセスレコードに追加します。

> **重要:**
> この手順は、関連するソフトウェアモードl で [クライアントがアクセスするすべてのインストールを許可する] オプションを有効にしている場合には適用されません。このオプションを有効にすると、CI のライセンスは、ソフトウェア インストール条件など、ソフトウェアモデルで指定した条件に基づいて付与されます。このオプションの詳細については、「」を参照してください ソフトウェアモデル フィールド 。

サーバーの場合 Windows 、各サーバーのインストールには、関連するクライアントアクセスレコードのユーザーおよびデバイス CAL 権限とは別にライセンス付与されるコアあたり (CAL を含む) 権限が必要です。Javaなどの Oracle 他の製品では、サーバーインストールのために個別にライセンスを取得する権限は必要ありません。たとえば、CAL を使用して Java にアクセスする Oracle ユーザーとデバイスにライセンスを付与する場合、 ソフトウェア資産管理 対応する Oracle Java インストールをライセンス済みとして自動的にマークすることができます。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 CAL ライセンスの一部として Java インストールの Oracle ライセンスを取得します。

この機能を有効にするには、特定のサーバーがインストールされているすべての CI を、関連するクライアントアクセスレコードに追加する必要があります。これらの CI を指定することで、ユーザーとデバイスが接続されているサーバーインストールを判別できます ソフトウェア資産管理 。クライアントアクセスレコードのすべてのユーザーとデバイスにライセンスが付与されると、指定された CI 上のすべてのサーバーインストールもライセンス済みとしてマークされます。これらのインストールでは、追加のライセンスは消費されません。

a. [**Devices with Installations**] タブを選択し、[**New**] をクリックします。

b. [新しいクライアントアクセスインストール済みデバイスの作成 (Create New Client Access Installed Device)] フォームの [デバイス] フィールドで、関連付けられたサーバーがインストールされている CI を検索して選択します。
指定された CI の [アクティブ] フィールドが自動的に入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じて変更できます。

c. **[Save** (保存)] を選択します。

d. フォームを閉じて、クライアントアクセスレコードに戻ります。

e. 関連付けられたサーバーがインストールされている CI ごとにステップ a ～ d を繰り返します。

次のタスク

クライアント アクセス レコードを作成すると、関連付けられたサーバー ソフトウェア上で、スケジュール設定済みジョブとして、またはオンデマンドで調整が実行されます。調整結果は [ライセンス使用状況] ビューで表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

次の修復オプションを使用して、サーバー ソフトウェアの非準拠を修復できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 購入権限: 必要な権限の数が、指定されたサーバーソフトウェアのすべてのクライアントアクセスレコードで所有されている権限の数よりも多い場合に、発注書を生成します。
- 割り当ての作成: 指定したサーバーソフトウェアのクライアントアクセスレコードに追加されたライセンスのないユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。
- 割り当ての削除: 十分な権限が利用できない場合に、ライセンスを持つユーザーまたはデバイスから権限を削除します。

ワークスペースでユーザーサブスクリプションを作成

ソフトウェア資産ワークスペースで、ユーザーのソフトウェアサブスクリプション SaaS と SSO アプリケーションを作成します。

始める前に
[ユーザーサブスクリプション] オプションは、Software Asset Management - SaaS License Management Integrations プラグインが有効になっている場合にのみ使用できます。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. [ユーザー サブスクリプション] を選択します。
3. ユーザー サブスクリプション ページで、 [新規] を選択します。
4. [新しいソフトウェアサブスクリプションを作成] ページで、詳細を入力します。

フィールド	説明
表示名	サブスクリプションのソフトウェア公開者と製品。
パブリッシャー	サブスクリプションのパブリッシャー
製品	サブスクリプションのソフトウェア製品
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン
エディション	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のエディション。
ソフトウェアモデル	サブスクリプションのソフトウェア モデル。
ユーザー	このサブスクリプションが割り当てられているユーザーの名前。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションのユーザーのメールアドレス。
最終アクティビティ	このサブスクリプションが最後に使用された日付。

5. **[Save** (保存)] を選択します。

ワークスペースで公開者の品番 **(PPN)** の提案を表示する

ソフトウェア資産ワークスペースで、カスタム PPN および DMAP のコンテンツサービス提案を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
PPN の提案は、コンテンツサービスでカスタム PPN に対応する一致が見つかった場合にのみ使用できます。PPN 提案レコードは、部品番号提案 [samp_sw_part_number_suggestion] テーブルに保存されます。

必要なロール:sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
   [**License Usage**] ビューから [Publisher] 詳細ページおよび [進行状況インジケーター] セクションに移動して、部品番号の提案を表示することもできます。
2. [コンテンツの提案] リスト ビューから [部品番号の提案] を選択します。
3. 提案レコードを開いて、部品番号の提案ページを表示します。
   カスタム PPN の詳細は、部品番号の提案ページの上部に表示されます。ページの後半には、推奨部品番号の詳細が表示されます。カスタム PPN が使用されているすべてのエンタイトルメントが [影響を受けるエンタイトルメント] タブに表示されます。カスタム DMAP が使用されているすべてのソフトウェアモデルが [影響を受けるソフトウェアモデル] タブに表示されます。影響を受けるソフトウェアモデルが存在しない場合、このタブは表示されません。
4. [承認] または [却下] を選択します。
   - 承認:カスタム PPN と DMAP は、コンテンツサービスの PPN と DMAP に置き換わります。影響を受けるエンタイトルメントで、コンテンツサービス PPN が置き換えられます。同様に、ソフトウェアモデルで Content Service DMAP が置き換えられます。
   - 却下:このレコードのステータスが [却下] に変更され、カスタム PPN を引き続き使用します。

フェーズごとの ソフトウェア資産管理 実装の管理

最初に管理する少数のソフトウェア製品のみを公開して、段階的な ソフトウェア資産管理 実装を実行します。また、ソフトウェア製品の管理が不要になった場合は、公開リストからそれらの製品を削除することもできます。

ソフトウェア製品を公開するためのドメイン固有のプロパティーの設定

の ソフトウェア資産管理 ドメイン分離アプリケーションプロパティを使用して、特定のドメインのソフトウェア製品の公開プロパティを設定します。

始める前に
の ソフトウェア資産管理Domain Separation アプリケーションプロパティをセットアップするには、ServiceNow インスタンスで Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインをアクティブ化する必要があります。

必要なロール:sam_admin または admin

このタスクについて
*com.snc.samp.manage.published.product*アプリケーションプロパティを使用すると、のソフトウェア資産管理フェーズごとの実装でソフトウェア製品の公開を有効にするドメインを指定できます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産管理 > 管理 > アプリケーション プロパティ.
2. 利用可能なアプリケーションプロパティのリストから、
   com.snc.samp.manage.published.products を選択します。
3. アプリケーションプロパティ値を作成または更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- アプリケーションプロパティ値を作成するには、 [新規] を選択します。
- 既存のアプリケーションプロパティ値を更新するには、使用可能な値のリストからそのアプリケーションプロパティ値を選択します。

4. フォームのフィールドに入力します。

アプリケーションプロパティ値フォーム

フィールド	説明
値	アプリケーションプロパティの値。次のいずれかを指定できます。 ○ プロパティを有効にする場合は **true**。 ○ プロパティを無効にする場合は **false**。
ドメイン	アプリケーションプロパティ値を適用するドメイン。

5. アプリケーションプロパティ値を保存します。
   - 既存のアプリケーションプロパティ値を更新するには、 [更新] を選択します 。
   - 新しいアプリケーションプロパティ値を保存するには、[送信] を選択します。

次のタスク
のフェーズごとの実装 ソフトウェア資産管理の一環として、管理するソフトウェア製品を公開します。詳細については、「ソフトウェア製品の特定のセットを公開する」を参照してください。

ソフトウェア製品の特定のセットを公開する

それらのソフトウェア製品を公開することで、 ソフトウェア資産管理 現在の実装フェーズの一部であるライセンス可能なソフトウェア製品についてのみレポートします。最初に少数のソフトウェア製品を公開するだけで、初期の進捗状況を評価し、実装の範囲を徐々に拡大することができます。

始める前に
ソフトウェア製品を公開できるようにするには、システムプロパティまたは`com.snc.samp.manage.published.products`アプリケーションプロパティのいずれか`com.snc.samp.manage.published.products`がインスタンスでServiceNow有効になっていることを確認してください。

注:
アプリケーションプロパティはドメイン固有であり、 ServiceNow に対して ソフトウェア資産管理ドメイン分離がアクティブ化されているインスタンスでのみ使用できます。詳細については、「ドメイン分離と ソフトウェア資産管理」と「ソフトウェア製品を公開するためのドメイン固有のプロパティーの設定」を参照。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて
注:
レポートに正確なデータを表示するには、次の発生時にソフトウェア調整を実行する必要があります。

- システムプロパティ `com.snc.samp.manage.published.products` が更新されます
- ソフトウェア製品が公開されているか、公開済みソフトウェアのリストから削除されている

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産管理ワークスペース > ライセンス操作.
2. [**SAM** 実装] リストから、[公開済み製品] を選択します。
3. [追加] を選択します。

   注:
   [追加] オプションが使用できない場合は、プロパティが有効になっている *com.snc.samp.manage.published.products* ことを確認してください。

4. [発行済み製品に追加] ダイアログ ボックスで、公開するライセンス可能なソフトウェア製品を選択し、[追加] を選択します。

   注:

   スイートの一部であるソフトウェア製品を公開すると、親ソフトウェアスイートとその子ソフトウェアコンポーネントの詳細を含むリンクを含むメッセージが表示されます。詳細を表示し、必要に応じてこれらのソフトウェア製品を公開することができます。

タスクの結果

- ソフトウェア製品は、公開者ごとにグループ化された [公開済み製品] リストに追加されます。
- 製品を公開してソフトウェアの調整を実行した後、ライセンス使用状況ビューとソフトウェア資産の概要で、公開された製品のみに固有のレポートを表示できます。

公開済みソフトウェア製品の削除

実装の一環として ソフトウェア資産管理 管理またはレポートしなくなった公開済みソフトウェア製品を削除します。

始める前に
公開されたソフトウェア製品のリストからソフトウェア製品を削除できるようにするには、システムプロパティまたは*com.snc.samp.manage.published.products*アプリケーションプロパティのいずれか*com.snc.samp.manage.published.products*がインスタンスでServiceNow有効になっていることを確認してください。

注:
アプリケーションプロパティはドメイン固有であり、 ServiceNow に対して ソフトウェア資産管理ドメイン分離がアクティブ化されているインスタンスでのみ使用できます。詳細については、「ドメイン分離と ソフトウェア資産管理」と「ソフトウェア製品を公開するためのドメイン固有のプロパティーの設定」を参照。

必要なロール：sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. [**SAM** 実装] リストから、[公開済み製品] を選択します。
3. リストから削除する公開済みソフトウェア製品を選択します。
4. [削除] を選択します。

タスクの結果
削除したソフトウェア製品は、今後 [公開済み製品] リストに表示されなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品のインストール条件の作成

調整中に製品のすべてのソフトウェアモデルに適用される製品 Software Asset ワークスペース インストール条件を作成します。定義された製品インストール条件を満たすソフトウェア製品のみが調整に含まれます。

始める前に

製品のインストール条件を作成するには、(com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化 Software Asset ワークスペース する必要があります。Software Asset Workspace (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求と有効化の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理 を要求する。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

インストール条件は、ソフトウェア製品をインストールできる場所を定義します。製品インストール条件では、調整中に製品のすべてのソフトウェアモデルのインストールが考慮されます。

> **注:**
> ソフトウェア製品スイート全体ではなく、特定のソフトウェアモデルのインストール条件を設定する場合は、ソフトウェアインストール条件の追加を選択できます。ソフトウェア インストール条件の追加の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでソフトウェアモデルを作成。

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ライセンス.
2. [製品のインストール条件] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. 利用可能な製品のリストから、製品を選択します。
5. [条件の設定] を選択します。
6. フィールド、演算子、および値を含むフィルター条件を追加します。
   以下のオプションを使用して、ソフトウェア製品に複数のインストール条件を追加できます。
   - **or**:ソフトウェアインストールが満たすことができる条件のいずれかを調整に含めるように指定できます。
   - **and**:調整に含めるためにソフトウェアインストールが満たす必要があるすべての条件を指定できます。
   - **+** 新しい条件セット:調整に含めるためにソフトウェアインストールが満たすことができる追加の条件セットを指定できます。
7. [設定] を選択します。
8. インストール条件を正常に設定したら、 [保存] を選択します。
   ソフトウェア製品のスイート全体に対してインストール条件が追加されます。作成したインストール条件は、製品のインストール条件ランディングページで確認できます。

[Software asset analytics] ビュー

ソフトウェア資産ワークスペースの [ソフトウェア資産分析] ビューで統一された簡素化されたダッシュボードを使用すると、パフォーマンスを追跡し、分析を表示できます。

[ソフトウェア資産分析] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産分析.

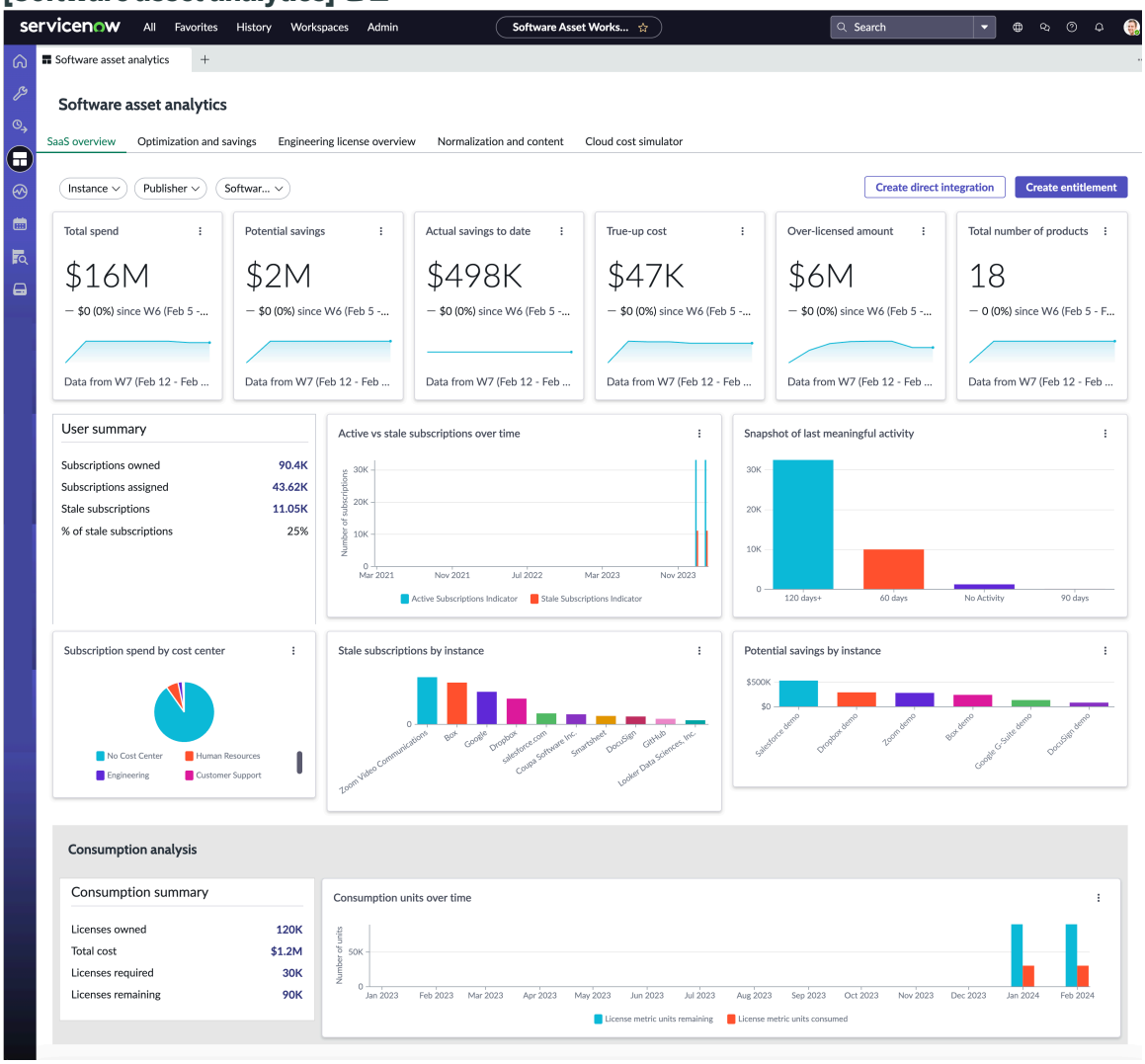
[ソフトウェア資産分析] ビューには、次のダッシュボードが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- SaaS概要:純粋な Microsoft 365Oracle KPI と と Adobe Cloudの主要な KPI を表示する単一のOracleダッシュボード。概要ダッシュボードの詳細については SaaS 、次を参照してください SaaS ワークスペースの概要ダッシュボード。
- 最適化と節減額:ソフトウェア資産のコストを最大化して節減する方法に関する測定基準を表示します。また、などのSAPサードパーティパブリッシャーAdobeMicrosoftRed Hatのライセンスの最適化も表示されます。最適化と節約の詳細については、次を参照してください ワークスペースの [最適化と削減] ダッシュボード。
- エンジニアリングライセンスの概要:すべてのエンジニアリングアプリケーションのライセンスポジションと使用状況を表示します。エンジニアリングアプリケーションライセンスの表示の詳細については、「」を参照してください ワークスペースのエンジニアリングライセンス概要ダッシュボード。
- 正規化とコンテンツ:正規化とコンテンツサービスの傾向図を表示します。正規化とコンテンツの詳細については、「」を参照してください ワークスペースの [正規化およびコンテンツ] ダッシュボード。
- クラウド コスト シミュレーション: クラウド環境ごとに、オンプレミス リソースをクラウドに移行する推定コストを比較および評価します。クラウドコストの比較の詳細については、「」を参照してください クラウドシミュレーターダッシュボード。

[Software asset analytics] ビュー



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS ワークスペースの概要ダッシュボード

ピュアストレージSaaSの関連するすべてのSaaS分析を表示しAdobe Cloud、Microsoft Office 365ソフトウェア資産分析ビューの概要ダッシュボードでSaaS表示します。

概要ダッシュボードでSaaSアプリケーションのサブスクリプション使用状況、コスト、およびコンプライアンスを分析することで、組織のコストSaaSを最適化しますSaaS。およびAdobe Cloud関連するMicrosoft Office 365コンプライアンス分析結果を表示することもできます。

注:
SaaS概要ダッシュボードは、ソフトウェア資産管理から ServiceNow Store- SaaS ライセンス管理 プラグインを有効にした場合にのみ表示されます。

ダッシュボードは、インスタンス、公開者、ソフトウェア モデル、またはドメインでフィルタリングできます。レポートを選択すると、詳細が表示されます。

注:
ドメインフィルターは、選択したドメインに基づいて結果を絞り込みます。ドメインフィルターのデフォルト値はグローバルです。いつでもドメインを選択して、ウィジェットに選択したドメインを反映できます。選択したドメインをクリアすると、デフォルトでグローバルに戻ります。ドメインフィルターは、次のプラグインがインストールされている場合にのみ画面に表示されます。

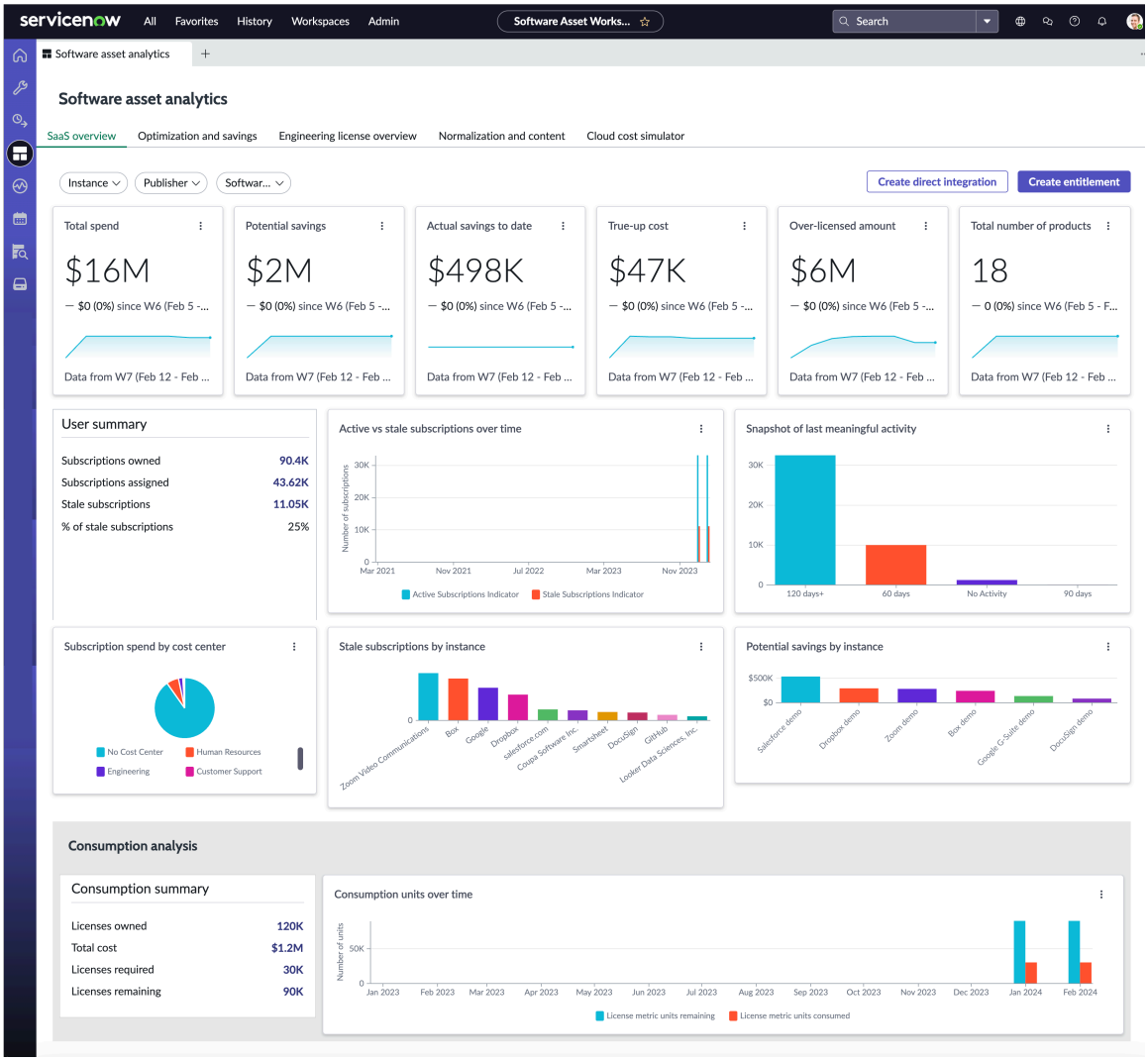
- Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- Performance Analytics - Domain Support (com.snc.pa.domain_support)

概要ダッシュボードにアクセスする SaaS には、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産分析.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボード



SaaS 概要ダッシュボード測定基準

レポート	ソース	説明
合計消費量	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントの合計コスト。
見込まれる節減額。	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に節約できる見込みコスト。
今までの節減実績	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	すべてのサブスクリプションソフトウェアの年間合計節減額。この値は、完全に閉じた再利用候補からの節減額の合計として計算されます。
調整コスト	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	所有する権限の数を、ユーザーに割り当てた権限の数と一致させるためのコスト。この測定基準は、組織が使用しているすべての権限に対して組織が料金を

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボード測定基準 (続く)

レポート	ソース	説明
		支払っていることを確認するのに役立ちます。
ライセンス供与過剰金額	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
製品の合計数	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	インポートされた財務トランザクションから自動的に検出された製品とトランザクションに手動で追加された製品を含む製品の合計数。
ユーザーサマリー 所有するサブスクリプション	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	ライセンスタイプがサブスクリプションであるすべてのアクティブな資格付与。
ユーザーサマリー サブスクリプション アサイン済み	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	ソフトウェアモデルに SaaS 割り当てられた権限の合計数。
ユーザーサマリー 古いサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	再利用ルールで定義された使用要件を満たしていないサブスクリプションの数。
ユーザーサマリー 古いサブスクリプションの割合	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	再利用ルールで定義された使用要件を満たしていないサブスクリプションの割合。このパーセンテージは、古い権限の数を割り当てられた権限の総数で割って計算されます。
長期にわたるアクティブなサブスクリプションと古いサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	特定の期間におけるアクティブに使用されているサブスクリプションと古いサブスクリプションのグラフ表示。
前回の意味のあるアクティビティのスナップショット	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	サブスクリプションソフトウェアの使用行動に基づくユーザーの分布。このデータを使用して、ソフトウェア使用率が最も高いユーザーを特定し、ソフトウェア再利用ルールに最も適したしきい値を決定します。このレポートには、アクティビティがない場合、30 日間、および 120 日以上のデータが表示されます。
コストセンター別のサブスクリプション支出	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントのコストセンター別の総コスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボード測定基準 (続く)

レポート	ソース	説明
インスタンス別の古いサブスクリプション	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	各サブスクリプションプロファイルの古いサブスクリプションの合計数。同じサブスクリプション ソフトウェアに複数のプロファイルがある場合、このレポートには各プロファイルが個別に表示されます。
インスタンス別の見込まれる節約額	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に、各サブスクリプションプロファイルで節約できる可能性のあるコスト。
ブラウザーアクティビティからのシャドウ SaaS 分析	DEX アプリケーション [samp_dex_application]	アプリケーションの数 SaaS 、または管理対象および管理対象外アプリケーションの合計数の割合。 • 管理対象:製品のソフトウェアモデルが存在します。 • 管理対象外:製品のソフトウェア モデルは存在しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボード測定基準 (続く)

レポート	ソース	説明
		重要: このチャートを表示するには、次の操作を行う必要があります。 • ServiceNow Store からバージョン 13.1.0 以降のソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理アプリケーションを要求してインストールします。詳細については、「SaaS ライセンス管理 を要求する」を参照してください。 • デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX)[sn_dex]製品バージョン2.1.0以降をインストールします。詳細については、「Install DEX 」を参照してください。 詳細については、レポートを参照してください ブラウザーアクティビティレポートからのシャドウ SaaS 分析 。
消費の概要 合計ユニット	サブスクリプション消費サマリー [sam_saas_consumption_summary]	ソフトウェアモデルのすべてのアクティブなエンタイトルメント全体で購入したソフトウェアユニットの合計数。
消費サマリー 総コスト	ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	ソフトウェアモデルのすべてのアクティブなエンタイトルメントにわたるソフトウェアユニットの総コスト。
消費サマリーユニット	ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	消費したソフトウェアユニットの数。消費可能なソフトウェア単位の測定単位。
残りの消費サマリーユニット	ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	消費されていないソフトウェアユニットの数。
時間の経過に伴う消費単位	ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	一定期間に消費されたソフトウェアユニット数と消費されなかったソフトウェアユニット数のグラフ表示。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースの [最適化と削減] ダッシュボード

[Optimization and savings (最適化と節減額最)] ダッシュボードを使用して、ソフトウェア資産の実際のコスト削減と潜在的なコスト削減を表示します。さらに、サードパーティソフトウェアの公開者に Microsoft推奨されるライセンスの最適化 (、、 Red Hat、など SAP) も確認します。この情報を使用してライセンスをダウングレードしたり再利用したりすると、ライセンスコストを最適化できます。

注:
ドメインフィルターを使用すると、選択したドメインに基づいて結果を絞り込むことができます。ドメインフィルターのデフォルト値は グローバルです。いつでもドメインを選択して、ウィジェットに選択したドメインを反映できます。選択したドメインをクリアすると、デフォルトで グローバルに戻ります。

ドメインフィルターは、次のプラグインがインストールされている場合にのみ画面に表示されます。

- Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- Performance Analytics - Domain Support (com.snc.pa.domain_support)

[最適化と削減額] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産分析 > 最適化と節約額.

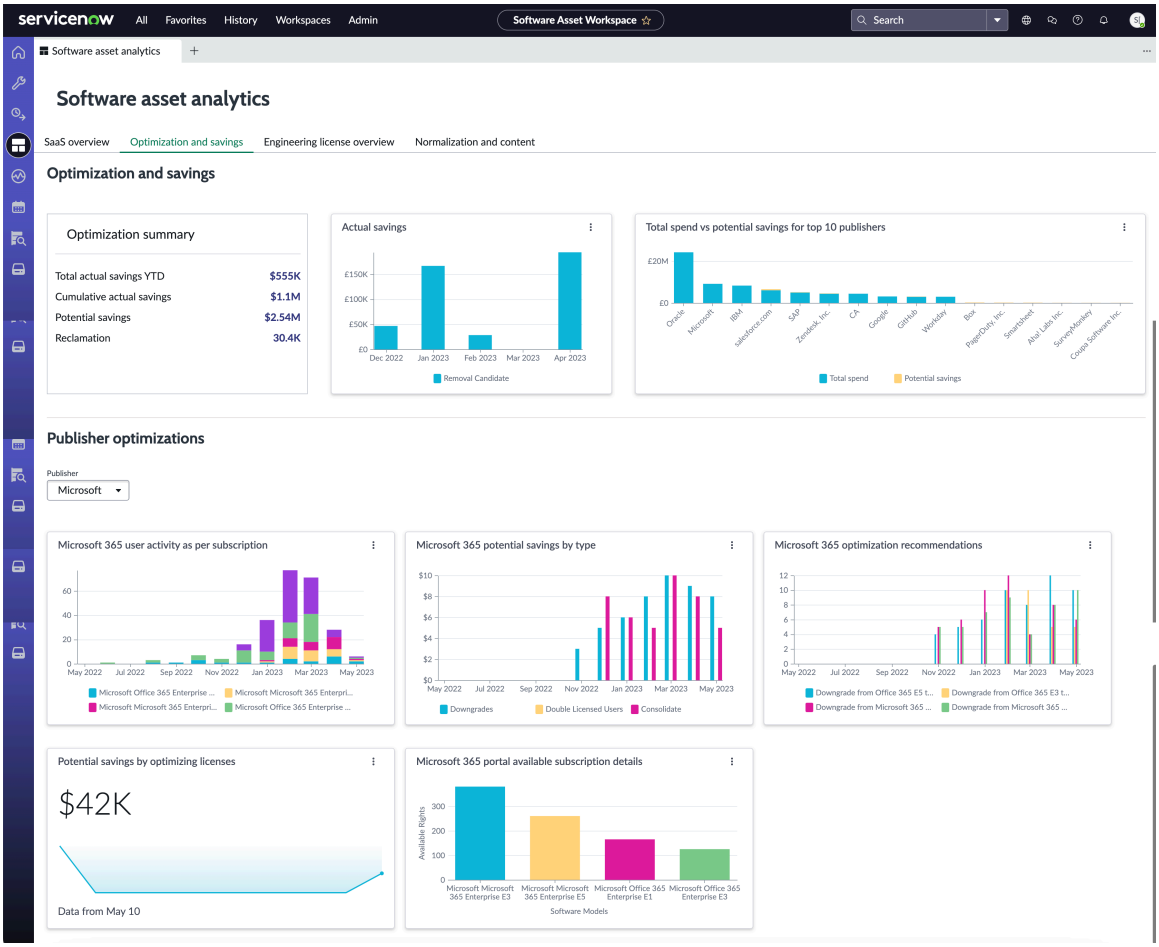
パブリッシャのライセンス最適化を表示するには、[パブリッシャ**(Publisher**)] ドロップダウンリストからパブリッシャを選択します。

- の公開者の最適化 SAP
- の公開者の最適化 Red Hat
- の公開者の最適化 Microsoft
- の公開者の最適化 Adobe

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[最適化と削減コスト] ダッシュボード



[最適化と節減額] ダッシュボードの測定基準

レポート	ソース	説明
節減実績合計 (年初来)	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	ステータスは [完了してクローズ] で今年のクローズ日です。
節減実績の累積	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	ステータスが [完了してクローズ] で、見込まれる節減額の合計。
見込まれる削減	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	ステータスが、完了してクローズ、またはキャンセルしてクローズ、スキップしてクローズ、および見込まれる節減額の合計。
再利用	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	アクティブが true です。
節減実績	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	クローズ済みの完全再利用候補の 5 か月間の履歴とそれに対応する節減額。
合計支出と節減見込み額の上位	製品の結果 [samp_product_result] と削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	支出額の高い順にソートされた上位 10 件のパブリッシャーの履歴と、それに対応する節減見込み。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[最適化と節減額] ダッシュボードの測定基準 (続く)

レポート	ソース	説明
10 件のパブリッシャー		

ワークスペースのエンジニアリングライセンス概要ダッシュボード

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードで製品使用状況レポートを表示して、エンジニアリングアプリケーションのライセンスの位置と使用状況を監視して洞察を得ます。

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードには、AutoCAD、GIS などのエンジニアリングアプリケーションに属する正規化された製品と公開者に関するレポートが表示されます。

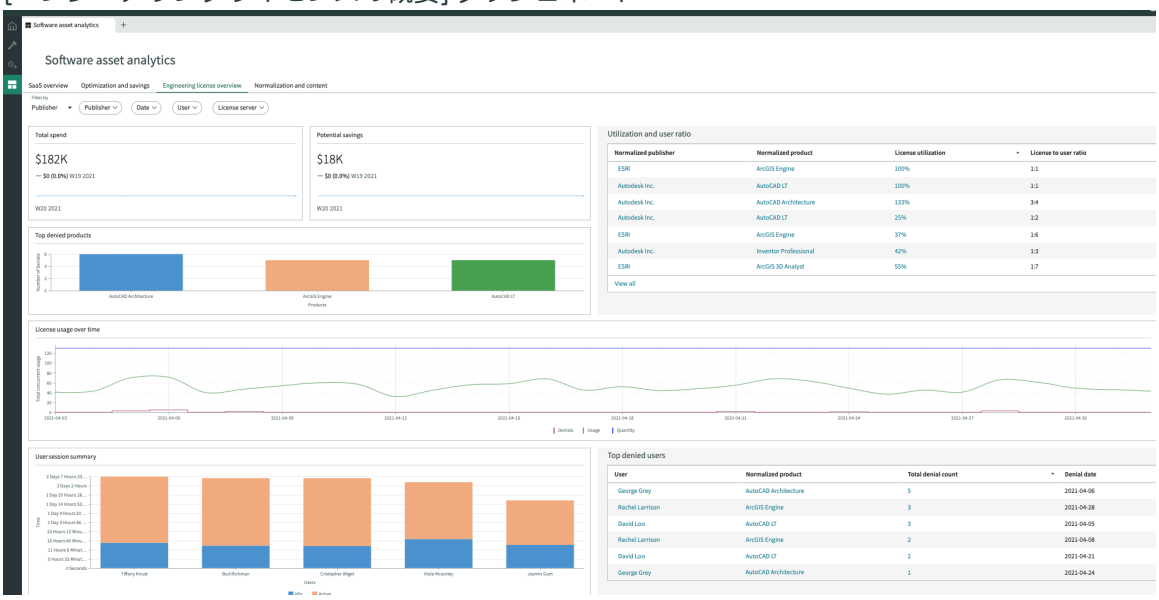
すべてのタブで製品またはパブリッシャーに基づいて結果を絞り込むには、ダッシュボードの左隅にあるフィルターを使用します。日付、ユーザー、またはライセンス サーバーに基づいて、結果をさらに絞り込むことができます。

注:
エンジニアリングアプリケーションに属し、エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] テーブルにリストされている製品と公開者のみがフィルターに表示されます。製品または公開者が選択されていない場合は、エンジニアリング アプリケーションに属するすべての製品と公開者の累積データが表示されます。

すべてのレポートは、毎日、または新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産分析 > エンジニアリングライセンスの概要.

[エンジニアリングライセンスの概要] ダッシュボード



[エンジニアリングライセンスの概要] ダッシュボードの測定基準

レポート	ソース	説明
合計消費量	製品の結果	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの合計コスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[エンジニアリングライセンスの概要] ダッシュボードの測定基準 (続く)

レポート	ソース	説明
	[samp_product_result]	
見込まれる削減	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
上位拒否製品	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	同時使用がピークに達したためにユーザーに拒否された上位製品。
使用率とユーザー率	エンジニアリングアプリケーションの利用率とユーザー比率 [samp_eng_utilization_user_ratio]	正規化された製品およびパブリッシャーのライセンス使用率と、それらのライセンスを使用するユーザー数の割合。 • 正規化済みパブリッシャー • 正規化済み製品 • ライセンス使用率:権利数に対する製品のピーク消費の割合。 • ライセンスとユーザーの比率: 90 日間の権利の期間における、この製品を使用するユーザーに対するこのライセンスを使用する権利の比率。
時間経過によるライセンス使用率	エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] エンジニアリングアプリケーションの同時使用 [samp_eng_app_concurrent_usage] エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	使用可能なすべてのライセンスの総数または数量。アクティブな製品だけでなく、すべての製品。 • 青い線は、製品または公開者に割り当てられたライセンスの合計数を表します • 緑色の線は、ライセンスの同時使用状況を示します。 • 赤い線は、拒否、または同時使用がピークに達したかどうか、いつピークに達したかを示します。
ユーザーセッションサマリー	エンジニアリングアプリケーション使用サマリー [samp_eng_app_usage_summary]	ユーザーが製品に費やした時間(アイドルとアクティブ)。 **注:** アイドルは合計アイドル時間列の集計合計であり、アクティブは合計セッション期間列の集計合計です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[エンジニアリングライセンスの概要] ダッシュボードの測定基準 (続く)

レポート	ソース	説明
上位拒否ユーザー	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	製品のライセンスが拒否された上位ユーザー。

ワークスペースの [正規化およびコンテンツ] ダッシュボード

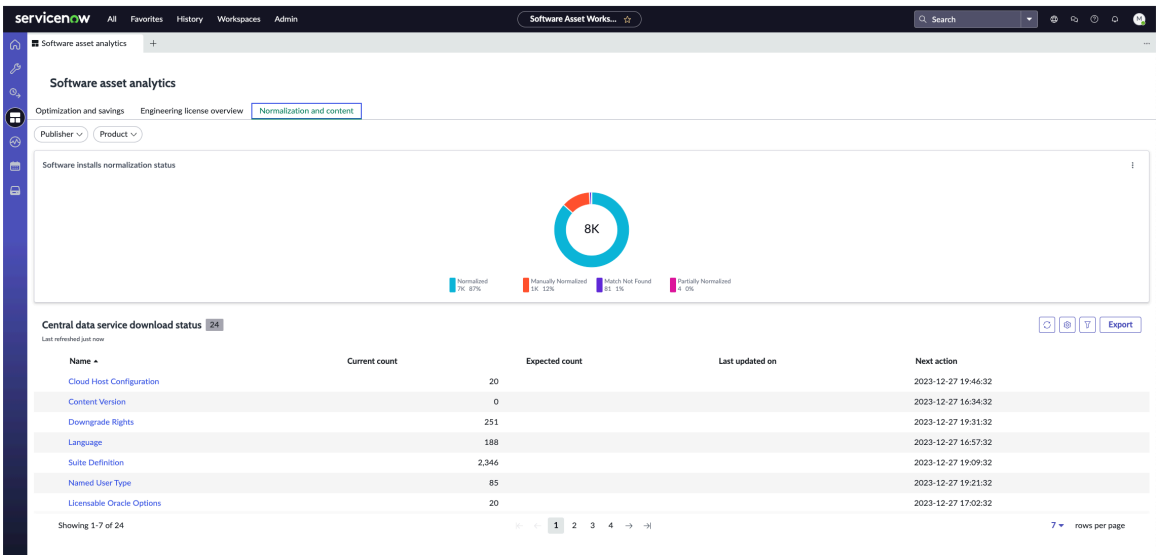
ソフトウェア資産職場の Performance Analytics と統合された正規化およびコンテンツダッシュボードで正規化傾向チャートを表示します。

正規化チャートの結果は、SAM - 検出モデル正規化ジョブが実行されると毎日更新されます。

[正規化とコンテンツ] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産分析 > 正規化とコンテンツ.

パブリッシャーまたは製品フィルターを使用して、特定のパブリッシャーまたは製品に基づいてインストール数をフィルタリングできます。

[正規化とコンテンツ] ダッシュボード



[正規化とコンテンツ] ダッシュボードの測定基準

レポート	ソース	説明
ソフトウェアインストール正規化ステータス	ソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model]	正規化ステータスに基づくソフトウェアインストールの数。 ドーナツグラフで標準化ステータスを選択すると、検出モデルのリストと各検出モデルのインストール数が表示されます。さらに Discovery モデルを選択して、ソフトウェアインストールのリストを表示することもできます。 このウィジェットのレポートは、次の日次ジョブスケジュー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[正規化とコンテンツ] ダッシュボードの測定基準 (続く)

レポート	ソース	説明
		ルが実行された後にのみ入力されます。 • SAM - コンテンツライブラリルールを使用して検出モデルを正規化 • SAM:日次ジョブ

セントラルデータサービスのダウンロードステータス

[セントラルデータサービスのダウンロードステータス] 関連リストは、[SAM - セントラルデータサービスのダウンロードステータス] ジョブが実行されると毎日更新されます。

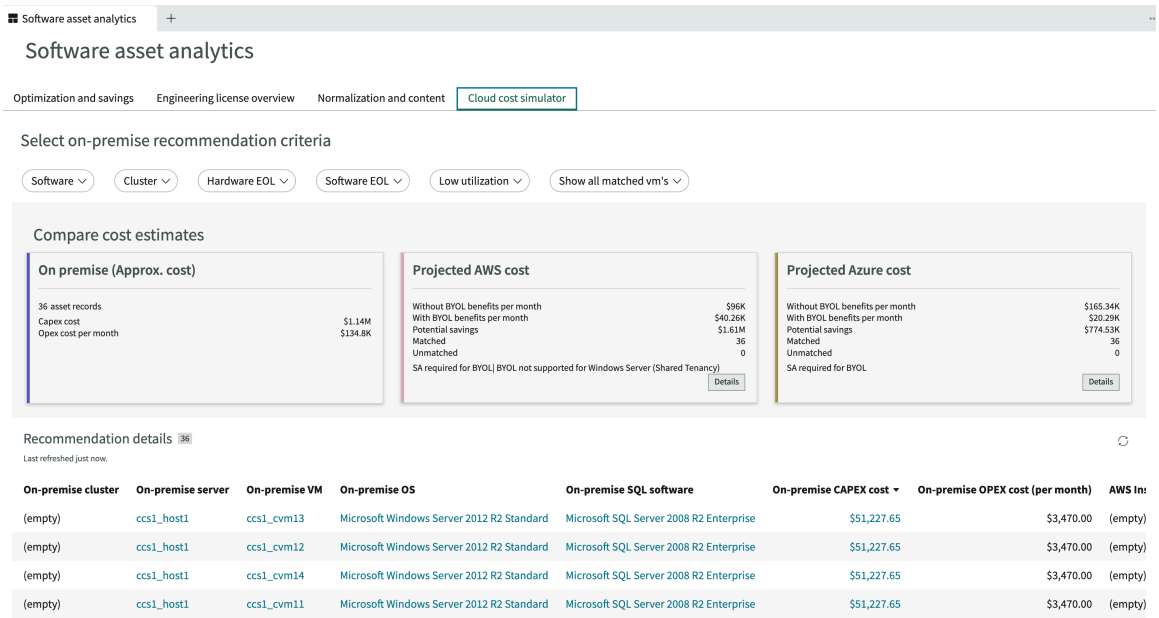
フィールド	説明
名前	コンテンツのプル元のテーブル名。
現在のカウント	テーブル内のレコードの数。
予想カウント	テーブル内の予想されるレコード数。
最終更新日	データが最後にプルされた日時。
次のアクション	データをプルする次のスケジュール日時。

クラウドシミュレーターダッシュボード

クラウド環境ごとに、オンプレミスのリソースをクラウドに移行するための推定コストを比較および評価します。

クラウドコストシミュレーターダッシュボードにアクセスするには、次に移動します。 **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産分析 > クラウドコストシミュレーター.

クラウドコストシミュレーターダッシュボード



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オンプレミスのリソースでフィルターを使用して、クラウド移行のコストに関する推奨事項を受け取るための基準を指定します。

- ソフトウェア
- クラスタ
- ハードウェア EOL
- ソフトウェア EOL
- 低使用率
- 一致するすべての VM を表示

注:
最適化と節減額ダッシュボードを使用して、フィルターなしで推奨事項を表示することもできます。

指定した基準に基づいて、推奨事項が一覧表示されます。指定した条件を満たす仮想マシンレコードが一覧表示されます。アプリケーションは、各仮想マシンについてリストされているオンプレミスのコストに加えて、ソフトウェア資産管理クラウド上の対応する仮想マシンの最適な価格一致を自動的にリストします。 AWSMicrosoft Azure

すべてのオンプレミス レコードの総コストを表示できるだけでなく、 [コスト見積もりの比較] セクションとで個々のコストAWSMicrosoft Azureを比較できます。

移行先のクラウド環境を決定したら、[変更要求] をクリックしてクラウド移行要求を開始します。

コスト推定の比較

投資コスト	減価償却を含めた後の計算済みハードウェアコスト
月間経費コスト	ソフトウェアエンタイトルメントから計算されます:Windows Server、SQL Server、ソフトウェアアシュアランス、および拡張セキュリティ更新プログラムのコスト。ユーザーが作成した構成アイテム (CI) レートカードからも計算されます。
1 か月あたりの BYOL 福利厚生なし	インスタンスのコスト (コンピューティング コスト、OS コスト、ソフトウェア コスト) とストレージ コスト。
1 か月あたりの BYOL 福利厚生あり	インスタンスコストのコスト (コンピューティングコスト) とストレージコスト。
見込まれる削減	すべての推奨事項が適用された場合の合計節減額。
一致	オンプレミスの仮想マシンと一致するクラウド上の仮想マシンの数。
不一致	オンプレミスの仮想マシンと一致しないクラウド上の仮想マシンの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の成功ポータルビュー **Software Asset** ワークスペース

の成功 Software Asset ワークスペース ポータルビューを使用して、成功目標を設定した (SAM) アプリケーションの進捗状況 ソフトウェア資産管理 を追跡し、目標の成功を追跡するアクティビティを割り当て、ソフトウェアの健全性チェックを実行し、SAM 機能を最大限に活用し、事前定義された成熟度アイテムで SAM プログラムを成熟させます。

成功ポータルは、次のアクションを実行するのに役立ちます。

- 成功目標を通じて **SAM** アプリケーションの進捗状況を追跡する

  成功目標は、ソフトウェアライセンスから得られる価値を分析し、予測される節減額を計算するのに役立ちます。追跡するライセンスの成功目標を作成します。成功目標の作成の詳細については、「」を参照してください の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理。

- 成功目標の進捗状況を追跡する

  目標の成功アクティビティを作成して、目標の成功を追跡します。詳細については、「の成功アクティビティを作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

- ソフトウェアの健全性チェックの実行

  健全性チェックを実行して、ライセンス、権限、および構成の健全性を確認し、各ソフトウェアスイートを最大限に活用します。詳細については、「健全性チェック」を参照してください。

- 値ビルダータスクを使用してソフトウェアを最新の状態に保つ

  値ビルダータスクでセットアップする必要があるソフトウェアアップグレード、公開者パック、および統合の概要を確認します。これらのタスクは自動的に作成されますが、必要に応じて独自のタスクを作成できます。詳細については、「値ビルダー」を参照してください。

- 事前定義された成熟度アイテムを使用して **SAM** プログラムを成熟させる

  プログラムの成熟度は、クロール、ウォーク、実行の各ステージに分類され、組織内のプロセス、特徴、機能、機能など、SAM プログラムの価値収益率を向上させるのに役立ちます。これらの成熟度アイテムを成功目標と値ビルダータスクにリンクして、SAM アプリケーションの改善を経時的に追跡し、レポートすることができます。詳細については、「の成熟度アイテムをすべて表示 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

メール通知は、次の条件が満たされた場合に送信されます。

- グループに対して、成功目標がそのグループにアサインされたとき。
- 成功目標がその所有者にアサインされている場合、所有者に対して。
- オーナーにとって、成功目標が [レビュー待ち] としてマークされている場合。
- 成功アクティビティがアサインされたときに、アサインされたユーザーまたはアサイン先グループへ。

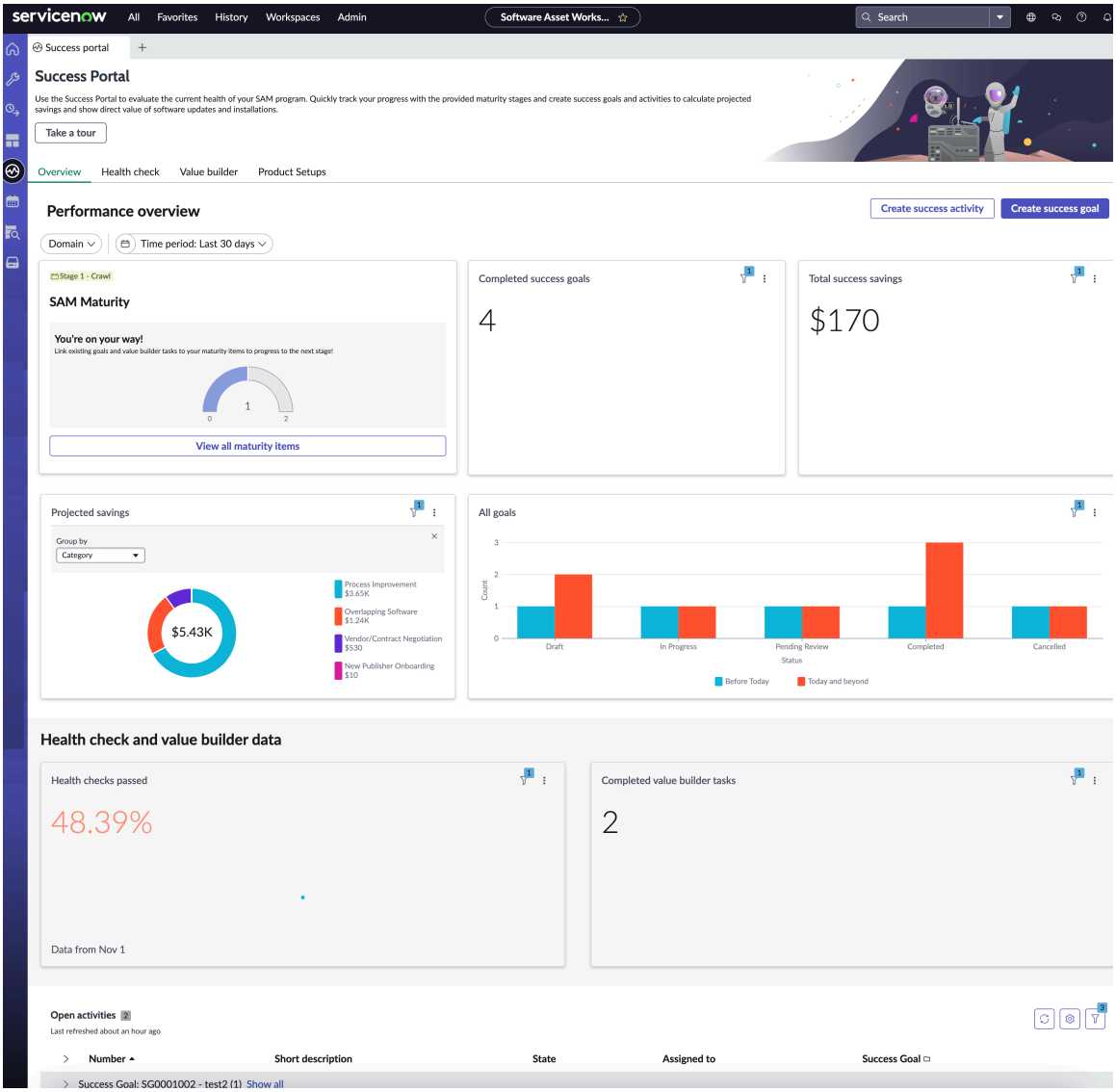
[Success portal] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 **Software Asset Workspace** > 成功ポータル.

サクセスポータルは、Performance Analytics - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) が有効になっている場合、ドメイン分離をサポートします。ドメイン別にデータをフィルタリングするには、ダッシュボードの上部でドメインを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成功ポータルビュー



サクセスポータルダッシュボード

ウィジェット	説明
SAM 成熟度	クロール、ウォーク、ランステージなど、SAM プログラム成熟度の現在のステージ。 [すべての 成熟度アイテムを表示] を選択して、各ステージの成熟度アイテムを表示します。詳細については、「の成熟度アイテムをすべて表示 ソフトウェア資産管理」を参照してください。
完了した成功目標	完了した成功目標の合計数。
達成した合計削減額	完了した成功目標からの実際の節減額。
予測された節減額	成功目標から予想される節減額は、目標のステータスとカテゴリ別にグループ化されます。
すべての目標	次のステータスでグループ化されたすべての成功目標:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サクセスポータルダッシュボード (続く)

ウィジェット	説明
	• ドラフト • 対応中 • レビュー待ち • 完了 • キャンセル
健全性チェックと値ビルダーのデータ	
健全性チェックに合格しました	健全性チェック成功率。
完了した値ビルダーのタスク	完了した値ビルダータスクの数。
未解決アクティビティ (Open activities)	成功目標アクティビティを開きます。

健全性チェック

健全性チェックダッシュボードを使用して、アプリケーションの構成 ソフトウェア資産管理 に対して実行された健全性スキャンの結果を表示します。

健全性チェックダッシュボードにアクセスするには、 **Software Asset Workspace** > 成功ポータル > 健全性チェック.

健全性チェックダッシュボードを表示するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインをアクティブ化し、 ServiceNow Store から ITAM 健全性チェックアプリケーションがインストールされていることを確認します。このダッシュボードにアクセスして健全性スコアデータを表示するには、scan_userおよびsam_adminロールが必要です。

注:
RomeリリースSan Diegoを使用している場合、フルスキャンを実行して、ベースシステムスキャンダッシュボードに結果を表示する必要があります。フルスキャンの実行の詳細については、「 フルスキャンの実行 」を参照してください。

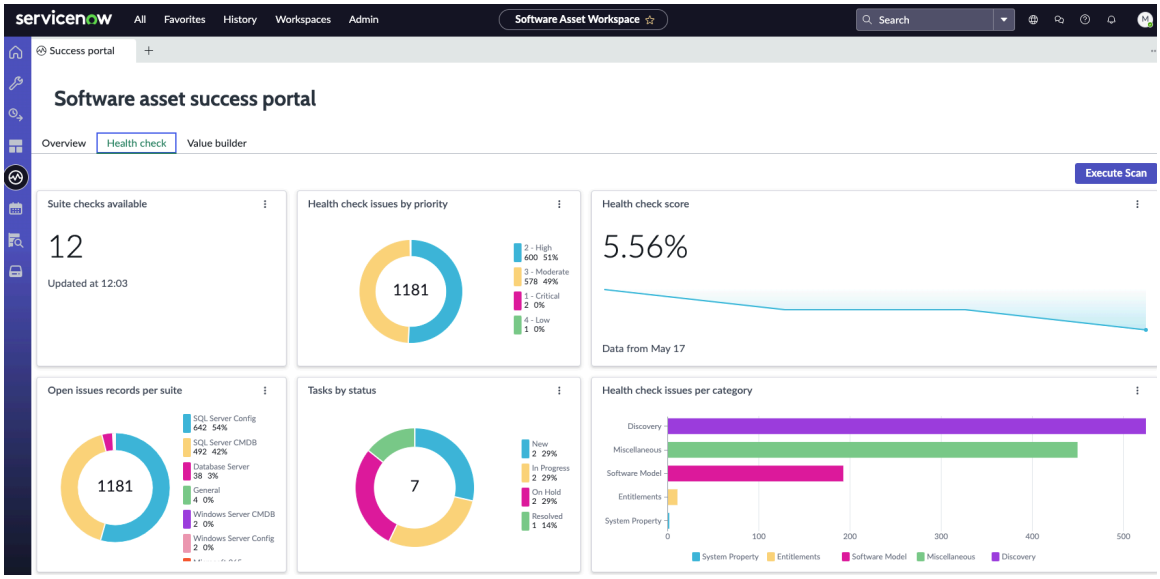
[ドメイン] を選択し、健全性チェック結果を表示するドメインを選択します。

[スキャンの実行] を選択して、スイートのスキャンを実行することもできます。スキャン結果を検証して、適切に動作します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

健全性チェックダッシュボード



健全性チェックダッシュボードウィジェット

ウィジェット	説明
利用可能なスイートチェック	次のスイートで利用可能なチェックの数: • SQL Server 構成 • SQL Server CMDB • Windows Server CMDB • Windows Server 構成 • データベースサーバー: Oracle • Microsoft 365 • 全般
健全性チェックの問題 (優先度別)	優先度に基づく問題。次のいずれか 1 つを選択できます。 • 低 • 中 • 高い • 重大
健全性チェックスコア	成功した健全性チェックの数を示します。たとえば、10 回の健全性チェックが実行され、6 回の健全性チェックのみが合格した場合、スコアは 60% になります。
スイートごとのオープンな問題レコード	次の各スイートのオープンレコードの数: • SQL Server 構成 • SQL Server CMDB • Windows Server CMDB

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

健全性チェックダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	説明
	• Windows Server 構成 • データベースサーバー: Oracle • Microsoft 365 • 全般
タスク (ステータス別)	健全性スコアの結果に関連して作成されたタスクのステータス。 • 新規 • 対応中 • 保留中 • 解決済み
健全性チェックの問題 (カテゴリ別)	健全性チェックスキャンの結果として特定された問題の分類。 • ディスカバリ • ソフトウェアモデル • 資格付与 • システムのプロパティ • その他

自動翻訳

値ビルダー

統合、Playbook、およびその他のインストールに関するインサイトを取得することで、アプリケーション機能を最大限に活用します ソフトウェア資産管理 。

値ビルダーの概要

sam_manager ロールは、まだ実装されていない機能や使用されていない機能を特定し、優先順位を付けることができます。

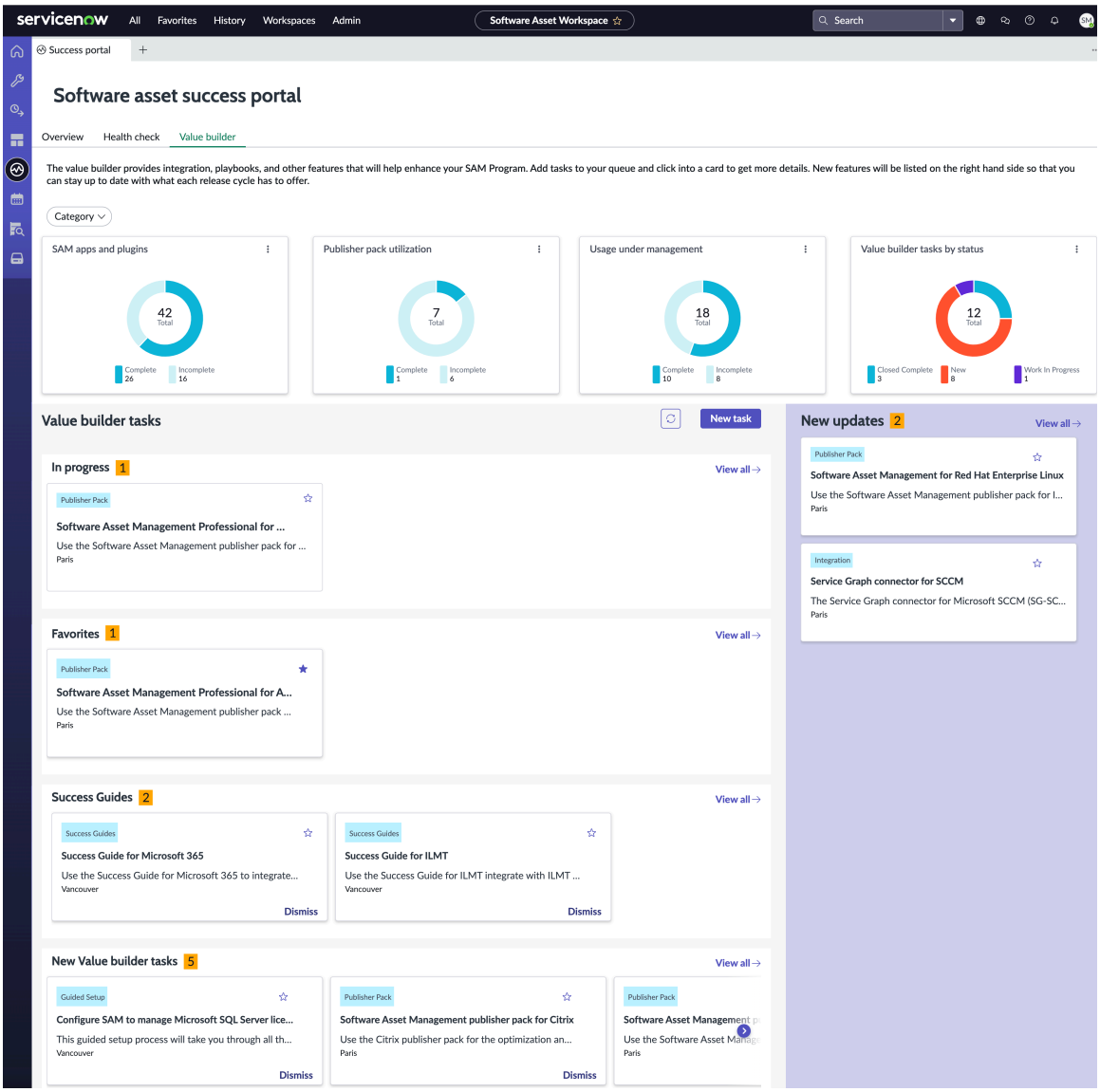
値ビルダー機能を使用して、次のアクションを実行できます。

- インスタンスがアプリケーションの価値 ソフトウェア資産管理 の最大化にどの程度近づいているかを確認します。
- パブリッシャーパックが完全に使用されておらず、不完全であると識別された場合に自動的に生成される値ビルダータスクを追跡します。値ビルダータスクを手動で作成することもできます。詳細については、「値ビルダータスクの作成」を参照してください。
- ドメインまたはカテゴリでデータをフィルタリングすることも、ドメインとカテゴリの両方でフィルタリングすることもできます。フィルターはダッシュボード全体に適用され、選択すると、特定のフィルターに一致するデータのみが表示されます。
- タスクをお気に入りとしてマークすることで、特定のタスクの優先順位を付けたり、可視性を高めたりします。
- 最新の情報を入手し、今後のリリースで利用できる新機能をひと目で把握します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Value builder (値ビルダー)] セクションでは、最大 15 のタスクを表示できます。追加のタスクを表示するには、[すべて表示] をクリックします。

値ビルダーダッシュボード



値ビルダーのユースケース

値ビルダーには、sam_userロールに対する 4 つのドーナツグラフウィジェットが表示されます。各ウィジェットには、インスタンスが機能を完全に ソフトウェア資産管理 活用できていない状況が表示されます。

たとえば、公開者パックの使用状況ウィジェットには 5 つの公開者パックが表示されますが、インスタンスで使用されているのは 4 つだけです。使用されていない追加のパブリッシャーパックに対して値ビルダータスクが自動的に作成され、[新しい値ビルダータスク] セクションに表示されます。このタスクに優先順位を付け、星型アイコンをクリックすると、このタスクを [お気に入り] リストに追加できます。このタスクを処理しない場合は、[却下] をクリックして [新しい値ビルダーのタスク] セクションから削除できます。

値ビルダーウィジェット

ドーナツグラフウィジェットを選択すると、レコードのリストビューに移動します。たとえば、不完全な公開者パックレコードを表示する場合は、ドーナツグラフウィジェットで未完了の部分を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の 2 つのジョブスケジュールが実行された後に、すべてのウィジェットが更新され、値ビルダータスクが作成されます。

- *SAM- Update value builder usage*
- *SAM- Value builder content handler*

ウィジェット	ソース	説明
SAM アプリとプラグイン	SAM アプリとプラグイン [samp_sp_apps_and_plugins]	使用可能なすべての ソフトウェア資産管理 プラグインおよびストアアプリケーションと、インスタンスにインストールされていないアプリケーションの数。 [完了] は、インストールされているストアアプリケーションとプラグインを示します。[未完了] は、まだインストールされていないストアアプリケーションとプラグインを示します。
パブリッシャーパックの使用状況	SAM パブリッシャーパックの使用状況 [samp_sp_publisher_pack_utilization]	使用可能なすべての公開者パックと実際に使用されている数。 [完了] は、完全に使用されている公開者パックを示します。[未完了] は、パブリッシャーパックが完全に使用されていないことを示します。 公開者パックの使用状況は基準によって異なります。パブリッシャーパックレコードの [使用率の詳細] セクションの 3 つの詳細、すなわち [プラグインが有効ですか?]、[使用状況が見つかりました?]、および [エンタイトルメントが作成されました?] の値が true の場合、パブリッシャーパックは完全に使用されていると見なされ、完了に設定されます。3 つのエンティティのうちの 1 つでも値が false の場合、公開者パックは完全には使用されていないと見なされ、不完全に設定されます。値ビルダータスクは、不完全な公開者パックに対して自動的に作成されます。 [使用状況が見つかりましたか?] の基準は、公開者パックごとに異なります。各公開

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	ソース	説明
		者パックの [**Usage found?**] 基準の詳細については、「」を参照してください パブリッシャーパックの使用基準。
管理対象の使用率	管理下にある SAM 使用率 [samp_usage_under_management]	すべてのライセンス可能な製品の使用状況。 ライセンス可能な製品の使用は、基準によって異なります。[使用状況が見つかりましたか?] と [エンタイトルメントが作成されましたか?] の両方の値が true の場合、製品は使用されていると見なされます。 「使用状況が見つかりましたか?」の基準は、製品ごとに異なります。[使用状況が見つかりましたか?] を完了と見なすには、インスタンスで製品の次のいずれかのエンティティが検出される必要があります。 • 検出モデル • クライアントアクセスレコード • 登録
ステータス別の値ビルダータスク	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	次のステータスのすべての値ビルダータスク: • 新規 • 処理中 • レビュー待ち • 完了してクローズ **注:** [スキップしてクローズ] ステータスの値ビルダータスクは表示されません。
値ビルダータスク (処理中)	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	現在進行中の値ビルダータスク。
値ビルダータスク (お気に入り)	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	お気に入りとしてマークされた値ビルダータスク。 [値ビルダータスク] セクションで、値ビルダータスクの前にある星のアイコンをクリックし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	ソース	説明
		て、お気に入りとしてマークします。
値ビルダータスク (サクセスガイド)	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	サクセスガイドへのアクセスを可能にする値ビルダータスク。
新しい値ビルダータスク	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	まだ [新規] ステータスでお気に入りではないすべての値ビルダータスク。
新規アップデート	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	今後のリリースの機能のプレビュー。

値ビルダータスクの作成

インスタンスで十分に活用されていない公開者パックの値ビルダータスクを手動で作成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
値ビルダータスクは、[Publisher Pack Utilization] ウィジェットで未完了と示されているすべての公開者パックに対して自動的に作成されます。ただし、値ビルダータスクを手動で作成することもできます。

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > **Software asset success portal** > 値ビルダー.
2. [新しいタスク] をクリックします。
   [新規 SAM 値ビルダータスクを作成 (Create New SAM Value Builder Task)] ページが表示されます。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. [保存] をクリックします。
   値ビルダータスクが作成され、ステータスがデフォルトで **[New]** になります。
5. [開始] をクリックします。
   タスクのステータスが [対応中] に変わります。

パブリッシャーパックの使用基準

インスタンスで公開者パックが使用されているかどうかを示す使用基準の説明。

この表は、各パブリッシャーパックのエンティティがフル活用として識別されるために使用される基準 *Usage Found* を示しています。基準は公開者パックごとに異なります。

使用基準 パブリッシャーパックのエンティティが見つかりました

パブリッシャーパック	使用基準	ソーステーブル
Red Hat Enterprise Linux	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install
Adobe	• ソフトウェアインストール • サブスクリプション	• cmdb_sam_sw_install • samp_sw_subscription

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用基準 パブリッシャーパックのエンティティが見つかりました (続く)

パブリッシャーパック	使用基準	ソーステーブル
Citrix	• ソフトウェアインストール • クライアントアクセス	• cmdb_sam_sw_install • samp_sw_client_access
Microsoft	• ソフトウェアインストール • サブスクリプション	• cmdb_sam_sw_install • samp_sw_subscription
IBM	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install
Oracle	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install
SAP	• SAP ユーザー • クライアントアクセス	• samp_sap_system_user • samp_sap_sw_client_access
VMware	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install

成功ガイド

値ビルダータスクの一部であるサクセスガイドを使用すると、さまざまなセットアップやデータ連携に関連するタスクに関する情報を簡単に見つけることができます。

成功ガイド の手順は、次のことを行うのに役立ちます。

- サブスクリプションライセンスを追跡し、コスト削減の機会をプロアクティブに特定しますMicrosoft 365。詳細については、次のリンクを参照してください Microsoft 365 SaaS ライセンス管理 成功ガイド。
- と IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory の間のNow Platform接続を構成できるようにすることで、使用状況を追跡してライセンスを付与IBMします。詳細については、「IBM ILMT セットアップ成功ガイド」を参照してください。

Microsoft 365 SaaS ライセンス管理 成功ガイド

アプリケーションでServiceNow ソフトウェア資産管理サブスクリプションライセンスを追跡しMicrosoft 365 SaaS、 の節減機会を積極的に特定しますMicrosoft 365。

> **注:**
> Microsoft Dynamics 365 と Power Apps については、このガイドでは説明していません。詳細については、「Dynamics 365 および Power Apps と Microsoft の統合」を参照してください。

Microsoft 365 はサブスクリプションベースの製品で、さまざまな特徴と機能を提供します。詳細については、次を参照してください。 Microsoft 365 FAQ .

Microsoft 365 ライセンス

Microsoft 365 は、ハイブリッドな Software as a Service ()SaaS アプリケーションです。の Microsoft 365 ライセンスは、クラウドからのサブスクリプション情報、およびラップトップ、ワークステーション、仮想システムなどのエンドポイントデバイスへのインストールからのサブスクリプション情報に依存します。

次の情報を収集し、ライセンスを調整する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Microsoft 365 クラウドからの Microsoft サブスクリプションユーザー。
- 関連するエンドポイントデバイスからのローカルインストール情報と、インストールをクラウド内の Microsoft ユーザーサブスクリプションに正しく調整するのに十分な詳細。

Microsoft 365 機会の節約

複数のソースからデータを収集して分析し、節減の機会を特定 Microsoft 365 できます。アプリケーションは ソフトウェア資産管理 、クラウドおよびオンプレミスのインベントリツールへのベースシステムの統合により、このプロセスを自動化します。このインストールデータはサブスクリプションプロファイルで正規化されるため、 Microsoft 365 Office 365 エンタイトルメントのインポートや容易に役立ちます。

調整では、 のMicrosoft公開者パックに含まれるソフトウェア資産管理属性と計算に基づいて、ライセンスコンプライアンスポジションが自動的に生成されます。詳細については、「削減機会を特定する」を参照してください。

次の手順に従って、サブスクリプションライセンスを追跡し、節 Microsoft 365 減機会を特定します。

1. Microsoft 365統合を作成
2. サブスクリプション、インストール、使用状況データの検証
3. サブスクリプションエンタイトルメントのインポートMicrosoft 365
4. 削減機会を特定する

Microsoft 365統合を作成

ユーザーサブスクリプションとインストール使用状況データを比較し Microsoft 365 て、完全なライセンスコンプライアンスポジションを確認します。

始める前に
必要なロール:必要なロールの各ステップのリンクされたトピックに移動します。

次のプラグインを有効にします。

- ソフトウェア資産管理プロ(com.snc.samp.microsoft) 向けMicrosoft
- ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int)
-

トピック内の手順を完了します ソフトウェア資産管理 を要求する 。

手順

1. クラウドでユーザーサブスクリプションデータをデータ連携 Microsoft 365 します。
   詳細については、「Microsoft 365 統合プロファイルの作成」を参照してください。
2. Power BI サービスのコンテンツと API にアクセスできるように Power BI を構成し Microsoft ます。
   Power BI サービスのコンテンツと API は、サブスクリプションを Office 365 E5 から Office 365 E3 にダウングレードするなど、サブスクリプションの最適化 Microsoft 365 に役立ちます。詳細については、「Power-BI 読み取り専用 API のサービス プリンシパル認証を有効にする Enable service principal authentication for Power-BI read-only API」を参照してください。
3. インストール使用状況データのインベントリツールと統合します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- SCCM と Microsoft 統合するには、トピックおよびすべてのサブトピックの Service Graph Connector for Microsoft SCCM 手順を実行します。
- (ACC) と ServiceNow Agent Client Collector の統合については、トピックおよびすべてのサブトピックの Agent Client Collector installation 手順を実行します。

  注:
  ServiceNow Agent Client Collector (ACC)は別途ライセンス供与 IT Operations Management（ITOM) された(ITOM)製品です。詳しくは、営業担当者にお問い合わせください ServiceNow 。

- Mac OS デバイス用 Jamf と統合するには、トピックおよびすべてのサブトピックの Service Graph Connector for Jamf 手順を完了してください。
- サードパーティのインベントリツールと統合するには、トピック ソフトウェア資産接続 およびすべてのサブトピックの手順を完了します。

次のタスク
サブスクリプション、インストール、使用状況データの検証

サブスクリプション、インストール、使用状況データの検証

調整を実行する前に、サブスクリプション、インストール、および使用状況データを検証し、レポートの完全性と正確性を確認します。

始める前に
必要なロール:sam_admin、sam_user

手順

1. クラウド統合からのユーザーサブスクリプションデータを検証します Microsoft 。

   a. ServiceNow インスタンスにログインします。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ソフトウェアサブスクリプション.
Software Asset ワークスペース	移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ユーザーサブスクリプション > ユーザーサブスクリプション.

   b. サブスクリプションレコードの数 Microsoft 365 を確認して、[ユーザーサブスクリプション] テーブルのデータを確認します。
   データのパーソナライズとフィルタの詳細については、次を参照してください Configure user experiences 。
   - サブスクリプションレコードの数 Microsoft 365 が正確でない場合は、SAMP ジョブログ [samp_job_log] のジョブスケジュールがサブスクリプションのプルに正常に完了したことを確認します *`SAM - Import M365 User Subscriptions`* 。
     - 既存の統合が正常に機能していることを確認します。
     - 他の Microsoft 環境に追加の統合が必要かどうかを判断します。
   - レコードが Microsoft 365 正確に表示される場合は、[表示名]、[ユーザープリンシパル名]、[ソフトウェアモデル]、および [サブスクリプション識別子] フィールドの値を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
サブスクリプション識別子は、アプリケーションを一意に識別 SaaS します。各識別子は、検出マップとソフトウェアモデルに関連付けられ、クラウドからのサブスクリプションへの Microsoft 365 ソフトウェアインストールを正規化します。

- サブスクリプション製品の定義に従ってソフトウェアモデルが正しく解決されているかどうかを確認します。
- サブスクリプションレコードの [ユーザー] フィールドが解決されているかどうかを確認します。解決されない場合は、ユーザーのメールを確認します。これはユーザープリンシパル名と一致する必要があります。ユーザープリンシパルのユーザー名をsys_userレコードのuser_nameと照合することもできます。
- サブスクリプション識別子が正しくないか空の場合は、サブスクリプション識別子を管理および解決します。詳細については、「SSO アプリケーションのサブスクリプション識別子 SaaS」を参照してください。

2. インベントリツールからのインストールと使用状況のデータを検証します。

注:

完全なインベントリ検証のプロキシとして、製品がインストールされていることがわかっている Microsoft 365 デバイスのサンプルセットを使用して、検証スコープを確立します。サンプルサイズは、統合からのインストールデータを検証するために必要なサイズを超えないようにする必要があります。複数の統合がある場合は、統合ごとに個別のサンプルセットをコンパイルします。

a. インストールを一覧表示 Microsoft 365 するソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	アプリケーション フィルター ナビゲーターで、 **cmdb_sam_sw_install.list** を検索して選択します。
Software Asset Workspace	**i.** 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ディスカバリー > ディスカバリーモデル. **ii.** 検出モデル名を選択します。 **iii.** [ソフトウェア インストール] タブを選択します。

b. [インストール先] 列フィールドを見つけて、検証スコープの一部である 1 つ以上のデバイスにフィルターを適用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

i. リストをさらにフィルタリングして、デバイスのすべての Microsoft 365 製品インストールを表示します。
   - レコード数 Microsoft 365 が予想よりも少ない場合は、次の操作を行います。
     - 既存の検出ツールまたはインベントリツールが正常に機能していることを確認します。
     - 追加の在庫ツール統合が必要かどうかを判断します。
   - レコード数 Microsoft 365 が予想よりも多い場合は、既存の検出 ツールまたはインベントリツールが正常に動作していることを確認します。在庫ツールの統合が適切に機能している場合は、多数のレコードが節減の可能性があることを示している可能性があります。

ii. 検証スコープ内のデバイスのコンピューターレコードを検証します。
   1. [インストール先] 列フィールドでハイパーリンクされたデバイス名を選択します。
   2. [名前]、[アサイン先]、[オペレーティングシステム] などのデータ値を確認します。
      - コンピューターデバイスレコードの数が予想よりも少ない場合は、次の操作を行います。
        - 既存の検出ツールまたはインベントリツールが正常に機能していることを確認します。
        - 欠損データに対して追加の在庫ツール統合が必要かどうかを判断します。
      - コンピューターデバイスレコードの数が予想よりも多い場合は、既存の検出ツールまたはインベントリツールが正常に動作していることを確認します。在庫ツールの統合が適切に機能している場合は、多数のレコードが節減の可能性があることを示している可能性があります。

次のタスク
サブスクリプションエンタイトルメントのインポートMicrosoft 365

サブスクリプションエンタイトルメントのインポート**Microsoft 365**

サブスクリプションエンタイトルメントをServiceNow ソフトウェア資産管理アプリケーションにインポートMicrosoft 365します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. できるだけ多くのサブスクリプションエンタイトルメントを収集し Microsoft 365 ます。
2. エンタイトルメントテンプレートに入力し、アプリケーションにインポートします ServiceNow ソフトウェア資産管理 。

   a. [ソフトウェアエンタイトルメントのインポート] ページを開きます。

インターフェイス	アクション
コア UI	i. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > エンタイトルメントのインポート. ii. [**Download Template File (.xlsx)]** を選択します。
Software Asset ワークスペース	i. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作. ii. [エンタイトルメントの作成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インターフェイス	アクション
	iii. [新しいエンタイトルメントの作成 (Create new entitlements)] ダイアログボックスで、[Excel ファイルから 複数のエンタイトルメントをインポート **(Import multiple entitlements** from an Excel file)] を選択します。 **iv.** [次へ] を選択します。 **v.** [新しいエンタイトルメントインポートの作成] ページで、[テンプレートのダウンロード] を選択してスプレッドシートテンプレート (.xlsx) をダウンロードします。

b. インポートテンプレートを開き、[方向] タブを確認します。

c. 収集した資格付与のデータをインポートテンプレートに入力します。
インポートテンプレートの詳細については、『 ServiceNow SAM Entitlement Import User Guide (ServiceNow SAM エンタイトルメントインポートユーザーガイド)』を参照してください。

d. エンタイトルメントの Microsoft 365 テンプレートで次の値を使用します。

- 評価指標グループ:Microsoft
- ライセンスの測定基準:ユーザーサブスクリプション

3. テンプレートにエンタイトルメントデータが入力されたら、テンプレートを Software Asset Management アプリケーションにインポートします。

a. Software Asset Management アプリケーションにテンプレートをインポートします。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > エンタイトルメントのインポート.
Software Asset ワークスペース	**i.** 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作. **ii.** [エンタイトルメントの作成] を選択します。 **iii.** [新しいエンタイトルメントの作成 (Create new entitlements)] ダイアログボックスで、[Excel ファイルから 複数のエンタイトルメントをインポート **(Import multiple entitlements** from an Excel file)] を選択します。 **iv.** [次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. 完成したテンプレートを [ファイルの参照] からインポートするか、ドラッグします。

c. インポートされたソフトウェアの権限を確認し、インポートエラーがある場合は解決します。

4. インポートされたエンタイトルメントを確認します。

a. ソフトウェアエンタイトルメントが正しいソフトウェアモデルにリンクされていることを確認します。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
Software Asset ワークスペース	移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.

b. ソフトウェアエンタイトルメントレコードの表示名を選択します。

c. [Software Entitlements (ソフトウェアエンタイトルメント)] フォームで、[**Software model** (ソフトウェアモデル)] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ) を選択します。

d. 検出マップとスイートコンポーネントがエンタイトルメントの Microsoft 365 テンプレートの値と一致していることを確認します。

検出マップが一致しない場合は、ソフトウェアモデルフォームで直接追加または編集し、[**Update** (更新)] を選択します。

> **ヒント:**
> エンタイトルメントがインポートされた後、 を使用した Microsoft調整プロセス中に追加のサブスクリプション購入が必要になる場合があります。詳細については、次を参照してください。 オンラインサービスの予約エンタイトルメント Microsoft の作成です。

次のタスク
コンプライアンスのための調整

コンプライアンスのための調整

調整を実行して、ライセンスコンプライアンスポジションを決定します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. の Microsoft 365調整を実行します。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 調整.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インターフェイス	アクション
Software Asset ワークスペース	移動先 **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産の概要.

2. [**Run Reconciliation]** を選択します。
3. ダイアログ ボックスの [発行元] フィールドで **[Microsoft]** を選択します。
4. [続行] を選択します。
5. [実行] を選択します。
   [調整結果] ページに自動的に移動します。
6. ステータスと進行状況の値を監視して、完了を確認します。
   [調整結果] ページを更新して、更新された値を表示します。アプリケーションがインストールされているコンピューターMicrosoft 365の [アサイン先] の値が空の場合、調整が機能しない可能性があります。インストール・データと使用状況データの検証については、を参照してください サブスクリプション、インストール、使用状況データの検証。

次のタスク
削減機会を特定する

削減機会を特定する

アプリケーションを使用して、節約の機会を特定し、お金を節約します ServiceNow ソフトウェア資産管理 。

始める前に
必要なロール:sam_admin

このタスクについて
E1、E3、E5 などの エンタープライズサブスクリプションでは、 Microsoft ライセンス数の最小値または下限として機能するコミットレベルを指定できます。つまり、契約期間中はエンタープライズサブスクリプションの数量をコミットレベル未満に減らすことはできません。既存の Microsoft 契約にコミット レベルがある場合は、契約期間の終了時に潜在的な節減機会を実現できます。

手順

1. ライセンス供与過剰金額からの節減機会を実現します。

   a. データに移動します Microsoft 365 。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 調整 > ライセンスワークベンチ.
Software Asset ワークスペース	移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況.

   b. を探して選択します Microsoft 365。
   サブスクリプションのライセンスコンプライアンスデータが入力されます Microsoft 365 。
      i. [Rights available (利用可能な権利)] の値を見つけます。これは、[Rights used (使用された権利)] - [Rights owned (所有されている権利)] によって計算されます。
      ii. [Rights available * Software entitlement unit cost] で計算されたライセンス供与過剰金額を見つけます。この金額により、次の節減の可能性が見込まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 新しい Microsoft 365 サブスクリプションが必要ない場合は、コミットレベルに違反することなく、次回の契約内調整時にライセンス供与過剰分を削除できます。
- コミットレベルで契約内の調整が妨げられる場合は、ライセンス供与過剰金額を使用して新しい契約交渉を通知できます。これは積極的なコスト節減アプローチになります。

2. ソフトウェアサブスクリプションの前回のアクティビティの日付から節減機会を実現します。

   a. [ソフトウェアサブスクリプション] または [ユーザーサブスクリプション] ページに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ソフトウェアサブスクリプション.
Software Asset ワークスペース	i. 移動先 ライセンス操作 > ユーザーサブスクリプション > ユーザーサブスクリプション. ii. ユーザーの表示名を選択します。

   b. [前回のアクティビティ] フィールドを追加し、リストをフィルタリングして目的のサブスクリプションを表示します。

   注:
   アクティビティの最終日は、公開された Microsoft 365 統合プロファイルとインベントリツールからプルされます。サブスクリプションがスイート製品の場合、最終アクティビティ日は、そのスイートコンポーネントからの最新のアクティビティ情報です。必要に応じて、Microsoft クラウド管理者と前回のアクティビティの日付を検証します。

   c. [表示名] 列ヘッダーを右クリックし、[棒グラフ] を選択します。

   d. [レポートの作成] フォームで、[グループ] を [最後のアクティビティ] に設定し、[実行] を選択します。
   詳細については、「Create a report」を参照してください。
   レポートのビジュアル化が自動的に更新され、最後のアクティビティ別にグループ化されたフィルター済みのソフトウェア サブスクリプションが棒グラフ形式で表示されます。

   e. チャート内の任意のバーをポイントして詳細を表示し、バーを選択してそれを構成する個々のレコードを表示します。
   レポートの使用の詳細については、次を参照してください Using reporting。

3. サブスクリプションの詳細、使用状況、および推奨事項タイプに基づく見込まれる節減に基づいて、最適化の推奨事項Microsoft 365を検索しますソフトウェア資産管理。

   詳細については、「の公開者の最適化 Microsoft」を参照してください。

タスクの結果
Microsoft 365 数か月以上ユーザー アクティビティが登録されていないサブスクリプションは、再利用の候補になる可能性があります。

次のタスク
次に、いくつかのフォローアップアクションを示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 元従業員の ユーザープリンシパル名 を確認します。見つかった場合は、サブスクリプションを再利用します。
- アクティブな従業員に関連付けられたサブスクリプションの場合は、ソフトウェアインストール (cmdb_sam_sw_install) テーブルに移動します。
- [ソフトウェアインストール] リストをフィルタリングして Microsoft 365 [前回使用] 列を追加します。必要に応じてレポートを作成します。
- ソフトウェア インストール レポートとソフトウェア サブスクリプション レポートを比較します。

IBM ILMT セットアップ成功ガイド

このサクセスガイドでは、 IBM License Metric Tool (ILMT) または IBM BigFix Inventory とアプリケーションの統合に関する情報 ソフトウェア資産管理 を提供します。

この統合は、次のIBMライセンス測定基準を使用する製品のライセンスコンプライアンスIBMをサポートします。

- プロセッサーバリューユニット (PVU)
- リソース値単位 (RVU MAPC)

統合は、 IBM これらのライセンス測定基準に必要な製品使用状況データのみをインポートします。

> **注:**
> この統合では、他の測定基準を介してライセンス供与されている製品の検出データや使用状況データは IBM インポートされません。

この統合でライセンスコンプライアンスを機能させる IBM には、次の前提条件を満たす必要があります。

- インスタンスで ILMT または BigFix Inventory を設定して実行します。
- 使用状況測定のガイドラインに従ってIBMインスタンスをスキャンするように ILMT エージェントを構成しIBMます。
- ILMT または BigFix Inventory を有効にして、仮想マシン (VM) と物理ホストの両方の構成、およびそれらの間の関係を検出します。
- IBM ILMT または BigFix Inventory を使用して、コンポーネントを製品にIBM分類します。
- ILMT または BigFix Inventory を介してコンポーネントを製品にIBMバンドルIBMします。
- ILMT バージョン 9.2.7 以降をインストールします。

アプリケーションでIBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合ソフトウェア資産管理次の手順を実行します。

1. ILMT または BigFix Inventory への接続の作成
2. ILMT 接続の健全性を検証する

ILMT または BigFix Inventory の代替

Authorized SAM Provider (IASP) プログラムへの参加IBMが許可されているプロバイダーと Publisher Pack をソフトウェア資産管理IBM統合ソフトウェア資産管理することで、環境と IBM LPAR インフラストラクチャーの両方でVMware vSphereライセンスを追跡および管理IBMできます。これらの統合により、License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory とIBM統合することなく、ライセンスを直接追跡および管理IBMできます。詳細については、「IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

その他のリソース

- IBM アプリケーションによる ソフトウェア資産管理 ライセンス管理
  - ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック IBM
  - サポートされている IBM ライセンスタイプ
- 無効なコンピューターのシリアル番号を修正する

の成熟度アイテムをすべて表示 ソフトウェア資産管理

プログラムの成熟度 ソフトウェア資産管理 (SAM) を表示して各成熟度ステージのステータスを分析します。各ステージには完了した成熟度アイテムの数が表示されます。

始める前に

必要なロール:sam_admin、sam_user

注:
sam_userは成熟度アイテムのみを表示できます。sam_adminは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を表示および変更できます。

このタスクについて

SAM プログラムの成熟度は、次の 3 つの段階に分かれています。

- クロール
- ウォーク
- 実行

詳細については、「プログラムの成熟度ステージソフトウェア資産管理」を参照してください。

注:
必須の成熟度アイテムの成熟度レベルを変更することはできません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Software Asset Workspace** > 成功ポータル.
2. [概要] ページで、 [すべての成熟度項目の表示] を選択します。
   [すべての成熟度アイテム] ページが開き、SAM プログラムがあるステージに含まれるすべての成熟度アイテムが一覧表示されます。
3. 成熟度アイテムを選択して、その詳細を表示します。
   フィールド値の説明については、「成熟度アイテム の詳細」を参照してください。
4. 成熟度アイテムの値ビルダータスクを作成する場合は、[**Value builder tasks]** (値ビルダータスク) タブを選択します。
   値ビルダータスクの作成の詳細については、次を参照してください 値ビルダータスクの作成。
5. **[Save** (保存)] を選択します。

の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理

成功目標を作成して、インスタンスでのアプリケーションの成功 ソフトウェア資産管理 を追跡します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > 成功ポータル.
2. [成功目標の作成] を選択します。
3. フォームで、詳細を入力します。
   フィールド値の説明については、「SAM 成功目標の詳細」を参照してください。
4. **[Save** (保存)] を選択します。
   成功目標は、[成功目標] リストの [ライセンス操作] ビューに表示されます。ライセンス操作ビューから成功目標をキャンセルまたは削除できます。

の成功アクティビティを作成 ソフトウェア資産管理

成功アクティビティを作成して、目標の成功を追跡します。

始める前に
必要なロール:sam_admin および sam_user

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > 成功ポータル.
2. [成功アクティビティを作成] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「SAM 成功アクティビティ」を参照して ください。
4. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果
成功アクティビティは、[成功アクティビティ] リストの [ライセンス操作] ビューに表示されます。

ソフトウェア資産の成功目標カテゴリの作成

成功目標にカテゴリ ソフトウェア資産管理 を追加するための成功目標カテゴリを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > 成功目標 > カテゴリ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [成功目標カテゴリ] フォームで、追加するカテゴリを入力し、[ソフトウェア資産カテゴリ] チェックボックスをオンにします。

タスクの結果
追加したカテゴリは、の成功ソフトウェア資産管理目標を作成する際の [カテゴリ] フィールドのオプションとしてリストされます。詳細については、「の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

更新カレンダービュー

ソフトウェア資産ワークスペースの [更新] カレンダーを使用して、有効期限が近づいているエンタイトルメントと、有効期限が近づいている、またはすでに期限切れの契約を表示します。

sam_userロールとsam_adminロールは、以下に移動して、予定されている契約とエンタイトルメントの更新、および期限切れの契約を把握できます。 **Software Asset Workspace** > 更新カレンダー.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

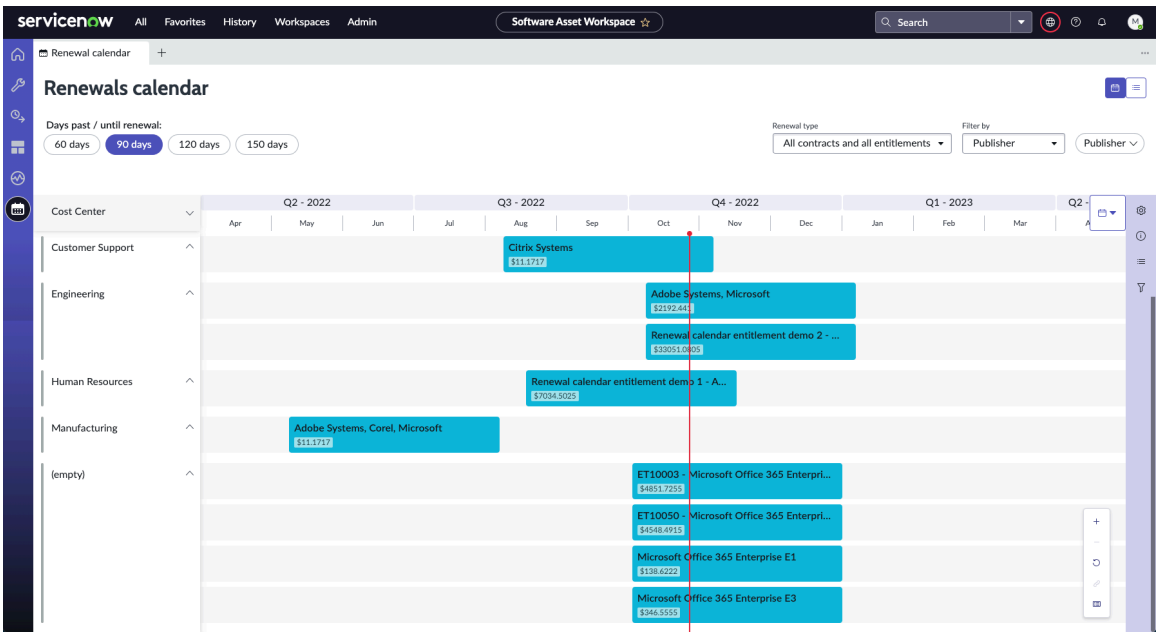
自動翻訳

注:
ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを有効にして、更新カレンダーを表示します。

このビューには、次の条件で今後の更新と期限切れの更新が表示されます。

- サブスクリプション、ソフトウェアライセンス、メンテナンスなどの契約モデルタイプの契約
- 無期限やサブスクリプションなどのライセンスタイプのエンタイトルメント

更新カレンダービュー



更新カレンダーでは、次の情報を表示できます。

- 契約とエンタイトルメントのカレンダーとリストビュー
- カレンダービューの契約とエンタイトルメントの詳細

  更新カレンダーページの右上隅からリストビューに切り替えることができます。

  - 契約
    - 契約名
    - 終了日が近づいている契約の更改開始日
    - 期限切れの契約更改開始日
    - 契約終了日
    - トータルコスト
  - 資格付与
    - エンタイトルメント名
    - 開始日
    - 終了日

      注:
      無期限エンタイトルメントの終了日はメンテナンス有効期限日です。

    - トータルコスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> カレンダービューには、次を使用して計算される更新開始日が表示されます。
>
> `End date - Days past/until renewal`
>
> 。更新後の日数/更新まで日数の値 (60、90、120、150 日など) を選択します。実際の開始日を確認するには、契約とエンタイトルメントレコードを開く必要があります。

- 左ペインのコストセンターに基づいてグループ化された、今後の契約および資格付与の更新の数
- 契約バーを選択する際の契約情報フォーム

> **注:**
> このレコードフォームから契約を更新、調整、またはキャンセルすることができます。

- エンタイトルメントバーを選択したときのエンタイトルメント情報フォーム

> **注:**
> 契約更改ワークフローを進めるには、契約を作成または関連付ける必要があります。

- 現在の日付を示す赤い線。カレンダービューの契約バーまたはエンタイトルメントバーには、開始日が現在の日付の 6 か月前、終了日が現在の日付の 6 か月後として表示されます。

次の方法で結果をフィルタリングして絞り込むことができます。

- カレンダービューのタイムスケールに基づく今後の更新
- 60 日、90 日、120 日、150 日などの過去または更新までの日数
- すべての契約、すべてのエンタイトルメント、およびすべての契約とすべてのエンタイトルメントなどの更新タイプ
- 更新タイプに基づく公開者、製品、契約モデル、コストセンターのサブフィルター
- ドメイン

> **注:**
> 更新カレンダービューでドメインデータを表示するには、ドメイン拡張インストーラー [com.glide.domain.msp_extensions.installer] プラグインとドメインサポート [com.snc.pa.domain_support] プラグインをインストールする必要があります。

重複する使用状況ビュー

の Software Asset ワークスペース 重複する使用状況ビューを使用して、機能レベルの使用状況に関する分析情報を取得し、シングル サインオン (SSO) アプリケーションを合理化 SaaS して支出を削減します。

重複する使用状況ビューは、ビデオ会議、プロジェクト管理、電子メールマーケティングなど、ソフトウェアアプリケーションの主な機能に基づいて、アプリケーションへの支出をカテゴリにグループ化します。アプリケーションカテゴリ内の支出、使用状況、サブスクリプションの合計数、再利用候補など、組織内のアプリケーションの詳細を表示して比較できます。

[重複使用状況] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 *Software Asset ワークスペース* > 重複する使用状況.

> **注:**
> ソフトウェア資産管理ServiceNow Store から統合SaaS ライセンス管理アプリケーションを要求して、重複する使用状況ビューを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ドメイン拡張インストーラー [com.glide.domain.msp_extensions.installer] プラグインとドメインサポート [com.snc.pa.domain_support] プラグインが有効になっている場合、重複する使用状況ダッシュボードはドメイン分離をサポートします。データをフィルタリングするには、[ドメイン] ドロップダウンリストからドメインを選択します。

エンドユーザーとロール

エンド ユーザー	必要なロール	目標
SAM 管理者/SAM ユーザー	sam_admin/sam_user	重複する使用状況ダッシュボードを表示します。 **注:** SAM 管理者または SAM ユーザーは、デマンドを作成するための it_demand_user ロールを持っている必要があります。[アプリケーション機能の使用状況 (Application feature usage)] ページからデマンドを作成できます。

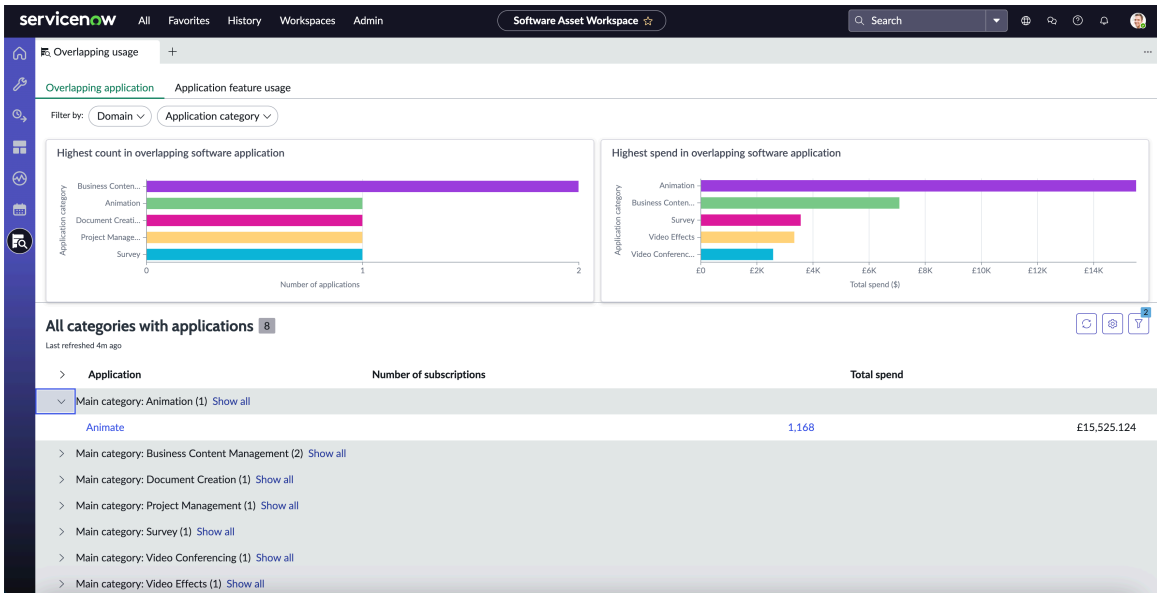
重複するアプリケーション

[重複するアプリケーション] タブを選択すると、次の情報を表示できます。

- アプリケーションカテゴリ別にグループ化された、重複するソフトウェアアプリケーションの最大数。これは、各アプリケーションカテゴリ内のアプリケーションの数を示します。アプリケーションカテゴリバーを選択すると、そのカテゴリ内のアプリケーションとそれに関連するサブスクリプション数、合計消費量、および全体的な使用状況の詳細が表示されます。
- アプリケーションカテゴリ別にグループ化された、重複するソフトウェアアプリケーションの最高支出。これは、各アプリケーションカテゴリのすべてのアプリケーションの合計支出を示します。アプリケーションカテゴリバーを選択すると、そのカテゴリ内のアプリケーションとそれに関連するサブスクリプション数、合計消費量、および全体的な使用状況の詳細が表示されます。
- サブスクリプションを持つすべてのソフトウェアカテゴリ。各カテゴリの横にある数字は、各カテゴリのアプリケーションの数を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリケーション機能使用率

[アプリケーション機能の使用状況] タブを選択すると、次の情報を表示できます。

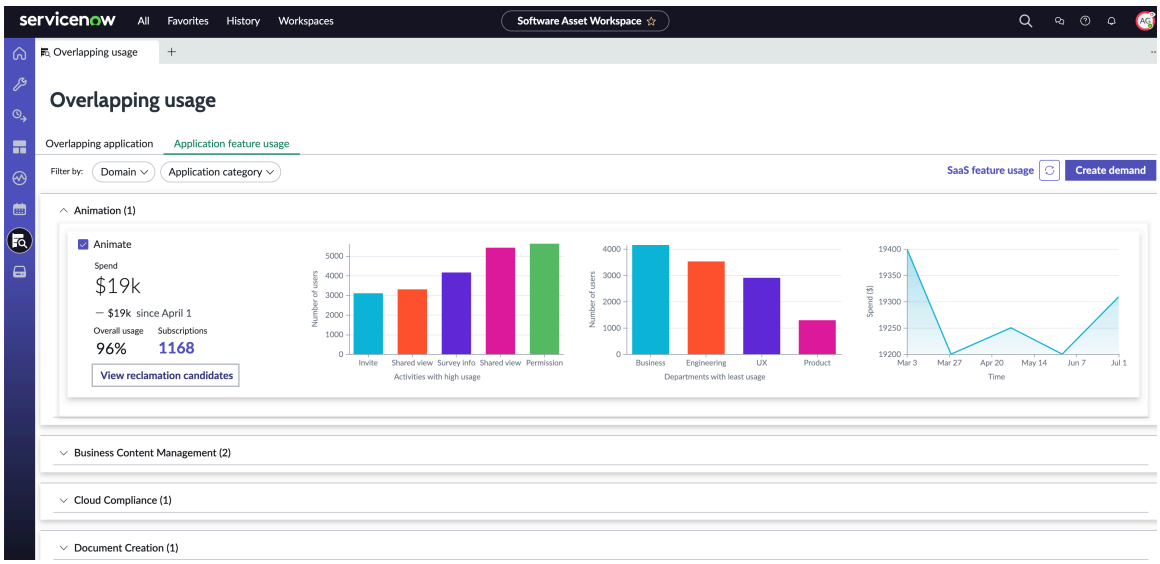
- アプリケーションカテゴリのリストビュー。
- アプリケーションの詳細かつ説明的な機能使用状況情報。アプリケーションカテゴリを展開すると、そのカテゴリ内の各アプリケーションについて次のデータを表示できます。

属性/チャート	説明
支出	アプリケーションの合計支出。
全体的な使用状況	アプリケーションで少なくとも 1 つのイベントを実行したユーザーの割合。
サブスクリプション	アプリケーションのサブスクリプションの合計数。
再利用候補を表示	クローズされていないアプリケーションの再利用候補のリスト。
使用率の高いアクティビティ	ユーザー数に基づく使用率の上位 5 つのアクティビティ。 **注:** ○ このグラフは、SSO アプリケーションおよび前回のSaaSログインアクティビティのみがプルされたアプリケーションの [前回のログインアクティビティがあるユーザー] に置き換えられます。 ○ このチャートには、イベントマッピング (samp_saas_event_mapping) テーブルで SaaS 利用可能な正規化マッピングを持つすべてのイベントのデータが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性/チャート	説明
使用率が最も低い部門	組織内でアプリケーションの使用率が最も低い 5 つの部門。使用量はユーザー数に基づきます。 このデータは、IT 管理者がこれらの部門内のユーザーにアクセス権が必要かどうかを判断し、それらのユーザーの採用を促進するのに役立ちます。 **注:** このグラフには、特定の部門に割り当てられたユーザーのデータのみが表示されます。
支出傾向グラフ	アプリケーションの月次支出傾向のグラフ表示。

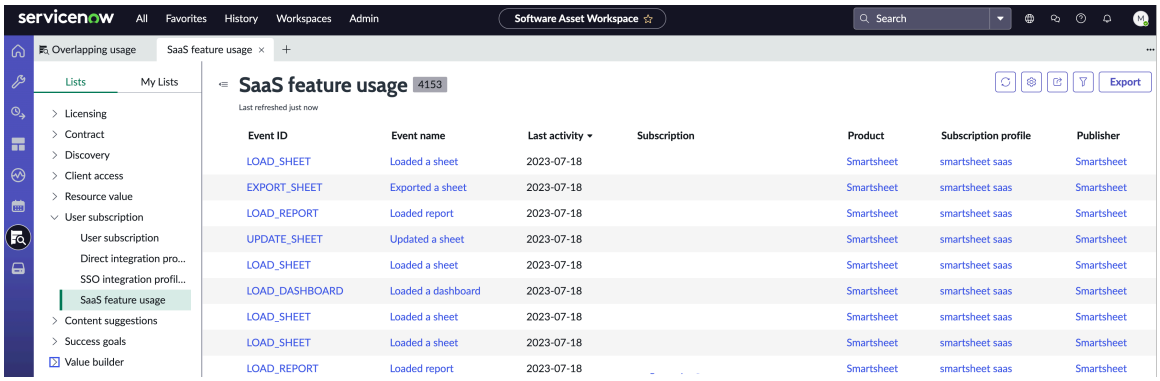


SaaS 機能の使用法

SaaS機能の使用状況ページには、イベント ID、イベント名、最後のアクティビティ、サブスクリプション、製品、サブスクリプションプロファイル、パブリッシャーなど、ユーザーが実行した各統合のイベントの詳細が含まれています。[**SaaS** 機能の使用状況] リンクを選択して、ライセンス操作ビューの機能の使用状況ページに移動しますSaaS。

注:
機能の使用状況ページには SaaS 、現在の日付から最大 1 年間のイベントの詳細が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ソフトウェアアプリケーションを合理化するデマンドの創出

デマンドを作成することで、検出した冗長なソフトウェアに対して意味のあるアクションを実行できます。ソフトウェアの中止、ソフトウェア使用量の削減、承認済みソフトウェアへのユーザーの移行、またはその他のアクションを実行できます。

注:
デマンドを作成するには、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) をインストールする必要があります。

[デマンドを作成] を選択して、ソフトウェアアプリケーションを合理化します。詳細については、「ソフトウェアアプリケーションを合理化するデマンドを作成」を参照してください。

ソフトウェアアプリケーションを合理化するデマンドを作成

ソフトウェアサブスクリプションの中止、ソフトウェア使用量の削減、承認済みソフトウェアへのユーザーの移行によって、アプリケーションを合理化 SaaS し SSO するデマンドを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

注:
デマンドを作成するには、sam_adminロールとsam_userロールにit_demand_userロールが必要です。

デマンドを作成するには、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをインストールする必要があります。

ソフトウェア資産管理アプリケーションには、すぐに使用できる次のデマンドアクションが含まれています。

- 有効期限が切れた後に中止
- 承認済み製品に移行
- 直ちに中止
- ライセンスの再利用
- 何もしない

このタスクについて
重複する使用状況ビューを使用して、 SaaS 各アプリケーションの機能レベルの使用状況を表示することで、SSO アプリケーションの合理化を促進します。詳細については、「重複する使用状況ビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > 重複する使用状況.
2. [アプリケーション機能の使用状況] タブを選択します。
3. デマンドを作成するカテゴリ内のアプリケーションを選択します。
4. [デマンドの作成] を選択します。
   [デマンドを作成] オプションは、デマンドを作成するアプリケーションを選択した場合にのみ使用できます。
5. フォームのフィールドに入力します。

ソフトウェア資産デマンド

フィールド	説明
名前	デマンドの名前。
番号	デマンドに対して自動生成された一意の識別番号。
送信ステータス	デマンドレコードのステージ。 ○ ドラフト ○ 送信済み ○ スクリーニング ○ 認定済み ○ 承認済み
開始日	デマンドの開始日。 デマンドタイプがプロジェクトに変換されると、フィールド名は [**Planned start date** (開始予定日)] に置き換えられます。 **注:** デマンドまたはプロジェクトの開始予定日を変更すると、関連付けられたコスト計画とリソース計画も変更されます。
期日	要求されたデマンド完了日。 デマンドタイプがプロジェクトに変換されると、フィールド名は [**Planned end date** (終了予定日)] に置き換えられます。
カテゴリ	デマンドのソフトウェアカテゴリ。 ○ 戦略的 ○ オペレーショナル
タイプ	デマンドのタイプ。 ○ 拡張 ○ プロジェクト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 変更 ○ 欠陥 [カテゴリ] フィールドの選択により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。
アセスメントが必要	デマンドのアセスメントを有効にするためのオプション。 デフォルトでは、このフィールドが選択されています。クリアされていると、デマンドに対してアセスメントアンケートがトリガーされません。 このフィールドをクリアし、デマンドを [ドラフト] にリセットすると、[アセスメントが必要] フィールドの値はクリアされたものとして保持されます。

6. オプション: [デマンド要件] タブを選択して、作成済みの要件の詳細を表示します。
   デマンド要件を作成することもできます。詳細については、「デマンド要件の作成」を参照してください。
7. [保存] を選択します。

タスクの結果
[送信ステータス] フィールドが [送信済み] に設定された状態でデマンドが作成されます。

次のタスク
ServiceNow デマンド管理アプリケーションを使用して、デマンドを承認して完了します。詳細については、「Demand Management」を参照してください。

[プロジェクトを作成] 関連リンクを選択すると、デマンドのプロジェクトを作成できます。プロジェクトを使用すると、デマンドの達成に必要な作業のステータス、完了率、および期間を追跡できます。プロジェクトタスクを作成して、プロジェクトの完了に必要な作業アイテムを定義することもできます。詳細については、「Project Management」を参照してください。

すべての ソフトウェア資産管理 デマンドを表示するには、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > デマンド.

すべての ソフトウェア資産管理 デマンド要件を表示するには、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > デマンド要件.

デマンド要件の作成

SSO アプリケーションを合理化 SaaS するためのデマンド要件を作成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

注:
デマンドを作成するには、sam_adminロールとsam_userロールにit_demand_userロールが必要です。

デマンドを作成するには、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをインストールする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > 重複する使用状況.
2. [アプリケーション機能の使用状況] タブを選択します。
3. デマンドを作成するカテゴリ内のアプリケーションを選択します。
4. [デマンドの作成] を選択します。
   [デマンドを作成] オプションは、デマンドを作成するアプリケーションを選択した場合にのみ使用できます。
5. [デマンド要件] タブを選択します。
6. [新規] を選択します。
   すべてのフィールドが自動入力されます。
7. フォームのフィールドに入力します。

新しいデマンド要件の作成

フィールド	説明
デマンド要件	
番号	デマンド要件に対して自動生成された一意の識別番号。
ソフトウェア資産デマンド	要件を作成しているソフトウェア資産デマンド。
製品	デマンド要件が作成される製品またはアプリケーション。
メインカテゴリ	アプリケーションのカテゴリ。たとえば、製品フィールドで ズーム を選択すると、メイン カテゴリ フィールドは ビデオ会議 に設定されます。
アクション	デマンドに対して特定されたアクションアイテム。 ○ 有効期限が切れた後に中止 ○ 承認済み製品に移行 ○ 直ちに中止 ○ ライセンスの再利用 ○ 何もしない
説明	デマンド要件の説明。
メモ	デマンド要件に関する追加のメモ。
消費量情報	
消費量総計	資格付与に基づくアプリケーションの合計支出。

8. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
デマンドのデマンド要件が作成されます。作成されたデマンドは、ソフトウェア資産デマンド [samp_demand] テーブルで表示できます。

次のタスク
すべての ソフトウェア資産管理 デマンド要件を表示するには、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > デマンド要件.

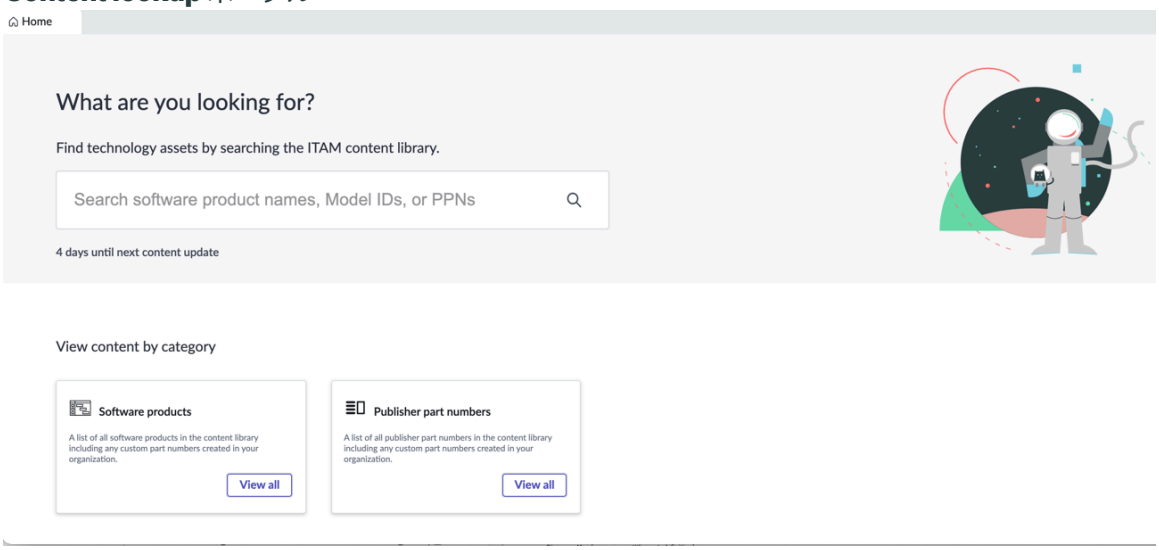
Content lookup ポータル

コンテンツルックアップポータルでは、直感的なユーザーインターフェイスを介してコンテンツサービスに保存されている ソフトウェア資産管理 データを可視化できます。

ソフトウェア資産管理コンテンツサービスは、ソフトウェア製品名およびすべての追加情報 (ソフトウェア製品ライフサイクルの日付、検出マップ、モデル番号、公開者の品番 (PPN) など) のリポジトリです。この情報は、Content Service 内のさまざまなテーブルに保存されます。Content Service の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス。

コンテンツルックアップポータルにアクセスするには、ソフトウェア資産ワークスペースに移動し、ページの左側にあるコンテンツルックアップポータルビューアイコンをクリックします。

Content lookup ポータル



コンテンツ ルックアップ アプリケーションは、 ServiceNow Storeで入手できます。アプリケーションをインストールしたら、AI Search (com.glide.ais) プラグインが有効になっていることを確認します。コンテンツ ルックアップ アプリケーションのインストールの詳細については、「」を参照してください のコンテンツルックアップのインストール ソフトウェア資産管理。

コンテンツルックアップポータルは AI Search 機能を使用しており、次のことに役立ちます。

- 特定のソフトウェア製品、PPN、またはモデル ID を検索します。
- コンテンツサービスでソフトウェア製品、PPN、およびモデル ID のリスト全体を表示します。
- ソフトウェアバージョン、ソフトウェア製品のライフサイクルなど、ソフトウェア製品に関連する追加の詳細を表示します。
- 次のコンテンツ更新の残り日数を表示します。

検索バーに検索条件を入力すると、検索結果が一覧表示され、最も関連性の高い一致が一番上に表示されます。ページの左側にあるフィルターは、結果をさらに絞り込むのに役立ちます。

検索条件に基づいて、次のような複数のテーブルからコンテンツサービスの情報が取得されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア製品 [samp_sw_product]
- ディスカバリーマップ [samp_sw_entitlement_definition]
- パブリッシャーの品番 [samp_sw_product_definition]

条件に一致する検索結果をクリックすると、製品の詳細ページと関連リストが表示されます。製品の詳細ページが読み取り専用モードで開きます。たとえば、 Microsoft SQL Server 2008 Enterprise 製品の結果をクリックすると、[Microsoft SQL Server 2008 Enterprise] ページが表示され、ソフトウェア バージョン、ソフトウェア ライフ サイクル データ、PPN などの関連リストが表示されます。

のコンテンツルックアップのインストール ソフトウェア資産管理

IT Asset Managementコンテンツルックアップストアアプリケーションをインストールして、コンテンツサービスに保存されているソフトウェア資産管理データを表示します。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- IT Asset Management コンテンツルックアップアプリケーションには、次のプラグインが必要です。コンテンツルックアップアプリケーションをインストールする前に、これらのプラグインが有効化されていることを確認してください。

  必須の ServiceNow プラグイン

  すべての ソフトウェア資産管理 Professional (com.sn_samp_master) プラグインの有効化

  Software Asset Management Professional (com.snc.samp) プラグイン、すべてのパブリッシャーパックアドオンプラグイン、および Software Asset Management UI コンポーネント (com.sn_samp_workbench) をワンステップでロードします。SaaS License Management を有効にするには、Software Asset Management - SaaS License Management Integrations (com.sn_sam_saas_int) プラグインを ServiceNow Store別途要求する必要があります。

  ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグイン

  Software Asset Management アプリケーションの新しいユーザーインターフェイスであるソフトウェア資産ワークスペースを使用するために必要です。

  AI Search プラグイン (com.glide.ais)

  AI Search 機能を有効にします。

注:
Software Asset Management Professional (com.sn_samp_master) プラグインがインストールされている場合は、コンテンツサービスに保存されている ソフトウェア資産管理 データを表示できます。Software Asset Management Professional (com.sn_samp_master) プラグインと ハードウェア資産管理 Professional (com.sn_hamp) プラグインの両方がインストールされている場合は、両方 ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているデータを表示できます。の ハードウェア資産管理コンテンツ ルックアップ ポータルのインストールの詳細については、「」を参照してください データを表示する ハードウェア資産管理 ためのコンテンツルックアップのインストール。

必要なロール：sam_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して IT Asset Management コンテンツルックアップアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、IT Asset Management コンテンツルックアップアプリケーションをインストールする前にインストールする必要があります。
4. [インストール] を選択します。

ソフトウェア資産管理 クラシック版の使用

クラシックフレームワーク ソフトウェア資産管理 を使用して、ライセンス、コンプライアンス、最適化を管理します。

正規化の提案の表示

検出モデル用に作成された正規化提案レコードを表示します。これらの提案は承認または却下できます。

始める前に
必要なロール：

- sam_admin:正規化の提案を承認または却下します。
- sam_user:正規化の提案を表示します。

レコードは正規化提案 [samp_normalization_suggestions] テーブルに含まれています。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > 正規化の提案 正規化の提案フィールドの詳細については、次を参照してください 検出モデルの正規化の提案。

   注:
   実際のフィールド値と異なる提案されたフィールド値は、青い点で示されます。
2. [承認] を選択して検出モデルに提案された変更を行うか、[却下] をクリックして既存の設定を保持します。

   注:
   正規化の提案を承認または却下できるのは、sam_adminロールのみです。提案の承認または却下の詳細については、「」を参照してください 検出モデルの正規化の提案。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェアジョブの結果の表示

実行されたジョブの結果 ソフトウェア資産管理 を表示して、完了を確認できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ジョブの結果は次のとおりです。

- Discovery Model Normalization (検出モデルの正規化)
- 制限付きインストールの特定
- 新しい再利用候補の特定
- ソフトウェア使用状況のインポート
- 既存の再利用候補を更新
- Software Asset Management コンテンツサービスのアップロード/ダウンロード

すべての ソフトウェア資産管理 ジョブスケジュールは、 システム定義 > スケジュール済みジョブ ナビゲーションエリア。 ソフトウェア資産管理 ジョブスケジュール名は製品名 (SAM) で始まります。

注:
ジョブスケジュールの ソフトウェア資産管理 デフォルトの日付、時刻、および順序は、最適なパフォーマンスが得られるように構成されています。ジョブスケジュールをデフォルトの実行設定から変更することは、パフォーマンスやデータの可用性にとって最適ではない場合があります。

手順
1. 移動先 ソフトウェア資産 > 管理 > ジョブ結果.
2. レコードを開いてジョブ結果を表示します。

ソフトウェア資産ジョブ結果フォーム

フィールド	説明
番号	ジョブの実行時に生成されるジョブ結果の数。
名前	ジョブの名前。
ステータス	ジョブのステータス。
作成済み	ジョブが作成された日時。
更新日時	ジョブが更新された日時。

ソフトウェア検出モデルの手動による正規化

ソフトウェア検出モデルを編集して、[ソフトウェア検出モデル] フォームで完全に正規化されていない (部分的に正規化されていない、公開者が正規化されている、または一致項目が見つからない) 検出されたソフトウェアを手動で正規化し、調整できるようにすることができます。

始める前に
必要なロール：sam_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ソフトウェア検出モデルに自動追加された情報が不完全な場合は、情報が不足しているフィールドを追加してソフトウェア検出モデルを手動で正規化することができます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ディスカバリーモデル をクリックし、正規化ステータスが [Partially Normalized]、[Publisher Normalized]、または [Match Not Found] である検出モデルレコードを開きます。
2. 必要に応じて [公開者]、[製品]、[バージョン] の各フィールドに入力します。
必要に応じて、製品ルックアップリストから カスタム製品 を作成できます。
3. [正規化] を選択します。
正規化のステータスは [手動で正規化] に設定されています。
4. オプション: 正規化を元に戻すには、[正規化を元に戻す] を選択します。

> **注:**
> [Normalized]、[Partially Normalized]、または [Publisher Normalized] のステータスを持つ検出モデルは、[一致項目は見つかりませんでした] に戻ります。ステータスが [手動で正規化済み] の検出モデル、およびパターンルールを使用して正規化された検出モデルは、元に戻すことはできません。
>
> (Optional) フィールドは元の値にリセットされ、ソフトウェア検出モデルに関連付けられたルールはすべて無効になります。

クラシック版のエディション値を手動で上書き

ソフトウェア インストールのエディションが自動検出されない場合、エディションをすでにご存知であれば、ソフトウェア インストール フォームのエディション値を指定できるため、ソフトウェアの調整を正常に実行できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
正常に調整を実行するには、ソフトウェアの [公開者]、[製品]、[バージョン]、[エディション] の各フィールドを設定する必要があります。エディションが自動検出されないが (エディションの値は [表示名] フィールドの一部に含まれません) エディションをご存知の場合は、手動で正しい値 (たとえば `エンタープライズ`など) に設定できます。

エディションの値が設定されると、ソフトウェアインストールの Discovery モデルが自動的にリセットされます。適切な Discovery モデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

> **注:**
> すべてのソフトウェア製品がエディションで構成されているわけではありません。エディションで構成されるソフトウェア製品のうち、すべてのエディションの値が自動検出されるわけではありません。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ソフトウェア インストール をクリックし、エディションの値を設定するソフトウェアインストールレコードを開きます。
2. 必要に応じて、[エディションのオーバーライド] フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[エディションのオーバーライド] フィールドはフリーフォームのフィールド (ルックアップリストなし) です。したがってこのフィールドはキーとして使用されるため、入力された値は正確でなければなりません。

3. [更新] を選択します。
ソフトウェアインストールは、プライマリーキーの一部としてエディションの値を含む異なる Discovery モデルに関連付けられています。適切な Discovery モデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

検出されたエンジニアリングライセンス

エンジニアリングアプリケーション用に検出および正規化されたすべてのソフトウェアのリストを表示します。

移動先 ソフトウェア資産 > ディスカバリー > 検出されたエンジニアリングライセンス

エンジニアリングアプリケーションのすべての正規化された公開者と製品のリストを表示できます。ライセンスのバージョン、数量、ライセンスの種類などの追加情報も表示されます。

ソフトウェアライセンス使用状況

簡素化されたワークベンチビューで調整結果を確認します。

ライセンスワークベンチでは、購入したアクティブな権限の数に対して消費された権限の数の傾向を把握することで、組織のニーズを予測できます。ソフトウェアの消費が所有する権利の数を超える前に追加の権利を購入することで、コンプライアンスを維持できます。

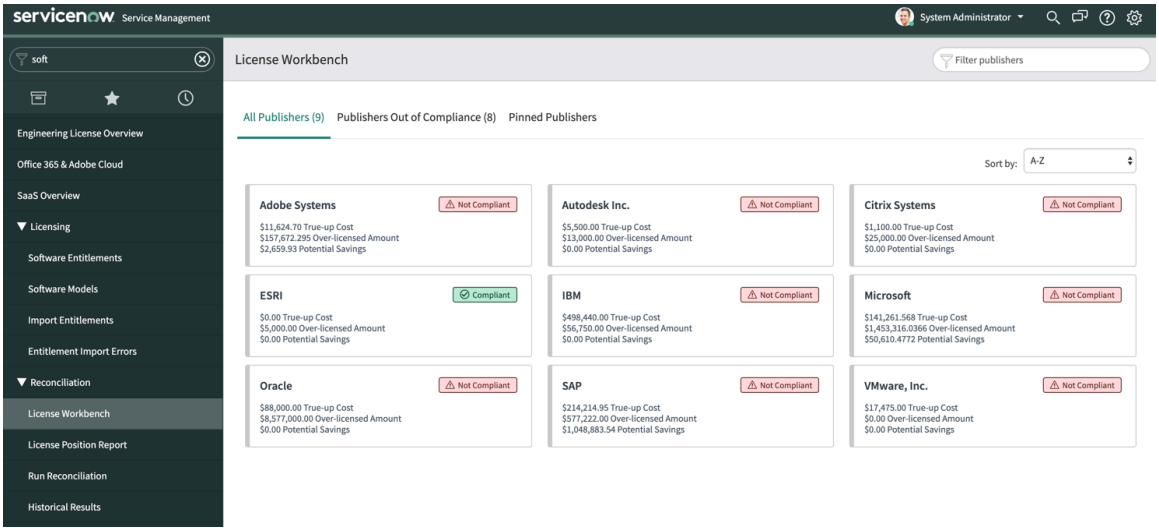
ワークベンチの機能は次のとおりです。

- 色分けされたコンプライアンスバナー
- カードの財務計算
- サイト運営者の固定機能(ユーザー固有、保存済み)
- ソートカード機能
- アクティブフィルタリング
- [製品の結果] リストへのカードのドリルダウン
- キーボード制御
- グループおよびサブグループの調整情報 (該当する場合)

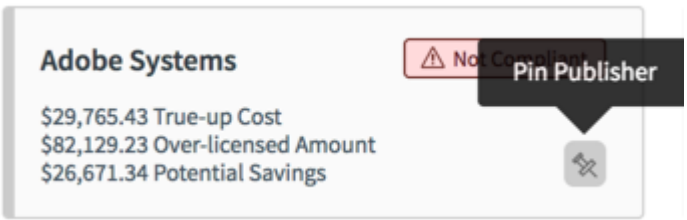
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスワークベンチ



固定された公開者は、[固定された公開者] タブに一覧表示されます。固定された公開者のリスト



は、ユーザーごとに保存されます。

ライセンスワークベンチタブ

タブ	説明
すべてのパブリッシャー	すべての公開者のリスト。
コンプライアンス違反パブリッシャー	ステータスが準拠していないすべての公開者のリスト。
固定中のパブリッシャー	グループ化されたパブリッシャーのユーザー固有の保存済みリスト。

公開者ワークベンチのナビゲーションツリー

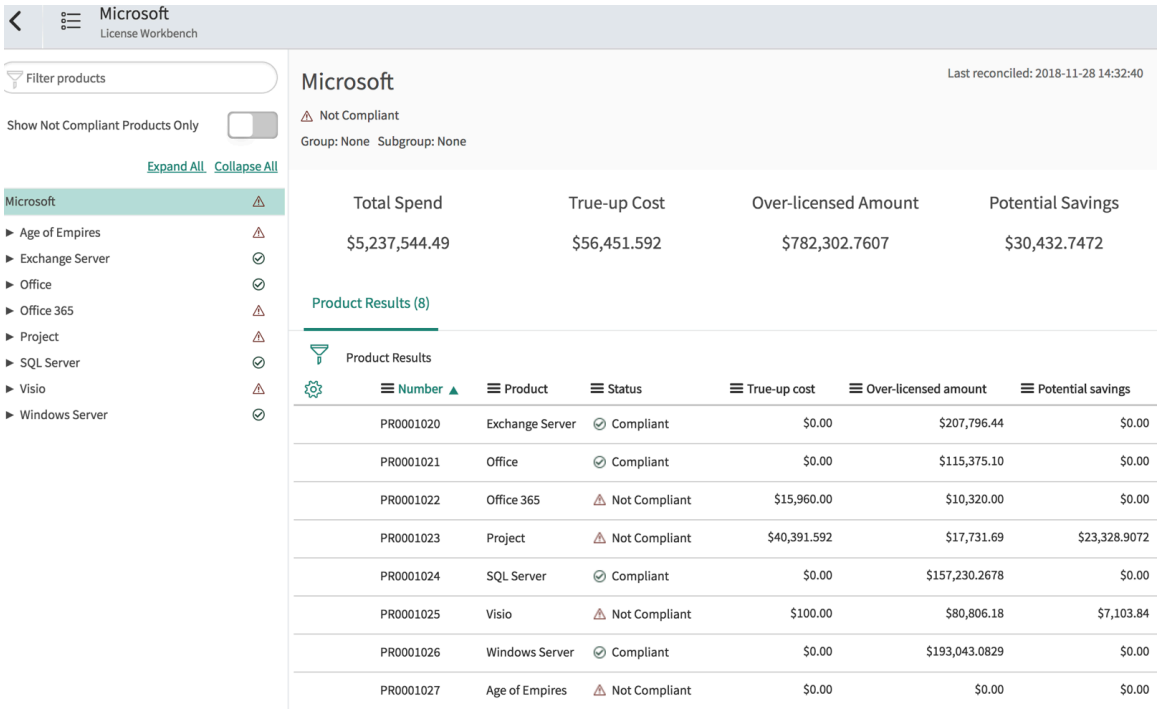
ワークベンチのナビゲーションツリーで特定の公開者、製品、ソフトウェアモデル、またはライセンス測定基準をドリルダウンして、最新の調整結果からの計算とコンプライアンス情報を表示します。

ナビゲーションツリーの機能は次のとおりです。

- 商品のフィルタリング (折りたたまれた商品を含むアクティブなフィルタリング)
- コンプライアンストグルスイッチ
- ツリーリンクの展開と折りたたみ
- ソフトウェアモデルのコンプライアンスアイコン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



デフォルトでは、パブリッシャーライセンスの概要ページのナビゲーションツリーは折りたたまれています。展開すると、パブリッシャー別にグループ化されます。

パブリッシャー: [Product Results] 関連リスト:

- ソフトウェアモデルの結果
- ライセンスされたインストール
- ライセンスなしのインストール (SAPライセンスのないユーザーまたはライセンスのないエンジン)
- ライセンスなしのサブスクリプション (サブスクリプションベースのソフトウェア)
- 削除候補

[ソフトウェアモデルの結果] 関連リスト:

- ライセンス評価指標の結果
- 修復オプション:リソースバリューユニット (RVU) IBM ライセンスの測定基準では、「 権利要求者 」タブは表示されません。リソースバリューユニット (RVU) ライセンス測定基準は製品レベルでライセンスが付与されるため、権限は個々のデバイスでは使用されません。

  注:
  修復オプションの詳細については、次のリンクを参照してください ソフトウェア モデルの結果を表示する。

- ライセンスされたインストール
- ライセンスなしのインストール (SAP:無認可ユーザー)
- ライセンスなしのサブスクリプション (サブスクリプションベースのソフトウェア)
- ライセンスなしの消費 (消費ベースのソフトウェアモデル)
- ライセンスなしのオプション (Oracle のみ)
- 削除候補
- 発注書 (Procurement (com.snc.procurement) プラグインがアクティブな場合のみ)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[License Metric Results] 関連リスト:

- 権限使用者:リソースバリューユニット (RVU) IBM ライセンスの測定基準には表示されません。リソースバリューユニット (RVU) ライセンスの測定基準は、製品レベルでライセンス交付を受けます。これは、企業内の製品の総消費量に基づいて計算されます。

  注:
  クラウドにインストールされている場合は、[権限使用者] 関連リストに 4 つの追加フィールドが表示されます。

- ライセンスされたインストール
- 使用済みインストール (SAP:システムユーザー)
- ダウングレード/アップグレード
- ライセンスが付与されたサブスクリプション
- クラウド特別権限: このタブは、AWS や Azure などのクラウドプラットフォームにクラウドをインストールしている場合にのみ使用できます。このタブは [権限使用者] タブのサブセットであり、クラウドインストールに関連するフィールドが表示されます。[クラウド特別権限(Cloud Special Rights)] フィールドの詳細については、[権限使用者(Rights Used By)] タブを参照してください。

レポート計算

レポート	説明
パブリッシャー、製品、ソフトウェアモデル	
合計消費量	所有する権限の総コスト。
調整コスト	必要な最小権限数 (必要な権限に資格付与による権限あたりの平均価格を掛けたもの) に基づいた、ライセンスなしのインストールを修復するための推定コスト。 購入権利修復オプションからの最低コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。調整コストから出たライセンス供与過剰金額の合計です。
節減見込み	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
合意タイプ	ソフトウェア ライセンス タイプ。
ライセンス評価指標の結果	
表示名	調整の実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスの測定基準の名前。
所有している権利	ライセンスの測定基準を共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済みと未割り当ておよびインストール)。
利用可能な権利	調整中に使用されない権限の合計 (所有権から使用権を差し引いた権利)。
従来のライセンス	2019 年 10 月 1 日より前に購入したライセンスを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート計算 (続く)

レポート	説明
注: このフィールドは、環境に AWS または Azure の専用ホストがある場合にのみ表示されます。	**注:** Microsoft では、購入日に基づく Dedicated Hosts のライセンスルールが更新されました。
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利のコスト概算。
適切な配分	• 配分済み、使用中 • 未配分、使用中 • 配分済み、不使用 • 割り当てなし • 配分が必要 **注:** Microsoft Per Core および Microsoft Per Core with (CAL) については、譲渡不可の権利を持つことができます。譲渡不可の権利とは、追加のデバイスのライセンスに使用できない Core パックの残りの権利です。
必要な権限 **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	ライセンスなしのインストールをカバーするために必要な権限の数。
ライセンスなしのインストール **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
無認可 SAP ユーザー (SAP のみ) **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	資格付与の対象外となるライセンス SAP なしユーザーの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート計算 (続く)

レポート	説明
ライセンスなしのオプション (Oracle のみ) **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	資格付与対象外となるライセンスなし Oracle データベースオプションの数です。
ライセンスなしのサブスクリプション **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	資格付与対象外のライセンスなしソフトウェアサブスクリプションの数。
調整コスト **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	必要最低権限数に基づくライセンスなしインストールを修復するための推定コスト。
見込まれる削減 **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( )を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	削除候補を再利用することによって節約されたコスト概算。
ダウングレード権限 **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([ ]) を選択して、[ライセンス測定基準の結果] に表示されるフィールドを変更します。	最新のソフトウェアバージョンのソフトウェアエンタイトルメントを使用してライセンス付与できる以前のソフトウェアバージョン。

権限使用者

フィールド	説明
使用場所	権限を使用しているユーザーまたはデバイス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。
クラウドプロバイダ	クラウドプロバイダの名前。 注: このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。
適用された二重使用権	オンプレミスとクラウドでの権限の同時使用を可能にする、によって Microsoft Azure 提供される同時権限が適用されるかどうかを示します。 注: このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。
ホストタイプ	クラウド上のホストのタイプ:共有または専用。 注: このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。
エディションの柔軟性が適用されました	Windows Server および SQL Server によって Microsoft Azure 提供されるエディションの柔軟性の利点が適用されるかどうかを示します。 注: エディションの柔軟性のメリットの詳細については、「」を参照してください 自分のライセンスを使用するためのライセンス規則。 このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。
配分済み、使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 注: 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに 修復オプションが自動的に作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
配分が必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスの測定基準でのみ使用されます。

ソフトウェア調整の実行

調整はスケジュール設定済みジョブとして実行されますが (デフォルトは毎週)、必要に応じてお使いの環境のソフトウェア製品を調整するために手動で実行することも可能です。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
調整はソフトウェアエンタイトルメントまたはソフトウェアインストールがある製品に対して実行されます。グループ化とサブグループ化がサポートされているため、コンプライアンス結果を絞り込むことができます。

調整を手動で実行する場合は、プロセスが完了するのに十分な時間をおいてください。より速い結果を得るには、特定の公開者を選択して範囲を絞ります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 調整 > 調整の実行 をクリックし、コンプライアンスを計算するパブリッシャーを選択するか、すべてのパブリッシャーを選択します。
2. 結果をさらに絞り込むには、必要に応じて グループ と サブグループを選択します。
   グループおよびサブグループの値としては、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) が利用できます。
3. **[Continue** (続行)] を選択します。
   調整プロセスは完了するまでに時間がかかる場合があります。調整が完了すると、調整結果が表示されます。

ソフトウェア モデルの結果を表示する

調整実行後、[製品の結果] リストからソフトウェア モデルの結果のコンプライアンス情報を表示します。

始める前に
必要なロール：sam_user

このタスクについて
[製品の結果] レコードから、ソフトウェアモデルの結果の [ライセンス測定基準の結果]、[修復オプション]、[ライセンスされたインストール]、[ライセンスなしのインストール]、[削除候補] 関連リストを表示できます。Procurement アプリケーション (com.snc.procurement) が有効な場合は、[修復オプション] フォームから直接発注書を作成して表示することもできます。その他の修復オプションには、割り当ての自動作成と削除、未割り当てのインストールの削除、ライセンスなしのインストールの削除が含まれます。

たとえば、製品の結果にステータスが非準拠と表示された場合は、製品の結果をドリル ダウンしてソフトウェア モデルの詳細を表示できます。これらの詳細には、ライセンスなしのインストールの数と準拠するための調整コストが含まれます。さらに、ソフトウェア モデルの結果をドリル ダウンして製品のエンタイトルメントに基づたライセンスの測定基準の結果も表示できます。

ライセンスの測定基準の結果情報には、所有権と権限の使用、ライセンス割り当てのブレークダウンが含まれているため、準拠するオプションを決定できます。[修復オプション] 関連リストには、ライセンスの測定基準に基づいて、必要な権限数と権限に対するコストの計算が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ソフトウェアモデルの結果] フォームのダッシュボードフィールドアクション ( ) アイコンを使用して、所有している権利と使用されている権利のチャートを表示し、追加のライセンスが必要になる時期を予測できます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 調整 > 履歴結果 をクリックし、調整結果を選択します。
2. [調整結果] フォームで、[製品の結果] レコードを選択して製品の結果の詳細を表示します。
3. [ソフトウェアモデル結果] 関連リストで、ソフトウェアモデル結果の詳細を表示するレコードを開きます。

ソフトウェア モデルの結果フォーム

フィールド	説明
ソフトウェア モデル	製品に関連付けられているソフトウェア モデル。ソフトウェア モデルの結果を確認するには、ソフトウェア モデルをドリル ダウンします。 ダッシュボードフィールドアクション ( ) アイコンは、ソフトウェアモデルの [所有している権利] と [使用されている権利] のチャートを表示します。
製品の結果	調整プロセス中に生成された一意の製品の結果番号。
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
最新	このソフトウェア モデルの結果が直近で調整を実行したときのものかどうかを示します。
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。 ○ 準拠 ○ 非準拠
合意タイプ	合意タイプはソフトウェアエンタイトルメントに設定されます。 ○ 共通：汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA) ○ IBM: 汎用エンタープライズ・ライセンス契約 (ELA)、国際プログラム・ライセンス契約 (IPLA)、IBM 顧客契約 (ICA)、無制限レベル契約 (ULA)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ Microsoft:汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA) ○ Oracle:汎用無制限レベル契約(ULA) ○ VMware:汎用、エンタープライズライセンス契約 (ELA)、エンタープライズ購入プログラム (EPP)、ボリューム購入プログラム (VPP) **注:** 契約タイプがエンタープライズレベル契約または無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールまたはライセンスなしのサブスクリプションがあっても、 ステータス は準拠です。
ライセンスなしのインストール	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
調整コスト	必要な権限の最小数 (必要な権限 x 資格付与から権限当たりの平均価格) に基づいて、ライセンスなしのインストールを修復するための推定コスト。購入権利修復オプションからの最低コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。調整コストから出たライセンス供与過剰金額の合計です。
見込まれる削減	関連する削除候補で活用されていないライセンスやライセンスの不適切な消費に対処することで節約できるコスト。
ライセンス評価指標の結果	
表示名	調整の実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスの測定基準の名前。 表示名を選択すると、対応するライセンス測定基準の結果レコードが開き、ライセンス測定基準の結果に関する詳細情報を表示できます。詳細は、「ソフトウェアモデルの結果のライセンス評価指標の結果フィールド」を参照してください。
所有している権利	ライセンスの測定基準を共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済みと未割り当ておよびインストール)。
利用可能な権利	調整中に使用されていない権限の合計 (所有権から使用権を引いた権利)。
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利のコスト概算。
従来のライセンス	2019 年 10 月 1 日より前に購入したライセンスを示します。このフィールドは、環境に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	AWS または Azure の専用ホストがある場合にのみ表示されます。 **注:** Microsoft では、購入日に基づく Dedicated Hosts のライセンスルールが更新されました。
配分済み、使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
譲渡不可能な権利	追加のデバイスのライセンスに使用できないコアパックの残りの権限。譲渡不可能な権限は、Microsoft Per Core および Microsoft Per Core with (CAL) でのみ使用できます。
割り当てなし	割り当てられていない権限の数 (インストールされているかどうかに関係なく、所有している権限から割り当て済みを引いた権限)。
配分が必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスの測定基準でのみ使用されます。
必要な権限 **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	ライセンスなしのインストールをカバーするために必要な権限の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ライセンスなしのインストール **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
無認可 SAP ユーザー (SAP のみ) **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	資格付与の対象外となるライセンス SAP なしユーザーの数。
ライセンスなしのオプション (Oracle のみ) **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	資格付与対象外となるライセンスなし Oracle データベースオプションの数です。
ライセンスなしのサブスクリプション **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	資格付与対象外のライセンスなしソフトウェアサブスクリプションの数。
調整コスト **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	必要最低権限数に基づくライセンスなしインストールを修復するための推定コスト。
見込まれる削減 **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( )を選択して、ライセンス測定基準の結果に表示されるフィールドを変更します。	削除候補を再利用することによって節約されたコスト概算。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ダウングレード権限 **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ([ ]) を選択して、[ライセンス測定基準の結果] に表示されるフィールドを変更します。	最新のソフトウェアバージョンのソフトウェアエンタイトルメントを使用してライセンス付与できる以前のソフトウェアバージョン。
修復オプション	
修復アクション	コンプライアンス準拠のためのアクション。 ○ 購入権限 ○ 割り当ての解除 (Remove Allocations) ○ 割り当ての作成 (Create Allocations) ○ 未割り当てのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは利用不可) ○ ライセンスなしのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは利用不可) ○ ライセンスなしのインストールの削除 - クラウド (クラウドインストールがある場合のみ利用可能)。
コンプライアンスに影響	修正オプションがコンプライアンスに影響を与えるかどうかを指定します。
ライセンスの測定基準	ソフトウェア モデルの結果の特定のライセンスの測定基準。
ソフトウェア モデルの結果	修復オプションに関する特定のソフトウェア モデルの結果。
ステータス	修復オプションのステータス。 ○ 新規 (青) ○ 完了 (緑) ○ 無効 (赤) ○ 進行中 (黄) [進行中] ステータスでは、インストールするための削除候補が作成されたことを示します。
未使用の権限 割り当てられていない権限 必要な権限 再利用可能な権利 ライセンスなしの権限	○ [割り当てを解除] アクションには [使用されていない権利] フィールドが表示されます。 ○ [割り当てを作成] アクションには [割り当てられていない権限] フィールドを表示します。 ○ [購入権限] に [必要な権利] フィールドが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
(表示されているフィールドは、修正アクションタイプに基づいています)	○ [未割り当てのインストールの削除] アクションには [再利用可能な権限] フィールドが表示されます。 ○ [ライセンスなしのインストールの削除] アクションには [ライセンスなしの権限] フィールドが表示されます。
実行可能な権限	アクションによって影響を受ける全権限。
発注書	発注書が作成された場合、修正オプションに関連付けられた発注書番号。
調整コスト	必要最低権限数に基づいてライセンスなしインストールを修復するための推定コスト。
ライセンスなしのサブスクリプション **注:** この関連リストは、サブスクリプションベースのソフトウェア製品に対してのみ表示されます。	
表示名	エンタイトルメントの対象となっていないライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションの名前。
ユーザープリンシパル名	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられているユーザーの名前。
ソフトウェアモデル	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションが関連付けられているソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションが関連付けられている統合プロファイル。
サブスクリプション タイプ	サブスクリプションのタイプ。
ライセンスなしの消費 **注:** この関連リストは、消費ベースのソフトウェアモデルに対してのみ表示されます。	
ソフトウェアモデル	ライセンスのないソフトウェア消費があるソフトウェア モデル。
サブスクリプションプロファイル	ライセンスなしのソフトウェア消費を含む統合プロファイル。
消費されたユニット	ユーザーが消費したソフトウェアユニットの数。
契約開始	ライセンス契約の開始日。
契約終了	ライセンス契約の終了日。
実際の月次消費	ユーザーが 1 か月に消費する実際のソフトウェアユニット数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
予想される月次消費	ユーザーが 1 か月あたりに消費すると予想されるソフトウェアユニットの数。
コストセンター	ライセンスなしのソフトウェア消費がある事業部門。
部門	ライセンスのないソフトウェア消費がある部門。
ロケーション	ライセンスなしのソフトウェア消費がある地理的な場所。
会社	ライセンスなしのソフトウェアを消費した会社の名前。

[ライセンスされたインストール] 関連リストには、ライセンスが付与されている ソフトウェアのインストール が含まれています。ライセンス付与されたソフトウェアのインストールに関する詳細を表示するには、 表示名をクリックして対応するソフトウェアインストールレコードを開きます。ソフトウェアインストールレコードの各フィールドの詳細については、「」 ソフトウェア インストール フィールド を参照してください。

[ライセンスなしのインストール] 関連リストには、ライセンスされていないソフトウェア インストールが含まれています。ライセンスなしのソフトウェア インストールの詳細を表示するには、表示名をクリックして相対するソフトウェア インストール レコードを開きます。ソフトウェアインストールレコードの各フィールドの詳細については、「」 ソフトウェア インストール フィールド を参照してください。

[無認可ユーザー] 関連リストには、ライセンスのない SAP システムユーザー が含まれています。

注:
この関連リストは公開者に対してのみ SAP 表示されます。

[削除候補] 関連リストには、ソフトウェアインストールに関連する 削除候補 が含まれています。

4. 特定の修復アクションに対して修復オプションを実行するには、[修復オプション] 関連リストからオプションを選択し、該当するアクションをクリックします。

修復オプションのアクションボタン

修復オプションアクション	アクションボタン	結果
ライセンスなしのインストールを削除する	すべての削除候補を作成	ライセンスなしのインストールの削除候補が作成されると、ステータスは [失効待ち] に設定されます。
未割り当てのインストールを削除	すべての削除候補を作成	未割り当てのインストールの削除候補が作成されると、ステータスは [準備完了] に設定されます。
割り当ての解除 (Remove Allocations)	すべての割り当てを削除	割り当てが削除されると、割り当ての数が調整されます。
割り当ての作成 (Create Allocations)	すべての割り当てを作成	割り当てが作成されると、(同じソフトウェアモデルの結果の同じライセンス測定基準に対する) 未割り当てインストールの削除修復オプションのス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

修復オプションアクション	アクションボタン	結果
		テータスが [無効] に設定されます。
購入権限	発注書を作成 注: [発注書を作成] ボタンは 発注書 を作成しますが、必要な権限が 0 より大きく、 調達 アクティブになっている場合にのみ表示されます。 [発注書を作成] ボタンは、発注書の処理が完了するまでアクティブのままです。したがって、同じアイテムに対して重複した発注書が作成されないようにするには、発注書の処理が完了するまで調整を再度実行してから待機します。	発注書が作成されると、同じソフトウェアモデルの結果に対するすべての購入権利修復オプションのステータスが [無効] に設定されます。 発注書フィールド **[Part number**]、[**Metric group**]、[**License metric**]、および **[Order quantity**] には、修正オプションの内容が自動的に入力されます。 [測定基準グループ] フィールドと [ライセンス測定基準] フィールドが発注書フォームに追加され、注文が完了したときにエンタイトルメントを自動的に作成できるようになります。 ソフトウェアモデルに対してアクティブな発注明細が 1 つ以上存在する場合は、通知が表示されます。 発注書が作成されると、発注書参照を含む [発注書] フィールドが修復オプションに追加されます。

確認メッセージが表示され、該当するすべての 削除候補 が [削除候補] 関連リストに追加されます。

ソフトウェア削除候補を追加する

削除候補は、環境内のソフトウェアリソースを再利用します。これらは再利用ルールから作成することも、手動で作成することもできます。

始める前に

必要なロール：sam_user

このタスクについて

ソフトウェア再利用は、デバイスからソフトウェアをアンインストールしてソフトウェア権限を再利用するプロセスに統合Workflowクライアントソフトウェアディストリビューションされており、そのプロセスを自動化します。ただし、削除候補を手動で作成することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 節約見込み
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

削除候補フォーム

フィールド	説明
番号	自動的に生成される一意の削除候補番号。
アサイン先グループ	削除候補に応答する権限を与えられたソフトウェア管理者グループに自動的に設定されます。
アサイン先	このタスクの遂行に対して主に責任を負う人物。
名前	自動的に生成される削除候補名。ソフトウェアインストールの表示名が含まれます。
説明	タスクが存在する理由と、承認を受け取った場合にユーザーが行う必要があることの説明。
ステータス	削除候補の現在のステータス。 ○ 要確認 ○ 準備完了 ○ ユーザー待ち ○ 承認待ち ○ 失効待ち ○ 完了してクローズ ○ スキップしてクローズ ○ キャンセルしてクローズ
オープン	タスクがオープンされた日付。
クローズ済み	タスクがクローズされた日付。
理由	削除候補になる理由。 ○ 低使用率 (デフォルト) ○ 未割り当て ○ ライセンスなし ○ 制限付きソフトウェア
削除候補	
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。 ○ インストール済みソフトウェア ○ サブスクリプションソフトウェア ○ エンジニアリングアプリライセンス
ソフトウェアインストール	再利用されるソフトウェアインストール。
エンジニアリングアプリライセンス	再利用するエンジニアリングアプリケーションライセンス。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注: [適用先] リストで [エンジニアリングアプリライセンス] が選択されている場合にのみ表示されます。	
ユーザー	ソフトウェアインストールにアサインされたユーザーの名前。 この値は、別のユーザーがソフトウェアがアンインストールされているという通知を受け取るように変更できます。 [一括再利用] チェックボックスがオンになっている場合、このフィールドは必須フィールドになります。
一括再利用	複数のソフトウェアインストールを再利用するには、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオンにすると、[ソフトウェアインストール] フィールドは表示されなくなります。ソフトウェアインストールを追加するには、ステップ 4 で説明したサブステップを参照してください。
再利用のルール	削除候補を作成した再利用ルール。
再利用する権限 注: [適用先] リストで [エンジニアリングアプリライセンス] が選択されている場合にのみ表示されます。	再利用する権限の数。たとえば、ライセンスサーバーに 100 個の権利がインストールされていて、40 個の権利のみを再利用するとします。
見込まれる削減	すべての削除候補が [完了してクローズ] ステータスの場合、つまりソフトウェアがアンインストールされ、権限が収集された場合の推定削減コスト (未使用の権利 x 資格付与から権限あたりの平均価格)。
ユーザーへの通知	ソフトウェアがインストールされているハードウェアに割り当てられたユーザーに、ソフトウェアを削除する権限を電子メールで要求するように通知するためのチェック ボックス。
構成アイテム	ソフトウェアがインストールされているデバイス。
アクティビティ	
作業メモ	このタスクで実行されたアクションを追跡するために使用されます。

4. **[Save** (保存)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

削除候補レコードが作成されます。[一括再利用] チェックボックスをオンにした場合は、次の手順に進む前に、次のサブ手順を実行してソフトウェアインストールを追加します。[一括再利用] チェックボックスをオンにしなかった場合は、次の手順に進みます。

a. [ソフトウェアインストール] 関連リストで [編集] を選択します。

b. [メンバーの編集] ページで、ソフトウェア インストールを [コレクション] ボックスから [ソフトウェア インストール リスト] ボックスに移動します。
指定したユーザーに割り当てられているソフトウェア インストールのみが [コレクション] ボックスに表示されます。

c. **[Save** (保存)] を選択します。
追加したソフトウェア インストールが [ソフトウェア インストール] 関連リストに表示されます。削除候補のステータスが [要確認] から [準備完了] に移行し、[名前] フィールドに名前が生成されます。ソフトウェアのインストールをさらに追加するには、引き続き [編集] を選択します。すべてのソフトウェアインストールを削除することにした場合、状態は [要注意] に戻り、名前は [名前] フィールドに表示されなくなります。名前を生成し、削除候補を [準備完了] ステータスにするには、少なくとも 1 つのソフトウェアインストールを削除候補フォームで選択する必要があります。

5. [再利用] を選択します。

ソフトウェアインストールが再利用され、システムから削除されると、[ソフトウェアインストール] 列は空になります。[ソフトウェアインストール] 関連リストの次のフィールドを参照すると、再利用されたソフトウェアインストールの履歴を把握できます。

- 表示名
- 製品
- パブリッシャー
- ソフトウェアモデル

フォーム上の任意のアクションボタンを選択して、削除候補をさらに構成できます。アクションボタンは、削除候補の理由とステータスによって異なります。

アクション ボタン

アクション	説明
更新	削除候補を更新します。
完了してクローズ	権限を再利用し、削除候補をクローズします。
スキップ項目をクローズ	権限を再利用せずに削除候補を閉じます。
削除	削除候補を削除します。

調整と製品の結果

調整結果、製品結果、ソフトウェア製品結果のフィールドの説明。

調整結果

調整結果はナビゲーションパスに一覧表示されます ソフトウェア資産 > 調整 > 履歴結果

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整結果フォーム

フィールド	説明
番号	調整プロセス中に生成された一意の識別番号。
前回の調整日時	前回の調整実行日。
実行対象	すべての公開者、または特定の公開者。
公開者	調整を実行する公開者が指定されている場合にのみ表示されます。
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
ステータス	調整のステータス。 • 完了 • 処理中 • 失敗
進行状況	調整実行の完了率と進行状況バー。
進行状況のサマリー	調整プロセス内の特定のステップ。 **注:** このリスト列は、デフォルトでは表示されません。必要に応じて、リストの列設定をカスタマイズして追加できます。

ソフトウェア製品

製品の結果レコードから、[ソフトウェアモデル]、[ライセンスなしのインストール]、[削除候補] 関連リストにアクセスできます。

製品に定義されたソフトウェアモデルがなくても、調整実行後にライセンス付与可能な製品の製品結果が生成されます。

注:
[ソフトウェアモデルの結果] レコードは、製品のソフトウェアモデルまたは資格付与が存在する場合にのみ作成されます。

ライセンス可能な製品の場合、[製品の結果] リスト内のデフォルトでエンタイトルメントがないライセンスなしのインストール、サブスクリプション、またはオプションに対してソフトウェアモデルが自動的に作成されます。プロパティ設定を変更するには、「*com.snc.samp.automaticsmrcreation*プロパティ」を参照してください。必要に応じて、ライセンス不可製品のソフトウェアモデルを自動的に作成するようにプロパティを設定する *com.snc.samp.automaticsmcreation* こともできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特定のソフトウェア製品の結果に関する詳細情報を表示するには、[製品の結果] リストからエントリを選択します。フィールドの説明については、次の表を参照してください。

[製品の結果] フィールド

フィールド	説明
番号	調整プロセス中に生成された一意の製品の結果番号。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。
製品	ソフトウェア製品の名前。
グループ	製品の結果が属するグループ。
サブグループ	製品の結果が属するサブグループ。
最新	この製品の結果が直近の調整実行のときのものかどうかを示します。
調整結果	調整プロセス中に生成される固有の調整結果番号。
ステータス	製品のステータス。 • 準拠 • 非準拠
調整コスト	必要最低権限数に基づいて違反を修正する推定コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。すべてのソフトウェアモデルの結果から出たライセンス供与超過金額の値の合計。
見込まれる削減	ソフトウェアインストールが再利用された場合の推定コスト。すべての削除候補から出たすべての節減見込みの合計。
ライセンスされたインストール	製品のライセンスが付与されているインストールの合計数。
ライセンスなしのインストール	製品のライセンスされていないインストールの合計数。
ソフトウェアモデルの結果	
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。
ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの名前。
ライセンスなしのインストール	関連するソフトウェア製品のライセンスされていないインストールの合計数。
調整コスト	必要最低権限数に基づいて違反を修正する推定コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。
見込まれる削減	再利用候補が再利用された場合に節約できるコスト概算。
ライセンスされたインストール	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[製品の結果] フィールド (続く)

フィールド	説明
表示名	ライセンス認証済みソフトウェアのインストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェア製品の公開者。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
ディスカバリー モデル	インストール済みソフトウェア製品を表すソフトウェア Discovery モデル。
インストール先	製品がインストールされているデバイス。
アサイン先	製品が割り当てられているユーザー。
ライセンスなしのインストール	
表示名	ライセンスなしのソフトウェアインストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェア製品の公開者。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
インストール先	製品がインストールされているデバイス。
アサイン先	製品が割り当てられているユーザー。
ライセンスなしのサブスクリプション **注:** この関連リストは、ソフトウェア製品がサブスクリプションの場合にのみ表示されます。	
パブリッシャー	ライセンスなしのサブスクリプションに関連付けられているソフトウェア製品の公開者。
製品	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられているソフトウェア製品の名前。
ユーザー	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられているユーザーの名前。
ユーザープリンシパル名	関連付けられたユーザーのメールアドレス。
ソフトウェアモデル	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられているソフトウェア モデル。
サブスクリプションプロファイル	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられた統合プロファイル。
無認可ユーザー **注:** この関連リストには SAP システムユーザーが含まれており、公開者に対して SAP のみ表示されます。	
表示名	一意の表示名。
ユーザー	システム内の SAP ユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[製品の結果] フィールド (続く)

フィールド	説明
SAP ユーザー ID	SAP SAP システムへのアクセス権を持つユーザーの ID。
メール	SAP ユーザーのメール。
名前	ユーザーの姓と名 SAP 。
ユーザータイプ	システム内の SAP ユーザーのタイプ。 • ダイアログ • システム
ライセンス タイプ	指定された SAP システム内のユーザーに割り当てられた指名ユーザータイプ値。
指名ユーザータイプ	指定された SAP システムのユーザーに割り当てられた正規化された指名ユーザータイプ。
SAP クライアント	SAP ユーザー情報がプルされたクライアント。
削除候補	
番号	削除候補番号。
名前	削除候補の名前。
正当性	削除候補になる理由。 • 低使用率 (デフォルト) • 未割り当て • ライセンスなし • 制限付きソフトウェア
製品	製品の名前。
パブリッシャー	公開者の名前。
ステータス	削除候補のステータス。 • 要確認 • 準備完了 • ユーザー待ち • 承認待ち • 承認 • 失効待ち • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
見込まれる削減	未使用のソフトウェアインストールを再利用することで得られる節減額。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラシック版での ソフトウェア資産管理 ソフトウェア使用の表示または作成

ソフトウェア使用レコードを表示して、クラシックアプリケーションで再利用ルールを作成したソフトウェア製品の使用状況を追跡します ソフトウェア資産管理 。サードパーティ統合または Microsoft SCCM 統合から手動でソフトウェア使用レコードを作成することもできます。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて

次の手順を使用して、ソフトウェア使用レコードを手動で作成します。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ソフトウェア使用 をクリックし、 新規 を選択します。
2. [ソフトウェア使用] フォームのフィールドに入力します。

ソフトウェア使用フォーム

フィールド	説明
公開者	ソフトウェア製品の公開者。
製品	ソフトウェア製品の名前。
再利用タイプ	ソフトウェアのインストールで使用される再利用のタイプ。オプションは、[合計使用時間**(Total Usage Time)]** と [最終使用日**(Last Used Date**)] です。 **注:** 「合計使用時間」を選択すると、「使用状況測定データ」フォーム・セクションが表示されます。「最終使用日」を選択すると、「最終使用データ」フォーム・セクションが表示されます。
構成アイテム	ソフトウェア製品が関連付けられている構成アイテム (CI)。 **注:** [CI ステータス] または [ハードウェアステータス] フィールドが [廃止] または [盗難] に変更されると、CI に関連するインストールは削除されます。
ユーザー	ソフトウェア製品を使用しているユーザーの名前。
検出ソース	ソフトウェア使用状況データの検出ソース。 適切な検出 ソースが [検出ソース] リストに表示されない場合は、[検出ソース] フィールドの名前を右クリックし、[選択の構成] を選択することで表示できます。プロンプトが表示さ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	れたら、次のいずれかのオプションを使用して検出ソースを表示します。 ○ 検出ソースがインスタンスに ServiceNow 既に存在する場合は、[利用可能] リストに表示されます。検出ソースを [選択済み] リストに移動して、[検出ソース] リストに表示されるようにします。[保存] を選択して [新しいソフトウェア使用の作成 (Create New Software Usage)] フォームに戻ると、更新された 検出ソース リストを表示できます。 ○ 検出ソースがインスタンスに ServiceNow まだ存在しない場合は、 [新しいアイテムを入力] フィールドに検出ソースの名前を入力し、 [追加] を選択します。新しい検出ソースを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動して、 検出ソース リストに表示されるようにします。[保存] を選択して [新しいソフトウェア使用の作成 (Create New Software Usage)] フォームに戻ると、更新された 検出ソース リストを表示できます。
使用状況計測データ **注:** このフォームセクションは、[再利用タイプ] が [合計使用時間] に設定されている場合にのみ表示されます。	
月	ソフトウェア製品が使用された月。
年	ソフトウェア製品が使用された年。
使用回数	ソフトウェア製品にアクセスした回数。
合計使用時間 (秒)	ソフトウェア製品が使用された時間 (秒)。
最後に使用されたデータ **注:** このフォームセクションは、[再利用タイプ] が [最終使用日] に設定されている場合にのみ表示されます。	
前回の使用時間	ソフトウェア製品が最後に使用された日時。

3. [送信] を選択します。

ソフトウェア資産管理 へのサブスクリプション

このプラットフォームではServiceNow、IT Asset Management アプリケーションの使用に対して組織に課金されるライセンス方式が使用されます。 ServiceNow ソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理 ライセンスを使用すると、使用するリソースカテゴリの料金を支払うことができます。コストを計算するには、 ソフトウェア資産管理 サブスクリプションユニットを使用します。サブスクリプションユニットは、定義された比率を使用してITリソースを管理するために使

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

用される測定単位です。さまざまなタイプの IT リソースを管理することで顧客価値がもたらされる価値はさまざまです。サブスクリプションユニットを使用すると、単一の単価をこれらの異なるITリソースタイプに比率で適用し、さまざまな顧客価値を反映できます。管理対象 IT リソースとサブスクリプションユニット率の詳細については、の https://www.servicenow.com/products/entitlements-packages.html サブスクリプションユニットの概要を参照してください。

管理対象 IT リソースタイプ

IT リソースには ServiceNow ソフトウェア資産管理 、サーバー、エンドユーザーコンピューティングデバイス、および SaaS サブスクリプションユーザーの 3 つのカテゴリがあります。

- サーバーとは、以下にリストされている CMDB テーブルで構成アイテム (CI) として表され、アプリケーションによって管理され ソフトウェア資産管理 る物理サーバーまたは仮想サーバーです。
- エンドユーザーコンピューティングデバイスとは、以下にリストされている CMDB テーブル内の任意の物理または仮想の非サーバー CI であり、アプリケーションによって管理されます ソフトウェア資産管理 。
- SaaS サブスクリプションユーザーは、アプリケーションによって管理されソフトウェア資産管理る、以下にリストされているサブスクリプションユーザーテーブル内のSaaS一意のユーザープリンシパル名です。

管理対象 IT リソースにインストールされているソフトウェアがソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに表示される場合、サーバーとエンドユーザーコンピューティングデバイスはアプリケーションによって管理され ソフトウェア資産管理 ます。

ソフトウェア資産管理ライセンスリソースカテゴリ

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
サーバー	1:1	• cmdb_ci_server • cmdb_ci_vm_instance • cmdb_ci_ucs_rack_unit • cmdb_ci_ucs_blade 上記のクラスから派生した CMDB クラス
エンドユーザーコンピューティングデバイス	1:4	• cmdb_ci_computer • cmdb_ci_handheld_computing • cmdb_ci_pc_hardware cmdb_ci_pc_hardware から派生した任意の CMDB クラス。
SaaS サブスクリプションユーザー	1:15	samp_sw_subscription

IT Asset Management アプリケーションのライセンスレポートの表示

IT Asset Management アプリケーションが検出、監視、およびプロビジョニングするリソースは、CMDB に格納されている構成アイテム (CI) です。ITAM ライセンスモジュールは、CI に関する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この情報と、組織で購入したサブスクリプションの情報を組み合わせて、IT Asset Management アプリケーションで使用されるサブスクリプションに関する統計情報を生成します。

始める前に
ライセンス付与のために情報を収集および集計するプロセスは、次のインタラクションで構成されています。これにより、組織で購入したサブスクリプションユニットをどのように使用しているのかを示す統計情報を表示できます。

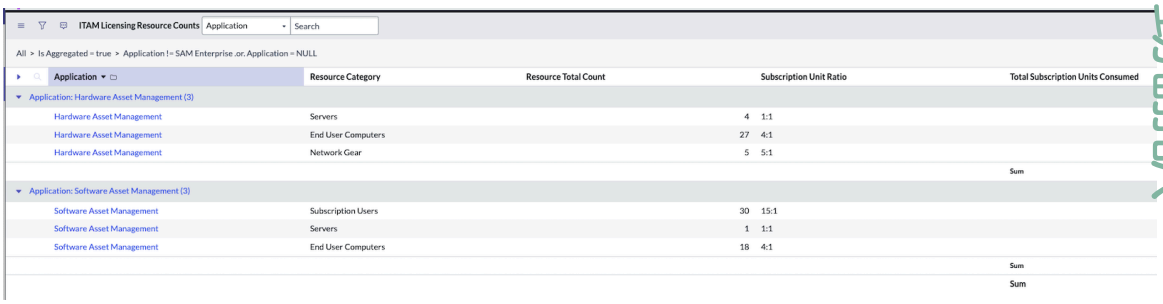
1. IT Asset Management アプリケーションは、毎日 CI をカウントし、CI カテゴリに割り当てます。
2. IT Asset Management アプリケーションは、CI カテゴリ別の CI 数を IT Asset Management ライセンスモジュールに日次レポートします。同じアプリケーションの機能がリソースと同じ CI を報告する場合、CI 数が操作され、重複は削除されます。
3. ライセンスモジュールは、IT Asset Management アプリケーションの日次平均 CI 数と顧客契約のライセンス情報を関連付けて、ライセンス統計情報を生成します。

必要なロール：

- admin
- usage_admin

手順

1. 移動先 すべて > **ITAM** ライセンス > **ITAM** ライセンスレポート.
2. アプリケーションを選択して、特定の CI カテゴリのサブスクリプションを表示します。



各 IT Operations Management アプリケーションに対して個別に (単品) 購入した CI 数とサブスクリプションに関する次の情報を表示できます。

- リソースカテゴリ:IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリ。
- リソース合計数:各 IT Asset Management アプリケーションの、CI カテゴリ別に整理された CI の CI 数。
- [サブスクリプションユニット率]：率は、サブスクリプションが必要な特定の CI カテゴリにおける CI の数を定義します。ソフトウェア資産管理アプリケーションには、エンドユーザーコンピューター (4:1)、サーバー (1:1)、ストレージボリューム (3:1)、およびデータベース (3:1) の定義済みの値があります。
- 消費されたサブスクリプションユニットの合計:組織が利用した各 IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリごとのサブスクリプションの数。ライセンスモジュールは、各アプリケーションの CI カテゴリの CI 数にサブスクリプション率を適用して、この数を計算します。

ライセンスの目的上、アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 過去 90 日以内に検出されたソフトウェア インストールを含む CI または最後に検出された CI が空であると見なします。さらに、cmdb_ci_hardwareテーブルに列が追加され、その列名が プロパティ で参照されているすべての CI が除外されます *Enter the name of the true/false field added to*

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

cmdb_ci_hardware table to exclude software installed on selected devices from Software Asset Management。CI の除外の詳細については、次を参照してください CI 上のソフトウェア資産を除外する。

プラットフォームアナリティクスソリューション ソフトウェア資産管理 クラシック用

この プラットフォームアナリティクスソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

Performance Analytics ソリューションのアクティブ化

ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。ソリューションを使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。

注:
ソリューションには、デフォルトでは非アクティブになっているダッシュボードがあります。これらのダッシュボードは、ビジネスニーズに従って、エンドユーザーが確認できるようにアクティブにすることができます。

この プラットフォームアナリティクスソリューション のすべての機能に無制限にアクセスするには、パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションを購入します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

Performance Analytics - コンテンツパック - ソフトウェア資産管理 クラシック は、インスタンスで Software Asset Professional をアクティブ化すると ServiceNow 自動的に有効になります。

ソフトウェア資産ダッシュボードに加えて、このコンテンツパックには重複するソフトウェアダッシュボードが含まれています。これは、Software Spend Detection がアクティブ化されている場合に使用できます。このダッシュボードの詳細については、「 重複するソフトウェア」を参照してください。

ドメインセパレーションと「別のユーザーとして実行」ユーザー

一部のソリューションでは、システム管理者は、プラットフォームアナリティクスソリューション のデータコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーです。他のソリューションでは、データコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーは空白のままです。[別のユーザーとして実行] ユーザーがインスタンスに存在すること、およびこのユーザーが適切なレベルのアクセス権を持っているかどうかを確認してください。不適切な別のユーザーとして実行ユーザーでは、エラーが発生したり、収集されるデータが制限されたりすることがあります。この設定は、Domain Separation が有効になっている場合のみ効果があります。

関連情報

プラットフォームアナリティクスソリューション

Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化

ソフトウェア資産分析ダッシュボード

と パフォーマンスアナリティクス統合されたソフトウェア資産分析ダッシュボードで、調整コストとライセンス、コンプライアンス、および削除のサマリーの傾向図を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Software Asset Analytics dashboard] タブには、 ソフトウェア資産 > 概要. レポート内の要素を選択して詳細情報を表示するか、必要に応じてウィジェットの追加や移動を行います。

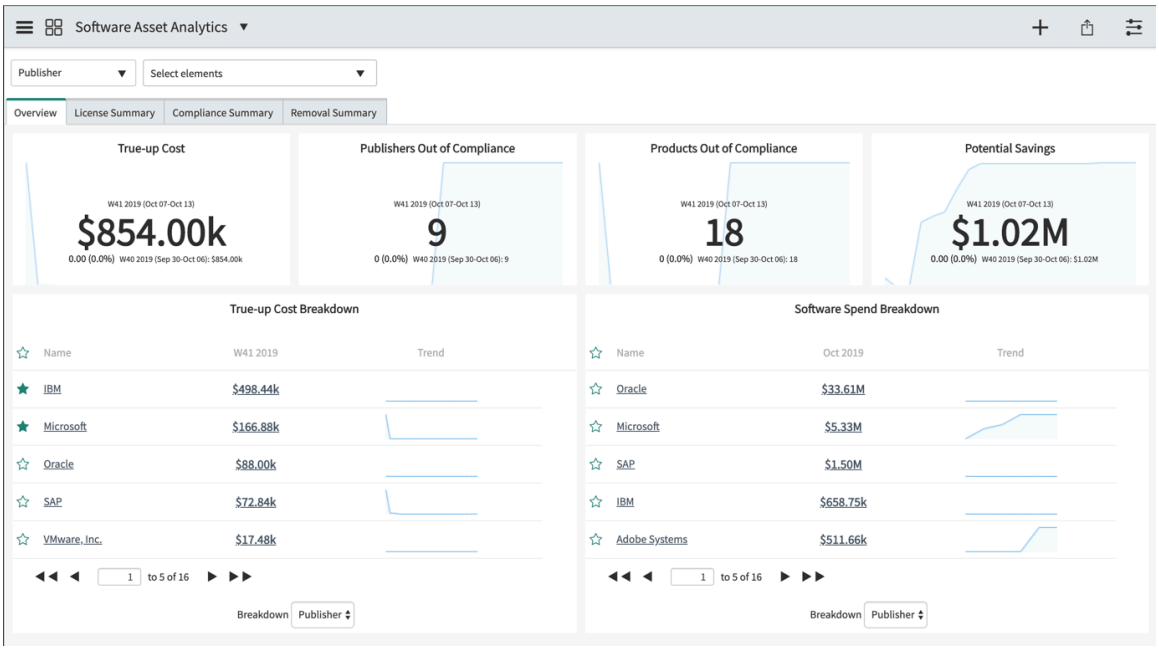
[概要]、[ライセンスの概要]、および [コンプライアンスの概要] タブは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。[削除の概要] タブの結果は毎日更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

グラフには、追跡されているソフトウェアに関する重要な統計が表示されます。概要と最適化では、パブリッシャーと製品でフィルタリングして結果を絞り込むことができます。

注:
概要ダッシュボードにデータが表示されない場合は、システムプロパティが *glide.cms.enable.responsive_grid_layout* true に設定されていることを確認します。

概要

ソフトウェア資産分析ダッシュボード



[概要] タブ

レポート	ソースリスト	説明
調整コスト	製品の結果	権限の資格付与における平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。 レポートを選択して、 ソフトウェアライセンス使用状況に結果を表示します。
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。

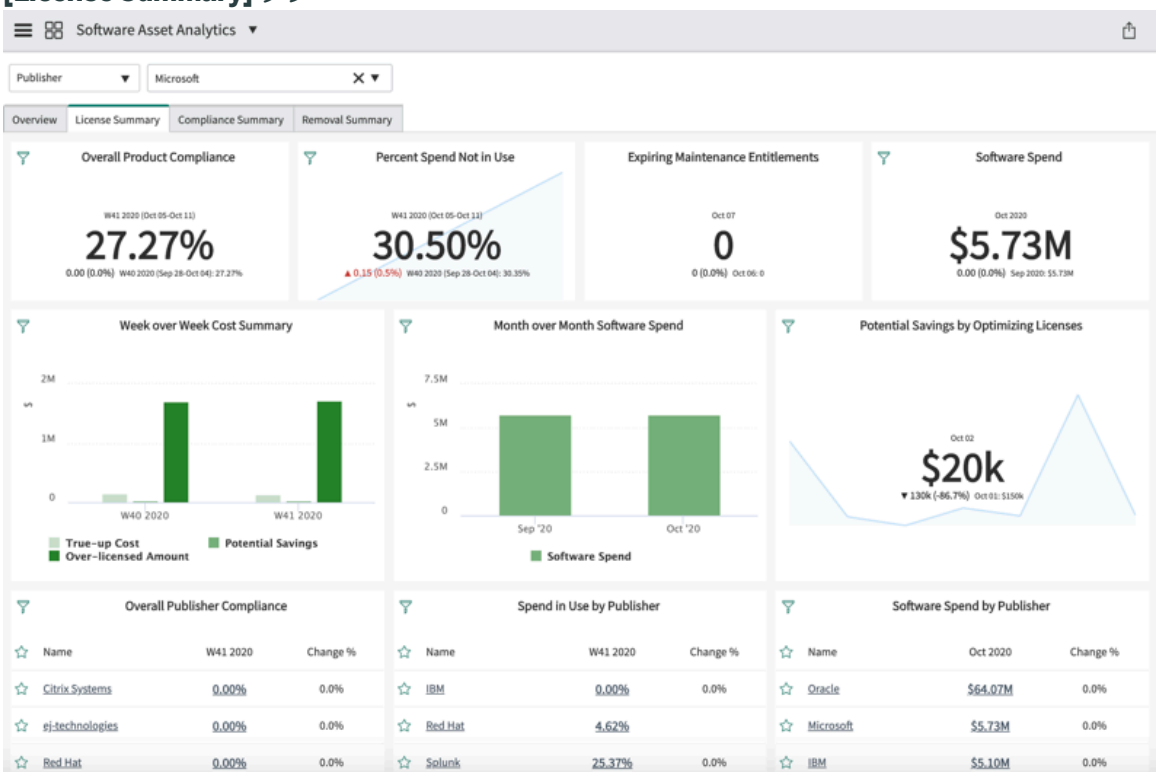
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブ (続く)

レポート	ソースリスト	説明
		レポートを選択して、 ソフトウェアライセンス使用状況に結果を表示します。
節減見込み	製品の結果	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
調整コスト明細	製品の結果	公開者による権限の資格付与の平均価格に基づいて計算される、コンプライアンスのためのコスト。
ソフトウェア支出ブレークダウン	ライセンス評価指標の結果	パブリッシャーによって廃止されていないすべてのエンタイトルメントのソフトウェアの合計コスト。
提供終了製品	製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle]	ライフサイクルの終了が近づいているソフトウェア製品ライフサイクルのヒートマップ。ソフトウェアインストールにドリルダウンする場合に選択します。

ライセンスのサマリー

[License Summary] タブ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[License Summary] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
製品全体のコンプライアンス	製品の結果 [samp_product_result]	準拠製品の合計割合。
使用されていない支出の割合	製品の結果とライセンス評価指標の結果 [samp_product_result] と [samp_license_metric_result]	使用されていないソフトウェア支出の割合 (ライセンス供与過剰金額と見込まれる削減額)。
期限切れ間近のメンテナンスエンタイトルメント	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	6 か月以内に期限切れになるすべてのエンタイトルメント合計の終了日。 エンタイトルメントの合計には次のものが含まれます。 • 無期限 • メンテナンス • 無期限 + メンテナンス • アップグレード • SA • 無期限 +SA • ステップアップ レポートを選択すると、期限切れになる特定のエンタイトルメントの詳細が表示されます。 **注:** メンテナンスおよび SA エンタイトルメントは、関連付けられた無期限エンタイトルメントが表示されるため、表示されません。
ソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	廃止されていないすべてのエンタイトルメントのソフトウェアの総コスト。
前週比コストの概要	製品の結果とライセンス評価指標の結果 [samp_product_result] と [samp_license_metric_result]	一連の週の調整コスト、見込まれる削減額、およびライセンス供与過剰金額。
前月比ソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	一連の月におけるソフトウェアの合計支出額。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[License Summary] タブ (続く)

レポート	ソーステーブル	説明
ライセンスの最適化による節減見込み	ライセンスの最適化による節減見込み [samp_license_optimization_summary]	推奨されるライセンスの最適化に基づく、物理ホストおよびクラスタ上のライセンスの見込まれるコスト削減。 **注:** このレポートは、サーバーおよびオンプレミス Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ライセンスでのみMicrosoft Windows使用できます。 レポートを選択すると、各ホストまたはクラスタの推奨ライセンス最適化と関連するコスト削減の詳細が表示されます。ライセンスの最適化には、推奨ライセンス、推奨権限、推奨支出が含まれます。
パブリッシャー全体のコンプライアンス	製品の結果 [samp_product_result]	パブリッシャー別の準拠している製品の割合。
パブリッシャー別の使用中の支出	製品の結果とライセンス評価指標の結果 [samp_product_result] と [samp_license_metric_result]	パブリッシャー別の使用中の支出 = [[合計支出] — [ライセンス供与過剰額] — [見込まれる削減額]] / 合計支出
パブリッシャー別のソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	公開者別の合計ソフトウェア支出。

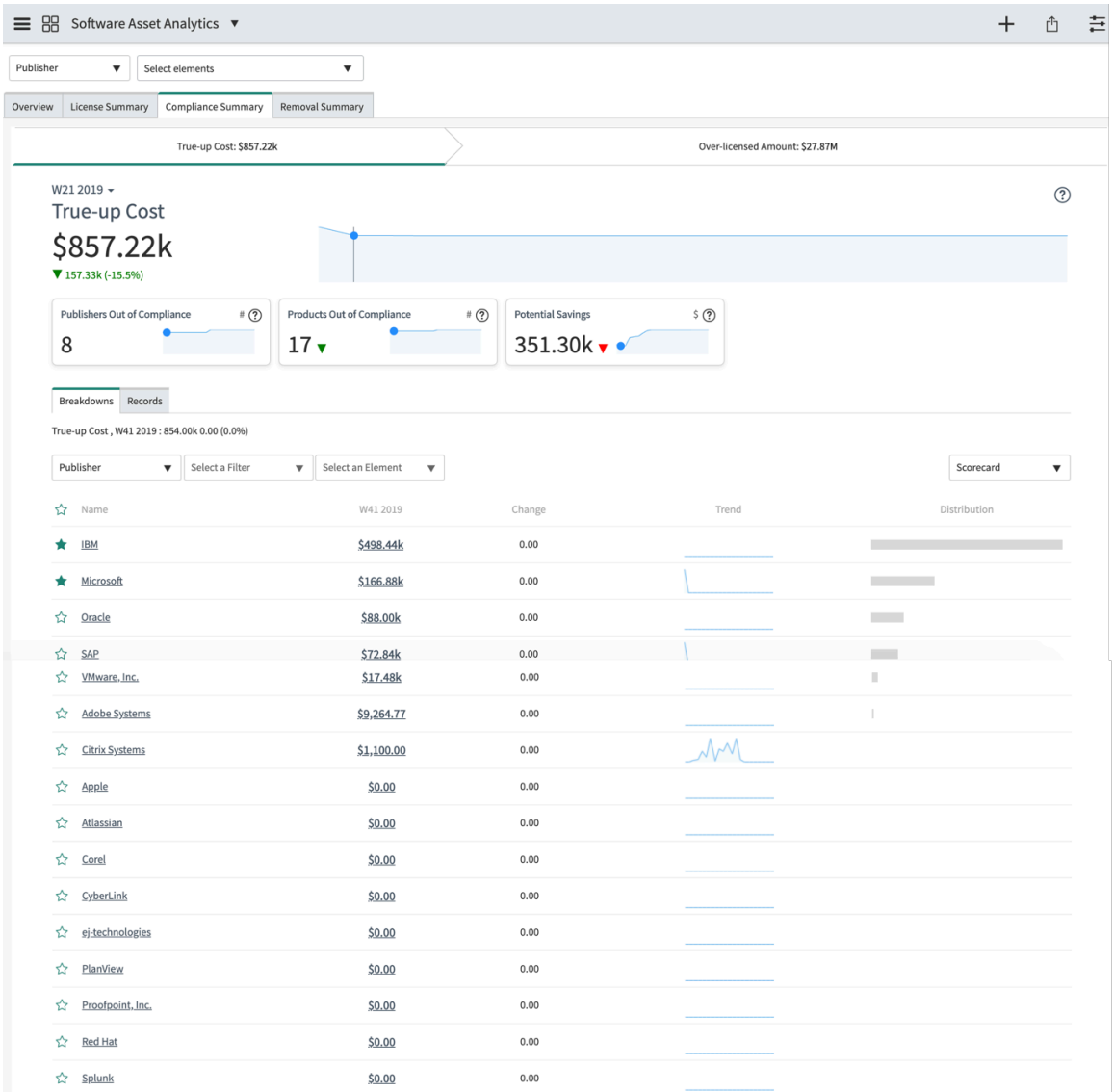
コンプライアンスのサマリー

コンプライアンスのサマリーは、Performance Analytics を使用した時系列データで構成され、時間の経過に伴うコンプライアンスの傾向を示します。コンプライアンス分析データのソースは、製品結果 [samp_product_result] テーブルです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コンプライアンスのサマリー] タブ



コンプライアンスの傾向:調整コスト

レポート	説明
調整コスト	権限の資格付与の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。
コンプライアンス違反製品	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。
見込まれる削減	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づいて結果の詳細なリストを表示します。ブレークダウンには、公開者、製品、スコアカードが含まれます。
レコード	選択したウィジェットに基づいて製品の結果の詳細なリストを表示します。

自動翻訳

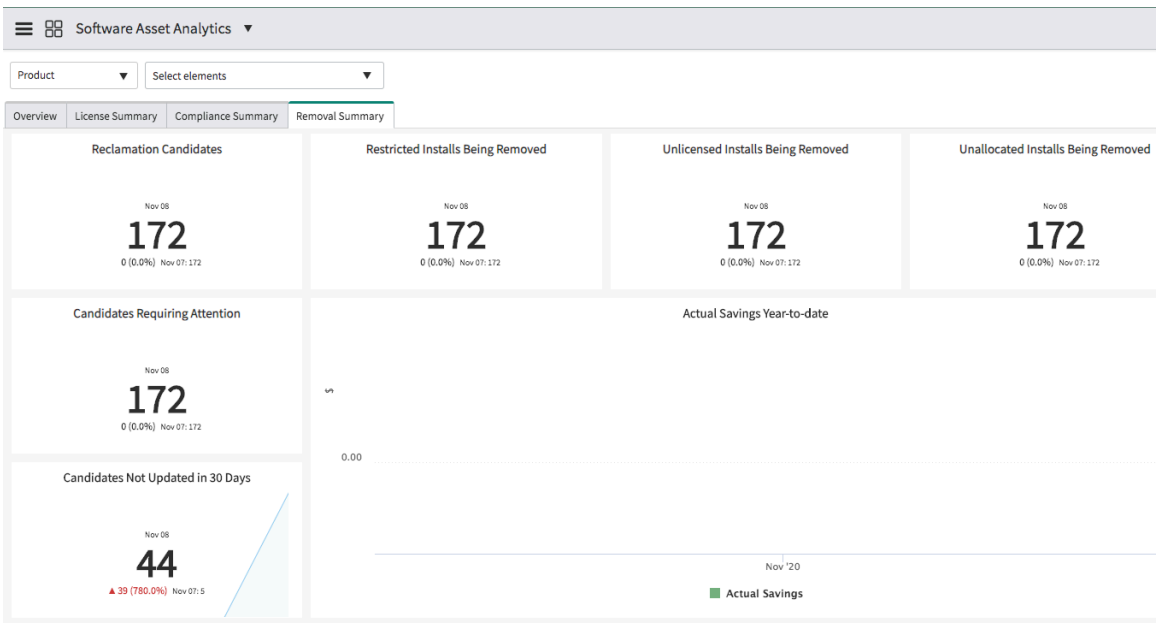
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスの傾向:ライセンス供与過剰金額

レポート	説明
ライセンス供与過剰金額	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
ライセンス供与過剰パブリッシャー	使用されていないソフトウェア権限を少なくとも 1 つ持つ公開者の数。
ライセンス供与過剰製品	使用されていないソフトウェア権限が少なくとも 1 つある製品の数。
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づいて結果の詳細なリストを表示します。ブレークダウンには、公開者、製品、スコアカードが含まれます。
レコード	選択したウィジェットに基づいて製品の結果の詳細なリストを表示します。

削除の概要

削除サマリーデータのソースは再利用候補 [samp_sw_reclamation_candidate] テーブルです。



[削除の概要] タブ

レポート	説明
再利用候補	使用率が低い正当な理由を持つアクティブな削除候補の合計数。 レポートを選択すると、レコードのフィルター済みリストが表示されます。
削除される制限付きインストール	制限付きソフトウェアの正当な理由があるアクティブな削除候補の合計数。 レポートを選択すると、レコードのフィルター済みリストが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[削除の概要] タブ (続く)

レポート	説明
削除されるライセンスなしのインストール	ライセンスなしの正当な理由があるアクティブな削除候補の合計数。 レポートを選択すると、レコードのフィルター済みリストが表示されます。
削除される未割り当てインストール	未割り当ての理由があるアクティブな削除候補の合計数。 レポートを選択すると、レコードのフィルター済みリストが表示されます。
注意が必要な候補	要確認ステータスの削除候補の数。 レポートを選択すると、レコードのフィルター済みリストが表示されます。
30 日間更新されていない候補	更新日値が 30 日より前の削除候補の数。 レポートを選択すると、レコードのフィルター済みリストが表示されます。
節減実績の年度累計	クローズ済みの完全削除候補の特定の月に見込まれる節減額の合計。
削除候補ブレークダウン	さまざまなブレークダウン (ステータス、公開者、製品、正当性、最終更新日) でのアクティブな削除候補。

自動翻訳

ソフトウェア資産管理 ダッシュボード

ダッシュボードに ソフトウェア資産管理 調整コスト、最適化結果、およびコンプライアンス傾向チャートを表示します。

ダッシュボードタブ ソフトウェア資産管理 にアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > 概要 ダッシュボードリストから **[Software Asset Management**] を選択します。レポート内の要素を選択して詳細情報を表示するか、必要に応じてウィジェットの追加や移動を行います。

結果は毎日更新されるか、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。各結果の [リフレッシュ] アイコンを選択して更新できます。PNG または JPG 形式でグラフを保存することもできます。

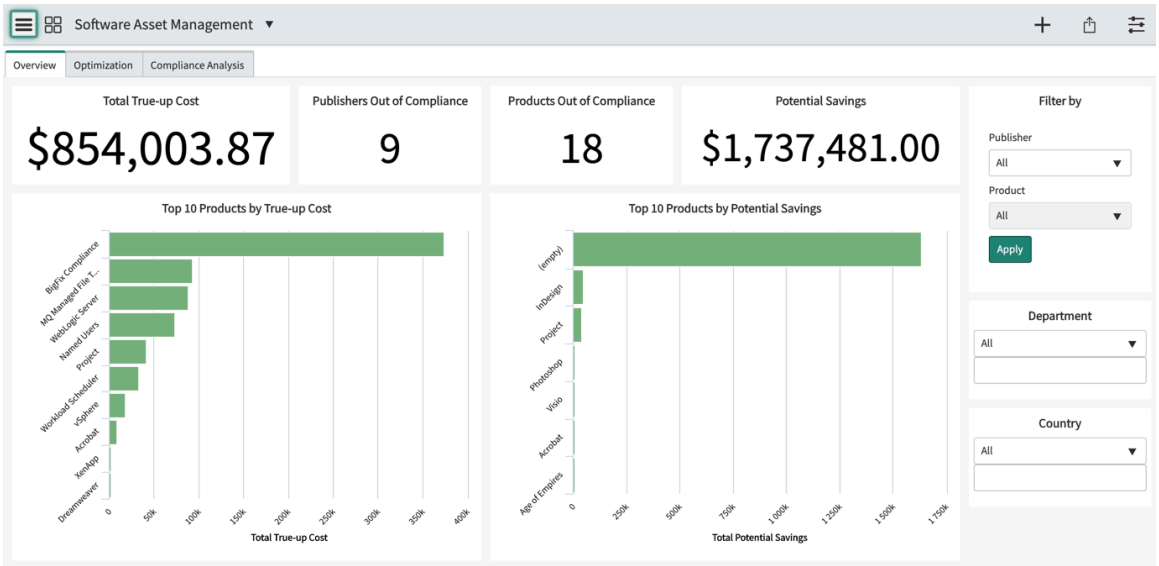
グラフには、追跡対象のソフトウェアに関する重要な統計情報が表示されます。[概要] タブと [最適化] タブでは、パブリッシャー、製品、部門、国でフィルタリングして結果を絞り込むことができます。

概要

概要データのソースは 製品結果 [samp_product_result] テーブルです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブ



[概要] タブ

レポート	説明
総調整コスト	権限の資格付与における平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。 レポートを選択すると、レコードのフィルター済みリストが表示されます。
コンプライアンス違反製品	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、レコードのフィルター済みリストが表示されます。
節減見込み	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
調整コストごとの上位 10 製品	上位 10 製品は、調整コストの順にグラフ化されています。
節減見込み額別の上位 10 製品	上位 10 製品は、節減見込みの順にグラフ化されています。

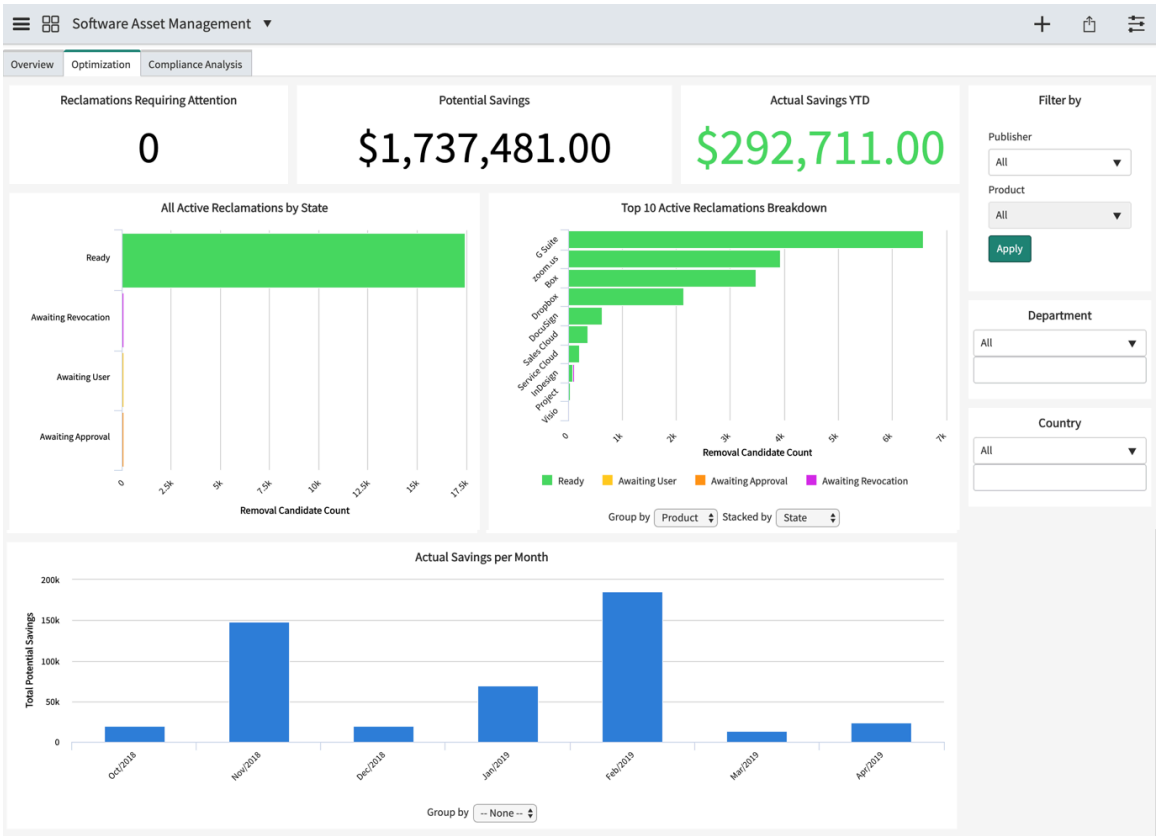
最適化

最適化データのソースは再利用候補 [samp_sw_reclamation_candidate] テーブルです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[最適化] タブ



[最適化] タブ

レポート	説明
注意が必要な再利用	ステータスが要確認
節減見込み	• 作成日が今年であるか、[アクティブ] が true OR • 今年クローズ済み、かつ昨年オープン済み
節減実績 (年初来)	今年クローズ済みかつステータスが [完了してクローズ]
ステータス別のすべてのアクティブな再利用	アクティブ = true
上位 10 件のアクティブな再利用のブレークダウン	アクティブ = true
1 か月あたりの節減実績	ステータスが [完了してクローズ] かつ [過去 12 か月間にクローズ] である

削除候補ステータス の色キー:

色	ステータス
赤	要確認
緑	準備完了

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

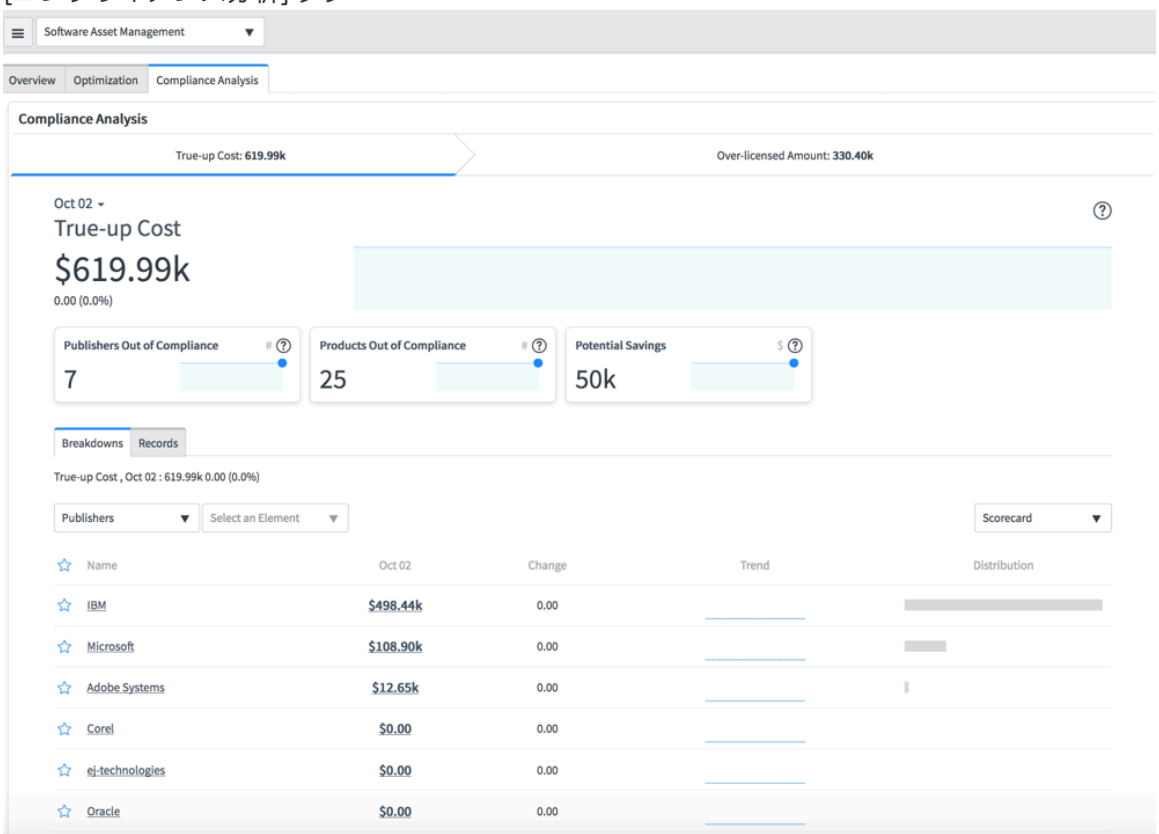
自動翻訳

色	ステータス
黄	使用待ち
オレンジ	承認待ち
紫	失効待ち
青	完了してクローズ

コンプライアンス分析

コンプライアンス分析は、経時的なコンプライアンスの傾向を示すために使用される時系列データ パフォーマンスアナリティクス で構成されます。コンプライアンス分析データの場合は、製品結果 [samp_product_result] テーブルです。

[コンプライアンス分析] タブ



コンプライアンス分析:調整コスト

レポート	説明
調整コスト	権限の資格付与の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。
コンプライアンス違反製品	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。
見込まれる削減	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンス分析:調整コスト (続く)

レポート	説明
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づいて結果の詳細なリストを表示します。
レコード	選択したウィジェットに基づいて製品の結果の詳細なリストを表示します。

コンプライアンス分析:ライセンス供与過剰金額

レポート	説明
ライセンス供与過剰金額	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
ライセンス供与過剰パブリッシャー	使用されていないソフトウェア権限を少なくとも 1 つ持つ公開者の数。
ライセンス供与過剰製品	使用されていないソフトウェア権限が少なくとも 1 つある製品の数。
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づいて結果の詳細なリストを表示します。
レコード	選択したウィジェットに基づいて製品の結果の詳細なリストを表示します。

正規化およびコンテンツサービスダッシュボード

と パフォーマンスアナリティクス統合された正規化およびコンテンツサービスダッシュボードで正規化傾向チャートを表示します。

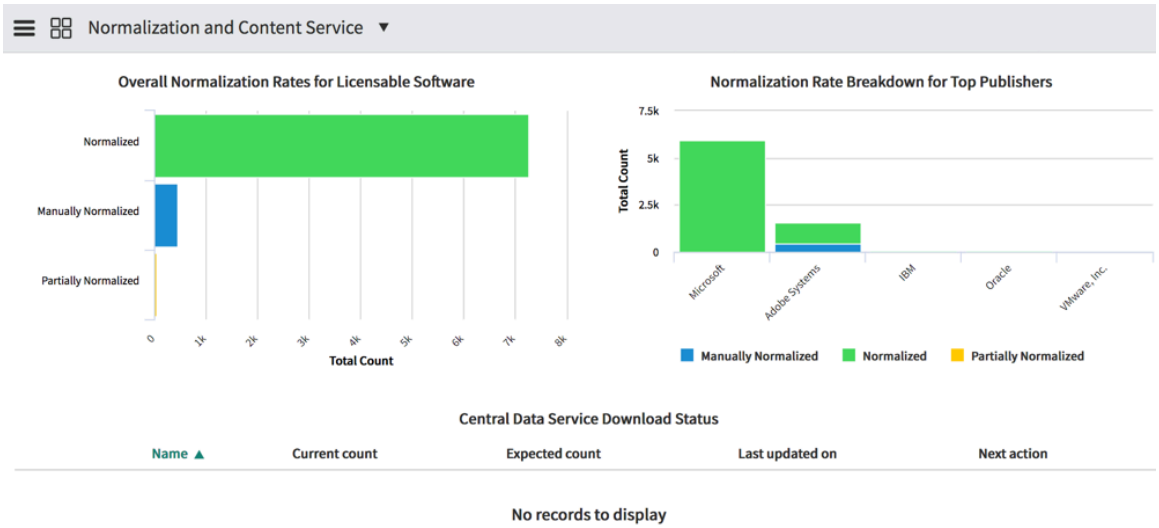
[Normalization and Content Service dashboard] タブには、次の場所からアクセスします。 ソフトウェア資産 > 概要 ダッシュボードリストから **[Normalization and Content Service**] を選択します。別の ソフトウェア資産管理 ダッシュボードのダッシュボードリストからアクセスすることもできます。レポート内の要素を選択して詳細情報を表示するか、必要に応じてウィジェットの追加や移動を行います。

正規化チャートの結果は、 **SAM -** 検出モデル正規化 ジョブが実行されると毎日更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化およびコンテンツサービスダッシュボード

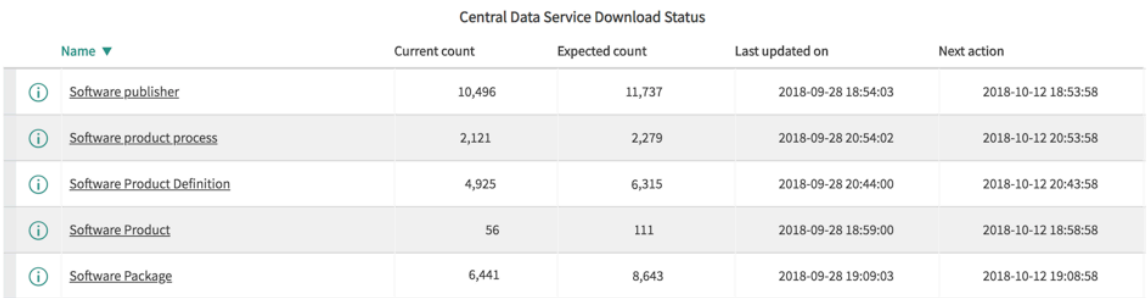


レポート	ソースリスト	説明
ライセンス可能なソフトウェアの全体的な正規化レート	ソフトウェアインストール正規化レート	ライセンス可能なすべての製品の全体的な正規化ステータス数。
トップパブリッシャーの正規化レートのブレークダウン	トップパブリッシャーのソフトウェアインストール正規化レート	Microsoft、 Oracle、 IBM、 VMware、 Citrix、 SAP、および Adobe の上位パブリッシャーごとのライセンス可能な正規化ステータスの数。

セントラルデータサービスのダウンロードステータス関連リスト

[セントラルデータサービスのダウンロードステータス] 関連リストは、[**SAM -** セントラルデータサービスのダウンロードステータス] ジョブが実行されると毎日更新されます。

セントラルデータサービスのダウンロードステータス関連リスト



フィールド	説明
名前	コンテンツのプル元のテーブル名。
現在のカウント	テーブル内のレコードの数。
予想カウント	テーブル内の予想されるレコード数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
最終更新日	データが最後にプルされた日時。
次のアクション	データをプルする次のスケジュール日時。

[Engineering License Overview] ダッシュボード

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードで製品使用状況レポートを表示して、エンジニアリングアプリケーションのライセンスポジションと使用状況を監視し、インサイトを得ます。

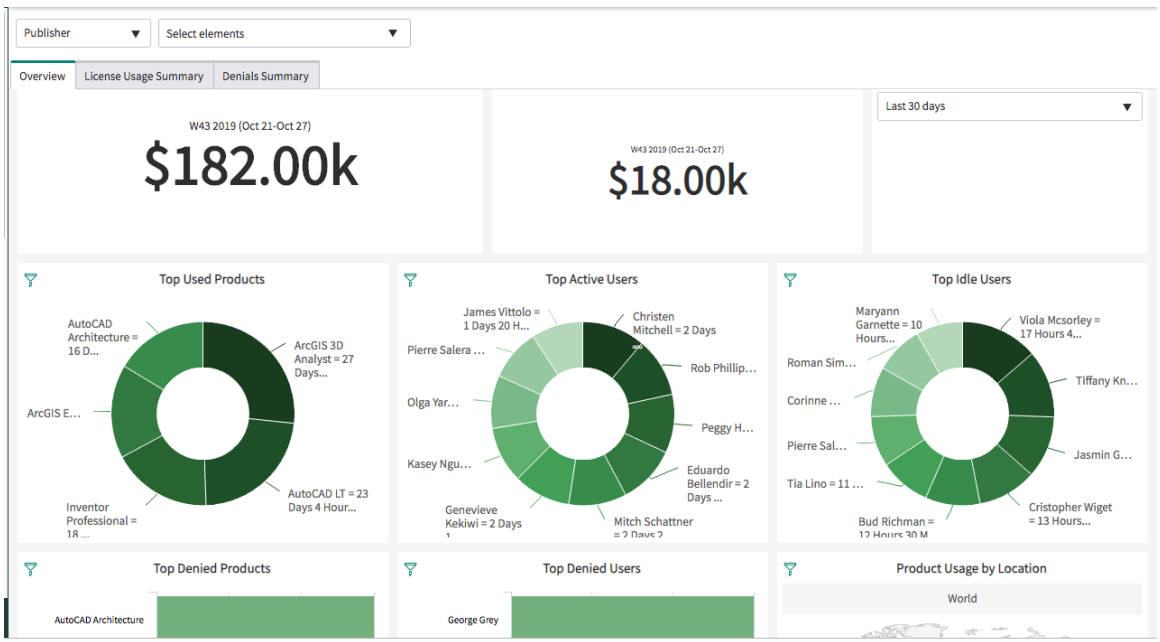
[エンジニアリングライセンスの概要] ダッシュボードには、AutoCAD、GIS などのエンジニアリングアプリケーションに属する正規化された製品と公開者に関するレポートが表示されます。

[Engineering License Overview (エンジニアリングライセンスの概要)] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > エンジニアリングライセンスの概要.

すべてのタブで製品またはパブリッシャーに基づいて結果を絞り込むには、ダッシュボードの左隅にあるフィルターを使用します。エンジニアリングアプリケーションに属し、エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] テーブルにリストされている製品と公開者のみがフィルターに表示されます。製品または公開者が選択されていない場合、タブには、エンジニアリング アプリケーションに属するすべての製品と公開者の累積データが表示されます。

[概要]、[ライセンス使用状況の概要]、および [拒否 の概要] タブは、毎日更新されるか、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフを PNG または JPG 形式で保存して、ローカルで表示したり、共有したりできます。

[概要] タブ



このタブには、すべてのエンジニアリングアプリケーションの高レベルのメトリックの概要が表示されます。このタブの結果は、さまざまな日付オプションでフィルタリングできます。

注:
日付フィルターは、 現在の支出 と 節減見込みには適用されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

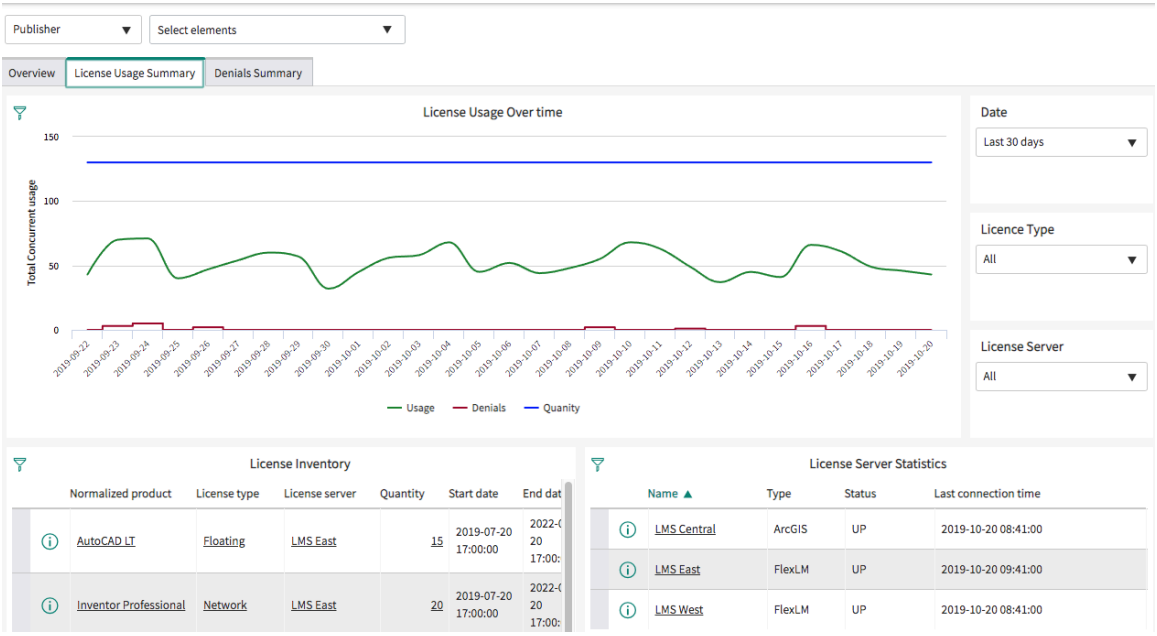
[概要] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
現在の消費量	製品の結果 [samp_product_result]	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの合計コスト。
節減見込み	ライセンスダッシュボードインベントリ [license_dashboard_inventory]	ライセンスが潜在能力を十分に活用されていないか、十分に活用されていない場合に節約されるコスト。コストを最適化するために、それらのライセンスを再割り当てするか、ライセンスを返却してコストを節約することができます。
上位使用製品	エンジニアリングアプリケーションの使用状況 [samp_eng_app_usage]	現在使用されている上位の製品。製品ごとの使用日数と時間数も表示されます。
上位アクティブユーザー	エンジニアリングアプリケーションの使用状況 [samp_eng_app_usage]	現在製品を使用している上位ユーザー。ユーザーごとの使用日数と時間数も表示されます。
上位アイドルユーザー	エンジニアリングアプリケーションの使用状況 [samp_eng_app_usage]	ライセンスを要求したが、ライセンスを使用していない上位のユーザー。ユーザーごとの非アクティブの日数と時間数も表示されます。
上位拒否製品	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	同時使用がピークに達したためにユーザーに拒否された上位製品。
上位拒否ユーザー	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	製品のライセンスが拒否された上位ユーザー。
場所別の製品使用率	エンジニアリングアプリケーションの使用状況 [samp_eng_app_usage]	場所別の製品を使用しているユーザーの数に基づいています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンス使用状況のサマリー] タブ



このタブでは、ライセンスタイプ (フローティング、ネットワーク、またはトークン) に基づいてデータを表示できます。このタブのデータは、日付、ライセンスの種類、およびライセンス管理サーバーでフィルタリングできます。

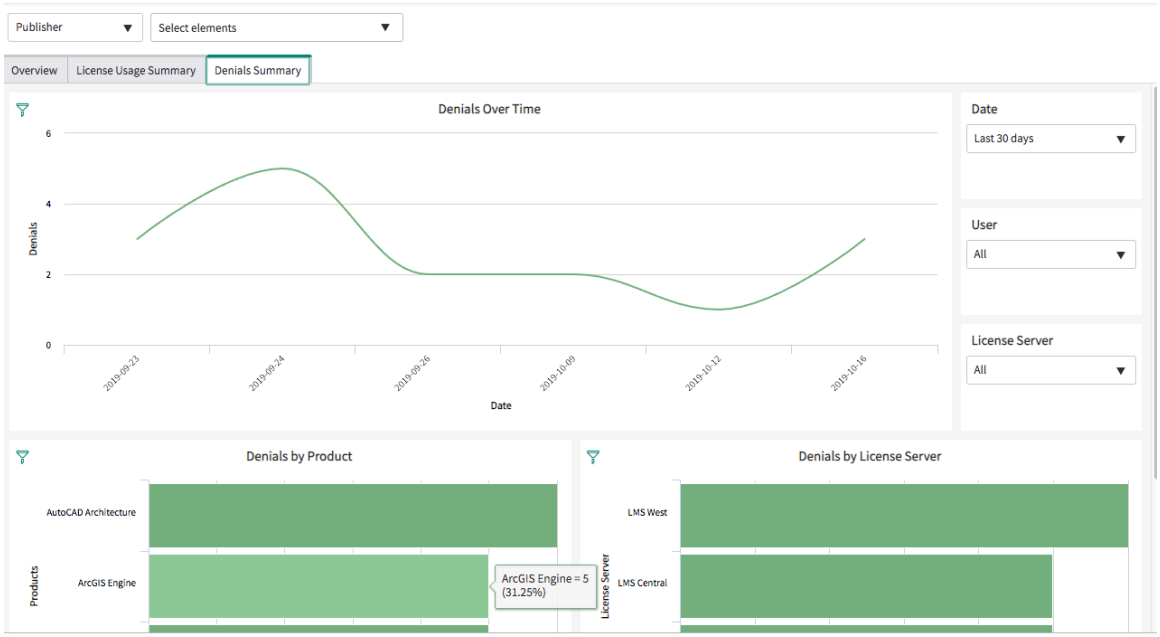
[ライセンス使用状況のサマリー] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
ライセンス使用の時間外	エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] エンジニアリングアプリケーションの同時使用 [samp_eng_app_concurrent_usage] エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	使用可能なすべてのライセンスの総数または数量。アクティブな製品だけでなく、すべての製品。 • 青い線は、製品または公開者に割り当てられたライセンスの合計数を表します • 緑色の線は、ライセンスの同時使用状況を示します。 • 赤い線は、拒否、または同時使用がピークに達したかどうか、いつピークに達したかを示します。
ライセンス在庫	エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license]	製品または公開者で利用可能なすべてのライセンス。
ライセンスサーバーの統計情報	エンジニアリングアプリケーションライセンスサーバー [samp_end_app_license_server]	OpenLM または OpenIT が接続するすべてのライセンス管理サーバー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[拒否の概要] タブ



このタブのデータは、日付、ユーザー、またはユーザーグループでフィルタリングできます。

[拒否の概要] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
時間の経過に伴う拒否	エンジニアリングア プリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	一定期間にわたる製品の拒否。
製品別の拒否	エンジニアリングア プリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	ユーザーに対して最も拒否された製品。
ライセンスサーバーによる拒否	エンジニアリングア プリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	製品のライセンスを最も多く拒否されているライセンスサーバー。

サポートされているソフトウェアパブリッシャーライセンス

を使用すると ソフトウェア資産管理、 とサードパーティソフトウェアアプリケーション間の Now Platform 機能を拡張するために使用できる公開者パックがいくつかあります。

次の ソフトウェア資産管理 公開者パックプラグインは、アクティブ化のために担当者に ServiceNow 要求できます。これらのプラグインを要求する方法の詳細については、「 Software Asset Management の要求 」を参照してください。

- Adobe
- Citrix
- IBM(と Red Hat Enterprise Linuxの両方IBMを含む)
- Microsoft
- Oracle

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- SAP
- VMware

各公開者には、その測定基準グループに固有の 一連のライセンス測定基準 があります。ライセンスの測定基準はソフトウェアエンタイトルメントで設定され、調整 (評価指標グループ、ライセンス測定基準、ソフトウェア モデルの組み合わせ) に使用されます。

パブリッシャーパックプラグイン

プラグイン	説明
Adobe 用の ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_adobe)	サブスクリプションソフトウェアを調整する Adobe ための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for Citrix (com.sn_samp_citrix)	仮想アプリケーションや仮想デスクトップなど、ソフトウェアを調整する Citrix ための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for IBM (com.sn_samp_ibm)	PVU および RVU ライセンスの測定基準を使用して製品を調整する IBM ための追加機能を提供します。 このプラグインは、 Red Hat Enterprise Linux Server や Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacentersなどのソフトウェアを調整するRed Hat Enterprise Linuxための追加機能も提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for Microsoft (com.snc.samp.microsoft)	SQL Server などのMicrosoftソフトウェアを調整するMicrosoftための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for Oracle (com.snc.samp.oracle)	DB サーバーなどのOracleソフトウェアを調整するOracleための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for SAP (com.sn_samp_sap)	指名ユーザーのコンプライアンスと最適化を調整する SAP ための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for VMware (com.sn_samp_vmware)	vCenter や vSphere などのソフトウェアを調整する VMware ための追加機能を提供します。

公開者パックのダッシュボード

ソフトウェア公開者分析ダッシュボードで、次の公開者のコンプライアンス分析結果を表示します。

- Adobe
- Citrix
- IBM
- Microsoft
- Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- SAP
- VMware

> **注:**
> Software Publisher の概要ダッシュボードナビゲーションモジュールを表示するには、公開者パックアドオンのいずれか (Adobe以外) を有効にする必要があります。さらに、対応する公開者パックをアクティブ化して、その公開者の [コンプライアンス分析結果] タブを表示する必要があります。

Office 365 および Adobe CloudOffice 365 および Adobe ダッシュボードのコンプライアンス分析結果Microsoftを表示します。

> **注:**
> Adobe Office 365 とAdobe Cloudダッシュボードを表示するには、ソフトウェア資産管理プロfor publisher pack アドオンをアクティブ化する必要があります。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Adobe**

ソフトウェア資産管理パブリッシャーパックを使用してAdobe、特定のライセンス測定基準を使用してAdobeコンプライアンスを追跡し、Cloud と統合しますAdobe。

アドビライセンスオプション

公開者パック (com.sn_samp_adobe) は Adobe 、ソフトウェアエンタイトルメント固有のライセンスオプションを追加します Adobe 。

フィールド	オプション
合意タイプ	• 汎用 • エンタープライズチームライセンス契約 (ETLA) • 累積ライセンスプログラム (CLP) • トランザクションライセンスプログラム (TLP) • 値インセンティブプラン (VIP)
ライセンス評価指標	• デバイスあたり • Per User (ユーザーあたり) • ユーザーサブスクリプション

特定のライセンスオプションを使用するには Adobe 、ソフトウェアエンタイトルメントの測定基準グループを選択します Adobe 。

Adobe クラウド統合

Adobeクラウド統合プロファイルを作成して、コンプライアンスレポートのためにサブスクリプションとソフトウェアインストールを比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> インストール検出ソースには、Discovery、 Microsoft SCCM、およびデータソースServiceNow CMDBとして統合できるその他のサードパーティの検出ソースが含まれますServiceNow。

クラウド統合プロファイルの作成 Adobe 方法については、「」を参照してください Adobe Cloud との統合。

Adobe クラウドレポート

Adobe クラウドレポートにアクセスするには、 レポート > 表示/実行 すべてのレポートで Adobeを検索します。

- Adobe インストールされていないクラウドユーザー
- あまり使用されていない Adobe クラウドインストール

またはのシステムの公開者の概要AdobeSoftware Asset ワークスペースを使用して、サブスクリプション、コンプライアンス、およびコストクラシック版 ソフトウェア資産管理 Office 365 & Adobe Cloud ダッシュボードを表示できますAdobe。

Adobe Cloud との統合

インスタンスをサービスとAdobe Cloud統合ServiceNow® して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスコンプライアンスを判断します。

この統合は Adobe Cloud 、次の Adobe Cloud サービスをサポートしています。

- Adobe Creative Cloud
- Adobe Experience クラウド
- Adobe ドキュメントクラウド

> **注:**
> 統合を作成できる Adobe Cloud のは、 Adobe Creative Cloud エンタープライズ版サブスクリプションプランを使用している場合のみです。Creative Cloud グループ版、教育機関版、個人版など Adobe 、他のサブスクリプションプランを使用している場合は、統合を作成することはできません。

認証を使用してAdobeコンプライアンスレポートを作成するために、サブスクリプションソフトウェア資産管理を統合しますAdobe。認証の統合と証明書について詳しくは Adobe 、『 Adobe認証ガイド 』を参照してください。

次のいずれかの認証方法を使用して、インスタンスを ServiceNow® サービスと Adobe Cloud 統合できます。

- サービスアカウント (JWT) 資格情報
- OAuth サーバー間資格情報

> **注:**
> すべての新しい Adobe クラウド統合は、OAuth認証タイプを使用して作成する必要があります。 Adobe は、サービスアカウント (JWT) 資格情報から OAuth サーバー間資格情報に移行しています。詳しくは、『 Adobe 移行ガイド 』を参照してください。

サービスアカウント (JWT) 資格情報を使用して統合Adobe Cloud

サービスアカウント (JWT) 資格情報を使用して、インスタンスをサービスとAdobe Cloud統合しますServiceNow® 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サービスアカウント **(JWT)** を使用したプロジェクトの作成と **API** の追加

API にアクセスするAdobeためのプロジェクトを開発者コンソールでAdobe作成し、サービスアカウント (JWT) を使用して Adobe API をプロジェクトに追加します。

始める前に

必要なロール: Adobe クラウド管理者

手順

1. 開発者コンソールでプロジェクトを作成し、 Adobe API にアクセスします Adobe 。
   詳細については、「 プロジェクトの概要 」を参照してください。
2. サービスアカウント (JWT) を使用して Adobe API をプロジェクトに追加します。
   詳細については、「 サービス アカウント (JWT) を使用したプロジェクトへの API の追加 」を参照してください。

   プロジェクトに API を追加するときは、次の点に注意してください。

   - Adobe統合するサービスで、 [**User Management API**] を選択します。このサービスを使用すると、ユーザー管理 API にアクセスできます Adobe 。
   - 選択したAdobeサービス内の API にアクセスできるようにするサービスアカウント (JWT) 資格情報を作成する場合は、キーペアを生成するオプションを選択します。このオプションを使用すると、開発者コンソールは Adobe 、サービスアカウント (JWT) の認証に使用できる公開鍵と秘密鍵のペアの両方を生成します。秘密鍵がデバイスに自動的にダウンロードされます。

   API をプロジェクトに正常に追加すると、API の概要ページにリダイレクトされます。
3. [概要] ページの [サービスアカウント (JWT)] セクションの [クライアント **ID**]、[テクニカルアカウント **ID**]、および [組織 **ID**] フィールドの値をコピーします。
4. [クライアントシークレットの取得] を選択して、 [クライアントシークレット] フィールドの値を表示してコピーします。
   後で使用できるように、この情報を安全な場所に保存してください。
5. キーを KEY 形式から PKS 形式に変換するには、`openssl pkcs12 -export -out test1-certificate.pfx -inkey private.key -nocerts` という openssl コマンドを使用して、キーを KEY 形式から PKS 形式に変換します。

   キーは、前の手順でデバイスに自動的にダウンロードされています。統合に対応する Adobe Cloud X.509 証明書を作成するにはServiceNow、キーが PKS 形式である必要があります。

   キーを変換するには、パスワードを作成する必要があります。以降のステップで統合プロファイルと X.509 証明書を作成する ServiceNow ときに、[キーストアパスワード] フィールドと [証明書パスワード] フィールドでこのパスワードを使用します。

   > **注:**
   > このパスワードは 6 文字以上にする必要があります。

Adobe Cloud JWT を使用した統合プロファイルの作成

Adobe Cloudサービスアカウント (JWT) 資格情報を使用してインスタンスにServiceNow統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡してライセンスコンプライアンスを判断します。

始める前に

必要なロール：

次のいずれかのロールを組み合わせて使用すると、JWT 資格情報を使用して Adobe Cloud 統合プロファイルを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- admin および sam_admin
- admin および sam_integrator

次のプラグインをアクティブ化します。

- ソフトウェア資産管理プロ(com.sn_samp_adobe) 向けAdobe
- ソフトウェア資産管理- SaaS ライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int) ServiceNow ストアから

このタスクについて
を使用しているSoftware Asset ワークスペース場合、統合コア UIプロファイルを作成するAdobe Cloudオプションは無効になっています。

注:
すべての新しい Adobe 統合は、OAuth 認証タイプを使用して作成する必要があります。詳細については、次を参照してください OAuth サーバー間資格情報を使用した統合Adobe Cloud。 Adobe は、サービスアカウント (JWT) 資格情報から OAuth サーバー間資格情報に移行しています。移行の詳細については、次を参照してください。 Adobe 移行ガイド.

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	統合プロファイルの名前 Adobe 。
認証タイプ	API にアクセスする Adobe Cloud ための認証のタイプ。 ○ OAuth 2.0 ○ Jwt **注:** ○ バージョン 13.1.0 以降に SaaS ライセンス管理ソフトウェア資産管理アップグレードする前の既存のAdobe Cloud統合プロファイルの場合、このフィールドは自動的に **JWT** に設定されます。 ○ すべての新しい Adobe Cloud 統合プロファイルで、このフィールドは自動的に **OAuth 2.0** に設定されます。詳細については、「OAuth サーバー間資格情報を使用した統合Adobe Cloud」を参照してください。
クライアント ID	プロジェクトの作成中および API の追加中にサービスアカウント (JWT) にAdobeアサインされるクライアント ID。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
組織 ID	Adobeプロジェクトの作成中および API の追加中にサービスアカウント (JWT) にAdobeアサインされる組織 ID。
テクニカルアカウント ID	Adobeプロジェクトの作成中および API の追加中にサービスアカウント (JWT) にAdobeアサインされるテクニカルアカウント ID。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは、 自動的に **[Adobe** サブスクリプション] に設定されます。
クライアントシークレット	プロジェクトの作成中および API の追加中にサービスアカウント (JWT) にAdobeアサインされるクライアントシークレット。
証明書	ServiceNow統合用の X.509 証明書。Adobe Cloud
証明書パスワード	キーを KEY 形式から PKS 形式に変換するときに作成する証明書パスワード。

3. 統合プロファイルに X.509 証明書を追加します。
この証明書は、サービスアカウント (JWT) 資格情報の Adobe キーに基づいています。
   a. [X.509 証明書] フォームに移動します。
      - コア UI の場合：
        i. [統合プロファイル] フォームで、[証明書] フィールドの横にある検索アイコン (🔍を選択します。
        ii. [X.509 証明書] ダイアログ ボックスで、[新規] を選択します。
      - Software Asset ワークスペース の場合：
        i. 移動先 システム定義 > 証明書.
        ii. **[New** (新規)] を選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。

[X.509 証明書] フォーム

フィールド	説明
名前	証明書名。
有効期限通知	証明書の有効期限が近づいたときに通知を送信するオプション。
期限切れ時に通知	証明書の有効期限が切れたときに通知するユーザー。 このフィールドは、[有効期限通知] が選択されている場合にのみ使用できます。
有効期限切れ前に警告	通知を送信する証明書の有効期限前の日数。 このフィールドは、[有効期限通知] が選択されている場合にのみ使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	証明書がアクティブかどうかを示すオプション。
簡単な説明	証明書の簡単な説明。
PEM 証明書	DER 証明書を含む Base-64 でエンコードされた PEM 形式のテキスト。インスタンスは証明書をデコードして、[有効開始日]、[有効期限]、[数日中に期限切れ]、[発行者]、および [件名] フィールドに入力します。
フォーマット	証明書の形式。
タイプ	証明書タイプ。このフィールドを **PKCS12** キーストアに設定します。
数日中に期限切れ	証明書の有効期限が切れるまでの残り日数。このフィールドは、自動的に入力されます。
キーストアパスワード	ステップ 3 でキーを KEY 形式から PKS 形式に変換するときに作成した証明書パスワード。

c. [X.509 証明書] フォームヘッダーの添付ファイル管理アイコン ([を選択して、キー (PKS ファイル) をアップロードします。

d. [添付ファイル] ダイアログ ボックスで、[ファイルの選択] を選択してキーを見つけて選択します。

ダイアログボックスが閉じ、[X.509 証明書] フォームに戻ります。

e. [ストア/証明書を検証] 関連リンクを選択して、証明書を検証します。

f. 証明書が検証されたら、 [送信] を選択します。

4. [統合プロファイル] フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

5. フォームが再ロードされたら、[**Adobe** 資格情報を検証] 関連リンクを選択して接続を完了します。

タスクの結果

Adobeサブスクリプション データは、スケジュール設定済みジョブの実行時に*SAM - Import Adobe User Subscriptions*プルされますソフトウェア資産管理。サブスクリプションデータがプルされると、スケジュール設定済みジョブが *SAM - Optimize Adobe Subscriptions* 毎月実行され、Creative Cloud サブスクリプションが最適化されます Adobe 。

このジョブの完了により、次のようになります。

- 3 つ以上の(構成可能な)単体プランまたは個別の製品のサブスクリプションを統合し、インストールされていない場合に Creative Cloud コンプリートプランを推奨する Adobe 最適化候補。
- Creative Cloud コンプリートプランのインストール時に Adobe 、シングルアプリケーションまたはデュアルライセンスの個々の製品サブスクリプションを再利用する再利用候補。
- アクティブに使用されている 3 つ以上の(設定可能な)単体アプリケーションまたは個別の製品サブスクリプションを再利用する再利用候補と、Creative Cloud コンプリートアプリの割り当て Adobe を推奨する最適化候補。
- アクティブに使用されている(設定可能な)個々の製品が 3 つ未満の場合に Creative Cloud コンプリートプランを再利用 Adobe する再利用候補と、アクティブに使用されている単体アプリケーションまたは個別の製品サブスクリプションの割り当てを推奨する最適化候補です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
次に移動してサブスクリプションデータを表示します。 すべて > **SaaS** ライセンス > すべてのユーザーサブスクリプション. ジョブのステータス *SAM - Import Adobe User Subscriptions* を確認するには、次に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > ジョブ結果.

また、サブスクリプション、コンプライアンス、コストに関する情報 Adobe を で クラシック版 ソフトウェア資産管理 Office 365 & Adobe Cloud ダッシュボード表示することもできます。

OAuth サーバー間資格情報を使用した統合**Adobe Cloud**

OAuth サーバー間資格情報を使用して、インスタンスをサービスとAdobe Cloud統合ServiceNow します。

OAuth を使用したプロジェクトの作成と **API** の追加

API にアクセスするAdobeためのプロジェクトを開発者コンソールでAdobe作成し、OAuth を使用して API をプロジェクトに追加します。

始める前に
必要なロール：Adobe Cloud admin

手順

1. 開発者コンソールでプロジェクトを作成し、 Adobe API にアクセスします Adobe 。
   詳細については、「 プロジェクトの概要 」を参照してください。
2. OAuth を使用して API をプロジェクトに追加します。
   詳細については、「 OAuth を使用したプロジェクトへの API の追加 」を参照してください。

   Adobe統合するサービスで、 [**User Management API**] を選択します。このサービスを使用すると、ユーザー管理 API にアクセスできます Adobe 。

   API をプロジェクトに正常に追加すると、API の概要ページにリダイレクトされます。

Adobe Cloud OAuth 資格情報の作成

Adobe Cloud API にアクセスするAdobe Cloudための OAuth 資格情報を作成します。

始める前に
必要なロール：Adobe Cloud admin

手順

1. Adobe Developer Console にログインします。
2. [API の設定] フォームで、[資格情報] を展開し ます。
3. **OAuth** サーバー間認証を選択します。
4. [資格情報名] フィールドに名前を入力すると、次のアプリケーションで正しい API 資格情報を簡単に見つけることができます アドミンコンソール > ユーザー > **API** 資格情報.
   また、後でプロジェクトの「OAuthサーバー間認証情報の概要」ページで名前を変更することもできます。
5. 製品プロファイルを選択して、資格情報に割り当てます。
   製品プロファイルは、アプリケーションが組織内でアクセスできるデータを管理します。
6. [構成済み **API** の保存] を選択します。
   [クライアント ID] と [クライアントシークレット] が資格情報の概要ページに表示されます。クライアントIDをコピーし、後で使用するためにクライアントシークレットを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Adobe Cloud OAuth を使用した統合プロファイルの作成

Adobe Cloud OAuth 資格情報を使用してインスタンスにServiceNow統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡してライセンスコンプライアンスを判断します。

始める前に

必要なロール:sam_admin、sam_integrator

次のプラグインをアクティブ化します。

- ソフトウェア資産管理プロ(com.sn_samp_adobe) 向けAdobe
- ソフトウェア資産管理- SaaS ライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int) ServiceNow ストアから

このタスクについて

を使用しているSoftware Asset ワークスペース場合、統合コア UIプロファイルを作成するAdobe Cloudオプションは無効になっています。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	統合プロファイルの名前 Adobe Cloud 。
認証タイプ	API にアクセスする Adobe Cloud ための認証のタイプ。 ○ OAuth 2.0 ○ Jwt 注: ○ バージョン 13.1.0 以降に SaaS ライセンス管理ソフトウェア資産管理アップグレードする前の既存のAdobe Cloud統合プロファイルの場合、このフィールドは自動的に **JWT** に設定されます。詳細については、「サービスアカウント (JWT) 資格情報を使用して統合Adobe Cloud」を参照してください。 ○ すべての新しい Adobe Cloud 統合プロファイルで、このフィールドは自動的に **OAuth 2.0** に設定されます。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。Adobe Cloudこのフィールドは自動的に **Adobe OAuth** に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的にサブスクリプションに設定されAdobe ます。

3. [送信] を選択します。
4. [Connection & Credential (接続および資格情報)] フィールドの横にあるプレビューアイコン ()ⓘ を選択して、[Connection & Credential Aliases (接続および資格情報エイリアス)] レコードを開きます。
5. [新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

接続および資格情報フォームを作成

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Adobe Cloud接続の名前です。
接続 URL (インスタンス URL)	接続の URL。このフィールドは自動的にhttps://<インスタンス名>.adobelogin.comに設定されます。
資格情報	
OAuth クライアント ID	Adobe Cloud OAuth 資格情報の作成時に生成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	Adobe Cloud OAuth 資格情報の作成時に取得したクライアントシークレットです。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance_name>/oauth_redirect.do (インスタンス名はインスタンスの名前 ServiceNow)
後処理の追加情報	
組織 ID	Adobe CloudAdobe Cloud OAuth 資格情報の作成時に確認される組織 ID。

7. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
   OAuth トークンフローが正常に完了しました。
8. **[Save** (保存)] を選択します。
9. 統合プロファイルに戻り、 [公開] を選択します。

タスクの結果

Adobeサブスクリプション データは、スケジュール設定済みジョブの実行時に*SAM - Import Adobe User Subscriptions*プルされますソフトウェア資産管理。サブスクリプションデータがプルされると、スケジュール設定済みジョブが *SAM - Optimize Adobe Subscriptions* 毎月実行され、Creative Cloud サブスクリプションが最適化されます Adobe 。

このジョブの完了により、次のようになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 3 つ以上の(構成可能な)単体プランまたは個別の製品のサブスクリプションを統合し、インストールされていない場合に Creative Cloud コンプリートプランを推奨する Adobe 最適化候補。
- Creative Cloud コンプリートプランのインストール時に Adobe 、シングルアプリケーションまたはデュアルライセンスの個々の製品サブスクリプションを再利用する再利用候補。
- アクティブに使用されている 3 つ以上の(設定可能な)単体アプリケーションまたは個別の製品サブスクリプションを再利用する再利用候補と、Creative Cloud コンプリートアプリの割り当て Adobe を推奨する最適化候補。
- アクティブに使用されている(設定可能な)個々の製品が 3 つ未満の場合に Creative Cloud コンプリートプランを再利用 Adobe する再利用候補と、アクティブに使用されている単体アプリケーションまたは個別の製品サブスクリプションの割り当てを推奨する最適化候補です。

次のタスク
次に移動してサブスクリプションデータを表示します。 すべて > **SaaS** ライセンス > すべてのユーザーサブスクリプション. ジョブのステータス *SAM - Import Adobe User Subscriptions* を確認するには、次に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > ジョブ結果.

また、サブスクリプション、コンプライアンス、コストに関する情報 Adobe を で クラシック版 ソフトウェア資産管理 Office 365 & Adobe Cloud ダッシュボード表示することもできます。

クラシック版 ソフトウェア資産管理 **Office 365 & Adobe Cloud** ダッシュボード

クラシック版 ソフトウェア資産管理 Office 365 およびAdobeクラウドライセンス管理に関連するMicrosoftコンプライアンス分析結果を表示します。

ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > **Office 365** と **Adobe Cloud**.

フィルターリストを使用して、 サブスクリプションソフトウェアモデル または サブスクリプションパブリッシャー でフィルタリングできます。

注:
サブスクリプション公開者フィルターリストには、アクティブなサブスクリプション公開者パックが 1 つだけの場合でも、常に Microsoft と Adobe が含まれます。

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

Adobe

I/O 認証統合を使用してAdobeサブスクリプション情報を管理Adobeできます。

注:
サブスクリプションレポートを表示するにはAdobe、アドオンAdobeパブリッシャーパック (com.sn_samp_adobe) プラグインをインストールする必要があります。

サブスクリプション ソフトウェアとして認識されているソフトウェア製品のみ Adobe が表示されます。コンプライアンス情報を表示するには、Adobe 統合を設定する必要があります。

- アクティブな Adobe ソフトウェアがインストールされていないアクティブなサブスクリプションのリスト

  ユーザーがアクティブなサブスクリプションを持っているが、それぞれの Adobe 製品スイートが展開されていない場合。

  ユーザー名 |メール ID |サブスクリプション名 |ユーザーにアサインされたデバイスのリスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

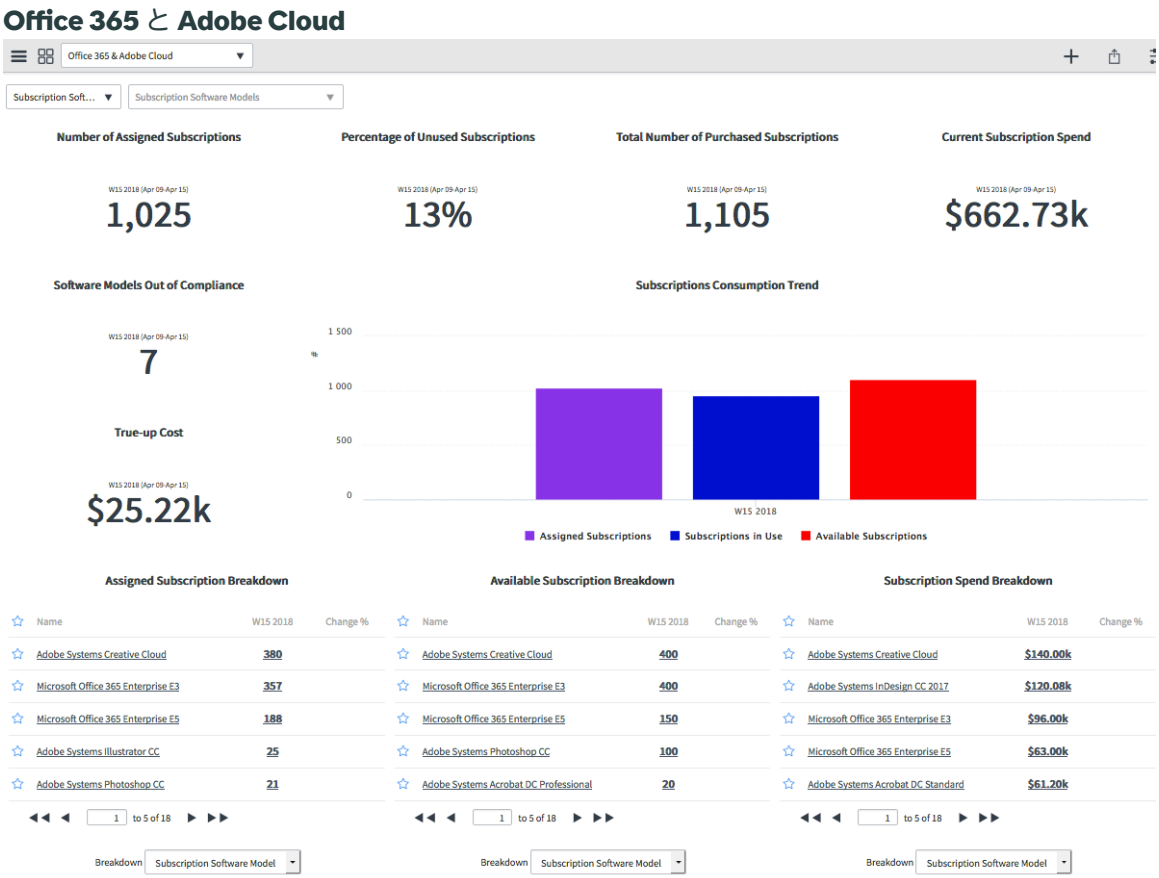
自動翻訳

- SCCM 計測データを使用したインストールの Adobe 最適化

  ユーザーがサブスクリプションを十分に活用 Adobe していないかどうか

  ユーザー名 |メール ID |サブスクリプション名 |サブスクリプションコスト |ユーザーに割り当てられたデバイスのリスト | Adobe 製品一覧 |最終アクセス時刻

SaaS サブスクリプションレポート



のシステムの公開者の概要**AdobeSoftware Asset** ワークスペース

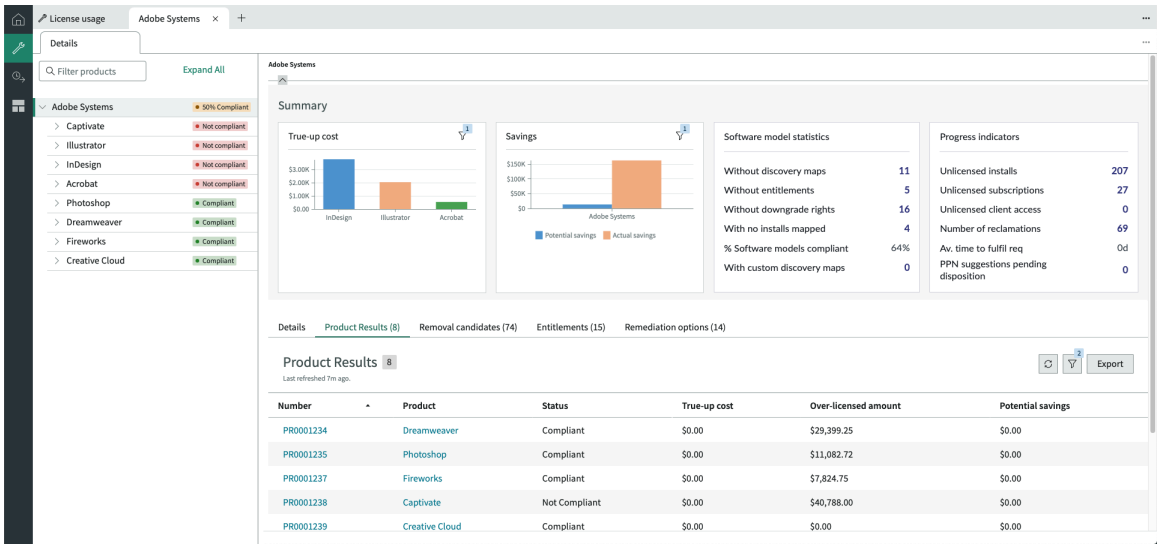
のSoftware Asset ワークスペースシステムのパブリッシャー概要Adobeに関連するライセンス使用状況情報Adobeを表示します。

Software Asset ワークスペースから、システム公開者の概要にアクセスするAdobeには、次の場所に移動します。 ライセンス使用状況 > 公開者 をクリックし、利用可能なソフトウェア公開者のリストから **[Adobe Systems**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ライセンス使用状況情報の概要は、Systems Publisher の概要の Adobe [概要] セクションで確認できます。

Adobe システムの概要

レポート	説明
調整コスト	ソフトウェアエンタイトルメントにおける権限 Adobe の平均価格に基づいて計算される、準拠するためにかかるコスト。
預金	ライセンスの Adobe 実際のコスト削減と潜在的なコスト削減。
ソフトウェアモデル統計	ソフトウェアモデルのコンプライアンス結果のサマリー。 この概要には、次の情報が含まれます。 • 検出マップなし:検出マップのないソフトウェアモデルの数 Adobe 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • エンタイトルメントなし:ソフトウェアエンタイトルメントのないソフトウェアモデルの数 Adobe 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • ダウングレード権限なし:ダウングレード権限のないソフトウェアモデルの数 Adobe 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • インストールがマップされていない:どのソフトウェアインストールにもマッピングされていないソフトウェアモデルの数 Adobe 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • 準拠しているソフトウェアモデルの割合:準拠しているソフトウェアモデルの割合 Adobe 。 • カスタム検出マップあり **(With custom discovery maps)**:カスタム検出マップを含むソフトウェアモデルの数 Adobe 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 この概要には、次のインジケーターが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Adobe システムの概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスなしのインストール:ライセンス Adobe なしのソフトウェアのインストール数。番号を選択すると、ライセンスなしのソフトウェアインストールのリストが表示されます。 • ライセンスなしのサブスクリプション:ライセンス Adobe なしのサブスクリプションの数。番号を選択すると、ライセンスなしのサブスクリプションのリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンス Adobe のないクライアントアクセスレコードの数。番号を選択すると、ライセンスのないクライアントアクセスレコードのリストが表示されます。 • 再利用の数:再利用したライセンスの合計 Adobe 数。番号を選択すると、ライセンスを再利用した削除候補のリストが表示されます。 • 要求を満たすための平均時間:ライセンス要求を履行 Adobe するのにかかる平均時間。 • 処分待ちの **PPN** 提案 **(PPN suggestions pending disposition)**:新しいソフトウェア資産管理コンテンツサービス PPN への交換処理待ちのカスタムAdobe公開者の品番 (PPN) の数。番号を選択すると、PPN のリストが表示されます。

Publisher の概要で提供されている詳細なライセンス使用状況情報の詳細については、を参照してください ワークスペースのライセンス使用パブリッシャーフィールド。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Citrix**

Citrix製品の最適化と調整Citrixに公開者パックを使用します。ユーザーとデバイスのライセンスポジション Citrix を追跡して、ライセンスコンプライアンスを判断できます。

公開者パックを使用するにはCitrix、Professional for Citrix プラグイン (com.sn_samp_citrix) をアクティブ化ソフトウェア資産管理します。詳細については、「Request Software Asset Management (Software Asset Management の要求)」を参照してください。

公開者パックは Citrix 、仮想アプリケーション製品(旧称XenApp)および仮想デスクトップ製品(旧称XenDesktop)をサポートします。この公開者パックを使用して、ライセンスを管理し、製品のライセンスコンプライアンス Citrix を判断できます。仮想アプリケーションおよび仮想デスクトップを介して配信されるサードパーティアプリケーションを可視化できます。また、これらのアプリケーションにアクセスする可能性のあるユーザーを可視化することもできます。

ServiceNow® ディスカバリーアプリケーションを使用してからCitrixデータを収集します。製品のライセンス消費データは Citrix 、ライセンスサーバーから収集されます Citrix 。

ディスカバリーは OData API を使用して、Delivery Controller からCitrixファーム経由で配信されるサードパーティアプリケーションを識別しますCitrix。この情報を使用してソフトウェアインストールレコードを作成し、これらのアプリケーションのライセンス使用状況を追跡します。これらのアプリケーションを識別するには、管理者はディスカバリーパターンでCitrix実行するディスカバリースケジュール を作成する必要があります。検出パターンとテーブルの詳細については、「CitrixCitrix ライセンスサーバーとデリバリーコントローラの検出 」を参照してください。

Citrix ライセンスモデル

公開者パックは Citrix 、次の Citrix ライセンスモデルをサポートしています。

同時ライセンスモデル

自動翻訳

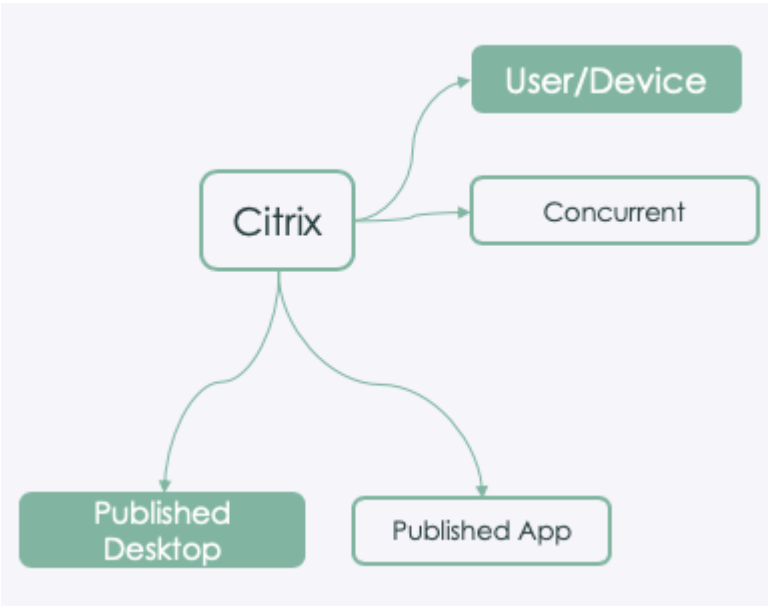
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同時ライセンスは、アクティブなセッション中にのみ使用されます。ユーザーがセッションを開始すると、アプリケーションまたはデスクトップはセッションを実行しているデバイスのライセンスをチェックアウトします。セッションが切断または終了すると、アプリケーションまたはデスクトップはライセンスをチェックインし直して、他のユーザーやデバイスがライセンスを使用できるようにします。同時使用ライセンスでは、仮想デスクトップへの 1 つの接続、または任意のユーザーまたはデバイスに対する無制限のアプリケーションのいずれかが可能になります。ライセンス消費は、使用されているライセンスの数に基づいています。

ユーザー/デバイス ライセンス モデル

ユーザー/デバイス ライセンス モデル: ユーザー/デバイス ライセンスは、ユーザーまたは共有デバイスのいずれかに割り当てられます。ライセンスサーバーが Citrix ユーザーにライセンスを割り当てると、そのユーザーは無制限のデバイスから無制限に接続できます。ライセンスサーバーが Citrix デバイスにライセンスを割り当てると、無制限のユーザーがそのデバイスから無制限に接続できます。ライセンスの消費は、ライセンスを使用するユーザーまたはデバイスに基づいています。

ライセンスの Citrix アーキテクチャを次の図に示します。



仮想化テクノロジーを通じて Citrix 提供されるサードパーティアプリケーションのライセンスは、潜在的なアクセスに基づいています。仮想 Citrix 環境に展開されたアプリケーションまたはデスクトップにアクセスする可能性がある限り、すべてのユーザーまたはデバイスがライセンスを消費できます。デリバリーグループとアプリケーショングループを使用して、これらのアプリケーションとデスクトップへのアクセスを制御できます:

デリバリーグループ

デリバリーグループは、アプリケーションまたはデスクトップを使用できる Citrix デバイスのコレクションです。各デリバリーグループでは、これらのデバイスにアクセスできるユーザーを指定します。また、デリバリーグループでは、これらのユーザーが使用できるアプリケーションやデスクトップを指定します。

アプリケーショングループ

アプリケーショングループは、デリバリーグループまたはデリバリーグループユーザーのサブセット間で共有されるアプリケーションのコレクションです。各アプリケーショングループは、それらのアプリケーションにアクセスできるユーザーまたは Active Directory (AD) グループを指定します。

展開のガイドラインと推奨事項についてCitrix詳しくは、Citrix製品ドキュメント を参照してください。この情報を使用して、ユーザーをデリバリーグループレベルでマップするか、アプリケーショ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ングループレベルでマップするかを決定します。両方のレベルでユーザーをマップする場合、 ソフトウェア資産管理 ではアプリケーショングループレベルでのみマッピングが考慮されます。

ライセンス使用状況データは、Citrixのソフトウェアパブリッシャー分析ダッシュボードから表示Citrixできます。このデータを使用して、未使用または許可されていないライセンスを再利用することで、ライセンスポジションを最適化します。

のエンタイトルメントの作成 Citrix

ソフトウェアエンタイトルメントによってソフトウェアモデルに一致したライセンスの詳細を定義できます。エンタイトルメントは個別に追加することも、スプレッドシートからリストをインポートすることもできます。

始める前に

必要なロール：sam_user または sam_admin エンタイトルメントをインポートするには、sam_adminロールが必要です。

重要:
エンタイトルメント ソフトウェア資産管理 は、クラシックアプリケーションと の両方で Software Asset ワークスペース作成およびインポートできます。次の手順では、クラシックアプリケーションでエンタイトルメントを作成する方法について詳しく説明します ソフトウェア資産管理 。で Software Asset ワークスペースエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。で Software Asset ワークスペースエンタイトルメントをインポートする方法の詳細については、「」を参照してください エンタイトルメントをワークスペースに一括インポート。

ソフトウェアエンタイトルメントを作成する前に、 ソフトウェアモデルを作成します。

このタスクについて

利用可能なソフトウェアを管理し、ソフトウェアモデルを使用してソフトウェアインストール (使用されているソフトウェア) と資格付与 (所有されているソフトウェア) を関連付けます。監視するすべてのソフトウェアのソフトウェア モデルを作成します。

注:
model_managerロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 **Product Catalog** > 製品モデル > ソフトウェアモデル ただし、ソフトウェアモデルのすべての側面を管理できるわけではありません。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント をクリックし、[新規] を選択します。

   すべての資格付与に関連するフィールドの詳細については、「」を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。

   ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

フィールド	説明
ライセンス評価指標	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンス測定基準。ライセンスの測定基準の詳細については、次を参照してください ソフトウェアライセンス測定基準。

2. アップグレードまたはダウングレードのエンタイトルメントを設定するには、ソフトウェアエンタイトルメントのリストから新しいソフトウェアエンタイトルメントレコードを選択します。
   ソフトウェアエンタイトルメントの追加構成を完了する方法の詳細については、「」を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [送信] を選択します。
   エンタイトルメントがソフトウェアエンタイトルメントリストに追加されます。

次のタスク
ライセンスでソフトウェア調整を実行します。

クラシック版ソフトウェア資産管理のソフトウェア公開者分析ダッシュボードCitrix

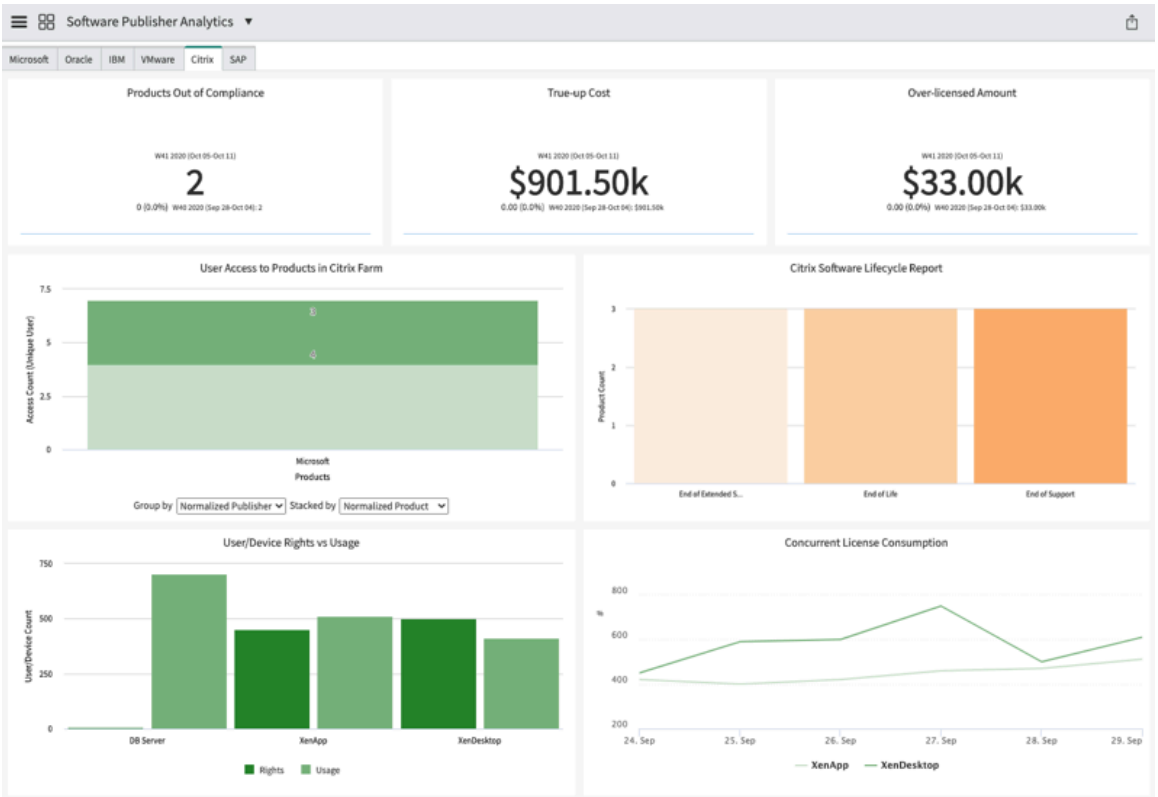
クラシックアプリケーションのソフトウェア公開者分析ダッシュボードソフトウェア資産管理で、コンプライアンスCitrix分析結果を表示します。

[Software Publisher Analytics] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 主要ソフトウェアメーカーのライセンス概要.

注:
ダッシュボードタブを表示するにはCitrix、アドオンCitrixパブリッシャーパック (com.sn_samp_citrix) プラグインをインストールする必要があります。

データを収集するには Citrix 、検出プロセスが必要です。の場合ServiceNow ディスカバリー、adminロールを持つユーザーは、ライセンスサーバーとのCitrix通信のためにDelivery ControllerでCitrix実行する検出スケジュール を作成する必要があります。

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。



Citrix タブ

レポート	ソースリスト	説明
調整コスト	製品の結果	権限の資格付与の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Citrix タブ (続く)

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、 ライセンスワークベンチに結果が表示されます。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
ファーム内の Citrix 製品へのユーザー アクセス	ソフトウェア インストール	ファームにアクセスできる Citrix ユーザーの数。
Citrix ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	延長サポート終了、提供終了、サポート終了を含む、各ソフトウェアライフサイクルフェーズにおける製品の数。
ユーザー/デバイスの権限と使用状況 ファーム内の Citrix ソフトウェアのインストール	ソフトウェア インストール	所有しているユーザー/デバイスの権限の数と消費されている権限の数。
同時ライセンス消費の傾向	ライセンス消費履歴	ソフトウェア製品のライセンス消費傾向 Citrix 。各データポイントは、1 日あたりの使用中の最大ライセンス数を表します。 データポイントを選択して、特定の Citrix ソフトウェア製品の追加のライセンス消費データを表示します。

のシステムの公開者の概要**CitrixSoftware Asset** ワークスペース

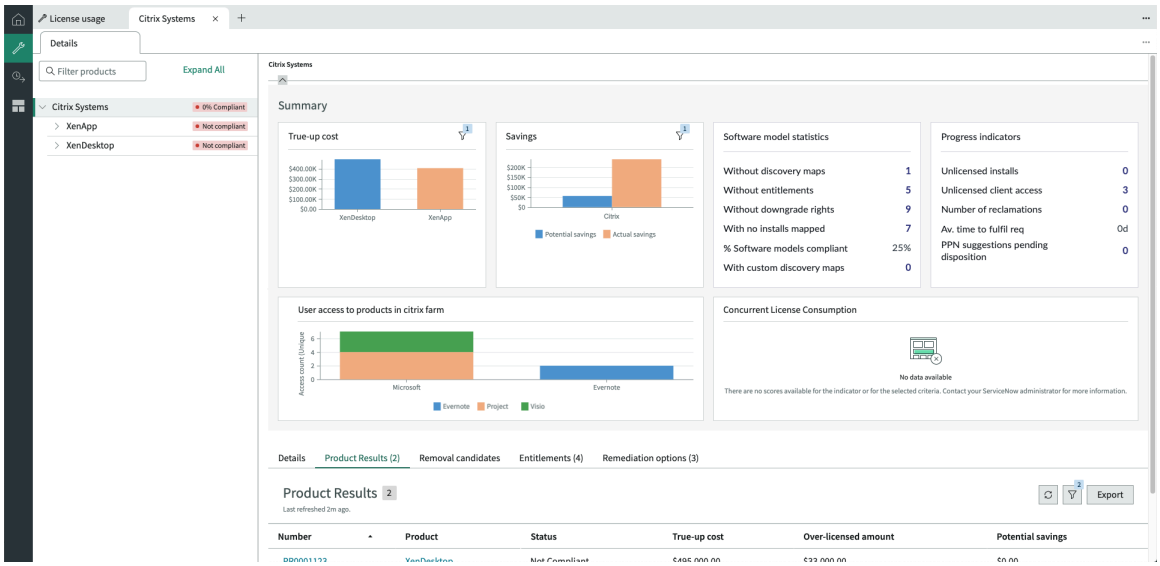
のSoftware Asset ワークスペースシステムのパブリッシャー概要Citrixに関連するライセンス使用状況情報Citrixを表示します。

Software Asset ワークスペースから、システム公開者の概要にアクセスするCitrixには、次の場所に移動します。 ライセンス使用状況 > 公開者 をクリックし、利用可能なソフトウェア発行元の一覧から **[Citrix** システム] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ライセンス使用状況情報の概要は、Systems Publisher の概要の Citrix [概要] セクションで確認できます。

Citrix システムの概要

レポート	説明
調整コスト	ソフトウェアエンタイトルメントにおける権限 Citrix の平均価格に基づいて計算される、準拠するためにかかるコスト。
預金	ライセンスの Citrix 実際のコスト削減と潜在的なコスト削減。
ソフトウェアモデル統計	ソフトウェアモデルのコンプライアンス結果のサマリー。 この概要には、次の情報が含まれます。 • 検出マップなし:検出マップのないソフトウェアモデルの数 Citrix 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • エンタイトルメントなし:ソフトウェアエンタイトルメントのないソフトウェアモデルの数 Citrix 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • ダウングレード権限なし:ダウングレード権限のないソフトウェアモデルの数 Citrix 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • インストールがマップされていない:どのソフトウェアインストールにもマッピングされていないソフトウェアモデルの数 Citrix 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • 準拠しているソフトウェアモデルの割合:準拠しているソフトウェアモデルの割合 Citrix 。 • カスタム検出マップあり **(With custom discovery maps)**:カスタム検出マップを含むソフトウェアモデルの数 Citrix 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 この概要には、次のインジケーターが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Citrix システムの概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスなしのインストール:ライセンス Citrix なしのソフトウェアのインストール数。番号を選択すると、ライセンスなしのソフトウェアインストールのリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンス Citrix のないクライアントアクセスレコードの数。番号を選択すると、ライセンスのないクライアントアクセスレコードのリストが表示されます。 • 再利用の数:再利用したライセンスの合計 Citrix 数。番号を選択すると、ライセンスを再利用した削除候補のリストが表示されます。 • 要求を満たすための平均時間:ライセンス要求を履行 Citrix するのにかかる平均時間。 • 処分待ちの **PPN** 提案 **(PPN suggestions pending disposition)**:新しいソフトウェア資産管理コンテンツサービス PPN への交換処理待ちのカスタムCitrix公開者の品番 (PPN) の数。番号を選択すると、PPN のリストが表示されます。
citrix ファーム内の製品へのユーザーアクセス	ファーム内の Citrix 特定のソフトウェア製品にアクセスできるユーザーの数。棒グラフを選択すると、指定したソフトウェア製品にアクセスできるユーザーの完全なリストが表示されます。
同時ライセンス消費	ソフトウェア製品のライセンス消費傾向 Citrix 。各データポイントは、1 日あたりの使用中の最大ライセンス数を表します。 データポイントを選択して、特定の Citrix ソフトウェア製品の追加のライセンス消費データを表示します。

Publisher の概要で提供されている詳細なライセンス使用状況情報の詳細については、を参照してください ワークスペースのライセンス使用パブリッシャーフィールド。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **IBM**

ソフトウェア資産管理の公開者パックを使用してIBM、ソフトウェア製品のライセンスを追跡して最適化しますIBM。公開者パックを使用して、およびRed Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters製品のライセンスRed Hat Enterprise Linux Serverを追跡および最適化することもできます。

公開者パックを使用するにはIBM、Professional for IBM (com.sn_samp_ibm) プラグインを有効にしますソフトウェア資産管理。

公開者パックは IBM 、次のライセンスの測定基準をサポートします。

- 認定ユーザー
- 認定ユーザー値単位
- 従業員ユーザー値単位
- 外部ユーザーの値単位
- デバイスあたり
- 指名ユーザーあたり
- プロセッサーあたり
- Per User

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロセッサーバリューユニット (PVU)
- リソース値単位 (RVU)
- 仮想プロセッサーコア

サポートされている IBM ライセンスの測定基準の詳細については、次を参照してください ソフトウェアライセンス測定基準。

重要:
公開者パックは IBM 、 ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインの一部として入手できます。パブリッシャーパックには、製品のフルキャパシティとサブキャパシティの両方の PVU および RVU ライセンス IBM を追跡および管理するために必要なすべての機能が含まれています。PVU ライセンスを追跡および管理IBMするために、従来の IBM PVU プロセスパックは必要ありません。レガシー プロセス パックの詳細については、「 iBM PVU プロセス パック 」を参照してください。

アプリケーションなどの ServiceNow ディスカバリー 検出ツールを使用して検出を実行すると、検出ツールは環境内のソフトウェアインストールを検索し IBM 、関連するデータをインスタンスにインポートします ServiceNow 。アプリケーションは ソフトウェア資産管理 、このデータを IBM ソフトウェアエンタイトルメントと比較して、複雑なサーバーライセンスシナリオの製品を含むソフトウェア製品を自動的に調整 IBM します。

調整に使用しているライセンスの測定基準に基づいて、さまざまな検出ツールと統合できます。

- プロセッサー・バリュー・ユニット (PVU) またはリソース・バリュー・ユニット (RVU) のライセンス・メトリックを使用してソフトウェア製品を調整する IBM には、ILMT または BigFix Inventory 統合 API のバージョン 1 またはバージョン 2 のいずれかを使用しているときに、License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory ディスカバリー・ツールと統合 IBM します。また、アプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理と組み合わせIBMて使用する場合は、ServiceNow ディスカバリーアプリケーションと統合することもできます。
- 仮想プロセッサー・コア (VPC) ライセンス・メトリックを使用してソフトウェア製品を調整する IBM には、ILMT または BigFix Inventory 統合 API のバージョン 2 を使用するときに、 IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory ディスカバリー・ツールと統合します。また、アプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理と組み合わせIBMて使用する場合は、ServiceNow ディスカバリーアプリケーションと統合することもできます。
- 認定ユーザーや外部ユーザーバリューユニットなどのユーザーベースのライセンス測定基準を含む、サポートされている他のライセンス測定基準を使用してソフトウェア製品を調整する IBM ために、他の検出ツールと統合することができます。

ILMT と BigFix Inventory の統合の詳細については、次を参照してください IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合。IBMアプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理の詳細については、「」を参照してくださいIBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合。アプリケーションの詳細については ServiceNow ディスカバリー 、「 ITOM Visibility によって収集されるデータ 」を参照してください。

サポートされている **IBM** ライセンスタイプ

のIBM公開者パックは、ソフトウェア資産管理さまざまなIBMライセンスタイプのライセンス測定基準を追加します。

IBM プロセッサーバリューユニット **(PVU)** およびリソースバリューユニット **(RVU)** ライセンス

パブリッシャーパックを使用してIBM、プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) のライセンスを追跡および管理IBMできますソフトウェア資産管理。公開者パックは、これらのライセンスタイプのライセンスを計算できるように、特定の IBM ライセンス測定基準を追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
IBM PVU および RVU ライセンスは、物理環境と仮想環境の両方でサポートされています。

プロセッサーバリューユニット **(PVU)** ライセンス

プロセッサー バリュー ユニット (PVU) は、物理ハードウェア環境で使用されるプロセッサー テクノロジーに基づいて、ソフトウェア製品のライセンス要件 IBM を決定できる測定単位です。各プロセッサー・テクノロジーには、プロセッサー・ベンダー、プロセッサー名、およびモデル番号に基づいて、「コア当たりの PVU」値が割り当てられます。PVU ライセンスに必要な権限の数は、適切な [コア当たりの PVU] の値に、ソフトウェア製品で使用可能な、またはソフトウェア製品によって管理され IBM る物理ハードウェア環境でアクティブ化されたプロセッサー コアの数を掛けることによって決定できます。

パブリッシャーパックは IBM 、フルキャパシティとサブキャパシティの両方の PVU ライセンスをサポートします。フルキャパシティの PVU ライセンスを使用している場合は、ソフトウェア製品が利用できる、またはソフトウェア製品によって管理され IBM る物理ハードウェア環境内のすべてのアクティブプロセッサーコアを考慮する必要があります。サブキャパシティ PVU ライセンスを使用している場合は、仮想化キャパシティのライセンスカウントルール で定義されているように、ソフトウェア製品で使用可能な、またはソフトウェア製品によって管理されIBMる特定のアクティブ化されたプロセッサーコアのみを考慮する必要があります。

ライセンスワークベンチの [使用タイプ] フィールドを使用して、PVU ライセンスがデバイスにどのように適用されているかを可視化できます。この情報を使用して、PVU ライセンスが各デバイスのフルキャパシティまたはサブキャパシティのどちらに適用されるかを判断します。使用している統合の IBM タイプに応じて、次のいずれかのオプションを使用して、PVU ライセンスをデバイスに適用する方法を指定します。

- パブリッシャー・パックを IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と IBM 統合する場合は、 統合 **- ILMT/BigFix Inventory** > インポートセットデータ > **IBM** ライセンス測定基準のピーク使用率 をクリックして、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルの対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルのデバイスの 「使用タイプ 」フィールドは、自動的に 「サブキャパシティー」に設定されます。ただし、フルキャパシティ PVU エンタイトルメントに割り当てられているデバイスの [使用タイプ] フィールドは、代わりに 自動的に [フルキャパシティ] に設定されます。

  ILMT および BigFix Inventory の詳細については、次を参照してください IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合。

- 公開者パックを IBM 認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーと統合する場合は、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**. ソフトウェア資産ワークスペースが起動したら、[ライセンス操作] ビューを開きます。ライセンス操作ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定 をクリックして、対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、[使用タイプ] フィールドは自動的に [サブキャパシティ] に設定されます。ただし、フルキャパシティ PVU エンタイトルメントに割り当てられているデバイスの [使用タイプ] フィールドは、代わりに 自動的に [フルキャパシティ] に設定されます。

  使用可能なデバイス設定の詳細については、「」を参照してください ホストの IBM メタデータの確認。

  認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダの詳細については、「」を参照してください IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされているプロセッサーテクノロジーの全リストや対応するコアあたりの PVU 値など、PVU ライセンスの詳細についてはIBM、「プロセッサーバリューユニット (PVU)」を参照してください。

リソース値単位 (RVU) ライセンス

リソース・バリュー・ユニット (RVU) は、ソフトウェア製品で使用可能な、またはその製品によって管理されているアクティブ化されたプロセッサー・コアの数に基づいて、そのソフトウェア製品のライセンス要件 IBM を判別できるようにする測定単位です。活動化プロセッサー・コアの数は、RVU 層番号および係数値に直接対応します。

RVU 層と係数

アクティブ化されたプロセッサーコアの数	階層	係数
0 から 2,500	1	1.00
2,501から10,000	2	0.80
10,001から50,000	3	0.60
50,001から150,000	4	0.40
150,001以上	5	0.20

これらの RVU 層に基づくステップ機能を使用して、RVU ライセンスに必要な権限の数を判別できます。まず、アクティブ化されたプロセッサー・コアの合計数を、 RVU 層および要因テーブルに基づいて層に分割する必要があります。RVU ライセンス交付は個々の装置レベルではなく製品レベルで計算されるため、ライセンス交付を受ける必要があるアクティブ化されたプロセッサー・コアの合計数を決定する際には、製品がインストールされているすべての装置を考慮する必要があります。次に、各層内のアクティブ化されたプロセッサー・コアの数に、対応する係数値を掛ける必要があります。最後に、結果の数値を合計して、RVU ライセンスに必要な権限の合計数を決定する必要があります。

重要:
すべてのデバイスでアクティブ化されたすべてのプロセッサコアにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのデバイスもライセンスされず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、ある製品が、100 台のデバイスで合計 150,000 個のアクティブ化されたプロセッサーコアにアクセスできるとします。以下の計算に基づくと、RVU ライセンスに必要な権限の総数は 72,500 です。

階層	階層内のアクティブ化されたプロセッサーコアの数	係数	必要な権利の数
1 (0 から 2,500 のアクティブ・プロセッサー・コア)	2,500	1.00	2,500×1.00 = 2,500
2 (2,501 から 10,000 のアクティブ・プロセッサー・コア)	7,500	0.80	7,500 x 0.80 = 6,000
3	40,000	0.60	40,000 x 0.60 = 24,000

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

階層	階層内のアクティブ化されたプロセッサーコアの数	係数	必要な権利の数
(10,001 から 50,000 のアクティブ・プロセッサー・コア)			
4 (50,001 から 150,000 のアクティブ・プロセッサー・コア)	100,000	0.40	100,000 x 0.40 = 40,000
該当なし	150,000 件(合計)	該当なし	2,500 + 6,000 + 24,000 + 40,000 = 合計 72,500

注:
RVU ライセンスで消費される権限の数は、PVU ライセンスで消費される権限の数とは異なる方法で報告されます。PVU ライセンスの場合、この数は個々のデバイスレベルで報告されます。RVU ライセンスの場合、この数は製品レベルで報告されます。

RVU 層について詳しくは、リソース値単位 (RVU MAPC) IBMを参照してください。

パブリッシャーパックは IBM 、フルキャパシティとサブキャパシティの両方の RVU ライセンスをサポートします。フルキャパシティー RVU ライセンスを使用している場合は、ソフトウェア製品で使用可能な、またはソフトウェア製品によって管理され IBM る物理ハードウェア環境で、アクティブ化されたすべてのプロセッサー・コアを考慮する必要があります。仮想化環境でのみ使用可能なサブキャパシティー RVU ライセンスを使用している場合は、ソフトウェア製品がインストールされている仮想マシン (VM) IBM によって使用されるアクティブ化されたプロセッサー・コアのみを考慮する必要があります。

ライセンスワークベンチの [使用タイプ] フィールドを使用して、RVU ライセンスがデバイスにどのように適用されているかを可視化できます。この情報を使用して、RVU ライセンスが各デバイスのフルキャパシティまたはサブキャパシティのどちらに適用されるかを判別します。使用している統合の IBM タイプに応じて、次のいずれかのオプションを使用して RVU ライセンスをデバイスに適用する方法を指定します。

- パブリッシャー・パックを IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と IBM 統合する場合は、 統合 **- ILMT/BigFix Inventory** > インポートセットデータ > **IBM** ライセンス測定基準のピーク使用率 をクリックして、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルの対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルのデバイスの 「使用タイプ 」フィールドは、自動的に 「サブキャパシティー」に設定されます。

  ILMT および BigFix Inventory の詳細については、次を参照してください IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合。

- Publisher Pack を認定ソフトウェア資産管理Anglepointプロバイダー (など) と統合IBMする場合は、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**. ソフトウェア資産ワークスペースが起動したら、[ライセンス操作] ビューを開きます。ライセンス操作ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定 をクリックして、対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、[使用タイプ] フィールドは自動的に [サブキャパシティ] に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能なデバイス設定の詳細については、「」を参照してください ホストの IBM メタデータの確認。

認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダの詳細については、「」を参照してください IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合。

IBM ユーザーベースのライセンス

公開者パックを使用してIBM、認定ユーザーライセンスやユーザーバリューユニット (UVU) ベースのライセンスなど、ユーザーベースのライセンスを追跡および管理IBMできますソフトウェア資産管理。

サポートされている UVU ベースのライセンスには、認定 UVU、従業員 UVU、および外部 UVU が含まれます。公開者パックは、これらのライセンスタイプのライセンスを計算できるように、特定の IBM ライセンス測定基準を追加します。

IBM ユーザーベースのライセンス付与では、ソフトウェア製品へのアクセス IBM を必要とするユーザーにライセンスを付与できます。クライアントアクセスレコードを介して関連するIBMソフトウェア製品を調整することで、ユーザーベースのライセンスのIBMコンプライアンスを追跡して最適化できます。クライアントアクセスレコードでは、ソフトウェア製品の特定のバージョン IBM へのアクセス権を付与されるユーザーの合計数を指定できます。よりきめ細かく制御するために、その製品へのアクセス権が付与されている特定のユーザーを識別することもできます。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、この情報を、対応するソフトウェアエンタイトルメントで定義されているソフトウェア権限および割り当てと比較して、関連するユーザーベースのライセンスが準拠しているかどうかを判断できます。

ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細については、次を参照してください ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成。クラシック・アプリケーションのクライアント・アクセス・レコード ソフトウェア資産管理 の詳細については、「」を参照してください ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加。

認定ユーザーライセンス

認定ユーザーライセンスでは、ソフトウェア製品へのアクセス IBM を必要とする一意のユーザーごとにライセンスを付与できます。

このライセンスタイプでは、サーバーやコンピューターなどの構成アイテム (CI) に特定の IBM ソフトウェア製品を無制限にインストールできます。これにより、各ユーザーは、ソフトウェア製品がインストールされている任意の CI 上の、そのソフトウェア製品のインストールの数に制限なくアクセスできます。

認定ユーザーバリューユニット (AUVU) ライセンス

認定ユーザーバリューユニット (AUVU) ライセンスを使用すると、ソフトウェア製品へのアクセス IBM を必要とする一意のユーザーの合計数にライセンスを付与できます。

このライセンスタイプでは、サーバーやコンピューターなどの構成アイテム (CI) に特定の IBM ソフトウェア製品を無制限にインストールできます。これにより、各ユーザーは、ソフトウェア製品がインストールされている任意の CI 上の、そのソフトウェア製品のインストールの数に制限なくアクセスできます。

AUVUライセンスでは、ソフトウェア製品へのアクセス IBM を必要とするユーザーの数は、AUVU の階層番号と係数値に直接対応します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AUVUの階層と係数

ユーザー数	階層	係数
1 から 20	1	1.00
21から50	2	0.83
51以上	3	0.80

AUVUライセンスに必要な権限の数は、これらのAUVU層に基づくステップ関数を使用して決定できます。まず、 AUVUの階層と係数の表に基づいて、ユーザーの総数を階層に分割します。次に、各層内のユーザー数に対応する係数値を掛けます。最後に、結果の数値を合計して、AUVUライセンスに必要な権限の合計数を決定します。

重要:
すべてのユーザーにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのユーザーにもライセンスが付与されず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、会社は 150 人の従業員と請負業者にソフトウェア製品への IBM アクセス権を付与し、今後のプロジェクトで共同作業できるようにするとします。対応するAUVUライセンスに必要な権限の総数は、次の計算に基づいて125です。

階層	階層内のユーザー数	係数	必要な権利の数
1 (1 ～ 20 ユーザー)	20	1.00	20 x 1.00 = 20
2 (21～50ユーザー)	30	0.83	30 x 0.83 = 24.9
3 (51 ユーザー以上)	100	0.80	100 x 0.8 = 80
—	150 件(合計)	—	20 + 24.9 + 80 = 合計 124.9 (合計 125 に切り上げ)

従業員ユーザーバリューユニット **(EUVU)** ライセンス

従業員ユーザーバリューユニット (EUVU) ライセンスを使用すると、ソフトウェア製品へのアクセス IBM を必要とする組織内のユーザーの合計数にライセンスを付与できます。これらのユーザーには、従業員と契約社員の両方を含めることができます。

EUVU ライセンスでは、ソフトウェア製品へのアクセス IBM を必要とするユーザーの数は、EUVU 階層番号と係数値に直接対応します。

EUVU の階層と係数

ユーザー数	階層	係数
1000から2,500	1	1.000
2,501から5,000	2	0.800

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EUVU の階層と係数 (続く)

ユーザー数	階層	係数
5,001から10,000	3	0.700
10,001から30,000	4	0.650
30,001から50,000	5	0.550
50,001から100,000	6	0.500
100,001から300,000	7	0.465
300,001から500,000	8	0.400
500,001 から 1,000,000	9	0.360
1,000,001から100,000,000	10	0.320

これらの EUVU 層に基づくステップ関数を使用して、EUVU ライセンスに必要な権限の数を決定できます。まず、 EUVU 階層と要素テーブルに基づいて、ユーザーの総数を階層に分割します。次に、各層内のユーザー数に対応する係数値を掛けます。最後に、結果の数値を合計して、EUVU ライセンスに必要な権限の合計数を決定します。

重要:
すべてのユーザーにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのユーザーにもライセンスが付与されず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、ある会社が 11,000 人の従業員にソフトウェア製品への IBM アクセス権を付与するとします。対応する EUVU ライセンスに必要な権限の総数は、次の計算に基づくと 8,650 です。

階層	階層内のユーザー数	係数	必要な権利の数
1 (1,000～2,500ユーザー)	2,500	1.000	2,500 x 1.000 = 2,500
2 (2,501～5,000ユーザー)	2,500	0.800	2,500 x 0.800 = 2,000
3 (5,001 から 10,000 ユーザー)	5,000	0.700	5,000 x 0.700 = 3,500
4 (10,001～30,000ユーザー)	1,000	0.650	1,000 x 0.650 = 650
—	11,000 件(合計)	—	2,500 + 2,000 + 3,500 + 650 = 合計 8,650

外部ユーザー バリュー ユニット **(XUVU)** ライセンス

外部ユーザー バリュー ユニット (XUVU) ライセンスを使用すると、ソフトウェア製品へのアクセス IBM を必要とする組織外のユーザーの合計数にライセンスを付与できます。これらのユーザーには、サードパーティパートナー、サプライヤー、請負業者が含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

XUVU ライセンスでは、ソフトウェア製品へのアクセス IBM を必要とするユーザーの数は、XUVU の階層番号および係数値に直接対応します。

XUVU 層と係数

ユーザー数	階層	係数
1000から10,000	1	1.00000
10,001から50,000	2	0.87500
50,001から100,000	3	0.60000
100,001から500,000	4	0.43750
500,001 から 1,000,000	5	0.30000
1,000,001から25,000,000	6	0.24375
25,000,001から50,000,000	7	0.15000
50,000,001から250,000,000	8	0.13750
250,000,001から500,000,000	9	0.05000
500,000,001から100,000,000,000	10	0.05000

これらの XUVU 層に基づくステップ関数を使用して、XUVU ライセンスに必要な権限の数を決定できます。まず、ユーザーの総数を XUVU の階層と要素のテーブルに基づいて階層に分割します。次に、各層内のユーザー数に対応する係数値を掛けます。最後に、結果の数値を合計して、XUVU ライセンスに必要な権限の総数を決定します。

重要:
すべてのユーザーにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのユーザーにもライセンスが付与されず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、ある会社が 15,000 社のサードパーティパートナーにソフトウェア製品への IBM アクセス権を付与するとします。対応する XUVU ライセンスに必要な権限の総数は、次の計算に基づいて 14,375 です。

階層	階層内のユーザー数	係数	必要な権利の数
1 (1,000 ～ 10,000 ユーザー)	10,000	1.00000	10,000 x 1.00000 = 10,000
2 (10,001～50,000ユーザー)	5,000	0.87500	5,000 x 0.87500 = 4,375
—	15,000 件(合計)	—	10,000 + 4,357 = 合計 14,375

IBM 仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンス

認定 SAM プロバイダー (IASP) プログラムへの参加IBMが許可されているプロバイダーと Publisher Pack をIBMソフトウェア資産管理統合ソフトウェア資産管理すると、仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンスを追跡および管理IBMできます。また、バージョン 2 の統合 API を使用して License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と IBM 統合するときに、これらのライセンスを追跡および管理することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの統合により、公開者パックは、このライセンスタイプのライセンスを計算できるように、仮想 IBM プロセッサーコア (VPC) ライセンス測定基準を追加します。認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダー統合の詳細については、「」を参照してください IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合。ILMT と BigFix Inventory の統合の詳細については、次を参照してください IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合。

仮想プロセッサーコア (VPC) は、ソフトウェア製品で使用可能な、または管理されているコアの数に基づいて、そのソフトウェア製品のライセンス要件 IBM を決定できる測定単位です。仮想マシン (VM) にライセンスを付与する場合、VPC は VM に割り当てられている仮想コアの数に基づきます。VM 用にパーティション分割されていない物理ホストにライセンスを付与する場合、VPC はホスト上のプロセッサコアの数に基づきます。各 VPC ライセンスには、関連するソフトウェア製品で利用可能な、または管理 IBM されるコアごとに 1 つの権限が必要です。

パブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合IBMする場合、パブリッシャーパックはフルキャパシティとサブキャパシティの両方の VPC ライセンスをサポートします。ILMT または BigFix Inventory と統合する場合、パブリッシャーパックはサブキャパシティの VPC ライセンスのみをサポートします。フルキャパシティの VPC ライセンスでは、ソフトウェア製品で使用可能な、またはソフトウェア製品によって管理され IBM る物理ホスト上のすべてのプロセッサーコアを考慮する必要があります。仮想環境でのみ使用できるサブキャパシティ VPC ライセンスでは、ソフトウェア製品がインストールされて実行されている VM IBM に割り当てられている仮想コアのみを考慮する必要があります。

ライセンスワークベンチの [使用タイプ] フィールドを使用して、VPC ライセンスがデバイスにどのように適用されているかを可視化できます。この情報を使用して、VPC ライセンスが各デバイスのフルキャパシティまたはサブキャパシティのどちらに適用されるかを判断します。認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーと統合する場合は、次に移動して VPC ライセンスをデバイスに適用する方法を指定できます ワークスペース > **Software Asset Workspace**. ソフトウェア資産ワークスペースが起動したら、[ライセンス操作] ビューを開きます。ライセンス操作ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定 をクリックして、対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、[使用タイプ] フィールドは自動的に [サブキャパシティ] に設定されます。

使用可能なデバイス設定の詳細については、「」を参照してください ホストの IBM メタデータの確認。

IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合

IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory 統合を使用して、サーバーと IBM .Now Platform この接続を使用してインスタンスに ServiceNow データをインポートし、ソフトウェア製品のライセンス IBM を追跡および最適化できるようにします。

ILMT と BigFix Inventory の統合 API のバージョン 1 またはバージョン 2 を使用して、ILMT または BigFix Inventory と統合できます。アプリケーションは ソフトウェア資産管理 、これらの API を使用して、ソフトウェアインストールデータやピーク使用状況データなどのデータを ILMT または BigFix Inventory から取得します。バージョン 1 の API を使用した ILMT または BigFix Inventory との統合の詳細については、次を参照してください v1 API を使用した License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と IBM の統合。バージョン 2 の API を使用した ILMT または BigFix Inventory との統合の詳細については、次を参照してください v2 API を使用した License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と IBM の統合。

> **重要:**
> ILMT と BigFix Inventory の統合 API のバージョン 1 は、によって非推奨になりました IBM。ただし、アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 このバージョンの API を使用する統合を引き続きサポートします。ILMT または BigFix Inventory 統合を初めてセットアップする場合は、代わりにバージョン 2 の API を使用してください。これらの API の廃止の詳細については、「 廃止された REST API」 を参照してください。

自動翻訳

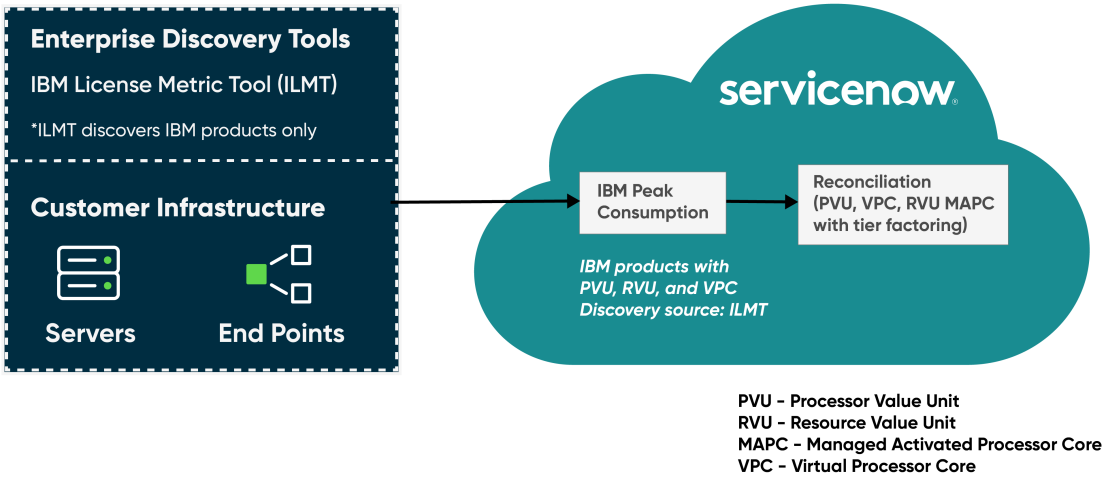
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

v2 API を使用した License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と IBM の統合

License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory 統合 API のバージョン IBM 2 を使用して、IBMサーバーと .Now Platform

この接続により、使用状況データをインスタンスに ServiceNow インポートできるため、ソフトウェア製品のフルキャパシティおよびサブキャパシティのプロセッサーバリューユニット (PVU) とリソースバリューユニット (RVU) のライセンス、およびサブキャパシティの仮想プロセッサーコア (VPC) のライセンスを IBM 追跡および最適化できます。

ILMT と BigFix Inventory の統合 API の詳細については、 REST API リソースと HTTP メソッド を参照してください。



ILMT と BigFix Inventory の統合により、HTTP または HTTPS を使用して 1 つ以上の IBM サーバー Now Platform 間の接続を作成できます。統合を開始すると、サーバー接続の設定にIBM使用できるサーバー接続エイリアスを受け取りますIBM。接続に成功すると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは ILMT または BigFix Inventory で定義した集計期間内のピーク使用状況データを取得します。

必須条件

この統合を使用してフルキャパシティおよびサブキャパシティの PVU、RVU、および VPC ライセンスを追跡する IBM には、次の前提条件を満たす必要があります。

- 物理ホストまたは仮想マシン (VM) に ILMT または BigFix Inventory をインストール、セットアップ、および実行します。

  重要:
  ILMT を設定するときは、インスタンスが対応する CI レコード構成管理データベース (CMDB)をで正確に作成できるように、シリアル番号、名前、IP アドレスなど、必要なすべての構成アイテム (CI) データが正しくServiceNow設定されていることを確認します。詳細については 、「KB0691430 」を参照してください。

- ILMT バージョン 9.2.24 以降をインストールします。

  注:
  ILMT バージョン 9.2.23 以前を使用している場合は、検出された IBM ソフトウェア製品に対してのみ使用状況データをインポートでき、それらの製品を実行しているホストに対してはインポートできません。

- IBM使用状況測定のガイドラインに従ってIBM物理ホストまたは VM をスキャンするように ILMT エージェントを構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> 使用状況測定のガイドラインの詳細についてはIBM、「ライセンス使用状況の測定」を参照してください。

- ILMT または BigFix Inventory を有効にして、物理ホストと VM の両方の構成、およびそれらの関係を検出します。
- ILMT または BigFix Inventory を使用して、コンポーネントを製品にIBM分類してバンドルIBMします。
- から ServiceNow® StoreLicense Compliance ソフトウェア資産管理 アプリケーションIBMを要求してインストールします。詳細な手順については、「IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory 統合のIBMアプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理の要求」を参照してください。
- [(*sn_samp_ibm_lic.ilmt_api_version*) ソフトウェア資産管理を使用して **ILMT** に接続する] プロパティを **[v2 API's]** に設定します。このプロパティの詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理のプロパティ。

IBM License Metric Tool (ILMT) と **BigFix Inventory** 統合の**IBM**アプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理の要求

License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory 統合 API のバージョン IBM 2 を使用して ILMT または BigFix Inventory と統合する場合は、 からアプリケーションのServiceNow® Storeライセンス・コンプライアンスソフトウェア資産管理を要求しIBMます。データ連携を使用して、ライセンスを追跡および管理します IBM 。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 IBM License Compliance for Software Asset Management 」と入力し、「 検索」を選択します。
4. [**IBM License Compliance for Software Asset Management**] という結果を選択します。
5. [License Compliance forソフトウェア資産管理] IBM ページで、[**Request Install**] を選択します。
   [ServiceNow Request for App Installation - IBM License Compliance for] ソフトウェア資産管理 ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNowアプリのインストールを要求 **- IBM** [ライセンスコンプライアンス] ダイアログボックスソフトウェア資産管理

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、「 インスタンスの検証」 を選択して、インスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法の詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

IBM License Metric Tool (ILMT) および BigFix Inventory v2 API の変換マップ

ILMT と BigFix Inventory の統合 API のバージョン 2 を使用して License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory から IBM データをインポートする場合、インスタンスは ServiceNow 変換マップを使用してこのデータをテーブルに処理します ServiceNow 。

デフォルトの ILMT および BigFix Inventory 変換マップ

ILMT と BigFix Inventory の統合 API のバージョン 2 を使用している場合、デフォルトでは、ServiceNow ILMT と BigFix Inventory のデータに対して次の変換マップが提供されます。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix Inventory** 変換マップ

変換マップ	ソーステーブル	ターゲットテーブル	説明
ILMT ソフトウェアライセンス使用状況	ILMT 製品使用率ステージング [ilmt_v2_product_usage_staging]	ILMT 製品使用率 [ilmt_v2_product_usage]	ソフトウェア製品のライセンス使用状況データを処理します IBM 。このデータを使用して、ソフトウェア製品を調整し IBM 、コンプライアンスを検証できます。 **注:** ILMT 製品使用率ステージング [ilmt_v2_product_usage_staging] テーブルにインポートされたデータは、検出された IBM ソフトウェア製品に対してレポートされます。ILMT デバイス使用率ステージング [ilmt_v2_device_usage_staging] テーブルにインポートされたデータは、ソフトウェア製品を実行しているIBMホストに対して 報告されます。 ILMT ソフトウェアライセンス使用変換マップは、ターゲットの ILMT 製品使用率 [ilmt_v2_product_usage]、サーバーあたりの ILMT 製品使用率 [ilmt_v2_usage_per_server]、および ILMT 検出済みコンピューター [ilmt_discovered_computer] テーブル
	ILMT デバイス使用率ステージング [ilmt_v2_device_usage_staging] **注:** このテーブルにデータをインポートできるのは、ILMT バージョン 9.2.24 以降を使用している場合のみです。ILMT バージョン 9.2.23 以前を使用している場合、または BigFix Inventory を使用している場合は、このテーブルにデータをインポートできません。	サーバーあたりの ILMT 製品使用率 [ilmt_v2_usage_per_server]	
		ILMT で検出されたコンピューター [ilmt_discovered_computer]	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix Inventory** 変換マップ (続く)

変換マップ	ソーステーブル	ターゲットテーブル	説明
			の対応するレコードのライセンス使用状況データを更新します。

ILMT および BigFix Inventory データ処理

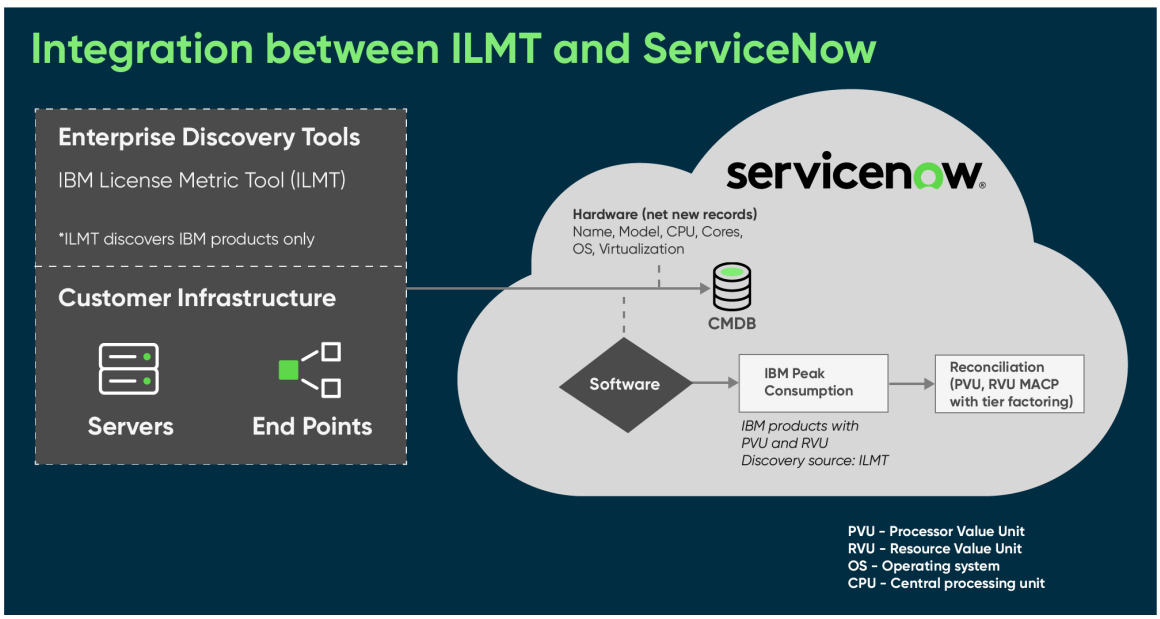
ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップは、onStart 変換マップスクリプトを使用して、ソース ILMT 製品使用率ステージング [ilmt_v2_product_usage_staging] テーブルおよび ILMT デバイス使用率ステージング [ilmt_v2_device_usage_staging] テーブルから対応するターゲットテーブルへのデータを処理します。onStart 変換マップスクリプトは、インポートの開始時に処理するイベントスクリプトです。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ」 を参照してください。

v1 API を使用した License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と IBM の統合

License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory 統合 API のバージョン IBM 1 を使用して、IBMサーバーと .Now Platform

この接続により、ソフトウェアインストールデータをインスタンスに ServiceNow インポートして、ソフトウェア製品のフルキャパシティおよびサブキャパシティのプロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) のライセンスを追跡し IBM て最適化できます。

重要:
ILMT と BigFix Inventory の統合 API のバージョン 1 は、によって非推奨になりましたIBM。ただし、アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 このバージョンの API を使用する統合を引き続きサポートします。ILMT または BigFix Inventory 統合を初めてセットアップする場合は、代わりにバージョン 2 の API を使用してください。バージョン 2 の API を使用した統合の設定の詳細については、「」を参照してください v2 API を使用した License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と IBM の統合。これらの API の廃止の詳細については、「 廃止された REST API」 を参照してください。



ILMT と BigFix Inventory の統合により、HTTP または HTTPS を使用して 1 つ以上の IBM サーバー Now Platform 間の接続を作成できます。ソフトウェア資産管理 Professional for IBM

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

(com.sn_samp_ibm) プラグインを有効にすると、サーバー接続の設定にIBM使用できるサーバー接続エイリアスを受け取りますIBM。接続に成功すると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは ILMT または BigFix Inventory で定義した集計期間内のソフトウェアインストール履歴データを取得します。このデータには、製品、コンポーネント、エディション、ホスト、仮想マシン、およびライセンス使用状況が含まれます。

注:
ライセンスの使用状況は、コンポーネントの使用ではなく、製品の使用に基づいています。

必須条件

この統合を使用してフルキャパシティとサブキャパシティの PVU および RVU ライセンスを追跡する IBM には、次の前提条件を満たす必要があります。

- 物理ホストまたは仮想マシン (VM) に ILMT または BigFix Inventory をインストール、セットアップ、および実行します。

  重要:
  ILMT を設定するときは、インスタンスが対応する CI レコード構成管理データベース (CMDB)をで正確に作成できるように、シリアル番号、名前、IP アドレスなど、必要なすべての構成アイテム (CI) データが正しくServiceNow設定されていることを確認します。詳細については 、「KB0691430」を参照してください。

- ILMT バージョン 9.2.7 以降をインストールします。
- IBM使用状況測定のガイドラインに従ってIBM物理ホストまたは VM をスキャンするように ILMT エージェントを構成します。

  注:
  使用状況測定のガイドラインの詳細についてはIBM、「ライセンス使用状況の測定」を参照してください。

- ILMT または BigFix Inventory を有効にして、物理ホストと VM の両方の構成、およびそれらの関係を検出します。
- ILMT または BigFix Inventory を使用して、コンポーネントを製品にIBM分類してバンドルIBMします。
- [(*sn_samp_ibm_lic.ilmt_api_version*) ソフトウェア資産管理を使用して **ILMT** に接続する] プロパティを **[v1 API's]** に設定します。このプロパティの詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理のプロパティ。

IBM v1 API の **License Metric Tool (ILMT)** および **BigFix Inventory** 変換マップ

ILMT および BigFix Inventory 統合 API のバージョン 1 を使用して License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory から IBM データをインポートする場合、インスタンスは ServiceNow 変換マップを使用してこのデータをテーブルに処理します ServiceNow 。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix Inventory** 変換マップ

デフォルトでは、 ServiceNow ILMT および BigFix Inventory API のバージョン 1 を使用している場合、ILMT および BigFix Inventory データに対して次の変換マップが提供されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix Inventory** 変換マップ

変換マップ	ソーステーブル	ターゲットテーブル	説明
ILMT コンピューター ID V1	コンピューター [imp_samp_ilmt_computer_system]	コンピューター [cmdb_ci_computer]	仮想マシン (VM) とホストの識別データを処理します。 ILMT コンピューター ID V1 変換マップは、CMDB IRE API を使用して、コンピューター [cmdb_ci_computer] テーブル内の各 VM またはホストの構成アイテム (CI) レコードを作成します。VM がホストと同じハードウェアシリアル番号を使用している場合、変換マップはホストのみの CI レコードを作成します。CMDB IRE API の詳細については、「識別および調整エンジン (IRE)」を参照してください。 **注:** ServiceNow は、ピリオド (.) を含むハードウェアシリアル番号をサポートしていません。
ILMT ソフトウェアインスタンス	ILMT ソフトウェアインスタンス [imp_samp_ilmt_sw_instance]	グローバル [global]	VM およびホスト上の各 IBM ソフトウェアコンポーネントおよび製品のインストールデータを処理します。 ソフトウェア コンポーネントは、VM にインストールまたは実行するソフトウェアの独立した単位です。ソフトウェアコンポーネントを個別に識別することはできますが、ライセンスを付与することはできません。ソフトウェア製品は、ソフトウェアコンポーネントの集合で構成できる、ホスト上のソフトウェアパッケージの単位です。ソフトウェア製品全体のライセンスを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix Inventory** 変換マップ (続く)

変換マップ	ソーステーブル	ターゲットテーブル	説明
			取得することができます。ソフトウェア・コンポーネントおよび製品の詳細については、 IBM Knowledge Center を参照してください。 ILMT ソフトウェアインスタンス変換マップは、ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルにIBM各IBMソフトウェアコンポーネントと製品インストールのレコードを作成します。 **注:** ソフトウェア製品は実際のソフトウェアインストールではありませんが、変換マップはそれらをインストールとして扱うため、調整とコンプライアンスの目的で各ソフトウェア製品のライセンス使用状況を更新および追跡できます。
ILMT ソフトウェアライセンス使用状況	ライセンス消費 [imp_samp_ilmt_license_usage]	グローバル [global]	ソフトウェア製品のライセンス使用状況データを処理します IBM 。このデータを使用して、ソフトウェア製品を調整し IBM 、コンプライアンスを検証できます。 **注:** ソフトウェア製品は仮想マシン (VM) の使用状況ではなく、物理ホストの使用状況に基づいてライセンス付与されるため、 IBM ライセンス使用状況データは物理ホストに対してのみ報告されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix Inventory** 変換マップ (続く)

変換マップ	ソーステーブル	ターゲットテーブル	説明
			ILMT ソフトウェアライセンス使用変換マップは、ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルの対応するレコードのライセンス使用状況データを更新します IBM 。対応するレコードが存在しない場合、変換マップは バージョン が [レポートなし] に設定されたライセンス使用状況データのレコードを作成します。

ILMT および **BigFix Inventory** データ処理

各 ILMT および BigFix Inventory 変換マップは、フィールドマップまたは変換マップスクリプトを使用してデータを処理します。

ILMT コンピューター ID V1 変換マップ

ILMT コンピューター ID V1 変換マップは、フィールドマップと変換マップスクリプトの両方を使用して、ソースコンピューター [imp_samp_ilmt_computer_system] テーブルからターゲットコンピューター [cmdb_ci_computer] テーブルへのデータを処理します。

デフォルトでは、ILMT コンピューター ID V1 変換マップには次のフィールドマップが含まれています。

デフォルトのフィールドマップ

ソースフィールド	ターゲットフィールド	説明
u_ip_address	ip_address	ホストまたは仮想マシンの IP アドレス。
u_dns_name	dns_domain	ホストまたは仮想マシンのドメイン名。
u_server_processors	cpu_count	ホストまたは仮想マシン上の CPU または仮想 CPU (vCPU) の数。
u_host_name	name	ホストまたは仮想マシンの名前。
u_processor_brand_string	cpu_name	ホストまたは仮想マシン上の CPU または vCPU のブランド名 (IBM例:)。
u_server_cores	cpu_core_count	ホストまたは仮想マシン上の CPU コアまたは vCPU コアの数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトのフィールドマップ (続く)

ソースフィールド	ターゲットフィールド	説明
[Script]	discovery_source	ソフトウェアインストールデータをプルする IBM 検出ソース。可能な値は、 ILMT または BigFix Inventory です。
[Script]	virtual	マシンが仮想かどうかを示すオプション。
u_processor_brand	cpu_type	ホストまたは仮想マシン上の CPU または vCPU のタイプ (デュアルコア CPU など)。
u_hardware_serial_number	serial_number	ホストを識別するシリアル番号。

フィールドマップの使用に加えて、変換マップは、各行変換の最後に処理するイベントスクリプトである onAfter 変換マップスクリプトを使用してデータを処理します。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ」 を参照してください。

ILMT ソフトウェアインスタンス変換マップ

ILMT ソフトウェアインスタンス変換マップは、onComplete 変換マップスクリプトを使用して、ソース ILMT ソフトウェアインスタンス [imp_samp_ilmt_sw_instance] テーブルからターゲット IBM のピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルへのデータを処理します。onComplete 変換マップスクリプトは、インポートの最後に処理するイベントスクリプトです。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ」 を参照してください。

ILMT ソフトウェアライセンス使用変換マップ

ILMT ソフトウェアライセンス使用変換マップは、onStart 変換マップスクリプトを使用して、ソースのライセンス消費 [imp_samp_ilmt_license_usage] テーブルからターゲット IBM のピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルへのデータを処理します。onStart 変換マップスクリプトは、インポートの開始時に処理するイベントスクリプトです。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ」 を参照してください。

IBM HTTPS の License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory 統合のセットアップ

コンプライアンス・レポート用に IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory 統合を設定できますIBM。

HTTPS 接続を使用している場合は、次のいずれかの接続タイプを使用できます。

- HTTPS を MID サーバー
- HTTPS を MID サーバー

HTTPS を MID サーバー

IBMとの MID サーバーHTTPS 接続を使用して、コンプライアンスレポート用に IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合を設定します。

始める前に
必要なロール： sys_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. ILMT または BigFix Inventory サーバーにログインし、次の場所に移動して、証明書をダウンロードします。 管理 > サーバー設定.
2. MID Server の証明書をインポート します。

次のタスク
証明書のアップロードが完了したら、 ILMT/BigFix Inventory への接続を作成します。

HTTPS を **MID** サーバー

IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合をセットアップし、 MID サーバーを使用せずに HTTPS 接続を使用してコンプライアンスレポートを作成しますIBM。

始める前に
必要なロール： sys_admin

このタスクについて

注:
インスタンスの IP アドレスに接続する ServiceNow には、ファイアウォールポートを開く必要があります。

手順

1. ILMT または BigFix Inventory サーバーにログインし、次の場所に移動して、証明書をダウンロードします。 管理 > サーバー設定.
2. ServiceNowインスタンスから、 システム定義 > 証明書 証明書 (信頼 ストア証明書、PEM 形式) を作成します。
3. ダウンロードした ILMT または BigFix Inventory サーバー証明書の完全内容を **[PEM** 証明書] フィールド (バナーを含む) に貼り付けます。
4. [ストア/証明書を検証] 関連リンクを選択します。
5. 証明書ファイルを使用して IBM Java Key Store ファイルを作成するには、コンピューターでコマンドプロンプトを開き、JRE keytool を含むフォルダーに移動します。
6. 次のコマンドを実行します。

```
keytool -import -trustcacerts -alias <Certificate alias> -file <Certificate file path> -keystore
 IBM_Server.keystore -storetype jks
keytool -list -v -keystore IBM_Server.keystore
```

これらのコマンドは、 IBM_Server.keystore ファイルを生成します。

7. に戻り Now Platform、 に移動します。 システム定義 > 証明書 証明書 (Java Key Store) を作成します。
8. 証明書レコードに添付ファイルとして生成した IBM_Server.keystore ファイルをアップロードします。
9. [ストア/証明書を検証] 関連リンクを選択します。
10. 移動先 システムセキュリティ > プロトコルプロファイル をクリックし、作成した Java Key Store 証明書を使用して新しいプロトコルプロファイルを作成します。

注:
ILMT/BigFix Inventory への接続を作成するときに作成するプロトコル・プロファイルを選択する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
証明書のアップロードが完了したら、 ILMT/BigFix Inventory への接続を作成します。

ILMT または BigFix Inventory への接続の作成

HTTP 接続を使用している場合、または HTTPS の初期設定が完了している場合は、IBMサーバーと .Now Platform

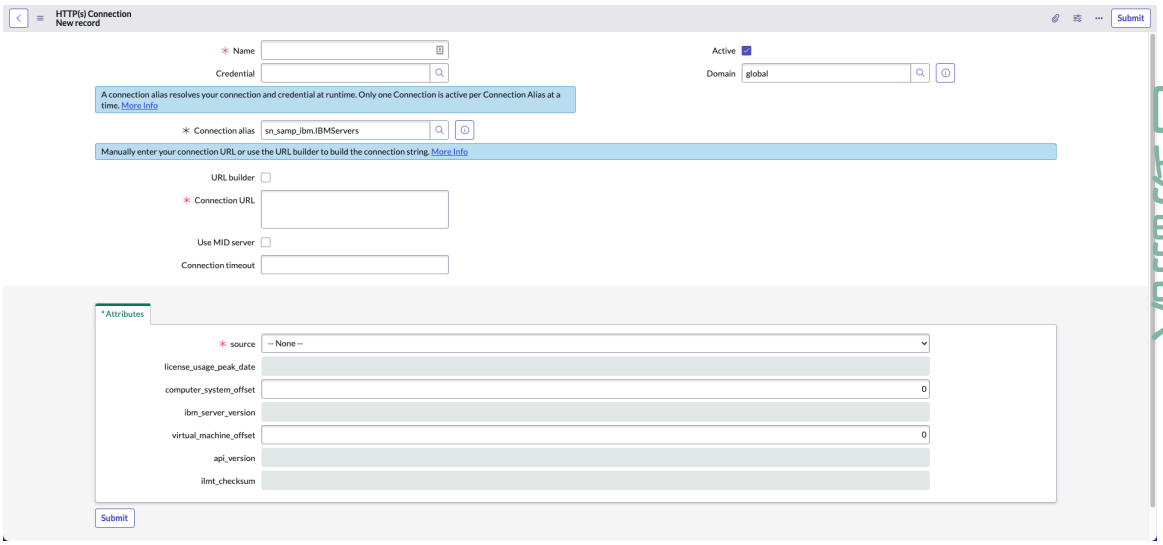
始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて

注:
を使用 MID サーバーせずに HTTP または HTTPS 接続を使用している場合は、インスタンスの IP アドレスに接続する ServiceNow ためにファイアウォールポートを開く必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > 統合 - **ILMT/BigFix Inventory** > セットアップ.
2. [接続および資格情報エイリアス] フォームの [接続] 関連タブで、[新規] を選択します。
   [HTTP(S) 接続] フォームが開きます。



3. フォームのフィールドに入力します。

HTTP(S) 接続フォーム

フィールド	説明
名前	接続の一意の名前。
認証情報	接続を確立するために使用される資格情報。ユーザー名とパスワードなどの基本認証資格情報か、API キー資格情報のいずれかを使用できます。 **注:** ILMT サーバーへのアクセスに使用するのと同じ資格情報を選択します。

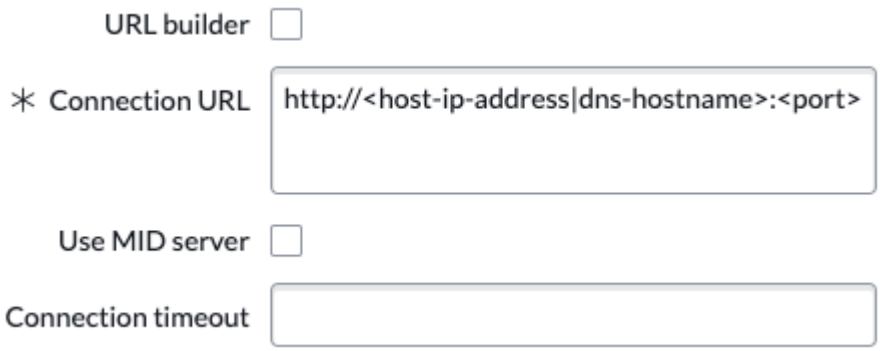
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
接続エイリアス	接続の参照に使用できる接続エイリアス。この接続エイリアスにより、実行時に接続と資格情報が解決されます。 このフィールドは自動的にsn_samp_ibmに設定されます 。IBMServers 別名。
アクティブ	接続がアクティブであることを示すオプション。
ドメイン	接続が属するドメイン。

4. 接続の URL を指定します。
HTTP 接続と HTTPS 接続のどちらを使用しているかに応じて、次のいずれかのオプションを使用して接続 URL を指定します。

- **HTTP** 接続: [接続 **URL**] フィールドを使用して HTTP 接続 URL を指定します。

  [接続 **URL**] フィールドに、 http://<*host-ip-address*|*dns-hostname*>:<*port*> 形式で URL を入力します。



> **注:**
> **[URL** ビルダー] チェックボックスをオンにした場合、[接続 **URL**] フィールドを変更することはできません。

- **HTTPS**接続: URLビルダーまたはSSL証明書を使用してHTTPS接続URLを指定します。

HTTPS 接続 **URL** オプション	手順
URL ビルダー	**a.** インスタンスで ServiceNow URL ビルダーを使用して接続 URL を構築できるようにするには、[**URL** ビルダー] チェックボックスをオンにします。 [相互認証]、[プロトコル]、[ホスト]、[デフォルト ポートに優先する]、および [ベース パス] の各フィールドがフォームに表示されます。

自動翻訳

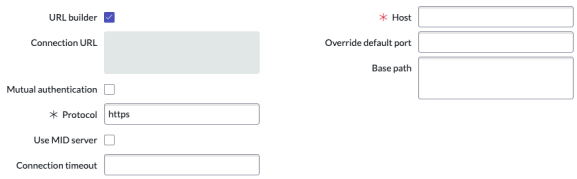
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTTPS 接続 URL オプション	手順
	 **b.** 「 プロトコル 」フィールドで、接続で使用される基礎となるプロトコルを指定します。 このフィールドは自動的に **https** に設定されます。 **c.** 「 ホスト 」フィールドに、接続で使用されるターゲット・ホストの URL を入力します。 URL は https://<*host-ip-address*|*dns-hostname*>:<*port*> 形式で入力する必要があります。 **d.** (オプション)「 デフォルト・ポートのオーバーライド 」フィールドに、接続で使用されるターゲット・ポートのポート番号を入力します。 ILMT または BigFix Inventory のセットアップに使用したものと同じポート番号を入力する必要があります。 **e.** (オプション) 「ベース・パス 」フィールドに、接続のベース・パスを入力します。
SSL 証明書	**a.** サーバーから IBM SSL 証明書を取得します。 **b.** の有無にかかわらず HTTPS 接続を使用しているかどうか MID サーバーに応じて、次のいずれかのオプションを使用して証明書をインスタンスに適用します ServiceNow 。 ▪ なし:MID サーバー **i.** 新しいタブまたはウィンドウで、証明書をインスタンスにアップロードします ServiceNow 。 詳細な手順については、「」 HTTPS を MID サーバー を参照してください。 **ii.** [HTTP(S) 接続] フォームに戻ります。 **iii.** **[URL** ビルダー] チェックボックスをオンにして、インスタンスでServiceNow接続 URL を構築できるようにします。 [相互認証]、[プロトコル]、[ホスト]、[デフォルト ポートに優先する]、および [ベース パス] の各フィールドがフォームに表示されます。

自動翻訳

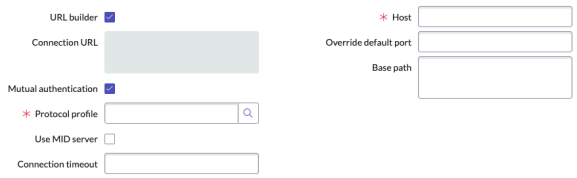
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTTPS 接続 URL オプション	手順



iv. [相互認証] チェックボックスをオンにして、接続の相互認証を有効にします。

[プロトコル] フィールドは [プロトコル プロファイル] フィールドに置き換えられます。



v. [プロトコルプロファイル] フィールドで、検索アイコン ( ) を選択し、相互認証に使用する証明書を指定する HTTPS プロトコルプロファイルを見つけて選択します。

で HTTPS を MID サーバー作成したものと同じプロトコル プロファイルを選択する必要があります。

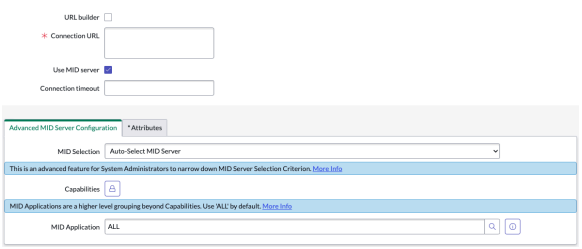
- を使用して:MID サーバー

i. 新しいタブまたはウィンドウで、証明書をインスタンスにアップロードします ServiceNow 。

詳細な手順については、「」 HTTPS を MID サーバー を参照してください。

ii. [HTTP(S) 接続] フォームに戻り、[**MID Server** を使用] チェックボックスをオンにします。

[**MID Server** 詳細構成] タブが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTTPS 接続 URL オプション	手順

iii. [**MID Server** 詳細構成] タブの [**MID** 選択] フィールドで、接続の選択方法MID サーバーを指定します。

次のオプションのいずれかを選択します。

- **MID Server** の自動選択:接続用に構成されている MID Server をMID サーバーリストから自動的に選択しますMID サーバー。このオプションがデフォルトで選択されています。

  このオプションを選択すると、[**MID Server** 詳細構成] タブに [機能] フィールドと **[MID** アプリケーション] フィールドが表示されます。これらのフィールドを使用して、サポートされているMID サーバー機能とアプリケーションに基づいて利用可能なMID サーバーリストをフィルタリングできます。

  - 機能に基づいてMID サーバーこのリストをフィルタリングするには、[機能] フィールドで [機能のロック解除] アイコン ([を選択します。フィールドのロックを解除した後、[リストから参照] アイコン (を選択し、目的の機能を検索して選択します。
  - アプリケーションに基づいてMID サーバーこのリストをフィルタリングするには、[**MID** アプリケーション] フィールドで [リストから参照] アイコン ([を選択し、目的のアプリケーションを検索して選択します。

  機能とアプリケーションの詳細についてはMID サーバー、「MID Server の選択」を参照してください。

- 特定の **MID Server**:接続に特定の MID サーバー MID Server を選択できます。

  このオプションを選択すると、[**MID Server** 詳細構成] タブに **[MID Server**] フィールドが表示されます。**[MID Server**] フィールドで [リストを使用して を選択し、接続に使用するものを検索して選択しますMID サーバー。

  > **重要:**
  > 接続に特定のMID サーバー接続を選択するには、指定された MID サーバーを使用するように設定されているすべてのアプリケーションの [すべてのアプリケーションに含める] チェックボックスをオフにする必要があります。このチェックボックスの詳細については、「各アプリケーションのデフォルト MID Server の設定」の「すべてのMID サーバー定義に含めるアプリケーションの選択」セクションを参照してください。

- 特定の **MID** クラスター:接続する特定の MID サーバー クラスターを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTTPS 接続 URL オプション	手順
	このオプションを選択すると、[**MID Server** 詳細構成] タブに **[MID** クラスター] フィールドが表示されます。**[MID** クラスター] フィールドで [リスト🔍を選択し、接続に使用するクラスターを検索して選択しますMID サーバー。

5. 接続タイムアウトを設定します。
   次のいずれかのオプションを使用して、接続タイムアウトを設定します。

   - **glide.http.outbound.max_timeout.enabled** システムプロパティ: Now Platform *glide.http.outbound.max_timeout.enabled* システムプロパティを使用すると、RESTMessageV2 および SOAPMessageV2 API が同期呼び出しからの応答を待機する秒数を指定できます。このシステムプロパティを設定するには、新しいタブまたはウィンドウを開き、次の場所に移動します。 システムのプロパティ > すべてのプロパティ > **glide.http.outbound.max_timeout.enabled**. このシステムプロパティが **true** に設定されている場合、またはインスタンスで ServiceNow 利用できない場合、インスタンスではデフォルトのタイムアウト値である 30 秒が使用されます。このシステムプロパティが **false** に設定されている場合、インスタンスは ServiceNow デフォルトのタイムアウト値 600 秒を使用します。このシステムプロパティの詳細については、「 利用可能なシステムプロパティ 」を参照してください。

   - [接続タイムアウト] フィールド:[HTTP(S) 接続] フォームの [接続タイムアウト] フィールドでは、インスタンスが特定の接続を確立するために待機する秒 ServiceNow 数を指定できます。

     重要:
     このオプションは、以降の San Diego リリースにのみ適用されます。以前の Rome リリースでは、システムプロパティのみ *glide.http.outbound.max_timeout.enabled* を使用して接続タイムアウトを設定する必要があります。

     [接続タイムアウト] フィールドの適用は、システムプロパティの構成によって異なります*glide.http.outbound.max_timeout.enabled*。システムプロパティが **false** に設定されている場合、インスタンスは ServiceNow [接続タイムアウト] フィールドに指定された値に従います。

     注:
     [接続タイムアウト] フィールドが空の場合、インスタンスはServiceNowデフォルトの接続タイムアウト値である 300 秒を使用します。

     システムプロパティが **true** に設定されているか、インスタンスで ServiceNow 使用できない場合、インスタンスは [接続タイムアウト] フィールドに指定された値を無視します。代わりに、インスタンスではデフォルトの接続タイムアウト値である 30 秒を使用します。

6. 接続の追加属性を構成します。

   [属性] タブを選択し、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



「属性」タブ

フィールド	説明
source	IBMソフトウェアインストールデータのソース。オプションは **ILMT** と **BigFix Inventory** です。
computer_system_offset	インスタンスが ILMT または BigFix Inventory からコンピューターレコードを再インポートできないようにする ServiceNow オフセット値。インポートを実行するたびに、インポートに含まれるコンピューターレコードに基づいてオフセット値が自動的に更新されます。それ以降のインポートのたびに、指定されたオフセット値から始まる新しいコンピューターレコードのみが取得されます。 新しい接続を確立する場合は、オフセット値が **0** に設定されていることを確認します。既存の接続のすべてのコンピューターレコードを再インポートする場合は、オフセット値を **0** にリセットします。
virtual_machine_offset	インスタンスが ILMT または BigFix インベントリから仮想マシン (VM) レコードを再インポートできないようにする ServiceNow オフセット値。インポートを実行するたびに、インポートに含まれる VM レコードに基づいてオフセット値が自動的に更新されます。それ以降のインポートのたびに、指定されたオフセット値から始まる新しい VM レコードのみが取得されます。 新しい接続を確立する場合は、オフセット値が **0** に設定されていることを確認します。既存の接続のすべての VM レコードを再インポートする場合は、オフセット値を **0** にリセットします。

7. [送信] を選択します。
   アクティブな接続情報が表示されます。
8. オプション: ILMT および BigFix Inventory API のバージョン 1 を使用している場合は、ILMT または BigFix Inventory のスケジュール済みデータを手動でインポートします。

   a. 移動先 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > スケジュール設定済みインポート [今すぐ実行] を選択します。

   b. インポートが正常に完了したことを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インポートと変換の両方が正常に完了したことを確認するには、 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > 変換履歴.

  注:
  [変換履歴] テーブルのすべてのレコードに 0 の挿入値が表示されます。

- ライセンス消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルにインポートされたすべてのデータを表示するには、次に移動します。 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > インポートセットデータ > ライセンス消費.
- コンピューター [cmdb_ci_computer] テーブルにインポートされたすべてのデータを表示するには、次に移動します。 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > インポートセットデータ > コンピューター.

ILMT 接続の健全性を検証する

ILMT 接続の健全性を検証して、各接続の成功率を向上させます。この結果を使用して、接続応答時間の調整や無効なハードウェアシリアル番号に関連するエラーの修正など、失敗した接続を解決する方法を評価します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 統合 **- ILMT/BigFix Inventory** > 接続の健全性.
2. [検証] を選択します。
   [Connection Healths] リストが、各 ILMT 接続の最新ステータスで再ロードされます。
3. [ステータス] フィールドを使用して、各接続のステータスを確認します。
   「 ステータス 」フィールドが 「失敗」に設定されている場合は、対応する 「情報」 フィールドを参照して、その接続が失敗した理由と、接続を正常に確立するために実行できるアクションの詳細を確認してください。

   たとえば、タイムアウトの問題が原因で接続が失敗した場合、[情報] フィールドには接続がタイムアウトしたことが示されます。[情報] フィールドには、接続が再び失敗するのを防ぐために推奨されるタイムアウト値も提案されます。

IBM 認定 **SAM** プロバイダー **(IASP)** 統合

Authorized SAM Provider (IASP) プログラムへの参加IBMが許可されているプロバイダーと Publisher Pack をソフトウェア資産管理IBM統合ソフトウェア資産管理することで、環境と IBM LPAR インフラストラクチャーの両方でVMware vSphereライセンスを追跡および管理IBMできます。これらの統合により、License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory とIBM統合することなく、ライセンスを直接追跡および管理IBMできます。

IASPプログラムは、認可 ソフトウェア資産管理 されたプロバイダと契約しているクライアントがライセンスの使用状況を独自に IBM 報告できるようにする、招待制のライセンス検証プログラムです。IASPプログラムの詳細については、「 IASP検証 」を参照してください。

公開者パックは IBM 、次の認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーとの統合をサポートしています。

- AnglepointAnglepoint(Elevateプラットフォーム)
- Deloitte

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合するには、 からアプリケーションのServiceNow Storeライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理を要求してインストールIBMする必要があります。このアプリケーションは、ライセンスを直接追跡および管理 IBM するために必要なコア機能とライセンス測定基準を提供します。とAnglepoint統合する場合は、 からアプリケーションのServiceNow Storeライセンスソフトウェア資産管理を要求してインストールAnglepointIBMする必要もあります。このアプリケーションを使用すると、からAnglepointソフトウェア情報を保存IBMできます。

必要なアプリケーションをインストールした後、統合している認定ソフトウェア資産管理プロバイダーからソフトウェア検出カタログを取得するIBM必要があります。このカタログは、認定ソフトウェア資産管理プロバイダーごとに個別に管理され、アプリケーションなどのServiceNow ディスカバリーディスカバリー・ツールがご使用の環境でディスカバーされたソフトウェアを識別するためにIBM使用できるソフトウェア情報のIBM集中リポジトリーです。カタログを取得したら、インスタンスにアップロードする必要があります ServiceNow 。

アップロードが成功したら、アプリケーションを使用して ServiceNow ディスカバリー ソフトウェアの検出 IBM を実行できます。ディスカバリーアプリケーションは、アップロードされたカタログを使用して、IBM環境で検出されたソフトウェアを識別します。次に、このデータを認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーに送信して、包括的な ソフトウェア分類とバンドルを行います。

検出 IBM されたソフトウェアが適切に分類されてバンドルされると、認定 ソフトウェア資産管理プロバイダーはこのデータをインスタンスに送り返します ServiceNow 。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、プロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサーコア (VPC) のライセンス測定基準を使用してこのデータを調整し、ソフトウェアの使用状況を追跡しIBMてライセンスコストを最適化できるようにします。PVU および RVU ライセンスの測定基準の詳細については、次を参照してください IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス。VPC ライセンス測定基準の詳細については、「」を参照してください IBM 仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンス。

必須条件

公開者パックを IBM 認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーと統合する前に、次の前提条件を満たす必要があります。

- から ServiceNow StoreLicense Compliance ソフトウェア資産管理 アプリケーションIBMを要求してインストールします。詳細な手順については、「IBM認定ソフトウェア資産管理プロバイダー統合のアプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理の要求」を参照してください。
- [**IBM** ライセンスコンプライアンスに **ServiceNow** ソフトウェア資産管理およびディスカバリーを使用する **(Use ServiceNow Software Asset Management and Discovery for IBM license compliance)**]*com.snc.samp.ibm.use_samp_ibm_licensing*ソフトウェア資産管理 プロパティを有効にします。このプロパティの詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理のプロパティ 。
- インスタンスで (com.snc.discovery) プラグインをアクティブ化 ディスカバリー します ServiceNow 。詳細な手順については、「 Discovery の要求 」を参照してください。
- インスタンスでファイルベース ディスカバリー (com.snc.discovery.file_based_discovery) プラグインをアクティブ化します ServiceNow 。ファイルベースの ディスカバリーの詳細については、「」を参照してくださいFile-based Discovery 。
- ServiceNow Store からパターンサービスマッピングアプリケーションを要求してインストールしますディスカバリー。およびサービスマッピングパターンの詳細についてはディスカバリー、「ITOM Visibility で使用される検出パターン 」を参照してください。
- 統合にドメイン分離を使用する場合は、インスタンスで Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインをアクティブ化します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow 。詳細な手順については、「 Domain Separation プラグイン 」を参照してください。

- IBM認定ソフトウェア資産管理プロバイダーからソフトウェア検出カタログをダウンロードします。

公開者パックを IBM® と Anglepoint統合する場合は、次の追加の前提条件も満たす必要があります。

- からServiceNow Storeアプリケーションのライセンスソフトウェア資産管理を要求してインストールAnglepointIBMします。詳細な手順については、「アプリケーションのライセンスソフトウェア資産管理を要求しAnglepointますIBM」を参照してください。
- Elevateプラットフォーム Anglepoint を設定します。

認定 **SAM** プロバイダー **(IASP)** 統合でサポートされる **IBM** 仮想化テクノロジー

IBM認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合は、環境と IBM LPAR インフラストラクチャーの両方でVMware vSphereライセンス交付をサポートしますIBM。

IBMVMware vSphere環境でのライセンス

認定 SAM プロバイダー (IASP) プログラムへの参加IBMが許可されているプロバイダーと Publisher Pack をソフトウェア資産管理IBM統合ソフトウェア資産管理すると、ソフトウェア資産管理アプリケーションは のライセンス規則VMware vSphereをサポートしますIBM。

VMware vSphere は、仮想マシン (VM) にソフトウェア製品をインストールして実行できる IBM 仮想化プラットフォームです。アプリケーションはソフトウェア資産管理、環境内のVMware vSphereソフトウェア製品のフルキャパシティおよびサブキャパシティプロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンスの両方IBMをサポートします。

IBM のライセンスモデル **VMware vSphere**

ライセンスキャパシティ	ライセンスモデル
フルキャパシティ	仮想マシンにソフトウェア製品をインストールして実行 IBM する場合は、仮想マシンを実行している基盤となる物理 ESXi ホスト上の各プロセッサ コアにライセンスを付与する必要があります。物理 ESXi ホストが複数の仮想マシンを同時に実行している場合でも、ソフトウェア製品をインストールして実行する IBM 仮想マシンの数に関係なく、ホスト上の各プロセッサ コアにライセンスを付与する必要があります。 基盤となる物理 ESXi ホスト上のプロセッサ コアの合計数を使用して、ライセンス タイプに基づいてライセンスに必要な権限の数を決定します。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を確認するには、を参照してください IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「」を参照してください IBM 仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IBM のライセンスモデル **VMware vSphere** (続く)

ライセンスキャパシティ	ライセンスモデル
サブキャパシティ **注:** サブキャパシティー・ライセンスは、VM の VM マネージャーを構成して指定した場合にのみ使用できます。VM マネージャーの詳細については、を参照してください ライセンスを追跡する IBM 仮想マシン (VM) マネージャーを指定します。	ソフトウェア製品をインストールして実行する IBM VM に割り当てられている仮想コアのみにライセンスを付与する必要があります。 VM 全体でライセンスを付与する必要がある仮想コアの合計を使用して、ライセンスの種類に基づいてライセンスに必要な権限の数を決定します。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を確認するには、を参照してください IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「」を参照してください IBM 仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンス。 **注:** デフォルトでは、必要な権限の数は仮想コアの合計を使用して計算されます。仮想コアの合計が、仮想マシンを実行している基盤となる物理 ESXi ホスト上のプロセッサ コアの合計数を超えた場合、必要な権限の数は、代わりにホスト上のプロセッサ コアの合計数を使用して計算されます。 **注:** 仮想マシンと、仮想マシンを実行している基礎となる物理 ESXi ホストの両方にソフトウェア製品をインストールして実行 IBM する場合は、ホストでのインストールのライセンスも取得する必要があります。

IBM LPARインフラストラクチャでの **IBM** ライセンス供与

Authorized SAM Provider (IASP) プログラムへの参加IBMを許可されているプロバイダーとPublisher Pack をソフトウェア資産管理IBM統合ソフトウェア資産管理すると、ソフトウェア資産管理アプリケーションは論理区画のIBMライセンス規則をサポートしますIBM。

論理区画 (LPAR) は、オペレーティング・システムをサポートするプロセッサー・ハードウェアの定義済みサブセットです。LPAR には、プロセッサー、メモリー、入出力装置など、独立したシステムとして作動するリソースが含まれています。各メインフレーム・ハードウェア・システム内に複数のLPARを設定できます。

LPAR インフラストラクチャー内の IBM LPAR および LPAR リソースをディスカバーするには、LPAR の管理と構成を可能にするハードウェアアプライアンスであるハードウェア管理コンソール (HMC) のIBMパターンが必要ですServiceNow ディスカバリー。これらの検出パターンにアクセスするには、からパターンサービスマッピングアプリケーションServiceNow Storeを要求してインストールディスカバリーする必要があります。LPAR で検出を構成する方法の詳細については、を参照してください 。

注:
`lparstat` コマンドは、LPAR 関連の情報と使用状況のレポートを取得します。詳しくは、IBM Knowledge Center を参照してください。

検出を実行すると、検出された LPAR データが入力され、インスタンスのServiceNow次の構成管理データベース (CMDB)テーブルに保存されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- cmdb_ci_ibm_frame
- cmdb_ci_aix_server
- cmdb_ci_lpar_instance
- cmdb_ci_lpar_resource
- cmdb_rel_ci
- cmdb_sam_sw_install

このデータを入力して保存するには、から ServiceNow StoreCMDB CI Class Models アプリケーションを要求してインストールする必要があります。このアプリケーションは、HMC の CMDB クラスを追加または更新します IBM 。HMC CMDB クラスの詳細については IBM 、を参照してください 。

アプリケーションはソフトウェア資産管理、LPAR インフラストラクチャー内のIBMソフトウェア製品のフルキャパシティおよびサブキャパシティープロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンス交付の両方IBMをサポートします。

IBM LPAR インフラストラクチャーの IBM ライセンス規則

フルキャパシティライセンス

フルキャパシティー・ライセンスを使用する場合は、ソフトウェア製品をインストールして実行 IBM した LPAR を実行している基礎となるハードウェア・システム上の各プロセッサー・コアにライセンスを付与する必要があります。

基盤となるハードウェア システム上のプロセッサ コアの合計数を使用して、ライセンスの種類に基づいてライセンスに必要な権限の数を決定できます。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を確認するには、を参照してください IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「」を参照してください IBM 仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンス。

サブキャパシティ・ライセンス

サブキャパシティー・ライセンスを使用する場合は、ソフトウェア・プロダクトをインストールして実行する IBM LPAR に割り当てられているプロセッサー・コアのみにライセンスを付与する必要があります。

サブキャパシティー・ライセンスに必要な権限の数は、ソフトウェア製品に IBM 使用しているプロセッサー・プールおよびライセンスのタイプに基づいて決定できます。

IBM LPAR は、専用プロセッサー・プールと共用プロセッサー・プールの両方をサポートします。プロセッサー・コアが 1 つの専用 LPAR にのみ割り当てられている専用プロセッサー・プールを使用している場合は、ソフトウェア製品をインストールまたは実行する IBM LPAR に割り当てられている専用プロセッサー・コアごとにライセンス交付を受ける必要があります。プロセッサー・コアがマイクロ区画間で共用される共用プロセッサー・プールを使用している場合は、ソフトウェア・プロダクトをインストールまたは実行する IBM マイクロ区画間で共用されるプロセッサー・コアのライセンス交付を受ける必要があります。LPAR タイプに基づいて、マイクロパーティション全体でライセンス交付を受ける必要があるプロセッサー・コアの数を決定できます。

- 上限付き **LPAR:** 上限付き LPAR は、LPAR が受け取る資格がある CPU リソースの数である最大ライセンス済み容量が割り当てられている論理区画です。上限付き LPAR は、割り当てられたライセンス済み容量よりも多くのプロセッサー能力を使用することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 上限なし **LPAR:** 上限なし LPAR は、割り当てられたライセンス済みキャパシティーよりも多くのプロセッサー能力を使用できる論理区画です。プロセッサーの電力使用量は、LPAR に割り当てられている仮想プロセッサー・コアの数、または共用プロセッサー・プールで使用可能なプロセッサー・コアの最大数によって制限されます。

詳細については、「 サブキャパシティ (仮想化) ライセンスカウントルール 」を参照してください。

プロセッサー・プール全体でライセンス交付を受ける必要があるプロセッサー・コアの合計を使用して、ライセンス・タイプに基づいてライセンスに必要な権限の数を判別できます。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を確認するには、を参照してください IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) ライセンス。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「」を参照してください IBM 仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンス。

IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合の IBM 調整

IBM 調整により、手動による計算を必要とせずにライセンスの位置を正確かつ最新の状態に保ち IBM ます。調整は毎週もしくはオンデマンドで実行できます。

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、プロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、または仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンスに必要な権限の数を計算する際に、ライセンスをフルキャパシティまたはサブキャパシティのいずれで使用するかに基づいて 2 つの異なる数を計算します。アプリケーションは ソフトウェア資産管理 、 この情報を、IBM ソフトウェア製品の日次集計ピーク使用量 および PVU、RVU、または VPC ライセンスの使用タイプとともに使用して、90 日間のソフトウェア製品の最高水準点 (ピーク使用量) を判別します IBM 。

注:
南北アメリカ、EMEA、APAC などの地域ごとにソフトウェア製品の最高水準点 IBM を決定できます。

その後、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは最高水位標の値を使用してソフトウェア製品を調整し IBM 、ライセンスが準拠しているかどうかを判断できるようにします。

IBM認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合のセットアップ

認定ソフトウェア資産管理プロバイダーのIBM公開者パックを統合ソフトウェア資産管理する前に、セットアップ プロセスを完了します。

認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合するには、 からアプリケーションのServiceNow® Storeライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理を要求してインストールIBMする必要があります。とAnglepoint統合する場合は、 からアプリケーションのServiceNow® Storeライセンスソフトウェア資産管理を要求してインストールAnglepointIBMする必要もあります。認定ソフトウェア資産管理プロバイダーからのソフトウェア検出カタログもインスタンスにアップロードIBMする必要がありますServiceNow。

IBM認定ソフトウェア資産管理プロバイダー統合のアプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理の要求

からアプリケーションのServiceNow® Storeライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理を要求して、認定ソフトウェア資産管理プロバイダーのIBM公開者パックを統合ソフトウェア資産管理IBMできるようにします。データ連携を使用して、ライセンスを追跡および管理します IBM 。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Web ブラウザーから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 IBM License Compliance for Software Asset Management 」と入力し、「 検索」を選択します。
4. [**IBM License Compliance for Software Asset Management**] という結果を選択します。
5. [License Compliance forソフトウェア資産管理] IBM ページで、[**Request Install**] を選択します。
   [ServiceNow Request for App Installation - IBM License Compliance for] ソフトウェア資産管理 ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNowアプリのインストールを要求 **- IBM** [ライセンスコンプライアンス] ダイアログボックスソフトウェア資産管理

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、「 インスタンスの検証」 を選択して、インスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法の詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

アプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理によって**IBM**追加されたライセンス測定基準

アプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理はIBM、ソフトウェア製品を分類IBMできるようにするライセンス測定基準を追加します。

これらの追加のライセンス測定基準は、アプリケーションの Publisher Pack IBM をソフトウェア資産管理アクティブ化して IBM License Compliance ソフトウェア資産管理 をインストールした場合にのみ使用できます。の Publisher Pack IBMのみをアクティブ化ソフトウェア資産管理している場合は使用できません。

また、ライセンス・メトリックを使用して、ご使用の環境でディスカバーされたソフトウェア製品を調整することもできます。アプリケーションはソフトウェア資産管理、や測定基準グループなどのAdobeMicrosoft公開者固有の測定基準グループを使用して、サポートされているソフトウェア公開者のデフォルトのライセンス測定基準を自動的に追加します。これらのライセンス測定基準は、対応するソフトウェアエンタイトルメントに設定され、調整に使用されます。既存の測定基準グループに含まれていない追加のライセンス測定基準は、調整に使用するためにカスタム ライセンスの測定基準として追加する必要があります。カスタム ライセンスの測定基準は、サポートされているライ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

センスの測定基準のデフォルト リストにまだ含まれていないソフトウェア ライセンス計算を追加することで、調整プロセスを変更します。

デフォルトでは、測定基準グループには調整 IBM 用の IBM 次のライセンス測定基準が含まれています。

- 認定ユーザー
- 認定ユーザー値単位
- 従業員ユーザー値単位
- 外部ユーザーの値単位
- デバイスあたり
- 指名ユーザーあたり
- プロセッサーあたり (CPU カウント)
- ユーザーごと
- プロセッサーバリューユニット (PVU)
- リソース値単位 (RVU)
- 仮想プロセッサーコア (VPC)

アプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理によってIBM追加される他のすべてのライセンス測定基準は、測定基準グループにIBM含まれません。これらのライセンスの測定基準のいずれかを使用してソフトウェア製品を調整する IBM 場合は、対応するカスタム ライセンスの測定基準をインスタンスに作成する必要があります ServiceNow 。カスタム ライセンスの測定基準の作成方法の詳細を参照してください カスタムライセンスの測定基準の追加 。

アプリケーションのライセンスソフトウェア資産管理を要求し**Anglepoint**ます**IBM**

のIBM公開者パックを とAnglepoint統合ソフトウェア資産管理する場合は、 からアプリケーションのライセンスソフトウェア資産管理を要求しAnglepointIBMますServiceNow Store。このアプリケーションは、基本ソフトウェア資産管理のファイル名 [samp_file_name]、ファイルマップ [samp_file_map]、およびファイルセット [samp_file_set] テーブルを拡張して、 からAnglepointソフトウェア情報を保存IBMできるようにします。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

IBMアプリケーションのライセンスソフトウェア資産管理には、ベースファイル名 [samp_file_name]、ファイルマップ [samp_file_map]、およびファイルセット [samp_file_set] テーブルを次のように拡張するテーブルディクショナリが含まれています。

ベーステーブル	拡張テーブル
ファイル名 [samp_file_name]	Anglepoint ファイル名 [samp_anglepoint_file_name]
ファイルマップ [samp_file_map]	Anglepoint ファイル マップ [samp_anglepoint_file_map]
ファイルセット [samp_file_set]	Anglepoint ファイルセット [samp_anglepoint_file_set]

拡張テーブルには、によって管理されAnglepointているソフトウェア検出カタログからのIBMソフトウェア情報が格納されます。このソフトウェア情報をこれらのテーブルに追加するには、 IBM Elevate プラットフォームから Anglepoint ソフトウェア検出カタログをダウンロードし、インスタンスに ServiceNow アップロードします。アプリケーションなどの ServiceNow ディスカバリー検出ツールは、このソフトウェア情報を使用して、環境で検出されたソフトウェアを識別 IBM でき

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。ソフトウェア検出カタログの詳細についてはIBM、「」を参照してくださいソフトウェア検出カタログの IBM インスタンスへの ServiceNow アップロード。

手順

1. Web ブラウザーから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 IBM Licensing for Software Asset Management 」と入力し、「 検索」を選択します。
4. [**IBM Licensing for Software Asset Management**] という結果を選択します。
5. [IBM ライセンス対象] ソフトウェア資産管理 ページで、[インストールの要求] を選択します。[Request for App Installation - IBM Licensing forソフトウェア資産管理] ServiceNow ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNowアプリのインストールの要求 **- IBM** [ライセンス] ダイアログボックスソフトウェア資産管理

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、「 インスタンスの検証」 を選択して、インスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法の詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

ソフトウェア検出カタログの **IBM** インスタンスへの **ServiceNow** アップロード

ソフトウェア検出カタログを IBM インスタンスに ServiceNow アップロードして、アプリケーションなどの ServiceNow　ディスカバリー 検出ツールが環境内で検出されたソフトウェアを識別 IBM できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
IBMソフトウェア検出カタログは、検出ツールが検出IBMされたソフトウェアを識別するために使用できるソフトウェア情報のIBM集中リポジトリです。このカタログは、認定 ソフトウェア資産管理プロバイダーごとに個別に管理されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. IBM統合している認定ソフトウェア資産管理プロバイダーからソフトウェア検出カタログをダウンロードします。
2. カタログをインスタンスにアップロードします ServiceNow 。

   a. ServiceNowインスタンスから、 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > **IBM** コンテンツのインポート.

   b. 「ソフトウェア・ライブラリーの管理」フォームで、「 コンテンツ・ファイルの添付」を選択します。
   [添付ファイル] ダイアログボックスが開きます。

   c. ダイアログボックスで、検索するファイルを選択し、Elevateプラットフォームからの Anglepointダウンロードしたソフトウェア検出カタログを選択しますIBM。

   d. ダイアログボックスを閉じて、[ソフトウェアライブラリーの管理] フォームに戻ります。

   e. [インポート実行] を選択します。

タスクの結果
と Anglepoint統合する場合、カタログに含まれるすべての IBM ソフトウェア情報は、次の ソフトウェア資産管理 テーブルに保存されます。

- Anglepoint ファイル名 [samp_anglepoint_file_name]
- Anglepoint ファイル マップ [samp_anglepoint_file_map]
- Anglepoint ファイルセット [samp_anglepoint_file_set]

注:
これらのテーブルは、基本のファイル名 [samp_file_name]、ファイルマップ [samp_file_map]、およびファイルセット [samp_file_set] テーブルの拡張です。ベーステーブルを拡張するには、アプリケーションのライセンスソフトウェア資産管理を要求してインストールAnglepointIBMする必要があります。詳細な手順については、「アプリケーションのライセンスソフトウェア資産管理を要求しAnglepointますIBM」を参照してください。

統合のための **Anglepoint** 接続の作成

のIBM発行者パックを とAnglepoint統合ソフトウェア資産管理する場合は、インスタンスと Anglepoint Elevate プラットフォームの間にServiceNow接続を作成して、ソフトウェア製品のライセンス データを転送できますIBM。

統合のための **Anglepoint API** ユーザーを作成する

統合で使用される Anglepoint API へのアクセスを許可するユーザーを作成します。これらの API は、インスタンスで利用可能な統合リソースへの Anglepoint 指定されたユーザーアクセスを提供します ServiceNow 。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
この統合では Anglepoint 、次の API を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Anglepoint 統合 API

API	API パス	説明
変換 (POST)	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/transform	インストールされている IBM ソフトウェアの情報を処理します。
コンピューターを取得	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/computer	ソフトウェアがインストールされている仮想マシン (VM) とホスト IBM に関する情報を取得します。
エンタイトルメントを取得	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/entitlement	インストールされている IBM ソフトウェアのエンタイトルメント情報を取得します。
分類を取得	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/classification	インストールされている IBM ソフトウェアの分類情報を取得します。
事後分類	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/classification	インストールされている IBM ソフトウェアの分類情報を送信します。

手順

1. 移動先 すべて > 組織 > ユーザー をクリックし、 新規 を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

ユーザーフォーム

フィールド	説明
ユーザー ID	ユーザーの一意の識別子。
名	ユーザーの名前 (名)。
姓	ユーザーの名前 (姓)。
タイトル	ユーザーの役職またはジョブの説明。
部門	ユーザーが所属する部門。
パスワードのリセットを強制	最初のログイン時に割り当てられたパスワードを変更するようにユーザーに要求するオプション。 注: このオプションは無効にする必要があります。
ロックアウト	ユーザーをインスタンスから ServiceNow ロックアウトし、すべてのアクティブなセッションを終了するオプション。
アクティブ	ユーザーがアクティブであることを示すオプション。 注: このオプションを有効にする必要があります。
Web サービスへのアクセスのみ	ユーザーを非インタラクティブユーザーとして指定するオプション。非インタラクティブユーザーは、JSON、SOAP、WSDL などの API 接続を許可するために、アサインされた資格情報のみを使用できます。非インタラクティブユーザーの詳細については、「 非インタラクティブセッション 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このオプションを有効にする必要があります。
内部統合ユーザー	ユーザーを内部統合ユーザーとして指定するオプション。内部統合ユーザー の詳細については、「内部統合ユーザーとしてサービス アカウントをマーク する」を参照してください。
メール	ユーザーのメールアドレス。
言語	ユーザーの言語設定。
カレンダー同期	ユーザーが会議への招待と通知を受信する際に使用するカレンダー。
タイムゾーン	ユーザーが所在するタイムゾーン。
日付形式	ユーザーの優先日付形式。
電話 (勤務先)	ユーザーに割り当てられている勤務先電話番号。
携帯電話	ユーザーに割り当てられている携帯電話番号。
写真	ユーザーの写真。

3. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   フォームが自動的に再ロードされ、追加のフォームアクション、関連リンク、および関連タブが表示されます。
4. ユーザーのパスワードを生成します。

   a. [パスワードを設定] を選択します。
      [パスワードを設定] ダイアログボックスが開きます。

   b. ダイアログボックスで、「 生成」を選択します。
      インスタンスは ServiceNow 、ユーザーのパスワードを自動的に生成します。

   c. [パスワード] フィールドの値をコピーします。
      後で使用できるように安全な場所に保存してください。

   d. [パスワードの保存] を選択します。
      ダイアログボックスが閉じ、自動的にユーザーフォームに戻ります。

5. ユーザーにロールをアサインします。

   a. [ロール] 関連タブで、[編集...] を選択します。

   b. [メンバーの編集] フォームの [コレクション] リストから、次のロールを検索して選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- snc_platform_rest_api_access
- oauth_user
- sn_samp_ibm_lic.sam_ibm_data_integrator

c. [追加] ボタン ( ) を選択して、選択したロールを [コレクション] リストから [ロールリスト] に移動します。

d. **[Save** (保存)] を選択します。
[メンバーの編集] フォームが閉じ、自動的に [ユーザー] フォームに戻ります。

e. 選択したすべてのロールが [ロール] 関連タブに表示されていることを確認します。

統合のための **Anglepoint API** 認証方法の構成

インスタンスの統合リソースServiceNowへのAnglepointアクセス権をユーザーに付与する API 認証方法を設定できます。

統合で使用される Anglepoint API は、基本認証と OAuth 2.0 認証の両方をサポートしています。基本認証では、標準のユーザー名とパスワードを使用して、インスタンス上のリソースへのアクセス権をユーザーに付与します ServiceNow 。OAuth 2.0 認証では、OAuth トークンを使用して、これらのリソースへのアクセス権をユーザーに付与します。基本認証を構成するには、「 基本認証を使用する REST メッセージの構成 」または 「送信 SOAP での基本認証の有効化 」を参照してください。OAuth 2.0 認証を設定するには、「」を参照してください 統合のための Anglepoint OAuth 2.0 認証の構成。

統合のための **Anglepoint OAuth 2.0** 認証の構成

OAuth 2.0 認証を構成して、ユーザーが OAuth トークンを使用して API を介して統合リソースにアクセスできる Anglepoint ようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、OAuth API エンドポイントを作成します。

Elevate プラットフォームは Anglepoint 、OAuth API エンドポイントを使用して、インスタンスの統合リソースへのアクセス Anglepoint を許可する OAuth トークンを要求します ServiceNow 。

OAuth API エンドポイントの作成方法については、「 クライアントがインスタンスにアクセスするためのエンドポイントの作成 」を参照してください。

> **重要:**
> OAuth API エンドポイントが正常に作成されたら、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。後で使用できるように安全な場所に保存してください。

2. Anglepoint Elevate プラットフォームから、インスタンスへの API 接続を作成しますServiceNow。

API接続により、Elevateプラットフォームとインスタンス間で Anglepoint データを安全に転送できます ServiceNow 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
Elevate プラットフォームは Anglepoint 、HTTP Post 要求を使用して、API 接続に指定した資格情報を https://<servicenow-instance-url>.service-now.com/oauth_token.do に送信します。インスタンス ServiceNow は、OAuth トークンを生成して Elevate プラットフォームに送信する Anglepoint ことで、要求に応答します。Elevate プラットフォームはAnglepoint、これらのトークンを使用して、インスタンスの統合リソースServiceNowにアクセスするAnglepointための API 要求を行うことができます。

ソフトウェア製品のピーク使用量 **IBM** の日次集計を表示する

各製品のエディション、ライセンス測定基準、および地域に基づいて、ソフトウェア製品のプロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサーコア (VPC) の使用率の最大日 IBM 次サブキャパシティおよびフルキャパシティを表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. ライセンス操作ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > 毎日集計されるピーク使用量.
4. 対応する [日付] フィールドの値を選択して、特定のIBMソフトウェア製品の追加の使用率の詳細を表示します。

ソフトウェア製品の毎日の **IBM** 使用量が最も多いデバイスを表示する

各製品のエディションとライセンス測定基準の両方に基づいて、物理ホスト別にソフトウェア製品の最も高い日次使用量 IBM のブレークダウンを表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. ライセンス操作ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > 最高水位標の使用量.
4. ソフトウェア製品の日次使用量 IBM が最も多い物理ホストのリストを表示します。

コンポーネントの **IBM** 製品分類の表示

環境にインストールされているすべての IBM コンポーネントの製品分類を表示します。これらの製品分類により、コンポーネントのライセンスを追跡および管理できます IBM 。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. ライセンス操作ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > 製品分類.
4. 環境にインストールされているすべての IBM コンポーネントの製品分類を表示します。
   各製品分類には、分類された製品、製品エディション、製品バージョン、および割り当てられたライセンスの測定基準が含まれます。

ライセンスを追跡する **IBM** 仮想マシン **(VM)** マネージャーを指定します

ライセンスを追跡するIBM仮想マシン (VM) マネージャー (VMwarevCenter Server やIBMハードウェア管理コンソール (HMC) など) を指定します。これらの指定された VM マネージャー内でのみディスカバーされたソフトウェアの IBM ライセンスを追跡できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. ライセンス操作ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > スキャンするデバイス.
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. 「ライセンス交付 VM マネージャー」 IBM フォームのフィールドに入力します。

IBM VM マネージャーのライセンス交付フォーム

フィールド	説明
VM マネージャー	ライセンスを追跡する IBM VM マネージャー。
タイプ	VM マネージャーのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ **vCenter** ○ **ESX** サーバー ○ **Hmc** ○ すべての **AIX** サーバー

6. [送信] を選択します。

ソフトウェアインストールの **IBM** 重複排除

ライセンスを追跡および管理IBMするために、パブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダー、 IBM License Metric Tool (ILMT)、または BigFix Inventory と統合IBMできます。認定プロバイダー統合と、ILMT ソフトウェア資産管理 または BigFix Inventory 統合のいずれかを切り替える場合は、エディション、バージョン、言語が同じで、ソースが異なるソフトウェアインストールを重複排除できます。

ILMT などのAnglepoint複数のソースから同じIBMソフトウェアインストールを検出した場合、ソフトウェア資産管理そのソフトウェアインストールの検出ごとに個別のソフトウェアインストールレコードが作成されます。スケジュール設定済みジョブを実行することで *`SAM - Deduplicate Install Table`* 、これらの重複するソフトウェアインストールレコードを解決できます。これにより、1 つの重複したソフトウェアインストールレコードのみがアクティブとしてマークされ、調整に

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

含まれるようになります。重複排除の詳細については、「」を参照してください ソフトウェアインストールテーブルで重複するソフトウェアインストールを解決する 。

デフォルトでは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは ILMT または BigFix Inventory を介して検出されたソフトウェアインストールを優先し IBM ます。スケジュール済みジョブを実行する *SAM - Deduplicate Install Table* と、ILMT または BigFix Inventory を介して検出されたすべての IBM ソフトウェアインストールのレコードはアクティブとしてマークされ、認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーを介して検出された同じソフトウェアインストールのレコードは非アクティブとしてマークされます。IBMソフトウェアインストールが認定ソフトウェア資産管理プロバイダーを通じてのみ検出された場合、対応するレコードはアクティブとしてマークされます。

代わりに認定プロバイダーを通じて検出されたソフトウェアインストールを優先IBMするには、次の場所に移動して、[**Servicenow Software Asset Management and Discovery for IBM** ライセンスコンプライアンスを使用する] プロパティ ()*com.snc.samp.ibm.use_samp_ibm_licensing* の値を更新します。ソフトウェア資産管理 すべて > システムのプロパティ > すべてのプロパティ. 利用可能なシステムプロパティのリストから、プロパティを検索して選択します *com.snc.samp.ibm.use_samp_ibm_licensing* 。システム プロパティ レコードが開いたら、値 フィールドを true に設定し、 更新 を選択します。その後、スケジュール設定済みジョブを実行する *SAM - Deduplicate Install Table* たびに、認定プロバイダーを通じて検出されたすべての IBM ソフトウェアインストールのレコードはアクティブとしてマークされ、ILMT ソフトウェア資産管理 または BigFix Inventory を介して検出された同じソフトウェアインストールのレコードは非アクティブとしてマークされます。IBMソフトウェアインストールが ILMT または BigFix Inventory を介してのみ検出された場合、対応するレコードはアクティブとしてマークされます。

注:
[IBM ライセンスコンプライアンス用の **ServiceNow Software Asset Management and Discovery** の使用] プロパティは、ドメイン分離をサポートしています。

特定のドメインの調整を有効にする**IBM**

公開者パックと認定プロバイダー間のソフトウェア資産管理統合にドメイン分離を使用している場合は、特定のドメインに対してのみ調整を有効にしますIBM。ソフトウェア資産管理IBM

始める前に
必要なロール:asset または domain_admin

手順

1. 次に移動してドメイン資産プロセス設定 [alm_domain_asset_process_setting] テーブルを開きます。 すべて > **alm_domain_asset_process_setting_list.do**.
2. 調整を有効にするドメインの [資産プロセスを実行] フィールドをダブルクリックします。
3. プロンプトが表示されたら、値を **true** に設定し、[保存] アイコン (
4. 調整を有効にするドメインごとにステップ 2 と 3 を繰り返します。

重要:
親ドメインと子ドメインの両方がある場合は、親ドメインまたは子ドメインのいずれかの調整を有効にすることができます。親ドメインと子ドメインの両方で調整を有効にすることはできません。

ホストの **IBM** メタデータの確認

ライセンス計算の IBM 精度を向上させるには、ソフトウェアがインストールされている物理ホスト IBM のメタデータを確認します。正しくないメタデータや古いメタデータがあれば更新します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. ライセンス操作ビューを開きます。
3. ライセンス操作ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定.
4. 利用可能なすべてのホストのメタデータを確認します。
5. 次のメタデータのいずれかが正しくない場合は、更新してください。
   - Core ごとの IBM PVU
   - 地域

     注:
     物理ホストのいずれかのリージョン・メタデータが空の場合、「 **IBM** デバイスのデフォルト・リージョン (*sn_samp_ibm_lic.default_region*) ソフトウェア資産管理 」プロパティーは、それらのホストをデフォルト・リージョンに自動的に関連付けます。デフォルトでは、このシステムプロパティは [北米] と [南米] に設定されています。ただし、このシステムプロパティを [ヨーロッパとアフリカ] または [アジアとオーストラリア] に設定することもできます。ライセンス使用量は、リージョンに関連付けられている物理ホストについてのみ計算できます。このプロパティの詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理のプロパティ 。

   - 使用タイプ

     注:
     デバイス、PVU コメント、および IBM PVU マッピングのメタデータは更新できません。

   a. 正しくないメタデータフィールドの値をダブルクリックします。

   b. プロンプトが表示されたら、正しい値を入力または選択し、[保存] アイコン ( ) を選択します。
      メタデータフィールドが正しい値で更新されます。

クラシック版ソフトウェア資産管理のソフトウェア公開者分析ダッシュボード**IBM**

クラシックアプリケーションの [ソフトウェア公開者分析] ダッシュボードソフトウェア資産管理で、関連するIBMコンプライアンス分析結果を表示します。

[Software Publisher Analytics] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 主要ソフトウェアメーカーのライセンス概要.

注:
ダッシュボードタブを表示するにはIBM、アドオンIBMパブリッシャーパック (com.sn_samp_ibm) プラグインをインストールする必要があります。

コンプライアンス情報を表示するには、IBM License Metric Tool (ILMT) 統合をセットアップする必要があります。

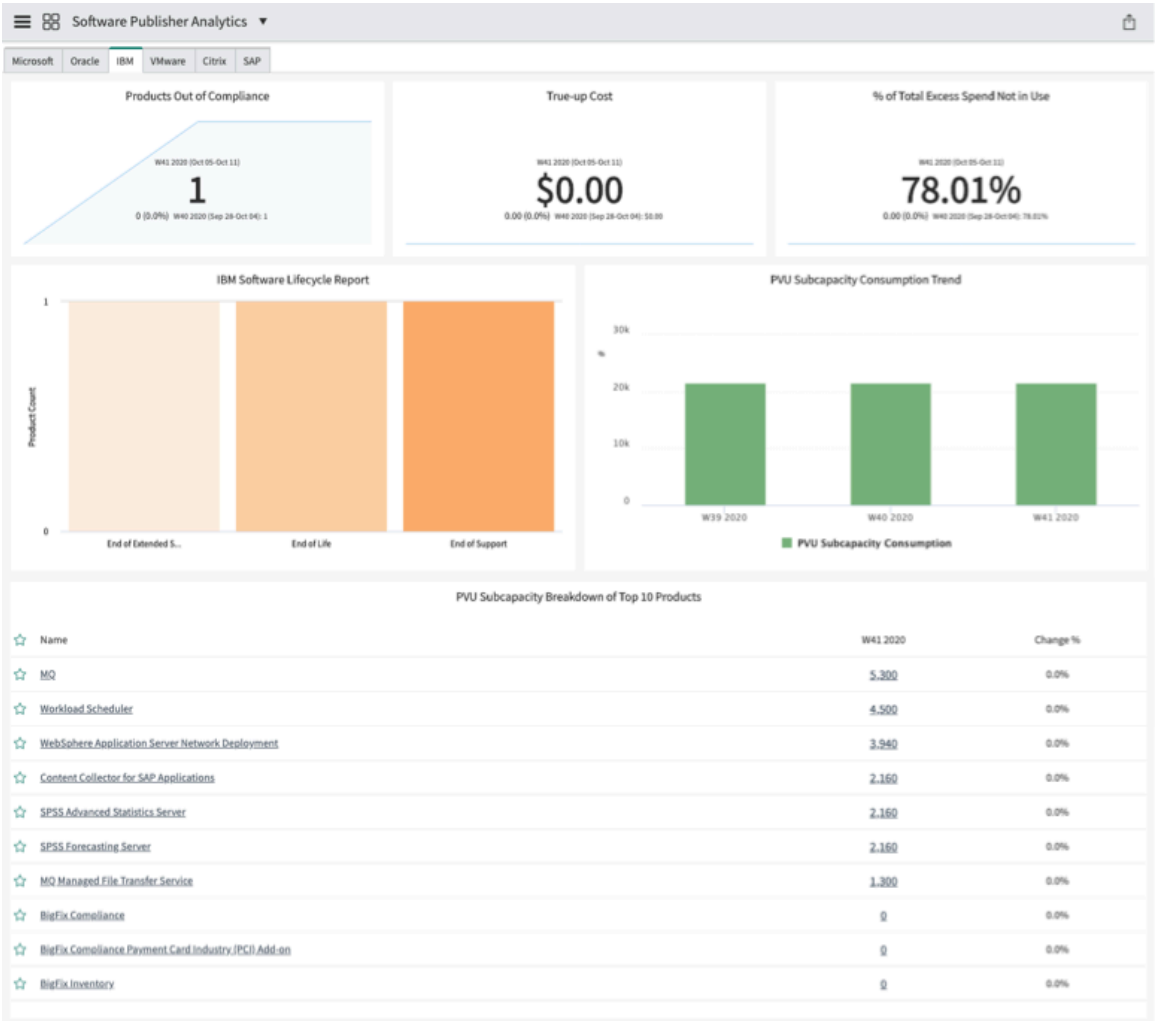
結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

IBM ダッシュボード

パブリッシャーパックを使用してIBMソフトウェアを管理IBMできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



自動翻訳

IBM タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果 [samp_product_result]	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、 ライセンスワークベンチに結果が表示されます。
調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	権限の資格付与の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
使用されていない超過支出の合計の割合	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	ライセンス合計に対するライセンス供与過剰金額の合計。
PVU サブキャパシティ消費傾向	IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install]	すべての製品の総ピーク消費量の経時的な比較。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IBM タブ (続く)

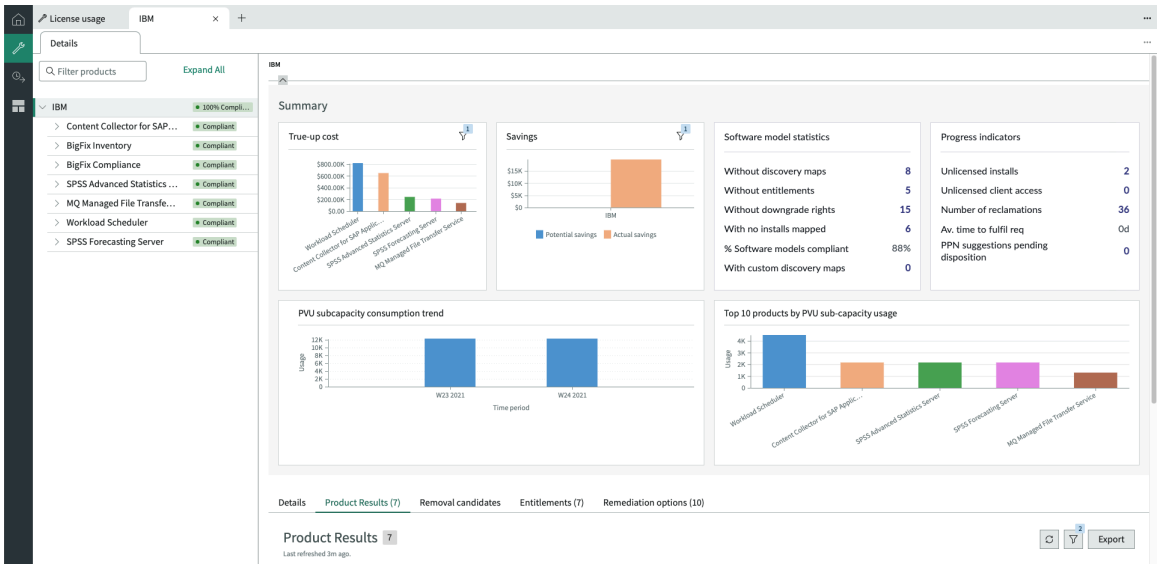
レポート	ソースリスト	説明
IBM ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	延長サポート終了、提供終了、サポート終了を含む、各ソフトウェアライフサイクルフェーズにおける製品の数。
上位 10 製品の PVU サブキャパシティブレークダウン	IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install]	上位 10 IBM 製品のピーク PVU 使用率。

の公開者の概要IBMSoftware Asset ワークスペース

の公開者の概要IBMSoftware Asset ワークスペースに関連するライセンス使用状況情報IBMを表示します。

Software Asset ワークスペースから、パブリッシャーの概要にアクセスするIBMには、次の場所に移動します。 ライセンス使用状況 > 公開者 次に、利用可能なソフトウェアパブリッシャーのリストから **[IBM**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、発行元の概要の [概要] セクションで IBM 確認できます。

IBM 概要

レポート	説明
調整コスト	ソフトウェアエンタイトルメントにおける権限 IBM の平均価格に基づいて計算される、準拠するためにかかるコスト。
預金	ライセンスの IBM 実際のコスト削減と潜在的なコスト削減。
ソフトウェアモデル統計	ソフトウェアモデルのコンプライアンス結果のサマリー。 この概要には、次の情報が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IBM 概要 (続く)

レポート	説明
	• 検出マップなし:検出マップのないソフトウェアモデルの数 IBM 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • エンタイトルメントなし:ソフトウェアエンタイトルメントのないソフトウェアモデルの数 IBM 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • ダウングレード権限なし:ダウングレード権限のないソフトウェアモデルの数 IBM 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • インストールがマップされていない:どのソフトウェアインストールにもマッピングされていないソフトウェアモデルの数 IBM 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • 準拠しているソフトウェアモデルの割合:準拠しているソフトウェアモデルの割合 IBM 。 • カスタム検出マップあり **(With custom discovery maps)**:カスタム検出マップを含むソフトウェアモデルの数 IBM 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 この概要には、次のインジケーターが含まれています。 • ライセンスなしのインストール:ライセンス IBM なしのソフトウェアのインストール数。番号を選択すると、ライセンスなしのソフトウェアインストールのリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンス IBM のないクライアントアクセスレコードの数。番号を選択すると、ライセンスのないクライアントアクセスレコードのリストが表示されます。 • 再利用の数:再利用したライセンスの合計 IBM 数。番号を選択すると、ライセンスを再利用した削除候補のリストが表示されます。 • 要求を満たすための平均時間:ライセンス要求を履行 IBM するのにかかる平均時間。 • 処分待ちの **PPN** 提案 **(PPN suggestions pending disposition)**:新しいソフトウェア資産管理コンテンツサービス PPN への交換処理待ちのカスタムIBM公開者の品番 (PPN) の数。番号を選択すると、PPN のリストが表示されます。
PVU サブキャパシティ消費の傾向	すべての IBM ソフトウェア製品のピーク消費総額の経時的な比較。
PVU サブキャパシティ使用率の上位 10 製品	上位 10 IBM 件のソフトウェア製品のピーク時の PVU 使用率。

Publisher の概要で提供されている詳細なライセンス使用状況情報の詳細については、を参照してください ワークスペースのライセンス使用パブリッシャーフィールド。

Red Hat Enterprise Linux 用の ソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理公開者パックを使用してIBM、製品のライセンスポジションを追跡および最適化しますRed Hat Enterprise Linux Server。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

に必要なプラグインとアプリケーション **Red Hat Enterprise Linux**

(RHEL) 製品のライセンスRed Hat Enterprise Linuxを管理するには、サービスポータルから Now Support for プラグイン (com.sn_samp_ibm) を要求してアクティブ化ソフトウェア資産管理プロIBMします。このプラグインを要求してアクティブ化する方法の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理 を要求する 。

また、から ServiceNow StoreCMDB CI Class Models アプリケーションを要求してインストールする必要があります。このアプリケーションには、インスタンスにServiceNowデータを保存するRHELテーブルが含まれており、調整にRHEL必要です。

ServiceNow® ディスカバリーアプリケーションは、Red Hat仮想化 (RHV) 検出パターンを使用してRHV コンポーネントを検索します。これらのリソースの検出を有効にするには、からServiceNow Storeアプリケーションをインストールするディスカバリーとサービスマッピングパターン必要があります。

サポートされているライセンスタイプ

公開者パックはIBM、 と Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacentersの両方のRed Hat Enterprise Linux Serverライセンスをサポートしています。サポートされるライセンスの測定基準は、ソケットペアベースとコアベースです。

Red Hat Enterprise Linux ソケットペアベースのライセンス

物理ホスト上のソケットペアまたは仮想マシン (VM) ペアの数に基づくライセンスを使用して、RHEL Server 製品のライセンスを管理します RHEL 。

ソケットペアベースのライセンスモデルの概要

Red Hat Enterprise Linux Server

Red Hat Enterprise Linux Server 物理環境、仮想環境、およびハイブリッド環境での配布を可能にします Linux 。ライセンスは低密度仮想環境と高密度仮想環境の両方で使用できます RHEL が、低密度の仮想環境の方がコスト効率が高くなります。

仮想環境が低密度か高密度かを判断するには、必要な RHEL ライセンスの数を必要な RHEL for Virtual Datacenters ライセンスの数で割ります。この値を、 で定義した **Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters** ライセンスコスト最適化しきい値フィールドのしきい値と比較します ソフトウェア資産管理のプロパティ。値がしきい値よりも小さい場合、仮想環境は低密度と見なされます。値がしきい値以上の場合、仮想環境は高密度と見なされます。

> **注:**
> **Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters** のライセンスコスト最適化しきい値フィールドのデフォルト値は 3.2 です。この値は、現在の RHEL Server サブスクリプション表示価格と現在の RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション表示価格の比率に基づいています。エンタイトルメントにこれらの製品の異なる価格設定が含まれている場合は、サブスクリプション価格RHEL Serverをサブスクリプション価格で割RHEL for Virtual Datacentersってこの値を計算できます。

RHEL は、サーバーを展開する環境に応じて異なるライセンス モデルを使用します。

RHEL ライセンスモデル

環境	説明	ライセンスモデル	クラスターライセンスモデル
物理	物理ホストへ	ライセンスは、物理ホスト上のソケットペアの数に基づきます。	ライセンスは、クラスタ内の物理ホスト上のソケットペアの合計数

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

RHEL ライセンスモデル (続く)

環境	説明	ライセンスモデル	クラスターライセンスモデル
	のサーバーの展開 RHEL 。	たとえば、ソケットが 10 個の物理ホストには 5 つの RHEL Server ライセンスが必要です。 シングルソケット ホストは個別にライセンスを取得する必要があります。	に基づきます。たとえば、クラスタ ホスト A に 10 ソケット、クラスタ ホスト B に 20 ソケットがある場合、クラスタ全体にライセンスを付与するには 15 RHEL Server ライセンスを使用する必要があります。
仮想 (低密度および高密度)	物理ホスト上で実行されている VM 上のサーバーの展開 RHEL 。	ライセンス交付は、物理ホスト上でサーバーを実行している VM ペアの数に基づきます。たとえば、サーバーを実行している RHEL 6 台の VM を持つ物理ホストには、3 つの RHEL Server ライセンスが必要です。 サーバーを実行している RHEL 1 つの VM には、個別にライセンスを付与する必要があります。	ライセンスは、クラスタ内の物理ホスト上の VM ペアの合計数に基づきます。たとえば、クラスタ ホスト A に 10 台の VM があり、クラスタ ホスト B に 20 台の VM がある場合、クラスタ全体のライセンスを取得するには 15 RHEL Server 個のライセンスを使用する必要があります。
ハイブリッド	物理ホスト上およびそれらのホスト上で実行されている VM 上のサーバーの展開 RHEL 。	ライセンスは、物理ホスト上のソケットペアの数と、同じホスト上でサーバーを実行している VM ペアの数に基づきます。たとえば、10 ソケットの物理ホストと、そのホストで実行されている 20 台の VM でサーバーを実行できます RHEL 。この例では、ホストには合計 15 RHEL Server 個のライセンスが必要です。	ライセンスは、クラスタ内の物理ホスト上のソケットペアと仮想マシンペアの合計数に基づきます。たとえば、クラスタ ホスト A に 10 ソケットと 10 の VM があり、クラスタ ホスト B に 20 ソケットと 20 の VM がある場合、クラスタ全体のライセンスを取得するには 30 RHEL Server ライセンスを使用する必要があります。

Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters

Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacentersは仮想化や VMwareなどのハイパーバイザーを使用して、Red Hat低密度仮想環境と高密度仮想環境の両方で配布を可能にしますLinux。RHEL for Virtual Datacentersライセンスは、高密度仮想環境でよりコスト効率が高くなります。

仮想環境が低密度か高密度かを判断するには、必要な RHEL Server ライセンスの数を必要な RHEL for Virtual Datacenters ライセンスの数で割ります。この値を、 で定義した **Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters** ライセンスコスト最適化しきい値 フィールドのしきい値と比較します ソフトウェア資産管理のプロパティ。値がしきい値よりも小さい場合、仮想環境は低密度と見なされます。値がしきい値以上の場合、仮想環境は高密度と見なされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters のライセンスコスト最適化しきい値フィールドのデフォルト値は 3.2 です。この値は、現在の RHEL Server サブスクリプション表示価格と現在の RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション表示価格の比率に基づいています。エンタイトルメントにこれらの製品の異なる価格設定が含まれている場合は、サブスクリプション価格RHEL Serverをサブスクリプション価格で割RHEL for Virtual Datacentersってこの値を計算できます。

RHEL for Virtual Datacenters ライセンスは、VM を実行している物理ホスト上のソケット ペアの数に基づきます。このライセンスの種類では、物理ホストからアクセスできる VM の数に制限があるため、 RHEL for Virtual Datacenters サーバーを実行している VM にライセンスを付与する必要はありません。シングルソケット ホストは個別にライセンスを取得する必要があります。

クラスタ内の VM にサーバーを展開する RHEL for Virtual Datacenters 場合、ライセンスは、それらの VM を実行しているすべてのホストのソケット ペアの合計数に基づきます。物理ホストからアクセスできる VM の数に制限はないため、クラスター内でサーバーを実行している VM の合計数に基づいてクラスターのライセンスを取得する必要はありません。たとえば、クラスタ ホスト A に 10 ソケットと 20 の VM があり、クラスタ ホスト B に 20 ソケットと 60 の VM がある場合、クラスタ全体にライセンスを付与するには 15 RHEL for Virtual Datacenters ライセンスを使用する必要があります。

ライセンス消費順序

ライセンスRHEL for Virtual Datacentersの両方RHEL Serverがある場合は、次の順序で消費します。

1. RHEL for Virtual Datacenters ライセンスが割り当てられている物理ホスト、VM、またはクラスター上のライセンス。
2. RHEL Server ライセンスが割り当てられている物理ホスト、VM、またはクラスター上のライセンス。
3. RHEL for Virtual Datacenters 高密度仮想環境の物理ホスト、VM、またはクラスターのライセンス。
4. RHEL Server 低密度仮想環境の物理ホスト、VM、またはクラスターのライセンス。
5. RHEL Server 高密度仮想環境の物理ホスト、VM、またはクラスターのライセンス。このライセンス タイプは、高密度の仮想環境でライセンスを使い果たし RHEL for Virtual Datacenters た場合にのみ使用してください。
6. RHEL for Virtual Datacenters 低密度仮想環境の物理ホスト、VM、またはクラスターのライセンス。このライセンス タイプは、低密度の仮想環境でライセンスが不足 RHEL Server している場合にのみ使用してください。

Red Hat Enterprise Linux コアベースのライセンス

コアあたりの RHEL ライセンス測定基準を使用して、物理環境と仮想環境の両方でコアベースの RHEL 製品にライセンスを付与します。

コアあたりのライセンスモデルの概要

コア単位のライセンス モデルでソフトウェア製品にライセンスを付与するには、各サーバーに適切な数のコア ライセンスを割り当てる必要があります。必要なコア ライセンスの数は、物理サーバーと個々の仮想オペレーティング システム環境 (OSE) のどちらにライセンスを付与するかによって異なります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Per Core モデルでのライセンスには、次の利点があります。

- 製品のコアパックを追跡します Red Hat 。
- ライセンスパックあたりの権限数とコアベースのエンタイトルメントの Red Hat パック数を含むエンタイトルメントをインポートします。
- コアベースの製品のライセンスパックごとの権利数とパック Red Hat 数を顧客が入力できるようにします。
- ライセンスパックあたりの権利数にパック数を掛けた値に基づいて、購入した権限数を計算します。
- コアベースの製品の調整 Red Hat に基づいて割り当てを作成および削除します。

割り当ては、仮想マシン (VM) に適用することも、ホストのみに適用することもできます。このメトリックは、各マシンの物理コアと仮想コアの計算を実行し、使用されている権限の数に基づいて最適なライセンスモデルを提示します。

合計ライセンス要件の計算

合計ライセンス要件は、物理ホスト レベルで計算されます。次の表に、合計ライセンス要件のさまざまな使用例を示します。

合計ライセンス要件の計算

環境	説明	ライセンス要件
物理	物理マシンへの RHEL コアベースの製品の展開。	ライセンスは、マシン上の物理コアの合計数に基づきます。合計数は、ソケット数にソケットあたりのコア数を掛けることで見つけることができます。 たとえば、物理マシンに 2 つのソケットがあり、ソケットごとに 8 つのコアがあるとします。2 に 8 を掛けると、物理コアの総数は 16 になります。2*8 = 16 したがって、必要な権限の総数は 16 コアです。
仮想	物理ホストで実行される VM へのコアベースの製品の展開 RHEL 。	ライセンスは、物理ホスト上でサーバーを実行する仮想マシンに割り当てられたコアの合計数に基づきます。この数は、物理ホストの最大容量に制限されます。 たとえば、物理ホストにソケットあたり 8 コアのソケットが 2 つあり、VM ごとに 2 コアの VM が 6 つあるとします。各 VM には、 RHEL コアベースの製品がインストールされています。この場合、必要な権限の数は、物理ホストの物理コア容量と仮想マシンに割り当てられているハイパースレッド化されていない物理コアの数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合計ライセンス要件の計算 (続く)

環境	説明	ライセンス要件
		の間の最小値に等しくなります。2 ソケットにソケットあたり 8 コアを掛けると 16 コアになり、6 台の VM に VM あたり 2 コアを掛けると 12 コアになります。この 2 つの間の最小値は 12 コアです。最小(2*8 = 16, 2*6 = 12) したがって、必要な権限の総数は 12 コアです。
ハイブリッド	物理ホストとそれらの物理ホストで実行される VM へのコアベースの製品の展開 RHEL 。	ライセンスは、コアベースのアプリケーションがインストールされている物理コア RHEL の数に基づきます。 たとえば、物理ホストにはソケットあたり 8 コアのソケットが 2 つあり、VM ごとに 2 コアの VM が 20 個あるとします。RHELコアベースの製品が物理ホストと 20 台の VM すべてにインストールされます。この場合、必要な権限の数は、物理ホストの物理コア容量と、物理ホストの数に追加された仮想マシンに割り当てられたハイパースレッド化されていない物理コアの数の間の最小値です。2 ソケットにソケットあたり 8 コアを掛けると、16 コアになります。次に、2 コアに 8 コアを掛けると 16 コアになり、20 台の VM に VM あたり 2 コアを掛けると 40 コアになります。16 コアを 40 コアに追加すると、56 コアになります。この 2 つの間の最小値は 16 コアです。最小値 ((2*8) = 16, (2*8 + 2*20) = 56) したがって、必要な権限の総数は 16 コアです。

Red Hat Enterprise Linux 資格

ソフトウェアエンタイトルメントは、(RHEL) 製品のライセンスの詳細Red Hat Enterprise Linuxを定義します。個々のエンタイトルメントを作成することも、スプレッドシートからエンタイトルメントのリストをインポートすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
エンタイトルメント ソフトウェア資産管理 は、クラシックアプリケーションと の両方で Software Asset ワークスペース作成およびインポートできます。次のセクションでは、クラシックアプリケーションでエンタイトルメントを作成およびインポートする方法について詳しく説明します ソフトウェア資産管理 。で Software Asset ワークスペースエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。で Software Asset ワークスペースエンタイトルメントをインポートする方法の詳細については、「」を参照してください エンタイトルメントをワークスペースに一括インポート。

のエンタイトルメントの作成 **Red Hat Enterprise Linux**

(RHEL) 製品の個々のソフトウェアエンタイトルメントRed Hat Enterprise Linuxを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

重要:
エンタイトルメントは、クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産管理 の両方で Software Asset ワークスペース作成できます。次の手順では、クラシックアプリケーションでエンタイトルメントを作成する方法について詳しく説明します ソフトウェア資産管理 。で Software Asset ワークスペースエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

フィールド	値
表示名	ソフトウェアエンタイトルメントの名前。このフィールドは、[資産タグ] フィールドと [ソフトウェアモデル] フィールドに基づいて自動的に設定されます。
資産タグ	資産の識別と追跡に使用されるシリアル番号とバーコード。
パブリッシャーの品番	エンタイトルメントの公開者の品番 (PPN)。
ソフトウェアモデル	エンタイトルメントを持つソフトウェアモデル。
合意タイプ	ライセンス契約のタイプ。可能な値は次のとおりです。 ○ 汎用 ○ エンタープライズライセンス契約 (ELA)
ライセンスタイプ	ライセンスのタイプ。このフィールドを [サブスクリプション] に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
サブスクリプション期間	サブスクリプションが有効な期間。このフィールドは、[ライセンス タイプ] フィールドで [サブスクリプション] が選択されている場合にのみ表示されます。
開始日	サブスクリプションが開始される日付。このフィールドは、[ライセンス タイプ] フィールドで [サブスクリプション] が選択されている場合にのみ表示されます。
終了日	サブスクリプションの有効期限が切れる日付。サブスクリプションの有効期限が切れていない場合は、日付を選択しないでください。このフィールドは、[ライセンス タイプ] フィールドで [サブスクリプション] が選択されている場合にのみ表示されます。
評価指標グループ	事前定義されたソフトウェア計算が割り当てられているソフトウェア公開者またはソフトウェアバンドル。**[Red Hat]** を選択します。
ライセンスの測定基準	測定基準グループに割り当てられる事前定義されたソフトウェア計算のグループ。 ソフトウェア資産管理 は、調整中にライセンス測定基準を使用して、ソフトウェア製品の特定のセットの権限を計算します。ライセンスの測定基準オプションは、[測定基準グループ] リストから選択したソフトウェア公開者またはソフトウェアバンドルに基づいています。可能な値は次のとおりです。 ○ ソケットペアごと ○ コアあたり
ライセンスパックごとの権利	で Red Hat購入した各パックに関連付けられた権限の合計数。このフィールドは、[ライセンスの測定基準] フィールドで [コアあたり] が選択されている場合にのみ表示されます。
購入済みの権限	購入した権限の合計数。
アクティブな権限	ユーザーまたはデバイスに割り当てることができる権限の合計数。このフィールドは自動的に設定されます。
利用可能な割り当て	ユーザーまたはデバイスにまだ割り当てていないアクティブな権限の数。このフィールドは自動的に設定されます。
単位コスト	各ソフトウェア権限のコスト。
トータルコスト	購入した権限の合計コスト。このフィールドは、[購入済みの権限] フィールドと [単位コスト] フィールドに基づいて自動的に設定されます。

4. [送信] を選択します。

のエンタイトルメントのインポート **Red Hat Enterprise Linux**

() ソフトウェアエンタイトルメントのリストRed Hat Enterprise LinuxRHELをスプレッドシートからインポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sam_admin

> **重要:**
> ソフトウェアエンタイトルメントは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとの両方で Software Asset ワークスペースインポートできます。次の手順では、クラシックアプリケーションでソフトウェアエンタイトルメントをインポートする方法について詳しく説明します ソフトウェア資産管理 。で Software Asset ワークスペースソフトウェアエンタイトルメントをインポートする方法の詳細については、「」を参照してください エンタイトルメントをワークスペースに一括インポート。

手順

1. ソフトウェアエンタイトルメントインポート用のスプレッドシートテンプレートをダウンロードします。
   a. インスタンスの ServiceNow® ページヘッダーで、[すべて] を選択します。
   b. メニューナビゲーションフィルターに「 samp_bulk_import_list.do」と入力します。
   エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルが開きます。
   c. **[New** (新規)] を選択します。
   d. [エンタイトルメントのインポート] フォームで、[テンプレートのダウンロード] を選択します。
2. インポートするすべてのソフトウェアエンタイトルメントをスプレッドシートに入力します。
3. ソフトウェアエンタイトルメントをインスタンスにインポートします ServiceNow 。
   a. インスタンスの ServiceNow® ページヘッダーで、[すべて] を選択します。
   b. メニューナビゲーションフィルターに「 samp_bulk_import_list.do」と入力します。
   エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルが開きます。
   c. **[New** (新規)] を選択します。
   d. フォームのフィールドに入力します。

   [エンタイトルメントのインポート] フォーム

フィールド	説明
インポートタイプ	ソフトウェアエンタイトルメントのインポート元のドキュメントのタイプ。オプションは、[標準インポートドキュメント] と **[Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)]** です。このフィールドを [標準インポートドキュメント] に設定します。
ファイル	インポートするソフトウェアエンタイトルメントのスプレッドシート。[クリックして追加] を選択し、 ステップ 2 で入力したスプレッドシートを検索して選択します。
説明	ソフトウェアエンタイトルメントインポートの簡単な説明。

   e. [インポート] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
すべてのソフトウェアエンタイトルメントがインスタンスにインポートされます ServiceNow 。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Microsoft**

ソフトウェア資産管理の公開者パックを使用してMicrosoft、ライセンス測定基準を使用してMicrosoftライセンスコンプライアンス状況を追跡します。

注:
公開者パックを使用するには、Professional for Microsoft プラグイン (com.snc.samp.microsoft) をアクティブ化ソフトウェア資産管理します。

Microsoft は、データベースサーバーからサブスクリプションサービスまで、幅広い製品を提供しています。各 Microsoft 製品は独自のライセンスモデルに従っているため、ライセンスコンプライアンスの状況を追跡するのが困難な場合があります。ソフトウェア資産管理用のMicrosoft公開者パックを使用すると、製品のライセンスコンプライアンス状況Microsoftを正確に追跡できます。調整では、コンプライアンス違反のライセンスを特定し、修正オプションのリストを提供します。詳細については、「コンプライアンスのソフトウェア調整」を参照してください。

ライセンス モデルの詳細については Microsoft 、「 Microsoft ライセンス 」を参照してください。

ServiceNow ディスカバリーネットワーク上のインストールを識別するMicrosoftように設定します。詳細については、「 ITOM Visibility によって収集されるデータ 」を参照してください。

のMicrosoft公開者パックはソフトウェア資産管理、次のライセンスモデルをサポートしています。

- ユーザーごと
- デバイスごと
- コアあたり
- コアあたり (CAL を含む)
- ユーザー CAL
- デバイス CAL
- サーバー (インスタンスあたり)
- サーバー (サーバーあたり)
- プロセッサーあたり
- ユーザーサブスクリプション
- ソフトウェア保証

詳細については、「サポートされている Microsoft ライセンスタイプ」を参照してください。

P+SA ライセンスタイプの PPN にバージョンがアサインされていない場合、Microsoft ライセンスステートメント (MLS) からエンタイトルメントをインポートする際に、正確なバージョンのソフトウェアモデルが新しいエンタイトルメントに自動的に設定されます。この自動アクションは、Microsoft アシュアランスの特典をエンタイトルメントに正しく適用します。エンタイトルメントのアップグレード履歴の詳細については、次の Web サイトに移動してください ワークスペース > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ソフトウェアエンタイトルメント > アップグレード履歴.

修正スクリプトは *`SAMP - Update generic PSA entitlements`* 、既存の P+SA エンタイトルメントを任意のバージョン、特定のバージョンで自動的に更新し、適切なライセンス条件を適用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365 の統合

と Microsoft 365 の統合を作成して、コンプライアンスのためにソフトウェアインストールと比較されるサブスクリプション情報をダウンロードします。

SAM マネージャーは、この統合を使用して次のことを実行できます。

- Admin Center Microsoft Office 365Microsoft 365でMicrosoft 365購入したすべてのMicrosoft 365プランのユーザーサブスクリプション情報を取得します。
- ユーザーサブスクリプション、エンタイトルメント、ソフトウェアのインストールを調整して、サブスクリプションの Microsoft 365 ライセンスコンプライアンスを判断します。
- アクティブ、非アクティブ、未アサインのサブスクリプションを最終アクティビティ日別に表示します。
- サブスクリプション内のMicrosoft 365個々のMicrosoft Office 365ソフトウェア製品のユーザーアクティビティを取得します。
- サブスクリプションの Microsoft 365 自動化された最適化の推奨事項とワークフローを取得します。
- 推奨事項に基づいて行動しながら、見込まれる節減額を判断します。
- の ソフトウェア資産管理[最適化と削減額] ダッシュボードでポータルのMicrosoft 365サブスクリプションの詳細を表示して、使用可能なライセンスを確認します。詳細については、「ワークスペースの [最適化と削減] ダッシュボード」を参照してください。

ソフトウェアサブスクリプションに関連するコンテンツにアクセスするには、次に移動します。**SaaS** ライセンス > 概要.

- **Office 365** と **Adobe Cloud** には、 クラシック版 ソフトウェア資産管理 Office 365 & Adobe Cloud ダッシュボード.
- **Office 365** と **Adobe Cloud** の SaaS ワークスペースの概要ダッシュボードソフトウェア資産分析ビュー。
- [ソフトウェア モデル] には、 サブスクリプション製品のソフトウェア モデル レコードが一覧表示されます。
- [すべてのユーザーサブスクリプション] には、 サブスクリプション製品のすべてのサブスクリプションレコードがリストされます (ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ソフトウェアサブスクリプション ナビゲーションメニュー)。
- 「新規プロファイルの作成」 は、 Microsoft 365 サブスクリプションプロファイルを作成します。
- [すべての統合プロファイル] にサブスクリプション プロファイルレコードがリストされます Microsoft 365 。

ソフトウェア資産管理 はサブスクリプション情報を使用してライセンスのコンプライアンスを判断し、最適化を実行します。[ライセンス使用状況] ビューでライセンスのコンプライアンスを確認し、[最適化と削減] ダッシュボードで最適化を確認します。

スケジュール設定済みジョブは *SAM - Import M365 User Subscriptions* 毎週 1 回実行され、から ソフトウェア資産管理サブスクリプション情報を取得します。

ライセンスのコンプライアンスと最適化を判断するための統合の設定 Microsoft 365 については、「 Microsoft 365 との統合」の手順に従います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> およびSaaS ワークスペースの概要ダッシュボードのコンプライアンスレポートクラシック版 ソフトウェア資産管理 Office 365 & Adobe Cloud ダッシュボードを表示するにはMicrosoft 365、アドオンMicrosoftコンテンツパック (com.snc.samp.microsoft) プラグインをインストールする必要があります。

[ソフトウェアサブスクリプション] テーブルのフィールドは、ライセンスのコンプライアンスと最適化を評価するためにサブスクリプション情報を使用するのに役立ちます。

フィールド	説明
表示名	公開者、製品、バージョン、およびエディションの組み合わせ。
パブリッシャー	製品の公開者。
製品	製品名。
バージョン	製品のバージョン。
エディション	製品のエディション。
ソフトウェアモデル	製品のソフトウェアモデル。 **注:** ソフトウェアサブスクリプションがインポートされるときに、製品のバージョンとエディションのソフトウェアモデルが存在しない場合は作成されます。
ユーザー	ソフトウェアのユーザーの名前。
ユーザープリンシパル名	ユーザーのメールアドレス。
最終アクティビティ	ソフトウェアが最後に使用された日付。

Microsoft 365 との統合

インスタンスMicrosoft 365をServiceNowサービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションとソフトウェア使用状況を追跡してライセンスコンプライアンスを判断し、最適化の機会に対処することができます。

サービスの詳細については Microsoft 365 、「 Microsoft 365 プラン 」を参照してください。

> **注:**
> Microsoft Dynamics 365 と Power Apps の統合に関する情報は、ここでは説明していません。詳細については、「Dynamics 365 および Power Apps と Microsoft の統合」を参照してください。

アプリケーションの登録Microsoft Azure AD

ポータルからアプリケーションを登録します Microsoft Azure 。

始める前に

Microsoft Azure AD 必要なロール:グローバル管理者

手順

1. Web ブラウザーから、ポータルの Microsoft Azure[アプリの登録] ページ を開きます。
2. グローバル管理者の資格情報を使用してログインします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [アプリの登録] ページで、 [新規登録] を選択します。
4. [アプリケーションの登録] フォームの [名前] セクションで、アプリケーションの名前を入力します。
5. [サポートされているアカウントの種類] セクションで、 [任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の **Azure AD** ディレクトリ - マルチテント)] を選択します。
6. [登録 **(Register)]** を選択します。
   アプリケーションが登録され、新しいアプリケーションの [概要] ページに自動的にリダイレクトされます。
7. [概要] ページで、[アプリケーション (クライアント) **ID**] フィールドと [ディレクトリ (テナント) **ID]** フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
8. アプリケーションのクライアントシークレットを生成します。

   a. 左側のナビゲーションメニューから、 管理 > 証明書とシークレット.
   [証明書とシークレット (Certificates & secrets)] ページが開きます。

   b. [クライアントシークレット] セクションで、 [新しいクライアントシークレット] を選択して、アプリケーションのクライアントシークレットを生成します。
   [クライアントシークレットの追加 (Add a client secret)] ダイアログボックスが開きます。

   c. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

   [クライアントシークレットの追加 **(Add a client secret)]** ダイアログボックス

フィールド	説明
説明	クライアントシークレットの説明。
有効期限	クライアントシークレットの有効期限が切れるまでの期間。オプションは次のとおりです。 ▪ 1年で ▪ 2年間で ▪ 今後表示しない

   d. [追加] を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、[証明書とシークレット(Certificates & secrets)] ページに戻ります。

   e. [クライアントシークレット] セクションで、新しく生成されたクライアントシークレットの [値] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。

9. 保護されたリソースに対するアプリケーションのアクセス・レベルを指定します。

   a. 左側のナビゲーションメニューから、 管理 > **API** 権限.
   [API のアクセス許可] ページが開きます。

   b. [権限を追加 **(Add a permission)]** を選択します。
   [API 権限の要求 (Request API permissions)] ダイアログボックスが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. ダイアログ ボックスで、[**Microsoft API**] タブを選択します。

d. 使用可能な Microsoft API の一覧から、 [**Microsoft Graph**] を選択します。

e. アプリケーションに必要なアクセス許可の種類を選択するように求められたら、 [アプリケーションのアクセス許可] を選択します。

f. [アクセス許可の選択] で、次のアクセス許可のチェック ボックスをオンにします。

- Reports.Read.All
- User.Read.All
- Organization.Read.All

g. [権限を追加] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[API 権限] ページに戻ります。

10. アプリケーションに対して管理者の同意を付与します。

次のタスク
アプリケーションの登録と設定が正常に完了した後、アプリケーションが Power BI サービスのコンテンツと API にアクセスできるようにする必要がある場合は、ポータルに Microsoft Azure 留まります。

Power-BI 読み取り専用 API のサービス プリンシパル認証を有効にするEnable service principal authentication for Power-BI read-only API

Power BI 読み取り専用 API のサービス プリンシパル認証を有効にすることで、アプリケーションに Power BI サービス コンテンツと API へのアクセス権を付与します。Power BI サービスのコンテンツと API は、サブスクリプションを Office 365 E5 から Office 365 E3 にダウングレードするなど、サブスクリプションの最適化 Microsoft 365 に役立ちます。

始める前に
Microsoft Azure AD 必要なロール:グローバル管理者

Power BI 必要なロール:グローバル管理者または Power BI 管理者

注:
この構成により、Web とデスクトップ全体のすべての Power BI Pro デプロイの使用状況情報 (前回の使用時間) を取得できます ServiceNow ソフトウェア資産管理 。 ソフトウェア資産管理 サブスクリプションの一部である Microsoft 365 Power BI デプロイのアクティビティの最終日をプルします。

このタスクについて
サービス プリンシパルは、アプリケーションが Power BI サービス コンテンツや API などのセキュリティで保護された Microsoft Azure AD リソースにアクセスできるようにする認証方法です。

手順

1. サービス プリンシパル認証用のセキュリティ グループを作成します。
セキュリティ グループを使用すると、共有リソースにアクセスできるユーザー、デバイス、グループ、サービス プリンシパルを管理できます。サービス プリンシパル認証に既存のセキュリティ グループを使用する場合は、 手順 2 に進みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ポータルの Microsoft Azure ページ ヘッダーで、検索バーを使用して **Azure Active Directory** サービスを検索して選択します。
Azure Active Directory サービスの [概要] ページが開きます。

b. Azure Active Directory サービスの左側のナビゲーション メニューから、 管理 > グループ. - グループ > すべてのグループ ページが開きます。

c. [すべてのグループ] ページで、[新しいグループ] を選択します。

d. フォームのフィールドに入力します。

新規グループフォーム

フィールド	説明
グループ タイプ	グループタイプ。このフィールドを [セキュリティ] に設定します。
グループ名	グループの名前。
グループのメールアドレス	すべてのグループメンバー間で共有されるメールアドレス。
グループの説明	グループの説明
メンバーシップタイプ	グループにメンバーを追加またはグループから削除する方法。オプションは次のとおりです。 ▪ 割り当て済み:メンバーは手動で追加または削除する必要があります。 ▪ 動的ユーザー: 定義した動的グループ ルールに基づいて、メンバーが自動的に追加または削除されます。動的グループ ルールの詳細については、「 Azure Active Directory で動的グループを作成または更新 する」を参照してください。 ▪ 動的デバイス: デバイスは、定義した動的グループルールに基づいて自動的に追加または削除されます。動的グループ ルールの詳細については、「 Azure Active Directory で動的グループを作成または更新 する」を参照してください。

e. [作成] を選択します。

セキュリティ グループが作成され、新しいグループの [概要] ページにリダイレクトされます。

2. で アプリケーションの登録Microsoft Azure AD 作成したアプリケーションをセキュリティグループのメンバーとして追加します。

a. ステップ 1 でセキュリティグループを作成せず、代わりに既存のセキュリティグループを使用している場合は、既存のセキュリティグループを開きます。
ステップ 1 でセキュリティ グループを作成した場合は、ステップ b に進みます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

i. ポータルの Microsoft Azure ページ ヘッダーで、検索バーを使用して **Azure Active Directory** サービスを検索して選択します。

Azure Active Directory サービスの [概要] ページが開きます。

ii. Azure Active Directory サービスの左側のナビゲーション メニューから、 管理 > グループ.

- グループ > すべてのグループ ページが開きます。

iii. 利用可能なグループの一覧から、既存のセキュリティ グループを見つけて選択します。

セキュリティグループの [概要] ページが開きます。

b. セキュリティグループの左側のナビゲーションメニューから、 管理 > メンバー.
「メンバー」ページが開きます。

c. [メンバー] ページで、[メンバーの追加] を選択します。
[メンバーの追加] ダイアログボックスが開きます。

d. ダイアログボックスで、 で アプリケーションの登録Microsoft Azure AD作成したアプリケーションを検索して選択します。

> **重要:**
> アプリケーションには、ポータルから Microsoft Azure Power BI 管理者のアクセス許可が設定されていない必要があります。次の手順を使用して、アプリケーションのアクセス許可を確認できます。
>
> i. Microsoft Azureグローバル管理者、アプリケーション管理者、またはクラウドアプリケーション管理者の資格情報を使用して、ポータルにログインします。
>
> ii. ポータルの Microsoft Azure ページ ヘッダーで、検索バーを使用して **Azure Active Directory** サービスを検索して選択します。
>
> Azure Active Directory サービスの [概要] ページが開きます。
>
> iii. Azure Active Directory サービスの左側のナビゲーション メニューから、 管理 > エンタープライズアプリケーション.
>
> [エンタープライズアプリケーション] ページが開きます。
>
> iv. 利用可能なエンタープライズアプリケーションのリストから、アプリケーションを見つけて選択します。
>
> v. [アクセス許可] を選択します。
>
> vi. アプリケーションに Power BI 管理者の同意が必要なアクセス許可が設定されていないことを確認します。

e. [選択] を選択します。
アプリケーションがセキュリティグループのメンバーとして追加されます。

3. セキュリティ グループが読み取り専用の Power BI 管理 API にアクセスできるようにします。

a. 新しいタブまたは Web ブラウザーで、 Power BI を開きます。

b. グローバル管理者または Power BI 管理者の資格情報を使用してログインします。
Power BI ポータルが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. Power BI ポータルのページ ヘッダーで、 [設定] アイコン ( ) を選択し、 [管理ポータル] を選択します。
Power BI 管理ポータルが開きます。

d. 管理ポータルの左側のナビゲーション メニューから、 [テナント設定] を選択します。
Power BI テナント設定が開きます。

e. [管理 API の設定] セクションで、 [サービス プリンシパルに読み取り専用の **Power BI** 管理 **API** の使用を許可する] 設定を展開します。

f. トグルボタンを選択して設定を有効にします。

g. メッセージが表示されたら、設定を [特定のセキュリティ グループ] に適用するオプションを選択します。

h. 対応するテキストボックスに、セキュリティグループの名前を入力します。

i. [適用] を選択します。

Power BI 管理ポータルでこの設定を有効にすると、ポータルから Microsoft Azure 設定したアプリケーションのアクセス許可は無効になります。その後、すべてのアプリケーションのアクセス許可を Power BI 管理ポータルで設定および管理する必要があります。

Admin Center で **Microsoft 365** 更新を構成する

にインポートされるアクティビティに関するレポートで Microsoft 365 匿名ユーザー情報を防止します ServiceNow。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 管理者資格情報を使用して、 Microsoft 365 管理センター にログインします。
2. 移動先 設定 > サービス > 組織の設定 > レポート.
3. [**Display concealed user, group, and site names in all reports**] チェックボックスの選択を解除します。
Microsoft 365匿名ユーザー情報を表示するレポートの詳細については、「Microsoft 365 レポートに実際のユーザー名ではなく匿名ユーザー名が表示される 」を参照してください。

Microsoft 365 統合プロファイルの作成

ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、サービスの古いライセンスを最適化する統合プロファイルを作成します Microsoft 365 。

始める前に
ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

と Microsoft 365データ連携するには、次のプラグインを有効化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理プロ for Microsoft プラグイン (com.snc.samp.microsoft)
- ソフトウェア資産管理- SaaS ライセンス管理ServiceNow Store の (com.sn_sam_saas_int) プラグイン

  詳細については、「SaaS ライセンス管理 を要求する」を参照してください。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. **[Microsoft 365** 統合プロファイル] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、<*your-company*> の Microsoft 365 統合などです。
クライアント ID	ポータルに登録し Microsoft Azure たアプリケーションのクライアント ID。に アプリケーションの登録Microsoft Azure ADコピーしたアプリケーション (クライアント) ID を入力します。
クライアントシークレット	Microsoft Azure ポータルに登録したアプリケーションのクライアントシークレット。で アプリケーションの登録Microsoft Azure ADコピーしたクライアントシークレットを入力します。
テナント名または ID	ポータルに登録したアプリケーションの Microsoft Azure グローバル一意識別子 (GUID)。に アプリケーションの登録 Microsoft Azure ADコピーしたディレクトリ (テナント) ID を入力します。 ⚠ 警告: ディレクトリ (テナント) ID を入力するときは、ID に拡張子を追加しないでください。に アプリケーションの登録 Microsoft Azure ADコピーしたIDを正確に入力します。
REST メッセージ	REST Web サービス エンドポイントに要求を送信できるようにするメッセージ。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **Microsoft 365** に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [送信] を選択します。
6. オプション: ユーザーサブスクリプションジョブのステータスを確認するには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > 管理 > ジョブ結果.

次のタスク
自動 Microsoft 365 生成されたすべてのソフトウェアモデルを表示するには、次に移動します。 統合 **- Microsoft 365** > ソフトウェアモデル. ソフトウェアモデルは、公開者、バージョン、検出マップに関する情報を含む、購入したソフトウェアのプロファイルです。ソフトウェアモデルは、公開者情報を記録し、プロファイルを作成します。

統合プロファイルを作成すると、ソフトウェアの再利用ルールが自動的に作成されます。再利用ルールを確認して、仕様を満たしていることを確認することが重要です。Office 365 用に自動生成されたすべての再利用ルールを表示するには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > 管理 > 再利用ルール. 再利用ルールは、SCCM 使用状況統合を通じてMicrosoftプルされた System Center Configuration Management (SCCM) 使用状況データに基づいてMicrosoft適用されます。これらの再利用ルールの詳細については、を参照してください SCCM 使用状況データをインポート Microsoft するための再利用ルールの作成。

注:
ServiceNow は、Office 365 のデフォルトの再利用ルールを 1 つ自動的に作成します。[サブスクリプション使用条件] タブの [前回のアクティビティしきい値] フィールドを更新することもできます。

インスタンス内の**ServiceNow**サブスクリプション情報の決定と検証**Microsoft 365**

管理センターから Microsoft 365 プルする正確なソフトウェア サブスクリプション情報を決定し、完全なサブスクリプション情報が に正確に ServiceNowプルされているかどうかを確認します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 作成した統合プロファイルで Microsoft 365 フィルタリングして、アドミンセンターから Microsoft 365 プルする ServiceNow正確なソフトウェアサブスクリプション情報を決定します。
   このサブスクリプションには、管理センターで使用できる Microsoft 365 すべてのサブスクリプションが含まれます。
2. 完全なサブスクリプション情報が に正確にプルされているかどうかを管理者に Microsoft 365 確認してください ServiceNow。

   注:

   ソフトウェア資産管理System Center Configuration Manager (SCCM) の統合とMicrosoft 365統合の組み合わせMicrosoftを使用して、製品の最終Microsoft 365アクティビティ日をプルします。

3. Microsoft 365サブスクリプションデータがプルされソフトウェア資産管理ない場合は、統合のセットアップを確認します。

   a. [統合プロファイル] フォームで、[**REST** メッセージ] フィールドの横にあるプレビューアイコン ([ⓘを選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、REST メッセージレコードを開きます。

   b. [REST メッセージ] フォームで、[**OAuth** トークンの取得] 関連リンクを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [OAuth フロー検証] ダイアログボックスで、OAuth フローのステータスを表示して、統合が正しく設定されているかどうかを判断します。
   - 「OAuth トークンフローが正常に完了しました」というメッセージが表示された場合、統合は正しくセットアップされています。
   - OAuthフロー に失敗した というメッセージが表示された場合、統合は正しく設定されていません。このメッセージの情報を使用して、統合セットアップのエラーを特定します。

4. Power BI の使用状況が にプル ソフトウェア資産管理されない場合は、Power BI API 接続の状態を確認します。

   a. [統合プロファイル] フォームで、フォームヘッダーを右クリックします。

   b. [**XML** の表示] を選択します。

   c. アンダー **<xml>** > **<samp_sw_subscription_profile>** > **<custom_properties>**で、プロパティを表示 *powerBIStatus* して、Power BI API 接続の状態を確認します。
      - *powerBIStatus*プロパティが **success** に設定されている場合、Power BI API 接続は成功しています。
      - プロパティが *powerBIStatus***failed** に設定されている場合、Power BI API の接続は成功しませんでした。すべての統合セットアップ手順に正しく従っていることを確認します。統合セットアップのエラーの詳細について、ログを確認することもできます。

5. オプション: ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルの [ユーザー] フィールドが空の場合、フィールドを関連するユーザーにマッピングできます。

   (Optional) 詳細については、「ユーザーをサブスクリプションレコードに関連付ける」を参照してください。

サブスクリプションの **Microsoft 365** ソフトウェア使用アクティビティの評価

ソフトウェア使用アクティビティを評価して、ポータルで Microsoft 365 見つかったすべてのサブスクリプションの中から、アクティブ、非アクティブ、および未アサインのサブスクリプションを検出します。

ソフトウェア使用アクティビティとは、ソフトウェア製品の使用状況のことであり、ソフトウェア使用アクティビティを追跡することで、ライセンスの使用状況を監視できます。この監視は、既存のソフトウェアサブスクリプションを最適化するのに役立ちます。

次の表に、ソフトウェア使用アクティビティを収集するためのソース、関連するプラットフォームサポート、およびサポートされている Microsoft 365 製品を示します。

ソフトウェア使用アクティビティ収集のソース	プラットフォームのサポート	サポート対象 Microsoft Office 365 製品
Microsoft Graph Api	デスクトップ、ウェブ、モバイル	Outlook、Word、PowerPoint、Excel、OneNo Online、SharePoint Online、Power BI
Microsoft SCCM または ACC-V	デスクトップ	Microsoft Office 365 企業向けアプリ
Jamfデバイス用macOS	デスクトップ	Microsoft Office 365 企業向けアプリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス最適化のためのソフトウェア使用アクティビティの監視

ソフトウェア使用アクティビティに基づいて、 ソフトウェア資産管理 以下を含むソフトウェアサブスクリプションの最適化に関する推奨事項を生成します。

- E5 から E3 および E3 から E1 への Microsoft 365 ダウングレード
- 統合 Microsoft 365 サブスクリプション
- およびそのアプリケーション(Office 365、Enterprise Mobility + Security(EMS))Windowsサブスクリプションの両方Microsoft 365を持つ二重ライセンスのユーザー
- 、Microsoft Exchange Online、Microsoft SharePoint OnlineMicrosoft OneDriveおよびPower BI のMicrosoft Teams個々のサブスクリプション
- 未アサインのユーザーサブスクリプション

最適化の推奨事項は、 ワークスペースの [最適化と削減] ダッシュボードで確認できます。

統合が完了したら Microsoft 365 、次のいずれかのテーブルを使用して使用アクティビティ情報を表示できます。

- ソフトウェア使用 [samp_sw_usage] テーブルを表示して、サブスクリプション内で提供される個々のソフトウェア製品の使用状況データを確認します。スケジュール設定済みジョブは *SAM - Collect Microsoft 365 Usage* 、使用率データを毎日収集し、 *SAM - Create New Reclamation Candidates for Office 365 Integration* 削除候補を毎週生成します。ソフトウェア使用のフィールドとその説明の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのソフトウェア使用の表示または作成。

  [ソフトウェア使用] テーブルには、ソフトウェアが最後に使用された日付と、デスクトップ、Web、モバイルで実行されたアクティビティのタイプ、またはプラットフォーム間での累積が含まれます。前回のアクティビティデータは、サブスクリプション内の Microsoft 365 個々の製品に最適化されたプランを選択するのに役立ちます。 ソフトウェア資産管理 は、ライセンスワークベンチに最適化されたサブスクリプションの推奨事項を表示することで、現在のサブスクリプションの削除候補を生成します。

- 各ユーザーのMicrosoft 365 Apps使用状況レポート [samp_m365_apps_usage_report] テーブルに製品の最終アクティビティ日 Microsoft 365 を表示します。アクティビティの最終日は、、Microsoft WordExcel、Microsoft PowerPointおよび OneNote などのMicrosoft Outlook製品の再利用候補をより正確にMicrosoft 365決定するのに役立ちます。アプリの使用フィールドとその説明の詳細については Microsoft 365 、「」を参照してください Microsoft 365 アプリの使用状況レポート。

サブスクリプションの **Microsoft** ライセンス最適化

ソフトウェア使用アクティビティは、個々の Microsoft 製品とスイートサブスクリプションの両方から再利用候補を検出することで、 Microsoft 365 ライセンスの最適化に役立ちます。API と検出ソリューションの両方を使用して、再利用候補を決定できます。

- E5 から E3 および E3 から E1 への Microsoft 365 ダウングレード:推奨されるダウングレード候補に基づいて、ダウングレードまたは再利用できる 1 か月あたりのライセンス数を決定します。

  注:
  E3 から E1 への最適化のために SCCM や ACC-V などのMicrosoft追加の検出ソリューションから、Access と Publisher の使用状況Microsoftを確認することもできます。

- 統合 Microsoft 365 サブスクリプション:統合サブスクリプションの再利用候補を見つけます Microsoft 365 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 二重ライセンス ユーザー: 両方の Microsoft 365 アプリケーション(Office 365、Enterprise Mobility + Security (EMS)) Windowsサブスクリプションで、推奨候補に基づいてダウングレードまたは再利用できる月あたりのライセンス数を決定します。
- 個々のサブスクリプション:スケジュール設定済みジョブの実行時に *SAM - Import user subscription* 、個々のサブスクリプションに対して再利用ルールが自動的に作成されます。これらの個々のサブスクリプションには、Microsoft Exchange OnlineMicrosoft SharePoint OnlineMicrosoft OneDrivePower BI が含まれます。Microsoft Teams要件に合わせて、個々のサブスクリプションの再利用ルールを確認できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

また、サブスクリプションの割り当て日を使用して、個々のサブスクリプションの再利用候補を生成することもできます。再利用候補は、 のレコード作成日ではなく、ポータルのサブスクリプション割り当て Now Platform日に基づいて生成されます。レコード作成日の代わりにサブスクリプションの割り当て日を使用すると、偽の再利用候補の生成を監視するのに役立ちます。

コンプライアンスと最適化の結果を評価する**Microsoft 365**

コンプライアンスと最適化の結果を評価し Microsoft 365 て、実際のコスト削減と潜在的なコスト削減、および推奨されるライセンスの最適化を見つけます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

ソフトウェアコンプライアンスを評価するには、検出 Microsoft 365 が完了している必要があります。Discovery と Microsoft SCCM の併用の詳細については、 Discovery と SCCM の併用 を参照してください。

ソフトウェアの最適化を評価するには、認定された API と Microsoft SCCM の両方Microsoftからプランを利用できるMicrosoft 365必要があります。

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. 左ペインで、 ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. 正しい公開者の品番 (PPN) を選択してエンタイトルメント Microsoft 365 を作成し、コンプライアンスを確認します。
   エンタイトルメントの作成の詳細については、次のリンクを参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。

   > **注:**
   > ライセンスの測定基準値が [ユーザーサブスクリプション] であることを確認します。

5. 移動先 ライセンス使用状況 左側のペインで。
6. 「 調整 」タブを選択します。
7. [調整の実行] を選択します。
8. と SaaS ワークスペースの概要ダッシュボードでのクラシック版 ソフトウェア資産管理 Office 365 & Adobe Cloud ダッシュボードコンプライアンス分析結果の表示。
   ソフトウェア調整の実行の詳細については、次を参照してください ソフトウェア調整の実行 。 実行 Software Asset Management Foundation プラグイン クラシック版のソフトウェア調整 .
9. でサブスクリプションワークスペースの [最適化と削減] ダッシュボードに最適化されたMicrosoft 365すべてのプランを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

政府機関向けプランの **Microsoft Office 365 REST** エンドポイントを更新する

サブスクリプションプロファイルの ServiceNow REST メッセージのエンドポイントを、サブスクリプションを使用するように変更します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ServiceNow は政府機関向けプランをサポートし Microsoft Office 365 におり、セグメント化された政府機関向けクラウド コミュニティで Office 365 サービスのすべての機能を提供し、組織が米国のコンプライアンスおよびセキュリティ基準を満たすことを可能にします。

政府機関向けプランの詳細については Microsoft Office 365 、「Office 365 Government」を参照してください。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.
2. REST メッセージレコードを開きます。
3. REST メッセージを開きます。
4. REST メッセージのエンドポイントを更新します。

   Microsoft 365 は、O365 Government プランのエンドポイントを提供します。使用可能なエンドポイントの詳細については、「Office 365 U.S. Government GCC High エンドポイント」を参照してください。
5. [更新] を選択します。
6. REST メッセージの下にある HTTP メソッドの対応するエンドポイントを更新します。

[store-future: BEGIN review]

ユーザーをサブスクリプションレコードに関連付ける

ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルの [ユーザー] フィールドが空の場合、フィールドを関連するユーザーにマッピングします。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

このタスクについて
SaaS 統合により、サブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルにサブスクリプションレコードが作成されます。このテーブルのフィールドは、自動化されたジョブと統合によって入力されます。デフォルトでは、[User (ユーザー)] フィールドは [User principal name (ユーザープリンシパル名)] 列の値に基づいて解決され、User [sys_user] テーブルの **Email** フィールドおよび **user_name** フィールドに対して検証されます。

手順

ユーザーデータを効果的にマッピングするには、次のいずれかの手順を実行します。

- サブスクリプションの [ユーザー] フィールドを手動で更新します。

  デフォルトでは、値を設定した場合でも、統合によって [ユーザー] フィールドが上書きされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. サブスクリプションレコードの [ユーザー] フィールドを手動で更新して、統合によって自動的に設定された [ユーザー] 列の値を上書きします。

値を更新した後、統合によって値はリセットされません。

b. 統合のユーザーロジックに戻す場合は、[ユーザー] フィールドの値をクリアします。

値をクリアすると、次の統合実行時に [ユーザー] フィールドが自動的に再入力されます。

- サブスクリプションのユーザールックアップロジック SaaS を変更します。

ユーザールックアップ用に別の列がある場合は、ベースシステムルックアップの代わりにその列をルックアップに使用することができます。

a. スクリプトインクルード SAMSaasIntegrationUtils を開きます。

b. *getSysUser* メソッド呼び出しを次のスクリプトとsys_userテーブルのフィールド名に置き換えて、<replace_field_name>置き換えます。

```
getSysUser: function (upn) {
if (upn) {
        var userGr = new GlideRecord('sys_user');
        userGr.addActiveQuery();
        userGr.addNotNullQuery('<replace_field_name>');
        userGr.addQuery('<replace_field_name>', upn);
        userGr.setLimit(1);
        userGr.query();
        if (userGr.next()) {
                return userGr;
        }
          }
            }
```

[End]

自動翻訳

オンラインサービスの予約エンタイトルメント **Microsoft** の作成

オンライン サービスの予約エンタイトルメント Microsoft を作成して、既存の Microsoft 365 サブスクリプションにライセンスを追加できます。新しいライセンスの料金は、調整プロセス中に支払うことができます。

ライセンス予約の概要

ライセンス予約を使用すると、発注書を必要とせずにオンプレミス資産をクラウドに移行するためのライセンス予約注文を行うことができます。オンラインサービスのみが Microsoft ライセンス予約オーダーの対象となります。

注:
予備エンタイトルメントは、既存の Microsoft エンタイトルメントからのみ作成できます。既存のエンタイトルメントは、次の基準を満たしている必要があります。

- ライセンスタイプ はサブスクリプションです。
- 評価指標グループはMicrosoftです。
- ライセンス測定基準 はユーザーサブスクリプションです。
- 公開者は ソフトウェアモデルの製品用です Microsoft 。
- サブスクリプションソフトウェア は、ソフトウェアモデルの製品に対して選択されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラシック版のオンラインサービスのソフトウェア資産管理予備エンタイトルメントMicrosoftの作成

既存のサブスクリプションにライセンスMicrosoft 365を追加できるように、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのすべてのMicrosoftオンラインサービスの予約資格付与を作成します。

始める前に

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント エンタイトルメントを選択します Microsoft Office 365 。
2. [予約エンタイトルメントの作成] 関連リンクを選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
開始日	新しいライセンスの開始日。
終了日	ソースエンタイトルメント終了日の最も早い記念日。このフィールドは自動的に計算されます。
購入済みの権限	新規ライセンスの数。
月次単位コスト	ソースエンタイトルメントの単位コストをソースエンタイトルメントの期間 (月単位) で割った値。このフィールドは自動的に計算されます。
ソフトウェアモデル	既存の資格付与のソフトウェアモデル。このフィールドは、自動的に入力されます。
ソースエンタイトルメント	予備エンタイトルメントの作成に使用された既存のエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。

4. [送信] を選択します。
   新しい予備エンタイトルメントは、ソースエンタイトルメントの [予備エンタイトルメント] 関連リストに追加されます。予備エンタイトルメントのステータスが [使用中] で、[予備エンタイトルメント] チェックボックスがオンになっている。

次のタスク

調整を実行して、調整コスト計算に新しい引当金エンタイトルメントを含めます。移動先 ソフトウェア資産 > **Office 365** と **Adobe Cloud** をクリックして、 Office 365 と Adobe Cloud のダッシュボードを表示します。予約エンタイトルメントのコストは調整コストに含まれ、現在のサブスクリプション費用には含まれません。

予約エンタイトルメントの終了日を過ぎると、SAM - サブスクリプションメンテナンススケジュール設定済みジョブによって、それに代わる新しいエンタイトルメントが作成されます。

注:
新しいエンタイトルメントは、元のソースエンタイトルメントの [予備エンタイトルメント] 関連リストに追加されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいエンタイトルメントレコード

フィールド	値
予備エンタイトルメント	新しいエンタイトルメントが予備エンタイトルメントかどうかを示すオプション。このオプションは選択されていません。
開始日	新しいエンタイトルメントが作成された日付。
終了日	元のソースエンタイトルメントの終了日。
ソースエンタイトルメント	元のソースエンタイトルメント。
購入済みの権限	予約エンタイトルメントと同じ数の購入済み権限。
アクティブな権限	予備エンタイトルメントと同じ数のアクティブな権限。
利用可能な割り当て	予備のエンタイトルメントと同じ数の割り当てが利用可能です。
ステータス	エンタイトルメントのステータス。このフィールドは [使用中] に設定されています。

予備のエンタイトルメントのステータスが [廃止] に更新されます。Office 365 と Adobe Cloud のダッシュボードでは、廃止された準備金エンタイトルメントのコストが調整コストから削除されます。新しいエンタイトルメントのコストは、現在のサブスクリプション支出に含まれています。

でのオンラインサービスの予備エンタイトルメント **Microsoft** の作成 **Software Asset** ワークスペース

でSoftware Asset ワークスペースオンラインサービスの予備エンタイトルメントMicrosoftを作成して、既存のMicrosoft 365サブスクリプションにライセンスを追加できるようにします。

始める前に

でSoftware Asset ワークスペースオンラインサービスの予備エンタイトルメントMicrosoftを作成するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。Software Asset Workspace (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求と有効化の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理 を要求する。

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   Software Asset ワークスペース新しいタブで起動します。
2. の左側の Software Asset ワークスペースナビゲーション メニューから [ライセンス操作] を選択します。
   [ライセンス操作] ビューが開きます。
3. ライセンス操作ビューの左側のナビゲーションメニューから、 ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
4. 利用可能なソフトウェアエンタイトルメントのリストから、エンタイトルメントを選択します Microsoft Office 365 。
   ソフトウェアエンタイトルメントの詳細ページが新しいタブで開きます。
5. 「 予約エンタイトルメントの作成」を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

予備エンタイトルメントレコードプロデューサーフォーム

フィールド	説明
開始日	新しいライセンスの開始日。
終了日	ソースエンタイトルメント終了日の最も早い記念日。このフィールドは自動的に計算されます。
購入済みの権限	新規ライセンスの数。
月次単位コスト	ソースエンタイトルメントの単位コストをソースエンタイトルメントの期間 (月単位) で割った値。このフィールドは自動的に計算されます。
ソフトウェアモデル	既存の資格付与のソフトウェアモデル。このフィールドは、自動的に入力されます。
ソースエンタイトルメント	予備エンタイトルメントの作成に使用される既存のエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。

7. [送信] を選択します。
8. 要求が正常に送信されたら、 [閉じる] を選択します。
   新しい予備エンタイトルメントは、ソースエンタイトルメントの [予備エンタイトルメント] 関連リストに追加されます。予備エンタイトルメントのステータスが [使用中] で、[予備エンタイトルメント] チェックボックスがオンになっている。

次のタスク

調整を実行して、調整コスト計算に新しい引当金エンタイトルメントを含めます。Microsoft Publisher の概要で調整結果を表示します。予約エンタイトルメントのコストは、 調整コスト レポートに含まれます。

予約エンタイトルメントの終了日を過ぎると、SAM - サブスクリプションメンテナンススケジュール設定済みジョブによって、それに代わる新しいエンタイトルメントが作成されます。

注:
新しいエンタイトルメントは、元のソースエンタイトルメントの [予備エンタイトルメント] 関連リストに追加されません。

新しいエンタイトルメントレコード

フィールド	値
予備エンタイトルメント	新しいエンタイトルメントが予備エンタイトルメントかどうかを示すオプション。このオプションは選択されていません。
開始日	新しいエンタイトルメントが作成された日付。
終了日	元のソースエンタイトルメントの終了日。
ソースエンタイトルメント	元のソースエンタイトルメント。
購入済みの権限	予約エンタイトルメントと同じ数の購入済み権限。
アクティブな権限	予備エンタイトルメントと同じ数のアクティブな権限。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいエンタイトルメントレコード (続く)

フィールド	値
利用可能な割り当て	予備のエンタイトルメントと同じ数の割り当てが利用可能です。
ステータス	エンタイトルメントのステータス。このフィールドは [使用中] に設定されています。

予備のエンタイトルメントのステータスが [廃止] に更新されます。Microsoftパブリッシャーの概要では、廃止された予約エンタイトルメントのコストが調整コストレポートから削除されます。新しいエンタイトルメントのコストは、現在のサブスクリプション費用に含まれます。

Microsoft コンテナー展開での SQL Server ライセンス

の公開者パックはソフトウェア資産管理、コンテナーを使用してDockerオンプレミス環境とクラウド環境の両方に展開される SQL Server 製品のライセンスルールMicrosoftMicrosoftをサポートします。

コンテナーは、特定のアプリケーションのデプロイと実行に必要なすべてのコードと依存関係をバンドルする実行可能ソフトウェアパッケージです。コンテナーを使用すると、アプリケーションを再構成することなく、デスクトップコンピューターやクラウドなどのあらゆるコンピューティング環境に同じアプリケーションを均一にデプロイして実行できます。また、各コンテナーはオペレーティング システム (OS) を仮想化するため、同じコンピューティング環境内に複数の分離されたアプリケーションを迅速かつ簡単にデプロイできます。

アプリケーションは ソフトウェア資産管理 アプリケーションと連携し ServiceNow® ディスカバリー て動作し、オンプレミス環境とクラウド環境の両方で次の情報を識別します。

- Docker SQL Server 製品が展開されるMicrosoftコンテナー。
- 各コンテナーの実行を可能にする対応する Kubernetes クラスター。
- コンテナーが実行されている基礎となる物理サーバーの OS。
- Microsoft各コンテナーを介してデプロイされる SQL Server のバージョンとエディション。
- 各コンテナーに割り当てられている仮想プロセッサーコアの数。

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、結果のデータを使用して、検出された各コンテナに対応するソフトウェアインストールレコードを作成します。その後、これらのコンテナー ベースのソフトウェア インストールを調整して、各コンテナーを介して展開される SQL Server 製品のライセンス コンプライアンス Microsoft を追跡および最適化できます。

コンテナーを介してDockerデプロイされた SQL Server 製品の可視性Microsoftを高めるには、.コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポート

検出の詳細については Docker 、「 Docker の仮想化 」を参照してください。検出の詳細については Kubernetes 、「 Kubernetes 検出」を参照してください。

サポートされているライセンスモデル

Publisher パックは Microsoft 、コンテナーを介して展開される SQL Server 製品に対して Microsoft 、次のライセンス モデルをサポートします。

注:
各ライセンス モデルの詳細については、「」を参照してください サポートされている Microsoft ライセンスタイプ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コンテナー展開でサポートされている **Microsoft SQL Server** ライセンス モデル

ライセンス モデル	説明
コアあたり	各コンテナのライセンスをスタンドアロンデバイスとして取得する必要があります。ライセンスは、各コンテナーで検出された仮想 CPU (vCPU) の数に基づいており、コンテナーあたりコアあたり最低 4 つのライセンスがあります。
サーバー/CAL	サーバー (インスタンスごとまたはサーバーごと) ライセンスを使用して、各コンテナーにライセンスを付与する必要があります。また、ユーザーまたはデバイスの CAL ライセンスを使用して、これらのコンテナーを実行している基礎となる物理サーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与する必要があります。 サーバーライセンスを使用すると、物理サーバー上のコンテナベースのソフトウェア インストールにライセンスを付与できます。物理サーバー上の特定の数のインストールのみにライセンスを付与するには、サーバー (インスタンスごと) ライセンスを使用します。物理サーバー上のすべてのインストールにライセンスを付与するには、サーバー (サーバーごと) ライセンスを使用します。 CAL ライセンスは、コンテナーが実行されている基盤となる物理サーバーへのアクセス権を一定数のユーザーまたはデバイスに付与するクライアント アクセス ライセンスです。 • ユーザーがサーバーにアクセスしているデバイスの数に関係なく、一定数のユーザーに物理サーバーへのアクセス権を付与するには、ユーザー CAL ライセンスを使用します。 • デバイスを介してサーバーにアクセスしているユーザーの数に関係なく、一定数のデバイスに物理サーバーへのアクセス権を付与するには、デバイス CAL ライセンスを使用します。

コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポート

コンテナーに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポートを使用すると、コンテナーを使用して Docker オンプレミス環境とクラウド環境の両方に展開されているソフトウェア製品を可視化できます。

注:
このレポートを表示するには、プラグイン (com.snc.samp) を有効にし ソフトウェア資産管理プロ 、 ディスカバリーとサービスマッピングパターン ナレッジワーカー　承認者　レビューア　監査人の

[コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品] レポートは、 でのみ使用できます Software Asset ワークスペース。このレポートを表示するには、次の場所に移動します すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**. から、 Software Asset ワークスペースに移動します ライセンス使用状況 > レポート > コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品.

コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポート

フィールド	説明
コンテナ名	Docker ソフトウェア製品の展開に使用するコンテナー。
環境	コンテナーを介して Docker ソフトウェア製品を展開するオンプレミス環境またはクラウド環境。
コンテナー ID	コンテナーの Docker 一意の識別子。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポート (続く)

フィールド	説明
サーバーでホストされる	コンテナが実行されている Docker 物理サーバー。
Kubernetes クラスター	Kubernetes コンテナーを Docker 実行できるようにするクラスター。
仮想 CPU	コンテナーに割り当てられ Docker ている仮想 CPU (vCPU) の数。
インストールされているソフトウェア	コンテナーを介して Docker 展開するソフトウェア製品。

のライセンスを管理する **Microsoft Visual Studio**

Visual Studioのパブリッシャーパックを使用してソフトウェア資産管理サブスクリプションを管理しますMicrosoft。ライセンスコンプライアンスを検証し、ライセンスのないインストールを検出します。割り当てられているが使用されていないサブスクリプションを特定することで、ライセンスコストを削減します。

始める前に

ネットワーク上のソフトウェアインストールを検索するMicrosoftように ServiceNow Discovery を設定します。を使用すると ディスカバリー、購入したライセンスと実際のインストールを比較して、ライセンスコンプライアンス情報を表示できます。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

Visual Studio サブスクリプションを使用すると、開発者は、ソフトウェアが開発環境またはテスト環境にのみ展開されている限り、個々の権限を購入することなく、任意の数のデバイスまたは仮想マシンでほとんどの Microsoft ソフトウェア製品をダウンロード、インストール、構成、および使用できます。Microsoft Publisher Pack を使用してライセンスを管理しVisual Studio、コンプライアンスリスクを軽減します。

まず、サブスクリプションを追跡する Visual Studio ためのソフトウェアモデルとエンタイトルメントを設定します。次に、調整を実行し、ライセンスワークベンチを表示してライセンスコンプライアンスを管理します。

詳細については、「 ホワイト ペーパー - Microsoft Visual Studio のライセンスの管理 」を参照してください。

手順

1. サブスクリプションのソフトウェアエンタイトルメントをインポートしますVisual Studio。

> **重要:**
> エンタイトルメントインポートテンプレートの [**Publisher part number**] 列に入力して、含まれるすべてのソフトウェア (スイートコンポーネント) の Visual Studio ソフトウェアモデルを自動的に作成します。公開者の品番は、ソフトウェア製品定義テーブル [samp_sw_product_definition] で検索できます。[パブリッシャーの品番] フィールドに入力した場合、パブリッシャーの品番によってこれらの情報が提供されるため、パブリッシャー、製品、バージョン、エディション、プラットフォーム、および言語は必要ありません。

インポートが完了すると、サブスクリプションの Visual Studio ソフトウェアモデルとエンタイトルメントが自動的に作成されます。ソフトウェアモデルには Visual Studio 、スイートコンポーネントとダウングレード権限が自動的に入力されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> ソフトウェアモデルは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと の両方で Software Asset ワークスペース表示できます。

2. ソフトウェアモデルに Visual Studio インストール条件を追加します。
インストール条件は、ソフトウェアをインストールできる場所を定義します。の場合 Visual Studio、開発環境またはテスト環境以外の場所にソフトウェアをインストールすることは、Microsoft 使用許諾契約に違反します。インストール条件は調整時に使用されます。調整を実行すると、本番環境、災害復旧環境、またはその他の環境にインストールされているソフトウェアは Microsoft ライセンスの対象 Visual Studio 外となり、別の Microsoft ライセンスで保護されていない限り、ライセンスなしのインストールと見なされます。

   次のいずれかのインストール条件を追加できます。

   - 製品のインストール条件: これらの条件は、ダウングレードやエディションを含む、Visual Studio のすべてのソフトウェア モデルに適用されます。

     > **重要:**
     > で Software Asset ワークスペースソフトウェア製品に製品インストール条件を追加できます。で Software Asset ワークスペース製品のインストール条件を追加する方法の詳細については、「」を参照してください 製品のインストール条件の作成。

   - ソフトウェア インストール条件: これらの条件は、Visual Studio の特定のソフトウェア モデルにのみ適用されます。

     > **重要:**
     > クラシックアプリケーションとの両方のSoftware Asset ワークスペースソフトウェアモデルソフトウェア資産管理に、ソフトウェアインストール条件を追加できます。クラシックアプリケーションに ソフトウェア資産管理 ソフトウェアインストール条件を追加するには、次の手順を使用します。で Software Asset ワークスペースソフトウェア インストール条件を追加する方法の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでソフトウェアモデルを作成。

   a. 移動先 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアモデル をクリックし、変更するソフトウェアモデルを選択します Visual Studio 。

   b. [ソフトウェア インストール条件] フィールドにフィルター条件を追加して、インストールを開発環境またはテスト環境に制限できるようにします。
   たとえば、 `Installed on contains dev` または `Installed on contains test` という条件を使用できます。

   c. [更新] を選択して、変更を保存します。

3. 資格付与に Visual Studio ユーザー割り当てを追加します。
インポートセットと変換マップを使用してユーザー割り当てをインポートできます。ユーザー割り当て [alm_entitlement_user] テーブルにインポートします。変換マップで、[**Assigned to**] フィールドをユーザーテーブル [sys_user] にマッピングします。エンタイトルメントレコードの **[Asset tag**] フィールドを使用して、割り当てを正しいエンタイトルメントにリンクします。結合値には、資格付与とユーザーに対して 2 属性結合を使用します。

   詳細については、「 インポートセット 」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
調整を実行してライセンスコンプライアンスを表示します Visual Studio 。調整は毎週もしくはオンデマンドで実行できます。調整では、ソフトウェアエンタイトルメントに記録された購入済みの Visual Studio 権限が、 で ディスカバリー検出された実際のインストールとが比較されます。簡素化されたワークベンチビューで調整結果を表示するには、次に移動します。 ソフトウェア資産 > 調整 > ライセンスワークベンチ. 詳細については、「コンプライアンスのソフトウェア調整」を参照してください。

クラスターの **Microsoft** コストベースのライセンスの最適化

クラスタの Microsoft コストベースのライセンス最適化により、ライセンスコンプライアンスと費用対効果のバランスを自動的にとることができるため、オンプレミスのクラスタ展開全体でコスト削減を最大化できます。

このライセンスの最適化は、次の Microsoft ライセンスタイプでサポートされています。

- SQL Server と Microsoft BizTalk Server のMicrosoftコアあたりのライセンス
- Windows Server、Core Infrastructure Server、 Microsoft System Microsoft Center のMicrosoftコアあたり (CAL を含む) ライセンス

コア単位およびコア単位 (CAL あり) ライセンスの詳細については、「」を参照してください サポートされている Microsoft ライセンスタイプ 。

> **注:**
> コアあたりのライセンスに対してこのライセンスの最適化を使用するには、ソフトウェア アシュアランス付き **Microsoft SQL Server Standard** のエンタイトルメントコストとソフトウェアアシュアランス付き **Microsoft SQL Server Enterprise** のコストの比率 (*com.snc.samp.sqlserver.standard_sa.to.enterprise_sa.cost.ratio*) と、Microsoft ソフトウェアアシュアランス以外のエンタイトルメントエンタイトルメントのコストに対する **Microsoft** ソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントのエンタイトルメントコストの比率 (*com.snc.samp.ms.sa.to.nonsa.cost.ratio*) ソフトウェア資産管理 プロパティを有効にする必要があります。このライセンスの最適化をコアあたり (CAL あり) のライセンスに使用するには、**Microsoft Windows Server for Datacenter** のライセンス コスト最適化しきい値 ()*com.snc.samp.windowserver.license.threshold*ソフトウェア資産管理 プロパティを有効にする必要があります。これらのプロパティの詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理のプロパティ 。

このライセンスの最適化により、アプリケーションは、次の要因に基づいて、 ソフトウェア資産管理 各クラスターに対して最も費用対効果の高いライセンスソリューションを自動的に決定します Microsoft 。

ライセンス消費

アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 物理ホストのみ、VM のみ、または物理ホストと VM の両方の組み合わせでライセンスを使用する方がコスト効率が高いかどうかを判断します。

> **注:**
> 各クラスターに対して最もコスト効率の高いライセンス消費ソリューションを決定する際に、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはライセンスコンプライアンスも考慮します。

Microsoft ソフトウェア製品エディション

SQL Server Standard Edition や Enterprise Edition など、Microsoft複数のMicrosoftソフトウェア製品エディションのライセンスがある場合、アプリケーションは、ソフトウェア資産管理1 つのライセンス エディションのみを使用するのと、複数のライセンス エディションを組み合わせて使用するのと、どちらがコスト効率が高いかを判断します。たとえば、SQL Server Enterprise Edition ライセンスのコスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

は Standard Edition ライセンスの 4 倍になりますが Microsoft 、無制限の仮想化などのソフトウェア アシュアランスの特典を利用できるため、仮想化密度が高いクラスターや、多数のプロセッサ コアを持つ物理ホストを含むクラスターで使用する方がコスト効率が高い場合があります。アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 これらの Enterprise Edition ライセンスを適用するための最も費用対効果の高い方法を自動的に決定します。

Microsoft ソフトウェアアシュアランス (ソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントと非ソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントの適用)

ソフトウェア アシュアランス (SA) (ライセンス モビリティや無制限の仮想化などのボリューム ライセンスの特典を提供するソフトウェア メンテナンス プログラム) の有無 Microsoft にかかわらず、両方のライセンスがある場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、どちらのライセンスの種類を使用するのがよりコスト効率が高いかを判断します。たとえば、ソフトウェア アシュアランス付きのライセンスは、無制限の仮想化を提供するため、仮想化密度の高いクラスターで使用する方が費用対効果が高い場合があります。ただし、ソフトウェア アシュアランスのないライセンスは、ライセンス モビリティの特典を必要としないため、スタンドアロンの物理ホストで使用する方がコスト効率が高い場合があります。

重要:
仮想マシン (VM) にライセンスを付与するには、アクティブな Microsoft SA または Microsoft ソフトウェア サブスクリプション ライセンスが必要です。

ソフトウェア アシュアランスの詳細についてはMicrosoft、「」ソフトウェアライセンスのメンテナンスを参照してください。

オンプレミスクラスター全体のライセンス消費順序

複数の Microsoft ソフトウェア製品エディションのライセンスを使用している場合、アプリケーションはオンプレミスのクラスター展開インフラストラクチャ全体をスキャンして、 ソフトウェア資産管理 より高価なライセンスエディションを最初に使用する場所を決定します。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、各物理ホストと仮想マシン内のプロセッサコアの数、各クラスター内の仮想マシンの数、およびより高価なエディションに対して検出されたインストールに基づいて、この決定を行います。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、VM プロセッサーコアの合計数が多いクラスターで、より高価なライセンスエディションの使用を優先します。

注:
Microsoft環境にクラスタとスタンドアロン物理ホストの両方が含まれている場合、ソフトウェア資産管理アプリケーションは最初にすべてのクラスタを処理し、ライセンスを付与します。すべてのクラスタにライセンスが正常に付与されると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはすべてのスタンドアロン物理ホストを処理してライセンスを取得します。

コアあたり (CAL を含む) ライセンスを使用している Windows Server クラスターをテストまたはデバッグ Microsoft する場合は、ライセンスの最適化による節減見込み [samp_license_optimization_summary] テーブルを使用して、各クラスターに推奨されるライセンスの最適化を表示できます。

SQL Server データベースとコンポーネントのライセンス消費の Microsoft 最適化

SQL Server データベースとコンポーネントのライセンス消費 Microsoft は、 で ITOM ディスカバリー識別されるコンポーネント エディションに基づいて最適化できます。

注:
を使用して SQL Server コンポーネントのMicrosoftエディションを特定するには、ServiceNow Store からバージョン 1.7.0 以降のディスカバリーとサービスマッピングパターンアプリケーションを要求してインストールする必要があります。ITOM ディスカバリー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> SQL Server データベースとコンポーネントの両方 Microsoft が、関連付けられている Microsoft SQL Server エディションのライセンスを消費します。SQL Server コンポーネントの場合 Microsoft 、Content Service チームは、コンポーネントのエディションに基づいて、 ServiceNow 各コンポーネントを適切な Microsoft SQL Server エディションに自動的に関連付けます。データベースとコンポーネントのライセンス消費を最適化することで、SQL Server とそのコンポーネント エディションの Microsoft ライセンスを最適化します。

ITOM ディスカバリー は、 Microsoft 展開全体で SQL Server データベースとコンポーネントを検索して識別します。SQL Server コンポーネントを検索して識別 Microsoft すると、各コンポーネントのエディションも識別されます。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、識別されたコンポーネントエディションに基づいて、各コンポーネントのソフトウェアインストールレコードを作成します。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、各 SQL Server データベースのソフトウェアインストールレコードも作成しますMicrosoft。これらのソフトウェア インストール レコードを使用して、関連する Microsoft SQL Server エディションと次の Microsoft SQL Server ライセンスルールの両方に基づいて、コンポーネントとデータベースを調整できます。

- Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントが同じデバイスに展開されている場合、デバイスで消費する必要があるライセンスは 1 つだけです。
- Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントが異なるデバイスに配置されている場合は、デバイスごとに個別のライセンスを使用する必要があります。

Microsoft SQL Server コンポーネントエディションの検出の詳細については、「MSSQL サーバーの検出」を参照してください。

検出された **Microsoft** コンポーネントエディションに基づく **SQL Server** コンポーネントの調整

検出されたコンポーネントエディションに基づいて SQL Server コンポーネントを調整し Microsoft 、適切な Microsoft SQL Server エディションに対してライセンスが最適に消費されるようにすることができます。

SQL Server Standard Edition や Enterprise Edition など、さまざまな Microsoft SQL Server エディションのソフトウェア モデルを作成すると、SQL Server コンポーネントは、コンテンツ サービス チームによって提供されるマッピングに基づいて、Microsoft適切なモデルに自動的に関連付けられますServiceNow 。MicrosoftSQL Server ソフトウェア モデルとコンポーネント間の Microsoft マッピングは、各コンポーネントのエディションに基づきます。コンテンツサービスチームは、検出されたデータを正規化するために使用できるソフトウェアコンテンツの集中リポジトリであるソフトウェアライブラリ内の事前定義された検出マップ (DMAP) を通じて、これらのマッピングを提供します。各 DMAP は、ソフトウェアモデルを関連するソフトウェアコンテンツ (ソフトウェアモデルスイートの関係やソフトウェア製品ライフサイクルなど) に関連付けます。Content Service とソフトウェアライブラリの詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス。

ソフトウェア資産管理子コンポーネントはコンポーネント自体ではなく親ソフトウェアモデルに対してライセンス付与されるため、調整中にアプリケーションはソフトウェアモデルスイートを考慮し、ソフトウェア権限を正確にカウントしてライセンスを最適化できます。調整はスケジュール設定済みジョブとして自動的に実行されます。ただし、ジョブスケジュール間でオンデマンドで調整を実行することもできます。ソフトウェアモデルスイートの詳細については、次を参照してください ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート。クラシック・アプリケーションを使用して ソフトウェア資産管理 手動で調整を実行する方法については、次を参照してください ソフトウェア調整の実行。を使用して Software Asset ワークスペース手動で調整を実行する方法については、「」を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

ライセンスステートメント**(MLS)**からの**Microsoft**エンタイトルメントのインポート**Microsoft**

MLS からエンタイトルメントをインポートして、ソフトウェアモデルに Microsoft 一致するライセンスの詳細とライセンス契約を自動的に定義できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

MLS は、各 Microsoft 製品のライセンス情報の包括的なインベントリを含むレポートです。このレポートでは、会社のライセンストランザクション履歴全体を詳細に確認できるため、ライセンスのニーズをより適切に予測 Microsoft するために使用できます。

各MLSには、次の情報が含まれています。

- 組織の概要:MLS タイプと MLS に関連付けられている組織を含む、MLS の範囲。
- ライセンスの概要:使用する資格のあるライセンスの概要。
- トランザクションの概要: 各ライセンスの詳細なトランザクション情報。
- ライセンス契約:各ライセンスに関連付けられているライセンス契約。
- トランザクションデータ:各ライセンスの追加のトランザクション情報。
- よく寄せられる質問と用語集: よく寄せられる質問への回答と一般的な Microsoft 用語の定義。
- ピボット データ: の Microsoftライセンス ポジションを生成するために使用できるデータ。

MLS からライセンス情報をインポートすると、 は ソフトウェア資産管理 MLS の [トランザクションデータ] タブのデータのみを使用してエンタイトルメントとライセンス契約を自動的に作成します。

クラシック版のソフトウェア資産管理ライセンスステートメント **(MLS)** から**Microsoft**エンタイトルメントをインポート**Microsoft**

クラシックアプリケーションを使用して MLS からエンタイトルメントをインポートします ソフトウェア資産管理 。

始める前に

MLS からエンタイトルメントをインポートするには、事前に から MLS Microsoftを要求する必要があります。 Microsoft では、MLS を Excel ファイルとして提供します。

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. インスタンスの ServiceNow® ページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターに「 samp_bulk_import_list.do」と入力します。
   エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルが開きます。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. [エンタイトルメントのインポート] フォームのフィールドに入力します。

[エンタイトルメントのインポート] フォーム

フィールド	説明
インポートタイプ	ソフトウェアエンタイトルメントのインポート元のドキュメントのタイプ。オプションは、[標準インポートドキュメント] と **[Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)]** です。このフィールドを **Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)** に設定します。
ファイル	インポートするソフトウェアエンタイトルメントのスプレッドシート。[クリックして追加...] を選択し、から Microsoft要求した MLS Excel ファイルを検索して選択します。
説明	ソフトウェアエンタイトルメントインポートの簡単な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
契約の自動作成	選択した MLS の親契約と子契約の自動作成を有効にするオプション。契約の詳細については、「 契約 」を参照してください。
インポートステータス	インポートのステータス。このフィールドは、自動的に入力されます。

5. [インポート] を選択します。
インポートが進行中であることを通知する確認メッセージが表示されます。メッセージ内のリンクを選択すると、 で Software Asset ワークスペースエンタイトルメントインポートリストを開くことができます。このリストには、インポートのステータスとエンタイトルメントインポートの完全なリストが表示されます。
6. インポートが完了したら、対応するエンタイトルメントインポートレコードを開いて、インポートに関する追加情報を表示します。

   a. エンタイトルメントインポート [samp_bulk_import] テーブルから、MLS エンタイトルメントインポートを選択します。

   b. インポートに関する追加情報を表示するには、次のオプションを使用します。

   - インポートステータスに関する追加情報を表示するには、次のフィールドを参照してください。

     インポートステータスフィールド

フィールド	説明
インポートステータス	インポートのステータス。
処理された行数	インポート中に処理された Excel 行の数。
成功した行数	正常にインポートされた Excel 行の数。
エラーのある行数	エラーありでインポートされた Excel 行の数。
ビルドステータスのエンタイトルメントの数	インポートされた Microsoft ビルドステータスで、基本エンタイトルメントにリンクできるソフトウェアアシュアランス (SA) またはステップアップエンタイトルメントの数。

   - インポートされたエンタイトルメントの完全なリストを表示するには、[エンタイトルメント] 関連リストを選択します。
   - ステップ 4 で [契約の自動作成] オプションを有効にした場合は、[契約] 関連リストを選択して、自動的に作成された契約のリストを表示します。

     注:
     これらの契約は、正常にインポートされたエンタイトルメントに自動的にリンクされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インポートされた Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントのうち、ビルドステータスにあり、ベースエンタイトルメントにリンクできるもののリストを表示するには、[ビルドステータスのエンタイトルメント] 関連リストを選択します。

  SA またはステップアップエンタイトルメントを基本エンタイトルメントに割り当てるMicrosoft方法の詳細については、ステップ 7 を参照してください。

7. エンタイトルメントインポートに SA またはステップアップエンタイトルメントが含まれている場合 Microsoft は、それらのエンタイトルメントを基本エンタイトルメントに割り当てます。

   a. [エンタイトルメントのインポート] レコードで、[ビルドステータスのエンタイトルメント] 関連リストを選択します。

   b. 利用可能な Microsoft SA またはステップアップ資格付与のリストから、基本資格付与に割り当てる資格付与を選択します。

   c. 対応するソフトウェアエンタイトルメントフォームで、[公開] を選択します。

   d. フォームを再ロードした後、[関連エンタイトルメント] タブを選択します。

   e. [**Related Entitlement]** フィールドで、[**Insert a new row**] をダブルクリックします。

   f. プロンプトが表示されたら、SA またはステップアップエンタイトルメントを割り当てる基本エンタイトルメント Microsoft を検索して選択し、[保存] アイコン ([ ) を選択します。

      注:
      指定された Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントに対して適切なベースエンタイトルメントが利用できない場合は、作成できます。

   g. 対応する [アクティブな権限] フィールドをダブルクリックします。

   h. プロンプトが表示されたら、基本エンタイトルメントに付与する権限の数を入力し、[保存] アイコン ([ ) を選択します。

   i. [Software Entitlement] フォームヘッダーで [**Save**] を選択します。
   SA またはステップアップエンタイトルメントは Microsoft 、指定された基本エンタイトルメントに割り当てられます。

   j. エンタイトルメントインポートレコードに戻り、解決するインポートごとに手順 a から i を繰り返します。

8. エンタイトルメントのインポートにエラーが含まれている場合は、それらのエラーを特定して解決します。

   a. エンタイトルメントのインポートレコードで、[インポートエラーの確認] を選択します。
   [エンタイトルメントのインポートエラー (Entitlement Import Errors)] リストが開きます。

   b. [エラーの状態] フィールドで、解決するエラーの [要レビュー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. エラーを解決するには、必要に応じて対応する [エンタイトルメントインポートエラー] フォームを更新します。
[エンタイトルメントのインポートエラー] フォームフィールドの説明については、「」を参照してください エンタイトルメントのインポートエラーフィールド。エンタイトルメントのインポートエラーに対して実行できるアクションの詳細については、「」を参照してください エンタイトルメントのインポートエラーアクション。

d. [インポート] を選択します。
関連付けられたエンタイトルメントはエラーなしで再インポートされ、自動的に [エンタイトルメントのインポート] フォームに戻ります。

e. 解決するエラーごとに手順 a ～ d を繰り返します。

のライセンスステートメント **(MLS)** からの**Microsoft**エンタイトルメントのインポート**MicrosoftSoftware Asset** ワークスペース

を使用して、MLS からエンタイトルメントをインポートします Software Asset ワークスペース。

始める前に
MLS からエンタイトルメントをインポートするには、事前に から MLS Microsoftを要求する必要があります。 Microsoft では、MLS を Excel ファイルとして提供します。

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動し、ソフトウェア資産の概要が表示されます。
2. [ソフトウェア資産の概要] で、 [エンタイトルメントの作成] を選択します。
[新しいエンタイトルメントを作成 (Create new entitlement)] ダイアログボックスが開きます。
3. ダイアログ ボックスで、 **Excel** ファイルから複数の権利をインポート する を選択し、 次へ を選択します。
ダイアログボックスが閉じた後、新しいタブで [新しいエンタイトルメントインポートを作成 (Create New Entitlement Import)] フォームが開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新規エンタイトルメントインポートの作成 **(Create New Entitlement Import)]** フォーム

フィールド	説明
インポートタイプ	エンタイトルメントのインポート元のドキュメントのタイプ。このフィールドを **Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)** に設定します。
ファイル	エンタイトルメントのインポート元のファイル。から Microsoft要求した MLS Excel ファイルを検索して選択します。
説明	エンタイトルメントのインポートの説明。このフィールドは、[ファイル] フィールドで選択したファイルに基づいて自動的に入力されます。
契約の自動作成	選択した MLS の親契約と子契約の自動作成を有効にするオプション。契約の詳細については、「 契約 」を参照してください。
インポートステータス	インポートのステータス。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [インポート] を選択します。
インポートが進行中であることを通知する確認メッセージが表示されます。メッセージ内のリンクを選択すると、エンタイトルメントインポートリストを開くことができます。このリストには、インポートのステータスとエンタイトルメントインポートの完全なリストが表示されます。
6. インポートが完了したら、対応するエンタイトルメントインポートレコードを開いて、インポートに関する追加情報を表示します。

   a. [エンタイトルメントのインポート] ビューから、MLS エンタイトルメントのインポートを選択します。
   対応するエンタイトルメントインポートレコードが開きます。

   b. インポートに関する追加情報を表示するには、次のオプションを使用します。

   - インポートステータスに関する追加情報を表示するには、[詳細] タブの次のフィールドを参照してください。

   インポートステータスフィールド

フィールド	説明
インポートステータス	インポートのステータス。
処理された行数	インポート中に処理された Excel 行の数。
成功した行数	正常にインポートされた Excel 行の数。
エラーのある行数	エラーありでインポートされた Excel 行の数。
ビルドステータスのエンタイトルメントの数	インポートされた Microsoft ビルドステータスで、基本エンタイトルメントにリンクできるソフトウェアアシュアランス (SA) またはステップアップエンタイトルメントの数。 SA またはステップアップエンタイトルメントを基本エンタイトルメントに割り当てるMicrosoft方法の詳細については、ステップ 7 を参照してください。

   - インポートされたエンタイトルメントの完全なリストを表示するには、[エンタイトルメント] タブを選択します。
   - ステップ 4 で [契約の自動作成] オプションを有効にした場合は、[契約] タブで自動的に作成された契約の完全なリストを表示します。

   > **注:**
   > これらの契約は、正常にインポートされたエンタイトルメントに自動的にリンクされます。

7. エンタイトルメントのインポートにエラーが含まれている場合は、それらのエラーを特定して解決します。

   a. エンタイトルメントのインポートレコードで、[インポートエラーの確認] を選択します。
   対応する [エンタイトルメントインポートエラーのレビュー] ビューが開きます。

   b. インポートエラーを解決するには、次のいずれかまたは両方のオプションを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インポートされたエンタイトルメントに関連するエラーを解決します。
  i. [インポートエラー] タブを選択します。
  ii. [エラーの状態] フィールドで、解決するエラーの [要レビュー] を選択します。

      対応するエンタイトルメントインポートエラーレコードが新しいタブで開きます。

  iii. エラーを解決するために、必要に応じてレコードを更新します。

      エンタイトルメントインポートエラーフィールドの説明については、次のリンクを参照してください エンタイトルメントのインポートエラーフィールド。エンタイトルメントのインポートエラーに対して実行できるアクションの詳細については、「」を参照してください エンタイトルメントのインポートエラーアクション。

  iv. [インポート] を選択します。

      関連付けられたエンタイトルメントはエラーなしで再インポートされます。

  v. レコードを閉じて、[エンタイトルメントインポートエラーのレビュー (Review entitlement import errors)] ビューに戻ります。
  vi. 解決するエラーごとに手順 i から v を繰り返します。

- インポートされた Microsoft SA またはステップアップ資格付与がどの基本資格付与にも割り当てられていないエラーを解決します。
  i. [エンタイトルメントを関連付け る] タブを選択します。
  ii. 利用可能な Microsoft SA またはステップアップ資格付与のリストから、基本資格付与に割り当てる資格付与を選択します。

      対応するソフトウェアエンタイトルメントレコードが新しいタブで開きます。

  iii. [公開] を選択します。
  iv. フォームを再ロードした後、関連するエンタイトルメント 関連リストを選択し、 新規 を選択します。

      [Create New Related Entitlement] フォームが新しいタブで開きます。

  v. フォームのフィールドに入力します。

[新しい関連エンタイトルメントを作成 **(Create New Related Entitlement)]** フォーム

フィールド	説明
アクティブな権限	基本エンタイトルメントに付与する権限の数。
ソフトウェアエンタイトルメント	Microsoft 基本エンタイトルメントに割り当てる SA またはステップアップエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。
関連エンタイトルメント	SA またはステップアップエンタイトルメントを割り当てる基本エンタイトルメント Microsoft 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 指定された Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントに対して適切なベースエンタイトルメントが利用できない場合は、作成できます。
ドメイン	基本資格付与が適用されるドメイン。デフォルト値は [グローバル] です。

vi. **[Save** (保存)] を選択します。

vii. ソフトウェアエンタイトルメントレコードを閉じて、[エンタイトルメントインポートエラーのレビュー (Review entitlement import errors)] ビューに戻ります。

viii. 基本エンタイトルメントに割り当てる各 SA またはステップアップエンタイトルメントについて Microsoft 、手順 i ～ vii を繰り返します。

Windows および **SQL Server** インフラストラクチャ レポート

Windowsおよび SQL Server インフラストラクチャレポートを使用すると、オンプレミスおよびパブリッククラウド環境AWSMicrosoft Azure全体で Server または Microsoft SQL Server を実行しているMicrosoft Windowsすべての物理ホストと仮想マシン (VM) のインフラストラクチャの詳細を表示できます。

Windows SQL Server インフラストラクチャ レポートは、クラシック Software Asset ワークスペースソフトウェア資産管理 アプリケーションとクラシック アプリケーションの両方で使用できます。

でこのレポートを表示するには、 Software Asset ワークスペース次に移動します: ワークスペース > **Software Asset Workspace**. から、 Software Asset ワークスペースに移動します ライセンス使用状況 > レポート > **Windows** と **SQL Server** のインフラストラクチャ.

このレポートをクラシックアプリケーションで ソフトウェア資産管理 表示するには、 すべて > レポート > 表示/実行. 使用可能なレポートの一覧から、 **Windows** と **SQL Server** のインフラストラクチャの詳細レポートを検索して選択します。対応する [レポートの編集] ページが開いたら、 [実行] を選択します。

Windows および **SQL Server** インフラストラクチャ レポート

フィールド	説明
展開タイプ	物理ホストまたは VM が実行されている展開のタイプ。オプションは [オンプレミス] と [クラウド] です。
クラウドプロバイダ	サーバーまたは Microsoft SQL Server がMicrosoft Windows展開されているクラウドプロバイダー。オプションは 、AWS と **Microsoft Azure** です。 注: このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。
vCenter	VMware 仮想 VMware vSphere 環境で物理ホストまたは VM を管理するために使用している vCenter Server。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows および **SQL Server** インフラストラクチャ レポート (続く)

フィールド	説明
	注: このフィールドは、仮想化テクノロジーを使用している VMware 場合にのみ適用されます。
クラスター	物理ホストまたは VM が存在するクラスター。
ホスト	物理ホストの場合、このフィールドは Server または Microsoft SQL Server がインストールされているホストMicrosoft Windowsを識別します。 VM の場合、このフィールドは VM が実行されている物理ホストを識別します。
ホストプロセッサー数	物理ホストに割り当てられている CPU の数。
ホストコア数	物理ホストに割り当てられている各 CPU 内のコア数。
仮想化技術	物理ホストと VM の展開と管理に使用している仮想化テクノロジー。
仮想サーバー	サーバーまたは Microsoft SQL Server を実行している Microsoft Windows VM。 注: VM がオンプレミス クラスター内にある場合は、そのクラスター内の任意の物理ホストに移行できます。さらに、VM とホストのアフィニティ ルールを使用して、VM を実行できる物理ホストを指定している場合、VM はそれらのルールで指定されている任意の物理ホストに移行できます。これらのシナリオでは、移行先の物理ホストに基づいて、同じ VM が SQL Server インフラストラクチャ レポートに複数回表示される Windows 可能性があります。 注: このフィールドは VM にのみ適用されます。
Windows サーバーのインストール	Microsoft Windows 物理ホストまたは VM にインストールされているサーバーのバージョン。 複数の Microsoft Windows サーバーバージョンが同じホストまたは仮想マシンにインストールされている場合、このフィールドにはインストールされているすべてのバージョンがカンマ区切りリストを使用して表示されます。
SQL Server のインストール	Microsoft 物理ホストまたは VM にインストールされている SQL Server のバージョン。 複数の Microsoft SQL Server バージョンが同じホストまたは VM にインストールされている場合、このフィールドには、インストールされているすべてのバージョンがカンマ区切りリストを使用して表示されます。
VM プロセッサー数	VM に割り当てられている仮想 CPU (vCPU) の数。 注: このフィールドは VM にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows および **SQL Server** インフラストラクチャ レポート (続く)

フィールド	説明
VM コア数	VM に割り当てられている各 vCPU 内の仮想コアの数。 注: このフィールドは VM にのみ適用されます。
VM CPU スレッド数	VM に割り当てられた vCPU 内の各仮想コアを分割するスレッドの数。 注: このフィールドは VM にのみ適用されます。
クラウドホストタイプ	VM が実行されているクラウドホストのタイプ。オプションは [共有] と [専用] です。 注: このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。
クラウドライセンスタイプ - Windows サーバー	サーバーインストールの Microsoft Windows クラウドライセンスタイプ。オプションは **[BYOL**] と [ライセンスが含まれる] です。 注: このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。
クラウドライセンスタイプ - SQL Server	SQL Server インストールの Microsoft クラウドライセンスタイプ。オプションは **[BYOL**] と [ライセンスが含まれる] です。 注: このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。

Microsoft クラシックの ソフトウェア資産管理 ダッシュボード

クラシックアプリケーションで SQL Server ソフトウェア資産管理 などのソフトウェアのインストール数、コスト、およびコンプライアンスMicrosoftを表示します。の Microsoft 365サブスクリプションの使用、コスト、およびコンプライアンスを表示します。

注:
ダッシュボードを表示するには、アドオン Microsoft 公開者パック (com.snc.samp.microsoft) プラグインをインストールする必要があります。

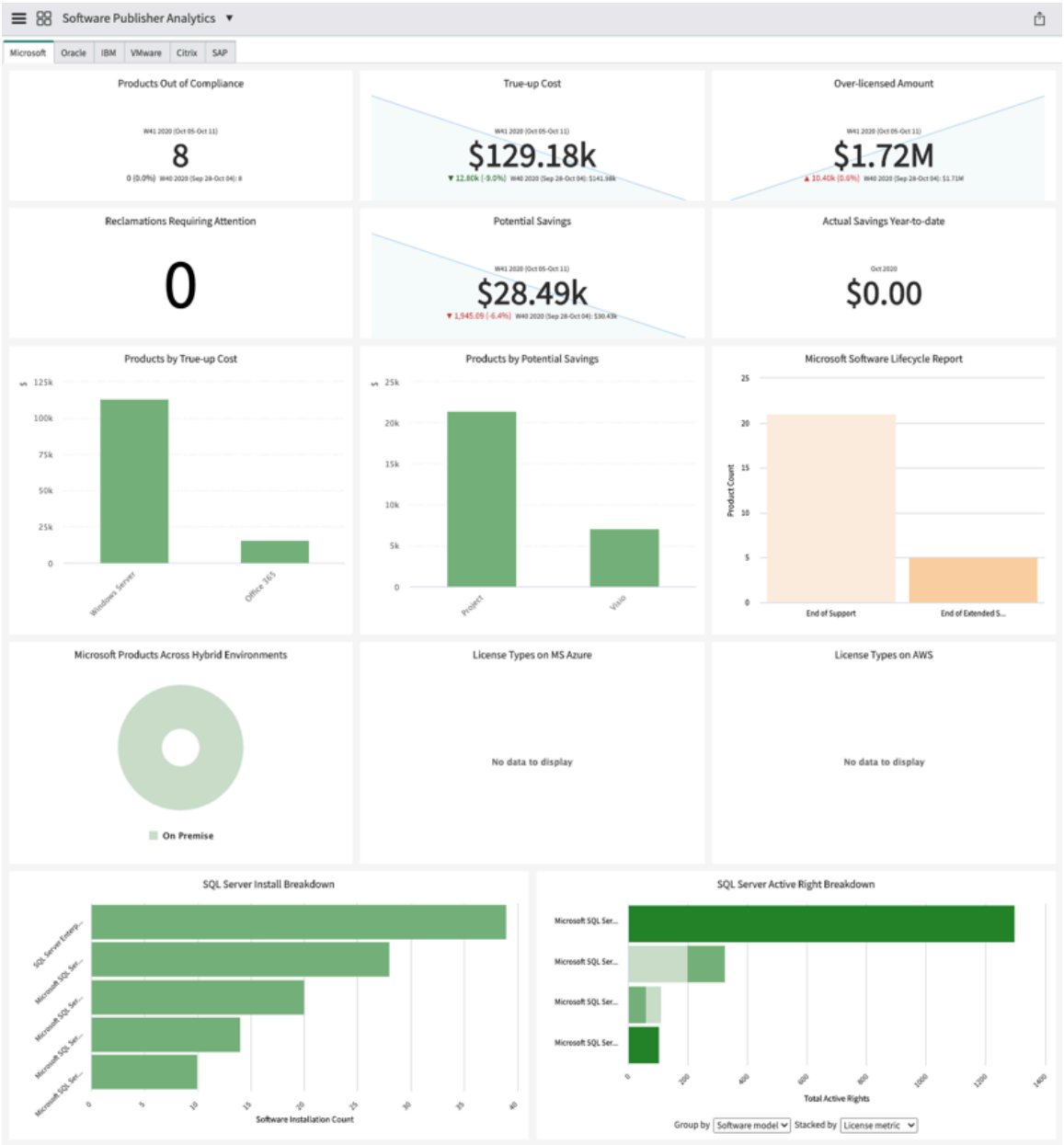
ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

のソフトウェアパブリッシャー分析ダッシュボード **Microsoft**

の Microsoft ソフトウェアパブリッシャー分析ダッシュボードにアクセスするには、 ソフトウェア資産 > 主要ソフトウェアメーカーのライセンス概要.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



Microsoft タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、 ライセンスワークベンチに結果が表示されます。
調整コスト	製品の結果	権限の資格付与の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Microsoft タブ (続く)

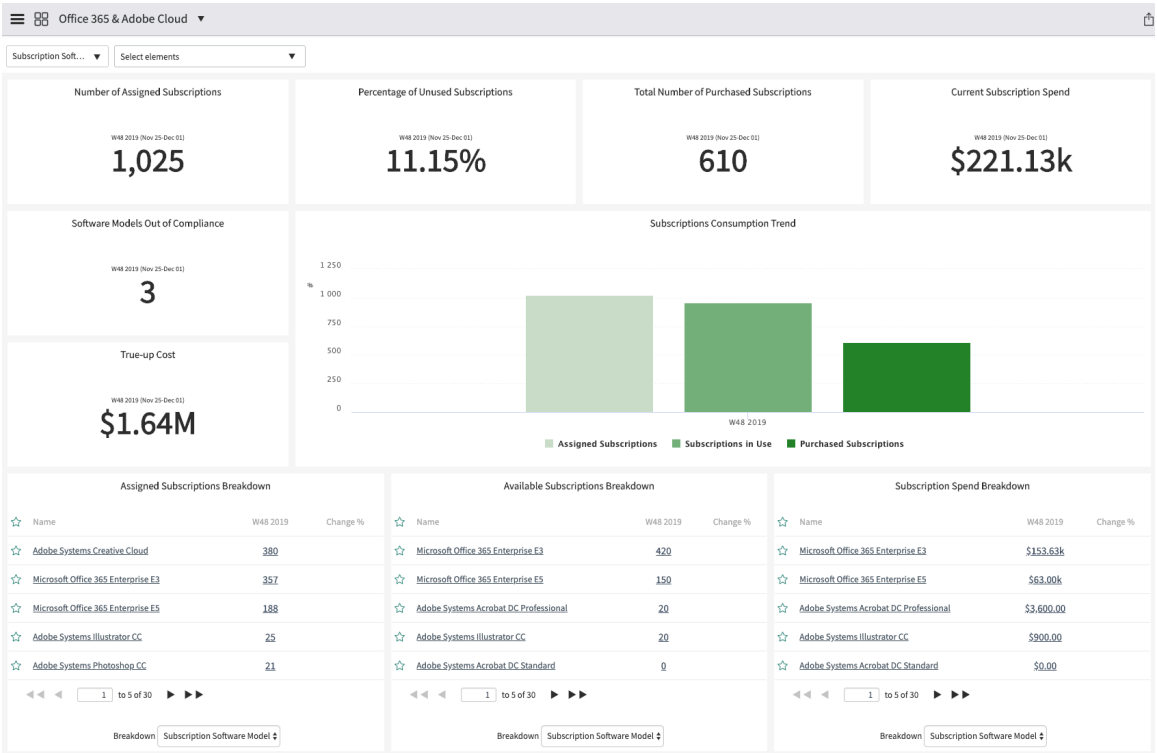
レポート	ソースリスト	説明
注意が必要な再利用	再利用候補	[State (ステータス)] が [Attention Required] であること。
節減見込み	再利用候補	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
節減実績の年度累計	再利用候補	今年クローズ済みで、ステータスは [Closed Complete] に設定されています。
調整コスト別の製品	製品の結果	製品別の最大調整コスト。
節減見込み額別の製品	再利用候補	製品別の最大の節減見込み。
Microsoft ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	延長サポート終了、提供終了、サポート終了を含む、各ソフトウェアライフサイクルフェーズにおける製品の数。
Microsoft ハイブリッド環境全体の製品	ソフトウェア インストール	オンプレミス環境とクラウド環境全体での製品の配布 Microsoft 。
のライセンスタイプ Microsoft Azure	ソフトウェア インストール	で使用される Microsoft Azureライセンスの種類。
のライセンスタイプ AWS	ソフトウェア インストール	で使用される AWSライセンスの種類。
SQL Server インストールのブレークダウン	ソフトウェア インストール	SQL Server あたりの合計ソフトウェアインストール数。
SQL Server の有効な権限のブレークダウン	ソフトウェアエンタイトルメント	SQL Server あたりのアクティブな権限の合計数。

Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボード

サブスクリプション ソフトウェアとして認識されているソフトウェア製品のみ Microsoft 365 が表示されます。 Microsoft Office 365 の統合 コンプライアンス情報を表示するにはに設定する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポート	ソースリスト	説明
アサインされたサブスクリプションの数	ソフトウェアサブスクリプション	使用されているサブスクリプション数の集計 (アクティブなユーザーアカウントなど)。
未使用のサブスクリプションの割合	ソフトウェアサブスクリプション	所有している権限に対する利用可能な権限の比率。
購入したサブスクリプションの合計数	ライセンス評価指標の結果	所有している権利の合計数。
現在のサブスクリプション支出	ライセンス評価指標の結果	サブスクリプション権限の総コストの集計。
コンプライアンス違反のソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの結果	コンプライアンス違反のソフトウェアモデルの数。 ライセンスワークベンチで結果を表示するレポートを選択します。
調整コスト	ソフトウェアモデルの結果	最新のソフトウェアモデル結果の調整コストの合計。
サブスクリプション消費の傾向	ソフトウェアサブスクリプション ライセンス評価指標の結果	傾向、アサイン済み、アクティブ、および利用可能なサブスクリプション。
アサインされたサブスクリプションブレークダウン	ソフトウェアサブスクリプション	ソフトウェアモデル別のアサイン済みサブスクリプションのブレークダウン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

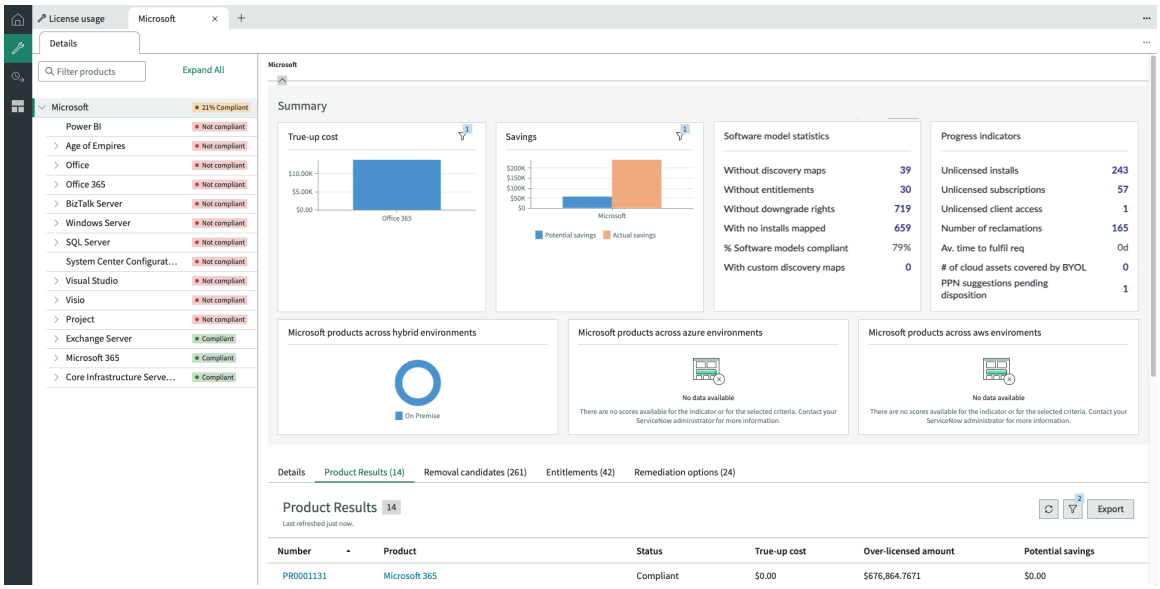
レポート	ソースリスト	説明
利用可能なサブスクリプションブレークダウン	ライセンス評価指標の結果	ソフトウェアモデル別のアクティブな権限の合計のブレークダウン。
サブスクリプション支出明細	ライセンス評価指標の結果	製品/バージョン/エディション (ソフトウェアモデル) 別のサブスクリプションの総コストのブレークダウン。

の公開者の概要**MicrosoftSoftware Asset** ワークスペース

の公開者の概要MicrosoftSoftware Asset ワークスペースに関連するライセンス使用状況情報Microsoftを表示します。

Software Asset ワークスペースから、パブリッシャーの概要にアクセスするMicrosoftには、次の場所に移動します。 ライセンス使用状況 > 公開者 そして、利用可能なソフトウェア発行元の一覧から **[Microsoft**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、発行元の概要の [概要] セクションで Microsoft 確認できます。

Microsoft 概要

レポート	説明
調整コスト	ソフトウェアエンタイトルメントにおける権限 Microsoft の平均価格に基づいて計算される、準拠するためにかかるコスト。
預金	ライセンスの Microsoft 実際のコスト削減と潜在的なコスト削減。
ソフトウェアモデル統計	ソフトウェアモデルのコンプライアンス結果のサマリー。 この概要には、次の情報が含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Microsoft 概要 (続く)

レポート	説明
	• 検出マップなし:検出マップのないソフトウェアモデルの数 Microsoft 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • エンタイトルメントなし:ソフトウェアエンタイトルメントのないソフトウェアモデルの数 Microsoft 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • ダウングレード権限なし:ダウングレード権限のないソフトウェアモデルの数 Microsoft 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • インストールがマップされていない:どのソフトウェアインストールにもマッピングされていないソフトウェアモデルの数 Microsoft 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • 準拠しているソフトウェアモデルの割合:準拠しているソフトウェアモデルの割合 Microsoft 。 • カスタム検出マップあり **(With custom discovery maps)**:カスタム検出マップを含むソフトウェアモデルの数 Microsoft 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 この概要には、次のインジケーターが含まれています。 • ライセンスなしのインストール:ライセンス Microsoft なしのソフトウェアのインストール数。番号を選択すると、ライセンスなしのソフトウェアインストールのリストが表示されます。 • ライセンスなしのサブスクリプション:ライセンス Microsoft なしのサブスクリプションの数。番号を選択すると、ライセンスなしのサブスクリプションのリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンス Microsoft のないクライアントアクセスレコードの数。番号を選択すると、ライセンスのないクライアントアクセスレコードのリストが表示されます。 • 再利用の数:再利用したライセンスの合計 Microsoft 数。番号を選択すると、ライセンスを再利用した削除候補のリストが表示されます。 • 要求を満たすための平均時間:ライセンス要求を履行 Microsoft するのにかかる平均時間。 • **# of cloud assets covered by BYOL:BYOL**ライセンスを使用している Microsoft 資産の数。番号を選択すると、資産のリストが表示されます。 • 処分待ちの **PPN** 提案 **(PPN suggestions pending disposition)**:新しいソフトウェア資産管理コンテンツサービス PPN への交換処理待ちのカスタムMicrosoft公開者の品番 (PPN) の数。番号を選択すると、PPN のリストが表示されます。
Microsoft ハイブリッド環境全体の製品	オンプレミス環境とクラウド環境全体でのソフトウェア製品の配布 Microsoft 。
Microsoft Azure 環境全体の製品	環境全体でMicrosoft Azureのソフトウェア製品の配布Microsoft。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 概要 (続く)

レポート	説明
Microsoft AWS 環境全体の製品	環境全体でAWSのソフトウェア製品の配布Microsoft。

Publisher の概要で提供されている詳細なライセンス使用状況情報の詳細については、を参照してください ワークスペースのライセンス使用パブリッシャーフィールド。

サポートされている **Microsoft** ライセンスタイプ

のMicrosoftパブリッシャーパックはソフトウェア資産管理、にMicrosoft固有のライセンス測定基準を追加します。

ライセンスの測定基準は、 がエンタイトルメントの測定基準グループとして選択されている場合Microsoftに使用できます。

ユーザーごとのライセンス

ユーザーごとのライセンスは、ソフトウェアへのアクセスに使用するデバイスの台数に関係なく、ソフトウェアにアクセスする各ユーザーにライセンスが付与されている場合に使用されます。

ユーザーのインストール数を定義するには、関連するソフトウェアモデルの [測定基準属性] 関連リストで [権限あたりの最大インストール数] を選択します。ユーザーが定義したインストール数を超えた場合、ユーザーに完全にライセンスが付与されるか、それ以上利用可能な権限がなくなるまで、追加の権限が消費されます。

ユーザーごとのライセンス測定基準のユーザー割り当てを管理できます。ユーザーには多数の権限が割り当てられます。すべての割り当てが必要でない場合でも、ユーザーは割り当てられた権限の数を消費します。ユーザーがデバイスに割り当てられていない場合、権利はソフトウェアがインストールされている一意のデバイスごとに消費されます。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、割り当てられているデバイスにソフトウェアを 1 つ以上インストールしている一意のユーザーごとに権利が消費されます。

ソフトウェアモデルにソフトウェア製品の別のバージョンへのダウングレード権限またはアップグレード権限がある場合、ソフトウェアのプライマリバージョンが完全にライセンス付与された後に、指定されたバージョンのソフトウェアをインストールしたユーザーに権限が割り当てられます。

デバイスごとのライセンス

デバイスごとのライセンスは、ソフトウェアにアクセスするユーザーの数に関係なく、ソフトウェアにアクセスするデバイスごとにライセンスが付与される場合に使用されます。

デバイスのインストール数を定義するには、関連するソフトウェアモデルの [評価指標属性] 関連リストで [権限あたりの最大インストール数] を選択します。デバイスが定義したインストール数を超えた場合、デバイスに完全なライセンスが付与されるか、利用可能な権限がなくなるまで、追加の権限が消費されます。

デバイスごとのライセンス測定基準に対してデバイスの割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。すべての割り当てが必要でない場合でも、デバイスは割り当てられた数の権限を消費します。

調整中に、このライセンス測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを含むソフトウェアモデルの場合、1 つ以上のソフトウェアがインストールされている固有のデバイスごとに権限が消費されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアモデルにソフトウェア製品の別のバージョンへのダウングレード権限またはアップグレード権限がある場合、ソフトウェアのプライマリバージョンが完全にライセンス付与された後に、指定されたバージョンのソフトウェアをインストールしたユーザーに権限が割り当てられます。

コアあたりのライセンス

サーバー・プロセッサーは、サーバーの主要コンポーネントの 1 つです。各サーバー プロセッサには、コアと呼ばれる小さな処理ユニットが含まれており、プロセッサのコア数はシステム ハードウェアによって異なります。

システムハードウェアは、オペレーティングシステム環境 (OSE) で実行され、オペレーティングシステムとシステム上のソフトウェアアプリケーションの間のミドルウェアとして機能します。OSE は、物理または仮想のいずれかです。お持ちの OSE に応じて、プロセッサは物理、仮想、またはその両方の組み合わせになります。

プロセッサが物理 OSE にあるか仮想 OSE にあるかに関係なく、Microsoft では、SQL Server、Windows Server、またはそれらのコンポーネントを実行するすべてのプロセッサ コアにライセンスを付与する必要があります。ただし、必要なコア ライセンスの数は、物理サーバーと個々の仮想 OSE のどちらにライセンスを付与するかによって異なります。必要なライセンスの数は、Microsoft が提供するコア要因テーブルに基づいています。

注:
物理サーバーと仮想 OSE の両方を含むクラスタにライセンスを付与する Microsoft 場合は、コストベースのライセンスの最適化を使用して、物理サーバーのみ、仮想 OSE のみ、またはその両方の組み合わせにライセンスを付与する方がコスト効率が高いかどうかを判断できます。これらの最適化の詳細については、「」を参照してください クラスターの Microsoft コストベースのライセンスの最適化 。

物理または仮想コアベースのライセンスには、コアあたりのライセンス測定基準を使用します。仮想 OSE にライセンスを付与する場合は、アクティブな Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA) または Microsoft ソフトウェアサブスクリプションライセンスのいずれかを使用する必要があります。

調整中に、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して、インストールされているソフトウェアのエディションがチェックされます。ソフトウェアが Enterprise Edition の場合、物理オペレーティング システム環境 (OSE) または物理サーバーでホストされている仮想マシン (VM) に Enterprise Edition ソフトウェアが少なくとも 1 つインストールされている物理サーバーで、正規化されたコア数に基づいて設定された数の権利が消費されます。Enterprise Edition がインストールされている OSE の数が、物理サーバーに適用されているコア権限の数を超えないように、別のチェックが実行されます。OSE の数が中核権の数を超えた場合、追加の OSE ごとに中核権が消費されます。エディションが Enterprise 以外の場合でも、物理 OSE に少なくとも 1 つインストールされている物理サーバー上のすべてのコアに対して権利が消費されます。違いは、追加のチェックです。この場合、チェックにより、これらの他のエディションのソフトウェアが物理サーバーにのみインストールされていることが確認されます。

仮想環境で他のエディションのソフトウェアが見つかり、他の権限を所有していない場合、調整結果は準拠していません。

デバイスの割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。すべての割り当てが必要でない場合でも、デバイスは割り当てられた数の権限を消費します。このライセンスの測定基準では、すべてのデバイス割り当てを物理サーバーに対して作成する必要があります。ソフトウェアのエディションに関係なく、正規化されたコア数がソフトウェアモデルに関連する [プロセッサーあたりの最小コア数] 測定基準 属性で指定された値よりも小さい場合は、最小数の権利が消費されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コア単位 (CAL を含む) ライセンス

このライセンス測定基準のデバイス割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。すべての割り当てが必要でない場合でも、デバイスは割り当てられた数の権限を消費します。たとえば、サーバーに対して数量 6 のデバイス割り当てが作成されても、サーバーのフルライセンスを取得するために必要なコア権限が 4 つだけの場合、調整中に 6 つの権限が消費されます。追加の 2 つの権限は、調整結果で使用されていない割り当て済みと見なされます。

[コアあたり (CAL あり)] ライセンスの測定基準では、物理サーバーまたは仮想マシン (VM) に対してデバイス割り当てを作成できます 。VM に対して作成されるデバイス割り当ては、アクティブな Microsoft ソフトウェア アシュアランス (SA) または Microsoft ソフトウェア サブスクリプション ライセンスを使用してライセンスを取得する必要があります。コア数がソフトウェアモデルの [プロセッサーあたりの最小コア数] または [サーバーあたりの最小コア数] 測定基準属性で指定された値よりも小さい場合、最小数の権限が消費されます。

> **注:**
> 物理サーバーと VM の両方を含むクラスタで Microsoft デバイス割り当てにライセンスを付与する場合は、コストベースのライセンスの最適化を使用して、物理サーバーのみ、VM のみ、またはその両方の組み合わせにライセンスを付与する方がコスト効率が高いかどうかを判断できます。これらの最適化の詳細については、「」を参照してください クラスターの Microsoft コストベースのライセンスの最適化 。

このライセンスの測定基準は、デバイスまたはユーザーの CAL ライセンスの測定基準とともに使用する必要があります。これらのライセンス測定基準を使用して、ソフトウェアエンタイトルメントを個別に作成する必要があります。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、物理 OSE または物理サーバーでホストされている仮想マシンにソフトウェアが少なくとも 1 つインストールされている物理サーバー上のコアごとに権利が消費されます。OSE 内のインストール数とアクティブな OSE の数が、ソフトウェアモデルフォームの [評価指標属性] 関連リストで定義した指定の最大値を超えていないことを検証するチェックが実行されます。

指定されたインストール数と OSE 数を超えた場合、すべてのインストールと OSE がライセンスされるか、利用可能な権限がなくなるまで、物理サーバーまたは VM のいずれかのコア数または最小コア数に等しいコア権限が消費されます。

ユーザー CAL ライセンス

ユーザー CAL ライセンスは、ユーザーがサービスへのアクセスに使用するデバイスの数に関係なく、ユーザーがサーバーにアクセスしてサービスを使用できるようにするクライアント アクセス ライセンス (CAL) です。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して、消費される権利の数は、そのソフトウェアモデルに関連するすべてのクライアントアクセスレコードの合計ユーザー数と等しくなります。

デバイス CAL ライセンス

デバイス CAL ライセンスは、デバイスからサービスにアクセスするユーザーの数に関係なく、一定数のデバイスがサーバーにアクセスしてサービスを使用できるようにするクライアント アクセス ライセンス (CAL) です。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して消費される権利の数は、そのソフトウェアモデルに関連するすべてのクライアントアクセスレコードの合計デバイス数と等しくなります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サーバー (インスタンスあたり) ライセンス

サーバー (インスタンスごと) ライセンスは、物理サーバーまたは仮想マシン上の設定された数のソフトウェア インストールにライセンスを付与するために使用されます。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、OSE に存在するインストールの数だけ権利が消費されます。OSE でのインストール数が [OSE ごとの最大インストール数] 測定基準属性で指定された値を超えた場合、物理サーバーまたは仮想マシン上のすべてのインストールにライセンスが付与されるか、権限変数がなくなるまで、追加の権限が消費されます。

デバイスの割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。ソフトウェアがインストールされている場合でも、調整中に割り当てられた権限の数がデバイスによって消費されます。たとえば、サーバーに対して数量 2 のデバイス割り当てが作成されても、サーバーのフルライセンスを取得するために必要なサーバー権限が 1 つ (インスタンスあたり) のみの場合、調整中に 2 つの権限が消費されます。追加の権限は、ライセンス測定基準の結果で「割り当て済み、使用中」とマークされます。デバイス割り当ては、物理サーバーまたは仮想マシンに対して作成できます。

サーバー (サーバーごと) ライセンス

サーバー (サーバーごと) ライセンスは、物理サーバー上のすべてのソフトウェア インストールと、物理サーバーによってホストされるすべての仮想マシンにライセンスを付与するために使用されます。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、一意の物理サーバーごとに権利が消費されます。このライセンスの測定基準は、ソフトウェアがインストールされている一意の物理サーバーと仮想マシンごとに権利を消費する、デバイスごとのライセンスの測定基準とは異なります。

デバイスの割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。ソフトウェアがインストールされている場合でも、調整中に割り当てられた権限の数がデバイスによって消費されます。たとえば、サーバーに対して数量 2 のデバイス割り当てが作成されても、サーバーのフルライセンスを取得するために必要な権限が 1 つだけの場合、調整中に 2 つの権限が消費されます。追加の権限は、ライセンス測定基準の結果で割り当て済み、未使用としてマークされます。デバイス割り当ては、物理サーバーに対して作成する必要があります。

プロセッサーごとのライセンス

プロセッサーごとのライセンスは、物理サーバー上の多数のプロセッサーにライセンスを付与するために使用されます。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、物理 OSE または物理サーバーによってホストされている仮想マシンにソフトウェアが少なくとも 1 つインストールされている物理サーバー上のプロセッサーに対して権利が消費されます。単一の権利によってライセンスされるプロセッサの数は、ソフトウェアモデルの [評価指標属性] 関連リストの [権限あたりの最大プロセッサ 数] によって決定されます。

OSE のインストール数とサーバー上の OSE の数が、ソフトウェアモデルの [**OSE** あたりの最大インストール数] および [サーバーあたりの最大アクティブ **OSE** 数] 測定基準属性関連リストで指定された最大数を超えていないことを確認するための追加のチェックが実行されます。いずれかの測定基準属性を超過した場合、すべてのプロセッサー、インストール、および OSE にライセンスが付与されるか、利用可能な権利がなくなるまで、追加の権利が消費されます。プロセッサーごとの権限で、物理サーバーに部分的にライセンスを付与することや、2 つの異なる物理サーバー上のソフトウェアインストールにライセンスを付与することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デバイスの割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。ソフトウェアがインストールされている場合でも、調整中に割り当てられた権限の数がデバイスによって消費されます。すべてのデバイス割り当ては、物理サーバーに対して作成する必要があります。

ユーザーサブスクリプションライセンス

ユーザーサブスクリプションは、アクティブ化されたソフトウェアサブスクリプションの数についてユーザーにライセンスを付与します。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、ソフトウェアモデルに関連付けられた少なくとも 1 つのソフトウェアサブスクリプションレコードを持つ一意のユーザーごとに権利が消費されます。ソフトウェアモデルに対応するソフトウェアインストールにもライセンスが付与されます。ただし、ソフトウェアはインストールされているがサブスクリプションレコードがない場合は、そのユーザーは権限を消費せず、インストールはライセンス解除されます。

ソフトウェアアシュアランスライセンス

Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA) は、アクティブなメンテナンスをユーザーに提供するために使用する Microsoft メンテナンスプログラムです。詳細については、「ソフトウェアライセンスのメンテナンス」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Oracle**

ソフトウェア資産管理公開者パックを使用してOracle、データベース、データベース オプション、管理パック、および WebLogic サーバーのライセンスOracleを追跡および最適化します。

公開者パックを使用するには、for Oracle プラグイン (com.snc.samp.oracle) を有効にしますソフトウェア資産管理プロ。

Oracle ライセンス

公開者パックは Oracle 、ソフトウェアエンタイトルメントに特定のライセンスオプションを追加します Oracle 。

ソフトウェアエンタイトルメントフィールド

フィールド	オプション
合意タイプ	• 汎用 • 無制限のライセンス契約 (ULA)
ライセンスの測定基準	• 指名ユーザープラス • プロセッサーあたり
評価指標グループ	Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
この ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ハイブリッドインフラストラクチャ全体のデータベースサーバーとWebLogicサーバーの自分のライセンス持ち込み(BYOL) Oracle をサポートしています。BYOLサポートにより、オンプレミス環境とパブリッククラウド環境の両方で、データベースとWebLogicサーバーのライセンス Oracle を追跡できます。BYOL サポートの詳細については Oracle 、を参照してください パブリッククラウドに自分のライセンスを使用する。

Oracle ライセンス評価指標

ソフトウェア資産管理 は、次の Oracleライセンス測定基準をサポートしています。

指名ユーザープラス

Named User Plus ライセンスの測定基準は、データベース、データベースオプション、管理パック、および WebLogic サーバーにアクセスする Oracle すべてのユーザーと物理デバイスにライセンスを付与します。ユーザーがこれらの Oracle 製品のいずれかにアクセスするデバイスを操作する場合、Named User Plus ライセンスの測定基準は、ユーザーとデバイスの両方にライセンスを付与します。このライセンスの測定基準は、ユーザーとデバイスを簡単に識別してカウントできる環境で使用します。

「指名ユーザー・プラス」ライセンス・メトリックは、ユーザとデバイスがアクセスしているデータベースまたはOracleWebLogic ServerのOracleエディションに基づいて、異なる最小ライセンス数を実装します。

- ユーザーとデバイスがDatabase Standard Edition (SE) または Standard Edition One (SE1) にアクセスする Oracle 場合は、少なくとも 5 つの Named User Plus ライセンスが必要です。
- ユーザーとデバイスがDatabase Standard Edition 2 (SE2)にアクセスする Oracle 場合は、データベース・サーバーごとに最低10個のNamed User Plusライセンスが必要です。さらに、各 SE2 データベースは、任意の時点で最大 16 個の CPU スレッドを使用できます。
- ユーザーとデバイスがDatabase Enterprise Edition (EE) にアクセスする Oracle 場合は、プロセッサごとに最低 25 の Named User Plus ライセンス、またはこのデータベース エディションにアクセスするユーザーとデバイスの総数が必要です。ライセンスの測定基準は、このライセンスの最小値を 2 つの値のうち大きい方に設定します。
- ユーザおよびデバイスが WebLogic Server Standard Edition にアクセスする Oracle 場合は、プロセッサごとに最低 10 個の Named User Plus ライセンスが必要です。
- ユーザおよびデバイスが WebLogic Server Enterprise Edition にアクセスする Oracle 場合は、プロセッサ コアごとに最低 10 個の Named User Plus ライセンスが必要です。

最小ライセンス数は、次の測定基準属性を使用して、製品のソフトウェア モデル Oracle に自動的に適用されます。

- プロセッサーあたりの最小ユーザー数 (Oracle データベース製品)
- **WebLogic** オンプレミス デプロイメントの最小 **NUP** (Oracle オンプレミス環境の WebLogic Server 製品)
- **WebLogic** クラウド展開の最小 **NUP** (Oracle クラウド環境の WebLogic Server 製品)

その後、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはメトリック属性値を使用して、各 Oracle 製品に必要な権限の数を決定できます。この数を決定するために、アプリケー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ションは、ソフトウェア資産管理適切なメトリック属性値に、製品がインストールまたは実行されている基礎となる物理サーバOracle上のプロセッサの数 (OracleWebLogic Server Standard Edition およびすべてのOracleDatabase Standard Edition) またはプロセッサ コアの数 (OracleWebLogic Server Enterprise Edition および Oracle Database Enterprise Edition) の数を乗算します。結果の値は、製品にアクセスし Oracle ているユーザーとデバイスの合計数と比較されます。必要な権限の数は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。

例えば、20 人のユーザーが、8 つのプロセッサー・コアを持つ物理サーバー上で稼働している Enterprise Edition (EE) データベースにアクセスしているとします。「指名ユーザープラス」ライセンス測定基準は、測定基準属性値に基づく権利の数 (25 最小ライセンス x 8 CPU コア = 200 権利) がデータベースにアクセスしているユーザーの数 (20 ユーザー) よりも多いため、200 の権利を消費します。

プロセッサーあたり

[プロセッサーあたり] ライセンスの測定基準は、データベース、データベース オプション、管理パック、および WebLogic サーバーをインストールまたは実行する Oracle サーバー プロセッサにライセンスを付与します。物理サーバー、仮想サーバー、パーティション化されたサーバー、およびクラウドに製品をインストールして実行できます Oracle が、[プロセッサーあたり] ライセンスの測定基準は、基礎となる物理サーバーまたはクラウドサーバー上のプロセッサーのみにライセンスを付与します。

プロセッサーあたりのライセンス・メトリックは、Oracle プロセッサー・コア要因表 で指定されているように、プロセッサー・コアの合計数にコア・プロセッサー・ライセンス係数を掛けることによって、製品に必要なOracle権利の数を計算します。このライセンスの測定基準は、多数のユーザーとデバイスが同じ環境にアクセスしている環境や、ユーザーを簡単に識別してカウントできない環境 (インターネットなど) で使用します。

例えば、Enterprise Edition (EE) データベースを実行している物理サーバーには、それぞれ 4 つのコアを持つ 2 つのプロセッサーがあります。コア プロセッサのライセンス係数が 0.5 の場合、プロセッサあたりのライセンス メトリックは物理サーバに対して 4 つの権限を消費します。

2 CPU x 4 CPU コア x 0.5 ライセンス係数 = 4 権限。

[指名ユーザー プラス] または [プロセッサーあたり] ライセンスの測定基準を使用してデータベースの権限を割り当てると、 は ソフトウェア資産管理 同じライセンスの測定基準を使用して、関連するデータベース オプションと管理パックの権限を自動的に割り当てます。

クライアントアクセスライセンス (CAL) レコードを作成して、データベースまたは WebLogic サーバーにアクセスできるOracleユーザーまたはデバイスの数を指定すると、ソフトウェア資産管理アプリケーションは [指名ユーザープラス] ライセンスの測定基準のみを使用してユーザーとデバイスにライセンスを付与します。 ソフトウェア資産管理 は、プロセッサーごとのライセンスが利用可能な場合でも、プロセッサーごとのライセンス測定基準を使用しません。

Oracle 検証済みのサードパーティベンダーツール

ご使用の環境にデプロイされている製品のインストール Oracle ・データおよび使用状況データを収集するには、ディスカバリー・プロセスを使用する必要があります。サードパーティツールベンダー(3PTV)プログラムの検証と登録ServiceNowOracleにより、アプリケーションとソフトウェア資産管理アプリケーションの両方が検証Oracleされ、ServiceNow ディスカバリー測定ツールを必要とせずOracleにこのデータを収集および報告できます。データベース、WebLogic Server、OracleOracle Fusion Middleware、およびこれらの製品をサポートする基礎となるハードウェアのデータを収集してレポートOracleできます。

契約の更新および監査中に、 Oracle 製品の特定の使用状況データ Oracle を提供する必要があります。が提供するスクリプト Oracleを実行して、このデータを収集できます。これらのスクリプト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、環境に展開されている製品、およびそれらの製品をサポートする物理ハードウェアと仮想ハードウェアに関する Oracle データを収集します。ただし、このデータを収集して確認するプロセスには、非常に時間がかかる場合があります。

アプリケーションは ServiceNow ディスカバリー 、Oracle検証済 ディスカバリー パターンおよびレポートを使用して、スクリプト出力で提供されるものと同じデータを収集します。このデータを定期的に収集してコンプライアンスを追跡し、予期しない監査結果を最小限に抑えることができます。

検出の詳細 Oracle は、 Oracle Global Licensing Advisory Services (GLAS)データ収集 を参照してください。

> **注:**
> Discovery のすべての ServiceNow メリットを利用するには、から ServiceNow StoreCMDB CI Class Models アプリケーションを要求してインストールします。このアプリケーションの詳細については、「 CMDB CI Class Models ストアアプリ 」を参照してください。

Oracle パーティション環境でのデータベースと WebLogic Server のライセンス

このソフトウェア資産管理アプリケーションは、ソフト・パーティション環境とハード・パーティション環境の両方で、データベースとWebLogic ServerのOracleライセンス・ルールをサポートしていますOracle。パーティション分割を使用すると、インストールに必要なライセンスの数を減らすことができます。

Oracle ソフト・パーティション環境でのデータベースおよびWebLogic Serverのライセンス

アプリケーションはソフトウェア資産管理、仮想化テクノロジなどのVMwareソフト パーティション環境でのデータベースおよび WebLogic Server ライセンス ルールをサポートしますOracle。

ソフトパーティション分割を使用すると、OS リソース マネージャーを使用して、環境のオペレーティング システム (OS) をさまざまな OS の種類と OS バージョンにセグメント化できます。OS リソース・マネージャは、CPUリソースが同じOS内のアプリケーションに割り当てられるセグメントを作成することにより、各 Oracle データベースまたはWebLogicサーバーを実行できるプロセッサの数を制限します。Oracleライセンスおよびソフト・パーティション化の詳細は、Oracle Help Center を参照してください。

VMware vSphere

VMware vSphere は、仮想マシン(VM)にデータベースまたはWebLogicサーバーをインストールして実行できる Oracle 仮想化プラットフォームです。仮想マシンでデータベースまたは WebLogic サーバーを実行する Oracle には、仮想マシンを実行している基盤となる物理 ESXi ホスト上のすべてのプロセッサにライセンスを付与する必要があります。物理ESXiホストが複数の仮想マシンを同時に実行している場合でも、データベースまたはWebLogicサーバを実行している仮想マシンの数に関係なく、ホスト上のすべてのプロセッサにライセンスを付与する必要があります。

Oracle のライセンスは VMware vSphere 、各 vSphere バージョンに関連付けられている vMotion 機能に基づいています VMware 。 VMware vMotion は、サービスを中断することなく VM を 1 つの物理 ESXi ホストから別の物理 ESXi ホストに移行できるようにするテクノロジーです VMware vSphere 。

公開者パックは Oracle 、次の Oracle ライセンスモデルをサポートしています VMware vSphere。

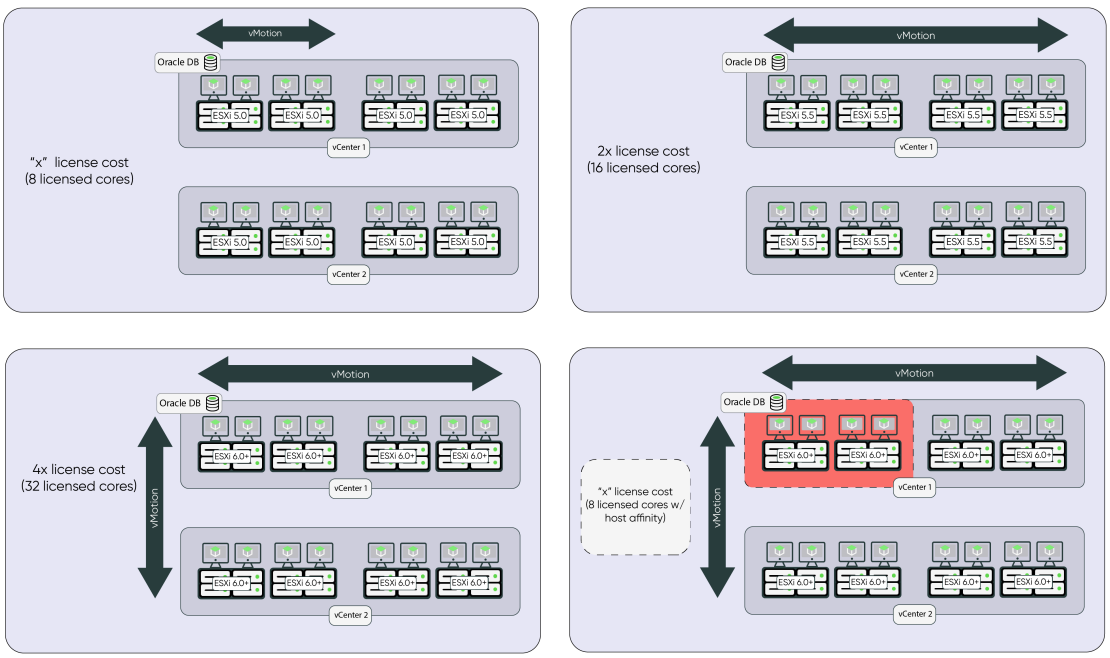
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle のライセンスモデル VMware vSphere

VMware vSphere バージョン	VMware **vMotion** 機能	ライセンスモデル
VMware vSphere ESXi 5.0 以前	仮想マシンは、同じデータセンターの同じ共有ストレージ内の任意の物理 ESXi ホストに移行できます。	同じデータセンターの同じ共有ストレージ内のすべての物理 ESXi ホストで、プロセッサのライセンスを取得する必要があります。
VMware vSphere ESXiの 5.1から 5.5	仮想マシンは、同じ VMware vCenter Server インスタンス内の任意の物理 ESXi ホストに移行できます。	同じ VMware vCenter Server インスタンス内のすべての物理 ESXi ホストのプロセッサにライセンスを付与する必要があります。
VMware vCenter Server 6.0 以降	仮想マシンは、ネットワーク全体の任意の VMware vCenter Server インスタンス内の物理 ESXi ホストに移行できます。移行は、vCenter Server 6.0 以降のインスタンスで VMware ESXi 5.1 以降を実行するVMware vSphere物理ホストでのみサポートされます。	ネットワーク上のすべての VMware vCenter Server 6.0 以降のインスタンス内で、ESXi 5.1 以降を実行するVMware vSphereすべての物理ホストのプロセッサにライセンスを付与する必要があります。

重要:
で ソフトウェア資産管理のプロパティ[**vCenter Server** の集計レベルで **VMware** 上の **Oracle** データベースと **WebLogic** サーバーのライセンスを調整するためにホスト アフィニティを使用する] オプションを有効にすると、vCenter Server インスタンス内のVMwareライセンスを調整するOracleときに、ソフトウェア資産管理アプリケーションはすべての VM とホストのアフィニティ ルールに従います。このシナリオでは、ライセンスは、仮想マシンとホストのアフィニティ ルールで指定されているように、仮想マシンが配置できるすべての物理 ESXi ホストの合計に基づきます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のVMwareライセンスの詳細についてはOracle、「Understanding Oracle Certification, Support and Licensing for VMware Environments」を参照してください。

Oracle ハードパーティション環境でのデータベースと**WebLogic Server**のライセンス

アプリケーションはソフトウェア資産管理、AIX LPAR および Solaris ゾーンのIBMハードパーティション化ライセンスルールをサポートしていますOracle。

サーバーをハードパーティション化すると、サーバーは互いに独立して実行される小さなシステムに分割されます。各システムには、独自のプロセッサ、ネットワークリソース、オペレーティングシステム、メモリなどが含まれています。Oracleライセンスおよびハード・パーティション化の詳細は、Oracleパーティション化ポリシーを参照してください。

IBM Lpar

論理区画 (LPAR) は、オペレーティング・システムをサポートするプロセッサー・ハードウェアの定義済みサブセットです。LPAR には、プロセッサー、メモリー、入出力装置など、独立したシステムとして作動するリソースが含まれています。各メインフレーム・ハードウェア・システム内に複数のLPARを設定できます。

LPAR インフラストラクチャー内の IBM LPAR および LPAR リソースをディスカバーするには、LPAR の管理と構成を可能にするハードウェアアプライアンスであるハードウェア管理コンソール (HMC) のIBMパターンが必要ですServiceNow ディスカバリー。これらの検出パターンにアクセスするには、からパターンサービスマッピングアプリケーションServiceNow Storeを要求してインストールディスカバリーする必要があります。LPAR でディスカバリーを構成する方法について詳しくは、「 IBM Virtualization and Hardware Management Console ディスカバリー」を参照してください。

> **注:**
> *lparstat* コマンドは、LPAR 関連の情報と使用状況のレポートを取得します。詳しくは、IBM Knowledge Center を参照してください。

検出を実行すると、検出された LPAR データが入力され、インスタンスのServiceNow次の構成管理データベース (CMDB)テーブルに保存されます。

- cmdb_ci_ibm_frame
- cmdb_ci_aix_server
- cmdb_ci_lpar_instance
- cmdb_ci_lpar_resource
- cmdb_rel_ci
- cmdb_sam_sw_install

このデータを入力して保存するには、から ServiceNow StoreCMDB CI Class Models アプリケーションを要求してインストールする必要があります。このアプリケーションは、HMC の CMDB クラスを追加または更新します IBM 。HMC CMDB クラスについて詳しくは IBM 、 IBM Hardware Management Console (HMC) 拡張クラスを参照してください。

検出された LPAR データが適切な CMDB テーブルに入力されたら、データベースビューを使用してテーブルを結合し、すべての LPAR データを単一のビューに統合できます *samp_frame_to_lpar_resource* 。このデータベース・ビューとOracle、LPAR のIBMデータベースおよび WebLogic Server ライセンス・ルールに基づいて、LPAR インフラストラクチャ全体のIBMすべてのOracleデータベースおよび WebLogic Server インストールのライセンス・コンプライアンスを識別し、判断できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle LPAR の **IBM** データベースと **WebLogic Server** のライセンス ルール

プロセッサープール	説明	ライセンスルール
専用	プロセッサーは、専用の LPAR である 1 つの専用 LPAR にのみ割り当てられます。	データベースまたはWebLogicサーバーをインストールまたは実行する Oracle 専用プロセッサのライセンスが必要です。 専用 LPAR に必要な権限の数を判別するには、LPAR 上のデータベースまたは WebLogic サーバーを実行しているOracleプロセッサー・コアの合計数に、Oracle プロセッサー・コア要因表 で指定されているコア・プロセッサー・ライセンス係数を掛けます。
共有しました	プロセッサーは、共有 CPU リソース上に構築される LPAR であるマイクロ区画間で共有されます。	データベースまたはWebLogicサーバーをインストールまたは実行する Oracle 共有プロセッサのライセンスが必要です。 LPAR タイプに基づいて、マイクロパーティション全体で必要な権限の数を決定できます。 • 上限付き **LPAR:** 上限付き LPAR は、LPAR が受け取る資格がある CPU リソースの数である最大ライセンス済み容量が割り当てられている論理区画です。上限付き LPAR は、割り当てられたライセンス済み容量よりも多くのプロセッサー能力を使用することはできません。 上限付きマイクロパーティション全体で必要な権限の数を決定するには、 Oracle プロセッサーコア要因表 で指定されているように、割り当てられているすべての資格付与済みキャパシティの合計にコアプロセッサーライセンス係数を掛けます。 • 上限なし **LPAR:** 上限なし LPAR は、割り当てられたライセンス済みキャパシティーよりも多くのプロセッサー能力を使用できる論理区画です。プロセッサーの電力使用量は、LPAR に割り当てられている仮想プロセッサーの数、または共用プロセッサー・プールで使用可能な物理プロセッサー・コアの最大数によって制限されます。 上限なしマイクロパーティション全体で必要な権限の数を判別するには、割り当てられているすべての仮想プロセッサーの合計と、割り当てられているすべての資格付与済みキャパシティーの合計を加算します。 ○ 結果の値が、共有プロセッサー・プールで使用可能な物理プロセッサー・コアの数よりも小さい場合は、 Oracle プロセッサー・コア要因表 で指定されているように、その値にコア・プロセッサー・ライセンス係数を掛けます。 ○ 結果の値が、共用プロセッサー・プールで使用可能な物理プロセッサー・コアの数より大きい場合は、 Oracle プロセッサー・コア要因表 で指定されているように、物理プロセッサー・コアの数にコア・プロセッサー・ライセンス係数を掛けます。

データベース・ビューの詳細については、を参照してください Creating database views for reporting 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Solaris ゾーン

サーバー上に Solaris グローバルゾーンを設定し、複数のローカルゾーンでハードパーティション化できます。その後、データベースまたはWebLogicサーバーを1つ以上のローカル・ゾーンで実行できます Oracle 。データベースまたはWebLogicサーバー・インストールのライセンスを取得する Oracle には、ゾーン構成全体 Solaris を実行する物理ホストに権限を割り当てる必要があります。プロセッサーあたりのライセンスの測定基準の場合、権限は物理ホストの最大容量までのすべてのローカルゾーンのコアをカバーする必要があります。Named User Plusライセンスの測定基準では、ローカル・ゾーン上のデータベースまたはWebLogicサーバーにアクセスするクライアントを権限がカバーする必要があります。ゾーン検出については Solaris 、 Solaris Discovery を参照してください。

Oracle クラウド環境でのデータベースと WebLogic Server のライセンス

アプリケーションは ソフトウェア資産管理 、クラウド環境のデータベースと WebLogic Server の Oracle ライセンスルールをサポートしています。

重要:
この ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ハイブリッドインフラストラクチャ全体のデータベースサーバーとWebLogicサーバーの自分のライセンス持ち込み(BYOL) Oracle をサポートしています。BYOLサポートにより、オンプレミス環境とパブリッククラウド環境の両方で、データベースとWebLogicサーバーのライセンス Oracle を追跡できます。BYOL サポートの詳細については Oracle 、を参照してください パブリッククラウドに自分のライセンスを使用する。

クラウドにデータベースまたはWebLogicサーバーをインストールまたは実行する Oracle 場合、Named User PlusまたはPer Processorライセンス・メトリックのいずれかを使用してライセンスを取得できます。Named User Plusライセンスの測定基準は、 Oracle クラウドデータベースまたはWebLogicサーバーにアクセスするすべてのユーザーと物理デバイスにライセンスを付与します。プロセッサーあたりのライセンス・メトリックは、クラウド・データベースまたはWebLogicサーバーを Oracle インストールまたは実行する仮想CPU (vCPU)にライセンスを付与します。

注:
Oracleプロセッサーコア要因テーブルは、クラウド環境には適用されません。

Amazon Web サービス (AWS)

Amazon Web サービス (AWS)は、データベースとWebLogicサーバーをインストールして実行できる Oracle クラウド・コンピューティング・プラットフォームです。データベースAWSはOracle、Elastic Compute Cloud (EC2) または Amazon Relational Database Service (RDS) のいずれかAmazonを使用して管理できます。ただし、Elastic Compute Cloud (EC2) のみAmazonを使用して WebLogic サーバーを管理Oracleできます。EC2 の詳細については Amazon 、 Amazon Elastic Compute Cloud のドキュメント を参照してください。RDS の詳細については Amazon 、 Amazon Relational Database Service のドキュメント を参照してください。

仮想マシンインスタンスで AWS ハイパースレッディングを有効にすると、アプリケーションは、ソフトウェア資産管理 クラウドデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する Oracle 2 つの vCPU ごとに 1 つのプロセッサーあたりのライセンスを提供します。ハイパースレッディングを有効にしない場合、アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 クラウドデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する Oracle vCPU ごとに 1 つのプロセッサーあたりのライセンスを提供します。

のデータベースと WebLogic サーバーの詳細については、「AWS Cloud上の Oracle Database: クイックスタートリファレンスデプロイ」 を参照してください。AWSOracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft Azure

Microsoft Azure は、データベースとWebLogicサーバーを作成および実行できる Oracle クラウド・コンピューティング・プラットフォームです。

仮想マシンインスタンスで Microsoft Azure ハイパースレッディングを有効にすると、アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 クラウドデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する Oracle 2 つの vCPU ごとに 1 つのプロセッサーあたりのライセンスを提供します。ハイパースレッディングを有効にしない場合、アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 クラウドデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する Oracle vCPU ごとに 1 つのプロセッサーあたりのライセンスを提供します。

のデータベースと WebLogic サーバーの詳細については、「Microsoft と Oracle によるクラウド導入の促進」を参照してください。Microsoft AzureOracle

Oracle マルチテナントアーキテクチャでのデータベースライセンス

アプリケーションは ソフトウェア資産管理 、マルチテナントアーキテクチャのデータベースの Oracle ライセンスルールをサポートしています。

Oracleマルチテナント・アーキテクチャでは、複数のプラガブル・データベース(PDB)を単一のコンテナ・データベース(CDB)に統合できるため、データベース管理が簡素化されます。CDBを使用すると、複数のPDBのリソースを同時に追跡、プロビジョニング、クローニング、管理およびアップグレードできます。このマルチテナント・アーキテクチャは、データベース・バージョン12cリリース1 (12.1)以降で Oracle サポートされています。

マルチテナント・アーキテクチャでデータベースを実行するOracleには、データベースとOracleマルチテナント・オプションの両方のOracleライセンスを購入して管理する必要があります。ほとんどの場合、マルチテナント オプション ライセンスは、 Oracle データベース ライセンスとは別に Oracle 購入して管理する必要があります。ただし、 Oracle Database Cloud Service Enterprise Edition - High Performance (DBCS EE-HP)、 Oracle Database Cloud Service Enterprise Edition - Extreme Performance (DBCS EE-EP)およびDatabase Exadata Cloud Service (ExaCS)は Oracle 、すでにデータベース・ライセンスに含まれているため、マルチテナント・オプションの個別のライセンス Oracle は必要ありません。Oracleデータベース・ライセンスの詳細については、を参照してくださいソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Oracle。

Oracle マルチテナント オプション ライセンス

Oracleマルチテナント オプションは、[指名ユーザー プラス] と [プロセッサーあたり] の両方のライセンス測定基準をサポートします。Named User Plusライセンスの測定基準は、ユーザーが作成したPDBにアクセスするすべてのユーザーと物理デバイスにライセンスを付与します。「プロセッサーあたり」ライセンス・メトリックは、ユーザー作成のPDBを実行しているすべての物理ホスト上のプロセッサー・コアにライセンスを付与します。これらのライセンスの測定基準の詳細については、次を参照してください Oracle ライセンス評価指標。

> **重要:**
> Oracle Multitenant option licensing accounts for user-created PDBs only. It does not account for proxy PDBs or seed PDBs.

データベースのデプロイにマルチテナント オプションのライセンスが必要かどうかは Oracle 、次の基準に基づいて判断できます。

- Oracle PDB と CDB のデータベースバージョンとエディション。
- データベース・インストールで実行されている各データベース・インスタンス内のユーザー作成PDBの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle マルチテナント オプションのライセンス要件

Oracle データベースのバージョン	Oracle データベースエディション	ライセンス要件
12c リリース 1 (12.1)	Oracle データベース標準版 (SE)	[マルチテナント] Oracle オプションはサポートされていません。
	Oracle データベース Standard Edition One (SE1)	
	Oracle データベース Standard Edition 2 (SE2)	
	Oracle データベース・エンタープライズ・エディション (EE) (Database Enterprise Edition (EE))	• すべてのデータベース・インスタンスにそれぞれユーザーが作成したPDBが1つしか含まれていない場合、マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンス Oracle は必要ありません。 • データベース・インスタンスにユーザー作成のPDBが複数含まれている場合は、「指名ユーザー・プラス」または「プロセッサーあたり」のライセンス・メトリックを使用したライセンスが必要です。 **重要:** このバージョンおよびエディションの Oracle データベースでは、データベース・インスタンスごとに最大252個のユーザー作成PDBがサポートされます。データベース・インスタンスに252を超えるユーザー作成PDBが含まれている場合、 ソフトウェア資産管理 追加のPDBの削除候補が作成されます。コンプライアンスを維持するには、追加のPDBを削除する必要があります。
12cリリース2 (12.2) および18c	Oracle データベース・エンタープライズ・エディション (EE) (Database Enterprise Edition (EE))	• すべてのデータベース・インスタンスにそれぞれユーザーが作成したPDBが1つしか含まれていない場合、マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンス Oracle は必要ありません。 • データベース・インスタンスにユーザー作成のPDBが複数含まれている場合は、「指名ユーザー・プラス」または「プロセッサー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle マルチテナント オプションのライセンス要件 (続く)

Oracle データベースのバージョン	Oracle データベースエディション	ライセンス要件
		あたり」のライセンス・メトリックを使用したライセンスが必要です。 **重要:** このバージョンおよびエディションの Oracle データベースでは、データベース・インスタンスごとに最大252個のユーザー作成PDBがサポートされます。データベース・インスタンスに252を超えるユーザー作成PDBが含まれている場合、 ソフトウェア資産管理 追加のPDBの削除候補が作成されます。コンプライアンスを維持するには、追加のPDBを削除する必要があります。
	Oracle データベース Standard Edition 2 (SE2)	「マルチテナント」 Oracle オプションは、すべてのデータベース・インスタンスにそれぞれ1つのユーザー作成PDBが含まれるデプロイメントでのみサポートされます。ただし、マルチテナントオプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません Oracle 。
	Oracle データベース・クラウド・サービス・エンタープライズ・エディション - 高パフォーマンス (DBCS EE-HP) Oracle データベース・クラウド・サービス・エンタープライズ・エディション - エクストリーム・パフォーマンス (DBCS EE-EP) Oracle データベースExadata Cloud Service (ExaCS)	• すべてのデータベース・インスタンスにそれぞれユーザーが作成したPDBが1つ含まれている場合、マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンス Oracle は必要ありません。 • データベース・インスタンスにユーザー作成のPDBが複数含まれている場合は、「マルチテナント」 Oracle オプションが使用されます。ただし、このオプションは既にデータベースライセンスに Oracle 含まれているため、個別のライセンスは必要ありません。 **重要:** これらのバージョンおよびエディションの Oracle データベースでは、データベース・インスタンスごとに最大4,096個のユーザー作成PDBがサポートされます。データベース・インスタンスに4,096を超えるユーザー作成PDBが含まれている場合、 ソフトウェア資産管理 追加のPDBの削除候補が作成されます。コンプライアンスを維持するには、追加のPDBを削除する必要があります。
19c 以降	Oracle データベース・エンタープライズ・エディション (EE) (Database Enterprise Edition (EE))	• すべてのデータベース・インスタンスにそれぞれ3つ以下のユーザー作成PDBが含まれている場合、マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません Oracle 。 • データベース・インスタンスに3つ以上のユーザー作成PDBが含まれている場合は、「指名ユーザー・プラス」または「プロセッ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle マルチテナント オプションのライセンス要件 (続く)

Oracle データベースのバージョン	Oracle データベースエディション	ライセンス要件
		サーあたり」ライセンス・メトリックを使用したライセンスが必要です。 **重要:** このバージョンおよびエディションの Oracle データベースでは、データベース・インスタンスごとに最大252個のユーザー作成PDBがサポートされます。データベース・インスタンスに252を超えるユーザー作成PDBが含まれている場合、 ソフトウェア資産管理 追加のPDBの削除候補が作成されます。コンプライアンスを維持するには、追加のPDBを削除する必要があります。
	Oracle データベース Standard Edition 2 (SE2)	「マルチテナント」 Oracle オプションは、すべてのデータベース・インスタンスにそれぞれ3つ以下のユーザー作成PDBが含まれるデプロイメントでのみサポートされます。ただし、マルチテナントオプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません Oracle 。
	Oracle データベース・クラウド・サービス・エンタープライズ・エディション - 高パフォーマンス (DBCS EE-HP) Oracle データベース・クラウド・サービス・エンタープライズ・エディション - エクストリーム・パフォーマンス (DBCS EE-EP) Oracle データベースExadata Cloud Service (ExaCS)	• すべてのデータベース・インスタンスにそれぞれ3つ以下のユーザー作成PDBが含まれている場合、マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません Oracle 。 • データベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBが3つ以上含まれている場合は、「マルチテナント」 Oracle オプションが使用されます。ただし、このオプションは既にデータベースライセンスに Oracle 含まれているため、個別のライセンスは必要ありません。 **重要:** これらのバージョンおよびエディションの Oracle データベースでは、データベース・インスタンスごとに最大4,096個のユーザー作成PDBがサポートされます。データベース・インスタンスに4,096を超えるユーザー作成PDBが含まれている場合、 ソフトウェア資産管理 追加のPDBの削除候補が作成されます。コンプライアンスを維持するには、追加のPDBを削除する必要があります。

Oracle マルチテナント オプションのユース ケース

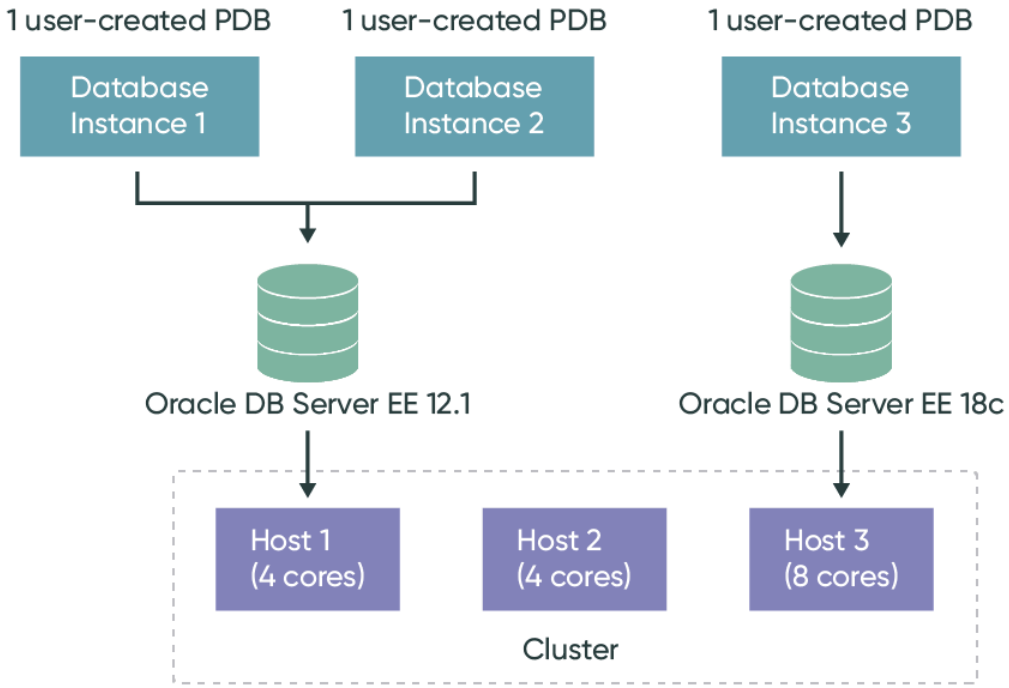
次のユースケースを表示して、マルチテナントオプションのライセンス要件 Oracle をよりよく理解できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracleマルチテナントオプションは使用されていません

Oracle 使用されていないマルチテナントオプションの例



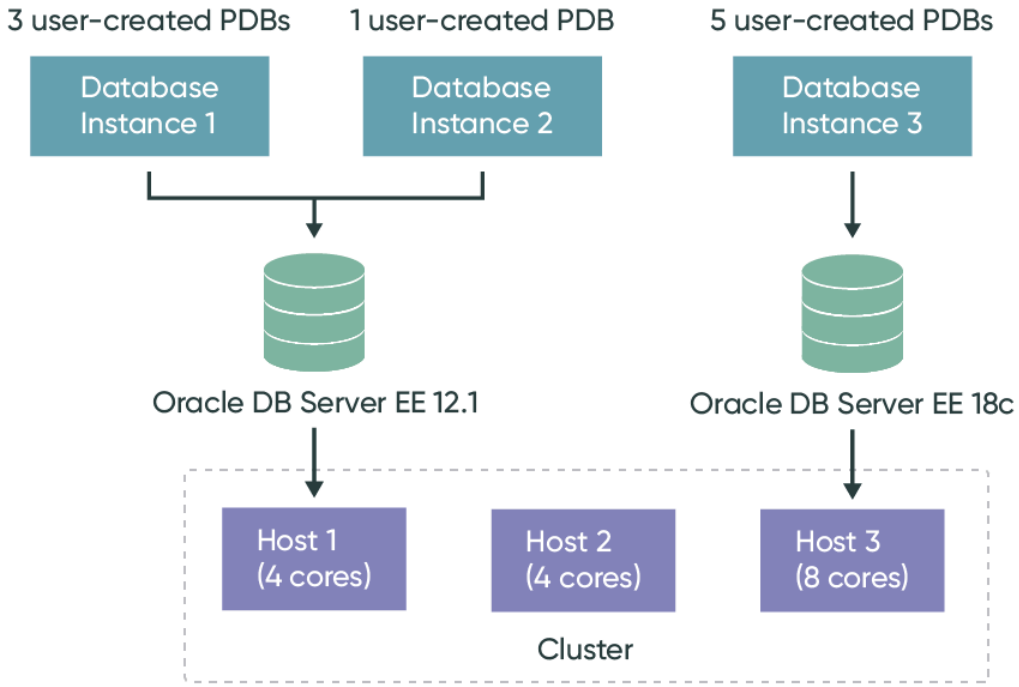
このシナリオでは、データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス2はDatabase 12.1 Enterprise Editionを実行し Oracle ており、それぞれ1つのユーザー作成PDBが含まれています。データベース・インスタンス3はDatabase 18c Enterprise Editionを実行し Oracle ており、ユーザーが作成したPDBも1つ含まれています。どのデータベース・インスタンスも、「 Oracle マルチテナント」オプションが必要なユーザー作成PDBの最小数を満たしていないか超えていないため、このオプションはどのデータベース・インスタンスでも使用されていません。マルチテナントオプションの追加 Oracle ライセンスは、クラスタ内のどのホストにも必要ありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracleマルチテナントオプションが使用されています

Oracle マルチテナントオプションの使用例



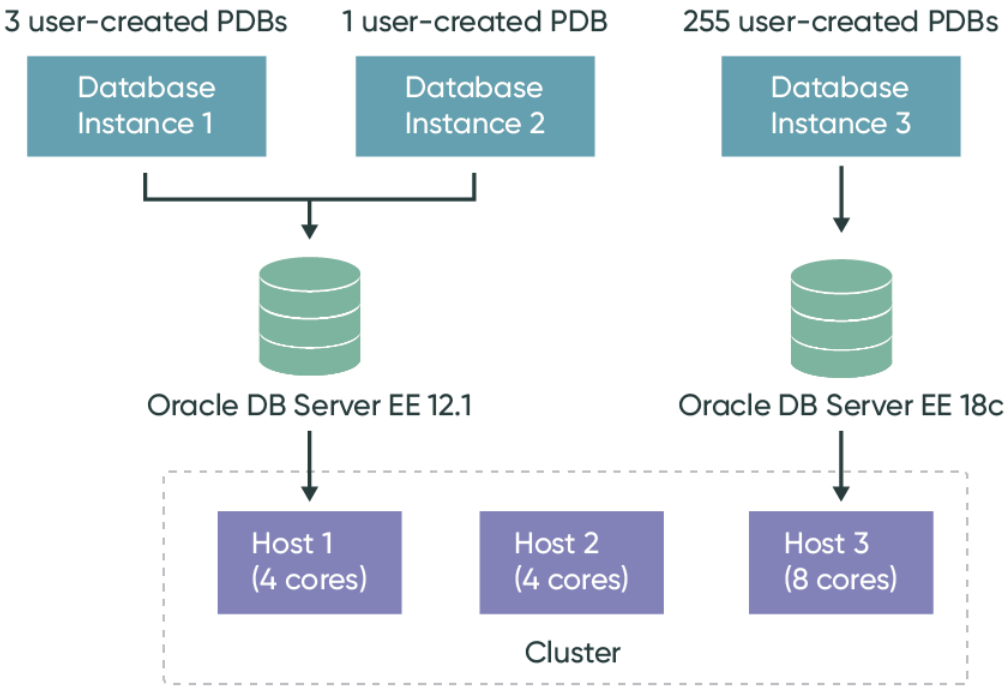
このシナリオでは、データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス2でDatabase 12.1 Enterprise Editionを実行し Oracle ています。データベース・インスタンス1には3つのユーザー作成PDBが含まれ、データベース・インスタンス2には1つのユーザー作成PDBが含まれます。データベース・インスタンス3はDatabase 18c Enterprise Editionを実行し Oracle ており、ユーザーが作成した5つのPDBが含まれています。データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス3の両方が、「 Oracle マルチテナント」オプションが必要なユーザー作成PDBの最小数を超えているため、このオプションは両方のデータベース・インスタンスで使用されています。マルチテナントオプションの追加 Oracle ライセンスは、クラスタ内のすべてのホストで必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracleマルチテナントオプションは使用されていますが、PDB の最大量を超えています

Oracle マルチテナントオプションは使用されていますが、最大 **PDB** 量の例を超えています



このシナリオでは、データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス2でDatabase 12.1 Enterprise Editionを実行し Oracle ています。データベース・インスタンス1には3つのユーザー作成PDBが含まれ、データベース・インスタンス2には1つのユーザー作成PDBが含まれます。データベース・インスタンス3はDatabase 18c Enterprise Editionを実行し Oracle ており、255個のユーザー作成PDBが含まれています。データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス3の両方が、「 Oracle マルチテナント」オプションが必要なユーザー作成PDBの最小数を超えているため、このオプションは両方のデータベース・インスタンスで使用されています。マルチテナントオプションの追加 Oracle ライセンスは、クラスタ内のすべてのホストで必要です。

ただし、データベースインスタンス 3 はコンプライアンス違反と見なされます。マルチテナント・オプションのライセンス・ルール Oracle に基づいて、Database 18c Enterprise Editionを実行する Oracle データベース・インスタンスでサポートされるユーザー作成PDBの最大数は252です。データベース・インスタンス3には255個のユーザー作成PDBが含まれているため、3 ソフトウェア資産管理 つの追加のユーザー作成PDBの削除候補が作成されます。コンプライアンスを維持するために、これらの追加の PDB を削除する必要があります。

Oracle Standard Edition のデータベース ライセンス

Oracle Database Standard Editionは、ソケットの最大容量よりも小さい値を持つサーバー上でライセンス供与されるため、リスクのないライセンスコンプライアンスが保証されます。

ソケットは、プロセッサまたはCPUが配置されるスロットです。**cmdb_hardware_product_model**ハードウェアモデルテーブルの検出不能なフィールド [ソケット数] にソケット情報を手動で入力する必要があります。ITOM ディスカバリー は占有スロットのみを検出し、 ソフトウェア資産管理 コンプライアンスを調整して提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database Standard Edition ライセンス・ルール

エディション	NUP とプロセッサの最大ルール
Oracle DB Standard Edition	サーバーあたり 4 ソケット
Oracle DB Standard Edition 1	サーバーあたり 2 ソケット
Oracle DB Standard Edition 2	サーバーあたり 2 ソケット

Example: Oracle Standard Edition 2 は、ソケットが 2 つを超えるサーバーに展開されます

次の例は、ライセンスルールに従っていない再利用または削除候補に対して表示されるメッセージを示しています。

<サーバー名> にインストールされている Oracle DB Server Standard Edition 2 に、ライセンスなしのインストールとしてフラグが付けられました。Oracle ライセンス ポリシーに従って、Oracle Database Standard Edition 2 は、最大容量が 2 ソケットのサーバーでのみライセンスを取得できます。このサーバーには <no.of socket>使用可能なソケットの数。このサーバーからOracle DB Server Standard Edition 2をアンインストールするか、Oracle DB Enterprise Editionにアップグレードすることをお勧めします。このアクションを続行する前に、Oracle Database 管理者と協力して影響を評価することをお薦めします。サーバーで使用可能なソケットまたはスロットの最大数は、ハードウェア仕様の一部であることに注意してください。したがって、ハードウェア製品モデル <hw モデル名> でこの情報を更新することをお勧めします。この情報がハードウェアモデルに存在しない場合は、すべてのソケットが占有され、検出されていると見なされます。

Oracle データベース オプションと管理パック

発行者パックを使用してOracle、データベース オプションと管理パックのOracleライセンス位置を追跡できますソフトウェア資産管理。ライセンス可能な Oracle オプション [samp_oracle_option_set] テーブルには、ソフトウェア モデルを作成できるデータベース オプションと管理パックの完全な一覧が示されています。

データベース オプションと管理パックの Oracle ライセンスは、データベース サーバーとは別に Oracle 管理する必要があります。データベース サーバー、データベース オプション、および管理パックごとに個別のソフトウェア モデルとエンタイトルメントが必要です。これにより、ライセンス コンプライアンス状況をより包括的に Oracle 把握できます。

たとえば、[パーティショニング] オプションの DB サーバー 12c R1 Enterprise には、 Oracle 2 つの個別のソフトウェアモデルとエンタイトルメントが必要です。

Oracle DB のライセンスの例

目的	ソフトウェアモデル	ソフトウェアエンタイトルメント
Oracle DB Server 12c R1 Enterprise のライセンスを追跡します。	Oracle DB サーバー 12c R1 エンタープライズ [データベースオプション] フィールドに値が選択されていません。	Oracle DB Server 12c R1 Enterprise に対して購入した権限を記録します。
パーティショニングオプションのライセンスを追跡します。	Oracle DB サーバー 12c R1 エンタープライズ・パーティショニング	[パーティショニング] オプションの購入した権限を記録します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Oracle DB のライセンスの例 (続く)

目的	ソフトウェアモデル	ソフトウェアエンタイトルメント
	[データベースオプション] フィールドで選択されたパーティショニング。	

データベース オプションと管理パックの使用状況をOracle追跡および測定するには、 から ServiceNow StoreData Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを要求してインストールします。詳細な手順については、「グローバルライセンスおよびアドバイザリーサービスのデータ収集 Oracle の要求」を参照してください。

重要:
以降San Diegoのリリースで初めてアプリケーションをアクティブ化ソフトウェア資産管理する場合は、データベース オプションと管理パックの使用状況を検出および測定するために、Data Collection Oracle for Global Licensing and Advisory Services アプリケーションが必要です。

以前のRomeリリースで初めてアプリケーションをアクティブ化ソフトウェア資産管理する場合、またはアプリケーションの既存のインスタンスソフトウェア資産管理を以前のリリースから 以降RomeSan Diegoのリリースにアップグレードする場合は、既存のパターンを引き続き使用して、データベースオプションと管理パックの使用状況を検出および測定できます。ServiceNowただし、代わりに Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを使用することをお勧めします。このアプリケーションは追加のユースケースに対応する拡張機能を提供します。

アプリケーションをインストールすると、「SAM - GLAS データからOracleデータベースオプションの使用状況を評価する」スケジュール設定済みジョブが毎週またはオンデマンドで実行され、環境にインストールされているOracleデータベースオプションと管理パック、およびOracleそれらに関連付けられている機能の両方Oracleの利用状況データが取得されます。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、このデータを調整プロセスにOracle含めて、データベース サーバーのライセンス コンプライアンスの位置とは別に報告されるデータベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンスの位置Oracleを判断するのに役立ちます。

[store-future: BEGIN review]

注:
[GLAS データからのデータベースオプションの使用状況の評価 (Evaluate database option usage from Oracle GLAS data)] スケジュール設定済みジョブは、ドメイン分離をサポートしています。

[End]

注:
機能の使用状況データが Oracle 、データベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンスの判断にどのように役立つかの詳細については、「」を参照してください データベース オプションと管理パックの機能 Oracle マッピング。

Oracle データベースオプションと管理パックは、データベースサーバーのライフサイクルに従い、[Oracle ライセンス使用状況] ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) または [ライセンスワークベンチ] (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) に表示されます。ただし、次の修復オプションは、データベース オプションと管理パックでは使用できません。

- 未割り当てのインストールを削除
- ライセンスなしのインストールを削除する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされている **Oracle** データベース オプションと管理パック

ソフトウェア資産管理発行者パックはOracle、既存の検出と使用状況の測定パターンを使用しているか、グローバル ライセンスおよびアドバイザリ サービスのデータ収集Oracleアプリケーションを使用してデータベース オプションと管理パックの使用率を追跡および測定しているかに基づいて、次のデータベース オプションと管理パックをサポートします。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存の検出および使用状況測定パターンによるサポート	**Data Collection for** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションによるサポート
Active Data Guard	はい	はい
Advanced Compression	はい	はい
Advanced Security	はい	はい
監査ボールトおよびDatabase Firewall **注:** Audit Vault and Database Firewallは製品ですが Oracle 、データベースと組み合せて使用する必要があるため、パブリッシャ・パックではOracle データベース・オプションとして追跡されます。	いいえ	はい
Change Management Pack **注:** データベースでDatabase 12c以降を実行しているOracle場合、Change Management Pack、Configuration Management Pack for Oracle DatabaseおよびProvisioning and Patch Automation Pack for Databaseは、Database Lifecycle Management Pack for Oracle Databaseに統合Oracleされます。Change Management Packを使用するには、Database Lifecycle Management Pack for Oracle DatabaseのOracleライセンスを取得する必要があります。	はい	はい
データベース用 Oracle 構成管理パック	はい	はい

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存の検出および使用状況測定パターンによるサポート	**Data Collection for** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションによるサポート
注: データベースでDatabase 12c以降を実行しているOracle場合、Change Management Pack、Configuration Management Pack for Oracle DatabaseおよびProvisioning and Patch Automation Pack for Databaseは、Database Lifecycle Management Pack for Oracle Databaseに統合Oracleされます。Configuration Management Pack for Oracle Database を使用するには、Database Lifecycle Management Pack for Oracle Database のOracleライセンスを取得する必要があります。		
コンテンツ データベース スイート 注: Content Database Suiteは、Database 11gリリース1以前を実行している Oracle データベースでのみ使用できます。	いいえ	はい
Data Masking Pack	はい	いいえ 注: Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを使用している場合は、代わりに Data Masking and Sub-Setting Pack の使用 Oracle 状況を追跡および測定できます。
データマイニング	いいえ	はい

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存の検出および使用状況測定パターンによるサポート	**Data Collection for** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションによるサポート
注: データ・マイニングでは、データベースがDatabase 11gリリース1以前を実行しているOracle 場合にのみ、個別のライセンスが必要です。データベースでDatabase 11gリリース2以降を実行している Oracle 場合、データ・マイニングはすでにデータベース・ライセンスに含まれています。		
Database In-Memory	はい	はい
Database Vault	はい	はい
Diagnostics Pack	はい	はい
ラベルセキュリティ	はい	はい
Multitenant	はい	はい
OLAP	はい	はい
Oracle データベース用 Oracle クラウド管理パック	いいえ	はい
Oracle データマスキング&サブセッティングパック	いいえ 注: データベース オプションと管理パックの既存の検出と使用状況測定パターンを使用している場合は、代わりにデータ マスク パックの使用状況を追跡して測定できます。	はい
Oracle Database Lifecycle Management Pack for Oracle Database	いいえ	はい

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存の検出および使用状況測定パターンによるサポート	**Data Collection for** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションによるサポート
注: データベースでDatabase 12c以降を実行しているOracle場合、Change Management Pack、Configuration Management Pack for Oracle DatabaseおよびProvisioning and Patch Automation Pack for Databaseは、Database Lifecycle Management Pack for Oracle Databaseに統合Oracleされます。3つのパックすべてには、Database Lifecycle Management Pack for Oracle Databaseのライセンスのみを使用できます。		
Oracle 空間とグラフ 注: Oracle SpatialおよびGraphでは、データベースがDatabase 11gリリース1以前を実行しているOracle 場合にのみ、個別のライセンスが必要です。データベースでDatabase 11gリリース2以降を実行している Oracle 場合、 Oracle SpatialおよびGraphはすでにデータベース・ライセンスに含まれています。	いいえ 注: データベース オプションと管理パックに既存の検出パターンと使用状況測定パターンを使用している場合は、代わりに空間とグラフの使用状況を追跡して測定できます。	はい
Partitioning	はい	はい
データベースのプロビジョニングとパッチ自動化パック 注: データベースでDatabase 12c以降を実行しているOracle場合、Change Management Pack、Configuration Management Pack for Oracle DatabaseおよびProvisioning and Patch Automation Pack for Databaseは、Database Lifecycle Management Pack for Oracle Databaseに統合Oracleされます。Provisioning and Patch Automation Pack for Databaseを使用するには、Database Lifecycle Management Pack for Oracle Databaseのライセンスを取得するOracle必要があります。	はい	はい
Real Application Clusters	はい	はい

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存の検出および使用状況測定パターンによるサポート	**Data Collection for** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションによるサポート
Real Application Clusters One Node	はい	はい
Real Application Testing	はい	はい
レコードデータベース **注:** レコード・データベースは、Database 10gリリース2以前を実行している Oracle データベースでのみ使用できます。	いいえ	はい
Spatial and Graph **注:** SpatialおよびGraphでは、データベースがDatabase 11gリリース1以前を実行しているOracle 場合にのみ、個別のライセンスが必要です。データベースでDatabase 11gリリース2以降を実行している Oracle 場合、SpatialおよびGraphはすでにデータベース・ライセンスに含まれています。	はい	いいえ **注:** Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを使用している場合は、代わりに Spatial と Graph の使用 Oracle 状況を追跡および測定できます。
合計再現率 **注:** 「トータル・リコール」は、データベース11g以前を実行している Oracle データベースでのみ使用できます。	いいえ	はい
Tuning Pack **注:** Tuning Pack は、Database Enterprise Edition を実行している Oracle データベースでのみサポートされます。Database Standard Edition または Express Edition を実行している Oracle データベースで Tuning Pack が検出されると、ソフトウェア資産管理 その Tuning Pack インストールの削除候補が生成されます。への Oracle準拠を維持するには、データベースから Tuning Pack をアンインストールするか、データベースを Databse Enterprise Edition に Oracle アップグレードする必要があります。	はい	あり

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グローバルライセンスおよびアドバイザリーサービスのデータ収集 **Oracle** の要求

からグローバルライセンスおよびアドバイザリサービスのデータ収集 Oracle アプリケーション ServiceNow Store を要求して、データベースオプションと管理パックの使用状況を Oracle 追跡および測定できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services 」と入力し、「検索」を選択します。
4. [Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services] という結果を選択します。
5. [Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services] ページで、[**Request Install**] を選択します。
   [ServiceNow Request for App Installation - Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow [Request for App Installation - Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services] ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、「 インスタンスの検証」 を選択して、インスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法の詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

データベース オプションと管理パックの機能 **Oracle** マッピング

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、検出されたOracle機能を、関連付けられているデータベースオプションと管理パックにOracle自動的にマップします。これらのマッピングは、データベース オプションと管理パックの使用状況とライセンス コンプライアンスを判断するのに役立ちます。

すべての Oracle データベース オプションと管理パックには、データベースの機能 Oracle を強化する一連の機能が含まれています。たとえば、Active Data Guardオプションは、 Oracle 自動ブロック修復、グローバル・データ・サービス、アプリケーション・コンティニュイティなどの機能を使用して、データベースの Oracle リアルタイムのデータ保護と可用性を提供します。各データベースオ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プションと管理パックでサポートされている機能の詳細については、 Oracle のドキュメント を参照してください。

検出を実行すると、アプリケーションは、 ServiceNow® ディスカバリー 環境にインストールされている Oracle データベース オプションと管理パック、およびそれらに関連付けられている機能の両方を見つけて識別します。その後、このデータはアプリケーションに ソフトウェア資産管理 送信され、そこで正規化および調整できます。

データが正規化された後、アプリケーションは Feature Option Mappings [samp_oracle_feature_option_mapping] テーブルを使用してOracle、ソフトウェア資産管理データベース インスタンス レベルで機能を適切なデータベース オプションと管理パックにマップします。[SAM - GLAS データからデータベースオプションの使用状況を評価 (SAM - Evaluate database option usage from Oracle GLAS data)] スケジュール設定済みジョブを使用して各機能について取得する後続の使用率データは、マップされたデータベースオプションと管理パックに適用できます。アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 このデータを定義済みのデータベース オプションと管理パックの使用ルールと組み合わせて使用し、各データベース インスタンスで使用されているデータベース オプションと管理パックを決定します。結果の使用状況情報は調整プロセスに Oracle 含まれ、データベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンスを判断するのに役立ちます。

機能のデフォルトマッピングの更新

検出された機能が複数の Oracle データベース オプションまたは管理パックに関連付けられている場合は、その機能の既定のマッピングを更新することで、機能利用状況データが適用されるデータベース オプションまたは管理パックを変更できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
Oracle 機能は、複数のデータベース オプションと管理パックに関連付けることができます。ただし、アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 各機能を一度に 1 つのデータベース オプションまたは管理パックにのみマップできます。

アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 各機能に対して事前定義されたデフォルトのマッピングに基づいて、検出された各機能を適切なデータベースオプションまたは管理パックに自動的にマッピングします。その後、各機能の利用状況データをマップされたデータベース オプションと管理パックに適用して、それらが使用されているかどうかを判断することができます。

検出された機能のいずれかが複数のデータベース オプションまたは管理パックに関連付けられている場合は、各機能の使用方法と、関連するデータベース オプションと管理パックに対して購入したエンタイトルメントに基づいて、それらの機能の既定のマッピングを更新できます。これらの機能の既定のマッピングを更新することで、対応する機能利用状況データが適用されるデータベース オプションと管理パックを変更でき、組織のニーズに基づいてデータベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンスの位置をより適切に最適化できます。

> **注:**
> 既定のマッピングは、複数のデータベース オプションと管理パックに関連付けられている機能に対してのみ更新できます。

手順

1. インスタンスの ServiceNow ページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターに「 samp_oracle_option_for_feature_inuse.list」と入力します。
   [使用中の機能のデフォルトオプション] リストが開きます。この一覧には、現在使用中の検出されたすべての機能の既定のマッピングが表示され、複数のデータベース オプションまたは管理パックにマップできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 利用可能な機能のリストから、デフォルトのマッピングを変更する機能を選択します。
4. [使用中の機能の既定のオプション] フォームの [使用中の既定のデータベース オプション] ドロップダウンから、機能をマップするデータベース オプションまたは管理パックを選択します。

   注:
   [使用中の既定のデータベース オプション] ドロップダウンは、選択した機能が関連付けられているデータベース オプションと管理パックのみを表示するように自動的にフィルター処理されます。

5. [更新] を選択します。
   自動的に [使用中の機能のデフォルト オプション] リストに戻り、新しいデフォルト マッピングが表示されます。

次のタスク
新しいデフォルトマッピングをアクティブ化するには、SAM - GLAS データからデータベースオプションの使用状況を評価スケジュール設定済みジョブを実行する Oracle 必要があります。ジョブをオンデマンドで実行するか、次のジョブスケジュールまで待つことができます。ジョブが正常に完了すると、指定した機能の使用状況データを、新しくマップされたデータベース オプションまたは管理パックに適用できます。

報告されていないデータベースオプションの使用状況レポート

報告されていないデータベース オプションの使用状況レポートを使用すると、 Oracle 検出されていないデータベース インスタンスで使用されているデータベース オプションと管理パックを表示できます。これらのデータベース オプションと管理パックの使用状況を追跡することはできませんが、このレポートは、それらに関連付けられている潜在的なライセンスへの影響を判断するのに役立ちます。

注:
このレポートは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでのみ使用できます。

このレポートを表示するには、次の場所に移動します すべて > レポート > 表示/実行. 使用可能なレポートのリストから、「 **Unreported Database Options Usage**」を検索して選択します。対応する [レポートの編集] ページが開いたら、 [実行] を選択します。

Oracle 報告されていないデータベースオプションの使用状況レポート

フィールド	説明
データベース名	データベースオプションまたは管理パックが使用されている未検出のデータベースインスタンス。
データベースオプション	不検出のデータベースインスタンスで使用されているデータベースオプションまたは管理パック。
ホスト	不検出のデータベースインスタンスが実行されている物理ホスト。
サーバー	物理ホストが実行されているサーバー。

Oracle 和解

Oracle 調整により、手動による計算を必要とせずにライセンスの位置を正確かつ最新の状態に保ち Oracle ます。調整は毎週もしくはオンデマンドで実行できます。

リコンシリエーションを実行するOracleと、データベースソフトウェア資産管理またはWebLogic サーバーにアクセスまたは実行Oracleしている名前付きユーザー、物理デバイスおよび物理ホストの「権限使用者」および「権限要求者」の割当てが決定されます。この情報を使用して、データベー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ス、データベース オプション、管理パック、および WebLogic サーバーのコンプライアンスを維持する Oracle ことができます。

> **注:**
> このリリース以降 Paris 、物理ホスト上で行った割り当てはすべて有効と見なされます。 ソフトウェア資産管理 は、ライセンスワークベンチでこれらの割り当てを 「割り当て済み、使用中」として マークします。仮想マシン (VM) などの仮想ホストで行った割り当ては、無効と見なされます。 ソフトウェア資産管理 は、これらの割り当てを 「割り当て済み、不使用」としてマークします。

仮想化テクノロジのVMwareデータベースおよびWebLogicサーバーのライセンスについてはOracle、プロパティを使用して*Select the level of aggregation for reconciling licenses for Oracle databases and WebLogic servers on VMware*調整計算の集計レベルを選択できます。また、プロパティを使用して*Use host affinity for reconciling licenses for Oracle databases and WebLogic servers on VMware at the vCenter(s) aggregation level*、調整中にOracle仮想マシンとホストの親和性ルールを考慮することもできますソフトウェア資産管理。これらのプロパティの詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理のプロパティ 。

のドメイン固有の調整プロパティの設定 **Oracle**

ドメイン分離アプリケーションプロパティ ソフトウェア資産管理 を使用して、特定のドメインの調整プロパティを設定します Oracle 。

始める前に

の ソフトウェア資産管理Domain Separation アプリケーションプロパティをセットアップするには、インスタンスで Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインを ServiceNow アクティブ化する必要があります。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

アプリケーションで ソフトウェア資産管理 Domain Separation アプリケーションプロパティを使用できます。これらのプロパティは既存の ソフトウェア資産管理 プロパティに直接対応しており、各プロパティを適用するドメインを指定できます。

ドメイン分離は、次の Oracle 調整プロパティでサポートされています。

- **VMware** の **Oracle** データベースと **WebLogic** サーバーのライセンスを調整するための集計レベルを選択します ()*com.snc.samp.oracle.reconlevel*
- **vCenter** の集約レベル **()** で **VMware** 上の **Oracle** データベースと **WebLogic** サーバーのライセンスを調整するには、ホスト親和性を使用します。*com.snc.samp.oracle.hostaffinityenabled*

既存の ソフトウェア資産管理 プロパティの詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理のプロパティ。ドメイン分離アプリケーションプロパティの詳細については、「 ドメイン分離アプリケーションプロパティ 」を参照してください。

手順

1. ServiceNow® インスタンスから、 すべて > ソフトウェア資産管理 > 管理 > アプリケーション プロパティ.
2. 利用可能なアプリケーションプロパティのリストから、変更するアプリケーションプロパティを選択します。
3. [アプリケーションプロパティ値] 関連リストで、変更するアプリケーションプロパティ値を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

既存のアプリケーションプロパティ値がない場合、またはアプリケーションプロパティ値を追加する場合は、[新規] を選択します。

4. フォームのフィールドに入力します。

アプリケーションプロパティ値フォーム

フィールド	説明
アプリケーションプロパティ	アプリケーションプロパティ値が適用されるアプリケーションプロパティの名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
値	アプリケーションプロパティの値。この値は、対応する ソフトウェア資産管理 プロパティで使用可能な値の 1 つと同等である必要があります。たとえば、アプリケーションプロパティの `com.snc.samp.oracle.reconlevel` 値を esx、 cluster、または vcenter に設定できます。プロパティで使用可能な値の詳細については、「」を参照してくださいソフトウェア資産管理のプロパティソフトウェア資産管理。
ドメイン	アプリケーションプロパティ値を適用するドメイン。

5. 既存のアプリケーションプロパティ値を更新するか、新しいアプリケーションプロパティ値を追加するかに応じて、「更新」または「送信」を選択します。
既存のアプリケーションプロパティ値を更新する場合は、 [更新] を選択します。新しいアプリケーションプロパティ値を追加する場合は、[送信] を選択します。

Oracle インフラストラクチャレポート

Oracleインフラストラクチャレポートを使用して、インフラストラクチャをOracle可視化できます。このレポートには、 Oracle 実行中のデータベースと、これらのデータベースをサポートしている構成アイテムに関する情報が含まれます。

注:
Oracle インフラストラクチャ レポートはドメイン分離されています。

インフラストラクチャレポートは、クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産管理 の両方でSoftware Asset ワークスペース表示Oracleできます。

このレポートをクラシックアプリケーションで ソフトウェア資産管理 表示するには、 すべて > レポート > 表示/実行 実行しますServiceNow[レポート] ページの上部にある [すべて] を選択します。使用可能なすべてのレポートのリストから、「 **Oracle**インフラストラクチャ・レポート」を見つけて選択します。

でこのレポートを表示するには、 Software Asset ワークスペース次に移動します: ワークスペース > **Software Asset Workspace** 実行しますServiceNowSoftware Asset ワークスペース起動後、ライセンス使用状況 > レポート > **Oracle** インフラストラクチャレポート.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle インフラストラクチャレポート

列	説明
要求元 (デバイス)	データベース、データベースオプション、または管理パックがインストールされているサーバー、クラスター、vCenter、データセンター Oracle などの構成アイテム。 エントリを選択すると、その構成アイテムのライセンス要件に関する追加情報が表示されます。詳細は、「[ライセンスの要求元] フォーム」を参照してください。
データベースオプション	データベースで Oracle 使用されているデータベースオプションまたは管理パック。
バージョン	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベースのバージョン。
エディション	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベースエディション。
ソフトウェアモデル	データベース、データベースオプション、または管理パックに関連付けられている Oracle ソフトウェア モデル。
ライセンス測定基準の結果	調整の実行時にライセンスが Oracle カウントされるライセンスの測定基準。オプションは、[**Named User Plus**] と **[Per Processor]** です。
必要なライセンス	ライセンスコンプライアンスに必要な権限の数。
モデル ID	データベース、データベースオプション、または管理パックがインストールされている構成アイテム Oracle のモデル ID。
CPU メーカー	構成アイテムで使用されている CPU のメーカー。
CPU タイプ	構成アイテムによって使用されている CPU のタイプ。
CPU カウント	構成アイテム内の CPU 数。
CPU コア数	各 CPU 内のコア数。
CPU コアスレッド	CPU 内の各コアを分割するスレッドの数。
Oracle コアファクター	Oracle 必要な権限の数を決定するために使用されるプロセッサコアファクター。
CPU 速度 (MHz)	構成アイテムによって使用されている CPU のクロック速度 (メガヘルツ)。
購入日	購入した権利の数。
オペレーティングシステム	データベース、データベースオプション、または管理パックがインストールされている構成アイテム Oracle のオペレーティングシステム。
ソケット数	マザーボードで使用可能なスロットの数。

[ライセンスの要求元] フォーム

特定の構成項目のライセンス要件に関する追加情報を表示するには、インフラストラクチャ レポートの Oracle[要求元 (デバイス)] フィールドから構成項目を選択します。対応する [ライセンスの要求

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

元] フォームが開き、ライセンス消費、データベースソフトウェアのインストール、 Oracle データベースオプションと管理パック、 Oracle および選択した構成アイテムに関連付けられているデータベースインスタンスに関する情報を表示できます。

[ライセンスの要求元] フォーム

フィールド	説明
要求者	データベース、データベースオプション、または管理パックがインストールされているサーバー、クラスター、vCenter、データセンター Oracle などの構成アイテム。
ライセンス測定基準の結果	調整の実行時にライセンスが Oracle カウントされるライセンスの測定基準。オプションは、[**Named User Plus**] と **[Per Processor]** です。
必要なライセンス	ライセンスコンプライアンスに必要な権限の数。
ライセンスステータス	データベース、データベース オプション、または管理パックの Oracle ライセンスの状態。
[ライセンス消費の詳細] 関連リスト	
要求者	データベース、データベースオプション、または管理パックがインストールされている構成アイテム Oracle 。
モデル ID	構成アイテムのモデル ID。
プロセッサー名	構成アイテムで実行されているプロセッサーの名前。
プロセッサー	構成アイテムで実行されているプロセッサの数。
コア	構成アイテム内のコアの合計数。
CPU カウント	構成アイテム内の CPU 数。
CPU コア数	各 CPU 内のコア数。
CPU コアスレッド	CPU 内の各コアを分割するスレッドの数。
コアファクター	Oracle 必要な権限の数を決定するために使用されるプロセッサコアファクター。
必要なライセンス	ライセンスコンプライアンスに必要な権限の数。
CPU 速度 (MHz)	構成アイテムによって使用されている CPU のクロック速度 (メガヘルツ)。
購入日	購入した権利の数。
オペレーティングシステム	構成アイテムのオペレーティングシステム。
[オプション] 関連リスト	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンスの要求元] フォーム (続く)

フィールド	説明
注: この関連リストは、必要なライセンスのソフトウェアモデルがデータベースオプションまたは管理パックに関連付けられている Oracle 場合にのみ表示されます。	
インスタンス	データベース オプションまたは管理パックに関連する Oracle データにアクセスして管理するデータベース インスタンス。
オプション	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベースオプションまたは管理パック。
ライセンス可能	データベース オプションまたは管理パックがライセンス可能かどうか Oracle を示す値。オプションまたは管理パックがライセンス可能な場合、値は自動的に **true** に設定されます。オプションまたは管理パックがライセンス可能でない場合、値は自動的に **false** に設定されます。
現在使用されている	データベース オプションまたは管理パックに Oracle 現在または過去の使用状況があるかどうかを示す値。オプションまたは管理パックに現在または過去の使用状況がある場合、値は自動的に [使用中] に設定されます。オプションまたは管理パックに現在または過去の使用状況がない場合、値は自動的に [未使用] に設定されます。
最初の使用日	データベース オプションまたは管理パックの使用 Oracle を最初に開始した日付。
前回の使用日	データベース オプションまたは管理パックを Oracle 最後に使用した日付。
[インストール] 関連リスト 注: この関連リストは、必要なライセンスのソフトウェアモデルがデータベースソフトウェアのインストールに関連付けられている Oracle 場合にのみ表示されます。	
表示名	Oracleデータベース・ソフトウェア・インストールの名前。
パブリッシャー	インストール済みソフトウェアの公開者。このフィールドは常に **[Oracle]** に設定されます。
バージョン	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベースのバージョン。
Dscovery モデル	データベースソフトウェアのインストールに関連付けられている Oracle 検出モデル。
インストール先	データベースソフトウェアがインストールされている構成アイテム Oracle 。
アサイン先	データベース・ソフトウェアのインストールに関連付けられている Oracle ユーザー。
インスタンス関連リスト 注: この関連リストは、必要なライセンスのソフトウェアモデルがデータベースソフトウェアのインストールに関連付けられている Oracle 場合にのみ表示されます。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンスの要求元] フォーム (続く)

フィールド	説明
名前	データベース内の Oracle データにアクセスして管理するデータベースインスタンスの名前。
環境	データベースインスタンスが存在する環境。
バージョン	データベースインスタンスがアクセスして管理するデータベースのバージョン。
ベンダー	データベースインスタンスがアクセスして管理するデータベースのベンダー。このフィールドは常に **[Oracle]** に設定されます。

Oracle 契約ごとの DB サーバー展開レポート

「契約ごとのDBサーバー・デプロイメント」レポートを使用すると Oracle 、アグリーメント・タイプに基づいて、ハイブリッド・インフラストラクチャ全体のデータベース・サーバーのデプロイメントを可視化 Oracle できます。

注:
Oracle契約ごとの DB Server Deployments レポートは、.Software Asset ワークスペース このレポートはクラシックアプリケーションでは ソフトウェア資産管理 使用できません。

このレポートを表示するには、次の場所に移動して起動 Software Asset ワークスペース します。ワークスペース > **Software Asset Workspace** 実行しますServiceNowから、 Software Asset ワークスペースに移動します ライセンス使用状況 > レポート > 合意ごとの **Oracle DB** サーバーの展開.

Oracle 契約ごとの DB サーバー展開レポート

フィールド	説明
名前	Oracleデータベース・サーバー・デプロイメントの名前。
製品	Oracle 展開内で実行されている製品。このフィールドは常に **[DB サーバー]** に設定されます。
バージョン	Oracle サーバーにインストールまたは実行されているデータベースのバージョン。
エディション	Oracle サーバーにインストールされているか、または実行されているデータベース・エディション。
ライセンスの測定基準	調整実行時にデータベースライセンスがカウントされるライセンスの測定基準 Oracle 。オプションは、[**Named User Plus**] と **[Per Processor]** です。
合意タイプ	データベース・サーバー・デプロイメントの Oracle アグリーメント・タイプ。オプションは、 **ULA** (無制限ライセンス契約)と 汎用です。
クラウドプロバイダ	データベース・サーバーがデプロイされる Oracle クラウド・プロバイダ。
クラウドサービスタイプ	データベース・サーバーがデプロイされる Oracle クラウド・サービス・モデル。オプションは **PaaS** と **IaaS** です。

クラシック版ソフトウェア資産管理のソフトウェア公開者分析ダッシュボードOracle

クラシックアプリケーションの [ソフトウェア公開者分析] ダッシュボードソフトウェア資産管理で、関連するOracleコンプライアンス分析結果を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

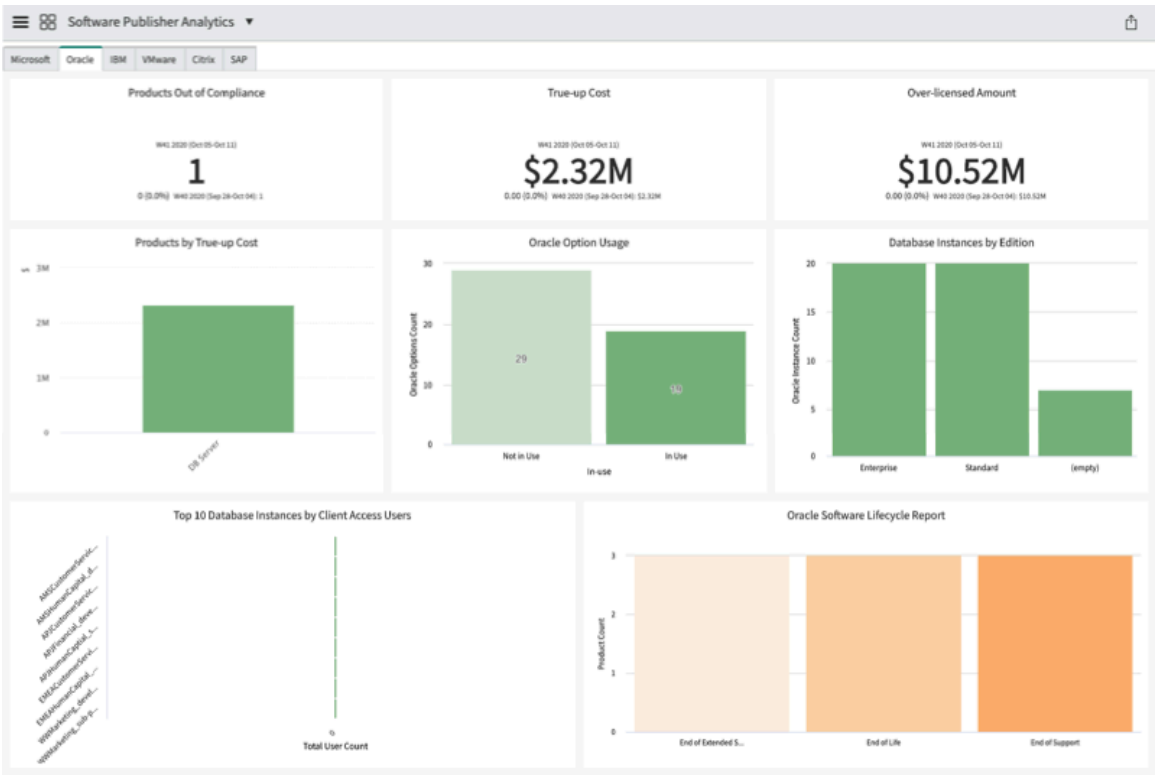
[Software Publisher Analytics] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 主要ソフトウェアメーカーのライセンス概要.

> **注:**
> ダッシュボードタブを表示するにはOracle、アドオンOracle公開者パック (com.snc.samp.oracle) プラグインをインストールする必要があります。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

Oracle ダッシュボード

Publisher Packを使用してOracle、Database ServerなどのServer Softwareを管理Oracleできます。



Oracle タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、 ライセンスワークベンチに結果が表示されます。
調整コスト	製品の結果	権限の資格付与の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Oracle タブ (続く)

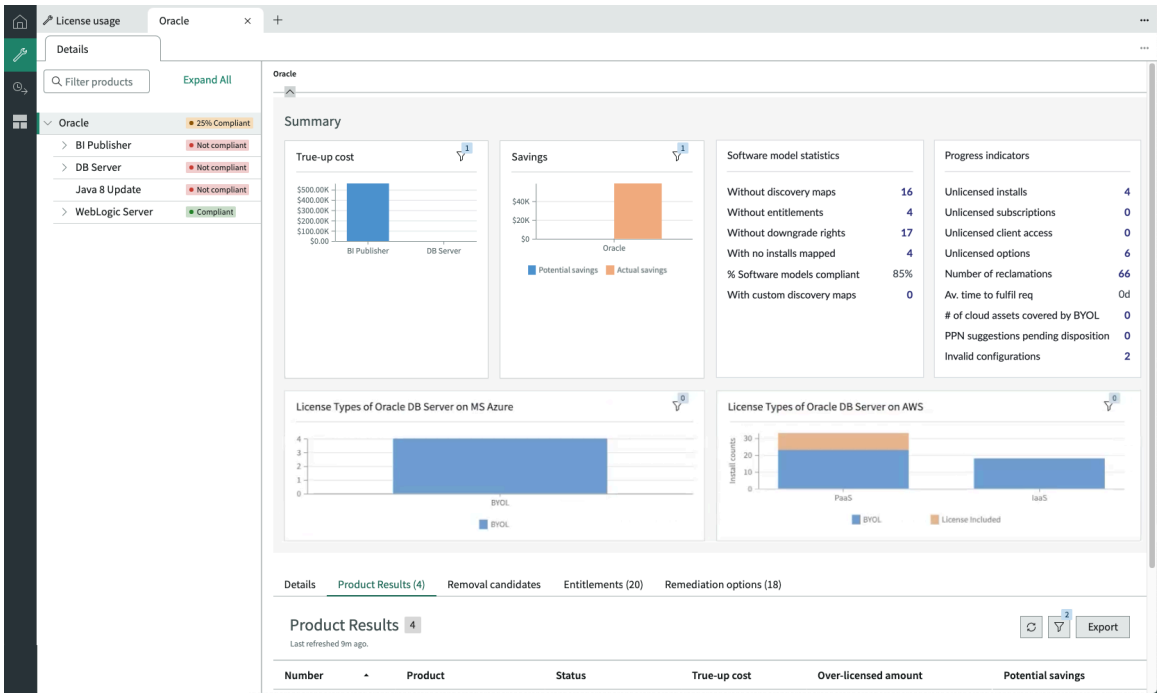
レポート	ソースリスト	説明
調整コスト別の製品	製品の結果	製品別の最大調整コスト。
Oracle オプションの使用法	Oracle オプション	インストール済み Oracle ライセンスと使用中のライセンス (true と false)。
エディション別のデータベースインスタンス	Oracle インスタンス	データベースエディション別のデータベースインスタンスの合計数。
クライアントアクセスユーザー別の上位 10 個のデータベースインスタンス	クライアントアクセス	クライアント・アクセス・ユーザー数が最も多いデータベース・インスタンス。
Oracle ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	延長サポート終了、提供終了、サポート終了を含む、各ソフトウェアライフサイクルフェーズにおける製品の数。

の公開者の概要**OracleSoftware Asset** ワークスペース

の公開者の概要OracleSoftware Asset ワークスペースに関連するライセンス使用状況情報Oracleを表示します。

Software Asset ワークスペースから、パブリッシャーの概要にアクセスするOracleには、次の場所に移動します。 ライセンス使用状況 > 公開者 そして、利用可能なソフトウェアパブリッシャーのリストから 「Oracle 」を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、発行元の概要の [概要] セクションで Oracle 確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Oracle 概要

レポート	説明
調整コスト	ソフトウェアエンタイトルメントにおける権限 Oracle の平均価格に基づいて計算される、準拠するためにかかるコスト。
預金	ライセンスの Oracle 実際のコスト削減と潜在的なコスト削減。
ソフトウェアモデル統計	ソフトウェアモデルのコンプライアンス結果のサマリー。 この概要には、次の情報が含まれます。 • 検出マップなし:検出マップのないソフトウェアモデルの数 Oracle 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • エンタイトルメントなし:ソフトウェアエンタイトルメントのないソフトウェアモデルの数 Oracle 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • ダウングレード権限なし:ダウングレード権限のないソフトウェアモデルの数 Oracle 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • インストールがマップされていない:どのソフトウェアインストールにもマッピングされていないソフトウェアモデルの数 Oracle 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • 準拠しているソフトウェアモデルの割合:準拠しているソフトウェアモデルの割合 Oracle 。 • カスタム検出マップあり **(With custom discovery maps)**:カスタム検出マップを含むソフトウェアモデルの数 Oracle 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 この概要には、次のインジケーターが含まれています。 • ライセンスなしのインストール:ライセンス Oracle なしのソフトウェアのインストール数。番号を選択すると、ライセンスなしのソフトウェアインストールのリストが表示されます。 • ライセンスなしのサブスクリプション:ライセンス Oracle なしのサブスクリプションの数。番号を選択すると、ライセンスなしのサブスクリプションのリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンス Oracle のないクライアントアクセスレコードの数。番号を選択すると、ライセンスのないクライアントアクセスレコードのリストが表示されます。 • ライセンスなしのオプション: ライセンス Oracle なしのデータベースオプションと管理パックの数。番号を選択すると、ライセンスのないオプションと管理パックの一覧が表示されます。 • 再利用の数:再利用したライセンスの合計 Oracle 数。番号を選択すると、ライセンスを再利用した削除候補のリストが表示されます。 • 要求を満たすための平均時間:ライセンス要求を履行 Oracle するのにかかる平均時間。 • **# of cloud assets covered by BYOL:BYOL**ライセンスを使用している Oracle 資産の数。番号を選択すると、資産のリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle 概要 (続く)

レポート	説明
	• 処分待ちの **PPN** 提案 **(PPN suggestions pending disposition)**:新しいソフトウェア資産管理コンテンツサービス PPN への交換処理待ちのカスタムOracle公開者の品番 (PPN) の数。番号を選択すると、PPN のリストが表示されます。 • 無効な構成:無効な構成を持つ削除候補の数 Oracle 。番号を選択すると、削除候補のリストが表示されます。
MS Azure 上の DB サーバーのライセンスタイプOracle	クラウド環境で使用している Microsoft Azure ライセンスタイプごとのソフトウェアインストールの数。ライセンスタイプには、[BYOL] と [ライセンスが含まれる] があります。
DB サーバーのライセンスタイプOracleAWS	クラウド環境で使用している AWS 各ライセンスタイプに対するソフトウェアインストールの数。データベースサーバーが展開されている Oracle クラウドサービスモデルに基づきます。ライセンスタイプには、[BYOL] と [ライセンスが含まれる] があります。クラウドサービスモデルには、PaaS(Platform as a Service)とIaaS(Infrastructure as a Service)があります。

Publisher の概要で提供されている詳細なライセンス使用状況情報の詳細については、を参照してください ワークスペースのライセンス使用パブリッシャーフィールド。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **SAP**

ソフトウェア資産管理のSAP公開者パックを使用して、ライセンスを管理および最適化しますSAP。ライセンスコンプライアンスを包括的に SAP 可視化し、節減見込みを明らかにします。

このビデオでは、未使用のソフトウェア権限の再利用、新しい権限の購入、エンタイトルメント割り当ての管理について説明しています。

注:
Publisher Pack を使用して、NetWeaver 7.4、SAP_BASIS 740、およびそれ以降のバージョンのSAPライセンスを管理および最適化できますSAP。

注:
公開者パックを使用するには、Professional for SAP プラグイン (com.sn_samp_sap) を有効にしますソフトウェア資産管理。

サポートされているライセンスタイプ

公開者パックは SAP 、指定ユーザーとエンジンのライセンスをサポートしています。

指名ユーザー

SAP 指名ユーザーは、アプリケーションを使用する SAP 組織内のメンバーです。さまざまなタイプの指名ユーザー ライセンスを購入し、各ライセンスを指名ユーザーに割り当てることができます。

公開者パックはSAP、ERP Central Component (ECC) アプリケーションと SAP S/4 HANA アプリケーションの両方のSAP指定ユーザーライセンスをサポートしています。アプリケーションの種類に基づいて、さまざまな指定ユーザー ライセンスの種類がサポートされています。SAP ECC アプリケーションは、Professional、Limited Professional、Employee Self Service など、さまざまな指定ユーザー ライセンス タイプをサポートしています。SAP S/4 HANAアプ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リケーションは、Developer Access、Enterprise Management for Professional Use、Enterprise Management for Functional Use、Enterprise Management for Productivity Use、 SAP Technical Engine User、Technical Useの指名ユーザーライセンスタイプのみをサポートします。は、Now PlatformECC アプリケーションとSAP S/4 HANA アプリケーションの両方でSAP、すべての名前付きユーザータイプをサポートします。

エンジン (自動化、計算、および自己宣言型)

SAP エンジンはパッケージとも呼ばれ、追加のライセンスが必要なオプションのアプリケーションです。すべてのエンジンには、エンジンのライセンス使用量を計算するために使用する固有のライセンス測定基準があります。ライセンス測定基準の例には、従業員数や契約数などがあります。

ライセンス使用量は、自動 SAP エンジン測定、複数のエンジン測定値とインジケーターに基づく計算、または手動の自己申告プロセスのいずれかによって計算されます。

- エンジンがエンジン測定プロセスで SAP サポートされている場合は、 ソフトウェア資産管理 そのエンジンのライセンス使用状況が自動的に計算されます。
- エンジンが複数のエンジン測定値で構成されていることが識別された場合に、インジケーターライセンスの測定基準も利用可能であれば、 ソフトウェア資産管理 この値を計算します。
- エンジンがエンジン測定プロセスで SAP サポートされていない場合は、自己申告プロセスを使用して、そのエンジンのライセンス使用情報を手動で入力する必要があります。エンジン ライセンスの使用状況を自己申告 SAP する方法については、を参照してください 自己宣言型 SAP エンジンライセンス使用。

各プロセスでサポートされているエンジンの完全なリストを表示するには、サポートポータルの「Engine & Self-Declaration Product Measurement SAP」を参照してください。

> **重要:**
> サポートポータルにアクセスするSAPには、SAPサポートポータルアカウントが必要です。

公開者パックはSAP、ERP Central Component (ECC) アプリケーションと SAP S/4 HANA アプリケーションの両方のSAPエンジンライセンスをサポートしています。

との **SAP** 接続 **Now Platform**

システムとServiceNowインスタンスの接続SAPを開始するには、SAP の ABAP プログラムを展開します。次に、手順に従って SAP 接続を確立します。

のSAP公開者パックはソフトウェア資産管理、一元化された設計を使用します。セントラルシステムと見なされるクライアントに SAP 移送ファイルをインポートすると、クライアントはカスタムプログラム選択リモートファンクションコール (RFC) 接続リストを使用して、セントラルシステムから RFC を介して他のすべてのクライアントに接続します。次に、セントラルシステムのカスタムテーブルに格納するデータをフェッチします。トランスポート・ファイルをインポートするには、Solution Manager を使用するか、RFC 接続をアクティブ化している別のSAPクライアントを使用してSAP、セントラル・システムにデータをフェッチします。

接続が確立されると、データがシステムからインスタンスにServiceNowSAPプルされます。プルされるすべてのデータのリストについては、を参照してください 公開者パックとともに SAP インストールされるテーブル。

SAP データは毎週プルされるようにスケジュールされています。ユーザー アクティビティ データ、Web アクティビティ データ、およびエンジンの使用状況データは、毎月プルされます。すべてのユーザーと Web アクティビティは 90 日後に削除されます。ライセンス測定基準測定テーブル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[samp_sap_license_metric_measurement] の SAP エンジン使用率測定レコードは、1 年後に削除されます。

データが入力されると SAP 、 Now Platform最初にステージングテーブルに格納されてから、最終的な SAP テーブルに転送されます。データ転送が行われるテーブルを編集したり、転送ロジックを表示したりするには、「 変換マップ 」を参照してください。

> **注:**
> ユーザーアクティビティと Web アクティビティ変換マップは、大量のデータが原因でパフォーマンスの問題が発生する可能性があるため、デフォルトでは有効になっていません。ただし、これらの変換マップは手動で有効にできます。アクティビティ変換マップを有効にするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > **SAP** 接続 をクリックし、接続を選択します。構成 セクションで、 フェッチ アクティビティ フィールドを **True** に設定し、 更新 を選択します。

ライセンス使用状況とコンプライアンスの表示SAP

SAPソフトウェア公開者分析ダッシュボード (ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーション) または公開者の概要 ()Software Asset ワークスペース を使用して、ライセンスコスト、使用状況、およびコンプライアンスを表示します。ダッシュボードと概要には、システムのユーザーロールを再割り当てしてライセンス消費を最適化する方法も示されます SAP 。

調整は毎週またはオンデマンドで実行され、すべての製品のライセンスコンプライアンス状況を判断します SAP 。調整では、ソフトウェアエンタイトルメントに記録された購入済みの権限と、システムから SAP プルされた実際の使用状況データとが比較されます。の [ライセンス使用状況] ビューSoftware Asset ワークスペースで、のSAP調整結果を表示できます。ライセンス使用状況ビューには、ライセンスのないユーザーとエンジン、ライセンスポジションを準拠させるための修復オプション、見込まれる節減額などが表示されます。ライセンス使用状況ビューの詳細については、「」を参照してください [ライセンス使用状況] ビュー。

の SAPソフトウェアライセンスコンプライアンスポジションレポートを表示するには、次の場所に移動します ライセンス使用状況 > レポート > ソフトウェアライセンスコンプライアンスポジションで、 Software Asset ワークスペース.

公開者パックとともに **SAP** インストールされるテーブル

テーブルは、 ソフトウェア資産管理 Professional for SAP プラグインとともにインストールされます。テーブルには、システムからプルされたデータが格納されます SAP 。

> **注:**
> アプリケーションファイルテーブルを使用して、SAP パブリッシャーパックとともにインストールされているすべてのコンポーネントを表示します。詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

デモデータは SAP 公開者パックで利用できます。

テーブル

テーブル	説明
指名ユーザータイプロール [samp_named_user_type_has_role]	各指名ユーザータイプに割り当てられたロール。
SAP クライアント [samp_sap_client]	Advanced Business Application Programming (ABAP) システムを外部システムに接続するリモートファンクションコール (RFC) 宛先です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブル	説明
	テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > **SAP** クライアント.
SAP 接続 [samp_sap_connection]	SAP システム接続。 テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > **SAP** 接続.
SAP エンジン使用率 [samp_sap_sw_client_access]	各エンジンのライセンス測定基準に基づいた、クライアントの SAP 最新のエンジン使用率の測定値。
SAP ライセンスの測定基準 [samp_sap_license_metric]	このテーブルは、 ServiceNow コンテンツサービスによって入力されます。これは、エンジンによって SAP 使用されるすべてのライセンス測定基準のリストです。 テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > エンジン. **注:** テーブルは、コンテンツサービスからの新しいデータで定期的に更新されます。現在の SAP ライセンスを反映するために、新しいライセンス測定基準を追加したり、既存のライセンス測定基準を非アクティブ化したりできます。ライセンス測定基準が非アクティブ化されたソフトウェアモデルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > **SAP** ライセンス測定基準が非アクティブ化されたソフトウェアモデル.
SAP ライセンス測定基準の測定 [samp_sap_license_metric_measurement]	各エンジンのライセンス測定基準に基づいたクライアントの SAP 月次エンジン使用率測定値。 テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > ライセンス > すべての **SAP** エンジン.
SAP ロール [samp_sap_role]	SAP システム SAP から引き出されたロール。
SAP システムユーザー [samp_sap_system_user]	システムからプルされた SAP 検出済みユーザー。 テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > ライセンス > すべての **SAP** ユーザー.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	注: 検出されたユーザーテーブル [samp_discovered_user] は、検出された SAP ユーザーをユーザーテーブル [sys_user] のシステムユーザーレコードにマッピングします。
SAP ユーザーアクティビティ [samp_sap_user_activity]	システムでSAP費やされた時間や、作成または更新されたデータベースレコードの数など、クライアントでのSAPユーザーのアクティビティに関連するデータ。
SAP ユーザーロール [samp_sap_user_has_role]	SAP ユーザーとアサインされたロール。
SAP Web アクティビティ [samp_sap_web_activity]	各接続で送受信されたコール数やデータ量など、クライアントで SAP 実行される Web アクティビティまたは RFC 接続に関連するデータ。
SAP ユーザーのアクティブなトランザクション [samp_named_user_type_has_transactions]	クライアント上の SAP 名前付きユーザーのトランザクション・アクティビティーに関連するデータ。ユーザー・トランザクション・アクティビティーは、クライアント上でSAPトランザクションまたはタスクを実行するためのショートカットであるトランザクション・コードに基づいていますSAP。たとえば、ME21N トランザクションコードを使用すると、 で SAP発注書を作成できます。
SAP USMM ルール [samp_sap_usmm_rule]	接続されている SAP すべてのアプリケーションからの USMM ルール情報。

注:
データのステージングテーブル SAP もインストールされます。

からの SAP データは、公開者パックに含まれていない SAP いくつかの追加テーブルにも格納されます。

- 価格リストデータがプルされ、価格リストテーブル [samp_price_list] に保存されます。

  テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > 価格リスト.

- 指名ユーザータイプがプルされ、指名ユーザータイプテーブル [samp_named_user_type] に保存されます。

  テーブルを表示するには、次に移動します: **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > 指名ユーザータイプ.

の **ABAP** プログラムの展開 **SAP**

システムとServiceNowインスタンス間のSAP接続を確立するには、Advanced Business Application Programming (ABAP) プログラムを導入します。ABAP プログラムを展開すると、インスタンスとの間でSAPServiceNowデータを共有できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
ABAP プログラムにアクセスするには、ServiceNow Store からアプリケーション用の ソフトウェア資産管理 ABAP プログラムをダウンロードしSAPます。必ず、リリースと互換性のある Washington DC アプリケーションバージョンをダウンロードしてください。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ABAP プログラムを展開するには、アプリケーション用に ソフトウェア資産管理 ABAP プログラムを通じてSAP提供されるトランスポートファイルをインポートし、サービス指向アーキテクチャ (SOA) マネージャを使用してサービスプロバイダを設定します。

注:
インスタンスをアップグレード ServiceNow する場合は、新しいリリースと互換性のあるバージョンの ABAP プログラムをダウンロードしてデプロイする必要があります。その後、SOA マネージャを使用してサービス・プロバイダを再構成する必要があります。

SAP セットアップ情報については、「 KB0813999 」を参照してください。

関連ツールの詳細については SAP 、 SAP ヘルプポータル を参照してください。

手順

1. システムで、移送管理システム (STMS) を使用してSAP移送ファイルをインポートしますSAP。
   a. COFILEファイルとDATAファイルをディレクトリにコピーして抽出します。
   b. STMS を起動し、「 概要のインポート **(Import Overview)**」を選択します。
   c. ターゲット・システムをダブルクリックし、 エクストラ > その他の要求 > 追加をクリックし、移送依頼番号を入力します。
   d. 要求を強調表示して、 要求 > インポート.
   e. 「トランスポート要求のインポート」ウィンドウで、「 ターゲット・クライアント 」フィールドにクライアント番号を入力します。
   f. 「オプション」タブを選択し、「 無効なコンポーネント・バージョンを無視する 」チェック・ボックスを選択します。
   g. **[OK]** を選択します。
2. システムで、SOAマネージャを使用してサービス・プロバイダを構成します SAP 。
   a. SOAマネージャを起動し、 サービス管理 > **Web** サービス構成.
   b. 「検索基準」フィールドから「サービス定義」を選択します。
   c. [検索パターン**(Search Pattern**)] フィールドにサービス定義の場所を入力します。
   d. [移動 **(Go)]** を選択します。
   e. [検索結果] ペインで、サービス定義行を選択し、[選択の適用] を選択します。
   f. 「構成」タブで、「 作成」を選択します。
   g. 次のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[SOA 管理] ダイアログ ボックス

フィールド	説明
サービス名	サービスの名前。
説明	サービスに関する説明。
新しいバインディング名	バインディングの名前。

h. [設定を適用] を選択します。

i. 選択 プロバイダーセキュリティ > メッセージ認証をクリックし、[ユーザー ID/パスワード] チェック ボックスをオンにします。

j. [Save (保存)] を選択します。

k. 選択 概要 > 設計時 **WSDL** ドキュメントを開く.
ブラウザウィンドウが開き、新しいWSDLが生成されます。

l. 「 **Service WSDL Generation**を開く」を選択します。

m. [**WSDL URL for Binding**] フィールドからリンクをコピーします。

3. RFC 接続を確認します。

次のタスク
インスタンスに戻り ServiceNow 、接続を確立します SAP 。

接続の **SAP** 確立

Advanced Business Application Programming (ABAP) プログラム SAP をシステムにデプロイした後、接続プロファイルを作成して、システムとインスタンス間の SAP 接続を確立します ServiceNow 。

始める前に
とインスタンス間のSAP接続を確立する前に、次のような外部アプリケーションServiceNowからシステムネットワークにアクセスできるかどうかを確認しますSAP。ServiceNow外部接続がブロックされている場合は、 MID サーバー. A MID サーバー は、 ServiceNow インスタンスと外部アプリケーションまたはデータソース間の通信とデータ移動を可能にします。手順については、「 MID Server のインストール 」を参照してください。

すでにネットワーク MID サーバー にインストールされ、インスタンスに接続され ServiceNow ている場合は、この SAP 接続で自動的に使用されます。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 接続のセットアップ をクリックし、[新規] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAP [接続のセットアップ] フォーム

フィールド	説明
名前	接続プロファイルの名前。
デフォルトの価格リスト	調整のために考慮する必要があるデフォルトの価格リスト。
WSDL	システムへの接続 SAP に使用される、IP アドレスを含む SOA マネージャーからの Web サービス記述言語 (WSDL) URL。 注: WSDL 名は SAP 変更しないでください。WSDL サービス定義名は /NOW/SAMP で、サービス・バインディング名は NOW_SAMPでなければなりません。変更できるWSDL名は、WSDL生成名のみです。
ユーザー名	システムへの接続 SAP に使用されるユーザー名。
パスワード	システムへの接続 SAP に使用するパスワード。

3. [送信] を選択します。
   初期接続が確立されます。
4. SAP接続を選択し、レコードのフィールドを確認します。

SAP 接続レコード

フィールド	説明
名前	接続プロファイルの名前。値は [接続のセットアップ] SAP フォームで生成されます。
デフォルトの価格リスト	調整のために考慮する必要があるデフォルトの価格リスト。値は [接続のセットアップ] SAP フォームで生成されます。
USMM ロール最適化を使用	調整中に適用する必要がある USMM ロールベースの最適化を指定するためのチェックボックス。
前回の実行	接続の SAP データが最後にプルされた日時。
SOAP メッセージ	WSDL 情報を含む SAP SOAP メッセージ。
資格情報エイリアス	接続の資格情報が含まれている接続エイリアス。接続エイリアスにより、実行時に接続と資格情報が解決されます。
アクティブ	接続が SAP アクティブであることを示すオプション。
ユーザーマッピング	
SAP ユーザーフィールド	SAP 対応する ServiceNow ユーザーにマップされているさまざまなクライアント間のユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ユーザーフィールド	ServiceNow ユーザーフィールド。 注: データのプル後に [ユーザーマッピング] フィールドの値を変更すると、検出されたユーザーとシステムユーザー間のマッピングが失われます。検出されたユーザーと [権限使用者] および [権限要求者] フィールド間のマッピングも失われます。
構成	
ロールのフェッチ	ロールデータの取得元 SAP を制御します。
エンジン使用率のフェッチ	エンジン使用率データの取得元 SAP を制御します。
アクティビティのフェッチ	ユーザーアクティビティと Web アクティビティデータの取得元 SAP を制御します。
ユーザートランザクションをフェッチ	ユーザートランザクションアクティビティデータの取得元 SAP を制御します。

5. SAP[資格情報] 関連リストで、接続の作成に使用した資格情報を表示します。

   注:
   指定された SAP 接続に対して 1 つの資格情報レコードのみをアクティブにする必要があります。資格情報に関連付けられているロールを確認するには、Basis 管理者に問い合わせてください SAP 。管理者は、ユーザー ID 資格情報にそれぞれのロールを割り当てます SAP 。

6. 接続をテストする SAP には、最新バージョンの ABAP プログラムを実行している場合は、[**SAP** 接続とバージョンのテスト] 関連リンクを選択します。

   注:
   インスタンスをアップグレード ServiceNow する場合は、新しいバージョンのABAPプログラムをダウンロードしてデプロイし、SOAマネージャを使用してサービス・プロバイダを再構成する必要があります。

7. カスタム ABAP プログラムに要求を送信して、カスタムテーブルにデータを再度収集 SAP するには、[**SAP** のデータの更新] 関連リンクを選択します。
8. プルした SAP データが破損していて、現在のデータを表示する必要がある場合は、[すべての **SAP** データを **ServiceNow** にプル] 関連リンクを選択します。
   SAP データは定期的にプルされるようにスケジュールされています。
9. **[SAP** クライアント] 関連リストでクライアントを表示しますSAP。
   SAPクライアントは、スケジュール設定済みジョブ中にデータがプルされたときSAPに生成されます。
10. [更新] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
これで、ソフトウェアモデルとエンタイトルメントの作成を開始できます。

のエンタイトルメントの作成 SAP

製品のライセンス情報 SAP を記録するソフトウェアエンタイトルメントを作成します。エンタイトルメントは個別に作成することも、スプレッドシートからインポートすることもできます。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

注:
エンタイトルメントをインポートするには、sam_adminロールが必要です。

重要:
資格付与は、クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で ソフトウェア資産管理 作成およびインポートできます。次の手順では、クラシックアプリケーションでのエンタイトルメント作成について詳しく説明します ソフトウェア資産管理 。ソフトウェア資産ワークスペースでのエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。ソフトウェア資産ワークスペースでのエンタイトルメントのインポートの詳細については、「」を参照してください エンタイトルメントをワークスペースに一括インポート。

このタスクについて
次の手順では、 に SAP固有の情報について説明します。ソフトウェアエンタイトルメントの作成に関する一般的な手順については、「」を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント をクリックし、[新規] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

注:
以下に示されているのは、ソフトウェアエンタイトルメントに SAP 固有の情報のみです。すべてのソフトウェアエンタイトルメント フィールドの詳細については、「」を参照してください ソフトウェアエンタイトルメントフィールド。

ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

フィールド	値
評価指標グループ	SAP
ライセンスの測定基準	[指名ユーザー] を選択して、特定の指名ユーザータイプを割り当てることができる指名ユーザーの数にライセンスを付与します。指名ユーザータイプは、エンタイトルメントにリンクされたソフトウェアモデルによって定義されます。 [エンジン測定] を選択して、エンジンの使用量にライセンスを与えます SAP 。使用のタイプは、ソフトウェアモデルの **SAP** ライセンス測定基準 フィールドによって定義されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	ライセンスの測定基準の詳細については、次を参照してください ソフトウェアライセンス測定基準。

3. **[Save** (保存)] を選択します。
4. フォームが再ロードされたら、 [公開] を選択します。

のソフトウェアモデルを作成 SAP

製品情報を記録する SAP ソフトウェアモデルを作成します。

始める前に

必要なロール：sam_user

> **重要:**
> クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で ソフトウェア資産管理 ソフトウェアモデルを作成できます。次の手順では、クラシック アプリケーションでのソフトウェア モデルの作成について詳しく説明します ソフトウェア資産管理 。ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでソフトウェアモデルを作成。

このタスクについて

ソフトウェアモデルは、システムから SAP プルされたエンジンとライセンス測定基準に対して自動的に作成されます。必要に応じて、製品の追加 SAP ソフトウェアモデルを手動で作成することができます。

次の手順では、 に SAP固有の情報について説明します。ソフトウェア モデルの作成に関する一般的な手順については、「」を参照してください クラシック版の ソフトウェア資産管理 ソフトウェアモデルの作成。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > ソフトウェアモデル をクリックし、[新規] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

> **注:**
> ソフトウェアモデルに SAP 固有のフィールドのみを以下に示します。すべてのソフトウェア モデル フィールドの詳細については、「」を参照してください ソフトウェアモデル フィールド。

ソフトウェア モデル フォーム

フィールド	説明
指名ユーザータイプ	SAP 指名ユーザータイプ。 **注:** このフィールドは、[製品] フィールドで [指名ユーザー] が選択されている場合にのみ表示されます。
	名前付きユーザー タイプに対応するソフトウェア グループ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
価格リスト	**注:** このフィールドは、[製品] フィールドで [指名ユーザー] が選択されている場合にのみ表示されます。
SAPライセンスの測定基準	エンジンのライセンス消費を計算するために使用されるライセンス測定基準。ライセンスの測定基準の例としては、従業員数や契約数があります。 **注:** このフィールドは、[製品] フィールドでエンジンが選択されているSAP場合にのみ表示されます。
関連	一部の SAP エンジンでは、追加のライセンスは必要ありません。エンジンに追加のライセンスが必要な場合は、このチェックボックスをオンにします。[**Is relevant**] が false に設定されているソフトウェアモデルは、調整によって常に準拠していると見なされます。 **注:** このフィールドは、[製品] フィールドでエンジンが選択されているSAP場合にのみ表示されます。
しきい値	一部の SAP エンジンでは、ライセンスポジションが準拠しなくなる前に、一定量のライセンスなしの使用が許可されます。しきい値は、許可される使用量を定義し、各エンジンおよびライセンス測定基準に固有です。エンジン使用率がライセンス量を超えていてもしきい値を下回っている場合でも、ソフトウェアモデルは調整によって準拠していると見なされます。 **注:** このフィールドは、[製品] フィールドでエンジンが選択されているSAP場合にのみ表示されます。

3. [送信] を選択します。

次のタスク
ソフトウェア モデルのライセンスを記録するソフトウェアエンタイトルメントを作成します。

カスタム **SAP** 指名ユーザータイプの作成

カスタムSAPの指名ユーザータイプを作成して、システムに固有のSAP指名ユーザータイプに基づいてライセンスを追跡および管理SAPできるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

重要:
カスタム SAP の指名ユーザータイプは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと の両方で作成 Software Asset ワークスペースできます。クラシックアプリケーションでカスタムの指名 SAP ユーザータイプを作成するには、 ソフトウェア資産管理 次の手順を使用します。で Software Asset ワークスペースカスタムの名前付きユーザ タイプを作成する方法の詳細については、を参照してください ワークスペースでのカスタム指名ユーザータイプの作成。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:
インスタンスで直接ServiceNow作成したカスタムSAPの指名ユーザータイプは、システムに反映されSAPません。システムで SAP も同じ変更を行う必要があります。

手順

1. インスタンスの ServiceNow® ページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニュー ナビゲーション フィルターに「 samp_named_user_type_list.do」と入力します。
   指名ユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルが開きます。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

カスタム指名ユーザータイプフォーム

フィールド	説明
名前	カスタム指名ユーザーの名前。
価格リスト	デフォルトの価格リスト。
開発者である	ユーザーが開発者ロールを持っていることを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプにアクセス権を付与します。
値	名前付きユーザータイプに関連付けられた値。この値は、数字または文字のいずれかです。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。低いランク値が優先されます。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプのライセンスステータスを示すオプション。
アクティブ	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

5. [送信] を選択します。

タスクの結果

指名ユーザータイプが指名ユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルに追加されます。

次のタスク

カスタム指名ユーザーを追加したら、フォームでカスタム指名ユーザーを指定するソフトウェアモデルを作成します。

名前付きユーザータイプへのロールのマッピング

ロールを指名ユーザータイプにマッピングすることで、ライセンスを SAP 最適化できます。調整中に、検出されたユーザーロールとそれらに割り当てられた名前付きユーザータイプがこれらのロールと比較され、より低い名前付きユーザータイプを指定できるユーザーが識別されます。

始める前に

必要なロール：sam_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. インスタンスの ServiceNow® ページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニュー ナビゲーション フィルターに「 samp_named_user_type_list.do」と入力します。
   指名ユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルが開きます。
3. ロールをマッピングする指名ユーザータイプを選択します。
4. **[SAP** ロール] 関連リストで [編集...] を選択します。
5. [メンバーの編集] フォームの [コレクション] リストで、名前付きユーザータイプにマップするロールを検索して選択します。
6. [追加] アイコン ([ ]を選択して、選択したロールを [ロールリスト] に移動します SAP 。
7. 名前付きユーザータイプにマッピングするロールごとに、手順 5 と 6 を繰り返します。
8. **[Save** (保存)] を選択します。

カスタム **SAP** 価格リストの作成

システムに固有のSAP契約に基づいてライセンスを追跡および管理SAPできるように、カスタムSAP価格リストを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

注:
インスタンスで直接ServiceNow作成したカスタムSAPの指名ユーザータイプは、システムに反映されSAPません。システムで SAP も同じ変更を行う必要があります。

重要:
カスタム SAP 価格リストは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと の両方で Software Asset ワークスペース作成できます。クラシックアプリケーションでカスタム SAP 価格リストを作成するには、 ソフトウェア資産管理 次の手順を使用します。でSoftware Asset ワークスペースカスタムSAP価格リストを作成する方法の詳細については、「」を参照してくださいワークスペースでのカスタム SAP 価格リストの作成。

手順

1. インスタンスの ServiceNow ページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニュー ナビゲーション フィルターに「 samp_price_list_list.do」と入力します。
   価格リスト [samp_price_list] テーブルが開きます。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

カスタム価格リストフォーム

フィールド	説明
名前	価格リストの名前。
ID	価格リストの一意の識別子。
デフォルトの指名ユーザータイプ	価格リストのデフォルトの指名ユーザータイプ。
アクティブ	価格リストがアクティブかどうかを示すオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [送信] を選択します。
   価格リスト [samp_price_list] テーブルに自動的に戻ります。
6. オプション: 指定ユーザータイプをカスタムSAP価格表に関連付けSAPます。

   a. 価格リスト [samp_price_list] テーブルから、作成したカスタム SAP 価格リストを選択します。
      カスタム価格リストレコードが開きます。

   b. [指名ユーザータイプ] 関連リストで、[新規] を選択します。

   c. フォームのフィールドに入力します。

      カスタム指名ユーザータイプフォームの作成

フィールド	説明
名前	指名ユーザータイプの名前。
価格リスト	指定ユーザータイプを関連付ける価格リスト。このフィールドは、自動的に入力されます。
開発者である	この指名ユーザータイプのユーザーに開発者ロールがあるかどうかを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプがアクセスできるアプリケーション。
値	名前付きユーザータイプを識別する英数字の値。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。ランク値が低いほど、調整時の優先度が高くなります。
ライセンス可能である	名前付きユーザータイプにライセンスを付与できるかどうかを示すオプション。
アクティブ	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

   d. [送信] を選択します。

   e. 追加するカスタム指名ユーザータイプごとに手順 a ～ c を繰り返します。

カスタム SAP 指名ユーザータイプのインポート

カスタムSAP指名ユーザータイプをインスタンスにServiceNow ® インポートして、システムに固有のSAP指名ユーザータイプに基づいてライセンスを追跡および管理SAPできるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. KB1299127 に移動して、MicrosoftカスタムSAPの指名ユーザータイプをインスタンスにインポートするために使用できる Excel スプレッドシートテンプレート (imp_samp_sap_custom_nut.xlsx) をダウンロードしますServiceNow。
2. インポートするすべてのカスタム SAP 指名ユーザータイプをスプレッドシートに入力します。[クライアント]、[システム]、[指名ユーザータイプ] の値、および [指名ユーザータイプ名] フィールドは、スプレッドシートのすべてのエントリに必須です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. ServiceNowインスタンスから、カスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルを開きますSAP。

   > **注:**
   > インスタンスの ServiceNow アプリケーションスコープを **Software Asset Management Professional for SAP** に設定する必要があります。

   a. インスタンスの ServiceNow® ページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニュー ナビゲーション フィルターに「 imp_samp_sap_custom_nut_list.do」と入力します。
   SAPカスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルが開きます。

4. テーブル ヘッダーを右クリックし、 インポート を選択します。

5. フォームのフィールドに入力します。

   カスタム指名ユーザータイプフォームへの **SAP** 外部データのインポート

フィールド	説明
データを挿入または更新しますか？	カスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルに SAP 新しいデータを挿入するか既存のデータを更新するかを示すオプション。
データを入力するための Excel テンプレートを作成しますか？	カスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルでSAPデータを挿入または更新するために使用できる Excel スプレッドシートテンプレートを生成するMicrosoftオプション。このオプションは、 ステップ 1 でスプレッドシートテンプレートをまだダウンロードしていない場合にのみ有効にします。
手順 1: データを入力するための Excel テンプレート ファイルを作成する **注:** このフォームセクションは、[データを入力するための **Excel** テンプレートを作成しますか? **(Do you want to create an Excel template to enter data?**)] オプションを有効にした場合にのみ表示されます。	
すべてのフィールドをテンプレートに含める	Excel スプレッドシートテンプレートに Microsoft 利用可能なすべてのフィールドを含めるオプション。
Excel テンプレートを作成	Excel スプレッドシートテンプレートを生成する Microsoft オプション。
ステップ 2:テンプレートファイルをアップロードする	
Excel テンプレートファイル	Microsoft カスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルに SAP 挿入または更新する指名ユーザータイプを含む Excel スプレッドシート。

6. [アップロード] を選択します。

7. アップロードが成功したら、[インポートされたデータをプレビュー] を選択します。
「Imp Tmpl Samp Sap Custom Nuts」ページが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. 正しい数のカスタム SAP 指名ユーザータイプがアップロードされたことを確認し、[インポートの完了] を選択します。
   カスタム SAP の指名ユーザータイプがインスタンスにインポートされます ServiceNow®。その後、指名ユーザータイプが指名ユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルに追加されます。

カスタム SAP 価格リストのインポート

システム固有のSAP契約に基づいてライセンスを追跡および管理SAPできるように、カスタムSAP価格リストをServiceNow® インスタンスにインポートします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. KB1299127 に移動して、MicrosoftカスタムSAP価格表データをインスタンスにインポートするために使用できる Excel スプレッドシートテンプレート (imp_samp_sap_custom_price_list.xlsx) をダウンロードしますServiceNow。
2. インポートするすべてのカスタム SAP 価格表データをスプレッドシートに入力します。
   [クライアント]、[システム]、および [価格表の値] フィールドは、スプレッドシートのすべてのエントリに必要です。

   注:
   データをインポートするカスタム SAP 価格表ごとに個別のスプレッドシートに入力する必要があります。

3. ServiceNowインスタンスから、カスタム価格リストデータ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルを開きますSAP。

   注:
   インスタンスの ServiceNow アプリケーションスコープを **Software Asset Management Professional for SAP** に設定する必要があります。

   a. インスタンスの ServiceNow ページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニューナビゲーションフィルターに「 imp_samp_sap_custom_price_list_list.do」と入力します。
      SAPカスタム価格表データ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルが開きます。

4. テーブル ヘッダーを右クリックし、 インポート を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

カスタム価格表データフォームへの **SAP** 外部データのインポート

フィールド	説明
データを挿入または更新しますか？	カスタム価格リストデータ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルにSAP 新しいデータを挿入するか、既存のデータを更新するかを示すオプション。
データを入力するためのExcel テンプ	カスタム価格リストデータ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルでSAPデータを挿入または更新するために使用できる Excel スプレッドシートテンプレートを生成するMicrosoftオプション。このオプションは、 ステップ 1

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
レートを作成しますか？	でスプレッドシートテンプレートをまだダウンロードしていない場合にのみ有効にします。
手順 1: データを入力するための Excel テンプレート ファイルを作成する **注:** このフォームセクションは、[データを入力するための **Excel** テンプレートを作成しますか? **(Do you want to create an Excel template to enter data?**)] オプションを有効にした場合にのみ表示されます。	
すべてのフィールドをテンプレートに含める	Excel スプレッドシートテンプレートに Microsoft 利用可能なすべてのフィールドを含めるオプション。
Excel テンプレートを作成	Excel スプレッドシートテンプレートを生成する Microsoft オプション。
ステップ 2:テンプレートファイルをアップロードする	
Excel テンプレートファイル	Microsoft カスタム価格リストデータ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルに SAP 挿入または更新するデータが含まれている Excel スプレッドシート。

6. [アップロード] を選択します。
7. アップロードが成功したら、[インポートされたデータをプレビュー] を選択します。
   [Imp Tmpl Imp Samp Sap カスタム価格リスト (Imp Tmpl Imp Samp Sap Custom Price Lists)] ページが開きます。
8. カスタム SAP 価格表に正しい数のエントリがアップロードされたことを確認し、インポート の完了 を選択します。
   カスタム SAP 価格リストのデータがインスタンスにインポートされます ServiceNow 。その後、価格リストが価格リスト [samp_price_list] テーブルに追加されます。
9. オプション: カスタム SAP 価格表を追加の SAP 指名ユーザータイプに関連付けます。
   デフォルトでは、カスタムSAP価格表は、ソフトウェア資産管理インポートされた Microsoft Excel スプレッドシートで指定した指定ユーザータイプにSAP自動的に関連付けられます。ただし、カスタムの指名ユーザータイプを追加することで、価格表を追加の SAP 指名ユーザータイプに関連付けることができます。

   a. インスタンスの ServiceNow ページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニュー ナビゲーション フィルターに「 samp_price_list_list.do」と入力します。
      価格リスト [samp_price_list] テーブルが開きます。

   c. カスタム SAP 価格表を選択します。
      価格リストレコードが開きます。

   d. [指名ユーザータイプ] 関連リストで、[新規] を選択します。

   e. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カスタム指名ユーザータイプフォーム

フィールド	説明
名前	指名ユーザータイプの名前。
価格リスト	指定ユーザータイプを関連付ける価格リスト。このフィールドは、自動的に入力されます。
開発者である	この指名ユーザータイプのユーザーに開発者ロールがあるかどうかを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプがアクセスできるアプリケーション。
値	名前付きユーザータイプを識別する英数字の値。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。ランク値が低いほど、調整時の優先度が高くなります。
ライセンス可能である	名前付きユーザータイプにライセンスを付与できるかどうかを示すオプション。
アクティブ	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

f. [送信] を選択します。

g. 追加するカスタムの指名ユーザータイプごとに、手順 d から f を繰り返します。

SAP USMM ベースの最適化

ロールをクライアントの指名ユーザータイプにマッピングするユーザーライセンス測定(USMM)ルールを使用して SAP ライセンスを最適化します SAP 。

USMM の SAP ルールは、システム クライアント ベースでロールを指名ユーザー タイプにマップします。指定ユーザー ライセンスにこれらのルールを適用する場合は、 によって Now Platform USMM ルールがプルされ、すべての情報が USMM ルール [samp_sap_usmm_rule] テーブルに格納され SAP ます。ジョブスケジュールは毎週実行され、 *`SAM - SAP USMM Based Optimization`*検出されたユーザーのシステムクライアントの USMM ルールに従ってライセンスを最大化します。この最適化された指名ユーザータイプは、SAP システムユーザー [samp_sap_system_user] テーブルの USMM 指名ユーザータイプ列に入力されます。詳細については、「公開者パックとともに SAP インストールされるテーブル」を参照してください。

接続レコードの SAP [**USMM** ロール最適化を使用] チェックボックスをオンにして USMM ルールをオプトインすると、調整中に最適化された USMM 指名ユーザー タイプがソフトウェア資産管理優先されます。接続プロファイルを作成してシステムとインスタンス間のSAP接続を確立する方法の詳細については、「」を参照してください接続の SAP 確立。ServiceNow

名前付きユーザータイプのユーザートランザクションアクティビティ

ユーザートランザクションアクティビティに基づいてSAP、SAP指名ユーザータイプのライセンスの最適化を決定します。

ユーザー・トランザクション・アクティビティーは、ユーザーがクライアント上で SAP 実行するトランザクションまたはタスクです。これらのアクティビティは、トランザクションコード (t コード) に基づいて SAP おり、これらのトランザクションまたはタスクを識別して実行するためのショートカットです。のSAPジョブスケジュールを実行すると、アプリケーションによってソフトウェア資産管理SAP、ユーザーがアクティブにSAP使用したトランザクションコードが取得されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前付きユーザー・タイプの再利用ルール SAP を作成する場合、ユーザーが割り当てられた名前付きユーザー・ライセンスを維持するためにアクティブにする必要があるトランザクション・コードとトランザクション・コードの最小数を指定できます。調整中に、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはこれらのトランザクション・コードを、名前付きユーザー・タイプの検出されたユーザー・トランザクション・コードと比較します。結果のデータは、 の SAPソフトウェア公開者分析ダッシュボードの [トランザクションに基づくライセンス最適化のユーザー (Users for Transaction Based License Optimization)] レポートで確認できます。この情報を使用して、ライセンスをダウングレードするか、未使用のライセンスを再利用することで、指名ユーザー ライセンスの位置を最適化します。このレポートの詳細については、「」を参照してください クラシック版ソフトウェア資産管理のソフトウェア公開者分析ダッシュボードSAP 。

ユーザーのアクティブなトランザクションコード **SAP** の表示

SAPユーザーがアクティブにSAP使用したトランザクションコード (t コード) を表示します。このリストは再利用ルールと比較され、ユーザーに最適化されたライセンスが割り当てられているかどうかが判断されます。

始める前に
必要なロール：admin

> **重要:**
> これらの SAP トランザクションコードは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で表示できます。次の手順では、クラシック・アプリケーションでのこれらのトランザクション・コードの表示について詳しく説明します ソフトウェア資産管理 。ソフトウェア資産ワークスペースでこれらのトランザクションコードを表示する方法の詳細については、次を参照してください ワークスペースでユーザーを表示するSAP。

手順

1. インスタンスの ServiceNow® ページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニュー ナビゲーション フィルターで、「 samp_sap_system_user_list.do」と入力します。SAPシステムユーザー [samp_sap_system_user] テーブルが開きます。
3. SAP有効なSAPトランザクション・コードを表示するユーザーを選択します。
4. SAP[システムユーザー] レコードで、[**SAP** ユーザーのアクティブなトランザクション] 関連タブを選択して、特定のユーザーに対して検出されたトランザクションコードの完全なリストSAPを表示します。

自己宣言型 **SAP** エンジンライセンス使用

自動SAPエンジン測定プロセスで測定できないエンジンSAPのライセンス使用状況を自己申告できます。この情報を使用してライセンスコンプライアンス状況をより包括的に SAP 可視化し、ライセンスコストを最適化します。

クラシックアプリケーションでのエンジンライセンスの使用状況のソフトウェア資産管理自己宣言**SAP**

ソフトウェア資産管理クラシック・アプリケーションを使用して、自動SAPエンジン測定プロセスで測定できないエンジンのSAPライセンス使用状況を自己申告します。

始める前に
必要なロール:admin または sam_user

このタスクについて
特定のエンジンのライセンス使用状況を自己申告する必要があるかどうかを判断するには、サポートポータルのSAP「Engine & Self-Declaration Product Measurement」を参照してください。自己申告製品のリストに含まれるすべてのエンジンのライセンス使用を自己申告する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
サポートポータルにアクセスするSAPには、SAPサポートポータルアカウントが必要です。

手順

1. エンジンの SAP ソフトウェア モデルを作成します。
詳細な手順については、「」 のソフトウェアモデルを作成 SAP を参照してください。

   注:

   [ソフトウェアモデル] フォームで、[公開者] フィールドを [SAP] に設定する必要があります。次に、フォームが再ロードされ、適用可能な SAPソフトウェアモデルフィールドのみが表示されます。

   さらに、[製品] フィールドを、ライセンス使用を自己申告するエンジンに設定する SAP 必要があります。

2. ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成します。
詳細な手順については、「」 のエンタイトルメントの作成 SAP を参照してください。

   注:
   [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで、[ソフトウェアモデル] フィールドを ステップ 1 で作成したものと同じソフトウェアモデルに設定する必要があります。

3. クライアントアクセスレコードを作成して、エンジンの SAP ライセンス使用状況を指定します。

   a. インスタンスの ServiceNow ページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニューナビゲーションフィルターに「 samp_sw_client_access_list.do」と入力します。
   クライアントアクセス [samp_sw_client_access] テーブルが開きます。

   c. **[New** (新規)] を選択します。

   d. [クライアントアクセス] フォームの [名前] フィールドに、クライアントアクセスレコードの名前を入力します。

   e. 次に [ソフトウェアモデル] フィールドで [リストを使用してルックアップ] アイコン ([を選択し、エンジンのソフトウェアモデルSAPを見つけて選択します。

      注:
      ステップ 1 で作成したものと同じソフトウェアモデルを選択します。

   f. [使用状況] フィールドにエンジンライセンスの使用状況の値を入力します。

      このライセンス使用の値は、エンジンに関連付けられているライセンス測定基準に基づいています。たとえば、E-Recruiting エンジンの SAP ライセンス測定基準は 「従業員」です。200 人の従業員が E-Recruiting ライセンスを使用している場合はSAP、[使用] フィールドに 200 のライセンス使用値を入力する必要があります。

      各SAPエンジンに関連付けられているライセンスメトリックの詳細については、「エンジンおよび自己申告製品の測定」を参照してください。

   g. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
エンジンのライセンス使用 SAP を自己宣言すると、インスタンスで実行される次の SAP 調整に自動的に含まれます ServiceNow 。調整は毎週もしくはオンデマンドで実行できます。

でのエンジンライセンスの使用を自己宣言 **SAP** する **Software Asset** ワークスペース

を使用してSoftware Asset ワークスペース、自動SAPエンジン測定プロセスで測定できないエンジンのライセンス使用状況をSAP自己申告します。

始める前に
必要なロール:admin または sam_user

このタスクについて
特定のエンジンのライセンス使用状況を自己申告する必要があるかどうかを判断するには、サポートポータルのSAP「Engine & Self-Declaration Product Measurement」を参照してください。自己申告製品のリストに含まれるすべてのエンジンのライセンス使用を自己申告する必要があります。

重要:
サポートポータルにアクセスするSAPには、SAPサポートポータルアカウントが必要です。

手順

1. エンジンの SAP ソフトウェア モデルを作成します。
   詳細な手順については、「」 ワークスペースでソフトウェアモデルを作成 を参照してください。

   注:

   [新しいソフトウェアモデルを作成] フォームで、[パブリッシャー] フィールドを [SAP] に設定する必要があります。次に、フォームが再ロードされ、適用可能な SAPソフトウェアモデルフィールドのみが表示されます。

   さらに、[製品] フィールドを、ライセンス使用を自己申告するエンジンに設定する SAP 必要があります。

2. ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成します。
   次のいずれかのオプションを使用してエンタイトルメントを作成できます。

   - ソフトウェア資産の概要の [エンタイトルメントを作成] ボタン。

     このオプションを使用してエンタイトルメントを作成する方法の詳細な手順については、「」 ワークスペースでのエンタイトルメントの作成 を参照してください。

     注:
     [新しいソフトウェアエンタイトルメントの作成 (Create New Entitlement)] フォームで、[ソフトウェアモデル **(Software model**)] フィールドを 手順 1 で作成したものと同じソフトウェアモデルに設定する必要があります。

   - ソフトウェアモデルレコードの [ソフトウェアエンタイトルメント] タブ。

     このオプションを使用してエンタイトルメントを作成するには、 ステップ 1 で作成したソフトウェアモデルのレコードを開きます。ソフトウェアモデルレコードの [ソフトウェアエンタイトルメント] タブで、[新規] を選択し、対応する [新規ソフトウェアエンタイトルメントの作成 (Create New Entitlements)] フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各フィールドの詳細な説明については、「」を参照してください ソフトウェアエンタイトルメントフィールド 。

> **注:**
> [**Software model**] フィールドが自動的に入力されます。

3. エンジンの SAP ライセンス使用を指定します。

   a. ステップ 1 で作成したソフトウェアモデルのレコードを開きます。

   b. **SAP** エンジンの使用状況 タブで、新規 を選択します。

   c. [新しい SAP エンジン使用率の作成 (Create new SAP Engine Usage)] フォームで、フィールドに入力します。

新規 **SAP** エンジン使用状況の作成 **(Create New SAP Engine Usage)** フォーム

フィールド	説明
名前	エンジンライセンスの使用状況を識別および追跡 SAP するために使用される名前。
ソフトウェアモデル	エンジンが SAP 関連付けられているソフトウェア モデル。このフィールドは、自動的に入力されます。
SAP クライアント	SAP エンジンが SAP インストールまたは実行されているクライアント。
使用法	エンジンのライセンス使用状況 SAP 。 この値は、エンジンに関連付けられているライセンスの測定基準に基づきます。たとえば、E-Recruiting エンジンの SAP ライセンス測定基準は 「従業員」です。200 人の従業員が E-Recruiting ライセンスを使用している場合はSAP、[使用] フィールドに 200 のライセンス使用値を入力する必要があります。各SAPエンジンに関連付けられているライセンスメトリックの詳細については、「エンジンおよび自己申告製品の測定」を参照してください。

   d. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果

エンジンのライセンス使用 SAP を自己宣言すると、インスタンスで実行される次の SAP 調整に自動的に含まれます ServiceNow 。調整は毎週もしくはオンデマンドで実行できます。

クラシック版ソフトウェア資産管理のソフトウェア公開者分析ダッシュボード**SAP**

クラシックアプリケーションのソフトウェア公開者分析ダッシュボードソフトウェア資産管理で、のSAPライセンスコンプライアンスポジションを表示します。

ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 概要.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

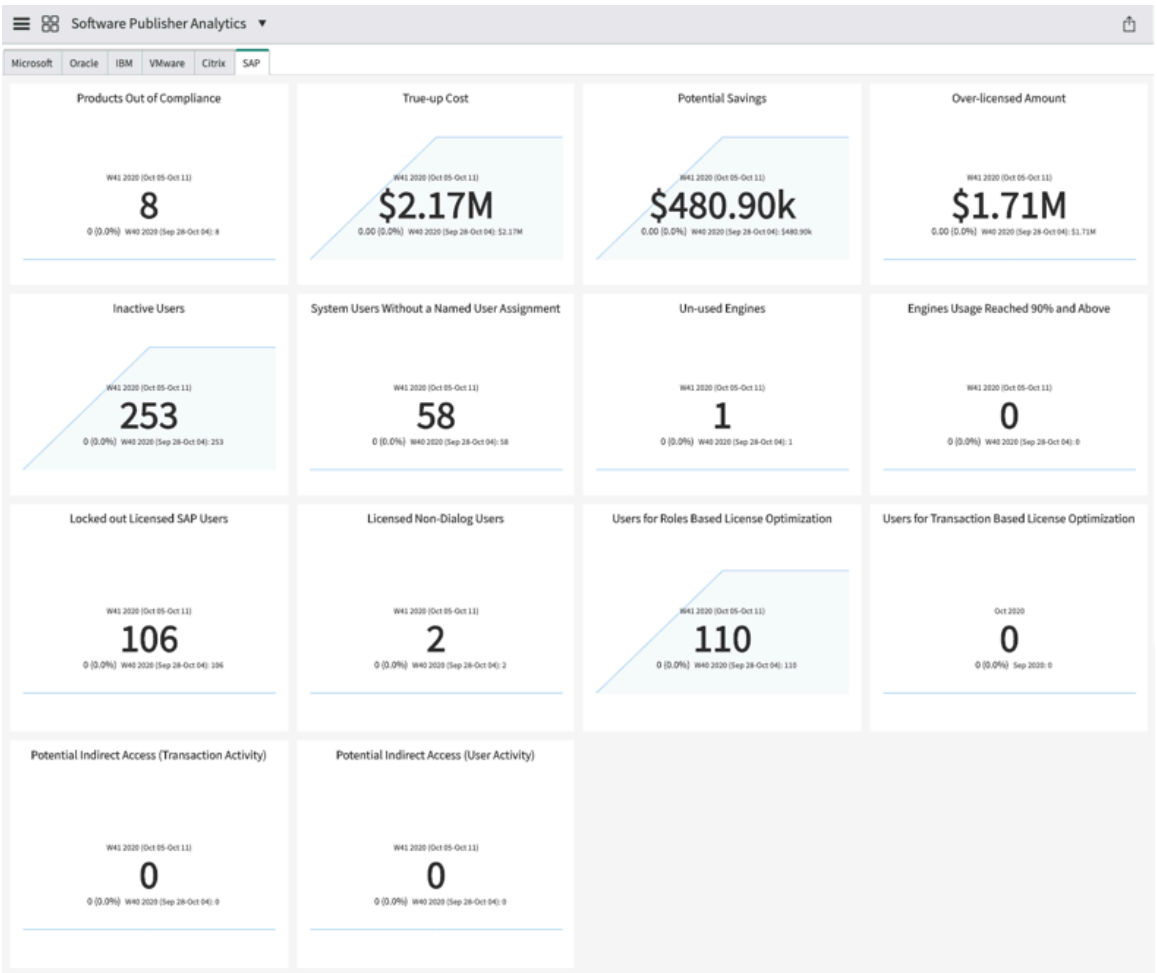
自動翻訳

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
SAM ユーザー:ダッシュボードを表示して、ライセンスコンプライアンスと節減見込みを追跡 SAP できます。	sam_user

SAP ダッシュボード



SAP タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	ソフトウェアモデルの結果	コンプライアンス違反のソフトウェアモデルの数。
調整コスト	ソフトウェアモデルの結果	エンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。このコストには、指名ユーザータイプとエンジンが含まれます。
節減見込み	ソフトウェアモデルの結果	削除候補が再利用された場合に節約される金額。この削減額

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAP タブ (続く)

レポート	ソースリスト	説明
		は、指名ユーザータイプとエンジンを対象としています。
ライセンス供与過剰金額	ソフトウェアモデルの結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。このコストには、指名ユーザータイプとエンジンが含まれます。
非アクティブなユーザー	SAP システムユーザー	SAP ログインしてから 90 日を超えたユーザー。
名前付きユーザーアサインのないシステムユーザー	SAP システムユーザー	SAP 名前付きユーザーアサインを持たないユーザー。
未使用エンジン	ライセンス評価指標の結果	使用されていないが、アクティブなソフトウェアエンタイトルメントがあるエンジンの数 SAP 。
エンジンの使用率は 90% 以上に達しました	ライセンス評価指標の結果	使用率が 90% 以上に達したエンジンの数 SAP 。
ロックアウトされたライセンス SAP ユーザー	SAP システムユーザー	ライセンスを消費しているロックされた SAP ユーザー。
ライセンスされた非ダイアログユーザー	SAP システムユーザー	SAP 名前付きユーザーが割り当てられている非ダイアログユーザー。
ロールベースのライセンス最適化のユーザー	SAP システムユーザー	SAPライセンス消費を最適化するためにロールを変更できたユーザーの数。
トランザクションに基づくライセンス最適化のユーザー	SAP システムユーザー	SAPユーザートランザクションベースのライセンス最適化が検出されたユーザーソフトウェア資産管理の数。 レポートを選択すると、最適化できるユーザーのリストが表示されます。
可能性のある間接アクセス (トランザクションアクティビティ)	SAP システムユーザー	SAPユーザートランザクションアクティビティに基づいて、SAPシステムへの間接的なアクセス権を持つユーザーの数。 ユーザーには、各接続で送受信されたデータの量に基づいてスコアが与えられます。
可能性のある間接アクセス (ユーザーアクティビティ)	SAP システムユーザー	SAPシステムに間接的にアクセスできるSAPユーザーの数。 ユーザーには、合計 CPU 時間、ピークカウント、およびス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAP タブ (続く)

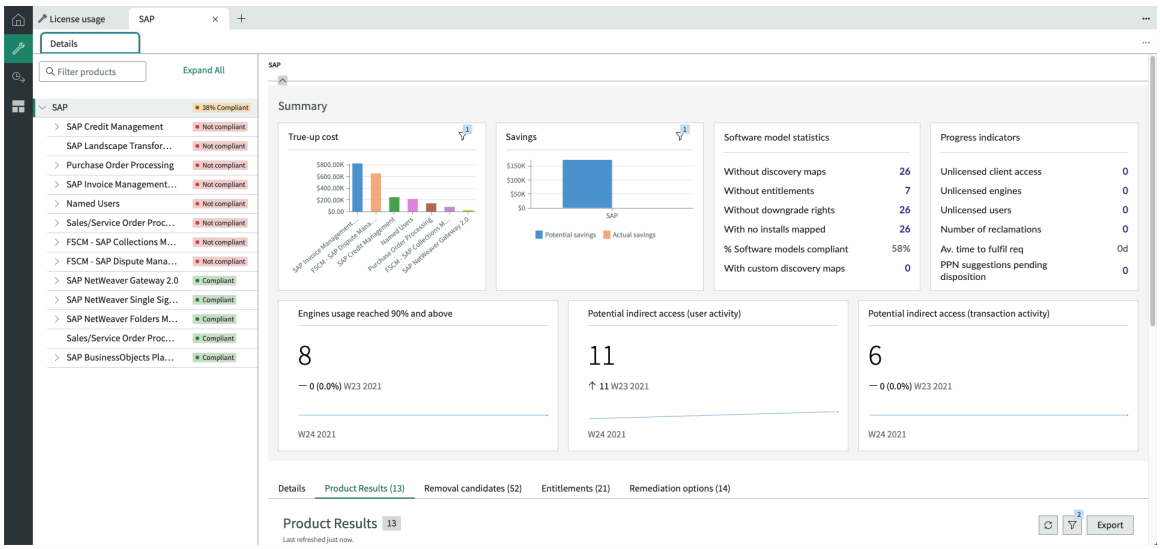
レポート	ソースリスト	説明
		テップに基づいてスコアが与えられます。

の公開者の概要SAPSoftware Asset ワークスペース

の公開者の概要SAPSoftware Asset ワークスペースに関連するライセンス使用状況情報SAPを表示します。

Software Asset ワークスペースから、パブリッシャーの概要にアクセスするSAPには、次の場所に移動します。 ライセンス使用状況 > 公開者 をクリックし、利用可能なソフトウェア発行元の一覧から **[SAP]** を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、発行元の概要の [概要] セクションで SAP 確認できます。

SAP 概要

レポート	説明
調整コスト	ソフトウェアエンタイトルメントにおける権限 SAP の平均価格に基づいて計算される、準拠するためにかかるコスト。
預金	ライセンスの SAP 実際のコスト削減と潜在的なコスト削減。
ソフトウェアモデル統計	ソフトウェアモデルのコンプライアンス結果のサマリー。 この概要には、次の情報が含まれます。 • 検出マップなし:検出マップのないソフトウェアモデルの数 SAP 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • エンタイトルメントなし:ソフトウェアエンタイトルメントのないソフトウェアモデルの数 SAP 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • ダウングレード権限なし:ダウングレード権限のないソフトウェアモデルの数 SAP 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SAP 概要 (続く)

レポート	説明
	• インストールがマップされていない:どのソフトウェアインストールにもマッピングされていないソフトウェアモデルの数 SAP 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • 準拠しているソフトウェアモデルの割合:準拠しているソフトウェアモデルの割合 SAP 。 • カスタム検出マップあり **(With custom discovery maps)**:カスタム検出マップを含むソフトウェアモデルの数 SAP 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 この概要には、次のインジケーターが含まれています。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンス SAP のないクライアントアクセスレコードの数。番号を選択すると、ライセンスのないクライアントアクセスレコードのリストが表示されます。 • ライセンスのないエンジン:ライセンス SAP のないエンジンの数。番号を選択すると、ライセンスのないエンジンのリストが表示されます。 • 無認可ユーザー:無認可 SAP ユーザーの数。番号を選択すると、ライセンスのないユーザーのリストが表示されます。 • 再利用の数:再利用したライセンスの合計 SAP 数。番号を選択すると、ライセンスを再利用した削除候補のリストが表示されます。 • 要求を満たすための平均時間:ライセンス要求を履行 SAP するのにかかる平均時間。 • 処分待ちの **PPN** 提案 **(PPN suggestions pending disposition)**:新しいソフトウェア資産管理コンテンツサービス PPN への交換処理待ちのカスタムSAP公開者の品番 (PPN) の数。番号を選択すると、PPN のリストが表示されます。
エンジンの使用率は 90% 以上に達しました	使用率が 90% 以上に達したエンジンの数 SAP 。
可能性のある間接アクセス (ユーザーアクティビティ)	SAPシステムに間接的にアクセスできるSAPユーザーの数。 ユーザーには、合計 CPU 時間、ピークカウント、およびステップに基づいてスコアが与えられます。
可能性のある間接アクセス (トランザクションアクティビティ)	SAPユーザートランザクションアクティビティに基づいて、SAPシステムへの間接的なアクセス権を持つユーザーの数。 ユーザーには、各接続で送受信されたデータの量に基づいてスコアが与えられます。

Publisher の概要で提供されている詳細なライセンス使用状況情報の詳細については、を参照してください ワークスペースのライセンス使用パブリッシャーフィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **VMware**

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for VMware を使用して、ソフトウェアエンタイトルメント、ソフトウェアモデルを作成し、VMware 固有のライセンス測定基準を使用してライセンスポジションを追跡します。

注:
の公開者パックのすべてのソフトウェア資産管理メリットにアクセスするには、コンテンツパック (com.sn_samp_vmware) プラグインを有効にしますVMware。VMware

VMware は、仮想化およびクラウドコンピューティングソフトウェアです。 VMware 仮想化には、2 種類のハイパーバイザーと、仮想化を最適化するために使用できる追加の製品が用意されています。

ほとんどの VMware 製品機能にはライセンスキーを使用してアクセスするため、ライセンスコンプライアンスの管理が困難になる場合があります。ソフトウェア資産管理のVMware公開者パックを使用すると、ライセンスコンプライアンス状況を追跡して、ソフトウェア支出を最適化し、監査リスクを軽減できます。

データを収集するには VMware 、検出プロセスが必要です。詳細については、「 ITOM Visibility によって収集されるデータ 」を参照してください。

ソフトウェアエンタイトルメントフォームを使用して、購入したVMwareソフトウェア権限を追跡します。フォームの [ライセンス キー] 関連リストを使用して、ソフトウェアのライセンス キー情報を保存することもできます。で VMwareサポートされているさまざまなライセンス契約タイプの詳細については、「」を参照してください ライセンス契約タイプ。

の Software Asset ワークスペース[ライセンス使用状況] ビューを使用して、VMwareライセンスコンプライアンスを表示します。VMwareソフトウェアがコンプライアンス違反の場合、[ライセンス使用状況] ビューには、ライセンスをコンプライアンスに戻す方法に関する修正提案が表示されます。詳細については、「[ライセンス使用状況] ビュー」を参照してください。

ソフトウェア公開者分析ダッシュボード (ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーション) または公開者の概要 ()Software Asset ワークスペース の使用に関連するVMwareコンプライアンス分析結果を表示します。ソフトウェア公開者分析ダッシュボードの詳細については、次を参照してください クラシック版ソフトウェア資産管理のソフトウェア公開者分析ダッシュボード VMware。Publisher の概要の詳細については、「」を参照してください の , Inc. の VMwareパブリッシャー概要 Software Asset ワークスペース。

クラシック版ソフトウェア資産管理のソフトウェア公開者分析ダッシュボード**VMware**

クラシックアプリケーションの [ソフトウェア公開者分析] ダッシュボードソフトウェア資産管理で、関連するVMwareコンプライアンス分析結果を表示します。

[Software Publisher Analytics] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 主要ソフトウェアメーカーのライセンス概要.

注:
ダッシュボードタブを表示するにはVMware、アドオンVMwareパブリッシャーパック (com.sn_samp_vmware) プラグインをインストールする必要があります。

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

VMware ダッシュボード

vCenter ソフトウェアからのVMware情報が検出され、調整に使用されますVMware。 はこれらのプローブを使用し、次のテーブルに入力します。 ディスカバリー

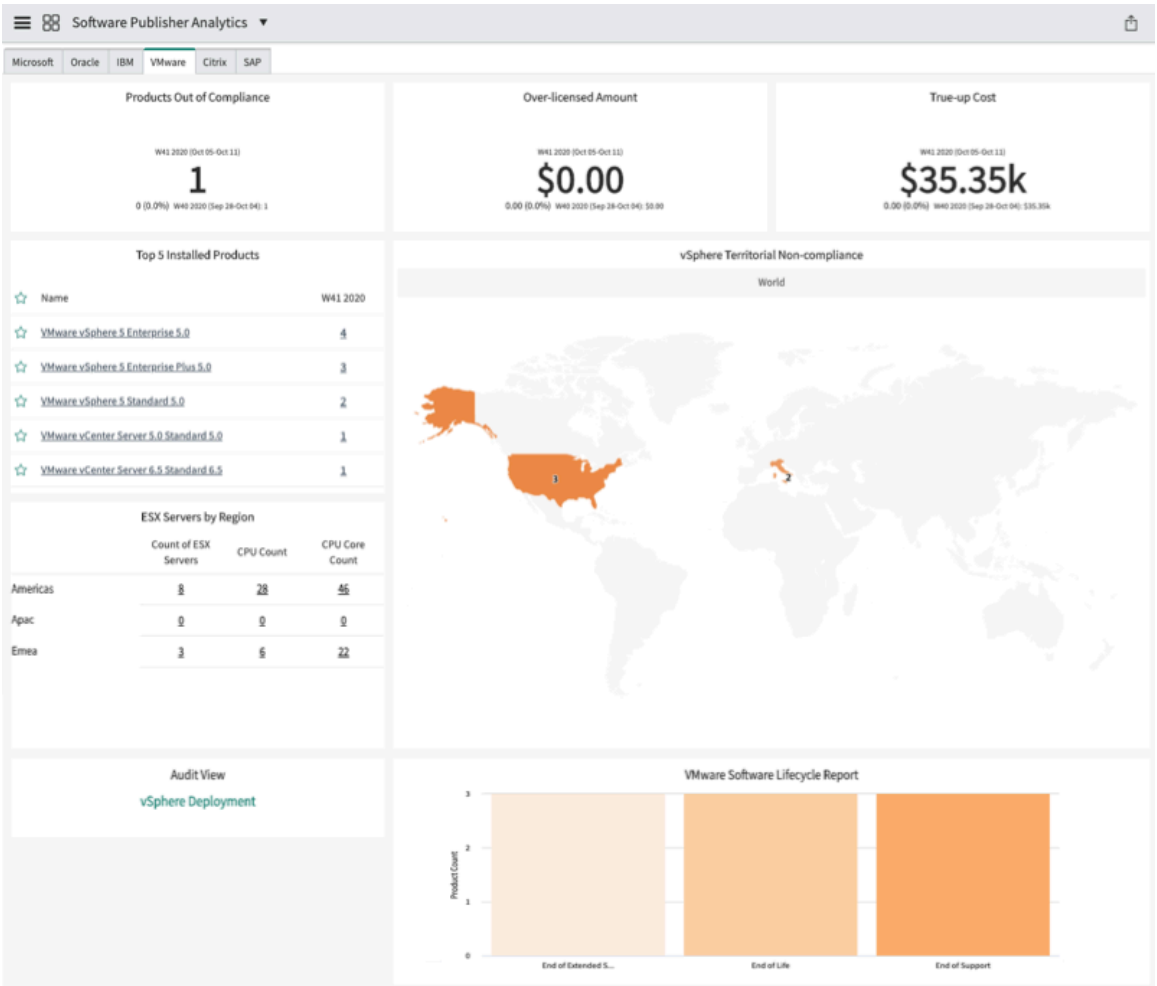
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- vCenter プローブ VMware :vCenter ESX ホストライセンス
- VMware 検出されたライセンスキー [samp_vmware_license_key] テーブルと VMware 検出されたライセンスキー消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブル

詳細については、次を参照してください。 を使用した vCenter 検出 ソフトウェア資産管理.

注:
ダッシュボードタブを表示するにはVMware、アドオンVMwareパブリッシャーパック (com.sn_samp_vmware) プラグインをインストールする必要があります。



VMware タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択して、 ソフトウェアライセンス使用状況に結果を表示します。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

VMware タブ (続く)

レポート	ソースリスト	説明
調整コスト	製品の結果	権限の資格付与の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
インストールされた上位 5 製品	ソフトウェア インストール	インストールされている上位 5 VMware 製品の数。
vSphere のテリトリー非準拠	VMware 検出されたライセンススキー消費	vCenter 展開の VMware コンプライアンス。フィルタリングする場所をドリルダウンします。
リージョン別の ESX サーバー	ESX サーバー	場所、ESX 数、CPU 数、およびコア数。
監査ビュー	VMware 検出されたライセンススキー消費	VMware vSphere 展開:製品、ライセンス キー、使用者、アサイン先、場所、CPU コア数、CPU 数、vCenter 参照、評価の有効期限、およびソフトウェアのインストール。
VMware ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	延長サポート終了、提供終了、サポート終了を含む、各ソフトウェアライフサイクルフェーズにおける製品の数。

[vSphere の展開] 関連リンクに、[VMware検出されたライセンスキー使用] リストが表示されます。

の **, Inc.** の **VMware**パブリッシャー概要 **Software Asset** ワークスペース

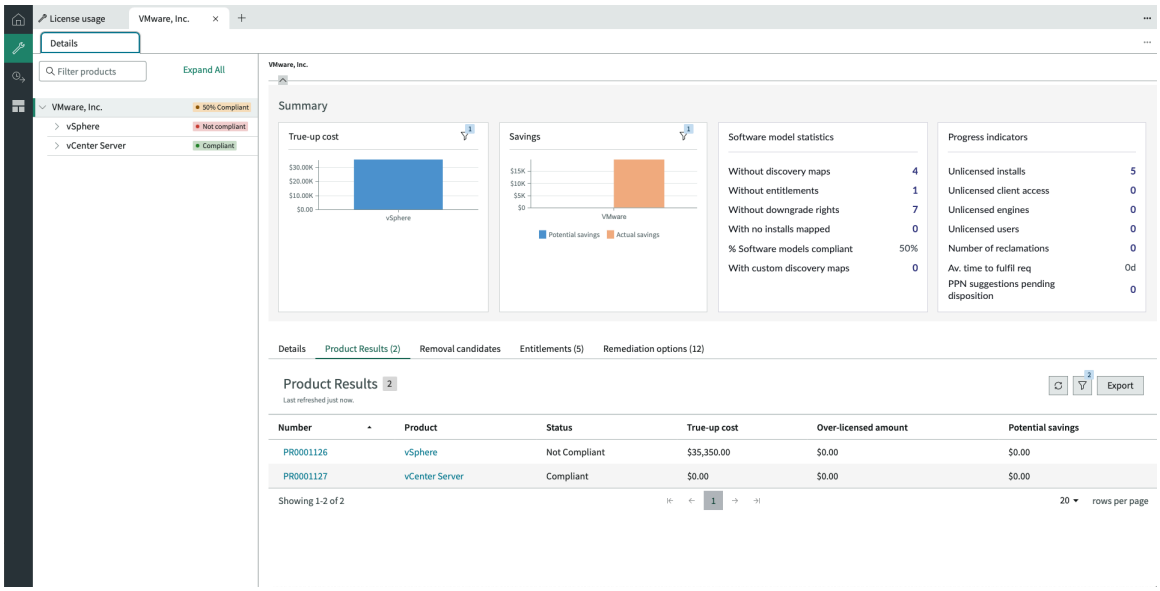
の Inc. のVMware公開者概要に関連するライセンス使用状況情報VMwareを表示します。Software Asset ワークスペース

Software Asset ワークスペースから、Inc. パブリッシャー概要にアクセスするVMwareには、 ライセンス使用状況 > 公開者 そして、利用可能なソフトウェア公開者のリストから **VMware, Inc.** を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ライセンス使用状況情報の概要は、, Inc. の公開者概要の VMware[概要] セクションで確認できます。

VMware, Inc. 概要

レポート	説明
調整コスト	ソフトウェアエンタイトルメントにおける権限 VMware の平均価格に基づいて計算される、準拠するためにかかるコスト。
預金	ライセンスの VMware 実際のコスト削減と潜在的なコスト削減。
ソフトウェアモデル統計	ソフトウェアモデルのコンプライアンス結果のサマリー。 この概要には、次の情報が含まれます。 • 検出マップなし:検出マップのないソフトウェアモデルの数 VMware 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • エンタイトルメントなし:ソフトウェアエンタイトルメントのないソフトウェアモデルの数 VMware 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • ダウングレード権限なし:ダウングレード権限のないソフトウェアモデルの数 VMware 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • インストールがマップされていない:どのソフトウェアインストールにもマッピングされていないソフトウェアモデルの数 VMware 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。 • 準拠しているソフトウェアモデルの割合:準拠しているソフトウェアモデルの割合 VMware 。 • カスタム検出マップあり **(With custom discovery maps)**:カスタム検出マップを含むソフトウェアモデルの数 VMware 。番号を選択すると、ソフトウェアモデルのリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 この概要には、次のインジケーターが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

VMware, Inc. 概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスなしのインストール:ライセンス VMware なしのソフトウェアのインストール数。番号を選択すると、ライセンスなしのソフトウェアインストールのリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンス VMware のないクライアントアクセスレコードの数。番号を選択すると、ライセンスのないクライアントアクセスレコードのリストが表示されます。 • ライセンスのないエンジン:ライセンス VMware のないエンジンの数。番号を選択すると、ライセンスのないエンジンのリストが表示されます。 • 無認可ユーザー:無認可 VMware ユーザーの数。番号を選択すると、ライセンスのないユーザーのリストが表示されます。 • 再利用の数:再利用したライセンスの合計 VMware 数。番号を選択すると、ライセンスを再利用した削除候補のリストが表示されます。 • 要求を満たすための平均時間:ライセンス要求を履行 VMware するのにかかる平均時間。 • 処分待ちの **PPN** 提案 **(PPN suggestions pending disposition)**:新しいソフトウェア資産管理コンテンツサービス PPN への交換処理待ちのカスタムVMware公開者の品番 (PPN) の数。番号を選択すると、PPN のリストが表示されます。

Publisher の概要で提供されている詳細なライセンス使用状況情報の詳細については、を参照してください ワークスペースのライセンス使用パブリッシャーフィールド。

エンジニアリングライセンス管理

ライセンスの位置とエンジニアリングアプリケーションの使用状況を可視化して、監査リスク、ライセンスの非効率的な使用、不正確な予測を排除し、拒否を防止します。

エンジニアリングライセンス管理の概要については、この短いビデオをご覧ください。

エンジニアリングライセンス管理の概要

注:
for engineering applications のすべての ソフトウェア資産管理プロ メリットを利用するには、 ソフトウェア資産管理プロ for Engineering Applications プラグイン (com.sn_samp_eng_app) を要求します。詳細については、「ソフトウェア資産管理 を要求する」を参照してください。

エンジニアリングアプリケーションとは、航空宇宙、石油・ガス、建設などの業界におけるソフトウェア製品の分類を指します。

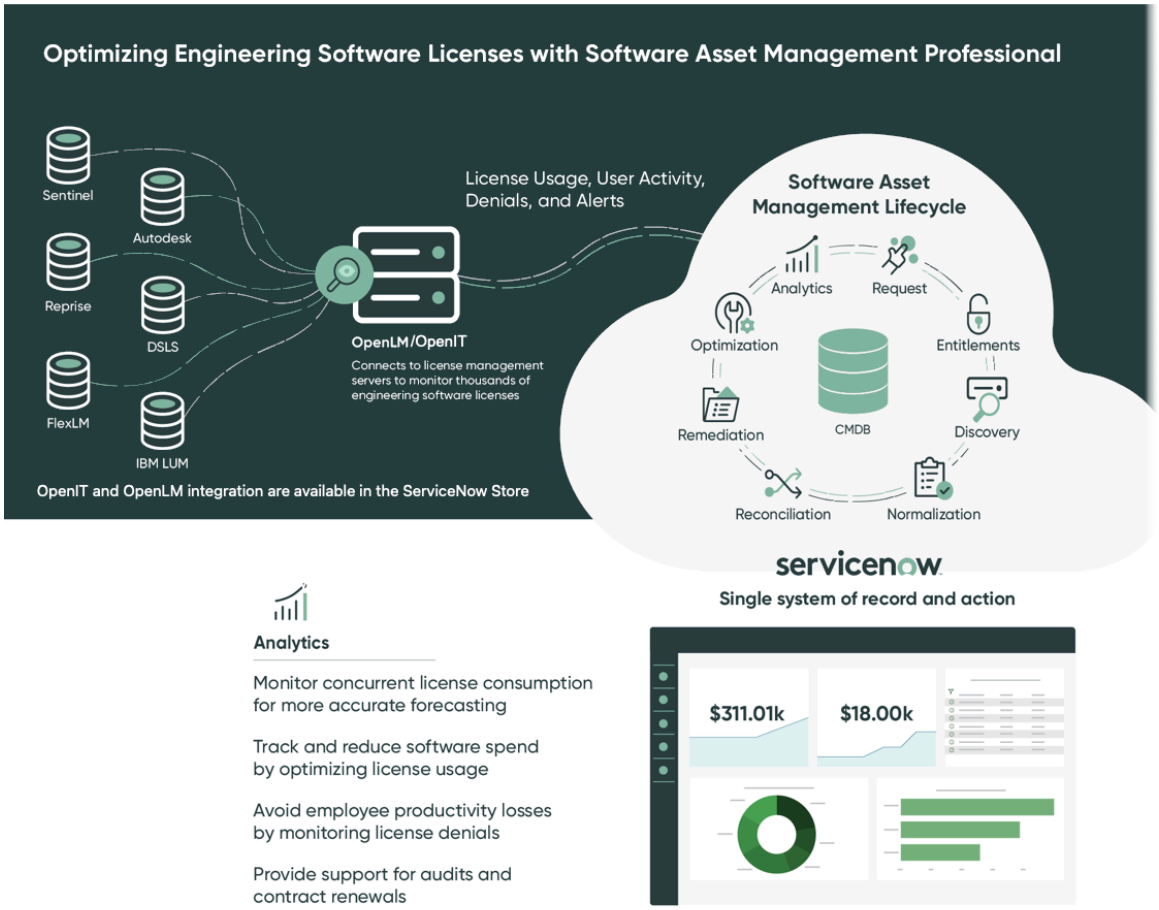
同時ライセンスを使用すると、複数のユーザーがネットワーク上の任意のコンピューターまたは仮想マシンからソフトウェアアプリケーションへのアクセスを共有できます。ネットワークにインストールされているライセンス管理サーバーは、共有ライセンスのプールの配布を管理します。

複数のライセンス管理サーバーを持つことができます。エンジニアリング アプリケーションごとに 1 つ。共有プール内の同時ライセンスの数によって、特定の時間にソフトウェアアプリケーションを使用できるユーザーの数が決まります。アプリケーションを使用する場合、そのアプリケーションは適切なライセンス管理サーバーに要求を送信して、ライセンスが使用可能かどうかを判断します。ライセンスが使用可能な場合は、アプリケーションが起動し、使用可能なライセンスの数が 1 つ減少します。ユーザーがアプリケーションを終了すると、ライセンスはプールに戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の図は、OpenLM と OpenIT がインスタンスを操作する ServiceNow 方法を示しています。



本 ソフトウェア資産管理 製品は、フローティングライセンス、ネットワークライセンス、トークンライセンスの 3 つのタイプのライセンスをサポートしています。これらのライセンスの詳細については、「」を参照してください ソフトウェアライセンス測定基準。

インスタンスは ServiceNow OpenLM および OpenIT と統合され、ライセンス管理サーバーからデータを収集します。OpenLMとOpenITは、IBM License Use Management(LUM)、Sentinel Technologies、Bentley Systems, Inc.などのさまざまなライセンス管理サーバーと統合するソフトウェアライセンス監視および管理ツールです。OpenLM と OpenIT はどちらも、各ライセンス管理サーバーに接続し、データを統合し、ServiceNow Store アプリケーションを介してインスタンスにServiceNowデータを取り込みます。

アプリケーションをダウンロードし ServiceNow Store 、Guided Setup を使用してアプリケーションを設定すると、OpenLM と OpenIT の両方が、これらのいずれかに接続されているすべてのライセンス管理サーバーからのデータ収集をトリガーします。ライセンスの使用状況、拒否、ユーザーアクティビティ、アラートなどのデータは、OpenLM および OpenIT によってライセンス管理サーバーから収集され、インスタンスに ServiceNow 転送されます。データは正規化され、調整されてレポートが生成されます。エンジニアリングソフトウェアの合計支出額、最も拒否された製品、経時的なライセンス使用状況、その他多くのレポートは、エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボード(ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーション)または()Software Asset ワークスペースでワークスペースのエンジニアリングライセンス概要ダッシュボード確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
OpenLMのセットアップと構成の詳細については、の OpenLMアダプタ統合 ページの ServiceNow Storeサポートリンクとドキュメントセクションを参照してください。

OpenIT のセットアップと構成の詳細については、の ServiceNow StoreOpenIT LicenseAnalyzer ページを参照してください。

SaaS ライセンス管理

ServiceNow SaaS ライセンス管理アプリケーションを使用して使用状況データを表示SaaSし、SSO でコンプライアンスを管理し、ライセンスを最適化できるようにします。

- SaaS アプリケーションとの直接統合を作成および管理します。サポートされている統合のリストについては、「」を参照してください SaaS アプリケーションとの統合。
- SSO プロバイダーとの統合を作成して、接続されているすべてのアプリケーションのサブスクリプション使用状況を表示します。
  - Microsoft Azure AD
  - Okta
- 概要ダッシュボードでSaaS ライセンス管理サブスクリプションの使用状況、コスト、およびコンプライアンス情報を表示SaaSしてSSOします。
- アクティビティが制限されているユーザーサブスクリプションを再利用します。

次の順序で統合して、SSO 使用状況データを取り込みますSaaSServiceNow ソフトウェア資産管理。

1. 直接統合
2. シングルサインオン (SSO) 統合
3. とのカスタム統合の構築 SaaS ライセンス接続

注:
と Adobe CloudのMicrosoft Office 365ライセンス管理については、「」と「」ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Adobeを参照してくださいMicrosoft 365 の統合。

SaaS ライセンス管理 を要求する

ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求して、自分の SaaS Single Sign-on (SSO) アプリケーションとの統合を作成および管理できるようにします。これらの統合を使用して、ライセンスの使用状況を追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

始める前に
インスタンスでプラグイン (com.snc.samp) をアクティブ化 ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ します ServiceNow 。プラグイン (com.snc.samp) を要求してアクティブ化 ソフトウェア資産管理プロ する方法の詳細については、次を参照してください ソフトウェア資産管理 を要求する。

必要なロール：admin

このタスクについて
アプリケーションを使用するにはSaaS ライセンス管理、プラグイン (com.sn_sam_saas_int) ServiceNow Storeを から要求 SaaS ライセンス管理ソフトウェア資産管理 する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Web ブラウザーから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「Software Asset Management - SaaS License Management 」と入力し、[検索] を選択します。
4. - SaaS ライセンス管理という結果ソフトウェア資産管理を選択します。
5. [-SaaS ライセンス管理] ソフトウェア資産管理 ページで、[インストールの要求] を選択します。
6. [ServiceNow アプリのインストールを要求 - ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow [アプリのインストールを要求 **-** ソフトウェア資産管理 **- SaaS** ライセンス管理 **]** ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	プラグインをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、「インスタンスの検証」 を選択して、インスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	プラグインを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、プラグインのインストール方法の詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってプラグインをインストールします。

[store-future: BEGIN review]注:
必要なアプリケーションを選択し、必要な依存関係のみをアクティブ化します。
[End]

SaaS ライセンス管理とともにインストールされる内容

ユーザーロールとテーブルは、とともにインストール SaaS ライセンス管理されます。デモデータは、Software Asset Management - SaaS License Management (com.sn_sam_saas_int) プラグインで利用できます。

ユーザーロール

ロール	説明
sam_integrator	sam_userロールを継承し、SaaS 統合プロファイルを作成および管理することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル

テーブル	説明
カスタムサブスクリプション製品定義 [samp_sw_custom_subscription_product_definition]	SaaS および SSO アプリケーション用にカスタマイズされたソフトウェアモデルを作成および更新できます。
カスタムサブスクリプション統合 [samp_sw_custom_subscription_integration]	カスタム統合プロファイルの SaaS および SSO プロバイダーのリスト。
製品プロファイルタイプ [samp_sw_product_profile_type]	ソフトウェア製品 [samp_sw_product] テーブル内の統合プロファイルタイプと製品間のマッピングを提供します。
SAM サブスクリプションスクリプトルート [sam_saas_script_route]	個別のスコープ対象アプリから利用可能な統合を登録するために特定の統合タイプを実装するスクリプトインクルードとスコープを格納します。
SSO アプリケーション [samp_sso_application]	すべての SSO 統合のすべての SSO アプリケーションのリスト。
SSO アプリケーショングループ [m2m_sso_group_application]	接続された SSO アプリケーションと、それらにアクセスできるディレクトリグループ間のマッピングを提供します。
SSO アプリケーションロール [samp_sso_application_role]	接続されているすべての SSO アプリケーションの SSO ユーザーとグループのリスト。
SSO アプリケーションユーザー [m2m_sso_user_application]	接続されている SSO アプリケーションと、それらにアクセスできるディレクトリユーザーとの間のマッピングを提供します。
SSO 統合プロファイル [samp_sso_integration_profile]	すべての SSO 統合プロファイルのリスト。
SSO サブスクリプション [samp_sso_subscription]	接続されているすべての SSO アプリケーションの SSO サブスクリプションのリスト。
サブスクリプション利用サ マリー [sam_saas_consumption_summary]	消費されたユニット、月次消費量、契約日を含む消費サマリー情報。
サブスクリプション統合 [samp_sw_subscription_integration]	サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルのサブスクリプション製品にマッピングされている SaaS および SSO プロバイダーのリスト。
サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition]	SaaS ライセンス管理 はこのテーブルを使用して、SaaS および SSO アプリケーションのソフトウェアモデルを自動的に作成します。ソフトウェアモデルは、このテーブルの識別子と一致する外部カタログ **ID** を持つアプリケーションに対して自動的に作成されます。
サブスクリプション使用サマリー [samp_subscription_usage_summary]	所有している権限、割り当てられている権限、古い権限、利用可能な権限、コストなどのソフトウェア使用のサマリー情報。
認識されないサブスクリプション識別子 [samp_sw_unrecognized_subscription_identifier]	ソフトウェアモデルに関連付けられていないサブスクリプション識別子のリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS ライセンス管理 大企業向けのセットアップ

SaaS ライセンス管理インスタンス内のすべての SaaS 使用状況データを表示できるように大企業向けにセットアップしますServiceNow。

一部の大企業では、 *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* 統合プロファイルを作成する前にシステムプロパティを更新する必要があります。会社で次のいずれかに該当する場合は、admin ロールを持つユーザーがこのプロパティを更新する必要があります。

- Adobe WorkfrontAsanaAha!CalendlyGitHubDropboxG SuiteCisco WebexLookerConfluence CloudDocuSignCrowdStrikeGoToBoxMicrosoft Dynamics 365 と Power Apps、、 Salesforce Marketing CloudSalesforce CRMSmartRecruitersSurveyMonkeySAP SuccessFactorsTrelloSmartsheetWorkplace from FacebookZendeskMiroRallyZoommonday.comRoadmunkSalesforceSlackPagerDuty
- 合計Adobe CloudMicrosoft Office 365で 50,000 を超えるユーザーサブスクリプションがあります。

com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source 2 つのグループのサブスクリプション間でより大きい値になるようにシステムプロパティを更新します。たとえば、Microsoft Dynamics 365 と Power Apps PagerDutyに 60,000 のユーザー サブスクリプションBoxAha!AsanaDropboxAdobe WorkfrontConfluence CloudGitHubDocuSignCrowdStrikeCisco WebexGoToG SuiteCalendlyがあり、Workday、Miromonday.comRoadmunkSalesforceSalesforce CRMSalesforce Marketing CloudSlackSmartRecruitersSmartsheetSAP SuccessFactorsSurveyMonkeyTrelloWorkplace from FacebookZendeskZoomAdobe CloudMicrosoft Office 365

注:
プロパティの使用 *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* 方法の詳細については、「 データ コレクターのプロパティ 」を参照してください。

SaaS 概要ダッシュボード

概要ダッシュボードを使用してSaaSアプリケーションと SSO プロバイダーのSaaSサブスクリプションの使用状況、コスト、コンプライアンスを分析し、組織が SSO ライセンスにSaaS費やす金額を最適化します。

重要:
SaaS概要ダッシュボードは、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で使用できます。このトピックでは、クラシックアプリケーションの概要ダッシュボードソフトウェア資産管理に関する情報SaaSを提供します。SaaSソフトウェア資産ワークスペースの概要ダッシュボードの詳細については、次を参照してくださいSaaS ワークスペースの概要ダッシュボード。

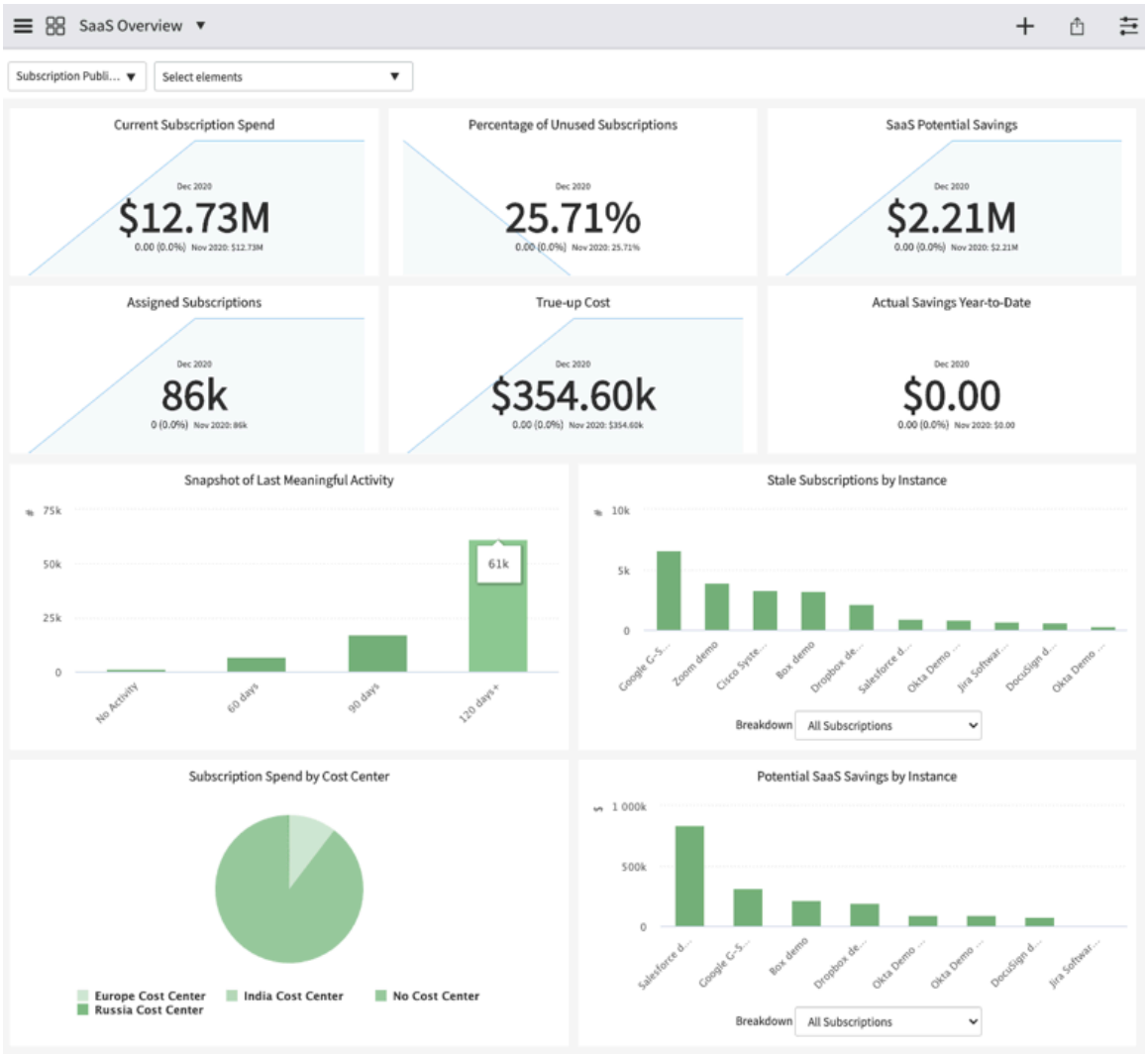
SaaS概要ダッシュボードには、使用している SaaS SSO アプリケーションに関連付けられている使用状況、コスト、および節減見込みに関する情報が表示されます。このダッシュボードにアクセスするには、 **SaaS** ライセンス > 概要. ソフトウェアモデルまたは公開者でダッシュボードをフィルタリングできます。レポートをクリックすると、詳細が表示されます。

注:
およびAdobe Cloudの組織のソフトウェア使用状況とコンプライアンスMicrosoft Office 365を表示するには、次の場所に移動します。 **SaaS** ライセンス > **Office 365** と **Adobe Cloud**.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボード



SaaSの概要レポート

レポート	説明
現在のサブスクリプション支出	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントの合計コスト。
未使用のサブスクリプションの割合	再利用ルールによって定義された使用要件を満たしていないサブスクリプションの割合。このパーセンテージは、古い権利 (再利用ルールで定義されたアクティビティしきい値内でアクティビティが制限されているサブスクリプション) の数を、割り当てられた権利の合計数で割って計算されます。
SaaS 節減見込み	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に節約できる見込みコスト。
アサインされたサブスクリプション	アサインされているサブスクリプションの合計数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaSの概要レポート (続く)

レポート	説明
調整コスト	所有する権限の数を、ユーザーに割り当てた権限の数と一致させるためのコスト。この測定基準は、組織が使用しているすべての権限に対して組織が料金を支払っていることを確認するのに役立ちます。
節減実績の年度累計	すべてのサブスクリプションソフトウェアの年間合計節減額。この値は、完全に閉じた再利用候補からの節減額の合計として計算されます。
最後の意味のあるアクティビティのスナップショット	サブスクリプションソフトウェアの使用行動に基づくユーザーの分布。このデータを使用して、ソフトウェア使用率が最も高いユーザーを特定し、ソフトウェア再利用ルールに最も適したしきい値を決定します。このレポートには、過去 30 日間、30 ～ 60 日間、60 ～ 90 日間、および 90 ～ 120 日間のデータが表示されます。
インスタンス別の古いサブスクリプション	各サブスクリプションプロファイルの古いサブスクリプションの合計数。同じサブスクリプション ソフトウェアに複数のプロファイルがある場合、このレポートには各プロファイルが個別に表示されます。 [ブレークダウン] リストからオプションを選択すると、このレポートに表示されるデータをフィルタリングできます。両方の古いサブスクリプション SaaS と SSO サブスクリプション プロファイルを表示するには、 [すべてのサブスクリプション] を選択します。サブスクリプションプロファイルのみ SaaS の古いサブスクリプションを表示するには、[**SSO** を除くサブスクリプション] を選択します。
コストセンター別のサブスクリプション支出	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントのコストセンター別の総コスト。
インスタンス別の節減見込みSaaS	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に、各サブスクリプションプロファイルで節約できる見込みコスト。 [ブレークダウン] リストからオプションを選択すると、このレポートに表示されるデータをフィルタリングできます。両方の SaaS SSO サブスクリプション プロファイルの見込まれる節約額を表示するには、 [すべてのサブスクリプション] を選択します。サブスクリプションプロファイルのみ SaaS の節減見込みを表示するには、「 **SSO** を除くサブスクリプション」を選択します。

統合用 SaaS Playbook

Playbook は SaaS 、アプリケーションを統合 SaaS するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。開始から完了まで、統合プロセスの各ステージを段階的に進めます。

Playbook には SaaS 、以下で構成される複数のレーンが含まれています。

- レーン内で実行する必要があるタスクのリスト
- 各タスクの現在のステータスを表示するステータスインジケーター

タスクを完了としてマークすると、次のタスクに移動します。タスクはいつでも保存でき、後で Playbook に戻ることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レーン内のすべてのタスクを完了して、次のレーンに移動します。タスクとレーンを完了していくと、ステータスが左側のパネルに反映されます。すべてのタスクを完了したら、すべてのレーンに入力した詳細を確認します。

関連情報

Playbook とやり取りする

Salesforce CRM統合を作成

インスタンスを顧客関係管理 (CRM) サービスとSalesforce統合ServiceNowし、ガイド付きウォークスルー Playbook を使用してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用します。

始める前に
必要なロール:Salesforce admin、sam_admin

- Salesforce CRMグローバルスコープでのみ統合を作成します。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産分析.
2. [直接統合の作成] を選択します。
3. サポートされているインテグレーションのリストで、[**Salesforce CRM**] を選択します。
4. 管理ポータルからSalesforceアプリケーションを登録Salesforceします。
   詳細については、「アプリケーションの登録Salesforce」を参照してください。
   a. 左側のウィンドウで [**Salesforce** アプリケーションの登録] を選択します。
   b. アプリケーションのタスクを完了します Salesforce 。
      各ステップを完了したら、各チェックボックスをオンにします。
   c. [完了としてマーク] を選択します。
5. 統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスを最適化します。
   a. 左側のウィンドウで [プロファイルの詳細] を選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。

プロファイルの詳細

フィールド	説明
表示名	プロファイルを作成する組織を一意に識別する統合プロファイルの名前。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に に設定され Salesforce CRMます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	この値は、 **Salesforce CRM Download Subscriptions** に設定する必要があります。
サブスクリプションサブフローの再利用	値は **[Salesforce CRM Reclaim Subscription]** に設定する必要があります。

c. データを保存します。

- 統合を続行せずにデータを保存するには、 [保存] を選択します。
- データを保存して統合を続行するには、 [完了としてマーク] を選択します。

6. インターフェイスで ServiceNow クラシック 接続と資格情報を作成します。

a. 左側のウィンドウで [接続と資格情報] を選択します。

b. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューⓘをクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。

c. [続行] を選択します。

d. [**Create New Connection & Credential**] リンクを選択します。

e. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	説明
接続名	この接続と資格情報を作成する組織を Salesforce 一意に識別する接続の名前。
接続 URL (インスタンス URL)	にログインし Salesforceた後に表示される URL。これは、 の Salesforceカスタムドメイン URL です。
OAuth クライアント ID	アプリケーションにアサインされた Salesforce クライアント ID (コンシューマーキー)。
OAuth クライアントシークレット	アプリケーションにアサインされた Salesforce クライアントシークレット (コンシューマーシークレット)。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは、ステップ 4 でアプリケーションの登録Salesforce時に指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

f. [OAuth トークンを作成して取得] を選択します。

g. [OAuth2 認証] ダイアログボックスで、アプリケーションの作成に使用したものと同じ Salesforce 管理者アカウントにログインします Salesforce 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インスタンス ServiceNow は、 の SalesforceOAuth トークンを作成します。

h. [完了としてマーク] を選択します。

統合プロファイルは、[Salesforce CRM サブスクリプションのダウンロード] サブフローと Salesforce CRM [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、サービスから Salesforce CRM ユーザーデータを取得します。

7. オプション: 子エイリアスと追加の統合プロファイルを作成します。

(Optional) 子エイリアスは、この追加の統合プロファイルの接続と資格情報を一意に識別します。

作成する最初の Salesforce CRM 統合プロファイルでは、Salesforce にデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Salesforce CRM 統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

> **注:**
> アプリケーションスコープを **Salesforce** スポークに設定する必要があります。

a. 左ペインで [**Connect to additional Salesforce org (Optional)** (追加の **Salesforce** 組織に接続 (オプション))] を選択します。

b. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューⓘをクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
表示は、 ServiceNow クラシック 子エイリアスを設定できるインターフェイスにリダイレクトされます。

c. 「 子エイリアス」 タブで、「 新規」を選択します。

d. [接続および資格情報エイリアス] フォームに子エイリアスの名前を入力します。

e. [送信] を選択します。
フォームを再ロードすると、新しく作成された子エイリアスが [子エイリアス] リストに表示されます。

f. [新しい接続 **&** 資格情報を作成] 関連リンクを選択して、複数の接続を作成します。
親接続を作成する場合と同じ手順に従います。

g. 手順を完了し、[Playbook] ビューのすべてのチェックボックスをオンにしたら、[完了としてマーク] を選択します。

8. 統合プロファイルを公開する前に、必須フィールドを確認します。

a. 左側のウィンドウで [レビューと公開] を選択します。

b. 統合プロファイルの詳細を確認します。

c. オプション: [接続と資格情報] フィールドで、プレビュー アイコン (プレビュー ⓘを選択し、手順 7 で作成した子エイリアスを見つけて選択します。
子エイリアスを選択すると、追加の統合プロファイルが子エイリアスに関連付けられます。ServiceNow インスタンスはこのエイリアスを使用して、この統合プロファイルの接続と資格情報を識別します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

d. 統合プロファイルを後で公開する場合は、[保存] を選択します。

e. [完了としてマーク] を選択します。

9. [公開] を選択して統合プロファイルを公開します。

10. オプション: すべてのジョブスケジュールの結果のステータスが完了かどうかを確認します。

タスクの結果
統合が正常に公開されると、レコードページにリダイレクトされます。統合プロファイル、関連付けられたソフトウェアモデル、トリガーされたジョブスケジュール、ジョブスケジュールの結果、および認識されないサブスクリプション識別子の詳細を表示できます。

SaaS アプリケーションとの統合

統合プロファイルを作成してソフトウェア使用情報を表示し、古いライセンスを最適化します。

統合プロファイルは SaaS 、会社のソフトウェア使用情報をソフトウェアベンダーからプルします。この情報には、すべてのユーザーのリストが含まれており、最近ソフトウェアを使用していないユーザーを識別します。

次の SaaS アプリケーションの統合プロファイルを作成できます。

- Adobe Workfront
- Aha!
- Asana
- Box
- Calendly
- Cisco Webex
- Confluence Cloud
- CrowdStrike
- DocuSign
- Dropbox
- Google Workspace
- GitHub
- GoTo
- Jira ソフトウェア
- Looker
- Microsoft Dynamics 365 と Power Apps
- Miro
- monday.com
- PagerDuty
- Rally
- Roadmunk
- Salesforce CRM

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Salesforce Marketing Cloud
- Slack
- SmartRecruiters
- Smartsheet
- SAP SuccessFactors
- SurveyMonkey
- Trello
- Workday
- Workplace from Facebook
- Zendesk
- Zoom

統合Microsoft Office 365を作成するAdobe Cloudこともできます。詳細については、「Microsoft 365 の統合」と「ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Adobe」を参照してください。

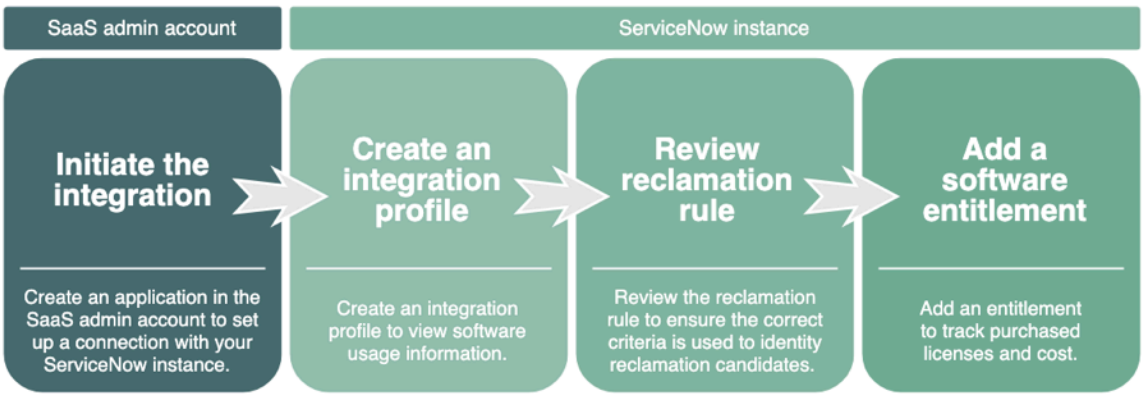
このリストにないアプリケーションと SaaS 統合する場合は、カスタム統合プロファイルを作成できます。詳細については、「カスタム統合プロファイルの作成」を参照してください。

注:

統合により SaaS 、ソフトウェアのソフトウェアモデルと再利用ルールが自動的に作成されます。常に 再利用ルールを確認し 、必要な基準を使用して再利用候補が特定されていることを確認してください。

再利用ルールを確認した後、購入したライセンスとコストを追跡する ソフトウェアエンタイトルメントを作成します 。

SaaS のアプリケーションとの統合



このプロセスに従うと、未使用のライセンスの再利用を開始して、会社のソフトウェア コストを削減する準備が整います。

Adobe Workfront との統合

インスタンスをアプリケーションとAdobe Workfront統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

Workfront API キーの生成

WorkfrontAPI 要求を認証するための API キーを生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
Workfront 必要なロール:administrator

手順

1. Web ブラウザーから、Adobe Workfront を開きます。
2. 管理者資格情報を使用してログインします。
   Adobe Workfront インスタンスが開きます。
3. Adobe Workfront インスタンスのページヘッダーで、メインメニューアイコン ( ) をクリックし、[設定] を選択します。
   [セットアップ] ページが開きます。
4. [セットアップ] ページの左側のナビゲーションメニューから、 システム > 顧客情報.
   [顧客情報] ページが開きます。
5. [API キー設定] セクションで、**[API** キーの生成] をクリックします。
   Adobe Workfront は自動的に API キーを生成し、[ユーザーの API キー (Your User's API Key)] の下に表示します。
6. API キーをコピーして、後で使用できるように安全な場所に保存します。
7. 同じセクションで、[作成後、API キー の有効期限が切れます **(After creation, API keys expire)]** リストから API キーの有効期限が切れる期間を選択します。
   デフォルトの期間は 1 か月です。

   注:
   この期間はいつでも変更できます。期間を変更するたびに、変更を加えた瞬間から新たに選択された期間が開始されます。

Workfront接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Workfront アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer**.
   Flow Designer が新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. Workfront 接続を見つけて、[接続を追加] をクリックします。
   [接続を作成] ダイアログボックスが開きます。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Workfront接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。https://<*domain-name*>.my.workfront.com と入力します。ここで、<*domain-name*> は会社のサブドメインです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
認証情報	
API キー	Workfront アプリケーションの API キー。Workfront API キーの生成 で生成した API キーを入力します。

5. [接続を作成] をクリックします。

Workfront 統合プロファイルの作成

Workfront統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますWorkfront。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはWorkfront、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Workfront オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Workfront 統合。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。Workfrontこのフィールドは自動的に **[sn_workfront_spoke]** に設定されます。Workfront。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **[Workfront** サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Workfront** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算 **(Calculate Activity Subflow**)] タブで、[サブフロー **(Subflow**)] フィールドが **[Workfront** ユーザーアクティビティサブフローを更新 **(Workfront Update User Activity Subflow)**] に設定されていることを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [サブスクリプションサブフローの再利用 **(Reclaim Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー **(Subflow**)] フィールドが **[Workfront Reclaim Subscription]** に設定されていることを確認します。
6. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Workfront サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新]、Workfront および Workfront [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから Workfront ユーザーデータを取得します。
7. フォームを再ロードしたら、[公開] をクリックします。

注:

メモリを最適化し、フローのパフォーマンスの問題 Workfront を回避するには、フローエンジンのレポートレベルをオフにするには、 システムのプロパティ > すべてのプロパティ システムプロパティを選択します`com.snc.process_flow.reporting.level` 「システム・プロパティ」ページで、「 値 」を `「オフ」` に設定し、「 更新」をクリックします。

さらに、次の場所に移動して、実行の詳細のアイテム数を減らすことができます。 システムのプロパティ > すべてのプロパティ システムプロパティを選択します`com.snc.process_flow.reporting.datastream.item.lastn` [システムのプロパティ] ページで、[値] を 10 に設定し、[更新] をクリックします。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Aha! との統合

インスタンスをサービスとAha!データ連携ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

サービスの詳細については Aha! 、「 Aha! 製品管理ガイド 。

Aha! OAuth2 アプリケーションの作成

Aha! OAuth2 アプリケーションを作成して、Aha! API へのアクセス権を取得します。

始める前に
Aha! 必要なロール：admin

手順

1. [OAuth2 認証 (OAuth2 Authentication)] に移動します。
2. 管理者資格情報を使用して Aha! サイトにログインします。
3. 個人設定ページで、[開発者] をクリックします。
4. **[OAuth** アプリケーション] タブをクリックします。
5. **[OAuth** アプリケーションの登録 **(Register OAuth applications)]** をクリックします。
6. [新しい OAuth アプリケーションの登録 (Register new OAuth application)] フォームの [リダイレクト URL] に「https://*instance*/oauth_redirect.do」と入力します。*instance* は ServiceNow インスタンスの名前です。
7. [作成] をクリックします。
   [OAuth アプリケーション **(OAuth applications)]** タブに、クライアント ID とクライアントシークレットキーが表示されます。
8. [クライアント ID] と [クライアントシークレット] フィールドの値を書き留めます。

Aha! の ServiceNow インスタンスのセットアップ

ServiceNow インスタンスを設定して、Aha! クライアント ID とクライアントシークレットキーを追加します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 移動先 接続と資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
   接続および資格情報エイリアスのページが表示され、アプリのリストが表示されます。
3. Aha! の接続および資格情報レコードを見つけて開きます。
4. [新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
5. [接続の作成および資格情報の追加 (Create Connection and add Credential)] フォームで、詳細を入力します。

接続の作成および資格情報の追加 **(Create Connection and add Credential)** フォーム

フィールド	説明
接続名	データ連携プロファイルの名前
接続 URL	Aha! の接続 URL。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
OAuth クライアント ID	Aha! サイトから OAuth2 認証を作成する際に受信した OAuth2 キー。
OAuth クライアントシークレット	Aha! サイトから OAuth2 認証を作成する際に受信した OAuth2 クライアントシークレットキー。
OAuth リダイレクト URL	ServiceNow リダイレクト URL

6. **[OAuth** トークンを設定して取得 **(Configure and Get OAuth Token)]** をクリックして、[許可] をクリックします。

Aha!統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、サービスのライセンスを最適化します Aha! 。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはAha!、ServiceNow Store からプラグイン SaaS ライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Aha! オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. [表示名] フィールドに、任意の表示名を入力します。

   フォームでは、次のフィールドが自動的に入力されます。

Aha! 統合プロファイルフォーム

フィールド	値
接続および資格情報エイリアス	sn_aha_spoke。ほう_
ステータス	ドラフト
プロファイルタイプ	Aha! サブスクリプション
サブスクリプションサブフローをダウンロード	Aha! サブスクリプションをダウンロード 現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
サブスクリプションサブフローの再利用	Aha!サブスクリプションを回収

3. [保存] をクリックします。
4. Aha!フォームを保存したら、「公開」をクリックします。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Asana との統合

インスタンスAsanaをアプリケーションと統合ServiceNowすると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡して未使用のライセンスを再利用できます。

> **注:**
> この統合は、組織レベルのすべての計画 Asana のみをサポートします。

OAuth 2.0 アプリケーションの登録Asana

OAuth アプリケーションを登録し Asana て API 1.0 にアクセスし Asana 、クライアント ID とクライアントシークレットを受け取ります。

始める前に
Asana 必要なロール：admin

手順

1. Asana アカウントにログインします。
2. 右上隅にあるユーザープロファイルアイコンを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [自分の設定 **(My Settings)**] を選択します。
4. [アプリ] タブを選択します。
5. 下部にある [開発者アプリを管理 **(Manage Developers App)**] リンクを選択して、開発者コンソールウィンドウに移動します。
6. **[+** 新しいアプリを作成 **(+ Create new app)]** を選択します。
7. [新しいアプリを作成 **(Create new app)**] ページで、アプリケーションの名前を入力します。
8. **[API** の契約条件に同意する **(I agree to API terms and conditions)]** チェックボックスをオンにします。
9. [アプリを作成] を選択します。
10. オプション: アプリケーションに関する基本情報を入力します。
11. 左ペインで **[OAuth]** を選択します。
12. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。
13. [リダイレクト **URL]** フィールドで、**[+** リダイレクト **URL** を追加 **(+ Add redirect URL)]** を選択します。
14. 「https://instance.service-now.com/oauth_redirect.do」と入力します。<instance> は ServiceNow インスタンスの名前です。

Asana統合プロファイルの作成

Asana統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ソリューションのライセンスを最適化しますAsana。

始める前に

ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 Integrations プラグイン (com.sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

必要なロール:admin または sam_integrator

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Asanaデータ連携です。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。Asanaこのフィールドは自動的に [sn_asana_spoke] に設定されます。アーサナ。
ステータス	統合プロファイルのステータス。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [サブスクリプション] に設定され Asana ます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションのダウンロード] に設定され Asana ていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが [ユーザーアクティビティサブフローを更新] に設定され Asana ていることを確認します。
5. オプション: [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティの分析を開始する日時を選択します。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   > **注:**
   > ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。
6. [サブスクリプションサブフローの再利用 **(Reclaim Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー **(Subflow**)] フィールドが [サブスクリプションの再利用 (Reclaim Subscriptions)] に設定され Asana ていることを確認します。
7. [保存] を選択します。
   ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Asana サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新]、 Asana および Asana [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから Asana ユーザーデータを取得します。
8. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビュー) をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
9. レコードのプレビューで [レコードを開く] を選択します。
10. [新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
11. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報フォームを作成

フィールド	値
接続名	Asana接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に [https://app.asana.com] に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
クライアント ID	OAuth アプリケーションの登録 Asana 時に作成したクライアント ID です。
クライアントシークレット	OAuth アプリケーションの登録 Asana 時に作成したクライアントシークレットです。
OAuth リダイレクト URL	このフィールドは自動的に https://<instance name>.service-now.com/oauth_redirect.do に入力されます。instance name はインスタンスの名前 ServiceNow です。

12. [保存] を選択します。
13. 統合プロファイルに戻り、 [公開] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Box との統合

インスタンスをサービスとBoxデータ連携ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

Box統合の接続に使用するアカウントには、次のユーザーアクセス権限が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーアクセス権限の編集

権限	値
共有連絡先	このユーザーがすべての管理ユーザーを表示できるようにします。
Box Sync を有効にする	このユーザーが、とユーザーのデスクトップの間で Box ファイルを同期することを許可します。
共同管理者	ユーザーには、次の管理権限が付与されます。
ユーザーとグループ	• ユーザーの管理 • グループの管理
ファイルとフォルダー	• ユーザーのコンテンツの表示 • ユーザーのコンテンツの編集 • ユーザーのアカウントにログインする
レポートと設定	• 会社の設定とアプリを表示する • 会社の設定とアプリを編集する • 新しいレポートの実行と既存のレポートへのアクセス

これらの権限により、統合でユーザーのリストを取得したり、ユーザーアクティビティを取得したり、未使用のサブスクリプションを再利用したりできます。

サービスの詳細については Box 、 Boxコミュニティ を参照してください。

Boxアプリケーションの作成

プラットフォームで Box アプリケーションを作成します。

始める前に
Box 必要なロール：admin

手順

1. Box開発者コンソール に移動し、アカウントにサインインします。
2. 「マイ・アプリケーション」ページで、「 新規アプリケーションの作成」をクリックします。
3. [カスタムアプリ **(Custom App)]** を選択します。
4. [認証方法] ページで、[標準 **OAuth 2.0** (ユーザー認証)] を選択します。
5. アプリケーション名を入力し、「 アプリの作成」をクリックします。
6. [構成] ページで、クライアント ID とクライアントシークレットを取得します。

   次の手順で、これらの値をコピーしてインスタンスに ServiceNow 貼り付ける必要があります。

   注:
   クライアント ID とクライアントシークレットは機密です。それらを共有しないでください。

7. リダイレクト URI として「https:// *instance.service-now.com/oauth_redirect.do*」と入力します。*instance* はインスタンスの名前ServiceNowです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. 次のアプリケーションスコープのチェックボックスをオンにします。
   - に保存されているすべてのファイルとフォルダを読み取る Box
   - に保存されているすべてのファイルとフォルダーの読み取りと書き込み Box
   - ユーザーの管理
   - エンタープライズプロパティの管理

   これらのスコープにより、統合でユーザーのリストを取得し、ユーザーアクティビティを取得し、未使用のサブスクリプションを再利用できます。

9. [変更内容を保存] をクリックします。

Box 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、サービスのライセンスを最適化します Box 。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはBox、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Box オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Box Integrationなどです
クライアント ID	管理者アカウントで SaaS 作成された OAuth アプリケーションのクライアント ID。
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	クライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は、自動的に **[Box** サブスクリプション] に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
ユーザーアクティビティの分析元	データの分析は、現在の日付から開始するか、過去最大 60 日間から開始するかを選択できます。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを表示できるため、リアルタイムで待機せずに古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると分析されるデータ量が増えるため、結果が表示されるまでに数時間かかる場合があります。

3. [送信] をクリックします。
4. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] を選択します。
5. ポップアップウィンドウで、管理者アカウントを選択し Box 、[許可]をクリックします。

> **注:**
> ユーザーサブスクリプションが再利用されると、再利用されたアカウントのファイルが、この手順で選択した管理者アカウントに転送されます。このアカウントは、統合の設定に使用したものとは異なる管理者アカウントにすることができます。新しい管理者へのファイルの転送を開始する必要がある場合は、いつでも **[OAuth** トークンを取得] 関連リンクを再度クリックして、別の管理者アカウントを選択できます。新しい管理者を選択した後、古い管理者アカウントを再利用して、以前に再利用したすべてのユーザー ファイルを含むすべてのファイルを新しい管理者に転送できます。

タスクの結果

現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Calendly との統合

インスタンスをサービスとCalendlyデータ連携ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

Calendly OAuth アプリケーションの作成

公開アプリケーションを Calendly サービスに登録し、OAuth 2.0 を使用して Calendly API にアクセスできるようにします。

始める前に

Calendly 必要なロール:組織の所有者または管理者

開発者にCalendlyサインアップするには、または Google GitHub アカウントが必要です。

手順

1. Calendly 開発者ポータル に移動します。
   - 開発者アカウントを既にお持ち Calendly の場合は、資格情報を使用してサインインし、手順 3 に進みます。
   - 開発者アカウントをお持ち Calendly でない場合は、手順 2 を完了します。
2. オプション: 開発者サイト ページの右上隅Calendlyにある [サインアップ] を選択して、またはGitHubGoogleアカウントから開発者アカウントにCalendlyサインアップします。
   このアカウントはユーザー Calendly Google アカウントに関連付けられていません。
3. 移動先 アカウント > 自分のアプリ OAuthアプリケーションを作成します
4. [新しいアプリの作成] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

[OAuth アプリを作成] フォーム

フィールド	説明
アプリの名前	アプリケーションの名前。
アプリの種類	Web やネイティブなどのアプリケーションタイプ。
環境タイプ	サンドボックスや本番など、アプリケーションを関連付ける環境タイプ。
リダイレクト URI	ServiceNow リダイレクト URL たとえば、https://app.example.com/auth などです。

6. [保存して続行] を選択します。

次のタスク

クライアント ID とクライアントシークレットをコピーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

クライアントシークレットに再度アクセスできなくなるため、これらの値をコピーする必要があります。

Calendly 統合プロファイルの作成

ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、サービスの古いライセンスを最適化する統合プロファイルを作成します Calendly 。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはCalendly、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Calendly オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、 Calendly 統合などです。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。Calendlyこのフィールドは自動的に **[sn_calendly_spoke]** に設定されます。カレンドリー。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **[Calendly** サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが [**Calendly** サブスクリプションサブフローのダウンロード] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが [**Calendly Update User Activity Subflow**] に設定されていることを確認します。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [サブスクリプションサブフローの再利用 **(Reclaim Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー **(Subflow**)] フィールドが [サブスクリプションの再利用 **(Calendly Reclaim Subscription**)] に設定されていることを確認します。
6. [保存] をクリックします。
ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Calendly サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新]、Calendly および Calendly [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、サービスから Calendly ユーザーデータを取得します。
7. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューⓘをクリックし、レコードプレビューで [レコードを開く] をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
8. [接続 & 資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。
接続 URL	Calendly API のベース URL このフィールドは自動的に https://api.calendly.com に設定されます。
OAuth クライアント ID	Calendly サービスに登録した公開アプリケーションにアサインされたクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	Calendly サービスに登録した公開アプリケーションにアサインされたクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドはインスタンス名に基づいて自動的に入力されます。

10. **[OAuth** トークンを作成して取得] をクリックします。
[アプリを認証] ダイアログボックスが開きます。
11. ダイアログボックスで、Calendly アカウントにログインします。
ダイアログボックスが閉じ、自動的に統合プロファイルフォームに戻ります。
12. [公開] をクリックします。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

との統合 **Cisco Webex**

インスタンスをアプリケーションとCisco Webex統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

サポートされている Cisco Webex アプリケーションは次のとおりです。

- Webex 会議
- Webex チーム
- Webex トレーニング
- Webex イベント
- Webex サポートセッション

Webex Meetings OAuth アプリケーションの作成

DevNet で Cisco OAuth 統合アプリケーションを作成します。

始める前に
Webex 必要なロール：admin

手順

1. [Cisco DevNet Webex インテグレーション] に移動します。
2. **[Webex Meetings** でログイン] オプションを使用してログインします。
3. [自分のアプリ情報 (My App Information)] ページで、[アプリ情報を追加 **(Add App Information)]** をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しいアプリ情報フォーム

フィールド	値
統合名	任意の名前。たとえば、 ServiceNow 統合などです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
リダイレクト URI	https:// *instance.service-now.com/oauth_redirect.do*、*instance* はインスタンスの名前ServiceNowです。
スコープ	○ all_read このスコープは、ユーザーとユーザーアクティビティのリストを取得するために必要です。 ○ user_modify このスコープは、ユーザーサブスクリプションを再利用するために必要です。

5. **[Submit** (送信)] をクリックします。
6. クライアント ID とクライアント シークレットをコピーする。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。

Webex Teams OAuth アプリケーションを作成する

開発者向けの OAuth Cisco Webex 統合アプリケーションを作成します。

始める前に
Webex 必要なロール:組織管理者およびコンプライアンス責任者

手順

1. 開発者向け Cisco Webex に移動してログインします。
2. プロファイル アイコンの下にある [マイ **Webex** アプリ] をクリックします。
3. 移動先 新しいアプリを作成 > 統合を選択 > 統合を作成.
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい統合フォーム

フィールド	値
この統合ではモバイル SDK を使用しますか?	いいえ
統合名	に表示される Webex統合の名前。たとえば、ServiceNowデータ連携です。
連絡先メール	管理者のメールアドレス。
アイコン	[自分のアプリ] ページに表示されるアイコン。独自のアプリケーションアイコンをアップロードするか、デフォルトのアイコンのリストから 1 つを選択します。
説明	統合の説明。たとえば、統合の機能とそのメリットなどです。
リダイレクト URI	OAuth 権限許可フローの完了時にリダイレクトされる URI。https://<instance>.service-now.com/oauth_redirect.do。ここで 、instance はインスタンスの名前 ServiceNow です。
スコープ	統合 API にアクセスするには、次のスコープを選択する必要があります。 ○ spark-admin:licenses_read ○ spark-admin:organizations_read

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	○ spark-admin:people_read ○ spark-admin:people_write ○ spark-admin:roles_read ○ spark-compliance:events_read ○ meeting:admin_schedule_read

5. [統合を追加] をクリックします。
6. 後で使用するために、表示される **[OAuth** クライアント **ID**] と **[OAuth** クライアントシークレット] をコピーして保存します。

Webex 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化します Cisco Webex 。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはWebex、ServiceNow Store から Cisco Webex Meetings および Webex Teams スポークアプリを要求します。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて

を使用しているSoftware Asset ワークスペース場合、統合コア UIプロファイルを作成するWebexオプションは無効になっています。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	プロファイルの名前。たとえば、Webexデータ連携です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [サブスクリプション] に設定され Webex ます。

3. [アクティビティサブフローの計算] フォームセクションで、[ユーザーアクティビティの分析元] フィールドの値を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、「 Webex サブスクリプションのダウンロード」、「アクティビティの計算」 Webex 、および「サブスクリプションの再利用」サブ Webex フローを使用して、アプリケーションから Webex ユーザーデータを取得します。
5. [サブスクリプションのダウンロード] サブフローで、[接続と資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビュー) を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
6. オプション: レコードに「 このレコードは Cisco Webex Teams スポーク アプリケーション内にありますが、現在のアプリケーションは「xxx」というテキストが表示されている場合。レコードを編集するには、ここをクリックし、リンクを選択します。
   a. 構成テンプレートレコードを **[SAM SaaS Webex Teams**] に設定します。
   b. レコードを保存します。
7. [新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
8. フォームで、Teams OAuth アプリケーションの作成Webex中に保存した **OAuth** クライアント **ID** と **OAuth** クライアントシークレットを入力します。
他のすべてのフィールドはそのままにしておきます。
9. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **重要:**
> この手順は、 ServiceNow で Webex組織管理者およびコンプライアンス責任者ロールを持つ管理者またはsam_integratorが実行する必要があります。

10. プロンプトが表示されたら、メールアドレスとパスワードを使用してログインします Webex 。
11. 接続が正常に作成されたら、統合プロファイルに移動します Webex 。
12. [アクティビティサブフローを計算] で、[接続と資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン ( ) を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
13. [新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
14. フォームのフィールドに入力します。

接続および資格情報フォームを作成

接続 URL	<subdomain> を、組織用に構成された会議サイト ドメインに置き換え Webex ます。
Webex 管理ユーザー名	ログイン Webexするユーザー名またはメールアドレス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

15. Meetings OAuth アプリケーションの作成Webex時に保存した **[OAuth** クライアント **ID]** と **[OAuth** クライアントシークレット] の値を入力します。
16. [**OAuth** トークンを作成して取得] を選択し、手順に従って OAuth トークンを取得します。

> **重要:**
> この手順は、 ServiceNow で Webex組織管理者およびコンプライアンス責任者ロールを持つ管理者またはsam_integratorが実行する必要があります。

17. 統合プロファイルに戻り、 [公開] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Confluence Cloud との統合

インスタンスをアプリケーションとConfluence Cloud統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

> **注:**
> 現在、この統合は、プロファイルごとに 1 つのサイト統合のみをサポートしています。

Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションの作成

Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションを作成して、Confluence Cloud API へのアクセスを有効にします。

始める前に
Atlassian 必要なロール:site admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. Web ブラウザーから、Atlassian 開発者ポータル を開きます。
2. サイト管理者アカウントにログインします。
3. ポータルのページヘッダーで、プロファイルアイコンをクリックし、[開発者コンソール **(Developer console)]** を選択します。
   Atlassian 開発者コンソールの [自分のアプリケーション (My apps)] ページが開きます。
4. [アプリを作成 **(Create app)]** メニューをクリックし、**[OAuth 2.0 (3LO)** データ連携 **(OAuth 2.0 (3LO) integration)]** を選択します。
   [新しい OAuth 2.0 (3LO) データ連携を作成 (Create a new OAuth 2.0 (3LO) integration)] ページが開きます。
5. [名前] フィールドに OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションの名前を入力します。
6. **[Atlassian** の開発者条件に従うことに同意します **(I agree to be bound by Atlassian's developer terms)]** チェックボックスをオンにして、[作成] をクリックします。
   新しく作成されたアプリの概要および設定が開きます。
7. アプリケーションの認証設定を構成します。

   a. 左側のナビゲーションペインで、[認証 **(Authorizatio)]** を選択します。

   b. OAuth 2.0 (3LO) 認証タイプの [構成] をクリックします。
   [アプリの OAuth 2.0 認証コード許可 (3LO) (OAuth 2.0 authorization code grants (3LO) for apps)] ページが開きます。

   c. [コールバック **URL]** フィールドで、ユーザーが認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を入力します。
   「https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do」と入力します。<*instance*> は ServiceNow インスタンスの名前です。

   d. [変更内容の保存] をクリックします。

8. アプリケーションの API スコープを構成します。
   API スコープは、アプリケーションが Atlassian API に対して保持する必要がるアクセスのレベルを指定します。

   a. 左側のナビゲーションペインで、[権限 **(Permissions)]** を選択します。

   b. 利用可能な API のリストから Confluence API を見つけて、[追加] をクリックします。
   [追加] アクションボタンが自動的に [構成] アクションボタンに変わります。

   c. [構成] をクリックします。
   [Confluence API] ページが開きます。

   d. Confluence API の次のスコープを追加します。
      - Confluence コンテンツとスペースのサマリーの検索
      - ユーザーグループの読み取り
      - ユーザーグループの作成、削除、更新
      - ユーザーの読み取り

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. アプリケーションにアサインされているクライアント ID とクライアントシークレットを取得します。

   a. 左側のナビゲーションペインで、[設定] を選択します。

   b. [認証の詳細] セクションで、[クライアント **ID]** と [シークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。

Confluence Cloud 統合プロファイルの作成

Confluence Cloud統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますConfluence Cloud。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはConfluence Cloud、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

Atlassian 必要なロール:site admin

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator、sn_confluence_spoke.confluence_cloud_admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Confluence Cloud オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

   統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前例: Confluence Cloud 統合。
接続と資格情報	Confluence Cloud の接続と認証情報エイリアス。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [Confluence Cloud サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] タブで、[サブフロー] フィールドが [**Confluence Cloud** サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Confluence Cloud** ユーザーアクティビティサブフローを更新] に設定されていることを確認します。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   > **注:**
   > ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。
5. [サブスクリプションの再利用サブフロー] タブで、[サブフロー] フィールドが [**Confluence Cloud** サブスクリプションの再利用サブフロー] に設定されていることを確認します。
6. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Confluence Cloud サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新]、 Confluence Cloud および Confluence Cloud [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから Confluence Cloud ユーザーデータを取得します。
7. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューⓘをクリックし、レコードプレビューで [レコードを開く] をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
8. [接続 & 資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。
サイト URL **注:** このフィールドは、バージョン 6.0.0 以前の統合を要求してインストールソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理した場合にのみ表示されます。	Confluence Cloud サイトの URL。
接続 URL **注:** このフィールドは、統合バージョン 7.0.0 以降を要求してインストールソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理した場合にのみ表示されます。	Confluence Cloud の API URL。このフィールドは自動的に **https://api.atlassian.com** に設定されます。
OAuth クライアント ID	Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションにアサインされているクライアント ID。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
OAuth クライアントシークレット	Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションにアサインされているクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは、「Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションの作成」で指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

10. **[OAuth** トークンを作成して取得] をクリックします。
ダイアログボックスが閉じ、自動的に [接続および資格情報エイリアス] フォームに戻ります。
11. Confluence 製品にアクセスできるグループを指定します。
インスタンスで ServiceNow これらのグループを指定することで、これらのグループ内のユーザーのみのデータを取得し、ライセンスを管理できます。

    a. 新しいタブで、 Atlassian 管理ポータル を開きます。

    b. サイト管理者アカウントにログインします。

    c. 移動先 サイトの設定 > 製品アクセス.

    d. [Confluence] セクションで、Confluence 製品にアクセスできるグループのリストを表示します。
    後で使用するために、この情報をメモします。

    e. インスタンスに戻り ServiceNow 、 **Confluence Cloud** > **Confluence** グループ.

    f. Confluence グループ (Confluence Groups) フォームで、[グループを追加] 関連リンクをクリックします。
    [Confluence グループを追加 (Add Confluence Groups)] ダイアログボックスが開きます。

    g. [利用可能] リストで、Confluence 製品にアクセスできるグループを選択します。

    ヒント:
    [利用可能] リストには、Atlassian アカウントに関連付けられているすべてのグループが含まれます。Confluence 製品にアクセスできるグループのみを選択します。

    h. 右矢印ボタンをクリックして、グループを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。

    i. **[OK]** をクリックします。

12. 次に移動して統合プロファイルに戻ります **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル をクリックし、[統合プロファイル] リストからプロファイルを選択します。
13. [公開] をクリックします。
[公開の確認] ダイアログボックスが開きます。
14. ダイアログボックスで、「 OK」をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

CrowdStrike との統合

インスタンスを とCrowdStrike統合ServiceNowすると、アクティブな Host Sensor 情報を表示CrowdStrikeし、ライセンスコンプライアンスを確認できます。

CrowdStrike OAuth アプリケーションの登録

CrowdStrike OAuth アプリケーションを登録して CrowdStrike API にアクセスし、クライアント ID とクライアントシークレットを受信します。

始める前に
CrowdStrike 統合ハブ スポークはアクティブである必要があります。詳細については、「CrowdStrike スポーク」を参照してください。

CrowdStrike 必要なロール:Falcon 管理者

手順

1. 管理者資格情報を使用して [Falcon] にログインします。
2. 移動先 サポート > **API** クライアントとキー.
3. [新しい **API** クライアントを追加 **(Add new API Client)]** を選択します。
4. クライアント名と説明を入力します。
5. [ホスト] スコープの [読み取り **(Read)]** チェックボックスをオンにします。
6. [追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

API クライアント作成画面が表示されます。

7. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。

CrowdStrike接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、CrowdStrike アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 移動先 接続と資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
3. 接続を見つけて CrowdStrike 、 [**Create New Connection & Credential]**(新しい接続と資格情報の作成) を選択します。
4. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	値
接続情報	
接続名	CrowdStrike接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に [https://api.crowdstrike.com] に設定されます。
認証情報	
OAuth クライアント ID	API 設定の構成 CrowdStrike 中に生成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	API 設定の構成中に生成したクライアントシークレットです CrowdStrike 。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance name>/oauth_redirect.do (インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前)

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
OAuth トークンが正常に生成されました。

CrowdStrike 統合プロファイルの作成

CrowdStrike統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますCrowdStrike。

始める前に
- プラグイン (com.sn_sam_saas_int) はソフトウェア資産管理、ServiceNow Store からインストールする必要があります。 SaaS ライセンス管理

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する CrowdStrike オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、CrowdStrikeデータ連携です。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。CrowdStrikeこのフィールドは自動的に [sn_crowdstrk_spoke] に設定されます。クラウドストライク。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [サブスクリプション] に設定され CrowdStrike ます。

3. サブスクリプション サブフローのダウンロード タブで、 サブフロー フィールドが Host Sensor 情報のダウンロード に設定され CrowdStrike ていることを確認します。
4. [保存] を選択します。
ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、CrowdStrikeサブスクリプションのダウンロードを使用して、アプリケーションからCrowdStrikeアクティブな Host Sensor 情報を表示しますCrowdStrike。
5. ページが再読み込みされたら、 [公開] を選択します。
4 週間のホスト数の平均であるデバイス CAL レコードが自動的に作成されます。CrowdStrike Falcon 保護ソフトウェアモデルが作成されます。

次のタスク
自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。統合用の CrowdStrike ソフトウェアエンタイトルメントを作成するときは、デバイス CAL ライセンス測定基準を使用する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

DocuSign との統合

インスタンスをサービスとDocuSignデータ連携ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

DocuSign 販売パートナーを通じて行われた購入は、標準の請求システムには DocuSign 反映されません。そのため、で使用可能な ServiceNowエンベロープ消費の API を介して値が返されることはありません。

> **注:**
> DocuSign は Users API から **lastLogin** フィールドを削除しました。そのため、ユーザーの最後のアクティビティは、この統合の一部として追跡されません。

サービスについて DocuSign 詳しくは、 DocuSign開発者サイト を参照してください。

アプリケーションの登録**DocuSign**

管理ポータルからDocuSignアプリケーションを登録DocuSignします。

始める前に
DocuSign 必要なロール：admin

手順

1. デモ (非本番) アカウントにログインします DocuSign 。
2. プロフィール写真を選択します。
3. [マイ アプリとキー] を選択します。
   - 本番環境で使用する準備ができている以前の統合の API 統合キーが既にある場合は、 ステップ 33 に進みます。
   - クライアントシークレットが保存されていない場合は、新しいシークレットを生成する必要があります。
4. 左側のペインで、 統合 > アプリとキー.
5. [**Apps and Integration Keys** (アプリと統合キー)] セクションで、[**ADD APP AND INTEGRATION KEY** (アプリと統合キーの追加)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [統合キーの追加 (Add Integration Key)] フォームで、[アプリ名 **(App Name**)] フィールドに名前を入力し、[アプリを作成 **(CREATE APPP)**] を選択します。
7. [追加設定] セクションの [リダイレクト **URI]** フィールドで **[URI** の追加] を選択します。
8. https://oauth.pstmn.io/v1/browser-callback を追加します。
9. もう一度 **[URI** の追加] を選択し、https:// *ServiceNow instance.service-now.com/ oauth_redirect.do* を追加します。
10. **[ADD SECRET KEY]** を選択します。
後で Postman アプリで使用したり、インスタンスで ServiceNow 統合キー (クライアント ID) を使用したりするために、統合キー (クライアント ID) を安全な場所に保存します。
11. [保存] を選択します。
12. 最新バージョンのPostmanアプリ をダウンロードし、ログインをスキップします。
13. 選択 新しいコレクション をクリックし、コレクションに名前を付けます。
14. [認証] タブを選択します。
15. [タイプ] リストメニューから **[OAuth 2.0]** を選択します。
16. 名前を入力し、[構成オプション] タブのフィールドに入力してトークンを作成します。

フィールド	値
コールバック URL	https://oauth.pstmn.io/v1/browser-callback
認証 URL	https://account-d.docusign.com/oauth/auth
アクセストークン URL	https://account-d.docusign.com/oauth/token
クライアント ID	ステップ 10 で作成したデモ口座の統合DocuSignキー。
クライアントシークレット	デモ口座の DocuSign 秘密鍵 ステップ 10.

17. [新しいアクセス トークンの取得] を選択します。
にリダイレクト DocuSignされます。
18. [承認] を選択します。
19. アクセストークンが収集され、認証が完了したら、後で使用するためにアクセストークンをコピーします。
20. [新しい要求] を選択して、アカウント ID の GET 要求を作成します。
21. [GET] フィールドに https://account-d.docusign.com/oauth/userinfo として URL を入力します。
22. [ヘッダー] タブで、[キー] の [承認] を選択し、[値] に「ベアラー *<*認証時にコピーしたアクセス トークン> を入力します。
23. [送信] を選択し、要求が完了したことを確認します。
アカウント ID は応答本文に表示されます。
24. GET 要求を複製します。
[ヘッダー] の認証キーと値をコピーします。
25. [GET] フィールドの URL を https://demo.docusign.net/restapi/v2/accounts/<account-id>/users として更新します。
ここで、 *account-id* は前の要求から保存した ID です。
26. [送信 を 20 回] を選択して、20 回の API 呼び出しを行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

管理ポータルから DocuSign アプリケーションを登録するには、少なくとも 20 回の API 呼び出しを呼び出す必要があります。

27. 管理ポータルの [アプリと統合キー **(Apps and Integration Keys**DocuSign)] に移動します。
28. 選択 アクション > **API** ダッシュボードを表示 アプリケーションの横にあります。
29. 20 件の API 呼び出しがすべて登録されるまで数分待ち DocuSign ます。
30. 移動先 統合 > アプリとキー をクリックし、[レビューのため送信] を選択します。
    5～20分後、アプリケーションのレビューが完了します。アプリケーションを本番アカウントに昇格させることができます。
31. 選択 アクション > **Start-Go-Live**レビュー をクリックして、アプリケーションを本番アカウントに昇格させます。
32. 統合キーを管理する対象となる本番アカウントを選択します。
33. 本番コンテンツアカウントにログインします DocuSign 。
34. プロフィール写真を選択します。
35. [管理に移動] を選択します。
36. 左側のペインで、 統合 > アプリとキー.
    インスタンスの統合プロファイル ServiceNow に使用する API アカウント ID を見つけます。
37. アプリケーションの横にある アクション > 編集.
38. **[URI** を追加] を選択し、https:// *`ServiceNow instance.service-now.com/oauth_redirect.do`* を追加します。
39. **[ADD SECRET KEY]** を選択します。
    本番アカウントの秘密キー (クライアントシークレット) を安全な場所に保存して、インスタンスで ServiceNow 使用します。
40. **[Save** (保存)] を選択します。

DocuSign 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、サービスのライセンスを最適化します DocuSign 。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはDocuSign、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する DocuSign オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前例: DocuSign 統合
クライアント ID	管理者アカウントでSaaSステップ 10 で作成した OAuth アプリケーションのクライアント ID。
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。
テクニカルアカウント ID	本番稼働用アカウントの API アカウント ID DocuSign 。
インスタンス URL	本番環境アカウントへのアクセス DocuSign に使用されるログインページの URL。このフィールドは自動的に **[https://account.docusign.com]** に設定されます。
クライアントシークレット	ステップ 39 で作成したクライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に **[DocuSign** サブスクリプション] に設定されます。

3. [送信] をクリックします。
4. 統合プロファイルで [**OAuth** トークンの取得] を選択し、手順に従って OAuth トークンを取得します。

タスクの結果

現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Dropbox との統合

インスタンスをサービスとDropboxデータ連携ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

サービス Dropbox の詳細については、 Dropbox Business ユーザーおよび管理者向けガイド をご覧ください。

Dropboxユーザーサブスクリプションのアプリケーションを作成する

管理ポータルを使用して Dropbox 、DBX プラットフォームでユーザーサブスクリプション用のアプリケーションを作成します。

始める前に
Dropbox 必要なロール：admin

手順

1. [Dropbox デベロッパー アプリ]に移動し、アカウントにログインします。
2. [マイ アプリ] ページで、 [アプリの作成] を選択します。
3. スコープ付きアクセス API を選択します。
4. フル **Dropbox** へのアクセスの種類を指定します。
5. アプリケーションの名前を入力し、 [アプリの作成] を選択します。
6. [権限] タブを選択します。
7. 次の権限のチェックボックスをオンにします。
   - team_info.read
   - members.write
   - members.delete
   - groups.read
   - events.read
   - team_data.メンバー
8. [送信] を選択して変更を保存します。
9. [設定] タブに移動します。
10. アプリキーとアプリシークレットを取得します。
    次の手順で、これらの値をコピーしてインスタンスの ServiceNow [クライアント ID] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドに貼り付ける必要があります。

    注:
    アプリキー (クライアント ID) とアプリシークレット (クライアントシークレット) は機密です。それらを共有しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. リダイレクト URI として「https:// *instance.service-now.com/oauth_redirect.do*」と入力します。*instance* はインスタンスの名前ServiceNowです。
12. [ブランディング] タブをクリックし、[変更を保存] をクリックします。

Dropbox再利用のためのアプリケーションの作成

管理ポータルから Dropbox 再利用するために、DBX プラットフォーム上に別のアプリケーションを作成します。

始める前に
Dropbox 必要なロール：admin

手順

1. [新しいアプリを作成 **(Create a new app)]** をクリックします。
2. **[API** に **Dropbox Business**] を選択します。
3. [チームメンバー管理] を選択します。
4. アプリケーションの名前を入力し、「 送信」をクリックします。
5. アプリキーとアプリシークレットを取得します。
   次の手順で、これらの値をコピーして、インスタンスの ServiceNow [クライアント ID] フィールドと [クライアントシークレット再利用資格情報] フィールドに貼り付ける必要があります。
6. リダイレクト URI として「https:// *instance.service-now.com/oauth_redirect.do* を入力します。
7. [ブランディング] タブをクリックし、[変更を保存] をクリックします。

Dropbox 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、サービスのライセンスを最適化します Dropbox 。

始める前に
統合プロファイルを作成するにはDropbox、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Dropbox オプションは無効です。

手順

1. [チームメンバーファイルアクセス] に設定された権限を持つアプリケーションからの情報を使用して、インスタンスに戻りServiceNow、統合プロファイルを作成します。
2. 統合プロファイルに移動します。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前例: DropBox 統合
クライアント ID	管理者アカウントで SaaS 作成された OAuth アプリケーションのクライアント ID。
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	クライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に「 **DropBox** サブスクリプション」に設定されます。
ユーザーアクティビティの分析元	[ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。 **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。 この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

4. [再利用資格情報 (Reclamation Credentials)] セクションで、権限が [チームメンバー管理 **(Team member management)**] に設定されたアプリケーションからの情報を使用して、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
クライアント ID	SaaS 管理者アカウントで作成された OAuth アプリケーションのクライアント ID。
クライアントシークレット	クライアント ID に関連付けられたパスワード。

5. [送信] を選択します。
6. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] を選択します。
7. アプリケーションに既にログインしている場合は、[許可] Dropbox を選択します。
8. オプション: アプリケーションにログインし Dropbox ていない場合は、管理者資格情報を使用してログインし、次の手順に進みます。
9. [再利用用の **OAuth** トークンを取得] 関連リンクをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

10. ポップアップウィンドウで、[許可]を選択します。

> **注:**
> ユーザーサブスクリプションが再利用されると、再利用されたアカウントのファイルが、この手順で選択した管理者アカウントに転送されます。このアカウントは、統合の設定に使用したものとは異なる管理者アカウントにすることができます。新しい管理者へのファイルの転送を開始する必要がある場合は、いつでも [**OAuth** トークンを取得] および [再利用のために **OAuth** トークンを取得] 関連リンクを再度クリックして、別の管理者アカウントを選択できます。新しい管理者を選択した後、古い管理者アカウントを再利用して、以前に再利用したすべてのユーザー ファイルを含むすべてのファイルを新しい管理者に転送できます。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Google Workspace との統合

インスタンスをサービスとGoogle Workspaceデータ連携ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

サービスの詳細については Google Workspace 、以下を参照してください。 Google Workspace 管理者ヘルプ .

Google Workspace プロジェクトの作成

API Console で Google 新しいプロジェクトを作成します。

始める前に
Google Workspace 必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. Google API Console にログインします。
2. クリック プロジェクトを選択してください > 新規プロジェクト.
3. [プロジェクト名] にプロジェクトの名前を入力し、[組織] と [場所] を選択します。
4. [作成] をクリックします。
5. 左側のナビゲーションメニューで [OAuth 同意画面 (OAuth consent screen)] をクリックします。
6. 「ユーザー・タイプ」に「内部」を選択し、「作成」をクリックします。
7. 「アプリ名」を入力し、 [アプリ情報] セクションで [ユーザー サポート メール] を選択します。
8. [許可済みドメイン] で、[ドメインの追加] ボタンをクリックして service-now.com を追加します。
9. [開発者の連絡先情報] セクションにメールアドレスを入力します。
10. [**Save and Continue** (保存して続行)] をクリックしてスコープを追加します。
11. 「スコープ」ページで、「 スコープの追加または削除 」ボタンをクリックします。
12. [スコープを手動で追加] セクションで、次のスコープをテキストエリアに貼り付けて入力します。
    - https://www.googleapis.com/auth/apps.licensing
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user.readonly
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.domain.readonly
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.datatransfer
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.datatransfer.readonly
    - https://www.googleapis.com/auth/admin.reports.usage.readonly
    - https://www.googleapis.com/auth/userinfo.profile
    - https://www.googleapis.com/auth/userinfo.email
13. **[ADD TO TABLE]** をクリックし、**[Update**] をクリックします。
14. 「 保存して続行」をクリックします。
15. 左側のナビゲーション メニューで [資格情報] をクリックし 、[資格情報の作成] をクリックします。
16. **OAuth** クライアント **ID** を選択します。
17. フォームに次のように入力し、[**Create**] をクリックします。

フィールド	値
アプリケーションタイプ **注:** このフィールドの値を選択すると、残りのフィールドが表示されます。	Web アプリケーション
名前	任意の名前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
承認された JavaScript オリジン	https:// *instance.service-now.com*、 *instance* はインスタンスの名前 ServiceNow です
許可されたリダイレクト URI	https:// *instance.service-now.com/oauth_redirect.do*、 *instance* はインスタンスの名前 ServiceNow です

18. **[OK]** をクリックします。
これで、インスタンスで使用する ServiceNow クライアント ID とクライアントシークレットを表示できます。

> **注:**
> クライアント ID とクライアントシークレットは機密です。それらを共有しないでください。

19. 左側のナビゲーション メニューで [ライブラリ] をクリックします。
次の API を検索して有効にします。
    - エンタープライズ ライセンス マネージャー API
    - 管理者 SDK
    - Google ピープル API

Google Workspace 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、サービスのライセンスを最適化します Google Workspace 。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはGoogle Workspace、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Google Workspace オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前例: *Google Workspace* 統合
クライアント ID	管理者アカウントで SaaS 作成された OAuth アプリケーションのクライアント ID。
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。
	クライアント ID に関連付けられたパスワード。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
クライアントシークレット	
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に *Google Workspace* [サブスクリプション] に設定されます。

3. [送信] をクリックします。
4. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] を選択します。
5. ポップアップウィンドウで、管理者アカウントを選択し Google 、[許可]をクリックします。

> **注:**
> ユーザーサブスクリプションが再利用されると、再利用されたアカウントのファイルが、この手順で選択した管理者アカウントに転送されます。このアカウントは、統合の設定に使用したものとは異なる管理者アカウントにすることができます。新しい管理者へのファイルの転送を開始する必要がある場合は、いつでも **[OAuth** トークンを取得] 関連リンクを再度クリックして、別の管理者アカウントを選択できます。新しい管理者を選択した後、古い管理者アカウントを再利用して、以前に再利用したすべてのユーザー ファイルを含むすべてのファイルを新しい管理者に転送できます。

タスクの結果

現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

GitHub との統合

インスタンスを ServiceNow リポジトリホスティングサービスと GitHub 統合して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

この統合により、Enterprise Cloud アプリケーションと GitHub Enterprise Server アプリケーションの両方のGitHubライセンス情報を取得して分析できます。

- Enterprise Cloud と GitHub の統合
- Enterprise Server と GitHub の統合

Enterprise Cloud と GitHub の統合

インスタンスを ServiceNow Enterprise Cloud アプリケーションと統合して、 GitHub ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

Enterprise Cloud の API アクセストークンを生成するGitHub

Enterprise Cloud API へのアクセス GitHub に使用できるトークンを生成します。

始める前に
GitHub 必要なロール:組織の所有者

認証に使用するユーザ アカウントは、所属する Organization 内のすべてのリポジトリを読み取ることができる必要があります。

このタスクについて
GitHubリポジトリ ホスティング サービスは、個人用アクセス トークンを使用して、ユーザーに API へのアクセスを許可しますGitHub。個人用アクセストークンは、API 要求を承認することで OAuth アクセストークンと同様に機能します。Enterprise Cloud APIリクエストを認可 GitHub するための個人アクセストークンを生成することで、Enterprise Cloud APIにアクセスできる GitHub ようになります。

手順

1. Web ブラウザーから GitHub を開きます。
2. アカウントにサインインします GitHub 。
3. GitHubページヘッダーで、プロフィール写真をクリックし、[設定]を選択します。
   プロファイル設定が開きます。
4. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[開発者設定] を選択します。
   開発者設定が開きます。
5. 左側のナビゲーション ウィンドウで、 [個人用アクセス トークン] を選択します。
6. [トークン (クラシック)] を選択します。
7. [個人用アクセス トークン] ページで、[新しいトークンの生成] をクリックします。
8. [新しいトークンの生成 (クラシック)] を選択します。
9. 続行する前にパスワードの確認を求められたら、パスワードを入力し GitHub 、[パスワードの確認]をクリックします。
10. [新しい個人アクセストークン] フォームの [メモ] フィールドにトークンの目的を記述します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. トークンに有効期限を付けるには、[有効期限] ドロップダウン メニューを選択し、既定値を選択するか、カレンダー ピッカーを使用します。
12. [スコープを選択] フォームセクションで、repo および admin:org OAuth スコープを有効にします。
    OAuth スコープは、保護されたリソースに対するアプリケーションのアクセスレベルを制限します。リポジトリの OAuth スコープを使用すると、プライベートリポジトリを完全に制御できます。admin:org OAuth スコープを使用すると、すべてのチーム、プロジェクト、メンバーシップを含む組織全体を管理できます。OAuthスコープの詳細GitHubは、OAuthアプリのスコープ を参照してください。

    a. [リポジトリ] チェックボックスをオンにして、リポジトリの OAuth スコープを有効にします。
    この OAuth スコープを有効にする
    と、repo:status、repo_deployment、public_repo、repo:invite、および security_events OAuth スコープが自動的に有効になります。

    b. **[admin:org]** チェックボックスをオンにして、admin:org OAuth スコープを有効にします。
    この OAuth スコープを有効にすると、write:org と read:org の両方の OAuth スコープが自動的に有効になります。

13. [トークンの生成] をクリックします。
    個人アクセストークンが生成されます。
14. アクセストークンをコピーし、後で使用できるように安全な場所に保存します。
15. トークンを使用して、SAML シングルサインオンを使用する組織が所有するリソースにアクセスするには、トークンを承認します。
    詳細については、「 SAML シングル サインオンで使用する個人用アクセス トークンの承認 」を参照してください。

GitHub Enterprise Cloud 接続を作成する

Enterprise Cloud アプリケーションとServiceNowインスタンス間のGitHub接続を作成します。

始める前に
インスタンスと GitHub Enterprise Cloud アプリケーション間のServiceNow通信に を使用する場合はMID サーバー、まずインスタンスで を設定するMID サーバー必要があります。詳細な手順については、「 MID Server 」を参照してください。

ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer**.
   Flow Designer が新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. GitHub接続の [詳細を表示] をクリックします。
4. 利用可能な接続のリストからGitHubを見つけて、[構成] をクリックします。
   [接続の設定] ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	GitHub接続の名前です。
接続URL	API エンドポイントの GitHub URL。https://api.github.com を入力します。
MIDサーバーの使用	インスタンスが ServiceNow Enterprise Cloud アプリケーションとのGitHub通信に使用MID サーバーできるようにするオプション。インスタンスで必要な MID サーバー場合は、このフィールドを true に設定します。インスタンスに MID サーバーが必要ない場合は、このフィールドを空のままにします。 **重要:** このオプションを有効にするには、インスタンスに既に MID サーバー セットアップが必要です。詳細な手順については、「 MID Server 」を参照してください。
APIキー	Enterprise Cloud API へのアクセスを可能にする個人アクセストークン。GitHub ○ GitHubインストールされているスポークバージョンが 2.2.5 以降の場合は、「<api-key>」と入力します。 ○ インストールされているスポークのバージョンが GitHub 2.2.5 より前の場合は、「Bearer <api-key>」と入力します。 *<api-key>* は、で生成した個人用アクセストークンです。Enterprise Cloud の API アクセストークンを生成するGitHub

6. [接続を設定] をクリックします。

GitHub Enterprise Cloud 統合プロファイルを作成する

GitHub Enterprise Cloud 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Enterprise Cloud アプリケーションのライセンスを最適化しますGitHub。

始める前に
Enterprise Cloud 統合プロファイルを作成するにはGitHub、ServiceNow Store からプラグイン SaaS ライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でクラウド統合プロファイルを作成する GitHub オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、GitHub クラウド統合です。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。GitHubこのフィールドは自動的に [sn_github_spoke] に設定されます。GitHubです。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [github_cloud_subscription] に設定されます。

3. [**Download Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが **[GitHub Cloud Download Subscriptions**] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティ サブフローの計算] タブで、 [サブフロー] フィールドが **[GitHub Cloud Update** ユーザー アクティビティ] に設定されていることを確認します。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   ヒント:
   このサブフローのパフォーマンスの問題を回避するには、[ServiceNowユーザーアクティビティの分析元] フィールドを現在の日付の最大 7 日前に設定することをお勧めします。

5. [サブスクリプションの再利用サブフロー] タブで、 [サブフロー] フィールドが **[GitHub Cloud Reclaim Subscription**] に設定されていることを確認します。
6. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイル GitHub は、クラウドダウンロードサブスクリプション、クラウド更新ユーザーアクティビティ、GitHub および GitHub クラウド再利用サブスクリプションサブフローを使用して、Enterprise Cloud アプリケーションから GitHub ユーザーデータを取得します。
7. フォームを再ロードしたら、[公開] をクリックします。
   [公開の確認] ダイアログボックスが開きます。
8. ダイアログボックスで、「 OK」をクリックします。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Enterprise Server と **GitHub** の統合

インスタンスを GitHub Enterprise Server アプリケーションと統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

Enterprise Server の **API** アクセストークンを生成する**GitHub**

Enterprise Server API へのアクセス GitHub に使用できるトークンを生成します。

始める前に

GitHub 必要なロール:サイト管理者

このタスクについて

GitHubリポジトリ ホスティング サービスは、個人用アクセス トークンを使用して、ユーザーに API へのアクセスを許可しますGitHub。個人用アクセストークンは、API 要求を承認することで OAuth アクセストークンと同様に機能します。Enterprise Server API 要求を承認する GitHub 個人用アクセストークンを生成することで、Enterprise Server API にアクセスできます GitHub 。

手順

1. Web ブラウザから Enterprise Server インスタンスを開きます GitHub 。
2. アカウントにサインインします GitHub 。
3. GitHubページヘッダーで、プロフィール写真をクリックし、[設定]を選択します。
   プロファイル設定が開きます。
4. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[開発者設定] を選択します。
   開発者設定が開きます。
5. 左側のナビゲーション ウィンドウで、 [個人用アクセス トークン] を選択します。
6. [個人用アクセス トークン] ページで、[新しいトークンの生成] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. 続行する前にパスワードの確認を求められたら、パスワードを入力し GitHub 、[パスワードの確認]をクリックします。
8. [新しい個人アクセストークン] フォームの [メモ] フィールドにトークンの目的を記述します。
9. [スコープを選択] フォームセクションで、[**site_admin**] チェックボックスをオンにして site_admin OAuth スコープを有効にします。
   OAuth スコープは、保護されたリソースに対するアプリケーションのアクセスレベルを制限します。site_admin OAuth スコープを使用すると、エンタープライズユーザー、組織、およびリポジトリを管理できます。
10. [トークンの生成] をクリックします。
    個人アクセストークンが生成されます。
11. アクセストークンをコピーし、後で使用できるように安全な場所に保存します。

GitHub Enterprise Server 接続を作成する

Enterprise Server アプリケーションとServiceNowインスタンス間のGitHub接続を作成します。

始める前に
インスタンスと GitHub Enterprise Server アプリケーション間のServiceNow通信に を使用する場合はMID サーバー、まずインスタンスで をMID サーバーセットアップする必要があります。詳細な手順については、「 MID Server 」を参照してください。

ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer**.
   Flow Designer が新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. サーバー接続の GitHub [詳細の表示] をクリックします。
4. 使用可能な接続の一覧から [サーバー] を見つけ GitHub 、[構成] をクリックします。
   [接続の設定] ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	GitHubサーバー接続の名前。
接続URL	GitHubインスタンスの URL です。
MIDサーバーの使用	インスタンスが ServiceNow Enterprise Server アプリケーションとのGitHub通信に を使用MID サーバーできるようにするオプション。インスタンスで必要な MID サーバー場合は、このフィールドを true に設定します。インスタンスに MID サーバーが必要ない場合は、このフィールドを空のままにします。 **重要:** このオプションを有効にするには、インスタンスに既に MID サーバー セットアップが必要です。詳細な手順については、「 MID Server 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
API キー	Enterprise Server API へのアクセス GitHub を可能にする個人用アクセストークン。「`<api-key>`」と入力します。ここで<*api-key*>は、でEnterprise Server の API アクセストークンを生成するGitHub生成した個人用アクセストークンです。

6. [接続を設定] をクリックします。

GitHub Enterprise Server 統合プロファイルの作成

GitHub Enterprise Server 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Enterprise Server アプリケーションのライセンスを最適化しますGitHub。

始める前に
Enterprise Server 統合プロファイルを作成するにはGitHub、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でサーバー統合プロファイルを作成する GitHub オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、GitHub サーバー統合です。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。GitHubこのフィールドは自動的に [sn_github_spoke] に設定されます。GitHub_Server。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [github_server_subscription] に設定されます。

3. [**Download Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが **[GitHub Server Download Subscriptions]** に設定されていることを確認します。

現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [サブスクリプションの再利用サブフロー] タブで、 [サブフロー] フィールドが **[GitHub Server Reclaim Subscription]** に設定されていることを確認します。
5. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、 GitHub サーバーダウンロードサブスクリプションと GitHub サーバー再利用サブスクリプションサブフローを使用して、Enterprise Server アプリケーションから GitHub データを取得します。
6. フォームを再ロードしたら、[公開] をクリックします。
   [公開の確認] ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、「 OK」をクリックします。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

GoTo との統合

インスタンスをアプリケーションとGoTo統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

この統合により、次の GoTo アプリケーションのライセンス情報を取得して分析できます。

- GoToMeeting (ユーザーサブスクリプション、ユーザーアクティビティ、および再利用候補)
- GoToWebinar (ユーザーサブスクリプション、ユーザーアクティビティ、および再利用候補)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- GoToConnect (ユーザーサブスクリプション、ユーザーアクティビティ、および再利用候補)
- GoTo トレーニング (ユーザーサブスクリプションのみ)
- GoTo Assist (ユーザーサブスクリプションのみ)
- OpenVoice (ユーザーサブスクリプションのみ)

この情報を使用して、ライセンスポジションを管理および最適化します GoTo 。

GoToOAuth クライアントを作成

GoToAPI 要求を認証するための OAuth クライアントを作成します。

始める前に
GoTo 必要なロール:LogMeIn 開発者アカウントと管理者アカウントを持つユーザー

手順

1. Web ブラウザから、[GoTo 開発者センター] を開きます。
2. LogMeIn 開発者アカウントを使用してサインインします。
   LogMeIn 開発者アカウントをまだ設定していない場合は、詳細な手順について「ログインする方法または開発者アカウントを作成する方法」を参照してください。
3. LogMeIn 開発者のホームページから、**[OAuth** クライアント] タブを選択します。
4. [クライアント **ID** を作成] をクリックします。
5. [クライアントの作成] フォームの [詳細] タブで、クライアントの詳細を入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
クライアント名	OAuth クライアントの名前です。
説明	OAuth クライアントのオプションの説明です。
リダイレクト URL	GoToアプリケーションを統合するServiceNowインスタンスのリダイレクト URL です。https://<*instance-url*>/oauth_redirect.do と入力します。<*instance-url*> はServiceNowインスタンスの URL です。

6. [次へ **(Next)]** をクリックします。
7. [スコープ] タブで、OAuth クライアントがGoToユーザーとアプリケーションに対して持つアクセス権のレベルを指定します。

[スコープ] タブ

フィールド	説明
プロフィール	認証されたユーザーのユーザー情報を取得および変更するための OAuth スコープです。[ユーザー情報を取得] スコープは自動的に有効になります。[ユーザーの詳細を変更] スコープを有効にするには、チェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
GoToMeeting、GoToWebinar、または GoToTraining	、GoToWebinarおよび GoToTraining アプリケーションのセッションGoToMeetingを作成、開始、および変更するための OAuth スコープです。このスコープを有効にするには、チェックボックスをオンにします。 **注:** この SaaS ライセンス管理 GoTo 統合は、GoToTraining アプリケーションのライセンス管理をサポートしていません。
GoToAssistリモートサポートまたはサービスデスク	GoToAssist Remote Support および Service Desk アプリケーションのセッションを作成、開始、および変更するための OAuth スコープ。このチェック ボックスをオフのままにします。 **注:** この SaaS ライセンス管理 GoTo 統合は、GoToAssist アプリケーションのライセンス管理をサポートしていません。
SCIM	クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用してユーザー管理を自動化するための OAuth スコープです。このチェック ボックスをオフのままにします。
Admin Center	GoTo Admin Center で LogMeIn ユーザーを管理するための OAuth スコープです。このスコープを有効にするには、チェックボックスをオンにします。
GoToConnect	を使用して電話やその他の電話サービスを開始するための OAuth スコープです。GoToConnectライセンスが有効になっている場合は GoToConnect 、次のチェックボックスをオンにします。 ○ PBX の電話回線の通話履歴にアクセスする [cr.v1.read] ○ 電話回線の情報を取得する [users.v1.lines.read]

8. [保存] をクリックします。
9. [資格情報] タブで、[クライアント **ID]** と [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
10. チェックボックスをオンにして、クライアントシークレットが保存されていることを確認します。
11. [完了] をクリックします。

GoTo接続を作成

GoToアプリケーションとServiceNowインスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer**.
   Flow Designer が新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. GoTo接続の [詳細を表示] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. 利用可能な接続のリストからGoToを見つけて、[構成] をクリックします。
[接続の設定] ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	GoTo接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
名前	GoTo資格情報の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
OAuth クライアント ID	GoToOAuth クライアントに割り当てられているクライアント ID です。
OAuth クライアントシークレット	GoToOAuth クライアントに割り当てられているクライアントシークレットです。
OAuth リダイレクト URL	GoToアプリケーションを統合するServiceNowインスタンスのリダイレクト URL です。このフィールドは、自動的に入力されます。

6. **[OAuth** トークンを設定して取得] をクリックします。
[アプリを認証] ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、[許可] をクリックします。
OAuth アクセストークンは、GoTo 接続を許可するために使用できるようになります。
8. ライセンスが有効になっている場合は GoToConnect 、[接続] タブに移動します。
9. GoToConnectの接続を見つけて、[詳細を表示] をクリックします。
10. [**OAuth** トークンの取得] をクリックして、 の GoToConnectトークンを生成します。

GoTo 統合プロファイルの作成

GoTo統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますGoTo。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはGoTo、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する GoTo オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームで次のフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、 GoTo Integration などです。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。GoToこのフィールドは自動的に [sn_goto_spoke] に設定されます。移動先。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [サブスクリプションに移動] に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションのダウンロードに移動] に設定されていることを確認します。

   注:
   このサブフローは、サポートされている GoTo すべてのアプリケーションに使用されます。

4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが [ユーザーアクティビティの更新に移動] に設定されていることを確認します。

   このサブフローは、および GoToWebinar アプリケーションにのみGoToMeeting使用されます。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [サブスクリプションの再利用サブフロー] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションの再利用に移動] に設定されていることを確認します。

   注:
   このサブフローは、および GoToWebinar アプリケーションにのみGoToMeeting使用されます。

6. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイル GoTo は、[サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新]、 GoTo および GoTo [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから GoTo ユーザーデータを取得します。

7. フォームを再ロードしたら、[公開] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[公開の確認] ダイアログボックスが開きます。

8. ダイアログボックスで、「 OK」をクリックします。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Software Cloud と Jira の統合

インスタンスを ServiceNow Software Cloud と Atlassian Jira 統合して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

- インストールされているJiraスポークバージョンが 4.1.0 以降の場合は、次のいずれかの方法を使用してインスタンスとServiceNow統合Jiraできます。
  - 基本認証の使用
  - OAuth 認証の使用
- インストールされているJiraスポークバージョンが 4.1.0 より前の場合は、方法でインスタンス基本認証の使用と統合JiraしますServiceNow。

注:
現在、この統合は、プロファイルごとに 1 つのサイト統合のみをサポートしています。

基本認証の使用

API キーを使用してServiceNowインスタンスとJiraをデータ連携し、ServiceNow要求を認証します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow インスタンスを複数の Jira インスタンスと統合できます。この統合に対して、接続および資格情報エイリアスレコードを作成し、Jira インスタンスごとに接続レコードを作成します。

アカウント **API** トークンの作成**Jira**

要求を認証するための API トークンを作成します Jira 。

始める前に

Jira 必要なロール：admin

手順

1. [Atlassian API Tokens] に移動します。
2. [**Create API token**] をクリックします。
3. APIトークンの名前を入力し、[作成]をクリックします。
4. API トークンをコピーして保存します。
   トークンは後で使用します。

接続および資格情報レコードの構成

デフォルトの接続および資格情報エイリアスレコードを構成し、ServiceNow からの要求を認証します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 接続 **&** 資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. スポークに付属しているエイリアスレコード Jira を開きます。
3. [新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	説明
接続 URL	インスタンスの Jira URL (https://<provider-domain-name>.atlassian.net 形式)。
ユーザー名	ユーザーのメールアドレスを入力します。
API キー	に対して Jira生成した API トークンを入力します。

5. [作成] をクリックします。

OAuth 認証の使用

OAuth を使用して ServiceNow インスタンスと Jira アカウントをデータ連携し、ServiceNow 要求を認証します。

Jira アカウントでの **OAuth 2.0** 統合の作成

開発者コンソールで Atlassian OAuth 2.0 統合を作成して、要求を認証します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. Atlassian Developer Console にログインします。
2. [自分のアプリ] で [作成] をクリックし、**[OAuth 2.0** 統合 **(OAuth 2.0 integration)]** を選択します。
3. フォームで、統合の名前を入力し、[作成] をクリックします。

   統合が作成され、アプリ ID の値が表示されます。
4. [認証] をクリックします。

   a. [アクション] の下にある [追加] をクリックします。

   b. [コールバック **URL**] で、ServiceNow インスタンスの URL を https://<ServiceNow-Instance-Name>.service-now.com/oauth_redirect.do の形式で入力します。
   たとえば、 https://example.service-now.com/oauth_redirect.do。

   c. [変更内容の保存] をクリックします。
5. [設定] をクリックします。
6. [認証の詳細] で、[クライアント ID] と [クライアントシークレット] の値をコピーします。
7. [権限] をクリックします。

   a. [詳細なスコープ] で、次のスコープを選択します。
   - read:application-role:jira
   - read:group:jira
   - read:user:jira
   - read:avatar:jira
   - read:audit-log:jira
   - read:issue-details:jira
   - read:field-configuration:jira
   - read:issue-meta:jira
   - write:group:jira

   要件に応じて他のスコープを構成できます。

クラウド **ID** の値の取得

Jira クラウドインスタンスのクラウド ID の値を取得します。この値は、ServiceNow インスタンスの接続レコードを構成するときに必要です。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Atlassian Administration にログインします。
2. 必要な組織で [選択] をクリックします。
3. Jiraソフトウェア製品から、「製品アクセスの管理」をクリックします。

   新しいウィンドウでは、URL の形式は https://admin.atlassian.com/s/<Cloud-ID>/apps です。

4. 後で使用するためにクラウド ID の値をコピーします。

ServiceNow インスタンスでのアプリケーションレジストリの作成

OAuth 2.0 統合の作成中に生成された情報を使用して、インスタンスに ServiceNow アプリケーションレジストリレコードを作成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
   「 OAuth アプリケーションの種類は?」というメッセージが表示されます。
3. [サードパーティ **OAuth** プロバイダーに接続します] を選択します。
4. フォームに、これらの値を入力します。

アプリケーションレジストリ

フィールド	説明
名前	アプリケーションレジストリレコードを識別する名前です。
クライアント ID	開発者コンソールで Atlassian OAuth 2.0 統合が作成されたときに生成されたクライアント ID。
クライアントシークレット	開発者コンソールで Atlassian OAuth 2.0 統合が作成されたときに生成されたクライアントシークレットです。
デフォルトの権限許可タイプ	トークンを確立するために使用される権限許可のタイプ。[認証コード] を選択します。
認証 URL	OAuth 認証コードのエンドポイントです。https://auth.atlassian.com/authorize を入力します。
トークン URL	OAuth サーバートークンエンドポイントです。https://auth.atlassian.com/oauth/token を入力します。
リダイレクト URL	OAuth コールバックエンドポイント。アプリケーションレジストリの保存中に URL が生成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リフレッシュトークン URL	トークンを更新する URL です。https://auth.atlassian.com/oauth/token を入力します。 **注:** このフィールドはフォーマットのレイアウトで非表示になります。フォームレイアウトを設定してこのフィールドを表示します。

5. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
[OAuth エンティティプロファイル] タブで、デフォルトの OAuth エンティティプロファイルレコードを作成します。
6. [OAuth エンティティスコープ] で、次のエンティティスコープレコードを作成します。

名前	**OAuth** スコープ
read:application-role:jira	read:application-role:jira
read:group:jira	read:group:jira
read:user:jira	read:user:jira
read:avatar:jira	read:avatar:jira
read:audit-log:jira	read:audit-log:jira
read:issue-details:jira	read:issue-details:jira
read:field-configuration:jira	read:field-configuration:jira
read:issue-meta:jira	read:issue-meta:jira
write:group:jira	write:group:jira
offline_access	offline_access

タスクの結果
アプリケーションレジストリレコードがインスタンスに ServiceNow 作成されます。

の資格情報レコードの作成 **Jira**

Jiraアカウント用の資格情報レコードを作成します。Jira スポーク接続および資格情報エイリアスでは、この資格情報を使用してアクションを許可します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 接続 **&** 資格情報 > 資格情報.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
「 作成する資格情報のタイプは?」というメッセージが表示されます。
3. **[OAuth 2.0** 資格情報] を選択します。
4. フォームに、これらの値を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

OAuth 2.0 資格情報

フィールド	説明
名前	Jira スポークの資格情報レコードを識別する名前です。例：Jira OAuth 資格情報。
OAuth エンティティ プロファイル	アプリケーションレジストリレコードの構成時に作成されるデフォルトの OAuth エンティティプロファイルレコードです。

5. [送信] をクリックします。

の接続レコードの作成 **Jira**

Jiraアカウントの接続レコードを作成します。接続および資格情報エイリアスでは、この接続を使用して Jira でアクションを実行します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 接続 **&** 資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. スポークに付属しているエイリアスレコード Jira を開きます。
3. 接続 タブで、新規 を選択します。
   空の HTTP(s) 接続フォームが表示されます。
4. フォーム上で、以下のフィールドに記入します。

HTTP(S) 接続

フィールド	説明
名前	接続レコードを識別する一意の名前を入力します。たとえば、「OAuth 接続」と入力します Jira 。
認証情報	Jira 用に作成された資格情報レコードを選択します。たとえば、[OAuth 資格情報] を選択します Jira 。
接続エイリアス	[sn_jira_spoke] を検索して選択します 。Jira エイリアス。
接続 URL	インスタンスの URL を https://api.atlassian.com/ex/jira/<Cloud-ID> 形式で入力しますJira。 クラウド ID の値の取得については、次を参照してください クラウド ID の値の取得。

5. [属性] 関連リストで、次の値を入力します。
   a. **[api_version]** に値「2」を入力します。
   b. **[server_type]** に値「cloud」を入力します。
6. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 移動先 すべて > 接続 & 資格情報 > 資格情報.
8. スポーク用に作成した資格情報レコードを開きます Jira 。
   たとえば、OAuth 資格情報です Jira 。
9. [OAuth トークンの取得] 関連リンクを選択します。
   新しいウィンドウで、システムはアカウントへのアクセスを要求します Atlassian 。
10. [承認] を選択します。
    アカウントへのアクセス Atlassian が許可され、リフレッシュトークンが利用可能であることを示す確認メッセージがインスタンスに表示されます ServiceNow 。

Jira Software Cloud 統合プロファイルを作成する

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Software Cloud の Atlassian Jira ライセンスを最適化します。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはJira、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

統合プロファイルで [ユーザーアクティビティの更新] サブフローを介してJiraユーザーアクティビティを取得および更新できるようにするには、システムプロパティの [値] `com.glide.transform.json.max-partial-length` を 32768 に設定します。

Atlassian 必要なロール:site admin

ServiceNow 必要なロール:

- スポークのバージョン 5.0.1 ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 およびバージョン 3.0.4 Jira 以降では、ServiceNow`sam_integrator` と `sn_jira_spoke.jira_admin` または `admin` ロールが必要です。
- スソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理ポークのバージョン 5.0.1 より前およびバージョン 3.0.4 Jira より前のスポークでは、ServiceNow`sam_integrator` または `admin` ロールが必要です。

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Jira オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	任意の名前。たとえば、Jiraデータ連携です。
接続と資格情報	sn_jira_spoke。Jira。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	統合プロファイルのステータス。オプションは [ドラフト] と [公開済み] です。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
プロファイルタイプ	Jira サブスクリプション。このフィールドは、自動的に入力されます。

3. [アクティビティサブフローの計算] フォームセクションで、[ユーザーアクティビティの分析元] フィールドの値を選択します。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   注:
   統合プロファイルを保存すると、[ユーザーアクティビティの分析元] フィールドは読み取り専用になります。

4. [保存] をクリックします。
   ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Jira サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新]、 Jira および Jira [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、ソフトウェアアプリケーションから Jira ユーザーデータを取得します。
5. 製品にアクセスできる Jira グループを指定します。

   重要:
   この手順は、統合のバージョン 5.0.1 ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 以降およびスポークのバージョン Jira 3.0.4 以降にのみ適用されます。

   インスタンスで ServiceNow これらのグループを指定することで、これらのグループ内のユーザーのみのデータを取得し、ライセンスを管理できます。

   a. 新しいタブで、 Atlassian 管理ポータル を開きます。

   b. サイト管理者アカウントにログインします。

   c. 移動先 サイトの設定 > 製品アクセス.

   d. セクションで Jira 、ソフトウェアにアクセスできる Jira グループのリストを表示します。
   後で使用するために、この情報をメモします。

   e. インスタンスに戻り ServiceNow 、 **Jira** > **Jira** グループ.

   f. グループフォーム Jira で、[グループを追加] 関連リンクをクリックします。
   [グループの追加 Jira] ダイアログボックスが開きます。

   g. [利用可能] リストで、製品へのアクセス権 Jira を持つグループを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
[利用可能] リストには、Atlassian アカウントに関連付けられているすべてのグループが含まれます。製品にアクセスできる Jira グループのみを選択します。

h. 右矢印ボタンをクリックして、グループを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。

i. **[OK]** をクリックします。

6. 次に移動して統合プロファイルに戻ります **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル をクリックし、[統合プロファイル] リストからプロファイルを選択します。
7. [公開] をクリックします。
[公開の確認] ダイアログボックスが開きます。
8. ダイアログボックスで、「 OK」をクリックします。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Looker との統合

インスタンスLookerを Google Cloud アプリケーションと統合ServiceNowすると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

LookerAPI キー設定を構成

LookerAPI キーを管理および取得するための API キー設定を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
Looker 必要なロール：admin

手順

1. (https://<instancename>.looker.com/) インスタンスにログインしLookerます。
2. 歯車アイコンを選択して、[管理者設定 (Admin settings)] を開きます。
3. 選択 ユーザー > 管理者ユーザーアカウントを開きます.
4. [プロファイル] タブで **[API3** キーを編集 **(Edit API3 Keys)]** を選択します。
5. [新しい**API3** キー **(New API3 Key)]** を選択します。
6. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。

Looker接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Looker アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 移動先 接続と資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
3. 接続を見つけて Looker 、 [**Create New Connection & Credential]**(新しい接続と資格情報の作成) を選択します。
4. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	値
接続情報	
接続名	Looker接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に https://<instance name>.looker.com に設定されます。
認証情報	
OAuth クライアント ID	API 設定の構成 Looker 中に生成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	API 設定の構成中に生成したクライアントシークレットです Looker 。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance name>/oauth_redirect.do (インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前)

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Looker 統合プロファイルの作成

Looker統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ソリューションのライセンスを最適化しますLooker。

始める前に

- プラグイン (com.sn_sam_saas_int) はソフトウェア資産管理、ServiceNow Store からインストールする必要があります。 SaaS ライセンス管理

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Looker オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Lookerデータ連携です。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。Lookerこのフィールドは自動的に [sn_looker_spoke] に設定されます。見物人。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [サブスクリプション] に設定されLooker ます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションのダウンロード] に設定され Looker ていることを確認します。

   現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [サブスクリプションの再利用 **(Reclaim Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー **(Subflow**)] フィールドが [サブスクリプションの再利用 (Looker Reclaim Subscription)] に設定されていることを確認します。
5. [保存] を選択します。
   ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Looker サブスクリプションのダウンロード] サブフローと Looker [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから Looker ユーザーデータを取得します。
6. [保存] を選択します。
7. ページが再読み込みされたら、 [公開] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Dynamics 365 および **Power Apps** と **Microsoft** の統合

インスタンスMicrosoftを Dynamics 365 および Power Apps サービスと統合ServiceNowして、ソフトウェア サブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

この統合により、すべての Microsoft Dynamics 365 および Power Apps 製品のユーザー サブスクリプションの詳細が取得されます。さらに、 ソフトウェア資産管理 ユーザーサブスクリプションベースのモデルを使用する製品のライセンスコンプライアンスを提供します。

最適化のため、アクティビティの最終日を自動的に追跡し、 ソフトウェア資産管理 次のアプリケーションの使用率の低いアプリケーションを特定します。

- Dynamics 365 for Sales (Professional、Premium、Enterprise)
- Dynamics 365 for Customer Service (対象の Dynamics へのエンタープライズ接続)
- Dynamics 365 for Team Members

サービスの詳細については Microsoft 365 、「Microsoft 365 についてよく寄せられる質問」を参照してください。

Microsoft AzureActive Directory を設定

Microsoft AzureActive Directory (AD) を設定します。

始める前に
必要なロール：Microsoft 管理センターのグローバル管理者および Dynamics 365 管理者

手順

1. Microsoft Azureアプリ登録ページを開き、管理者アカウントを使用してログインします。
2. **[+** 新規登録] をクリックします。
   [アプリケーションの登録] ページが表示されます。
3. [名前] フィールドに、登録するアプリケーションの名前を入力します。
4. [サポートされているアカウントの種類] で、必要な組織ディレクトリーを持つアカウントを選択します。
5. [登録] をクリックします。
6. 登録したアプリケーションを開き、[概要] セクションに移動します。
7. アプリケーション (クライアント) ID とアプリケーション (テナント) ID を収集します。
8. [証明書とシークレット] セクションに移動します。
9. 新しいクライアントシークレットを作成します。
10. クライアントシークレットキーを収集します。
    ServiceNowインスタンスを構成する際には、クライアントシークレットキーが必要になります。
11. [API 権限] で、**[+** 権限を追加] をクリックし、組織が使用する API を選択します。
12. [Microsoft Graph] を選択し、次の [委任されたアクセス許可] を追加します。
    - `Organization.Read.All`
    - `User.Read.All`
    - `Offline_access`
13. [Dynamics CRM] を選択し、次のアクセス許可を追加します。
    `user_impersonation`
14. [同意を付与]で、[管理者の同意を付与する] をクリックします。
15. [認証] セクションの [リダイレクト URI] で、ServiceNowインスタンスのリダイレクト URI を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Dynamics 365 と Power Apps の設定Microsoft

Dynamics 365 と Power Apps の Microsoft システム レベルの設定を行います。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 「https://admin.powerplatform.microsoft.com/」に進みます。
2. [環境] で、Dynamics アクティビティを引き出す環境を選択します。
3. 上部のリボンから、[設定] をクリックします。
4. [監査とログ] をクリックします。
5. 次のすべてのチェックボックスをオンにします。
   - 監査を開始
   - ログアクセス
   - ログを読み取る
6. [追加の監査設定] をクリックします。
7. [設定] リストから、[監査] を選択し、[グローバル監査設定] をクリックします。
8. 次のチェックボックスをオンにします。
   - 監査を開始
   - ユーザーアクセスを監査
   - 監査の読み込みを開始
   - 共通エンティティ
   - 営業エンティティ
   - カスタマーサービスエンティティ
9. **[OK]** をクリックします。

Dynamics 365 と Power Apps のMicrosoftインスタンスの設定ServiceNow

Dynamics 365 と Power Apps のMicrosoftインスタンスを設定しServiceNowて、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用します。

始める前に
必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で Dynamics 365 と Power Apps の統合プロファイルを作成する Microsoft オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. [表示名] フィールドに、任意の名前を入力します。
3. [ユーザーアクティビティの分析元 **(Analyze user activity from)**] フィールドの [アクティビティサブフローを計算] タブで、アクティビティをプルする日付を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
5. [**Download Subscription Subflow**] タブの [**Connection & Credential**] フィールドの横にある (i) アイコンを選択します。
6. [**Please Enter the Credential Information**] セクションで、から Microsoft AzureActive Directory を設定受け取った値を入力します。
   a. [テナント **ID(Tenant ID**)] フィールドに、テナント ID を入力します。
   b. [**OAuth** クライアント **ID**] フィールドに OAuth クライアント ID を入力します。
   c. [**OAuth** クライアントシークレット] フィールドに、OAuth クライアントシークレットキーを入力します。
7. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **重要:**
> この手順は、 ServiceNow 管理センターのグローバル管理者および Dynamics 365 管理者ロール Microsoft を持つ管理者またはsam_integratorが実行する必要があります。

8. アカウントへの Microsoft 365 ログインを求められたら、資格情報を入力して Microsoft 365 アカウントにログインし Microsoft 365 ます。
9. [**Calculate Activity Subflow**] タブの [**Connection & Credential**] フィールドの横にある [Preview] (ⓘ) アイコンを選択します。
10. [新しい接続および資格情報エイリアスを作成] を選択します。
11. [接続と資格情報を作成] ウィンドウで、次の手順を実行します。
    a. [接続 **URL**] フィールドに、接続 URL を入力します。
    b. [**OAuth** クライアント **ID**] フィールドに OAuth クライアント ID を入力します。
    c. [**OAuth** クライアントシークレット] フィールドに、OAuth クライアントシークレットキーを入力します。
12. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **重要:**
> この手順は、 ServiceNow 管理センターのグローバル管理者および Dynamics 365 管理者ロール Microsoft を持つ管理者またはsam_integratorが実行する必要があります。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Miro Enterprise との統合

インスタンスをアプリケーションとMiro Enterprise統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションを作成

Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションを作成して、MiroAPI へのアクセスを有効にします。

始める前に
Miro 必要なロール:会社管理者

手順

1. Web ブラウザーから Miro プラットフォーム を開きます。
2. 組織内にチームを作成していない場合、または偽のデータを使用して OAuth 2.0 アプリケーションを構築してテストする場合は、開発者チームを取得します 。
3. Miroプラットフォームのページヘッダーで、[ご使用のアプリ **(Your Apps)**] をクリックします。
   サインアップページが開きます。
4. 会社管理者の資格情報を使用してサインインします。
   デフォルトの組織プロファイルが開きます。
5. 左側のナビゲーションペインの上部にある組織プロファイルアイコンをクリックして、OAuth 2.0 アプリケーションを構築する組織を選択します。
   選択された組織のプロファイルが開きます。
6. 左側のナビゲーションペインで、[プロファイル設定 **(Profile settings)**] をクリックします。
7. プロファイル設定の [API、SDK、および埋め込み **(API, SDK & Embed)**] タブを選択します。
8. アプリセクションで、[契約条件に同意し ます] チェックボックスをオンにして、[新規アプリを作成 **(Create new app)**] をクリックします。
   [新規アプリを作成 (Create new app)] ダイアログボックスが開きます。
9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[新規アプリを作成 **(Create new app)**] ダイアログボックス

フィールド	説明
アプリ名	OAuth 2.0 アプリケーションの名前
説明	OAuth 2.0 アプリケーションの簡単な説明

10. OAuth 2.0 アプリケーションを構築するチームを選択します。
11. [アプリを作成] をクリックします。
    新しく作成したアプリの設定が開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

12. アプリの <*app-name*> セクションで、[クライアント **ID]** と [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。
13. リダイレクト URL セクションで、認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を入力し、[追加] をクリックします。
https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。
14. OAuth スコープセクションで、**organizations:read** OAuth スコープを有効にします。
OAuth スコープは、アプリケーションが保護されたリソースに対して持つアクセスのレベルを指定します。organizations:read OAuth スコープを使用すると、アプリケーションで組織および組織メンバーに関する情報を読み取ることができます。

次のタスク
組織プロファイルを開いたままにして、Miro Enterpriseアカウントで SCIM (クロスドメイン ID 管理システム) を有効にできるようにします。

Miro Enterpriseアカウントで **SCIM** を有効化

Miro Enterpriseアカウントで SCIM (クロスドメイン ID 管理システム) を有効にして、MiroAPI 要求を認証するための API アクセストークンを生成できるようにします。

始める前に
Miro 必要なロール:会社管理者

手順

1. Miro組織プロファイルの左側のナビゲーションペインで、[セキュリティ] をクリックします。
2. セキュリティのページで、**SSO/SAML** を有効にするオプションを選択します。
3. SSO/SAML を有効にした後、**SCIM** プロビジョニングを有効にするオプションを選択します。
Miroは、API アクセストークンを自動的に生成し **[API** トークン] フィールドに表示します。
4. オプション: MiroSCIM を使用してプロビジョニングされたすべてのユーザーにメール通知を送信できるようにするには、**[SCIM** によってプロビジョニングされたユーザーにメール通知を送信] チェックボックスをオンにします。
5. **[API** トークン] フィールドに API アクセストークンをコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。

Miro Enterprise接続を作成

Miro EnterpriseアプリケーションとServiceNowインスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer**.
Flow Designer が新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. Miro Enterprise 接続の [詳細を表示] を選択します。
4. Miro Enterprise接続の詳細から、 [構成] を選択します。
5. [接続を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Miro Enterprise接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
資格情報	
OAuth クライアント ID	Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは、Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションを作成で指定したリダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

6. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **重要:**
>
> このステップは、でMiro会社管理者ロールを持つ管理者がServiceNow実行する必要があります。

7. [OAuth 認証] Miro ダイアログ ボックスで、OAuth 2.0 アプリケーションを構築し Miro Enterprise たチームを見つけて、[インストール] を選択します。

> **注:**
> 別の ServiceNow インスタンスが同じ資格情報を使用している場合は、再インストールするように求められます。

OAuth アクセストークンは、Miro Enterprise 接続を許可するために使用できるようになります。

Miro EnterpriseSCIM 接続を作成

Miro EnterpriseSCIM とServiceNowインスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer**.
   Flow Designer が新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. Miro EnterpriseSCIM 接続の [詳細を表示] をクリックします。
4. Miro EnterpriseSCIM 接続の詳細から、[接続を追加] をクリックします。
   [接続を作成] ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Miro EnterpriseSCIM 接続の名前このフィールドは、自動的に入力されます。
資格情報	
API トークン	MiroAPI 要求を認証するための API アクセストークン生成してコピーした同じ API アクセストークンをMiro Enterpriseアカウントで SCIM を有効化に入力します。

6. [接続を作成] をクリックします。

Miro Enterprise 統合プロファイルの作成

Miroエンタープライズ統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、エンタープライズアプリケーションのライセンスを最適化しますMiro。

始める前に
統合プロファイルを作成するにはMiro Enterprise、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Miro Enterprise オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームで次のフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例: Miro Enterprise 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に Miro Enterprise サブスクリプションに設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 「 サブスクリプション・サブフローのダウンロード 」タブで、「 接続と資格情報 」フィールドが「sn_miro_spoke」に設定されていることを確認します 。Miro_Enterprise 、 サブフローフィールドが **Miro** のダウンロードサブスクリプションに設定されています。

   現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Connection & Credential**] フィールドが [sn_miro_spoke] に設定されていることを確認します 。Miro_Enterprise_SCIM 、 サブフローフィールドが **Miro Reclaim Subscription** に設定されています。
5. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Miro サブスクリプションのダウンロード] および Miro [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、エンタープライズアプリケーションから Miro ユーザーデータを取得します。
6. フォームを再ロードしたら、[公開] をクリックします。
   [公開の確認] ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、「 OK」をクリックします。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

monday.com との統合

インスタンスmonday.comを統合しServiceNowて、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

mondayOAuth2 アプリケーションを作成

mondayOAuth2 アプリケーションを作成して、monday.comAPI へのアクセスを許可します。

始める前に
monday.com 必要なロール：admin

このタスクについて
mondayアプリケーションを使用すると、既存のmonday.com作業のオペレーティングシステム (作業 OS) の上にワークフロー、ユーザーエクスペリエンス、および製品を構築できます。OAuth2 を使用するようにmondayアプリケーションを構成すると、monday.comAPI へのアクセス権が付与され、ユーザーデータを読み取って変更できるようになります。

手順

1. Web ブラウザから、monday.com にアクセスします。
2. 管理者資格情報を使用してログインします。
3. 左側のナビゲーションメニューの下部にあるプロファイルアイコンをクリックし、[開発者] を選択します。
   [自分のアプリケーション] ページが開きます。
4. [アプリを作成] をクリックします。
   新しいアプリケーションの [基本情報] ページが開きます。
5. [情報を表示] セクションで、フィールドに入力します。

   情報を表示

フィールド	説明
名前	mondayアプリケーションの名前
簡単な説明	アプリケーションの説明

6. オプション: 同じセクションで、自動生成されたアイコンをクリックしてアイコン画像を選択し、独自のアプリケーションアイコンを追加します。
   [アプリの色] をクリックしてプリセットまたはカスタムの色を選択し、アイコンの色を変更することもできます。独自のアプリケーションアイコンを追加しない場合、またはアイコンの色を選択しない場合、アプリケーションは自動生成されたアイコンとデフォルトのアイコン色を使用します。
7. [アプリの資格情報] セクションで、[クライアント **ID]** と [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
8. [アプリを保存 **(Save App)]** をクリックします。
9. 新しいアプリケーションの左側のナビゲーションメニューから、 全般 > **OAuth**.
   [OAuth と権限 (OAuth & Permissions)] のページの [スコープ] タブが開きます。
10. [スコープ] セクションで、次の OAuth スコープのチェックボックスをオンにして、アプリケーションがさまざまなタイプのユーザーデータにアクセスしたり、それらを使用したりする方法を指定します。
    - **me:read**
    - **boards:read**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- **users:read**
- **updates:read**

11. [機能を保存 **(Save Feature)]** をクリックします。
12. [OAuth と権限 (OAuth & Permissions)] ページの [リダイレクト **URL]** タブを選択します。
13. [リダイレクト URL] セクションで、ユーザーが認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を入力します。
https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。
14. [機能を保存 **(Save Feature)]** をクリックします。

monday.com 統合プロファイルの作成

monday.com統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますmonday。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはmonday.com、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

を使用しているSoftware Asset ワークスペース場合、統合コア UIプロファイルを作成するmonday.comオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、monday.com Integration。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。monday.comこのフィールドは自動的に **[sn_monday_com_spok]** に設定されます。月曜日。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [**monday.com** サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションサブフロー **monday.com** ダウンロード] に設定されていることを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが [ユーザーアクティビティサブフロー **monday.com** 更新] に設定されていることを確認します。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   > **注:**
   > ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[monday.com サブスクリプションのダウンロード] および monday.com [ユーザーアクティビティの更新] サブフローを使用して、アプリケーションから monday ユーザーデータを取得します。

6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビュー)をクリックし、レコードプレビューで [レコードを開く] をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。

7. [接続 & 資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
   [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスが開きます。

8. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

   [接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。
接続 URL	monday.comAPI のベース URL このフィールドは自動的に [https://api.monday.com/] に設定されます。
OAuth クライアント ID	mondayアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	mondayアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは、mondayOAuth2 アプリケーションを作成で指定したリダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

9. **[OAuth** トークンを作成して取得] をクリックします。
   [アプリを認証] ダイアログボックスが開きます。

10. ダイアログボックスで、mondayアプリケーションの作成に使用した同じmonday.com資格情報を使用してサインインします。

11. [許可] をクリックします。
    ダイアログボックスが閉じ、自動的に統合プロファイルフォームに戻ります。

12. [公開] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

PagerDuty との統合

インスタンスをアプリケーションとPagerDuty統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

PagerDutyアプリケーションの作成

PagerDutyインスタンスと統合するServiceNowアプリケーションを作成します。

始める前に
PagerDuty 必要なロール:global admin

手順

1. Webブラウザから PagerDuty を開きます。
2. PagerDuty アカウントにログインします。
3. 開発者モードにアクセスします。
   開発者アカウントでログインした場合は、自動的に開発者モードにアクセスします。顧客アカウントでログインした場合は、開発者モードに手動でアクセスする必要があります。
   a. ページヘッダーで、メニューアイコン (メニュー) をクリックします。
   b. [開発者モード] を選択します。
      開発者モードで [自分のアプリ] ページにリダイレクトされます。
4. 「マイ・アプリケーション」ページで、「 新規アプリケーションの作成」をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [アプリの構築] フォームのフィールドに入力します。

[アプリの構築] フォーム

フィールド	説明
アプリ名	PagerDutyアプリケーションの名前たとえば、ServiceNow Integration とします。
簡単な説明	アプリケーションの簡単な説明。
カテゴリ	アプリケーションカテゴリ。[カテゴリ] の一覧から [**API Management**] を選択します。
すべてのユーザー PagerDuty に公開アプリを公開するお手伝いをしたいと思います。すべてのユーザー PagerDuty とアプリエコシステム向けにアプリを公開する予定ですか?	アプリケーションをすべてのユーザー PagerDuty に公開することで公開できるようにするオプション。このフィールドはオプションです。

6. [保存] をクリックします。
PagerDuty によってアプリケーションが登録され、[自分のアプリ] ページに戻ります。
7. オプション: 追加のアプリケーション設定を構成します。

   a. [自分のアプリ] ページで、アプリケーションを選択します PagerDuty 。
   アプリケーション設定ページが開きます。

   b. [アプリ **Web** サイトの **URL**] フィールドに、ユーザーがアプリケーションの詳細を知るための Web サイトの URL を入力します。

   c. [アイコン **URL**] フィールドに、アプリケーション アイコンとして使用するホスト画像ファイルの URL を入力します。
   アイコンは 50 x 50 ピクセルである必要があります。

   d. [保存] をクリックします。

アプリケーションに **PagerDuty OAuth 2.0** 機能を追加する

アプリケーションを作成し PagerDuty たら、OAuth 2.0 機能を追加して、ユーザーログイン時にアプリケーションがユーザー固有のデータを管理 PagerDuty およびアクセスすることを承認します。

始める前に
PagerDuty 必要なロール:global admin

手順

1. アカウントの [マイ アプリ] ページで PagerDuty 、アプリケーションを選択します PagerDuty 。
アプリケーション設定ページが開きます。
2. [機能] セクションで [OAuth 2] を見つけて [追加] をクリックします。
[OAuth 2] ページが開きます。
3. [OAuth 2 機能の追加] セクションで、認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を [リダイレクト **URL**] フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

「https://<*instance-name*>/oauth_redirect.do」と入力します。<*instance-name*> はインスタンスの名前ServiceNowです。

4. [保存] をクリックします。
5. [トークン] セクションで、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
6. [スコープ] セクションで、[アクセス許可スコープの設定] リストから [読み取り/書き込み] を選択します。

PagerDuty 統合プロファイルの作成

PagerDuty統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますPagerDuty。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはPagerDuty、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する PagerDuty オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、PagerDuty Integration などです。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。PagerDutyこのフィールドは自動的に [sn_pagerduty_spoke] に設定されます。PagerDutyです。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは、 自動的に PagerDuty サブスクリプションに設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[PagerDuty** サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが **[PagerDuty** ユーザーアクティビティサブフローを更新] に設定されていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [サブスクリプションの再利用サブフロー] タブで、[サブフロー] フィールドが **[PagerDuty Reclaim Subscription Subflow]** に設定されていることを確認します。
6. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[PagerDuty サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新]、PagerDuty および PagerDuty [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから PagerDuty ユーザーデータを取得します。
7. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューⓘをクリックし、レコードプレビューで [レコードを開く] をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
8. [接続 & 資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
   [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスが開きます。
9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。例:PagerDuty Connection
OAuth クライアント ID	PagerDutyアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	PagerDutyアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。「https://<*instance-name*>/oauth_redirect.do」と入力します。<*instance-name*> はインスタンスの名前ServiceNowです。

10. **[OAuth** トークンを作成して取得] をクリックします。
    「アカウント」 PagerDuty ページにリダイレクトされます。
11. アプリケーションの作成に使用したものと同じ PagerDuty アカウントを選択します PagerDuty 。
12. アカウントの使用を <*pagerduty-app-name*> に許可するように求められたら、[承認] をクリックします。
    ServiceNow インスタンスは PagerDuty の OAuth トークンを作成し、自動的に [統合プロファイル] フォームに戻ります。
13. [公開] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Rally との統合

インスタンスを Broadcom Rally アプリケーションと統合ServiceNowすると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡して未使用のライセンスを再利用できます。

Rally OAuth アプリケーションの登録

Rally OAuth アプリケーションを登録して Rally API 2.0 にアクセスし、クライアント ID とクライアントシークレットを受信します。

始める前に
Rally 統合ハブ スポークはアクティブである必要があります。詳細については、「 Rally スポーク 」を参照してください。

Rally 必要なロール：admin

手順

1. 管理者資格情報を使用して [CA Agile Central] にログインします。
2. 選択 **OAUTH** クライアント > 新規クライアントの作成.
3. [Oauth クライアントを作成 (Create Oauth Client)] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	値
アプリケーション名	アプリケーションの名前を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
コールバック URL	アプリケーションを統合する ServiceNow インスタンスのコールバック URL。 たとえば、[https://<instance_url>/oauth_redirect.do]。

4. [次へ] を選択します。
5. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。

Rally接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Rally アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 移動先 接続と資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
3. 接続を見つけて Rally 、 [**Create New Connection & Credential]**(新しい接続と資格情報の作成) を選択します。
4. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	値
接続情報	
接続名	Rally接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に [https://rally1.rallydev.com/slm/webservice] に設定されます。
認証情報	
OAuth クライアント ID	API 設定の構成 Rally 中に生成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	API 設定の構成 Rally 中に生成したクライアントシークレットです。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance_name>/oauth_redirect.do (インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前)

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

Rally 統合プロファイルの作成

Rally統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ソリューションのライセンスを最適化しますRally。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
- プラグイン (com.sn_sam_saas_int) はソフトウェア資産管理、ServiceNow Store からインストールする必要があります。 SaaS ライセンス管理

必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Rally オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Rallyデータ連携です。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。Rallyこのフィールドは自動的に [sn_rally_spoke] に設定されます。ラリー。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [サブスクリプション] に設定され Rally ます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションのダウンロード] に設定され Rally ていることを確認します。

   現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [サブスクリプションの再利用 **(Reclaim Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー **(Subflow**)] フィールドが [サブスクリプションの再利用 (Rally Reclaim Subscription)] に設定されていることを確認します。

5. [保存] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Rally サブスクリプションのダウンロード] サブフローと Rally [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから Rally ユーザーデータを取得します。

6. ページが再読み込みされたら、 [公開] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Roadmunk との統合

インスタンスをアプリケーションとRoadmunk統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

RoadmunkAPI アクセストークンを生成

RoadmunkGraphQL API へのアクセスを許可する API アクセストークンを生成します。

始める前に
Roadmunk 必要なロール:アカウント管理者

手順

1. Web ブラウザーから、Roadmunk を開きます。
2. アカウント管理者資格情報を使用してログインします。
   Roadmunkダッシュボードが開きます。
3. Roadmunkダッシュボードの左側のナビゲーションメニューで、プロファイルアイコンをクリックし、[アカウントの設定] を選択します。
   アカウント設定が開きます。
4. アカウント設定のページヘッダーで、[統合] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 既存の統合で、[統合を追加] をクリックします。
6. 構成するデータ連携を選択するプロンプトが表示されたら、**[API** トークン] を選択します。
7. Roadmunk[API トークン] フォームの [アプリケーション名] フィールドに API アクセストークンの名前を入力します。
8. **[API** トークンを作成] をクリックします。
   API アクセストークンが生成され、[作成済み API トークン] ダイアログボックスが開きます。
9. ダイアログボックスで、[クリップボードにコピー] をクリックして API アクセストークンをコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。

Roadmunk接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Roadmunk アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer**.
   Flow Designer が新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. Roadmunk 接続を見つけて、[接続を追加] をクリックします。
   [接続を作成] ダイアログボックスが開きます。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Roadmunk接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL です。このフィールドは自動的に **[https://app-gateway.roadmunk.com]** に設定されます。**[app]** は接続が作成されるデフォルトの地理的リージョン (北米) です。デフォルトの **[app]** (北米) リージョン外で接続を作成する場合は、リージョンの値を **[eu]** (欧州) または **[acap]** (アジア太平洋リージョン) に変更できます。
資格情報	
API トークン	RoadmunkGraphQL API へのアクセスを許可する API アクセストークン。RoadmunkAPI アクセストークンを生成で生成したものと同じ API アクセストークンを入力します。

5. [接続を作成] をクリックします。

Roadmunk 統合プロファイルの作成

Roadmunk統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますRoadmunk。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
統合プロファイルを作成するにはRoadmunk、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Roadmunk オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Roadmunk Integration などです。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。Roadmunkこのフィールドは自動的に **[sn_roadmunk_spoke]** に設定されます。ロードムンク。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **[Roadmunk** サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Roadmunk** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Roadmunk** ユーザーアクティビティサブフローを更新] に設定されていることを確認します。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。
5. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが **[Roadmunk Reclaim Subscription**] に設定されていることを確認します。
6. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Roadmunk サブスクリプションのダウンロード] サブフローと Roadmunk [ユーザーアク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ティビティの更新] サブフローを使用して、アプリケーションから Roadmunk ユーザーデータを取得します。

7. オプション: 統合プロファイルのサブスクリプションリスト Roadmunk に非アクティブなユーザーが含まれないようにするには、[サブスクリプションをダウンロード] サブフローを有効にし Roadmunk て、アカウント内のアクティブなユーザーのみをダウンロードします Roadmunk 。デフォルトでは、[Roadmunk サブスクリプションをダウンロード] サブフローは、アクティブなユーザーと非アクティブなユーザーの両方を含む、アカウント内のすべてのユーザーをダウンロードします Roadmunk 。

   a. 新しいタブまたはウィンドウで、 Roadmunk を開きます。

   b. アカウント管理者の資格情報を使用してログインします。
   Roadmunkダッシュボードが開きます。

   c. Roadmunkダッシュボードの左側のナビゲーションメニューで、プロファイルアイコンをクリックし、[アカウントの設定] を選択します。
   アカウント設定が開きます。

   d. アカウント設定のページヘッダーで、[レポート] タブを選択します。

   e. 使用可能な Roadmunk レポートのリストから、[**Download User CSV**] をクリックします。
   ユーザーレポートは Roadmunk CSV形式でダウンロードされます。

   f. [統合プロファイル] フォームに戻ります。

   g. フォームヘッダーで、[添付ファイルを管理] アイコン ([
   [添付ファイル] ダイアログボックスが開きます。

   h. ダイアログボックスで、[ファイルの選択]をクリックして、手順eでダウンロードしたユーザーレポートを見つけて選択しますRoadmunk。

   i. レポートが正常にアップロードされたら、ダイアログボックスを閉じて [統合プロファイル] フォームに戻ります。

   ヒント:
   ServiceNowでは、サブスクリプションのRoadmunkリストから非アクティブなユーザーを継続的に削除できるように、最新バージョンのRoadmunkユーザーレポートを定期的にダウンロードして添付することをお勧めします。

8. [公開] をクリックします。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

CRM と Salesforce の統合

インスタンスを顧客関係管理 (CRM) サービスとSalesforce統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

注:

ワークスペースを使用している場合は ソフトウェア資産管理 、Playbook を使用して SaaS インスタンスを と統合 ServiceNow します Salesforce CRM。Playbook を使用した統合プロファイルの作成 Salesforce CRM の詳細については、次を参照してください Salesforce CRM統合を作成。

サポートされている Salesforce CRM サービスは次のとおりです。

- Salesforce Sales Cloud
- Salesforce Service Cloud
- Salesforce プラットフォーム
- Salesforce 顧客コミュニティ
- Salesforce パートナーコミュニティ
- Salesforce 企業コミュニティ
- Salesforce おしゃべり

Classic 組織と Salesforce Lightning 組織の両方Salesforceがサポートされています。

注:
カスタム ライセンスの測定基準を使用することで、支払っているがユーザー サブスクリプション ベースではない他のサービスの資格付与を追跡できます。カスタム ライセンスの測定基準の作成方法の詳細を参照してください カスタムライセンスの測定基準の追加 。

統合の接続に使用するアカウントには Salesforce 、 Salesforce ユーザーライセンスと次のユーザーアクセス権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーアクセス権限

権限	説明
検出と再利用に必要な権限	
API が有効	API へのアクセス Salesforce を有効にします。
セットアップと構成の表示	セットアップページを表示できます。この権限を有効にすると、 によって Salesforce 「ロールおよびロール階層の表示」権限が自動的に有効になります。
再利用のみに必要な権限	
内部ユーザーの管理	内部ユーザーを作成および変更できます。

CRM サービスについての Salesforce 詳細は、『Salesforce 開発者ドキュメント』を参照してください。

アプリケーションの登録**Salesforce**

管理ポータルから Salesforce アプリケーションを登録します。

始める前に

Salesforce 必要なロール：admin

手順

1. Salesforce にログインし、クラシック環境に切り替えます。
2. [設定] を選択します。
3. 左側のナビゲーション メニューから、 ビルド > 作成 > アプリケーション.
4. [接続済みアプリ] セクションで、[新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

[新しい接続アプリ] フォーム

フィールド	説明
接続済みアプリ名	アプリケーションの名前。
API 名	API の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
連絡先メール	アプリケーションに関連付けるメールアドレス。
OAuth 設定を有効にする	OAuth 設定を有効にするオプション。
コールバック URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。「https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do」と入力します。<*instance*> は ServiceNow インスタンスの名前です。
選択した OAuth スコープ	アクセストークンに付与されるアクセスの範囲を決定する OAuth スコープ。次の値は必須です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ データ **(api)** へのアクセスと管理 ○ いつでも代理で要求を実行 **(refresh_token, offline_access)**

6. [リフレッシュトークン] ポリシー値が [リフレッシュトークンは取り消されるまで有効] に設定されていることを確認します。
7. **[Save** (保存)] を選択します。
8. 新しいアプリのページで、[コンシューマーキー] フィールドと [コンシューマーシークレット] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。コンシューマーキー (クライアント ID) とコンシューマーシークレット (クライアントシークレット) は機密です。それらを共有しないでください。

Salesforce CRM 統合プロファイルの作成

ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、サービスのライセンスを最適化する Salesforce CRM 統合プロファイルを作成します。

> **注:**
> グローバルスコープでのみ統合を作成する Salesforce CRM 必要があります。

追加の Salesforce CRM統合プロファイルの作成

ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスを最適化する追加の Salesforce 組織ごとに統合プロファイルを作成します。

始める前に
CRM 統合プロファイルを作成するにはSalesforce、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Salesforce CRM オプションは無効です。

手順
1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前この統合プロファイルを作成する組織を Salesforce 一意に識別する名前を入力します。たとえば、 SFDC Org2 です。 **ヒント:** レポート時に見やすくするため、この名前は短くしてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に **Salesforce CRM** に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Salesforce CRM** サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。

   現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   > 注:
   > ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] 項目が **[Salesforce CRM Reclaim Subscription Subflow**] に設定されていることを確認します。
5. [保存] をクリックします。

   > 注:
   > CRM統合ではユーザーレコードの最後のユーザーログインに関する情報を使用するため、アクティビティサブフローの Salesforce 計算は必要ありません。

   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、 Salesforce CRM サブスクリプションのダウンロード Salesforce サブフローと CRM サブスクリプションの再利用サブフローを使用して、CRM サービスから Salesforce ユーザーデータを取得します。
6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビュー)を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
7. レコードのプレビューで [レコードを開く] を選択します。
8. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、この統合プロファイルの接続と資格情報を一意に識別できる子エイリアスを作成します。
   作成する最初の Salesforce CRM 統合プロファイルでは、の Salesforceデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Salesforce CRM 統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

   a. 次のリンクを選択します。 子エイリアス > **Parentalias=*****をクリックして子エイリアスを追加します。

   b. **[New** (新規)] をクリックします。
   子エイリアスの [接続および資格情報エイリアス] フォームが開きます。

   c. [名前] フィールドに子エイリアスの名前を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. フォームヘッダーを右クリックし、 [保存] をクリックします。

e. フォームを再ロードした後に、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
[接続と資格情報を作成] ダイアログボックスが開きます。

f. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。この接続と資格情報を作成する組織を Salesforce 一意に識別する名前を入力します。たとえば、 SFDC Org2 です。
接続 URL (インスタンス URL)	この統合を通じて接続するインスタンスの Salesforce URL。
OAuth クライアント ID	アプリケーションに Salesforce アサインされているクライアント ID (コンシューマーキー)。
OAuth クライアントシークレット	アプリケーションに Salesforce 割り当てられているクライアントシークレット (コンシューマーシークレット)。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは、「アプリケーションの登録Salesforce」で指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

g. **[OAuth** トークンを作成して取得] をクリックします。
[OAuth2 認証] ダイアログボックスが開きます。

ヒント:
ダイアログボックスが自動的に開かない場合は、ブラウザでポップアップが許可されていることを確認してください。

h. ダイアログボックスで、アプリケーションの登録に使用したのと同じ Salesforce 管理者アカウントにログインします Salesforce 。
ServiceNowインスタンスによって OAuth トークンSalesforceが作成され、自動的に [接続および資格情報エイリアス] フォームに戻ります。

9. 次に移動して統合プロファイルに戻ります **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル をクリックし、[統合プロファイル] リストからプロファイルを選択します。

10. [統合プロファイル] フォームの [接続 **&** 資格情報] フィールドで、ルックアップアイコンをクリックして、 ステップ 8 で作成した子エイリアスを見つけて選択します。
子エイリアスを選択すると、エイリアスが統合プロファイルに関連付けられます。ServiceNow インスタンスはこのエイリアスを使用して、この統合プロファイルの接続と資格情報を識別します。

11. [公開] をクリックします。

タスクの結果

統合プロファイルを公開すると、インスタンスは ServiceNow CRM サービスからの Salesforce データの取得を開始します。ユーザー数が 100 人未満の組織の場合、通常、このプロセスは数分で完了します。100 ～ 5000 人のユーザーがいる組織の場合、このプロセスが完了するまでに約 15

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

分かかることがあります。ユーザー数が 5,000 人を超える組織の場合、このプロセスが完了するまでに 1 時間以上かかることがあります。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

最初の **Salesforce CRM** 統合プロファイルを作成する

ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスを最適化する最初の Salesforce 組織の統合プロファイルを作成します。

始める前に
CRM 統合プロファイルを作成するにはSalesforce、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Salesforce CRM オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前この統合プロファイルを作成する組織を Salesforce 一意に識別する名前を入力します。たとえば、 SFDC Org1 です。 ヒント: レポート時に見やすくするため、この名前は短くしてください。
接続と資格情報	Salesforce の接続と認証情報エイリアス。最初の Salesforce CRM 統合プロファイルでは、自動的に入力されるデフォルトの接続および資格情報エイリアスを使用します。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に **Salesforce CRM** に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Salesforce CRM** サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。

   現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] 項目が **[Salesforce CRM Reclaim Subscription Subflow**] に設定されていることを確認します。
5. [保存] をクリックします。

   注:
   CRM統合ではユーザーレコードの最後のユーザーログインに関する情報を使用するため、アクティビティサブフローの Salesforce 計算は必要ありません。

   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、 Salesforce CRM サブスクリプションのダウンロード Salesforce サブフローと CRM サブスクリプションの再利用サブフローを使用して、CRM サービスから Salesforce ユーザーデータを取得します。

6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビュー)をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
7. レコードのプレビューで [レコードを開く] を選択します。
8. [接続 & 資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
   [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。この接続と資格情報を作成する組織を Salesforce 一意に識別する名前を入力します。たとえば、 SFDC Org1 です。
接続 URL (インスタンス URL)	にログインし Salesforce た後に表示される URL、またはカスタムドメインの SalesforceURL。
OAuth クライアント ID	アプリケーションに Salesforce アサインされているクライアント ID (コンシューマーキー)。
OAuth クライアントシークレット	アプリケーションに Salesforce 割り当てられているクライアントシークレット (コンシューマーシークレット)。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは、「アプリケーションの登録Salesforce」で指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

10. **[OAuth** トークンを作成して取得] をクリックします。
[OAuth2 認証] ダイアログボックスが開きます。

ヒント:
ダイアログボックスが自動的に開かない場合は、ブラウザでポップアップが許可されていることを確認してください。

11. ダイアログボックスで、アプリケーションの作成に使用したのと同じ Salesforce 管理者アカウントにログインします Salesforce 。
ServiceNow インスタンスは Salesforce の OAuth トークンを作成し、自動的に [統合プロファイル] フォームに戻ります。
12. [公開] をクリックします。

タスクの結果

統合プロファイルを公開すると、インスタンスは ServiceNow CRM サービスからの Salesforce データの取得を開始します。ユーザー数が 100 人未満の組織の場合、通常、このプロセスは数分で完了します。ユーザー数が 100 ～ 5,000 人の組織の場合、このプロセスが完了するまでに約 15 分かかることがあります。ユーザー数が 5,000 人を超える組織の場合、このプロセスが完了するまでに 1 時間以上かかることがあります。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Salesforce Marketing Cloud との統合

インスタンスをサービスとSalesforce Marketing Cloudデータ連携ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

インスタンスSalesforce Marketing Cloudをと統合ServiceNow® するには、次のいずれかの認証方法を使用します。

- 基本認証
- OAuth 2.0

基本認証を使用したデータ連携**Salesforce Marketing Cloud**

基本認証を使用して、Salesforce Marketing Cloudインスタンスをデータ連携しますServiceNow。

Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスするためのユーザーを作成

Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスできるユーザーを作成します。SOAP API を使用すると、Salesforce Marketing Cloud データ拡張からレコードを取得し、Salesforce Marketing Cloud ユーザーに関する情報を取得できます。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール:ユーザーとロールを作成する権限を持つ admin ユーザー

このタスクについて

注:

Web サービスを使用するには、次の場所に移動します。 セットアップホーム > 設定 > セキュリティ > セキュリティ設定. [ユーザー名とログイン] セクションで、[**Web** サービスのユーザー名とパスワードを有効にする] 設定で [はい] を選択します。

データエクステンションにアクセスするには、データエクステンションと同じビジネスユニットに API ユーザーを直接作成する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. Web ブラウザーから Salesforce Marketing Cloud インスタンスに移動します。
2. 管理者資格情報を使用してログインします。
3. インスタンスのページヘッダーで、プロファイルアイコンを選択し、 [セットアップ] を選択します。
4. Salesforce Marketing Cloud ユーザーの作成

   a. 移動先 管理 > ユーザー > ユーザー.

   b. [作成] を選択します。

   c. フォームのフィールドに入力します。

   全般設定フォーム

フィールド	説明
名前	ユーザーの名前。
返信先メールアドレス	メールメッセージの送信と返信を行うメールアドレス。Salesforce Marketing Cloud は、パスワードを忘れた場合の要求もこのメールアドレスに送信します。 メール アドレスを入力したら、 [確認] を選択してメール アドレスを確認します。
[送信者名 (From Name)] ドロップダウンに追加	メールアドレスがメールに入力される前に、ドメイン検証プロセスを通じて返信メールアドレスを送信するオプション。
通知メールアドレス	通知の送信 Salesforce Marketing Cloud 先のメールアドレス。
ユーザー名	ユーザーのユーザー名。
外部キー	API 呼び出し中にユーザーを一意に識別するキー。
タイムゾーン	ユーザーが所在するタイムゾーン。
カルチャーコード	このユーザーの Salesforce Marketing Cloud ユーザーインターフェイスで使用される言語。
API ユーザー	ユーザーが SOAP API にアクセスできる Salesforce Marketing Cloud かどうかを示すオプション。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
一時パスワード	初回ログインに使用できる一時パスワード。初回ログイン時に、このパスワードを変更するように求められます。
パスワードを検証	一時パスワードを検証するフィールド。

   d. **[Save** (保存)] を選択します。

5. 割り当てられたユーザーが Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスし、ユーザーとデータ拡張を管理できるようにするユーザーロールを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 移動先 管理 > ユーザー > ロール.

b. [作成] を選択します。

c. フォームのフィールドに入力します。

プロパティフォーム

フィールド	説明
名前	ユーザーロールの名前。
外部キー	ユーザーロールを一意に識別するキー。
説明	ユーザーロールの説明

d. [権限] フォームセクションで、 メール > 登録者 > データ拡張 アクセス許可カテゴリに移動し、[データ アクセス許可の表示と管理] の [許可] チェック ボックスをオンにします。

e. を展開します。 メール > 管理者 > **API** アクセス 権限カテゴリに移動し、WebService API アクセス権限の [許可] チェックボックスをオンにします。

f. を展開します。 管理 > ユーザー アクセス許可カテゴリに移動し、次のアクセス許可の [許可] チェック ボックスをオンにします。

- ビュー
- 更新
- 無効化
- 事業部門を管理

g. [Save (保存)] を選択します。

6. Salesforce Marketing Cloud ユーザーにユーザーロールを割り当てます。

a. 移動先 管理 > ユーザー > ユーザー.

b. 利用可能なユーザーのリストから、ステップ 4 で作成したユーザーのチェックボックスをオンにします。

c. [ロールの管理] を選択します。
選択したユーザーの [ロール] フォームが開きます。

d. [ロール] フォームセクションで、[ロールの編集] を選択します。

e. 利用可能なロールのリストが表示されたら、ステップ 5 で作成したユーザーロールのチェックボックスをオンにします。

f. [Save (保存)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

での連絡先数レポートの作成 **Salesforce Marketing Cloud**

コンタクト数レポートを作成して、アカウント内の請求可能なコンタクトの合計数を取得して表示します Salesforce Marketing Cloud 。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから Salesforce Marketing Cloud インスタンスに移動します。
2. 管理者資格情報を使用してログインします。
3. インスタンスのページヘッダーで、事業部門プロファイルアイコンを選択し、最上位の親事業部門を選択して、連絡先数レポートに親事業部門と対応するすべての子事業部門の両方のデータが含まれるようにします。
4. 使用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションの一覧から、 分析ビルダー アプリ アイコンを選択し、 レポート を選択します。
   レポートアプリの概要が開きます。
5. 「レポート・カタログ」セクションで、「 カタログの表示」を選択します。
6. レポート カタログから [連絡先数] を検索し、[作成] を選択します。
   「レポートの作成」ダイアログ・ボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、データを取得して表示する期間を [日付範囲] リストから選択します。
   デフォルト値は [過去 **30** 日間] です。

   > ヒント:
   > レポート生成時のパフォーマンスの問題を回避するには、 ServiceNow この値を [過去 **7** 日間] に設定することをお勧めします。

8. [送信] を選択します。
   インスタンスで Salesforce Marketing Cloud レポートが生成され、[結果: 連絡先数] ページに結果が表示されます。
9. [結果: 連絡先数] ページで、[保存] を選択します。
   [レポートを保存] ダイアログボックスが開きます。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[レポートを保存] ダイアログボックス

フィールド	説明
レポート名	レポートの名前。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは、自動的に [連絡先数] に設定されます。
説明	レポートの説明。

11. **[Save** (保存)] を選択します。
12. 連絡先数レポートを自動的に実行するスケジュールを作成します。
    a. レポート アプリのページ ヘッダーで、 [概要] タブを選択して、レポート アプリの概要に戻ります。
    b. レポートのリストから、新しく作成したコンタクト数レポートを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [スケジュール オプション] セクションで、[編集] を選択します。

d. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[Edit Schedule Options] ダイアログボックス

フィールド	説明
スケジュールオプション	
開始	レポートの実行を開始する日時。
タイムゾーン	レポートがスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	レポートを実行する頻度。毎週日曜日に 1 回実行するようにレポートを構成します。
終了	レポートの実行を停止する日付。
配送オプション	
フォーマット	レポート結果を受け取るファイルの種類とファイル拡張子。[データファイル**(.csv)**]を選択します。
ロケーション	レポートを保存または共有する場所。このフィールドを **[FTP** 用のレポートを保存] に設定し、対応するフィールドに入力します。 ▪ レポート名: ファイル拡張子を除いたレポートのファイル名。後で使用するために、このファイル名をメモしておきます。 ▪ 一意のオプション:SFTP で既存のレポートレコードを置き換える代わりにレポートレコードを作成するオプション。このチェック ボックスをオフのままにします。 ▪ **FTP**の場所: **FTP**ファイルの場所 Salesforce Marketing Cloud 。**[ExactTargetEnhancedFTP]** を選択して、レポートが SFTP (SSH ファイル転送プロトコル) レポート フォルダーに保存されるようにします。

e. [Save (保存)] を選択します。

コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成

データエクステンションを作成して、コンタクト数レポートのデータをインスタンスに Salesforce Marketing Cloud 保存します。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて
データエクステンションは、レポートデータを表す属性を含むテーブルです。ServiceNowインスタンスがSalesforce Marketing Cloudサービスに接続すると、このデータエクステンションからデータが取得されます。

> ⚠ 警告:
> このデータエクステンションを母集団として設定しないでください。母集団として設定すると、データエクステンションのすべてのレコードがコンタクト数に寄与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. インスタンスのページヘッダーで、利用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストを表示するアイコンをポイントSalesforceしますSalesforce Marketing Cloud。
2. **[Audience Builder]** アプリアイコンを選択し、[**Contact Builder**] を選択します。
   Contact Builder アプリが開きます。
3. [データ拡張機能] タブを選択し、[作成] を選択します。
   [新しいデータ拡張を作成] ダイアログボックスが開きます。
4. 「プロパティ」ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
作成方法	データ拡張を作成する方法。[新規作成] を選択します。
名前	データ拡張の名前。
外部キー	データ拡張を一意に識別するオプションのキー。事前定義されたキーを使用することも、任意のキーを入力することもできます。
説明	データ拡張の説明。
タイプ	データ拡張のタイプ。このフィールドは自動的に [標準] に設定されます。
ロケーション	データエクステンションを保存する場所。このフィールドは自動的に [データ拡張] に設定されます。[場所の変更] を選択して、別の場所を選択します。
送信可能ですか?	データエクステンションを購読者に送信できるかどうかを示すオプション。

5. [次へ] を選択します。
6. 「データ保持ポリシー」ステップで、「 保持設定 」フィールドを 「オフ」に設定します。
7. [次へ] を選択します。
8. [属性] ステップで、データエクステンションに含める属性を追加します。
   属性は、レポートからデータエクステンションにデータをマッピングしてインポートするために使用されます。データのインポート元のレポート列ごとに属性を作成する必要があります。各属性名は、対応するレポートの列名と完全に一致する必要があります。

   Salesforce Marketing Cloud統合には、次の連絡先数レポート列の属性が必要です。

   - **Count_Date**
   - **Total_Distinct_Contacts_Count**
   - **Total_Distinct_Email_Addresses1**
   - **Total_Distinct_Mobile_Addresses_Count**
   - フラグ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 属性を追加できます。名前は統合属性と同じにする必要があります。詳細については、Salesforce Marketing Cloud基本認証を使用した統合プロファイルの作成およびSalesforce Marketing Cloud OAuth 2.0 を使用した統合プロファイルの作成を参照してください。

他のすべての接触者数レポート列の属性はオプションです。

追加する各属性のフィールドに入力します。

属性フィールド

フィールド	説明
プライマリキー	データエクステンションのすべてのレコードに一意の識別子を含める属性のオプション。 このオプションは、 **Count_Date** 属性に対して有効にする必要があります。
名前	属性の名前。この名前は、対応するレポートの列名と正確に一致する必要があります。
データタイプ	属性のデータタイプ。
必須	属性がデータ拡張の各レコードの値を必要とするかどうかを示すオプション。
長さ	属性値に許可される最大文字数。
デフォルト値	属性のオプションのデフォルト値。 **Flag** 属性のデフォルト値を 1 に設定します。 **注:** 主キーとして割り当てられる属性にはデフォルト値を入力しないでください。

9. [完了] を選択します。
10. [作成されたデータエクステンション] ダイアログ ボックスで、[**OK]** を選択します。

データエクステンションにコンタクト数レポートデータをインポートする自動化を構築する

レポートの生成後に、連絡先数レポートのデータをデータエクステンションに自動的にインポートする自動化を作成します。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

手順

1. インスタンスのページヘッダーで、利用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストを表示するアイコンをポイントSalesforceしますSalesforce Marketing Cloud。
2. **Journey Builder** アプリケーションアイコンを選択し、**Automation Studio** を選択します。
   Automation Studio アプリの概要が開きます。
3. [新しい自動化] を選択します。
   新しい自動化のワークフローが開きます。
4. 自動化スケジュールを作成するには、左側のメニューペインの [開始ソース] セクションからワークフローキャンバスの [開始ソース] セクションに [スケジュール] アイコンをドラッグします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. 自動化のスケジュールを定義します。

a. ワークフロー キャンバスの 開始ソース セクションで、 構成 を選択します。

b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[スケジュールの定義] ダイアログボックス

フィールド	説明
開始日	自動化の実行を開始する日時。
タイムゾーン	自動化がスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	自動化を実行する頻度。連絡先数レポートが生成された後に実行するように自動化を設定します。 ヒント: レポートが生成されたのと同じ日に自動化を実行するよう設定する場合は、レポートの生成が完了するのに十分な時間がある開始時刻を選択します。ServiceNow は、開始時間をレポート開始時間から 2 時間以上後にすることをお勧めします。
終了	自動化スケジュールが終了するまでに自動化を実行できる回数。自動化スケジュールを終了しない場合は、このフィールドを [しない] に設定します。

6. スクリプト アクティビティを追加して、それを必要とするすべてのアクティビティに対してサーバー側 JavaScript を実行します。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[スクリプト] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
スクリプトアクティビティは、自動化ワークフローの最初のステップになります。

b. スクリプトアクティビティのステップで [選択] を選択します。
[スクリプトアクティビティを選択 (Choose Script Activity)] ダイアログボックスが開きます。

c. [**Create New Script Activity**] を選択します。
[新しいスクリプトアクティビティを作成] ダイアログボックスが開きます。

d. 「プロパティ」ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
名前	スクリプトアクティビティの名前。
外部キー	スクリプトアクティビティを一意に識別するオプションのキー。事前定義されたキーを使用することも、任意のキーを入力することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
フォルダーの場所	スクリプトを保存する場所。このフィールドは自動的に [スクリプト] に設定されます。[選択] を選択して、別の場所を選択します。
説明	スクリプトアクティビティの説明。

e. 次のサーバーサイド JavaScript をコピーして、[サーバーサイド JavaScript] テキストボックスに貼り付けます。

```
<script runat="server">
var rows = Platform.Function.DeleteData('*<data-extension-name>*',['Flag'],['1']);
</script>
```

f. [構文の検証] を選択して、サーバーサイドの JavaScript 構文が有効であることを確認します。

g. [次へ] を選択します。

h. [概要] ステップで、スクリプト アクティビティの構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

7. 連絡先数レポートを SFTP レポートフォルダーから SFTP インポートフォルダーにコピーするデータ抽出アクティビティを追加します。
インスタンスは Salesforce Marketing Cloud 、SFTP インポートフォルダーを使用してレポートデータを検索し、データエクステンションにインポートします。インスタンスで連絡先数レポートから対応するデータエクステンションにデータをインポートできるようにするには、レポートを SFTP インポートフォルダーにコピーする必要があります。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[データ抽出] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
データ抽出アクティビティは、自動化ワークフローの 2 番目のステップになります。

b. データ抽出アクティビティのステップで [選択] を選択します。
[データ抽出アクティビティの選択] ダイアログ ボックスが開きます。

c. [**Create New Data Extract Activity** (新しいデータ抽出アクティビティの作成)] を選択します。
[新しいデータ抽出アクティビティを作成 (Create New Data Extract Activity)] ダイアログ ボックスが開きます。

d. 「プロパティ」ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
名前	データ抽出アクティビティの名前。
外部キー	データ抽出アクティビティを一意に識別するオプションのキー。事前定義されたキーを使用することも、任意のキーを入力することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ファイル命名パターン	データの抽出元となる連絡先数レポートのファイル名。この名前は、 で での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と完全に一致する必要があります。
抽出タイプ	データ抽出メソッド。このフィールドを [拡張 **FTP** ファイルの移動とコピー] に設定します。
説明	データ抽出アクティビティの説明。

e. [次へ] を選択します。

f. [構成] ステップで、フィールドに入力します。

構成フィールド

フィールド	説明
入力フォルダー	連絡先数レポートを保存した場所。「\reports\」と入力します。
出力フォルダー	レポートのコピー先の場所。「\Import\」と入力します。
フォルダーにコピー	入力フォルダーから出力フォルダーにレポートを移動する代わりにコピーするオプション。このオプションを使用すると、レポートを両方の場所に保持できます。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

g. [次へ] を選択します。

h. [概要] ステップで、データ抽出アクティビティの構成が正しいことを確認し、 [完了] を選択します。

8. ファイルのインポートアクティビティを追加して、連絡先数レポートのデータをデータエクステンションにインポートします。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[ファイルのインポート] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
ファイルのインポートアクティビティは、自動化ワークフローの 3 番目のステップになります。

b. ファイルのインポートアクティビティステップで [選択] を選択します。
[Choose Import File Activity] ダイアログボックスが開きます。

c. [新しいインポート ファイル アクティビティの作成] を選択します。
[新しいインポートファイルアクティビティを作成] ダイアログボックスが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

d. [アクティビティ情報] ステップで、フィールドに入力します。

アクティビティ情報フィールド

フィールド	説明
名前	ファイルインポートアクティビティの名前。
説明	ファイルのインポートアクティビティの説明。
外部キー	インポートファイルアクティビティを一意に識別するオプションのキー。事前定義されたキーを使用することも、任意のキーを入力することもできます。
通知メールの送信先	インポート完了時に通知を送信するメールアドレス。 メールアドレスを指定すると、インポートが成功したときに、挿入および更新された行の数を含む通知メールがそのアドレスに送信されます。 **重要:** インポートされた CSV ファイルに空の行が存在するため、通知メールに無効な フィールド数の 検証エラーが含まれています。これらの空行は、レポートを FTP に保存すると自動的に表示されます。ただし、統合には影響しません。

e. [次へ] を選択します。

f. 「ファイルのインポート」ステップで、フィールドに入力します。

[ファイルをインポート] フィールド

フィールド	説明
ファイルの場所	データのインポート元の連絡先数レポートの場所。「ExactTarget **Enhanced FTP**」を選択します。
ファイル命名パターン	データのインポート元の連絡先数レポートのファイル名。この名前は、 で での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と完全に一致する必要があります。
日付形式	レポートデータの日時の表示形式。
区切り文字	各レポートレコードを区切る形式。各レコードをカンマで区切るには 、カンマ を選択します。 二重引用符を使用して各レコードを区切る場合は、[二重引用符 **(")** をテキスト区切り文字として尊重 する] オプションを有効にします。
不正なデータ動作	不正なデータを含む行をスキップするオプション。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

g. [次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

h. [宛先] ステップで、 で コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成作成したデータエクステンションを検索して選択します。

i. [次へ] を選択します。

j. 「マッピング」ステップで、「 追加」および「更新 」および 「序数によるマップ」のオプションを選択します。

k. プロンプトが表示されたら、[ファイルに列ヘッダーがあるインポートファイル] オプションを有効にし、各データ拡張属性を連絡先数レポートの対応する列番号にマッピングします。

注:
「フラグ」属性はマップしないままにします。

l. [次へ] を選択します。

m. [確認] ステップで、ファイルのインポート アクティビティの構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

9. **[Save** (保存)] を選択します。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[自動化を保存] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	自動化の名前。
説明	自動化の説明。
外部キー	自動化を一意に識別するオプションのキー。
ロケーション	自動化を保存する場所。

11. **[Save** (保存)] を選択します。
12. ワークフロー キャンバスの [開始ソース] セクションで、[アクティブ] を選択します。
13. [スケジュールのアクティブ化の確認 (Activate Schedule Confirmation)] ダイアログボックスで、[アクティブ化 **(Activate**)] を選択して自動化スケジュールをアクティブ化します。

連絡先数レポートデータを手動で取得する

コンタクト数レポート、データエクステンション、および自動化を作成した後、これらのジョブを手動で実行することで、スケジュール設定済みレポートと自動化ジョブの間でレポートデータを取得できます。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて
インスタンス Salesforce Marketing Cloud は、定義したスケジュールに基づいてレポートと自動化ジョブを自動的に実行します。次のスケジュール設定済みレポートおよび自動化ジョブの前に連絡先数レポートデータを取得する場合は、これらのジョブを手動で実行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 連絡先数レポートを実行します。

   a. インスタンスのページヘッダーで、利用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストを表示するアイコンをポイントSalesforceしますSalesforce Marketing Cloud。

   b. 分析ビルダー アプリ アイコンを選択し、[レポート] を選択します。
   レポートアプリの概要が開きます。

   c. レポートのリストから、で での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud作成した連絡先数レポートを選択します。

   d. [実行] を選択します。
   インスタンスで Salesforce Marketing Cloud レポートが生成され、結果が [結果:<レポート名> ページに表示されます。

   e. [結果:<レポート名>ページで、[FTP 結果(FTP Results)] アイコン([ ])を選択します。

   f. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

   [FTP Report Results] ダイアログボックス

フィールド	説明
ファイル名	ファイル拡張子を除いたレポートのファイル名。
FTP の場所	Salesforce Marketing Cloud FTP ファイルの場所。「ExactTarget 拡張 **FTP**」を選択して、レポートが SFTP(SSH ファイル転送プロトコル)レポートフォルダーに保存されるようにします。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは、自動的に [連絡先数] に設定されます。
フォーマット	レポート結果を受け取るファイルの種類とファイル拡張子。[データファイル**(.csv)**]を選択します。

   g. **[Save** (保存)] を選択します。

2. 自動化を実行します。

   a. インスタンスのページヘッダーで、利用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストを表示するアイコンをポイントSalesforceしますSalesforce Marketing Cloud。

   b. **Journey Builder** アプリケーションアイコンを選択し、**Automation Studio** を選択します。
   で データエクステンションにコンタクト数レポートデータをインポートする自動化を構築する
   作成した自動化のワークフローが、Automation Studio アプリで開きます。

   c. ワークフロー キャンバスの 開始ソース セクションで、 一時停止 を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [スケジュール確認の一時停止 (Pause Schedule Confirmation)] ダイアログボックスで、[一時停止] を選択して自動化スケジュールを一時停止します。

e. ダイアログ ボックスが閉じたら、[1回実行] を選択します。

f. 実行するアクティビティを選択するように求められたら、スクリプト、データ抽出、およびファイルのインポートアクティビティのチェックボックスをオンにします。

g. [実行] を選択します。

h. [1 回実行の確認] ダイアログ ボックスで、[今すぐ実行] を選択します。

タスクの結果
最新のコンタクト数レポートデータがデータエクステンションにインポートされます。

Salesforce Marketing Cloud基本認証を使用した統合プロファイルの作成

基本認証を使用して統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡してサービスの古いライセンスを最適化します Salesforce Marketing Cloud 。

始める前に
統合プロファイルを作成するにはSalesforce Marketing Cloud、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ヒント:
追加のサブスクリプションコストが発生しないようにするには、プラグインをインストールし、非本番インスタンスで統合を構築します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
を使用しているSoftware Asset ワークスペース場合、統合コア UIプロファイルを作成するSalesforce Marketing Cloudオプションは無効になっています。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルなどです。
認証タイプ	API にアクセスする Salesforce Marketing Cloud ための認証のタイプ。 ○ 基本認証:この値を選択します。 ○ OAuth 2.0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 新しい Salesforce Marketing Cloud プロファイルの場合、認証タイプはデフォルトで [基本認証] に設定されます。
接続と資格情報	Salesforce Marketing Cloud の接続と認証情報エイリアス。 このフィールドは自動的に sn_sforce_mc_spoke に設定されます。SalesforceMarketingCloud
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は、自動的に **Salesforce Marketing Cloud** サブスクリプションに設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	
サブフロー	この項目は、自動的に **[Salesforce Marketing Cloud** ダウンロードサブスクリプション] に設定されます。 現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。
サブスクリプションサブフローの再利用	
サブフロー	このフィールドは自動的に **[Salesforce Marketing Cloud Reclaim Subscription**] に設定されます。
消費サブフローのダウンロード	
サブフロー	このフィールドは、 自動的に **[Salesforce Marketing Cloud** ダウンロード連絡先の消費 **(Salesforce Marketing Cloud Download Contacts Consumption**)] に設定されます。
統合属性	
属性	カウント日、連絡先、メール連絡先、モバイル連絡先などの名前と値の属性は、統合プロファイルに自動的に入力されます。 要件に基づいて属性を追加または削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 属性名は、instance の Salesforce Marketing Cloud レポート列ヘッダーと一致する必要があります。詳細については、「コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成」を参照してください。

3. **[Save** (保存)] を選択します。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、「 Salesforce Marketing Cloud サブスクリプションのダウンロード」、「サブスクリプションの再利用」 Salesforce Marketing Cloud 、および Salesforce Marketing Cloud 「連絡先の消費のダウンロード」サブフローを使用して、サービスから Salesforce Marketing Cloud ユーザーデータを取得します。
4. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューを選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
5. [接続 & 資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報を入力してください	
接続名	接続の名前。
SOAP 接続 URL	SOAP 接続エンドポイントの URL。「https://<*subdomain*>.soap.marketingcloudapis.com/Service.asmx」と入力します。ここで、<*subdomain*> は Salesforce Marketing Cloud サブドメインです。
資格情報を入力してください	
ユーザー名プロファイル名	資格情報の名前。
ユーザー名	Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスできるユーザーのユーザー名。で Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスするためのユーザーを作成作成したユーザーのユーザー名を入力します。
パスワード	Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスできるユーザーのパスワード。Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスするためのユーザーを作成 で作成したユーザーのパスワードを入力します。
後処理に使用する補足情報を入力してください	
連絡先数データエクステンション (Contacts Counts Data Extension)	連絡先数のレポートデータを取得するデータエクステンションの名前。この名前は、「」で コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成作成したデータ拡張の名前と完全に一致する必要があります。

7. [作成] を選択します。
   ダイアログボックスが閉じます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. [接続および資格情報エイリアス] フォームのヘッダーで、[戻る] ボタンを選択して [統合プロファイル] フォームに戻ります。
9. [公開] を選択します。
10. [公開の確認] ダイアログ ボックスで、[**OK]** を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

OAuth 2.0 を使用した統合Salesforce Marketing Cloud

OAuth 2.0 を使用して、インスタンスをサービスとSalesforce Marketing Cloud統合しますServiceNow。

OAuth 2.0 資格情報の作成Salesforce Marketing Cloud

API にアクセスするSalesforce Marketing Cloudための OAuth 2.0 資格情報を作成しますSalesforce Marketing Cloud。

始める前に
必要なロール：Salesforce Marketing Cloud admin

手順

1. Salesforce Marketing Cloud テナントにログインします。
2. 移動先 セットアップホーム > プラットフォームツール > アプリケーション > インストール済みパッケージ.
3. [新規] を選択してパッケージを作成します。
4. [コンポーネントを追加] 選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. **[API** 統合] を選択して、Salesforce Marketing Cloud API をアプリケーションと統合します。
6. [次へ] を選択します。
7. 統合タイプとして [サーバー間 **(Server-to-Server)]** を選択します。
8. [次へ] を選択します。
9. 統合に必要なスコープを選択します。
10. [保存] を選択します。
    クライアント ID とクライアントシークレットが構成のサマリーに表示されます。次の [コンポーネント] セクションに移動します。 セットアップ > インストール済みパッケージ > **DETAILS** クライアント ID とクライアントシークレットを表示します。後で使用できるように値をコピーします。

での連絡先数レポートの作成 **Salesforce Marketing Cloud**

コンタクト数レポートを作成して、アカウント内の請求可能なコンタクトの合計数を取得して表示します Salesforce Marketing Cloud 。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから Salesforce Marketing Cloud インスタンスに移動します。
2. 管理者資格情報を使用してログインします。
3. インスタンスのページヘッダーで、事業部門プロファイルアイコンを選択し、最上位の親事業部門を選択して、連絡先数レポートに親事業部門と対応するすべての子事業部門の両方のデータが含まれるようにします。
4. 使用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションの一覧から、 分析ビルダー アプリ アイコンを選択し、 レポート を選択します。
   レポートアプリの概要が開きます。
5. 「レポート・カタログ」セクションで、「 カタログの表示」を選択します。
6. レポート カタログから [連絡先数] を検索し、[作成] を選択します。
   「レポートの作成」ダイアログ・ボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、データを取得して表示する期間を [日付範囲] リストから選択します。
   デフォルト値は [過去 **30** 日間] です。

   > ヒント:
   > レポート生成時のパフォーマンスの問題を回避するには、 ServiceNow この値を [過去 **7** 日間] に設定することをお勧めします。

8. [送信] を選択します。
   インスタンスで Salesforce Marketing Cloud レポートが生成され、[結果: 連絡先数] ページに結果が表示されます。
9. [結果: 連絡先数] ページで、[保存] を選択します。
   [レポートを保存] ダイアログボックスが開きます。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[レポートを保存] ダイアログボックス

フィールド	説明
レポート名	レポートの名前。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは、自動的に [連絡先数] に設定されます。
説明	レポートの説明。

11. **[Save** (保存)] を選択します。
12. 連絡先数レポートを自動的に実行するスケジュールを作成します。

    a. レポート アプリのページ ヘッダーで、 [概要] タブを選択して、レポート アプリの概要に戻ります。

    b. レポートのリストから、新しく作成したコンタクト数レポートを選択します。

    c. [スケジュール オプション] セクションで、[編集] を選択します。

    d. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[Edit Schedule Options] ダイアログボックス

フィールド	説明
スケジュールオプション	
開始	レポートの実行を開始する日時。
タイムゾーン	レポートがスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	レポートを実行する頻度。毎週日曜日に 1 回実行するようにレポートを構成します。
終了	レポートの実行を停止する日付。
配送オプション	
フォーマット	レポート結果を受け取るファイルの種類とファイル拡張子。[データファイル**(.csv)**]を選択します。
ロケーション	レポートを保存または共有する場所。このフィールドを **[FTP** 用のレポートを保存] に設定し、対応するフィールドに入力します。 ▪ レポート名: ファイル拡張子を除いたレポートのファイル名。後で使用するために、このファイル名をメモしておきます。 ▪ 一意のオプション:SFTP で既存のレポートレコードを置き換える代わりにレポートレコードを作成するオプション。このチェック ボックスをオフのままにします。 ▪ **FTP**の場所: **FTP**ファイルの場所 Salesforce Marketing Cloud 。**[ExactTargetEnhancedFTP]** を選択して、レポートが SFTP (SSH ファイル転送プロトコル) レポート フォルダーに保存されるようにします。

    e. **[Save** (保存)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成

データエクステンションを作成して、コンタクト数レポートのデータをインスタンスに Salesforce Marketing Cloud 保存します。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて

データエクステンションは、レポートデータを表す属性を含むテーブルです。ServiceNowインスタンスがSalesforce Marketing Cloudサービスに接続すると、このデータエクステンションからデータが取得されます。

> ⚠ **警告:**
> このデータエクステンションを母集団として設定しないでください。母集団として設定すると、データエクステンションのすべてのレコードがコンタクト数に寄与します。

手順

1. インスタンスのページヘッダーで、利用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストを表示するアイコンをポイントSalesforceしますSalesforce Marketing Cloud。
2. **[Audience Builder]** アプリアイコンを選択し、[**Contact Builder**] を選択します。
   Contact Builder アプリが開きます。
3. [データ拡張機能] タブを選択し、[作成] を選択します。
   [新しいデータ拡張を作成] ダイアログボックスが開きます。
4. 「プロパティ」ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
作成方法	データ拡張を作成する方法。[新規作成] を選択します。
名前	データ拡張の名前。
外部キー	データ拡張を一意に識別するオプションのキー。事前定義されたキーを使用することも、任意のキーを入力することもできます。
説明	データ拡張の説明。
タイプ	データ拡張のタイプ。このフィールドは自動的に [標準] に設定されます。
ロケーション	データエクステンションを保存する場所。このフィールドは自動的に [データ拡張] に設定されます。[場所の変更] を選択して、別の場所を選択します。
送信可能ですか?	データエクステンションを購読者に送信できるかどうかを示すオプション。

5. [次へ] を選択します。
6. 「データ保持ポリシー」ステップで、「 保持設定 」フィールドを 「オフ」に設定します。
7. [次へ] を選択します。
8. [属性] ステップで、データエクステンションに含める属性を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性は、レポートからデータエクステンションにデータをマッピングしてインポートするために使用されます。データのインポート元のレポート列ごとに属性を作成する必要があります。各属性名は、対応するレポートの列名と完全に一致する必要があります。

Salesforce Marketing Cloud統合には、次の連絡先数レポート列の属性が必要です。

- **Count_Date**
- **Total_Distinct_Contacts_Count**
- **Total_Distinct_Email_Addresses1**
- **Total_Distinct_Mobile_Addresses_Count**
- フラグ

> **注:**
> 属性を追加できます。名前は統合属性と同じにする必要があります。詳細については、Salesforce Marketing Cloud基本認証を使用した統合プロファイルの作成およびSalesforce Marketing Cloud OAuth 2.0 を使用した統合プロファイルの作成を参照してください。

他のすべての接触者数レポート列の属性はオプションです。

追加する各属性のフィールドに入力します。

属性フィールド

フィールド	説明
プライマリキー	データエクステンションのすべてのレコードに一意の識別子を含める属性のオプション。 このオプションは、 **Count_Date** 属性に対して有効にする必要があります。
名前	属性の名前。この名前は、対応するレポートの列名と正確に一致する必要があります。
データタイプ	属性のデータタイプ。
必須	属性がデータ拡張の各レコードの値を必要とするかどうかを示すオプション。
長さ	属性値に許可される最大文字数。
デフォルト値	属性のオプションのデフォルト値。 **Flag** 属性のデフォルト値を `1` に設定します。 **注:** 主キーとして割り当てられる属性にはデフォルト値を入力しないでください。

9. [完了] を選択します。
10. [作成されたデータエクステンション] ダイアログ ボックスで、[**OK]** を選択します。

データエクステンションにコンタクト数レポートデータをインポートする自動化を構築する

レポートの生成後に、連絡先数レポートのデータをデータエクステンションに自動的にインポートする自動化を作成します。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. インスタンスのページヘッダーで、利用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストを表示するアイコンをポイントSalesforceしますSalesforce Marketing Cloud。
2. **Journey Builder** アプリケーションアイコンを選択し、**Automation Studio** を選択します。
   Automation Studio アプリの概要が開きます。
3. [新しい自動化] を選択します。
   新しい自動化のワークフローが開きます。
4. 自動化スケジュールを作成するには、左側のメニューペインの [開始ソース] セクションからワークフローキャンバスの [開始ソース] セクションに [スケジュール] アイコンをドラッグします。
5. 自動化のスケジュールを定義します。

   a. ワークフロー キャンバスの 開始ソース セクションで、 構成 を選択します。

   b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[スケジュールの定義] ダイアログボックス

フィールド	説明
開始日	自動化の実行を開始する日時。
タイムゾーン	自動化がスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	自動化を実行する頻度。連絡先数レポートが生成された後に実行するように自動化を設定します。 ヒント: レポートが生成されたのと同じ日に自動化を実行するよう設定する場合は、レポートの生成が完了するのに十分な時間がある開始時刻を選択します。ServiceNow は、開始時間をレポート開始時間から 2 時間以上後にすることをお勧めします。
終了	自動化スケジュールが終了するまでに自動化を実行できる回数。自動化スケジュールを終了しない場合は、このフィールドを [しない] に設定します。

6. スクリプト アクティビティを追加して、それを必要とするすべてのアクティビティに対してサーバー側 JavaScript を実行します。

   a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[スクリプト] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
   スクリプトアクティビティは、自動化ワークフローの最初のステップになります。

   b. スクリプトアクティビティのステップで [選択] を選択します。
   [スクリプトアクティビティを選択 (Choose Script Activity)] ダイアログボックスが開きます。

   c. [**Create New Script Activity**] を選択します。
   [新しいスクリプトアクティビティを作成] ダイアログボックスが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

d. 「プロパティ」ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
名前	スクリプトアクティビティの名前。
外部キー	スクリプトアクティビティを一意に識別するオプションのキー。事前定義されたキーを使用することも、任意のキーを入力することもできます。
フォルダーの場所	スクリプトを保存する場所。このフィールドは自動的に [スクリプト] に設定されます。[選択] を選択して、別の場所を選択します。
説明	スクリプトアクティビティの説明。

e. 次のサーバーサイド JavaScript をコピーして、[サーバーサイド JavaScript] テキストボックスに貼り付けます。

```
<script runat="server">
var rows = Platform.Function.DeleteData('*<data-extension-name>*',['Flag'],['1']);
</script>
```

f. [構文の検証] を選択して、サーバーサイドの JavaScript 構文が有効であることを確認します。

g. [次へ] を選択します。

h. [概要] ステップで、スクリプト アクティビティの構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

7. 連絡先数レポートを SFTP レポートフォルダーから SFTP インポートフォルダーにコピーするデータ抽出アクティビティを追加します。
インスタンスは Salesforce Marketing Cloud 、SFTP インポートフォルダーを使用してレポートデータを検索し、データエクステンションにインポートします。インスタンスで連絡先数レポートから対応するデータエクステンションにデータをインポートできるようにするには、レポートを SFTP インポートフォルダーにコピーする必要があります。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[データ抽出] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
データ抽出アクティビティは、自動化ワークフローの 2 番目のステップになります。

b. データ抽出アクティビティのステップで [選択] を選択します。
[データ抽出アクティビティの選択] ダイアログ ボックスが開きます。

c. [**Create New Data Extract Activity** (新しいデータ抽出アクティビティの作成)] を選択します。
[新しいデータ抽出アクティビティを作成 (Create New Data Extract Activity)] ダイアログ ボックスが開きます。

d. 「プロパティ」ステップで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティフィールド

フィールド	説明
名前	データ抽出アクティビティの名前。
外部キー	データ抽出アクティビティを一意に識別するオプションのキー。事前定義されたキーを使用することも、任意のキーを入力することもできます。
ファイル命名パターン	データの抽出元となる連絡先数レポートのファイル名。この名前は、 で での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と完全に一致する必要があります。
抽出タイプ	データ抽出メソッド。このフィールドを [拡張 **FTP** ファイルの移動とコピー] に設定します。
説明	データ抽出アクティビティの説明。

e. [次へ] を選択します。

f. [構成] ステップで、フィールドに入力します。

構成フィールド

フィールド	説明
入力フォルダー	連絡先数レポートを保存した場所。「\reports\」と入力します。
出力フォルダー	レポートのコピー先の場所。「\Import\」と入力します。
フォルダーにコピー	入力フォルダーから出力フォルダーにレポートを移動する代わりにコピーするオプション。このオプションを使用すると、レポートを両方の場所に保持できます。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

g. [次へ] を選択します。

h. [概要] ステップで、データ抽出アクティビティの構成が正しいことを確認し、 [完了] を選択します。

8. ファイルのインポートアクティビティを追加して、連絡先数レポートのデータをデータエクステンションにインポートします。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[ファイルのインポート] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
ファイルのインポートアクティビティは、自動化ワークフローの 3 番目のステップになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ファイルのインポートアクティビティステップで [選択] を選択します。
[Choose Import File Activity] ダイアログボックスが開きます。

c. [新しいインポート ファイル アクティビティの作成] を選択します。
[新しいインポートファイルアクティビティを作成] ダイアログボックスが開きます。

d. [アクティビティ情報] ステップで、フィールドに入力します。

アクティビティ情報フィールド

フィールド	説明
名前	ファイルインポートアクティビティの名前。
説明	ファイルのインポートアクティビティの説明。
外部キー	インポートファイルアクティビティを一意に識別するオプションのキー。事前定義されたキーを使用することも、任意のキーを入力することもできます。
通知メールの送信先	インポート完了時に通知を送信するメールアドレス。 メールアドレスを指定すると、インポートが成功したときに、挿入および更新された行の数を含む通知メールがそのアドレスに送信されます。 **重要:** インポートされた CSV ファイルに空の行が存在するため、通知メールに無効な フィールド数の 検証エラーが含まれています。これらの空行は、レポートを FTP に保存すると自動的に表示されます。ただし、統合には影響しません。

e. [次へ] を選択します。

f. 「ファイルのインポート」ステップで、フィールドに入力します。

[ファイルをインポート] フィールド

フィールド	説明
ファイルの場所	データのインポート元の連絡先数レポートの場所。「ExactTarget **Enhanced FTP**」を選択します。
ファイル命名パターン	データのインポート元の連絡先数レポートのファイル名。この名前は、 で での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と完全に一致する必要があります。
日付形式	レポートデータの日時の表示形式。
区切り文字	各レポートレコードを区切る形式。各レコードをカンマで区切るには 、カンマ を選択します。 二重引用符を使用して各レコードを区切る場合は、[二重引用符 **(")** をテキスト区切り文字として尊重 する] オプションを有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
不正なデータ動作	不正なデータを含む行をスキップするオプション。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

g. [次へ] を選択します。

h. [宛先] ステップで、 で コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成作成したデータエクステンションを検索して選択します。

i. [次へ] を選択します。

j. 「マッピング」ステップで、「 追加」および「更新 」および 「序数によるマップ」のオプションを選択します。

k. プロンプトが表示されたら、[ファイルに列ヘッダーがあるインポートファイル] オプションを有効にし、各データ拡張属性を連絡先数レポートの対応する列番号にマッピングします。

> **注:**
> 「フラグ」属性はマップしないままにします。

l. [次へ] を選択します。

m. [確認] ステップで、ファイルのインポート アクティビティの構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

9. **[Save** (保存)] を選択します。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[自動化を保存] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	自動化の名前。
説明	自動化の説明。
外部キー	自動化を一意に識別するオプションのキー。
ロケーション	自動化を保存する場所。

11. **[Save** (保存)] を選択します。
12. ワークフロー キャンバスの [開始ソース] セクションで、[アクティブ] を選択します。
13. [スケジュールのアクティブ化の確認 (Activate Schedule Confirmation)] ダイアログボックスで、[アクティブ化 **(Activate**)] を選択して自動化スケジュールをアクティブ化します。

連絡先数レポートデータを手動で取得する

コンタクト数レポート、データエクステンション、および自動化を作成した後、これらのジョブを手動で実行することで、スケジュール設定済みレポートと自動化ジョブの間でレポートデータを取得できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて
インスタンス Salesforce Marketing Cloud は、定義したスケジュールに基づいてレポートと自動化ジョブを自動的に実行します。次のスケジュール設定済みレポートおよび自動化ジョブの前に連絡先数レポートデータを取得する場合は、これらのジョブを手動で実行できます。

手順

1. 連絡先数レポートを実行します。

a. インスタンスのページヘッダーで、利用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストを表示するアイコンをポイントSalesforceしますSalesforce Marketing Cloud。

b. 分析ビルダー アプリ アイコンを選択し、[レポート] を選択します。
レポートアプリの概要が開きます。

c. レポートのリストから、で での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud作成した連絡先数レポートを選択します。

d. [実行] を選択します。
インスタンスで Salesforce Marketing Cloud レポートが生成され、結果が [結果:<レポート名> ページに表示されます。

e. [結果:<レポート名>ページで、[FTP 結果(FTP Results)] アイコン([ )を選択します。

f. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[FTP Report Results] ダイアログボックス

フィールド	説明
ファイル名	ファイル拡張子を除いたレポートのファイル名。
FTP の場所	Salesforce Marketing Cloud FTP ファイルの場所。「ExactTarget 拡張 **FTP**」を選択して、レポートが SFTP(SSH ファイル転送プロトコル)レポートフォルダーに保存されるようにします。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは、自動的に [連絡先数] に設定されます。
フォーマット	レポート結果を受け取るファイルの種類とファイル拡張子。[データファイル**(.csv)**]を選択します。

g. **[Save** (保存)] を選択します。

2. 自動化を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. インスタンスのページヘッダーで、利用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストを表示するアイコンをポイントSalesforceしますSalesforce Marketing Cloud。

b. **Journey Builder** アプリケーションアイコンを選択し、**Automation Studio** を選択します。
で データエクステンションにコンタクト数レポートデータをインポートする自動化を構築する
作成した自動化のワークフローが、Automation Studio アプリで開きます。

c. ワークフロー キャンバスの 開始ソース セクションで、 一時停止 を選択します。

d. [スケジュール確認の一時停止 (Pause Schedule Confirmation)] ダイアログボックスで、[一時停止] を選択して自動化スケジュールを一時停止します。

e. ダイアログ ボックスが閉じたら、[**1** 回実行] を選択します。

f. 実行するアクティビティを選択するように求められたら、スクリプト、データ抽出、およびファイルのインポートアクティビティのチェックボックスをオンにします。

g. [実行] を選択します。

h. [1 回実行の確認] ダイアログ ボックスで、[今すぐ実行] を選択します。

タスクの結果
最新のコンタクト数レポートデータがデータエクステンションにインポートされます。

Salesforce Marketing Cloud OAuth 2.0 を使用した統合プロファイルの作成

Salesforce Marketing Cloud OAuth 2.0 を使用して統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡してサービスの古いライセンスを最適化しますSalesforce Marketing Cloud。

始める前に
統合プロファイルを作成するにはSalesforce Marketing Cloud、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ヒント:
追加のサブスクリプションコストが発生しないようにするには、プラグインをインストールし、非本番インスタンスで統合を構築します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール:sn_sforce_mc_spokeSalesforce マーケティングクラウド管理者

このタスクについて
を使用している Software Asset ワークスペース場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Salesforce Marketing Cloud オプションは無効です。

手順
1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルなどです。
認証タイプ	API にアクセスする Salesforce Marketing Cloud ための認証のタイプ。 ○ 基本認証 ○ OAuth 2.0:この値を選択します。 注: 新しい Salesforce Marketing Cloud プロファイルの場合、認証タイプはデフォルトで [基本認証] に設定されます。
接続と資格情報	Salesforce Marketing Cloud の接続と認証情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_sforce_mc_spoke に設定されます。SalesforceMarketingCloudSoapConnection です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は、自動的に **Salesforce Marketing Cloud** サブスクリプションに設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	
サブフロー	この項目は、自動的に **[Salesforce Marketing Cloud** ダウンロードサブスクリプション] に設定されます。 現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。
サブスクリプションサブフローの再利用	
サブフロー	このフィールドは自動的に **[Salesforce Marketing Cloud Reclaim Subscription**] に設定されます。
消費サブフローのダウンロード	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
サブフロー	このフィールドは、 自動的に **[Salesforce Marketing Cloud** ダウンロード連絡先の消費 **(Salesforce Marketing Cloud Download Contacts Consumption)]** に設定されます。
統合属性	
属性	カウント日、連絡先、メール連絡先、モバイル連絡先などの名前と値の属性は、統合プロファイルに自動的に入力されます。 要件に基づいて属性を追加または削除できます。 **注:** 属性名は、instance の Salesforce Marketing Cloud レポート列ヘッダーと一致する必要があります。詳細については、「コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成」を参照してください。

3. **[Save** (保存)] を選択します。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、「 Salesforce Marketing Cloud サブスクリプションのダウンロード」、「サブスクリプションの再利用」 Salesforce Marketing Cloud 、および Salesforce Marketing Cloud 「連絡先の消費のダウンロード」サブフローを使用して、サービスから Salesforce Marketing Cloud ユーザーデータを取得します。
4. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューを選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
5. [接続 & 資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	接続の名前。例：SFMC SOAP 接続。
SOAP 接続 URL	SOAP 接続エンドポイントの URL。「https://<*subdomain*>.soap.marketingcloudapis.com/Service.asmx」と入力します。ここで、<*subdomain*> は Salesforce Marketing Cloud サブドメインです。
資格情報	
OAuth クライアント ID	作成時に生成したクライアント ID Salesforce Marketing Cloud OAuth 資格情報.
OAuth クライアントシークレット	OAuth 資格情報の作成 Salesforce Marketing Cloud 時に取得したクライアントシークレットです。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance_name>/oauth_redirect.do (インスタンス名はインスタンスの名前 ServiceNow)
後処理に使用される追加情報	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
連絡先数データエクステンション (Contacts Counts Data Extension)	連絡先数のレポートデータを取得するデータエクステンションの名前。この名前は、「」で コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成作成したデータ拡張の名前と完全に一致する必要があります。

7. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
   OAuth トークンフローが正常に完了しました。
8. **[Save** (保存)] を選択します。
9. 統合プロファイルに戻り、 [公開] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

追加の **Salesforce Marketing Cloud** 統合プロファイルの作成

ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスを最適化する追加 Salesforce Marketing Cloud ごとに統合プロファイルを作成します。

始める前に
統合プロファイルを作成するにはSalesforce Marketing Cloud、からプラグイン SaaS ライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。 ServiceNow Store

必要なロール:sam_integrator または admin

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール:sn_sforce_mc_spokeSalesforce マーケティングクラウド管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
を使用しているSoftware Asset ワークスペース場合、統合コア UIプロファイルを作成するSalesforce Marketing Cloudオプションは無効になっています。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルなどです。
認証タイプ	API にアクセスする Salesforce Marketing Cloud ための認証のタイプ。 ○ 基本認証 ○ OAuth 2.0:この値を選択します。 **注:** 新しい Salesforce Marketing Cloud プロファイルの場合、認証タイプはデフォルトで [基本認証] に設定されます。
接続と資格情報	Salesforce Marketing Cloud の接続と認証情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_sforce_mc_spoke に設定されます。SalesforceMarketingCloudSoapConnection です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は、自動的に **Salesforce Marketing Cloud** サブスクリプションに設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	
サブフロー	この項目は、自動的に **[Salesforce Marketing Cloud** ダウンロードサブスクリプション] に設定されます。 現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
サブスクリプションサブフローの再利用	
サブフロー	このフィールドは自動的に **[Salesforce Marketing Cloud Reclaim Subscription]** に設定されます。
消費サブフローのダウンロード	
サブフロー	このフィールドは、 自動的に **[Salesforce Marketing Cloud** ダウンロード連絡先の消費 **(Salesforce Marketing Cloud Download Contacts Consumption)]** に設定されます。
統合属性	
属性	カウント日、連絡先、メール連絡先、モバイル連絡先などの名前と値の属性は、統合プロファイルに自動的に入力されます。 要件に基づいて属性を追加または削除できます。 **注:** 属性名は、instance の Salesforce Marketing Cloud レポート列ヘッダーと一致する必要があります。詳細については、「コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成」を参照してください。

3. [**Connection & Credential** (接続および資格情報)] フィールドの横にあるプレビューアイコン ()ⓘ を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
4. レコードのプレビューで [レコードを開く] を選択します。
5. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、この統合プロファイルの接続と資格情報を一意に識別できる子エイリアスを作成します。
   作成する最初の Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルでは、Salesforce にデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

   a. 次のリンクを選択します。 子エイリアス > **Parentalias=***** をクリックして子エイリアスを追加します。

   b. **[New** (新規)] を選択します。
   子エイリアスの [接続および資格情報エイリアス] フォームが開きます。

   c. [名前] フィールドに子エイリアスの名前を入力します。

   d. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

   e. フォームを再ロードした後に、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	接続の名前。例：SFMC SOAP 接続。
SOAP 接続 URL	SOAP 接続エンドポイントの URL。「https://<*subdomain*>.soap.marketingcloudapis.com/Service.asmx」と入力します。ここで、<*subdomain*> は Salesforce Marketing Cloud サブドメインです。
資格情報	
OAuth クライアント ID	作成時に生成したクライアント ID Salesforce Marketing Cloud OAuth 資格情報.
OAuth クライアントシークレット	OAuth 資格情報の作成 Salesforce Marketing Cloud 時に取得したクライアントシークレットです。
OAuth リダイレクト URL	https://<instance_name>/oauth_redirect.do (インスタンス名はインスタンスの名前 ServiceNow)
後処理に使用される追加情報	
連絡先数データエクステンション (Contacts Counts Data Extension)	連絡先数のレポートデータを取得するデータエクステンションの名前。この名前は、「」で コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成作成したデータ拡張の名前と完全に一致する必要があります。

7. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
   OAuth トークンフローが正常に完了しました。
8. **[Save** (保存)] を選択します。
9. 統合プロファイルに戻り、 [公開] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

す。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

SAP SuccessFactors との統合

インスタンスをアプリケーションとSAP SuccessFactors統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

重要:

から次のアプリケーションを要求してインストールする必要があります ServiceNow Store:

- SaaS ライセンス管理
- SuccessFactors Spoke
- ソフトウェア資産管理 と SuccessFactors との統合

- インストールされている SAP SuccessFactors スポークのバージョンが 3.1.5 以前の場合は、次のステップを実行します。
  1. の基本認証の設定 SAP SuccessFactors
  2. SAP SuccessFactors接続の作成
  3. SAP SuccessFactors統合プロファイルの作成
- インストールされている SAP SuccessFactors スポークのバージョンが 4.0.0 以上の場合は、次のステップを実行します。
  1. への OAuth アプリケーションの登録 SuccessFactors
  2. ServiceNow インスタンスへの JKS 証明書のアップロード
  3. OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録
  4. SAML2 アサーションプロデューサーレコードの作成
  5. OData API の資格情報レコードを作成
  6. OData API の接続レコードを作成
  7. SAP SuccessFactors統合プロファイルの作成

の基本認証の設定 SAP SuccessFactors

API へのアクセス SAP SuccessFactors を有効にするために基本認証を設定します。

始める前に
SAP SuccessFactors 必要なロール：admin

手順

1. 管理者資格情報 SAP SuccessFactors を使用してインスタンスにログインします。
2. インスタンスのページヘッダーで、 ホーム > **Admin Center**.
3. API アクセス権限を割り当てるグループを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
管理者ユーザーは自動的に API にアクセスできる SuccessFactors ため、このグループには管理者以外のユーザーのみを含めます。

a. Admin Center の [ツール検索] フィールドで、[権限グループの管理] を検索して選択します。

b. [権限グループ(Permission Group)] ダイアログボックスで、[グループ名 (Group Name)] フィールドに権限グループの名前を入力します。

c. [グループメンバーの選択] セクションで、この権限グループに含めるユーザーまたはユーザーグループをユーザープールに追加して指定します。

ユーザー プールを使用すると、アクセス許可グループに含めるか除外するユーザーまたはユーザー グループのセットを指定できます。すべてのユーザーとユーザー グループを 1 つのユーザー プールに含めることも、異なるユーザー プールにグループ化することもできます。たとえば、組織内の部門またはオフィスの場所ごとに異なるユーザー プールを作成できます。

ユーザーまたはユーザーグループをユーザープールに追加するには、[ユーザー名] などの識別カテゴリを選択し、対応するテキストボックスに各ユーザーまたはユーザーグループを入力します。各エントリはコンマで区切る必要があります。

[別のカテゴリを追加] をクリックすると、1 つのユーザー プールに複数の識別カテゴリを適用できます。[別のユーザー プールの追加] をクリックして、ユーザー プールを追加することもできます。

d. オプション: [グループからこれらのユーザーを除外する] セクションで、このアクセス許可グループから除外するユーザーまたはユーザー グループをユーザー プールに追加して指定します。

(Optional) ユーザーまたはユーザーグループをユーザープールに追加するには、[ユーザー名] などの識別カテゴリを選択し、対応するテキストボックスに各ユーザーまたはユーザーグループを入力します。各エントリはコンマで区切る必要があります。

[別のカテゴリを追加] をクリックすると、1 つのユーザー プールに複数の識別カテゴリを適用できます。[別のユーザー プールの追加] をクリックして、ユーザー プールを追加することもできます。

e. [完了] を選択します。

4. グループの API アクセス権限を設定します。

a. Admin Center の [ツール検索] フィールドで、[権限ロールの管理] を検索して選択します。

b. [新規作成] を選択します。

c. [権限ロールの詳細] フォームで、[ロール名] フィールドに権限ロールの名前を入力します。

d. オプション: [説明] フィールドに権限ロールの説明を入力します。

e. [アクセス許可の設定] で [アクセス許可...] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. [アクセス許可の設定] ダイアログ ボックスで、左側のナビゲーション ウィンドウから [統合ツールの管理] を選択します。

g. [**Allow Admin to Access OData API through Basic Authentication**] チェックボックスをオンにします。

h. 左側のナビゲーションペインから **[Employee Central API**] を選択します。

i. [従業員セントラル **HRIS OData API** (編集可能)] チェックボックスをオンにします。

j. [完了] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[権限ロール詳細] フォームに戻ります。

k. [この ロールの付与先] タブで、[追加] を選択して、手順 4 で作成したアクセス許可グループを検索して選択します。
この権限グループを追加すると、関連付けられたユーザーとユーザーグループが、この権限ロールで有効になっている API にアクセスできるようになります。

l. [変更内容を保存] を選択します。

SAP SuccessFactors接続の作成

OData API とServiceNowインスタンス間のSAP SuccessFactors接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer**.
Flow Designer が新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. SuccessFactors_OData接続の [詳細の表示] を選択します。
4. 利用可能な接続のリストから、SuccessFactors_ODataを検索して選択します。
5. [設定] を選択します。
6. [接続を設定] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	SuccessFactors_OData接続の名前。
接続URL	インスタンスの SAP SuccessFactors OData API URL。
ユーザー名	管理者アカウントのユーザー名 SAP SuccessFactors 。でのの基本認証の設定 SAP SuccessFactorsインスタンスへのログインSAP SuccessFactorsに使用したものと同じユーザー名を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
パスワード	管理者アカウントのパスワード SAP SuccessFactors 。でのの基本認証の設定 SAP SuccessFactorsインスタンスへのログインSAP SuccessFactorsに使用したものと同じパスワードを入力します。

7. [接続を設定] を選択します。

への **OAuth** アプリケーションの登録 **SuccessFactors**

keystore.jks ファイルと keystore.cer ファイルを生成して、マスター データ サービスからのSAPアウトバウンド通信のクライアント証明書認証を有効にします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のいずれかの方法を使用して、JKS 証明書を作成します。

- 「秘密鍵と証明書チェーンを使用した Java Keystore (JKS) の作成」トピックのステップに従います。 SAP ヘルプポータル.
- Java JDK 8 と Open SSL をインストールし、ターミナルで次のコマンドを実行します。

  a. `openssl genrsa -out private.key 2048`

  private.keyファイルが生成されます。

  b. `openssl req -new -x509 -key private.key -out publickey.cer -days 365`

  識別名(DN)の詳細を入力します。publickey.cerファイルが生成されます。

  c. `openssl pkcs12 -export -in publickey.cer -inkey private.key -out successfactors.p12 -name "successfactors"`

  パスワードの入力を求められます。successfactors.p12 ファイルは、手順 a と手順 b で作成された秘密鍵と公開鍵を使用して生成されます。

  d. `keytool -importkeystore -srckeystore successfactors.p12 -srcstoretype pkcs12 -destkeystore successfactors.jks`

  宛先ファイルとソースファイルのパスワードの入力を求められます。successfactors.jks ファイルは、ステップ c で作成した successfactors.p12 ファイルを使用して作成されます。

  > **注:**
  > 手順 c と d で同じパスワードを入力してください。たとえば、手順 c で `123456` パスワードを入力した場合は、手順 d でもパスワードとして `123456` を入力する必要があります。

2. 管理者として SuccessFactors アカウントにログインします。

3. [管理センター] に移動し、[会社の設定] を選択します。

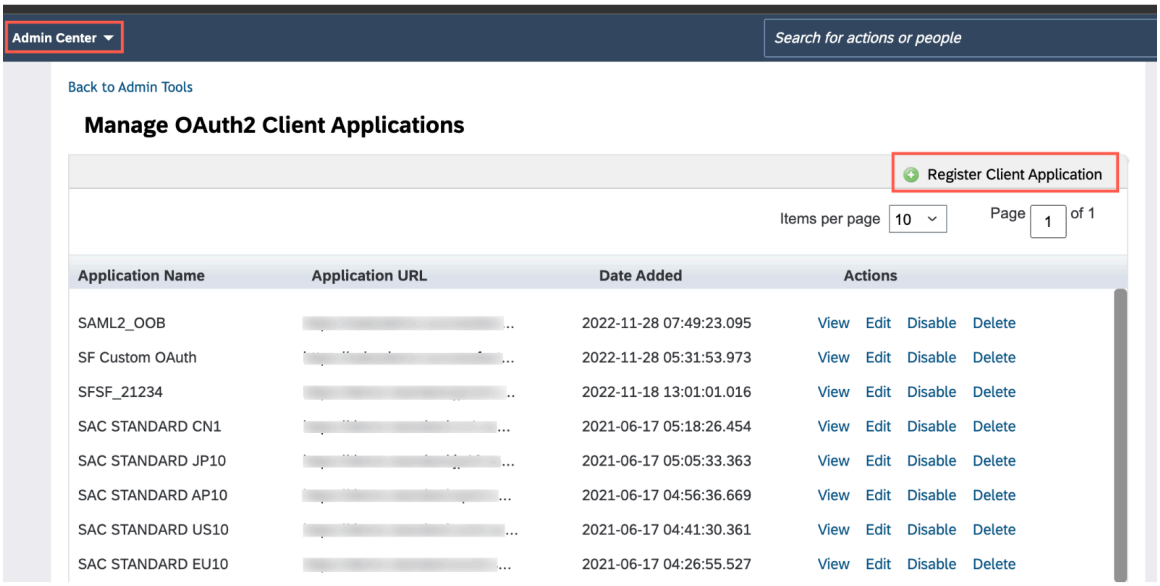
4. [**OAuth2** クライアント アプリケーションの管理] を選択します。

5. [クライアント アプリケーションの登録] を選択します。

6. フォームで必要な詳細を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[**X.509** 証明書] フィールドに、ヘッダーなしで publickey.cer ファイル (公開鍵) の内容を入力します。

7. [送信] を選択します。

タスクの結果
API キーが生成され、表示されます。

次のタスク
後で使用するために生成された API キーをコピーし、値を記録します。

ServiceNow インスタンスへの **JKS** 証明書のアップロード

ServiceNow インスタンスに JKS 証明書をアップロードして、アウトバウンド通信のクライアント証明書の認証を有効にします。

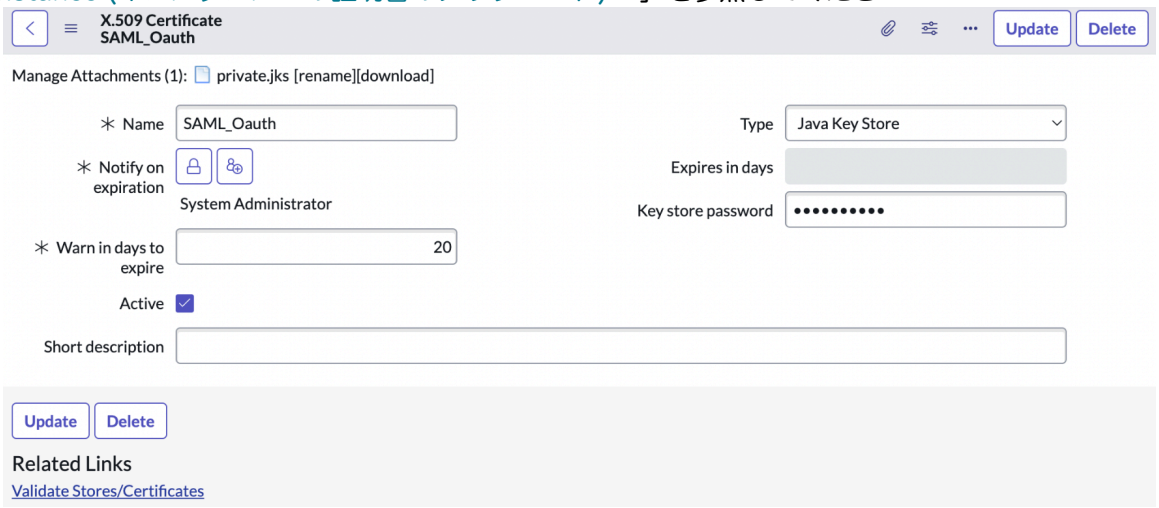
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 管理者として ServiceNow インスタンスにログインします。
2. JKS 証明書を ServiceNow インスタンスにアップロードします。
   JKS 証明書をアップロードする手順については、「Upload a certificate to an instance (インスタンスへの証明書のアップロード)」を参照してくださ



い。

OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録

クライアントアプリケーションの構成中に生成された API キーを使用して、アプリケーションを OAuth プロバイダーとして登録します。

始める前に
アプリケーションスコープをスポークに変更します SuccessFactors 。

必要なロール：admin

手順

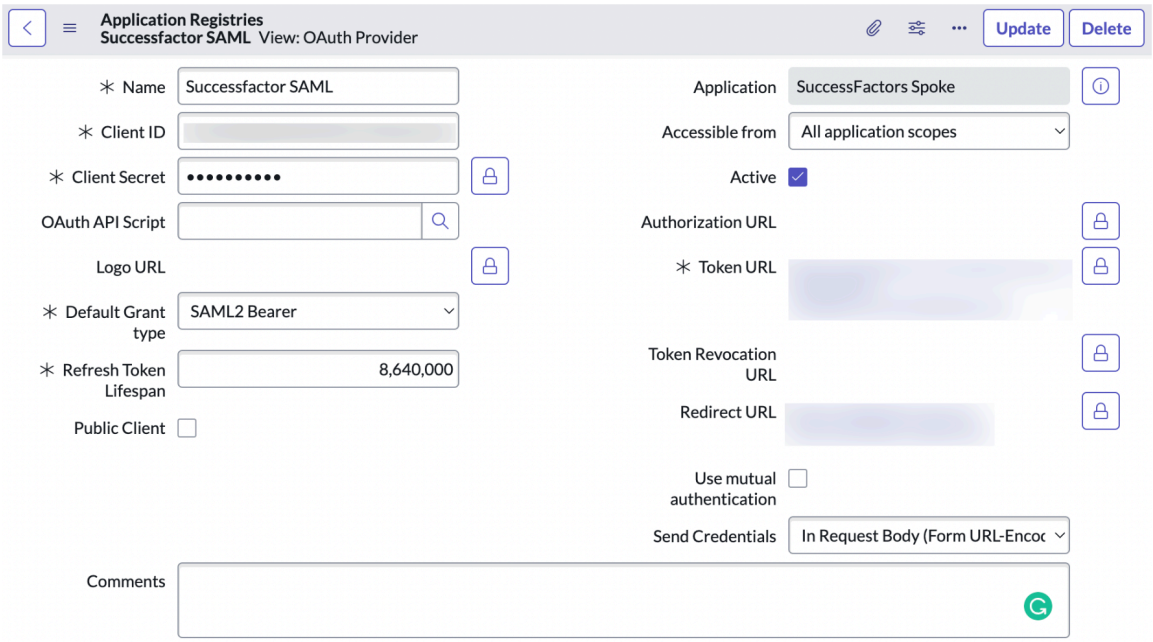
1. ServiceNowインスタンスで、 システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	証明書を識別する一意の名前。 例：SuccessFactors SAML。
クライアント ID	OAuth クライアントアプリケーションを SuccessFactors に登録した後、コピーした API キーの値。
クライアントシークレット	注: クライアントシークレットは、アプリケーションを OAuth プロバイダーとして登録する場合には必要ありません。このフィールドには任意の値を指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
デフォルトの権限許可タイプ	トークンを確立するために使用するデフォルトの権限許可タイプです。**[SAML2** ベアラー] を選択します。
トークン URL	次の形式の会社 ID を含む SuccessFactors OAuth サーバー エンドポイント URL：https://<SuccessFactors_Instance_Name>/oauth/token?company_id=<Company_ID>。 例：https://example.successfactors.eu/oauth/token?company_id=SFCPART123456。



4. [送信] をクリックします。

SAML2 アサーションプロデューサーレコードの作成

SAML2 アサーションレコードを作成し、SAML2 アサーションを生成して、プロバイダーとアクセストークンのアサーションを交換します。

始める前に

アプリケーションスコープをスポークに変更します SuccessFactors 。

必要なロール：admin

手順

1. インスタンスで SAML2 アサーションプロデューサーレコードを作成します。

   a. 移動先 すべて > システム **OAuth** > **SAML2** アサーションプロデューサー.

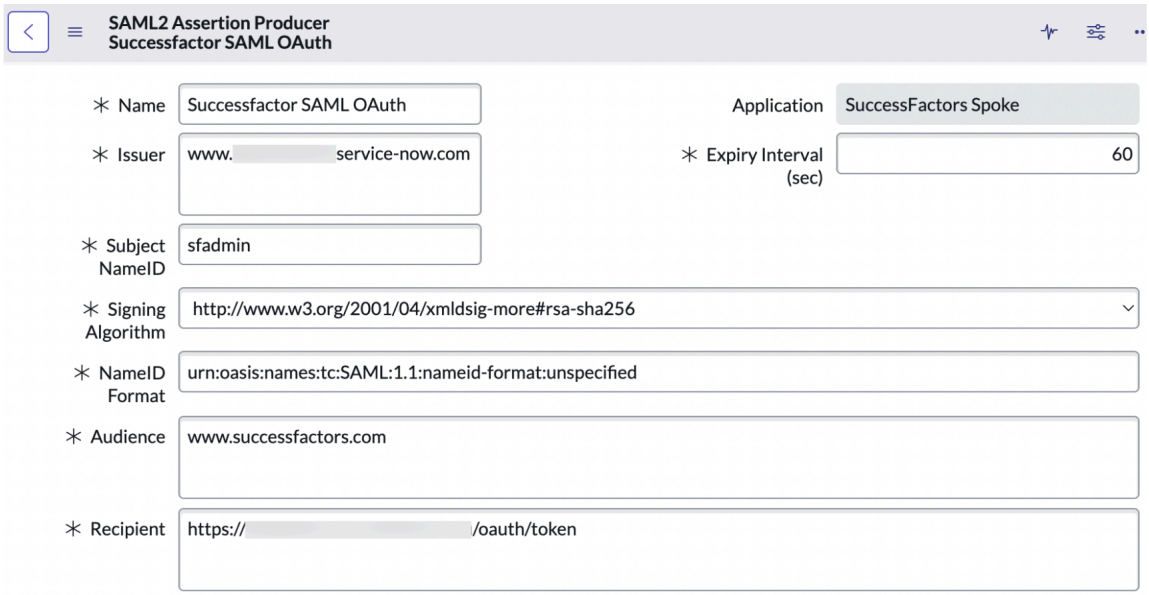
   b. **[New** (新規)] をクリックします。

   c. フォームに、これらの値を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
名前	SAML2 アサーションプロデューサーレコードを一意に識別する名前です。例：Successfactor SAML OAuth。
Issuer	アサーション発行エンティティの一意の識別子。ServiceNow インスタンスの URL を入力します。
件名 NameID	SuccessFactors インスタンスにログインするためのユーザー名。例：sfadmin。
対象者	アサーションの対象者。値「www.successfactors.com」を入力します。
受信者	アサーションの対象受信者。https://<SuccessFactors-Instance-Name>/oauth/token の形式で URL を入力します。



d. フォームヘッダーを右クリックし、 [保存] をクリックします。

e. **[SAML2** アサーションキーストア] タブで、[新規] をクリックします。

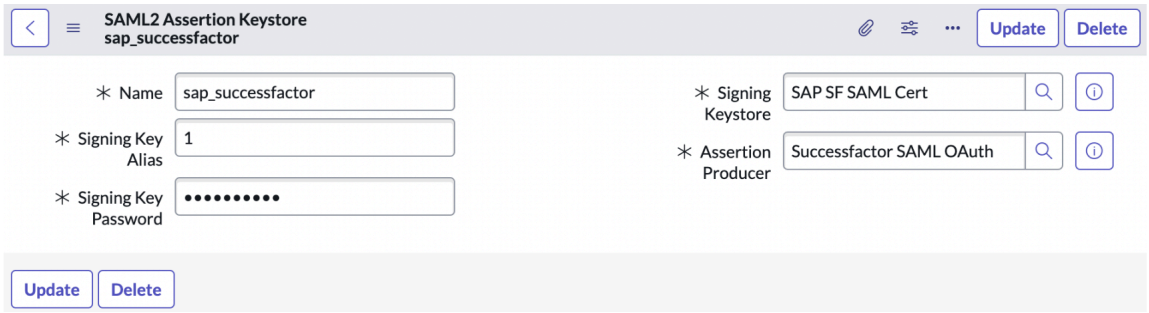
f. フォームに、これらの値を入力します。

フィールド	説明
名前	SAML2 アサーションキーストアレコードを識別する一意の名前です。たとえば、successfactors などです。
署名キーエイリアス	アサーションの署名に使用するキーストアに保存されるキーエントリのエイリアス。たとえば、successfactors などです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
署名キーパスワード	アサーションの署名に使用するキーストアに保存されるキーエントリのパスワード。
署名キーストア	必要な X.509 証明書レコード。以前に作成した X.509 証明書レコードを選択します。詳しくは、「ServiceNow インスタンスへの JKS 証明書のアップロード」を参照してください。



g. **[Submit** (送信)] をクリックします。

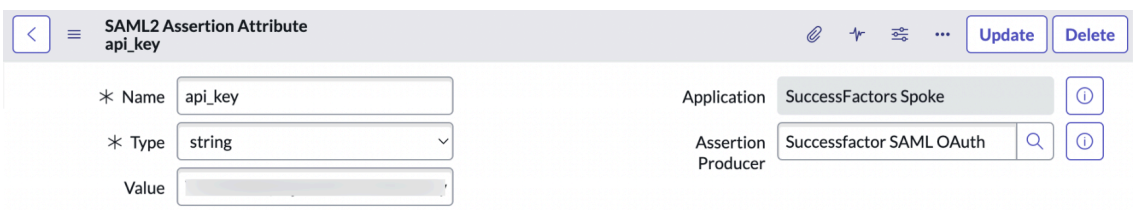
h. 移動先 すべて > システム **OAuth** > **SAML2** アサーションプロデューサー.

i. 作成した SAML2 アサーションプロデューサーレコードを開きます。
例：**Successfactor SAML OAuth**。

j. **[SAML2** アサーション属性] タブで、[新規] をクリックします。

k. フォームに、これらの値を入力します。

フィールド	説明
名前	SAML2 アサーション属性レコードを識別する名前です。「api_key」と入力します。
タイプ	[値] フィールドのタイプ。文字列を選択します。
値	OAuth クライアントアプリケーションが SuccessFactors で作成された後に生成された API キー。



l. [送信] をクリックします。

2. SAML2 アサーションプロデューサーをアプリケーションレジストリーレコードに関連付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

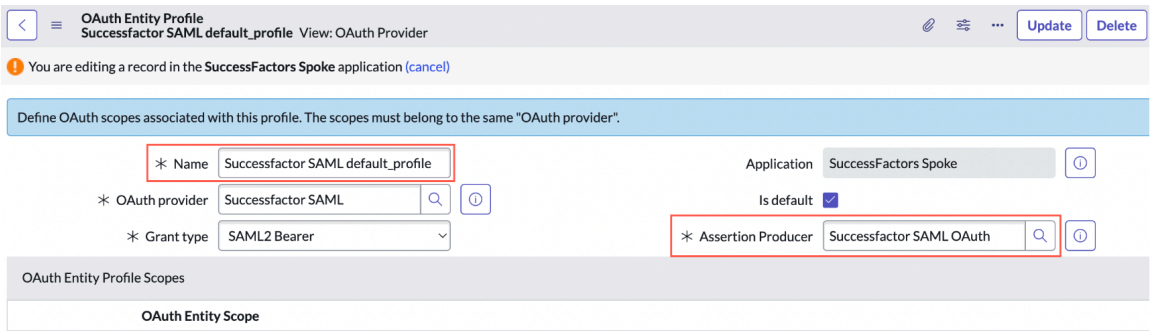
自動翻訳

a. 移動先 システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー.

b. 作成したアプリケーションレジストリーレコードを開きます。
例：**SuccessFactors OAuth Reg**。アプリケーションレジストリの作成の詳細については、「OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録」を参照してください。

c. **[OAuth** エンティティプロファイル] タブで、デフォルトの OAuth エンティティプロファイルレコードを開きます。
例：**Successfactor SAML default_profile**。

d. [アサーションプロデューサー] フィールドで、作成した SAML2 アサーションプロデューサーレコードを選択します。
例：**Successfactor SAML**



OAuth。

e. [更新] をクリックします。

OData API の資格情報レコードを作成

で SuccessFactorsOData API の接続レコードを作成します。SuccessFactors スポークの接続および資格情報エイリアスでは、これらの接続を使用して SuccessFactors でアクションを実行します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 接続 **&** 資格情報 > 資格情報.

2. **[New** (新規)] をクリックします。
「作成する資格情報のタイプは？」というメッセージが表示されます。

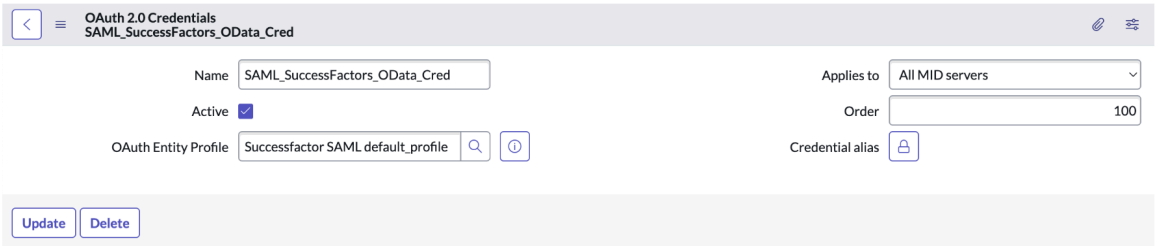
3. **[OAuth 2.0** 資格情報] を選択します。
空の OAuth 2.0 資格情報フォームが表示されます。

4. フォームに、これらの値を入力します。

フィールド	必要な値
名前	レコードを一意に識別する名前を入力します。たとえば、「SAML_SuccessFactors_OData_Cred」と入力します。
OAuth エンティティ プロファイル	作成した OAuth アプリケーションレジストリーに関連付けられている OAuth エンティティプロファイルレコード。例：Successfactor SAML default_profile。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	必要な値
	アプリケーションレジストリの作成の詳細については、「OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録」を参照してください。
有効	認証情報レコードをアクティブに使用するオプション。
順番	この資格情報を適用する順番。たとえば、「100」と入力します。



5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
OData API を使用してアクションを許可する資格情報レコードが作成されます。

OData API の接続レコードを作成

で SuccessFactorsOData API の接続レコードを作成します。SuccessFactors スポークの接続および資格情報エイリアスでは、これらの接続を使用して SuccessFactors でアクションを実行します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 接続 **&** 資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. **[SuccessFactors OData]** のレコードを開きます。
   例：**SuccessFactors_OData**。
3. [接続] タブで、[新規] をクリックします。
   空の HTTP(s) 接続フォームが表示されます。
4. フォームに、これらの値を入力します。

HTTP(S) 接続フォーム

フィールド	説明
名前	レコードを一意に識別する名前を入力します。 例： SAML_SuccessFactors_OData_Conn。
認証情報	OData API 用に作成された資格情報レコードです。 例：SAML_SuccessFactors_OData_Cred。
接続 URL	https://<SuccessFactors_Instance_Name>/odata/v2 形式の SuccessFactors サービスルート URL。たとえば、 https://apisalesdemo2.successfactors.eu/odata/v2。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	接続レコードを積極的に使用にするオプションです。

5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
SuccessFactorsの OData API の接続レコードが作成されます。

SAP SuccessFactors統合プロファイルの作成

SAP SuccessFactors統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますSAP SuccessFactors。

始める前に
- プラグイン (com.sn_sam_saas_int) はソフトウェア資産管理、ServiceNow Store からインストールする必要があります。 SaaS ライセンス管理

アプリケーションスコープを [グローバル] に変更します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する SuccessFactors オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、SuccessFactors Integration などです。
接続と資格情報	SAP SuccessFactors の接続と認証情報エイリアス。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [SuccessFactors サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが [SuccessFactors サブスクリプションサブフローのダウンロード] に設定されていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが [SuccessFactors ユーザーアクティビティサブフローを更新] に設定されていることを確認します。
5. [サブスクリプションサブフローの再利用 **(Reclaim Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー **(Subflow**)] フィールドが [SuccessFactors サブスクリプションの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] に設定されていることを確認します。
6. [保存] を選択します。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[SuccessFactors サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新]、SuccessFactors および SuccessFactors [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから SAP SuccessFactors ユーザーデータを取得します。
7. ユーザーログインレポートを生成して統合プロファイルに追加します SAP SuccessFactors 。このレポートは、ユーザーの最終アクティビティ日 SAP SuccessFactors を取得するために必要です。ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルでユーザーの最終アクティビティの日付 SAP SuccessFactors を更新するたびに、このレポートの最新バージョンを生成して追加する必要があります。

   a. 管理者資格情報を使用してインスタンスにログインします SAP SuccessFactors 。

   b. インスタンスのページヘッダーで、 ホーム > **Admin Center**.

   c. 管理センターのページ ヘッダーで、[レポート] を選択します。

   d. 新規 を選択してレポートを作成します。

   e. 作成するレポートの種類を選択するように求められたら、 レポート - テーブル > 選択.

   f. [データをどのように構造化しますか?] で [単一ドメイン] を選択します。

   g. [どのデータから始めますか?] で [ログイン データ] を選択します。

   h. [選択] をクリックします。
      「ログイン・データの作成」レポート・ページが開きます。

   i. [一般情報] タブで、フィールドに入力します。

[一般情報] タブ

フィールド	説明
ドメイン	データの取得元のドメイン。このフィールドは自動的に [ログインデータ] に設定されます。
レポート名	レポートの名前。
説明	レポートの説明。
レポートの優先度	レポートの優先度。
スタイリングを削除	このチェックボックスの選択を解除します。

   j. [ユーザー] タブで、[条件の絞り込み] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

k. [チームを定義] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[チームを定義] ダイアログボックス

フィールド	説明
チームマネージャー	このレポートを作成するチームのマネージャー。[ログインユーザー] を選択します。
チームのレポートタイプ	チーム用に作成するレポートのタイプ。[その他のフィルター] を選択します。このレポートタイプを選択すると、レポート範囲を定義して、レポートに含めるユーザーグループをフィルタリングできます。詳細については、 ステップ 14 を参照してください。
非アクティブなユーザーを含める	非アクティブなチームメンバーをすべてレポートに含めるオプション。このオプションは選択しないままにします。

l. **[OK]** を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、「 人 」タブに戻ります。

m. オプション: 「人」タブの「レポート範囲の定義」セクションで、「部門」、「部署」、および「場所」レポート範囲を選択し、レポートに含めるユーザー・グループのフィルタ基準を定義します。
デフォルトでは、これらのレポート範囲のすべてのフィルター基準が有効になっています。

n. [列] タブで [**+** 列の選択] をクリックして、レポートに含めるデータ列を指定します。
必要に応じて、列をソート、グループ化、または並べ替えることができます。

o. レポートの 1 列目が [前回のログイン] で 2 列目が [ユーザー Sys ID] になるように、[前回のログイン] チェックボックスと [ユーザー Sys ID] チェックボックスをオンにします。

p. オプション: [構成] タブで、データ列にデータを日付のみで表示するか、日付と時刻の形式で表示するかを指定します。
該当するデータ列ごとに、[日付] (日付 のみ) または [タイムスタンプ] (日付 と時刻) のいずれかを選択します。各データ列の形式を選択したら、 [**OK]** を選択します。

q. [フィルター] タブで、レポートに表示されるデータを絞り込むためのフィルターを選択します。

r. 選択 基準を絞り込む > 従業員ログインの詳細 > 前回のログイン.
[前回のログインフィルターを定義] を含むポップアップが表示されます。

s. 選択 ルールによる > ルールを追加 タブに戻ります

t. ドロップダウンリストから、[次の値を超える]オプションを選択します。

u. レポートを生成する日付を入力します。
ファイルサイズを許容範囲内に収めるために、数週間以内の日付を選択する必要があります。

v. フィルターを選択した後、 [完了] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

w. [生成] を選択します。

x. 生成されたレポートの [ダウンロード] セクションで **[Excel**] を選択し、レポートを Excel ファイルとしてエクスポートします。

> 注:
> Excel ファイルは 5 MB 以下にする必要があります。

y. インスタンスに戻り ServiceNow 、 **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル.

z. SAP SuccessFactorsデータ連携プロファイルを選択します。

aa. [統合プロファイル] フォームヘッダーで、[添付ファイルを管理] アイコン ([

ab. [添付ファイル] ダイアログ ボックスで、[検索する ファイルの選択] を選択し、ユーザー ログイン レポートを選択します。

ac. レポートが正常にアップロードされたら、ダイアログボックスを閉じて統合プロファイルフォームに戻ります。

8. フォームが再ロードされたら、 [公開] を選択します。

9. [公開の確認] ダイアログ ボックスで、[**OK]** を選択します。

> 注:
>
> デフォルトでは、アクティビティジョブは 1 時間ごとに実行され、クリーンアップの一環として統合プロファイルに添付されたファイルを削除します。ファイルが見つからない場合、アクティビティジョブは失敗し、新しい添付ファイルがないことを示します。ジョブの失敗は、すでに更新されている最後のアクティビティには影響しません。
>
> 毎日または週に 1 回ファイルを添付する予定の場合は、 それに応じて **[SAM -** 成功要因アクティビティのリフレッシュ **(SAM - Refresh Success Factors Activity**)] スケジュール設定済みジョブの実行時間を更新できます。また、ファイルを添付するたびに、このジョブをオンデマンドで実行することもできます。
>
> SAP SuccessFactors にはアクティビティデータをプルするための API がないため、ジョブを実行するたびにファイルを添付する必要があります。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Slack とのデータ連携

ServiceNow インスタンスを Slack アプリケーションと統合して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

ServiceNow Slack 統合は Slack Enterprise Grid プランをサポートしています。このプランでは、組織全体で複数のワークスペースを接続できます。この統合を設定するには、Slack 組織アカウントでの組織所有者のアクセス権が必要です。このアクセスの詳細については、「Slack のメンバー種別」を参照してください。

Enterprise Grid Slack アプリケーションを作成する

Slack Enterprise Grid アプリケーションを作成して、組織全体の複数のワークスペースを管理および接続します。

始める前に

必要なロール:組織オーナー

手順

1. Web ブラウザーから Slack を開きます。
2. 資格情報を使用してサインインします Slack 。
3. Slack プラットフォーム に移動します。
4. プラットフォームの Slack ページヘッダーで、[自分のアプリ] をクリックします。
5. [アプリの作成] ページで、[アプリの作成] をクリックします。
   [Create a Slack App] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、[アプリ名**(App Name**)] フィールドにアプリケーション名を入力します。
7. [開発 Slack ワークスペース] リストから、アプリケーションを所属させるワークスペースを選択します。
8. [アプリを作成] をクリックします。
   プラットフォームによって Slack アプリケーションが作成され、[基本情報] ページにリダイレクトされます。このページを使用して、アプリケーション設定を表示および構成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [基本情報] ページで、[アプリの資格情報] セクションを展開し、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。
10. [機能の追加] セクションを展開し、[アクセス許可] をクリックします。
11. [OAuth と権限 (OAuth & Permissions)] ページで、アプリケーションと Slack API の間の対話を有効にする権限を設定します。

    a. [リダイレクト URL] セクションで、認証後にユーザーをリダイレクトする OAuth プロバイダーの URL を追加します。

       i. [**Add New Redirect URL**] をクリックします。

       ii. プロンプトが表示されたら、「 https://<*instance-name*>/oauth_redirect.do」と入力します。ここで<*instance-name*>はインスタンスの名前 ServiceNow です。

       iii. [追加] をクリックします。

       iv. [**URL** を保存] をクリックします。

    b. [ユーザートークンスコープ] セクションで、アプリケーションに admin OAuth スコープを追加します。

       OAuth スコープは、アプリケーションがユーザー、チャネル、およびワークスペースに対して持つアクセスのレベルを制限します。OAuth スコープの詳細については Slack 、「 OAuth 権限スコープ」 を参照してください。

       i. [**OAuth** スコープの追加] をクリックします。

       ii. プロンプトが表示されたら、[OAuth スコープ] リストから **[admin**] を選択します。

           この OAuth スコープにより、アプリケーションでワークスペースを管理できます。

           注:
           OAuth スコープの [説明] フィールドは、自動的に入力されます。

12. アプリケーションを有効化します。
    a. 左側のナビゲーションペインから、 設定 > 配布の管理.
    b. [アプリを他のワークスペースと共有する] で、[ハードコーディングされた情報の削除] セクションを展開します。
    c. アプリケーションにハードコードされた情報 (OAuth トークンなど) が含まれていないことを確認します。
    d. 確認後、[ハードコードされた情報を確認して削除 しました] チェック ボックスをオンにします。
    e. 他のすべてのセクションを完了していることを確認します。
    f. [**Activate Public Distribution**] をクリックします。

Slackワークスペースアプリケーションの作成

Slackユーザーアクティビティを追跡する各ワークスペースでアプリケーションを作成します。

始める前に
必要なロール:組織オーナー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Web ブラウザーから Slack を開きます。
2. 資格情報を使用してサインインします Slack 。
3. Slack プラットフォーム に移動します。
4. プラットフォームの Slack ページヘッダーで、[自分のアプリ] をクリックします。
5. [アプリの作成] ページで、[アプリの作成] をクリックします。
   [Create a Slack App] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、[アプリ名**(App Name**)] フィールドにアプリケーション名を入力します。
7. [開発 Slack ワークスペース] リストから、アプリケーションを所属させるワークスペースを選択します。
8. [アプリを作成] をクリックします。
   プラットフォームによって Slack アプリケーションが作成され、[基本情報] ページにリダイレクトされます。このページを使用して、アプリケーション設定を表示および構成します。
9. [基本情報] ページで、[アプリの資格情報] セクションを展開し、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
10. [機能の追加] セクションを展開し、[アクセス許可] をクリックします。
11. [OAuth と権限 (OAuth & Permissions)] ページで、アプリケーションと Slack API の間の対話を有効にする権限を設定します。

    a. [リダイレクト URL] セクションで、認証後にユーザーをリダイレクトする OAuth プロバイダーの URL を追加します。

       i. [**Add New Redirect URL**] をクリックします。

       ii. プロンプトが表示されたら、「 https://<*instance-name*>/oauth_redirect.do」と入力します。ここで<*instance-name*>はインスタンスの名前 ServiceNow です。

       iii. [追加] をクリックします。

       iv. [**URL** を保存] をクリックします。

    b. [ユーザートークンスコープ] セクションで、アプリケーションに admin OAuth スコープを追加します。

       OAuth スコープは、アプリケーションがユーザー、チャネル、およびワークスペースに対して持つアクセスのレベルを制限します。OAuth スコープの詳細については Slack 、「 OAuth 権限スコープ」 を参照してください。

       i. [**OAuth** スコープの追加] をクリックします。

       ii. プロンプトが表示されたら、[OAuth スコープ] リストから **[admin**] を選択します。

       この OAuth スコープにより、アプリケーションでワークスペースを管理できます。

       > **注:**
       > OAuth スコープの [説明] フィールドは、自動的に入力されます。

12. [OAuth & Permissions] ページの [OAuth Tokens & Redirect URLs] セクションで、[**Install App to Workspace**] をクリックします。
13. [許可] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Slack 指定されたワークスペースのアプリケーションを作成します。

14. アプリケーションを作成するワークスペースごとに、手順 4 ～ 13 を繰り返します。

Slackエンタープライズ接続の作成

Enterprise Grid アプリケーションとServiceNowインスタンス間のSlack接続を作成します。この接続により、インスタンスはアプリケーションからユーザーデータを取得できるようになります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer**.
フローデザイナー新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. エンタープライズ接続の Slack [詳細を表示] をクリックします。
4. 使用可能な接続の一覧から [エンタープライズ] を見つけ Slack 、[構成] をクリックします。
[接続の設定] ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、次のフィールドを入力または確認します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	値
接続名	エンタープライズ接続の名前 Slack 。このフィールドは、自動的に入力されます。
名前	エンタープライズ資格情報の名前 Slack 。このフィールドは、自動的に入力されます。
OAuth クライアント ID	エンタープライズグリッドアプリケーションに割り当てられている Slack クライアント ID。でコピーしたのと同じクライアント ID を入力します Enterprise Grid Slack アプリケーションを作成する。
OAuth クライアントシークレット	エンタープライズグリッドアプリケーションに割り当てられている Slack クライアントシークレット。で Enterprise Grid Slack アプリケーションを作成するコピーしたものと同じクライアントシークレットを入力します。
OAuth リダイレクト URL	Enterprise Grid アプリケーションのリダイレクト URL Slack 。このフィールドは、自動的に入力されます。

6. **[OAuth** トークンを設定して取得] を選択します。
7. [Authorize App] ダイアログボックスで、右上のリストに Enterprise Grid ワークスペースがあるかどうかを確認します。
8. Enterprise Grid ワークスペースが利用可能な場合は、Enterprise Grid ワークスペースを選択します。
9. Enterprise Grid ワークスペースが利用できない場合は、

   a. [別のワークスペースを追加] を選択します。

   b. Enterprise Grid ワークスペースの URL を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [続行] を選択します。
[アプリの認証] ダイアログボックスにリダイレクトされます。

d. [許可] を選択します。
OAuth アクセストークンは、エンタープライズ接続を許可するために使用できるようになります。

Slackワークスペース接続を作成

ワークスペースとServiceNowインスタンス間のSlack接続を作成します。この接続により、インスタンスがワークスペースからユーザーデータを取得できるようになります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ワークスペースごとに Slack 個別の接続を作成します。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer**.
   フローデザイナー新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. エンタープライズ接続の Slack [接続の追加] を選択します。
   [接続を作成] ダイアログボックスが開きます。
4. ダイアログボックスで、次のフィールドを入力または確認します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	値
接続名	ワークスペース接続の名前 Slack 。例: Slack-Workspace-1。
名前	ワークスペース資格情報の名前 Slack 。例: Slack-Workspace-1。
OAuth クライアント ID	ワークスペースアプリケーションに Slack アサインされているクライアント ID。でコピーしたのと同じクライアント ID を入力します Slackワークスペースアプリケーションの作成。
OAuth クライアントシークレット	ワークスペースアプリケーションに Slack アサインしたクライアントシークレット。で Slackワークスペースアプリケーションの作成コピーしたものと同じクライアントシークレットを入力します。
OAuth リダイレクト URL	ワークスペースアプリケーションのリダイレクト URL Slack 。このフィールドは、自動的に入力されます。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **重要:**
> このステップは、のSlack組織オーナーロールを持つ管理者が実行ServiceNowする必要があります。

[アプリを認証] ダイアログボックスが開きます。

6. ダイアログボックスで、[許可]を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OAuthアクセストークンは、ワークスペース接続を許可する Slack ために使用できるようになります。

7. 接続するワークスペースごとに手順 3 から 6 を繰り返します。
8. インスタンスに戻り ServiceNow 、ワークスペース接続をインスタンスに関連付け Slack ます。

   a. 移動先 **Slack** > **Slack** ワークスペーストークン をクリックし、 新規 を選択します。

   b. Slack[ワークスペーストークン] フォームで、次のフィールドに入力します。

Slack ワークスペーストークンフォーム

フィールド	値
接続エイリアス	ワークスペース接続の名前 Slack 。手順 4 で入力したのと同じ接続名を入力します。
ワークスペース名	アプリケーションが属するワークスペース Slack の名前。
Slack アプリ	ワークスペース Slack アプリケーションの名前。に Slackワークスペースアプリケーションの作成入力したのと同じアプリケーション名を入力します。

   c. [送信] を選択します。

   d. インスタンスに関連付ける各ワークスペース接続について、手順 a ～ d を繰り返します。

Slack 統合プロファイルの作成

Slack統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますSlack。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはSlack、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Slack オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Slack データ連携などです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
接続と資格情報	Slack の接続と認証情報エイリアス。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [Slack エンタープライズサブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Slack** サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Slack** ユーザーアクティビティサブフローを更新] に設定されていることを確認します。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   > **注:**
   > ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。
5. [サブスクリプションサブフローの再利用 **(Reclaim Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー **(Subflow**)] フィールドが **[Slack** のサブスクリプション再利用サブフロー **(Slack Reclaim Subscription Subflow**)] に設定されていることを確認します。
6. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Slack サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新]、 Slack および Slack [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから Slack ユーザーデータを取得します。
7. フォームを再ロードしたら、[公開] をクリックします。
   [公開の確認] ダイアログボックスが開きます。
8. ダイアログボックスで、「 OK」をクリックします。

   > **注:**
   > メモリを最適化し、フローのパフォーマンスの問題 Slack を回避するには、フローエンジンのレポートレベルをオフにするには、 システムのプロパティ > すべてのプロパティ システムプロパティを選択します`com.snc.process_flow.reporting.level` 「システム・プロパティ」ページで、「 値 」を `「オフ」` に設定し、「 更新」をクリックします。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

SmartRecruiters との統合

インスタンスをアプリケーションとSmartRecruiters統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、古いユーザーを非アクティブ化することができます。再利用フローは、ユーザーのアクセスのみを非アクティブ化します。価格設定がユーザー数に基づいて決まらないため SmartRecruiters 、再利用フローはサブスクリプションコストに影響しません。

SmartRecruiters API キーの生成

SmartRecruitersAPI 要求を認証するための API キーを生成します。

始める前に
SmartRecruiters 必要なロール：admin

手順

1. 管理者資格情報を使用して SmartRecruiters アカウントにログインし、API キーを生成します。
2. SmartRecruitersポータルのページヘッダーで、プロファイルアイコンをクリックし、[設定] **/** [管理者] を選択します。
3. 会社の設定で、管理セクションを見つけ、[アプリと統合] を選択します。
4. [資格情報] タブを 選択し、[新しい資格情報]をクリックします。
5. アプリケーションに対して生成する資格情報のタイプを選択するように求められたら、**[API** キー] を選択します。
6. [次へ **(Next)]** をクリックします。
7. [資格情報名] フィールドに API キーの名前を入力します。
8. [説明] フィールドに API キーの説明を入力します。
9. [生成] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SmartRecruitersで API キーが自動的に生成され、表示されます。

10. API キーをコピーして、後で使用できるように安全な場所に保存します。

SmartRecruiters接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、SmartRecruiters アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセス自動化 > **Flow Designer**.
2. Flow Designer で、[接続] タブを選択します。
3. SmartRecruiters 接続を見つけて、[接続を追加] をクリックします。
4. [接続を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	SmartRecruiters接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL です。このフィールドは、自動的に https://api.smartrecruiters.com に設定されます。
資格情報	
API キー	SmartRecruiters アプリケーションの API キー。SmartRecruiters API キーの生成 で生成した API キーを入力します。

5. [接続を作成] をクリックします。

SmartRecruiters 統合プロファイルの作成

SmartRecruitersソフトウェアサブスクリプションと使用状況を追跡する統合プロファイルを作成します。アクセス SmartRecruiters する必要がなくなったユーザーを特定し、そのアクセスを非アクティブ化します。

始める前に
- プラグイン (com.sn_sam_saas_int) はソフトウェア資産管理、ServiceNow Store からインストールする必要があります。 SaaS ライセンス管理

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する SmartRecruiters オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、SmartRecruiters 統合などです。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。SmartRecruitersこのフィールドは自動的に **[sn_smartrec_spoke]** に設定されます。SmartRecruiters。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは、 自動的に **SmartRecruiters** サブスクリプションに設定されます。

3. [サブスクリプションのサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが [SmartRecruiters サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが [SmartRecruiters ユーザーアクティビティサブフローを更新] に設定されていることを確認します。
5. オプション: [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティの分析を開始する日時を選択します。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   注:
   ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。
6. [サブスクリプションの再利用サブフロー] タブで、[サブフロー] フィールドが [SmartRecruiters Reclaim Subscription] に設定されていることを確認します。
7. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[SmartRecruiters サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新]、SmartRecruiters および SmartRecruiters [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから SmartRecruiters ユーザーデータを取得します。
8. フォームを再ロードしたら、[公開] をクリックします。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Smartsheet との統合

インスタンスをアプリケーションとSmartsheet統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

API アクセストークンを作成する**Smartsheet**

API 要求を Smartsheet 認証するための API アクセストークンを作成します。

始める前に
Smartsheet 必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから Smartsheet を開きます。
2. 資格情報を使用してログインします Smartsheet 。
3. Smartsheetページヘッダーで、アカウントアイコン(をクリックし、[アプリと統合]を選択します。
   [個人設定] ダイアログボックスが開きます。
4. ダイアログボックスで、[**API** アクセス] を選択します。
5. [Manage API Access Tokens] で、[**Generate new access token**] をクリックします。
6. プロンプトが表示されたら、[**API** アクセストークン名] フィールドに API アクセストークンの名前を入力し、[**OK]** をクリックします。
   Smartsheet API アクセストークンが自動的に生成され、表示されます。セキュリティ上の理由から、この API アクセストークンは 1 回のみ表示されます。
7. API アクセストークンをコピーして、後で使用できるように安全な場所に保存します。
8. **[OK]** をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Smartsheet 統合プロファイルを作成する

Smartsheet統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますSmartsheet。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはSmartsheet、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Smartsheet オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、 Smartsheet 統合などです。
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。Smartsheetこのフィールドは自動的に **[sn_smrtsheet_spoke]** に設定されます。Smartsheet。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **[Smartsheet** サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションのサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Smartsheet** サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。

4. [**Calculate Activity Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが **[Smartsheet Update User Activity Subflow**] に設定されていることを確認します。

> **重要:**
> イベントログを表示し、サブスクリプションの古さを計算するには、 Smartsheet Event Reporting アドオンを購入する必要があります。

[ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが **[Smartsheet Reclaim Subscription Subflow]** に設定されていることを確認します。
6. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Smartsheet サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新]、Smartsheet および Smartsheet [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから Smartsheet ユーザーデータを取得します。
7. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューⓘをクリックし、レコードプレビューで [レコードを開く] をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
8. [接続 & 資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
   [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスが開きます。
9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。
API キー	アプリケーションの API キー。SmartsheetAPI キーを `api-access-token` 形式で入力します。<*`api-access-token`*> は、で Smartsheet作成した API アクセストークンです。

10. [作成] をクリックします。
    自動的に統合プロファイルに戻ります。
11. [公開] をクリックします。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

SurveyMonkey との統合

インスタンスをアプリケーションとSurveyMonkey統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

API サポートはこれらのプランでのみ利用できるため、統合は SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey Enterprise プランと Enterprise Platinum プランをサポートします SurveyMonkey 。

非公開の**SurveyMonkey**アプリケーションを作成する

組織内でアンケートを作成、追跡、分析するための非公開のSurveyMonkeyアプリケーションを作成します。

始める前に
SurveyMonkey 必要なロール:admin

手順

1. Webブラウザーから、 SurveyMonkey API開発者ポータル を開きます。
2. 管理者資格情報を使用してサインインします。
3. API 開発者ポータルのページヘッダーで、[**My Apps**] をクリックします。
   [自分のアプリケーション] ページが開きます。
4. [新しいアプリの追加] をクリックします。
   [アプリの作成] ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、[アプリのニックネーム**(App Nickname**)] フィールドにアプリケーションの名前を入力します。
6. [アプリの種類を選択] で [非公開アプリ] を選択します。
7. [アプリを作成] をクリックします。
   ダイアログボックスが閉じ、新しく作成されたアプリケーションの概要が開きます。
8. アプリケーションの概要の [詳細] セクションで、[クライアント **ID**] フィールドと [シークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [設定]タブを選択して、アプリケーション設定に移動します。
10. アプリケーション設定の [設定] セクションで、認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を **[OAuth** リダイレクト **URL**] フィールドに入力します。
「https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do」と入力します。<*instance*> は ServiceNow インスタンスの名前です。
11. [**Submit Changes**] をクリックします。
12. アプリケーション設定の [スコープ] セクションで、[グループの表示] スコープと [ユーザーの表示] スコープを選択して、アプリケーションがグループとユーザーの情報にアクセスできるようにします。
13. [**Update Scopes**] をクリックします。
14. アプリケーション設定の上部にある [デプロイ] をクリックします。

SurveyMonkey 統合プロファイルを作成する

SurveyMonkey 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、SurveyMonkey アプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはSurveyMonkey、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する SurveyMonkey オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、 SurveyMonkey Integration などです。
接続と資格情報	SurveyMonkey スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に **sn_sv_monkey_spoke.surveyMonkey** に設定されます。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に「 **SurveyMonkey** サブスクリプション」に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード]タブで、[サブフロー]フィールドが[**SurveyMonkey**サブスクリプションサブフローのダウンロード]に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算]タブで、[サブフロー]フィールドが **[SurveyMonkey Update User Activity Subflow**]に設定されていることを確認します。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   > **注:**
   > ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。
5. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[SurveyMonkey サブスクリプションのダウンロード] サブフローと SurveyMonkey [ユーザーアクティビティの更新] サブフローを使用して、アプリケーションから SurveyMonkey ユーザーデータを取得します。
6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューⓘをクリックし、レコードプレビューで [レコードを開く] をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
7. [接続 & 資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
   [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスが開きます。
8. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

   [接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。
OAuth クライアント ID	SurveyMonkeyアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	SurveyMonkeyアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは、で 非公開のSurveyMonkeyアプリケーションを作成する指定した OAuth リダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

9. **[OAuth** トークンを作成して取得] をクリックします。
   [アプリを認証] ダイアログボックスが開きます。
10. ダイアログボックスで、SurveyMonkeyアプリケーションの作成に使用した同じSurveyMonkey資格情報を使用してサインインします。
11. [許可] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダイアログボックスが閉じ、自動的に統合プロファイルフォームに戻ります。

12. [公開] をクリックします。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Trello との統合

インスタンスをサービスとTrelloデータ連携ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

サービスの詳細については Trello 、「 Trello 開発者ガイド 」を参照してください。

TrelloAPI キーとトークンを生成

TrelloAPI キーとトークンを生成して、Trelloポータルにアクセスします。

始める前に

Trello 必要なロール：admin

管理ユーザーアカウントとAtlassian管理者アクセス権があることを確認してください。

手順

1. Trello に移動します。
2. エンタープライズ管理者としてログインします。
3. 開発者 API キー に移動します。
4. 開発者 API キーのページにある個人キーから API キーをコピーします。
5. 次のリンクで、{YourAPIKey} を前の手順でコピーした API キーに置き換え、リンクを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

https://trello.com/1/authorize?expiration=never&scope=read,write,account&response_type=token&name=ServerToken&key={YourAPIKey}

たとえば、API キーが 123xyz の場合は、次のリンクを開きます：https://trello.com/1/authorize?expiration=never&scope=read,write,account&response_type=token&name=ServerToken&key=123xyz

MyPersonalToken ページが表示され、アカウントへのアクセスを許可するかどうかを尋ねられます。

6. [許可] をクリックします。
API トークンが生成されます。この API トークンをコピーして安全に保管してください。

Trello 接続の作成

ServiceNow インスタンスを設定し、Trello API キーと API トークンを追加します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 移動先 接続 & 資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
3. **Trello** の接続を検索して選択します。
4. [新規] を選択します。
5. リストから **[Trello** 認証情報] を選択します。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

Trello 認証情報

フィールド	説明
名前	認証情報の名前。例：Trello credential
タイプ	このフィールドは、[Trello 認証情報] に自動的に入力されます。
アクティブ	レコードがアクティブかどうかを示すオプション。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。
認証アルゴリズム	このフィールドは、[Trello カスタム認証 (Trello Custom Auth)] に自動的に入力されます。
API キー	前のステップで生成した API キー。詳細については、「TrelloAPI キーとトークンを生成」を参照してください。
API トークン	前のステップで生成した API トークン。詳細については、「TrelloAPI キーとトークンを生成」を参照してください。

7. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trello 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、サービスのライセンスを最適化します Trello 。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはTrello、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator と sn_trello_spoke.trello_admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Trello オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. [表示名] フィールドに、任意の表示名を入力します。
   フォームでは、次のフィールドが自動的に入力されます。

Trello 統合プロファイル フォーム

フィールド	値
接続および資格情報エイリアス	sn_trello_spoke。Trello
ステータス	ドラフト
プロファイルタイプ	Trello エンタープライズサブスクリプション
サブスクリプションサブフローをダウンロード	Trelloサブスクリプションをダウンロード 現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。
サブスクリプションサブフローの再利用	Trelloサブスクリプションを回収

3. [保存] をクリックします。

4. Trelloフォームを保存したら、「公開」をクリックします。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Workday との統合

インスタンスを Workday アプリケーションと統合 ServiceNow すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡できます。

この統合により、次の Workday アプリケーションのソフトウェアサブスクリプションを追跡できます。

- Workday 人材管理
- Workday ファイナンシャルマネジメント

での権限の設定 **Workday**

統合を Workday 正常にセットアップするには、「」で Workdayこの手順を実行します。

始める前に

必要なロール: Workday セキュリティ管理者、統合管理者、統合監査人などのロール。

手順

1. データ連携システムユーザーを登録します。

> **注:**
> アカウント情報の詳細を入力するときは、必ず **[UI** セッションを許可しない] チェックボックスをオンにしてください。

2. セキュリティグループを作成し、統合システムユーザーにアサインします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [**Action**] で、 セキュリティグループ > セキュリティグループのドメイン権限を維持 をクリックし、次の権限を付与します。

ドメインセキュリティ方針の権限

運用	ドメインセキュリティ方針	機能エリア
取得のみ	ワーカーデータ：現在の人員配置情報	人員配置

注:
セキュリティグループに対してドメインセキュリティ方針がアクティブ化されていることを確認します。

Workday 統合プロファイルの作成

Workday統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますWorkday。

始める前に
必要なロール:admin、sam_admin、sam_integrator

最新の Workday HR スポークをインストールします。最新バージョンの詳細については、「」の「ス Workday HR Spoke ポークバージョン」セクションを参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Workday オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
統合プロファイル	
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Workday 統合などです。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **[Workday** サブスクリプション] に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
接続のセットアップ	
接続の詳細	○ 接続の詳細が存在する場合、このフィールドはすでに入力されています。 ○ 接続の詳細が存在しない場合は、作成する必要があります。
SOAP ユーザー名	統合プロファイルのユーザー名。
SOAP パスワード	統合プロファイルのパスワード。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	
サブフロー	このフィールドは自動的に **[Workday** サブスクリプションをダウンロード] に設定されます。

3. 接続の詳細が存在しない場合は、接続の詳細を作成します。

a. [新規] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

接続の詳細

フィールド	説明
ベース URL	Workdayhttps://<workday_host_url>/ccx/service/<workday_tenant_name> 形式のテナント名を含む SOAP API URL。
バージョン	SOAP API バージョン (v33.2 など)。
Web サービスタイプ	**SOAP** に設定する必要があります。

c. [送信] を選択します。
レコードが作成され、[接続の詳細] フィールドに追加されます。

d. オプション: 新しい統合プロファイルを選択し、[接続の詳細] フィールドでルックアップアイコン 🔍) を選択して、接続の詳細を確認します。

4. これらの資格情報が自動的に入力されていない場合は、SOAP ユーザー名とパスワードを作成します。

注:

admin ロールのみが SOAP ユーザー名とパスワードを作成または更新できます。

a. [SOAP セキュリティポリシー] フォームで、[**WS-Security** ユーザー名プロファイル] フィールドのルック🔍を選択します。

b. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [WS-Security ユーザー名プロファイル (送信)] フォームで、統合プロファイルの名前、ユーザー名、およびパスワードを入力します。

d. [送信] を選択します。

5. [保存] を選択します。

6. **FSE** ワーカー計算 タブで、アクティブ の値を **true** に設定し、FSE の割合を入力して、契約の対象となるワーカー カテゴリを有効にします。

7. オプション: ワーカー カテゴリが契約にリストされているが、FSE ワーカー計算タブで使用できない場合は、新しいワーカー カテゴリを追加します。

a. **FSE** ワーカー計算 タブで、新規 を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

Workday FSE ワーカー計算

フィールド	説明
ワーカーカテゴリ	契約に記載されているワーカーカテゴリ。
FSE の割合	追加したワーカー カテゴリの FSE パーセンテージ。FSE (Full Service Equighing) は、サブスクリプションの計算方法です。
統合プロファイル	Workday作成した統合プロファイル。
アクティブ	ワーカーカテゴリをアクティブにするオプション。

c. [送信] を選択します。

8. 新しく作成されたワーカーカテゴリのマッピングを定義します。

a. 作業者カテゴリ タブを選択し、新規 を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

Workday ワーカーカテゴリ

フィールド	説明
ワーカータイプ	作業者のタイプ (従業員または派遣社員)。
従業員/派遣就業者タイプ	従業員または派遣就業者のタイプ。
時刻タイプ	作業者がフルタイムかパートタイムかを示します。
ワーカーカテゴリ	作成したワーカーカテゴリ。
統合プロファイル	作成した Workday 統合プロファイル。
アクティブ	マッピングをアクティブにするオプション。

c. [送信] を選択します。

9. 契約で定義されているモジュールのリストを有効にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [モジュール] タブを選択します。

b. モジュールレコードを開きます。

c. [アクティブ] フィールドを **True** に設定します。

d. [保存] を選択します。

10. [公開] を選択します。

タスクの結果
Workday 統合プロファイルが公開されます。

Workplace from Facebook とのデータ連携

ServiceNow インスタンスを Workplace from Facebook アプリケーションと統合して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

Workplace from Facebook 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化します Workplace from Facebook 。

始める前に
統合プロファイルを作成するにはWorkplace from Facebook、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Workplace from Facebook オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Workplace from Facebookデータ連携です。
接続と資格情報	の Workplace from Facebook接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に **[sn_fb_wp_spoke]** に設定されます。FB_Workplace_Alias。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [サブスクリプション] に設定され Workplace from Facebook ます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Workplace from Facebook** のサブスクリプションサブフローのダウンロード] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Workplace from Facebook** ユーザーアクティビティサブフローを更新] に設定されていることを確認します。

   [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   > **注:**
   > ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。
5. [サブスクリプションの再利用サブフロー] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Workplace from Facebook Reclaim Subscription**] に設定されていることを確認します。
6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューⓘをクリックし、レコードプレビューで [レコードを開く] をクリックして、[接続および資格情報エイリアス] レコードを開きます。
7. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、接続リストの [資格情報] 列の下にある **[FB_Workplace_Credentials**] をクリックします。

   Workplace from Facebook 資格情報フォームが開きます。
8. **[Workplace** にインストール] をクリックします。

   Workplaceの登録/ログイン ページにリダイレクトされます。
9. Workplace from Facebook資格情報を使用してアカウントにログインします。

   [**ServiceNow** スポークを **Workplace** に追加] ポップアップウィンドウが表示されます。
10. [ワークスペースに追加] をクリックします。
11. [完了] をクリックします。

    インスタンスに ServiceNow リダイレクトされ、関連フィールドが更新されます。
12. 統合プロファイルに戻り、[公開] をクリックします。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Zendesk との統合

インスタンスをアプリケーションとZendesk統合ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

ZendeskOAuth クライアントを作成

ZendeskAPI 要求を認証するための OAuth クライアントを作成します。

始める前に
Zendesk 必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから、Zendesk を開きます。
2. 管理者資格情報を使用してログインします。
   Zendesk Agent Workspace が開きます。
3. Zendesk Agent Workspace の左側のナビゲーションメニューで、管理アイコン (⚙) を選択します。
   [管理者] メニューが開きます。
4. [Admin] メニューから、 チャネル > **API**.
   [Zendesk API] ページが開きます。
5. **[OAuth** クライアント] タブを選択し、**[OAuth** クライアントの追加] をクリックします。
6. [新しい OAuth クライアントの作成] フォームが開きます。
7. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しい **OAuth** クライアントの作成] フォーム

フィールド	説明
クライアント名	OAuth クライアントの名前です。
説明	OAuth クライアントの簡単な説明。
会社	OAuth クライアントが Zendesk API を介してデータへのアクセスを許可する会社の名前。会社名は、 Zendesk API 要求の認証時に表示されます。 このフィールドは、 Zendesk アカウントが関連付けられている会社に基づいて自動的に入力されます。ただし、会社名は必要に応じて変更できます。
ロゴ	Zendesk API 要求の認証時に表示されるロゴ。緑色の四角をクリックして、表示するロゴを見つけて選択します。
一意の識別子	OAuth クライアントの一意の識別子。このフィールドは、[クライアント名] フィールドで指定した OAuth クライアント名に基づいて自動的に入力されます。ただし、必要に応じて一意の識別子を変更できます。 **注:** 一意の識別子は Zendesk コードでのみ使用されます。
リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。https://*instance*.service-now.com/oauth_redirect.do と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。

8. [保存] をクリックします。
   [表示されるシークレットを保存してください (Please store the secret that will appear)] ダイアログボックスが開きます。
9. ダイアログボックスで、**[OK]** をクリックします。
   ダイアログボックスが閉じ、フォームが再ロードされます。
10. [シークレット] フィールドの値をコピーします。
    後で使用できるように安全な場所に保存してください。

Zendesk接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Zendesk アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセス自動化 > **Flow Designer**.
   Flow Designer が新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. 接続を見つけて Zendesk 、[構成] をクリックします。
4. [接続を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Zendesk接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。https://<subdomain>.zendesk.com と入力します。<*subdomain*> は組織のサブドメインです。
認証情報	
OAuth クライアント ID	Zendesk OAuth クライアントの一意の識別子。ZendeskOAuth クライアントを作成 で指定したものと同じ一意の識別子を入力します。
OAuth クライアントシークレット	ZendeskOAuth クライアントに割り当てられているシークレット。ZendeskOAuth クライアントを作成 でコピーしたものと同じシークレットを入力します。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは、ZendeskOAuth クライアントを作成で指定したリダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] クリックします。
   Zendesk [OAuth 認証] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、 [許可] をクリックします。
   OAuth アクセストークンは、Zendesk 接続を許可するために使用できるようになります。

Zendesk 統合プロファイルの作成

Zendesk統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、アプリケーションのライセンスを最適化しますZendesk。

始める前に
統合プロファイルを作成するにはZendesk、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Zendesk オプションは無効です。

手順
1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、 Zendesk 統合などです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
接続と資格情報	スポークの接続および資格情報エイリアス。Zendeskこのフィールドは自動的に **[sn_zendesk_spoke]** に設定されます。Zendesk。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に「 **Zendesk**サブスクリプション」に設定されます。

3. [サブスクリプションのサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Zendesk** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

   現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   > **注:**
   > ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [サブスクリプションの再利用サブフロー] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Zendesk** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。
5. [保存] をクリックします。
   ServiceNowインスタンスによってドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、[Zendesk サブスクリプションのダウンロード] サブフローと Zendesk [サブスクリプションの再利用] サブフローを使用して、アプリケーションから Zendesk ユーザーデータを取得します。
6. フォームを再ロードしたら、[公開] をクリックします。

次のタスク

統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Zoom との統合

インスタンスをサービスとZoomデータ連携ServiceNowして、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

この統合により、次の Zoom アプリケーションのライセンス情報を取得して分析できます。

- Zoom 会議の通常のアカウント (マスター/サブアカウントではない)
- Zoom ウェビナーのレギュラーアカウント(マスターサブアカウントではない)

の詳細については Zoom、 Zoom 開発者向けドキュメントを参照してください 。

Zoomアプリケーションの作成

アプリマーケットプレイスで Zoom アプリケーションを作成します。

始める前に
Zoom 必要なロール：admin

手順

1. [Zoom アプリマーケットプレイス (Zoom App Marketplace)] に移動し、アカウントにサインインします。
2. クリック 開発 > アプリの構築.
3. アプリの種類として [**OAuth**] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

OAuth アプリの作成

フィールド	値
アプリ名	ServiceNow
アプリタイプを選択	アカウントレベルのアプリ
このアプリをアプリマーケットプレイスで Zoom 公開しますか?	オフへの切り替え

5. [作成] を選択します。
6. [アプリ資格情報 (App Credentials)] ページで、クライアント ID とクライアントシークレットを取得します。
後で使用できるように、これらの値をコピーして安全な場所に保存します。

> **注:**
> クライアント ID とクライアントシークレットは機密です。それらを共有しないでください。

7. [**OAuth** のリダイレクト **URL (Redirect URL for OAuth)**] および [許可リストの追加 **(Add allow lists)**] フィールドに「https:// *instance.service-now.com/oauth_redirect.do*」と入力します。*instance* はインスタンスの名前ServiceNowです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. [続行] を選択し、[簡単な説明] 、 [詳細な説明] 、 [開発者の連絡先名] 、 [開発者の連絡先のメール] フィールドに入力します。
9. 左側のナビゲーション メニューで [スコープ] タブを選択します。
10. - プラグインバージョンに基づいてソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理次のスコープを追加し、統合で使用状況情報を取得できるようにします。

Zoom 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、サービスのライセンスを最適化します Zoom 。

始める前に

統合プロファイルを作成するにはZoom、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成する Zoom オプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前例: Zoom 統合
クライアント ID	手順 6 で管理者アカウントでSaaS作成した OAuth アプリケーションのクライアント ID。
リダイレクト URL	この値は、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	ステップ 6 で管理者アカウントでSaaS作成したクライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に [**Zoom** サブスクリプション] に設定されます。
ユーザーアクティビティ	データの分析は、現在の日付から開始するか、過去最大 30 日間から開始するかを選択できます。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを表示できるため、リアルタイムで待機せずに古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると分析されるデータ量が増えるため、結果が表示されるまでに数時間かかる場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
の分析元	

3. [送信] をクリックします。
4. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンを取得] 関連リンクをクリックし、手順に従って OAuth トークンを取得します。

タスクの結果
現在の日付の 1 年前まで個々のユーザーによって実行されたイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

注:
ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク
統合が接続されると、インスタンス ServiceNow は毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。

- クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。
- Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

SSO プロバイダーとの統合

Single Sign-on (SSO) プロバイダーと統合して、接続されているすべての SSO アプリケーションのソフトウェア使用状況を表示します。

すべてのアプリケーション、ユーザー、およびグループのリストをダウンロードします。接続されているすべてのアプリケーションのユーザーログインデータを追跡し、未使用のライセンスを再利用し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。使用状況データを活用して将来のライセンスのニーズを予測し、更新時に未使用のライセンスを削減します。

Azure AD との統合

インスタンスを ServiceNow Active Directory (AD) と Microsoft Azure 統合して、接続されているすべての SSO アプリケーションのソフトウェア使用状況を表示できます。

Azure AD アプリケーションの作成

と統合Now Platformするアプリをポータルで Microsoft Azure作成します。

始める前に
Azure AD 必要なロール:admin

手順

1. ポータルから Active Directory にアクセスしAzureますAzure。
2. Azure AD アプリケーションを作成します。
   アプリケーションの登録と構成の詳細な手順については、「Azure Active Directory アプリケーションの作成」を参照してください。

   a. [リダイレクト **URI**] フィールドに「 https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do」と入力します。ここで <instance-name> はインスタンスの名前 ServiceNow です。

   b. サードパーティ OAuth プロバイダーとしてインスタンスでアプリを登録するには、アプリケーション (クライアント) ID とディレクトリ (テナント) ID を記録します ServiceNow 。

   c. サードパーティ OAuth プロバイダーとしてインスタンスでアプリを登録するため、クライアントシークレットを作成して値を記録します ServiceNow 。

   d. API にアクセスする Microsoft Graph ための権限を追加します。

権限	タイプ
AuditLog.Read.All	委任
Directory.AccessAsUser.All	委任
Directory.Read.All	委任
User.Read	委任

   詳細については、「Web API にアクセスするための権限の追加」を参照してください。

   e. アプリケーションに管理者の同意を付与します。
   詳細については 、「API 権限と管理者の同意 UI について」を参照してください。

Azure AD 統合プロファイルの作成

Azureインスタンスに ServiceNow AD 統合プロファイルを作成します。

始める前に
AD 統合プロファイルを作成するにはAzure、ServiceNow Store から - SaaS ライセンス管理プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:
統合のバージョン 7.0.0 ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 およびスポークのバージョン 3.1.0 Microsoft Azure AD 以降、ServiceNowインスタンスは作成する AD 統合プロファイルごとにAzure個別の Azure AD 接続を作成します。各接続は互いに独立して実行されるため、インスタンスは複数の独立した Azure AD 統合プロファイルをサポートできます。

を使用しているSoftware Asset ワークスペース場合、統合コア UIプロファイルを作成するMicrosoft Azure ADオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. [表示名] フィールドに、統合プロファイルの名前を入力します。

残りのフィールドは、フォームを送信すると自動的に入力されます。

注:
SSO 統合は、ディレクトリ統合を使用して作成されます。ディレクトリ統合は、SSO ユーザーとグループのデータをプルします。既にディレクトリ統合を行っ Microsoft Azure ADている場合、SSO 統合では既存のディレクトリ統合が使用されます。それ以外の場合は、Microsoft Azure AD ディレクトリ統合が自動的に作成されます。

3. [送信] をクリックします。

4. [新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。

注:
をインストールし Software Asset ワークスペースている場合は、[接続と資格情報] レコードを開き、[新しい接続と資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

5. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報フォームを作成

フィールド	値
認証 URL	https://login.microsoftonline.com/directory-id>/oauth2/v2.0/authorize、ここで<directory-id> はポータルの Azure ディレクトリ (テナント) ID です。
トークン URL	https://login.microsoftonline.com/<directory-id>/oauth2/v2.0/token (ここで<directory-id> はポータルの Azure ディレクトリ (テナント) ID です。
トークン URL の取り消し (Revoke token URL)	https://login.microsoftonline.com/<directory-id>/oauth2/v2.0/revoke、ここで<directory-id> はポータルの Azure ディレクトリ (テナント) ID です。
OAuth クライアント ID	ポータルで Azure 作成したアプリケーションのアプリケーション (クライアント) ID。
OAuth クライアントシークレット	ポータルで作成したアプリケーションのクライアントシークレット。Azure

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
OAuth リダイレクト URL	https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do、<instance-name> はインスタンスの名前 ServiceNow です。この値は、自動的に入力されます。

6. **[OAuth** トークンを作成して取得] をクリックします。
7. ポップアップ ウィンドウで、AD 管理者の資格情報を使用して Azure アカウントにサインインします。
8. [公開] をクリックします。
   ジョブスケジュールとディレクトリジョブは、すべてのアプリケーション、ユーザー、およびグループのリストをダウンロードします。統合プロファイルの [ジョブスケジュールの結果] 関連リストと [ディレクトリジョブの結果] 関連リストで、ジョブのステータスを表示します。サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの識別子と一致する外部カタログ **ID** を持つアプリケーションに対して、ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

タスクの結果
統合プロファイルを公開してアプリケーションをプロファイルに接続すると、現在の日付の 60 日前まで個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

SSO アプリを接続

Single Sign-on (SSO) アプリを接続して、アプリへのアクセス権を持つすべてのユーザーとグループを表示します。ユーザーログインデータを追跡し、未使用のライセンスを再利用します。

始める前に
必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

注:
Active Directory (Azure AD) の場合 Azure 、アプリケーション構成ページの [アサインが必要] トグルボタンが、ユーザーによるアプリケーションのアクセスを制御します。

- このトグル ボタンが [はい] に設定されている場合は、このアプリケーションを AD ユーザーおよび関連するアプリケーションとサービスに割り当てる Azure 必要があります。アプリケーションをアサインすると、 Azure AD ユーザー、関連付けられたアプリケーション、およびサービスがそのアプリケーションにアクセスできるようになります。
- このトグル ボタンを いいえ に設定すると、すべてのユーザーがアプリケーションにログインできます。関連するアプリケーションやサービスも、このサービスへのアクセストークンを取得できます。

SaaS ライセンス管理 は、一部のアプリケーションと直接統合できます。直接統合は、最も堅牢な使用状況データを提供します。利用可能な直接統合のリストについては、「」を参照してください SaaS アプリケーションとの統合。アプリの直接統合がある場合、SSO 統合で同じアプリを接続すると、インスタンスに ServiceNow 重複するサブスクリプションレコードが作成されます。SSO アプリを接続した後でそのアプリの直接統合を作成する場合は、直接統合を作成する前にアプリを切断します。

手順

1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > **SSO** アプリケーション.
2. 接続するアプリケーションを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [ソフトウェアモデル] フィールドが空の場合は、アプリのソフトウェアモデルを追加します。アプリを接続するには、その前にアプリにソフトウェアモデルが必要です。サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの識別子と一致する外部カタログ **ID** を持つアプリに対して、ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。他のすべてのアプリについては、ソフトウェア モデルを手動で作成できます。詳細については、「クラシック版の ソフトウェア資産管理 ソフトウェアモデルの作成」を参照してください。
4. [前回のアクティビティの分析元] フィールドの日付を選択します。

   個々のユーザーおよびアプリケーションのログインデータの分析を、現在の日付から開始するか、過去最大 60 日間から開始するかを選択できます。デフォルト値は 30 日です。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを表示できるため、リアルタイムで待機せずに古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると、分析されるデータ量が増えるため、結果を表示できるようになるまでに時間がかかる場合があります。

   [前回のアクティビティの分析元] フィールドに値を送信すると、フィールドは読み取り専用になります。

5. [接続] を選択します。

   ヒント:
   SSO アプリケーションリストから複数のアプリを同時に接続することもできます。リストの左側にあるチェックボックスを使用してアプリを選択します。一覧の下部にある [選択した行のアクション] ドロップダウン メニューを選択し、 [接続] を選択します。一部のアプリにソフトウェアモデルがない場合、[接続] アクションには、すべてのアプリが接続されていないことが示されます。たとえば、 **Connect (1/4)** は、選択した 4 つのアプリのうち 1 つだけが接続されていることを示します。残りのアプリを接続するためのソフトウェアモデルを追加します。

タスクの結果

SSO アプリケーションが接続されると、 ServiceNow インスタンスは毎日更新されるユーザー、グループ、サブスクリプション、および再利用ルールを自動的に作成します。

- [アサインが必要] トグルボタンが [はい] に設定されている場合、サブスクリプションは関連付けられ Azure た AD ユーザーに対してのみ作成されます。
- [割り当てが必要] トグル ボタンが [いいえ] に設定されている場合、サブスクリプションはすべての Azure AD ユーザーに対して作成されます。

次のタスク

自動的に生成されたすべての再利用ルールをレビューして、ユーザーサブスクリプションを再利用するための仕様を満たします。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細につい

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ては、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

Okta との統合

インスタンスOktaを統合しServiceNowて、接続されているすべての SSO アプリケーションのソフトウェア使用状況を表示できます。

Okta アプリケーションの作成

OktaとNow Platform統合できるアプリケーションを作成します。

始める前に

Okta 必要なロール:スーパー管理者、アプリケーション管理者、または API アクセス管理管理者

> **注:**
> スーパー管理者、アプリケーション管理者、または API アクセス管理管理者ロールは、OAuth 2.0 アプリケーションを作成する Okta 場合にのみ必要です。OAuth アプリケーションとの間のOktaServiceNow接続は、すべてのアプリケーションにアクセスできる管理者が行う必要があります。Okta OAuth 2.0 アプリケーションが作成された後、統合が持つOktaアクセス権SaaS ライセンス管理 Oktaは、OAuth 2.0 アプリケーションに対してOkta有効になっているスコープによって決定されます。管理者ロールの詳細については「管理者の役割と権限 Okta」を、OAuthスコープの詳細についてはOkta「スコープとサポートされているエンドポイント」 を参照してください。

手順

1. WebブラウザーからOkta管理 コンソール にログインします。
2. Okta OAuth 2.0 機能を備えたアプリケーションを作成します。

   詳細な手順については、「 Okta用のOAuth 2.0アプリを作成する 」を参照してください。

   アプリケーションを作成する Okta ときは、次の点に注意してください。

   - [ログインリダイレクト **URI**] フィールドと [ログアウトリダイレクト **URI**] フィールドに「 https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do」と入力します (<*instance-name*> はインスタンスの名前 ServiceNow です。
   - [クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。後で使用できるように安全な場所に保存してください。
   - OAuth 2.0 アプリケーションに次のスコープを付与します Okta 。

     - okta.groups.read
     - okta.eventHooks.read
     - okta.groups.manage
     - okta.eventHooks.manage
     - okta.apps.read
     - okta.users.manage
     - okta.users.read

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- okta.logs.read
- okta.apps.manage

○ Okta ポータルの [**Client acting on behalf of a user** (ユーザーに代わって機能するクライアント)] 権限許可タイプの下にある [**Refresh Token** (リフレッシュトークン)] チェックボックスをオンにします。

Okta統合プロファイルの作成

OktaインスタンスにServiceNow統合プロファイルを作成します。

始める前に
統合プロファイルを作成するにはOkta、ServiceNow Store からプラグイン SaaS ライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int) を要求しソフトウェア資産管理ます。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

注:
スポークのバージョン 7.0.0 ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 以降およびバージョン 4.1.2 Okta 以降、ServiceNowインスタンスは作成する統合プロファイルごとにOkta個別のOkta接続を作成します。各接続は互いに独立して実行されるため、インスタンスは複数の独立した Okta 統合プロファイルをサポートできます。

を使用しているSoftware Asset ワークスペース場合、統合コア UIプロファイルを作成するOktaオプションは無効になっています。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

SSO 統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Okta 統合などです。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
ディレクトリデータ統合	組織の Active Directory ユーザー、グループ、およびグループメンバーシップをプルするために使用されるディレクトリ統合プロファイルへの参照。 ○ ディレクトリ Okta 統合レコードが存在する場合は、既存のレコードを選択できます。 ○ ディレクトリ統合レコードが Okta 存在しない場合は、このフォームを保存または送信すると新しいレコードが作成されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **Okta**に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
接続と資格情報	ディレクトリーと SSO の統合で使用される接続および資格情報エイリアスへの参照。 ○ ディレクトリ統合レコードが存在し、それを [ディレクトリ統合] フィールドで選択した場合、このフィールドはディレクトリ統合レコードの接続および資格情報エイリアスに自動的に設定されます。 ○ ディレクトリ統合値が存在しない場合、このフィールドは自動的に入力されます。
Okta サブスクリプションを作成	この統合プロファイルが公開された後にサブスクリプションを表示する Okta ための直接統合プロファイルを作成するためのオプション。 デフォルト値：False

3. [送信] を選択します。
4. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスを開きます。
5. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。例:「 Okta 接続」。
接続 URL	接続の URL。https://<*yourOktaDomain*>.comと入力します。ここで<*yourOktaDomain*>は組織のドメインです。
認証 URL	OAuth 認証エンドポイントの URL。「https://<*yourOktaDomain*>.com/oauth2/v1/authorize」と入力します。ここで<*yourOktaDomain*>は組織のドメインです。
トークン URL	アクセストークンを取得および更新する OAuth エンドポイントの URL。「*https://<yourOktaDomain*>.com/oauth2/v1/token」と入力します。ここで<*yourOktaDomain*>は組織のドメインです。
トークン失効 URL	アクセストークンを取り消す OAuth エンドポイントの URL。「https://<*yourOktaDomain*>.com/oauth2/v1/revoke」と入力します。ここで<*yourOktaDomain*>は組織のドメインです。
OAuth クライアント ID	Oktaアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	Oktaアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは自動的に **https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do** に設定されます。ここで<*instance-name*> はインスタンスの名前 ServiceNow です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
   Oktaポータルログインダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログ ボックスで、資格情報を入力し Okta 、[サインイン] を選択します。

   > **注:**
   > スーパー管理者、アプリケーション管理者、または API アクセス管理管理者のロールと同じ資格情報を使用してサインインする必要があります。

   ダイアログボックスが閉じ、自動的に [SSO 統合プロファイル] フォームに戻ります。
8. [公開] を選択します。

タスクの結果
ジョブスケジュールとディレクトリージョブの両方で、アプリケーションに関連付けられているすべてのアプリケーション、ユーザー、グループ、およびソフトウェアサブスクリプションのリストがダウンロードされます Okta 。統合プロファイルの [ジョブスケジュールの結果] タブと [ディレクトリジョブの結果] タブで、ジョブのステータスを表示します。 ソフトウェア資産管理 は、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product-definition] テーブルの 識別子 と一致する外部カタログ ID を持つアプリケーションのソフトウェアモデルを自動的に作成します。

次のタスク
[**Okta** サブスクリプションを作成 **(Create Okta subscriptions**)] チェックボックスをオンにし、この統合プロファイルが公開されている場合は、次の Okta 直接統合プロファイルが作成されます。情報メッセージ内の [直接統合プロファイル] リンクを選択すると、直接統合プロファイルに移動できます。

直接統合プロファイルに移動した後、[ソフトウェアサブスクリプション] タブを選択してサブスクリプションを表示できますOkta。詳細については、「Okta SSO 直接統合プロファイル」を参照してください。

> **警告:**
>
> OAuth トークンの有効期限が切れると、 Okta 新しい OAuth トークンを取得する必要があることを示すエラーメッセージが統合プロファイルに表示されます。エラーメッセージ内のリンクを選択して、新しい OAuth トークンを取得します。
>
> 統合プロファイルの接続レコード Okta に関連付けられている OAuth 2.0 資格情報レコードは削除しないでください。OAuth 2.0 資格情報レコードを削除すると、現在の OAuth トークンの有効期限が切れた後は、新しい OAuth トークンを取得できなくなります。

統合プロファイルを公開してアプリケーションをプロファイルに接続すると、現在の日付の 60 日前まで個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

Okta SSO 直接統合プロファイル

OktaSSO 直接統合プロファイルは、SSO 統合の設定Okta中にユーザーのサブスクリプションを作成することで、Oktaユーザーライセンスを管理するOktaのに役立ちます。

OKTA SSO 直接統合プロファイル

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前
ステータス	統合プロファイルのステータス。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

OKTA SSO 直接統合プロファイル (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に[**Okta Subscription(Okta**サブスクリプション)]に設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	
サブフロー	このフィールドは自動的に[**Okta Download Subscriptions(Okta**ダウンロードサブスクリプション)]に設定されます。

SSO アプリケーションを接続する

SSO アプリケーションを接続して、そのアプリケーションにアクセスできるすべてのユーザーとグループを監視します。また、ユーザーのログインデータを追跡し、未使用のライセンスを再利用することもできます。

始める前に

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ServiceNow SaaS ライセンス管理 では、一部のアプリケーションと直接統合できます。直接統合は、最も包括的な使用状況データを提供します。利用可能な直接統合のリストについては、「」を参照してください SaaS アプリケーションとの統合。

アプリケーションの直接統合をすでに作成している場合、SSO 統合で同じアプリケーションに接続すると、インスタンスに ServiceNow 重複するサブスクリプションレコードが作成されます。直接統合のみを使用してください。SSO 統合でアプリケーションを接続したが、後でそのアプリケーションの直接統合を作成する場合は、直接統合を作成する前にアプリケーションを切断します。

手順

1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > **SSO** アプリケーション.
2. 接続するアプリケーションを選択します。
3. [ソフトウェアモデル] フィールドが空の場合は、アプリケーションのソフトウェアモデルを追加します。
   アプリケーションを接続するには® そのアプリケーションをソフトウェアモデルに関連付ける必要があります。 ServiceNow ソフトウェア資産管理 は、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの 識別子 と一致する外部カタログ ID を使用して、アプリケーションのソフトウェアモデルを自動的に作成します。他のすべてのアプリケーションでは、ソフトウェア モデルを手動で作成できます。詳細な手順については、「クラシック版の ソフトウェア資産管理 ソフトウェアモデルの作成」を参照してください。
4. 最後のアクティビティを分析する日付を [最終アクティビティの分析元] フィールドで選択します。

   個々のユーザーとアプリケーションのログインデータの分析は、現在の日付から、または最大 60 日前から開始できます。デフォルト値は 30 日です。現在の日付より前の日付を選択すると、分析するデータの量によっては、結果が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[前回のアクティビティの分析元] フィールドに値を送信すると、フィールドは読み取り専用になります。

5. [接続] を選択します。

> **ヒント:**
> 複数のアプリケーションを同時に接続するには、[SSO アプリケーション] リストで接続する各アプリケーションのチェックボックスをオンにします。選択した行メニューの アクション を選択し、 接続 を選択します。ソフトウェアモデルに関連付けられていないアプリケーションがある場合は、[**Connect**] メニュー項目の名前が更新され、一部のアプリケーションのみが接続されることを示します。たとえば、[接続 **(1/4)]** メニュー項目は、選択した 4 つのアプリのうち 1 つだけが接続されることを示します。残りのアプリケーションにソフトウェアモデルを追加して、接続を続行します。

次のタスク
SSO アプリケーションが接続されると、 ServiceNow インスタンスは毎日更新されるユーザー、グループ、サブスクリプション、および再利用ルールを自動的に作成します。開発者コンソールから Okta ユーザー、アプリケーション、グループ、またはグループメンバーシップを削除すると、その変更はインスタンスに反映されます ServiceNow 。

自動的に生成されたすべての再利用ルールをレビューし、ユーザーサブスクリプションを再利用するための仕様を満たしていることを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、使用されているソフトウェアと所有ソフトウェアの照合を追跡します。クラシック アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、次を参照してください クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成。ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ワークスペースでのエンタイトルメントの作成。Playbook を使用した ソフトウェア資産管理 ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「」を参照してください ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成します。

調整は、ジョブスケジュールとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、 ライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) または ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) で表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。クラシック・アプリケーションでの ソフトウェア資産管理 調整の実行の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア調整の実行。ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、次を参照してください ワークスペースでソフトウェアの調整を実行する。

自分 **SaaS** と **SSO** サブスクリプションの表示

使用する SaaS Single Sign-on (SSO) アプリケーションのすべてのサブスクリプションのリストを表示します。

> **重要:**
> と SaaS SSO サブスクリプションは、 と Software Asset ワークスペースの両方でソフトウェア資産管理 コア UI表示できます。このトピックでは、アプリケーションでのサブスクリプションの表示について詳しく説明します ソフトウェア資産管理 コア UI 。での Software Asset ワークスペースサブスクリプションの表示の詳細については、「」を参照してください SaaS ワークスペースの概要ダッシュボード。

すべての SaaS SSO アプリケーションのサブスクリプションを表示するには、次の場所に移動します すべて > **SaaS** ライセンス > すべてのユーザーサブスクリプション.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェアサブスクリプションリスト

列	説明
表示名	サブスクリプションのソフトウェア公開者と製品。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションのユーザーのメールアドレス。
ソフトウェアモデル	サブスクリプションのソフトウェア モデル。
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプションの直接統合プロファイル。サブスクリプションが SSO 統合からのものである場合、このフィールドは空です。
サブスクリプション タイプ	サブスクリプションをソフトウェアサブスクリプションまたは SSO サブスクリプションとして分類します。

注:
[サブスクリプションが割り当てられました] 列を追加して、ユーザーにアプリへのアクセス権が付与された日付を表示できます。SSO サブスクリプションの場合、ユーザーがグループメンバーシップを通じてアプリにアクセスできる場合、このフィールドは空になります。

ソフトウェアモデルの [ソフトウェアサブスクリプション] 関連リストで、アプリケーションのすべてのサブスクリプションを表示することもできます。

SSO サブスクリプション情報の表示

SSO 統合に関連付けられている Single Sign-on (SSO) アプリケーション、SSO ユーザー、および SSO グループに関する情報を表示できます。

重要:
SSO アプリケーション、ユーザー、およびグループに関する情報は、 ソフトウェア資産管理 コア UI と Software Asset ワークスペースの両方で表示できます。次のセクションでは、Software Asset Management クラシックアプリケーションでのこの情報の表示について詳しく説明します。での Software Asset ワークスペースこの情報の表示の詳細については、「」を参照してください ライセンス操作ビュー。

SSO 統合情報の表示

SSO 統合のアプリケーション、ユーザー、およびグループを表示するには、次の場所に移動します すべて > **SaaS** ライセンス > 管理 > **SSO** 統合プロファイル をクリックし、プロファイルを選択します。関連リストは、統合に関する情報を提供します。

[SSO 統合プロファイル] 関連リスト

リスト	説明
SSO アプリケーション	すべての SSO アプリケーション。
ディレクトリユーザー	すべての SSO ユーザー。
ディレクトリグループ	すべての SSO グループ。
ジョブスケジュール	*SAM - SSO <sso-provider> download applications* すべての SSO アプリをダウンロードするスケジュール設定済みジョブ。この

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[SSO 統合プロファイル] 関連リスト (続く)

リスト	説明
	ジョブは、SSO 統合プロファイルが公開されたときに実行され、その後は毎日実行されます。 スケジュール設定済みジョブは *SAM - SSO <sso-provider> update connected applications* 、SSO アプリのユーザー、グループ、およびサブスクリプションをダウンロードします。ジョブは毎日実行され、アプリが接続されるたびに実行されます。
ジョブスケジュールの結果	ジョブスケジュールのステータス。
ディレクトリジョブ	*<sso-provider> - Download Group Membership* すべてのユーザーのグループメンバーシップをダウンロードするディレクトリジョブ。このジョブは、SSO 統合プロファイルが公開されたときに実行され、その後は毎日実行されます。 ディレクトリジョブは *<sso-provider> - Download Groups* 、すべてのグループをダウンロードします。このジョブは、SSO 統合プロファイルが公開されたときに実行され、その後は毎日実行されます。 ディレクトリジョブは *<sso-provider> - Download Users* 、すべてのユーザーをダウンロードします。このジョブは、SSO 統合プロファイルが公開されたときに実行され、その後は毎日実行されます。
ディレクトリジョブ結果	ディレクトリージョブのステータス。

SSO アプリケーション情報の表示

アプリケーションのユーザー、グループ、および再利用候補を表示するには、次の場所に移動しますすべて > **SaaS** ライセンス > **SSO** アプリケーション をクリックし、アプリケーションを選択します。関連リストには、アプリケーションの情報が表示されます。で Software Asset ワークスペースSSO アプリケーション情報を表示するには、「」を参照してください ワークスペースでの SSO アプリケーションの表示。

SSO アプリケーション

リスト	説明
SSO アプリケーションユーザー	アプリケーションに直接アクセスできるが、グループのメンバーシップを介さないすべてのユーザー。
SSO アプリケーショングループ	アプリケーションにアクセスできるすべてのグループ。
SSO サブスクリプション	アプリケーションのサブスクリプションの合計数。ユーザーは、アプリへの直接アクセスとグ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SSO アプリケーション (続く)

リスト	説明
	ループを介したアクセスの両方を持つことができます。ただし、ユーザーのアクセスは 1 つのサブスクリプションとしてのみカウントされるため、[SSO サブスクリプション] リスト内の 1 つのレコードとしてのみカウントされます。 注: • **SSO** アプリケーションロール列を追加して、ユーザーにアプリケーションへのアクセス権がどのように付与されるかを確認します。値がグループの場合、ユーザーはそのグループのメンバーシップを通じてアクセスできます。値がユーザーの名前の場合、ユーザーはアプリケーションに直接アクセスできます。ユーザーがグループメンバーシップを通じてアプリケーションにアクセスできる場合、ユーザーサブスクリプションは再利用 ソフトウェア資産管理 できません。サブスクリプションを再利用するには、Azure AD ポータルでグループからユーザーを削除し、再利用候補の状態を [完了してクローズ] に設定します。 • SSO アプリケーショングループを介して SSO サブスクリプションが作成されると、[サブスクリプションがアサインされました] の値は空になります。SSO アプリケーションユーザーを使用してサブスクリプションが作成されると、[サブスクリプションがアサインされました] の値に、サブスクリプションがユーザーに割り当てられた日付が表示されます。- 13.1.0 バージョン以降にソフトウェア資産管理アップグレードすると、SSO アプリケーショングループを介して作成されたサブスクリプションの既存のサブスクリプション割り当て値は空になります。 SaaS ライセンス管理
再利用候補	アプリケーションの再利用ルールで定義された使用要件を満たしていないサブスクリプション。

SSO プロバイダーとのデータ同期

Azure AD ポータルまたは開発者コンソールで Okta ユーザー、グループ、またはアプリを削除すると、日次スケジュール設定済みジョブの実行時に、対応する ソフトウェア資産管理 レコードが削除されます。Azure AD ポータルまたは開発者コンソールで Okta 、直接的または間接的にグループから削除することで、アプリケーションへのユーザーのアクセス権を取り消すと、日次ジョブスケジュールの実行時に、対応するユーザーサブスクリプションレコードが削除されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SaaS ライセンス接続

に SaaS ライセンス管理既存の統合がない SaaS アプリケーションに接続するには、カスタム統合を作成します。

ローコードフレームワークは、ServiceNow® Flow Designer を使用して ServiceNow® 統合ハブ SaaS プロバイダーの API エンドポイントに接続します。すべてのユーザーのリストをダウンロードし、有意義な使用状況データを表示し、未使用のサブスクリプションを再利用して SaaS 支出を最適化します。ソフトウェアモデルとレポートを使用して、ベースシステムの SaaS 接続とともにカスタム SaaS 接続 ソフトウェア資産管理 を管理します。

Starter、Standard、Professional、または Enterprise をインストールし 統合ハブ て、カスタム統合を作成します。準本番インスタンスへのプラグインのインストール 統合ハブ は無料です。がインストールされている準本番インスタンス 統合ハブ でカスタム統合を構築し、更新セットを使用して本番環境に取り込みます。更新セットの詳細については、「システム更新セット」を参照してください。これにより、カスタム統合を本番環境に配置する前に検証でき、サブスクリプションの統合ハブ 課金も発生しません。の詳細については 統合ハブ、「IntegrationHub の要求」を参照してください。

> **注:**
> カスタム統合は、ユーザーサブスクリプションライセンスの測定基準を使用する SaaS アプリケーションに対してのみ作成できます。エンベロープなどの DocuSign 他のライセンスの測定基準はサポートされていません。

一部の SaaS アプリケーションには、カスタム統合の作成に使用できる既存の 統合ハブ スポークがあります。統合している SaaS アプリケーションの既存のスポークがある場合は、カスタムスポークを作成する手順をスキップします。既存のスポークを使用する場合は、そのデータストリームアクションの一部も使用できます。独自のアクションを作成する前に、スポークにどのようなアクションが含まれているかを確認してください。スポークを持つ 統合ハブ アプリケーションのリストについては、「IntegrationHub で使用できるスポーク」を参照してください。

SaaS License Connections とのカスタム統合を構築するには、さまざまな値を追跡する必要があります。SaaS API を調査し、データストリームアクションを構築しながら SaaS ライセンス接続ワークシート を使用して、必要な情報がすべて揃っていることを確認します。

カスタムスポークの作成

で SaaS ライセンス管理カスタム統合を設定するには、SaaS アプリケーションに接続するためのスポークを作成します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
統合する SaaS アプリケーションのスポークが既に存在する場合は、スポークを作成する代わりに既存のスポークを使用できます。スポークを持つ ServiceNow® 統合ハブ アプリケーションのリストについては、「IntegrationHub で使用できるスポーク」を参照してください。

スポークの作成に使用します ServiceNow® スタジオ 。に関する スタジオ詳細については、「ServiceNow Studio」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > **Studio**.
2. [アプリケーションの作成] をクリックします。
3. アプリには、統合する SaaS アプリケーションの名前と説明を含む名前を付けます。
   [スコープ] フィールドのオートフィルされた値はそのまま使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [作成] をクリックします。
5. admin、sam_developer、delegated_developerロールを追加し、[**Continue**] をクリックします。
6. 「クラシック」フォーマットを選択し、「 続ける」をクリックします。
7. [テーブルで完了] をクリックします。
8. セッションを閉じてアプリを作成するには、[**X**] をクリックします。

> ヒント:
> アプリのリストに新しいスポークアプリを表示するには、ページを更新する必要がある場合があります。

次のタスク

カスタム統合の構築を続行するときは、スポークを使用して次のアイテムを保存します。

- 接続および資格情報エイリアス
- ユーザーとユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクション
- ユーザーを再利用するアクション

で ServiceNow Storeカスタムスポークアプリケーションを公開する場合は、スポークを使用してサブフローを保存することもできます。

カスタム統合プロファイルの作成

カスタム統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、SaaS アプリケーションの古いライセンスを最適化します。

始める前に

インスタンスで ServiceNow カスタム統合プロファイルを作成する前に、SaaS アプリケーション管理者または開発者アカウントで認証方法を設定します。たとえば、OAuth アプリケーションや API トークンを作成します。

OAuth アプリケーションを作成する場合は、適切なスコープを有効にするようにしてください。アプリには、ユーザーの読み取り、ユーザー アクティビティの読み取り、ユーザーの変更または削除を行うためのスコープが必要です。これらのスコープにより、統合でユーザーのリストを取得し、ユーザーアクティビティを取得し、未使用のサブスクリプションを再利用できます。OAuth アプリケーションのクライアント ID とクライアントシークレットを記録します。これらの値をインスタンスに入力します ServiceNow 。

API トークンを作成する場合は、API トークンの値を記録します。この値をインスタンスに入力します ServiceNow 。

必要なロール:sam_integrator または admin

手順

1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > 管理 > 新しいプロファイルを作成 をクリックし、[カスタム統合プロファイル] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	任意の名前。たとえば、統合する SaaS アプリケーションの名前などです。
接続と資格情報	ルックアップアイコン ( ) をクリックし、[新規] をクリックします。[接続および資格情報エイリアス] フォームで、フィールドに入力します。 ○ 名前:任意の名前。たとえば、app_alias の場合、*app* は統合する SaaS アプリケーションの名前です。 ○ アプリケーション:SaaS アプリケーションに接続するためのスポーク。このスポークは、既存の 統合ハブ スポークでも、作成した新しいスポークでもかまいません。アプリケーションは、[システム設定] の [開発者] セクションで変更できます。 ○ タイプ: 接続と資格情報。 ○ 接続タイプ:HTTP。 ○ 複数のアクティブな接続をサポート: 選択されていません。 ○ デフォルトの再試行ポリシー: デフォルトの **HTTP** 再試行ポリシー。 ○ 構成テンプレート:OAuth 認証コード権限許可タイプを使用している場合は、[**OAuth** 認証コード] を選択します。API トークンを使用している場合は、 **API** キーを使用した基本認証。別の認証方法を使用している場合は、構成テンプレートを作成します。詳細については、「 構成テンプレートの作成 」および「 OAuth JWT ベアラー権限許可タイプのテンプレートの構成 」を参照してください。 [送信] をクリックします。
ステータス	統合プロファイルのステータス。オプションは [ドラフト] と [公開済み] です。この値は、自動的に入力されます。
プロファイルタイプ	カスタム統合。この値は、自動的に入力されます。

3. [保存] をクリックします。
4. プレビューアイコン (プレビュー) をクリックし、[レコードを開く] をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
5. [新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
6. OAuth 認証コード構成テンプレートを使用している場合は、以下のようにフォームに入力します。

接続および資格情報フォームを作成

フィールド	値
接続 URL	API のベース URL。
認証 URL	OAuth 認証コードのエンドポイントです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
トークン URL	アクセストークンを取得および更新する OAuth エンドポイント。
トークン失効 URL	アクセストークンを取り消す OAuth エンドポイント。
OAuth リダイレクト URL	https:// *instance.service-now.com/oauth_redirect.do*、*instance* はインスタンスの名前ServiceNowです。
リフレッシュトークンの有効期間	**8640000** です。
OAuth クライアント ID	SaaS アプリケーション管理者または開発者アカウントで作成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	SaaS アプリケーション管理者または開発者アカウントで作成したクライアントシークレット。
OAuth スコープ	SaaS アプリケーション管理者または開発者アカウントで OAuth アプリケーションに対して有効にしたスコープ。

7. API キー構成テンプレートを使用した基本認証を使用している場合は、次のようにフォームに入力します。

   接続および資格情報フォームを作成

フィールド	値
接続 URL	SaaS アカウントの URL。
ユーザー名	SaaS アプリケーション管理者または開発者アカウントで API トークンを作成した管理者ユーザーのメールアドレス。
API キー	SaaS アプリケーション管理者または開発者アカウントで作成された API トークン。

   注:
   別の認証方法を使用している場合、使用可能なフィールドは作成した構成テンプレートによって決まります。

8. [作成 して、統合のアクセス権を付与] をクリックします。

   ヒント:
   新しいブラウザータブで SaaS アプリケーション管理者アカウントにログインし、統合が正しいアカウントに接続されていることを確認します。

接続に成功すると、接続および資格情報エイリアス レコードの [接続] 関連リストに新しい接続レコードが作成されます。接続に失敗した場合は、接続の試行中に作成された接続レコード、資格情報レコード、およびアプリケーションレジストリレコードを削除する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 移動先 接続 **&** 資格情報 > 接続 をクリックし、SaaS アプリケーションの接続レコードを削除します。
- 移動先 接続 **&** 資格情報 > 資格情報 をクリックし、SaaS アプリケーションの資格情報レコードを削除します。
- 移動先 システム **OAuth** > アプリケーションレジストリー をクリックし、SaaS アプリケーションのアプリケーションレジストリレコードを削除します。

SaaS アプリケーションの [接続および資格情報エイリアス] レコードに戻り、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックして接続を再試行します。

ユーザーを取得するデータストリームアクションの作成

SaaS アプリケーションからユーザーサブスクリプションのリストを取得するデータストリームアクションを作成します。

始める前に

既存の ServiceNow® 統合ハブ スポークを使用している場合は、スポークを作成する代わりに使用できるユーザーのリストを取得するデータストリームアクションがあるかどうかを確認します。

データストリームアクションの詳細については、「 データストリームアクション」 を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.

2. [新規] をクリックし、[データストリーム] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。

アクションプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、[ユーザーを取得] などです。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
アプリケーション	SaaS アプリケーションと統合するスポークアプリ。このスポークアプリは、既存の統合ハブ スポークでも、自分で作成した新しいスポークでもかまいません。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。

4. [送信] をクリックします。

5. 使用している API が要求にユーザー認証を必要とする場合は、「アクション・アウトライン」で「入力 」をクリックし、認証用の入力を追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

一般的なユーザー認証入力の例は、管理者ユーザー ID とサイト名です。特定のケースでのユーザー認証の要件については、選択した API のドキュメントを参照してください。API がアクセストークンを必要とする場合は、 後で認証情報の値 変数が自動的に作成されます。アクセストークンを入力として追加する必要はありません。

完了したデータストリームアクションをサブフローで使用する場合は、これらの入力として渡す値を定義します。

6. 「アクション・アウトライン」の 「要求 」をクリックします。
7. フォームのフィールドに入力します。

[要求] フォーム

フィールド	値
データをどのように取得しますか。	**[REST** ステップ] または **[SOAP** ステップ] を選択します。どちらを選択するかは、統合する SaaS アプリケーションの API によって異なります。
ページネーションを有効化	選択済み。
各要求の前にスクリプトを実行	未選択。

8. [アクションアウトライン] の [ページネーション設定] ステップ をクリックします。
9. SaaS API で使用されるクエリパラメーターに基づいてページネーション変数を定義します。

   オフセットベースのページネーションを使用している場合は、制限/オフセットページネーションテンプレートを使用して、ページネーション設定をプリロードします。

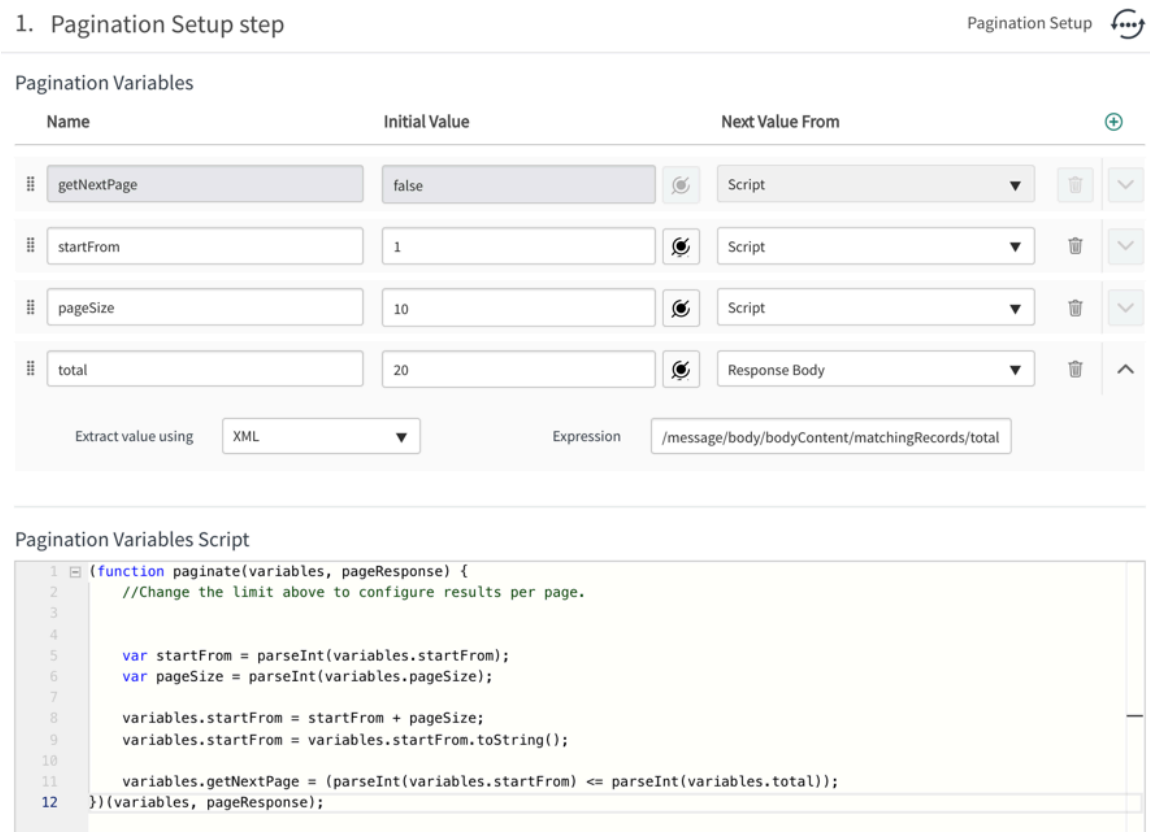
   > **注:**
   > 予約済みの `getNextPage` 変数の値によって、結果の別のページを要求するかどうかが決まります。`getNextPage` 変数が **true** である限り、アクションは次のページの要求を送信し続けます。

10. ページネーション変数を更新するページネーション変数スクリプトを記述します。

    スクリプトは要求ごとに実行されます。ページネーションテンプレートを使用している場合は、必要に応じてプリロードされたスクリプトを調整します。

    次の画像は、ページネーション設定手順の完了した例を示しています。この例は、[サブスクリプションをダウンロード] サブフローで使用される Webex [ユーザーを取得] データストリームアクションからのものです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
ページネーション変数は、文字列データ型のみをサポートします。数式演算を実行するには、値を整数に変換して必要な操作を実行し、文字列に変換する必要があります。

11. データの取得方法について選択したオプションに応じて、[アクションアウトライン] で [**SOAP** ステップ] または **[REST** ステップ] をクリックします。
12. **[SOAP** ステップ] を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

SOAP ステップフォーム

フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って接続 エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
エンドポイント	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
エンベロー	手動で。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
プの作成	
SOAP アクション	すべてのユーザーのリストを取得するための API 要求。選択した API のドキュメントを参照して、適切な要求を選択してください。
SOAP エンベロープ	すべてのユーザーのリストを取得するための XML 要求メッセージ。XML 要求メッセージの記述方法については、選択した API のドキュメントを参照してください。一般に、ヘッダーには、ユーザー認証用の入力変数と、アクセストークンとしての 認証情報値 変数が必要です。本文には、ページネーションセットアップステップからすべてのユーザーと変数のリストを取得する要求を含める必要があります。 **注:** SOAP エンベロープの例については、「サブスクリプションのダウンロード」サブフローで使用される Webex 「ユーザーデータストリームを取得」アクションを参照してください。

13. **[REST** ステップ] を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

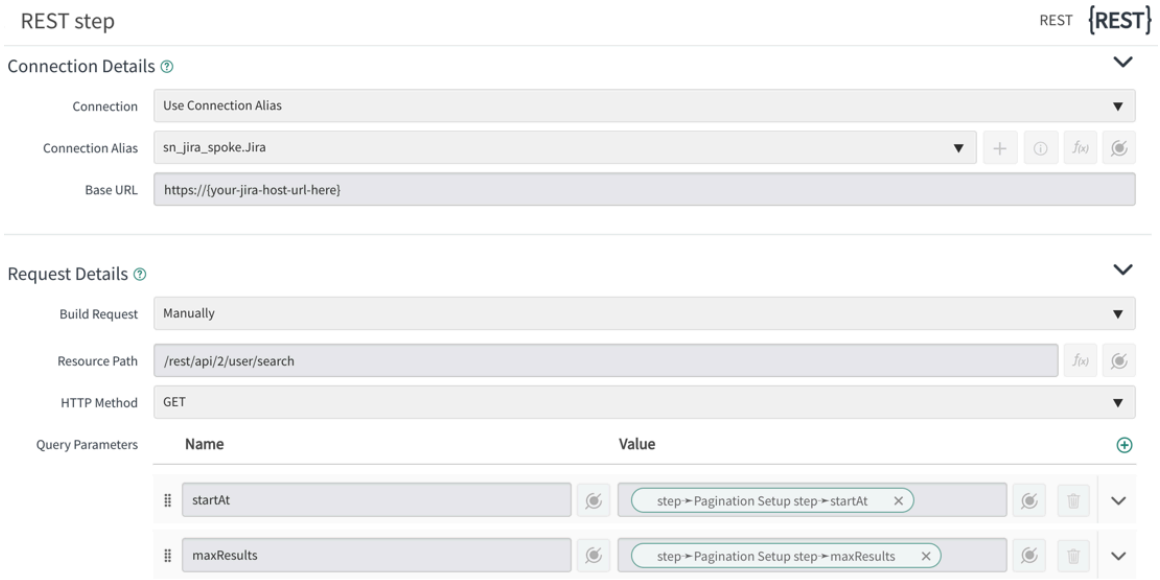
REST ステップフォーム

フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って接続 エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
ベース URL	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
ビルド要求	手動で。
リソース パス	リソースへのパス。この値はベース URL に追加されます。リソースパスの構築方法については、使用している API のドキュメントを参照してください。
HTTP メソッド	**GET**です。
クエリ パラメーター	ページネーションのパラメーターを追加します。ページネーションセットアップステップで作成した変数として値を設定します。

次の画像は、REST ステップの完成した例を示しています。この例は、[サブスクリプションをダウンロード] サブフローで使用される Jira [ユーザーを取得Jira] データストリームアクションからのものです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



14. 「アクション・アウトライン」の「 解析 」をクリックします。
15. フォームのフィールドに入力します。

フォームを解析中

フィールド	値
各レコードをどのように識別しますか。	**JSON/XML** スプリッター
各アイテムをどのように解析してオブジェクトにしますか。	スクリプトパーサー

16. 「アクション・アウトライン」の 「スプリッター・ステップ 」をクリックします。
17. フォームのフィールドに入力します。

スプリッターステップ

フィールド	値
ソースフォーマット	API 応答によって返される形式に応じて、**[XML]** または **[JSON]** を選択します。
アイテムパス	応答メッセージ内のユーザー要素への絶対パス。応答メッセージの形式については、使用している API のドキュメントを参照してください。 ○ XML アイテムパスの例: `/message/body/user` ○ JSON アイテムパスの例: `$.data.user`

18. 「アクション・アウトライン」の 「出力 」をクリックします。
19. 「 出力の作成 」をクリックし、変数を図のように編集します。

アクションの出力

ラベル	名前	タイプ	必須
targetObject	targetObject	オブジェクト	いいえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

20. 応答メッセージで返されたユーザーの子要素に基づいて、 *targetObject* の子アイテムを追加します。
たとえば、XML 応答は次のようになります。

```
<message>
 <body>
  <user>
   <userID>12345</userID>
   <email>email@email.com</email>
   <firstName>Jane</firstName>
   <lastName>Doe</lastName>
   <lastLoginTime>08/13/2019 20:08:16</lastLoginTime>
   <active>TRUE</active>
  </user>
  <user>
   ...
  </user>
 </body>
</message>
```

この応答に対して、次のように子アイテムを追加します。

targetObject の子アイテム

ラベル	名前	タイプ	必須
userID	userID	文字列	いいえ
メール	メール	文字列	いいえ
firstName	firstName	文字列	いいえ
lastName	lastName	文字列	いいえ
lastLoginTime	lastLoginTime	文字列	いいえ
active	active	True/False	いいえ

21. [アクションアウトライン] の [スクリプトパーサー] ステップ をクリックします。
22. 応答のユーザー要素ごとに *targetObject* 出力オブジェクトを作成し、各 user 子要素を *targetObject* 子項目にマップします。

パーサースクリプトは、ユーザー要素ごとに実行されます。

注:
これらの例は、ユーザー取得要求への応答に通常含まれる要素の種類を示しています。これらのスクリプトを直接コピーしないでください。使用している API のドキュメントの要素名を使用します。

XML 応答を解析するスクリプトの例。

```
(function parse(inputs, outputs) {
   var xmlDoc = new XMLDocument(inputs.sourceItem, false);
   outputs.targetObject.userID = xmlDoc.getNodeText('/user/userID');
   outputs.targetObject.email = xmlDoc.getNodeText('/user/email');
   outputs.targetObject.firstName = xmlDoc.getNodeText('/user/firstName');
   outputs.targetObject.lastName = xmlDoc.getNodeText('/user/lastName');
   outputs.targetObject.lastLoginTime = xmlDoc.getNodeText('/user/lastLoginTime');
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    outputs.targetObject.active = xmlDoc.getNodeText('/user/active');
})(inputs, outputs)
```

JSON 応答を解析するスクリプトの例。

```
(function parse(inputs, outputs) {
    var record = JSON.parse(inputs.sourceItem);
    outputs.targetObject.userID = record.userID;
    outputs.targetObject.email = record.email;
    outputs.targetObject.firstName = record.firstName;
    outputs.targetObject.lastName = record.lastName;
    outputs.targetObject.lastLoginTime = record.lastLoginTime;
    outputs.targetObject.active = record.active;
})(inputs, outputs)
```

23. データストリームアクションをテストするには、[テスト] をクリックします。

a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
システムログを表示するには、次の場所に移動します。 システムログ > システムログ > すべて.

b. データストリームアクションにエラーが発生した場合は、正しいエンドポイントを使用していることと、API リクエストとレスポンスが想定どおりに構成されていることを確認してください。

24. データストリームアクションが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ユーザーを取得するためのサブフローを作成する

ソフトウェアサブスクリプションテーブルにユーザーのリストを追加するサブフローを作成します。

始める前に

このサブフローには、ユーザーを取得するためのデータストリームアクションが必要です。詳細については、「ユーザーを取得するデータストリームアクションの作成」を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

注:
ユーザーを取得するサブフローの例については、「サブスクリプションのダウンロード」およびWebex「サブスクリプションのダウンロード」サブフローを参照してくださいJira。

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.

2. [新規] をクリックし、[サブフロー] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。

サブフローのプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、「 アプリケーション ダウンロードサブスクリプション」の場合、 アプリケーションは 統合するアプリケーションの名前 SaaS です。
アプリ	ソフトウェア資産管理 **- SaaS** ライセンス管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
ケーション	注: サブフローを - アプリケーションにソフトウェア資産管理保存すると、サブスクリプションに含まれますソフトウェア資産管理。 SaaS ライセンス管理サブフローを他のアプリケーションに保存すると、トランザクションに対して ServiceNow 統合ハブ 課金される場合があります。で ServiceNow Storeカスタムスポークアプリケーションを公開する場合は、代わりにカスタムアプリを選択します。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。
実行方法	セッションを開始するユーザー。

4. [送信] をクリックします。
5. 統合プロファイル入力を追加します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration Profile	はい

6. 「アクション」セクションで、プラス・アイコンをクリックし、「 アクション 」をクリックして新しいアクションを追加します。
7. インストールされているスポークのリストから、統合するアプリケーションのスポーク SaaS を選択します。

   注:
   インストールされているスポークのリストにスポークを追加するには、 ServiceNow Store で要求してください。利用可能なスポークの完全なリストについては、「 IntegrationHub で利用可能なスポーク」 を参照してください。統合する SaaS アプリケーションの既存のスポークがない場合は、 新しいスポークを作成できます。

8. ユーザーを取得するデータストリームアクションを選択します。
9. データストリームアクションのユーザー認証入力に渡す値を定義します。

   データストリームアクションによって、ユーザーサブスクリプションのリストに含めたくないユーザーが返される場合があります。フィルタリングを実行して一部のユーザーを除外する場合は、[If] フローロジックを [ユーザーを取得] データストリームアクションの子として追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なフィルタリングの量は、統合するアプリケーションによって異なります。たとえば、ユーザー targetObject にプロパティがある場合は *active* 、値が **true** であることを確認する条件を追加して、サブフローが非アクティブ化されたユーザーをダウンロードしないようにすることができます。[サブスクリプションをダウンロード] サブフローで使用される Jira フィルタリングの例は、サブフローが実際のユーザーではないアカウントを返さないようにするために、アカウントの種類を アプリ にできないようにすることです。

If フローロジックに、必要なフィルタリングの条件を追加します。If フローロジックを使用してユーザーをフィルタリングする場合は、スポークからソフトウェア資産管理アクションをフローロジックの子として追加*Upsert user subscription using subscription identifier*します。ユーザーをフィルタリングしない場合は、ユーザーデータストリームを取得アクションの子としてアクションを追加します *Upsert user subscription using subscription identifier* 。

このアクションにより、 SaaS アプリケーションユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプションテーブル [samp_sw_subscription] に追加されます。サブスクリプションが既にテーブルにある場合、アクションはサブスクリプションレコードを更新します。

10. 統合に適用可能な入力を入力します。

データパネルの値を使用して、アクション入力に入力します。API への要求は SaaS 、すべての入力のデータを返さない場合があります。

[ユーザーサブスクリプションをアップサート] アクション

フィールド	値
外部ユーザー ID	ユーザー targetObject のユーザー ID またはアカウント ID。これは通常、人間が判読できない数値です。この値は一意である必要があります。
ユーザープリンシパル名	ユーザー targetObject からのメールアドレス。メールアドレスが利用できない場合は、ユーザー名とユーザー ID などの別の値を使用します。この値は人間が判読できるようにする必要があります。
統合プロファイル	サブフロー用に作成した統合プロファイル入力。
前回のアクティビティ	ユーザー targetObject からの最新のアクティビティの日付。たとえば、前回のログイン時刻などです。
外部作成	ユーザー targetObject からのアカウント作成日。 この値は、より適切な再利用候補を作成するのに役立ちます。新しいユーザーにはまだアクティビティがない可能性があります。ユーザーアカウントが作成されたことがレコード

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	に示されている場合、未使用のアカウントではなく新しいアカウントであるため、そのユーザーの再利用候補は作成されません。
識別子	統合を識別する一意の識別子。サブスクリプションのソフトウェアモデルは、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの識別子と一致する識別子を使用して自動的に作成されます。 識別子が存在しない場合は、識別子を構成します。詳細については、「識別子の設定」を参照してください。
追加属性	これは、上記以外のsamp_sw_subscriptionテーブルの他のフィールドを更新するために使用されます。

11. サブフローをテストするには、[テスト] をクリックします。

a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
システムログを表示するには、次の場所に移動します。 システムログ > システムログ > すべて.

注:
ユーザーを取得するデータストリームアクションは、ユーザーの複数のページを正常に取得する必要があります。データストリームアクションがすべてのユーザーを取得することを確認するまで、ソフトウェアサブスクリプションテーブル [samp_sw_subscription] に書き込まないでください。確認するために、データストリームを消費するサブフローを作成し、結果をログに記録します。

12. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ヒント:
サブフローは、公開後も編集できます。

識別子の設定

統合を識別するための識別子が存在しない場合は、構成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 製品がソフトウェア製品 [samp_sw_product] テーブルに存在しない場合は、カスタム製品を作成します。

a. [新規] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
パブリッシャー	カスタム製品の公開者。
製品	カスタム製品の名前。
製品タイプ	カスタム ソフトウェア製品の製品タイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
製品分類	正式な UNSPSC 分類
サブスクリプションソフトウェア	製品がサブスクリプションベースの製品であることを示すオプション。
インストールを無視	製品タイプがライセンス可能であることを示すオプション。 このチェックボックスは、[製品タイプ] を [ライセンス可能] として選択し、[サブスクリプションソフトウェア] が true に設定されている場合にのみ表示されます。
コンテンツサービスから除外	製品がコンテンツサービスから除外されることを示すオプション。 このチェックボックスはオンにしないでください。
アクティブ	この製品が使用されているかどうかを示すオプション。

c. [送信] を選択します。

2. 検出マップ [samp_custom_sw_entitlement_definition] テーブルからカスタムエンタイトルメント定義を作成して、カスタム検出マップを作成します。

a. [新規] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
製品	現在のソフトウェア製品名。ステップ 1 で作成したカスタム製品。
バージョン条件	[バージョン] フィールドの条件修飾子: ▪ 次で始まる ▪ 次の値に等しい (=) ▪ は何でも デフォルトは [は何でも] になります。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。 バージョン条件値が [次で始まる] か [次の値に等しい (=)] の場合は必須となります。
エディション条件	エディションフィールドの条件修飾子: ▪ 次で始まる ▪ 次の値に等しい (=) ▪ は何でも

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	デフォルトは [は何でも] になります。
エディション	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。
プラットフォーム	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。
言語	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。標準化または手動で追加された後に入力されます。

c. [送信] を選択します。

3. カスタムサブスクリプション製品定義 [samp_sw_custom_subscription_product_definition] テーブルからカスタムエンタイトルメント定義を作成して、カスタムサブスクリプション製品定義を作成します。

a. [新規] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
識別子	カスタム製品に関連付けられているサブスクリプション識別子。
サブスクリプション統合	サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルのサブスクリプション製品にマッピングされている SaaS および SSO プロバイダーのリスト。 このシナリオでは、 [カスタム統合] を選択します。
エンタイトルメント定義	ステップ 2 で作成したカスタム検出マップ。
アクティブ	識別子が使用されているかどうかを示すチェックボックス。

c. [送信] を選択します。

ユーザーアクティビティを取得するデータストリームアクションの作成

SaaS アプリケーションからユーザーアクティビティを取得するデータストリームアクションを作成します。

始める前に

既存の ServiceNow® 統合ハブ スポークを使用している場合は、作成せずに使用できるユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションがあるかどうかを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データストリームアクションの詳細については、「 データストリームアクション」 を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

ユーザー アクティビティを監視して、会社が料金を支払っているのに使用されていないソフトウェア サブスクリプションを見つけます。これらの未使用のサブスクリプションを再利用して、会社のソフトウェア費用を削減できます。
データストリームアクションを作成する前に、意味のあるユーザーアクティビティを定義する方法を決定します。意味のあるアクティビティは、ユーザーアクションの組み合わせである可能性があります。ユーザーアクティビティ測定基準ごとに個別のデータストリームアクションを作成します。たとえば、ベースシステムの Webex 会議統合では、有意義なアクティビティを会議の開催として定義します。1 つのデータストリームアクションを使用して、すべてのユーザーの最後に開催された会議の日付を取得します。Meetings インテグレーションに Webex 有意義なアクティビティとしてログインを含める場合は、2 番目のデータストリームアクションを作成して、すべてのユーザーの最新のログイン時間を取得します。

ユーザーを取得するデータストリームアクションは、最終ログイン時間などのユーザーアクティビティ測定基準を返す場合があります。この場合、追加のユーザーアクティビティ測定基準を定義する場合を除き、ユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションまたはユーザーアクティビティを取得するためのサブフローを作成する必要はありません。ユーザーを取得するためのサブフローで、このユーザーアクティビティ測定基準が [ユーザーサブスクリプションをアップサート] アクションの最後のアクティビティ入力として設定されていることを確認してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.
2. [新規] をクリックし、[データストリーム] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

アクションプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、「 ユーザーアクティビティを取得」などです。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
アプリケーション	SaaS アプリケーションと統合するスポークアプリ。このスポークアプリは、既存の統合ハブ スポークでも、自分で作成した新しいスポークでもかまいません。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。

4. [送信] をクリックします。
5. 「アクション・アウトライン」の「入力」セクションで、「 入力の作成」をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 過去の検索時間の入力を追加します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
過去の検索時間	look_back_time	日付/時刻	はい

7. 使用している API が要求にユーザー認証を必要とする場合は、認証用の入力を追加します。一般的なユーザー認証入力の例は、管理者ユーザー ID とサイト名です。特定のケースでのユーザー認証の要件については、選択した API のドキュメントを参照してください。API がアクセストークンを必要とする場合は、 後で認証情報の値 変数が自動的に作成されます。アクセストークンを入力として追加する必要はありません。

   完了したデータストリームアクションをサブフローで使用する場合は、これらの入力として渡す値を定義します。

8. 「アクション・アウトライン」の 「要求 」をクリックします。
9. フォームのフィールドに入力します。

[要求] フォーム

フィールド	値
データをどのように取得しますか。	**[REST** ステップ] または **[SOAP** ステップ] を選択します。どちらを選択するかは、統合する SaaS アプリケーションの API によって異なります。
ページネーションを有効化	選択済み。
各要求の前にスクリプトを実行	未選択。

10. [アクションアウトライン] の [ページネーション設定] ステップ をクリックします。
11. SaaS API で使用されるクエリパラメーターに基づいてページネーション変数を定義します。

    オフセットベースのページネーションを使用している場合は、制限/オフセットページネーションテンプレートを使用して、ページネーション設定をプリロードします。

    注:
    予約済みの `getNextPage` 変数の値によって、結果の別のページを要求するかどうかが決まります。getNextPage 変数が **true** である限り、アクションは次のページの要求を送信し続けます。

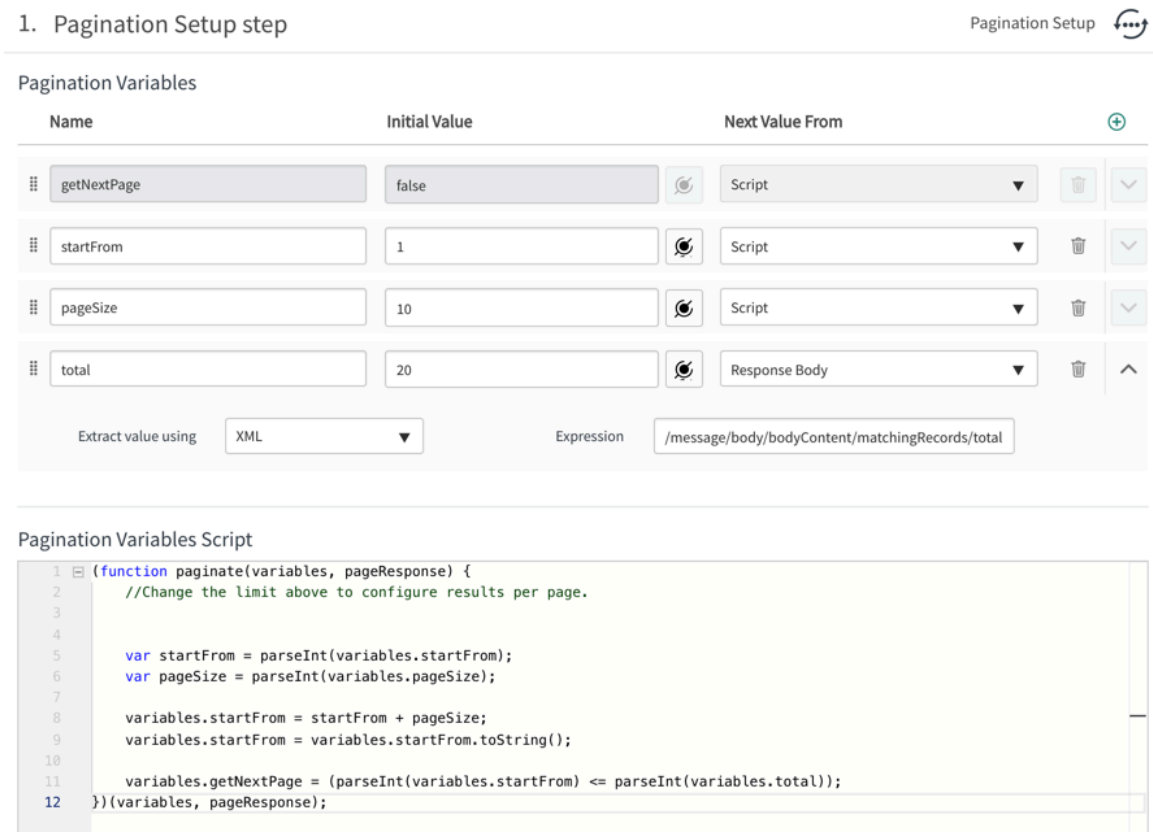
12. ページネーション変数を更新するページネーション変数スクリプトを記述します。

    スクリプトは要求ごとに実行されます。ページネーションテンプレートを使用している場合は、必要に応じてプリロードされたスクリプトを調整します。

    次の画像は、ページネーション設定手順の完了した例を示しています。この例は、[サブスクリプションをダウンロード] サブフローで使用される Webex [ユーザーを取得] データストリームアクションからのものです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
ページネーション変数は、文字列データ型のみをサポートします。数学演算を実行するには、値を整数に変換し、必要な操作を実行してから、文字列に変換し直します。

13. データの取得方法について選択したオプションに応じて、[アクションアウトライン] で [**SOAP** ステップ] または **[REST** ステップ] をクリックします。
14. **[SOAP**] を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

SOAP ステップフォーム

フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って接続 エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
エンドポイント	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
エンベロー	手動で。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
プの作成	
SOAP アクション	意味のあるユーザーアクティビティのリストを取得するための API 要求。たとえば、ベースシステムの Webex 会議統合は、 LstsummaryMeeting 要求を使用してすべての会議のリストを取得するように、意味のあるユーザーアクティビティを会議のホストとして定義します。選択した API のドキュメントを参照して、適切な要求を選択してください。
SOAP エンベロープ	すべてのユーザーのリストを取得するための XML 要求メッセージ。XML 要求メッセージの記述方法については、選択した API のドキュメントを参照してください。一般に、ヘッダーには、ユーザー認証用の入力変数と、アクセストークンとしての 認証情報値 変数が必要です。本文には、意味のあるユーザーアクティビティのリストを取得する要求、 [過去の検索時間] 入力として設定された開始日、およびページネーションセットアップステップからの変数を含める必要があります。 **注:** SOAP エンベロープの例については、「ユーザーアクティビティの更新サブフローで使用される Webex ユーザーアクティビティデータストリームを取得」アクションを参照してください。

15. **[REST]** を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

REST ステップフォーム

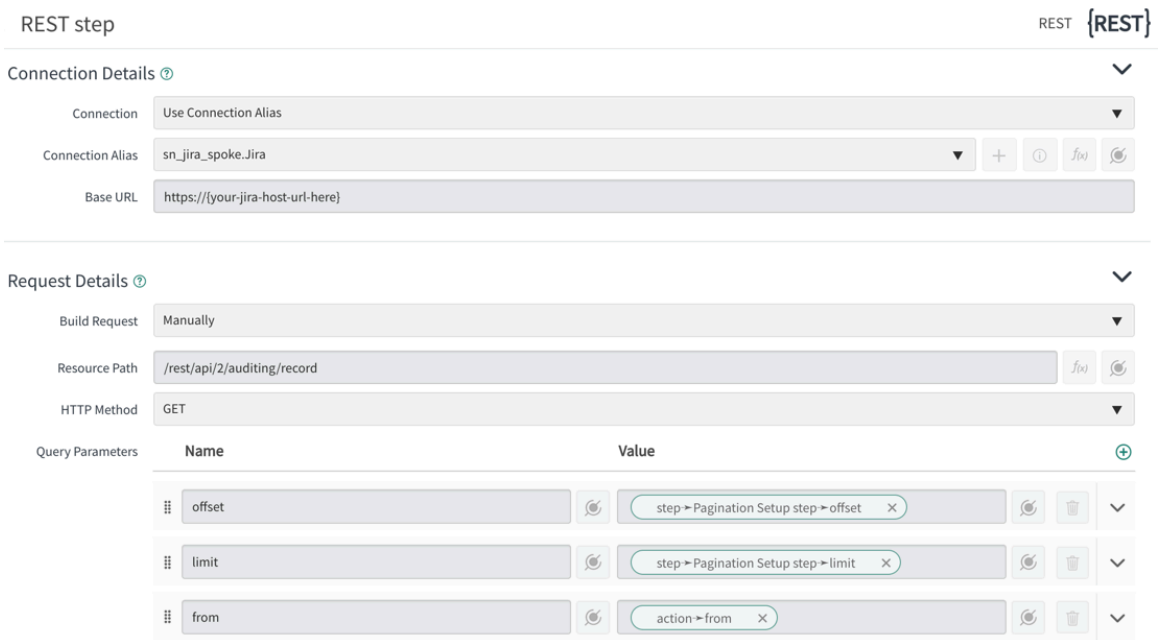
フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って接続 エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
ベース URL	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
ビルド要求	手動で。
リソース パス	リソースへのパス。この値はベース URL に追加されます。リソースパスの構築方法については、使用している API のドキュメントを参照してください。
HTTP メソッド	**GET**です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
クエリ パラメーター	ページネーションのパラメーターを追加します。ページネーションのセットアップ手順で作成した変数として値を設定します。 要求が開始日から現在の日付までの結果を返すように、開始日の別のパラメーターを追加します。この値を [過去の検索時間] の入力値として設定します。 **注:** [過去の検索時間] 入力日付/時刻変数が、使用している API に対して正しい形式になっていることを確認してください。文字列などの別のデータタイプを再フォーマットまたは変換する必要がある場合は、アクション前処理スクリプトステップでこれを行うことができます。

次の画像は、REST ステップの完成した例を示しています。この例は、[ユーザーアクティビティの更新] サブフローで使用される Jira [監査ログを取得] データストリームアクションからのものです。



16. 「アクション・アウトライン」の「 解析 」をクリックします。
17. フォームのフィールドに入力します。

フォームを解析中

フィールド	値
各レコードをどのように識別しますか。	**JSON/XML** スプリッター
各アイテムをどのように解析してオブジェクトにしますか。	スクリプトパーサー

18. 「アクション・アウトライン」の 「スプリッター・ステップ 」をクリックします。
19. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スプリッターステップフォーム

フィールド	値
ソースフォーマット	API 応答によって返される形式に応じて、[**XML**] または **[JSON**] を選択します。
アイテムパス	応答メッセージ内の意味のあるアクティビティ要素への絶対パス。応答メッセージの形式については、使用している API のドキュメントを参照してください。 ○ XML アイテムパスの例: `/message/body/meeting` ○ JSON アイテムパスの例: `$.data.meeting`

20. 「アクション・アウトライン」の 「出力 」をクリックします。
21. 「 出力の作成 」をクリックし、変数を図のように編集します。

アクションの出力

ラベル	名前	タイプ	必須
targetObject	targetObject	オブジェクト	いいえ

22. *`targetObject`* の子アイテムを追加して、ユーザーのメールと有意義なアクティビティの日付を格納します。
たとえば、XML 応答は次のようになります。

```
<message>
 <body>
  <meeting>
   <meetingID>12345</meetingID>
   <startDate>08/13/2019 20:08:16</startDate>
   <hostEmail>email@email.com</hostEmail>
  </meeting>
  <meeting>
   ...
  </meeting>
 </body>
</message>
```

この応答に対して、次のように子アイテムを追加します。

targetObject の子アイテム

ラベル	名前	タイプ	必須
メール	メール	文字列	いいえ
last_activity	last_activity	文字列	いいえ

23. [アクションアウトライン] で、[スクリプトパーサー] ステップをクリックします。
24. 応答内の意味のあるアクティビティ要素ごとに *`targetObject`* 出力オブジェクトを作成し、各アクティビティの日付とユーザーのメールを *`targetObject`* 子アイテムにマッピングします。

パーサースクリプトは、ユーザー要素ごとに実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
これらの例は、応答に含めることができる要素の型を示しています。これらのスクリプトを直接コピーしないでください。使用している API のドキュメントの要素名を使用します。

XML 応答を解析するスクリプトの例。

```
(function parse(inputs, outputs) {
    var xmlDoc = new XMLDocument(inputs.sourceItem, false);
    outputs.targetObject.email = xmlDoc.getNodeText('/meeting/hostEmail');
    outputs.targetObject.last_activity = xmlDoc.getNodeText('/meeting/startDate');
})(inputs, outputs)
```

JSON 応答を解析するスクリプトの例。

```
(function parse(inputs, outputs) {
    var record = JSON.parse(inputs.sourceItem);
    outputs.targetObject.email = record.hostEmail;
    outputs.targetObject.last_activity = record.startDate;
})(inputs, outputs)
```

25. データストリームアクションをテストするには、[テスト] をクリックします。

a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
システムログを表示するには、次の場所に移動します。 システムログ > システムログ > すべて.

b. データストリームアクションにエラーが発生した場合は、正しいエンドポイントを使用していることと、API リクエストとレスポンスが想定どおりに構成されていることを確認してください。

26. データストリームアクションが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ユーザーアクティビティを取得するためのサブフローを作成する

アプリケーション内の SaaS 各ユーザーの最新のアクティビティでソフトウェアサブスクリプションテーブルを更新するサブフローを作成します。

始める前に

このサブフローには、ユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションが必要です。詳細については、「ユーザーアクティビティを取得するデータストリームアクションの作成」を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

注:
ユーザーアクティビティを取得するサブフローの例については、「ユーザーアクティビティの更新サブフロー」およびWebex「ユーザーアクティビティの更新サブフロー」を参照してくださいJira。

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.

2. [新規] をクリックし、[サブフロー] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サブフローのプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、 アプリケーション 更新ユーザーアクティビティの場合、 アプリケーションは 統合する SaaS アプリケーションの名前です。
アプリケーション	ソフトウェア資産管理 - **SaaS** ライセンス管理 **注:** サブフローを - アプリケーションにソフトウェア資産管理保存すると、サブスクリプションに含まれますソフトウェア資産管理。 SaaS ライセンス管理サブフローを他のアプリケーションに保存すると、トランザクションに対して ServiceNow 統合ハブ 課金される場合があります。で ServiceNow Storeカスタムスポークアプリケーションを公開する場合は、代わりにカスタムアプリを選択します。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。
実行方法	セッションを開始するユーザー。

4. [送信] をクリックします。
5. 統合プロファイル入力とルックバック時間入力を追加します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration Profile	はい
過去の検索時間	look_back_time	日付/時刻	はい

6. 「アクション」セクションで、プラス・アイコンをクリックし、「 アクション 」をクリックして新しいアクションを追加します。
7. インストールされているスポークのリストから、統合する SaaS アプリケーションのスポークを選択します。

注:
インストールされているスポークのリストにスポークを追加するには、 ServiceNow Store で要求してください。利用可能なスポークの完全なリストについては、「 IntegrationHub で利用可能なスポーク」 を参照してください。統合するアプリケーションの既存のスポーク SaaS がない場合は、 新しいスポークを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. ユーザーアクティビティを取得するデータストリームアクションを選択します。
9. データストリームアクションの [過去の検索時間] 入力に渡す値として、[過去の検索時間] サブフロー入力を追加します。
10. データストリームアクションのユーザー認証入力に渡す値を定義します。
11. スポークのソフトウェア資産管理アクションを *Update User Activity If Later Using User* [ユーザーアクティビティデータストリームを取得] アクションの子として追加します。
12. [データ] パネルの値を使用してアクションを完了します。

[ユーザーアクティビティを後で更新] アクション

フィールド	値
最終アクティビティ	targetObject からの最新のアクティビティの日付。
統合プロファイル	サブフロー用に作成した統合プロファイル入力。
外部ユーザー ID	ユーザー targetObject のユーザー ID またはアカウント ID。通常、この ID は数値であり、人間が判読できない値です。この値は一意である必要があります。
ユーザープリンシパル名	ユーザー targetObject からのメールアドレス。メールアドレスが利用できない場合は、ユーザー名とユーザー ID などの別の値を使用します。この値は人間が判読できるようにする必要があります。

13. 複数のデータストリームアクションを使用して複数のタイプのユーザーアクティビティを取得する場合は、手順 6 ～ 12 を繰り返して、各データストリームアクションをサブフローに追加します。
14. [テスト] をクリックしてサブフローをテストします。
    a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
    システムログを表示するには、次の場所に移動します。 システムログ > システムログ > すべて.
15. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ヒント:
サブフローは、公開後も編集できます。

ユーザーを削除するアクションの作成

SaaS アプリケーションでユーザーアカウントを非アクティブ化または削除するアクションを作成します。

始める前に

既存の ServiceNow® 統合ハブ スポークを使用している場合は、ユーザーを作成する代わりに使用できるユーザーを削除するアクションがあるかどうかを確認します。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

このアクションは、未使用のサブスクリプションを再利用して会社のソフトウェア経費を削減するために使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.
2. [新規] をクリックし、[アクション] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

アクションプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、[ユーザーを削除] などです。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
アプリケーション	SaaS アプリケーションと統合するスポークアプリ。これは、既存の 統合ハブ スポークでも、作成した新しいスポークでもかまいません。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。

4. [送信] をクリックします。
5. 「アクション・アウトライン」の「入力」セクションで、「 入力の作成」をクリックします。
6. ユーザー ID 入力を追加します。

   これは、アクションが削除するユーザーのユーザー ID を取得する方法です。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
ユーザー ID	userID	文字列	はい

7. 使用している API が要求にユーザー認証を必要とする場合は、認証用の入力を追加します。
   一般的なユーザー認証入力の例は、管理者ユーザー ID とサイト名です。特定のケースでのユーザー認証の要件については、選択した API のドキュメントを参照してください。API がアクセストークンを必要とする場合、 資格情報値 変数は後で自動的に作成されるため、入力として追加する必要はありません。

   完了したアクションをサブフローで使用する場合は、これらの入力として渡す値を定義します。

8. アクションアウトラインに **SOAP** ステップ または **REST** ステップ を追加します。
   どちらを選択するかは、統合する SaaS アプリケーションの API によって異なります。
9. **[SOAP]** を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SOAP ステップフォーム

フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って接続 エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
エンドポイント	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
エンベロープの作成	手動で。
SOAP アクション	ユーザーを削除または非アクティブ化するための API 要求。選択した API のドキュメントを参照して、適切な要求を選択してください。
SOAP エンベロープ	ユーザーを削除するための XML 要求メッセージ。XML 要求メッセージの記述方法については、選択した API のドキュメントを参照してください。一般に、ヘッダーには、ユーザー認証用の入力変数と、アクセストークンとしての 認証情報値 変数が必要です。本文には、ユーザーの削除要求とユーザー ID の入力を含める必要があります。 **注:** SOAP エンベロープの例については、「サブスクリプションの再利用」サブフローで使用される Webex 「ユーザーを削除」アクションを参照してください。

10. **[REST]** を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

REST ステップフォーム

フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、手順に従って接続 エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
ベース URL	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードからの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
ビルド要求	手動で。
リソース パス	リソースへのパス。この値はベース URL に追加されます。リソースパスの構築方法については、使用している API のドキュメントを参照してください。
HTTP メソッド	**DELETE**です。
クエリ パラメーター	ユーザー ID のパラメーターを追加します。ユーザー ID 入力として値を設定します。

11. エラー処理のために [アクションアウトライン] に スクリプトステップ を追加します。

    a. [必須ランタイム] フィールドで [インスタンス] を選択します。

    b. 入力変数を作成します。

    入力変数

名前	値
response	SOAP または REST ステップからの応答本文出力
status_code	SOAP または REST ステップから出力されるステータスコード

    c. 出力変数を作成します。

    出力変数

ラベル	名前	タイプ	必須
status	status	選択肢	はい
error_message	error_message	文字列	はい

    d. [スクリプト] フィールドに、ステータスとエラーメッセージの出力に値を割り当てるスクリプトを記述します。

    - **status_code**入力を使用して、エラーがあるかどうかを確認します。ステータス出力 を、エラー がある場合はエラー、エラーがなければ 成功 に設定します。
    - エラーが発生した場合は、 応答 入力を使用してエラーの種類に関する情報を取得します。ユーザーが何が問題なのかを理解できるように、 エラーメッセージ 出力をエラーの説明に設定します。

12. [アクションアウトライン] で、[出力] をクリックします。
13. 出力変数を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力変数

ラベル	名前	タイプ	必須
ステータス	status	選択肢	いいえ
エラーメッセージ	error_message	文字列	いいえ

14. 出力変数に値を割り当てます。

出力変数

ラベル	値
ステータス	ステータス スクリプトステップからの出力変数
エラーメッセージ	スクリプトステップからの出力変数**error_message**

15. アクションをテストするには、「 テスト」をクリックします。

a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
システムログを表示するには、次の場所に移動します。 システムログ > システムログ > すべて.

b. アクションにエラーが発生した場合は、正しいエンドポイントを使用していることと、API 要求が想定どおりに構成されていることを確認してください。

注:
テストの際は、このアクションによってユーザーが非アクティブ化されることに注意してください。準本番環境でこのアクションをテストします。本番環境のみが利用可能な場合は、テスト用に偽のユーザーを作成できます。

16. アクションが期待どおりに動作していることを確認したら、「 公開」をクリックします。

ユーザーを再利用するサブフローの作成

ユーザーサブスクリプションを再利用するサブフローを作成します。

始める前に

このサブフローには、ユーザーを削除するアクションが必要です。詳細については、「ユーザーを削除するアクションの作成」を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

注:
ユーザーを再利用するサブフローの例については、「サブスクリプションの再利用」およびWebex「サブスクリプションの再利用」サブフローを参照してくださいJira。

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.

2. [新規] をクリックし、[サブフロー] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サブフローのプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、 *Application* Reclaim Subscription の場合、 *Application* は統合する SaaS アプリケーションの名前です。
アプリケーション	**Software Asset Management - SaaS License Management** 統合。 注: SaaS License Management Integrations アプリケーションで ソフトウェア資産管理 サブフローを保存すると、サブスクリプションに ソフトウェア資産管理 含まれます。サブフロ➸を他のアプリケーションに保存すると、トランザクションに対して ServiceNow　統合ハブ 課金される場合があります。で ServiceNow Storeカスタムスポークアプリケーションを公開する場合は、代わりにカスタムアプリを選択します。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。
実行方法	セッションを開始するユーザー。

4. 統合プロファイル入力とユーザーサブスクリプション入力を追加します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration Profile	はい
ユーザーサブスクリプション	user_subscription	参考資料.ソフトウェアサブスクリプション	はい

5. エラーメッセージ出力とステータス出力を追加します。

出力

ラベル	名前	タイプ
エラーメッセージ	error_message	文字列
ステータス	status	文字列

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 「アクション」セクションで、プラス・アイコンをクリックし、「 アクション 」をクリックして新しいアクションを追加します。
7. インストールされているスポークのリストで、統合する SaaS アプリケーションのスポークを選択します。

   注:
   インストールされているスポークのリストにスポークを追加するには、 ServiceNow Store で要求してください。利用可能なスポークの完全なリストについては、「 IntegrationHub で利用可能なスポーク」 を参照してください。統合する SaaS アプリケーションの既存のスポークがない場合は、 新しいスポークを作成できます。

8. ユーザーを削除するには、アクションを選択します。

   a. ユーザー **ID** 入力として渡す値を定義します。
   使用する値は使用している API によって異なりますが、通常はこのサブフローの [ユーザーサブスクリプション] 入力の [外部ユーザー **ID**] または [ユーザープリンシパル名] フィールドになります。

   b. アクションのユーザー認証入力に渡す値を定義します。

9. [ユーザーを削除] アクションがエラーを返すかどうかを確認するには、If フローロジックを追加します。
10. サブフロー出力を割り当てる子フローロジックを追加します。

    サブフロー出力を割り当て

名前	データ
エラーメッセージ	[ユーザーを削除] アクションからのエラーメッセージ出力
ステータス	failure

11. [ユーザーを削除] アクションでエラーが返されない場合に備えて、If ロジックと同じレベルに Else フローロジックを追加します。
12. サブフロー出力を割り当てる子フローロジックを追加します。

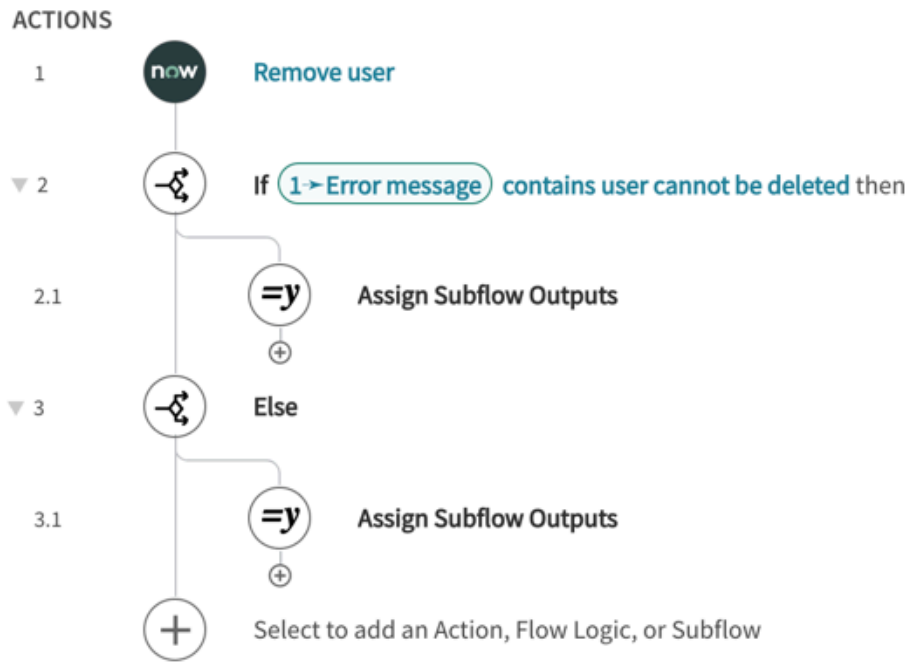
    サブフロー出力を割り当て

名前	データ
ステータス	success

次の画像は、ユーザーサブスクリプションを再利用するサブフローの完成した例を示しています。示されている例は、 Webex サブスクリプションの再利用サブフローです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



13. サブフローをテストするには、[テスト] をクリックします。

a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
システムログを表示するには、次の場所に移動します。 システムログ > システムログ > すべて.

注:
テストの際は、このサブフローによってユーザーが非アクティブ化されることに注意してください。準本番環境でこのサブフローをテストします。本番環境のみが利用可能な場合は、テスト用に偽のユーザーを作成できます。

14. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ヒント:
サブフローは、公開後も編集できます。

ライセンス消費を取得するためのサブフローを作成する

サブスクリプション消費サマリー [sam_saas_consumption_summary] テーブルにライセンス消費データを追加するサブフローを作成します。

始める前に

このサブフローは、カスタム統合を含む、ライセンス接続フレームワークを使用する SaaS すべての統合に適用されます。

必要なロール：flow_designer または admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセス自動化 > **Flow Designer**.
Flow Designer が新しいタブで起動します。

2. Flow Designer のホームページで、[新規]、[サブフロー] の順にクリックします。
[サブフローのプロパティ] ダイアログボックスが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

[サブフローのプロパティ] ダイアログボックス

フィールド	値
サブフロー名	サブフローの名前。たとえば、 Download License Consumption などです。
説明	サブフローの説明。
アプリケーション	サブフローを適用するアプリケーションスコープ。このフィールドを **[Software Asset Management - SaaS** ライセンス管理統合] に設定します。 注: Software Asset Management - SaaS License Management Integrations アプリケーションスコープでサブフローを保存すると、サブスクリプションに ソフトウェア資産管理 含まれます。サブフローを他のアプリケーションスコープに保存すると、トランザクションに対して ServiceNow 統合ハブ 課金される場合があります。で ServiceNow Storeカスタムスポークアプリケーションを公開する場合は、代わりにカスタムアプリケーションスコープを選択します。
アクセス可能	サブフローにアクセスできるアプリケーションスコープ。このフィールドを [すべてのアプリケーション スコープ] に設定します。
カテゴリ	サブフローカテゴリ。このフィールドは空のままにします。
保護	サブフローの読み取り専用保護。このフィールドを [なし] に設定します。
サブロー注釈	サブフローピッカーのサブフロータイトルの下に表示されるメッセージ。このフィールドは空のままにします。
実行方法	フローをシステムユーザーとして実行するか、セッションを開始したユーザーとして実行するかを指定するオプション。このフィールドを [セッションを開始するユーザー] に設定します。
ロールを使用して実行	このサブフローを実行するロール。

4. [送信] をクリックします。
Flow Designer によってドラフトサブフローが作成された後、サブフロー設定ページにリダイレクトされます。

5. サブフロー設定ページから、統合プロファイル入力を追加します。

   a. [INPUTS & OUTPUTS] で、プラスアイコン (+) をクリックしてサブフローの入力を追加します。

   b. [入力] セクションで、プラスアイコン (+) をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. プロンプトが表示されたら、統合プロファイルの入力について次の情報を入力します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration Profile	はい

d. [完了] をクリックします。

6. ライセンス消費データを取得するためのデータストリームアクションを追加します。
   a. [アクション] でプラスアイコン (+) をクリックし、[アクション] を選択して新しいアクションを追加します。
   b. プロンプトが表示されたら、インストールされたスポークのリストから グローバル スポークを選択します。
   c. [既定のアクション] の一覧から、 **[<saas-application> Consumption** の取得] を選択します。
   d. [完了] をクリックします。
7. [消費をアップサート] アクションを [<saas-application> 消費を取得アクションの子として追加します。
   消費をアップサートアクションは、ライセンス消費データをインスタンスの消費サマリーテーブルにアップロードします ServiceNow 。
   a. [<saas-application> 消費の取得] アクションで、プラス アイコン (+) をクリックし、[アクション] を選択します。
   b. プロンプトが表示されたら、[インストール済みスポーク] のリストから [**Software Asset Management**] を選択します。
   c. 「デフォルト・アクション」リストから、「 消費をアップサート」を選択します。
   [消費をアップサート] アクション入力が表示されます。
   d. 製品 [Software Product] リストから、統合で接続するソフトウェア製品を検索して選択します。
   この値は、ソフトウェア製品 (samp_sw_product) テーブルへの参照である必要があります。製品がテーブルに存在しない場合は、 カスタムソフトウェア製品を追加します。
   e. [データ] パネルの値を使用して、残りのアクション入力を入力します。
   API への SaaS 要求は、すべての入力のデータを返さない場合があります。統合に適用可能な入力を入力します。

消費アクション入力をアップサート

フィールド	値
バージョン	アプリケーションのバージョン SaaS 。
エディション	SaaSアプリケーションのエディション (Standard や Enterprise など)。
消費単位	消費可能なソフトウェア単位の測定単位。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
合計ユニット	ソフトウェア製品のすべてのアクティブなエンタイトルメントで購入したソフトウェアユニットの合計数。
消費されたユニット	ユーザーが消費したソフトウェアユニットの合計数。
契約開始	契約の開始日。
契約終了	契約の終了日。

f. [完了] をクリックします。

8. [テスト] をクリックして、サブフローが正常に機能していることを確認します。
サブフローのエラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。システムログを表示するには、次の場所に移動します。 システムログ > システムログ > すべて ServiceNowインスタンスで

9. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ヒント:
サブフローは、公開後も編集できます。

カスタム統合プロファイルの公開

カスタム統合プロファイルを公開して、カスタム統合を完了します。

始める前に
統合プロファイルに追加する前に、すべてのアクションとサブフローが公開 ServiceNow® フローデザイナー されていることを確認してください。

必要なロール:sam_integrator または admin

手順

1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > 管理 > すべての統合プロファイル をクリックし、作成したカスタム統合プロファイルを選択します。

2. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] フォームセクションで、SaaS アプリケーションの [サブスクリプションのダウンロード] サブフローを選択します。

3. [公開] をクリックします。
SaaS アプリケーションのソフトウェアモデルが自動的に作成されます。サブスクリプションのダウンロードサブフローをすぐに実行するスケジュール設定済みジョブが作成されます。これにより、SaaS アプリケーションのユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプションテーブル [samp_sw_subscription] に追加されます。

4. [アクティビティサブフローを計算] フォームセクションで、SaaS アプリケーションの [ユーザーアクティビティの更新] サブフローを選択します。

注:
ユーザーサブスクリプションを取得するジョブスケジュールは、ユーザーアクティビティの更新サブフローを追加する前に終了する必要があります。

5. [ユーザーアクティビティの分析元] フィールドに値を選択します。
データの分析は、現在の日付から開始するか、過去最大 60 日間から開始するかを選択できます。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを表示できるため、リアルタイムで待機せずに古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると分析されるデータ量が増えるため、結果が表示されるまでに数時間かかる場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この値は、ユーザーアクティビティを取得するためのサブフローの ルックバック時間 入力として渡されます。

6. [サブスクリプションの再利用サブフロー] フォームセクションで、SaaS アプリケーションの [サブスクリプションの再利用] サブフローを選択します。
7. [保存] をクリックします。

次のタスク

統合が接続されると、再利用ルールと古いユーザー再利用候補が自動的に作成されます。ユーザーサブスクリプションと再利用候補は毎日更新されます。

自動的に生成されたすべての再利用ルールをレビューして、ユーザーサブスクリプションを再利用するための仕様を満たしていることを確認することが重要です。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有するソフトウェアに対して使用されるソフトウェアを追跡します。詳細については、「クラシック版での ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントの作成」を参照してください。

カスタム統合のためのストアアプリの作成

で ServiceNow Store カスタム統合アプリケーションを公開して、他のユーザーが使用できるようにします。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

他のユーザーが から ServiceNow Storeカスタム統合をダウンロードしたときにカスタム統合が正しく機能するように、これらの手順を完了する必要があります。

手順

1. カスタム統合アプリケーションで修正スクリプトを作成します。
   アプリケーションを使用して新しい統合プロファイルが作成されると、作成したサブフローと接続エイリアスは、この修正スクリプトによってプロファイルに自動的にリンクされます。

   a. 移動先 システムアプリケーション > **Studio**.

   b. カスタム統合アプリケーションを選択します。

   c. [Studio へようこそ] ページで、[**+** 新規作成] をクリックします。
   [アプリケーションファイルを作成] ダイアログボックスが開きます。

   d. ダイアログボックスで、[修正スクリプト (Fix Script)] を検索して選択します。

   e. [作成] をクリックします。

   f. 修正スクリプトフォームで、次のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

修正スクリプトフォーム

フィールド	値
名前	修正スクリプトの名前。たとえば、 `カスタム統合修正スクリプト`などです。
読み込み不能	修正スクリプトの実行時に顧客アップデート [sys_update_xml] レコードを作成するオプション。このオプションは選択しないでください。
アプリケーション	カスタム統合アプリケーション。このフィールドは、自動的に入力されます。
前	アプリケーションをインストールまたはアップグレードする前に修正スクリプトを実行できるようにするオプション。このオプションは選択しないでください。
説明	修正スクリプトの説明。

g. [スクリプト] フィールドに次のスクリプトを入力します。
サブフローと接続エイリアスについては、例の ID を実際の ID に置き換えます。ID は、各アイテムの URL で確認できます。

```
new global.CustomIntegrationProfileUtils().createCustomIntegration({
 name: 'Name', // choose a name for the integration
 downloadSubscriptionSubflow: '3a23e189a1400010fa9bed1383c83d38', //replace example id
 updateActivitySubflow: '77a66d23e5500010fa9bc9581d0c0f47', //replace example id
 reclamationSubflow: 'e62b672e39400010fa9b4845e477fe02', //replace example id
 connectionAlias: '629ad2bfdb1893005963ff041d961971' //replace example id
});
```

注:
更新アクティビティと再利用サブフローは必要ありません。アクティビティを更新するためのサブフローを含めない場合、サブスクリプションのダウンロードサブフローにユーザーアクティビティが含まれていない場合、統合はユーザーアクティビティを取得しません。再利用サブフローを含めない場合、統合でユーザーサブスクリプションを非アクティブ化 SaaS することはできません。

h. [送信] をクリックします。

2. クロススコープ特権レコードを作成します。
このレコードにより、作成した修正スクリプトが CustomIntegrationProfileUtils() スクリプトインクルードにアクセスできるようになります。

a. 移動先 システムアプリケーション > アプリケーションのクロススコープアクセス.

b. **[New** (新規)] をクリックします。

c. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クロススコープ権限

フィールド	値
ソース スコープ	カスタム統合アプリケーション。このフィールドは、自動的に入力されます。 別のアプリケーションを選択するには、インスタンスのServiceNowバナーフレームにある [設定] をクリックします。[システムの設定] ダイアログ ボックスで、[開発] タブを選択し、[アプリケーション] ドロップダウン リストからアプリケーションを選択します。
ターゲット スコープ	リソースの要求元のアプリケーション。検索アイコン ( ) をクリックし、 グローバル アプリケーションを見つけて選択します。
ターゲット名	スクリプトインクルードの名前です。このフィールドを CustomIntegrationProfileUtils に設定します。
ターゲット タイプ	要求のタイプ。[スクリプトインクルード] を選択します。
アプリケーション	カスタム統合アプリケーション。このフィールドは、自動的に入力されます。
操作	スクリプトがターゲットスコープに対して実行する操作。**[API** の実行] を選択します。
ステータス	このクロススコープ特権レコードの認証。[許可] を選択します。

d. [送信] をクリックします。

次のタスク
で ServiceNow Storeカスタム統合アプリケーションを公開する前に、アクションとサブフローがアクティブで、公開されていて、アプリケーションに保存されていることを確認してください。

ソフトウェア再利用ルールのレビュー

再利用ルールを使用して、アクティビティが制限されているかまったくないユーザーサブスクリプションをキャンセルします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
直接統合プロファイルを作成するか、SSO アプリケーションに接続すると、ソフトウェアの再利用ルールが自動的に作成されます。再利用ルールを確認して、仕様を満たしていることを確認すること

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

が重要です。各アプリケーションの再利用ルールの詳細については、を参照してください 再利用のルール。

直接統合	アクティビティ
Aha!	ユーザーログイン **注:** 分析期間は 60 日間です。
Asana	• 作成されたタスク • 件の完了したタスク • サブタスクが作成されました • サブタスクが完了しました • タスクまたはサブタスクの割り当て • プロジェクト間でのタスクまたはサブタスクの移動 • タスクまたはサブタスクに追加されたコメント • ストーリーが作成されました
Box	• ユーザーログイン • 作成、編集、削除、共有、アップロード、ダウンロードなどの 60 のアクションを含むすべてのファイルアクティビティ
Calendly	イベントのスケジュール
Confluence Cloud	スペース、ページ、ブログ投稿、コメント、または添付ファイルの作成または更新
DocuSign	ユーザーログイン
Dropbox	• ユーザーログイン • 作成、編集、削除、共有、アップロード、ダウンロードなどの 60 のアクションを含むすべてのファイルアクティビティ
Google Workspace	Google ドライブ と Google ドキュメント 作成、編集、削除、アップロード、ダウンロード、同期などのファイルアクティビティ Gmail 読み取り、作成、編集、送信、削除などのメールアクティビティ
GitHub	• コミットコメントを作成 • Git 分岐またはタグを作成する • Git 分岐またはタグを削除する • リポジトリをフォークする • Wiki ページの作成または更新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
	• 作成、編集、削除などの課題コメント アクティビティ • オープン、クローズ、再オープン、アサイン、アサイン解除、ラベル付け、ラベル付け解除などの問題アクティビティ • リポジトリのコラボレーターアクティビティ (コラボレーターのアクセス権限の編集など) • プライベートリポジトリを公開にする • オープン、クローズ、再オープン、アサイン、アサイン解除、レビュー、ラベル付け解除、同期などの任意のプル要求アクティビティ • 任意のプル要求レビューコメントアクティビティ • 少なくとも 1 つのコミットをリポジトリブランチまたはタグにプッシュする • 公開や編集などのリリースアクティビティ • スポンサーシップリスト活動 • リポジトリに Star を付ける
GoTo	GoToMeeting 会議の開催 GoToWebinar ウェビナーまたは会議の開催 GoToConnect 回線を使用して電話をかけるGoToConnect
Jira ソフトウェア	• 問題を作成 • 課題にコメントする • 課題のコメントを更新する • 次のカテゴリのアクティビティ: ○ 監査 ○ プロジェクトの変更 ○ 権限の変更 ○ ワークフローの変更 ○ 通知の変更 ○ カスタムフィールドの変更 ○ Advanced Roadmaps の変更
Looker	ユーザーの前回のログイン
Microsoft Dynamics 365 と Power Apps	Dynamics 365 で次のレコードを作成または更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
	• 共通エンティティ: 取引先企業、取引先担当者、目標、製品、ユーザー、電話、タスク、レター、電子メール、予定、FAX、カスタム活動 • 販売関連エンティティ:競合他社、営業案件、請求書、注文、見積もり • カスタマーサービスエンティティ:ケース、契約、キュー、およびサービスエンティティアクティビティ
Miro	ボードへのアクセスまたは更新
monday.com	• メモの作成、追加または削除、ユーザーの追加または削除、削除などのボード アクティビティ • 追加、編集、複製、削除などのアイテムアクティビティ
PagerDuty	オンコールスケジュールに含まれている
Rally	• ユーザーの前回のログイン • 前回のアクティビティ時間
Roadmunk	• ユーザーログイン • アイデアまたはフィードバックにコメントを追加する • フィードバックを作成または更新 • ロードマップのアーカイブまたは復元
Salesforce	ユーザーログイン
SAP SuccessFactors	ユーザーログイン
Slack Enterprise	ユーザーログイン
SmartRecruiters	求人や求人広告の作成など、ユーザーアクティビティ
Smartsheet	ユーザーの最終アクティビティ アクティビティのリストについては、「イベントレポートリファレンス」を参照してください。
SurveyMonkey	• ユーザーログインまたはログアウト • グループ名の更新 • メンバーの追加または削除 • グループメンバータイプの更新 • 招待を作成または再送信する • 権限の作成または更新 • 共有ビューを作成または更新する • エクスポートの作成またはダウンロード • 回答者を更新または削除する • 助成金情報の作成または削除

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
	• 作成、削除、コピー、更新、転送などのサーベイ情報アクティビティ • コレクター情報アクティビティ (作成、削除、更新など)
Trello	ユーザーログイン **注:** 分析期間は 60 日間です。
Webex	Webex トレーニング トレーニングの開催 Webex イベント イベントの開催 Webex サポートセッション サポートセッションをホストする Webex 会議 会議の開催 Webex チーム • メッセージを送信または更新する • ファイルをアップロードします • チームスペースのメンバーシップを作成または更新する
Workfront	• プロジェクトを作成または更新 • タスクの作成または更新 • 問題の作成または更新 • ポートフォリオを作成または更新する • プログラムの作成または更新 • レポートの作成または更新 • フィルターを作成または更新 • ドキュメントの作成または更新 • テンプレートを作成または更新 • 経費の作成または更新
Workplace from Facebook	• グループ内の Workplace 投稿を作成、更新、または表示します。 • グループの投稿にコメントします Workplace 。 • で Workplaceメッセージを送信します。 • ナレッジライブラリーカテゴリを作成または更新します Workplace 。 • ナレッジライブラリーカテゴリに関する Workplace コメント。 • コミュニティに Workplace 公開イベントを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
Zendesk	ユーザーログイン
Zoom	• 会議の開催 • ウェビナーの開催

SSO サブスクリプションの場合、再利用ルールはユーザーログインをチェックします。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > 再利用ルール をクリックし、統合プロファイルに対応する再利用ルールを選択します。
2. 次のフィールドを確認し、必要に応じて再利用ルールを変更します。

[再利用ルール] フォーム

フィールド	説明
名前	再利用ルールの名前。
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。
追加の検出ソースからの使用状況を含める	このフィールドは、 Microsoft 365 再利用ルールを確認している場合にのみ表示されます。 選択すると、E3 から E1 への最適化のために、SCCM や ACC-V などのMicrosoft追加の検出ソリューションからの Access と公開者の使用状況Microsoftが考慮されます。
ユーザーへの通知	ユーザーがアカウントの維持要求で応答しない限り、アカウントが再利用されることをメールでユーザーに通知するオプション。ユーザーがライセンスを保持したい場合、ライセンスの削除を承認または拒否するのは管理者の責任になります。
自動再利用までの日数	指定された日数以内にユーザーから応答がない場合、アカウントは再利用されます。 **注:** このフィールドは、[ユーザーに通知] が選択されている場合に表示されます。
サブスクリプション使用条件	
前回のアクティビティしきい値	ユーザーアカウントが再利用候補のリストに追加されるまで、意味のあるアクティビティがないという時間制限。デフォルト値は、直接統合の場合は 60 日、SSO アプリケーションの場合は 30 日です。

3. [更新] を選択します。

次のタスク
再利用ルールによって識別された再利用候補を表示し、ユーザーサブスクリプションの再利用を開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー・サブスクリプションの再利用

未使用 SaaS のサブスクリプションと SSO サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減できます。

ユーザー サブスクリプションを再利用するプロセスは、 で ServiceNow® ソフトウェア資産管理ソフトウェア ライセンスを再利用するプロセスと似ています。クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で ソフトウェア資産管理 ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

ユーザーサブスクリプションを再利用する場合は、次の削除候補のステータスを使用して、関連する削除候補のステータスを判断できます。

削除候補のステータス

ステータス	説明
要確認	削除候補には注意が必要です。 [ユーザーに通知] オプションが有効になっている自動削除候補で [ユーザー] フィールドが空の場合、状態は [要確認] に設定されます。[ユーザー] フィールドに値を入力すると、ステータスは自動的に [準備完了] に変わります。 この状態は、再利用が失敗したときに [要注意] に設定することもできます。エラーを解決すると、ステータスは自動的に [準備完了] に変わります。
準備完了	削除候補を再利用する準備ができました。[再利用] をクリックして、再利用ワークフローを進めます。
ユーザー待ち	削除要求を承認または拒否するためのメール通知がユーザーに送信されました。このステータスは、削除候補で [ユーザーに通知] オプションが有効になっている場合にのみ適用されます。
承認待ち	ユーザーは削除要求を承認または拒否する必要があります。ユーザーがサブスクリプションの保持を希望する場合は、マネージャーが削除の承認または拒否の責任を負います。このステータスは、削除候補で [ユーザーに通知] オプションが有効になっている場合にのみ適用されます。
失効待ち	削除候補は再利用を待機しています。 [完了してクローズ] をクリックすると、削除候補のユーザーサブスクリプションを手動で再利用できます。または、「 **SAM - 既存の再利用候補の更新** 」週次スケジュール設定済みジョブを使用して、ユーザーサブスクリプションを再利用することもできます。ジョブスケジュールが実行されると、[失効待ち] ステータスで [ユーザーサブスクリプション] フィールドが空

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削除候補のステータス (続く)

ステータス	説明
	の削除候補は、自動的に [完了してクローズ] ステータスに更新されます。 他のステータスの削除候補の [ユーザーサブスクリプション] フィールドが空の場合、再利用ワークフローはキャンセルされ、ステータスは自動的に [スキップしてクローズ] に変更されます。 制限付きソフトウェアを含む削除候補の状態は、自動的に [失効待ち] に設定されます。理由は [制限付きソフトウェア] に設定されます。
完了してクローズ	ユーザーサブスクリプションが再利用されました。
スキップしてクローズ	ユーザーサブスクリプションは、削除候補によって再利用されていません。
キャンセルしてクローズ	ユーザーアクティビティが検出されたため、ユーザーサブスクリプションは削除候補によって再利用されていません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ 警告:
ユーザーがアカウントを再利用したときにファイルにアクセスできなくなることがないようにします。ユーザーは、再利用ルールで [ユーザーに通知する] チェック ボックスがオンになっていない限り、アカウントの再利用を停止することはできません。

- アカウントを再利用すると Adobe Workfront 、アプリケーションへのユーザーのアクセス権が Workfront 削除されます。ユーザーはサインインできなくなりました。
- アカウントを再利用 Aha! すると、アカウントが無効になり、ポータルに Aha! ログインできなくなります。
- アカウントを再利用すると Asana 、ユーザー アカウントが削除されます。ユーザーはプロジェクトまたはワークスペースにアクセスでき Asana なくなります。ユーザーが作成したコンテンツには引き続き Asana アクセスでき、管理者はダッシュボードからタスクを再アサインできます。
- アカウントを再利用すると Box 、アカウントが削除されます。すべてのファイルは、統合を認証した管理者アカウントのフォルダー Box に移動されます。
- アカウントを再利用すると Calendly 、組織からアカウントが削除されます。
- サブスクリプションを再利用すると Cisco Webex 、ユーザーの特定の製品へのアクセス権が削除されます。ユーザーは、他のすべての Cisco Webex 製品と割り当てられた無料ライセンスに引き続きアクセスできます。
- アカウントを再利用すると Confluence Cloud 、関連付けられているすべての Confluence グループからユーザーが削除されます。ユーザーは Confluence サイトにアクセスできなくなりますが、他のユーザーが作成したすべてのコンテンツには引き続きアクセスできます。
- アカウントを再利用すると Dropbox 、アカウントが削除されます。すべてのファイルは、統合を認証した管理者アカウントのフォルダー Dropbox に移動されます。作成されたフォルダの名前は、削除されたユーザーのメールアドレスです。
- アカウントを再利用すると DocuSign 、アカウントが削除されます。管理者は DocuSign 、管理ポータルから DocuSign ユーザーのファイルにアクセスできます。
- アカウントを再利用すると Google Workspace 、アカウントが削除されます。すべてのファイルは、 Google ドライブから統合を認証した管理者アカウントのフォルダー Google Workspace に移動されます。作成されたフォルダの名前は、削除されたユーザーのメールアドレスです。アカウントが再利用されると、すべての電子メール メッセージが削除されます。メール メッセージを転送するには、アカウントを再利用する前にデータ移行サービスを利用し Google ます。
- Enterprise Server アカウントを再利用すると GitHub 、アカウントが中断されます。ユーザーが作成したすべての課題、コメント、リポジトリ、Gist、その他のデータは保持されます。

  Enterprise Cloud アカウントを再利用すると GitHub 、すべてのエンタープライズ組織からアカウントが削除されます。再利用から 3 か月以内にユーザーメンバーシップを復元すると、Organization リポジトリのプライベートフォークへのユーザーのアクセスが復元されます。
- ユーザー アカウントから製品ライセンスを再利用すると GoTo 、その製品へのユーザーのアクセス権が削除されます。ライセンスがないと、ユーザーは製品にサインインできません。ユーザー アカウントからすべての製品ライセンスを再利用すると、そのアカウントは自動的に停止されます。停止中のユーザーはアカウントに残りますが、どのサービスにもログインできません。
- アカウントを再利用すると Jira 、関連付けられ Jira ているすべてのグループからユーザーが削除されます。ユーザーはサイトにアクセスでき Jira なくなりますが、他のユーザーは作成したすべてのコンテンツに引き続きアクセスできます。
- アカウントを再利用するとLookerLooker、ユーザは へのアクセスが削除されます。アクティブなアカウントがないと、ユーザーはポータルに Looker サイン インできません。ユーザーの使用履歴と個人コンテンツは保持されます。
- SSO アプリケーションサブスクリプションを再利用 Microsoft Azure AD すると、アプリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、および ServiceNow アプリケーション名は、米国および/または他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラシック版の ソフトウェア資産管理 ユーザーサブスクリプションの再利用

クラシックアプリケーションで未使用の SaaS および SSO サブスクリプションを再利用します ソフトウェア資産管理 。

始める前に
必要なロール：sam_user

重要:
SurveyMonkey 統合はSaaS ライセンス管理、.Now Platform SurveyMonkeyユーザーサブスクリプションを再利用するには、SurveyMonkey管理ポータルを使用して、SurveyMonkeyチームからユーザーを直接再割り当てまたは削除する必要があります。ユーザーがチームから削除された後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「クラシック版のソフトウェア資産管理ユーザーサブスクリプションの再利用SurveyMonkey」を参照してください。

重要:
monday.com 統合は SaaS ライセンス管理 、を使用した Now Platform再利用をサポートしていません。ユーザーサブスクリプションを monday.com 再利用するには、アカウントのユーザー monday.com を非アクティブ化する必要があります。ユーザーを非アクティブ化した後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「クラシック版のソフトウェア資産管理ユーザーサブスクリプションの再利用monday.com」を参照してください。

重要:
Roadmunk 統合は SaaS ライセンス管理 、を介した Now Platform再利用をサポートしていません。ユーザーサブスクリプションを Roadmunk 再利用するには、アカウントのユーザー Roadmunk を非アクティブ化する必要があります。ユーザーを非アクティブ化した後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「クラシック版のソフトウェア資産管理ユーザーサブスクリプションの再利用Roadmunk」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 節約見込み > 再利用候補.
2. ソフトウェア再利用ルールによって自動的に識別されなかったユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア削除候補を作成します。
   クラシックアプリケーションでソフトウェア資産管理ソフトウェア削除候補を作成する方法の詳細な手順については、「」を参照してくださいソフトウェア削除候補を追加する。
3. ユーザーサブスクリプションを再利用します。
   - すべてのユーザー・サブスクリプションを再利用するには、「 すべて再利用」をクリックします。

     注:
     すべてのユーザー サブスクリプションを再利用する場合は注意が必要です。一部のユーザーは、アクティビティがない場合でもサブスクリプションを必要とする場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ユーザー サブスクリプションのセットを再利用するには、検索フィルター条件を指定し、[すべて再利用] をクリックします。例えば、検索リストから「製品」を選択し、「*InDesign」と入力すると、InDesign のAdobeすべてのユーザーサブスクリプションを再利用できます。

- 個々のユーザー サブスクリプションを再利用するには、削除候補を選択し、[削除候補] フォームで [再利用] をクリックします。

タスクの結果
ユーザーサブスクリプションを再利用すると、サブスクリプションレコードはソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されます。再利用候補のステータスが [完了してクローズ] に設定されます。再利用が失敗した場合、状態は 「要注意」に設定されます。画面の上部に、エラーの解決方法の詳細を含むエラーメッセージが表示されます。

クラシック版のソフトウェア資産管理ユーザーサブスクリプションの再利用SurveyMonkey

未使用 SurveyMonkey のサブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に
SurveyMonkey 必要なロール：admin

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて
この SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey 統合では、を使用した Now Platform再利用はサポートされていません。が統合の削除SurveyMonkey候補を作成したらソフトウェア資産管理、関連付けられたユーザーをチームから直接SurveyMonkey削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。チームからユーザーを削除した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

手順
1. 統合の削除候補を特定します SurveyMonkey 。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.

b. SurveyMonkey[統合プロファイル] リストから統合プロファイルを選択します。

c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

e. ユーザー サブスクリプションを再利用する各削除候補のユーザー プリンシパル名をメモします。
後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. 関連付けられたユーザーをチームから削除します SurveyMonkey 。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、チームからSurveyMonkey関連付けられているユーザーを再アサインまたは削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. Webブラウザーから SurveyMonkey を開きます。

b. 管理者資格情報を使用してログインします。

c. 左側のナビゲーション メニューで、 [ユーザーの管理] を選択します。
[ユーザーの管理]ページが開き、SurveyMonkeyチームのユーザーの完全なリストが表示されます。

d. チームから削除するユーザーの省略記号アイコン (...) をクリックします。
関連付けられたユーザー名に基づいて、削除するユーザーを特定できます。ユーザー名は、 ステップ 1 で特定した各削除候補のユーザー プリンシパル名に直接対応しています。

e. プロンプトが表示されたら、[アカウントの再割り当て] または [アカウントの削除] を選択します。
ユーザーを別のSurveyMonkeyチームに移動するには、[アカウントの再割り当て] を選択します。[アカウントの削除] を選択して、ユーザーを完全に非アクティブ化します。

f. 削除するユーザーごとに手順 d と e を繰り返します。

3. インスタンスに戻り ServiceNow 、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

a. ServiceNowインスタンスから、 **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル.

b. SurveyMonkey[統合プロファイル] リストから統合プロファイルを選択します。

c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択します。

e. 利用可能な削除候補のリストから、手順 2 でチームからSurveyMonkey削除したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [Removal Candidate] フォームで [**Closed Skipped**] をクリックして、削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 により、ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションが削除され、自動的にソフトウェアモデルフォームに戻ります。

g. チームから削除したユーザーごとに手順 d ～ f を繰り返します SurveyMonkey 。

クラシック版のソフトウェア資産管理ユーザーサブスクリプションの再利用**monday.com**

未使用 monday.com のサブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に
monday.com 必要なロール：admin

ServiceNow 必要なロール:sam_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
この SaaS ライセンス管理 monday.com 統合では、を使用した Now Platform再利用はサポートされていません。が統合の削除monday.com候補を作成したらソフトウェア資産管理、アカウントの関連ユーザーmonday.comを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

手順

1. 統合の削除候補を特定します monday.com 。

a. ServiceNowインスタンスから、 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.

b. monday.com[統合プロファイル] リストから統合プロファイルを選択します。

c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

e. ユーザー サブスクリプションを再利用する各削除候補のユーザー プリンシパル名をメモします。
後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. アカウントに関連付けられているユーザーを非アクティブ化します monday.com 。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、アカウントに関連付けられているユーザーmonday.comを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Web ブラウザから、monday.com にアクセスします。

b. 管理者資格情報を使用してログインします。

c. 左側のナビゲーション メニューの下部にあるプロフィール アイコンをクリックし、[管理] を選択します。
[管理] セクションが開きます。

d. [管理] セクションの左側のナビゲーション メニューで、[ユーザー] を選択します。
「ユーザー」サブセクションの 「ユーザー 」タブが開きます。このタブには、アカウントのユーザー monday.com の完全なリストが表示されます。

e. ユーザーのリストから、非アクティブ化するユーザーの省略記号アイコン (...) をクリックします。
関連付けられているユーザー名またはメールアドレスに基づいて、非アクティブ化するユーザーを特定できます。ユーザー名またはメールアドレスは、 手順 1 で特定した各削除候補のユーザー プリンシパル名に直接対応しています。

f. プロンプトが表示されたら、[ユーザーの非アクティブ化] をクリックします。

g. 非アクティブ化するユーザーごとに手順 e と f を繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. インスタンスに戻り ServiceNow 、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル.

   b. monday.com[統合プロファイル] リストから統合プロファイルを選択します。

   c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

   d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択します。

   e. 使用可能な削除候補のリストから、 ステップ 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。
   が開きます。

   f. [Removal Candidate] フォームで [**Closed Skipped**] をクリックして、削除候補のステータスを更新します。
   ソフトウェア資産管理 により、ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションが削除され、自動的にソフトウェアモデルフォームに戻ります。

   g. アカウントで非アクティブ化したユーザーごとに、手順 d から f を繰り返します monday.com 。

クラシック版のソフトウェア資産管理ユーザーサブスクリプションの再利用**Roadmunk**

未使用 Roadmunk のサブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に
Roadmunk 必要なロール:アカウント管理者

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて
この SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合では、を使用した Now Platform再利用はサポートされていません。が統合の削除Roadmunk候補を作成したらソフトウェア資産管理、アカウントの関連ユーザーRoadmunkを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

手順

1. 統合の削除候補を特定します Roadmunk 。

   a. ServiceNowインスタンスから、 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.

   b. Roadmunk[統合プロファイル] リストから統合プロファイルを選択します。

   c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

e. ユーザー サブスクリプションを再利用する各削除候補のユーザー プリンシパル名をメモします。
後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. アカウントに関連付けられているユーザーを非アクティブ化します Roadmunk 。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、アカウントに関連付けられているユーザーRoadmunkを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Web ブラウザーから、Roadmunk を開きます。

b. アカウント管理者の資格情報を使用してログインします。
Roadmunk ダッシュボードが開きます。

c. Roadmunkダッシュボードの左側のナビゲーションメニューで、プロファイルアイコンをクリックし、[アカウントの設定] を選択します。
アカウント設定が開きます。

d. アカウント設定のページヘッダーで、[ユーザー] タブを選択します。
このタブには、コラボレーター、レビュアー、非アクティブなユーザーなど、アカウントのユーザー Roadmunk の完全なリストが表示されます。

e. 非アクティブ化するすべてのユーザーの [アクティブ] トグルボタンをクリックします。
各ユーザーに関連付けられているメールアドレスに基づいて、非アクティブ化するユーザーを決定できます。電子メール アドレスは、 手順 1 で特定した各削除候補のユーザー プリンシパル名に直接対応しています。

f. [保存] をクリックします。

ユーザーは非アクティブ化され、非アクティブなユーザーのリストに追加されます。

注:
デフォルトでは、Roadmunk 統合内の ServiceNow SaaS ライセンス管理 [サブスクリプションをダウンロード] サブフローは、Roadmunkアクティブなユーザーと非アクティブなユーザーの両方を含む、アカウント内のすべてのユーザーをダウンロードしますRoadmunk。アカウント内のアクティブなユーザーのみをダウンロードするには、ユーザーレポートをダウンロードしてRoadmunk、インスタンスの統合プロファイルServiceNowにRoadmunk添付する必要があります。詳細な手順については、の Roadmunk 統合プロファイルの作成 ステップ 7 を参照してください。

3. オプション: 無効化されたユーザーをアカウントから削除します Roadmunk 。
無効化されたユーザーが組織またはチームの一部ではなくなった場合は、アカウントから Roadmunk ユーザーを削除できます。

警告:
ユーザーは完全に削除されます。ユーザーは一度削除すると復元できないため、注意して続行してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. アカウント設定のRoadmunk同じ [ユーザー] タブで、[非アクティブなユーザー] を選択します。
非アクティブなユーザーのリストが開きます。

b. 削除するユーザーの [削除] アイコン ( をクリックします。
削除の確認ダイアログボックスが開きます。

c. ダイアログボックスで、「 削除」をクリックします。
ユーザーがアカウントから削除され、すべてのロードマップがユーザーからアサイン解除されます。

> **注:**
> ユーザーには、アカウントからの削除は通知されません。ユーザーについて言及しているコメントまたはユーザーによって作成されたコメントは、ユーザーが削除されたことを示すために更新されます。ユーザーが所有するすべてのロードマップはアカウントに保持され、アカウント管理者が管理できます。これらのロードマップは、ロードマップホームページの [すべてのロードマップ] リストでいつでも表示できます。ユーザーが同じメールアドレスで Roadmunk 再度招待された場合は、これらのロードマップをユーザーに手動で再アサインする必要があります。

d. 削除するユーザーごとに手順 b と c を繰り返します。

4. インスタンスに戻り ServiceNow 、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

a. ServiceNowインスタンスから、 **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル.

b. Roadmunk[統合プロファイル] リストから統合プロファイルを選択します。

c. 統合プロファイルフォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択します。

e. 使用可能な削除候補のリストから、 ステップ 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [Removal Candidate] フォームで [**Closed Skipped**] をクリックして、削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 により、ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションが削除され、自動的にソフトウェアモデルフォームに戻ります。

g. アカウントで非アクティブ化したユーザーごとに、手順 d から f を繰り返します Roadmunk 。

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用する

ソフトウェア資産ワークスペースで未使用の SaaS および SSO サブスクリプションを再利用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求と有効化の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理 を要求する 。

必要なロール：sam_user

重要:
SurveyMonkey 統合はSaaS ライセンス管理 、.Now Platform SurveyMonkeyユーザーサブスクリプションを再利用するには、SurveyMonkey管理ポータルを使用して、SurveyMonkeyチームからユーザーを直接再割り当てまたは削除する必要があります。ユーザーがチームから削除された後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用 SurveyMonkey する」を参照してください。

重要:
monday.com 統合はSaaS ライセンス管理 、を使用したNow Platform再利用をサポートしていません。ユーザーサブスクリプションを monday.com 再利用するには、アカウントのユーザー monday.com を非アクティブ化する必要があります。ユーザーを非アクティブ化した後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用 monday.com する」を参照してください。

重要:
Roadmunk 統合は SaaS ライセンス管理 、を介した Now Platform再利用をサポートしていません。ユーザーサブスクリプションを Roadmunk 再利用するには、アカウントのユーザー Roadmunk を非アクティブ化する必要があります。ユーザーを非アクティブ化した後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用 Roadmunk する」を参照してください。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. ソフトウェア再利用ルールによって自動的に識別されなかったユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア削除候補を作成します。
   ソフトウェア資産ワークスペースでソフトウェア削除候補を作成する方法の詳細な手順については、「」を参照してください ワークスペースにソフトウェア削除候補を追加する 。
3. [ソフトウェア資産ワークスペース] の左側のナビゲーション メニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
   [ライセンス使用状況] ビューが開きます。
4. 「ライセンス使用状況」ビューで、「 削除候補 」タブを選択します。
5. ユーザーサブスクリプションを再利用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- すべてのユーザー・サブスクリプションを再利用するには、「 すべて再利用」をクリックします。

  注:
  すべてのユーザー サブスクリプションを再利用する場合は注意が必要です。一部のユーザーは、アクティビティがない場合でもサブスクリプションを必要とする場合があります。

- 個々のユーザー サブスクリプションを再利用するには、削除候補を選択し、[削除候補] フォームで [再利用] をクリックします。

タスクの結果
ユーザーサブスクリプションを再利用すると、サブスクリプションレコードはソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されます。再利用候補のステータスが [完了してクローズ] に設定されます。再利用が失敗した場合、状態は 「要注意」に設定されます。画面の上部に、エラーの解決方法の詳細を含むエラーメッセージが表示されます。

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用 **SurveyMonkey** する

未使用 SurveyMonkey のサブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に
ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求と有効化の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理 を要求する 。

SurveyMonkey 必要なロール：admin

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて
この SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey 統合では、を使用した Now Platform再利用はサポートされていません。が統合の削除SurveyMonkey候補を作成したらソフトウェア資産管理、関連付けられたユーザーをチームから直接SurveyMonkey削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。チームからユーザーを削除した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

手順

1. 統合の削除候補を特定します SurveyMonkey 。

   a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

   b. [ソフトウェア資産ワークスペース] の左側のナビゲーション メニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
   [ライセンス使用状況] ビューが開きます。

   c. [ライセンス使用状況]ビューの [パブリッシャー] タブで、利用可能なパブリッシャーのリストから **[SurveyMonkey**]を選択します。
   公開者概要が SurveyMonkey 開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

d. [削除候補] 関連リストを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

e. ユーザーサブスクリプションを再利用する削除候補をメモします。
後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. 関連付けられたユーザーをチームから削除します SurveyMonkey 。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、チームからSurveyMonkey関連付けられているユーザーを再アサインまたは削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Webブラウザーから SurveyMonkey を開きます。

b. 管理者資格情報を使用してログインします。

c. 左側のナビゲーション メニューで、 [ユーザーの管理] を選択します。
[ユーザーの管理]ページが開き、SurveyMonkeyチームのユーザーの完全なリストが表示されます。

d. チームから削除するユーザーの省略記号アイコン (...) をクリックします。

e. プロンプトが表示されたら、[アカウントの再割り当て] または [アカウントの削除] を選択します。
ユーザーを別のSurveyMonkeyチームに移動するには、[アカウントの再割り当て] を選択します。[アカウントの削除] を選択して、ユーザーを完全に非アクティブ化します。

f. 削除するユーザーごとに手順 d と e を繰り返します。

3. インスタンスに戻り ServiceNow 、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

b. [ソフトウェア資産ワークスペース] の左側のナビゲーション メニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
[ライセンス使用状況] ビューが開きます。

c. [ライセンス使用状況]ビューの [パブリッシャー] タブで、利用可能なパブリッシャーのリストから **[SurveyMonkey**]を選択します。
公開者概要が SurveyMonkey 開きます。

d. [削除候補] 関連リストを選択します。

e. 利用可能な削除候補のリストから、手順 2 でチームからSurveyMonkey削除したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [Removal Candidate] フォームで [**Closed Skipped**] をクリックして、削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションを削除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. [Removal Candidate] フォームのタブを閉じます。

h. チームから削除した各ユーザーについて、手順 e ～ g を繰り返します SurveyMonkey 。

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用 **monday.com** する

未使用 monday.com のサブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求と有効化の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理 を要求する 。

monday.com 必要なロール：admin

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて

この SaaS ライセンス管理 monday.com 統合では、を使用した Now Platform再利用はサポートされていません。が統合の削除monday.com候補を作成したらソフトウェア資産管理、アカウントの関連ユーザーmonday.comを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

手順

1. 統合の削除候補を特定します monday.com 。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

b. [ソフトウェア資産ワークスペース] の左側のナビゲーション メニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
[ライセンス使用状況] ビューが開きます。

c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、使用可能なパブリッシャーの一覧から **monday.com Ltd.** を選択します。
monday.com Ltd. の公開者概要が開きます。

d. [削除候補] 関連リストを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

e. ユーザーサブスクリプションを再利用する削除候補をメモします。
後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. アカウントに関連付けられているユーザーを非アクティブ化します monday.com 。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、アカウントに関連付けられているユーザーmonday.comを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Web ブラウザから、monday.com にアクセスします。

b. 管理者資格情報を使用してログインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. 左側のナビゲーション メニューの下部にあるプロフィール アイコンをクリックし、[管理] を選択します。
[管理] セクションが開きます。

d. [管理] セクションの左側のナビゲーション メニューで、[ユーザー] を選択します。
「ユーザー」サブセクションの 「ユーザー 」タブが開きます。このタブには、アカウントのユーザー monday.com の完全なリストが表示されます。

e. ユーザーのリストから、非アクティブ化するユーザーの省略記号アイコン (...) をクリックします。

f. プロンプトが表示されたら、[ユーザーの非アクティブ化] をクリックします。

g. 非アクティブ化するユーザーごとに手順 e と f を繰り返します。

3. インスタンスに戻り ServiceNow 、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

b. [ソフトウェア資産ワークスペース] の左側のナビゲーション メニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
[ライセンス使用状況] ビューが開きます。

c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、使用可能なパブリッシャーの一覧から **monday.com Ltd.** を選択します。
monday.com Ltd. の公開者概要が開きます。

d. [削除候補] 関連リストを選択します。

e. 使用可能な削除候補のリストから、 ステップ 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [Removal Candidate] フォームで [**Closed Skipped**] をクリックして、削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションを削除します。

g. [Removal Candidate] フォームのタブを閉じます。

h. 非アクティブ化したユーザーごとに monday.com 手順 e ～ g を繰り返します。

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用 **Roadmunk** する

未使用 Roadmunk のサブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求と有効化の詳細については、「」を参照してください ソフトウェア資産管理 を要求する 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Roadmunk 必要なロール:アカウント管理者

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて

この SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合では、を使用した Now Platform再利用はサポートされていません。が統合の削除Roadmunk候補を作成したらソフトウェア資産管理、アカウントの関連ユーザーRoadmunkを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

手順

1. 統合の削除候補を特定します Roadmunk 。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

b. [ソフトウェア資産ワークスペース] の左側のナビゲーション メニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
[ライセンス使用状況] ビューが開きます。

c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、使用可能なパブリッシャーの一覧から **[Roadmunk**] を選択します。
公開者概要が Roadmunk 開きます。

d. [削除候補] 関連リストを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

e. ユーザーサブスクリプションを再利用する削除候補をメモします。
後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. アカウントに関連付けられているユーザーを非アクティブ化します Roadmunk 。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、アカウントに関連付けられているユーザーRoadmunkを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Web ブラウザーから、Roadmunk を開きます。

b. アカウント管理者の資格情報を使用してログインします。
Roadmunk ダッシュボードが開きます。

c. Roadmunkダッシュボードの左側のナビゲーションメニューで、プロファイルアイコンをクリックし、[アカウントの設定] を選択します。
アカウント設定が開きます。

d. アカウント設定のページヘッダーで、[ユーザー] タブを選択します。
このタブには、コラボレーター、レビュアー、非アクティブなユーザーなど、アカウントのユーザー Roadmunk の完全なリストが表示されます。

e. 非アクティブ化するすべてのユーザーの [アクティブ] トグルボタンをクリックします。

f. [保存] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザーは非アクティブ化され、非アクティブなユーザーのリストに追加されます。

> **注:**
> デフォルトでは、Roadmunk 統合内の ServiceNow SaaS ライセンス管理 [サブスクリプションをダウンロード] サブフローは、Roadmunkアクティブなユーザーと非アクティブなユーザーの両方を含む、アカウント内のすべてのユーザーをダウンロードしますRoadmunk。アカウント内のアクティブなユーザーのみをダウンロードするには、ユーザーレポートをダウンロードしてRoadmunk、インスタンスの統合プロファイルServiceNowにRoadmunk添付する必要があります。詳細な手順については、の Roadmunk 統合プロファイルの作成 ステップ 7 を参照してください。

3. オプション: 無効化されたユーザーをアカウントから削除します Roadmunk 。
   無効化されたユーザーが組織またはチームの一部ではなくなった場合は、アカウントから Roadmunk ユーザーを削除できます。

   > **警告:**
   > ユーザーは完全に削除されます。ユーザーは一度削除すると復元できないため、注意して続行してください。

   a. アカウント設定のRoadmunk同じ [ユーザー] タブで、[非アクティブなユーザー] を選択します。
      非アクティブなユーザーのリストが開きます。

   b. 削除するユーザーの [削除] アイコン () をクリックします。
      削除の確認ダイアログボックスが開きます。

   c. ダイアログボックスで、「 削除」をクリックします。
      ユーザーがアカウントから削除され、すべてのロードマップがユーザーからアサイン解除されます。

      > **注:**
      > ユーザーには、アカウントからの削除は通知されません。ユーザーについて言及しているコメントまたはユーザーによって作成されたコメントは、ユーザーが削除されたことを示すために更新されます。ユーザーが所有するすべてのロードマップはアカウントに保持され、アカウント管理者が管理できます。これらのロードマップは、ロードマップホームページの [すべてのロードマップ] リストでいつでも表示できます。ユーザーが同じメールアドレスで Roadmunk 再度招待された場合は、これらのロードマップをユーザーに手動で再アサインする必要があります。

   d. 削除するユーザーごとに手順 b と c を繰り返します。

4. インスタンスに戻り ServiceNow 、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
      ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

   b. [ソフトウェア資産ワークスペース] の左側のナビゲーション メニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
      [ライセンス使用状況] ビューが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、使用可能なパブリッシャーの一覧から **[Roadmunk**] を選択します。
公開者概要が Roadmunk 開きます。

d. [削除候補] 関連リストを選択します。

e. 使用可能な削除候補のリストから、 ステップ 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [Removal Candidate] フォームで [**Closed Skipped**] をクリックして、削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションを削除します。

g. [Removal Candidate] フォームのタブを閉じます。

h. 非アクティブ化したユーザーごとに Roadmunk 手順 e ～ g を繰り返します。

SSO アプリを切断

SSO アプリケーションを切断して、アプリのサブスクリプション情報の表示を停止するか、アプリの直接統合を作成する前に切断します。

始める前に
必要なロール:sam_integrator

このタスクについて
SaaS ライセンス管理 は、一部のアプリケーションと直接統合できます。直接統合は、最も堅牢な使用状況データを提供します。利用可能な直接統合のリストについては、「」を参照してください SaaS アプリケーションとの統合。接続済みの SSO アプリがあり、それを直接統合に置き換える場合は、直接統合を作成する前にアプリを切断して、アプリのサブスクリプションレコードが重複しないようにします。

アプリの接続が切断されると、そのアプリのすべての SSO サブスクリプションが削除され、オープンな再利用候補は [スキップしてクローズ] に設定されます。

手順

1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > **SSO** アプリケーション.
2. 切断するアプリケーションをクリックします。
3. [切断] をクリックします。

ヒント:
SSO アプリケーションリストから複数のアプリを一度に切断することもできます。リストの左側にあるチェックボックスを使用してアプリを選択します。リストの下部にある [選択した行のアクション]ドロップダウンメニューをクリックし、[切断]をクリックします。

統合プロファイルの削除

会社が SaaS アプリケーションまたは SSO プロバイダーの使用を停止した場合は、統合プロファイルを削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルを削除するには、統合プロファイルレコードに移動して [削除] をクリックします。統合プロファイルを削除するには、sam_integratorロールが必要です。

直接統合

直接統合プロファイルを削除すると、統合のすべてのサブスクリプション、ジョブスケジュール、および消費サマリーも削除されます。オープンな再利用候補が [スキップしてクローズ] に更新されます。再利用ルールは削除されません。

SSO 統合

SSO 統合プロファイルを削除すると、統合のすべての SSO アプリケーション、サブスクリプション、およびジョブスケジュールも削除されます。オープンな再利用候補が [スキップしてクローズ] に更新されます。再利用ルールは削除されません。

SSO 統合は、ディレクトリ統合を使用して作成されます。SSO 統合プロファイルを削除しても、ディレクトリ統合 (ディレクトリジョブ、ディレクトリユーザー、およびディレクトリグループを含む) は削除されません。ディレクトリ統合を削除する前に、 新規雇用オンボーディングのための Microsoft Azure AD 統合 などの追加接続でディレクトリ統合が使用されていないことを確認してください。ディレクトリ統合を削除するには、sn_remote_dir_sync.admin ロールが必要です。

SSO アプリケーションのサブスクリプション識別子SaaS

アプリケーション SaaS ライセンス管理 を使用して、自分 SaaS および SSO アプリケーションのサブスクリプション識別子を表示、管理、および解決します。

サブスクリプション識別子は、ユーザー SaaS と SSO アプリケーションを一意に識別します。各サブスクリプション識別子は、環境にインストールされているソフトウェアを正規化するのに役立つ検出マップとソフトウェアモデルに関連付けられています。この情報を使用して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスポジションを把握できます。

更新されたサブスクリプション識別子の管理

によって検出された更新されたサブスクリプション識別子を管理することで、自分 SaaS と SSO ライセンスの位置を正確かつ最新の状態に保ちます Now Platform。

始める前に
必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
SaaS SSO プロバイダーが既存のサブスクリプション識別子を更新すると、毎週のコンテンツ更新によって変更が自動的に検出され、Now PlatformインスタンスにServiceNowプッシュされます。変更には、製品名、エディション、バージョン、プラットフォーム、および言語が含まれます。インスタンスはこの情報を使用して既存のソフトウェアモデルのサブスクリプション識別子を更新します。これにより、同じサブスクリプションソフトウェアに対して複数のソフトウェアモデルが作成されるのを防ぐことができます。

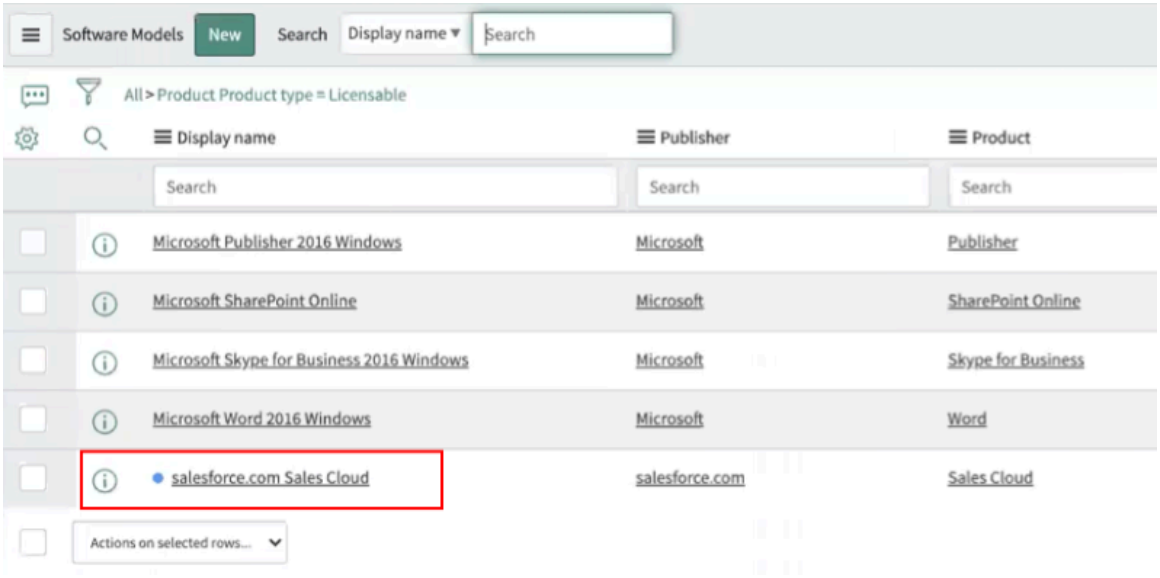
サブスクリプション識別子は、関連するソフトウェアモデルタイプに応じて、自動または手動で更新されます。サブスクリプション識別子が自動生成されたソフトウェア モデルに関連付けられている場合、自動的に更新されます。サブスクリプション識別子がカスタマイズされたソフトウェアモデルに関連付けられている場合は、ソフトウェアモデルの提案を使用して手動で更新する必要があります。ソフトウェアモデルの提案により、既存のサブスクリプション識別子の変更が特定されます。この情報を使用して、最新のサブスクリプション識別子に基づいてカスタマイズされたソフトウェアモデルを更新する必要があるかどうかを判断できます。たとえば、プロバイダーが SaaS アプリケーションの製品名を更新した場合、ソフトウェアモデルの提案は製品名の現在の値と更新された値の両方を識別します。変更が正しければ、ソフトウェアモデルの提案を受け入れて、ソフトウェアモデルを最新の製品名で更新できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > ソフトウェアモデル.
2. ドットでマークされたソフトウェアモデルを選択します。
   ドットは、関連付けられたサブスクリプション識別子と最新のコンテンツ更新で提供されるデータとの間に不一致があることを示します。



3. ソフトウェアモデルフォームで、[表示名] フィールドの横にある警告アイコン (⚠) をクリックして、ソフトウェアモデルの提案を開きます。
   [ソフトウェアモデルの提案] ダイアログボックスが開きます。
4. ダイアログボックスで、[提案された検出マップ] フィールドを表示して、ソフトウェアモデルが更新されたサブスクリプション識別子の検出マップを使用していることを確認します。
   このフィールドは読み取り専用です。ただし、プレビューアイコン (ⓘ) をクリックすると、検出マップに関する追加情報を表示できます。
5. サブスクリプション識別子の変更を確認します。

   [ソフトウェアモデルの提案] ダイアログボックスには、すべてのサブスクリプション識別子フィールドの現在の値と更新された値の両方が表示されます。これらのフィールドは読み取り専用ですが、値を比較することで、サブスクリプション識別子がどのように変更されたかを把握できます。この情報を使用して、変更が正しく、ソフトウェア モデルに適用する必要があるかどうかを判断します。

サブスクリプション識別子フィールド

フィールド	説明
推奨パブリッシャー	ソフトウェア公開者を更新しました。
パブリッシャー	現在のソフトウェア公開者。
推奨製品	更新されたソフトウェア製品名。
製品	現在のソフトウェア製品名。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
推奨バージョン条件	ソフトウェアモデルの [バージョン] フィールドの値を検出モデルの [バージョン] フィールドの値と比較するために使用できる、更新された修飾子。インスタンスは、「これである 」または 「何でも」 などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
バージョン条件	ソフトウェアモデルの [バージョン] フィールドの値を Discovery モデルの [バージョン] フィールドの値と比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスは、「 これである 」または 「何でも」 などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨バージョン	更新されたソフトウェアバージョン。
バージョン	現在のソフトウェアバージョン。
推奨エディション条件	ソフトウェアモデルの [エディション] フィールドの値を検出モデルの [エディション] フィールドの値と比較するために使用できる更新された修飾子。インスタンスは、「 これである 」または 「何でも」 などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
エディション条件	ソフトウェアモデルの [エディション] フィールドの値を Discovery モデルの [エディション] フィールドの値と比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスは、「 これである 」または 「何でも」 などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨エディション	ソフトウェアエディションを更新しました。
エディション	現在のソフトウェアエディション。
推奨プラットフォーム条件	ソフトウェアモデルの [プラットフォーム] フィールドの値を検出モデルの [プラットフォーム] フィールドの値と比較するために使用できる、更新された修飾子。インスタンスは、「 これである 」または 「何でも」 などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
プラットフォーム条件	ソフトウェアモデルの [プラットフォーム] フィールドの値を Discovery モデルの [プラットフォーム] フィールドの値と比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスは、「 これである 」または 「何でも」 などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨プラットフォーム	ソフトウェアをインストールまたは実行できる最新のプラットフォーム。
プラットフォーム	ソフトウェアをインストールまたは実行できる現在のプラットフォーム。
推奨言語条件	ソフトウェアモデルの [言語] フィールドの値を検出モデルの [言語] フィールドの値と比較するために使用できる、更新された修飾子。インスタンスは、「 これである 」

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	または 「何でも」 などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
言語条件	ソフトウェアモデルの [言語] フィールドの値を検出モデルの [言語] フィールドの値と比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスは、「 これである 」または「何でも」 などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨言語	ソフトウェアを実行する言語が更新されました。
言語	ソフトウェアを実行している現在の言語。

6. 変更を承認または却下します。
   - 変更が正しければ、[承認] をクリックして、提案されたフィールド値でソフトウェアモデルを更新します。
   - 変更が正しくない場合は、[却下] をクリックして、提案されたフィールド値を無視します。ソフトウェアモデルは、既存のサブスクリプション識別子を引き続き使用します。

   自動的にソフトウェアモデルフォームに戻ります。
7. [更新] をクリックして変更を保存し、ソフトウェアモデルの提案をクリアします。

認識されないサブスクリプション識別子の解決

によって Now Platform検出された認識されないサブスクリプション識別子を解決することで、サブスクリプションソフトウェアの正確なライセンス位置を維持します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ソフトウェア Now Platform モデルに関連付けられていない場合、サブスクリプション識別子は認識不可としてマークされます。認識されないサブスクリプション識別子をソフトウェアモデルに関連付けることで、関連付けられたサブスクリプションソフトウェアのサブスクリプション使用状況を追跡できます。

手順
1. オプション: コンテンツサービスにソフトウェア資産管理オプトインして、認識されないサブスクリプション識別子をServiceNowコンテンツチームに送り返します。
   コンテンツサービスに ソフトウェア資産管理 オプトインするときは、 認識されないサブスクリプション識別子 KPI が有効になっていることを確認します。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理コンテンツサービスの有効化」を参照してください。
2. 移動先 **SaaS** ライセンス > 認識されないサブスクリプション識別子.
3. 認識されないサブスクリプション識別子を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

認識されないサブスクリプション識別子フォーム

フィールド	値
サブスクリプション識別子	認識されないサブスクリプション識別子の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
ソフトウェアモデル	サブスクリプション識別子に関連付けるソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプション識別子に関連付けられている直接統合プロファイル。このフィールドは、自動的に入力されます。
サブスクリプションの数	サブスクリプション ID に関連付けられているサブスクリプションの数。このフィールドは、自動的に入力されます。
コンテンツサービスから除外	インスタンスが認識されないサブスクリプション識別子をコンテンツチームに送りServiceNow返さないようにするServiceNowオプション。このオプションは、コンテンツサービスに ソフトウェア資産管理 オプトインした場合にのみ適用されます。

5. [更新] をクリックします。

タスクの結果
サブスクリプション識別子が指定されたソフトウェアモデルに関連付けられると、関連するすべてのソフトウェアサブスクリプションがそのソフトウェアモデルで自動的に更新されます。

と認識されないサブスクリプション識別子データ ServiceNowを共有することを選択した場合、インスタンスは ServiceNow 認識されないサブスクリプション識別子をコンテンツチームに返送 ServiceNow します。コンテンツチームはこの情報を使用して、正規化プロセスをさらに調査し、改善することができます。

ソフトウェア支出検出

ServiceNow ソフトウェア支出検出アプリケーションを使用して、インポートされた財務データからソフトウェア支出を追跡、分析、および最適化します。

ソフトウェア支出を最適化するために使用します ソフトウェア支出検出 。

- 同様の機能を持つソフトウェア製品を統合することで、ビジネスプロセスを簡素化し、コストを削減します。
- 各部門で購入したすべてのソフトウェアを表示して、会社のソフトウェア購入ポリシーを強化します。
- を使用して ソフトウェア資産管理ソフトウェアモデルとエンタイトルメントを作成して、管理対象外ソフトウェアの管理を開始します。

ソフトウェア支出検出 を要求する

ソフトウェア支出の追跡、分析、最適化を要求し ソフトウェア支出検出 ます。にアクセスする ソフトウェア支出検出には、Software Asset Management - 支出検出 (com.sn_sam_spend) プラグインを有効にします。このプラグインにはデモ データが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
要求 ソフトウェア支出検出する前に、法的契約に署名する ソフトウェア支出検出 必要があります。法的契約の詳細については ソフトウェア支出検出 、アカウント担当者にお問い合わせください ServiceNow 。

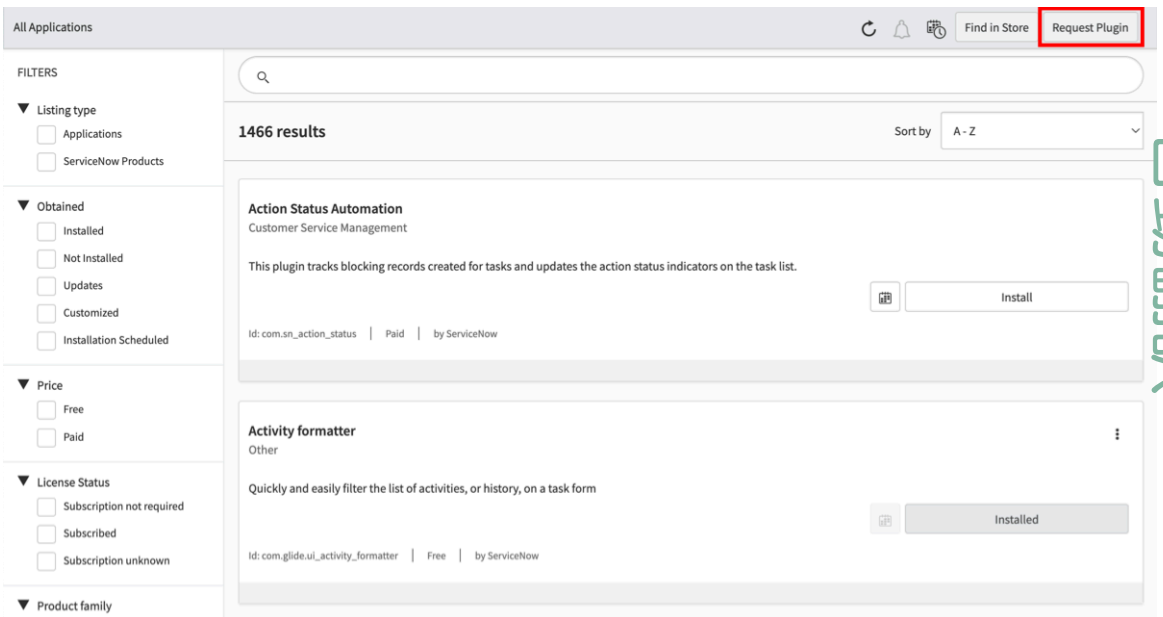
を使用するにはソフトウェア支出検出、インスタンスで ServiceNow (com.snc.samp) プラグインを有効にするソフトウェア資産管理プロ必要があります。ソフトウェア資産管理プロ の有効化に関する詳細については、「ソフトウェア資産管理 を要求する」を参照してください。

> **注:**
> ソフトウェア支出検出 は、独自の ServiceNow インスタンスをホストしているオンプレミス ユーザーではサポートされていません。

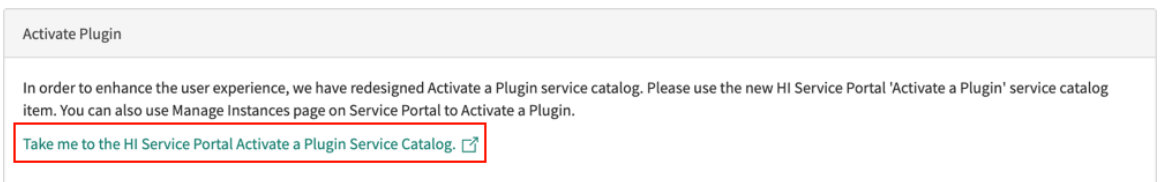
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて。
2. [すべてのアプリケーション] ページで [プラグインの要求] をクリックして、Now Support で [プラグインをアクティブ化] フォームを開きます。



3. Now Support で、Now Support サービスポータル サービスカタログ にアクセスするリンクを選択します。



4. インスタンスを選択します。
5. [アクション] > [プラグインのアクティブ化] を選択します。
6. [プラグインのアクティブ化] フォームで、次の情報を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プラグインのアクティブ化] フォーム

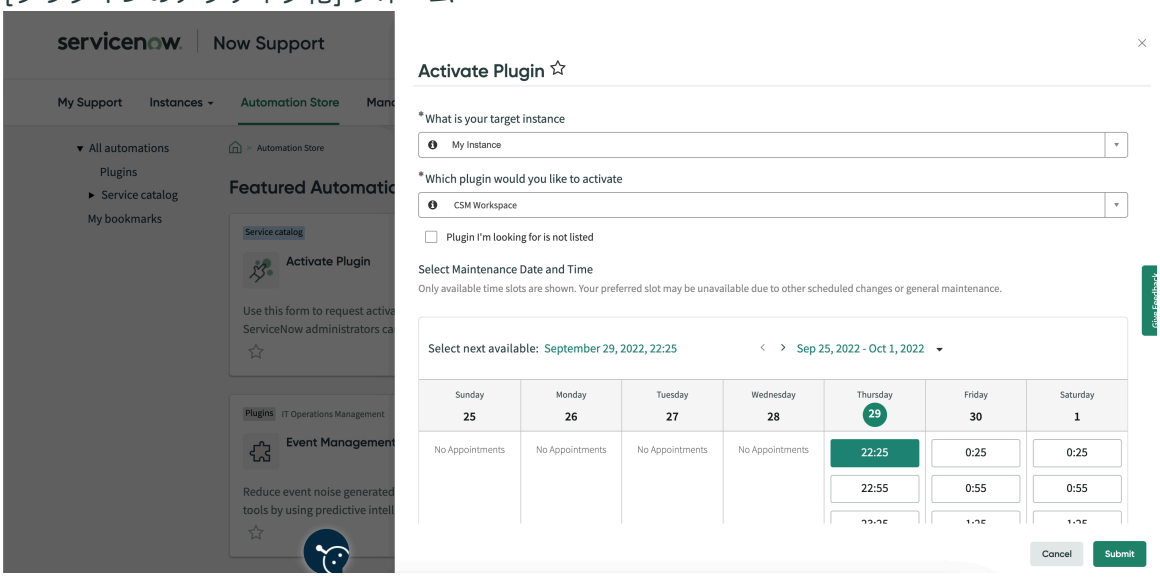
フィールド	説明
ターゲットインスタンスは何ですか	プラグインをアクティブ化するインスタンス。
どのプラグインをアクティブ化しますか	アクティブ化するプラグインの名前です。 **注:** 必要なプラグインが表示されない場合、または OEM またはオンプレミスのインスタンスでプラグインをアクティブ化している場合は、[探しているプラグインが表示されていません **(Plugin I'm looking for is not listed)]** チェックボックスをオンにして、プラグインの名前を入力します。
メンテナンスの日時を選択 (Select Maintenance Date and Time)	プラグインをアクティブ化する日時。 **注:** プラグインは、米国太平洋標準時で、毎営業日の朝と夕方の 2 回のバッチでアクティブ化されます。特定の時刻にプラグインをアクティブ化する必要がある場合は、[理由/コメント **(Reason/ Comments)]** フィールドに要求を入力します。

自動翻訳

Example

たとえば、 [自分のインスタンス (My Instance)] という名前のインスタンスで CSM Workspace プラグインをアクティブ化するには、次のフォームを参照してください。

[プラグインのアクティブ化] フォーム



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [送信] を選択します。
   プラグインの要求の詳細については、次を参照してください。 の Service Catalog [KB0751715] 記事からのプラグインの要求 Now Support ナレッジベース。

[Software Spend Detection Overview] ダッシュボード

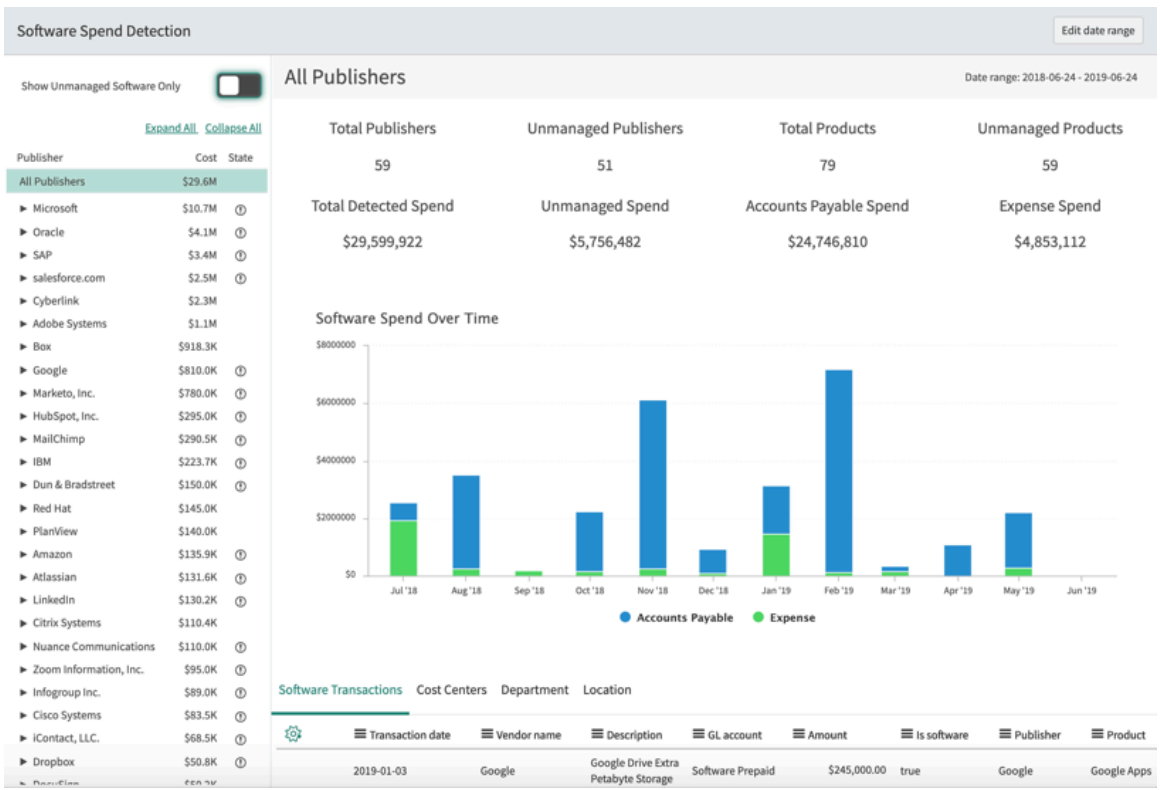
概要ダッシュボードに ソフトウェア支出検出 、アップロードされた財務データからのすべてのソフトウェア支出を表示します。

ソフトウェア支出検出ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア支出検出 > 概要.

左側のメニューバーでパブリッシャーを展開して、そのパブリッシャーの商品を表示します。パブリッシャーまたは製品を選択すると、これらのトランザクションのみが表示されます。日付でトランザクションをフィルタリングするには、[日付範囲の編集] を選択します。デフォルトでは、ダッシュボードには過去 1 年以内のすべてのトランザクションが表示されます。[Software Spend Over Time] グラフの上にカーソルを移動して、正確な支出額を表示します。ダッシュボードの下部にあるタブを使用して、コストセンター、部門、または場所別にグループ化されたトランザクションを表示することもできます。

ダッシュボードのURLを共有すると、現在選択されているパブリッシャー、製品、日付範囲が表示されます。適用されたフィルターを表示するには、URL 受信者がインスタンスに ServiceNow すでにログインしている必要があります。

注:
ソフトウェア発行元でラベル付けされていないトランザクションは、ダッシュボードに含まれません。これらのトランザクションをパブリッシャーで手動で更新して、ダッシュボードに追加できます。詳細については、「トランザクションを手動で更新する」を参照してください。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	説明
合計パブリッシャー	公開者の合計数。これには、インポートされた財務トランザクションから自動的に検出されたパブリッシャーと、トランザクションに手動で追加されたパブリッシャーが含まれます。
管理対象外パブリッシャー	管理対象外製品を持つ公開者の数。
製品合計	製品の合計数。これには、インポートされた金融取引から自動的に検出された商品と、取引に手動で追加された商品が含まれます。
管理対象外製品	ソフトウェアモデルがない製品の数。
合計検出支出	ソフトウェアに費やされた合計金額。この値は、未払金支出と経費支出を足したものと等しくなります。
管理対象外支出	発行者と製品が識別されているが、製品のソフトウェアモデルがないトランザクションの合計支出額。ソフトウェアモデルとエンタイトルメントを作成して、これらの製品の追跡を開始し、管理対象外支出を管理対象の支出に変換できます。
買掛金支出	タイプが [Accounts Payable] であるトランザクションの合計支出額。これらのトランザクションは、会計システムまたは調達システムからのものです。
経費支出	タイプが [Expense] であるトランザクションの合計支出額。これらのトランザクションは、従業員経費システムまたはクレジットカードフィードからのものです。
経時的なソフトウェア支出	ソフトウェアに費やされた毎月の金額。

自動翻訳

コンテンツサービスへのオプトイン

ソフトウェア支出トランザクションのコンテンツサービスにオプトインし、財務トランザクションデータをServiceNowコンテンツサービスチームと共有することで、より正確な予測ソフトウェア支出検出を取得します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

ソフトウェア支出トランザクションのコンテンツサービスにオプトインすると、金融トランザクションデータのコピーが に ServiceNow安全に送信されることに同意したことになります。このデータは、 に ソフトウェア支出検出データをインポートするときに、将来の公開者と製品の予測を改善するためにのみ使用されます。コンテンツサービスはいつでもオプトアウトできます。

既にコンテンツサービスに ソフトウェア資産管理 オプトインしている場合でも、コンテンツサービス設定ページの [ソフトウェア支出トランザクション] トグルボタンを選択して、データ共有 ソフトウェア支出検出 を手動で有効にする必要があります。ソフトウェア支出トランザクションデータ共有は、デフォルトでは無効になっています。

に ソフトウェア支出検出データをインポートした後にオプトインすると、以前のインポートのデータと将来のインポートのデータも共有されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> オプトイン機能を非表示にする場合は、admin ロールを持つユーザーが glide.samp.spend_detection_opt_in.enabled システムプロパティを に `false`設定できます。この値を設定すると `false` 、ソフトウェア支出トランザクションの共有をオンにするために使用されるトグルボタンが非表示になります。また、このプロパティが [`false` 既にオプトインしている場合] に設定されている場合、トランザクションデータは共有されなくなります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア支出検出 > 管理 > コンテンツサービス設定.
2. チェックボックスをオンにしてオプトイン契約に同意し、[オプトイン] を選択します。

   > **注:**
   > 既に から Content Service ソフトウェア資産管理にオプトインしている場合は、オプトイン画面は表示されません。

   ソフトウェア検出モデル、ソフトウェアモデルライフサイクル、部品番号と検出マップ、およびプロセッサー名 KPI のデータ共有は、オプトイン後に自動的に有効になります。一部の KPI のデータを共有しない場合は、KPI の横にあるトグル ボタンを選択し 、保存 を選択して、共有を個別に無効にします。Content Service KPI の詳細については、以下を参照してください ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス。
3. ソフトウェア支出トランザクションデータの共有をオンにするには、 [ソフトウェア支出トランザクション] の横にあるトグルボタンを選択し、 [保存] を選択します。

次のタスク
[Content Service のセットアップ] ページに戻り、各 KPI のデータ共有設定を調整できます。**[I would like to opt my company out of the Software Asset Management Content Service Program**] を選択すると、完全にオプトアウトできます。オプトアウトした後は、いつでも再度オプトインできます。

のコンテンツサービス ソフトウェア支出検出

ソフトウェア支出トランザクションのコンテンツサービスにソフトウェア資産管理オプトインし、財務トランザクションデータをServiceNowコンテンツサービスチームと共有することで、より正確な予測ソフトウェア支出検出を取得します。

ソフトウェア支出トランザクションのコンテンツサービスにオプトインすると、金融取引データのコピーがコンテンツサービスチームに安全に送信されることに同意したことになります。 ServiceNow はServiceNow、 にソフトウェア支出検出データをインポートするときに、将来の公開者と製品の予測を改善するためにのみデータを使用します。 ServiceNow は、顧客のインスタンスを保護するのと同じポリシーを使用して、すべてのデータを保護します。

オプトインすると、次のデータが と共有されます ServiceNow。

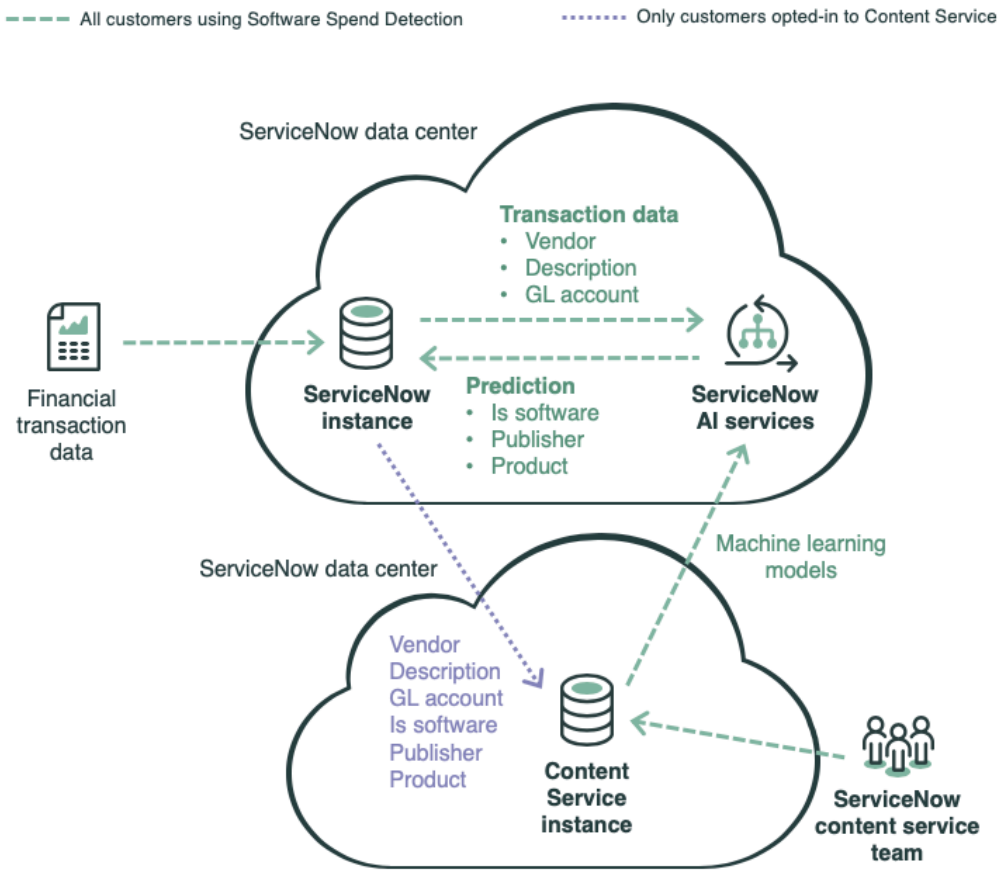
- ベンダー名
- トランザクションの説明
- GL アカウント
- 予測結果 (パブリッシャー ID、製品 ID、ソフトウェア)

データは匿名でコンテンツサービスチームに送信されます。データは、会社名やインスタンス名などの識別可能な情報にリンクされていません。データをインポートする前に、[ベンダー名]、[トランザクションの説明]、および [**GL** アカウント] の各フィールドに、会社名や従業員名などの識別可能な情報が含まれていないことを確認する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNowコンテンツサービスチームは、これらのデータポイントを使用して、人工知能 (AI) サービスで使用されるServiceNow機械学習モデルを改善します。AI サービスは、すべての ServiceNow データセンター内に存在する一連の Web サービスです。すべてのユーザー ソフトウェア支出検出 が AI サービスの継続的な改善 ServiceNow の恩恵を受けられますが、最も恩恵を受けるのはコンテンツサービスにオプトインしているユーザーです。ServiceNow AI Services は、以前は識別できなかったソフトウェア製品と公開者をトランザクション ソフトウェア支出検出 で識別する方法を学習します。この学習により、今後のインポートで機能が向上します。



コンテンツサービスはいつでもオプトアウトできます。オプトアウトすると、今後のインポートのデータはコンテンツサービスチームに送信 ServiceNow されませんが、以前に共有したデータは削除されません。Content Service に参加したいが、一部のトランザクションを との ServiceNow共有から除外する場合は、それらのトランザクションレコードの [**Exclude from content service**] チェックボックスをオンにすることができます。

財務トランザクションのインポート

財務トランザクションデータの Excel スプレッドシートをインポート Microsoft して、ソフトウェア支出の管理を開始します。

始める前に

必要なロール：sam_spend_import または sam_admin

注:
sam_user ロールを持つユーザーは、インポートされたすべてのトランザクション ページの上部にある 新規 を選択することで、トランザクション レコードを手動で作成できます。

このタスクについて

インポートされたデータには、会社のすべての財務トランザクションデータを含めることができます。 ソフトウェア支出検出 各トランザクションがソフトウェア購入であるかどうかを自動的に判断します。データをインポートする前に、[ベンダー名]、[トランザクションの説明]、および **[GL** ア

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カウント] の各フィールドに、会社名や従業員名などの識別可能な情報が含まれていないことを確認してください。インポートする前に、データに必要な変更を加えます。インポートされたすべての財務トランザクションデータフィールドは、インスタンスにロードされると読み取り専用になります。

大量のトランザクションをインポートする場合、インポートに数時間かかることがあります。

注:
ソフトウェア支出検出 現在、英語のトランザクションデータのみをサポートしています。他の言語のデータを使用した人工知能のトレーニング ServiceNow をご希望の場合は、IT Asset Management 製品チームにお問い合わせください ServiceNow 。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア支出検出 > 管理 > トランザクションをインポート.
2. [**Download Template File (.xlsx)]** を選択します。
3. 財務データをテンプレートファイルにコピーします。
   必須フィールドは、[トランザクション日付]、[ベンダー名 または 説明]、および [タイプ] です。最も堅牢な結果を得るには、できるだけ多くのフィールドに入力します。

ソフトウェア支出トランザクションインポートテンプレート

フィールド	説明
トランザクション日付	必須です。トランザクション日付。
ベンダー名	トランザクションに関連付けられた会社。会社名や従業員名など、個人を特定できる情報は含めないでください。ベンダー名または説明を少なくとも 1 つ入力してください。
説明	購入の説明。会社名や従業員名など、個人を特定できる情報は含めないでください。ベンダー名または説明を少なくとも 1 つ入力してください。
GL アカウント	総勘定元帳アカウントまたは経費カテゴリ。会社名や従業員名など、個人を特定できる情報は含めないでください。オプション。
総計	トランザクション金額。オプション。
タイプ	必須です。[買掛金] または [経費] を選択します。買掛金トランザクションは、会計システムまたは調達システムからのものです。経費トランザクションは、従業員経費システムまたはクレジットカードフィードからのものです。
ロケーション	場所。オプション。
コストセンター	コストセンター。オプション。
部門	部門。オプション。
ソース	トランザクションの発生元のシステムの名前。オプション。
タイプ詳細	[タイプ] フィールドの説明。買掛金の場合、例としては、ベンダー請求書や請求書の支払いがあります。経費の場合、例としては、クレジットカード購入や従業員払い戻しなどがあります。オプション。
外部 ID (External ID)	ソースシステム内のトランザクションの ID。オプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
従業員 ID	従業員 ID オプション。
従業員名	従業員名です。オプション。
従業員メール	従業員のメール。オプション。

4. 完成したファイルをアップロードします。
5. 移動先 ソフトウェア支出検出 > 管理 > トランザクションインポート結果 をクリックして、インポートに関する情報を表示し、インポートエラーを解決します。
   インポートが完了すると、ソフトウェア支出検出ソフトウェアパブリッシャーおよび製品へのトランザクションの照合が開始されます。ソフトウェア支出検出また、すべてのトランザクションの [ソフトウェア確率]、[製品の信頼性]、および [パブリッシャーの信頼性] フィールドに **0** から **1** の値を割り当てます。たとえば、パブリッシャーの信頼度の値 **.85** は、トランザクションに正しいパブリッシャーと一致したことが 85% 確実であることを意味しますソフトウェア支出検出。照合プロセスが完了すると、 にある ソフトウェア支出検出[概要]、[重複するソフトウェア]、および [ソフトウェア支出トランザクション] モジュールでデータを表示できます。

次のタスク

移動先 ソフトウェア支出検出 > 非正規化トランザクション をクリックして、ソフトウェアパブリッシャーおよび製品と一致できなかったトランザクション ソフトウェア支出検出 を表示します。これらのトランザクションを手動で更新して、公開者と製品を追加できます。 コンテンツサービスへのオプトイン 将来のインポートの照合を改善します。

必要に応じて、インポートからすべてのトランザクションを一括削除できます。移動先 ソフトウェア支出検出 > 管理 > トランザクションインポート結果をクリックし、インポート レコードを選択してから、 [削除] を選択します。

トランザクションを手動で更新する

ソフトウェア製品と公開者で自動的にラベル付けされなかったインポート済みソフトウェアトランザクションを手動で更新して、すべてのソフトウェア支出を追跡します。

始める前に

必要なロール：sam_user

このタスクについて

場合によっては、 ソフトウェア支出検出 トランザクションをソフトウェアパブリッシャーおよび製品に一致させることができません。ソフトウェア支出検出パブリッシャーを識別できても製品が識別できない場合、トランザクションはダッシュボードのソフトウェア支出検出そのパブリッシャーの製品リストで [非正規化] として分類されます。トランザクション金額は、そのパブリッシャーの総コストに加算されます。ソフトウェア支出検出パブリッシャーを特定できない場合、トランザクションは [非正規化トランザクション] に追加され、ダッシュボードからソフトウェア支出検出除外されます。トランザクション金額は、ダッシュボードに表示される支出金額には含まれていません。

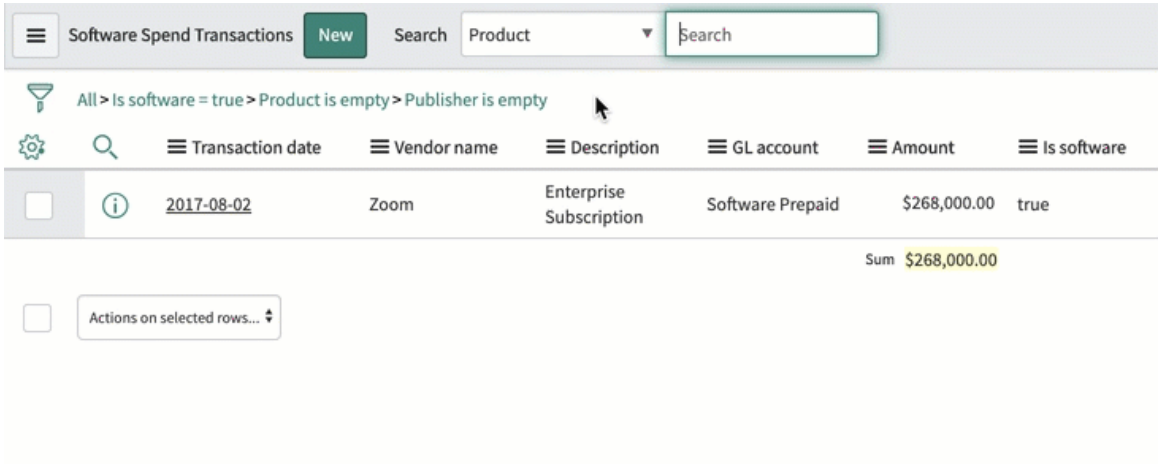
手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア支出検出 > 非正規化トランザクション.

   注:
   デフォルトでは、このリストには、によって ソフトウェア支出検出ソフトウェアとして識別されたトランザクションのみが表示されます。ソフトウェアとして識別されないトランザクションを含めるには、フィルター条件 **Is software = true** を削除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



2. 取引日を選択します。
3. [パブリッシャー] フィールドと [製品] フィールドに値を選択します。

> **注:**
> このフォームからソフトウェア公開者と製品を直接作成するには、フィールドの横にある [リストから参照] アイコン ([を選択し、[新規] を選択します。

4. [ソフトウェアである] チェックボックスをオフまたはオンにして、トランザクションがソフトウェア購入であるかどうかを示します。
5. [更新] を選択します。
トランザクションは、正規化されていないトランザクションのリストから削除され、 ソフトウェア支出検出 ダッシュボードに追加されます。

重複するソフトウェアダッシュボード

重複するソフトウェアダッシュボードで、重複する機能を持つソフトウェア製品を表示します。冗長なソフトウェアへの不要な支出を検出し、アプリケーションの合理化を求めるデマンドを生み出します。

重複するソフトウェアダッシュボードは、すべてのソフトウェア支出を、ビデオ会議、プロジェクト管理、メールマーケティングなど、ソフトウェアの主な機能に基づいてカテゴリにグループ化します。[重複するソフトウェア] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア支出検出 > 重複するソフトウェア.

> **注:**
> 重複するソフトウェアダッシュボードは、のソフトウェア資産管理ソリューションに含まれServiceNow パフォーマンスアナリティクスており、Software Spend Detection がインストールされている場合に使用できます。詳細については、「プラットフォームアナリティクスソリューション ソフトウェア資産管理 クラシック用」を参照してください。

- ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) が有効になっている場合 パフォーマンスアナリティクス 、重複するソフトウェアダッシュボードはドメイン分離をサポートします。ドメイン別にデータをフィルタリングするには、ダッシュボードの上部でドメインを選択します。

エンドユーザーとロール

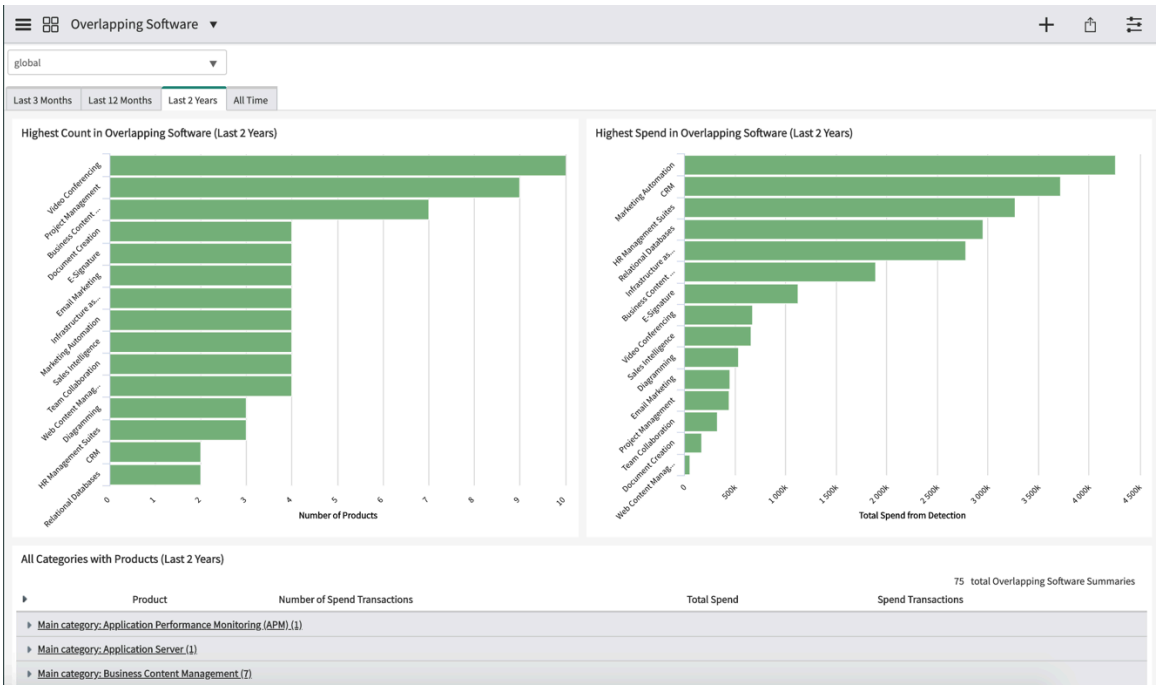
エンドユーザーと目標	必要なロール
SAM 管理者:ダッシュボードを表示できます。	sam_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンドユーザーと目標	必要なロール
SAM ユーザー:ダッシュボードを表示できます。 **注:** SAM ユーザーと SAM 管理者は、it_demand_user ロールも持っている場合、ダッシュボードを使用してデマンドを作成できます。	sam_user
ソフトウェア支出検出インポートユーザー:ダッシュボードを表示できます。	sam_spend_import

重複するソフトウェアダッシュボード



過去 3 か月、過去 12 か月、過去 2 年間、またはすべての期間のソフトウェア支出を表示します。

レポート

レポート	説明
重複するソフトウェアの最大数	購入した製品数が最も多いソフトウェアカテゴリ。
重複するソフトウェアへの最高支出	合計支出額が最も高いソフトウェアカテゴリ。
製品を含むすべてのカテゴリ	支出トランザクションがあるすべてのソフトウェアカテゴリ。各カテゴリの横にある数字は、そのカテゴリの製品の数を示しています。

注:
ダッシュボードに表示されるレポートを編集するには、次の場所に移動します。 ソフトウェア支出検出 > 管理 > 重複するソフトウェアのセットアップ. sam_user ロールと report_admin ロールが必要です。ドメイン分離が有効になっている場合、すべてのレコードを表示および編集するには domain_admin ロールも必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デマンドを作成する

検出した冗長なソフトウェアに対して意味のあるアクションを実行するためのデマンドを作成します。ソフトウェアの中止、ソフトウェア使用量の削減、承認済みソフトウェアへのユーザーの移行、またはその他のアクションを実行できます。

> **注:**
> デマンドを作成するには、 PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) をインストールする必要があります。

詳細については、「アプリケーション合理化のデマンドを作成」を参照してください。

アプリケーション合理化のデマンドを作成

ソフトウェアの中止、ソフトウェア使用の削減、承認済みソフトウェアへのユーザーの移行、またはその他のアクションを実行するデマンドを作成します。

始める前に

デマンドを作成するには、 PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) をインストールする必要があります。

ソフトウェア資産管理 には、すぐに使用できる次のデマンドアクションが含まれています。

- 有効期限が切れた後に中止
- 承認済み製品に移行
- 直ちに中止
- ライセンスの再利用
- 何もしない

会社のプロセスをカバーする追加のデマンドアクションを作成するには、 ソフトウェア資産 > 管理 > ソフトウェア資産デマンドアクション [**New**]を選択します

必要なロール：sam_admin

> **注:**
> sam_userは、it_demand_userロールも持っている場合、デマンドを作成できます。

このタスクについて

重複するソフトウェアダッシュボードを使用して、数が最も多く、支出が最も多いソフトウェアカテゴリを表示することで、アプリの合理化を促進します。詳細については、「重複するソフトウェアダッシュボード」を参照してください。

手順

1. 移動先 ソフトウェア支出検出 > 重複するソフトウェア.

   > **注:**
   > 重複するソフトウェアダッシュボードには、冗長なソフトウェア製品と高支出領域が表示され、最適化できるソフトウェア製品の判断に役立ちます。デマンドを作成する必要がある特定のソフトウェア製品がわかっている場合は、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > 新規作成 向かわせます

2. いずれかのレポートで、最適化するソフトウェアカテゴリを選択します。
   カテゴリ内のすべての製品のリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. デマンドに追加するリストの各製品のチェックボックスをオンにし、[デマンドの作成] を選択します。
4. [デマンド要件] 関連リストで、各要件のアクションを選択します。
5. [デマンドの送信] を選択します。

タスクの結果
[ステージ] フィールドが [送信済み] に設定された状態でデマンドが作成されます。

次のタスク
デマンドを承認して完了するために使用します ServiceNow デマンド管理 。詳細については、「Demand Management」を参照してください。

[プロジェクトを作成] 関連リンクを選択すると、デマンドのプロジェクトを作成できます。プロジェクトを使用すると、デマンドの達成に必要な作業のステータス、完了率、および期間を追跡できます。プロジェクトタスクを作成して、プロジェクトの完了に必要な作業アイテムを定義することもできます。詳細については、「プロジェクト管理」を参照してください。

すべての ソフトウェア資産管理 デマンドを表示するには、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > デマンド.

すべての ソフトウェア資産管理 デマンド要件を表示するには、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > デマンド要件.

ソフトウェア支出検出とともにインストールされる内容

ユーザーロールとテーブルは、とともにインストール ソフトウェア支出検出されます。ソフトウェア支出検出 のデモデータが利用可能です。

ユーザーロール

ロール	説明
sam_spend_import	財務トランザクションデータをインポート ソフトウェア支出検出するために必要なロール。このロールを持つユーザーは、コンテンツサービス設定を除くすべてのソフトウェア支出検出モジュールを表示できます。このロールを持つユーザーは表示 ソフトウェア資産管理できません。

テーブル

テーブル	説明
ソフトウェア支出トランザクション [sam_spend_transaction]	財務取引データ。
ソフトウェア支出トランザクションのインポート [sam_spend_transaction_import]	インポートされた行数とインポートエラーを示すインポートサマリーテーブル。
ソフトウェア支出トランザクションのインポート [imp_sam_spend_transaction]	財務トランザクションデータのインポート用のステージングテーブル。
ソフトウェア構成の重複 [sam_sw_overlap_configuration]	重複するソフトウェアのダッシュボードに表示されるレポートのリスト。
重複するソフトウェアの概要 [sam_sw_overlap_summary]	支出トランザクションのあるソフトウェア製品のリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 管理

ソフトウェア資産管理 管理タスクには、クライアントアクセス、カスタム製品、およびカスタム部品番号レコードの追加、およびパターン正規化および再利用ルールの作成が含まれます。また、ジョブ結果の表示 ソフトウェア資産管理 、プロセッサ定義の更新、およびソフトウェア インストールの移行も実行できます。 ソフトウェア資産管理 Content Service を有効にし、移行手順も含まれています。

管理タスクを構成するには、sam_admin ロールが必要です。ただし、sam_user ロールは構成を表示して読み取ることができます。

ソフトウェア資産管理 ジョブの結果には、検出モデルの正規化ジョブとソフトウェア使用状況のインポートジョブのステータスが表示されます。

ソフトウェア資産ジョブ結果レコードがナビゲーションパスに一覧表示されます すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > ジョブ結果 (フィールドの説明については、表を参照してください)。

ソフトウェア資産ジョブ結果フォーム

フィールド	説明
番号	ジョブの実行時に生成されるジョブ結果の数。
名前	ジョブの名前。
ステータス	ジョブのステータス。
作成済み	ジョブが作成された日時。
更新日時	ジョブが更新された日時。

エンジニアリングライセンスサーバー

インスタンスにデータ ServiceNow を取得するために OpenLM または OpenIT が接続するすべてのライセンス管理サーバーのリストを表示します。

すべてのライセンス管理サーバーに関する情報を表示するには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > エンジニアリングライセンスサーバー

サーバーの名前、サーバーの現在のステータス、最終接続時刻などの情報が、[エンジニアリングアプリケーションライセンスサーバー] フォームレイアウトに表示されます。

ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加

クライアント アクセス レコードを追加し、クライアント アクセス ライセンス (CAL) を使用して特定のバージョンのサーバー ソフトウェアにアクセスしているユーザーまたはデバイスを追跡および管理します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

注:
sam_userロールを使用して、クライアントアクセスレコードを表示および読み取ることもできます。ただし、このロールを使用してクライアントアクセスレコードを作成することはできません。

このタスクについて

ソフトウェア資産管理 は、クライアント・アクセス・レコードを使用して、以下のライセンス・メトリックに基づいてサーバー・ソフトウェアを調整します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
Citrix	• Per User • ユーザー/デバイスあたり
一般	• ユーザー CAL • デバイス CAL • ユーザー/デバイス CAL
IBM	• 認定ユーザー • 認定ユーザー値単位 • 従業員ユーザー値単位 • 外部ユーザーの値単位
Microsoft	• ユーザー CAL • デバイス CAL • コアあたり (CAL を含む)
Oracle	指名ユーザープラス

ライセンスの測定基準はソフトウェアエンタイトルメントフォームで設定され、ソフトウェアモデルフォームの [評価指標属性] 関連リストからアクセスできます。

重要:
対応するソフトウェアモデルの [割り当てのクライアントアクセスを自動生成] オプションを使用して、アプリケーションがソフトウェア資産管理データベースサーバーのクライアントアクセスレコードOracleを自動的に作成できるようにすることができます。このオプションを使用するには、Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを ServiceNow Storeから要求する必要があります。[割り当てのクライアントアクセスを自動生成] オプションの詳細については、「」を参照してくださいソフトウェアモデルフィールド。Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションの詳細については、「」を参照してくださいグローバルライセンスおよびアドバイザリーサービスのデータ収集 Oracle の要求。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > クライアントアクセス をクリックし、 新規 を選択します。
2. [クライアントアクセス] フォームのフィールドに入力します。

[クライアントアクセス] フォーム

フィールド	説明
名前	クライアントアクセスレコードの名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	ユーザーまたはデバイスにアクセス権を付与するサーバーのソフトウェアモデル。
タイプ	クライアントアクセスレコードに関連付けられている CAL のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ ユーザー **CAL**: 各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、関連付けられたサーバーにアクセスするすべてのユーザーにライセンスを付与します。 たとえば、2 人のユーザーがサーバーにアクセスする Microsoft Windows 場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには 2 つのユーザー CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連する User CAL を特定のユーザーに割り当てることができます。詳細については、 手順 3 を参照してください。 ○ デバイス **CAL**:サーバーにアクセスするために各デバイスを使用しているユーザーの数に関係なく、指定されたサーバーにアクセスする各デバイスにライセンスを付与します。 たとえば、2 つのデバイスがサーバーにアクセスし Microsoft Windows ている場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには 2 つのデバイス CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連する Device CAL を特定のデバイスに割り当てることができます。詳細については、 手順 3 を参照してください。 ○ ユーザー/デバイス **CAL**: 関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。 **注:** ソフトウェアモデルを使用している Citrix 場合、ユーザー/デバイス CAL タイプは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスに基づきます。 たとえば、2 人のユーザーと 2 つのデバイスがサーバーにアクセスする Microsoft Windows 場合、対応するソフトウェアエン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	タイトルメントには 2 つのユーザー CAL と 2 つのデバイス CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられた User CAL と Device CAL を特定のユーザーとデバイスに割り当てることができます。詳細については、 手順 3 を参照してください。 ○ 認定ユーザー:ソフトウェア製品にアクセスする IBM 各ユーザーにライセンス付与します。 **注:** この CAL タイプはソフトウェアにのみ適用されます IBM 。 ○ 認定ユーザーバリューユニット:ソフトウェア製品にアクセスする IBM 特定のユーザーの数にライセンスを付与します。 **注:** この CAL タイプはソフトウェアにのみ適用されます IBM 。 ○ 従業員ユーザー値単位:ソフトウェア製品にアクセスする IBM 組織内のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 **注:** この CAL タイプはソフトウェアにのみ適用されます IBM 。 ○ 外部ユーザー値単位:ソフトウェア製品にアクセスする IBM 組織外のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 **注:** この CAL タイプはソフトウェアにのみ適用されます IBM 。
WebLogic アプリケーション **注:** このフィールドは、 Oracle WebLogic Server ソフトウェア モデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle ユーザまたはデバイスがアクセスを許可されている WebLogic Server アプリケーション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データベースインスタンス **注:** このフィールドは、データベースサーバーソフトウェア Oracle モデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle データベース内のデータにアクセスして管理する Oracle データベースインスタンス。
ソース **注:** このフィールドは、データベースサーバーソフトウェア Oracle モデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracleデータのソース。このフィールドは、次のいずれかのオプションに自動的に設定されます。 ○ **ServiceNow**:毎日またはオンデマンドで実行される [SAM - 自動生成されたクライアントアクセスと DB サーバーユーザーとの同期 (SAM - Sync Auto-generated Client Access with DB Server Users)] スケジュール設定済みジョブによって、クライアントアクセスレコードデータが自動的に生成されたことを示します。 ○ 内部:クライアントアクセスレコードデータが手動で追加されたことを示します。
カウント	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されている一意のユーザーまたはデバイスの数。 データベース・サーバーまたはOracleWebLogic ServerのOracle自動生成されたクライアント・アクセス・レコードでは、このフィールドは、現在レコードに追加されているユーザーまたはデバイスの数に基づいて自動的に入力されます。クライアントアクセスレコードにユーザーまたはデバイスを追加する方法の詳細については、 手順 3 を参照してください。 **注:** ソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している Citrix 場合、[カウント] フィールドは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスの数に基づきます。
PaaS **注:** このフィールドは、データベースサーバーソフトウェア Oracle モデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle データベースインスタンスがリレーショナルデータベースサービス (RDS) によって管理されAmazonているかどうかを示すオプション (AWS)。Amazon Web サービス
コストセンター	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスのコストセンター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
部門	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの事業部門。
ロケーション	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの地理的な場所。
会社	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの会社。

3. 関連付けられた CAL を特定のユーザーまたはデバイスに割り当てるには、[種類] フィールドで選択した CAL の種類に基づいて、それらのユーザーまたはデバイスをクライアント アクセス レコードに追加します。
CAL を特定のユーザーまたはデバイスにアサインすることで、調整中にそれらのユーザーまたはデバイスが異なるクライアント アクセス レコード間で複数回カウントされるのを防ぐことができます。
   - [種類] フィールドを [ユーザー **CAL**]、[ユーザー/デバイス **CAL**]、[認定ユーザー]、[認定ユーザー値単位]、[従業員ユーザー値単位]、または [外部ユーザー値単位] に設定した場合は、ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーを追加します。

     注:
     ソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は Citrix 、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるユーザーを追加します。

     a. [ユーザー] タブを選択します。

     b. [クライアント アクセス ユーザー ブレークダウン] リストの [ユーザー] フィールドで、[新しい行の挿入] をダブルクリックします。

     注:
     データベース・サーバー・ソフトウェア・モデルを使用している場合はOracle、代わりに「クライアント・アクセス・ユーザー・ブレークダウン」リストの「データベース・ユーザー」フィールドで「新規行の挿入...」をダブルクリックします。

     c. プロンプトが表示されたら、ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーを検索して選択します。

     d. [保存] アイコン ( ) を選択します。

     指定したユーザーの [デバイス]、[アクティブ]、[ユーザー タイプ]、および [ソース] フィールドが自動的に入力されます。ただし、必要に応じて [デバイス]、[アクティブ]、および [ユーザー タイプ] フィールドを変更できます。

     e. ユーザー ベースの CAL を割り当てるユーザーごとに、手順 b ～ d を繰り返します。
   - [種類] フィールドを [デバイス **CAL**] または [ユーザー/デバイス **CAL**] に設定した場合は、デバイス CAL を割り当てるデバイスを追加します。

     注:
     ソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は Citrix 、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるデバイスを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [デバイス] タブを選択します。

b. [Client Access Device Breakdowns] リストの [**Device**] フィールドで、[**Insert a new row...**] をダブルクリックします。

c. プロンプトが表示されたら、デバイス CAL を割り当てるデバイスを検索して選択します。

d. [保存] アイコン ( ) を選択します。

[アクティブ**(Active**)] フィールドと [ソース**(Source**)] フィールドは、指定したデバイスに対して自動的に入力されます。ただし、必要に応じて [アクティブ] フィールドを変更できます。

e. デバイス CAL を割り当てるデバイスごとに、手順 b ～ d を繰り返します。

4. 関連付けられたサーバーがインストールされている構成アイテム (CI) を追跡してライセンスを取得するには、それらをクライアントアクセスレコードに追加します。

重要:
クライアント アクセス レコードが WebLogic Server ソフトウェア モデルに関連付けられているOracle場合、または関連付けられたソフトウェア モデルで [クライアントがアクセスするすべてのインストールにライセンスする] オプションを有効にしている場合、この手順は適用されません。このオプションを有効にすると、CI のライセンスは、ソフトウェア インストール条件など、ソフトウェア モデルで指定した条件に基づいて付与されます。このオプションの詳細については、「」を参照してください ソフトウェアモデル フィールド 。

サーバーの場合 Windows 、各サーバーのインストールには、関連するクライアントアクセスレコードのユーザーおよびデバイス CAL 権限とは別にライセンス付与されるコアあたり (CAL を含む) 権限が必要です。Javaなどの Oracle 他の製品では、サーバーインストールのために個別にライセンスを取得する権限は必要ありません。たとえば、CAL を使用して Java にアクセスする Oracle ユーザーとデバイスにライセンスを付与する場合、 ソフトウェア資産管理 対応する Oracle Java インストールをライセンス済みとして自動的にマークすることができます。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 CAL ライセンスの一部として Java インストールの Oracle ライセンスを取得します。

この機能を有効にするには、特定のサーバーがインストールされているすべての CI を、関連するクライアントアクセスレコードに追加する必要があります。これらの CI を指定することで、ユーザーとデバイスが接続されているサーバーインストールを判別できます ソフトウェア資産管理 。クライアントアクセスレコードのすべてのユーザーとデバイスにライセンスが付与されると、指定された CI 上のすべてのサーバーインストールがライセンス済みとしてマークされます。これらのインストールでは、追加のライセンスは消費されません。

a. [**Devices with Installations**] タブを選択します。

b. [Client Access Installed Devices] リストの [**Device**] フィールドで、[**Insert a new row...**] をダブルクリックします。

c. プロンプトが表示されたら、関連付けられたサーバーがインストールされている CI を検索して選択します。

d. [保存] アイコン ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

指定された CI の [アクティブ] フィールドが自動的に入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じて変更できます。

e. 関連付けられたサーバーがインストールされている CI ごとにステップ b ～ d を繰り返します。

5. [更新] を選択します。

次のタスク
クライアント アクセス レコードを作成すると、関連付けられたサーバー ソフトウェア上で、スケジュール設定済みジョブとして、またはオンデマンドで調整が実行されます。調整結果は、 ライセンスワークベンチで表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスコンプライアンスの状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

次の修復オプションを使用して、サーバー ソフトウェアの非準拠を修復できます。

- 購入権限: 必要な権限の数が、指定されたサーバーソフトウェアのすべてのクライアントアクセスレコードで所有されている権限の数よりも多い場合に、発注書を生成します。
- 割り当ての作成: 指定したサーバーソフトウェアのクライアントアクセスレコードに追加されたライセンスのないユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。
- 割り当ての削除: 十分な権限が利用できない場合に、ライセンスを持つユーザーまたはデバイスから権限を削除します。

カスタム ソフトウェア製品を追加する

ソフトウェア製品が [ソフトウェア ライブラリー] に存在しない場合は、カスタム製品を追加できます。カスタム製品を使用すると、自家製のソフトウェアやまだ [ソフトウェアライブラリー] に含まれていないソフトウェアを標準化してアカウントを作成することができます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
製品と公開者の組み合わせは Discovery モデルの標準化の際に使用されます。カスタム製品が存在する場合は、メッセージが表示されます。

手順

移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > カスタム製品 をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

カスタム ソフトウェア製品フォーム

フィールド	説明
公開者	カスタム ソフトウェア製品の公開者。存在しない場合は、 フィールドの ルックアップリストに新規の名前を作成できます。
製品	カスタム ソフトウェア製品の名前。
サブスクリプションソフトウェア	ソフトウェアにサブスクリプションがあることを示すオプション。
製品タイプ	カスタム ソフトウェア製品の製品タイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 子：メインとなるソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 • ドライバー：デバイスを制御するソフトウェア製品。 • ライセンス可能：ライセンス可能なソフトウェア製品。 • ライセンス不可：ライセンス不可のソフトウェア製品。 • パッチ：既存のコンピューター プログラムを更新、修正、改良するために設計されたソフトウェア製品。 • 不明：未知のソフトウェア製品。
製品分類	正式な UNSPSC 分類
コンテンツサービスから除外	カスタム製品の詳細を共有対象から除外するオプション ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス オプトインした場合。
アクティブ	ルールがアクティブであることを示すオプション。

カスタム品番の追加

カスタム部品番号を追加して、部品番号がソフトウェアライブラリに存在しない場合に発生する権限インポートエラーを解決できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > カスタム品番 をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

カスタム品番フォーム

フィールド	説明
パブリッシャーの品番	メーカーの製品コード。
エンタイトルメント定義	部品番号に関連付けられた検出マップ。 • パブリッシャー • 製品 • バージョン • エディション • 言語 • プラットフォーム

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ライセンス タイプ	ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、または以前のバージョンのソフトウェアからアップグレードされている権限かどうかを指定します。 • 完全 • アップグレード
ライセンスの測定基準	ソフトウェア権限の消費方法を決定するために調整中に使用されるライセンスの測定基準。
コンテンツサービスから除外	カスタム製品の詳細を共有対象から除外するオプション ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス オプトインした場合。

カスタムライセンスの測定基準の追加

カスタム ライセンスの測定基準を追加して、デフォルトの調整プロセスを変更することができます。

始める前に

必要なロール：

- カスタム測定基準スクリプトを作成または変更するため： sam_developer
- カスタム測定基準スクリプトを読み込むため：sam_admin

カスタム測定基準スクリプトを作成または変更するために必要なロール： sam_developer

このタスクについて

カスタム ライセンスの測定基準は、事前定義されたライセンスの測定基準リストに含まれていない特定のソフトウェア計算を定義できます。調整があまり知られていないソフトウェア公開者の特定のソフトウェア製品やバンドルに対するユーザーまたはデバイスごとの権限を計算できるようになるため、カスタム ライセンスの測定基準は便利です。

たとえば、認識できないバンドルの一部である製品のインストール数を過度にカウントしないように、カスタム測定基準を作成することができます。

リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルを使用して、カスタムライセンス測定基準を強化することができます。そのためには、リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルのユニット消費量列とライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result] テーブルの必要なライセンス列の間で 1:1 の計算を実行します。カスタムライセンス測定基準スクリプトで独自の計算を作成し、独自のロジックを記述してカスタムライセンス測定基準をさらにカスタマイズできます。

カスタム メトリックは、カスタム ライセンスの測定基準のプロパティを使用して無効化することができます。この機能はデフォルトで有効になっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > カスタムライセンスの測定基準 をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

カスタム ライセンスの測定基準フォーム

フィールド	説明
ライセンスの測定基準	カスタム ライセンスの測定基準の名前。この名前は、ソフトウェアエンタイトルメントの [ライセンスの測定基準] フィールドとソフトウェア モデルのライセンスの測定基準の結果に表示されます。
テーブルソース	このカスタム ライセンスの測定基準がソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルまたはリソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルに属しているかどうかを指定します。 **注:** 指定されたテーブルが [リソース値] テーブルの場合、[調整順序 - 割り当て済み]、[調整順序 - 未割り当て]、および [割り当てタイプ] フィールドは表示されません。さらに、計算スクリプトには、リソース値に関連するサンプルスクリプトが表示されます。
評価指標グループ	カスタム ライセンスの測定基準。
割り当てタイプ	ライセンスの測定基準の割り当てタイプ。デバイスごとまたはユーザーごと。 ○ デバイス ○ ユーザー
説明	カスタム ライセンスの測定基準の説明。
調整順序 - 割り当て済み	割り当てられたライセンスの調整測定基準の優先順位。下位の値が優先されます。
調整順序 - 未割り当て	未割り当てライセンスの調整測定基準の優先順位。下位の値が優先されます。
計算	
計算スクリプト	ライセンスの測定基準の計算方法はスクリプトです。調整スクリプトを指定します。

2. [送信] を選択します。

カスタム ライセンスの測定基準のサンプル スクリプト

カスタムライセンスの測定基準スクリプトの例を次に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
この例はデモのみを目的としており、実際のコンプライアンス シナリオで使用することを意図したものではありません。

```
<script><![CDATA[getRightsForDevice();
function getRightsForDevice(){
var rightsForDevice = -1;
 var deviceRecord = new SampRecord('cmdb_ci_computer');
 if(deviceRecord.get(entity)){
  rightsForDevice = deviceRecord.getValue('disk_space');
 }
 return rightsForDevice;
}]]></script>
```

プロセッサ定義を更新

を ソフトウェア資産管理アクティブ化した後、プロセッサ定義を更新して、 CMDBのサーバ上のプロセッサを正規化します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
有効化した後 ソフトウェア資産管理 、調整を実行する前にプロセッサー定義を更新します。プロセッサ定義を更新すると、CPU タイプ (検出されたプロセッサの名前) を正しいプロセッサ定義にマッピングできます。

プロセッサー定義の更新は、初回実行時に時間がかかることがあります。先に進む前に、このタスクを完了するための十分な時間を割り当ててください。

手順

移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > プロセッサー定義を更新 をクリックし、 [続行] を選択します。
[プロセッサー定義] リストが表示されます。

ソフトウェア インストールの移行

を使用している場合は ディスカバリー、アプリケーションのインストール ソフトウェア資産管理 後にこのスクリプトを実行して、以前に検出されたソフトウェアインストールレコードを [cmdb_software_instance] テーブルから [cmdb_sam_sw_install] テーブルにコピーします。このテーブルは、ソフトウェアインストールレコードを保存する ソフトウェア資産管理 ためにアプリケーションによって使用されます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
実行 ディスカバリー 中で、以前のバージョンを使用して ソフトウェア資産管理 いた場合は、このスクリプトを実行する必要はありません。

[ソフトウェア インストールの移行] スクリプトを実行の際は、プロセスが完了するのに十分な時間が必要となります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > ソフトウェアインストールの移行 をクリックし、 [続行] を選択します。
[ソフトウェア インストール] リストが表示されます。データがすでに移行されている場合は、メッセージが表示されます。

ソフトウェア資産管理のプロパティ

グループ化や調整のデバッグなどのデフォルトの調整プロパティを設定できます。

これらのプロパティはアプリケーションで使用できます ソフトウェア資産管理 。

これらのプロパティにアクセスするには、次の場所に移動します すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > プロパティ.

ソフトウェア資産管理 のプロパティ

プロパティ	説明
照合の週次実行のデフォルトグループ設定を選択します com.snc.samp.recon.group	調整中に権限とソフトウェアのインストールをグループ化する方法を決定します。 値 (既定値は **None**): • 会社 • **Cost Center** • 国 • 部門 • 地域
照合の週次実行のデフォルトのサブグループ設定を選択します com.snc.samp.recon.subgroup	調整中の権限とソフトウェアインストールのセカンダリグループを決定します。 「なし」を除き、グループとサブグループの値は異なっている必要があります。 値 (既定値は **None**): • 会社 • **Cost Center** • 国 • 部門 • 地域
利用可能なすべてのカスタム ライセンスの測定基準とともに調整を実行する	調整の実行時にカスタム ライセンスの測定基準を有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
com.snc.samp.recon.enablecustommetrics	カスタム ライセンスの測定基準が設定されている場合、このプロパティが[いいえ] に設定されていたら適用されません。デフォルトは [はい] です。
調整結果のデバッグを有効にします。デバッグを有効にすると、パフォーマンスに影響することに注意してください。 com.snc.samp.debug	結果のトラブルシューティングを行うために調整結果のデバッグを有効にします。デフォルトは [いいえ] です。 さらに、このプロパティは、オンプレミスのインポートデバッグのログ記録もトリガーします。
すべての「ライセンス可能」製品のソフトウェアモデルを自動的に作成 com.snc.samp.automaticsmrcreation	[製品の結果] リストにある資格付与のないライセンスなしのインストール、サブスクリプション、または (ライセンス可能な製品の) オプションについて、ソフトウェア モデルを非準拠状態で自動的に作成します。 新しいソフトウェアモデルと結果は、ライセンスポジションレポートにライセンスなしの数を表示するために使用されます。 **注:** ソフトウェア モデルの自動作成の詳細については、「」を参照してください ソフトウェアモデルの自動作成。
上のデータベースとWebLogicサーバーのライセンス Oracle を調整するための集計レベルを選択します VMware com.snc.samp.oracle.reconlevel **注:** このプロパティは、 のOracle公開者パックをアクティブ化ソフトウェア資産管理した場合にのみ使用できます。	仮想化テクノロジーでVMwareデータベースとWebLogic Server のライセンスを調整するOracleために使用される集計レベル。ソフトウェア資産管理は、次の集計レベルをサポートしています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
注: このプロパティは、の ソフトウェア資産管理ドメイン分離アプリケーションプロパティを使用したドメイン分離をサポートします。詳細は、「のドメイン固有の調整プロパティの設定 Oracle」を参照してください。	• **ESX**: **ESX** アグリゲーションレベルでは、ESX ホスト上のすべてのプロセッサーコアが考慮されます。 • **ESX** クラスター (デフォルト値): **ESX** クラスター集計レベルでは、クラスター内のすべての ESX サーバー上のすべてのプロセッサーが考慮されます。 • **vCenter**: **vCenter**の アグリゲーションレベルでは、すべてのESXサーバー上のすべてのプロセッサコアが考慮されます。 この集計レベルを選択した場合、ライセンスの計算は仮想環境で使用している VMware ESXi バージョンに基づいて行われます。サポートされている ESXi バージョンの詳細については、「」を参照してください Oracle ソフト・パーティション環境でのデータベースおよびWebLogic Serverのライセンス 。
vCenterのアグリゲーションレベルでのデータベースとWebLogicサーバーのVMwareライセンスOracleの調整には、ホスト親和性を使用します com.snc.samp.oracle.hostaffinityenabled 注: このプロパティは、 のOracle公開者パックをアクティブ化ソフトウェア資産管理した場合にのみ使用できます。 注: このプロパティは、以下の ソフトウェア資産管理ドメイン分離アプリケーションプロパティを使用して、ドメイン分離をサポートします。詳細は、「のドメイン固有の調整プロパティの設定 Oracle」を参照してください。	vCenter Server インスタンス内のVMwareデータベースと WebLogic Server のライセンスを調整するOracleときに、アプリケーションで仮想マシンとホストの親和性ルールを考慮できるようにしますソフトウェア資産管理。このプロパティは、[**VMware** 上の **Oracle** データベースと **WebLogic** サーバーのライセンスを調整するための集計レベルを選択します] プロパティで、調整のOracle集計レベルを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	vCenter に設定した場合にのみ適用されます。 仮想マシンとホスト間のアフィニティ ルールを使用すると、仮想マシンを実行できる物理 ESXi ホストを指定できます。ライセンス契約で Oracle VM とホストのアフィニティ ルールが規定されている場合は、データベースと WebLogic サーバーのライセンスを取得する Oracle 際にこれらのルールを考慮することで、ライセンスの義務を軽減できます。
すべての「ライセンス不可」製品のソフトウェアモデルを自動的に作成 com.snc.samp.automaticsmcreation	[製品の結果] リストにある (ライセンス不可製品の) ライセンスなしインストールに対して、ソフトウェア モデルを非準拠状態で自動的に作成します。 新しいソフトウェアモデルは、Application Portfolio Management によって使用されます。 デフォルトは [いいえ] です。
選択したデバイスにインストールされているソフトウェアをソフトウェア資産管理から除外するにはcmdb_ci_hardwareテーブルに追加された true/false フィールドの名前を入力します com.snc.samp.exclude_device_flag	列名 exclude_from_sam を入力したときに [SAM から除外] 列が true に設定されているデバイスにインストールされているソフトウェアを (アプリケーションから ソフトウェア資産管理) 除外します。
環境に Citrix 公開されたアプリケーションについて、調整中に考慮するライセンス期間 (日数) を入力します com.snc.samp.citrix.app.license.period **注:** このプロパティは、 のCitrix公開者パックをアクティブ化ソフトウェア資産管理した場合にのみ使用できます。	調整中に考慮されるアプリケーションのライセンス期間 (日数) Citrix を示します。デフォルトは 90 日です。
エンジニアリングアプリケーションのピーク使用量を考慮する期間 (日数) を入力します。	ピーク使用量に対してエンジニアリングアプリケー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
com.snc.samp.eng.app.peak.usage.period	ションが考慮される期間 (日数) を示します。 デフォルト値は 30 日間で、sam_admin ロールを持つユーザーのみがこのフィールドを更新できます。
調整のために同時に実行するジョブスケジュールの数を入力します。 com.snc.samp.recon.max_worker	調整と並行して実行されるジョブスケジュールの数を示します。複数のジョブスケジュールが、異なる公開者に対して同時に調整を実行します。
検出されたソフトウェアの ML 正規化を有効にします。 com.snc.samp.enable.ml_normalization	検出モデルで機械学習による正規化を実行できるようにします。このプロパティはデフォルトで有効になっています。機械学習による正規化は、コンテンツルールを使用して正規化できなかった検出モデルに対してのみ実行されます。 admin ロールを持つユーザーのみがプロパティを変更できます。
Cloud からプルされた請求処理データが古いと見なされるしきい値期間 (日数) を入力します。これは、ライセンスタイプの信頼性に影響します。 com.snc.samp.sam_ci_billing_threshold	Cloud Insights からプルされた請求処理データが古いと見なされるまでのしきい値期間を日数に基づいて示します。Cloud Insights は、AWS にインストールされている SQL Server のライセンスタイプを決定するために使用されます。 デフォルト値は 30 日で、このプロパティはデフォルトで有効になっています。
Red Hat Enterprise Linux Server for Virtual Datacenters のライセンスコスト最適化しきい値 **注:** このプロパティは、 のIBM公開者パックをアクティブ化ソフトウェア資産管理した場合にのみ使用できます。	展開で使用するか、RHEL for Virtual Datacentersまたはライセンスを取得するRHELかRHEL Serverを決定します。 デフォルトのしきい値は 3.2 です。この値は、現在

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	の RHEL Server サブスクリプション表示価格と現在の RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション表示価格の比率に基づいています。エンタイトルメントにこれらの製品の異なる価格が含まれている場合は、サブスクリプション価格をサブスクリプション価格RHEL Serverで割RHEL for Virtual Datacentersってこの値を計算できます。 このしきい値を使用して展開に最適なRHELライセンスタイプを決定する方法の詳細については、「」を参照してくださいRed Hat Enterprise Linux 用の ソフトウェア資産管理。
Microsoft データセンター向け Windows Server のライセンス コスト最適化のしきい値 com.snc.samp.windowserver.license.threshold **注:** このプロパティは、 のMicrosoft公開者パックをアクティブ化ソフトウェア資産管理した場合にのみ使用できます。	Windows Server Datacenter Edition ライセンスMicrosoftと Windows Server Standard Edition ライセンスのコスト比率Microsoftに基づいて、Windows Server クラスター内のMicrosoft物理ホストまたは仮想マシン (VM) にライセンスを付与する方がコスト効率が高いかどうかを判断します。 各ライセンス タイプの現在の表示価格に基づくと、デフォルトの原価比率の値は 4.59 です。エンタイトルメントにこれらのライセンスの種類に対して異なる価格が含まれている場合は、Windows Server Datacenter Edition ライセンスの平均価格 Microsoft を Windows Server Standard Edition ライセンスの平均価格 Microsoft で割ることで、この値を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
使用ServiceNow ソフトウェア資産管理およびディスカバリーライセンスコンプライアンスのためIBM com.snc.samp.ibm.use_samp_ibm_licensing 注: このプロパティは、アプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理の公開者パックIBMをアクティブ化ソフトウェア資産管理してインストールIBMした場合にのみ使用できます。アプリケーションのインストール方法の詳細については、「」を参照してください IBM認定ソフトウェア資産管理プロバイダー統合のアプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理の要求。	アプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理のデータを使用してIBM、アプリケーションでソフトウェア資産管理ライセンスを調整IBMできるようにします。
デバイスのデフォルト地域IBM sn_samp_ibm_lic.default_region 注: このプロパティは、アプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理の公開者パックIBMをアクティブ化ソフトウェア資産管理してインストールIBMした場合にのみ使用できます。アプリケーションのインストール方法の詳細については、「」を参照してください IBM認定ソフトウェア資産管理プロバイダー統合のアプリケーションのライセンスコンプライアンスソフトウェア資産管理の要求。	物理ホストがデフォルトのリージョンにまだ関連付けられていない場合、そのリージョンに自動的に関連付けます。 IBM ライセンス使用率は、リージョンに関連付けられている物理ホストについてのみ計算できます。 デフォルト値は 北米と南米です。
次を使用して ILMT に接続： sn_samp_ibm_lic.ilmt_api_version 注: このプロパティは、 のIBM公開者パックをアクティブ化ソフトウェア資産管理した場合にのみ使用できます。	サーバーとNow Platformプラットフォーム間のIBM接続を作成するために使用している License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory 統合 API のバージョンIBMを示します。
ソフトウェアアシュアランス付き SQL Server Enterprise のMicrosoftコストに対する、ソフトウェアアシュアランス付き SQL Server Standard のエンタイトルメントコストMicrosoftの比率 com.snc.samp.sqlserver.standard_sa.to.enterprise_sa.cost.ratio 注: このプロパティは、 のMicrosoft公開者パックをアクティブ化ソフトウェア資産管理した場合にのみ使用できます。	ソフトウェアアシュアランス付きの SQL Server Standard Edition ライセンスとMicrosoftソフトウェアアシュアランス付き SQL Server Enterprise Edition ライセンスのコスト比率Microsoftに基づいて、SQL Server クラスター内のMicrosoft物理ホストまたは仮想マシン (VM) にライセンスを付与する方がコスト効率が高いかどうかを判断します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	各ライセンス タイプの現在の表示価格に基づくと、デフォルトの原価比率の値は 0.25 です。エンタイトルメントにこれらのライセンスの種類に対して異なる価格が含まれている場合は、ソフトウェア アシュアランス付きの SQL Server Standard Edition ライセンスの Microsoft 価格をソフトウェア アシュアランス付きの SQL Server Enterprise Edition ライセンスの Microsoft 価格で割ることで、この値を変更できます。
ソフトウェアアシュアランス以外のエンタイトルメントのコストに対するソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントのエンタイトルメントコスト Microsoft の Microsoft 比率 com.snc.samp.ms.sa.to.nonsa.cost.ratio **注:** このプロパティは、 のMicrosoft公開者パックをアクティブ化ソフトウェア資産管理した場合にのみ使用できます。	SQL Server クラスターでソフトウェア アシュアランスの有無にかかわらずMicrosoft ライセンスを使用する方がコスト効率が高いかどうかを判断しますMicrosoft 。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、ソフトウェア アシュアランスありとソフトウェア アシュアランスなしのSQL Server ライセンスのMicrosoftコスト比率に基づいて、この決定を行います。 各ライセンス タイプの現在の表示価格に基づくと、デフォルトの原価比率値は 1.25 です。エンタイトルメントにこれらのライセンスタイプの異なる価格が含まれている場合は、ソフトウェアアシュアランス付きのSQL Serverライセンスの価格 Microsoft をソフトウェアアシュアランスなしのSQL Serverライセンスの Microsoft 価格で割ることで、この値を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
com.snc.samp.use_lifecycle_approximation	ライフサイクルレポートを生成するときに、おおよそのライフサイクル日付を含めるかどうかを決定します。このプロパティはデフォルトで有効になっています。 このプロパティを選択すると、公開者が提供する一般提供日、公開情報、業界平均の上に構築される概算ロジックに基づいて、ライフサイクルの日付を自動生成できます。

カスタマイズを元に戻すソフトウェア資産管理

アプリケーションを初めてインストール ソフトウェア資産管理 した後、または からアップグレード Software Asset Management Foundation プラグインした後は、すべての機能のカスタマイズを元に戻す必要があります。アプリケーションの [カスタマイズを元に戻す] モジュールは、 ソフトウェア資産管理 インストールまたはアップグレードプロセス中にスキップされた基本構成に関連する ソフトウェア資産管理 カスタマイズされたファイルを元に戻すことができます。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

[カスタマイズを元に戻す] モジュールには、[ソフトウェア資産がスキップされたファイル] リストが表示されます。関連する ソフトウェア資産管理 すべてのカスタマイズと構成は、ベースアプリケーションバージョンに戻すことができます。

機能を確実に機能させるには、次の後にカスタマイズを元に戻す必要があります。

- Professional (com.snc.samp) プラグインの ソフトウェア資産管理 新規インストール
- Foundation (com.snc.sams) プラグインからの ソフトウェア資産管理 アップグレード

を使用して カスタマイズを元に戻す ことも できます システム診断 > アップグレード履歴 ナビゲーション。

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > 管理 > カスタマイズを元に戻す をクリックして、[ソフトウェア資産がスキップされたファイル] リストを表示します。
2. [元に戻す] を選択すると、状態が [スキップ] のすべてのファイルが基本アプリケーションバージョンに戻されます。
3. カスタマイズの概要で、スキップされたすべてのファイルの性質が [元に戻されました] になっていることを確認します。
   アップグレードの詳細 [sys_upgrade_history_log] テーブルでスキップされたすべてのファイルの性質を確認し、更新バージョン [sys_update_version] テーブルで現在の OOB バージョンを確認することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアライブラリーを管理

「ソフトウェア・ライブラリの管理」モジュールを使用して、ソフトウェア・ライブラリ・データをオンプレミス・インスタンス(自動ソフトウェア・ライブラリ更新を受信するクラウド以外のインスタンス)に手動でアップロードします。コンテンツサービスに参加する ソフトウェア資産管理 ために、正規化コンテンツをエクスポートすることもできます。

始める前に

必要なロール:admin (モジュールを有効にするため)、sam_admin (ソフトウェアライブラリを管理するため)
[ソフトウェアライブラリーの管理] モジュールをアクティブ化し、次に移動してソフトウェアライブラリーコンテンツのインポートまたはエクスポートを管理します システム定義 > モジュール. [ソフトウェアライブラリーの管理] モジュールの [アクティブ] 列が true に設定されていることを確認します。

このタスクについて

「ソフトウェア・ライブラリーの管理」モジュールを管理ナビゲーションに ソフトウェア資産管理 表示するには、「システム定義」モジュールを使用してアクティブ化する必要があります。

ソフトウェア・ライブラリのコンテンツ・データは、zipファイルで提供されます。zip ファイルには、パフォーマンスを向上させるために一貫したファイルサイズのファイルが含まれています。インポート中、データテーブルはバックグラウンドプロセス中に XML ファイルのコンテンツで正常に更新されます。

ワーカーは、1 つ以上のバックグラウンド スレッドで何らかの作業を実行するオブジェクトです。複数の XML ファイルを同時にインポートするには、ワーカーを使用します。同時に実行されるワーカーの数を変更するには、使用されているワーカーの数で次の 2 つのシステムプロパティを更新します。

- glide.sys.schedulers
- com.snc.samp.recon.max_worker

1 GB を超える添付ファイルをアップロードするには、コンテンツ zip ファイルのサイズを反映するようにシステムプロパティを更新する *`com.glide.attachment.max_size`* 必要があります。

また、データをエクスポートして参加することもできます ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 正規化サービスの改善に貢献します。

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > 管理 > ソフトウェアライブラリーを管理.

2. ソフトウェア・ライブラリ・コンテンツ・ファイルをインポートするには:

a. 「 ソフトウェア・ライブラリ・コンテンツ・ファイルのインポート」を選択します。

b. 「 コンテンツ・ファイルの添付 」を選択して、ソフトウェア・ライブラリ・コンテンツ(.zip)ファイルを選択します。

c. [インポート実行] を選択します。
[ファイルのインポート] 関連リストで、処理済みのファイルの数とまだ処理中のファイルの数を確認して、インポートの進行状況を追跡します。[ファイルをインポート] 関連リストのすべてのデータは、SAMP インポートファイル [samp_import_file] テーブルに保存されます。インポートプロセスのより高度なビューについては、資産ジョブログ [asset_job_log] テーブルを表示することもできます。

3. 正規化コンテンツをエクスポートするには:

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. 「コンテンツサービスオプトイン:正規化コンテンツのエクスポート」を選択します。

b. [エクスポートの実行] を選択します。

c. エクスポートの状態が [ダウンロードの準備完了] になったら、 [更新] を選択します。

d. 開くか保存する添付ファイルを選択します。

クラシック版で ソフトウェア資産管理 パブリッシャーの品番 (PPN) の提案を表示する

クラシックアプリケーションで ソフトウェア資産管理 、カスタム PPN と DMAPS のコンテンツサービス提案を表示します。

始める前に
PPN の提案は、コンテンツサービスでカスタム PPN に対応する一致が見つかった場合にのみ使用できます。PPN 提案レコードは、部品番号提案 [samp_sw_part_number_suggestion] テーブルに保存されます。

必要なロール：sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > 部品番号の提案.
2. 提案レコードを開いて、部品番号の提案ページを表示します。
   カスタム PPN の詳細は、部品番号の提案ページの上部に表示されます。ページの後半には、推奨部品番号の詳細が表示されます。カスタム PPN が使用されているすべてのエンタイトルメントが [影響を受けるエンタイトルメント] タブに表示されます。カスタム DMAP が使用されているすべてのソフトウェアモデルが [影響を受けるソフトウェアモデル] タブに表示されます。影響を受けるソフトウェアモデルが存在しない場合、このタブは表示されません。
3. [承認] または [却下] を選択します。
   - 承認:カスタム PPN と DMAP は、コンテンツサービスの PPN と DMAP に置き換わります。影響を受けるエンタイトルメントで、コンテンツサービス PPN が置き換えられます。同様に、ソフトウェアモデルでコンテンツサービス DMAP が置き換えられます。
   - 却下:このレコードのステータスが [却下] に変更され、カスタム PPN を引き続き使用します。

ソフトウェア資産管理 参照

ソフトウェア資産管理 のフォームへの入力に役立つ説明を参照してください。

ソフトウェア資産管理 ロール

ソフトウェア資産管理 は、次のロールを追加します。

ソフトウェア資産管理 ロール

ロール	説明	ロールを含む
ソフトウェア資産管理管理者 [sam_admin]	このロールには、アプリケーションへの ソフトウェア資産管理 フルアクセス権があります。このロールは、エンタイトルメントのインポート、再利用ルールの管理、調整の実行、カスタム製品とパターン正規化ルールの作成、コンテンツサービスの設定、およびその他の管理機能に必要です。	• sam_user • sam_spend_import • asset • model_manager • contract_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア資産管理 ロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
		注: sam_spend_import ロールは、 とともにインストール ソフトウェア支出検出されます。it_demand_user ロールは PPM Standard とともに自動的にインストールされなくなりました。
ソフトウェア資産管理 ユーザー [sam_user]	このロールは、管理を除くすべての ソフトウェア資産管理 機能にアクセスできます。 がインストールされている場合 ソフトウェア支出検出 、このロールは、財務トランザクションデータのインポートとコンテンツサービスセットアップを除くすべての ソフトウェア支出検出 機能にアクセスできます。	• pa_viewer • cmdb_read • report_user • sn_remote_dir_sync.reader
ソフトウェア資産管理 開発者 [sam_developer]	プラットフォーム上でスクリプトを記述できます。sys_admin に付与される script-writing 権限に相当します。このロールを持つユーザーは、トレーニングを受けた ServiceNow 管理者である必要があります。	sam_admin

SaaS ライセンス管理 ロール

ロール	説明	含んでいるロール
SaaS ライセンス管理 統合管理者 [sam_integrator]	SaaS 統合プロファイルの作成と管理に必要なロール。	• sam_user • connection_admin • flow_operator

ソフトウェア支出検出 ロール

ロール	説明	含んでいるロール
ソフトウェア支出検出 ユーザーをインポート [sam_spend_import]	財務トランザクションデータをインポート ソフトウェア支出検出するために必要なロール。このロールを持つユーザーは、コンテンツサービス設定を除くすべての ソフトウェア支出検出 機能にアクセスできます。このロールを持つユーザーは、追加のロールが付与されないと表示 ソフトウェア資産管理 できません。	pa_viewer

[store-future: BEGIN review]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ジョブスケジュール

ジョブスケジュールは、Software Asset Management で特定の時間に、または繰り返しスケジュールで実行できる自動化された作業です。

スケジュール設定済みジョブのリスト

名前	説明	依存関係	実行頻度
SAM - 同時消費 Citrix CAL レコードを計算	このジョブは、SAM ライセンス消費履歴テーブル [samp_license_consumption_history] テーブル内のServiceNowライセンスを管理しCitrix、新しいライセンス消費レコードを維持して、90 日以内のレコードが確実に最新であるようにします。ソフトウェアモデルや製品などの関連情報がまだ存在しない場合は、入力されます。 このスクリプト *SAMCitrixUtil* は、このデータを分析して 90 日以内の各ソフトウェア モデルの最大使用率を見つけ、それに応じてクライアント アクセス [samp_sw_client_access] テーブルで各 Citrix 製品へのアクセスが許可されているユーザーの数を更新します。このデータは、SAM 調整で使用されている権限の数を決定するのに役立ちます。	• Citrix 公開者パック (com.sn_samp_citrix) がインストールされている必要があります。 • Citrix 製品はアプリケーション内で ソフトウェア資産管理 管理する必要があります。	日次
SAM - ソフトウェアモデルのライフサイクルとスイートを作成する	• スイートコンポーネントのソフトウェアモデルが存在しない場合は生成し、スイートの関係を確立します。 • データの計算、最新の更新との同期の確認、ソフトウェアモデルのスイートコンポーネントとコンテンツライブラ	なし	週次

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール設定済みジョブのリスト (続く)

名前	説明	依存関係	実行頻度
	リの間の不一致のチェックに使用しますServiceNow コンテンツライブラリ。 • 検出マップからの推定率などの情報が変更されるたびにソフトウェアモデルに転送します。		
SAM:ディスカバリーモデルの正規化	ソフトウェアインストールレコード用に作成された ServiceNow ディスカバリーモデルの正規化を自動化します。 ソフトウェア資産管理 この正規化プロセス用に事前定義されたルールとコンテンツ コンテンツライブラリ を使用します。	• ソフトウェアモデルとソフトウェアインストールレコードが に存在するServiceNow必要があります。 • 検出モデルも存在している必要があります。	日次
SAM - ソフトウェアライフサイクルレポートのデータを生成する	では Software Asset ワークスペース 、提供終了、サポート終了、または延長サポート終了の製品を可視化するサポート終了製品レポートが提供されます。各カテゴリにドリルダウンして、提供が終了した製品の合計数、ServiceNow 内のそれらの製品に存在するソフトウェアモデル、それらの製品のインストール数とインストールの詳細などの情報を分析できます。 このスケジュール設定済みジョブは、このレポートの一部としてデータを生成して分析します。ジョブロジックは、ソフトウェアインストールやソフトウェアモデルから取得した ServiceNow コンテンツライブラリ製品ライフサイクル情報などのさまざまなデータ	• ソフトウェアモデルとソフトウェアインストールレコードが に存在するServiceNow必要があります。 • ソフトウェアモデルのライフサイクルデータは、 からServiceNow コンテンツライブラリ取得する必要があります。	日次

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール設定済みジョブのリスト (続く)

名前	説明	依存関係	実行頻度
	ポイントを分析して、提供終了製品レポートに情報を表示します。		
SAM - ソフトウェアモデルのインストール数を取得	ソフトウェアモデルのインストール数を確認し、ソフトウェアモデルテーブルの [インストール数] フィールドを更新します。この情報は、調整フェーズで役立ちます。SAM は、検出モデルとソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルを相互参照してインストールをそれらの検出モデルと照合することで、ソフトウェアモデルのソフトウェアインストールの数を収集します。	• ソフトウェアモデルとソフトウェアインストールレコードが ServiceNow に存在する必要があります。 • 検出モデルが存在する必要があります。	週次
SAM - ソフトウェア資産管理 プレミアムコンテンツのアップロード	正規化のために、インスタンス ServiceNow コンテンツサービス から認識されないデータまたは正規化されていないデータを共有します。共有をオプトインしたデータのみを厳密に共有します コンテンツサービス。データは、最新の コンテンツサービス プルで正規化ジョブが完了した後に共有されます。	と コンテンツサービスのデータ共有をオプトインしている必要があります。	日次
SAM - 既存の再利用候補を更新しています		の構成 ソフトウェア資産管理 が完了し、再利用ルールが存在する必要があります。	週次

[End]

ライセンス契約タイプ

ライセンス契約のタイプによって、製品使用権が決まります。

合意タイプ

パブリッシャーパックの契約タイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

公開者パック	合意タイプ
Adobe	• 汎用 • エンタープライズチームライセンス契約 (ETLA) • 累積ライセンスプログラム (CLP) • トランザクションライセンスプログラム (TLP) • 値インセンティブプラン (VIP)
Citrix	汎用
一般	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA)
カスタム	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA)
IBM	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA) • 国際プログラムライセンス契約 (IPLA):ライセンスへの影響はありません。 • IBM 顧客契約 (ICA):ライセンスへの影響はありません。 • IBM 無制限ライセンス契約 (IULA)
Microsoft	• 汎用 • 法人契約 • 企業登録 • 法人サブスクリプション契約 • Microsoft 製品およびサービス契約 • オープンライセンス • オープン値 • オープン値サブスクリプション • 登録を選択 • ライセンスを選択 • プラスを選択

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

公開者パック	合意タイプ
Oracle	• 汎用 • 無制限のライセンス契約 (ULA)
VMware	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA) • エンタープライズ購入プログラム (EPP):ライセンスへの影響はありません。 • Volume Purchasing Program (VPP): ライセンスへの影響はありません。

検出モデルのフィールド

[検出モデル] フォームと関連リストのフィールドの説明。

Discovery モデルフォーム

フィールド	説明
表示名	レコード リストに表示されている Discovery モデルの名前。この値は、検出された公開者、製品、バージョンを使用して自動的に生成されます。
標準化ステータス	標準化プロセスの [ステータス] : • 正規化済み • 一部正規化済み • 正規化されたパブリッシャー • 一致項目は見つかりませんでした • 手動で標準化済み • 新規 **注:** 正規化提案レコードが存在する場合は、[正規化ステータス] フィールドの横に警告アイコンが表示されます。 注意アイコンをクリックすると、検出モデルの 正規化の提案 レコードが開きます。
パブリッシャー	ソフトウェアの正規化された公開者。
製品	ソフトウェアの正規化された製品名。
バージョン	ソフトウェア製品の正規化されたバージョン。
検出された公開者	検出されたソフトウェアの公開者。
検出された製品	検出されたソフトウェアの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
検出されたバージョン	検出されたソフトウェアのバージョン。
コメント	
製品タイプ	• 子:メインとなるソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 • ドライバー:デバイスを制御するソフトウェア製品。 • ライセンス可能:ライセンス可能なソフトウェア製品。 • ライセンス不可:ライセンス不可のソフトウェア製品。 • パッチ:既存のコンピューター プログラムを更新、修正、または改善するために設計されたソフトウェア製品。 • 不明：検出されません。 不明の製品タイプについては製品タイプを別の値に変更することができます。 製品タイプが変更されると、Discovery モデルの標準化ステータスが に更新されます。 調整プロセスでは、ライセンス可能なソフトウェア Discovery モデルのみが考慮されます。
プラットフォーム	プラットフォームを含む： • Windows • macOS • UNIX
言語	言語が含まれます: • オランダ語 • 英語 • フランス語 • ドイツ語 • イタリア語 • スペイン語 検出された場合は、さらに多くの言語が生成されます。
エディション	ソフトウェアの正規化されたエディション。
完全バージョン	ソフトウェアの正規化された完全バージョン。
コンテンツサービスから除外	ソフトウェア検出モデルの詳細が Software Asset Management コンテンツサービスへの転送から除外するオプション。 値は カスタム製品 フォームで設定されます。 注: このフィールドは、コンテンツサービスに ソフトウェア資産管理 オプトインしたカスタム製品に対してのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コメント] セクション

フィールド	説明
製品タイプ	• 子:メインとなるソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 • ドライバー:デバイスを制御するソフトウェア製品。 • ライセンス可能:ライセンス可能なソフトウェア製品。 • ライセンス不可:ライセンス不可のソフトウェア製品。 • パッチ:既存のコンピューター プログラムを更新、修正、または改善するために設計されたソフトウェア製品。 • 不明：検出されません。 不明の製品タイプについては製品タイプを別の値に変更することができます。 製品タイプが変更されると、Discovery モデルの標準化ステータスが に更新されます。 調整プロセスでは、ライセンス可能なソフトウェア Discovery モデルのみが考慮されます。
プラットフォーム	プラットフォームを含む： • Windows • macOS • UNIX
言語	言語が含まれます: • オランダ語 • 英語 • フランス語 • ドイツ語 • イタリア語 • スペイン語 検出された場合は、さらに多くの言語が生成されます。
エディション	ソフトウェアの正規化されたエディション。
完全バージョン	ソフトウェアの正規化された完全バージョン。
コンテンツサービスから除外	ソフトウェア検出モデルの詳細が Software Asset Management コンテンツサービスへの転送から除外するオプション。 値は カスタム製品 フォームで設定されます。 **注:** このフィールドは、コンテンツサービスに ソフトウェア資産管理 オプトインしたカスタム製品に対してのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ソフトウェアインストール] 関連リスト

フィールド	説明
表示名	レコード リストに表示されているソフトウェア インストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者の名前。
バージョン	ソフトウェアのバージョン。
インストール先	ソフトウェアがインストールされているハードウェアの名前。

ソフトウェア インストール フィールド

ソフトウェア インストール フォームと関連リストのフィールドの説明。

注:
このトピックでは、[ソフトウェア インストール] フォームで使用可能なフィールドのみについて説明します。[ソフトウェア インストール] フォームとソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルの両方で使用できるすべてのフィールドの詳細については、「 ソフトウェア インストール テーブルの属性のレビュー 」を参照してください。

ソフトウェアインストールフォーム

フィールド	説明
表示名	レコード リストに表示されているソフトウェア インストールの名前。検出された製品名とエディションを組み合わせることができます。
検出モデル	インストール済みソフトウェアを表わすソフトウェア Discovery モデル。
公開者	ソフトウェアの公開者。
バージョン	ソフトウェアのバージョン。
エディションのオーバーライド	ソフトウェアのエディション設定の上書き。 Office 365 サブスクリプションの場合、このフィールドはソフトウェアサブスクリプション レコードから設定されます。 ソフトウェアのエディションが検出されなかった場合、ディションをすでにご存知であればこのフィールドを編集してエディションの設定を行えるため、調整を正常に実行できます。
[インストール] タブ	
製品 ID **注:** このフィールドは廃止されました。ただし、[インストール] タブには空の値で表示されます。	メーカーによって割り当てられた製品の一意の ID 検出で見つけられます。
インストール場所	ソフトウェアがインストールされるパス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
インストール日	ソフトウェアがインストールされた日付。
リビジョン 注: このフィールドは廃止されました。ただし、[インストール] タブには空の値で表示されます。	ソフトウェアのリビジョン。
インスタンスキー	ソフトウェアのインスタンス化に対する一意の ID ソフトウェアのインストール時に自動的に生成されます。
インストール先	ソフトウェアのインストール先であるハードウェア。
アンインストール文字列	ソフトウェアのアンインストールに使用する識別子。
ISO シリアル番号	ソフトウェアの ISO 番号。
[調整] タブ	
エンタイトルメント 注: このフィールドは廃止されました。ただし、[調整] タブには空の値で表示されます。	このインストールで使用されるエンタイトルメント。
推定スイート	このインストールが属する推定スイートモデル。
スイートから省略	調整中にソフトウェアインストールをスイートのコンポーネントとしてカウントしない場合はチェックボックスを選択します。

正規化ステータス

検出モデルの正規化ステータスの説明。

標準化ステータスには、次の 6 種類の異なる結果があります。

ステータス	説明
正規化済み	検出モデルは、公開者、製品、バージョンのフィールドに基づいて完全に正規化されます。編集可能なフィールドはありません。 特定の条件下では、通常は読み取り専用である特定のフィールドを編集できます。編集すると、ステータスが [手動で正規化] に変わります。 [パブリッシャー] フィールドと [製品] フィールドのみが検出されているが、製品タイプが [ライセンス不可]、[子]、[ドライバー]、または [パッ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータス	説明
	チ] である場合、ステータスは [正規化済み] になります。
一部正規化済み	検出モデルは、公開者と製品フィールドのみに基づいて部分的に正規化されます。この場合、バージョンフィールドは編集可能であり、その情報が追加されると、正規化ステータスは **[Manually Normalized]** に変更されます。
正規化されたパブリッシャー	公開者フィールドのみに基づいて部分的に正規化された検出モデル。この場合、バージョンフィールドと製品フィールドは編集可能であり、その情報が追加されると、正規化ステータスは **[Manually Normalized]** に変更されます。
一致項目は見つかりませんでした	正規化プロセスで、検出モデルの 3 つの主要フィールドのいずれもソフトウェアライブラリのルールと一致させることができませんでした。この場合、すべてのキーフィールドが編集可能であり、情報が追加されると、正規化ステータスは **[Manually Normalized]** に変更されます。 ソフトウェアの正規化ルールが存在しない場合、「一致項目は見つかりませんでした」ステータスが発生することがあります。 たとえば、組織が組織固有のカスタム ソフトウェアを作成した場合です。
手動で標準化済み	新規、一致項目は見つかりませんでした、一部正規化済み、またはパブリッシャーによって正規化された検出モデルのキーフィールドが手動で入力されると、検出モデルは手動で正規化されます。
新規	ソフトウェア検出モデルでは、正規化プロセスがまだ実行されていません。

ソフトウェアモデル フィールド

ソフトウェアモデルフォームと関連リストフィールドの説明。

ソフトウェアエンタイトルメントに正しい PPN を入力すると、ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。スイートコンポーネント、スイート (親)、ソフトウェア製品ライフサイクル、評価指標属性、ダウングレード権限、すべてのバージョンの製品ライフサイクルなどのソフトウェアモデルフォームのタブは、自動的に入力されます。ただし、要件に基づいてソフトウェアモデルの詳細を手動で追加または更新することはできます。

詳細

このリストには、モデルのステータス、製品の詳細、ライセンス、条件、製品カタログ情報など、ソフトウェアモデルの詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソフトウェアモデルのステータス	
表示名	モデルの名前。システム プロパティ *glide.cmdb_model.display_name.shorten* は、ソフトウェア モデル表示名の生成方法を制御します。admin ロールを持つユーザーは、このプロパティを設定できます。 デフォルトの形式は、公開者 + 製品 + バージョン + エディション + プラットフォーム + 言語です。 [プラットフォーム] または [言語] フィールドが [すべて] に設定されていない場合は、値が追加されます。
ステータス	モデルのステータス。選択肢として [本番稼働中]、[廃止済み]、 [販売済み] があります。
製品詳細	
公開者	ソフトウェアの公開者。提供されているルックアップリストを使用することができます。 **注:** 公開者は、会社 [core_company] テーブルへの参照です。内部で使用している会社のみが表示されます。
製品	ソフトウェアの製品名。ソフトウェア Discovery モデル フォームで提供されているものと同じルックアップリストです。必要に応じて、ルックアップリストからカスタム製品を作成できます。 **注:** ソフトウェア公開者 [samp_sw_publisher] テーブルと会社 [core_company] テーブル間の関係が正しくない場合、その公開者の製品が表示されないことがあります。 パブリッシャーと製品が存在しない場合は、 カスタム ソフトウェア製品を追加する.
バージョン条件	[バージョン] フィールドの条件修飾子。 • 次で始まる • 次の値に等しい • は何でも デフォルトは [何でも] です。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
エディション条件	エディションフィールドの条件修飾子。 • 次で始まる • 次の値に等しい • は何でも

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	デフォルトは [何でも] です。
エディション	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のエディション。
ディスカバリーマップ	どのソフトウェア Discovery モデルがソフトウェアモデルにマッピングされるかを決定する一連の条件。購入した権限は、条件を満たすソフトウェア検出モデルにのみ適用されます。この照合は調整にとって重要です。 事前定義されたスイートを持つ Discovery モデルは、[定義されたスイート] フィールドに表示されます。[はい] の値は、Discovery モデルがスイート (親) であることを示します。 提供されている検出マップを使用することも、代わりに条件情報を直接指定することもできます。sam_adminロールを持つユーザーは、カスタム検出マップの作成を選択できます。 検出マップを選択すると、「多くの基礎となるソフトウェアモデルが作成されます」というメッセージ が表示される場合があります。これらは、スイートコンポーネント、ダウングレード権限、または次のバージョンの一部である可能性があります。完了時に検証してください。このメッセージは、ソフトウェアモデルのスイートコンポーネントが 50 個以上あり、かつ以下の条件のいずれかが満たされた場合にのみ表示されます。 • スイートコンポーネントのソフトウェアモデルが存在しません • ダウングレード権限のソフトウェアモデルが存在しません • 次のバージョンのソフトウェアモデルが存在しない **注:** 既存のソフトウェアモデルの検出マップを変更すると、警告メッセージが表示されます。警告メッセージは、ソフトウェアモデルおよび関連するエンタイトルメントのダウングレード権限も変更されることを知らせるものです。たとえば、ソフトウェアモデルの検出マップを DMAP1 から DMAP2 に変更してソフトウェアモデルを保存すると、DMAP1 に関連付けられたすべてのダウングレード権限がソフトウェアモデルから削除され、DMAP2 に関連付けられたダウングレード権限が設定されます。ただし、[ソフトウェアエンタイトルメント] フォームレイアウトの [契約タイプ] フィールドの値が [汎用] の場合、そのエンタイトルメントのダウングレード権限は変更されません。 [**Show Matching Discovery Models**] 関連リンクを選択して、ソフトウェアモデルにマッピングされる検出モデルを確認できます。 **[Publisher]** フィールドと **[Product]** フィールドが空の場合、値は検出マップに従って自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
次のバージョン	製品の次のバージョンを表す、同じメーカーの別のソフトウェア モデルへの参照。 次のバージョンは検出マップで定義され、コンテンツサービスの一部です。次のバージョンは、次の 2 つの方法のいずれかでソフトウェアモデルに入力されます。 • ソフトウェアモデルを作成するか、ソフトウェアモデルの検出マップを更新すると、[保存] を選択するとビジネスルールがトリガーされます。検出マップに次のバージョンが定義されている場合は、次のバージョンが入力されます。 • コンテンツサービスに既存のソフトウェアモデル上の関連する検出マップの次のバージョンが指定されている場合、スケジュールジョブ *SAM- Create downgrades/upgrades for a software entitlement* が実行されると次のバージョンが入力されます。 **注:** 次のバージョンは、スケジュール設定済みジョブが *SAM- Create downgrades/upgrades for a software entitlement* 毎週実行された後にのみ入力されます。 ただし、[次のバージョン] フィールドに値を入力した場合、その値は上書きされません。 次のバージョンのソフトウェアモデルが存在しない場合は、ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。新しく作成されたソフトウェアモデルがダウングレード権限と子コンポーネントで構成されている場合は、これらのコンポーネントが自動的に作成されます。 次のバージョンがソフトウェアモデルに設定されると、関連する無期限、無期限 + メンテナンス、またはアクティブなメンテナンスを持つメンテナンスエンタイトルメントは、最新のソフトウェアモデルバージョンに移動されます。 **注:** メンテナンスの有効期限が切れた無期限、無期限 + メンテナンス、またはメンテナンスエンタイトルメントは、最新のソフトウェアモデルに移行されません。 ダウングレード権限は、この最新バージョンのソフトウェアモデルで作成され、最新のソフトウェアモデルに関連付けられたエンタイトルメントに伝播されます。 **注:** ダウングレードのサポートは、ダウングレード権限をサポートするライセンス測定基準でのみ利用できます。 [アップグレード履歴] 関連リストで、[新しいアップグレードソフトウェアモデル] フィールドが最新バージョンに設定され、[古いソフトウェアモデル] フィールドがアップグレードされたソースソフトウェアモデルに設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
製品分類	正式な国連標準製品およびサービスコード (UNSPSC) 分類。 このリリースから、製品分類が拡張され、コンテンツサービスライブラリから入手できる包括的な UNSPSC コードセットが追加されました。UNSPSC コードの更新は、毎週のコンテンツ サービス ライブラリの更新を通じても利用できます。
ソフトウェアライセンス	
製品タイプ	製品タイプの値には、 **Child**、 **Driver**、 **Licensable**、 **Not Licensable**、 **Patch**、および **Unknown** があります。 **注:** 調整プロセスでは、ライセンス可能なソフトウェア製品のみが考慮されます。
管理下のライセンス	指定したソフトウェアのライセンスを管理することを示すオプション。このオプションをオフにすると、ソフトウェアモデルは調整結果に含まれません。 このオプションがデフォルトで選択されています。また、アップグレードされたソフトウェアモデルに対しても選択されます。 アップグレードし、このオプションでソフトウェアモデルが選択されている場合は、一括更新を実行し、調整結果に含めないソフトウェアモデルから [管理下のライセンス] オプションをクリアできます。調整を再度実行すると、オプションが選択されたままのソフトウェアモデルのみが結果に表示されます。
所有者	モデルの責任者。
消費単位	消費可能なソフトウェア単位の測定単位。
条件	
条件名	ソフトウェアモデルに対して定義する条件の名前。
ソフトウェア インストール条件	調整中に特定のソフトウェアインストールのみを考慮する条件。指定したソフトウェアインストール条件を満たすソフトウェアインストールのみが調整に含まれます。たとえば、を購入し Microsoft Visual Studioた場合は、非本番環境でライセンスを使用するためだけに使用する Visual Studio ソフトウェアのインストール条件を設定します。また、 の Visual Studioコンポーネントモデルごとに個別のソフトウェアインストール条件を作成する必要があります。 **注:** [管理下のライセンス] オプションをオフにすると、指定したソフトウェアインストール条件を満たすソフトウェアインストールが代わりに調整から除外されます。 ソフトウェア資産管理クラシック アプリケーションでは、次のオプションを使用して、単一のソフトウェア モデルに複数のソフトウェア インストール条件を追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• フィルタ条件の追加:調整に含めるためにソフトウェアのインストールが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • 「OR」節の追加:ソフトウェアインストールが満たすことができる任意の条件を調整に含めるように指定できます。 Software Asset ワークスペースでは、次のオプションを使用して、1 つのソフトウェア モデルに複数のソフトウェア インストール条件を追加できます。 • **or**:ソフトウェアインストールが満たすことができる条件のいずれかを調整に含めるように指定できます。 • **and**:調整に含めるためにソフトウェアインストールが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット:調整に含めるためにソフトウェアインストールが満たすことができる追加の条件セットを指定できます。
サブスクリプション条件 **注:** このフィールドは、ソフトウェアサブスクリプションとオンプレミスソフトウェアインストールの両方を含むハイブリッドソフトウェアモデルを含む、サブスクリプションベースのソフトウェアモデルにのみ表示されます。	調整中にサブスクリプションのグループのみを考慮する条件。指定されたサブスクリプション条件を満たすサブスクリプションのみが調整に含まれます。たとえば、特定の地理的な場所またはビジネス部門からのサブスクリプションのみを調整するようにサブスクリプション条件を設定できます。 **注:** [管理下のライセンス] オプションをオフにすると、指定したソフトウェア条件を満たすサブスクリプションが代わりに調整から除外されます。 ソフトウェア資産管理クラシック アプリケーションでは、次のオプションを使用して、1 つのソフトウェア モデルに複数のサブスクリプション条件を追加できます。 • フィルタ条件の追加: 調整に含めるためにサブスクリプションが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • 「OR」節の追加: 調整に含めるためにサブスクリプションが満たすことができる任意の条件を指定できます。 Software Asset ワークスペースでは、次のオプションを使用して、1 つのソフトウェア モデルに複数のサブスクリプション条件を追加できます。 • **or**:調整に含めるためにサブスクリプションが満たすことができる任意の条件を指定できます。 • **and**:調整に含めるためにサブスクリプションが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット:調整に含めるためにサブスクリプションが満たすことができる追加の条件セットを指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	警告: すぐに利用可能なソフトウェアモデルにサブスクリプション条件を追加することはできません。関連するサブスクリプション ソフトウェアのサブスクリプション条件を定義するには、ソフトウェア モデルを作成する必要があります。
全般	
簡単な説明	モデルの簡単な説明。
プラットフォーム	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。 デフォルトは、macOSUNIXWindows
言語	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。標準化または手動で追加された後に入力されます。 デフォルトは [任意] です。
資産追跡戦略	モデルに対して資産を追跡する方法を上書きできます。
資産トラッキング単位	資産の測定単位。
コスト	ソフトウェアの単一の費用。
認定	ソフトウェアモデルの使用が承認されていることを示すオプション。
制限付きソフトウェア	ソフトウェアを制限するためのオプション。 制限付きソフトウェアは、環境にインストールすべきでないソフトウェアを識別します (不適切なソフトウェアや脆弱性のあるソフトウェアなど)。 削除候補が存在しない場合は、制限付きソフトウェアの削除候補を作成するスケジュール設定済みジョブが夜間に実行されます。
クライアントがアクセスするすべてのインストールにライセンスを付与 **注:** このフィールドは、DBサーバーソフトウェアモデルを除きOracle、クライアントアクセスレコードに関連付けられているソフトウェアモデルにのみ表示されます。	ソフトウェアインストール条件など、ソフトウェアモデルで指定した条件に基づいて、ソフトウェアがインストールされている構成アイテム (CI) にライセンスを付与するオプション。関連するクライアントアクセスレコードのいずれかが十分な権限がないためにライセンスされていない場合、すべての CI にライセンスが付与されていないままになります。 このオプションを無効にすると、クライアントアクセスレコードに追加された CI のみがライセンス付与されます。クライアントアクセスレコードに CI を追加する方法の詳細な手順については、「」を参照してください ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加 。 クライアントアクセスレコードに CI を追加した後にこのオプションを有効にすると、それらの CI はレコードから削除され、その後ソフトウェアモデルで指定した条件に基づいてライセンスが付与されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
データベースオプション **注:** このフィールドは、データベースソフトウェアモデルにのみ Oracle 表示されます。	Oracle データベースオプションまたは管理パック。各オプションまたはパックには個別のソフトウェアモデルが必要です。データベースオプションは、ソフトウェアモデルの識別子です。 このフィールドは、次の条件を満たすソフトウェアモデルを作成する場合に表示されます。 • パブリッシャは **Oracle** です。 • 製品は**DB**サーバーです。
データベースオプションの条件 **注:** このフィールドは、[データベースオプション] フィールドで指定されているように、データベースオプションまたは管理パックに関連付けられているデータベースソフトウェアモデルにのみOracle表示されます。	調整中にデータベースオプションまたは管理パックの Oracle サブセットのみを考慮する条件。指定したデータベース オプションの条件を満たすデータベース オプションまたは管理パックのみが調整に含まれます。 **注:** [管理下のライセンス] オプションをオフにすると、指定したデータベース オプション条件を満たすデータベース オプションまたは管理パックが調整から除外されます。 ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでは、次のオプションを使用して、単一のソフトウェアモデルに複数のデータベースオプション条件を追加できます。 • フィルター条件の追加: 調整に含めるためにデータベースオプションまたは管理パックが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **"OR"** 句の追加: 調整に含めるためにデータベース オプションまたは管理パックが満たすことができる任意の条件を指定できます。 Software Asset ワークスペースでは、次のオプションを使用して、1 つのソフトウェアモデルに複数のデータベースオプション条件を追加できます。 • **or**: 調整に含めるためにデータベース オプションまたは管理パックが満たすことができる任意の条件を指定できます。 • **and**: 調整に含めるためにデータベース オプションまたは管理パックが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット: 調整に含めるためにデータベース オプションまたは管理パックが満たすことができる追加の条件セットを指定できます。
サブスクリプションに適用	このソフトウェアモデルをサブスクリプションベースのソフトウェアスイートのみに適用するオプション。このオプションを有効にしない場合、このソフトウェアモデルは、ソフトウェアがインストールされているソフトウェアスイートにのみ適用できます。
割り当てのクライアントアクセスを自動生成します。	データベースサーバーのクライアントアクセスレコードを自動的に生成して管理する Oracle オプション。このオプショ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注: このフィールドは、データベースサーバーソフトウェアモデルにのみ Oracle 表示されます。 **重要:** このオプションを使用するには、Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを ServiceNow Storeから要求する必要があります。Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションの詳細については、「」を参照してくださいグローバルライセンスおよびアドバイザリーサービスのデータ収集 Oracle の要求。	ンを有効にすると、アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 最新の Oracle Database Server Named User Plus エンタイトルメント、関連する権限が割り当てられているユーザーとデバイス、および Oracle これらのユーザーとデバイスでサポートされているデータベースインスタンスに基づいて、クライアントアクセスレコードを生成および管理します。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、サポートされているデータベースインスタンスごとに個別のクライアントアクセスレコードを生成します。 アプリケーションが ソフトウェア資産管理 データベースサーバーのクライアントアクセスレコード Oracle を自動的に生成した後でこのオプションを無効にすると、それらのクライアントアクセスレコードは管理されなくなり、自動的に更新されなくなります。これらのクライアントアクセスレコードを手動で管理および更新して、正確かつ最新の状態に保つ必要があります。 このオプションを有効にし、データベース・サーバの Oracle 既存のクライアント・アクセス・レコードがすでにある場合は、自動的に生成されたすべてのクライアント・アクセス・レコードが管理され、自動的に再度更新されます。ただし、手動で生成されたすべてのクライアントアクセスレコードの管理と更新は引き続き行う必要があります。
Product Catalog	
カタログアイテム	製品カタログやサービスカタログに表示されるモデルに関する情報。 この情報は、モデルが製品カタログに公開されている場合にのみ表示されます。
説明	製品カタログに表示されるソフトウェア モデルの説明。
画像	ソフトウェアロゴの画像を追加することができます。ソフトウェアモデルが公開されている場合、このロゴがサービスカタログに表示されます。
アクティビティ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される作業指示タスクに関するメモ。

スイート コンポーネント

このリストには、ソフトウェアスイートコンポーネントの詳細が表示されます。ソフトウェアコンポーネントは、ソフトウェアスイート (親) のスイートの子です。詳細については、「ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート」を参照してください。

フィールド	説明
自動コンテンツ更	ServiceNow毎週のコンテンツ更新を通じて、更新されたスイート定義をインスタンスに自動的に送信できるようにするオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
新を許可	
スイート (子)	製品またはスイートの製品 (子)。たとえば、 Microsoft Word や Microsoft Excel は Office の Microsoft 子製品です。
必須	スイートコンポーネントの要件。スイートコンポーネントは、[オプション]、[常に必須]、または [必須グループ] です。 モデルをスイートとしてカウントするためにソフトウェアをインストールする必要がある場合は、[常に必須] と設定します。
スイートの関係性を想定	1 つ以上のスイートコンポーネントに複数のソフトウェアモデルが存在することを示す関係。したがって、スイート (親) とスイート コンポーネントの関係が想定されました。 作成されたスイートコンポーネントの関係が正しいことを確認してください。
スイートコンテンツ使用率	
推定率	スイートにインストールする必要があるコンポーネントの割合を指定します。システムプロパティ [スイートライセンスがなくなったときにコンポーネントライセンスを使用してコンプライアンスを最適化する] が true に設定されている場合、推定率は、スイートまたはコンポーネントのライセンスが最適かどうかを判断するしきい値を指定します。 たとえば、Microsoft Core Infrastructure Suite (CIS) には、推定率が 50% の Windows Server や System Center などの 2 つのコンポーネントがあります。この推定率は、個々のコンポーネントの 50% 以上がインストールされている場合に Microsoft CIS ライセンスを使用することを示唆しています。個々のコンポーネントのインストールが 50% 未満の場合は、コンポーネントライセンスの使用が最適です。
自動コンテンツ更新を許可	ソフトウェアモデルに対するコンテンツの自動変更を有効にするオプション。

スイート (親)

このリストには、ソフトウェアスイートの親の詳細が表示されます。詳細については、「ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	説明
スイート (親)	ソフトウェアが割り当てられるスイート (親)。たとえば、いくつかの一般的な Microsoft 製品の親スイートは Office のバージョン Microsoft です。
スイート (子)	
必須	スイートコンポーネントの要件。スイートコンポーネントは、[オプション]、[常に必須]、または [必須グループ] です。 モデルをスイートとしてカウントするためにソフトウェアをインストールする必要がある場合は、[常に必須] と設定します。
スイートの関係性を想定	1 つ以上のスイートコンポーネントに複数のソフトウェアモデルが存在するため、スイート (親) とスイートコンポーネントの関係が想定されたことを示す関係。 作成されたスイートコンポーネントの関係が正しいことを確認してください。

ソフトウェア製品ライフサイクル

このリストには、ソフトウェア製品バージョンのライフサイクル情報が表示されます。詳細については、「」の ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント「ソフトウェア製品ライフサイクルレポート」セクションを参照してください。

フィールド	説明
パブリッシャー	公開者の名前。
製品	ソフトウェア製品の名前。
バージョン	ソフトウェアのライセンス可能なバージョン
エディション	ソフトウェアのエディション。
完全バージョン	ソフトウェアの詳細なライセンス可能バージョン。
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。
ライフ サイクル タイプ	ライフサイクルタイプの値は次のとおりです。 • 内部 • 公開者
リスク	ライフサイクルフェーズに関する組織のリスクレベル。たとえば、パブリッシャーのサポート終了フェーズのリスクは中程度か、提供終了フェーズのリスクは高い可能性があります。 リスクタイプの値は次のとおりです。 • 非常に高 • 高 • 中

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 低 • なし
ライフ サイクル フェーズ	ライフサイクルフェーズの値は次のとおりです。 • プレリリース:ソフトウェアがプレリリースされた日付。 • 一般提供:ソフトウェアが一般市場に公開された日付。 • アップグレード **注:** [ライフ サイクル タイプ] フィールドが内部の場合のみ表示。 • 提供終了:ソフトウェアが発行元によって製造されなくなる日付。 **注:** メインストリームサポートと延長サポートを提供する固定ライフサイクルポリシーに従っているため、この値は適用 Microsoft されません。詳細については、「 固定ライフサイクル ポリシー 」を参照してください。 • サポート終了: 発行元によってソフトウェアが拡張されない日付。 この値は、固定ライフサイクルポリシー に従ったメインMicrosoftストリームサポートの終了日に対応します。 • 延長サポートの終了: 発行元がソフトウェアのサポートまたは更新プログラムを提供しなくなる日付。 この値は、固定ライフサイクルポリシー に従った延長Microsoftサポート終了日に対応します。
アクティブ	ソフトウェアのリスクを評価する際にライフサイクルを考慮するかどうかを示します。 **注:** デフォルトでは、アクティブなライフサイクルのみが表示されます。
ソース	ライフサイクルのソース。レコードが手動で作成された場合は、[内部] に設定されます。自動

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	的に作成された場合、このフィールドはに設定されます ServiceNow。
説明	ソフトウェア製品ライフサイクルの説明。

ソフトウェアエンタイトルメント

このリストには、ソフトウェアライセンスのエンタイトルメント期間が表示されます。詳細については、「」の ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント「ソフトウェアエンタイトルメント」セクションを参照してください。

フィールド	説明
表示名	ソフトウェアモデルの表示名に基づいて自動的に生成される名前。
ライセンス測定基準	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンス測定基準。ライセンス測定基準のオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。詳細については、「ソフトウェアライセンス測定基準」を参照してください。
評価指標グループ	ソフトウェアモデルフィールドに基づく測定基準グループ。それぞれの測定基準グループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンス測定基準があります。
ライセンス タイプ	このタイプによって、ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、またはソフトウェアの以前のバージョンからアップグレードされている権限かどうかが決まります。 さまざまなライセンスタイプは次のとおりです。 • 無期限 • 無期限 + ソフトウェアアシュアランス • ソフトウェア保証 • 登録 • ステップアップ • サブスクリプションステップアップ
アクティブな権限	このエンタイトルメントに付与された権限の数。
購入済みの権限	このエンタイトルメントのために購入された権限の数。
総コスト	単位コストから計算されたエンタイトルメントの総コスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスコストを上書き

このリストには、ソフトウェアエンタイトルメントの上書きライセンスコスト情報が表示されます。

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	ソフトウェアエンタイトルメントが属するソフトウェアモデル。
評価指標グループ	ソフトウェアエンタイトルメントが属する測定基準グループ。
ライセンス評価指標	ソフトウェアエンタイトルメントに指定されたライセンスの測定基準。
ライセンスコスト	ライセンスのコスト。
ライセンスとメンテナンスのコスト	メンテナンスライセンスのコストと組み合わせたライセンスのコスト。 調整中に調整コストを上書きするには、ライセンスコストまたはライセンスとメンテナンスコストを指定します。[**License Cost**] または **[License & Maintenance Cost]** フィールドに値が指定されていない場合、ソフトウェアエンタイトルメントコストが調整コストの計算に使用されます。 **注:** SaaS ライセンスの場合、ライセンスコストのみが適用されます。ライセンスとメンテナンスの費用は適用されません。

ソフトウェアモデルの結果

このリストには、ライセンスの測定基準の結果に関連付けられたソフトウェア モデルの結果が表示されます。

フィールド	説明
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。可能な値は [準拠] と [非準拠] です。 [ステータス] フィールドを選択すると、対応するソフトウェアモデルの結果レコードが開き、ソフトウェアモデルの結果に関する詳細情報を表示できます。[ソフトウェア モデルの結果] フォームの各フィールドの詳細については、「」を参照してください ソフトウェア モデルの結果を表示する 。
合意タイプ	合意タイプはソフトウェアエンタイトルメントに設定されます。 • 共通：汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA) • IBM: 汎用エンタープライズ・ライセンス契約 (ELA)、国際プログラム・ライセンス契約 (IPLA)、IBM 顧客契約 (ICA)、無制限レベル契約 (ULA) • Microsoft:汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	• Oracle:汎用無制限レベル契約(ULA) • VMware:汎用、エンタープライズライセンス契約 (ELA)、エンタープライズ購入プログラム (EPP)、ボリューム購入プログラム (VPP) 注: 契約タイプがエンタープライズレベル契約または無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールまたはライセンスなしのサブスクリプションがあっても、ステータス は準拠です。
ライセンスなしのインストール	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
調整コスト	必要な権限の最小数 (必要な権限 x 資格付与から権限当たりの平均価格) に基づいて、ライセンスなしのインストールを修復するための推定コスト。購入権利修復オプションからの最低コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。調整コストから出たライセンス供与過剰金額の合計です。
見込まれる削減	
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。

評価指標属性

このリストには、ソフトウェア モデルの評価指標属性情報が表示されます。

フィールド	説明
ソフトウェア モデル	評価指標属性に関連付けられたソフトウェア モデル。
評価指標グループ	ソフトウェア測定基準のグループ化。 ソフトウェアが適用されるオプションの公開者パックがインストールされている場合は、それらのオプションが表示されます。それ以外の場合、測定基準グループの値は [共通] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ライセンスの測定基準	調整の実行時にカウントされるソフトウェア ライセンスの測定基準 (ユーザーごと、デバイスごとなど)。
説明	ライセンスの測定基準値に基づいた属性タイプの説明。
属性	資格付与ライセンスの測定基準を調整するための属性タイプ。各属性タイプの詳細については、「」を参照してください ソフトウェアライセンス測定基準属性。
属性値	属性の値 (整数)。
属性値は制限されていない	属性を無制限に設定するためのオプション。

ベンダーカタログアイテム

このリストには、ベンダーに関連付けられているソフトウェアモデルの詳細が表示されます。詳細については、「ベンダーカタログアイテム」を参照してください。

フィールド	説明
名前	カタログアイテムの名前。
製品 ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
簡単な説明	アイテムの簡単な説明。
ベンダー価格	アイテムがベンダー カタログで販売されている価格。ベンダーが割引を提供する場合、ベンダー価格は割引価格を反映します。
ランク階層	このベンダーの製品やサービスの総合的な順位を表示します。

クライアントアクセス

この一覧には、クライアント アクセス ライセンス (CAL) を使用して特定のバージョンのサーバー ソフトウェアにアクセスしているユーザーまたはデバイスのクライアント アクセス レコードの詳細が表示されます。

フィールド	説明
名前	クライアントアクセスレコードの名前。名前を選択すると、対応するクライアント アクセス レコードが開き、関連付けられたクライアント アクセス ライセンス (CAL) が割り当てられているユーザーまたはデバイスや、関連付けられたサーバー ソフトウェアがインストールされている構成アイテム (CI) など、レコードに関するより詳細な情報を表示できます。クラシックアプリケーションのクライアントアクセスレコードソフトウェア資産管理の詳細については、「」を参照してくださいソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加。ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細を参照してください ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 。
カウント	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されている一意のユーザーまたはデバイスの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している Citrix 場合、[カウント] フィールドは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスの数に基づきます。
タイプ	クライアントアクセスレコードに関連付けられている CAL のタイプ。 • ユーザー **CAL**: 各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、関連付けられたサーバーにアクセスするすべてのユーザーにライセンスを付与します。 • デバイス **CAL**:サーバーにアクセスするために各デバイスを使用しているユーザーの数に関係なく、指定されたサーバーにアクセスする各デバイスにライセンスを付与します。 • ユーザー/デバイス **CAL**: 関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。 注: ソフトウェアモデルを使用している Citrix 場合、ユーザー/デバイス CAL タイプは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスに基づきます。
コストセンター	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスのコストセンター。
部門	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの事業部門。
ロケーション	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの地理的な場所。
会社	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの会社。

ソフトウェアサブスクリプション

このリストには、ソフトウェアアプリケーションで利用可能なサブスクリプションが表示されます。

フィールド	説明
表示名	サブスクリプションのソフトウェア公開者と製品。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションのユーザーのメールアドレス。
ソフトウェアモデル	サブスクリプションのソフトウェア モデル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
最終アクティビティ	このサブスクリプションが最後に使用された日付。
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプション識別子に関連付けられているプロファイル。

ダウングレード権限

このリストには、ソフトウェアモデルのダウングレード権限情報が表示されます。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

フィールド	説明
親ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの親 (または最上位の階層)。
ソフトウェアモデル	ダウングレード権限に関連付けられたソフトウェアモデル。選択した親ソフトウェアモデルに基づいて、関連するソフトウェアモデルがリストに表示されます。たとえば、SQL Server 2012 Standard を親ソフトウェア モデルとして選択した Microsoft 場合、関連するソフトウェア モデルのみが Microsoft リストに表示されます。
ソース	ダウングレード権限のソース。レコードが手動で作成された場合は、[内部] に設定されます。自動的に作成された場合、このフィールドはに設定されます ServiceNow。
アクティブ	ソフトウェアモデルのダウングレード権限が有効かどうかを示すオプション。必要に応じて、ダウングレード権限を非アクティブ化できます。アクティブなダウングレード権限のみがフィールドに表示されます。すべてのダウングレード権限を表示するには、フィルターからアクティブ条件を削除します。 ソフトウェアモデルのダウングレード権限を非アクティブ化すると、ダウングレード権限のソースに関係なく、変更内容が関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限に伝播されます。ソフトウェアモデルのダウングレード権限を無効にして、ソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を有効にしておくことはできません。 ダウングレード権限を無効にするには、フィールドをダブルクリックしてトグルボタンを表示し、[**false**] を選択してから、[保存] アイコン ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• **false**:ソフトウェアモデルおよび関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を無効にします。 • **true**:ソフトウェアモデルおよび関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を再アクティブ化します。

一致するディスカバリーモデル

このリストには、ソフトウェアモデルのソフトウェア公開者と製品フィールドに一致する検出マップが表示されます。

フィールド	説明
表示名	検出モデルの名前。この値は、検出された公開者、製品、バージョンを使用して自動的に生成されます。
標準化ステータス	標準化プロセスの [ステータス]： • 正規化済み • 一部正規化済み • 正規化されたパブリッシャー • 一致項目は見つかりませんでした • 手動で標準化済み • 新規
公開者	ソフトウェアの正規化された公開者。
製品	ソフトウェアの正規化された製品名。
バージョン	ソフトウェア製品の正規化されたバージョン。
エディション	ソフトウェアの正規化されたエディション。

すべてのバージョンの製品ライフサイクル

このリストには、ソフトウェア製品のすべてのバージョンのライフサイクルが表示されます。

フィールド	説明
公開者	公開者の名前。
製品	ソフトウェア製品の名前。
バージョン	ソフトウェアのライセンス可能なバージョン。
完全バージョン	ソフトウェアの詳細なライセンス可能バージョン。
エディション	ソフトウェアのエディション。
ライフ サイクル フェーズ	ライフサイクルフェーズの値は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• プレリリース:ソフトウェアがプレリリースされた日付。 • 一般提供:ソフトウェアが一般市場に公開された日付。 • アップグレード 注: [ライフ サイクル タイプ] フィールドが内部の場合のみ表示。 • 提供終了:ソフトウェアが発行元によって製造されなくなる日付。 注: メインストリームサポートと延長サポートを提供する固定ライフサイクルポリシーに従っているため、この値は適用 Microsoft されません。詳細については、「 固定ライフサイクル ポリシー 」を参照してください。 • サポート終了: 発行元によってソフトウェアが拡張されない日付。 この値は、固定ライフサイクルポリシー に従ったメインMicrosoftストリームサポートの終了日に対応します。 • 延長サポートの終了: 発行元がソフトウェアのサポートまたは更新プログラムを提供しなくなる日付。 この値は、固定ライフサイクルポリシー に従った延長Microsoftサポート終了日に対応します。
ライフ サイクル タイプ	ライフサイクルタイプの値は次のとおりです。 • 内部 • 公開者
ソース	ライフサイクルのソース。 • レコードが手動で作成された場合、この値は [内部] に設定されます。 • レコードが自動的に作成された場合、フィールドは ServiceNow に設定されます。
説明	ソフトウェア製品ライフサイクルの説明。
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リスク	ライフサイクルフェーズに関する組織のリスクレベル。たとえば、パブリッシャーのサポート終了フェーズのリスクは中程度か、提供終了フェーズのリスクは高い可能性があります。 リスクタイプの値は次のとおりです。 • 非常に高い • 高 • 中 • 低 • なし
アクティブ	ソフトウェアのリスクを評価する際にライフサイクルを考慮するかどうかを示します。 注: デフォルトでは、アクティブなライフサイクルのみが表示されます。

TRM 製品ライフサイクル

注:
このリストは、Application Portfolio Management - TRM、com.snc.apm_trm、プラグインが有効になっている場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
TRM 製品	製品の名前。
バージョン	製品のライセンス可能バージョン。
エディション	製品のエディション。
TRM フェーズ	製品の TRM フェーズ。
フェーズ開始日	ライフサイクルの開始日。
フェーズ終了日	ライフサイクルの終了日。
説明	製品の説明。

ソフトウェアライセンス測定基準属性

ソフトウェア ライセンス測定基準の属性と関連リストのフィールドの説明。

測定基準属性

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得でき	指名デバイスあたり	一般

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
			るインストールの数。		
プロセッサーあたりの最小コア数	8	False	物理プロセッサまたは仮想コアのセットに適用する必要があるコア権限の数。 ライセンス可能なコア = プロセッサー x 最大 (プロセッサーあたりの最小コア数、コア数)	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
VM あたりの最小コア数	8	False	仮想マシン (VM) に適用する必要があるコア権限の数。	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
サーバーあたりの最大アクティブ OSE 数	2	False	物理サーバー上でソフトウェアの実行を許可するオペレーティングシステム環境 (OSE) の最大数。 必要なライセンス数 = (ライセンス可能な OSE 数/サーバーあたりのアクティブな最大 OSE 数) * ライセンス可能なコア数	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
サーバーあたりの最小コア数	16	False	物理サーバーに適用する必要があるコア権限の数。 ライセンス可能なコア = 最大 (プロセッサ x 最大 (プロセッサあたりの最小コア数、コア数)、サーバーあたりの最小コア数)	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
OSE あたりの最大インストール数	1	False	サーバーの OSE の 1 つ内で許可される最大インストール数。 必要なライセンス数 = (OSE あたりのライセンス可能なインストール数/OSE あたりの最大インストール数) * ライセンス可能なコア数	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
プロセッサーあたりの最小コア数	1	False	物理プロセッサーに適用する必要があるコア権限の数。	コアあたり	一般
クラウド上の最大インスタンスサイズ	8	False	OracleDatabase Standard Edition、Database Standard Edition OneOracleおよびDatabase Standard Edition 2には、Oracle認可AWS済クラウド環境Microsoft Azureにデプロイされるインスタンスのサイズに上限があります。OracleDatabase Enterprise Editionには、認可AWS済クラウド環境でMicrosoft Azureデプロイされるインスタンスのサイズに上限はありません。	プロセッサーあたり	Oracle
サーバーあたりの最大ソケット数	2	False	OracleDatabase Standard Edition、Database Standard Edition Oneおよ	プロセッサーあたり	Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
			びOracleDatabase Standard Edition 2 は、Oracleソケットの最大数よりも小さい値を持つサーバーでのみライセンスを取得できます。		
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	指名ユーザーあたり	VMware
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	指名ユーザーあたり	IBM
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	指名ユーザーあたり	一般
権限あたりの最大 VM 数	2	False	の場合 RHEL Server、これは、各サブスクリプションがライセンスを取得できる物理ホスト上で実行されている VM の数です。ホストで実行されている 1 つの VM には 1 つのサブスクリプションが必要です。 の場合 RHEL for Virtual Datacenters、これは物理ホスト上のソケットペアごとに 1 つのサブスクリプションでライセンスを取得できる VM の数です。	ソケットペアごと	Red Hat

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
権限あたりの最大ソケット数	2	False	各サブスクリプションがライセンスを取得できる物理ホスト上のソケットの数。1 つのソケット ホストには 1 つのサブスクリプションが必要です。	ソケットペアごと	Red Hat
権限あたりの最大プロセッサー数	2	False	各権限にライセンス供与できる物理プロセッサーの最大数。 必要なライセンス = プロセッサー数/権限あたりの最大プロセッサー数	プロセッサーあたり	Microsoft
サーバーあたりの最大アクティブ OSE 数	2	False	物理サーバー上でソフトウェアを実行するために許可される OSE の最大数。 必要なライセンス = ライセンス可能な OSE/サーバーあたりの最大アクティブ OSE 数	プロセッサーあたり	Microsoft
OSE あたりの最大インストール数	1	False	サーバーの OSE の 1 つ内で許可されるインストールの最大数。 必要なライセンス数 = OSE あたりのライセンス可能なインストール数/OSE あたりの最大インストール数	プロセッサーあたり	Microsoft
OSE あたりの最大インストール数	1	False	サーバーの OSE の 1 つ内で許可されるインス	サーバー (インスタンスあたり)	Microsoft

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
			トールの最大数。 必要なライセンス = OSE あたりのライセンス可能なインストール数		
権限あたりの最大インストール数	1	False	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	アプリケーションインスタンスあたり	VMware
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	OSI あたり	VMware
最小 NUP	5	False	Named User Plus (NUP)によってライセンスされている場合、Database Standard EditionとOracleDatabase Standard Edition Oneの両方にOracle、それぞれ最低5つのNUPライセンスが必要です。	指名ユーザープラス	Oracle
WebLogic オンプレミス展開の最小 NUP	10	False	プロセッサーにアクセスするプログラムに対してライセンスを取得するために必要なユーザーの最小数。この属性は、オンプレミスにデプロイされた WebLogic Standard および WebLogic Enterprise の Oracle NUP ライセンスメトリックでOracleエンタイトルメントを調整するために使用されます。WebLogic	指名ユーザープラス	Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
			Standard の場合、属性は占有ソケットをカウントし、WebLogic Enterprise の場合はプロセッサコアをカウントします。		
サーバーあたりの最大ソケット数	2	False	OracleDatabase Standard Edition、Database Standard Edition OneおよびOracleDatabase Standard Edition 2 は、Oracleソケットの最大数よりも小さい値を持つサーバーでのみライセンスを取得できます。	指名ユーザープラス	Oracle
プロセッサーあたりの最小ユーザー数	25	False	物理プロセッサーへのアクセスを許可するユーザーの最小数。この測定基準属性は、オンプレミスAWS環境とOracle認定クラウド環境の両方に適用されます。Microsoft Azure	指名ユーザープラス	Oracle
クラウド上の最小 NUP	10	False	NUP によってライセンス供与される場合、 Oracle Database Standard Edition 2 には、などのAWS認可済みクラウド環境で Microsoft Azure 8 個の vCPU Oracle あたり最低 10 個の NUP ライセンスが必要です。	指名ユーザープラス	Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
クラウド上の最大インスタンスサイズ	8	False	OracleDatabase Standard Edition、Database Standard Edition OneOracleおよびDatabase Standard Edition 2には、Oracle認可AWS済クラウド環境Microsoft Azureにデプロイ Oracleされるインスタンスのサイズに上限があります。OracleDatabase Enterprise Editionには、認可AWS済クラウド環境でMicrosoft Azureデプロイされる Oracleインスタンスのサイズに上限はありません。	指名ユーザープラス	Oracle
WebLogic クラウド展開の最小 NUP	10	False	vCPU にアクセスするプログラムのライセンスを取得するために必要なユーザーの最小数。この属性は、クラウドなどのAWSAzure認可済みクラウド環境上の Oracle WebLogic Standard および WebLogic Enterprise の Oracle NUP ライセンスメトリックでOracleエンタイトルメントを調整するために使用されます。Standard エディションの場合、クラウド	指名ユーザープラス	Oracle

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
			の 8 個の vCPU AWSAzure ごとに最低 10 個の NUP ライセンスが必要です。Enterprise エディションでは、ハイパースレッディングが有効になっている場合は 2 つの vCPU ごとに 10 個の NUP ライセンスが必要であり、ハイパースレッディングが有効になっていない場合は vCPU ごとに 10 個の NUP ライセンスが必要です。		
サーバーごとの最小 NUP	10	False	NUP によってライセンス供与される場合、 Oracle Database Standard Edition 2 にはサーバーごとに最低 10 個の NUP ライセンスが必要です。	指名ユーザープラス	Oracle
プロセッサーあたりの最大コア数		True	1 CPU あたり 1 つのライセンスが必要です。最大 CPU あたりの物理コアまでです。CPU の物理コア数が最大数を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。 必要なライセンス = プロセッサー * (コア数/プロセッサーあたりの最大コア数)	プロセッサーあたり	IBM

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
プロセッサーあたりの最大コア数		True	1 CPU あたり 1 つのライセンスが必要です。最大 CPU あたりの物理コアまでです。CPU の物理コア数が最大数を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。 必要なライセンス = プロセッサー * (コア数/プロセッサーあたりの最大コア数)	プロセッサーあたり	Citrix
プロセッサーあたりの最大コア数	32	False	2020 年 4 月 2 日より、VMware 最大 32 個の物理コアに対して 1 つのライセンスが必要になります。CPU のコア数が 32 を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。 必要なライセンス = プロセッサー * (コア数/プロセッサーあたりの最大コア数)	プロセッサーあたり	VMware
プロセッサーあたりの最大コア数		True	1 CPU あたり 1 つのライセンスが必要です。最大 CPU あたりの物理コアまでです。CPU の物理コア数が最大数を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。	プロセッサーあたり	一般

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
			必要なライセンス = プロセッサー * (コア数/プロセッサーあたりの最大コア数)		
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	デバイスあたり	Adobe
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	デバイスあたり	IBM
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	デバイスあたり	Microsoft
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	デバイスあたり	Citrix
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	デバイスあたり	一般
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	デバイスあたり	VMware
VM あたりの最小コア数	4	False	仮想マシンに適用する必要があるコア権限の数。	コアあたり	Microsoft
プロセッサーあたりの最小コア数	4	False	物理プロセッサまたは仮想コアのセットに適用する必要があるコア権限の数。	コアあたり	Microsoft
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	ユーザーあたり	Adobe
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	ユーザーあたり	Microsoft

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	説明	ライセンス測定基準	評価指標グループ
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	ユーザーあたり	IBM
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	ユーザーあたり	Citrix
権限あたりの最大インストール数		True	各権限がライセンスを取得できるインストールの最大数。	ユーザーあたり	一般

ソフトウェアエンタイトルメントフィールド

ソフトウェアエンタイトルメントフォームと関連リストフィールドの説明。

ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

注:
Washington DCこのリリースから、ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license] テーブルとライセンスコスト上書き [samp_override_license_cost] テーブルに [データベースオプション] 列は存在しなくなりました。リリース前に Washington DC フォームビューをカスタマイズしてデータベースオプション列を含めた場合は、ソフトウェアエンタイトルメントフォームにデータベースオプションが表示されます。

フィールド	説明
表示名	ソフトウェアモデルの表示名に基づいて自動的に生成される名前。
資産タグ	資産の追跡に使用されるシリアル番号とバーコード。
パブリッシャーの品番	購入済みである可能性がある事前定義済みソフトウェアのソフトウェア製品定義ルックアップリストの公開者の品番 (PPN)。 このフィールドは、既存の資格付与で編集できます。 公開者の品番を選択すると、「多くの基礎となるソフトウェアモデルが作成されています」というメッセージ が表示される場合があります。これらは、スイートコンポーネント、ダウングレード権限、または次のバージョンの一部である可能性があります。完了時に検証してください。このメッセージは、ソフトウェアモデルのスイートコンポーネントが 50 個以上あり、かつ以下の条件のいずれかが満たされた場合にのみ表示されます。 • スイートコンポーネントのソフトウェアモデルが存在しません • ダウングレード権限のソフトウェアモデルが存在しません • 次のバージョンのソフトウェアモデルが存在しない

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 公開者の品番にソフトウェアモデルが存在する場合、[**Software model**] フィールドが自動的に入力されます。それ以外の場合は、このフォームから直接ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。同じ検出マップ条件で作成されたソフトウェアモデルが複数ある場合は、ソフトウェアモデルを手動で選択する必要があります。
ソフトウェアモデル	エンタイトルメントに一致するソフトウェア モデル。 **注:** 公開者の品番がソフトウェアモデルの公開者と製品に関連付けられていない場合は、警告メッセージが表示されます。ソフトウェアモデルを変更するか、エンタイトルメントをそのまま保存することができます。 このフィールドは、既存の資格付与で編集できます。
合意タイプ	選択した合意タイプに基づいて、ダウングレード権限が自動的に生成されます。 **注:** 契約タイプが エンタープライズライセンス契約 または 無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールがあ ってもステータスは 準拠です。
ライセンス タイプ	このタイプによって、ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、またはソフトウェアの以前のバージョンからアップグレードされている権限かどうかが決まります。 さまざまなライセンスタイプは次のとおりです。 • 無期限 • 無期限 + ソフトウェアアシュアランス • ソフトウェア保証 • 登録 • ステップアップ • サブスクリプションステップアップ **注:** リリースに Washington DC アップグレードしてコンテンツの更新が実行された後、コンテンツの更新によって特定の PPN のライセンスタイプがステップアップからサブスクリプションステップアップに変更されると、その PPN に関連付けられているすべてのエンタイトルメントがサブスクリプションステップアップエンタイトルメントに更新されます。 資格付与の SaaS デフォルト値は [サブスクリプション] です。
評価指標グループ	このフィールドは、[ソフトウェアモデル] フィールドに基づいて自動的に入力されます。それぞれの測定基準グループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンス測定基準があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このフィールドが [消費] または [サブスクリプション] に設定されている場合、[ライセンスタイプ] フィールドは自動的に [サブスクリプション] に設定されます。
ライセンスの測定基準	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンス測定基準。ライセンス測定基準のオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。 詳細については、「ソフトウェアライセンス測定基準」を参照してください。 注: • エンタイトルメントの SaaS デフォルト値は [ユーザーサブスクリプション] です。 • SaaS 消費の場合、ライセンス測定基準の結果 (samp_license_metric_result) の支出は現在のサブスクリプション期間についてのみ計算され、エンタイトルメントの総コストではありません。たとえば、購入済みの権限が 100 で、単価が 1 ドル、ライセンスの種類がサブスクリプション、サブスクリプション期間が月次で、開始日と終了日が 2 か月に設定されている場合、総コストは 200 ドルになります。ただし、消費は現在のサブスクリプション期間で調整されるため、ライセンス測定基準の結果の支出は $100 と表示されます。
無制限のライセンス	作成中のエンタイトルメントが無制限ライセンスであることを示します。
サブスクリプション期間	ソフトウェアサブスクリプションの請求頻度。オプションは、[月次]、[四半期ごと]、[年次]、および [サブスクリプション期間全体] です。[サブスクリプション期間全体] オプションは、サブスクリプションの全期間を通じてのみ支払う必要があることを示します。 [月次]、[四半期ごと]、または [年ごと] を選択した場合は、サブスクリプションの有効期間を [開始日] フィールドと [終了日] フィールドで指定する必要があります。[サブスクリプション期間全体] を選択した場合は、[開始日] フィールドのみが必須です。 このフィールドは、[ライセンスタイプ] リストから [サブスクリプション] または [サブスクリプションステップアップ] を選択した場合にのみ表示されます。
開始日	サブスクリプション、メンテナンスエンタイトルメント、または SA サービスの開始日。 このフィールドは、[ライセンスタイプ] リストから [サブスクリプション]、[無期限 + メンテナンス]、[メンテナンス]、[無期限 + ソフトウェアアシュアランス]、[ソフトウェアアシュアランス]、[ステップアップ]、または [サブスクリプションステップアップ] を選択した場合にのみ表示されます。
終了日	サブスクリプション、メンテナンスエンタイトルメント、または SA サービスの終了日。 終了日に達すると、メンテナンスフラグはクリアされ、ライセンスタイプとしてソフトウェアアシュアランスが指定されていた場合、ステータスは廃止になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、[ライセンスタイプ] リストから [サブスクリプション]、[無期限 + メンテナンス]、[メンテナンス]、[無期限 + ソフトウェアアシュアランス]、[ソフトウェアアシュアランス]、[ステップアップ]、または [サブスクリプションステップアップ] を選択した場合にのみ表示されます。
ライセンスパックごとの権利	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用に購入した各パックに関連付けられた権利
パックの数 (Number of packs)	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用のパックの数 このフィールドは、既存の資格付与で編集できます。このフィールドの値を変更すると、[購入済みの権限] フィールドが自動的に更新されます。
購入済みの権限	購入している権限の数。 このフィールドは、既存の資格付与で編集できます。このフィールドの値を変更すると、経費明細が自動的に更新されます。 **注:** [CAL ライセンスタイプで [Microsoft コアごと] または Microsoft [コアあたり] を指定した場合、このフィールドは自動的に入力されます。この値は、[ライセンス パックあたりの権利] フィールドに入力した値に [パックの数] フィールドの値を掛けた値に基づいています。
アクティブな権限	このエンタイトルメントに付与される権限の数。 **注:** エンタープライズ契約がライセンスに付属している場合、[アクティブな権限] フィールドは表示されません。
利用可能な割り当て	資格付与用に作成されていないユーザーまたはデバイス割り当ての数。 利用可能な割り当て = (アクティブな権限の数) - (すべての割り当て量の合計)。
単位コスト	ソフトウェアの単位コスト。 **注:** での総コストと節減額の計算に必要 ソフトウェア資産管理 一部にすぎません
総コスト	単位コストから計算されたエンタイトルメントの総コスト。
合計ユニット	このエンタイトルメントのために購入したソフトウェアユニットの合計数。 このフィールドは、[測定基準グループ] フィールドが [消費] に設定されている場合にのみ表示されます。
無制限消費	選択すると、ライセンス消費は消費ルールにリストされているエンティティに制限されません。どのエンティティも権限を消費できますが、消費ルール内のエンティティには予約された権限があります。予約された権限は、ライセンスプール列から取得されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このチェックボックスは、既存のすべての消費ルールにライセンスプールがある場合にのみ選択できます。新しい消費ルールでは、プールも定義する必要があります。

[全般] タブ

フィールド	説明
シリアル番号	資産識別のために割り当てられた唯一の番号。
所有者	資産の財務的所有権を持つユーザーまたは部門。資産オーナーは管理者と異なっていてもかまいません。
ステータス	資産の現在の状態。値には、[発注済み]、[在庫あり]、[輸送中]、[使用中]、[消費済み]、[メンテナンス中]、[廃止]、[欠損]、[ビルド] があります。 **注:** エンタイトルメントの作成を開始すると、初期ステータスは [構築] になります。エンタイトルメントを公開すると、ステータスは [使用中] に変わります。 状態が [廃止] の場合、[アクティブな権限] フィールドは **0** に設定されます。 サブスクリプションライセンス期間のあるエンタイトルメントの場合、[ステータス] フィールドは [開始日] フィールドと [終了日] フィールドに基づいて自動的に更新されます。
サブステート	ソフトウェア ライセンス ステージの詳細。使用可能なサブステートの設定は、[状態 **(State)**] フィールドで選択した状態によって異なります。 たとえば、[廃止] 状態を選択した場合、使用可能なサブステート オプションは、[廃棄済み]、[販売済み]、[寄付]、および [ベンダー クレジット] です。
アクティブメンテナンス	サブスクリプション、SA、またはメンテナンスがエンタイトルメントでアクティブ化されているかどうかを示します。エンタイトルメントにアクティブな SA、サブスクリプション、またはメンテナンスが関連付けられている場合、このチェックボックスは自動的にオンになります。エンタイトルメントで最初にサブスクリプション、SA、またはメンテナンスがアクティブ化されていたが、サブスクリプション、SA、またはメンテナンスがアクティブでなくなった場合、このチェックボックスは自動的にオフになります。 以前のリリースから当該リリースに Washington DC アップグレードする場合、アクティブな SA、サブスクリプション、またはメンテナンスが関連付けられている既存のエンタイトルメントに対して、このチェックボックスが自動的にオンになります。
会社	この資産が属する会社。
ロケーション	ライセンスが使用される場所。たとえば、サイト、国、地域を指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
部門	このソフトウェア ライセンスの担当者の部署。

[財務] タブ

フィールド	説明
ベンダー	資産の購入元の会社。
請求書番号	資産の請求に使用された請求書。
要求アイテム	資産にリンクされた要求ライン
購入日	エンタイトルメントが購入された日付。この日付は、 と Microsoft AzureのAWS専用ホストのライセンスルールを更新した時点でMicrosoft調整が実行される場合に考慮されます。 **注:** 購入日は、エンタイトルメントをインポートするときにも表示されます。
オープン	要求がオープンされた日付。
GL アカウント	資産に関連付けられた総勘定元帳のアカウント番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター

[契約] タブ

ソフトウェアエンタイトルメントをインポートする場合は、ダウンロード可能なテンプレートの [契約番号] 列を使用して、契約をエンタイトルメントにリンクします。契約番号は参照フィールドであるため、システムは最初に既存の契約との一致を検索するため、既存の契約番号を入力します。一致する契約番号が見つからない場合は、エンタイトルメントのインポートエラーが生成されます。

エラーから契約を作成できるようになり、[契約] 関連リストのエンタイトルメントフォームでエンタイトルメントを作成し、契約を表示できるようになります。契約の作成プロセスをスキップしてエンタイトルメントを作成することもできますが、契約は作成しません。

フィールド	説明
リース契約	資産に適用される契約。
保証の有効期限	保証の有効期限。
サポートグループ	資産に関連するインシデントをサポートするグループ。
サポート担当者	資産に関連するインシデントをサポートする個人。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ユーザー割り当て] タブ

注:
このタブは、[Per User] や [User CAL] などのユーザーベースのライセンスの測定基準を使用している場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
割り当て条件	調整中にユーザー割り当てのみを考慮する条件。指定された条件を満たすユーザー割り当てのみが調整に含まれます。
アサイン先	関連する権限が割り当てられているユーザー。 **注:** クライアント アクセス レコードを使用して、サーバー ソフトウェアにアクセスしているユーザーを追跡および管理している場合、このフィールドには、関連付けられたクライアント アクセス ライセンス (CAL) を割り当てた各ユーザーの名前が表示されます。クラシック アプリケーションでソフトウェア資産管理ユーザーに CAL を割り当てる方法の詳細な手順については、「」を参照してくださいソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加。ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーに CAL を割り当てる方法の詳細な手順については、「」を参照してください ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 。
数量	ユーザーに割り当てられている権限の数。
ライセンスキー	ユーザーに割り当てられている一意のライセンスキー。

[デバイス割り当て] タブ

注:
このタブは、[接続デバイスあたり] や [デバイス CAL] などのデバイスベースのライセンスの測定基準を使用している場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
資格付与条件	調整中にデバイス割り当てのみを考慮する条件。指定された条件を満たすデバイス割り当てのみが調整に含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン先	関連付けられた権限が割り当てられているデバイス。 **注:** クライアント アクセス レコードを使用して、サーバー ソフトウェアにアクセスしているデバイスを追跡および管理している場合、このフィールドには、関連付けられたクライアント アクセス ライセンス (CAL) を割り当てた各デバイスの名前が表示されます。クラシック アプリケーションでソフトウェア資産管理デバイスに CAL を割り当てる方法の詳細については、「」を参照してくださいソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加。ソフトウェア資産ワークスペースでデバイスに CAL を割り当てる方法の詳細な手順については、「」を参照してください ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 。
数量	デバイスに割り当てられている権限の数。
ライセンス キー	デバイスに割り当てられている一意のライセンス キー。

[関連するエンタイトルメント] タブ

注:
このタブは、ソフトウェアエンタイトルメントが関連するエンタイトルメントにリンクされている場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
関連エンタイトルメント	ソフトウェアエンタイトルメントにリンクする関連エンタイトルメント。
ライセンス タイプ	関連する資格付与に関連付けられているライセンスタイプ。
アクティブな権限	関連するエンタイトルメントに付与する権限の数。
ソフトウェアエンタイトルメント **注:** このフィールドは、ソフトウェア資産ワークスペースにのみ表示されます。このフィールドはクラシックアプリケーションには ソフトウェア資産管理 表示されません。	関連するエンタイトルメントをリンクするソフトウェアエンタイトルメント。

[アップグレードされたエンタイトルメント] タブ

フィールド	説明
エンタイトル	権限がアップグレードしたエンタイトルメント。複数のアップグレードされたエンタイトルメントがサポートされています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
メント元	ソフトウェアの特定のバージョン以前の所有権を新しいバージョンにアップグレードできます (たとえば、 Microsoft Office Professional Plus 2013 から Office Professional Plus 2016 へ Microsoft)。 **注:** このフィールドは、[ライセンス タイプ] フィールドで [アップグレード] が選択されている場合に使用できます。 権限をアップグレードすると新しいエンタイトルメントに移動されるため、アップグレード元の権限は無効化されます。
権利の数	アップグレードする権限の数。

[アクティビティ] タブ

フィールド	説明
作業メモ	資産の作業メモ。

[ダウングレード権限] 関連リスト

フィールド	説明
ソフトウェアエンタイトルメント	ダウングレードに関連するソフトウェアエンタイトルメント。
ソフトウェアモデル	ダウングレード権に対応するソフトウェアモデル。
アクティブ	ソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限が有効かどうかを示します。必要に応じて、ダウングレード権限を非アクティブ化できます。アクティブなダウングレード権限のみがリストに表示されます。すべてのダウングレード権限を表示するには、フィルターからアクティブ条件を削除します。 ソフトウェアモデルのダウングレード権限を無効にすると、その変更は関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限に伝播されます。ダウングレード権のソースに関係なく。 ダウングレード権限を無効にするには、フィールドをダブルクリックして切り替えボタンを表示します。false を選択し、[保存] アイコン ( ) を選択します。 • false:ソフトウェアモデルおよび関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を無効にします。 • true:ソフトウェアモデルおよび関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を無効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
順序	ダウングレードの順序。必要に応じて、このフィールドを編集できます。
開始日	ダウングレードの開始日。
終了日	ダウングレードの終了日。

エンタイトルメント消費ルール

フィールド	説明
ソフトウェアエンタイトルメント	消費がリンクされているソフトウェアエンタイトルメント。
消費ルール	エンタイトルメントにリンクされた消費ルール。
ライセンスプール	消費ルールに関連付けられたライセンスプール。ライセンス プールの詳細については、以下を参照してください グローバルエンティティ間でのライセンスの調整。

[ライセンスキー] 関連リスト

フィールド	説明
割当済み	ライセンスキーが割り当てられたことを示すオプション。
ライセンス キー	ライセンス キーの値。資格付与に対して一意である必要があります。
ソフトウェアエンタイトルメント	ライセンス キーに関連付けられたソフトウェアエンタイトルメント。

自動翻訳

ソフトウェアモデルの結果のライセンス評価指標の結果フィールド

ソフトウェアモデルの結果 ライセンス測定基準の結果フォームと関連リストのフィールドの説明。このフォームには、ソフトウェアモデルの結果の [ライセンス測定基準の結果] 関連リストからアクセスできます。

ライセンス測定基準の結果フォーム

ソフトウェアモデルに 2 つのエンタイトルメントがあり、1 つが無期限 SA ライセンスタイプ、もう 1 つがサブスクリプションライセンスタイプである場合、2 つのライセンス測定基準の結果が生成されます。アクティブなメンテナンスが true であるライセンス測定基準の結果と、アクティブメンテナンスが false であるライセンス測定基準の結果の 1 つ。このようなシナリオでは、2 つのライセンスポジションレポートが生成され、1 つはアクティブメンテナンスが true で、もう 1 つはアクティブメンテナンスが false になります。

フィールド	説明
ライセンスの測定基準	調整の実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスの測定基準の名前。
ソフトウェア モ	ライセンスの測定基準の結果に関連付けられたソフトウェアモデルの結果。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
デルの結果	
グループ	調整が実行されたグループ。
サブグループ	調整が実行されたサブグループ。
所有している権利	ライセンスの測定基準を共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。
利用可能な権利	調整中に使用されていない権限の合計 (所有権 - 使用権)。
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利のコスト概算。
適切な配分	
配分済み、使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
割り当てなし	割り当てられていない権限の数 (所有している権利 - インストールされているかどうかに関係なく割り当て済み)。
配分が必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスの測定基準でのみ使用されます。

[権限使用者] 関連リスト

フィールド	説明
使用場所	権限を使用しているユーザーまたはデバイス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 権限がクライアントアクセスレコードに関連付けられている場合、[使用者] フィールドには、それらの権限を使用している各クライアントアクセスレコードの名前が表示されます。クライアントアクセスレコード名を選択すると、関連付けられた権限を使用しているユーザーまたはデバイスの対応するブレークダウンが表示されます。クラシックアプリケーションのクライアントアクセスレコードソフトウェア資産管理の詳細については、「」を参照してくださいソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加。ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細を参照してください ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。
配分済み、使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
譲渡不可能な権利	追加のデバイスのライセンスに使用できないコアパックの残りの権限。譲渡不可能な権限は、Microsoft Per Core および Microsoft Per Core with (CAL) でのみ使用できます。
配分が必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスの測定基準でのみ使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[権利要求者] 関連リスト

フィールド	説明
権限要求者	権限を必要とするライセンスのないユーザーまたはデバイス。 **注:** 関連するクライアントアクセスレコード内のライセンスのないユーザーまたはデバイスを対象とする権限が必要な場合は、[必要な権限] フィールドに、それらの追加の権限を必要とするクライアントアクセスレコードの名前が表示されます。クライアントアクセスレコード名を選択すると、権限を必要とするライセンスのないユーザーまたはデバイスの対応するブレークダウンが表示されます。クラシックアプリケーションのクライアントアクセスレコードソフトウェア資産管理の詳細については、「」を参照してくださいソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加。ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細を参照してください ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 。
必要な権限	ライセンスのないユーザーまたはデバイスを対象範囲とするために必要な権限の数。

[ライセンスされたインストール] 関連リスト

注:
この関連リストはライセンスの測定基準には SAP 使用できません。

フィールド	説明
表示名	ソフトウェアインストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。
バージョン	ソフトウェアのバージョン。
Dscovery モデル	インストール済みソフトウェアのソフトウェア検出モデル。
インストール先	ソフトウェアのインストール先であるハードウェア。
アサイン先	ソフトウェアが割り当てられているユーザーまたはデバイス。

ダウングレード/アップグレード関連リスト

注:
この関連リストはライセンスの測定基準には SAP 使用できません。

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	アップグレードまたはダウングレード可能なソフトウェアモデル。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
配分済み、使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
配分が必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスの測定基準でのみ使用されます。

[SAP システムユーザー] 関連リスト

注:
この関連リストは、指定ユーザーライセンスの測定基準でのみ SAP 利用できます。

フィールド	説明
表示名	ユーザー ID とSAPクライアントを含むSAP識別子。
ユーザー	ユーザーのフルネーム SAP 。
SAP ユーザー ID	ユーザーの一意の識別子 SAP 。
メール	SAPユーザーのメールアドレス。
名	ユーザーの名前 SAP (名)。
姓	ユーザーの名前 SAP (姓)。
ユーザータイプ	SAPユーザーのタイプ。
ライセンス タイプ	ユーザーにアサインされた SAP 指名ユーザータイプ値。
指名ユーザータイプ	ユーザーの正規化された指名ユーザータイプ SAP 。
最適化された指名ユーザータイプ	ユーザーの最適化された指名ユーザータイプ SAP 。
SAP クライアント	ユーザーが属する組織サブユニット SAP 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンスが付与されたサブスクリプション] 関連リスト

フィールド	説明
表示名	ソフトウェアサブスクリプションの公開者と製品を含む識別子。
ユーザー	サブスクリプションユーザーの名前。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションユーザーのメールアドレス。
ソフトウェアモデル	サブスクリプションソフトウェアのソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプションソフトウェアの直接統合プロファイル。
サブスクリプション タイプ	サブスクリプションのタイプ。

エンタイトルメントのインポートエラーフィールド

[エンタイトルメントのインポートエラー (Entitlement Import Error)] フォームと関連リストフィールドの説明。

[エンタイトルメントのインポートエラー] フォーム

フィールド	説明
エラーステータス	エンタイトルメントのステータス。エラーレコードは、次の 2 つのステータスのいずれかになります。 • 手動修正:エラーレコード内のすべてのエラーが修正され、エンタイトルメントが正常に作成された場合。 • Needs review (要レビュー):エラーレコードが作成され、エラーを確認して修正する必要があります。
理由	インポートされたエンタイトルメントをエンタイトルメントリストに追加できなかった理由。
資産タグ	資産の追跡に使用されるシリアル番号とバーコード。
パブリッシャーの品番	購入済みである可能性がある事前定義されたソフトウェアのソフトウェア製品定義ルックアップリストの公開者の品番。 公開者の品番を選択すると、「多くの基礎となるソフトウェアモデルが作成されています」というメッセージ が表示される場合があります。これらは、スイートコンポーネント、ダウングレード権限、または次のバージョンの一部である可能性があります。完了時に検証してください。このメッセージは、ソフトウェアモデルのスイートコンポーネントが 50 個以上あり、かつ以下の条件のいずれかが満たされた場合にのみ表示されます。 • スイートコンポーネントのソフトウェアモデルが存在しません • ダウングレード権限のソフトウェアモデルが存在しません • 次のバージョンのソフトウェアモデルが存在しません

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 公開者の品番にソフトウェアモデルが存在する場合、[**Software model**] フィールドが自動的に入力されます。それ以外の場合は、このフォームから直接ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。同じ検出マップ条件で作成されたソフトウェアモデルが複数ある場合は、ソフトウェアモデルを手動で選択する必要があります。
ソフトウェアモデル	エンタイトルメントに一致するソフトウェア モデル。 **注:** 公開者の品番がソフトウェアモデルの公開者と製品に関連付けられていない場合は、警告メッセージが表示されます。ソフトウェアモデルを変更するか、エンタイトルメントをそのまま保存することができます。
ライセンス タイプ	ライセンス タイプ。ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、ソフトウェアの以前のバージョンからアップグレードされている権限かどうかを指定します。 タイプが [アップグレード] の場合、[アップグレードされたエンタイトルメント] 関連リストが表示されます。アップグレードライセンスタイプは、アップグレードするエンタイトルメントを指定するために使用されます。 このフィールドはフォームが送信された後に読み取り専用となります。 **注:** エンタイトルメントについては SaaS 、デフォルト値 (フル) のままにします。
評価指標グループ	このフィールドは、[ソフトウェアモデル] フィールドに基づいて自動的に入力されます。それぞれの測定基準グループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンス測定基準があります。
ライセンスの測定基準	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンス測定基準。ライセンス測定基準のオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。エンタイトルメントの SaaS デフォルト値は [ユーザーサブスクリプション] です。 詳細については、「ソフトウェアライセンス測定基準」を参照してください。 **注:** エンベロープライセンスの測定基準は、エンタイトルメントにのみ DocuSign 使用します。
ライセンスパックごとの権利	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用に購入した各パックに関連付けられた権利
パックの数 (Number of packs)	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用のパックの数
購入済みの権限	購入している権限の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [CAL ライセンスタイプで [Microsoft コアごと] または Microsoft [コアあたり] を指定した場合、このフィールドは自動的に入力されます。この値は、[ライセンス パックあたりの権利] フィールドに入力した値に [パックの数] フィールドの値を掛けた値に基づいています。
合意タイプ	選択した合意タイプに基づいて、ダウングレード権限が自動的に生成されます。 **注:** 契約タイプが エンタープライズライセンス契約 または 無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールがあ ってもステータスは 準拠です。 • 汎用:ダウングレード権限は自動的に入力されません。既存のソフトウェアエンタイトルメントの合意タイプを 汎用 から他のタイプ (**CLP** など) に変更すると、ダウングレード権限が自動的に入力されます。 • [汎用:ダウングレード権限] 以外の契約タイプは、自動的に入力されます。既存のソフトウェアエンタイトルメントの合意タイプを 汎用 以外の契約タイプ (**ELTA** など) から 汎用に変更した場合、既に設定されたダウングレード権限は削除または非アクティブ化されません。
購入済みの権限	購入している権限の数。
Oracle のオプション	エンタイトルメントに関連する Oracle オプション。
契約番号	エンタイトルメントの契約番号。

参照ソフトウェア関連リスト

フィールド	説明
パブリッシャー	ソフトウェア公開者の名前。
製品	製品の名前。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
エディション	ソフトウェア製品のエディション。
言語	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。標準化または手動で追加された後に入力されます。
プラットフォーム	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一般関連リスト

フィールド	説明
オーナー	資産の財務的所有権を持つユーザーまたは部門。資産オーナーは管理者と異なっていてもかまいません。
発注書番号	発注書番号。
会社	この資産が属する会社。
ロケーション	ライセンスが使用される場所。例：特定の場所、国、地域などです。
部門	このソフトウェア ライセンスの担当者の部署。

財務関連リスト

フィールド	説明
ベンダー	資産の購入元の会社。
単位コスト	ソフトウェアの単位コスト。 **注:** での総コストと節減額の計算に必要 ソフトウェア資産管理 一部にすぎません
GL アカウント	資産に関連付けられた総勘定元帳のアカウント番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター

エンタイトルメントのインポートエラーアクション

[エンタイトルメントのインポートエラー] フォームアクションの説明。

エンタイトルメントのインポートエラーのアクション

アクション	説明
インポート	エンタイトルメントのインポートエラーレコードを保存するオプション。レコードを保存すると、[Entitlement Import Error] フォームが表示されたままになるため、アクション間で簡単にフォームを保存できます。 保存時に、すべての値が再評価され、フォームが更新されます。 たとえば、[Publisher Part Number (公開者の品番)] フィールドと [Software Model (ソフトウェアモデル)] フィールドの両方が欠落している場合、既知の公開者の品番を追加してフォームを保存すると、[**Software model** (ソフトウェアモデル)] フィールドは自動的に入力されます。 **注:** フォームは保存するたびに再評価されるため、1 つのエンタイトルメントに変更を加えると、別のエンタイトルメントに対して重複 エントリなどのエラーが発生する可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	説明
	すべての必須フィールドに入力してフォームを保存すると、エンタイトルメントレコードが作成され、エラーステータスが [修正済み] に変更されます。
PPN を作成	カスタムソフトウェアの部品番号。 ワークスペースアプリケーションを使用して ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントをインポートする場合、[**PPN** の作成] を選択すると、[カスタム部品番号] リストビューページが表示されます。新規 を選択して、新しい公開者の品番を作成します。 クラシックアプリケーションを使用して ソフトウェア資産管理 エンタイトルメントをインポートする場合は、[**Create PPN**] を選択すると、[Create Discovery Map for Publisher Part Number] ダイアログボックスが表示されます。**[Product]** フィールドで製品名を選択し、[**Submit**] を選択して、パブリッシャーの品番に自動的に関連付けられるカスタム検出マップを作成します。
重複するエンタイトルメントを作成します	エンタイトルメントレコードが重複すると、インポートエラーが発生します。[重複するエンタイトルメントを作成] を選択してエラーを上書きし、重複レコードのエンタイトルメントを作成します。 **注:** このアクションは、既に存在する資格付与があり、重複する資格付与が作成されている場合にのみ表示されます。
削除	エラーを削除するオプション。エンタイトルメントレコードは作成されません。このアクションは、[エンタイトルメントインポートエラー] リストで 選択した行のアクションを使用して、一括更新として実行することもできます。

の公開者の最適化 **SAP**

[パブリッシャー] ドロップダウン リストから **[SAP]** を選択して、SAP のライセンスの最適化を表示します。

重要:
の*SAP*推奨されるライセンス最適化を表示するには、ソフトウェア資産管理プロインスタンスで *ServiceNow for SAP* プラグイン *(com.sn_samp_sap)* をアクティブ化する必要があります。

レポート	ソース	説明
非アクティブなユーザー	SAP システム ユーザー [samp_sap_system_user]	90 日以上前に最後にログインした SAP システムユーザー。
名前付きユーザーアサインのないシステムユーザー	SAP システム ユーザー [samp_sap_system_user]	名前付きユーザーアサインのない SAP システムユーザー。
ロックアウトされたライセンス済み SAP ユーザー	SAP システム ユーザー [samp_sap_system_user]	ライセンスを消費しているロックされた SAP ユーザー。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソース	説明
ライセンスされた非ダイアログユーザー	SAP システム ユーザー [samp_sap_system_user]	名前付きユーザーアサインを持つ SAP 非ダイアログユーザー。
未使用エンジン	ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	使用されていないが、アクティブなソフトウェアエンタイトルメントがある SAP エンジンの数。

の公開者の最適化 **Red Hat**

[**Publisher**] ドロップダウンリストから **[Red Hat]** を選択して、ライセンスRed Hatの最適化を表示します。

> **重要:**
> の*Red Hat*推奨されるライセンス最適化を表示するには、インスタンスで *ServiceNow® for* ソフトウェア資産管理プロ *for IBM* プラグイン *(com.sn_samp_ibm)* をアクティブ化ソフトウェア資産管理プロする必要があります。

レポート	ソース	説明
ライセンスの最適化による節減見込み	ライセンスの最適化による節減見込み [samp_license_optimization_summary]	推奨されるライセンスの最適化に基づく、物理ホストおよびクラスター上のライセンスの見込まれるコスト削減。 **注:** このレポートは、オンプレミスの Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ライセンスでのみ使用できます。 レポートを選択すると、各ホストまたはクラスタの推奨ライセンス最適化と関連するコスト削減の詳細が表示されます。ライセンスの最適化には、推奨ライセンス、推奨権限、推奨支出が含まれます。

の公開者の最適化 **Microsoft**

使用状況に基づいて最適化Microsoft 365の推奨事項を検索しますソフトウェア資産管理。これらの推奨事項を表示するには、[**Publisher**] ドロップダウン リストから **[Microsoft]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365 利用可能なサブスクリプションの詳細
サブスクリプション内の **Microsoft 365** ユーザーアクティビティの可視性の向上

レポート	説明
Microsoft 365 サブスクリプションの詳細	ソフトウェアモデル別にグループ化された、Office 365 および Power BI 製品のアクティブ、非アクティブ、および未アサインのユーザーサブスクリプションの詳細 Microsoft 365の数。 データポイントを選択すると、ソフトウェアモデルのユーザーサブスクリプションの詳細が表示されます。 • [アクティブなサブスクリプション] バーを選択すると、アクティビティの最終日が 90 日以下のアクティブなユーザーサブスクリプションが表示されます。 • [非アクティブなサブスクリプション] バーを選択すると、アクティビティの最終日が空であるか 90 日より前である非アクティブなサブスクリプションが表示されます。 • [未アサインのサブスクリプション] バーを選択して、アサインされていない利用可能な権限またはユーザーサブスクリプションの数を表示します。

Microsoft 365 使用状況に基づくサブスクリプションの最適化の推奨事項

レポート	説明
Microsoft 365 最適化の推奨事項	推奨されたダウングレード、二重ライセンス、統合の候補に基づいてダウングレードまたは再利用できる月あたりのライセンス数。このレポートには、過去 12 か月間のデータが表示されます。 任意のバーを選択して詳細を表示し、特定の月に推奨されるダウングレードまたはデュアルライセンス候補に対処します。 • **Office 365 E5** から **Office 365 E3** にダウングレードできる候補の一覧を表示するには、Office **365 E5** から **E3** にダウングレードとしてマークされているバーを選択します。リストから候補を選択して、関連するライセンスをダウングレードします。 • **Office 365 E3** から **E1** にダウングレード としてマークされているバーを選択して、Office 365 E3 から Office 365 E1 にダウングレードできる候補の一覧を表示します。リストか

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365 使用状況に基づくサブスクリプションの最適化の推奨事項 (続く)

レポート	説明
	ら候補を選択して、関連するライセンスをダウングレードします。 • **Microsoft 365 E5** から **E3** へのダウングレードとしてマークされているバーを選択して、E5 Microsoft 365 から E3 にMicrosoft 365ダウングレードできる候補の一覧を表示します。 • **Microsoft 365 E3** から **F3** にダウングレードとしてマークされているバーを選択して、E3 Microsoft 365 から F3 にMicrosoft 365ダウングレードできる候補の一覧を表示します。 • 二重ライセンス ユーザーとしてマークされているバーを選択すると、両方のMicrosoft 365サブスクリプションとそのアプリケーション (Office 365、Enterprise Mobility +Security (EMS)、Windows) サブスクリプションを持つ候補の一覧が表示されます。 • 「統合」とマークされた棒を選択して、統合されたMicrosoft 365最適化候補のリストを表示します。

推奨タイプに基づく節減見込み

レポート	説明
ライセンスの最適化による節減見込み	推奨されるライセンスの最適化に基づく、物理ホストおよびクラスター上のライセンスの見込まれるコスト削減。 **注:** このレポートは、Windows Server ライセンスでのみ Microsoft 使用できます。 レポートを選択すると、各ホストまたはクラスタの推奨ライセンス最適化と関連するコスト削減の詳細が表示されます。ライセンスの最適化には、推奨ライセンス、推奨権限、推奨支出が含まれます。
Microsoft 365 タイプ別の節減見込み	推奨されるダウングレード、ダブル ライセンス、および統合の候補に基づく Office 365 ライセンスの Microsoft 365 見込まれる毎月の節減額。このレポートには、過去 12 か月間の見込み節減額が表示されます。 いずれかのバーを選択すると、特定の月に推奨されるダウングレードまたはデュアルライセンス候補の詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

推奨タイプに基づく節減見込み (続く)

レポート	説明
	• [ダウングレード] とマークされているバーを選択すると、以前のバージョンの Microsoft 365 Office 365 にダウングレードできる候補の一覧が表示されます。 • 二重ライセンス ユーザーとしてマークされているバーを選択すると、両方のMicrosoft 365サブスクリプションとそのアプリケーション (Office 365、Enterprise Mobility +Security (EMS)、Windows) サブスクリプションを持つ候補の一覧が表示されます。 • 「統合」とマークされているバーを選択して、統合サブスクリプションの再利用候補のリストMicrosoft 365を表示します。
Microsoft 365 ポータルで利用可能なサブスクリプションの詳細	サブスクリプションごとのポータルで Microsoft 利用可能なライセンスの数。 棒グラフを選択すると、ソフトウェアモデル、製品、購入した権限、アサインされた権限、利用可能な権限、サブスクリプションプロファイルなど、購入したサブスクリプションの詳細が表示されます。

の公開者の最適化 **Adobe**

ライセンスAdobeの最適化を表示するには、[**Publisher**] ドロップダウンリストから **[Adobe]** を選択します。

> **重要:**
> の*Adobe*推奨されるライセンス最適化を表示するには、インスタンスで *ServiceNow for Adobe* プラグイン *(com.sn_samp_adobe)* をアクティブ化ソフトウェア資産管理プロする必要があります。さらに、*ServiceNow Store* から統合*SaaS* ライセンス管理アプリケーションを要求してインストールソフトウェア資産管理する必要があります。

レポート	ソース	説明
Creative Cloud のサブスクリプションごとのユーザーアクティビティ	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscriptions]	有意義なアクティビティのある月あたりのユーザーサブスクリプションの数。このレポートには、過去 12 か月間のすべての Creative Cloud サブスクリプションのデータ Adobe が表示されます。 任意のデータポイントを選択すると、特定のサブスクリプションタイプに対して意味のあるア

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポート	ソース	説明
		クティビティがあるユーザーサブスクリプションの最後のアクティビティ日が表示されます。
タイプ別の Creative Cloud 節減見込み	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	Creative Cloud ライセンスの Adobe 月間節減見込み額で、使用量が少ない場合、ユーザー数を二重にライセンスした場合、および統合されたサブスクリプション数を基準としています。このレポートには、過去 12 か月間の見込み節減額が表示されます。
非アクティブなユーザーサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscriptions]	ユーザーステータスに基づいた、インスタンスの ServiceNow ユーザー [sys_user] テーブル内の非アクティブなユーザーサブスクリプションの数。
未解決のユーザーサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscriptions]	インスタンスのユーザー [sys_user] テーブル ServiceNow にレコードを持たないユーザーの数。

成熟度アイテム の詳細

成熟度アイテムの詳細フォームのフィールドは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を表示および更新するのに役立ちます。

成熟度アイテムの詳細

フィールド	説明
名前	成熟度アイテムの名前。
タイプ	成熟度アイテムのタイプ。 • プロセス • エンド ユーザー • SaaS • データセンター • クラウド
簡単な説明	成熟度アイテムの簡単なサマリー。
成功目標	成熟度アイテムに関連付けられた成功目標。成功目標の作成の詳細については、「」を参照してください の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理。
ステータス	成熟度アイテムの現在のステージ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成熟度アイテムの詳細 (続く)

フィールド	説明
	• 新規 • 対応中 • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
成熟度レベル	現在の成熟度レベル。 • クロール • ウォーク • 実行
推奨される成熟度レベル	SAM アプリケーションのリターン価値を向上させるために推奨される成熟度レベル。 • クロール • ウォーク • 実行
開始日	満期アイテムの開始日。
完了日	満期アイテムの完了日。
目的	成熟度アイテムの目的と結果の説明。
完了する必要があるステップ	成熟度アイテムの目的を達成するための手順のリスト。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される成熟度アイテムに関するメモ。

プログラムの成熟度ステージソフトウェア資産管理

プログラムの成熟度 ソフトウェア資産管理 は、クロール、ウォーク、ランなどの 3 つのステージに分かれています。

成熟度ステージ

ステージ	説明
クロール	新しいソフトウェア資産管理プログラムの実装や開発などのジャーニーを開始しますソフトウェア資産管理。この段階では、正常な構成管理データベース (CMDB) を確立し、データを検出するツールを特定し、プロセスとロールを確立できます。ライセンスが複雑でないエンドユーザーコンピューティングや SaaS 統合に集中できます。
ウォーク	プログラムのロードマップ ソフトウェア資産管理 に基づいて実行するためのプロセス、手順、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成熟度ステージ (続く)

ステージ	説明
	ポリシー、リソース、およびツールの確立を開始します。「クロール」ステージで確立した手動のプロセスと手順を自動化できます。データセンター環境でのより複雑なライセンス モデル、自分のライセンスを使用する (BYOL) ユース ケース、および追加の SaaS 発行元に移行します。ソフトウェア メータリングと再利用による追加のガバナンスとコスト管理を検討し、重複するソフトウェアを特定し、コンプライアンス結果を通じてソフトウェア資産のサイズを適正化できます。
実行	一元化されたソフトウェア資産の追跡とシステム管理のために、成熟した標準化された自動化されたプロセスと手順を確立して使用します。購入プロセスの新しいカタログアイテムには、標準カタログおよびオンボーディングプロセスを使用します。自動化されたオンデマンドメカニズムを通じてエンドユーザーにソフトウェアを提供し、ソフトウェア支出を適正化します。また、定期的にプロセスを評価し、目標を設定する ソフトウェア資産管理 必要があります。

SAM 成功目標の詳細

SAM 成功目標の詳細のフィールドは、インスタンス内のアプリケーションの成功 ソフトウェア資産管理 を追跡するための成功目標を作成するのに役立ちます。

SAM 成功目標の詳細

フィールド	説明
番号	成功目標の一意の識別子。
タイトル	成功目標のタイトル。
ステータス	成功目標のステータス。デフォルトでは、成功目標はドラフトステータスです。
カテゴリ	成功目標が属するカテゴリ。
ベンダー	成功目標に関連付けられたベンダーまたはパブリッシャー。
目標タイプ	目標の測定基準を定義します。 • 預金 • カウント
目標の説明	成功目標の詳細な説明。
グループ	目標がアサインされるグループ。
所有者	目標がアサインされているグループのユーザー。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SAM 成功目標の詳細 (続く)

フィールド	説明
予測された開始日	成功目標の予測開始日。
予測された終了日	成功目標の予測終了日。
開始実績日	成功目標の実開始日。
終了実績日	成功目標の実終了日。
予測された削減額	成功目標から予想される節減額。 このフィールドは、[目標タイプ] を [節減額] に設定した場合にのみ表示されます。
実際の削減	成功目標からの実際の節減額。 このフィールドは、[目標タイプ] を [節減額] に設定した場合にのみ表示されます。
予測された数	成功目標からの予想カウント。 このフィールドは、[目標タイプ] を [カウント] に設定した場合にのみ表示されます。
実際の数	成功目標からの実際のカウント。 このフィールドは、[目標タイプ] を [カウント] に設定した場合にのみ表示されます。
達成度の説明	成功目標がどのように達成されたかについての説明。

自動翻訳

SAM 成功アクティビティ

[SAM 成功アクティビティ] フォームのフィールドは、作成した目標の成功を追跡する成功アクティビティを作成するのに役立ちます。

SAM 成功アクティビティ

フィールド	説明
番号	成功したアクティビティの一意の識別子。
成功目標	アクティビティが関連付けられている成功目標。
ステータス	成功アクティビティの現在のステータス。 次のオプションから選択します。 • 保留中 • オープン • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAM 成功アクティビティ (続く)

フィールド	説明
アサイン先グループ	このアクティビティが割り当てられているグループ。
アサイン先	アサイン先グループ内の特定のユーザー。
簡単な説明	成功アクティビティの簡単な説明。
説明	成功アクティビティの詳細な説明。
作業メモ	成功アクティビティに関するメモ。

ブラウザーアクティビティレポートからのシャドウ **SaaS** 分析

ブラウザーアクティビティレポートからのシャドウSaaS分析を使用して、ブラウザー経由でアクセスされ、()DEX 製品内で構成されServiceNow　デジタルエンドユーザーエクスペリエンスているすべてのSaaSアプリケーションを検出および管理します。このレポートで管理できるSaaSアプリケーションは、有料または無料のものです。

重要:
ブラウザー アクティビティからのシャドウ SaaS 分析レポートを表示するには、次の操作を行う必要があります。

- ServiceNow Store からバージョン 13.1.0 以降のソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理アプリケーションを要求してインストールします。詳細については、「SaaS ライセンス管理 を要求する」を参照してください。
- デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX)[sn_dex]製品バージョン2.1.0以降をインストールします。詳細については、「Install DEX 」を参照してください。

このレポートは、これらのアプリケーションにアクセスするすべてのユーザー、これらのアプリケーションの使用状況、および各アプリケーションの使用時間を表示することで、シャドー IT 支出をより効果的に管理するのに役立ちます。

このレポートを表示するには、次の場所に移動します **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況 > レポート.

ドメインサポート - ドメイン拡張インストーラー (com.glide.domain.msp_extensions.installer) および Performance Analytics - ドメインサポート (com.snc.pa.domain_support) が有効になっている場合、ブラウザーアクティビティからのシャドウ SaaS 分析レポートにはドメイン分離データが含まれます。

ブラウザーアクティビティからのシャドウ **SaaS** 分析

フィールド	説明
製品	検出されるアプリケーションの名前 SaaS 。
公開者	アプリケーションの公開者 SaaS 。 公開者は、ソフトウェア公開者 [samp_sw_publisher] テーブルへの参照です。
監視対象	製品を監視しているかどうかを示します DEX 。 この値はテーブルから DEX 参照されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブラウザーアクティビティからのシャドウ **SaaS** 分析 (続く)

フィールド	説明
	• 製品がアプリケーションによって DEX 監視されている場合、[監視対象] 列の値は true と表示されます。 • 製品がアプリケーションによって DEX 監視されていない場合、監視対象 列の値は false と表示されます。
管理対象	製品が管理対象か非管理対象かを示します。 • 製品のソフトウェアモデルが存在する場合、[管理対象] 列の値は [true] と表示されます。 • 製品のソフトウェアモデルが存在しない場合、[管理対象] 列の値は false と表示されます。
URL	アプリケーションの URL または複数の URL SaaS 。
合計ユーザー	製品にアクセスしたユーザーの合計数。 この列の値を選択すると、[ユーザー使用状況データ] テーブルにユーザーに関する詳細情報が表示されます。
最終アクセス時刻	ユーザーが製品に最後にアクセスした時刻。
合計アクセス時間	ユーザーが製品にアクセスした合計時間。

ユーザー使用状況データ

フィールド	説明
検出済みユーザー	検出されたユーザー [samp_discovered_user] テーブルから参照されるユーザー。
ユーザー	アプリケーションにアクセスするユーザー。
デバイス	ユーザーがアプリケーションにアクセスしたデバイスまたは CI。
コストセンター	組織内のユーザーに割り当てられたコストセンター。
部門	組織内のユーザーの部門。
合計アクセス時間	ユーザーがアプリケーションにアクセスした合計時間。
最終アクセス時刻	ユーザーが最後にアプリケーションにアクセスした時刻。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

再利用のルール

再利用ルールは、サブスクリプションを使用する必要がある最小量を定義します。指定された時間制限内にサブスクリプションにアクティビティがない場合、サブスクリプションは再利用候補のリストに追加されます。ユーザーアクティビティは、直接統合ごとに異なる方法で定義されます。すべてのアクションではなく、リストされたアクションのうち、制限時間内に実行する必要があるのは 1 つのみです。

直接統合	アクティビティ
Adobe Workfront	• プロジェクトを作成または更新 • タスクの作成または更新 • 問題の作成または更新 • ポートフォリオを作成または更新する • プログラムの作成または更新 • レポートの作成または更新 • フィルターを作成または更新 • ドキュメントの作成または更新 • テンプレートを作成または更新 • 経費の作成または更新
Aha!	ユーザーログイン **注:** 分析期間は 60 日間です。
Asana	• 作成されたタスク • 件の完了したタスク • サブタスクが作成されました • サブタスクが完了しました • タスクまたはサブタスクの割り当て • プロジェクト間でのタスクまたはサブタスクの移動 • タスクまたはサブタスクに追加されたコメント • ストーリーが作成されました
Box	• ユーザーログイン • 作成、編集、削除、共有、アップロード、ダウンロードなどの 60 のアクションを含むすべてのファイルアクティビティ
Calendly	イベントのスケジュール
Confluence Cloud	スペース、ページ、ブログ投稿、コメント、または添付ファイルの作成または更新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
Dropbox	• ユーザーログイン • 作成、編集、削除、共有、アップロード、ダウンロードなどの 60 のアクションを含むすべてのファイルアクティビティ
Google Workspace	Google ドライブと Google ドキュメント 作成、編集、削除、アップロード、ダウンロード、同期などのファイルアクティビティ Gmail 読み取り、作成、編集、送信、削除などのメールアクティビティ
GitHub	• コミットコメントを作成 • Git 分岐またはタグを作成する • Git 分岐またはタグを削除する • リポジトリをフォークする • Wiki ページの作成または更新 • 作成、編集、削除などの課題コメント アクティビティ • オープン、クローズ、再オープン、アサイン、アサイン解除、ラベル付け、ラベル付け解除などの問題アクティビティ • リポジトリのコラボレーターアクティビティ (コラボレーターのアクセス権限の編集など) • プライベートリポジトリを公開にする • オープン、クローズ、再オープン、アサイン、アサイン解除、レビュー、ラベル付け解除、同期などの任意のプル要求アクティビティ • 任意のプル要求レビューコメントアクティビティ • 少なくとも 1 つのコミットをリポジトリブランチまたはタグにプッシュする • 公開や編集などのリリースアクティビティ • スポンサーシップリスト活動 • リポジトリに Star を付ける
GoTo	GoToMeeting 会議の開催 GoToWebinar ウェビナーまたは会議の開催 GoToConnect 回線を使用して電話をかけるGoToConnect
Jira ソフトウェア	• 問題を作成 • 課題にコメントする • 課題のコメントを更新する • 次のカテゴリのアクティビティ:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
	○ 監査 ○ プロジェクトの変更 ○ 権限の変更 ○ ワークフローの変更 ○ 通知の変更 ○ カスタムフィールドの変更 ○ Advanced Roadmaps の変更
Looker	ユーザーの前回のログイン
Microsoft Dynamics 365 と Power Apps	Dynamics 365 で次のレコードを作成または更新します。 • 共通エンティティ: 取引先企業、取引先担当者、目標、製品、ユーザー、電話、タスク、レター、電子メール、予定、FAX、カスタム活動 • 販売関連エンティティ:競合他社、営業案件、請求書、注文、見積もり • カスタマーサービスエンティティ:ケース、契約、キュー、およびサービスエンティティアクティビティ
Miro	ボードへのアクセスまたは更新
monday.com	• メモの作成、追加または削除、ユーザーの追加または削除、削除などのボード アクティビティ • 追加、編集、複製、削除などのアイテムアクティビティ
PagerDuty	オンコールスケジュールに含まれている
Rally	• ユーザーの前回のログイン • 前回のアクティビティ時間
Roadmunk	• ユーザーログイン • アイデアまたはフィードバックにコメントを追加する • フィードバックを作成または更新 • ロードマップのアーカイブまたは復元
• Salesforce CRM • Salesforce Marketing Cloud	ユーザーログイン
SAP SuccessFactors	ユーザーログイン
Slack Enterprise	ユーザーログイン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
SmartRecruiters	求人や求人広告の作成など、ユーザーアクティビティ。
Smartsheet	ユーザーの最終アクティビティ アクティビティのリストについては、「イベントレポートリファレンス」を参照してください。
SurveyMonkey	• ユーザーログインまたはログアウト • グループ名の更新 • メンバーの追加または削除 • グループメンバータイプの更新 • 招待を作成または再送信する • 権限の作成または更新 • 共有ビューを作成または更新する • エクスポートの作成またはダウンロード • 回答者を更新または削除する • 助成金情報の作成または削除 • 作成、削除、コピー、更新、転送などのサーベイ情報アクティビティ • コレクター情報アクティビティ (作成、削除、更新など)
Trello	ユーザーログイン 注: 分析期間は 60 日間です。
Webex	Webex トレーニング トレーニングの開催 Webex イベント イベントの開催 Webex サポートセッション サポートセッションをホストする Webex 会議 会議の開催 Webex チーム • メッセージを送信または更新する • ファイルをアップロードします • チームスペースのメンバーシップを作成または更新する
Workplace from Facebook	• Workplaceグループの投稿を作成、更新、または表示します。 • Workplaceグループの投稿にコメントします。 • 職場でメッセージを送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
	• 職場ナレッジライブラリーカテゴリを作成または更新します。 • 職場ナレッジライブラリーカテゴリに関するコメント。 • Workplaceコミュニティで公開イベントを作成します。
Zendesk	ユーザーログイン
Zoom	• 会議の開催 • ウェビナーの開催

Microsoft 365 アプリの使用状況レポート

製品の最終 Microsoft 365 アクティビティ日を検索して、再利用候補を決定します。

Microsoft 365 Apps使用状況レポート [samp_m365_apps_usage_report] テーブルの各フィールドの値は、API を使用して Microsoft Graph 設定されます。アクティビティの最終日は、サポートされているMicrosoft 365製品 (Word、PowerPoint、Excel、Teams、OneNote などMicrosoft Outlook) の再利用候補をより正確に決定するのに役立ちます。

Microsoft 365 Apps使用状況レポート

フィールド	説明
ユーザープリンシパル名	ユーザーのメールアドレス。
アクティビティの最終日	ソフトウェア製品が前回使用された日付。
レポート期間	ユーザーアカウントが再利用候補のリストに追加されるまでの、意味のあるアクティビティがない日数。デフォルト値は 30 日です。
レポート更新日	レポートが最後に更新された日付。
Windows	値 True または False で使用 Windows 方法を示します。
Mac	値 True または False で使用 macOS 方法を示します。
Excel (Mac)	Excel macOS の使用Microsoft状況を True または False の値で示します。
パワーポイント (Mac)	PowerPoint macOS の使用Microsoft状況を True または False の値で示します。
Outlook (Mac)	on macOS の使用Microsoft Outlookを True または False の値で示します。
Word (Mac)	on macOS の使用Microsoft Wordを True または False の値で示します。
OneNote(Macの場合)	OneNote macOS の使用Microsoft状況を True または False の値で示します。
チーム (Mac)	on macOS の使用Microsoft Teamsを True または False の値で示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365 Apps使用状況レポート (続く)

フィールド	説明
Excel (Windows)	PowerPoint Windows の使用Microsoft状況を True または False の値で示します。
パワーポイント (Windows)	PowerPoint Windows の使用Microsoft状況を True または False の値で示します。
Outlook (Windows)	on Windows の使用Microsoft Outlookを True または False の値で示します。
Word (Windows)	on Windows の使用Microsoft Wordを True または False の値で示します。
OneNote (Windows)	OneNote Windows の使用Microsoft状況を True または False の値で示します。
チーム (Windows)	on Windows の使用Microsoft Teamsを True または False の値で示します。

ドメイン分離と ソフトウェア資産管理

ドメイン分離は ソフトウェア資産管理 でサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：拡張

- ベーシックレベルと標準レベルを含みます。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別のユーザーに影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

製品のドメイン分離サポートにより、サービスプロバイダーは、ソフトウェアおよびハードウェア資産管理のマネージドサービスを顧客に提供できます。この機能は、子会社を独立したドメインとして管理している大規模な組織にも対応しています。

Software Asset Management におけるドメイン分離の仕組み

SAM では、ドメイン分離はデータ分離とプロセス分離の 2 つのステージで行われます。分離を有効または無効にするために使用される 2 つのシステムプロパティがあります。Paris リリースでは、データとプロセスの両方がドメイン分離されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

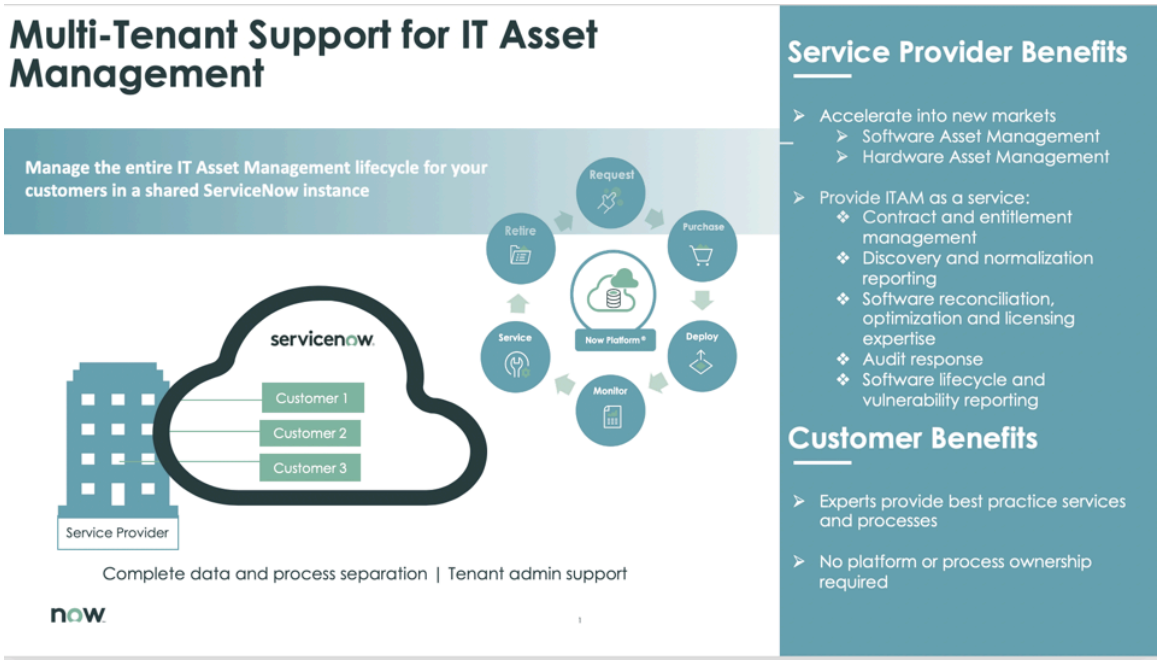
sam_integratorロールを持つすべてのユーザーは、SaaS 統合プロファイルを作成および変更できます。このロールを持つユーザーは OAuth アプリケーションレジストリにもアクセスできるため (現在はドメイン分離されていないため、すべてのドメインのレコードが表示されます)、このsam_integratorロールは注意して割り当てる必要があります。ユーザーはサービス プロバイダー組織に所属し、高いアクセス許可の基準を満たしている必要があります。

Domain Separation のログを表示するには、というタイトルの`asset.log_level`システムプロパティを作成し、その値を または `traceinfo`に設定する`debug`必要があります。設定した値に基づいて、AssetManagementBaseJobscheduled ジョブを拡張するジョブスケジュールが実行されると、ログが表示されます。

ドメイン分離されたインスタンスでは、コンテンツデータサービス (CDS) は、 グローバルに設定されたドメインをインスタンスに入力する必要があります。

注:

ベースシステムのドメイン設定レコードはカスタマイズしない ことをお勧めします 。



必須のプラグイン

- Domain separation extension (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- Performance Analytics – ドメインサポート (com.snc.pa.domain_support)
- SAMP (com.sn_samp_master)
- HAMP (ストアアプリ)

サポートされているその他のプラグイン

- Service Catalog – Domain Separation (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)
- Procurement (com.snc.procurement)
- コスト管理 (com.snc.cost_management)
- 契約管理 (com.snc.contract_management)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「ドメイン分離の説明」、「クエリとドメイン アクセスを含む」、および「既定のドメインの重要性」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

ドメイン分離とライフサイクルレポート

ソフトウェアライフサイクルレポートを実行する際に考慮すべき、特定のドメイン分離の側面があります。

概要

ドメイン分離環境でのソフトウェアライフサイクルレポートは、サービスプロバイダー (SP) がお客様の環境におけるコンプライアンスを管理するレベルで生成されます。通常、調整の実行レベルは、そのようなコンプライアンスを示すものであり、ソフトウェアライフサイクルレポートは同じレベルで生成されます。

次の表に、調整の動作を示します。この例では：

- SP は、Cisco のソフトウェア資産管理 (SAM) プログラムを Cisco の企業レベルで管理しています。つまり、ライフサイクルレポートは Cisco の企業レベルで実行する必要があります。
- SP は、ウォルマートの各部門 (米国およびメキシコ) の SAM プログラムを管理しています。つまり、ライフサイクルレポートはウォルマートの部門レベルで実行する必要があります。

SP 階層は次のとおりです。

- Cisco 社
  - Cisco 米国
  - Cisco メキシコ
- ウォルマート社
  - ウォルマート米国
  - ウォルマートメキシコ

ドメイン設定 (調整/正規化)	コンプライアンスレポート	ライフサイクルレポートレベル
TOP/Cisco	True	はい
TOP/Cisco/米国	False	
TOP/Cisco/メキシコ	False	
TOP/Cisco/ドイツ	False	
TOP/ウォルマート	False	
TOP/ウォルマート/米国	True	はい
TOP/ウォルマート/メキシコ	True	はい

SP が Cisco 社および Cisco メキシコ向けにソフトウェアモデルを設定している場合、Cisco の企業レベルで Cisco のコンプライアンスを管理することを意図している場合でも、ライフサイクルレポートに同じインストール数の重複するライフサイクルレコードが表示されることがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライフサイクルレポート

モデルドメイン		日付		ソフトウェア モデル	ドメイン
Cisco	SQL Server 2012	2014	10	SQL Server 2012	Cisco
Cisco メキシコ	SQL Server 2012	2014	10	SQL Server 2012	Cisco
ウォルマート米国	SQL Server 2012	2014	5		
ウォルマートメキシコ	SQL Server 2012	2014	20		

ソフトウェアライフサイクルの詳細については、以下を参照してください。 でのソフトウェアモデルの作成 ソフトウェア資産管理 クラシック. ドメイン分離パスのセットアップの詳細については、「Domain Separation のセットアップと管理」を参照してください。

ソフトウェア資産管理のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、ソフトウェア資産管理 が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

Software Asset Management Foundation プラグイン ソフトウェア資産管理 クイックスタートテストでは、ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.snc.samp) をアクティブ化する必要があります。一部のクイックスタートテストでは、以下の追加プラグインをアクティブ化する必要があります。

- ソフトウェア資産管理 - 支出検出 (com sn_sam_spend)
- ソフトウェア資産管理プロ - Microsoft 向け (com.snc.samp.microsoft)
- ソフトウェア資産管理プロ - SAP 向け (com.sn_samp_sap)
- Oracle 用の ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.oracle)
- ソフトウェア資産管理 - SaaS License Management 統合 (com sn_sam_saas_int)

ソフトウェア資産管理 テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
SAM - 新しく公開された PPN およびコンテンツへのカスタム PPN/DMAP のマッピング	カスタム公開者の部品番号 (PPN) が新しい ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス PPN に置き換えられたことを検証します。	San Diego
SAM：Oracle PaaS BYOL	• PaaS デバイスに関する情報を格納する新しいサーバーレスハードウェア [cmdb_ci_serverless_hardware] テーブルの追加を検証します。 • Amazon Web サービス (AWS) PaaS 環境の Oracle	Rome

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	データベースサーバーのライセンスコンプライアンスを検証します。 注: ソフトウェア資産管理プロ for Oracle (com.snc.samp.oracle) プラグインと CMDB CI Class Models ストアアプリケーションが必要です。	
SAM：ソフトウェアモデルのソフトウェア製品ライフサイクルレコード	ソフトウェアモデルフォームの [ソフトウェアライフサイクル] タブにレコードが表示されていることを確認します。 注: デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Quebec
SAM：BYOL	• ソフトウェアエンタイトルメントフォームの購入日を検証 • ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result] およびライセンスの位置レポート [samp_license_position_report] テーブルに、新しく追加された列 legacy_license の追加を検証します。 • ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに、新しく追加された列、cloud_license_type および cloud_license_type_source を検証します。 注: Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
SAM - CIS スイートを検証	ダウングレード権限で、コアインフラストラクチャサーバー (CIS) スイートの調整を検証します。 注: デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris
SAM - PerCoreForMSCluster	Microsoft の調整機能をクラスターのコアごとに検証します。 注: Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris
SAM - アップグレード/ダウングレードを Microsoft Publisher の調整中に検証	アップグレードとダウングレードの権限を、Microsoft 製品の調整中に検証します。 注: デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris
SAM - SaaS アプリケーションを統合するデマンドを生成	SaaS アプリケーションでデマンドの生成と送信を検証します。 注: ソフトウェア資産管理 - Spend Detection (com.sn_sam_spend) プラグインと PPM standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインが必要です。	Paris
SAM - SAP エンジンのソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント	製品が SAP エンジンである場合、ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメントの各フォームが変更されたことを確認します。	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: SAP 向けソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_sap) プラグインが必要です。	
SAM：ソフトウェアモデルのダウングレード権限	コンテンツサービスからプッシュされたダウングレード権限が、ソフトウェアモデルフォームの [ダウングレード権限] 関連リストで正しく設定されていることを検証します。	Orlando
SAM：ソフトウェアエンタイトルメントに関するマルチコアパック検証	ソフトウェアエンタイトルメントに関するマルチコアパックの新しいフィールドの機能を検証します。 注: Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Orlando
SAM：ソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限	コンテンツサービスからプッシュされたダウングレード権限が、ソフトウェアエンタイトルメントフォームの [ダウングレード権限] 関連リストで正しく設定されていることを検証します。	Orlando
SAM：ソフトウェア支出トランザクション	ソフトウェア消費トランザクションの作成を検証します。 注: ソフトウェア資産管理 - 支出検出 (com.sn_sam_spend) プラグインが必要です。	Orlando
SAM：ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント	ユーザーがソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメントを作成し、それらのレコードを検証できることをテストします。	New York
SAM：ソフトウェアのインストールと Discovery モデル	ユーザーがソフトウェアのインストールと検出モデルを作成し、それらのレコードを検証できることをテストします。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
SAM - カスタム PPN を使用するソフトウェアエンタイトルメントの作成	カスタムソフトウェア製品、カスタム製品のカスタム DMAP、カスタム DMAP のカスタム部品番号、カスタム部品番号を使用するソフトウェアエンタイトルメントを作成して、ソフトウェアモデルが自動で作成されていることを確認します。	New York
SAM - SAP の名前付きユーザーのソフトウェアモデルチェック	公開者が SAP で製品が名前付きユーザーである場合に、ソフトウェアモデルフォームが変更することをテストします。 注: SAP 向けソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_sap) プラグインが必要です。	New York
SAM：SaaS のソフトウェアモデルチェック	SaaS 製品が選択された際に、ソフトウェアモデルフォームが変更することをテストします。 注: ソフトウェア資産管理 - SaaS License Management Integrations (com.sn_sam_saas_int) プラグインが必要です。	New York
SAM：SaaS ソフトウェア製品のフィールドを検証	[サブスクリプションソフトウェア] と [インストールを無視] フィールドがソフトウェア製品フォームに存在することをテストします。 注: ソフトウェア資産管理 - SaaS License Management Integrations (com.sn_sam_saas_int) プラグインが必要です。	New York

関連情報

クイックスタートテスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ハードウェア資産管理

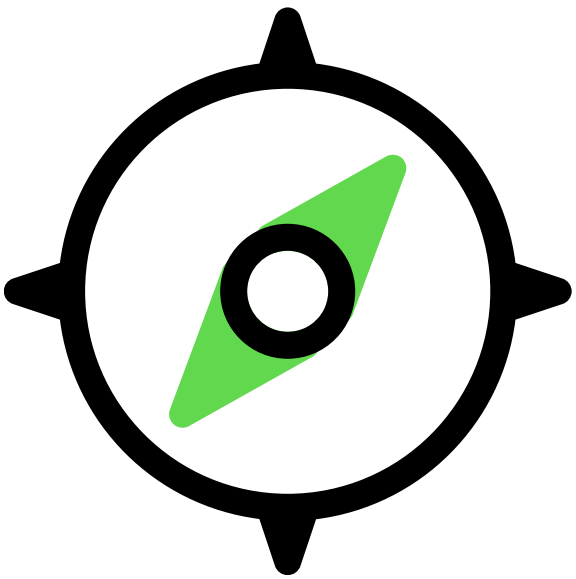
ServiceNow® ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションは、ライセンス取得可能なアプリケーションであり、アクティブ化されたときには、IT 資産を維持するための高度なワークフロー、自動化、およびモバイル機能を提供します。

ハードウェア資産管理 アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

ハードウェア資産管理の概要

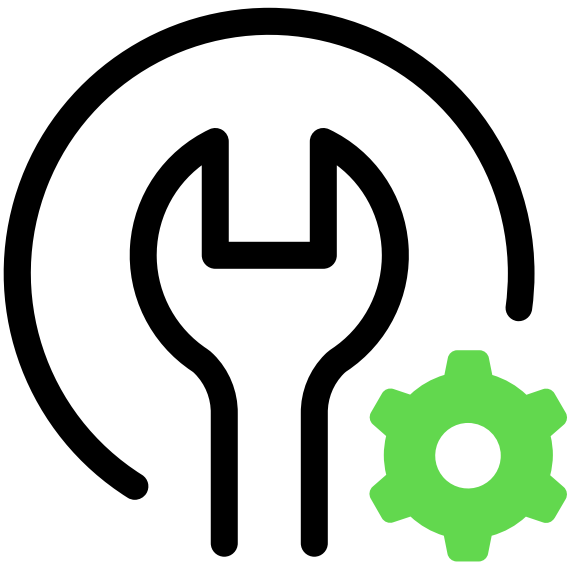
注:
Now Platform® Washington DC リリース以降、ハードウェア資産管理 コア UI インターフェイスのサポートは限定的になります。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内では引き続き有効ですが、新しいワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。詳細については、「KB1584544」、「ハードウェア資産ワークスペース」および「Next Experience UI」を参照してください。

詳細を読む



アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値 ハードウェア資産管理 について説明します。

構成



サポートプラグインを有効にし ハードウェア資産管理 、ロールをアサインします。

自動翻訳

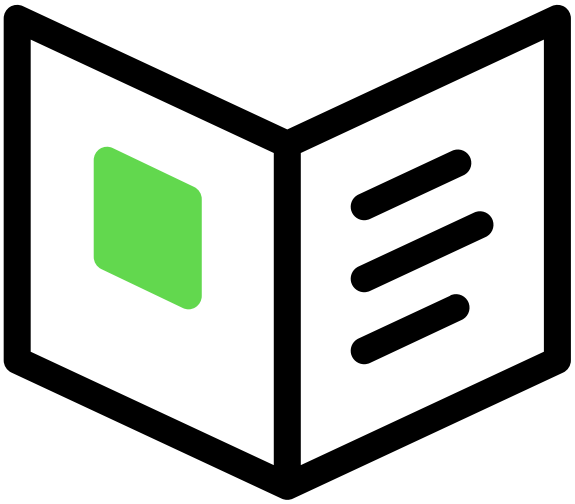
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用



を使用して ハードウェア資産管理 、ハードウェア資産を効率的に管理します。

参照



アクション可能なデータを視覚化することで、ビジネスプロセスとプラクティスを改善します。

ServiceNow ストア Web サイトにアクセスして、利用可能なすべてのアプリを表示し、要求をストアに送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのこれまでのリリースノート情報については、「ServiceNow Store のバージョン履歴リリースノート」を参照してください。

学習内容

ハードウェア資産管理とは？

ハードウェア資産管理 の詳細

組織内のさまざまなユーザーに提供できるメリットを確認して、詳細 ハードウェア資産管理 を確認してください。

ハードウェア資産管理の概要

ハードウェア資産管理 を使用すると、ハードウェアや消耗品など、組織のすべての資産のエンドツーエンドのライフサイクルを追跡および管理できます。規範的なワークフローとタスクにより、資産ライフサイクルのすべてのステージを簡素化できます。資産のタグ付け、所有権の割り当て、および資産の位置追跡により、資産損失のリスクを軽減できます。 ハードウェア資産管理 また、未承認のハードウェア資産を特定し、組織の確立されたポリシーや規制へのコンプライアンスを確認することもできます。

ハードウェア資産管理 のメリット

メリット	機能	ユーザー
ハードウェア資産を直感的に一元化された一元化されたビューで重要な優先度とアクティビ	ハードウェア資産ワークスペース	エグゼクティブ/アプリケーションオーナー/資

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メリット	機能	ユーザー
ティに ハードウェア資産管理 誘導することで、資産ライフサイクルを管理し、資産レコードを正確かつ最新の状態に保ちます。		産マネージャー/インベントリユーザー
モバイルデバイスを活用して資産を倉庫に受け取り、オンサイト監査を実施して正確な在庫チェックを行います。	モバイル資産のスキャン	資産管理者/資産管理者/在庫管理者
の構築済みおよびガイド付きワークフローで資産のライフサイクルを簡素化します ハードウェア資産管理。	資産ライフサイクルの自動化	資産マネージャー/資産管理者
資産の返品、交換、または修理の返品自動化 (RMA) プロセスを自動化します。	返品許可	資産管理者/在庫管理者
複雑な資産グループを単一の親レコードとして管理する	アセットバンドル	資産マネージャー/資産管理者
退職する従業員にアサインされた資産を再利用するプロセスを自動化します。	資産再利用	従業員/資産管理者/在庫管理者
ハードウェア資産の場所を自動的に追跡および管理します。	Zebraテクノロジーとの統合 無線自動識別	資産管理者/在庫管理者
慈善団体への資産寄付をワークフローで管理します。	資産寄付	従業員/資産マネージャー/在庫マネージャー
資産をパレットにリンクし、通路およびスペースレベルで資産を追跡することで、倉庫をより正確に運用します。	在庫用パレット	資産管理者/在庫管理者
すべての貸与資産要求を処理し、貸与資産の準備と展開をタイムリーに行います。	貸与資産	従業員/在庫管理者
従業員のハードウェア資産リフレッシュ要求の注文、資産タグ付け、および配送を自動化します。	ゼロタッチでリフレッシュ	従業員/資産管理者/在庫管理者
API を介して配送業者への接続を作成して、出荷を追跡します。	配送業者の統合	管理者/資産管理者/在庫管理者
ハードウェア資産レコードを受領前に自動化して作成します。	事前出荷通知 (ASN)	管理者
組織で使用するハードウェア製品を要求し、製品をオンボーディングし、TRM ライフサイクルフェーズを定義します。	を使用したハードウェア製品のオンボーディングの管理 アプリケーションポートフォリオ管理	エンタープライズアーキテクト/アプリケーションオーナー
サービスの場所を使用し、配送チャネルと地理的に離れたストックルームを接続することで、要求の実行時間を短縮します。	• サービスの場所 • 流通チャネル	資産管理者/在庫管理者
資産の初期資本コストと運用コストを分析および追跡します。	の資産総所有コスト ハードウェア資産管理	アプリケーションオーナー/資産マネージャー
からハードウェア資産 Lenovoの保証の詳細を取得します。	との資産保証の統合 Lenovo	資産マネージャー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ガイド付きセットアップ による ハードウェア資産管理 の実装

ハードウェア資産管理 ガイド付きセットアップ は、インスタンスでの設定 ハードウェア資産管理 に役立つ一連のタスクを提供します ServiceNow 。ガイド付き設定を開く ハードウェア資産管理 には、次に移動します: アプリケーション > ガイド付きセットアップ.インターフェイスの使用 ガイド付きセットアップ の詳細については、「 ガイド付き設定の使用 」を参照してください。

ハードウェア資産管理 サブスクリプション

このプラットフォームではServiceNow、アプリケーションの使用IT Asset Managementに対して組織に課金されるライセンス方式が使用されます。 ServiceNow ハードウェア資産管理

注:
からインストール ハードウェア資産管理 する必要があります ServiceNow Store タスクを自動化し、作業を簡素化するのに役立ちます。

次の規範的なワークフローまたは機能を使用して、資産データを最大限に活用し、時間とリソースを節約します。

- ハードウェア資産ワークスペース
- ハードウェア資産ダッシュボード
- ハードウェアモデル正規化
- コンテンツルックアップポータル
- 資産ライフサイクルの自動化
  - ハードウェア資産のリフレッシュ
  - ハードウェア廃棄
  - 貸与資産のオーダーまたは資産の予約
  - 返品許可
  - 資産リースの有効期限
  - リース資産の返却
  - アセットバンドル
  - 事前出荷通知 (ASN)
  - 資産寄付
  - ゼロタッチでリフレッシュ
- 展開、スワップ、廃止などの自動化された資産タスク
- モバイル
  - 資産在庫監査
  - 資産廃棄スキャン
- 資産統合:配送業者
- パレット資産
- Asset Management 担当役員ダッシュボード
- 契約管理と更新
- ハードウェア資産ダッシュボード
- コンテンツルックアップポータル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- HAM ガイド付きセットアップ
- Zebra RFID 統合
- サービスの場所
- ストックルームの流通チャネルサポート
- ハードウェア資産のインドアマッピング機能
- Hardware Asset Management の成熟度
- 資産総所有コスト
- との資産保証の統合 Lenovo

Core 資産管理 の次の基本システム機能は、(ITSM) および カスタマーサービス管理 (CSM) ()CSM 製品でServiceNow IT Service Management提供されます。

- 資産レコードとモデルレコード
- 倉庫
- 転送注文
- 発注書
- 契約
- モバイル資産の受領
- モバイル - 自分の資産

詳細については、「Asset Management」と「サブスクリプションを管理ハードウェア資産管理」を参照。

ハードウェア資産管理 ライセンス

ハードウェア資産管理 (HAM) ライセンスを使用すると、 ハードウェア資産管理 使用するリソースカテゴリを選択できます。使用しないカテゴリには料金を支払わず、使用するカテゴリに対してのみ料金を支払うことで、コストを節約できます。

リソースカテゴリからオプトアウトする場合、そのライセンスの料金を支払う必要はありません。

注:
特定のリソースカテゴリのデフォルトでは、関連モデルの正規化関数と関連資産の資産アクションは機能しません。正規化関数とアセットアクションを使用する場合は、そのリソースカテゴリをオプトインする必要があります。

HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウトの詳細については、次を参照してください HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウト。

リソースカテゴリにはさまざまなタイプがあります。異なる資産は、異なるカテゴリに分類されます。正しい必須のカテゴリにオプトインしていることを確認してください。モデルカテゴリの使用状況に基づいて、HAM ライセンスは ServiceNow リソースカテゴリに分類されます。資産 [alm_asset] テーブルで表され、サーバー、エンドユーザーコンピューター、ネットワークデバイス、モバイルデバイスなどの各管理対象 IT リソースタイプの基準を満たす物理資産は、リソースカテゴリに対するサブスクリプションユニットの以下の事前定義された比率に基づいてサブスクリプションユニットにカウントされます。

の機能Telecommunications Network Inventoryにアクセスするハードウェア資産管理には、Telecommunications Network Inventoryアプリケーションをインストールし、Telecom Network Inventoryリソースカテゴリにオプトインする必要があります。詳細については、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

「Telecommunications Network Inventory integration with Hardware Asset Management」を参照してください。

HAM ライセンスリソースのカテゴリ

サブスクリプションユニット率は、資産数に対するサブスクリプションユニット数の比率です。たとえば、エンドユーザーコンピューターのサブスクリプションユニットの比率は ***1:4*** であり、この場合、4 つの資産に対して ***1*** つのライセンスユニットが考慮されます。1 ライセンスが ***100 USD*** の場合、コンピューター資産 ***4*** 件が ***100*** USD、コンピューター資産 ***8*** 件が ***200 USD*** です。

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
エンドユーザーコンピューター	1:4	コンピュータ
サーバー	1:1	次のようなサーバー: • AIX サーバー • ESX サーバー • HPUX サーバー • Linux サーバー • Netware サーバー • OS/X サーバー • サーバー • Solaris サーバー • UNIX サーバー • Windows サーバー
ネットワークデバイス	1:5	• ネットワーク機器 • IP スイッチ • IP ルーター
モバイルデバイス	1:10	モバイルデバイス
テレコムネットワークインベントリ	1:1	• カード • Network Interface • 論理接続 • 物理接続 • 電気通信機器

カスタムモデルカテゴリの **HAM** ライセンス

以降のリリースでWashington DCリリースされた SKU にハードウェア資産管理アップグレードすると、カスタムモデルカテゴリを持つ資産は、次のいずれかの条件が満たされている場合にのみ、機能とワークフローにアクセスできますハードウェア資産管理。

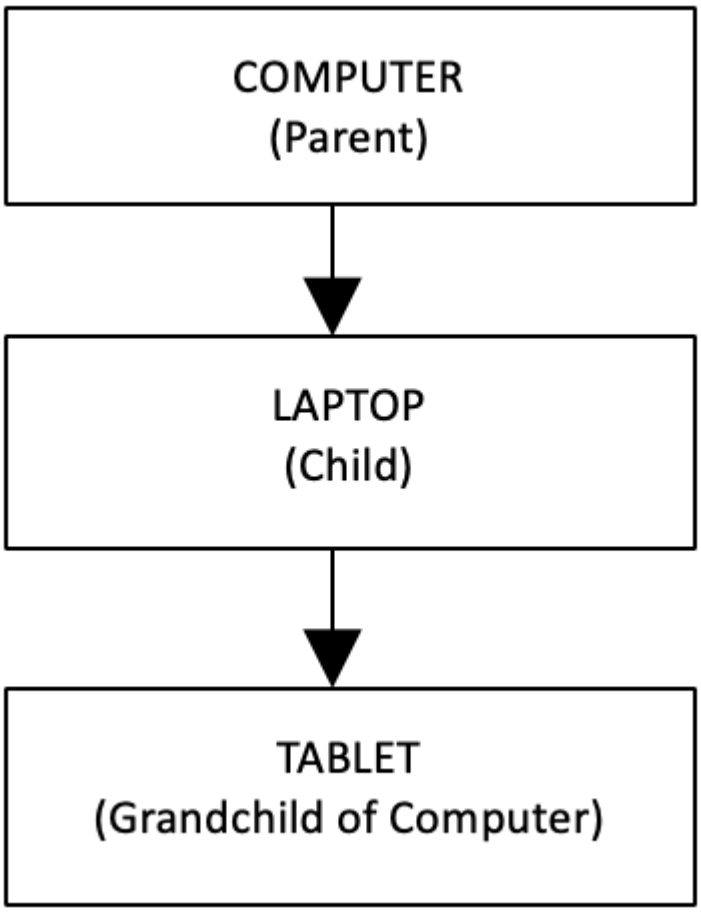
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 資産のカスタムモデルカテゴリは、オプトインモデルカテゴリの階層に属します。
- カスタムモデルカテゴリの親モデルカテゴリは、ライセンス可能でオプトインされたリソースカテゴリに関連付けられています。

注:
よりWashington DC前にリリースされた SKU を使用しているハードウェア資産管理場合、カスタムモデルカテゴリを持つ資産は、オプトインされたライセンス可能なリソースカテゴリに関連付けられていなくても、機能とワークフローにアクセスできますハードウェア資産管理。また、カスタムモデルカテゴリは、サブスクリプションユニットにはカウントされません。

モデルカテゴリの階層の例



この例では、コンピューターモデルカテゴリはカスタムモデルカテゴリ [ラップトップ] および [タブレット] に関連付けられています。カスタムモデルカテゴリについては、次の点に注意してください。

- コンピューターをオプトインすると、ラップトップとタブレットの両方も、エンドユーザーコンピューターリソースカテゴリのサブスクリプションユニットにカウントされます。また、これらのカスタムモデルカテゴリは、機能とワークフローにアクセスできます ハードウェア資産管理 。
- コンピューターをオプトアウトすると、ラップトップとタブレットの両方もオプトアウトされ、これらのカスタムモデルカテゴリは機能とワークフローにアクセスでき ハードウェア資産管理 なくなります。

次のモデルカテゴリの資産は、機能とワークフローへのアクセス ハードウェア資産管理 から除外されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- オプトアウトされたリソースカテゴリの子であるモデルカテゴリ。
- 現在ライセンス付与できないプリンターやストレージデバイスなどのモデルカテゴリの子であるモデルカテゴリ。
- 親カテゴリのないその他のカスタムモデルカテゴリ。

> **注:**
> プリンター、消耗品、ストレージデバイスなどの既存のモデルカテゴリは、引き続き機能を利用できます ハードウェア資産管理 。

ハードウェア資産ワークスペース

ハードウェア資産 ワークスペース は、ハードウェア資産を管理するための直感的で簡素化されたアプリケーションのユーザーインターフェイス ハードウェア資産管理 です。

> **注:**
>
> を使用するには、ハードウェア資産ワークスペース(sn_itam_workspace) プラグインを (sn_hamp) ハードウェア資産ワークスペースとともにハードウェア資産管理アクティブ化する必要があります。

は ハードウェア資産ワークスペース 、アセットを効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統合メディアです。ビューにより、正規化とストックルームに関するダッシュボード、モデル別の資産数、ライフサイクルステータス、モデルカテゴリ、資産の全体的なパフォーマンスなど、資産の重要な側面をすべて可視化できます。

次の ハードウェア資産ワークスペース ビューが含まれています。

- ハードウェア資産の概要:重要なアクションとアクティブなタスクへのクイックリンクを表示します。また、資産一覧の 360 度ビューを取得して、モデルタイプ、ライフサイクルステータス、資産価値別に資産のスナップショットを取得します。
- 資産分析:資産の総所有コスト (TCO) を追跡することで、リソースを効率的に管理します。
- 在庫:資産在庫全体と在庫タスクを実行できる倉庫の詳細を表示します。
- 資産一覧:資産機能を表示し、ハードウェアと消耗品の正確な記録を維持します。
- モデル管理:ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、およびバンドル全体で管理されているさまざまなタイプのモデルの詳細を表示します。
- のコンテンツルックアップポータル ハードウェア資産管理:コンテンツサービスに保存されているハードウェア資産管理 ハードウェア製品に関連するデータを表示します。
- 調達ビュー:進行中のすべての調達アクティビティの詳細を表示および管理します。
- 契約管理:すべてのハードウェアとソフトウェアの契約を表示および管理します。
- 成功ポータル:成功目標を使用して (HAM) アプリケーションの進捗状況 ハードウェア資産管理 を追跡し、目標の成功を追跡するアクティビティをアサインし、事前定義された成熟度アイテムを使用して HAM プログラムを成熟させます。
- 資産運用:在庫、出荷、調達、ハードウェア資産の正規化、契約、ゼロタッチでリフレッシュ、および成功目標に関連する資産運用を表示します。

ハードウェア資産の概要

最新の分かりやすいハードウェア資産の概要ビューを使用して、エクスペリエンスを向上させます ハードウェア資産管理 。ハードウェア資産の概要は簡素化されて直感的に使用できる環境で、複雑さを軽減することでアプリケーションをより効果的に使用するために役立ちます。

ハードウェア資産の概要ビューを使用して、次のことを行います。

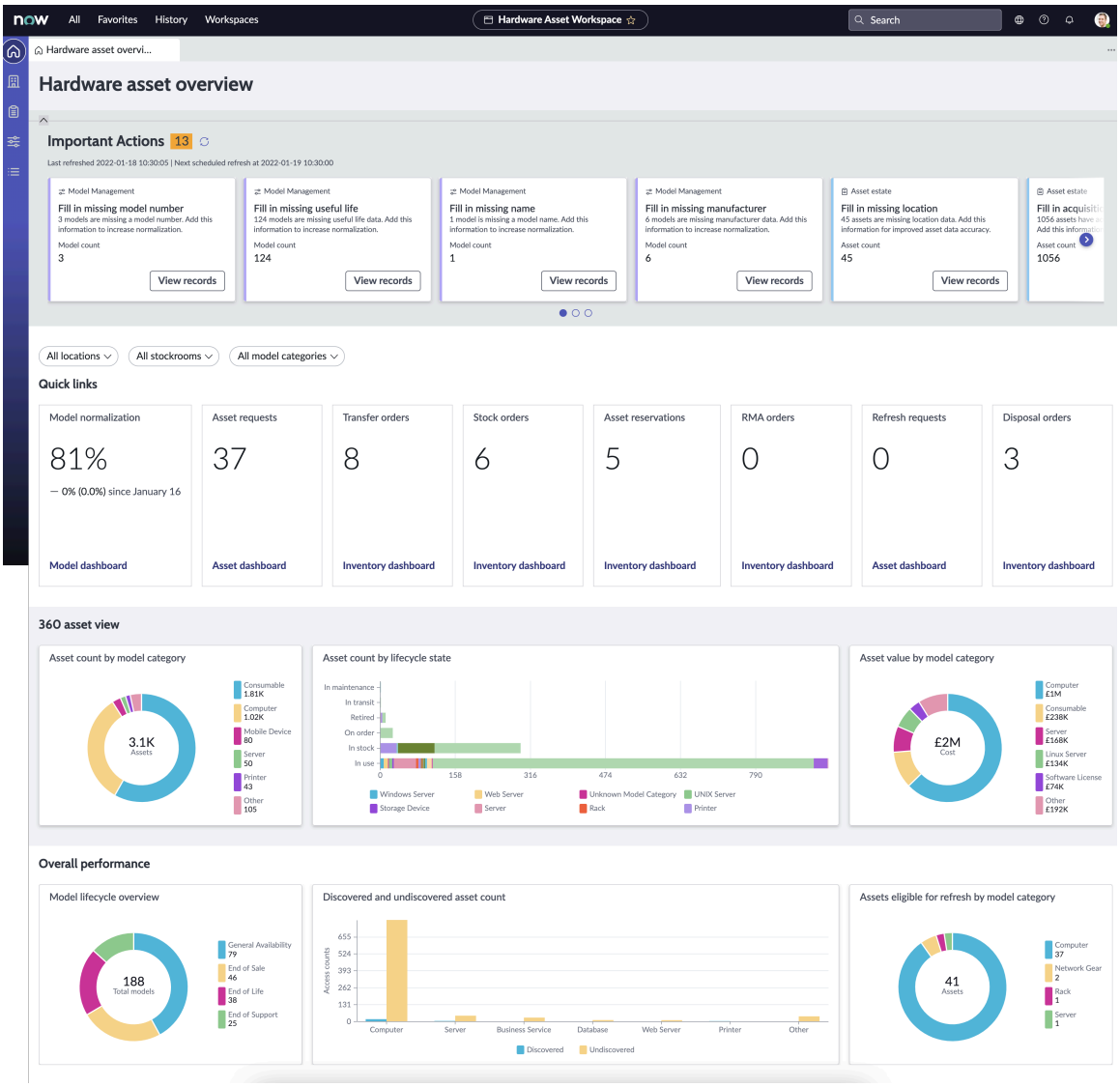
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産に発注書番号、モデル番号、資産機能、またはメーカーが欠落している場合などの不一致に対処します。
- モデル正規化、資産要求、転送注文、在庫注文、資産予約、RMA 注文、要求の更新、廃棄注文などの資産機能の特定のダッシュボードに移動します。
- モデルカテゴリとライフサイクルステータス別の資産数、およびモデルカテゴリ別の資産価値を表示する 360 度資産ビューセクションを表示します。
- すべての資産のモデルライフサイクルの概要、検出済みおよび未検出の資産数、およびモデルカテゴリ別の更新対象資産を表示する [Overall performance] セクションを表示します。

ウィジェットまたはチャートを選択して詳細情報を表示し、適切なアクションを実行します。[場所]、[ストックルーム]、および [モデルカテゴリ] リストを使用して、結果をフィルタリングすることもできます。

ハードウェア資産の概要



クイックリンク

ウィジェットまたは チャート	説明
モデル正規化	正規化されたハードウェアと消耗品モデルの割合。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クイックリンク (続く)

ウィジェットまたは チャート	説明
資産要求	アイテムのモデルがハードウェア、消耗品、またはバンドルである要求アイテムの数。
転送注文	有効な転送注文の数。
在庫注文	要求されたハードウェアインベントリ在庫オーダーアイテムの数。
資産予約	アクティブな貸与資産のオーダー数
RMA オーダー	オープン RMA 注文の数。
要求をリフレッシュ	オープンなハードウェア資産のリフレッシュ注文要求の数。
廃棄注文	未処理のハードウェア廃棄注文の数

360 度資産ビュー

ウィジェットまたは チャート	説明
モデルカテゴリ別の資産数	消耗品、コンピューター、モバイルデバイスなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産の数。
資産数 (ライフサイクルステータス別)	廃止、使用中、在庫など、ライフサイクルステータス別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別の資産価値	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバーなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。

全体的なパフォーマンス

ウィジェットまたは チャート	説明
モデルライフサイクルの概要	サポート終了、提供終了、一般提供、販売終了などのライフサイクルフェーズ別にグループ化されたモデルライフサイクルの概要。
検出済みおよび未検出の資産数	モデルカテゴリ別にグループ化された検出済み資産数と未検出資産数の比較。未検出の資産とは、まったく検出されなかった資産、または 1 か月以内に検出されなかった資産のことです。
更新対象となる資産 (モデルカテゴリ別)	既に有効期限が切れているか、当日が有効期限となっており、更新の対象となる資産の数。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード

膨大な数の資産レコードをページとともにロードする代わりに、オンデマンドでフェッチするチャートやウィジェットをロードすることができます。このアプローチにより、ハードウェア資産の概要ページのロード時間を短縮できます。

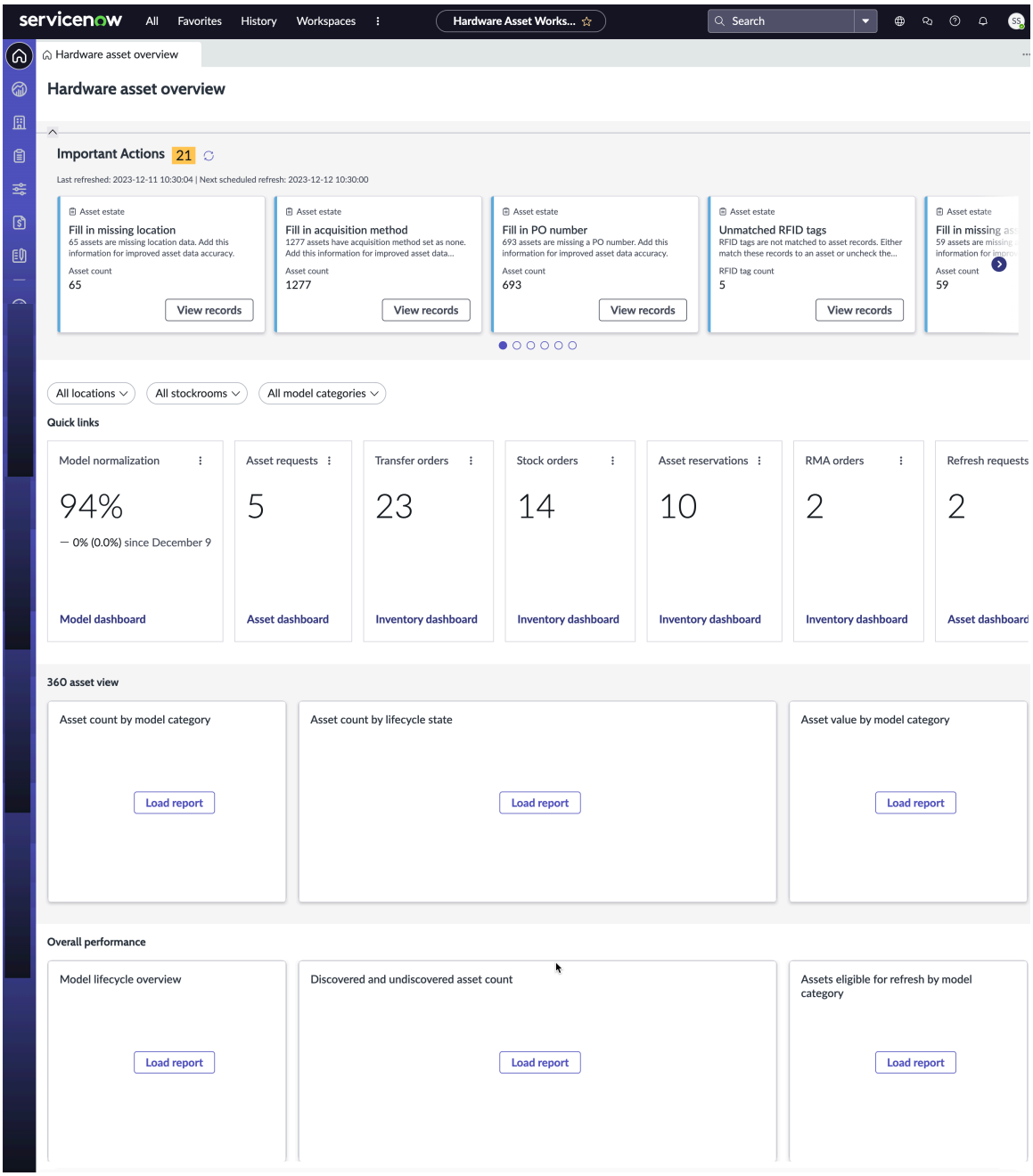
システムプロパティ *sn_itam_workspace.asset_overview_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、ページと同時にレポートをロードするかのオプションがあ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。インスタンスで ServiceNow このシステムプロパティが有効になっている場合は、[レポートをロード] オプションを使用してレポートを表示できます。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード



関連情報

Hardware Asset Management のための分析およびレポートのソリューション

[資産分析] ビュー

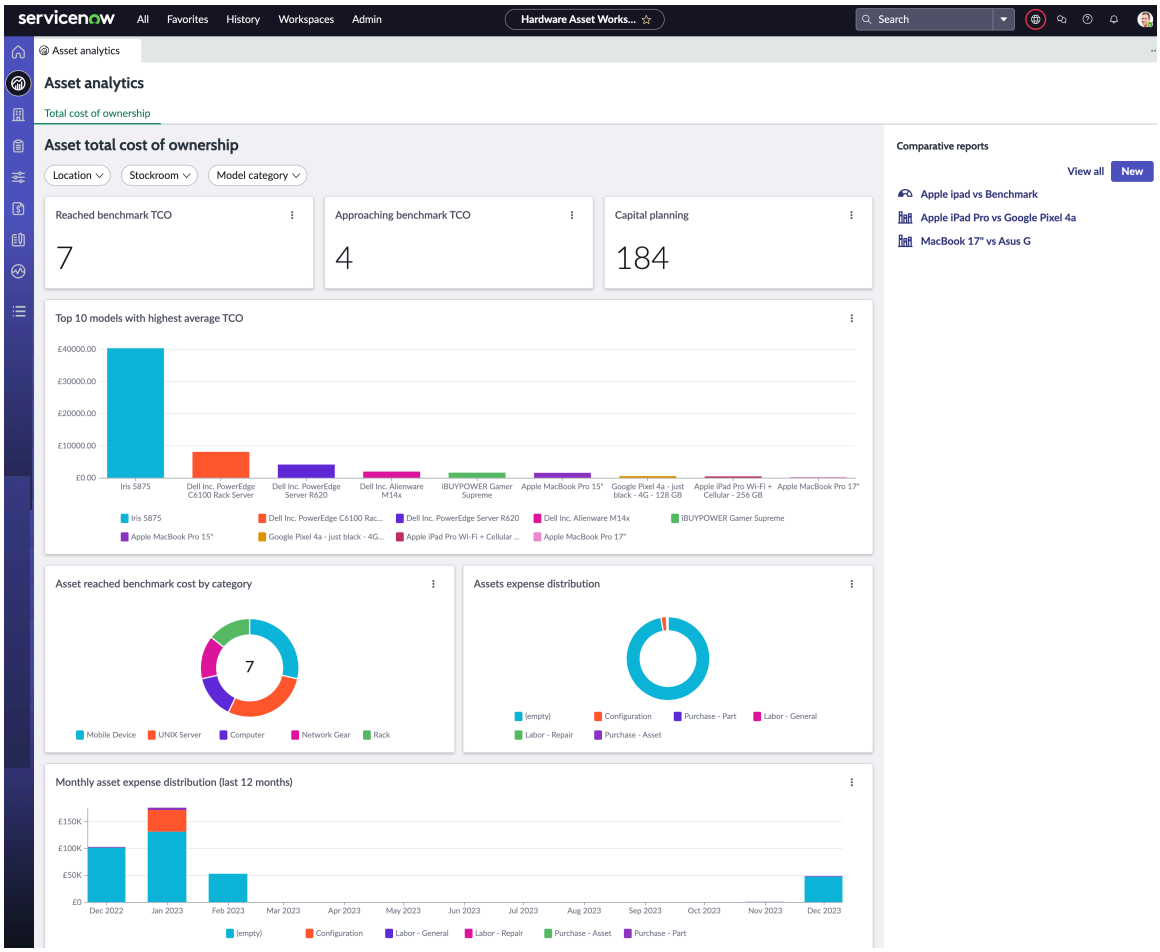
[資産分析] ビューを使用して、すべてのハードウェア資産、それらの全体的なパフォーマンス、および資産の総所有コスト (TCO) の詳細を取得します。

資産の TCO の詳細については、次を参照してください の資産総所有コスト ハードウェア資産管理。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
[資産分析] ビューは、バージョン 10.0.0 以降で使用できます ハードウェア資産管理 。



場所、ストックルーム、モデルカテゴリを選択して、結果を絞り込むことができます。

注:

TCO レポートは、Domain Extension Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインと Domain Support (com.snc.pa.domain_support) プラグインが有効になっている場合に、ドメイン分離をサポートします。

資産総所有コスト

フィールド	説明
ベンチマーク TCO に達しました	TCO がベンチマークコスト以上である資産の数。
ベンチマーク TCO に近づいています	TCO がベンチマークしきい値以上で、ベンチマークコスト未満の資産の数。 TCO ベンチマークしきい値のパーセンテージは、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されています。 例えば、ベンチマークを 1000 ドルとして設定し、資産コストが 750 ドルに達した場合、その

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産総所有コスト (続く)

フィールド	説明
	資産はベンチマーク TCO に近づいていると見なされます。 システムプロパティ *sn_itam_common.asset_tco_benchmark_threshold_perc* を使用して、ベンチマークしきい値の割合を更新します。 ハードウェア資産フィールド値の詳細については、「」を参照してください 資産レコードフィールド。
資本計画	資産ライフサイクルが 60 日を超え、廃止されていない資産のうち、資本計画の対象とすることができる資産の数。
平均 TCO が最も高い上位 10 モデル	12 か月間の平均資産 TCO が最も高い上位 10 のモデル。
カテゴリ別のベンチマークコストに到達した資産	モデルカテゴリ別の資産 TCO がベンチマークコストに達した資産の数。
資産経費分配	人件費、出荷、購入などの経費カテゴリに基づいて資産に発生したコスト。
月次資産経費分配 (過去 12 か月間)	過去 12 か月間の資産の月次初期コストと運用コスト。

比較レポート

このセクションには、最近作成された TCO レポートが表示されます。

[比較レポート] セクションで [新規] を選択して、レポートを作成することもできます。詳細については、「での TCO レポートの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。

インベントリビュー

の ハードウェア資産ワークスペース 在庫ビューを使用して、資産監査や廃棄注文などの在庫機能を表示し、在庫関連のアクションを実行します。

次のタブを使用して、在庫機能を表示し、適切なアクションを実行します。

- 概要:在庫からのオープンなハードウェア要求の数、RMA 要求ライン、オープンな転送オーダーなど、さまざまな在庫データを表示します。
- すべてのストックルーム:ストックルームを表示、作成、管理します。
- 資産監査:資産ストックルームおよびその他の場所 (オフィスやデータセンターなど) のスケジュール済み監査またはブラインド監査を実行します。
- 廃棄注文:使用終了サイクルに達した、または機能しなくなったハードウェアまたは消耗資産の廃棄注文を作成および管理します。
- 貸与資産のオーダー:すべての貸与資産のオーダーを表示し、適切なアクションを実行します。
- **RMA** オーダー:すべての RMA オーダーを表示し、適切なアクションを実行します。
- **RMA** 品目:すべての RMA 品目を表示し、適切なアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

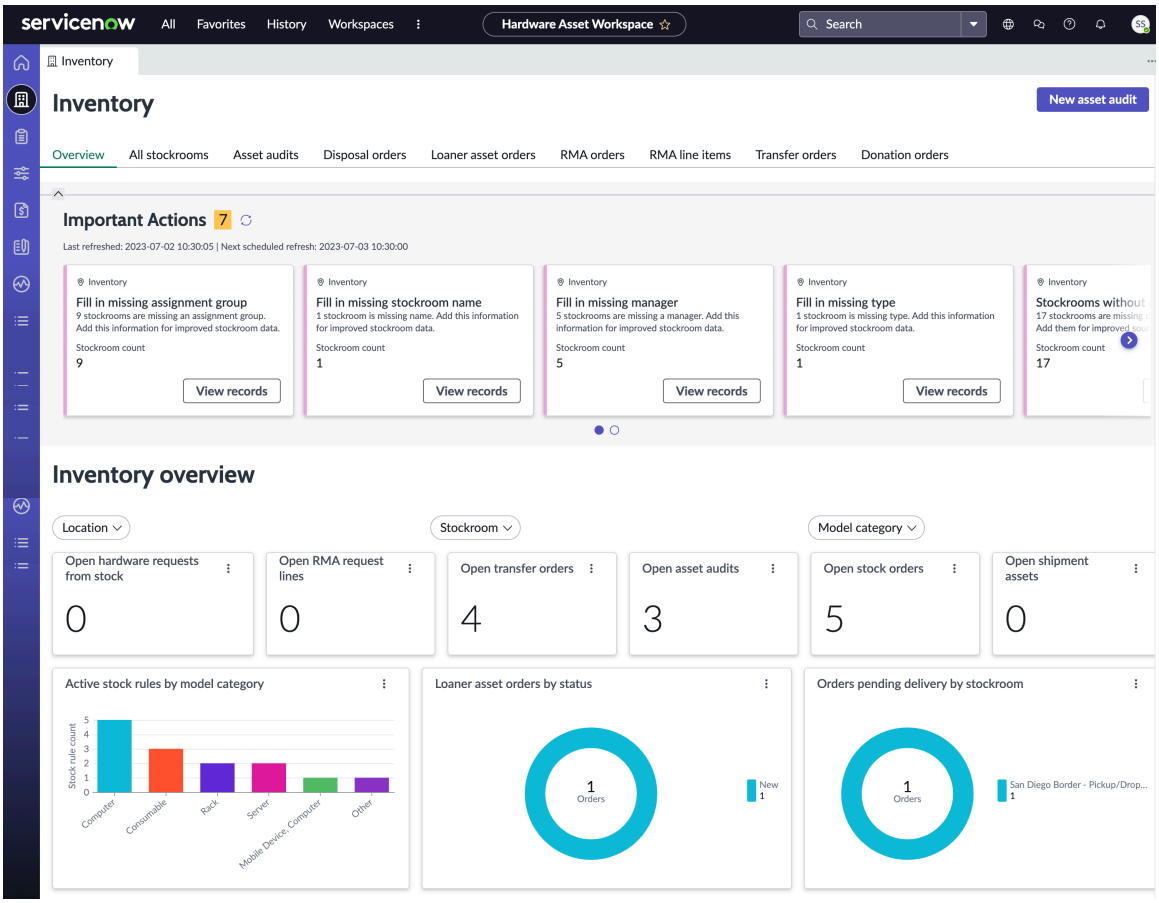
- 転送オーダー:転送オーダーを作成し、既存の転送オーダーを表示し、適切なアクションを実行します。
- 寄付オーダー:資産寄付オーダーのリストを表示します。

在庫の資産監査を作成するには、 新しい資産監査 を選択します。詳細については、「在庫を監査する」を参照してください。

[概要] タブ

[概要] タブを使用して、さまざまなインベントリデータをウィジェットとして統合表示します。また、資産監査や廃棄注文に関する不完全な情報など、不一致に対処するためのリンクを使用して、アクションに関する通知を表示することもできます。

インベントリビュー



ウィジェットまたはチャートを選択して 詳細を表示し、必要なアクションを実行します。[ドメイン]、[場所]、[ストックルーム]、および [モデル] カテゴリリストを使用して、結果を絞り込むこともできます。ドメインフィルターは、ドメイン分離が有効になっている場合にのみ使用できます。

在庫の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
オープン中の在庫からのハードウェア要求 (年初来)	暦年内に既に配送され作成された調達タイプの転送オーダーの数。
RMA 要求ラインを開く	オープン RMA 要求ラインの数。
オープン中の転送注文	キャンセルまたは未配達の転送オーダーの数

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

在庫の概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
オープン資産監査	現在新規または進行中の資産監査の数。
オープンな在庫注文	未完了またはキャンセルされた在庫注文の数
倉庫別の配送保留中のオーダー	受領またはキャンセルされていない発注書の数。
モデルカテゴリ別のアクティブな在庫ルール	モデルカテゴリ別にグループ化されたすべてのアクティブな在庫ルール。
貸与資産のオーダー (ステータス別)	[返却期限超過]、[展開済み]、[新規] などのステータス別にグループ化された貸与資産のオーダーの数。

サービスの場所、流通チャネル、および出荷に関連する次の重要なアクションカードを使用して、アクションが必要なアイテムのリストを表示できます。

- サービスの場所がない倉庫:サービスの場所に関連付けられていない倉庫のリスト。サービスの場所へのサポート提供から除外されている倉庫は、リストに表示されません。
- 流通チャネルがない倉庫:どの流通チャネルにも関連付けられていない倉庫のリスト。流通チャネルから除外されている倉庫は、リストに表示されません。
- 古い納品: 統合配送業者からの追跡情報で更新されていない納品のリスト。
- 出荷データの不一致:配送業者ステータスが [配送済み] で [ステージ] が [輸送中] の出荷レコードリスト。
- キャリア統合失敗:3 回連続して接続に失敗した統合プロファイルのリスト。
- マッピングされていない配送業者プロファイル:配送業者に関連付けられていない統合プロファイルのリスト。

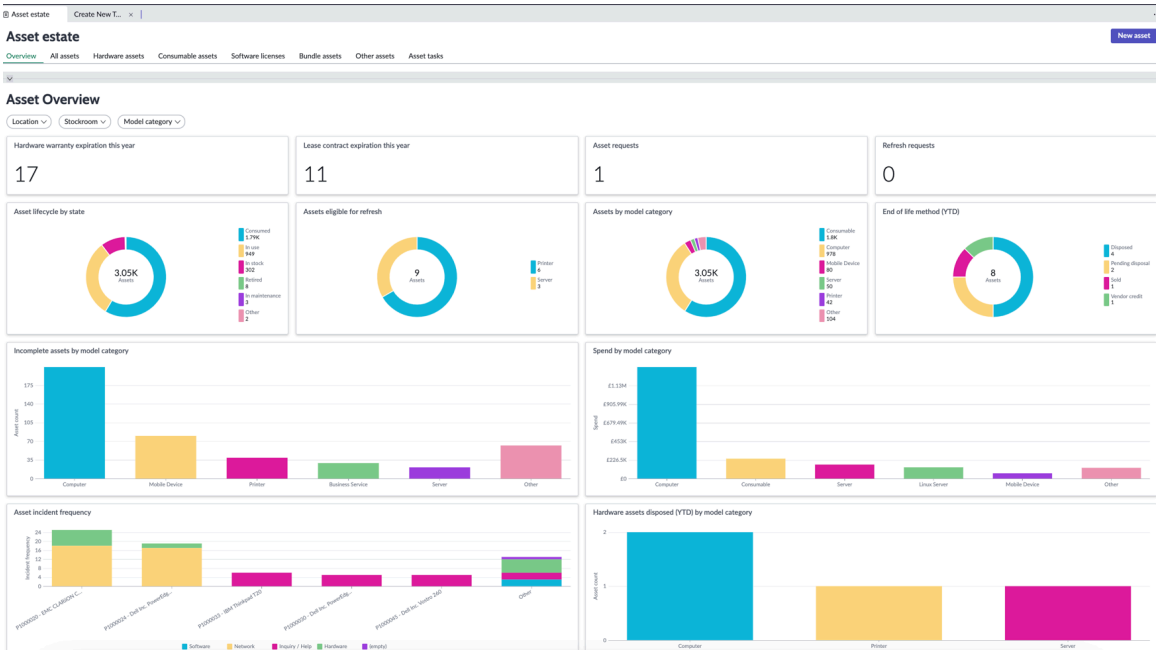
資産一覧ビュー

の ハードウェア資産ワークスペース 資産一覧ビューを使用して、期限切れ間近の資産、期限切れ間近のリース契約などの資産機能と通知を表示し、適切なアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産一覧ビュー



注:
[ソフトウェアライセンス] タブは、(com.snc.software_asset_management) または ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) がアクティブな場合はソフトウェア資産管理非表示になります。この [ソフトウェア ライセンス] タブは、 で Software Asset ワークスペース表示できます。

資産の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
今年有効期限が切れるハードウェア保証	今年期限切れになるハードウェアと消耗品の資産の数。
今年のリース契約有効期限	今年期限切れになるリース契約モデルの数。
資産要求	カタログ内のハードウェア、消耗品、およびバンドル要求の数。
要求をリフレッシュ	更新待ちの資産の数。
ステータス別の資産ライフサイクル	廃止、使用中、在庫など、ライフサイクルのステータス別にグループ化された資産の数。
更新対象となる資産	提供終了間近で更新の対象となる資産。
モデルカテゴリ別資産	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバーなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。
提供終了方法 (年初来)	今年の現在日までに廃止された資産。
不完全資産 (モデルカテゴリ別)	発注書番号、発注明細、受領明細のない資産モデル
モデルカテゴリ別の支出	モデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。
資産インシデントの頻度	頻繁にインシデントが報告されている資産です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
モデルカテゴリ別の廃棄されたハードウェア資産 (年初来)	今年の現在の日付までに廃棄され、モデルカテゴリ別にグループ化された資産。

ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、バンドル、パレット、モバイル、および施設資産を作成するには、 新しい資産 を選択します。詳細については、「割り当て済み資産を作成する」を参照してください。

資産一覧ビューでレポートをロード

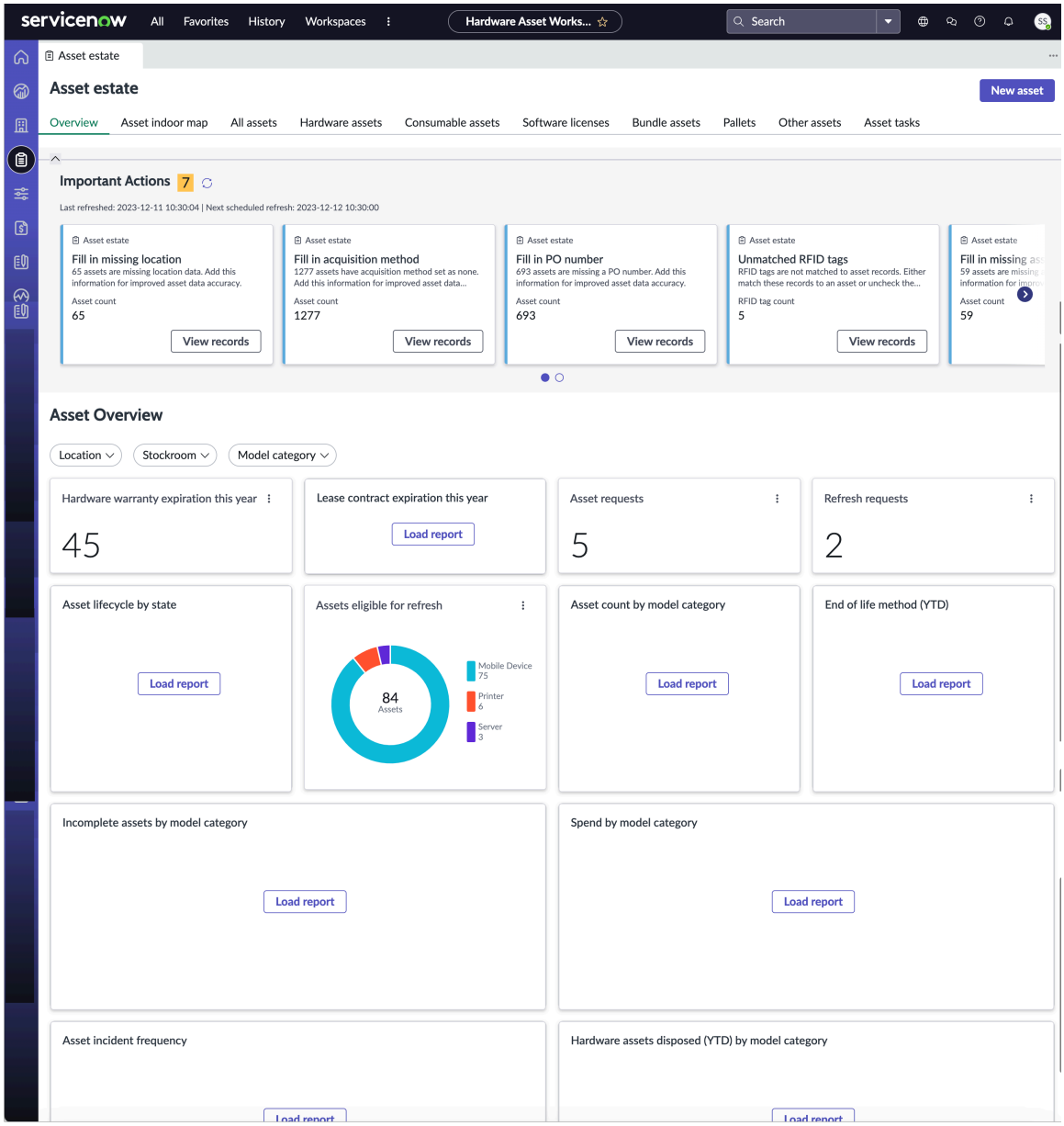
膨大な数の資産レコードをページとともにロードする代わりに、オンデマンドでフェッチするチャートやウィジェットをロードすることができます。このアプローチにより、資産一覧ビューのロード時間を短縮できます。

システムプロパティ*sn_itam_workspace.asset_estate_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、ページと同時にレポートをロードするかのオプションがあります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。インスタンスで ServiceNow このシステムプロパティを有効にすると、[レポートをロード] オプションを使用してチャートまたはウィジェットを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産一覧ビューでレポートをロード



モデル管理ビュー

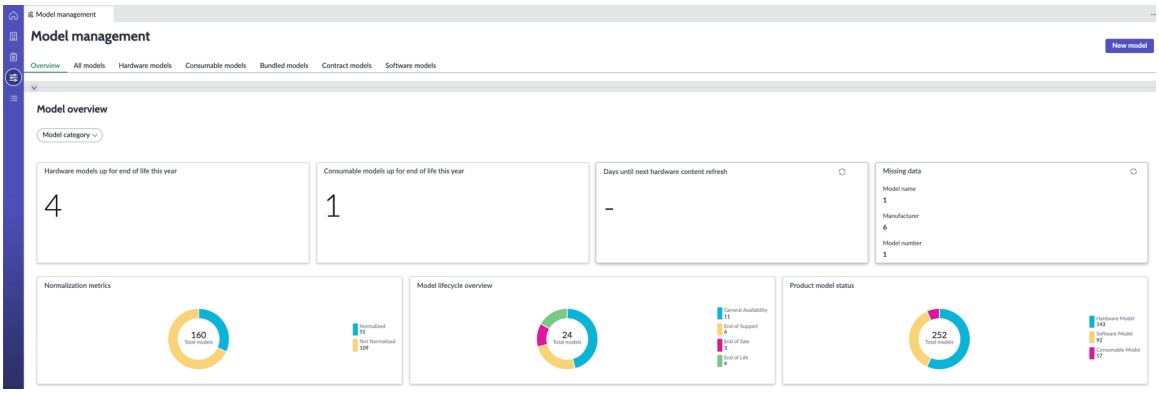
ハードウェア資産ワークスペースのモデル管理ビューを使用して、モデルを作成または編集し、提供終了間近のハードウェアや消耗品モデルなどの資産モデル関連の機能を表示して、適切なアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル管理ビュー

[モデル管理] ビューの [次のハードウェア コンテンツの更新までの日数] を除くすべてのレポートは、選択したモデル カテゴリに基づいてフィルタリングされます。



注:
(com.snc.software_asset_management) または ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) がアクティブな場合ソフトウェア資産管理、ソフトウェアモデルタブは非表示になります。この [ソフトウェアモデル] タブは [ソフトウェア資産ワークスペース] で表示できます。

モデルの概要

ウィジェットまたは チャート	説明
今年提供終了が迫っているハードウェアモデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年であるハードウェアモデルの数。
今年提供終了が迫っている消耗品モデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年である消耗品モデルの数。
次のハードウェアコンテンツ更新までの日数	次のハードウェア コンテンツの更新が実行されるまでの ハードウェア資産管理日数。
データの不足	モデル名、メーカー、およびモデル番号が欠落しているモデルの数。
正規化測定基準	正規化されたモデルと正規化されなかったモデルの数。
モデルライフサイクルの概要	一般提供、サポート終了、提供終了、販売終了などの各ライフサイクルステージに存在するモデルの数。
製品モデルのステータス	モデルのステータスに基づくハードウェア、消耗品、およびソフトウェアモデルの現在の数。

のコンテンツルックアップポータル ハードウェア資産管理

IT Asset Managementコンテンツルックアップポータルでは、直感的なユーザーインターフェイスを介してコンテンツサービスに保存されているハードウェア資産管理データを可視化できます。

Professional (sn_hamp) をインストールする ハードウェア資産管理 と、コンテンツルックアップポータルで次の操作を実行できます。

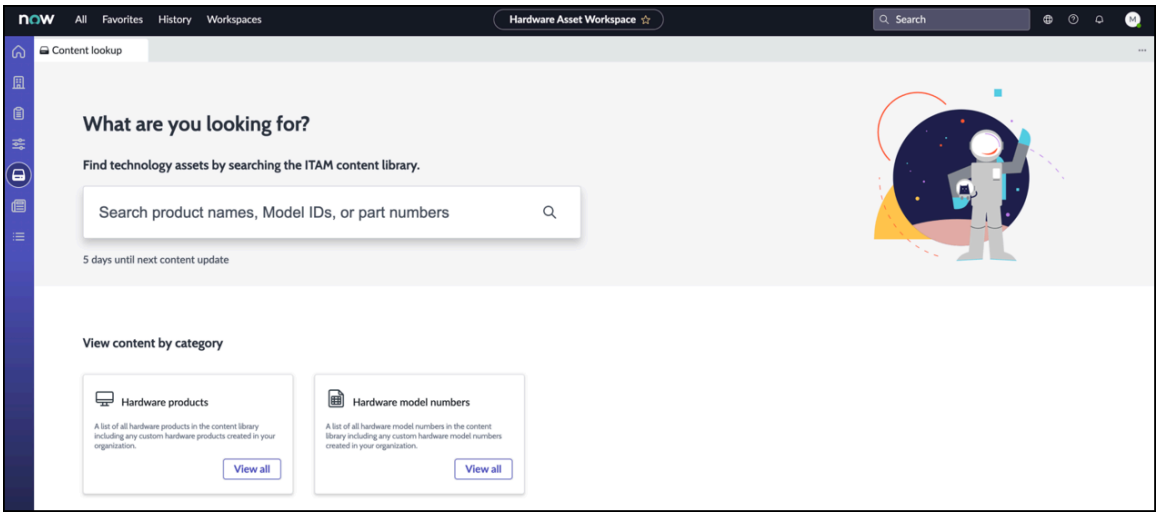
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ハードウェア製品またはモデル番号を検索する
- コンテンツサービスでハードウェア製品とモデル番号のリスト全体を表示する
- 次のコンテンツ更新までの累積残り日数を表示する

コンテンツ ルックアップのインストールの詳細については、「」を参照してください データを表示する ハードウェア資産管理 ためのコンテンツルックアップのインストール。

のコンテンツルックアップポータル ハードウェア資産管理



検索バーに条件を入力すると、検索結果が一覧表示され、最も関連性の高い一致が一番上に表示されます。ページの左側にあるフィルターは、結果をさらに絞り込むのに役立ちます。

検索条件に基づいて、次のテーブルからコンテンツサービスの情報が取得されます。

- ハードウェア製品 [sn_hamp_hw_product]
- ハードウェアモデルライブラリ [sn_hamp_hw_product_model]

条件に一致する検索結果を選択すると、コンテンツレコードと関連リストの詳細が表示されます。コンテンツレコードページが読み取り専用モードで開きます。

データを表示する ハードウェア資産管理 ためのコンテンツルックアップのインストール

IT Asset Managementコンテンツルックアップアプリケーションをインストールして、コンテンツサービスに保存されているハードウェア資産管理データを表示します。

始める前に

- ServiceNow Store から Professional (com.sn_hamp) をインストールしハードウェア資産管理ます。
- (com.glide.ais) プラグインを有効にします AI 検索 。

必要なロール：asset

このタスクについて

(com.sn_samp_master)プラグインをインストールし ソフトウェア資産管理プロ ている場合は、コンテンツサービスに保存されている ソフトウェア資産管理 データを表示できます。Software Asset Management Professional (com.sn_samp_master) プラグインと ハードウェア資産管理 Professional (com.sn_hamp) プラグインの両方をインストールしている場合は、コンテンツルックアップアプリケーションで IT Asset Management 両方のコンテンツデータを表示できます。ソフトウェアやハードウェアなどのコンテンツタイプに基づいて検索結果をフィルタリングすることもできます。の ソフトウェア資産管理コンテンツルックアップポータルのインストールの詳細について

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

は、「Software Asset Management のコンテンツルックアップポータルのインストール」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. IT Asset Managementフィルター基準、検索バー、および製品タブを使用して、コンテンツルックアップアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store から要求します。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。
4. [インストール] を選択します。

調達ビュー

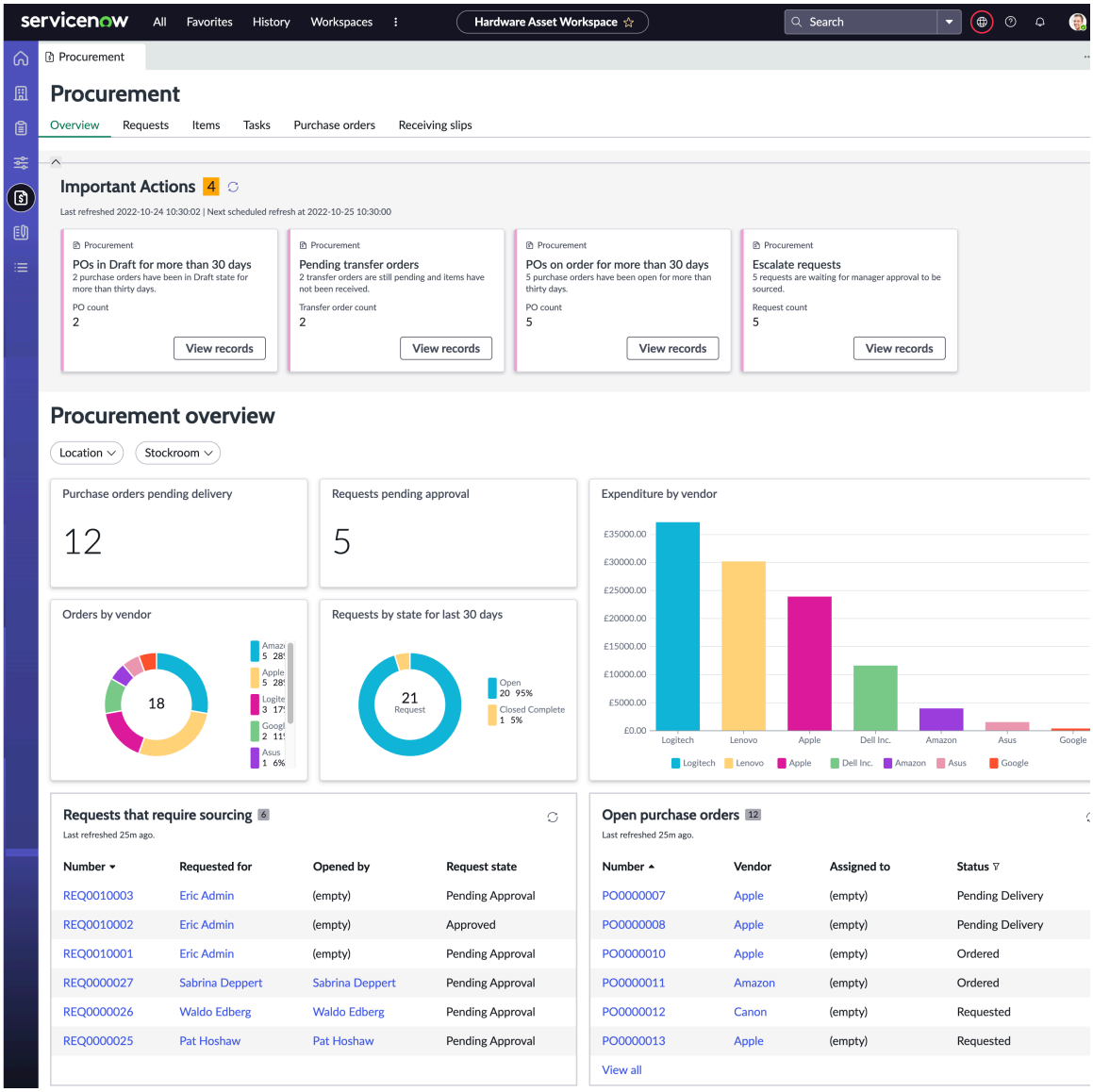
の ハードウェア資産ワークスペース 調達ビューを使用して、調達要求、発注書、調達タスク、受領伝票などの調達関連の詳細を表示および管理します。

調達ビューでは、未解決の要求、保留中の発注書と転送オーダー、およびマネージャーの承認が必要な要求を管理するためのアクションにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調達ビュー



ウィジェットまたはグラフを選択して詳細を表示します。また、場所、ストックルーム、ドメインのフィルターを使用して、結果を絞り込むこともできます。

注:
ドメインフィルターは、Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインと Domain Separation (plugin com.snc.pa.domain_support) プラグインが有効になっている場合にのみ使用できます。

調達の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
保留中の配送の発注書	受信されず、キャンセルされなかった発注書の数。ステータスが「要求済み」、「注文済み」、または「保留中の配送」である発注書のみが表示されます。
承認待ちの要求	要求の状態が承認待ちである、調達可能でアクティブな要求の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調達の概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
ベンダー別の支出	在庫を調達するために各ベンダーに支払ったコスト。ステータスが「注文済み」、「保留中の配送」、または「受領済み」である発注書のみが表示されます。
ベンダー別の注文	注文済み、保留中の配送、またはベンダーが受領済みの発注書。
過去 30 日間のステータス別の要求	過去 30 日間に作成された要求が状態別にグループ化されます。
調達が必要な要求	発注書、ローカル注文、または転送注文が開始されていない要求のリスト。
オープンな発注書	要求済み、注文済み、または未配送の発注書のリスト。

関連情報

Procurement

契約管理ビュー

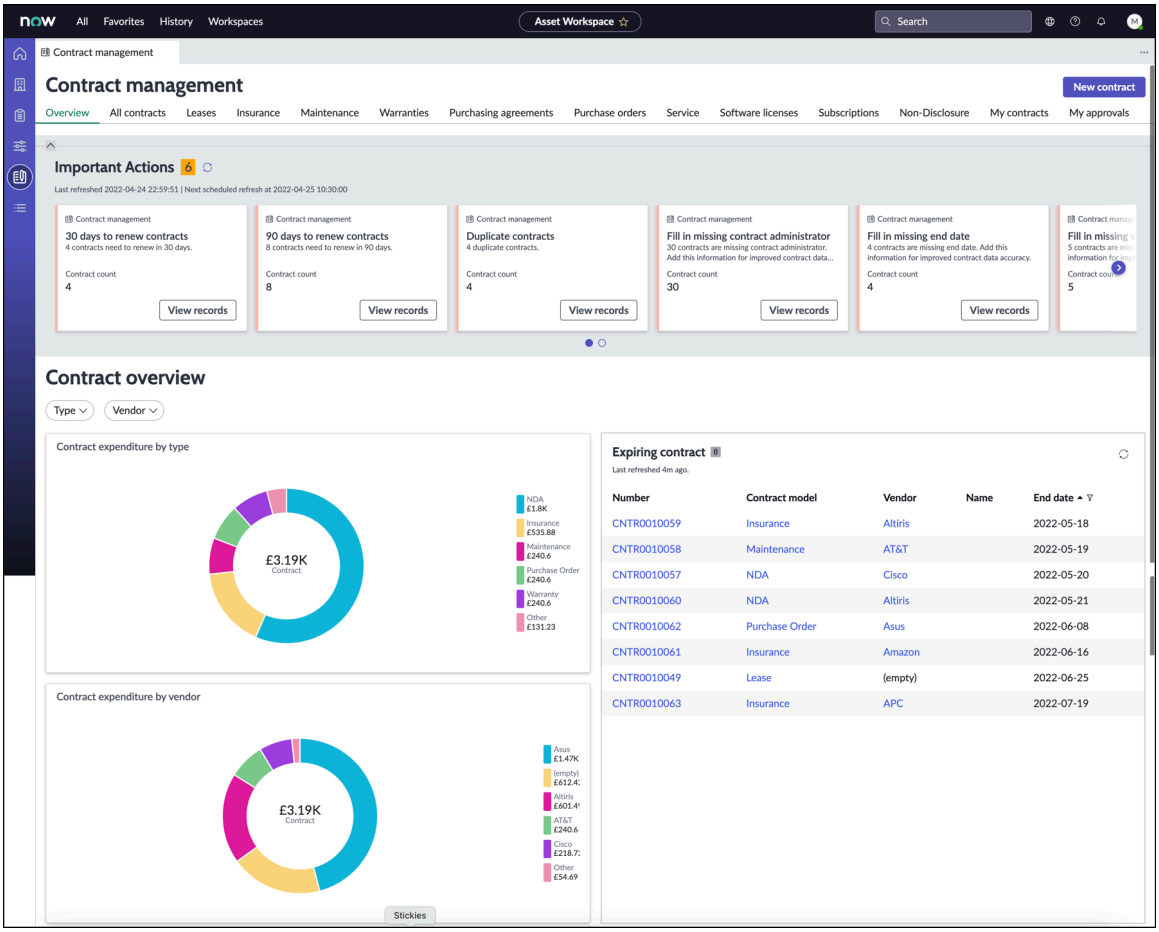
の ハードウェア資産ワークスペース [契約管理] ビューを使用して、契約番号、契約の開始日と終了日、契約条件ステートメントなどの契約の詳細を表示および管理します。

契約管理ビューには、契約、タイプおよびベンダー別の契約支出、期限切れ間近の契約のリストを管理するための重要なアクションが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約管理ビュー



契約を作成するには、 新しい契約 を選択します。詳細については、「契約を作成する」を参照してください。

関連情報

Contract Management

契約更改ワークフロー

の成功ポータルビュー ハードウェア資産ワークスペース

の成功 ハードウェア資産ワークスペース ポータルビューを使用して、成功目標を持つ (HAM) アプリケーションの進捗状況 ハードウェア資産管理 を追跡し、目標の成功を追跡するアクティビティをアサインし、事前定義された成熟度アイテムで HAM プログラムを成熟させます。

成功ポータルは、次のアクションを実行するのに役立ちます。

- 成功目標を通じて **HAM** アプリケーションの進捗状況を追跡する

  成功目標は、ハードウェア資産から得られる価値を分析し、予測される節減額を計算するのに役立ちます。追跡する資産の成功目標を作成します。成功目標の作成の詳細については、「」を参照してください Hardware Asset Management の成功目標を作成する。

- 成功目標の進捗状況を追跡する

  目標の成功アクティビティを作成して、目標の成功を追跡します。詳細については、「HAM 成功目標の成功アクティビティを作成」を参照してください。

- 事前定義された成熟度アイテムを使用して **HAM** プログラムを成熟させる

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムの成熟度は、クロール、ウォーク、および実行の各ステージに分類され、組織内の HAM アプリケーションの価値リターンを向上させるのに役立ちます。これらの成熟度アイテムを成功目標にリンクし、HAM アプリケーションを効率的に使用できます。詳細については、「の成熟度アイテムをすべて表示 ハードウェア資産管理」を参照してください。

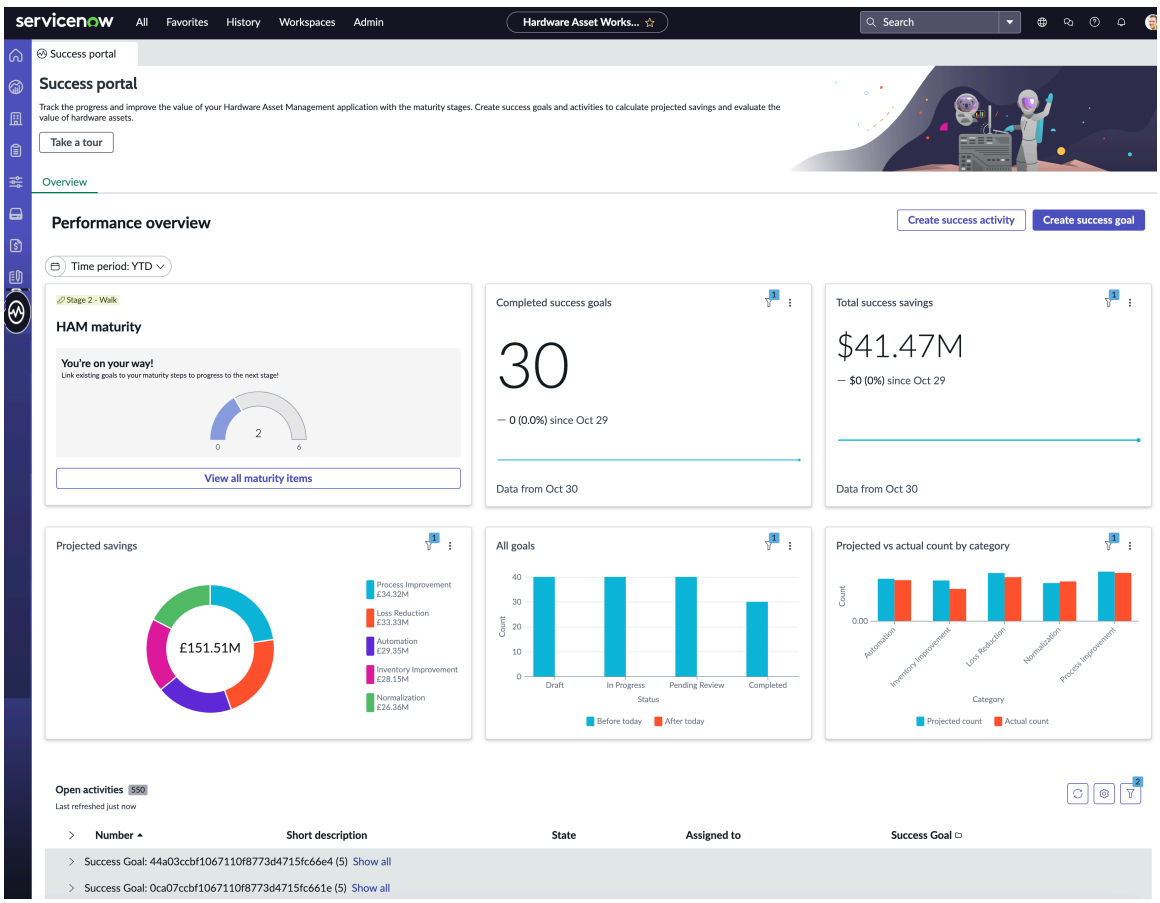
重要:
HAM 成熟度プログラムは、バージョン 10.0.0 以降で使用できます ハードウェア資産管理 。

メール通知は、次の条件が満たされた場合に送信されます。

- グループに対して、成功目標がそのグループにアサインされたとき。
- 成功目標がその所有者にアサインされている場合、所有者に対して。
- オーナーにとって、成功目標が [レビュー待ち] としてマークされている場合。
- 成功アクティビティがアサインされたときに、アサインされたユーザーまたはアサイン先グループへ。

サクセスポータルにアクセスするには、次の場所に移動します。 ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.

サクセスポータルは、Performance Analytics - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) が有効になっている場合、ドメイン分離をサポートします。ドメイン別にデータをフィルタリングするには、ダッシュボードの上部でドメインを選択します。



結果を絞り込むには、期間でフィルタリングします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サクセスポータルダッシュボード

ウィジェット	説明
HAM 成熟度	クロール、ウォーク、ランステージなど、HAM プログラムの成熟度の現在のステージ。 [すべての 成熟度アイテムを表示] を選択して、各ステージの成熟度アイテムを表示します。詳細については、「の成熟度アイテムをすべて表示 ハードウェア資産管理」を参照してください。
完了した成功目標	完了した成功目標の合計数。
達成した合計削減額	完了した成功目標からの実際の節減額。
予測された節減額	成功目標から予想される節減額は、目標のステータスとカテゴリ別にグループ化されます。
すべての目標	次のいずれかのステータスを持つ成功目標の完全なリスト: • ドラフト • 対応中 • レビュー待ち
カテゴリ別の予測数と実際の数	予測された成功目標と実際の成功目標の比較は、ステータスが [ドラフト]、[処理中]、または [レビュー待ち] としてカウントされます。
未解決アクティビティ (Open activities)	成功目標アクティビティを開きます。

重要:
HAM 成熟度、合計達成削減額、予測された削減額、およびすべての目標フィールドは、10.0.0 バージョン以降で使用できますハードウェア資産管理。

資産運用ビュー

の ハードウェア資産ワークスペース 資産運用ビューを使用して、在庫ルール、在庫オーダー、調達調達要求、すべての契約更改要求、契約更改品目、カスタム製品、カスタムモデルなどの資産運用関連の機能を表示し、適切なアクションを実行します。

資産運用ビューには、次のリストが含まれています。

- Inventory
  - ストックルーム タイプ:ストックルームのタイプを表示します。詳細については、「新規のストックルーム タイプを作成する」を参照してください。
  - 在庫ルール:ストックルームに関連付けられた在庫ルールを表示します。詳細については、「在庫ルールを作成する」を参照してください。
  - 在庫注文:在庫に関連付けられている在庫注文を表示します。
- 出荷

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 出荷:さまざまなソースまたはフローからの出荷を表示および追跡します。詳細については、「ハードウェア資産出荷の詳細の表示」を参照してください。
- 出荷資産:出荷に含まれる資産のリストを表示します。詳細については、「ハードウェア資産出荷の詳細の表示」を参照してください。
- 出荷配送業者: 出荷配送業者のリストを作成および表示します。詳細については、「配送業者レコードの作成」を参照してください。
- 配送業者統合プロファイル:出荷配送業者に関連付けられている配送業者統合プロファイルのリストを表示します。詳細については、「配送業者統合プロファイルの詳細を表示する」を参照してください。

- Procurement-Requests:調達要求を表示および追跡します。詳細については、「サービスカタログ要求でのアイテムの調達」を参照してください。
- ハードウェア資産正規化
  - カスタム製品:コンテンツサービスに 資産管理 表示されないカスタム製品の詳細を表示します。詳細については、「カスタム製品を追加する」を参照してください。
  - カスタムモデル:カスタムモデルの詳細を表示します。詳細については、「ハードウェアまたは消耗品モデルの作成」を参照してください。
  - 計算済みライフサイクルテンプレート:ハードウェアおよび消耗品モデルに適用できるライフサイクルテンプレートと計算式を表示および作成します。詳細については、「ハードウェアまたは消耗品モデルの作成」を参照してください。
- 契約更新
  - すべての契約更改要求:すべての契約更改要求の詳細を表示します。
  - 契約更新品目:契約更新要求に関連付けられたすべての品目の詳細を表示します。

  詳細については、「契約更改ワークフロー」を参照してください。
- TCO 構成
  - タスクレードカード:タスクのタイプと関連コストの計算方法を定義し、作成されたタスクレードカードの詳細を表示します。詳細については、「でタスクレートカードを作成する ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
  - 賃金レードカード:タスクの作業時間を記録してレートをタスクに関連付け、作成された賃金レードカードの詳細を表示します。詳細については、「での賃金レートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
- ゼロタッチでリフレッシュ
  - 要求:従業員のゼロタッチでリフレッシュ要求のリストを表示します。詳細については、「ゼロタッチでリフレッシュ要求を処理」を参照してください。
  - リフレッシュモデル:構成された置換モデルを使用してリフレッシュモデルのリストを作成して表示します。詳細については、「リフレッシュモデルの置換モデルの構成」を参照してください。
- ハードウェア資産成功
  - 成功目標:Hardware Asset Management について成功目標を作成し、作成された成功目標のリストを表示します。詳細については、「Hardware Asset Management の成功目標を作成する」を参照してください。
  - 成功アクティビティ:成功アクティビティを作成し、Hardware Asset Management に対して作成された成功アクティビティのリストを表示します。詳細については、「HAM 成功目標の成功アクティビティを作成」を参照してください。

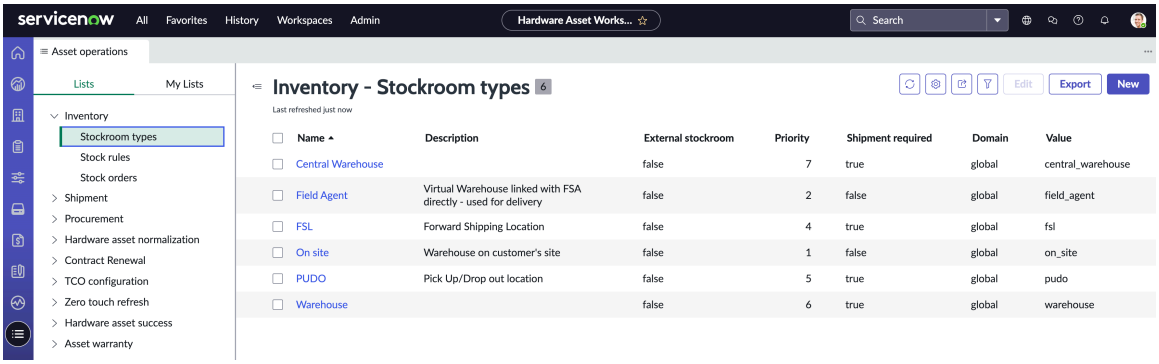
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 成功カテゴリ:成功目標のカテゴリを作成し、カテゴリのリストを表示します。詳細については、「ハードウェア資産の成功目標カテゴリの作成」を参照してください。
- ハードウェア成熟度:ハードウェア資産の成功を促進するのに役立つアイテムを表示します。詳細については、「の成熟度アイテムをすべて表示 ハードウェア資産管理」を参照してください。

[自分のリスト] タブからカスタムリストビューを作成し、簡単にアクセスすることもできます。

資産運用



関連情報

インベントリビュー

要求アイテムソース

ハードウェア正規化の操作

ハードウェア資産管理 のモバイル版アプリ

ServiceNow Mobile アプリおよび ServiceNow Agent アプリを使用して資産を管理します。

ServiceNow Agent アプリ

ServiceNow Agent アプリを使用して、資産の作成、資産の検索、および発注書からの資産の受領を行います。

資産の作成

ServiceNow Agent アプリを使用して、資産をスキャンして資産レコードを作成します。

始める前に
ServiceNow Agent アプリを Apple アプリストアや Google Play ストアからダウンロードします。

必要なロール：asset

ServiceNow Agent アプリで調達機能を取得するには、調達 プラグイン (com.snc.procurement) をインストールする必要があります。

自動翻訳

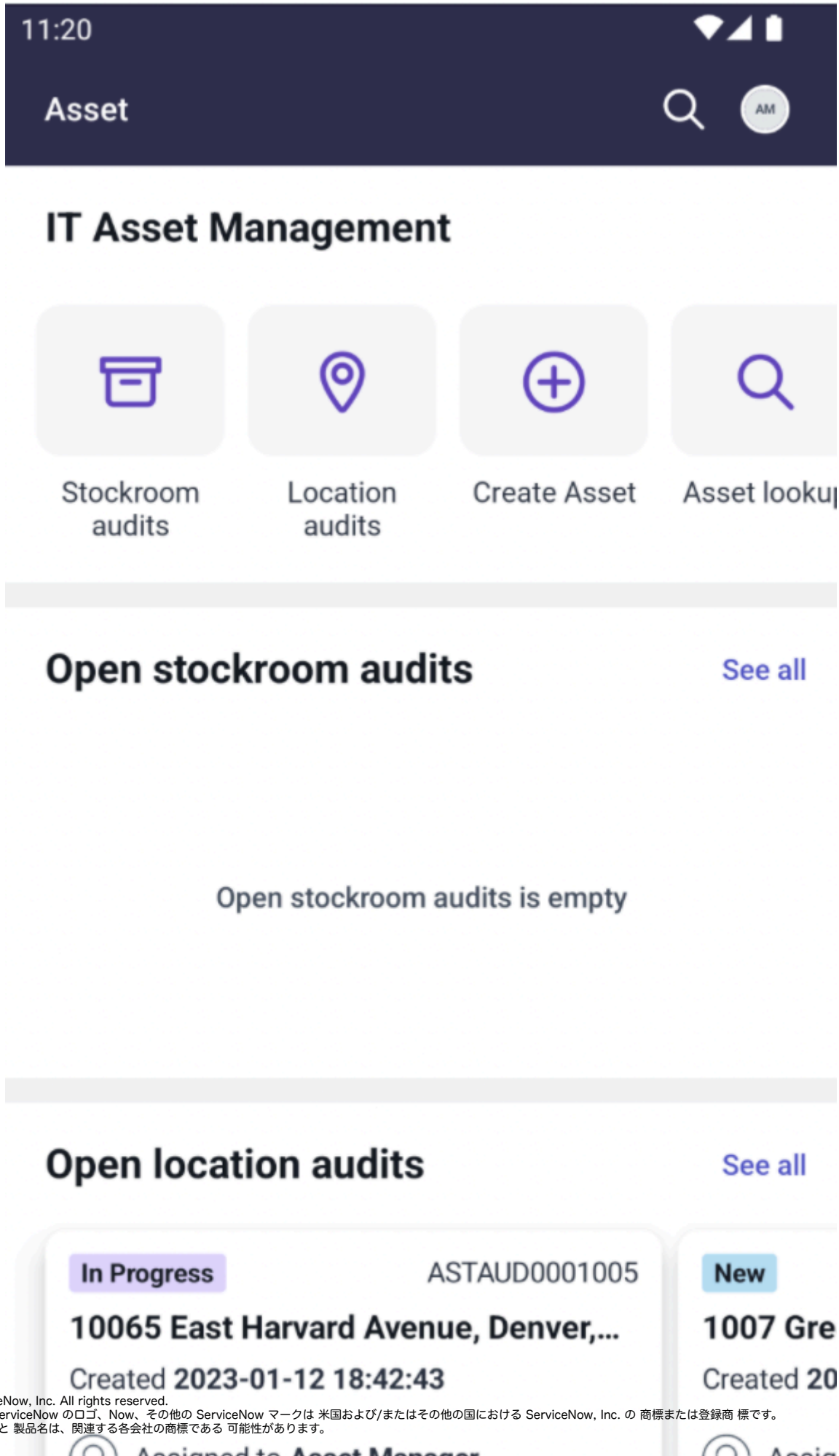
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [資産] に移動し、[資産を作成] をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 資産のシリアル番号または資産タグをスキャンし、[検索] をタップします。
   資産が ServiceNow インスタンスに存在する場合、資産レコードが表示されます。この情報は、資産レコードが重複して作成されないようにするためです。
3. オプション: 既存の資産を更新するには、資産を選択して [資産を更新] をタップします。
4. 既存の資産レコードが見つからない場合は、右上のアクションアイコンをタップし、[資産を作成] を選択します。
5. [資産管理番号]、[シリアル番号]、[モデル] (ソフトウェア以外)、[倉庫]、[ステータス]、[サブステート] フィールドの値をスキャンまたは入力します。
6. [送信] をタップして資産を作成します。

資産ルックアップ

資産をスキャンして、ServiceNow インスタンス内の資産レコードを検索します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. [資産] に移動し、[資産ルックアップ] をタップします。
2. 資産管理番号をスキャンし、[検索] をタップします。
3. 資産が ServiceNow インスタンスに存在する場合、資産レコードが表示されます。
   既存の資産を選択して更新するか、それに関連するインシデントを作成することができます。

発注書からの資産の受領

注文からすべての資産を受領したことを確認するために、発注書 (PO) から資産をスキャンします。

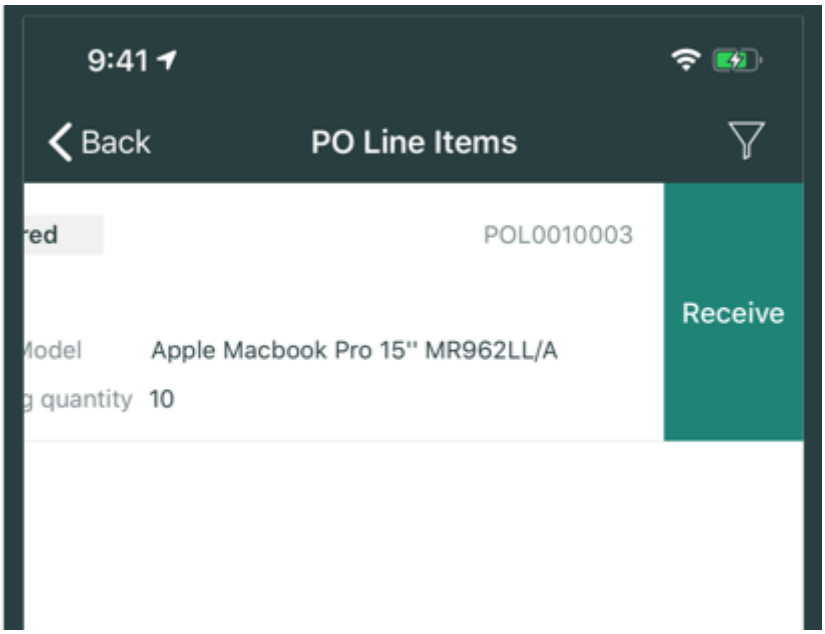
始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. [**Procurement**] に移動し、[次の **30** 日間の **PO**] をタップします。
2. 発注書を選択します。
3. [関連リスト] をタップします。
4. 注文した [**PO** 明細] 資産をタップし、[受領] をスワイプして資産を受け取ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 単一の購入品のみを受領するだけでよい場合、[受領] フォームで資産タグまたはシリアル番号のいずれかの QR コードをスキャンします。
6. 複数の購入品を受領する必要がある場合、すべての購入品をスキャンするまで、[受領] フォームで [次のアイテムをスキャン] をタップします。
7. [送信] をタップします。

タスクの結果
発注書が受領済みとしてマークされます。

資産を確認し、廃棄に出す

エージェントモバイルアプリを使用して資産をスキャン、検証し、廃棄に出すことができます。

始める前に
エージェントモバイルアプリを使用して資産を検証するには、Hardware Asset Management インスタンスに廃棄注文が存在することを確認します。

必要なロール：asset

このタスクについて
資産の廃棄注文が開始されたら、エージェントモバイルアプリを使用して資産をスキャン、検証、および切り離します。資産を手動で検証して切り離す必要はありません。

アプリでは、オフライン時に同じ機能を使用できます。詳細については、「 オフラインモード 」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > 資産廃棄.
   [検証] タブには検証タスクのリストが表示され、[切り離し] タブには切り離しタスクのリストが表示されます。これらのタスクは、廃棄のために特定の資産の場所に存在する資産を対象としています。
2. 次のいずれかの方法で資産をスキャンして検証します。

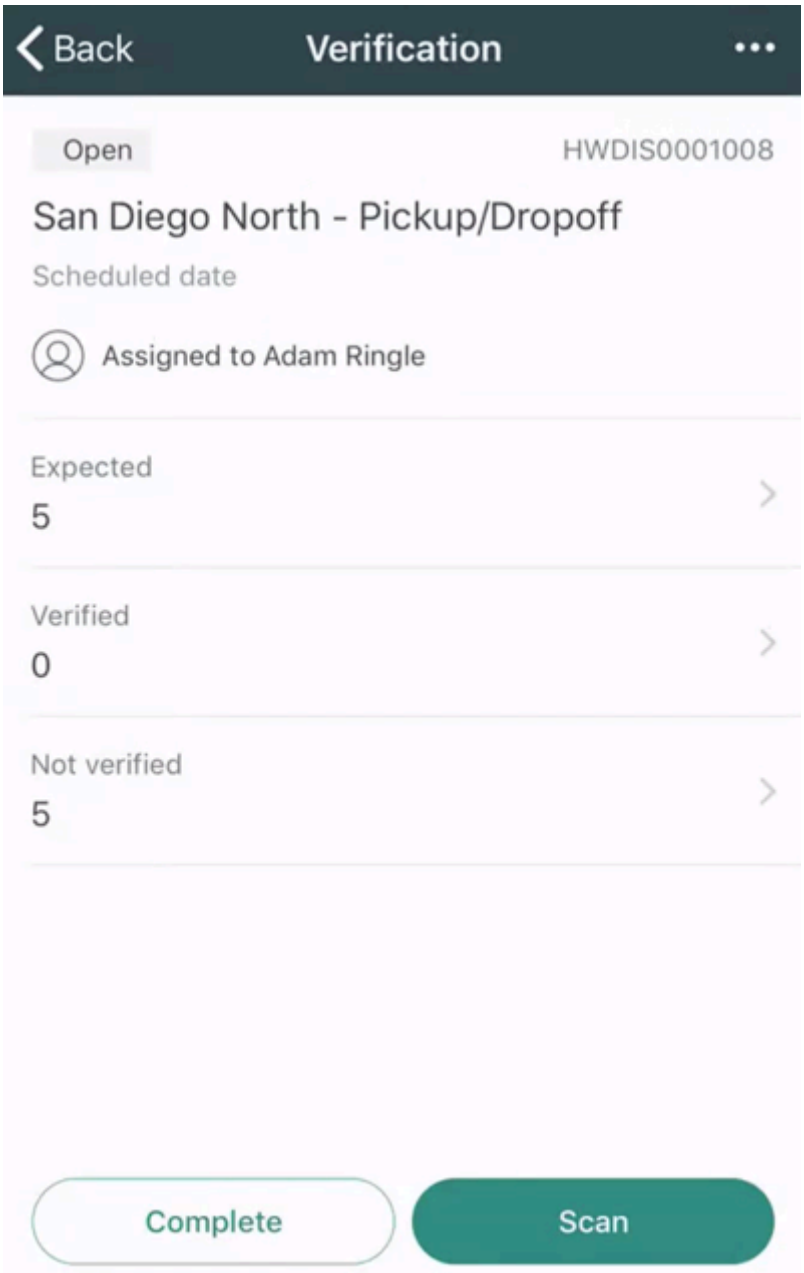
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 検証タスクを左にスワイプします。
- 確認タスクをタップして開き、[スキャン] をタップします。

複数の資産をまとめてスキャンできます。検証タスクを開くと、検証タスクに、検証済みの資産の数、未検証の資産の数、または検証予定の資産の数が表示されます。[予定]、[検証済み]、または [未検証] をクリックして、それぞれの資産タイプを表示します。

以下は、予定資産、検証済み資産、未検証資産を表示する [検証] タブの例です。



3. タップ レビュー > 送信.
   ポップアップメッセージが表示され、スキャンされた資産の検証が成功したことが示されます。検証済み資産と未検証資産のリストが更新されます。
4. すべてのアセットをスキャンしたら、[完了]をタップして検証タスクを閉じます。
   スキャン対象のアセットがまだ残っている場合に 「完了」をクリックすると、タスクをクローズするかどうかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。[完了] をタップすると、タスクはクローズされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. Hardware Asset Management インスタンスを使用して、ベンダーの詳細と予定日を入力します。
「廃棄注文を作成する」を参照してください。
ベンダーの詳細を入力し、Hardware Asset Management インスタンスから [集荷のスケジュール] タスクをクローズすると、[切り離し] タブに処理する切り離しタスクのリストが表示されます。
6. 次のいずれかの方法で資産をスキャンして切り離します。
   - 出発タスクを左にスワイプします。
   - 切り離しタスクをタップして開き、[スキャン] をタップします。

   複数の資産をまとめてスキャンできます。切り離しタスクを開くと、切り離しタスクに切り離された資産の数、切り離されていない資産の数、または切り離しが予定されている資産の数が表示されます。[予定]、[切り離し済み]、または [未出発] をクリックして、それぞれのタイプの資産を表示します。
7. タップ レビュー > 送信.
ポップアップウィンドウが表示され、スキャンされた資産が正常に終了したことが示されます。切り離された資産と切り離されていない資産のリストが更新されます。
8. すべてのアセットをスキャンしたら、[完了]をタップして出発タスクを閉じます。
スキャン対象のアセットがまだ残っている場合に 「完了」をクリックすると、タスクをクローズするかどうかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。[完了] をタップすると、タスクはクローズされます。

ServiceNow Mobile アプリ

ServiceNow Mobile アプリを使用して、自分にアサインされた資産の表示、資産に関する問題の報告、新しい資産のリモートでの受け取りが可能です。インシデントを作成し、資産に関する問題を IT 部門に報告します。

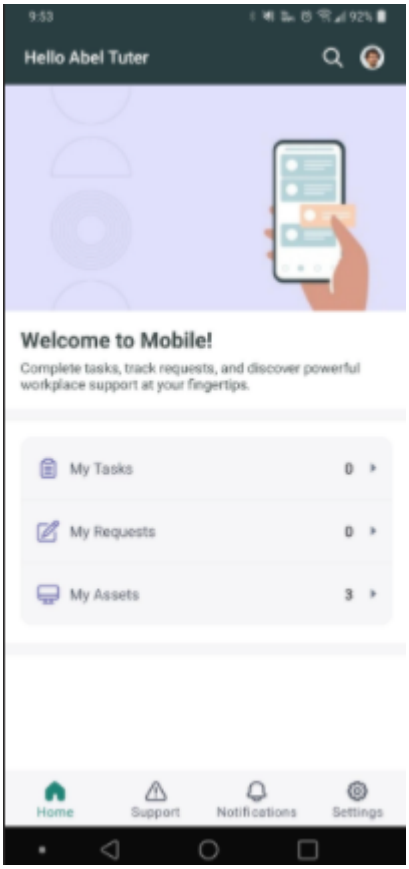
Now Mobile アプリを Apple アプリストアや Google Play ストアからダウンロードします。

ServiceNow Mobile アプリは、タスクと要求に対してさまざまなサービスを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Mobile アプリ



自分にアサインされているすべての資産を表示するには、次に移動します 自分のアイテム > **My Assets** > ハードウェア. このタブには、[ステータス (State)] フィールドが [輸送中] または [使用中] に設定され、[サブステータス (Sub-state)] が [予約済み] に設定され、[予約先 (Reserved to)] フィールドが自分の名前に設定されている資産が表示されます。使用中の資産のインシデントを作成できます。

社外にいるときに、輸送中の資産をリモートで受け取ることができます。資産を受領したことを IT 部門に自動的に通知できるように、資産タグの QR コードをスキャンします。

Asset Management 担当役員ダッシュボード

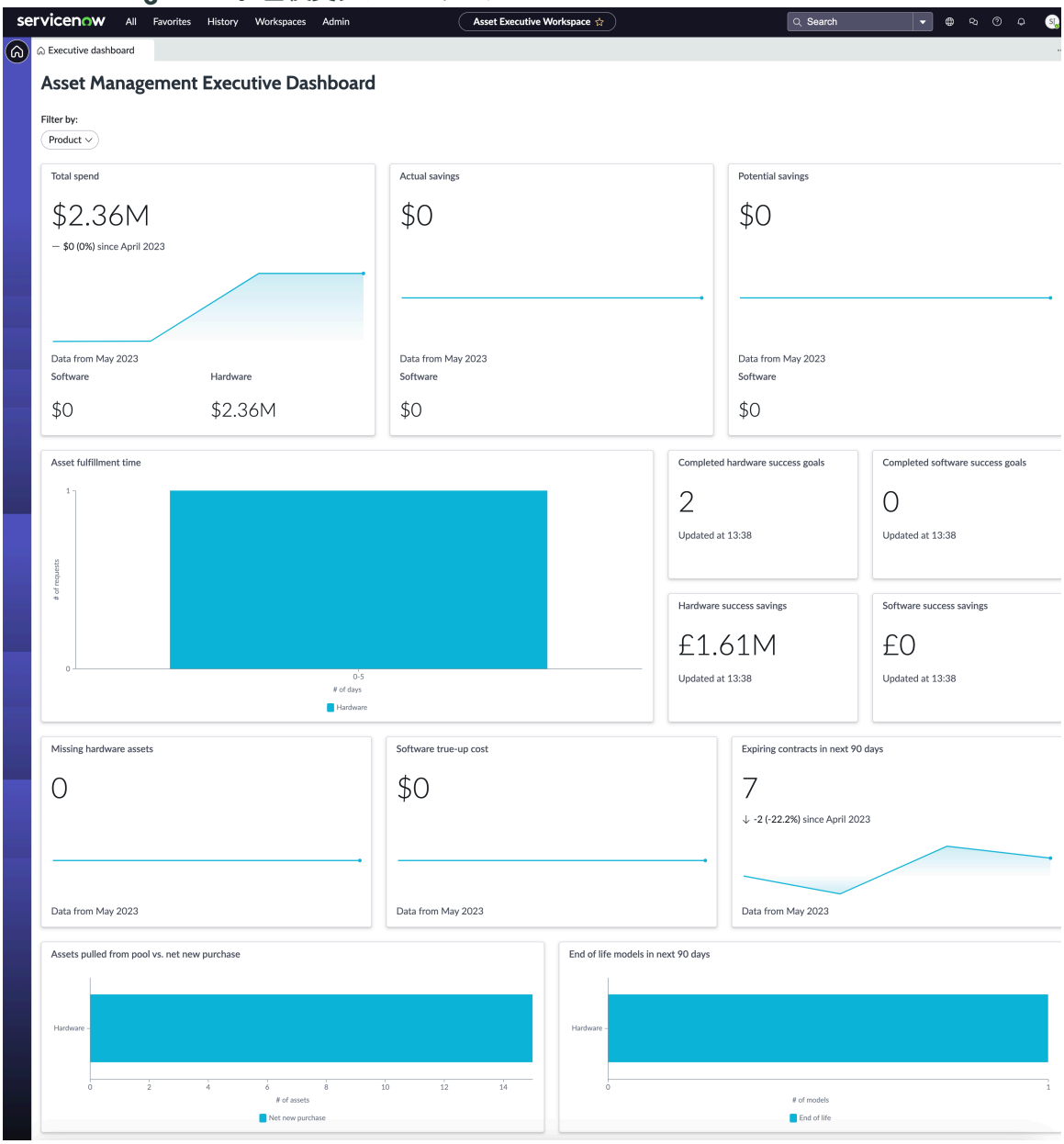
資産管理エグゼクティブダッシュボードを使用すると、 、、、およびクラウドコスト管理アプリケーションの重要な KPI ハードウェア資産管理ソフトウェア資産管理を単一のダッシュボードで可視化できます。

エグゼクティブダッシュボードにアクセスする資産管理には、ソフトウェア資産管理インスタンスにServiceNow、 ハードウェア資産管理クラウドコスト管理

エグゼクティブダッシュボードを表示するには 資産管理 、次の場所に移動します。 資産担当役員ワークスペース > 資産管理担当役員ダッシュボード. sn_itam_common.asset_exec のロールを持つユーザーは、ダッシュボードにアクセスできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management 担当役員ダッシュボード



ダッシュボードの結果は、製品、ドメイン、または製品とドメインの両方でフィルタリングできます。ドメインでフィルタリングすると、フィルターがすべてのウィジェットに適用されます。製品でフィルタリングする場合、一部のウィジェットは特定の製品に適用されるため、フィルターはすべてのウィジェットに適用されるわけではありません。

フィルターを選択すると、各ウィジェットの右側に青いボックスが表示され、いずれかの数字が表示されます。

- 0:ウィジェットにフィルターが適用されていないことを示します。
- 1:ウィジェットに 1 つのフィルターのみが適用されることを示します。
- 2:両方のフィルターがウィジェットに適用されていることを示します。

注:
ドメインフィルターを使用するには、プラグイン com.glide.domain.msp_extensions.installer および com.snc.pa.domain_support を有効にする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュールジョブ は毎日実行され、 *Asset Management - Populate KPI aggregate table*ダッシュボードのデータを更新します。ウィジェットの最新データを表示するには、ウィジェットを選択してリスト ビュー ページを表示します。

ダッシュボードウィジェットは、インスタンスでアクティブ化したアプリケーションプラグインによって異なります。各アプリケーションで使用できるウィジェットを次の表に示します。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
合計消費量	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの合計コスト。 ソーステーブル:ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	ステータスが [在庫あり]、[使用中]、[メンテナンス中]、または [輸送中] であるすべてのハードウェア資産の合計コスト ソーステーブル:ハードウェア [alm_hardware]	すべてのクラウドリソースの合計アクティブコスト。 ソーステーブル:支出レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]。
実際の削減	すべての製品の年間合計節減額。この値は、完全に閉じた再利用候補からの節減額の合計として計算されます。 ソーステーブル:Removal Candidate [samp_sw_reclamation_candidate]	適用外	この値は、クラウドリソースの月次節減額として計算されます。 **注:** このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:ステータス = 完了した Cloud Insights のサイズ適正化に関する推奨事項の自動 (sn_clin_core_rs_recommendation_automatic)。
見込まれる削減	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。 ソーステーブル:Removal Candidate [samp_sw_reclamation_candidate]	適用外	クラウドの適正化、クラウドの未使用マシン、クラウド予約、およびクラウドの営業時間に関する月次見込まれる節減額の合計。 **注:** このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
			• Cloud Insights のサイズ適正化に関する推奨事項の自動 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]。 • Cloud Insights の未使用推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]。 • リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]。
Assessment fulfillment time	サービスカタログからのソフトウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	サービスカタログからのハードウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	適用外
ソフトウェア成功目標が完了しました	アプリケーションに対して ソフトウェア資産管理 完了した成功目標の数。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal] **注:** このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	適用外	適用外
ハードウェア成功目標が完了しました	適用外	アプリケーションに対して ハードウェ	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
		ア資産管理 完了した成功目標の数。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal] **注:** このウィジェットは、(sn_hamp) がインストールされている場合にのみ ハードウェア資産管理 使用できます。	
ソフトウェアの成功によるコスト削減	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal] **注:** このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	適用外	適用外
ハードウェアの成功削減	適用外	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal]	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
		注: このウィジェットは、(sn_hamp) がインストールされている場合にのみ ハードウェア資産管理 使用できます。	
不足しているハードウェア資産	適用外	紛失、紛失、または盗難にあったハードウェア資産の数。 ソーステーブル:不足しているハードウェア資産 [missing_hardware_assets]。	適用外
ソフトウェア調整コスト	実際に使用されている製品のコスト。 ソーステーブル:製品結果 [samp_product_result]	適用外	適用外
Expiring contracts in 90 days	今後 90 日以内に期限切れになるソフトウェア契約の数。 注: ソフトウェア資産管理アプリケーションとハードウェア資産管理アプリケーションの両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットにはソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	今後 90 日以内に期限切れになるハードウェア契約の数。 注: ソフトウェア資産管理インスタンスに両方が存在する場合、ハードウェア資産管理このウィジェットにはソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
プールからプルされた資産と正味新規購入	インベントリから履行されるソフトウェア資産の要求数と新しい資産の発注書の作成数を表す棒グラフ。 **注:** このウィジェットのソフトウェア関連データを表示するには、Procurement (com.snc.procurement) プラグインがインスタンスで有効化されていることを確認してください。 ソーステーブル: • プール資産:割り当てられた割り当て [alm_licenses_assigned]。 • 純新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	在庫から履行されるハードウェア資産の要求数と新しい資産の発注書を作成するハードウェア資産の要求数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • 資産をプール:資産消費タスク [consume_asset_task]。 • 純新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	在庫から使用された資産の数と発注書を介して調達された新しい資産の数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • プール資産:支出レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]。 • 純新規資産:発注明細 [proc_po_item]。
今後 90 日で提供が終了するモデル	今後 90 日以内に提供終了が迫るソフトウェアモデルの数。 • 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	今後 90 日間で提供終了に達するハードウェアモデルの数。 • 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ハードウェアモデル [cmdb_hardware_model_lifecycle]。	適用外

持続可能な **IT**ダッシュボード

ダッシュボードは 持続可能な IT 、IT 資産の環境への影響を追跡し、組織のハードウェア資産の持続可能性への影響を簡単に評価するためのさまざまな情報を表示するのに役立ちます。

ダッシュボードを表示するには持続可能な IT、持続可能な ITプラグイン (sn_esg_sustain) をインストールする必要があります。プラグインの 持続可能な IT アクティブ化の詳細については、次を参照してください Activate the Sustainable IT plugin 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ハードウェア資産の 持続可能な IT ダッシュボードデータの詳細については、「」を参照してください Sustainable IT dashboard 。

ハードウェア資産管理 の分析およびレポート作成ソリューション

この プラットフォームアナリティクスソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

Performance Analytics ソリューションのアクティブ化

ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。ソリューションを使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。

注:
ソリューションには、デフォルトでは非アクティブになっているダッシュボードがあります。これらのダッシュボードは、ビジネスニーズに従って、エンドユーザーが確認できるようにアクティブにすることができます。

この プラットフォームアナリティクスソリューション のすべての機能に無制限にアクセスするには、パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションを購入します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化 」を参照してください。

この分析およびレポートソリューションを使用するには、 を使用する ハードウェア資産管理 資格パフォーマンスアナリティクスが必要です。に対する パフォーマンスアナリティクスエンタイトルメントの詳細については、次を参照してください。 パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化

このすぐに使えるパフォーマンス分析ソリューションは、次 ServiceNow Storeから入手できます。このソリューションを有効にするには、管理者は次の場所に移動します。 システムアプリケーション > **ServiceNow Store** を検索. の ServiceNow Store ランディングページが開いたら、を検索します ハードウェア資産管理 。ソリューションが見つかったら、ストアの指示に従います。ServiceNow Store には、独自のドキュメントが用意されています。

ドメインセパレーションと「別のユーザーとして実行」ユーザー

一部のソリューションでは、システム管理者は、プラットフォームアナリティクスソリューション のデータコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーです。他のソリューションでは、データコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーは空白のままです。[別のユーザーとして実行] ユーザーがインスタンスに存在すること、およびこのユーザーが適切なレベルのアクセス権を持っているかどうかを確認してください。不適切な別のユーザーとして実行ユーザーでは、エラーが発生したり、収集されるデータが制限されたりすることがあります。この設定は、Domain Separation が有効になっている場合のみ効果があります。

関連情報

- プラットフォームアナリティクスソリューション
- Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化

ハードウェア資産ダッシュボード

資産のライフサイクル全体におけるハードウェアと消耗品のモデルと資産の主要な測定基準を、ハードウェア資産ダッシュボードで確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 資産 > ハードウェア資産ダッシュボード.

ハードウェア資産ダッシュボードのすべてのタブの結果がリアルタイムで更新されます。[ライフサイクルの概要] セクションにデータを表示するレポートのみが、スケジュール設定済みジョブに基づいて毎日更新されます。グラフをPNGまたはJPEG形式で保存して、ローカルで共有または表示できます。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	メリット
資産マネージャーは、資産のライフサイクル全体を通じてデータのパターンを確認する必要があります。	資産	調達ニーズ、在庫、提供終了ステータスなどの資産に関する重要なインサイトを提供するレポートを表示します。また、ハードウェアおよび消耗品モデルの正規化ステータスとライフサイクルの概要を表示することもできます。

[資産の健全性] タブ

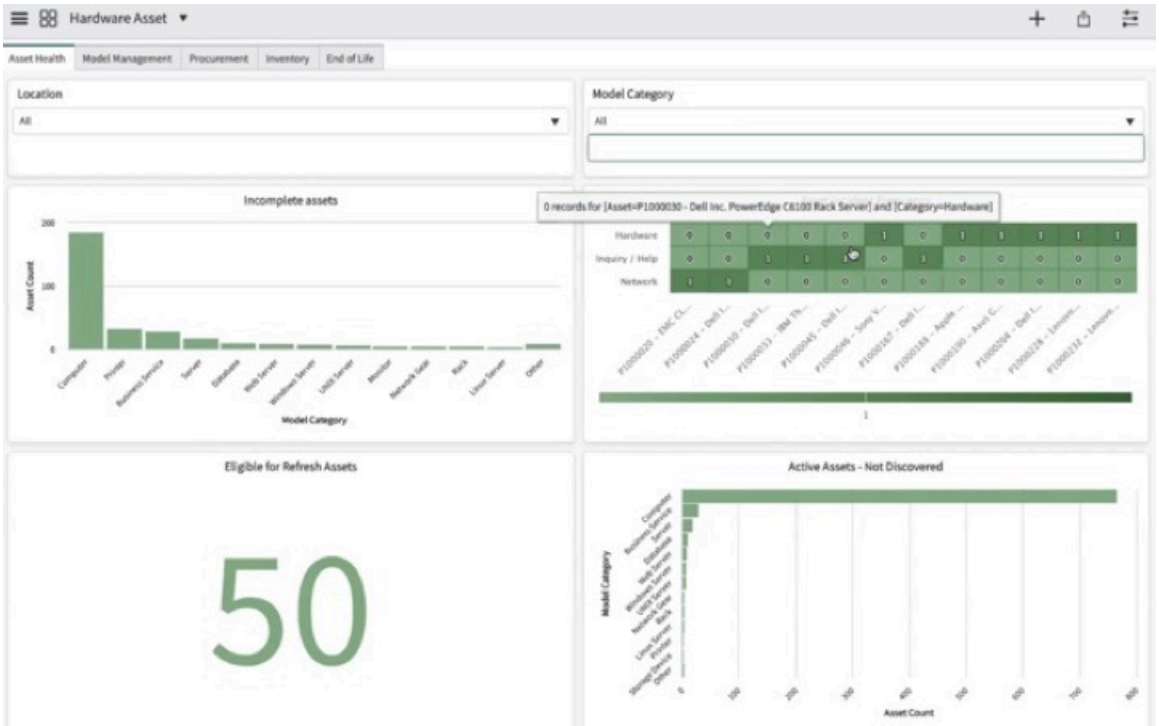
このタブには、購入情報が欠落しているハードウェアモデルと消耗品モデル、欠損から 1 か月以上未検出、廃止が予定されているハードウェアモデル、またはほとんどのインシデントが報告されているハードウェアモデルと消耗品モデルの概要が表示されます。場所とモデルカテゴリのフィルターを使用して、特定の場所とモデルの資産健全性レポートをそれぞれ表示します。

レポート	ソーステーブル	説明
不完全な資産	資産 [alm_asset]	発注書番号、発注明細、受領明細のない資産モデル
リフレッシュ対象資産	ハードウェア [alm_hardware]	提供終了間近で更新の対象となる資産。
Asset incident Frequency	インシデント [incident]	頻繁にインシデントが報告されている資産です。
アクティブな資産：未検出	資産 [alm_asset]	まったく検出されなかった資産、または 1 か月以内に検出されなかった資産。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[資産の健全性] タブ



[モデル管理] タブ

このタブには、提供終了が近づいているハードウェアモデルと消耗品モデルの概要が表示されます。正規化ステータス、ライフサイクルの概要、およびコンテンツサービスライブラリに関する情報を表示することもできます。サポート終了ステータスを月次、四半期ごと、または年ごとに表示することで、モデルを効果的に管理できます。

レポート	ソーステーブル	説明
提供終了が迫っているハードウェアモデル	ハードウェアモデルのライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle]	ハードウェアモデルの提供終了の初期段階。提供終了フェーズの開始日が現在の月、四半期、または年であるハードウェアモデルの数を表示します。 **注:** アクティブで、モデルステータスが本番環境であり、ライフサイクルタイプが公開者であるハードウェアモデルのライフサイクルレコードのみが 、今月、 今四半期、または今年に表示されます。
正規化ステータス	ハードウェア製品モデル [cmdb_hardware_product_model]	すべてのハードウェアモデルの正規化ステータス。正規化されたハードウェアモデルと正規化されなかったハードウェアモデルの数を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

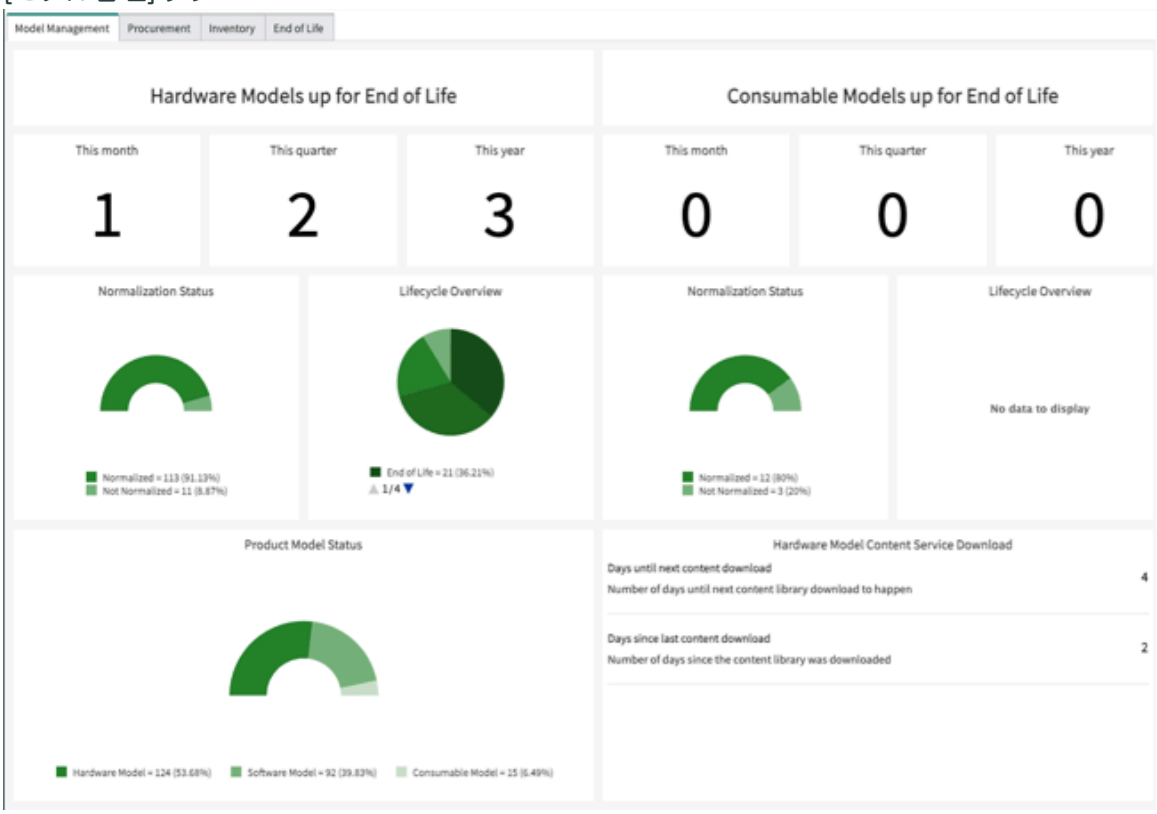
レポート	ソーステーブル	説明
		さらにドリルダウンして、正規化されたモデルのステータス ([手動で正規化済み]、[正規化されたメーカー]、または [一部正規化済み]) を表示できます。 ドリルダウンして、正規化されていないモデルのステータス ([新規] および [一致項目は見つかりませんでした]) を表示することもできます。
ライフサイクルの概要	ハードウェアモデルのライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle]	各ライフサイクルステージ (一般提供、サポート終了、拡張サポート終了、販売終了) に存在するハードウェアモデルの数。
製品寿命が迫っている消耗品モデル	消耗品モデルのライフサイクル [cmdb_consumable_model_lifecycle]	消耗品モデルの提供終了の初期段階。提供終了フェーズの開始日が現在の月、四半期、または年であるハードウェアモデルの数を表示します。 **注:** 今月、今四半期、または今年には、現在アクティブで、モデルステータスが本番環境で、ライフサイクルタイプが公開者である消耗品モデルのライフサイクルレコードのみが表示されます。
正規化ステータス	消耗品モデル [cmdb_consumable_product_model]	すべての消耗品モデルの正規化ステータス。正規化された消耗品モデルと正規化されなかった消耗品モデルの数を表示できます。 さらにドリルダウンして、正規化されたモデルのステータス ([手動で正規化済み]、[正規化されたメーカー]、または [一部正規化済み]) を確認できます。 ドリルダウンして、正規化されていないモデルのステータス ([新規] および [一致項目は見つかりませんでした]) を表示することもできます。
ライフサイクルの概要	消耗品モデルのライフサイクル [cmdb_consumable_model_lifecycle]	各ライフサイクルステージに存在する消耗品モデル: 一般提供、サポート終了、延長サポート終了、販売終了。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
製品モデルのステータス	製品モデル [cmdb_ model]	モデルのステータスに基づくハードウェア、消耗品、およびソフトウェアモデルの現在の数。モデルをドリルダウンして、そのモデルのステータスを表示します。たとえば、チャート上のハードウェアモデルをクリックすると、すべてのハードウェアモデルのステータス ([生産中]、[廃止]、または [販売済み]) が表示されます。
ハードウェアモデルコンテンツサービスのダウンロード	CDS テーブル [cds_client_schedule]	コンテンツサービスライブラリが最後にインスタンスにダウンロードされてからの経過日数と、次のダウンロードまでの残り日数。

[モデル管理] タブ



[調達] タブ

このタブには、世界中で配送処理待ちになっているハードウェア資産の発注書が表示されます。まだ調達されていない発注書や、ベンダーごとの発注書のコストに関する情報を表示することもできます。このタブの結果は、場所と年でフィルタリングできます。

レポート	ソーステーブル	説明
配送保留中の発注書	発注書 [proc_po]	まだ受領またはキャンセルされていない発注書。ステータスが [注文済み] または [保留中の配

自動翻訳

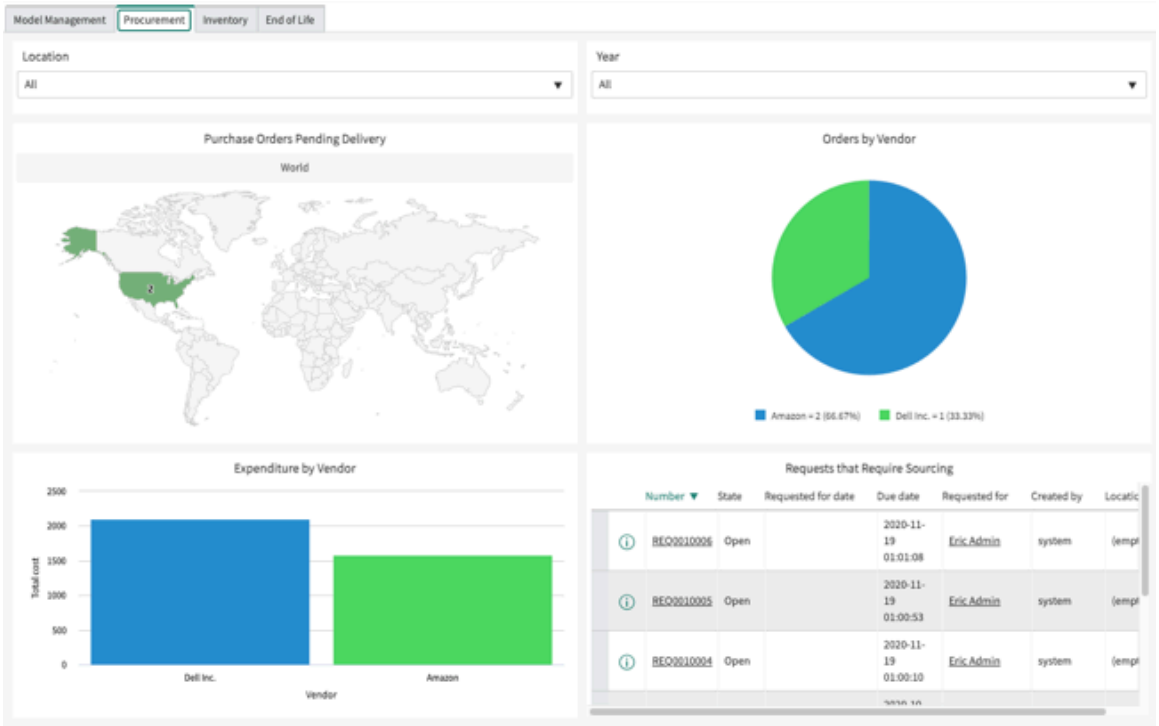
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
		送] である発注書のみが表示されます。 **注:** 資産、procurement_user、inventory_admin ロールは、発注書 [proc_po] レポートにのみアクセスできます。
ベンダー別の支出	発注書 [proc_po]	在庫を調達するために各ベンダーに支払ったコスト。ステータスが [注文済み]、[保留中の配送]、または [受領済み] の発注書のみが表示されます。 **注:** 資産、procurement_user、inventory_admin ロールは、発注書 [proc_po] レポートにのみアクセスできます。
ベンダー別の注文	発注書 [proc_po]	注文済み、保留中の配送、または受領済みの発注書。 **注:** 資産、procurement_user、inventory_admin ロールは、発注書 [proc_po] レポートにのみアクセスできます。
調達が必要な要求	要求 [sc_request]	まだ対応されていない要求。発注書または転送オーダーのいずれかが開始されていない要求。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[調達] タブ



[インベントリ] タブ

このタブには、未処理の在庫注文に関するデータが表示されます。また、有効な在庫ルール、オープンな転送オーダー、在庫を通じて調達された要求に関する情報を表示することもできます。このタブの結果は、場所とストックルームでフィルタリングできます。

レポート	ソーステーブル	説明
在庫から履行されたハードウェア要求 (年初来)	転送オーダー [alm_transfer_order]	今年の在庫から調達された要求。 **注:** inventory_user、asset、procurement_use ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。
オープンな在庫注文	要求アイテム [sc_req_item]	まだ履行されていないすべての在庫注文。未処理在庫注文は、地理的に数値データとして表示できます。
アクティブな在庫ルール	在庫ルール [alm_stock_rule]	モデルカテゴリ別にグループ化されたアクティブな在庫ルールの数。有効な在庫ルールを持つ品目のモデルがしきい値を下回ると、新規注文が行われます。
オープンな転送注文	転送オーダー [alm_transfer_order]	まだ配送されていないか、キャンセルされた転送オーダー。

自動翻訳

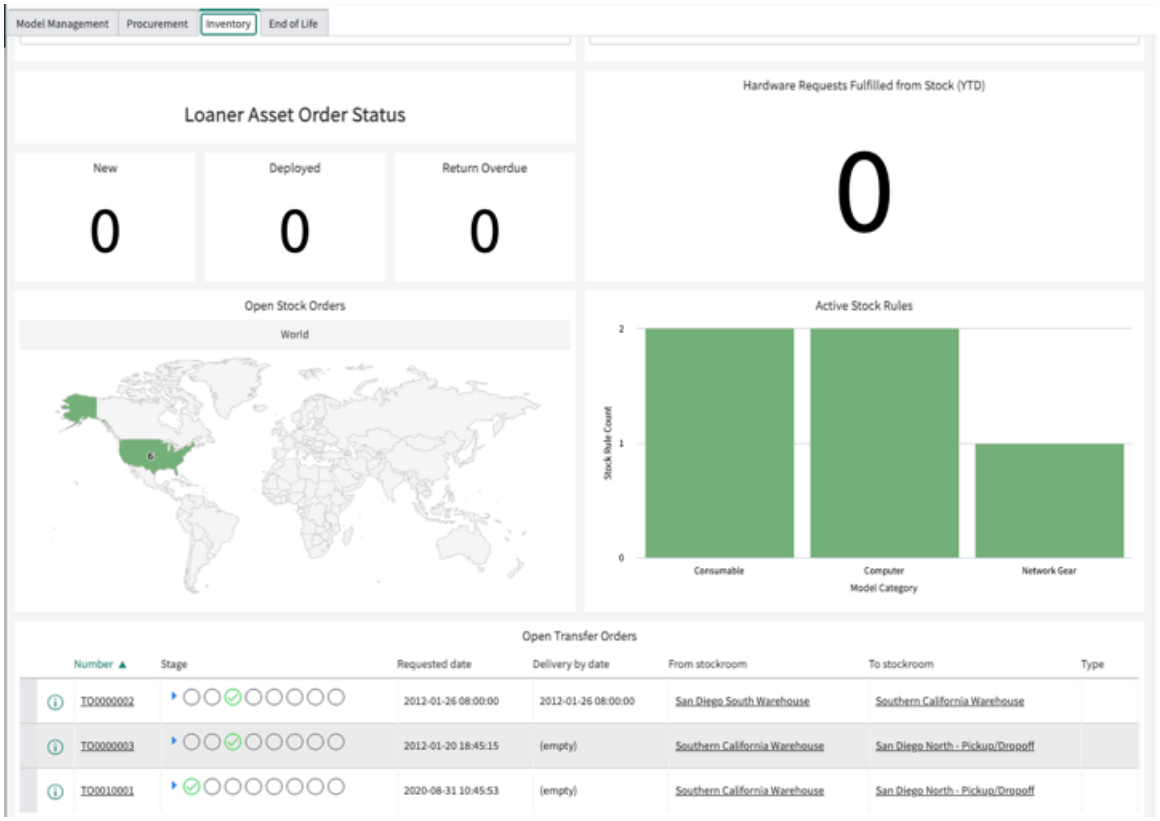
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
		注: inventory_user、asset、procurement_use ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。
オープンな監査資産	資産監査 [sn_hamp_asset_audit]	現在新規または進行中の監査。 注: 資産ロールまたは inventory_user ロールは、資産監査 [sn_hamp_asset_audit] レポートにのみアクセスできます。
監査によって見つかった新しいハードウェア資産	資産 [alm_asset]	前年に実施された監査で資産が属するカテゴリの分布。
貸与資産のオーダーステータス	貸与資産のオーダー [sn_hamp_loaner_asset_order]	新規、展開済み、および返却期限が過ぎた貸与資産のオーダーの数。
RMA 要求ラインを開く	RMA 要求明細行 [sn_hamp_rma_request_line]	すべてのオープン RMA 要求ラインのリスト。 注: asset、itil、または inventory_user ロールは、RMA 要求ライン [sn_hamp_rma_request_line] レポートにのみアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[インベントリ] タブ



[提供終了] タブ

このタブを表示して、使用終了ステージに近づいている資産と資産の廃棄ステータスを監視します。このタブの結果は、場所、ストックルーム、モデルカテゴリでフィルタリングできます。[モデルカテゴリ] フィルターは、[ハードウェア資産廃棄ステータス] には適用されません。

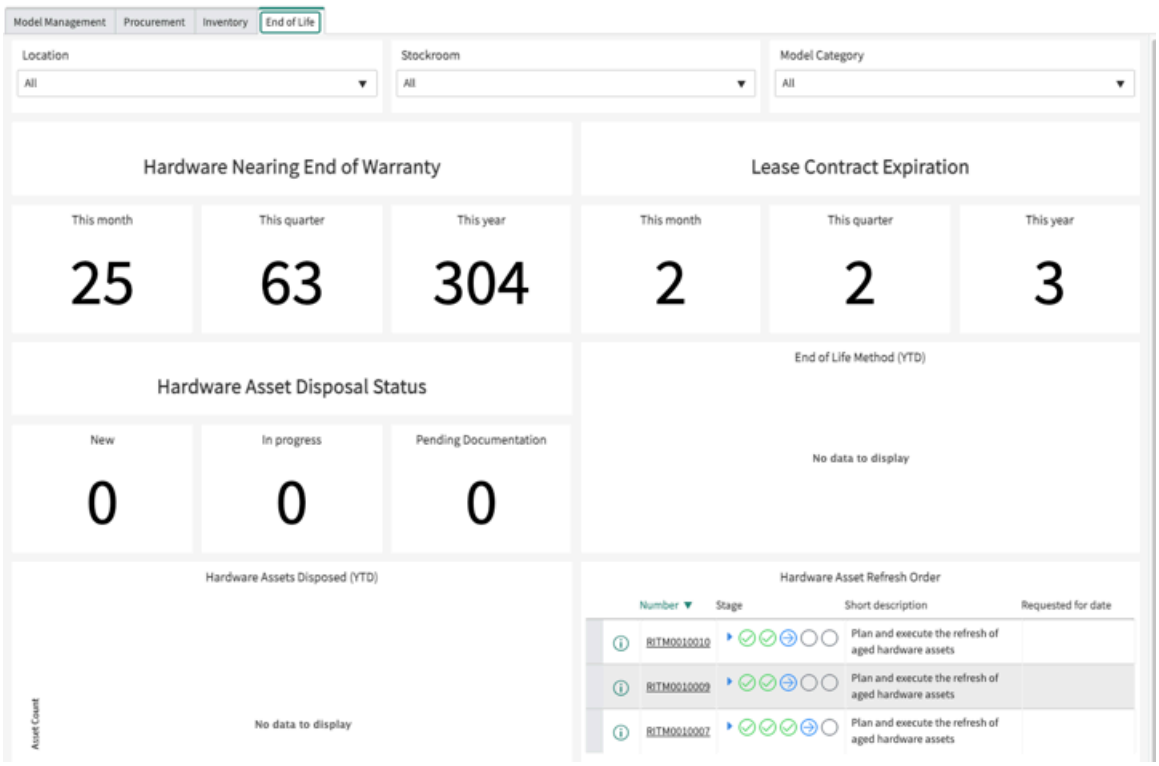
レポート	ソーステーブル	説明
保証終了間近のハードウェア	資産 [alm_asset]	保証の有効期限が現在の月、四半期、または年であるハードウェアおよび消耗資産。 **注:** 次のステータスの資産のみが表示されます。 • 在庫あり • 輸送中 • 使用中 • メンテナンス中 • 消費
ハードウェア資産廃棄ステータス	ハードウェア廃棄注文 [hamp_hardware_disposal]	ハードウェア資産の廃棄のために作成された要求のステータス。新しい要求の数が [新規] に表示されます。現在スケジューリング、輸送、および確認の各ステージにあるすべて

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポート	ソーステーブル	説明
		のハードウェア廃棄要求の数が [処理中] の下に表示されます。[処理待ちのドキュメント **(Pending Documentation)**] には、ドキュメントステージにあるすべての廃棄要求が表示されます。
ハードウェア資産の廃棄 (年初来)	資産 [alm_asset]	今年中に廃棄されたモデル カテゴリに基づくハードウェアと消耗品の資産。
提供終了メソッド (YTD)	資産 [alm_asset]	サブステートに基づく、廃止されたハードウェア資産と消耗資産の数。廃止状態のハードウェア資産には、多くのサブステート (廃棄済み、なし、販売済み、ベンダークレジット、および保留中の廃棄) があります。
リース契約有効期限	契約 [ast_contract]	リース有効期限が現在の月、四半期、または年にあるハードウェアおよび消耗資産。アクティブな契約のみが表示されます。
ハードウェア資産の更新注文	要求アイテム [sc_req_item]	注文されたハードウェア資産のリフレッシュのリスト。

[提供終了] タブ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産と構成アイテムの管理

資産と構成アイテム (Configuration Item, CI) の管理とは、資産の作成、適切な状態とサブステートの設定、資産と CI の同期、消耗品の管理、資産の廃止を意味します。

資産と CI の関係

資産と関連した CI との関係管理は、重要なことです。資産は、所有資産の財務面に焦点を当てた資産管理アプリケーションで追跡できます。構成アイテムは、アイテムを追跡してユーザーの利用を可能にするために使用する CMDB に保管されます。

資産に該当する構成アイテムがある場合、資産レコードと構成アイテムレコードは以下の 2 つのビジネスルールと同期した状態となります。

- *Update CI fields on change* (資産 [alm_asset] テーブル上)
- *Update Asset fields on change* (構成アイテム [cmdb_ci] テーブル上)

注:
資産と CI は、論理的にマッピングされている場合にのみ同期できます。

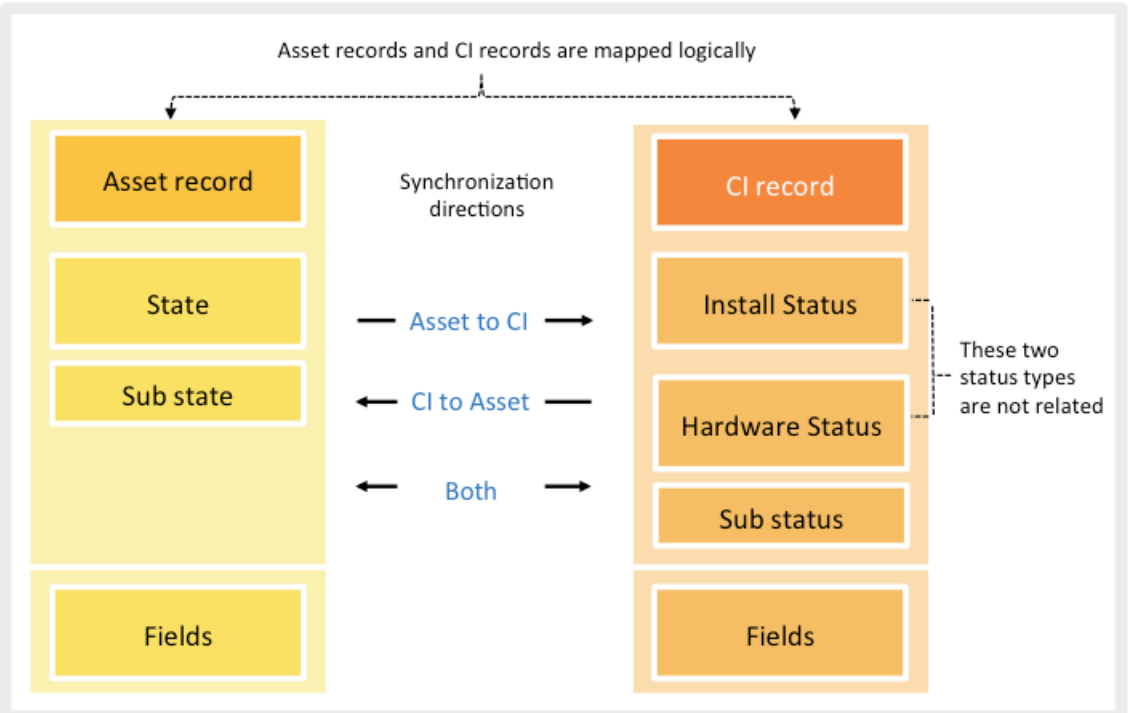
資産 - CI マッピングと同期

資産レコードの [状態] フィールドと CI レコードの [ステータスフィールド] は同期できます。一方のフォームで行われた変更が相対するフォームにも反映されることにより、レポートの一貫性が保たれます。

注:
資産と構成アイテムが互いに関連付けられている場合にのみ、Now Platformは資産と構成アイテムの更新内容を同期します。

次の図で、資産 - CI マッピングと同期の概念を表します。

資産 - CI マッピングと同期の概要



この同期とマッピングは次の要素に基づいています：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 資産ステータスと CI ステータスは 1 対 1 でマッピングされません。むしろ、もう一方のテーブルで最も論理的に対応するものにマッピングされます。たとえば、[在庫あり - 廃棄待ち] の状態に設定されたハードウェア資産の場合、一致する CI はサブステートがない [処分中] に設定されます。
- この同期は、資産の [状態] フィールドと次の CI フィールドの間で行われます。
  - [インストール ステータス] フィールド：インストールステータスにはサブステータスがありません。また、ハードウェア以外の CI で使用する必要があります。
  - [ハードウェア ステータス] と [サブステータス] フィールド：ハードウェア ステータスは、ハードウェア CI にのみ表示されます。
- 資産フォームの状態を更新して変更を実行します。資産 - CI の同期は、次の方法で実行できます。
  - 資産から CI への同期：資産のステータスが変更されると、論理的にマッピングされた CI のインストール ステータスまたはハードウェア ステータスとサブステータスが更新されます。
  - CI から資産への同期：CI のアクティブステータスまたはハードウェアステータスが変更されると、論理的にマッピングされた資産のステータスおよびサブステータスが更新されます。
- CMDB のハードウェア CI の場合、ハードウェアステータスとインストールステータスの両方が更新されると、一致する資産の状態をマッピングするためハードウェアステータスの変更が検討されます。
- CI のインストールステータスとハードウェアステータスは独立して機能するため、2 つのフィールドは関連していません。CI のハードウェアステータスが変更されても CI のインストールステータスは変更されず、またその逆も同様です。混乱を避けるため、CMDB CI ハードウェアのステータス両方の維持はお勧めしません。

資産と CI 間で同期が発生するフィールド一覧

資産レコードや CI レコード上で次のフィールドのいずれかが変更されると、相対するレコード上の同じフィールドが自動的に更新されます (CI レコード上で情報提供のみを目的とする [コスト] フィールドは例外です)。

同期されるフィールドのリストは次のとおりです。

- 資産タグ
- 割り当て日付
- アサイン先
- チェック イン日時
- チェック アウト日時
- 会社
- コスト (一方向の同期：資産から CI)
- コストセンター
- 配送日
- 部門
- 修正済み期限
- 期限
- GL アカウント

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

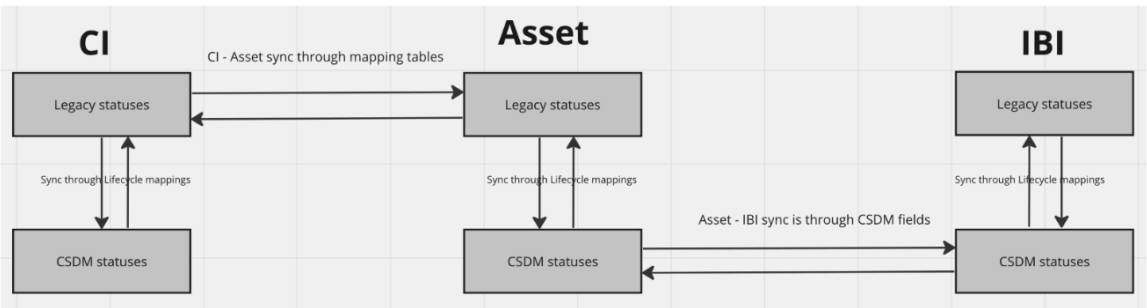
- インストール日
- 請求書番号
- 理由
- リース ID
- ロケーション
- 管理担当者
- モデル (CI の model_id)
- 注文日
- オーダー受領日
- 注文済み
- 所有者
- 発注書番号
- 購入日
- 購入日
- シリアル番号
- サポートグループ
- サポート担当者
- ベンダー
- 保証の有効期限

資産、CI、および **IBI** の同期

サービスとして提供されるアイテム、または顧客に販売されるアイテムは、インストールベースアイテム (IBI) として追跡されます。[モデルカテゴリ] テーブルは、資産クラス、CI クラス、およびインストールベースアイテム (IBI) クラスを関連付けます。

資産と CI 間の同期は、従来のステータスフィールドとサブステートフィールドを介して行われます。ただし、資産と IBI クラス間の同期は、CSDM ステージフィールドとステータスフィールドを介して行われます。

資産、CI、および **IBI** の同期



資産から IBI および CI への更新の同期

資産の [ステータス] フィールドまたは [サブステート] フィールドに加えられた更新は、関連する IBI および CI と同期されます。たとえば、資産の [ステータス] フィールドが [使用中] に更新されると、次のように同期が行われます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産の [ライフサイクルステージ] と [ライフサイクルステージステータス] は [運用] と [使用中] に設定され、これらのフィールド値は IBI 資産の [ステージ] フィールドおよび [ステータス] フィールドと同期されます。
- CI の [ステータス] フィールドと [サブステータス] フィールドが [インストール済み] および [使用中] に変わります。

IBI から資産および CI への更新の同期

IBI 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドに加えられた更新は、CSDM フィールドを介して、資産の従来の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドと同期されます。その後、資産の従来のフィールドは、関連する CI と同期されます。たとえば、IBI 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドが [欠陥品] および [在庫あり] に更新されると、次のように同期が行われます。

1. 資産の [ライフサイクルステージ] と [ライフサイクルステージステータス] が [在庫あり] および [欠陥品] に変わります。これらのフィールド値は、資産の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドと同期されます。
2. その後、資産の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドは、関連する CI の対応するフィールドと同期されます。

CI から資産および IBI への更新の同期

CI の [ステータス] フィールドと [サブステータス] フィールドに加えられた更新は、資産の対応するフィールドと同期されます。その後、資産の従来のフィールドは、CSDM フィールドを介して、IBI 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドおよび [ライフサイクルステージステータス] フィールドと同期されます。たとえば、CI の [ステータス] フィールドと [サブステータス] フィールドが [廃止] や [寄贈済み] に更新されると、資産の対応するフィールドが変更されます。資産からの変更は IBI 資産と同期され、[ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドが [提供終了] および [廃止] に変わります。

資産および **CI** の作成プロパティ

glide.create_alm_asset.async

システムのプロパティ *glide.create_alm_asset.async* は、 構成アイテム (CI) が作成された直後に資産を作成するか、または遅延後に資産を作成するかをコントロールします。資産の作成に遅延があると、多数の CI を迅速に作成できます。このプロパティが [**True**] に設定されている場合、15 分ごとに実行される *Asset - Create asset delayed sync* スケジュールジョブによって資産が作成されます。資産のジョブ履歴テーブル [asset_job_log] で、スケジュールジョブのステータスを表示します。作成待ちの資産と資産作成エラーを表示するには、 資産 > 管理 > 資産作成キュー. エラーを再処理するには、ステータスを [エラー] から [準備完了] に更新します。次回スケジュールジョブが実行されるときに、資産の作成を再試行します。

glide.create_alm_asset.async プロパティが [**false**] に設定されている場合、資産はすぐに CI から作成されます。

> **注:**
> Orlando 以前から Washington DC にアップグレードした場合は、このプロパティのデフォルト値は **[false]** です。このプロパティを更新する前に、CI に存在する資産値に依存しているプロセスをレビューし、資産の遅延作成のためにアカウントに必要な変更を加えます。

glide.asset.create_ci_with_ire

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

システムのプロパティ *glide.asset.create_ci_with_ire* により、ServiceNow 構成管理データベース (CMDB) 識別および調整エンジン (IRE) を使用して、資産から CI を作成できます。このプロパティは、シリアル番号に識別ルールがあり、他の CI クラスとの依存関係がない CI クラスに影響します。

注:
このプロパティは、ハードウェア CI クラス [cmdb_ci_hardware] から拡張された CI クラスに適用されます。

IRE を使用して作成された CI は、「`シリアル番号 - モデル名`」の形式の名前になり、ソースは SNAssetManagement です。これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの資産では、[シリアル番号] フィールドは必須です。資産のシリアル番号が既存の CI または資産に存在する場合、資産の作成に失敗します。[シリアル番号] フィールドは、これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの発注明細を受け取るためにも必要です。[シリアル番号] フィールドは、事前に割り当てられた資産の作成に必須ではありませんが、資産の割り当て時にシリアル番号を指定する必要があります。
このプロパティのデフォルト値は、アップグレードした場合は「false」です。このプロパティを更新する前に、[シリアル番号] フィールドのカスタマイズと、既存のシリアル番号を使用して資産を作成する統合またはフローを確認してください。

その他の資産と **CI** システムプロパティ

sn_itam_enable_cache_for_asset_ci_mapping

sn_itam_enable_cache_for_asset_ci_mapping システムプロパティを使用すると、次のマッピングをキャッシュできます。

- 資産フィールドと CI フィールド
- 資産ステータスと CI インストールステータス
- 資産ステータスと CI ハードウェアステータス

の製品インスタンス機能 ハードウェア資産管理

製品インスタンス機能を使用すると、すべてのアプリケーション、プロセス、ワークフロー、およびユーザーインタラクションで製品を一貫して表すことができます。プロダクト表示に加えられた変更は、自動的に同期化されます。

製品インスタンス機能を使用すると、 の IT Asset Management資産、 のインストール カスタマーサービス管理 (CSM)ベースアイテム (IBI)、 の構成 構成管理データベース (CMDB)アイテムとして追跡されるすべての製品を共通の表現にすることができます。製品インスタンスは、特定のモデルカテゴリの資産に関連付けられます。

注:
製品インスタンスは現在、医療デバイスモデルカテゴリに対してのみ有効になっています。

モデルカテゴリの製品インスタンス識別子 **(PID)** 構成

製品インスタンス識別子 (PID) は、製品インスタンスの一意の識別子であり、資産、CI、および IBI をリンクします。

PID は、製品インスタンス識別子構成 [product_instance_identifier_configuration] テーブルで定義されている次の項目に基づいて生成されます。

- PID 構成
- 各構成に割り当てられた順序

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
PID 設定は読み取り専用です。

PID の生成については、次の点に注意してください。

- PID 構成のパラメーターで指定されたフィールドが空の場合、PID は生成されず、資産は作成されません。
- [発注済み] または [事前割り当て済み] ステータスで、シリアル番号のない資産では、PID は生成されません。
- 資産、CI、または IBI のシリアル番号の更新など、PID 設定パラメーターで指定されたフィールドに変更が加えられるたびに、PID が再計算され、再生成されます。

注:
PID は、資産 [alm_asset]、構成アイテム [cmdb_CI]、およびインストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルの product_instance_id フィールドに格納されます。

医療デバイス モデル カテゴリの場合、PID コンフィギュレーションの既定のパラメーターは、テーブルの シリアル番号、 親、 およびモデル コンポーネント **ID** フィールドに基づいています。品目のシリアル番号に基づく PID コンフィギュレーションは、PID を生成するときに最高の優先順位が与えられます。ただし、シリアル番号が存在しない場合は、親 および モデル コンポーネント ID フィールドに基づくパラメーターが PID の生成に考慮されます。既存のシリアル番号を指定した場合、生成される PID は既存の PID と重複するため、資産は作成されません。

注:
親資産が更新されたときに子資産の PID 再計算を有効にするには、システム プロパティ *`sn_itam_enable_pid_recalculation_for_child_asset`* を true に設定します。デフォルト値は false です。

資産、CI、IBI 間の **PID** 同期

資産、CI、および IBI 間の PID の同期は、次の状況で行われます。

- PID のいずれかのフィールドが資産、CI、または IBI で更新される
- 資産、CI、または IBI は、PID 構成パラメーターのフィールドで指定された値を持ちます。

資産の作成または更新

PID 構成パラメーターに含まれるフィールドの値を指定して資産を作成すると、関連するモデル カテゴリの PID 構成に基づいて、次のアクションが発生します。

1. 指定したフィールド値に基づいて、資産の PID が生成されます。
2. 資産が作成されます。
3. 資産の PID は、関連する CI と同期されます。

資産の PID 設定パラメーターに含まれるフィールドを更新すると、PID が再計算され、新しいフィールド値に基づいて再生成されます。資産の更新された PID は、関連する CI と同期されます。

CI の作成または更新

CI を作成すると、その CI の資産が作成されたときにのみ PID が生成されます。その後、資産の PID が CI と同期されます。

CI の PID 設定パラメーターに含まれるフィールドを更新すると、次のアクションが発生します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. フィールド値が CI から資産にコピーされます。
2. 資産の PID が再計算され、再生成されます。
3. 資産の PID は、関連する CI と同期されます。

IBI の作成または更新

PID 構成パラメーターに含まれるフィールドを指定して IBI を作成すると、資産と関連する CI が作成されます。PID はインストールベースアイテムで生成され、資産およびその関連 CI と同期されます。

PID は、PID 設定パラメータの一部である IBI のフィールドが更新されると、再生成され、同期されます。

資産ライフサイクルの自動化

資産レコードの更新をライフサイクル全体で自動化し、資産の精度を手動で維持する手間を省きます。

資産は、購入時から廃棄されるまで更新および追跡する必要があります。自動化プロセスは、資産を要求した時点から、資産の在庫があるかどうか、または購入する必要があるかどうかを判断することから始まります。在庫がある場合、資産は転送オーダーワークフローを介して転送されます。資産を購入する必要がある場合は、発注書ワークフローがトリガーされます。自動化されたワークフローにより、各資産レコードまたは関連する構成アイテム (CI) を手動で更新する必要がなくなります。ワークフローが完了すると、資産レコードまたは CI が自動的に更新されます。

注:
自動化されたワークフローは、除外された資産に対してはトリガーされません。除外された資産の資産レコードまたは CI を手動で更新する必要があります。

ストックルームのハードウェア資産の 一括在庫オーダーを作成できます 。モデルと必要な正確な数量を指定できます。アイテムが調達または転送されると、ワークフローは完了です。

また、ハードウェアおよび消耗資産の 廃棄注文を作成する こともできます。このワークフローでは、5 つの資産廃棄タスクについて説明します。これらのタスクには、処分された資産の計画、スケジューリング、検証、出発、および最終確認が含まれます。タスクをクローズすると、タスクが完了し、ワークフロー内の次のタスクが作成されます。

たとえば、検証は資産廃棄ワークフローの最初のタスクです。[Verify] タスクを完了してクローズすると、[Schedule pickup] タスクが自動的に作成されます。このプロセスは、資産の廃棄に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。詳細については、「 ハードウェア廃棄注文ステージ 」を参照してください。

資産タスク

資産タスクは、資産の展開、置換またはスワップ、または廃止操作に対して提供されます。これらのタスクは、これらの操作の完了時に CI/資産レコードを自動的に更新します。

インシデント、変更要求、またはフィールドサービス作業指示書を介して資産が展開、置換、または廃止されている場合、CI/資産レコードは、CI/資産の関連レコードとともに自動的に更新されます。たとえば、サーバーを廃止する変更チケットがあるとします。変更が実装されると、 変更管理 アプリケーションは資産の廃止イベントをトリガーします。廃止タスクがトリガーされ、以下が更新されます。

- CI
- 関連資産レコード

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ソフトウェア割り当て
- メンテナンス契約

レコードを更新するための手動操作の必要性が減ることで、データの精度が向上します。

インシデントによって資産が廃止またはスワップされた場合、[ストックルーム] フィールドには資産の場所に基づいて値が入力されます。資産の場所に倉庫がない場合、[倉庫] フィールドには値が入力されません。ただし、資産の場所がサービスの場所の一部として複数の倉庫でサポートされている場合、[倉庫] フィールドには優先度に基づいてサポートする倉庫の詳細が自動的に入力されます。サービスの場所の詳細については、「」を参照してください ストックルームをサービスの場所に関連付ける。

次の表に、各アプリケーションで利用可能な資産タスクを示します。

アプリケーション	資産タスク
インシデント管理	• 廃止 • スワップ/置換
変更管理	• 展開 • 廃止
フィールドサービス管理 (FSM)	展開

ハードウェア資産管理 ライセンスの除外

ライセンスされた ハードウェア資産管理 機能を使用する資産に対してのみ支払いを行い、ライセンスされた機能を使用しない資産は除外します。

ハードウェア資産機能は、ハードウェアおよび消耗資産レコードに制限されます。ライセンスされた機能を使用する ハードウェア資産管理 が、いくつかの資産を除外する場合は、資産レベルの除外を使用します。資産の除外の詳細については、次を参照してください 資産を除外。

オプトインしていないカテゴリに属するハードウェア資産は、デフォルトで除外されます。たとえば、[エンドユーザーコンピューター] カテゴリをオプトインしない場合、すべてのエンドユーザーコンピューターが除外されます。詳細については、「HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウト」を参照してください。

除外された資産は、次の HAM フローおよびタスクでは選択して使用できません。

- 貸与
- 廃棄
- リフレッシュ
- リース
- バンドル
- 返品許可(RMA)
- 監査
- RFID
- 資産ライフサイクルの自動化

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- パレット
- 寄付

> **注:**
> 資産で開始されたワークフローは、その資産が途中で除外済みとマークされても完了できます。

HAM 用のCSDMフレームワーク

共通サービスデータモデル (CSDM)　　(CSDM) は、Now Platformの全ての ServiceNow 製品に適用される、標準化され一貫した用語と定義のセットです。

CSDM 標準化され一貫した用語と定義のセットを使用することで、ライフサイクルの移行を通じて効率よく資産を追跡することができます。CSDM の詳細については、「Common Service Data Model」を参照してください。

HAM の CSDM 環境を設定するには、「CSDM 環境の設定」を参照してください。

> **注:**
> CSDMの採用はオプションです。CSDM を採用することも、既存のモデルを引き続き使用することもできます。

ハードウェアモデル正規化

資産管理 ハードウェアモデル正規化 を使用すると、ハードウェアおよび消耗品モデルのメーカー、製品、モデル、デバイスタイプなどの詳細を正規化できます。モデルからのデータは、 ハードウェアモデル正規化 Content Service 内のデータと比較されます。

Hardware Model Normalization (com.sn_hwnorm) プラグインは ServiceNow 、担当者が有効にする必要があります。このプラグインは、[sn_hamp] プラグインを有効にする ハードウェア資産管理 と有効になります。

ハードウェアと消耗品モデルを正規化するプロセスの詳細については、次を参照してください ハードウェアと消耗品モデルを正規化する。

> **注:**
> このドキュメントは、 を対象としています ハードウェアモデル正規化。の詳細については 資産管理、 Asset Management のドキュメント を参照してください。

ジョブスケジュール

ハードウェアと消耗品モデルを標準化するには、資産データを正規化する必要があります。正規化コンテンツを使用してモデルレコードを手動で更新することも、データをハードウェア 資産管理 コンテンツサービスと比較することもできます。

- ハードウェア正規化 スケジュール設定済みジョブはHAM毎日実行されます。

コンテンツサービスからの ハードウェアモデル正規化 コンテンツは、 Now Platformにプルされます。資産ジョブログ (asset_job_log) テーブルを使用して、ジョブスケジュールのステータスを確認します。

モデルの正規化ステータスは、モデルで [正規化を元に戻す] を選択することで元に戻すことができます。モデルで発生した正規化はすべて元に戻され、ルールは無効になります。ジョブスケジュールが実行されると、モデルがアクティブなルールで処理され、ステータスが更新されます。正規化を元に戻す方法の詳細については、を参照してください ハードウェアと消耗品モデルの正規化を元に戻す。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール設定済みジョブは、ハードウェアおよび消耗品モデルのレポートを生成します。これらのレポートは、モデルの全体的なステータスを識別し、正規化ステータスのブレークダウンを提供します。

次のレポートが含まれています。

- ハードウェア製品の全体的な正規化ステータス
- 消耗品全体の正規化ステータス
- ハードウェアモデル正規化ステータス
- 消耗品モデルの正規化ステータス

関連情報

ハードウェア正規化の操作

ハードウェア資産管理 フローのカスタマイズ

一部の機能では、フローのカスタマイズに役立つ意思決定テーブルを ハードウェア資産管理 すぐに利用できます。

Flow Designer を使用して、要件に合った新しいフローを作成できます。すぐに利用可能な意思決定テーブルで新しく作成されたフローを使用して、既存のフローをカスタマイズします。たとえば、ハードウェア更新モジュールでは、既存のフローを削除したり、新しいフローまたは条件を追加したりできます。

次の表に、すぐに利用できる意思決定テーブルと、更新できる関連 ハードウェア資産管理 機能を示します。

意思決定テーブル

ハードウェア資産管理 機能	意思決定テーブル
ハードウェア資産のリフレッシュ	ハードウェア資産のリフレッシュラインフロー
リース契約有効期限	リース契約有効期限フロー
リース資産の買収	リース資産の買収フロー
リース資産の延長	リース資産の延長フロー
リース資産の返却	リース資産の返却フロー
貸与資産要求	Loaner Asset Request Flow
ローカルストックルームからのソース要求	資産ローカルオーダーサブフロー **注:** 資産ローカルオーダーサブフロー意思決定テーブルは、プラグイン調達両方ハードウェア資産管理で使用できます。

移動先 システム定義 > 意思決定テーブル 意思決定テーブルを開きます[意思決定] 関連リストで、[新規] をクリックして新しい意思決定を作成します。新しく作成されたフローで [回答] フィールドを更新し、ユースケースに基づいて条件を更新します。[順序] フィールドを 9999 未満の値で更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返品許可

返品承認(RMA)は、購入者が欠陥のある製品を返品または交換できるようにする、購入者と販売者の間の契約です。[資産 RMA オーダー] カタログアイテムには、RMA プロセスを簡素化するための規範的なフローがあります。

RMA 要求には RMA 要求ラインがあります。RMA 要求が送信されると、選択された資産と消耗品ごとに RMA 要求ラインが作成されます。ハードウェア資産ダッシュボードで、すべてのオープン RMA 要求ラインのリストを表示できます。詳細については、「ハードウェア資産ダッシュボード」を参照してください。

返品承認のワークフロー

Flow Designer アプリケーションは、すべての RMA 要求ラインに対して RMA タスクを作成します。RMA 要求は、RMA タスクを通じて完了します。アセスメントタスクは、RMA 要求ラインごとに作成されます。アセスメントタスクは、欠陥のある資産を評価するために使用されます。RMA タスクのステータスが更新されると、RMA 要求ラインフォームの [ステージ] フィールドがデフォルトで更新されます。

欠陥のある製品を受け取った場合、または保証期間内に製品に欠陥が発生した場合は、資産 RMA 注文を要求できます。ベンダーとの契約に基づいて、障害のある資産をオンサイトまたはオフサイトで修理することを決定できます。[アセスメントタスク] フォームでオフサイト修理を選択すると、Flow Designer が [資産 RMA オフサイト] フローをトリガーします。資産 RMA オフサイトフローは、RMA プロセスを完了するために次の RMA タスクを生成します。

- 出荷
- ベンダー RMA の決定
- 受領

アセスメントタスクでオンサイト修理を選択すると、Flow Designer が資産 RMA オンサイトフローをトリガーします。資産 RMA オンサイトフローは、RMA プロセスを完了するための RMA タスク (オンサイト修理タスク) を生成します。

オンサイト修理を試みた後、障害のある資産を修理できなかった場合は、製品をオフサイト修理に出すことができます。故障した製品をオフサイト修理に送る場合は、資産 RMA オフサイトフローがトリガーされ、RMA プロセスは資産 RMA オフサイトフロー RMA タスクによって完了します。

RMA 要求は、どの RMA 要求ラインに対してもアセスメントタスクがクローズされていない限りキャンセルできます。RMA 要求がキャンセルされると、関連するすべての RMA 要求ラインと RMA タスクがキャンセルされます。既存の RMA の一部である資産の RMA を送信すると、既存の RMA 要求の RMA 要求ラインは自動的にキャンセルされます。RMA タスクがキャンセルされると、関連する RMA 要求ラインもキャンセルされます。在庫ユーザーまたは itil ロールを持っている場合は、アセスメントタスク、内部修理タスク、または出荷タスクをキャンセルできます。

関連情報

RMA 要求の管理

Zebraテクノロジー**RFID**システムの統合

Zebra テクノロジー無線自動識別 (RFID) システムをインスタンスと ServiceNow 統合すると、ハードウェア資産の場所を自動的に特定、追跡、および管理できます。

Zebra テクノロジー RFID システムとの資産統合が正常に完了すると、資産にマッピングされたゾーングループ、ゾーン、場所などの RFID タグ情報を表示できます。RFID 情報は、資産のシリアル番号に従って資産 [alm_asset] テーブルにマッピングされます。資産管理テーブルの詳細については、次を参照してください 資産管理とともにインストールされる内容。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
資産が除外されている場合、RFID 情報は資産のシリアル番号に従って資産 [alm_asset] テーブルにマッピングされません。資産の除外の詳細については、次を参照してください ハードウェア資産管理 ライセンスの除外。

Zebra テクノロジーの RFID システムからのデータは、定期的にインポート ServiceNow されます。RFID システムのデータ変更はインスタンスで ServiceNow 更新されます。

RFID 資産 [rfid_asset] テーブルには、資産の RFID 情報が保存されます。RFID 情報の表示の詳細については、「」を参照してください 資産のRFID情報を表示。

アセットバンドル

アセットバンドルは、既にインベントリにある資産のグループを単一のエンティティとしてバンドルするのに役立ちます。

アセットバンドルは、消耗資産とハードウェア資産で構成されます。

開発者アセットバンドルの例

コンポーネント	モデルカテゴリ
Apple MacBook W9576XA	ハードウェア資産
Samsungモニター B2156C	ハードウェア資産
ロジクール マウス PB567VT	消耗 品
Apple キーボードMT65021R	消耗 品

アセットバンドルはバンドルされたモデルに基づいています。バンドルされたモデルは、モデルをグループ化したものです。バンドルされたモデルの詳細については、次を参照してください バンドルされたモデル。

ストックルームの既存の資産は、アセットバンドルの作成に使用されます。[在庫あり] ステータスと [利用可能] サブステータスにある資産のみがアセットバンドルに追加されます。資産を除外する場合は、バンドルから資産を削除する必要があります。資産の除外の詳細については、次を参照してください ハードウェア資産管理 ライセンスの除外。アセットバンドルの一部である資産は、個々の資産として利用することはできません。アセットバンドルに関連付けられている CI はありません。

アセットバンドルは、資産のライフサイクル全体を経由します。アセットバンドルの構築から、バンドルのユーザーへの割り当て、資産の修理が必要な場合のメンテナンスステータスへの移行、目的が達成されたときのバンドルの廃止まで。

アセットバンドルはストックルーム間で転送できます。ただし、バンドル内の個々の資産は倉庫間で転送できません。バンドル内の資産は廃棄できません。アセットバンドルが廃止されると、資産はバンドルからの関連付けを解除され、個別に廃棄できます。アセットバンドルを削除すると、そのバンドルに属するすべての資産が倉庫に移動されます。

アセットバンドルに属する資産をスワップできます。資産は、バンドルのステータスが [メンテナンス中] または [在庫あり] でサブステートが [修理待ち] の場合にスワップできます。

アセットバンドルを廃止し、バンドルに属するすべての資産を解放できます。リリースされた資産はストックルームに戻され、バンドルを削除することができます。

バンドルに属する資産は、調達、転送オーダー、廃棄注文のフローから除外されます。

アセットバンドルの作成の詳細については、「」を参照してください インベントリからのアセットバンドルの管理。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産再利用

[資産の再利用] カタログアイテムは、資産管理モジュールと HR モジュールを統合して、資産を効率的に再利用できるようにします。

従業員が退職するか別のロールに異動した場合、従業員にアサインされた資産を再利用するのは手間のかかる作業であり、HR プロフェッショナルと資産マネージャーの間で多くの調整を行う必要があります。[資産の再利用] カタログアイテムには、ハードウェア資産を効率的に再利用して在庫に保管したり、必要に応じて再割り当てしたり、修理のために送付したり、廃棄したりするための規範的なワークフローがあります。

HR プロフェッショナル、マネージャー、または従業員は、[Reclaim Asset] カタログアイテムを使用して資産の再利用要求を送信できます。マネージャーは、レポートメンバーの資産再利用要求を送信できます。人事担当者は、組織内のすべての従業員の資産再利用要求を送信できます。HR プロフェッショナルとマネージャー以外の従業員は、自分自身の資産再利用要求を送信できます。詳細については、「資産再利用要求の送信」を参照してください。

を介して サービスカタログ資産再利用要求を作成すると、資産再利用要求が作成されます。退職する従業員にアサインされた各ハードウェアまたは消耗品について、[Reclaim Asset (資産 サービスカタログの再利用)] で選択した資産に対してハードウェア資産再利用ラインが作成されます。各ハードウェア資産再利用ラインは、次のハードウェア資産再利用タスクによってクローズされます。

- [資産の再利用] フォームで選択した再利用方法に基づいて、納品のスケジュール、集荷のスケジュール、または出荷タスクのスケジュールを設定します
- 資産を受領
- 評価

ハードウェア資産再利用ラインにはステージフィールドもあり、ハードウェア資産再利用タスクをクローズすると次のように変化します。

- 準備完了
- 保留中の受け取り
- 評価を保留中
- 完了

詳細については、「資産再利用要求のクローズ」を参照してください。

ハードウェア資産再利用サブフロー意思決定テーブルを使用すると、ハードウェアおよび消耗資産のカスタム再利用サブフローをトリガーできます。意思決定テーブルで指定した資産に関連する条件に基づいて、対応するサブフローがトリガーされ、再利用プロセスが完了します。

Request を使用するには サービスカタログ 、SAM Professional または HAM Professional をインストールする必要があります。SAM Professional のみをインストールしている場合は、 サービスカタログにアクセスできますが、トリガーされるのはソフトウェア資産再利用フローのみです。

資産寄付

資産寄付オーダーを使用して、組織の在庫内のハードウェアと消耗資産を慈善団体に簡単に寄贈することができます。

資産寄付フローは、資産寄付プロセスのさまざまな段階を処理します。資産寄付注文を送信すると、資産マネージャーが資産寄付注文をレビューし、承認された場合は寄付を処理します。資産寄付プロセスは、慈善団体が資産の引き渡しを確認した時点で完了します。

注:
除外されたアセットを寄付することはできません。除外された資産の詳細については、「」を参照してください ハードウェア資産管理 ライセンスの除外。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産寄贈の詳細については、「」を参照してください 慈善団体に資産を寄付する。

割当済み資産

割当済み資産は、所有権はベンダーにありながらも、ジャストインタイム調達を実現するため顧客のストックルームに保管することが同意されているものである場合が多いです。

割当済み資産は物理的に存在しますが、財務上の責任はありません。たとえば、割り当てる準備が整ったコンピューター 100 台のパレットが、割当済み資産となり得ます。資産を割り当てると構成アイテムが生成され (カテゴリによって必要な場合)、資産を割り当てることができます。割り当て済み資産は、すでに使用されている別の資産のコンポーネントとすることができます。

たとえば、プリインストール済みや割り当て済みのサーバーを本番サーバーの横にあるサーバーラックに設置はできますが、割り当て済みのサーバーは電源をオンにした後にしか財務上の責任が発生しません。事前割り当て済みオプションは、消耗品やライセンスではなく、資産に対してのみ使用できます。割り当て済み資産はバンドルで構成することはできません。

注:
保証はアイテムが設置されるまで有効になりません。したがって資産が割り当てられアサインされるまでは保証されません。

割当済み資産を作成し、割当済み資産レコードから資産を割り当て、割当済み資産を分割して別のストックルームに移動できるグループを作成することもできます。詳細については、「割当済み資産の管理」を参照してください。

パレット資産

パレット資産クラスを使用して、在庫内の資産をグループとして追跡および管理します。資産のグループを場所間で簡単に移動したり、グループとして廃棄したりできます。

パレットは、モデルカテゴリがパレットの資産です。パレットは、パレットに含まれる資産の親です。事前定義されたパレットタイプは、パレット、ビン、ボックス、およびコンテナです。

注:
パレット資産クラスとそれに関連する UI オプションは、Hardware Asset Management Professional プラグイン (com.sn_hamp) でのみ使用できます。

[Asset estate (資産一覧)] ビューでパレット資産を作成し、ベース、ハードウェア、バンドル、消耗品、およびその他のパレット資産をパレットに追加できます。

パレット資産は経費ラインに関連付けられていません。

パレット [alm_pallet] テーブルには、パレット資産に関する情報が保存されます。ストックルーム内のパレットの場所は、資産 [alm_asset] テーブルの [通路] 列と [スペース] 列で示されます。

在庫管理にパレット資産を使用する予定がある場合は、次の点に注意してください。

- ソフトウェア、エンタープライズ、および除外された資産をパレットに追加することはできません。

  注:
  除外された資産の詳細については、「」を参照してください ハードウェア資産管理 ライセンスの除外。

- すでに親資産に関連付けられている資産を追加することはできません。
- パレット資産を資産バンドルの一部にすることはできません。

パレット資産の詳細については、次を参照してください パレット資産で在庫を管理する。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

貸与資産

短期間だけ必要な貸与資産または消耗品を要求します。

貸与オーダー要求は、次のステージを経て完了します。

- タスクの準備:要求されたユーザーに貸与資産を渡す前に、必要なソフトウェアをインストールするなどして、貸与資産を準備します。デフォルトでは、準備タスクは開始日の 2 日前に作成されます。この設定を変更するには、貸与資産要求カタログアイテムの 貸与資産変数の準備に必要な日数 を変更します。

  注:
  貸与資産変数の準備に必要な日数は、貸与資産を要求するときにカタログフォームに表示されません。この変数を見つけるには、カタログアイテムモジュールに移動します。catalog_admin ロールを持つユーザーのみが、この変数の値を変更できます。

- 展開タスク:要求されたユーザーに貸与資産を渡すか、ユーザーのマシンに貸与資産をインストールします。展開タスクは、準備タスクがクローズされた後に作成されます。
- 再利用タスク:一定期間後に貸与資産を再利用します。再利用タスクは、返却日の 1 日前に作成されます。

注:

貸与資産は、在庫ルールが処理されているときは倉庫数にカウントされません。

除外された貸与資産を割り当てることはできません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

関連情報

貸与資産の管理

貸与資産の予約

順番待ちリストに登録された貸与注文により、貸与資産の将来の需要を可視化できます。

利用可能な貸与資産がある場合、貸与オーダーを送信したユーザーは最初に貸与資産を取得します。貸与資産は、準備開始日に日次スケジュール設定済みジョブによって自動的にユーザーに割り当てられます。ストックルームに貸与資産がない場合、すべての貸与注文は順番待ちリストに含まれます。[Loaner] の下の [Waitlisted Orders] モジュールには、順番待ちリストに登録されたすべての貸与注文が表示されます。新しい貸与資産がストックルームに追加された場合、または確認済みの貸与オーダーがキャンセルされた場合、順番待ちリストに載っている貸与オーダーは、送信された順に確認されます。それより前に出された貸与オーダーは、後から出されたオーダーよりも優先されます。

在庫管理者として順番待ちリストの貸与注文を確認するには、[Loaner Asset Order] フォームの **[Waitlist]** ボックスをオフにして、[**Asset**] フィールドで資産を選択します。確認済みの貸与注文を順番待ちリストに移動する場合は、[**Waitlist]** ボックスをオンにして、[**Asset**] フィールドから資産を削除します。貸与資産は、任意の場所から、次のいずれかのステータスおよびサブステートで割り当てることができます。

- 在庫あり
- 利用可能
- インストール待ち
- 予約済み
- 使用中

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
除外された貸与資産は選択できません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

倉庫

ストックルームは、資産が割り当てられる場所です。

特定の資産の在庫が少なくなったときに、在庫ルールに従って管理者に Notify するか、自動的に一方のストックルームから他方のストックルームに在庫を移動することができます。

ストックルームは、資産管理アプリケーション内の個別に独立したエンティティです。

在庫ルール

在庫ルールは、あるストックルーム内のある資産の在庫が指定されたしきい値に達すると、特定の数量が別のストックルームから移転されるか、またはベンダーに注文すべきかを定義します。

たとえば、特定のモデルのキーボードがあるストックルームで在庫数 10 台になった場合、在庫ルールの設定に従って、別のストックルームからキーボード 50 台を転送するための転送オーダーが自動的に作成されます。在庫ルールでは、ストックルームに複数のモデル資産が存在する可能性があるため、基準に適合するすべての資産を確認し、合計数を表示することができるようになっています。

再補充オプションは 2 通りあります。

- ストックルーム管理者 (ストックルームレコード上の [管理者] フィールドで指定されているユーザー) にメールを送信して、ベンダーへの注文を促すことができます。ストックルーム管理者用のタスクが自動的に作成されるか、または、Procurement が有効な場合は、発注書と発注明細が作成されます。
- 転送オーダーを自動的に作成して、別のストックルームからアイテムを補充することができます。

在庫ルールは既存の転送オーダーを考慮するため、すでに補充が進行中であれば追加の転送オーダーを作成しません。

在庫ルールランナーは毎日実行され、転送注文または発注書または在庫注文 (HAM 機能) を作成し、倉庫マネージャーにメールメッセージを送信し、倉庫マネージャーのタスクを作成します。

注:
補充が進行中の場合、システムでは重複したメールや転送オーダーを作成しません。

スケジュール設定済みジョブが実行されているときに Procurement が有効な場合は、発注書と発注明細が自動的に作成されます。

注:
発注書と発注明細にアクセスするには、procurement_user ロールが必要です。

Lenovo資産保証の詳細のための統合

Lenovo資産保証フローでは、保証 API に接続しLenovoてハードウェア資産の保証情報を取得できます。

と Lenovo の統合には次の要件があります。

- からインスタンスServiceNow Storeにインストールされ たServiceNow資産保証 - Lenovo [com.sn_warranty_integration_lenovo] アプリケーション
- LenovoからインスタンスServiceNow Storeにインストールされ るServiceNowスポーク (sn_lenovo_spoke) 詳細については、「Lenovo Spoke」を参照してください。
- 保証 API に接続するLenovoためのクライアント IDLenovo。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> クライアント ID をお持ちでない場合は、組織の営業担当者またはサービス担当者にお問い合わせください Lenovo 。

- 接続。Lenovoこの接続がない場合は、[sn_lenovo_spokeを使用して作成 Lenovo する必要があります。Lenovo] 接続および資格情報エイリアス。詳細については、「保証 API への接続 Lenovo」を参照してください。

> **注:**
> Warranty API の Lenovo 入力フィールドと応答フィールドの詳細については、Lenovo WebAPI ドキュメントの「保証」トピックを参照してください。

資産保証の詳細のフェッチに関連する Lenovo プロセスは次のとおりです。

1. 毎週実行される [資産保証情報のダウンロード - (Download Asset Warranty Information - Asset Warranty Information - LenovoLenovoScheduled Job)] ジョブスケジュールは、Lenovoメーカーがすべてのハードウェア資産をフェッチする資産保証フローを呼び出します。
2. 資産保証フローは Lenovo 、スポークアプリケーションに存在する Lenovo [資産保証をダウンロード] アクションを呼び出し、1000 個のシリアル番号をバッチで渡します。
3. [資産保証をダウンロード] アクションは、シリアル番号とクライアント ID を渡して、インスタンスを保証 API に接続しますServiceNowLenovo。このアクションでは、渡されたすべてのシリアル番号の保証情報もダウンロードされます。
4. 資産保証フローの Lenovo [保証情報を処理] アクションは、保証 API からの Lenovo 応答を使用して、資産保証 [sn_itam_common_asset_warranty] テーブルの資産保証レコードを作成または更新します。

   資産保証 [sn_itam_common_asset_warranty] テーブルには、資産保証の詳細が保存されます。このテーブルには、API 応答に対応するフィールドがあります Lenovo 。テーブルのフィールドの一部は次のとおりです。

   - 外部保証 **ID**:資産の保証レコードを識別し、保証情報を更新します。
   - アクティブ:API 応答の [保証] フィールド値 Lenovo に基づくブールフィールド。
   - ステータス:保証がアクティブかどうかを示します。このフィールドは、[アクティブ] フィールドの値に基づいて入力されます。
   - 開始日 と 終了日:保証期間を示します。

> **注:**
> 除外された資産の保証レコードはフェッチされません。

資産には複数の保証を関連付けることができます。資産フォームの [資産保証] タブを使用して保証情報を表示できます。資産運用ビューの資産保証リストを使用して、一元的な場所からすべての資産保証レコードを表示することもできます。詳細については、「資産の Lenovo 保証の詳細を追跡する」を参照してください。

関連情報

から資産保証の詳細を受領 Lenovo

ゼロタッチでリフレッシュ

ゼロタッチでリフレッシュフローを使用すると、ローカルストックルームで新しい資産を維持することなく、外部ベンダーを通じて従業員のハードウェアリフレッシュ要求を実行できます。

資産リフレッシュプロセスの各種ステージは次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. 組織の従業員がハードウェア資産のリフレッシュ要求を送信します。

   ゼロタッチでリフレッシュ要求が承認されると、要求確認タスクが作成されます。プロバイダーが要求を確認すると、このタスクのステータスは自動的に [クローズ済み] に変わります。

2. プロバイダーが新しい資産を従業員に出荷します。

   > **注:**
   > プロバイダーは、アプリケーションを使用して 資産管理 ゼロタッチでリフレッシュ要求を履行できます。

   次のタスクが作成されます。

   a. 出荷要求:このタスクは、プロバイダーがゼロタッチでリフレッシュ要求を確認すると作成されます。プロバイダーが新しい資産を出荷すると、このタスクのステータスは自動的に [クローズ済み] に変わります。

      プロバイダーが資産を出荷すると、次のようになります。

      - プロバイダーによって指定されたシリアル番号と資産タグを持つ資産が従業員に割り当てられます。
      - 従業員がゼロタッチでリフレッシュ要求で選択したリフレッシュ方法に基づいて、出荷された新しい交換用資産の詳細を含むメール通知が次のように送信されます。
        - 資産が従業員に出荷されると、資産ロールを持つすべてのユーザーにメール通知が送信されます。
        - 資産がストックルームに出荷されると、資産ロールを持つすべてのユーザーと、従業員が新しい資産を受け取る選択されたストックルームの倉庫管理者にもメール通知が送信されます。
      - プロバイダーが要求で指定した追跡番号と配送業者の詳細に基づいて、交換用資産と古い資産の出荷に対して一意の出荷レコードが作成されます。両方の出荷に同じ追跡番号が指定されている場合、1 つの出荷レコードが作成されます。ハードウェア資産ワークスペースの [資産運用] ビューで、関連する資産を含む出荷レコードを表示できます。詳細については、「ハードウェア資産出荷の詳細の表示」を参照してください。

   b. 集荷準備完了:このタスクは、プロバイダーが従業員が資産を集荷するストックルームにプロバイダーが新しい資産を出荷する [集荷] 更新メソッドの場合にのみ作成されます。

   c. 資産の受領:このタスクは次のように作成されます。

      - 出荷更新方法の場合、プロバイダーが資産を従業員に出荷する場合。
      - [Pickup (集荷)] 更新方法の場合は、[Ready for pickup (集荷の準備完了)] タスクがクローズされたとき。

   d. 返品資産の受領:このタスクは、プロバイダーが新しい資産を出荷するときに作成されます。

3. 従業員は新しい資産の受領を確認します。
4. 従業員はプロバイダーから出荷されたラベル付きの箱に入れて、古い資産をストックルームに返送します。
5. 在庫マネージャーは、古い資産が受領されたことを確認し、評価します。

> **注:**
> ゼロタッチでリフレッシュフローには外部プロバイダーからのサポートが必要であり、 と インサイト統合するように事前設定されています。

ゼロタッチでリフレッシュフローには次の要件があります。

自動翻訳

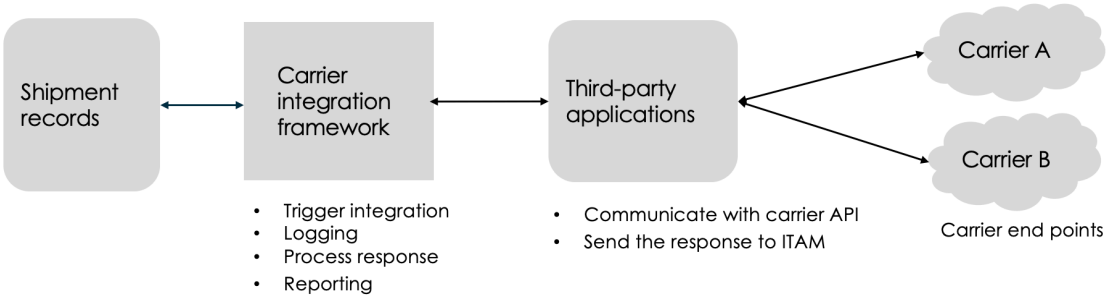
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 従業員の組織とプロバイダーは同じ ServiceNow クラウド上にある必要があります。
- Service Bridgeアプリケーションはインスタンスでservicenow構成する必要があります。

詳細については、「ゼロタッチでリフレッシュを使用した資産のリフレッシュの管理」を参照してください。

サードパーティの配送業者アプリケーションとの統合による出荷の管理

アプリケーションが提供する統合フレームワークを使用して、インスタンスをサードパーティの配送業者アプリケーションと統合 ServiceNow することで、出荷 IT Asset Management のステータスをリアルタイムで確認できます。



統合をシームレスに機能させるには、サードパーティの配送業者が次の手順でアプリケーションを作成する必要があります。

- 異なるスコープに属する任意のアプリケーションからアプリケーションにアクセスできるようにします。
- 基底クラス ITAMShipmentIntegration スクリプトから拡張されたスクリプトインクルードを作成します。

  詳細については、「サードパーティ配送業者アプリケーション用の統合スクリプトインクルードの作成」を参照してください。

- KMF アクセスマップポリシーを提供することで、資格情報テーブルまたは Password2 フィールドを持つテーブルを使用する場合に顧客がアプリケーションにアクセスできるようにします。

  詳細については、「Password2 encryption with the Key Management Framework (KMF)」を参照してください。

- アプリケーション名、API、および接続の詳細を配送業者統合プロファイル [sn_itam_carrier_int_profile] テーブルに追加します。

  詳細については、「配送業者統合プロファイルの詳細を表示する」を参照してください。

詳細については、「統合フレームワークを使用して出荷を追跡する」を参照してください。

の資産総所有コスト ハードウェア資産管理

資産には、初期資本コストや運用コストなど、ライフサイクル全体を通じてコストが発生します。資産総所有コストは、資産マネージャーが資産の総所有コスト (TCO) を理解、分析、追跡するのに役立ちます。総コストには初期資本コストと運用コストが含まれます。

重要:
資産総所有コスト機能にアクセスするには、10.0.0 バージョン以降をインストールする ハードウェア資産管理 必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TCO のメリット

- 資産階層全体で発生した経費を追跡および分析します。
- 資産および資産モデルに対して資産コストをベンチマークし、パフォーマンスを比較します。
- TCO レポートを作成し、事前定義されたレポートを使用して、資産の財務計画を改善します。

TCO 計算

資産で発生したコストは、経費ラインとして作成されます。経費ラインには、経費ラインの合計額、またはすべての子資産の初期投資コストと合計経費を含む、資産に発生したコストの履歴が表示されます。

TCO は、資産の耐用期間中に発生したすべての費用の合計です。

- 資産レコードが作成されると、初期コストには、作成される経費ラインからの購入コストが含まれます。コストを更新すると、経費ラインレコードが更新されます。
- シリアル番号付資産の場合、資本コストは 1 回のみ追加され、残りは運用コストと見なされます。作成された経費明細は総コストに加算されます。
- 子資産の場合、
  - 子資産でコストが発生した場合、同じコストが親資産の TCO に追加されます。
  - 子資産が削除された場合、子資産の経費ラインは保持され、親の TCO は影響を受けません。
  - 子資産がスワップされると、運用コストの経費ラインが 1 つ作成されます。
- レートカードによって作成された経費ラインは、資産の TCO に追加されます。
- ハードウェア資産に影響するインシデントには、すでにタスクレードカードが含まれています。

レートカード、経費明細、経費カテゴリ

レートカードは、資本、人件費、材料費、契約コストを追跡するのに役立ち、生成された経費明細はこれらのコストを追跡します。各タスクについて、 ハードウェア資産管理 そのタスクの作業時間をキャプチャします。タスクがクローズされた後、 ハードウェア資産管理 タスクの作業時間に基づいて経費明細が作成されます。これらの経費ラインの金額は、資産の総コストに追加されます。その後、経費カテゴリは経費ラインに帰属します。経費ラインは、[ハードウェア資産の詳細] フォームの [経費ライン] タブに表示されます。

アプリケーションは ハードウェア資産管理 次のレートカードをサポートしています。

- タスクレードカード
- 賃金レートカード

注:
賃金レードカードは作成された経費ラインの一部であり、タスクの作業時間を記録しているタスクレードカードに賃金レードカード情報が含まれている場合に有効です。

タスクの時間をキャプチャする

各タスクには、そのユーザーの作業時間レコードを作成する時間キャプチャ機能があります。

タスクの開始、タイマーの開始、一時停止、再開、および保存を行うことができます。次のシナリオでは、[作業時間] タブに新しいレコードエントリが作成されます。

- [開始] を選択して作業を開始し、[保存] を選択します。
- [タイマーの開始] を選択して、タスクの時間の記録を開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [一時停止] を選択して記録を一時停止します。
- [再開] を選択して記録を再開します。

タイマーは、タスクを閉じたときにのみ停止します。タスクに費やされた合計時間を算出するには、すべてのレコードエントリを合計し、賃金レートを掛けて、タスクの総コストを算出します。

[時間を記録] を選択して、タスクに手動で時間を追加できます。

TCO の処理

TCO を使用すると、次のアクションを実行できます。

- ハードウェア資産の初期コストと運用コストを追跡するための経費ラインを作成します。
- 次のワークフロータスクの TCO と、ワークフロー内の個々のタスクの作業時間を追跡して計算します。
  - 廃棄
  - 寄付
  - ゼロタッチでリフレッシュ
  - 契約更新

    注:
    契約コストについては、契約レートカードで資産オプションを割り当てて配分し、契約コストを均等に配分するために使用されます。契約レートカードの対象となる資産に資産を追加する必要があります。

  - 返品許可(RMA)
  - リース
  - 貸与
  - ハードウェア資産のリフレッシュ
  - 資産再利用

  注:

  ワークフローには ハードウェア資産管理 レートカードが含まれています。これらのレートカードを有効にするには、[タスクレートカード] フォームの [アクティブ] チェックボックスをオンにします。

- ハードウェアモデルの TCO ベンチマークを追跡します。TCO ベンチマーク コストを指定した後、TCO ベンチマークしきい値は次の式を使用して計算されます。

  ```
  TCO benchmark cost * TCO benchmark threshold percentage
  ```

  ここで、TCO ベンチマークしきい値のパーセンテージは、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されます。詳細については、「ハードウェアモデルの詳細」を参照してください。
- レポートを作成し、資産グループの TCO を比較します。TCO ダッシュボードとレポートの詳細については、以下を参照してください [資産分析] ビュー。
- リアルタイムまたはオフラインの TCO レポートの場合は、耐用年数にわたって資産 TCO を正規化し、さまざまなモデルおよび資産の正規化された TCO を比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産の耐用年数が資産の耐用年数以上の場合、正規化された TCO(月あたりの TCO)は次の式を使用して計算されます。

  ```
  (Purchase cost / Useful life) + (Sum of operational cost / Asset life)
  ```

- 資産の耐用年数が資産の耐用年数よりも短い場合、正規化された TCO (TCO/月) は次の式を使用して計算されます。

  ```
  (Purchase cost + Sum of operational cost) / Asset life
  ```

注:
次の資産と消耗品の TCO は計算および追跡されません。

- バンドル資産
- パレット資産
- 個々の消耗品

  消耗品を子資産として使用していた場合、その経費ラインは親資産に追加されます。

- 除外された資産
- オプトアウトされたモデルカテゴリの一部である資産。

を使用したハードウェア製品のオンボーディングの管理 アプリケーションポートフォリオ管理

アプリケーションとともに ()TRMアプリケーションポートフォリオ管理 を使用してテクノロジー参照モデル、ハードウェア製品をオンボーディングし、(TRM) ライフサイクルを管理しテクノロジー参照モデルますハードウェア資産管理。

これにより テクノロジー参照モデル 、組織内での使用承認に関する情報を含むハードウェア製品のリストを管理できます。TRM ライブラリは、エンタープライズアーキテクトによって管理され、アプリケーションオーナーによって使用されます。TRM の詳細については、次を参照してください Technology Reference Model 。TRM を使用すると、アプリケーションオーナーは、組織で使用するハードウェア製品を要求し、製品をオンボーディングし、TRM ライフサイクルフェーズを定義できます。

各ハードウェア製品モデルは、開始日と終了日を持つ一連のライフサイクルフェーズに関連付けられています。この ハードウェア資産管理 アプリケーションでは、製品に関連付けられているすべてのハードウェアモデルの TRM ライフサイクルフェーズを可視化できます。

と **TRM** 情報の同期 ハードウェア資産管理

の ハードウェア資産管理 HAM - TRM 情報の同期スケジュール済みジョブは毎日実行され、正規化された製品モデルの TRM フェーズやライフサイクルなどの情報を TRM からフェッチします。その後、ジョブは TRM の詳細をアプリケーションに送信します ハードウェア資産管理 。スケジュール設定済みジョブが毎日実行されると、TRM フェーズに加えられたすべての更新が次と同期されます。ハードウェア資産管理

の [モデル管理] ビューで、ハードウェア製品モデルに関する次の TRM 関連情報を表示できます。ハードウェア資産ワークスペース

- ハードウェア製品モデルの [詳細] タブの **[TRM** 製品フェーズ] フィールドを使用した TRM フェーズ。
- ハードウェア製品モデルの **[TRM** 製品ライフサイクル] 関連タブを使用した TRM ライフサイクル情報。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

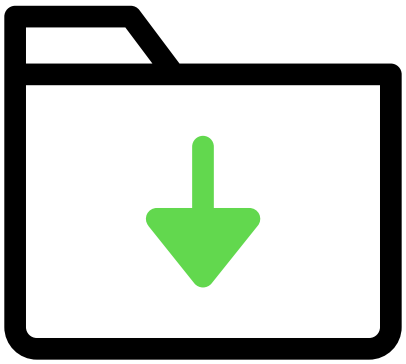
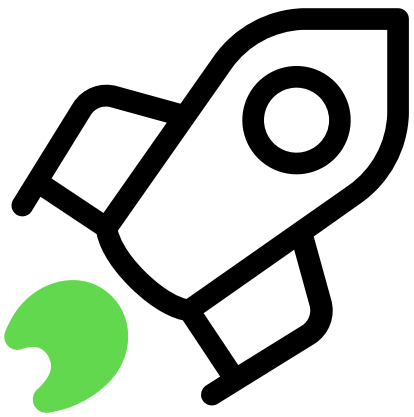
ハードウェア資産管理 の構成

正確なインベントリとインサイトを得るために一元化された資産データを取得し、ワークフローを使用して IT ライフサイクルを自動化し、資産のコストとリスクを削減するように構成 ハードウェア資産管理 します。

構成の概要

ここでは、 を構成するプロセス ハードウェア資産管理の概要を説明します。

ハードウェア資産管理 の構成

ステップ	アクション	リソース
 ハードウェア資産管理 のインストール	ハードウェア資産管理ServiceNow Store からアプリケーションを取得します。	ハードウェア資産管理 のインストール
 ハードウェア資産管理 の使用	ハードウェアと消耗品の資産を管理し、資産のコストとリスクを削減するために使用します ハードウェア資産管理 。	ハードウェア資産管理 の使用

ハードウェア資産管理 のインストール

admin ロールをお持ちであれば、 ハードウェア資産管理 アプリケーション (sn_hamp) をインストールできます。 アプリケーションには、デモデータが含まれています。関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインがまだインストールされていない場合は、インストールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、 の ServiceNow StoreHardware Asset Management アプリケーションリストを確認してください。

必要なロール:ham_admin

このタスクについて
ハードウェア資産管理 とともに次のアイテムがインストールされます。

- ロール
- ジョブスケジュール
- テーブル

詳細については、「ハードウェア資産管理とともにインストールされる内容」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. ハードウェア資産管理フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーション (sn_hamp) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。
4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。
6. [インストール] を選択します。

ハードウェア資産管理 の使用

Hardware Asset Management アプリケーションを使用して、ハードウェアと消耗品の資産を管理します。

ハードウェア正規化の操作

資産管理 ハードウェアモデル正規化 を使用すると、ユーザーはハードウェアと消耗品モデルのメーカー、製品、モデル、デバイスタイプなどの詳細を正規化できます。モデルからのデータは、 ハードウェアモデル正規化 Content Service 内のデータと比較されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プラグインを有効にすると、Normalization Data Services Client (com.glide.data_services_canonicalization.client) プラグインも ハードウェアモデル正規化 有効になります。

> **注:**
> このドキュメントは、 を対象としています ハードウェアモデル正規化。の詳細については 資産管理、 Asset Management のドキュメント を参照してください。

ジョブスケジュール

ハードウェアと消耗品モデルを標準化するには、資産データを正規化する必要があります。正規化コンテンツを使用してモデルレコードを手動で更新することも、データをハードウェア 資産管理 コンテンツサービスと比較することもできます。

HAM ハードウェアモデル正規化 のスケジュール済みジョブは毎日実行されます。

コンテンツサービスからの ハードウェアモデル正規化 コンテンツは、 Now Platformにプルされます。資産ジョブログ (asset_job_log) テーブルを使用して、ジョブスケジュールのステータスを確認します。

モデルの正規化ステータスは、モデルで [正規化を元に戻す] をクリックすることで元に戻すことができます。モデルで発生した正規化はすべて元に戻され、ルールは無効になります。ジョブスケジュールが実行されると、モデルがアクティブなルールで処理され、ステータスが更新されます。

スケジュール設定済みジョブは、ハードウェアおよび消耗品モデルのレポートを生成します。これらのレポートは、モデルの全体的なステータスを識別し、正規化ステータスのブレークダウンを提供します。

次のレポートが含まれています。

- ハードウェア製品の全体的な正規化ステータス
- 消耗品全体の正規化ステータス
- ハードウェアモデル正規化ステータス
- 消耗品モデルの正規化ステータス

ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスへのオプトイン

Hardware 資産管理 Content Service にオプトインし、組織のハードウェアと消耗品モデルデータを と共有し ServiceNowて正規化プロセスを改善します。

始める前に

必要なロール：

- ham_admin:ドメイン分離されていないインスタンスの場合
- ham_adminプラスdomain_admin:ドメイン分離インスタンス用

このタスクについて

Hardware 資産管理 Content Service にオプトインすると、ServiceNow とデータが安全に共有され、コンテンツサービスリポジトリが構築されます。コンテンツサービスに追加すると、さらに多くのモデルを自動的に正規化できます。これらの更新は毎週行われます。

コンテンツの更新は、ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスに送り返されたハードウェアおよび消耗品モデル、ライフサイクル、およびカスタムハードウェア製品モデルからのデータに基づいています。

コンテンツサービスによって取得されるデータは、プライバシーポリシーに従って ServiceNow 匿名で安全なままです。データはレビュー後、適切に廃棄されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

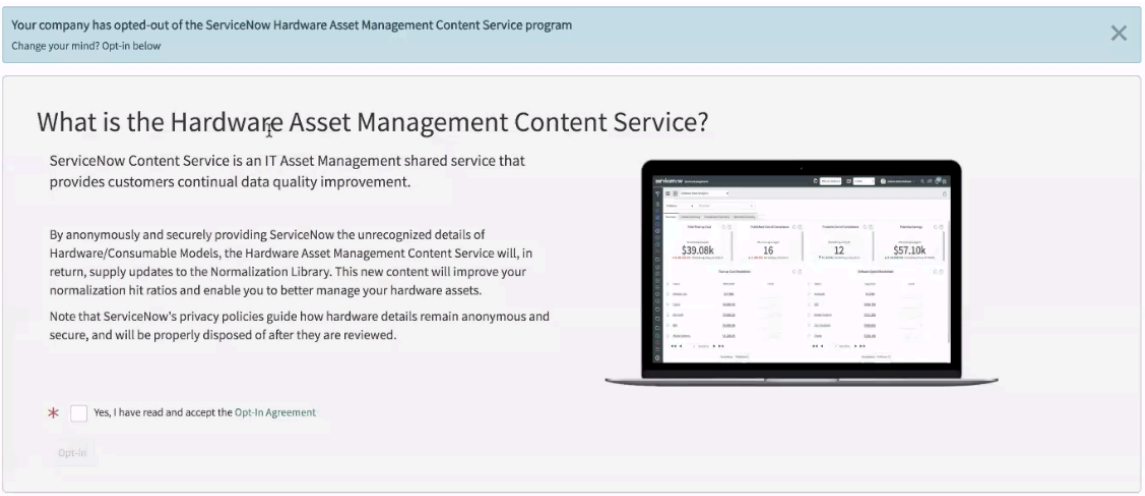
1. 移動先 すべて > 資産 > 管理 > **Hardware Model Normalization** > コンテンツサービス設定.
2. Hardware Asset Management コンテンツサービス契約を読みます。
3. [はい、オプトイン契約を読んだうえで同意します] を選択します。
4. [オプトイン] をクリックします。
5. 除外するハードウェアモデル、消耗品モデル、またはライフサイクルデータがある場合は、[コンテンツサービス設定] フォームでオプションを切り替えます。
6. [保存] をクリックします。

Example: ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスへのオプトイン

組織でハードウェア 資産管理 コンテンツサービスを有効にすることにしました。

コンテンツサービス設定モジュールに移動し、Hardware Asset Management コンテンツサービス契約を確認します。

Hardware Asset Management コンテンツサービス契約

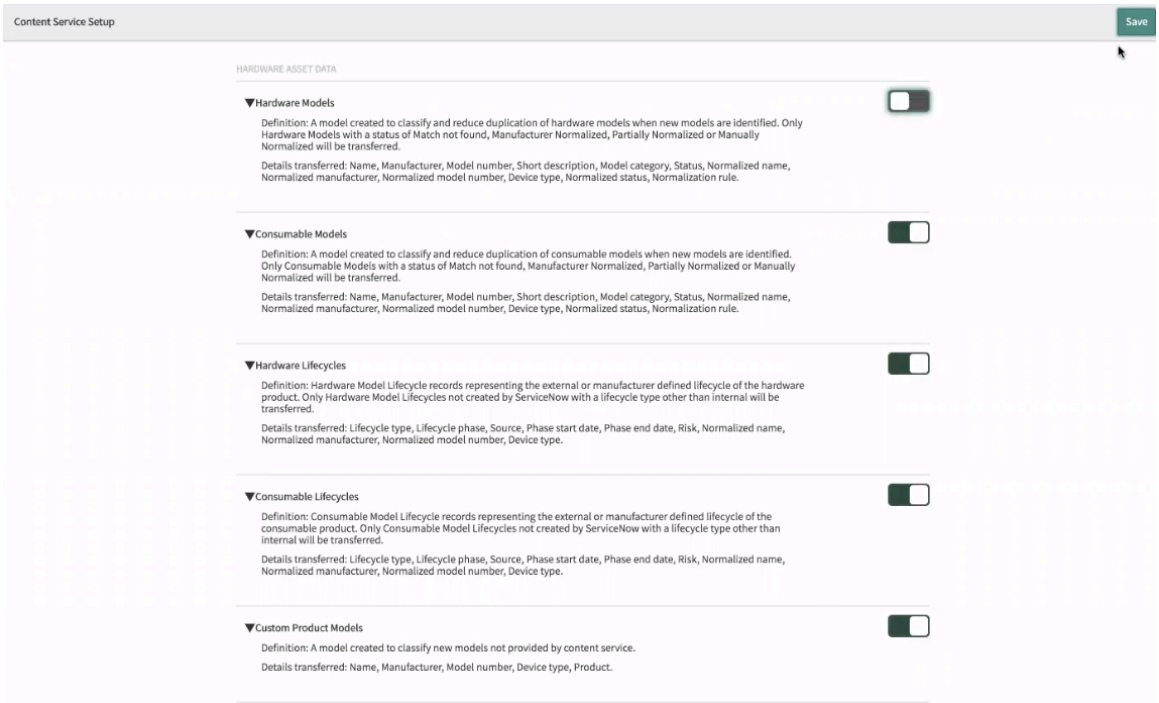


「 はい、オプトイン契約を読んだうえで同意 します」を選択して、「コンテンツサービス設定」ページを表示します。

ハードウェアモデルデータをハードウェア 資産管理 コンテンツサービスに送信しないことに決めた。[ハードウェアモデル] の横にあるボタンを切り替えて、ハードウェアモデル資産データの送信をオプトアウトします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツサービス設定

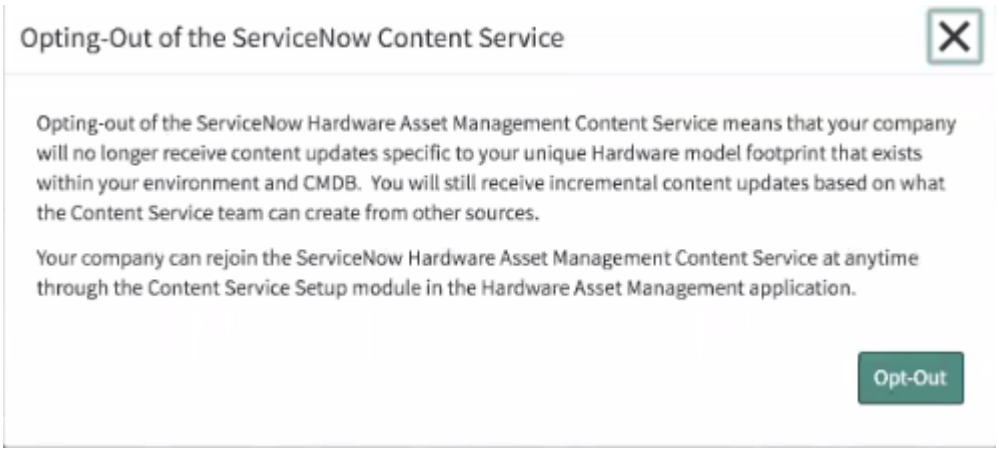


[保存] をクリックします。

組織は、データの送信を一切行わず、ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスからオプトアウトすることを決定しました。データの送信を停止するには、すべてのボタンをオフに切り替えます。

ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスの使用をオプトアウトすることを確認するメッセージが表示されます。

ServiceNow コンテンツサービスからオプトアウト中



[オプト アウト] をクリックします。

ハードウェア 資産管理 コンテンツサービス契約に戻り、いつでもオプトインし直すことができます。

コンテンツデータのインポートとエクスポート

コンテンツデータをコンテンツサービスに ServiceNow ハードウェア資産管理 インポートおよびエクスポートして、正規化プロセスを改善します。オンプレミスユーザーは、ハードウェアライブラリの管理モジュールを使用して、zip ファイルを介してデータをインポートまたはエクスポートできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：

- ham_admin
- domain_admin (ドメイン分離が有効な場合)

手順

1. [モジュール] に移動し、[ハードウェア ライブラリの管理] を検索します。
2. [ハードウェアライブラリの管理] フォームレイアウトを開き、[アクティブ] チェックボックスを選択してモジュールをアクティブ化します。
3. [保存] をクリックしてフォームレイアウトを更新します。
4. [ハードウェアライブラリの管理] モジュールに移動します。
5. コンテンツデータをインポートして、新しいデータをシステムに取り込みます。
   a. 「 ハードウェア・ライブラリ・コンテンツのインポート」をクリックします。
   b. [コンテンツ ファイルを添付] をクリックし、コンテンツを含む zip ファイルを選択します。
   c. 「 インポート実行」をクリックします。
   データがインポートされると、コンテンツ更新スケジュールジョブ *`HAM - Apply latest content changes`*がトリガーされ、コンテンツの更新が処理されます。
6. コンテンツをエクスポートして、カスタムデータまたは完全に正規化されていないハードウェアモデルをコンテンツサービスチームに送信します ServiceNow 。
   a. [**Content Service Opt-in: Export Hardware Normalization Content**] をクリックします。
   b. コンテンツサービスと ServiceNow のデータ共有をまだオプトインしていない場合は、[オプトイン] をクリックして [ハードウェアライブラリの管理] ページを更新します。
   c. 「 エクスポートの実行」をクリックします。
   d. ステータスが [ダウンロード準備完了] に変わったら、ページを更新します。
   zip ファイルが作成され、[ハードウェア ライブラリの管理] ページの上部に表示されます。エクスポートするコンテンツがない場合は、コンテンツが存在しないことを通知するエラーメッセージが表示されます。
   e. この zip ファイルをダウンロードして、ServiceNow コンテンツサービスチームに送信します。

ハードウェアまたは消耗品モデルの作成

ハードウェアと消耗品の資産の追跡を開始するには、ハードウェアまたは消耗品モデルを作成します。次に、ライフサイクル情報を追加して、モデルのライフサイクルフェーズを追跡します。

始める前に
必要なロール：admin または asset

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのパスに移動します。
   - **Product Catalog** > 製品モデル > **Hardware** モデル
   - **Product Catalog** > 製品モデル > 消耗品モデル
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. ハードウェアモデルを追加する場合は、次の手順を実行します。

   a. [ハードウェアモデル] フォームで、[消耗品モデルフィールド] セクションをクリックします。

   b. [保存] をクリックします。

   c. アセットの追加情報を追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

   d. ユニット情報を追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

   e. 互換性のあるモデルをリンクするには、をクリックし 互換性 、[互換性の追加] をクリックします。

   f. モデル代替を追加するには、 をクリックし 代替 、「 置換の追加」をクリックします。

   g. ハードウェアモデルを手動で正規化するには、[正規化] セクションをクリックします。

   h. 構成アイテムを追加するには、 をクリックします 構成アイテム ID。

   i. モデルを Product Catalog に追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

   j. モデルをハードウェアカタログに公開するには、[ハードウェアカタログに公開] 関連リンクをクリックします。

   k. 関連資産を追加するには、をクリックします ハードウェアモデルの詳細。

   l. モデルコンポーネントを追加するには、 モデルコンポーネントをクリックします。

   m. ベンダー情報をモデルに追加するには、 をクリックし、[新規] ベンダーカタログアイテム をクリックします。

   n. ライフサイクル情報を追加するには、 をクリックし、[新規] ハードウェアモデルのライフサイクルをクリックします。
   同じソース、ライフサイクル タイプ、ライフサイクル フェーズ、およびソースを持つライフサイクルが存在すると、エラー メッセージが表示されます。

   > **注:**
   > 追加したライフサイクルは削除できますが、ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスから作成されたライフサイクルは削除できません。

4. 消耗品モデルを追加する場合は、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [消耗品モデル] フォームで、 詳細を入力します。

b. [保存] をクリックします。

c. 消耗資産の追加情報を追加するには、をクリックします ハードウェアモデルの詳細。

d. モデルを Product Catalog に追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

e. ベンダー情報をモデルに追加するには、[ベンダーアイテム] 関連リストをクリックします。

f. ライフサイクル情報を追加するには、[消耗品モデルのライフサイクル] 関連リスト をクリックし、[新規] をクリックします。
同じソース、ライフサイクル タイプ、ライフサイクル フェーズ、およびソースを持つライフサイクルが存在すると、エラー メッセージが表示されます。

> **注:**
> 追加したライフサイクルは削除できますが、ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスから作成されたライフサイクルは削除できません

5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
モデルが [ハードウェア モデル] または [消耗品モデル] リストに表示されます。

> **注:**
> このモデルをハードウェア 資産管理 コンテンツサービスから除外する場合は、[コンテンツサービスから除外] オプションを選択します。

Example: ハードウェアモデルの作成

ThinkPad T43 を購入し、資産の追跡を開始する必要があります。

資産の追跡を開始するには、ハードウェアフォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
メーカー	Lenovo
名前	ThinkPadのT43

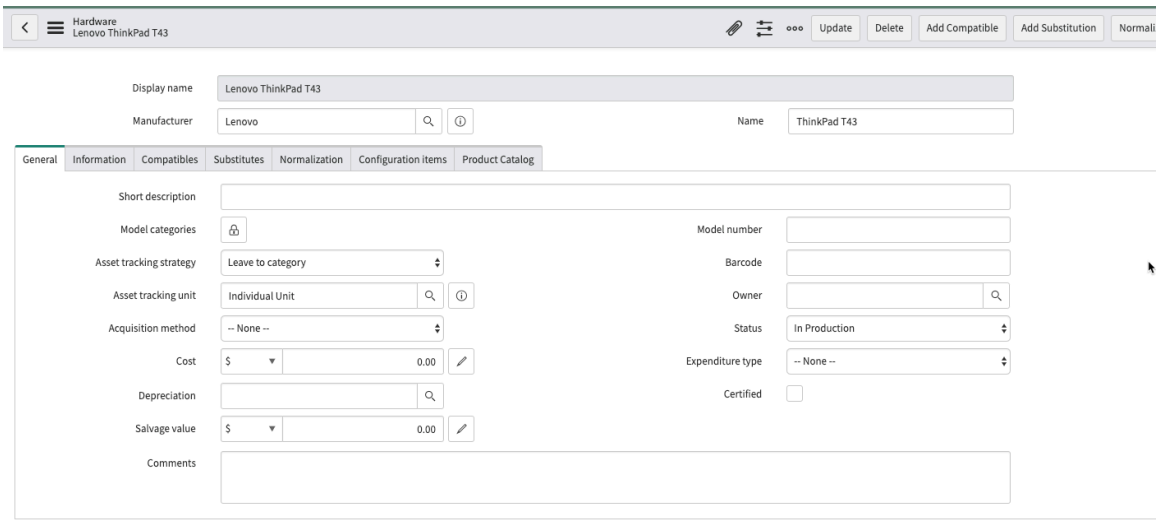
[保存] をクリックします。

[表示名] フィールドが、製造元の名前とハードウェアの名前で更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェアフォーム



現在、Lenovo ThinkPad T43 が一般公開されています。資産のフェーズを正確に追跡するために、ライフサイクルステータスを追加します。

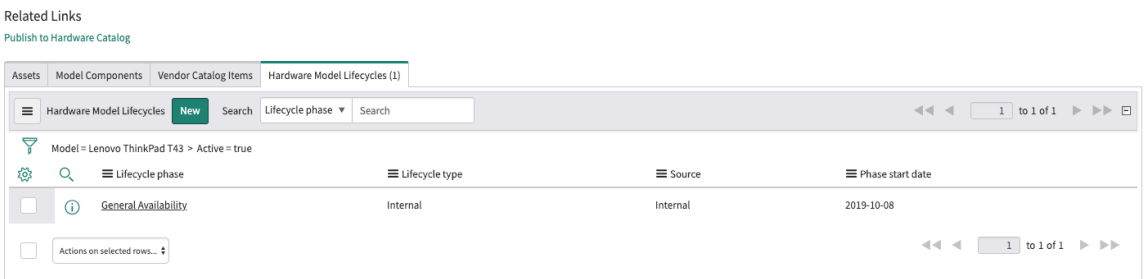
[ハードウェアライフサイクルモデル] 関連リストをクリックし、[新規] をクリックします。ハードウェアモデルのライフサイクルフォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
ライフ サイクル タイプ	一般提供
フェーズ開始日	2019-10-08
フェーズ終了日	2019-10-31

[送信] をクリックします。

ライフサイクルがレコードに追加されます。

ハードウェアモデルのライフサイクル



一般提供フェーズが終了すると、ThinkPad T43は製造中止になります。資産に提供終了情報を追加して、ライフサイクルを正確に追跡します。

[ハードウェアライフサイクルモデル] 関連リストをクリックし、[新規] をクリックします。ハードウェアモデルのライフサイクルフォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
ライフ サイクル タイプ	提供終了
フェーズ開始日	2019-11-01

自動翻訳

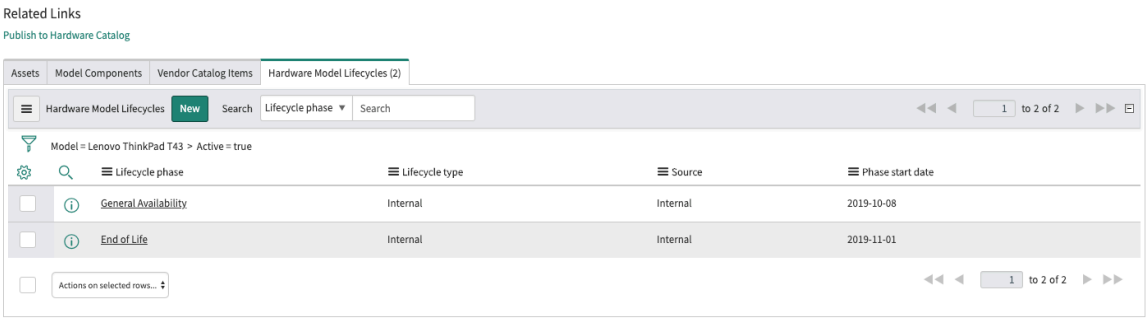
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フェーズ終了日	2019-11-30

[送信] をクリックします。

[End of Life (提供終了)] ライフサイクルがレコードに追加され、[Hardware Model Lifecycle (ハードウェアモデルライフサイクル)] 関連リストに両方のライフサイクルフェーズが表示されます。

[ハードウェアモデルライフサイクル] リストのライフサイクルフェーズ



次のタスク
ハードウェアまたは消耗品モデルを追加した後、 データを正規化できます。

ハードウェアと消耗品モデルを正規化する

ハードウェアと消耗品モデルを作成したら、モデルの情報を正規化します。

始める前に
必要なロール：admin または asset

このタスクについて
注:

- Hardware 資産管理 Content Service にオプトインしている場合は、スケジュールジョブから追加されたライフサイクル値を上書きすることも、独自のライフサイクルを手動で追加することもできます。
- モデルを完全に正規化するには、モデル番号、モデル名、またはメーカーの詳細のいずれかを追加する必要があります。
- [デバイスタイプ] フィールドを更新すると、正規化ステータスが更新されます。

手順

1. 次のいずれかのパスに移動します。
   - **Product Catalog** > 製品モデル > **Hardware** モデル
   - **Product Catalog** > 製品モデル > 消耗品モデル
2. モデルを作成するには、 新規 を選択します。
3. ハードウェアモデルまたは消耗品モデルフォームで、 詳細を入力します。
4. **[Save** (保存)] を選択します。
   情報が利用可能な場合、モデルはハードウェア正規化コンテンツサービスのデータと比較され、モデルが正規化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ハードウェアまたは消耗品モデルが Hardware Asset Management コンテンツサービスに対して正規化されている場合、該当するライフサイクルがコンテンツサービスに存在していれば、ライフサイクルが追加されます。

5. 追加した詳細に基づいて、次の手順を実行します。

   a. モデルの正規化ステータスが [一部正規化済み] または [パブリッシャーによる正規化済み] の場合は、[正規化済み] セクションと [消耗品モデルフィールド] セクションを選択して、モデルを手動で正規化します。

   b. モデルの正規化ステータスが [Fully Normalized (完全に正規化)] であるが、追加された情報が気に入らない場合は、[**Revert Normalization** (正規化を元に戻す)] を選択します。
   すべての正規化フィールドがクリアされ、モデルを手動で正規化できます。

   > **注:**
   > このオプションは、モデルが [Fully Normalized (完全に正規化)]、[Partially Normalized (一部正規化)]、または [Manufacturer Normalized (正規化)] の場合にのみ使用できます。正規化を元に戻す は、ドメイン分離されていないインスタンスでは ham_admin ロールを持つユーザーにのみ表示され、ドメイン分離されたインスタンスでは ham_admin + domain_admin ロールを持つユーザーに表示されます。詳細については、「ハードウェアと消耗品モデルの正規化を元に戻す」を参照してください。

6. **[Save** (保存)] を選択します。
   [正規化ステータス] フィールドが更新されます。

Example: ハードウェアモデルの正規化

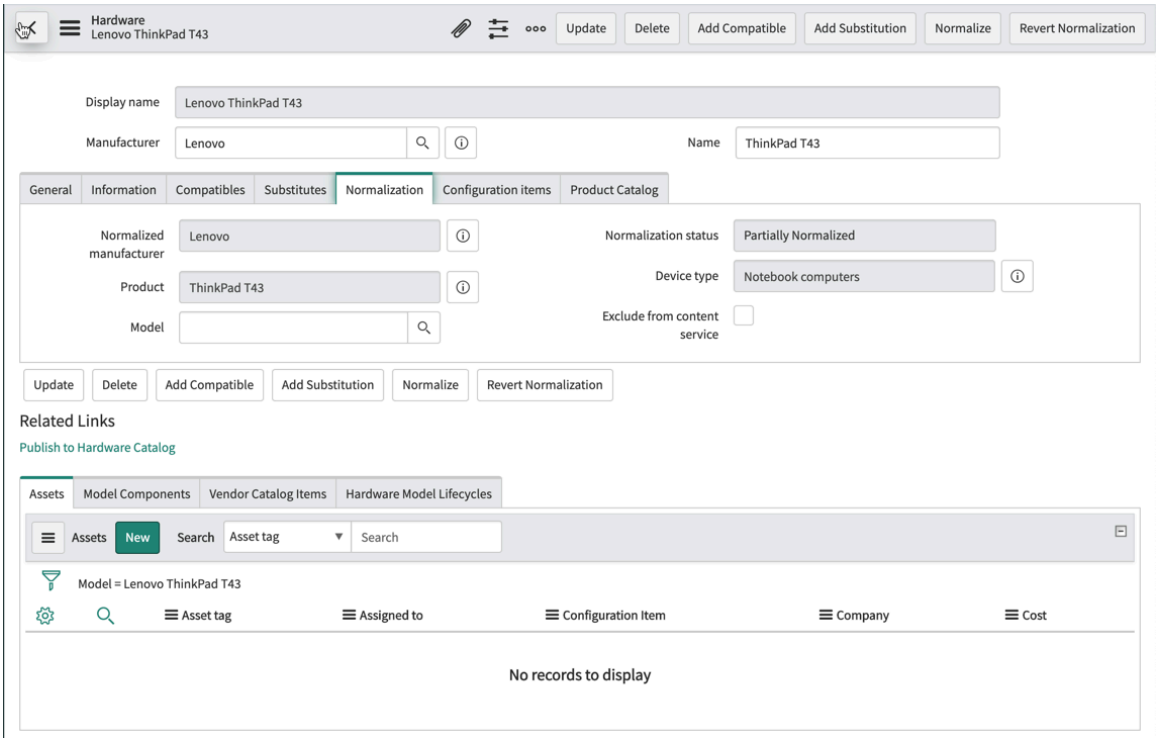
Lenovo ThinkPad T43 のハードウェアモデルを作成したので、組織全体で資産情報の一貫性を保つ必要があります。

[正規化] セクションを選択して、モデルの正規化ステータスを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

標準化ステータス



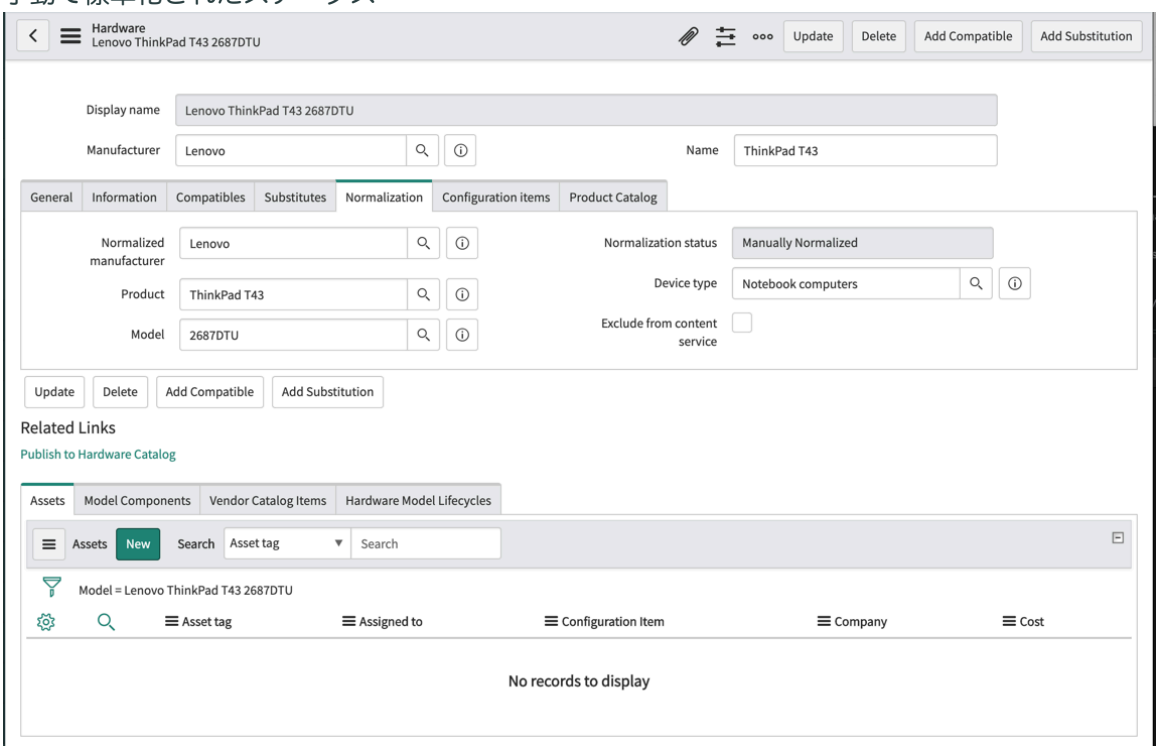
モデルの名前がないため、正規化ステータスは [一部正規化済み] に設定されます。

[モデル] フィールドに「2687DTU」と入力します。

[Save (保存)] を選択します。

[**Normalization Status**] フィールドに [**Manually Normalized**] と表示されます。

手動で標準化されたステータス



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェアと消耗品モデルの正規化を元に戻す

ハードウェア資産ワークスペースでハードウェアと消耗品モデルの正規化を元に戻します。

始める前に
必要なロール:ham_admin、asset

このタスクについて
ステータスが **[Fully Normalized** (完全に正規化済み)]、[**Partially Normalized** (一部正規化済み)]、[**Manufacturer Normalized** (正規化済み)] または [**Manually Normalized** (手動で正規化済み)] のハードウェアおよび消耗品モデルは元に戻すことができます。

手順

1. 正規化されたハードウェアまたは消耗品レコードに移動します。
2. 既に正規化されているハードウェアまたは消耗品モデルレコードを開きます。
3. [**Revert Normalization**] をクリックします。
4. 確認メッセージ ボックスで **[OK**] をクリックします。

タスクの結果
正規化プロセスを元に戻すと、次の変更が行われます。

- モデルに存在するすべての正規化フィールドが元に戻り、正規化ステータスが [一致項目は見つかりませんでした] に変わります。
- フィールドは元の値にリセットされ、モデルに関連付けられたルールはすべて無効になります。
- ルールを非アクティブ化すると、以前にそのルールを使用して正規化されたすべてのモデルで正規化を元に戻すことができます。
- 非アクティブ化されたルールは、これ以上モデルを正規化できなくなります。非アクティブ化されたルールを再アクティブ化することはできません。これは 1 回限りの手順です。
- モデルレコードの [正規化を元に戻す] オプションが [正規化] オプションに置き換えられました。

カスタム製品を追加する

コンテンツサービスに 資産管理 まだ表示されていない製品がある場合は、カスタム製品を作成できます。

始める前に
必要なロール:ham_admin

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > 管理 > カスタム製品.
2. **[New** (新規)] をクリックします。

フィールド	説明
名前	カスタム製品の名前。
メーカー	メーカーの名前。
説明	製品の説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
デバイスタイプ	デバイスのタイプ。
アクティブ	製品がアクティブであることを示すオプション。
コンテンツサービスから除外	製品がコンテンツサービスから除外されることを示すオプション。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
ハードウェアモデルを作成したら、 モデルを正規化します。

カスタム ハードウェア モデルを追加する

Content Service に 資産管理 まだ表示されていないハードウェアモデルがある場合は、カスタムモデルを作成できます。

始める前に
必要なロール:ham_admin

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > 管理 > カスタムモデル.
2. **[New** (新規)] をクリックします。

[カスタムハードウェアモデルライブラリ] フォーム

フィールド	説明
モデル番号	ハードウェアモデルに関連付けられた番号。
製品	製品の名前。
説明	ハードウェアモデルの説明。
名前	モデルの名前。
アクティブ	モデルがアクティブであることを示すオプション。
コンテンツサービスから除外	モデルがコンテンツサービスへの送信から除外されていることを示すオプション。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
ハードウェアモデルを作成したら、 モデルを正規化します。

資産と CI の操作

資産と構成アイテム (Configuration Item, CI) の管理とは、資産の作成、適切な状態とサブステートの設定、資産と CI の同期、消耗品の管理、資産の廃止を意味します。

資産と CI の関係

資産と関連した CI との関係管理は、重要なことです。資産は、所有資産の財務面に焦点を当てた資産管理アプリケーションで追跡できます。構成アイテムは、アイテムを追跡してユーザーの利用を可能にするために使用する CMDB に保管されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産に該当する構成アイテムがある場合、資産レコードと構成アイテムレコードは以下の 2 つのビジネスルールと同期した状態となります。

- *Update CI fields on change* (資産 [alm_asset] テーブル上)
- *Update Asset fields on change* (構成アイテム [cmdb_ci] テーブル上)

注:
資産と CI は、論理的にマッピングされている場合にのみ同期できます。

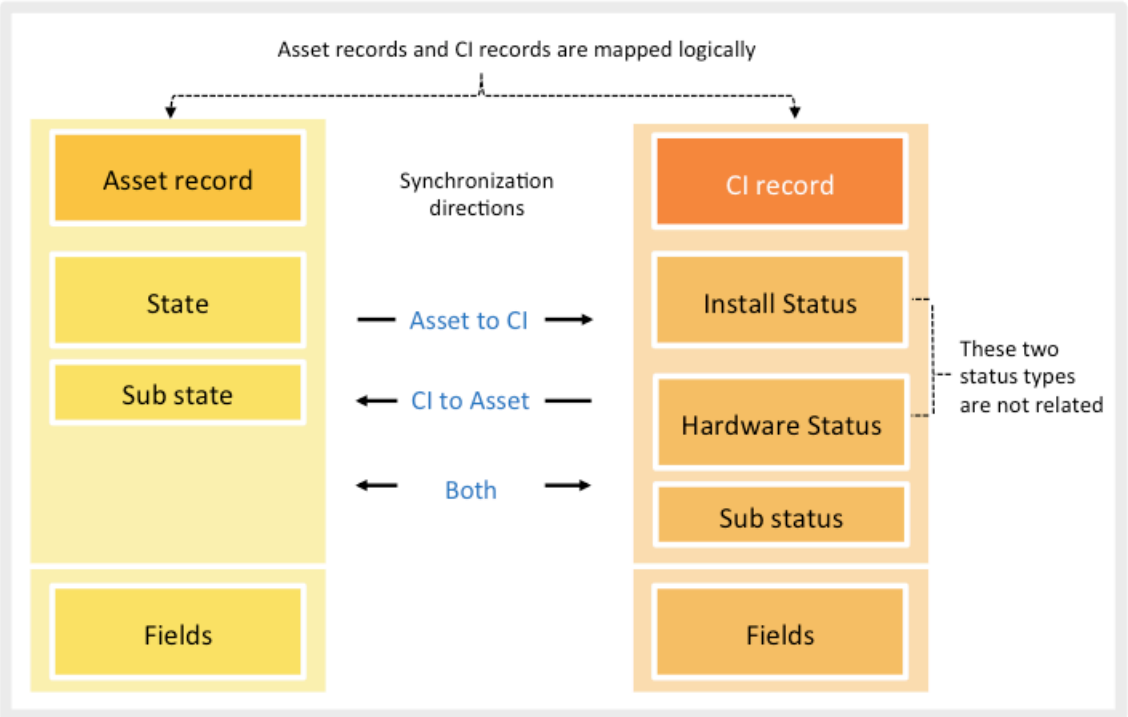
資産 - CI マッピングと同期

資産レコードの [状態] フィールドと CI レコードの [ステータスフィールド] は同期できます。一方のフォームで行われた変更が相対するフォームにも反映されることにより、レポートの一貫性が保たれます。

注:
資産と構成アイテムが互いに関連付けられている場合にのみ、Now Platformは資産と構成アイテムの更新内容を同期します。

次の図で、資産 - CI マッピングと同期の概念を表します。

資産 - CI マッピングと同期の概要



この同期とマッピングは次の要素に基づいています：

- 資産の状態と CI のステータスは 1 対 1 でマッピングされません。他方のテーブルにおいて最も論理的に一致するものにマッピングされます。たとえば、[在庫あり - 保留中の廃棄] の状態に設定されたハードウェア資産の場合、一致する CI はサブステートがない [処分中] に設定されます。
- この同期は、資産の [状態] フィールドと次の CI フィールドの間で行われます。
  - [インストール ステータス] フィールド：インストール ステータスにはサブステータスがありません。また、ハードウェア以外の CI で使用する必要があります。
  - [ハードウェア ステータス] と [サブステータス] フィールド：ハードウェア ステータスは、ハードウェア CI にのみ表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 資産フォームの状態を更新して変更を実行します。資産 - CI の同期は、次の方法で実行できます。
  - 資産から CI への同期：資産のステータスが変更されると、論理的にマッピングされた CI のインストール ステータスまたはハードウェア ステータスとサブステータスが更新されます。
  - CI から資産への同期：CI のアクティブステータスまたはハードウェアステータスが変更されると、論理的にマッピングされた資産の状態およびサブステータスが更新されます。
- CMDB のハードウェア CI の場合、ハードウェアステータスとインストールステータスの両方が更新されると、一致する資産の状態をマッピングするためハードウェアステータスの変更が検討されます。
- CI のインストールステータスとハードウェアステータスは独立して機能するため、2 つのフィールドは関連していません。CI のハードウェア ステータスが変更されても CI のインストール ステータスは変更されず、またその逆も同様です。混乱を避けるため、CMDB CI ハードウェアのステータス両方の維持はお勧めしません。

資産と CI 間で同期が発生するフィールド一覧

資産レコードや CI レコード上で次のフィールドのいずれかが変更されると、相対するレコード上の同じフィールドが自動的に更新されます (CI レコード上で情報提供のみを目的とする [コスト] フィールドは例外です)。

同期されるフィールドは以下の通りです。

- 資産管理番号
- 割り当て日付
- アサイン先
- チェック イン日時
- チェック アウト日時
- 会社
- コスト (一方向の同期：資産から CI)
- コストセンター
- 配送日
- 部門
- 修正済み期限
- 期限
- GL アカウント
- インストール日
- 請求書番号
- 理由
- リース ID
- ロケーション
- 管理担当者
- モデル
- 注文日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- オーダー受領日
- 注文済み
- 所有者
- 発注書番号
- 購入日
- 購入日
- シリアル番号
- サポートグループ
- サポート担当者
- ベンダー
- 保証の有効期限

資産および CI の作成プロパティ

glide.create_alm_asset.async

システムのプロパティ *glide.create_alm_asset.async* は、 構成アイテム (CI) が作成された直後に資産を作成するか、または遅延後に資産を作成するかをコントロールします。資産の作成に遅延があると、多数の CI を迅速に作成できます。このプロパティが [**True**] に設定されている場合、15 分ごとに実行される *Asset - Create asset delayed sync* スケジュールジョブによって資産が作成されます。資産のジョブ履歴テーブル [asset_job_log] で、スケジュールジョブのステータスを表示します。作成待ちの資産と資産作成エラーを表示するには、 資産 > 管理 > 資産作成キュー. エラーを再処理するには、ステータスを [エラー] から [準備完了] に更新します。次回スケジュールジョブが実行されるときに、資産の作成を再試行します。

glide.create_alm_asset.async プロパティが [**false**] に設定されている場合、資産はすぐに CI から作成されます。

> **注:**
> このプロパティのデフォルト値は、Orlando 以前から Washington DC にアップグレードした場合は [**false**] です。このプロパティを更新する前に、CI に存在する資産値に依存しているプロセスをレビューし、資産の遅延作成のためにアカウントに必要な変更を加えます。

glide.asset.create_ci_with_ire

システムのプロパティ *glide.asset.create_ci_with_ire* により、ServiceNow 構成管理データベース (CMDB) 識別および調整エンジン (IRE) を使用して、資産から CI を作成できます。このプロパティは、シリアル番号に識別ルールがあり、他の CI クラスとの依存関係がない CI クラスに影響します。

> **注:**
> ハードウェア CI クラス [cmdb_ci_hardware] から拡張された CI クラスも IRE を使用して資産から作成されますが、このプロパティではコントロールされません。

IRE を使用して作成された CI は、「シリアル番号 - モデル名」の形式の名前になり、ソースは SNAssetManagement です。これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの資産では、[シリアル番号] フィールドは必須です。資産のシリアル番号が既存の CI または資産に存在する場合、資産の作成に失敗します。[シリアル番号] フィールドは、これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの発注明細を受け取るためにも必要で

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

す。[シリアル番号] フィールドは、事前に割り当てられた資産の作成に必須ではありませんが、資産の割り当て時にシリアル番号を指定する必要があります。
このプロパティのデフォルト値は、Orlando 以前から Washington DC にアップグレードした場合は [**false**] です。このプロパティを更新する前に、[シリアル番号] フィールドのカスタマイズと、既存のシリアル番号を使用して資産を作成する統合またはフローを確認してください。

割り当て済み資産を作成する

コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用して、ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、バンドル、パレット、モバイル、および施設資産を作成します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 資産を作成します。
2. [資産レコードフィールド (Asset record fields)] フォームで、フィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「資産レコードフィールド」を参照して ください。
3. 資産フォームを送信または保存します。

資産の廃止

資産はいつでも廃止できます。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
資産の状態を [廃止] に変更すると、[サブステート] フィールドがアクティブになります。資産を廃止すると、関連する CI のステータスも [廃止] に変わります。サブステートの選択は必須ではありませんが、追跡とレポート作成に役立ちます。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産.
2. [状態] で、[廃止] を選択します。
3. オプション: [サブステート] で、[廃棄済み]、[販売済み]、[寄贈済み]、[ベンダー クレジット] のいずれかを選択します。
4. [更新] をクリックします。

資産の削除

資産はいつでも削除できます。

始める前に

注:
アセットバンドルの一部となっている資産は削除できません。

必要なロール：asset

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
資産とコンポーネントが完全に削除される前に確認を承認する必要があります。CI と資産がリンクされている場合、どちらかを削除すると両方とも削除されます。

資産の削除は、エラーのクリーンアップのためにだけ行ってください。追跡目的として未使用の資産を管理するには、資産の状態を [廃止済み] に変更することが正しい方法です。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産.
2. 資産の [名前] の左側にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下にある [アクション] の選択リストで、[削除] を選択します。

資産フィールドと CI フィールドをマッピングする

資産フィールドと CI フィールドをマッピングすると、双方向で同期を行います。資産レコードや CI レコードの変更は、論理的にマッピングされたレコードに更新されます。ベース インスタンスで提供されるカスタム マッピングとマッピングを同期できます。

始める前に
必要なロール：admin または asset

> **注:**
> 以前のリリースからアップグレードし、アップグレード前に `AssetAndCISynchronizer` スクリプトインクルードをカスタマイズしている場合は、そのカスタマイズを上書きしてから、カスタムマッピングを再作成する必要があります。

このタスクについて
条件付きでフィールドをマッピングさせて同期を行うことができます。たとえば、[事業所] フィールドについて、ソフトウェア資産ではなくハードウェア資産についてのみマッピングすることが可能です。そうすることで [事業所] フィールドは、資産の更新時にはハードウェア資産のみ同期を行います。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > 管理 > 資産 - CI フィールドマッピング をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [資産フィールド] リストから、フィールドを選択します。
   このリストは alm_asset テーブルを参照しています。
3. cmdb_ci テーブルを参照する [構成アイテムフィールド] リストから、論理的に関連付けられたフィールドを選択します。
4. マッピングの条件を作成するには、[詳細表示] 関連リンクをクリックします。
   - 資産フィールドと CI フィールドを同期させるための条件を指定するには、[資産マッピング条件] ビルダーを使用します。
   - CI フィールドを資産フィールドと同期するための条件を指定するには、[構成アイテム マッピング条件] ビルダーを使用します。
5. [アクティブ] チェック ボックスを選択して、マッピングを有効にします。
6. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産状態と CI インストール ステータスをマッピングする

資産の [状態] フィールドと [サブステート] フィールドを **[CI** インストールステータス] フィールドにマッピングします。**[CI** インストールステータス] フィールドの [サブステータス] フィールドは、ハードウェア CI には使用できません。

始める前に
必要なロール：admin または asset

> **注:**
> 以前のリリースからアップグレードし、アップグレード前に *AssetAndCISynchronizer* スクリプトインクルードをカスタマイズしている場合は、そのカスタマイズを上書きしてから、カスタムマッピングを再作成する必要があります。

このタスクについて
資産同期では、ハードウェア資産が更新されても、このフィールドは更新されません。マッピング作成時に、同期方向を資産から CI へと設定できますが、CI から資産へは設定できません。ハードウェア以外の CI クラスの場合は、双方向の同期を設定できます。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > 管理 > 資産 **- CI** インストールステータスマッピング.
   デフォルトでは、カスタムマッピングのみが表示されます。マッピングのリストは、[デフォルト設定] [次の値に等しい **(=)] [False]** のフィルター条件を使用します。
2. [新規] をクリックします。
3. [資産状態] リストから、マッピングする状態を選択します。
4. オプション: 可能な場合、[資産サブステート] リストからサブステートを選択します。
   資産状態の中にはサブステートがないものもあります。
5. [構成アイテムのステータス] リストから、マッピングする論理的に関連付けられた CI ステータスを選択します。
6. [同期の方向] リストから、同期方向を選択します。
7. [アクティブ] チェック ボックスを選択して、マッピングを有効にします。
8. [送信] をクリックします。

資産状態と CI ハードウェア ステータスをマッピングする

資産の [状態] フィールドと [サブステート] フィールドを **[CI** インストールステータス] フィールドにマッピングします。ハードウェア CI で [サブステータス] フィールドを使用しないでください。資産が更新されても CI 同期ではそのフィールドが更新されないからです。マッピング作成時に、資産、CI、双方からのいずれかの同期方向を設定できます。

始める前に
必要なロール：admin または asset

> **注:**
> 以前のリリースからアップグレードし、アップグレード前に *AssetAndCISynchronizer* スクリプトをカスタマイズしている場合は、そのカスタマイズを上書きしてから、カスタムマッピングを再作成します。

このタスクについて
CI の [インストールステータス] フィールドと [ハードウェアステータス] フィールドは、互いに独立しており、双方に相互関係はありません。[ハードウェアステータス] フィールドを変更しても、CI の [インストールステータス] フィールドは変更されません。その逆も同様です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > 管理 > 資産 **- CI** ハードウェアステータスマッピング.
   デフォルトでは、カスタムマッピングのみが表示されます。マッピングのリストは、[デフォルト設定] [次の値に等しい **(=)] [False]** のフィルター条件を使用します。
2. [新規] をクリックします。
3. [資産状態] リストから、マッピングする状態を選択します。
4. オプション: 可能な場合、[資産サブステート] リストからサブステートを選択します。
   資産状態の中にはサブステートがないものもあります。
5. [構成アイテムのステータス] リストから、マッピングする論理的に関連付けられた CI ステータスを選択します。
6. オプション: 可能な場合、[構成アイテム] リストからサブステートを選択します。
   CI ステータスの中にはサブステータスがないものがあります。
7. [同期の方向] リストから、同期方向を選択します。
8. [アクティブ] チェック ボックスを選択して、マッピングを有効にします。
9. [送信] をクリックします。

消耗品のライフ サイクル

消耗品は、個々にではなく同じモデルのグループとして追跡される資産です。

消耗品のグループには、以下の特色が 1 つ以上あります。

- 同じ場所
- 同じ状態
- 通常は付属品または部品として同じ資産によって消費

一般的な消耗資産には、マウス、キーボード、鉛筆などがあります。ServiceNow のベース システムには、[消耗品] モデル カテゴリが含まれています。モデル操作の最初の手順は、モデル カテゴリ内に各消耗資産のモデルを作成することです。モニター、キーボード、マウスなどのアイテムは、消耗品として追跡されることがよくあります。消耗品は事前に割り当てできません。

消耗資産は、消耗品 [alm_consumable] テーブルに格納されます。他の資産とは若干異なるライフサイクルに従います。

消耗品のステージ

消耗品のライフサイクルのステージは次の通りです。

- 発注済み
- 在庫あり
- 輸送中
- 消費済み
- メンテナンス中
- 廃止
- 欠損

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

消耗資産を表示する

消耗品は同じモデルのグループとして追跡されますが、消耗品モデル レコードで個々の消耗品を表示できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > 消耗品モデル.
2. 消耗品モデル レコードを開きます。
3. [消耗品] 関連リストで個々の消耗品を表示します。

消耗資産を作成する

資産を同じモデルのグループとして追跡するためには消耗品を作成します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > 消耗品 をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

消耗品レコードフォーム

フィールド	説明
表示名	資産の名前。
モデルカテゴリ	資産が CI にリンクされるか否かを制御するモデルカテゴリ
モデル	資産の製品モデル
数量	資産が表すアイテムの量
全般	
状態	資産の状態
親タスク	親資産。親資産が定義されているとき、子資産の [割り当て] および [状態] フィールドは、親資産の [割り当て] と [状態] フィールドに基づいて自動入力され、読み取り専用となります。
クラス	資産の種類。システムは自動的に [クラス] を [消耗品] に設定します。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションから選択します。 ○ 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 ○ 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
サブステート	資産のサブステート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ロケーション	資産の場所
コスト	資産が購入された価格
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター
廃棄	
廃棄注文番号	資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダーによりアサインされた注文番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄日	資産廃棄注文処理が完了した日付。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄の理由	資産を廃止する理由の説明。
受領企業	資産の廃止時にその資産を受け取る組織。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金の報告時に適用します。
予定廃止日時	資産の廃止予定日。
廃止日	実際に廃止した日付。
アクティビティ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作業メモ	資産に関連する作業メモ

2. [送信] をクリックします。

消耗資産を消費する

消耗資産を消費するには、状態が [在庫あり] であること、またサブステートが [利用可能] となっている必要があります。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > 消耗品.
2. 状態が [在庫あり]、サブステートが [利用可能] となっている消耗資産の [表示名] をクリックします。
3. [消費] をクリックします。
4. 消費する [数量] を入力します。
5. [資産] でルックアップ アイコンをクリックし、消耗品に関連付けられている資産を選択します。

   Example
   たとえば、消耗資産として追跡されたマウスは、コンピューターなどの非消耗資産に関連付けることができます。
6. [ユーザー] でルックアップ アイコンをクリックし、消耗品に関連付けられているユーザーを選択します。
7. **[OK]** をクリックします。
   [消耗品] フォームの [数量] フィールドには減少した数が表示されます。[消耗品] リストには、特定のストックルームにある消耗品に対して 2 種類のレコードが含まれています。1 つは [在庫あり] 状態と [利用可能] サブステート (全量消費でない場合) 、もう 1 つは [消費済み] 状態です。消耗品が別のストックルームに転送中ではなく、かつデータレコード内の情報が同じ場合、類似したレコードは自動的に結合されます。消耗品が消費されたら、そのレコードはレポート作成のためにシステムに残ります。

消耗資産をストックルームに戻す

消費済み状態でライフサイクルが完了した消耗資産を在庫ありステータスに戻します。

始める前に
必要なロール:asset、itil、itil_admin

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > 消耗品.
2. 消耗品レコードで、[廃止] をクリックします。
   [廃止] は、消耗資産が現在消費済みステータスである場合にのみ表示されます。
3. [資産の廃止] ダイアログ ボックスで、ストックルームを選択します。
   数量は、消耗資産の消費数量に基づいて入力されます。
4. 廃止する消耗資産の数量に基づいて [数量] フィールドを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

消耗資産の全数量を廃止するか、数量の一部のみを廃止するかを選択できます。

5. サブステートを選択し、[**OK]**をクリックします。
消耗品レコードに戻ります。フォームレイアウトの上部に、廃止した資産の数を示すメッセージが表示されます。

消耗資産の廃棄

ストックルームで不要になった消耗資産は廃棄します。

始める前に

必要なロール:asset、itil、itil_admin
消耗品 [alm_consumable] テーブルの [Planned for disposal] 列には、消耗資産が廃棄対象としてマークされているかどうかが示されていることを確認します。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > 消耗品.
2. ページの右上にある消耗品レコードで、[廃棄対象としてマーク] をクリックします。
廃棄対象としてマーク は、在庫状態にあり、廃棄対象としてマークされていない消耗資産に対してのみ表示されます。
3. [廃棄予定] ダイアログボックスで、消耗資産の合計数量または部分数量を入力します。
部分的な数量を入力すると、新しい消耗品レコードが作成され、サブステートは [廃棄待ち] になります。合計数量を入力すると、消耗品レコードのサブステータスが「廃棄待ち」に変わり、同じ消耗品レコードに戻ります。
消耗資産に廃棄対象のマークを付けると、[廃棄対象としてマーク] は表示されなくなります。

   注:
   廃棄対象としてマークされた消耗品のみが廃棄注文に含まれます。消耗品に廃棄対象のマークを付けると、別の消耗品レコードと結合されることはありません。

4. [廃棄からキャンセル] をクリックして、消耗資産の廃棄をキャンセルします。
[廃棄からキャンセル] は、消耗品の [廃棄予定] 列が true に設定され、[廃棄番号] フィールドが空の場合に表示されます。
5. [廃棄からキャンセル] ダイアログボックスで、倉庫を選択します。
ストックルームが既に選択されている場合、[ストックルーム] フィールドは読み取り専用となります。
6. サブステートを選択し、[**OK]**をクリックします。
[廃棄予定] 列は false に設定されています。この消耗品レコードを廃棄レコードに追加すると、予定資産レコードが削除されます。

インベントリからのアセットバンドルの管理

インベントリ内の既存の資産からアセットバンドルを作成し、資産のグループを単一のエンティティとして追跡、予約、または展開します。

始める前に

アセットバンドルは資産をグループ化したもので、消耗品資産とハードウェア資産で構成されます。「 在庫あり 」ステータスと 「利用可能」 サブステータスの資産のみがアセットバンドルに追加されます。アセットバンドルの一部である資産は、個々の資産として利用することはできません。

注:
アセットバンドルの詳細については、「」を参照してください アセットバンドル。

必要なロール：asset

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > バンドル資産.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
   モデルカテゴリのデフォルトは **[Bundle]** で、ステータスのデフォルトは **[Build]** です。ビルドステータスは、**[Bundle]** モデルカテゴリのみに関連付けられています。資産のビルドステータスが無効です。
3. [バンドル] フォームレイアウトで、[モデル] リストから製品モデルを選択します。
4. [ストックルーム] フィールドで、バンドルの資産の調達元となるストックルームを選択します。
5. [資産の自動割り当て] をクリックしてバンドルに資産を自動的に追加するか、[資産の選択] をクリックして特定の資産を選択します。
   - アセットの自動選択:アセットバンドルにアセットを自動的に追加します。資産は、アセットバンドルで指定された倉庫から追加されます。

     注:
     資産は、バンドルの一部であるすべての資産が利用可能な場合にのみ割り当てられます。除外された資産は自動選択の対象とは見なされません。資産の除外の詳細については、次を参照してください ハードウェア資産管理 ライセンスの除外。

   - アセットの選択: アセットバンドルに必要なアセットを選択し、[アセットの追加] をクリックします。

     注:

     除外された資産を選択することはできません。資産の除外の詳細については、次を参照してください ハードウェア資産管理 ライセンスの除外。表示される資産は、アセットバンドルで指定された倉庫に限定されます。

   資産がバンドルに割り当てられると、その資産は [資産] 関連リストに表示され、[資産を自動割り当て] と [資産を選択] はバンドルフォームレイアウトに表示されなくなります。
6. [保存] をクリックします。
   アセットバンドルが作成されます。バンドルされたモデルのコストは、アセットバンドルとアセットバンドルの経費ラインにスタンプされます。コストは、バンドルされたモデルのすべてのモデルコンポーネントの累積コストではありません。
7. [**Replace assets**] をクリックすると、アセットバンドルから資産をスワップできます。
   アセットバンドルに属する資産は、バンドルのステータスが [メンテナンス中] または [在庫あり] (サブステート 「修理待ち」) になるとスワップできます。

   a. [資産を置換 (Replace assets)] ダイアログボックスで、スワップする資産を選択します。

   b. 現在の資産とスワップする資産を選択します。

   c. [置換] をクリックします。
      スワップされた資産はストックルームに戻されます。
8. アセットバンドルを削除するには、[削除] をクリックします。
   バンドルを削除するには、アセットバンドルとアセットの関連付けを解除する必要があります。すべてのアセットがバンドルから解放されたら、バンドルを削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [状態] フィールドで、[廃止] を選択します。

b. [保存] をクリックします。

c. [リリース資産] 関連リンクをクリックします

d. 確認ダイアログボックスで、「 資産をリリース」をクリックします。
すべての資産とアセットバンドルの関連付けが解除され、ストックルームに移動されます。

e. [削除] をクリックします。
アセットバンドルが削除されます。

資産クラスによるさまざまな資産の管理

デフォルトの資産クラスは、ハードウェア、ソフトウェアライセンス、消耗品、バンドル、ソフトウェアエンタイトルメント、施設です。これらの一般的なクラスは、さまざまな資産を管理するために使用できます。

提供されている一般的なクラスが特定の資産グループに適していない場合、新規の資産クラスを作成することができます。たとえば、車関係には「車両」というカスタム資産クラスの名前を付けて追跡できます。新規の資産クラスを作成する前に、ビジネスニーズを分析して一般的なクラスを使用できるかどうかを確認してください。多数の資産クラスの管理は、困難な場合があります。

ビルトイン機能により、財務追跡、モデル バンドル、割当済み資産として資産クラスを使用できます。

資産クラスを作成する

資産クラスを作成するには、新しいテーブルの定義、相対するアプリケーションとモジュールの作成の後、新規/既存のモデルカテゴリに新規の資産クラスを追加する必要があります。デフォルトの資産クラスは、ハードウェア、ソフトウェア ライセンス、消耗品です。これらの一般的なクラスは、さまざまな資産を管理するために使用できます。

始める前に
必要なロール：資産または category_manager

このタスクについて
一般的なクラスが特定の資産グループに適していない場合、資産クラスを作成することができます。たとえば、車関係には「車両」というカスタム資産クラスの名前を付けて追跡できます。資産クラスを作成する前に、ビジネスニーズを分析して一般的なクラスを使用できるかどうかを確認してください。多数の資産クラスを維持することは困難です。

ビルトイン機能により、財務追跡、モデル バンドル 、割当済み資産として資産クラスを使用できます。

モデル カテゴリにモデルが含まれていることを確認します。既存のテーブルを拡張するには、テーブルフォームを使用します。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブルと列 > テーブルを作成 をクリックし、[テーブル] フォームのフィールドに新しいテーブルの情報を入力します。

フィールド	説明
ラベル	ローカライズ可能な、テーブルの表示名。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、車関係のカスタム資産クラスには「車両」という名前を付けて追跡できます。
名前	後で変更できないテーブルの内部名。 たとえば、「車両」資産クラスには alm_u_vehicle という名前を付けることができます。
拡張テーブル	新しいテーブルがフィールドを継承するテーブル。 資産 (alm_asset) テーブルを拡張して、カスタム資産クラスを作成できます。
アプリケーション	レコードを使用するアプリケーション。
モジュールを作成	モジュールを作成するためのチェックボックス。
モバイルモジュールを作成	モバイルモジュールを作成するためのチェックボックス。
モジュールをメニューに追加	モジュールが表示するメニュー。
新規メニュー名	新規メニュー名。

2. **[Submit** (送信)] をクリックします。
3. 新しいアプリケーション (たとえば、 資産 > 車両) をクリックし、[新規] をクリックします。
4. [モデル]、[モデル カテゴリ]、[数量] を含むようにフォームを設定します。
5. モデル カテゴリを作成し、作成した資産クラスを [資産クラス]フィールドに追加します。
6. モデルを作成し、モデルカテゴリに追加します。

次のタスク
モデル カテゴリ (新規の資産クラスに関連付けられている) とモデルが作成されたので、モデルを資産として管理します。たとえば、バンドル内のモデルを使用します。

ライセンス資産を作成する

組織のソフトウェア ライセンス資産を管理できます。

始める前に
必要なロール：sam

このタスクについて
例には、デスクトップソフトウェアプログラムとエンタープライズライセンスの単体コピーを使用して、複数のコンピューターにソフトウェアプログラムをインストールするライセンスが含まれています。

手順
1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > ライセンス資産 をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [権利] フィールドに、このライセンスによって付与される資格の数を入力します。
3. 「割り当て済み資産を作成する」での説明の通り、フォームに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産の状態とサブステートを設定する

資産の状態とサブステートを使用して、資産を詳細レベルで正確に追跡します

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
優れた資産情報は、レポート作成、資産管理、コスト削減に役立ちます。たとえば、[状態] フィールドと [サブステート] フィールドを使用して欠損アイテムを記録することで、レポートを実行して情報を分析することができます。この情報を使用してコストを削減することができます。

> **ヒント:**
> ステータス値は変更しないでください。ステータス値がサポートされていて、プロセスによって定義されている場合は、サブステートを変更できます。

一部のサブステート値は、複数のステータスで使用できます。たとえば、サブステート [保留中の廃棄] は、[在庫あり]、[輸送中]、および [廃止] のステータスで使用できます。[状態] フィールドと [サブステート] フィールドの組み合わせは、正しい資産追跡情報を提供します。たとえば、[在庫あり] で [廃棄待ち] の資産は、その資産が使用されておらず、ストックルームで廃棄待ちであることを示します。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産.
2. 資産を選択します。
3. [状態] フィールドと [サブステート] フィールドを編集します。

資産の状態とサブステートの定義

状態	使用可能なサブステート	メモ
注文済み	なし	資産は注文されましたが、受領されていません。
在庫あり	○ 利用可能:資産は使用可能です。 ○ 予約済み:資産は、ソーシング要求を通じて要求したユーザー用に予約されています。 ○ 欠陥:資産に欠陥があるか、動作していません。 ○ 修理待ち:欠陥のある資産はベンダーによって修理対象としてマークされています。 ○ インストール待ち:資産がまだインストールされていません。 ○ 廃棄待ち:資産はストックルームで不要になったため、廃棄対象としてマークされています。 ○ 転送待ち:資産は転送オーダーを介して転送される予定です。	資産はストックルームに保管されます。サブステートは、資産を使用できるかどうかを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

状態	使用可能なサブステート	メモ
	○ 事前割り当て済み:資産は割り当てる準備ができていますが、ユーザーに割り当てるまでは財務上の責任ではありません。 ○ 保留中:資産が何かを待っているため、使用する準備ができていません。たとえば、必要なドキュメントが保留中です。 ○ 訴訟ホールド:何らかの法的な理由により、資産が保留されています。 ○ 隔離:資産はストックルームで隔離されて保管されます。 ○ 履行待ち:資産は機能していますが、請求やサインオフなどのビジネス条件を待機しています。 ○ 保留中の証明書:資産は廃棄の証明書を待っています。 ○ 返品待ち:リースされた資産はまだ返却されていません。 ○ テスト:資産はテストフェーズにあり、まだ運用されていません。 ○ サポート終了:インシデントまたは契約を通じて資産にサポートが提供されなくなりました。 ○ 廃止待ち:資産は寿命に達しており、売却、廃棄、または寄付できます。	
輸送中	○ 利用可能:資産は使用可能です。 ○ 予約済み:資産は、ソーシング要求を通じて要求したユーザー用に予約されています。 ○ 欠陥:資産に欠陥があるか、動作していません。 ○ インストール待ち:資産がまだインストールされていません。 ○ 廃棄待ち:資産はストックルームで不要になったため、廃棄対象としてマークされています。 ○ 事前割り当て済み:資産は割り当てる準備ができていますが、ユーザーに割り当てるまでは財務上の責任ではありません。	資産を輸送中です。
使用中	なし	資産は使用されています。このオプションは、非消耗品のみで使用できます。
メン	なし	資産は修理中かメンテナンス中です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

状態	使用可能なサブステート	メモ
テナンス中		
廃止	○ 廃棄済み:資産は、提供終了に達したため廃棄されています。 ○ 廃棄待ち:資産は、寿命が近づいているため、廃棄対象としてマークされています。 ○ 販売済み:資産が売却されました。 ○ 寄贈済み:資産は、資産寄付オーダーを通じて慈善団体に寄付されます。 ○ ベンダークレジット - 古い欠陥のある資産は、返却承認 (RMA) を通じて交換用資産のためにベンダーに返却されます。 ○ リース返却:リースされたハードウェア資産は、契約の満了前に返却されます。 ○ 使用停止:資産は使用停止であり、廃棄する必要があります。 ○ RMA - 不良資産は、返品承認 (RMA) を通じてベンダーに返却されるか、ベンダーによって交換されます。 ○ 買い取り:リースされたハードウェア資産は、契約の有効期限が切れる前に購入されます。	資産がライフサイクルの終わりに達したときに、資産を廃止状態に設定します。誤って作成された資産レコードのみを削除してください。
欠損	○ 紛失 ○ 盗難	欠損または紛失された資産
ビルド	なし	資産は準備中です。このステータスは、アセットバンドルの作成時に使用されます。 **注:** ハードウェアと消耗品にはビルドステータスがありません。

自動翻訳

資産に減価償却を追加する

減価償却は、時間の経過とともに生じる資産価値の低下です。

始める前に

必要なロール：asset

このタスクについて

減価償却のスケジュールをハードウェア資産に追加することができます。ServiceNowプラットフォームでは、資産レコードで指定された情報に基づいて、[減価償却計算] スケジュール設定済みジョブを使用して償却額を毎日計算します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Platformでは、[コスト]、[減価償却]、[減価償却開始日] フィールドに基づいて、読み取り専用の [残余日数] と [残余価値] フィールドを計算します。たとえば、資産の [コスト] が 1000.00 USD で減価償却方式として [定額法] が選択され、丸 2 年が経過した場合、[残余価値] は 500.00 USD になります。

資産が [使用中] ステータスの場合、資産フォームに使用廃止日が入力されます。

固定資産や減価償却の詳細については、「固定資産に減価償却を使用する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > ハードウェア資産.
2. 資産を選択します。
3. 「割り当て済み資産を作成する」での説明のとおり、[減価償却費]、[減価償却開始日]、[残存価額]、[固定資産対象] の各フィールドを入力します。
   以下の点についても考慮します。
   - 減価償却開始日が未来日付の場合、現時点での減価償却は 0 であり、残存価額は購入当初の価格のままとなります。開始日に設定した日付が来るまで減価償却費の計算は開始されません。
   - 残存価額は資産の原価以下でなければなりません。原価以上の残存価額を入力すると、警告メッセージが表示されレコードが保存できなくなります。
4. ヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
5. [減価償却を計算] をクリックします。
   [残余日数]、[残余価値]、[減価償却額] フィールドが自動的に計算されます。

パレット資産で在庫を管理する

パレット資産を使用して在庫を効果的に管理します。

パレット資産を作成する

ハードウェア資産ワークスペースの資産一覧ビューからパレット資産を作成し、在庫内の資産を追跡および管理します。

始める前に

パレット資産のモデルを作成する必要があります。詳細については、「 モデル」 を参照してください。

必要なロール：asset

このタスクについて

パレット資産の作成中は、資産フォームの [詳細]、[廃棄]、[アクティビティ]、および [監査] セクションのみが表示されます。監査関連のフィールドは資産フォームに表示されますが、パレット資産の監査は実行できません。通路とスペースの詳細を指定して、ストックルーム内のパレットの正確な位置を示すことができます。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧.
2. [新しい資産] を選択します。
3. ダイアログ ボックスで、資産タイプとして パレット を選択し、 作成 を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[パレット資産の詳細] セクション

フィールド	説明
表示名	パレット資産の作成時に設定された [資産タグ] フィールドと [モデル] フィールドの値に基づくパレット資産の名前。たとえば、モデルが 3Com 木製パレットで、資産タグが PAL0000001 のパレットの表示名は、PAL0000001 - 3Com 木製パレットになります。
モデルカテゴリ	パレット資産のモデルグループ。このフィールドは読み取り専用で、自動的に [パレット] に設定されます。
番号	パレット資産に対して自動生成された一意の番号。
モデル	パレット資産の製品モデル。
数量	パレット資産が表すアイテムの数。このフィールドは自動的に [1] に設定されます。
資産タグ	パレット資産に添付されたタグからの英数字の追跡情報。
パレットタイプ	パレットのタイプ。使用可能な値： ○ パレット ○ 受信箱 ○ ボックス ○ コンテナ ○ その他
ステータス	パレット資産の現在のステータス。使用可能な値： ○ 在庫あり ○ 輸送中 ○ 廃止 ○ 欠損
サブステート	資産の現在のサブステート (「利用可能」や「予約済み」など)。[サブステート] リストの値は、[ステータス] リストから選択した内容に基づいて変化します。
倉庫	倉庫の名前。
予約利用者	パレットが予約されている人の名前。
通路	ストックルーム内のパレットの通路の詳細。このフィールドは、[状態] フィールドで [在庫あり] または [構築] が選択されている場合にのみ表示されます。
ロケーション	ストックルームの物理的な場所。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
スペース	通路内のパレットのスペースの詳細。このフィールドは、[状態] フィールドで [在庫あり] または [構築] が選択されている場合にのみ表示されます。
親	パレット資産の親資産。
コメント	オプションの追加情報。

廃棄セクション

フィールド	説明
廃棄注文番号	このフィールドは、資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号に自動的に設定されます。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
予定廃止日時	資産の廃止予定日。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃止日	実際に廃止する日付。
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダーからの注文番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
要求ラインの更新	ハードウェア資産のリフレッシュフローによって資産が古い資産として識別された場合は、要求明細番号をリフレッシュします。
廃棄日	資産廃棄プロセスが完了した日付。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
受領企業	資産の廃止時に資産を受け取る組織。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金のレポート時に適用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ] セクション

フィールド	説明
作業メモ	資産に関する追加情報。 次の状況では、作業メモが自動的に更新されます。 ○ 資産レコードの [状態]、[サブステート]、または [予約済み] フィールド を更新します。これらのフィールドに対する更新は、自動的に [作業メモ] フィールドに記録されます。 ○ 転送オーダーによる資産の受領時。これらの作業メモは、資産のライフ サイクルを追跡するのに役立ちます。

5. [Save (保存)] を選択します。

タスクの結果
作成したパレットが [パレット] タブに表示されるリストに追加されます。

パレットへの資産の追加

ベース、ハードウェア、バンドル、消耗品、その他のパレット資産を在庫パレットに追加して、ストックルーム内の資産をグループとして追跡および管理します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
パレットに資産を追加できるのは、次の条件の場合のみです。

- 資産がパレットと同じストックルームに属するか、[ストックルーム] フィールドに値が設定されていない。
- パレット の [状態] フィールドの値は [在庫あり] です。
- 資産の [状態] フィールドの値は、次のいずれかです。
  - 発注済み
  - 在庫あり
  - 輸送中
  - 廃止
- 資産が別の親資産に関連付けられていない。

  既存の親子の関連付けを削除してから資産をパレットに追加するか、パレットを親として資産に直接追加します。

他の資産の親である資産がパレットに追加されると、そのすべての子資産も追加されます。ただし、子資産の親フィールドはパレットの詳細に置き換えられません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧.
2. パレット タブを選択します。
3. 資産を追加するパレットを選択します。
4. [資産] タブを選択します。
5. ベース、ハードウェア、およびバンドル資産をパレットに追加します。

   a. [資産の追加] を選択します。

   b. [アセットを追加] ダイアログボックスで、追加するアセットを選択します。
   フィルターを使用して、利用可能な資産のリストを絞り込むことができます。

   c. [追加] を選択します。

   パレットに追加した資産は、[資産] タブに表示されるリストに追加されます。資産の状態、サブステート、場所、ストックルーム、通路、スペースの詳細がパレットと同期されます。

   注:
   割り当て済み資産のサブステートのみがパレットと同期されません。詳細については、「 割り当て済み資産の作成 」を参照してください。

6. 消耗資産をパレットに追加します。
   a. [消耗品の追加] を選択します。
   b. [消耗品をパレットに追加] ダイアログボックスで、使用可能な消耗品のリストから消耗品を選択するか、検索します。
   c. [数量] フィールドで、選択した消耗品の最大利用可能数量のデフォルトフィールド値を受け入れるか、追加する消耗品の数に合わせて値を変更します。
   d. [追加] を選択します。
   パレットに追加した消耗資産が [資産] タブに表示されるリストに追加されます。

パレットからの資産の削除

パレットを使用して追跡および管理する必要がない場合は、パレットに含まれる資産を削除します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
パレットから資産を削除すると、それらの親子の関連付けが解除されます。

[状態] フィールドの値が [在庫あり] のパレットからのみ資産を取り出すことができます。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧.
2. パレット タブを選択します。
3. 資産を削除するパレットを選択します。
4. [パレット詳細] フォームで、[資産] タブを選択します。
5. パレットから削除する資産を選択し、 削除 を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
パレットから削除した資産は、[資産] タブに表示されなくなります。

パレット資産の削除

関連付けられている資産がない場合に、パレット資産を削除します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
パレットは、空の場合にのみ削除できます。パレットの削除を試みる前に、すべての資産を削除してください。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧.
2. パレット タブを選択します。
3. 削除するパレットを選択します。
4. 「保存」ボタンの横にある「 •••)をクリックし、「削除」を選択します。

タスクの結果
削除したパレットは パレット タブに表示されなくなります。

在庫管理にパレット資産を使用する

資産を含むパレットを転送オーダーや廃棄オーダーに追加して、在庫を効果的に管理できます。

ある倉庫から別の倉庫へのパレットの移動

転送オーダーを使用して、在庫パレットとそれに含まれる資産をあるストックルームから別のストックルームに移動します。パレットに含まれる資産のみを移動すると、[フルフィルメントの準備完了] タスクがクローズされた後に資産がパレットから削除されます。転送オーダーを使用して空のパレットを移動することもできます。

転送オーダー ワークフローの一部としてパレットに対して実行する更新は、パレットに含まれる資産に適用されます。

転送オーダーの一部として受領した資産のすべてまたは一部に問題がある場合は、パレットをその資産と共に返品できます。パレットに含まれる個々の資産を返品することはできません。

詳細については、「 資産管理の転送オーダー」を参照してください。

パレットの廃棄

廃棄注文を使用して、ライフサイクルの終わりが近づいている、または機能していない資産を含むパレットを廃棄します。廃棄注文にパレットを追加すると、パレット内の資産と子資産も追加されます。ただし、パレット内のアセットバンドルは含まれません。

パレットまたはその資産を廃棄するときの廃棄注文ワークフローは次のとおりです。

- 資産を含むパレットを廃棄:検証済みのパレットとその資産が廃棄されます。
- 資産のみを廃棄し、パレットを保持する:資産は検証後にパレットから削除されます。
- 資産の一部のみを含むパレットを廃棄し、残りの資産を保持する: 検証または廃棄されなかった資産は、パレットから自動的に削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「廃棄注文を作成する」を参照してください。

パレットからの資産の消費

> **注:**
> パレットの資産がワークフローの一部として消費されると、その資産はパレットから自動的に削除されます。

パレットに含まれる資産は、次のワークフローの一部として消費することもできます。

- 返品自動化 (RMA): パレットの資産が RMA に追加されると、資産は直ちにパレットから削除されます。

  > **注:**
  > オフサイトでの交換または修理を伴う RMA 要求では、パレット内の資産は [受領タスク] フォームの [交換用資産] フィールドに表示されません。

- 資産ローカル在庫 :パレットの資産がローカル在庫の一部として消費されると、割り当て済み資産の確認タスクがクローズされた後に資産がパレットから削除されます。
- 貸与:パレットの資産が貸与資産として消費されると、貸与オーダーの準備タスクがクローズされた後に資産がパレットから削除されます。
- リース資産の返品:パレットからリース資産が返却されると、出荷タスクがクローズされた後に資産がパレットから削除されます。
- ITSM からのタスクのスワップと展開:資産の展開アクションが ITSM からトリガーされると、展開する必要がある資産がパレットから削除されます。ITSM からスワップアクションがトリガーされると、不具合のある資産の代わりとなるパレット内の資産がパレットから削除されます。

固定資産の作成

固定資産とは、複数の資産を保持できるコンテナーです。固定資産は通常、経理部門か会計業務部門によって会社レベルで追跡されますが、ハードウェアやソフトウェアなどの IT 資産が含まれる場合があります。

コストアプリケーションの [固定資産] オプションには、固定資産レコードに関連する IT 資産が表示されます。このリンクは、IT が企業資産システムとの調整を維持するのに役立ちます。financial_mgmt_admin ロールと financial_mgmt_user ロールを持つユーザーは、固定資産を作成できます。固定資産を作成して資産を追加した後、残存価額を自動的に計算させることができます。

固定資産を作成するには：

1. 移動先 コスト > 固定資産.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. 固定資産の名前を入力します。
4. [送信] をクリックします。

固定資産に資産を追加するには：

1. 移動先 コスト > 固定資産.
2. 固定資産をクリックします。
3. [対象資産] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. [コレクション] リストで、資産をダブルクリックして [対象資産リスト] に追加します。
5. [保存] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

すべての固定資産の残存価額を合計するには：

1. 移動先 コスト > 固定資産.
2. 固定資産をクリックします。
3. [合計残余価値] をクリックします。

ServiceNow プラットフォームでは、個々の資産レコードの [財務] セクションと [減価償却] セクションの情報に基づいて、[残存価額]、[総コスト]、[減価償却費合計] を計算します。

固定資産に減価償却を使用する

選択した減価償却スケジュールを使用して、固定資産の減価償却を計算することができます。固定資産の減価償却の計算は、IT 部門が会社の固定資産システムと調整して正確な評価額と帳簿価額のレポートを作成するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール：financial_mgmt_admin または financial_mgmt

このタスクについて

新規の減価償却スケジュールを作成するには、減価償却の [カテゴリ] で [定率減価償却] または [定額法] を選択します。この 2 種類のカテゴリは資産のライフ サイクルにおける減価総額は同じですが、異なるスケジュールで実行します。

- [定率減価償却]：会計期間の早い時期の資産を後の機関よりも多く減価償却します。
- [定額法]：各会計期間に均一の金額で資産を減価償却します。

次の例では、資産 10,000.00 USD の 5 年間にわたる減価償却後の価値を、異なる 2 種類の方法で表しています。

固定資産に減価償却を使用する

年	定率法	定額法
1	5000.00 USD	8000.00 USD
2	2500.00 USD	6000.00 USD
3	1250.00 USD	$4000.00
4	625.00 USD	2000.00 USD
5	$0	$0

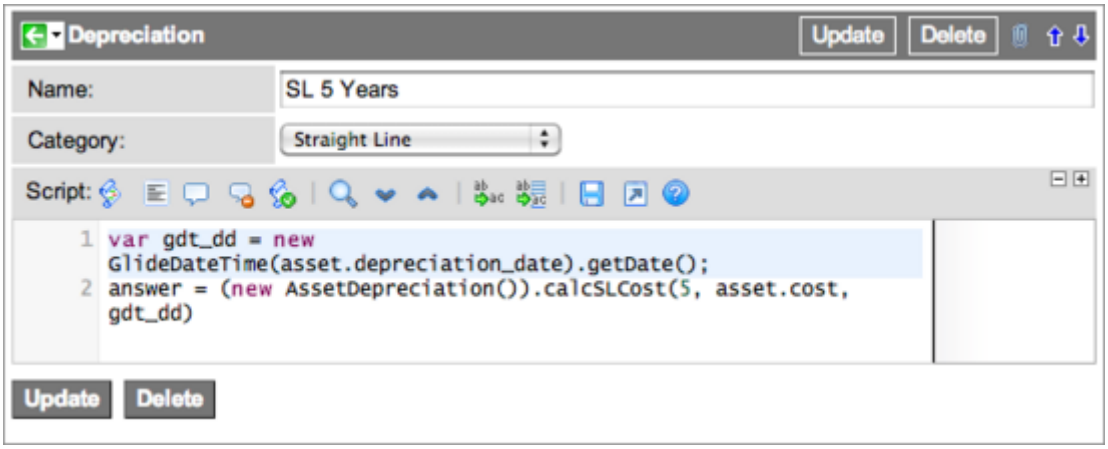
手順

1. 減価償却スケジュールを表示するには、 ファイナンシャルマネジメント > 減価償却 をクリックし、[カテゴリ] をクリックします。
2. 新規の減価償却スケジュールを作成するには、[新規] をクリックします。
3. [名前] を入力します。
4. [カテゴリー] を選択します。
5. 減価償却額を計算するための [スクリプト] を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

減価償却スケジュールスクリプトの例



6. [送信] をクリックします。
   減価償却スケジュールは、資産レコードの [減価償却] フィールドで利用できるようになりました。

割当済み資産の管理

事前に割り当てられた資産を管理します。これは、ベンダーがまだ所有しているが、ジャストインタイム調達のために顧客のストックルームに保管することに同意している資産です。

割り当て済み資産を作成する

物理的に存在するが、財務上の責任のない割り当て済み資産を作成します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産 をクリックし、レコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

   注:
   カテゴリでは [事前割り当てを許可] オプションを選択する必要があります。

消耗品レコードフォーム

フィールド	説明
表示名	資産の名前。
モデルカテゴリ	資産が CI にリンクされるか否かを制御するモデルカテゴリ
モデル	資産の製品モデル
数量	資産が示すアイテムの数
全般	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
状態	資産の状態
倉庫	資産のストックルームこのフィールドは、[状態] フィールドが [在庫あり] に設定されている場合のみ使用可能です。
親	親資産。親資産が定義されているとき、子資産の [割り当て] および [状態] フィールドは、親資産の [割り当て] と [状態] フィールドに基づいて自動入力され、読み取り専用となります。
クラス	資産の種類。システムは自動的に [クラス] を [消耗品] に設定します。
支出タイプ	支出の種類。次のいずれか 1 つを選択します。 ○ 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 ○ 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
サブステート	資産のサブステート
ロケーション	資産の場所
コスト	資産が購入された価格
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター
アクティビティ	
作業メモ	資産に関連する作業メモ

2. [送信] を選択します。

割当済み資産の割り当て

資産は、割当済み資産レコードから割り当てられます。新規の資産レコードが作成され、元の割当済み資産レコードの[数量] が減少します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
資産を割り当てることで財務上の責任が発生します。すべての割当済み資産が割り当てられると、割当済み資産レコードが資産リストから削除されます。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産.
2. [サブステート] 列をフィルタリングして [事前割り当て済み] 資産のみを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 割り当てる資産を含む行の参照アイコンを選択します。
4. フォームの下部にある [割り当て] を選択します。

> 注:
> *glide.asset.create_ci_with_ire* プロパティが「true」に設定されている場合、[割り当て] をクリックするとフォームが表示されます。フォームで、[資産管理番号]、[シリアル番号]、および [予約目的] フィールドを入力し、[**OK**] をクリックします。

タスクの結果
システムが割当済み資産と同じモデルかつ親情報が記録されている新規の資産レコードを作成し、そこに移動します。新規の資産の [数量] が 1 となり、割当済み資産の [数量] がその分減少します。

割当済み資産を分割する

割当済み資産を分割して、別のストックルームに移動できるグループを作成することができます。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
例として、事前割り当て済みのコンピューター 100 台のグループがストックルーム A にあります。これを各 50 台 の 2 グループに分割し、うち 1 グループをストックルーム B に移動します。2 箇所のストックルームからコンピューターを割り当てます。

手順
1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > すべての資産.
2. [サブステート] 列をフィルタリングして [事前割り当て済み] 資産のみを表示します。
3. 分割する資産が含まれる行の参照アイコンを選択します。
4. [分割] を選択します。
5. [分割予定数量] を入力し、**[OK]** を選択します。
   割り当て済み資産は 2 つのグループに分割され、各レコードの [数量] フィールドはそれぞれのグループが抱える数量を示します。

貸与資産の管理

短期間の貸与資産または消耗品を要求します。貸与資産タスクを使用して、展開と再利用のために貸与資産または消耗品を準備することもできます。特定の期間の貸与資産または消耗品を展開し、返却日に再利用します。

貸与資産を要求

一時資産または貸与資産または消耗品を要求し、短期間使用します。

始める前に
必要なロール：なし

貸与資産を要求する際は、開始日が送信日から 3 か月以内、終了日が開始日から 6 か月以内であることを確認してください。

このタスクについて
特定の期間の貸与資産を要求します。自分自身、組織の別の従業員、またはサードパーティベンダーのために要求できます。資産がインストールされる前であれば、いつでも貸与資産要求をキャンセルできます。
選択したい場所で商品が利用できない場合でも、貸与注文を送信できます。この場合、注文はキューに入れられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
   デフォルトでは、[資産ライフサイクル] カテゴリは [Service Catalog] ページにありません。このカテゴリを追加するには、管理者資格情報でログインし、検索カタログバーの横にあるコンテンツの追加アイコン (コンテンツ ) を選択して、[資産ライフサイクル] を選択します。
2. **[Loaner Asset Request]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   貸与資産要求フォーム

フィールド	説明
要求元	資産を要求している人物。自分用、組織の別の従業員用、またはサードパーティベンダーに対して要求を行うことができます。
要求元のユーザー	資産を要求したユーザー。このフィールドは、[要求元] フィールドで [会社ユーザー用 **(For company user**)] が選択され ている 場合にのみ表示されます。
ロケーション	要求された資産を提供する場所。 指定した場所が複数のストックルームのサービスの場所である場合、[モデル] フィールドには、その場所のストックルームで利用可能なモデルに加えて、それらのすべてのストックルームで利用可能な貸与資産モデルのリストが表示されます。サービスの場所の詳細については、「」を参照してください ストックルームをサービスの場所に関連付ける。
モデル	要求している資産のモデル。
開始日	資産の使用を開始する日付。
返却日	資産を返却する日付。
正当性	資産が必要な理由。

   [Start date] と **[Return date]** を入力した後、選択したロケーションで、選択した期間に利用可能な貸与資産がない場合は、警告が表示されます。それでも貸与注文を送信すると、貸与注文は順番待ちリストに入れられます。
4. [送信] を選択します。
   メッセージが表示され、貸与オーダーが正常に行われたか、オーダーが順番待ちリストに入れられたかが示されます。

次のタスク

要求を表示するには、次の場所に移動します セルフサービス > 自分の要求. アプリを使用して Now Mobile 注文を表示することもできます。

貸与資産を受け取る前に、[キャンセル] を選択して貸与資産要求をキャンセルできます。貸与資産を受領すると、[キャンセル] ボタンは表示されなくなります。指定された 返却日より前に貸与資産を返却することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

貸与資産の準備、展開、再利用

貸与資産タスクを使用して、展開および再利用のために貸与資産または消耗品を選択して準備します。特定の期間の貸与資産または消耗品を展開し、返却日に再利用します。

始める前に

資産を貸与資産または消耗品として使用するには、資産レコードに移動し、[資産機能] フィールドを [貸与] に設定します。これらの資産は貸与資産として使用するために予約されています。[資産機能] フィールドが [貸与] 以外に設定されている資産は使用できません。ハードウェア、バンドル、および消耗品のみを貸与資産として使用できます。

資産フォームの [貸与資産のオーダー] 関連リストには、資産が過去および現在に処理したすべての貸与オーダーが表示されます。消耗品がストックルームにない場合は、現在サービスを提供している現在の貸与資産のオーダーのみが表示されます。

必要なロール：inventory_user

このタスクについて

貸与資産のオーダーモジュールを使用して、ユーザーが要求した貸与資産のオーダーを表示して完了します。

ハードウェア資産ダッシュボードには、[新規]、[展開済み]、または [返却期限切れ] ステータスのすべての貸与資産のオーダーの統合ビューが表示されます。詳細については、「 ハードウェア資産ダッシュボード」を参照してください。

注:

貸与資産要求フローのカスタマイズに使用できる、すぐに利用可能な意思決定テーブルがあります。詳細については、「ハードウェア資産管理 フローのカスタマイズ」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** > 貸与 > 貸与資産のオーダー.
2. 貸与資産のオーダーレコードを開きます。
3. [貸与資産タスク] 関連リストで、[準備] タスクを開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

タスクフォームの準備

フィールド	説明
資産	貸与資産要求を履行するために使用される資産。 貸与資産要求フォームの [場所] フィールドの値が複数のストックルームのサービスの場所である場合、[資産] フィールドには、その場所のストックルームで利用可能な貸与資産に加えて、それらのすべてのストックルームで利用可能な貸与資産のリストが表示されます。サービスの場所の詳細については、「」を参照してください ストックルームをサービスの場所に関連付ける。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 指定された場所で利用可能なストックルームが、貸与資産要求の実行に優先されます。指定された場所をサポートする倉庫は、その場所に倉庫がない場合にのみ考慮されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先	展開タスクを実行するタスクがアサインされているユーザー。

5. デプロイのためにハードウェア資産を物理的に準備したら、 [タスクのクローズ] を選択して [準備] タスクを閉じます。
   準備タスクが完了すると、[Loaner Asset Tasks] 関連リストに展開タスクが作成されます。資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。
   - 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
   - [予約目的] フィールドには、貸与資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。
   - [サブステート] が [インストール処理待ち] に変わります。
6. 展開タスクを開きます。
7. フォームのフィールドに入力します。

   展開タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	タスクの状態。
アサイン先	展開タスクを実行するタスクがアサインされているユーザー。

8. ハードウェア資産を展開します。
9. [ステータス] フィールドを [完了してクローズ] に設定します。
10. 「デプロイ」タスクを閉じるには、「 タスクのクローズ」を選択します。

    資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。
    - 貸与資産のステータスが [使用中] に変わります。
    - [ストックルーム] フィールドが [Null] に変わります。
    - [アサイン先] フィールドには、資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。
    - サードパーティベンダーの貸与資産を要求した場合、[管理担当者] フィールドは資産を要求したユーザーの名前に自動的に設定されます。

    消耗品のステータスが [消費済み] に変わります。

    返却日の 2 日前に、資産を要求したユーザーに再利用に関するメール通知が届きます。返却日の 1 日前に、[貸与資産タスク] 関連リストに再利用タスクが作成されます。
11. 再利用タスクを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

12. フォームのフィールドに入力します。

再利用タスクフォーム

フィールド	説明
倉庫	返品された資産が保管されているストックルーム。貸与資産を受領した場所とは異なるストックルームに入った場合は、最初のストックルームからの既存の貸与オーダーが影響を受ける可能性があることを示す警告メッセージが表示されます。
返却日	資産が返却された実際の日付。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先	再利用タスクを実行するタスクが割り当てられているユーザー。
資産が返されました	資産を返却済みとしてマークするオプション。資産が返却されない場合、再利用タスクはクローズできません。
資産機能	再利用後の貸与資産の機能ステータス。

資産が機能していない場合、資産のステータスは [在庫あり] に、サブステートは [修理待ち] に変更されます。

13. 再利用タスクをクローズするには、 タスクのクローズ を選択します。
14. ユーザーが返却日より前に資産を返却する場合は、次の操作を行います。
    a. [再利用] を選択します。
    b. [資産の再利用] フォームで、フィールドを更新します。
    c. 再利用タスクを閉じます。
    資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。
    - 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
    - [サブステート] が [利用可能] に変わります。
    - [ストックルーム] フィールドは、[再利用タスク] フォームで選択した値に自動的に設定されます。
    - 資産が将来の貸与オーダーに割り当てられている場合、サブステートは [予約済み] に変わり、貸与オーダーの詳細を反映します。

慈善団体に資産を寄付する

資産寄付フローを使用して、組織のハードウェアと消耗資産を慈善団体に寄付します。

資産寄付オーダーを作成する

組織内の在庫にあるハードウェアと消耗資産を慈善団体に寄贈するサービスカタログ要求を作成します。

始める前に

必要なロール：なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
   デフォルトでは、[資産ライフサイクル] カテゴリは [Service Catalog] ページにありません。利用できない場合は、管理者にお問い合わせください。
2. [Asset Lifecycle (資産ライフサイクル)] ページで、[**Asset Donation Order** (資産寄付オーダー)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   資産寄付の申請フォーム

フィールド	説明
慈善団体	資産を寄付する慈善団体の名前。 慈善団体のリストは、名前、市区町村、都道府県、国、または電話の詳細に基づいてフィルタリングできます。
説明	寄付する資産の名前と数量。 たとえば、「2 台の Dell PC の寄贈を要求します」などです。

4. [送信] を選択します。

   資産寄付オーダーが正常に送信されました。

5. オプション: 次に移動して、資産寄付オーダーのステータスを表示します すべて > セルフサービス > 自分の要求.

資産寄付オーダーの承認または却下

資産マネージャーは、資産寄付オーダーをレビューし、承認または却下します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 すべて > 契約 > 自分の承認.
2. [要求済み] ステータスの資産寄付オーダーレコードを選択します。
3. 資産寄付オーダーを承認または却下します。
   - 注文を承認するには、承認 を選択します 。

     注文 のステータスが[承認済み] に変わります。
   - 注文を否認するには 、[否認] を選択し、[コメント] フィールドに拒否の理由を入力します。

     注文の [ステータス] が [却下] に変わります。

資産寄付オーダーの処理

資産を準備して慈善団体に送信するための資産寄付オーダーを処理します。

始める前に
必要なロール：asset

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ワークフローの輸送ステージに到達するまで、資産寄付オーダーをキャンセルできます。資産寄付注文が確認ステージに達した後はキャンセルできません。

> **注:**
> 資産寄付オーダーはコア UI でのみ ハードウェア資産ワークスペース 処理でき、コア UI では ハードウェア資産管理 処理できません。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory**.
2. [寄付の注文] タブを開きます。
   資産寄付オーダーのリストが表示されます。
3. [スケジュール] ステージにある資産寄付オーダーを選択します。
4. 資産寄付オーダーに資産を追加します。
   a. [予定資産] タブを開きます。
   b. [追加] を選択します。
   c. 資産の追加 ポップアップ ウィンドウで、状態が 在庫あり で、サブステートが 寄付待ち であるドメインの一部である資産を選択し、 追加 を選択します。
   フィルターを使用して、目的の資産を検索します。
   追加した資産は [予定資産] タブに表示されます。
5. 寄付する資産を準備し、資産を集荷する日付を入力します。
   a. [**Asset Donation Tasks**] タブを開きます。
   b. [資産を準備し、予定日を指定 (Prepare assets and provide Scheduled date)] タスクを選択します。
   c. [予定資産] 関連リストで、準備する資産を選択し、[準備] を選択します。

      > **注:**
      > ニーズと寄贈する資産のタイプに基づいて、資産準備タスクのサブフローを構成できます。たとえば、データのワイプが必要なデータストレージ資産や、寄贈前に梱包が必要なハードウェア資産に対して、資産準備タスクを構成できます。

      予定資産のステージが [準備完了] に変更されます。
   d. [スケジュールの詳細] フォームの [スケジュールされた日付] フィールドで、集荷の日付を選択します。
   e. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わり、[Select the assets departing for donation] タスクが資産寄付タスクとして作成されます。
6. 送信する資産を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [Select the assets departing for donation] タスクを開きます。

b. [予定資産] 関連リストで、ストックルームから送信する資産を選択し、[切り離す] を選択します。
予定資産のステージが [準備済み] から [輸送中] に変わります。資産のステータスが [輸送中] に変わり、[サブステート] が [寄付待ち] に変わります。

7. 資産を集荷するベンダーの名前と出荷追跡の詳細を入力します。

a. [詳細] タブを開きます。

b. [スケジュールの詳細] フォームで、以下を指定します。

i. [集荷連絡先名] フィールドに、寄付する資産を集荷する仕入先の名前を入力します。

ii. (オプション)[出荷配送業者] フィールドで、出荷配送業者を選択します。

iii. (オプション) [追跡番号] フィールドに、出荷の追跡番号を入力します。

> **注:**
> [配送業者] フィールドと [追跡番号] フィールドは、ハードウェア資産ワークスペースの資産運用ビューにある [出荷] リストから出荷を追跡するために使用されます。詳細については、「ハードウェア資産出荷の詳細の表示」を参照してください。

c. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。慈善団体からの確認タスクが、資産寄付タスクの下に作成されます。

8. 資産の寄付を確認します。

a. [Confirmation from charity organization] タスクを選択します。

b. 予定資産 関連リストで、資産を選択し、 寄付の確認 を選択します。
資産のステージが [完了] に変わります。資産のステータスが [廃止] に変わり、[サブステート] が [寄贈済み] に変わります。

9. 慈善団体からの寄付ドキュメントを資産寄付オーダーレコードに添付します。

a. [Confirmation from charity organization] タスクを選択します。

b. [詳細] 関連リストで、[添付ファイル] アイコン ([ ) を選択します。

c. ドキュメントを選択します。

d. [寄付の証明書] ボックスの一覧で、[はい] を選択します。
資産寄付オーダーのステータスが [Completed] に設定されます。

e. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

すべての資産寄付タスクが [完了してクローズ] になり、[資産寄付オーダー] ステージが [完了] に変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産を寄付するための慈善団体を追加する

慈善団体を慈善団体 [sn_itam_common_charity_org] テーブルに追加して、資産寄付に利用できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** > 寄付オーダー > 慈善団体.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. 慈善団体の場所と連絡先の詳細を入力します。
   [名前] フィールドと [郵便番号] フィールドは必須です。
4. フォームの残りのフィールドに入力します。

慈善団体の新規レコードフォーム

フィールド	説明
ID	慈善団体にアサインする一意の識別子。ID フィールドは必須です。
アクティブ	慈善団体レコードをアクティブとしてマークするオプション。
ドメイン	慈善団体レコードのドメイン。 慈善団体のレコードは、デフォルトドメインが利用できない場合、自動的にグローバルドメインに設定されます。

5. [送信] を選択します。

タスクの結果
追加した慈善団体レコードが [慈善団体] リストに追加されます。

資産を除外

ライセンスされた機能を使用し ハードウェア資産管理 ない資産を除外します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧 > ハードウェア資産.
2. 除外するハードウェア資産を選択します。
3. 資産フォームで、[**Exclude from HAM features**] チェックボックスをオンにします。
4. [保存] を選択します。

タスクの結果
資産はライセンスされた ハードウェア資産管理 機能の使用から除外されます。

事前出荷通知を使用

事前出荷通知 (ASN) を使用して、資産が輸送中のときに資産レコードを自動化および作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ASN テンプレートをダウンロードし、資産ベンダーに更新してもらいます。次に、更新したテンプレートをインスタンスにアップロードします ServiceNow 。ASN テンプレートを使用して資産レコードをインポートする前に、インスタンスにモデル ID が定義されており、同じモデル ID がテンプレートに記載されていることを確認してください ServiceNow 。

ASN テンプレートの出荷先は、場所 [cmn_location] テーブルの出荷先住所と一致する必要があります。

ASN テンプレートの出荷配送業者は、出荷配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルで使用できる必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて
資産レコードを手動で作成すると時間がかかり、レコードにエラーが発生する可能性があります。ASN を使用して、資産が輸送中のときに資産レコードを自動化して作成します。ASN テンプレートの追跡番号は、輸送中の資産を追跡するのに役立ちます。

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 順序 > 出荷通知のインポート.
2. 「テンプレートのインポート」ページで、「 テンプレート・ファイルのダウンロード(.xlsx)」 リンクを選択してASNテンプレートをダウンロードします。
3. ASN テンプレートを資産ベンダーにメールなどで送信します。
   ベンダーは、配送される各資産の詳細を使用してテンプレートを更新する必要があります。
   ベンダーは、列ヘッダーに基づいて各列に値を入力できます。たとえば、[追跡番号] 列の TrackASN1と [配送業者] 列の CarrierABC などです。その後、ベンダーは更新されたテンプレートを共有します。
4. 仕入先から更新された ASN テンプレートを受け取ったら、 ファイルの参照 を選択し、更新された ASN テンプレートを選択します。
5. [アップロード] を選択します。
   アップロードには時間がかかる場合があります。インポートプロセスは非同期であるため、インポートプロセスが完了し、すべての資産が作成されるまで待ちます。
6. 次のいずれかの方法で、テンプレートのインポートのステータスを確認します。
   - 移動先 調達 > 順序 > インポートステータス.
   - インポートセットレコードを直接開くには、メッセージバーのリンクで [インポートの進捗状況を表示 (View import progress here)] を表示します。

   [インポートセット] ページには、インポートセットレコードリストが表示されます。
7. テンプレートのインポートステータスを示すインポートセットレコードを選択します。
   インポートセットレコードは、資産レコードが正常に作成されたかどうかを示します。インポートが成功しなかった場合は、次の手順を実行します。
   a. インポートセットレコードで、[インポートセット行] タブを選択します。
   b. エラーを理解するには、[コメント] フィールドを確認します。
   c. 更新されたテンプレートのインポートを再試行してください。

組織管理の使用

組織管理アプリケーションを使用すると、ユーザーの更新やベンダーの追加などの資産管理タスクを簡単に実行できます。

ベンダーとメーカーの管理やロケーションの管理が含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新規のベンダーまたはメーカーを作成する

新規のベンダーを作成することができます。これは組織が購入する資産またはサービスを販売する会社です。また、新しいメーカーを作成することもできます。これは、組織が購入する資産を構築する会社です。

始める前に
必要なロール：user_admin と asset

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - 組織 > ベンダー
   - 組織 > メーカー
   - 組織 > 会社
2. [新規] をクリックして、新しいレコードを作成します。
3. フォームに入力し、[メーカー] または [ベンダー] を選択します。

   注:
   会社は、ベンダーとメーカーの両方と見なすことができます。

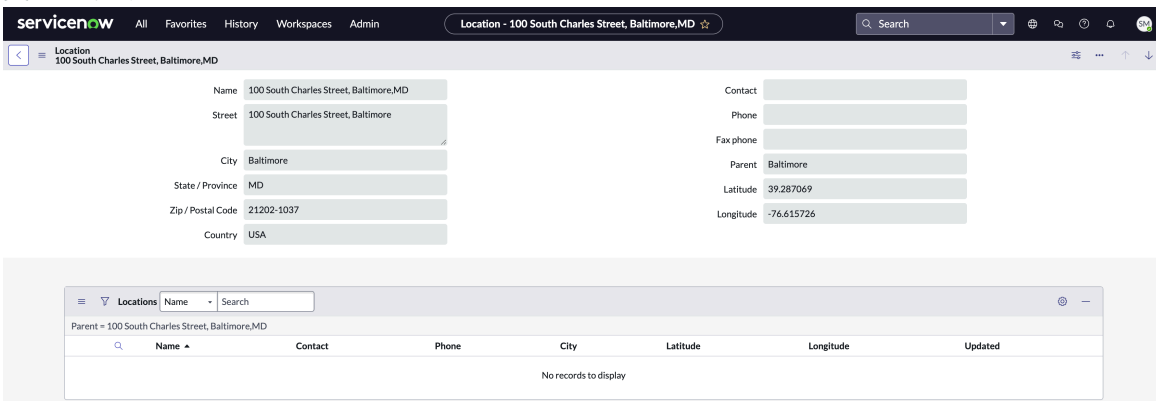
4. [送信] をクリックします。

モジュール

[場所] モジュールは、[場所] テーブル [cmn_location] の [資産] ビューです。

場所の物理的な詳細に加えて、[資産] ビューにはストックルームの指定とその場所にある構成アイテム (CI) のリストが含まれます。

資産の場所



RMA 要求の管理

RMA 要求を送信して返品承認 (RMA) プロセスを開始し、ベンダーで RMA プロセスを開始します。欠陥のある資産を修理または交換できます。

欠陥資産の RMA 要求を送信した後、さまざまなタスクを実行して資産の修理または交換を完了する必要があります。

RMA 要求をクローズするには、その各要求ラインを個別にクローズする必要があります。明細行をクローズするには、明細行のすべての RMA タスクを完了し、明細行に関する必要な情報を提供する必要があります。明細をクローズするには、まずそのアセスメントタスクをクローズします。その

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

後、欠陥のある資産はオフサイトまたはオンサイト修理に送られます。これらのタスクがすべて終了すると、ラインはクローズされます。

RMA 要求を送信する

返品許可 (RMA) 要求を送信して、ベンダーとの RMA プロセスを開始します。欠陥のある資産を修理または交換できます。

始める前に
必要なロール:asset and inventory user

資産、inventory_user、または itil ロールは、RMA 要求ラインのレポートにのみアクセスできます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル > 資産 **RMA** 注文.
2. 欠陥のある資産または消耗品の RMA 要求を開始するには、[追加] をクリックします。
3. [行の追加] フォームの [資産] フィールドで、RMA 要求を開始する欠陥資産または消耗品を選択します。
   資産と消耗品の複数行を選択できます。除外された資産を選択することはできません。資産の除外の詳細については、次を参照してください ハードウェア資産管理 ライセンスの除外。
   消耗品を選択すると、[資産] フィールドの横に [数量] フィールドが表示されます。[数量] フィールドに、RMA を開始する不良消耗品の数を入力します。
4. 選択した資産または消耗品を追加するには、[追加] をクリックします。
5. RMA 要求を送信するには、[送信] をクリックします。

タスクの結果
RMA 要求が作成されます。RMA 要求番号を含む確認メッセージが表示されます。

RMA 要求のクローズ

欠陥資産の RMA 要求を送信した後、さまざまなタスクを実行して資産の修理または交換を完了する必要があります。

RMA 要求をクローズするには、その各要求ラインを個別にクローズする必要があります。明細行をクローズするには、明細行のすべての RMA タスクを完了し、明細行に関する必要な情報を入力する必要があります。明細をクローズするには、まずそのアセスメントタスクをクローズします。その後、欠陥のある資産はオフサイトまたはオンサイト修理に送られます。これらのタスクがすべて終了すると、ラインはクローズされます。

次の手順では、タスクをクローズして 1 つの明細を閉じる方法について説明します。すべての要求ラインに対して、これらの手順を繰り返す必要があります。

RMA 要求のアセスメントタスクをクローズする

RMA 要求のアセスメントタスクをクローズして、欠陥のある資産を修理または交換できるようにします。

始める前に
必要なロール:asset、inventory user、または itil

資産、inventory_user、または itil ロールは、RMA 要求ラインのレポートにのみアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** > 返品許可 > すべての **RMA** 要求.
   [RMA 要求] ページが表示され、RMA 要求のリストが表示されます。
2. クローズする RMA 要求を開きます。
3. [RMA 要求ライン] 関連リストで、RMA 要求ラインを開きます。
4. [資産 RMA タスク] 関連リストで、[アセスメント] タスクを開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。

アセスメントタスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	タスクの状態。
倉庫	欠陥のある資産または消耗品のストックルーム。
ベンダー	資産の購入元となるベンダー。
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。
アサイン先グループ	RMA タスクが割り当てられているグループ。
アサイン先	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
RMA アクション	RMA で実行するアクション。資産は、ベンダーの場所でオンサイトまたはオフサイトで修理できます。選択肢は次のとおりです。 ○ オンサイト ○ オフサイト タスクをクローズする前に、このフィールドを更新する必要があります。

6. [タスクのクローズ] をクリックします。
   [資産] フォームで、欠陥のある資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [修理待ち] に変更されます。

   欠陥のある資産がアセットバンドルの一部である場合、アセスメントタスクをクローズした後、バンドルのステータスは [在庫あり] および [修理待ち] に変わります。バンドルからの複数の RMA 要求がある場合、すべての RMA 要求がクローズされるまで、バンドルのステータスは [在庫あり] および [修理待ち] のままになります。

タスクの結果
[RMA アクション] フィールドから [オンサイト] または [オフサイト] のどちらを選択したかに基づいて、[資産 RMA オンサイト] フローまたは [資産 RMA オフサイト] フローがトリガーされ、関連する RMA タスクが生成されて RMA プロセスが完了します。

オフサイト修理または交換で **RMA** 要求をクローズする

ベンダーの場所で欠陥のある資産を修理または交換する RMA 要求をクローズします。

始める前に
必要なロール:asset、inventory user、または itil

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
[アセスメントタスク] フォームの **[RMA** アクション] フィールドから [オフサイト] を選択すると、RMA 要求ラインの [資産 RMA タスク] 関連リストに出荷タスクが生成されます。出荷タスクと他の RMA タスクを 1 つずつ閉じて、RMA プロセスを完了します。

在庫ユーザーまたは itil ロールを持っている場合は、資産 RMA オフサイトフローからトリガーされた RMA 要求ラインをキャンセルできます。RMA 要求ラインをキャンセルするには、出荷タスクがクローズされる前にキャンセルする必要があります。

手順

1. RMA 要求ラインフォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、[出荷] タスクを開きます。
2. フォームのフィールドに入力します。

出荷タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	出荷タスクのステータス。
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。
アサイン先グループ	RMA タスクが割り当てられているグループ。
アサイン先	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
配送 業者	修理または交換のためにベンダーの場所に資産を出荷する配送業者の名前。 このフィールドは、配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルへの参照です。
出荷日	資産が出荷された日付。タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。
トラッキング番号	配送業者ベンダーから指定された出荷参照番号。

3. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
資産フォームで、資産のステータスが [輸送中] に変わります。RMA 要求ラインフォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、ベンダー RMA 意思決定タスクが生成されます。
4. RMA 要求ラインフォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、[ベンダー RMA 決定タスク] を開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。

ベンダー **RMA** 意思決定タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	ベンダー RMA 意思決定タスクのステータス。
アサイン先グループ	RMA タスクが割り当てられているグループ。
アサイン先	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
ベンダーのアクション	ベンダーが欠陥のある資産に対して何をしたいか。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 修理 ○ 置換 タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。

6. ベンダーが欠陥のある資産をどのように処理しようとしているかに基づいて、次のいずれかを実行します。
   - 仕入先が不良資産を修理する場合は、[仕入先アクション] フィールドから [修理] を選択します。
   - 仕入先が不良資産を新しい資産と交換する場合は、[仕入先アクション] フィールドから [置換] を選択します。
7. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   RMA 要求ラインフォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、受領タスクが生成されます。
8. RMA 要求ラインフォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、[受領] タスクを開きます。
9. フォームのフィールドに入力します。

受領タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	受信タスクのステータス。
アサイン先グループ	RMA タスクが割り当てられているグループ。
アサイン先	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
資産受領済み	修理された資産と新しい資産のどちらを受領したかに関する情報。タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。
交換用資産	欠陥のある資産の交換として受け取った新しい資産。このオプションは、ベンダー RMA 意思決定タスクの [ベンダーアクション] フィールドで [置換] が選択されている場合にのみ表示されます。

10. 修理された資産を受け取った場合は、次の操作を行います。
    a. [資産受領済] リストから、[はい] を選択します。
    b. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
       資産フォームで、資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [利用可能] に変更されます。
11. 障害のある資産の交換として新しい資産を受け取った場合は、次の操作を行います。
    a. [資産受領済] リストから、[はい] を選択します。
    b. 新しい資産を資産フォームの資産 [alm_asset] テーブルに追加し、受領タスクフォームに戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [交換用資産] フィールドで、新しい資産を選択します。

d. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
資産フォームでは、新しい資産のステータスは [在庫あり] で、サブステートは [利用可能] です。[資産] フォームの [財務] セクションの [取得方法] フィールドに [RMA 交換] と表示されます。

資産フォームで、古い欠陥のある資産のステータスが [廃止] に変更され、サブステートが [ベンダークレジット] に変更されます。

ベンダーがバンドルの一部であった資産を別のモデルと置き換えた場合、新しい資産を選択すると警告が表示されます。新しいモデルをバンドルに追加することはできません。受信タスクをクローズすると、欠陥のある資産がバンドルから削除されます。バンドルのステータスが [構築] に、新しい資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [利用可能] にそれぞれ変更されます。

タスクの結果
RMA プロセスが完了しました。

オンサイト修理で **RMA** 要求をクローズする

欠陥のある資産をオンサイトで修理する RMA 要求をクローズします。

始める前に
必要なロール:asset、inventory user、または itil

このタスクについて
[アセスメント] フォームの **[RMA** アクション] フィールドから [オンサイト] を選択すると、RMA 要求ラインの [資産 RMA タスク] 関連リストにオンサイト修理タスクが生成されます。

資産がオンサイトで正常に修理された場合は、オンサイト修理タスクをクローズします。欠陥のある資産の RMA プロセスが完了します。

資産をオンサイトで修復できなかった場合は、資産をオフサイト修理に出すことができます。故障した資産をオフサイト修理に送ると、資産 RMA オフサイトフローによって、RMA プロセスを完了するために必要な RMA タスクがトリガーされます。

在庫ユーザーまたは itil ロールがある場合は、修理確認タスクがクローズされるまで、資産 RMA オンサイトフローからトリガーされた RMA 要求ラインをキャンセルできます。

手順

1. RMA 要求ラインフォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、オンサイト修理タスクを開きます。
2. フォームのフィールドに入力します。

オンサイト修理タスクフォーム

フィールド	説明
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。
アサイン先グループ	RMA タスクが割り当てられているグループ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン先	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
修復の確認	資産がオンサイトで正常に修復されたかどうかの確認。タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。
アクションの変更	欠陥のある資産をオンサイトで修理できなかったためにオフサイト修理に送るオプション。このオプションは、[修理の確認] フィールドから [いいえ] を選択した場合にのみ表示されます。

3. 障害のある資産がオンサイトで正常に修復された場合は、次の手順を実行します。
   a. [修復の確認] リストから [はい] を選択します。
   b. **[Close task]** をクリックします。
   資産フォームで、資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [利用可能] に変更されます。RMA プロセスが完了しました。
4. 障害のある資産をオンサイトで修理できず、オフサイト修理に出す場合は、次の手順を実行します。
   a. [修復の確認] リストから [いいえ] を選択します。
   b. 「アクションの変更」リストから 、「オフサイト」を選択します。
   c. **[Close task]** をクリックします。
   資産 RMA オフサイトフローがトリガーされ、出荷タスクが生成されます。詳細については、「オフサイト修理または交換で RMA 要求をクローズする」を参照してください。

   資産フォームで、資産のステータスが [在庫あり] に変更され、サブステートが [修理待ち] に変更されます。

在庫在庫注文要求の作成

在庫在庫注文要求を作成して、ストックルームの新しいハードウェアを一括注文できるようにします。要求が承認されると、ハードウェア在庫注文フローが注文の要求、調達、受領のプロセスに進みます。

始める前に
必要なロール:在庫ユーザー

このタスクについて
在庫オーダーは、ストックルームに在庫を補充するためのカタログ要求です。

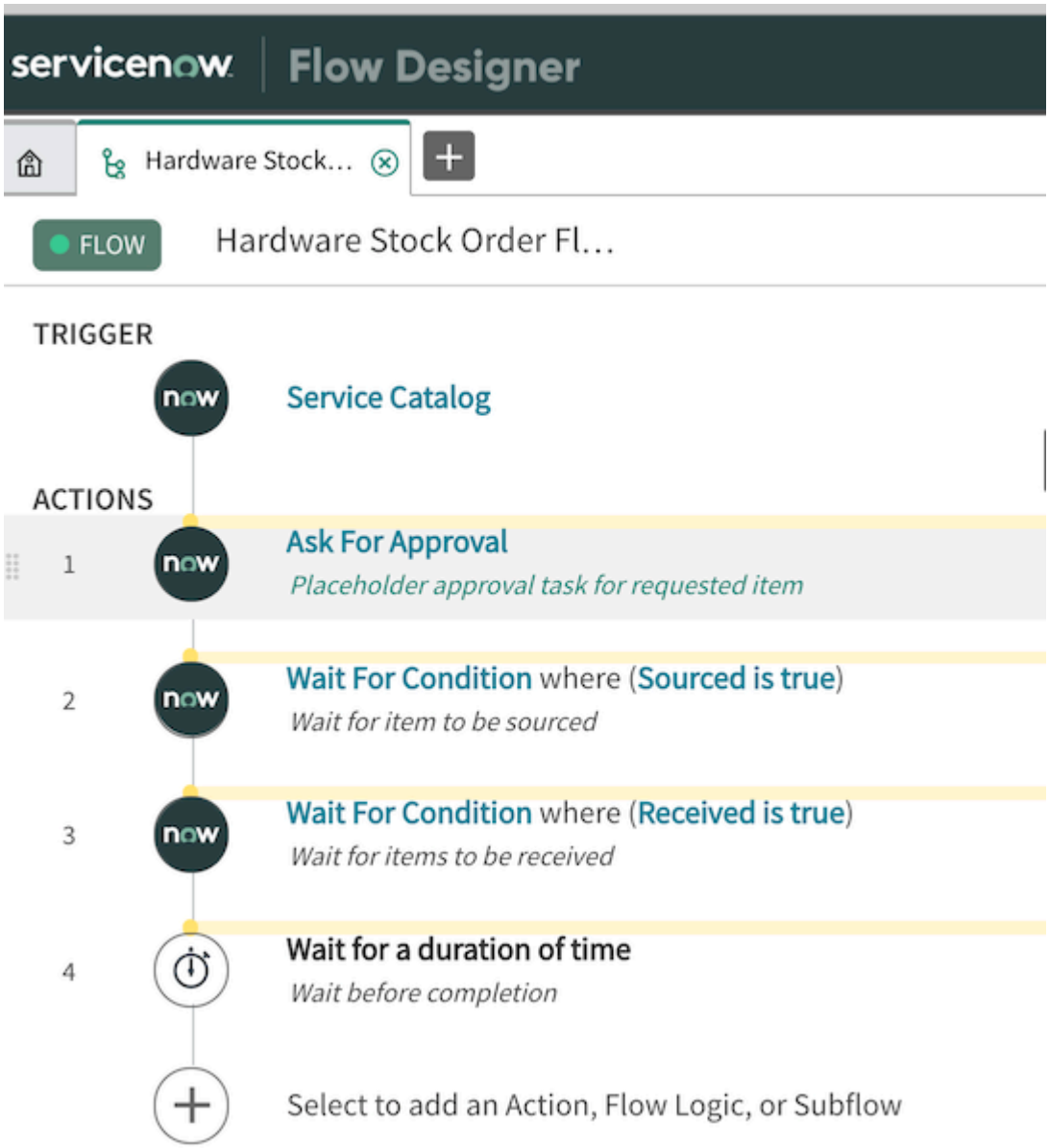
ハードウェア在庫在庫オーダー要求を手動で作成できます。ただし、在庫ルールのしきい値に違反すると、在庫ルールトリガーから在庫在庫オーダー要求が自動的に作成されます。

在庫注文要求が承認されると、ハードウェア在庫注文フローがトリガーされます。この フローデザイナー アプリケーションは、注文の要求、調達、および受領のプロセス全体を案内するハードウェア在庫注文フローを作成するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア在庫注文フロー



必要なロール：inventory_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** > 在庫注文の送信.
2. フォームのフィールドに入力します。

ハードウェア在庫注文フォーム

フィールド	説明
モデル	注文する新しいハードウェア。
数量	注文する新しいハードウェアの数量。
倉庫	新しいハードウェアをストックするストックルーム。
コメント	注文要求に固有の詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [注文する] をクリックします。
   [注文ステータス] フォームには、すべての注文の詳細が表示されます。既存のサービスカタログ要求ワークフローは、要求に必要なすべての承認を処理します。これで要求を調達できます。
4. 要求番号をクリックして要求を開きます。
   要求アイテムの価格はモデルの価格です。要求の価格は、要求アイテムの数量に要求アイテムの価格を乗じて計算されます。[要求アイテム] 関連リストに表示される要求アイテムの価格は、数量によって計算されたモデルの価格です。

   要求アイテムの価格はモデルの価格であり、要求の価格は要求アイテムの数量 * 要求アイテムの価格として計算されます。

   カタログ タスクは、要求が承認された後に作成されます。
5. [カタログ タスク] をクリックし、カタログ タスクを開きます。
6. [ソース要求] をクリックします。
   [ソース要求] フォーム レイアウトには、モデル名、調達するアイテムの数量、および在庫にあるハードウェアの合計数量が一覧表示されます。
7. [転送オーダーの追加] または [発注書の追加] をクリックして、転送オーダーまたは発注書を介して要求を調達します。

   [合計在庫数] に記載されている数量には、宛先のストックルームにある在庫は含まれません。

   要求されたアイテムがどの倉庫にもない場合、[転送オーダーを追加] は無効になります。要求されたアイテムに利用可能なベンダーがない場合、[発注書を追加] は無効になります。

   発注 書の追加を有効にするには、次のいずれかを実行します。

   - [ベンダーアイテム] に移動して、指定されたベンダーを追加します。
   - ベンダーの詳細を含む要求されたモデルのカタログアイテムを追加します。

資産管理 の転送オーダー

転送オーダーは、会社のストックルーム間で資産を移動します。

資産管理 アプリケーションを使用すると、資産管理者は会社のストックルーム間で資産を移動するための転送オーダーを作成できます。

消耗資産と非消耗資産は、次のように転送することができます。

- 消耗品の資産は数量 1 個からの転送が可能です。消耗部品はシステムによって定性的に追跡されます。
- 非消耗資産は、数量 1 を単体のエンティティとして転送する必要があります。非消耗部品はシステムで定義された資産に相対します。

転送オーダーライン

転送オーダーラインは在庫の下の新しいモジュールで、そのサブモジュールとしてテンプレートタスクとテンプレートサブタスクがあります。転送オーダー ラインでは、複数の資産を一度のオーダーで移動させることができます。出荷準備中などのアクションは、転送オーダーラインレベルで行えます。割当済み資産も転送注文ラインに含めることができますが、全数量での転送しか行えません。ビジネスルールで、2 つの異なる転送オーダーで同じ資産が同時に転送されることを防いでいます。

注:
転送オーダーと転送オーダーラインのワークフローは、Procurement プラグインから資産管理プラグインに移動しました。転送オーダーラインワークフローは、特定のレコードで一致するワークフローまたは実行中のワークフローがない場合にのみ実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

転送オーダーラインのタスク

資産で指定されたモデルカテゴリに基づいて転送オーダーラインを作成すると、転送オーダーラインタスクが自動的に作成されます。転送オーダーラインタスクは、転送オーダーラインをあるステージから別のステージに移動するために作成されます。転送オーダーラインタスクは、転送オーダーの完了に必要なサービスレベルと期間を追跡するのにも役立ちます。

デフォルトテンプレートタスクは、資産管理アプリケーションで利用できます。テンプレートタスクは、モデルカテゴリに基づいています。デフォルトテンプレートタスクを削除または変更することはできません。必要に応じて、独自のカスタマイズされたテンプレートタスクを作成することもできます。詳細については、「カスタマイズされたテンプレートタスクの作成」を参照してください。転送オーダーラインを作成して資産を選択すると、その資産はモデルカテゴリに対応します。そのモデルカテゴリに対してカスタマイズされたテンプレートタスクが存在する場合、そのテンプレートタスクは転送オーダーラインタスクとして転送オーダーラインに追加されます。選択した資産に一致するカスタマイズされたテンプレートタスクが見つからない場合、デフォルトテンプレートタスクが転送オーダーラインタスクとして追加されます。

転送オーダーラインタスクをクローズすると、タスクが完了し、プロセス内の次のタスクが作成されます。たとえば、[フルフィルメントの準備完了] タスクをクローズすると、このタスクのステータスが [完了してクローズ] として表示され、次のステージ (出荷準備完了) のために新しいタスクが開きます。このプロセスは、転送オーダーラインの完了に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。タスクをクローズして、タスクが次のステージに移動すると、その資産は自動的に更新されます。たとえば、転送オーダーラインが [フルフィルメントの準備完了] から [出荷準備] に移動すると、その資産のステータスも [利用可能] から [予約済み] に移動します。

注:

転送オーダーラインタスクをスキップして [スキップしてクローズ] を選択した場合、その資産は自動更新されません。資産が受領または配送されたら、手動で更新できます。

以前のリリースからニューヨークリリースにアップグレードする場合に、まだ処理中のオープンな転送オーダーラインが残っていると、その転送オーダーラインに関連付けられたすべての転送オーダーラインタスクが同時に作成され、転送オーダーラインフォームレイアウトに表示されます。転送オーダーラインのステージに基づいて、まだ処理する必要があるタスクがオープンされます。既に完了している他のすべてのタスクがクローズされます。オーダーに基づいて、後の転送オーダーラインタスクをクローズすると、現在オープンになっているそれ以前のすべてのタスクが自動的に [スキップしてクローズ] になります。

転送オーダーラインのサブタスク

プロセスの詳細度と効率をさらに高めるには、各転送オーダーラインタスクにサブタスクを作成することもできます。各転送オーダーラインタスクには複数のサブタスクを含めることができます。たとえば、出荷の準備をする前に、コンピューターのイメージングやソフトウェア追加などのサブタスクを作成できます。特定の転送オーダーラインタスクに対してサブタスクが定義されている場合、そのサブタスクはその転送オーダーラインタスクに自動的に追加されます。すべてのサブタスクがクローズされると、その転送オーダーラインタスクは自動的にクローズされます。詳細については、「テンプレートサブタスクの作成」を参照してください。

転送オーダーを使用して資産を転送する

転送オーダープロセスを通じて資産を移動して、ある場所から別の場所に資産を転送します。転送オーダーを作成して、初期の [ドラフト] ステータスから最終の [受領] ステータスに移動します。

始める前に

必要なロール：inventory_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。Procurement (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** > 転送注文 > 転送オーダーの作成.
2. [配送元の倉庫] リストで、アイテムの配送元にする倉庫を選択します。
3. [配送先の倉庫] リストで、アイテムの配送先にする倉庫を選択します。

   注:
   [配送元の倉庫] フィールドと [配送先の倉庫] フィールドの両方に同じ倉庫を選択した場合、転送注文ラインが追加されたときに転送注文が [ドラフト] から [受領済み] に自動的に移動します。

4. [配送期日] 日付ピッカーから配送の日付と時刻を選択します。
5. [送信] を選択します。
6. その転送注文を開きます。
7. [転送オーダーライン] の横にある [新規] をクリックします。
8. 転送オーダーラインのモデルを選択します。
9. モデルが消耗品の場合は、[要求された数量] で数量を指定します。
10. [送信] をクリックします。
    転送注文ラインを作成すると、転送注文とすべての転送注文ラインはドラフトステージとなります。転送注文や転送注文ラインがドラフトステージである間は、削除可能です。

    注:
    資産が [ドラフト] に設定された転送注文の一部だと、資産レコードは予約済みであることを表示する更新が行われます。資産が予約済みとなっている間は、その資産の要求や転送を行うことができなくなります。

    資産で指定されたモデルカテゴリに基づいて転送注文ラインを作成すると、転送注文ラインタスクが自動的に作成されます。転送オーダーラインタスクを使用すると、転送オーダーラインのさまざまなステージに進むことができます。各転送オーダーラインタスクは、転送プロセスの特定のステージを表します。タスクをクローズすると、新しいタスクが作成され、転送プロセスは次のステージに進みます。
11. 転送オーダーラインタスクを開いて、[タスクのクローズ] をクリックします。
    転送注文ラインタスクが完了し、新しい転送注文ラインタスクがオープンになります。

次のタスク

最後のステージ (受領済み) に達するまで、各タスクをクローズしていきます。[受領済み] ステージのタスクをクローズすると、その転送注文ラインは完了してクローズされます。すべての転送注文ラインと転送注文は、[配送済み] とマークされます。

転送オーダーラインタスクのサマリー

資産が転送プロセスを経て移動するとき、転送オーダーのステージは常に個々の転送オーダーラインタスクに基づきます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

転送オーダーラインのタスク

転送オーダーラインのステージ	説明
ドラフト	転送オーダーラインが作成されたとき。
要求済み	このタスクが転送オーダーラインに対して最初に作成されます。
出荷準備	[要求済み] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。このタスクでは、出荷の転送オーダーラインの準備について処理します。[配送業者]、[ベンダー]、[トラッキング番号]、[出荷日] などの出荷トラッキングフィールドの値を指定します。
輸送中	[出荷準備中] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。
受領済み	[輸送中] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。
配送済み	[受領済み] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。[配送済み] タスクをクローズすると、その転送オーダーラインは完了します。

転送オーダーを削除する

転送オーダーがまだドラフトステージの場合のみ、転送オーダーを削除できます。

始める前に

必要なロール：inventory_user

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。Procurement (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > 在庫管理 > 転送注文 > 転送注文
2. 転送オーダーの横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下部にある選択行のメニューから、[削除] をクリックします。

   また、転送オーダーや転送オーダーラインが [要求済み] または [出荷準備中] ステージにある間にキャンセルすることもできます。

関連情報

転送オーダー ラインを削除する

転送オーダーで受領したアイテムを返品する

転送オーダー ラインを削除する

転送オーダーラインがまだドラフトステージの場合のみ、転送オーダーラインを削除できます。

始める前に

必要なロール：inventory_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。Procurement (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。

手順

1. 転送オーダーを開きます。
2. 転送オーダー ラインの横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下部にある選択行のメニューから、[削除] をクリックします。

   また、転送オーダーや転送オーダーラインが [要求済み] または [出荷準備中] ステージにある間にキャンセルすることもできます。

関連情報

転送オーダーを削除する

転送オーダーで受領したアイテムを返品する

転送オーダーで受領したアイテムを返品する

転送注文が受領されたときに、すべてまたは一部のアイテムに問題がある場合は、その転送注文を返品できます。

始める前に

必要なロール：inventory_user

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。Procurement (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。

このタスクについて

返品する前に、転送オーダー内のアイテムを受領する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > 在庫管理 > 転送注文.
2. [受領済み] ステージにある転送オーダーを選択します。
3. 返品するアイテムの転送オーダーラインの [番号] をクリックします。
4. [返品] をクリックします。
5. 返品する数量を入力します。
6. 返品理由を入力します。
7. 不良のあるアイテムを返すには、[不良品] チェック ボックスを選択します。

   欠陥品は配送元の倉庫に返却されますが、使用可能在庫としては追加されません。代わりに [欠陥品] という別のカテゴリで追跡され、要求や転送ができなくなります。

8. **[OK]** をクリックします。
9. [更新] をクリックします。

   新規の転送オーダー ラインが自動的に登録されます。

   相対する新規の転送オーダー (親) も新規の転送オーダー ラインとともに自動作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. 消耗品を返品する場合は転送注文ラインレコードに移動し、モデル名をクリックしてモデルレコードを開きます。

    モデル レコードには、どのストックルームにモデルが含まれているかが表示されます。欠陥品モデルが 1 件リストアップされています。

    注:
    欠陥品モデルはまだ配送先のストックルームにあります。欠陥品モデルは配送元の倉庫に戻されなければいけません。

11. 新規の転送オーダーを通常の転送オーダー プロセスを通して移動します。
    アイテムは配送元のストックルームに自動的に戻されます。返品された転送注文ラインアイテムは、後で配送することはできません。

    元が同じオーダーで受領した別個の欠陥品モデルを返品する場合は、2 件の不良品返品が 1 件のラインアイテムに結合されます。

資産管理 の転送オーダーの作成

ある場所から別の場所に資産を転送するために、転送オーダーを作成します。

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順

1. 移動先 すべて > 在庫管理 > 転送注文 > 転送オーダーの作成.
2. [配送元の倉庫] リストをクリックして、出荷するアイテムの配送元の倉庫を選択します。
3. [配送先の倉庫] リストをクリックして、アイテムを出荷する先の倉庫を選択します。
4. [送信] をクリックします。
   転送オーダーが作成されると、転送オーダーラインを作成して転送オーダーを構成するアイテムを指定できます。「転送オーダー ラインを作成する」を参照してください。

転送オーダー ラインを作成する

転送オーダー ラインは、転送オーダーを構成する詳細なアイテムを指定します。

始める前に
必要なロール：inventory_user

このタスクについて
転送オーダーには、1 件以上の転送オーダー ラインを含めることができます。1 件の転送オーダーに含められた転送オーダー ラインはすべて配送元と配送先が同じ場所になります。各ラインには転送する資産と数量を含みます。転送するアイテムは資産名とモデル名で識別されます。転送オーダー ラインには、非消耗資産 1 件、または複数量の消耗品資産を含めることができます。バンドルモデルも転送することができます。

手順

転送オーダーを作成した後、[転送オーダー ライン] 関連リストで [新規] をクリックし、必要に応じてフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
番号	転送オーダーラインを識別する内部個別番号
転送オーダー	転送オーダーラインが属する転送オーダー
モデル	転送オーダーラインによって要求されたアイテムのモデルたとえば、プリンターです。[資産] フィールドが最初に入力された場合、[モデル] フィールドには資産に相対するモデルが自動的に入力されます。
要求された数量	転送オーダーラインによって要求されたアイテムの数たとえば、コンピューター 3 台の転送が要求されます。
受領済み数量	既に受領されたアイテムの数たとえば、キーボード 3 台が転送され、2 台が受領されます。
ステージ	転送オーダーの現在のステージ転送オーダー ラインは、転送オーダーが [ドラフト] ステージにある場合にのみ登録できます。
要求ライン	転送オーダー ラインに関連付ける要求されたアイテム。
資産	転送オーダーラインによって要求された資産たとえば、特定のプリンターです。資産はストックルームでフィルタリングできます。
残り数量	未受領のアイテムの数たとえば、キーボード 3 台の要求のうち、2 台が受領済み、1 台が残っています。
返品された数量	返品する必要のあるアイテムの数

自動翻訳

カスタマイズされたテンプレートタスクの作成

カスタマイズされたテンプレートタスクを作成して、特定のタスクワークフローを転送オーダーラインに設定します。デフォルトテンプレートタスクは、資産管理アプリケーションで利用できます。デフォルトのテンプレートタスクを変更または削除することはできません。

始める前に

必要なロール：inventory_user

このタスクについて

テンプレートタスクを使用すると、転送オーダーラインのさまざまなステージに進むことができます。カスタムテンプレートタスクは、カスタムテンプレートタスク [alm_custom_template_task] テーブルに保存されます。テンプレートタスクは、モデルカテゴリに基づいています。たとえば、アプリケーションモデルカテゴリに対してカスタマイズされたテンプレートタスクを作成すると、そのアプリケーションモデルカテゴリに対する転送オーダーラインが作成されるたびに、そのアプリケーションモデルカテゴリに関連付けられたテンプレートタスクが転送オーダーラインタスクとして使用されます。カスタマイズされたテンプレートタスクを作成するときは、転送オーダーラインワークフローのコピーを作成し、適宜ワークフローを更新します。たとえば、5 つのタスクのうち 4 つのタスクのみが必要な場合は、ワークフローから追加のタスクを削除できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
同じモデルカテゴリ、同じ順序番号、および同じステージに基づいている 2 つのテンプレートタスクを作成することはできません。モデルカテゴリ、順番、およびステージは、テンプレートタスクごとに一意である必要があります。たとえば、アプリケーションモデルのカテゴリ、順序番号が 200、ステージが [要求済み] の場合、[出荷準備] のテンプレートタスクを 2 つ作成することはできません。例で説明したように同一のテンプレートタスクを作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** > 転送注文ライン > テンプレートタスク.
   資産管理アプリケーションで利用可能な、すべてのデフォルトテンプレートタスクがリストされます。
2. [新規] をクリックします。
   また、デフォルトテンプレートタスクをコピーして、テンプレートタスクをカスタマイズすることもできます。[デフォルトテンプレートをコピー] をクリックして、モデルカテゴリを選択します。
3. フォームのフィールドに入力します (表を参照)。

フィールド	説明
タスク名	テンプレートタスクの名前
モデルカテゴリ	このテンプレートタスクが基づいているモデルカテゴリ。
順序	転送オーダーラインにテンプレートタスクが追加される順番。
簡単な説明	このテンプレートタスクについての簡単な説明。
次のステージ	このテンプレートタスクが実行されるステージ。

4. [送信] をクリックします。

テンプレートサブタスクの作成

テンプレートサブタスクを作成して、転送オーダーラインタスクを詳細化します。たとえば、出荷の準備をする前に、コンピューターのイメージングやソフトウェア追加などのサブタスクを作成できます。

始める前に
必要なロール：inventory_user

このタスクについて
作成したテンプレートサブタスクは、テンプレートサブタスク [alm_template_subtask] テーブルに保存されます。転送オーダーラインタスクが作成されたときに、その転送オーダーラインタスクに対してサブタスクが定義されている場合、そのサブタスクはその転送オーダーラインタスクに自動的に追加されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** > 転送注文ライン > テンプレートサブタスク.
2. [新規] をクリックしてフォームフィールドに入力します (表を参照)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	サブタスクの簡単な説明。
サブタスク名	サブタスクの名前。
タスク	このサブタスクが関連付けられているタスク。

3. [送信] をクリックします。

転送オーダー ラインの資産の追跡

転送オーダー ラインにアクションが発生すると、影響を受ける資産の在庫情報や状態が更新されます。消耗品と非消耗品は別々に追跡されます。

資産が転送オーダー ラインに含まれている場合、以下が行われます：

- 資産フォームのサブステートフィールドが転送オーダーラインのステータスを反映して変更される
- 資産フォームの [有効期間] オプションが自動的に選択され、その資産がある転送オーダーの一部であり複数の転送オーダーに追加できないことが示される。
- その資産が利用可能な資産のプールから削除され、[在庫あり] [保留中の転送] の状態に変更される。

関連情報

転送オーダーを削除する

転送オーダー ラインを削除する

転送オーダーで受領したアイテムを返品する

転送オーダー ラインの非消耗資産を追跡する

非消耗品の転送オーダー ラインのステージが変更されると、資産のサブステートに影響を与えます。

転送オーダー ラインのステージ	資産のサブステートへの影響
ドラフト	資産の移動先 在庫あり > 転送待ち (現在のストックルームから)。資産が消耗品であれば数量を編集できます。
要求済み	資産は 在庫あり > 転送待ち.
出荷準備	資産は 在庫あり > 転送待ち.
輸送中	資産の移動先 輸送中 > 予約済み.
受領済み	資産の移動先 在庫あり > 利用可能 (宛先ストックルーム内)。

関連情報

転送オーダーを削除する

転送オーダー ラインを削除する

転送オーダーで受領したアイテムを返品する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

転送オーダー ラインの消耗資産を追跡する

消耗品が転送オーダー ラインに追加されると、消耗品の在庫は 2 件のレコードに分割され、転送オーダーは新しく登録された在庫ラインにリンクされます。

例：

1. ストックルーム A にはキーボードが10 台あります。
2. TOL1 という転送オーダー ラインで、ストックルーム A からストックルーム B までキーボードを 3 台転送します。
3. A の 10 個のキーボードの在庫は 2 つのレコードに分割されます。 在庫あり > 利用可能 3 つが 在庫あり > 転送待ち.
4. ストックルーム A からストックルーム B にキーボード 2 台を転送する TOL2 という転送オーダー ラインが含まれた別の転送オーダーが作成されます。
5. 残りの 7 台のキーボードは、さらに 2 行 (5 台) に分割されます 在庫あり > 利用可能 と 2 つの 在庫あり > 転送待ち.

   注:
   3 つの 在庫あり > 転送待ち そして 2 つの 在庫あり > 転送待ち は、同じ転送オーダーラインの一部ではなく、必ずしも同一人物からのものではないため、結合されません。

6. キーボード 2 台のオーダー TOL2 が [ドラフト] から [要求済み]、[出荷準備] に移動すると、キーボード 3 台のオーダー TOL1 はそのままになります 在庫あり > 転送待ち.
7. キーボード 3 台のオーダー TOL1 が [輸送中] ステージに移行すると、キーボード 3 台は 輸送中 > 予約済み ありますキーボード 2 台のオーダー TOL2 でも同じことが起こります。
8. TOL1 を受信すると、3 台のキーボードは 在庫あり > 利用可能 倉庫Bで
9. ストックルーム B で TOL2 が受領されると、2 台のキーボードは 在庫あり > 利用可能 3つのキーボードと統合されています 在庫あり > 利用可能 Bで。
10. 最後にストックルームBに5台のキーボードが 在庫あり > 利用可能.

関連情報

- 転送オーダーを削除する
- 転送オーダー ラインを削除する
- 転送オーダーで受領したアイテムを返品する

廃棄注文を作成する

ハードウェア資産または消耗資産の廃棄注文を作成します。廃棄注文は、使用終了サイクルに達している資産または機能しなくなった資産に対して作成できます。

始める前に

注:
ハードウェア資産管理 アプリケーションを ServiceNow Store からインストールします。

フローデザイナーアプリケーションを使用してハードウェア廃棄注文プロセス全体を案内するハードウェア資産廃棄フローを作成します。

ハードウェア廃棄注文は、完了するまでにさまざまなステージを経ます。各ステージは、ハードウェア廃棄タスクに関連付けられています。さまざまなステージ間を移動するには、最後のステージに到達するまで各タスクを閉じます。最後のタスクを完了すると、ハードウェア廃棄注文が完了します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ハードウェア廃棄注文ステージの詳細については、次を参照してください ハードウェア廃棄注文ステージ。

廃棄注文は、ワークフローの輸送ステージに到達するまでキャンセルできます。廃棄注文が確認ステージになった後は、その注文をキャンセルできません。[ステータス] リストから [未完了でクローズ] を選択し、タスクをクローズすることで、ドラフト、スケジュール、または転送ステージにあるタスクをキャンセルできます。

必要なロール：asset

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリビュー.

2. フォームのフィールドに入力します。

新規ハードウェア廃棄注文の作成フォーム

フィールド	説明
番号	廃棄注文の参照番号。
倉庫	資産が廃棄されるストックルーム。
ベンダー	資産を廃棄するベンダー。
ロケーション	資産が廃棄されるストックルームの場所。ストックルームを選択すると、自動的に場所が表示されます。 場所を変更し、選択したストックルームに場所が関連付けられていない場合、[ストックルーム] フィールドは空になります。このシナリオでは、指定した場所のストックルーム リストからストックルームを選択できます。
アサイン先	資産の廃棄に関して責任を負っている人物。

3. [保存] を選択します。
廃棄注文が作成され、ハードウェア資産廃棄ワークフローがトリガーされます。
4. [ハードウェア廃棄注文の集荷の詳細] フォームの [集荷の詳細] セクションで、フィールドに入力します。

[ピックアップの詳細] セクション

フィールド	説明
予定日	資産を廃棄する日付。
ピックアップ連絡先名	廃棄する資産を集荷するベンダーの人の名前。
ピックアップの詳細	集荷の詳細
追加情報	追加するメッセージ。

5. [予定資産] タブを選択します。
6. [追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 利用可能な資産のリストから、廃棄する資産を選択します。
選択した資産が [予定資産] タブに表示されます。また、[資産の検証] タスクはハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
8. [Verify Asset (資産を検証)] タスクを選択します。
9. 検証する資産を選択し、 [検証] を選択します。
除外された資産を選択することはできません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。
資産のステータスが [廃止] に変更され、[サブステート] が [廃棄待ち] に変更されます。
[Scheduled Pickup (集荷スケジュール)] タスクがハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
10. [Schedule Details (スケジュールの詳細)] セクションを [Vendor (仕入先)]、[Vendor order ID (仕入先注文 ID)]、[Scheduled date (予定日)]、[Pick up contact name (集荷連絡先名)] の詳細で更新し、[**Close task** (タスクのクローズ)] を選択します。
資産の切り離しタスクは、ハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
11. [資産の出発] タスクの [スケジュールの詳細] セクションで、[出荷先]、[出荷配送業者]、および [追跡番号] フィールドに詳細を指定します。
12. [保存] を選択します。
13. [資産の切り離し] タスクで、[予定資産] タブを選択します。
14. 切り離す資産を選択し、 切り離す を選択します。

    注:
    切り離されていない予定資産は自動的にキャンセルされます。

    資産のステータスが [輸送中] に、サブステートが [廃棄待ち] に変更されます。ベンダー確認タスクは、ハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
15. 仕入先確認タスクを選択し、 タスクのクローズ を選択します。
ステージがドキュメントに変わります。廃棄ドキュメントタスクは、ハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
16. [Disposal Documentation (廃棄ドキュメント)] タスクを選択し、次の操作を行います。
    a. [ファイルの添付] アイコンを選択して、予定資産の廃棄ドキュメントを添付します。
    b. [廃棄の証明書] ボックスの一覧で、[はい] を選択します。

    廃棄ドキュメントを注文に添付し、フィールドを はい に設定して、廃棄注文を [完了] にクローズする必要があります。
17. [タスクのクローズ] を選択します。
    - すべてのハードウェア廃棄タスクが完了し、ハードウェア廃棄注文ステージが [完了] に変わります。
    - 資産フォームの [廃棄] セクションの [廃棄日] フィールドに値が入力されます。
    - 廃棄された資産に関連付けられているメンテナンス契約については、[契約] タブの [削除日] フィールドが入力され、廃棄された資産は契約の一部ではなくなります。
    - 廃棄された資産に関連付けられている資格付与も削除されます。

ハードウェア資産要求フローの使用

アプリケーションから サービスカタログ ハードウェアカタログアイテムを要求、調達、および展開するには、ハードウェア資産要求フローを使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

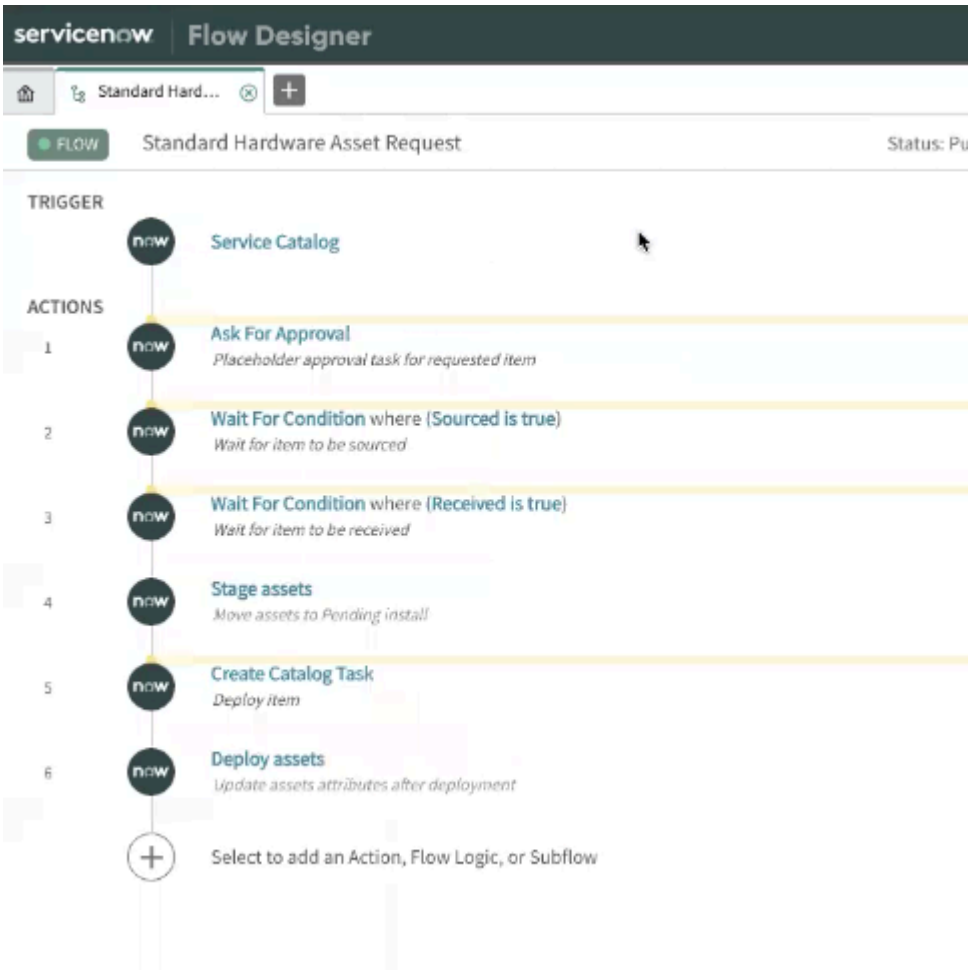
始める前に
必要なロール：

- catalog_admin
- procurement_admin

このタスクについて
アプリケーションから サービスカタログ ハードウェアカタログアイテムの要求を作成します。カタログアイテムを標準ハードウェア資産要求フローに関連付けて、フローをトリガーします。

この フローデザイナー アプリケーションを使用して、標準ハードウェア資産要求フローを作成し、ハードウェアカタログアイテムを調達、調達、および展開するプロセスを実行します。フローがさまざまなステージを進むにつれて、資産の詳細が自動的に更新されます。標準ハードウェア資産要求フローを開いて、フロー内のステージのステータスを表示できます。

標準ハードウェア資産要求フロー



手順

1. catalog_admin ロールの資格情報でログインし、 サービスカタログ > アイテムの管理.
2. ハードウェアカタログアイテムを開き、[フロー] フィールドで [標準ハードウェア資産要求] を選択します。
   [フロー] フィールド が表示されていない場合は 、メニューアイコンを右クリックして次の場所に移動し、フォームレイアウトに追加します。 構成 > フォームレイアウト.
3. [保存] を選択します。
   これで、標準ハードウェア資産要求フローがハードウェアカタログアイテムに関連付けられました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. **[Service Catalog]** に移動し、[**Hardware**] を選択します。
5. リストからカタログアイテムを選択します。
6. [場所] フィールドで、資産を展開する場所を指定します。
   デフォルトでは、このフィールドはログインしているユーザーの場所に設定されます。ただし、利用可能な場所のリストから場所を選択することはできます。

   注:
   このフィールドは、8.0.0 に ハードウェア資産管理 アップグレードした後にハードウェアモデルから公開されたハードウェアカタログアイテムでのみ使用できます。

7. [数量] フィールドで、資産の数量を指定し、[今すぐ注文] を選択します。
8. procurement_admin ロールの資格情報でログインし、新しい要求を開きます。
9. [要求アイテム] 関連リストで、 要求アイテムを選択します 。
10. [要求アイテム] フォームレイアウトで、[フローコンテキスト] 関連リンクを選択して、標準ハードウェア資産要求フローの現在のステージを表示します。
11. [カタログタスク] 関連リストを選択して、要求の調達タスクを表示します。
12. カタログ タスクを開き、[ソース要求] を選択します。
13. [ソース要求] フォームレイアウトで、[転送オーダーの追加] または [発注書の追加] を選択して、転送オーダーまたは発注書を介して要求を調達します。
    カタログアイテムを調達すると、要求されたアイテムレベルで展開タスクが作成されます。
14. タスクをクローズします。
    標準ハードウェア資産要求フローで、資産の展開に関連付けられているアクションが完了します。資産レコードを開き、[ステータス]、[アサイン済み]、[インストール済み]、[場所]、および [アサイン先] フィールドに加えられた更新を表示します。同様の更新は、資産に関連付けられている CI に対しても行われます。

在庫を監査する

資産ストックルームやその他の場所 (オフィスやデータセンターなど) の定期監査またはブラインド監査を実行します。

始める前に

必要なロール：asset

資産ロールまたはinventory_userロールは、資産監査 [sn_hamp_asset_audit] レポートにのみアクセスできます。

- Hardware Asset Management
- ServiceNow Agent アプリ

このタスクについて

または で監査 Now Platform を作成できます。Now Platformを使用して、スケジュールされた監査とServiceNow エージェントブラインド監査用のアプリを作成します。アセットのスキャンの詳細については、「」を参照してください アプリを使用した ServiceNow エージェント 資産のスキャン。

手順

1. 監査を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [新しい資産監査を作成 (Create New Asset Audits)] フォームのフィールドに入力します。

新しい資産監査の作成フォーム

フィールド	説明
監査番号	監査参照番号。
アサイン先	監査の責任者。
タイプ	監査のタイプ。使用可能な値は次のとおりです。 ○ ロケーション ○ 倉庫
ステータス	監査の現在のステータス。
倉庫	監査を実行する場所。
スキャン日	資産をスキャンする日付。
予定日	監査を実行する予定日。

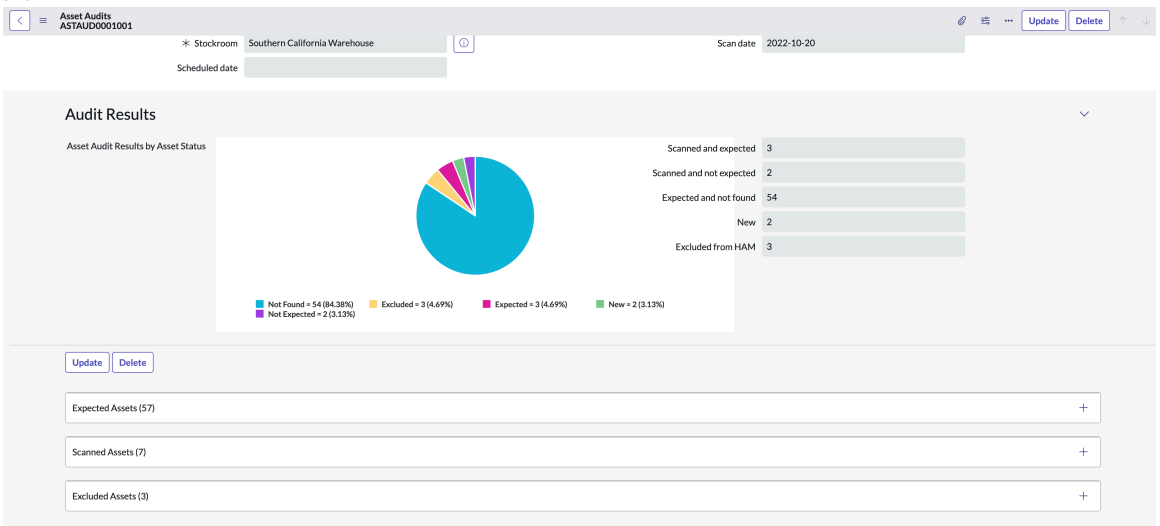
3. [保存] をクリックします。
[監査結果] セクションが有効になり、監査結果の詳細が表示されます。
4. オプション: で Now Platform監査結果を表示します。

   a. 移動先 資産監査 > 資産監査.

   b. 監査を選択します。

   (Optional) 資産監査フォームと監査結果を表示できます。詳細については、「監査結果」を参照してください。

資産監査フォーム



監査結果の表示

在庫を監査した後、監査結果を表示します。[監査結果] セクションが有効になり、監査結果の詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 資産監査 > 資産監査 アップロードできるので
2. 監査番号を選択します。

   資産監査フォームと監査結果を表示できます。監査結果には、資産ストックルームやその他の場所のスケジュールされた監査またはブラインド監査が完了したときの資産のステータスが表示されます。詳細については、「監査結果」を参照してください。

監査結果

監査結果には、資産倉庫やその他の場所のスケジュールされた監査またはブラインド監査が完了したときの資産のステータスが表示されます。

監査結果

フィールド	説明
スキャン済みおよび予定	スキャンされた予定資産の数。
スキャン済みおよび予定外	スキャンされたが想定されていなかった資産の数。
予定および未検出	スキャンされなかった予定資産の数。
新規	スキャンされたものの、インスタンスに ServiceNow レコードがない資産の数。
HAM から除外	ライセンス機能の使用 ハードウェア資産管理 から除外された資産の数。

次の関連リストには、資産情報が表示されます。

- 予定資産:監査対象の ストックルーム または場所に割り当てられているすべての資産を表示します。スキャンが開始されるまで、リストは入力されません。
- スキャンされた資産:監査中にスキャンされたすべての資産を表示します。このリストは、モバイルアプリからスキャンが送信されるたびに更新されます。
- 除外された資産:除外されたすべてのハードウェア資産と エンタープライズ資産管理 資産を表示します。スキャンが開始されるまで、リストは入力されません。

アプリを使用した **ServiceNow** エージェント 資産のスキャン

アプリを使用して資産をスキャンします ServiceNow エージェント 。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 作成した監査を選択し、 [スキャン] を選択します。
2. 資産のスキャンが完了したら、 [確認] を選択します。

   レビューページでは、必要に応じて資産を削除できます。ただし、 ハードウェア資産管理 誤って 2 回スキャンしたアセットの重複は自動的に削除されます。

3. [送信] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. 資産のスキャンが完了したら、監査を完了としてマークし、エージェントモバイルアプリで監査としてマークします。

   それ以外の場合は、監査に戻ってスキャンを続行します。

   注:

   監査の進行中は、必要な回数だけ新しいスキャンを開始できます。監査を [完了] としてマークすると、それ以上資産をスキャンすることはできません。

ハードウェア資産のリフレッシュを要求

ハードウェアリフレッシュ要求フローを使用して、ライフサイクルの終わりが近づいている古いハードウェア資産を追跡します。それらを新しいハードウェア資産に置き換えます。

始める前に

必要なロール:Inventory_user

このタスクについて

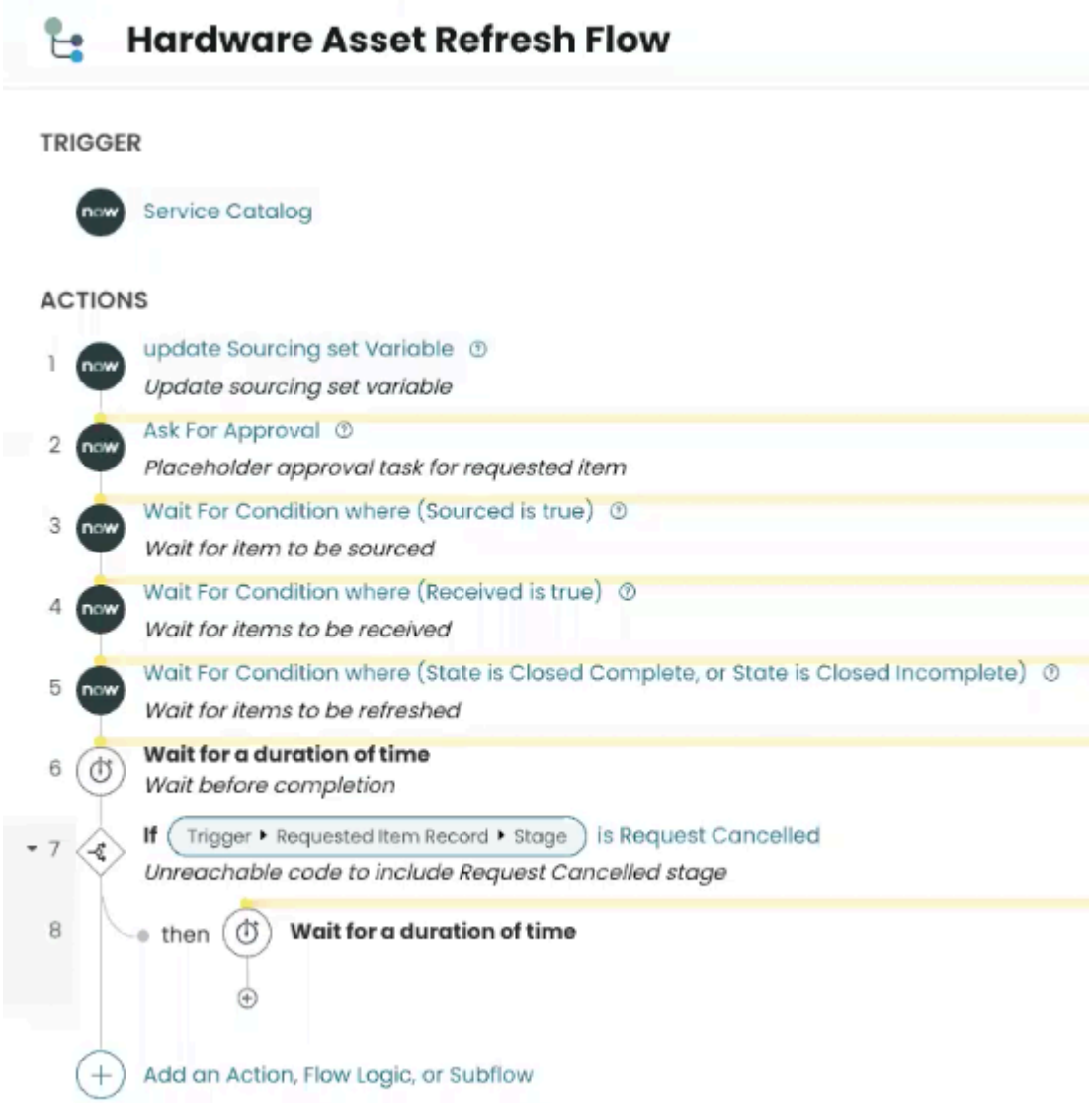
ハードウェア資産が古くなると、メンテナンスコストと障害のリスクが高まり、パフォーマンスが低下します。すべての古いハードウェア資産を、新しいハードウェア資産の同じモデルまたは異なるモデルに置き換えることができます。ハードウェア資産のリフレッシュ要求が承認されると、ハードウェア資産のリフレッシュフローで調達が進み、ハードウェア資産のリフレッシュラインフローがトリガーされます。ハードウェア資産のリフレッシュラインフローでは、リフレッシュラインタスクを使用して、新しい資産の準備、配送のスケジュール設定、展開、古い資産の再利用のステップを実行します。

Flow Designer アプリケーションは、ハードウェア資産のリフレッシュフローとハードウェア資産のリフレッシュラインフローを作成するために使用されます。ハードウェア資産のリフレッシュモジュールをカスタマイズするときは、ハードウェア資産のリフレッシュフローの [調達セット変数を更新] ステップを削除またはカスタマイズしないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産のリフレッシュフロー



カタログアイテムフォームでハードウェア資産のリフレッシュカタログアイテムをカスタマイズしている間は、次の変数を削除または変更しないでください。

ハードウェア資産のリフレッシュカタログアイテムフォーム

カタログアイテムのタブ	変数
変数	リフレッシュのタイプ
	プロセス
変数セット	Hardware Asset Management プロセスセット
	Hardware Asset Management ソーシングセット

注:
ハードウェア資産リフレッシュラインフローをカスタマイズするために使用できる、すぐに利用可能な意思決定テーブルがあります。詳細については、「ハードウェア資産管理 フローのカスタマイズ」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
   デフォルトでは、[資産ライフサイクル] カテゴリは [Service Catalog] ページにありません。このカテゴリを追加するには、検索カタログバーの横にあるコンテンツの追加アイコン (コンテンツ) を選択し、[資産ライフサイクル] を選択します。
2. [ハードウェア資産の更新注文] を開きます。
3. すべての古いハードウェア資産を新しいハードウェア資産の同じモデルに置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. 更新リストのタイプ フィールドから、単一モデル を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   ハードウェア資産のリフレッシュフォーム

フィールド	説明
交換用モデル	古いハードウェア資産を置き換える新しいハードウェア資産モデル。
ロケーション	新しい資産を展開する場所。 デフォルトでは、このフィールドはログインしているユーザーの場所に設定されます。ただし、利用可能な場所のリストから場所を選択することはできます。
資産	交換する老朽化したハードウェア資産。フィルターを使用して、交換するハードウェア資産を検索できます。

4. 古いハードウェア資産を新しいハードウェア資産の異なるモデルと置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. [更新の種類] フィールドから [マルチ モデル] を選択します。

   b. [追加] を選択します。

   c. 使用する新しいハードウェア資産ごとに、ハードウェアモデルを入力する行を追加します。

   注:

   50 行を作成できます。

   置き換える古いハードウェア資産に対して複数の行を作成することはできません。

5. [今すぐ注文] を選択します。
   除外された資産は表示できません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

タスクの結果

期限切れの資産はリフレッシュされるように設定されています。古い資産の [廃棄] 関連リストの下にある [ハードウェア] テーブルに、[要求ラインの更新] フィールドが入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[注文ステータス] ページが表示され、注文の詳細が表示されます。新しいハードウェア資産を調達し、古いハードウェア資産を置き換える要求が作成されます。[要求] フォームには、すべての新しいハードウェア資産モデルの合計金額が表示されます。

ハードウェア資産リフレッシュラインタスクを使用して古い資産を置き換える

新しいハードウェア資産を調達し、明細更新タスクをクローズして、古い資産を置き換えます。

始める前に

必要なロール：

- 調達のproc_user。
- 資産と itil (行の更新タスク用)

このタスクについて

ハードウェア資産をリフレッシュする場合、資産レコードを手動で更新する必要はありません。ハードウェア資産の更新ラインを閉じると、資産レコードと資産が自動的に更新されます。各タスクをクローズして次のタスクに進み、リフレッシュを完了して、古い資産を再利用します。

新しい資産を調達した後、次のステージを経て資産の更新が完了します。

- 資産タスクの準備:ユーザーに渡す前に新しいタスクを準備します。必要なソフトウェアをインストールします。
- リフレッシュタスクのスケジュール:資産をユーザーに引き渡す日付をスケジュールします。
- 新しい資産を展開する:資産をユーザーに引き渡すか、必要に応じてユーザーの場所に資産をインストールします。
- 古い資産を再利用:古い資産を収集します。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > レコードを開く > 要求.
2. 関連するハードウェア資産のリフレッシュ要求を開きます。
3. [要求アイテム] 関連リストで、要求アイテムを開きます。
   ハードウェア資産要求が承認されると、ソース要求フローがトリガーされます。[カタログタスク] 関連リストの下に、新しいハードウェア資産を調達するためのカタログタスクが作成されます。
4. そのタスクを開きます
5. 新しい資産を調達するには、「 ソース要求」を選択します。
6. [ソース要求] フォームで、[消費]、[転送]、または [購買] を選択して、ローカル在庫、転送オーダー、または発注書のいずれかを使用して要求を調達します。
   「サービスカタログ要求でのアイテムの調達」を参照してください。要求された資産が要求されたストックルームで利用できない場合、[消費] ボタンは無効になります。
7. [送信] を選択します。
   新しい資産を受領した後、ハードウェア資産のリフレッシュラインが作成され、各資産に対してハードウェア資産のリフレッシュラインフローがトリガーされます。ハードウェア資産のリフレッシュラインは、要求アイテムの [ハードウェア資産リフレッシュライン] 関連リストで利用できます。
   [Refresh Line Tasks] 関連リストに [Prepare asset] タスクが作成されます。
8. [資産を準備] タスクを開き、次の操作を行います。
   a. 交換する古いハードウェア資産で [資産] フィールドを更新します。
   b. [保存] を選択します。
9. [タスクのクローズ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リフレッシュラインタスク] 関連リストの下にスケジュールリフレッシュタスクが作成されます。
ハードウェアフォームで、次の変更が行われます。

- [交換用資産] フィールドのステータスが [在庫あり] に変わります。
- [サブステート] が [予約済み] に変わります。
- [予約目的] フィールドに値が入力されます。

10. [スケジュール更新] タスクを開きます。
11. [スケジュールされた展開日] フィールドを、新しい資産が展開される日付で更新します。
12. [タスクのクローズ] を選択します。
[新しい資産を展開] タスクが [ラインタスクをリフレッシュ] 関連リストの下に作成されます。
ハードウェアフォームで、交換用資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [インストール処理待ち] に変更されます。
13. [新しい資産を展開] タスクを開きます。
14. [再利用済み] リストから [はい] または [いいえ] を選択します。
    - 古い資産を収集した場合は、 [はい] を選択します。
    - 期限切れの資産を回収しなかった場合は、 [いいえ] を選択します。

    [場所] フィールドには、新しい資産を展開する場所が表示されます。
15. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

    注:
    [再利用] リストから [はい] を選択した場合、古い資産の再利用タスクも既定で閉じられます。

    期限切れ資産の再利用タスクが [明細タスクをリフレッシュ] 関連リストの下に作成されます。
    ハードウェアフォームで、交換用資産のステータスが [使用中] に変わります。割り当ては、期限切れの資産から交換用資産に転送されます。
16. [古い資産の再利用] タスクを開きます。
17. [再利用済み] リストから [はい] または [いいえ] を選択します。
    - 古い資産を収集した場合は、 [はい] を選択します。
    - 期限切れの資産を回収しなかった場合は、 [いいえ] を選択します。
18. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

    注:
    ハードウェア資産の明細の更新をキャンセルするには 、[キャンセル] を選択するか、[明細の更新] タスクで [ステータス] フィールドを [未完了でクローズ] に変更します。

タスクの結果

古いハードウェアが再利用されると、ハードウェアフォームで次の変更が行われます。

- 古い資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
- サブステートが [廃棄待ち] に変わります。

リースハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理する

リース契約有効期限フローを使用して、リースされたハードウェア資産契約が期限切れになる前に行うことを決定します。有効期限が近づいているリース契約に関する通知を受け取ります。

始める前に

必要なロール：contract_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
リース契約の満了が近づくと、契約管理者と事業主に満了日の 90 日前、60 日前、30 日前に通知されます。これらの通知を早期に受け取ることで、行動するのに十分な時間を確保し、ペナルティの支払いを回避することができます。メール通知をカスタマイズするには、次の場所に移動します。 システム通知 > **i** > 通知 > リース契約のしきい値に違反しました.

ハードウェア資産ダッシュボードで、有効期限が切れる資産契約の統合リストを月、四半期、年の形式で表示できます。詳細については、「 ハードウェア資産ダッシュボード」を参照してください。

注:

ハードウェア資産管理ライセンスがアクティブ化されると、資産が対象となっているアクティブなリース契約に対して UI の更新 ボタンは表示されません。

資産が複数のリース契約に関連付けられている場合、資産レコードの リース契約 フィールドには、最近関連付けられた契約が反映されます。

リース契約満了フロー、リース資産の買収フロー、リース資産の延長フロー、およびリース資産の返却フローをカスタマイズするために使用できる意思決定テーブルがすぐに利用できます。詳細については、「ハードウェア資産管理 フローのカスタマイズ」を参照してください。

リース契約有効期限フローで考えられるリースアクションは、リース資産の買い取り、リース契約の延長、資産または別の類似製品の返却です。

注:
対象資産の場合、 削除日 フィールドが過去の場合、資産のステータスは自動的に キャンセル に設定され、リースアクションを実行することはできません。

手順

1. 移動先 契約 > 契約 > リース.
   [リース] ページが開きます。リース契約のリストが表示されます。
2. 関連するアクティブなリース契約を開き、[リース有効期限プロセスを開始 **(Begin Lease expiration process**)] 関連リンクをクリックします。

   注:

   [リース期限切れプロセスを開始] 関連リンクは、少なくとも 1 つの資産がカバーされているアクティブな契約にのみ表示されます。

   除外されたリース資産に対しては、買い取り、返却、延長などのリースアクションは選択できません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

   [リース資産] 関連リストには、リース契約の対象となるすべてのハードウェア資産が表示されます。

   リース契約の対象となる各資産レコードで、計画タスクが生成されます。計画タスクは契約管理者に自動的に割り当てられます。

3. [リース資産] 関連リストで、次のいずれかを実行してリースアクションを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- レコードを開き、計画タスクを開きます。計画タスクで、[リースアクション] リストからリースアクションを選択します。
- 資産を開きます。[対象資産] フォームで、[リース アクション] リストから必要なリース アクションを選択します。
- 資産の一覧で、資産の リース アクション フィールドをダブルクリックし、リース アクションを選択します。

一連のタスクが作成されます。計画タスクを開く以外の方法でリースアクションを選択すると、計画タスクのステータスは自動的に [クローズ済み] に移行します。

> **注:**
> デフォルトでは、計画タスクは契約に基づく最初の 1000 資産に対してのみ作成されます。1000 を超える資産の計画タスクを作成する場合は、資産プロパティ (asset_property.list) テーブルのキーの `com.sn_hamp.flow.lease_contract_expiration.max_results` デフォルト値 (1000) を変更できます。資産ロールを持つユーザーのみがこのプロパティを変更できます。

タスクの結果
選択したアクションに基づいて、対応するワークフローがトリガーされ、関連する契約資産タスクが作成されます。1 つのタスクを閉じて次のタスクに進みます。

次のタスク
選択したリース アクションに基づいて、次のいずれかを実行します。

- リースされたハードウェア資産を返却する。
- リースされたハードウェア資産を買い取る。
- リース契約の延長。

リースされたハードウェア資産を返却する

契約が期限切れになる前にハードウェア資産を返却し、違約金の支払いを回避します。

始める前に
必要なロール:asset、itil、contract_manager、inventory_admin、または ham_admin

このタスクについて
リース資産の返却を選択すると、リース資産の返却プロセスを処理するさまざまな契約資産タスクが作成されます。各タスクをクローズして次のタスクに進み、プロセスを完了します。

手順

1. リースレコードを開きます。
2. [リース資産] 関連リストを選択します。
3. 資産を選択します。
4. [契約資産タスク] タブで、[計画] タスクを選択します。
5. [契約資産タスク] フォームで、[リース] アクションリストから [返却] を選択します。
6. ステータスを [完了してクローズ] に変更します。
   リースアクションを実行するには、「」で リースハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理する説明されているいずれかの方法に従います。
   [契約資産タスク] 関連リストの下に収集タスクが生成されます。
7. [収集] タスクを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 資産を正常に収集した場合は、次の手順を実行します。
   a. [アセットのコレクション] タブを選択します。
   b. 収集された資産 フィールドを はい に設定します。
   c. [ストックルーム] フィールドに、資産が保管されているストックルームを入力します。
   リース資産の [ハードウェア] フォームで、資産が [在庫あり] ステータスと [保留中の転送] サブステートに移行します。
9. ユーザーから資産を収集していない場合は、次の手順を実行します。
   a. [**Asset collected** (収集された資産)] フィールドを **[No** (いいえ)] に更新します。
   [資産コレクション] タブに [アクションの変更] フィールドが表示されます。
   b. ユーザーからリース資産を回収できず、リース資産を買い取る場合は、[アクションの変更] リストから [買収] を選択します。
   買収プロセスを処理するために、さらに買収関連タスクが作成されます。「リースされたハードウェア資産を買い取る」を参照してください。
   c. ユーザーからリース資産を回収できず、リース契約を延長する場合は、[アクションの変更] リストから [延長] を選択します。
   リース延長プロセスを処理するために、さらに延長関連のタスクが作成されます。「リース契約の延長」を参照してください。
   d. ユーザーからリース資産を回収できず、リース業者が別の同様の資産を返却することに同意した場合は、次の手順を実行します。
      i. [アクションの変更] リストから [類似の返却] を選択します。

      元の資産で、[類似種の交換] フィールドが入力され、資産は [欠損] ステータスに移行します。

      ii. [類似の返却済み資産] フィールドから、リース担当者に返却する資産を選択します。
      iii. [ストックルーム] フィールドから、返却する類似資産を含むストックルームを選択します。

      返品プロセスを処理するために、同様の資産に対してさらに返品関連タスクが作成されます。

      ハードウェアフォームで、次の変更が行われます。
      - 資産は「欠損」ステータスに移行します。
      - 類似資産が [在庫あり] ステータスと [保留中の転送] サブステートに移行します。
10. [収集タスク] フォームで、タスクをクローズします。
    返品の確認中に、決済が必要な場合は、 決済 フィールドを はい に更新し、 決済金額 フィールドを決済コストで更新できます。これを行うと、返品決済タスクと発注書が生成されます。発注書が [受領済み] ステータスに移行すると、決済タスクは自動的にクローズされます。
    収集タスクがクローズされると、資産のデバイス割り当てを削除するための準備タスクが作成されます。
11. [契約資産タスク] 関連リストで、準備タスクを開きます。
12. フォームで、[ステータス] フィールドを [完了してクローズ] に変更します。
    準備タスクがクローズされると、出荷の詳細を更新するための出荷タスクが作成されます。
13. [契約資産タスク] 関連リストで、出荷タスクを開きます。
14. [出荷配送業者]、[出荷日]、および [追跡番号] フィールドを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

15. 出荷タスクを閉じます。
返却確認タスクが作成されます。[ハードウェア] フォームで、リース資産が [輸送中] ステータスと [なし] サブステートに移行します。
16. [契約資産タスク] 関連リストで、[返却確認] タスクを開き、次の操作を行います。
    a. [ステータス] フィールドを [完了してクローズ] に設定します。
    b. [返却の確認] フィールドを [はい] に設定します。

タスクの結果
返却確認タスクは、契約管理者に自動的に割り当てられます。必要に応じて、他のユーザーに割り当てることができます。

リース資産の [ハードウェア] フォームで、資産は [廃止] ステータスと [リース返却] サブステートに移行します。

リースされたハードウェア資産を買い取る

契約が切れる前にリースされたハードウェア資産を買い取り、違約金の支払いを回避します。

始める前に
必要なロール:asset、itil、contract_manager、inventory_admin、または ham_admin

このタスクについて
リース資産の買い取りを選択すると、リース資産の購入プロセスを処理するさまざまな契約資産タスクが作成されます。各タスクを閉じて次のタスクに進み、プロセスを完了します。

注:
買収タスクをクローズするには、リース資産に対して作成された発注書が調達マネージャーによって承認される必要があります。

手順
1. 移動先 すべて > 契約 > 契約 > リース.
2. [リース資産] 関連リストをクリックします。
3. 資産を開きます。
4. [契約資産タスク] 関連リストで、計画タスクを開きます。
5. [契約資産タスク] フォームで、[リース] アクションリストから [買収] を選択します。
6. ステータスを [完了してクローズ] に変更します。
リースアクションを実行するには、「」で リースハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理する説明されているいずれかの方法に従います。

   発注書と発注明細が作成されます。発注書フォームで、[詳細] セクションの [発注書タイプ] フィールドが [リース買い取り] に設定されます。発注書は、発注書の品目に関連付けられているすべての資産タスクを完了した後にのみ注文できます。

   発注書を受領した後、買収のコストを追跡するための経費ラインが作成されます。

   契約のリース買収発注書が [要求済み] ステータスであり、同じ契約の対象となる一部の資産が [買収リース] アクションで更新されると、対象資産の発注明細が発注書に追加されます。新しい発注書は、リース買い取りの既存の発注書が [要求済み] ステータスでない場合にのみ作成されます。

   買収情報を更新するための買収タスクが作成されます。
7. [契約資産タスク] 関連リストで、[買収] タスクを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [**Buyout details**] タブで、次の操作を行います。
   a. [**Buyout date**] フィールドを資産を購入する日付で更新します。
   b. [**Buyout amount**] フィールドを資産を購入する金額で更新します。
9. 必要に応じてフィールドに入力します。
10. [ステータス] フィールドを [完了してクローズ] に変更します。

    発注書明細行の コスト フィールドを更新すると、 買収金額 フィールドに同じ金額が自動的に入力されます。買収タスクがクローズされるまで、発注明細の [コスト] フィールドを変更できます。

    買収確認タスクは、確認プロセスを処理するために作成されます。

11. [**Contract Asset Tasks**] 関連リストで、[Buyout Confirmation] タスクを開き、次の手順を実行します。
    a. 必須フィールドに入力します。
    b. **[Buyout confirmation]** フィールドを [**Yes**] に更新します。
    c. [ステータス] フィールドを [クローズ済み] および [完了] に変更します。

    買収確認タスクフォームから [買収金額] フィールドを変更する場合は、発注書から金額を変更できます。

    買収確認タスクをクローズするには、発注書が [受領済み] ステータスである必要があります。

タスクの結果
買収が確認されると、[財務] タブの資産レコードに次の変更が生じます。

- [コスト] フィールドが買収金額に更新されます。
- [取得方法] フィールドが [購買] に変更されます。

リース契約の延長

契約が切れる前にリース契約を延長し、違約金の支払いを回避します。

始める前に
必要なロール:itil、contract_manager、inventory_admin、または ham_admin、

このタスクについて
資産のリース契約の延長を選択すると、契約延長プロセスを処理するさまざまな契約資産タスクが作成されます。各タスクを閉じて次のタスクに進み、プロセスを完了します。

注:
拡張タスクをクローズするには、リース資産に対して作成された発注書が調達マネージャーによって承認される必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > 契約 > 契約 > リース.
2. [関連リンク] セクションで、[リース資産] 関連リストをクリックします。
3. 資産を開きます。
4. [契約資産タスク] タブで、計画タスクを開きます。
5. [リース アクション] リストから [延長] を選択します。
6. [ステータス] フィールドを [完了してクローズ] に変更します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リースアクションを実行するには、「」で リースハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理する説明されているいずれかの方法に従います。

発注書と発注明細が作成されます。発注書明細行の 発注書タイプ フィールドは、自動的に 拡張 に設定されます。発注書は、発注明細のアイテムに関連付けられているすべての資産タスクを完了した後にのみ注文できます。

発注書が作成されると、契約延長のコストを追跡するための経費ラインが作成されます。

拡張プロセスを処理するために、拡張タスクが作成されます。

7. [契約資産タスク] 関連リストで、拡張タスクを開きます。
8. [延長の詳細] タブで、[拡張の開始日] フィールドと [延長の終了日] フィールドを更新します。
9. 対象資産のリース契約を延長する金額で [拡張コスト] フィールドを更新します。
   発注明細行は、同じ金額で自動的に更新されます。
10. [ステータス] フィールドを [完了してクローズ] に変更します。
    確認プロセスを処理するために、延長確認タスクが作成されます。
11. [契約資産タスク] 関連リストで、[延長確認] タスクを開きます。
    延長確認タスクから延長金額を変更する場合は、発注書から金額を変更できます。

    注:
    延長確認タスクをクローズするには、発注書が [受領済み] ステータスである必要があります。

12. [拡張の確認] フィールドを [はい] に設定します。
13. [ステータス] フィールドを [完了してクローズ] に変更します。

タスクの結果
新しい契約は、開始日と終了日を延長の開始日と終了日として設定して作成されます。

ハードウェア資産の再利用

必要に応じて、ハードウェア資産を効率的に再利用して在庫に保管したり、再割り当てしたり、修理のために送付したり、廃棄したりすることができます。

資産再利用要求の送信

[資産の再利用] カタログアイテムを使用すると、従業員が組織を離れたり別のロールに移動したりしたときに、ハードウェア資産を効率的に再利用できます。

始める前に
必要なロール:すべての従業員が資産再利用要求を送信できます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル > 資産の再利用.
2. [資産の再利用] フォームのフィールドに入力します。

資産の再利用フォーム

フィールド	説明
要求者	資産再利用を送信する人事担当者、マネージャー、従業員などのユーザーのロール。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [マネージャー] を選択すると、マネージャーに報告するすべての従業員が [要求元] フィールドに表示されます。 ○ [従業員] を選択すると、 要求元 は読み取り専用になります。
要求元	資産再利用を送信する対象の人物。
従業員の離職	資産再利用を送信する対象者が組織を離れるか、別のロールに移動するかどうか。
資産	資産再利用を送信する対象者に割り当てられたハードウェア資産。
再利用方法	退職する従業員からハードウェア資産を収集する方法。自分が資産を集荷するか、従業員が納品するか組織に出荷することができます。
訴訟ホールドの方法	何らかの法的な理由でハードウェア資産を保留にしておく必要がある場合。
メモ/特別な指示	言及したい場合は、任意の指示。

3. [送信] をクリックします。
   資産再利用要求が作成されます。

資産再利用要求のクローズ

従業員が組織を離れたり、別のロールに異動したりした場合に、ハードウェア資産を効率的に再利用します。

始める前に
必要なロール:inventory_user または i nventory_admin

このタスクについて
再利用された資産ごとに、ハードウェア資産再利用ラインが作成されます。ハードウェア資産再利用ラインごとに、最大 3 つのハードウェア資産再利用タスクが作成されます。

ハードウェア資産再利用ラインをクローズするには、ハードウェア資産再利用ラインのすべてのタスクをクローズする必要があります。すべてのハードウェア資産再利用ラインがクローズされると、資産再利用要求がクローズされます。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** > 資産再利用 > 資産再利用要求.
2. クローズする資産再利用要求を開き、ハードウェア資産再利用ラインを開きます。
   資産再利用要求の送信時に選択した再利用方法に基づいて、ハードウェア資産再利用ラインに [納品のスケジュール]、[集荷のスケジュール]、または [出荷のスケジュール] タスクが作成されます。
   ハードウェア資産再利用ラインフォームの [ステージ] フィールドに [準備完了] と表示されます。
3. ハードウェア資産再利用ラインに存在する [納品のスケジュール]、[集荷のスケジュール]、または [出荷のスケジュール] タスクを開きます。
4. フォームの フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出荷スケジュールタスクフォーム

フィールド名	説明
アサイン先グループ	出荷スケジュールタスクがアサインされているグループ。
アサイン先	「出荷スケジュール」タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
倉庫	再利用資産 が 保存される場所。この フィールドは必須です。
配送間隔	資産をストックルームに出荷する配送業者ベンダーの名前。 この フィールドは必須で、配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルへの参照です。
トラッキング番号	配送業者ベンダーから指定された出荷参照番号。この フィールドは必須です。
出荷日	資産が出荷された日付。この フィールドは必須です。
作業メモ	メンションする追加情報。

5. [タスクのクローズ] を選択します。
   ハードウェア資産再利用ラインフォームの [ステージ] フィールドが [準備完了] から [受領待ち] に変わります。
   ハードウェア資産再利用ラインに資産の受領タスクが作成されます。
6. [資産の受領] タスクを開きます。
7. フォームの フィールドに入力します。

資産受領タスクフォーム

フィールド名	説明
アサイン先グループ	資産の受領タスクが割り当てられているグループ。
アサイン先	資産の受領タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
資産は再利用されていますか？	資産を受領した場合は、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスは必須です。
受領済み数量	受領した消耗品の数このフィールドは必須であり、消耗品のハードウェア資産再利用ラインが作成されている場合にのみ表示されます。
作業メモ	メンションする追加情報。

8. [タスクのクローズ] を選択します。

   ハードウェア資産再利用ラインフォームの [ステージ] フィールドが、[受領待ち] から [評価待ち] に変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産を受領した後、資産フォームで次の変更が行われます。

- 資産レコードの [担当者] フィールドが空になります。
- 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、[サブステート] が [修理待ち] に変わります。

9. フォームの フィールドに入力します。

資産タスクフォームの評価

フィールド名	説明
アサイン先グループ	資産評価タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	資産評価タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
評価ステータス	再利用資産のステータス。この ドロップダウンリストは必須 であり、 利用可能な 値は次のとおりです。 ○ 再展開可能 ○ 修理が必要 ○ 廃棄対象
作業メモ	メンションする追加情報。

10. [タスクのクローズ] を選択します。
[評価ステータス] ドロップダウンリストから選択した内容に基づいて、資産の [ステータス] と [サブステート] は次のように変更されます。

評価ステータス値	資産の状態とサブステート	
	ステータス	サブステート
再展開可能	在庫あり	利用可能
修理が必要	在庫あり	修理待ち
廃棄対象	在庫あり	保留中の廃棄

[Hardware Asset Reclamation Line] フォームの [**Stage**] フィールドが [**Pending evaluation]** から **[Complete**] に変更されます。

注:
すべてのハードウェア資産再利用ラインのステージが [完了してクローズ] に変更されると、資産再利用要求のステータスも [完了] に変更されます。

資産の**RFID**情報を表示

資産の無線自動識別 (RFID) 情報を表示して、重要な資産を簡単に管理および検索します。

始める前に

必要なロール：asset

手順

RFID 情報を表示するハードウェア資産に移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
除外された資産の RFID タグフィールドが存在しません。

フィールド	説明
RFID タグ	RFID システム内の RFID タグの一意の識別子。
サイト名	RFID システムで定義されているサイトの名前。
タイプ	RFID システムで定義されているリソースタイプ。
ゾーングループ	RFID システムで定義されているゾーングループ。
シリアル番号	RFID システムで定義されている一意の識別子。
ゾーングループ滞留	データインポートのタイムスタンプを基準として、資産が現在のゾーングループにとどまっている時間の長さ。
タグソース	RFID データのアプリケーションソース。
ゾーン	RFID システムで定義されているゾーン。
前回の点滅時間	前回 RFID タグをスキャンした時刻。
ゾーン滞留	データインポートのタイムスタンプと比較して、資産が現在のゾーンに存在する期間。
前回の点滅経過時間	データインポートのタイムスタンプと比較した、RFID システムで資産がスキャンされた期間。
グリッド-x、グリッド-y、グリッド-z	RFID システムで定義されている物理的な場所。
ステータス	RFID 情報とリソースの照合のステータス。
アクティブ	RFID 情報を資産 [alm_asset] テーブルにマッピングするオプション。このオプションがデフォルトで選択されています。

注:

アクティビティ履歴は、RFID タグとゾーンについてのみキャプチャされます。

関連情報

Zebraテクノロジー RFIDシステムの統合

から資産保証の詳細を受領 **Lenovo**

保証 API に接続し Lenovo 、ハードウェア資産の保証の詳細を取得します。

関連情報

Lenovo資産保証の詳細のための統合

保証 **API** への接続**Lenovo**

保証 API に接続する Lenovo ための接続と資格情報を作成し、ハードウェア資産の保証情報をダウンロードします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
Lenovo から提供されたクライアント ID が必要です。お持ちでない場合は、組織の Lenovo 営業担当者またはサービス担当者にお問い合わせください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 接続 **&** 資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. [*Lenovo*] を選択します。
3. [関連リンク] セクションから、[接続と資格情報の新規作成 **(Create New Connection and Credential)]** をクリックします。
4. オプション: [接続名] フィールドで、Lenovo接続のデフォルト接続名を保証 API に変更します。デフォルトでは、このフィールドは **[Lenovo** 接続 **(Lenovo Connection)]** に設定されます。

   重要:
   [接続 URL] フィールドで指定されたデフォルトの URL は変更しないでください。

5. [クライアント **ID]** フィールドに、Lenovo から提供されたクライアント ID を入力します。
6. [作成] を選択します。

タスクの結果
Lenovo の接続が正常に作成され、[接続] タブに一覧表示されます。

資産の **Lenovo** 保証の詳細を追跡する

のハードウェア資産ワークスペース資産運用ビューの一元的な場所から、ハードウェア資産のLenovo保証の詳細を表示および追跡します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [資産保証] リストから、[資産保証] を選択します。
   - 資産がまだ保証期間内かどうかを確認するには、[ステータス] 列を確認します。
   - 有効期限が近づいている保証を追跡するには、資産レコードの [終了日] 列と資産のステータスを確認します。
3. オプション: 保証レコードを選択すると、詳細が表示されます。

倉庫を管理する

適切な在庫ルール、サービスの場所、および流通チャネルを使用して、ストックルーム内の資産を管理します。

詳細については、「倉庫」および「在庫ルール」を参照してください。

C倉庫の作成

場所を資産に割り当てるためのストックルームを作成します。

始める前に
必要なロール：資産または inventory_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ストックルームは、資産管理アプリケーション内の個別のスタンドアロンエンティティです。特定の資産の在庫が少なくなったときに、在庫ルールに従って管理者に通知し たり、 自動的に一方のストックルームから他方のストックルームに在庫を移動したりできます。

手順
1. ストックルームを作成します。

2. フォームの フィールドに入力します。

新規ストックルームの作成フォーム

フィールド	説明
名前	ストックルーム タイプの名前を表示します。
アサイン先グループ	ストックルームを主に使用するグループ。
ロケーション	ストックルームの物理的な場所。
タイプ	フィールド エージェントやオンサイトなどストックルームの種類。
マネージャー	ストックルームの責任者。在庫補充の通知と、ストックルームの在庫ルールに関する要求を受領します。

3. [保存] を選択します。

タスクの結果
倉庫が [すべての倉庫] タブに表示されるリストに追加されます。

資産を含むストックルームを削除する

ストックルームを削除することができます。ストックルームに資産がある場合は、まずストックルームから資産を削除する必要があります。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

手順
1. 移動先 すべて > 資産 > すべての資産.
2. リストをカスタマイズして [ストックルーム] 列を追加します。
3. 削除するストックルームの資産のみ表示するには、リストをフィルタリングします。
4. すべての資産レコードに対してストックルームを変更または削除します。
5. 削除するストックルームから資産を削除したら、「資産のないストックルームを削除する」手順に進みます。

資産のないストックルームを削除する

資産のないストックルームは削除することができます。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** > 在庫 > 倉庫.
2. ストックルームの [名前] の横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下にある [アクション] の選択リストで、[削除] を選択します。

新規のストックルーム タイプを作成する

ベース システムに含まれていないストックルーム タイプが必要な場合は、カスタムストックルーム タイプを作成することができます。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

このタスクについて
ベース インスタンスで提供されているストックルーム タイプの優先度レベルを確認して、作成する新規のストックルーム タイプに正確な優先度レベルを割り当てるようにします。また、ベース システムに含まれるストックルーム タイプを変更することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** > 在庫 > 倉庫タイプ をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

フィールド	説明
名前	ストックルーム タイプの名前を表示します。
説明	ストックルーム タイプに関する一般情報です。
外部のストックルーム	このタイプのストックルームが内部で管理されているか (チェックボックスは未選択)、外部からサードパーティによって管理されているかどうか (チェックボックスが選択されている) を示します。
優先度	このタイプのストックルームの優先順位を示します。
出荷が必要	このタイプのストックルームがデフォルトで出荷が必要かどうかを決定するオプションです。
値	ストックルーム タイプの内部識別子です。

2. [送信] をクリックします。

倉庫の詳細を表示する

ハードウェア、消耗品、バンドル、パレット、貸与、エンタープライズ、その他の資産が配置されているストックルームに関する詳細情報を表示します。

始める前に
必要なロール：admin または asset

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory**.
2. [すべての倉庫] タブを選択します。
3. 利用可能なストックルームのリストから、ストックルームを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [詳細] タブでストックルームの詳細を表示します。
ストックルームに関する次の詳細を表示します。
   - [オープンストックルーム] タスクカードを通じてストックルームに関連付けられたすべてのオープンタスク。カードを選択すると、タスクレコードのリストが表示されます。
   - ストックルームの有効な在庫ルール。コンテキストサイドバーの在庫ルールカードは、在庫がしきい値を下回っているかどうか、およびモデルが販売終了に達したかどうかを知るのに役立ちます。
   - ストックルームが利用可能な時間は、[業務時間] フィールドに表示されます。
   - 指定した住所に基づくストックルームの場所がインタラクティブマップに表示されます。ストックルームに関連付けられているすべてのサービスの場所と流通チャネルを表示するには、[全画面ビューの切り替え] を選択します。
5. [タスクタイムライン] タブで、すべてのスケジュールされたストックルームタスクと、それらのタスクに関連付けられたインバウンド出荷、アウトバウンド出荷、および作業アクティビティのタイムラインを表示します。
6. オプション: [タスクタイムライン] タブで、タイムラインビューとタイムラインの長さを調整します。
   - 右上の [カレンダー] ドロップダウンリストから次のいずれかの値を選択して、ビューを指定した期間のカレンダービューに設定します。
     - 日
     - 稼働週
     - 週
     - 月
   - 右上の [**Timeline** (タイムライン)] ドロップダウンリストから次のいずれかの値を選択して、ビューを指定した期間のタイムラインビューに設定します。
     - 日
     - 週
     - **4** 週間
7. 資産タイプに対応するタブを選択して、ストックルームのサービスの場所と流通チャネル、およびストックルーム内のさまざまなタイプの資産の詳細を表示します。

> **注:**
> エンタープライズ資産に関連するタブは、アプリケーションが エンタープライズ資産管理 インスタンスにインストールされている ServiceNow　場合にのみ表示されます。エンタープライズ資産を選択すると、内の Enterprise Asset ワークスペース対応するレコードに自動的にリダイレクトされます。エンタープライズ資産にアクセスできる場合は、.Enterprise Asset ワークスペース 詳細については、「Enterprise 資産ワークスペースの使用」を参照してください。

ストックルームをサービスの場所に関連付ける

ストックルームを複数のサービスの場所に関連付けることで、ローカルストックルームから消費する調達要求を効果的に管理します。1 か所の倉庫で複数の場所にサービスを提供することで、貸与資産のワークフローと自動化された資産タスクを最適化します。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:

場所の範囲の提供から除外されているストックルームにサービスの場所を追加することはできません。詳細については、「サービスの場所からストックルームを除外する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory**.
2. [すべての倉庫] タブを選択します。
3. サービスの場所に関連付ける倉庫を選択します。
4. [サービスの場所] タブを選択します。
5. [追加] を選択します。
6. [サービスの場所を追加] ダイアログ ボックスで、ストックルームでサポートする有効な場所を選択し、[追加] を選択します。

   親の場所を追加すると、そのすべての子の場所もストックルームでサポートされます。たとえば、市区町村 San Francisco を追加すると、ストックルームはサンフランシスコ内のすべての場所をサポートします。

   注:
   [有効] チェックボックスがオンになっていない場合、ストックルームはその場所もその子の場所もサポートされないため、その場所をストックルームに追加することはできません。

タスクの結果

選択した場所が [サービスの場所] タブに表示されるリストに追加されます。

関連情報

ローカルストックルームからのソース要求

貸与資産を要求

要求から転送オーダーを作成する

資産ライフサイクルの自動化

サービスの場所を削除

関連付けられたストックルームがサービス場所をサポートしていない場合は、サービス場所を削除します。

始める前に

必要なロール：inventory_admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory**.
2. [すべての倉庫] タブを選択します。
3. サポートされている場所を削除するストックルームを選択します。
4. **[** サービスの場所] タブで、削除する場所を選択し、[削除] を選択します。

タスクの結果

削除された場所は [サービスの場所] リストに表示されなくなります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サービスの場所からストックルームを除外する

在庫ビューの [サービスの場所がない倉庫の重要アクション] カードにその倉庫が表示されないように、サービスの場所から倉庫を除外します。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

このタスクについて

注:
既にサービスの場所が関連付けられているストックルームを除外することはできません。関連するサービスの場所を削除してから、サービスの場所からストックルームを除外する必要があります。詳細については、「サービスの場所を削除」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory**.
2. [すべての倉庫] タブを選択します。
3. 利用可能なストックルームのリストから、サービス場所から除外するストックルームを選択します。
4. [サービスの場所から除外] チェックボックスをオンにします。
5. [保存] を選択します。

タスクの結果

- 倉庫がサービスの場所をサポートしていない場合でも、その倉庫は [サービスの場所がない倉庫の重要なアクション] カードには表示されません。
- [サービスの場所] タブには、サービスの場所をストックルームに追加するための [追加] オプションが表示されません。

倉庫を流通チャネルにリンクする

地理的に関連する 2 つのストックルームをリンクして流通チャネルを作成し、資産をより効率的に分配できるようにします。各チャネルに優先発注を割り当てて、資産をストックルームに調達することができます。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

このタスクについて
ストックルームには、次の機能を持つ流通チャネルを含めることができます。

- 入庫:流通チャネルは、リンクされたストックルームから資産を調達するために使用されます。
- アウトバウンド:流通チャネルは、リンクされたストックルームに資産を転送するために使用されます。

注:

流通チャネルを介した資産の調達をサポートしていないストックルームに対して流通チャネルを作成することはできません。詳細については、を参照してください 流通チャネルからストックルームを除外する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory**.
2. [すべての倉庫] タブを選択します。
3. 流通チャネルを作成するストックルームを選択します。
4. [流通チャネル] タブを選択します。
5. [新規] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

[新規倉庫流通チャネルの作成 **(Create New Stockroom Distribution Channel)]** フォーム

フィールド	説明
ベース倉庫	流通チャネルを作成するストックルームの名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
チャネル倉庫	資産を調達するための流通チャネルを作成するためにベースストックルームにリンクするストックルームの名前。
ランク	資産を調達するための流通チャネルに与えられる優先順位の数値。
関数	流通チャネルの機能。このフィールドは読み取り専用で、自動的に [受信] に設定されます。
アクティブ	ベースストックルームに資産を調達するために流通チャネルが有効かどうかを示すオプション。 **注:** [アクティブ] チェックボックスをオフにすると、そのチャネルストックルームのベースストックルームのアウトバウンド機能も自動的に無効になります。

7. [保存] を選択します。
8. 手順 4 ～ 7 を繰り返して、この基本倉庫に別の流通チャネルを作成します。

タスクの結果

- 流通チャネルが [流通チャネル] タブに表示されるリストに追加されます。
- ベースストックルームは、チャネルストックルームのアウトバウンド配布チャネルとして追加されます。基本ストックルームの [機能] フィールドが [アウトバウンド] に設定されます。

関連情報

要求から転送オーダーを作成する

ローカルストックルームからのソース要求

流通チャネルからストックルームを除外する

在庫ビューの [配送チャネルがない倉庫の重要なアクション] カードに倉庫が表示されないように、配送チャネルから倉庫を除外します。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

注:
流通チャネルに既にリンクされている倉庫を除外することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory**.
2. [すべての倉庫] タブを選択します。
3. 利用可能な倉庫のリストから、流通チャネルから除外する倉庫を選択します。
4. [流通チャネルから除外] チェック ボックスをオンにします。
5. [保存] を選択します。

タスクの結果

- 倉庫が流通チャネルにリンクされていない場合でも、倉庫は [流通チャネルがない倉庫の重要なアクション] カードには表示されません。
- [流通チャネル] タブには、倉庫の流通チャネルを作成するための [新規] オプションは表示されません。

在庫ルールを作成する

在庫ルールを作成すると、あるストックルームのある資産の在庫が指定されたしきい値に達したときの処理を制御できます。

始める前に

必要なロール：inventory_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** > 在庫 > 在庫ルール をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

フィールド	説明
モデル	ルールが適用される製品モデル。
しきい値	在庫の再補充が発生するために到達しなければならない数量。たとえば、指定されたストックルーム内の在庫数が 10 を下回った場合に再補充するラップトップのしきい値は、10 と入力します。 **注:** ハードウェアまたはソフトウェアモデルの在庫ルールがしきい値の制限に達した場合、通知が倉庫マネージャーに送信され、在庫オーダー要求が自動的に作成されます。
再補充オプション	追加供給が来るべき場所。 Procurement がアクティブでない場合、再補充オプションは [倉庫] のみです。そうでない場合は、次のいずれかを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ ストックルーム：他のストックルームから資産を取得するための転送オーダーを作成します。 ○ ベンダー：ベンダーに注文するためストックルーム管理者にメールを送信します。メール通知に加えて、発注書と発注明細が作成されます。
アクティブ	この在庫ルールが有効かどうか (チェック ボックスが選択されているかどうか) 。このチェック ボックスを未選択にすると、在庫ルールによる自動再補充が行われなくなります。
ストックルーム	資産の現在の物理的な場所。
オーダーサイズ	転送オーダーまたはベンダー購入の最小注文数量。アイテムがしきい値以上に再補充されるために必要なオーダーサイズの最小倍数をServiceNowで計算します。たとえば、しきい値が 10 となっていて [ストックルーム] オプションが選択されたラップトップが在庫として 3 台あります。オーダーサイズが 4 と設定されている場合、システムではルールを満たすためにしきい値を超えた 8 台分のラップトップの転送オーダーを作成します (在庫 3 + 注文 8 = 11)。ベンダーから補充する場合は、注文サイズの倍数としてServiceNowがアイテムの必要注文数の合計を示したメールをストックルーム管理者に送信します。

2. [送信] をクリックします。

統合フレームワークを使用して出荷を追跡する

アプリケーションが提供する統合フレームワークを使用して、インスタンスをサードパーティの配送業者のアプリケーションと統合 ServiceNow することで、リアルタイムで IT Asset Management 出荷を追跡します。

サードパーティ配送業者アプリケーション用の統合スクリプトインクルードの作成

インスタンスとServiceNow統合するには、サードパーティの配送業者アプリケーションに、インスタンスの ServiceNow基底クラス ITAMShipmentIntegration スクリプトを拡張するスクリプトインクルードを用意して、顧客のServiceNowインスタンスから出荷追跡番号を受信し、配送業者関連の詳細で応答できるようにする必要があります。

スクリプトインクルードを作成するときは、次の点を考慮してください。

- アプリケーションリソースレコードの次の設定を調整して、共通アプリケーションスコープから資産管理 スクリプトインクルードにアクセスできることを確認します。
  - [アクセス可能] フィールドを [すべてのアプリケーションスコープ] に設定します。
  - [発信者アクセス] フィールドを [なし] に設定して、発信者アクセスが制限されないようにします。
- 追跡番号に基づいて顧客の ServiceNow インスタンスと通信するためのコードは、`fetchShipmentInfo` 関数内に含める必要があります。
- お客様の ServiceNow インスタンスとの接続を検証するために API がテストモードで呼び出された場合、 `fetchShipmentInfo` メソッドから返されるレスポンスは、次のように HTTP レスポンスコードとレスポンスメッセージを含む JSON オブジェクトである必要があります。

```
{
httpResponseCode: 200, httpResponseMessage: 'SUCCESS'
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
}
```

- テストモードでない場合は、出荷を照会し、次の応答形式で *processResponse* メソッドを呼び出します。

```
[
{
trackingNumber: '',
deliveryDate: '',
pickupDate: '',
packageStatus: ''.
statusDetail: '',
trackingURL: '',
parcelWeight: '',
deliveryServicesCost: '',
currency: ''
}
 ]
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルードの構造

```
var ITAMShipmentIntegration = Class.create();
ITAMShipmentIntegration.prototype = {
    initialize: function() {
    },

    /**
     * Encapsulates communication with end point and fetching tracking info
     * If used in test mode, only response details would be returned
     * Else this API should invoke processResponse with the shipment details and return response code, message
     *
     * @param {array of string} trackingNumbers Shipment tracking numbers
     * @param {string} mode Can be 'test' or empty string
     */
    fetchShipmentInfo: function (trackingNumbers, mode) {
        // Communicate with API
        // Process the response
        // If mode === 'test' return response
        // Else Invoke post processing function and then return response
        /**
         * Expected response format to be passed to processResponse: array of objects
         * where each object corresponds to a single shipment
         *
         * Expected response format to be returned: JSON object with keys - httpResponseCode, httpResponseMessage
         * httpResponseCode - response code
         * httpResponseMessage - detailed message
         */
    },

    /**
     * Encapsulates to update shipment records with the response received
     *
     * @param {array of objects} response Response from API
     * Expected response format: array of JSON, where each JSON would have values with below keys
     * trackingNumber, deliveryDate, pickupDate, packageStatus, statusDetail, trackingURL
     */
    processResponse: function (response) {
        // Update shipment records
        if (!gs.nil(response)) {
            var mappingObj = sn_itam_common.ITAMIntegrationUtil.SHIPMENT_RESPONSE_COL_MAPPING;
            response.forEach(function(recordObj) {
                var shipmentRecord = new global.GlideQuery(sn_itam_common.ITAMIntegrationUtil.SHIPMENT_TABLE)
                    .where('tracking_number', recordObj.trackingNumber)
                    .where('stage', '!=', 'cancelled')
                    .toGlideRecord();
                shipmentRecord.query();
                while (shipmentRecord.next()) {
                    for (col in mappingObj) {
                        var value = recordObj[mappingObj[col]];
                        if (gs.nil(value)) {
                            shipmentRecord.setValue(col, null);
                        } else {
                            shipmentRecord.setValue(col, value);
                        }
                    }
                    shipmentRecord.update();
                }
            });
        }
    },

    type: 'ITAMShipmentIntegration'
```

fetchShipmentInfo 関数

`fetchShipmentInfo` 関数は、顧客のインスタンスからServiceNow追跡番号を受け取り、配送業者 API を呼び出して、すべての追跡番号の出荷の詳細を取得します。この機能内では、顧客が追跡番号に基づいて配送業者 API と通信できるようにするビジネスロジックを定義する必要があります。この関数は、キャリア API から受信した応答を処理し、後処理関数を呼び出します。

processResponse 関数

注:
IT Asset Managementアプリケーションはこの関数内でビジネスロジックを定義しており、変更しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

`processResponse` 関数は、配送業者 API からの応答を受信し、配送業者に関連する次の詳細で出荷レコードを更新します。

- 配送業者リンク
- 配送業者ステータス
- 配送業者ステータスの詳細
- 配送業者の集荷日
- 配送業者配送日
- 通貨
- 配送サービスコスト
- パーセルの重み付け

インスタンスを **ServiceNow** 配送業者アプリケーションに接続する

配送業者を統合プロファイルに関連付けて、インスタンスを ServiceNow 配送業者アプリケーションに接続します。

始める前に

統合プロファイルに関連付ける配送業者に配送業者レコードがあることを確認します。詳細については、「配送業者レコードの作成」を参照してください。

必要なロール:admin または domain_admin

このタスクについて

配送業者は、1 つのアクティブな統合プロファイルにのみ関連付けることができます。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから、[配送業者] を選択します。
3. 配送業者に関連付ける配送業者統合プロファイルを選択します。

   注:
   サードパーティの配送業者アプリケーションによって、配送業者統合プロファイルリストにレコードが自動的に挿入されます。配送業者に関連付けられた統合プロファイルがリストにない場合は、配送業者との統合の前提条件が満たされていることを確認してください。詳細については、「サードパーティの配送業者アプリケーションとの統合による出荷の管理」を参照してください。

4. [配送業者] タブを選択します。
5. 配送業者を配送業者統合プロファイルに関連付けます。

   a. [追加] を選択します。

   b. [配送業者の追加] ダイアログ ボックスで、配送業者を選択し、[追加] を選択します。

      注:
      関連付ける配送業者がリストにない場合は、統合プロファイルに既に関連付けられている可能性があります。

タスクの結果

出荷配送業者はプロファイルに関連付けられ、配送業者の詳細が [配送業者] タブに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルから配送業者を削除する

統合プロファイルに関連付ける必要がなくなった配送業者を削除します。

始める前に
必要なロール:admin または domain_admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから、[配送業者統合プロファイル] を選択します。
3. 関連する配送業者を削除する統合プロファイルを選択します。
4. [配送業者] タブを選択し、削除する配送業者を選択します。
5. [削除] を選択します。

タスクの結果
出荷配送業者は統合プロファイルに関連付けられなくなります。

配送業者統合プロファイルの詳細を表示する

インスタンスをサードパーティの配送業者アプリケーションに接続する ServiceNow ために使用される配送業者 API の詳細を表示します。

始める前に
必要なロール:admin、domain_admin、asset、または inventory_admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから、[配送業者統合プロファイル] を選択します。
   サードパーティの配送業者アプリケーションによって、配送業者統合プロファイルリストにレコードが自動的に挿入されます。
3. 配送業者の配送業者統合プロファイルを選択します。

   配送業者統合プロファイルレコードについては、次の点に注意してください。
   - [ジョブ] フィールドを除くすべてのフィールドは、サードパーティの配送業者アプリケーションによって入力されます。
   - [アクティブ] フィールドを除くすべてのフィールドは読み取り専用です。

   配送業者統合プロファイルの詳細フォーム

フィールド	説明
名前	データ連携プロファイルの名前
接続の詳細	顧客の資格情報を格納する接続および資格情報エイリアステーブルへの参照。 **注:** キャリア API への接続が認証されるように、接続および資格情報エイリアステーブルで資格情報を更新する必要があります。
API	統合ビジネスロジックを持つスクリプトの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ジョブ	出荷の詳細を取得するために配送業者 API を呼び出すスケジュール設定済みジョブの名前。 このジョブは、毎日実行されるジョブ [ITAM:プロセス統合プロファイルと古い出荷 (The ITAM: Process integration profiles and stale shipment)] ジョブによって作成されます。
アクティブ	統合プロファイルのステータスを示すオプション。 **注:** admin または domain_admin ロールを持つユーザーのみが統合プロファイルを非アクティブ化できますが、統合プロファイルを削除することはできません。統合プロファイルが非アクティブ化されると、キャリア API を呼び出す関連ジョブが自動的に非アクティブ化されます。

キャリア **API** との統合をテストする

無効な資格情報、誤った追跡情報、統合スクリプトインクルードに関する問題などの接続の問題を処理するには、キャリア API との接続を確認してください。

始める前に
必要なロール:admin または domain_admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから、[配送業者] を選択します。
3. テストする配送業者統合プロファイルを選択します。
4. [テスト接続] を選択します。

タスクの結果
接続の成功または失敗を示すメッセージが表示されます。

配送業者レコードの作成

配送業者を統合プロファイルに関連付けるために使用する配送業者レコードを作成します。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから、[出荷配送業者] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. 配送業者の連絡先の詳細を入力します。
5. フォームの残りのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
名前	配送業者の名前。このフィールドは必須です。
会社	配送業者のコア会社。
統合プロファイル	サードパーティキャリアのアプリケーションと統合するためのプロファイル。 詳細については、「配送業者統合プロファイルの詳細を表示する」を参照してください。
ステータス	配送業者のステータス。 このフィールドは、デフォルトで [アクティブ] に設定されています。
最大待機日数	配送業者が荷物を配達するまでに要する最大日数。 デフォルトでは、このフィールドは 90 に設定されています。この値は変更できます。 **注:** このフィールドは、デフォルトではフォームに表示されません。 このフィールドをフォームに表示するかどうかを選択できます。 指定された最大待機日数の間、統合プロファイルジョブが実行された後に配送業者によって更新されない出荷レコードは、ITAM:統合プロファイルと古い出荷を処理するジョブによって古い出荷としてマークされます。
メモ	配送業者に関する追加情報。

6. [保存] を選択します。

タスクの結果
出荷配送業者レコードが作成され、[配送業者] リストに追加されます。

ハードウェア資産出荷の詳細の表示

のすべてのハードウェア資産の出荷詳細を 1 か所で表示します ハードウェア資産ワークスペース。

始める前に
必要なロール:inventory_user (読み込み) または inventory_admin

このタスクについて
出荷リストには、さまざまなフローの出荷タスクによって開始されたすべての出荷レコードが表示されます。詳細については、「出荷レコードを作成するタスクのクローズ」を参照してください。

フローまたはプロセスの出荷タスクがクローズされるたびに、出荷レコードが自動的に作成されます。

注:

出荷 [sn_itam_common_shipment] テーブルには、[通貨]、[配送サービスのコスト]、および [荷物の重量] フィールドもあります。ただし、これらのフィールドは出荷フォームには表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから [出荷] を選択します。
3. 出荷レコードを選択して出荷の詳細を表示します。

出荷詳細フォーム

フィールド	説明
出荷番号	出荷レコードに対して自動生成された一意の識別子。
トラッキング番号	出荷の一意の配送業者追跡番号。 複数の注文または品目が同じ納品に属している場合、同じ追跡番号を持つことができます。また、同じ注文に属する複数の項目は、異なる配送の一部である場合、異なる追跡番号を持つことができます。
ステージ	出荷レコードのステージ。 出荷は、次のいずれかのステージになります。 ○ ドラフト ○ 発注済み ○ 準備 ○ 輸送中 ○ 配送済み ○ キャンセル済み 出荷に複数の注文がある場合、注文の出荷資産が配送されると、出荷レコードのステージが [配送済み] に変更されます。
出荷元	資産の配送元となる場所。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。
出荷先	資産の配送先の場所。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。
出荷者	資産を出荷した人の名前。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。
出荷日	資産が出荷された日付。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。 この日付は、ソースの出荷タスクがクローズされた日付に対応します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
受領日	資産を受領した日付。 このフィールドには、出荷の一部として最初に受領された注文の対応するフィールドが入力されます。 この日付は、ソースの受信タスクがクローズされた日付に対応します。
受領者	資産の送付先となる人物の名前。 このフィールドには、出荷の一部として最初に受領された注文の対応するフィールドが入力されます。
配送業者	配送業者レコードへの参照。
配送業者ステータス	出荷のステータス。 **注:** このフィールドは、サードパーティのキャリアアプリケーションと統合する場合にのみ入力されます。
配送業者の集荷日	配送業者が資産を集荷した日付。 **注:** このフィールドは、サードパーティのキャリアアプリケーションと統合する場合にのみ入力されます。
配送業者配送	配送業者が資産を配送した日付。 **注:** このフィールドは、サードパーティのキャリアアプリケーションと統合する場合にのみ入力されます。
配送業者リンク	荷物を追跡するために配送業者が提供するリンク。
出荷ステータス	出荷レコードが古いかどうかを示すオプション。このオプションは読み取り専用です。

出荷ステータス

追跡番号の誤り、輸送中の荷物の紛失、無効な接続の詳細など、さまざまな理由により遅延した納品は、古い納品と見なされます。

[ITAM:統合プロファイルと古い出荷の処理 (ITAM: Process integration profiles and stale shipment)] ジョブが毎日実行され、古い出荷がないかどうかが確認されます。統合プロファイルジョブが配送業者の最大待機日数の間実行された後でも配送業者によって更新されない出荷レコードは、古い出荷としてマークされます。

古いとマークされた出荷レコードの追跡番号は、さらなる追跡のために配送業者に送信されません。出荷が遅れている理由がわかっている場合は、追跡を続行できます。詳細については、「遅延した出荷の追跡を続行する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
在庫ビューの古い配送の重要なアクションカードを使用して、統合された配送業者からの追跡情報で更新されなかった配送のリストを表示できます。詳細については、「インベントリビュー」を参照してください。

遅延した出荷の追跡を続行する

遅延の理由がわかっている場合は、遅延している古いハードウェア資産の出荷を追跡します。

始める前に
必要なロール:inventory_user (読み込み) または inventory_admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから [出荷] を選択します。
3. 追跡する出荷レコードを選択します。
4. [出荷の詳細] フォームで、[古いチェックを無視] チェック ボックスをオンにします。
5. [保存] を選択します。

タスクの結果

- [出荷の詳細] フォームの [古い出荷] チェックボックスは自動的にクリアされます。
- この出荷の追跡番号は追跡のために配送業者に送信され、この出荷レコードは再度古いものとしてマークされません。

ハードウェア資産の出荷を追跡する

配送されておらず、アクティブな統合プロファイルに関連付けられた配送業者があるハードウェア資産の出荷の進捗状況を追跡します。

始める前に
必要なロール:inventory_user (読み取り) または inventory_admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから [出荷] を選択します。
3. 追跡する出荷レコードを選択します。
4. [今すぐ追跡] を選択します。

タスクの結果
出荷の詳細フォームの次のフィールドには、配送業者から受信した追跡の詳細が表示されます。

- 配送業者ステータス
- 配送業者の集荷日
- 配送業者配送日

インドアマップを使用した資産の場所の追跡

インドアマップを使用して、組織内の消耗品とハードウェア、バンドル、およびパレット資産を見つけて追跡します。インドアマップは、敷地、建物、フロア、および場所内の資産の場所を視覚化できるインタラクティブなインターフェイスを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
で ハードウェア資産ワークスペースインドアマップを使用できるようにするには、次の要件を満たしていることを確認してください。

- から for Assets (com.sn_ima) アプリケーションをServiceNow® Store明示的にインストールインドアマッピングする必要があります。このアプリケーションをインストールすると、 インドアマッピング (sn_map_core) と インドアマッピング コンポーネント (sn_map_component) もインストールされます。

  注:
  インドアマップのデモデータを表示できるようにするには、for Assets アプリケーションのインストール インドアマッピング 後にデモデータを再インストールする必要があります。詳細については、「Add or repair demo data for applications and plugins」を参照してください。

- インスタンスでServiceNow資産パラメーターを *com.sn_ham.indoormap.enabled***true** に設定します。

- インドアマップの設定:Map Studio を使用してインドアマップを設計できます。詳細については、「Configure Indoor Mapping」を参照してください。

  注:
  ライセンスのエンタイトルメント ハードウェア資産管理 を使用してインドアマップをインストールする場合、Map Studio で使用できるのは PNG フロアマップファイルのみです。AutoCAD またはラスターファイル形式のファイルはインポートできません。AutoCAD ファイルまたはラスター ファイルを使用するには、 の ワークプレイスサービスデリバリエンタイトルメントが必要です。

- 場所データの同期: ハードウェア資産管理 このアプリケーションは、次のインドアマッピングの場所タイプをサポートしています。
  - 敷地:地理的に同じ場所にある一連の建物を表します。
  - 建物:特定の敷地にある複数階建ての建物を表します。
  - フロア:特定の建物内のフロアを表します。
  - 場所:特定のフロア内のポリゴンまたは目的地点を表します。場所は、エリア、ルーム、デスク、プリンター、資産などを表すことができます。

  注:
  インドアマップで ハードウェア資産ワークスペース資産を表示するには、場所 [cmn_location] テーブルの [場所] または [部屋] タイプの場所に資産を割り当てる必要があります。

  アプリケーション内で ハードウェア資産管理 新しく作成された場所を表示するには、Map Studio から新しく作成された場所を場所 [cmn_location] テーブルに同期してください。

  Map Studio で作成された場所を、場所 [cmn_location] テーブルの既存のレコードまたは新しいレコードに関連付けることができます。詳細については、「Synchronize Indoor Mapping map data with CMN location」を参照してください。

必要なロール：admin または asset

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧。
2. [資産インドアマップ] タブを選択します。
3. [敷地]、[建物]、および [フロア] フィルターを使用して、選択したフロアの資産を表示します。
4. オプション: インドアマップページの右下隅にある表示オプションを選択して、選択したフロアの資産とその場所を特定の形式で表示します。
   - インタラクティブマップ上に資産の位置を表示するには、[マップのみを表示] を選択します。
   - 資産のインタラクティブマップとリストビューの両方を表示するには、[マップとリストを表示] を選択します。
   - アセットのリストビューのみを表示するには、「 リストのみを表示」を選択します。
5. オプション: インタラクティブマップを表示している場合は、マップ上の場所を選択して、フロアの選択した場所にある資産のリストを表示します。
6. オプション: 部門、ユーザー、モデルカテゴリ、またはこれらの値の組み合わせに基づいて、資産の場所を表示します。
   a. マップのコンテキストサイドバーにある [フィルタータブ] アイコンを選択します。
   b. [フィルター基準] ダイアログ ボックスで、[部門]、[ユーザー]、または [モデル] カテゴリ フィルターの値を選択します。

のパフォーマンスの評価 ハードウェア資産管理

成功目標を作成して、インスタンス内のアプリケーションの成功を追跡します ハードウェア資産管理 。成功目標のための成功目標カテゴリを作成し、成功アクティビティを作成することで目標の成功を追跡することもできます。

Hardware Asset Management の成功目標を作成する

成功目標を作成して、インスタンスでの Hardware Asset Management アプリケーションの成功を追跡します。

始める前に
必要なロール:ham_admin

手順

1. 次のいずれかのパスに移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル
   - ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > 成功目標
2. [成功目標を作成] または [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「HAM 成功目標の詳細」を参照して ください。
4. [保存] を選択します。
   成功目標をキャンセルする場合は、成功目標番号を選択し、[目標をキャンセル] を選択します。

タスクの結果
作成した成功目標は、資産運用 ビューの 成功目標 ページに表示されます。

HAM 成功目標の成功アクティビティを作成

作成した目標の成功を追跡する成功アクティビティを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:ham_admin、asset (目標の所有者)

手順

1. 次のいずれかのパスに移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル
   - ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > 成功アクティビティ
2. [成功アクティビティを作成] または [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「HAM 成功アクティビティ」を参照して ください。
4. [保存] を選択します。

タスクの結果
作成した成功アクティビティは、資産運用ビューの 成功アクティビティ ページに表示されます。

ハードウェア資産の成功目標カテゴリの作成

成功目標カテゴリを作成して、成功目標に関連付けます ハードウェア資産管理 。

始める前に
必要なロール:ham_admin

手順

1. 移動先 ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > 成功目標 > カテゴリ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [成功目標カテゴリ] フォームで、追加するカテゴリを入力し、[ハードウェア資産カテゴリ] チェックボックスをオンにします。
4. [保存] を選択します。

タスクの結果
追加したカテゴリは、の成功ハードウェア資産管理目標を作成する際の [カテゴリ] フィールドのオプションとしてリストされます。詳細については、「Hardware Asset Management の成功目標を作成する」を参照してください。

の成熟度アイテムをすべて表示 ハードウェア資産管理

(HAM) プログラムの成熟度 ハードウェア資産管理 を表示して、各成熟度ステージのステータスを分析します。各ステージには完了した成熟度アイテムの数が表示されます。

始める前に
必要なロール：asset

注:
資産ロールは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を変更することもできます。

このタスクについて
HAM プログラムの成熟度は、次の 3 つの段階に分かれています。

- クロール
- ウォーク
- 実行

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「プログラムの成熟度ステージハードウェア資産管理」を参照してください。

注:
必須の成熟度アイテムの成熟度レベルを変更することはできません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.
2. [概要] ページで、 [すべての成熟度項目の表示] を選択します。
   [すべての成熟度アイテム (All maturity items)] ページが開き、HAM プログラムがあるステージに含まれるすべての成熟度アイテムが一覧表示されます。
3. 成熟度アイテムを選択して、その詳細を表示します。
   フィールド値の説明については、「成熟度アイテムの詳細」を参照してください。
4. [保存] を選択します。

ゼロタッチでリフレッシュを使用した資産のリフレッシュの管理

従業員がインスタンスのゼロタッチでリフレッシュフローを使用して、外部ベンダー経由でハードウェアのリフレッシュを ServiceNow 要求できるようにします。このプロセスにより、新しい資産のローカル在庫を維持する必要がなくなります。

Service Bridge ゼロタッチでリフレッシュの構成

ゼロタッチでリフレッシュフローでは、 Service Bridge アプリケーションを使用してプロバイダーをインスタンスに接続し、資産リフレッシュ要求を管理します ServiceNow 。従業員とプロバイダーは、それぞれの環境で要求を処理できます。

Service Bridge プロバイダーのセットアップ

プロバイダーは、次のセットアップタスクを実行して、ゼロタッチでリフレッシュ要求の詳細を伝達する必要があります。

1. Install Service Exchange for Providers (legacy) 。
2. Onboard a new Service Exchange customer (legacy) 。
3. リモートタスクのアサインをトリガー。

Service Bridge 従業員リクエストのセットアップ

ゼロタッチでリフレッシュ要求の詳細をプロバイダーに伝えるには、次のセットアップを実行します。

1. 顧客向けに Service Bridge をインストールします 。
2. プロバイダーによって公開されたリモートタスク定義をアクティブ化します。

リモートタスクのアサインをトリガー

資産プロバイダーは、顧客がゼロタッチでリフレッシュ要求の詳細を伝えるためのリモートタスクのアサインをトリガーするリモートタスク定義を作成します。

始める前に
プロバイダーは、プロバイダーレコードを作成しておく必要があります。詳細については、「Set up a provider record and create a producer replication set in Service Exchange for Providers (legacy) 」を参照してください。

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

リモートタスク定義の受信フィールドを通じて、 ServiceNow 顧客のインスタンスからのゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求の詳細を受信します。ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求に加えられた更新は、リモートタスク定義の送信フィールドを介して顧客の ServiceNow インスタンスに送信されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Service Bridge** > プロバイダー > リモートタスク定義.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「 リモートタスク定義フォーム」を参照してください 。
4. プロバイダーテーブルと顧客テーブルのフィールドの値をゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求 [sn_itam_ztr_fulfillment_req] テーブルに設定します。
5. [送信] を選択します。
6. この新しいリモートタスク定義レコードを選択します。
7. 受信フィールドを作成します。これにより、リモートタスクが作成または更新されたときに顧客のインスタンスからデータを受信できるようになります。

   a. 受信フィールド タブで、新規 を選択します。

   b. 作成したフィールドごとにフィールドに入力し、[送信] を選択します。
   作成する必要がある受信フィールドの詳細は、以下を参照してください リモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド。
8. 送信フィールドを作成します。これにより、リモートタスクが作成または更新されたときに顧客のインスタンスにデータを送信できます。

   a. 送信フィールド タブで、新規 を選択します。

   b. 作成したフィールドごとにフィールドに入力し、[送信] を選択します。
   作成する必要がある送信フィールドの必要な詳細については、次を参照してください リモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド。
9. このリモートタスク定義を使用できる顧客を指定する顧客基準を設定します。
10. [公開] を選択します。

    注:
    後でこのリモートタスク定義を編集する必要がある場合は、それにアクセスして [編集] を選択します。

タスクの結果

リモートタスク定義レコードがインスタンスに作成され、レコードの [ステータス] フィールドが [公開済み] に設定されます。このレコードは顧客のインスタンスとも同期されており、顧客のインスタンスで有効化が処理待ちになっています。

リモートタスク定義を有効にする

プロバイダーがゼロタッチでリフレッシュ要求を実行できるように、インスタンスでプロバイダーによって公開されたリモートタスク定義をアクティブ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
アプリケーションが Service Bridge インスタンスにインストールされている必要があります。詳細については、「 顧客向けの Service Bridge のインストール 」を参照してください。

インスタンスで ServiceNow リモートタスク定義をアクティブ化する前に、プロバイダーがそれを作成して公開する必要があります。詳細については、「リモートタスクのアサインをトリガー」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **Service Bridge** > 顧客 > リモートタスク定義.
2. リモートタスク定義レコードを選択します。
3. [リモートタスク定義] フォームの [シンプルトリガー] セクションで、トリガー条件を [モデルが空でない] に設定します。
   [モデル] フィールドの値を持つレコードがゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求 [sn_itam_ztr_fulfillment_req] テーブルに追加されると、リモートタスクが自動的に作成されます。
4. [保存] を選択します。
5. [受信フィールド] タブ、[送信フィールド] タブ、および [リモートタスク変数] タブのデータを確認します。
   プロバイダーはこれらの値を定義します。リモートタスクを作成すると、プロバイダーは受信フィールドからリモートタスクデータを受信し、送信フィールドからリモートタスクデータで応答します。
6. [アクティブ化] を選択します。
7. ポップアップウィンドウで、受信変数と送信変数のマッピングを確認し、 **[OK]** を選択します。

リフレッシュモデルの置換モデルの構成

更新されたハードウェア資産モデルの交換用モデルを構成します。構成すると、従業員は [ゼロタッチでリフレッシュ] フォームでハードウェア資産の交換モデルを選択できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. ゼロタッチで更新 リストで、モデルの更新 を選択します。
3. 更新モデルを作成します。
   a. モデルの更新 ページで、 新規 を選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。

新しいゼロタッチでリフレッシュモデルを作成フォーム

フィールド	説明
モデル	リフレッシュされるモデル。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ロケーション	交換用モデルが有効な場所。 **注:** 国の代替モデルの構成は、最も効率的な設定です。ただし、都道府県や市区町村など、より具体的な場所の置換モデルを構成できます。
アクティブ	置換ルールがアクティブかどうかを示すオプション。

c. [保存] を選択します。

4. リフレッシュモデルの代替モデルを追加します。

a. [交換用モデル] タブで、[追加] を選択します。

b. [置換モデル] ダイアログ ボックスで、リフレッシュ資産モデルの代わりに追加するモデルを選択し、[追加] を選択します。

c. [保存] を選択します。

タスクの結果

割り当てられた代替モデルを含むリフレッシュモデルは、[リフレッシュモデル] リストに含まれます。

ゼロタッチでリフレッシュによるハードウェア資産のリフレッシュ を要求する

ゼロタッチでリフレッシュを使用して、所有するハードウェア資産を新しい資産と交換することをプロバイダーに直接要求します。

始める前に

必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
サービスカタログで資産ライフサイクルカテゴリが利用できない場合は、管理者にお問い合わせください。

2. [Asset Lifecycle] ページで、[**Zero Touch Refresh**] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。

ゼロタッチでリフレッシュフォーム

フィールド	説明
資産	更新する所有しているハードウェア資産。 更新の対象ではない資産を選択すると、承認が要求されることを示すメッセージが表示されます。その後、承認要求が自動的に資産管理者に送信されます。
交換用モデル	ハードウェア資産を置き換える資産モデル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	リストには、選択したハードウェア資産のモデルと資産の場所に基づいてリフレッシュモデルが表示されます。資産の場所が資産レコードで指定されていない場合は、要求者の場所が考慮されます。

4. 交換用資産の送付先を決定します。

5. ゼロタッチでリフレッシュフォームの下部にある確認チェックボックスをオンにして、出荷先の選択を確認します。
6. [送信] を選択します。
7. オプション: 次に移動して、ゼロタッチでリフレッシュ要求のステータスを表示します すべて > セルフサービス > 自分の要求.

タスクの結果
ゼロタッチでリフレッシュ要求が正常に送信されました。

ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求を履行

プロバイダーは、ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求を通じて要求された交換用資産を要求者に出荷します。

始める前に
ゼロタッチで Service Bridge リフレッシュフローに必要な構成が設定されている必要があります。詳細については、「Service Bridge ゼロタッチでリフレッシュの構成」を参照してください。

必要なロール:admin、asset、procurement_user、または inventory_user

このタスクについて
従業員が顧客のインスタンスで ServiceNow® ゼロタッチでリフレッシュ要求を送信すると、対応するゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求が ServiceNow® インスタンスに作成されます。

手順
1. ServiceNow® インスタンスにログインします。
2. 移動先 すべて > ゼロタッチでリフレッシュの実行要求.
3. [要求済み] ステータスの要求を選択します。
4. [ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求] フォームの詳細を確認します。

   [顧客要求番号] フィールドには、対応するゼロタッチでリフレッシュ要求番号が表示されます。[出荷の詳細] タブと [返送の詳細] タブのフィールドには、ゼロタッチでリフレッシュ要求で指定された詳細が入力されます。

5. ゼロタッチでリフレッシュの実行要求を確認します。
   a. [状態] フィールドで、[注文確認済] を選択します。
   b. [保存] を選択します。
6. 交換用の資産を要求者またはストックルームに出荷します。
   a. [資産タグ] フィールドと [シリアル番号] フィールドに資産情報を入力します。
   b. [出荷の詳細] タブで、[追跡番号] フィールドと [配送業者] フィールドに値を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [返送の詳細] タブで、[追跡番号] フィールドと [配送業者] フィールドに値を入力します。

d. [状態] フィールドで、[出荷済] を選択します。

e. [保存] を選択します。

f. 出荷には、倉庫用に作成された住所ラベルが付いた、従業員が古い資産を返却するために使用できる箱を含めます。

g. 新しい資産を要求者または要求者が資産を引き取ることができるストックルームの場所に出荷します。

タスクの結果

ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求で指定されたシリアル番号と資産タグを持つ資産が従業員にアサインされます。

ゼロタッチでリフレッシュ要求を処理

ゼロタッチでリフレッシュ要求を処理してプロバイダーから資産を受け取り、ゼロタッチでリフレッシュフローを完了します。

始める前に

ゼロタッチで Service Bridge リフレッシュフローに必要な構成が設定されている必要があります。詳細については、「Service Bridge ゼロタッチでリフレッシュの構成」を参照してください。

必要なロール:admin、asset、procurement_user、または inventory_user

このタスクについて

プロバイダーが資産を出荷した後、次のアクションが発生するとゼロタッチでリフレッシュフローが完了します。

1. 従業員は、交換用資産が受領されたことを確認します。
2. 在庫マネージャーまたは資産マネージャーが、受領した古い資産を確認して評価します。

手順

1. ServiceNow® インスタンスにログインします。
2. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
3. [ゼロタッチで更新] リストから、[要求] を選択します。
4. 処理する要求を選択します。
5. [**Zero Touch Refresh Tasks**] タブを選択します。
6. ストックルームマネージャーとして、新しい資産の集荷準備ができたことを従業員に通知します。
   a. [**Ready for pickup** (集荷準備完了)] タスクを選択します。
   b. [タスクのクローズ] を選択します。
   - 資産がストックルームに到着し、集荷の準備ができていることを従業員に通知するメールメッセージが送信されます。
   - 資産の受領タスクが作成されます。
7. 資産の受領タスクがクローズされていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 従業員が交換用資産の受領をオンラインで確認した場合、タスクは自動的にクローズされます。

  詳細については、モバイルデバイスでの資産の受領確認 または コア UI を介した資産の受領の確認 を参照してください。

- 資産がストックルームで集荷されたが、従業員がオンラインで受領を確認していない場合、admin または asset ロールを持つユーザーは、タスクにアクセスして [タスクをクローズ] を選択することで、従業員の代わりにこのタスクをクローズできます。

8. 古い資産がストックルームに戻されたことを確認します。
   a. 返品資産の受領 タスクを選択します。
   b. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   - 資産の受領タスクがクローズされます。
   - 資産評価タスクが作成されます。
9. 古い資産を評価し、適切なステータスを選択します。
   a. [Asset evaluation (資産評価)] タスクを選択します。
   b. [評価] ステータスで、資産を再利用、修理、または廃棄準備完了としてマークします。
      - 資産を再利用対象としてマークするには、 [再展開可能] を選択します。

        資産の状態とサブステートが [在庫あり] と [利用可能] に設定されます。
      - 資産を修理対象としてマークするには、[要修理] を選択します。

        このオプションは、 返品許可 (RMA)フローを開始します。

        資産のステータスとサブステートは [在庫あり] と [修理待ち] に設定されます。
      - 資産を廃棄準備完了としてマークするには、[廃棄 対象] を選択します。

        資産の状態とサブステートは [在庫あり] と [廃棄待ち] に設定されます。
   c. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

ゼロタッチでリフレッシュフローが完了します。ゼロタッチでリフレッシュ要求のステージとステータスが [完了してクローズ] および [完了] に変更されます。

モバイルデバイスでの資産の受領確認

従業員は、モバイルデバイスでゼロタッチでリフレッシュ要求を通じて受け取った新しい資産の受領を確認します。

始める前に

この確認にモバイルデバイスを使用するには、iOS または Android モバイルデバイスにアプリがインストールされている必要があります ServiceNow Mobile 。

必要なロール：なし

手順

1. 移動先 自分のアイテム > 自分の資産.
2. アセットをタップします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [配送済みアセットをスキャン] をタップします。
4. 資産タグ情報を入力します。
   - スキャンを通じて情報を提供するには、資産の資産タグをスキャンします。
   - 情報を手動で入力するには、[資産タグ] フィールドに値を入力します。
5. [送信] を選択します。

タスクの結果

- 資産のステータスが [使用中] に変わります。
- ゼロタッチでリフレッシュ要求の [資産の受領] タスクのステータスが [クローズ済み] に変更されます。

コア UI を介した資産の受領の確認

従業員は、インスタンスのコア UI ServiceNow からゼロタッチでリフレッシュ要求を通じて受け取った新しい資産の受領を確認します。

始める前に

必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > 自分の要求.
2. [ゼロタッチでリフレッシュ] 要求を選択します。
3. [ゼロタッチでリフレッシュタスク] タブで、[資産の受領] タスクを選択します。
4. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

ゼロタッチでリフレッシュ要求の [資産の受領] タスクのステータスが [クローズ済み] に変更されます。

資産の総所有コストを構成する

ワークフロー内の ハードウェア資産管理 各タスクのレートカードを作成して、資産の総所有コスト (TCO) を設定します。

レートカードは、タスクのコストまたはタスクに費やされた時間に基づいて取得されます。

関連情報

の資産総所有コスト ハードウェア資産管理

[資産分析] ビュー

でタスクレートカードを作成する ハードウェア資産ワークスペース

タスクレードカードを作成して、タスクのタイプと関連コストの計算方法を定義します。

始める前に

必要なロール:asset_admin

(com.snc.cost_management) プラグインを ServiceNow® コスト管理 アクティブ化します。詳細については、「Activate Cost Management」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > **TCO** 構成 > タスクレートカード.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しいタスクレートカードを作成

フィールド	説明
名前	レートカードの目的。
作業時間を使用	関連するタスク作業時間エントリに基づいてルールでタスクコストを計算するように強制するためのオプション。 デフォルトでは、各タスクの定額料金は [タスクレート] フィールドで定義されます。
テーブル	レートカードが適用されるタスクのタイプ。
アクティブ	レートカードがアクティブに使用されているかどうかを判断するオプション。
タスクレート	タスクのレート (通貨リスト付き)。 新しい通貨を追加するには、[編集] リンクを使用します。
デフォルトの賃金レート	作業者が賃金レートカードを持っていない場合に、作業時間エントリに適用されるデフォルトの時給。 このフィールドは、[作業時間を使用] が選択されている場合にのみ表示されます。
順序	タスクレードカードが同じタスクに適用される順番。 同じタスクに複数のタスク料金表が適用される場合は、順番が最も低いものが使用されます。
条件を設定	選択したテーブルで実行するフィルター。このレートカードを特定のタスクに適用するかどうかを決定します。このフィールドは、条件によって返されるレコードをプレビューするための条件数ウィジェットを使用します。

4. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果

タスクレードカードがタスクに対して定義されると、[作業時間を使用] の値によって経費ラインが作成されます。タスクレードカードの [作業時間を使用] フィールドを選択すると、ユーザーに対して作成された作業時間レコードと賃金レートが経費ラインの計算に使用されます。詳細については、「Process task rate cards」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

の資産総所有コスト ハードウェア資産管理

[資産分析] ビュー

資産運用ビュー

での賃金レートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース

タスクの作業時間を記録する賃金レートカードを作成し、レートをタスクに関連付けます。

始める前に
必要なロール:asset_admin

(com.snc.cost_management) プラグインを ServiceNow® コスト管理 アクティブ化します。詳細については、「Activate Cost Management」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > **TCO** 構成 > 賃金レートカード.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい賃金レートカードを作成

フィールド	説明
名前	レートカードの目的。
アクティブ	レートカードがアクティブに使用されているかどうかを判断するオプション。
時間単価	労働者が定義された条件を満たしたときにタスク時間作業エントリに適用される時給を識別します。
順序	賃金レートカードが同じタスクに適用される順番。 同じタスクに複数の賃金レードカードが適用される場合、順番が最も低いものが使用されます。
条件を設定	[作業時間を使用] オプションをこのレートカードに適用するかどうかを決定するフィルター。詳細については、「でタスクレートカードを作成する ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。 このフィールドは、条件によって返されるレコードをプレビューするための条件数ウィジェットを使用します。

4. **[Save** (保存)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
賃金レートカードを含む複数の HAM ワークフローで作業している場合は、記録されたすべての時間タスクに同じ値が使用されます。ただし、賃金レードカードは含まれず、タスクレードカードに記載されているデフォルトの賃金レートが使用されます。詳細については、「でタスクレートカードを作成する ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。

関連情報

の資産総所有コスト ハードウェア資産管理

[資産分析] ビュー

資産運用ビュー

での **TCO** レポートの作成 ハードウェア資産ワークスペース

独自の総所有コスト (TCO) レポートを作成して、複数の資産の実績または予測 TCO を比較したり、実績または予測された資産 TCO をハードウェアモデルのベンチマークコストと比較したりします。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産分析.
2. 比較レポート セクションで、 新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

TCO レポート

フィールド	説明
名前	TCO レポートの名前。
タイプ	TCO レポートのタイプ。 ○ TCO の比較:複数の資産のコストが比較されます。 ○ TCO とベンチマークの比較:資産のコストをベンチマークコストと比較します。
レポートテーブル	Hardware Asset Management、ハードウェア (alm_hardware) のテーブル。
総原価費目	○ 実績 TCO:選択した資産の TCO 値。 ▪ [実績 TCO] と [リアルタイムレポート] の両方のチェックボックスが選択されている場合、生成される TCO レポートは、[リアルタイムレポート] の選択に基づいてリアルタイムおよびオフラインになります。 ▪ [実際の TCO] のみが選択されている場合、生成された TCO レポートはオフラインになります。 ○ 予測 TCO:この値は次の式から参照され、生成されたレポートはオフラインのみです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明

	▪ 資産の耐用年数が資産の耐用年数以上の場合、予測 TCO (耐用年数終了時) は次の式を使用して計算されます。
	`Normalized TCO * Useful life`
	ここで、正規化 TCO (月次 TCO) は
	`(Purchase cost / Useful life) + (Sum of operational cost / Asset life)`
	.
	▪ 資産の耐用年数が資産の耐用年数よりも短い場合、予測 TCO (耐用年数終了時) は次の式を使用して計算されます。
	`Normalized TCO * Asset life`
	ここで、正規化 TCO (月次 TCO) は
	`(Purchase cost + Sum of operational cost) / Asset life`
	.

説明	レポートの簡潔でわかりやすい説明。
ベンチマークを表示	レポートでベンチマークコストを示すためのオプション。 このフィールドは、[タイプ] で **[TCO** 比較] が選択されている場合にのみ表示されます。
ベンチマークモデル	ベンチマークコストを示す資産モデル。 「タイプ」フィールドで「TCO 比較」が選択されている場合、このフィールドは「 ベンチマークを表示 」チェック・ボックスが選択されている場合にのみ表示されます。
リアルタイムレポート	レポートでリアルタイムデータを生成するためのオプション。
ワークスペース	作業しているワークスペース。 デフォルト:HAM

4. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果
TCO レポートが生成され、総所有コストダッシュボードの [比較レポート] セクションに表示されます。

TCO レポートソースを作成する

TCO レポートの総所有コスト (TCO) レポートソースを作成します。

始める前に
必要なロール：asset

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 ハードウェア資産ワークスペース > 資産分析.
2. [比較レポート] セクションからレポートソースを作成するレポートを開きます。
   比較レポートを作成することもできます。詳細については、「での TCO レポートの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
3. [レポートソース] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しい **TCO** レポートソースの作成

フィールド	説明
名前	レポート ソースの名前。
アクティブ	レポートソースがアクティブかどうかを示すオプション。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。 **注:** 1 つのレポートに対して、常に最大 4 つのアクティブなレポートソースを使用できます。別のアクティブなレポートソースを追加する場合は、別のレポートソースを非アクティブにする必要があります。
レポートテーブル	Hardware Asset Management、ハードウェア (alm_hardware) のテーブル。
条件を設定	特定の条件で資産を選択するためのフィルター
説明	レポートソースの簡潔でわかりやすい説明。

6. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果
新しいレポートソースが、[**TCO** レポートソース] タブの TCO レポートソースのリストに追加されます。

関連情報

の資産総所有コスト ハードウェア資産管理

[資産分析] ビュー

サブスクリプションを管理ハードウェア資産管理

ハードウェア資産管理使用するリソースカテゴリのみハードウェア資産管理を選択することで、ライセンスコストを節約します。

ハードウェア資産管理ライセンスの詳細については、「」を参照してくださいハードウェア資産管理サブスクリプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウト

HAM サブスクリプションの一部である HAM ライセンスリソースカテゴリをオプトインします。使用するリソースカテゴリを購入してオプトインすることも、使用しないカテゴリに対してはオプトアウトして支払いを行わないこともできます。

始める前に
必要なロール:admin または HAM admin

このタスクについて
この手順は 1 回限りのアクティビティです。HAM 1.0 または 2.0 バージョンからアップグレードする場合、すべてのリソースカテゴリがデフォルトでオプトインされます。例外は、モバイル デバイス リソース カテゴリです。

新規ユーザーの場合は、HAM サブスクリプションの一部であるすべてのリソースカテゴリを手動でオプトインします。

注:
モバイルデバイスリソースカテゴリは、HAM モバイルデバイスライセンスエンタイトルメントがある場合にのみ使用できます。

オプトインしていないカテゴリに属するハードウェア資産は、デフォルトで除外されます。たとえば、[エンドユーザーコンピューター] カテゴリをオプトインしない場合、すべてのエンドユーザーコンピューターが除外されます。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

注:
インスタンスにデモデータをロードすると、すべての HAM ライセンスリソースカテゴリがデフォルトでオプトインされます。オプトインしないリソースカテゴリの選択を解除する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > **Hardware Model Normalization** > **HAM** リソースのカテゴリ.
2. リソースカテゴリを開きます。
   各 リソースカテゴリには、それに関連付けられたモデルカテゴリがリストされています。
3. リソースカテゴリをオプトインまたはオプトアウトするには、次のいずれかを実行します。
   - リソースカテゴリをオプトインする場合は、 [オプトイン] を選択します。
   - リソース カテゴリからオプトアウトする場合は、 [オプトアウト] を選択します。

   ポップアップメッセージが表示され、オプトインするかオプトアウトするかを尋ねられます。
4. **[OK]** を選択します。

タスクの結果
リソースカテゴリがオプトインまたはオプトアウトされている。リソースカテゴリをオプトインすると、そのリソースカテゴリに関連付けられているモデルに対して正規化ジョブがトリガーされます。

アプリケーションのライセンスレポート ハードウェア資産管理 の表示

ITAM ライセンスレポートを使用して、サーバー、エンドユーザーコンピューティングデバイス、ネットワークデバイス、モバイルデバイスなどの管理対象 IT リソースタイプについて、組織で購入および利用されているサブスクリプションの詳細を表示します。

始める前に
必要なロール：admin、usage_admin

自動翻訳

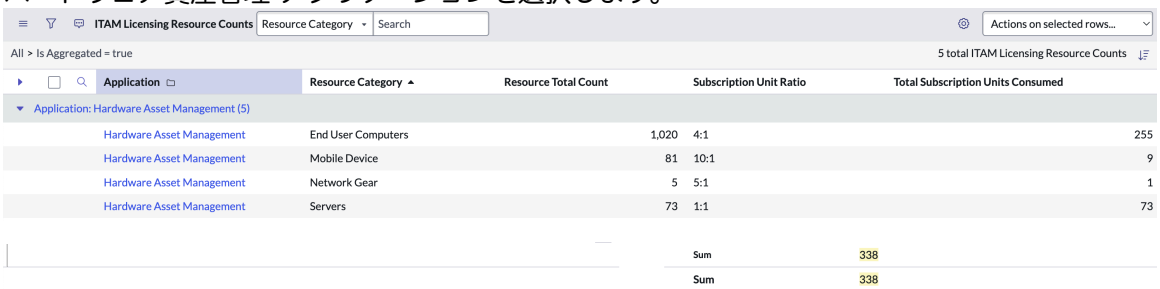
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:
管理対象 IT リソースタイプのライセンス数の計算は毎月行われます。ライセンス使用量の変更は、月次ライセンス数の計算後にのみ ITAM ライセンスレポートに反映されます。

手順

1. 移動先 すべて > **ITAM** ライセンス > **ITAM** ライセンスレポート.
2. ハードウェア資産管理 アプリケーションを選択します。



アプリケーションの管理対象 IT リソースタイプに対して購入したサブスクリプションに関するハードウェア資産管理 次の情報を表示できます。

- リソースカテゴリ:アプリケーションの管理対象 IT リソースタイプ ハードウェア資産管理 。リソースタイプには次のものが含まれます。
  - サーバー
  - エンドユーザーコンピューティングデバイス
  - ネットワークデバイス
  - モバイルデバイス
- リソース合計数:リソースカテゴリおよびモデルカテゴリ別にグループ化された管理対象 IT リソースの資産数。
- サブスクリプションユニット率:サブスクリプションが必要なリソースカテゴリの資産数を決定する事前定義された比率。たとえば、エンド ユーザー コンピューターに対して定義された比率が 1:4 の場合、そのリソース カテゴリの 4 つの資産ごとに 1 つのサブスクリプション ユニットが必要であることを意味します。
- 消費されたサブスクリプションユニットの合計:組織で利用されたリソースカテゴリごとのサブスクリプションの数。ライセンスモジュールは、各リソースカテゴリのリソース合計数にサブスクリプションユニット率を適用することで、この数を計算します。

ハードウェア資産管理 に関する参照情報

参照トピックは、ハードウェア資産管理 を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

ドメイン分離と ハードウェア資産管理

ドメイン分離は ハードウェア資産管理 でサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：拡張

- ベーシックレベルと標準レベルを含みます。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別のユーザーに影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

製品のドメイン分離サポートにより、サービスプロバイダーは、ソフトウェアおよびハードウェア資産管理のマネージドサービスを顧客に提供できます。この機能は、子会社を独立したドメインとして管理している大規模な組織にも対応しています。

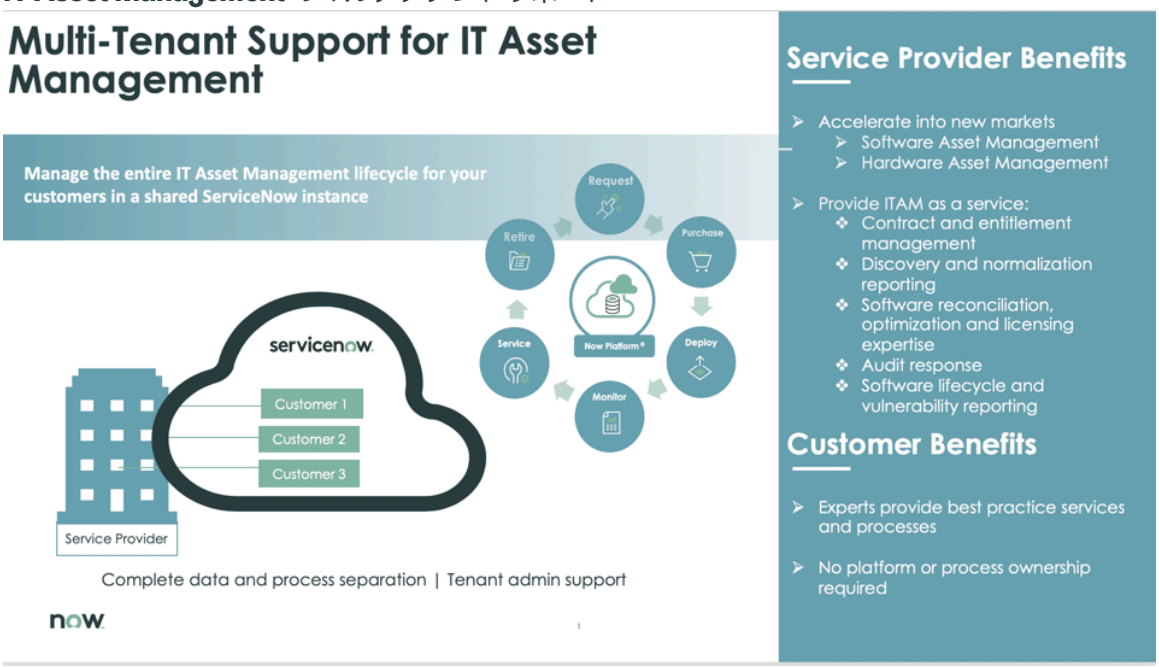
Hardware Asset Management におけるドメイン分離の仕組み

HAM では、ドメイン分離はデータ分離とプロセス分離の 2 つのステージで行われます。分離を有効または無効にするために使用される 2 つのシステムプロパティがあります。Paris リリースでは、データとプロセスの両方がドメイン分離されています。

注:

ベースシステムのドメイン設定レコードはカスタマイズしない ことをお勧めします 。

IT Asset Management のマルチテナントサポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必須のプラグイン

- Service Catalog – Domain Separation (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)
- Domain separation extension (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- Performance Analytics – ドメインサポート (com.snc.pa.domain_support)
- HAMP (ストアアプリ)

詳細については、「ドメイン分離の説明」、「クエリとドメイン アクセスを含む」、および「既定のドメインの重要性」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

資産管理 プロセスの例

資産を管理するための最良の方法は、ビジネスニーズとビジネスの編成方法によって異なります。

始める前に

必要なロール：asset

このタスクについて

これらの手順は、資産管理 を開始するにあたり実施できるプロセスの一例です。

手順

1. システム内の資産を明確にします。

   資産管理の重要な要素は、所有物に対する初期または継続的な棚卸しや検出です。ServiceNowプラットフォームは、資産検出を行うための以下のオプションを提供します。

   - 独立した強力なディスカバリーツール。
   - SMS、Tally NetCensus、LanDesk など、すでに展開している検出テクノロジーの使用を希望する組織には、ServiceNowが Web サービスを介して各テクノロジーへの統合をサポートできます。スキャン済みデータを 構成管理データベース (CMDB) に直接マップできます。

2. CMDB の情報をクリーンアップします。
   過去の情報や無効な情報を削除します。残りのすべての情報が正確かつ完全であることを確認し、必要な情報を追加します。
3. コンピューター、サーバー、プリンター、ソフトウェアなど資産モデルのカテゴリを作成します。
4. 資産モデルを作成します。
   モデルとは、MacBook Pro 17" など、特定のバージョンや資産のさまざまな構成のことです。
5. ハードウェア、消耗品、ソフトウェア ライセンスなど個々の資産を作成します。
   検出ツールを使用した場合、すでに多くの資産が正確に特定されているはずです。
6. ソフトウェア ライセンスのカウント、在庫のある資産の表示、資産の状態とサブステートの設定、未割り当てのソフトウェアの分析によって、資産を管理します。

ハードウェア資産管理のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、(HAM) が変わらず正常に動作するかを検証し ハードウェア資産管理 ます。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理クイックスタートテストは、ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションを ServiceNow Store からインストールするときに利用できます 。

ハードウェア資産管理 テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
HAM - ハードウェア正規化	正規化されたメーカー、製品、およびモデルに基づいて、さまざまな正規化ステータス値を検証します。	Orlando
HAM - ハードウェア資産処分ワークフロー	資産処分ワークフローを検証します。	Paris
HAM - 資産展開の自動化ワークフロー	資産展開ワークフローを検証します。	Paris
HAM - 資産スワップワークフローの自動化	資産の交換/スワップワークフローを検証します。 注: デモデータが必要です。	Paris
HAM - 標準ハードウェア資産要求フロー	ハードウェア資産管理 アプリケーションの一部である標準ハードウェア資産要求フローを検証します。	Paris
HAM - ハードウェア資産のリフレッシュフロー	資産リフレッシュワークフローを検証します。	Quebec
HAM - 貸与資産の割り当てフロー	貸与資産ワークフローを検証します。	Quebec
HAM - リース契約資産有効期限	リース契約資産有効期限のエンドツーエンドワークフローを検証し、リース契約の対象となる資産の返却または延長を実行します。	Quebec
HAM - 資産 RMA フロー	インベントリユーザーで資産返品許可 (RMA) ワークフローを検証します。	Rome
HAM：資産 RMA フロー (SP)	サービスポータルからの資産返品承認 (RMA) ワークフローを検証します。	Rome
HAM - リース資産の返却	インベントリ管理者ユーザーで貸与資産割り当てワークフローを検証します。	Rome
HAM - 契約更改フロー	契約マネージャーユーザーとの契約更改フローを検証します。	Tokyo

関連情報

クイックスタートテスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストックルーム タイプ

ストックルーム タイプはストックルームのカテゴリです。

ストックルーム タイプには大きな特徴が 2 点あります。

- 優先順位：部品を調達するストックルームの順序。たとえば、個人用のストックルーム (優先度 2) に必要な部品がある場合、個人用のストックルームは配達が必要ないため、セントラルストックルーム (優先度 7) よりも優先されます。
- 出荷が必要：部品が既定のタイプのストックルームから調達されている場合、転送オーダーを作成する必要があるかどうかをシステムに通知します。たとえば、個人用のストックルームの部品は出荷が必要ではないため、転送オーダーは必要ありません。

ベース システムで定義されているストックルーム タイプ

値	名前	優先度	出荷が必要	説明	コメント
on_site	現地	1	False	顧客サイトのストックルーム。	ユーザーに近く、出荷は必要ありません。
field_agent	フィールドエージェント	2	False	フィールドサービスエージェント (Field Service Agent, FSA) に直接リンクした、配送に使用される仮想の個人用ストックルーム。	部品は配送済みで FSA にあることをシステムに示すために使用されます。
fsl	FSL	4	True	即時出荷場所。	部品が通常一晩の配送で出荷できる小さなストックルームです。
pudo	PUDO	5	True	回収/納品場所	このタイプは「バイボックス」と呼ばれることもあります。新しい部品や返品部品を受け取れる郵便箱 (主要顧客サイトの近くにあることが多い) にすることができます。
stockroom	倉庫	6	True		地域のストックルーム。
central_stockroom	中央倉庫	7	true		通常ほとんどの部品が出荷される大規模施設であるセントラルストックルーム。

モデル管理とともにインストール

いくつかのタイプのコンポーネントがモデル管理とともにインストールされています。

デモ データはモデル管理で利用できます。

モデル管理とともにインストールされるビジネスルール

モデル管理では、多数のビジネスルールを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	テーブル	説明
ライセンス タイプがなければアクションを中止	[cmdb_software_product_model]	ライセンス タイプ (カウンターで処理できないライセンス タイプ グループではない) が選択されていることを確認します。
display_name の計算	製品モデル [cmdb_model]	次のいずれかのフィールド値が変更されたときに [表示名] フィールドを設定します：[メーカー]、[名前]、[バージョン]、[エディション]。表示名は、*glide.cmdb_model.display_name.shorten* プロパティが **true** に設定されているか、**false** に設定されているかに応じて異なります。
日付検証	[cmdb_m2m_downgrade_model]	[開始日] が[終了日] より前であることを確認します。
CI ルールの適用	[cmdb_model_category]	消耗品またはソフトウェア ライセンスとして資産を追跡するカテゴリに CI クラスがないことを確認します。
作成時に親としてフラグを立てる	[cmdb_m2m_model_component]	コンポーネントをバンドルとして持つモデルにフラグを立てます。
ライセンス タイプ - フル ネーム	[cmdb_sw_license_calculation]	ライセンス タイプのフル ネームを計算します。
ライセンスの検証	ソフトウェアのアップグレードとダウングレード [cmdb_m2m_downgrade_model]	ソフトウェアのアップグレードとダウングレードが重複しないように、また同一のライセンスで重複したアップグレードやダウングレードが発生しないようにします。また、[アップグレード (親)] と[ダウングレード (子)] フィールドの両方が必須であり、[ライセンス] フィールドが空欄でない場合、[アップグレード (親)] または [ダウングレード (子)] のどちらかは license.model と等しくなければならないことを確認します。
cmdb_ci_class を保護	[cmdb_model_category]	CI クラスが作成後に変更されないようにします。
挿入時に cmdb_ci_class を保護	[cmdb_model_category]	選択した CI クラスにすでに別のカテゴリが存在する場合、カテゴリの作成を禁止します。
契約の保護	[cmdb_model_category]	[契約モデル カテゴリ] レコードの変更を防止します。
親のメイン コンポーネントのリンク設定	[cmdb_m2m_model_component]	バンドル コンポーネントがメイン コンポーネントとして選択されている場合、バンドルからコンポーネントへの読み取り専用の参照を設定します。
前回削除時に親のフラグを解除する	[cmdb_m2m_model_component]	バンドルから最後のコンポーネントが削除される際、モデルからバンドルのフラグを削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	テーブル	説明
モデル カテゴリのアップデート	cmdb_ci	モデルが CI のモデル カテゴリに関連付けられていない場合、関連付けられているモデルのモデル カテゴリを更新します。
作成前にレコードを検証	[cmdb_m2m_model_component]	バンドルにコンポーネントの追加を試みる際、バンドル内にコンポーネントが存在しないことを確認します。

モデル管理でインストールされたクライアントスクリプト

モデル管理には多数のクライアントスクリプトが含まれています。

名前	テーブル	説明
ライセンスに合致しないモデルのクリアー	[cmdb_m2m_downgrade_model]	[ライセンス] フィールドがライセンスに変更され、アップグレードまたはダウングレードのいずれのフィールドもライセンス モデルに一致しない場合、[アップグレード (親)] と [ダウングレード (子)] フィールドをクリアーします。
資産クラスに基づく制約	[cmdb_model_category]	カテゴリの資産クラスに基づいてバンドル オプションを有効/無効にします。
必要に応じてセクションを非表示にする	[cmdb_model]	特定のモデルとの関連に応じてセクションを表示/非表示にします。
model_category の変更	[cmdb_model]	同じモデル (クライアント部分) によって参照される複数のカテゴリ間でのクラスの互換性を確認します。
ライセンスからダウングレードを実行する	[cmdb_m2m_downgrade_model]	アップグレードが選択されたときに、参照されたライセンスのソフトウェア モデルにダウングレード (子) を設定します。ライセンスが空欄でない場合にのみダウングレードの設定を行います。
ライセンスからアップグレードを実行する	[cmdb_m2m_downgrade_model]	ダウングレードが選択されているときに、参照されたライセンスのソフトウェア モデルにアップグレード (親) を設定します。ライセンスが空欄でない場合にのみアップグレードの設定を行います。

モデル管理でインストールされたプロパティ

モデル管理には、プロパティ *glide.cmdb_model.display_name.shorten* が含まれます。

名前	説明
glide.cmdb_model.display_name.shorten	**[True]** に設定すると、メーカー名の重複を排除してモデルの表示名を短くします。メーカーに**Spotify** と設定され、名前が**Spotify Premium** と設定されたモデルについて考慮してみましょう。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	[表示名] フィールドはプロパティの設定に基づいて次のように設定されます。 • False：表示名は「Spotify Spotify Premium」となる • True：表示名は「Spotify Premium」となる ソフトウェアモデルであれば、エディションとバージョンが指定されていれば名前にも含まれます。 • タイプ：True | False • デフォルト値：False • 場所：システム プロパティ [sys_properties] テーブル

モデル管理とともにインストールされたスクリプトインクルード

モデル管理にはスクリプトインクルードが含まれています。

名前	説明
ModelAndCategoryFilters	クラスに基づいてモデルやモデル カテゴリの参照修飾子を絞り込みます。
ModelCategoryCheck	同じモデルによって参照される複数のカテゴリー間のクラスの互換性を確保します。

モデル管理とともにインストールされたテーブル

モデル管理には多数のテーブルが含まれています。

テーブル	説明
アプリケーション モデル [cmdb_application_product_model]	ソフトウェア アプリケーション製品の記述に使用されるモデルを格納します。
消耗品モデル [cmdb_consumable_product_model]	消耗品モデルについて説明します。
契約モデル [cmdb_contract_product_model]	すべての契約モデルを格納します。
減価償却 [cmdb_depreciation]	資産の原価償却パターンを格納します。
ハードウェア モデル [cmdb_hardware_product_model]	ハードウェア製品のモデルについて説明します。
モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	資産、消耗品、製品バンドル、構成アイテムのグループを定義します。
モデルの互換性 [cmdb_m2m_model_compatibility]	互いに互換性を持つ 2 つのモデル間の多対多の関係を格納します。
モデル コンポーネント [cmdb_m2m_model_component]	バンドルを形成することを示す 2 つのモデル間の多対多の関係を格納します。
製品モデル [cmdb_model]	あらゆる種類の製品モデルについて説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
ソフトウェア ライセンス計算 [cmdb_sw_license_calculation]	よく使用されるソフトウェア ライセンス パターンを定義します。
ソフトウェア モデル [cmdb_software_product_model]	ソフトウェア製品モデルについて説明します。
ソフトウェア スイート [cmdb_m2m_suite_model	ソフトウェア スイートの要素を定義する 2 つのモデル間の多対多の関係を格納します。
ソフトウェアのアップグレードとダウングレード [cmdb_m2m_downgrade_model]	あるモデルに対してライセンス供与されていることにより、他のモデルにも権限が付与されることを示す 2 つのモデル間の多対多の関係が格納されます。

モデル管理とともにインストールされた **UI** ポリシー

モデル管理には UI ポリシーが含まれています。

名前	テーブル	説明
未確認を非表示にする	モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	[資産クラス] と **[CI** クラス] フィールドが空欄出ない場合、**[CI** 検証を強制] フィールドが表示されます。
[契約] と [作業] のフィールドをロックする [契約] のフィールドをロックする	モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	[名前] が [契約]、[作業オーダー]、[作業タスク] のいずれかである場合、モデル カテゴリー フォームのすべてのフィールドを読み取り専用に設定します。
モデル カテゴリの保護	製品モデル [cmdb_model]	次のいずれかの値が含まれている場合、[モデル カテゴリー] フィールドを必須かつ読み取り専用にします：ソフトウェア ライセンス、契約、作業オーダー、作業タスク。
Oracle であれば表示をオプションにする	ソフトウェア モデル [cmdb_software_product_model]	選択した [メーカー] の名前が **Oracle** から始まる場合、[オプションです] フィールドが表示されます。

モデル管理とともにインストールされたユーザーロール

モデル管理にはユーザーロールが含まれます。

ロール	ロールを含む	説明
category_manager	モデルマネージャー	モデル カテゴリの作成、編集、削除を行えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	ロールを含む	説明
model_manager	なし	新規の CMDB モデルを作成できます。モデル マネージャー ロールは、ハードウェア、ソフトウェア、消耗品のいずれかではないベースモデルやモデル拡張を制御できます。ハードウェア モデルと消耗品モデルは、資産管理者 (asset) ロールによって制御されます。ソフトウェア モデルは、ソフトウェア資産マネージャー (sam) ロールによって制御されます。

資産管理とともにインストールされる内容

資産管理には、いくつかのテーブル、ユーザーロール、UI ポリシー、スクリプトインクルード、クライアントスクリプト、ビジネスルールがインストールされています。

デモ データは資産管理で利用できます。デモデータは、ユーザー、資産、個々の倉庫などの情報を提供します。

テーブル

資産管理 には以下のテーブルが含まれます。

資産管理 テーブル

テーブル	説明
資産 [alm_asset]	資産に関する一般的、財務的、契約上の情報を格納します。
資産エンタイトルメント [alm_entitlement_asset]	ServiceNowで [資産エンタイトルメント] テーブルを分類し、エンタイトルメントの動作方法を強制します。
消耗品 [alm_consumable]	消耗資産 (以前は部品と呼ばれていたもの) に関するデータを格納します。
デフォルトのストックルーム [alm_user_stockroom]	ユーザーとデフォルトのストックルームとの関係を格納します。
固定資産 [alm_fixed_assets]	複数の資産を保持できるコンテナーである固定資産を格納します。
固定資産と資産 [m2m_fixed_asset_to_asset]	固定資産と資産の間の関連を格納します。
ハードウェア [alm_hardware]	ハードウェア資産に関する一般的、財務的、契約上の情報を格納します。
ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	ユーザーやマシンがソフトウェアライセンスを使用することを許可するエンタイトルメントを格納します。
ソフトウェアライセンス [alm_license]	ソフトウェアライセンス資産に関する一般的、財務的、契約上の情報を格納します。
在庫ルール [alm_stock_rule]	指定した資産が設定したしきい値を下回ったときに、在庫を転送したり通知メールを資産管理者に送信したりします。
ストックルーム [alm_stockroom]	ストックルームに関する情報を格納します。
ストックルーム モデル [alm_m2m_stockroom_model]	ストックルームに保管されたすべてのモデルを追跡します。このテーブルには自動的に値が入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 テーブル (続く)

テーブル	説明
ストックルーム タイプ [alm_stockroom_type]	ストックルーム タイプに関する一般情報を格納します。
転送オーダー [alm_transfer_order]	状態やストックルームを含む転送オーダーに関するデータが含まれています。 注: inventory_user、asset、procurement_user ロールは、レポートにのみアクセスできます。Procurement (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。
転送オーダー ライン [alm_transfer_order_line]	転送オーダーで出荷される個々の資産に関するデータが含まれています。
ユーザーエンタイトルメント [alm_entitlement_user]	ServiceNowで [ユーザーエンタイトルメント] テーブルを分類し、エンタイトルメントの動作方法を強制します。

ユーザーロール

資産管理 には、次のユーザーロールが含まれます。

資産管理 ユーザーロール

ロール	含まれるロール	タスク
asset (資産マネージャー)	• カテゴリマネージャー • 契約マネージャー • 財務管理ユーザー • インベントリユーザー • Procurement ユーザー	• ハードウェアと消耗資産 ([alm_hardware] と [alm_consumable]) を管理します。 • 資産マネージャーは、自動的に作成や更新される資産レコードの編集を行えませんが、必要に応じて資産レコードの読み取りや削除はできます。 • 要求を作成します。 • 在庫情報の作成と削除を行います。 • 要求、発注書、および基本システムカタログタスクにアクセスします。
inventory_admin	インベントリユーザー	• 在庫情報の作成と削除を行います。 • 在庫ルール、倉庫、倉庫タイプを編集します。
inventory_user	なし	• 在庫情報にアクセスします。 • 転送注文を作成および管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ユーザーロール (続く)

ロール	含まれるロール	タスク
sam	• 契約マネージャー • モデルマネージャー • 財務管理ユーザー	• ソフトウェアライセンスを作成、編集、変更、管理します。 • Discovery モデルとソフトウェアインストールの [ソフトウェアモデル] フィールドを編集します。 • モデルを承認します。ソフトウェア資産管理アプリケーションのフルコントロールが行えます。 • ソフトウェア資産管理 IBM PVU プロセスパック (有効の場合) を制御します。

UI ポリシー

資産管理 には、次の UI ポリシーが含まれます。

資産管理 UI ポリシー

名前	テーブル	説明
資産管理番号とシリアル番号を非表示にする	[alm_asset]	資産が割り当てられていて数量が 1 より大きい場合、資産管理番号を非表示にします。
ストックルーム再補充のストックルーム (親) を表示/非表示	[alm_stock_rule]	[再補充] オプションフィールドが [ストックルーム] に設定されている場合のみ、[ストックルーム (親)] フィールドが表示されます。
[割り当て先] と [担当者] を必須にします。	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	[割り当て先] フィールドと [担当者] フィールドを必須にします。
サブステータスを必須でない場合読み取り専用にする	[alm_asset]	[状態] が [注文済み]、[使用中]、[消費済み]、[メンテナンス中] のいずれかの場合、[サブステータス] を読み取り専用に設定します。
モデル バンドル フィールドを UI ポリシー条件の目的で非表示だが存在する	[alm_asset]	モデル バンドル フィールドを非表示にします。UI ポリシーとクライアントスクリプトでのみ使用するページには存在します。
事前割り当ての制約	[alm_asset]	資産が割り当てられる際、不要なフィールドや関連リストを非表示にします。
モデルとカテゴリ資産を認定し、バンドルではない場合のみ、数量は読み取り専用です。	[alm_asset]	消耗品、ソフトウェア、事前に割り当てられていない資産の [数量] フィールドを読み取り専用に設定します。モデルまたはモデル カテゴリフィールドが空欄の場合、数量は読み取り専用です。
「担当者」を表示	[alm_asset]	[状態] フィールドが [注文済み]、[在庫あり]、[輸送中] のいずれかではない場合、[担当者] フィールドが表示されます。
「予約目的」を表示	[alm_asset]	[状態] フィールドが [注文済み]、[在庫あり]、[輸送中] のいずれかの場合、[予約目的] フィールドが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 **UI** ポリシー (続く)

名前	テーブル	説明
「ストックルーム」を表示	[alm_asset]	次のいずれかの条件に該当する場合、[ストックルーム] フィールドを表示します。 • [ステータス] フィールドが [在庫あり] で、サブステートが [割り当て済み] ではない。 • サブステートが [割り当て済み] で、親が空欄。

スクリプトインクルード

資産管理 には、次のスクリプトインクルードが含まれます。

資産管理 のスクリプト インクルード

名前	説明
AssetandCI	資産レコードと CI レコードの関係を作成、管理するためのコード。
AssetAndCisynchronizer	資産レコードと CI レコードの同期コード。
AssetUtils	資産管理のためのユーティリティ機能。また、ライセンスがマージ可能かどうかを確認し、要件が満たされた場合にライセンスをマージします。
AssetUtilsAJAX	資産管理のための AJAX ベースのユーティリティ機能。クライアント サイドの UI アクションから AssetUtils スクリプトインクルードを呼び出します。
消耗品	消耗品を変更 (たとえば、消費、分割、結合) するためのコード。
FixedAssetUtils	固定資産の積上げ型原価計算の方法。
PortalFilters	[自分の資産] ポータルで使用されるフィルター。
PreAllocatedAssets	事前に割り当てられた資産を変更するコード。
StockRuleFilters	在庫ルールの参照フィールドのオプションをフィルタリングするための参照修飾子コード。
StockRuleTransfer	在庫ルールが発動されるときの転送オーダーの作成コード。
TransferOrderDateTimeAjax	転送オーダーの日付の比較ユーティリティ。
TransferOrderFilters	転送オーダーの参照フィールドのオプションをフィルタリングするための参照修飾子コード。
TransferOrderFinder	転送オーダー ラインの情報を挿入する適切な転送オーダーを検索。
TransferOrderHelper	転送オーダーに複数の転送オーダー ラインがあるかどうかをチェックする機能。
TransferOrderLineFilters	転送オーダー ラインの参照フィールドのオプションをフィルタリングするための参照修飾子コード。
TransferOrderReceiver	転送オーダー ラインを受領するコード。
TransferOrderReturn	転送オーダー ラインを返品するコード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 のスクリプト インクルード (続く)

名前	説明
TransferOrderStageHandler	転送オーダーのステージと転送オーダー ラインのステージを変更するためのコード。
TransferOrderStageHelper	転送オーダーと転送オーダー ラインの数値的なステージを取得するヘルパーメソッド。

クライアントスクリプト

資産管理 には、次のクライアントスクリプトが含まれます。

資産管理 クライアントスクリプト

名前	テーブル	説明
サブ状態を修正する	[alm_asset]	[状態] フィールドが変更されたときに、[サブステータス] フィールドを更新します。
数量がマイナスになっていないことを確認する	[alm_asset]	1 より小さい値に設定すると、[数量] フィールドがクリアーされます。
事前割り当て済みサブステータスのエラー	[alm_consumable]	消耗品資産における [サブステータス] フィールドが [事前割り当て済み] に設定されないようにします。エラー メッセージも表示します。
事前割り当て済みサブステータスのエラー	[alm_license]	ライセンス資産における [サブステータス] フィールドが [事前割り当て済み] に設定されないようにします。エラーメッセージも表示します。
allocated_toの無効化	[alm_entitlement]	[担当者] フィールドが設定されている場合、次の操作を行います。 • [割り当て先] フィールドをクリアして、必須フィールドでないようにする。 • [担当者] フィールドを必須にする。
assigned_toの無効化	[alm_entitlement]	[割り当て先] フィールドが設定されている場合、次の操作を行います。 • [担当者] フィールドをクリアして、必須フィールドでないようにする。 • [割り当て先] フィールドを必須にする。
残存価額は原価よりも低くなければならない	[alm_asset]	資産の原価よりも高い残存価額が入力された場合に警告を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 クライアントスクリプト (続く)

名前	テーブル	説明
[資産] の [コスト] を設定する	[alm_asset]	[モデル] フィールドが設定されている場合は、[コスト] フィールドに値を入力します。
担当者から Loc/CC/Dep/Com を設定する	[alm_asset]	[アサイン先] フィールドが設定されている際、[場所]、[コストセンター]、[部門]、[会社] フィールドに値を入力します。
ストックルームから [場所] を設定する	[alm_asset]	[ストックルーム] フィールドが設定されている際、[事業所] フィールドに入力します。
[ストックルーム] から [配送元の場所] を更新する	[alm_transfer_order]	[配送元ストックルーム] フィールドが設定されている際、[配送元の場所] フィールドに値を入力します。
資産に基いた [モデル] と [数量] を更新する	[alm_transfer_order_line]	[資産] フィールドが設定されている際、[モデル] フィールドに値を入力します。資産が割り当て済み資産の場合、このクライアント スクリプトを [数量] フィールドにも入力します。
[ストックルーム] から [配送先の場所] を更新する	[alm_transfer_order]	[配送先ストックルーム] フィールドが設定されている場合は、[配送先の場所] フィールドに値を入力します。
ロードとモデル チェンジの UI を更新する	[alm_transfer_order_line]	転送オーダーラインフォームがロードされる際、およびモデルが選択される際、チェックを実行してユーザーインターフェイスが更新されます。
[配送期日] を検証する	[alm_transfer_order]	納期が未来日付であることを検証します。
在庫を確認する	[alm_transfer_order_line]	要求された数量を満たす在庫が存在することを確認します。
在庫を確認する (ストックルーム)	[alm_transfer_order_line]	[配送元のストックルーム] の値が変更された際、要求された数量を満たす在庫が存在することを確認します。

ビジネスルール

資産管理 には、次のビジネスルールが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール

名前	テーブル	説明
権限よりもライセンスを割り当てる	ソフトウェアライセンス [alm_license]	割り当てられたライセンスの数が権限の総数よりも多い場合は、ライセンスの作成や更新を防ぎます。
資産の廃止	資産 [alm_asset]	[担当者]、[ストックルーム]、[予約済み] の各フィールドをクリアーして、資産を廃止した時点の日付を設定します。
TOL 状態を自動的に変更する	転送オーダー ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文の [配送元の倉庫] と [配送先の倉庫] が同一で、それがパーソナル倉庫である場合、このビジネスルールは： • 転送オーダー ラインの [状態] を [配送済み] に設定します。 • 資産の [サブステート] を [予約済み] に設定します。 転送注文の [配送元の倉庫] と [配送先の倉庫] が同一で、それがパーソナル倉庫でない場合、このビジネスルールは： • 転送オーダーの [ステージ] を [受領済み] に設定します。 • 資産の [サブステート] を [保留中の転送] に設定します。
[挿入] にバンドル コンポーネントを構築する	資産 [alm_asset]	作成された資産のモデルがバンドルの場合、バンドルに関連するコンポーネントの資産を作成します。
更新時に [担当者] をクリアーする	資産 [alm_asset]	[状態] フィールドが [注文済み]、[在庫有り]、[輸送中] のいずれかに変更された場合は、[担当者] フィールドをクリアーします。
事前割り当てに関係のないフィールドをクリアーする	資産 [alm_asset]	割り当て済み資産とは関係のないフィールドの値をクリアーします。
挿入時に [資産] を作成する	構成アイテム [cmdb_ci]	資産のない新規の構成アイテムが作成された際、相対する資産を作成します。
モデルの変更時に資産を作成する	構成アイテム [cmdb_ci]	[モデル ID] フィールドが変更された際に新しく関連した資産を作成します。
挿入時にCI を作成する	資産 [alm_asset]	構成アイテムのない新規の資産が作成された際に相対する構成アイテムを作成します。
[ストックルーム モデル関係] を作成する	資産 [alm_asset]	資産が作成または更新された際、[倉庫モデル] テーブルにモデルを保持する倉庫を示すレコードを作成します (存在しない場合)。
すべての転送オーダーラインを削除する	転送オーダー [alm_transfer_order]	転送オーダーが削除されると、すべての関連する転送オーダー ラインが削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール (続く)

名前	テーブル	説明
エンタイトルメントが権限を超えないようにする	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	エンタイトルメントが作成される際、関連するライセンスのエンタイトルメント総数がライセンスによって与えられた権限の数を超えないことを確認します。
GenerateAssets	モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	スケジュール設定済みスクリプト ジョブを実行して、構成アイテムのために資産を作成します。
親から継承する情報	資産 [alm_asset]	新しい親を資産に割り当てる際、資産に親の値を割り当てます。
ベンダー向けの管理されたストックルーム	在庫ルール [alm_stock_rule]	ベンダー補充の在庫ルールによって倉庫が選択され、その倉庫に使用可能なメールアドレスを持つ管理者がいることを確認します。
割り当て先または担当者の権限	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	[割り当て先] フィールドか [担当者] フィールドのいずれかの値を必須にします。
レコードを結合する	消耗品 [alm_consumable]	一致するフィールドを持ち [輸送中] ではない消耗品を、合計数を含んだ 1 つのレコードに結合します。
挿入と滞留時に資産を無効化する	構成アイテム [cmdb_ci]	フィールドに CI を持つ資産が含まれている場合、挿入時に [資産] フィールドをクリアします。
挿入と滞留時に CI を無効化する	資産 [alm_asset]	既存の CI に対して挿入が実行される場合、資産フィールドを無効にして CI の新規資産を作成します。
フィールドに予約済み	転送オーダー ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文ラインに関連する要求ラインがある場合、このビジネスルールによって関連する資産の [予約目的] フィールドに要求ラインからの適切な情報を入力します。
資産/消耗品の状態を移動させる	転送オーダー ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文ラインが別のステータスに移動する際、現在の転送ステータスを反映するように相対する資産を変更します。
TOL キャンセル/削除時の資産を解放する	転送オーダー ライン [alm_transfer_order_line]	[ドラフト] 状態の転送オーダー ラインがキャンセルまたは削除されたときに、相対する資産を在庫に戻し、部品要件を取り消します。
TOL のキャンセルを [配送先] へロールアップする	転送オーダー ライン [alm_transfer_order_line]	転送オーダー ラインがキャンセルされたことを相対する転送オーダーに通知します。
処分価額は原価よりも低くなければならない	資産 [alm_asset]	残存価額がコストよりも多い場合は、資産レコードの保存を防止します。
事前割り当ての健全性チェック	資産 [alm_asset]	事前割り当て条件を満たしていない場合、割り当て済み資産の作成または更新を防止します。
クラスを設定する	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	エンタイトルメントがアサインされている、または割り当てられているかによって、このエンタイトルメントのクラスを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール (続く)

名前	テーブル	説明
転送オーダータイプの設定	転送オーダー [alm_transfer_order]	関連するサービスオーダータスクまたは作業指示タスクがあるかどうかによって、転送注文のタイプを設定します。
モデル カテゴリを同期する	製品モデル [cmdb_model]	モデルカテゴリが変更されると、このビジネスルールによって、モデルに関連付けられた構成アイテムに対してこれまで存在していない場合に資産を作成します。
転送オーダー在庫ルール	転送オーダー [alm_transfer_order]	転送オーダーに複数の転送オーダー ラインが含まれている場合、[配送元のストックルーム] フィールドが変更されないようにします。
予約済みからアサイン済みへの変更	資産 [alm_asset]	資産が適切な状態にあるときに、[担当者] フィールドに [予約済み] フィールドの値を入力します。
情報をコンポーネントに細分化する	資産 [alm_asset]	資産レコードの変更を反映するために、資産のコンポーネントを更新します。
変更時に資産フィールドを更新	構成アイテム [cmdb_ci]	構成アイテムフォームでの変更によって、相対する資産フォームで同じ更新がトリガーされるようにフィールドを同期し、一貫性のあるレポートを確実に作成します。資産フォームでステータスを更新する必要があります。
変更時に CI フィールドを更新	資産 [alm_asset]	フィールドを同期させ、資産フォームで行った変更が相対する構成アイテム フォームで同じ更新を発動させて一貫性のあるレポートを確実に作成します。
必要に応じて場所を更新する	資産 [alm_asset]	資産が新しいストックルームに設定されている場合、または新しいユーザーに割り当てられている場合は、資産の場所を更新します。
フィールド エージェントタイプの検証	ストックルーム [alm_stockroom]	作業管理またはフィールドサービス管理 (FSM) がアクティブ化されていない段階で [フィールドエージェント] タイプの倉庫が作成されないようにします。ユーザー 1 人につき個人のストックルームは 1 つしか使用できません。
TOL を検証し使用可能かどうかを確認する	転送オーダー ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文ラインの変更を検証し、指定の倉庫で転送される資産の在庫状況を確認します。
転送オーダーを検証する	転送オーダー [alm_transfer_order]	[配送期日] が現在よりも早い日付で設定されていないことを確認します。
一意のユーザーを検証する	デフォルトのストックルーム [alm_user_stockroom]	同一のユーザーで複数のレコードを作成しないようにします。
エンタイトルメントの検証 (割り当て済み)	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	条件が存在する場合、エンタイトルメントの割り当てがライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール (続く)

名前	テーブル	説明
エンタイトルメントの検証 (アサイン済み)	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	条件が存在する場合、エンタイトルメントのアサイン先がライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。
エンタイトルメントの検証 (割り当て済み)	ソフトウェア ライセンス [alm_license]	条件が存在する場合、すべてのライセンスエンタイトルメントの割り当てがライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。
エンタイトルメントの検証 (アサイン済み)	ソフトウェア ライセンス [alm_license]	条件が存在する場合、すべてのライセンスエンタイトルメントのアサイン先がライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。
フィールド エージェントでないことを確認する	デフォルトのストックルーム [alm_user_stockroom]	選択したデフォルトの倉庫が [フィールドエージェント] タイプでないことを確認します。

ハードウェア資産管理とともにインストールされる内容

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、ジョブスケジュールなど) が、sn_hamp プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロールタイトル	説明	含んでいるロール
ham_admin	コンテンツサービスのオプトイン機能を含む、アプリケーションの各機能 ハードウェア資産管理 へのフルアクセスを付与します。このロールは に使用されます ハードウェア資産管理。	• inventory_admin • catalog_manager • report_user • sn_hamp.ham_user • 資産 • procurement_admin
sn_hamp.ham_user	ハードウェア資産とレポートを管理します。	資産

インストールされたジョブスケジュール

ジョブスケジュール	説明
HAM - コンテンツのアップロード	正規化されたハードウェアモデルを公開します。
HAM - 日次ジョブ	各モデルカテゴリのハードウェアと消耗品モデルの数、モデルのアクティブなライフサイクルフェーズを計算し、クライアントスケジュールのプル時間を設定します。
HAM - ハードウェアライフサイクル	ハードウェアライフサイクルを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブスケジュール	説明
HAM - ハードウェア正規化	ハードウェアと消耗品のモデルを正規化します。
HAM:貸与資産のオーダー割り当て	貸与資産のオーダーに資産を割り当てます。
HAM - ライセンスデータの入力	ライセンスの詳細を入力します。
HAMP - コンテンツファイルマネージャー	ジョブはハードウェアライブラリの管理からトリガーされます。
1 年以上経過した資産監査または 10 万を超える資産監査を消去	古い資産監査レコードまたは 1 万を超える資産を含む資産監査を削除します。
[PAハム]日次収集ジョブ	さまざまなパラメーターのスコアを収集する日次ジョブ。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
バンドル [alm_bundle]	バンドル資産の詳細。
資産監査 [sn_hamp_asset_audit]	資産監査の詳細。
ハードウェア資産再利用ライン [sn_hamp_asset_reclaim_line]	再利用資産ごとに作成されたハードウェア資産再利用ラインの詳細。
ハードウェア資産再利用タスク [sn_hamp_asset_reclaim_task]	各ハードウェア資産再利用ラインに対して作成されたタスクの詳細。
資産 RMA タスク [sn_hamp_asset_rma_task]	RMA 資産タスクレコードリスト。
ハードウェア資産構成 [sn_hamp_configuration]	の構成 ハードウェア資産管理レコード。
HAM コンテンツ監査 [sn_hamp_content_audit]	変更されたコンテンツ値の詳細。
カスタムデバイスタイプ	カスタムハードウェアデバイスタイプレコードリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_hamp_custom_hw_device_type]	
カスタムハードウェアメーカー [sn_hamp_custom_hw_manufacturer]	カスタムハードウェアデバイスのメーカーレコードリスト。
カスタムハードウェア製品 [sn_hamp_custom_hw_product]	カスタムハードウェア製品レコードリスト。
カスタムハードウェアモデルライブラリ [sn_hamp_custom_hw_prod_model]	カスタムハードウェアモデルライブラリレコードリスト。
ハードウェア廃棄注文 [sn_hamp_hardware_disposal]	ハードウェア廃棄注文レコードのリスト。
ハードウェア廃棄タスク [sn_hamp_hw_asset_disposal_task]	ハードウェア廃棄注文フローに関連付けられたタスクの詳細。
デバイス タイプ [sn_hamp_hw_device_type]	ハードウェアデバイスタイプレコードリスト。
Hardware Manufacturer (ハードウェア製造元) [sn_hamp_hw_manufacturer]	ハードウェアデバイスのメーカーレコードリスト。
Hardware Normalization Map (ハードウェア正規化マップ) [sn_hamp_hw_normalization_map]	ハードウェア製品やハードウェア製品モデル ID などの製品詳細。
Hardware Product (ハードウェア製品) [sn_hamp_hw_product]	製品の名前やデバイスのタイプなどの製品の詳細。
Hardware Model Library (ハードウェアモデルライブラリ) [sn_hamp_hw_product_model]	製品やモデル番号などの製品の詳細。
ハードウェア資産のリフレッシュライン [sn_hamp_hw_refresh_line]	ステージ、要求アイテム、交換モデル、交換用資産などのハードウェア資産リフレッシュラインの詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
リフレッシュラインタスク [sn_hamp_hw_refresh_line_task]	ハードウェア資産のリフレッシュラインに関連付けられたリフレッシュラインタスクの詳細。
インポートステージング [sn_hamp_import_template]	資産とモデルレコードをインポートするためのテンプレート。
Hardware Lifecycle Definition (ハードウェアライフサイクル定義) [sn_hamp_lifecycle_definition]	ハードウェアまたは消耗品モデルのライフサイクルフェーズと関連付けられた日付。
貸与資産の注文 [sn_hamp_loaner_asset_order]	貸与資産のオーダーレコードリスト。
貸与資産タスク [sn_hamp_loaner_asset_task]	貸与資産のオーダータスクレコードリスト。
スキャン済み資産に対する監査 [sn_hamp_m2m_audit_asset]	スキャンされた資産の監査レコードのリスト。
予定資産 [sn_hamp_m2m_hw_asset_disposal]	ハードウェア資産廃棄注文に含まれる資産の詳細。
交換用モデル [sn_hamp_m2m_ztr_replacement_model]	ゼロタッチでリフレッシュモデルの置換レコードリスト。
ハードウェアライブラリを管理 [sn_hamp_manage_hw_library]	ハードウェアライブラリコンテンツインポートレコードのリスト。
モデルカテゴリ正規化のサマリー [sn_hamp_model_ctg_norm_summary]	モデルカテゴリの正規化の概要。
HAM リソースのカテゴリ [sn_hamp_resource_category]	各リソースカテゴリのサブスクリプションユニット率とその他のライセンス関連の詳細。
RMA 要求	RMA 要求レコードリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_hamp_rma_request]	
RMA 要求ライン [sn_hamp_rma_request_line]	RAM 要求の RMA 要求ラインレコードのリスト。
HAM 成功アクティビティ [sn_hamp_success_activity]	HAM 成功アクティビティレコードリスト。
HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal]	HAM 成功目標レコードリスト。
ゼロタッチでリフレッシュモデル [sn_hamp_ztr_refresh_model]	ゼロタッチでリフレッシュフローのリフレッシュモデルレコードの詳細。
ゼロタッチでリフレッシュ要求 [sn_hamp_ztr_request]	ゼロタッチでリフレッシュ要求レコードリスト。
ゼロタッチでリフレッシュタスク [sn_hamp_ztr_task]	ゼロタッチでリフレッシュフローに関連付けられたタスクの詳細。
RFID 資産 [rfid_asset]	資産の RFID 情報を保存します。

自動翻訳

資産レコードフィールド

ハードウェア資産の詳細フォームのフィールドは、ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、バンドル、パレット、モバイル、および施設資産の作成に役立ちます。

フィールド	説明
表示名	レコードリストに表示される資産の名前。このフィールドは、[資産タグ] と [モデル] フィールドに基づいて資産を作成した時点で自動設定されます。
モデルカテゴリ	資産のモデルグループ化。資産は、選択したモデルカテゴリに基づいて構成アイテムにリンクされます。
モデル	資産の特定の製品モデル
構成アイテム	資産を作成すると、CI は自動的に作成されます。このフィールドに表示される名前は、[シリアル番号] および [モデル] のフィールド値に基づいています。参照アイコンをポイントすると、資産レコードから継承された構成アイテムの詳細が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
数量	この資産が表すアイテムの数。これらのポイントが 1 つ以上該当しない限り、資産の数量は 1 となります。 • 資産が消耗品の場合、消耗品はグループ単位の追跡となるため、数量は無制限です。 • 資産が事前割り当て済みの場合、[モデルカテゴリ] と [モデル] の値が定義され、かつ [サブステート] が [事前割り当て済み] に設定されている場合、数量は無制限です。
全般 資産の各タイプに対して、フィールドがすべて使用できるとは限りません。	
資産タグ	資産の追跡のために組織が割り当てた英数字の情報。
ステータス	注文済みや使用中など、資産の現在の状態。
アサイン先	このアイテムの使用者または主たる責任者。このフィールドは、[状態] が [使用中] の場合に表示されます。
倉庫	倉庫の名前。このフィールドは、資産のステータスが在庫ありまたは構築の場合にのみ表示されます。
通路	ストックルーム内の資産の通路の詳細。このフィールドは、資産のステータスが在庫ありまたは構築の場合にのみ表示されます。 **注:** このフィールドは、Hardware Asset Management Professional プラグイン (com.sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
スペース	通路内の資産のスペースの詳細。このフィールドは、資産のステータスが在庫ありまたは構築の場合にのみ表示されます。 **注:** このフィールドは、Hardware Asset Management Professional プラグイン (com.sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
管理担当者	資産を維持管理している人物。このフィールドは、[オーナー] フィールドと別の人物にすることも可能です。
オーナー	資産の財務的所有権を有している人物。このフィールドは、[管理担当者] フィールドと別の人物にすることも可能です。
親	資産の親資産。たとえば、モニターや周辺機器の親資産をワークステーションにすることができます。親リンクが定義されると、子資産の割り当てと状態に関連するフィールドが読み取り専用に設定され、親の割り当てと状態フィールドに基づいて自動入力されます。詳細については、「Bundled models」を参照してください。
資産機能	資産の機能。 利用可能な値は次のとおりです。 • プライマリ • セカンダリ • 共有しました

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 貸与 • アセットバンドル
クラス	資産グループ (例：ベース、ハードウェア、ライセンス、消耗品)。
コメント	資産に関する有用な情報。
シリアル番号	この資産のシリアル番号。
サブステート	資産の現在のサブステート。使用可能なサブステートの設定は、選択した [状態] によって異なります。たとえば廃止状態には、サブステート オプション (廃棄済み、販売済み、寄贈済み、ベンダー クレジット) が含まれています。
ロケーション	資産の現在の物理的な場所。 **注:** ロケーションは、場所、フロア、建物、または敷地に設定できます。ロケーションを敷地以外のオプションに設定すると、資産フォームに [場所階層] セクションが表示されます。ロケーション階層には、指定されたロケーションとその親ロケーションの間の階層関係が表示されます。 次の基準を満たしている場合、資産フォームには、資産のリアルタイムの場所を示すインタラクティブマップが表示されます。 • 場所は特定の場所に設定されます。 • Indoor Mapping for Assets (com.sn_ima) アプリケーションを介してインドアマップにアクセスします。このアプリケーションは、ハードウェア資産管理とともにインスタンスにインストールされますServiceNow。このアプリケーションは、 から ServiceNow Store明示的にインストールすることもできます。 • インスタンスでServiceNowシステムパラメーターが *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets***true** に設定されている。 デフォルトでは、場所マップは表示されません。マップを表示するには、資産レコードのコンテキストサイドバーにある場所マップ () アイコンを選択します。 除外された資産の場所マップは表示されません。
部門	この資産が属する部門。
会社	この資産が属する会社または組織。
アサイン済み	資産がユーザーに割り当てられた日付。
インストール日	資産がインストールされた日付。
場所階層 [場所階層] セクションは、ハードウェア、消耗品、バンドル、およびパレット資産でのみ使用できます。このセクションは、次の条件でのみ表示されます。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
• ServiceNow インスタンスで *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* システムパラメーターが **true** に設定されている場合 • 敷地以外の場所を選択した場合	
フロア	[ロケーション] フィールドで指定された場所があるフロア。 **注:** このフィールドは、[ロケーション] フィールドで場所を選択した場合にのみ表示され、ロケーションに基づいて自動的に入力されます。
建物/構造	フロアが属する建物。 **注:** このフィールドは、[ロケーション] フィールドで場所またはフロアを選択した場合にのみ表示され、ロケーションに基づいて自動的に入力されます。
敷地	建物がある敷地。 **注:** このフィールドは、[ロケーション] フィールドで場所、フロアまたは建物を選択した場合にのみ表示され、ロケーションに基づいて自動的に入力されます。
財務 [財務] セクションは、ハードウェア、ソフトウェアエンタイトルメント、および施設資産に対してのみ利用できます。	
要求アイテム	資産に関連した要求アイテム。
請求書番号	資産に関する請求が記載されている請求書。
コスト	資産が購入された価格。
ベンダー	資産の購入元となるベンダー。Procurement の発注書から自動作成された資産の場合、[ベンダー] フィールドのデフォルト値は発注書で指定されたベンダーとなります。
オープン	要求されたアイテムレコードが開かれた日付。要求ラインが指定されると、システムによってフィールドが自動入力されます。
GL アカウント	資産が関連付けられている総勘定元帳のアカウント番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を持つグループ。
取得方法	資産を取得する方法。ベースシステムの選択肢は、購買、リース、レンタル、ローンです。 Procurement の発注書により自動登録された資産の場合、デフォルト値は購買です。
支出タイプ	支出の種類。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 • 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
更新対象	
資産 TCO	総所有コスト。総コストには初期資本コストと運用コストが含まれます。 資産 TCO の詳細については、「」を参照してください の資産総所有コスト ハードウェア資産管理。
TCO ベンチマークコスト	資産モデルの事前定義されたベンチマークコスト。 注: このフィールドは、ハードウェアモデルの詳細フォームから参照されます。詳細については、「ハードウェアモデルの詳細」を参照してください。
TCO ベンチマークしきい値	資産が TCO ベンチマークコスト値に達しつつあることを識別する資産モデルコストのしきい値。ベンチマークしきい値は、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されています。 たとえば、資産モデルの TCO ベンチマークコストを 1,000 ドルと設定すると、TCO ベンチマークしきい値は自動的に 750 ドルに設定されます。 システムプロパティ *sn_itam_common.asset_tco_benchmark_threshold_percentage* を使用して、ベンチマークしきい値を更新します。このフィールドは、ハードウェアモデルの詳細フォームから参照されます。詳細については、「ハードウェアモデルの詳細」を参照してください。
TCO ベンチマークステータス	資産の TCO のステータス。 • 到達: 資産 **TCO** 値が **TCO** ベンチマークコスト 値以上である場合、TCO ベンチマークステータスは [到達済み] と表示されます。 • 近づいている: 資産 **TCO** 値が **TCO** ベンチマークコスト を下回り、 **TCO** ベンチマークしきい値 を超えている場合、TCO ベンチマークステータスは [近づいている] と表示されます。 • 未達: 資産 **TCO** 値が **TCO** ベンチマークしきい値 を下回る場合、TCO ベンチマークステータスは [近づいている] と表示されます。
廃棄	
廃棄注文番号	資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号。 注: このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するためにベンダーによって割り当てられた注文番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄日	資産廃棄注文処理が完了した日付。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄の理由	資産を廃止する理由の説明。
受領企業	資産の廃止時にその資産を受け取る組織。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈された場合、その値は税金のレポート時に使用されます。
予定廃止日時	資産の廃止予定日。
廃止日	実際に廃止した日付。
減価償却 [減価償却] セクションは、ハードウェアと施設資産でのみ利用できます。	
減価償却	適用される減価償却方法。基本システムの選択肢は、定率と定額です。減価償却値は、関連するモデルからデフォルト設定されます。
減価償却開始日	指定された減価償却方法が開始される日付。
処分価額	耐用年数の終了時の資産の見積額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
残余日数	減価償却有効日付から経過した日数
残余価値	減価償却方法が適用された [コスト] フィールドの値
減価償却額	資産の減価償却済みの金額
契約	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[契約] セクションは、ハードウェア、ソフトウェアエンタイトルメント、または施設資産でのみ利用できます。	
リース契約	資産に適用されているリース契約。
保証の有効期限	資産の保証期限。
リース有効期限	契約が期限切れになる日付。 注: このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
リース期間 (月)	リース契約が有効な期間 (月単位)。 注: このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
月次リース支払	契約に対して毎月支払う金額。 注: このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
サポートグループ	資産をカバーする契約を管理するグループ。
同種交換	リースに持ち込んだ資産ではなく、契約ベンダーに返却する類似の資産。 注: このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
サポート担当者	資産をカバーする契約を管理する人物。
アクティビティ	
作業メモ	作業メモは、以下の場合に更新されます。 • 資産の [担当者]、[管理者]、[状態]、[サブステート]、[予備] フィールドの更新。これらのフィールドの列はデフォルトで監査されており、更新は作業メモに記録されます。 • ハードウェア資産とソフトウェア資産の作業メモは、発注書と転送オーダーによる資産の受領の際に更新されます。これらの作業メモは資産のライフ サイクルを追跡するのに便利です。
監査	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
監査番号	資産の監査番号。
監査タイプ	資産に対して実行された監査のタイプ。
前回の監査日	前回の監査が行われた日付。
前回の監査ステート	前回の監査のステータス。
監査者	前回の監査を実行した人物。
モバイル [モバイル] セクションは、モバイルデバイスモデルカテゴリでのみ使用できます。 **注:** このセクションは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。	
配送業者	配送会社の名前。
所有権	資産の所有権。使用可能な値： • 従業員 • 企業
IMEI	モバイルデバイスを追跡するための一意の番号。
事前登録 ID	前回の監査を実行したユーザー。
MAC アドレス	モバイルデバイスの MAC アドレス。
登録 ID	現在の監査を実行するユーザー。
電話番号	モバイルデバイスに関連付けられた電話番号。
登録名	モバイルデバイスの登録名。
プラットフォーム	モバイルデバイスのプラットフォーム。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • Android • iOS • Windows • ChromeOS • その他

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
登録ステータス	デバイスの現在の登録ステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 登録済み • 登録解除 • 期限切れ • 登録待ち • 登録解除待ち
購入日	モバイルデバイスが購入された日付。
登録日	初回の登録日。
アップグレード対象日	モバイルデバイスがアップグレード対象になる日付。
前回の登録	前回登録した日付。
サービス契約	モバイルデバイスに関連付けられた契約番号。
有効化されたデバイス	モバイルデバイスのアクティベーションステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • はい：モバイルデバイスはアクティブ化されています。 • いいえ：モバイルデバイスはアクティブ化されていません。
関連リンク	
減価償却を計算	選択すると減価償却額と残存価額を計算します。
資産のみを削除	選択すると資産が削除され、関連付けられている CI は残ります。
関連リスト	
資産	作成した資産に関連付けられている資産。
経費ライン	資産に関連付けられた経費ライン。
RMA	資産に関連付けられた返品承認。

消耗品モデルフィールド

消耗品モデルフォームと関連リストフィールドの説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[消耗品] セクション

フィールド	説明
表示名	資産の名前とメーカーに依存するモデルの名前。
モデルカテゴリ	資産のモデルカテゴリ。カテゴリのタイプは、資産が CI にリンクされているかどうかによって異なります。
ステータス	資産の現在の状態。
サブステート	資産の現在のサブステート。
倉庫	資産に在庫がある場合、その資産が配置されているストックルームの名前。
数量	資産の数。

ベンダーカタログアイテム関連リスト

フィールド	説明
名前	ベンダーカタログアイテムの表示名。
ベンダー	製品ベンダーの名前。
製品モデル	ベンダーカタログアイテムに関連付けられている製品モデル。
在庫切れ	商品が在庫切れかどうかを示すオプション。
アプリケーション	製品レコードを含むアプリケーション。
製品 ID	メーカーの製品 ID。
表示価格	ディスカウントが適用される前の製品の表示価格。
ベンダー価格	製品のベンダー価格。
ランク	ベンダーランク階層。
簡単な説明	製品の説明。
全般	
製品カタログアイテム	アイテムの公開時に作成された製品カタログアイテムです。
UPC	製品のユニバーサル・プロダクト・コード(UPC)。
説明	製品の説明。
画像	製品の写真。
アクティブ	製品がアクティブかどうかを示すオプション。
情報	
仕様	ベンダーからの製品仕様。
特徴	ベンダーから提供される製品機能。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

消耗品モデルのライフサイクル関連リスト

フィールド	説明
モデル	モデルの名前。
ライフ サイクル タイプ	ライフサイクルのタイプ。 • 内部 • 公開者
ライフ サイクル フェーズ	ライフサイクルのフェーズ。 • 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 延長サポート終了 • 提供終了
ソース	モデルのライフサイクルのソース。
説明	ライフサイクルの説明。
フェーズ開始日	ライフ サイクル フェーズの開始日。
フェーズ終了日	ライフ サイクル フェーズの終了日。
リスク	ライフサイクルに関連付けられたリスク。
アクティブ	モデルのライフサイクルがアクティブであることを示すオプション。

ハードウェアモデルの詳細

ハードウェアモデルの詳細と関連リストのフィールドの説明を確認します。

詳細

フィールド	説明
表示名	モデルの表示名。表示名は、[メーカー] フィールドと [名前] フィールドから生成されます。
メーカー	モデルメーカーの名前。
簡単な説明	モデルの説明。
モデルカテゴリ	モデルを関連付けることができるモデルカテゴリです。モデルカテゴリは、構成アイテム (CI) と資産を作成するために使用されます。
資産追跡戦略	モデルの資産追跡。
有効年限 (月数)	ハードウェアモデルを使用できる月数。
資産トラッキング単位	資産の測定に使用される単位。
取得方法	資産または CI が調達された方法。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コスト	個々のモデルのコスト。
減価償却	モデルの減価償却スキーム。
残存価額	モデルの残存価値の推定値。
名前	モデルの名前。
モデル番号	モデルを識別する番号。この番号は、内部で定義することも、モデルのメーカーが定義することもできます。
バーコード	モデルを識別するバーコード。
所有者	モデルの責任者。
ステータス	製品モデルから継承されているハードウェアモデルのステータス。
ライフサイクルステージ	製品に関連するハードウェア資産と CI のライフサイクル全体におけるステージ。 このフィールドは、Common Service Data Model (CSDM) をオプトインした場合にのみ表示されます。
ライフサイクルステージステータス	製品に関連するハードウェア資産と CI のライフサイクル全体におけるステータス。 このフィールドは、Common Service Data Model (CSDM) をオプトインした場合にのみ表示されます。
支出タイプ	支出の種類。
認定	モデルの使用が認定されているかどうかを示すオプション。
計算済みライフサイクルテンプレート	ライフサイクルの日付を計算するために適用されたテンプレート。
計算済みライフサイクル開始日	テンプレートを適用し、テンプレートで定義された各フェーズの最終日付を取得する日付。
TCO ベンチマークコスト	資産モデルのベンチマークコスト。
TCO ベンチマークしきい値	資産が TCO ベンチマークコスト値に達しつつあることを識別する資産モデルコストのしきい値。 ベンチマークしきい値は、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されています。 たとえば、資産モデルの TCO ベンチマークコストを 1,000 ドルと設定すると、TCO ベンチマークしきい値は自動的に 750 ドルに設定されます。 システムプロパティ *sn_itam_common.asset_tco_benchmark_threshold_percentage* を使用して、しきい値の割合を更新します。
危険物	資産モデルに危険物が含まれているかどうかを示すオプション。
コメント	モデルに関するコメント。
正規化	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
正規化されたメーカー	モデルメーカーの正規化された名前。
製品	製品の正規化された名前。
モデル	モデルの正規化された名前。
正規化ステータス	モデルの正規化ステータス。
デバイスタイプ	デバイスのタイプ。
コンテンツサービスから除外	正規化情報がコンテンツサービスから除外されるかどうかを示すオプション。
寸法	
Height	コンテンツサービスから入力されたモデルの高さ。
Width	コンテンツサービスから入力されるモデルの幅。
奥行	コンテンツサービスから入力されたモデルの深度。
べき乗	コンテンツサービスから入力されたモデルの電力定格。
重み付け	コンテンツサービスから入力されたモデルの重量。
Environmental Social Governance (ESG)	
エネルギースター	コンテンツサービスから入力されたモデルの Energy Star 認定ステータス。
EPEAT 準拠	コンテンツサービスから入力されたモデルの電子製品環境アセスメント (EPEAT) 準拠ステータス。
EPEAT レベル	コンテンツサービスから入力されたモデルの EPEAT レベル (ゴールド、シルバー、またはブロンズ)。
その他詳細	
メーカー保証	コンテンツサービスから入力されたモデルのメーカー保証条件。
特徴	コンテンツサービスによって入力されたモデルの製品の概要、仕様、または属性。
情報	
べき乗	電源に接続するためのワット数要件。
高さ (U)	モデルの高さ (ラック単位)。
フロー レート (cfm)	モデルのフロー レート (立方フィート/分)。
音響出力 (ベル)	モデルの音響パワー(ベル単位)。
重量 (ポンド)	モデルの重量 (ポンド)。
予想ライフタイム CO2e	モデルの耐用年数全体にわたる二酸化炭素換算値 (CO_2e)。
エネルギー使用	このモデルによって消費されるエネルギー。
Energy Star	環境保護庁(EPA)によって認定されたEnergy Starになるための要件。
Product Catalog	
カタログアイテム	カタログアイテムの名前。
説明	カタログアイテムの説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

互換性

フィールド	説明
モデル	ハードウェアモデルの名前。
モデル	ハードウェアモデルレコードと互換性のあるハードウェアモデルの名前。

代替

フィールド	説明
モデル	ハードウェアモデルの名前。
代替	ハードウェアモデルの代わりになるハードウェアモデルの名前。
ドメイン	ハードウェアモデルレコードのドメイン。

資産

[アセット] タブのフィールドについては、「」を参照してください 割り当て済み資産を作成する。

構成アイテム **ID**

フィールド	説明
名前	CI の名前。この名前は、多くの場合、ドメイン ネーム システム (DNS) またはコンピューターのホスト名です。
メーカー	メーカーの名前。
ロケーション	メーカーの所在地。
説明	CI の説明。
クラス	資産クラスのタイプ。

モデルコンポーネント

フィールド	説明
メインコンポーネントである	このコンポーネントが他のコンポーネントがアタッチされているコンポーネントであるかどうかを示すオプション。
コンポーネント	資産の作成時に子コンポーネントがインスタンス化されるモデル。
コンポーネントのモデルカテゴリ	資産の作成時に子コンポーネントがインスタンス化されるモデルカテゴリ。
コンポーネントのパラメーター	コンポーネントパラメーターの要件。 • 必須 • **Optional**
メインコンポーネント	モデルが抽象モデルの場合のバンドルの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このフィールドは、抽象モデルが定義されている場合にのみ使用されます。

ベンダーカタログアイテム

フィールド	説明
名前	ベンダーカタログアイテムの名前です。
製品 ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
簡単な説明	アイテムの簡単な説明。
ベンダー価格	アイテムがベンダー カタログで販売されている価格。ベンダーが割引を提供する場合、ベンダー価格は割引価格を反映します。
ランク	価値あるパートナーや戦術的サプライヤーなど、このベンダーの製品とサービスの総合的なランキングを表示します。 ランクは、ベンダーのパフォーマンスに対する組織の意見を表します。ベンダーの製品を促進するか中止するかを決定するのに使用できます。vendor_manager ロールを持つユーザーは、このフィールドを編集できます。

ハードウェアモデルのライフサイクル

フィールド	説明
モデル	ハードウェアモデルの名前。
ライフ サイクル タイプ	ライフサイクルのタイプ。
ライフ サイクル フェーズ	ライフサイクルのフェーズ。 • 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 延長サポート終了 • 提供終了
ソース	ハードウェアモデルのソース。
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。
フェーズ終了日	ライフサイクルフェーズの終了日。
リスク	ライフサイクルに関連付けられたリスク。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	ハードウェアモデルのライフサイクルがアクティブかどうかを示すオプション。
説明	ハードウェアモデルの説明。

ハードウェア廃棄注文ステージ

ハードウェア廃棄注文は、完了するまでに廃棄プロセスのさまざまな段階を経ます。ステージごとに、そのステージに関連付けられているタスクも変化します。

ハードウェア廃棄プロセスでタスクをクローズすると、そのタスクが完了し、プロセス内の次のタスクが自動的に作成されます。たとえば、[集荷のスケジュール] タスクをクローズすると、そのタスクのステータスが [完了してクローズ] に変わり、次のタスク [資産の切り離し] が作成されます。このプロセスは、選択した資産の廃棄に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。すべてのタスクをクローズすると、廃棄注文は完了です。

ハードウェア廃棄注文ステージ

ハードウェア廃棄ステージ	タスク	説明
ドラフト	資産の検証	ハードウェア廃棄レコードが作成されます。
スケジュール	ピックアップのスケジュール	ハードウェア資産廃棄注文のスケジュールの詳細
輸送	資産の出発	検証済みの資産が発送準備完了になりました。
確認	ベンダー確認	ハードウェア廃棄注文はベンダーによって確認されます。
ドキュメント	廃棄ドキュメント	廃棄レコードのドキュメントが添付されています。
完了	なし	ハードウェア廃棄レコード要求が完了しました。
キャンセル	なし	廃棄注文は輸送ステージまでしかキャンセルできません。

一緒にインストールされるコンポーネント ハードウェアモデル正規化

テーブルを含む、いくつかのタイプのコンポーネントが、ハードウェアモデル正規化プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

注:
このアプリケーションとともにインストールされているその他すべてのコンポーネントを表示するには、アプリケーションファイルテーブルを参照してください。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
デバイス タイプ	コンピューター、プリンター、モニターなどのデバイスのタイプ。
Hardware Lifecycle Definition (ハードウェアライフサイクル定義)	ハードウェアまたは消耗品モデルのライフサイクルフェーズと関連付けられている日付。
Hardware Manufacturer (ハードウェア製造元)	ハードウェア製造元の名前。
Hardware Model Library (ハードウェアモデルライブラリ)	製品の名前とモデル番号。
Hardware Normalization Map (ハードウェア正規化マップ)	ハードウェア製品とハードウェア製品のモデル ID。
Hardware Product (ハードウェア製品)	製品の名前とデバイスのタイプ (Apple Mac や Lenovo プリンターなど)。

HAM 成功目標の詳細

[HAM 成功目標の詳細] フォームのフィールドは、インスタンス内のアプリケーションの成功 ハードウェア資産管理 を追跡するための成功目標を作成するのに役立ちます。

HAM 成功目標の詳細フォーム

フィールド	説明
番号	成功目標の一意の識別子。
ステータス	成功目標のステータス。 デフォルトでは、成功目標はドラフトステータスです。
タイトル	成功目標のタイトル。
カテゴリ	成功目標が属するカテゴリ。 次のオプションから選択します。 • 自動化 • 在庫の改善 • 損失削減 • 正規化 • プロセスの改善 • ベンダーおよび契約の交渉
ベンダー	成功目標に関連付けられたベンダーまたはパブリッシャー。
目標タイプ	目標の測定基準を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HAM 成功目標の詳細フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 預金 • カウント
目標の説明	成功目標の詳細な説明。
グループ	目標がアサインされるグループ。
オーナー	目標がアサインされているアサイン先グループのユーザー。
予測された開始日	成功目標の予測開始日。
予測された終了日	成功目標の予測終了日。
開始実績日	成功目標の実開始日。
終了実績日	成功目標の実終了日。
予測された削減額	成功目標から予想される節減額。 このフィールドは 、[目標タイプ] で [節減額] が選択されている場合にのみ表示されます。
実際の削減	成功目標からの実際の節減額。 このフィールドは 、[目標タイプ] で [節減額] が選択されている場合にのみ表示されます。
予測された数	成功目標からの予想カウント。 このフィールドは、[目標タイプ] が [カウント] に設定されている場合にのみ表示されます。
実際の数	成功目標からの実際のカウント。 このフィールドは、[目標タイプ] が [カウント] に設定されている場合にのみ表示されます。
達成度の説明	成功目標がどのように達成されたかについての説明。

HAM 成功アクティビティ

[HAM 成功アクティビティ] フォームのフィールドは、作成した目標の成功を追跡する成功アクティビティを作成するのに役立ちます。

[HAM 成功 アクティビティ] フォーム

フィールド	説明
番号	成功したアクティビティの一意の識別子。
成功目標	アクティビティが関連付けられている成功目標。
ステータス	成功アクティビティの現在のステータス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[HAM 成功 アクティビティ] フォーム (続く)

フィールド	説明
	次のオプションから選択します。 • オープン • 保留 • 対応中 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
アサイン先グループ	このアクティビティが割り当てられているグループ。
アサイン先	アサイン先グループ内の特定のユーザー。
簡単な説明	成功アクティビティの簡単な説明。
説明	成功アクティビティの詳細な説明。
作業メモ	成功アクティビティに関するメモ。

成熟度アイテムの詳細

成熟度アイテムの詳細フォームのフィールドは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を表示および更新するのに役立ちます。

成熟度アイテムの詳細

フィールド	説明
名前	成熟度アイテムの名前。
タイプ	成熟度アイテムのタイプ。 • プロセス • エンド ユーザー
簡単な説明	成熟度アイテムの簡単なサマリー。
成功目標	成熟度アイテムに関連付けられた成功目標。成功目標の作成の詳細については、「」を参照してくださいHardware Asset Management の成功目標を作成する。
ステータス	成熟度アイテムの現在のステージ。 • 新規 • 対応中 • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
成熟度レベル	現在の成熟度レベル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成熟度アイテムの詳細 (続く)

フィールド	説明
	• クロール • ウォーク • 実行
推奨される成熟度レベル	HAM アプリケーションの価値リターンを向上させるために推奨される成熟度レベル。 • クロール • ウォーク • 実行
開始日	満期アイテムの開始日。
完了日	満期アイテムの完了日。
目的	成熟度アイテムの目的と結果の説明。
完了する必要があるステップ	成熟度アイテムの目的を達成するための手順のリスト。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される成熟度アイテムに関するメモ。

プログラムの成熟度ステージハードウェア資産管理

(HAM) プログラムの成熟度ハードウェア資産管理は、クロール、ウォーク、ランなどの 3 つのステージに分かれています。

成熟度ステージ

ステージ	説明
クロール	新しい HAM プログラムの実装や開発など、HAM の利用を開始します。この段階では、モデルの定義、ストックルームの作成、データ検出ツールの特定、プロセスとロールの確立を行うことができます。正規化プロセスを設定してモデルを正規化し、資産ライフサイクルの日付または時刻を取得できます。
ウォーク	ハードウェア資産管理プログラムのロードマップに基づいて実行するプロセス、手順、ポリシー、リソース、およびツールの確立を開始します。「クロール」ステージで確立した手動のプロセスと手順を自動化できます。HAM ワークフローを使用した、より複雑なプロセスの自動化に移行します。
実行	このステージでは、ハードウェア資産の追跡とシステム管理を一元化するために、成熟した高度かつ自動化されたプロセスと手順を確立して使用します。ゼロタッチでリフレッシュ、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成熟度ステージ (続く)

ステージ	説明
	アセットバンドル、モバイルクラス、契約更新ワークフローなどの高度な機能を使用します。また、プロセスを定期的に評価し、HAM の目標を確立する必要もあります。

出荷レコードを作成するタスクのクローズ

出荷タスクがクローズされると、出荷レコードが自動的に作成されます。出荷タスクで追跡番号と配送業者を指定することで、出荷を簡単に追跡できます。

出荷元

ソースフロー	出荷レコード作成のタスクソース	出荷レコードを [クローズ済み] または [配送済み] に更新するためのソース
資産寄付	[寄付のために出発する資産を選択 (Select the assets departing for donation)] タスクがクローズされました。	慈善団体からの確認タスクがクローズされます。
資産廃棄	資産の切り離しタスクがクローズされます。	ベンダー確認タスクがクローズされます。 **注:** このタスクがクローズされるまで、追跡番号を変更できます。追跡番号を指定しない場合、追跡番号として仕入先注文 ID を使用して出荷レコードが作成されます。
発注書	• 配送前にハードウェア資産を作成:ハードウェア資産レコードが自動的に作成された場合。 • 事前出荷通知:インポートファイルで指定されたすべての一意の追跡番号に対して資産がインポートされる場合。 **注:** インポートファイルの行に指定された配送業者が配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルで利用できない場合、その行はインポートされません。また、出荷レコードも作成されません。次のいずれかを実行して、ファイルを再インポートする必要があります。 ○ 出荷配送業者は、出荷配送業者リストに含まれている必要があります。詳細については、「配送業者レコードの作成」を参照してください。 ○ sn_hamp.enable_shipping_carrier_validation_asn システムプロパティの値を **false** に設定する必要があります。	発注書が受領されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出荷元 (続く)

ソースフロー	出荷レコード作成のタスクソース	出荷レコードを [クローズ済み] または [配送済み] に更新するためのソース
	• 資産を受領する:資産の受領時。 注: 出荷レコードは [配送済み] ステージで作成されます。	
転送注文	転送オーダーラインアイテムの出荷タスクがクローズされます。	転送オーダーラインアイテムが配送されます。 注: 追跡番号は、転送オーダー品目が [輸送中] ステージになるまで変更できます。
リース有効期限	返却リース アクションの 出荷 タスクがクローズされます。	返却確認タスクがクローズされました。
返品許可 (RMA)	1. オフサイト返品アクションの出荷タスクがクローズされます。 2. ベンダー RMA 決定タスクがクローズされます。	1. ベンダー RMA の決定タスクがクローズされました。 2. 受信タスクがクローズされます。
資産再利用	出荷再利用方法の 出荷スケジュール タスクがクローズされます。	資産の受領タスクがクローズされます。
ゼロタッチでリフレッシュ	出荷要求タスクがクローズされました。	ユーザー資産受領タスクがクローズされます。

リモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド

ゼロタッチでリフレッシュフローに必要なリモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド。

受信フィールド値

各フィールドについて、ソーステーブルとターゲットテーブルはゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求テーブル [sn_itam_ztr_fulfillment_req] です。

ターゲットフィールドの値はソースフィールドの値と同じです。ソースフィールドの値は、要求者の ServiceNow インスタンスのソーステーブルから、ソースフィールドの同期先であるプロバイダーのインスタンスのテーブルのターゲットフィールドに送信されます。

[同期タイミング] の値は [挿入] で、リモートタスクが最初に挿入されたときにのみ、リモートタスクの親レコードのターゲットフィールドを更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

受信フィールド

フィールド ラベル	フィールド名	最大長	ソースフィールド
顧客要求番号	customer_request_number	40	顧客要求番号
モデル	モデル	255	モデル
ステータス	state	40	ステータス
名前	name	151	名前
メール	メール	100	メール
モバイル	mobile	40	モバイル
番地	street	255	番地 (street)
市区町村	city	40	市区町村 (city)
都道府県	state_loc	40	州/都道府県 (state_loc)
国	country	40	国 (country)
郵便番号	zip	40	郵便番号
戻り名	return_name	151	名前 (return_name)
戻り番地	return_street	255	番地 (return_street)
帰国市区町村	return_city	40	市区町村 (return_city)
都道府県を返す	return_state_loc	40	都道府県 (return_state_loc)
帰国国	return_country	40	国 (return_country)
郵便番号を返す	return_zip	40	郵便番号 (return_zip)

自動翻訳

送信フィールド値

各フィールドについて、ソーステーブルとターゲットテーブルはゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求テーブル [sn_itam_ztr_fulfillment_req] です。

ターゲットフィールドの値はソースフィールドの値と同じです。[ソース] フィールドの値は、プロバイダーの ServiceNow インスタンスのソーステーブルから、ソースフィールドの同期先である要求者のインスタンスのテーブルのターゲットフィールドに送信されます。

[同期タイミング] の値は [挿入して更新] で、リモートタスクが更新されるたびにリモートタスクの親レコードのターゲットフィールドが更新されます。

送信フィールド

フィールド ラベル	フィールド名	最大長	ソースフィールド
シリアル番号	serial_number	100	シリアル番号
資産タグ	asset_tag	40	資産タグ
ステータス	state	40	ステータス
トラッキング番号	tracking_number	40	追跡番号 (tracking_number)
配送業者	carrier	80	キャリア (carrier)
追跡番号を返す	return_tracking_number	40	追跡番号 (return_tracking_number)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

送信フィールド (続く)

フィールド ラベル	フィールド名	最大長	ソースフィールド
返品配送業者	return_carrier	80	(return_carrier)

ハードウェア資産管理 ゼロタッチモビリティとの統合

ServiceNow® ハードウェア資産管理 はゼロタッチモビリティと Samsung SDS 統合され、モバイルデバイスのライフサイクル全体を管理します。

ゼロタッチモビリティとの統合の利点 ハードウェア資産管理 は次のとおりです。

- 次のような日常的なモバイルデバイス管理タスクに自動化されたワークフローを活用して、単一のプラットフォームでモバイル資産を展開、管理、監視します。
  - 新しいデバイスのオンボーディング
  - デバイスの登録解除
  - セルフサービスオプションによる新規注文、アップグレード、または交換の要求
- 組織全体の可視性とコラボレーションを向上させる統合ソリューションを使用して、モバイルデバイスのライフサイクルを管理および報告します。
- すべてのモバイルデバイスのコストと使用率を最適化します。

要件と制限事項

Hardware Asset Management とゼロタッチモビリティの統合の要件と制限は次のとおりです。

- モバイル デバイス リソース カテゴリのみをサポートします。このリソースカテゴリは自動的にオプトインされます。
- これは (sn_hamp) アプリケーションに依存し ハードウェア資産管理 ます。

  注:
  両方のアプリケーションがインスタンスにインストールされ ServiceNow ると、モバイルデバイスはゼロタッチモビリティとの統合の ハードウェア資産管理 モバイルデバイスリソースカテゴリでライセンス付与されます。

- 以下以外の機能とワークフロー ハードウェア資産管理 を提供します。
  - Hardware Model Normalization
  - HAM Guided Setup
  - HAM コンテンツの拡張
  - コンテンツのアップロードとダウンロード
  - PA ダッシュボード
  - サポートするリソースカテゴリ Telecommunications Network Inventory

  ワークフローと機能の詳細については ハードウェア資産管理 、「」を参照してください ハードウェア資産管理 サブスクリプション。

関連情報

ハードウェア資産管理 の詳細

自動翻訳

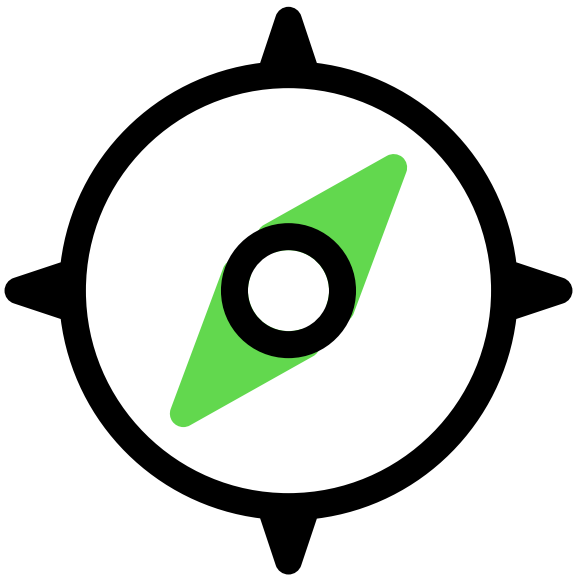
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理

資産管理 アプリケーションで、情報テクノロジー資産の物理的、技術的、契約上、財務上の側面を統合します。資産管理 は、会社の財産の財務追跡に重点を置いています。

開始するには

詳細を読む



アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値 資産管理 について説明します。

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする 資産管理 ServiceNow Community
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

資産管理 ワークスペース の探索

アプリケーションのユーザーインターフェイス 資産管理 が拡張され、より使いやすく直感的になり、ハードウェアのインストールをより適切に管理できるようになりました。

「 アセット ワークスペース」と呼ばれる新しいユーザーインターフェイスを使用すること資産管理も、従来の 資産管理を引き続き使用することもできます。

資産管理 アプリケーションのコア機能は、両方のユーザーインターフェイスで同じです。

リリースからVancouver新しくアプリケーションを使用する場合は資産管理、 が資産管理 ワークスペースデフォルトでインストールされます。

注:
デフォルトでは、は 資産管理 ワークスペース zBoot インスタンスにのみインストールされ、最新バージョンにアップグレードされたインスタンスにはインストールされません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ワークスペース の使用

資産ワークスペースは、資産を効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統合メディアです。ビューにより、ストックルームのダッシュボード、モデル別の資産数、ライフサイクルステータス、モデルカテゴリ、資産の全体的なパフォーマンスなど、資産の重要な側面をすべて可視化できます。

資産ワークスペースには、次のビューが含まれています。

- ハードウェア資産の概要
- インベントリビュー
- 資産一覧ビュー
- モデル管理ビュー
- 契約管理ビュー

このリリースに Vancouver アップグレードする場合、資産ワークスペースを使用するには (sn_itam_workspace) プラグインを有効にする必要があります 資産管理 ワークスペース 。

注:
に移動し資産管理 ワークスペースた後も、.資産管理 クラシック 詳細については、「Asset Management」を参照してください。

ハードウェア資産の概要

最新の分かりやすいハードウェア資産の概要ビューを使用して、資産管理エクスペリエンスを向上させます。ハードウェア資産の概要は簡素化されて直感的に使用できる環境で、複雑さを軽減することでアプリケーションをより効果的に使用するために役立ちます。

ハードウェア資産の概要ビューを使用して、次のことを行います。

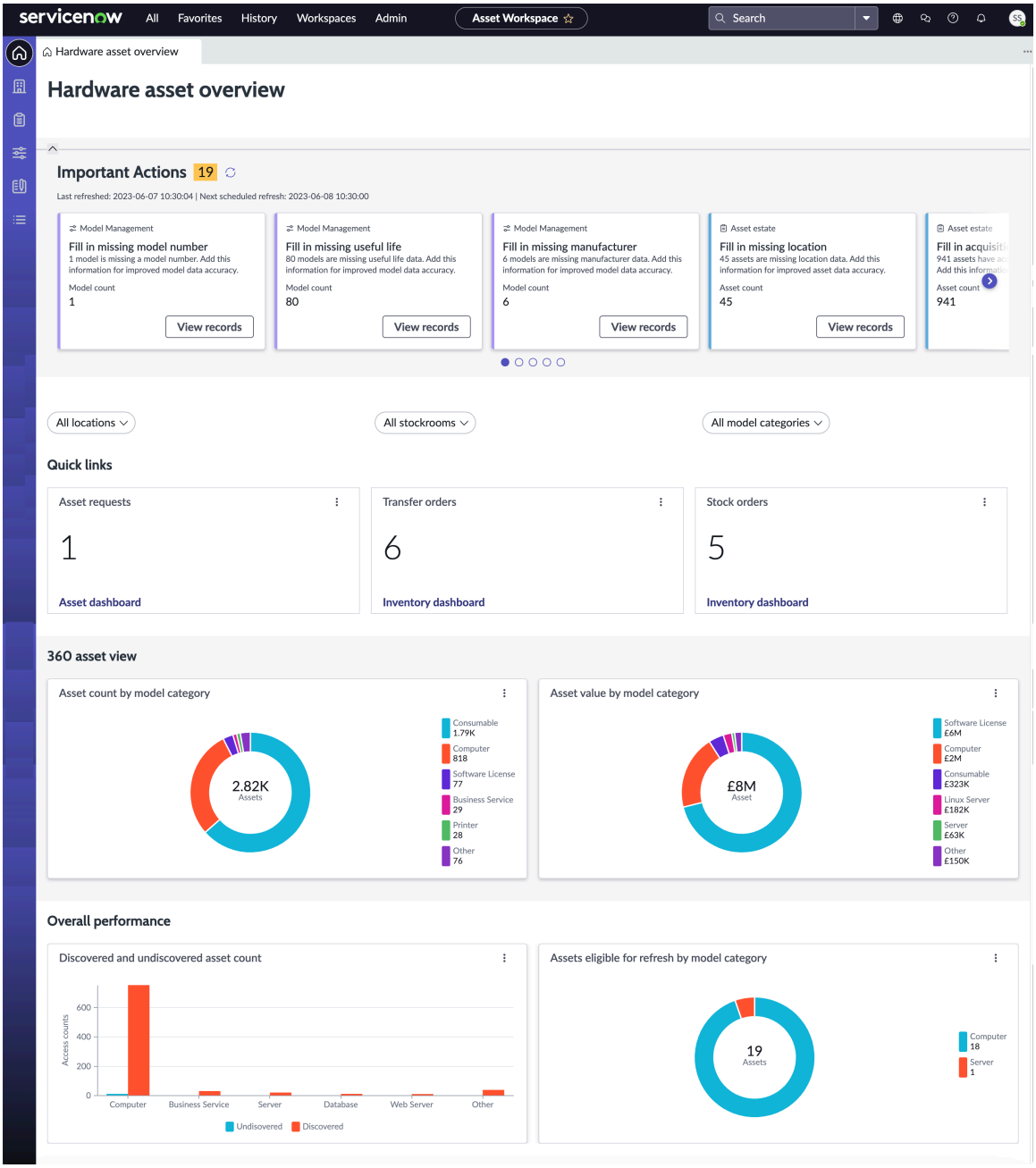
- 資産に発注書番号、モデル番号、資産機能、またはメーカーが欠落している場合などの不一致に対処します。
- 資産要求、転送オーダー、在庫オーダーなどの資産機能の特定のダッシュボードに移動します。
- モデルカテゴリ別の資産数とモデルカテゴリ別の資産価値を表示する 360 度資産ビューセクションを表示します。
- 検出済みおよび未検出の資産数と、モデルカテゴリ別の更新対象資産を表示する [全体的なパフォーマンス] セクションを表示します。

ウィジェットまたはチャートを選択して詳細情報を表示し、適切なアクションを実行します。[場所]、[ストックルーム]、および [モデルカテゴリ] リストを使用して、結果をフィルタリングすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産の概要



クイックリンク

ウィジェットまたはチャート	説明
資産要求	アイテムのモデルがハードウェア、消耗品、またはバンドルである要求アイテムの数。
転送注文	有効な転送注文の数。
在庫注文	要求されたハードウェアインベントリ在庫オーダーアイテムの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

360 度資産ビュー

ウィジェットまたはチャート	説明
モデルカテゴリ別の資産数	消耗品、コンピューター、モバイルデバイスなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別の資産価値	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバーなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。

全体的なパフォーマンス

ウィジェットまたはチャート	説明
検出済みおよび未検出の資産数	モデルカテゴリ別にグループ化された検出済み資産数と未検出資産数の比較。未検出の資産は、まったく検出されない資産、または 1 か月以内に検出されなかった資産です。
モデルカテゴリ別の更新対象資産	既に有効期限が切れているか、当日が有効期限となっており、更新の対象となる資産の数。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード

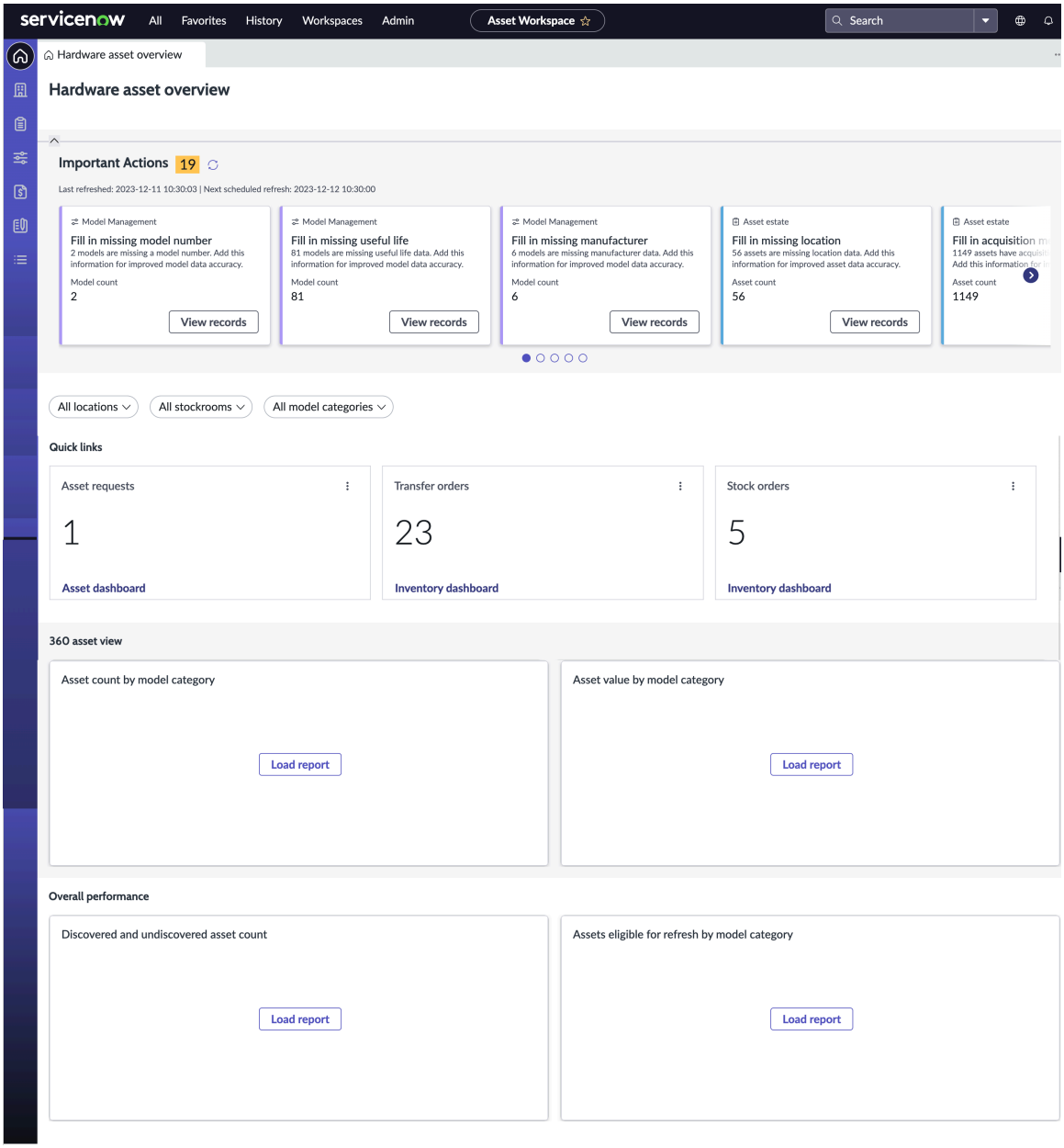
膨大な数の資産レコードをページとともにロードする代わりに、オンデマンドでフェッチするチャートやウィジェットをロードすることができます。このアプローチにより、ハードウェア資産の概要ページのロード時間を短縮できます。

システムプロパティ *sn_itam_workspace.asset_overview_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、ページと同時にレポートをロードするかのオプションがあります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。インスタンスで ServiceNow このシステムプロパティが有効になっている場合は、[レポートをロード] オプションを使用してレポートを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード



インベントリビュー

資産ワークスペースの在庫ビューを使用して、倉庫や転送オーダーなどの在庫関連機能を表示および管理します。

インベントリビューでは、アサイン先グループ、ストックルーム名、マネージャー、タイプなど、不足しているストックルームの詳細を入力するためのアクションにアクセスできます。

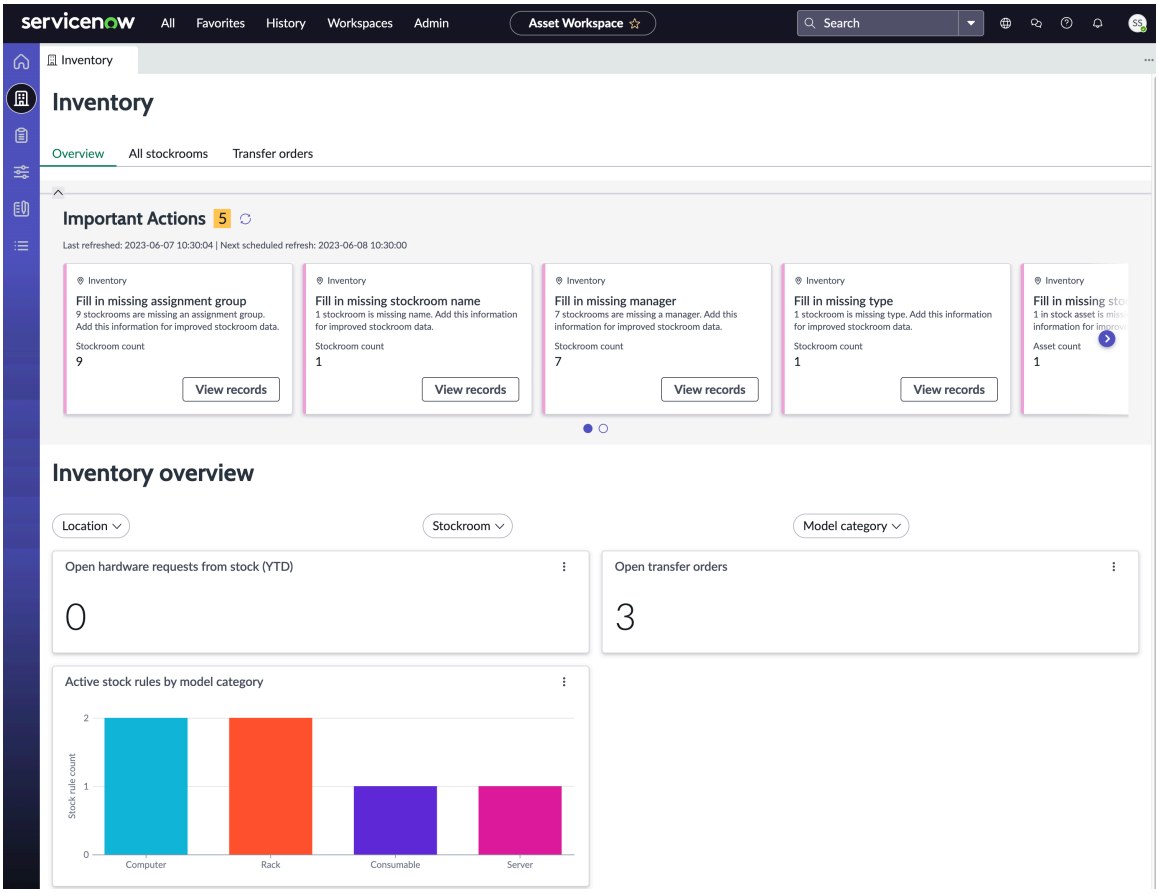
ウィジェットまたはグラフを選択して詳細を表示します。場所、ストックルーム、モデルカテゴリ、ドメインフィルターを使用して、結果を絞り込むこともできます。

注:
ドメインフィルターは、Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインと Domain Separation (plugin com.snc.pa.domain_support) プラグインが有効になっている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インベントリビュー



在庫の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
オープン中の在庫からのハードウェア要求 (年初来)	暦年内に既に配送され作成された調達タイプの転送オーダーの数。
転送オーダーを開く	キャンセルまたは未配達の転送オーダーの数
モデルカテゴリ別のアクティブな在庫ルール	モデルカテゴリ別にグループ化されたすべてのアクティブな在庫ルール。

資産一覧ビュー

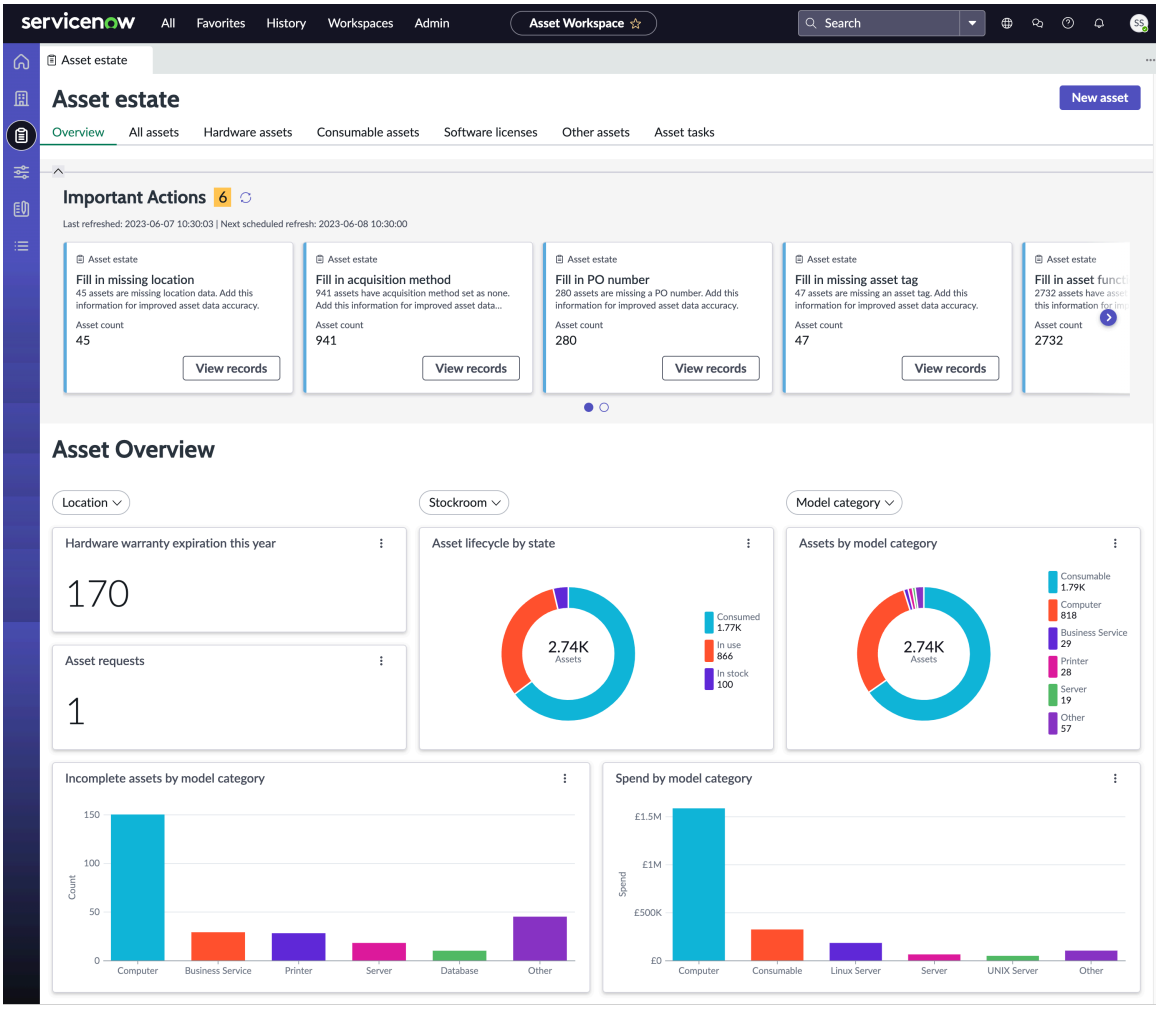
資産ワークスペースの資産一覧ビューを使用して、資産を作成、表示、変更し、資産の機能と通知を管理します。

注:
Software Asset Management (com.snc.software_asset_management) または Software Asset Management Professional (com.snc.pa.samp) がアクティブな場合、[ソフトウェアライセンス] タブは非表示になります。この [ソフトウェアライセンス] タブは、ソフトウェア資産ワークスペースで表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産一覧ビュー



自動翻訳

資産の概要

チャートまたはウィジェット	説明
今年有効期限が切れるハードウェア保証	今年期限切れになるハードウェアと消耗品の資産の数。
資産要求	カタログ内のハードウェア、消耗品、およびバンドル要求の数。
ステータス別の資産ライフサイクル	廃止、使用中、在庫など、ライフサイクルステータス別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別資産	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバーなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。
不完全資産 (モデルカテゴリ別)	発注書番号、発注明細、受領明細のない資産モデル
モデルカテゴリ別の支出	モデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。

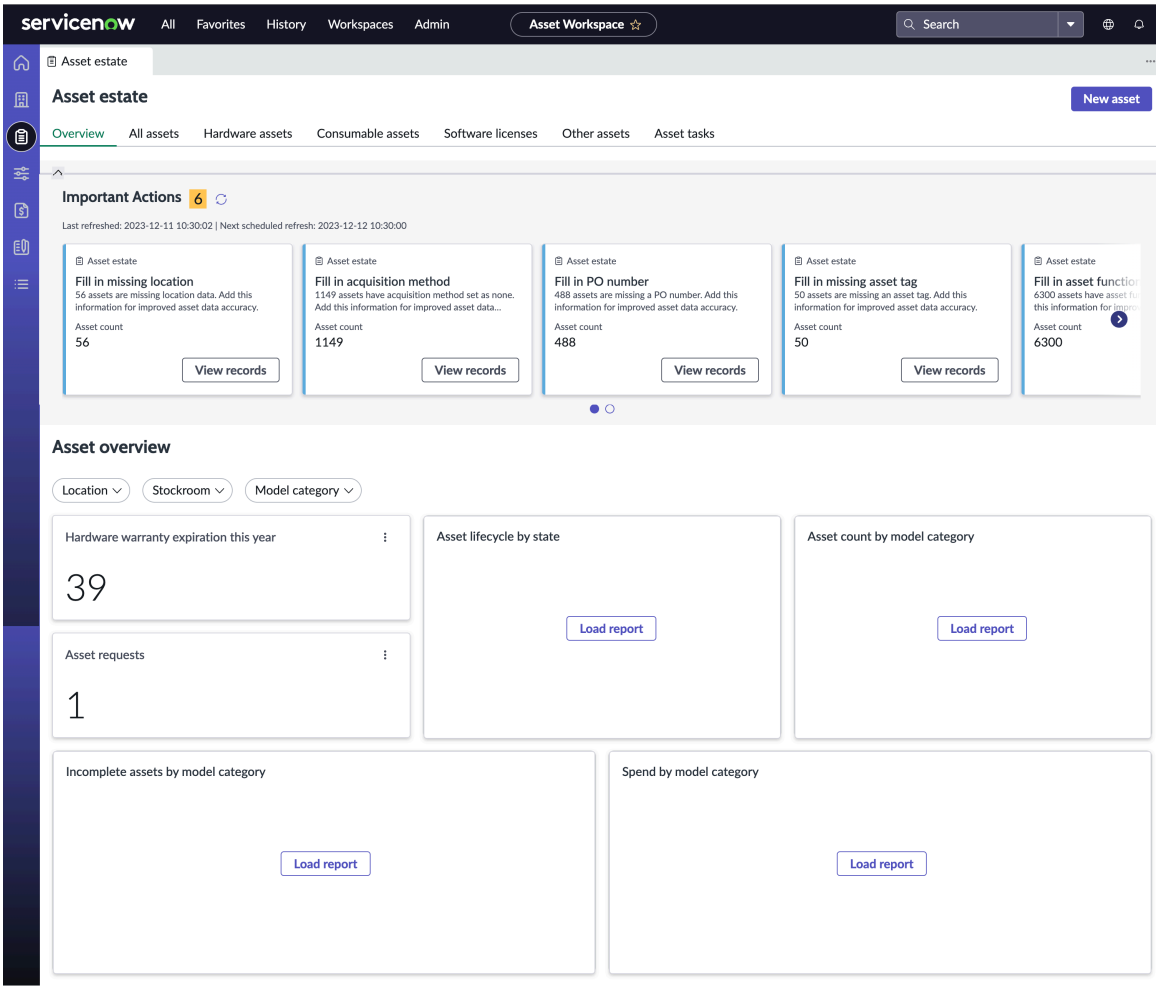
資産一覧ビューでレポートをロード

膨大な数の資産レコードをページとともにロードする代わりに、オンデマンドでフェッチするチャートやウィジェットをロードすることができます。このアプローチにより、資産一覧ビューのロード時間を短縮できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムプロパティ*sn_itam_workspace.asset_estate_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、ページと同時にレポートをロードするかのオプションがあります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。インスタンスで ServiceNow このシステムプロパティを有効にすると、[レポートをロード] オプションを使用してチャートまたはウィジェットを表示できます。

資産一覧ビューでレポートをロード



レポートからのインストールベースアイテム (IBI) 資産の除外

サービスとして提供されるアイテム、または顧客に販売されるアイテムは、インストールベースアイテム (IBI) として追跡されます。[モデルカテゴリ] テーブルは、資産クラス、CI クラス、およびインストールベースアイテム (IBI) クラスを関連付けます。

デフォルトでは、資産一覧ビューのレポートと重要なアクションには、資産 [alm_asset] テーブル内のすべての資産が含まれます。ただし、レポートや重要なアクションカードから IBI 資産をフィルタリングすることはできます。IBI 資産をフィルタリングするために必要な構成の詳細については、ナレッジベースの記事「レポートからの販売済み製品の除外」および「資産ワークスペースの重要なアクション [KB1584331]」を参照してくださいNow Support

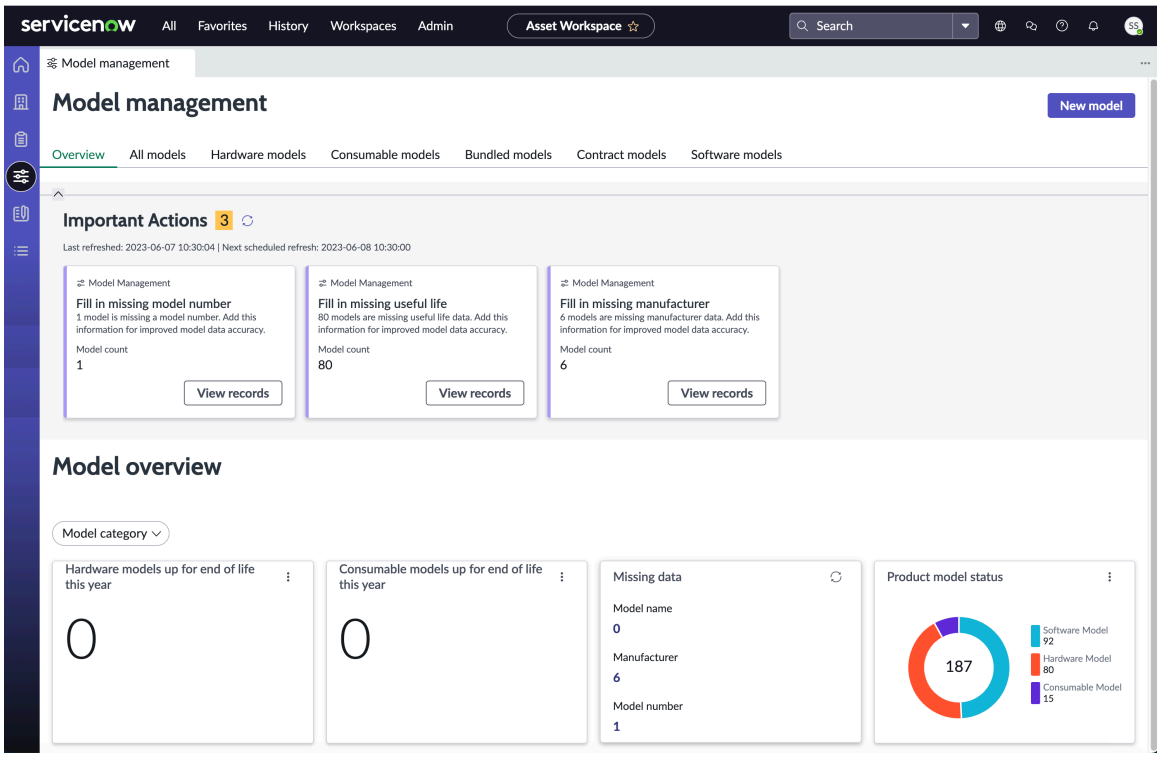
モデル管理ビュー

資産ワークスペースのモデル管理ビューを使用して、モデルの作成または変更、提供終了間近のハードウェアや消耗品モデルなどの資産モデル関連機能の表示と管理を行います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Software Asset Management (com.snc.software_asset_management) または Software Asset Management Professional (com.snc.pa.samp) がアクティブな場合、[ソフトウェアモデル] タブは非表示になります。この [ソフトウェアモデル] タブは [ソフトウェア資産ワークスペース] で表示できます。

モデル管理ビュー



モデルの概要

ウィジェットまたはチャート	説明
今年提供終了が迫っているハードウェアモデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年であるハードウェアモデルの数。
今年提供終了が迫っている消耗品モデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年である消耗品モデルの数。
データの不足	モデル名、メーカー、およびモデル番号が欠落しているモデルの数。
製品モデルのステータス	モデルのステータスに基づくハードウェア、消耗品、およびソフトウェアモデルの現在の数。

契約管理ビュー

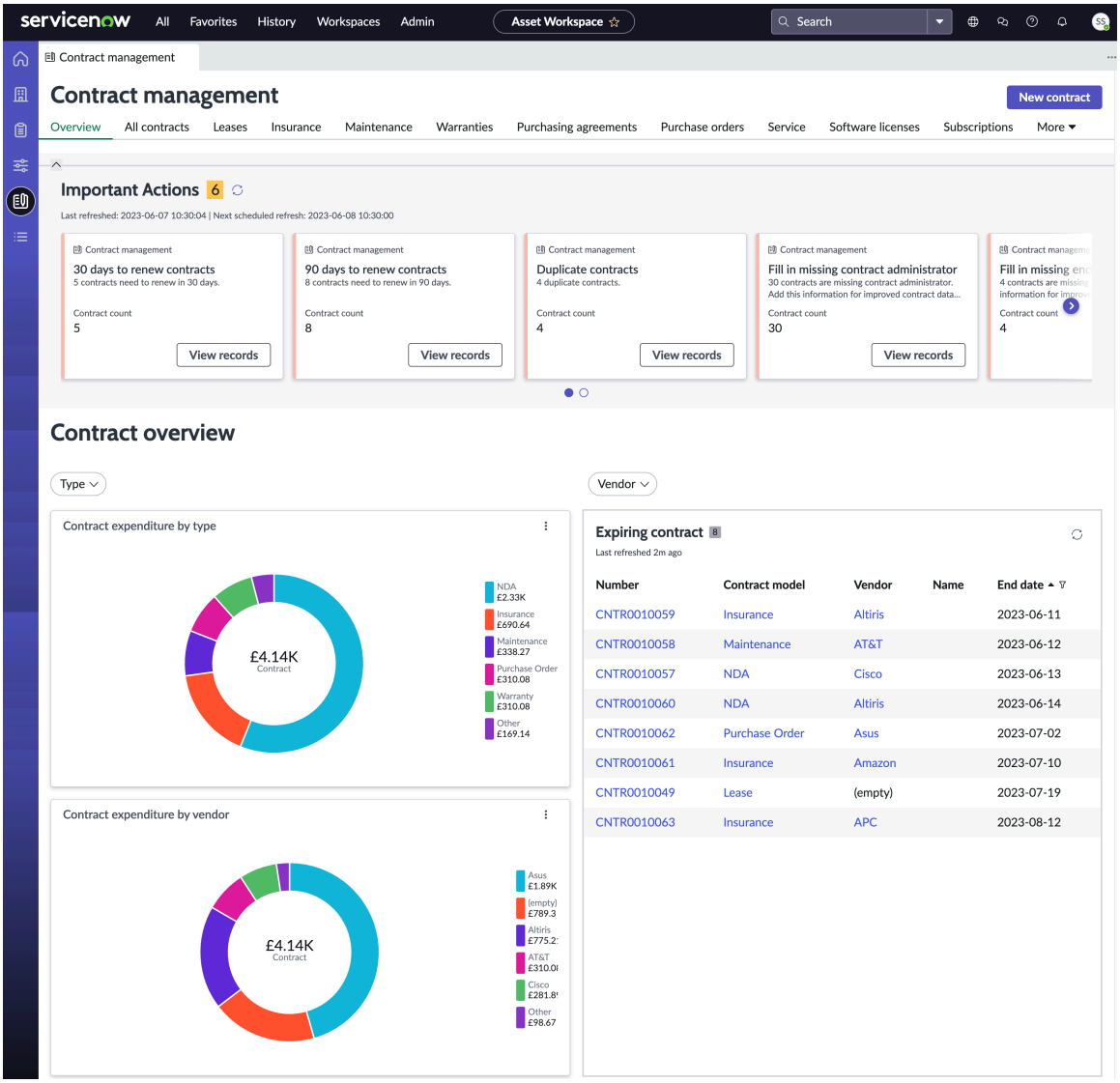
資産ワークスペースの [契約管理] ビューを使用して、契約番号、契約の開始日と終了日、契約条件のステートメントなどの契約の詳細を表示および管理します。

契約管理ビューには、契約、タイプおよびベンダー別の契約支出、期限切れ間近の契約のリストを管理するための重要なアクションが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約管理ビュー



エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理 は、企業の接続された資産と接続されていない資産のライフサイクル全体を管理するビジネスアプリケーションです。

エンタープライズ資産管理 アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

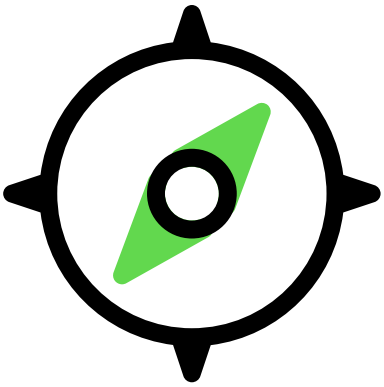
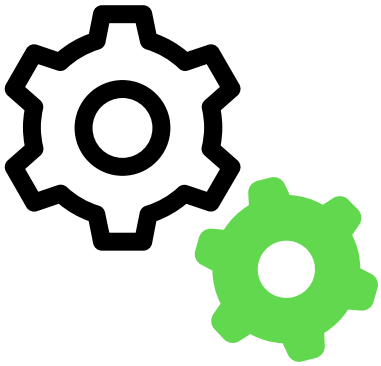
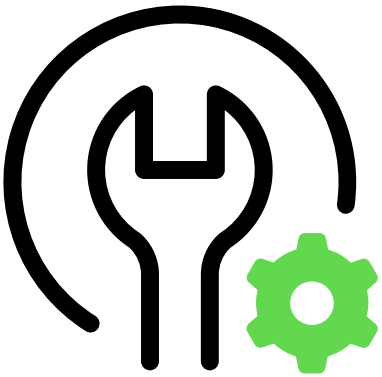
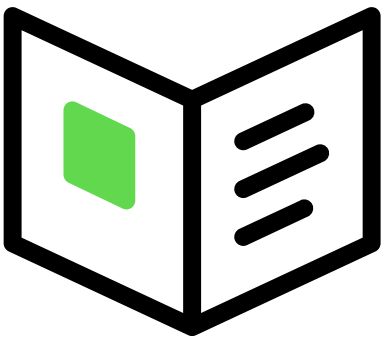
Enterprise Asset Management アプリケーションの概要

この エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、資産を維持し、コストのかかるダウンタイムを最小限に抑え、資産の使用可能年数を最大化するための包括的なエンドツーエンドのソリューションを提供します。

また、 エンタープライズ資産管理 TechBytesポッドキャストを聴くことができます ServiceNow Community .

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細を読む	構成	エンタープライズ資産を管理
		
Enterprise Asset Management アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について説明します。	特定のニーズを満たすように Enterprise Asset Management アプリケーションを構成します。	エンタープライズ資産を作成および管理します。
エンタープライズモデルを管理する	作業指示の管理	参照
		
エンタープライズモデルを作成および管理します。	エンタープライズ資産の作業指示書を作成および管理します。	フィールドの説明、ドメイン分離、および用語に関する詳細を取得します。

自動翻訳

エンタープライズ資産管理 の詳細

この エンタープライズ資産管理 アプリケーションを使用して、ダウンタイムを短縮し、資産使用率を高め、資産の寿命を延ばすと同時に、資産集約型の組織の運用コストを削減することで、資産の品質とパフォーマンスを最適化します。

Enterprise 資産ワークスペース

Enterprise 資産ワークスペースは、資産を効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統合メディアです。ビューにより、ダッシュボード、ストックルーム、モデル別の資産数、ライフサイクルステータス、モデルカテゴリ、資産の全体的なパフォーマンスなど、資産の重要な側面をすべて可視化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 資産ワークスペースには、次の 2 つの方法で移動できます。

- インスタンスでオン Next Experience UI フレームワーク になっている場合: [ワークスペース] を選択し、 [**Enterprise** 資産ワークスペース] を選択します。
- インスタンスでオフ Next Experience UI フレームワーク になっている場合:左側のナビゲーションバーに「 Enterprise 資産ワークスペース」と入力します。選択すると、Enterprise 資産ワークスペースメニューが新しいタブで開きます。

エンタープライズ資産管理 ロール

次のロールは、資産、部品、およびそれらの階層関係のライフサイクルを管理するために、アプリケーションを構成および使用 エンタープライズ資産管理 するのに役立ちます。ロールにアクセス権を与えると、そのロールにアサインされたすべてのグループまたはユーザーがアクセスを許可されます。ロールに他のロールを含めることができます。他のロールを含むロールでは、他のロールに許可されているすべてのアクセスが許可されます。

ロールタイトル	含んでいるロール	説明
エンタープライズ資産マネージャー [sn_eam.enterprise_asset_manager]	• sn_eam.enterprise_asset_technician • inventory_user • contract_manager • category_manager • procurement_user • wm_initiator • cmdb_query_builder • cmdb_read • plan_maint_admin • wm_task_initiator	このロールは、管理機能を除くすべての エンタープライズ資産管理 機能にアクセスできます。
エンタープライズ管理者 [sn_eam.enterprise_admin]	• inventory_admin • catalog_manager • report_user • sn_eam.enterprise_asset_manager • 資産 • procurement_admin • sn_ent.classification_manager	このロールには、アプリケーションへの エンタープライズ資産管理 フルアクセス権があります。
エンタープライズ技術者 [enterprise_asset_technician]	• sn_eam.enterprise_mobile_user • sn_eam.enterprise_asset_editor	このロールは、資産ライフサイクルの一環として作業タスクを実行し、資産レコードを更新するユーザー向けです。こ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル	含んでいるロール	説明
		のロールは、次のエンタープライズ資産タスクにアクセスできます。 • 準備タスクを除くすべての RMA タスク • すべての取り消しタスク • すべての廃棄タスク • 準備タスクを除くすべての貸与タスク • エンタープライズ資産監査 • リース終了 集荷、準備、および出荷タスク
エンタープライズモバイルユーザー [sn_eam.enterprise_mobile_user]	なし	このロールは、モバイルアプリケーションから資産をスキャンしたり、モバイルアプリケーションから資産を廃棄したりすることができます。
エージェント [wm_agent]	なし	このロールは、エンタープライズ資産に対して作業を実行し、対応する作業指示書および作業指示タスクの詳細を記録するユーザー用です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット

エンタープライズ資産管理 アプリケーションには次のメリットがあります。

- 資産使用率が向上します。
- 資産の耐用年数を延ばす。
- 正確で実用的な資産一覧ビューを提供します。
- 資産計画から展開までの時間を短縮します。
- メンテナンスの頻度を減らすことでコストを削減します。
- 計画外のメンテナンスを最小限に抑えることで、運用の中断を軽減します。

インライン編集

レコードを開いてフォームのフィールドを変更するのではなく、フィールドを直接変更するには、インスタンスで ServiceNow インライン編集が有効になっていることを確認してください。インライン編集の有効化の詳細については、「 インライン編集の有効化」を参照してください。

注:
インスタンスで ServiceNow インライン編集を有効にすると、すべての ServiceNow アプリケーションでインライン編集が有効になります。

展開されたモデルおよび資産クラスストアアプリケーション

展開されたモデルおよび資産クラスストアアプリケーションは、クラス階層内に構成管理データベース (CMDB)標準提供のモデルおよび資産クラスを拡張するエンタープライズモデルクラス、サービスモデルの子クラス、およびエンタープライズ資産クラスを追加します。これらの拡張には、クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係が含まれます。

注:
このアプリケーションは、以降 Rome のファミリリリースと互換性があります。

の詳細については CMDB、 Configuration Management Database (CMDB) を参照してください。

CMDB モデルと資産クラスの拡張に加えて、展開されたモデルおよび資産クラスアプリケーションは、エンタープライズモデルとエンタープライズ資産クラスを構成アイテム (CI) クラスに CMDB 関連付けるモデルカテゴリを作成します。エンタープライズ資産管理アプリケーションは、これらのクラスとモデルカテゴリを使用して、エンタープライズ資産の追跡と管理に使用できる資産レコードとモデルレコードを作成します。アプリケーションなどの ServiceNow ディスカバリー 検出ツールも、これらのクラスとモデルカテゴリを使用して、検出された CI の資産レコードとモデルレコードを作成することができます。モデル カテゴリの詳細については、「」を参照してください モデルカテゴリ 。

アプリケーションによって追加されたエンタープライズモデルクラス

Expanded Model and Asset Classes アプリケーションは、基本製品モデル [cmdb_model] クラスを拡張する Enterprise 優良モデル [sn_ent_model] クラスを追加します。Enterprise 優良モデル [sn_ent_model] クラスには、さまざまな Enterprise モデルタイプの分類が含まれており、次の業種ベースの子クラスに分類されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 優良モデル子クラス

Enterprise 優良モデルの子クラス	説明
医療モデル [sn_ent_medical_model]	ER Medical Cart Kit や ECG 電極などの医療ベースのエンタープライズモデルを分類します。
医療デバイスモデル [sn_ent_medical_device_model] **注:** バージョン 1.2.0 以降の Expanded Model and Asset Classes アプリケーションでのみ使用可能です。	血圧計や MRI 患者テーブルなどの医療機器ベースのエンタープライズモデルを分類します。 **注:** Expanded Model and Asset Classes アプリケーションのバージョン 1.2.0 以降にアップグレードすると、アプリケーションによって自動的に [医療デバイスカテゴリの更新] 修正スクリプトが実行され、医療デバイスモデル [sn_ent_medical_device_model] クラスが既存の医療デバイスモデルカテゴリに関連付けられます。ただし、医療デバイスモデルカテゴリの既存のエンタープライズモデルを、医療モデル [sn_ent_medical_model] クラスから医療デバイスモデル [sn_ent_medical_device_model] クラスに手動で再分類する必要がある場合があります。詳細な手順については、 KB1182183 を参照してください。 医療デバイスモデルカテゴリの資産に対して、資産、CI、および IBI クラスをリンクする一意の共通識別子である製品インスタンス識別子 (PID) が生成されます。PID は、医療機器モデルカテゴリに適用可能な PID 構成に基づいて生成されます。 製品インスタンス識別子構成 [product_instance_identifier_configuration] テーブルには、PID 構成が保存されます。デフォルトでは、次の構成を使用できます。 • **PID -** 資産 [alm_asset] テーブルの [シリアル番号] フィールドに基づいて定義されたパラメーターを含むシリアル番号。 • **PID -** 資産 [alm_asset] テーブルの [親] および [モデルコンポーネント ID] フィールドに基づいて定義されたパラメーターを含む親。 多くの PID 構成が医療機器モデルカテゴリに関連付けられている場合、PID の生成時に優先度が最も高い構成が最初に考慮されます。PID - シリアル番号構成には、ほとんどの場合、最高の優先度が与えられます。
医療保険モデル [sn_ent_medical_insurance_model]	健康保険プランや、メディケアやメディケイドなどの政府保険プログラムを含む医療保険モデルを分類します。
設備モデル [sn_ent_facility_model]	HVAC 分割システムやワイヤーシェルフなどの施設ベースのエンタープライズモデルを分類します。
輸送モデル	ディスクブレーキ、ローター、フロント、燃料電池車など、輸送ベースのエンタープライズモデルを分類します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 優良モデル子クラス (続く)

Enterprise 優良モデルの子クラス	説明
[sn_transportation_model]	
産業用モデル [sn_ent_industrial_model]	CNCフライス盤やレーザー切断機などの産業ベースのエンタープライズモデルを分類します。
小売モデル [sn_ent_retail_model]	小売カウンタースケールや 80 mm サーマルレシートプリンターなどの小売ベースのエンタープライズモデルを分類します。
戦術的装置モデル [sn_ent_tactical_model]	K19プレートキャリアやトリプルマグポーチなどの戦術的機器ベースのエンタープライズモデルを分類します。
構成モデル [sn_ent_construction_model]	油圧ショベルや六角ブレーカーハンマーキットなど、建設ベースのエンタープライズモデルを分類します。
ウェアラブルモデル [sn_ent_wearable_model]	N95 マスクや高視認性安全ベストなどのウェアラブル資産ベースのエンタープライズモデルを分類します。

アプリケーションによって追加されたエンタープライズ資産クラス

展開されたモデルおよび資産クラスアプリケーションは、基本資産 [alm_base] クラスを拡張するエンタープライズ資産 [sn_ent_asset] クラスを追加します。エンタープライズ資産 [sn_ent_asset] クラスには、さまざまなエンタープライズ資産タイプの分類が含まれており、次の業種ベースの子クラスに分類されます。

Enterprise 資産の子クラス

Enterprise 資産の子クラス	説明
医療資産 [sn_ent_medical_asset]	病院のベッドや X 線装置などの医療ベースのエンタープライズ資産を分類します。
施設資産 [sn_ent_facility_asset]	コーヒーメーカーや HVAC システムなどの施設ベースのエンタープライズ資産を分類します。
輸送資産 [sn_transportation_asset]	飛行機やブレーキパッドなどの輸送ベースのエンタープライズ資産を分類します。
産業用資産 [sn_ent_industrial_asset]	フォークリフトや鋳造機などの産業ベースのエンタープライズ資産を分類します。
小売業資産 [sn_ent_retail_asset]	陳列ケースや洋服ラックなど、小売業を拠点とするエンタープライズ資産を分類します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 資産の子クラス (続く)

Enterprise 資産の子クラス	説明
戦術的装置資産 [sn_ent_tactical_asset]	ハイドレーションキャリアやタクティカルプレートキャリアなど、戦術的な機器ベースのエンタープライズ資産を分類します。
構成資産 [sn_ent_construction_asset]	スレッジハンマーや手のこぎりなど、建設ベースのエンタープライズ資産を分類します。
ウェアラブル資産 [sn_ent_wearable_asset]	ヘルメットやユニフォームなどのウェアラブル企業資産を分類します。

アプリケーションによって追加されたサービスモデルクラス

Expanded Model and Asset Classes アプリケーションは、次の子クラスを基本サービスモデル [cmdb_service_product_model] クラスに追加します。これらの子クラスは、さまざまなサービスモデルタイプの分類を提供します。

サービスモデルの子クラス

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	説明
カードサービスモデル [sn_ent_card_service_model]	sn_ent.card_service_model_viewer	クレジットカードやギフトカードなど、銀行や金融機関からのカード提供に基づいてサービスモデルを分類します。
振込モデル [sn_ent_deposit_account_model]	sn_ent.deposit_account_model_viewer	銀行や金融機関が提供する預金口座 (普通預金口座や当座預金口座など) に基づいてサービスモデルを分類します。
ローンモデル [sn_ent_loan_account_model]	sn_ent.loan_account_model_viewer	個人ローンや住宅ローンな

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモデルの子クラス (続く)

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	説明
		ど、銀行や金融機関が提供するローンオプションに基づいてサービスモデルを分類します。
与信限度額モデル [sn_ent_line_of_credit_model]	sn_ent.line_of_credit_model_viewer	普通預金口座や当座預金口座の当座貸越など、銀行や金融機関が提供する与信枠に基づくサービスモデルを分類します。
フィナンシャルサービスモデル [sn_ent_financial_services_model]	sn_ent.financial_services_model_viewer	安全なロッカーやワイヤーサービスなど、銀行や金融機関が提供する金融サービスに基づくサービスモデルを分類します。
投資モデル [sn_ent_investment_model]	sn_ent.investment_model_viewer	投資信託や退職金制度など、銀行や金融機関が提供する資産管理オプションに基づいてサービス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモデルの子クラス (続く)

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	説明
		モデルを分類します。
個人保険商品モデル [sn_ent_b2c_ins_policy_model]	sn_ent.b2c_ins_policy_model_viewer	個人自動車保険の補償範囲や支払計画など、保険会社が提供する個人保険契約に基づくサービスモデルを分類します。
企業保険商品モデル [sn_ent_b2b_ins_policy_model]	sn_ent.b2b_ins_policy_model_viewer	事業用損害保険の補償および支払計画など、保険会社が提供する企業保険契約に基づくサービスモデルを分類します。
団体生命保険商品モデル [sn_ent_group_life_ins_policy_model]	sn_ent.group_life_ins_policy_model_viewer	団体定期保険の補償範囲や支払計画など、保険会社が提供する団体生命保険契約に基づくサービスモデルを分類します。
個人生命商品モデル [sn_ent_indiv_life_ins_policy_model]	sn_ent.indiv_life_ins_policy_model_viewer	個人の終身保険の補償範囲や支払プラン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモデルの子クラス (続く)

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	説明
		など、保険会社が提供する個人生命保険契約に基づくサービスモデルを分類します。

このアプリケーションによって追加された契約モデルクラス

契約モデルクラス	読み取りアクセスに必要なロール	説明
モデルを許可 [sn_ent_permit_model]	contract_manager	許可モデルは、契約モデルテーブルの拡張であり、発行されたライセンスと許可をモデル化するために使用され、受領者が特定のアクティビティを実行したり、特定のリソースを使用したりする資格を与えます。

Expanded Model and Asset Classes アプリケーションの要求

Expanded Model and Asset Classes アプリケーションは、 から ServiceNow Store要求する必要があります。

にアクセス ServiceNow Store 利用可能なすべてのアプリケーションを表示し、ストアに要求を送信する方法については、Web サイトを参照してください。リリースされたすべてのアプリケーションの累積リリースノート情報については、 ServiceNow Store バージョン履歴 リリースノート .

1. Web ブラウザーから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 資格情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 Expanded Model and Asset Classes 」と入力し、[検索] をクリックします。
4. [**Expanded Model and Asset Classes**] という結果を選択します。
5. 「展開されたモデルおよび資産クラス」ページで、「 インストールを要求」をクリックします。

   [ServiceNow アプリのインストールを要求 - 展開されたモデルと資産クラス] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow アプリのインストールを要求 - [展開されたモデルと資産クラス] ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、「 インスタンスの検証」 をクリックしてインスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] をクリックします。
8. [クローズ] をクリックします。

要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法の詳細な手順が記載されたメールが届きます。その後、メールの指示に従ってアプリケーションをインストールできます。

アプリケーションが正常にインストールされたことを確認する

Expanded Model and Asset Classes アプリケーションを要求してインストールした後、すべてのエンタープライズモデルと資産クラスがクラス階層に CMDB 正常に追加されていることを確認します。

1. ServiceNowインスタンスから、 すべて > 構成 > **CI** クラスマネージャー.
2. [階層] をクリックすると、クラス階層内のすべての CMDB クラスを表示できる CI クラスリストが表示されます。
3. すべてのエンタープライズモデルと資産クラスがリストに追加されていることを確認します。
4. (オプション)クラスを選択して、対応するクラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係を確認します。

> ⚠ 警告:
> Expanded Model and Asset Classes アプリケーションをアンインストールすると、アプリケーションの整合性 エンタープライズ資産管理 が失われ、予期しない動作が発生する可能性があります。

モバイルエージェント のアプリケーション エンタープライズ資産管理

この ServiceNow® モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産を作成、更新、および表示できます。また、このアプリケーションを使用して、インベントリ監査のためにエンタープライズ資産をスキャンし、資産廃棄の検証と切り離しを完了することもできます。

アプリケーションはServiceNow モバイルエージェント、デバイスAndroidとデバイスの両方でiOSサポートされています。アプリケーションは、 Apple App Store または Google Play Store からダウンロードできます。

アプリケーションの詳細についてはモバイルエージェント、「Mobile Agent アプリ」を参照してください。

関連情報

アプリケーションを使用した モバイルエージェント エンタープライズ資産とタスクの管理

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンタープライズ資産管理 医療向け

エンタープライズ資産管理 for Healthcare アプリケーションはライセンス可能なアプリケーションで、アクティブ化すると医療固有のモデル、資産、およびワークフローを管理できます。

エンタープライズ資産管理 for Healthcare (com.sn_eamhc) アプリケーションは、 ServiceNow Storeで入手できます。このアプリケーションを ServiceNow インスタンスにインストールすると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションもインストールされます。詳細については、「for Healthcare とともに エンタープライズ資産管理 インストールされるコンポーネント」を参照してください。

このアプリケーションは、ヘルスケア関連のロールと資産モデルをサポートする機能、特徴、およびワークフロー エンタープライズ資産管理 を提供します。

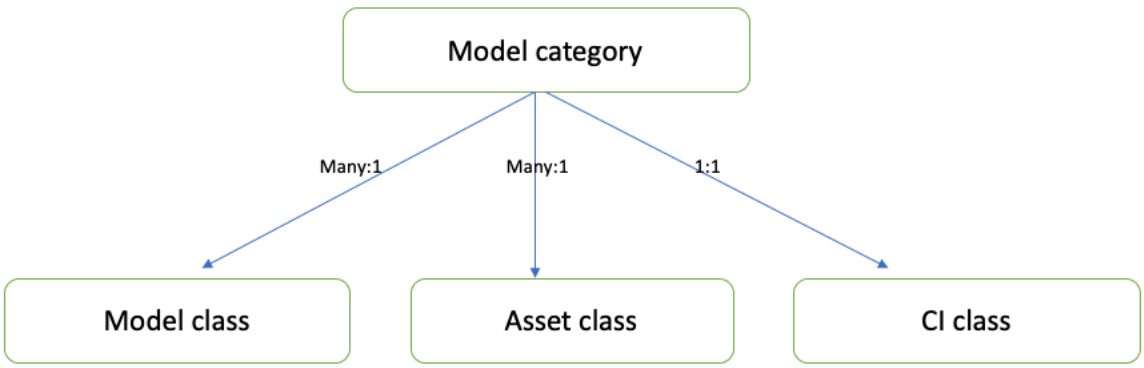
関連情報

エンタープライズ資産管理 の詳細

モデルカテゴリ

モデルカテゴリは エンタープライズ資産管理 、アプリケーション内の資産クラス、製品モデルクラス、および構成アイテム (CI) クラス間の関係を定義します。

各モデルカテゴリは、モデルクラス、資産クラス、および既存の CI クラスに対応するサブカテゴリに分類されます。1 つのモデル クラスと 1 つの資産クラスに複数のモデル カテゴリを割り当てることができます。ただし、モデルサブカテゴリと CI クラスの間には 1 対 1 のマッピングがあります。



40 の基本モデルカテゴリから選択できます。最上位モデルのカテゴリは次のとおりです。

- エンタープライズ
- 作成
- 医療
- 交通機関
- 産業用
- 施設 (Facility)
- 小売業
- 戦術的装置
- ウェアラブル

独自のモデル カテゴリを作成することもできます。ただし、最上位のモデルカテゴリ内にサブカテゴリを作成することはできません。たとえば、医療モデルカテゴリで提供されているサブカテゴリを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用しない場合は、新しいサブカテゴリを作成する代わりに、一般的な医療 - その他サブカテゴリを使用できます。

のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理

マルチコンポーネントモデルとマルチコンポーネント資産は、エンタープライズ資産のメンテナンスを追跡するのに役立ちます。

マルチコンポーネントモデル

エンタープライズ資産管理 1 つ以上のモデルコンポーネントに関連付けられたモデルは、マルチコンポーネントモデルとして定義されます。

モデルコンポーネントは、消耗品モデルまたはエンタープライズモデルのいずれかです。同じモデルをマルチコンポーネントモデルのモデルコンポーネントとして複数回リストできます。たとえば、消耗品モデルのコンポーネント A は、マルチコンポーネント モデルに対して 3 回繰り返すことができます。

すべてのモデルコンポーネントには、マルチコンポーネントモデルと次の 3 つの関係があり、それぞれに true または false の値があります。

- 必須:値が true の場合、モデルコンポーネントはマルチコンポーネントモデルが機能するために不可欠であり、完全に削除することはできません。
- ホットスワップ可能:値が true の場合、マルチコンポーネントモデルの運用中にモデルコンポーネントをスワップできます
- 修復可能: 値が true の場合、モデル コンポーネントを修復できます。

モデルコンポーネントとマルチコンポーネントモデルの関係は相互に排他的です。たとえば、マルチコンポーネントモデルが 2 つのモデルコンポーネント A で構成されている場合、各モデルコンポーネント A はマルチコンポーネントモデルと独自の関係を持つことができます。

マルチコンポーネントモデルには、組立済みモデルとユーザー組立モデルの 2 種類があります。

事前に組み立てられたマルチコンポーネントモデルまたはユーザーが組み立てたマルチコンポーネントモデルを単純なモデルに変更するには、モデルがまだ [ビルド]状態である間に、すべてのモデルコンポーネントの関連付けを解除します。モデルレコードを保存すると、マルチコンポーネントモデルが簡易モデルに変更され、モデルコンポーネントへのすべての関連付けが削除されます。

マルチコンポーネント資産

マルチコンポーネント資産は、マルチコンポーネントモデルから作成されます。

消耗品モデルのコンポーネントがマルチコンポーネントモデルで複数回リストされている場合、[必須]、[ホットスワップ可能]、または [修理可能] フィールドが同じかどうかに関係なく、1 つのレコードに結合されます。

資産には、消耗資産とシリアル番号付資産の 2 種類があります。

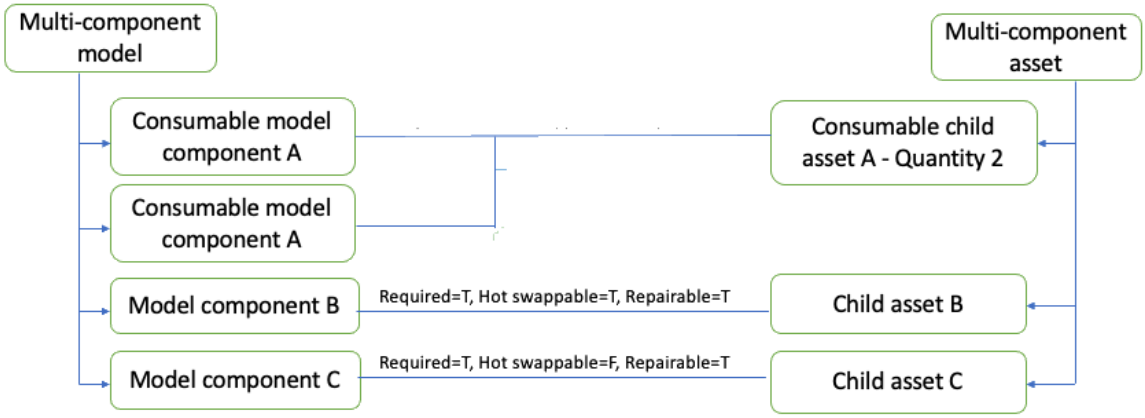
エンタープライズモデルコンポーネントの場合、モデルコンポーネントに基づいてシリアル化された子資産が作成されます。たとえば、子資産 B はモデルコンポーネント B 用に作成された子資産です。

マルチコンポーネントモデルで定義されたモデルコンポーネントの関係が拡張され、子資産レコードに表示されます。子資産のスワップは、同じモデルコンポーネントでのみ実行できます。子資産を別のモデルコンポーネントと入れ替えることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マルチコンポーネントモデルとマルチコンポーネント資産の関係



組立済み資産とユーザー組立資産

組立済みモデルおよびユーザー組立マルチコンポーネントモデルに関連付けられた資産は、それぞれ組立済みマルチコンポーネント資産およびユーザー組立マルチコンポーネント資産と呼ばれます。

- 事前に組立された資産:親資産が作成されると、子資産が自動的に作成されます。子資産は、親資産が作成されたのと同じストックルームに作成されます。子資産は、ストックルーム、状態、サブステータスなどの親資産のプロパティを継承します。子資産が作成されると、資産管理番号またはシリアルタグは添付されません。モデルコンポーネントで定義されていない場合でも、追加の子資産やアドオンを追加できます。アドオン資産が追加されると、[資産タイプ] フィールドに [アドオンで事前に組み立て済み] の値が表示されます。
- ユーザー組立資産:親資産ストックルームにある資産を使用して資産を組み立てます。
  - 資産レコードの [アセンブル] ボタンを使用して、自分で資産を組み立てます。詳細については、「ユーザー組立資産の資産を選択」を参照してください。
  - [自動アセンブル] ボタンを使用して資産を自動的に組み立て、ストックルームから資産を自動的に選択して資産を親資産に関連付けるプロセスをトリガーします。必要な数量の資産がストックルームにない場合、エラーが表示され、資産を自動的に組み立てることはできません。「アセンブル」ボタンを使用して、自分でアセットをアセンブルします。
  - 親資産からすべての子資産とアドオン資産をリリースします。アセットのリリースの詳細については、次を参照してください 親資産からの資産のリリース。

次のいずれかのステータスにある任意のマルチコンポーネント資産と子資産をスワップできます。

- 使用中
- メンテナンス中
- 在庫あり 欠陥品
- 修理待ちの在庫あり

注:
アセットのスワップの詳細については、「」を参照してください 親マルチコンポーネント資産と資産をスワップ。

エンタープライズモデルの複数のモデルコンポーネント

数量を指定することで、エンタープライズモデルに一度に複数のモデルコンポーネントを追加できます。[モデル コンポーネントの追加] ダイアログの [数量] フィールドでは、1 つのエンタープライズ モデルに対して複数のシリアル化されたコンポーネントと消耗コンポーネントを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- シリアル化されたコンポーネントの場合: [モデル コンポーネントの追加] ダイアログ ボックスの各行は、数量に基づいて複数のモデル コンポーネントに分割されます。たとえば、[数量] フィールドの行の値が 10 の場合、10 件のモデル コンポーネント レコードが作成されます。
- 消耗品コンポーネントの場合:1 行に 1 つのモデル コンポーネントが作成されます。たとえば、数量フィールドの行の値が 10 の場合、数量が 10 のモデルコンポーネントレコードは 1 つだけ作成されます。

消耗品の子モデルの場合、コンポーネントごとに 1 つの子資産が作成されます。数量はコンポーネントの数量と同じです。シリアル化された子モデルの場合、資産はコンポーネントごとに作成されます。

資産を作成しても、消耗資産は結合されません。消耗資産は数量のある個別の資産です。たとえば、モデルコンポーネント A のレコードの数量値は 2 で、モデルコンポーネント B のレコードの数量値は 3 です。2つの資産が作成されます1 つは数量 2 の資産レコードで、もう 1 つは数量 3 の資産レコードです。

ただし、消耗品のアドオン資産は、モデルコンポーネントにリンクされていないため、結合されます。たとえば、モデル A には消耗品モデル C の 2 つのコンポーネントがあります。そのモデルから複合資産を作成すると、同じモデル C から 2 つの子資産が作成されます。

消耗品コンポーネントのコンポーネント番号の使用方法

消耗品には資産管理番号またはシリアル番号がないため、モデルコンポーネントフォームの [コンポーネント番号] フィールドは、子消耗品を識別して追跡するのに役立ちます。消耗品コンポーネントレコードを作成するときは、必ず [コンポーネント番号] フィールドに値を入力してください。

消耗品コンポーネントの場合、コンポーネント番号はプリフィックスとして子資産の表示名に伝播されます。

シリアル化されたコンポーネントのコンポーネント番号の使用法

シリアル化されたコンポーネントの場合、コンポーネント番号の入力は省略可能です。[数量] フィールドに入力した値が 1 の場合、コンポーネント番号を指定できます。 [数量] フィールドに複数の値を入力すると、[コンポーネント番号] フィールドは無効になります。ただし、コンポーネント番号はシステムによって自動的に生成されます。必要に応じて、モデルコンポーネントフォームに移動し、コンポーネント番号を変更できます。

シリアル化されたコンポーネントの場合、資産管理番号が記載されていない場合、コンポーネント番号が資産管理番号として伝達されます。後で資産管理番号を追加することにした場合、コンポーネント番号は資産管理番号によって上書きされます。

Enterprise 資産ワークスペースの使用

Enterprise 資産ワークスペースを使用して、すべての資産を包括的に表示し、効率的に管理します。

Enterprise 資産ワークスペースの詳細

Enterprise 資産ワークスペースは、複数のビューを備えた統合メディアです。ビューでは、すべての資産、モデル、ストックルーム、ストックルームタイプを可視化できます。また、転送オーダー、廃棄オーダーなどの複数のワークフローを作成し、ダッシュボードを介して分析にアクセスすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
*Enterprise Asset Classes*ある環境から別の環境に変更を移動するたびに、資産プロパティテーブルの と *Enterprise Model Classes* プロパティを更新セットに含めます。更新セットの詳細については、「 更新セットの転送 」を参照してください。

Enterprise 資産ワークスペースには、次のビューが含まれています。

- のエンタープライズ資産の概要 Enterprise Asset ワークスペース
- Enterprise 資産ワークスペースの資産分析の概要
- Enterprise 資産ワークスペースの在庫概要
- Enterprise 資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要
- Enterprise 資産ワークスペースのエンタープライズモデル管理の概要
- の正規化の概要 エンタープライズ資産管理
- Enterprise 資産ワークスペースの契約およびリース管理の概要

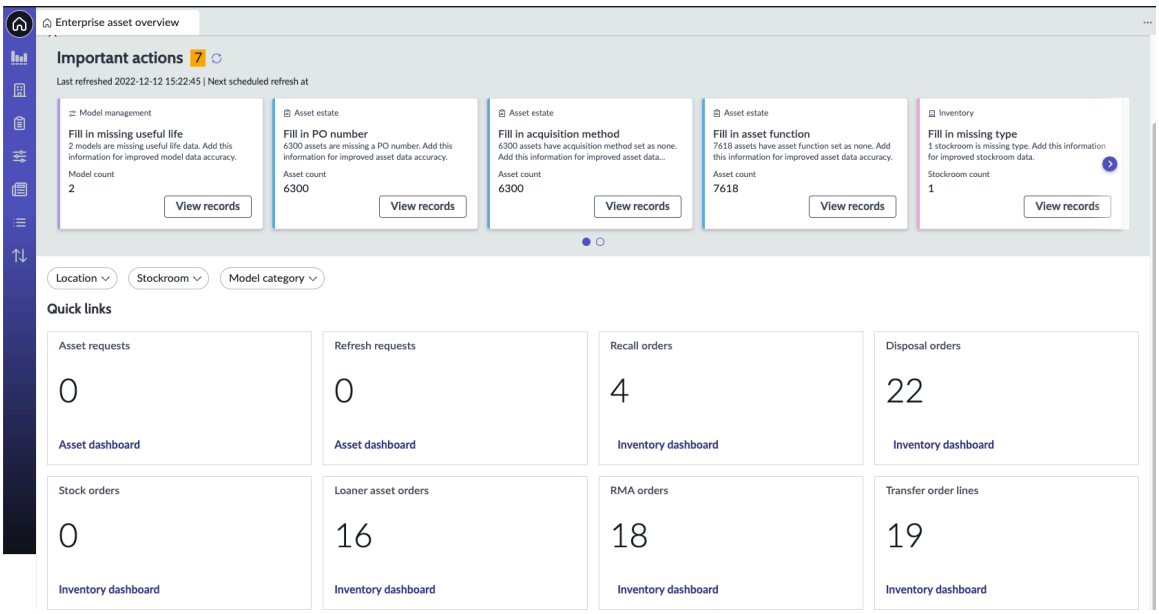
のエンタープライズ資産の概要 **Enterprise Asset** ワークスペース

Enterprise 資産ワークスペースのランディングページとして Enterprise 資産の概要を使用して、主要な測定基準に関するインサイトを取得します。

エンタープライズ資産の概要ダッシュボードを使用して、次のタスクを実行します。

- 不足している製造データ、モデル番号、または資産タグ情報の入力など、即時の対応が必要な重要なアクションアイテムを特定して対処します。
- 資産要求、転送オーダー、在庫注文、資産リフレッシュ要求、廃棄注文、返品許可 (RMA) 注文を検索および追跡します。

エンタープライズ資産の概要



詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、関連するウィジェットを選択します。[場所]、[ストックルーム]、[モデルカテゴリ]、および [分類] フィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。[分類] フィルタの詳細については、「」を参照してください 分類コード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードのクイックリンク

ウィジェット	説明
資産要求	アイテムのモデルが消耗品またはエンタープライズモデルである要求アイテムの数。
転送オーダーライン	有効な転送オーダーラインの数。
在庫注文	要求された在庫在庫注文アイテムの数。
要求をリフレッシュ	オープン資産のリフレッシュ注文要求の数。
取り消しオーダー	未処理の取り消しオーダーの数。
廃棄注文	未処理の廃棄注文の数
貸与資産のオーダー	要求された貸与資産のオーダー数
RMA オーダー	未処理の返品許可 (RMA) 注文の数。

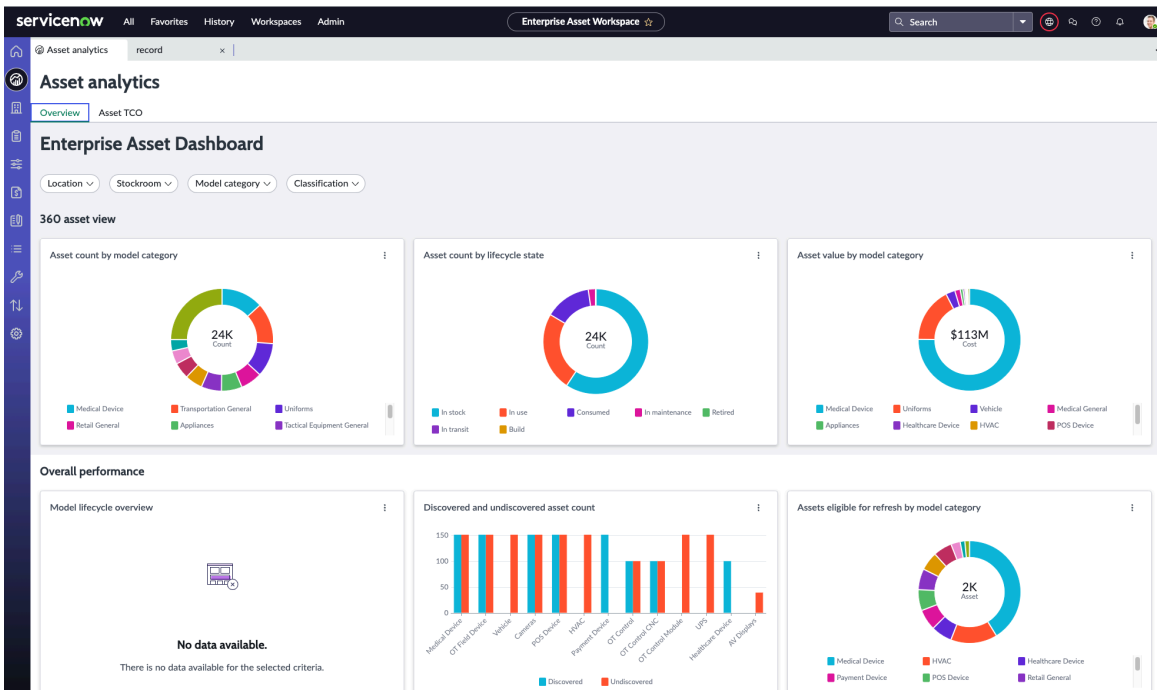
Enterprise 資産ワークスペースの資産分析の概要

資産分析ビューを使用して、すべての資産、その全体的なパフォーマンス、および資産の総所有コスト (TCO) の詳細ビューを取得します。

Enterprise 資産ダッシュボード

エンタープライズ資産ダッシュボードを使用して、すべてのエンタープライズ資産に関する包括的な情報を取得します。

場所、ストックルーム、モデルカテゴリ、分類に基づいてデータをフィルタリングできます。



360 度資産ビュー

ウィジェット	説明
モデルカテゴリ別の資産数	医療、一般、医療診断などのモデルカテゴリ別にグループ化された資産の数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

360 度資産ビュー (続く)

ウィジェット	説明
資産数 (ライフサイクルステータス別)	廃止、使用中、在庫など、ライフサイクルステータス別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別の資産価値	車両、カメラ、フィールドデバイスなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。

全体的なパフォーマンス

ウィジェット	説明
モデルライフサイクルの概要	一般提供、提供終了、サポート終了、販売終了などのライフサイクルフェーズ別にグループ化されたモデルライフサイクルの概要。
検出済みおよび未検出の資産数	モデルカテゴリ別にグループ化された検出済み資産数と未検出資産数の比較。
モデルカテゴリ別のリフレッシュ可能な資産	既に有効期限が切れているか、当日が有効期限となっており、更新の対象となる資産の数。

資産 **TCO**

このタブには TCO の詳細ビューが表示され、TCO ベンチマークに関する資産のリアルタイムステータスを示す主要な測定基準が表示されます。

新しい比較レポートを作成したり、既存の比較レポートを表示したりできます。

場所、ストックルーム、モデルカテゴリ、分類に基づいてデータをフィルタリングできます。

[すべて表示] を選択して、すべての比較レポートの一覧を表示します。オフラインレポート (原価費目が 実績 **TCO** または 予測 **TCO** のいずれか) を除き、少なくとも 1 つのアクティブなレポートソースを持つレポートのみが表示されます。オフライン レポートのデータ ソースを更新するには、レポートを開き、 [更新ジョブの実行] を選択します。このボタンは、オフライン レポートにのみ表示されます。このジョブが完了すると、最新の収集日が更新されます。

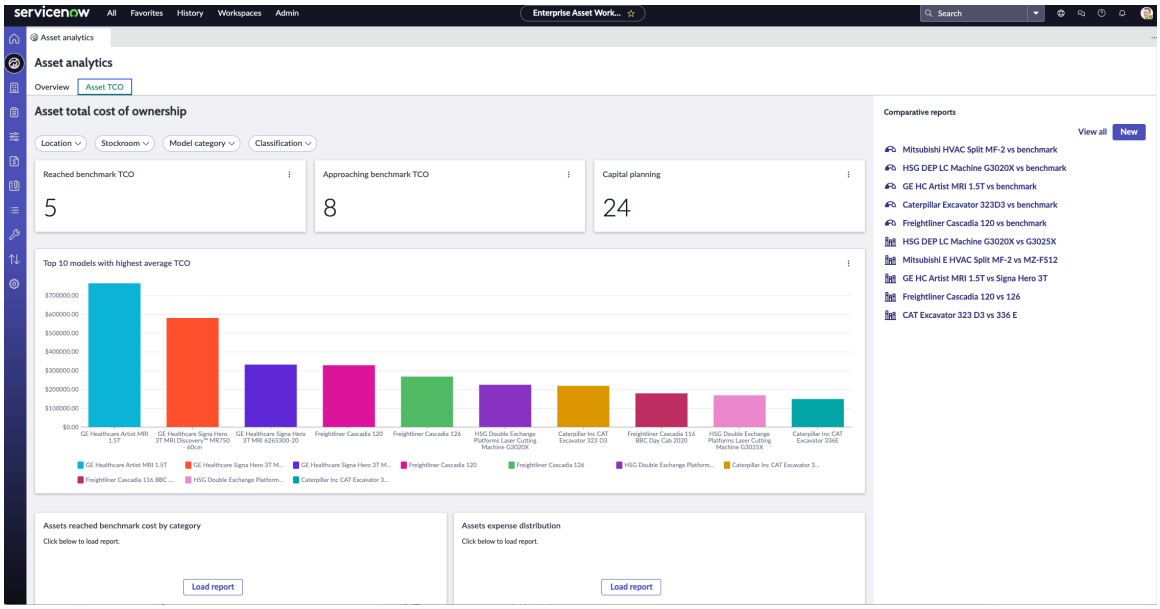
注:
オフライン レポートは、最新の収集日が入力されるまで比較レポートのリストに表示されません。

[新規] を選択して TCO レポートを作成できます。

レポートアイコンを選択してレポートを直接開くか、レポート名を選択してレポートフォームを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ウィジェット	説明
ベンチマーク TCO に達しました	ベンチマーク TCO に達した資産の数。
ベンチマーク TCO に近づいています	ベンチマーク TCO に近づいている資産の数
資本計画	資本計画の資産の数。資本計画の資産は、廃止されておらず、現在のライフサイクルフェーズが true の資産です。
平均 TCO が最も高い上位 10 モデル	平均 TCO が最も高い上位 10 のモデルを示す棒グラフ。
カテゴリ別のベンチマークコストに到達した資産	ベンチマークコストに達したカテゴリ別の資産の数。
資産経費分配	次の原価費目に基づく資産経費配分: • 購入：資産 • 購入：部品 • 構成 • ソフトウェア • 契約：リース • 契約： 保証 • 契約：メンテナンス • 契約：サービス • 契約：その他 • ユーティリティ • 出荷 • 作業：メンテナンス • 作業：修理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	説明
	• 労働 ：一般 • 再販価値
月次資産経費分配 (過去 12 か月間)	次の原価タイプに基づく、過去 12 か月間の資産の配分: • 購入：資産 • 購入：部品 • 構成 • ソフトウェア • 契約：リース • 契約： 保証 • 契約：メンテナンス • 契約：サービス • 契約：その他 • ユーティリティ • 出荷 • 作業：メンテナンス • 作業：修理 • 労働 ：一般 • 再販価値

自動翻訳

Enterprise 資産ワークスペースの在庫概要

Enterprise 資産ワークスペースの在庫ビューを使用して、在庫しきい値を最適化し、再注文プロセスを自動化します。ワークフローを作成し、インベントリの詳細情報を表示できます。

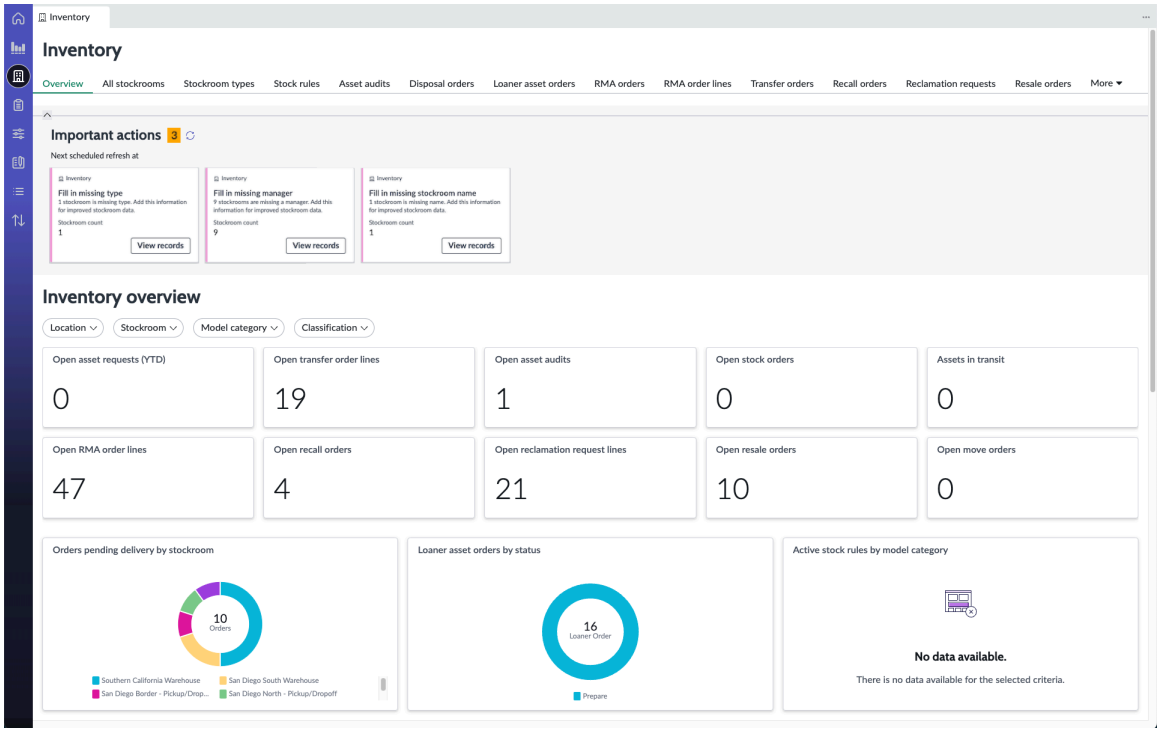
不足している倉庫タイプや倉庫名の入力など、緊急の在庫関連のアクションアイテムを処理します。

インベントリビューにアクセスするには、 **Enterprise** 資産ワークスペース > **Inventory**.

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、任意のウィジェットを選択します。[場所]、[ストックルーム]、および [モデルカテゴリ] フィルターを使用して、結果を絞り込むこともできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インベントリビュー



次のタブを使用して、在庫を表示します。

- 概要:オープンな転送オーダーライン、オープン資産監査、ステータス別の貸与資産のオーダーなど、すべての在庫データを垣間見ることができます。
- すべての倉庫:新しい倉庫を作成し、在庫が保管されている倉庫を表示します。
- ストックルームタイプ:新しい保管場所タイプを作成し、在庫に利用可能なさまざまなタイプの保管場所を表示します。
- 在庫ルール:新しい在庫ルールを作成し、既存の在庫ルールのリストを表示します。
- 資産監査:新しい資産監査レコードを作成し、既存のレコードを表示します。
- 廃棄注文:使用終了サイクルに達した資産または機能しなくなった資産の廃棄注文ワークフローを作成します。
- 貸与資産のオーダー:すべての貸与資産のオーダーを表示し、適切なアクションを実行します。
- **RMA** 注文:欠陥のある資産に対するすべての返品許可 (RMA) 注文を表示し、適切なアクションを実行します。
- **RMA** 注文明細行:RMA 注文内のすべての返品許可 (RMA) 注文明細行を表示し、適切なアクションを実行します。
- 転送オーダー:ストックルーム間で資産を移動するための転送オーダー ワークフローを作成します。
- 取り消しオーダー:資産ベンダーによって取り消しされた資産の取り消し注文ワークフローを作成します。
- 再利用要求:すべての再利用要求を表示して実行します。
- 再販オーダー:すべての資産再販リクエストを表示して履行します。
- 移動オーダー:ある場所から別の場所に移動する必要がある資産の移動オーダーを作成および表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要

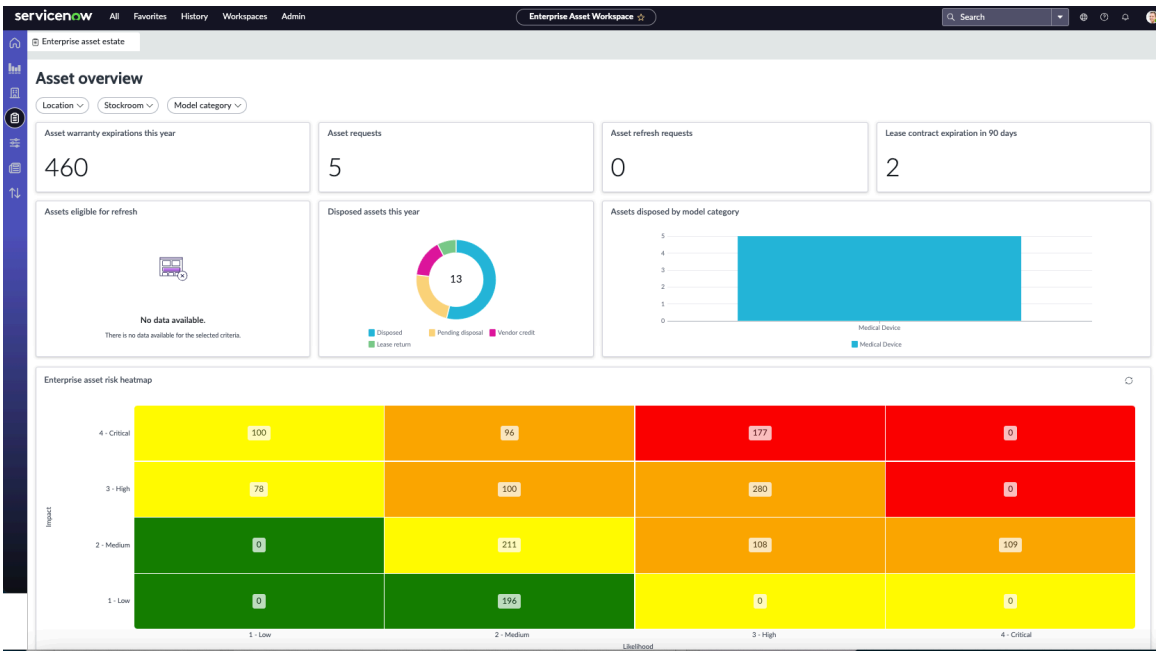
Enterprise 資産ワークスペースの Enterprise 資産一覧ビューを使用して、資産を作成および管理します。ステータス別の資産ライフサイクル、今年の処分資産、資産要求などの詳細を表示することもできます。

不足している資産タグや資産機能の入力など、緊急の資産関連のアクションアイテムを処理します。

エンタープライズ資産一覧ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧.

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、任意のウィジェットを選択します。[場所]、[ストックルーム]、および [モデルカテゴリ] フィルターを使用して、結果を絞り込むこともできます。

エンタープライズ資産一覧ビュー



エンタープライズ資産一覧の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
今年有効期限が切れる資産保証	今年期限切れになる資産の数。
資産要求	カタログ内のエンタープライズ要求と消耗品要求の数。
資産リフレッシュ要求	更新待ちの資産の数。
90 日でリース契約終了	契約は 90 日後に期限切れになります。
更新対象となる資産	提供終了が近づいており、更新の対象となる資産。
今年の廃棄資産	今年度処分された資産。
廃棄資産 (モデルカテゴリ別)	今年の現在の日付までに廃棄され、モデルカテゴリ別にグループ化された資産。
エンタープライズ資産リスクヒートマップ	可能性と影響の値を持つ資産の数のリスクヒートマップを表示します。このヒートマップを表示するには、リスクスコアモジュールのバンド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産一覧の概要 (続く)

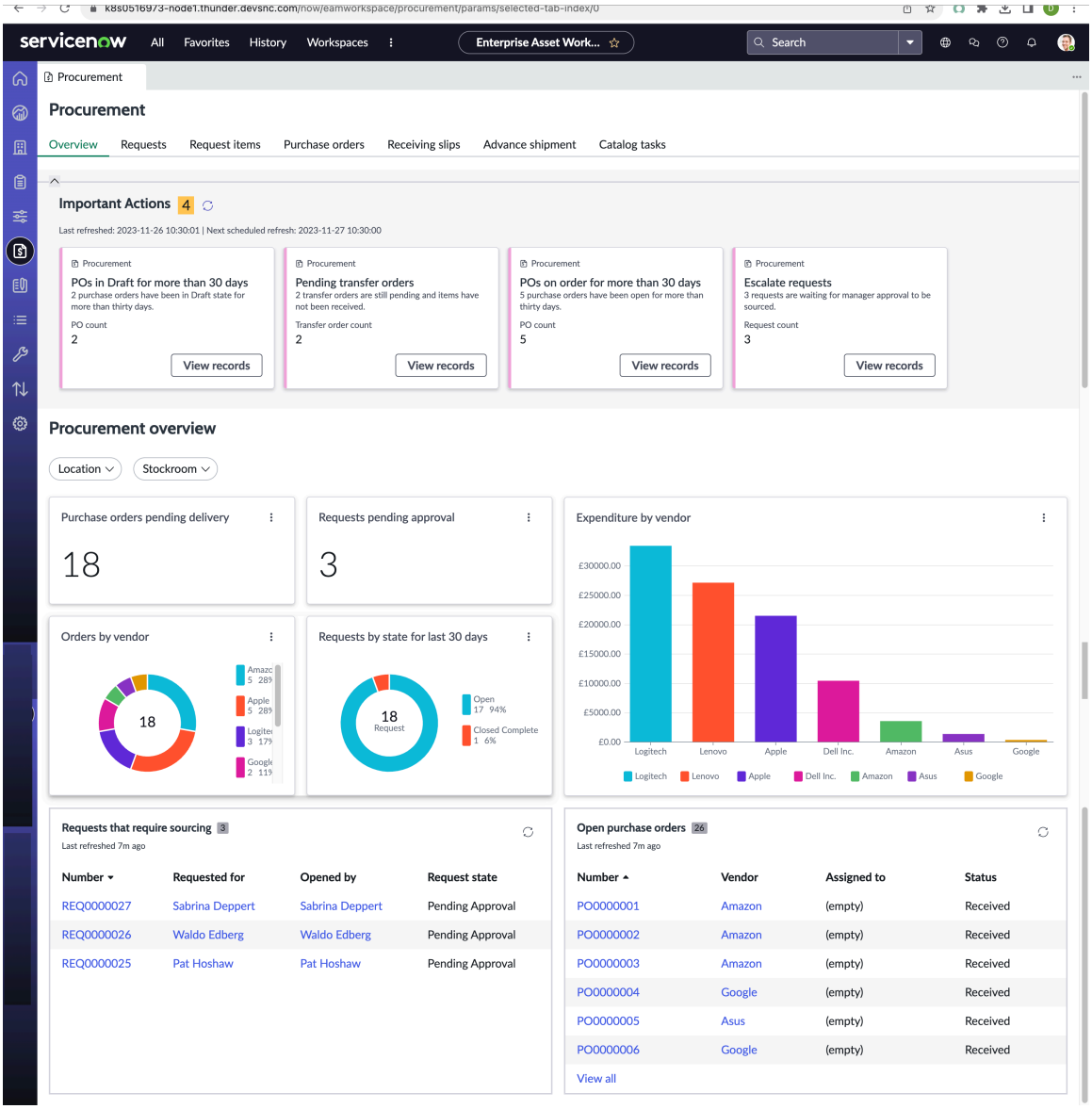
ウィジェットまたはチャート	説明
	スコアレコードが固定されていることを確認します。

の調達の概要 **Enterprise Asset** ワークスペース

で、調達要求、発注書、調達タスク、受領伝票 Enterprise Asset ワークスペースなどの調達関連の詳細を表示および管理します。

の Enterprise Asset ワークスペース [調達] ビューでは、オープン要求、保留中の発注書と転送オーダー、およびマネージャーの承認が必要な要求を管理するためのアクションにアクセスできます。

調達ビュー



ウィジェットまたはチャートを選択すると、より具体的な詳細が表示されます。場所、ストックルーム、ドメインの各フィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ドメインフィルターは、Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインと Domain Separation (plugin com.snc.pa.domain_support) プラグインが有効になっている場合にのみ使用できます。

調達の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
保留中の配送の発注書	受信されず、キャンセルされなかった発注書の数。ステータスが「要求済み」、「注文済み」、または「保留中の配送」である発注書のみが表示されます。
承認待ちの要求	要求ステータスが [承認待ち] のソース可能でアクティブな要求の数。
ベンダー別の支出	在庫を調達するために各ベンダーに支払ったコスト。ステータスが「注文済み」、「保留中の配送」、または「受領済み」である発注書のみが表示されます。
ベンダー別の注文	注文済み、保留中の配送、または個々のベンダーが受領した発注書の数。
過去 30 日間のステータス別の要求	過去 30 日間に作成された要求をステータス別にグループ化。
調達が必要な要求	発注書、ローカル注文、または転送注文が開始されていない要求のリスト。
オープンな発注書 (PO)	要求済み、注文済み、または未配送の発注書のリスト。

Enterprise 資産ワークスペースのエンタープライズモデル管理の概要

Enterprise 資産ワークスペースの Enterprise モデル管理ビューを使用して、Enterprise モデルを作成および管理します。また、モデルライフサイクルの概要、モデルステータス、提供終了が迫っているエンタープライズモデルなどの詳細を表示することもできます。

不足しているモデル番号やメーカー名の入力など、緊急のモデル関連のアクションアイテムを処理します。

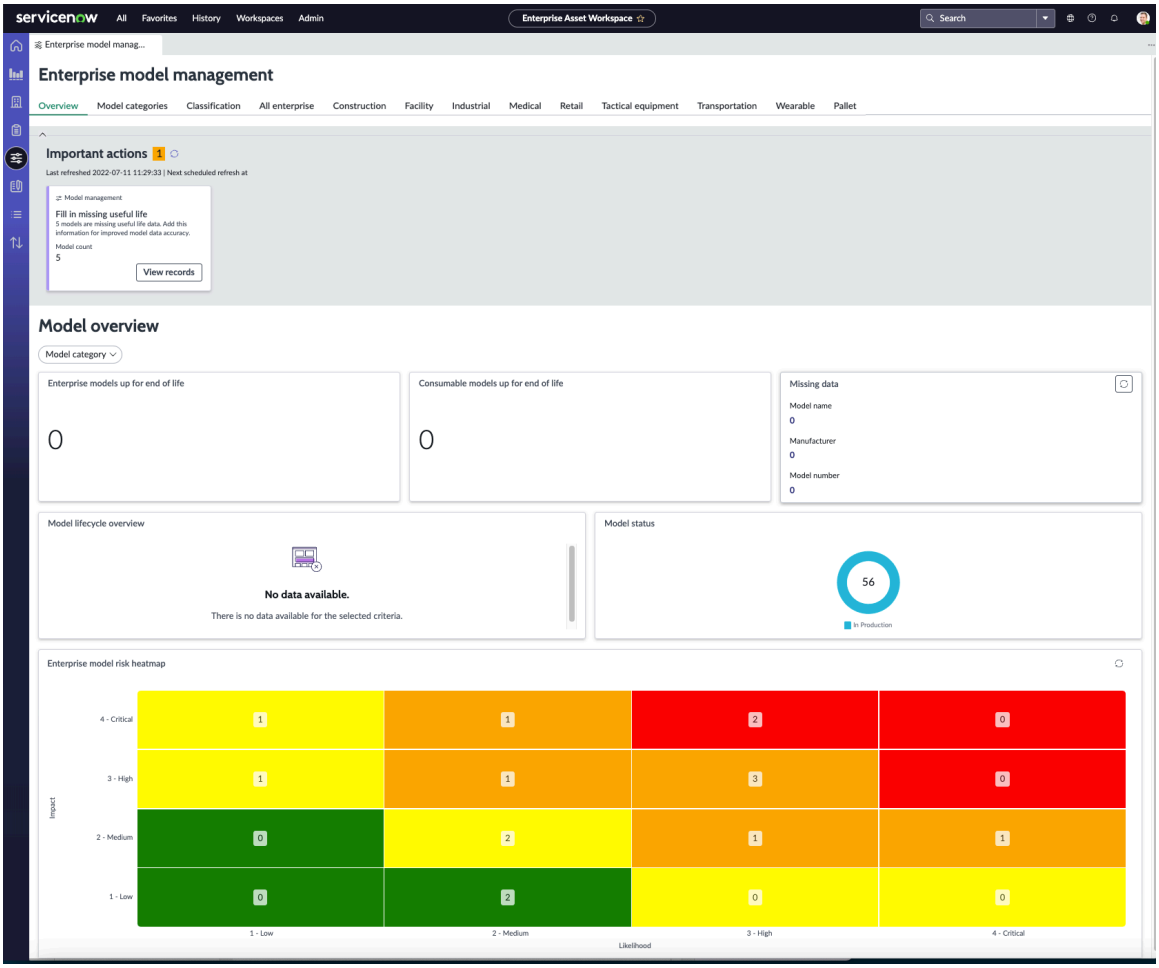
エンタープライズモデル管理ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズモデル管理.

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、任意のウィジェットを選択します。モデルカテゴリフィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズモデル管理ビュー



モデルの概要

ウィジェットまたはチャート	説明
今年提供終了が迫っているエンタープライズモデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年であるエンタープライズモデルの数。
今年提供終了が迫っている消耗品モデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年である消耗品モデルの数。
データの不足	モデル名、メーカー、およびモデル番号が欠落しているモデルの数。
モデルライフサイクルの概要	一般提供、サポート終了、提供終了、販売終了などの各ライフサイクルステージに存在するモデルの数。
モデルステータス	モデルのステータスに基づくモデルの現在の数。
エンタープライズモデルリスクヒートマップ	可能性と影響度の値を持つモデルの数のリスクヒートマップを表示します。このヒートマップを表示するには、リスクスコアモジュールのバンドスコアレコードが固定されていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルの概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
	注: リスクの可能性、リスクの影響度、およびリスクスコアが固定されていない場合、ヒートマップはモデルレコードにリスク値のないドラフトモードでレンダリングされます。これらのベクトルの 1 つだけがフリーズされている場合、ヒート マップはレンダリングされません。3 つのベクトルがすべて固定されている場合、ヒートマップは本番モードでレンダリングされ、リスク値がモデルレコードに入力されます。

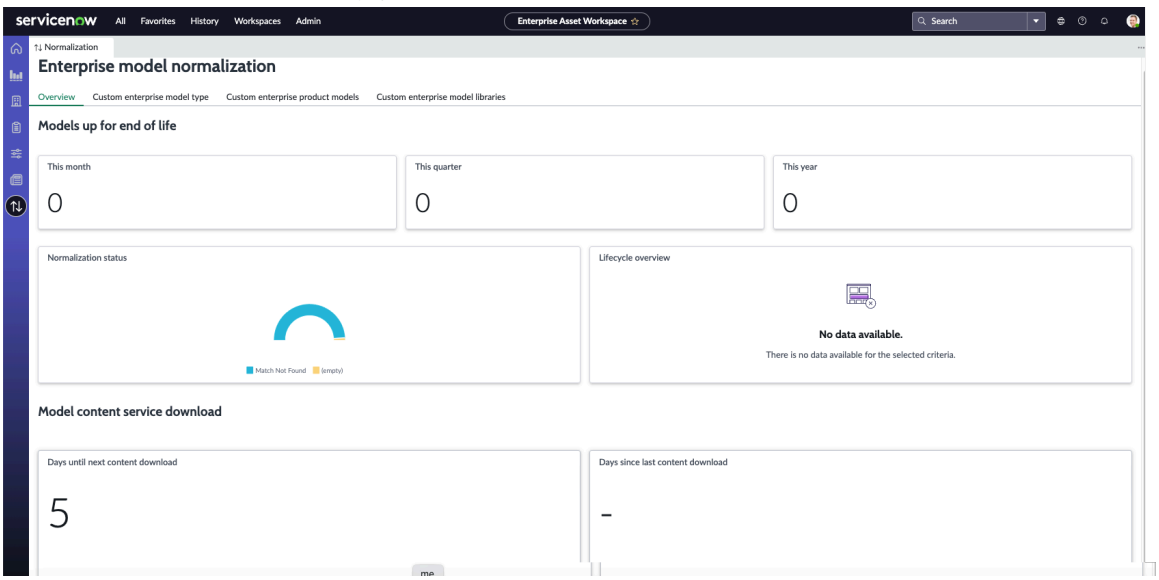
の正規化の概要 エンタープライズ資産管理

Enterprise 資産ワークスペースの [正規化] ビューを使用して、正規化ステータス、モデルコンテンツサービスのダウンロード、ライフサイクルの概要など、正規化に関連する情報を表示します。

このビューから、カスタム Enterprise モデルタイプ、製品モデル、およびモデルライブラリを作成することもできます。

[正規化] ビューにアクセスするには、 **Enterprise** 資産ワークスペース > 正規化.

エンタープライズモデルの正規化



正規化ウィジェット

ウィジェット	ソース	説明
製品寿命が迫っている企業モデル	エンタープライズモデルのライフサイクル [sn_eam_model_lifecycle]	エンタープライズモデルの提供終了の初期段階。提供終了フェーズの開始日が現在の月、四半期、または年であるエンタープライズモデルの数を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化ウィジェット (続く)

ウィジェット	ソース	説明
		注: アクティブで、モデルステータスが本番環境にあり、ライフサイクルタイプが公開者であるエンタープライズモデルのライフサイクルレコードのみが、今月、今四半期、または今年に表示されます
標準化ステータス		すべてのエンタープライズモデルの正規化ステータス。正規化された Enterprise モデルと正規化されなかったモデルの数を表示します。正規化ステータスの詳細については、「」を参照してください Enterprise モデルの正規化ステータス。
ライフサイクルの概要	エンタープライズモデルのライフサイクル [sn_eam_model_lifecycle]	各ライフサイクルステージ (一般提供、サポート終了、拡張サポート終了、販売終了) に存在するエンタープライズモデルの数。 **注:** アクティブなエンタープライズモデルのライフサイクルレコードのみがこのウィジェットに表示されます。
Enterprise モデルコンテンツサービスのダウンロード。 • 次のコンテンツのダウンロードまでの日数 • 前回のコンテンツダウンロードからの経過日数	データサービスのダウンロードスケジュール [cds_client_schedule]	コンテンツサービスライブラリが最後にインスタンスにダウンロードされてからの経過日数と、次のダウンロードまでの残り日数。

Enterprise 資産ワークスペースの契約およびリース管理の概要

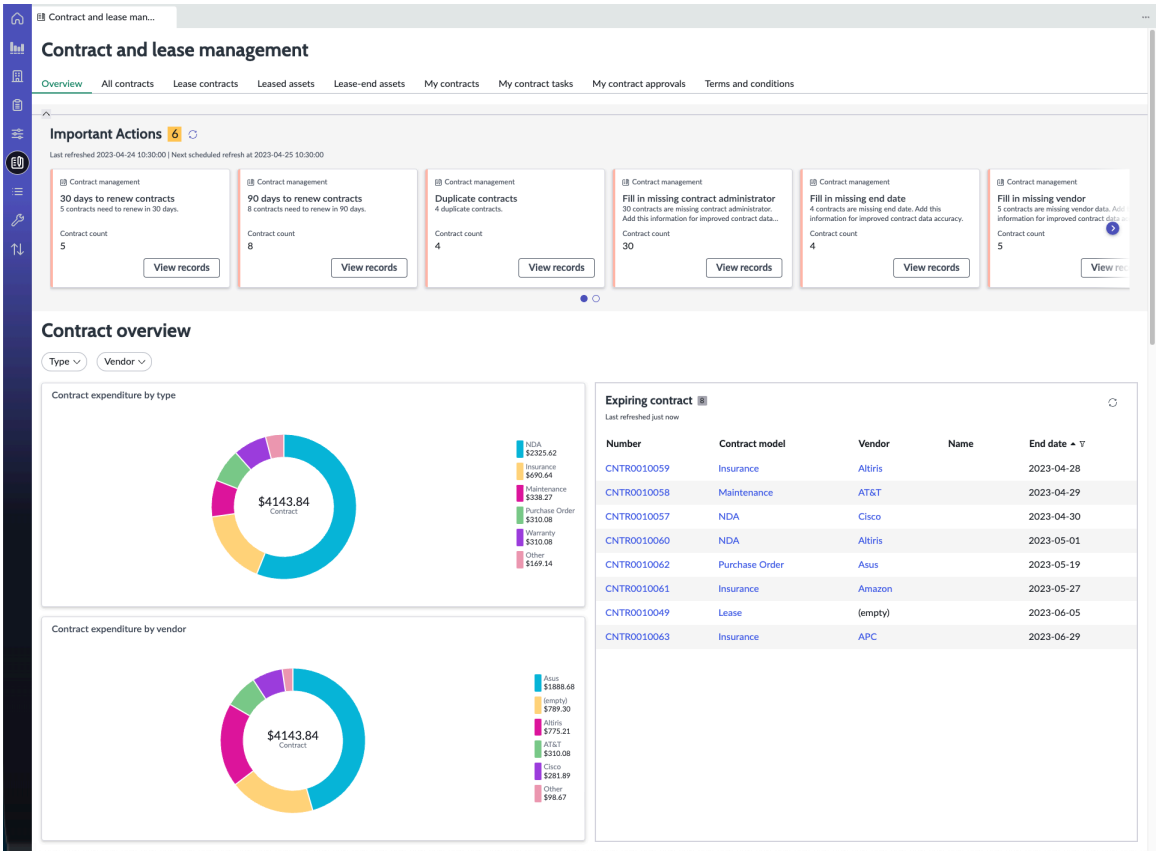
Enterprise 資産ワークスペースの [契約と リースの管理] ビューを使用して、エンタープライズ資産契約を作成および管理します。

契約とリースの管理ビューにアクセスするには、次に移動します。 **Enterprise** 資産ワークスペース > 契約とリースの管理.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約とリースの管理ビュー



次のタブを使用して、エンタープライズ資産契約を表示および管理します。

- 概要:タイプ別の契約支出、ベンダー別の契約支出、期限切れが間近の契約など、すべての契約データを垣間見ることができます。このデータは、[ドメイン]、[タイプ]、および [ベンダー] フィルターを使用して絞り込むことができます。

  さらに、エンタープライズ資産契約のすべての重要なアクションを表示します。

- すべての契約:エンタープライズ資産の契約を作成および表示します。サポートされる契約タイプには、リース、保険、メンテナンス、保証、購入契約、機密保持、契約条件、サービス、発注書、ソフトウェアライセンス、サブスクリプションなどがあります。
- リース契約:リースされたエンタープライズ資産の契約を作成および表示します。
- リース資産:組織全体のすべてのリースエンタープライズ資産を表示します。
- リースエンド資産:リース終了プロセスが開始された契約に関連付けられているすべてのリースエンタープライズ資産を表示します。ステータスが [完了] ではないリースされたエンタープライズ資産に対してアクションを実行します。
- 自分の契約:管理しているすべてのエンタープライズ資産契約を表示します。
- 自分の契約タスク:管理している契約に関連付けられているエンタープライズ資産のすべてのオープンタスクを表示します。
- 自分の契約承認:承認待ちのすべての Enterprise 資産契約および契約更新要求を表示します。
- 契約条件:エンタープライズ資産契約の契約条件を作成および表示します。

契約の詳細については、「」を参照してください 契約管理。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

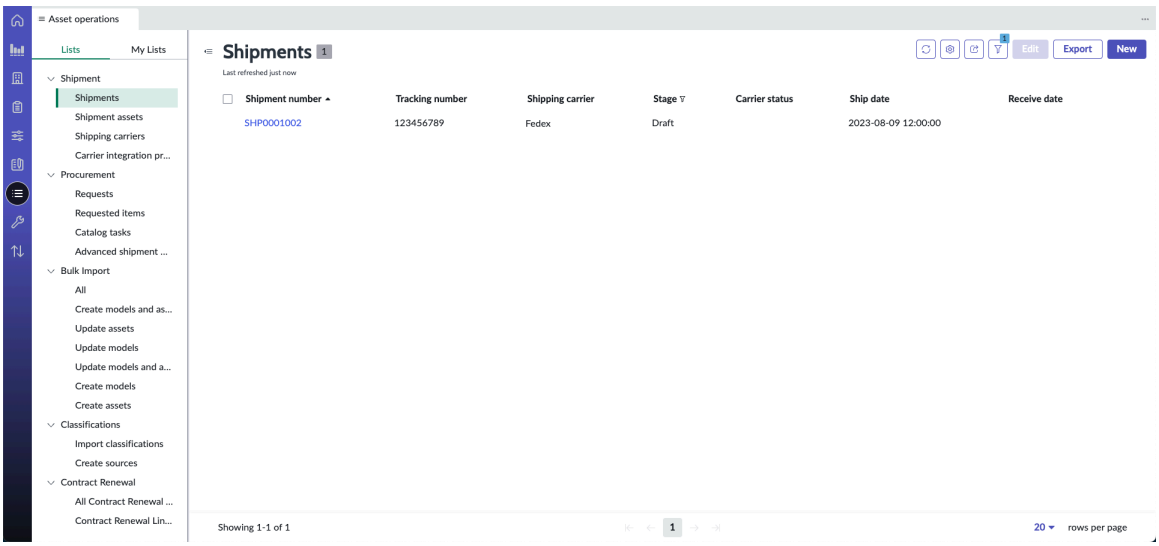
Enterprise 資産ワークスペースの資産運用の概要

Enterprise 資産ワークスペースの [資産運用] ビューを使用して 、出荷、 サービスカタログ要求、要求アイテム、カタログタスク、契約更新要求を追跡および管理します。

資産運用ビューを使用して、次のタスクを実行します。

- 出荷の表示と作成
- 出荷通知の作成
- オンボーディングの要求とタスクの表示
- 移動オーダーを作成および表示します。

資産運用ビュー



アプリケーションで サービスカタログ 要求を作成した後、Enterprise 資産ワークスペースから要求、要求されたアイテム、カタログタスクを表示し、要求を調達できます。

注:
ハードウェア資産とエンタープライズ資産に対して作成されたすべての要求が、[要求 リスト] セクションに一覧表示されます。同様に、ハードウェア資産およびエンタープライズ資産に対して作成されたすべてのカタログタスクが、[カタログタスク] リストセクションに一覧表示されます。[要求アイテム] リストセクションには、エンタープライズ資産に関連する要求アイテムのみが表示されます。

Enterprise 資産ワークスペースの作業管理の概要

Enterprise 資産ワークスペースの [作業管理] ビューを使用して、メンテナンス計画、作業指示書、および作業指示書タスクを作成および管理します。

重要:
「作業管理機能」ビューにアクセスして使用する前に、必要に応じて構成を編集します フィールドサービス管理 (FSM) 。詳細な手順については、「[作業管理] ビューの構成の編集フィールドサービス管理 (FSM)」を参照してください。

[作業管理] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 **Enterprise** 資産ワークスペース > 作業管理.

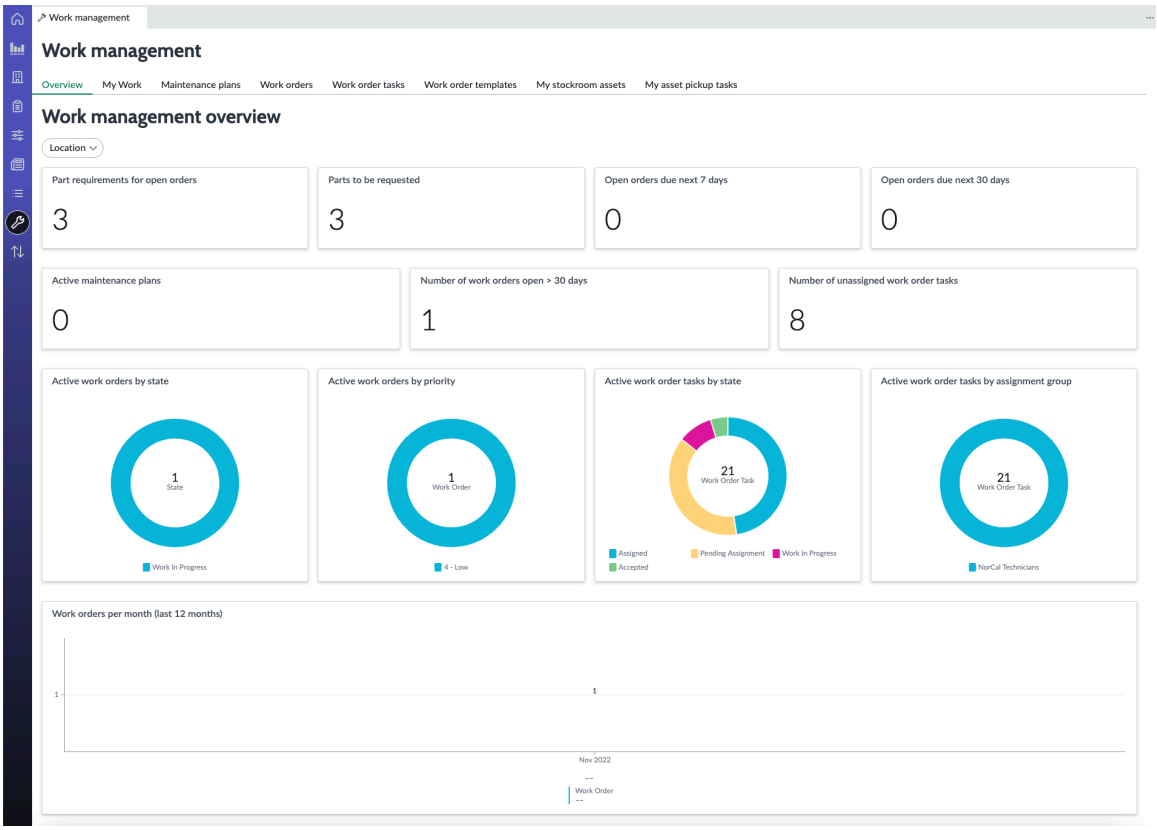
注:
システム管理者 (admin)、エンタープライズ資産マネージャー (sn_eam.enterprise_asset_manager)、およびエージェント (wm_agent) のロールを持つユーザーのみが、[作業管理] ビューにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、任意のウィジェットをクリックします。場所フィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

作業管理ビュー



次のタブを使用して、作業指示、作業指示タスク、メンテナンス計画、およびその他の関連する作業指示情報を表示および管理します。

注:
[作業管理] ビューに表示されるタブは、割り当てられたロールによって異なります。

- 概要:オープン中の注文の部品要件、ステータス別のアクティブな作業指示、月ごとの作業指示、アクティブなメンテナンス計画など、すべての作業指示データを垣間見ることができます。

  注:
  このタブは、システム管理者 (admin) またはエンタープライズ資産マネージャー (sn_eam.enterprise_asset_manager) ロールがある場合に表示されます。

- 自分の作業:作業指示書に関連付けられているすべての未解決の要求とタスクを表示します。

  注:
  このタブは、システム管理者 (admin) またはエージェント (wm_agent) ロールがある場合に表示されます。

- メンテナンス計画:エンタープライズ資産のメンテナンス計画を作成および表示します。

  注:
  このタブは、システム管理者 (admin) またはエンタープライズ資産マネージャー (sn_eam.enterprise_asset_manager) ロールがある場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 作業指示書:エンタープライズ資産で実行する計画作業またはアドホック作業の作業指示書を作成および表示します。

  注:
  このタブは、システム管理者 (admin)、エンタープライズ資産マネージャー (sn_eam.enterprise_asset_manager)、またはエージェント (wm_agent) ロールがある場合に表示されます。

- 作業指示書タスク:作業指示書に関連付けられているすべての作業指示書タスクを表示します。

  注:
  このタブは、システム管理者 (admin)、エンタープライズ資産マネージャー (sn_eam.enterprise_asset_manager)、またはエージェント (wm_agent) ロールがある場合に表示されます。

- 作業指示書テンプレート:作業指示書のテンプレートを作成および表示します。

  注:
  このタブは、システム管理者 (admin) またはエンタープライズ資産マネージャー (sn_eam.enterprise_asset_manager) ロールがある場合に表示されます。

- 自分のストックルーム資産:ストックルーム内で利用可能なエンタープライズ資産を表示します。

  注:
  このタブは、システム管理者 (admin) またはエージェント (wm_agent) ロールがある場合に表示されます。

- 自分の資産の集荷タスク:作業指示書に関連付けられているエンタープライズ資産のすべてのスケジュールされた集荷タスクを表示します。

  注:
  このタブは、システム管理者 (admin) またはエージェント (wm_agent) ロールがある場合に表示されます。

自動翻訳

Enterprise 資産ワークスペースの管理センターの概要

エンタープライズ資産ワークスペースの [管理センター] ビューを使用して、すべての構成および管理タスクを実行します。

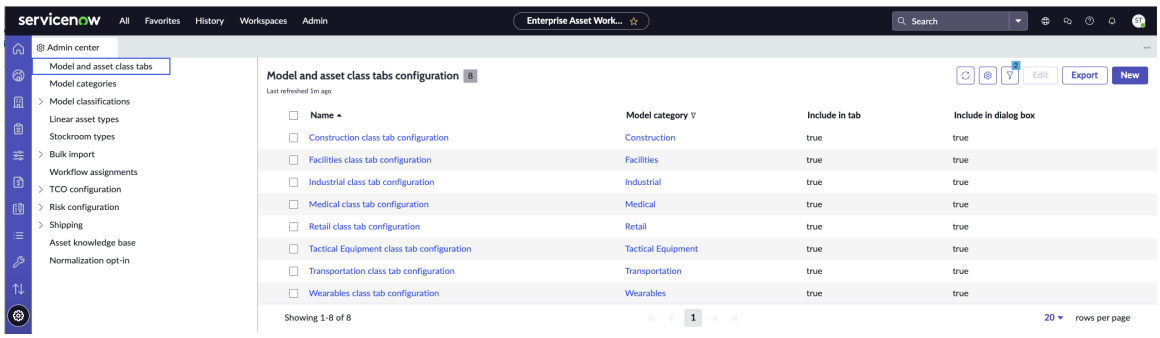
エンタープライズ管理者 [sn_eam.enterprise_admin] ロールとエンタープライズ資産マネージャー [sn_eam.enterprise_asset_manager] ロールのみが、管理センタービューで表示および操作を実行できます。

管理センターを使用して、次のタスクを実行します。

- モデルと資産のタブを設定
- モデル カテゴリを作成する
- 分類コードの作成とインポート
- 分類コードのソースの作成
- リニア資産タイプを作成する
- ストックルーム タイプを作成する
- エンタープライズモデルと資産のインポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ワークフローアサイン
- タスクレートカードと賃金レートカードを作成および表示する
- リスクの可能性、リスクの影響度、およびリスクスコアの構成値を作成
- 配送業者の作成
- サードパーティの配送業者との統合
- ナレッジ記事の作成
- Enterprise Asset Management へのオプトイン



エンタープライズモデルと資産の一括インポート

サブフローを使用して、複数のタイプのエンタープライズモデルと資産を ServiceNow インスタンスに一度にインポートします。既存のモデルや資産に対して一括更新を実行することもできます。

概要

エンタープライズ資産ワークスペースを使用して、すべてのエンタープライズモデルと資産を別のデータベースからインスタンスに ServiceNow 一括転送します。

スプレッドシート (.xlsx) の形式でテンプレートをダウンロードして、インポートレコードを作成します。テンプレートをアップロードする前に、すべての必須フィールドに有効な値を入力してください。テンプレートをインポートレコードに添付し、[インポート] を選択してインポートプロセスを開始します。

[インポート] を選択すると、EAM 一括インポートサブフローがトリガーされます。ジョブスケジュールが開始され、スプレッドシート内のデータが適切なステージングテーブルにコピーされます。ステージングテーブルが検証され、インスタンスに ServiceNow レコードが作成されます。

モード

モードとは、処理するインポートのタイプを指します。モデル、資産のみをインポートするモードと、モデルと資産の両方を組み合わせたモードがあります。次の使用可能なモードから選択できます。

- モデルを作成
- モデルを更新
- 割り当て済み資産を作成する
- 資産を更新
- モデルと資産を作成
- モデルと資産を更新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テンプレート

インポートレコードで選択したモードに基づいて、対応するテンプレートをダウンロードできます。

注:
インポートプロセスを効果的に実行するには、すべての必須フィールドに有効な値を入力してください。すべての必須フィールドのリストについては、「」を参照してください 一括インポートスプレッドシートの必須フィールド。

モードとテンプレート

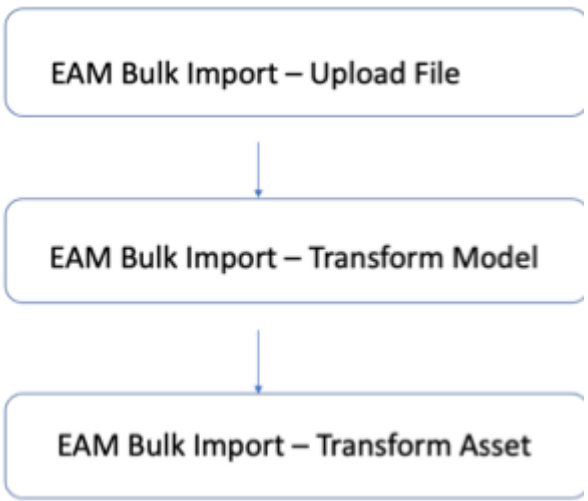
モード	対応するテンプレート
• モデルを作成 • モデルを更新	モデルテンプレート
• 割り当て済み資産を作成する • 資産を更新	資産テンプレート
• モデルと資産を作成 • モデルと資産を更新	モデルと資産のテンプレート

テンプレートをカスタマイズして列を追加できます。列を追加するには、次の変更を行います。

1. ステージングテーブルに新しい列を追加します。
2. データベースビューテーブル [sn_eam_import_template] のリストビューを変更して、スプレッドシートに表示する列を含めます。インスタンスのナビゲーションバーのフィルターフィールドに文字列 sn_eam_import_template.list を入力します。
3. モデルまたは資産変換マップにフィールドマッピングを追加します。

ジョブスケジュール

次のジョブスケジュールは、EAM 一括インポートサブフローの一部として実行されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブスケジュールは、選択したモードに基づいて実行されます。

EAM 一括インポート - ファイルのアップロードジョブは、すべてのモードで実行されます。[モデルを作成] モードまたは [モデルを更新] モードの場合、EAM 一括インポート - 資産の変換は実行されません。同様に、[資産を作成] モードまたは [資産を更新] モードでは、EAM 一括インポート - 変換モデルは実行されません。

たとえば、[モデルと資産を作成] モードを選択すると、スケジュール設定済みジョブ *EAM Bulk Import - Upload file* によってスプレッドシートから 3 つのステージングテーブルにデータがアップロードされます。次に、ジョブスケジュールにより、 *EAM Bulk Import - Transform Model* モデルとモデルコンポーネント変換マップが実行されます。モデル変換マップが完了すると、 *EAM Bulk Import -Transform Asset* スケジュール設定済みジョブがアセット変換マップを実行します。

ステージングテーブル

スプレッドシートに入力したデータは、次のステージングテーブルの 1 つ以上にコピーされます。

- モデルインポートステージング [sn_eam_model_import_row]
- モデルコンポーネントインポートステージング [sn_eam_mc_import_row]
- 資産インポートステージング [sn_eam_asset_import_row]

エンタープライズ資産管理 正規化

エンタープライズ資産管理正規化プロセスでは、エンタープライズモデルのメーカー、モデル名、モデル番号、モデルタイプのデータを正規化できます。

概要

正規化プロセスでは、検出されたメーカー、検出されたモデル、検出されたモデルタイプ、および検出されたモデル番号の値を ServiceNow 、Content Service 内の エンタープライズ資産管理 正規化された同等のリポジトリと比較します。

エンタープライズモデルを標準化するには、データを正規化する必要があります。正規化コンテンツを使用してモデルレコードを手動で更新することも、データをコンテンツサービスと比較する エンタープライズ資産管理 こともできます。

正規化のジョブスケジュール

正規化プロセス中に実行されるジョブスケジュールは次のとおりです。

ジョブスケジュール	説明
EAM:日次ジョブ	コンテンツサービスによって エンタープライズ資産管理 データがプルされる時刻を設定します。このジョブは、正規化プロセスの初回開始時に 1 回だけ実行されます。 モデルがライフサイクルの終了日を過ぎている場合、このジョブによってモデルレコードの **[Enterprise** モデルライフサイクル] タブの [コンテンツライフサイクルフェーズ] チェックボックスが有効になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブスケジュール	説明
EAM:コンテンツのアップロード	次のカスタムテーブルに追加したコンテンツをエンタープライズ資産管理 コンテンツサービスにアップロードする日次ジョブ: • カスタム Enterprise モデルタイプ [sn_eam_cd_custom_model_type] • カスタム Enterprise メーカー [sn_eam_cd_custom_manufacturer • カスタム Enterprise 製品モデル [sn_eam_cd_custom_product_model] • カスタム Enterprise モデル ライブラリー [sn_eam_cd_custom_model_library] **注:** このジョブは、 エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスにオプトインしている場合にのみ実行されます。
EAM:エンタープライズライフサイクル	新規作成または削除されたライフサイクルに関する情報でモデルレコードを更新します。
EAM:正規化	正規化されていないすべてのモデルを正規化します。
EAM:最新のコンテンツ変更を適用	コンテンツテーブルの変更をコンテンツサービスに対して エンタープライズ資産管理 更新します。

正規化とともに エンタープライズ資産管理 インストールされるテーブル

いくつかの正規化テーブルが、アプリケーションのアクティブ化 エンタープライズ資産管理 とともにインストールされます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
カスタム Enterprise モデルタイプ [sn_eam_cd_custom_model_type]	カスタム Enterprise モデル タイプ レコードを格納します。
カスタム Enterprise メーカー [sn_eam_cd_custom_manufacturer]	カスタムのエンタープライズメーカーレコードを保存します。
カスタム Enterprise 製品モデル [sn_eam_cd_custom_product_model]	カスタムのエンタープライズ製品モデルレコードを保存します。
カスタム Enterprise モデル ライブラリー [sn_eam_cd_custom_model_library]	エンタープライズモデルライブラリレコードを保存します。
エンタープライズモデルタイプ [sn_eam_cd_model_type]	エンタープライズモデルタイプのレコードを保存します。
Enterprise メーカー [sn_eam_cd_manufacturer]	エンタープライズモデルメーカーレコードを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
エンタープライズ製品モデル [sn_eam_cd_product_model]	エンタープライズ製品モデルレコードを保存します。
エンタープライズモデルライブラリ [sn_eam_cd_model_library]	エンタープライズモデルライブラリレコードを保存します。
エンタープライズライフサイクル定義 [sn_eam_cd_lifecycle_definition]	エンタープライズモデルのライフサイクルフェーズと関連する日付を保存します。
EAM コンテンツ監査 [sn_eam_content_audit]	変更されたコンテンツ値を保存します。
Enterprise ライブラリの管理 [sn_eam_manage_cd_library]	インポートおよびエクスポートコンテンツデータを保存します。
エンタープライズ資産構成 [sn_eam_configuration]	オプトインおよびオプトアウトのデータを保存します。

リスクスコアリング

可能性と影響度の 2 つのベクトルに基づいて、エンタープライズモデルレコードのリスクスコアを計算します。

モデルに関連付けられた資産は、モデルのリスクスコア値を継承します。ただし、モデルで指定されたリスクスコア値とは異なる資産のリスクスコアを定義することで、モデルのリスクスコアを上書きできます。

アプリケーションのリスク エンタープライズ資産管理 モジュールにアクセスするには、次の場所に移動します。 資産 > **Enterprise Risk** 構成. 次のモジュールを使用して、可能性、影響度、およびスコアの構成値を入力します。

- リスクの可能性
- リスクの影響度
- リスクスコア

注:
可能性、影響度、およびスコアの値の設定の詳細については、リスクの可能性の構成値を作成リスクの影響度の構成値の作成を参照してくださいリスクスコアの構成値の作成。

リスクモジュールの値を設定して固定すると、次のビューにヒートマップがレンダリングされます。Enterprise Asset ワークスペース

- エンタープライズ資産一覧ビュー:資産スコアのヒートマップ
- エンタープライズモデル管理ビュー:モデルリスクスコアのヒートマップ。

モデルが 構築 ステージでなくなり、モデルのリスクスコアを更新する場合は、モデルフォームの [リスクを更新] ボタンを使用して、関連する資産に更新された値を伝搬できます。このボタンをクリックすると、 *EAM - Update model risk values to asset* スケジュール設定済みジョブが実行され、このモデルに関連付けられているすべての資産のリスク値が更新されます。

注:
モデルが [構築] ステージの場合、[リスクを更新] ボタンは表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Zebra MotionWorks の RFID 統合 エンタープライズ資産管理

インスタンスを ServiceNow サードパーティの場所 Zebra MotionWorks ソリューションと統合して、エンタープライズ資産のリアルタイム無線自動識別 (RFID) 位置データをインポートして表示できます。

RFID は、無線周波数を使用して資産の位置と識別データを転送する資産追跡テクノロジです。このデータは、各資産に取り付けられた、または埋め込まれた小型デバイスであるRFIDタグを介して保存および転送されます。各RFIDタグは、次のコンポーネントで構成されています。

- 無線周波数を送受信して、関連する資産の位置と識別データを転送できるようにするアンテナ。アンテナは、RFIDタグをスキャンするたびに、これらの無線周波数を送受信します。
- 関連する資産の位置と識別データを保存する一意のマイクロチップまたは集積回路 (IC)。
- 他の 2 つのコンポーネントをまとめる基板。

Zebra MotionWorks ロケーションソリューションは、RFIDテクノロジーを使用して、資産と在庫のリアルタイムの場所を自動的に追跡します。インスタンスを ServiceNow 場所ソリューションと Zebra MotionWorks 統合すると、この RFID 場所データがインスタンスにインポートされ、エンタープライズ資産を識別して追跡できるようになります。場所ソリューションが検出する Zebra MotionWorks データの変更は、インスタンスで ServiceNow 自動的に更新されます。

Zebra MotionWorks詳細については、Zebra MotionWorks Location Solutions の Web サイト を参照してください。

場所ソリューションからの Zebra MotionWorks RFID 位置データのインポート

場所ソリューションから Zebra MotionWorks RFID 場所データをインポートすると、関連付けられているエンタープライズ資産に基づいて、データが RFID ステージ資産 [sn_itam_common_rfid_stg_asset] テーブルに追加されます。エンタープライズ資産管理アプリケーションは、この RFID 場所データをインポートするエンタープライズ資産ごとに個別のテーブルエントリを自動的に作成します。

RFID 場所データが RFID ステージ資産 [sn_itam_common_rfid_stg_asset] テーブルに追加された後、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは RFID リソースデータ変換マップを使用してこのデータを処理してから、RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルにマップします。ただし、RFID の場所データを RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルにマップできるのは、シリアル番号を含むエンタープライズ資産の場合のみです。

マッピングが成功したら、スケジュール設定済みジョブを *RFID Asset Mapping Job* 毎日またはオンデマンドで実行し、結果のデータを RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルから資産 [alm_asset] テーブルにマッピングできます。ただし、このデータマッピングは、資産 [alm_asset] テーブル内の対応する資産レコードの存在に依存します。

- データをマッピングするエンタープライズ資産の対応する資産レコードが既に存在する場合は、そのエンタープライズ資産の RFID 場所データが変更されるたびに自動的に更新されます。さらに、RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルで、エンタープライズ資産の 状態 が 新規 から 一致 に変わります。

- 対応する資産レコードがまだ存在しない場合、そのエンタープライズ資産のデータを RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルから資産 [alm_asset] テーブルにマッピングすることはできません。RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルで、エンタープライズ資産 の [状態] が [新規] から [不一致] に変わります。

  エンタープライズ資産一覧ビューの [概要] タブに表示される [一致しない **RFID** タグ] の重要なアクションを使用して、これらの一致しないエンタープライズ資産を表示し、アクションを実行できます。エンタープライズ資産一覧ビューの詳細については、「」を参照してください Enterprise 資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産レコードは、Enterprise 資産ワークスペースの Enterprise 資産一覧 ビューで表示できます。各資産レコードに含まれる RFID フィールドの詳細については、「」を参照してください エンタープライズ資産の資産フィールド。

注:
1 つ以上の子エンタープライズ資産を持つ親エンタープライズ資産の RFID 場所データをインポートする場合、それらの子エンタープライズ資産の RFID 場所データは、関連付けられている RFID タグに基づきます。

- 子エンタープライズ資産に RFID タグが含まれている場合、その資産の RFID 場所データはその RFID タグに基づきます。
- 子エンタープライズ資産に RFID タグが含まれていない場合、その資産の RFID 場所データは親エンタープライズ資産の RFID タグに基づきます。親エンタープライズ資産を削除すると、子エンタープライズ資産のすべての RFID 場所データがクリアされます。

エンタープライズ資産の再利用

再利用ワークフローを使用して、エンタープライズ資産を要求、評価、および再利用できる従業員の退職プロセスを調整します。

従業員が組織を退職したり、別のロールに移動したりした場合、従業員にアサインされた資産を取得するには、人事部門とエンタープライズ資産マネージャーの間で広範な調整を行う必要があります。退職サービスカタログ要求を作成すると、必要に応じて資産を効率的に回収して在庫に補充したり、再割り当てしたり、修理のために送付したり、廃棄したりするための規範的なワークフローが開始されます。

アプリケーションを使用して サービスカタログ 資産再利用要求を作成できます。要求が作成されると、一連のタスクで構成される再利用品目が作成されます。これらのタスクには、sam_userロールのみがアクセスして実行できます。すべてのタスクがクローズされると、再利用品目が完了します。すべての再利用品目が完了すると、カタログ要求も完了します。

注:
アプリケーションを使用して サービスカタログ エンタープライズ資産を再利用するには、アプリケーションをインストールする エンタープライズ資産管理 必要があります。

Service Catalog アプリケーションを使用して 資産再利用 要求を作成すると、資産再利用要求が作成されます。退職する従業員にアサインされたエンタープライズ資産ごとに、資産サービスカタログの再利用で選択した資産のエンタープライズ資産再利用ラインが作成されます。各エンタープライズ資産再利用ラインは、次のエンタープライズ資産再利用タスクによってクローズされます。

- [資産の再利用] フォームで選択した再利用方法に基づいて、納品のスケジュール、集荷のスケジュール、または出荷タスクのスケジュールを設定します
- 資産を受領
- 評価

Enterprise 資産再利用ラインにはステージフィールドもあり、 Enterprise 資産再利用タスクをクローズ すると次のように変更されます。

- 保留中
- 評価を保留中
- 完了

分類コード

分類コードを使用してエンタープライズモデルを整理および分類し、効果的に使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

概要

エンタープライズモデルの可視性と効率を向上させる分類コードを作成します。

分類コードはモデルに割り当てられ、モデルカテゴリに基づいており、各コードにはソースがあります。

分類コードは、1 つ以上のモデルカテゴリに基づくことができます。たとえば、設備モデルカテゴリはコード A に割り当てられ、医療モデルカテゴリはコード B に割り当てられます。作成した各モデルにコードを割り当てることができます。設備モデルを作成するときに、そのモデルに分類コード A を割り当てることができます。同様に、医療モデルを作成するときに、そのモデルにコードBを割り当てることができます。

ソースは、特定の業界の分類システムです。たとえば、OmniClassは建設セクターの分類システムです。一部のソースには、親子関係の階層構造があります。このような階層システムでは、コードごとに親が 1 つしかありません。データインフラストラクチャは、ソースが階層構造に準拠しているかどうかを決定します。

モデル間の親子関係を使用して、分類コードに基づいてモデルと資産を除外します。分類コードに基づいてダッシュボード上のレポートをフィルタリングできます。

で Enterprise Asset ワークスペース 分類コードを作成および編集するには、次に移動します。 エンタープライズモデル管理ビュー > 分類.

分類コードが作成されると、そのコードの先祖リストが自動的に生成されます。既存のコードの親が更新されると、そのコードの先祖リストとそのすべての子が更新されます。

分類コードを使用したフィルター

次の Enterprise Asset ワークスペース ビューでは、分類コードに基づいてモデルをフィルター処理できます。

- エンタープライズ資産の概要
- Enterprise 資産ダッシュボード
- 在庫
- Enterpriseモデル管理
- エンタープライズ資産一覧

[分類] フィルターでコードを選択してフィルターを適用すると、そのコードにアラインされたすべてのモデルとそのすべての祖先のレポートが表示されます。

使用されるロール

分類コードを使用するには、次のロールが必要です。

ロールタイトル	含んでいるロール	説明
分類マネージャー [sn_eam.enterprise_classification_manager]	sn_eam.enterprise_admin	このロールには、分類コードテーブルへの完全なアクセス権があります。このロールでは、分類コードの作成、編集、および表示を行うことができます。
モデルマネージャー [model_manager]	sn_eam.enterprise_asset_manager	このロールでは、分類コードのみを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産管理 のプレイブック

Playbook は、重要な情報を含む資産を設定するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。

Playbook の概要

Playbook はワークフローを実行し、複数のレーンに分割します。Playbook のワークフローは、通常、 Exploring Playbooks . Playbook の各レーンには次のものが含まれます。

- レビューするアクティビティのリスト。
- 各アクティビティの現在のステータスを表示するステータスインジケーター。
- ワークフローの現在位置を示すチェックマーク。

レーン内のアクティビティを完了としてマークすると、次のアクティビティに移動します。アクティビティはいつでも保存でき、後で Playbook に戻ることができます。レーン内のすべてのアクティビティを完了すると、次のレーンに移動します。アクティビティとレーンを完了していくと、ステータスが左側のパネルに反映されていきます。Playbook の右側にあるアクティビティログには、各アクティビティに入力したすべてのデータが表示されます。

Playbook のレイアウト

Playbook は次の部分に分かれています。

- 左側のレーン。
- 中央の作業領域。

で利用可能な Playbook エンタープライズ資産管理

オンボーディング資産で利用可能な エンタープライズ資産管理 次の Playbook を使用します。

- 資産オンボーディング Playbook:単一の資産をオンボーディングできます。
- マルチアセットオンボーディング Playbook:複数の資産を一度にオンボーディングできます。

資産オンボーディング Playbook

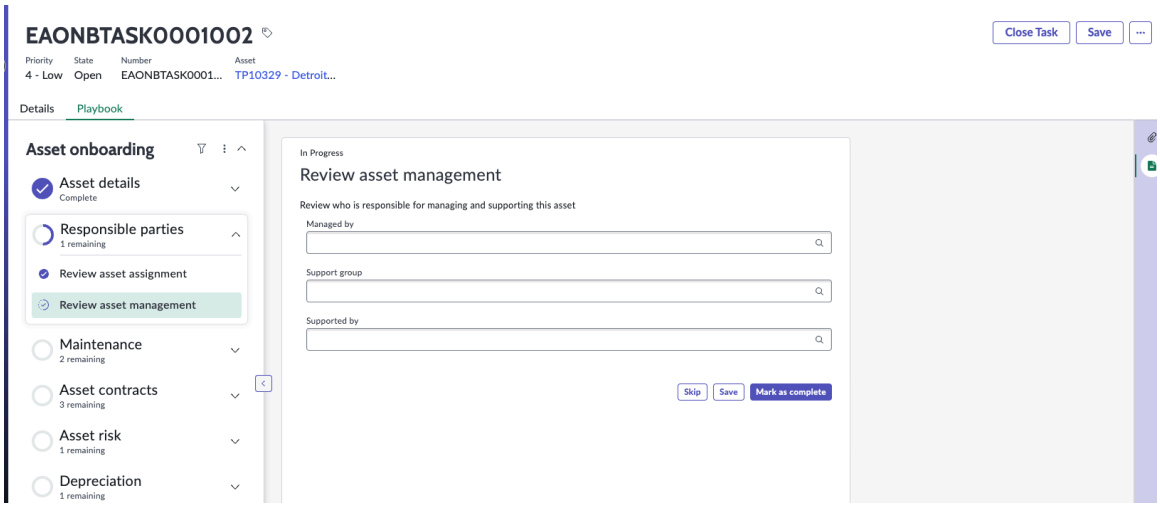
資産オンボーディング Playbook は、プロセスの各ステップでコンテキストを提供し、資産の重要な情報を入力するのに役立ちます。

各資産には 1 つのオンボーディングプロセスのみを含めることができます。オンボーディングプロセスごとに、プロセスを追跡するオンボーディングタスクがあります。

資産オンボーディングタスク [sn_itam_common_asset_onboarding_task] テーブルは、資産オンボーディングプロセスを追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

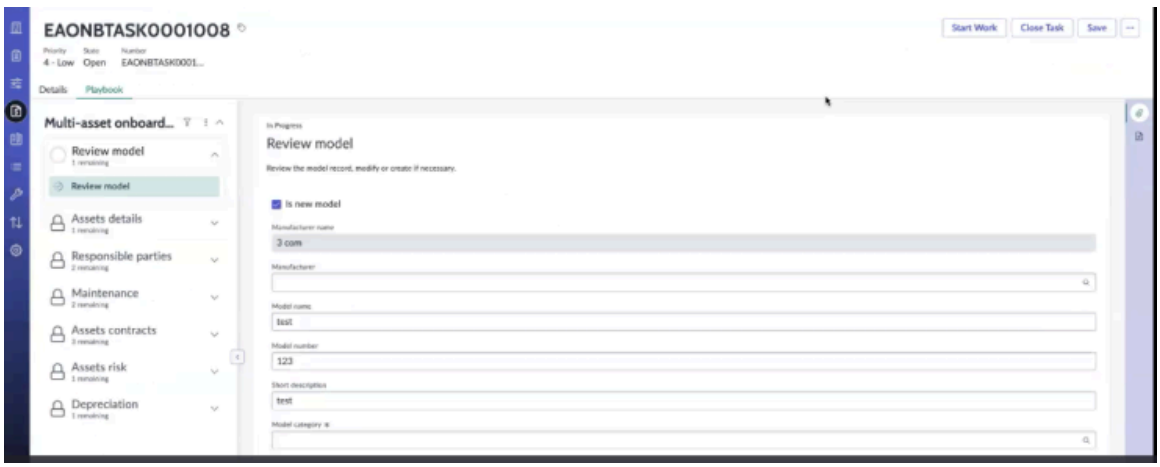


マルチアセットオンボーディング **Playbook**

マルチアセットオンボーディング Playbook を使用すると、1 つのモデルに対して複数の資産を一度にオンボーディングできます。

エンタープライズ資産技術者ロールは、オンボーディング資産のカタログ要求を作成する必要があります。要求が送信されると、要求されたアイテムがオンボーディングタスクとともに作成されます。オンボーディングタスクを使用すると、エンタープライズ資産マネージャーロールは、からマルチアセット Playbook Enterprise Asset ワークスペースを起動できます。オンボーディングタスクが完了すると、カタログ要求と要求アイテムのステータスが [完了してクローズ] に変わります。

オンボーディング資産のカタログ要求の作成の詳細については、次を参照してください 複数の資産をオンボーディングするためのカタログ要求の作成。マルチアセット Playbook の起動の詳細については、「」を参照してください マルチアセットのオンボーディングプロセスを作成する。



Enterprise Asset Management でのリニア資産の使用

リニア資産を使用して資産管理ポートフォリオを拡大し、リニア資産を作成および管理することで分散性を高めます。

概要

リニア資産は、道路、鉄道、パイプライン、送電線、通信ネットワークなど、物理的な長さまたはディメンションを持つ資産です。これらの資産は、多くの場合、直線的なトポロジーによって特徴付けられます。つまり、開始点と終了点が定義されており、相互接続されたセグメントまたはノードのシーケンスとして表すことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リニア資産にセグメントを作成し、ディスクリート資産をリニア資産に関連付け、重複資産、継続資産、交差する資産などのリニア資産間の関係を見つけることができます。リニア資産で使用される用語の詳細については、「」を参照してください リニア資産の用語。

地理 (Geo) マップを使用して、リニア資産とセグメントを作成および管理できます。地理マップはに エンタープライズ資産管理統合されています。

リニア資産のサポート範囲

リニア資産は、次の考慮事項を念頭に置いてサポートされます。

- ジオポイントによってモデル化されたリニア資産のサポート。
- 小数点以下 7 桁までの符号付き 10 進度ジオポイントのサポート。たとえば、[37.3800091, -121.9635865] です。
- 最大 1,000 件のリニア資産をサポート。
- 各リニア アセットのサポートは、最大 1,000 個のジオポイント、500 個のマーカー、500 個のセグメントまで拡張されます。
- リニア資産に対する最大 1000 件の作業指示を毎月サポートします。

リニア資産の **Geo** マップ

ジオマップは、地球の表面または特定の地域を視覚的に表現したもので、地形、水域、都市、道路、その他の地理的要素などのさまざまな機能を表示します。

sn-geo-map は、リニア資産のマップビジュアル化をサポートするために使用される UI コンポーネントです。

エンタープライズ資産マネージャー [sn_eam.enterprise_asset_manager] が Geo マップにアクセスできる。

GEO マップは、ワークスペースで次のアクションを実行するのに役立ちます。

- リニア資産を描画して座標を定義します。
- セグメントの開始マーカーと終了マーカーをピックアップします。
- 個別の資産のマーカーを選択します。
- 個別資産、重複する資産、交差する資産、継続資産、セグメントなどの関連資産を表示します。

ジオマップアイコンを使用してマップ上のジオ座標ポイントを接続する方法の詳細については、この短いビデオ「 マップ上のジオ座標ポイントの接続 」をご覧ください

Enterprise Asset Management のナレッジ記事

エンタープライズモデルに関するナレッジ記事を作成して添付します。

Enterprise Asset ワークスペースまたは Knowledge Management アプリケーションを使用して、以下に関する記事を作成します。エンタープライズ資産管理 ナレッジワーカー　承認者　レビューア　監査人のトラブルシューティング、構成などのテーマに関する記事を作成できます。ナレッジ記事の作成については、「<><link to creating knowledge article>」を参照してください。

エンタープライズ資産マネージャー [sn_eam.enterprise_asset_manager] ロールは記事を作成でき、エンタープライズ技術者 [enterprise_asset_technician] ロールは記事を表示できます。

記事が作成されて公開された後、エンタープライズ技術者 [enterprise_asset_technician] ロールは記事をエンタープライズモデルに添付できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インスタンス内の記事を検索または表示するには、ナビゲーションバーに 「Enterprise Asset Knowledge Base 」と入力します。エンタープライズ資産ナレッジベースのすべての記事が一覧表示されます。

また、資産フォームの [モデルナレッジ] 関連リストで資産のモデルナレッジ記事を表示することもできます。作業指示書フォームおよび作業指示書タスクフォームには、[Parts Knowledge (部品ナレッジ)] 関連リストもあります。

の資産総所有コスト エンタープライズ資産管理

資産マネージャーは、資産の総所有コスト (TCO) を把握して、資産の総コストに関する洞察を得て、資本計画を可能にすることを望んでいます。

資産の耐用年数の間、資産には初期資本コスト、新しい部品の購入に関連するコスト、人件費、契約コストなどのコストが発生します。資産の TCO は、これらすべての費用の合計です。

TCOのメリット

- 資産階層全体で、調達、メンテナンス、修理、廃棄などの経費を追跡および分析します。
- ライフサイクル全体にわたる資産関連経費の可視性と管理が向上します。
- 類似の資産および資産モデルに対して資産コストをベンチマークし、パフォーマンスを比較します。

TCO 計算

TCO は、資産の耐用期間中に発生したすべての費用の合計です。TCO は、資産に対して作成されたすべての経費ラインの金額を加算することによって計算されます。資産の総コストは、経費ラインが追加されるたびに更新されます。

TCO を計算する際の考慮事項:

- 初期 TCO には、資産レコードの作成時に作成された経費明細からの購入コストが含まれます。
- 新しい資産レコードが作成されると、資産レコードのコストフィールドを使用して新しい経費ラインが作成されます。
- コストフィールドが更新されると、既存の経費ラインレコードも更新されます。
- 単純な資産と複雑な資産の場合、TCO は資産に関連付けられているすべての経費ラインを集計して計算されます。新しい経費ラインが資産に追加されるたびに、TCO には更新された合計が自動的に反映されます。
- シリアル番号付資産の場合、資産 TCO は、その資産のすべての経費ラインの合計です。
- 複合資産の場合、子で発生したコストも親資産の TCO に追加されます。
- 子資産がスワップされると、運用コストである 1 つの経費ラインが作成されます。新しい子資産の資本コストも親 TCO に追加されます。スワップ資産の **[last_used**] フィールドが設定され、このフィールドがそれ以降に作成された経費ラインのクエリーに使用されます。スワップアウトされた資産の **[last_used**] フィールドは、ストックルームに戻るときに設定されます。
- 子資産のコストは複合資産の親資産コストの一部であるため、子資産の経費ラインは空です。
- 子資産が削除されても、その経費ラインは保持され、親 TCO は影響を受けません。
- ユーザー組立資産の場合、親と子の両方に経費明細があり、子経費明細は親にロールアップされ、その金額は親 TCO に追加されます。
- 複数階層の資産の場合、子資産に作成された経費ラインは、階層内のすべての親間の多対多の関係によって参照されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 消耗品は結合および分割に設定され、経費明細も同様です。タスクレートカードによって作成された経費明細は TCO に追加されます。計算は単純資産に適用されます。消耗品が子資産として使用されている場合、その経費ラインは親にロールアップされます。個々の消耗品の TCO は追跡されません。
- 資産の再販によって得られた価値は、TCOに負のコストとして追加されます。月次リース支払があるリース資産の場合は、毎月のリース開始日に経費ラインを作成します。
- 経費ラインの [資産] フィールドには、タスクレコードからの資産参照が入力されます。
- 作業指示書タスクまたはインシデントのクローズ後に作成された経費明細には、作業指示書タスクまたはインシデントの資産参照から [**Asset** (資産)] フィールドが入力されます。

TCO ベンチマークとしきい値

TCO ベンチマーク コストを指定すると、TCO ベンチマークに TCO ベンチマークしきい値の割合を乗じて、TCO ベンチマークしきい値が自動的に計算されます。システムプロパティの *asset_tco_benchmark_threshold_percentage* パーセンテージを変更することで、TCO ベンチマークしきい値を手動で上書きできます。

モデルフォームの [財務] セクションにある **[TCO** ベンチマークしきい値] フィールドの値を変更することで、TCO ベンチマークしきい値を手動で上書きできます。

TCO ベンチマークを更新すると、TCO ベンチマークしきい値が再計算されます。

レートカード、経費明細、経費カテゴリ

エンタープライズ資産管理アプリケーションは、作業時間レコードを自動的に合計し、レートカードを乗算して総コストを計算します。レートカードは、すべてのワークフローのタスクごとに作成されます。レート カードは、タスクごとまたは所要時間に基づいて費用を取得します。アプリケーションは エンタープライズ資産管理 次のレートカードをサポートしています。

- タスクレードカード:タスクによって取得されたコスト。
- 賃金レートカード:時間単位で消費された時間によってキャプチャされたコスト。賃金レートは、ユーザーレベルで定義できます。

注:
レートカードを使用するには、(com.snc.cost_management) プラグインを有効にする ServiceNow コスト管理 必要があります。

デフォルトでは、タスクレードカードが使用されます。賃金レードカードの使用に変更するには、タスクレートレコードを開き、[**Use time worked** (作業時間を使用)] フィールドを選択します。

タスクがクローズされると、キャプチャされたタスク作業時間に基づいて経費明細が作成されます。その後、経費カテゴリは経費ラインに帰属します。経費ラインの金額は、資産の総コストに追加されます。経費ラインは、資産の [経費ライン] 関連リストに表示されます。

タスクの時間キャプチャ

各タスクには、作業時間レコードを作成する時間キャプチャ機能があります。

以下で説明するように、タスクを開始、記録、一時停止、再開、および閉じることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. [作業の開始] を選択して作業を開始します。これにより、タスクのステータスが [オープン] から [対応中] に移行します。次に、[タイマーの開始]または[時間を記録]を選択して時間をキャプチャできます。
   - 開始タイマー:時間を自動的にキャプチャします。このボタンを選択すると、タイマーが初期化されます。
   - 時間を記録: [時間を記録] ダイアログボックスに時間、分、秒単位で時間を手動で入力し、[保存] を選択して時間レコードをキャプチャします。
2. [作業の一時停止] を選択して作業を一時停止します。作業を一時停止すると、タイマーが停止し、[作業時間] タブにタスク作業レコードが自動的に作成されます。作業を一時停止するたびに、タスク作業レコードが作成されます。作業を一時停止した回数に基づいて、複数のタスク作業レコードが作成されます。
3. [再開] を選択して作業を再開し、タイマーを再起動します。[タスクのクローズ] を選択してタスクをクローズすることもできます。

[タスクのクローズ] を選択すると、時間とタスクがクローズされます。タスクに費やされた合計時間を算出するために、そのタスクに対して作成されたすべてのタスク作業レコードエントリを合計し、賃金レートを掛けて、タスクの合計コストを算出します。

TCO レポート

TCO レポートには 2 つのタイプがあります。TCOの比較およびTCOとベンチマーク。TCO 比較レポートは、経費カテゴリ別に積み重ねられます。

TCO の正規化

TCO の正規化とは、耐用年数と資産の耐用年数にわたるコストを平均化することです。正規化された計算は、オフラインのみの予測 TCO レポートを対象としています。

ドメイン分離

TCO レポートはドメイン分離をサポートしています。

アップグレードに関する考慮事項

に Washington DCアップグレードする場合、ジョブスケジュール Enterprise 資産の **TCO** アップグレード の実行後に、次の更新が行われます。

- タスクレコードの [資産] フィールドは、[ソース **ID**] フィールドで指定されたソーステーブルを使用して、すべての経費明細に入力されます。ソーステーブルは、経費ラインの作成元を定義します。タスク、構成アイテム、契約、または購入資産のいずれに対して作成されているか。スケジュール設定済みジョブ [**Enterprise** 資産の **TCO** アップグレード **(TCO Upgrade for Enterprise Assets)]** が実行されると、すべてのタスクレコードが検索され、タスクレコードからの資産参照がタスクに対応する経費ラインに入力されます。同様に、同じスケジュール設定済みジョブがすべての構成アイテム (CI) を検索し、CI から対応する経費ラインに資産参照を入力します。
- でWashington DC導入されている [経費カテゴリ] フィールドは、経費明細のソースに基づいて入力されます。タスクにはいくつかの経費カテゴリがあります。たとえば、購入資産と契約資産で作成された経費ラインは、異なる経費カテゴリを持っています。同様に、CI にもさまざまな経費カテゴリがあります。
- 資産レコードの次の 3 つのフィールドに値が入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- cmn_asset_tco:資産レコードの [財務] セクションにこのフィールドを表示します。
- cmn_end_of_useful_life: 資産レコードでこのフィールドを表示するには、 資産の詳細 の横にある縦の省略記号を選択し、 **XML** の表示を選択します。
- cmn_first_used: 資産レコードでこのフィールドを表示するには、 資産の詳細 の横にある縦の省略記号を選択し、 **XML** の表示を選択します。

- 単純な資産で作成された経費ラインは、最大 asset_tco まで追加されます。
- 組立済み資産とユーザー組立資産の場合、資産に対して作成された経費ラインも親 TCO にロールアップされます。

エンタープライズ資産管理 の構成

アプリケーションの使用 エンタープライズ資産管理 を開始するには、アプリケーションをインストールして構成する必要があります。

エンタープライズ資産管理エンタープライズの接続された資産と接続されていない資産のライフサイクルを管理するようにアプリケーションを構成します。

- コンテンツサービスへの エンタープライズ資産管理 オプトイン
- マルチコンポーネントモデルを作成して、同じモデルに基づいて 1 つ以上のモデルコンポーネントを指定します
- マルチコンポーネントモデルからのマルチコンポーネント資産の作成
- TCO レポート、レポートソース、タスクレードカード、および賃金レートカードを作成する
- 分類コードの作成とインポート
- エンタープライズモデルと資産の一括インポート
- 事前出荷通知を使用
- 変更の正規化
- インシデントを作成、解決、クローズ エンタープライズ資産管理 する
- リニア資産タイプを作成する
- コンテンツデータのインポートとエクスポート
- リスクの可能性、リスクの影響度、およびリスクスコアの構成値の作成
- サードパーティの配送業者の配送業者レコードを作成し、統合プロファイルを表示する
- ナレッジ記事の作成
- モデルと資産のタブを設定

エンタープライズ資産管理 のインストール

エンタープライズ資産を エンタープライズ資産管理 追跡および管理できるように、 から ServiceNow Store アプリケーションを要求します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
次のプラグインとアプリケーションは、アプリケーションとともに ServiceNow エンタープライズ資産管理 自動的にインストールされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
プラグイン	
Asset Management (com.snc.asset_management)	情報技術資産の物理的、技術的、契約的、および財務的な側面を統合する機能を提供します。資産管理の詳細については、「資産管理」を参照してください。
Procurement (com.snc.procurement)	サービスカタログ要求を履行できるように、要求された資産を調達および受領する機能を提供します。調達の詳細を参照してください エンタープライズ資産の調達 。
フィールドサービス管理 (FSM) (com.snc.work_management)	作業指示と関連タスクを管理する機能を提供します。詳細についてはフィールドサービス管理 (FSM)、「Field Service Management」を参照してください。
エンタープライズ資産管理 コア (com.sn_eam_core)	アプリケーションのコア機能 (正規化など) エンタープライズ資産管理 を提供します。
資産管理ワークスペース - 推奨事項プラグイン (com.sn_itam_recomm)	構成可能なワークスペースでユーザーにアクション可能な推奨事項を提供します。
SM 計画メンテナンス (com.snc.planned_maintenance)	資産の定期的な予防メンテナンスを管理する機能を提供します。計画メンテナンスの詳細については、「 計画メンテナンス」を参照してください。
物理資産 (com.sn_phy_assets)	およびエンタープライズ資産管理アプリケーションを含むハードウェア資産管理物理資産ベースのアプリケーションの機能を揃えるマーカー。
資産のインドアマッピング com.sn_ima	インドアマップを使用して資産の場所を追跡する機能を提供します。
アプリケーション	
展開されたモデルと資産クラス	クラス階層内で CMDB すぐに利用可能な製品モデルと資産クラスを拡張するエンタープライズモデルと資産クラスを追加します。さらに、これらのエンタープライズモデルと資産クラスを構成アイテム (CI) クラスに関連付ける CMDB モデルカテゴリを作成します。このアプリケーションの詳細を参照してください 展開されたモデルおよび資産クラスストアアプリケーション 。
CMDB CI クラスモデル	クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係を含むクラス階層を拡張 CMDB するクラスモデルを追加します。このアプリケーションの詳細については、「 CMDB CI Class Models ストアアプリ」を参照してください。
Asset Management Common	、、およびエンタープライズ資産管理アプリケーションにハードウェア資産管理ソフトウェア資産管理共通の機能を提供します。これには資産再利用を要求するカタログアイテムが含まれます。
GRC:リスクヒートマップ	組織のリスク体制を可視化できるヒートマップコンポーネントを提供します。リスクヒートマップの詳細については、「 クラシック版リスクアセスメントのリスクヒートマップ」ま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	たは 「Risk ワークスペースの Advanced Risk アセスメントのオペレーショナルリスクヒートマップ」を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから ServiceNow Store に移動します。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに 「Enterprise Asset Management 」と入力し、 検索 を選択します。
4. [**ServiceNow Enterprise Asset Management**] という結果を選択します。
5. ServiceNow エンタープライズ資産管理ページで、 [インストールの要求] を選択します。 [アプリのインストールを要求 - (Request for App Installation)] ServiceNowServiceNow エンタープライズ資産管理 ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow アプリのインストールを要求 **- ServiceNow** エンタープライズ資産管理 ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、「 インスタンスの検証」 を選択して、インスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法の詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

医療機関向けインストールエンタープライズ資産管理

admin ロールを持っている場合は、 エンタープライズ資産管理 for Healthcare アプリケーション (com.sn_eamhc) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store のアプリケーションリストを確認してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：admin

このタスクについて
医療向けでは、次のアイテムがインストールされ エンタープライズ資産管理 ています。

- ストアアプリケーション
- ロール
- プラグイン

詳細については、「for Healthcare とともに エンタープライズ資産管理 インストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、 エンタープライズ資産管理 医療向けアプリケーション (com.sn_eamhc) アプリケーション (com.sn_eamhc) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。
4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   > **重要:**
   > インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。
6. [インストール] を選択します。

コンテンツサービスへの エンタープライズ資産管理 オプトイン

Content Service に エンタープライズ資産管理 オプトインして、組織の ServiceNow Enterprise モデル、Enterprise モデルライフサイクル、カスタムエンタープライズ製品モデルなどの正規化されていない Enterprise モデルデータを共有し、正規化プロセスを改善します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

自動翻訳

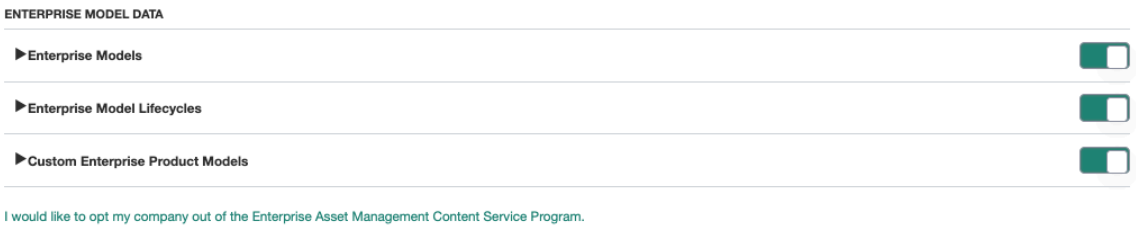
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター > 正規化のオプトイン.



2. [オプトイン契約] を選択して契約を読み、[はい、オプトイン契約を読んだうえで同意します] チェックボックスをオンにします。
3. [オプトイン] を選択します。



エンタープライズモデル、エンタープライズモデルライフサイクル、カスタムエンタープライズ製品モデル KPI などのエンタープライズデータは自動的に有効になります。

4. KPI を無効にするには、KPI の横にあるトグル ボタンを選択し、 [保存] を選択します。
5. オプトアウトするには、[**I would like to opt my company out of the Software Asset Management Content Service Program]**(ソフトウェア資産管理コンテンツサービスプログラムから自分の会社をオプトアウト する)を選択し、[オプトアウト]を選択します。
オプトアウトすると、Enterprise モデル、Enterprise モデルライフサイクル、およびカスタムエンタープライズ製品モデルの KPI は無効になり、会社は正規化プロセスの改善に貢献しなくなります。コンテンツサービスチームが他のソースから作成できる内容に基づいて、コンテンツの増分更新を引き続き受け取ることができます。Enterprise Asset Management コンテンツサービスにはいつでも再参加できます。

マルチコンポーネントモデルの作成

マルチコンポーネントモデルを作成して、同じ製品モデルに基づいて複数のモデルコンポーネントを定義します。

始める前に

マルチコンポーネント モデルの詳細については、「」を参照してください のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次に移動してモデルを作成 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズモデル管理
   事前に組み立てられたモデルまたはユーザーが組み立てたモデルを作成できます。モデルの作成の詳細については、「」を参照してください エンタープライズモデルの作成。
2. モデルを作成したら、モデル コンポーネントをモデルに追加します。
   モデルコンポーネントの作成の詳細については、「」を参照してください エンタープライズモデルコンポーネントの作成。
3. モデル コンポーネントをモデルに追加したら、モデルのステータスを [**In Production**] に変更します。
4. **Enterprise** 資産カタログに公開 を選択して、モデルをカタログに公開します。

マルチコンポーネント資産を作成する

マルチコンポーネントモデルからマルチコンポーネント資産を作成して、資産を追跡および管理します。

始める前に
マルチコンポーネント モデルの詳細については、「」を参照してください のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理。

必要なロール：

- sn_eam.enterprise_admin
- sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次に移動してモデルを作成 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズモデル管理
   モデルの作成の詳細については、「」を参照してください エンタープライズモデルの作成。
2. モデルを作成したら、モデル コンポーネントをモデルに追加します。
   モデルコンポーネントの作成の詳細については、「」を参照してください エンタープライズモデルコンポーネントの作成。
3. マルチコンポーネントモデルから資産を作成します。

   事前に組立された資産またはユーザー組立された資産を作成できます。

   アセットの作成の詳細については、「」を参照してください エンタープライズ資産の作成。資産を作成すると、子資産が自動的に作成されます。

   a. ユーザー組立資産を作成する場合は、資産レコードを開きます。

   b. 資産を組み立てるには、次のいずれかを選択します。
      - アセンブル:親資産のストックルームにある資産を選択できます。資産を選択したら、「 アセンブル」を選択します。資産のアセンブルの詳細については、
      - 自動組立:ストックルームから資産を自動的に選択し、それらの資産を親資産に関連付けるプロセスをトリガーします。必要な数量の資産が利用できない場合、エラーが表示されます。

   c. すべての子資産を解放する場合は、 すべての資産を解放する を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このプロセスにより、すべての子資産が親資産から解放され、親ストックルームに戻されます。

リリースされた資産のステータスが [在庫あり] に移行します。[すべての資産をリリース] は、資産が親資産に関連付けられている場合にのみ画面に表示されます。

4. 子アセットをスワップするには、「詳細」タブで「 **SWAP**」を選択します。
資産をスワップするには、マルチコンポーネント資産を [メンテナンス中] ステータスにする必要があります。複数の子資産を任意のストックルームの同じモデルの他の資産と一度に交換できます。モデルは [在庫あり] ステータスで [利用可能] サブステータスである必要があります。

分類コードの作成

分類コードを作成し、エンタープライズモデルとモデルカテゴリに割り当てて、エンタープライズモデルの効率を高めます。

始める前に

各分類コードは、1 つまたは複数のモデルカテゴリに割り当てられます。分類コードは、Enterprise モデル分類 [sn_ent_model_classification] テーブルに格納されます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズモデル管理 > 分類.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
分類	レコードの保存後に自動的に生成される分類コードレコードの表示名。 表示名は、分類コード、その説明、およびソースを連結したものです。
コード	分類コード。 データ インフラストラクチャに基づいて、コードは階層構造に従う場合があります。
説明	分類コードの説明。
親	分類コードの親。親を選択すると、親コードに割り当てられたモデルカテゴリが [モデルカテゴリ] フィールドに自動的に入力されます。ただし、このフィールドは編集可能です。自動的に入力されたモデル カテゴリを削除することも、別のモデル カテゴリを追加することもできます。
ソース	分類コードが基づいているソースシステム。たとえば、OmniClass は建設業界向けの分類システムです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
モデルカテゴリ	コードに割り当てられたモード カテゴリ。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   分類コードの表示名が生成され、[分類] フィールドに表示されます。表示名は、コード、説明、およびソースを表します。新しい分類コードレコードは、[分類] リストビューページで表示できます。

分類コードのインポート

複数の分類コードを一度にインスタンスにインポートします ServiceNow 。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 *Enterprise Asset* ワークスペース > 資産運用.
2. [分類] の [分類のインポート] を選択し、 [新規] を選択します。
3. [新しい企業分類インポートの作成] ページで、[インポート] フィールドにインポートの名前を入力します。
4. [テンプレートのダウンロード] を選択して、スプレッドシートをダウンロードします。
5. スプレッドシートに詳細を入力します。
   スプレッドシートの [コード] 列または [説明] 列に必ず入力してください。[モデルカテゴリ] 列に複数のモデルカテゴリを指定するには、カンマを使用します。
6. [ファイルの添付] を選択してスプレッドシートをアップロードします (.xlsx)。
7. [インポート] を選択して、スプレッドシートの検証チェックを実行します。
   [インポート] を選択すると、[ステータス] フィールドが [ドラフト] から [保留中]、[アップロード中]、[変換中] に移動します。インポートプロセスが完了すると、ステータスが [完了]、[完了 (エラーあり)、または [失敗] のいずれかに変わります。インポートプロセスの詳細は、[エンタープライズ分類インポート] セクションと [分類インポート結果] セクションに表示されます。
8. [分類インポートステージング] 関連リストを選択して、アップロードしたスプレッドシートの詳細を表示し、受信したエラーも表示します。
9. エラーが発生したレコードを開きます。
10. エラーを修正し、スプレッドシートをアップロードして、レコードを再度インポートします。

分類コードのソースの作成

分類コードに割り当てることができるソースを作成します。

始める前に

ソースは、特定の業界の分類システムです。ソースの詳細については、「」を参照してください 分類コード。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 *Enterprise Asset* ワークスペース > 資産運用.
2. [分類] で [ソースの作成] を選択し、 [新規] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [新しいエンタープライズモデル分類ソースの作成] ページで、[ソース] フィールドにソースの名前を入力します。
4. [説明] フィールドにソースの説明を入力します。
5. **[Save** (保存)] を選択します。
   ソースが [ソースの作成] ページに表示されます。

ワークスペースへのエンタープライズモデルと資産のインポート

Enterprise 資産ワークスペースで複数の Enterprise モデルと資産を一度にインポートします。

始める前に

単純な資産、組立済み資産、ユーザー組立資産、消耗品など、さまざまなタイプのエンタープライズモデルと資産をインポートできます。インポートエラーとステータスを表示することもできます。

エンタープライズモデルと資産インポートレコードは、エンタープライズ一括インポート [sn_eam_bulk_import] テーブルに保存されます。

Flow Designer アプリケーションを使用して、EAM 一括インポートサブフローを開始し、エンタープライズモデルと資産のインポートを支援します。フローがさまざまなステージを進むと、インポートの詳細が自動的に更新されます。EAM 一括インポートフローを開いて、フロー内のステージのステータスを表示できます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > 資産運用.
2. [一括インポート] でいずれかのインポートアクションを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
   [新しいエンタープライズ一括インポートを作成 (Create New Enterprise Bulk Import)] ページが開きます。
4. [名前] フィールドにインポートプロセスの一意の名前を入力します。
5. [モード] フィールドでインポートのモードを選択します。
6. [テンプレートのダウンロード] を選択して、スプレッドシートをダウンロードします。
   選択したモードに基づいて、スプレッドシートを使用できます。テンプレートは、モデル用、アセット用、およびモデルとアセットを組み合わせたテンプレートで使用できます。
7. スプレッドシートのすべての必須フィールドに詳細を入力します。
   テンプレートのすべての必須列に値を入力しないと、インポートが失敗し、テンプレートの形式を確認するように求めるエラーメッセージが表示されます。必須フィールドの詳細については、「」を参照してください 一括インポートスプレッドシートの必須フィールド。
8. [ファイルの添付] を選択してスプレッドシートをアップロードします (.xlsx)。
9. [インポート] を選択して、スプレッドシートの検証チェックを実行します。
   [インポート] を選択すると、[ステータス] フィールドが [ドラフト] から [保留中]、[アップロード中]、[変換中] に移動します。インポートプロセスが完了すると、ステータスが [完了]、[完了 (エラーあり)、または [失敗] のいずれかに変わります。[モデルのインポート結果] セクションと [資産のインポート結果] セクションで、モデルと資産のインポートプロセスの結果に関する詳細を表示できます。
10. [モデルインポートステージング]、[モデルコンポーネントインポートステージング]、または [資産インポートステージング] 関連リストを選択して、アップロードしたスプレッドシートの詳細を表示し、受信したエラーも表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. エラーが発生したレコードを開きます。
12. エラーを修正し、スプレッドシートをアップロードして、レコードを再度インポートします。

のモデルタブと資産タブの構成 **Enterprise Asset** ワークスペース

エンタープライズ資産管理管理者がモデルと資産のタブを構成して、Enterprise モデル管理ビューと Enterprise 資産一覧ビューでこれらのタブを表示または非表示にできるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター.
2. モデルおよび資産クラスのタブ構成ページで 新規 を選択します。
   [新しいモデルと資産構成を作成 (Create New Model and Asset Configuration)] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. **[Save** (保存)] を選択します。
   作成したモデルと資産のタブエントリが [モデルと資産クラス] タブの設定ページに表示されます。

のコンテンツデータのインポートとエクスポート エンタープライズ資産管理

コンテンツデータをコンテンツサービスに ServiceNow エンタープライズ資産管理 インポートおよびエクスポートして、正規化プロセスを改善します。オンプレミスユーザーは、Enterprise Library の管理モジュールを使用して、zip ファイルを介してデータをインポートまたはエクスポートできます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 すべて > モジュール > **Enterprise** ライブラリーの管理.
2. [Enterprise ライブラリーの管理] フォームレイアウトを開き、[アクティブ] チェックボックスをオンにしてモジュールをアクティブ化します。
3. [フォーム レイアウトを保存して更新] を選択します。
4. [Enterprise Library の管理] モジュールに移動します。
5. コンテンツデータをインポートして、新しいデータをシステムに取り込みます。
   a. 「 **Enterprise** ライブラリー・コンテンツのインポート」を選択します。
   b. [コンテンツ ファイルを添付] を選択し、コンテンツを含む zip ファイルを選択します。
   c. [インポート実行] を選択します。
      データがインポートされると、コンテンツの更新を処理するためにコンテンツ更新スケジュールジョブ *EAM - Apply latest content changes*がトリガーされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. コンテンツをエクスポートして、カスタムデータまたは完全に正規化されていないエンタープライズモデルをコンテンツサービスチームに送信します ServiceNow 。

   a. **[Content Service Opt-in: Export Enterprise Normalization Content** (コンテンツサービスオプトイン:エンタープライズ正規化コンテンツをエクスポート)] を選択します。

   b. コンテンツサービスと ServiceNow のデータ共有をまだオプトインしていない場合は、[オプトイン] を選択して [Enterprise Library の管理] ページを更新します。
   オプトインの詳細については、次のリンクを参照してください コンテンツサービスへの エンタープライズ資産管理 オプトイン。

   c. [エクスポートの実行] を選択します。

   d. ステータスが [ダウンロード準備完了] に変わったら、ページを更新します。
   zip ファイルが作成され、[エンタープライズ ライブラリの管理] ページの上部に表示されます。
   エクスポートするコンテンツがない場合は、コンテンツが存在しないことを通知するエラーメッセージが表示されます。

   e. この zip ファイルをダウンロードして、コンテンツサービスチームに送信します ServiceNow 。

エンタープライズ資産管理インシデントの作成

インシデントレコードを作成して、予想される エンタープライズ資産管理 標準的な運用からの逸脱を文書化します。

始める前に

必要なロール：itil

インシデントレコードを作成するには エンタープライズ資産管理 、該当する インシデント管理 すべてのプラグインをインスタンスにインストールする必要があります ServiceNow 。プラグインの完全なインシデント管理リストについては、「Incident Management プラグイン」を参照してください。

このタスクについて

この手順では、ITIL エージェントがインシデントフォームに入力してインシデントを エンタープライズ資産管理 文書化および追跡する方法について説明します。インシデントの作成と管理の詳細については、「 インシデント管理 」を参照してください。

手順

1. インシデントを作成します 。
   インシデントが作成されると、自動的に [インシデント] リストにリダイレクトされます。
2. 利用可能なインシデントのリストから、前のステップで作成したインシデントを選択します。
3. インシデントレコードのフォームヘッダーで、[他のアクション] メニューアイコン (を選択し、 ビュー > **Enterprise** 資産.
   このオプションにより、インシデントレコードがインシデントフォームビューに設定され エンタープライズ資産管理 ます。このビューには、に エンタープライズ資産管理固有の追加フィールドが含まれています。
4. フォームがインシデントフォームビューに エンタープライズ資産管理 再ロードされた後に、このインシデントの影響を受ける資産を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [資産] フィールドで、[リストを使用してルックアップ] アイコン ([

b. [資産] ポップアップウィンドウで、このインシデントの影響を受ける資産を検索して選択します。
ポップアップウィンドウが閉じ、自動的にインシデントフォームに戻ります。

c. フォームヘッダーで、[他のアクション] メニューアイコン (を選択し、[保存] を選択します。

フォームを再ロードすると、選択した資産に基づいて [構成アイテム] フィールドと [影響を受ける資産] 関連リストが自動的に更新されます。

注:
消耗資産を選択すると、[構成アイテム] フィールドは空のままになります。

重要:
マルチコンポーネント資産を選択すると、[影響を受ける資産] 関連リストには親資産のみが表示されます。このインシデントの影響を受ける各子資産を手動で追加する必要があります。詳細については、 ステップ 5 を参照してください。

5. 前のステップでマルチコンポーネント資産を選択した場合は、このインシデントの影響を受ける子資産を指定します。

a. [影響を受ける資産] 関連リストで、[編集] を選択します。

b. [メンバーの編集] フォームの [コレクション] リストで、このインシデントの影響を受ける子資産を検索して選択します。

注:
デフォルトでは、[メンバーの編集] フォームは自動的に検索フィルターを実行して、関連する子資産のみをコレクションリストに表示します。

c. [Add] アイコン ([を選択して、選択した子資産を [Affected Assets List] に移動します。

d. このインシデントの影響を受ける子資産ごとに手順 b と c を繰り返します。

e. **[Save** (保存)] を選択します。

f. [インシデント] フォームに戻ったら、[更新] を選択します。

次のタスク
インシデントを解決してクローズします。

インシデントを解決してクローズするエンタープライズ資産管理

インシデントを解決してクローズできるように、インシデントの エンタープライズ資産管理 影響を受ける資産に対してアクションを実行します。

始める前に
必要なロール：itil

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > インシデント > すべて.
2. 利用可能なインシデントのリストから、解決してクローズするインシデントを選択します エンタープライズ資産管理 。
3. インシデントの影響を受ける資産に対して実行するアクションを指定します。

   a. インシデントフォームで、[影響を受ける資産] 関連リストを選択します。

   b. 影響を受ける資産のリストから、アクションを実行する資産の [資産アクション] フィールドをダブルクリックします。

   c. プロンプトが表示されたら、資産に対して実行するアクションを選択します。

   d. [保存] アイコン ( ) を選択します。

   e. 資産をスワップする場合は、既存の資産とスワップする資産を指定します。

      i. 対応する **[Swapped Asset**] フィールドをダブルクリックします。

      ii. プロンプトが表示されたら、[リストを使用してルックアップ] アイコン (を選択して、既存の資産を入れ替える資産を検索して選択します。

      iii. [保存] アイコン ( ) を選択します。

   f. 消耗資産に対してアクションを実行する場合は、アクションを実行する利用可能な資産の数を指定します。
   利用可能なすべての資産または利用可能な資産の一部のみに対してアクションを実行できます。

      i. 対応する **[Consumable Quantity**] フィールドをダブルクリックします。

      ii. プロンプトが表示されたら、アクションを実行する利用可能な資産の数を入力します。

      iii. [保存] アイコン ( ) を選択します。

   > **重要:**
   > [消耗品の数量] フィールドには、更新された値は自動的には表示されません。更新された値を表示するには、[影響を受ける資産] 関連リストを更新します。

4. 前のステップで指定したアクションに基づいて、影響を受ける資産を更新/修理、スワップ、廃止するか、または何も実行しません。
5. 影響を受ける資産に対して必要なすべてのアクションの実行が完了したら、インシデントの解決方法の詳細を入力します。

   a. インシデントフォームに戻ります。

   b. [解決情報] タブで、フィールドに入力します。

[解決情報] タブ

フィールド	説明
ナレッジ	インシデントのクローズ時にナレッジ記事を自動的に作成するオプション。
解決コード	インシデントの解決方法を指定する解決カテゴリ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
解決メモ	インシデントの解決方法の説明。
解決者	インシデントを解決したユーザー
解決済み	インシデントが解決された日時。

6. フォーム ヘッダーで、 [解決] を選択します。
   インシデントが [解決済み] ステータスに移行し、自動的に [インシデント] リストにリダイレクトされます。資産に子資産があり、[資産] アクション ボックスに示されているように廃止ステータスであった場合、資産の種類に応じて子資産がリリースされます。

   廃止ステータスの資産のタイプに基づく子資産のリリース

資産の種類	アクション
シンプル	何もしない
シンプル (アドオンあり)	すべての子資産が「廃棄待ち」ステータスにリリースされます。
ユーザー組立	すべての子資産が「廃棄待ち」ステータスにリリースされます。
ユーザー組立 (アドオンあり)	すべての子資産が「廃棄待ち」ステータスにリリースされます。
事前に組立	何もしない
事前に組立 (アドオンあり)	すべてのアドオン資産は、保留中の廃棄ステータスにリリースされます。

   インシデントが [解決済み] ステータスに移行し、自動的に [インシデント] リストにリダイレクトされます。
7. 利用可能なインシデントのリストから、解決したばかりのインシデントを選択します。
8. フォームヘッダーで、[インシデントのクローズ] を選択します。
   インシデントがクローズされます。

での事前出荷通知の使用 エンタープライズ資産管理

事前出荷通知 (ASN) を使用して、資産が輸送中のときのエンタープライズ資産レコードを自動化および作成します。

始める前に

ASN テンプレートをダウンロードし、資産ベンダーに更新してもらってください。更新したテンプレートをインスタンスにアップロードします ServiceNow 。ASN テンプレートを使用して資産レコードをインポートする前に、インスタンスにモデル ID が定義されており、同じモデル ID がテンプレートに記載されていることを確認してください ServiceNow 。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて

エンタープライズ資産レコードを手動で作成すると時間がかかり、エラーが発生する可能性があります。ASNを使用して、貨物の紛失や置き忘れのリスクを軽減し、在庫の精度を高めます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > 資産運用 > 出荷通知.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新規出荷通知のアップロードの作成(Create New Shipment Notification Upload)] ページが表示されます。
3. 「 名前 」フィールドに ASN の一意の名前を入力します。
4. [ファイルの添付] を選択して、スプレッドシート (.xlxs) をアップロードします。
   スプレッドシートは、ダウンロードテンプレートの形式にする必要があります。サンプル スプレッドシートがない場合は、[テンプレートのダウンロード] を選択してサンプル スプレッドシートをダウンロードし、スプレッドシートに詳細を入力してから、[ファイルの添付] を選択してスプレッドシートをアップロードします。スプレッドシートで、[出荷日]、[注文日]、および [保証終了日] フィールドの形式が 月/日/年であることを確認します。
   アップロードには時間がかかる場合があります。ファイルがアップロードされると、スプレッドシートの名前が [ファイル] フィールドに表示されます。
5. [インポート] を選択して、スプレッドシートの検証チェックを実行します。

   [インポート] を選択すると、[ステータス] フィールドが [ドラフト] から [保留中]、[行の抽出中]、および [インポート中] に移動します。インポートプロセスが完了すると、ステータスが [完了]、[完了 (エラーあり)、または [失敗] のいずれかに変わります。

   [出荷アップロード結果 **(Shipment Upload Result**)] セクションが表示され、インポートプロセスに関する情報が表示されます。挿入、無視、またはスキップされたレコードの数などの情報。
6. [出荷通知アップロードステージング] 関連リンクを選択して、受信したエラーを表示し、アップロードしたスプレッドシートの詳細を表示します。
7. エラーが発生した場合は、[出荷通知のアップロードステージング] 関連リンクでレコードを選択します。
8. [エラー] セクションまで下にスクロールし、[コメント] フィールドにエラーを表示します。
9. エラーを修正し、スプレッドシートをアップロードして、レコードを再度インポートします。
   シリアル番号付資産には重複するエンタープライズインポートレコードは作成されませんが、消耗品には重複したエントリがあります。

正規化を元に戻す

Enterprise 資産ワークスペースでエンタープライズモデルの正規化を元に戻すことができます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて

ステータスが **[Fully Normalized** (完全に正規化)]、[**Partially Normalized** (一部正規化済み)]、[**Manufacturer Normalized** (正規化されたメーカー)]、または [**Manually Normalized** (手動で正規化)] の Enterprise モデルは元に戻すことができます。モデルに存在するすべての正規化フィールドが元に戻り、正規化ステータスが [一致項目は見つかりませんでした] に変わります。

手順

1. 移動先 すべて > **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズモデル管理.
2. 既に正規化されているエンタープライズモデルレコードを開きます。
3. [正規化を元に戻す] を選択します。
4. 確認メッセージ ボックスで [**OK**] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

正規化プロセスを元に戻すと、次の変更が行われます。

- フィールドは元の値にリセットされ、Enterprise モデルに関連付けられたルールはすべて無効になります。
- ルールを非アクティブ化すると、以前にそのルールを使用して正規化されたすべてのモデルで正規化を元に戻すことができます。
- 非アクティブ化されたルールは、これ以上モデルを正規化できなくなります。非アクティブ化されたルールを再アクティブ化することはできません。これは 1 回限りの手順です。
- モデルレコードの [正規化を元に戻す] オプションが [正規化] オプションに置き換えられました。

リニア資産タイプを作成する

リニア資産を分類するリニア資産タイプを作成します。

始める前に

次の定義済みのリニア資産タイプは、すでにベース システムに含まれています。

- 鉄道
- 道路
- 下水道
- 歩道
- ユーティリティケーブル
- トレイル

次の手順に従って、カスタマイズされたリニア資産タイプを作成します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧 > リニア資産タイプ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [名前] フィールドにリニア資産タイプの名前を入力します。
4. [親] リストからリニア資産タイプの親を選択します。
5. **[Save** (保存)] を選択します。
   新しいリニア資産タイプが [リニア資産タイプ] 関連リストに表示されます。関連リストに表示されない場合は、ページの右側にある [リストを更新] アイコンを選択します。

リスクの可能性の構成値を作成

リスクの可能性モジュールを使用して、可能性ベクトルの構成値を作成します。

始める前に

必要なロール:enterprise_admin

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター > リスク構成 > リスクの可能性.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [Enterprise Risk の可能性の構成] ページにラベルを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[値] フィールドは増分フィールドであり、編集できません。

4. [送信] を選択します。
[**Display Name** (表示名)] フィールドは、値とラベルが連結された状態で自動的に入力されます。たとえば、値が「1」でラベルが「低」の場合、「 表示名 」フィールドは「 1-低」と表示されます。
5. さらに構成値を追加するには、手順 2 ～ 4 を繰り返します。
可能性レコードは最小で 3 つ、最大で 10 件必要です。
6. 設定レコードを追加したら、[フリーズ] を選択します。
7. 警告メッセージ ボックスで **[OK**] を選択して、設定レコードのフリーズを続行します。

> 注:
> [フリーズ] を選択した後は、可能性設定レコードを追加または削除することはできません。ただし、既存のレコードの [ラベル] フィールドは編集できます。

リスクの影響度の構成値の作成

リスク影響度モジュールを使用して、影響度ベクトルの構成値を作成します。

始める前に
必要なロール:enterprise_admin

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター > リスク構成 > リスク影響度.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [Enterprise Risk Impact Configuration] ページにラベルを入力します。
[値] フィールドは増分フィールドであり、編集できません。
4. [送信] を選択します。
[**Display Name** (表示名)] フィールドは、値とラベルが連結された状態で自動的に入力されます。たとえば、値が「1」でラベルが「低」の場合、「 表示名 」フィールドは「 1-低」と表示されます。
5. さらに構成値を追加するには、手順 2 ～ 4 を繰り返します。
影響度レコードは最小で 3 つ、最大で 10 件である必要があります。
6. 設定レコードを追加したら、[フリーズ] を選択します。
7. 警告メッセージ ボックスで **[OK**] を選択して、設定レコードのフリーズを続行します。

> 注:
> [フリーズ] を選択した後は、影響度設定レコードを追加または削除することはできません。ただし、既存のレコードの [ラベル] フィールドは編集できます。

リスクスコアの構成値の作成

リスクスコアモジュールを使用して、リスクスコアバンドの構成値を作成します。

始める前に
リスクスコアの構成値を作成する前に、[リスクの可能性] モジュールと [リスクの影響度] モジュールで、それぞれ可能性と影響の 2 つのベクトルの構成値を追加して固定していることを確認してください。

必要なロール:enterprise_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター > リスク構成 > リスクスコア.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームの詳細を入力します。
4. [送信] を選択します。
   他のフィールドに基づいて、[バンド名] フィールドが自動的に入力されます。
5. リスクスコアバンドをさらに追加するには、手順 2 ～ 4 を繰り返します。
   スコアバンドレコードは最低 2 つ、最大 4 つ必要です。
6. リスク範囲全体を追加したら、[フリーズ] を選択します。
   レコードを編集するには、[固定解除] を選択します。

Enterprise 資産ワークスペースで配送業者レコードを作成する

Enterprise 資産ワークスペースに配送業者レコードを作成して、配送業者を統合プロファイルに関連付けます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター.
2. [出荷] リストから [出荷配送業者] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
名前	配送業者の名前。
メール	配送業者のメールアドレス。
統合プロファイル	サードパーティキャリアのアプリケーションと統合するためのプロファイル。 詳細については、「でのサードパーティ配送業者の統合プロファイルの表示 Enterprise Asset ワークスペース」を参照してください。
ステータス	配送業者のステータス。 このフィールドは、デフォルトで [アクティブ] に設定されています。
電話	配送業者の電話番号。
Web サイト	配送業者の Web サイト。
会社	配送業者の会社名。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
メモ	配送業者に関する追加情報。

5. **[Save** (保存)] を選択します。
   出荷配送業者レコードが作成され、[配送業者] リストに追加されます。

でのサードパーティ配送業者の統合プロファイルの表示 **Enterprise Asset** ワークスペース

の Enterprise Asset ワークスペース[資産運用] ビューで、サードパーティの配送業者の統合プロファイルを表示します。これらの統合プロファイルを使用すると、サードパーティの配送業者アプリケーションに接続して、エンタープライズ資産の出荷の詳細を取得できるようになります。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician、sn_eam.enterprise_asset_manager、または sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター.
2. 出荷リストから [配送業者の統合] を選択します。
3. 統合プロファイルの完全なリストを表示します。
   統合プロファイルを選択すると、接続の詳細、関連する配送業者、出荷の詳細をフェッチするためのスケジュール設定済みジョブ、スケジュール設定済みジョブのログなどの詳細が表示されます。

のナレッジ記事の作成 エンタープライズ資産管理

ナレッジベース内でナレッジ記事を作成および編集して、組織全体で情報を共有します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター > 資産ナレッジベース.
2. 資産ナレッジ ベース ページで 新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、アプリケーションを参照してくださいKnowledge Management
4. [保存] を選択して記事を作成します。

エンタープライズ資産の総所有コストの構成

総所有コスト (TCO) を構成して資産を追跡します。

TCO の設定には、次の手順が含まれます。

- タスクレートカードを作成して、タスクタイプごとにコストをキャプチャします。
- 時間単位で消費された時間ごとにコストをキャプチャする賃金レートカードを作成します。
- 資産の実績または予測 TCO と TCO レポートソースを比較する TCO レポートを作成します。
- TCO レポートにソースを追加するには、TCO レポート ソースを作成します。
- クローズ済みタスクの経費明細を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 資産ワークスペースで TCO レポートを作成する

TCO レポートを作成して、資産の実績 TCO または予測 TCO を比較したり、実績または予測資産 TCO をエンタープライズモデルのベンチマークコストと比較したりします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > 資産分析 > 資産 **TCO**.
2. ページの 右側にある 新規を選択します。
3. **[Save** (保存)] を選択します。
   レポートが作成され、[TCO レポートソース] 関連リストが表示されます。これで、レポートソースを追加できるようになりました。

Enterprise 資産ワークスペースで TCO レポートソースを作成する

TCO レポート ソースを作成して、レポート ソースを TCO レポートに追加します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > 資産分析 > 資産 **TCO**.
2. [比較レポート] セクションからレポートソースを作成するレポートを開きます。
3. [TCO レポートソース] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しい **TCO** レポートソースの作成

フィールド	説明
名前	レポートソースの名前
アクティブ	レポート ソースが有効かどうかを示します。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。 **注:** TCO 比較レポートでは、一度に最大 4 つのアクティブなレポートソースを持つことができます。別のアクティブなレポートソースを追加する場合は、レポートソースを非アクティブにする必要があります。 TCO 比較レポートでは、常に最大 4 つのアクティブなレポートソースを持つことができます。別のアクティブなレポートソースを追加する場合は、既存のレポートソースを非アクティブにする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	TCO 対ベンチマークレポートの場合、アクティブなレポートソースは 1 つのみです。
レポートテーブル	このレポートの基になるテーブル。
条件を設定	特定の条件で資産を選択するためのフィルターを指定します。
説明	レポート ソースの説明。

6. **[Save** (保存)] を選択します。
   新しいレポートソースが [TCO レポートソース] タブに追加されます。

でタスクレートカードを作成する **Enterprise Asset** ワークスペース

タスク料金表を作成して、タスクタイプごとのコストをキャプチャします Enterprise Asset ワークスペース。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
タスクレードカードはベースシステムに含まれています。[番号] フィールドを除き、デフォルトのタスクレードカードの他のすべてのフィールドが編集可能です。ベースシステムのタスクレードカードは削除できません。次の手順では、タスクレードカードを作成します。

タスクレード®カードを使用するには、(com.snc.cost_management) プラグインを有効にする ServiceNow　コスト管理 必要があります。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター > **TCO** 構成 > タスクレートカード.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しいタスクレートカードを作成

フィールド	説明
番号	タスクレードカードごとに自動的に作成される一意の番号。
名前	タスクレードカードの名前。
テーブル	このレートカードが作成されるテーブル。
順序	タスクレードカードが同じタスクに適用される順番。 同じタスクに複数のタスク料金表が適用される場合は、順番が最も低いものが使用されます。
サマリータイプ	タスクレードカードに関連するサマリーを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	タスクレードカードが使用されているかどうかを示します。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。
簡単な説明	タスクレードカードの簡単な説明。
作業時間を使用	既定では、このチェック ボックスはオンになっていません。これは、タスクレートがコストのキャプチャに使用されることを示します。 作業時間に基づいてコストが取得される賃金レート オプションを使用する場合は、このチェック ボックスをオンにします。
タスクレート	タスクのレートと通貨コード。
デフォルトの賃金レート	ワーカーが賃金レートカードを持っていない場合に、作業時間エントリに適用する時給。 このフィールドは、[作業時間を使用] チェック ボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。
条件を設定	選択したテーブルで実行するフィルター。このレートカードを特定のタスクに適用するかどうかを決定します。このフィールドは、条件によって返されるレコードをプレビューするための条件数ウィジェットを使用します。
説明	タスクレードカードの詳細な説明。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   タスクレードカードが作成されると、[**Use time worked**] フィールドの値に基づいて経費ラインが作成されます。

Enterprise 資産ワークスペースでクローズ済みタスクの経費ラインを作成する

以前にクローズしたタスクで、元々経費ラインがなかったタスクの経費ラインを自動的に作成して、それらのタスクのコストを計算します。

始める前に

タスクレードカードを使用していない場合、経費ラインは作成されません。に Washington DCアップグレードすると、クローズしたすべてのタスクの経費ラインを一括で自動的に作成できます。これは、タスクレート値が入力されたアクティブなタスクレードカードで実行される 1 回限りのプロセスです。タスクに作業時間レコードが存在しない場合、作業時間を使用しても経費ラインは作成されません。

> **注:**
> タスクレードカードを使用するには、(com.snc.cost_management) プラグインを有効にする ServiceNow　コスト管理 必要があります。

経費ラインの重複作成を回避するには、次の要素に注意してください。

- タスクレードカードを設定します。
- 各タスクレードカード内の条件を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 各タスクに使用する金額を指定します。
- 同じタスクと条件に対して複数のタスクレードカードを作成するような、重複したタスクレードカードを作成しないでください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター > **TCO** 構成 > タスクレートカード.
2. タスクの経費明細を作成 を選択します。
   確認メッセージ ボックスが開きます。
3. 経費明細の作成 を選択します。
   バックグラウンドジョブ [履歴タスクの資産共通経費明細] は 1 回だけ実行され、経費明細のないクローズ済みタスクを検索し、それらのすべてのクローズ済みタスクの経費明細を作成します。経費ラインが作成されると、[タスクの経費ラインを作成] ボタンは表示されなくなります。

Enterprise 資産ワークスペースで賃金レートカードを作成する

時間単位で消費された時間ごとにコストをキャプチャする賃金レートカードを作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
賃金レードカードはベースシステムに含まれています。[番号] フィールドを除き、デフォルトの賃金レートカードの他のすべてのフィールドは編集可能です。基本システムの賃金レードカードは削除できません。次の手順では、賃金レートカードを作成します。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター > **TCO** 構成 > 賃金レートカード.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい賃金レートカードを作成

フィールド	説明
番号	賃金レードカードごとに自動的に作成される一意の番号。
名前	賃金レードカードの名前。
レートコード	各賃金レードカードのコード。
レートタイプ	標準レートタイプ。独自のレートタイプを追加できます。
アクティブ	賃金レードカードが使用されているかどうかを示します。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。
簡単な説明	賃金レートカードの簡単な説明。
時間単価	通貨コードと時間当たりのコスト。
条件を設定	選択したテーブルで実行するフィルター。このレートカードを特定のタスクに適用するかど

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	うかを決定します。このフィールドは、条件によって返されるレコードをプレビューするための条件数ウィジェットを使用します。
説明	賃金レードカードの詳細な説明。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
賃金レートカードが作成されると、[**Use time worked**] フィールドの値に基づいて経費明細が作成されます。

要求とフローに エンタープライズ資産管理 **Service Catalog** を使用する

サービスカタログアプリケーションを使用して、アプリケーションのカタログ要求エンタープライズ資産管理を作成します。

次の エンタープライズ資産管理 フローの要求を作成できます。

- Enterprise 資産要求
- Enterprise 資産のリフレッシュ
- 資産の再販
- オンボーディング資産
- エンタープライズ資産の再利用

エンタープライズ資産要求フローを使用する

エンタープライズ資産要求フローを使用して、アプリケーションから サービスカタログ カタログアイテムを要求、調達、および展開します。

始める前に
エンタープライズ資産を要求する前に、エンタープライズ資産ワークスペースでその資産のモデルを作成し、そのモデルをアプリケーションに サービスカタログ 公開していることを確認してください。

必要なロール：

- catalog_admin
- procurement_admin
- sn_eam.enterptrise_asset_manager
- sys_admin

このタスクについて
アプリケーションから サービスカタログ エンタープライズカタログアイテムの要求を作成します。カタログアイテムを標準のエンタープライズ資産要求フローに関連付けて、フローをトリガーします。

この フローデザイナー アプリケーションは、エンタープライズカタログアイテムの調達、調達、および展開のプロセスを案内する標準エンタープライズ資産要求フローを作成するために使用されます。フローがさまざまなステージを進むにつれて、資産の詳細が自動的に更新されます。標準の Enterprise 資産要求フローを開いて、フローのステージのステータスを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. catalog_admin ロールの資格情報でログインし、 サービスカタログ > アイテムの管理.
2. エンタープライズカタログアイテムを開き、[フロー] フィールドで [標準エンタープライズ資産要求] を選択します。
   [フロー] フィールドが表示されていない場合は、メニューアイコンを右クリックして次の場所に移動し、フォームレイアウトに追加します。 構成 > フォームレイアウト.
3. **[Save** (保存)] を選択します。
   これで、標準エンタープライズ資産要求フローがエンタープライズカタログアイテムに関連付けられました。
4. Service Catalog アプリケーションに移動します。
5. sys _admin ロールの資格情報でログインし、 **Enterprise** 資産 カタログを追加します。
   Enterprise 資産カタログは、デフォルトでは [Service Catalog] ページにありません。このカタログを追加するには、検索カタログバーの横にある [コンテンツ +) を選択し、[**Enterprise** 資産] を選択します
6. sn_eam.enterptrise_asset_manager ロールの資格情報でログインし、 **Enterprise** 資産 カタログを選択します。
   [エンタープライズ資産] ページが開きます。
7. リストからカタログアイテムを選択します。
   カタログアイテムページが開きます。
8. [場所] フィールドで、カタログアイテムを展開する場所を選択します。
9. [今すぐ注文] を選択します。
10. procurement_admin ロールの資格情報でログインし、新しい要求を開きます。
11. [要求アイテム] 関連リストで、要求アイテムを選択します。
12. [カタログタスク] 関連リストを選択して、要求の調達タスクを表示します。
13. カタログ タスクを開き、[ソース要求] を選択します。
14. [ソース要求] フォームレイアウトで、[転送オーダーの追加] または [発注書の追加] を選択して、転送オーダーまたは発注書を介して要求を調達します。
    カタログアイテムを調達すると、要求されたアイテムレベルで展開タスクが作成されます。
15. [要求アイテム] 関連リストに戻り、要求アイテムを開きます。
16. [カタログタスク] 関連リストに移動し、カタログタスクを開きます。
17. **[Assigned to**] フィールドに値を入力し、[**Deploy Asset]** を選択します。
    シリアル化された資産の場合は、 使用中 の状態としてマークされます。消耗資産の場合は、[消費済み] ステータスとしてマークされます。これで、標準のエンタープライズ資産要求フローで、資産の展開に関連付けられているアクションが完了しました。

エンタープライズ資産のリフレッシュを要求

Enterprise 資産のリフレッシュフローを使用して、ライフサイクルの終わりが近づいている資産を追跡し、新しい資産に置き換えます。

始める前に

必要なロール：inventory_user

このタスクについて

資産が古くなると、メンテナンスコストと故障のリスクが高まり、パフォーマンスは低下します。古い資産を新しい資産の同じモデルまたは異なるモデルに置き換えることができます。Enterprise 資産のリフレッシュ要求が承認されると、Enterprise 資産のリフレッシュフローによって調達が案

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

内され、Enterprise 資産のリフレッシュラインフローがトリガーされます。Enterprise 資産のリフレッシュラインフローでは、リフレッシュラインタスクを使用して、新しい資産の準備、配送のスケジュール設定、展開、古い資産の再利用のステップを実行します。

この フローデザイナー アプリケーションは、Enterprise 資産のリフレッシュフローと Enterprise 資産のリフレッシュラインフローを作成するために使用されます。

手順

1. Service Catalog アプリケーションに移動します。
2. sys _admin ロールの資格情報でログインし、 **Enterprise** 資産ライフサイクル カタログを追加します。
   デフォルトでは、Enterprise 資産ライフサイクルカタログは [Service Catalog] ページにはありません。このカタログを追加するには、検索カタログバーの横にある [コンテンツの追加] アイコン [ ) を選択し、[**Enterprise** 資産ライフサイクル] を選択します。
3. sn_eam.enterptrise_asset_manager のロールの資格情報でログインし、 **Enterprise** 資産ライフサイクル カタログを選択します。
   [Enterprise 資産のライフサイクル] ページが開きます。
4. 移動先 サービスカタログ > **Enterprise** 資産のライフサイクル.
   デフォルトでは、Enterprise 資産ライフサイクルカタログは [Service Catalog] ページにはありません。このカテゴリを追加するには、検索カタログバーの横にあるコンテンツの追加アイコン (コンテンツ) を選択し、[**Enterprise** 資産ライフサイクル] を選択します。
5. **Enterprise** 資産の更新順序を開きます。
6. すべての古いエンタープライズ資産を新しいエンタープライズ資産の同じモデルに置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. [更新リストのタイプ] フィールドから [単一モデル] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

Enterprise 資産のリフレッシュフォーム

フィールド	説明
ロケーション	古いエンタープライズ資産の物理的な場所。
交換用モデル	古いエンタープライズ資産を置き換える新しいエンタープライズ資産モデル。
資産	置き換える老朽化したエンタープライズ資産。フィルターを使用して、置き換えるエンタープライズ資産を検索できます。
利用可能	[資産] ページの [更新対象] チェックボックスがオンになっている資産のみを表示します。提供終了間近のすべての資産を表示するには、条件 [更新対象が false] を実行します。 注: [更新対象] チェックボックスの詳細については、「」を参照してください エンタープライズ資産の資産フィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 古いハードウェア資産を新しいハードウェア資産の異なるモデルと置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. [更新の種類] フィールドから [マルチ モデル] を選択します。

   b. [追加] を選択します。

   c. 使用する新しいエンタープライズ資産ごとに、エンタープライズモデルを入力する行を追加します。

      注:
      50 行を作成できます。置き換える古いハードウェア資産に対して複数の行を作成することはできません。

8. [今すぐ注文] を選択します。
   [注文ステータス] ページが表示され、注文の詳細が表示されます。新しいエンタープライズ資産を調達し、古いエンタープライズ資産を置き換える要求が作成されます。[要求] フォームには、すべての新しいエンタープライズ資産モデルの合計金額が表示されます。

古いエンタープライズ資産を置き換える

新しいエンタープライズ資産を調達して、老朽化したエンタープライズ資産を置き換えます。

始める前に
必要なロール：inventory_user

このタスクについて
エンタープライズ資産をリフレッシュする場合、資産レコードを手動で更新する必要はありません。エンタープライズ資産リフレッシュラインを閉じると、資産レコードと資産が自動的に更新されます。各タスクをクローズして次のタスクに進み、リフレッシュを完了して、古い資産を再利用します。

新しい資産を調達した後、次のステージを経て資産のリフレッシュが完了します。

- 資産タスクの準備:ユーザーに渡す前に新しいタスクを準備します。必要なソフトウェアをインストールします。
- リフレッシュタスクのスケジュール:資産をユーザーに引き渡す日付をスケジュールします。
- 新しい資産を展開する:資産をユーザーに渡すか、必要に応じてユーザーの場所に資産をインストールします。
- 古い資産を再利用:古い資産を収集します。

手順

1. 移動先 サービスカタログ > レコードを開く > 要求.
2. 関連するエンタープライズ資産のリフレッシュ要求を開きます。
3. [要求アイテム] 関連リストで、要求アイテムを開きます。
   エンタープライズ資産要求が承認されると、ソース要求フローがトリガーされます。[カタログタスク] 関連リストの下に、新しいエンタープライズ資産を調達するためのカタログタスクが作成されます。
4. カタログタスクを開きます。
5. 新しい資産を調達するには、「 ソース要求」を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [ソース要求] フォームで、[消費]、[転送]、または [購買] を選択して、ローカル在庫、転送オーダー、または発注書のいずれかを使用して要求を調達します。
   要求された資産が要求されたストックルームで利用できない場合、[消費] ボタンは無効になります。
7. [送信] を選択します。
   新しい資産を受領した後、エンタープライズ資産のリフレッシュラインが作成され、各資産に対してエンタープライズ資産のリフレッシュラインフローがトリガーされます。Enterprise 資産のリフレッシュラインは、要求アイテムの [Enterprise 資産リフレッシュライン] 関連リストで利用できます。
   [Refresh Line Tasks] 関連リストに [Prepare asset] タスクが作成されます。
8. [資産を準備] タスクを開き、次の操作を行います。
   a. 置き換える老朽化したエンタープライズ資産で [資産] フィールドを更新します。
   b. **[Save** (保存)] を選択します。
9. [タスクのクローズ] を選択します。
   [リフレッシュラインタスク] 関連リストの下にスケジュールリフレッシュタスクが作成されます。
10. [スケジュール更新] タスクを開きます。
11. [スケジュールされた展開日] フィールドを、新しい資産が展開される日付で更新します。
12. [タスクのクローズ] を選択します。
    [新しい資産を展開] タスクが [ラインタスクをリフレッシュ] 関連リストの下に作成されます。エンタープライズフォームで、交換用資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [インストール処理待ち] に変わります。
13. [新しい資産を展開] タスクを開きます。
14. [再利用済み] リストから [はい] または [いいえ] を選択します。
    - 古い資産を回収した場合は、[はい] を選択します。
    - 期限切れの資産を回収しなかった場合は、[いいえ] を選択します。
15. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

    注:
    [再利用] リストから [はい] を選択した場合、古い資産の再利用タスクも既定で閉じられます。

    期限切れ資産の再利用タスクが [明細タスクをリフレッシュ] 関連リストの下に作成されます。[エンタープライズ] フォームで、交換用資産のステータスが [使用中] に変わります。割り当ては、期限切れの資産から交換用資産に転送されます。
16. [古い資産の再利用] タスクを開きます。
17. [再利用済み] リストから [はい] または [いいえ] を選択します。
    - 古い資産を回収した場合は、[はい] を選択します。
    - 期限切れの資産を回収しなかった場合は、[いいえ] を選択します。
18. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

    注:
    エンタープライズ資産の明細の更新をキャンセルするには 、キャンセル を選択するか、明細の更新タスクで 状態 フィールドを 未 完了でクローズ に変更します。

タスクの結果

老朽化した資産が再利用された後、エンタープライズフォームで次の変更が行われます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 古い資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
- [サブステート] が [廃棄待ち] に変わります。

資産再販フローの作成

無駄を減らし、コストを節約するために、再販する資産の資産再販フローを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

資産ベンダーは、再販可能な資産とその価値を確認する必要があります。

エンタープライズ再販オーダーを通じて再販できるのは、非終端状態 (資産が別の状態に移行できる状態) の資産のみです。各資産は、エンタープライズモデルまたはパレットモデルのいずれかにも関連付ける必要があります。単純なアセットを追加できます。事前に組み立てられた資産とユーザーが組み立てた資産を含むマルチコンポーネント資産。エンタープライズ再販オーダーに子を持つパレット資産。

注:
再販オーダーに子を含むパレット資産を追加する場合、パレット資産に加えた変更はすべての子資産に自動的に適用されます。

手順

1. に移動します。 サービスカタログ > **Enterprise** 資産のライフサイクル.
2. [Enterprise Resale Order (エンタープライズ再販オーダー)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. 資産を追加して注文を送信します。
   資産再販要求が送信されると、Enterprise 資産ワークスペースに移動して要求を実行できます。
5. 移動先 **Inventory** > 再販オーダー.
6. 次に、各タスクを実行します。
7. [資産の検証] を選択して資産を選択し、検証します。
   [資産の検証] タスクを完了する前に、廃棄注文に対して資産を追加または削除できます。消耗品の数量を編集することもできます。
8. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
   ワークフローの次のタスクである [集荷のスケジュール] が自動的に作成され、[**Enterprise** 資産再販タスク] タブに表示されます
9. [集荷をスケジュール] を選択して、倉庫から資産を集荷できるタイミングとベンダーの詳細を指定します
10. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
    ステージが [輸送中] に変わり、[資産の切り離し] タスクが作成されます。
11. [Asset departure (資産の切り離し)] タスクを選択し、再販のために出発する各資産と集荷連絡先の詳細を選択します。
12. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
    ステージが [確認] に変わり、ベンダー確認タスクが作成されます。
13. ベンダーが資産を受領したことを確認したら、ベンダー確認タスクを選択します。
14. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
    ステージがドキュメントに変わり、再販ドキュメントタスクが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の資産をオンボーディングするためのカタログ要求の作成

1 つのモデルで複数の資産をオンボーディングするためのカタログ要求を作成します。

始める前に
必要なロール:enterprise_asset_technician

このタスクについて
カタログ要求を送信するには、少なくとも 1 つの資産が必要です。各カタログ要求には、最大 50 個の資産を含めることができます。

手順

1. 移動先 サービスポータル > 要求 > **Enterprise** 資産のライフサイクル.
   Service Catalog から **Enterprise** 資産ライフサイクル に移動することもできます。
2. 「アセットのオンボーディング」を選択します。
   [資産のオンボーディング (Asset Onboarding)] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. [送信] を選択します。
   カタログ要求が送信されると、要求アイテムが作成されます。要求アイテムに関連付けられた資産オンボーディングタスクも作成され、マルチアセット Playbook がトリガーされます。

次のタスク
enterprise_asset_managerロールは、からマルチアセット Playbook Enterprise Asset ワークスペースを起動できます。

エンタープライズ資産を再利用するためのカタログ要求の作成

従業員が組織を離れたり、別のロールに異動したりした場合にエンタープライズ資産を効率的に再利用するためのカタログ要求を作成します。

始める前に
必要なロール:組織内のすべての従業員。

手順

1. アプリケーションに移動します サービスカタログ 。
2. [Service Catalog] ページで、ページの右側にある [カタログを検索] フィールドに「 Reclaim asset 」と入力します。
3. [**Reclaim Asset** (資産の再利用)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

資産の再利用フォーム

フィールド	説明
要求者	この要求を作成するユーザーのロール。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ **HR** ○ マネージャー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ ユーザー ○ **Asset Manager** (要求が enterprise_asset-manager ロールまたは asset ロールによって作成されている場合のみ)
要求元	カタログ要求を送信するユーザーの名前。 **注:** 要求がenterprise_asset_managerロールによって作成されている場合、このフィールドは必須ではありません。
従業員の離職	資産再利用を送信する対象者が組織を離れるか、別のロールに移動するかどうか。
資産	資産再利用を送信する対象の人物に割り当てられた資産
再利用日	資産を再利用する日付。今日の日付または将来の日付を入力できます。
再利用方法	退職する従業員から資産を回収するために使用する方法。自分が資産を集荷したり、従業員が納品したり、組織に出荷したりできます。
訴訟ホールドの方法	法的な理由で資産を保留にしておく必要がある場合。
メモ/特別な指示	言及する必要がある指示。

5. [送信] を選択します。
   エンタープライズ資産再利用要求が作成されます。要求が作成されると、enterprise_asset_technicianロールは Enterprise 資産ワークスペースに移動して再利用ラインを表示し、タスクを完了します。詳細については、「エンタープライズ資産再利用要求のクローズ」を参照してください。

エンタープライズ資産インベントリの管理

在庫を効率的に管理して、エンタープライズ資産を追跡します。

在庫は、次のタスクで管理できます。

- 倉庫を作成する
- 在庫ルールを作成する
- ストックルーム タイプを作成する
- 廃棄注文の作成
- 転送注文を作成する
- 貸与資産を要求
- RMA の要求
- 取り消し済み資産の管理
- 移動オーダーの管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インベントリーの監査
- 再利用要求のクローズ

エンタープライズ資産のストックルームを作成する

アプリケーションで エンタープライズ資産管理 ストックルームを作成し、資産を割り当てます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > **Inventory** > すべての倉庫.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新規ストックルームを作成] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	ストックルームの表示名と識別子。
アサイン先グループ	ストックルームを主に使用するグループ。
マネージャー	ストックルームの責任者。在庫補充の通知と、ストックルームの在庫ルールに関する要求を受領します。
ロケーション	ストックルームの物理的な場所。
タイプ	ストックルームのタイプ。次のオプションから選択します。 ○ 中央倉庫 ○ フィールド エージェント ○ FSL ○ 現地 ○ PUDO ○ 倉庫
業務時間	ストックルームの稼働時間。
説明	ストックルームの説明。
流通チャネルから除外	すべての倉庫配布チャネルから倉庫を除外するオプションです。これにより、倉庫をリンクして資産の調達と転送をより効率的に行うことができます。
サービスの場所から除外	作業指示または作業指示タスクを完了しているすべてのサービスの場所からストックルームを除外するオプション。
外部	このストックルームが内部で管理されているか (チェックボックスは未選択)、外部からサードパーティによって管理されているか (チェックボックスが選択されている) を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   新しく作成されたストックルームが [すべてのストックルーム] タブに表示されます。

でストックルームに流通チャネルを追加する **Enterprise Asset** ワークスペース

配送チャネルをストックルームに追加して、そのストックルームを他の地理的に関連するストックルームとリンクできるようにします。ストックルームをリンクすることで、それらのストックルーム間で効率的に資産を調達して転送することができます。リンクされた各ストックルームにランクを割り当てて、資産の調達と転送が可能なストックルームの順序を指定することもできます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. Enterprise Asset ワークスペースから [インベントリ] ビューを開きます。
2. [すべての倉庫] タブで、流通チャネルを追加する倉庫を選択します。
   ストックルームレコードが開きます。
3. ストックルーム レコードの 流通チャネル タブで、 新規 を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新規倉庫流通チャネルの作成 **(Create New Stockroom Distribution Channel)]** フォーム

フィールド	説明
チャネル倉庫	流通チャネルの一部としてリンクする倉庫。
ランク	リンクするストックルームのランク。流通チャネルに複数のリンクされたストックルームが含まれている場合、このランクは、資産の調達と転送が可能なリンクされたストックルームの順序に直接対応します。1 や 5 などの数値を入力します。数値が小さいほど、リンクされたストックルームの順番内でそのストックルームは上位になります。
アクティブ	リンクされたストックルームが流通チャネル内でアクティブかどうかを示すオプション。

5. **[Save** (保存)] を選択します。
6. 配送チャネルの一部としてリンクする各倉庫について、手順 3 ～ 5 を繰り返します。

Enterprise 資産ワークスペースでストックルームにサービスの場所を追加する

複数の地理的な場所で資産を調達、展開、および廃止できるように、ストックルームにサービスの場所を追加します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
デフォルトでは、指定された倉庫の場所内でのみ、倉庫の資産の調達、展開、廃止を行うことができます。ストックルームにサービスの場所を追加することで、さまざまな場所で資産を調達、展開、および廃止できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、在庫ビューを開きます。
2. [すべての倉庫] タブで、サービス場所を追加する倉庫を選択します。
   ストックルームレコードが開きます。
3. ストックルーム レコードの サービスの場所 タブで、 追加 を選択します。
   [サービスの場所を追加] ダイアログボックスが開きます。
4. ダイアログボックスで、ストックルームに追加するすべてのサービスの場所のチェックボックスをオンにします。
5. [追加] を選択します。

での倉庫の詳細の表示 **Enterprise Asset** ワークスペース

ストックルームレコードを使用して、エンタープライズ、ハードウェア、消耗品、バンドル、貸与、その他の資産が存在するストックルームに関する詳細情報を表示します。

始める前に
次の倉庫レコードタブは、インスタンスにアプリケーションServiceNow® をインストールして有効化ハードウェア資産管理している場合にのみ使用できます。

- ハードウェア
- バンドル
- ソフトウェアライセンス
- その他の資産
- ハードウェア貸与プール
- ハードウェア資産監査

アプリケーションをインストールしてアクティブ化するには、 ServiceNow Store から要求します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin、sn_eam.enterptrise_asset_manager、または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise Asset ワークスペースから [インベントリ] ビューを開きます。
2. [すべての倉庫] タブを選択します。
3. 利用可能なストックルームのリストから、追加の詳細を表示するストックルームを選択します。
   ストックルームレコードが開きます。
4. 倉庫レコードタブを使用して、倉庫に関する追加の詳細を表示します。

[ストックルーム] レコードタブ

タブ	説明
詳細	オープンのストックルームタスクや一般的なストックルームの詳細など、ストックルームの詳細な概要を取得します。 [オープンストックルームタスク] カードには、ストックルームに関連付けられているすべてのオープンな注文、監査、要求が表示されます。カードを選択すると、対応する注文、監査、または要求レコードリスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	説明
	が表示されます。オープン ハードウェア資産管理 な注文、監査、または要求のカードを選択すると、ハードウェア資産ワークスペースでリストが開きます。 さらに、インタラクティブマップを使用して、指定されたストックルームの住所に基づいてストックルームの場所を表示します。マップを展開して、サポートされているすべてのサービスの場所と、倉庫流通チャネルの一部としてリンクされているすべての倉庫を表示します。
タスクタイムライン	すべてのストックルームタスクのタイムラインを表示します。各ストックルームタスクは、作成日、予定日、開始日または返却日、または出荷日のいずれかに基づいてタイムラインに追加されます。タスクを選択して、対応するタスクレコードを開きます。タスクを選択すると ハードウェア資産管理 、ハードウェア資産ワークスペースでレコードが開きます。 タブの右上隅にあるタイムライン形式フィルターを使用して、タイムラインを表示する形式と期間を変更します。タイムラインをカレンダー形式で表示するかタイムライン形式で表示するかを選択できます。カレンダー形式では、次のタイムライン期間がサポートされています。 ○ 日 ○ 作業週 ○ 週 ○ 月 タイムライン形式では、次のタイムライン期間がサポートされています。 ○ 日 ○ 週 ○ **4** 週間
ハードウェア **注:** このタブは、アプリケーションをインストールしてアクティブ化 ハードウェア資産管理 した場合にのみ表示されます。	ストックルームにあるハードウェア資産を作成および表示します。 ハードウェア資産を作成している場合は、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームに自動的にリダイレクトされます。
Enterprise 資産	ストックルームにあるエンタープライズ資産を作成および表示します。
消耗品	ストックルームにある消耗資産を作成および表示します。
バンドル	ストックルームにあるアセットバンドルを作成および表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	説明
注: このタブは、アプリケーションをインストールしてアクティブ化 ハードウェア資産管理 した場合にのみ表示されます。	アセットバンドルを作成している場合、または既存のアセットバンドルを選択している場合は、ハードウェア資産ワークスペース内の対応するフォームまたはレコードに自動的にリダイレクトされます。
パレット	ストックルームにあるパレット資産を作成および表示します。
ソフトウェアライセンス 注: このタブは、アプリケーションをインストールしてアクティブ化 ハードウェア資産管理 した場合にのみ表示されます。	ストックルームにあるソフトウェアライセンスを作成および表示します。 ソフトウェアライセンスを作成している場合、または既存のソフトウェアライセンスを選択している場合は、ハードウェア資産ワークスペース内の対応するフォームまたはレコードに自動的にリダイレクトされます。
その他の資産 注: このタブは、アプリケーションをインストールしてアクティブ化 ハードウェア資産管理 した場合にのみ表示されます。	ストックルームにある他のすべてのタイプの資産を作成して表示します。 資産を作成している場合は、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームに自動的にリダイレクトされます。
ハードウェア貸与プール 注: このタブは、アプリケーションをインストールしてアクティブ化 ハードウェア資産管理 した場合にのみ表示されます。	ストックルームにあるすべてのハードウェア貸与資産を表示します。 貸与資産を選択すると、ハードウェア資産ワークスペース内の対応するレコードに自動的にリダイレクトされます。
Enterprise 貸与プール	ストックルームにあるすべてのエンタープライズ貸与資産を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	説明
サービスの場所	ストックルームでサポートされているすべてのサービスの場所を表示します。
流通チャネル	エンタープライズ資産を調達および転送できる、リンクされたすべてのストックルームのリストとランキングを作成して表示します。流通チャネルの詳細については、「」を参照してください でストックルームに流通チャネルを追加する Enterprise Asset ワークスペース。
ハードウェア資産監査 注: このタブは、アプリケーションをインストールしてアクティブ化 ハードウェア資産管理 した場合にのみ表示されます。	ハードウェア資産在庫の監査を作成および表示します。 監査を作成するか、既存の監査を選択すると、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームまたはレコードに自動的にリダイレクトされます。
Enterprise 資産の監査	エンタープライズ資産在庫の監査を作成および表示します。

5. ストックルームに設定されているすべての有効な在庫ルールを表示します。

   a. ストックルームレコードのサイドバーから、[在庫ルール] アイコン () を選択します。

   b. 各在庫ルールを表示して、利用可能な在庫が指定されたしきい値内かどうかを判断します。
   また、対応するモデルが販売終了に達したかどうかを判断することもできます。

エンタープライズ資産の新しい在庫ルールを作成する

ベースシステムの在庫ルールがニーズに合わない場合は、カスタム在庫ルールを作成して、倉庫に資産を自動的に補充することができます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

在庫ルールは、あるストックルームのある資産の在庫が指定されたしきい値に達したときの処理をコントロールします。資産が指定された数量を下回ると、在庫ルールによって転送オーダーが自動的に作成されます。転送オーダーでは、別の倉庫から必要な資産を転送することで、倉庫を補充します。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > **Inventory** > 在庫ルール.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新規在庫ルールを作成] ページが開きます。
3. フォームで、詳細を入力します。

モデル	ルールが適用される製品モデル。
しきい値	在庫の再補充が発生するために到達しなければならない数量。たとえば、指定されたストック

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

	ルーム内の在庫数が 10 を下回った場合に再補充するラップトップのしきい値は、10 と入力します。 **注:** ハードウェアまたはソフトウェアモデルの在庫ルールがしきい値の制限に達した場合、通知が倉庫マネージャーに送信され、在庫オーダー要求が自動的に作成されます。
再補充オプション	追加供給が来るべき場所。 Procurement がアクティブでない場合、再補充オプションは [倉庫] のみです。そうでない場合は、次のいずれかを選択します。 ○ ストックルーム：他のストックルームから資産を取得するための転送オーダーを作成します。 ○ ベンダー：ベンダーに注文するためストックルーム管理者にメールを送信します。メール通知に加えて、発注書と発注明細が作成されます。
倉庫	資産の現在の物理的な場所。
オーダーサイズ	転送オーダーまたはベンダー購入の最小注文数量。ServiceNow は、しきい値以上にアイテムを再補充するために必要な注文サイズの最小倍数を計算します。たとえば、しきい値が 10 となっていて [ストックルーム] オプションが選択されたラップトップが在庫として 3 台あります。オーダーサイズが 4 と設定されている場合、システムではルールを満たすためにしきい値を超えた 8 台分のラップトップの転送オーダーを作成します (在庫 3 + 注文 8 = 11)。ベンダーから補充する場合は、注文サイズの倍数として、ServiceNow がアイテムの必要注文数の合計を示したメールをストックルームマネージャーに送信します。
アクティブ	この在庫ルールが有効かどうか (チェック ボックスが選択されているかどうか) 。このチェック ボックスを未選択にすると、在庫ルールによる自動再補充が行われなくなります。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   新しく作成された在庫ルールが [在庫ルール] タブに表示されます。

エンタープライズ資産のストックルーム タイプを作成する

ベースシステムのストックルームタイプがニーズを満たさない場合は、Enterprise 資産ワークスペースでカスタムストックルームタイプを作成できます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ストックルーム タイプはストックルームのカテゴリです。ストックルーム タイプの詳細については、「ストックルーム タイプ」を参照してください

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > **Inventory** > ストックルームタイプ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
名前	ストックルーム タイプの名前を表示します。
説明	ストックルーム タイプに関する一般情報です。
優先度	このタイプのストックルームの優先順位を示します。
値	ストックルーム タイプの内部識別子です。
出荷が必要	このタイプのストックルームがデフォルトで出荷が必要かどうかを決定するオプションです。
外部のストックルーム	このタイプのストックルームが内部で管理されているか (チェックボックスは未選択)、外部からサードパーティによって管理されているか (チェックボックスが選択されている) を示します。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
新しく作成されたストックルーム タイプが [ストックルーム タイプ] タブに表示されます。

エンタープライズ資産在庫の監査

エンタープライズ資産在庫を監査して、資産がどこにあるか、現在のステータスがどうなっているかを把握します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
を使用して モバイルエージェント のアプリケーション エンタープライズ資産管理 資産タグをスキャンするか、手動で入力することができます。資産がスキャンされても、その資産タグがデータベースに存在しない場合、デフォルトでは、その資産は不明なモデルレコードにマッピングされます。不明なモデルレコードは、の Enterprise Asset ワークスペース[モデル管理] ビューの [すべてのエンタープライズモデル] タブに表示されます。資産管理者は、この資産を適切なモデルに手動で関連付けます。不明なモデルを変更、更新、削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > **Enterprise** 資産ワークスペース > **Inventory** > 資産監査.
2. **[New** (新規)] を選択します。
[新しいエンタープライズ資産監査を作成 (Create New Enterprise Asset Audit)] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産監査

フィールド	説明
監査番号	監査参照番号。
アサイン先	監査の責任者。
タイプ	監査のタイプ。使用可能な値は次のとおりです。 ○ ロケーション ○ 倉庫
ステータス	監査の現在のステータス。
ロケーション 注: このフィールドは、[タイプ] フィールドを [場所] に設定した場合にのみ表示されます。	監査を実行する場所。
子場所を含む 注: このフィールドは、[タイプ] フィールドを [場所] に設定した場合にのみ表示されます。	監査に子の場所を含めるオプション。
倉庫 注: このフィールドは、[タイプ] フィールドを [ストックルーム] に設定した場合にのみ表示されます。	監査を実行する倉庫。
予定日	監査を実行する日付。
スキャン日	資産をスキャンする日付。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
資産監査インベントリレコードが作成され、[予定資産] タブと [スキャン済み資産] タブに表示されます。監査が完了すると、[監査結果] セクションがアクティブ化され、監査結果の詳細が表示されます。

監査結果

予定	スキャンされた予定資産の数。
予定外であるため場所が修正されました	スキャンされたが予期されていなかった資産の数。
欠損	スキャンされなかった予定資産の数。
新規	スキャンされたものの、インスタンスに ServiceNow レコードがない資産の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 資産ワークスペースでの廃棄注文の作成

ライフ サイクルの終わりに達した資産、または機能しなくなった資産の廃棄注文を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

このタスクについて
エンタープライズ廃棄注文を使用して廃棄できるのは、エンタープライズモデル またはパレット モデルに関連付けられている資産のみです。 単純なアセットを追加できます。事前に組み立てられた資産とユーザーが組み立てた資産を含むマルチコンポーネント資産。エンタープライズ廃棄注文の子を含むパレット資産。

注:
複数コンポーネント資産または子を持つパレット資産を廃棄注文に追加する場合、親資産に加えた変更はすべての子資産に自動的に適用されます。

Flow Designer アプリケーションを使用して廃棄フローを作成し、資産廃棄注文プロセス全体を実行します。

廃棄注文は、完了するまでにさまざまなステージを経ます。各ステージは廃棄タスクに関連付けられています。さまざまなステージ間を移動するには、最後のステージに到達するまで各タスクを閉じます。最後のタスクを完了すると、廃棄注文が完了します。廃棄注文のステージの詳細については、「廃棄注文のステージ」を参照してください。

注:
ワークフローの輸送ステージに達するまで、廃棄注文をキャンセルできます。廃棄注文が確認段階になると、その注文をキャンセルすることはできません。[ステータス] リストから [未完了でクローズ] を選択し、タスクをクローズすることで、ドラフト、スケジュール、または転送ステージにあるタスクをキャンセルできます。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > **Inventory** > 廃棄注文.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新しいエンタープライズ廃棄注文の作成 (Create New Enterprise Disposal Order)] ページが開きます。
3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
番号	廃棄注文の参照番号。
倉庫	資産が廃棄されるストックルーム。
ロケーション	資産が廃棄されるストックルームの場所。ストックルームを選択すると、自動的に場所が表示されます。 場所を変更し、選択したストックルームに場所が関連付けられていない場合、[ストックルーム] フィールドは空になります。このシナリオでは、指定した場所のストックルーム リストからストックルームを選択できます。
アサイン先	資産の廃棄に関して責任を負っている人物。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステージ	廃棄注文の現在のステージ
ベンダー	資産を廃棄するベンダー。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   新しい廃棄注文が作成され、廃棄注文ワークフローがトリガーされます。
5. [集荷の詳細] フォームで、フィールドに入力します。

[ピックアップの詳細] フォーム

フィールド	説明
予定日	資産を廃棄する日付。
ピックアップ連絡先名	廃棄する資産を集荷するベンダーの人の名前。
ピックアップの詳細	集荷の詳細
追加情報	追加するメッセージ。

6. [**Disposable Assets**] タブを開きます。
7. [追加] を選択して、破棄する資産を選択します。
8. 破棄する資産を選択し、 [追加] を選択します。
   非ターミナルステータスの資産のみがリストに表示されます。非ターミナル状態とは、資産が別の状態に移行できる状態のことです。
   [**Enterprise Disposal Tasks**] タブに、[Verify Assets] タスクが作成されます。
9. [**Enterprise Disposal Tasks** (エンタープライズ廃棄タスク)] タブを開き、[Verify Assets (資産の検証)] タスクを選択します。
10. [エンタープライズ廃棄タスク] ページで、廃棄する資産を選択し、[検証] を選択します。
    資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
11. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

    注:
    [資産の検証] タスクを完了してクローズした後は、廃棄注文に資産を追加することはできません。

    ドラフトステージが完了し、スケジューリングステージが進行中です。ワークフローの次のタスクである [Schedule pickup] が自動的に作成され、[**Enterprise Disposal Tasks**] タブに表示されます。
12. [集荷のスケジュール] タスクを選択し、[仕入先] フィールドと [予定日] フィールドに、必要な値を入力します。
13. [タスクのクローズ] を選択します。
    ステージが輸送に変わり、資産の切り離しタスクが作成されます。
14. [資産の出発] タスクを選択し、[仕入先注文 **ID**] フィールドと [ピックアップ連絡先名] フィールドに、必要な値を入力します。
15. 破棄する資産を選択し、 選択した行のアクション ピッカーで [切り離す] を選択します。
    資産のステータスが [輸送中] に、サブステートが [廃棄待ち] に変更されます。
16. [タスクのクローズ] を選択します。
    ステージが [確認] に変わり、ベンダー確認タスクが作成されます。
17. 仕入先確認タスクを選択し、 タスクのクローズ を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステージがドキュメントに変わり、廃棄ドキュメントタスクが作成されます。

18. [Disposal Documentation (廃棄ドキュメント)] タスクを選択し、次の操作を行います。

    a. [ファイルの添付] アイコンを選択して、予定資産の廃棄ドキュメントを添付します。

    b. 廃棄する資産を選択します。

    > **注:**
    > 廃棄注文に子を持つマルチコンポーネント資産またはパレット資産が含まれている場合、このタスクに到達した時点でそれらの資産内の親子関係は適用されなくなります。親資産に加えた変更は、その子資産に自動的に適用されなくなります。親資産か子資産かに関係なく、廃棄する各資産を個別に選択する必要があります。

    c. [破棄] を選択します。
    資産のステータスが [廃止] に、サブステータスが [廃棄] に変更されます。

    d. [廃棄の証明書] ボックスの一覧で、[はい] を選択します。

19. [タスクのクローズ] を選択します。
    すべてのエンタープライズ廃棄タスクが完了し、エンタープライズ廃棄注文ステージが [完了] に変更されます。

Enterprise 資産ワークスペースで転送オーダーを作成する

ある場所から別の場所に資産を転送するための転送オーダーを作成します エンタープライズ資産管理 。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > **Inventory** > 転送注文.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   [新規転送オーダーを作成] ページが開きます。
3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
番号	転送オーダーの番号
ステージ	転送オーダーの現在のステージ
配送元の倉庫	資産の配送元となるストックルーム。
配送先の倉庫	資産が出荷されるストックルーム。
移動元の場所	資産の配送元となるストックルームの場所。
移動先の場所	資産が出荷されるストックルームの場所。
要求日	転送オーダーが作成された日付。
配送期日	
納品	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   転送オーダーが作成され、[転送オーダーライン] タブが表示されます。転送オーダーラインを作成して、転送オーダーを構成するアイテムを指定できるようになりました。

Enterprise 資産ワークスペースで転送オーダーラインを作成する

で エンタープライズ資産管理 転送オーダーラインを作成して、転送オーダーを構成するアイテムを指定します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

このタスクについて
転送オーダーには、1 件以上の転送オーダー ラインを含めることができます。1 件の転送オーダーに含まれている転送オーダー ラインの [配送元] と[配送先] の場所は同じです。各ラインには転送する資産と数量を含みます。転送するアイテムは、資産名とモデル名で識別されます。転送オーダー ラインには、非消耗資産 1 件、または複数量の消耗品資産を含めることができます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースの転送注文に移動します。
2. 転送オーダーで、[転送オーダーライン] タブを選択します
   [転送オーダーライン] ページが表示されます。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
番号	転送オーダーラインを識別する内部個別番号
転送オーダー	転送オーダーラインが属する転送オーダー
モデル	転送オーダーラインによって要求されたアイテムのモデルたとえば、プリンターです。[資産] フィールドが最初に入力された場合、[モデル] フィールドには資産に相対するモデルが自動的に入力されます。
要求された数量	転送オーダーラインによって要求されたアイテムの数たとえば、コンピューター 3 台の転送が要求されます。
受領済み数量	既に受領されたアイテムの数たとえば、キーボード 3 台が転送され、2 台が受領されます。
ステージ	転送オーダーの現在のステージ転送オーダー ラインは、転送オーダーが [ドラフト] ステージにある場合にのみ登録できます。
要求ライン	転送オーダー ラインに関連付ける要求されたアイテム。
資産	転送オーダーラインによって要求された資産たとえば、特定のプリンターです。資産はストックルームでフィルタリングできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
残り数量	未受領のアイテムの数たとえば、キーボード 3 台の要求のうち、2 台が受領済み、1 台が残っています。
返品された数量	返品する必要のあるアイテムの数

5. **[Save** (保存)] を選択します。
   転送オーダーラインが作成され、[転送オーダーラインタスク] タブが表示されます。転送オーダーラインタスクは、転送オーダーラインをあるステージから別のステージに移動するために作成されます。

Enterprise 資産ワークスペースで転送オーダーラインタスクをクローズする

転送オーダーラインタスクをクローズして、転送オーダーラインをあるステージから別のステージに移動します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
資産で指定されたモデルカテゴリに基づいて転送オーダーラインを作成すると、転送オーダーラインタスクが自動的に作成されます。デフォルトテンプレートタスクはアプリケーションで エンタープライズ資産管理 利用できます。テンプレートタスクは、モデルカテゴリに基づいています。デフォルトテンプレートタスクを削除または変更することはできません。

転送オーダーラインを作成して資産を選択すると、その資産はモデルカテゴリに対応します。そのモデルカテゴリのテンプレートタスクが存在する場合、そのテンプレートタスクは転送オーダーラインタスクとして転送オーダーラインに追加されます。

転送オーダーラインタスクをクローズすると、タスクが完了し、プロセス内の次のタスクが作成されます。たとえば、「 要求済み 」タスクをクローズすると、このタスクのステータスが「完了してクローズ」と表示され、次のステージである 「出荷準備」のために新しいタスクが開きます。このプロセスは、転送オーダーラインの完了に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。タスクをクローズして、タスクが次のステージに移動すると、その資産は自動的に更新されます。たとえば、転送オーダーラインが [要求済み] から [出荷準備] に移動すると、その資産のステータスも [利用可能] から [予約済み] に移動します。

手順
1. Enterprise 資産ワークスペースの転送オーダーラインレコードに移動します。
2. [転送オーダーラインタスク] タブを選択します。
   転送オーダーラインタスクは次のとおりです。
   - 要求：
   - 出荷準備
   - 輸送中
   - 受領
   - 配送済み
3. 要求されたタスクを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. このタスクをクローズするには、[タスクのクローズ] を選択します。
   要求済みタスクをクローズすると、プロセスの次のタスクである 出荷準備 タスクが作成されます。
5. [配送済み] タスクをクローズするまで、プロセス内の次のタスクを開き続けます。
   [配送済み] タスクをクローズすると、その転送オーダーラインは完了します。

Enterprise 資産ワークスペースでの貸与資産の要求

一時資産、貸与資産、または消耗品を要求し、指定された期間使用します。

始める前に

必要なロール： sys_admin

このタスクについて

自分や組織の別の従業員、またはサードパーティベンダーのために、孤独な資産を要求できます。資産がインストールされる前であれば、いつでも貸与資産要求をキャンセルできます。選択したい場所で製品が現在入手できない場合でも、貸与オーダーを送信できます。この場合、注文はキューに入れられます。

貸与資産を要求する際は、開始日が送信日から 3 か月以内、終了日が開始日から 6 か月以内であることを確認してください。

手順

1. 移動先 サービスカタログ.
2. **Enterprise** 資産ライフサイクルカタログを選択します。
   システム_adminロールは、Enterprise 資産ライフサイクルカタログを追加する必要があります。詳細については、Service Catalog のドキュメントを参照してください。
3. **[Enterprise Asset Loaner Request (Enterprise** 資産貸与要求)] を選択します。
   [Enterprise 資産貸与要求] ページが開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

貸与資産要求フォーム

フィールド	説明
要求元	資産を要求している人物。自分用、組織の別の従業員用、またはサードパーティベンダーに対して要求を行うことができます。
要求元のユーザー	資産を要求したユーザー。このフィールドは、[要求元] フィールドで [会社ユーザー用 **(For company user**)] が選択され ている 場合にのみ表示されます。
ロケーション	要求された資産を提供する必要がある場所。
モデル	要求している資産のモデル。
開始日	資産の使用を開始する日付。
返却日	資産を返却する日付。
正当性	資産が必要な理由。

[Start date] と **[Return date**] を入力した後、選択したロケーションで、選択した期間に利用可能な貸与資産がない場合は、警告が表示されます。それでも貸与注文を送信すると、貸与注文は順番

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

待ちリストに入れられます。順番待ちリストに載っている貸与注文の詳細については、「 貸与資産の予約」を参照してください。

5. [送信] を選択します。
メッセージが表示され、貸与オーダーが正常に行われたか、オーダーが順番待ちリストに入れられたかが示されます。

次のタスク
要求を表示するには、次の場所に移動します セルフサービス > 自分の要求.

貸与資産を受け取る前に、[キャンセル] を選択して貸与資産要求をキャンセルできます。貸与資産を受領すると、[キャンセル] ボタンは表示されなくなります。指定された 返却日より前に貸与資産を返却することもできます。

Enterprise 資産ワークスペースでの貸与資産の準備、展開、再利用

貸与資産タスクを使用して、展開および再利用のために貸与資産または消耗品を選択して準備します。特定の期間、貸与資産または消耗品を展開し、返却日に再利用します。

始める前に
資産を貸与資産または消耗品として使用するには、資産レコードに移動し、[資産機能] フィールドを [貸与] に設定します。これらの資産は貸与資産として使用するために予約されています。[資産機能] フィールドが [貸与] 以外に設定されている資産は使用できません。

在庫ビューの [貸与資産のオーダー] タブには、資産が過去および現在に処理したすべての貸与オーダーが表示されます。消耗品の場合、消耗品がストックルームになければ、現在サービスを提供している現在の貸与資産オーダーのみが表示されます。

必要なロール：inventory_user

手順
1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > **Inventory** > 貸与資産のオーダー.
2. エンタープライズ貸与資産のオーダーを開きます。
3. [貸与資産タスク] タブを選択します。
4. [準備] タスクを選択し、詳細を入力します。

タスクフォームの準備

フィールド	説明
資産	貸与資産要求を履行するために使用される資産。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先	展開タスクを実行するタスクがアサインされているユーザー。

5. 必要な詳細を入力したら、[タスクの クローズ] を選択して [準備] タスクを閉じます。
準備タスクが完了すると、[Loaner Asset Tasks] 関連リストに展開タスクが作成されます。資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。
   - 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
   - [予約目的] フィールドには、貸与資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。
   - [サブステート] が [インストール処理待ち] に変わります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 展開タスクを開き、フォームに詳細を入力します。

展開タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	タスクの状態。
アサイン先	展開タスクを実行するタスクがアサインされているユーザー。

7. [タスクのクローズ] を選択して、デプロイ タスクを閉じます。

資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。

- 貸与資産のステータスが [使用中] に変わります。
- [ストックルーム] フィールドが [Null] に変わります。
- [アサイン先] フィールドには、資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。
- サードパーティベンダーの貸与資産を要求した場合、[管理担当者] フィールドは資産を要求したユーザーの名前に自動的に設定されます。

消耗品の場合、ステータスは [消費済み] に変わります。

返却日の 2 日前に、資産をオープンまたは要求したユーザーには、再利用に関するメール通知が届きます。返却日の 1 日前に、[貸与資産タスク] タブに再利用タスクが作成されます。

8. 再利用タスクを開きます。
9. フォームで、詳細を入力します。

再利用タスクフォーム

フィールド	説明
倉庫	返却された資産が保管される倉庫。貸与資産を受領した場所とは異なるストックルームに入った場合は、最初のストックルームからの既存の貸与オーダーが影響を受ける可能性があることを示す警告メッセージが表示されます。
返却日	資産が返却された実際の日付。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先	再利用タスクを実行するタスクが割り当てられているユーザー。
資産が返されました	資産を返却済みとしてマークするオプション。資産が返却されない場合、再利用タスクはクローズできません。
資産機能	再利用後の貸与資産の機能ステータス。

資産が機能していない場合、資産のステータスは [在庫あり] に、サブステートは [修理待ち] に変更されます。

10. 再利用タスクをクローズするには、 タスクのクローズ を選択します。
11. ユーザーが返却日より前に資産を返却する場合は、次の操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [再利用] を選択します。

b. [資産の再利用] フォームで、フィールドを更新します。

c. 再利用タスクを閉じます。
資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。

- 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
- [サブステート] が [利用可能] に変わります。
- [ストックルーム] フィールドは、[再利用タスク] フォームで選択した値に自動的に設定されます。
- 資産が将来の貸与オーダーに割り当てられている場合、サブステートは [予約済み] に変わり、貸与オーダーの詳細を反映します。

欠陥のあるエンタープライズ資産の返品承認 (RMA) の要求

返品承認(RMA)は、購入者と販売者の間の契約であり、購入者は指定された保証期間内に欠陥のある製品を返品、交換、または修理を要求できます。エンタープライズ資産管理このアプリケーションを使用すると、RMA オーダーを送信して、欠陥のあるエンタープライズ資産を交換または修理できます。

返品承認フロー

欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA オーダーを送信すると、アプリケーションは注文 エンタープライズ資産管理 に追加された欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに RMA オーダー明細行を自動的に生成します。これらの RMA オーダー明細行を使用して、各エンタープライズ資産の RMA プロセスを個別に追跡および管理できます。

注:
RMA オーダーは、シリアル化されたエンタープライズ資産に対してのみ発行できます。

RMA オーダー内のすべての RMA オーダー明細行について、準備タスクを完了して、特定のエンタープライズ資産の RMA プロセスをどのように進めるかを指定する必要があります。アセットベンダーと合意した条件に基づいて、以下を選択できます

- RMAプロセスをオンサイトで完了し、
- 資産ベンダーとオフサイトでRMAプロセスを完了します。
- または、指定された企業資産の RMA を却下します。

RMA プロセスをオンサイトで完了することを選択した場合は、欠陥のあるエンタープライズ資産のみを修理できます。対応する RMA オーダー明細行を [完了] ステージに移動するには、必要なすべてのオンサイト修理タスクを完了する必要があります。資産ベンダーとオフサイトで RMA プロセスを完了することを選択した場合、欠陥のあるエンタープライズ資産を交換または修理できます。対応する RMA オーダー明細行を [完了] ステージに移動できるように、資産ベンダーと協力して、必要なすべてのオフサイト交換または修理タスクを完了する必要があります。RMA の却下を選択すると、RMA オーダー明細行は、それ以上のアクションを必要とせずに自動的に [完了] ステージに移行します。RMA オーダー内のすべての RMA オーダー明細行が [完了] ステージに達すると、オーダーはクローズされます。

返品許可のキャンセル

RMA オーダー内のどの RMA オーダー明細行に対しても準備タスクを完了していない場合は、RMA オーダー全体を取り消すことができます。注文が取り消されると、関連するすべての RMA 注文明細行とタスクも取り消されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

欠陥のあるエンタープライズ資産の返品許可 (RMA) 注文を送信します

返品許可 (RMA) 注文を送信して、欠陥のあるエンタープライズ資産の交換または修理を開始します。

始める前に

必要なロール：資産または inventory_user

このタスクについて

注:
RMA オーダーは、シリアル化されたエンタープライズ資産に対してのみ発行できます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > **Enterprise** 資産のライフサイクル.
2. 使用可能な Enterprise 資産ライフサイクル カタログ アイテムのリストから、[**Enterprise RMA** オーダー] を選択します。
3. [Enterprise RMA オーダー] フォームの [Enterprise RMA 資産] リストで、[追加] を選択します。
   「行の追加」ダイアログ・ボックスが開きます。
4. オプション: [ストックルーム] フィールドで、欠陥のあるエンタープライズ資産が配置されているストックルームを検索して選択します。

   (Optional) ストックルームを選択すると、[エンタープライズ資産] フィールドで検索して選択できるエンタープライズ資産のリストを絞り込むことができます (ステップ 5)。

   ストックルームを選択しない場合、このフィールドは [エンタープライズ資産] フィールド (ステップ 5) で選択したエンタープライズ資産に基づいて自動的に入力されます。
5. [エンタープライズ資産] フィールドで、この RMA オーダーで交換または修理する欠陥のあるエンタープライズ資産を検索して選択します。
6. [追加] を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、欠陥のあるエンタープライズ資産が Enterprise RMA 資産のリストに追加されます。
7. この RMA オーダーで交換または修理する欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに、手順 3 から 6 を繰り返します。

   注:
   1 つの RMA オーダーに最大 50 のエンタープライズ資産を追加できます。
8. [送信] を選択します。

タスクの結果

RMA オーダーが正常に送信されると、ホームページに サービスカタログ 自動的にリダイレクトされます。RMA注文番号を含む確認メッセージが表示され、RMA注文の追跡と管理に使用できます。

欠陥のあるエンタープライズ資産の返品許可 (RMA) 注文のクローズ

欠陥のあるエンタープライズ資産の返品承認 (RMA) 注文を送信した後、注文をクローズするためのさまざまなタスクを完了する必要があります。

RMA オーダー内の RMA オーダラインごとに、必要なタスクセットを個別に完了する必要があります。RMA オーダー明細行に必要なすべてのタスクを完了すると、完了ステージに移行します。RMA オーダー内のすべての RMA オーダー明細行が [完了] ステージに達すると、RMA オーダーはクローズされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

RMA オーダー明細行の準備タスクを完了する

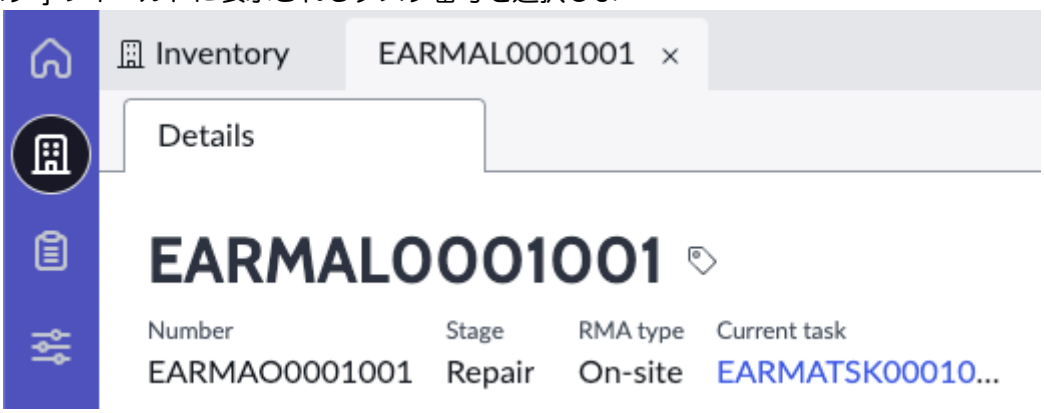
RMA オーダー明細行の準備タスクを完了して、特定のエンタープライズ資産の交換または修理を続行できるようにします。または、RMA を拒否して、特定のエンタープライズ資産に対するアクションの実行を回避することもできます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、インベントリビューに移動します。
2. [**RMA** オーダー] タブを選択します。
3. 利用可能な RMA オーダーのリストから、クローズする RMA オーダーを選択します。
   RMA オーダーレコードが開きます。
4. RMA オーダーレコードの [**RMA** オーダー明細] タブで、交換、修理、またはアクションを実行しないエンタープライズ資産の RMA オーダー明細を選択します。
   RMA オーダー明細レコードが開きます。
5. RMA オーダー明細レコードの [**RMA** 明細タスク] タブで、[準備] タスクのタスク番号を選択します。

   または、RMA オーダー明細レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   [準備] タスクが開きます。
6. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
倉庫	欠陥のあるエンタープライズ資産が配置されているストックルーム。このフィールドは、自動的に入力されます。
ベンダー	欠陥のあるエンタープライズ資産のベンダー。このフィールドは、自動的に入力されます。
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
RMA タイプ	欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを続行する方法を示すオプション。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ オンサイト:RMA プロセスをオンサイトで完了するオプション。このオプションを使用すると、欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで修理できます。 ○ オフサイト:資産ベンダーとオフサイトで RMA プロセスを完了するオプション。このオプションを使用すると、欠陥のあるエンタープライズ資産を資産ベンダーがオフサイトで交換または修理できます。 ○ 却下:欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA を却下するオプション。このオプションを使用すると、欠陥のあるエンタープライズ資産に対してアクションを実行しないようにすることができます。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

7. [タスクのクローズ] を選択します。

タスクの結果

[準備] タスクは、[完了してクローズ] の更新されたステータスで自動的にクローズされます。

次のタスク

[RMA タイプ] フィールドを [オンサイト] または [オフサイト] に設定した場合は、後続のすべての交換または修理タスクを完了して、RMA オーダー明細行を [完了] ステージに移動します。**[RMA** タイプ] フィールドを [却下] に設定すると、RMA オーダー明細行は自動的に [完了] ステージに移行し、それ以上のアクションは必要ありません。

オンサイト修理を通じて、欠陥のあるエンタープライズ資産の **RMA** プロセスを完了する

欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了できるように、オンサイト修理に必要なすべてのタスクを実行します。この一連のタスクは、オンサイト修理が必要な欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに個別に実行する必要があります。

始める前に

オンサイトで欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを続行する前に、関連する RMA オーダー明細行の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「RMA オーダー明細行の準備タスクを完了する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

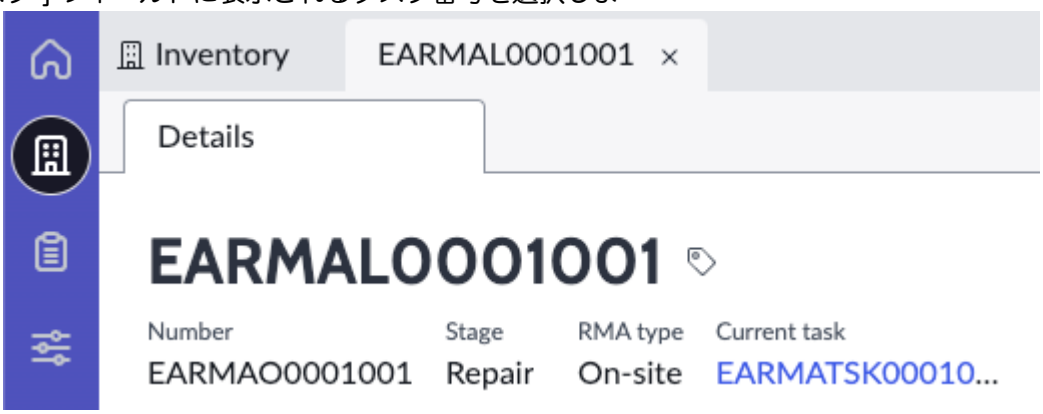
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、在庫ビューを開きます。
2. [**RMA** オーダー] タブを選択します。
3. 利用可能な RMA オーダーのリストから、クローズする RMA オーダーを選択します。
   RMA オーダーレコードが開きます。
4. RMA オーダーレコードの [**RMA** オーダー明細] タブで、修理するエンタープライズ資産の RMA オーダー明細を選択します。
   RMA オーダー明細レコードが開きます。
5. RMA オーダーラインのオンサイト修理タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで修理するか、資産ベンダーの RMA プロセスをオフサイトに移動するか、オンサイト修理要求を却下する必要があります。

   a. RMA オーダー明細レコードの [**RMA** 明細タスク] タブで、 オンサイト修理 タスクのタスク番号を選択します。

   または、RMA オーダー明細レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   オンサイト修理タスクが開きます。

   b. オンサイト修理タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
RMA の決定	欠陥のあるエンタープライズ資産に対して実行したアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 ▪ 修理:欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで正常に修復したことを示すオプション。 ▪ オフサイト:RMA プロセスを資産ベンダーのオフサイトに移動することを示すオプション。欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで修理できない場合は、このオプションを選択します。 ▪ 却下:オンサイト修理要求を却下したことを示すオプション。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [タスクのクローズ] を選択します。

オンサイト修理タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスが [完了してクローズ] になります。

[RMA 決定**(RMA decision)]** フィールドを [オフサイト**(Off-site)]** に設定した場合は、「」オフサイトでの交換または修理を通じて、欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了しますに進み、オフサイトでの RMA プロセスを続行します。

タスクの結果
欠陥のあるエンタープライズ資産を正常に修復すると、RMA オーダー明細行は [完了] ステージに移行します。対応する資産レコードで、[状態] フィールドが [在庫あり] に、[サブステート] フィールドが [利用可能] に変わります。

RMA プロセスをオフサイトに移動した場合、RMA オーダー明細の **[RMA** 明細タスク] タブに出荷タスクが自動的に入力されます。その後、欠陥のあるエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送して、残りの交換または修理タスクをオフサイトで完了できるようにする必要があります。欠陥のあるエンタープライズ資産をオフサイトで交換または修理する方法の詳細な手順については、「」を参照してください オフサイトでの交換または修理を通じて、欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了します 。

オンサイト修理要求を却下した場合、RMA オーダー明細行は [完了] ステージに移行します。ただし、欠陥のあるエンタープライズ資産は [在庫あり] ステータスと [修理待ち] サブステートのままです。資産に対して追加のアクションを実行するには、新しい RMA オーダーを送信する必要があります。

次のタスク
RMA オーダー内の残りの RMA オーダー明細行の RMA プロセスを完了します。すべての RMA オーダー明細行が [完了] ステージに達すると、RMA オーダーはクローズされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オフサイトでの交換または修理を通じて、欠陥のあるエンタープライズ資産の **RMA** プロセスを完了します

資産ベンダーと協力して、オフサイトでの交換または修理に必要なすべてのタスクを実行し、欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了できるようにします。この一連のタスクは、オフサイトでの交換または修理が必要な欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに個別に実行する必要があります。

始める前に

不良品のエンタープライズ資産の RMA プロセスをオフサイトで続行する前に、関連する RMA オーダー明細行の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「RMA オーダー明細行の準備タスクを完了する」を参照してください。

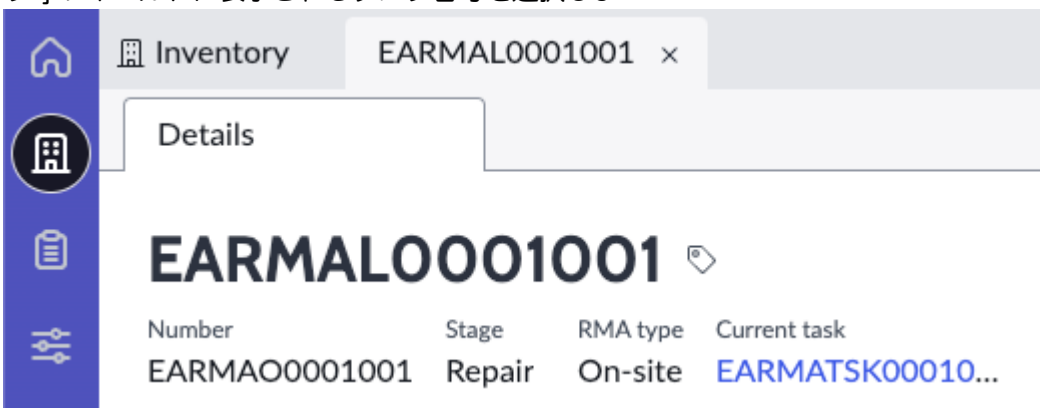
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、在庫ビューを開きます。
2. [**RMA** オーダー] タブを選択します。
3. 利用可能な RMA オーダーのリストから、クローズする RMA オーダーを選択します。
   RMA オーダーレコードが開きます。
4. RMA オーダーレコードの [**RMA** オーダー明細] タブで、交換または修理するエンタープライズ資産の RMA オーダー明細を選択します。
   RMA オーダー明細レコードが開きます。
5. RMA オーダー明細の出荷タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、欠陥のあるエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する必要があります。

   a. RMA オーダー明細レコードの [**RMA** 明細タスク] タブで、 出荷 タスクのタスク番号を選択します。

   または、RMA オーダー明細レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   出荷タスクが開きます。

   b. 出荷タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
出荷	
配送業者	欠陥のあるエンタープライズ資産を出荷した配送業者。
出荷日	欠陥のあるエンタープライズ資産を出荷した日付。
トラッキング番号	出荷のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

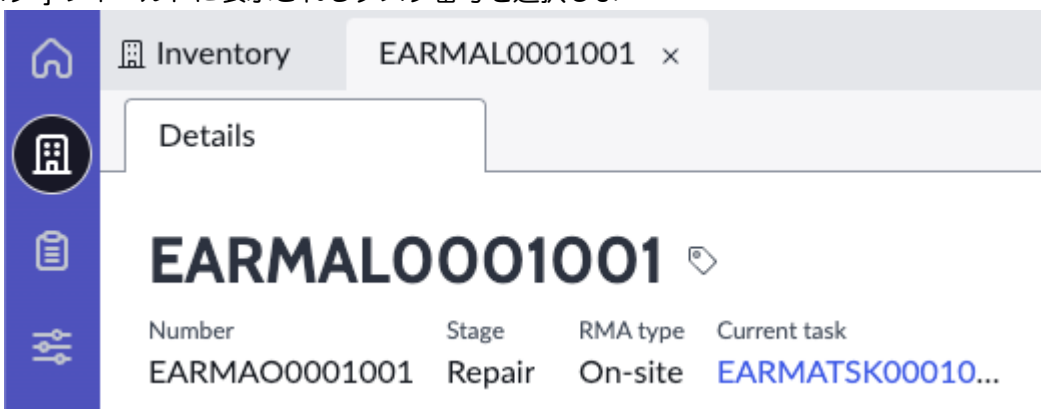
c. [タスクのクローズ] を選択します。

出荷タスクは自動的にクローズされ、ステータスが [完了してクローズ] に更新されます。

6. RMA オーダー明細のベンダー RMA 意思決定タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーは欠陥のあるエンタープライズ資産を修理するか、欠陥のあるエンタープライズ資産を新しい資産と交換するか、RMA を拒否する必要があります。

a. RMA オーダー明細レコードの [**RMA** 明細タスク] タブで、 ベンダー **RMA** 決定 タスクのタスク番号を選択します。

または、RMA オーダー明細レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[ベンダー RMA 決定タスク] が開きます。

b. ベンダー RMA 意思決定タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
RMA の決定	資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産に対して実行したアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 ▪ 修理:資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を正常に修理したことを示すオプション。 ▪ 置換:資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新しい機能している資産と交換することを示すオプション。 ▪ 却下:資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA を却下したことを示すオプション。 このオプションを選択すると、[却下理由**(Reject reason**)] フィールドが **[RMA** 決定**(RMA decision**)] フィールドの下に表示されます。[却下理由] フィールドで、資産ベンダーが RMA を却下した理由を指定します。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [タスクのクローズ] を選択します。

ベンダー RMA の決定タスクは、[完了してクローズ] という更新されたステータスで自動的にクローズされます。

7. RMA オーダー明細行の [受領] タスクを完了してクローズします。

このタスクを正常に完了してクローズするには、新規、修理済み、または却下されたエンタープライズ資産を資産ベンダーから受領する必要があります。

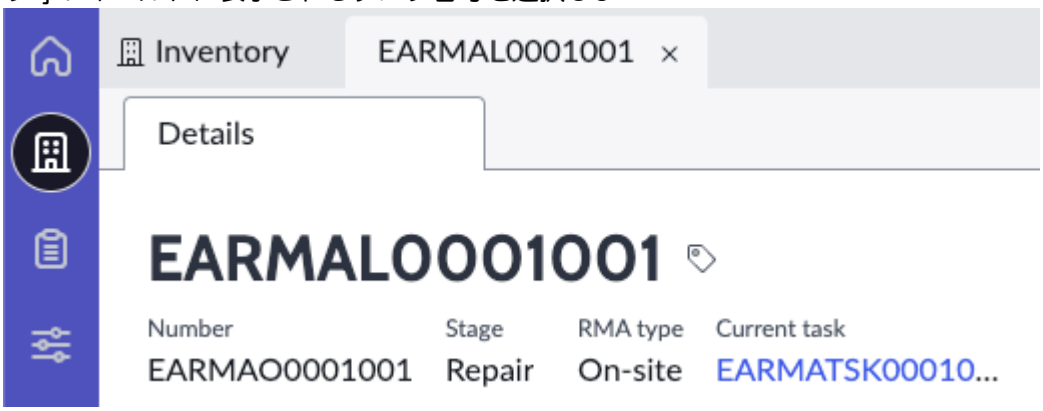
欠陥のあるエンタープライズ資産の代替として新しいエンタープライズ資産を受け取る場合は、新しいエンタープライズ資産の資産レコードも作成する必要があります。詳細な手順については、「エンタープライズ資産の作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
新しいエンタープライズ資産の資産レコードを作成するときは、 状態 フィールドを 在庫あり に設定する必要があります。また、[取得方法] フィールドが **[RMA** 交換] に設定されていることも確認する必要があります。

a. RMA オーダー明細レコードの [**RMA** 明細タスク] タブで、 受領 タスクのタスク番号を選択します。

または、RMA オーダー明細レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



受領タスクが開きます。

b. 受領タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
受領	
資産受領済み	新規、修理済み、または却下されたエンタープライズ資産を資産ベンダーから受領したかどうかを示すオプション。 受領タスクを完了してクローズするには、このフィールドを はい に設定する必要があります。
交換用資産倉庫	新しいエンタープライズ資産が配置されているストックルーム。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注: このフィールドは、資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新しい資産と交換した場合にのみ表示されます。	
交換用資産 注: このフィールドは、資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新しい資産と交換した場合にのみ表示されます。	欠陥のあるエンタープライズ資産を置き換えた新しいエンタープライズ資産。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [タスクのクローズ] を選択します。

受領タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスが [完了してクローズ] になります。

タスクの結果
RMA オーダー明細行が [完了] ステージに移動します。

資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新しいものと正常に交換した場合、RMA オーダー明細の [詳細] タブは、資産の名前、モデル、ストックルームなど、新しいエンタープライズ資産に関する情報で自動的に更新されます。さらに、 エンタープライズ資産管理 欠陥のあるエンタープライズ資産が自動的に廃止され、対応する資産レコードの [状態] フィールドと [サブステート] フィールドが [廃止] および [ベンダークレジット] に変更されます。

資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を正常に修理した場合、対応する資産レコードで [状態] フィールドと [サブステート] フィールドが [在庫あり] と [利用可能] に変わります。

資産ベンダーが RMA を却下した場合、欠陥のあるエンタープライズ資産は [在庫あり] ステータスと [修理待ち] サブステートのままになります。資産に対して追加のアクションを実行するには、新しい RMA オーダーを送信する必要があります。

次のタスク
RMA オーダー内の残りの RMA オーダー明細行の RMA プロセスを完了します。すべての RMA オーダー明細行が [完了] ステージに達すると、RMA オーダーはクローズされます。

リコールされたエンタープライズ資産の管理

取り消しオーダーを使用して、資産ベンダーによってリコールされたエンタープライズ資産を追跡し、アクションを実行できます。リコールされたエンタープライズ資産を置換、修理、または廃止することを選択できます。または、取り消されたエンタープライズ資産の運用方法に関する追加の指示をユーザーに提供することもできます。

取り消しフロー

取り消しオーダーを送信すると、 エンタープライズ資産管理 注文に含めた各エンタープライズ資産のエンタープライズ取り消し済み資産レコードが自動的に生成されます。これらのレコードを使用して、各エンタープライズ資産の取り消しプロセスを追跡および管理できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

各取り消しオーダー内で、対応する取り消し通知で資産ベンダーが推奨する修復オプションに基づいて、特定のエンタープライズ資産の取り消しプロセスを続行する方法を指定する必要があります。以下を選択できます

- エンタープライズ資産をオンサイトまたはオフサイトで修理し
- エンタープライズ資産を新しい資産に置き換えて
- エンタープライズ資産を廃止し
- または、エンタープライズ資産の操作方法に関する追加の指示を提供します。

選択したオプションに基づいて、後続のすべてのタスクを完了して資産を修復し、対応するエンタープライズ取り消し済み資産レコードを [完了] ステージに移行する必要があります。取り消しオーダー内のすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーは完了としてマークされます。

エンタープライズ資産の取り消しオーダーを送信する

リコールオーダーを送信して、資産ベンダーによってリコールされたエンタープライズ資産の交換、修理、または廃止を開始します。また、取り消されたエンタープライズ資産の運用方法に関する追加の指示をユーザーに提供することもできます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

注:
単一の取り消しオーダーに複数のエンタープライズ資産を含めることができます。ただし、すべてのエンタープライズ資産を同じモデルに関連付ける必要があります。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、在庫ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブで、新規 を選択します。
3. [新規エンタープライズ取り消しオーダーの作成 (Create New Enterprise Recall Order)] フォームで、フィールドに入力します。

新規エンタープライズ取り消しオーダーの作成フォーム

フィールド	説明
リコールソース	エンタープライズ資産の取り消しのソース。
修復	対応する取り消し通知で資産ベンダーが推奨する修復オプションに基づいて、取り消されたエンタープライズ資産に対して実行するアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ 修理:取り消されたエンタープライズ資産を修復するオプション。 ○ 置換:取り消されたエンタープライズ資産を新しい資産に置き換えるオプション。 ○ 廃止:取り消されたエンタープライズ資産を廃止するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 表記:リコールされたエンタープライズ資産の操作方法に関する追加の指示をユーザーに提供するオプション。 このオプションを選択すると、 取り消し修復手順 フィールドが シリアル番号 フィールドの下に表示されます。[取り消し修復手順 **(Recall remediation instruction**)] フィールドに、追加の指示を入力します。
モデル	取り消されたエンタープライズ資産が関連付けられているモデル。
シリアル番号	取り消された各エンタープライズ資産を識別するシリアル番号。このフィールドはオプションです。 この取り消しオーダーに複数のエンタープライズ資産を含めるには、次のいずれかのオプションを使用して、関連するすべてのシリアル番号を入力します。 ○ シリアル番号範囲 (SN001-SN010 など) ○ 個々のシリアル番号のカンマ区切りリスト (SN020、SN038、SN054 など) ○ SN001-SN010、SN202、SN038、SN100-SN110 など、シリアル番号範囲と個々のシリアル番号の両方のカンマ区切りリスト シリアル番号を入力しない場合、[モデル] フィールドで指定されたモデルに関連付けられているすべてのエンタープライズ資産がこの取り消しオーダーに含まれます。 **注:** リコールオーダにシリアル番号を指定する場合、同じオーダに車両識別番号 (VIN) を指定することはできません。
ロケーション	リコールされたエンタープライズ資産が存在する場所。
リコール通知番号	資産ベンダーから送信された取り消し通知の識別番号。
修正者	[修復] フィールドで選択したアクションを完了させる必要がある日付。
VIN	リコールされた各企業資産を識別する車両識別番号 (VIN)。このフィールドはオプションであり、乗用車や原付などの自動車エンタープライズ資産にのみ適用されます。 この取り消しオーダーに複数の自動車関連エンタープライズ資産を含めるには、次のいずれかのオプションを使用して関連するすべての VIN を入力します。 ○ VIN範囲(3VWSB81H8WM210368-3VWSB81H8WM210370など) ○ 個々の VIN のカンマ区切りリスト (1B7HF13ZX1J572139 など) JH4KA8150MC012098 ○ 4JGAB54E81A277648-4JGAB54E81A277650、1GNDX03E03D188446、KM8SC73E94U774838 など、VIN範囲と個々のVINの両方のカンマ区切りリスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	VIN を入力しない場合、[モデル] フィールドで指定されたモデルに関連付けられているすべてのエンタープライズ資産がこの取り消しオーダーに含まれます。 **注:** 取り消しオーダに VIN を指定する場合、同じオーダにシリアル番号を指定することはできません。
子場所を含む	[場所] フィールドで指定した場所の子場所を含めるオプション。
追加情報	取り消しオーダーに関する追加情報。

4. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
取り消しプロセスの開始 を選択して、指定したエンタープライズ資産の適切な取り消しプロセスを続行します。

エンタープライズ資産の取り消しオーダーの完了

資産ベンダーによってリコールされたエンタープライズ資産のリコールオーダーを送信した後、注文を完了するためにさまざまなタスクを実行する必要があります。

取り消されたエンタープライズ資産ごとに必要なタスクセットを個別に完了することも、同じタスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサインされたユーザーを共有するすべての取り消されたエンタープライズ資産に対して必要なタスクセットを一括更新して完了することもできます。取り消しされたエンタープライズ資産に必要なすべてのタスクを完了すると、対応するエンタープライズ取り消し済み資産レコードが 完了 ステージに移行します。取り消しオーダー内のすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーは完了です。

取り消しされたエンタープライズ資産の準備タスクを完了する

リコールされたエンタープライズ資産の準備タスクを完了して、特定のエンタープライズ資産の交換、修理、または廃止を続行できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

このタスクについて

重要:
準備タスクは、[修復] フィールドが [修理]、[置換]、または [廃止] に設定されている取り消しオーダーにのみ適用されます。[修正] フィールドが [表記] に設定されている場合は、代わりに表記タスクに直接進むことができます。記譜タスクの詳細については、「」を参照してください 取り消し済みエンタープライズ資産の表記タスクを完了する 。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、在庫ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。

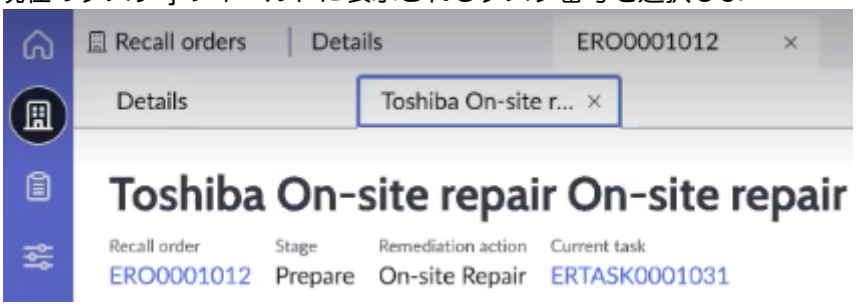
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

取り消しオーダーレコードが開きます。

4. 取り消しオーダーレコードの **[Enterprise** 取り消し済み資産] タブで、交換、修理、または廃止する Enterprise 資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、[準備] タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   [準備] タスクが開きます。
6. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
取り消しタスクの詳細	
倉庫	取り消された Enterprise 資産のストックルーム。 **注:** このフィールドは、次の条件でのみ編集できます。 ○ 関連する取り消しオーダーの [修復] フィールドが [修理] に設定されます。さらに、この準備タスクの [修復アクション] フィールドは [オフサイト修理] に設定されています。 ○ 関連する取り消しオーダーの [修復] フィールドが [廃止] に設定されている。 **重要:** 取り消されたエンタープライズ資産がストックルームにまだ移動されていない場合は、資産の廃止またはオフサイト修理に進む前に、利用可能なストックルームに移動する必要があります。
修復アクション	エンタープライズ資産の取り消しプロセスを続行する方法を示すオプション。 **注:** このフィールドは、関連する取り消しオーダーの [修復] フィールドが [修理] に設定されている場合にのみ編集可能です。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	このタスクを完了する予定の日時。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

7. [準備] タスクを閉じます。

   指定したエンタープライズ資産のみの準備タスクをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の準備タスクを一括更新してクローズすることができます。

   指定したエンタープライズ資産のみの準備タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

   複数のエンタープライズ資産の 準備 タスクを一括更新して閉じる場合は、 さらに資産を含めるを選択します。[一括更新用の資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、[準備] タスクを閉じます。[タスクのクローズ] を選択してダイアログ ボックスを閉じ、[タスクの準備] に戻ります。

   重要:
   準備タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、および担当者ユーザーが同じであるエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

タスクの結果
[準備] タスクは、[完了してクローズ] の更新されたステータスで自動的に再ロードされます。

オンサイト修理を続行している場合、ステータスが [使用中] のエンタープライズ資産は [メンテナンス中] の状態で更新されます。さらに、ステータスが [在庫あり] のエンタープライズ資産は、サブステートが [修理待ち] に更新されます。

オフサイト修理を続行している場合、ステータスが [使用中] または [メンテナンス中] のいずれかのエンタープライズ資産は、ステータスが [在庫あり] に、サブステートが [修理待ち] に更新されます。

資産の置換を続行している場合、ステータスが [使用中] のエンタープライズ資産は [メンテナンス中] ステータスに更新されます。さらに、ステータスが [在庫あり] のエンタープライズ資産は、サブステートが [修理待ち] に更新されます。

資産の廃止を続行している場合、エンタープライズ資産は [在庫あり] ステータス、サブステートが [保留中の廃棄] に更新されます。

次のタスク
後続のすべての交換、修理、または廃止タスクを完了します。

取り消し済みエンタープライズ資産の表記タスクを完了する

リコールされたエンタープライズ資産の表記タスクを完了して、資産の操作方法に関する追加の指示をユーザーに提供できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

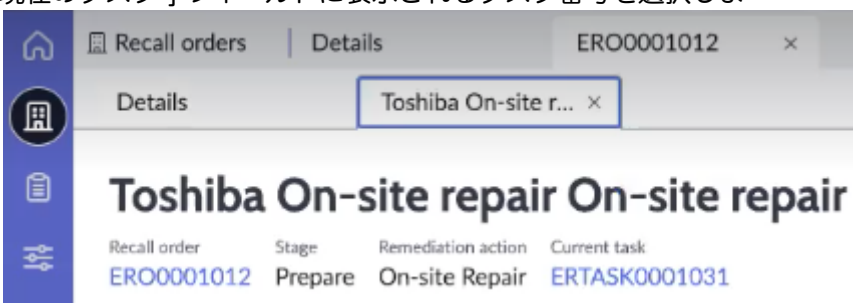
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、在庫ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの **[Enterprise** 取り消し済み資産] タブで、追加の操作手順を提供する Enterprise 資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [**Enterprise** 取り消しタスク] タブで、 表記 タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   「表記」タスクが開きます。
6. 表記タスクを閉じます。

   指定したエンタープライズ資産のみの表記タスクをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の表記タスクを一括更新してクローズすることができます。

   指定した企業資産のみの表記タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

   複数のエンタープライズ資産の表記タスクを一括更新して閉じる場合は、 資産をさらに含める を選択します。[Select assets for bulk update] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、表記タスクを閉じます。[タスクのクローズ] を選択してダイアログ ボックスを閉じ、表記タスクに戻ります。

> **重要:**
> 表記タスクを一括更新できるのは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じエンタープライズ資産についてのみです。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移行します。

次のタスク
取り消しオーダーに含まれている残りのすべてのエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変わります。

オンサイト修理を通じてエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了する

オンサイト修理に必要なすべてのタスクを実行して、資産ベンダーによってリコールされたエンタープライズ資産のリコールプロセスを完了できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
リコールされたエンタープライズ資産をオンサイトで修理する前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消しされたエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

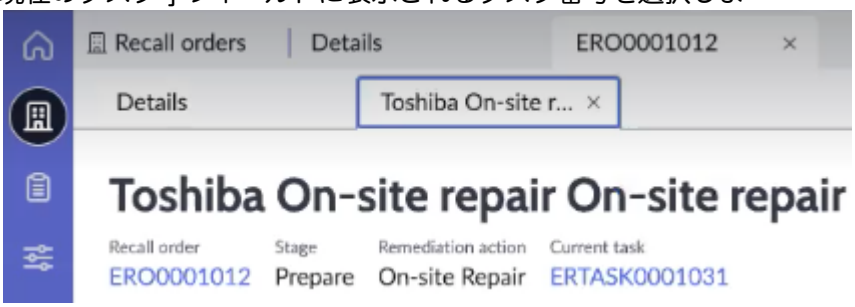
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、在庫ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの **[Enterprise** 取り消し済み資産] タブで、修理する Enterprise 資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. 取り消されたエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、リコールされたエンタープライズ資産をオンサイトで修復する必要があります。

   a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、オンサイト修理 タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   オンサイト修理タスクが開きます。

   b. オンサイト修理タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
取り消しタスクの詳細	
修復アクション	エンタープライズ資産の取り消しプロセスを続行する方法を示すオプション。このフィールドは自動的に [オンサイト修理] に設定されます。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	オンサイト修理を行う予定の日時。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. オンサイト修理タスクを閉じます。

指定したエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクのみをクローズするか、複数のエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクのみをクローズする場合は、[タスクのクローズ] を選択します。

複数のエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクを一括更新して閉じる場合は、[資産をさらに含める] を選択します。[一括更新する資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにしてオンサイト修理タスクをクローズします。[**Close Task**] を選択してダイアログボックスを閉じ、オンサイト修理タスクに戻ります。

> **重要:**
> オンサイト修理タスクを一括更新できるのは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、および担当者ユーザーが同じエンタープライズ資産に対してのみです。

オンサイト修理タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的に再ロードされます。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移行します。さらに、対応する資産レコードで [状態] フィールドと [サブステート] フィールドが [在庫あり] と [利用可能] に変わります。

次のタスク
取り消しオーダーに含まれている残りのすべてのエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変わります。

オフサイト修理によるエンタープライズ資産のリコールプロセスを完了する

資産ベンダーと協力してオフサイト修理に必要なすべてのタスクを実行し、ベンダーによってリコールされたエンタープライズ資産のリコールプロセスを完了できるようにします。

始める前に
リコールされたエンタープライズ資産をオフサイトで修理する前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消しされたエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、在庫ビューを開きます。

2. 取り消しオーダー タブを選択します。

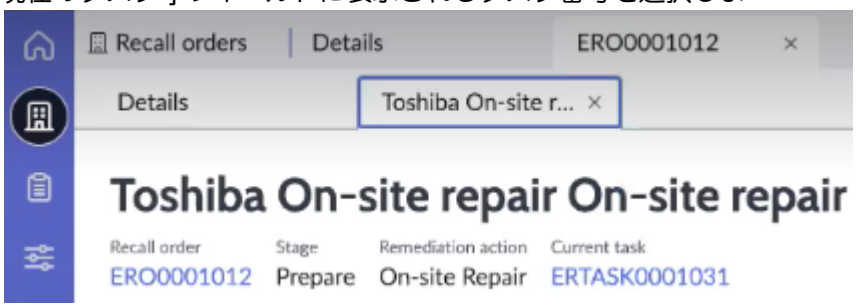
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの **[Enterprise** 取り消し済み資産] タブで、修理する Enterprise 資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. 取り消されたエンタープライズ資産の出荷タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、取り消されたエンタープライズ資産を資産ベンダーに出荷する必要があります。

   a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [**Enterprise** 取り消しタスク] タブで、 出荷 タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   出荷タスクが開きます。

   b. 出荷タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

   [詳細] タブ

フィールド	説明
取り消しタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	取り消しされたエンタープライズ資産を資産ベンダーに出荷する予定の日時。
出荷	
配送業者	取り消されたエンタープライズ資産の出荷に経由した配送業者。
出荷日	取り消されたエンタープライズ資産を出荷した日付。
追跡番号	出荷のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

   c. 出荷タスクを閉じます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

指定したエンタープライズ資産のみの出荷タスクをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の出荷タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみの出荷タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

複数のエンタープライズ資産の出荷タスクを一括更新して閉じる場合は、 さらに資産を含めるを選択します。[一括更新する資産を選択] ダイアログ ボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェック ボックスをオンにし、出荷タスクを閉じます。[**Close Task**] を選択してダイアログボックスを閉じ、[Off-site Repair] タスクに戻ります。

> **重要:**
> 出荷タスクを一括更新できるのは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、および担当者ユーザーが同じエンタープライズ資産に対してのみです。

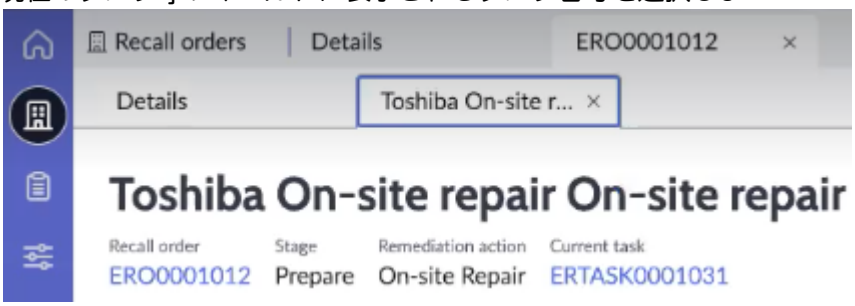
出荷タスクは、[完了してクローズ] に更新されたステータスで自動的に再ロードされます。

d. 出荷タスクをクローズして、エンタープライズ取り消し済み資産レコードに戻ります。

6. 取り消されたエンタープライズ資産のオフサイト修理タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーは取り消されたエンタープライズ資産を修復する必要があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [**Enterprise** 取り消しタスク] タブで、 オフサイト修理 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



オフサイト修理タスクが開きます。

b. オフサイト修理タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
取り消しタスクの詳細	
修復アクション	エンタープライズ資産の取り消しプロセスを続行する方法を示すオプション。このフィールドは自動的に [オフサイト修理] に設定されます。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
予定日	資産ベンダーがオフサイト修理を行う予定の日時。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. オフサイト修理タスクをクローズします。

指定したエンタープライズ資産のオフサイト修理タスクのみをクローズするか、複数のエンタープライズ資産のオフサイト修理タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみのオフサイト修理タスクをクローズする場合は、[タスクのクローズ] を選択します。

複数のエンタープライズ資産のオフサイト修理タスクを一括更新して閉じる場合は、[資産をさらに含める] を選択します。[一括更新する資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにし、オフサイト修理タスクをクローズします。[**Close Task**] を選択してダイアログボックスを閉じ、[Off-site Repair] タスクに戻ります。

> **重要:**
> オフサイト修理タスクを一括更新できるのは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、および担当者ユーザーが同じエンタープライズ資産に対してのみです。

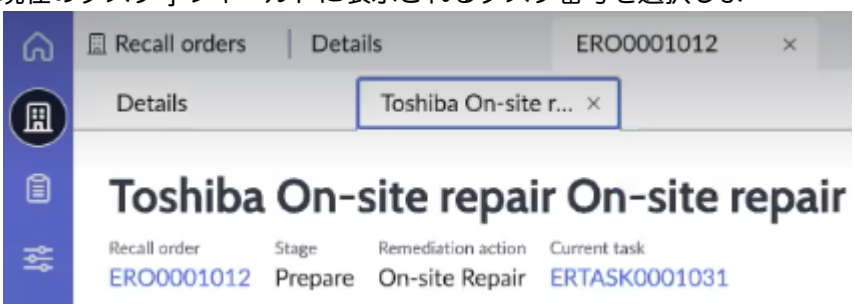
オフサイト修理タスクは、[完了してクローズ] の更新されたステータスで自動的に再ロードされます。

d. オフサイト修理タスクをクローズして、企業の取り消し済み資産レコードに戻ります。

7. 取り消されたエンタープライズ資産の受領タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーから修理されたエンタープライズ資産を受け取る必要があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [**Enterprise** 取り消しタスク] タブで、 受領 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



受領タスクが開きます。

b. 受領タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[詳細] タブ

フィールド	説明
取り消しタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	修理されたエンタープライズ資産を受け取る予定の日時。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. 受信タスクを閉じます。

指定したエンタープライズ資産のみの受領タスクをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の受領タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定した企業資産のみの受領タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

複数のエンタープライズ資産の 受領 タスクを一括更新して閉じる場合は、 さらに資産を含めるを選択します。一括更新する資産を選択 ダイアログ ボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェック ボックスをオンにし、受領タスクを閉じます。[タスクのクローズ] を選択してダイアログ ボックスを閉じ、受信タスクに戻ります。

> **重要:**
> 受領タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、および担当者ユーザーが同じであるエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

受領タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的に再ロードされます。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移行します。さらに、対応する資産レコードで [状態] フィールドと [サブステート] フィールドが [在庫あり] と [利用可能] に変わります。

次のタスク
取り消しオーダーに含まれている残りのすべてのエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変わります。

資産交換によるエンタープライズ資産の取り消しプロセスの完了

資産ベンダーと協力して資産交換に必要なすべてのタスクを実行し、ベンダーによってリコールされたエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了できるようにします。

始める前に
取り消されたエンタープライズ資産の交換に進む前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消しされたエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

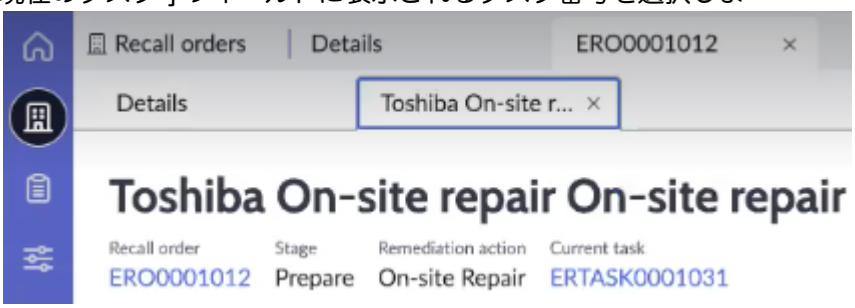
手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、在庫ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの **[Enterprise** 取り消し済み資産] タブで、置き換える Enterprise 資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. 取り消されたエンタープライズ資産の [新規受領] タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーから新しいエンタープライズ資産を受領する必要があります。さらに、新しいエンタープライズ資産の資産レコードを作成する必要があります。詳細な手順については、「エンタープライズ資産の作成」を参照してください。

   注:
   新しいエンタープライズ資産の資産レコードを作成するときは、 状態 フィールドを 在庫あり に設定する必要があります。また、[取得方法] フィールドが [リコール交換] に設定されていることも確認する必要があります。

   a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [**Enterprise** 取り消しタスク] タブで、[新規受領] タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   [新規受信] タスクが開きます。

   b. 新規受信タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
取り消しタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	新しいエンタープライズ資産を受け取る予定の日時。
交換用資産	
交換用資産	取り消されたエンタープライズ資産を置き換える新しいエンタープライズ資産。
メモ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

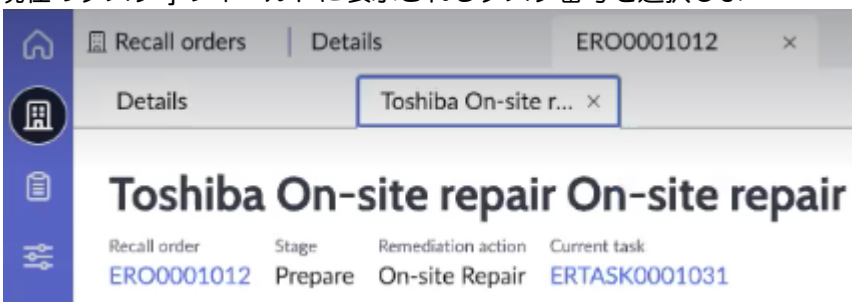
c. [タスクのクローズ] を選択します。
[Receive New] タスクが、[Closed Complete] に更新されたステータスで自動的に再ロードされます。

d. [新規受領] タスクをクローズして、エンタープライズ取り消し済み資産レコードに戻ります。

6. 取り消されたエンタープライズ資産の置換タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、取り消されたエンタープライズ資産を新しい資産に置き換える必要があります。

a. Enterprise 取り消し済み資産レコードの [**Enterprise** 取り消しタスク] タブで、 置換 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[置換] タスクが開きます。

b. 置換タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
取り消しタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	取り消されたエンタープライズ資産を新しい資産に置き換える予定の日時。
交換用資産	
交換用資産	取り消されたエンタープライズ資産を置き換えた新しい資産。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [置換] タスクを閉じます。

指定したエンタープライズ資産の置換タスクのみをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の置換タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみの置換タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

複数のエンタープライズ資産の置換タスクを一括更新して閉じる場合は、 資産をさらに含める を選択します。[一括更新する資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにし、置換タスクを閉じます。[タスクのクローズ] を選択してダイアログ ボックスを閉じ、[置換タスク] に戻ります。

> **重要:**
> 置換タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、および担当者ユーザーが同じであるエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

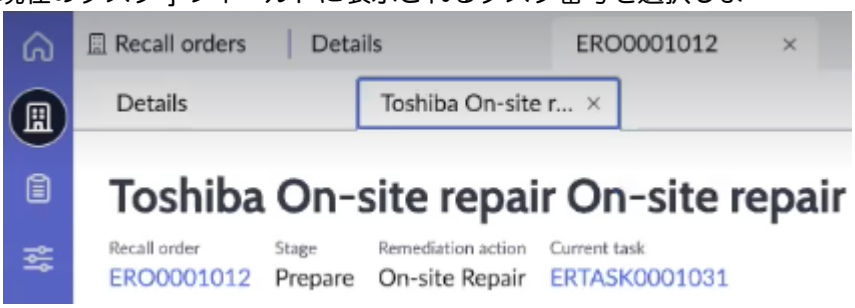
[Replace (置換)] タスクは、[Closed Complete (完了してクローズ)] の更新されたステータスで自動的に再ロードされます。

d. [Replace (置換)] タスクをクローズして、Enterprise 取り消し済み資産レコードに戻ります。

7. 取り消されたエンタープライズ資産の [古い出荷] タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、取り消されたエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する必要があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [**Enterprise** 取り消しタスク] タブで、[古い出荷] タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[古い出荷] タスクが開きます。

b. [古い出荷] タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
取り消しタスクの詳細	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	取り消されたエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する予定の日時。
出荷	
配送業者	取り消されたエンタープライズ資産の出荷に経由した配送業者。
出荷日	取り消されたエンタープライズ資産を出荷した日付。
追跡番号	出荷のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [Ship Old (古い発送)] タスクをクローズします。

指定したエンタープライズ資産のみの旧出荷タスクをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の旧出荷タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみの「古い出荷」タスクをクローズする場合は、「 タスクのクローズ」を選択します。

複数のエンタープライズ資産の [古い出荷] タスクを一括更新して閉じる場合は、 [さらに資産を含める] を選択します。[一括更新する資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにし、[古い出荷] タスクをクローズします。「 タスクのクローズ 」を選択してダイアログ・ボックスを閉じ、「古い出荷」タスクに戻ります。

重要:
「古い出荷」タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、および担当者ユーザーが同じエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

「古い出荷」タスクは、「完了してクローズ」に更新されたステータスで自動的に再ロードされます。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移行します。エンタープライズ資産管理その後、アプリケーションは取り消しされたエンタープライズ資産を自動的に廃止し、対応する資産レコードの [状態] フィールドと [サブステート] フィールドが [廃止] と [ベンダークレジット] に変更されるようにトリガーします。

次のタスク
取り消しオーダーに含まれている残りのすべてのエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変わります。

資産の廃止によるエンタープライズ資産の取り消しプロセスの完了

資産ベンダーによってリコールされたエンタープライズ資産のリコールプロセスを完了できるように、資産の廃止に必要なすべてのタスクを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
取り消されたエンタープライズ資産の廃止に進む前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消しされたエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

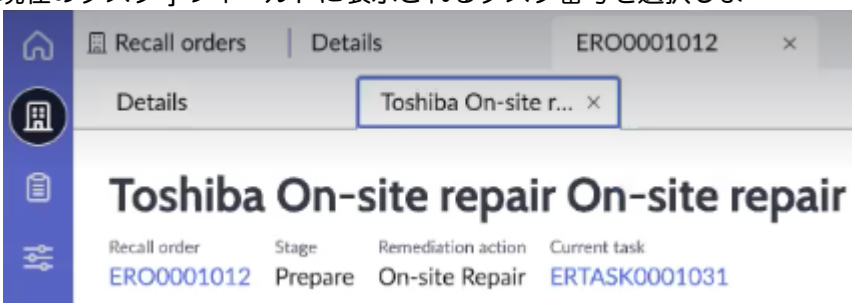
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、在庫ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消しオーダーを選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの **[Enterprise** 取り消し済み資産] タブで、廃止する Enterprise 資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. 取り消されたエンタープライズ資産の廃止タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、リコールされたエンタープライズ資産を廃止して利用可能なストックルームに移動する必要があります。

   a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、廃止 タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   [廃止] タスクが開きます。

   b. 廃止タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
取り消しタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	エンタープライズ資産の廃止予定の日時。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [廃止] タスクをクローズします。

指定したエンタープライズ資産のみの廃止タスクをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の廃止タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみの廃止タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

複数の Enterprise 資産の 廃止 タスクを一括更新して閉じる場合は、 さらに資産を含める を選択します。[一括更新する資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにし、[廃止] タスクを閉じます。[タスクのクローズ] を選択してダイアログ ボックスを閉じ、[廃止] タスクに戻ります。

> **重要:**
> 廃止タスクを一括更新できるのは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じエンタープライズ資産についてのみです。

[廃止] タスクは、[完了してクローズ] の更新されたステータスで自動的に再ロードされます。

タスクの結果

エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移行します。さらに、対応する資産レコードの [状態] フィールドと [サブステート] フィールドが [廃止] と [廃棄待ち] に変更されます。

次のタスク

廃棄注文を使用して取り消されたエンタープライズ資産を廃棄することにより、資産の廃止を完了します。詳細な手順については、「Enterprise 資産ワークスペースでの廃棄注文の作成」を参照してください。

リコールされたエンタープライズ資産を正常に廃棄した後、リコール注文に含まれる残りのすべてのエンタープライズ資産のリコールプロセスを完了できます。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変わります。

エンタープライズ資産再利用要求のクローズ

資産再利用要求をクローズして、従業員が組織を離れたり別のロールに異動したりした場合にエンタープライズ資産を効率的に再利用します。

始める前に

再利用された資産ごとに、Enterprise 資産再利用ラインが作成されます。Enterprise 資産再利用ラインをクローズするには、Enterprise 資産再利用ラインのすべてのタスクをクローズする必要があります。すべての Enterprise 資産再利用ラインがクローズされると、資産再利用要求はクローズされます。

必要なロール:sn_eam.enterptrise_asset_manager または sn_eam.enterptrise_asset_technician

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > **Inventory** > 再利用要求.
2. [資産再利用要求] ページで、実行する要求を開き、[Enterprise 資産再利用ライン] 関連リストを選択します。

   資産再利用要求の送信時にユーザーが選択した再利用方法に基づいて、Enterprise 資産再利用ラインに [納品のスケジュール]、[集荷のスケジュール]、または [出荷のスケジュール] タスクが作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. Enterprise 資産再利用ラインに存在する [納品のスケジュール]、[集荷のスケジュール]、または [出荷のスケジュール] タスクを開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

フィールド名	説明
番号	タスクにアサインされた番号。
タスク名 (Task Name)	タスクの名前。
資産	資産番号と資産の簡単な説明。
ステータス	タスクの現在のステータス。
返品倉庫	再利用資産が保存される場所。
アサイン先グループ	出荷スケジュールタスクがアサインされているグループ。
アサイン先	「出荷スケジュール」タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
受領済み数量	受領した消耗品の数
簡単な説明	タスクの簡単な説明
説明	タスクの詳細な説明。
配送業者	資産をストックルームに出荷する配送業者ベンダーの名前。このフィールドは必須です。
トラッキング番号	配送業者ベンダーから指定された出荷参照番号。このフィールドは必須です。
出荷日	資産が出荷された日付。このフィールドは必須です。
作業メモ	メンションする追加情報。

5. [タスクのクローズ] を選択します。
   [Enterprise Asset Reclamation Line] フォームの [ステージ] フィールドが [準備完了] から [受領待ち] に変わります。
   Enterprise 資産再利用ラインに資産の受領タスクが作成されます。
6. [資産の受領] タスクを開きます。
7. 資産の受領タスクフォームのフィールドに入力します。

資産受領タスクフォーム

フィールド名	説明
番号	タスクにアサインされた番号。
タスク名	タスクの名前。
資産	資産番号と資産の簡単な説明。
ステータス	タスクの現在のステータス。
返品倉庫	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド名	説明
アサイン先グループ	資産の受領タスクが割り当てられているグループ。
受領済み数量	受領した消耗品の数このフィールドは、ハードウェア資産再利用ラインが消耗品に対して作成された場合にのみ表示され、必須フィールドです。
アサイン先	資産の受領タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
簡単な説明	タスクの簡単な説明
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	メンションする追加情報。

8. [タスクのクローズ] を選択します。

   [Enterprise Asset Reclamation Line] フォームの [ステージ] フィールドが、[受領待ち] から [評価待ち] に変わります。

   資産を受領した後、資産フォームで次の変更が行われます。

   - 資産レコードの [担当者] フィールドが空になります。
   - 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、[サブステート] が [修理待ち] に変わります。

9. [資産を評価] タスクを開きます。
10. 資産評価タスクフォームのフィールドに入力します。

    資産タスクフォームの評価

フィールド名	説明
アサイン先グループ	資産評価タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	資産評価タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
評価ステータス	再利用資産のステータス。これは必須のドロップダウンリストで、値は次のとおりです。 ○ 再展開可能 ○ 修理が必要 ○ 廃棄対象
作業メモ	メンションする追加情報。

11. [タスクのクローズ] を選択します。
    [評価ステータス] ドロップダウンリストから選択した内容に基づいて、資産の [ステータス] と [サブステート] が次のように変更されます。

評価ステータス値	資産ステータス	資産サブステート
再展開可能	在庫あり	利用可能

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

評価ステータス値	資産ステータス	資産サブステート
修理が必要	在庫あり	修理待ち
廃棄対象	在庫あり	保留中の廃棄

[Enterprise Asset Reclamation Line] フォームの [ステージ] フィールドが [評価待ち] から [完了] に変わります。

注:
すべてのエンタープライズ資産再利用ラインのステージが [完了してクローズ] に変更されると、資産再利用要求のステータスも [完了] に変更されます。

エンタープライズ資産の作成と管理

ライフサイクル全体を通じてエンタープライズ資産を作成および管理します。

エンタープライズ資産を管理するために、次の資産とプロセスを作成します。

- エンタープライズ資産の作成
- リニア資産を作成
- リニア資産のセグメントの作成
- 個別資産をリニア資産に関連付ける
- リニア資産リレーションシップの検索
- パレットを作成する
- 資産をスワップ
- ユーザー組立資産の資産を選択
- 資産をリリース
- 追加の子資産を作成
- 消耗資産の使用と廃棄
- 資産オンボーディングプロセスの作成
- インドアマップを使用した資産の追跡
- 資産階層の表示

エンタープライズ資産の作成

Enterprise Asset Management アプリケーションで特定のモデルカテゴリの資産を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
Enterprise 資産クラスには、製品モデルクラスおよびモデルカテゴリに対する 1 対 1 のマッピングがあります。エンタープライズ資産クラスは、該当する場合、既存の CI クラスにマッピングされます。

資産には、消耗資産とシリアル番号付資産の 2 種類があります。消耗資産には、資産管理番号またはシリアル番号がありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
このトピックでは、エンタープライズ、建設、施設、産業、医療、小売、戦術機器、輸送、およびウェアラブル資産を作成する方法について詳しく説明します。パレット資産の作成方法の詳細については、「」を参照してください でのパレット資産の作成 Enterprise Asset ワークスペース。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧.
2. [すべてのエンタープライズ] タブを選択してすべての Enterprise Asset Management モデルから選択するか、施設資産、産業用資産、医療資産、小売資産、輸送資産などの特定の資産タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
タイプ	作成する資産のタイプ。次のオプションから選択します。 ○ エンタープライズ資産 ○ 構成資産 ○ 施設資産 ○ 産業用資産 ○ 医療資産 ○ 小売業資産 ○ 輸送資産 ○ 戦術的装置資産 ○ ウェアラブル資産 **注:** このフィールドは、[すべてのエンタープライズ] タブから [新規] を選択した場合にのみ表示されます。
モデルカテゴリ	資産が属するモデルカテゴリ。選択したモデルカテゴリに基づいて資産を構成アイテムにリンクできます。

5. [作成] を選択します。
[新しい資産を作成] ページが表示されます。デフォルトでは、資産は ビルド ステータスです。ステータスは、資産レコードを保存した後にのみ変更できます。
6. [新しい資産を作成] ページで、詳細を入力します。
フィールドの詳細については、「エンタープライズ資産の資産フィールド」を参照してください。
7. **[Save** (保存)] を選択します。
資産は、この資産の構成アイテム (CI) とともに作成されます。新しく作成された資産に対して、子資産が自動的に作成されます。[子資産]、[契約]、[経費明細]、[すべての関連タスク] などの他のタブに詳細を入力することで、資産の追加構成を行うことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[All Related Tasks] タブには、資産に関連付けられた廃棄タスク、再販タスク、取り消しタスク、作業指示タスク、移動タスクなどの関連タスクのリストが表示されます。子資産に関連付けられた取り消しタスクと作業指示タスクも [All Related Tasks] タブに表示されます。

8. 資産の追加構成の実行が完了したら、資産のステータスを [使用中] に変更できます。
資産は、sn_eam.enterprise_admin ロールによってのみ削除できます。

エンタープライズ資産の資産フィールド

アプリケーションのすべての資産フィールドの エンタープライズ資産管理 詳細な説明。

資産の詳細

フィールド	説明
表示名	レコード リストに表示される資産の名前。[資産管理番号] と [モデル] フィールドに基づいて資産が作成された時に自動設定されます。
モデル	資産の特定の製品モデル
モデルカテゴリ	資産のモデルグループ化。選択したモデル カテゴリに基づいて資産を構成アイテムにリンクできます。
親	資産の親資産。親リンクの定義時には、割り当てに関連したフィールドと子資産の状態が読み取り専用となり、親の割り当てと状態フィールドに基づいて自動入力されます。
資産タイプ	マルチコンポーネント資産のタイプ。マルチコンポーネント資産のタイプは次のとおりです。 • 事前に組立 • ユーザー組立 • シンプル • シンプル (アドオンあり) • 事前に組立 (アドオンあり) • ユーザー組立 (アドオンあり)
資産タグ	資産の追跡のために組織が割り当てた英数字の情報。
構成アイテム	この資産が作成されると自動的に作成される CI。このフィールドに表示される名前は、 [シリアル番号] および [モデル] に基づいています。参照アイコンをポイントすると、資産レコードから継承された構成アイテムの詳細が表示されます。
シリアル番号	この資産のシリアル番号。
ステータス	資産の現在の状態。デフォルトでは、新しく作成された資産は ビルド ステータスです。資産と

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の詳細 (続く)

フィールド	説明
	そのコンポーネントを設定したら、モデルのステータスを変更できます。 その他のステータスオプションは次のとおりです。 • 発注済み • 在庫あり • 輸送中 • 使用中 • メンテナンス中 • 廃止 **(Retired)** • 欠損
サブステート	資産の現在のサブステート (「利用可能」 や「予約済み」など)。[サブステート] リストの値は、[ステータス] リストから選択した内容に基づいて変わります。
資産機能	プライマリ、セカンダリ、共有、貸与などの資産が使用される機能。
倉庫 **注:** このフィールドは、[状態] フィールドを [在庫あり] に設定した場合にのみ表示されます。	資産が配置されているストックルーム。
通路 **注:** このフィールドは、[状態] フィールドを [在庫あり] に設定した場合にのみ表示されます。	資産が配置されているストックルーム通路。
予約目的 **注:** このフィールドは、[状態] フィールドを [在庫あり] または [輸送中] に設定した場合にのみ表示されます。	資産が予約されているユーザー。
数量	この資産が表わすアイテム数。以下のポイントが 1 つ以上該当しない限り、資産の数量は常に 1 となります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の詳細 (続く)

フィールド	説明
	• 消耗品であること。消耗品はグループ単位の追跡となるため、数量は無制限です。 • 事前割り当て済みであること。モデル カテゴリーとモデルが定義されていて、[サブステート] が [事前割り当て済み] に設定されている場合、数量は無制限です。
更新対象	資産が更新対象かどうかを示します。[インストール済み] フィールドの日付が過去の日付の場合、このチェックボックスが表示されます。このチェックボックスは、モデルの 耐用年限 (月数) フィールドで指定された数値の 2 か月前に自動的に選択されます。 EAM: 週次スケジュール設定済みジョブ「資産リフレッシュ適格性を計算」が実行されると、更新対象となるすべての資産が計算されます。
ロケーション	資産の現在の物理的な場所。 **注:** 場所を特定の建物、フロア、または場所に設定し、インスタンスでServiceNowシステムパラメーターを *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* に設定すると、アプリケーションによりエンタープライズ資産管理、資産が現在配置されている敷地、建物または構造、フロアなど、最大 3 レベルの対応する場所階層が自動的に入力されます。場所階層は、指定された場所と対応する親の場所との間の階層関係を示します。すべてのフィールドに入力してフォームを保存した後に生成される資産レコードの [場所階層] セクションで、場所階層を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の詳細 (続く)

フィールド	説明
	注: 場所を特定の場所に設定し、インスタンスでServiceNowシステムパラメーターを *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* に設定すると、すべてのフィールドに入力してフォームを保存した後に生成される資産レコードに、資産のリアルタイムの場所を示すインタラクティブマップが含まれます。このマップは、関連付けられた作業指示タスクやストックルームレコードからレコードを開いても、資産レコードに含まれます。 デフォルトでは、マップは表示されません。マップを表示するには、資産レコードのサイドバーにある場所マップアイコン() を選択します。
スペース 注: このフィールドは、[状態] フィールドを [在庫あり] に設定した場合にのみ表示されます。	資産が配置されているストックルームの通路スペース。
アサイン先	このアイテムの使用者または主たる責任者。このフィールドは資産状態が使用中の場合に表示されます。
アサイン済み	資産をユーザーに割り当てた日付。
管理担当者	資産を維持管理している人物。[所有者] フィールドと別の人物にすることも可能です。
インストール日	[担当者] フィールドに記載されている人物に資産が割り当てられた日付。
オーナー	資産の財務的所有権を有している人物。[管理者] フィールドと別の人物にすることも可能です。
保証の有効期限	保証の有効期限が切れる日付。
会社	この資産が属する会社または組織。
部門	この資産が属する部門。
RFID タグ	資産に関連付けられているリアルタイム無線自動識別 (RFID) タグ。RFID タグの詳細については、「」を参照してください Zebra MotionWorks の RFID 統合 エンタープライズ資産管理 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の詳細 (続く)

フィールド	説明
	注: この資産が別の資産の子であり、独自の RFID タグが含まれていない場合、[**RFID** タグ] フィールドに親資産の RFID タグが入力されます。親資産を削除すると、この資産の **[RFID** タグ] フィールドはクリアされます。
コメント	存在する場合に追加するメッセージ。

財務フォーム

フィールド	説明
ベンダー	資産の購入元となるベンダー。Procurement の発注書から自動作成された資産の場合、[ベンダー] フィールドのデフォルト値は発注書で指定されたベンダーとなります。
オープン	要求されたアイテム レコードが開かれた日付。要求ラインが指定されると、システムによってフィールドが自動入力されます。
請求書番号	請求書の番号。
GL アカウント	資産が関連付けられている総勘定元帳のアカウント番号。
要求アイテム	資産に関連した要求アイテム。
コスト	資産を購入した価格。
コストセンター	資産の請求に使用されるコストセンター。
取得方法	資産の取得方法。ベースシステムの選択肢は、[購入]、[リース]、[レンタル]、[ローン]、および **[RMA** 交換] です。 Procurement の発注書により自動登録された資産の場合、デフォルト値は購買です。
発注書番号	資産に対する請求の根拠となる発注書。

[減価償却] フォーム

フィールド	説明
減価償却	適用される減価償却方法。基本システムの選択肢は、定率と定額です。減価償却値は、関連するモデルからデフォルト設定されます。
残余日数	減価償却有効日付から経過した日数
減価償却開始日	指定された減価償却方法が開始される日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[減価償却] フォーム (続く)

フィールド	説明
残余価値	減価償却方法が適用された [コスト] フィールドの値
処分価額	耐用年数の終了時の資産の見積額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
減価償却額	資産の減価償却済みの金額

リース契約

フィールド	説明
リース契約	資産に適用されているリース契約。
リース有効期限	リース契約が切れる日付
リース期間 (月)	リース契約の長さ (月)。
月次リース支払	リース契約に対して毎月支払う必要がある金額。 注: このフィールドは、任意の通貨に設定できます。

廃棄フォーム

フィールド	説明
廃棄注文番号	資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー
予定廃止日時	資産の廃止予定日。
廃止日	実際に廃止した日付。
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダーによりアサインされた注文番号。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金のレポート時に適用します。
廃棄日	資産廃棄注文処理が完了した日付。
受領企業	資産の廃止時にその資産を受け取る組織。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産監査

フィールド	説明
監査番号	資産の監査番号。
監査タイプ	資産に対して実行された監査のタイプ。
前回の監査日	前回の監査が行われた日付。
前回の監査ステート	前回の監査のステータス。
監査者	前回の監査を実行したユーザー。

RFID

注:
この資産が別の資産の子である場合、これらの ***RFID*** フォームセクション フィールドにマッピングされて入力される ***RFID*** 場所データは、資産が関連付けられている ***RFID*** タグに基づきます。

- この資産に独自の ***RFID*** タグが含まれている場合、すべての ***RFID*** 場所データはその ***RFID*** タグに基づきます。
- この資産に独自の ***RFID*** タグが含まれていない場合、すべての ***RFID*** 場所データは親資産の ***RFID*** タグに基づきます。親資産を削除すると、この資産の ***RFID*** フォームセクションフィールドからすべての ***RFID*** 場所データが消去されます。

フィールド	説明
RFID タグ	資産に関連付けられているリアルタイム無線自動識別 (RFID) タグ。RFID タグの詳細については、「」を参照してください Zebra MotionWorks の RFID 統合 エンタープライズ資産管理。
タイプ	資産に関連付けられている RFID タグのタイプ。
タグソース	RFID タグを介して保存および転送される資産の RFID 位置データのソース。
シリアル番号	資産のシリアル番号。
前回の点滅時間	RFID タグが最後にスキャンされた時刻。
前回の点滅経過時間	RFID タグが最後にスキャンされてからの経過時間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RFID

注:
この資産が別の資産の子である場合、これらの ***RFID*** フォームセクション フィールドにマッピングされて入力される ***RFID*** 場所データは、資産が関連付けられている ***RFID*** タグに基づきます。

- この資産に独自の ***RFID*** タグが含まれている場合、すべての ***RFID*** 場所データはその ***RFID*** タグに基づきます。
- この資産に独自の ***RFID*** タグが含まれていない場合、すべての ***RFID*** 場所データは親資産の ***RFID*** タグに基づきます。親資産を削除すると、この資産の ***RFID*** フォームセクションフィールドからすべての ***RFID*** 場所データが消去されます。

(続く)

フィールド	説明
緯度	資産の緯度値。
経度	資産の長期的価値。
アクティブ	RFID タグがアクティブかどうかを示すオプション。RFID 位置データは、このオプションを選択した場合にのみ資産にマッピングできます。
サイト名	資産が配置されているサイトの名前。
ゾーングループ	資産が属する調査ゾーングループ。
ゾーングループ滞留	資産が指定された問い合わせゾーングループに属している期間。
ゾーン	資産が配置されている調査ゾーン。
ゾーン滞留	指定された問い合わせゾーンに資産が置かれている時間。
グリッド x	指定された RFID グリッド内の資産の X 座標。RFID システムは、XYZ 座標を使用して資産の場所を特定します。
グリッド y	指定された RFID グリッド内の資産の Y 座標。RFID システムは、XYZ 座標を使用して資産の場所を特定します。
グリッド z	指定された RFID グリッド内の資産の Z 座標。RFID システムは、XYZ 座標を使用して資産の場所を特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RFID

注:
この資産が別の資産の子である場合、これらの ***RFID*** フォームセクション フィールドにマッピングされて入力される ***RFID*** 場所データは、資産が関連付けられている ***RFID*** タグに基づきます。

- この資産に独自の ***RFID*** タグが含まれている場合、すべての ***RFID*** 場所データはその ***RFID*** タグに基づきます。
- この資産に独自の ***RFID*** タグが含まれていない場合、すべての ***RFID*** 場所データは親資産の ***RFID*** タグに基づきます。親資産を削除すると、この資産の ***RFID*** フォームセクションフィールドからすべての ***RFID*** 場所データが消去されます。

(続く)

フィールド	説明
ステータス	RFID 位置データの資産へのマッピングのステータス。データが資産に正常にマッピングされた場合、このフィールドは [一致] に設定されます。データが資産にマッピングされていない場合、このフィールドは「 不一致」に設定されます。 重要: RFID の場所データは、[RFID] フォーム セクションで [アクティブ] オプションを選択した場合にのみ、資産にマッピングできます。 ヒント: エンタープライズ資産一覧ビューの 概要 タブに表示される 不一致 **RFID** タグ の重要なアクションを使用して、RFID の状態が 不一致 の資産レコードを表示し、アクションを実行できます。エンタープライズ資産一覧ビューの詳細については、「」を参照してください Enterprise 資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要。

アクティビティ

フィールド	説明
作業メモ	作業メモは、以下の場合に更新されます。 • 資産の [担当者]、[管理者]、[状態]、[サブステート]、[予備] フィールドの更新。フィールドの列はデフォルトで監査されており、どの更新も作業メモに記録されます。 • 作業メモは、発注書と転送オーダーが資産を受領した時点で更新されます。これらの作業メモは資産のライフ サイクルを追跡するのに便利です。

リニア資産を作成

リニア資産を作成してポートフォリオを多様化します エンタープライズ資産管理 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産一覧 > リニア資産.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. **[Save** (保存)] を選択します。
   リニア資産が作成され、[リニア資産] リストに表示されます。リニアセグメント、秘匿資産、関連リニア資産、契約、経費ラインなどの他の関連リストに詳細を入力することで、リニア資産に対して追加の構成を実行できます。

リニア資産のセグメントの作成

リニア資産のセグメントを作成して、作業指示をセグメントにアサインします。セグメントのメンテナンス計画を作成することもできます。

始める前に
リニアセグメントは、リニア資産の一部です。線形セグメントを作成するときは、次のフィールドのいずれか 2 つに値を入力する必要があり、3 番目のフィールドの値は自動的に入力されます。たとえば、開始マーカーと終了マーカーを入力すると、[長さ] フィールドが自動的に入力されます。同様に、開始マーカーと長さを入力すると、[終了マーカー] フィールドに値が入力されます。

- 開始マーカー
- 終了マーカー
- 長さ

マップに開始マーカーまたは終了マーカーを入力する場合、マーカーはリニア資産ラインから 10 フィート以内にある必要があります。この値は、asset_property *com.eam.linear_segment_marker_boundary*の値を変更することでカスタマイズできます。

作業指示書とメンテナンス計画の作成の詳細については、「」およびエンタープライズ資産のメンテナンス計画を作成する「」を参照してくださいエンタープライズ資産の作業指示書の作成。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧 > リニア資産.
2. セグメントを追加するリニア資産レコードを開きます。
3. [線形セグメント] 関連リストを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームで、詳細を入力します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。
   線形セグメントが [線形セグメント] 関連リストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

個別資産をリニア資産に関連付ける

個別資産をリニア資産に関連付け、後でリニア資産からこれらの資産をクエリして検索できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧 > リニア資産.
2. 個別資産を関連付けるリニア資産レコードを開きます。
3. [個別資産] 関連リストを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。

リニア資産リレーションシップの検索

重複する資産、継続する資産、交差する資産など、リニア資産間の関係を検索できます。

始める前に
リニア資産間の関係を検索して、それらを相互に関連付けることができます。たとえば、特定のリニア資産の交差するすべてのリニア資産を検索するために、リニア資産を交差する資産などの別のリニア資産に関連付けるとします。同様に、特定のリニア資産の重複するすべてのリニア資産を検索するために、リニア資産を重複する資産などの別のリニア資産に関連付けるとします。リニア資産間の関係が見つかると、関連するリニア資産のレコードが作成されます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧 > リニア資産.
2. 他のリニア資産との関係を検索するリニア資産レコードを開きます。
3. [リレーションシップの検索] を選択します。
   確認メッセージ ボックスが表示されます。
4. 確認メッセージ ボックスで リレーションシップの検索 を選択します。
   このリニア資産と他のリニア資産との関係が検索されます。関係が特定された場合はメッセージが表示され、見つかった関係については、[関連リニア資産] 関連リストにレコードが作成されます。
5. **[Save** (保存)] を選択します。
6. [関連リニア資産] 関連リストを選択して、識別された関係を表示します。
   各レコードについて、リニア資産との関係の種類 (継続、重複、交差など) が示されます。

でのパレット資産の作成 **Enterprise Asset** ワークスペース

エンタープライズ、ハードウェア、ベース、バンドル、および消耗資産を輸送および保管できるパレットを追跡および管理するためのパレット資産を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Enterprise Asset ワークスペースから、エンタープライズ資産一覧ビューを開きます。
2. パレット タブで、新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新規パレットの作成フォーム

フィールド	説明
ベンダー	パレットの購入元であるベンダー。パレットが調達発注書から自動的に作成された場合、[ベンダー] フィールドは発注書で指定されたものと同じベンダーに自動的に設定されます。
モデル	パレットが関連付けられているパレットモデル。
資産タグ	組織が追跡目的でパレットに割り当てる英数字の値。
ステータス	パレットの現在のステータス。 このフィールドは自動的に [在庫あり] に設定されます。ただし、このフィールドを次のいずれかのオプションに設定することもできます。 ○ 輸送中 ○ 廃止 **(Retired)** ○ 欠損
倉庫	パレットが配置されている倉庫。
通路	パレットが配置されている倉庫の通路。
スペース	パレットが配置されている倉庫の通路スペース。
パレットタイプ	パレットのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ パレット ○ 受信箱 ○ ボックス ○ コンテナー ○ その他
サブステート	[利用可能] や [予約済み] など、パレットの現在のサブステート。[サブステート] フィールドで使用できるオプションは、[ステータス] フィールドで選択したオプションに基づいて変わります。
ロケー	パレットの物理的な場所。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ション	**注:** 場所を特定の場所に設定し、インスタンスでServiceNowシステムパラメーターを *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets***true** に設定すると、すべてのフィールドに入力してこのフォームを保存した後に生成されるパレット資産レコードに、資産のリアルタイムの場所を示すインタラクティブマップが含まれます。 このマップは、関連付けられた作業指示タスクまたはストックルームレコードからレコードを開くと、パレット資産レコードに引き続き含まれます。 デフォルトでは、マップは表示されません。マップを表示するには、パレット資産レコードのサイドバーにある場所マップアイコン ()を選択します。

4. **[Save** (保存)] を選択します。

でのパレットへの資産の追加 **Enterprise Asset** ワークスペース

エンタープライズ資産、ハードウェア資産、ベース資産、バンドル資産、または消耗資産をパレットに追加して、グループとして追跡および管理できるようにします。

始める前に

ハードウェア、ベース、またはバンドル資産をパレットに追加するには、インスタンスに ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールして有効化します ServiceNow 。アプリケーションをインストールしてアクティブ化するには、 ServiceNow Store から要求します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician

このタスクについて

パレットに資産を追加できるのは、次の条件の場合のみです。

- パレット資産レコードの 状態 フィールドが 在庫あり に設定されている。
- 資産レコードの [状態] フィールドは、次のいずれかのオプションに設定されます。
  - 発注済み
  - 在庫あり
  - 輸送中
- 資産レコードの [ストックルーム] フィールドが空であるか、パレットと同じストックルームに設定されています。
- 資産が別の親資産に関連付けられていない。

手順

1. Enterprise Asset ワークスペースから、エンタープライズ資産一覧ビューを開きます。
2. [パレット] タブで、資産を追加するパレットを選択します。
   パレット資産レコードが開きます。
3. [資産] タブを選択します。
4. 資産をパレットに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エンタープライズ資産、ハードウェア資産、基本資産、またはバンドル資産をパレットに追加するには、次の手順に従います。

  a. [資産の追加] を選択します。

  [アセットを追加] ダイアログボックスが開きます。

  b. ダイアログボックスで、パレットに追加するすべての資産のチェックボックスを選択します。

  c. [追加] を選択します。

- 消耗資産をパレットに追加するには、次の手順に従います。

  a. [消耗品の追加] を選択します。

  [消耗品をパレットに追加] ダイアログボックスが開きます。

  b. [消耗品] フィールドで、パレットに追加する消耗資産を検索して選択します。

  c. [数量] フィールドで、パレットに追加する消耗資産の数量を指定します。

  d. [追加] を選択します。

タスクの結果
資産は、パレット資産レコードの [資産] タブに追加されます。

のパレットからの資産の削除 **Enterprise Asset** ワークスペース

パレットの一部として追跡および管理する必要がなくなったエンタープライズ、ハードウェア、ベース、バンドル、または消耗資産を削除します。

始める前に
ハードウェア、ベース、またはバンドル資産をパレットから取り外すには、インスタンスに ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールして有効化します ServiceNow 。アプリケーションをインストールしてアクティブ化するには、 ServiceNow Store から要求します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise Asset ワークスペースから、エンタープライズ資産一覧ビューを開きます。
2. [パレット] タブで、資産を削除するパレットを選択します。
   パレット資産レコードが開きます。
3. [資産] タブを選択します。
4. 使用可能な資産のリストから、パレットから削除する各資産のチェックボックスを選択します。
5. [削除] を選択します。

タスクの結果
アセットは [**Assets]** タブに表示されなくなります。

でパレット資産を使用して資産在庫を管理する **Enterprise Asset** ワークスペース

移動オーダー、廃棄オーダー、再販オーダー、およびさまざまな消費ワークフローでパレットとそれらのパレットに含まれる資産を使用して、資産在庫を管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

倉庫間でのパレットの移動

転送オーダーを使用して、在庫のあるパレットをあるストックルームから別のストックルームに移動できます。資産を含むパレットを移動する場合、それらの資産も同じ転送オーダーの一部として移動されます。パレット内に含まれる資産のみを移動すると、それらの資産は、フルフィルメントの準備完了タスクがクローズされた後に、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

転送オーダーの詳細については、次を参照してください Enterprise 資産ワークスペースで転送オーダーを作成する。

パレットの廃棄

パレットがライフサイクルの終わりに近づいているか、機能しなくなった場合は、廃棄注文を使用して廃棄できます。パレットに資産が含まれている場合は、次のいずれかのオプションを使用して、パレットとその資産を廃棄することを選択できます。

注:
廃棄できるのは、パレット内に含まれるエンタープライズ資産とエンタープライズベースの消耗資産のみです。パレットにハードウェア、バンドル、またはハードウェアベースの消耗資産が含まれている場合、それらの資産は自動的に [ステータス] が [無効] に更新され、廃棄注文の一部として処理することはできません。

- パレットとその中に含まれているすべての資産の両方を廃棄します。
- パレットとその中に含まれている特定の資産のみを廃棄します。保持することを選択した資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。
- パレットを廃棄しますが、そのパレット内に含まれるすべての資産は保持します。このオプションを選択すると、すべての資産が対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。
- パレットは保持しますが、そのパレット内に含まれるすべての資産を廃棄します。このオプションを選択すると、すべての資産が対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。
- パレットを保持しますが、そのパレット内に含まれる特定の資産のみを廃棄します。廃棄した資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

廃棄注文の詳細については、次を参照してください Enterprise 資産ワークスペースでの廃棄注文の作成。

パレットの再販

無駄を減らし、コストを節約するために、再販注文を使用して、使用しなくなったパレットを再販できます。パレットに資産が含まれている場合は、次のいずれかのオプションを使用して、パレットとその資産の再販を選択できます。

注:
パレット内に含まれるハードウェア資産、アセットバンドル、およびエンタープライズ以外の消耗品資産を再販することはできません。

- パレットとその中に含まれるすべての資産の両方を再販します。
- パレットと、そのパレットに含まれている特定の資産のみの両方を再販します。保持することを選択した資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。
- パレットを再販しますが、そのパレット内に含まれるすべての資産を保持します。このオプションを選択すると、すべての資産が対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- パレットは保持しますが、そのパレット内に含まれるすべての資産を再販します。このオプションを選択すると、すべての資産が対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。
- パレットは保持しますが、そのパレット内に含まれる特定の資産のみを再販します。再販する資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

再販オーダの詳細については、次を参照してください 資産再販フローの作成。

パレット内の資産の消費

パレット内に含まれる資産は、さまざまな資産ワークフローを通じて消費できます。

返品許可 (RMA) フロー

返品承認(RMA)は、購入者が指定された保証期間内に欠陥のある製品を返品、交換、または修理を要求できるようにする、買い手と売り手の間の契約です。パレット内の資産に欠陥が発生した場合、RMA オーダーを使用して交換または修理を開始できます。RMA オーダーに含めた資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

RMA オーダーの詳細については、次を参照してください 欠陥のあるエンタープライズ資産の返品承認 (RMA) の要求。

ローカルオーダーサブフロー

要求者のローカルストックルームで利用可能な資産を使用して、資産要求を調達して履行することができます。パレット内の資産が資産要求の一部としてローカルで調達および消費されると、Enterprise 確認資産タスクがクローズされた後、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

ローカルストックルームからの資産の調達の詳細については、「」を参照してください Enterprise 資産ワークスペースからのソース要求。

貸与要求フロー

資産を短期間だけ使用する必要がある場合、貸与要求を使用してその資産の貸与を要求できます。パレット内の資産が貸し出されると、貸与要求の準備タスクがクローズされた後、対応するパレット資産レコードから削除されます。

資産の貸付の詳細については、「」を参照してください Enterprise 資産ワークスペースでの貸与資産の要求。

リース資産の返却フロー

リース資産の契約の有効期限が近づいている場合は、違約金が発生する前にリース資産を資産ベンダーに返却することができます。パレット内のリース資産が資産ベンダーに返却されると、資産の出荷タスクがクローズされた後、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

リース資産の返却の詳細については、「」を参照してください リースされた企業資産を返却する。

アプリケーションからの IT Service Management 資産管理 タスクのスワップ

アプリケーション ServiceNow® 資産管理 を使用すると、資産を追跡および管理できます。アプリケーションを使用してパレット内の資産をスワップすると、その資産はスワップ後に対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

資産管理 アプリケーションの詳細については、「Asset Management」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

不明なエンタープライズモデルを持つエンタープライズ資産を更新

エンタープライズ資産が不明なエンタープライズモデルに関連付けられている場合は、既知のエンタープライズモデルで更新して、正確に分類および追跡できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

注:
エンタープライズモデルは、シリアル化されたマルチコンポーネントエンタープライズ資産に対してのみ更新できます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、Enterprise 資産一覧ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブまたは特定のエンタープライズ資産タイプ (医療など) のタブを選択します。
3. 使用可能なエンタープライズ資産のリストから、[モデル] フィールドが [不明なモデル] に設定されているエンタープライズ資産を選択します。
   資産レコードが開きます。資産レコードフィールドはすべて読み取り専用です。
4. 資産レコードで、 更新 を選択します。
   どのタイプのエンタープライズ資産に変更しますか?ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

どのタイプのエンタープライズ資産に変更しますか?ダイアログボックス

フィールド	説明
タイプ	エンタープライズ資産を分類するエンタープライズ資産タイプ。
モデルカテゴリ	エンタープライズ資産が属するエンタープライズモデルカテゴリ。エンタープライズ資産は、選択したエンタープライズモデルカテゴリに基づいて、対応する構成アイテム (CI) にリンクできます。
モデル	エンタープライズ資産を関連付けるエンタープライズモデル。

6. [更新] を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、自動的に資産レコードに戻ります。更新が成功すると、資産レコードフィールドが編集可能になります。

注:
選択したエンタープライズ資産タイプ、エンタープライズモデルカテゴリ、およびエンタープライズモデルがエンタープライズ資産をユーザー組立マルチコンポーネント資産に更新すると、資産レコードの [ステータス] フィールドが自動的に [ビルド] に変更されます。[**Assemble**] ボタンと **[Auto assemble**] ボタンも資産レコードに表示されます。これらのボタンを使用して、エンタープライズ資産の組立プロセスを開始できます。ユーザが組立したマルチコンポーネント資産の詳細については、「」を参照してください ユーザー組立資産の資産を選択。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

親マルチコンポーネント資産と資産をスワップ

マルチコンポーネント資産の一部である子資産をスワップすることができます。すべての子資産を一度にスワップできます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

このタスクについて

次のステータスの資産をスワップできます。

- 使用中 (子資産がホットスワップ可能な場合のみ)
- メンテナンス中
- 在庫あり 欠陥品
- 修理待ちの在庫あり

スワップ機能は、マルチコンポーネント資産の親資産でのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズモデル管理.
2. マルチコンポーネントレコードを開きます。
3. [資産] タブを選択し、親資産を選択します。
4. [スワップ] を選択します。
5. フォームの詳細を入力します。

フィールド	説明
資産をスワップする倉庫を選択	資産をスワップする配送元の倉庫。 注: 資産が [欠陥在庫あり] または [修理待ち在庫あり] ステータスの場合、ストックルームが表示され、変更できません。
代替モデルに基づいて資産を含める	代替モデルに基づく資産を表示するには、チェックボックスをオンにします。 代替モデルの資産は、次の基準を満たしている場合にのみドロップダウンに表示されます。 ○ 資産機能が貸与者でないか、資産機能が空です。 ○ ステータスまたはサブステートが [在庫あり] または [利用可能] である。 ○ 交換候補資産の [親] フィールドが空です。 ○ [ストックルーム] は [ストックルーム] フィールドに入力した値と同じです。 チェックボックスがオンになっていて、目的の基準を満たす資産が代替モデルにあるのに表示されない場合は、キーストロークのたびに検索

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	クエリが更新されるときにモデル名を検索します。
資産	親資産に添付された子資産。
交換用資産	スワップする資産。
数量	置き換え可能な資産の数。消耗品の場合、このフィールドは編集可能です。
アクション	資産を削除します。
追加の子資産を選択	削除したすべての資産を一覧表示します。資産を選択すると、資産を回復できます。さらに、子資産の数が 10 を超える場合、追加の子資産がここに表示されます。

6. [スワップ] を選択します。
   資産は正常にスワップされ、新しい資産は親資産のステータスやステータスなどの親資産のプロパティを継承します。また、スワップアウトされた資産は [修理待ちの在庫あり] ステータスに移行し、その倉庫はスワップインされた資産と同じになります。

ユーザー組立資産の資産を選択

親資産のストックルームから資産を選択して、ユーザー組立資産を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. ユーザー組立モデルを開き、[資産] タブから資産レコードを開きます。
2. アセンブル を選択して、資産の選択 ダイアログ ボックスを開きます。
3. フォームの詳細を入力します。

フィールド	説明
モデルコンポーネント	マルチコンポーネントモデルに関連付けられたモデルコンポーネント。
数量	モデルコンポーネントの数量。
資産	親ストックルームの資産。消耗資産については、ストックルームにある資産の数量も記載されます。
アクション	対応するモデルコンポーネントが必要かどうかを示します。有効な十字は、モデル コンポーネントを削除できることを示します。無効な十字は、これが必須のモデルコンポーネントであることを示します。モデル コンポーネントを削除すると、[さらにモデル コンポーネントを選択] ドロップダウン ボックスが表示され、削除したモデル コンポーネントを復元できます。

4. 「アセンブリ」**(Assemble)** を選択します。
   選択した資産が親資産に追加されます。これらの資産は [子資産] タブで確認できます。すべての消耗資産は、個々のレコードではなく単一のレコードとして表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

親資産からの資産のリリース

親資産からすべての子資産をリリースするか、選択された資産をリリースします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
すべての資産をリリースすることも、ユーザー組立資産、事前組立資産、および単一の資産からリリースするいくつかの資産を選択することもできます。すべての資産をリリースすると、自動的に親ストックルームに戻されます。いくつかの資産を選択的にリリースする場合は、資産を戻すストックルームを選択する必要があります。

次のステータスにあるすべての資産をリリースできます。

- ビルド
- 廃止および保留中の廃棄サブステータス
- 在庫ありおよび廃棄待ちのサブステート

選択資産が次のステータスの場合、その資産をリリースすることができます。

- 使用中:資産は必須にしないこと、またはアドオン資産にしないでください
- メンテナンス中:資産は不要、またはアドオン資産は不要
- [在庫あり] および [廃棄待ち] サブステータス:資産は必須ではないか、アドオン資産であるべきでない
- 在庫ありで修理待ちのサブステータス:資産は不要またはアドオン資産である必要があります

手順

1. 移動先 すべて > **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧.
2. 資産をリリースする親資産レコードを開きます。
3. 「 すべてのアセットをリリース」 または「 アセットをリリース」を選択します。
   資産のステータスに基づいて、[すべての資産をリリース] または [資産をリリース] が表示されます。
   a. すべての資産をリリースする場合は、すべての資産のリリースを確認するように求める警告メッセージで [資産のリリース] を選択します。
   b. 選択資産をリリースする場合は、子資産のリリース ダイアログ ボックスでストックルームを選択し、 資産のリリース を選択します。

   資産が親ストックルームにリリースされ、[在庫あり] 状態になります。選択された資産は、選択したストックルームに返送されます。親資産の階層に基づいて、資産がリリースされます。
   - 事前に組立された資産:すべてのアドオン資産がリリースされますが、子資産はリリースされません。
   - ユーザー組立:すべてのアドオンアセットと子アセットがリリースされます。
   - シンプルアセット:シンプルアセットには子アセットが関連付けられていないため、アドオンアセットのみがリリースされます。

追加の子資産を作成

資産がモデルコンポーネントで定義されていない場合でも、モデルの追加の子資産を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. **[Enterprise** 資産ワークスペース] に移動し、[**Enterprise** 資産一覧] または [**Enterprise** モデル管理] のいずれかを選択して、[子資産] 関連リストタブにアクセスします。
2. [追加] を選択して、ストックルームから資産を選択します。
   [追加] は、資産が次のいずれかのステータスにある場合にのみ表示されます。
   - ビルド中
   - 使用中
   - メンテナンス中
   - 在庫あり 欠陥品
   - 修理待ちの在庫あり
3. [追加する子資産を選択] ダイアログボックスでストックルームと資産を選択します。
4. [追加] を選択します。

Enterprise 資産ワークスペースで消耗資産を使用する

消耗資産を使用するには、それらが [在庫あり] ステータスと [利用可能] サブステートであることを確認してください。

始める前に

注:
モデルの資産戦略追跡が消耗資産を作成するように設定されている場合は、アプリケーション内のエンタープライズ資産管理モデルから作成された消耗品のみを使用できます。

必要なロール：asset

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧 > 消耗資産.
2. 状態が [在庫あり] でサブステートが [利用可能] の消耗資産を選択します。
3. [消費] を選択します。
   [消費] ダイアログボックスが表示されます。
4. [数量] フィールドに消費する数量を入力します。
5. [資産] リストで、ルックアップアイコンを選択し、消耗品に関連付けられている資産を選択します。

   Example
   たとえば、消耗資産として追跡されたマウスは、コンピューターなどの非消耗資産に関連付けることができます。
6. [ユーザーリスト] で、ルックアップアイコンを選択し、消耗品に関連付けられているユーザーを選択します。
7. **[OK]** を選択します。
   [消耗品] フォームの [数量] フィールドには減少した数が表示されます。[消耗品] リストには、特定のストックルームにある消耗品に対して 2 種類のレコードが含まれています。1 つは [在庫あり] 状態と [利用可能] サブステート (全量消費でない場合) 、もう 1 つは [消費済み] 状態です。消耗品が別のストックルームに転送中ではなく、かつデータレコード内の情報が同じ場合、類似したレコードは自動的に結合されます。消耗品が消費されたら、そのレコードはレポート作成のためにシステムに残ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 資産ワークスペースで消耗資産を廃棄する

ストックルームで不要になった消耗資産は廃棄します。

始める前に

必要なロール:asset、itil、itil_admin
消耗品 [alm_consumable] テーブルの [Planned for disposal] 列には、消耗資産が廃棄対象としてマークされているかどうかが示されていることを確認します。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧 > 消耗資産.
2. 消耗資産レコードを開き、[廃棄対象としてマーク] を選択します。
   廃棄対象としてマーク は、在庫状態にあり、廃棄対象としてマークされていない消耗資産に対してのみ表示されます。
3. [廃棄対象としてマーク] ダイアログボックスで、消耗資産の合計数量または部分数量を入力します。
   部分的な数量を入力すると、新しい消耗品レコードが作成され、サブステートは [廃棄待ち] になります。合計数量を入力すると、消耗品レコードのサブステータスが「廃棄待ち」に変わり、同じ消耗品レコードに戻ります。
   消耗資産に廃棄対象のマークを付けると、[廃棄対象としてマーク] は表示されなくなります。

   注:
   廃棄対象としてマークされた消耗品のみが廃棄注文に含まれます。消耗品に廃棄対象のマークを付けると、別の消耗品レコードと結合されることはありません。

資産オンボーディングプロセスの作成

資産オンボーディングプロセスを作成して、資産の重要な情報を入力するプロセスを順を追って説明します。

始める前に

資産のオンボーディングプロセスは、プロセスを完了するためのインタラクティブなユーザーインターフェイスを提供する Playbook Experience です。資産のオンボーディングプロセスは、オンボーディングタスクが作成された後にトリガーされます。オンボーディングタスクは、資産要求フローから自動的に作成することも、資産レコードから手動で作成することもできます。資産オンボーディング Playbook の概要については、以下を参照してください エンタープライズ資産管理 のプレイブック。

オンボーディングは、事前に組み立てられたシンプルなアセットでのみ使用できます。また、親の組み立て済み資産のみをオンボーディングできます。子の組立済み資産ではありません。

資産のオンボーディングプロセスはレーンに編成されます。レーンがページの左ペインに表示されます。各レーンには、完了を求められるいくつかのアクティビティが含まれています。次のボタンを使用して、タスクをスキップ、保存、または完了します。

- スキップ:次のアクティビティに移動します。
- 保存:情報は保存されますが、アクティビティは完了しません。
- 完了としてマーク:情報を保存してアクティビティを完了し、次のレーンに移動します。

注:
すべてのアクティビティをスキップするか、すべてを完了としてマークした後にのみ、オンボーディングタスクをクローズできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特定のアクティビティを実行している間は、そのアクティビティのステータスが [処理中] と表示されます。アクティビティを完了としてマークすると、そのアクティビティのステータスが [完了] に変わります。レーン内のすべてのアクティビティを完了すると、次のレーンに移動します。

オンボーディングタスクをトリガーする [資産のオンボーディング] ボタンは、資産が次のテーブルにリストされているステータスまたはサブステートのいずれかである場合にのみ表示されます。

ステータス	サブステート
• ビルド • 使用中 • 在庫あり • メンテナンス中	• 利用可能 • 予約済み • インストール待ち • 転送待ち

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧.
2. オンボーディングプロセスを作成する資産レコードを開きます。
3. [**Onboard asset** (資産のオンボード)] を選択します。
   資産オンボーディングタスクが開きます。
4. [**Playbook**] 関連リストタブを選択します。
   資産のオンボーディングページが開きます。
5. [資産の詳細] レーンで詳細を確認または入力します。
6. [スキップ]、[保存]、または [完了としてマーク] を選択して、次のレーンに進みます。
7. 最後のレーンに到達するまで、レーンの詳細の確認または入力を続けます。
8. すべてのレーンに [スキップ] または [完了] のステータスが表示されたら、[タスクのクローズ] を選択して資産のオンボーディング プロセスを完了します。
   資産が正常にオンボーディングされました。

自動的に作成されたオンボーディングタスクの表示

自動的に作成された資産オンボーディングタスクを表示します。

始める前に
資産のオンボーディングタスクは、資産要求フローで資産を受領した後に自動的に作成されます。オンボーディングタスクは、資産のオンボーディングプロセスをトリガーします。調達された資産ごとに、個別のオンボーディングタスクが作成されます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > 資産運用 > 調達 > 要求.
2. 要求を開きます。
3. [要求アイテム] タブを選択し、要求アイテムを開きます。
4. [資産タスク] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オンボーディングタスクと資産展開タスクがリストされます。

5. オンボーディングタスクを開きます。

でのインドアマップを使用した資産の追跡 **Enterprise Asset** ワークスペース

インドアマップを使用して、組織全体に展開されているエンタープライズ資産、消耗資産、およびパレットを見つけて追跡します。各インドアマップは、敷地、建物、フロア、および場所内の資産の位置を視覚化できるインタラクティブインターフェイスで構成されています。

始める前に
で Enterprise Asset ワークスペースインドアマップを使用できるようにするには、次の要件を満たしていることを確認してください。

- から for Assets (com.sn_ima) アプリケーションをServiceNow® Store明示的にインストールインドアマッピングする必要があります。このアプリケーションをインストールすると、 インドアマッピング (sn_map_core) と インドアマッピング コンポーネント (sn_map_component) もインストールされます。

  更新された エンタープライズ資産管理 SKU (PROD21613) を使用して 2023 年 11 月 3 日以降にライセンスを取得しエンタープライズ資産管理た場合は、for Assets (com.sn_ima) アプリケーションをインストールインドアマッピングできます。

  注:
  インドアマップのデモデータを表示できるようにするには、for Assets アプリケーションのインストール インドアマッピング 後にデモデータを再インストールする必要があります。詳細については、「Add or repair demo data for applications and plugins」を参照してください。

- インスタンスでServiceNow資産パラメーターを *com.sn_eam.indoormap.enabled***true** に設定します。

- インドアマップの設定:Map Studio を使用してインドアマップを設計できます。詳細については、「Configure Indoor Mapping」を参照してください。

  注:
  ライセンスのエンタイトルメント エンタープライズ資産管理 を使用してインドアマップをインストールする場合、Map Studio で使用できるのは PNG フロアマップファイルのみです。AutoCAD またはラスターファイル形式のファイルはインポートできません。AutoCAD ファイルまたはラスターファイルを使用するには、アプリケーションのエンタイトルメント ワークプレイスサービスデリバリ が必要です。

- 場所データの同期: エンタープライズ資産管理 このアプリケーションは、次のインドアマッピングの場所タイプをサポートしています。
  - 敷地:地理的に同じ場所にある一連の建物を表します。
  - 建物:特定の敷地にある複数階建ての建物を表します。
  - フロア:特定の建物内のフロアを表します。
  - 場所:特定のフロア内のポリゴンまたは目的地点を表します。場所は、エリア、ルーム、デスク、プリンター、資産などを表すことができます。

  注:
  インドアマップで Enterprise Asset ワークスペース資産を表示するには、場所 [cmn_location] テーブルの [場所] または [部屋] タイプの場所に資産を割り当てる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション内で エンタープライズ資産管理 新しく作成された場所を表示するには、Map Studio から新しく作成された場所を場所 [cmn_location] テーブルに同期してください。Map Studio で作成された場所を、場所 [cmn_location] テーブルの既存のレコードまたは新しいレコードに関連付けることができます。詳細については、「Synchronize Indoor Mapping map data with CMN location」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise Asset ワークスペースから、エンタープライズ資産一覧ビューを開きます。
2. [資産インドアマップ] タブを選択します。
   このタブには、特定のフロアまたは場所内の各エンタープライズ資産、消耗資産、およびパレットのリアルタイムの場所を表示できるインタラクティブマップが含まれています。
3. [敷地]、[建物]、および [フロア] フィルターを使用して、マップを特定のフロアに設定します。
   デフォルトでは、マップには組織全体で利用可能なすべての敷地の概要が表示されます。このデフォルトのマップビューには、資産の場所は表示されません。資産の場所を表示するには、それらの資産が配置されているフロアにマップを設定する必要があります。マップを特定のフロアに設定するには、[敷地]、[建物]、および [フロア] フィルターで適切な値を選択します。
4. オプション: マップに位置を表示する資産を指定します。
   デフォルトでは、マップには組織全体に展開されているすべてのエンタープライズ資産、消耗資産、およびパレットの場所が表示されます。マップに特定の資産の場所のみを表示する場合は、次の手順に従います。

   a. マップのサイドバーにある [フィルター] タブアイコン ()を選択します。

   b. [フィルター基準] ウィンドウで、次のいずれかのフィルターを使用して、場所を表示する資産を絞り込みます。
      - 部門:資産が属する部門。
      - ユーザー:資産が属するユーザー。
      - モデルカテゴリ:資産のモデルカテゴリ。
      - 分類:資産モデルに割り当てられている分類コード。

5. オプション: [資産インドアマップ] タブの右下隅にある表示オプションを選択して、資産の場所を表示する形式を変更します。
   [資産インドアマップ] タブでは、次の表示オプションがサポートされています。
   - マップのみを表示 (デフォルトの表示オプション):指定されたフロア内の資産の場所を示すインタラクティブマップを表示します。
   - リストのみ表示:指定されたフロア内にある資産のリストを表示します。
   - マップとリストを表示:インタラクティブマップと資産のリストの両方を表示します。
6. インタラクティブマップまたは資産のリストを使用して、指定されたフロアまたはそのフロア内の場所内の資産のリアルタイムの場所を表示します。
   マップまたはリストから資産を選択すると、その資産に関する追加の詳細が表示されます。

での資産階層の表示 **Enterprise Asset** ワークスペース

で、マルチコンポーネント資産の階層の詳細をツリー形式でEnterprise Asset ワークスペース表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール: sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
資産階層オプションは、親資産に関連付けられている資産、または子資産を持つ資産に対してのみ表示されます。

資産階層には、親資産に関連付けられた消耗資産が表示されます 。

注:
資産階層は、リニア資産とパレットには適用されません。

手順

1. 移動先 すべて > **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧.
2. 資産レコードを選択します。
3. コンテキストサイドバーで [Asset hierarchy] アイコン ( ) を選択します。
   - 資産階層はツリー状に表示されます。

     デフォルトのビューには、最大 3 つの子資産が表示されます。資産の右側の数字は、子資産の合計数を示します。その数が 3 より大きい場合は、[すべて展開] または [さらに表示] を選択して、すべてを表示します。
   - 階層が表示されている資産は、資産階層ツリーでハイライト表示されます。

自動翻訳

アプリケーションを使用した モバイルエージェント エンタープライズ資産とタスクの管理

直感的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産、資産タスク、および作業指示タスクを作成および管理します。

アプリケーションで モバイルエージェント エンタープライズ資産を作成する

ServiceNow® モバイルエージェントアプリケーションを使用して、シリアル化されたエンタープライズ資産またはマルチコンポーネントエンタープライズ資産を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

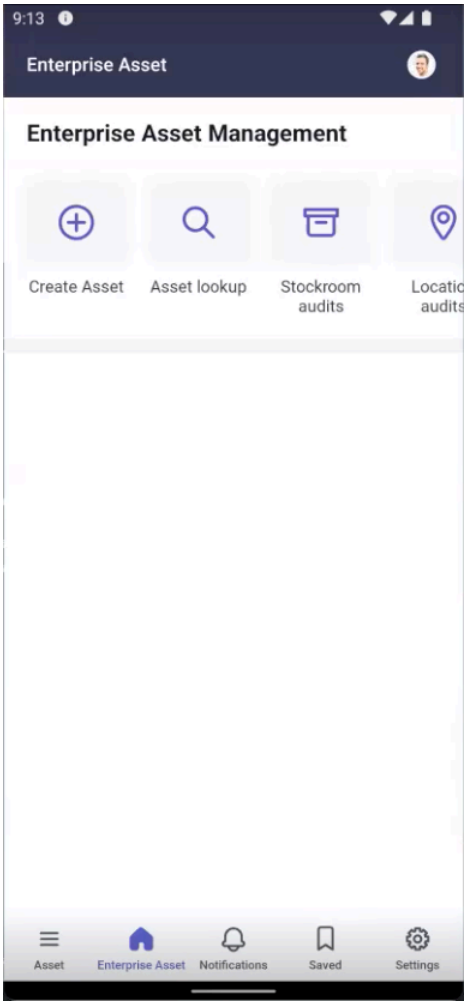
重要:
アプリケーションを使用して モバイルエージェント 作成したエンタープライズ資産は、クラス階層内の 構成管理データベース (CMDB) エンタープライズ優良モデル [sn_ent_model] クラスを通じて分類されたエンタープライズモデルにのみ関連付けることができます。エンタープライズモデルクラスの詳細を参照してください 展開されたモデルおよび資産クラスストアアプリケーション 。

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[**Enterprise** 資産] タブをタップします。
   ナビゲーションバーには、アプリケーションからモバイルエージェントアクセスできるアプリケーションとアプレットのServiceNowタブが表示されます。ナビゲーションバーには、アプリケーション設定と通知の モバイルエージェント タブも表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションのホーム画面 エンタープライズ資産管理 が開きます。



3. 「 アセットを作成」をタップします。
[シリアル番号] 画面が開きます。
4. オプション: エンタープライズ資産にシリアル番号が含まれている場合は、シリアル番号をスキャンまたは入力して、資産が既に存在するかどうかを確認します。
この検証をスキップする場合は、画面の左上隅にある戻る矢印をタップして、[資産を作成] フォームに直接進んでください。その後、 ステップ 5 に進み、資産タグに基づいて資産の存在を確認するか、 ステップ 6 に進み、両方の検証をスキップして資産作成プロセスを続行できます。

   a. モバイルデバイスのカメラを使用して、シリアル番号をスキャンします。
   [シリアル番号] フィールドにシリアル番号を手動で入力することもできます。

   b. エンタープライズ資産が存在するかどうかに応じて、次のいずれかのオプションに進みます。
      - エンタープライズ資産が既に存在する場合は、対応する資産レコードの資産の詳細を確認します。

        i. アプリケーションのホーム画面 エンタープライズ資産管理 に戻ります。

        ii. (Optional) [資産ルックアップ] をタップします。

        [資産ルックアップ] 画面が開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

iii. モバイルデバイスのカメラを使用して、エンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。

iv. (Optional) [送信] をタップします。

v. (Optional) 対応する資産レコードのリストから、資産の詳細を確認する資産レコードをタップします。

資産レコードが開きます。

vi. 指定されたエンタープライズ資産のすべての資産の詳細を確認します。

vii. 必要に応じて資産の詳細を更新します。

- エンタープライズ資産がまだ存在しない場合は、 ステップ 7 に進み、資産作成プロセスを続行します。

5. オプション: エンタープライズ資産に資産管理番号が含まれている場合は、資産管理番号をスキャンするか、資産管理番号の値を入力して、資産が既に存在するかどうかを確認します。
この検証をスキップする場合は、 ステップ 6 に直接進み、資産作成プロセスを続行します。

a. [資産を作成] フォームで、[資産タグ] フィールドをタップします。

b. モバイルデバイスのカメラを使用して、資産管理番号をスキャンします。
[資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。

c. エンタープライズ資産が存在するかどうかに応じて、次のいずれかのオプションに進みます。

- エンタープライズ資産が既に存在する場合は、対応する資産レコードの資産の詳細を確認します。

i. アプリケーションのホーム画面 エンタープライズ資産管理 に戻ります。

ii. (Optional) [資産ルックアップ] をタップします。

[資産ルックアップ] 画面が開きます。

iii. モバイルデバイスのカメラを使用して、エンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。

iv. (Optional) [送信] をタップします。

対応する資産レコードのリストが開きます。

v. (Optional) 資産の詳細を確認する資産レコードをタップします。

資産レコードが開きます。

vi. 指定されたエンタープライズ資産のすべての資産の詳細を確認します。

vii. 必要に応じて資産の詳細を更新します。

- エンタープライズ資産がまだ存在しない場合は、 ステップ 7 に進み、資産作成プロセスを続行します。

6. 「アセットを作成」フォームで、「 送信」をタップします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンタープライズ資産の完全なリストが開きます。

7. 画面の右上隅にあるその他のオプションメニューをタップします。
8. メニューが開いたら、「 アセットを作成」をタップします。
   [資産タグ] 画面が開きます。
9. エンタープライズ資産に資産タグが含まれているかどうかに応じて、次のいずれかのオプションに進みます。
   - エンタープライズ資産に資産タグが含まれている場合は、モバイルデバイスのカメラを使用してタグをスキャンします。[資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。資産タグを正常にスキャンするか、資産タグの値を入力したら、画面の左上隅の戻る矢印をタップして、[資産を作成] フォームに進みます。[資産を作成] フォームの [資産タグ] フィールドは、スキャンまたは入力した資産タグ値で自動的に更新されます。
   - エンタープライズ資産に資産タグが含まれていない場合は、画面の左上隅の戻る矢印をタップして資産タグのスキャンをスキップし、資産の作成フォームに直接進んでください。
10. エンタープライズ資産にシリアル番号が含まれている場合は、シリアル番号をスキャンまたは入力します。

    a. [資産を作成] フォームで、[シリアル番号] フィールドをタップします。
       [シリアル番号] 画面が開きます。

    b. モバイルデバイスのカメラを使用して、シリアル番号をスキャンします。
       [シリアル番号] フィールドにシリアル番号を手動で入力することもできます。

    c. 画面の左上隅の戻る矢印をタップして、[資産を作成] フォームに戻ります。
       [資産を作成] フォームの [シリアル番号] フィールドは、スキャンまたは入力したシリアル番号で自動的に更新されます。

11. エンタープライズ資産をエンタープライズモデルに関連付けます。

    a. [資産を作成] フォームで、[モデル] フィールドをタップします。
       [モデル] 画面が開きます。

    b. 利用可能な Enterprise モデルのリストから、Enterprise 資産を関連付けるモデルを選択します。
       画面が閉じ、[資産を作成] フォームに戻ります。

    [資産を作成] フォームの [モデル] フィールドは、選択したエンタープライズモデルで自動的に更新されます。

12. エンタープライズ資産の状態を指定します。

    a. [資産を作成] フォームで、[ステータス] フィールドをタップします。
       [ステータス] 画面が開きます。

    b. 利用可能なステータスのリストから、エンタープライズ資産の現在のステータスを選択します。
       画面が閉じ、[資産を作成] フォームに戻ります。

    [資産を作成] フォームの [ステータス] フィールドは、選択したステータスで自動的に更新されます。この選択されたステータスに基づいて、[資産を作成] フォームに追加のフィールドが表示されます。

13. ステップ 11 で指定したエンタープライズ資産の状態に基づいて、[資産を作成] フォームに表示される追加のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

14. [送信] をタップします。
    フォームが閉じ、アプリケーションのホーム画面 エンタープライズ資産管理 に自動的に戻ります。

タスクの結果
エンタープライズ資産は、対応する構成アイテム (CI) とともに作成されます。

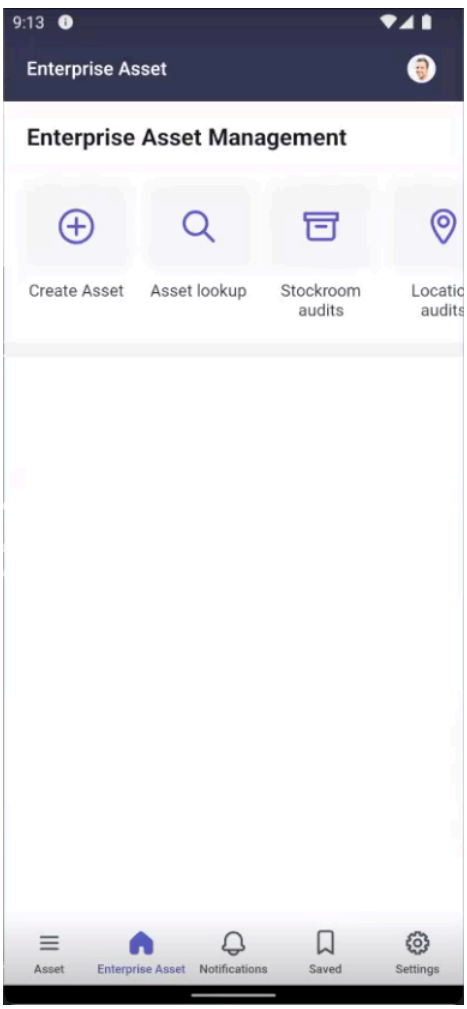
アプリケーションを使用して モバイルエージェント **Enterprise** 資産を検索

ServiceNow® モバイルエージェントエンタープライズ資産の詳細を表示または更新できるように、アプリケーションを使用して資産レコードを検索します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[**Enterprise** 資産] タブをタップします。
   ナビゲーションバーには、アプリケーションからモバイルエージェントアクセスできるアプリケーションとアプレットのServiceNowタブが表示されます。ナビゲーションバーには、アプリケーション設定と通知の モバイルエージェント タブも表示されます。
   アプリケーションのホーム画面 エンタープライズ資産管理 が開きます。



3. [資産ルックアップ] をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[資産ルックアップ] 画面が開きます。

4. モバイルデバイスのカメラを使用して、検索するエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。
   [資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。
5. [送信] をタップします。
   対応する資産レコードのリストが開きます。
6. 表示または更新する資産レコードをタップします。
   資産レコードが開きます。
7. 必要に応じて資産の詳細を表示または更新します。

アプリケーションを使用して、ストックルームの在庫監査のためにエンタープライズ資産をスキャンするモバイルエージェント

ServiceNow® モバイルエージェントアプリケーションを使用して、倉庫の在庫監査に含めるエンタープライズ資産をスキャンします。すべてのエンタープライズ資産をスキャンしたら、インスタンスの ServiceNow 監査を完了することができます。監査結果を使用して、エンタープライズ資産がどこに配置され、現在のステータスがどうなっているかを把握します。

始める前に

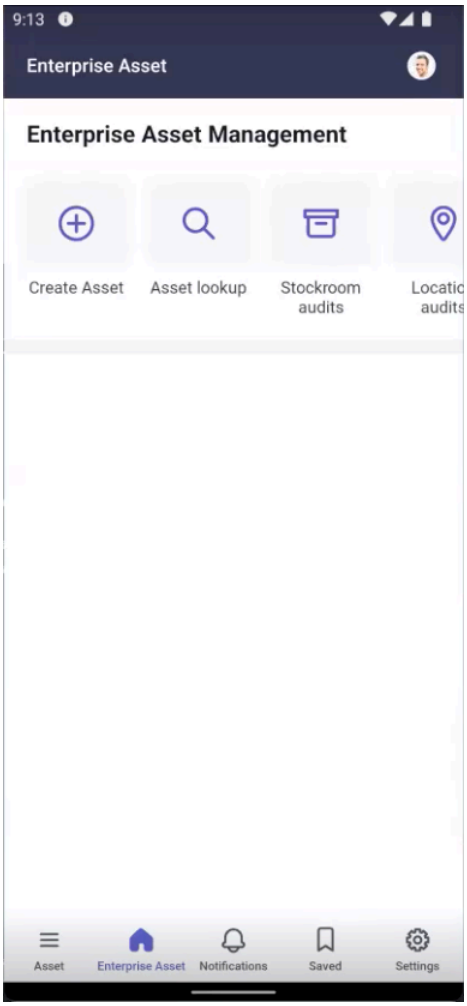
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[**Enterprise** 資産] タブをタップします。
   ナビゲーションバーには、アプリケーションからモバイルエージェントアクセスできるアプリケーションとアプレットのServiceNowタブが表示されます。ナビゲーションバーには、アプリケーション設定と通知の モバイルエージェント タブも表示されます。
   アプリケーションのホーム画面 エンタープライズ資産管理 が開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [倉庫の監査] をタップします。
   [ストックルームの監査] 画面が開き、すべてのオープンな監査と完了した監査を表示できます。
4. 目的の倉庫監査がまだ存在しない場合は、新しい倉庫監査を開きます。

   a. 画面の右上隅にあるその他のオプションメニューをタップします。

   b. メニューが開いたら、[新しいストックルームの監査] をタップします。
      [新しい倉庫の監査] 画面が開きます。

   c. 監査するストックルームを選択します。

   d. [送信] をタップします。
      自動的に [ストックルームの監査] 画面に戻り、[オープン] タブに新しいストックルームの監査が表示されます。

5. [オープン] タブで、完了する倉庫の監査をタップします。
   倉庫の監査レコードが開きます。
6. 倉庫の監査レコードの [詳細] タブで、[スキャン] をタップします。
   [資産スキャン] 画面が開きます。
7. モバイルデバイスのカメラを使用して、監査に含めるエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。

8. モバイルデバイスのキーボードのEnterキーをタップします。
エンタープライズ資産は、[資産スキャン] 画面の [レビュー] タブに自動的に追加されます。
9. 監査に含めるすべてのエンタープライズ資産について、手順 7 と 8 を繰り返します。
10. 必要なすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の「削除」アイコン (「 をタップします。
11. [送信] をタップします。
[資産スキャン] 画面が閉じ、自動的にストックルームの監査レコードに戻ります。ストックルーム監査レコードの [詳細] タブで、[予定]、[予定外および場所の修正済み]、[欠損]、および [新規] フィールドが、資産タグ値をスキャンまたは入力したエンタープライズ資産に基づいて更新されます。
12. 画面の右上隅にあるその他のオプションメニューをタップします。
13. メニューが開いたら、[完了]をタップします。

次のタスク

インスタンスのインベントリ監査を完了します ServiceNow 。詳細な手順については、「エンタープライズ資産在庫の監査」を参照してください。

アプリケーションを使用して、場所在庫監査のためにエンタープライズ資産をスキャンしますモバイルエージェント

ServiceNow® モバイルエージェントこのアプリケーションを使用して、場所の在庫監査に含めるエンタープライズ資産をスキャンします。すべてのエンタープライズ資産をスキャンしたら、インスタンスの ServiceNow 監査を完了することができます。監査結果を使用して、エンタープライズ資産がどこに配置され、現在のステータスがどうなっているかを把握します。

始める前に

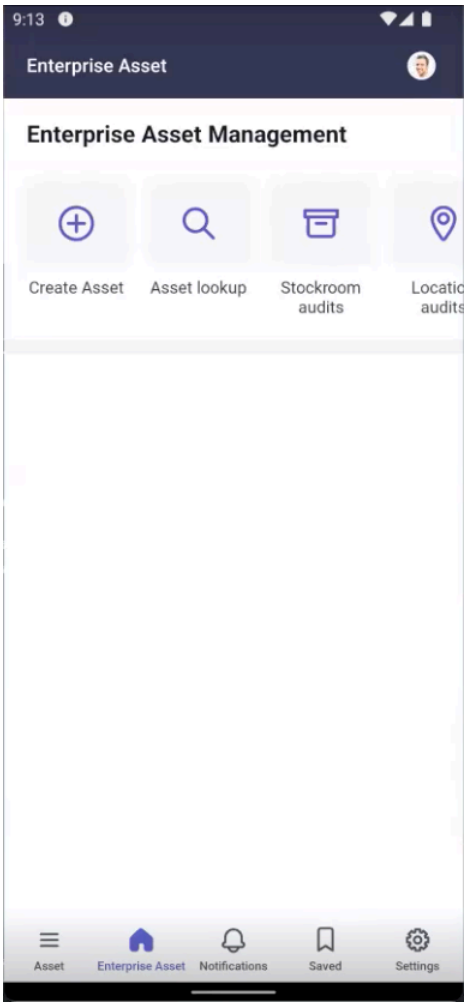
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[**Enterprise** 資産] タブをタップします。
ナビゲーションバーには、アプリケーションからモバイルエージェントアクセスできるアプリケーションとアプレットのServiceNowタブが表示されます。ナビゲーションバーには、アプリケーション設定と通知の モバイルエージェント タブも表示されます。
アプリケーションのホーム画面 エンタープライズ資産管理 が開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [位置情報の監査] をタップします。
   [場所の監査] 画面が開き、すべてのオープンおよび完了した監査を表示できます。
4. 必要な場所の監査がまだ存在しない場合は、新しい場所の監査を開きます。

   a. 画面の右上隅にあるその他のオプションメニューをタップします。

   b. メニューが開いたら、[新しい位置情報の監査] をタップします。
      [新しい場所の監査] 画面が開きます。

   c. 監査する場所を [場所] フィールドで選択します。

   d. 選択した場所の子場所も監査する場合は、[子の場所を含める] オプションを有効にします。

      注:
      このオプションを有効にすると、次の資産を監査に含めることもできます。
      - ユーザーが組み立てたエンタープライズ資産の子資産
      - 事前に組み立てられた単純なエンタープライズ資産のアドオン資産
      - パレット内に保管されている資産

   e. [送信] をタップします。
      自動的に [場所の監査] 画面に戻り、[オープン] タブに新しい場所の監査が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [オープン] タブで、完了する場所の監査をタップします。
   場所の監査レコードが開きます。
6. 場所の監査レコードの [詳細] タブで、[監査を開始] をタップします。
7. 場所の監査レコードの左上隅にある戻る矢印をタップして、[場所の監査] 画面に戻ります。
8. [場所の監査] 画面の [開く] タブで、開始したばかりの場所の監査をタップします。
   場所の監査レコードが開きます。
9. 場所の監査レコードの [詳細] タブで、[スキャン] をタップします。
   [資産スキャン] 画面が開きます。
10. モバイルデバイスのカメラを使用して、監査に含めるエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。
    [資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。
11. モバイルデバイスのキーボードのEnterキーをタップします。
    エンタープライズ資産は、[資産スキャン] 画面の [レビュー] タブに自動的に追加されます。
12. 監査に含めるすべてのエンタープライズ資産について、手順 7 と 8 を繰り返します。
13. 必要なすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
    リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の「削除」アイコン (「  をタップします。
14. [送信] をタップします。
    [資産スキャン] 画面が閉じ、自動的に場所の監査レコードに戻ります。場所監査レコードの [詳細] タブで、[予定]、[予定外] および [修正された場所]、[欠損]、および [新規] の各フィールドが、資産タグ値をスキャンまたは入力したエンタープライズ資産に基づいて更新されます。
15. 画面の右上隅にあるその他のオプションメニューをタップします。
16. メニューが開いたら、[完了]をタップします。

次のタスク

インスタンスのインベントリ監査を完了します ServiceNow 。詳細な手順については、「エンタープライズ資産在庫の監査」を参照してください。

アプリケーションを使用して モバイルエージェント エンタープライズ資産を検証し、廃棄のために切り離す

アプリケーション ServiceNow® モバイルエージェント を使用して、廃棄するエンタープライズ資産の検証と切り離しを完了します。

始める前に

エンタープライズ資産の検証または切り離しを完了する前に、その資産の廃棄注文を作成します。詳細な手順については、「Enterprise 資産ワークスペースでの廃棄注文の作成」を参照してください。

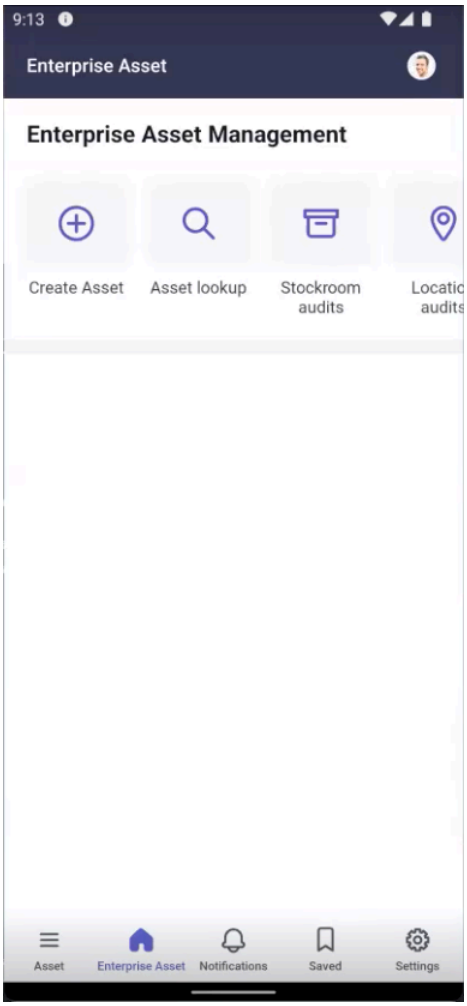
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[**Enterprise** 資産] タブをタップします。
   ナビゲーションバーには、アプリケーションからモバイルエージェントアクセスできるアプリケーションとアプレットのServiceNowタブが表示されます。ナビゲーションバーには、アプリケーション設定と通知の モバイルエージェント タブも表示されます。
   アプリケーションのホーム画面 エンタープライズ資産管理 が開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



3. [資産の処分] をタップします。
   [資産廃棄] 画面が開き、エンタープライズ資産廃棄注文のすべてのオープンな検証タスクと切り離しタスクを表示できます。
4. 廃棄注文に関連付けられているエンタープライズ資産を検証する必要がある場合は、その廃棄注文の検証タスクを完了します。

   a. [検証] タブで、完了する検証タスクをタップします。
      [検証] 画面が開きます。

   b. [未検証] フィールドをタップして、この検証タスクによる検証が必要なエンタープライズ資産の完全なリストを表示します。

   c. 画面左上隅の戻る矢印をタップして、[検証] 画面に戻ります。

   d. 「スキャン」をタップします。
      [資産のスキャンと検証 (Scan and verify assets)] 画面が開きます。

   e. モバイルデバイスのカメラを使用して、検証するエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。
      [資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。

   f. モバイルデバイスのキーボードのEnterキーをタップします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産は、[資産のスキャンと検証 (Scan and verify assets)] 画面の [レビュー **(Review**)] タブに自動的に追加されます。

g. 検証するすべてのエンタープライズ資産について、手順 e と f を繰り返します。

h. 必要なすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の「削除」アイコン (「 をタップします。

i. [送信] をタップします。
[資産のスキャンと検証 (Scan and verify assets)] 画面が閉じ、自動的に [検証] 画面に戻ります。[検証] 画面の [予定]、[検証済み]、および [未検証] の各フィールドは、スキャンしたばかりのエンタープライズ資産または資産タグ値を入力したエンタープライズ資産に基づいて更新されます。

j. [完了] をタップします。
[検証] 画面が閉じ、自動的に [資産廃棄] 画面に戻ります。

5. 廃棄注文に関連付けられているエンタープライズ資産の切り離しが必要な場合は、その廃棄注文の切り離しタスクを完了します。

a. [切り離し] タブで、完了する出発タスクをタップします。
[出発] 画面が開きます。

b. [未切り離し] フィールドをタップして、この切り離しタスクによる切り離しが必要なエンタープライズ資産の完全なリストを表示します。

c. 画面左上隅の戻る矢印をタップして、出発画面に戻ります。

d. 「スキャン」をタップします。
[資産をスキャンして切り離す] 画面が開きます。

e. モバイルデバイスのカメラを使用して、切り離すエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。
[資産タグ] フィールドに資産タグ値を手動で入力することもできます。

f. モバイルデバイスのキーボードのEnterキーをタップします。
エンタープライズ資産は、[資産をスキャンして切り離す] 画面の [レビュー] タブに自動的に追加されます。

g. 切り離すすべてのエンタープライズ資産に対してステップ e と f を繰り返します。

h. 必要なすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の「削除」アイコン (「 をタップします。

i. [送信] をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[資産をスキャンして切り離す] 画面が閉じ、自動的に [切り離し] 画面に戻ります。[切り離し] 画面で、[予定]、[切り離し済み]、および [未切り離し] の各フィールドが、資産タグ値をスキャンまたは入力したエンタープライズ資産に基づいて更新されます。

j. [ピックアップ連絡先名] フィールドをタップします。
[連絡先名のピックアップ] 画面が開きます。

k. 「 ピックアップ連絡先名 」フィールドに、出発するエンタープライズ資産を集荷する人の名前を入力します。

l. [送信] をタップします。
[連絡先名の集荷] 画面が閉じ、自動的に [出発] 画面に戻ります。[切り離し] 画面で、入力した名前で [集荷連絡先名] フィールドが更新されます。

m. [完了] をタップします。
[切り離し] 画面が閉じ、自動的に [資産処分] 画面に戻ります。

次のタスク

インスタンスの残りの廃棄注文タスクを完了します ServiceNow 。エンタープライズ資産廃棄注文タスクの詳細を参照してください Enterprise 資産廃棄注文ステージ 。

エンタープライズ資産管理アプリケーションを使用したモバイルエージェントタスクの管理

直感的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、すべての作業指示タスクと資産タスクを管理します。

アプリケーションを使用した モバイルエージェント タスクの表示

アプリケーションを使用して モバイルエージェント 、作業指示タスクと資産タスクを表示します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin、sn_eam.enterprise_asset_manager、または sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。
   マイ タスク アプリケーションのホーム画面が開き、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. [すべて表示] を選択して、自分にアサインされたすべてのタスクを表示します。
4. オプション: フィールド値でタスクをフィルタリングします。
   a. フィルターアイコン ( ) をタップします。
   b. タスクをフィルタリングするフィールド (期日、 資産、 場所、または 優先度) に値を入力します。
5. オプション: タスクをソートします。
   a. フィルターアイコン ( ) をタップします。
   b. [並べ替え] をタップします。
   c. タスクをソートするフィールドを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションを使用して モバイルエージェント グループタスクを自分にアサインする

アプリケーションを通じて モバイルエージェント アサイン先グループにアサインされたタスクから実行する要求タスク。

始める前に
必要なロール：

- 作業指示タスクを処理するには:wm_agent および sn_eam.enterprise_asset_technician
- 資産集荷タスクを処理するには:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。
   [自分のタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、[自分のグループタスク] リンクが表示され、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. [自分のグループタスク] をタップして、グループにアサインされたタスクのリストを表示します。
4. 自分に割り当てたいタスクをタップし、[自分に割り当て] をタップします。

タスクの結果
アサインされたタスクが [自分のタスク] リストに表示されます。

アプリケーションを使用して モバイルエージェント タスクの作業を開始する

自分にアサインされたタスクの作業を開始するタイミングをアプリケーションで モバイルエージェント 示します。タスクの作業を開始すると、開始時間が自動的に記録されます。

始める前に
必要なロール：

- 作業指示タスクを処理するには:wm_agent および sn_eam.enterprise_asset_technician
- 資産集荷タスクを処理するには:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。
   マイ タスク アプリケーションのホーム画面が開き、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 開始したいタスクが表示されない場合は、「すべて表示」をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルターまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 開始するタスクをタップします。
6. 「 詳細 」タブで、「 作業を開始」をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- [**Details** (詳細)] タブで、[**Start Work** (作業を開始)] リンクが自動的に [**Complete Work** (作業を完了)] に変わります。
- [作業の一時停止] および [時間を記録] オプションを含むその他のアクションアイコン (•••) が画面の右上隅に表示されます。
- 開始時間は自動的に記録されます。

アプリケーションを使用して モバイルエージェント タスクの作業時間を記録する

作業指示タスクと資産タスクの作業時間を管理および記録します。タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。手動で作業時間を記録することもできます。

アプリケーションを使用したタスクの モバイルエージェント 一時停止

作業を続行していない場合は、アプリケーションで モバイルエージェント 作業指示タスクまたは資産タスクの中断を記録します。作業を再開したら、タスクを再開します。作業が中断された場合でも、タスクの完了に要した実際の時間が自動的に追跡および計算されます。

始める前に
*work.management.allow.auto.timecard*タスクの作業を開始したときにタイムカードが自動的に作成されるようにするには、システムプロパティを有効にする必要があります。

必要なロール：

- 作業指示タスクを処理するには:wm_agent および sn_eam.enterprise_asset_technician
- 資産集荷タスクを処理するには:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。
   マイ タスク アプリケーションのホーム画面が開き、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 一時停止したいタスクが表示されない場合は、「 すべて表示」をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルターまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 一時停止するタスクレコードをタップします。
6. 画面の右上隅にあるその他のアクションアイコン (•••) をタップし、[作業の一時停止] をタップします。
   [詳細] タブで、[完了してクローズ] オプションが [作業の再開] に変わります。
7. アクティビティを再開する準備ができたら、「 作業を再開 」をタップします。

タスクの結果
タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリが [作業時間] タイムカードに作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションを使用してタスクの作業時間を手動で記録するモバイルエージェント

作業指示タスクまたは資産タスクの作業時間を手動で記録し、アプリケーションを使用して モバイルエージェント タスクに関する追加のコメントを入力します。

始める前に
必要なロール:wm_agent または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
作業指示タスクまたは進行中の資産タスクの時間を記録できます。

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。
   マイ タスク アプリケーションのホーム画面が開き、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 時間を記録したいタスクが表示されない場合は、「すべて表示」をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルターまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 時間を記録するタスクレコードをタップします。
6. その他のアクションアイコン (•••) または [詳細] タブから [時間を記録] に移動します。
   - 画面の右上隅にあるその他のアクションアイコン(その他の •••)をタップし、[時間を記録]をタップします。
   - [詳細] タブで、[時間を記録] をタップします。
7. [時間を記録] 画面で、タスクの詳細を指定します。
   a. [作業日] フィールドに日付を指定します。
      デフォルトでは、このフィールドは現在の日付に設定されます。
   b. タスクで作業した期間を [作業時間 (時間)] フィールドと [作業 時間 (分)] フィールドに入力します。
   c. オプション: [コメント] フィールドに追加情報を入力します。
8. 「完了」をタップし、「送信」をタップします。

タスクの結果
[作業時間] フォームが保存され、タイムカードが [作業時間] リストに追加されます。

アプリケーションを使用して モバイルエージェント 作業指示タスクの部品を調達する要求を開始する

アプリケーションを使用して モバイルエージェント 、作業指示タスクに関連付けられたエンタープライズ資産の不足している部品を調達する要求を開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

このタスクについて
アプリケーションで作業指示書タスクに関連付けられた部品要件に取り組む モバイルエージェント ことはできますが、部品要件を作成することはできません。

調達ワークフローは、アプリケーションを使用して モバイルエージェント のみ開始できます。調達フローは、でのみ Enterprise Asset ワークスペース完了できます。

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。
   マイ タスク アプリケーションのホーム画面が開き、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. ソース部品要求を作成するタスクが表示されない場合は、「 すべて表示」をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルターまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 不足している部品の調達を要求するタスクをタップします。
6. [部品] タブをタップします。
   [Part Requirements (部品要件)] セクションには、作業指示タスクに関連付けられた最初のいくつかの部品要件レコードのリストが表示されます。
7. ソース部品要求を作成する部品が表示されない場合は、「すべて表示」をタップします。
8. オプション: 調達する部品の必要数量を更新します。
   a. 部品要件レコードをタップします。
   b. [部品要件] フォームで、[必要数量] フィールドに数量を入力します。
   c. [送信] をタップします。
9. 「部品調達要求」をタップします。

タスクの結果

- 部品を調達するためのカタログ要求が作成されます。
- 部品要件レコードのステータスが [未要求] から [要求済み] に変わります。
- [Requested items (要求アイテム)] リストで、オープンな作業指示部品要求が自動的に作成されます。

次のタスク
要求された部品の調達は、 で Enterprise Asset ワークスペース完了する必要があります。詳細については、「作業指示書または作業指示書タスクの部品を調達するエンタープライズ資産管理」を参照してください。

アプリケーションを使用した モバイルエージェント 資産集荷タスクのクローズ

アプリケーションを使用して モバイルエージェント 、割り当てられた作業指示書の指定されたストックルームから集荷したエンタープライズ資産の [資産の集荷] タスクを完了してクローズします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
資産の集荷タスクのステータスは [対応中] である必要があります。

必要なロール:wm_agent または sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。
   マイ タスク アプリケーションのホーム画面が開き、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. クローズしたいタスクが表示されない場合は、「すべて表示」をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルターまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 関連付けられた [Pick Up Asset (資産の集荷)] タスクをクローズする作業指示タスクをタップします。
6. [部品] タブをタップします。
   [Pick Up Asset Tasks (資産集荷タスク)] セクションには、自分にアサインされた作業指示タスクに関連付けられたタスクのリスト内の最初のいくつかの資産集荷タスクが表示されます。
7. 完了したいタスクが表示されない場合は、「すべて表示」をタップします。
8. 完了する [資産の集荷] タスクをタップし、[完了してクローズ] をタップします。

タスクの結果

- 資産の集荷タスクのステータスが [オープン] から [完了してクローズ] に変わります。
- [資産使用率] セクションに、[ステータス] が [未使用] で [ステータス] が [在庫あり] のレコードが作成されます。

> **注:**
> 消耗資産の場合は、[状態] が [消費済み] に変わります。

次のタスク
作業指示書に関連付けられたエンタープライズ資産に対して必要な資産アクションを実行します。詳細については、「アプリケーションを使用した モバイルエージェント エンタープライズ資産に対するアクションの実行」を参照してください。

アプリケーションを使用した モバイルエージェント エンタープライズ資産に対するアクションの実行

アプリケーションを使用してエンタープライズ資産を展開、削除、またはスワップします モバイルエージェント 。

始める前に
必要なロール:wm_agent

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マイ タスク アプリケーションのホーム画面が開き、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。

3. 作業したいタスクが表示されない場合は、「 すべて表示」をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルターまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 資産アクションを実行する作業指示タスクをタップします。
6. [部品] タブをタップします。
   [Asset Usages (資産使用状況)] リストには、作業指示タスクに関連付けられた資産のリスト内の最初のいくつかのエンタープライズ資産が表示されます。
7. 必要なアセットが表示されない場合は、「すべて表示」をタップします。
8. [資産使用状況] リストで、資産に対して実行するアクションを選択します。

注:
表示されている資産をフィルタリングする場合は、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[数量]、[ステータス]、[サブステート]、または [表示名] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。

オプション	説明
資産または部品の展開	資産または部品のステータスは [未使用] である必要があります。 ステータスが [在庫あり] でサブステートが [利用可能] または [予約済み] のパーソナルストックルームから資産または部品を展開することもできます。 **a.** 資産を選択します。 **b.** [デプロイ] をタップします。 **c.** [資産を展開] 画面で、展開する資産をタップします。 **d.** [資産の展開の実行] 画面の [数量] フィールドで、展開する部品の数量を選択します。 **e.** [資産に追加] をタップし、資産リストから必要な資産を選択して、資産または部品を別の資産または部品の子として追加します。 **f.** [ユーザーに割り当て] をタップし、ユーザーのリストからユーザーを選択して、資産または部品を特定のユーザーに割り当てます。 **g.** [デプロイ] をタップします。 「資産使用状況」(Asset Usages) リストが再ロードされ、展開された資産または部品が「ステータス」(Status) 「使用中」(In use) で表示されます。消耗資産のステータスが [消費済み] に変わります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
資産または部品の削除	資産または部品のステータスは、[使用中]、[メンテナンス中]、または [消費済み] である必要があります。 **a.** 資産 または部品を選択します。 **b.** [削除] をタップします。 **c.** [資産を削除] 画面で、削除する資産または部品をタップします。 **d.** [削除] をタップします。 [Asset Usages] セクションが再ロードされて、削除された資産または部品が表示されます。この資産または部品のステータスは [Removed] になり、[State] は [In stock] になります。
資産または部品を交換部品と交換する	**a.** [スワップ] をタップします。 **b.** [スワップする資産を選択 (Select asset to swap)] 画面で、スワップする資産または部品をタップします。 **c.** [資産のスワップ] 画面の [資産のスワップ] フィールドで、資産リストからスワップインする交換部品を選択します。 注: 交換部品のステータスは [In stock (在庫あり)] で、サブステートは [Available (利用可能)] である必要があります。 [Asset Usages] リストが再ロードされ、資産の更新されたステータスが表示されます。 ○ スワップアウト資産のステータスは [削除済み] です。 ○ 資産のスワップのステータスは [使用済み] です。

次のタスク
エンタープライズ資産に関連付けられた作業指示書をクローズします。詳細については、「アプリケーションを使用してエンタープライズ資産の作業指示書をクローズするモバイルエージェント」を参照してください。

アプリケーションを使用してエンタープライズ資産の作業指示書をクローズするモバイルエージェント

アプリケーションを使用して モバイルエージェント 、関連する資産に必要なすべての作業を完了としてマークし、アサインされた作業指示書をクローズします。

始める前に
必要なロール:wm_agent

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。
   マイ タスク アプリケーションのホーム画面が開き、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 終了したいタスクが表示されない場合は、「 すべて表示」をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルターまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクをソートするには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[ソート基準] をタップし、タスクをソートするフィールドを選択します。
5. クローズする作業指示タスクをタップします。
6. 作業指示書タスクの [**Details** (詳細)] タブで、[**Close Complete** (完了してクローズ)] をタップします。
7. [作業メモ] フィールドに、クローズコメントを入力します。
8. **[Done** (完了)] をタップします。
9. [送信] をタップします。

タスクの結果
作業指示タスクのステータスが [Work In Progress (対応中)] から [Closed Complete (完了してクローズ)] に変わります。

アプリケーションを使用して モバイルエージェント 作業指示タスクのチェックリストを作成する

アプリケーションを使用して モバイルエージェント 作業指示または作業指示タスクに対して完了する必要があるすべてのアイテムのチェックリストを作成し、作業指示タスクを管理します。

始める前に
必要なロール:wm_agent

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。
   マイ タスク アプリケーションのホーム画面が開き、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. チェックリストを作成するタスクが表示されない場合は、[**II** を表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルターまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクをソートするには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[ソート基準] をタップし、タスクをソートするフィールドを選択します。
5. チェックリストを作成する作業指示タスクをタップします。
6. 「 関連 」タブをタップします。
   関連タブの [Checklist] セクションには、作業指示タスクの既存のチェックリストが表示されます。完了としてマークされたチェックリストがリストの一番下に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 「 チェックリスト 」セクションで、「 項目を追加」をタップします。
8. [チェックリストを追加] 画面の [名前] フィールドに、チェックリストの名前を入力します。
9. [順序] フィールドに、チェックリスト項目を完了する順序を入力します。
   たとえば、値 1 は、指定されたチェックリスト項目が完了する必要がある最初の項目であることを示します。
10. 「完了」をタップし、「送信」をタップします。

タスクの結果

チェックリストは、[チェックリスト] セクションに指定された順序で表示されます。

作業指示タスクに関連するナレッジ記事をアプリケーションで モバイルエージェント 表示する

アプリケーションの作業指示タスクモバイルエージェントに添付された、役に立つ関連するナレッジ記事を表示します。

始める前に

必要なロール:wm_agent

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。
   マイ タスク アプリケーションのホーム画面が開き、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 目的のタスクが表示されない場合は、「 すべて表示」をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルターまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクをソートするには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[ソート基準] をタップし、タスクをソートするフィールドを選択します。
5. ナレッジ記事を表示する作業指示タスクをタップします。
6. 「 関連 」タブをタップします。
7. 関連するナレッジ記事を表示します。
   - 作業指示タスクに関連するナレッジ記事を表示するには、[添付されたナレッジ] セクションの記事リンクをタップします。
   - 作業指示タスクに関連付けられた部品に関連するナレッジ記事を表示するには、[**Parts Knowledge** (部品ナレッジ)] セクションの記事リンクをタップします。

   選択した記事が表示されます。

> **注:**
> 記事を評価したり、記事を役に立ったまたは役に立たなかったとマークしたり、記事にコメントを投稿したりすることで、ナレッジ記事に関するフィードバックを提供することができます。

アプリケーションを使用して モバイルエージェント 作業指示タスクに関する作業メモを作成する

アプリケーションを使用して モバイルエージェント 、作業指示タスクに関する詳細を含むメモをタスクレコードに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:wm_agent

手順

1. モバイルデバイスからアプリケーションを起動し モバイルエージェント ます。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク] タブをタップします。
   マイ タスク アプリケーションのホーム画面が開き、自分に割り当てられたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 作業メモを追加するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルターまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、[期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドにフィルターとして使用する値を入力します。
   - タスクをソートするには、[フィルター] アイコン () をタップし、[ソート基準] をタップし、タスクをソートするフィールドを選択します。
5. 作業メモを追加する作業指示タスクをタップします。
6. [アクティビティ] タブをタップします。
   作業指示タスクに関連するすべての作業メモが一覧表示されます。
7. [作成] をタップします。
8. [Compose] 画面で、作業指示タスクに関連するコメントを入力します。
9. [投稿] をタップします。

タスクの結果
投稿された作業メモは、作業指示タスクレコードの [**Activity** (アクティビティ)] タブに表示されます。

エンタープライズモデルの作成と管理

エンタープライズモデルを作成および管理して、エンタープライズ資産を追跡します。

次のエンタープライズモデルとコンポーネントを作成します。

- エンタープライズモデルの作成
- エンタープライズモデルコンポーネントの作成
- カスタムモデルカテゴリの作成
- 代替モデルを追加

エンタープライズモデルの作成

最上位の エンタープライズ資産管理 モデルカテゴリに基づいてモデルを作成します。モデルを使用して資産を管理および追跡します。

始める前に
次の エンタープライズ資産管理 いずれかのモデルカテゴリに基づいてモデルを作成できます。

- 作成
- 医療
- 交通機関
- 産業用

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 施設 (Facility)
- 小売業
- 戦術的装置
- ウェアラブル
- パレット

> **注:**
> モデルの資産戦略追跡が消耗資産を作成するように設定されている場合は、アプリケーション内のエンタープライズ資産管理モデルから作成された消耗品のみを使用できます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズモデル管理
2. すべてのエンタープライズ タブを選択してすべてのエンタープライズ資産管理モデルから選択するか、施設、産業、医療、小売、輸送などの特定のモデル タイプのタブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。

   パレット タブで新規 を選択すると、新しい製品モデルの作成 ページに自動的にリダイレクトされます。ステップ 6 に進み、ページのフィールドに入力します。

   他のモデル タブで 新規 を選択すると、ダイアログ ボックスが開き、作成する新しいモデルのタイプとカテゴリを指定するように求められます。ステップ 4 に進み、ダイアログボックスのフィールドに入力します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
タイプ **注:** このフィールドは、[すべてのエンタープライズ] タブで [新規] を選択した場合にのみ表示されます。	作成するモデルのタイプ。次のオプションから選択します。 ○ Enterprise 優良モデル ○ コンストラクション モデル ○ 施設モデル ○ インダストリアルモデル ○ 医療モデル ○ 小売モデル ○ 輸送モデル ○ 戦術的装備モデル ○ ウェアラブルモデル
モデルカテゴリ	モデルが属するカテゴリ。

5. [作成] を選択します。
   [新規製品モデルの作成 (Create New Product Model)] ページが表示されます。モデルはデフォルトで [ビルド] ステータスになり、モデル カテゴリは選択したカテゴリに設定された読み取り専用フィールドです。ステータスは、モデルレコードを保存した後にのみ変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. フォームで、詳細を入力します。
   フィールドの詳細については、「のモデルフィールド エンタープライズ資産管理」を参照してください。
7. **[Save** (保存)] を選択します。
   モデルは、[モデルコンポーネント]、[資産]、[**Enterprise** モデルライフサイクル]、[互換製品]、[代替]、[ベンダーカタログアイテム] などの関連タブとともに作成されます。関連するタブに詳細を入力することで、モデルに対して追加の構成を実行できます。
8. モデルの構成が完了したら、モデルのステータスを [**In Production**] に変更します。
9. **[Enterprise Asset Catalog** に公開] を選択して、サービスカタログモデルを に公開します。**Enterprise** 資産カタログに公開 は、モデルの状態を [運用中] に変更した場合にのみ表示されます。
   Enterprise モデルは、sn_eam.enterprise_admin ロールでのみ削除できます。
10. モデルのリスクスコアを更新し、更新されたスコアを関連する資産にも伝播する場合は、[リスクを更新] を選択します。
    *EAM - Update model risk values to asset*ジョブスケジュールが完了すると、このモデルに関連付けられているすべての資産のリスク値が更新されます。

のモデルフィールド エンタープライズ資産管理

アプリケーションのすべてのモデルフィールドの エンタープライズ資産管理 詳細な説明。

モデルの詳細

フィールド	説明
表示名	モデルの名前。*glide.cmdb_model.display_name.shorten* と呼ばれるシステム プロパティにより、ソフトウェア モデル表示名の生成方法が制御されます。
メーカー	モデルを構築した会社。
名前	フィールド エージェントのノート パソコンなど、モデルマネージャーによって指定されたモデルのメーカー割り当て名または抽象的な名前。
簡単な説明	モデルの簡単な説明。
モデルカテゴリ	モデルが属するカテゴリ。これは読み込み専用フィールドです。
モデルタイプ **注:** パレットモデルを作成している場合、このフィールドは表示されません。	マルチコンポーネントモデルのタイプ。選択できるオプションは次のとおりです。 • シンプル • 消耗品 • 事前に組立 • ユーザー組立
資産追跡戦略	資産の追跡に使用されるプロセス。オプションは、[カテゴリに残す]、[消耗品資産を作成する]、[資産を作成しない] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注: パレットモデルを作成している場合、このフィールドは表示されません。	
資産トラッキング単位	資産の測定に使用される単位。オプションは 、個別ユニットと 固定料金です。
取得方法	モデルを購入する方法。選択肢として [両方]、[購入]、[リース] があります。
モデル番号	メーカーがアイテムに割り当てる特定のモデル番号。
バーコード	モデルに割り当てられたバーコード番号。バーコードはメーカーによって割り当てられます。
所有者	モデルの責任者。
ステータス	モデルのステータス。デフォルトでは、新しく作成されたモデルは [ビルド] ステータスです。モデルとそのコンポーネントを定義したら、モデルのステータスを変更できます。その他のステータスオプションは、[**In Production** (生産中)]、[**Retired** (廃止)]、および **[Sold]** (販売済み) です。
画像	モデルを表すイメージ。[イメージの添付] リンクを選択し、イメージを選択して添付します。画像を添付すると、リンクが [画像を表示] に変わります。
認定	モデルの使用が承認されているかどうかを判断するオプション。
コメント	モデルに関する有用な情報。

財務

フィールド	説明
コスト	モデルの単一のコスト。
TCO ベンチマークコスト	モデルの TCO ベンチマーク コストを指定します。
TCO ベンチマークしきい値	TCO ベンチマークしきい値は、コストがベンチマークに近づいていることを警告する TCO ベンチマークコストの割合です。デフォルトでは、パーセンテージは 75% です。たとえば、TCO ベンチマーク コストが 100 USD の場合、TCO ベンチマークしきい値は 75 USD です。 TCO ベンチマークコストを設定すると、このフィールドは自動的に計算されます。 割合はシステムプロパティで *asset_tco_benchmark_threshold_percentage* 変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
平均資産 TCO	レポート ソース内のすべての資産の平均資産 TCO 値を示します。たとえば、レポート ソースに 10 個の資産があり、すべての資産のすべての資産 TCO 値の合計が 100,000 の場合、平均資産 TCO は 10,000 です。
支出タイプ	支出の種類。次のいずれか 1 つを選択します。 • 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 • 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
有効年限 (月数)	モデルを使用できる月数。
減価償却	モデルの減価償却スキーム。
処分価額	耐用年数の終了時に資産が売却時に実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。

障害リスク

[可能性] および [影響度] フィールドの値は、リスクの可能性とリスクの影響度の設定レコードが固定されている場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
障害の可能性	リスクスコアの可能性の値。 リスクの可能性に対して作成した構成値は、このフィールドにオプションとして表示されます。オプションは value-label の形式で表示されます。たとえば、 1-Low の場合、1 は値、Low はラベルです。詳細については、「リスクの可能性の構成値を作成」を参照してください。
障害の影響	リスクスコアの影響度の値。 リスクの影響度に対して作成した構成値は、このフィールドにオプションとして表示されます。オプションは value-label の形式で表示されます。たとえば、 2-Medium の場合、2 は値で、Medium はラベルです。詳細については、「リスクの影響度の構成値の作成」を参照してください。
障害リスクスコア	リスクスコアは、可能性と影響度の値に基づいて自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化

フィールド	説明
正規化されたメーカー	メーカーの正規化された名前。
正規化されたモデル名	モデルの正規化された名前。
正規化されたモデル番号	モデルの正規化された数値。
正規化ステータス	モデルの現在の正規化ステータス。
正規化されたモデルタイプ	モデルの正規化されたタイプ。
コンテンツサービスとの共有から除外	コンテンツサービスとの エンタープライズ資産管理 共有から特定のコンテンツを除外するオプション。このオプションは、コンテンツサービスに エンタープライズ資産管理 オプトインしている場合にのみ適用されます。

Product Catalog

注:
[製品カタログ] フィールドは、消耗品モデルに対してのみ表示されます。

フィールド	説明
カタログアイテム	カタログアイテムの名前。
説明	カタログアイテムの説明。
画像	製品モデルを示す写真。

[モデル コンポーネント] タブ

このタブを使用して、モデル コンポーネントを作成します。マルチコンポーネントモデルを作成するには、1 つまたは複数のモデルコンポーネントが必要です。

注:
[モデル コンポーネント] タブは、モデルがマルチコンポーネント モデルの場合にのみ表示されます。「モデル」ページの 「マルチコンポーネント 」フィールドに「 組立済 」または「ユーザー組立」の2つの値のいずれかがある場合、「モデル・コンポーネント」タブが表示されます。[マルチコンポーネント] フィールドの値が [適用外] の場合、[モデルコンポーネント] タブは表示されません。

フィールド	説明
コンポーネントのモデルカテゴリ	コンポーネントのモデルカテゴリ。
コンポーネント	モデルのコンポーネント。選択したモデル カテゴリに属するモデル コンポーネントのみがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
必須	このチェックボックスがオンの場合、モデルコンポーネントは複合モデルが機能するために必要であり、完全に削除することはできません。
ホットスワップ可能	デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。マルチコンポーネントモデルの動作中にモデルコンポーネントを入れ替えることができることを示します。このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。
修理可能	モデル コンポーネントを修復できることを示します。このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。

エンタープライズモデルの [ライフサイクル] タブ

このタブでは、エンタープライズモデルのライフサイクル情報を指定します。

フィールド	説明
モデル	モデルの名前。
ライフ サイクル タイプ	ライフサイクルのタイプ。 • 内部 • 公開者
ライフ サイクル フェーズ	ライフサイクルのフェーズ。 • 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 延長サポート終了 • 提供終了
ソース	モデルのライフサイクルのソース。
説明	ライフサイクルの説明。
フェーズ開始日	ライフ サイクル フェーズの開始日。
フェーズ終了日	ライフ サイクル フェーズの終了日。
リスク	ライフサイクルに関連付けられたリスク。 • 非常に高 • 高 • 中 • 低 • なし
アクティブ	モデルのライフサイクルがアクティブであることを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ベンダーカタログアイテム] タブ

注:
[ベンダーカタログアイテム] タブは、消耗品モデルに対してのみ表示されます。

フィールド	説明
名前	ベンダーカタログアイテムの表示名。
ベンダー	製品ベンダーの名前。
製品モデル	ベンダーカタログアイテムに関連付けられている製品モデル。
在庫切れ	商品が在庫切れかどうかを示すオプション。
アプリケーション	製品レコードを含むアプリケーション。
製品 ID	メーカーの製品 ID。
表示価格	ディスカウントが適用される前の製品の表示価格。
ベンダー価格	製品のベンダー価格。
ランク	ベンダーランク階層。
簡単な説明	製品の説明。
全般	
製品カタログアイテム	アイテムの公開時に作成された製品カタログアイテムです。
UPC	製品のユニバーサル・プロダクト・コード(UPC)。
説明	製品の説明。
画像	製品の写真。
アクティブ	製品がアクティブかどうかを示すオプション。
情報	
仕様	ベンダーからの製品仕様。
特徴	ベンダーから提供される製品機能。

エンタープライズモデルコンポーネントの作成

モデルコンポーネントを作成し、モデルに追加します。1 つ以上のモデル コンポーネントで構成されるモデルは、マルチコンポーネント モデルです。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

コンポーネントのモデルカテゴリは、モデルのモデルカテゴリと異なる場合があります。モデルコンポーネントには別のモデルカテゴリを選択できます。モデルが [ビルド] ステータスの場合にのみ、モデルコンポーネントをモデルに追加できます。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > エンタープライズモデル管理.
2. モデルコンポーネントを作成する [すべてのエンタープライズ] タブまたは特定のモデルタブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. モデルを選択すると、モデルレコードが開きます。
[新しいモデルコンポーネントを作成] ページが開きます。
4. [モデル コンポーネント] タブを選択し、[新規] を選択します。
5. フォームで、詳細を入力します。
フィールドの詳細については、「Enterprise Asset Management のモデルフィールド」を参照してください。
6. **[Save** (保存)] を選択します。
新しく作成されたモデルコンポーネントは [モデルコンポーネント] タブに表示され、モデルが [ビルド] ステータスであっても、デフォルトでは [本番環境中] ステータスになります。

カスタムモデルカテゴリの作成

アプリケーションのカスタムモデルカテゴリを作成できます エンタープライズ資産管理 。

始める前に

すでに 40 の基本モデルカテゴリから選択できます。

カスタムモデルカテゴリを作成するときは、次の点に注意してください。

- ベース システムは、CMDB 内の各 CI クラスのモデル カテゴリを提供します。cmdb_ci クラスを作成するとき、使用するモデル テーブルのモデル カテゴリ テーブルに対応する行を作成します。
- 既存のモデル カテゴリの資産クラスを選択すると、モデル カテゴリに関連付けられているすべての CI の資産が自動的に作成されます (設定されている場合)。資産が自動的に作成されない場合は、資産を手動で作成することができます。モデル カテゴリに対して資産クラスが選択された後、資産クラスは変更できません。
- [事前割り当てを許可]、[バンドルで許可]、[メインとして許可] オプションは、モデルカテゴリに資産クラスが指定されている場合にのみ使用できます。
- 資産クラスに [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、[バンドルで許可] オプションは使用できますが、[事前割り当てを許可] や [メインとして許可] は使用できません。
- 資産追跡を必要とするモデル カテゴリから CI を作成すると、モデル カテゴリで指定された資産クラスの資産レコードが自動的に作成されます。次に、その資産レコードを CI にリンクします。モデルが指定されている場合、CI のモデル カテゴリは、CI クラスと、モデルによってサポートされるカテゴリのリストの組み合わせによって決定されます。資産追跡はモデル レコードで指定されます。
- CI 追跡を必要とするモデル カテゴリから資産を作成すると、カテゴリによって指定されたクラスの CIレコードが自動的に作成され、資産にリンクされます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > アドミンセンター > モデルカテゴリ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
[新しいモデル カテゴリの作成] ページが表示されます。
3. フォームで、詳細を入力します。

モデル カテゴリ フィールド

フィールド	説明
名前	Service Catalog ポータルでのこのモデルカテゴリの表示名。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
親カテゴリ	このカテゴリの親として選択した既存のカテゴリ。
UNSPSC コード	製品カテゴリの国連標準製品およびサービスコード。
写真またはアイコン	Service Catalog ポータル上のモデルカテゴリの視覚的表現。
CI クラス	CIクラスが必要な場合は、モデル カテゴリの作成時に指定する必要があります。後で CI クラスをモデルカテゴリに追加することはできません。
資産クラス	デフォルト オプションと作成した新規の資産クラス。資産クラスを設定すると、選択したモデル カテゴリに応じて資産の作成が発動されます。資産クラスはモデルカテゴリに後で追加することはできますが、追加後に変更することはできません。消耗品またはソフトウェア ライセンスが CI を作成しないため、[消耗品] または [ソフトウェア ライセンス] を選択すると、**[CI** クラス] フィールドが読み取り専用になります。CI クラスを指定してから [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、**[CI** クラス] フィールドは自動的に [なし] に変更されます。 ○ 資産：個別に追跡できるアイテム。 ○ 消耗品：キーボードなど個別に追跡されない資産。 ○ ハードウェア：ラップトップやサーバーなどのコンピューター機器の物理的な部品。 ○ ソフトウェア ライセンス：許可されたインストール数や配賦条件など、ソフトウェアの使用を定義する法的申告。
事前割り当てを許可	このカテゴリーのアイテムを割り当て資産として追加、追跡します。
バンドルで許可	このカテゴリのアイテムをバンドルで使用します。
メインとして許可	このカテゴリのアイテムをバンドルのメインコンポーネントとして使用します。
CI 検証を強制	CI が手動で追加されたときやディスカバリーで検出されたとき、特定のモデル カテゴリで資産を自動的に作成しないようにします。このオプションを使用すると、新しい CI を資産として追加する前に管理者が新しい CI をレビューおよび検証できます。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   カスタムモデルカテゴリが作成されます。[製品モデル] タブに詳細を入力することで、新しく作成されたモデルカテゴリで追加の構成を実行できます。

エンタープライズモデルの代替モデルを追加する

エンタープライズモデルレコードで、エンタープライズモデルを置き換えることができる関連モデルを指定します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、Enterprise モデル管理ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブ、または [建設] などの特定のモデル カテゴリのタブを選択します。
3. 利用可能なエンタープライズモデルのリストから、代替モデルを追加するエンタープライズモデルを選択します。
4. Enterprise モデルレコードの [代替] タブで、特定の Enterprise モデルの代替モデルを追加します。

   a. [代替] タブで、 [追加] を選択します。

   b. [代替モデルを追加] ダイアログ ボックスで、代替モデルとして追加する各モデルのチェックボックスをオンにします。

      注:
      ダイアログボックスには、特定のエンタープライズモデルと同じ資産追跡戦略を持ち、ビルドの状態がないエンタープライズモデルのみが表示されます。

   c. [追加] を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、「 代替」 タブに戻ります。

   d. [代替] タブで、[リストを更新] アイコン ([ を選択して、新しく追加された代替モデルのリストを入力します。

エンタープライズモデルの正規化

エンタープライズモデルを標準化するには、データを正規化する必要があります。正規化プロセスでは、エンタープライズモデルのメーカー、モデル名、モデル番号、モデルタイプのデータを正規化できます。

特定のモデルタイプ、ライブラリ、または製品モデルがコンテンツサービスに エンタープライズ資産管理 表示されていない場合は、次のタスクを実行できます。

- カスタムエンタープライズモデルタイプを作成する
- カスタム Enterprise モデル ライブラリを作成する
- カスタムエンタープライズ製品モデルの作成

カスタム **Enterprise** モデルタイプの作成

コンテンツサービスに エンタープライズ資産管理 まだ表示されていないエンタープライズモデルタイプがある場合は、カスタムモデルタイプを作成できます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Enterprise** 資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタム **Enterprise** モデルの種類] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームの詳細を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
名前	エンタープライズモデルタイプの名前を表示します。
UNSPSC 商品 ID	モデルタイプの国連標準製品とサービスコード。
説明	エンタープライズモデルタイプの詳細な説明。
アクティブ	モデルがアクティブであることを示します。

5. **[Save** (保存)] を選択します。
   モデルタイプが作成されたら、モデルタイプを正規化します。

カスタム **Enterprise** モデルライブラリを作成

Content Service に エンタープライズ資産管理 まだ表示されていない Enterprise モデルライブラリがある場合は、カスタムモデルライブラリを作成できます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Enterprise** 資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタム **Enterprise** モデル ライブラリ] タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームの詳細を入力します。

フィールド	説明
モデル番号	モデルに番号を割り当てます。
モデル名	モデルの名前。
説明	モデルの詳細な説明。
アクティブ	モデルがアクティブであることを示します。
コンテンツサービスから除外	オプトインした場合でも、モデルライブラリの詳細がコンテンツサービスへの エンタープライズ資産管理 転送から除外されるオプション。

5. **[Save** (保存)] を選択します。
   モデルライブラリが作成されたら、モデルライブラリを正規化します。

カスタムエンタープライズ製品モデルの作成

コンテンツサービスに エンタープライズ資産管理 まだ表示されていない製品モデルがある場合は、カスタム製品モデルを作成できます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Enterprise** 資産ワークスペース > 正規化.
2. カスタム **Enterprise** 製品モデル タブを選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームの詳細を入力します。

フィールド	説明
モデル名	エンタープライズ製品モデルの名前。
メーカー	エンタープライズ製品モデルのメーカーの名前。
モデルタイプ	モデルタイプ。
説明	製品モデルの詳細な説明。
アクティブ	モデルがアクティブであることを示します。
コンテンツサービスから除外	オプトインした場合でも、製品モデルの詳細がコンテンツサービスへの エンタープライズ資産管理 転送から除外されるオプション。

5. **[Save** (保存)] を選択します。
   製品モデルが作成されたら、製品モデルを正規化します。

エンタープライズ資産の契約の作成と管理

エンタープライズ資産の契約を作成し、有効期限が近づいている契約または既に期限切れの契約に対してアクションを実行してそれらを管理します。

契約の作成

リース、保険、保守、保証、購入契約、機密保持、契約条件、サービス、発注書、ソフトウェアライセンス、サブスクリプション契約など、エンタープライズ資産のさまざまなタイプの契約を作成できます。

契約は、2 つ以上の当事者間の相互の義務を定義する法的拘束力のある契約です。これらの義務には、契約の開始日と終了日、契約条件、更新情報、財務条件、対象ユーザーまたは資産が含まれます。

エンタープライズ資産の保険、メンテナンス、保証、購入契約、機密保持、契約条件、サービス契約を作成する方法の詳細については、「」を参照してください 契約を作成する。 リースされたエンタープライズ資産の契約を作成する方法の詳細については、次を参照してください リースされたエンタープライズ資産の契約を作成する。

契約の管理

有効期限が近づいている、またはすでに期限切れになっている特定のエンタープライズ資産契約に対してアクションを実行できます。

メンテナンスまたは保証契約の有効期限が近づいているか、すでに期限切れになっている場合は、契約更新ワークフローを使用して契約を更新できます。期限切れ間近の保守/保証契約の更新の詳細については、「」を参照してください 契約更改ワークフロー。

リース契約の有効期限が近づいているか、すでに期限が切れている場合は、以下を選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 関連するエンタープライズ資産を資産ベンダーに返却し、
- 関連するエンタープライズ資産を買い取り、資産在庫に恒久的に追加できるようにします。
- または契約を延長します。

期限切れ間近のリース契約の管理の詳細については、「」を参照してください リースされたエンタープライズ資産の期限切れ間近の契約を管理。

リースされたエンタープライズ資産の契約を作成する

エンタープライズ資産のリース詳細を定義する契約を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

次の手順では、リースされたエンタープライズ資産のみの契約を作成する方法について説明します。他のタイプの契約を作成する方法については、「 契約管理 」を参照してください。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、契約とリースの管理ビューを開きます。
2. リース契約 タブで、新規 を選択します。
3. 新規契約を作成フォームのフィールドに入力します。
   各フィールドの詳細については、「」を参照してください の契約フィールド エンタープライズ資産管理 。
4. **[Save** (保存)] を選択します。
   リース契約の新しい契約レコードが作成されます。
5. リース契約の契約条件を作成します。
   リース契約の契約条件を作成する前に、契約条件レコードを作成して契約に追加する必要があります。契約条件レコードの作成方法の詳細については、「 契約条件レコードを作成する 」を参照してください。契約に契約条件レコードを追加する方法の詳細については、「 契約に契約条件を追加する 」を参照してください。

   a. リース契約レコードヘッダーで、[その他のアクション] アイコン ([•••
   b. プロンプトが表示されたら、[契約条件の作成] を選択します。
   リース契約の契約条件が作成され、リース契約レコードの [契約履歴] タブに追加されます。[契約履歴] タブで、[契約開始] フィールドの日付を選択して、リース契約の完全な契約条件を表示できます。
6. リース契約の対象となるすべてのエンタープライズ資産を追加します。

   注:
   マルチコンポーネントモデルからマルチコンポーネント資産を作成した場合は、親資産のみをリース契約に追加できます。関連する子資産をリース契約に追加することはできません。マルチコンポーネントアセットの詳細を参照してください のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理 。

   a. リース契約レコードの 対象資産 タブで、 追加 を選択します。
   [アセットを追加] ダイアログボックスが開きます。

   b. ダイアログボックスで、リース契約の対象となる各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> ダイアログボックスには、別のアクティブなリース契約でまだカバーされていないエンタープライズ資産のみが表示されます。

c. [追加] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[対象資産] タブが自動的に再ロードされ、追加したすべてのエンタープライズ資産のリストが表示されます。

7. リース契約の対象となる各エンタープライズ資産のコストを追跡するための経費明細を作成します。

a. リース契約レコードの 経費 明細行 タブで、 新規 を選択します。

b. [新規経費明細を作成] フォームのフィールドに入力します。

各フィールドの詳細については、「」を参照してください の経費ラインフィールド エンタープライズ資産管理 。

c. **[Save** (保存)] を選択します。
選択したエンタープライズ資産の新しい経費明細レコードが作成されます。

d. 経費ラインレコードを閉じて、リース契約レコードの [経費ライン] タブに戻ります。

e. 作成する経費ラインごとに手順 a から d を繰り返します。

8. リース契約に関連付ける子契約を作成します。

a. リース契約レコードの 子契約 タブで、 新規 を選択します。

b. [新規契約を作成] フォームの [契約モデル] フィールドで、作成する契約のタイプを検索して選択します。

c. リース契約の構成に使用したのと同じ手順 (手順 3 ～ 7) に従って、子契約を設定します。

d. [レビューのため送信] を選択します。
レビュー通知は、子契約レコードの [承認者] フィールドで指定したユーザーに送信されます。
子契約を確認した後、ユーザーはそれを承認または却下できます。

e. 作成するすべての子契約について、手順 a ～ d を繰り返します。

9. [レビューのため送信] を選択します。
リース契約レコードの [承認者] フィールドで指定したユーザーにレビュー通知が送信されます。
リース契約を確認した後、ユーザーはそれを承認または拒否できます。

リースされたエンタープライズ資産の期限切れ間近の契約を管理

契約とリースの管理ビューを使用して、契約の終了が近づいているリースされたエンタープライズ資産を追跡し、アクションを実行できます。リースされたエンタープライズ資産を返却するか、リースされたエンタープライズ資産を買い取るか、リース契約を延長するかを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リース管理フロー

特定のエンタープライズ資産のリース契約の有効期限が近づくと、 エンタープライズ資産管理 契約が間もなく期限切れになることを通知する通知が自動的に送信されます。この有効期限通知のタイミング、内容、および受信者をカスタマイズするには、次に移動します。 システム通知 > メール > **Notifications** をクリックし、利用可能なメール通知のリストから [契約しきい値違反 **(Contract Threshold breached**)] を選択します。

いずれかのリース契約の有効期限通知を受信したら、その契約のリース終了プロセスを開始できます。

注:
リース終了プロセスは、90 日以内に期限切れになるが [サブステート] が [期限切れ] になっていないアクティブなリース契約に対してのみ開始できます。**[Substate]** が **[Expiring]** の場合は、その契約のリース終了プロセスが既に開始されていることを示します。

リース終了プロセスが開始されると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、関連するエンタープライズ資産またはリース契約自体に対して実行するアクションを指定するために完了する必要がある計画タスクを自動的に生成します。以下を選択できます

- エンタープライズ資産を資産ベンダーに返却し、
- Enterprise 資産を買い取り、資産インベントリに恒久的に追加できるようにします。
- またはリース契約を延長します。

選択したアクションに基づいて、後続のすべてのタスクを実行し、リース終了プロセスを完了し、リース契約を期限切れサブステートから移動する必要があります。

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約のリース終了プロセスの開始

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約のリース終了プロセスを開始して、関連するエンタープライズ資産を返却したり、関連するエンタープライズ資産を買い取ったり、リース契約を延長したりできるようにします。

始める前に

重要:
リース終了プロセスは、90 日以内に期限切れになるが [サブステート] が [期限切れ] になっていないアクティブなリース契約に対してのみ開始できます。**[Substate]** が **[Expiring]** の場合は、その契約のリース終了プロセスが既に開始されていることを示します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、契約とリースの管理ビューを開きます。
2. リース契約 タブで、契約を返却、買収、または延長するエンタープライズ資産のリース契約を選択します。
   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約レコード ヘッダーで、 リース終了プロセスの開始 を選択します。
4. 契約のリース終了プロセスを開始することを確認するメッセージが表示されたら、 **OK** を選択します。

タスクの結果

指定されたリース契約のリース終了プロセスが開始されます。その後、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションはリース契約の計画タスクを自動的に生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
リース契約の計画タスクを完了して、関連するエンタープライズ資産またはリース契約自体に対して実行するアクションを指定できるようにします。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了する」を参照してください。

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了する

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了して、関連するエンタープライズ資産の返却、関連するエンタープライズ資産の買い取り、またはリース契約の延長のいずれかを続行できるようにします。

始める前に
期限切れ間近のリース契約の計画タスクを生成するには、その契約のリース終了プロセスを開始する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約のリース終了プロセスの開始」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

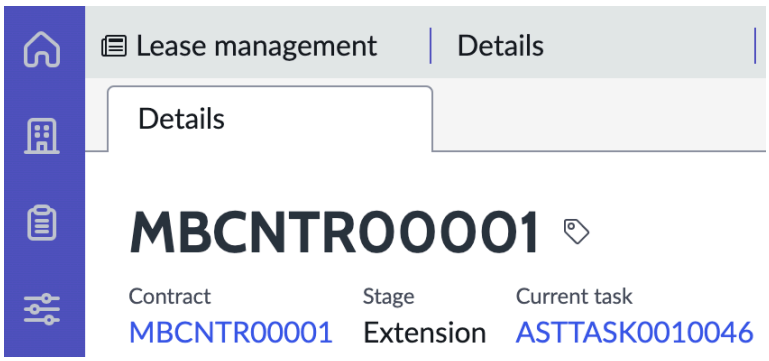
手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、契約とリースの管理ビューを開きます。
2. [リースエンド資産] タブで、契約を返却、買収、または延長するエンタープライズ資産のリース契約を選択します。

   注:
   計画段階にあるリース契約を選択する必要があります。

   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 計画タスク のタスク番号を選択します。

   または、リース契約レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   計画タスクが開きます。
4. 計画タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
番号	計画タスクの識別と追跡に使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
ロケーション	関連する企業資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
リースアクション	関連するエンタープライズ資産に対して実行するアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ 戻る ○ 拡張 **注:** このオプションを選択すると、 エンタープライズ資産管理 リース契約延長の発注書と発注明細が自動的に作成されます。 ○ 買収 **注:** このオプションを選択すると、アプリケーションによって エンタープライズ資産管理 エンタープライズ資産の買収の発注書と発注明細が自動的に作成されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

5. [タスクのクローズ] を選択します。

タスクの結果
計画タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的にクローズされます。

次のタスク
[リースアクション] フィールドで選択したアクションに基づいて、関連するエンタープライズ資産の返却、関連するエンタープライズ資産の買い取り、またはリース契約の延長に必要なすべてのタスクを完了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リースされた企業資産を返却する

対応するリース契約が期限切れになる前に、リースされたエンタープライズ資産を資産ベンダーに返却します。

始める前に

リースされたエンタープライズ資産の返却に進む前に、関連するリース契約の計画タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

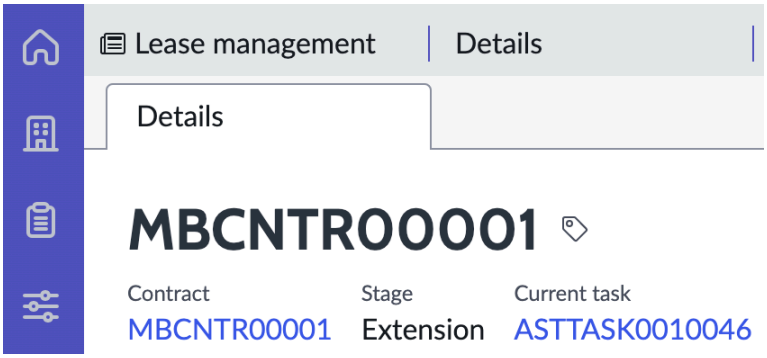
> **注:**
> sn_eam.enterprise_asset_technician ロールは、収集、準備、および出荷タスクを実行することもできます。ただし、このロールは、エンタープライズ資産の概要で利用可能な リース終了タスクの クイックリンクカードを介してのみ、これらのタスクを実行できます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、契約とリースの管理ビューを開きます。
2. リースエンド資産 タブで、返却するエンタープライズ資産のリース契約を選択します。
   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約の回収タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、返却するエンタープライズ資産を収集する必要があります。

   a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 回収 タスクのタスク番号を選択します。

   または、リース契約レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   [収集] タスクが開きます。

   b. 収集タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
番号	収集タスクを識別および追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
ロケーション	関連する企業資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
資産の収集	
収集された資産	関連するエンタープライズ資産が返却のために収集されたかどうかを示すオプション。 [はい] を選択すると、[収集済み資産] フィールドの横に [ストックルーム] フィールドが表示されます。[ストックルーム] フィールドで、関連するエンタープライズ資産の収集元のストックルームを検索して選択します。 [いいえ] を選択すると、[収集された資産] フィールドの横に [アクションの変更] フィールドが表示されます。[アクションの変更] フィールドで、リース アクションをエンタープライズ資産の買収またはリース契約延長のいずれかに変更するオプションを選択します。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [タスクのクローズ] を選択します。
収集タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスが [完了してクローズ] になります。

収集済み資産 フィールドを はい に設定すると、関連するエンタープライズ資産の資産レコードの サブステート フィールドが 保留中の転送 に変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

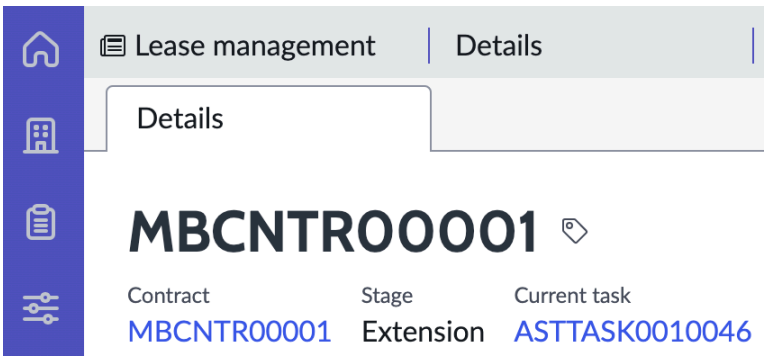
[収集された資産] フィールドを [いいえ] に設定した場合は、次のいずれかのオプションに進みます。

- リース・アクションをエンタープライズ資産の買収に変更した場合は、「」に進みます リースされた企業資産の買い取り。
- リースアクションをリース契約延長に変更した場合は、「」に進みます エンタープライズ資産のリース契約を延長する。

4. リース契約の準備タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産を返却する準備をする必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 準備 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



準備タスクが開きます。

b. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
番号	準備タスクの識別と追跡に使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
ロケーション	関連する企業資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

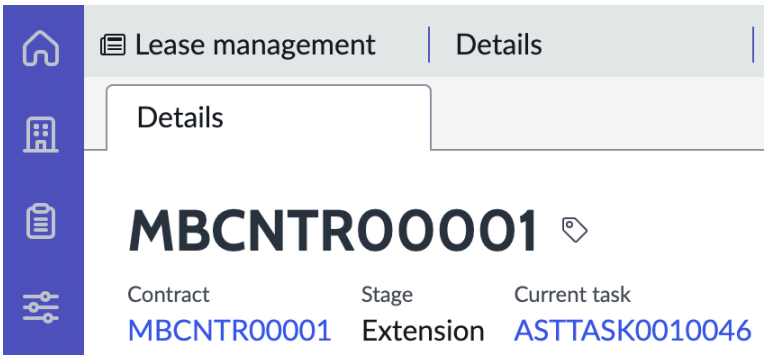
フィールド	説明
説明	タスクの詳細な説明。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [タスクのクローズ] を選択します。
準備タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスが [完了してクローズ] になります。

5. リース契約の出荷タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 出荷 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



出荷タスクが開きます。

b. 出荷タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
番号	出荷タスクの識別と追跡に使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
ロケーション	関連する企業資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
出荷	
配送業者	関連するエンタープライズ資産を出荷した配送業者。
出荷日	関連するエンタープライズ資産を出荷した日付。
追跡番号	出荷のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

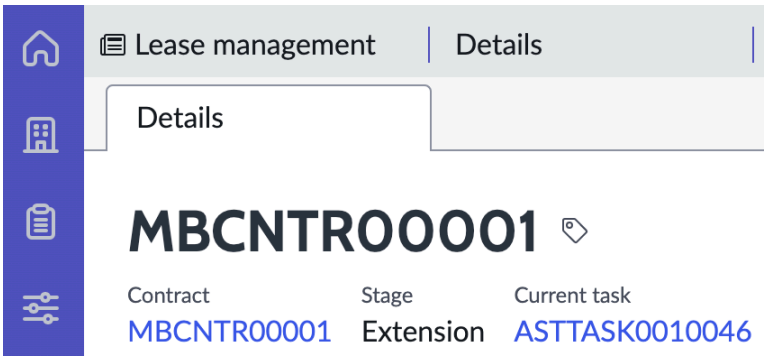
c. [タスクのクローズ] を選択します。
出荷タスクは自動的にクローズされ、ステータスが [完了してクローズ] に更新されます。

関連するエンタープライズ資産の資産レコードで、[状態] フィールドが [輸送中] に変わります。

6. リース契約の返却確認タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーは、返却されたエンタープライズ資産を受け取ったかどうかを確認する必要があります。資産ベンダーは、返却されたエンタープライズ資産に対して受領する決済支払についても通知する必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 返却確認 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



返却確認タスクが開きます。

b. 返却確認タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
番号	返却確認タスクを識別および追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
ロケーション	関連する企業資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
返信の詳細	
返却確認	関連付けられたエンタープライズ資産が正常に返却されたかどうかを示すオプション。 返却確認タスクを完了するには、このフィールドを はい に設定する必要があります。
決済	返却したエンタープライズ資産の決済支払いを受け取るかどうかを示すオプション。 はい を選択すると、決済 フィールドの下に決済金額 フィールドが表示されます。[決済金額] フィールドに、決済支払から受け取る合計金額を入力します。エンタープライズ資産管理アプリケーションはこの情報を使用して、決済支払い用の発注書と発注明細を自動的に作成できます。 **注:** [決済金額] フィールドは、任意の通貨に設定できます。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

自動翻訳

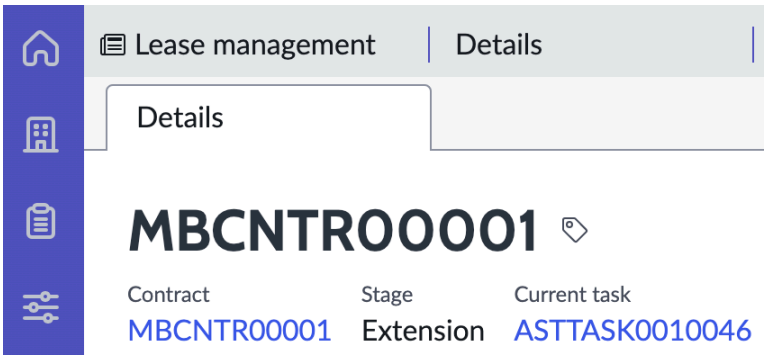
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [タスクのクローズ] を選択します。
返却確認タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的にクローズされます。

7. 返品確認タスクで 決済 フィールドを はい に設定した場合は、対応する返品決済タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーが決済支払で指定された金額を払い戻す必要があります。

a. リース契約レコードの 契約資産 タスク タブで、 返却決済 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



返品決済タスクが開きます。

注:
[状態] フィールドを除き、返却決済タスクのすべての編集可能なフィールドは、返却確認タスクで入力した対応するフィールドに基づいて事前に入力されます。[発注書] フィールドと [発注明細] フィールドには、ステップ 7 で決済支払い用にアプリケーションによってエンタープライズ資産管理自動的に作成された発注書と発注明細が事前に入力されています。

b. [詳細] タブの [返品の詳細] セクションで、[発注書] フィールドの [レコードを開く] アイコン ([ⓘ]を選択します。
発注書レコードが開きます。

c. [注文] を選択します。

d. ページが再読み込みされたら、 受信 を選択します。
フォームが閉じ、自動的に発注書レコードに戻ります。このレコードは、ステータスが [受領済み] になっています。

e. 発注書レコードを閉じて、返却決済タスクに戻ります。

f. [タスクのクローズ] を選択します。
返品決済タスクは、更新された [完了してクローズ] ステータスで自動的にクローズされます。

タスクの結果
リースされたエンタープライズ資産を正常に返却すると、対応する資産レコードの [状態] フィールドと [サブステート] フィールドが [廃止] と [リース返却] に変わります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リースされた企業資産の買い取り

対応するリース契約が期限切れになる前に、リースされたエンタープライズ資産を買い取ります。

始める前に
リースされたエンタープライズ資産の買い取りに進む前に、関連するリース契約の計画タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了する」を参照してください。

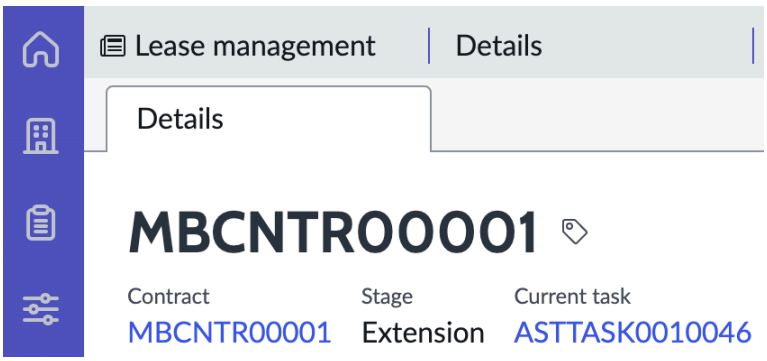
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、契約とリースの管理ビューを開きます。
2. リースエンド資産 タブで、買い取るエンタープライズ資産のリース契約を選択します。
   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約の買収タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーに買収日と金額を確認する必要があります。

   a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 買収 タスクのタスク番号を選択します。

   または、リース契約レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   買収タスクが開きます。

   b. 買収タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
番号	買収タスクの識別と追跡に使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
ロケーション	関連する企業資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	タスクの状態。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

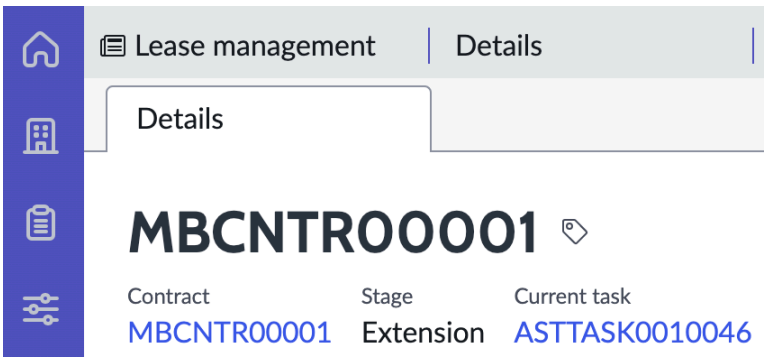
フィールド	説明
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
買収の詳細	
買収日	関連するエンタープライズ資産を買い取る日付。
買収金額	関連するエンタープライズ資産を買い取るためのコスト。 注: このフィールドは、任意の通貨に設定できます。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [タスクのクローズ] を選択します。
買収タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的にクローズされます。

4. リース契約の買収確認タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、確認済みの買収日までに確認済みの買収金額を資産ベンダーに支払う必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 買収確認 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



買収確認タスクが開きます。

注:
[State] フィールドと追加の **[Buyout]** 確認フィールドを除き、[Buyout] 確認タスクのすべての編集可能なフィールドは、[Buyout] タスクで入力した対応するフィールドに基づいて事前入力されます。[発注書] および [発注明細] フィールドには、計画タスクでのエンタープライズ資産の買収用にアプリケーションによってエンタープライズ資産管理自動的に作成された発注書と発注明細が事前に入力されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [詳細] タブの [買収の詳細] セクションで、[買収確認] フィールドを [はい] に設定します。
このフィールドは、エンタープライズ資産を正常に買い取ったかどうかを示します。

c. 同じセクションで、[発注書] フィールドの [レコードを開く] アイコン ([ⓘを選択します。
発注書レコードが開きます。

d. [注文] を選択します。

e. ページが再読み込みされたら、 受信 を選択します。
フォームが閉じ、自動的に発注書レコードに戻ります。このレコードは、ステータスが [受領済み] になっています。

f. 発注書レコードを閉じて、買収確認タスクに戻ります。

g. [Buyout] 確認タスクで、[**Close Task**] を選択します。
買収確認タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にクローズされます。

タスクの結果

エンタープライズ資産を正常に買い取ると、リース契約レコードの [削除日] フィールドが、すべての買収タスクを完了した日付で自動的に更新されます。この日付以降は、このリース契約レコードを介してエンタープライズ資産を追跡することはできなくなります。

エンタープライズ資産のリース契約を延長する

エンタープライズ資産のリース契約が期限切れになる前に延長します。

始める前に

リース契約の延長に進む前に、関連する計画タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

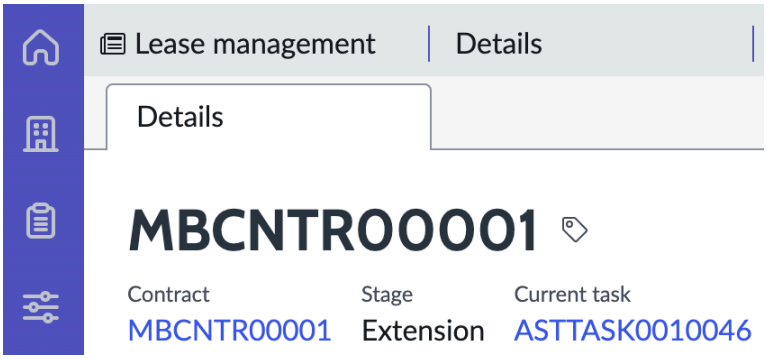
手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、契約とリースの管理ビューを開きます。
2. リース終了資産 タブで、延長するリース契約を選択します。
   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約の拡張タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、リース契約延長の詳細を資産ベンダーに確認する必要があります。これらの詳細には、リース契約延長の開始日、終了日、およびコストが含まれます。

   a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 拡張 タスクのタスク番号を選択します。

   または、リース契約レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



拡張タスクが開きます。

b. 拡張タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
契約資産タスク	
番号	拡張タスクを識別および追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
ロケーション	関連する企業資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	作業メモがタスクに追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
拡張の詳細	
拡張開始日	リース契約延長を開始する日付。
拡張終了日	リース契約延長を終了する日付。
拡張コスト	リース契約を延長するためのコスト。 注: このフィールドは、任意の通貨に設定できます。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

自動翻訳

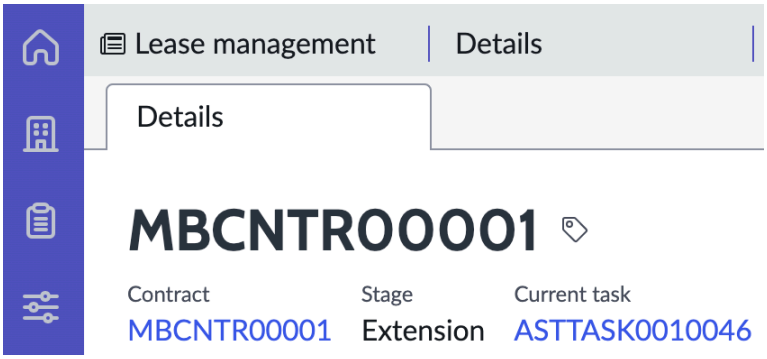
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [タスクのクローズ] を選択します。
拡張タスクは、更新された [完了してクローズ] ステータスで自動的にクローズされます。

4. リース契約の延長確認タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、拡張コストで指定された金額を資産ベンダーに支払う必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 延長確認 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



延長確認タスクが開きます。

> 注:
> [ステータス] フィールドと追加の延長確認フィールドを除き、延長確認タスクのすべての編集可能なフィールドは、延長タスクに入力した対応するフィールドに基づいて事前に入力されます。[発注書] および [発注明細] フィールドには、計画タスクのリース契約延長に対してアプリケーションによってエンタープライズ資産管理自動的に作成された発注書と発注明細が事前に入力されています。

b. [詳細] タブの [拡張機能の詳細] セクションで、[拡張の確認] フィールドを [はい] に設定します。
このフィールドは、リース契約が正常に延長されたかどうかを示します。

c. 同じセクションで、[発注書] フィールドの [レコードを開く] アイコン ([ⓘ]を選択します。
発注書レコードが開きます。

d. [注文] を選択します。

e. ページが再読み込みされたら、 受信 を選択します。
フォームが閉じ、自動的に発注書レコードに戻ります。このレコードは、ステータスが [受領済み] になっています。

f. 発注書レコードを閉じて、拡張確認タスクに戻ります。

g. 延長確認タスクで、 タスクのクローズ を選択します。
延長確認タスクは、[完了してクローズ] の更新されたステータスで自動的にクローズされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
リース契約を正常に延長すると、リース契約レコードの [有効期限] フィールドが [期限切れ] に変更されます。エンタープライズ資産管理アプリケーションは、**EXT_<*expired-lease-contract*>** という名前の延長リース契約の新しいレコードを作成します。新しいリース契約レコードは、元のリース契約レコードでカバーされていたものと同じエンタープライズ資産をすべてカバーします。

エンタープライズ資産運用の管理

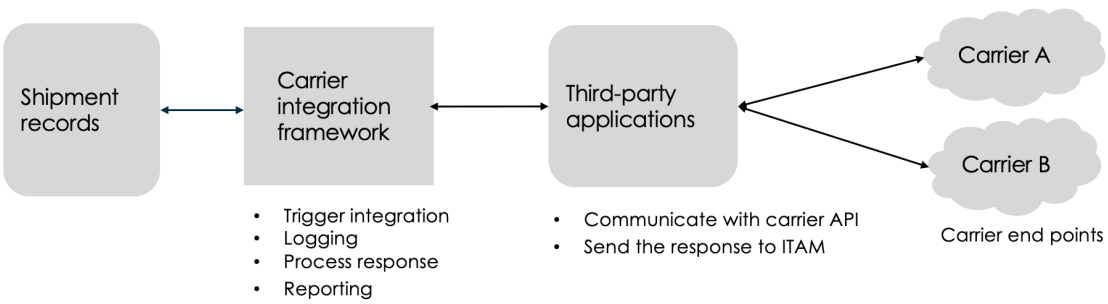
エンタープライズ資産運用を管理して、出荷、オンボーディング要求とタスク、および移動オーダーを追跡および管理します。

資産運用を管理するには、次のタスクを実行します。

- 出荷の作成と表示
- オンボーディングの要求とタスクの表示
- 移動オーダーの作成と表示

エンタープライズ資産の出荷の管理

統合フレームワークを使用してIT Asset Managementアプリケーションをサードパーティの配送業者と統合エンタープライズ資産管理することで、エンタープライズ資産の出荷をリアルタイムで追跡および管理します。



必須条件

アプリケーションをサードパーティの配送業者と統合 エンタープライズ資産管理 する前に、配送業者は次の前提条件を満たす必要があります。

- サードパーティアプリケーションのクロススコープアクセスを有効にします。
- サードパーティアプリケーションに接続して出荷の詳細をリアルタイムで取得できるように、ベース ITAMShipmentIntegration スクリプトを拡張するスクリプトインクルードを作成します。
  - スクリプトインクルードは IT Asset Management 、アプリケーションスコープで使用できる必要があります。ただし、[発信者アクセス] は制限されておらず、[アクセス可能] フィールドがすべてのアプリケーションスコープで利用可能である必要があります。
  - ビジネスロジックを fetchShipmentinfo 関数内に実装して、追跡番号に基づいて配送業者 API と通信できるようにする必要があります。配送業者 API は、サードパーティアプリケーションに接続し、出荷の詳細を取得するために必要です。
  - fetchShipmentinfo関数は、次のHTTPレスポンスコードとメッセージを含むJSONオブジェクトを返す必要があります。

```
{
httpResponseCode: 200, httpResponseMessage: 'SUCCESS'
}
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スクリプトインクルードがテストモードの場合、配送業者は配送業者 API を呼び出して、サードパーティアプリケーションへの接続を検証します。出荷配送業者は、応答を確認して返すか、出荷を照会して、次の応答形式を使用して processResponse 関数を呼び出すことができます。

```
[
{
trackingNumber: '',
deliveryDate: '',
pickupDate: '',
packageStatus: ''.
statusDetail: '',
trackingURL: '',
parcelWeight: '',
deliveryServicesCost: '',
currency: ''
}
 ]
```

  配送業者が processResponse 関数を呼び出す場合、関数の完了後に応答を返す必要があります。

- 適切な名前、キャリア API の詳細、および接続の詳細を使用して、統合プロファイルを作成します。この統合プロファイルを使用すると、サードパーティアプリケーションに接続して出荷の詳細を取得できるようになります。
- サードパーティアプリケーションが認証情報 [discovery_credentials] テーブルまたは Password2 フィールドを持つその他のServiceNowテーブルを使用する場合はServiceNow、KMF アクセスマップポリシーを指定して、これらのテーブルにアクセスできるようにします。KMF アクセスマップポリシーの詳細については、「」を参照してください Password2 encryption with the Key Management Framework (KMF)。

出荷配送業者がこれらの前提条件を満たした後、次の追加の前提条件を完了する必要があります。

- 統合プロファイルに接続および資格情報エイリアスを介した接続の詳細が含まれている場合は、キャリア API を正常に認証して接続できるように、必要に応じてそれらの詳細を更新します。
- 配送業者を統合プロファイルに関連付けます。

サードパーティの配送業者統合のスクリプトインクルード

アプリケーションをサードパーティの配送業者と統合 エンタープライズ資産管理 する前に、その配送業者がベース ITAMShipmentIntegration スクリプトを拡張するスクリプトインクルードを作成する必要があります。このスクリプトを拡張することで、サードパーティの配送業者アプリケーションに接続し、リアルタイムで出荷の詳細を取得できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルードの構造

```
var ITAMShipmentIntegration = Class.create();
ITAMShipmentIntegration.prototype = {
    initialize: function() {
    },

    /**
     * Encapsulates communication with end point and fetching tracking info
     * If used in test mode, only response details would be returned
     * Else this API should invoke processResponse with the shipment details and return response code, message
     *
     * @param {array of string} trackingNumbers Shipment tracking numbers
     * @param {string} mode Can be 'test' or empty string
     */
    fetchShipmentInfo: function (trackingNumbers, mode) {
        // Communicate with API
        // Process the response
        // If mode === 'test' return response
        // Else Invoke post processing function and then return response
        /**
         * Expected response format to be passed to processResponse: array of objects
         * where each object corresponds to a single shipment
         *
         * Expected response format to be returned: JSON object with keys - httpResponseCode, httpResponseMessage
         * httpResponseCode - response code
         * httpResponseMessage - detailed message
         */
    },

    /**
     * Encapsulates to update shipment records with the response received
     *
     * @param {array of objects} response Response from API
     * Expected response format: array of JSON, where each JSON would have values with below keys
     * trackingNumber, deliveryDate, pickupDate, packageStatus, statusDetail, trackingURL
     */
    processResponse: function (response) {
        // Update shipment records
        if (!gs.nil(response)) {
            var mappingObj = sn_itam_common.ITAMIntegrationUtil.SHIPMENT_RESPONSE_COL_MAPPING;
            response.forEach(function(recordObj) {
                var shipmentRecord = new global.GlideQuery(sn_itam_common.ITAMIntegrationUtil.SHIPMENT_TABLE)
                    .where('tracking_number', recordObj.trackingNumber)
                    .where('stage', '!=', 'cancelled')
                    .toGlideRecord();
                shipmentRecord.query();
                while (shipmentRecord.next()) {
                    for (col in mappingObj) {
                        var value = recordObj[mappingObj[col]];
                        if (gs.nil(value)) {
                            shipmentRecord.setValue(col, null);
                        } else {
                            shipmentRecord.setValue(col, value);
                        }
                    }
                    shipmentRecord.update();
                }
            });
        }
    },

    type: 'ITAMShipmentIntegration'
```

fetchShipmentInfo 関数

ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルード内の fetchShipmentInfo 関数は、インスタンスから ServiceNow 追跡番号を取得し、配送業者 API を呼び出してそれらの追跡番号の出荷の詳細をフェッチします。追跡番号に基づいて配送業者 API との通信を有効にするには、配送業者が fetchShipmentInfo 関数内で対応するビジネスロジックを定義する必要があります。この関数は、キャリア API からの応答を処理し、processResponse 関数を開始します。

processResponse 関数

ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルード内の processResponse 関数は、配送業者 API から応答を取得し、次の配送業者の詳細で出荷レコードを更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 配送業者リンク
- 配送業者ステータス
- 配送業者ステータスの詳細
- 配送業者の集荷日
- 配送業者配送日
- 通貨
- 配送サービスコスト
- パーセルの重み付け

重要:
アプリケーションは、 IT Asset Management この関数内のビジネスロジックを自動的に定義します。ビジネスロジックは変更しないでください。

でサードパーティの配送業者と統合する **Enterprise Asset** ワークスペース

アプリケーションをサードパーティの配送業者と統合 エンタープライズ資産管理 して、エンタープライズ資産の出荷のリアルタイムステータスを追跡できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. Enterprise Asset ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 出荷 > 配送業者.
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
名前	配送業者の名前。
メール	配送業者のメールアドレス。
統合プロファイル	サードパーティの配送業者アプリケーションへの接続に使用している統合プロファイル。 **注:** 統合プロファイルは、各配送業者によって自動的に作成されます。
ステータス	配送業者のステータス。
電話	配送業者の電話番号。
Web サイト	配送業者のサードパーティ Web サイト。
会社	FedEx や UPS などの出荷配送業者の会社名。
メモ	配送業者に関する追加のメモ。

5. **[Save** (保存)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でサードパーティの配送業者を統合プロファイルに関連付ける **Enterprise Asset** ワークスペース

サードパーティの配送業者を統合プロファイルに関連付けて、その配送業者に正常に接続できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて

各配送業者は、一度に 1 つのアクティブな統合プロファイルにのみ関連付けることができます。統合プロファイルのいずれかが出荷配送業者にまだ関連付けられていない場合は、の Enterprise Asset ワークスペース在庫ビューで [マップされていない配送業者プロファイル] の重要なアクションを使用して、それらの統合プロファイルを表示してアクションを実行できます。

手順

1. Enterprise Asset ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 出荷 > 配送業者統合プロファイル.
3. 配送業者を関連付ける統合プロファイルを選択します。
4. 統合プロファイルレコードで、[配送業者] タブを選択します。
5. 配送業者を統合プロファイルに関連付けます。
   - 既存の配送業者を統合プロファイルに関連付けるには、次の手順に従います。
     a. [追加] を選択します。

        [配送業者の追加] ダイアログ ボックスが開きます。

     b. ダイアログボックスで、統合プロファイルに関連付ける配送業者を検索して選択します。

        注:
        ダイアログボックスには、統合プロファイルにまだ関連付けられていない配送業者のみが表示されます。

     c. [追加] を選択します。
   - 新しい配送業者を統合プロファイルに関連付けるには、次の手順に従います。
     a. **[New** (新規)] を選択します。

     b. フォームのフィールドに入力します。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
名前	配送業者の名前。
メール	配送業者のメールアドレス。
統合プロファイル	配送業者への接続に使用している統合プロファイル。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	配送業者のステータス。
電話	配送業者の電話番号。
Web サイト	配送業者のサードパーティ Web サイト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
会社	FedEx や UPS などの出荷配送業者の会社名。
メモ	配送業者に関する追加のメモ。

c. **[Save** (保存)] を選択します。

タスクの結果
配送業者は統合プロファイルに関連付けられます。

で統合プロファイルからサードパーティの配送業者を削除する **Enterprise Asset** ワークスペース

統合プロファイルに関連付ける必要がなくなったサードパーティの配送業者を削除します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. Enterprise Asset ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 出荷 > 配送業者統合プロファイル.
3. 配送業者を削除する統合プロファイルを選択します。
4. 統合プロファイルレコードで、[配送業者] タブを選択します。
5. 削除する配送業者のチェックボックスをオンにします。
6. [削除] を選択します。

タスクの結果
出荷配送業者は統合プロファイルに関連付けられなくなります。

でサードパーティの配送業者の統合プロファイルをテストする **Enterprise Asset** ワークスペース

発生した接続の問題を軽減できるように、サードパーティの配送業者の統合プロファイルをテストします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. Enterprise Asset ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 出荷 > 配送業者統合プロファイル.
3. テストする統合プロファイルを選択します。
4. [テスト接続] を選択します。
   接続が成功したかどうかを示すメッセージが表示されます。

> **注:**
> 統合プロファイルが 3 回以上連続して接続に失敗した場合は、の Enterprise Asset ワークスペース[在庫] ビューで [配送業者統合失敗] の重要なアクションを使用して、対応する接続の問題を表示して対処できます。

エンタープライズ資産出荷の表示と追加

[出荷] リストを使用して、一元的な場所からすべてのアクティブなエンタープライズ資産出荷を表示します。既存の納品プランがリストに表示されない場合は、手動で追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician、sn_eam.enterprise_asset_manager、または sn_eam.enterprise_admin

注:
出荷を手動で追加できるのは、sn_eam.enterprise_admin ロールのみです。

このタスクについて
転送注文、発注書、移動注文、返品許可 (RMA) 注文、廃棄注文、再販注文、リコール注文、再利用要求、事前出荷通知 (ASN)、およびリース契約の出荷を表示および追加できます。

手順

1. Enterprise Asset ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 出荷 > 出荷.
3. アクティブなエンタープライズ資産の出荷の完全なリストを表示します。
   出荷を選択すると、出荷元や関連するエンタープライズ資産など、追加の出荷の詳細が表示されます。
4. 既存のエンタープライズ資産出荷がリストに表示されない場合は、手動で追加します。

   a. **[New** (新規)] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   新規出荷の作成フォーム

フィールド	説明
配送業者	エンタープライズ資産の出荷に経由した配送業者。
出荷日	エンタープライズ資産が出荷された日時。
出荷元	エンタープライズ資産の出荷元である地理的な場所。
受領日	貨物を受領した日時。
トラッキング番号	出荷のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。
出荷者	エンタープライズ資産を出荷したユーザー。
出荷先	エンタープライズ資産が出荷された地理的な場所。
受領者	出荷を受領したユーザー。
古いチェックを無視	出荷の古い小切手を無視するオプション。

   c. **[Save** (保存)] を選択します。

マルチアセットのオンボーディングプロセスを作成する

マルチアセットオンボーディング Playbook を作成して、複数の資産を一度にオンボーディングします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
マルチアセットオンボーディング Playbook を作成する前に、オンボーディング資産のカタログ要求が作成されていることを確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードを開いてフォーム上で変更する代わりに、Playbook で直接インライン編集を実行してレコード値を変更できます。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > 資産運用 > オンボーディングタスク.
2. マルチ資産オンボーディングプロセスを作成するオンボーディングタスクレコードを開きます。
3. **[Playbook]** タブを選択します。
   [Muti-asset オンボーディング (Muti-asset onboarding)] ページが開きます。
4. [モデルの詳細を確認] レーンで詳細を確認または入力します。
5. [完了としてマーク] を選択して、次のレーンに進みます。
   [モデルのレビュー] レーンで詳細の入力を完了すると、他のすべての資産のレビューアクティビティのロックが解除されます。
6. 最後のレーン (減価償却) に到達するまで、すべてのレーンの詳細を確認または入力し続けます。
7. すべてのレーンに [スキップ] または [完了] のステータスが表示されたら、[タスクをクローズ] を選択してマルチアセットのオンボーディングプロセスを完了します。
   資産が正常にオンボーディングされました。オンボーディングタスクが完了し、要求と要求アイテムのステータスが [完了してクローズ] に変わります。

エンタープライズ資産移動オーダーの管理

移動オーダーを使用して、使用中または消費済みのエンタープライズ資産をある場所から別の場所に移動できます。

移動オーダーを送信すると、 エンタープライズ資産管理 注文に含める各エンタープライズ資産のエンタープライズ移動明細行レコードが自動的に生成されます。これらのレコードにより、移動オーダーで各エンタープライズ資産の移動を個別に追跡および管理できます。

移動オーダー内のエンタープライズ移動ラインレコードごとに、特定のエンタープライズ資産の移動方法を指定する必要があります。エンタープライズ資産をサードパーティの配送業者を通じて出荷するか、エンタープライズ資産を出荷せずにローカルに移動するかを選択できます。選択したオプションに基づいて、後続のすべてのタスクを完了してエンタープライズ資産を移動し、エンタープライズ移動明細行レコードを 完了 の状態に更新する必要があります。移動オーダー内のすべてのエンタープライズ移動明細レコードが [完了] のステータスに達すると、移動オーダーは完了としてマークされます。

エンタープライズ資産移動オーダーの送信

エンタープライズ資産の移動オーダーは、の Enterprise Asset ワークスペース[在庫ServiceNow® サービスカタログ] ビューまたは [在庫] ビューから送信できます。

を介してエンタープライズ資産の移動オーダーを送信する サービスカタログ

ServiceNow® サービスカタログを使用して移動オーダーを送信し、使用中または消費済みのエンタープライズ資産を場所間で移動できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager またはエンドユーザー

> **注:**
> sn_eam.enterprise_asset_manager ロールは、展開内の任意のエンタープライズ資産の移動オーダーを送信できます。エンドユーザーロールは、割り当てられたエンタープライズ資産の移動オーダーのみを送信できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > **Enterprise** 資産のライフサイクル.
2. 利用可能なエンタープライズ資産ライフサイクルカタログアイテムのリストから、[資産移動オーダー] を選択します。
3. [資産移動オーダーを開始するカタログアイテム] フォームのフィールドに入力します。

資産移動オーダーフォームを開始するカタログアイテム

フィールド	説明
要求元	移動オーダーの送信対象のユーザー。このフィールドでユーザーを指定すると、移動オーダーには、そのユーザーにのみ割り当てられているエンタープライズ資産を含めることができます。
アサイン先グループ	移動オーダーをアサインするグループ。
アサイン先	移動オーダーをアサインするユーザー。
移動日付	エンタープライズ資産を移動する日付。
移動元の場所	エンタープライズ資産の移動元の場所。
配送先の場所	エンタープライズ資産の移動先の場所。
資産	移動オーダーに含めるエンタープライズ資産。[配送元の場所] フィールドで指定された場所にある任意のエンタープライズ資産から選択できます。 **注:** 子資産を含むエンタープライズ資産を選択すると、すべての子資産も移動オーダーに含まれます。
メモ/特別な指示	移動オーダーに関する追加のメモまたは指示。

4. [送信] を選択します。

資産運用ビューからエンタープライズ資産移動オーダーを送信する

の Enterprise Asset ワークスペース 資産運用 ビューを使用して移動オーダーを送信し、使用中または消費済みのエンタープライズ資産を場所間で移動できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. から、 Enterprise Asset ワークスペースに移動します 資産運用 > 引っ越し > 移動オーダー.
2. **[New** (新規)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [新規移動オーダーの作成] フォームのフィールドに入力します。

新規移動オーダーの作成フォーム

フィールド	説明
要求元	移動オーダーの送信対象のユーザー。このフィールドでユーザーを指定すると、移動オーダーには、そのユーザーにのみ割り当てられているエンタープライズ資産を含めることができます。
移動日付	エンタープライズ資産を移動する日付。
アサイン先グループ	移動オーダーをアサインするグループ。
アサイン先	移動オーダーをアサインするユーザー。
移動元の場所	エンタープライズ資産の移動元の場所。
配送先の場所	エンタープライズ資産の移動先の場所。
追加情報	移動オーダーに関する追加情報。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
フォームが閉じ、新しい移動オーダーレコードに自動的にリダイレクトされます。

次のタスク
エンタープライズ資産を移動オーダーに追加します。詳細な手順については、「移動オーダーへのエンタープライズ資産の追加」を参照してください。

移動オーダーへのエンタープライズ資産の追加

移動オーダーに含めるエンタープライズ資産を追加します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. から、 Enterprise Asset ワークスペースに移動します 資産運用 > 引っ越し > 移動オーダー.
2. 利用可能な移動オーダーのリストから、エンタープライズ資産を追加する移動オーダーを選択します。
移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダー レコードで、 エンタープライズ移動明細行 タブを選択します。
4. [追加] を選択します。
[アセットを追加] ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、移動オーダーに含めるすべてのエンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。

   移動オーダーの [移動元の場所] フィールドで指定された場所に存在する任意のエンタープライズ資産から選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 子資産を含むエンタープライズ資産を選択すると、すべての子資産も移動オーダーに含まれます。

6. [追加] を選択します。

タスクの結果
選択したエンタープライズ資産が移動オーダーに追加されます。

移動オーダーからエンタープライズ資産を削除する

移動オーダーに含めなくなったエンタープライズ資産を削除します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順
1. から、 Enterprise Asset ワークスペースに移動します 資産運用 > 引っ越し > 移動オーダー.
2. 利用可能な移動オーダーのリストから、エンタープライズ資産を削除する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダー レコードで、 エンタープライズ移動明細行 タブを選択します。
4. エンタープライズ移動ラインのリストから、削除するすべてのエンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。

   > **注:**
   > 各エンタープライズ移動ラインは、特定のエンタープライズ資産に対応しています。

   > **注:**
   > 子資産を含むエンタープライズ資産を選択すると、すべての子資産も移動オーダーから削除されます。

5. [削除] を選択します。

タスクの結果
選択したエンタープライズ資産が [キャンセル] のステータスで自動的に更新されます。対応するエンタープライズ移動ラインに関連付けられているすべてのエンタープライズ移動タスクも、[未完了でクローズ] の状態で更新されます。

エンタープライズ資産移動オーダーの完了

移動する使用中または消費済みのエンタープライズ資産の移動オーダーを送信した後、さまざまなタスクを実行してオーダーを完了する必要があります。

移動オーダーに含まれるエンタープライズ資産ごとに、必要な一連のタスクを完了する必要があります。エンタープライズ資産に必要なすべてのタスクを完了すると、対応するエンタープライズ移動明細行が [完了] ステータスで更新されます。すべてのエンタープライズ移動明細行のステータスが [完了] になると、移動オーダーは完了です。

移動するエンタープライズ資産の準備タスクを完了する

場所間での資産の移動を続行できるように、エンタープライズ資産の準備タスクを完了します。

自動翻訳

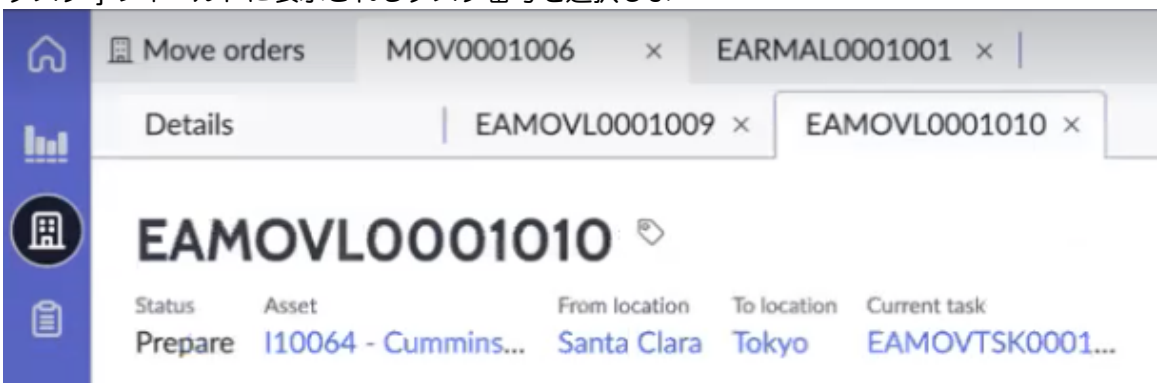
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager、sn_eam.enterprise_admin、または enterprise_asset_technician

手順

1. から、 Enterprise Asset ワークスペースに移動します 資産運用 > 引っ越し > 移動オーダー.
2. 利用可能な移動オーダーのリストから、完了する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダー レコードで、 エンタープライズ移動明細行 タブを選択します。
4. 利用可能なエンタープライズ移動ラインのリストから、移動するエンタープライズ資産のエンタープライズ移動ラインを選択します。
   エンタープライズ移動明細行レコードが開きます。
5. [エンタープライズ移動タスク] タブで、[準備] タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ移動明細レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   [準備] タスクが開きます。
6. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
Enterprise 移動タスク	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。
予定日	タスクの完了予定日時。
優先度	タスクの優先度。
移動タイプ	エンタープライズ資産の移動のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ○ ローカル移動:エンタープライズ資産を出荷せずに別の場所に移動するオプション。 ○ 出荷:エンタープライズ資産を別の場所に出荷するオプション。
メモ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

7. [タスクのクローズ] を選択します。

タスクの結果

[準備] タスクが自動的に更新され、[完了してクローズ] ステータスになります。

[移動タイプ] フィールドを [ローカル移動] に設定すると、エンタープライズ資産管理エンタープライズ移動ラインに対応するローカル移動タスクが自動的に生成されます。[移動タイプ] フィールドを [出荷] に設定すると、エンタープライズ資産管理エンタープライズ移動ラインに対応する [出荷] タスクが自動的に生成されます。

次のタスク

[移動タイプ] フィールドを [ローカル移動] に設定した場合は、「」 エンタープライズ資産のローカル移動を完了する に進んで移動を完了します。

[移動タイプ] フィールドを [出荷] に設定した場合は、「」移動するエンタープライズ資産の出荷を完了するに進んで出荷を完了します。

エンタープライズ資産のローカル移動を完了する

エンタープライズ資産を出荷せずに移動するために必要なすべてのタスクを実行します。エンタープライズ移動明細行で [移動タイプ] フィールドを [ローカル移動] に設定した場合は、これらのタスクを実行する必要があります。

始める前に

ローカル移動を続行する前に、エンタープライズ資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「移動するエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager、sn_eam.enterprise_admin、または enterprise_asset_technician

手順

1. から、 Enterprise Asset ワークスペースに移動します 資産運用 > 引っ越し > 移動オーダー.

2. 利用可能な移動オーダーのリストから、完了する移動オーダーを選択します。
移動オーダーレコードが開きます。

3. 移動オーダー レコードで、 エンタープライズ移動明細行 タブを選択します。

4. 利用可能なエンタープライズ移動ラインのリストから、移動するエンタープライズ資産のエンタープライズ移動ラインを選択します。
エンタープライズ移動明細行レコードが開きます。

5. エンタープライズ移動ラインのローカル移動タスクを完了してクローズします。

デフォルトでは、このローカル移動タスクは、指定されたエンタープライズ移動ラインに関連付けられているエンタープライズ資産にのみ適用されます。移動オーダー内の追加のエンタープライズ資産に同じローカル移動タスクを適用する場合は、それらの資産をタスクに含めることができます。

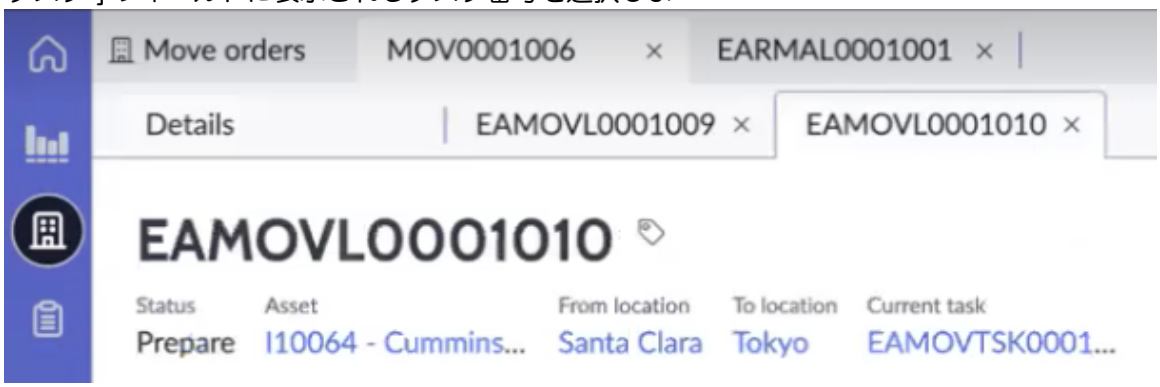
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産を出荷せずにターゲットの場所に移動する必要があります。

a. [エンタープライズ移動タスク] タブで、 ローカル移動 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ移動明細レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[ローカル移動] タスクが開きます。

b. ローカル移動タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
Enterprise 移動タスク	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。
予定日	タスクの完了予定日時。
優先度	タスクの優先度。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. タスクをクローズします。

- 移動オーダーから追加のエンタープライズ資産を含めずにタスクをクローズするには、 タスクのクローズ を選択します。
- 移動オーダーから追加のエンタープライズ資産を含めた後にタスクをクローズするには、次の手順を使用します。

  i. [もっとアセットを含める] を選択します。

  [資産を選択] ダイアログボックスが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ii. ダイアログボックスで、含める各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。

iii. [タスクのクローズ] を選択します。

ローカル移動タスクは、[完了してクローズ] の状態で自動的に更新されます。

タスクの結果
エンタープライズ移動明細行は、完了の状態に自動的に更新されます。

次のタスク
移動オーダーに含まれている残りのすべてのエンタープライズ資産を移動します。対応するすべてのエンタープライズ移動ラインのステータスが [完了] になると、移動オーダーは完了します。

移動するエンタープライズ資産の出荷を完了する

エンタープライズ資産の出荷に必要なすべてのタスクを実行します。エンタープライズ移動明細行で移動タイプ フィールドを 出荷 に設定した場合は、これらのタスクを実行する必要があります。

始める前に
出荷を続行する前に、エンタープライズ資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「移動するエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager、sn_eam.enterprise_admin、または enterprise_asset_technician

手順

1. から、 Enterprise Asset ワークスペースに移動します 資産運用 > 引っ越し > 移動オーダー.
2. 利用可能な移動オーダーのリストから、完了する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダー レコードで、 エンタープライズ移動明細行 タブを選択します。
4. 利用可能なエンタープライズ移動ラインのリストから、移動するエンタープライズ資産のエンタープライズ移動ラインを選択します。
   エンタープライズ移動明細行レコードが開きます。
5. エンタープライズ移動明細行の出荷タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産をターゲットの場所に出荷する必要があります。

   a. [エンタープライズ移動タスク] タブで、 出荷 タスクのタスク番号を選択します。

      または、エンタープライズ移動明細レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。

      出荷タスクが開きます。

   b. 出荷タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

      [詳細] タブ

フィールド	説明
Enterprise 移動タスク	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。
予定日	タスクの完了予定日時。
優先度	タスクの優先度。
出荷の詳細	
配送業者	エンタープライズ資産の出荷に経由した配送業者。
出荷日	エンタープライズ資産が出荷された日付。
トラッキング番号	出荷のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [タスクのクローズ] を選択します。

出荷タスクが自動的に更新され、[完了してクローズ] ステータスになります。その後、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションはエンタープライズ移動ラインに対応する受入タスクを自動的に生成します。

6. エンタープライズ移動ラインの入庫タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、ターゲットの場所でエンタープライズ資産を受領する必要があります。

a. [エンタープライズ移動タスク] タブで、受領タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ移動明細レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。

受領タスクが開きます。

b. 受領タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
Enterprise 移動タスク	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
予定日	タスクの完了予定日時。
優先度	タスクの優先度。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [タスクのクローズ] を選択します。

受領タスクが自動的に更新され、[完了してクローズ] ステータスになります。

タスクの結果
エンタープライズ移動明細行は、完了の状態に自動的に更新されます。

次のタスク
移動オーダーに含まれている残りのすべてのエンタープライズ資産を移動します。対応するすべてのエンタープライズ移動ラインのステータスが [完了] になると、移動オーダーは完了します。

エンタープライズ資産の作業指示書の作成と管理

エンタープライズ資産の作業指示を作成および管理します。

すべての作業管理ニーズに対応する次のタスクを実行します。

- 作業指示書を作成
- 作業指示書タスクの作成
- メンテナンス計画の作成
- タスクの一括クローズ
- 作業指示書テンプレートの作成
- チェックリストテンプレートを作成する

[作業管理] ビューの構成の編集フィールドサービス管理 (FSM)

フィールドサービス管理 (FSM) Enterprise 資産ワークスペースの [作業管理] ビューにアクセスして使用できるように、必要に応じて構成を編集します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
構成の詳細についてはフィールドサービス管理 (FSM)、「グローバルドメイン構成」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > フィールドサービス > 管理 > 構成.

2. [ビジネスプロセス] タブで次の構成を編集します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ビジネスプロセス] タブ

構成	設定
ライフサイクル	
プロセスライフサイクル	この構成をタスク駆動型に設定します (サブタスクは必須)。
新しいリクエストに対して承認が必要	この構成を無効にします。
新しい要求には資格が必要	この構成を無効にします。
割り当てられたタスクに対するエージェントの承認または却下が必要	この構成を無効にします。
エージェントの移動時間の追跡	この構成を無効にします。
作業メモは、リクエストまたはタスクをクローズしたりキャンセルしたりするときに必要です	この構成を有効にします。
タスク作業メモを要求へコピー	この構成を無効にします。
カタログと要求の作成	
受信メールによって要求を作成または更新	この構成を無効にします。
カタログとフォーム、またはフォームのみを使用して要求を作成	この構成を 通常の形式のみに設定します。
テンプレートによる専用のカタログアイテムの作成	この構成を無効にします。

3. [アサイン] タブで次の構成を編集します。

[アサイン] タブ

構成	設定
アサイン方法	
タスクの割り当てメソッド	この構成は 手動に設定します。
ディスパッチキューとグループのカバー範囲	
ディスパッチキューの使用	この構成を無効にします。
アサイン先グループのカバー範囲に基づく要求またはタスクの割り当て	この構成を無効にします。
アサイン先グループの製品モデルに基づくタスクのアサイン	この構成を無効にします。
アサイン先グループのスキルに基づくタスクのアサイン	この構成を無効にします。
スケジュール	
エージェントまたはタスクのスケジューリングを使用	この構成を無効にします。
エージェントの自動選択では、タスクのタイムゾーンが考慮されます	この構成を無効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成	設定
優先度割り当ての有効化	この構成を無効にします。
追加のファクター	
エージェントの自動選択では、エージェントの場所が考慮されます	この構成を無効にします。
タスクごとのエージェント自動選択ではそのスキルを有するエージェントのみを選択	この構成を [なし] に設定します。
自動選択が、同じエージェントをリクエスト内のすべてのタスクに割り当てようとします	この構成を無効にします。

4. [アドオン] タブで次の構成を編集し ます 。

[アドオン] タブ

構成	設定
部品要件	
エージェントによって必要な部品要件	この構成を有効にします。
エージェント倉庫に部品を予約	この構成を無効にします。
オープンの転送注文をキャンセル	この構成を無効にします。
関連モデルを編集	この構成を無効にします。
ドキュメント	
専用ナレッジベースの有効化	この構成を無効にします。
Managed Documents の有効化	この構成を無効にします。
タスクアクティビティの有効化	この構成を無効にします。
関連タスクテーブル	
関連タスクテーブルを編集	この構成は空のままにします。
マップ	
マップの有効化	この構成を無効にします。

5. [Save (保存)] を選択します。

エンタープライズ資産のメンテナンス計画を作成する

エンタープライズ資産、リニア資産、およびリニアセグメントの定期メンテナンスを管理およびスケジュールするためのメンテナンス計画を作成します。メンテナンスは、オンデマンドで実行することも、一連の特定の基準に基づいて実行することもできます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、作業管理ビューを開きます。

2. メンテナンス プラン タブで、新規 を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [新しいメンテナンス計画を作成] フォームのフィールドに入力します。

   各フィールドの詳細については、「」を参照してください のメンテナンス計画フィールド エンタープライズ資産管理 。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   フォームが閉じ、新しいメンテナンス計画レコードに自動的にリダイレクトされます。
5. メンテナンス計画のスケジュールを作成します。
   スケジュールを作成すると、時間間隔やフィールド値などの基準を使用して、メンテナンスを実行するタイミングを正確に指定できます。メンテナンスのニーズに基づいて、1 つ以上のメンテナンススケジュールを単一のメンテナンス計画に適用できます。

   a. メンテナンス計画レコードの メンテナンス スケジュール タブで、 新規 を選択します。

   b. [新しいメンテナンススケジュールを作成] フォームのフィールドに入力します。

      各フィールドの詳細については、「」を参照してください のメンテナンススケジュールフィールド エンタープライズ資産管理 。

   c. **[Save** (保存)] を選択します。
      フォームが閉じ、新しいメンテナンススケジュールレコードに自動的にリダイレクトされます。

   d. 作業指示書テンプレートをメンテナンススケジュールに適用します。
      作業指示書テンプレートを使用すると、スケジュール済みメンテナンスが実行されるたびに、アプリケーションで エンタープライズ資産管理 情報を自動的に入力し、適切な要求とタスクを生成して、作業指示書の部品要件を作成できます。

      i. メンテナンス スケジュール レコードの スケジュール テンプレート タブで、 新規 を選択します。

         [新規スケジュールテンプレートを作成] フォームが開きます。

      ii. フォームのフィールドに入力します。

      新規スケジュールテンプレートフォームの作成

フィールド	説明
モデル	作業指示テンプレートのモデル。
スケジュール	作業指示テンプレートを適用するメンテナンススケジュール。このフィールドは、自動的に入力されます。

      iii. **[Save** (保存)] を選択します。

      iv. フォームを閉じて、メンテナンススケジュールレコードに戻ります。

   e. メンテナンス スケジュール レコードで、 レコードの関連付け を選択して、メンテナンス計画が適用されるエンタープライズ資産にメンテナンス スケジュールを関連付けます。
      エンタープライズ資産がメンテナンススケジュールに関連付けられたことを示す確認メッセージが表示されます。メンテナンススケジュールレコードまたはメンテナンス計画レコードのいずれかの [メンテナンス計画レコード] タブを使用して、関連付けが成功したことを確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
メンテナンスは、メンテナンス計画に設定したスケジュールに基づいて自動的に実行されます。メンテナンススケジュールレコードで オンデマンドで実行 を選択して、メンテナンスをオンデマンドで実行することもできます。

メンテナンスが実行されるたびに、資産がまだ既存の作業指示書に関連付けられていない場合、 エンタープライズ資産管理 メンテナンス計画が適用されるすべてのエンタープライズ資産に対応する作業指示書がアプリケーションによって自動的に作成されます。これらの作業指示書を使用して、指定されたエンタープライズ資産で実行する必要があるすべての作業を追跡および管理できます。作業指示の詳細について参照してください 作業指示書を使用してエンタープライズ資産の作業を管理する 。

のメンテナンス計画フィールド エンタープライズ資産管理

アプリケーションのすべてのメンテナンス計画フィールドの エンタープライズ資産管理 詳細な説明。

メンテナンス計画

フィールド	説明
アクティブ	メンテナンス計画がアクティブかどうかを示すオプション。
名前	メンテナンス計画の名前。
簡単な説明	メンテナンス計画の簡単な説明。

ターゲット資産

フィールド	説明
テーブル	メンテナンス計画を適用するエンタープライズ資産をリストするターゲット エンタープライズ資産管理 テーブル。デフォルトのテーブルは **[Enterprise asset]** です。
フィルター条件	エンタープライズ資産の特定のサブセットのみにメンテナンス計画を適用できるようにするフィルター条件。 次のオプションを使用して、1 つのメンテナンス計画に複数のフィルター条件を追加できます。 • または:メンテナンス計画を適用するためにエンタープライズ資産が満たすことができる任意の条件を指定できます。 • 次:メンテナンス計画を適用するためにエンタープライズ資産が満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • + 新しい条件セット:メンテナンス計画を適用するためにエンタープライズ資産が満たすことができる追加の条件セットを指定できます。
新しい一致レコードに適用	ターゲット エンタープライズ資産管理 テーブルに追加され、指定されたフィルター条件を満たす後続のエンタープライズ資産にメンテナンス計画を適用するオプション。
メンテナンス上書きポリシー	既にメンテナンス中のエンタープライズ資産にメンテナンス計画が適用されたときに実行するアクションを指定するポリシー。 次のオプションのいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 放置する:新しいメンテナンス計画のタスクの作成や、既存のメンテナンス計画に関連付けられているタスクの削除を防止します。 • 既存のキャンセル:既存のメンテナンス計画に関連付けられているすべてのタスクを削除します。 • 既存に追加:新しいタスクと既存のアクティブなタスクの両方を新しいメンテナンス計画に追加します。

のメンテナンススケジュールフィールド エンタープライズ資産管理

アプリケーションのすべてのメンテナンススケジュールフィールドの エンタープライズ資産管理 詳細な説明。

メンテナンス スケジュール

フィールド	説明
名前	メンテナンススケジュールの名前。
簡単な説明	メンテナンススケジュールの簡単な説明。
トリガー	メンテナンスを実行するために満たす必要がある条件のタイプを指定するトリガー。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 期間:時間に基づいて実行するメンテナンスをトリガーします。このオプションを選択すると、[期間の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 測定:特定のエンタープライズ資産フィールド値に基づいてメンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[メーターの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 条件:フィルター条件に基づいてメンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[条件の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • スクリプト:詳細なスクリプト基準に基づいて、メンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[スクリプトの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 期間またはメーター:時間または特定のエンタープライズ資産フィールド値のいずれか早い方に基づいて、メンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[期間の詳細] セクションと [メーターの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。
アクティブ	メンテナンススケジュールがアクティブかどうかを示すオプション。

期間の詳細

注:
このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [期間]、[期間]、または [メーター] に設定した場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
トリガータイプ	メンテナンスを実行する頻度。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 間隔:指定した時間間隔でメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[日]、[時間]、[分]、および [秒] フィールドが表示され、メンテナンスが再度実行されるまでに経過する必要がある時間を指定できます。 • 週次:週に 1 回メンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[**Due day of week**] フィールドと [**Due time**] フィールドが表示され、毎週メンテナンスを実行する日時を指定できます。 • 月次:月に一度、特定の日にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[**Due day of month**] フィールドと [**Due time**] フィールドが表示され、毎月メンテナンスを実行する日時を指定できます。 • 年次:年に 1 回、特定の日時と月にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[期限月]、[期限日]、および [期限時刻] フィールドが表示され、毎年メンテナンスを実行する月、日付、および時刻を指定できます。 • **Week in Month**:月に 1 回、月の特定の週にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[**Due week in month**] フィールドと [**Due time**] フィールドが表示され、毎月メンテナンスを実行する週と時刻を指定できます。 • 年の月の週の日:年に 1 回、特定の日、週、月にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[期限月]、[期限週]、[期限日]、および [期限時間] フィールドが表示され、毎年メンテナンスを実行する月、週、日、および時刻を指定できます。
リードタイム	スケジュールされたメンテナンス作業に必要な日数。

測定の詳細

注:
このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [メーター]、[期間]、または [メーター] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
フィールド	メンテナンスの実行をトリガーするために照合するエンタープライズ資産フィールド。
各	メンテナンスの実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が一致する必要があるフィールド値。

条件の詳細

注:
このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [条件] に設定した場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フィルター条件	メンテナンスの実行をトリガーするフィルター条件 次のオプションを使用して、複数のフィルター条件をトリガーに追加できます。 • **or**:メンテナンスの実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たすことができる任意の条件を指定できます。 • および:メンテナンスの実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット:メンテナンスの実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たすことができる追加の条件セットを指定できます。

スクリプトの詳細

注:
このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [スクリプト] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
スクリプト	メンテナンスの実行をトリガーする詳細条件を指定するスクリプト。

作業指示書を使用してエンタープライズ資産の作業を管理する

作業指示書と対応する作業指示書タスクを使用して、エンタープライズ資産とリニア資産の作業を追跡および管理します。これらの作業指示書でサポートされる資産アクションには、資産の展開、スワップ、および削除が含まれます。

エンタープライズ資産の作業指示書の作成

エンタープライズ資産、リニア資産、およびリニアセグメントの作業を追跡および管理するための作業指示書を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、作業管理ビューを開きます。

2. 作業指示書 タブで、新規 を選択します。

注:

エンタープライズ資産のメンテナンスを管理およびスケジュールするためのメンテナンス計画を作成した場合、アプリケーションはメンテナンス エンタープライズ資産管理 計画が適用される各資産に対応する作業指示書を自動的に作成します。

メンテナンス計画の詳細については、「」を参照してください エンタープライズ資産のメンテナンス計画を作成する 。

3. 新規作業指示書の作成フォームで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新規作業指示書の作成フォーム

フィールド	説明
作業指示	
会社	作業指示書を作成している会社。
契約	関連するエンタープライズ資産のリース詳細を定義する契約。
資産	この作業指示書を通じて作業を管理する資産。 **注:** このフィールドからリニア資産とリニアセグメントを選択することもできます。
ロケーション	関連する企業資産の現在の場所。
開始マーカー	リニア資産またはリニア資産の開始点。 **注:** このフィールドは、[資産] フィールドから [リニア資産] または [リニアセグメント] を選択した場合にのみ表示されます。
終了マーカー	リニア資産またはリニアセグメントの終点。 **注:** このフィールドは、[資産] フィールドからリニア資産またはリニアセグメントを選択した場合にのみ表示されます。
優先度	作業指示の優先度。
テンプレート	この作業指示書に適用する作業指示書テンプレート。作業指示テンプレートを使用すると、情報を自動的に入力し、適切なタスクを生成し、作業指示の部品要件を作成できます。作業指示テンプレートの詳細を参照してください 作業指示の エンタープライズ資産管理 テンプレートを作成する 。 ドラフトステータスの作業指示書にテンプレートを適用し、テンプレートから生成された作業指示書タスクと部品要件を表示するには、sn_eam.enterprise_asset_manager ロールで、アプリケーションの [**Apply Work Order template in draft status**] フィールド フィールドサービス管理 (FSM) が有効になっていることを確認する必要があります。これを行うには、 すべて > フィールドサービス > 管理 > 構成 をクリックし、[ビジネスプロセス] タブの [ドラフトステータスの作業指示書テンプレートを適用 **(Apply Work Order template in draft status)**] フィールドを有効にします。
クローズ済み	作業指示書がクローズされて完了した日時。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	作業指示の簡単な説明。
説明	作業指示の詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される作業指示に関するメモ。
スケジュール	
期日	作業指示書を完了する必要がある日時。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
   作業指示はドラフトステータスで作成されます。作業指示に関連する作業指示タスクと部品要件は、[**Work Order Tasks** (作業指示タスク)] タブと [**Part Requirements** (部品要件)] タブに自動的に表示されます。
5. 作業指示書タスクを追加するには、[作業指示書タスク] タブで [新規] を選択します。
   詳細な手順については、「作業指示の エンタープライズ資産管理 作業指示タスクを作成する」を参照してください。
6. 作業指示書または関連する作業指示書タスクに対して完了する必要があるすべてのアイテムを追跡するには、チェックリストを作成します。
   詳細な手順については、「作業指示書または作業指示書タスクの エンタープライズ資産管理 チェックリストを作成する」を参照してください。
7. 作業指示書に関連付けられているエンタープライズ資産に必要な資産または部品がない場合は、部品要件を作成します。
   詳細な手順については、「作業指示または作業指示タスクの エンタープライズ資産管理 部品要件を作成する」を参照してください。
8. 関連する作業指示タスクの上流または下流のタスクの依存関係を指定します。
   詳細な手順については、「作業指示書タスクの エンタープライズ資産管理 依存関係の作成」を参照してください。
9. [**Ready to Work** (作業準備完了)] を選択して、特定の作業指示の作業を開始します

次のタスク
アサインされたエージェントと協力して、作業指示書の後続のすべてのタスクを完了してクローズします。

作業指示の エンタープライズ資産管理 作業指示タスクを作成する

作業指示タスクを作成して、作業指示の個々のタスクを追跡および管理します エンタープライズ資産管理 。

始める前に
必要なロール:wm_agent

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、作業管理ビューを開きます。
2. [作業指示書] タブで、作業指示書タスクを追加する作業指示書を選択します。
   作業指示レコードが開きます。
3. 作業指示書タスク タブで、新規 を選択します。
4. 新規作業指示タスクの作成フォームで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しい作業指示タスクの作成

フィールド	説明
作業指示タスク	
アサイン先グループ	作業指示タスクがアサインされているエージェントグループ。
アサイン先	作業指示タスクがアサインされているエージェント。
作業タイプ	割り当てられたエージェントが関連するエンタープライズ資産に対して実行する必要がある作業のタイプ。
資産	アサインされたエージェントが作業を実行しているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
ロケーション	関連する企業資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
簡単な説明	作業指示タスクの簡単な説明。
説明	作業指示タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される作業指示タスクに関するメモ。
スケジュール	
期間開始	作業指示タスクの推定開始日時。
期間終了	作業指示タスクの推定完了日時。
予定作業期間	作業指示タスクの完了にかかると見積もる時間。
実際の作業開始	作業指示タスクの実際の開始日時。
実際の作業終了	作業指示タスクの実際の完了日時。

自動翻訳

5. **[Save** (保存)] を選択します。

作業指示書または作業指示書タスクの エンタープライズ資産管理 チェックリストを作成する

作業指示書または作業指示書タスクに対して完了する必要があるすべての項目のチェックリストを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、作業管理ビューを開きます。
2. チェックリストを作成する作業指示書または作業指示書タスクのいずれかのレコードを開きます。
   - 作業指示書レコードを開くには、 作業指示書 タブを選択します。利用可能な作業指示書のリストから、チェックリストを作成する作業指示書を選択します。
   - 作業指示書タスク レコードを開くには、 作業指示書タスク タブを選択します。利用可能な作業指示タスクのリストから、チェックリストを作成する作業指示タスクを選択します。
3. 作業指示書または作業指示書タスク レコードで、[チェックリスト項目] タブを選択します。
4. チェックリストを作成するには、次のいずれかのオプションを使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 個々のチェックリスト項目を追加してチェックリストを作成します。

  a. **[New** (新規)] を選択します。

  b. [新しいチェックリストアイテムを作成] フォームのフィールドに入力します。

  [新規チェックリストアイテムを作成] フォーム

フィールド	説明
名前	チェックリストアイテムの名前。
順序	チェックリストアイテムを完了する必要がある順序。たとえば、値 1 は、指定されたチェックリスト項目がチェックリスト内で完了する必要がある最初の項目であることを示します。
チェックリスト	チェックリスト項目が含まれているチェックリスト。
完了	チェックリストアイテムが完了したかどうかを示すオプション。

  c. **[Save** (保存)] を選択します。

  d. チェックリストに追加するすべてのチェックリスト項目について、手順 a から c を繰り返します。

- チェックリストテンプレートを適用してチェックリストを作成します。

  a. [テンプレートを適用] を選択します。

  [テンプレートを適用] ダイアログボックスが開きます。

  b. ダイアログボックスで、作業指示書または作業指示書タスクに適用するチェックリストテンプレートを選択します。

  c. **[OK]** を選択します。

  ダイアログボックスが閉じ、[チェックリスト項目] タブに戻ります。

  d. [リストを更新] アイコン ([ ]を選択して、選択したチェックリストテンプレートに基づいて追加されたチェックリストアイテムのリストを入力します。

作業指示または作業指示タスクの エンタープライズ資産管理 部品要件を作成する

作業指示書または作業指示書タスクに関連付けられているエンタープライズ資産に必要な資産または部品がない場合は、不足している資産または部品を追跡および検証するための部品要件を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

注:
wm_agentロールを使用して、アサインされた作業指示タスクの部品要件のみを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、作業管理ビューを開きます。
2. 部品要件を作成する作業指示書または作業指示書タスクのいずれかのレコードを開きます。
   - 作業指示書レコードを開くには、 作業指示書 タブを選択します。利用可能な作業指示書のリストから、部品要件を作成する作業指示書を選択します。
   - 作業指示書タスク レコードを開くには、 作業指示書タスク タブを選択します。利用可能な作業指示タスクのリストから、部品要件を作成する作業指示タスクを選択します。
3. 作業指示書または作業指示書タスク レコードの 部品要件 タブで、 新規 を選択します。
4. 新規部品要件の作成フォームで、フィールドに入力します。

新規部品要件の作成フォーム

フィールド	説明
モデル	不足している資産または部品のエンタープライズモデル。
サービスオーダータスク	部品要件が関連付けられている作業指示タスク。
必要数量	必要な資産または部品の数量。 注: このフィールドは、消耗資産と部品にのみ適用されます。
期日	欠損資産または部品を調達および配送する必要がある日時。
簡単な説明	部品要件の簡単な説明。
必須	不足している資産または部品が必要かどうかを示すオプション。

5. **[Save** (保存)] を選択します。

部品要件を作成するマルチコンポーネント資産の子孫モデルの選択

マルチコンポーネント資産を持つ作業指示書および作業指示書タスクの場合は、子孫モデルを選択して部品要件レコードを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

注:
wm_agentロールを使用して、アサインされた作業指示タスクの部品要件のみを作成できます。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > 作業管理.
2. 部品要件を作成する作業指示書または作業指示書タスクのいずれかのレコードを開きます。
   - 作業指示書レコードを開くには、 作業指示書 タブを選択します。利用可能な作業指示書のリストから、部品要件を作成する作業指示書を選択します。
   - 作業指示書タスク レコードを開くには、 作業指示書タスク タブを選択します。利用可能な作業指示タスクのリストから、部品要件を作成する作業指示タスクを選択します。
3. 作業指示書または作業指示書タスクレコードの [**Part Requirements** (部品要件)] タブで、[**Add to Asset** (資産に追加)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「部品要件を追加」(Add parts requirement) ダイアログボックスが開きます。

4. [サービス注文タスク] フィールドで作業指示タスクを選択します。
   [サービスオーダータスク] フィールドは、作業指示書フォームから [部品要件の追加] ダイアログボックスにアクセスした場合にのみ表示されます。
5. モデルを選択します。
6. **[OK]** を選択します。
   新しい部品要件レコードが作成され、[部品要件] ページに表示されます。

作業指示書タスクの エンタープライズ資産管理 依存関係の作成

作業指示書タスクにアップストリームまたはダウンストリームのタスク依存関係が必要な場合は、それらを作業指示書タスクに追加します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、作業管理ビューを開きます。
2. [作業指示書タスク] タブで、依存関係を作成する作業指示書タスクを選択します。
   作業指示書タスクが開きます。
3. アップストリームまたはダウンストリームのタスク依存関係を作成するには、次のいずれかのタブを選択します。
   - アップストリーム タスクの依存関係を作成するには、 [依存先] タブを選択します。
   - ダウンストリームタスクの依存関係を作成するには、[依存] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. [新規サービスオーダータスク依存関係の作成 (Create New Service Order Task Dependency)] フォームの [アップストリームタスク] または [ダウンストリームタスク] フィールドで、依存関係として追加するタスクを検索して選択します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。

作業指示書または作業指示書タスクの部品を調達するエンタープライズ資産管理

作業指示書または作業指示書タスクに関連付けられているエンタープライズ資産に必要な資産または部品がない場合は、カタログ要求を使用して調達します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

> **重要:**
> sn_eam.enterprise_asset_manager ロールまたは wm_agent ロールのいずれかを使用してカタログ要求を作成できますが、これらの要求のソースには sn_eam.enterprise_asset_manager ロールのみを使用できます。

このタスクについて

作業指示書または作業指示書タスクの [**Part Requirements** (部品要件)] タブを使用して、不足している資産または部品を確認できます。部品要件の詳細については、「」を参照してください 作業指示または作業指示タスクの エンタープライズ資産管理 部品要件を作成する。

すべての部品要件を調達する代わりに、調達する部品要件を指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、作業管理ビューを開きます。
2. 部品を調達する作業指示書または作業指示書タスクのいずれかのレコードを開きます。
   - 作業指示書レコードを開くには、 作業指示書 タブを選択します。利用可能な作業指示書のリストから、部品を調達する作業指示書を選択します。
   - 作業指示書タスク レコードを開くには、 作業指示書タスク タブを選択します。利用可能な作業指示書タスクのリストから、部品を調達する作業指示書タスクを選択します。
3. 作業指示書または作業指示書タスクレコードで、[**Source Parts Request** (ソース部品要求)] を選択します。
   「ソース部品要求」(Source parts request) ダイアログボックスが開きます。まだ要求されていないすべての部品要件モデルがリストされ、デフォルトで選択されています。
4. [要求数量] フィールドに要求する数量を入力します。
   入力する数量は、所要数量より大きくてもかまいません。
5. **[OK]** を選択します。
   選択した部品要件に対してのみ対応するカタログ要求が作成されたことを示す確認メッセージが表示されます。
6. Enterprise 資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[資産運用] ビューを開きます。
7. [資産運用] ビューの [リスト] タブで、 調達 > 要求.
8. 調達する必要がある資産または部品の要求を選択します。
   カタログ要求レコードが開きます。カタログ要求レコードの [要求アイテム] タブを使用して、調達する必要がある資産または部品を確認できます。
9. カタログ要求レコードの [カタログタスク] タブで、[ソース要求アイテム] カタログタスクのタスク番号を選択します。
   [ソース要求アイテム] カタログタスクが開きます。
10. [ソース要求] を選択します。
    対応するソース要求に自動的にリダイレクトされます。
11. 次のオプションの 1 つ以上を使用して、必要な資産または部品を調達します。

    注:
    ソース要求には、調達する必要があるすべての資産と部品が表示されます。ただし、各資産と部品を個別に調達する必要があります。

    - ローカルストック:ローカルストックルームから資産または部品を消費するオプション。

      このオプションを使用するには、[ローカル在庫] ウィジェットで [消費] をクリックします。プロンプトが表示されたら、ソース要求の消費の詳細を指定します。

    - 転送可能在庫:利用可能な倉庫間で、または要求者が資産または部品を受け取ることができる場所に資産または部品を転送するオプション。

      このオプションを使用するには、[Transferable stock] ウィジェットで [**Transfer**] をクリックします。プロンプトが表示されたら、ソース要求の転送の詳細を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ベンダー購入:サポートされている資産ベンダーから追加の資産または部品を購入するオプション。

  このオプションを使用するには、[仕入先購入] ウィジェットの [購入] をクリックします。プロンプトが表示されたら、ソース要求の購入の詳細を指定します。

12. [送信] を選択します。
    「ソース要求」(Source Request) ダイアログボックスが開きます。
13. ダイアログボックスで、 [**OK]** を選択します。
    ダイアログボックスが閉じ、自動的にカタログ要求レコードに戻ります。

シリアル化されたエンタープライズ資産の資産確認タスクを完了してクローズする

作業指示書がシリアル化されたエンタープライズ資産に関連付けられている場合は、その資産の 資産の確認 タスクを完了してクローズします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

エージェントがエンタープライズ資産で作業を実行するには、指定されたストックルームから資産をピックアップする必要があります。シリアル化されたエンタープライズ資産に対してエージェントが作業を実行する場合は、最初に 資産の確認 タスクを使用して、集荷する必要がある資産を確認する必要があります。他のすべてのエンタープライズ資産タイプの場合は、[資産を確認] タスクをスキップして [集荷] タスクに直接進んでください。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、Enterprise 資産一覧ビューを開きます。
2. 資産タスク タブで、作業指示書に関連付けられているシリアル化されたエンタープライズ資産の確認タスク を選択します。
   [確認] タスクが開きます。
3. [確認] タスクの [詳細] タブで、必要に応じてフィールドを変更します。

   [詳細] タブ

フィールド	説明
資産	作業指示書に関連付けられているシリアル化されたエンタープライズ資産。
モデル	シリアル化されたエンタープライズ資産のモデル。
ステータス	確認タスクのステータス。
倉庫	シリアル化されたエンタープライズ資産が配置されているストックルーム。
簡単な説明	確認タスクの簡単な説明。
説明	確認タスクの詳細な説明。

4. [タスクのクローズ] を選択します。

タスクの結果

確認タスクのステータスが [オープン] から [完了してクローズ] に変わります。エンタープライズ資産管理アプリケーションは、エンタープライズ資産の後続の集荷タスクを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
関連する作業指示書にアサインされたエージェントは、集荷タスクを完了してクローズする必要があります。

エンタープライズ資産の集荷タスクを完了しクローズする

アサインされた作業指示書に関連付けられているエンタープライズ資産の集荷タスクを完了してクローズします。

始める前に
必要なロール:wm_agent

このタスクについて
エンタープライズ資産で作業を開始するには、指定されたストックルームから資産を引き取る必要があります。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、作業管理ビューを開きます。
2. [自分の資産の集荷タスク] タブで、集荷したエンタープライズ資産を選択します。
   [集荷] タスクが開きます。
3. 集荷タスクの [詳細] タブで、必要に応じてフィールドを変更します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
資産	取得されたエンタープライズ資産。
アサイン先	集荷タスクの担当者
ステータス	集荷タスクのステータス。
数量 **注:** このフィールドは、消耗品のエンタープライズ資産にのみ適用されます。	集荷されたエンタープライズ資産の数量。
簡単な説明	集荷タスクの簡単な説明。
説明	集荷タスクの詳細な説明。

4. [タスクのクローズ] を選択します。

タスクの結果
集荷タスクのステータスが [オープン] から [完了してクローズ] に変わります。

次のタスク
エンタープライズ資産に必要なすべての作業を完了して、作業指示書をクローズできるようにします。

エンタープライズ資産の作業指示書を完了してクローズする

関連付けられた資産に必要なすべての作業を完了して、アサインされた作業指示書をクローズします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:wm_agent

このタスクについて
エンタープライズ資産で作業する場合、必要な資産または部品を展開、交換、または削除することを選択できます。同様に、秘匿資産をリニア資産に展開したり、リニア資産に関連付けられた秘匿資産を入れ替えたり、リニア資産に関連付けられた秘匿資産を削除したりできます。資産のすべての作業を完了したら、関連する作業指示書をクローズできます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、作業管理ビューを開きます。
2. [作業指示書タスク] タブで、完了してクローズする作業指示書の作業指示書タスクを選択します。
   作業指示書タスクが開きます。
3. [作業を開始] を選択します。
   作業指示タスクが [Work In Progress] の更新された状態で再ロードされます。
4. [資産使用状況] タブで、次のいずれかのオプションを選択して、関連するエンタープライズ資産に必要な資産または部品に対して実行するアクションを示します。

   - 資産を削除:資産または部品を削除するオプション。リニア資産に関連付けられた秘匿資産を削除することもできます。

     注:
     [使用中]、[メンテナンス中]、および [消費済みのみ] のステータスを持つ資産または部品は削除できます。

     このオプションを選択すると、[資産を削除] ダイアログ ボックスが開きます。ダイアログ ボックスで、削除する資産またはパーツを選択し、 **OK** を選択します。ダイアログ ボックスが閉じると、[資産使用状況] タブが再ロードされ、削除された資産または部品が表示されます。この資産または部品はパーソナル倉庫に割り当てられています。後続の廃棄タスクをすべて実行して、削除を完了します。

   - 資産をスワップ:資産または部品をスワップするオプション。また、リニア資産に関連付けられたディスクリート資産を別のディスクリート資産とスワップすることもできます

     このオプションを選択すると、[資産をスワップ] ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスで、スワップする資産または部品と、スワップする交換用資産または部品の両方を選択します。**[OK]** を選択します。ダイアログ ボックスが閉じると、[アセット使用状況]タブが再ロードされ、アセットまたはパーツの両方が表示されます。

     注:
     既存の資産または部品を、次の基準を満たす交換用の資産または部品と交換できます。

     - 対応する資産レコードの [状態] フィールドが [在庫あり] に設定されている。
     - 資産または部品が [資産使用率] タブに表示されるか、パーソナル倉庫に配置されます。
     - 資産または部品が、既存の資産または部品と同じエンタープライズ モデルに関連付けられているか、既存の資産または部品でサポートされている代替エンタープライズ モデルに関連付けられている。代替エンタープライズモデルの詳細については、次を参照してください エンタープライズモデルの代替モデルを追加する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産を展開:資産または部品を展開するオプション。秘匿資産をリニア資産に展開することもできます。

  注:
  [資産使用状況] タブに表示され、ステータスが [未使用] の資産または部品を展開できます。ステータスが [在庫あり] でサブステートが [利用可能] または [予約済み] のパーソナルストックルームから資産または部品を展開することもできます。

  このオプションを選択すると、[資産を展開] ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスで、展開する資産または部品を選択します。消耗資産または部品を選択する場合は、展開する数量も指定する必要があります。必要に応じて、資産または部品を特定のユーザーに割り当てたり、資産または部品を別の資産または部品の子として追加したりすることができます。すべての必須フィールドに入力したら、 [**OK]** を選択します。ダイアログボックスが閉じると、「 資産使用状況」**(Asset Usages**) タブが再ロードされ、配置された資産または部品が表示されます。

  [資産を展開] ダイアログボックスで個別資産をリニア資産に展開する場合は、まずストックルームから個別資産を選択してから、その資産を展開する場所について次のいずれかのオプションを選択する必要があります。

  - 秘匿資産に追加:選択した資産を個別資産の子資産として追加します。追加する秘匿資産を選択します。
  - 既存の場所に追加:既存の場所を選択します。
  - 新しい場所に追加: 場所ピッカーを使用して、Geo マップ上の新しい場所をマークします。

5. 展開、スワップ、または削除するすべての資産または部品について、手順 4 を繰り返します。
6. 必要な作業をすべて完了したら、作業指示書タスクで 完了して閉じる を選択します。
   作業指示書タスクと関連する作業指示書の両方のステータスが [Work In Progress (対応中)] から [Closed Complete (完了してクローズ)] に変わります。

作業指示タスクの一括クローズ

複数の作業指示タスクを一度にクローズします。

始める前に
必要なロール:enterprise_asset_technician

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > 作業管理.
2. 作業指示書タスク タブを選択します。
   ログインした技術者のアサイン先グループにアサインされたすべての作業指示タスクがリストされます。
3. [タスクの一括クローズ] を選択します。
   ログインした技術者がクローズできるすべての作業指示タスクがリストされます。
4. クローズする作業指示タスクのチェックボックスをオンにします。
5. [詳細を追加して閉じる] を選択します。
   [タスクの一括クローズ] ダイアログボックスが開きます。
6. [タスクの一括クローズ] ダイアログに詳細を入力します。
7. **[Save** (保存)] を選択します。
   選択した作業指示タスクがクローズされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

作業指示の エンタープライズ資産管理 テンプレートを作成する

作業指示テンプレートを作成して、情報を自動的に入力し、適切なタスクを生成し、作業指示の資産または部品要件を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

作業指示書テンプレートは、アプリケーションの一部である ServiceNow® フィールドサービス管理 (FSM) Field Service Catalog に追加されます。フィールドサービスカタログにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > フィールドサービス > カタログとナレッジ. アプリケーションの詳細については、「 Field Service Management 」 フィールドサービス管理 (FSM) を参照してください。

注:
からServiceNow Storeアプリケーションを要求してインストールエンタープライズ資産管理すると、フィールドサービス管理 (FSM)アプリケーションが自動的にアクティブ化されます。詳細は、「エンタープライズ資産管理 のインストール」を参照してください。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、作業管理ビューを開きます。
2. 作業指示書テンプレート タブで、新規 を選択します。
   新しいブラウザータブで [作業指示テンプレート] フォームが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

作業指示テンプレートフォーム

フィールド	説明
名前	作業指示書テンプレートの名前。
簡単な説明	作業指示テンプレートの簡単な説明。
説明	作業指示テンプレートの詳細な説明。
チェックリストのテンプレート	作業指示書の一部として完了する必要があるすべてのアイテムのチェックリストテンプレート。
ワークフロー **注:** このフィールドは、[名前] フィールドの横にある [追加] アイコン (+)を選択した場合にのみ表示されます。	このテンプレートが適用される作業指示のワークフロー。

4. 作業指示書テンプレートに必要なタスクを追加する。
   a. [タスクを追加] を選択します。
   b. [タスク情報] フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク情報フォーム

フィールド	説明
タスクタイプ	作成するタスクのタイプ。このフィールドは、自動的に [作業指示タスク] に設定されます。
名前	タスクの名前。
説明	タスクの詳細な説明。
部品と数量	タスクの完了に必要な資産または部品。消耗資産または部品を選択する場合は、タスクの完了に必要な数量も指定する必要があります。1 つのタスクに複数の資産または部品を追加できます。 **注:** タスクの完了に必要なすべての資産または部品の [必須] チェック ボックスを選択します。
ディスパッチグループ	タスクがアサインされているエージェントのグループ。
依存する作業指示タスク	このタスクを開始する前に完了する必要があるその他のタスク。
チェックリストのテンプレート	タスクの一部として完了する必要があるすべてのアイテムのチェックリストテンプレート。
作業タイプ	エージェントがタスクを完了するために実行する必要がある作業のタイプ。

c. 作業指示書テンプレートに追加する追加タスクごとに、ステップ a と b を繰り返します。

5. 関連するナレッジベース記事を作業指示書テンプレートに添付します。
作業指示テンプレートが有用な参照情報を含むナレッジベース記事に関連している場合は、記事をテンプレートに添付します。

a. [モデルナレッジ] 関連リストで [新規] を選択します。

b. [モデルナレッジ] フォームで、[ナレッジ] フィールドでリストを使用してルックアップアイコン ([🔍を選択し、作業指示書テンプレートに添付するナレッジベース記事を検索して選択します。

c. [モデルナレッジ] フォームヘッダーで [送信] を選択します。

d. 作業指示書テンプレートに添付するナレッジベース記事ごとに手順 a から c を繰り返します。

6. [送信] を選択します。
[テンプレートを公開] ダイアログボックスが開きます。

7. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[テンプレートを公開] ダイアログボックス

フィールド	説明
カテゴリ	作業指示テンプレートをアサインするフィールドサービスカタログカテゴリ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Availability	作業指示書テンプレートでサポートされているフィールドサービスカタログ形式。オプションは、[デスクトップのみ]、[モバイルのみ]、および [デスクトップとモバイル] です。

8. [公開] を選択します。

タスクの結果
作業指示書テンプレートが Field Service Catalog に追加されます。

作業指示書の エンタープライズ資産管理 チェックリストテンプレートを作成する

作業指示書テンプレートとして追加される作業指示書のチェックリストテンプレートを作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
既存のチェックリストテンプレートからコピーして、チェックリスト項目を編集して追加することも、テンプレートを作成することもできます。

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > 作業管理 > チェックリストのテンプレート.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [チェックリストテンプレートを作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

4. **[OK]** を選択します。

タスクの結果
チェックリスト テンプレートが作成され、[チェックリスト テンプレート] リストに表示されます。作成したチェックリストテンプレートは編集できません。また、他のアプリケーションで使用することもできます。

エンタープライズ資産の調達

この ServiceNow® 調達 アプリケーションを使用して、要求されたエンタープライズ資産を調達および受領し、サービスカタログ要求を履行できます。

この 調達 アプリケーションでは、次のことができます。

- サービスカタログ要求の追跡と管理
- 発注書の作成と管理
- 転送注文の作成と管理
- 資産を受け取ることができます

資産の調達の詳細については、「 調達 」を参照してください。

Enterprise 資産ワークスペースからのソース要求

アプリケーションで サービスカタログ 要求を作成し、Enterprise 資産ワークスペースからその要求を調達できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
ローカルストックルームに在庫がある場合は、要求者のローカルストックルームから資産を使用して要求を調達できます。ローカルストックルームに在庫がない場合は、他のストックルームから資産を転送するか、発注書を作成できます。

必要なロール:proc_user

手順

1. 移動先 **Enterprise** 資産ワークスペース > 調達 > カタログタスク.
2. 要求の調達タスクを開き、[ソース要求] を選択します。
3. [調達] ページで、次の 3 つのオプションのいずれかを選択します。
   - 消費:ローカルストックルームに在庫がある場合。
   - 転送:ローカルストックルームに在庫がなく、転送オーダーで要求を調達する場合。

     注:
     転送オーダーを作成し、ローカルストックルームをストックルームのリストに含めて、そのリストから選択するには、管理者が glide.asset.procurement.sourcing.local_stock_transfer プロパティをオンにする必要があります。

   - 購買:ローカルストックルームに在庫がなく、発注書で要求を調達する場合。
4. 選択したオプションに基づいて、必須フィールドに入力します。
5. [送信] を選択します。
   [転送] または [購買] を選択すると、転送オーダーラインまたは発注ラインのタスクが作成されます。要求を開いてタスクを表示できます。

エンタープライズ資産管理 に関する参照情報

参照トピックは、エンタープライズ資産管理 を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

ドメイン分離と エンタープライズ資産管理

ドメイン分離は エンタープライズ資産管理 でサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルサポートを含みます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：管理者は、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

この製品のドメイン分離サポートにより、サービスプロバイダーはエンタープライズ資産管理のためのマネージドサービスを顧客に提供できるようになります。この機能は、子会社を独立したドメインとして管理している大規模な組織にも対応しています。

Enterprise Asset Management におけるドメイン分離の仕組み

Enterprise Asset Management では、ドメイン分離はデータ分離とプロセス分離の 2 つのステージで行われます。分離を有効または無効にするために使用される 2 つのシステムプロパティがあります。Tokyo リリースでは、データとプロセスの両方がドメイン分離されています。

注:

ベースシステムのドメイン設定レコードはカスタマイズしない ことをお勧めします 。

必須のプラグイン

- Domain separation extension (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- Performance Analytics – ドメインサポート (com.snc.pa.domain_support)
- 作業管理 (com.snc.work_management)

サポートされているその他のプラグイン

- Service Catalog – Domain Separation (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)
- Procurement (com.snc.procurement)

詳細については、「 ドメイン分離の説明」、「 クエリとドメイン アクセスを含む」、および「既定のドメインの重要性」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

一括インポートスプレッドシートの必須フィールド

Enterprise 資産ワークスペースでの一括インポート用のモデル、資産、モデルおよび資産テンプレートの必須フィールドのリスト。

モデルテンプレートの必須フィールド

フィールド/列	モデルの作成に必須	モデルの更新には必須
インデックス	はい	はい
メーカー	はい	はい
モデル名	はい	はい
モデル番号	はい	はい
モデルカテゴリ	はい	いいえ
モデルタイプ	はい	いいえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド/列	モデルの作成に必須	モデルの更新には必須
親モデルの製造元	はい	いいえ
親モデルの名前	はい	いいえ
親モデルの番号	はい	いいえ
コンポーネント番号	はい	いいえ
コンポーネント数量	はい	いいえ
必須	はい	いいえ
ホットスワップ可能	はい	いいえ
修理可能	はい	いいえ

資産テンプレートの必須フィールド

フィールド/列	資産の作成に必須	資産の更新に必須
インデックス	はい	はい
メーカー	はい	はい
モデル名	はい	はい
モデル番号	はい	はい
親モデルの製造元	はい	はい
親モデルの名前	はい	はい
親モデルの番号	はい	はい
コンポーネント番号	はい	はい
資産タグ	はい	はい
シリアル番号	はい	いいえ
親資産	はい	いいえ
数量	はい	いいえ
ステータス	はい	いいえ
サブステータス	はい	いいえ
倉庫	はい	いいえ
ロケーション	はい	いいえ

モデルと資産テンプレートの必須フィールド

フィールド/列	モデルと資産の作成に必須	モデルと資産の更新に必須
インデックス	はい	はい
メーカー	はい	はい
モデル名	はい	はい
モデル番号	はい	はい

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド/列	モデルと資産の作成に必須	モデルと資産の更新に必須
モデルカテゴリ	はい	はい
モデルタイプ	はい	はい
親モデルの製造元	はい	はい
親モデルの名前	はい	はい
親モデルの番号	はい	はい
コンポーネント番号	はい	いいえ
コンポーネント数量	はい	いいえ
必須	はい	いいえ
ホットスワップ可能	はい	いいえ
修理可能	はい	いいえ
資産タグ	はい	はい
シリアル番号	はい	いいえ
親資産	はい	いいえ
数量	はい	いいえ
ステータス	はい	いいえ
サブステータス	はい	いいえ
倉庫	はい	いいえ
ロケーション	はい	いいえ
	はい	いいえ

自動翻訳

Enterprise モデルの正規化ステータス

エンタープライズモデルの正規化ステータスの説明。

ステータス	説明
新規	モデルが作成され、正規化プロセスがまだ実行されていません。
正規化済み	正規化の後、正規化されたメーカー、製品、モデル名、モデル番号、およびモデルタイプの値が入力されます。 特定の条件下では、通常は読み取り専用である特定のフィールドを編集できます。
一部正規化済み	正規化後、正規化されたメーカー、製品、およびモデルタイプの値が入力され、モデル番号は空白になります。
正規化されたメーカー	正規化後、正規化されたメーカーの値が入力され、正規化後の残りの列は空白になります。
一致項目は見つかりませんでした	正規化プロセスは、モデルのどのフィールドとも一致しませんでした。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータス	説明
	ソフトウェアの正規化ルールが存在しない場合、「一致項目は見つかりませんでした」ステータスが発生することがあります。

の契約フィールド エンタープライズ資産管理

アプリケーションのすべての契約フィールドの エンタープライズ資産管理 詳細な説明。

契約

フィールド	説明
ベンダー	リース契約に関連付けられているベンダー。
契約番号	リース契約の識別と追跡に使用される一意の番号。この番号はベンダーから入手できます。
名前	リース契約の名前。
親契約	リース契約が関連付けられている親契約。
開始日	リース契約の開始日。
終了日	リース契約が終了する日付。
契約管理者	リース契約を管理し、ベンダーとコミュニケーションを取るユーザー。
承認者	リース契約を承認または却下するユーザー。
事業主	ビジネスの観点からリース契約を管理するユーザー。
説明	リース契約の説明。

財務

フィールド	説明
請求書の支払条件	リース契約の支払い方法と時期を説明する条件。
支払いスケジュール	各リース契約の支払を行う頻度。
支払額	各リース契約支払に対して支払わなければならない金額。 **注:** このフィールドは、任意の通貨に設定できます。
適用可能な税	リース契約に適用される税金。次のオプションのいずれかを選択します。 • 免除:リース契約は非課税です。 • 売上: 売上税はリース契約に適用されます。
リース期間 (月)	リース契約の長さ (月)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ベンダーアカウント	各リース契約の支払を行う必要があるベンダーアカウント。
発注書	リース契約に関連付けられている発注書。
コストセンター	リース契約に対して財務的に責任を負うコストセンター。
レートカードあり	リース契約に、契約の詳細なコスト情報を提供する契約レートカードが関連付けられているかどうかを示すオプション。 契約レートカードの詳細については、「 契約レートカードを作成する 」を参照してください。

の経費ラインフィールド エンタープライズ資産管理

アプリケーションのすべての経費明細フィールドの エンタープライズ資産管理 詳細な説明。

Expense Line

フィールド	説明
番号	経費ラインの識別と追跡に使用される一意の番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
日付	経費ラインを作成する日付。このフィールドは自動的に現在の日付に設定されます。
継承	経費ラインが親経費ラインから継承されているかどうかを示すオプション。 このオプションを有効にすると、[継承] フィールドの下に [親] フィールドが表示されます。[親] フィールドで、この経費明細行の継承元である親経費明細を検索して選択します。次のフィールドは親経費ラインから継承され、変更できなくなります。 • ソース **ID** • 資産 • 契約 • ユーザー • 構成アイテム • タスク • コスト センター
ソース ID	経費ラインに関連付けるエンタープライズ資産。選択したエンタープライズ資産に基づいて、[ソースフォーム] セクションの対応するフィールドが自動的に入力されます。
総計	経費ラインに関連付けるエンタープライズ資産のコスト。エンタープライズ資産に対する貸方を受け取ったことを示すには、負の数を入力します。 **注:** このフィールドは、任意の通貨に設定できます。
処理日	経費ラインが処理される日時。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	経費ラインのステータス。
サマリータイプ	経費ラインカテゴリ。次のオプションのいずれかを選択します。 • ビジネスの成長:ビジネスの成長を支援するために使用されるエンタープライズ資産の経費ライン。 • ビジネスを運営:ビジネスの運営を支援するために使用されるエンタープライズ資産の経費ライン。 • ビジネスの変革:ビジネスの変革を支援するために使用されるエンタープライズ資産の経費ライン。
簡単な説明	経費ラインの簡単な説明。

ソース

フィールド	説明
資産	経費ラインに関連付けるエンタープライズ資産。
固定資産	選択したエンタープライズ資産を含む固定資産。 固定資産は、1 つ以上の個別の資産を保持するコンテナーです。[資産] フィールドで選択したエンタープライズ資産が固定資産に含まれている場合、[固定資産] フィールドは自動的に入力されます。
契約	選択したエンタープライズ資産が関連付けられている契約。
ユーザー	選択したエンタープライズ資産が割り当てられているユーザー。
構成アイテム	経費ラインに関連付けられている構成アイテム (CI)。
タスク	経費ラインに関連付けられているタスク。
コストセンター	選択したエンタープライズ資産に対して財務的に責任を負うコストセンター。

Enterprise 資産廃棄注文ステージ

エンタープライズ資産廃棄注文は、完了するまでに廃棄プロセスのさまざまなステージを経ます。ステージごとに、そのステージに関連付けられているタスクも変化します。

資産廃棄プロセスでタスクをクローズすると、そのタスクが完了し、プロセス内の次のタスクが自動的に作成されます。たとえば、[集荷のスケジュール] タスクをクローズすると、そのタスクのステータスが [完了してクローズ] に変わり、次のタスク [資産の切り離し] が作成されます。このプロセス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、選択した資産の廃棄に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。すべてのタスクをクローズすると、廃棄注文は完了です。

Enterprise 資産廃棄注文ステージ

Enterprise 廃棄ステージ	タスク	説明
ドラフト	資産の検証	資産廃棄レコードが作成されます。
スケジュール	ピックアップのスケジュール	資産廃棄注文のスケジュールの詳細
輸送	資産の出発	検証済みの資産が発送準備完了になりました。
確認	ベンダー確認	資産廃棄注文はベンダーによって確認されます。
ドキュメント	廃棄ドキュメント	廃棄レコードのドキュメントが添付されています。
完了	なし	資産廃棄レコード要求が完了しました。
キャンセル	なし	廃棄注文は輸送ステージまでしかキャンセルできません。

リニア資産の用語

アプリケーション内の エンタープライズ資産管理 リニア資産に一般的に使用される用語。

リニア資産の用語とその説明

用語	説明
リニア資産	道路、鉄道、パイプライン、送電線など、物理的な長さまたは寸法を持つ資産。 リニア資産には一連のジオポイントがあります。少なくとも始点と終点があり、異なる属性を持つセグメントがあります。
位置情報	ジオポイント(グラフィック座標)は、一連の数値を使用して地表上の位置を表す方法です。 ジオポイントは緯度、経度、高度で構成され、マップ上で視覚化できます。エンタープライズ資産管理アプリケーションでは、ジオ ポイントの緯度と経度は WGS 84 で定義された座標形式を参照し、符号付き 10 進度を使用します。
ルーティング	リニア資産のジオポイントがルートを形成します。ルートはマップ上にプロットして視覚化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

用語	説明
境界幅	リニア資産の最大幅。cmn_locationがルート上にあるかどうかを検証するために使用されます。
マーカー	リニア資産上またはその近くを特定できるポイント位置。マーカーには、マップ上で視覚化できるようにジオポイントを含める必要があります。ジオポイントがリニア資産のルート上にある場合、それはルート上のマーカーです。
セグメント	特定の属性を持つリニア資産のセクション。セグメントは、始点と終点、または始点と長さで構成されます。
個別資産	個別資産とは、エンタープライズ資産と消耗品のことです。個別資産はリニア資産に関連付けて、リニア資産の一部として管理することができます。
重複資産	2 つ以上のリニア資産が近接しており、かつ境界幅内にあるリニア資産関係。たとえば、北行きの高速道路と南行きの高速道路などです。リニア アセットは、北行きの高速道路と、南行きのハイウェイに対して別のリニア アセットを定義することができます。
交差資産	リニア資産と交点があるリニア資産関係。たとえば、2 つ以上の道路が合流または交差する交差する道路などです。
資産を継続	開始マーカーと終了マーカーを持つリニア資産のリニア資産関係。たとえば、特定のポイントを過ぎると別の高速道路に変わる高速道路などです。

自動翻訳

for Healthcare とともに エンタープライズ資産管理 インストールされるコンポーネント

ユーザーロールコンポーネント、プラグイン、およびアプリケーションは、com.sn_eamhc プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
医療資産運用会社 [sn_eamhc.medical_asset_manager]	で医療固有のモデルと資産を管理する Enterprise Asset ワークスペース	sn_eam.enterprise_asset_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
医療資産技術者 [sn_eamhc.medical_asset_technician]	医療固有の資産に関連するタスクを実行します。	sn_eam.enterprise_asset_technician

インストール済みプラグイン

名前	説明
資産管理 (com.snc.asset_management)	情報技術資産の物理的、技術的、契約的、および財務的な側面を統合する機能を提供します。
調達 (com.snc.procurement)	サービスカタログ要求を履行できるように、要求された資産を調達および受領する機能を提供します。
エンタープライズモデルの正規化 (com.sn_eam_core)	正規化ステータス、モデルコンテンツサービスのダウンロード、ライフサイクルの概要など、正規化に関連する情報を提供します。
資産管理 ワークスペース - 推奨事項 (com.sn_itam_recomm)	構成可能なワークスペースでユーザーにアクション可能な推奨事項を提供します。
SM 計画メンテナンス (com.snc.planned_maintenance)	資産の定期的な予防メンテナンスを管理する機能を提供します。
作業管理 (com.snc.work_management)	作業指示書、作業指示書タスク、メンテナンス計画、およびその他の関連する作業指示書情報を管理する機能を提供します。
パフォーマンスアナリティクス (com.snc.pa)	アクション可能なデータ表示方法を含むダッシュボードを提供し、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立てます。
プレイブックエクスペリエンス (com.glide.playbook_experience.config)	重要な情報を含む資産を設定するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。
プレイブック for App Engine (com.glide.pad.license)	簡素化されたタスク指向のプロセスのビューを提供します。
コスト管理 (com.snc.cost_management)	ビジネスコストを計画および管理するためのオプションを提供します。

インストールされているアプリケーション

名前	説明
ServiceNow エンタープライズ資産管理 (com.sn_eam)	企業の接続された資産と接続されていない資産のライフサイクル全体を管理します。
拡張されたモデルおよび資産クラス (com.sn_ent)	CMDB クラス階層内にすぐに利用可能な製品モデルと資産クラスを拡張するエンタープライズモデルと資産クラスを追加します。さらに、これらのエンタープライズモデルと資産クラスを CMDB 構成アイテム (CI) クラスに関連付けるモデルカテゴリを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
CMDB CI Class Models (com.sn_cmdb_ci_class)	クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係を含む、CMDB クラス階層を拡張するクラスモデルを追加します。
資産管理 一般 (com.sn_itam_common)	、、およびエンタープライズ資産管理アプリケーションにハードウェア資産管理ソフトウェア資産管理共通の機能を提供します。これには資産再利用を要求するカタログアイテムが含まれます。
物理資産 (sn_phy_assets)	およびエンタープライズ資産管理アプリケーションを含むハードウェア資産管理物理資産ベースのアプリケーションの機能を揃えるマーカー。
リスクヒートマップ (com.sn_risk_heatmap)	組織のリスク体制を可視化できるヒートマップコンポーネントを提供します。
Geo マップコンポーネント (com.sn_geo_map)	インドアマップを使用して資産の場所を追跡する機能を提供します。

クラウドコスト管理

ServiceNow® クラウドコスト管理 アプリケーション (旧称 Cloud Insights) を使用すると、クラウドの使用状況とコストを可視化してコントロールできます。すべてのクラウドリソースを検出し、コストセンター、ビジネスサービス、およびその他のエンティティ別にクラウド支出を分類し、クラウド支出削減方法の推奨事項を提供し、反復的なコスト最適化タスクを自動化できます。

概要

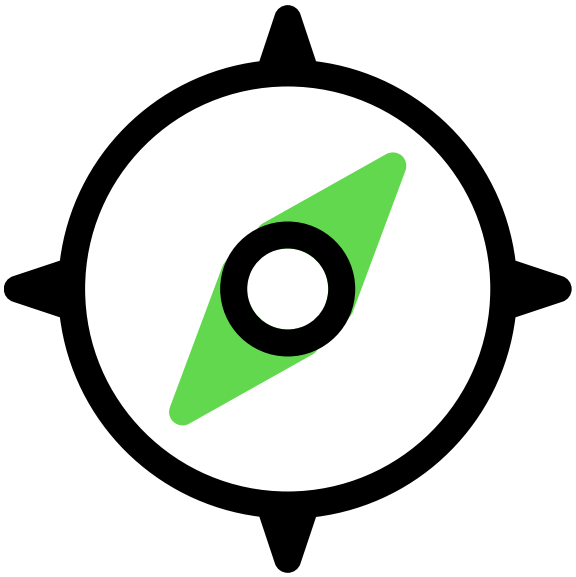
クラウドコスト管理アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

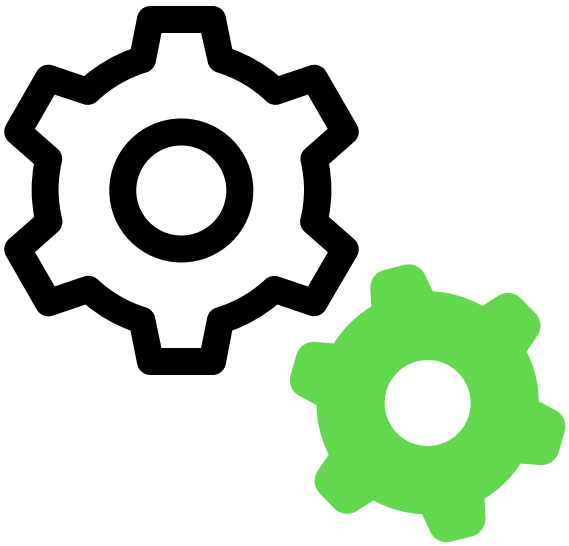
開始するには

詳細を読む



アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値 クラウドコスト管理 について説明します。

構成



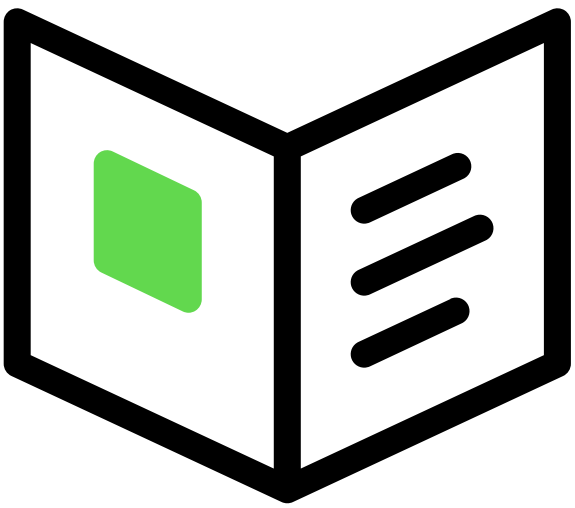
サポートしているプラグイン、機能をアクティブ化 クラウドコスト管理 し、ロールをアサインして追加のセットアップアクティビティを有効にします。

使用



クラウドタスクを自動化することで、手動プロセスを自動化および簡素化します。

参照



での クラウドコスト管理ロール、ドメイン分離、およびサービスカテゴリに関する詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする クラウドコスト管理 ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

クラウドコスト管理 の詳細

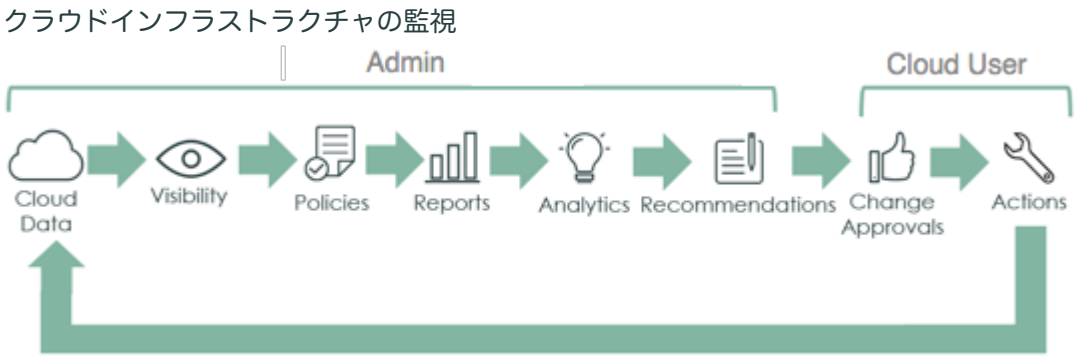
サンプルワークフローの詳細 クラウドコスト管理 と、それが組織内のさまざまなユーザーに提供できるメリットを確認します。

クラウドコスト管理 の概要

クラウドコスト管理 は、クラウド資産に関連するあらゆるコストを分析するのに役立つため、コストを節約し、運用を最適化する機会を特定して対処できます。

クラウドコスト管理 のワークフロー

クラウドコスト管理 はクラウドインフラストラクチャを継続的に監視してコストを分析するため、リソースを特定して対処し、コストを削減して運用を最適化できます。



クラウドコスト管理 のメリット

メリット	機能	ユーザー
直感的で合理化されたユーザーインターフェイスを通じてクラウドの支出と使用状況を完全に可視化することで、クラウドのコストと使用率を最適化します。	クラウドコスト管理 ワークスペース	エグゼクティブ/FinOps プラクティショナー/クラウドマネージャー/クラウド管理者
使用状況に合わせてクラウドリソースの寸法を正しく設定することでクラウドコストを削減する方法に関する自動推奨事項を取得することで、クラウドリソースのサイズを適正化します。	リソースの適正化	クラウド管理者/アプリケーションオーナー
オンデマンド支払いプランをクラウドリソースの予約プランに変換することで、コストを削減します。	予約プランまたは節減プラン	クラウド管理者/アプリケーションオーナー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ユーザー
支出が多い領域や孤立したクラウド資産を分析して、コスト最適化のターゲットを特定します。	未使用のリソース	クラウド管理者/アプリケーションオーナー
通常の営業時間外に使用されていないクラウドリソースを特定し、自動的にオフにしてからオンにすることで、使用していないリソースをオフにします。	営業時間	クラウド管理者/アプリケーションオーナー
予算の割り当て	クラウド予算	FinOps プラクティショナー/クラウド管理者
クラウド最適化タスクを既存の変更管理プロセスに統合することで、最適化の承認を自動化します。	Change Management	FinOps プラクティショナー/クラウド管理者

クラウドコスト管理ワークスペース

クラウドコスト管理ワークスペースアプリケーションの直感的で簡素化されたユーザーインターフェイスクラウドコスト管理を使用して、クラウドリソースに関連付けられているコストの全範囲を分析します。コストを削減し、運用を最適化する機会を特定して行動することができます。

は クラウドコスト管理ワークスペース 、複数のビューを備えた統合メディアです。これらのビューを使用すると、クラウドリソースのコスト、支出、予算を分析し、IT がさまざまなダッシュボードを通じてビジネスアプリケーションとサービスをどのようにサポートしているかについてのインサイトを得ることができます。

次の クラウドコスト管理ワークスペース ビューが含まれています。

- クラウドコスト管理 の概要:この簡素化された概要ページを使用して クラウドコスト管理ワークスペース 、クラウドリソースに関するインサイトを取得します。
- 予算ビュー:クラウドリソースの予算コンプライアンスを積極的に把握することで、クラウド支出を削減します。
- 支出ビュー:クラウドリソースの消費量を分析して把握します。
- 操作ビュー:推奨事項、コスト使用タグ、および管理者関連の操作を表示および管理します。
- 管理ビュー:ガイド付きエクスペリエンスを通じてインストール、セットアップ、および構成 クラウドコスト管理 を行います。

注:
ロールに基づいてレポートとデータを表示できます。詳細については、「クラウドコスト管理ロール」を参照してください。

クラウドコスト管理 の概要

最新の分かり クラウドコスト管理 やすい概要を使用して、エクスペリエンスを向上させます。この簡素化された概要ページは、 クラウドコスト管理 複雑さを軽減することで、アプリケーションをより効果的に使用するのに役立ちます。

重要:
insights_ownerロールを持っている場合は、自分にアサインされているアカウントのみがフィルターとデータに表示されます。

概要を使用して クラウドコスト管理 、次のことを行います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

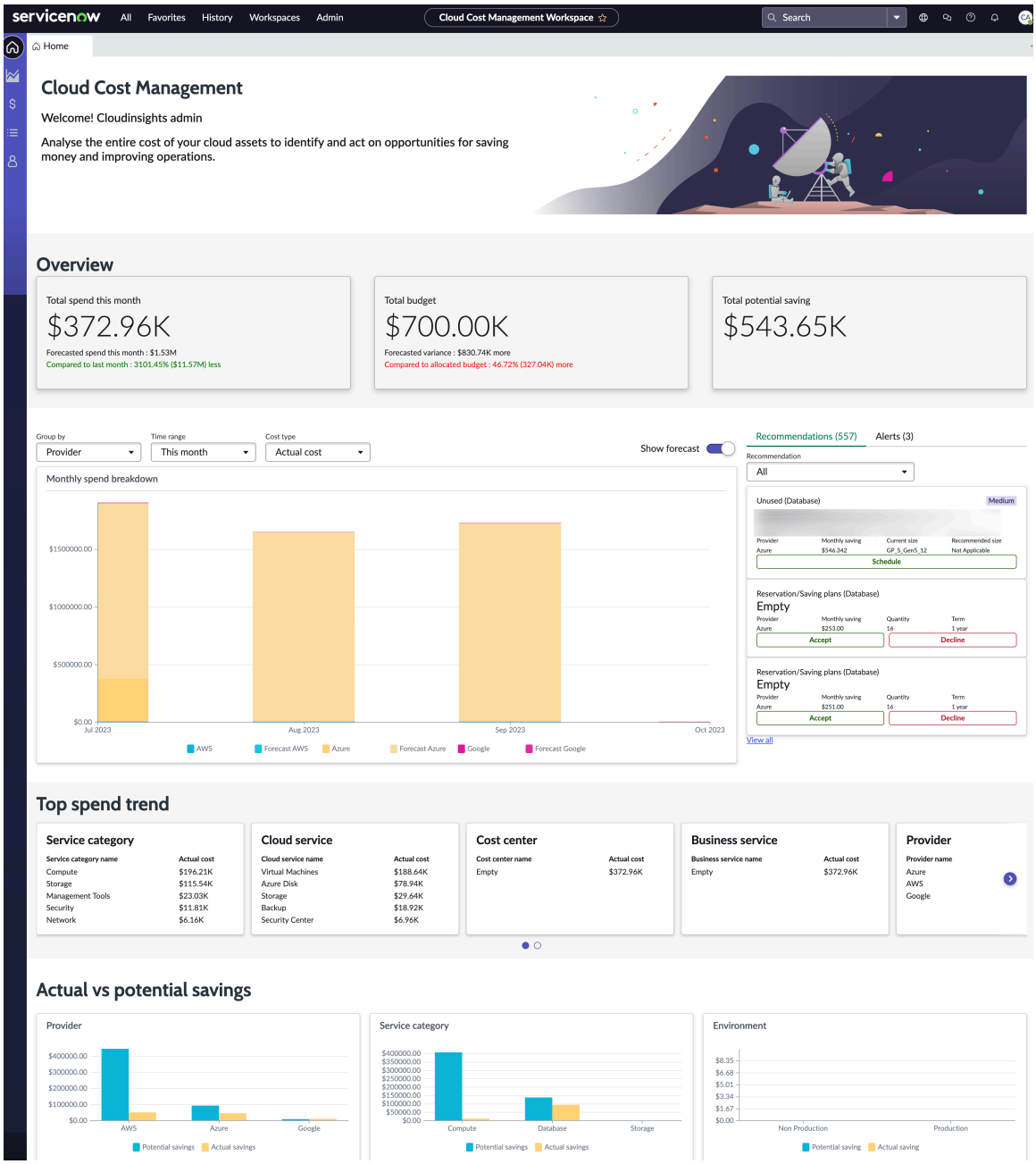
- 過去 30 日間のクラウドリソースまたはサービスアカウントに対する現在の支出額を把握できます。
- クラウドリソースの総予算や節減見込みなどの主要な測定基準に関するインサイトを取得します。
- 支出のブレークダウンを分析し、プロバイダー、サービスカテゴリ、サービスアカウント、クラウドサービス、または購入オプション別に結果をグループ化します。また、3 か月、6 か月、9 か月、12 か月などの過去の月数、実績コストまたは償却コストで結果を並べ替えたり、将来のコストを表示または非表示にしたりして並べ替えることもできます。

  注:
  プロバイダーまたはサービスアカウント別にのみグループ化された予測を表示できます。

- プロバイダー、サービスカテゴリ、およびクラウドサービスに基づいてクラウド支出分析を表示します。
- サービスカテゴリ、クラウドサービス、コストセンター、ビジネスサービス、およびプロバイダー別にグループ化された上位の支出傾向に関する情報を取得します。
- 見込み節減額と実際の節減額を表示して、節減額の内訳を把握します。
- アラートと推奨事項を通じて、クラウドリソースに関するアクション可能なインサイトを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



概要

レポート	説明
今月の合計支出額	過去 30 日間のサービスアカウントまたはクラウドリソースに対する実際の支出。 [今月の予測消費量] には、すべてのクラウド資産の将来の合計消費量が表示されます。 [先月との比較] の割合には、当月と先月の支出の差額が表示されます。
予算合計	現在の日付が予算の開始日と終了日の間にあるサービスアカウントまたはクラウド資産の合計予算。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概要 (続く)

レポート	説明
	予算オーナーの場合、作成されたポリシーの予算のみが表示されます。 [予測差異 金額] には、クラウドリソースに対する支出に基づく予算金額が表示されます。 `Forecasted spend this month - Total budget` 。
合計節減見込み額	アクションを実行していないすべての推奨事項に基づいたクラウド資産の合計節減額。
月次支出のブレークダウン	プロバイダー、サービスカテゴリ、サービスアカウント、クラウドサービス、または購入オプション別にグループ化された月次消費量のブレークダウン。結果は、時間範囲とコスト タイプで並べ替えることができます。[予測を表示] 切り替えスイッチを使用して、将来のコストの表示と非表示を切り替えます。 月次支出ブレークダウンバーを選択すると、[支出分析] ページに移動します。詳細については、「支出分析」を参照してください。

上位の支出傾向

レポート	説明
上位の支出傾向	サービスカテゴリ、クラウドサービス、コストセンター、ビジネスサービス、およびプロバイダー別にグループ化された支出傾向または実績コスト。

実際の節減と節減見込み

レポート	説明
プロバイダー、サービスカテゴリ、および環境別にグループ化された実際の節減額と節減見込み額	プロバイダー、サービスカテゴリ、および環境別にグループ化された、実際の節減額と節減見込み額。 **注:** 環境別にグループ化された実際の節減額と節減見込みチャートを表示するには、タグカテゴリを [本番] および [非本番] として作成する必要があります。タグカテゴリの作成の詳細については、次を参照してください タグカテゴリの作成と更新。 節減見込みは、推奨事項によって最適化できるクラウドリソースの合計支出を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

実際の節減と節減見込み (続く)

レポート	説明
	実際の節減額は、推奨事項に従ってクラウドリソースを最適化することによって達成された合計節減額を示します。

アラート

注:
[概要] クラウドコスト管理 ページに表示されるアラートは、過去 *1* 週間のものです。

アラート	説明
前回の <provider> 請求処理ダウンロードジョブが失敗しました	支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存する請求処理ダウンロードジョブが失敗しました。
前回の <プロバイダー>価格シートのダウンロードジョブが失敗しました	クラウドプロバイダーの価格シートデータをダウンロードして保存する価格シートのダウンロードジョブが失敗しました。
ジョブスケジュールが失敗しました	クラウドプロバイダーのプロセスを自動化する 1 つ以上のジョブスケジュールが失敗しました。
<番号>拒否された推奨事項	見込み節減額を示す、拒否した推奨事項の数。
<番号>失敗した推奨事項	クラウドリソースの潜在的な節約額を示す、失敗した推奨事項の数。

推奨事項

推奨事項	説明
すべて	クラウド資産に提供するすべての推奨事項 クラウドコスト管理 を表示します。
営業時間	営業時間の推奨事項は、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを特定するのに役立ちます。
予約/節減プラン	予約と節減の推奨事項は、予約計画または節減計画でコストを節約できるリソースを特定するのに役立ちます。 予約と保存の推奨事項を承認または拒否できます。
サイズの適正化	サイズの適正化に関する推奨事項は、過剰にプロビジョニングされたリソースや十分に活用されていないリソースを実行してコストを浪費しているユーザー、ユーザーグループ、または場所を特定するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

推奨事項 (続く)

推奨事項	説明
	サイズの適正化プロセスをスケジュールし、通知をトリガーするサイズの適正化による節減見込み額を指定できます。
未使用	未使用の推奨事項は、未使用のリソースを特定するのに役立ちます。 未使用のマシンの電源をオフにしたり、終了したりするようにスケジュールできます。

支出分析

[支出分析] ページでは、指定した時間範囲またはコストタイプに対するクラウド、および共有リソースの消費量を表示することで、 Kubernetesクラウドコストを可視化できます。

重要:
insights_ownerロールを持っている場合は、自分にアサインされているアカウントのみがフィルターとデータに表示されます。

支出分析ページを使用して、以下を表示します。

- クラウド支出分析
- Kubernetes 支出分析
- 共有コスト分析

注:
ネストされたタグ値に対するリソースの消費量は表示できません。`{"name":"test","created-by":"xyz","prod":"false","shared_resource":"false"}` など。

クラウド支出分析

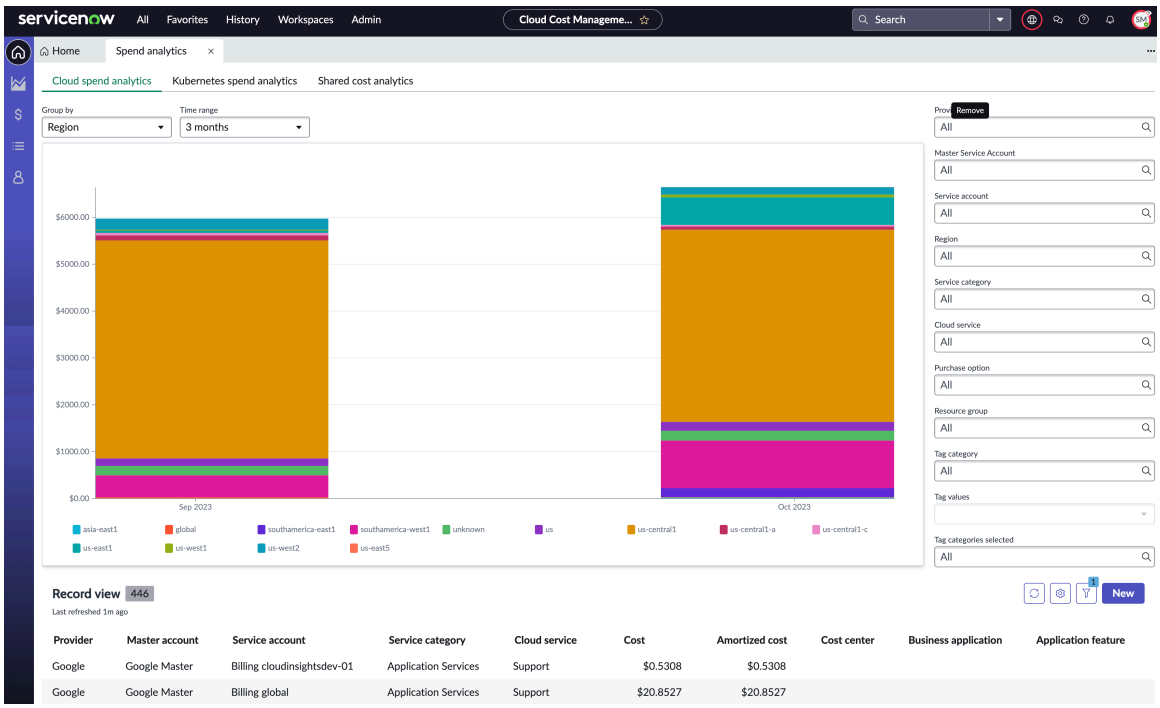
[クラウド支出分析] タブを選択して、次のタスクを実行します。

- [時間範囲] フィールドで選択できる期間に、クラウドリソースに現在どのように費やしているかを把握します。
- 次のいずれかの値を使用して、クラウド支出分析をグループ化します。
  - プロバイダー
  - 購入オプション
  - 地域
  - サービスアカウント
  - サービスカテゴリ
  - クラウドサービス
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ
- クラウド支出の結果を当月でソートするか、3 か月、6 か月、9 か月、12 か月などの時間範囲を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 次のフィルターを使用して値を検索して選択することで、結果をより適切に把握できます。
  - プロバイダー
  - マスターサービスアカウント
  - サービスアカウント
  - 地域
  - サービスカテゴリ
  - クラウドサービス
  - 購入オプション
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ
  - タグ値
  - タグカテゴリが選択されました



Kubernetes 支出分析

[**Kubernetes** 支出分析] タブを選択して、次のタスクを実行します。

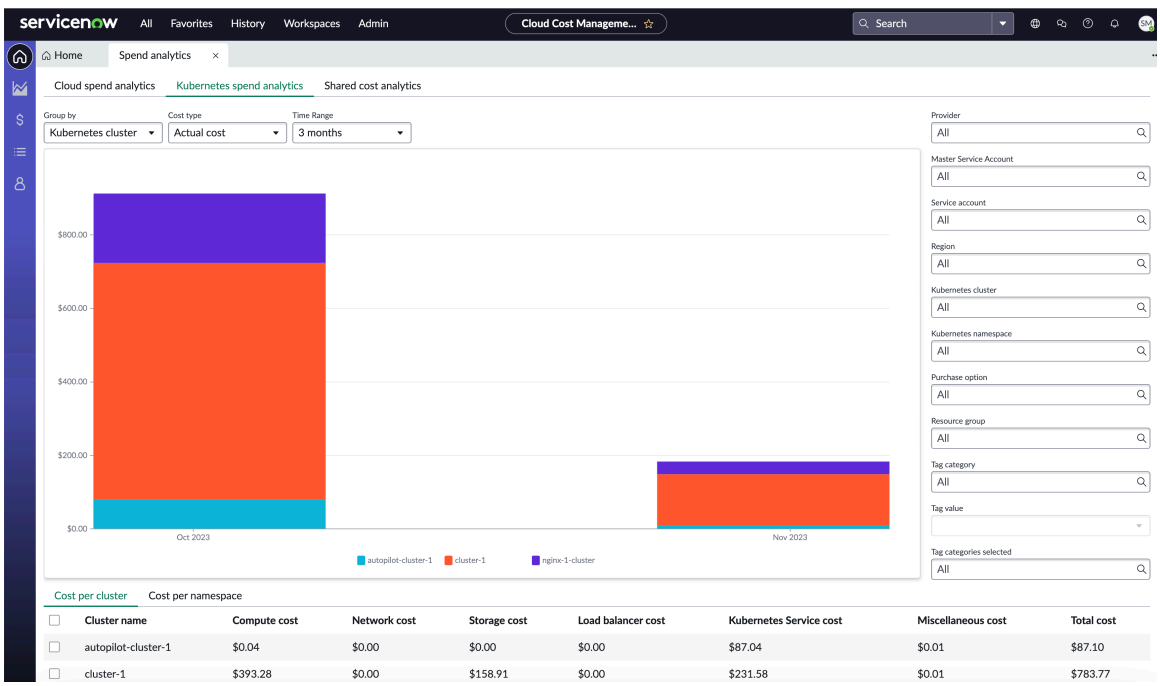
- [時間範囲] フィールドで選択できる期間に、クラウド上で現在どのように費やKubernetesしているかを把握します。
- 次のいずれかの値を使用して、支出分析をグループ化します Kubernetes 。
  - Kubernetes クラスター
  - Kubernetes 名前 空間
  - タグカテゴリ
- 原価費目として 実績コスト または 償却原価 を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 実際のコスト: 請求期間ごとに、組織は直接クラウド サービスに対して支払います。
- 償却原価: 組織は、請求期間に分散された前払いおよび月次の予約料金の実効コストを支払います。償却原価費目は、プロバイダーサイトで詳細に説明されています。

- 支出の結果を Kubernetes 当月で並べ替えるか、3 か月、6 か月、9 か月、12 か月などの期間を選択します。
- 次のフィルターを使用して値を検索して選択することで、結果をより適切に把握できます。
  - プロバイダー
  - マスターサービスアカウント
  - サービスアカウント
  - 地域
  - Kubernetes クラスター
  - Kubernetes 名前 空間
  - 購入オプション
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ
  - タグ値
  - タグカテゴリが選択されました
- クラスターあたり Kubernetes のコストと名前空間あたり Kubernetes のコストの詳細を表示します。



共有コスト分析

[共有コスト分析] タブを選択して、次のタスクを実行します。

- [時間範囲] フィールドで選択できる期間に、共有クラウドリソースに現在どのように費やしているかを把握します。
- 次のいずれかの値を使用して、共有コスト分析をグループ化します。

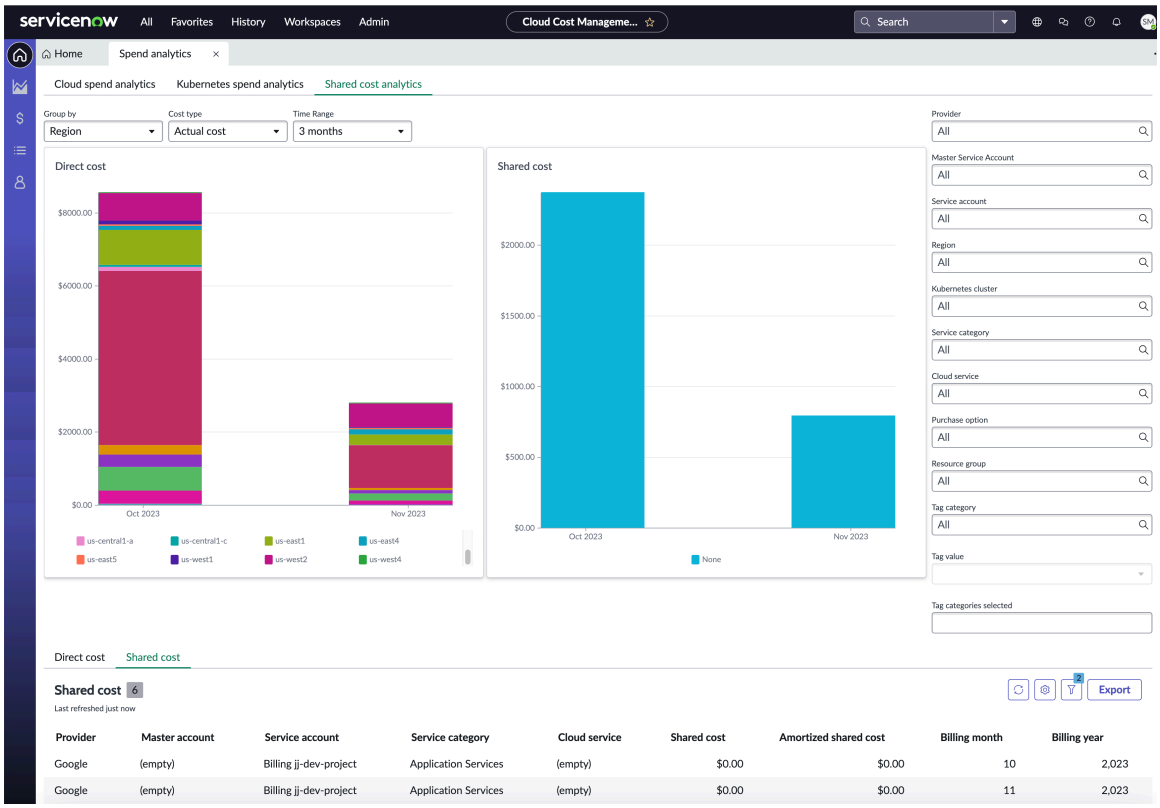
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロバイダー
- 購入オプション
- 地域
- サービスアカウント
- サービスカテゴリ
- クラウドサービス
- リソースグループ
- タグカテゴリ

- 原価費目 を 実績コスト または 償却原価 として選択します。
  - 実際のコスト: 請求期間ごとに、組織は直接クラウド サービスに対して支払います。
  - 償却原価: 組織は、請求期間に分散された前払いおよび月次の予約料金の実効コストを支払います。償却原価費目は、プロバイダーサイトで詳細に説明されています。
- 共有リソースのコスト結果を当月でソートするか、3、6、9、12 か月などの時間範囲を選択します。
- 次のフィルターを使用して値を検索して選択することで、結果をより適切に把握できます。
  - プロバイダー
  - マスターサービスアカウント
  - サービスアカウント
  - 地域
  - サービスカテゴリ
  - クラウドサービス
  - 購入オプション
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ
  - タグ値
  - タグカテゴリが選択されました
- クラウドリソースの直接コストと共有コストの詳細を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



予算ビュー

グループとサービスアカウントごとの予算コンプライアンスを把握することで、監視を大幅に改善し、クラウド支出を削減できます。

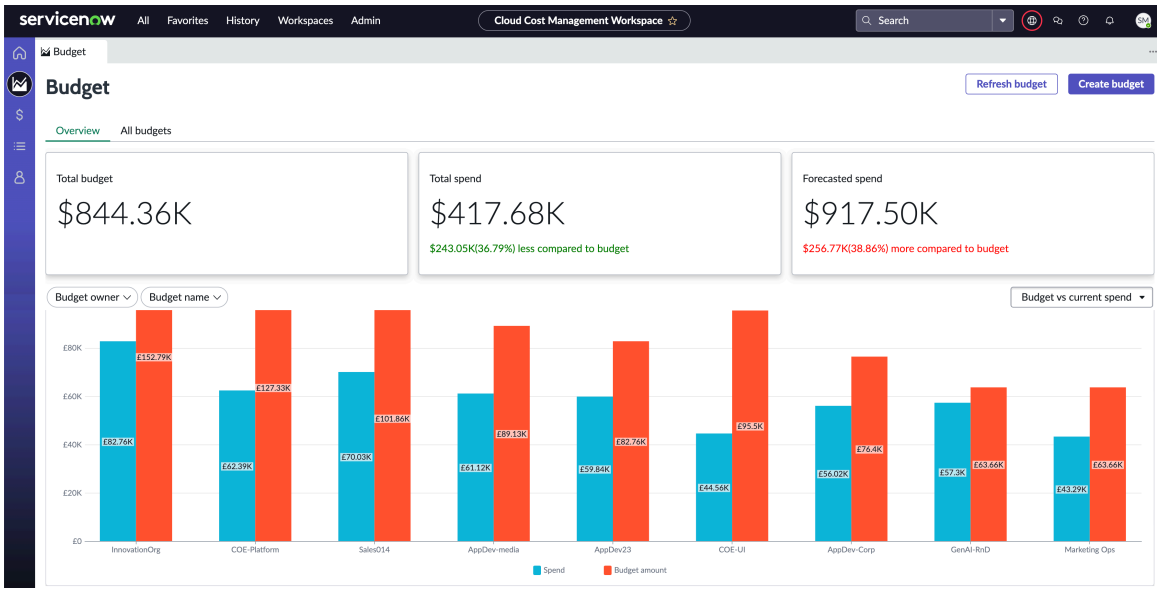
重要:
insights_ownerロールを持っている場合は、自分にアサインされているアカウントのみがフィルターとデータに表示されます。

予算ビューを使用して、次のことを行います。

- クラウド資産の合計予算と支出を表示します。
- 将来の支出を分析し、予算内か超過かを把握します。
- クラウド支出を管理し、カスタム予算計画を定義および監視できます。
- 予算ポリシーを作成および管理します。詳細については、「予算ポリシーの作成または更新」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



予算の概要

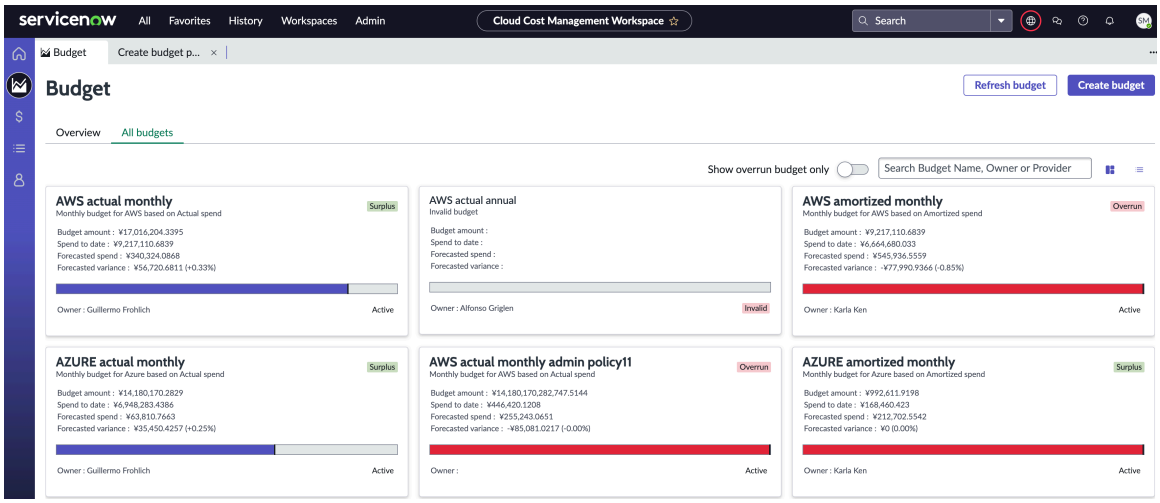
レポート	説明
予算合計	現在の期間のクラウド資産の有効な予算。
合計消費量	当月のクラウド資産に対する合計支出。 現在の支出が予算内に収まっているか、予算を超えているかどうかを示します。
支出予測	クラウドリソースの合計消費量に基づく予測消費量。 予測消費量が予算内であるか、予算を超えているかを示します。
予算と支出	予算と、各予算ポリシーの現在の支出または予測支出との比較。 次の方法でデータをフィルタリングできます。 • 予算所有者 • 予算名 • 予算と現在の支出 • 予算と予測支出額

すべての予算

予算ポリシーを作成または変更すると、ポリシーが [すべての予算] ページに表示されます。予算超過、余剰予算、無効な予算など、予算の詳細を検索します。「 超過予算のみを表示 」トグル・ボタンを切り替えると、超過予算のみを表示できます。名前、所有者、またはプロバイダーで予算を検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



支出ビュー

ワークスペースの支出ビュー クラウドコスト管理 を使用して、正確なコストレポートを確認します。

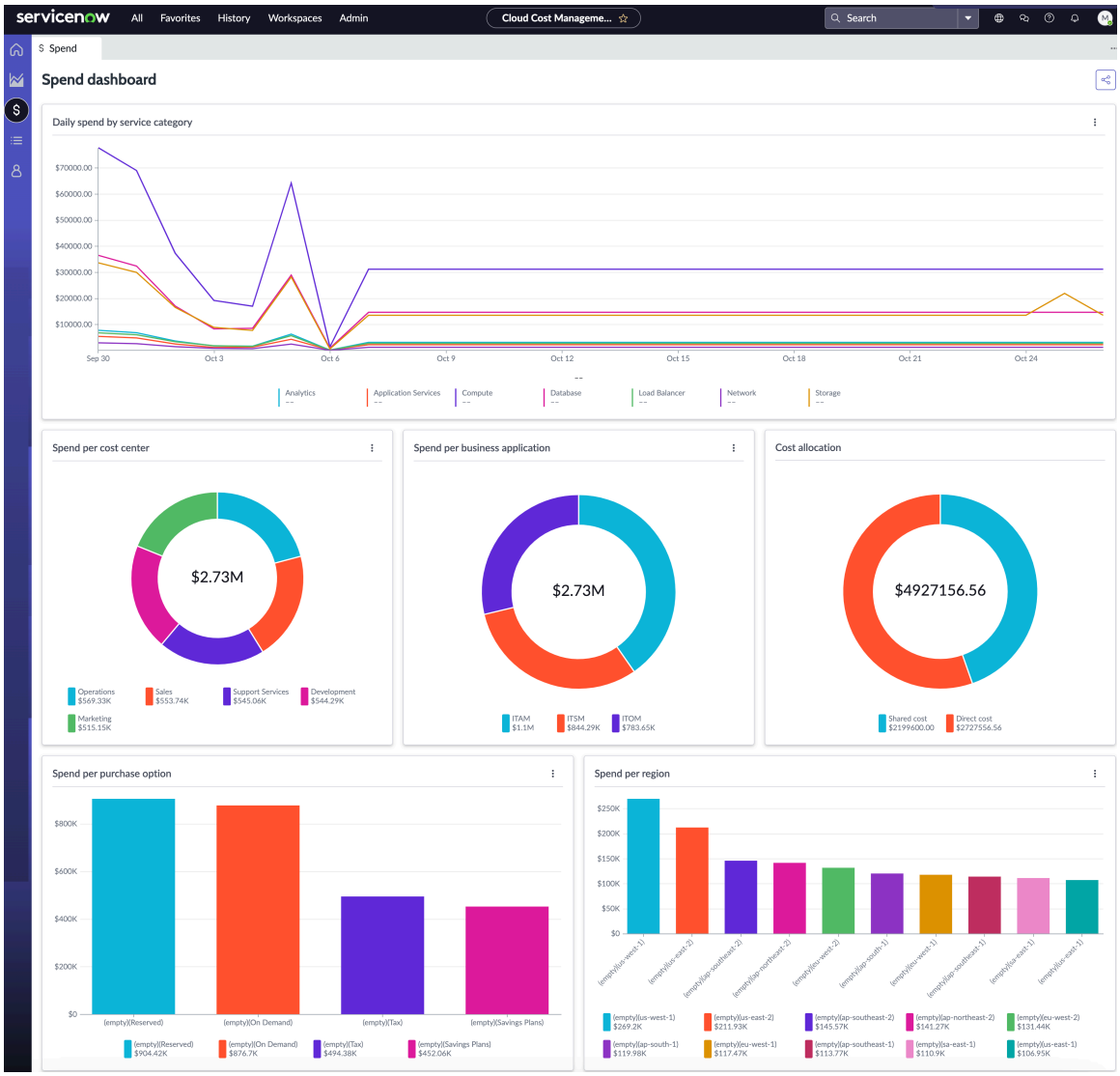
重要:
insights_ownerロールを持っている場合は、自分にアサインされているアカウントのみがフィルターとデータに表示されます。

支出ビューを使用して、さまざまなカテゴリ別にグループ化された資産に対する支出を分析および把握します。

- サービスカテゴリ別の日次支出
- コストセンターあたりの支出
- 購入オプションあたりの支出
- ビジネスアプリケーションあたりの支出
- コスト割り当て、共有コストと直接コストを表示
- リージョンあたりの支出

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

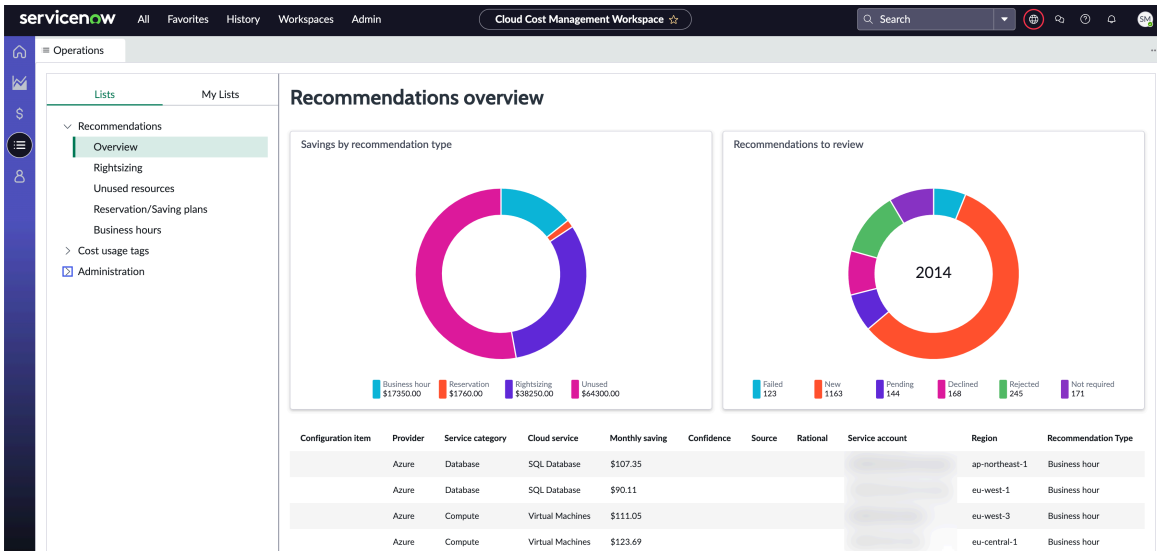
操作ビュー

の クラウドコスト管理ワークスペース [操作] ビューを使用して、推奨事項、コスト使用タグ、および管理関連の操作を表示および管理します。

重要:
insights_ownerロールを持っている場合は、自分にアサインされているアカウントのみがフィルターとデータに表示されます。

[操作] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



操作ビューでは、[リスト] タブで各カテゴリを展開することで、次のタスクを実行できます。

- 概要:推奨事項タイプ別、およびレビューする推奨事項の数別に、合計節減額を表示します。これらは、ステータス別にグループ化されています。
- 推奨事項:サイズの適正化、未使用リソース、予約/節減プラン、営業時間などの推奨事項タイプ別に、クラウド資産の節減額を表示します。推奨事項タイプを選択して詳細レポートを表示し、それに応じて対処します。
  - サイズの適正化:サービスカテゴリ別の合計節減見込み額、変更グループ別の節減見込み額の合計、スケジュール済み、完了済み、拒否済み、失敗済み、およびサイズの適正化が除外されたリソースの数を表示します。また、リソースのサイズを適正化するためにリソースを除外またはスケジュールしたり、適切なサイズ設定を構成したり、サービスカテゴリ測定基準を作成したりすることもできます。詳細については、「サイズの適正化によるリソースのサイズ変更」を参照してください。
  - 未使用のリソース:サービス カテゴリ別の合計節減見込み、変更グループ別の節減見込み合計、スケジュール済み、完了済み、拒否済み、失敗、および除外済みの未使用のリソースの数を表示します。また、未使用のリソースを除外またはスケジュールして、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定したり、未使用の設定を構成したり、未使用の推奨事項を作成したりすることもできます。詳細については、「未使用のリソースを管理する」を参照してください。
  - 予約/節減プラン: 予約にかかる前払いコスト、全体的な RI 使用率、サービス カテゴリ別の節減見込みを表示します。リザーブドインスタンスの推奨事項を承認または拒否できます。詳細については、「予約プランでリソースコストを削減」を参照してください。
  - 営業時間:サービスカテゴリ別の合計節減見込み額、変更グループ別の節減見込み額合計、営業時間外の消費量に対する営業時間、およびスケジュール済み、完了済み、拒否済み、失敗済み、および営業時間ポリシーから除外されているリソース数を表示します。ポリシーからリソースを除外することもできます。詳細については、「[営業時間] でリソース使用率を改善」を参照してください。
- コスト使用タグ:リソース使用状況を特定のビジネスエンティティに関連付けます。詳細については、「タグとタグカテゴリ」を参照してください。
  - タグカテゴリ:タグカテゴリを作成および更新します。
  - タグ名:タグカテゴリのタグ名を作成します。
  詳細については、「タグカテゴリの作成と更新」を参照してください。
- 管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サービスアカウント:、AzureおよびGoogleアカウントの資格情報とアクセス情報を格納するためのサービスアカウントAWSを作成します。
  - AWSサービスアカウントの追加
  - Microsoft Azure行政サービスアカウントを追加する
  - Google Cloudサービスアカウントの追加
- 資格情報:、Azure、およびGoogleアカウントにアクセスするAWSための資格情報を作成します。
  - 請求および使用状況データへのアクセス AWS をセットアップする
  - Microsoft Azure 請求および使用状況データへのアクセスを設定する
  - Google Cloud の請求データと使用状況データへのアクセスをセットアップする
- 請求処理ダウンロードジョブ:、AzureのGoogle請求処理データAWSをダウンロードするジョブを表示、管理、およびスケジュール設定します。
  - 請求処理データをダウンロードする AWS ジョブのスケジュールと管理
  - 請求処理データをダウンロードする Azure ジョブのスケジュールと管理
  - 請求処理データをダウンロードする Google Cloud ジョブのスケジュールと管理
- 価格シートのダウンロードジョブ:、AzureのGoogle価格シートAWSをダウンロードするジョブを表示、管理、およびスケジュールします。
  - 価格シートをダウンロードするAWSジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理
  - 価格シートをダウンロードするMicrosoft Azureジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理
  - 価格シートをダウンロードするGoogle Cloudジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理
- 営業時間スケジュール:営業時間のスケジュールを作成します。詳細については、「営業時間スケジュールの作成」を参照してください。
- 未アサインリソース:未アサインリソースのリストと、プロバイダー、リージョン、CMDB CI、サービスアカウントとカテゴリ、Sys ID などのリソースの詳細を表示します。
- グローバル除外: 特定のリソースのコスト データがレポートに表示されないようにするために、リソースを除外します。詳細については、「すべての クラウドコスト管理 レポートからリソースを除外する」を参照してください。
- ジョブ実行:次のジョブ実行の詳細を表示します。
  - 請求処理ダウンロード (Billing Downloads)
  - 価格シートのダウンロード
  - 支出
  - 予算
  - サイズ適正化/未使用
  - 営業時間
  - 未アサイン
  - 予約プラン
- アカウントから所有者へのマッピング:サービス アカウントの所有権を設定または更新します。詳細については、「サービスアカウントをinsights_ownerに割り当てる」と「insights_owner権限の更新または再割り当て」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インサイトオーナーの表示:インサイトオーナーのリストを表示し、クラウドサービスアカウントも作成します。詳細については、「insights_ownerが所有するサービスアカウントの表示」を参照してください。
- **AWS** 価格割引: 各サービスアカウントのプロバイダー割引率を表示および指定します。詳細については、「レート割引を指定して、サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を有効にします」を参照してください。
- **AWS Gov** アカウントマッピング:AWS Gov アカウントからリンクされたサービスアカウントへのマッピングを作成します。詳細については、「Gov アカウントマッピングを作成AWS」を参照してください。
- 共有コスト割り当てポリシー:さまざまな割り当てタイプの共有コスト割り当てポリシーを作成、更新、および表示して、共有クラウドリソースのコストをさまざまな事業部門間で分割します。詳細については、「共有コスト割り当てポリシーの作成または更新」を参照してください。

管理ビュー

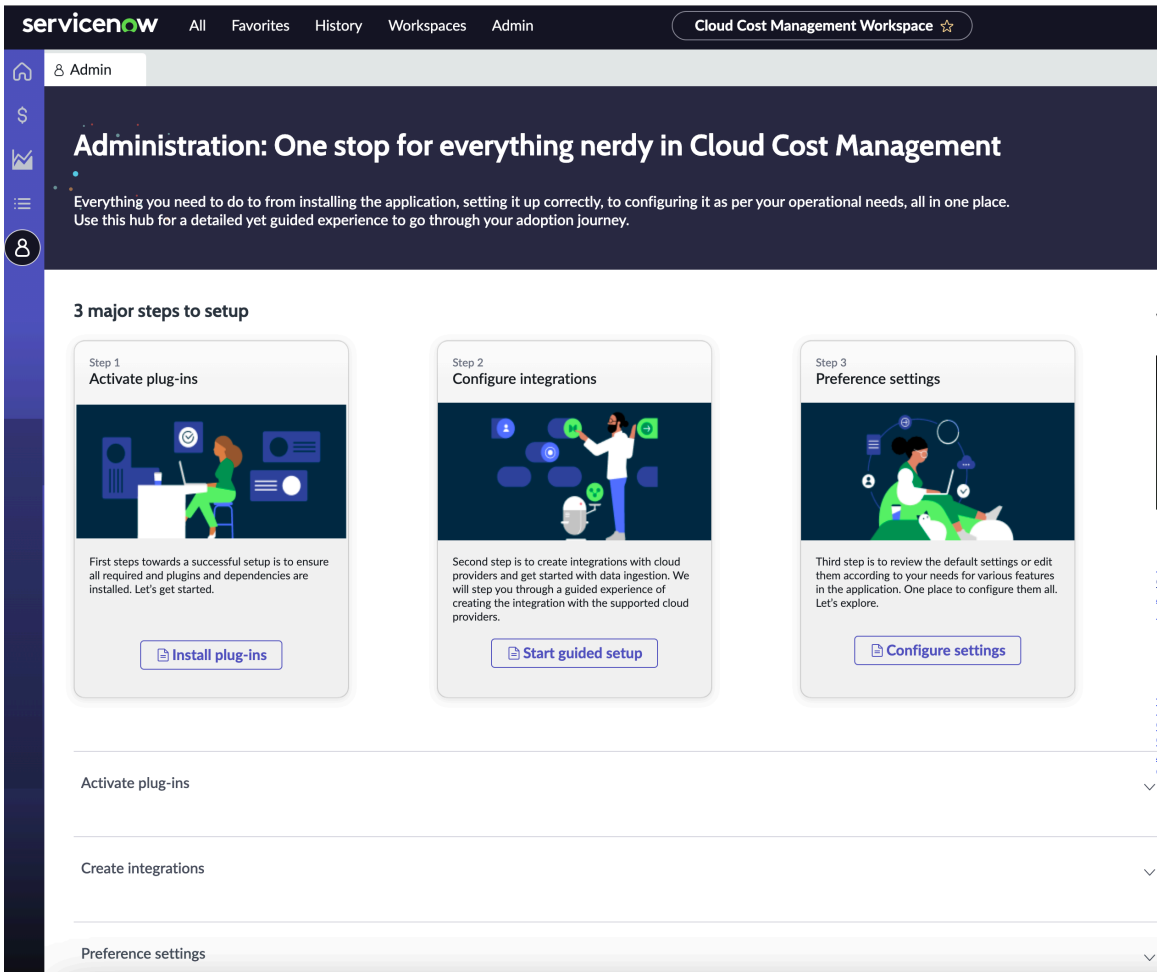
の クラウドコスト管理ワークスペース 管理者ビューを使用すると、ガイド付きエクスペリエンスを通じてアプリケーションをインストール、セットアップ、および構成できます。

管理者ビューでは、次のことができます。

- の構成に使用するクラウドコスト管理ことでガイド付きセットアップ、GCPAzureより短時間で価値を得ることができます。 AWSガイド付きセットアップ では、構成を完了するために実行する必要があるタスクに関する規範的なガイダンスを提供します。これにより ガイド付きセットアップ 、構成アクティビティが使いやすさのさまざまなカテゴリに整理されます。
- チュートリアルを見て、 を理解してください クラウドコスト管理。
- 役に立つリソースおよび関連する製品や機能を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ガイド付きセットアップ による クラウドコスト管理 の実装

ガイド付きセットアップ には一連のタスクがあり、ご利用の ServiceNow インスタンスで クラウドコスト管理 を設定するのに役立ちます。

クラウドコスト管理 ガイド付きセットアップ、AWSMicrosoft Azure、およびGCPを開くには、に移動します ワークスペース > クラウドコスト管理ワークスペース > 管理者 > 統合を作成 > 統合.

詳細については、「Guided setup」を参照してください。

の ガイド付きセットアップ管理者ビューで次の手順を見つけます。

- プラグインのアクティブ化:必要なすべてのプラグインと依存関係がインストールされていることを確認します。

  注:
  バージョン 2.1.2 を追加する ガイド付きセットアップ 必要があります。

- 統合の設定:、、Microsoft AzureなどのGoogle Cloud Platform (GCP)クラウドプロバイダーAmazon Web サービス AWSとの統合を作成します。
- 環境設定:アプリケーションのさまざまな機能のニーズに応じて、デフォルト設定を確認するか、編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

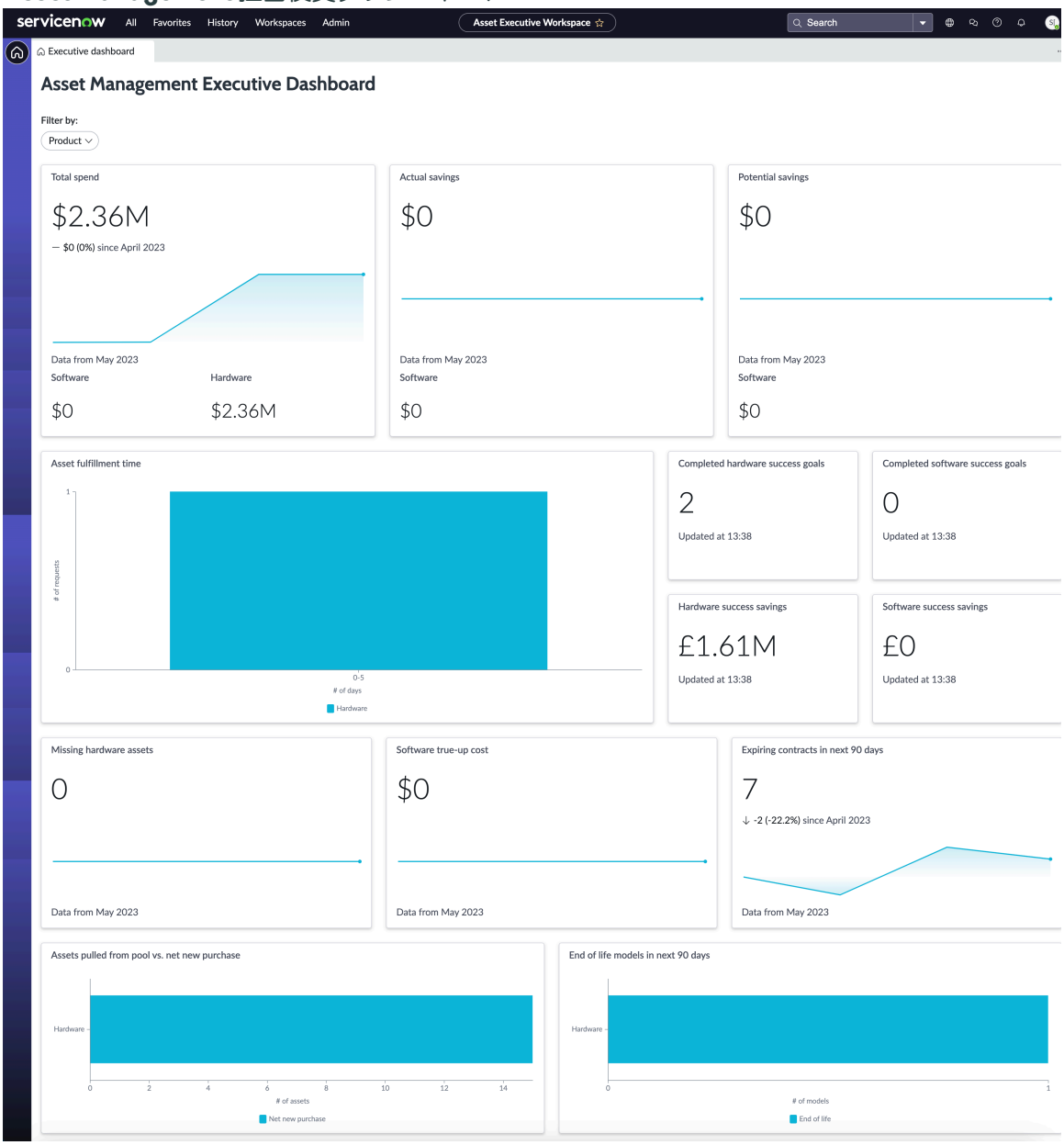
エグゼクティブダッシュボードを使用した 資産管理 KPI のクラウドコスト管理可視化

資産管理エグゼクティブダッシュボードを使用すると、 、、、およびクラウドコスト管理アプリケーションの重要な KPI ハードウェア資産管理ソフトウェア資産管理を単一のダッシュボードで可視化できます。

エグゼクティブダッシュボードにアクセスする資産管理には、ソフトウェア資産管理インスタンスにServiceNow、 ハードウェア資産管理クラウドコスト管理

エグゼクティブダッシュボードを表示するには 資産管理 、次の場所に移動します。 資産担当役員ワークスペース > 資産管理担当役員ダッシュボード. sn_itam_common.asset_exec のロールを持つユーザーは、ダッシュボードにアクセスできます。

Asset Management 担当役員ダッシュボード



ダッシュボードの結果は、製品、ドメイン、または製品とドメインの両方でフィルタリングできます。ドメインでフィルタリングすると、フィルターがすべてのウィジェットに適用されます。製品でフィルタリングする場合、一部のウィジェットは特定の製品に適用されるため、フィルターはすべてのウィジェットに適用されるわけではありません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィルターを選択すると、各ウィジェットの右側に青いボックスが表示され、いずれかの数字が表示されます。

- 0:ウィジェットにフィルターが適用されていないことを示します。
- 1:ウィジェットに 1 つのフィルターのみが適用されることを示します。
- 2:両方のフィルターがウィジェットに適用されていることを示します。

注:
ドメインフィルターを使用するには、プラグイン com.glide.domain.msp_extensions.installer および com.snc.pa.domain_support を有効にする必要があります。

スケジュールジョブ は毎日実行され、 *Asset Management - Populate KPI aggregate table*ダッシュボードのデータを更新します。ウィジェットの最新データを表示するには、ウィジェットを選択してリスト ビュー ページを表示します。

ダッシュボードウィジェットは、インスタンスでアクティブ化したアプリケーションプラグインによって異なります。各アプリケーションで使用できるウィジェットを次の表に示します。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
合計消費量	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの合計コスト。 ソーステーブル:ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	ステータスが [在庫あり]、[使用中]、[メンテナンス中]、または [輸送中] であるすべてのハードウェア資産の合計コスト ソーステーブル:ハードウェア [alm_hardware]	すべてのクラウドリソースの合計アクティブコスト。 ソーステーブル:支出レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]。
実際の削減	すべての製品の年間合計節減額。この値は、完全に閉じた再利用候補からの節減額の合計として計算されます。 ソーステーブル:Removal Candidate [samp_sw_reclamation_candidate]	適用外	この値は、クラウドリソースの月次節減額として計算されます。 **注:** このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:ステータス = 完了した Cloud Insights のサイズ適正化に関する推奨事項の自動 (sn_clin_core_rs_recommendation_automatic)。
見込まれる削減	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。	適用外	クラウドの適正化、クラウドの未使用マシン、クラウド予約、およびクラウドの営業時間に関する月次見込まれる節減額の合計。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
	ソーステーブル:Removal Candidate [samp_sw_reclamation_candidate]		**注:** このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル: • Cloud Insights のサイズ適正化に関する推奨事項の自動 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]。 • Cloud Insights の未使用推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]。 • リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]。
Assessment fulfillment time	サービスカタログからのソフトウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	サービスカタログからのハードウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	適用外
ソフトウェア成功目標が完了しました	アプリケーションに対して ソフトウェア資産管理 完了した成功目標の数。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal]	適用外	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
	注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。		
ハードウェア成功目標が完了しました	適用外	アプリケーションに対して ハードウェア資産管理 完了した成功目標の数。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal] 注: このウィジェットは、(sn_hamp) がインストールされている場合にのみ ハードウェア資産管理 使用できます。	適用外
ソフトウェアの成功によるコスト削減	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal] 注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	適用外	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
ハードウェアの成功削減	適用外	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal] **注:** このウィジェットは、(sn_hamp) がインストールされている場合にのみ ハードウェア資産管理 使用できます。	
不足しているハードウェア資産	適用外	紛失、紛失、または盗難にあったハードウェア資産の数。 ソーステーブル:不足しているハードウェア資産 [missing_hardware_assets]。	適用外
ソフトウェア調整コスト	実際に使用されている製品のコスト。 ソーステーブル:製品結果 [samp_product_result]	適用外	適用外
Expiring contracts in 90 days	今後 90 日以内に期限切れになるソフトウェア契約の数。	今後 90 日以内に期限切れになるハードウェア契約の数。	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
	注: ソフトウェア資産管理アプリケーションとハードウェア資産管理アプリケーションの両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットにはソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	注: ソフトウェア資産管理インスタンスに両方が存在する場合、ハードウェア資産管理このウィジェットにはソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	
プールからプルされた資産と正味新規購入	インベントリから履行されるソフトウェア資産の要求数と新しい資産の発注書の作成数を表す棒グラフ。 注: このウィジェットのソフトウェア関連データを表示するには、Procurement (com.snc.procurement) プラグインがインスタンスで有効化されていることを確認してください。 ソーステーブル: • プール資産:割り当てられた割り当て [alm_licenses_assigned]。 • 純新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	在庫から履行されるハードウェア資産の要求数と新しい資産の発注書を作成するハードウェア資産の要求数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • 資産をプール:資産消費タスク [consume_asset_task]。 • 純新規資産:発注明細 [proc_po_item]。	在庫から使用された資産の数と発注書を介して調達された新しい資産の数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • プール資産:支出レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]。 • 純新規資産:発注明細 [proc_po_item]。
今後 90 日で提供が終了するモデル	今後 90 日以内に提供終了が迫るソフトウェアモデルの数。	今後 90 日間で提供終了に達するハードウェアモデルの数。	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドコスト管理
	• 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	• 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ハードウェアモデル [cmdb_hardware_model_lifecycle]。	

使用するクラウドリソースの検出

検出するサービスアカウント、アカウントにアクセスするための資格情報、およびリソースをスキャンする MID Server を選択します。アプリケーションを使用する場合 ディスカバリー 、Manager ウィザードを使用すると、 ディスカバリー クラウド属性を検出するための構成プロセスが簡素化されます。別の方法を使用してリソースを検出する場合は、この構成操作をスキップできます。

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

ホームページからの初期設定

重要:
この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。AWS 向けサービスグラフコネクタなどの別の方法を使用してリソースを検出する場合は、この構成操作をスキップします。このメソッドの詳細については、次を参照してください Service Graph Connector for AWS 。

初期インストール時に、ホームページの [検出の構成と実行] セクションで [検出スケジュールの設定] ボタンを選択すると、[スケジュールの検出] フォームが開きます。詳細な手順については、以下を参照してください。

- Amazon AWS クラウド検出
- Azure クラウド検出
- Google Cloud Platform クラウド検出

バージョン情報 クラウドディスカバリー

このプラグインには クラウドディスカバリー 、クラウド検出を実行するために必要なコンポーネント Cloud Provisioning and Governance が含まれています。「 クラウド検出 」を参照してください。

関連情報

Discovery の基本

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予約プランまたは節減プラン

予約プランまたは節減プラン機能は、オンデマンド支払いプランを予約プランに変換することでコストを削減できるリソースを推奨します。これらのプランは、コミットユース割引、コミットユース節約プラン、またはリザーブドインスタンスプランとも呼ばれます。

注:
Azure オンデマンド コストを節約するためのマネージド ディスク予約インスタンスがサポートされています。

予約/節減プラン機能の仕組み

1. 課金データと使用状況データが更新されるたびに、システムは、計画された有効期間中に予約プランのコストが低いことをプロバイダーが推奨するリソースの一覧を収集します。
2. 予約プランまたは節減プラン機能は、推定節減額でリソースをソートし、 予約/節減プラン ページにリストを表示します。次に移動できます クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > 予約/節減プラン をクリックしてリストを表示します。

   詳細については、「予約プランでリソースコストを削減」を参照してください。

3. [リザーブドインスタンス **(Reserved Instances)**] ページには、[新規]、[承認済み]、[拒否済み] の 3 つのタブがあります。タブを使用して、推奨事項をアクションのカテゴリにソートできます。気が変わった場合は、任意のタブから他の任意のタブにリソースを移動できます。

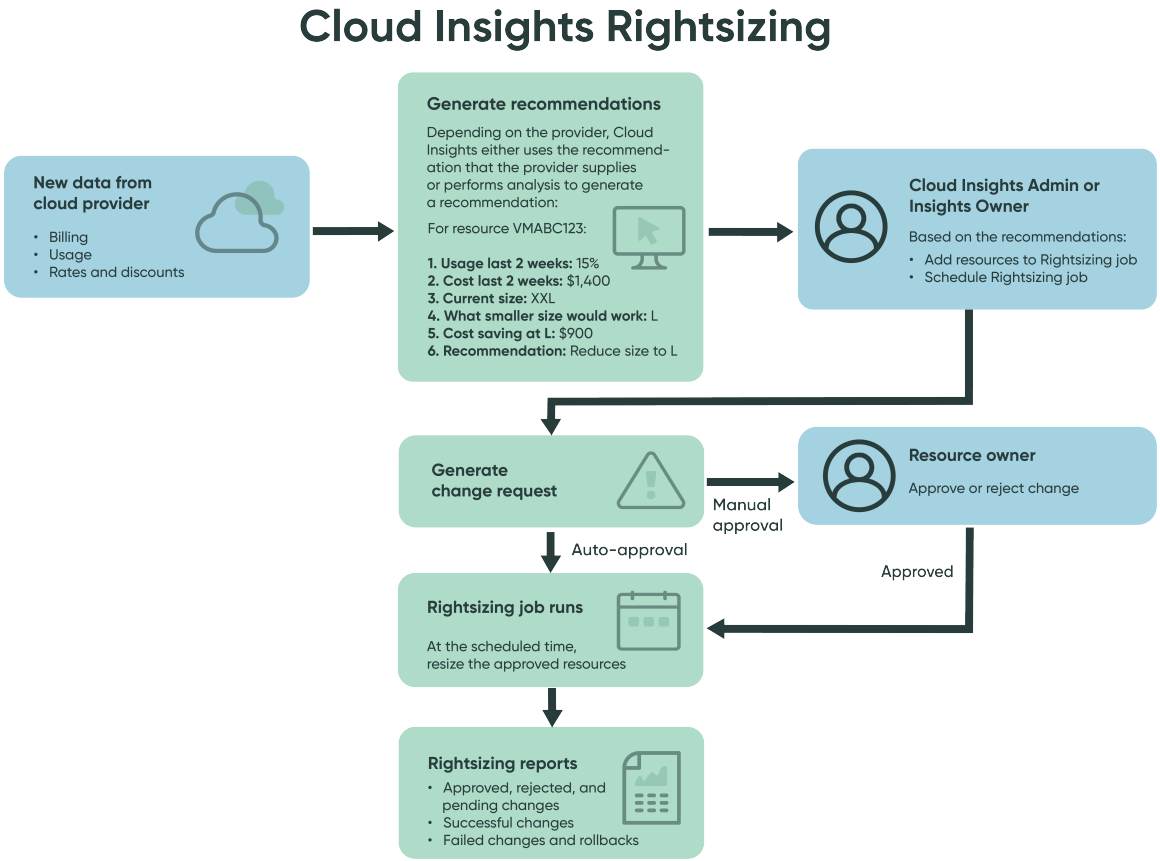
リソースの適正化

サイズの適正化機能は、リソースの使用状況を分析し、過剰にプロビジョニングされたり十分に使用されなかったりしてコストを浪費しているリソースに対して、より適切なサイズを推奨します。信頼度レーティングと予測された節減額は、各推奨事項を裏付けています。サイズの適正化ジョブをスケジュールして、指定したリソースのサイズを変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズの適正化の仕組み



請求処理データと使用状況データが更新されるたびに、サイズの適正化に関する推奨事項が更新されます。

サイズの適正化ジョブを定義するには、次のプロセスに従います。

1. [サイズの適正化の推奨事項] ページで、推奨事項の分析に基づいて適切なサイズを設定するリソースを選択します。詳細については、「サイズの適正化によるリソースのサイズ変更」を参照してください。
2. リソースをサイズの適正化ジョブに追加します。ジョブは、新規または定義済みのジョブにすることができます。
3. ジョブを実行する日時を指定します。
4. サイズの適正化アクションに必要な承認のタイプを指定します。

   サイズの適正化操作は、この機能と ServiceNow 変更管理 直接統合されています。

   - 自動承認:標準的な変更要求が生成され、変更要求が自動承認されます。
   - 手動承認:通常の変更要求を生成し、適切なユーザーが変更要求を承認します。
5. ジョブを保存します。

ジョブを保存すると、システムは直ちに変更要求を生成します。その後、スケジュールされた時刻にジョブが実行されます。このジョブは、次の操作を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 承認された変更ごとに、リソースのサイズを変更します。*ON* 状態のリソースの場合は、リソースを停止し、サイズを変更してから再起動します。サイズ変更に失敗した場合は、ロールバックを実行します。詳細については、「AWS only – サイズの適正化の試行失敗時にロールバック」を参照してください。
- サイズの適正化レポートを、新しい推奨事項と、承認済み、成功、保留中、却下、および失敗した変更で更新します。

保留中、却下済み、および失敗した変更要求については、リソースを別のジョブに再スケジュールできます。

注:
停止した AWS リレーショナルデータベースサービス (RDS) データベースに対するサイズの適正化操作は、プロバイダーから AWS はサポートされていません。停止したデータベースでサイズの適正化を実行しようとすると、サイズ変更オペレーションは「InvalidDBInstanceState - You can't modify a stopped DB instance」というエラー で失敗します。DB インスタンスを開始し、変更します。

サイズの適正化に関する推奨事項の生成方法クラウドコスト管理

クラウドコスト管理 は、各プロバイダーに最適化されたプロセスを使用します。

- のサイズ適正化分析 AWS
- のサイズ適正化分析 Microsoft Azure
- のサイズ適正化分析 Google Cloud

推奨事項

アプリケーションは クラウドコスト管理 、仮想マシン (AWSAzure)、 GCPSQL データベース (Azure)、 GCPおよび RDS データベース ()AWS の推奨事項を生成できます。CPU、メモリーおよびネットワーク使用率のメトリックは、データベース・リソースに対するデータベース・サイズの適正化に関する推奨事項を生成するために使用されます。

アプリケーションは、 クラウドコスト管理 ストレージボリューム AWS と Azure プロバイダーの推奨事項を生成します。

- クラウドカテゴリ: AWS ストレージボリュームの可変ブロックストア:サービスカテゴリはストレージです。
- クラウドカテゴリ - Azure ストレージボリュームのディスク:サービスカテゴリはストレージです。

推奨事項の信頼性レベル

リソースのサイズを適正化するためにシステムが行う各推奨事項には、信頼性レベルが関連付けられています。リソースのサイズを適正化するかどうかを決定する際には、信頼性レベルを考慮します。信頼性レベルには、次の要因が反映されます。

- 信頼性を高くするには、次の条件が必要です。
  - システムには、少なくとも 10 日分のリソースの使用状況データがあります。
  - 現在のファミリ/世代と推奨されるファミリ/世代は同じです。
- 信頼性が中程度の場合、次の条件が必要です。
  - システムのリソースの使用状況データは 10 日分未満です。
  - 現在のファミリ/世代と推奨されるファミリ/世代は同じです。
- 低信頼度:現在のファミリー/世代と推奨されるファミリー/世代が異なります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

のサイズ適正化分析 **AWS**

クラウドコスト管理 は、各プロバイダーに最適化されたプロセスを使用します。の場合 AWS、 クラウドコスト管理 計算された潜在コストと実際の請求コストを比較し、推奨事項を生成します。

リソースサイズの適正化分析の仕組み **AWS**

正確なサイズの適正化リソースの推奨事項を生成するには、 クラウドコスト管理 請求処理データが更新されるたびに次の手順に従います。

- 更新された請求処理データテーブルからコストを取得します。
- 過去 14 日間の各リソースの CPU とメモリの使用率データを収集します。

> **重要:**
>
> - を有効にする サイズの適正化には、メモリー使用量データを取得するためのメモリー測定基準を定義する必要があります。詳細については、「」を参照してください。
> - 推奨事項は、CPU 使用率データに対してのみ生成されます。

- 価格シートデータテーブルからリソースタイプとサイズのレートを取得します。
- 可能な場合は、割引テーブルから割引率を取得し、価格シートのレートに適切な割引を適用します。
- 計算された潜在コストを実際の請求コストと比較し、推奨事項を生成します。
  - CPU 使用率の上位 20% の平均が 1% 未満の場合、未使用のリソース プロセスにリソースが推奨されます。
  - CPU 使用率の上位 20% の平均が 1% を超え 40% 未満の場合、リソースはサイズの適正化プロセスに推奨されます。推奨メモリ サイズは、分析期間中のピーク使用量が推奨サイズの 80% を超えないように計算されます。たとえば、リソースが現在 16 GB で、使用可能なサイズが 4 GB、8 GB、および 16 GB であるとします。リソースが分析期間中に 3.99 GB のピークを使用した場合、推奨値は 8 GB になります。

考慮されないリソース

次の AWS 属性を持つリソースは、サイズの適正化に関する推奨事項の対象とは見なされません。

- 自動スケーリンググループ (ASG) のメンバー
- バースト可能
- VPC 内にない
- EBS ルートボリュームにバックアップされていない
- 拡張ネットワークサポートがない
- 仮想化タイプが HVM ではない
- スポットインスタンス

AWS only – サイズの適正化の試行失敗時にロールバック

AWS のみ:アクションが失敗した場合サイズの適正化、システムはただちにロールバックを実行してリソースを元のサイズに戻し、必要に応じてリソースを再起動し、変更要求を詳細で更新し、レポートデータを更新しサイズの適正化ます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

ロールバック操作のこの説明は、環境にのみ適用されます AWS 。 クラウドコスト管理 環境の AWS ロールバック操作を実行します。

クラウドコスト管理 は環境の Microsoft Azure ロールバックを実行しません。代わりに、Azure Update サービスによってロールバックが実行されます。

ロールバック操作 **(AWS** のみ)

ジョブが成功する サイズの適正化 と、承認された変更要求を持つ各リソースのサイズが変更されます。リソースが *ON* 状態の場合、プロセスはリソースを停止し、サイズを変更 (変更) してから再起動します。リソースが *OFF* 状態の場合、プロセスはリソースのサイズを変更しますが、開始はしません。

たとえば、新しいサイズがリソースの種類または制約された可用性ゾーンのクォータ制限を超える場合、リソースの再起動に失敗することがあります。

ジョブは サイズの適正化 、プロバイダー/サービスアカウント/リージョン別にグループ化されたリソースのバッチで進行します。バッチ内の変更されたリソースが再起動に失敗した場合、バッチ内の各リソースは元のサイズにロールバックされてから再起動されます。その後、システムはリソースの変更要求を更新し、レポートのサイズサイズの適正化の適正化に関する推奨事項のステータスを [失敗] に設定します。

OFF ステータスだったバッチ内のリソースは、ロールバックされないか、失敗としてマークされません。

のサイズ適正化分析 **Microsoft Azure**

クラウドコスト管理 は、プロバイダーごとに最適化されたサイズの適正化プロセスを使用します。

サイズ適正化分析の仕組み **Microsoft Azure**

Azure Advisor サービスは、サイズの適正化レポートに表示される推奨事項を生成します。 クラウドコスト管理 Advisor サービスが生成するAzure推奨事項を表示します。 クラウドコスト管理 は、請求処理データが更新されるたびにレポートを更新します。

値の生成方法の詳細については、Microsoft Learn の Advisor のドキュメントを参照してくださいAzure。

のサイズ適正化分析 **Google Cloud**

クラウドコスト管理 は、プロバイダーごとに最適化されたサイズの適正化プロセスを使用します。

サイズ適正化分析の仕組み **Google Cloud**

コンピューティング エンジンは Google Cloud 、サイズの適正化レポートに表示される推奨事項を生成します。 クラウドコスト管理 コンピューティング エンジンが Google Cloud 生成する推奨事項を表示します。 クラウドコスト管理 は、請求処理データが更新されるたびにレポートを更新します。

値の生成方法の詳細については、 Google Cloud のドキュメント を参照してください。

注:
コンソールには Google Cloud 、未使用のリソースとサイズの適正化の推奨事項の両方に対して同じリソースが表示される場合があります。同じリソースが表示されている場合は、[クラウドコスト管理 未使用のリソース] に情報を表示し、「 推奨事項は未使用に既に存在します」という理由でサイズの適正化の推奨事項から除外します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インサイトモジュールに必要な Google ロール

コンソールから Google Cloud 推奨事項を取得し、開始、停止、サイズ変更、および削除操作を実行するには、次のロールが必要です。

- compute.autoscalers.get compute.autoscalers.list compute.disks.delete
- compute.disks.get compute.disks.getIamPolicy compute.disks.list compute.disks.resize
- compute.disks.update compute.instances.delete compute.instances.getIamPolicy
- compute.instances.setDiskAutoDelete compute.instances.start compute.instances.stop
- compute.instances.update recommender.computeAddressIdleResourceInsights.get
- recommender.computeAddressIdleResourceInsights.list
- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.get
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.list
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.get
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.list
- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.list
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.list
- recommender.locations.get recommender.locations.list
- resourcemanager.projects.get resourcemanager.projects.list

未使用のリソース

未使用のリソース機能は、使用状況データを分析して、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定します。未使用リソースジョブをスケジュールして、指定したリソースの電源をオフにするか終了します。

推奨事項

と GCPの場合AWS、データベースの推奨事項はプロバイダーから取得されます。の場合 Azure、クラウドコスト管理 アイドル状態のデータベースに関する推奨事項が生成されます。

ストレージボリュームの推奨事項は、 に対してAWSAzure、およびGCPプロバイダーからフェッチされます。

自動翻訳

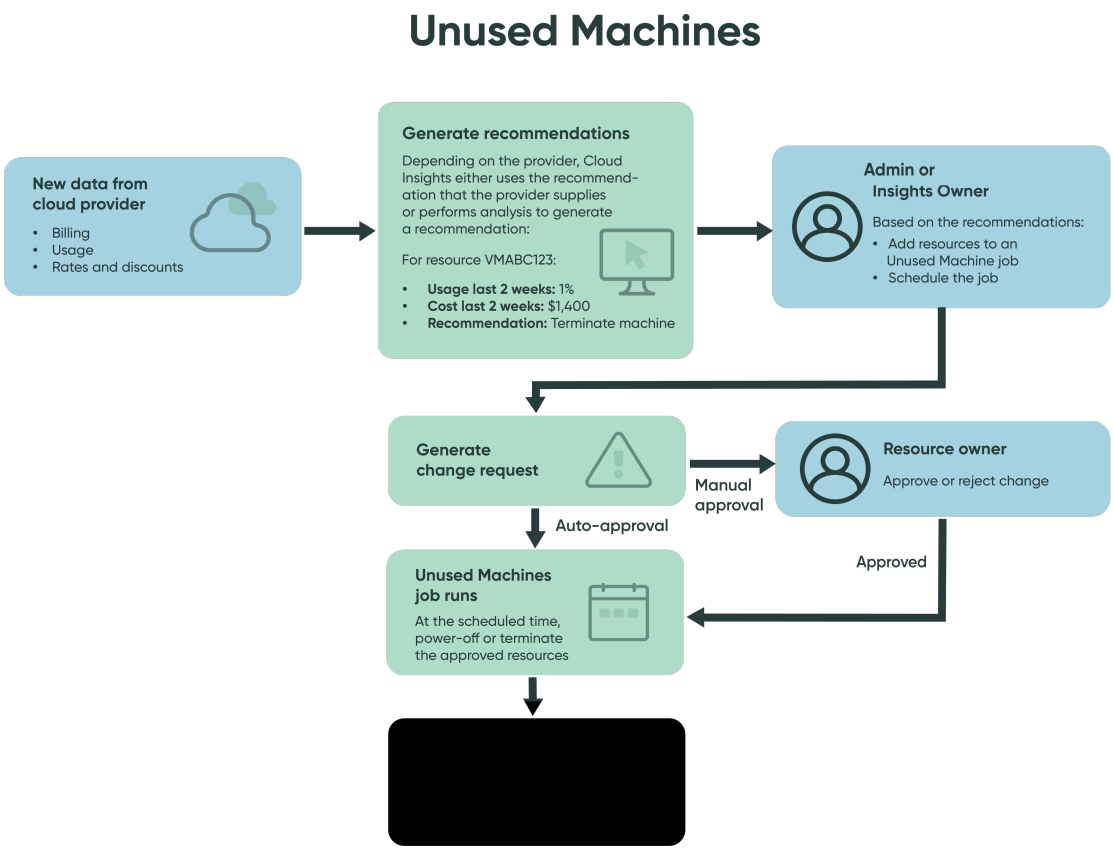
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- AWSAWS(ストレージボリュームの Elastic Block Store)
- AzureAzure(ストレージボリュームのディスク)
- GCP (ストレージボリュームの永続ディスク)

クラウドコスト管理 は、次のプロバイダーに対して期限切れのスナップショットの推奨事項を生成します。

- AWSAmazon(EBS スナップショット)
- AzureAzure(ストレージスナップショットのスナップショット)
- GCPGCP(ストレージスナップショットのスナップショット)

未使用リソース機能の仕組み



1. [未使用のリソースの推奨事項] ページで、推奨事項の分析に基づいて終了または電源オフするリソースを選択します。詳細については、「未使用のリソースを管理する」を参照してください。
2. リソースを未使用のリソースジョブ (新しいジョブまたは既に定義されているジョブ) に追加します。
3. ジョブを実行する日時を指定します。
4. 選択したリソースに対して実行するアクションを指定します。
   - リソースの電源をオフにします。
   - リソースを終了します。
   - リソースを終了し、ストレージを削除します。ルート・ストレージまたはプライマリ・ストレージのみが削除されます。
5. 指定されたアクションに必要な承認のタイプを指定します。未使用のリソース操作は、この機能と ServiceNow 変更管理 直接統合されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 自動承認:標準的な変更要求が生成され、変更要求が自動承認されます。
- 手動承認:通常の変更要求を生成し、適切なユーザーが変更要求を承認します。

6. 変更要求を生成するときに使用する変更テンプレートを指定します。
7. ジョブを保存します。

システムはただちに変更要求を生成します。その後、スケジュールされた時刻に、システムはジョブを実行して、変更が承認されたすべてのリソースの電源をオフにするか終了します。インスタンスは、未使用のリソースレポートを新しい推奨事項と、承認済み、成功、保留中、却下、および失敗した変更で更新します。電源オフまたは終了に失敗したリソースについては、リソースを別のジョブに再スケジュールできます。

未使用リソースの推奨事項を生成する方法クラウドコスト管理

クラウドコスト管理 はプロバイダーごとに最適化されたプロセスを使用します。

- の未使用リソース分析 AWS
- の未使用リソース分析 Microsoft Azure
- の未使用リソース分析 Google Cloud

関連情報

未使用のリソースの電源オフまたは終了をスケジュールする

Change Management

すべての クラウドコスト管理 レポートからリソースを除外する

の未使用リソース分析 **AWS**

クラウドコスト管理 は、プロバイダーごとに最適化された未使用リソースプロセスを使用します。の場合 AWS、 クラウドコスト管理 計算された潜在コストと実際の請求コストを比較し、推奨事項を生成します。

における未使用リソース分析の仕組み **AWS**

正確な未使用リソースの推奨事項を生成するには、 クラウドコスト管理 請求処理データが更新されるたびに次の手順に従います。

- 更新された請求処理データテーブルからコストを取得します。
- 過去 14 日間の各リソースの CPU とメモリの使用率データを収集します。
- 価格シートデータテーブルからリソースタイプとサイズのレートを取得します。
- 可能な場合は、割引テーブルから割引率を取得し、価格シートのレートに適切な割引を適用します。
- 計算された潜在コストを実際の請求コストと比較し、推奨事項を生成します。
  - CPU 使用率の上位 20% の平均が 1% 未満の場合、未使用のリソース プロセスにリソースが推奨されます。
  - CPU 使用率の上位 20% の平均が 1% を超え 40% 未満の場合、リソースはサイズの適正化プロセスに推奨されます。推奨メモリ サイズは、分析期間中のピーク使用量が推奨サイズの 80% を超えないように計算されます。たとえば、リソースが現在 16 GB で、使用可能なサイズが 4 GB、8 GB、および 16 GB であるとします。リソースが分析期間中に 3.99 GB のピークを使用した場合、推奨値は 8 GB になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

考慮されないリソース

次の AWS 属性を持つリソースは、未使用リソースの推奨事項の対象とは見なされません。

- 自動スケーリンググループ (ASG) のメンバー
- バースト可能
- VPC 内にない
- EBS ルートボリュームにバックアップされていない
- 拡張ネットワークサポートがない
- 仮想化タイプが HVM ではない
- スポットインスタンス

の未使用リソース分析 **Microsoft Azure**

クラウドコスト管理 は、プロバイダーごとに最適化された未使用リソースプロセスを使用します。

における未使用リソース分析の仕組み **Microsoft Azure**

Azure Advisor サービスは、未使用のリソースレポートに表示される推奨事項を生成します。 クラウドコスト管理 Azure Advisor サービスが生成する推奨事項を表示します。 クラウドコスト管理 は、請求処理データが更新されるたびにレポートを更新します。

値の生成方法の詳細については、 Microsoft Learn の Azure Advisor のドキュメントを参照してください。

の未使用リソース分析 **Google Cloud**

クラウドコスト管理 は、プロバイダーごとに最適化された未使用リソースプロセスを使用します。

における未使用リソース分析の仕組み **Google Cloud**

コンピューティング エンジンは Google Cloud 、未使用のリソース レポートに表示される推奨事項を生成します。 クラウドコスト管理 コンピューティング エンジンが Google Cloud 生成する推奨事項を表示します。 クラウドコスト管理 請求処理データが更新されるたびにレポートを更新します。

注:
コンソールには Google Cloud 、未使用のリソースとサイズの適正化の推奨事項の両方に対して同じリソースが表示される場合があります。同じリソースが表示されている場合は、[クラウドコスト管理 未使用のリソース] に情報を表示し、「 推奨事項は未使用に既に存在します」という理由でサイズの適正化の推奨事項から除外します。

インサイトモジュールに必要な **Google** ロール

コンソールから Google Cloud 推奨事項を取得し、開始、停止、サイズ変更、および削除操作を実行するには、次のロールが必要です。

- compute.autoscalers.get compute.autoscalers.list compute.disks.delete
- compute.disks.get compute.disks.getIamPolicy compute.disks.list compute.disks.resize
- compute.disks.update compute.instances.delete compute.instances.getIamPolicy
- compute.instances.setDiskAutoDelete compute.instances.start compute.instances.stop
- compute.instances.update recommender.computeAddressIdleResourceInsights.get
- recommender.computeAddressIdleResourceInsights.list

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.get
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.list
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.get
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.list
- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.list
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.list
- recommender.locations.get recommender.locations.list
- resourcemanager.projects.get resourcemanager.projects.list

営業時間

営業時間ジョブは、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを特定し、それらを報告し、指定したスケジュールで開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行することで、クラウド支出を大幅に削減できます。

insights_adminロールは、データベースGCPのAWSポリシーを作成できます。

注:
Azure コンピューティングのみをサポートし、データベースはサポートしません。

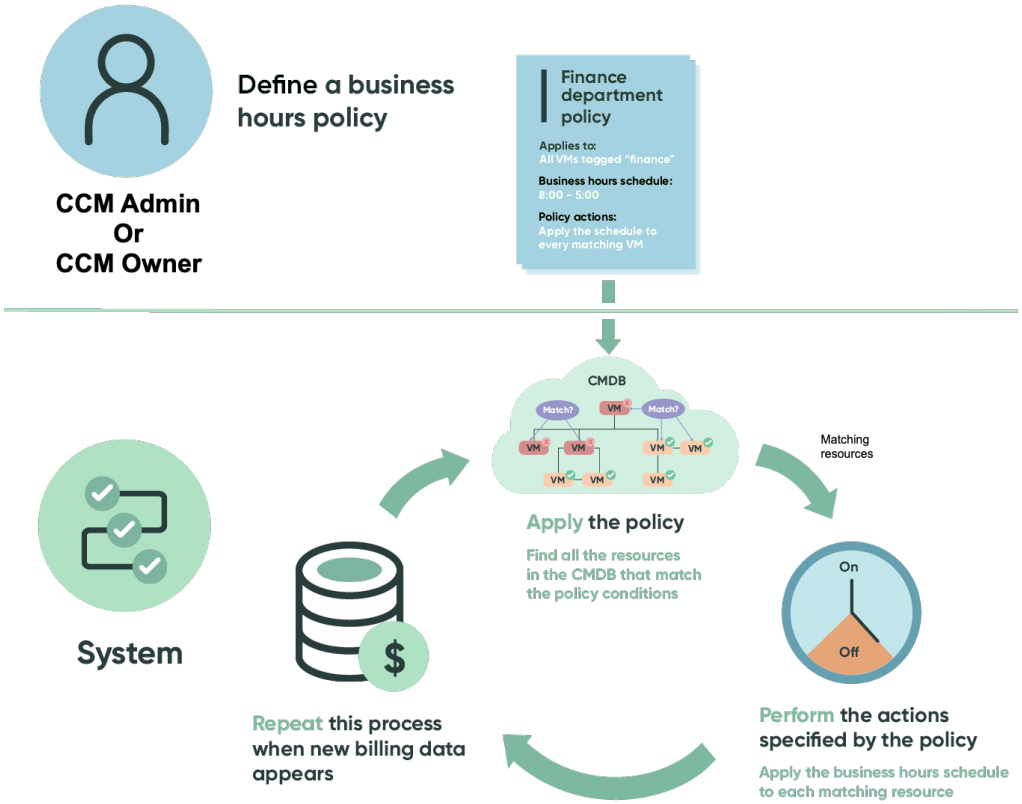
営業時間機能の仕組み

請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、予算予測、営業時間、予約計画、サイズの適正化、および未使用リソースのジョブがトリガーされ、支出と使用状況のデータを分析し、レポート内のアクション可能な推奨事項を更新します。営業時間ジョブはこのプロセスに従います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

営業時間機能の仕組み



1. 各営業時間ポリシーについて、CMDB を調べて、ポリシー基準に一致するリソースを特定します。
2. ポリシーに一致するリソースごとに、過去 30 日間の営業時間の消費量と営業時間外の使用状況を示す営業時間レポートを更新します。
3. 営業時間の運用は、この機能と ServiceNow® 変更管理 直接統合されています。 手動承認または自動承認ポリシータイプの場合は、変更要求を生成して、ポリシーで定義されているオン/オフスケジュールを強制します。ポリシー設定に応じて、次のいずれかになります。
   - ポリシーに一致するリソースごとに変更要求を生成します。
   - ポリシーに一致するすべての CI に適用される単一の変更要求を生成します。
4. 変更要求が承認されたら、ポリシーで指定されているとおりに、関連するリソースのオン/オフアクションをスケジュールします。
5. 請求処理データが更新されるたびに、このプロセスを繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

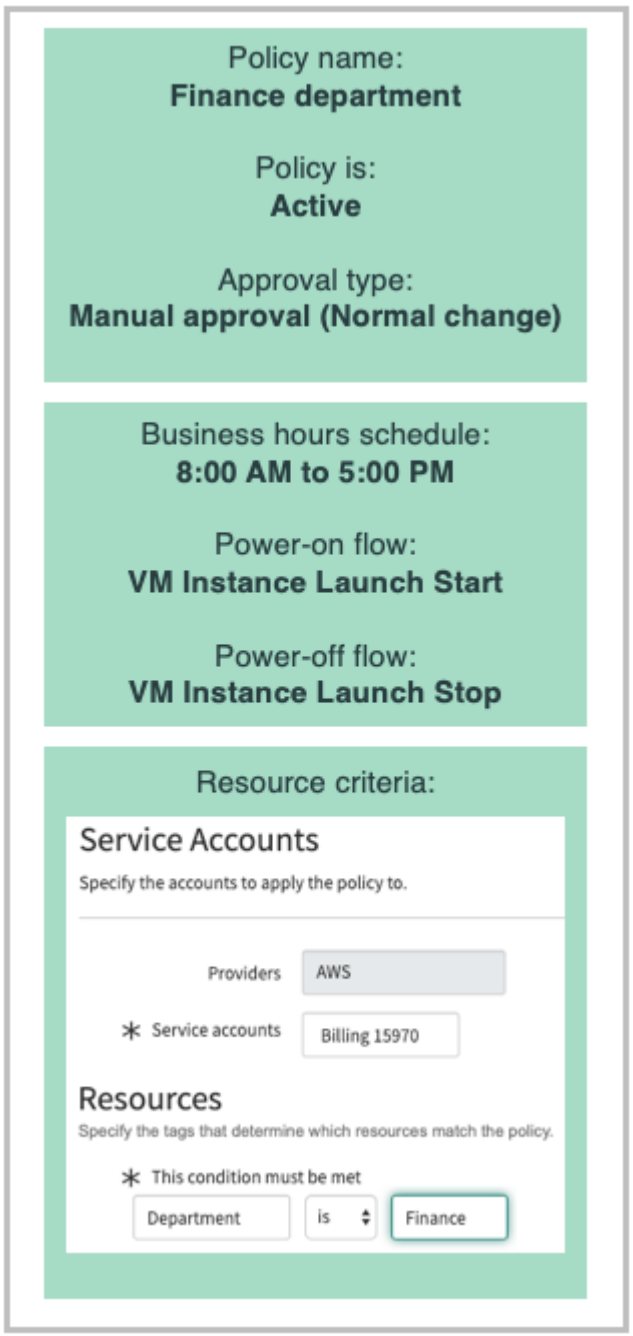
重要:

AWS だけ：

- AWS Auto Scaling グループ (ASG) オペレーションは、ASG メンバーリソースの最小容量を維持するように機能します。ASG オペレーションとの競合を回避するために、 クラウドコスト管理 アプリは Auto Scaling グループの一部であるすべてのインスタンスをオペレーションから 営業時間 除外します。
- ASGメンバー・リソースは、の 「除外されたリソース 」タブで 営業時間表示できます。

Google Cloud only: インスタンスはマネージド インスタンス グループ (MIG) として定義できます。MIG を使用すると、複数の同一の VM でアプリケーションを操作できます。自動スケーリング、自動修復、リージョン (複数ゾーン) デプロイ、自動更新などの自動 MIG サービスを利用することで、ワークロードをスケーラブルで高可用性にすることができます。

Example: 営業時間ポリシー



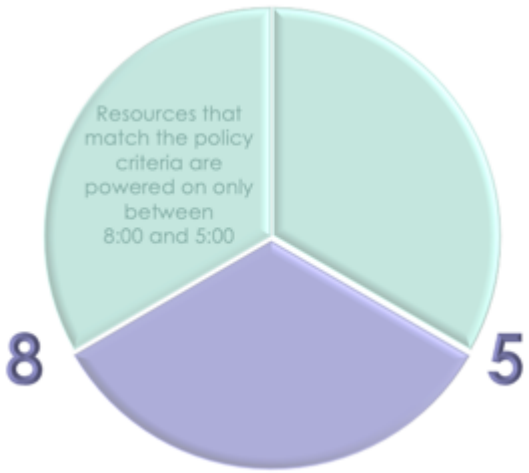
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

財務部門ポリシーの例には、次の設定があります。

- ポリシーはアクティブで、請求処理データと使用状況データが更新されるたびに適用されます。
- つまり承認タイプ手動承認 (通常の変更)、認定ユーザーが変更要求を承認した後、ポリシーに一致するリソースのスケジュールが調整されます。
- 営業時間(オン/オフ)スケジュールは、午前8:00から午後5:00まで オン です。
- 電源オンと電源オフのフローが指定されています。
- 次のリソース基準を満たすリソースのみがポリシーに一致します。
  - クラウドプロバイダーは AWS で、サービスアカウント請求処理 15970 です。
  - リソースには、名前に*Department*値が Finance のタグがあります。

ポリシーが適用されると、ポリシーに一致し、変更要求が承認された各リソースについて、システムは午前 8 時にリソースを開始し、午後 5 時に停止します。実際の開始時刻と停止時刻は、システム需要の変化と、リソースの開始と停止にかかる時間によってわずかに異なります。



営業時間承認タイプ

ポリシー基準に一致する各リソースについて、ポリシーが実行するアクションは以下 承認タイプによって異なります。

自動承認 (標準的な変更) 承認タイプ

- 指定された営業時間を適用するための推奨事項を生成し、営業時間レポートにリソースを追加します。
- 変更グループの変更要求を生成して自動承認します。
- 営業時間レポートにリソースを追加します。
- 営業時間スケジュールをリソースに適用します。

手動承認 (通常の変更) 承認タイプ

- 指定された営業時間スケジュールを適用し、営業時間レポートにリソースを追加するための推奨事項を生成します。
- 変更グループのメンバーの変更要求を生成します。
- 営業時間レポートにリソースを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sn_change_write ロールを持つグループのすべてのメンバーは、変更要求を承認できます。
- 承認されたら、営業時間スケジュールをリソースに適用します。

レポートのみ 承認タイプ

- 指定された営業時間を適用するための推奨事項を生成します。
- 営業時間レポートにリソースを追加します。

関連情報

営業時間ポリシーの定義または更新

Change Management

すべての クラウドコスト管理 レポートからリソースを除外する

未割り当てのリソース

未アサインのリソースポリシーは、変更グループに関連付けられていないリソースを特定し、適切にアサインするのに役立ちます。リソースが適切なグループに割り当てられると、パッチ適用、アップグレード、再構成などの段階を経る場合でも、リソースを適切に管理できます。

アプリケーションはクラウドコスト管理AWS、、Azure、および GCP. 最新のデータは毎日午前 0 時にフェッチされます。

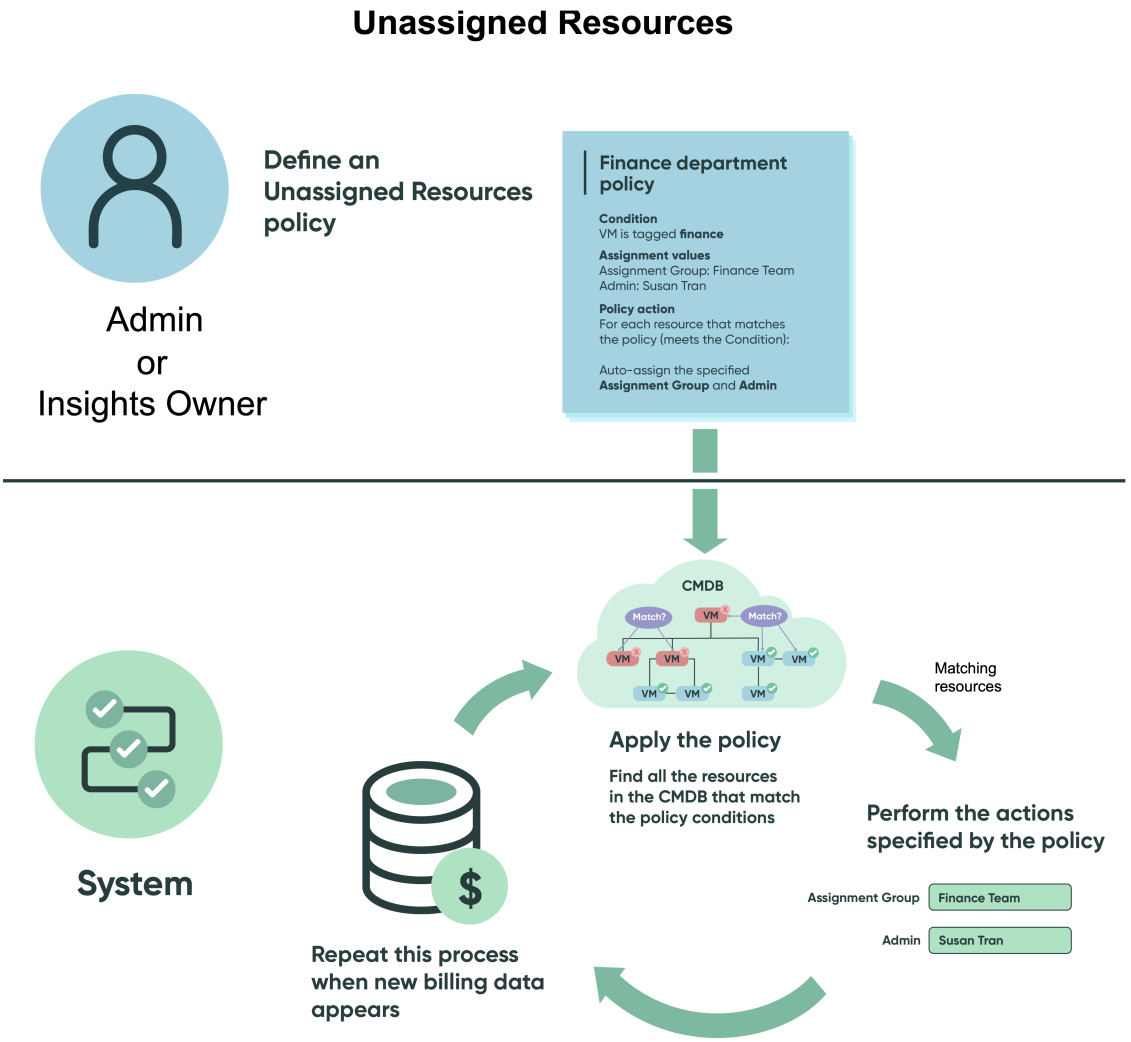
未アサインリソースプロセスの仕組み

クラウド請求処理情報が正確であるためには、管理対象のクラウドインフラストラクチャ内のすべてのリソースが含まれている必要があります。未割り当てリソースポリシーは、すべてのリソースを分析して、変更グループに割り当てられていないリソースを特定します。その後、ポリシーは適切な変更グループをリソースに自動的に割

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

り当てることができます。未アサインリソースジョブは、次のプロセスに従います。



要件と制限事項

- このプロセスによりディスカバリー未アサインリソース分析がトリガーされ、レポートの推奨事項が更新されます。
- の場合 AWS、この機能は 未アサインリソース EC2 インスタンスのみをサポートします AWS 。
- 終了、廃止、またはキャンセルされたリソースは考慮されません。
- データは、少なくとも 1 つのポリシーがアクティブな場合にのみレポートに表示されます。

クラウド予算

クラウド支出を管理するために、カスタム予算計画を定義して監視できます。システムは、計画と請求処理データを比較して、予算がどの程度満たされているかを計算してレポートします。グループとサービスアカウントごとの予算コンプライアンスを把握することで、監視を大幅に改善し、クラウド支出を削減できます。

予算分析の仕組み

請求処理のダウンロードが成功するたびに、予算の更新が自動的にトリガーされます。予算の更新は、新しい予算ポリシーが作成されたときにも手動でトリガーされます。

予算予測 ジョブはプロバイダーからのコスト予測データを使用し、次のプロセスに従います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. 各予算計画を請求処理データに適用します。プランの詳細については、「」を参照してください 予算ポリシーの作成または更新。
2. すべての 予算予測 レポートを更新します。
3. 請求処理データが更新されるか、ユーザーが予算の再分析を要求するたびに、このプロセスを繰り返します。

注:
多数のユーザーがいる場合、ユーザーが正しく読み込まれなかったり 予算ビュー、.詳細については、KB0866547 ナレッジ記事を参照してください。

のクラウドサービスカテゴリ クラウドコスト管理

プロバイダーサービスは、でサービスカテゴリに分類されます クラウドコスト管理。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービスに分析を絞り込むことができます。

ターゲット分析を実行するために、サービスカテゴリ内の特定のサービスをフィルタリングすることができます。たとえば、 Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL は、データベースカテゴリのサービスです。

で クラウドコスト管理サポートされているクラウドサービスカテゴリは次のとおりです。

- サービスのクラウドサービスカテゴリクラウドコスト管理Microsoft Azure
- サービスのクラウドサービスカテゴリクラウドコスト管理Amazon AWS クラウド
- サービスのクラウドサービスカテゴリクラウドコスト管理Google Cloud

タグとタグカテゴリ

プロバイダーポータルで、コストタグを定義して、リソース使用状況を特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、 アプリケーション、 テスト、 および QA タグはコストセンターを表します。これに対し、リソース要求者は、リソースを定義するときに、実際には "Application" を意味する "App"、"AppService"、または "appl" など、さまざまなタグ名を個別に作成できます。

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

タグカテゴリを使用すると、正確なコストレポートが保証されます

タグカテゴリは、単一のエンティティに対するコストを表す複数のタグ名を有効にするために使用されます。たとえば、複数のユーザーが "アプリケーション" を表す "App"、"AppService"、および "appl" タグ名を個別に作成した場合があります。タグ カテゴリが "Application" の場合、App、AppService、または appl のタグが付けられた項目のコストは、"Application" に対するコストとして正しく割り当てられます。3 つのタグのそれぞれがアプリケーションカテゴリのコストに寄与していると見なされるため、コストは正確に報告されます。

お支払い情報の更新

コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。カテゴリへのタグ名の追加など、タグカテゴリ定義に対して行った最近の更新は、コストレポートに反映されない場合があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > コスト使用タグ > タグカテゴリ > タグカテゴリを再適用.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

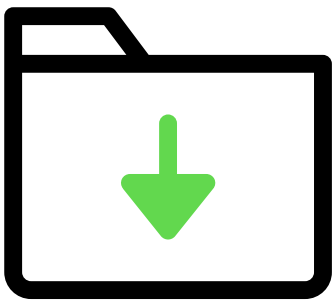
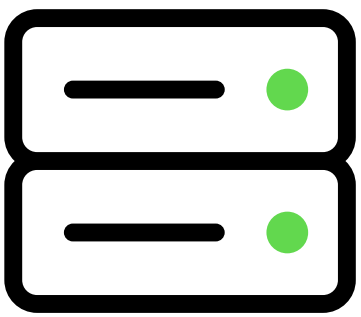
クラウドコスト管理 の構成

クラウドの総消費量を可視化し、コストを削減し、クラウドプラットフォームの運用を最適化するための計画と構成 クラウドコスト管理 を行います。

構成の概要

ここでは、 を構成するプロセス クラウドコスト管理の概要を説明します。

クラウドコスト管理 の構成

ステップ	アクション	リソース
 クラウドコスト管理 のインストール	クラウドコスト管理ServiceNow Store からアプリケーションを取得します。	クラウドコスト管理 のインストール
 ロールをアサイン	ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドコスト管理 ロールをアサインします。	クラウドコスト管理 ロール
 MID Server を構成	MID Server を構成して、クラウドプラットフォームとの通信を有効にします ディスカバリー 。	• アカウントの CI データ AWS へのアクセスの設定 • アカウントの CI データ Microsoft Azure へのアクセスの設定 • アカウントの CI データ Google Cloud へのアクセスの設定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

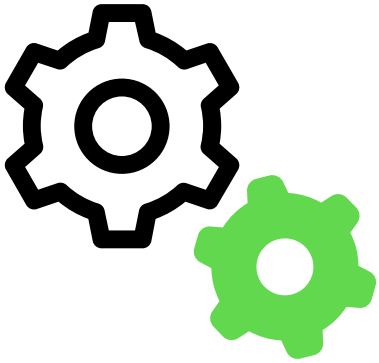
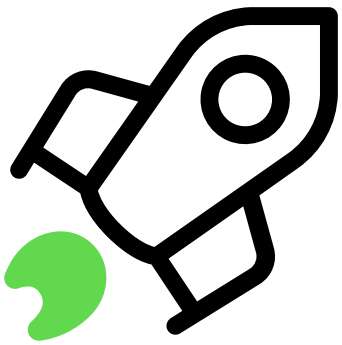
クラウドコスト管理 の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
 クラウドリソースの検出	サービスアカウント、アカウントにアクセスするための資格情報、およびリソースをスキャンする MID Server を検出します。	使用するクラウドリソースの検出
 請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理 クラウドコスト管理	クラウドコスト管理使用されているクラウドプラットフォームの請求および使用状況データへのアプリケーションアクセスを提供します。	• 請求および使用状況データへのアクセス AWS をセットアップする • Microsoft Azure 請求および使用状況データへのアクセスを設定する • Google Cloud の請求データと使用状況データへのアクセスをセットアップする
 価格シートをダウンロードするジョブのスケジュールと管理 クラウドコスト管理	使用されているクラウドプラットフォームの価格シートデータをダウンロードして保存できるようにします クラウドコスト管理 。	• 価格シートをダウンロードするAWSジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理 • 価格シートをダウンロードするMicrosoft Azureジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理 • 価格シートをダウンロードするGoogle Cloudジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドコスト管理 の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
 クラウドコスト管理機能を構成する	クラウドリソースの使用 クラウドコスト管理 状況データの適切なサイズ調整、識別、アサイン、管理、分析を行う機能を設定します。	• 予約プランまたは節減プラン • リソースの適正化 • 未使用のリソース • 営業時間 • 未割り当てのリソース
 クラウドコスト管理 の使用	クラウドの総消費量を可視化し、コストを削減し、クラウドプラットフォームの運用を最適化します。	クラウドコスト管理 の使用

自動翻訳

クラウドコスト管理 のインストール

admin ロールをお持ちであれば、 クラウドコスト管理 アプリケーション (sn_clin) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、のServiceNow Storeクラウドコスト管理 アプリケーションリストを確認してください。
- ディスカバリー (com.snc.discovery) および ディスカバリーとサービスマッピングパターン (sn_itom_pattern) をインストールする必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて

クラウドコスト管理 とともに次のアイテムがインストールされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール
- ジョブスケジュール
- テーブル

詳細については、「クラウドコスト管理 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. クラウドコスト管理フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーション (sn_clin) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store への要求が必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。
4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   - インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。
   - デモデータをインストールすると、 クラウドコスト管理 機能が正しく動作しない可能性があります。
6. [インストール] を選択します。

システムプロパティの構成クラウドコスト管理

一部のプロパティ値は [システムのプロパティ] フォームで設定できますが、あまり使用されない他のプロパティは、システムのプロパティ [sys_properties] テーブルでのみ使用できます。

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

請求処理ダウンロードジョブのシステムプロパティ

sn_cld_intg_core.ci_placement_threads_number

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

請求処理で CI を作成するために CI 配置フローで使用されるスレッドの数。

- タイプ：整数
- デフォルト値： 4
- 場所：システムプロパティ

sn_cld_intg_aws.max_unprocessed_records_for_ci_placement

CI 配置のコストおよび使用状況請求データテーブルから AWS 1 つのバッチで読み込むレコードの最大数。

- タイプ：整数
- デフォルト値: 300000
- 場所：システムプロパティ

sn_cld_intg_aws.min_unprocessed_records_for_ci_placement

CI 配置のコストおよび使用状況請求データテーブルから AWS 1 つのバッチで読み取るレコードの最小数。

- タイプ：整数
- デフォルト値：100000
- 場所：システムプロパティ

支出分析のシステムプロパティ

sn_cld_spend_core.metricbase_transform_limit

1 回の測定基準ベース変換で使用する請求処理レコードの最大数。

- タイプ：整数
- デフォルト値：20000
- 場所：システムプロパティ

sn_cld_spend_core.spend_report_flow_launcher_chunk_size

支出フローランチャーに送信する空でない CI チャンクの数。

- タイプ：整数
- デフォルト値：40
- 場所：システムプロパティ

sn_cld_spend_core.spend_report_per_chunk_workload_size

支出フローランチャーの各チャンクの作業負荷数 (CI 範囲とメタデータ)。

- タイプ：整数
- デフォルト値： 500
- 場所：システムプロパティ

sn_cld_spend_aws.num_months_forecast

支出ジョブの実行ごとに予測消費量が取得される、現在の月から AWS の将来の月の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- タイプ：整数
- デフォルト値：2
- 場所：システムプロパティ

[営業時間] のシステムプロパティ

注:
請求処理または価格シートのデータを 1 回ダウンロードするためのデータのコレクションは、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、 チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

sn_clin_core.bh_report.batch_size

レポートバッチに含める 営業時間 リソースの数。

- タイプ：整数
- デフォルト値：5000
- 場所：システムプロパティ

sn_clin_core.bh_recom_max_chunk_size

サイズ適正化に関する推奨事項の作業負荷チャンクの作成に使用されるレコードの数。より `glide.db.max_view_records`大きい値を設定すると、代わりにその `glide.db.max_view_records` 値が使用されます。数値が小さいほどチャンクが多くなり、数値が大きいほどチャンクが少なくなります。

```
Records considered in one execution of generating recommendations = (number of chunks) * (data records/chunk)
```

- タイプ：整数
- デフォルト値：10000
- 場所：システムプロパティ

sn_clin_core.bh_recom_num_chunks_per_workload

作業負荷あたりのチャンクの数。この値に の値を掛け `sn_clin_core.bh_recom_max_chunk_size` たものが、サイズの適正化に関する推奨事項を生成するときの作業負荷あたりの合計レコード数です。

```
Records considered in one execution of generating recommendations = (number of chunks) * (data records/chunk)
```

- タイプ：整数
- デフォルト値：10
- 場所：システムプロパティ

Microsoft Azureのシステムプロパティ

`mid.azure_action.batch_size`

batch_size を使用して、停止、開始、変更 (サイズ変更)、終了、説明などのアクション呼び出しのバッチサイズを 20 未満に設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クラウドコスト管理 は Azure Batch API を使用して、アクションの一括要求を行います。既定では、Azure Batch は同期呼び出しに対して最大 20 をサポートします。

- タイプ：整数
- デフォルト値：20
- 場所：システムプロパティ

の「サイズの適正化」および「未使用リソース」操作のシステムプロパティ Microsoft Azure

注:
1 つのレコメンデーション セットのデータのコレクションは、 ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、 チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

sn_cld_intg_azure.az_rs_recommendation_queue_orchestrator_polling_time

生成、生成ステータスの取得、推奨事項のリスト、またはプロセスの推奨事項呼び出しのステータスを確認し、処理の次のステージに移動するための、推奨事項オーケストレーターのポーリング時間Microsoft Azure。

注:
サブスクリプションの数が少ない場合は、ポーリング時間を短くすることをお勧めします。

- タイプ：整数
- デフォルト値:5000 (ms)
- 場所：システムプロパティ

sn_cld_intg_azure.chunk_size_generate_recommendation_subscriptions

各ワークロードによって処理されるサブスクリプションの数。各ワークロードは、使用可能な MID サーバー ワーカー スレッドに基づいて 10 個のサブスクリプションを並列に処理するために、最大 5 個のスレッドを作成します。

設定を小さい数値に変更すると、作成されるワークロードの数が増えます。Generate Recommendation は、Generate Recommendation 操作 ID をすばやく返す非同期 API 呼び出しです。

注:
サブスクリプションが 50 未満の場合は、値を減らして並列処理を有効にすることができます。たとえば、サブスクリプションが 40 の場合、チャンク サイズを 10 に変更すると、4 つのワークロードでサブスクリプションを処理できます。既定では、最大 3 つの並列ワークロードの実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されたフローランチャージョブで設定されます。

- タイプ：整数
- デフォルト値： 5
- 場所：システムプロパティ

sn_cld_intg_azure.advisor_get_status_min_chunk_size

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Get generate status API 呼び出しのワークロードで処理するサブスクリプションの最小数。

この呼び出しは、指定された最小チャンク サイズが満たされると新しいワークロードを作成し、すべてのサブスクリプションが処理された後、別のワークロードを作成しません。

> **注:**
> 既定では、最大 4 回の並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されたフローランチャージョブで設定されます。

- タイプ：整数
- デフォルト値： 5
- 場所：システムプロパティ

sn_cld_intg_azure.advisor_list_recommendation_min_chunk_size

リスト推奨 API 呼び出しの作業負荷で処理するサブスクリプションの最小数。

この呼び出しは、指定された最小チャンク サイズが満たされると新しいワークロードを作成し、すべてのサブスクリプションが処理された後、別のワークロードを作成しません。

> **注:**
> チャンク サイズを大きくすると、サブスクリプションが順番に処理されるため、全体的な処理時間が長くなる可能性があります。既定では、最大 4 回の並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されたフローランチャージョブで設定されます。

- タイプ：整数
- デフォルト値： 1
- 場所：システムプロパティ

sn_clin_azure.advisor_process_recommendation_min_chunk_size

API 呼び出しのワークロードで処理され、or 不使用マシン 推奨テーブルにサイズの適正化保持される推奨応答の数。

この呼び出しは、指定された最小チャンク サイズが満たされると新しいワークロードを作成し、すべてのサブスクリプションが処理された後、別のワークロードを作成しません。

> **注:**
> チャンク サイズを大きくすると、サブスクリプションが順番に処理されるため、全体的な処理時間が長くなる可能性があります。既定では、最大 4 回の並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されたフローランチャージョブで設定されます。

- タイプ：整数
- デフォルト値：20
- 場所：システムプロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アップグレード クラウドコスト管理

[システムアプリケーション] ページでアップグレード クラウドコスト管理 します。

始める前に
必要なロール： sys_admin

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > インストール日.
2. 検索ボックスに「 sn_clin」と入力します。
3. クラウドコスト管理アプリを見つけます。
4. 選択リストで、バージョン **5.0** の [更新] を選択します。
   また、3.1.2 以降のバージョン 5.0 に更新することもできます。
5. 更新が完了したら、ブラウザのキャッシュをクリアします。
6. サーバーキャッシュをクリアする: <instanceIP>/cache.do
7. 自動テストフレームワーク (ATF) テストを実行して、アップグレード後のデータの継続性を確認します。
   「自動テストフレームワーク (ATF) テストの実行」を参照してください。

自動テストフレームワーク **(ATF)** テストの実行

ATF テストを実行して、アップグレード クラウドコスト管理後のデータの継続性を確認します。

始める前に
必要なロール： sys_admin

このタスクについて
この手順では、アップグレード クラウドコスト管理後に次のテストを実行します。

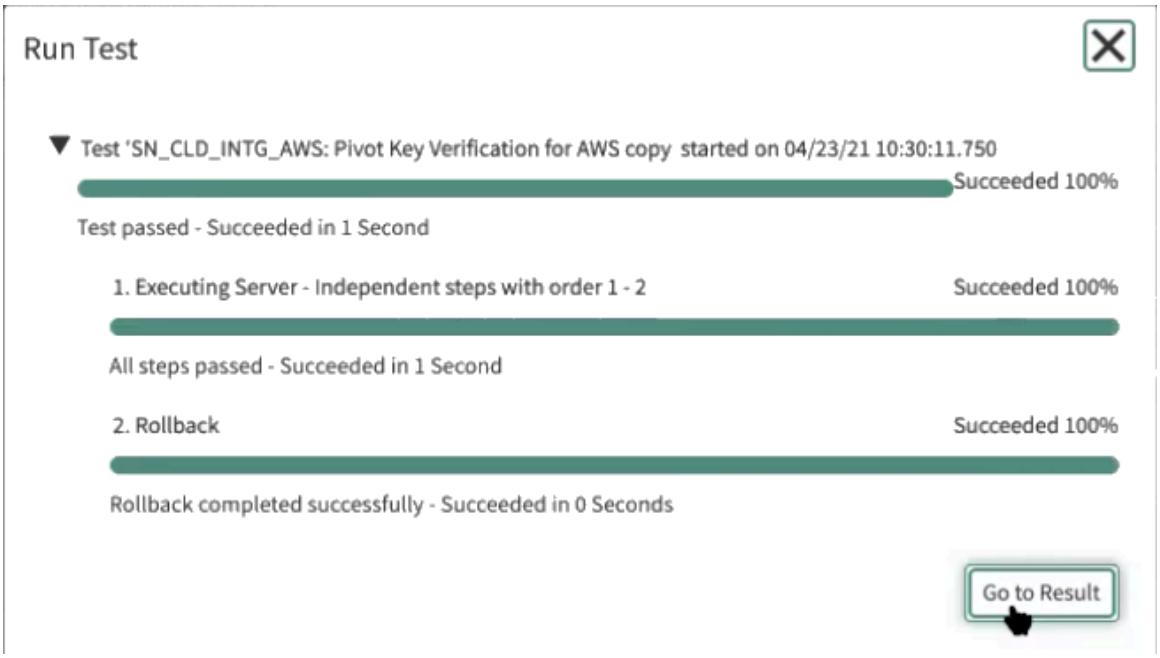
- ピボットキー検証テストでは、プルされたデータを使用して Clotho サーバーのデータにアクセスすることで、ピボットキーを正しく計算できるかどうかを判断し クラウドコスト管理 ます。
- 月次支出検証テストは、月次支出データが正しく引き継がれているかどうかを判断します。

手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. リストで「 ピボットキー検証 」を検索し、プロバイダーのテストを開きます。
   テストのテンプレートが [テスト] フォームで開きます。
3. テスト フォームで、 テストのコピー を選択し、 **OK** を選択して確定します。
   実行するテストが生成され、 テスト フォームで開きます。
4. オプション: テストをカスタマイズするには、[テストステップ] 関連リストで [サーバー側スクリプトを実行] を選択し、スクリプトを編集します。
5. [テストを実行] を選択します。
   [Run Test progress] ダイアログボックスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. テストが終了したら、 [結果に移動] を選択します。
   [テスト] フォームの [テスト結果] 関連リストには、テスト実行のログデータが一覧表示されます。テストに失敗した場合は、カスタマーサポートにお問い合わせください。
7. Monthly Spend Validation テストのすべての手順を繰り返します。

AWS の クラウドコスト管理 の構成

クラウドコスト管理 アプリケーションは ServiceNow Store から入手可能です。

詳細については、「クラウドコスト管理 の構成」を参照してください。

一般的な要件と制限事項

- クラウドコスト管理 はモバイルデバイスではサポートされていません。
- レポートの値は、通貨換算または端数処理により、プロバイダー請求の値と若干異なる場合があります。

の要件と制限事項 AWS

- 管理コンソールでAWS作業するには、AWS管理者権限が必要です。
- 営業時間、未割り当てリソース、未使用リソース、およびサイズの適正化に関する推奨事項の機能は、Elastic Compute Cloud (EC2) 仮想マシン (VM)、ストレージ (ボリュームとストレージのスナップショット)、およびデータベースリソースをサポートします Amazon 。

アカウントの CI データ AWS へのアクセスの設定

安全で信頼性の高い通信を確保するために、ディスカバリー プロセスは 1 つ以上の MID サーバーを介してクラウドプロバイダーアカウントおよびクラウドリソースと通信します。ネットワークまたはクラウドネットワークのいずれかに MID サーバー を設定できます。

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要件

重要:
この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。リソースの検出に別の方法を使用する場合は、このプロセスをスキップします。

AWS:とAWSクラウド API エンドポイントの間にMID サーバー内部ネットワーク接続が必要です (*.amazonaws.com)。

詳細な手順

「」を参照してください。 Amazon AWS クラウド ディスカバリー.

MID サーバー の設定 クラウドコスト管理

注:
MID サーバー 最小メモリサイズは 4 GB である必要があります。

設定	値
サポートされているアプリケーション	クラウドアクション
機能	[すべて] 設定には、必要なすべてのアプリケーションと機能が含まれています。または、次の設定を指定することもできます。 **注:** 任意の数の MID サーバー. 複数の MID サーバーディスカバリーを指定した場合、請求クラウドコスト管理処理データのダウンロード操作と推奨されるアクションは、のいずれかにMID サーバーランダムに割り当てられます。 オプション 1: これを MID サーバーAWSにのみ使用するには、次の両方の値を指定します。 • クラウドアクション • AWS オプション 2: これを MID サーバー すべてのプロバイダーに使用するには、次の値を指定します。 • クラウドアクション • AWS • Azure

プロキシサーバーの使用

にはプロキシサーバー クラウドコスト管理 MID サーバーを使用できます。「のプロキシサーバー設定 クラウドコスト管理 MID サーバー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

MID Server

Windows への MID Server のインストール

Linux への MID Server のインストール

のプロキシサーバー設定 クラウドコスト管理 **MID** サーバー

操作にクラウドコスト管理プロキシサーバーを使用するように設定できますMID サーバー。プロキシサーバーディスカバリーは、 請求処理ダウンロードジョブ価格シートのダウンロードジョブ

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

詳細な手順

Cloud Discovery および Cloud Provisioning and Governance に使用される MID Servers のプロキシサーバー構成

プロキシサーバーの制限事項

- Windows または Linux プラットフォームのみがサポートされています。
- 統合 Google Cloud はサポートされていません。
- 統合 VMware はサポートされていません。
- リモート PowerShell スクリプトを実行することはできません。
- カスタム API が機能しない可能性があります。

クラウドコスト管理 でサポートされているプロキシサーバー認証

プロキシサーバータイプ	認証タイプ
HTTP/HTTPS	認証なし
SOCKS5	認証なし
HTTP/HTTPS	基本認証
SOCKS5	基本認証
HTTP/HTTPS	NTLM

サポートされているプロキシサーバー構成

サポートされている構成設定

設定	オペレーティングシステム	プロキシー サーバー	認証モード
構成 1	Linux	なし	適用外
構成 2	Windows	Squid (HTTPS)	なし
構成 3	Linux	Squid (HTTPS)	ローカル
構成 4	Windows	Squid (HTTPS)	Active Directory

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

MID Server

Windows への MID Server のインストール

Linux への MID Server のインストール

AWSサービスアカウントの追加

AWS資格情報とアクセス情報を保存するサービスアカウントを追加します。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

サービスアカウントの請求処理データと価格シートデータのダウンロードジョブを設定します。

AWS IAM ロール用の MID Server の構成

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報およびアクセス情報を保存するインスタンスの安全なレコードです。ディスカバリー は、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得するために、その情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスします。クラウドアカウントには、複数のサービスアカウント (異なるプロバイダーのサービスアカウントを含む) を含めることができます。サービスアカウントごとに、クラウドアカウントに含めるデータセンターを指定します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > サービスアカウント.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

クラウドサービスアカウント

フィールド	説明
名前	このサービスアカウントの一意でわかりやすい名前。
アカウント ID	12 桁のユーザーアカウント番号。管理コンソール のAWSアカウント名の下のリストAWSを展開して、番号を表示します。 **重要:** 番号からハイフン文字 (-) を削除します。
Discovery 資格情報	ServiceNow アプリケーションがこのアカウントにアクセスするために必要な資格情報。後で AWS アカウントへのアクセスを構成するときに、このフィールドを構成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ でNow Platform資格情報を設定しAWSた場合は、関連するAWS資格情報の名前を選択します。 ○ 他の AWS アカウントを使用してこのアカウントにアクセスする場合は、フィールドを空白のままにします。たとえば、アクセスに管理アカウントを使用する IAM ロールまたはメンバーアカウントを担うアカウントの AWS 資格情報を指定する必要はありません。
データセンター URL	データセンターの URL。 このフィールドは、AWS GovCloud (US) アカウントにのみ必要です。たとえば、 https://ec2.us-gov-west-1.amazonaws.com/ 。
データセンタータイプ	アカウントがホストされているデータセンターのタイプ。 [**AWS** データセンター] を選択します。
データセンター Discovery ステータス	データセンターで前回実行した Discovery のステータスとタイムスタンプ。 この値は自動的に生成されます。
請求アカウントか	アカウントが請求処理データにアクセスできるようにするためのオプション。

4. [保存] を選択します。

タスクの結果
作成したサービスアカウントは、[サービスアカウント] ページに表示されます。

関連情報

請求処理データをダウンロードする AWS ジョブのスケジュールと管理

価格シートをダウンロードするAWSジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理

AWSの **IAM** ユーザーポリシーの作成クラウドコスト管理

IAM を使用してユーザーを管理する場合は、データへのアクセス AWS を有効にする IAM ユーザープロファイルを作成する必要があります。

始める前に
IAM ユーザーの作成方法とユーザーポリシーの設定方法を理解している必要があります。詳細については、 AWS IAMのドキュメント 詳しくは。

自動生成されたアクセスキーを使用します。インスタンスで資格情報を設定する AWS ときに、キー情報が必要です。

必要なロール：

AWS マネジメントコンソールAWS マネジメントコンソール:管理者。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クラウドコスト管理: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin。

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。
すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

手順

1. にログインし AWS マネジメントコンソール 、IAM でユーザーを作成します。
2. アクセスキー ID と秘密アクセスキーを保存します。
3. 次のいずれかの方法を使用して、IAM ユーザーに権限をアタッチします。
   - 管理者アクセスポリシーをアタッチして、ユーザーに管理者アクセス権を付与します。
   - わかりやすい名前で IAM ポリシーを作成し、請求、Cloud Watch、予測、およびアクションに次の JSON を使用します。

     請求

```
{
"Version": "2012-10-17",
"Statement": [
{
"Sid": "VisualEditor0",
"Effect": "Allow",
"Action": [
"s3:GetObjectVersion",
"s3:GetObjectTorrent",
"s3:GetObject",
"s3:ListBucket",
"s3:GetObjectTagging",
"s3:ListMultipartUploadParts",
"s3:ListBucketMultipartUploads",
"s3:GetObjectVersion"
],
"Resource": [
"arn:aws:s3:::<S3BucketName>/*",
"arn:aws:s3:*:<AWS Master Account ID>:job/*",
"arn:aws:s3:::<S3BucketName>",

]
},
{
"Sid": "VisualEditor1",
"Effect": "Allow",
"Action": [
"s3:GetAccountPublicAccessBlock",
"s3:ListAllMyBuckets",
"s3:ListJobs"
],
"Resource": "*"
}
]
}
```

     クラウドウォッチ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "VisualEditor0",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "cloudwatch:GetMetricData",
        "cloudwatch:ListMetrics"
      ],
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

レポート定義の説明

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "VisualEditor0",
      "Effect": "Allow",
      "Action": "cur:DescribeReportDefinitions",
      "Resource": "<BillingReportName>"
    }
  ]
}
```

予測

```
{
"Version": "2012-10-17",
"Statement": [
  {
    "Sid": "VisualEditor0",
    "Effect": "Allow",
    "Action": "ce:GetCostForecast",
    "Resource": "*"
  }
]
}
```

アクション

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "VisualEditor0",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "ec2:DescribeInstances",
        "ec2:StartInstances",
        "ec2:ModifyInstanceAttribute",
        "ec2:StopInstances",
        "ec2:DescribeInstanceStatus"
      ],
      "Resource": "*"
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    }
  ]
}
```

このポリシーを使用して、サービスアカウントの請求処理データにアクセスするように設定した IAM ユーザーに Cost Explorer API への AWS アクセス権を付与します

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "VisualEditor0",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "ce:GetCostAndUsage",
        "ce:GetCostForecast"
      ],
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

このポリシーを使用して、自動スケール インスタンスを取得します AWS (自動スケール インスタンスは営業時間の推奨事項に含まれません)

```
{
    "Version": "2012-10-17",
    "Statement": [{
        "Sid": "VisualEditor0",
        "Effect": "Allow",
        "Action": [
            "autoscaling:DescribeAutoScalingInstances",
            "autoscaling:DescribeAutoScalingGroups"
        ],
        "Resource": "*"
    }]
}
```


AWS GovCloud サービス アカウントの追加

cloud_adminは GovCloud サービスアカウントを追加できますAWS。の サービスアカウント請求処理および価格シートデータのダウンロードジョブを必ず設定してください。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

手順

の手順に従って Create a service account for AWS GovCloud ください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

請求処理データをダウンロードする AWS ジョブのスケジュールと管理

価格シートをダウンロードするAWSジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理

Gov アカウントマッピングを作成AWS

請求およびサポート用に、 AWS 関連する標準 AWS アカウントとの GovCloud アカウント マッピングを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > *AWS* **Gov** アカウントマッピング.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

AWS Gov アカウントマッピング

フィールド	説明
Gov アカウント	AWS標準AWSアカウントにマッピングするGov アカウント。
リンクされたアカウント	Gov アカウントにAWSリンクする標準AWSアカウント。

4. [保存] を選択します。

タスクの結果
作成したマッピングは、Sys ID、タグなどの詳細とともに [Gov アカウントマッピング] ページに表示されます AWS 。

請求および使用状況データへのアクセス AWS をセットアップする

手順に従って、課金データと使用状況データへのアクセス AWS を設定します。

1. 資格情報の作成AWS
2. での AWS 資格情報のレコードの作成 クラウドコスト管理
3. クラスターのAWSKubernetesコスト割り当ての有効化
4. 請求処理データをダウンロードする AWS ジョブのスケジュールと管理
5. AWS正確な請求処理データを確保するために CI クラスタイプを追加する

関連情報

請求処理ダウンロードジョブの AWS キャンセル

資格情報の作成AWS

アカウントとAWS通信する MID Server を設定するときに、管理コンソール でAWS認証情報を作成してユーザーの認証情報を指定します。

始める前に
必要なロール: AWS 管理コンソール管理者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーに精通し AWS ている必要があります。IAM を使用する場合は、IAM ユーザーの作成方法とユーザーポリシーの設定方法を理解している必要があります。IAM の詳細については、 AWS のドキュメント を参照してください。

手順

1. AWS管理コンソール で、サービス検索ボックスに「IAMAWS」と入力して、Identity and Access Management (IAM) サービスを開きます。
2. IAM リソースポータルで、[ユーザー] を選択します。
3. [ユーザーを追加] を選択します。
4. [詳細] ページで、次のようにユーザー設定を構成し、 [次へ] を選択します。

フィールド	値
ユーザー名	プログラムによるアクセスをするユーザーの名前です (例：servicenowcloud)。
アクセスタイプ	プログラムによるアクセス。

5. [アクセス許可] ページで、次の設定を構成し、[次へ] を選択します。

フィールド	値
<ユーザー名> のアクセス許可の設定	既存のポリシーを直接添付します。
1 つ以上のポリシーを添付	適切なポリシー。 **注:** [AdministratorAccess] ポリシーには最も強力なアクセス許可レベルがあり、クラウドリソースをプロビジョニングするアクセス許可も含まれます。 代わりに、ポリシーを作成するか、複数のポリシーを組み合わせて適切なアクセス許可レベルを付与することもできます。詳細については、「AWSの IAM ユーザーポリシーの作成クラウドコスト管理」を参照してください。

6. [確認] ページで、選択内容を確認し、[ユーザーの作成] を選択します。
7. [完了] ページで、 [**.csv**のダウンロード] を選択して、ユーザー名、アクセス キー ID、シークレット アクセス キーの値を含む CSV バックアップ ファイルを保存します。
これらの値を失った場合に備えて、バックアップとしてファイルを作成できます。ファイルが作成されたことを確認し、ファイルを安全に保存します。

次のタスク
でクラウドコスト管理資格情報のAWSレコードを作成します。

での **AWS** 資格情報のレコードの作成 クラウドコスト管理

でクラウドコスト管理資格情報のAWSレコードを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin

このタスクについて

重要:

この情報は、クラウドコスト管理アプリと Cloud Insights 請求アプリの両方に適用されます。クラウドコスト管理へのすべての言及は、Cloud Insights 請求にも適用されます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 資格情報.
2. [クラウド API 資格情報] ページで、[**AWS** 資格情報] を選択します。
3. **[New** (新規)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

AWS 資格情報

フィールド	説明
名前	AWS 資格情報の分かりやすい一意の名前。
有効	資格情報を使用するオプション。
アクセスキー ID	管理コンソールで AWS 生成したアクセスキー ID。
秘密アクセスキー	管理コンソールで AWS 生成した秘密アクセスキー。

5. **[Save** (保存)] を選択します。

クラスターの**AWSKubernetes**コスト割り当ての有効化

Management Console でクラスターのKubernetesコスト配分を有効にしてから、請求処理ダウンロードジョブを実行してAWS支出を表示しますKubernetes。AWS

始める前に
必要なロール: AWS 管理コンソール管理者

- ポリシーに精通し AWS ている必要があります。
- アプリケーション (sn_itom_pattern) 1.10.2 以降をインストールします ディスカバリーとサービスマッピングパターン 。詳細については、「Install Discovery and Service Mapping Patterns」を参照してください。
- CMDB CI Class Models (sn_cmdb_ci_class) バージョン 1.53.1 以降をインストールします。詳細については、「CMDB CI Class Models store app」を参照してください。
- 検出を設定する Kubernetes には、「」を参照してください 。

手順

1. AWS マネジメントコンソール にログインします。
2. [コスト割り当てタグ] を検索して選択します。
3. [ユーザー定義のコスト割り当てタグ] タブを選択します。
4. 請求処理データに表示する次の Kubernetes タグをアクティブ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 静的タグキー
  - aws:eks:cluster-name
  - user:eks:cluster-name
  - eks:cluster-name
- 動的タグキー
  - kubernetes.io/cluster/<Cluster-Name>: shared/owned
  - alpha.eksctl.io/cluster-name:<cluster-name>

タスクの結果
選択した Kubernetes クラスターのコスト割り当てが有効になり、 Kubernetes 消費量を表示できます。

請求処理データをダウンロードする **AWS** ジョブのスケジュールと管理

請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更に関する推奨事項を作成します。

始める前に
必要なロール:クラウド統合管理者 [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

システムに 8 GB の Clotho メモリと 4 GB の MID メモリがあることを確認します。

請求処理ダウンロードジョブを実行してAWS支出を表示するKubernetes前に、各Kubernetesクラスターのコスト割り当てを有効にします。詳細については、「クラスターのAWSKubernetesコスト割り当ての有効化」を参照してください。

このタスクについて
重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

請求処理ダウンロード中に、すべてのリソースがシステムにプルされます。AWS Redshift リソースは [cmdb_ci_cloud_database] テーブルに配置されます。4.0 へのアップグレード後、請求処理のダウンロードが reimport true で実行されていることを確認します。

- 請求処理ダウンロードジョブ をグローバルスコープに含めることはできません。
- アプリケーションが Cloud Provisioning and Governance インスタンスにインストールされている場合:両方 Cloud Provisioning and Governance 請求処理データをダウンロードします クラウドコスト管理 。2 つのダウンロードジョブは別々のプロセスであり、互いに干渉しません。
- アカウント (登録) ごとに 1 つだけ 請求処理ダウンロードジョブ 作成できます。
- メインアカウントの請求処理ダウンロードを構成し AWS ないと、支出は発生しません。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を確実に行うには、スケジュールされた実行の前に実行される ディスカバリー ようにしてください。
- 正常に 請求処理ダウンロードジョブ 実行されるたびに、[営業時間]、[予約/節減プラン]、および [未使用リソース] ジョブがトリガー 予算予測され、 サイズの適正化支出と使用状況のデータを分析し、レポート内のアクション可能な推奨事項を更新します。
- 正常に実行されるたびに、 請求処理ダウンロードジョブ タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に対して行った最近の更新 (カテゴリへのタグ名の追加など) は、コストレポートに反映されない場合があります。を実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用す

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

るには、 請求処理ダウンロードジョブを選択します クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > コスト使用タグ > タグカテゴリ をクリックし、[カテゴリを再適用] を選択します。

- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。
- コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。(プロバイダーポータルでコストタグを定義して、使用状況データを特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、コストセンターカテゴリには、 開発、 テスト、 QA などのタグを含めることができます。ユーザー カテゴリには、ユーザーの名前が含まれる場合があります。
- 請求処理データは、月ごとに新しい順にダウンロードされます。たとえば、範囲が 3 月から 6 月の場合、6 月のデータが最初にダウンロードされます。
- 最初の請求処理データのダウンロードで有意義な結果が得られるように、アプリは少なくとも 30 日間データをダウンロードします。たとえば、今日が 6 月 10 日で、ダウンロード対象として 6 月を指定した場合、システムは 5 月と 6 月の両方のデータをダウンロードして、少なくとも 30 日間のデータを分析できるようにします。
- ダウンロードできるのは、直近 12 か月分のデータのみです。

の場合 AWS。

- ごとに サービスアカウント1 つ請求処理ダウンロードジョブしか作成できません。
- 非ブレンドタイプのコストのみがサポートされています。
- これにより 請求処理ダウンロードジョブ 、請求ノードデータテーブル [sn_cld_intg_aws_cost_usage] が、各リソース ID に対応する CMDB 内の CI で更新されます。
- CI 配置プロセスは、ダウンロードされたコストと使用状況データを CMDB 内の適切な CI に関連付けます。詳細については、「AWS正確な請求処理データを確保するために CI クラスタイプを追加する」を参照してください。

手順

1. 設定を見直して、レポートの設定が、既存のAWSコストと使用状況レポートがある場合のクラウドコスト管理要件を満たしていることを確認します。
2. AWS マネジメントコンソールで、コストと使用状況のレポートをAWS次のように定義します。

   a. 「コストおよび使用状況レポートの作成」トピックの指示に従い、次の設定を使用します。
      - 「 リソース**ID**を含める 」チェック・ボックスを選択します。
      - [次の場合にコストと使用状況レポートを自動的に更新するタイミング] チェック ボックスをオンにします。
      - レポート パス プレフィックス: オプション
      - 必要に応じて、[時間の粒度] を [毎日] または [毎時] に設定します。[時間単位] 設定では、より大きく、より詳細なデータ セットが生成されます。
      - [レポートのバージョン管理] を [新しいレポート バージョンの作成] に設定します。
      - [圧縮の種類] を **[GZIP]** または **[ZIP]** に設定します。クラウドコスト管理は Parquet をサポートしていません。

   b. 次の値はすぐにフォームに入力 クラウドコスト管理 するため、追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- レポート名
- レポートプリフィックス
- アカウントの日次詳細請求レコード AWS のデータストレージ領域である S3 バケットの名前。

3. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.

4. [**AWS**] タブを選択します。

5. [新規] を選択します。

6. フォームのフィールドに入力します。

AWS 請求処理ダウンロードジョブ

フィールド	説明
名前	請求処理ダウンロードジョブのスケジュール実行のわかりやすい名前。
前回の正常実行	最後に正常に実行されたタイムスタンプ。
ユーザー/グループに通知	ジョブ実行のステータス (ダウンロードの失敗など) をメールで通知するユーザーまたはグループ。システムは成功の通知を送信しません。 クラウド統合管理者 [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin] ロールを持つユーザーまたはグループは、これらの問題の処理に適しています。 メールテンプレートを更新するには、次の場所に移動します。 システム通知 > メール > **Notifications** をクリックし、[請求処理ジョブ実行エラー時に通知] テンプレートを開きます。メールの構成については、「」を参照してください Create an email template。
アクティブ	ジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	請求処理ダウンロードジョブを実行する頻度。 注: ○ の場合、請求処理ダウンロードジョブは AWS、時間ごとの使用状況データを収集している場合でも AWS 、データを 1 日に 1 回収集します。 ○ 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。 このフィールドは自動的に [日次] に設定されます。
時刻	ジョブを実行する時刻。
最新の実行ステータス	最後に実行されたジョブのステータス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
最新の実行の詳細	最後に実行されたジョブの実行の詳細。
AWS 設定	
サービスアカウント	サービスアカウント。AWS
バケット	Amazon S3 バケットは、アカウントの詳細な時間単位の請求レコード AWS のデータストレージ領域です。
レポート名	コストと使用状況レポートに表示される AWS report-name 値。
レポートプリフィックス	コストと使用状況レポートに表示されるAWSレポートプレフィックス値。

7. [保存] を選択します。
8. [請求処理ダウンロードジョブ **(Billing download jobs)]** ページで、作成したジョブを選択します。
9. [テスト接続] を選択します。

   [テスト接続] ワークフローでは、構成した設定を使用してプロバイダーアカウントへのアクセスが試行されます。進行状況ポップアップと、構成された設定を修正するアクションを提案する成功/エラーメッセージが表示されます。
10. [今すぐ実行] を選択して、接続が成功した後にジョブを実行します。
11. [請求処理データのダウンロード] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
開始月	請求処理データをダウンロードする開始月。 **注:** 指定された月のデータがダウンロードされます。分析用のデータが 30 日未満の場合は、前月のデータもダウンロードされます。
終了月	請求処理データをダウンロードする終了月。
データの再インポート	以前のダウンロード試行のデータを上書きするためのオプション。

12. [ダウンロード] を選択します。

タスクの結果

実行時には job 、次のイベントが発生します。

- データのダウンロード中に、各リソース ID に対応する CMDB 内の CI を使用して、 クラウドコスト管理 請求ノードデータテーブル [sn_cld_intg_<provider>_cost_usage] を更新します。CI が存在しない場合、プレースホルダー CI が生成されます。その後の検出では、プレースホルダー CI が調整されます。
- クラウドコスト管理 は、[請求処理ダウンロードの実行 (Billing Download Executions)] ページで実行の各ステージのログエントリを生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

AWS正確な請求処理データを確保するために CI クラスタイプを追加する

新しい CI または CI タイプの詳細を指定して、CI 配置プロセスでコストと使用状況のデータを正しく割り当てできるようにします。このプロセスは実行の一部です 請求処理ダウンロードジョブ 。CI 配置プロセスは、ダウンロードされたコストと使用状況データを適切な CI に関連付けます。

始める前に

必要なロール:Cloud Insights 管理者 [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

請求処理ダウンロードジョブ ダウンロードした請求処理データを請求ノードテーブルに格納します。クラスタイプテーブルには、コスト使用テーブルの CI タイプ定義が保持されます。 クラウドコスト管理 は CI 配置プロセスを実行して、請求処理データと使用状況データを CMDB 内の CI に関連付けます。CI 配置プロセスは、CI 配置タイプテーブルに存在する CI タイプ定義を使用して、請求ノードテーブルをクエリーします。新しい CI (または新しいプロバイダーの CI タイプ) の場合は、CI を一意に定義するパラメーター、CI タイプ定義、および CI タイプ定義を格納するクラスタイプテーブルを指定します。

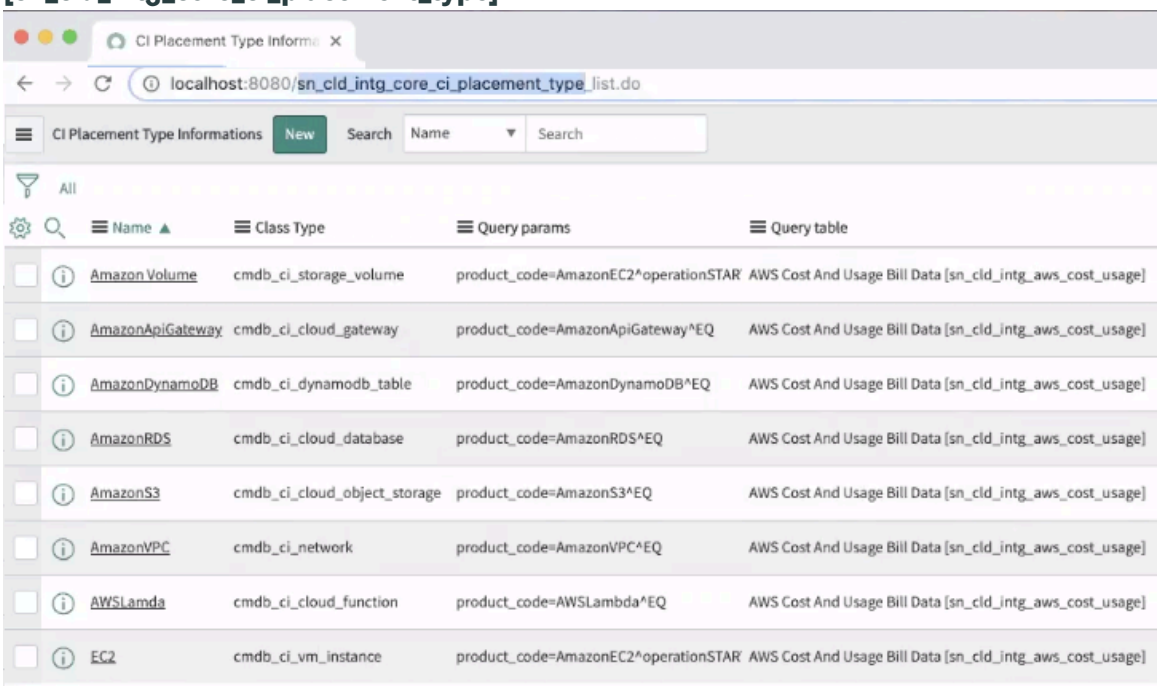
[sn_cld_intg_aws_ci_placement_type] の AWS CI 配置タイプテーブルは、コア CI 配置タイプテーブル (sn_cld_intg_core_ci_placement_type) を継承します。

重要:
ディスカバリーパターンアプリケーションがインストールされていない場合、cmdb_ci_cloud_gateway、cmdb_ci_dynamodb_table、cmdb_ci_cloud_object_storage、および cmdb_ci_cloud_function のクラスタイプの CI は配置されません。

手順

1. CI 配置タイプテーブルに移動し、 新規 を選択します。

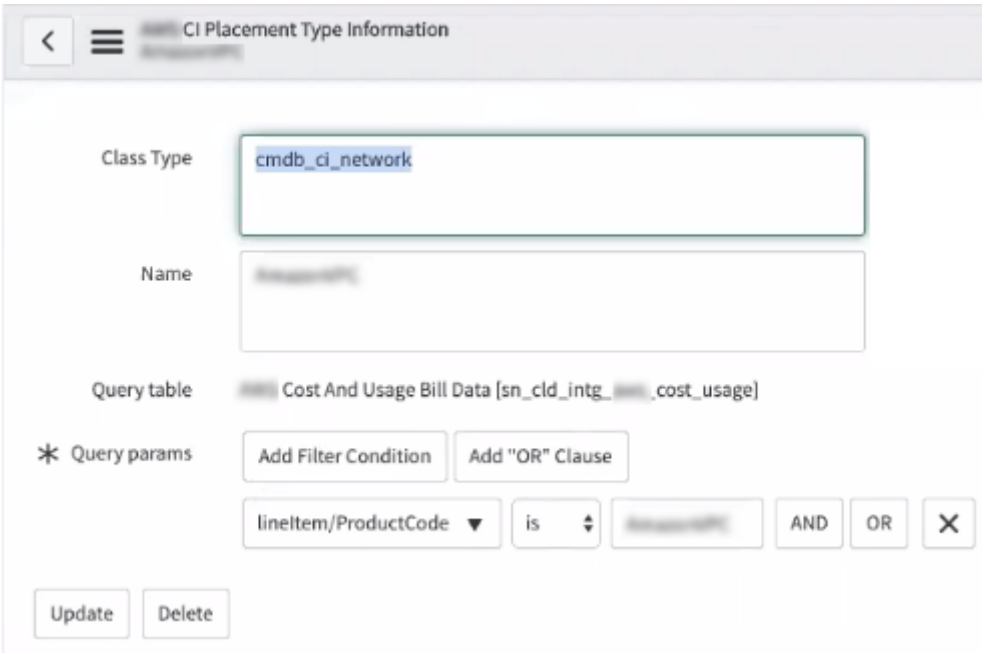
コア **CI** 配置タイプテーブルの **AWS** クラスタイプ
[sn_cld_intg_core_ci_placement_type]



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. フォームに入力します。



CI 配置タイプ情報フォーム

フィールド	説明
クラスターイプ	このタイプの CI が格納されている CMDB クラスタイプテーブル。このタイプの新しい CI がテーブルに追加されます。
名前	CI タイプの名前。
クエリー テーブル	CI 配置プロセスがクエリーを実行して CI タイプのインスタンスを検索する請求処理ノードテーブル。 クエリテーブルはsn_cld_aws_cost_usageであり、変更できません。
クエリパラメーター	CI タイプを一意に定義する請求ノードテーブルのパラメーター値。

3. クラスタイプを追加した後、請求処理データと使用状況データを再インポートして、CI が新しいタイプに正しく配置されるようにする必要があります。
「請求処理データをダウンロードする AWS ジョブのスケジュールと管理」を参照してください。

請求処理ダウンロードジョブの **AWS** キャンセル

請求処理ダウンロードジョブは、 の各 AWS支払人アカウントから請求データと使用状況データを取得します。サイズの適正化、未使用のリソース、および営業時間のプロセスでは、レコメンデーションを生成するときに請求処理データと使用状況データが使用されます。請求処理ダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に

必要なロール:クラウド統合管理者 [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。
すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. [**AWS**] タブを選択します。
3. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール設定済みジョブを選択します。
4. [請求処理のダウンロード] AWS ページで、 [実行のキャンセル] を選択します。

価格シートをダウンロードする**AWS**ジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理

価格 価格シートのダウンロードジョブ シートデータをダウンロードして保存します。および未使用リソースプロセスは、 サイズの適正化 推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。

始める前に
プロバイダーごとに、各サービスアカウントで実行します ディスカバリー 。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

- プロバイダーごとにスケジュール 価格シートのダウンロードジョブ を作成します。
- 価格シートのダウンロードジョブ実行するたびに複数の実行アイテムが実行されます。各実行アイテムは、1 つの地域の価格シートをインポートして保存します。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を確実に行うには、スケジュールされた実行の前に実行される ディスカバリー ようにしてください。
- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

価格シートのダウンロードジョブ

フィールド	値
名前	価格シートのダウンロードジョブのわかりやすい名前。
プロバイダー	クラウドプロバイダの名前。
前回の正常実行	ジョブの最後に実行されたタイムスタンプ。
価格シートのダウンロード	さまざまなサービスの価格シートのダウンロード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	○ AWS ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて ○ Azure ▪ CPU ▪ データベース ▪ ストレージ ○ Google ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて
アクティブ	価格シートのダウンロードジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	ジョブを実行する頻度。 **注:** 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。たとえば、[実行] の値を [月次] に選択すると、[日] フィールドが表示されます。値 3 は、その月の 3 日を意味します。 このフィールドは自動的に [月次] に設定されます。
時刻	ジョブを実行する時刻。
現在の実行ステータス	現在実行中の実行のステータス。
現在の実行詳細	現在実行中の実行の詳細。

4. [保存] を選択します。
5. [実行] を選択してジョブを実行します。
実行中に、 クラウドコスト管理 データをダウンロードして保存します。実行 ID、ステータス、および実行ログは、[**Price Sheet Executions** (価格シートの実行)] タブで確認できます。新しいデータがない場合、実行は [スキップ] とマークされます。ダウンロードプロセスがスタックしている場合、実行は キャンセルとしてマークされます。

関連情報

リソースの適正化

レート割引を指定して、サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を有効にします

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

での AWS 価格シートのダウンロードジョブのキャンセル クラウドコスト管理

価格シートのダウンロードジョブは AWS 、価格シートデータを からダウンロードします AWS。価格シートのダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に

プロバイダーごとに、各サービスアカウントで実行します ディスカバリー 。

適切な資格情報とサービスアカウントが設定されていることを確認してください。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

クラウドコスト管理 は、各プロバイダーから価格シートデータを一度に 1 リージョンずつダウンロードします。実行中の価格シートのダウンロードジョブをキャンセルすると、現在の地域のダウンロードが終了し、残りの地域のダウンロードがキャンセルされます。ジョブスケジュールの実行を削除すると、すべてのリージョンがキャンセル済みとしてマークされます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール設定済みジョブを選択します。
3. 価格シートのダウンロード ジョブ ページで、 実行のキャンセル を選択します。

Microsoft Azure の クラウドコスト管理 の構成

クラウドコスト管理 アプリケーションは ServiceNow Store から入手可能です。

一般的な要件と制限事項

- クラウドコスト管理 はモバイルデバイスではサポートされていません。
- レポートの値は、通貨換算または端数処理により、プロバイダー請求の値と若干異なる場合があります。

の要件と制限事項 Microsoft Azure

コンソールでMicrosoft Azure作業するには、Microsoft Azureコンソール管理者権限が必要です

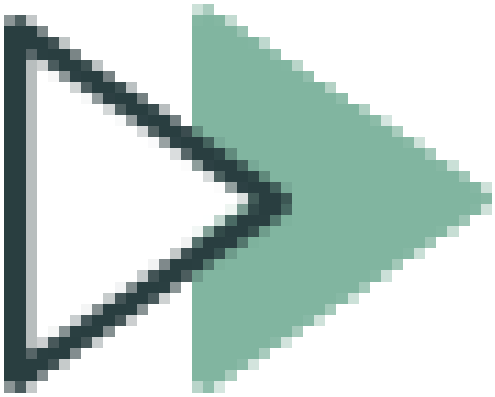
クラウドコスト管理 のダウンロードとアクティブ化

必要なロール:sys_admin

ステップ	説明	手順
アプリを入手します。	クラウドコスト管理からServiceNow Storeアプリを取得します。	にアクセス ServiceNow Store アプリとサポートアプリを入手する クラウドコスト管理 ための Web サイト。

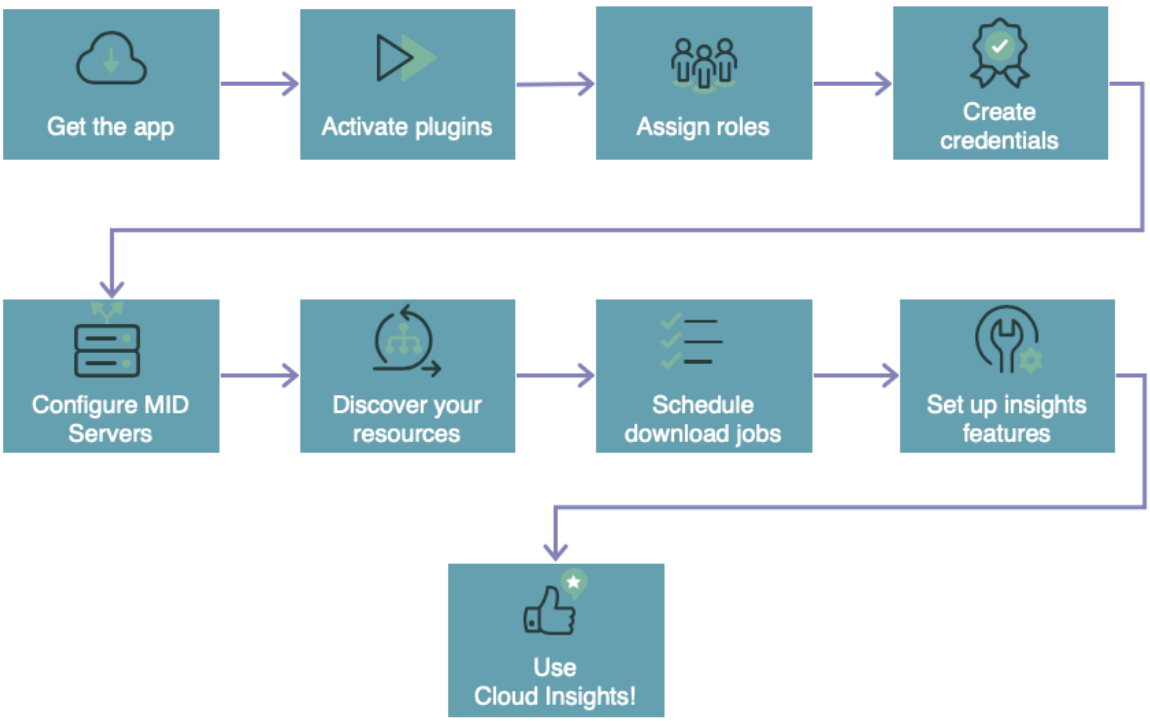
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 サポートされているすべてのプラグインとアプリケーションをアクティブ化します。	のページにリストされているServiceNow Storeプラグインをアクティブ化します。クラウドコスト管理一部のプラグインについては、担当者にServiceNow リクエストすることが必要な場合があります。	手順については、以下を参照してください。 • プラグインとして要求 • プラグインをアクティブ化する

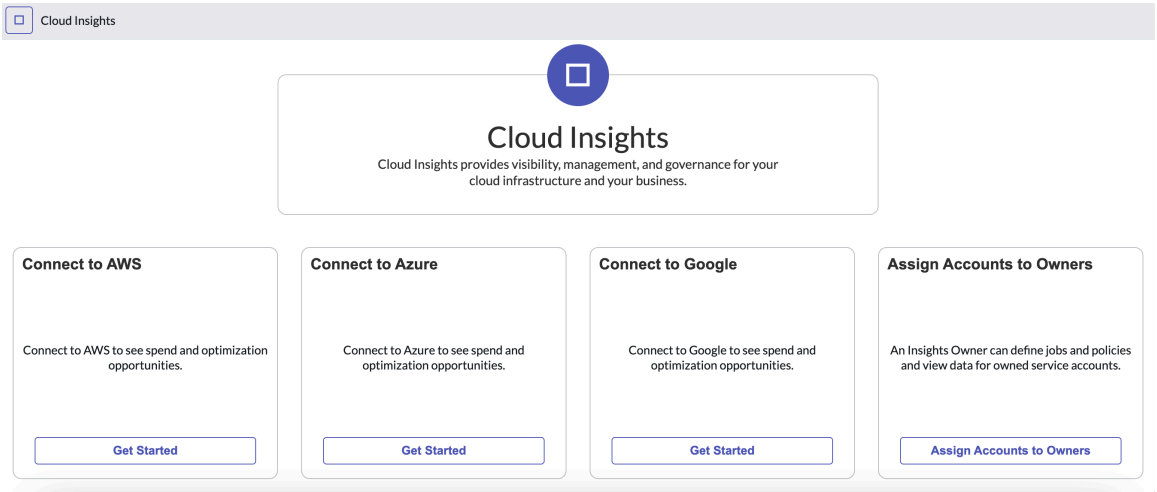
概要: セットアップ クラウドコスト管理

設定プロセスの概要は次のとおりです。詳細な手順については、次の表を参照してください。



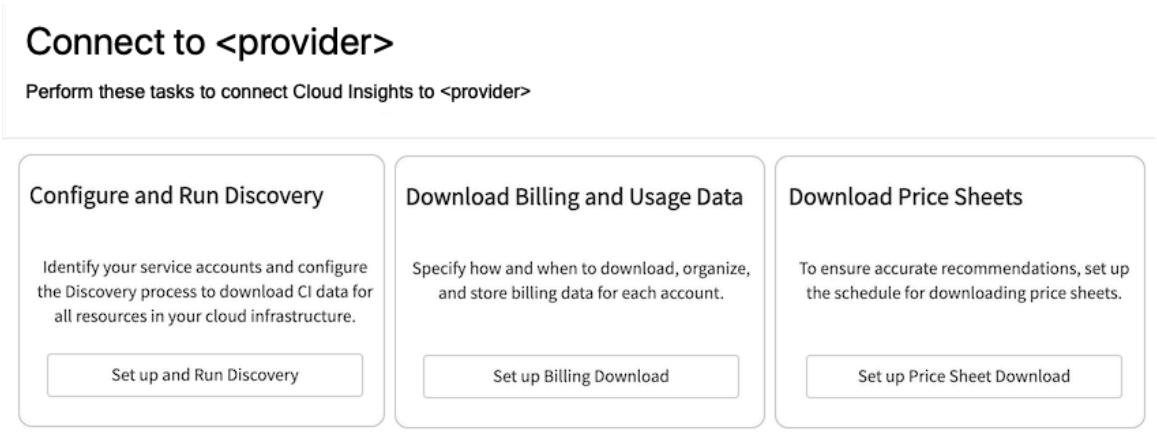
アプリを初めて開くと、ホームページでプロバイダーを設定し、ロールを insights_owner アサインできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロバイダーを設定してロールを insights_owner アサインすると、ページに追加のセットアップアクティビティが表示されます。

注:
[検出の構成と実行] カードは、アプリケーションを使用して ディスカバリー クラウドリソースを検出する場合にのみ表示されます。



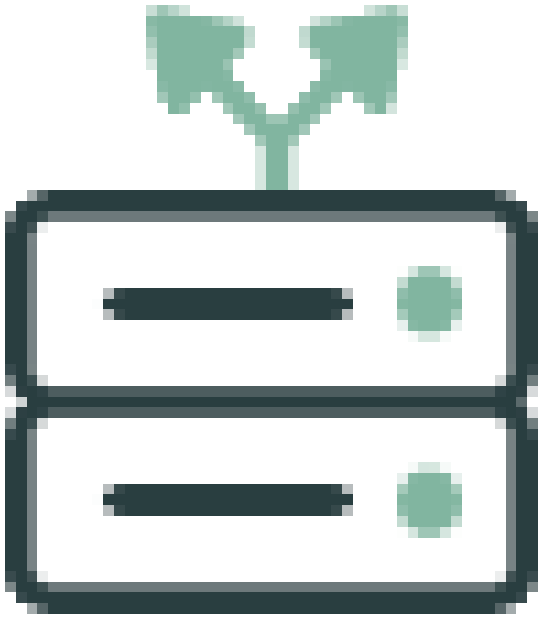
- [検出の構成と実行] セクションの [検出のセットアップと実行] ボタンを選択すると、[スケジュールの検出] フォームが開きます。
- [請求処理および使用状況データのダウンロード] セクションで [請求処理ダウンロードの設定 **(Set up Billing Download**)] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ (Billing Download Jobs)] フォームが開きます。
- [価格シートのダウンロード] セクションで [価格シートのダウンロードを設定] ボタンを選択すると、[価格シートのダウンロードジョブ] フォームが開きます。

すべての構成が完了すると、ページに概要データが表示され、レポートにすばやくアクセスできるようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドコスト管理 の設定

ステップ	説明	手順
 ユーザーとグループにロールをアサインします クラウドコスト管理 。	ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドコスト管理 ロールをアサインします。	クラウドコスト管理 ロール
 のプロバイダーアカウントの CI データにアクセスするための構成MID サーバークラウドコスト管理 。	アカウントとの通信を有効にするディスカバリーには、アカウントとMicrosoft Azure通信するを構成するMID サーバーときにサービスプリンシパル資格情報Microsoft Azureを指定します。	アカウントの CI データ Microsoft Azure へのアクセスの設定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 クラウドリソースを検出します。	注: [検出の構成と実行] カードは、アプリケーションを使用して ディスカバリー クラウドリソースを検出する場合にのみ表示されます。 [検出の構成と実行 (Configure and Run Discovery)] カードの [検出のセットアップと実行] ボタンを選択すると、[検出スケジュール] フォームが開きます。 リソースの CMDB データが最新に保たれるようにプロセスをスケジュールします ディスカバリー 。	使用するクラウドリソースの検出
 の請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理 クラウドコスト管理 。	[請求処理および使用状況データのダウンロード] セクションで [請求処理ダウンロードの設定 **(Set up Billing Download**)] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ (Billing Download Jobs)] フォームが開きます。 請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更に関する推奨事項を作成します。	Microsoft Azure 請求および使用状況データへのアクセスを設定する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 価格シートをダウンロードするジョブの クラウドコスト管理 スケジュールと管理 。	[価格シートのダウンロード] セクションで [価格シートのダウンロードを設定] ボタンを選択すると、[価格シートのダウンロードジョブ] フォームが開きます。 価格 価格シートのダウンロードジョブ シートデータをダウンロードして保存します。および未使用リソースプロセスは、 サイズの適正化 推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。	価格シートをダウンロードする Microsoft Azure ジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理
 インサイト機能を構成します。 • サイズの適正化 • 不使用マシン • 営業時間 • 未アサインリソース	• この機能 サイズの適正化 は、リソースの使用状況を分析し、過剰にプロビジョニングされたり十分に使用されたりしてコストを浪費しているリソースに対して、より適切なサイズを推奨します。信頼度レーティングと予測された節減額は、各推奨事項を裏付けています。指定したリソースのサイズを変更するジョブをスケジュールします サイズの適正化 。 • この機能 不使用マシン は、使用状況データを分析して、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定します。指定したリソースの電源をオフにするか、終了するジョブをスケジュール 不使用マシン します。 • ジョブは 営業時間 、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを識別し、それらを報告し、指定したスケジュールで開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行することで、クラウド支出を大幅に削減できます。 • 未アサインリソース ポリシーは、変更グループに関連付けられていないリソースを特定し、適切にアサインするのに役立ちます。リソースが適切なグループに割り当	• リソースの適正化 • 未使用のリソース • 営業時間 • 未割り当てのリソース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
	てられると、パッチ適用、アップグレード、再構成などの段階を経る場合でも、リソースを適切に管理できます。	

アカウントの **CI** データ **Microsoft Azure** へのアクセスの設定

アカウントとの通信を有効にするディスカバリーには、アカウントとMicrosoft Azure通信するを構成するMID サーバーときにサービスプリンシパル資格情報Microsoft Azureを指定します。

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

詳細な手順

「 Azure Cloud Discovery 」を参照してください。

重要:
この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。リソースの検出に別の方法を使用する場合は、このプロセスをスキップします。

MID サーバー の設定 クラウドコスト管理

注:
MID サーバー 最小メモリサイズは 4 GB である必要があります。

設定	値
サポートされているアプリケーション	クラウドアクション
機能	[すべて] 設定には、必要なすべてのアプリケーションと機能が含まれています。または、次の設定を指定することもできます。 **注:** 任意の数の MID サーバー. 複数の MID サーバーディスカバリーを指定した場合、請求クラウドコスト管理処理データのダウンロード操作と推奨されるアクションは、のいずれかにMID サーバーランダムに割り当てられます。 オプション 1: これを MID サーバー Azure でのみ使用するには、次の両方の値を指定します。 • クラウドアクション • Azure オプション 2: これを MID サーバー すべてのプロバイダーに使用するには、次の値を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	値
	• クラウドアクション • AWS • Azure • Google

プロキシサーバーの使用

にはプロキシサーバー クラウドコスト管理 MID サーバーを使用できます。「のプロキシサーバー設定 クラウドコスト管理 MID サーバー」を参照してください。

関連情報

MID Server

Windows への MID Server のインストール

Linux への MID Server のインストール

のプロキシサーバー設定 クラウドコスト管理 **MID** サーバー

操作にクラウドコスト管理プロキシサーバーを使用するように設定できますMID サーバー。プロキシサーバーディスカバリーは、 請求処理ダウンロードジョブ価格シートのダウンロードジョブ

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

詳細な手順

「」を参照してください。 のプロキシサーバー設定 MID サーバー 使用目的 クラウドディスカバリー および Cloud Provisioning and Governance .

プロキシサーバーの制限事項

- Windows または Linux プラットフォームのみがサポートされています。
- 統合 Google Cloud はサポートされていません。
- 統合 VMware はサポートされていません。
- リモート PowerShell スクリプトを実行することはできません。
- カスタム API が機能しない可能性があります。

クラウドコスト管理 でサポートされているプロキシサーバー認証

プロキシサーバータイプ	認証タイプ
HTTP/HTTPS	認証なし
SOCKS5	認証なし
HTTP/HTTPS	基本認証
SOCKS5	基本認証
HTTP/HTTPS	NTLM

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされているプロキシサーバー構成

サポートされている構成設定

設定	オペレーティングシステム	プロキシー サーバー	認証モード
構成 1	Linux	なし	適用外
構成 2	Windows	Squid (HTTPS)	なし
構成 3	Linux	Squid (HTTPS)	ローカル
構成 4	Windows	Squid (HTTPS)	Active Directory

関連情報

- MID Server
- Windows への MID Server のインストール
- Linux への MID Server のインストール

Microsoft Azure行政サービスアカウントを追加する

cloud_adminは GovCloud サービス アカウントを追加できます Azure 。の サービスアカウント請求処理および価格シートデータのダウンロードジョブを必ず設定してください。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

手順

「 Azure サービス アカウントの追加 」の手順に従います。

関連情報

- Azure 請求処理データをダウンロードするスケジュールの定義
- 価格シートをダウンロードするMicrosoft Azureジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理

Microsoft Azureサービスアカウントの追加

Azure資格情報とアクセス情報を保存するサービスアカウントを追加します。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

サービスアカウントの請求処理データと価格シートデータのダウンロードジョブを設定します。

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報およびアクセス情報を保存するインスタンスの安全なレコードです。ディスカバリー は、指定された各データセンター内の各リソースの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データを取得するために、その情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスします。クラウドアカウントには、複数のサービスアカウント (異なるプロバイダーのサービスアカウントを含む) を含めることができます。サービスアカウントごとに、クラウドアカウントに含めるデータセンターを指定します。

注:
サービスアカウントには、 ディスカバリー Azure 予測データを取得するための資格情報が必要です。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > サービスアカウント.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

クラウドサービスアカウント

フィールド	説明
名前	このサービスアカウントの一意でわかりやすい名前。
アカウント ID	AzureポータルからAzureテキストファイルにコピーしたサブスクリプション ID の値。
Discovery 資格情報	ServiceNow アプリケーションがこのアカウントにアクセスするために必要な資格情報。後で Azure アカウントへのアクセスを構成するときに、このフィールドを構成できます。 ○ でNow Platform資格情報を設定しAzureた場合は、関連するAzure資格情報の名前を選択します。 ○ 他の Azure アカウントを使用してこのアカウントにアクセスする場合は、フィールドを空白のままにします。
データセンター URL	データセンターの URL。 このフィールドは、Azure GovCloud (US) アカウントにのみ必要です。 。
データセンタータイプ	アカウントがホストされているデータセンターのタイプ。 **[Azure** データセンター] を選択します。
データセンター Discovery ステータス	データセンターで前回実行した Discovery のステータスとタイムスタンプ。 この値は自動的に生成されます。
請求アカウントか	アカウントが請求処理データにアクセスできるようにするためのオプション。

4. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
作成したサービスアカウントは、[サービスアカウント] ページに表示されます。

関連情報

請求処理データをダウンロードする Azure ジョブのスケジュールと管理

価格シートをダウンロードするMicrosoft Azureジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理

Microsoft Azure 請求および使用状況データへのアクセスを設定する

手順に従って、Microsoft Azure の請求および使用状況データへのアクセスを設定します。

1. サービスプリンシパルを作成するMicrosoft Azure
2. クラウドコスト管理で Microsoft Azure 資格情報のレコードを作成する
3. Azure 請求処理データをダウンロードするスケジュールの定義
4. 請求処理データをダウンロードする Azure ジョブのスケジュールと管理

関連情報

での請求処理ダウンロードジョブの Azure キャンセル クラウドコスト管理

サービスプリンシパルを作成する**Microsoft Azure**

サービスプリンシパルを作成してMicrosoft Azure、請求処理データと使用状況データへのMicrosoft Azureアクセス権を付与クラウドコスト管理します。

始める前に
必要なロール:エンタープライズ管理者 (読み取り専用) またはパートナー。

EA レベルのアクセス権が必要です。ロールの詳細については、「 Azure Enterprise Agreement のロールの管理 」を参照してください。

MID Server は 、Microsoft コスト管理 にアクセスできる必要があります。

次の権限が必要です。

- Microsoft.Compute/virtualMachines/instanceView/read
- Microsoft.Compute/virtualMachines/deallocate/action
- Microsoft.Compute/virtualMachines/start/action
- Microsoft.Compute/virtualMachines/delete
- Microsoft.Compute/virtualMachines/write
- Microsoft.Compute/virtualMachines/read
- Microsoft.Compute/locations/usages/read
- Microsoft.Advisor/recommendations/read
- Microsoft.Advisor/generateRecommendations/read
- Microsoft.Advisor/generateRecommendations/action
- Microsoft.Compute/disks/delete
- Microsoft.Compute/disks/read
- Microsoft.CostManagement/forecast/read
- Microsoft.Compute/locations/diskOperations/read

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Microsoft.Insights/Metrics/Read
- Microsoft.Compute/locations/operations/read

手順

1. Microsoft Azureサービスプリンシパルを作成し、手順中に作成したテキストファイルを開きます。

   手順については、「Create a Microsoft Azure service principal」を参照してください。

   アカウントのリソースおよび請求処理データに安全 Microsoft Azure にアクセスするために、Discovery プロセスで適切な Microsoft Azure アカウント資格情報を提示する必要があります。特別なプログラムによるアカウント (サービス プリンシパル) を作成して、必要な資格情報を生成します。

2. サービス プリンシパルに Microsoft Azure 登録リーダー ロールを追加します。

   詳細については、 Microsoft Learn の EA サービス プリンシパル名へのロールの割り当てに関するドキュメントを参照してください。

クラウドコスト管理で **Microsoft Azure** 資格情報のレコードを作成する

Microsoft Azure 資格情報を Now Platform 資格情報ストアに安全に保存します。クラウドコスト管理の請求処理データを受け入れるサービスアカウントを作成する必要があります。

始める前に
必要なロール:sn_clin_core.insights_admin または admin

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 資格情報.
2. [クラウド API 資格情報] ページで、[Azure サービス プリンシパル] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Azure サービスプリンシパルフォーム

フィールド	説明
名前	インスタンスに登録するサービスプリンシパルの名前。例:CloudInsights-SP。
テナント ID	テナントの一意の識別子またはエイリアス。 Azure-Credentials.txt ファイルからテナント ID の値をコピーして貼り付けます。
クライアント ID	Active Directory で作成されたアプリケーションの一意の識別子。 Azure-Credentials.txt ファイルからテナント ID の値をコピーして貼り付けます。
認証方法	[クライアントシークレット] を選択します。 [クライアントシークレット] を選択すると、[秘密キー] フィールドが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: クライアントアサーションはサポートされていません。
秘密キー	Azure クライアントシークレットキー。 Azure-Credentials.txt ファイルからテナント ID の値をコピーして貼り付けます。
アクティブ	資格情報を使用できるようにするオプション。

5. **[Save** (保存)] を選択します。

Azure 請求処理データをダウンロードするスケジュールの定義

MID サーバー を定期的に使用して請求処理データをプロバイダーからダウンロードするスケジュール設定済みジョブを定義します。Cloud Provisioning and Governance でデータがコストテーブルに保存され、その情報を使用してレポートが生成されます。

始める前に

重要:

Vancouver リリース以降、ServiceNow Store のクラウドコスト管理アプリをダウンロードしてアクティブ化している場合、請求処理ダッシュボードは利用できなくなります。次の変更が発生しました。

- デフォルトでは、クラウドコスト管理のホームページにリダイレクトされます。
- クラウドユーザーポータルの [ダッシュボードを表示] ウィジェットは、[リソースの表示] ウィジェットに代わりました。
- インスタンスでクラウドコスト管理が有効になっている場合、クラウドユーザーポータルの [今月の消費量] ウィジェットと [予算] ウィジェットにデータが表示されません。

クラウドコスト管理アプリを有効にしている場合、ドメイン分離インスタンスで Cloud Provisioning and Governance を使用している場合にのみ、請求処理ダッシュボードに移動できます。

請求処理情報を必要とするすべての Azure アカウントに対して、Microsoft エンタープライズ契約 EA の API アクセスキー資格情報が必要です。

必要なロール：sn_cmp.cloud_governor

このタスクについて

請求処理ダウンロード中に、すべてのリソースがシステムにプルされます。Azure データベースは [cmdb_ci_database] テーブルに配置されます。

このタスクには、次の 2 つの手順が含まれます。

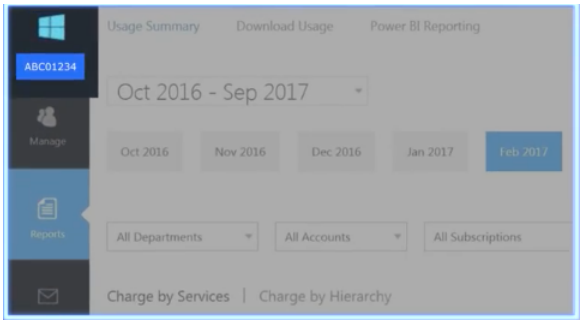
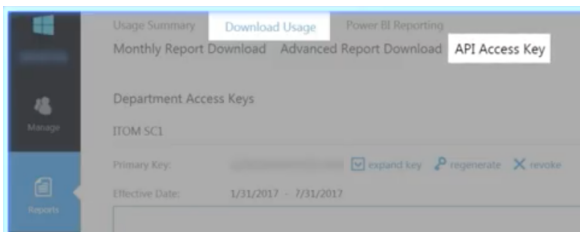
1. Azure ポータルからコピーした情報を [Azure エンタープライズ契約の資格情報] フォームに入力します。この手順により、インスタンスは EA 資格情報を使用して Azure 請求処理データをダウンロードできます。
2. Azure 請求処理情報をダウンロードするスケジュールを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

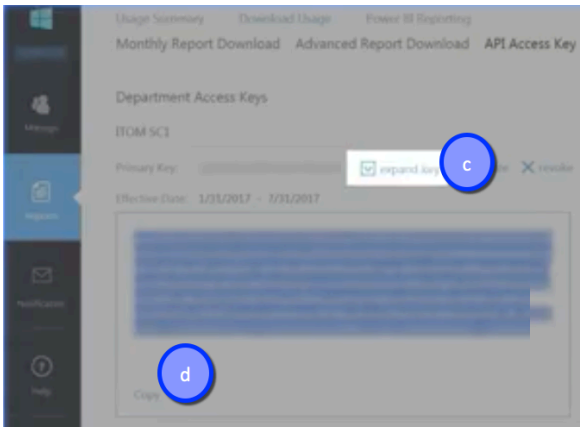
手順

1. クラウド管理ポータル で 管理 > 資格情報.
2. [新規] をクリックして **[Azure** エンタープライズ契約資格情報] を選択します。
3. その資格情報に対する一意で意味のある [名前] を入力し、フォームに記入します。

登録数	[登録番号] を取得するには、次の手順に従います。 **a.** ea.azure.com にログインします **b.** 登録番号が Windows アイコンの下に表示されます。この例では、登録番号は ABC01234 です。  **c.** 値をコピーして、フォームの [登録番号] フィールドに貼り付けます。
アクセスキー	[アクセスキー] を取得するには、次の手順に従います。 **a.** ea.azure.com にログインします **b.** [レポート] セクションで、[利用状況のダウンロード] タブをクリックし、**[API** アクセスキー] をクリックします。 注: 新しいアカウントの場合は、キーを生成する必要があります。  **c.** このアカウントにはプライマリキーがあります。**[expand key** (キーを展開)] をクリックして、テキストボックスにキーを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. [コピー] をクリックし、フォームの[アクセスキー] フィールドに値を貼り付けます。

4. [送信] をクリックします。
   Azure EA 資格情報を作成しました。次に、Azure 請求処理情報をダウンロードするスケジュール設定ジョブを指定します。
5. クラウド管理ポータル で 分析 > 請求.
6. **[Billing Schedules** (請求処理スケジュール)] タブで **[New** (新規)] をクリックし、一意で意味のある **[Name** (名前)] を入力し、フォームに入力します。

プロバイダー	サービスアカウントが属するクラウドプロバイダー。 **[Azure]** を選択します。
資格情報	以前に作成した Azure EA 資格情報レコードを選択します。
アクティブ	ダウンロードジョブを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
実行	ダウンロードジョブを実行する頻度。
時刻	ダウンロードジョブを実行する時刻。

7. [保存] をクリックします。
   通常は、プロバイダーへの接続をセットアップした後、データを要求するまで約 48 時間待機する必要があります。スケジュールをオンデマンドで実行するには、**[Execute Now** (今すぐ実行)] をクリックします。表示される **[Retrieve Billing Data** (請求処理データの取得)] ウィンドウで、日付範囲を選択して **[Download** (ダウンロード)] をクリックします。

次のタスク
[請求処理ダッシュボード] でクラウドコストを表示します 。

関連情報

クラウド資格情報

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

請求処理データをダウンロードする **Azure** ジョブのスケジュールと管理

請求処理ダウンロードジョブは、指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更に関する推奨事項を作成します。

始める前に
システムに 8 GB の Clotho メモリと 4 GB の MID メモリがあることを確認します。

必要なロール:クラウド統合管理者 [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を確実に提供するために、スケジュールされた実行の前に Discovery が実行されていることを確認してください。
- ごとに サービスアカウント1 つ請求処理ダウンロードジョブしか作成できません。
- 非ブレンドタイプのコストのみがサポートされています。
- 正常に実行されるたびに、 請求処理ダウンロードジョブ タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に対して行った最近の更新 (カテゴリへのタグ名の追加など) は、コストレポートに反映されない場合があります。を実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、 請求処理ダウンロードジョブを選択します クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > コスト使用タグ > タグカテゴリ をクリックし、[カテゴリを再適用] を選択します。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、予算予測、営業時間、予約/節減計画、サイズの適正化、および未使用リソースジョブがトリガーされ、支出と使用状況データが分析され、レポート内のアクション可能な推奨事項が更新されます。
- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。
- コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。(プロバイダーポータルでコストタグを定義して、使用状況データを特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、コストセンターカテゴリには、開発、テスト、QA というタグを含めることができます。ユーザー カテゴリには、ユーザーの名前が含まれる場合があります。
- 請求処理データは、月ごとに新しい順にダウンロードされます。たとえば、範囲が 3 月から 6 月の場合、6 月のデータが最初にダウンロードされます。
- 最初の請求処理データのダウンロードで有意義な結果が得られるように、アプリは少なくとも 30 日間データをダウンロードします。たとえば、今日が 6 月 10 日で、ダウンロード対象として 6 月を指定した場合、システムは 5 月と 6 月の両方のデータをダウンロードして、少なくとも 30 日間のデータを分析できるようにします。
- ダウンロードできるのは、直近 12 か月分のデータのみです。

- クラスターを Kubernetes プロビジョニングするたびに、1 つの既定のリソース グループが として *MC_myResourceGroup_myAKSCluster_eastus*作成されます。たとえば、リソースグループ名*TestResourceGroup*を使用して クラスターAzureをKubernetesプロビジョニングすると、 はこのリソースグループ名を使用し、別のリソースグループを として*MC_<name of the resource group>_<name of the cluster>_<location of the cluster>*プロビジョニングします。

  クラスタのすべての Kubernetes リソースは、 によって Azure提供されるリソース グループに含まれます。請求処理ダウンロードジョブを実行すると、この命名規則 *MC_<name of the*

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

resource group>_<name of the cluster>_<location of the cluster> を持つリソースグループに含まれるリソースのリストがチェックされます。

- 請求処理ダウンロードジョブの実行中にクラスターにタグ *sn_ccm_k8_cluster_name* が追加されます Kubernetes 。
- 支出ジョブの実行中に、リソースグループに存在するクラスターのKubernetesリソースにタグ*sn_ccm_k8_cluster_name*が追加されます。

注:

- リソースグループの資産またはリソースに独自の名前を指定した場合、クラスターの Kubernetes 消費量を表示することはできません。
- アプリケーション (sn_itom_pattern) 1.10.2 以降をインストールします ディスカバリーとサービスマッピングパターン 。詳細については、「Install Discovery and Service Mapping Patterns」を参照してください。
- CMDB CI Class Models (sn_cmdb_ci_class) バージョン 1.53.1 以降をインストールします。詳細については、「CMDB CI Class Models store app」を参照してください。
- 検出を設定する Kubernetes には、「」を参照してください 。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. タブを選択します *Azure* 。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Azure 請求処理ダウンロードジョブ

フィールド	説明
名前	請求処理ダウンロードジョブのスケジュール実行のわかりやすい名前。
前回の正常実行	最後に正常に実行されたタイムスタンプ。
ユーザー/グループに通知	ジョブ実行のステータス (ダウンロードの失敗など) をメールで通知するユーザーまたはグループ。システムは成功の通知を送信しません。 クラウド統合管理者 [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin] ロールを持つユーザーまたはグループは、これらの問題の処理に適しています。 メールテンプレートを更新するには、次の場所に移動します。 システム通知 > メール > **Notifications** をクリックし、[請求処理ジョブ実行エラー時に通知] テンプレートを開きます。メールの構成については、「」を参照してください Create an email template 。
アクティブ	ジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	請求処理ダウンロードジョブを実行する頻度。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	このフィールドは自動的に [日次] に設定されます。 **注:** 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。
時刻	ジョブを実行する時刻。
最新の実行ステータス	最後に実行されたジョブのステータス。
最新の実行の詳細	最後に実行されたジョブの実行の詳細。
Azure 設定	
Azure サービスアカウント	サービスアカウント。Azure

5. [保存] を選択します。
6. [請求処理ダウンロードジョブ **(Billing download jobs)]** ページで、作成したジョブを選択します。
7. [テスト接続] を選択します。

   [テスト接続] ワークフローでは、構成した設定を使用してプロバイダーアカウントへのアクセスが試行されます。進行状況ポップアップと、構成された設定を修正するアクションを提案する成功/エラーメッセージが表示されます。
8. [今すぐ実行] を選択して、接続が成功した後にジョブを実行します。
9. [請求処理データのダウンロード] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
開始月	請求処理データをダウンロードする開始月。 **注:** 指定された月のデータがダウンロードされます。分析用のデータが 30 日未満の場合は、前月のデータもダウンロードされます。
終了月	請求処理データをダウンロードする終了月。
データの再インポート	以前のダウンロード試行のデータを上書きするためのオプション。 **注:** 請求処理の完全なダウンロードは、[データの再インポート] オプションの設定に関係なく、4 日目または前月の請求処理の最終日に行われます。

10. [ダウンロード] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
実行時には job 、次のイベントが発生します。

- データのダウンロード中に、各リソース ID に対応する CMDB 内の CI を使用して、 クラウドコスト管理 請求ノードデータテーブル [sn_cld_intg_<provider>_cost_usage] を更新します。CI が存在しない場合、プレースホルダー CI が生成されます。その後の検出では、プレースホルダー CI が調整されます。
- クラウドコスト管理 は、[請求処理ダウンロードの実行 (Billing Download Executions)] ページで実行の各ステージのログエントリを生成します。

での請求処理ダウンロードジョブの **Azure** キャンセル クラウドコスト管理

請求処理ダウンロードジョブは、 の各 Azure支払人アカウントから請求データと使用状況データを取得します。サイズの適正化、未使用のリソース、および営業時間のプロセスでは、レコメンデーションを生成するときに請求処理データと使用状況データが使用されます。請求処理ダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
必要なロール:クラウド統合管理者 [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. [**Azure**] タブを選択します。
3. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール設定済みジョブを選択します。
4. [請求処理のダウンロード] Azure ページで、 [実行のキャンセル] を選択します。

価格シートをダウンロードする**Microsoft Azure**ジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理

価格 価格シートのダウンロードジョブ シートデータをダウンロードして保存します。および未使用リソースプロセスは、 サイズの適正化 推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。

始める前に
プロバイダーごとに、各サービスアカウントで実行します ディスカバリー 。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

- プロバイダーごとにスケジュール 価格シートのダウンロードジョブ を作成します。
- 価格シートのダウンロードジョブ実行するたびに複数の実行アイテムが実行されます。各実行アイテムは、1 つの地域の価格シートをインポートして保存します。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を確実に行うには、スケジュールされた実行の前に実行される ディスカバリー ようにしてください。
- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

価格シートのダウンロードジョブ

フィールド	値
名前	価格シートのダウンロードジョブのわかりやすい名前。
プロバイダー	クラウドプロバイダの名前。
前回の正常実行	ジョブの最後に実行されたタイムスタンプ。
価格シートのダウンロード	さまざまなサービスの価格シートのダウンロード。 ○ AWS ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて ○ Azure ▪ CPU ▪ データベース ▪ ストレージ ○ Google ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて
アクティブ	価格シートのダウンロードジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	ジョブを実行する頻度。 **注:** 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。たとえば、[実行] の値を [月次] に選択すると、[日] フィールドが表示されます。値 3 は、その月の 3 日を意味します。 このフィールドは自動的に [月次] に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
時刻	ジョブを実行する時刻。
現在の実行ステータス	現在実行中の実行のステータス。
現在の実行詳細	現在実行中の実行の詳細。

4. [保存] を選択します。
5. [実行] を選択してジョブを実行します。
   実行中に、 クラウドコスト管理 データをダウンロードして保存します。実行 ID、ステータス、および実行ログは、[**Price Sheet Executions** (価格シートの実行)] タブで確認できます。新しいデータがない場合、実行は [スキップ] とマークされます。ダウンロードプロセスがスタックしている場合、実行は キャンセルとしてマークされます。

関連情報

リソースの適正化

レート割引を指定して、サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を有効にします

での価格シートのダウンロードジョブの **Azure** キャンセル クラウドコスト管理

価格シートのダウンロードジョブは Azure 、価格シートデータを からダウンロードします Azure。価格シートのダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に

プロバイダーごとに、各サービスアカウントで実行します ディスカバリー 。

適切な資格情報とサービスアカウントが設定されていることを確認してください。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

クラウドコスト管理 は、各プロバイダーから価格シートデータを一度に 1 リージョンずつダウンロードします。実行中の価格シートのダウンロードジョブをキャンセルすると、現在の地域のダウンロードが終了し、残りの地域のダウンロードがキャンセルされます。ジョブスケジュールの実行を削除すると、すべてのリージョンがキャンセル済みとしてマークされます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール設定済みジョブを選択します。
3. 価格シートのダウンロード ジョブ ページで、 実行のキャンセル を選択します。

Google Cloud の クラウドコスト管理 の構成

クラウドコスト管理 アプリケーションは ServiceNow Store から入手可能です。

一般的な要件と制限事項

- クラウドコスト管理 はモバイルデバイスではサポートされていません。
- レポートの値は、通貨換算または端数処理により、プロバイダー請求の値と若干異なる場合があります。

自動翻訳

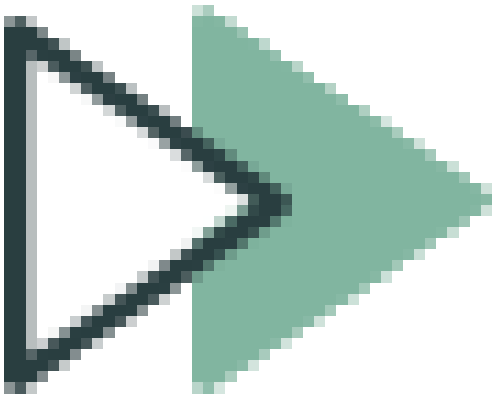
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の要件と制限事項 Google Cloud

で作業するには、管理者権限が必要ですGoogle Cloud Google Cloud コンソール

クラウドコスト管理 のダウンロードとアクティブ化

必要なロール:sys_admin

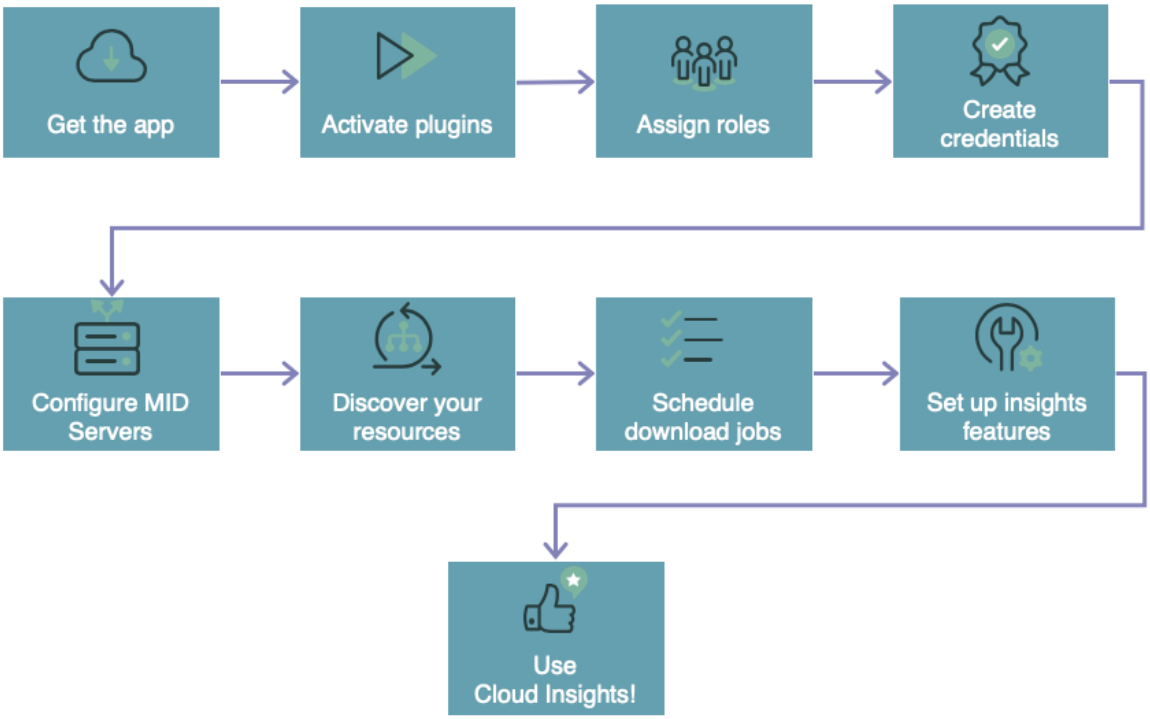
ステップ	説明	手順
アプリを入手します。	クラウドコスト管理からServiceNow Storeアプリを取得します。	にアクセス ServiceNow Store アプリとサポートアプリを入手するクラウドコスト管理 ためのWeb サイト。
 サポートされているすべてのプラグインとアプリケーションをアクティブ化します。	のページにリストされているServiceNow Storeプラグインをアクティブ化します。クラウドコスト管理一部のプラグインについては、担当者にServiceNow リクエストすることが必要な場合があります。	手順については、以下を参照してください。 • プラグインとして要求 • プラグインをアクティブ化する

概要: セットアップ クラウドコスト管理

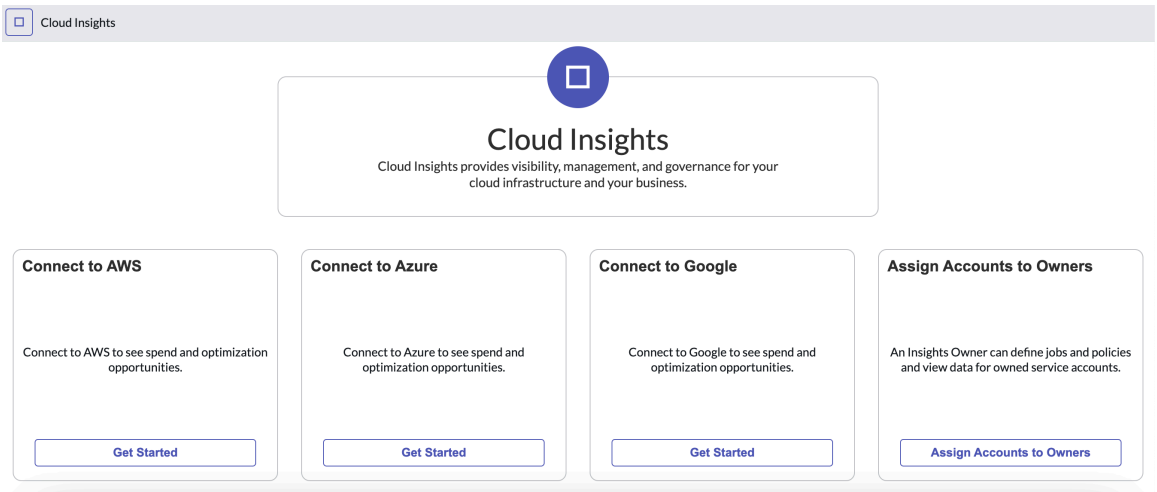
設定プロセスの概要は次のとおりです。詳細な手順については、次の表を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリを初めて開くと、ホームページでプロバイダーを設定し、ロールを insights_owner アサインできます。

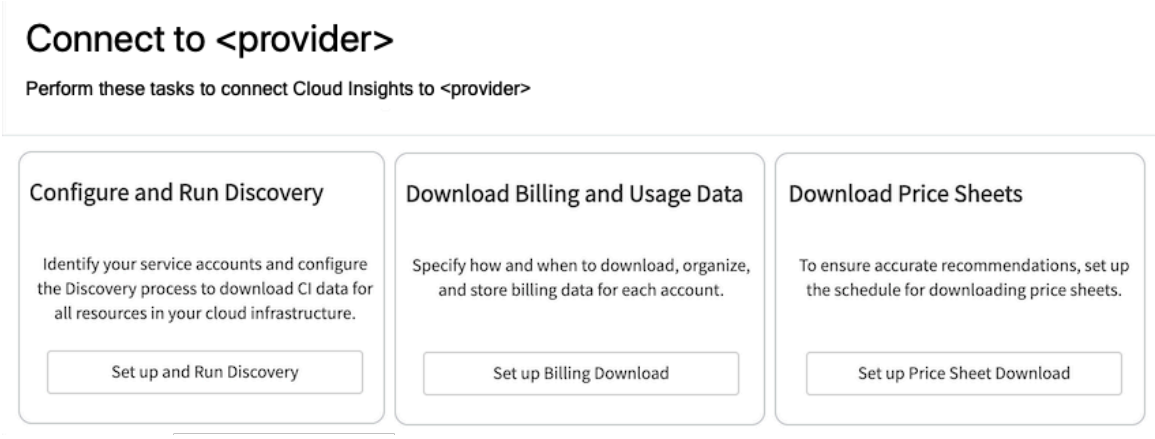


プロバイダーを設定してロールを insights_owner アサインすると、ページに追加のセットアップアクティビティが表示されます。

注:
[検出の構成と実行] カードは、アプリケーションを使用して ディスカバリー クラウドリソースを検出する場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- [検出の構成と実行] セクションの [検出のセットアップと実行] ボタンを選択すると、[スケジュールの検出] フォームが開きます。
- [請求処理および使用状況データのダウンロード] セクションで [請求処理ダウンロードの設定 **(Set up Billing Download**)] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ (Billing Download Jobs)] フォームが開きます。
- [価格シートのダウンロード] セクションで [価格シートのダウンロードを設定] ボタンを選択すると、[価格シートのダウンロードジョブ] フォームが開きます。

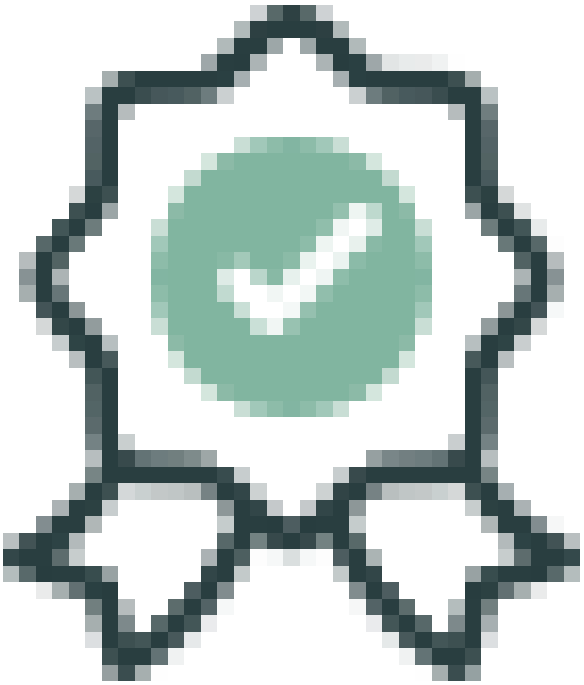
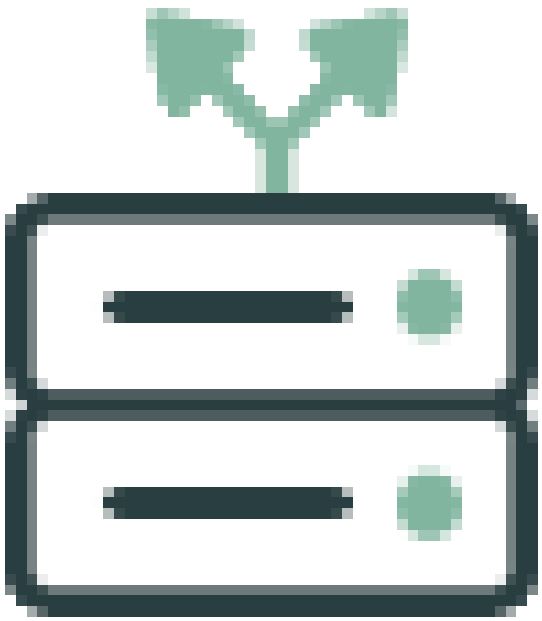
すべての構成が完了すると、ページに概要データが表示され、レポートにすばやくアクセスできるようになります。

タスク: セットアップ クラウドコスト管理

ステップ	説明	手順
 ユーザーとグループにロールをアサインします クラウドコスト管理 。	ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドコスト管理 ロールをアサインします。	クラウドコスト管理 ロール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 へのアクセス Google Cloudを設定します。	プロバイダーアカウントのデータに安全にアクセスするには、ディスカバリー プロセスで適切な認証情報を提供する必要があります。で資格情報を利用できるようにするディスカバリーには、Google Cloud最初にポータルで資格情報を作成しますGoogle Cloud。次に、インスタンス内の サービスアカウント 資格情報を安全に保存します。	Google Cloud の請求データと使用状況データへのアクセスをセットアップする
 のプロバイダーアカウントの CI データにアクセスするための構成MID サーバークラウドコスト管理 。	安全で信頼性の高い通信を確保するために、ディスカバリー プロセスは 1 つ以上の MID サーバー を介してクラウドプロバイダーアカウントおよびクラウドリソースと通信します。ネットワークまたはクラウドネットワークのいずれかに MID サーバー を設定できます。	アカウントの CI データ Google Cloud へのアクセスの設定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 クラウドリソースを検出します。	注: [検出の構成と実行] カードは、アプリケーションを使用して ディスカバリー クラウドリソースを検出する場合にのみ表示されます。 [検出の構成と実行 (Configure and Run Discovery)] カードの [検出のセットアップと実行] ボタンを選択すると、[検出スケジュール] フォームが開きます。 リソースの CMDB データが最新に保たれるようにプロセスをスケジュールします ディスカバリー 。	使用するクラウドリソースの検出
 の請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理 クラウドコスト管理 。	[請求処理および使用状況データのダウンロード] セクションで [請求処理ダウンロードの設定 **(Set up Billing Download**)] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ (Billing Download Jobs)] フォームが開きます。 請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更に関する推奨事項を作成します。	請求処理データをダウンロードする Google Cloud ジョブのスケジュールと管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 価格シートをダウンロードするジョブの クラウドコスト管理 スケジュールと管理 。	[価格シートのダウンロード] セクションで [価格シートのダウンロードを設定] ボタンを選択すると、[価格シートのダウンロードジョブ] フォームが開きます。 価格 価格シートのダウンロードジョブ シートデータをダウンロードして保存します。および未使用リソースプロセスは、 サイズの適正化 推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。	価格シートをダウンロードするGoogle Cloud ジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理
 インサイト機能を構成します。 • サイズの適正化 • 不使用マシン • 営業時間 • 未アサインリソース	• この機能 サイズの適正化 は、リソースの使用状況を分析し、過剰にプロビジョニングされたり十分に使用されたりしてコストを浪費しているリソースに対して、より適切なサイズを推奨します。信頼度レーティングと予測された節減額は、各推奨事項を裏付けています。指定したリソースのサイズを変更するジョブをスケジュールします サイズの適正化 。 • この機能 不使用マシン は、使用状況データを分析して、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定します。指定したリソースの電源をオフにするか、終了するジョブをスケジュール 不使用マシン します。 • ジョブは 営業時間 、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを識別し、それらを報告し、指定したスケジュールで開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行することで、クラウド支出を大幅に削減できます。 • 未アサインリソース ポリシーは、変更グループに関連付けられていないリソースを特定し、適切にアサインするのに役立ちます。リソースが適切なグループに割り当てられると、	• リソースの適正化 • 未使用のリソース • 営業時間 • 未割り当てのリソース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
	パッチ適用、アップグレード、再構成などの段階を経る場合でも、リソースを適切に管理できます。	

アカウントの **CI** データ **Google Cloud** へのアクセスの設定

安全で信頼性の高い通信を確保するために、ディスカバリー プロセスは 1 つ以上の MID サーバーを介してクラウドプロバイダーアカウントおよびクラウドリソースと通信します。ネットワークまたはクラウドネットワークのいずれかに MID サーバー を設定できます。

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

要件

重要:
この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。リソースの検出に別の方法を使用する場合は、このプロセスをスキップします。

詳細な手順

Google Cloud Platform クラウド検出

MID サーバー の設定 クラウドコスト管理

注:
MID サーバー 最小メモリサイズは 4 GB である必要があります。

設定	値
サポートされているアプリケーション	クラウドアクション
機能	[すべて] 設定には、必要なすべてのアプリケーションと機能が含まれています。または、次の設定を指定することもできます。 **注:** 任意の数の MID サーバー. 複数の MID サーバーディスカバリーを指定した場合、請求クラウドコスト管理処理データのダウンロード操作と推奨されるアクションは、のいずれかにMID サーバーランダムに割り当てられます。 オプション 1: これを MID サーバーGoogle Cloudにのみ使用するには、次の両方の値を指定します。 • クラウドアクション • Google Cloud

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	値
	オプション 2: これを MID サーバー すべてのプロバイダーに使用するには、次の値を指定します。 • クラウドアクション • Google Cloud • Azure

プロキシサーバーの使用

にはプロキシサーバー クラウドコスト管理 MID サーバーを使用できます。「のプロキシサーバー設定 クラウドコスト管理 MID サーバー」を参照してください。

関連情報

MID Server

Windows への MID Server のインストール

Linux への MID Server のインストール

のプロキシサーバー設定 クラウドコスト管理 **MID** サーバー

操作にクラウドコスト管理プロキシサーバーを使用するように設定できますMID サーバー。プロキシサーバーディスカバリーは、 請求処理ダウンロードジョブ価格シートのダウンロードジョブ

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

詳細な手順

「」を参照してください。 のプロキシサーバー設定 MID サーバー 使用目的 クラウドディスカバリー および Cloud Provisioning and Governance .

プロキシサーバーの制限事項

- Windows または Linux プラットフォームのみがサポートされています。
- 統合 Google Cloud はサポートされていません。
- 統合 VMware はサポートされていません。
- リモート PowerShell スクリプトを実行することはできません。
- カスタム API が機能しない可能性があります。

クラウドコスト管理 でサポートされているプロキシサーバー認証

プロキシサーバータイプ	認証タイプ
HTTP/HTTPS	認証なし
SOCKS5	認証なし
HTTP/HTTPS	基本認証
SOCKS5	基本認証
HTTP/HTTPS	NTLM

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされているプロキシサーバー構成

サポートされている構成設定

設定	オペレーティングシステム	プロキシー サーバー	認証モード
構成 1	Linux	なし	適用外
構成 2	Windows	Squid (HTTPS)	なし
構成 3	Linux	Squid (HTTPS)	ローカル
構成 4	Windows	Squid (HTTPS)	Active Directory

関連情報

- MID Server
- Windows への MID Server のインストール
- Linux への MID Server のインストール

Google Cloudサービスアカウントの追加

Google Cloud認証情報とアクセス情報を保存するサービスアカウントを追加します。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

サービスアカウントの請求処理データと価格シートデータのダウンロードジョブを設定します。

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報およびアクセス情報を保存するインスタンスの安全なレコードです。ディスカバリー は、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得するために、その情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスします。クラウドアカウントには、複数のサービスアカウント (異なるプロバイダーのサービスアカウントを含む) を含めることができます。サービスアカウントごとに、クラウドアカウントに含めるデータセンターを指定します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > サービスアカウント.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

クラウドサービスアカウント

フィールド	説明
名前	このサービスアカウントの一意でわかりやすい名前。
アカウント ID	関連付けられ JSON たキーファイルからの project_ID値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Discovery 資格情報	ServiceNow アプリケーションがこのアカウントにアクセスするために必要な資格情報。後で Google Cloud アカウントへのアクセスを構成するときに、このフィールドを構成できます。 ○ でNow Platform資格情報を設定しAzureた場合は、関連するAzure資格情報の名前を選択します。 ○ 他の Azure アカウントを使用してこのアカウントにアクセスする場合は、フィールドを空白のままにします。
データセンター URL	データセンターの URL。 このフィールドは、Gov Cloud アカウントにのみ Google 必要です。 。
データセンタータイプ	アカウントがホストされているデータセンターのタイプ。 `Google Cloud Platform` データセンターを選択します。
データセンター Discovery ステータス	データセンターで前回実行した Discovery のステータスとタイムスタンプ。 この値は自動的に生成されます。
請求アカウントか	アカウントが請求処理データにアクセスできるようにするためのオプション。

自動翻訳

4. [保存] を選択します。

タスクの結果
作成したサービスアカウントは、[サービスアカウント] ページに表示されます。

関連情報
請求処理データをダウンロードする Google Cloud ジョブのスケジュールと管理

価格シートをダウンロードするGoogle Cloudジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理

請求処理ダウンロードの **Google Cloud** ロールをセットアップ
の Google Cloud請求処理ダウンロードを実行するには、特定の必要なロールが必要です。

始める前に
必要なロール：

- Google Cloudコンソールで、Google Cloud管理者。
- クラウドコスト管理:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または管理者。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. プロバイダーコンソールで Google Cloud 、請求処理モジュールに次の必要なロールを追加します。
   - bigquery.jobs.create
   - bigquery.jobs.list
   - bigquery.tables.getData
   - cloudsql.databases.delete
   - cloudsql.databases.get
   - cloudsql.databases.list
   - cloudsql.databases.update
   - cloudsql.instances.delete
   - cloudsql.instances.get
   - cloudsql.instances.list
   - cloudsql.instances.restart
   - cloudsql.instances.update
   - compute.autoscalers.get
   - compute.autoscalers.list
   - compute.disks.delete
   - compute.disks.get
   - compute.disks.list
   - compute.disks.update
   - compute.instances.delete
   - compute.instances.get
   - compute.instances.getIamPolicy
   - compute.instances.list
   - compute.instances.setDiskAutoDelete
   - compute.instances.start
   - compute.instances.stop
   - compute.instances.update
   - compute.regions.list
   - recommender.cloudsqlIdleInstanceRecommendations.get
   - recommender.cloudsqlIdleInstanceRecommendations.list
   - recommender.cloudsqlIdleInstanceRecommendations.update
   - recommender.cloudsqlOverprovisionedInstanceRecommendations.get
   - recommender.cloudsqlOverprovisionedInstanceRecommendations.list
   - recommender.cloudsqlOverprovisionedInstanceRecommendations.update

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.update
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.list
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.update
- recommender.locations.get
- recommender.locations.list
- resourcemanager.projects.get
- resourcemanager.projects.list

2. 組織レベルでロール Google Cloud を設定して、そのレベル以下のすべてのプロジェクトに適用されるようにします。
   各プロジェクトのコンソールで Google Cloud 次の API を有効にする必要があります。
   - Compute Engine API
   - 推奨者 API
   - BigQuery API
   - BigQuery データ転送 API
   - クラウドリソースマネージャー API
   - クラウド SQL 管理者 API
   - バッチ API
3. ポリシー作成の詳細については、次を参照してください。 Google Cloud ドキュメント.

自動翻訳

Google Cloud の請求データと使用状況データへのアクセスをセットアップする

手順に従って、課金データと使用状況データへのアクセス Google Cloud Platform (GCP) を設定します。

1. Google Cloud請求先アカウントを作成する
2. API 資格情報の作成Google
3. クラスターのGoogle CloudKubernetesコスト割り当ての有効化
4. 請求処理データをダウンロードする Google Cloud ジョブのスケジュールと管理
5. Google Cloud正確な請求処理データを確保するために CI クラスタイプを追加する

関連情報

請求処理ダウンロードジョブの Google Cloud キャンセル

Google Cloud請求先アカウントを作成する

コンソールで Google Cloud 請求先アカウント、プロジェクト、BigQuery データセットを作成します。

始める前に
ポリシーに精通し Google Cloud ている必要があります。

必要なロール：Google Cloud 管理者

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Google Cloud請求先アカウントで、請求処理データを BigQuery データセットに保存できるプロジェクトを作成します。

   注:
   BigQuery の使用に関連する料金は、料金プランに基づきます。

   a. プロジェクトの下にサービスアカウントを作成し、キーを作成します。
   の「サービスアカウントの作成」および「サービスアカウントの管理」セクションを参照してください。 Google Cloud ドキュメント 」を参照してください。

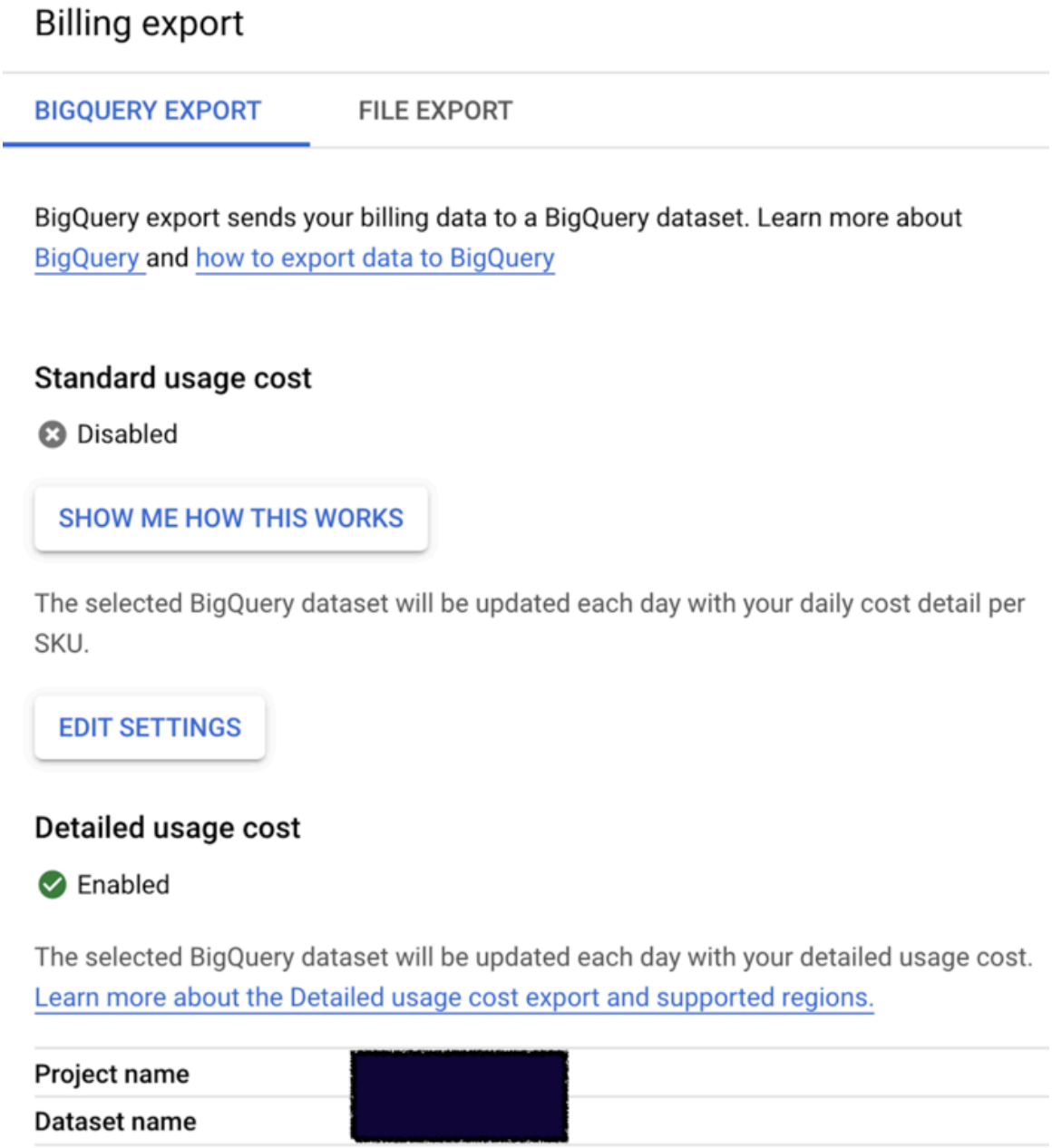
   b. すべてのプロジェクトにアクセスできるようにサービスアカウントを構成します。
   すべてのプロジェクトに対する閲覧者ロールが必要です。

   c. 必要な資格情報を含むキーファイル (JSON ファイル) をダウンロードします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. で Google Cloud、請求処理ダウンロードを使用する Google Cloud ための詳細な使用コストを有効にしま



す。

> **注:**
> 請求処理ダウンロードの BigQuery データセットを初めて構成する場合は、Google Cloud ドキュメント の「Big Query の Cloud 請求処理データテーブルについて 」トピックの「データの可用性」セクションをお読みください。

API 資格情報の作成Google

プロバイダーアカウントのデータに安全にアクセスするには、プロセスが ディスカバリー 適切な資格情報とともに存在している必要があります。

始める前に
必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。
すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

手順

1. [クラウドコスト管理] で、次に移動します。 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 資格情報.
2. **[Google API** 資格情報] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Google API 資格情報

フィールド	説明
名前	Google Cloud 資格情報の分かりやすい一意の名前。
有効	資格情報を使用するオプション。
タイプ	プロバイダー名、GCP。
適用先	MID Server を示します。[すべて] の場合は、「すべての MID Server」と入力します。
メール	請求サービスアカウントメール
秘密キー	Google Cloud コンソールで生成された秘密キー。

5. [保存] を選択します。

関連情報

クラウド資格情報

クラスターの**Google CloudKubernetes**コスト割り当ての有効化

請求処理ダウンロードジョブを実行してGoogle Cloud支出を表示するKubernetes前に、各Kubernetesクラスターのコスト割り当てを有効にします。

始める前に
必要なロール：Google Cloud 管理者

- ポリシーに精通し Google Cloud ている必要があります。
- アプリケーション (sn_itom_pattern) 1.10.2 以降をインストールします ディスカバリーとサービスマッピングパターン 。詳細については、「Install Discovery and Service Mapping Patterns 」を参照してください。
- CMDB CI Class Models (sn_cmdb_ci_class) バージョン 1.53.1 以降をインストールします。詳細については、「CMDB CI Class Models store app 」を参照してください。
- 検出を設定する Kubernetes には、「」を参照してください 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

- 請求処理ダウンロード時にクラスターのKubernetesリソースを識別するために、既に **goog-k8s-cluster-name** タグを持つリソースにタグ*sn_ccm_k8_cluster_name*が追加されます。
- 個々の Kubernetes クラスターごとにコスト割り当てを有効にする必要があります。

手順

1. へのログイン Google Cloud コンソール.
2. ハンバーガーアイコン ( ) を選択します。
3. **[Kubernetes Engine]** を選択します。
4. [クラスター] を選択します。
5. [概要] セクションで、クラスター名を選択します。
6. [機能] セクションで、[コスト割り当て] を有効にします。

タスクの結果
選択した Kubernetes クラスターのコスト割り当てが有効になり、 Kubernetes 消費量を表示できます。

請求処理データをダウンロードする **Google Cloud** ジョブのスケジュールと管理

請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更に関する推奨事項を作成します。

始める前に

- システムに 8 GB の Clotho メモリと 4 GB の MID メモリがあることを確認します。
- 請求処理ダウンロードを実行するには、必要なロールを設定する必要があります。詳細については、「請求処理ダウンロードの Google Cloud ロールをセットアップ」を参照してください。
- 請求処理ダウンロードジョブを実行して Google Cloud Kubernetes 支出を表示する前に、各 Kubernetes クラスターのコスト割り当てを有効にします。詳細については、「クラスターの Google CloudKubernetesコスト割り当ての有効化」を参照してください。

必要なロール：

- Google Cloudコンソールで、Google Cloud管理者。
- クラウドコスト管理:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または管理者。

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

請求処理ダウンロード中に、すべてのリソースがシステムにプルされます。GCP SQLデータベースは[cmdb_ci]テーブルに配置されます。

- 請求処理ダウンロードジョブは、BigQuery データセットの請求項目を使用して請求ノードデータテーブル [sn_cld_intg_gcp_cost_usage] を作成し、更新します。

注:
BigQuery の使用に関連する料金は、料金プランに基づきます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- CI 配置プロセスは、ダウンロードされたコストと使用状況データを CMDB 内の適切な CI に関連付けます。詳細については、「Google Cloud正確な請求処理データを確保するために CI クラスタイプを追加する」を参照してください。
- 請求処理ダウンロードジョブ をグローバルスコープに含めることはできません。
- アカウントごとに 1 つだけ 請求処理ダウンロードジョブ 作成できます。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を確実に行うには、スケジュールされた実行の前に実行される ディスカバリー ようにしてください。
- 正常に 請求処理ダウンロードジョブ 実行されるたびに、[営業時間]、[予約/節減プラン]、および [未使用リソース] ジョブがトリガー 予算予測され、 サイズの適正化支出と使用状況のデータを分析し、レポート内のアクション可能な推奨事項を更新します。
- 正常に実行されるたびに、 請求処理ダウンロードジョブ タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に対して行った最近の更新 (カテゴリへのタグ名の追加など) は、コストレポートに反映されない場合があります。を実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、 請求処理ダウンロードジョブを選択します クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > コスト使用タグ > タグカテゴリ をクリックし、[カテゴリを再適用] を選択します。
- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。
- コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。(プロバイダーポータルでコストタグを定義して、使用状況データを特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、コストセンターカテゴリには、 開発、 テスト、 QA などのタグを含めることができます。ユーザー カテゴリには、ユーザーの名前が含まれる場合があります。
- 請求処理データは、月ごとに新しい順にダウンロードされます。たとえば、範囲が 3 月から 6 月の場合、6 月のデータが最初にダウンロードされます。
- 最初の請求処理データのダウンロードで有意義な結果が得られるように、アプリは少なくとも 30 日間データをダウンロードします。たとえば、今日が 6 月 10 日で、ダウンロード対象として 6 月を指定した場合、システムは 5 月と 6 月の両方のデータをダウンロードして、少なくとも 30 日間のデータを分析できるようにします。
- ダウンロードできるのは、直近 12 か月分のデータのみです。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. タブを選択します *Google* 。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Google 請求処理ダウンロードジョブ

フィールド	説明
名前	請求処理ダウンロードジョブのスケジュール実行のわかりやすい名前。
前回の正常実行	最後に正常に実行されたタイムスタンプ。
ユーザー/グループに通知	ジョブ実行のステータス (ダウンロードの失敗など) をメールで通知するユーザーまたはグループ。システムは成功の通知を送信しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	クラウド統合管理者 [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin] ロールを持つユーザーまたはグループは、これらの問題の処理に適しています。 メールテンプレートを更新するには、次の場所に移動します。 システム通知 > メール > **Notifications** をクリックし、[請求処理ジョブ実行エラー時に通知] テンプレートを開きます。メールの構成については、「」を参照してください Create an email template。
アクティブ	ジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	請求処理ダウンロードジョブを実行する頻度。 このフィールドは自動的に [日次] に設定されます。 **注:** 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。
時刻	ジョブを実行する時刻。
最新の実行ステータス	最後に実行されたジョブのステータス。
最新の実行の詳細	最後に実行されたジョブの実行の詳細。
Google 設定	
請求アカウント	請求処理データにアクセスするアカウント。[課金アカウント] の設定が true になっているすべてのアカウントが選択リストに表示されます。[請求アカウント] フィールドの詳細については、次を参照してください Google Cloudサービスアカウントの追加。 たとえば、課金アカウント ID は `0XX0A-AXX9-6XXXA` 形式である必要があります。
BigQuery プロジェクト ID	BigQuery データセットを含むプロジェクト ID。
BigQuery データセット名	請求処理データが時間単位で保存される BigQuery データセットの名前。

5. [テスト接続] を選択します。

   [テスト接続] ワークフローでは、構成した設定を使用してプロバイダーアカウントへのアクセスが試行されます。進行状況ポップアップと、構成された設定を修正するアクションを提案する成功/エラーメッセージが表示されます。

6. [今すぐ実行] を選択して、接続が成功した後にジョブを実行します。
7. [請求処理データのダウンロード] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
開始月	請求処理データをダウンロードする開始月。 **注:** 指定された月のデータがダウンロードされます。分析用のデータが 30 日未満の場合は、前月のデータもダウンロードされます。
終了月	請求処理データをダウンロードする終了月。
データの再インポート	以前のダウンロード試行のデータを上書きするためのオプション。

8. [ダウンロード] を選択します。

タスクの結果

実行時には job 、次のイベントが発生します。

- データのダウンロード中に、各リソース ID に対応する CMDB 内の CI を使用して、 クラウドコスト管理 請求ノードデータテーブル [sn_cld_intg_<provider>_cost_usage] を更新します。CI が存在しない場合、プレースホルダー CI が生成されます。その後の検出では、プレースホルダー CI が調整されます。
- クラウドコスト管理 は、[請求処理ダウンロードの実行 (Billing Download Executions)] ページで実行の各ステージのログエントリを生成します。

Google Cloud正確な請求処理データを確保するために CI クラスタイプを追加する

新しい CI または CI タイプの詳細を指定して、CI 配置プロセスでコストと使用状況のデータを正しく割り当てできるようにします。このプロセスは実行の一部です 請求処理ダウンロードジョブ 。CI 配置プロセスは、ダウンロードされたコストと使用状況データを適切な CI に関連付けます。

始める前に

必要なロール: クラウドコスト管理 Admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

請求処理ダウンロードジョブ ダウンロードした請求処理データを請求ノードテーブルに格納します。クラスタイプテーブルには、コスト使用テーブルの CI タイプ定義が保持されます。 クラウドコスト管理 は CI 配置プロセスを実行して、請求処理データと使用状況データを CMDB 内の CI に関連付けます。CI 配置プロセスは、CI 配置タイプテーブルに存在する CI タイプ定義を使用して、請求ノードテーブルをクエリーします。新しい CI (または新しいプロバイダーの CI タイプ) の場合は、CI を一意に定義するパラメーター、CI タイプ定義、および CI タイプ定義を格納するクラスタイプテーブルを指定します。

[sn_cld_intg_gcp_ci_placement_type] の Google Cloud CI 配置タイプテーブルは、コア CI 配置タイプテーブル (sn_cld_intg_core_ci_placement_type) から継承します。

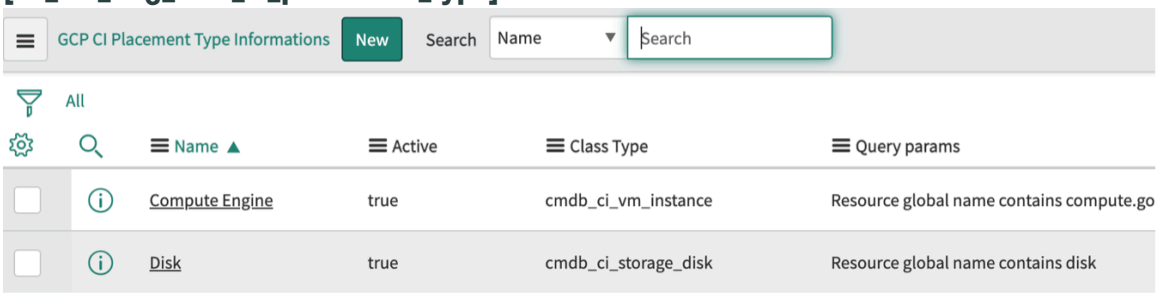
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

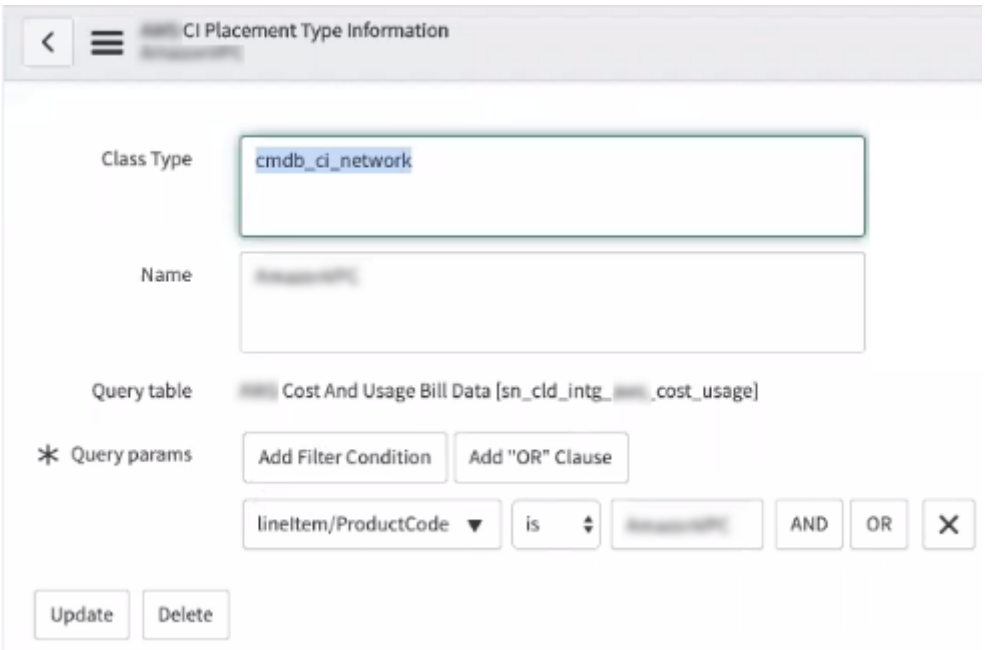
手順

1. CI 配置タイプテーブルに移動し、 新規 を選択します。

Google Cloud コア CI 配置タイプテーブルのクラスタイプ [sn_cld_intg_core_ci_placement_type]



2. フォームに入力します。



CI 配置タイプ情報フォーム

フィールド	説明
クラスターイプ	このタイプの CI が格納されている CMDB クラスタイプテーブル。このタイプの新しい CI がテーブルに追加されます。
名前	CI タイプの名前。
クエリー テーブル	CI 配置プロセスがクエリーを実行して CI タイプのインスタンスを検索する請求処理ノードテーブル。 クエリテーブルはsn_cld_gcp_cost_usageであり、変更できません。
クエリパラメーター	CI タイプを一意に定義する請求ノードテーブルのパラメーター値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

請求処理ダウンロードジョブの **Google Cloud** キャンセル

請求処理ダウンロードジョブは、 の各 Google Cloud支払人アカウントから請求データと使用状況データを取得します。サイズの適正化、未使用のリソース、および営業時間のプロセスでは、レコメンデーションを生成するときに請求処理データと使用状況データが使用されます。請求処理ダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
必要なロール：

このタスクについて
重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

手順
1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. [**Google**] タブを選択します。
3. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール設定済みジョブを選択します。
4. [請求処理ダウンロード] Google ページで、[実行のキャンセル] または [キャンセル] を選択します。

価格シートをダウンロードする**Google Cloud**ジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理

価格 価格シートのダウンロードジョブ シートデータをダウンロードして保存します。

始める前に
適切な資格情報とサービスアカウントが設定されていることを確認します。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて
- プロバイダーごとにスケジュール 価格シートのダウンロードジョブ を作成します。
- 1 つの API で、すべての地域の価格シートの詳細を一度にフェッチします。
- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。

手順
1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

価格シートのダウンロードジョブ

フィールド	値
名前	価格シートのダウンロードジョブのわかりやすい名前。
プロバイダー	クラウドプロバイダの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
前回の正常実行	ジョブの最後に実行されたタイムスタンプ。
価格シートのダウンロード	さまざまなサービスの価格シートのダウンロード。 ○ AWS ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて ○ Azure ▪ CPU ▪ データベース ▪ ストレージ ○ Google ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて
アクティブ	価格シートのダウンロードジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	ジョブを実行する頻度。 **注:** 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。たとえば、[実行] の値を [月次] に選択すると、[日] フィールドが表示されます。値 3 は、その月の 3 日を意味します。 このフィールドは自動的に [月次] に設定されます。
時刻	ジョブを実行する時刻。
現在の実行ステータス	現在実行中の実行のステータス。
現在の実行詳細	現在実行中の実行の詳細。

4. [保存] を選択します。
5. [実行] を選択してジョブを実行します。
実行中に、 クラウドコスト管理 データをダウンロードして保存します。実行 ID、ステータス、および実行ログは、[**Price Sheet Executions** (価格シートの実行)] タブで確認できます。新しいデータがない場合、実行は [スキップ] とマークされます。ダウンロードプロセスがスタックしている場合、実行は キャンセルとしてマークされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

リソースの適正化

での価格シートのダウンロードジョブの GCP キャンセル クラウドコスト管理

価格シートのダウンロードジョブは GCP 、価格シートデータを からダウンロードします Google Cloud Platform (GCP)。価格シートのダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
プロバイダーごとに、各サービスアカウントで実行します ディスカバリー 。

適切な資格情報とサービスアカウントが設定されていることを確認してください。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて
クラウドコスト管理 は、各プロバイダーから価格シートデータを一度に 1 リージョンずつダウンロードします。実行中の価格シートのダウンロードジョブをキャンセルすると、現在の地域のダウンロードが終了し、残りの地域のダウンロードがキャンセルされます。ジョブスケジュールの実行を削除すると、すべてのリージョンがキャンセル済みとしてマークされます。

手順

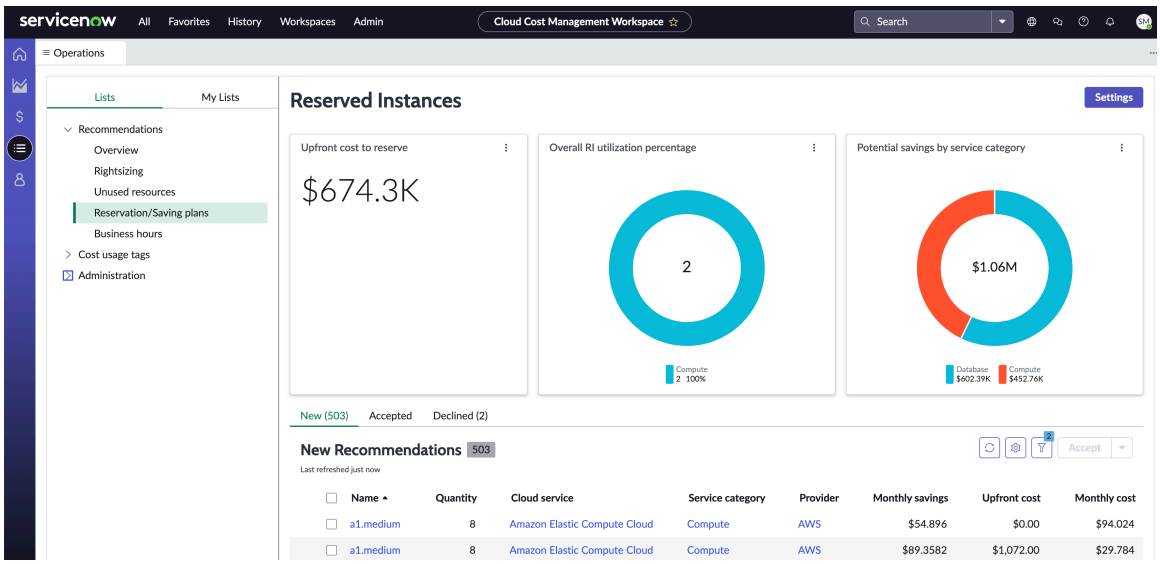
1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール設定済みジョブを選択します。
3. 価格シートのダウンロード ジョブ ページで、 実行のキャンセル を選択します。

クラウドコスト管理 の使用

クラウドリソースの使用状況データの適正化、識別、アサイン、管理、および分析に使用します クラウドコスト管理 。

予約プランでリソースコストを削減

リザーブドインスタンスレポートを表示し、推奨事項を実装し、オンデマンド支払いプランを予約プランに変換してリソースのコストを節約するプロセスを設定します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

チャート	説明
予約にかかる前払いのコスト	すべての予約/節減プランの推奨事項が適用された場合の初期費用。
全体的な RI 使用率	予約プランのリソースのうち、過去 30 日間に使用されたリソースと使用されなかったリソースの割合。
サービスカテゴリ別の節減見込み	すべての予約/節減プランの推奨事項が適用されたときに予想される月次節減額。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で利用可能な選択肢
新規	予約プランで最もメリットがあるリソース。リストを確認し、適切なアクションを選択してリソースを他のタブの 1 つに移動して、予約プランへの変換を決定します。	• 承認 • 拒否
受入済み	予約プランに変換されるリソース。リソースが [承認された推奨事項] タブに移動された後、[新しい推奨事項] タブに再表示されません。	拒否
拒否	予約プランに変換されていないリソース。リソースが **[** 拒否された推奨事項] タブに移動された後、 [新しい推奨事項] タブに再表示されません。	承認

重要:
リソースを [承認済み推奨事項] または [拒否された推奨事項] タブに移動しても、クラウドコスト管理アプリケーションは何もアクションを実行しません。プロバイダー管理インターフェイスで支払いプランを変更できます。

[設定] を選択して、予約/節約プランの操作を構成することもできます。

予約/節減プランの操作を構成する

予約/節減プランのプロセスを設定し、通知をトリガーする見込み節減額を指定します。

始める前に
各サービスアカウントで実行 ディスカバリー します。

各プロバイダーの請求処理ダウンロードジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin および insights_owner

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > 予約/節減プラン.

2. [リザーブドインスタンス] ページで、[設定] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リザーブドインスタンス設定

フィールド	値
リザーブドインスタンスの有効化	リザーブドインスタンスアクティビティを有効にするためのオプション。チェックボックスをオフにすると、予約/節約プランの操作が無効になります。 デフォルト:有効
リザーブドインスタンスの節減額が総支出額の(%)を超えたら通知する。	指定したユーザーまたはグループへのメール通知をトリガーする、予約済みの節減に対する潜在的な節減額に対するクラウド支出全体の割合。 この値は、すべての予約/節減プランの推奨事項に従った場合に節約できる金額を使用して計算されます。 デフォルト値の **15** は、潜在的なリザーブドインスタンスの節減額が総コストの 15% を超えた場合にのみ通知が送信されることを意味します。
節減額がしきい値を下回る場合は推奨しない	リソースに予約/節減プランを推奨するかどうかを決定するときに使用する、ルックバック期間にわたって計算された最小コスト。 たとえば、100円の設定は、100円未満の節約になる予約/節約プランの推奨事項をアプリで無視することを意味します。
ユーザーへの通知/グループへの通知	リザーブドインスタンスの節減見込みの支出がクラウド全体の支出の指定された割合を超えたときにメールで通知するユーザーまたはグループ。メールの構成については、「 メールテンプレートの作成 」を参照してください。

4. [保存] を選択します。

次のタスク
変更を表示するには、請求処理ダウンロードジョブを再実行します。

サイズの適正化によるリソースのサイズ変更

過剰にプロビジョニングされたリソースまたは十分に使用されていないリソースを特定し、サイズの適正化操作を構成し、サイズの適正化に関する推奨事項を実装し、さまざまなサイズの適正化操作を実行することで、リソースの使用状況をよりよく把握できます。

[設定] を選択すると、サイズの適正化操作を構成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

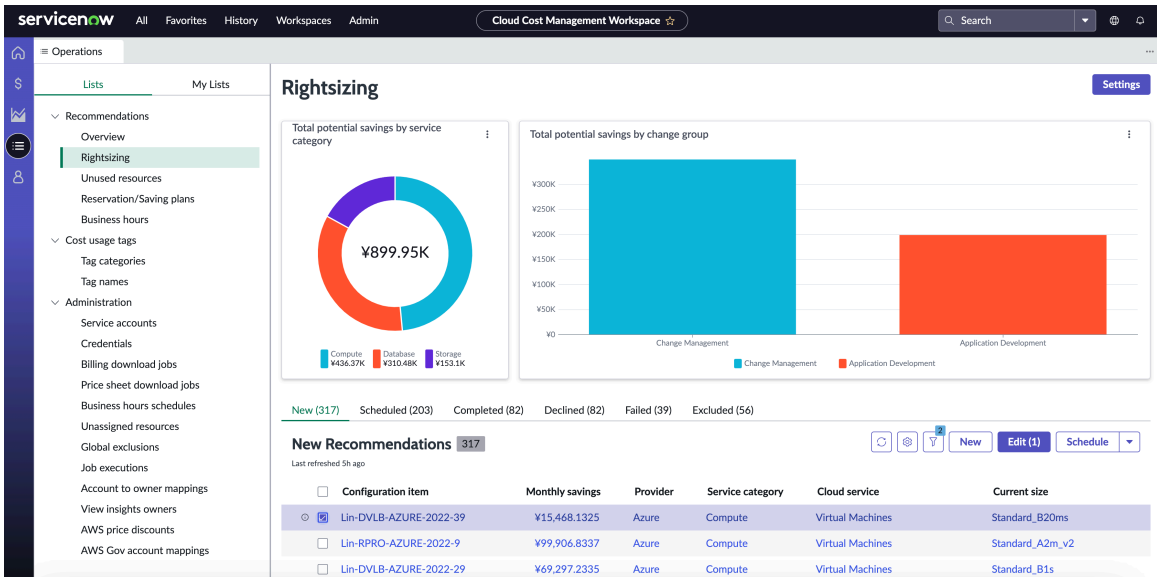


チャート	説明
サービスカテゴリ別の合計節減見込み額	すべてのサイズの適正化に関する推奨事項が、コンピューティング、データベース、ストレージなどのサービスカテゴリ別に適用された場合に予想される合計節減額。
変更グループ別の合計節減見込み額	すべてのサイズの適正化に関する推奨事項が、アプリケーション開発などの変更グループ変更管理 ごとに適用された場合に予想される合計節減額。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で使用可能なアクション
新規	サイズの適正化の候補となるリソース。請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、サイズの適正化ジョブがトリガーされ、支出と使用状況データが分析され、レポート内のアクション可能な推奨事項が更新されます。	• 除外する • スケジュール
スケジュール済み	サイズの適正化ジョブでスケジュールされているリソース。	• 再スケジュール • 削除
拒否	所有者がサイズ変更を望まなかった (変更要求が拒否された) リソース。	• 除外する • 再スケジュール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で使用可能なアクション
完了	サイズの適正化ジョブによってサイズが適正化されたリソース。	なし
失敗	サイズの適正化操作が成功しなかったリソース。試行に失敗した場合、サイズの適正化処理では、「」で AWS only – サイズの適正化の試行失敗時にロールバック説明されているロールバックが実行されます。	• 除外する • 再スケジュール
除外済み	サイズの適正化の対象と見なされないように構成されているリソース。	除外から削除

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗] タブの列

列	説明
構成アイテム	リソースの一意の識別子。
月次節減額	リソースのサイズを推奨サイズに変更した場合の節減見込み。
プロバイダー	リソースをホストするプロバイダー。
サービスカテゴリ	インスタンスのすべてのサービスカテゴリを名前順にソートして一覧表示します。
クラウドサービス	すべてのクラウドカテゴリを名前順にソートして一覧表示します。
現在のサイズ	サイズの適正化のために分析されたリソースのサイズ (現在支払っているサイズ)。
推奨サイズ	• AWS:過去 14 日間のプロビジョニングおよび使用レベルの分析に基づいた、リソースの運用上およびコスト上最適なサイズ。 • Microsoft Azure:Advisor サービスからの Azure 推奨事項。
上書きサイズ	推奨サイズの代わりに使用するサイズ。デフォルトでは、サイズの適正化時に推奨サイズが使用されます。[上書きサイズ] を指定して、別のサイズを指定します。
根拠	システムでサイズ変更が推奨される理由。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗] タブの列 (続く)

列	説明
	• AWS:過去 14 日間のプロビジョニングと使用レベルのクラウドコスト管理分析に基づきます。 • Microsoft Azure:Advisor サービスからの Azure 推奨事項。
信頼性	推奨事項の信頼性レベル。 • 信頼性を高くするには、次の条件が必要です。 ○ システムには、少なくとも 10 日分のリソースの使用状況データがあります。 ○ 現在および推奨されるファミリまたは世代は同一です。 • 信頼性が中程度の場合、次の条件が必要です。 ○ システムのリソースの使用状況データは 10 日分未満です。 ○ 現在および推奨されるファミリまたは世代は同一です。 • 低信頼度:現在のファミリー/世代と推奨されるファミリー/世代が異なります。
アカウント	リソースを含むサービスアカウント。サービスアカウントは、プロバイダーアカウント内の関連するリージョンのグループを表します。
地域	プロバイダーに適した場合、リソースをホストするサービスアカウント内のリージョン。
オーナー	リソースの所有者。
変更グループ	リソースの変更グループ。
ソース	推奨事項のソース。 • AWS / Azure /: GCPプロバイダーが生成した推奨事項 • ServiceNow:カスタム生成された推奨事項
ステータス	自動承認 (標準的な変更) 承認タイプに一致するリソースの場合、変更要求のステータス。
ジョブ	リソースが含まれているサイズの適正化ジョブの名前。
予定日	ジョブの実行がスケジュールされている日付。
変更要求	推奨事項に関連付けられている変更要求。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズの適正化操作の構成

サイズの適正化プロセスを構成し、通知をトリガーするサイズの適正化の節減額を指定します。

始める前に

各サービスアカウントで実行 ディスカバリー します。

各プロバイダーの請求処理ダウンロードジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの価格シートのダウンロードジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin または insights_owner

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > サイズの適正化.
2. [設定] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サイズの適正化設定

フィールド	値
サイズの適正化の有効化	サイズの適正化アクティビティを有効にするためのオプション。チェックボックスをオフにすると、サイズの適正化が無効になります。 デフォルト:有効 このフィールドは自動的に有効になります。
サイズ変更後、(日間) リソースを除外する (After resize, exclude resource for (days))	サイズ変更されたリソースを [除外されたリソース] リストに配置する日数。この監視期間中は、[除外されたリソース] リストからリソースを削除することはできません。 クラウドコスト管理 指定された期間、サイズ変更されたリソースを監視して、新しいサイズが適切であることを確認します。期間が終了すると、リソースはリストから削除され、サイズの適正化分析が再開されます。 **注:** Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスは使用状況の分析を開始し、この設定に関係なく、7 日後にサイズ変更を再度推奨する場合があります。7 日を超える値を指定すると、 クラウドコスト管理 指定した期間の Azure Advisor の推奨事項は報告されません。 最小値:7
節減額がしきい値を下回る場合は推奨しない	サイズを適正化するかどうかを決定するときに使用する 30 日間の最小コスト。 たとえば、100 円という設定は、 クラウドコスト管理 30 日間で 100 円未満の節約になる

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	サイズの適正化の推奨事項を無視することを意味します。
サイズの適正化によって見込まれる節減額が合計消費量の (%) を超えた場合に通知する	指定したユーザーまたはグループへのメール通知をトリガーする必要がある、サイズが正しくないリソースのクラウド支出全体に対する割合。 この値は、サイズ適正化に関するすべての推奨事項に従った場合に節約できた金額を使用して計算されます。 デフォルト:15% デフォルト値の **15** は、サイズの適正化されていないリソースのコストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
ユーザーへの通知/グループへの通知	サイズが正しくないリソースの支出が、クラウド全体の支出に対する指定された割合を超えたときにメールで通知するユーザーまたはグループ。メールの構成については、「 メールテンプレートの作成 」を参照してください。
詳細	変更要求を生成するためのデフォルト以外の変更テンプレートを指定するためのオプション。
自動承認 (標準的な変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINRSStandardChangeRequestUtil:変更グループは標準的な変更テンプレートから派生し、上書きできません。
手動承認 (通常の変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINRSNormalChangeRequestUtil:手動承認または通常の変更ポリシー。

4. [保存] を選択します。

レート割引を指定して、サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を有効にします

正確なサイズの適正化の推奨事項を生成するために、システムは過去 14 日間の使用状況データを分析し、価格シートデータテーブルから価格を取得してから、適切な割引を適用します。計算を有効にするには、各サービスアカウントのプロバイダーの割引率を指定します。

始める前に

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > **AWS** 価格割引.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

AWS 価格割引

フィールド	説明
サービスアカウント	指定された割引が適用されるサービスアカウント。
割引 (%)	選択したサービスアカウントの割引率。

4. **[Save** (保存)] を選択します。

次のタスク
各サービスアカウントのプロバイダーの割引率を表示するには、次に移動します。 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > **AWS** 価格割引.

関連情報

価格シートをダウンロードするAWSジョブのクラウドコスト管理スケジュールと管理

測定基準のしきい値の定義

サイズの適正化に関する推奨事項の生成に使用する正確なメモリ使用量データを有効にするには、まずアカウントでメモリメトリクスを定義します。次に、 で クラウドコスト管理カスタム メモリ メトリックを定義します。

始める前に
必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]

- 各サービスアカウントで実行 ディスカバリー します。
- 請求処理ダウンロードおよび価格シートのダウンロードジョブが正常に完了したことを確認します。

このタスクについて

注:
メモリしきい値 AWS は、 と Azure に対してのみ設定できます。

AWS は、メモリー・メトリック統計を自動的に収集しません。AWS管理コンソール で、データを収集して Amazon CloudWatch にプッシュするための統計を指定します。 クラウドコスト管理 は CloudWatch を介してデータにアクセスし、名前空間とメトリクス名の組み合わせが正しく定義されていることを確認します。サイズの適正化のためにリソースを推奨するために、 はカスタム クラウドコスト管理 測定基準のメモリー使用率データを分析します。データが返されない場合、分析はリソースの最大メモリを使用します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > サイズの適正化.
2. [設定] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [測定基準のしきい値] タブを選択します。
4. **[New** (新規)] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しい測定基準構成を作成

フィールド	説明
プロバイダー	サービスプロバイダーの名前。 ○ AWS ○ Azure
サービスカテゴリ	プロバイダーのサービスカテゴリ。 ○ CPU ○ データベース 注: ○ の場合 AWS、推奨事項は CPU 使用率 (コンピューティング) に対してのみ生成されます。 ○ の場合 Azure、推奨事項は CPU、メモリーおよびネットワーク使用率 (コンピュートおよびデータベース) に基づいて生成されます。
サービスアカウント	選択したプロバイダーのサービスアカウント。
集計タイプ	時間間隔で受信した測定基準統計情報。 ○ 平均 ○ 最小 ○ 最大
測定基準タイプ	測定基準統計情報のタイプ。 ○ CPU ○ メモリ ○ ネットワーク
しきい値 (%)	サイズの適正化に関する推奨事項を生成するときに使用されるしきい値。 注: [プロバイダー] が **[AWS]**、[サービスカテゴリ]が [データベース]、[評価指標タイプ] が [ネットワーク] として選択されている場合、値は整数として表示されます。

6. **[Save** (保存)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースのサイズを適正化するスケジュール設定

リソースのサイズを適正化するには、リソースをサイズの適正化ジョブに追加し、ジョブを実行するタイミングを指定します。スケジュール設定済みジョブから別のジョブにリソースを移動したり、ジョブからリソースを削除したりすることもできます。

始める前に
各サービスアカウントで実行 ディスカバリー します。

各プロバイダーの請求処理ダウンロードが完了していることを確認します。

各プロバイダーの価格シートのダウンロードジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin または insights_owner

このタスクについて
ジョブに含まれるリソースを変更すると、 は クラウドコスト管理 次の条件を確認します。

- ジョブ内のリソースが別のユーザーによって所有されている (insights_adminがinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したり、insights_ownerが別のinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したりする場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされると、アプリはリソースの所有者またはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

注:
リソースのサイズ Google Cloud を適正化する推奨事項が管理ポータルから Google Cloud 却下された場合、そのリソースは [サイズの適正化の推奨事項] に表示されません。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > サイズの適正化.
2. 適切なタブのリストで、適切なサイズにするリソースのチェックボックスをオンにします。
   - サイズの適正化の新しい候補であるリソースのジョブを作成するには サイズの適正化：新しい推奨事項 タブで、リソースを選択し、 スケジュール を選択します。
   - 以前にスケジュールされたがサイズ変更されていないリソースの新しいジョブを作成するには: [拒否された推奨事項] タブまたは [失敗した推奨事項] タブで、リソースを選択し、[再スケジュール] を選択します。
3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ジョブをスケジュール

フィールド	値
ジョブタイプ	ジョブアクションのタイプ。 [ジョブのスケジュール] を選択します。
ジョブ名	サイズの適正化ジョブの一意でわかりやすい名前。
スケジュール	サイズの適正化ジョブを実行する日時。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
承認タイプ	使用する変更要求のタイプ。 ○ 自動承認:リソースのサイズを変更する変更要求を生成して自動承認します。また、承認された変更要求が変更グループに送信されます。リソースは、ジョブのサイズを変更するリソースのリストに追加されます。 ○ 手動承認:変更グループのメンバーがリソースのサイズを変更するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切なサイズの適正化レポートにリソースを引き続きリストします。 **注:** [簡単な説明]、[説明]、[アサイン先グループ]、および [影響を受ける **CI]** フィールドが自動的に入力されます。詳細については、「Create a change request」を参照してください。
変更テンプレート	このフィールドは、[承認タイプ] が [自動承認] として選択されている場合にのみ表示されます。 使用する変更要求テンプレート (標準的な変更タイプ)。リストにテンプレートが表示されない場合は、作成する必要があります。「変更要求テンプレートの作成」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

タスクの結果

サイズの適正化ジョブが作成され、スケジュールされた時刻に実行されます。

- 変更グループのメンバーが変更を承認または却下するまで、リソースの状態は [保留中] に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、他のアクションは実行されません。
- 変更グループのメンバーが要求を承認すると、ステータスは [承認済み] に設定され、ジョブのサイズを変更するリソースのリストにリソースが追加されます。
- 変更グループのメンバーが要求を却下した場合、リソースの状態は [拒否] に設定され、リソースはレポートに表示されたままになり、アクションは実行されません。

関連情報

Change Management

標準的な変更カタログ

変更要求テンプレートの作成

すべての クラウドコスト管理 レポートからリソースを除外する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースを別のサイズの適正化ジョブに移動する

現在スケジュールされているジョブにリソースを追加したり、あるジョブから別のジョブにリソースを移動したり、ジョブからリソースを削除したりできます。

始める前に

各サービスアカウントで実行 ディスカバリー します。

各プロバイダーの請求処理ダウンロードジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの価格シートのダウンロードジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin または insights_owner

このタスクについて

ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリは次の条件を確認します。

- ジョブ内のリソースが別のユーザーによって所有されている (insights_adminがinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したり、insights_ownerが別のinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したりする場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされると、アプリはリソースの所有者またはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > サイズの適正化.
2. 適切なタブのリストで、適切なサイズにするリソースのチェックボックスをオンにします。
   - [新しい推奨事項] タブで、[スケジュール] を選択します。
   - [拒否 された推奨事項] タブまたは [失敗した 推奨事項] タブで、[再スケジュール] を選択します。
3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ジョブをスケジュール

フィールド	値
ジョブタイプ	ジョブアクションのタイプ。 [ジョブに追加] を選択します。
ジョブ名	サイズの適正化ジョブの一意でわかりやすい名前。
スケジュール	サイズの適正化ジョブを実行する日時。
承認タイプ	使用する変更要求のタイプ。 ○ 自動承認:リソースのサイズを変更する変更要求を生成して自動承認します。また、承認された変更要求が変更グループに送信されます。リソースは、ジョブのサイズを変更するリソースのリストに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	○ 手動承認:変更グループのメンバーがリソースのサイズを変更するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切なサイズの適正化レポートにリソースを引き続きリストします。
変更テンプレート	このフィールドは、[承認タイプ] が [自動承認] として選択されている場合にのみ表示されます。 使用する変更要求テンプレート (標準的な変更タイプ)。リストにテンプレートが表示されない場合は、作成する必要があります。「 変更要求テンプレートの作成 」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

サイズの適正化分析からリソースを除外する

特定のリソースがサイズの適正化の対象と見なされたり推奨されたりしないようにするには、そのリソースを [除外されたリソース] リストに追加します。コストと使用状況データの収集は続行されますが、サイズの適正化のためのリソースは考慮されません。

始める前に

各サービスアカウントで実行 ディスカバリー します。

各プロバイダーの請求処理ダウンロードジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの価格シートのダウンロードジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin または insights_owner

このタスクについて

ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリは次の条件を確認します。

- ジョブ内のリソースが別のユーザーによって所有されている (insights_adminがinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したり、insights_ownerが別のinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したりする場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされると、アプリはリソースの所有者またはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > サイズの適正化.
2. [新規]、[拒否]、または [失敗] タブで、サイズの適正化分析から除外するリソースを選択します。
3. [除外] を選択します。
   リソースが [除外されたリソース] リストに追加されます。一覧からリソースを削除するには、 [除外] タブからリソースを選択し、 [除外から削除] を選択します。

関連情報

すべての クラウドコスト管理 レポートからリソースを除外する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みおよび完了したサイズの適正化ジョブを表示または編集

予定されているジョブと完了したサイズの適正化ジョブを表示および管理します。

始める前に
必要なロール:insights_admin または insights_owner

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > サイズの適正化.
2. [スケジュール済み] または [完了] タブを選択します。
3. [ジョブ] 列で、詳細を表示するジョブを選択します。

Cloud Insights ジョブ

フィールド	説明
承認タイプ	自動承認 (標準的な変更) や手動承認 (通常の変更) など、ジョブに指定されている承認のタイプ。
ジョブステータス	ジョブ実行のステータス。
名前	ジョブスケジュールの名前。
ジョブアクション	ジョブのサイズの適正化に指定されているアクション。
標準的な変更テンプレート	使用された変更要求テンプレート (標準的な変更タイプ)。
ジョブオーナー	サイズの適正化ジョブの所有者。
アクション	リソースに対して実行されたアクション (サイズ変更など)。
予定日	ジョブが実行された、またはこれから実行される時間。 日付は編集できます。

4. [保存] を選択します。

未使用のリソースを管理する

未使用のリソースを特定し、未使用のリソースの電源をオフにまたは終了するジョブをスケジュールすることで、コストを削減します。

未使用のリソース操作は、 [設定] を選択して構成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

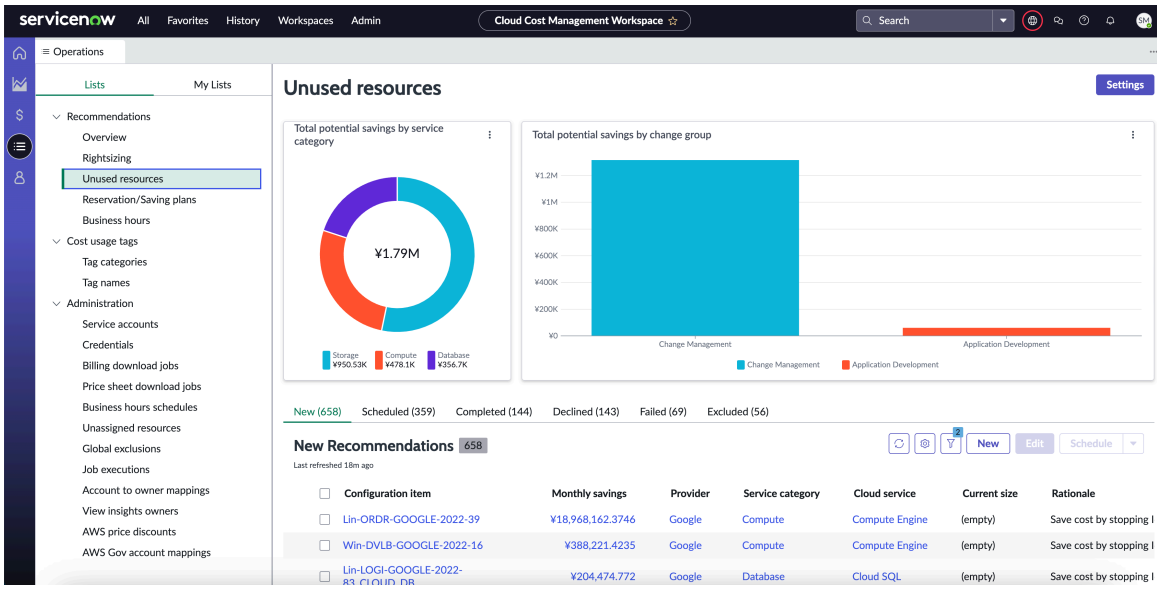


チャート	説明
サービスカテゴリ別の合計節減見込み額	すべての未使用リソースの推奨事項が計算、データベース、ストレージなどのサービスカテゴリ別に適用された場合に予想される合計節減額。
変更グループ別の合計節減見込み額	Change Management や Application Development などの変更グループごとにすべての未使用リソースの推奨事項が適用された場合に予想される合計節減額。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で使用可能なアクション
新規	未使用リソースの候補となるリソース。請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、予算予測、営業時間、予約プラン、サイズの適正化、および未使用リソースジョブがトリガーされ、リソースの消費量と使用状況データが分析され、レポート内のアクション可能な推奨事項が更新されます。 **注:** Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスは、サイズの適正化レポートおよび未使用リソースレポートに表示される推奨事項を生成します。 クラウドコスト管理は推奨事項を生成しません。	• スケジュール • 除外する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で使用可能なアクション
スケジュール済み	未使用リソースジョブでスケジュールされているリソース。	• 再スケジュール • ジョブから削除
完了	未使用リソースジョブが終了または停止したリソース。	なし
拒否	所有者がアクションの実行を望まなかった、または変更要求を拒否したリソース。	• 再スケジュール • 除外する
失敗	未使用のリソース操作が成功しなかったリソース。	• 再スケジュール • 除外する **注:** 終了または停止した仮想マシンでアクションを実行すると、推奨事項は完了しますが、 [失敗した推奨事項] タブには表示されません。
除外済み	未使用のリソースと見なされないように構成されているリソース。	除外から削除

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗] タブの列

列	説明
構成アイテム	リソースの一意の識別子。
月次節減額	リソースのサイズを推奨サイズに変更した場合の節減見込み。
プロバイダー	リソースをホストするプロバイダー。
サービスカテゴリ	インスタンスのすべてのサービスカテゴリを名前順にソートして一覧表示します。
クラウドサービス	すべてのクラウドカテゴリを名前順にソートして一覧表示します。
現在のサイズ	分析されたリソースのサイズ。
根拠	システムが終了または停止を推奨する理由。 • AWS: クラウドコスト管理 過去 14 日間のプロビジョニングと使用レベルの分析。 • Microsoft Azure:Advisor サービスからの Azure 推奨事項。
信頼性	推奨事項の信頼性レベル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗] タブの列 (続く)

列	説明
	• 信頼性を高くするには、次の条件が必要です。 ○ システムには、少なくとも 10 日分のリソースの使用状況データがあります。 ○ 現在および推奨されるファミリまたは世代は同一です。 • 信頼性が中程度の場合、次の条件が必要です。 ○ システムのリソースの使用状況データは 10 日分未満です。 ○ 現在および推奨されるファミリまたは世代は同一です。 • 低信頼度:現在のファミリー/世代と推奨されるファミリー/世代が異なります。
変更グループ	リソースの変更グループ。
アカウント	リソースを含むサービスアカウント。サービスアカウントは、プロバイダーアカウント内の関連するリージョンのグループを表します。
地域	プロバイダーに適した場合、リソースをホストするサービスアカウント内のリージョン。
オーナー	リソースの所有者。
ソース	推奨事項のソース。 • AWS / Azure /: GCPプロバイダーが生成した推奨事項 • ServiceNow:カスタム生成された推奨事項

自動翻訳

未使用リソース操作の構成

未使用のリソース機能は、使用されていないためにお金を浪費しているリソースの終了または電源オフを推奨します。未使用のリソースプロセスを構成し、通知をトリガーする見込まれる節減を指定します。

始める前に

各サービスアカウントで実行 ディスカバリー します。

各プロバイダーの請求処理ダウンロードジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの価格シートのダウンロードジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:
Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスによって、サイズの適正化レポートと未使用リソース レポートに表示される推奨事項が生成されます。 クラウドコスト管理 は推奨事項を生成しません。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. [設定] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

不使用マシン設定

フィールド	値
不使用マシンの有効化	未使用リソースアクティビティを有効にするためのオプション。 このフィールドは自動的に有効になります。
詳細	デフォルト以外の変更テンプレートを指定するオプション。
自動一時停止間隔	SQL データベースの Azure 最小アイドル時間 (分) を示します。 デフォルト:60 分
AWS/Azure/Google のスナップショットの最大経過時間 (日数)	スナップショットの経過時間。スナップショット データは、[推奨事項] タブの [根拠] 列に表示されます。 デフォルト:90 日
見込まれる未使用の節減額が合計消費量の (%) を超えた場合に通知する	未使用のリソースに対するクラウド支出全体に対する割合。指定したユーザーまたはグループへのメール通知をトリガーします。 この値は、すべての未使用リソースの推奨事項が適用された場合に節約できる金額を使用して計算されます。 デフォルト:15% デフォルト値の 15 は、未使用のリソースの運用コストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
ユーザーへの通知/グループへの通知	未使用のリソースの支出がクラウド全体の消費量の指定された割合を超えたときにメールで通知するユーザーまたはグループ。 メールの構成については、「 メールテンプレートの作成 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
自動承認 (標準的な変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINRSStandardChangeRequestUtil リソースが指定されたタイプのポリシーに一致した場合に変更要求に使用するスクリプトインクルード。変更グループは標準的な変更テンプレートから派生し、上書きすることはできません。
手動承認 (通常の変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINRSNormalChangeRequestUtil

4. [保存] を選択します。

関連情報

Change Management

未使用のリソースの電源オフまたは終了をスケジュールする

未使用のリソースを終了または電源オフするには、そのリソースを未使用のリソースジョブに追加し、終了するか電源をオフにするかを指定し、ジョブを実行するタイミングを指定します。スケジュール設定済みジョブから別のジョブにリソースを移動することもできます。

始める前に

各サービスアカウントで実行 ディスカバリー します。

各プロバイダーの請求処理ダウンロードジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの価格シートのダウンロードジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]

このタスクについて

重要:
未使用リソースジョブによってマシンの電源がオフになるか終了すると、そのマシンは営業時間の [除外されたリソース] リストに追加されます。このプロセスにより、リソースが営業時間ポリシーに一致するため、今後リソースが再度開始されることがなくなります。[営業時間 外のリソース **(Business Hours Excluded Resources**)] タブの除外理由は、リソースが未使用のリソースであることを示しています。

ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリは次の条件を確認します。

- ジョブ内のリソースが別のユーザーによって所有されている (insights_adminがinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したり、insights_ownerが別のinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したりする場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

いずれかの条件が満たされると、アプリはリソースの所有者またはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. 適切なタブのリストで、終了するリソースのチェックボックスをオンにします。
   - 新しい終了候補であるリソースの未使用のリソース ジョブを作成するには: 新しい推奨事項 タブで、リソースを選択し、 ジョブのスケジュール を選択します。
   - 以前にスケジュールされていたが、アクションが正常に完了しなかったリソースのジョブを作成するには、 [拒否 された推奨事項] タブまたは **[** 失敗した推奨事項] タブで、リソースを選択し、[再スケジュール] を選択します。

   注:
   Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスによって、サイズの適正化レポートと未使用リソース レポートに表示される推奨事項が生成されます。 クラウドコスト管理 は推奨事項を生成しません。

3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	値
ジョブ タイプ	ジョブアクションのタイプ。 [ジョブのスケジュール] を選択します。
ジョブ名	未使用リソースジョブのわかりやすい一意の名前。
アクション	選択したリソースに対して実行するアクション: ○ マシンの電源をオフにする: 電源をオフにすると、Microsoft Azure割り当て解除と呼ばれるプロセスがトリガーされ、リソースが停止 (割り当て解除) として設定されます。 ○ マシンを終了する: 終了したマシンは回復できません。 ○ マシンを終了し、ストレージを削除する: VM の終了時にルートボリュームが自動的に削除されない場合、ジョブによってルートボリュームが削除されます。他のボリュームは削除されません。 **注:** 終了したリソースまたは削除されたボリュームは復旧できません。
スケジュール	未使用リソースジョブを実行する日時。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
承認タイプ	使用する変更要求のタイプ。 不使用マシン 操作は機能とServiceNow 変更管理直接統合されています。 ○ 自動承認 (標準的な変更):リソースを終了または停止する変更要求を生成して自動承認します。また、承認された変更要求が変更グループに送信されます。リソースは、ジョブが終了または停止するリソースのリストに追加されます。 ○ 手動承認 (通常の変更):変更グループのメンバーに対してリソースを終了または停止するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切な未使用リソースレポートにリソースのリストを継続します。 ▪ 変更グループのメンバーが変更を承認または拒否するまで、リソースの状態は [保留中] に設定され、リソースはレポートに表示されたままになり、他のアクションは実行されません。 ▪ 変更グループのメンバーが要求を承認すると、ステータスは [承認済み] に設定され、ジョブが終了または停止するリソースのリストにリソースが追加されます。 ▪ 変更グループのメンバーが要求を却下した場合、リソースの状態は [拒否] に設定され、リソースはレポートに表示されたままになり、アクションは実行されません。 **注:** [簡単な説明]、[説明]、[アサイン先グループ]、および [影響を受ける **CI]** フィールドが自動的に入力されます。詳細については、「Create a change request」を参照してください。
変更テンプレート	このフィールドは、[承認タイプ] が [自動承認] として選択されている場合にのみ表示されます。 使用する変更要求テンプレート (標準的な変更タイプ)。リストにテンプレートが表示されない場合は、作成する必要があります。「 変更要求テンプレートの作成」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
未使用リソースジョブが作成され、スケジュールされた時刻に実行されます。

関連情報

- Change Management
- 標準的な変更カタログ
- 変更要求テンプレートの作成
- すべての クラウドコスト管理 レポートからリソースを除外する

リソースを別の未使用リソースジョブに移動する

現在スケジュールされているジョブにリソースを追加したり、あるジョブから別のジョブにリソースを移動したり、ジョブからリソースを削除したりできます。

始める前に
各サービスアカウントで実行 ディスカバリー します。

各プロバイダーの請求処理ダウンロードジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの価格シートのダウンロードジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて
ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリは次の条件を確認します。

- ジョブ内のリソースが別のユーザーによって所有されている (insights_adminがinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したり、insights_ownerが別のinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したりする場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされると、アプリはリソースの所有者またはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. 適切なタブのリストで、終了するリソースのチェックボックスをオンにします。
   - 新しい終了候補であるリソースの未使用のリソース ジョブを作成するには: 新しい推奨事項 タブで、リソースを選択し、 ジョブのスケジュール を選択します。
   - 以前にスケジュールされたがサイズ変更されていないリソースのジョブを作成するには: **[** 拒否された推奨事項] タブまたは [失敗した推奨事項] タブで、リソースを選択し、[再スケジュール] を選択します。

     注:
     Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスによって、サイズの適正化レポートと未使用リソース レポートに表示される推奨事項が生成されます。 クラウドコスト管理 は推奨事項を生成しません。
3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
ジョブ タイプ	ジョブアクションのタイプ。 [ジョブに追加] を選択します。
ジョブ名	未使用リソースジョブのわかりやすい一意の名前。
アクション	選択したリソースに対して実行するアクション: ○ マシンの電源をオフにする: 電源をオフにすると、Microsoft Azure割り当て解除と呼ばれるプロセスがトリガーされ、リソースが停止 (割り当て解除) として設定されます。 ○ マシンを終了する: 終了したマシンは回復できません。 ○ マシンを終了し、ストレージを削除する: VM の終了時にルートボリュームが自動的に削除されない場合、ジョブによってルートボリュームが削除されます。他のボリュームは削除されません。 **注:** 終了したリソースまたは削除されたボリュームは復旧できません。
スケジュール	未使用リソースジョブを実行する日時。
承認タイプ	使用する変更要求のタイプ。 不使用マシン 操作は機能とServiceNow 変更管理直接統合されています。 ○ 自動承認 (標準的な変更):リソースを終了または停止する変更要求を生成して自動承認します。また、承認された変更要求が変更グループに送信されます。リソースは、ジョブが終了または停止するリソースのリストに追加されます。 ○ 手動承認 (通常の変更):変更グループのメンバーがリソースを終了または停止するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切な 不使用マシン レポートにリソースをリストし続けます。 ▪ 変更グループのメンバーが変更を承認または拒否するまで、リソースの状態は [保留中] に設定され、リソースはレポートに表示されたままになり、他のアクションは実行されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	▪ 変更グループのメンバーが要求を承認すると、ステータスは [承認済み] に設定され、ジョブが終了または停止するリソースのリストにリソースが追加されます。 ▪ 変更グループのメンバーが要求を却下した場合、リソースの状態は [拒否] に設定され、リソースはレポートに表示されたままになり、アクションは実行されません。
変更テンプレート	このフィールドは、[承認タイプ] が [自動承認] として選択されている場合にのみ表示されます。 使用する変更要求テンプレート (標準的な変更タイプ)。リストにテンプレートが表示されない場合は、作成する必要があります。「 変更要求テンプレートの作成 」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

未使用リソース分析からリソースを除外する

特定のリソースが未使用リソースとして考慮されたり推奨されたりしないようにするには、そのリソースを [除外されたリソース] リストに追加します。システムは引き続きコストと使用状況のデータを収集しますが、未使用のリソースのプロセスのリソースは考慮されません。

始める前に
それぞれサービスアカウントで実行しますディスカバリー。

各プロバイダーに対して が完了し 請求処理ダウンロードジョブ ていることを確認します。

各プロバイダーに対して が完了し 価格シートのダウンロードジョブ ていることを確認します。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて
ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリは次の条件を確認します。

- ジョブ内のリソースが別のユーザーによって所有されている (insights_adminがinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したり、insights_ownerが別のinsights_ownerによって作成されたジョブを更新したりする場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされると、アプリはリソースの所有者またはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. [新規]、[拒否]、または [失敗] タブで、未使用のリソース分析から除外するリソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [除外] を選択します。
   リソースが [除外されたリソース] リストに追加されます。一覧からリソースを削除するには、 [除外] タブからリソースを選択し、 [除外から削除] を選択します。

関連情報

すべての クラウドコスト管理 レポートからリソースを除外する

スケジュール済みおよび完了した未使用リソースジョブの表示または編集

予定されている未使用のリソースジョブと完了した未使用リソースジョブを表示および管理します。

始める前に
必要なロール:insights_admin または insights_owner

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. [スケジュール済み] または [完了] タブを選択します。
3. [ジョブ] 列で、詳細を表示するジョブを選択します。

Cloud Insights ジョブ

フィールド	説明
承認タイプ	自動承認 (標準的な変更) や手動承認 (通常の変更) など、ジョブに指定されている承認のタイプ。
ジョブステータス	ジョブ実行のステータス。
名前	ジョブスケジュールの名前。
ジョブアクション	未使用のリソースジョブに指定されているアクション。
標準的な変更テンプレート	使用された変更要求テンプレート (標準的な変更タイプ)。
ジョブオーナー	未使用リソースジョブの所有者。
アクション	未使用のリソースに対して実行されたアクション (終了など)。
予定日	ジョブが実行された、またはこれから実行される時間。 日付は編集できます。

4. [保存] を選択します。

[営業時間] でリソース使用率を改善

指定された営業時間内にリソースを実行することで、リソース使用率を改善し、クラウド支出を削減します。

[営業時間の推奨事項] ページを使用して、次のことを行います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 営業時間プロセスを管理します。
- 営業時間操作の構成 [設定]を選択します。
- 営業時間プロセスを定義または更新する

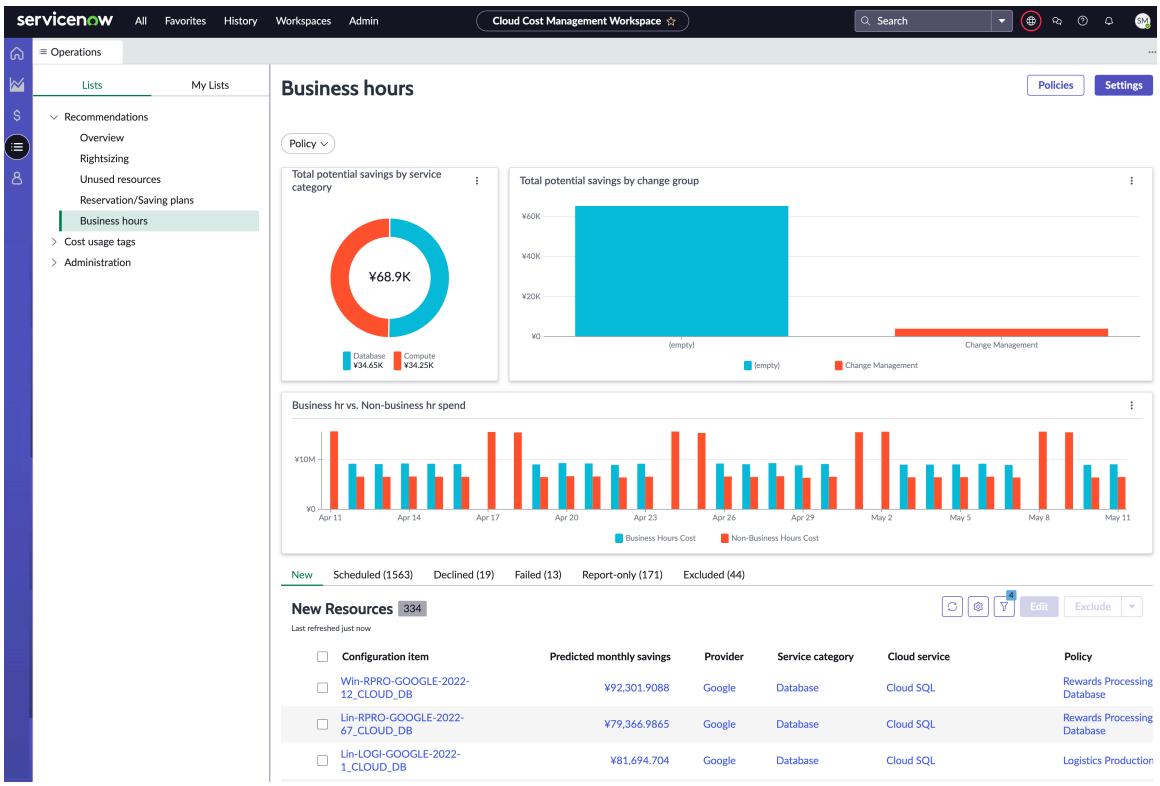


チャート	説明
サービスカテゴリ別の合計節減見込み額	すべての営業時間に関する推奨事項が、コンピューティングやデータベースなどのサービスカテゴリ別に適用された場合に予想される合計節減額。
変更グループ別の合計節減見込み額	Change Management や Application Development などの変更グループごとにすべての営業時間の推奨事項が適用された場合に予想される合計節減額。
ビジネス人事と営業時間外の支出	営業時間外に対する営業時間内のリソースへの支出。

タブ	説明	選択した推奨事項で使用可能なアクション
新規	営業時間プロセスを適用する候補となるリソース。	除外する
スケジュール済み	営業時間を適用するようにタグ付けされたリソース。	なし
拒否	オーナー (または他の承認者) が営業時間の適用を望まない	除外する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	説明	選択した推奨事項で使用可能なアクション
	(変更要求を却下した) リソース。	
失敗	営業時間の強制に失敗したリソース。	除外する
レポートのみ	レポート専用ポリシーに一致するリソース。	除外する
除外済み	営業時間内で考慮されないように構成されているリソース。 **重要:** 未使用リソースジョブがマシンの電源をオフにすると、そのマシンは営業時間の [除外されたリソース] リストに追加されます。このプロセスにより、リソースが営業時間ポリシーに一致するため、今後リソースが再度開始されることがなくなります。[営業時間 除外済み] タブの除外理由は、リソースが未使用のリソースであることを示しています。	除外から削除

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[失敗]、および [レポートのみの推奨事項] タブの列

列	説明
構成アイテム	リソースの一意の識別子。
予測される月次節減額	営業時間の推奨事項が適用された場合の予測節減額。
プロバイダー	リソースをホストするプロバイダー。
サービスカテゴリ	インスタンスのすべてのサービスカテゴリを名前順にソートして一覧表示します。
クラウドサービス	すべてのクラウドカテゴリを名前順にソートして一覧表示します。
ポリシー	リソースが一致する営業時間ポリシー。
ポリシータイプ	リソースが一致する営業時間ポリシーのタイプ。
変更要求	推奨事項に関連付けられている変更要求。
変更グループ	リソースの変更グループ。
アカウント	リソースを含むサービスアカウント。サービスアカウントは、プロバイダーアカウント内の関連するリージョンのグループを表します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[失敗]、および [レポートのみの推奨事項] タブの列 (続く)

列	説明
地域	プロバイダーに適した場合、リソースをホストするサービスアカウント内のリージョン。
オーナー	リソースの所有者。
失敗タイプ	この列は、[失敗] タブに対してのみ表示されます。 変更要求が生成されなかった理由、または指定された営業時間がリソースに適用されなかった理由。
詳細	この列は、[失敗] タブに対してのみ表示されます。 失敗タイプの詳細と、失敗を解決するために実行する必要があるアクション。

営業時間操作の構成

営業時間機能を使用するか無効にするかを選択し、ユーザーまたはグループへの通知をトリガーする営業時間外の消費量を指定できます。不必要なリソースの使用を制御することで、コストを削減できます。

始める前に

クラウドアカウント 少なくとも 1 つのサービスアカウント関連するデータセンターを持つ (親アカウント) が必要です。

必要なロール: insights_admin 所有の場合は サービスアカウント[sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner] 。

手順

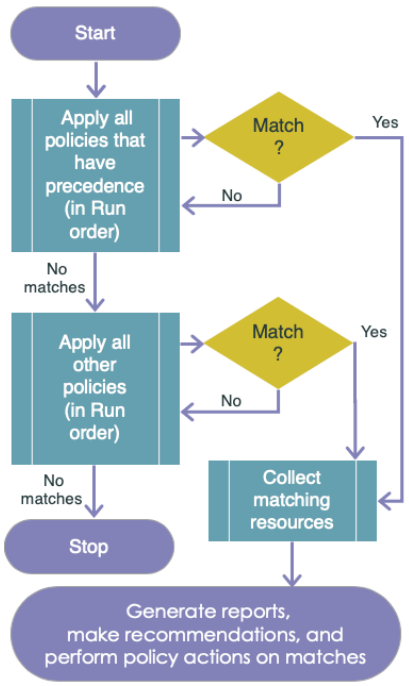
1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > 営業時間.
2. [設定] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

営業時間設定

フィールド	説明
営業時間の有効化	営業時間機能を有効にするためのオプション。データが利用可能になると、すべてのアクティブなポリシーが適用されます。 チェックボックスをオフにすると、営業時間機能が無効になります。ポリシーの [アクティブ] 設定に関係なく、ポリシーは適用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 営業時間機能を無効にすると、ポリシーによって適用されたすべてのスケジュールが非アクティブ化され、リソースは元のスケジュールに戻ります。
優先順位	ポリシーの適用時に優先する必要があるロール。次のいずれかを選択します。 ○ 管理ポリシー ○ オーナーポリシー 優先順位によって、ポリシーのバッチが適用される順序が決まります。各バッチは、ポリシーを作成したユーザーのロールに基づいています。 insights_admininsights_owner一致後、他のポリシーはリソースに適用されません。 デフォルト: 管理ポリシー (insights_admin ロールを持つユーザーによって作成された一連のポリシー。 
詳細	ポリシー (デフォルト設定) に一致するすべての CI に適用される単一の変更要求を生成するか、CI ごとに個別の変更要求を生成するオプション。 変更要求テンプレートの一部の属性には、変更できない静的/定数値があります。一部の属性 (リスクやwork_notesなど) には、スクリプト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	インクルードを使用して設定できる動的な値があります。
自動承認 (標準的な変更)	
単一の変更の要求	ポリシーに一致するすべての CI に適用される単一の変更要求をシステムで生成できるようにするためのオプション。
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINBHStandardChangeRequestUtil 変更グループは標準的な変更テンプレートから派生し、上書きすることはできません。
手動承認 (通常の変更)	
単一の変更の要求	ポリシーに一致するすべての CI に適用される単一の変更要求をシステムで生成できるようにするためのオプション。
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINBHNormalChangeRequestUtil
営業時間外の消費量が合計消費量の (%) を超えたときに通知	指定したユーザーまたはグループへのメール通知をトリガーする営業時間中のリソースに対するクラウド支出全体の割合。 デフォルト:15 この値は、すべての営業時間の推奨事項が適用された場合に節約できる金額を使用して計算されます。デフォルト値の 15 は、営業時間外の運用コストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
未アサインリソースが合計 CI 数の (%) を超えた場合に通知する	指定したユーザーまたはグループのメール通知をトリガーする、営業時間外の使用に対するクラウド支出全体の割合。 デフォルト値の **15** は、営業時間外の運用コストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
ユーザーへの通知/グループへの通知	営業時間外の支出がクラウド支出全体の指定された割合を超えたときにメールで通知するユーザーまたはグループ。 ユーザーまたはグループを指定しない場合、通知は送信されません。
変更あたりの最大 CI	このフィールドは、[手動承認 (通常の変更)] セクションで [単一の変更要求] チェックボック

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	スがオンになっている場合にのみ表示されます。 単一の変更要求に関連付けるリソースの最大数。最大数に達すると、新しい変更要求が生成されます。 デフォルト値：1000

4. [保存] を選択します。

関連情報

Change Management

営業時間スケジュールの作成

営業時間スケジュールを作成してクラウドリソースに適用し、オン/オフスケジュールを適用します。

始める前に
必要なロール:insights_admin または insights_owner

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > 営業時間スケジュール.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

スケジュール

フィールド	説明
名前	スケジュールの一意の名前です。
タイムゾーン	スケジュールのタイムゾーンです。 デフォルト値:浮動型。これは、タイムゾーンが、その時点でアイテムにアクセスしているプロセスに対して相対的であることを意味します。 スケジュールがタイムゾーンで定義されている場合、異なるタイムゾーンのユーザーには、自分のタイムゾーンが適用されたスケジュールが表示されます。
親	新しいスケジュールを制約する親スケジュール。
アプリケーション	スケジュールのアプリケーションスコープ。 デフォルト値:Cloud Insights Core
タイプ	スケジュールの目的を説明するテキストラベル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	スケジュールの説明。

4. [保存] を選択します。

営業時間ポリシーの定義または更新

営業時間ジョブは、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを特定し、それらを報告し、指定したスケジュールで開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行することで、クラウド支出を大幅に削減できます。

始める前に

必須: クラウドアカウント 少なくとも 1 つ サービスアカウント または関連するデータセンターを持つプロジェクトを持つ (親アカウント)。

A 請求処理ダウンロードジョブ を定義する必要があります。

必要なロール: insights_admin 所有の場合は サービスアカウント[sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner] 。

このタスクについて

重要:
[サービスアカウント] および [リソース基準] セクションのすべての基準が満たされている場合、リソースはポリシーに一致します。

- 営業時間ポリシーを作成または更新するには、 クラウドコスト管理 いずれかのアプリケーションスコープを選択する必要があります。
- ポリシーは必要な数だけ作成できます。
- 既存のポリシーの編集中にプロバイダーを変更することはできません。
- ポリシーを 営業時間 非アクティブ化すると、ポリシー基準を満たしたリソースが別のポリシー (実行順序が最も低い一致するポリシー) に一致するため、別のスケジュールに移動する可能性があります。この場合、新しい変更要求が生成されます。リソースがいずれかのポリシーを満たさなくなった場合、システムは指定された 電源オン・フロー 設定を使用してリソースの電源オンを試行します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 推奨事項 > 営業時間.
2. [ポリシー] を選択します。
   名前または説明以外の変更を加えてポリシーが作成または更新されると、タブに通知が表示されます。[ポリシーの適用] を選択して、更新されたポリシーを適用し、報告されたデータを再計算します。
3. 新規/編集 を選択してポリシーを作成します。
   [営業時間ポリシー] リストからポリシー名を選択して、既存のポリシーを編集できます。
4. フォームのフィールドに入力します。

[営業時間ポリシーの作成] フォーム

フィールド	値
編集する営業時間ポリシーを選択	編集する営業時間ポリシー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
アクティブ	ポリシーを適用するオプション。[アクティブ] チェック ボックスをオンにすると、請求データが更新されるたびに営業時間分析が有効になります。
ポリシー名	他のユーザーにポリシーを説明する一意の名前。
説明	ポリシーの簡潔な説明。
実行順序	ポリシーを適用する順序。各ポリシーには一意の値が必要です。システムは、低から高への実行順序でポリシーを適用し、最初に一致したポリシーに対してアクションを実行します。一致後、他のポリシーはリソースに適用されません。 **重要:** システムは、指定した優先順位で 2 つのポリシーのバッチ (管理者によって作成されたポリシーと Insights 所有者によって作成されたポリシー) を適用します。の優先順位営業時間操作の構成の設定を参照してください。 [未アサインリソース] ポリシーと [営業時間] ポリシーの実行順序の値は、互いに干渉しません。
プロバイダー	ポリシーを適用するクラウドプロバイダー。 **注:** 既存のポリシーの編集中にプロバイダーを変更することはできません。
サービスカテゴリ	ポリシーが適用されるすべてのサービスカテゴリのリスト。
サービスアカウント	サービスアカウントは次になります。ポリシーの適用先。 Google Cloud の場合のみ、このフィールドは [プロジェクト] と呼ばれます。
タグ値の条件	
タグ名	[追加] を選択して追加できるタグ名のリスト。
タグ値	新しい行のタグ値のリスト。
承認タイプ	ポリシーに一致する各リソースに対して実行するアクション。営業時間の操作は、この機能と ServiceNow 変更管理 直接統合されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	自動承認 (標準的な変更)： ○ 指定された営業時間を適用するための推奨事項を生成し、営業時間レポートにリソースを追加します。 ○ 変更グループの変更要求を生成して自動承認します。 ○ 営業時間レポートにリソースを追加します。 ○ 営業時間スケジュールをリソースに適用します。 手動承認 (通常の変更)： ○ 指定された営業時間スケジュールを適用し、営業時間レポートにリソースを追加するための推奨事項を生成します。 ○ 変更グループのメンバーの変更要求を生成します。 ○ 営業時間レポートにリソースを追加します。 ○ sn_change_write ロールを持つグループのすべてのメンバーは、変更要求を承認できます。 ○ 承認されたら、営業時間スケジュールをリソースに適用します。 レポートのみ: ○ 指定された営業時間を適用するための推奨事項を生成します。 ○ 営業時間レポートにリソースを追加します。
営業時間スケジュール	リソースの電源をオンにする曜日と時間を指定するスケジュール。 リストからスケジュールを選択するか、次の場所に移動してスケジュールを定義します。

5. [送信] を選択します。

タスクの結果

- 作成したポリシーが [営業時間ポリシー] タブに表示されます。
- ディスカバリー and 請求処理ダウンロードジョブ の実行が完了すると、システムはアクティブなポリシーを適用して一致するリソースを識別し、そのリソースに対してポリシーアクションを実行します。

次のタスク

ポリシーを作成または更新した後、 [ポリシーの適用] を選択して、作成したポリシーをリソースに適用します。このアクションでは、ポリシーを適用するのに十分な最近の請求処理データがAWSAzureGoogle存在しない場合にも通知されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- 営業時間
- Change Management
- 標準的な変更カタログ
- 変更要求テンプレートの作成
- すべての クラウドコスト管理 レポートからリソースを除外する

クラウド予算の管理

ワークスペースの予算ビューを使用して、クラウド支出を管理するためのカスタム予算計画を定義および監視します クラウドコスト管理 。

予算ポリシーの作成または更新

予算ポリシーを作成して、予算金額、原価費目、リセット期間、および予算のその他の側面を指定します。さらに、予算データを表示できるユーザーと、予算金額との差異を通知するユーザーを指定します。

始める前に

- 少なくとも 1 つのサービスアカウントと関連するデータセンターを持つクラウドアカウント (親アカウント) が必要です。
- 請求処理ダウンロードジョブを定義する必要があります。

> **注:**
> の場合 Microsoft Azure、予算計画を定義する前に、まず請求処理ダウンロード・ジョブを実行する必要があります。

必要なロール:所有するサービスアカウントの insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

予算ポリシーを作成または更新するには、 クラウドコスト管理 いずれかのアプリケーションスコープを選択する必要があります。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 予算.
2. [予算を作成] を選択します。
3. [予算ポリシーの作成] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「予算ポリシー作成フィールドのリスト」を参照して ください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果

予算ポリシーを作成または変更すると、そのポリシーが [予算] ビューの [すべての予算] ページに表示されます。予算超過、余剰予算、無効な予算など、予算の詳細を検索します。「 超過予算のみを表示 」トグル・ボタンを切り替えると、超過予算のみを表示できます。名前、所有者、またはプロバイダーで予算を検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスアカウントを**insights_owner**に割り当てる

1 つ以上のサービスアカウントと、オプションで関連する CI の所有権を、insights_ownerロールを持つユーザーに割り当てます。insights_ownerジョブとポリシーを定義し、所有しているサービスアカウントのデータを表示できます。

始める前に

サービスアカウントを割り当てる前に、現在のinsights_ownerとその所有アカウントのリストを表示できます。詳細については、「insights_ownerが所有するサービスアカウントの表示」を参照してください。

必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

insights_ownerロールは、サービスアカウントの操作について十分な知識を持つユーザーにアクティビティの クラウドコスト管理 責任を分散します。insights_owner ロールの詳細については、次のリンクを参照してください クラウドコスト管理 ロール。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの資格情報とアクセス情報を保持するインスタンス上の安全なレコードです。 ディスカバリー この情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスし、指定された各データセンターの各リソースのデータを取得します。

ヒント:
ユーザーにサービスアカウントをアサインすると、そのユーザーにはinsights_ownerロールが自動的に付与されます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > アカウントから所有者へのマッピング.
2. [現在所有者がいないアカウントを割り当てる] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サービスアカウントの所有権を設定または更新します

フィールド	説明
Insights 所有者	サービスアカウントをアサインする必要があるユーザー。
サービスアカウント	insight_ownerにアサインするサービスアカウント。
変更テンプレート	このタスクの変更要求を作成するために使用する変更テンプレート。 システムは、標準変更を使用して、自動承認されるタスクの変更insights_ownerを警告します。リストに変更要求テンプレートが表示されない場合は、次に移動します。 サービスカタログ > 標準的な変更 をクリックしてテンプレートを作成します。

4. サービスアカウントの CI の [所有者] フィールドの入力方法を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
オーナーのいない CI にのみinsights_ownersをアサイン	新しく作成された CI と、プロパティの値 *Owner* がないサービスアカウントの CI には、新しいinsights_ownerを割り当てます。 **注:** 日次スケジュール設定済みジョブは、新しく検出された各 CI の [オーナー] フィールドを、関連付けられたサービスアカウントの [オーナー] 設定に設定します。
すべての CI にinsights_ownersをアサイン	*Owner*指定されたサービスアカウントのすべての CI のプロパティに対して、新しいinsights_ownerをアサインします。 **注:** 日次スケジュール設定済みジョブは、新しく検出された各 CI の [オーナー] フィールドを、関連付けられたサービスアカウントの [オーナー] 設定に設定します。
CI は更新しないでください	指定されたサービスアカウントの CI に変更を加えません。

- 影響を受けるサービスアカウントは、insights_ownerロールで作成されたポリシーから削除されます。影響を受けるサービスアカウントは、insights_adminロールで作成されたポリシーから削除されません。
- 新しいinsights_ownerは、影響を受けるサービスアカウントの新しいポリシーを作成して管理する必要があります。
- 新しいアカウント所有者は、転送されたすべてのサービスアカウントのリソースを含むサイズの適正化ジョブと不使用マシンジョブの所有権を取得します。

5. オプション: 配送先住所や特別な指示などの詳細を要求に追加します。
6. [送信] を選択します。

insights_owner権限の更新または再割り当て

1 つ以上のサービスアカウントと、オプションで関連する CI の所有権を、insights_ownerロールを持つユーザーに割り当てます。insights_ownerジョブとポリシーを定義し、所有しているサービスアカウントのデータを表示できます。

始める前に
サービスアカウントを割り当てる前に、現在のinsights_ownerとその所有アカウントのリストを表示できます。詳細については、「insights_ownerが所有するサービスアカウントの表示」を参照してください。

必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > アカウントから所有者へのマッピング.
2. **[1** つ以上のアカウントの所有者を変更する] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サービスアカウントの所有権を設定または更新します

フィールド	説明
元の Insights 所有者	サービスアカウントの所有権の移転元となる所有者。
新しい Insights 所有者	サービスアカウントの所有権の移転先のユーザー。
サービスアカウント	insights_ownerにアサインするサービスアカウント。
変更テンプレート	このタスクの変更要求を作成するために使用する変更テンプレート。 システムは、標準変更を使用して、自動承認されるタスクの変更insights_ownerを警告します。リストに変更要求テンプレートが表示されない場合は、次に移動します。 サービスカタログ > 標準的な変更 をクリックしてテンプレートを作成します。

4. サービスアカウントの CI の [所有者] フィールドの入力方法を指定します。

オプション	説明
オーナーのいない CI にのみinsights_ownersをアサイン	新しく作成された CI と、プロパティの値 *Owner* がないサービスアカウントの CI には、新しいinsights_ownerを割り当てます。 **注:** 日次スケジュール設定済みジョブは、新しく検出された各 CI の [オーナー] フィールドを、関連付けられたサービスアカウントの [オーナー] 設定に設定します。
すべての CI にinsights_ownersをアサイン	*Owner*指定されたサービスアカウントのすべての CI のプロパティに対して、新しいinsights_ownerをアサインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 日次スケジュール設定済みジョブは、新しく検出された各 CI の [オーナー] フィールドを、関連付けられたサービスアカウントの [オーナー] 設定に設定します。
CI は更新しないでください	指定されたサービスアカウントの CI に変更を加えません。

- 影響を受けるサービスアカウントは、insights_ownerロールで作成されたポリシーから削除されます。影響を受けるサービスアカウントは、insights_adminロールで作成されたポリシーから削除されません。
- 新しいinsights_ownerは、影響を受けるサービスアカウントの新しいポリシーを作成して管理する必要があります。
- 新しいアカウント所有者は、転送されたすべてのサービスアカウントのリソースを含むサイズの適正化ジョブと不使用マシンジョブの所有権を取得します。

5. オプション: 新しい所有者にポリシーを転送するかどうかを指定します。
この設定は、選択したサービスアカウントが現在別のinsights_ownerによって所有されている場合に適用されます。ポリシーを転送すると、新しいinsights_owner指定されたサービスアカウントに関連付けられているポリシーを所有 (表示、更新、または削除) できるようになります。

重要:
ロール insights_admin を持つユーザーが所有するポリシーは変更されません。

オプション	説明
はい	次のプロセスが実行されます。 **a.** インスタンスは、 が所有する Insights 所有者すべての影響を受けるポリシーのクローンを作成します。 **b.** インスタンスは、影響を受ける各ポリシーから適切な サービスアカウント ものを削除し、アカウントを新しいクローンポリシーに移動します。各クローンポリシーには、影響を受ける サービスアカウント. ▪ 元の保険契約に残っている場合は サービスアカウント 、元の所有者が元の保険契約の所有権を保持します。 ▪ 影響を受けるすべてのアカウントが削除された後に元のポリシーに [なし] サービスアカウント がない場合、クローンは使用されません。代わりに、新しい insights_owner ポリシーが元のポリシーの所有者になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	c. インスタンスは、新しいポリシーの所有権を新しい insights_owner. **d.** インスタンスは、元の所有者と新しい所有者の両方にメール通知を送信します。
いいえ	○ インスタンスは、 が所有するInsights 所有者すべてのポリシーから影響を受けるサービスアカウントものを削除します。ポリシーに [いいえ サービスアカウント] が残っている場合、ポリシーは [無効] ステータスに設定されます。 ○ 新しい insights_owner ものは、影響を受ける サービスアカウント人のための新しいポリシーを作成し、管理する必要があります。

6. [送信] を選択します。

insights_ownerが所有するサービスアカウントの表示

insights_ownerロールを持つユーザーと、各所有者が所有するサービスアカウントのリストを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_clin_core.insights_admin または sn_clin_core.insights_owner

このタスクについて
サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの資格情報とアクセス情報を保持するインスタンス上の安全なレコードです。 ディスカバリー この情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスし、指定された各データセンターの各リソースのデータを取得します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > **Insights** 所有者を表示.

2. ユーザーの名前を選択すると、所有しているサービスアカウントの詳細が表示されます。

すべての クラウドコスト管理 レポートからリソースを除外する

特定のリソースのコスト データがレポートに表示されないようにするには、そのリソースを [除外されたリソース] リストに追加して除外します。

始める前に
少なくとも 1 つのサービスアカウントと関連するデータセンターを持つクラウドアカウント (親アカウント) が必要です。

必要なロール:所有するサービスアカウントの insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

- レポートからリソースを除外すると、そのリソースはレポートに表示されません。この設定は、リソースのデータの分析には影響しません。
- [除外されたリソース] リストからいつでもリソースを削除できます。
- insights_ownerは、所有しているサービスアカウントでのみ、リソースを除外し、[除外されたリソース] リストからリソースを削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 本番リソースは、除外できるリソースの例です。生産リソースは常にアクティブである必要があるため、たとえば、営業時間レポートから生産リソースを除外することができます。
- 単一のレポートタイプまたはすべてのレポートからリソースを除外できます。リソースを選択し、[除外] を選択して、現在のレポートからリソースを除外できます。除外したリソースは、レポートの [除外されたリソース] リストに追加されます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理 > グローバルな除外.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

除外されたリソース

フィールド	値
リソース	除外するリソース。仮想マシンのリソースのみがリストに表示されます。
説明	リソースを除外する理由。

4. [保存] を選択します。

タスクの結果
リソースはすべてのレポートから除外されます。レコードを送信したら、それを開いてリソースを除外するレポートを更新できます。

[除外されたリソース] リストからのリソースの削除

[除外されたリソース] リストからリソースを削除できます。

始める前に
必要なロール:所有するサービスアカウントの insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて
[除外されたリソース] リストからリソースを削除すると、そのリソースは適切なレポートに表示されます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理 > 運用 > 管理 > グローバルな除外.
2. 削除するリソースを選択します。
3. [選択した行のアクション] リストで、 [削除] を選択します。

タグカテゴリの作成と更新

タグカテゴリを作成して、単一のビジネスエンティティに対するコストを表す複数のタグ名を有効にします。たとえば、複数のユーザーが、アプリケーションを示すために "App"、"AppService"、および "appl" というタグ名を個別に作成した場合があります。タグ カテゴリが "Application" の場合、App、AppService、または appl とタグ付けされた項目のコストは、アプリケーションに対するコストとして正しく割り当てられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

この手順では、ユーザーインターフェイスから実行するプロセスについて説明します。または、処理を高速化するために、影響を受けるテーブルを直接編集することもできます。

- タグカテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_category]
- タグ名-カテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_name_category]

注:
請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に対して行った最近の更新では、大量のコストレポートが反映されない場合があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、[カテゴリ を再適用 するには] に移動します。 クラウドコスト管理 ワークスペース > 運用 > コスト使用タグ > タグカテゴリ.

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > コスト使用タグ > タグカテゴリ.
2. [タグ カテゴリ] リストで、[新規] を選択します。
   [タグカテゴリ] ページには、次のデフォルトのカテゴリが一覧表示されます。
   - アプリケーションの機能
   - アプリケーションオーナー
   - アプリケーションチーム
   - ビジネスアプリケーション
   - ビジネスサービス
   - 事業部門
   - コストセンター
   - 部門
   - 部門
   - 環境

   注:
   このステップでは、単一のタグ名をカテゴリに追加して、最初のカテゴリレコードを作成します。後でカテゴリに任意の数のタグ名を追加できます。
3. フォームのフィールドに入力します。

タグカテゴリフォーム

フィールド	説明
名前	カテゴリの一意でわかりやすい 名前 。
アクティブ	支出レポートの [タグカテゴリ] フィルターリストにカテゴリを追加するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループ化を有効にする	支出レポートの [グループ] 選択肢のリストにこのカテゴリのオプションを追加する*category:value*オプション。 **注:** [グループ] リストに表示するには、カテゴリがアクティブである必要があります。
タグ名	カテゴリに追加できるタグ名のリスト。 **a.** ルックアップアイコン ルック を選択して、最新の 請求処理ダウンロードジョブに付属するタグ名のリストを開きます。すべてのタグ名が [タグ名] リストに表示されます。 **b.** ドロップダウンリストからタグ名を選択します。

4. [保存] を選択してカテゴリを作成します。
   新しいカテゴリが [タグカテゴリ] リストに表示されます。
5. [タグカテゴリ] リストで、追加したカテゴリを選択します。
   [タグカテゴリ] フォームが再度開き、追加したタグ名が [タグ名] リストに表示されます。
6. オプション: [タグ名] リストで、ルックアップアイコン ルック を選択して、複数のタグ名を追加します。

関連情報

タグとタグカテゴリ

共有コスト割り当てポリシーの作成または更新

さまざまな割り当てタイプで共有コスト割り当てポリシーを作成して、共有クラウドリソースのコストをさまざまな事業部門間で分割します。

始める前に

- 少なくとも 1 つのサービスアカウントと関連するデータセンターを持つクラウドアカウント (親アカウント) が必要です。
- 請求処理ダウンロードジョブを作成し、請求処理データをプルする必要があります。
- の場合 Kubernetes、請求処理ダウンロードジョブを実行する前に、各 Kubernetes クラスターのプロバイダーコンソールでコスト割り当てタグを有効にする必要があります。

必要なロール:所有するサービスアカウントの insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

- 共有コスト割り当てポリシーを作成または更新するには、 クラウドコスト管理 いずれかのアプリケーションスコープを選択する必要があります。
- ポリシーは必要な数だけ作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [サービスカテゴリ] として [サービス] が選択されている場合 Kubernetes 、ポリシーの編集中に [サービスカテゴリ]、[リソースタイプ]、[Kubernetes クラスター] フィールドを編集することはできません。
- 共有コスト割り当てポリシーを非アクティブ化すると、割り当ては最新のポリシー一致で更新されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > クラウドコスト管理ワークスペース > 運用 > 管理.
2. [共有コスト配賦ポリシー] を選択します。
3. [新規]/[編集] を選択します。
4. 共有コスト割り当てポリシーの作成フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「共有コスト割り当てポリシーフィールドのリスト」を参照してください。
5. [送信] を選択します。

タスクの結果
共有コスト割り当てポリシーを作成または変更すると、そのポリシーが [共有コスト割り当てポリシー] ページに表示されます。名前、割り当てタイプ、事業部門、クラウドサービスなどのポリシーの詳細を確認します。

検出および請求処理ダウンロードジョブの実行が完了すると、システムはアクティブなポリシーを適用して一致するリソースを識別し、そのリソースに対してポリシーアクションを実行します。

次のタスク
共有コスト割り当てポリシーを作成または更新した後、 [ポリシーの再適用] を選択して、作成したポリシーをリソースに適用します。

クラウドコスト管理 参照

参照トピックは、クラウドコスト管理 を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

ドメイン分離と クラウドコスト管理

クラウドコスト管理 ではドメイン分離はサポートされていません。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

自動翻訳

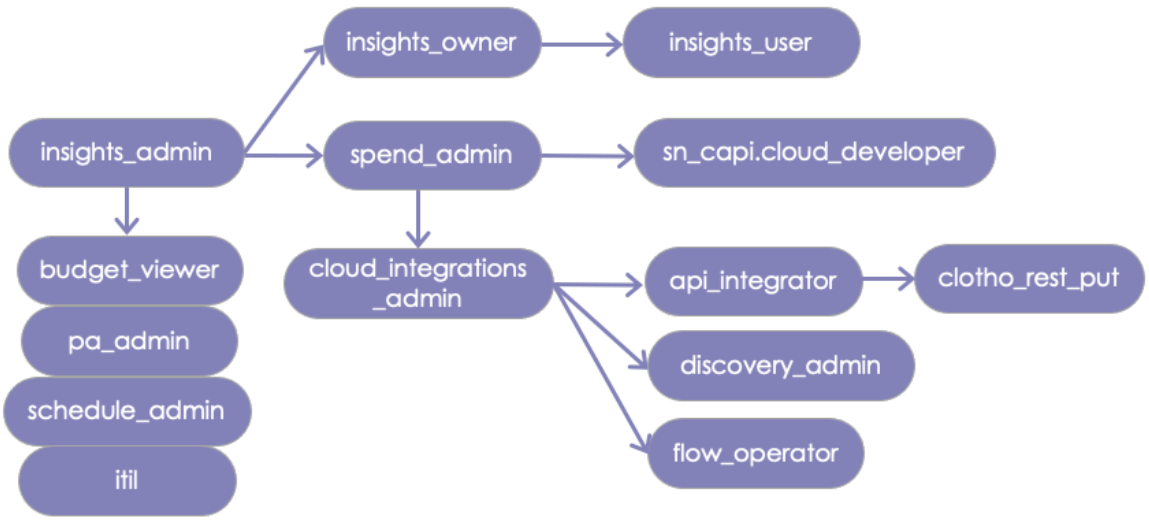
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドコスト管理 ロール

ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドコスト管理 ロールをアサインします。

重要:
この情報は、とクラウドコスト管理クラウドインサイト Billingアプリの両方に適用されます。すべての参照は クラウドコスト管理 にも適用されます クラウドインサイト Billing。

のロール関係 クラウドコスト管理



プライマリロール

ロールタイトル [名前]	権限	含んでいるロール
Cloud Insights 管理者 [sn_clin_core.insights_admin]	ロールは Core プラグインにあります クラウドコスト管理 。通常、このロールは財務的に責任を負うユーザーにアサインします。 • 1 つ以上のサービスアカウントと、オプションで関連する CI の所有権を、insights_owner ロールを持つユーザーに割り当てます。 • [営業時間] と [未アサインリソース] ポリシーを定義します。 • 予算計画を定義して表示します。 • 支出最適化レポートを表示します。	• insights_owner • spend_admin • cloud_integrations_admin • budget_viewer • [pa_admin] • [schedule_admin] • [itil]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	権限	含んでいるロール
	• レポート拡張機能を追加します。 • 推奨事項を実行するアクション クラウドコスト管理 を実行します。	
Cloud Insights 所有者 [sn_clin_core.insights_owner]	ロールは Core プラグインにあります クラウドコスト管理 。このロールはアプリケーションのみ クラウドコスト管理 にまたがります。 • ジョブとポリシーを定義します。 • 所有しているサービスアカウントのデータを表示します。 詳細については、「サービスアカウントをinsights_ownerに割り当てる」を参照してください。	insights_user
Cloud Insights ユーザー [sn_clin_core.insights_user]	ロールは Core プラグインにあります クラウドコスト管理 。このロールはアプリケーションのみ クラウドコスト管理 にまたがります。 クラウドコスト管理ワークスペースホームページを表示します。	— なし —

自動翻訳

セカンダリロール

このセクションのロールは、ロールに含まれています insights_admin 。これらのロールにより、プラットフォーム (Performance Analytics、MetricBase/Clotho) との統合が可能になり、フローを実行できます クラウドコスト管理 。

ロールタイトル [名前]	権限	含んでいるロール
クラウド支出管理者 [sn_cld_spend_core.spend_admin]	ロールは Cloud Spend Reports Core プラグインにあります。 クラウド請求ダッシュボードを編集します。	• cloud_integrations_admin • [sn_capi.cloud_developer]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	権限	含んでいるロール
クラウド統合管理者 [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]	ロールは Cloud Integrations Core プラグインにあります。 と を構成し 請求処理ダウンロードジョブ ます 価格シートのダウンロードジョブ。	• [api_integrator] • [discovery_admin] • [flow_operator]
API インテグレーター [sn_cld_intg_core.api_integrator]	ロールは Cloud Integrations Core プラグインにあります。 MID サーバークラウド統合、クラウド統合AWSアプリケーション、およびクラウド統合 Azure アプリケーションに関連する REST エンドポイントにアクセスするために使用されます。	[clotho_rest_put]
クラウド予算ビューアー [sn_clin_core.budget_viewer]	ロールは Core プラグインにあります クラウドコスト管理 。このロールはアプリケーションのみ クラウドコスト管理 にまたがります。 レポートとポリシーを表示します 予算予測 。	— なし —
PA 管理者 [pa_admin]	「Performance Analytics のロール」を参照してください。	— なし —
Clotho 配置 [clotho_rest_put]	請求処理データをインスタンスに送信し、MetricBase /	— なし —

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	権限	含んでいるロール
	Clotho にデータを格納するために使用する MID サーバー ロール。	

関連情報

- グループへのロールのアサイン
- ユーザーへのロールのアサイン

クラウドコスト管理 とともにインストールされるコンポーネント

の クラウドコスト管理アクティブ化とともに、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、ジョブスケジュールなど) がインストールされます。

インストール済みストアアプリケーション

ストアアプリケーション	説明
Cloud Insights Billing	クラウドインサイト Billingは、 AzureからGoogle請求処理データAWSをダウンロードし、必要に応じて、 Now Platformでのクラウドリソースのプロビジョニングとガバナンスをサポートします。

インストールされたジョブスケジュール

ジョブスケジュール	説明
価格シートテーブルクリーナー	価格シートレコードをクリーンアップします AWS 。
リソースグループテーブルクリーナー	不要になったリソースグループレコードを Azure クリーンアップします。
CCM クリーンアップの非アクティブな集計消費量レコード	非アクティブな集計支出レコードをクリーンアップします。
Cloud Insights の履歴データ収集	支出データを収集します GCP 。
Cloud Insights による日次データ収集の節約	支出の潜在的な節減と実現された節減を収集します。
Cloud Insights の支出削減データ収集	クラウド支出の見込み節減率を収集します。
タスクの実行	請求処理ダウンロードに関連付けられた AWS タスクを実行します。
Flow Launcher と Hierarchical Flow Launcher Keep Alive	古いフロージョブをキャンセルします。
GCP 価格シートテーブルクリーナー	価格シートテーブルをクリーンアップしますGCP
タグカテゴリベースの推奨事項	タグカテゴリベースの推奨事項を生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
CI 配置拡張の進行状況の計算 [sn_cld_intg_aws_ci_placement_extension_progress_calculation]	に対する AWS構成アイテムの配置の進捗状況。拡張によって AWS処理されるレコードの数が含まれます。
CI 配置統計 [sn_cld_intg_aws_ci_placement_stats]	の構成 AWSアイテムの配置中に作成されたブックマークのステータス。
AWS CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_aws_ci_placement_type]	のためにAWS展開されるクラウドコスト管理すべてのタイプの構成アイテム。
AWS のコストおよび使用状況の請求データ [sn_cld_intg_aws_cost_usage]	の AWSコストおよび請求処理データ。
コスト使用ブックマーク [sn_cld_intg_aws_cost_usage_bookmarks]	取り込まれた クラウドコスト管理 プレースメントレコードに対して作成されたタイムスタンプブックマーク。
CloudWatch メトリクスの関連付け [sn_cld_intg_aws_cw_metric_association]	ユーザーによって作成されたカスタム測定基準。
AWS CloudWatch 測定基準の定義 [sn_cld_intg_aws_cw_metric_definition]	さまざまな AWS クラウド監視測定基準の定義。
アカウントに対する CloudWatch メトリクス定義 [sn_cld_intg_aws_cw_metric_definition_account_m2m]	測定基準からサービスアカウントへのマッピング情報。
EC2 バースト可能インスタンスの AWS ベースラインパフォーマンス [sn_cld_intg_aws_ec2_burstable_baseline_perf]	AWS EC2 バースト可能インスタンスのベースラインパフォーマンスのパーセンテージ。
AWS Gov アカウントマッピング [sn_cld_intg_aws_gov_account_mapping]	AWS Gov アカウントとリンクされたアカウントの詳細。
AWS インスタンスの詳細 [sn_cld_intg_aws_instance_detail]	存在するさまざまな AWS インスタンスの詳細。
AWS インスタンス価格の詳細 [sn_cld_intg_aws_instance_price_detail]	AWS インスタンスの料金とレートの詳細。
AWS オファー期間 [sn_cld_intg_aws_offer_term]	AWS 製品の構成に基づいて期間の詳細を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
AWS 価格割引 [sn_cld_intg_aws_price_discount]	AWS サービスアカウントの価格割引。
AWS 価格シート情報 [sn_cld_intg_aws_price_sheet_info]	AWS の価格シートの詳細。
AWS 製品詳細ベース [sn_cld_intg_aws_product_details]	AWS のすべての製品の詳細または仕様。
AWS 製品詳細 EC2 [sn_cld_intg_aws_product_details_ec2]	AWS の EC2 製品の詳細または仕様。
AWS 製品詳細 RDS [sn_cld_intg_aws_product_details_rds]	AWS の RDS 製品の詳細または仕様。
AWS リソースの時間ごとの最終ダウンロード使用率 [sn_cld_intg_aws_resource_hourly_usage_last_downloaded]	AWS リソースの 1 時間ごとの使用量ダウンロードステータス。
AWS リソースレート [sn_cld_intg_aws_resource_rate]	AWS 製品 SKU のリソースレート。
AWS 請求処理ダウンロードジョブ [sn_cld_intg_aws_schedule]	AWS の請求処理ダウンロードジョブとそのステータス。
AWS Storage 価格の詳細 [sn_cld_intg_aws_storage_price_detail]	AWS のストレージ価格シート情報。
Azure CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_azure_ci_placement_type]	Azure 用に展開されるクラウドコスト管理 すべてのタイプの構成アイテムを定義します。
Azure のコストと使用状況の請求データ [sn_cld_intg_azure_cost_usage]	Azure のコストと課金データ。
Azure Database 価格シート [sn_cld_intg_azure_db_price_sheet]	Azure データベースの価格シートの詳細。
Azure Database の小売価格の詳細 [sn_cld_intg_azure_db_retail_price]	Azure データベースの小売価格情報。
Azure 登録からサービス アカウントへのマッピング [sn_cld_intg_azure_ea_sa_mapping]	登録アカウントの情報を、 が クラウドコスト管理使用するサービスアカウントにマッピングします。
Azure インスタンスの詳細 [sn_cld_intg_azure_instance_detail]	存在するさまざまな Azure インスタンスの詳細。
Azure インスタンスの価格の詳細 [sn_cld_intg_azure_instance_price_detail]	Azure インスタンスの価格とレートの詳細。
Azure インスタンスシリーズからファミリへのマッピング [sn_cld_intg_azure_instance_series_family_mapping]	Azure のインスタンスファミリからインスタンスシリーズへのマッピング情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
Azure インスタンスサイズの詳細 [sn_cld_intg_azure_instance_size_detail]	さまざまな Azure インスタンスのサイズとその機能に関する詳細。
Azure 正規化リージョン [sn_cld_intg_azure_normalized_region]	リソースの場所から一般的な正規化された場所へのマッピング情報。
Azure 価格シートバージョン [sn_cld_intg_azure_price_sheet_version]	Azure の価格シートのステータスとバージョン。
Azure 製品詳細 [sn_cld_intg_azure_product_details]	Azure のすべての製品の詳細または仕様。
Azure 製品詳細 VM [sn_cld_intg_azure_product_details_vm]	Azure の仮想マシン製品の詳細または仕様。
Azure 製品オファリング VM [sn_cld_intg_azure_product_offering_vm]	Azure Virtual Machine サービスのオファー期間の詳細。
Azure 製品詳細インスタンスタイプマップ [sn_cld_intg_azure_prod_dtls_inst_type_map]	Azure のさまざまなインスタンスタイプの製品詳細。
Azure Advisor サブスクリプション キュー [sn_cld_intg_azure_recommendation_subscription_queue]	Azure のプロバイダーベースの推奨事項について、生成、生成ステータスの取得、および推奨事項の一覧表示フローランチャージョブのステータスを保存します。
Azure リソースの時間ごとの最終ダウンロード使用率 [sn_cld_intg_azure_resource_hourly_usage_last_downloaded]	Azure リソースの 1 時間ごとの使用状況ダウンロードステータス。
Azure リソースレート [sn_cld_intg_azure_resource_rate]	Azure 測定 ID のリソースレート。
Azure 請求処理ダウンロードジョブ [sn_cld_intg_azure_schedule]	Azure の請求処理ダウンロードジョブとそのステータス。
Azure ソフトウェアコストの詳細 [n_cld_intg_azure_software_cost_detail]	Azure ソフトウェアの時間ごとのコストの詳細。
Azure Storage の価格の詳細 [sn_cld_intg_azure_storage_price_detail]	Azure のストレージ価格シート情報。
Azure Storage サイズの詳細 [sn_cld_intg_azure_storage_size_detail]	さまざまな Azure ストレージのサイズとその機能。
クラウドアクション実行 [sn_cld_intg_core_action_exec]	さまざまなクラウドアクションの実行の詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
クラウドエイリアス [sn_cld_intg_core_alias]	定義済みのエイリアスのリスト。
クラウドエイリアスマッピング [sn_cld_intg_core_alias_mapping]	スクリプトまたはアクションフローへのエイリアスマッピング。
クラウド API 要求 [sn_cld_intg_core_api_request]	プロバイダーに送信される API 要求とパラメーター。
クラウド API 要求エラー [sn_cld_intg_core_api_request_error]	失敗した要求アイテムのエラー応答。
クラウド API 要求アイテム [sn_cld_intg_core_api_request_item]	プロバイダーに送信された API 要求アイテムの詳細。
クラウド API 応答 [sn_cld_intg_core_api_response]	プロバイダーに対して行われた API 呼び出しに対する API 応答。
クラウド可用性ゾーン [sn_cld_intg_core_availability_zone]	さまざまなプロバイダーの可用性ゾーン。
請求レポート情報 [sn_cld_intg_core_billing_report_info]	請求処理ダウンロードジョブの請求サマリーレポート。
請求インポートの進捗状況 [sn_cld_intg_core_bill_imp_progress]	請求処理ダウンロードジョブでさまざまな拡張機能の情報をインポートします。
CI 配置統計 [sn_cld_intg_core_ci_placement_stats]	構成アイテムの配置中に作成されたブックマークのステータス。
CI 配置ステータス [sn_cld_intg_core_ci_placement_status]	実行された拡張機能の構成アイテム配置ステータス。
CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_core_ci_placement_type]	当社の製品によってすべてのプロバイダーに展開されたすべてのタイプの構成アイテム。
コストタグ [sn_cld_intg_core_cost_tags]	タグカテゴリのコストハッシュへのマッピング情報。
実行 [sn_cld_intg_core_execution]	実行中のすべてのタイプの IH フローの実行の詳細。
実行バッチ [sn_cld_intg_core_execution_batch]	フローを実行するための実行バッチ。
バッチマップに対する実行 [sn_cld_intg_core_execution_batch_map]	実行ジョブの情報をそれぞれのバッチにマッピングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
実行ログ [sn_cld_intg_core_execution_log]	すべての実行のログメッセージ。
実行測定基準 [sn_cld_intg_core_execution_metric]	実行の測定基準。
実行モニター [sn_cld_intg_core_execution_monitor]	進行中の実行のライブステータス。
拡張 [sn_cld_intg_core_ext]	利用可能なすべての拡張機能とその詳細。
拡張タイプ [sn_cld_intg_core_ext_type]	定義されている拡張のタイプ。
フローランチャーの実行 [sn_cld_intg_core_flow_launcher_execution]	フローランチャージョブの実行の詳細。
フローランチャージョブ [sn_cld_intg_core_flow_launcher_job]	フローランチャージョブとそのステータスのリスト。
フローランチャージョブ構成 [sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config]	フローランチャージョブの構成。
フローランチャー作業負荷 [sn_cld_intg_core_flow_launcher_workload]	フローランチャー実行の作業負荷情報。
フローマップ [sn_cld_intg_core_flow_map]	入力パラメーターのフロー負荷へのマッピング情報。
フローリフレクション [sn_cld_intg_core_flow_reflection]	特定のコンテキストに対する Flow Designer のフローリフレクションリンク。
階層フローランチャーの実行 [sn_cld_intg_core_hierarchical_flow_launcher_execution]	階層フローランチャージョブの実行の詳細。
インポートされた日付範囲 [sn_cld_intg_core_imported_date_range]	請求処理ダウンロードの実行中にインポートされたデータの日付範囲。
インスタンスファミリ [sn_cld_intg_core_instance_family]	さまざまなプロバイダーで利用可能なインスタンスファミリー。
クラウドインスタンスタイプ [sn_cld_intg_core_instance_type]	さまざまなプロバイダーのインスタンスタイプと詳細。
クラウドインスタンスタイプファミリ [sn_cld_intg_core_instance_type_family]	さまざまなプロバイダーで利用可能なインスタンスファミリータイプ。
請求品目タイプ [sn_cld_intg_core_line_item_type]	さまざまなプロバイダーの請求料金のタイプ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
関連フロー実行 [sn_cld_intg_core_m2m_ext_exec_flow_exec]	フロー実行への拡張実行のマッピング情報。
m2m プロファイル実行測定基準プロファイルテーブル測定基準 [sn_cld_intg_core_m2m_profile_exec_metrics_profile_table_metrics]	プロファイル実行の情報をプロファイルテーブル測定基準にマッピングします。
パイプラインステージ拡張タイプマップ [sn_cld_intg_core_map_pp_stage_ext_type]	拡張タイプの情報をそれぞれのステージにマッピングします。
クラウドオペレーティングシステム [sn_cld_intg_core_os_type]	さまざまなプロバイダーのオペレーティングシステムの詳細。
パイプライン実行 [sn_cld_intg_core_pp_exec]	請求処理ダウンロードのすべてのパイプライン実行が含まれます。
実行ステージ [sn_cld_intg_core_pp_exec_stage]	各請求処理ダウンロードステージのすべてのパイプライン実行が含まれます。
拡張実行 [sn_cld_intg_core_pp_exec_stage_ext_log]	パイプライン実行ログ。
実行ステージログ [sn_cld_intg_core_pp_exec_stage_log]	各ステージのパイプライン実行ログ。
インポートステージ [sn_cld_intg_core_pp_import_stage]	請求処理ダウンロードのインポートステータスの実行の詳細。
クラウド価格シートバージョン [sn_cld_intg_core_price_sheet_version]	プロバイダーの価格シートのステータスとバージョン。
sn_cld_intg_azure_storage_ps	Azure Storage 価格シートの詳細を保存します。
クラウド製品リージョン [sn_cld_intg_core_product_region]	さまざまなプロバイダーの製品リージョンのリスト。
プロファイル実行測定基準 [sn_cld_intg_core_profile_execution_metrics]	パフォーマンスプロファイリングの実行測定基準。
プロファイルフローランチャーのジョブ測定基準 [sn_cld_intg_core_profile_flow_launcher_job_metrics]	パフォーマンスプロファイリング用のフローランチャーの実行測定基準。
プロファイルフロー測定基準 [sn_cld_intg_core_profile_flow_metrics]	パフォーマンスプロファイリングのフロー測定基準。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
プロファイルテーブル測定基準 [sn_cld_intg_core_profile_table_metrics]	パフォーマンスプロファイリングのテーブル測定基準。
クラウドプロバイダーサービス [sn_cld_intg_core_provider_service]	さまざまなクラウドプロバイダーが提供するサービスとそのエンドポイントのリスト。
クラウドプロバイダーサービスアクション [sn_cld_intg_core_provider_service_action]	提供されたクラウドサービスのスクリプトインクルードアクション。
価格シートの実行 [sn_cld_intg_core_ps_download_request]	価格シートのジョブステータスとサマリー。
実行アイテム [n_cld_intg_core_ps_download_request_items]	価格シートの実行ごとにフェッチされたアイテムのリスト。
価格シートのダウンロード実行 [sn_cld_intg_core_ps_execution]	すべてのスケジュール設定済みジョブの価格シートの実行と情報のダウンロード。
価格シートのダウンロードジョブ [sn_cld_intg_core_ps_schedule]	作成された価格シートのダウンロードジョブのリスト。
クラウド購入オプション [n_cld_intg_core_purchase_option]	プロバイダーが利用できるさまざまな購入オプション。
クラウドリージョン [sn_cld_intg_core_region]	さまざまなプロバイダーで利用可能なクラウドリージョンのリスト
リソースグループ [sn_cld_intg_core_resource_group]	リソースグループのリスト。
RS メトリック構成 [sn_cld_intg_core_rs_metrics_configuration]	サイズの適正化のための測定基準構成。
クラウド請求処理スケジュール [sn_cld_intg_core_schedule]	作成された請求処理ダウンロードジョブのリスト。
請求処理ダウンロードの実行 [sn_cld_intg_core_scheduled_exec]	すべてのジョブスケジュールの請求処理ダウンロードの実行とダウンロード情報。
クラウド統合アクションスケジュールジョブ [sn_cld_intg_core_schedule_job]	クラウドアクションを呼び出すためのジョブスケジュール。
クラウド統合アクションスケジュールトリガー [sn_cld_intg_core_schedule_trigger]	clod アクションのスケジュール済みジョブ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	を呼び出すためのトリガー
ストレージ詳細ベース [sn_cld_intg_core_storage_detail]	プロバイダーが利用可能なストレージの詳細。
ストレージオプション [sn_cld_intg_core_storage_option]	プロバイダーが利用できるストレージオプション
タグカテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_category]	さまざまなタグを持つタグカテゴリのリスト。
タグ名 [sn_cld_intg_core_tag_name]	請求処理データからのタグ名またはユーザーが生成した名前。
タグ名-カテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_name_category]	タグ名からカテゴリへのマッピング。
タグ名/値 [sn_cld_intg_core_tag_name_value]	タグ名と値のマッピング。
タグリソース [sn_cld_intg_core_tag_resource]	リソースに関連付けられたタグ値ペア。
タグ値 [sn_cld_intg_core_tag_value]	請求処理データまたはユーザーが生成した値からのタグ値。
テスト接続実行 [sn_cld_intg_core_test_connection_execution]	テスト接続実行の詳細
変数 [sn_cld_intg_core_variable]	統合コアのローカル変数。
GCP CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_gcp_ci_placement_type]	のためにGoogle Cloud Platform (GCP)展開されるクラウドコスト管理すべてのタイプの構成アイテム。
GCP のコストおよび使用状況の請求データ [sn_cld_intg_gcp_cost_usage]	GCP のコストと請求処理データ。
GCP 製品の詳細 [sn_cld_intg_gcp_product_details]	GCP のすべての製品の詳細または仕様。
Google 請求処理ダウンロードジョブ [sn_cld_intg_gcp_schedule]	GCP の請求処理ダウンロードジョブとそのステータス。
GCP サービス [sn_cld_intg_gcp_services]	GCP が提供するサービスのリスト。
AWS 支出レポートの確定情報 [sn_cld_spend_aws_report_finalization_info]	AWS の支出レポートの確定ステータス。
消費量レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]	リソースで集計された日次支出レポート。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
消費量レポート日次コスト [sn_cld_spend_core_daily_cost]	日次のリソース使用状況の消費量レポート。
支出レポート予測コスト [n_cld_spend_core_forecast_cost]	支出予測情報。
消費量レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]	リソース使用状況の月次消費量レポート。
支出レポート実行情報 [sn_cld_spend_core_report_info]	支出レポート実行の詳細。
AWS サイズの適正化分析レポート [sn_clin_aws_rs_analytics_report]	AWS のレポートのサイズの適正化。
AWS サイズの適正化がスキップされたインスタンスファミリ [sn_clin_aws_rs_skipped_instance_family]	サイズの適正化に関する推奨事項で考慮されない AWS インスタンスファミリ。
Azure サイズの適正化分析レポート [sn_clin_azure_rs_analytics_report]	Azure の適正化レポート。
Cloud Insights の集計されたコスト節減スナップショット [sn_clin_core_aggregated_cost_saving_snapshot]	さまざまなサービスアカウントの集計コストのスナップショット。
Cloud Insights の集約された見込み節減額のスナップショット [sn_clin_core_aggregated_potential_saving_snapshot]	さまざまな推奨事項から集計された見込まれる節減額のスナップショット。
Cloud Insights の集約された実現節減額のスナップショット [sn_clin_core_aggregated_realized_saving_snapshot]	実際に実現された節減額の集計のスナップショット。
営業時間コスト [sn_clin_core_bh_cost]	リソースの営業時間コストと営業時間外コストの比較。
営業時間ポリシー [sn_clin_core_bh_policy]	営業時間用に構成されたポリシーのリスト。
営業時間ポリシーの実行 [sn_clin_core_bh_policy_execution]	営業時間ポリシーの実行情報。
営業時間ポリシー一致 [sn_clin_core_bh_policy_match]	営業時間コストテーブルのさまざまなリソースに対するポリシー一致。
営業時間ポリシーの概要 [sn_clin_core_bh_policy_summary]	営業時間ポリシーの情報サマリー。
Cloud Insights の営業時間に関する推奨事項 [n_clin_core_bh_recommendation]	営業時間の推奨事項。
営業時間設定 [sn_clin_core_bh_settings]	[営業時間] モジュールの設定レコード。
予算 [sn_clin_core_budget_policy]	予算ポリシーと詳細のリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
予算レポート予測コスト [sn_clin_core_budget_report_forecast_cost]	予算の支出計算。
予算ポリシーサマリー [sn_clin_core_budget_summary]	予算ポリシーの概要と統計情報。
Cloud Insights で実現された節減スナップショット [sn_clin_core_daily_realized_saving_snapshot]	実際に実現された日次節減額のスナップショット。
除外されたリソースレポートのマッピング [sn_clin_core_exclusion_mapping]	属するタイプレポートまたは推奨事項への除外されたリソースマッピング。
除外されたリソース [sn_clin_core_excl_res]	さまざまなサービスアカウントとプロバイダーのモジュールからクラウドコスト管理 除外されたリソースのリスト。
インサイトエイリアス [sn_clin_core_insights_alias]	スコープの定義 クラウドコスト管理 済みエイリアスのリスト。
Insights エイリアスマッピング [sn_clin_core_insights_alias_mapping]	スコープの クラウドコスト管理 スクリプトまたはアクションフローへのエイリアスマッピング。
インサイト実行 [sn_clin_core_insights_execution]	すべての クラウドコスト管理 実行の実行の詳細。
インサイトタイプ [sn_clin_core_insights_type]	で クラウドコスト管理利用可能なインサイトタイプのリスト。
M2m インサイト実行プロファイルフロー測定基準 [sn_clin_core_m2m_insights_exec_profile_flow_metrics]	フロー測定基準をプロファイリングするためのインサイトの実行。
Cloud Insights ポリシーアクション [sn_clin_core_policy_action]	ポリシーに対して実行されるアクションとフロー。
ポリシー変更要求テンプレート [sn_clin_core_policy_change_request_template]	営業時間と未アサインの推奨事項の変更要求テンプレート。
Cloud Insights ポリシー一致 [sn_clin_core_policy_match]	さまざまなリソースとモジュールのポリシー一致。
ポリシーの概要 [sn_clin_core_policy_summary]	利用可能なすべてのポリシーの概要
ポリシー [sn_clin_core_pol_policy]	さまざまなモジュールに適用されるポリシー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
Cloud Insights の見込み節減額のスナップショット [sn_clin_core_potential_saving_snapshot]	実際に実現された節減額のスナップショット。
Cloud Insights の推奨事項 [sn_clin_core_recommendation]	モジュールの クラウドコスト管理 推奨事項。
推奨アクションジョブ実行 [sn_clin_core_recommendation_action_job_execution]	推奨事項のジョブ実行ステータス。
リザーブドインスタンスの設定 [sn_clin_core_reserved_instance_settings]	リザーブドインスタンスモジュールの設定レコード。
リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]	リザーブドインスタンスモジュールの推奨事項。
サイズの適正化分析レポート [sn_clin_core_rs_analytics_report_base]	サイズの適正化に関する推奨事項のための潜在的なリソース。
Cloud Insights ジョブ [sn_clin_core_rs_job]	サイズの適正化または未使用マシンモジュールのジョブのリスト。
Cloud Insights のサイズ適正化に関する推奨事項の自動 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]	サイズの適正化に関する推奨事項。
Cloud Insights のサイズ適正化に関する推奨事項 [sn_clin_core_rs_recommendation_base]	サイズの適正化または未使用の推奨事項の親テーブル。
サイズの適正化設定 [sn_clin_core_rs_settings]	サイズの適正化モジュールの設定レコード。
Cloud Insights の未使用推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]	未使用リソースの推奨事項。
サービスアカウントオーナー更新ポリシー [sn_clin_core_sa_owner_policy]	サービスアカウント所有者を更新するためのポリシー。
インサイト設定[sn_clin_core_settings]	各種 クラウドコスト管理 モジュールの設定。
ステージポリシー変更要求 [sn_clin_core_stage_policy_change]	
タグキー [sn_clin_core_tag_key]	請求処理データから派生したタグキーとユーザーが生成したキー。
未アサインリソース数 [sn_clin_core_unassigned_count]	さまざまなサービスアカウントにアサインされていないリソースの数。
Cloud Insights 未アサインポリシー [sn_clin_core_unassigned_policy]	未アサインリソースに利用可能なポリシー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
ポリシー CI ビュー [sn_clin_core_unassigned_policy_ci_view_list]	未アサインリソース数の生成に使用されます。クエリ対象のテーブル、エンコードされたクエリ、および指定したテーブル内のクエリ対象の列に関する情報が含まれます。このテーブルのレコードは手動でハードコードされています。
未アサインのポリシーサマリー [sn_clin_core_unassigned_policy_summary]	未アサインリソースで利用可能なポリシーサマリー。
未アサインの推奨事項 [sn_clin_core_unassigned_recommendation]	一致したポリシーに基づいて生成された、アサイン先グループを含む未アサインの推奨事項。
未アサインレポート [sn_clin_core_unassigned_report]	さまざまな未アサインリソースのレポートまたはポリシーの照合。
未アサインリソース [sn_clin_core_unassigned_resource]	ポリシーを適用できる未アサインリソースのリスト。
未アサインリソース設定 [sn_clin_core_unassigned_settings]	未アサインリソースモジュールの設定レコード。
不使用マシン設定 [sn_clin_core_unused_settings]	不使用マシンモジュールの設定レコード。

自動翻訳

クラウドコスト管理のシステムプロパティ

一部のプロパティ値は [システムプロパティ] フォームで設定しますが、他のあまり使用されないプロパティはシステムプロパティ [sys_properties] テーブルでのみ使用できます。

請求処理ダウンロードジョブのシステムプロパティ

システムプロパティ	説明
sn_cld_intg_core.ci_placement_threads_number	請求処理で CI を作成するために CI 配置フローで使用されるスレッドの数。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 4 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_aws.max_unprocessed_records_for_ci_placement	CI 配置用に AWS のコストおよび使用状況請求データテーブルから 1 つのバッチで読み取るレコードの最大数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

請求処理ダウンロードジョブのシステムプロパティ (続く)

システムプロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値: 300000 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_aws.min_unprocessed_records_for_processing	CI 配置のために AWS のコストおよび使用状況請求データテーブルから 1 つのバッチで読み取るレコードの最小数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：100000 • 場所：システムプロパティ

支出分析のシステムプロパティ

システムプロパティ	説明
sn_cld_spend_core.metricbase_transform_limit	1 回の測定基準ベース変換で使用する請求処理レコードの最大数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20000 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_spend_core.spend_report_flow_launcher_chunk_size	支出フローランチャーに送信する空でない CI チャンクの数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：40 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_spend_core.spend_report_per_chunk_workload_size	支出フローランチャーの各チャンクの作業負荷数 (CI 範囲とメタデータ)。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 500 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_spend_aws.num_months_forecast	支出ジョブの実行ごとに AWS 予測消費量が取得される、現在の月からの将来の月数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2 • 場所：システムプロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

営業時間のシステムプロパティ

注:
請求処理または価格シートのデータを *1* 回ダウンロードするためのデータのコレクションは、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

システムプロパティ	説明
sn_clin_core.bh_report.batch_size	営業時間レポートバッチに含めるリソースの数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：5000 • 場所：システムプロパティ
sn_clin_core.bh_recom_max_chunk_size	サイズ適正化に関する推奨事項の作業負荷チャンクの作成に使用されるレコードの数。glide.db.max view_records より大きい値を設定すると、代わりに glide.db.max_view_records 値が使用されます。数値が小さいほどチャンクが多くなり、数値が大きいほどチャンクが少なくなります。 推奨事項の生成の 1 回の実行で考慮されるレコード = (チャンク数) * (データレコード/チャンク) • タイプ：整数 • デフォルト値：10000 • 場所：システムプロパティ
sn_clin_core.bh_recom_num_chunks_per_workload	作業負荷あたりのチャンクの数。この値に sn_clin_core.bh_recom_max_chunk_size の値を掛けたものが、サイズの適正化に関する推奨事項を生成するときのワークロードあたりのレコードの合計数です。 推奨事項の生成の 1 回の実行で考慮されるレコード = (チャンク数) * (データレコード/チャンク) • タイプ：整数 • デフォルト値：10 • 場所：システムプロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft Azure のシステムプロパティ

システムプロパティ	説明
mid.azure_action.batch_size	batch_size を使用して、停止、開始、変更 (サイズ変更)、終了、説明などのアクション呼び出しのバッチサイズを 20 未満に設定します。 クラウドコスト管理 は Azure Batch API を使用して、アクションの一括要求を行います。既定では、Azure Batch は同期呼び出しに対して最大 20 をサポートします。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所：システムプロパティ

Microsoft Azure のサイズ適正化および未使用リソースの操作のシステムプロパティ

注:
1 つのレコメンデーション セットのデータのコレクションは、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

システムプロパティ	説明
sn_cld_intg_azure.az_rs_recommendation_queue_processing_time	Microsoft Azure 推奨オーケストレーターが、生成ステータスの取得、生成ステータスの取得、推奨事項のリスト表示、または推奨呼び出しの処理のステータスを確認し、処理の次のステージに移動するためのポーリング時間。 注: サブスクリプションの数が少ない場合は、ポーリング時間を短くすることをお勧めします。 • タイプ：整数 • デフォルト値:5000 (ms) • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_azure.chunk_size_generate_recommendation_subscriptions	各ワークロードによって処理されるサブスクリプションの数。各作業負荷は、利用可能な MID Server ワーカースレッドに基づいて、10 個のサブスクリプションを並列に処理するために最大 5 つのスレッドを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft Azure のサイズ適正化および未使用リソースの操作のシステムプロパティ

> **注:**
> *1* つのレコメンデーション セットのデータのコレクションは、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

(続く)

システムプロパティ	説明
	設定を小さい数値に変更すると、作成されるワークロードの数が増えます。Generate Recommendation は、Generate Recommendation 操作 ID をすばやく返す非同期 API 呼び出しです。 **注:** サブスクリプションが 50 未満の場合は、値を減らして並列処理を有効にすることができます。たとえば、サブスクリプションが 40 の場合、チャンク サイズを 10 に変更すると、4 つのワークロードでサブスクリプションを処理できます。既定では、最大 3 つの並列ワークロードの実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されたフローランチャー ジョブで設定されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 5 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_azure.advisor_get_status_min_chunk_size	Get generate status API 呼び出しのワークロードで処理するサブスクリプションの最小数。 この呼び出しは、指定された最小チャンク サイズが満たされると新しいワークロードを作成し、すべてのサブスクリプションが処理された後、別のワークロードを作成しません。 **注:** 既定では、最大 4 回の並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されたフローランチャー ジョブで設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft Azure のサイズ適正化および未使用リソースの操作のシステムプロパティ

> **注:**
> *1* つのレコメンデーション セットのデータのコレクションは、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

(続く)

システムプロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値： 5 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_azure.advisor_list_recommendation_min_chunk_size	リスト推奨API呼び出しの作業負荷で処理するサブスクリプションの最小数。 この呼び出しは、指定された最小チャンク サイズが満たされると新しいワークロードを作成し、すべてのサブスクリプションが処理された後、別のワークロードを作成しません。 **注:** チャンク サイズを大きくすると、サブスクリプションが順番に処理されるため、全体的な処理時間が長くなる可能性があります。既定では、最大 4 回の並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されたフローランチャー ジョブで設定されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 1 • 場所：システムプロパティ
sn_clin_azure.advisor_process_recommendation_min_chunk_size	API呼び出しのワークロードで処理され、サイズの適正化または不使用マシンの推奨テーブルに保持される推奨応答の数。 この呼び出しは、指定された最小チャンク サイズが満たされると新しいワークロードを作成し、すべてのサブスクリプションが処理された後、別のワークロードを作成しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft Azure のサイズ適正化および未使用リソースの操作のシステムプロパティ

注:
1 つのレコメンデーション セットのデータのコレクションは、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

(続く)

システムプロパティ	説明
	注: チャンク サイズを大きくすると、サブスクリプションが順番に処理されるため、全体的な処理時間が長くなる可能性があります。既定では、最大 4 回の並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config テーブルで定義されたフローランチャージョブで設定されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所：システムプロパティ

サービスのクラウドサービスカテゴリクラウドコスト管理**Amazon AWS** クラウド

では クラウドコスト管理、プロバイダーサービスは サービスカテゴリに分類されます。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービス (コンピュートやデータベースなど) に分析を絞り込むことができます。より的を絞った分析を実行するために、サービスカテゴリ内の特定のサービスをフィルタリングできます (たとえば、Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL はデータベースカテゴリのサービスです)。

サービスのサービスカテゴリクラウドコスト管理**Amazon AWS** クラウド

のクラウドサービス AWS	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
ビジネス向けAlexa	ビジネスの生産性
Amazon API ゲートウェイ	アプリケーションサービス
Amazon Athena	分析
Amazon Aurora	データベース
Amazon Chime	ビジネスの生産性
Amazon クラウドディレクトリ	セキュリティ
Amazon CloudFront	ネットワーク
Amazon CloudSearch	分析
アマゾンクラウドウォッチ	管理ツール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス AWS	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Amazon Cognito	セキュリティ
Amazon Comprehend	機械学習
Amazon Connect	アプリケーションサービス
Amazon DocumentDB	データベース
Amazon DynamoDB	データベース
Amazon EC2 Auto Scaling	CPU
Amazon EC2 コンテナサービス	CPU
Amazon ElastiCache	データベース
Amazon 可変ブロックストア	ストレージ
Amazon Elastic Compute クラウド	CPU
Amazon Elastic Container Registry	CPU
Amazon 可変ファイルシステム	ストレージ
Amazon Elasticsearch サービス	分析
Amazon Elastic Transcoder	アプリケーションサービス
Amazon EMR	分析
Amazon FreeRTOS	Iot
Amazon GameLift	アプリケーションサービス
Amazon Glacier	ストレージ
Amazon GuardDuty	セキュリティ
Amazon インスペクター	セキュリティ
Amazon Kinesis	分析
Amazon Kinesis ビデオストリーム	アプリケーションサービス
Amazon Lex	機械学習
Amazon Lightsail	CPU
Amazon 機械学習	機械学習
Amazon Macie	セキュリティ
Amazon MQ	アプリケーションサービス
Amazon Neptune	データベース
Amazon Pinpoint	モバイル
Amazon Polly	機械学習
Amazon QuickSight	分析
Amazon Redshift	データベース
Amazon Rekognition	機械学習
Amazon Relational Database Service	データベース
Amazon Route 53	ネットワーク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス AWS	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Amazon SageMaker	アプリケーションサービス
Amazon SimpleDB	データベース
Amazon Simple Email Service	アプリケーションサービス
Amazon Simple Notification Service	ツール
Amazon シンプルキューサービス	アプリケーションサービス
Amazon Simple Storage Service	ストレージ
Amazon Simple Workflow Service	生産性
Amazon Sumerian	アプリケーションサービス
Amazon 文字起こし	機械学習
Amazon 翻訳	機械学習
Amazon 仮想プライベートクラウド	ネットワーク
Amazon WorkDocs	ビジネスの生産性
Amazon WorkMail	生産性
Amazon ワークスペース	生産性
AWS (不明な製品)	アプリケーションサービス
AWS アプリケーション検出サービス	アプリケーションサービス
AWS AppSync	モバイル
AWS 自動スケーリング	管理ツール
AWS バッチ	CPU
AWS 証明書マネージャー	セキュリティ
AWS クラウド9	開発者向けツール
AWS CloudFormation	CPU
AWS CloudHSM	セキュリティ
AWS クラウドマップ	ネットワーク
AWS クラウドシェル	開発者向けツール
AWS CloudTrail	ツール
AWS CloudWatch	ツール
AWS CodeBuild	開発者向けツール
AWS CodeCommit	開発者向けツール
AWS CodeDeploy	開発者向けツール
AWS CodePipeline	開発者向けツール
AWS CodeStar	開発者向けツール
AWS Config	ツール
AWS コストエクスプローラー	管理ツール
AWS データベース移行サービス	データベース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス AWS	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
AWS データパイプライン	分析
AWS データ同期	アプリケーションサービス
AWS デバイスファーム	モバイル
AWS ダイレクトコネクト	ネットワーク
AWS Directory Service	セキュリティ
AWS エラスティック Beanstalk	CPU
AWS 可変ブロックストア	ストレージ
AWS Elastic Compute Cloud	CPU
AWS Elastic Load Balancing	ロードバランサ
AWS 要素 MediaConvert	アプリケーションサービス
AWS 要素 MediaLive	アプリケーションサービス
AWS エレメンタルメディアパッケージ	アプリケーションサービス
AWS Elemental MEdiaStore	アプリケーションサービス
AWS 要素メディアテーラー	アプリケーションサービス
AWS Fargate	CPU
AWS Glue	分析
AWS Greengrass	Iot
AWS Identity and Access Management	セキュリティ
AWS IoT	Iot
AWS IoT 1-Click	Iot
AWS IoT 分析	Iot
AWS IoT コア	Iot
AWS IoT デバイス管理	Iot
AWS IoT イベント	Iot
AWS Key Management Service	セキュリティ
AWS Lambda	CPU
AWS ラムダ	CPU
AWS モバイルハブ	モバイル
AWS OpsWorks	管理ツール
AWS Relational Database Service	データベース
AWS Route 53	ネットワーク
AWS シークレットマネージャー	セキュリティ
AWS サービスカタログ	管理ツール
AWS シールド	セキュリティ
AWS Simple Notification Service	ツール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス AWS	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
AWS Simple Storage Service	ストレージ
AWS Snowball	ストレージ
AWS Snowball Edge	ストレージ
AWS スノーモービル	ストレージ
AWS ステップ関数	アプリケーションサービス
AWS ストレージゲートウェイ	ストレージ
AWS システムマネージャー	管理ツール
AWS トラステッドアドバイザー	管理ツール
AWS Virtual Private Cloud	ネットワーク
AWS WAF	セキュリティ
AWS X-Ray	開発者向けツール
可変負荷分散	ロードバランサ

サービスのクラウドサービスカテゴリクラウドコスト管理Microsoft Azure

では クラウドコスト管理、プロバイダーサービスは サービスカテゴリに分類されます。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービス (コンピュートやデータベースなど) に分析を絞り込むことができます。より的を絞った分析を実行するために、サービスカテゴリ内の特定のサービスをフィルタリングできます (たとえば、Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL はデータベースカテゴリのサービスです)。

サービスのサービスカテゴリクラウドコスト管理Microsoft Azure

でのサービス Microsoft Azure	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
高度な脅威対策	セキュリティ
API 管理	ツール
アプリセンター	アプリケーションサービス
アプリケーションゲートウェイ	ネットワーク
Application Insights	管理ツール
自動化	管理ツール
Azure Active Directory B2C	セキュリティ
Azure Active Directory Domain Services	セキュリティ
Azure のアラート	イベント
Azure Analysis サービス	分析
Azure API for FHIR	アプリケーションサービス
Azure アプリサービス	CPU
Azure ARM	CPU

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのサービス Microsoft Azure	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Azure 要塞	ネットワーク
Azure ブロックチェーン	ブロックチェーン
Azure ボットサービス	機械学習
Azure Cosmos DB	データベース
Azure Database for MariaDB	データベース
Azure Database for MySQL	データベース
Azure Database for PostgreSQL	データベース
Azure Database Migration Service	データベース
Azure Databricks	分析
Azure データ エクスプローラー	分析
Azure Data Factory	データベース
Azure Data Factory v2	データベース
Azure データ共有	分析
Azure DDOS 保護	ネットワーク
Azure DevOps	開発者向けツール
Azure DNS	ネットワーク
Azure Firewall	ネットワーク
Azure Firewall マネージャー	ネットワーク
Azure Front Door サービス	ネットワーク
Azure Lab Services	開発者向けツール
Azure 機械学習	機械学習
Azure マップ	Iot
Azure Monitor	管理ツール
Azure NetApp Files	ストレージ
Azure リモートレンダリング	アプリケーションサービス
Azure 検索	機械学習
Azure Site Recovery	管理ツール
Azure Spring クラウド	アプリケーションサービス
Azure スタック	ハイブリッドクラウド
Azure スタックエッジ	機械学習
紺碧の合成	アプリケーションサービス
バックアップ	管理ツール
帯域幅	CPU
BizTalk サービス	アプリケーションサービス
クラウドサービス	CPU

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのサービス Microsoft Azure	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Cognitive Services	機械学習
コンテナインスタンス	コンテナ
コンテナレジストリ	コンテナ
コンテンツ配信ネットワーク	ネットワーク
Cost Management	管理ツール
データボックス	ストレージ
データカタログ	分析
データセンターのキャパシティ	アプリケーションサービス
データレイク分析	分析
Data Lake ストア	分析
データ管理	アプリケーションサービス
デジタルツイン	Iot
Dynamics 365 for Customer Insights	管理ツール
イベントグリッド	管理ツール
イベントハブ	分析
ExpressRoute	ネットワーク
関数	CPU
GitHub	管理ツール
Hdinsight	分析
HPCキャッシュ	ストレージ
インサイトと分析	分析
IoT セントラル	Iot
IoT ハブ	Iot
Key Vault	セキュリティ
Kusto	アプリケーションサービス
ロードバランサ	ロードバランサ
ログ分析	分析
ロジック アプリ	ツール
機械学習サービス	機械学習
機械学習スタジオ	機械学習
マーケットプレイス	マーケットプレイス
メディアサービス	アプリケーションサービス
Microsoft.ApiManagement	アプリケーションサービス
Microsoft.BlockStorage	ストレージ
Microsoft.Cache	アプリケーションサービス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのサービス Microsoft Azure	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Microsoft.Compute	CPU
Microsoft.DocumentDB	データベース
Microsoft.Insights	ツール
Microsoft.LoadBalancer	ロードバランサ
Microsoft.Network	ネットワーク
Microsoft.Security	セキュリティ
Microsoft.ServiceBus	ツール
Microsoft.Sql	データベース
Microsoft.Storage	ストレージ
Microsoft.Web	アプリケーションサービス
Microsoft (不明な製品)	アプリケーションサービス
Microsoft Azure インターネット アナライザー	ネットワーク
Microsoft Azure ピアリングサービス	ネットワーク
Microsoft Genomics	アプリケーションサービス
複合現実	バーチャルリアリティ
Multi-Factor Authentication	セキュリティ
NAT ゲートウェイ	ネットワーク
ネットワーク監視	管理ツール
Microsoft. ApiManagement	Iot
PlayFab	アプリケーションサービス
Power BI Embedded	分析
Redis キャッシュ	データベース
スケジューラ	管理ツール
セキュリティセンター	セキュリティ
センチネル	セキュリティ
サービスバス	管理ツール
サービスファブリック	CPU
Service Fabric メッシュ	CPU
Signalr	アプリケーションサービス
空間アンカー	バーチャルリアリティ
特殊なコンピューティング	CPU
SQL Advanced Threat Protection	セキュリティ
SQL データベース	データベース
SQL データ ウェアハウス	データベース
SQL DB エッジ	データベース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのサービス Microsoft Azure	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
SQL Server ストレッチ データベース	データベース
ストレージ	ストレージ
Storsimple	ストレージ
Stream Analytics	分析
時系列インサイト	Iot
トラフィックマネージャー	管理ツール
仮想マシン	CPU
仮想マシンライセンス	CPU
仮想ネットワーク	ネットワーク
仮想 WAN	セキュリティ
Visual Studio オンライン	管理ツール
Visual Studio サブスクリプション	開発者向けツール
VPN ゲートウェイ	ネットワーク
Windows 10 IoT Core Services	Iot
Xamarin 大学	アプリケーションサービス

自動翻訳

サービスのクラウドサービスカテゴリクラウドコスト管理Google Cloud

では クラウドコスト管理、プロバイダーサービスは サービスカテゴリに分類されます。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービス (コンピュートやデータベースなど) に分析を絞り込むことができます。より的を絞った分析を実行するために、サービスカテゴリ内の特定のサービスをフィルタリングできます (たとえば、Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL はデータベースカテゴリのサービスです)。

サービスのサービスカテゴリクラウドコスト管理Google Cloud

のクラウドサービス Google Cloud	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
Bigtable	データベース
クラウドストレージ	ストレージ
クラウド SQL	データベース
データベースの移行	データベース
データストア	データベース
データ転送	ストレージ
開発マネージャー	ツール
エンドポイント	ツール
ファイルストア	ストレージ
Firestore	データベース

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス Google Cloud	クラウドコスト管理 サービスカテゴリ
ハイブリッドコネクティビティ	ネットワーク
メモリストア	データベース
ネットワークインテリジェンス	ネットワーク
ネットワークセキュリティ	ネットワーク
ネットワークサービス	ネットワーク
Service Catalog	ツール
VPC ネットワーク	ネットワーク

予算ポリシー作成フィールドのリスト

[予算ポリシーの作成] フォームのフィールドは、予算金額、原価タイプ、リセット期間、および予算のその他の側面を指定する予算ポリシーの作成に役立ちます。

予算ポリシーの作成

フィールド	説明
予算ポリシー	作成された予算ポリシーのリスト。 予算ポリシーを更新する場合は、作成された予算ポリシーをドロップダウンリストから検索して選択します。予算を選択すると、関連するすべてのフィールドが自動的に入力されます。
アクティブ	請求処理データが更新されるたびに予算予測分析を実行するポリシーを適用するオプション。
名前	他のユーザーにポリシーを説明する一意の名前。
説明	他のユーザー向けにポリシーを説明する一意の説明。
原価費目	プロバイダーとの契約上の支払い合意。 • 償却済み: 組織は、請求期間全体に分散された前払い料金と月次予約料金の実効コストを支払います。償却原価費目は、プロバイダーサイトで詳細に説明されています。 • 実績: 請求期間ごとに、組織は直接クラウドサービスの料金を支払います。
開始月	プランが適用される月。
終了月	プランの適用終了月。
開始日	プランが適用される日付。
終了日	プランの適用期限。
開始年	プランが適用される開始年。
終了年	プランが適用される年までの年。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算ポリシーの作成 (続く)

フィールド	説明
通貨	ポリシーの通貨タイプ。
総計	[粒度] の値で指定された期間に予算計上された合計消費量。 計算済み デフォルトの通貨フィールドタイプと同じように動作します。換算が実行されるたびに、最新の通貨換算レートが使用されます。金額はユーザーのセッション通貨で表示されます。 固定 金額は、[金額] の値を入力したときに使用した通貨コードで表示されます。換算には最新の通貨換算レートが使用されます。 複数 金額ごとに異なる通貨を使用して複数の金額を入力できます。フィールド値は、ユーザーのセッション通貨で入力された値です。それ以外の場合は、最初に入力された値がユーザーのセッション通貨に換算されます。換算では最新の通貨レートが使用されます。 注: 最初に入力した金額が表示時に使用されます。他の値は計算の実行には使用されません。 インスタンスのセッション通貨によって、予算レポートでユーザーに表示される数値が決まります。予算計画で指定した通貨がセッション通貨と異なる場合、金額はレポートの次の 2 つのフィールドに表示されます。 • 予算金額:プランで使用されている通貨で表される金額。 • 換算済み予算金額:セッション通貨で表される同じ金額。
比較頻度	予算のリセット期間。 • 年次:金額の値は 1 年間の期間に適用されます。 • 月次:金額の値は 1 か月の期間に適用されます。
アカウントとリソースの基準	
親アカウント	サービスアカウントが関連付けられているプライマリアカウント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算ポリシーの作成 (続く)

フィールド	説明
	注: ポリシーの編集中に親アカウントを変更すると、プロバイダーが変更される可能性があります。
サービスアカウント	プランを適用するサービスアカウント。該当するすべてのサービスアカウントを [選択済み] リストに移動します。 このフィールドのみをプロジェクトと呼びますGoogle Cloud 。
タグカテゴリ条件	ドロップダウンリストからタグカテゴリを選択し、カンマで区切ってタグ値を追加して、タグカテゴリを追加します。
予算ビューアーと通知	
ビューアー (ユーザー)	この予算ポリシーを表示できるユーザー。 注: この選択に関係なく、クラウド予算ビューアー [sn_clin_core.budget_viewer] ロールも持つユーザーのみが表示アクセス権を持ちます。
ビューアー (グループ)	この予算ポリシーを表示できるユーザーグループ。
通知の頻度	「通知するユーザー」で説明されているユーザーへのメールの繰り返し。
通知先ユーザー	ユーザーは、次の条件が発生した場合にメールで通知します。 • 予算を超過すると予測される。 • 予算を超過しています。 • 予算が無効です。

共有コスト割り当てポリシーフィールドのリスト

共有コスト割り当てポリシー作成フォームのフィールドは、共有コスト割り当てポリシーの作成に役立ちます。

共有コスト割り当てポリシーの作成フォーム

フィールド	説明
編集する共有コストポリシーを選択	編集する共有コストポリシー。
アクティブ	ポリシーを適用するオプション。[アクティブ] チェックボックスをオンにすると、請求処理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシーの作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	データが更新されるたびに共有コスト割り当てが有効になります。
名前	他のユーザーにポリシーを説明する一意の名前。
説明	ポリシーの簡潔な説明。
実行順序	ポリシーを適用する順序。各ポリシーには一意の値が必要です。システムは、低から高への実行順序でポリシーを適用し、最初に一致したポリシーに対してアクションを実行します。一致後、他のポリシーはリソースに適用されません。
開始月	月次支出レコードが処理される開始月。このフィールドは自動的に当月に設定されます。 注: 開始月は終了月より前でなければなりません。
終了月	月次支出レコードが処理される最終月。 注: 終了月は開始月より後にする必要があります。
開始年	月次支出レコードが処理される開始年。このフィールドは自動的に現在の年に設定されます。 注: 開始年は終了年よりも前でなければなりません。
終了年	月次支出レコードの処理が終了する年。 注: 終了年は開始年より後にする必要があります。
プロバイダー	ポリシーを適用するクラウドプロバイダー。 注: 既存のポリシーの編集中にプロバイダーを変更することはできません。
サービスカテゴリ	ポリシーが適用されるすべてのサービスカテゴリのリスト。
サービスアカウント	ポリシーを適用するサービスアカウント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシーの作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	このフィールドのみをプロジェクトと呼びます Google Cloud 。
クラウドサービス	ポリシーが適用されるクラウドサービス。 • すべて • 特定
クラウドサービスを選択	ポリシーを適用するクラウドサービス。 このフィールドは、クラウドサービスから [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
リソースタイプ	サービスカテゴリの Kubernetes リソースタイプ。 • クラウドリソース • Kubernetes クラスター このフィールドは、[サービスカテゴリ] から **[Kubernetes** サービス] が選択されている場合にのみ表示されます。
地域	ポリシーが適用されるリソースのリージョン。 • すべて • 特定
地域を選択	ポリシーを適用するリソースのリージョン。 このフィールドは、[地域] から **[**特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
購入オプション	クラウドリソースの購入オプション。 • オンデマンド • 予約済み • 節減計画 • 税 • 不明
タグを選択	
事業部門	ポリシーが適用されるリソースの事業部門。 • すべて • 特定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシーの作成フォーム (続く)

フィールド	説明
事業部門を選択	ポリシーを適用するリソースの事業部門。 このフィールドは、[事業部門] から [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
部門	ポリシーを適用するリソースの部門。 • すべて • 特定
部門 (department) を選択	ポリシーを適用するリソースの部門。 このフィールドは、[部門] から [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
部門	ポリシーを適用するリソースの部門部門。 • すべて • 特定
部門 (division) を選択	ポリシーを適用するリソースの部門部門。 このフィールドは、[部門] から [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
コストセンター	ポリシーが適用されるリソースのコストセンター。 • すべて • 特定
コストセンターを選択	ポリシーを適用するリソースのコストセンター。 このフィールドは、[コストセンター] から [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
割り当てタイプ	共有コスト割り当てポリシーを定義するときに使用される割り当てタイプ。 • 固定:割り当てのパーセンテージは、各グループの [コスト配分] セクションで指定されます。たとえば、クラウドサービスのコストが他の 2 つのグループと共有されている場合は、各グループの割り当てパーセンテージを指定します。 • 均等:割り当ては割り当てグループ間で均等に分割されます。たとえば、クラウドサービスのコストが他の 2 つのグループと共有されている場合、割り当て率はこれらのグループ間で均等に自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシーの作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 比例:クラウドサービスとサービスカテゴリ、またはその両方のポリシーが定義されます。これらの属性の組み合わせは、共有コスト割り当てで考慮されます。たとえば、次の組み合わせに対してポリシーが定義されている場合、この組み合わせに関連付けられているすべてのコストが共有コストと見なされます。 ○ サービスカテゴリ:データベースおよびクラウドサービス:Amazon DocumentDB ○ サービスカテゴリ:データベースおよびクラウドサービス:空 ここでは、すべてのデータベースカテゴリのクラウドサービスが共有コストと見なされます。 割り当てのパーセンテージは、リソースの直接コストに基づいて自動的に入力されます。 **注:** • グループ全体の割り当て率の合計は 100% である必要があります。 • 割り当てのパーセンテージを負の値にすることはできません。 • グループの組み合わせは一意である必要があります。
コスト配分	事業部門、部門、部門、コストセンター、および割り当てのパーセンテージを追加し、 追加 を選択して、さまざまな事業部門間でリソースコストを配分します。
名前空間の配分	の場合 Kubernetes、 [名前空間] と [割り当てのパーセンテージ] を追加し、 を選択してさまざまな事業部門間でリソースコストを配分します。 このフィールドは、[サービスカテゴリ] から **[Kubernetes** サービス] が選択され、[リソースタイプ] から **[Kubernetes** クラスター] が選択されている場合にのみ表示されます。 **注:** 定義できる割り当てタイプは、[固定] と [均等] のみです。
割り当てのパーセンテージ	各クラウドリソースの共有コスト割り当てのパーセンテージ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約管理

ServiceNow® 契約管理 アプリケーションを使用して契約を管理、追跡します。

契約とは、2 者間の拘束力のある合意です。ServiceNow プラットフォームでは、契約には次のような詳細情報が含まれています。

- 契約番号
- 契約の開始日と終了日
- 有効なステータス
- 契約条件
- ドキュメント
- リニューアル情報
- 財務条件

契約管理はデフォルトで有効となっています。コスト管理 プラグインがアクティブ化されている場合、契約管理 アプリケーションは コスト管理 プラグインと統合して契約とコストを関連付け、総所有コストを決定します。経費の追跡は、経費ラインで行えます。管理者は コスト管理 プラグインを有効にすることができます。

ソフトウェア資産管理 プラグインを使用している場合は、[ソフトウェアライセンスオプション] を使用します。

関連情報

経費ラインを作成する

契約条件

ソフトウェア資産管理

資産契約の概要モジュールの使用

契約管理 概要モジュールで契約の状態に関する情報を表示できます。

始める前に

必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて

契約管理 概要モジュールは一種のホームページのため、ページ上でレポートを追加、削除、再配置することができます。

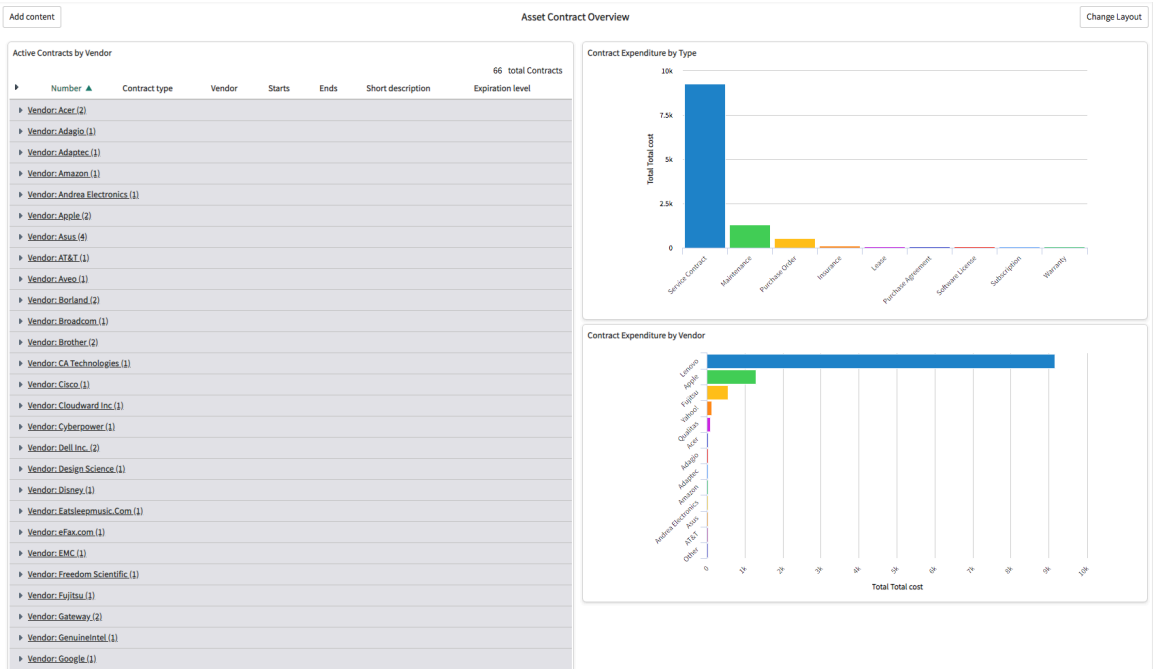
手順

1. 移動先 すべて > 契約 > 概要.
2. レポート内の要素をクリックして、詳細情報を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
たとえば、[タイプ別契約支出] 棒グラフのいずれかのカラーバーをクリックすると、詳細情報が表示されます。



一緒にインストールされるコンポーネント 契約管理

契約管理 と併せて、複数のタイプのコンポーネントがインストールされます。

デモ データが利用可能です。

契約管理 とともにインストールされるテーブル

テーブルが、契約管理 とともに追加されます。

テーブル	説明
対象資産 [clm_m2m_contract_asset]	契約の対象となる資産を一覧表示します。資産は複数の契約で守ることができ、契約は複数の資産を抱えることができます。 **注:** contract_manager、itil、inventory_admin、procurement_user ロールは、レポートにのみアクセスできます。procurement_user ロールの場合は Procurement (com.snc.procurement) プラグインを、itil ロールと Inventory_admin ロールの場合はハードウェア資産管理プロフェッショナル (com.sn_hamp) プラグインをアクティブ化する必要があります。
対象資産 [clm_m2m_rate_card_asset]	資産に適用されるレート表を一覧表示します。
条件 [clm_condition_checker]	各条件チェッカーの条件と値を一覧表示します。
条件チェック [clm_condition_check]	指定した条件フィールドを変更する条件と値を格納します。
契約 [ast_contract]	契約情報を格納します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
契約履歴 [clm_contract_history]	開始日、終了日、契約条件のいずれかが変更されたときに契約書のコピーを保管します。
利用規約 [clm_terms_and_conditions]	契約で使用される条件を一覧表示します。
利用規約 [clm_m2m_contract_and_terms]	契約で使用できるすべての利用規約を一覧表示します。
対象ユーザー [clm_m2m_contract_user]	契約の対象となるユーザーを一覧表示します。
契約更改要求 [sn_contract_renewal_request]	契約更改ワークフローを使用してすべての契約更改要求を保存します。
契約更改要求行 [sn_contract_renewal_request_line]	契約更改ワークフローを使用してすべての契約更改要求行を保存します。
契約更改タスク [sn_contract_renewal_task]	契約更改ワークフローを使用してすべての契約更改要求タスクを保存します。

契約管理 とともにインストールされるユーザーロール

ユーザーロールは 契約管理 とともに追加されます。

ロール	ロールを含む	説明
contract_manager	financial_mgmt_user	契約のライフ サイクルを管理します。契約の作成、編集、削除ができます。

自動翻訳

インストールされたスクリプトインクルード 契約管理

スクリプトインクルードは、契約管理 とともに追加されます。

名前	説明
ConditionChecks	条件チェック [clm_condition_check] テーブルで定義されている、有効契約期限切れやライセンス コンプライアンスなどの一致条件をチェックします。
ContractManagementUtils	ステータス移行などの契約管理アクションを管理するユーティリティ。

インストールされているクライアントスクリプト 契約管理

クライアントスクリプトは、契約管理 とともに追加されます。

名前	テーブル	説明
税コストの計算 - 基本コスト	契約 [ast_contract]	[支払額] フィールドが変更されたときに、契約フォームの [税コスト] フィールドと [総コスト] フィールドを計算します。
税コストの計算 - 売上税	契約 [ast_contract]	[売上税] フィールドが変更されたときに、契約フォームの [税コスト] フィールドと [総コスト] フィールドを計算します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	テーブル	説明
税コストの計算 - 税率	契約 [ast_contract]	[税率] フィールドが変更されたときに、契約フォームの [税コスト] フィールドと [総コスト] フィールドを計算します。
割引が有効な割合であることを確認する	契約 [ast_contract]	[割引] フィールドに 0 より小さい値または 99 より大きい値が含まれないようにします。
コスト調整を更新する	契約 [ast_contract]	ユーザーがコスト調整の金額を設定した場合、契約フォームの [割合] フィールドを 0 に設定します。
コスト率を更新する	契約 [ast_contract]	ユーザーがコスト調整の割合を入力した場合、契約フォームの [金額] フィールドを 0 に設定します。
非課税/税率	契約 [ast_contract]	[非課税] チェック ボックスが選択されている場合、契約フォームのすべての税関連フィールドを読み取り専用に変更します。
税率/免除	契約 [ast_contract]	[売上税] チェック ボックスが選択されている場合、契約フォームのすべての税関連フィールドを書き込み可能に変更します。

インストールされているビジネスルール 契約管理

ビジネスルールが、契約管理 とともに追加されています。

名前	テーブル	説明
予測コストの計算 (レポート)	契約 [ast_contract]	コストや支払スケジュールが変更された場合、契約の月毎および年毎予測コストを計算します。
合計で税金を計算する	契約 [ast_contract]	契約が作成または更新されたとき、契約の [税コスト] と [総コスト] フィールドを計算します。
契約履歴	契約 [ast_contract]	契約の開始、終了、条件が変更されたときの履歴を保存します。
承認レコードを作成する	契約 [ast_contract]	契約を更新するために契約条件を更新し、契約承認ワークフローを開始します。
契約条件にフラグを立てる	利用規約 [clm_m2m_contract_and_terms]	レコードが契約から関連付けられると[契約条件] レコードの [使用] フラグを **[True]** に設定し、レコードが契約から分離されると **[False]** に設定します。
手動ライセンスのアクティベーション数	ソフトウェア ライセンス インスタンス [ast_license_software_instance]	ソフトウェア ライセンス インスタンスの作成または削除時に、特定のライセンスがインストールされているコンピューターの数を計算して更新します。
契約ライフ サイクルの管理	契約 [ast_contract]	このビジネスルールでは、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	テーブル	説明
		• 契約拡張が承認された契約の終了日を更新します。 • 契約の更新が承認され開始日が来たときに契約を更新し、開始日、終了日、基本コスト (コスト調整を適用する必要がある場合) を更新します。 • 条件チェックを実行し、契約が承認されたとき、または拡張や更新が承認されたとき、または開始日や終了日が変更されたときに日付を変更する必要があるかどうかを評価します。
ニュースを停止する	サービス [cmdb_ci_service]	機能停止時にナレッジ テーブルにニュース記事を掲載します。
資産ごとの契約コストを更新する	対象資産 [clm_m2m_contract_asset]	契約に関連付けられた総コストと資産数に基づいて単価の値を更新します。
契約のライフタイム コストを更新する	契約レート カード [fm_contract_rate_card]	契約経費ラインの合計を計算して契約のライフタイム コストを計算します。
契約日変更後の更新	契約 [ast_contract]	契約の終了日が変更された場合、契約に関連付けられているすべての資産とユーザーの [追加日] フィールドと [削除日] フィールドを更新します。
レートカードの日付変更後の更新	契約レート カード [fm_contract_rate_card]	終了日が変更されると、関連契約資産とレートカードにリンクされたユーザーを更新します。
契約開始日と終了日を確認する	契約 [ast_contract]	契約開始日と終了日、契約更改開始日と終了日を検証します。
購入契約割引価格を確認する	契約 [ast_contract]	契約モデルの購買契約との契約の場合、ビジネスルールでは [割引] フィールドに 0 より小さい値または 99 より大きい値が含まれていないことを確認します。

契約更改ワークフロー

契約更改ワークフローを使用すると、有効期限が近づいている契約や期限の切れた契約を更改することができます。このワークフローにより、簡素化され管理されたプロセスを介して契約を更改できます。

元の契約を参照する契約レコードを作成、検証、承認、有効化して契約を更改します。このワークフローを使用すると、ハードウェア資産、ソフトウェアエンタイトルメント、契約条件、レートカードなどの関連エンティティを管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 契約更改ワークフローは、ソフトウェアライセンス、サブスクリプション契約、メンテナンス、および保証契約モデルをサポートしています。

契約を更改するには、契約更改ワークフローで次のタスクを実行します。

1. 契約更新要求：有効期限が近づいている契約や期限の切れた契約の契約更改要求を作成します。
2. 契約の選択：親契約の複数の子契約を更改することができます。
3. ビルドの更新：契約更改情報を入力します。
4. 資産の選択：契約更新プロセスに対してハードウェア資産またはエンタープライズ資産を追加または削除し、新しい契約に引き継がれる資産を表示します。
5. ソフトウェア資産の選択：契約更新プロセスに含めるソフトウェアエンタイトルメントを追加または削除し、新しい契約に引き継がれるエンタイトルメントを表示します。
6. 契約条件：新しい契約の契約条件を更新し、新しい契約に引き継がれる契約条件を表示します。
7. レートカード：新しい契約にレートカードの詳細を追加し、契約の費用を追跡します。
8. 更新の確認：契約のすべての詳細を入力した後、更新の詳細をレビューします。
9. 更新の承認：すべての契約更新要求ラインの契約更新要求を承認または却下します。
10. 更新発注書：契約の対象となる資産の発注書を受領します。

> **注:**
> - タスクをクローズした後に編集することはできません。
> - 契約、契約更改要求、契約更改要求ライン、契約更改タスクの契約更改プロセスをキャンセルできます。詳細については、「契約更改プロセスのキャンセルの結果」を参照してください。

必須条件

契約更新ワークフローを使用する前に、次の前提条件を満たしている必要があります。

- ServiceNow インスタンスの ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化します。

  ハードウェアまたはエンタープライズ資産契約を管理する場合は、代わりに ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 または エンタープライズ資産管理 アプリケーションを要求してインストールします。

- *sn_contract_enable_renewal_flow* システムプロパティを有効にします。

  > **注:**
  > 既に ソフトウェア資産管理、ハードウェア資産管理、またはその両方を使用している場合、このシステムプロパティは false に設定されます。新規ユーザーの場合、このシステムプロパティは true に設定されます。

Domain Separation

データ分離を使用したドメイン分離は、次の要件を含む契約更改ワークフローでサポートされています。

- 要求は、更改プロセスを開始した契約のドメインに作成されます。
- 要求ラインは、要求ラインの契約のドメイン内にあります。
- タスクは、更新される契約のドメインに作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

sn_contract_enable_renewal_flow システムプロパティもドメイン分離をサポートしています。

契約更改要求を作成する

有効期限が近づいている契約や期限の切れた契約の契約更改要求を作成します。

始める前に

必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

更新要求は、メンテナンス、保証、サブスクリプション、ソフトウェアライセンス、およびサービスの契約に対してのみ作成できます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションのみをインストールしている場合は、サブスクリプション、メンテナンス、およびソフトウェアライセンス契約を更新することができます。ハードウェア資産管理 アプリケーションのみをインストールしている場合は、メンテナンスおよび保証契約を更新できます。エンタープライズ資産管理 アプリケーションのみをインストールしている場合は、メンテナンスおよび保証契約を更新できます。

手順

1. 更改する契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 すべて > 契約 > 契約更新.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、[期限切れ間近の契約] ウィジェットを見つけます。

     または、[契約管理] ビューを開き、[すべて] や [メンテナンス] などの契約タイプのタブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、[期限切れ間近の契約] ウィジェットを見つけます。

     または、[契約とリースの管理] ビューを開き、[すべて] や [メンテナンス] などの契約タイプのタブを選択します。
2. 更新する契約のタイプを [メンテナンス]、 [保証]、[サブスクリプション]、[ソフトウェアライセンス]、または [サービス] のいずれかとして選択します。
3. 選択した契約の [更新] をクリックします。
4. 契約更新要求を送信します。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合は、**[OK]** をクリックします。

     契約更改要求には次の情報が含まれています。
     - 自動生成された一意の番号
     - 契約更改プロセスのタスクのタイプを示すステージ
     - 更改を要求した契約への参照
     - 要求が作成された日時

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合は、[契約を更新] ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスのフィールドに入力し、[レビューのため送信] をクリックします。

[契約を更新] ダイアログボックス

フィールド	説明
承認者	契約更新要求を承認または却下するユーザー。
オプション	契約の更新期間。
更改開始日	契約の更新が始まる日付。
更改終了日	契約の更新が終了する日付。
コスト調整タイプ	契約に適用されたコスト調整のタイプ。オプションは、[固定]、[手動]、または **[CPI]** (消費者物価指数) です。
コスト調整率	契約価格の増減率。価格の減額を示すには、割合をマイナス値で入力します。 **注:** 契約更改要求では、コスト調整率またはコスト調整額のいずれかを指定できます。両方を指定することはできません。
コスト調整額	契約価格の数値的な増減。価格の減額を示すには、マイナス値で入力します。 **注:** 契約更改要求では、コスト調整率またはコスト調整額のいずれかを指定できます。両方を指定することはできません。

5. オプション: [契約更改要求ライン] タブを選択して、親契約の更改要求ライン、または親契約の下の既存の有効な子契約を表示します。
   更新される契約ごとに契約更改要求ラインが作成されます。
6. オプション: [タスクを開く] タブを選択して、すべてのオープン契約更改フロータスクと各契約更改タスクの詳細を表示します。
7. オプション: [すべてのタスク] タブを選択して、すべての契約更改フロータスクと各契約更改タスクの詳細を表示します。

タスクの結果
更改される契約のサブステートが [更新中] に設定されます。

次のタスク
親契約に子契約がない場合は、[更改作成タスク (Build renewal task)] を選択します。

親契約に子契約がある場合は、[契約の選択タスク (Contract selection task)] を選択します。

複数の子契約を更改する

契約の選択タスクを使用して、親契約の複数の子契約を更改することができます。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて
このタスクは、更改する契約に有効な子契約があり、まだ未更新でドラフトステータスでもない契約更改ワークフローでその子契約がサポートされている場合にのみ作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. [契約] フォームで、[関連リンク] セクションの [契約更改要求] タブを選択して、契約更改要求のリストを表示します。
2. 更改要求を選択します。
3. [契約更新タスク] フォームの [更改契約] タブを選択して、選択した契約にリンクされているすべての子契約を表示します。
4. 更改する子契約を指定します。

   a. 子契約の横にあるプレビューアイコン ⓘ を選択してレコードを開きます。

   b. [更改の決定] フィールドで「はい」または「いいえ」と入力して、子契約を更改に含めるかどうかを選択します。
   各子契約の [更改の決定] フィールドに値を入力する必要があります。

5. [更新] を選択します。
   [更改契約] タブの [更改の決定] 列に決定が表示されます。
6. [タスクのクローズ] を選択します。

タスクの結果
親契約と子契約の契約更改要求ラインが [契約更改要求ライン] タブに表示されます。各契約要求ラインには独自のタスクフローがあります。

次のタスク
契約更改情報を指定する

契約更改情報を指定する

更新作成タスクを実行して、契約更改情報を入力します。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて
各契約更改要求ラインには独自のタスクフローがあります。

手順

1. 契約更改要求ラインフォームで、更改作成タスク番号を選択します。
2. 契約更改タスクフォームで、[更新契約の詳細] タブを選択します。
3. 契約更改情報を指定します。

   タスクを閉じる前に、すべての必須フィールドに入力する必要があります。子契約を更改する場合は、親契約の開始日と終了日の範囲内で終了日と開始日を指定する必要があります。

   注:
   [契約承認者] フィールドは親契約のみで表示されます。すべての子契約に対して同一の契約承認者の値が自動的に入力されます。

4. [タスクのクローズ] を選択します。

タスクの結果
新しいドラフト契約が作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
契約更新のために資産を追加または削除する

契約更新のために資産を追加または削除する

契約更新プロセスに対してハードウェア資産またはエンタープライズ資産を追加または削除します。新しい契約に引き継がれたハードウェア資産またはエンタープライズ資産を表示することもできます。

始める前に

契約更新プロセスに対してハードウェア資産を追加または削除するには、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 アプリケーションを要求します。契約更新プロセスに対してエンタープライズ資産を追加または削除するには、ServiceNow Store から エンタープライズ資産管理 アプリケーションを要求します。

必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

更新される契約のアクティブで有効な資産が新しい契約に引き継がれ、[対象資産] タブにリスト化されます。有効なハードウェア資産とエンタープライズ資産は、終了日より前に契約から削除されず、次のステータスまたはサブステートになっています。

- ステータス
  - 在庫あり
  - 輸送中
  - メインテナンス中
  - 使用中
- サブステート
  - 利用可能
  - 予約済み
  - 転送待ち
  - なし
  - 修理待ち
  - インストール待ち

無効な資産はドラフト契約に引き継がれないため、手動で追加する必要があります。

手順

1. 資産を追加する資産選択タスクまたは契約を開きます。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約更新要求ライン] フォームで資産選択タスク番号を選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開きます。[すべての契約] タブを選択してから、資産に追加する契約を開きます。
2. [対象資産] タブを選択します。
3. コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[編集] をクリックします。
4. 契約のハードウェア資産またはエンタープライズ資産を更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [保存] を選択します。
6. 資産の更新コストを編集します。

   注:
   このステップは、コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合のみ適用されます。

   a. 更新コストを更新する資産を選択します。
   b. [更新コスト] フィールドで、資産の更新コストを更新します。
   c. [更新] をクリックします。
7. [保存] をクリックします。
8. [契約更新要求ライン] フォームの資産選択タスクで資産を追加している場合、[タスクをクローズ] をクリックします。

タスクの結果
ドラフト契約の [財務] タブの [支払額] フィールドには、選択したハードウェア資産またはエンタープライズ資産の合計更新コストが表示されます。

次のタスク
契約更改のためにエンタイトルメントを追加または削除する

契約更改のためにエンタイトルメントを追加または削除する

ソフトウェア資産選択タスクを使用して、契約更新プロセスに含めるソフトウェアエンタイトルメントを追加または削除します。新しい契約に引き継がれたエンタイトルメントを表示することもできます。

始める前に
ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインを有効にする必要があります。

必要なロール：sam_user、contract_manager

このタスクについて
次のライセンスタイプのエンタイトルメントは新しい契約に引き継がれます。

- 無期限およびメンテナンス
- 無期限およびソフトウェア保証
- 無期限のみ

手順
1. 契約更改要求ラインフォームで、ソフトウェア資産選択タスク番号を選択します。
2. ドラフト契約にエンタイトルメントが引き継がれていない場合は、エンタイトルメントを作成します。

   a. 契約更改タスクフォームで、[計画されたエンタイトルメント] タブの [エンタイトルメントを作成] を選択します。

   b. ソフトウェアエンタイトルメントフォームで、必須フィールドに入力します。

      詳細については、「[ソフトウェアエンタイトルメント] フィールド」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. [保存] を選択します。

このエンタイトルメントは既存の更改プロセスに関連付けられているため、更改要求を完了した後に公開できます。

エンタイトルメントが [計画されたエンタイトルメント] リストに表示されます。

3. オプション: ドラフト契約の既存のエンタイトルメントを更新します。

4. [保存] を選択します。

5. [タスクのクローズ] を選択します。

次のタスク
契約条件を更新する

契約条件を更新する

新しい契約の契約条件を更新します。新しい契約に引き継がれた契約条件も表示できます。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 契約条件を追加するタスクまたは契約を開きます。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約更新要求ライン] フォームで契約条件タスク番号を選択します。[更新契約期間] タブを選択し、[編集] をクリックします。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューに移動して、[すべての契約] タブを選択します。契約条件を追加する Enterprise 資産契約を開き、[契約条件] タブを選択します。
2. 契約の契約条件を更新します。

3. [保存] を選択します。

4. [契約更新要求ライン] フォームの契約条件タスクで契約条件を追加している場合、[タスクをクローズ] をクリックします。

タスクの結果
契約の [契約条件] タブに複数の契約条件が表示されます。

次のタスク
新しい契約にレートカードを追加する

新しい契約にレートカードを追加する

レートカードタスクを使用して契約の経費を追跡し、新しい契約にレートカードの詳細を追加することができます。

始める前に
Cost Management [con.snc.cost_management] プラグインが有効である必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて
レートカードの詳細は新しい契約に引き継がれません。

レートカードの詳細を契約に追加することは必須ではありません。ドラフト契約にレートカードを追加する必要がない場合は、このタスクをクローズできます。

手順

1. 契約更改要求ラインフォームで、レートカードタスク番号を選択します。
2. 契約更改タスクフォームで、[更新レートカード] タブを選択します。
3. [新規] を選択します。
4. 契約レートカードフォームで、財務の詳細を入力します。
   フィールド値の説明については、「契約レートカードフォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。
6. [タスクのクローズ] を選択します。

タスクの結果
レートカードはドラフト契約に添付されています。

次のタスク
契約更改の詳細をレビューする

契約更改の詳細をレビューする

更改確認タスクを使用して、契約の詳細をすべて入力した後、更改の詳細をレビューします。その後、その詳細を承認するか、さらにレビューするために詳細にマークを付けることができます。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて
契約更改要求が承認対象になるためには、このタスクを完了する必要があります。

手順

1. 契約更改要求ラインフォームで、更新確認タスク番号を選択します。
2. 契約更改タスクフォームで更改の詳細を確認します。
3. オプション: [計画されたエンタイトルメント] タブにアクセスして、ドラフト契約のエンタイトルメントのリストをレビューします。
4. このタスクをクローズするかどうかを決定します。
5. [タスクのクローズ] を選択します。

タスクの結果
タスクをクローズすると、すべての契約更改タスクがクローズされるため、契約更改要求ラインの処理が完了します。契約更改要求ラインのステージが [承認待ち] に設定されます。契約更改要求のすべての契約更改要求ラインが処理されると、[契約更改要求] の下に承認タスクが作成されます。

次のタスク
契約更新要求を承認または却下する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約更新要求を承認または却下する

すべての契約更新要求ラインの契約更新要求を承認または却下します。

始める前に

[更新承認者] フィールドに値を含める必要があります。承認者を変更する必要がある場合は、親契約に移動して、そこで値を調整します。

必要なロール：asset_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、contract_manager (コア UI またはハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 契約更新の詳細を確認します。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合は、[契約更新要求] フォームの [タスクを開く] タブを選択します。契約更新要求番号を選択して契約更新の詳細を表示し、[タスクをクローズ] をクリックします。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開きます。[すべての契約] タブを選択し、更新するエンタープライズ資産契約を開きます。[詳細] タブの [更新] セクションで契約更新の詳細を表示します。

   承認要求がトリガーされ、ドラフト契約のサブステートが [レビュー中] に変わります。
2. 契約および契約更新要求のリストを開きます。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合は、 すべて > 契約 > 自分の承認.
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[自分の契約承認] タブを選択します。
3. 承認待ちの契約更新要求を選択します。
4. 契約更新要求ラインと契約更新タスクを評価します。
5. 契約更新要求を承認または却下します。
6. オプション: [承認履歴] タブに移動して、契約および子契約の承認または却下の履歴を表示します。

次のタスク

契約資産の発注書を受領する

契約資産の発注書を受領する

更新発注書タスクを使用して、契約の対象となる資産の発注書を受領します。このタスクは、少なくとも 1 つのハードウェア資産を追加した場合、エンタイトルメントを作成した場合、または [ビルド] ステータスの既存のエンタイトルメントを選択した場合に使用できます。

始める前に

ハードウェア資産またはエンタイトルメントを選択または追加していないか、Procurement プラグイン (com.snc.procurement) がアクティブでない場合、このタスクは作成されません。代わりに、財務経費を手動で追跡する必要があります。

必要なロール：procurement_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 契約更改要求フォームで、[タスクを開く] タブを選択します。
2. 契約更改要求番号を選択します。
3. [注文書] タブを選択します。
4. 契約の財務トランザクションをキャプチャする発注書番号を選択します。

   契約の対象となるすべての資産レコードについて、発注明細アイテムが作成されます。各発注書のコストは、対象となる各資産の更改コストです。

   発注明細アイテムは、[ビルド] ステータスのエンタイトルメントに対して作成されます。[計画されたエンタイトルメント] タブで追加された各エンタイトルメントは、一意の発注明細に対応します。

5. [注文] を選択します。
6. [受領] を選択して、契約の対象となる資産の発注書を受領します。
   発注書の受領では資産のみが更新され、エンタイトルメントは作成されません。

タスクの結果
ドラフトのエンタイトルメントが公開され、ステータスが [使用中] に設定されます。

発注書の受け取りが [受領伝票] タブに表示されます。

発注書と発注明細のステータスは、[受信済み] に変更されます。更新発注書タスクのステータスが自動的に [完了してクローズ] に変更されます。契約更改要求フローが完了します。

古い契約のサブステートは [更改済み] に設定されます。古い契約と更改された契約の開始日と終了日、更改日を表示する契約履歴レコードが作成されます。[関連リンク] セクションの [契約履歴] タブを選択すると、契約の履歴全体を表示できます。

発注書を受領すると、更改契約のステータスが [ドラフト] ではなくなり、契約が有効になります。更改された契約の開始日に達したものの、発注書が受領されていない場合、契約更改要求のステータスは [ドラフト] に設定されたままになります。新しい契約が有効になると、古い契約は期限切れになり、対象資産に終了日が設定されます。

契約更改プロセスのキャンセルの結果

契約更改プロセスをキャンセルすると、契約、契約更改要求、契約更改要求ライン、契約更改タスクのステータスが変更されます。

契約キャンセルの結果

キャンセルされたアイテム	結果
契約更改要求	• 更改要求全体がキャンセルされます。 • 更改中の契約のサブステートがクリアされます。 • すべてのドラフト契約がキャンセルされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約キャンセルの結果 (続く)

キャンセルされたアイテム	結果
契約更改要求ライン	• 契約更改要求ラインがキャンセルされます。 • すべての契約更改要求ラインがキャンセルされると、契約更改要求がキャンセルされます。 • 直接の子ドラフト契約の更改がキャンセルされます。

契約更改タスク	• 契約更改タスクと契約更改要求ラインがキャンセルされます。
	  ○ 契約更改要求に契約更改要求ラインが 1 つしかない場合、契約更改要求のステージは [キャンセル済み] に変わります。
	  ○ 契約更改要求に複数の契約更改要求ラインがある場合、契約更改要求のステージは変わりません。
	• 直接の子ドラフト契約の更改がキャンセルされます。
	• ドラフト契約のステータスが [キャンセル済み] に変更されます。
	• 既にクローズされているタスクのステータスは変更されません。
	• オープンタスクのステータスが [未完了でクローズ] に変更されます。
	• レートカードは、非アクティブになるドラフト契約に添付されます。
	• 更改中の契約のステータスが元のステータスに戻り、サブステートがクリアされます。
	• 契約更改タスクに関連付けられているエンタイトルメントが削除されます。

契約	• 契約更改要求に子契約が含まれている場合、直接の子契約の更改はキャンセルされます。 • 契約更改要求ラインがキャンセルされます。 • この契約によって開始された契約更改要求がキャンセルされます。 • 契約と直接の子契約の発注書がキャンセルされます。

契約管理 の使用

contract_manager ロールを持つユーザーは、契約管理 アプリケーションを使用して、リース、保証、メンテナンス、サービスなどのさまざまなタイプの契約を作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次の情報を契約に追加することができます。

- 契約の対象範囲である資産
- 契約の対象範囲であるユーザー
- 契約に関連する利用規約
- 契約に関連するその他の文書

契約履歴と実行レポートを表示して、契約のさまざまな段階をドラフトから終了まで追跡します。有効な契約を調整、延長、更改します。

契約ライフサイクル

作成から終了まで、契約はどのフィールドを編集できるかを決定するライフ サイクルに従います。

契約が [ドラフト] 状態の場合、契約レコードのほとんどのフィールドを編集できます。契約が [ドラフト] 状態を通過すると、特定の日付、更改、拡張、財務フィールドが読み取り専用になります。[ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドは読み取り専用です。

[契約コンプライアンスチェック] スケジュール済みジョブが、契約 [ast_contract] テーブルで毎晩自動的に実行されます。スケジュール設定済みジョブの詳細については、「条件チェック定義の使用」を参照してください。このスケジュール設定済みジョブでは、次のアクションが実行されます。

- 契約が承認され指定された開始日に達すると、契約状態を [有効] にします。
- 契約の更改が承認され指定された開始日に達すると、契約を更改します。
- 契約の状態が [有効] で終了日に達すると、契約の状態を [期限切れ] に変更します。

システムプロパティ *contract_compliance_check_job.enable_override* を使用すると、契約コンプライアンスチェックジョブが階層内のチェックを上書きできるようになります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **[True]** に設定されます。親テーブルと子テーブルの同じフィールドでチェックが定義されている場合、契約コンプライアンスチェックジョブは次のことを実行します。

- 親テーブルのレコードについては、テーブルの条件チェックにより、条件で指定された値でフィールドが設定されます。
- 子テーブルのレコードの場合、子テーブルの条件チェックによって親テーブルの条件が上書きされ、それに応じて子テーブルのフィールド値が設定されます。

たとえば、契約 (親) テーブルとリース (子) テーブルの [説明] フィールドでチェックが定義されている場合、[リース] テーブルのフィールドは子テーブルの条件で指定された値に設定されます。契約コンプライアンスチェックの上書き機能を無効にするには、システムプロパティ contract_compliance_check_job.enable_override を **[False]** に設定します。

経費ラインは、有効または期限切れの契約からのみ生成されます。

契約の状態

状態	説明
ドラフト	ユーザーが契約に関する情報を追加し、承認者を指定します。
有効	契約が承認され指定された開始日に達しました。
期限切れ	契約は指定された終了日に達しました。承認待ちの更改ワークフローが有効な期限切れの契約は、サブステートが [レビュー待ち] となります。更改は承認されたが更改日にまだ達していない、更改ワークフローが有効な期限切れの契約は、サブステートが [承認された更改] と

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約の状態 (続く)

状態	説明
	なります。有効な更改または拡張の保留ワークフローがない有効期限切れの契約は、サブステートが空欄となります。
キャンセル	契約は中止され、有効ではなくなります。

状態に加えて契約にはサブステートが存在することもあります。

契約のサブステート

サブステート	説明
レビュー待ち	契約はレビュー準備中です。
レビュー中	承認者に契約が送信され、契約を確認しています。
承認済み	契約は承認者によって承認されました。
却下	契約は承認者によって審査されましたが承認されませんでした。
承認された更改	契約更改は承認者によって承認されました。
却下された更改	承認の更新は拒否されました。
更新中	契約更改は契約更改ワークフローを使用して処理中です。
更改済み	契約更改は契約更改ワークフローを使用して完了しました。
承認された延長	契約延長は承認者によって承認されました。
却下された延長	契約延長は承認者によって拒否されました。
なし	サブステートは指定されていません。

自動翻訳

契約

契約とは、2 者間の拘束力のある合意です。

Now Platformでは、契約には契約番号、開始日と終了日、有効なステータス、契約条件、文書、更新情報、財務条件などの詳細情報が含まれています。

契約の作業には、以下のタスクとプロセスが含まれます。

契約を作成する

2 者間の拘束力のある合意として機能する、さまざまな契約モデルを含む契約を作成します。

始める前に
必要なロール：

- ハードウェア資産ワークスペースおよび：コア UI admin、contract_manager
- 対象: Enterprise Asset ワークスペースsn_eam.enterprise_admin、sn_eam.enterprise_asset_manager
- 対象: Software Asset ワークスペースsam_admin、sam_user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
契約に関連付けられたレート カードが 1 つ以上ある場合、契約フォームのフィールドは編集できません。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - を使用している場合は、 に移動します。コア UI すべて > 契約 をクリックし、[保険]、[メンテナンス]、[サービス] などの契約タイプを選択するか、[すべて] を選択します。
   - を使用している場合は ハードウェア資産ワークスペース、 契約管理 ビューに移動し、 すべての契約 タブを選択します。
   - を使用している場合は Enterprise Asset ワークスペース、 契約とリースの管理 ビューを開き、 すべての契約 タブを選択します。
   - を使用している場合は Software Asset ワークスペース、 ライセンス操作 > 契約 > ソフトウェア契約 をクリックし、[新規] を選択します。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   すべての契約タイプフォームにすべてのフィールドが表示されるわけではありません。

[契約] フォームまたは [新規契約を作成] フォーム

フィールド	説明
契約モデル	契約が割り当てられているモデル。 たとえば、リース、メンテナンス、保証、サービス契約、 ソフトウェアライセンス、サブスクリプションなどです。
ベンダー	契約を担当するベンダー。 このフィールドは、[契約モデル] から [購入契約書] または **[NDA]** が選択されている場合に必要です。
契約番号	ベンダーによって契約に割り当てられた番号 (必須)。
名前	契約の名前。
親契約	新しい契約の親契約 (該当する場合)。契約ルックアップリストから親契約を選択できます。
開始日	契約が発効する日付。 このフィールドは、[契約モデル] から [購入契約書] または **[NDA]** が選択されている場合に必要です。
終了日	契約が期限切れとなる日付。無期限の契約を作成するには、終了日を空のままにします。 このフィールドは、[契約モデル] から [購入契約書] または **[NDA]** が選択されている場合に必要です。
ステータス	契約の現状。 ○ ドラフト ○ 有効

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 期限切れ ○ キャンセル
サブステート	契約の現在のサブステート。 ○ レビュー待ち ○ レビュー中 ○ 承認済み ○ 却下
契約管理者	契約の管理と、ベンダーとのやり取りに関して責任を負っている人物
承認者	契約を承認または却下するユーザー。 このリストはフィルタリングされ、itil ロールを持つユーザーのみが表示されます。
事業主	事業の観点から契約を管理するユーザー。
合意タイプ	ライセンスの合意タイプ: ○ エンタープライズ ○ SaaS ○ 登録 このフィールドは、[契約モデル] から [メンテナンスとソフトウェアライセンス] が選択されている場合にのみ表示されます。
コミットメント	契約の開始から終了まで、この期間中にこのベンダーと過ごすことを約束した金額。 このフィールドは、[契約モデル] から [購入契約] が選択されている場合にのみ表示されます。
割引	ベンダーが提供することに同意した割引。 このフィールドは、[契約モデル] から [購入契約] が選択されている場合にのみ表示されます。
契約のない SLA を処理	契約上と契約外の両方のサービスレベルアグリーメント (SLA) を処理するオプション。 このフィールドは、[契約モデル] から [サービス契約] が選択されている場合にのみ表示されます。
説明	契約の詳細な説明。
財務セクション	
請求書の支払条件	契約の支払い方法を説明する条項。例として、翌月支払いや **Net 30** (請求日から 30 日以内に支払う) があります。
支払いスケジュール	支払いを行うときを定義するスケジュール。例として、毎月や毎月があります。
支払額	これまでの契約で支払われた金額

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
適用可能な税	契約が非課税か消費税の対象であるかを示します。
有効税率	総コストに適用される税率 (該当する場合)。通常、課税される平均税率です。 このフィールドは、[適用可能な税] から [売上] が選択されている場合にのみ表示されます。
税コスト	税の総額。 このフィールドは、[適用可能な税] から [売上] が選択されている場合にのみ表示されます。
総額	調整適用後の契約の最終費用。契約に 1 つ以上のレートカードがある場合、このフィールドにはすべてのレートカードの合計値が表示されます。 このフィールドは、[適用可能な税] から [売上] が選択されている場合にのみ表示されます。
ベンダーアカウント	契約が関連付けられているベンダーアカウント。
発注書番号	契約に割り当てられた発注書番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター。
レートカードあり	契約書に関連するレートカードがあるかどうかを示すチェックボックス。
更新セクション	
自動更新	期限が切れたときに契約を更新または延長できるかどうかを示します。
オプション	契約の更新または拡張の期間。たとえば、1 年です。
更改開始日	契約の更新または拡張が発効する日付。
更改終了日	契約の更新または拡張が終了する日付。
コスト調整タイプ	契約に適用された費用調整のタイプ ○ 固定 ○ マニュアル ○ CPI(消費者物価指数)
コスト調整額	契約の価格の数値的な増減。価格の減額を示すには、マイナス値で入力します。[コスト調整] または [コスト調整率] を指定することができますが、両方を指定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コスト調整率	契約の価格の増減率。価格の減額を示すには、割合をマイナス値で入力します。[コスト調整] または [コスト調整率] を指定することができますが、両方を指定することはできません。
契約条件セクション	
契約条件	契約に記載されている特定の法的情報。

4. フォームを保存します。
   - を使用している場合は コア UI、フォーム ヘッダーを右クリックして [保存] を選択します。
   - 、 Software Asset ワークスペース 、または Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合はハードウェア資産ワークスペース、 [保存] を選択します。
5. 表示されている関連リストまたはタブへの情報の入力を続行します。

契約フォームの関連リストまたはタブ

関連リストまたはタブ	説明
対象資産	この契約の対象となるすべての資産の一覧表示。
対象ユーザー	この契約の対象となる全ユーザーの一覧表示。
契約使用者：	この契約で使用されているすべての構成アイテム (CI) の一覧表示。
契約条件	この契約のすべての契約条件の一覧表示。
経費ライン	この契約のすべての経費ラインの一覧表示。
契約履歴	この契約の開始日と終了日の変更および契約条件の変更を表示します。
承認履歴	この契約のすべての承認の一覧表示。
サービスオファリング	このベンダーのすべてのサービス提供の一覧表示。 この関連リストを表示するには、Service Portfolio Management を有効にします。
契約のサービス コミットメント	このベンダーの製品に対するすべてのサービス コミットメントの一覧表示。 この関連リストを表示するには、Service Portfolio Management を有効にします。

6. 次のアクションのいずれかを実行します。
   - [更新] を選択して、契約を保存して終了します。
   - [レビューのため送信] を選択して、承認者に通知を送信します。

関連情報

モデル

サービスポートフォリオ管理 (SPM)

サービスオファリングにコミットメントを追加する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約更改ワークフロー

契約

ソフトウェアメンテナンス契約の例を作成する

契約管理 アプリケーションの一般的な使用例の 1 つは、エンタープライズソフトウェアのメンテナンス支払いを追跡する契約を作成することです。この例を使用して、ソフトウェアメンテナンス契約の作成方法を知ることができます。

始める前に

必要なロール：contract_manager または admin

このタスクについて

この例の目的は、時間の経過とともに異なるライセンスの購入とは無関係に、ソフトウェアアプリケーションに支払われなければならないメンテナンスの総額を示す契約を作成することです。この例を使用するには、ソフトウェア資産管理 プラグインを有効にする必要があります。

手順

1. モデル カテゴリに名前の入力とソフトウェア ライセンスを指定したアプリケーション モデルを作成します。
2. 名前とモデル番号を入力したソフトウェア モデルを作成し、手順 1 で作成したアプリケーション モデルを選択します。
3. 手順 2 で作成したソフトウェアモデルを選択し、新規のソフトウェアエンタイトルメントを作成します。
4. 移動先 契約 > 契約 > メンテナンス.
5. [新規]をクリックし、次の情報を入力します。

オプション	説明
合意タイプ	[エンタープライズ] を選択します。
アプリケーション モデル	手順 1 で作成したアプリケーション モデルを選択します。

6. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
   多数の関連リストとセクションが表示されます。
7. [資産対象] 関連リストで、[新規] クリックし、次の情報を入力します。

オプション	説明
資産	手順 3 で作成したソフトウェア ライセンスを選択します。
追加された日付	値を入力します。

8. [送信] をクリックします。
9. 次の情報をフォームに入力して完成させます。

オプション	説明
支払いスケジュール	[毎年] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
支払額	値を入力します。

10. 必要に応じて他のフィールドに入力します。
11. [更新] をクリックします。
12. レビューのため契約を送信します。

関連情報

ソフトウェア資産管理

契約に資産を追加する

ソフトウェア ライセンスを含む特定の資産と契約を関連付けることができます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて
資産と契約をリンクさせることで、契約が法的に何を対象としているかが明確になります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 **Contract Management** > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約に資産を追加します。
   - コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
     a. [対象資産] 関連リストで、[新規] をクリックします。
     b. [資産] フィールドで、契約の対象となる特定の資産を選択します。
     c. [追加された日付] フィールドで、資産が契約に追加された日付を選択します。

        過去、現在、未来の日付を選択できます。
     d. (オプション) [削除日] フィールドで、契約から削除された日付、または削除される予定の日付を選択します。

        [追加された日付] フィールドと [削除された日付] フィールドを指定すると、レポート作成に役立ちます。
     e. [送信] をクリックします。
   - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [対象資産] タブで、[新規] をクリックします。

b. ダイアログボックスで、契約に追加する各資産のチェックボックスをオンにします。

c. [追加] をクリックします。

契約にユーザーを追加する

契約は特定のユーザーを対象とすることができます。たとえば、契約を使用して臨時従業員のグループを雇うことができます。

始める前に
必要なロール：contract_manager または admin

手順

1. 移動先 **Contract Management** > 契約 > すべて.
2. 契約を選択します。
3. [対象ユーザー] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [ユーザー] フィールドで、契約の対象となる特定のユーザーを選択します。
5. [追加された日付] フィールドで、ユーザーが契約に追加された日付を選択します。
   過去、現在、未来の日付を選択できます。
6. オプション: [削除された日付] フィールドで、ユーザーが契約から削除された、または削除される予定の日付を選択します。
   [追加された日付] フィールドと [削除された日付] フィールドを指定すると、レポート作成に役立ちます。
7. [送信] をクリックします。

契約に構成アイテムを追加する

契約は構成アイテムに関連付けることができます。構成アイテムと契約をリンクさせることで、契約が法的に何を対象としているかが明確になります。

始める前に
必要なロール：admin または contract_manager

手順

1. 移動先 契約 > すべて.
2. 契約を選択します。
3. オプション: [対象となる **CI (CIs Covered)]** 関連リストで、[新規] を選択して新しい構成アイテムを作成します。
4. [対象となる **CI (CIs Covered)]** 関連リストで、[編集] をクリックします。
5. 左側の[コレクション] 構成アイテムリストで、構成アイテムの名前をダブルクリックします。
   アイテムが右側の [対象となる **CI** リスト **(CIs Covered List)]** に追加されます。
6. [保存] を選択します。

契約へのドキュメントの追加

契約はドキュメントと関連付けることができます。契約を関連ドキュメントにリンクすると、契約に関するすべての関連情報にまとめて簡単にアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 すべて > 契約 > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約にドキュメントを追加します。
   - コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
     a. フォームヘッダーの [添付ファイルの管理] () アイコンをクリックします。
     b. [添付ファイル] ダイアログボックスで、[ファイルを選択] をクリックして、契約に追加するドキュメントを検索して選択します。
   - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。
     a. 契約レコードのサイドバーにある添付ファイル () アイコンをクリックします。
     b. [添付ファイル] ウィンドウで、[選択] をクリックして、契約に追加するドキュメントを検索して選択します。

契約を調整する

契約を作成した後、契約の開始日、終了日、支払い金額などを変更できます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて
契約を調整するには、[ステータス] が [アクティブ] となっている必要があります。契約の終了日が変更されると、関連するすべての資産の終了日がその新しい終了日と一致するように変更されます。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 契約 > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. ステータスが [アクティブ] の契約を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [調整] をクリックします。
4. [契約を調整] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[契約を調整] のフィールド

フィールド	説明
契約開始日	契約が発効する日付。
契約終了日	契約が期限切れとなる日付。
契約支払額	契約に支払われた総額。契約に 1 種類以上のレート カードがある場合、この欄にはすべてのレート カード ベース コストの合計が表示されます。

5. **[Submit Adjustments]** をクリックします。

契約を更新する

契約を作成した後、または契約の有効期限が切れた後、契約を更新することができます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI またはハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

契約情報が更新されると、契約情報と履歴は保持されます。契約の終了日が変更されると、関連する資産の終了日が一致するように変更されます。次の条件を満たす契約を更新することができます。

- [状態] が [アクティブ] か [期限切れ]
- [サブステート] が [なし] または [却下済み]

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 契約 > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。

     または、[契約管理] ビューの [概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、期限切れが近い契約のリストを表示している [満了間近の契約] ウィジェットを見つけます。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。

     または、[契約とリースの管理] ビューの [概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、期限切れが近い契約のリストを表示している [満了間近の契約] ウィジェットを見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 状態が [アクティブ] または [期限超過] の契約を選択します。
3. [更新] をクリックします。
4. [契約をレビュー (Review the Contract)] フォーム (コア UI) またはダイアログボックス (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) で、フィールドに入力します。

[契約をレビュー **(Review the Contract)]** のフィールド

フィールド	説明
承認者	契約を承認または却下するユーザー。
オプション	更新のための期間 (年)。
更改開始日	更新された契約が発効する日付。
更改終了日	更新された契約が期限切れとなる日付。
コスト調整タイプ	更新された契約に適用されるコスト調整のタイプ：[なし]、[固定]、[手動]、または **[CPI]**。
コスト調整率	更新された契約の価格の増減率。価格の減額を示すには、割合をマイナス値で入力します。[コスト調整額] または [コスト調整率] を指定できますが、両方を同時に指定することはできません。
コスト調整額	更新された契約における価格の数値的な増減。価格の減額を示すには、マイナス値で入力します。[コスト調整額] または [コスト調整率] を指定できますが、両方を同時に指定することはできません。

5. 次のいずれかの手順を実行します。
   - 入力したすべてのデータを保存してサブステートを [レビュー中] に変更するには、[レビューのため送信] をクリックします。契約は特定の承認者に送信されます。
   - 入力したすべてのデータを保存してサブステートを [レビュー待ち] に変更するには、[保存] をクリックします。[更新] ボタンを押すと、更新された契約を後でレビューするために送信することができます。
6. 必要に応じて[契約] フォームの情報を変更します。
7. [更新] をクリックします。

次のタスク
[保存] オプションを選択した場合、承認のために更新された契約を送信する準備が整ったら、必ず [更新] をクリックしてください。

契約をキャンセルする

[状態] が [アクティブ] のときに契約を取り消すことができます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

契約がキャンセルされると、以下のプロセスが発生します。

- 契約の [状態] が [キャンセル] に変わります。
- 条件チェッカーが非アクティブに変更されます。
- [更新] と [延長] ボタンが非アクティブになります。
- 契約レートカードが非アクティブになります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 契約 > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [契約をキャンセル] をクリックします。
4. 契約のキャンセルを確定するには、[はい] をクリックします。

通知を受け取る契約管理者の割り当てを確認する

契約の有効期限について契約管理者にリマインダーを送信するイベントが自動的に毎晩実行されるので、契約の更新または再交渉を行うことができます。適切な契約管理者が契約に割り当てられていることを確認できます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

contract.expiration イベントが 契約 [ast.contract] テーブルで毎晩実行されると、契約管理者として指定された人にメールメッセージが送信されます。このメールは、次の時刻に送信されます。

- 契約の有効期限の 90 日前
- 契約の有効期限の 60 日前
- 契約の有効期限の 30 日前
- 契約の有効期限当日

admin ロールを持つユーザーは、契約通知を処理する contract.expiration 条件チェックを編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 契約 > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [契約管理者] フィールドに正しい名前が含まれていることを確認します。
   単名を指定することができます。

関連情報

条件チェック定義

メール通知/SMS 通知

承認のために契約を送信する

[ドラフト] 状態にある契約を、承認のため送信することができます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 契約 > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 状態が [ドラフト] の契約とサブステートが [レビュー待ち] の契約を選択します。
3. 契約の [承認者] を選択します。
4. [レビューのため送信] をクリックします。
   選択した承認者に電子メール メッセージが送信され、契約の [サブステート] が [レビュー中] に変更されます。

契約を承認または却下する

契約責任者の場合は、契約を承認または却下できます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 契約および契約更新要求のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 すべて > 契約 > 自分の承認.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[自分の承認] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[自分の契約承認] タブを選択します。
2. [要求済み] ステータスの契約を選択します。
3. 契約を承認または却下します。
   - 契約を承認します。
     - コア UI で契約を承認するには、[承認] をクリックします。契約の [サブステート] が [承認済み] に変更されます。
     - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースで契約を承認するには、[ステータス] フィールドを [承認済み] に設定します。
   - 契約を却下します。
     - コア UI で契約を却下するには、[却下] をクリックして、[コメント] フィールドに却下の理由を入力します。契約の [サブステート] が [却下] に変更されます。
     - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースで契約を却下するには、[ステータス] フィールドを [却下済み] に設定します。
4. [更新] (コア UI) または [保存] (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) をクリックします。
   - [ステータス] が [ドラフト] に設定されており、[開始日] が将来の日付に設定されている契約は、開始日に達するまで [ドラフト] のステータスのままとなります。契約の [サブステート] が [承認済み] の場合、システムにより [状態] が [アクティブ] に変更され、[サブステート] の値が削除されます。
   - [状態] が [ドラフト] となっており [開始日] が過去の日付に設定されている契約が承認されると、契約の [状態] が自動的に [アクティブ] に変更され [サブステート] が空欄になります。

契約の承認履歴を表示する

契約フォームの [承認履歴] 関連リストから、契約の承認履歴を表示させることができます。

始める前に

必要なロール：workflow_admin、admin、または sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

レビューのために契約が承認者に送信された後には、承認者の名前を変更できません。承認者が契約を却下した場合、承認のために再度送信される前に、同一の承認者または別の承認者を指定することができます。契約がレビューおよび承認されると、承認履歴レコードが契約フォームの [承認履歴] 関連リストに自動的にリスト化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 契約 > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [承認履歴] タブを選択します。
4. 承認の詳細を表示するには、レコードをクリックします。

契約条件

契約に条件を追加して、契約に関連するすべての文書を 1 箇所に保管することができます。

契約条件は、検索してレポートで使用することができます。1 件の契約に複数の契約条件レコードが追加されている場合は、レコードが特定の順序で表示されるようにレコードの順序を設定します。契約条件が承認のために送信された後、契約条件フィールドは読み取り専用になります。

contract_manager ロールを持つユーザーは、契約履歴を読んで利用規約を追加できます。

契約に条件を追加する手順は 3 つあります。

契約条件レコードを作成する

契約に追加する契約条件レコードを作成することができます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 契約の契約条件のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 すべて > 契約 > 契約 > 契約条件.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[契約条件] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[契約条件] タブを選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. [契約条件] フォーム (コア UI) または [新規契約条件を作成 (Create New Terms and Conditions)] フォーム (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) で、フィールドに入力します。

[契約条件] フォームまたは [新規契約条件を作成] フォーム

フィールド	説明
番号	契約条件に使用される一意の ID。このフィールドは、自動的に生成されます。
名前	契約条件の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
契約	契約にリンクします。
使用済み	契約に契約条件が関連付けられているかどうかを示すチェックボックス。
説明	契約条件の詳細。

4. [送信] (コア UI) または [保存] (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) をクリックします。

契約に条件を追加する

契約条件レコードを作成した後、[レビュー待ち]、[却下]、[却下された更新]、または [却下された延長] サブステートにある契約にレコードを追加します。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

契約条件は、作成時にのみ契約に追加できます。契約が承認された後は、契約条件を変更できません。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 契約 > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約に契約条件を追加します。
   - コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
     a. [契約条件] 関連リストで、[新規行を挿入] をダブルクリックします。
     b. 参照ルックアップアイコンをクリックし、リストから契約条件レコードを選択します。
     c. (オプション) [順序] に番号を入力して、契約条件のドキュメントに表示するレコードの順序を指定します。

     > **注:**
     > 1 つの契約の重複する契約条件レコードを入力してレコードを保存しようとすると、エラーメッセージが表示され、新しい重複レコードは追加されません。

   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。
     a. [契約条件] タブで、[追加] をクリックします。
     b. プロンプトが表示されたら、必要な情報を入力します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [契約条件] タブで、[追加] をクリックします。

b. ダイアログボックスで、追加する各契約条件のチェックボックスを選択します。

c. [追加] をクリックします。

契約内で契約条件を作成する

1 件以上の契約条件レコードを契約に追加した後で、契約の中で契約条件のドキュメントを作成することができます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

条件レコードは、[順番] フィールドで指定された順序で追加されます。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 **Contract Management** > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 1 つ以上の契約条件レコードが [契約条件] タブに追加されていることを確認します。
4. [契約条件] タブで、契約の契約条件を作成します。
   - コア UI を使用している場合は、[契約条件の作成] 関連リンクをクリックします。
   - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約条件の作成] をクリックします。

   [契約条件] リストのすべてのレコードが、契約の [契約条件] に追加されます。
5. [更新] をクリックします。

契約レート カードを作成する

レート カードを作成して契約経費を追跡することができます。レート カードを使用すると、費用を記録して割り当てるのに便利です。

始める前に

レートカードを使用するには、Cost Management プラグインをアクティブ化する必要があります。
必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

このタスクについて

契約レート カードは契約の詳細な価格情報を提供し、自動的に経費ラインを生成することができます。同じ契約に複数のレート カードが存在することもあります。

次のようなケースを考えてみましょう。ある組織がデータ センター内の技術業務を監督するサードパーティの会社と契約しているとします。ニューヨークのデータセンターで特定のサーバーモデルを使用する場合の契約コストは、マドリードのデータセンターで同じサーバーモデルを使用する場合と異なります。これらの費用を個別に詳述する 2 種類のレート カードがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 **Contract Management** > 契約 > すべて.
2. 契約を選択します。
3. [契約レート カード] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 契約レートカードフォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「契約レートカードフォーム」を参照してください。
5. [送信] をクリックします。

関連情報

経費の割り当て

経費でビジネスサービスを使用する

契約レートカードフォーム

契約レートカードフォームを使用すると、契約の詳細な価格情報を提供することで、自動的に経費の経費ラインを生成することができます。同じ契約に複数のレート カードが存在することもあります。

フィールド	説明
番号	契約レートカードの番号。
契約	内部契約番号。
サマリータイプ	契約レートカードタイプ。レート カードを分類するとレポート作成に便利です。ビジネスを成長、 ビジネスを運営、 ビジネスを変革から選択できます。
名前	契約レートカードのわかりやすい名前。
有効	レートカードが使用可能かどうかを示すオプション。
簡単な説明	契約レートカードの簡単な説明。
開始日	契約レートカードが有効になる日付。指定された日付以降に発生した費用について経費ラインが作成されます。財務計算を有効にするため契約の開始日以前の日付にすることはできません。
終了日	契約レートカードが無効になる日付。財務計算を有効にするため契約の終了日以降の日付を設定することはできません。値が入力されておらず、契約に終了日がある場合、日付は自動的に契約の終了日に設定されます。終了日以降に発生した費用の経費ラインは作成されません。
間隔	レート カードの請求期間の間隔。たとえば、[毎月]、 **[4** 半期]、[毎年] があります。
コストセンター	レートカードに対して財務的に責任を負うコストセンター。
前回処理	レート カードが請求された直近の日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
次のプロセス	次にレート カードを請求する日。
説明	レート カードの詳細情報。
売上税	合計費用に売上税を適用するかどうかを示すオプション。
税率	総コストに適用される実効税率。税率は通常、課税される平均税率です。
コストを配賦	[ベースコスト] フィールドに表示された金額を配賦して経費ラインを作成する方法。
値	[コストを配賦] フィールドで [値ごとにコストを割り当ておよび配賦] が選択されている場合に使用する値のタイプ。
ベースコスト	支払われなければならない課税前の金額。
税コスト	税の総額。
総コスト	税金などの調整を適用した後のレートカードの最終費用。

自動翻訳

経費ラインを作成する

通常、経費ラインは資産またはユーザーに基づいて自動的に生成されますが、必要に応じて手動で新規の経費ラインを登録することができます。

始める前に

必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 **Contract Management** > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [経費明細] 関連リスト (コア UI) またはタブ (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) で、[新規] をクリックします。
4. フォームに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

経費ラインの表

フィールド	説明
番号	経費ラインを識別する一意の番号。
日付	経費ラインが作成された日付。
レートカード	経費ラインが関連付けられているレートカードの識別番号。
レートタイプ	経費ラインの生成時に考慮されるレートタイプ。このフィールドは読み取り専用です。
ソース ID	経費ラインに関連付けられているアイテムの識別番号。このフィールドが入力されると、対応する情報がこのフォームの [ソース] フィールドに自動的に追加されます。
総計	[ソース **ID**] フィールドで指定されたアイテムの金額。貸方を指定する場合は負の値を入力します。
処理日	経費ラインが処理される日付。
継承	経費ラインが別の経費ラインにあるかどうかを示すチェックボックス。
状態	経費ラインの現在の状態 ([保留中] または [処理済み])。
サマリータイプ	経費ラインのカテゴリ：ビジネスを成長、ビジネスを運営、またはビジネスを変革。経費ラインの分類はレポート作成の際に役立つ可能性があります。
簡単な説明	経費ラインの簡単な説明。
資産	経費ラインに関連付けられている資産の識別番号 (存在する場合)。
固定資産	この経費ラインに資産が含まれている固定資産。固定資産は、1 つ以上の個別の資産 (ハードウェア資産やソフトウェア資産など) を保持するコンテナーです。名前付きの [資産] が固定資産に含まれている場合、このフィールドには適切な固定資産が自動的に入力されます。
契約	[資産] に関連付けられている契約の識別番号 (契約番号ではない)。
ユーザー	[資産] に関連付けられているユーザーの名前 (存在する場合)。
構成アイテム	経費ラインに関連付けられている構成アイテムの名前 (存在する場合)。
タスク	経費ラインに関連付けられているタスクの識別番号 (存在する場合)。
コスト	[ソース **ID**] で識別されたアイテムを財務的に担当するコストセンター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
センター	

5. [送信] (コア UI) または [保存] (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) をクリックします。

資産またはユーザーに基づいた経費ラインを生成する

経費ラインは、特定の時点での経費の金額と、経費が発生または生じた記録です。契約に割り当てられた資産またはユーザーに基づいて、経費ラインを生成することができます。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

このタスクについて
経費明細を生成するには、手順が 3 つあります。

手順

契約にユーザーまたは資産を追加する

契約にユーザーまたは資産を追加して、経費ラインを生成することができます。

始める前に
必要なロール：asset、financial_mgmt_user (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 **Contract Management** > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約に資産またはユーザーを追加します。
   - コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
     a. [対象資産] または [対象ユーザー] 関連リストで、[新規] をクリックします。
     b. [資産] または [ユーザー] を指定します。
     c. [追加された日付] を指定します。
     d. [送信] をクリックします。
     e. (オプション) 前の手順を繰り返して、資産またはユーザーをさらに契約に追加します。
   - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> Enterprise 資産ワークスペースの契約にユーザーを追加することはできません。

a. [対象資産] タブまたは [対象ユーザー] タブで、[新規] をクリックします。
b. ダイアログボックスで、契約に追加する各資産またはユーザーのチェックボックスを選択します。
c. [追加] をクリックします。

レート カードを作成し、ユーザーまたは資産を割り当てます

レート カードを作成する際にユーザーまたは資産を割り当てることができます。契約に割り当てられているユーザーまたは資産のみ割り当てることができます。

始める前に

必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

手順

1. 移動先 **Contract Management** > 契約 > すべて.
2. 割り当てられたユーザーまたは資産の契約を選択します。
3. [契約レート カード] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [開始日] を指定します。
   財務計算を有効にするため契約の開始日以前の日付にすることはできません。
5. ヘッダー バーを右クリックし、[保存] を選択します。
6. [資産対象] または [レートカードユーザー] 関連リストで、[新規] をクリックします。
7. 契約に割り当てられている[資産] または [ユーザー] を選択します。
   親契約に関連付けられている資産とユーザーのみが一覧表示されます。
8. [追加された日付] を指定します。
9. [送信] をクリックします。

レート カードの費用生成を設定する

レート カードに資産またはユーザーを追加した後には、契約の [財務] セクションにある[コストを配賦] フィールドを使用して、レート カード費用を生成することができます。

始める前に

必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

手順

1. 移動先 契約 > 契約 > すべて.
2. 費用を生成する契約を選択します。
3. [契約レートカード] 関連リストで、レートカードを選択します。
4. [コストを配賦] で、次のいずれかのオプションを選択して [ベースコスト] に一覧表示されている金額を配賦します。

オプション	説明
経費ラインを資産全体に均等に分割	[資産ごとにコストを割り当ておよび配賦] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	たとえば、ベースコスト 100 USD と資産 2 つで、50 USD の経費ラインが 2 件作成されます。
資産価値に基づいて資産間の経費ラインを分割	[値ごとにコストを割り当ておよび配賦] を選択します。 [値] フィールドに [コスト] と [残余コスト] オプションが表示されます。コストは資産レコードの [コスト] または [残余コスト] フィールドより導出されます。レート カードに複数の資産がある場合、コストまたは残存コストは資産の価値に基づいて分配されます。 たとえば、ベースコストが 100.00 USDで 70 USD の資産 1 つ、30 USD の資産 1 つで [コスト] オプションを選択すると、1 件が 70 USD、もう 1 件が 30 USD の経費ラインが 2 件作成されます。
経費ラインをユーザー間で均等に分割	[ユーザーごとにコストを割り当ておよび配賦] を選択します。 たとえば、ベースコストが 100 USD で契約上にユーザーが 2 人いると、50 USD の経費ラインが 2 件作成されます。
個々の資産の代わりに契約にコストを割り当てる	[契約にコストを割り当て] を選択します。

5. [更新] をクリックします。
   レートカードの [開始日] と [終了日] の間に発生した費用は、スケジュール設定済みジョブによって自動的に生成されます。スケジュール設定済みジョブである *Process FM Costs* は、契約 [ast_contract] テーブルで 1 日 1 回実行されます。経費ラインは、[有効] または [期限切れ] 状態の契約からのみ生成されます。期限切れの契約で経費ラインを生成し、前回の経費を追跡することができます。

関連情報

契約ライフサイクル

契約の経費明細を表示する

[経費明細] 関連リストまたはタブを使用して、特定の契約に記録されたすべての経費を表示および監査します。

始める前に

必要なロール：asset、financial_mgmt_user (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 契約 > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [経費明細] 関連リスト (コア UI) またはタブ (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) を選択します。
4. 表示する経費明細を選択します。
   経費ライン、契約の総コスト、契約の現在価値などの情報が一覧表示されます。

契約を監視する

契約履歴を表示して契約レポートを作成することにより、契約を監視できます。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて
契約開始日、終了日、契約条件のいずれかに変更があった場合、契約のコピーが自動的に保存され、契約履歴に格納されます。これは契約の変更を追跡して監査証跡を保持するのに便利です。[契約履歴] 関連リストまたはタブを、作成や更新用の列を含めて構成すると、契約の編集者が簡単に分かるようになります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、 契約 > 契約 > すべて.
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [契約履歴] 関連リスト (コア UI) またはタブ ([ハードウェア資産ワークスペース] および [Enterprise 資産ワークスペース]) を表示し、次のいずれかのアクションを実行します。
   - 契約に以前のバージョンが存在する場合、[契約開始] 列の日付をクリックしてバージョンを表示します。
   - 契約に以前のバージョンが存在しない場合は、契約の[開始日] または [終了日] を変更します。ヘッダー バーを右クリックし、[保存] を選択します。[契約履歴] 関連リストで、[契約開始] 列の日付をクリックして以前のバージョンを表示します。

契約レポートを実行する

契約の追跡と管理に役立つさまざまなレポートが用意されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：contract_manager または admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 実行する次のいずれかのレポートを選択します。

契約レポート

レポート	説明
ユニット当たりのコスト別アクティブな契約	ユニット当たりの平均コスト別のアクティブな全契約を、昇順でグループ化。
ライフタイム コスト別アクティブな契約	ライフタイム コスト別のアクティブな全契約に関連するレート カードを含んで、昇順でグループ化。総コストは、契約の開始時からレポート実行日までの間で起算されます。
月額コスト別アクティブな契約	1 か月当たりのコスト別のアクティブな全契約を、昇順でグループ化。
ベンダー別アクティブな契約	ベンダー別のアクティブな全契約のアルファベット順。
年間コスト別アクティブな契約	年間コスト別のアクティブな契約を、昇順にグループ化。
状態別全契約	[ドラフト]、[アクティブ]、[期限切れ] など、契約を状態別にグループ化 (棒グラフで表示)。
タイプ別全契約	アクティブな全契約をタイプ別にグループ化 (円グラフで表示)。
資産契約リスト	契約番号別の資産のアクティブな全契約。
タイプ別契約支出	リース、メンテナンス、保証などタイプ別の契約経費の合計 (棒グラフで表示)。
ベンダー別契約支出	特定のベンダーに関連する全契約の総コスト (棒グラフ形式)。
契約パイプライン レポート	状態が [ドラフト]、 [アクティブ]、[期限切れ] のいずれか、またサブステートが [レビュー待ち] または [レビュー中] の全契約 (棒グラフで表示)。
期限切れが間近の契約	今後 90 日以内に期限切れになるすべての契約。

条件チェック定義

条件チェック定義を使用すると、レコードのフィールド値を変更する時期を示す論理条件を定義できます。

スケジュール設定済みジョブは、*Contract Compliance Checks* システムスケジューラ > スケジュール済みジョブは、条件チェッカーを実行して、これらの条件チェック定義を毎日評価します。このジョブを実行すると、条件チェック定義を実行する ConditionChecks スクリプトインクルードがトリガーされます。この条件チェッカーを使用して、開始日と終了日を確認し、契約の有効期限を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、契約の開始日を 3 月 1 日とします。条件チェッカーが 3 月 1 日に実行されると、契約の [サブステート] が [承認済み] となっているか検証され、[開始日] フィールドに基づいて契約の [ステータス] が [アクティブ] に設定されます。

日次条件チェッカーは、契約の [終了日] に基づいてアクティブな契約に適切な有効期限のレベルを設定します。有効期限のレベルは [契約] リストで確認できます。有効期限のレベルを知ることで、契約管理者は期限が切れる前に契約を更新または延長することができます。

条件チェックを定義する

条件チェックを定義して、*Contract Compliance Checks* スケジュール済みジョブが夜間に実行されるごとに契約にある値を変更します。

始める前に

必要なロール：contract_manager または admin

手順

1. 移動先 すべて > 契約 > 管理 > 条件チェック定義.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フォームに入力します。

条件チェック定義フィールド

フィールド	説明
テーブル	この条件が適用されるテーブル。契約チェック定義の場合、契約 **[ast.contract]** を選択します。
カテゴリ	条件チェックのカテゴリ。[契約] または [なし] を選択します。カテゴリは情報とレポートを整理するために使用されます。
条件フィールド	更新されるフィールド。通常、[有効期限レベル] か [状態]。
イベント名	この条件のフィールドの値が変更されたときに発生するイベントの名前。<table_name>.<condition_field> を使用して名前を作成します。 例：contract.validation
順番	条件が評価される順番。

4. ヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
   [条件] 関連リストが表示されます。
5. [条件] 関連リストで、[新規] をクリックします。
6. フォームに入力します。

条件フィールド

フィールド	説明
名前	期限切れ条件が満たされている場合、フィールドに設定される値。
条件チェック	関連する条件チェック。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テーブル	条件チェックに関連付けられたテーブル。
イベント名	この条件が発動するイベントの名前。
期限切れ条件	この値 ([名前]) に設定されている[条件チェック] フィールドが True となる必要のある条件。 必要とされる数の条件を追加します。
適合状態	システムフィールド。使用しません。
順番	条件が評価される順番。[有効期限切れ条件] が True となる最初の一致条件が使用され、他の条件はチェックされません。

7. [送信] をクリックします。
   条件チェック フォームが開き、関連リストに新しい条件が一覧表示されます。
8. オプション: 上記の手順に従って、必要に応じて条件を追加します。

ドメイン分離と 契約管理

契約管理 ではドメイン分離はサポートされていません。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

Procurement

Procurement マネージャーは、ServiceNow® 調達 アプリケーションを使用して発注書を作成し、サービスカタログ要求を履行するためのアイテムを取得することができます。

調達 では、次の機能を実行できます。

- サービスカタログ要求の追跡
- 発注書の作成
- 転送オーダーの登録、管理
- 資産の受領

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Procurement のロール

Procurement アプリケーションは次のロールを使用します。

ロール	ロールを含む	説明
procurement_admin	procurement_user	要求なしで発注書を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送オーダーを閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送オーダーを作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。 Procurement の概要モジュールでゲージを更新、追加、削除、再配置することができます。
procurement_user	financial_mgmt_user、model_manager	要求なしで発注書を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送オーダーを閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送オーダーを作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。Procurement の概要モジュールでゲージを表示、更新できます。

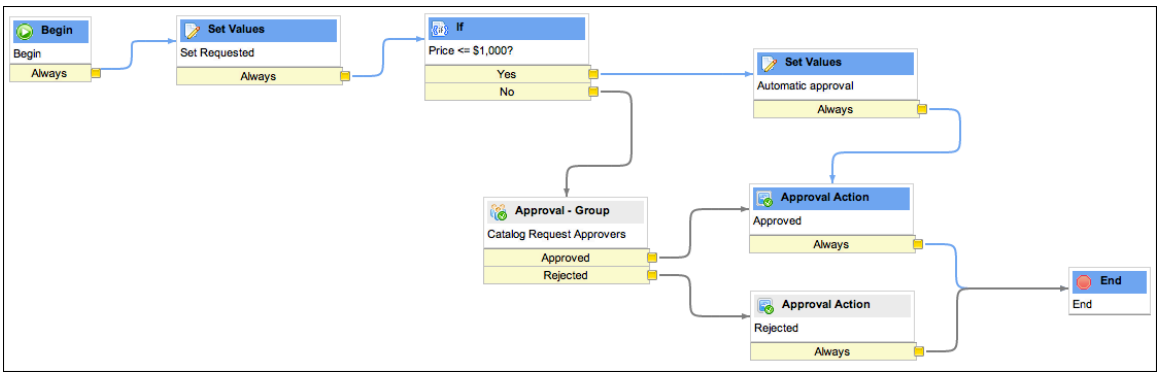
自動翻訳

Procurement のワークフロー

Procurement では次のワークフローが使用されます。

- サービスカタログ要求ワークフローでは、サービスカタログから注文されたアイテムが 1,000 ドルを超えると、承認が必要となります。

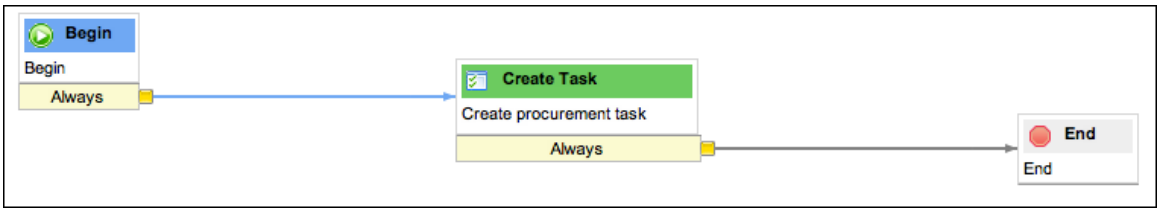
サービスカタログ要求ワークフロー



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソース要求ワークフローでは、調達マネージャーが転送オーダーや発注書を作成してアイテムを調達できるように、カタログタスクが作成されます。

ソース要求ワークフロー



これらのワークフローはベース システムで提供されています。グラフィカルなワークフローエディターでこれらのワークフローを編集したり、組織の調達ニーズに合わせてワークフローを作成することができます。

関連情報

ワークフロー

Procurement 概要モジュールを使用する

Procurement 概要ホームページのゲージを使用すると、要求、発注書、および調達プロセスのその他の重要な側面の追跡、管理に役立ちます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 概要.
2. 詳細情報を取得するには、ゲージ内の要素をクリックします。

Example
たとえば、要求番号をクリックすると、要求レコードが表示されます。

調達 をアクティブ化する

コアの調達機能となる 調達 プラグインをアクティブ化できます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin、procurement_user

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して Procurement プラグイン (com.snc.procurement) を検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

> **注:**
> ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

Procurement でインストールされるコンポーネント

Procurement にはいくつかのタイプのコンポーネントがインストールされています。

デモ データは Procurement で利用可能です。デモ データには、サンプル要求、発注書、発注明細、受領伝票があります。

Procurement でインストールされるビジネスルール

Procurement プラグインは、次のビジネスルールを追加します。

ビジネスルール	テーブル	説明
残り数量を調整する	発注明細 [proc_po_item]	注文額から受領した金額を差し引くことによって、発注明細で受注したアイテムの残量を計算します。
調達要求ができる	要求 [sc_request]	要求が調達されるかどうかを確認します。
Procurement 注文を取り消す	要求 [sc_request]	要求の状態が [キャンセルしてクローズ] に変更された場合、未受信の発注書と要求アイテムが含まれている未出荷の転送オーダーラインを取り消します。
要求アイテムが調達済みになっているか確認する	要求アイテム [sc_req_item]	要求されたすべてのアイテムが調達済みになっている場合、親要求の [調達済み] フィールドを **[True]** に設定します。
要求が調達可能か確認する	要求アイテム [Sc_req_item]	要求アイテムに関連付けられた要求が調達できるかどうかを確認します (転送オーダーまたはベンダーへの発注書を作成して取得します)。
資産を作成する	受領明細 [proc_rec_slip_item]	発注明細が利用可能な場合、明細の資産を受領したときに受領明細の資産を作成します。
ロールアップ状態とアセットの削除の処理	発注明細 [proc_po_item]	発注明細がキャンセルまたは受領された場合、それらを管理します。発注明細が取り消されると、このビジネスルールは事前に作成された資産を削除します。 このビジネスルールは、同じ発注書を共有する他の発注明細のステータスも確認し、必要に応じて発注書のステータスを更新します。たとえば、最後の発注明細が受領されると、発注書のステータスが [受領済み] に変更されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルール	テーブル	説明
既存の転送オーダー - Procurement に TOL をリダイレクトする	転送オーダー ライン [alm_transfer_order_line]	転送オーダーが [ドラフト] ステージにあり、[配送元ストックルーム] と [配送先ストックルーム] が転送オーダー ラインと同じ値である場合、既存の転送オーダーに転送オーダー ラインを添付します。
送料の変更	発注書 [proc_po]	出荷レートが変更された場合、発注書の総コストを再計算します。
状態の変更	転送オーダー ライン [alm_transfer_order_line]	関連する転送オーダー ラインのステータスが [受領済み] に変更された場合、要求アイテムも [受領済み] としてマークします。
状態の変更	発注明細 [proc_po_item]	発注明細が注文された時間を設定し、発注明細が受領された時間に元の要求アイテムを更新します。
発注書の状態の変更	発注書 [proc_po]	関連する発注書のステータスが変更されたときに、発注明細のステータスを変更します。
総コスト	発注明細 [proc_po_item]	個々のアイテムのコストと注文数量に基づいて総注文コストを計算します。発注明細を受領した際、このビジネスルールには次の手順も実行します。 • 別の値を入力しない限り、[表示価格] フィールドに [コスト] の値を入力します。 • [合計表示価格] と [注文数量] の値を掛けて、[合計表示価格] フィールドの値を計算します。
発注書の納品予定日の更新	発注明細 [proc_po_item]	発注書の [納品予定日] を最新の発注明細の [納品予定日] に設定します。
発注書の納品予定日の更新	発注書 [proc_po]	次の条件のうち少なくとも 1 つが当てはまる場合、関連する発注明細の [納品予定日] を発注書の [納品予定日] に設定します。 • 発注明細に納品予定日がない。 • 発注明細の納品予定日は発注書の納品予定日より遅い。 • 発注明細の納品予定日は発注書の前納入日付と同日。
注文日の更新	発注書 [proc_po]	[注文日] フィールドを、発注書のステータスが [注文済み] に設定されている日時に設定します。
発注書の更新	発注明細 [proc_po_item]	発注明細のコストが変更された場合、発注書を更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルール	テーブル	説明
発注明細の更新	受領明細 [proc_rec_slip_item]	受領明細を受け取った際、関連する発注明細の[受領済み数量] フィールドを更新します。
要求アイテム CI の更新	ハードウェア [alm_hardware]	調達プロセス中に作成された関連するハードウェア CI に、カタログ タスクと要求アイテムの [構成アイテム] フィールドを設定します。

関連情報

ビジネスルール

Procurement でインストールされるクライアントスクリプト

Procurement プラグインは、次のクライアントスクリプトを追加します。

クライアントスクリプト	テーブル	説明
要求が空欄でない場合は要求アイテムを隠す	カタログ タスク [sc_task]	タスクが要求アイテムに関連付けられており、要求には直接関連付けられていない場合、タスクの要求アイテムと要求アイテムの要求元の値を表示します。それ以外の場合、タスクが要求に関連付けられていたらクライアントスクリプトは要求と要求元の値を表示します。
発注明細の必須	受領明細 [proc_rec_slip_item]	関連する受領伝票に一覧表示された発注書がある場合、受領伝票フォームの [発注明細] フィールドを必須に変更します。

関連情報

クライアントスクリプト

Procurement でインストールされるスクリプトインクルード

Procurement プラグインは、次のスクリプト インクルードを追加します。

スクリプト インクルード	説明
ProcurementUtils	Procurement のユーティリティを提供します。

Procurement でインストールされるテーブル

Procurement プラグインは、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
発注書 [proc_po]	注文アイテム、注文アイテムのコスト、ベンダーに注文したアイテムを必要とするユーザーに関する情報を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	注: asset、procurement_user、inventory_admin、contract_manager ロールは、レポートにのみアクセスできます。contract_manager および Inventory_admin ロールの場合、ハードウェア資産管理プロフェッショナル (com.sn_hamp) プラグインをアクティブ化する必要があります。
発注明細 [proc_po_item]	発注書で注文されたアイテムや数量に関する情報を保存します。 **注:** asset、procurement_user、inventory_admin、contract_manager ロールは、レポートにのみアクセスできます。contract_manager および Inventory_admin ロールの場合、ハードウェア資産管理プロフェッショナル (com.sn_hamp) プラグインをアクティブ化する必要があります。
受領伝票 [proc_rec_slip]	発注書で注文されたアイテムの受領情報を保存します。複数の受領明細を参照できます。
受領明細 [proc_rec_slip_item]	発注されたアイテム、発注された数量、発注者など、特定の発注明細で発注されたアイテムに関する受領情報を保存します。

Procurement でインストールされるユーザーロール

Procurement プラグインは、次のユーザーロールを追加します。

ロール	ロールを含む	説明
procurement_admin	procurement_user	要求なしで発注書を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送オーダーを閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送オーダーを作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。 Procurement の概要モジュールでゲージを更新、追加、削除、再配置することができます。
procurement_user	financial_mgmt_user、model_manager	要求なしで発注書を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送オーダーを閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送オーダーを作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。Procurement の概要モジュールでゲージを表示、更新できます。

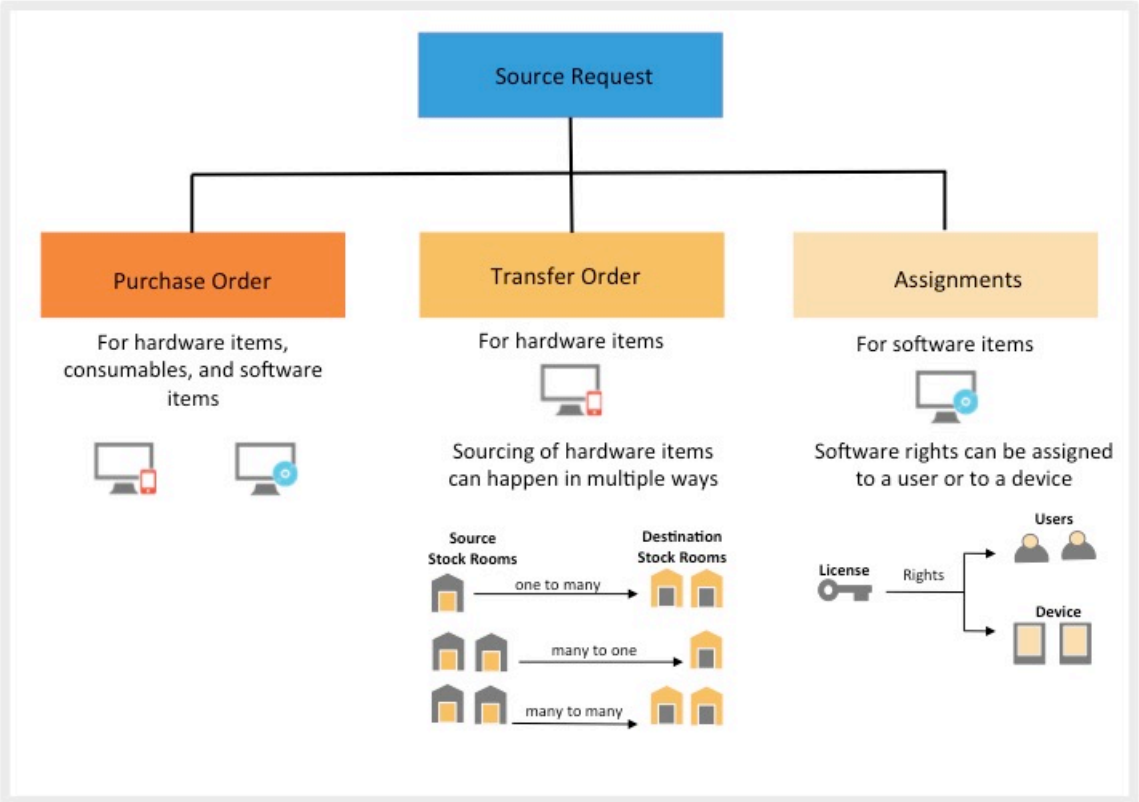
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスカタログ要求でのアイテムの調達

サービスカタログ要求には、調達する必要のある複数のアイテムが含まれていることがあります。

要求アイテムを調達する方法



注:
割り当てられたモデルを持つアイテムのみ調達可能です。バンドルを調達することはできません。

ローカルストックルームからの要求アイテムの調達

要求者のローカルストックルームで利用可能な資産を使用して、サービスカタログ要求を履行できます。在庫にある資産が予約され、要求を調達して履行するための履行タスクが作成されます。

その他のストックルームからの要求アイテムの調達

要求されたアイテムの在庫がない場合は、発注書を作成して、他のソースストックルームからローカルストックルームにアイテムを配送できます。1 つの発注書で複数のアイテムを要求できます。

発注書を作成した後には、要求アイテムを受け取る前または後に、ハードウェア資産を作成して要求者用に予約することができます。ソフトウェアライセンスを受け取る前に、ソフトウェアライセンスを作成したり、要求者にアサインしたりすることはできません。

要求されたハードウェアアイテムの調達

要求されたハードウェアアイテムを調達するには、転送オーダーを作成します。ソースストックルームから複数の宛先ストックルームにハードウェア資産を転送できます。

ソースのストックルームに十分なアイテムの在庫がない場合は、ハードウェアアイテムを宛先ストックルームに転送できるように、転送注文で複数のソースストックルームを指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求されたソフトウェアライセンスの調達

要求されたソフトウェアライセンスを調達するには、ソフトウェアライセンスの権限をユーザーまたはデバイスにアサインして、ソフトウェアの使用を許可する必要があります。

関連情報

- 転送注文の管理
- サービスカタログからの要求を追跡する
- モデル
- バンドルされたモデル

要求から発注書を作成する

要求から直接発注書を作成することができます。これにより、調達マネージャーはアイテムを入手して Service Catalog からの要求を満たすことができます。1 件の要求から複数の発注書を作成することができます。

始める前に

必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 要求 > 要求.
2. 承認済みであるものの、まだ調達されていない要求の [番号] を選択します。
   [要求ステータス] と [調達済み] 列を調べます。
3. [カタログタスク] 関連リストで、調達要求アイテム番号を選択します。
4. [ソース要求] を選択します。
   [ソース要求] 画面に、要求されたすべてのアイテムのリストが表示されます。
5. [要求アイテム] セクションで、[購入] を選択します。
6. [ベンダー] リストで、要求されたアイテムの配送元ベンダーを選択します。
7. [在庫切れ]フィールドが「**false**」に設定されていることを確認します。
   ベンダーに在庫がない場合、フィールドの値は「**true**」になります。
8. [数量] フィールドで、注文する数量を指定します。
9. [宛先ストックルーム] リストで、要求された 1 点以上のアイテムが配送される宛先を選択します。
10. オプション: **[PO** を統合] チェック ボックスを選択し、一覧表示されたアイテムを既存の発注書と結合します。

    (Optional) [発注書の統合] にチェックを入れると、同じ要求で同じベンダーから調達されるすべてのアイテムが同じ発注書に掲載されます。ベンダーを選択すると、システムによって自動的に、同じ要求に対して作成された発注書が検索され、同じベンダーが選択され、[要求済み] 状態となります。一致するアイテムが見つかると、すべてのアイテムが同じ発注書に掲載され、一緒に注文することができます。システムで一致が見つからない場合は、新規の発注書が作成されます。

    たとえば、Apple からスマートフォンを 25 台購入しようとしていて、Apple 向けの未処理の発注書がすでに存在している場合、25 台のスマートフォンは未処理の発注書に追加されます。選択したベンダー向けの未処理の発注書がない場合、新規の発注書が作成されます。同じベンダーに注文したアイテムはグループ化されます。発注書では、異なるアイテムはそれぞれ別の行に表示されます。
11. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- 発注書を作成します。
- 要求では、[調達済み] チェックボックスがオンになっています。

要求から転送オーダーを作成する

ストックルームからハードウェア アイテムと消耗品を調達する要求から、直接転送オーダーを作成することができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. 調達要求を表示します。
2. 承認済みであるものの、まだ調達されていない要求を選択します。
   [要求ステータス] と [調達済み] 列を確認します。
3. [カタログタスク] 関連リストで、調達タスクを選択します。
4. [ソース要求] を選択します。
   [ソース要求] ページまたは [調達] ページに、要求されたすべてのアイテムのリストが表示されます。
5. 転送注文を作成します。
6. オプション: ハードウェア資産ワークスペースの [調達] ページで、[流通チャネル経由のソース] チェックボックスをオンにして、宛先の倉庫をサポートするインバウンド流通チャネルから資産を調達します。

   注:
   [転送注文] の流通チャネル経由での調達を可能にする [流通チャネル経由のソース] チェックボックスは、ハードウェア資産ワークスペースにのみ表示されます。このチェックボックスをオンまたはオフにする設定は保存され、[調達] ページを再度開いたときに表示されます。

   要求者の場所をサービスの場所として複数の倉庫に関連付けることで、場所の範囲をさらに確保できます。また、これらの倉庫を複数のインバウンド倉庫または流通チャネルに関連付けて、倉庫間での資産の転送を最適化することもできます。流通チャネルを使用すると、倉庫に指定したランクに基づいて、調達に適した倉庫から資産を調達できます。

   詳細については、「ストックルームをサービスの場所に関連付ける」と「倉庫を流通チャネルにリンクする」を参照してください。
7. [ソース倉庫] リストで、ハードウェアアイテムの調達元にする倉庫を選択します。

   注:
   ハードウェア資産ワークスペースの [ソース倉庫] リストには、次の条件で要求者の場所をサポートする倉庫のインバウンド流通チャネルのみが表示されます。

   a. [流通チャネル経由のソース] オプションを選択した場合。
   b. 要求者の場所をサポートする倉庫にインバウンド流通チャネルが追加された場合。
8. [転送数量] フィールドで、転送する数量を指定します。
   [在庫あり] 列には、選択した調達倉庫で使用可能な総在庫が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [宛先倉庫] リストで、要求されたアイテムが配送される宛先を選択します。

   注:
   ハードウェア資産ワークスペースの [宛先倉庫] リストには、次の条件で要求者の場所をサポートする倉庫のみが表示されます。

   a. [流通チャネル経由のソース] オプションを選択した場合。

   b. 要求者の場所が 1 つ以上の倉庫のサービス場所として追加された場合。

10. [送信] を選択します。
    調達倉庫の場所から宛先倉庫の場所にアイテムを移動させる転送オーダーが作成されます。要求を表示すると、[調達済み] チェックボックスがオンになっています。

関連情報

転送注文の管理

ローカルストックルームからのソース要求

要求の調達時に、ローカルストックルームを可視化します。

始める前に

要求者のローカルストックルームから資産を使用して要求を調達できます。ローカルストックルームで在庫が利用可能な場合、資産は予約され、要求を調達するためのフルフィルメントタスクに従います。要求者の場所がサービス場所の一部として別のストックルームでサポートされている場合、このストックルームから資産を調達することもできます。ローカルストックルームに在庫がない場合は、他のストックルームから資産を転送するか、発注書を作成できます。

フローデザイナー アプリケーションは、ローカルストックルームから資産を使用して要求を調達するプロセスを実行する [資産ローカル在庫] サブフローを作成するために使用されます。このサブフローがさまざまなステージを進むにつれ、資産の詳細が自動的に更新されます。[資産ローカル在庫] サブフローを開いて、サブフローのステージステータスを表示できます。

注:
意思決定テーブルを使用して、[資産ローカル在庫] サブフローをカスタマイズします。詳細については、「ハードウェア資産管理フローのカスタマイズ」を参照してください。

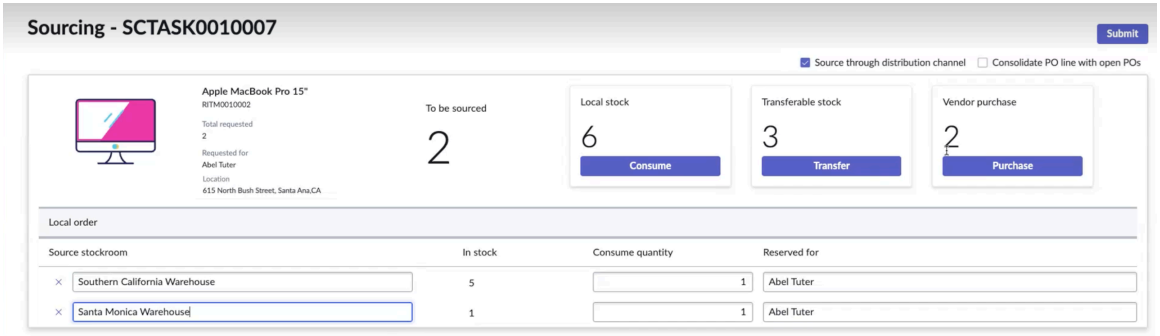
必要なロール：

- procurement_user または procurement_admin
- Inventory_user または Inventory_admin

手順

1. procurement_user または procurement_admin ロールの資格情報でログインします。
2. 移動先 すべて > サービスカタログ をクリックし、[**Hardware**] を選択します。
3. 調達するハードウェアアイテムを選択し、[今すぐ注文] を選択します。
   要求が送信され、[注文ステータス] フォームレイアウトが表示されます。
4. 要求番号を選択します。
5. [要求] フォームレイアウトで、[カタログタスク] 関連リストを選択して、要求の調達タスクを表示します。
6. 調達タスクを選択し、[ソース要求] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[調達] フォームには、次のハードウェア調達要求の詳細が表示されます。

- 要求合計：要求されたハードウェアの数量
- 要求元：ハードウェアが要求されたユーザーの名前
- 場所：ハードウェアを展開する場所

7. [消費] を選択して、ローカルストックルームと、自分の場所を担当するストックルームから利用可能な在庫を調達します。
   ローカルストックルームと自分の場所を担当するストックルームに在庫がない場合、[転送] または [購買] を選択して、転送オーダーまたは発注書によって要求を調達します。転送オーダーを作成し、ローカルストックルームをストックルームのリストに含めて、そのリストから選択するには、管理者が glide.asset.procurement.sourcing.local_stock_transfer プロパティをオンにする必要があります。
8. [ソース倉庫] を選択し、資産を調達するストックルームを選択します。
   場所がサービスの場所としてストックルームに関連付けられている場合は、ローカルストックルームとともにこのストックルームから調達できます。サービスロケーション機能により、単一のストックルームで複数のロケーションをサポートし、ローカルの在庫を効率的に消費できます。サービスロケーションの詳細については、「ストックルームをサービスの場所に関連付ける」を参照してください。
9. [消費量] フィールドで、選択したストックルームから消費する資産の数量を指定します。
10. [予約目的] を選択して、要求を調達するユーザーを指定します。
11. 複数のストックルームから調達するには、手順 7 ~ 9 を繰り返します。
12. [送信] を選択します。
    資産消費タスクが作成されます。ストックルームから資産が選択され、[予約目的] リストで選択したユーザー用に予約されます。選択した資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [予約済み] になります。
13. Inventory_admin または Inventory_user のロールの資格情報を使用してログインします。
14. [要求されたアイテム] 関連リストで要求アイテムを表示します。
15. [資産タスク] 関連リストを選択し、タスクを選択し、資産を選択して調達タスクにアサインします。
    資産消費タスクフォームのレイアウトが [資産タスク] モジュールに表示されます。調達する資産のタイプ (ハードウェアまたは消耗品) によっては、フォームレイアウトのフィールドが異なる場合があります。[資産タスク] モジュールには、すべての資産タスクレコードがリスト化されます。
16. 必要な変更を行い、完了したらタスクを閉じます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ハードウェア資産の場合：資産は調達タスクに自動的に割り当てられますが、[資産] リストを選択して資産を変更することができます。完了したら、[タスクをクローズ] を選択します。
- 消耗資産の場合：資産の代わりに資産のモデルがフォームレイアウトに表示されます。[タスクをクローズ] または [消費してクローズ] を選択します。[消費してクローズ] を選択すると、予約された資産が自動的に取得され、ユーザーにアサインされます。[タスクをクローズ] を選択した場合は、[消耗品] フォームレイアウトに移動して、ユーザーに資産を手動で割り当てる必要があります。

要求から割り当てを追加する

ソフトウェア ライセンスから権限を調達するための要求から、直接割り当てを追加することができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 要求 > 要求.
2. 承認済みであるものの、まだ調達されていない要求を選択します。
   [要求ステータス] と [調達済み] 列を確認します。
3. [カタログタスク] 関連リストで、番号を選択します。
4. [ソース要求] を選択します。
5. 要求されたソフトウェアアイテムセクションで [割り当てを追加] を選択します。
6. [ライセンス名] リストで、ソフトウェアの権限の調達元にする必要のあるライセンスを選択します。
   [利用可能な権限] 列には、選択したライセンスで利用可能なすべての権限が表示されます。
7. [権利] フィールドで、割り当てる権限を指定します。
8. [タイプ]リストから、ユーザーまたはデバイスに権限を割り当てるかどうかを選択します。
9. [アサイン済み/割り当て済み] リストで、要求されたアイテムを割り当てるユーザーまたはデバイスを選択します。
10. [送信] を選択します。
    [ライセンス名] の場所から [アサイン済み/割り当て済み] のユーザーまたはデバイスに権限をアサインするための割り当てが作成されます。要求を表示すると、[調達済み] チェックボックスがオンになっています。
11. コンピューターを実行して、コンプライアンスに準拠していることを確認します。
    ソフトウェア資産管理 がアクティブな場合は、ソフトウェアカウンターを実行するように求められます。
12. **[OK]** を選択します。
    監査の場合、要求フォームの [割り当て済みライセンス] 関連リストにこの要求の一部として行われたすべての割り当ての詳細が表示されます。

Procurement での資産の発注書管理

発注書の正確な情報は、請求書の追跡、受領、ServiceNowプラットフォームでのレポートにとって重要なものです。

Procurement アプリケーションを使用すると、適切な調達ロールを持つユーザーは資産の発注書情報の管理を行えます。また、サービスカタログ要求へ直接アクセスできます。発注書や転送オーダーを要求から直接作成することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Procurement アプリケーションを使用する前に、カタログ タスクのアサイン先グループを登録してください。アサイン先グループとは、場所別にフィルタリングされた一連のユーザーで、カタログタスクを実行できるユーザーです。

関連情報

転送注文の管理

グループの作成

サービスカタログからの要求を追跡する

Procurement アプリケーションでは、サービスカタログから注文された要求を追跡できます。

始める前に

必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて

ユーザーがサービスカタログから注文すると、要求レコードが作成されて注文を追跡します。各注文アイテムは、要求レコードに一覧表示される要求アイテムとなります。たとえば、ラップトップ 1 台、モニター 2 台、キーボード 1 台という 1 件の要求で、次のレコードが作成されます。

要求 REQ0000001：4 アイテム

- 要求アイテム RITM0000001：ラップトップ 1
- 要求アイテム RITM0000002：モニター 2
- 要求アイテム RITM0000003：キーボード 1

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 要求 > 要求.
2. 要求の [番号] をクリックします。
   [要求アイテム] 関連リストに注文アイテムが表示されます。要求アイテムを表示したり、他の関連リストの関連する発注書、転送注文、割り当てを表示することができます。要求アイテムごとにカタログタスクが自動的に生成され、購入すべきかストックルームから転送すべきかなど、アイテムの調達を識別します。

サービスカタログからの要求をキャンセルする

たとえばアイテムが不要になったり要求が承認されなかったりするなど、サービスカタログからの要求を取り消すことができます。

始める前に

必要なロール：catalog_admin、procurement_admin、または procurement_user

このタスクについて

サービスカタログ要求がキャンセルされると、次の処理が自動的に行われます。

- まだ受領されていない関連した発注書がキャンセルされます。
- すべての調達タスクがキャンセルされます。
- 転送オーダーに関連するすべての転送オーダーラインがサービスカタログ要求にも関連付けられ、転送オーダーラインがすべて取り消された場合、関連する転送オーダーはキャンセルになります。転送オーダーにサービスカタログ要求と関連のない転送オーダーラインが含まれていて、それらのラインが取り消されていない場合、転送オーダーはキャンセルとなりません。

[輸送中] または [配送済み] ステージにある関連する転送オーダー ラインはキャンセルできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 要求 > 要求.
2. 要求の [番号] をクリックします。
3. [要求をキャンセル] をクリックします。

カタログ タスクの表示と編集

カタログ タスクは、アイテムの調達と要求の実行に使用されます。要求からカタログ タスクを表示、編集できます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
要求に承認が必要な場合は、要求が承認されるとカタログ タスクが自動的に作成されます。要求に承認が必要ない場合は、要求が作成されたときにカタログ タスクが自動的に作成されます。

> **注:**
> 要求に要求アイテムが 1 点含まれており、そのアイテムにモデルが指定されていない場合、カタログ タスクは自動的に作成されません。要求に複数の要求アイテムがあり、そのうちのいくつかのアイテムだけにモデルが指定されている場合、カタログ タスクは自動的に作成されますが、モデルが指定されている要求アイテムに対してのみ作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 要求 > タスク.
2. カタログ タスクを開きます。
3. 必要に応じてフィールドを編集します。

カタログ タスクフィールド

フィールド	説明
番号	カタログ タスクを識別する固有の番号。
要求	カタログ タスクが関連付けられている要求の番号。このフィールドの情報は、要求フォームの [番号] フィールドから導出されています。
要求アイテム	カタログ タスクが関連付けられている要求アイテムの番号。このフィールドの情報は、要求アイテム フォームの [番号] フィールドから導出されています。
要求元	関連アイテムを要求した人物の名前。このフィールドの情報は、[要求] または [要求アイテム] フィールドから導出されます。
期日	カタログ タスクを完了させる必要のある日付。
構成アイテム	要求アイテムに関連付けられた構成アイテム。
承認	カタログ タスクの承認のステータス：[未要求]、[要求済み]、[承認済み]、[却下]
状態	カタログ タスクの現在の状態：[保留中]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、[スキップしてクローズ]
アサイン先グループ	カタログ タスクを完了するために個人が選択されるグループ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
担当者	アサイン先グループから選択したカタログ タスクを完了するために割り当てられた個人。
作業メモリスト	カタログ タスクの作業メモが更新されたときに電子メール通知を受け取るユーザーのリスト。
簡単な説明	カタログ タスクの簡単な説明。
説明	カタログ タスクの詳細な説明。
作業メモ	カタログ タスクの解決方法に関する情報。
追加コメント	カタログ タスクに関する有用な情報。これは顧客に見えるフィールドです。

4. [更新] をクリックします。

関連情報

モデル

発注書を作成する

発注書を作成することができます。発注書は、単体のベンダーから注文する資産を指定します。

始める前に

必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて

たとえば、組織はラップトップ 20 台またはサーバー 10 台を購入する発注書を作成することができます。発注書の情報は、注文された資産の物理的、財務的な追跡を可能にします。

資産がすでに組織によって所有されている場合は、転送オーダーを使用することもできます。転送オーダーは、資産を購入する代わりに、あるストックルームから別のストックルームに資産を内部転送するために使用されるものです。たとえば、ニューヨークの会社のストックルームにボストンで必要としているラップトップが 5 台あるとします。ニューヨークのストックルームからボストンのストックルームにラップトップを移動する転送オーダーを作成します。

発注書を作成すると、[受領伝票] 関連リストが発注書フォームに表示されます。受領伝票は、アイテムを受領したときに手動か自動で作成されます。[受領伝票] 関連リストには、発注書に関連のあるすべての受領伝票が表示されます。受領伝票が注文書に追加されると、注文書レコードのすべてのフィールドが読み取り専用になります。

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 順序 > 発注書.

2. **[New** (新規)] をクリックします。

3. フォームに入力します。

発注書フィールド

フィールド	説明
番号	発注書を識別する一意の番号。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期限	購買発に記載の総コストを支払わなければならない期限。
ベンダー	発注書が発行されるサプライヤー。
配送先	発注書のアイテムが配送されるストックルーム。 **注:** このフィールドは必須ですが、Coupa でソフトウェアの要求を作成するときには影響しません。
発注書日付	発注書が作成された日付。
ステータス	発注書のステータス：[キャンセル済み]、[注文済み]、[受領済み]、[要求済み]、[一時停止]。
アサイン先	発注書が割り当てられているユーザー。
請求先	発注書の総コストの支払いを担当する場所。
簡単な説明	発注書の簡単な説明。
「全般」セクション	
出荷	発注書のアイテムを出荷するときに使用される出荷方法。
期間	発注書支払い条件：、[請求日から **30** 日以内]、[請求日から **90** 日以内]
配送料	[出荷] フィールドで指定された配送方法に対して支払われなければならない金額。
総コスト	発注書のすべてのアイテムコストと配送料の合計。
説明	発注書の内容の完全な説明。
詳細セクション	
初期要求	発注書に記載のアイテムを必要とする要求のレコード番号。
要求元	発注書に記載のアイテムを要求するユーザー。 **注:** 発注書でアイテムを要求するユーザーのメール ID またはメールアドレスは、Coupa と ServiceNow ServiceNow アプリケーションの両方で同じである必要があります。
要求済み	[要求元] フィールドのユーザーが発注書に記載のアイテムを要求した日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注文済み	発注書フォームの [注文] ボタンがクリックされた日時。
配送予定	発注書に関連付けられたアイテムが、[配送先] フィールドで指定されたストックルームに到着する予定の日付。このフィールドは、発注書の [ステータス] が [受領済み] または [キャンセル済み] の場合は編集できません。(このフィールドの詳細については、「発注書の配送予定日」を参照してください)。
受領済み	発注書のステータスが [受領済み] に変更された日時。
契約	発注書に記載のアイテムが注文されるベンダーとの契約のレコード番号。
部門	発注書の支払いを担当する部門。
予算番号	発注書に関連付けられた予算番号。
ベンダーアカウント	発注書に関連付けられているベンダーアカウント。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク
発注アイテムを追加して、このベンダーから発注するものを指定します。

関連情報
転送注文の管理

発注明細を作成する
新規の発注書を保存したら、発注明細レコードを作成して注文する個別のアイテムを特定します。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順
1. 移動先 すべて > 調達 > 順序 > 発注書.
2. 発注書を開きます。
3. [発注明細] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームに入力します。

発注明細フィールド

フィールド	説明
番号	発注明細を識別する一意の番号。
ベンダー	この製品が注文されるサプライヤー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
製品モデル	発注明細のモデル。
Product Catalog	製品モデルが割り当てられている製品カタログ カテゴリ。例：ハードウェア、ソフトウェア、消耗品
品番	製品モデルに割り当てられた識別番号。
評価指標グループ	それぞれの測定基準グループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンス測定基準があります。 **注:** [製品モデル] フィールドでソフトウェアモデルのみを選択すると、このフィールドがフォームに表示されます。
ライセンス測定基準	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンス測定基準。ライセンス測定基準のオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。 **注:** ○ [製品モデル] フィールドでソフトウェアモデルのみを選択すると、このフィールドがフォームに表示されます。 ○ Coupa で利用できないライセンス測定基準を選択した場合、ライセンス測定基準値はデフォルトで「**each**」に設定されます。
要求アイテム	発注明細に関連付けられた要求アイテムレコードの識別番号。
注文済み	この発注明細が注文された日時。
配送予定	発注明細が [配送先] フィールドで指定されたストックルームに到着する予定の日付。このフィールドには、発注書レコードの [配送予定] フィールドの値が自動的に入力されます。発注明細のステータスが [要求済み] である場合は、このフィールドを編集できます。 このフィールドの詳細については、発注書の配送予定日を参照してください。
受領済み	発注明細のステータスが [受領済み] に変更された日時。
発注書	この発注明細に関連付けられた発注書レコード番号。
ライセンスパックごとの権利	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用に購入した各パックに関連付けられた権利
パックの数 (Number of packs)	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用のパックの数
ステータス	発注明細の現在のステータス：[キャンセル済み]、[注文済み]、[保留中の配送]、[受領済み]、[要求済み]。
注文数量	注文された製品モデルの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
受領数量	出荷され受領された製品モデルの数。ベンダーが複数の荷物を配送している場合もあります。 受領数量が注文数量より多いことも少ないこともあります。たとえば、ラップトップを 5 台注文していたかもしれませんが、ベンダーは 6 台出荷して来ました。
残り数量	注文数量通りにするために未だ受領する必要がある製品モデルの数。
表示価格	アイテムの小売価格。割引は含まれません。システムによって発注書がサービスカタログの注文プロセスから作成された場合、発注明細には関連するベンダーカタログアイテムの表示価格が導出されます。ベンダーカタログアイテムに表示価格がなく、価格が入力されていない場合、このフィールドには自動的に [コスト] フィールドの値が入力されます。
コスト	割引を含む単一の製品モデルのコスト。システムによって発注書がサービスカタログの注文プロセスから作成された場合、発注明細には関連するベンダーカタログアイテムのベンダー価格のコストが導出されます。
総コスト	[数量] で指定された値を乗じた、単一の製品モデルのコスト。
カタログ以外の要求	このチェックボックスを選択して、組織の製品カタログにまだ存在しないアイテムの要求を作成します。 **注:** ◦ 調達統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドはフォームに表示されません。詳細については、「外部調達アプリケーションとの統合」を参照してください。 ◦ [製品モデル] フィールドでソフトウェアモデルのみを選択すると、このチェックボックスがフォームに表示されます。 ◦ [Product Catalog] フィールドでアイテムを選択すると、このチェックボックスは自動的にオフになります。 ◦ [製品カタログ] フィールドでアイテムを選択していない場合、このチェックボックスは自動的にオンになり、カタログ以外の要求を送信することを示します。
在庫オーダー	読み込み専用で、関連する要求が一括在庫オーダーワークフローを使用している場合に選択されます。 **注:** ハードウェア資産管理 アプリケーションを ServiceNow Store からインストールする時に、すべての発注明細に表示されます。
簡単な説明	発注明細を説明する短い説明。

5. [送信] をクリックします。
   発注書が再び表示され、アイテムが一覧表示されます。発注書と明細は、[要求済み] ステータスになります。
6. オプション: 必要に応じてこのベンダーの発注明細を追加します。
7. ベンダーへの注文を開始して注文するものが準備ができたら、[注文] をクリックします。
   発注書と発注明細のステータスは、[注文済み] に変更されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

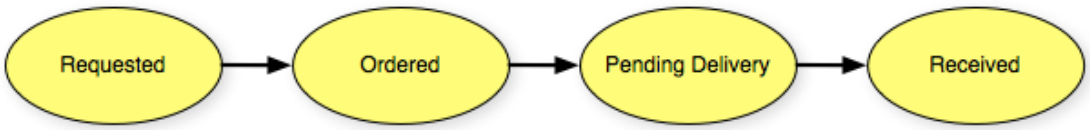
関連情報

ベンダーカタログアイテム

発注書ステータス

発注書は特定のライフサイクルに従っています。注文書レコードの [ステータス] フィールドは、常に読み取り専用です。

発注書ステータス



ステータスのライフ サイクル

ステータス	説明
要求済み	発注書を作成すると、ステータスは [要求済み] になります。
注文済み	発注明細を追加して [注文] をクリックすると、ステータスが [注文済み] に変わります。
保留中の配送	発注明細として資産を受領する前に作成すると、発注書と発注明細のステータスが [保留中の配送] に変更されます。
受領済み	注文済みの資産が指定したストックルームに配送されて [受領] をクリックすると、発注書と発注書のステータスが [受領済み] に変更されます。
キャンセル	発注書のステータスが [要求済み]、[注文済み]、[保留中の配送] であれば、発注書を取り消すことができます。詳細については、「発注書のキャンセル」を参照してください。

発注書の配送予定日

発注書レコードと発注明細レコードには、どちらにも配送予定の日付フィールドが含まれています。

[配送予定] フィールドはどちらのレコードででも編集できます。片方のレコードのフィールドを編集すると、もう片方のレコードのフィールドも変更されます。

- 発注書に配送予定日を追加し、発注明細の配送予定日フィールドが空欄の場合、発注書に掲載の日付が発注明細に自動追加されます。
- 発注明細に配送予定日を追加し、発注書の配送予定日フィールドが空欄の場合、発注明細に掲載の日付が発注書に自動追加されます。
- 発注書と発注明細の配送予定日が同じで、発注書に掲載の日付を変更すると、発注明細の日付も自動変更されます。
- 発注明細の日付を発注書で指定した日付より後の日付に変更すると、発注書の日付が新しい日付に変更されます。発注明細の配送予定日は、関連する発注書の配送予定日よりも後にすることはできません。
- 発注明細の日付を発注書で指定された日付より前の日付に変更すると、発注書の日付は変わりません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

発注書のキャンセル

発注書のステータスが [要求済み]、[注文済み]、[保留中の配送] のいずれかであれば、取り消すことができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
発注明細は、発注書からキャンセルすることもできます。

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 順序 > 発注書.
2. キャンセルするには、発注書を開きます。
3. [キャンセル] をクリックします。
   まだ受領されていない関連した発注書がすべてキャンセルされます。発注書に対して作成された資産はすべて削除されます。

発注明細のキャンセル

発注明細のステータスが [要求済み]、[注文済み]、[保留中の配送] のいずれかであれば、取り消すことができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
発注明細をキャンセルする際は、次の点にご注意ください。

- 発注明細をキャンセルする際、他のすべての明細も同様にキャンセルすると、発注書がキャンセルとなります。
- 発注明細のキャンセル後、関連する発注書がキャンセルされていないか未受領の場合は再注文することができます。
- 資産が作成された発注明細がキャンセルされると、資産はシステムから削除され発注書から削除されます。
- 同じ発注明細を再注文する場合、そのラインのステータスが [保留中の配送] であれば、資産が再度作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 順序 > 発注書.
2. 発注書を開きます。
3. [発注明細] 関連リストで、キャンセルするアイテムを選択します。
4. [キャンセル] をクリックします。

発注書の再注文

キャンセルされた発注書は、再注文することができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 順序 > 発注書.
2. ステータスが [キャンセル済み] の発注書を開きます。
3. [注文] をクリックします。
   発注書と関連するすべての発注明細に対して、ステータスが [発注済] に変更されます。

発注明細の再注文

キャンセルされた発注明細は、再注文することができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 順序 > 発注書.
2. 発注書を開きます。
3. [発注明細] 関連リストで、ステータスが [キャンセル済み] のアイテムを選択します。
4. [注文] をクリックします。
   発注明細の [ステータス] フィールドが、関連する発注書の [ステータス] フィールドに基づいて変更されます。たとえば、発注書のステータスが [保留中の配送] の場合、発注明細のステータスは [保留中の配送] に変更され、発注明細の資産が自動的に作成されます。

要求者のために資産を作成して予約する

配送前に資産を作成することにより、プロセスの早い段階で資産タグとシリアル番号を使用して資産レコードを作成し、要求したユーザーのために資産を予約することができます。受領者は資産が事前に作成されるため、受領する資産のみを選択することができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
一部の要求は、要求されたアイテムが調達される前に承認されている必要があります。ベース システムでは、1,000 USD を超える要求には承認が必要となります。1,000 USD 以上の承認のしきい値や、その他のワークフローの属性を変更するには、Service Catalog 要求ワークフローを編集します。

資産の状態が [在庫あり] の場合、[予約目的] フィールドは、資産が受領されストックルームに配置されているとして維持されます。資産の状態が [使用中] に変更されると、[予約目的] フィールドには [担当者] というラベルが再度付けられます。[予約目的] フィールドに名前がある場合、フィールドのラベルが再度付けられるとその名前が保持されます。資産ロールを持つユーザーは、[担当者] フィールドで名前を変更することができます。IT 技術者がラップトップを 10 台注文し、個々のユーザーに割り当てる必要がある場合などに、名前を変更すると便利です。

注:
資産が配送前に作成されていない場合、発注書が受領されるとその資産が明細から自動的に作成されます。また、資産の詳細を入力して発注書が受領されたときに受け取ることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 要求 > タスク.
2. [状態] が [オープン] のタスクを開き、[ソース要求アイテム] の [簡単な説明] を開きます。
3. [ソース要求] をクリックします。
   - 要求がすでに満たされている場合、または要求のアイテムが調達可能でない場合、[ソース要求] ボタンは表示されません。
   - 要求されたアイテムに割り当てられたモデルがない場合、アイテムは [要求を調達] ダイアログボックスに表示されません。
   - 発注書の残り数量が **0** のアイテムは、 ダイアログボックスに表示されません。
4. [宛先ストックルーム] を選択します。
5. 一覧表示された 1 点以上のアイテムに対し、**[PO** の作成] オプションを選択します。
6. 発注書が必要な各アイテムに対し、ベンダーを選択します。
7. **[OK]** をクリックします。
8. 移動先 調達 > 順序 > 発注書.
9. 作成した発注書を開きます。
   複数のアイテムの発注書を作成した場合、複数の発注書が作成されている可能性があります。
10. [注文] を選択します。
    アイテムが注文された後で、発注書に他の発注明細を追加することはできません。
    すべての発注明細のステータスが [注文済み] に変更されます。
11. すべての発注明細に対してハードウェア資産を自動的に作成するには、[配送前にハードウェア資産を作成する] 関連リンクをクリックします。
    ハードウェア資産は [資産] 関連リストに表示されます。リスト内の資産をクリックして資産レコードを表示します。消耗品を除き、[予約目的] フィールドには元の要求を実行したユーザーの名前が含まれています。

    個別の発注明細に対して資産を作成することもできます。発注書で、[発注明細] 関連リストに移動し、特定の発注明細番号をクリックします。その後 [配送前にハードウェア資産を作成する] 関連リンクをクリックします。発注明細に含まれるハードウェア資産のみが作成されます。

関連情報

資産の状態とサブステートを設定する

モデル

資産の受領

資産は、ストックルームに配送された段階で受領でき、システムに追加されます。

適切な調達ロールを持つユーザーが資産を受領することができます。1 件の発注書に複数の発注品目が含まれている場合、それらの品目を別々の時間に受領することができます。これは、アイテムが別々の出荷でストックルームに到着する場合に便利です。すべての発注明細を受領するまで、発注書のステータスは [受領済み] に変更されません。

到着時に資産を受領する代わりに、到着前に資産を作成して、要求者用に予約することができます。

資産を受領する

資産が受領されて倉庫に配送されると、その資産はシステムに追加されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
資産の受領時：

- ハードウェア資産をあらかじめ作成していない場合は、資産の詳細を入力してユーザー用に予約できます。
- 受領数量が注文数量よりも多い場合もありますが、そのような注文でも受領できます。
- 異なる複数の受領倉庫を指定して複数のアイテムを注文した場合、アイテムを同時に受領できます。

手順

1. 発注書を表示します。
2. ステータスが [注文済み] または [配送保留中] の発注書を選択します。
3. [受領] を選択します。
   [発注書の受領] 画面に、注文した製品のリストが表示されます。
4. 受領した品目の [受領済み] チェックボックスを選択します。
5. ソフトウェア資産を受領するには：
   a. アイテムが発注書で指定した場所とは異なる倉庫に到着した場合、[受領倉庫] を編集します。
   b. 配送されたアイテムの数が注文数量と一致しない場合、[受領数量] を編集します。
   c. アイテムの注文時から倉庫への配送時までの間に価格に変更があった場合、[単価] を編集します。
      数値を入力します。数値には小数点以下を含めることができます。
   d. [資産タグを取得します] を選択して、資産の詳細を入力します。
      受領した権限よりも多くの資産の詳細を入力することはできません。
   e. [資産タグを取得します] ダイアログボックスで、[新しい行を挿入します] を選択します。
   f. 資産タグ、シリアル番号、権限、ライセンスキーを入力します。
6. ハードウェア資産と消耗品を受領するには：
   a. アイテムが発注書で指定した場所とは異なる倉庫に到着した場合、[受領倉庫] を編集します。

      注:
      資産バンドルを受領すると、ステータスが [バンドル] の資産バンドルが作成されます。資産バンドルの下に個々の資産を追加する必要があります。

   b. 配送されたアイテムの数が注文数量と一致しない場合、[受領数量] を編集します。
   c. [予約] トグルボタンを選択して、アイテムを予約します。
      予約したアイテムが受領されると、対応する資産レコードの[状態] フィールドと [サブステート] フィールドがそれぞれ [在庫あり] と [予約済み] に自動的に設定されます。アイテムに対して

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[予約] ボタンが選択されていない場合、対応する資産レコードの [状態] フィールドと [サブステート] フィールドはそれぞれ [在庫あり] と [利用可能] に設定されます。

> **注:**
> 消耗品は予約できません。

d. [予約目的] リストから、資産の予約を希望するユーザーを選択します。

発注明細フォームの [要求元] フィールドに名前が指定されている場合、その名前は自動的に追加されますが、変更可能です。

[資産タグを取得します] ダイアログボックスで、複数のユーザーを追加できます。

e. [資産タグを取得します] を選択して、資産の詳細を入力します。

受領数量以上の資産の詳細は入力できません。ユーザーの資産を予約することもできます。

> **注:**
> 事前に資産を作成している場合は、受領する資産を選択する必要があります。

f. [資産タグを取得します] ダイアログボックスで、[新しい行を挿入します] を選択します。

g. 資産タグとシリアル番号を入力します。

h. [予約目的] リストから、アイテムを注文したユーザーを選択します。
[発注品目] フォームの [要求元] フィールドに名前が指定されている場合、その名前は自動的に追加されますが、変更可能です。

i. アイテムの注文時から倉庫への配送時までの間に価格に変更があった場合、[単価] を編集します。
数値を入力します。数値には小数点以下を含めることができます。

7. [送信] を選択します。
受領した資産の詳細を示す確認メッセージが表示されます。

8. [OK] を選択します。

受領伝票は自動的に作成され、[受領伝票] 関連リストに表示されます。発注書に掲載のアイテムを異なる時間に受領した場合、発注書のアイテムを受領するたびに新しい受領伝票が作成されます。たとえば、ラップトップが 30 台注文され、配送が 3 回に分かれて到着した場合、3 件の受領伝票が作成されます。

ハードウェアアイテムごとに異なる資産が作成されます。ソフトウェア資産の場合は、権限を分割しないとライセンスごとに 1 つの資産が作成されます。消耗品の場合は、資産がすでに存在する場合は更新され、そうでない場合は新規の資産が作成されます。

受領伝票を作成する

受領伝票は、資産を受領する過程で自動的に作成されます。手動で受領伝票を作成することもできます。

始める前に

必要なロール：procurement_admin または procurement_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
注文書に対して受領伝票が作成されると、注文書レコードのすべてのフィールドが読み取り専用に変更されます。

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 受領 > 受領伝票.
2. **[New** (新規)] をクリックします。

   [番号] は自動的に割り当てられます。現在の日付と時刻が[受領済み] フィールドに自動的に追加されます。

3. [注文書] を選択します。
   選択ウィンドウには、[注文済み]、[保留中の配送]、[要求済み] のステータスを持つ発注書だけが一覧表示されます。[ベンダー] 列には、発注書に指定されているベンダーが表示されます。[配送先] 列には、発注書で指定された目的の宛先ストックルームが表示されます。
4. [受領ストックルーム] を選択します。
5. [送信] をクリックします。

次のタスク
受領伝票に受領伝票ラインを追加して、受領した発注書のアイテムを特定します。

受領伝票ラインを作成する

資産がストックルームに到着して受領すると、受領伝票が発注書に作成されます。受領伝票ラインを作成して、受領した特定の資産や数量を識別します。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
資産がすでに存在する場合、受領伝票ラインを保存すると資産レコードが更新されます。資産がまだ存在しない場合は、新規のハードウェア資産レコードまたは新規のソフトウェア資産レコードが作成されます。[モデル カテゴリ] と [構成アイテム] フィールドには、要求、発注書、受領伝票のいずれかの情報に基づいて、新規の資産レコードが自動的に入力されます。[資産管理番号] と [シリアル番号] の情報が存在する場合は、上書きされません。

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 受領 > 受領伝票 受信伝票を開きます。
2. [受領伝票ライン] 関連リストで、[新規] を選択します。
   次のフィールドは自動的に入力されます。

   - [番号] が割り当てられます。
   - [受領済み] では、現在の日付と時刻が追加されます。
   - [受領者] には、現在ログインしているユーザーが追加されます。

3. [発注明細] で、参照ルックアップアイコンを選択してから、発注明細を選択します。
   親受領伝票に関連付けられた発注書がある場合、[発注明細] フィールドは必須となります。親受領伝票にリンクされた同じ発注書に関連付けられている発注明細のみ選択可能です。
4. [数量] に、受領したアイテムの数を入力します。
   たとえば、アイテムを 5 点注文したが、2 つだけ受領した、などです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: 必要に応じて [受領者]、[要求元]、[単価] の各フィールドを編集します。
6. [送信] を選択します。

タスクの結果
受領伝票レコードの [受領倉庫] フィールドは読み取り専用になります。

消耗資産

消耗資産とは、数量で購入して配布するものです。消耗品モデル カテゴリに割り当てられ、資産レコードで利用可能な数量と総コストを追跡されます。消耗資産が受領されると、既存の消耗品レコードに結合されます (利用可能な場合)。

レコードに結合するため、消耗品を有効な転送オーダーに登録することはできず、また、資産レコードの [モデル]、 [事業所]、 [モデル カテゴリ]、 [ストックルーム]、 [ステータス]、[サブステータス] の各フィールドが一致している必要があります。

消耗品が既存の消耗品レコードに結合される場合、受領した追加の消耗品のコストはレコード内の既存の消耗品のコストに加算されます。たとえば、コンピューターキーボードが 50 台到着し、同じモデルのキーボードが既に 20 台受領ストックルームにある場合、2 件のレコードが結合され、ストックルームにある 70 台のキーボードと合計コストが表示されます。

受領ストックルームに一致する消耗品レコードが存在しない場合、レコードが作成されます。消耗品の受領後、数量は更新されますが、個々の消耗品は Procurement アプリケーション内で追跡されなくなり、受領伝票ラインには表示されません。

外部調達アプリケーションとの統合

外部調達アプリケーションを ソフトウェア資産管理 と統合してエンドツーエンドの調達プロセスを管理し、外部調達アプリケーションでソフトウェア要求を直接作成します。ソフトウェア資産管理はこれらの要求を追跡し、これらの要求を外部調達アプリケーションで受信した後にエンタイトルメントまたはエンタイトルメントインポートエラーを自動的に生成します。

ソフトウェア資産管理 と外部調達アプリケーションとの統合によって、次のことができるようになります。

- エンタイトルの作成までの購入要求全体をエンドツーエンドで可視化します。
- ソフトウェア要求の作成からエンタイトルメントの作成までのプロセス全体を自動化します。
- エンタイトルメント作成のエラーを削減します。

事前準備

- ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) をインストールします。詳細については、「ソフトウェア資産管理 を要求する」を参照してください。

  注:
  ソフトウェア資産管理プロ は、資産管理 - 調達 統合アプリケーションをインストールするために必須ではありませんが、機能全体を利用するために必要です。

- 調達 プラグイン (com.snc.procurement) をアクティブ化します。詳細については、「調達 をアクティブ化する」を参照してください。
- ServiceNow Store から 資産管理 - 調達 統合 (app-itam-procurement-integration) ストアアプリケーションをインストールします。詳細については、「資産管理 - 調達 統合のインストール」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 - 調達 統合のインストール

ServiceNow Store から 資産管理 - 調達 統合アプリケーション (app-itam-procurement-integration) をインストールできます。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store にリスト化されている資産管理 - 調達統合 アプリケーションを確認してください。

必要なロール：Now Support

資産管理 - 調達 統合の資格が付与されたら、Now Support に連絡してこのアプリケーションをインストールできます。

このタスクについて

ジョブスケジュールとテーブルは、 資産管理 - 調達 統合とともにインストールされます。

詳細については、「資産管理 - 調達 統合とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、資産管理 - 調達 統合アプリケーション (app-itam-procurement-integration) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。
4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. [インストール] を選択します。

資産管理 - 調達 統合とともにインストールされるコンポーネント

資産管理 - 調達 統合アプリケーションがアクティブ化されると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ジョブスケジュールなど) がインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるスケジュール済みジョブ

ジョブスケジュール	説明
ITAM - 同期 <procurement_integration_profile_name> 発注書	作成済みの要求のステータスを毎日フェッチします。 このジョブスケジュールは、統合プロファイルを公開すると自動的に作成されます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
調達統合プロファイル [itam_procurement_integration_profile]	ServiceNow の 調達 アプリケーションに接続されているサードパーティ調達統合の詳細が含まれます。
調達統合ジョブ [itam_procurement_integration_job]	調達統合プロファイルとそれに関連するジョブスケジュールのマッピング情報が含まれます。
統合ジョブスケジュールの結果 [itam_procurement_integration_job_log]	ジョブスケジュール実行の失敗の詳細が含まれます。

ドメイン分離および 資産管理 - 調達 統合

資産管理 - 調達 統合では、ドメイン分離がサポートされています。ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクを、「ドメイン」と呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：拡張

- ベーシックレベルと標準レベルを含みます。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別の顧客に影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、最小実行可能製品 (MVP) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート」を参照してください。

概要

ドメイン分離は、資産管理 - 調達 統合アプリケーションのすべての側面に存在します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 - 調達 統合でのドメイン分離の仕組み

- 各ドメインに複数の調達統合プロファイルを作成できます。親ドメインを含む各ドメインには、公開されたアクティブなプロファイルが 1 つだけ必要です。
- 発注書の場合、外部の購入アプリケーションで要求を作成するには、公開された調達統合プロファイルが発注書のドメインに存在している必要があります。
- 作成したすべての発注書、発注明細、受領伝票、受領伝票ライン、エンタイトルメント、エンタイトルメントインポートエラー、および経費ラインレコードには、発注書のそれぞれのドメインがスタンプされます。

調達統合ジョブ [itam_procurement_integration_job] テーブルはドメイン分離されていません。

ただし、各調達統合ジョブは調達統合プロファイルに関連付けられています。ジョブの実行では、外部購入アプリケーションからの更新が、対応する調達統合プロファイルでスタンプされた発注書にのみ同期されます。

ドメイン分離テーブル

- 調達統合プロファイル [itam_procurement_integration_profile]
- 調達統合ジョブログ [itam_procurement_integration_job_log]

必須のプラグイン

- Domain separation extension (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- SAMP (com.sn_samp_master)
- Procurement (com.snc.procurement)

サポートされているその他のプラグイン

Service Catalog – Domain Separation (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)

Coupa との統合

Coupa を ソフトウェア資産管理 と統合すると、Coupa でソフトウェア要求を直接作成するのに役立ちます。ソフトウェア資産管理 はこれらの要求を追跡し、Coupa でこれらの要求を受け取った後にエンタイトルメントまたはエンタイトルメントインポートエラーを自動的に生成します。

注:
この統合では、Coupa で作成された要求は ソフトウェア資産管理 にプルされません。

事前準備

- ServiceNow Store から 資産管理 - 調達 統合 (app-itam-procurement-integration) ストアアプリケーションをインストールします。詳細については、「資産管理 - 調達 統合のインストール」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理プロ をインストールします。詳細については、「ソフトウェア資産管理 を要求する」を参照してください。

注:
ソフトウェア資産管理プロ は 資産管理 - 調達 統合 (app-itam-procurement-integration) ストアアプリケーションのインストールは必須ではありませんが、機能全体を利用するには必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Coupa スポークをアクティブ化します。詳細については、「Coupa Spoke」を参照してください。
- Procurement プラグイン (com.snc.procurement) をアクティブ化します。詳細については、「調達 をアクティブ化する」を参照してください。

参照データの同期

ServiceNow ServiceNow と Coupa の両方に、独自のテーブルセットと参照データタイプがあります。統合をスムーズかつ正常に行うには、 参照するデータを同期する必要があります。詳細については、「参照データの同期」を参照してください。

警告:
データを同期しないと、Coupaで要求事項を作成しているときにいくつかの問題が発生する可能性があります。

Coupa 統合プロファイルの作成

Coupa 統合プロファイルを作成して、このプロファイルによって作成された調達ジョブスケジュール、エンタイトルメント、およびエンタイトルメントインポートのエラーに関するステータスを確認します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

Coupa を使用して OAuth 2.0 接続を作成し、クライアント ID とクライアントシークレットを取得します。詳細については、「OAuth 2.0 Getting Started with Coupa API (OAuth 2.0 Coupa API の概要)」を参照してください。後で使用するためにクライアント ID とクライアントシークレットを安全な場所に保存します。

Coupa を使用して OAuth 2.0 接続を作成するときに、次のスコープを設定する必要があります。

- core.approval.configuration.read
- core.approval.read
- core.approval.write
- core.catalog.read
- core.contract.read
- core.inventory.adjustment.read
- core.inventory.adjustment.write
- core.inventory.asn.read
- core.inventory.consumption.read
- core.inventory.consumption.write
- core.inventory.receiving.read
- core.inventory.receiving.write
- core.inventory.return_to_supplier.read
- core.inventory.transfer.read
- core.inventory.transfer.write
- core.invoice.delete
- core.invoice.read

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- core.purchase_order.read
- core.purchase_order.write
- core.requisition.read
- core.requisition.write
- core.supplier.read
- core.user.read
- core.user.write

> **注:**
> これらのスコープがクライアント ID とクライアントシークレットに関連付けられていない場合、ServiceNow で OAuth トークンフローが失敗します。

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > 購入 > 調達統合.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい調達統合プロファイルを作成

フィールド	説明
表示名	調達統合プロファイルの名前。例：Coupa integration。
接続と資格情報	Coupa の接続と認証情報エイリアス。このフィールドは、自動的に **sn_coupa_spoke.Coupa_OAuth** に入力されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 **[Coupa** 統合] を選択します。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ○ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ○ 統合プロファイルを公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
アクティブ	このフィールドは、統合プロファイルが公開されている場合にのみ表示され、「true」に設定されます。 このフィールドを「false」に設定すると、この統合プロファイルに関連付けられた要求は作成および追跡されません。

4. [保存] をクリックします。
5. [接続と資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコンをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[接続 & 資格情報エイリアス] フォームにリダイレクトされます。

6. [関連リンク] セクションから、 [新しい接続 **&** 資格情報の作成] をクリックして、接続と資格情報を作成します。
7. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	説明
名前 (接続)	接続を一意に識別する名前。たとえば、Coupa OAuth connnection とします。
接続 URL	Coupa に接続するための URL。https://<coupa-instance-url> の形式を使用します。 ○ 顧客のインスタンスの場合は、https://{organization_name}.coupahost.com の形式を使用します。 ○ パートナーおよびデモインスタンスの場合は、https://{organization_name}.coupacloud.com の形式を使用します。
名前 (資格情報)	資格情報を一意に識別する名前。たとえば、Coupa OAuth credential とします。
トークン URL	OAuth トークンの生成に使用される URL。https://<coupa-instance-url>/oauth2/token の形式を使用します。
OAuth クライアント ID	Coupa で生成された識別子 (クライアント ID)。
OAuth クライアントシークレット	Coupa で生成されたシークレット (クライアントシークレット)。

8. **[OAuth** トークンを作成して取得] をクリックします。
ServiceNow インスタンスは Coupa の OAuth を作成し、自動的に [統合プロファイル] フォームに戻ります。
9. オプション: この統合プロファイルの接続と資格情報を一意に識別できる子エイリアスを作成します。
作成する最初の Coupa 統合プロファイルでは、Coupa にデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Coupa 統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

   a. [接続 & 資格情報エイリアス] フォームで、**Child Aliases > Parentalias=***** の下にあるリンクを選択して、子エイリアスを追加します。

   b. [新規] をクリックします。

   c. [名前] フィールドに子エイリアスの名前を入力します。

   d. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

   e. フォームを再ロードした後に、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

f. ステップ 7 と 8 を繰り返します。

g. [統合プロファイル] フォームの [接続 & 資格情報] フィールドで、ルックアップアイコンをクリックして、作成した子エイリアスを見つけて選択します。
子エイリアスを選択すると、エイリアスが統合プロファイルに関連付けられます。ServiceNow インスタンスはこのエイリアスを使用して、この統合プロファイルの接続と資格情報を識別します。

10. [公開] をクリックします。

タスクの結果
統合プロファイルを公開すると、ジョブスケジュール *ITAM - Sync Coupa purchase orders* が毎日実行され、作成済みの要求のステータスをフェッチします。

注:
要求を作成していない場合、ジョブスケジュールは実行されません。

この情報を表示するには、[調達統合ジョブ] タブをクリックします。

次のタスク
ジョブスケジュール *ITAM - Sync Coupa purchase orders* が正常に実行されたことを確認するには、[統合ジョブスケジュールの結果] タブをクリックします。ジョブが失敗した場合は、次のステップに従ってエラーのリストを表示できます。

1. [調達統合プロファイル] フォームで、[調達統合ジョブログ] 関連リストを選択します。
2. 表示されたステータスが [失敗] と表示されているジョブログレコードを開きます。
3. [資産のジョブ履歴詳細] 関連リストをクリックして、ジョブが失敗した理由を確認します。

ソフトウェアを購入するには、ServiceNow ServiceNow アプリケーションを使用して Coupa でソフトウェア要求を直接作成します。

Coupa 統合プロファイルを削除する場合は、「外部調達アプリケーション統合プロファイルの削除」を参照してください。

調達 アプリケーションによる **Coupa** での要求作成

ソフトウェアを購入するには、ServiceNow ServiceNow アプリケーションを使用して Coupa でソフトウェア要求を直接作成します。

始める前に
ServiceNow ServiceNow アプリケーションを使用して Coupa で要求を作成するには、次のタスクを実行する必要があります。

- Coupa 統合プロファイルを作成して公開します。詳細については、「Coupa 統合プロファイルを作成する」を参照してください。
- 作成する発注書に少なくとも 1 つの発注明細があり、すべての発注明細がソフトウェア製品用であることを確認します。
- ServiceNow ServiceNow と Coupa の両方で参照データタイプを同期します。詳細については、「参照データの同期」を参照してください。

これらの条件がすべて満たされている場合は、Coupaで要求を作成できます。

条件が満たされていない場合、Coupa で要求は作成されず、調達 アプリケーションで従来の調達フローが続行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：sam_admin および procurement_integrator

> **注:**
> Procurement_integrator ロールが sam_admin ロールに追加されます。Procurement_integrator ロールを使用すると、SAM 管理者は接続とエイリアスを表示できます。

このタスクについて

次の方法を使用して Coupa で要求を作成できます。

- ユーザーが サービスカタログ を介してソフトウェアを要求したとき。詳細については、「サービスポータルからカタログアイテムを要求する」を参照してください。
- procurement_user または sam_admin が 調達 アプリケーションで直接発注書を作成する場合。発注書の詳細については、「発注書を作成する」を参照してください。
- sam_user が [修復オプション] フォームから直接発注書を作成する場合。詳細については、「ソフトウェア モデルの結果を表示する」を参照してください。

要求には次のタイプがあります。

- カタログ要求：外部の購入アプリケーションに既に存在するアイテムに対して作成された要求。
- カタログ要求以外：組織の製品カタログにまだ存在しないアイテムに対して作成された要求。

発注書の作成の詳細については、「発注書を作成する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 調達 > 順序 > 発注書.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

発注書フィールド

フィールド	説明
番号	発注書を識別する一意の番号。
期限	購買発に記載の総コストを支払わなければならない期限。
ベンダー	発注書が発行されるサプライヤー。
配送先	発注書のアイテムが配送されるストックルーム。 **注:** このフィールドは必須ですが、Coupa でソフトウェアの要求を作成するときには影響しません。
発注書日付	発注書が作成された日付。
ステータス	発注書のステータス：[キャンセル済み]、[注文済み]、[受領済み]、[要求済み]、[一時停止]。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン先	発注書が割り当てられているユーザー。
請求先	発注書の総コストの支払いを担当する場所。
簡単な説明	発注書の簡単な説明。
「全般」セクション	
出荷	発注書のアイテムを出荷するときに使用される出荷方法。
期間	発注書支払い条件：、[請求日から **30** 日以内]、[請求日から **90** 日以内]
配送料	[出荷] フィールドで指定された配送方法に対して支払われなければならない金額。
総コスト	発注書のすべてのアイテムコストと配送料の合計。
説明	発注書の内容の完全な説明。
詳細セクション	
初期要求	発注書に記載のアイテムを必要とする要求のレコード番号。
要求元	発注書に記載のアイテムを要求するユーザー。 **注:** 発注書でアイテムを要求するユーザーのメール ID またはメールアドレスは、Coupa と ServiceNow ServiceNow アプリケーションの両方で同じである必要があります。
要求済み	[要求元] フィールドのユーザーが発注書に記載のアイテムを要求した日付。
注文済み	発注書フォームの [注文] ボタンがクリックされた日時。
配送予定	発注書に関連付けられたアイテムが、[配送先] フィールドで指定されたストックルームに到着する予定の日付。このフィールドは、発注書の [ステータス] が [受領済み] または [キャンセル済み] の場合は編集できません。(このフィールドの詳細については、「発注書の配送予定日」を参照してください)。
受領済み	発注書のステータスが [受領済み] に変更された日時。
契約	発注書に記載のアイテムが注文されるベンダーとの契約のレコード番号。
部門	発注書の支払いを担当する部門。
予算番号	発注書に関連付けられた予算番号。
ベンダー	発注書に関連付けられているベンダーアカウント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アカウント	

4. フォームを右クリックし、[保存] を選択します。
   発注品目を追加して、このベンダーから発注するものを指定します。発注品目の作成の詳細については、「発注明細を作成する」を参照してください。Coupa に一意の ID を持つ要求明細行が作成されます。
5. 少なくとも 1 つの発注明細を追加したら、[注文] を選択します。
   要求 ID が発注書に表示され、対応する要求明細行 ID が発注明細に表示されます。

   注:
   しばらく待ってから、発注書フォームをリロードして、生成された ID またはエラーを表示します。

タスクの結果

Coupa で発注書のステータスが [受領済み] になると、次のアクティビティが発生します。

- 資産と受領伝票が作成され、[発注書] フォームで発注書番号を確認できます。
- 資産管理 - 調達 統合アプリケーションは、エンタイトルメントを自動的に生成します。
- 資産を受領すると、ジョブスケジュール *ITAM - Sync Coupa purchase orders* が ServiceNow 調達 アプリケーションで受領伝票と受領伝票ラインを作成します。このジョブは、[メーカー品番]、[ステータス]、[受領数量] などの Coupa フィールドもプルします。受領トランザクションを介して Coupa から返された値は、作成されたエンタイトルメントに入力するために使用されます。ただし、これらの値が受領伝票から利用できない場合、資産管理 - 調達 統合アプリケーションは、調達 アプリケーションの発注書に入力された値を使用します。
- 発注書に不一致が存在する場合、資産管理 - 調達 統合によりエンタイトルメントインポートエラーが作成されます。エラーを表示するには、[発注書]、[発注品目]、および [受領伝票ライン] の下にある [エンタイトルメントインポートエラー] タブを選択します。

参照データの同期

Coupa と ソフトウェア資産管理 を正常に統合するには、ServiceNow 調達 アプリケーションと Coupa の両方で次の参照データタイプを同期する必要があります。

要求事項または発注書フォーム

Coupa 要求事項フィールド	ServiceNow 調達 発注書フィールド	説明
要求者	要求者	[要求者] レコードに関連付けられているメールアドレスは、Coupa 内の対応する参照レコードを検索するために使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求明細行フィールドまたは発注明細フィールド

Coupa 要求明細行フィールド	ServiceNow 調達 発注明細フィールド	説明
サプライヤー	ベンダー	このソフトウェア製品が注文されるサプライヤーまたはベンダー。
単価	コスト	割引を含む単一の製品モデルのコストまたは価格。
通貨	コスト	[通貨] は Coupa の参照フィールドです。統合が正常に実行されるように、Coupa と ServiceNow の通貨コードが一致していることを確認します。
アイテム	カタログアイテム	Coupa アイテムと ServiceNow 調達 カタログアイテムは、同じ表示名を共有する必要があります。 注: このフィールドは、カタログ要求にのみ使用されます。
説明	製品モデル	発注明細のモデル。 注: このフィールドは、非カタログ要求にのみ使用されます。

自動翻訳

外部調達アプリケーション統合プロファイルの削除

ソフトウェア資産管理 を介してソフトウェア要求を作成するための外部調達アプリケーションの使用を停止する場合は、統合プロファイルを削除できます。

sam_admin は、統合プロファイルレコードで [削除] を選択して統合プロファイルを削除できます。

直接統合プロファイルを削除すると、プロファイルに関連付けられているすべてのジョブスケジュールとジョブ結果が削除されます。統合プロファイル参照は、ServiceNow の発注書レコードからも削除されます。

統合プロファイルを削除すると、ソフトウェア資産管理 は進行中の要求を考慮しません。統合プロファイルを削除する前に、進行中のすべての要求が完了していることを確認します。

ドメイン分離と 調達

ドメイン分離は、調達 処理でサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：標準*

サポートレベルは標準ですが、いくつかの例外または特別な条件があります。

- ベーシックレベルを含みます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスオーナーは、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。この構成は、特定のアプリケーションで前提とされているように、テナントごとに行います。

サンプルユースケース：管理者は、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

調達におけるドメイン分離の仕組み

ドメインを識別する発注書 (PO) や PO 明細を作成または編集するには、顧客が適切なドメインで作業している必要があります。構成を調整するときは、作業を行っているドメインにいる必要があります。ドメインピッカーを使用して、作業を行う正しいドメインを選択します。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

Product Catalog

製品カタログは、個々のモデルに関する一連の情報です。モデルとは、特定のバージョンまたはさまざまな構成の資産のことです。資産管理者は、製品カタログをモデル情報の中心リポジトリとして使用します。

詳細でよく管理された製品カタログは、サービス カタログ、資産、調達、要求、契約、ベンダー情報と連携が取れます。

製品カタログに公開されたモデルは、自動的にService Catalog に公開されます。サービスカタログには、商品 (モデル) やサービスに関する情報が含まれています。モデルが複数のベンダーから入手可能な場合、モデルは複数回一覧に表示されます。モデルは資産管理アプリケーションに含まれています。

製品カタログを扱うときは、次の点にご注意ください。

- 製品カタログアイテムは、複数のベンダーカタログアイテムまたは単一のモデルにリンクすることができます。
- 1 つのモデルには商品カタログアイテムは 1 点しかありません。
- ベンダーカタログアイテムには、単一の商品カタログアイテムしかありません。

関連情報

資産と構成アイテムの管理

Product Catalog でインストールされるコンポーネント

次のコンポーネントは、Product Catalog プラグインでインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デモ データは Product Catalog で入手できます。デモデータでは、さまざまなモデル、モデルカテゴリ、製品カタログアイテム、ベンダーカタログアイテム、ベンダーが提供されています。

Product Catalog でインストールされるテーブル

Product Catalog プラグインは次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
ハードウェア カタログ [pc_hardware_cat_item]	製品モデル [cmdb_model] ベース テーブルから公開されたすべてのハードウェア カタログ アイテムを格納します。製品カタログ アイテム [pc_product_cat_item] テーブルを拡張します。
製品カタログアイテム [pc_product_cat_item]	Product Catalog のすべての情報を格納します。このテーブルは、カタログ アイテム [sc_cat_item] テーブルを拡張しています。
ソフトウェア カタログ [pc_software_cat_item]	製品カタログl [cmdb_model] ベース テーブルから公開されたすべてのソフトウェア カタログ アイテムを格納します。製品カタログ アイテム [pc_product_cat_item] テーブルを拡張します。
ベンダーカタログアイテム [pc_vendor_cat_item]	すべてのベンダーカタログアイテム情報を格納します。

Product Catalog でインストールされるロール

Product Catalog プラグインは、次のロールを追加します。

ロール	説明	含まれるロール
model_manager	CMDB モデルを作成できます。	なし
category_manager	モデル管理者が行うことがすべて実行でき、またモデル カテゴリを管理できます。	model_manager

Product Catalog でインストールされるスクリプト インクルード

Product Catalog プラグインは、次のスクリプト インクルードを追加します。

テーブル	説明
ProductCatalogUtils	ベンダー カタログ アイテムとモデルから派生した製品カタログ アイテムを作成、管理するためのユーティリティ。

Product Catalog でインストールされるクライアントスクリプト

Product Catalog プラグインは、次のクライアントスクリプトを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライアントスクリプト	テーブル	スクリプトのコンテンツ
モデル フィールドを設定する	[pc_vendor_cat_item]	ベンダーカタログアイテムが製品カタログに追加されたとき、説明と価格が存在しない場合はそれらを追加します。

関連情報

クライアントスクリプト

Product Catalog でインストールされるビジネスルール

Product Catalog プラグインは、次のビジネスルールを追加します。

ビジネスルール	テーブル	説明
モデルをクリアーする	[pc_product_cat_item]	リンクが製品カタログから削除されたときにモデルのリンクをクリアーします。
子製品カタログエントリーを作成する	ハードウェア モデル [cmdb_hardware_product_model]	バンドルされたモデルが作成されたときに、バンドルされたモデルの全アイテムの製品カタログのエントリーを作成します。
製品カタログアイテムを同期する	[pc_vendor_cat_item]	フィールドが更新されたときに、製品カタログ内の相対するフィールドを更新します。
製品カタログアイテムを同期する	[cmdb_model]	フィールドが更新されたときに、製品カタログ内の相対するフィールドを更新します。

関連情報

ビジネスルール

モデル

モデルとは、特定のバージョンまたはさまざまな構成の資産のことです。モデルは、Product Catalog、資産管理、調達などのさまざまなServiceNowプラットフォーム資産アプリケーションを通じて資産の管理や追跡をするために使用されます。

モデル定義は、ベンダー提供の基準 (たとえば、Apple MacBook Pro などのメーカー名や Graphic Designer Workstation などのカスマイズした抽象概念) に基づいています。すべてのモデル情報は、Product Catalog アプリケーションにあります。

製品モデルは、1 種類以上のモデル カテゴリに分類できます。たとえば、ラップトップはコンピューターとサーバーとすることができます。モデル定義は、モデルが資産、構成アイテム、またはその両方を作成するかどうかを特定します。ハードウェアモデルレコードでは、互換性のあるハードウェアモデルを追加できます。

特記がない限り、製品モデルを使用するには model_manager ロールが必要となります。このロールは、sam、category_manager、asset などの他のロールに含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルの作成

モデルは、 **Product Catalog** > 製品モデル > すべてのモデル 移動します

モデルのタイプに関係なく、すべてのモデルに表示されるフィールドのリストのモデル フォーム フィールドを参照してください。

関連情報

資産管理

Procurement

モデル フォーム フィールド

モデルフォームには、すべてのタイプのモデルに適用されるフィールドがあります。

フィールド	説明
表示名	モデルの名前。*glide.cmdb_model.display_name.shorten* と呼ばれるシステム プロパティにより、ソフトウェア モデル表示名の生成方法が制御されます。
メーカー	モデルを構築した会社。
名前	フィールド エージェントのノート パソコンなど、モデルマネージャーによって指定されたモデルのメーカー割り当て名または抽象的な名前。
エディション	**Professional** などのソフトウェア モデルのエディション。
簡単な説明	モデルの簡単な説明。
モデルカテゴリ	モデルが割り当てられるカテゴリ。このフィールドは Glide リストであり、レポートの作成には使用できません。
資産追跡戦略	モデルを追跡するプロセス。次のいずれか 1 つを選択します。 • カテゴリに残す：モデルには透明性があり、カテゴリは資産クラスを定義します。 • 消耗資産の作成：モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産クラスを消耗品とします。 • 資産を作成しない：モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産のインスタンス化をブロックします。
取得方法	モデルを購入する方法。選択肢として [両方]、[購入]、[リース] があります。
コスト	モデルの単一のコスト。
減価償却	モデルの減価償却スキーム。
処分価額	耐用年数の終了時に資産が売却時に実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
モデル番号	メーカーがアイテムに割り当てる特定のモデル番号。システムプロパティ *glide.cmdb.makeandmodel.use_model_number_lookup* を true に設定する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	と、MakeAndModelJS スクリプトを使用してハードウェアモデルのモデル番号をルックアップできます。
バーコード	モデルに割り当てられたバーコード番号。バーコードはメーカーによって割り当てられます。
所有者	モデルの責任者。
ステータス	モデルのステータス。選択肢として [本番稼働中]、[廃止済み]、 [販売済み] があります。
支出タイプ	支出の種類。次のいずれか 1 つを選択します。 • 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 • 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
認定	モデルの使用が承認されているかどうかを判断するオプション。
コメント	モデルに関する有用な情報。
資産	このモデルから作成された資産。この作成には、資産と構成アイテムを自由に組み合わせることができます。たとえば、単一のハードウェア モデルでは、資産はあるけど構成アイテムはなし、構成アイテムはあるけど資産はなし、両方あり、とすることができます。
構成アイテム ID	このモデルから作成された構成アイテム。資産と構成アイテムを自由に組み合わせることができます。
Product Catalog	製品カタログやサービスカタログに表示されるモデルに関する情報。この情報は、モデルが製品カタログに公開されている場合にのみ表示されます。

ハードウェアモデルを作成する

ハードウェア モデルを使用して、サーバーやラックなどの装置資産を追跡します。新規のハードウェア モデルを作成することができます。

始める前に

必要なロール：model_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > **Hardware** モデル.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フォームに入力します。
   一般的なフィールドの説明については、モデル フォーム フィールドを参照してください。表示されるハードウェア モデルのフィールドは、フォームの情報セクションにあります。

ハードウェア モデルのモデルフォーム フィールド

フィールド	説明
高さ (U)	ハードウェア アイテムの合計高さ (インチ)。
フロー レート (cfm)	ハードウェア モデルのフロー レート (立法フィート/分)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
音響出力 (ベル)	ノイズ測定 (ベル：1 ベル = 10 デシベル)。

4. [更新] をクリックします。

ハードウェア モデルに互換性のあるモデルを追加する

ハードウェアモデルレコードでは、互換性のあるハードウェアモデルを追加することができます。これにより、連携して動作するハードウェア資産を追跡する優れた方法が得られます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
注:
バンドルされたモデルに含まれるハードウェア モデルは、互換機能として追加することはできません。

手順
1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > **Hardware** モデル.
2. ハードウェア モデルの[名前] をクリックします。
3. [互換製品を追加 **]** をクリックします。
4. 互換性のあるモデルを選択します。
5. [送信] をクリックします。
   選択されたモデルは[互換性] 関連リストに一覧表示されます。

関連情報
モデル

バンドルされたモデル

ハードウェア モデルに代替モデルを追加する

ハードウェアモデルレコードでは、代替品を追加して、別のハードウェアモデルの代わりに使用できるハードウェアモデルを追跡できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
たとえば、19 インチ モニターは 17 インチ モニターの代替品として有効です。代替品には指向性があるため、この場合、17 インチ モニターは 19 インチ モニターに代わるものではないことにご注意ください。有効な代替モデルに関する情報は、転送オーダーの作成時にモデルを選択する際に役立ちます。

代替モデルを選択する場合は、次の条件にご注意ください。

- 代替モデルは、作業管理転送オーダーで使用することができます。代替モデルは、調達部品の調達には使用されません。
- バンドルされたモデルに含まれるハードウェア モデルは、代替品として追加することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > **Hardware** モデル.
2. ハードウェア モデルの[名前] をクリックします。
3. [代替製品を追加] をクリックします。
4. 左の [コレクション] リストで、ハードウェア モデルをダブルクリックします。
   ハードウェア モデルが右側の [リスト] に追加されます。
5. [保存] をクリックします。
   このモデルは、[代替] 関連リストに一覧表示されます。

関連情報

モデル

バンドルされたモデル

転送注文の管理

Procurement

消耗品モデルを作成する

消耗品は、個別にではなくグループとして追跡されるアイテムです。消耗品の例として、コンピューター キーボードが挙げられます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > 消耗品モデル.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フォームに入力します。
   一般的なフィールドの説明については、モデル フォーム フィールドを参照してください。消耗品モデルに特定のフィールドはありません。
   作成して新しいモデルに割り当てる消耗資産は、モデル レコードの[消耗品] 関連リストに表示されます。
4. [送信] をクリックします。

バンドルされたモデル

バンドルされたモデルは、個々のモデルで構成される単一のモデルです。たとえば、ラップトップ、プリンター、キーボード、マウスを 1 つのバンドルモデルとして組み合わせることができます。バンドルされたモデルの資産 1 つを個人に割り当てると、その人物はバンドル内のすべてのコンポーネントを受け取ります。

バンドルされたモデルは、アセットバンドルの一部となる資産の種類を定義するテンプレートです。アセットバンドルとバンドルされたモデル間の整合性を維持するには、[製品モデル] フォームレイアウトの [バンドル資産] チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、バンドルされたモデルのステータスがデフォルトで [ビルド] になります。ステータスが [ビルド] の場合は、バンドルされたモデルに変更を加えることができます。ステータスを [本番稼働中] に変更すると、バンドルされたモデルは変更できなくなります。バンドルされたモデルは読み取り専用になり、このバンドルされたモデルからアセットバンドルを作成できます。バンドルされたモデルに関連付けられたアセットバンドルがない場合にのみ、バンドルされたモデルのステータスを [ビルド] に戻すことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
[バンドル資産] チェックボックス機能は、ハードウェア資産管理 でライセンス可能なアプリケーションでのみ使用できます。ハードウェア資産管理は ServiceNow ストアで入手できます。アセットバンドル機能の詳細については、「アセットバンドル」を参照してください。

バンドルされたモデルには、抽象または具象があります。

抽象

1 つのモデルを複数のバンドルで使用できるようにします。同梱品はコンテナーとして作成されます。バンドル内の資産 1 つがメイン コンポーネントとして指定されます。モデルカテゴリは、どの資産をバンドルに含めることができるかを定義します。モデルカテゴリでは、バンドルの主要コンポーネントになるものを定義することもできます。

メイン コンポーネントを追加すると、バンドル コンポーネントの追跡が簡単になります。たとえば、コンピューターをメインコンポーネントとして追加し、マウスとキーボードを他のコンポーネントとして追加する同梱品を作成します。バンドルがユーザーに割り当てられると、コンピューターの資産レコードには、そのユーザーに割り当てられたコンピューター、マウス、キーボードがすべて表示されます。抽象バンドルは具象バンドルより頻繁に使用されます。

具象

メイン コンポーネントが資産である固定バンドルです。メイン コンポーネントと他のコンポーネントを指定して、正確なバンドルを作成します。具象バンドルは、モデルとの多対多関係を考慮していません。

バンドルされたモデルを作成して使用する場合は、以下のヒントを念頭に置いてください。

- バンドルはバンドル内にネスト化することができます。
- 任意のタイプのモデルをバンドルで使用できます。
- 親リンクの定義されると、割り当てに関連したフィールドと子資産の状態が読み取り専用となります。これらは、親の割り当てフィールドと状態フィールドに基づいて作成されます。
- 親バンドルに変更を加えると、バンドル内の子が影響を受けます。たとえば、バンドルを個人に割り当てる場合、すべての子資産レコードには、割り当てられた人物と同じ個人が表示されます。
- バンドルを事前に割り当てることはできません。
- バンドル内では、消耗品が消費され、資産はメインコンポーネントと同じステータスに設定されます。
- 個々のコンポーネントではなく、バンドルのみが転送オーダーの一部となることができます。
- モデル カテゴリを通じてバンドルに含めることができるものを制御します。たとえば、モデル カテゴリの サーバーは、バンドルに含まれているサーバーを決して許可しないように設定できます。
- ソフトウェアのコレクションを作成するには、バンドルされたモデルの代わりにスイートを作成する必要があります。
- ソフトウェアライセンスをバンドルのメインコンポーネントにすることはできません。

抽象モデルを作成するには、モデルカテゴリを [バンドル] に設定し、コンポーネントを追加します。具象モデルを作成するには、 **Product Catalog** > 製品モデル > バンドルされたモデル コンポーネントを追加します

関連情報

割り当て済み資産を作成する

消耗資産を消費する

モデルカテゴリ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

モデル コンポーネントをバンドルに追加する

ほかの資産を含むようにバンドルをアップグレードする場合など、必要に応じてモデルにモデル コンポーネントを追加します。

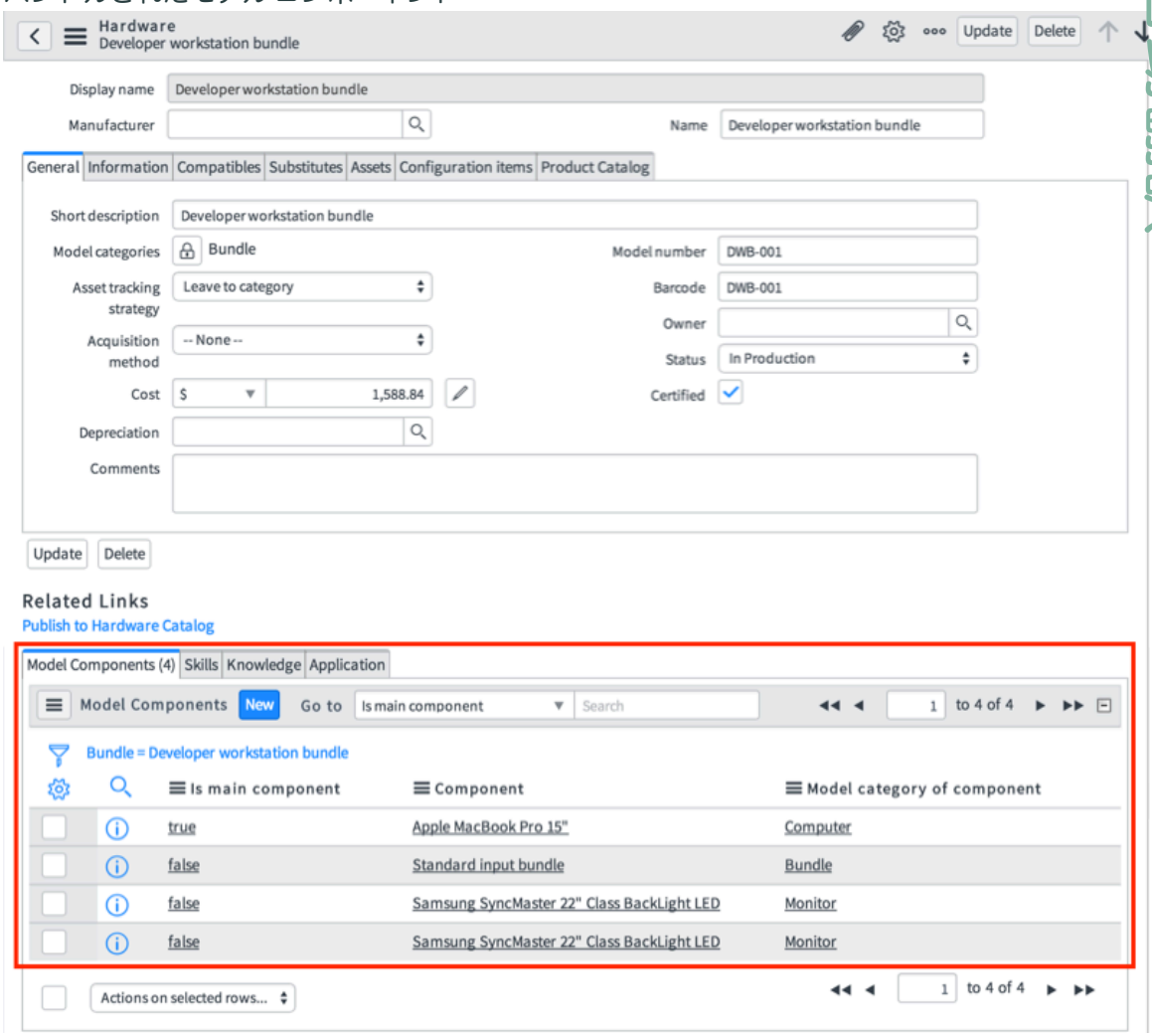
始める前に

必要なロール：model_manager と asset

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > バンドルされたモデル.
2. バンドルレコードを開きます。
3. [モデル コンポーネント] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [コンピューター] など、コンポーネントの [モデル カテゴリ] を選択します。
5. 「Apple **Computer MacBook Pro** 17」など、[コンポーネント] を選択します。
6. 他のコンポーネントを付属させるコンポーネントとする場合は、[メイン コンポーネントである] チェック ボックスを選択します。
7. [送信] をクリックします。
8. 手順 3 ～ 7 を繰り返してバンドルにコンポーネントを追加します。
   バンドルされたモデルに追加するコンポーネントは、[モデル コンポーネント] 関連リストに表示されます。

バンドルされたモデル コンポーネント



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

モデル

バンドルからモデル コンポーネントを削除する

たとえば、別のコンポーネントと置き換える場合など、バンドルされたモデルからコンポーネントを削除します。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
コンポーネント履歴は保持されません。バンドルされたモデルからコンポーネントを削除すると、そのコンポーネントがバンドルに含まれていたことを示すレコードは保存されません。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > バンドルされたモデル.
2. バンドルレコードを開きます。
3. [モデル コンポーネント] 関連リストで、削除するコンポーネントを選択します。
4. リストの下にある [アクション] の選択リストで、[削除] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

バンドルされたモデルを **Product Catalog** に公開

バンドルされたモデルを Product Catalog に公開して、バンドルされたモデルをサービスカタログで利用可能にすることができます。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または catalog_manager

このタスクについて
バンドルされたモデルは、次の条件でのみ公開できます。

- モデルは cmdb_model テーブルに作成する必要があります。
- モデルに既存のカタログアイテムを含めることはできません。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > バンドルされたモデル.
2. 製品モデルを開きます。
3. [関連リンク] で、**[Product Catalog** に公開] を選択します。
4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** を選択します。

ソフトウェアモデル

ソフトウェア モデルは資産管理プロセスの一環として作成されます。製品カタログからソフトウェアの製品モデルを作成できますが、ソフトウェア モデルのすべての面を管理することはできません。

ソフトウェア モデルはソフトウェア カウンターで使用されます。ソフトウェアモデルの作成の詳細については、「ソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション モデルの作成

スクラム開発プロセス内で管理や追跡ができるアプリケーション モデルを作成できます。

始める前に

必要なロール：model_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > アプリケーションモデル.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フォームに入力します。
   一般的なフィールドの説明については、モデル フォーム フィールドを参照してください。アプリケーション モデルに特定のフィールドはありません。
4. [送信] をクリックします。

関連情報

Agile Development

作業指示モデル

作業管理が有効になると、ServiceNowプラットフォームは作業指示モデルと作業タスクモデルモジュールを製品カタログに追加します。

wm_admin ロールを持つユーザーは、新しいモデルレコードを定義できます。テンプレートを使用して、共通プロシージャの作業指示を作成できます。

VMware サポートおよび **Amazon EC2** 用に作成されたモデル

VMware または Amazon EC2 の Orchestration を有効にすると、モデルが自動的に作成されます。

次のモデルが作成されます。

- VMware の vmware インスタンス
- Amazon の ec2 インスタンス

仮想マシンが終了すると、資産の状態が [廃止] に変更されます。

モデルにスキルを加える

どのモデルにもスキルを関連付けることができます。スキルとモデルの関連付けを作成すると、作業管理使用中に特定のモデルのスキルに基づいてエージェントにタスクを割り当てる必要がある場合に、便利になります。

始める前に

必要なロール：skill_admin または model_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > すべてのモデル.
2. 製品モデルを開きます。
3. [スキル] 関連リストで、[編集] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [コレクション] リストからアイテムを [スキルリスト] に追加します。
5. [保存] をクリックします。

モデルをハードウェア カタログまたはソフトウェア カタログに公開する

ハードウェアカタログまたはソフトウェアカタログにモデルを公開して、モデルをサービスカタログで利用可能にすることができます。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > すべてのモデル.
2. 製品モデルを開きます。
   モデルからカタログアイテムを公開すると、プロパティ *glide.model.catalog_item_currency* がカタログアイテムの通貨を決定します。このプロパティはデフォルトで false に設定され、値はユーザーセッション通貨に設定されます。このプロパティを true に設定すると、値はモデル通貨に設定されます。
3. [関連リンク] で、[ハードウェア カタログに公開] または [ソフトウェア カタログに公開] をクリックします。
4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

モデルを削除する

モデルが不要になった場合は、そのモデルを使用する資産や構成アイテムがない限り削除できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > すべてのモデル.
2. 製品モデルの横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下にある [アクション] 選択リストで、[削除] を選択します。
4. **[OK]** をクリックします。

ベンダーカタログアイテム

ベンダー カタログは、さまざまなベンダーから入手可能な商品の一覧です。

正確で完全なベンダー カタログを使用すると、可能な限り最善の価格で在庫を保管しやすくなります。

複数のベンダーカタログアイテムを製品カタログアイテムの 1 点にリンクすることができます。これにより、個別のベンダーが持つ該当アイテムに関する情報を追跡できます。

たとえば、製品のカタログアイテムが iPhone 5 として、Apple と Amazon の個別のベンダーカタログアイテムを作成できます。商品を調達する際に、最も良い価格のベンダーを選択できるようになります。ベンダー カタログ アイテムを操作するには、model_manager ロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報を同期する

特定の情報は、モデル、製品カタログアイテム、ベンダーカタログアイテム間で同期することができます。

モデル、製品カタログアイテム、ベンダーカタログアイテムを操作する場合は、次の点にご注意ください。

- ベンダーカタログアイテムが公開されてるがリンクされていない場合にのみ、モデルレコードの変更によってベンダーカタログアイテムが自動的に更新されます。
- モデルがベンダーカタログアイテムにリンクされている場合、モデルの変更によってベンダーカタログアイテムは更新されません。
- ベンダー カタログ アイテムやモデルをハードウェア カタログまたはソフトウェア カタログに公開した後、一部のフィールドはベンダー カタログ アイテムや製品カタログ アイテム レコードで読み取り専用になります。情報はモデル レコードでのみ更新できます。

同期フィールドのリスト：

- 説明
- 簡単な説明
- 名前
- 製品 ID
- 価格
- ベンダー
- 仕様
- 特徴
- モデル
- UPC
- モデル番号
- コスト
- メーカー

ベンダーカタログアイテムを作成する

ベンダーカタログアイテムを作成して、製品モデルをベンダーと関連付けます。

始める前に

必要なロール：model_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > カタログ定義 > ベンダーアイテム.
2. **[New** (新規)] をクリックします。
3. フォームに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベンダーカタログアイテムフィールド

フィールド	説明
名前	アイテムの名前は、[製品モデル]、[ベンダー]、[製品**ID**] フィールドの情報から作成されます。
ベンダー	アイテムを提供するサプライヤー。
製品モデル	アイテムの特定のバージョンまたは構成。
在庫切れ	アイテムが注文不可かどうかを示すオプション。このフィールドは、要求アイテムを調達する場合に重要となります。アイテムが注文可能な場合は、このチェック ボックスをクリアーします。
製品ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
表示価格	ベンダー割引を除いたアイテムの小売価格。
ベンダー価格	アイテムがベンダー カタログで販売されている価格。ベンダーが割引を提供する場合、ベンダー価格は割引価格を反映します。
ランク	「価値あるパートナー」や「戦術的サプライヤー」など、このベンダーの製品やサービスの総合的なランキングを表示します。ランクはこのベンダーの業績に関する組織の意見を表します。ベンダーの製品を促進するか中止するかを決定するのに使用できます。vendor_manager ロールを持つユーザーは、このフィールドを編集できます。
簡単な説明	アイテムの簡単な説明。
「全般」セクション	
製品カタログアイテム	アイテムが製品カタログに追加されている場合の製品カタログアイテムの名前。ベンダーカタログアイテムをハードウェアカタログにリンクする場合は、このフィールドを空欄にします。
UPC	販売するアイテムを一意に識別して追跡するために使用されるバーコード番号。
アクティブ	チェック ボックスを選択すると、ベンダーカタログアイテムが一覧表示されます。ベンダーカタログアイテムを非表示にするには、このチェックボックスをクリアーします。
説明	アイテムの詳細な説明。
「情報」セクション	
仕様	アイテムのサイズ、重量、バージョン、速度などのファクト。
特徴	アイテムの識別可能な特性または特徴。

4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア カタログへのアイテムのリンク

ベンダーカタログアイテムを作成したら、アイテムをハードウェアカタログにリンクして表示します。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ハードウェアカタログアイテムへのリンク] 関連リンクを表示するには、ハードウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > カタログ定義 > ベンダーアイテム.
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ハードウェアカタログアイテムへのリンク] をクリックします。
4. [カタログアイテム] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。
   ページが選択されたハードウェアカタログアイテムに更新されます。ベンダーカタログアイテムが [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに一覧表示されます。

ソフトウェア カタログへのアイテムのリンク

ベンダーカタログアイテムを作成したら、アイテムをソフトウェアカタログにリンクして表示します。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ソフトウェアカタログアイテムへのリンク] 関連リンクを表示するには、ソフトウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > カタログ定義 > ベンダーアイテム.
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ソフトウェアカタログアイテムへのリンク] をクリックします。
4. [カタログアイテム] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。
   ページが選択されたソフトウェアカタログアイテムに更新されます。ベンダーカタログアイテムが [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに一覧表示されます。

ハードウェアカタログにアイテムを公開する

ベンダーカタログにハードウェアアイテムを作成したら、ハードウェアカタログに公開して表示します。ハードウェアカタログは、サービスカタログ内のセクションです。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ハードウェアカタログに公開] 関連リンクを表示するには、ハードウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

ベンダーカタログアイテムをハードウェアカタログに公開した後は、[ハードウェアカタログに公開] 関連リンクが利用できなくなります。ベンダーカタログアイテムレコードに加えられた変更は、ハードウェアカタログ内の情報と同期されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > カタログ定義 > ベンダーアイテム.
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ハードウェア カタログに公開] をクリックします。
4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** を選択します。
   公開済みアイテムがハードウェアカタログフォームの [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに表示されます。

ソフトウェアカタログにアイテムを公開する

ベンダーカタログのソフトウェアアイテムを作成したら、ソフトウェアカタログに公開して表示します。ソフトウェアカタログは、サービスカタログ内のセクションです。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ソフトウェアカタログに公開] 関連リンクを表示するには、ソフトウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

ベンダーカタログアイテムをソフトウェアカタログに公開した後は、[ソフトウェアカタログに公開] 関連リンクが利用できなくなります。ベンダーカタログアイテムレコードに加えられた変更は、ソフトウェアカタログ内の情報と同期されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > カタログ定義 > ベンダーアイテム.
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ソフトウェアカタログに公開] を選択します。
4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** を選択します。
   公開済みアイテムがソフトウェアカタログフォームの [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに表示されます。

ベンダーリストを見る

Product Catalog からベンダーのリストを表示できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
このリストには、[ベンダー] オプションがレコードで選択されているすべての会社が含まれます。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > カタログ定義 > ベンダー.
2. 詳細については、任意のベンダーの[名前] をクリックします。

製品カタログアイテム

製品カタログアイテムは、サービスカタログで追跡、提供できるハードウェアとソフトウェアです。

Product Catalog は、利用可能なモデルのリストを含むService Catalog の拡張版です。catalog_admin ロールを持つユーザーは、製品カタログ アイテムを作成、アクティブ化、非アクティブ化できます。

製品カタログアイテムの作成

製品カタログとサービスカタログに含めるハードウェアやソフトウェアの製品カタログアイテムを作成します。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて
アイテムが製品カタログやサービスカタログに表示される前に、アイテムを個別にアクティブ化にする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > カタログ定義 > ハードウェアとソフトウェア.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームに入力します。
   一覧表示されているフィールドの一部は、製品カタログアイテムを保存するまで表示されません。

製品カタログアイテム フィールド

フィールド	説明
名前	製品カタログに表示するアイテムの名前。
カタログ	このアイテムが掲載されているカタログ。
ベンダー	アイテムを供給するベンダー。アイテムが複数のベンダーから購入されている場合は、ベンダー カタログを使用してこのフィールドを空欄にします。
ランク	選択したベンダーの製品やサービスの総合的な順位。このフィールドは、CI クラスが [ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] のときに、製品カタログアイテムレコードに表示されます。
モデル	アイテムの特定のバージョンまたは構成。
製品 ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
価格	アイテムが製品カタログで販売されている価格。数値を入力し、適切な通貨を選択します。
繰り返し発生料金	アイテムに繰り返し発生する価格。たとえば、携帯電話の契約に 500.00 USD かかり、月額 30 USD が繰り返し発生します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
繰り返し発生料金の頻度	支払が繰り返し発生する間隔。
表示価格	アイテムの小売価格。このフィールドは、[クラス] が [ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] の場合のみ表示されます。
コスト	アイテムがベンダーから購入された価格。組織がベンダーから割引を受けた場合、コストは [表示価格] より低くなる可能性があります。このフィールドは、CI クラスが [ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] の場合のみ、製品カタログアイテムレコードに表示されます。
買い物かごの価格を省略	選択すると、アイテムがサービスカタログに表示されたときに価格が非表示になります。チェック ボックスをクリアーすると、サービスカタログに価格が表示されます。このフィールドは、CI クラスがハードウェアカタログの場合にのみ製品カタログアイテムレコードに表示されます。
Workflow	このアイテムに関連付けられたワークフロー。 [ワークフローを表示]を選択すると、ワークフローに関連付けられたアクティビティ、条件、およびステージを表示できます。
実行計画	このアイテムに関連付けられた実行計画。
簡単な説明	アイテムの簡単な説明。
オーダー済みアイテムのリンク	アイテムの詳細情報を含むリンクのリスト。複数のアイテムにわたってリンクを再利用することができます。
クラス	このアイテムが属するカタログアイテムのクラス。[ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] を選択します。このフィールドはデフォルトで表示されます。ハードウェアカタログアイテムまたはソフトウェアカタログアイテムとしてレコードを保存すると、フォームはそれぞれハードウェアカタログまたはソフトウェアカタログに変更されます。
「全般」セクション	
カテゴリ	アイテムが属するアイテムの名前付きグループ。
配送時間	商品の配送に要する時間 (製品カタログから注文された時点から開始)。
UPC	アイテムの識別と追跡に使用されるバーコード番号。
説明	アイテムの詳細な説明。説明が製品カタログリストに表示されます。
製品情報セクション	
コスト	アイテムがベンダーから購入された価格。このフィールドは、[クラス] が [ソフトウェアカタログ] の場合にのみ表示されます。
仕様	アイテムのサイズ、重量、バージョン、速度などのファクト。
特徴	アイテムの識別可能な特性または特徴。
画像セクション	
アイコン	アイテムがサービスカタログに表示される際に名前の横に表示される小さな画像。サポートされているファイル形式は、jpg、png、bmp、gif、jpeg です。

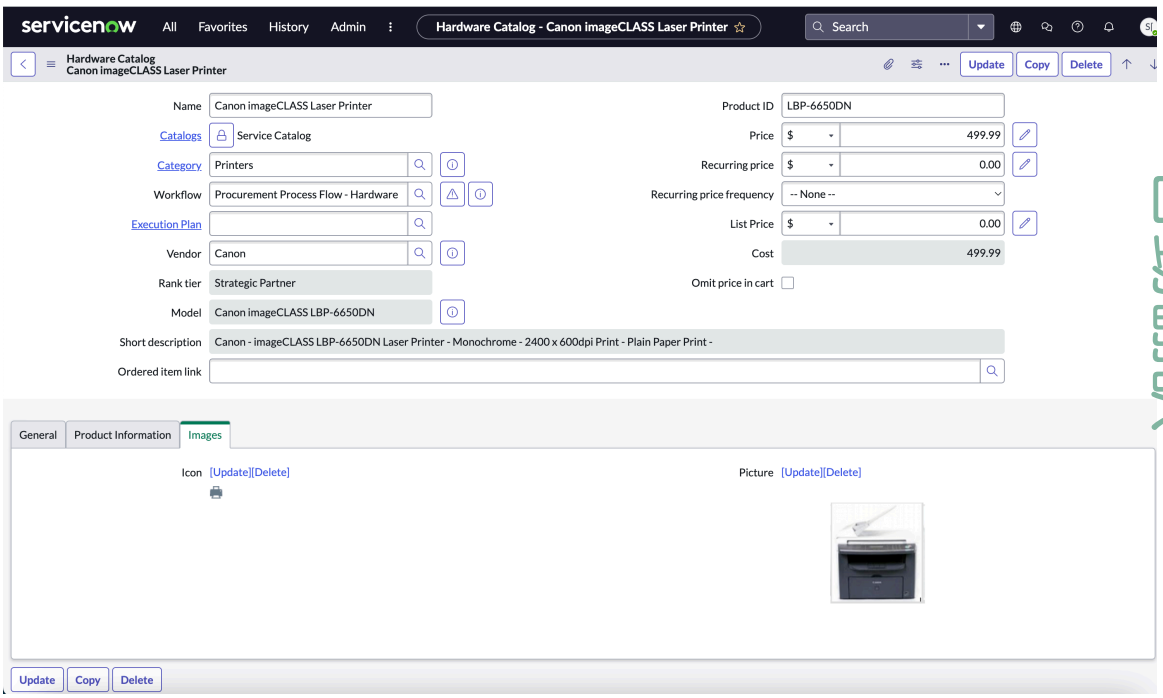
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
画像	アイテムを示すイメージ。サポートされているファイル形式は、jpg、png、bmp、gif、jpegです。
関連リスト	
含む	このアイテムとともに提供されるその他のカタログアイテム。この関連リストは情報提供のみを目的としています。
変数	このアイテムに関連付けられたサービスカタログ変数。サービスカタログ変数は、サービスカタログから製品を注文する際に顧客が選択する情報を取得、移します。
ベンダーカタログアイテム	このアイテムに関連付けられたベンダーカタログアイテム。ベンダーカタログアイテムを使用すると、各ベンダーの識別によるアイテムに関する情報を追跡できます。

Example
ハードウェアカタログアイテムは、アイテムのアイコンと画像とともに記録されます。

ハードウェアカタログアイテム



4. オプション: Service Catalog に表示されているアイテムをプレビューするには、[お試し] を選択します。
5. [送信] または [更新] を選択します。

関連情報

ベンダーカタログアイテムを作成する
実行計画の作成
サービスカタログ変数

製品カタログアイテムのアクティブ化

製品カタログアイテムをアクティブ化して、製品カタログやサービスカタログで使用できるようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて
リスト ビューまたはレコードのいずれかからアイテムをアクティブ化することができます。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > カタログ定義 > ハードウェア および ソフトウェアアイテム.
2. 次のいずれかの操作を実行します。

オプション	説明
リストビューから 1 点または複数のアイテムを有効にする	レコードリストの 1 点または複数のアイテムの横にあるチェックボックスを選択し、リストの下にある [アクティブ化] を選択します。
レコードからアクティブ化する	[関連リンク] で、 [アクティブ化] を選択します。

製品カタログアイテムの非アクティブ化

製品カタログアイテムを非アクティブ化して、製品カタログやサービスカタログから削除します。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて
リストビューまたはレコードのいずれかから項目を非アクティブ化することができます。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > カタログ定義 > ハードウェア および ソフトウェアアイテム.
2. 次のいずれかの手順を実行します。

オプション	説明
リストビューから非アクティブ化する	レコードリストの 1 点または複数のアイテムの横にあるチェックボックスを選択し、リストの下にある[アクティブ化] をクリックします。
レコードから非アクティブ化する	[関連リンク] で、[非アクティブ化] を選択します。

モデルカテゴリ

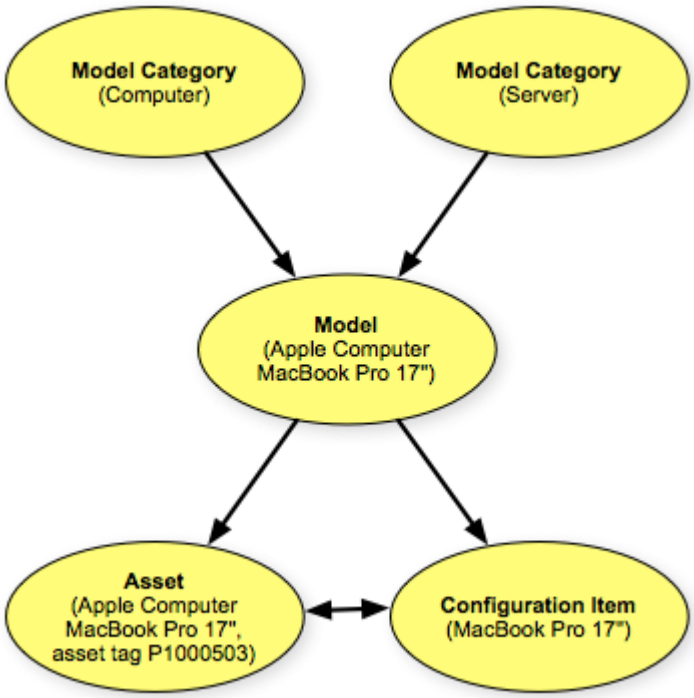
モデル カテゴリは、CI クラスを資産クラスに関連付けます。モデル カテゴリは Product Catalog アプリケーションの一部です。

モデル カテゴリの構成は、ServiceNow プラットフォームが CI から資産を作成するかどうかを決定し、そうであれば資産のどのクラスを作成するかを決定します。ベース システムの資産クラスは、ハードウェア、ソフトウェア ライセンス、消耗品です。モデル カテゴリを多くのモデルに、モデルを多くのモデル カテゴリに関連付けることができます。たとえば、コンピューターの特定のモデルはコンピューターとサーバーとすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル図



サービスとして提供されるアイテム、または顧客に販売されるアイテムは、インストールベースアイテム (IBI) として追跡されます。[モデルカテゴリ] テーブルは、資産クラス、CI クラス、およびインストールベースアイテム (IBI) クラスを関連付けます。

注:
[インストールベースアイテムクラス] フィールドは、カスタマーサービスインストールベース管理 [com.snc.install_base] プラグインがインストールされている場合にのみ、[モデルカテゴリ] フォームで使用できます。現在、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアアプリケーションがインストールされている場合は、医療デバイスのインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] のみがサポートされます。詳細については、「Medical device install base item table」を参照してください。IBI クラスが作成されると、資産が存在する場合は資産に関連付けられ、それ以外の場合は資産が作成されます。

[資産クラス] と [IBI クラス] のフィールドは、次のように同期されます。

1. IBI クラスが更新されると、[アカウント]、[コンシューマー]、[場所]、および [インストール日] フィールドの変更が、資産クラスの対応するフィールドと同期されます。
2. 資産クラスが更新されると、[場所] フィールドと [インストール日] フィールドの変更が IBI クラスの対応するフィールドと同期されます。

関連情報

CMDB 分類とクラスの依存関係

資産クラスを作成する

モデル カテゴリを表示する

デフォルトのモデル カテゴリは製品カタログに含まれています。デフォルトのカテゴリと作成されたカテゴリの一覧を表示できます。

始める前に

必要なロール：model_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > モデルカテゴリ.
2. モデル カテゴリーを開いて、詳細を表示します。

モデル カテゴリを作成する

インスタンスのカスタム モデル カテゴリを追加できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
モデル カテゴリを作成するときは、次の点にご注意ください。

- ベース システムは、CMDB 内の各 CI クラスのモデル カテゴリを提供します。*cmdb_ci* クラスを作成するとき、使用するモデル テーブルのモデル カテゴリ テーブルに対応する行を作成します。
- 既存のモデル カテゴリで [資産クラス] を選択すると、モデル カテゴリに関連付けられたすべての構成アイテムの資産が自動的に作成されます (設定されている場合)。資産が自動的に作成されない場合は、資産を手動で作成することができます。モデル カテゴリに対して資産クラスが選択された後、資産クラスは変更できません。
- [事前割り当てを許可]、[バンドルで許可]、[メインとして許可] オプションは、モデルカテゴリに資産クラスが指定されている場合にのみ使用できます。
- 資産クラスに [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、[バンドルで許可] オプションは使用できますが、[事前割り当てを許可] や [メインとして許可] は使用できません。
- 資産追跡を必要とするモデル カテゴリから CI を作成すると、モデル カテゴリで指定された資産クラスの資産レコードが自動的に作成されます。次に、その資産レコードを CI にリンクします。モデルが指定されている場合、CI のモデル カテゴリは、CI クラスと、モデルによってサポートされるカテゴリのリストの組み合わせによって決定されます。資産追跡はモデル レコードで指定されます。
- CI 追跡を必要とするモデル カテゴリから資産を作成すると、カテゴリによって指定されたクラスの CIレコードが自動的に作成され、資産にリンクされます。
- [モデル カテゴリ] リスト (**Product Catalog** > 製品モデル > モデルカテゴリ) には、すべての CI クラスと、資産サイドで生成される資産クラスが表示されます。

手順

1. 移動先 **Product Catalog** > 製品モデル > モデルカテゴリ をクリックし、[新規] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

モデルカテゴリ フィールド

フィールド	説明
名前	このカテゴリのわかりやすい名前。
CI クラス	CIクラスが必要な場合は、モデル カテゴリの作成時に指定する必要があります。後で CI クラスをモデルカテゴリに追加することはできません。
資産クラス	デフォルトオプションと作成した新規の資産クラス。資産クラスを設定すると、選択したモデル カテゴリに応じて資産の作成が発動されます。資産クラスを後でモデルカテゴリに追加することはできますが、追加後に変更することはできません。消耗品またはソフトウェアライセンスが CI を作成しないため、[消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	選択すると、**[CI** クラス] フィールドが読み取り専用になります。CI クラスを指定してから [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、**[CI** クラス] フィールドは自動的に [なし] に変更されます。 ○ 資産：個別に追跡できるアイテム。 ○ 消耗品：キーボードなど個別に追跡されない資産。 ○ ハードウェア：ラップトップやサーバーなどのコンピューター機器の物理的な部品。 ○ ソフトウェアライセンス：許可されたインストール数や配賦条件など、ソフトウェアの使用を定義する法的申告。
インストールベースアイテムクラス	資産をインストールベースアイテムとして追跡するクラス。 **注:** このフィールドは、カスタマーサービスインストールベース管理 [com.snc.install_base] プラグインがインストールされている場合にのみ利用できます。また現在のところ、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 Core アプリケーションがインストールされている場合は、医療デバイスのインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] のみを使用できます。
製品モデルクラス	モデルが保存されるクラステーブル。デフォルト値は次のとおりです。 ○ アプリケーション ○ 消耗品 ○ 契約 ○ 設備 ○ ハードウェア ○ サービス ○ ソフトウェア 値を選択すると、モデルカテゴリで作成されたモデルのテーブルコンテンツ、フォームビュー、および全体的な機能が影響を受けます。
製品インスタンスである	モデルカテゴリが、資産、CI、および IBI クラスの論理グループである製品インスタンスに関連付けられているかどうかを識別します。 **注:** このチェックボックスは読み取り専用で、医療デバイスのモデルカテゴリでのみサポートされています。このオプションを選択すると、製品インスタンス識別子 (PID)、資産、CI、および IBI クラスの一意の識別子が、そのモデルカテゴリの資産を作成するたびに生成されます。ただし、既存の資産の場合、PID は、[シリアル番号]、[モデルコンポーネント ID]、[親] などの資産フィールドのいずれかが更新されたときにのみ生成されます。
事前割り当てを許可	このカテゴリーのアイテムを割り当て資産として追加、追跡します。
バンドル	このカテゴリのアイテムをバンドルで使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
で許可	
メインとして許可	このカテゴリのアイテムをバンドルのメインコンポーネントとして使用します。
CI 検証を強制	CI が手動で追加されたときやディスカバリーで検出されたとき、特定のモデル カテゴリで資産を自動的に作成しないようにします。このオプションを使用すると、新しい CI を資産として追加する前に管理者が新しい CI をレビューおよび検証できます。

3. [送信] を選択します。

関連情報

検出

資産を手動で作成する

Now Platformは特定の条件下で自動的に資産を作成することはありません。必要に応じて手動で資産を作成することができます。

始める前に

必要なロール：model_manager

このタスクについて

資産が自動的に作成されない条件は、次の通りです。

- 強制 CI 検証：[モデルカテゴリ] フォームの **[CI** 検証を強制] チェック ボックスを選択すると、CI の作成時または検出時に自動的に資産が作成されません。**[CI** 検証を強制] が有効な場合、新規作成された CI は資産の自動作成を発動しません。代わりに、これらの新規作成された CI の [検証を要求] フィールドが自動的に True に設定され、CI の次の UI アクションが表示されます。
  - *`Create Asset`*：資産を作成し、*`Requires verification`* を false に設定します。
  - *`Merge CI`*：CI の重複を結合する。このアクションは、CI の資産が別の過程で作成され、関連する CI が作成された場合に便利です。すると手動または検出ソースを介して 2 番目の CI が作成されても、重複した CI が正しく統合されませんでした。
- 構成エラー：まれに、資産を自動的に作成できないことがあります。モデルとモデルカテゴリを間違った順序で CI に割り当てると、このエラーが発生する可能性があります。

手動で資産を作成するには、次の手順に従います。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > モデルカテゴリ.
2. CI クラスが割り当てられていないモデルカテゴリを開きます。
3. [資産を作成] をクリックします。
   このアクションは、このモデルカテゴリで検証のために保留されたすべての CI から資産を作成します。このオプションは、admin ロールを持つユーザーのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル カテゴリを編集する

すべてのデフォルトのモデル カテゴリは、契約モデル カテゴリを除いて編集できます。作成したカスタム モデル カテゴリは、いつでも編集できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > モデルカテゴリ.
2. モデルカテゴリレコードを開きます。
3. 必要に応じてフィールドを編集します。

   注:
   CI クラスが必要な場合は、モデルカテゴリの作成時に指定する必要があります。後で CI クラスをモデルカテゴリに追加することはできません。

4. [更新] をクリックします。

モデル カテゴリを削除する

モデル カテゴリが不要になった場合は削除することができます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
どのモデルにも参照されていないモデル カテゴリのみ削除できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Product Catalog** > 製品モデル > モデルカテゴリ.
2. モデル カテゴリの [名前] の横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下の [選択した行のアクション] メニューから、[削除] をクリックします。
4. [削除] をクリックします。

ドメイン分離と 製品カタログ

ドメイン分離は 製品カタログ でサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルサポートを含みます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サンプルユースケース：管理者は、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

製品カタログにおけるドメイン分離の仕組み

ドメインオーナーの従業員とテナントは、作業が正しいドメインで実行されている場合、同じプロセスを使用できます。構成を調整するときは、作業を行っているドメインにいる必要があります。ドメインピッカーを使用して、作業を行う正しいドメインを選択します。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

IT Asset Management コンテンツ要求プロセス

IT Asset Management コンテンツサービスチームは、IT Asset Management の顧客からのコンテンツ要求を管理およびサポートします。

ITAMコンテンツチームは、コンテンツリクエストをレビューし、毎週の定期的なコンテンツアップデートを通じて配信します。

コンテンツ要求の例には、公開者、製品、公開者の品番、ディスカバリーマップ、およびライフサイクルの日付の追加または更新が含まれますが、これらに限定されません。カスタムデータ (公開者、製品など) をインスタンスに追加することもできますが、ITAM のユースケースにはすぐに使えるコンテンツを活用することをお勧めします。コンテンツサービスを通じて提供されたカスタムデータを作成する場合は、初期設定のコンテンツへの参照を更新し、カスタムデータを削除する必要があります。

コンテンツ要求は、次のカテゴリに分類されます。

- 新しいコンテンツ:現在コンテンツライブラリにないコンテンツが必要です。ポータルからNow Supportカタログ要求を送信することで、新しいコンテンツを要求できます
- コンテンツ修正:以前に配信されたコンテンツを修正する必要があります。ポータルからカスタマーサポートに ServiceNow ケースを提出することで、 Now Support コンテンツの更新を要求できます。

コンテンツ要求の詳細については、に関するこのナレッジベース記事 ServiceNow Now Support https://support.servicenow.com/kb?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0790305 を参照してください。

IT Asset Management コンテンツ要求の作成

IT Asset Management コンテンツサービスのアプリケーションを介して サービスカタログ 、新しいコンテンツの要求を作成します。

始める前に
コンテンツ要求は、コンテンツサービスとハードウェア資産管理コンテンツサービスに対してソフトウェア資産管理行うことができます。

必要なロール:顧客ユーザーまたはパートナーユーザー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ポータルにログインします ServiceNow Now Support 。
2. 移動先 オートメーションストア > サービスカタログ.
3. カタログアイテム [資産管理コンテンツ要求] を検索して選択します。
   [カタログアイテム] フォームで、[カタログ要求番号 **(CR)**]、[要求元]、および [会社] フィールドが自動的に入力されます。
4. フォームに詳細を入力します。

フィールド	説明
タイトル	要求の概要。
説明	要求の詳細。
選択されたインスタンス	コンテンツを要求しているインスタンス。
ウォッチリスト	組織内に個人を追加して、この要求の進捗状況を表示します。
コンテンツカテゴリ	要求のコンテンツカテゴリ。[Software Asset Management] コンテンツサービスまたは [Hardware Asset Management] コンテンツサービスを選択できます。
添付ファイル	要求されたコンテンツに関する必要な情報が記載された Excel シートを添付します。

5. **[Submit** (送信)] をクリックします。
6. 現在のコンテンツ要求を表示するには、 オートメーションストア > サービスカタログ > 自分のコンテンツ要求
   デフォルトのフィルターには、アクティブな要求のみが表示されます。すべてのリクエスト(クローズ済みのリクエストを含む)を表示する場合は、フィルターを調整する必要があります。

IT Asset Management のライセンス

この ServiceNow プラットフォームでは、組織が IT Asset Management アプリケーション (ServiceNow ソフトウェア資産管理 アプリケーションとアプリケーション) ServiceNow ハードウェア資産管理 の使用に対して課金される新しいライセンス方法を使用します。

ライセンスの目的上、CI タイプは CI カテゴリーにアサインされています。組織の顧客契約により、各 CI カテゴリーの CI 割り当ての比率が決定します。顧客契約からの情報は ServiceNow プラットフォームと同期されます。これらは次の CI カテゴリです。

- ネットワークギア
- サーバー
- エンドユーザーコンピューター

注:
CI タイプは CI クラスと同じです。

組織のニーズに応じて、アプリケーションのサブスクリプションを個別に購入 (単品) またはまとめて (バンドルで) 購入することができます。サブスクリプションをバンドルで購入すると、バンドル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

に含まれるすべてのアプリケーションに対して同じ数のサブスクリプションを取得します。たとえば、とアプリケーションに対応する ソフトウェア資産管理 500 のバンドルの場合、組織は 500 ソフトウェア資産管理 のサブスクリプションと 500 のサブスクリプションハードウェア資産管理ハードウェア資産管理を受け取ります。

バンドルサブスクリプションは特定のアプリケーションに対応します。他のアプリケーションが同じバンドルに含まれている場合でも、他のアプリケーションに対してバンドルサブスクリプションを使用することはできません。たとえば、ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 に対応する 500 のバンドルを購入し、500 すべての ソフトウェア資産管理 サブスクリプションを使用した場合、の予備 ハードウェア資産管理 のサブスクリプション ソフトウェア資産管理は使用できません。

組織で当初の予定よりも多くのサブスクリプションが消費されている場合は、組織のニーズにより適したより大きなバンドルを購入できます。組織では、さまざまなレベルで IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプションを利用する場合があります。その場合は、必要なアプリケーションのほとんどを十分にカバーするバンドルを購入し、より多くのサブスクリプションを消費するアプリケーション用の単品サブスクリプションを購入することもできます。

IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプション概要

組織で購入および割り当てた IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプション数を表示できます。

構成アイテム (CI) の割り当てと割り当てレベルを確認して、組織で IT Asset Management アプリケーションサブスクリプションをどのように使用しているかを確認し、今後のサブスクリプションのニーズを計画します。

移動先 **ITAM** ライセンス > **ITAM** サブスクリプションの概要 をクリックして、サブスクリプションの概要を表示します。

単品およびバンドルで購入したサブスクリプションについて、次の統計情報を表示します。

名前

サブスクリプションバンドルまたは IT Asset Management アプリケーションの名前 (組織がアプリケーションごとに個別に (単品) サブスクリプションを購入した場合は)。

購入日

バンドルまたはアプリケーション (単品) ごとに購入したサブスクリプションの数です。

割り当て数

バンドルまたはアプリケーション (単品) で利用したサブスクリプションの数です。バンドルの場合、このフィールドには、バンドルに含まれているアプリケーションで利用したサブスクリプションの最大数が表示されます。たとえば、ソフトウェア資産管理 で 300 のサブスクリプションを利用し 、ハードウェア資産管理 で 200 のサブスクリプションを利用した場合、このフィールドには、これらのアプリケーションが含まれているバンドルに応じた「300」が表示されます。

カラーコードは、組織で利用されているサブスクリプションの割合を示します。デフォルトでは、カラーコードのしきい値は 90 % です。

- 緑：組織で購入したサブスクリプションの利用率は 10 % 未満です。
- 黄：組織で購入したサブスクリプションの利用率は 90 % を超え、100 % 未満です。
- 赤：組織での利用率は 100 % 以上で、購入したサブスクリプションの数を上回っています。購入したサブスクリプションが上限超過となっています。

開始日/終了日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このサブスクリプションが有効な期間です。

ライセンスモジュールは、次のようにサブスクリプションの利用量を計算して表示します。

バンドルのみのサブスクリプション

サブスクリプションをバンドルで購入すると、バンドルに含まれるすべての IT Asset Management アプリケーションに対して同じ数のサブスクリプションを取得します。たとえば、ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 に対応する 500 のバンドルの場合、組織は、ソフトウェア資産管理 に対する 500 のサブスクリプションと、ハードウェア資産管理 に対する 500 のサブスクリプションを受け取ります。

ライセンスモジュールは、関連するアプリケーションへのバンドルサブスクリプションから、利用したサブスクリプションの数を差し引きます。バンドルサブスクリプションは特定のアプリケーションに対応します。他のアプリケーションが同じバンドルに含まれている場合でも、他のアプリケーションに対してバンドルサブスクリプションを使用することはできません。たとえば、ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 に対応する 500 のバンドルを購入し、500 すべての ソフトウェア資産管理 サブスクリプションを使用した場合、の予備 ハードウェア資産管理 のサブスクリプション ソフトウェア資産管理は使用できません。

購入したサブスクリプションの数を超過した場合、利用したサブスクリプションの数に合わせてバンドルサイズが自動的に調整されます。このとき、ライセンスモジュールは、同じバンドルに含まれているすべてのアプリケーションの利用量レベルを再計算します。

[サブスクリプション] ウィンドウには、[割り当て数] の下に実際に利用したサブスクリプションの数が表示されます。[割り当て済み] の赤色の点は、バンドルが上限超過になっていることを示します。

単品のみのサブスクリプション

ライセンスモジュールは、関連するアプリケーションへの単品サブスクリプションから、利用したサブスクリプションの数を差し引きます。[サブスクリプション] ウィンドウには、IT Asset Management アプリケーションに対して購入および割り当てられたサブスクリプションの情報が表示されます。

IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプションを購入した数を超えた場合、別のアプリケーションで未使用のサブスクリプションを使用することはできません。

サブスクリプションの数を超過した場合、[サブスクリプション] ウィンドウには、上限超過の関連する単品サブスクリプションが表示されます。

同じアプリケーション用の、バンドルと単品の両方のサブスクリプション

IT Asset Management サブスクリプションをバンドルと単品の両方で購入した場合、ライセンスモジュールは常に、購入した単品サブスクリプションの数を差し引く前に、利用したサブスクリプションの数をバンドルから差し引きます。たとえば、ソフトウェア資産管理 および ハードウェア資産管理 が含まれている、500 のサブスクリプションのバンドルがあるとします。加えて、ソフトウェア資産管理 用の単品サブスクリプションを 250 購入しているとします。ソフトウェア資産管理 が利用する最初の 500 のサブスクリプションは、バンドル分から利用されます。ソフトウェア資産管理 が利用するサブスクリプションの数がバンドル分を超過した場合のみ、購入した単品サブスクリプションからも差し引かれ、その結果が、ソフトウェア資産管理 に割り当てられたサブスクリプションとして表示されます。

組織で購入したバンドルおよび単品のサブスクリプションの数を超過した場合は、単品サブスクリプションからの上限超過と見なされます。この場合、[サブスクリプション] ウィンドウでは、単品サブスクリプションが上限超過になっていることが示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT Asset Management アプリケーションのライセンスレポートの表示

IT Asset Management アプリケーションが検出、監視、およびプロビジョニングするリソースは、CMDB に格納されている構成アイテム (CI) です。ITAM ライセンスモジュールは、CI に関するこの情報と、組織で購入したサブスクリプションの情報を組み合わせて、IT Asset Management アプリケーションで使用されるサブスクリプションに関する統計情報を生成します。

始める前に

ライセンス付与のために情報を収集および集計するプロセスは、次のインタラクションで構成されています。これにより、組織で購入したサブスクリプションユニットをどのように使用しているのかを示す統計情報を表示できます。

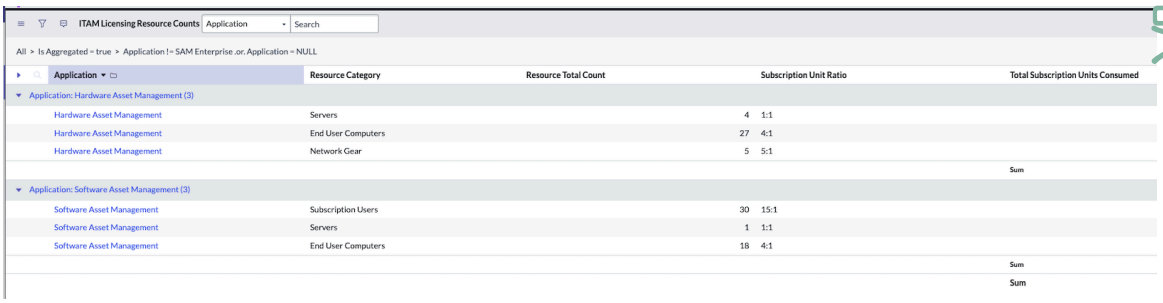
1. IT Asset Management アプリケーションは、毎日 CI をカウントし、CI カテゴリに割り当てます。
2. IT Asset Management アプリケーションは、CI カテゴリ別の CI 数を IT Asset Management ライセンスモジュールに日次レポートします。同じアプリケーションの機能がリソースと同じ CI を報告する場合、CI 数が操作され、重複は削除されます。
3. ライセンスモジュールは、IT Asset Management アプリケーションの日次平均 CI 数と顧客契約のライセンス情報を関連付けて、ライセンス統計情報を生成します。

必要なロール：

- admin
- usage_admin

手順

1. 移動先 すべて > **ITAM** ライセンス > **ITAM** ライセンスレポート.
2. アプリケーションを選択して、特定の CI カテゴリのサブスクリプションを表示します。



各 IT Operations Management アプリケーションに対して個別に (単品) 購入した CI 数とサブスクリプションに関する次の情報を表示できます。

- リソースカテゴリ:IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリ。
- リソース合計数:各 IT Asset Management アプリケーションの、CI カテゴリ別に整理された CI の CI 数。
- [サブスクリプションユニット率]：率は、サブスクリプションが必要な特定の CI カテゴリにおける CI の数を定義します。ソフトウェア資産管理アプリケーションには、エンドユーザーコンピューター (4:1)、サーバー (1:1)、ストレージボリューム (3:1)、およびデータベース (3:1) の定義済みの値があります。
- 消費されたサブスクリプションユニットの合計:組織が利用した各 IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリごとのサブスクリプションの数。ライセンスモジュールは、各アプリケーションの CI カテゴリの CI 数にサブスクリプション率を適用して、この数を計算します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスの目的上、アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 過去 90 日以内に検出されたソフトウェア インストールを含む CI または最後に検出された CI が空であると見なします。さらに、cmdb_ci_hardwareテーブルに列が追加され、その列名が プロパティ で参照されているすべての CI が除外されます *`Enter the name of the true/false field added to cmdb_ci_hardware table to exclude software installed on selected devices from Software Asset Management`*。CI の除外の詳細については、次を参照してください CI 上のソフトウェア資産を除外する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。